ワシントンDC 戦略的ポートフォリオ管理

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

P....7
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)....8
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の組織プラグイン....17
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の機械学習ソリューション....18
デマンド管理 対応の 予測インテリジェンス....19
Innovation Management 対応の 予測インテリジェンス....21
プロジェクト管理 (PM) 対応の 予測インテリジェンス....23
PPM Predictive Intelligence Workbench....25
PPM PIWB テンプレート - 類似デマンドの検索....25
PPM PIWB テンプレート - 類似アイデアの検索....26
PPM PIWB テンプレート - 類似プロジェクトの検索....26
ポートフォリオ計画....27
ポートフォリオ計画 の詳細....28
ポートフォリオ計画 の構成....44
ポートフォリオ計画 Workspace の使用....68
ポートフォリオ計画 の参照....113
戦略的計画....141
Product Feedback 入力 戦略的計画....141
のポートフォリオ計画立案 戦略的計画....164
Enterprise Agile Planning 入力 戦略的計画....365
共同作業管理....405
共同作業管理 の詳細....406
共同作業管理 の構成....408
でのスペースとのコラボレーション CWM....411
でのボードを使用した作業の管理 CWM....414
を使用したコラボレーションドキュメンテーション CWM....423
でのフォルダーの作成 CWM....424
共同作業管理 参照....425
ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク....427
ゴールフレームワーク と SPM のゴールフレームワーク の探索....429
ゴールフレームワーク と SPM のゴールフレームワーク の構成....432
ゴールフレームワーク または SPM のゴールフレームワーク を使用した目標管理 437
ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク の参照....455
データ分離....473
データ分離 の詳細....474
データ分離 の構成....476
データ分離 の参照....482
プロジェクトポートフォリオ管理....485
プロジェクトポートフォリオ管理の詳細....486

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) の有効化....500
Innovation Management....501
デマンド管理....526
プロジェクト管理 (PM)....610
プロジェクトワークスペース....822
プロジェクト管理 (PM) における複数通貨....886
リソース管理....897
リソース管理ワークスペース....999
ポートフォリオ管理....1005
プログラム管理....1059
レートモデル....1073
タイムカード管理....1081
Financial Management....1128
金銭的利益計画と金銭以外の利益計画....1310
Strategic Spend Tracking for PPM....1310
プロジェクトポートフォリオ管理 プラットフォームアナリティクスソリューション....1321
プロジェクトポートフォリオ管理 参照....1341
SPM ベンチマーク....1363
SPM ベンチマーク の詳細....1364
SPM ベンチマーク の構成....1366
SPM ベンチマーク KPI をカスタマイズ....1367
SPM ベンチマーク の参照....1368
投資枠管理....1371
投資枠管理 のインストール....1372
従来の 投資枠管理 をストアアプリケーションにアップグレード....1374
投資枠管理 管理....1375
トップレベルの投資の作成....1379
投資の作成....1381
投資の共同オーナー....1383
投資のための資金を要求....1384
投資のための資金配分を計画する....1385
投資への資金の割り当て....1386
投資の実際の支出の入力....1387
資金要求を却下....1388
資金の使用状況の確認....1389
過去の資金調達の詳細の表示....1390
ドメイン分離と 投資枠管理....1390
戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint....1391
Export to PowerPoint の詳細....1392
Export to PowerPoint の構成....1393
Export to PowerPoint の使用....1397
Export to PowerPoint 参照....1402

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development..... 1405
Agile Development 2.0..... 1407
Agile Development 2.0 のモバイルエクスペリエンス..... 1508
Agile Development 2.0 のスクラムプログラム 1520
パフォーマンスアナリティクス Agile 2.0 のコンテンツパック..... 1533
Work Progress Status for Agile Teams..... 1563
Atlassian Jira Integration for Agile Development..... 1565
Atlassian Jira Integration for Agile Development のインストール..... 1566
Jira と Agile Development との統合の設定..... 1569
Agile Development と Jira の間の問題のインポートとエクスポート..... 1585
Agile Development との Jira 統合に関する問題のトラブルシューティング..... 1587
Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development..... 1591
Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development のインストール..... 1592
Microsoft Azure DevOps と Agile Development の間のデータ連携設定..... 1595
Agile Development と Azure DevOps の間で作業アイテムをインポートおよびエクスポートする..... 1613
Agile Development との Azure DevOps 統合に関する問題のトラブルシューティング..... 1617
スケール アジャイル フレームワーク (SAFe)..... 1620
ドメイン分離と Scaled Agile Framework (SAFe)..... 1621
Essential SAFe および Portfolio SAFe のビジネスステークホルダーロール..... 1621
Essential SAFe..... 1624
ポートフォリオ SAFe..... 1676
SAFe — 統一されたバックログ..... 1683
Essential SAFe 用 パフォーマンスアナリティクス コンテンツパック..... 1686
Work Progress Status for SAFe..... 1726
Test Management アプリケーション..... 1728
ドメイン分離と テスト管理..... 1730
Test Management 1.0..... 1730
Test Management 2.0..... 1756
Test Management 1.0 から Test Management 2.0 への移行..... 1772
事業計画立案ポータル..... 1781
事業部門..... 1782
企業戦略を作成する..... 1783
事業部門戦略を作成する..... 1784
コスト管理..... 1785
コスト管理を有効化..... 1785
Cost Management のデモデータ..... 1792
コスト概要モジュール..... 1794
CI レートカード..... 1795
タスクレードカードと賃金レードカード..... 1799
予算とコストセンター..... 1800

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

配分コストとルールの使用.....1804
経費でビジネスサービスを使用する..... 1805
コストのソース..... 1807
CI 関係.....1811
経費の割り当て..... 1812
予算関連レコード.....1814
ドメイン分離と Cost Management.....1814

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

P

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

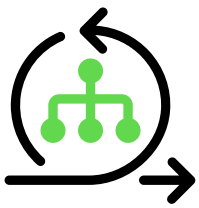
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)

作業を戦略に合わせて、ビジネスの目標と優先順位をサポートする方法で製品とサービスを提供します。 ServiceNow　戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (SPM以前の IT Business Managementを使用すると、デジタルトランスフォーメーションを使用して、より多くの顧客価値をより迅速に推進できます。さまざまな方法論で価値を計画、提供、追跡します。



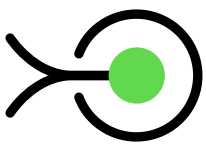
SPM は、作業を戦略に合わせるのに役立ち、ビジネスの成果を最適化し、変化に迅速に対応できるようにします。これにより、より多くの成果物だけでなく、より多くの価値も生み出すことができます。

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)を使用して、継続的に調整を行うことで、重要なビジネス要件の収集、新しい要求の優先順位付け、トップレベルの投資の評価、リソースの割り当て、変化するビジネスの優先順位への適応を行います。戦略的および運用上の作業を 1 か所から管理しながら、アジャイルな変革を推進します。



Enterprise Agile Planning を使用してアジャイルフレームワークを柔軟に拡張できます

Enterprise Agile Planning 直感的なワークスペースを使用して、チーム間のコミュニケーションとコラボレーションを合理化し、多様なチームとの調整を促進します。

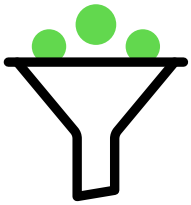


ビジネス機能レンズを使用して焦点を絞った計画の有効化

ビジネス機能レンズを使用してカスタマイズされた作業ポートフォリオを構築し、戦略に合わせて調整することで、ビジネス機能またはビジネスアプリケーションに基づいて作業を計画、優先順位付け、およびロードマップします。

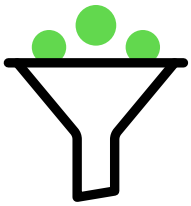
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



フィルターを適用してスコアリングで必要なデータセットを表示する

計画立案ステータス、タイプ、優先度、ステータスなどのフィルターを適用して、[スコアリング] に必要なデータセットを表示します。



スコアリングと優先順位付けの拡張インターフェイスでポートフォリオ計画を管理します。

拡張されたスコアリングビューと優先順位付けビューを利用して、スコアリング属性または MoSCoW 値に基づいて計画立案アイテムをすばやく識別します。



ポートフォリオ計画アイテムのデータおよび財務情報のエクスポート先: Microsoft Excel ファイルまたは CSV ファイル

ポートフォリオ計画アイテムのデータと財務情報を Microsoft Excel または CSV ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーと共同作業を行います。



製品発見による価値の革新と推進

さまざまなソースからのフィードバックを単一のワークスペースに統合して分析することで、製品発掘を改善します。製品開発、改善、および将来の戦略的計画立案に関するデータ主導型の意思決定を促進します。



拡張された目標ビューから目標を管理する

目標の拡張リストビューで、ターゲットの測定単位記号を識別します。



エピック、デマンド、およびプロジェクトの財務管理

計画立案アイテムの財務を表示、計画、および再予測します。計画コストを表示し、経費明細を作成または編集して実際の経費を更新します。



リソースの要求と割り当てを管理する

ポートフォリオと計画立案アイテムのリソース要件を表示および計画します。



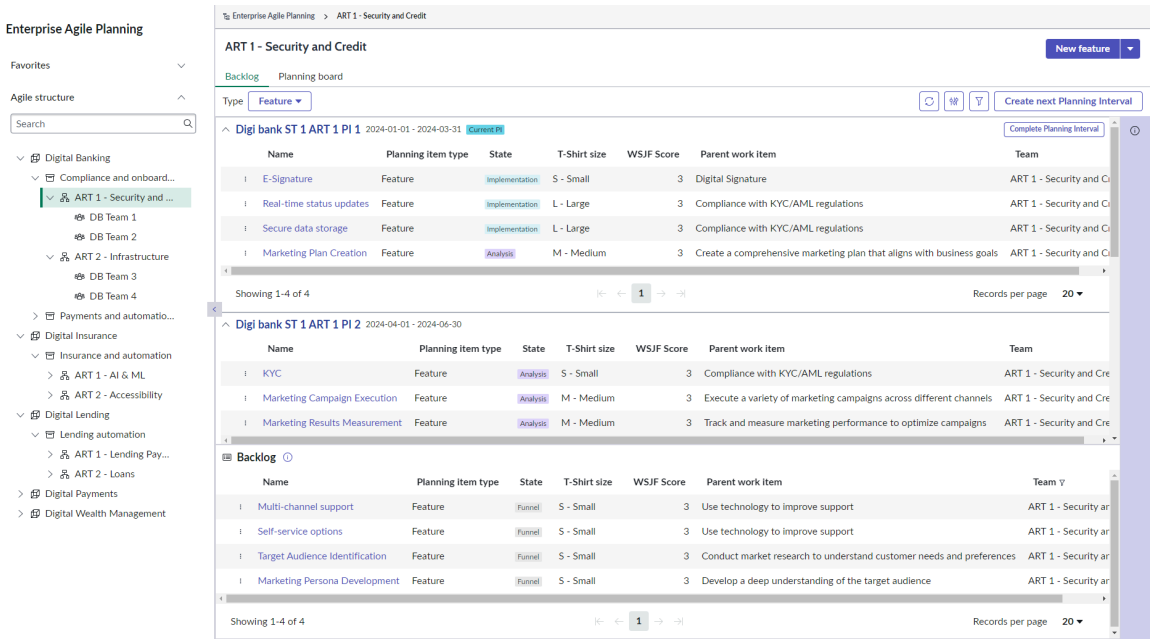
リストナビゲーションを使用して、計画、詳細、財務、および RIDAC にアクセスします

リストナビゲーションを使用してブラウジング体験を最適化します。[詳細] ページから直接プロジェクト情報にアクセスして変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を使用してアジャイルフレームワークを拡張および拡張する **Enterprise Agile Planning**



スクラムリーダー、プロダクトオーナー、ポートフォリオマネージャー、ソリューショントレーニングエンジニア、Agile リリーストレーニングエンジニアなどのペルソナは、次の EAP 機能を使用してアジャイルフレームワークを拡張できます。

- バックログ:作業項目を作成、更新、および優先順位付けします。さらに、作業項目を計画間隔 (PI) やスプリントなどのイテレーションにスケジュールします。
- PI 計画:イテレーション全体で複数のチームの作業を計画します (ビッグルーム計画など)。

  作業アイテム間の依存関係を作成して視覚化し、ビジネスの優先順位との整合性を確保しながら変更に迅速に対応できるように作業を再スケジュールします。

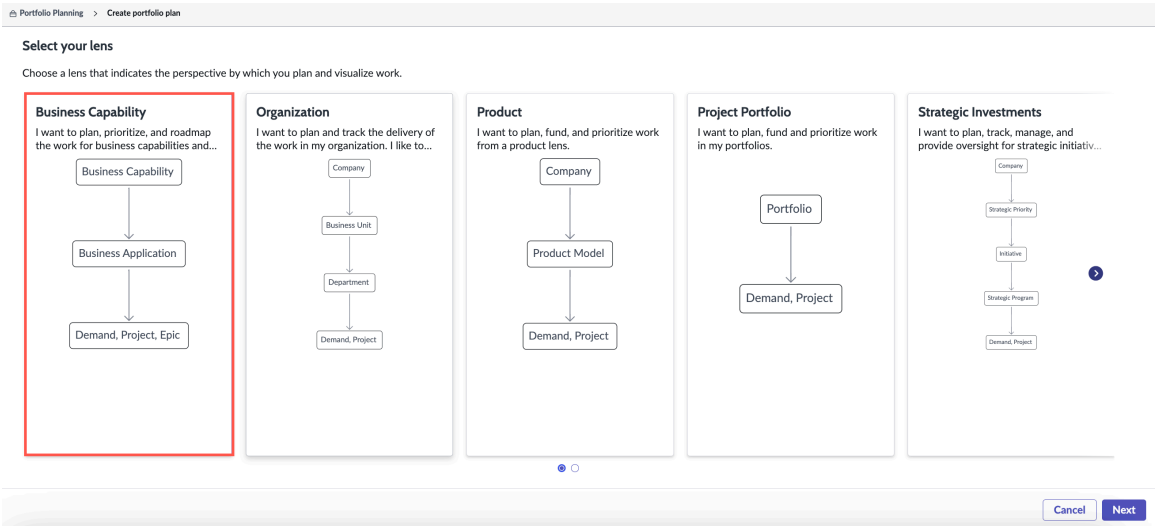
- 構成:事前定義された 4 つの構成を使用するか、アジャイル構造、作業アイテム階層、および計画カレンダーを柔軟に構成します。

EAPは、Pro ライセンスを使用してSPMアプリケーションServiceNow Storeをインストールする戦略的計画場合に利用できます。

自動翻訳

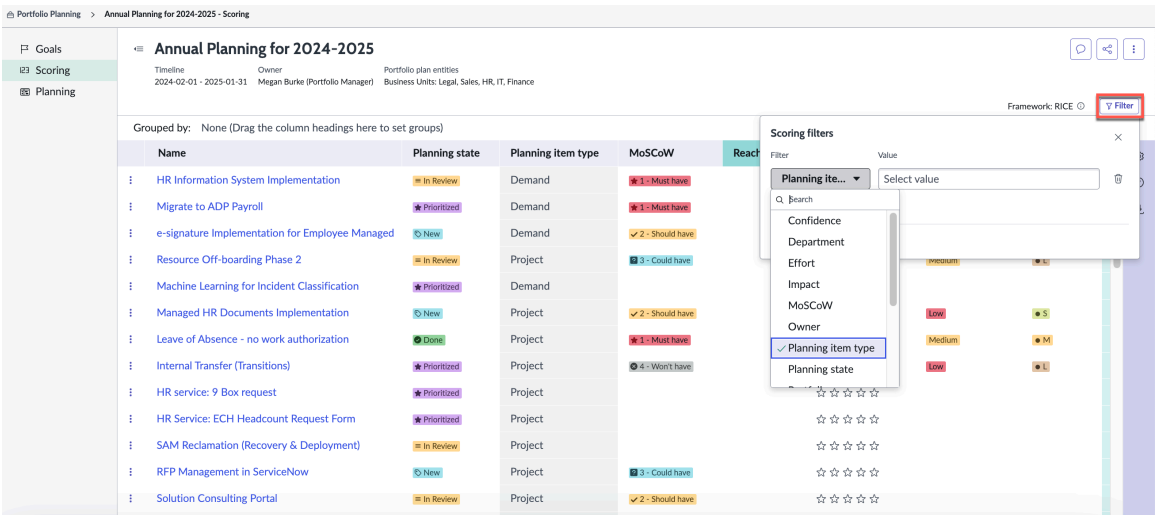
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネス機能レンズを使用して焦点を絞った計画の有効化



ワークスペースの 戦略的計画 レンズは、作業を計画するための視点を示します。ビジネス機能レンズを使用して、戦略に合わせてビジネス機能またはビジネスアプリケーションに基づいてワークスペースでの 戦略的計画 作業を計画、優先順位付け、およびロードマップします。ビジネス機能レンズを使用してポートフォリオ計画を作成できるのは、がインストールされている場合 ServiceNow エンタープライズアーキテクチャワークスペース のみです。

フィルターを適用してスコアリングで必要なデータセットを表示する

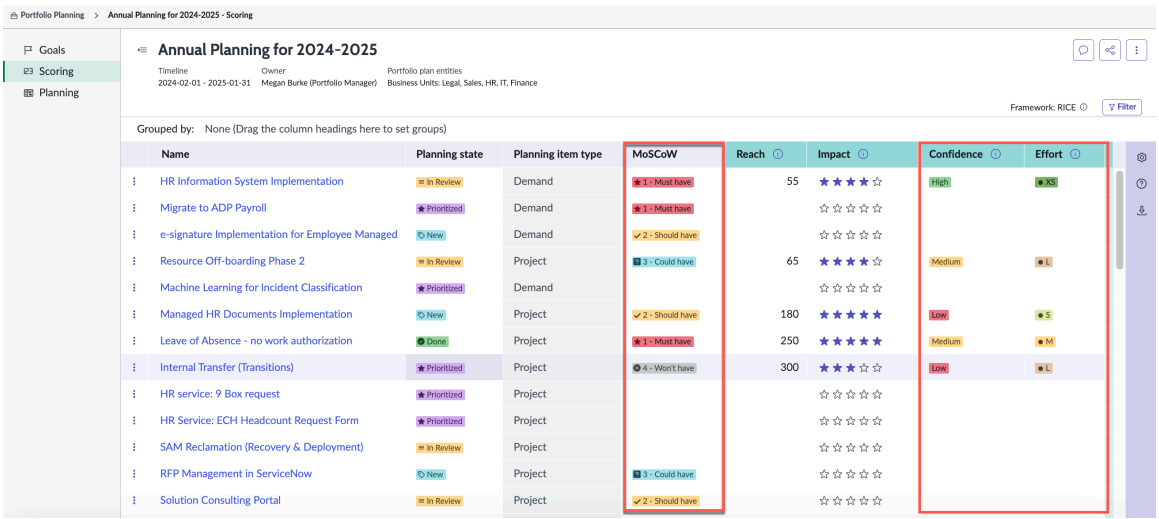


フィルターを適用して、必要なデータセットを [スコアリング] に表示します。これらのフィルターは、計画ステータス、タイプ、優先度、ステータスなどのさまざまな選択オプションとともに適用できます。これらのフィルターはユーザー初期設定として保存されます。そのため、同じデータセットを表示し、再度ログインしたときに計画を続行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

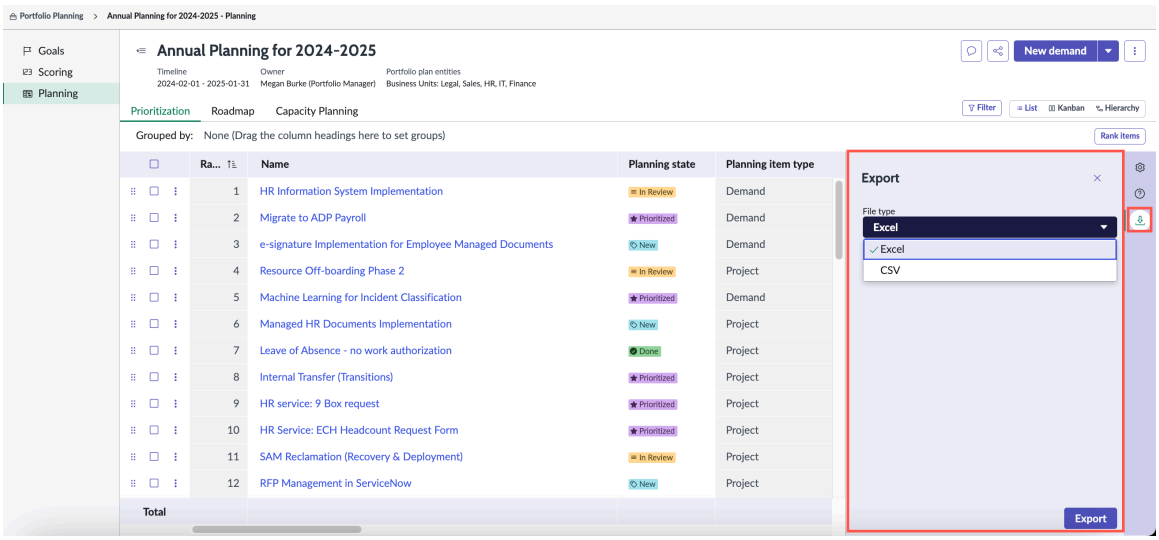
スコアリングと優先順位付けの拡張インターフェイスでポートフォリオ計画を管理します。



RICE フレームワークの [信頼度] 属性と [工数] 属性に追加された色付きのピルは、信頼度の高いか低いか、工数の高か低かに基づいて計画立案アイテムをすばやく識別するのに役立ちます。

[必須]、[必要]、[可能性]、および [なし] (MoSCoW) の値に追加された色付きのピルは、MoSCoW 値に基づいて計画立案アイテムをすばやく識別してソートするのに役立ちます。また、更新された **[1 -** 必須]、[2 - 必要 **(Should** have)]、[**3 -** 可能]、[**4 -** なし (MoSCoW)] の値は、重要度に基づいて計画立案アイテムをソートするのに役立ちます。

ポートフォリオ計画アイテムのデータおよび財務情報を **Excel** ファイルまたは **Microsoft CSV** ファイルにエクスポートします

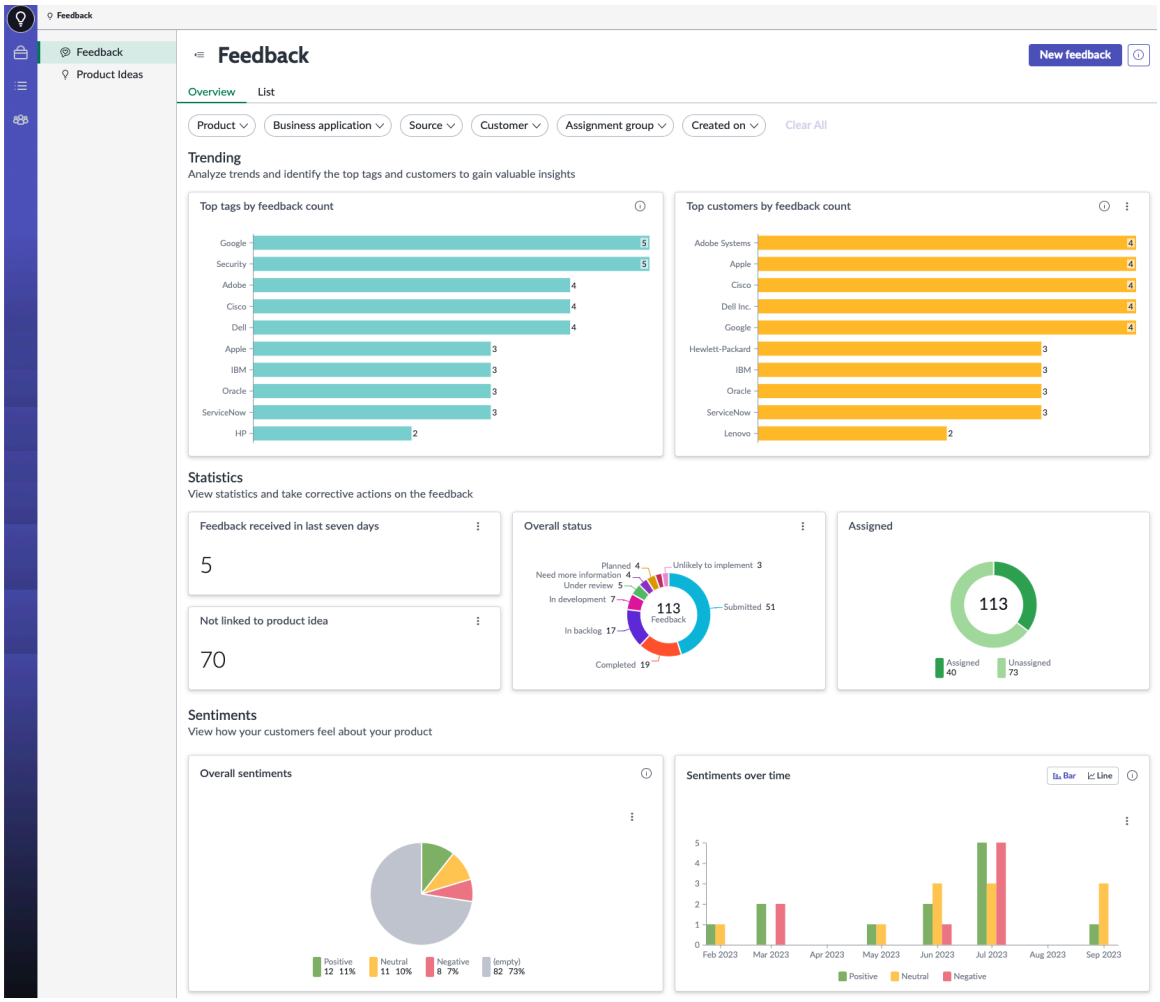


[スコアリング] ページと [優先順位付け] タブのリストビューからポートフォリオ計画アイテムのデータ、および財務情報を Microsoft Excel または CSV ファイルにエクスポートして、データを共有したり、ビジネスステークホルダーと共同作業したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品発見による価値の革新と推進

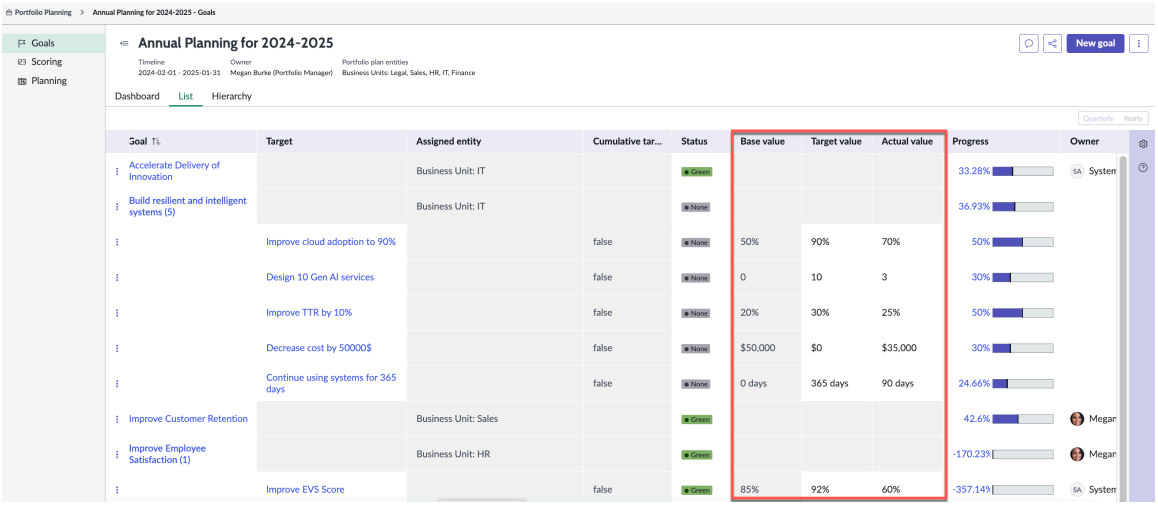


を使用して戦略的計画、貴重なフィードバックや洞察を収集し、戦略的な意思決定Product Feedbackを向上させます。ユーザーの期待に製品を合わせ、より良いユーザーエクスペリエンスを実現し、イノベーションを促進します。集中管理リポジトリでフィードバックを取得することで、時間を節約し、さまざまなチャネルの選別を排除します。フィードバックと製品アイデアを作成し、計画立案アイテムに関連付けます。傾向、上位タグ、および統計情報を分析して、製品開発プロセスを改善し、フィードバックに基づいた意思決定を行います。顧客フィードバックで表現された感情を分析および分類し、顧客が製品に満足しているか、不満を持っているか、中立であるかを製品チームが理解できるようにします。フィードバックで表現された感情を管理および追跡して、時間の経過に伴うユーザーの感情の傾向と変化を特定します。

自動翻訳

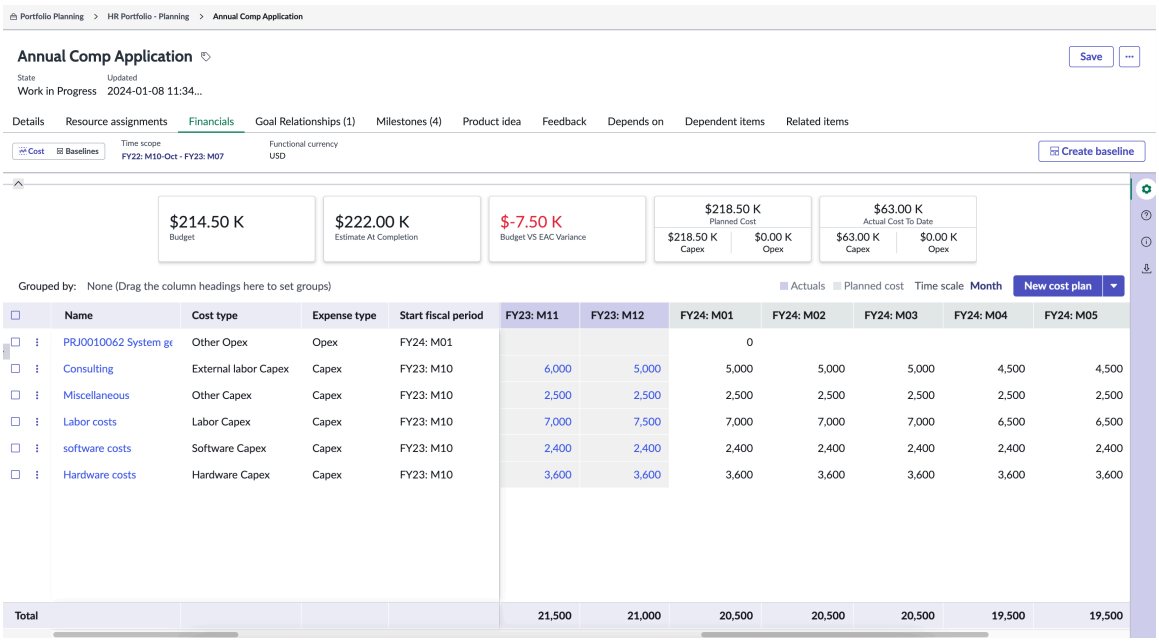
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

拡張された目標ビューから目標を管理する



目標の拡張リストビューで、ターゲットの測定単位記号を識別します。[基準値]、[ターゲット値]、および [実績値] フィールドの値は、その測定単位記号と共に 目標の [リスト] タブに表示されます。

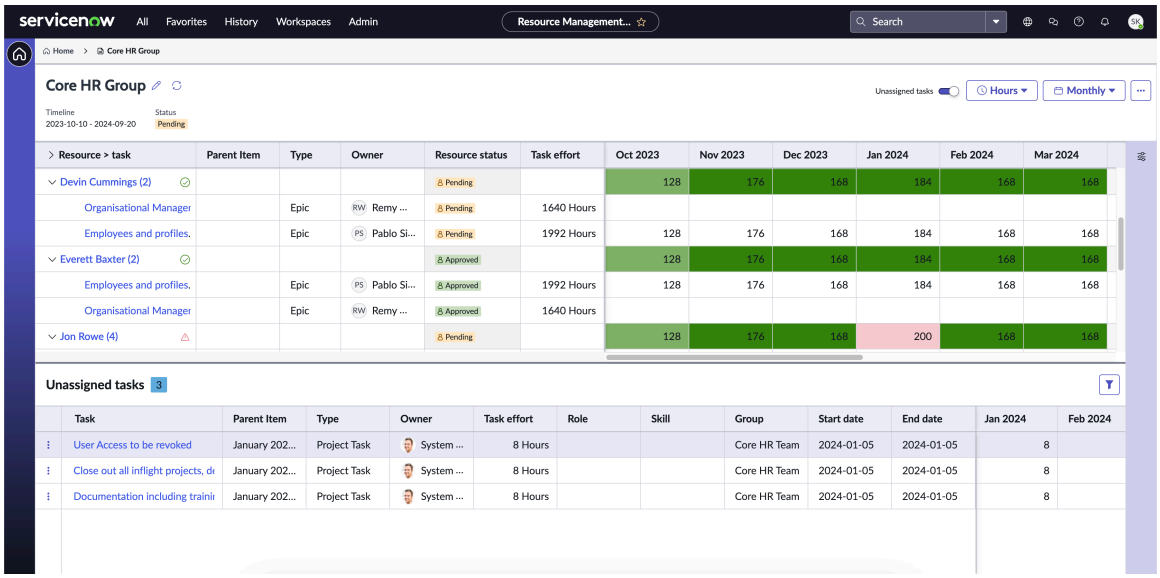
エピック、デマンド、およびプロジェクトの財務管理



計画立案アイテムの財務実績を特定するための構成可能なウィジェットを作成します。コストとベースラインの比較ビュー Microsoft を Excel または CSV ファイルにエクスポートして、データを共有し、ビジネスステークホルダーと共同作業を行います。

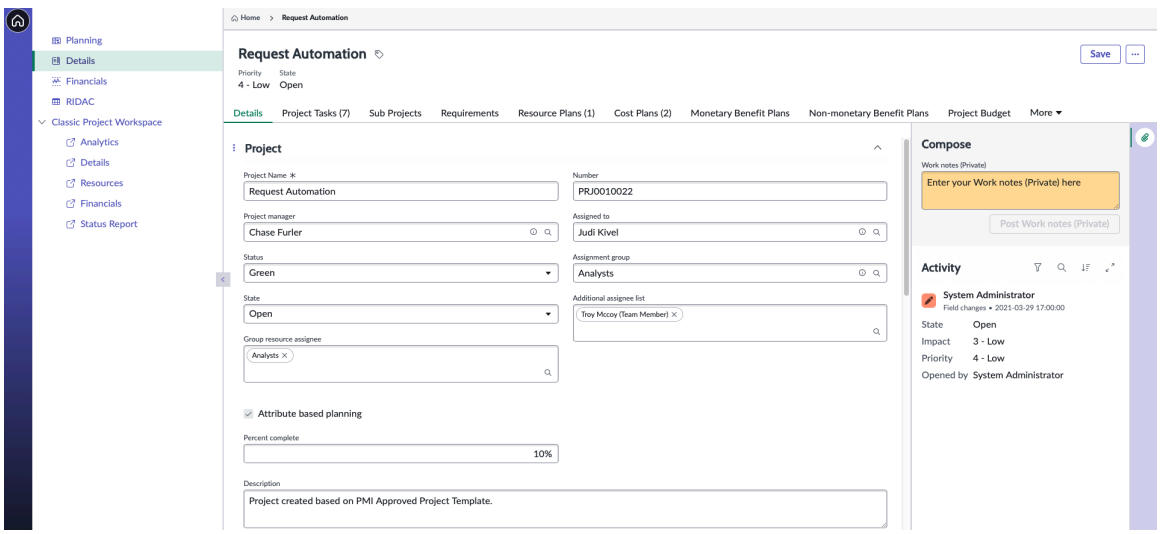
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースの要求と割り当てを管理する



カスタムポートフォリオカードを作成して、リソースボードを構築し、リソースの要求と割り当てを管理します。未アサインタスクをフィルタリングして、優先順位付けされたアイテムのアサインを処理できます。から直接作業要求 リソース管理ワークスペースを割り当てて承認します。 ヒートマップモーダルを使用して、リソースの割り当て合計を表示します。

リストナビゲーションを使用して、計画、詳細、財務、および **RIDAC** にアクセスします



[ホーム] アイコンを選択すると表示されるリストを使用して、計画、詳細、RIDAC、および財務間を移動します。このリストはレベル 2 (L2) メニューとも呼ばれ、1 つのビューでさまざまなページにアクセスするためのより体系的で直感的な方法を提供します。[詳細] ページを使用して、プロジェクト情報を 1 か所から直接更新し、プロジェクトに最新の変更が反映されていることを確認します。

学習内容

- ガントチャートとは
- アジャイルとは

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 重要業績評価指標 (KPI) とは
- 作業ブレークダウン構成 (WBS) とは
- Project Portfolio Management (PPM) とは
- バリューストリームマッピング (VSM) とは
- アジャイルとは
- アジャイルプロジェクト管理とは [リスト] タブ
- デジタル変革とは
- リソース管理とは
- 戦略的ポートフォリオ管理とは
- アジャイルとウォーターフォールの違いとは

開始するには

- ServiceNow SPM を使用して、スピードとアジリティでビジネス成果を実現する方法を理解します。詳細については、「Customer Success Center」を参照してください。
- SPM 組織レベルのプラグインの詳細をご覧ください。詳細については、「Strategic Portfolio Management の組織レベルのプラグイン」を参照してください。
- 実行をビジネス目標や優先順位に合わせる方法を学びます。詳細については、「戦略的計画」を参照してください。
- 目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネスの成果を推進します。詳細については、「Goal Framework and Goal Framework for SPM」を参照してください。

アプリケーションと機能

- ポートフォリオ計画
- 戦略的計画
- ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク
- Project Portfolio Management
- プロジェクトワークスペース
- リソース管理ワークスペース
- 戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint
- Innovation Management
- Time Card Management
- Agile Development
- Scaled Agile Framework (SAFe)
- SPM ベンチマーク
- Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development
- Atlassian Jira Integration for Agile Development
- Test Management アプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コスト管理
- データ分離

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の組織プラグイン

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) は、デマンドの管理、リソースのバランス調整、アジャイルおよびウォーターフォールプロジェクトの管理、予算計画の実行、および技術サービスとビジネスサービスへのコストのマッピングをより適切に実行するために役立ちます。IT は、より事業部門に近い形で運営され、組織の他の部分とより円滑に連携します。

組織レベルでのプラグイン

このビデオでは、可視性、整合性、速度など、ServiceNow Strategic Portfolio Management 製品の概要について説明しています。 製品の概要については、ServiceNow 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)この 3 分間のビデオをご覧ください。

組織拡張 (com.snc.organization_extension) プラグイン

Organization Extension (com.snc.organization_extension) プラグインは、目標、事業部門、企業戦略、および事業部門戦略エンティティを有効化します。デモデータを使用して、すべてのお客様が zBoot で利用できます。

事業部門、目標、企業戦略、および事業部門戦略モジュールは、[組織 (Organization)] アプリケーションメニューで使用できます。

ビジネスアプリケーションおよびビジネス機能モジュールも [組織 (Organization)] アプリケーションメニュー内で使用できますが、それらの関連テーブルは構成管理 (CMDB) (com.snc.cmdb) プラグインに移動されます。これは zBoot で利用できますが、デモデータはありません。

Business Stakeholder (com.snc.business_stakeholder) プラグイン

Business Stakeholder (com.snc.business_stakeholder) プラグインは、SPM 事業部門レベルで有効化され、SPM 製品レベルのビジネスステークホルダー読み取り専用ロール (子) プラグインが含まれています。製品レベルで子プラグインを有効にすると、それぞれの製品レベルで読み取り専用アクセスロールが有効になります。このロールを持つユーザーは、製品レベルでレポートを表示および承認できます。製品レベルで有効化される子プラグインは次のとおりです。

SPM プラグイン

プラグイン	説明
PPM Standard の読み取り専用ロール (com.snc.pmo_read_roles) プラグイン	• このプラグインは、Financial Management の読み取り専用ロール (sn_itfm_read) を提供します。このロールを持つユーザーは、Financial Management ダッシュボードにアクセスできます。ダッシュボードのリストと、基になるテーブルのアクセシビリティレベルの詳細については、「Financial Management の読み取り専用ロール」を参照してください。 • このプラグインは、Project Portfolio Management (PPM) およびタイムカードの読み取り専用ロール (sn_ppm_read) を提供します。このロールを持つユーザーは、リ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SPM プラグイン (続く)

プラグイン	説明
	ソースレポートとともにポートフォリオ、プログラム、およびタイムカードダッシュボードにアクセスできます。ダッシュボードのリストと、基になるテーブルのアクセシビリティレベルの詳細については、「PPM の読み取り専用ロール」を参照してください。
Agile 2.0 の読み取り専用ロール (ccom.snc.agile_read_roles) プラグイン	このプラグインは、Agile 2.0 アプリケーション用の Agile Development 2.0、スクラムプログラム、および Performance Analytics コンテンツパックの読み取り専用ロールを提供します。このロールを持つユーザーは、これらのアプリケーションからデータを読み取って取得し、レポートとダッシュボードを生成できます。プラグインの可用性とデータアクセスの詳細については、「Agile 2.0 のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。
SAFe の読み取り専用ロール (ccom.snc.safe_read_roles) プラグイン	このプラグインは、Essential SAFe 用の Essential SAFe、Portfolio SAFe および Performance Analytics コンテンツパックの読み取り専用ロールを提供します。このロールを持つユーザーは、これらのアプリケーションからデータを読み取って取得し、レポートとダッシュボードを生成できます。プラグインの可用性とデータアクセスの詳細については、「SAFe のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。
Test Management 1.0 の読み取り専用ロール (ccom.snc.tm1_read_roles) プラグイン	このプラグインは、テスト管理 1.0 の読み取り専用ロールを提供します。このロールを持つユーザーは、これらのアプリケーションからデータを読み取って取得し、レポートとダッシュボードを生成できます。プラグインの可用性とデータアクセスの詳細については、「Test Management 1.0 のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。
Test Management 2.0 の読み取り専用ロール (ccom.snc.tm2_read_roles) プラグイン	このプラグインは、テスト管理 2.0 の読み取り専用ロールを提供します。このロールを持つユーザーは、これらのアプリケーションからデータを読み取って取得し、レポートとダッシュボードを生成できます。プラグインの可用性とデータアクセスの詳細については、「テスト管理 2.0 のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。

戦略的ポートフォリオ管理 **(SPM)** の機械学習ソリューション

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) における機械学習は、ビジネスの測定可能性を高め、組織の事業運営の改善に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

企業は、膨大な量の生データから意味のある情報を抽出し、有意義なビジネスインサイトを導出する上で、増大するデータ量の課題に直面しています。機械学習は、そのアルゴリズムが履歴データを使用して構築されているため、さまざまなビジネス上の複雑性の解決策として機能します。重複した不正確なデータがデータベースに入力されないようにすることができ、企業は情報をより迅速に計算および処理できるようになります。

デマンド管理 対応の 予測インテリジェンス

デマンド管理 用 予測インテリジェンス 機能では、機械学習アルゴリズムを使用して類似のデマンドを検索および表示し、デマンドフォームでデマンドを作成します。

デマンド管理用の予測インテリジェンスには、次の利点があります。

- 重複するデマンドを回避することで、データベースの品質を向上させます。
- デマンドの計画に役立ちます。過去に送信および実行された類似のデマンドの詳細を表示できます。

デマンド管理 用 予測インテリジェンス のソリューション定義

デマンド管理 用 予測インテリジェンス 機能のソリューション定義は、PPM 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.ppm_ml) で利用できます。Predictive Intelligence の詳細については、「Predictive Intelligence」および「Contextual Search」を参照してください。

デマンド管理のソリューション定義

ソリューション定義	ソリューション タイプ	説明
類似デマンド **注:** このソリューション定義は、次のプラグインが有効なインスタンス上で、テンプレートとして使用できます。 • Contextual Search の Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.contextual_search_ml) • PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) • PPM 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.ppm_ml)	類似性	[デマンドの名前] フィールドと [説明] フィールドに基づいて類似のデマンドを表示します。デマンドフォームの [類似デマンド] セクションで結果を確認できます。

関連情報

Predictive Intelligence

類似のデマンドを見つけるために デマンド管理 の類似性ソリューションをトレーニングする

デマンドを作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

類似のデマンドを見つけるために デマンド管理 の類似性ソリューションをトレーニングする

PPM 用 Predictive Intelligence 機能に含まれる類似デマンドソリューション定義をトレーニングして、デマンドの作成時に関連するデマンドを検索します。

始める前に

Contextual Search 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.contextual_search_ml)、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo)、および PPM 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.ppm_ml) が有効化されていることを確認します。Predictive Intelligence の詳細については、「Predictive Intelligence」を参照してください。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. [類似性定義] リストで、類似デマンドソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_demands) を検索して選択します。
3. 類似性定義フォームで、デマンドのデフォルトのフィールド値を確認します。
   類似性定義フォームフィールドの詳細については、「類似ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。
4. [更新 **&** 再トレーニング] をクリックします。
5. 類似デマンドソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_demands) の類似性定義フォームを開きます。
6. [ML ソリューション] 関連リストの [進捗状況] 列で、トレーニングソリューションの進行状況を表示します。

   注:
   または、[アクティブ] 列のソリューションのリンクをクリックすることもできます。[ML ソリューション] フォームで、[トレーニング進捗状況を表示する] 関連リンクをクリックして、トレーニングソリューションの進行状況を確認します。

タスクの結果

ソリューションが完了すると、類似デマンドがデマンドフォームの [類似デマンド] セクションに表示されます。

次のタスク

- 類似例を確認します。類似性定義フォームの ML ソリューション関連リストで、[進捗状況 **(Progress)]** が 100% のときに [アクティブ **(Active)]** 列で、ソリューションのリンクをクリックします。[類似例] リストを表示するには、ML ソリューションフォームの [類似例] 関連リンクをクリックします。
- 類似スコアのしきい値を更新します。ML ソリューションフォームの [ソリューション統計情報] タブで、[類似スコアのしきい値] フィールドに必要な値を入力します。ML ソリューションフォームを右クリックし、[保存] をクリックします。
- レコードの予測出力をテストします。ML ソリューションフォームの [ソリューションをテスト] タブで、[簡単な説明] フィールドにテキストを入力し、[上位 **N** 件] フィールドに予想される結果の最大数を入力して、[テストを実行] をクリックします。類似スコアしきい値を超える結果が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Predictive Intelligence

デマンド管理 対応の 予測インテリジェンス

デマンドを作成

Innovation Management 対応の 予測インテリジェンス

Innovation Management 用 予測インテリジェンス 機能では、機械学習アルゴリズムを使用して、新しいアイデアの提示時に、類似のアイデアを検索して表示します。

Innovation Management用の予測インテリジェンスには、次の利点があります。

- 重複するアイデアを回避することで、データベースの品質を向上させます。
- 類似のアイデアを特定して、重複するアイデアを結合できるように、関連するアイデアを提案します。

Innovation Management向け 予測インテリジェンス のソリューション定義

Innovation Management 用 予測インテリジェンス 機能のソリューション定義は、観念化用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.innovation_management_ml) で利用できます。Predictive Intelligence の詳細については、「Predictive Intelligence」を参照してください。

Innovation Management のソリューション定義

ソリューション定義	ソリューション タイプ	説明
類似のアイデア **注:** このソリューション定義は、次のプラグインが有効なインスタンス上で、テンプレートとして使用できます。 • 予測インテリジェンス • PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) • 観念化用 Predictive Intelligence (com.snc.innowation_management_ml)	類似性	[タイトル] および [説明] フィールドに基づいて、関連するアイデアを提案します。結果は次の場所に表示できます。 • アイデアポータルでアイデアを作成するときの [アイデアを作成] フォームの [関連するアイデア] セクション。 • アイデアポータルのアイデアページの [関連するアイデア] セクション。

関連情報

Predictive Intelligence

類似のアイデアを見つけるために Innovation Management の類似性ソリューションをトレーニングする

サプライヤーカタログを使用してアイデアを送信する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

類似のアイデアを見つけるために **Innovation Management** の類似性ソリューションをトレーニングする

観念化用 Predictive Intelligence 機能に含まれる類似アイデアソリューション定義をトレーニングして、アイデアを提示するとき、またはアイデアポータルでアイデアを表示するときに、関連するアイデアを検索します。

始める前に

Predictive Intelligence プラグイン (com.glide.platform_ml)、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo)、および観念化用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.innovation_management_ml) が有効化されていることを確認します。Predictive Intelligence の詳細については、「Predictive Intelligence」を参照してください。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. [類似性定義] リストで、類似アイデアソリューション定義 (ml_sn_global_similar_idea) を検索して選択します。
3. 類似性定義フォームで、アイデアのデフォルトのフィールド値を確認します。
   類似性定義フォームフィールドの詳細については、「類似ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。
4. [更新 **&** 再トレーニング] をクリックします。
5. 類似アイデアソリューション定義 (ml_sn_global_similar_ideas) の類似性定義フォームを開きます。
6. [ML ソリューション] 関連リストの [進捗状況] 列で、トレーニングソリューションの進行状況を表示します。

   注:
   または、[アクティブ] 列のソリューションのリンクをクリックすることもできます。[ML ソリューション] フォームで、[トレーニング進捗状況を表示する] 関連リンクをクリックして、トレーニングソリューションの進行状況を確認します。

タスクの結果

ソリューションが完了すると、類似のアイデアが [アイデアを作成] フォームの [関連するアイデア] セクションおよびアイデアポータルのアイデアページの [関連するアイデア] セクションに表示されます。

次のタスク

- 類似例を確認します。類似性定義フォームの ML ソリューション関連リストで、[進捗状況 **(Progress)]** が 100% のときに [アクティブ **(Active)]** 列で、ソリューションのリンクをクリックします。[類似例] リストを表示するには、ML ソリューションフォームの [類似例] 関連リンクをクリックします。
- 類似スコアのしきい値を更新します。ML ソリューションフォームの [ソリューション統計情報] タブで、[類似スコアのしきい値] フィールドに必要な値を入力します。ML ソリューションフォームを右クリックし、[保存] をクリックします。
- レコードの予測出力をテストします。ML ソリューションフォームの [ソリューションをテスト] タブで、[簡単な説明] フィールドにテキストを入力し、[上位 **N** 件] フィールドに予想される結果の最大数を入力して、[テストを実行] をクリックします。類似スコアしきい値を超える結果が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Predictive Intelligence

Innovation Management 対応の 予測インテリジェンス

アイデアの送信

プロジェクト管理 (PM) 対応の 予測インテリジェンス

プロジェクト管理 (PM) 用 予測インテリジェンス 機能では、プロジェクトフォームを使用して新しいプロジェクトを定義するときに、機械学習アルゴリズムを使用して類似のプロジェクトを検索して表示します。プロジェクトを計画するために、既存のプロジェクトを検索し、類似のプロジェクトを比較することもできます。

プロジェクト管理 (PM)用の予測インテリジェンスには、次の利点があります。

- 重複するプロジェクトを回避することで、データベースの品質を向上させます。
- プロジェクトの計画に役立ちます。過去に作成および実行された類似のプロジェクトの計画の詳細を表示できます。

プロジェクト管理 (PM)向け 予測インテリジェンス のソリューション定義

プロジェクト管理 (PM) 用 予測インテリジェンス 機能のソリューション定義は、PPM 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.ppm_ml) で利用できます。Predictive Intelligence の詳細については、「Predictive Intelligence」および「Contextual Search」を参照してください。

プロジェクト管理 (PM)のソリューション定義

ソリューション定義	ソリューション タイプ	説明
類似のプロジェクト 注: このソリューション定義は、次のプラグインが有効なインスタンス上で、テンプレートとして使用できます。 • Contextual Search の Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.contextual_search_ml) • PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) • PPM 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.ppm_ml)	類似性	[プロジェクト名] フィールドと [説明] フィールドに基づいて類似のプロジェクトを表示します。プロジェクトフォームの [類似のプロジェクト] セクションで結果を確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Predictive Intelligence

類似のプロジェクトを見つけるために プロジェクト管理 (PM) の類似性ソリューションをトレーニングする

プロジェクトの定義

類似のプロジェクトを見つけるために プロジェクト管理 **(PM)** の類似性ソリューションをトレーニングする

PPM 用 Predictive Intelligence 機能に含まれる類似のプロジェクトソリューション定義をトレーニングして、プロジェクトの定義時に、関連するプロジェクトを検索します。

始める前に

Contextual Search 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.contextual_search_ml)、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo)、および PPM 用 Predictive Intelligence プラグイン (com.snc.ppm_ml) が有効化されていることを確認します。Predictive Intelligence の詳細については、「Predictive Intelligence」を参照してください。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. [類似性定義] リストで、類似のプロジェクトソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_projects) を検索して選択します。
3. 類似性定義フォームで、プロジェクトのデフォルトのフィールド値を確認します。
   類似性定義フォームフィールドの詳細については、「類似ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。
4. [更新 **&** 再トレーニング] をクリックします。
5. 類似のプロジェクトソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_projects) の類似性定義フォームを開きます。
6. [ML ソリューション] 関連リストの [進捗状況] 列で、トレーニングソリューションの進行状況を表示します。

   注:
   または、[アクティブ] 列のソリューションのリンクをクリックすることもできます。[ML ソリューション] フォームで、[トレーニング進捗状況を表示する] 関連リンクをクリックして、トレーニングソリューションの進行状況を確認します。

タスクの結果

ソリューションが完了すると、類似のプロジェクトがプロジェクトフォームの [類似のプロジェクト] セクションに表示されます。

次のタスク

- 類似例を確認します。類似性定義フォームの ML ソリューション関連リストで、[進捗状況 **(Progress)]** が 100% のときに [アクティブ **(Active)]** 列で、ソリューションのリンクをクリックします。[類似例] リストを表示するには、ML ソリューションフォームの [類似例] 関連リンクをクリックします。
- 類似スコアのしきい値を更新します。ML ソリューションフォームの [ソリューション統計情報] タブで、[類似スコアのしきい値] フィールドに必要な値を入力します。ML ソリューションフォームを右クリックし、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- レコードの予測出力をテストします。ML ソリューションフォームの [ソリューションをテスト] タブで、[簡単な説明] フィールドにテキストを入力し、[上位 **N** 件] フィールドに予想される結果の最大数を入力して、[テストを実行] をクリックします。類似スコアしきい値を超える結果が表示されます。

関連情報

Predictive Intelligence

プロジェクト管理 (PM) 対応の 予測インテリジェンス

プロジェクトの定義

PPM Predictive Intelligence Workbench

PPM Predictive Intelligence Workbench アプリケーションは、事前に構築されたユースケーステンプレートを提供し、予測される機械学習の実装を通じて、アイデア、デマンドおよびプロジェクトに関するインテリジェントなプロセスの作成方法をガイドします。ビジネスプロセスアーキテクトでは、事前に構築された機能 (事前トレーニング済みモデルを含む) を使用して機械学習のユースケースを開始します。

PPM Predictive Intelligence Workbench には、新しい予測モデルの作成とトレーニング、それらの評価とテスト、およびアイデア、デマンドおよびプロジェクト管理に価値を付加するために、ビジネスプロセスへの追加プロセスを系統的にガイドする、事前に構築されたユースケーステンプレートが含まれています。

カスタムユースケースはトレーニング後、すぐに使用可能になります。PPM Predictive Intelligence Workbench の使用に際して、人工知能や機械学習に関する事前の知識や経験は不要です。

アプリケーションには、独自の予測モデルの作成、トレーニング、評価、テスト、プロデュースに役立つ事前に構築されたガイダンスを含むテンプレートが含まれています。

アクティベーション情報

Predictive Intelligence Workbench を使用する前に、次のプラグインを有効化します。

- PPM 用 Predictive Intelligence (com.snc.ppm_ml) プラグイン
- 観念化用 Predictive Intelligence (com.snc.innowation_management_ml) プラグイン

PPM PIWB テンプレート - 類似デマンドの検索

類似デマンドを見つける類似デマンドソリューション定義のトレーニング手順を説明するガイド付きテンプレートを使用します。

始める前に

必要なロール：piwb_manager

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンスワークベンチ > ユースケース > テンプレートから新規作成.
2. [類似デマンド] テンプレートを選択します。
3. [開始] をクリックします。
   [ユースケースセットアップ] ページが開いて、ユースケースの名前と説明が表示されます。
4. [移動 **(Take me there)**] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ServiceNow 機械学習ソリューション] ページが開き、利用可能なすべてのソリューションが表示されます。

5. 類似性ソリューションを展開して、利用可能なソリューション定義を表示します。
類似デマンドを検索するための類似性ソリューションを構成またはトレーニングします。
   - 類似デマンドソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_demands) を構成するには、[構成] をクリックします。詳細については、「類似のデマンドを見つけるために デマンド管理 の類似性ソリューションをトレーニングする」を参照してください。
   - 類似デマンドソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_demands) をトレーニングするには、[トレーニング] をクリックします。

PPM PIWB テンプレート - 類似アイデアの検索

類似アイデアを見つけるための類似アイデアソリューション定義のトレーニング手順を説明するガイド付きテンプレートを使用します。

始める前に
必要なロール：piwb_manager

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンスワークベンチ > ユースケース > テンプレートから新規作成.
2. [類似アイデア] テンプレートを選択します。
3. [開始] をクリックします。
[ユースケースセットアップ] ページが開いて、ユースケースの名前と説明が表示されます。
4. [移動 **(Take me there)]** をクリックします。
[ServiceNow 機械学習ソリューション] ページが開き、利用可能なすべてのソリューションが表示されます。
5. 類似性ソリューションを展開して、利用可能なソリューション定義を表示します。
類似アイデアを検索するための類似性ソリューションを構成またはトレーニングします。
   - 類似アイデアソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_ideas) を構成するには、[構成] をクリックします。詳細については、「類似のアイデアを見つけるために Innovation Management の類似性ソリューションをトレーニングする」を参照してください。
   - 類似アイデアソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_ideas) をトレーニングするには、[トレーニング] をクリックします。

PPM PIWB テンプレート - 類似プロジェクトの検索

類似プロジェクトを見つけるための類似プロジェクトソリューション定義のトレーニング手順を説明するガイド付きテンプレートを使用します。

始める前に
必要なロール：piwb_manager

手順

1. 移動先 すべて > 予測インテリジェンスワークベンチ > ユースケース > テンプレートから新規作成.
2. [類似プロジェクト] テンプレートを選択します。
3. [開始] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ユースケースセットアップ] ページが開いて、ユースケースの名前と説明が表示されます。

4. [移動 **(Take me there)**] をクリックします。
   [ServiceNow 機械学習ソリューション] ページが開き、利用可能なすべてのソリューションが表示されます。
5. 類似性ソリューションを展開して、利用可能なソリューション定義を表示します。
   類似プロジェクトを検索するための類似性ソリューションを構成またはトレーニングします。
   - 類似プロジェクトソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_projects) を構成するには、[構成] をクリックします。詳細については、「類似のプロジェクトを見つけるために プロジェクト管理 (PM) の類似性ソリューションをトレーニングする」を参照してください。
   - 類似プロジェクトソリューション定義 (ml_sn_global_global_similar_projects) をトレーニングするには、[トレーニング] をクリックします。

ポートフォリオ計画

ServiceNow® ポートフォリオ計画 (旧 アラインメントプランナーワークスペース) を使用して作業を優先順位付けし、計画を可視化することで、従来の製品およびポートフォリオの管理を強化します。一元化されたワークスペースを使用して、プロジェクトとデマンドの作業を効果的に計画、追跡、管理します。

ポートフォリオ計画 は 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (SPM) Standard ライセンスを持つユーザーが利用できます。

開始するには

探索	比較	構成
		
Portfolio Planning がビジネスに提供する主な機能と価値について学びます	の機能 ポートフォリオ計画 を比較する 戦略的計画	コア構成を設定する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合	使用方法	参照
		
Portfolio Planning との統合 プロジェクトポートフォリオ管理	ポートフォリオ全体の作業を計画および調整する方法を学びます	コンポーネントとドメイン分離に関する詳細を取得します

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

ポートフォリオ計画 の詳細

ポートフォリオ計画 を使用して、製品とポートフォリオに対して計画されている作業の優先順位付け、ロードマップ、および追跡を行います。従来のプロジェクトおよび製品配送アプローチの管理を強化します。

概要

ポートフォリオ計画 は、希望する配送の観点から製品とポートフォリオの作業を計画するのに役立ちます。ポートフォリオや製品を通じてエンタープライズレベルから計画をカスケードするか、作業が事業達成目標に沿うように計画します。

ポートフォリオ計画 のレンズを使用すると、計画立案の視点を柔軟に切り替え、カスタマイズされた計画を作成して、製品とポートフォリオに対する焦点を絞った計画を実現できます。これらのポートフォリオ計画に関連する作業から、関連する作業の優先順位付けとロードマップを行うことで、適切な実行チームを適切な戦略に配置します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



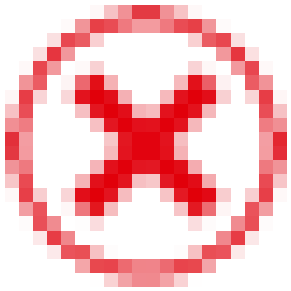
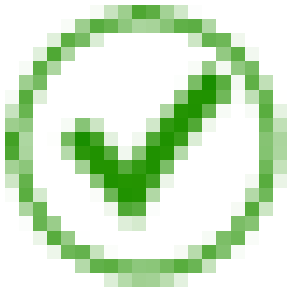
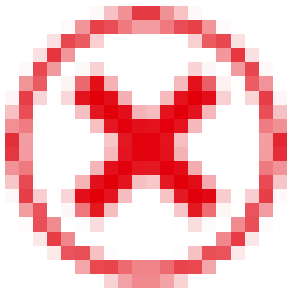
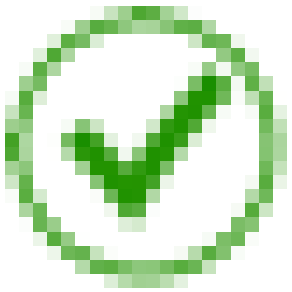
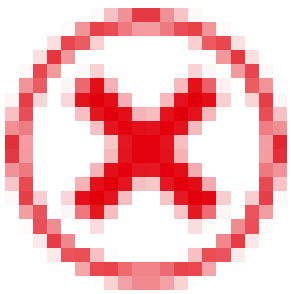
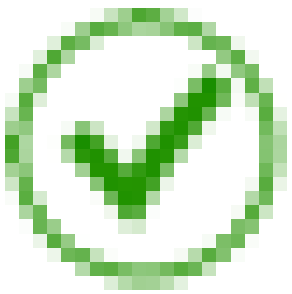
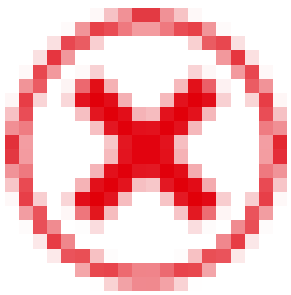
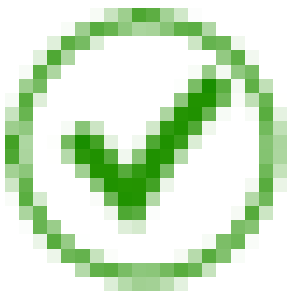
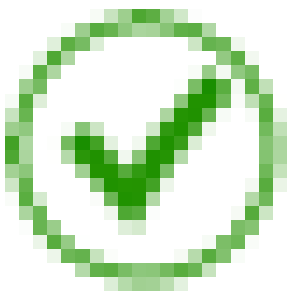
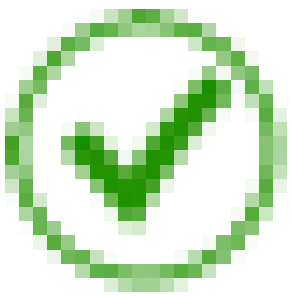
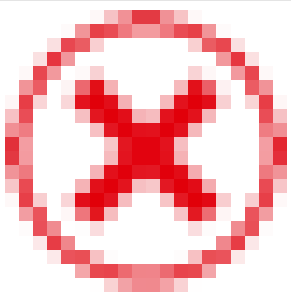
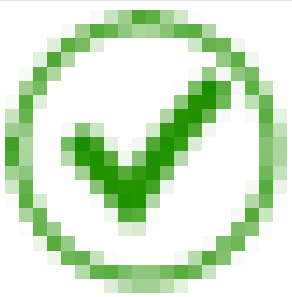
ポートフォリオ計画と **Strategic Planning** の比較

- ポートフォリオ計画：ウォーターフォール手法を使用する場合に、作業を優先順位付け、ロードマップ、および追跡します。デマンドおよびプロジェクト管理のための従来のポートフォリオ計画立案を強化します。
- 戦略的計画：従来の手法、アジャイル手法、またはハイブリッド手法を使用する場合に、作業を優先順位付け、ロードマップ、および追跡します。組織全体で目標を定義して追跡することで、戦略を実行に合わせます。Strategic Planning の詳細については、「戦略的計画」を参照してください。

機能		ポートフォリオ計画	戦略的計画
ポートフォリオ計画			
事前定義済みレンズ	プロジェクトポートフォリオ	✓	✓
	組織	✓	✓

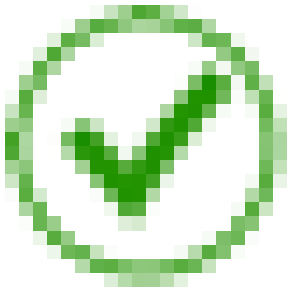
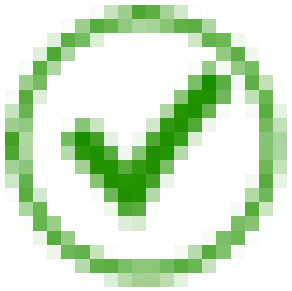
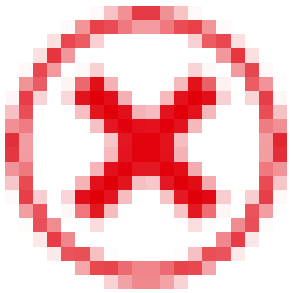
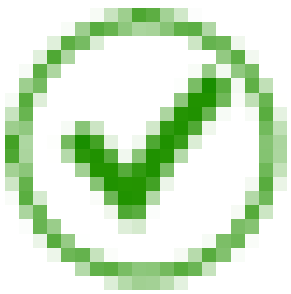
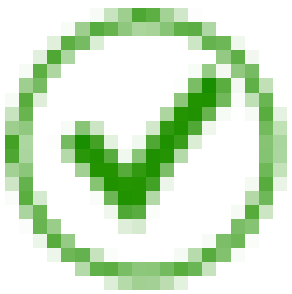
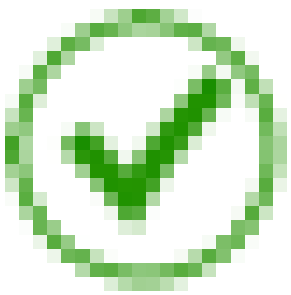
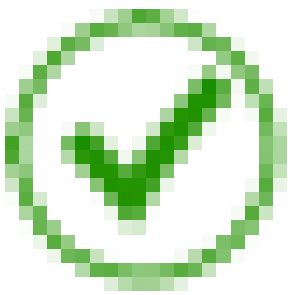
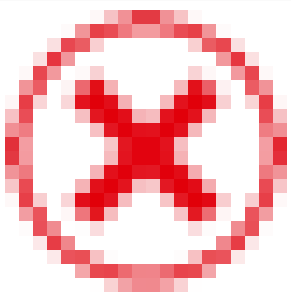
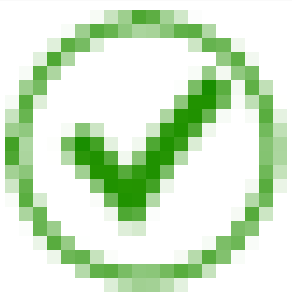
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能		ポートフォリオ計画	戦略的計画
	製品		
	戦略的投資		
	目標		
	バリューストリーム		
レンズ構成	既存のレンズを変更		
	新しいレンズを作成		

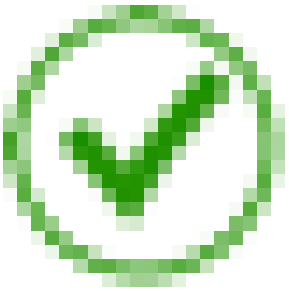
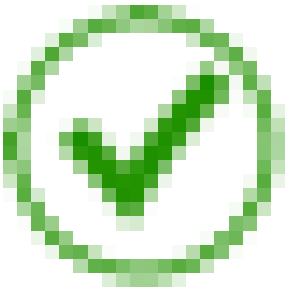
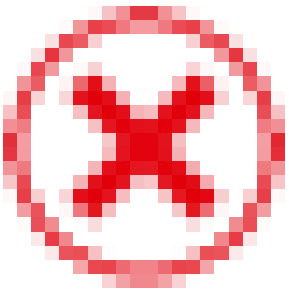
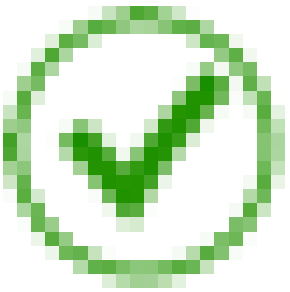
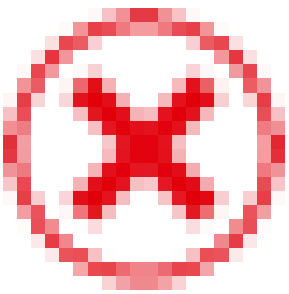
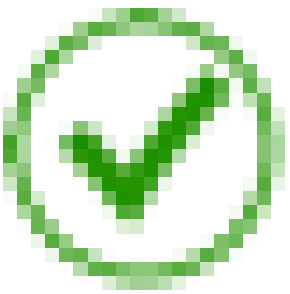
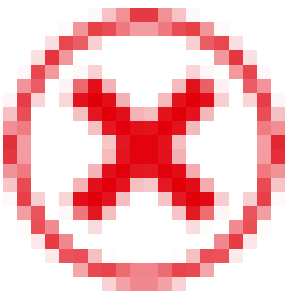
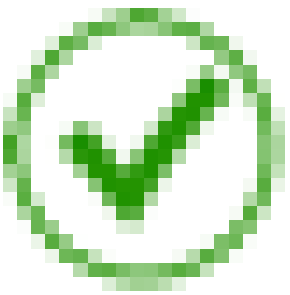
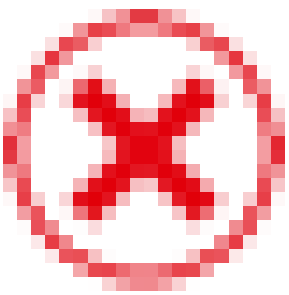
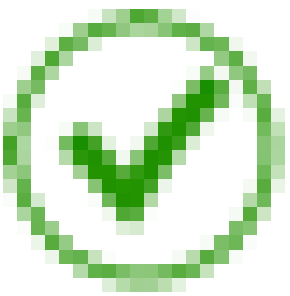
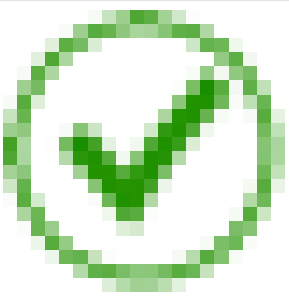
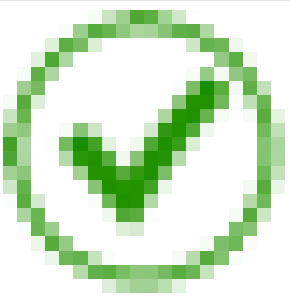
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能		ポートフォリオ計画	戦略的計画
ポートフォリオ計画	作成と共有		
計画立案アイテム	サポートされている計画立案アイテム	プロジェクト、デマンド	プロジェクト、デマンド、エピック、カスタム
	カスタム計画立案アイテムテーブル		5
優先順位付け	リスト		
	階層		
	カンバン		

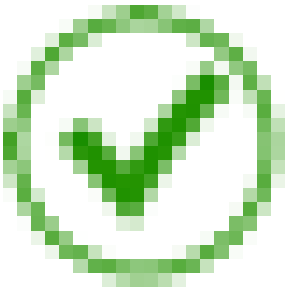
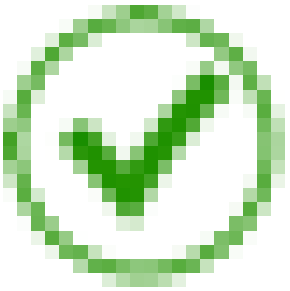
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能		ポートフォリオ計画	戦略的計画
ロードマップ	タイムライン		
	カンバン		
採点			
目標			
製品フィードバック			
キャパシティ計画立案			

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	ポートフォリオ計画	戦略的計画
財務管理		
フリーフォームロードマップ		
作成と共有	プロジェクト、デマンド、プログラム	任意の ServiceNow® プラットフォームエンティティ

以下のセクションの情報を活用して、ポートフォリオ計画 のさまざまな機能について詳細に学ぶことができます。

レンズとポートフォリオ計画

計画の視点を柔軟に切り替えて、カスタマイズされたポートフォリオ計画を使用して、作業の配置を優先順位付け、ロードマップし、表示します。結果の共有を促進する計画に関するインサイトを検出することで、エンタープライズ計画を改善します。

レンズ

ポートフォリオ計画 内のレンズは、作業の優先順位付けと計画を行うための視点を示します。レンズとその構造は、さまざまな計画マネージャーが作業の優先順位付け、資金調達、および計画を行う方法を表します。たとえば、ロールに応じて、配送組織、戦略的投資、製品などの観点から作業を計画できます。

ポートフォリオ計画

ポートフォリオ計画は、計画マネージャーごとのカスタム計画であり、レンズを使用して構築されます。ポートフォリオマネージャーリーダーは、プロジェクトポートフォリオレンズを使用してポートフォリオの視点で計画し、部門長は組織レンズを使用して部門の視点で計画することができます。

計画マネージャーは、さまざまなレンズを使用して複数のポートフォリオ計画を作成できます。さまざまな視点から作業の計画と進捗状況をビジュアル化し、ステークホルダーと共有します。ポートフォリオ計画は次のように役立ちます。

- 目的の視点 (レンズ) で集中的に作業を計画できるようにします。
- 適切な作業に優先順位を付け、ビジネス戦略との整合性を向上させます。
- 実行チームを適切な作業に配置するために費やす時間を短縮します。

事前定義されたレンズとその構造

ポートフォリオ計画 には、ポートフォリオ計画の構築を開始するための事前定義された 2 つのレンズ (組織と Portfolio Planning) が用意されています。

計画マネージャーは、会社でのロールに基づいてこれらのレンズを使用できます。各レンズには複数のレベルが含まれており、そこでペルソナが計画を立て、これらのレベルが合わさってそのレンズの構造を形成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レンズ	計画レベル	計画マネージャー	説明
組織	• 会社 • 事業部門 • 部門	• 部門長 • 事業部門長	作業が会社の目標にどのように沿っているかをビジュアル化する
プロジェクトポートフォリオ	ポートフォリオ	• プロダクトマネージャー • ポートフォリオマネージャー	作業が会社全体のポートフォリオにどのように沿っているかをビジュアル化する

管理者と協力して、これらの事前定義されたレンズの構造を変更するか、まったく新しいレンズを設定することができます。詳細については、「ポートフォリオ計画 でのレンズの設定」を参照してください。

ポートフォリオ計画の作成を開始して、作業とビジネス戦略の整合性を向上させます。「ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成」を参照してください。

ポートフォリオ計画 での作業の優先順位付け

ポートフォリオ計画 の一元化されたワークスペースを使用して、ポートフォリオに関連する作業に優先順位を付けます。レビューして投資する適切な作業を決定します。

ポートフォリオ計画のロードマップをスケジュール設定する前に、既存の作業負荷と今後の作業負荷をあらかじめ把握しておくとよいでしょう。すべての作業アイテムを 1 か所にリストアップしておくと、作業パイプライン全体を把握しやすくなります。統合ビュー により、バックログの調整をスムーズに行えるため、優先順位付けが必要なアイテムを簡単に確認して決定できます。

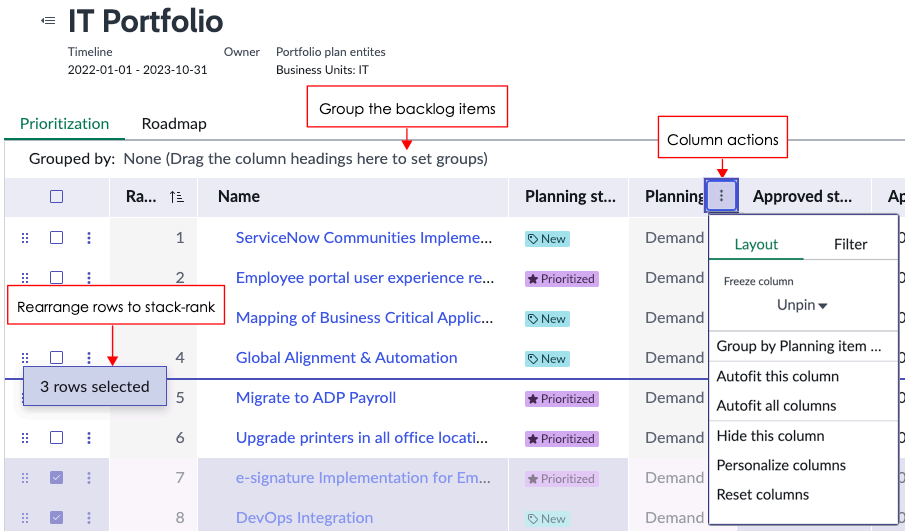
ワークスペースの [優先順位付け] タブを使用して、ポートフォリオ計画のすべての新規および既存の作業をレビューし、そのバックログを表すことができます。優先順位付けでは、作業負荷を効率的に確認できるように、関連目標、計画コスト、計画利益などの各作業アイテムに関する情報が提供されています。これらのデータポイントを使用すると、アイテムを優先順に並べて、どのアイテムを他のアイテムよりも優先するかを決定できるようになります。[優先順位付け] タブには、バックログを確認および管理するための次のビューがあります。

リストビュー

計画立案アイテムはグリッド形式でリストされます。ドラッグ機能を使用して、アイテムをスタックランクし、目的の属性でグループ化して、優先度に基づいてソートすることができます。

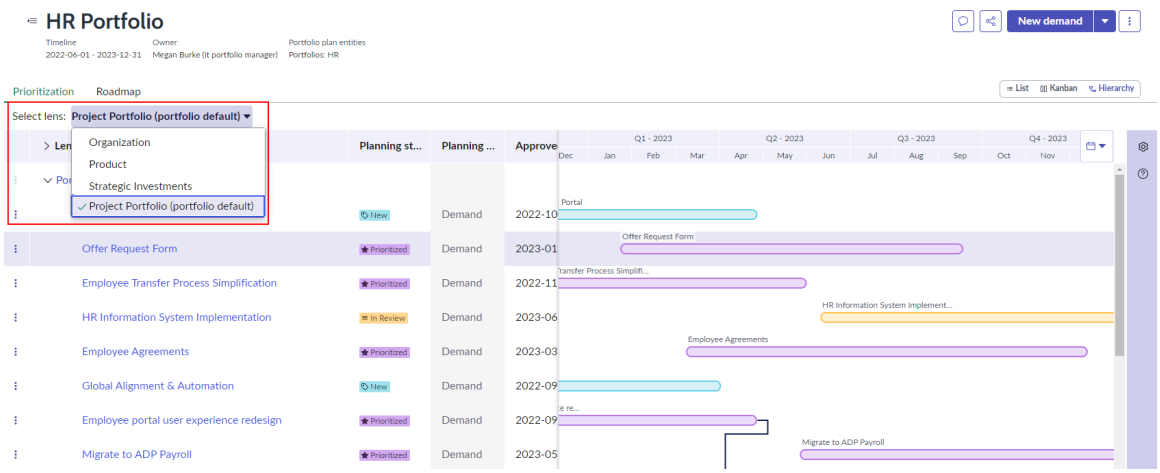
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



階層ビュー

このビューには、現在のポートフォリオ計画の作業と他のレンズのエンティティとの調整がどのように行われるかが表示されます。レンズスイッチャーを使用すると、作業の調整を表示する視点を変更できます。ビューのタイムラインセクションを使用して、計画立案アイテム間のスケジュールや依存関係を可視化することで、作業の優先順位を効果的に設定できます。



たとえば、ポートフォリオマネージャーは、ポートフォリオ向けに作成されたプロジェクトやデマンドをすべて 1 か所で、ポートフォリオのバックログとして確認することができるようになります。ポートフォリオで新しいプロジェクトを始める必要がある場合は、このバックログに直接追加することができます。こうしたアイテムは、簡単に識別できるように [新規] とマークされます。特定のアイテムについてステークホルダーと協議中の場合は、優先順位が確定するまで [確認中] とマークします。作業可能なアイテムが決まった後は、[優先順位付け] とマークすると、ポートフォリオロードマップに追加されるようになっています。プロジェクトやデマンドを続行しない場合は、[キャンセル] とマークします。

ポートフォリオ計画 で作業パイプラインの管理を開始するには、「ポートフォリオ計画 ワークスペースを使用した作業の優先順位付け 」を参照してください。

ポートフォリオ計画 のロードマップ

ポートフォリオ計画 ワークスペースのビジュアルロードマップを使用して、会社の作業を効果的に計画します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

組織が成長し、優先順位が変化していくにつれ、既存の計画を変更したり、新たな計画を簡単に作成したりできる柔軟性が重要になります。ロードマップを使用して、現在と今後の計画のレイアウトを作成しながら、それらを事業達成目標に合わせることができます。これらの視覚的な計画を組織全体の他のステークホルダーと共有し、有意義な会話を促進し、共通の理解を検証します。

各ロードマップは上位レベルの作業ブロックであり、エンタープライズプロジェクトマネージャー、ポートフォリオマネージャー、プロジェクトマネージャーなどのさまざまな計画立案ペルソナによって優先順位が付けられます。また、ロードマップは、開発中にデリバリーチームをガイドしながら、ステークホルダーにインサイトを提供します。

操作できるロードマップのタイプは次のとおりです。

- ポートフォリオ計画ロードマップ
- フリーフォームロードマップ

これらのロードマップで使用可能な機能は次のとおりです。

- ハイブリッドロードマップ
- ロードマップレベルのマイルストーン
- 計画立案アイテムレベルのマイルストーン
- 計画立案アイテムの依存関係
- トラッキングモード

注:
ロードマップは ポートフォリオ計画 でデフォルトで利用可能です 。Roadmap Planning (sn_roadmap_plng) は、独立したアプリケーションとしてインストールできなくなりました。

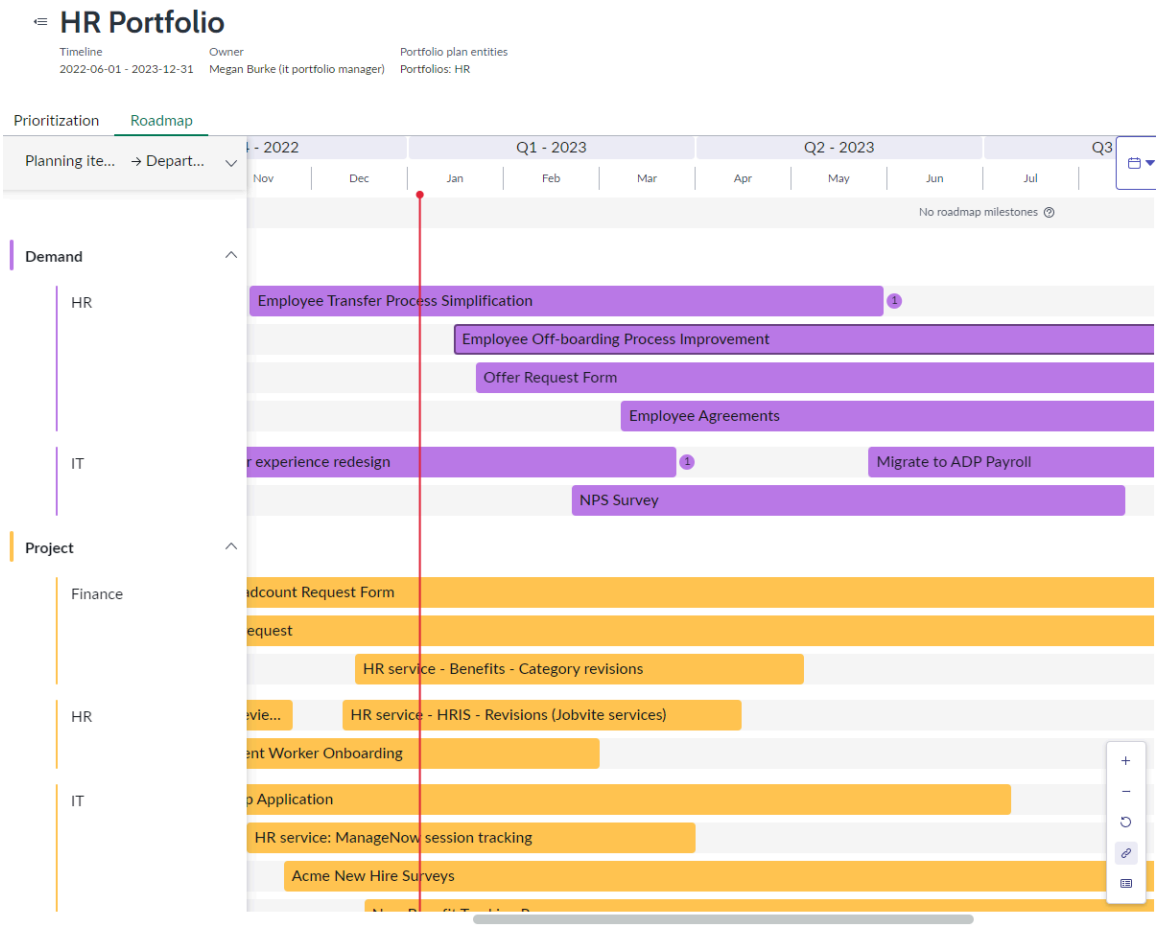
ポートフォリオ計画ロードマップ

レンズを使用して柔軟なポートフォリオ計画を作成することで、ポートフォリオの作業の優先順位付けとロードマップを行うことができます。これらのポートフォリオロードマップを使用して、組織のさまざまな視点の作業を個別に計画および追跡し、それらを会社の計画の概要に接続します。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成 で開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



フリーフォームロードマップ

自由形式のロードマップを使用すると、複数のポートフォリオにわたる作業など、会社のさまざまな部門からの作業を柔軟に計画および追跡できます。

フィルター条件を使用して、ロードマップに必要な作業アイテムの種類を定義できます。部門のプロジェクト専用のロードマップが必要な場合は、プロジェクトのロードマップを定義して現在のプロジェクトの進捗状況の追跡を開始し、新しいプロジェクトの計画を作成します。「ポートフォリオ計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成」を参照してください。

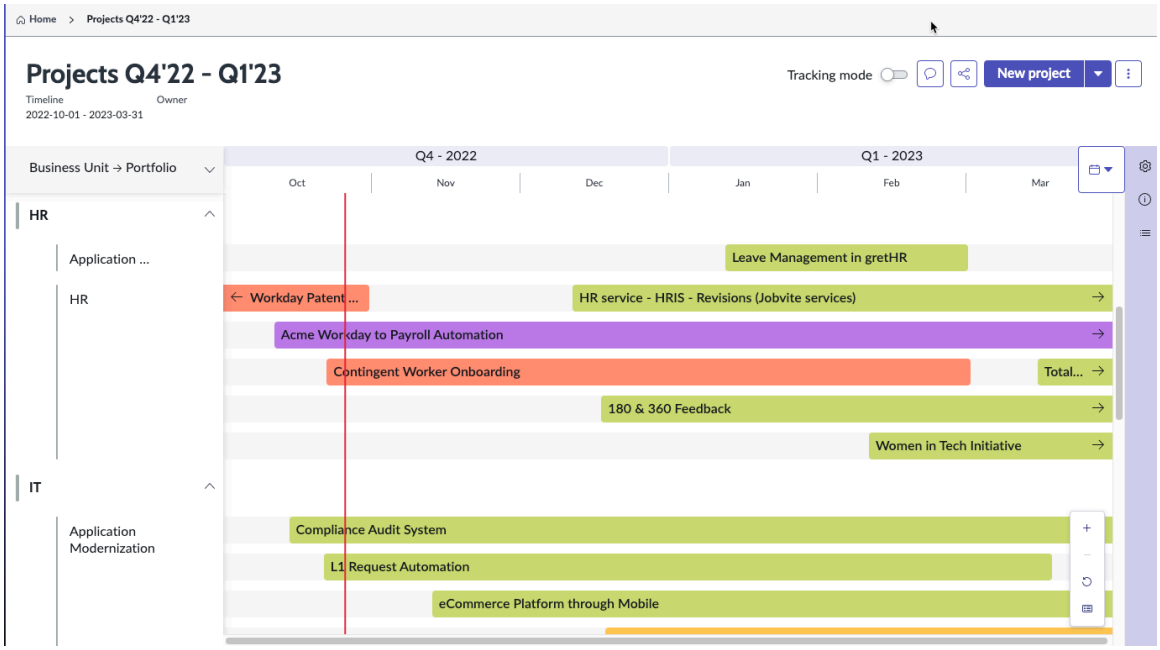
自由形式のロードマップを使用すると、複数のポートフォリオにわたる作業など、会社のさまざまな部門からの作業を柔軟に計画および追跡できます。

フィルター条件を使用して、ロードマップに必要な作業アイテムの種類を定義できます。部門のプロジェクト専用のロードマップが必要な場合は、プロジェクトのロードマップを定義して現在のプロジェクトの進捗状況の追跡を開始し、新しいプロジェクトの計画を作成します。

「ポートフォリオ計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ハイブリッドロードマップ

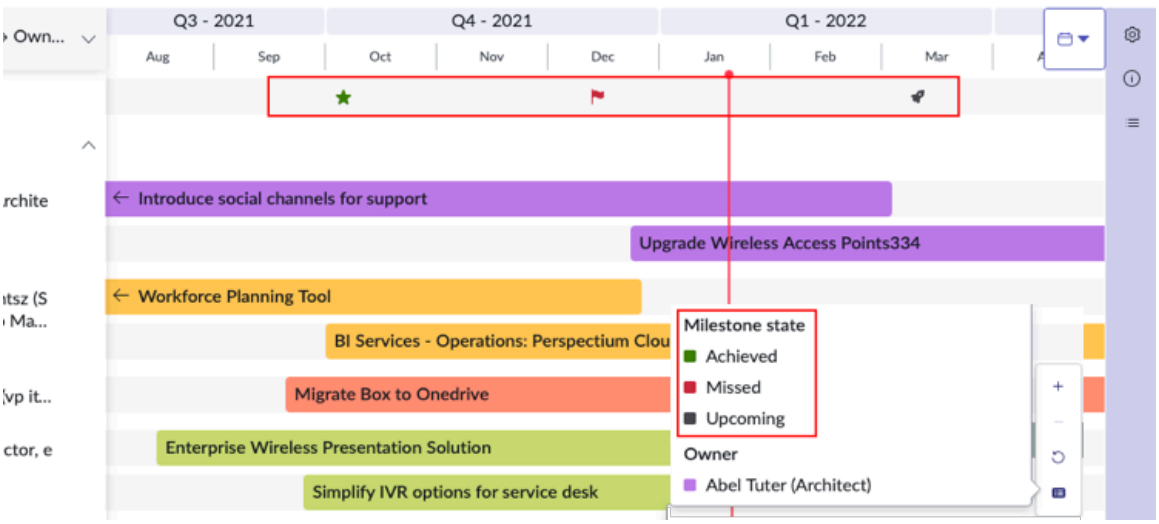
ポートフォリオ計画 では、ポートフォリオロードマップとフリーフォームのロードマップの両方を使用して、ハイブリッドロードマップを構築できます。たとえば、プロジェクトとデマンドを組み合わせたものを単一のビューに含めることができます。

ロードマップのマイルストーン

ロードマップまたはロードマップ上の各計画立案アイテムのマイルストーンを作成できます。

ロードマップレベルまたはポートフォリオレベルのマイルストーン

ロードマップレベルで作成されたマイルストーンは、そのロードマップのタイムライン中に開始日または主要なイベントを追跡するのに役立ちます。ロードマップマイルストーンの作成方法については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加」を参照してください。



計画立案アイテムのマイルストーン

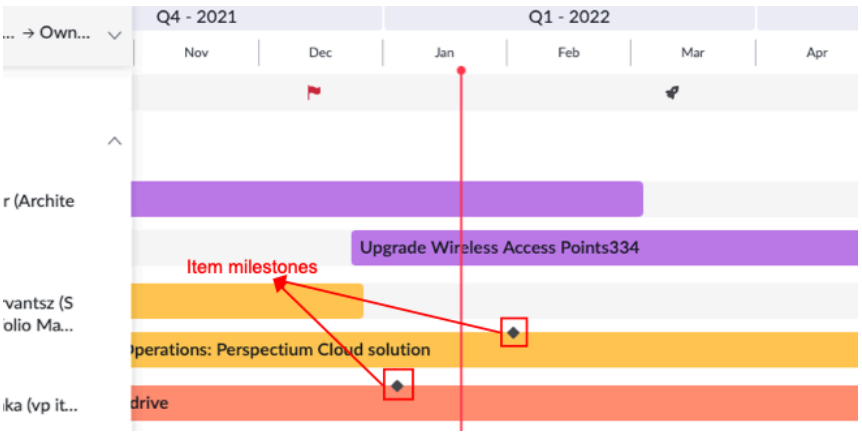
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムレベルで作成されたマイルストーンを使用すると、戦略的な成果にさらに重点を置くことができます。こうしたマイルストーンは、期限や他の重要な日付を追跡するのに役立ちます。プロジェクトとデマンドのマイルストーンにアクセスできます。

ロードマップからすべてのタイプの計画立案アイテムのマイルストーンを作成および更新できますが、プロジェクトのマイルストーンは読み取り専用です。プロジェクトマイルストーンへの変更は関連するプロジェクト計画に影響を与える可能性があるため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のプロジェクトワークスペースを使用してプロジェクトマイルストーンを作成または更新することをお勧めします。

ロードマップでアイテムレベルマイルストーンを作成する方法については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムのマイルストーンを追加」を参照してください。



計画立案アイテムの依存関係

計画立案の際は、計画立案アイテムがそれぞれどのように関係しているのかを把握することが重要です。これが把握できていないと、タイムクリティカルなプロジェクトやデマンドの優先順位付けを誤ってしまう恐れがあります。また、情報が不足すると、適切な作業を適切な期間にスケジュール設定できなくなる可能性もあります。

ロードマップにおける依存関係を把握することで、こうした計画立案アイテム間の関係を視覚化することができ、それに応じてスケジュールを調整することができるようになります。

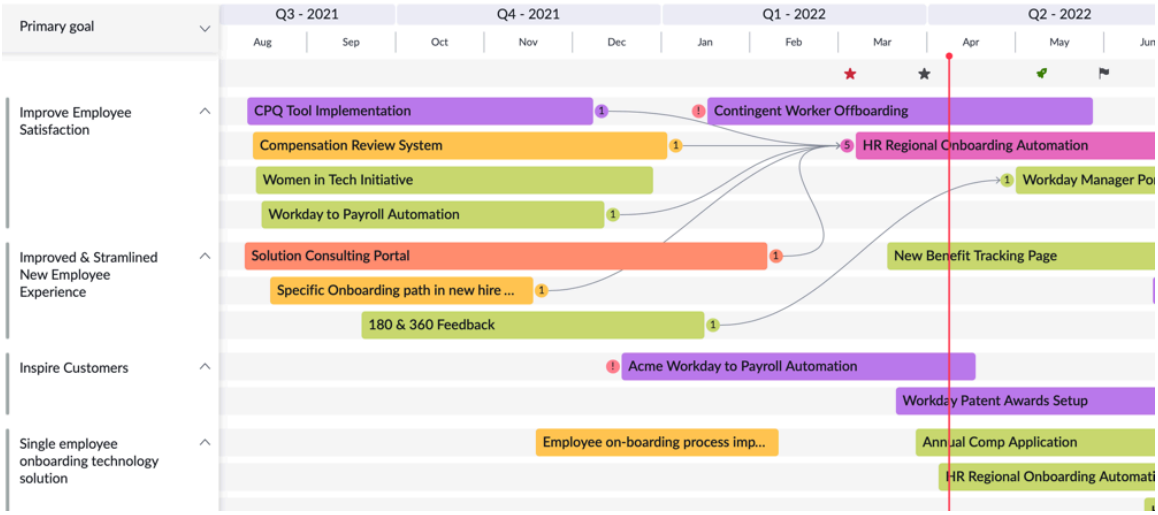
ポートフォリオ計画 では、依存関係をシンプル化したりハイブリッド化したりすることができます。たとえば、2 つのプロジェクト間、またはプロジェクトとエピック間の依存関係を確立することができます。また、計画立案アイテムは、同じポートフォリオ計画内のアイテムまたはまだ計画されていないアイテムに依存する可能性があります。

依存関係の行は、まとめて優先順位付けする必要があるアイテムを簡単に識別するのに役立ちます。このように計画立案アイテム間の関係性を簡単に識別できるようになることで、計画立案プロセスにおけるコラボレーションが向上し、意思決定が強化されます。

依存関係の作成や管理については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加」を参照してください。

自動翻訳

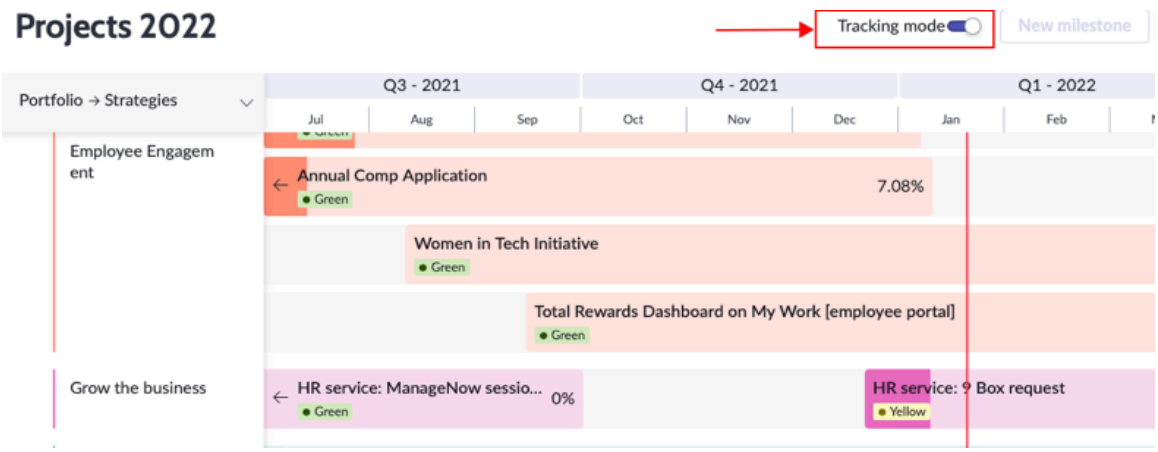
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ロードマップの追跡モード

ロードマップ上の各アイテムのステータス、進捗状況、および測定基準を追跡します。計画立案アイテムバーのステータスインジケーターや完了率スコアを使用すると、情報に基づいた意思決定を事前に行い、作業の進捗状況をステークホルダーに簡単に伝えることができるようになります。

「ポートフォリオ計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの進捗状況の追跡」を参照してください。



プロジェクトポートフォリオ管理 による ポートフォリオ計画

ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) アプリケーションの ポートフォリオ計画 で計画された作業がスムーズに実行できるようになります。

ポートフォリオマネージャーやプロダクトオーナーなどの計画立案ペルソナは、ポートフォリオ計画を使用することで、計画を事業達成目標に合わせ、実行チームは PPM を使用して計画されたプロジェクトとデマンドで作業を配送できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ計画 と **ServiceNow®** プロジェクトポートフォリオ管理 との統合



ポートフォリオ計画 **with PPM** の主なメリット

- 利用可能な PPM 計画立案アイテムを ポートフォリオ計画で表示します。
- PPM から ポートフォリオ計画 への計画立案アイテムのインポート
- ポートフォリオ計画 から PPM への計画立案アイテムのエクスポート
- ポートフォリオ計画 with PPM のリンクされた計画立案アイテムの更新を同期します。
- リンクされた計画立案アイテムの進捗状況を ポートフォリオ計画 で追跡します。

ポートフォリオ計画 with PPM の統合を開始するには、「ポートフォリオ計画 with PPM の構成」を参照してください。

ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案

[キャパシティ計画立案] 画面では、リソースのキャパシティ、割り当て、および使用率をリソースマネージャーが包括的に把握できます。

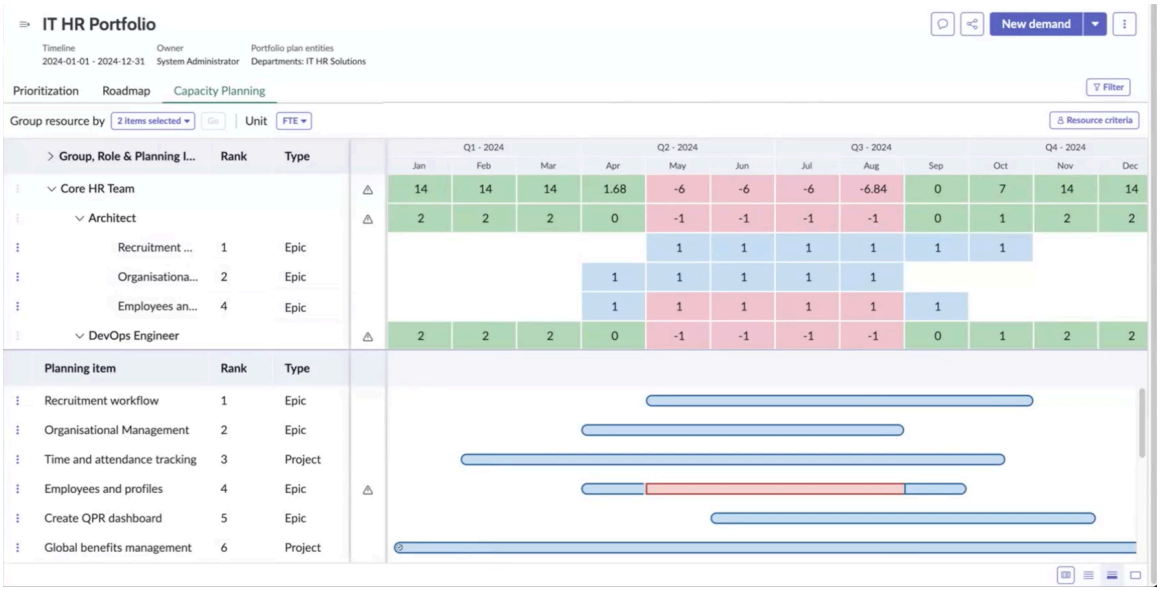
[キャパシティ計画立案] 画面を分析すると、次のことが簡単にできます。

- 優先順位付けされたポートフォリオアイテムのリソースキャパシティを表示します。
- グループ、ロール、スキルなどの主要な属性を使用して、組織全体のリソースキャパシティのニーズと見積りを把握します。
- ポートフォリオにおけるリソースの供給と作業のデマンドを効果的に予測します。
- 色インジケーターを使用して、リソースキャパシティ割り当てを理解し、その概要を把握します。
- 今後のアサインに備えて特定のスキルまたはロールを持つリソースを計画します。
- 直感的な新しいユーザーインターフェイスを使用して、リソース割り当ての健全性をすぐに表示すると、過剰な割り当てがある月別にポートフォリオ期間の詳細なブレークダウンが得られます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[キャパシティ計画立案] 画面



- 画面の上部トレイには、以下が表示されます。
  - 定義されたリソース基準に応じたリソースキャパシティの詳細
  - 期間の割り当ての詳細
  - プライマリ属性でグループ化されたリソース
- 画面の下部トレイには、以下が表示されます。
  - 優先順位付けされた計画立案アイテム
  - 計画立案アイテムの期間でのインタラクティブなガントチャート

    ガントチャートバーをクリックすると、その特定の計画立案アイテムのキャパシティのみを表示できます。

    ガントチャートを移動して、リソースキャパシティの詳細を適宜調整できます。
  - [キャパシティ計画立案] 画面のビューを調整するための切り替えオプション ( )

プロジェクトとデマンドの財務計画立案

プロジェクト、デマンド、エピックなどの計画立案アイテムの計画立案、再予測、財務の追跡、ベースラインの作成を行います。

財務ビューでは、会計期間全体の実際の経費と予定経費が簡素化されて表示されます。過去の会計期間の実績コスト、現在および将来の会計期間の計画コスト、四半期および年の合計、および合計作業期間を表示することで、最新の完了コスト概算を表示できます。

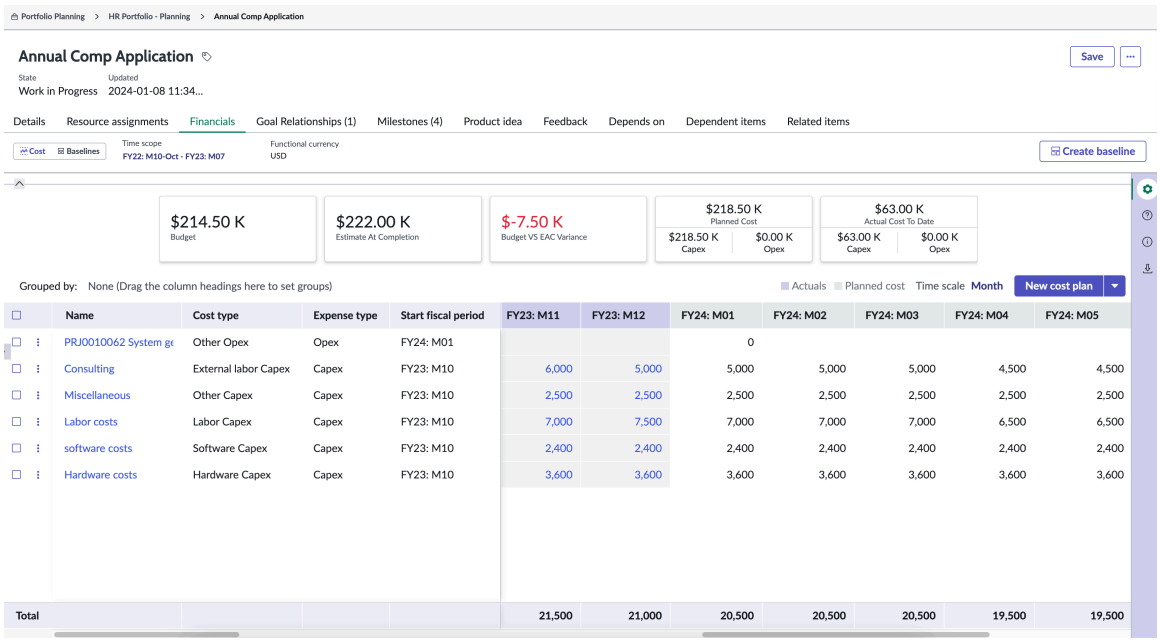
このインターフェイスを使用すると、コスト計画、経費明細、およびベースラインを作成できます。プロジェクトマネージャーまたは財務ユーザーは、次のことができます。

- [詳細] タブの簡易財務セクションを使用して、計画立案アイテムの上位レベルの財務予測を入力します。
- 計画経費および計画投資の概括的な見積もりを処理します。
- [財務] タブを使用して、計画コストの詳細なブレークダウンを作成します。
- 優先順位付けグリッドで、各エピックの計画コスト、実績コスト、および計画利益のロールアップを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コスト計画の追加、編集、または削除 コスト画面から簡単に。
- インライン編集機能を使用して、予定経費を再予測します。
- 計画立案アイテムの時間スコープ全体について、過去の実績コストと将来の計画経費を示す簡素化されたビューを表示する。
- 合計時間スコープと年次ブレークダウンについて、EAC (完了時の推定)、ETC (完了までの推定)、および各コスト計画の現在までの実績を表示することで、より優れた包括的なソリューションを得る。
- グリッドのインライン編集機能を使用して、四半期および年次の合計を直接更新することで、将来の会計期間の計画コストを再予測します。
- 人件費の生成 計画立案アイテムの全スコープに対するリソースのアサインに応じて、組織用に構成された財務属性によって分類されます。属性ベースのマッピングの計画立案属性の詳細については、「計画立案属性」を参照してください。
- 関連するコスト計画の詳細が事前入力されたサイドパネルから、コスト計画について簡単に経費明細の追加または編集。
- [新しい経費明細] サイドパネルを使用して予定外の経費を記録します。
- 財務ベースラインを作成して比較し、計画立案アイテムの財務を追跡します。
- 財務ベースラインを作成し、ベースラインの比較機能を使用して、最新のコスト (過去の会計期間の実際の経費と、現在および将来の会計期間の計画コスト) を当初の予測計画コストと比較します。
- 財務ベースラインを手動または自動でキャプチャして、コストの差異の原因と、いつ発生したかを経時的に分析します。



[財務] 画面では、以下の情報を表示できます。

- 時間スコープ：計画立案アイテムまたはコスト計画の期間のうち、会計期間の範囲が大きい方。
- 機能通貨 – 財務の計算に定義および使用される通貨。
- 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、計画コストのブレークダウン、コストタイプ別の現在までの実績など、さまざまな財務情報を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タイムスケール： 財務を表示するための期間ブレークダウン。デフォルト値は、会計カレンダータイプに応じて [月]/[期間] に設定されます。
- 人件費の生成：リソースのアサインに応じて計画立案アイテムの計画人件費を生成または更新するワンクリックソリューション。

  注:
  このオプションは、属性ベースのリソースがアサインされているプロジェクトでのみ有効になります。

- 左ペインには、[名前]、[コストタイプ]、[経費タイプ]、[統計会計期間]、[会計期間の終了]、[合計計画コスト]、[従業員タイプ]、および [ロール] が表示されるコスト計画属性が表形式で表示されます。これらのフィールドはカスタマイズできます。詳細については、「財務の左ペインビューのカスタマイズ」を参照してください。
- 右ペインに、現在までの合計実績、選択した時間スコープ期間の合計 EAC (完了時の推定) と合計 ETC (完了までの推定)、過去の会計期間のコスト計画に対する実績経費、現在までの実績、現在の会計年度の EAC と ETC、および現在および将来の会計期間の計画コストを表示します。

  注:
  経費タイプを簡単に識別して区別できるように、実績経費と予定経費のヘッダー行が異なる色で色分けされています。凡例は [タイムスケール] フィールドに対してマークされます。

- 新しいコスト計画：エンティティの新しいコスト計画を作成するための簡素化されたサイドパネルを開きます。
- テーブルの左ペインの列をカスタマイズするための [カスタマイズ] オプション
- コストまたはベースラインの比較を Microsoft Excel または CSV ファイルとしてダウンロードするためのエクスポートオプション。

ポートフォリオ計画 の構成

ポートフォリオ計画 を設定して製品マネージャーやポートフォリオマネージャーが作業事業達成目標を調整するのに必要なプロセスについて説明します。

構成ワークフロー

ポートフォリオ計画 をセットアップするプロセスの指針として、次のステップを使用してください。これらのステップの中には、admin ロールが必要なものと、sn_line_core.apw_admin ロールが必要なものがあります。

1. ポートフォリオ計画 のインストール。
2. ユーザーロールをアサインします。

   ポートフォリオ計画 とともにインストールされるコンポーネント のインストールされるロールのテーブルを参照してください。

   注:
   古いバージョンから v6.1.1 以降に ポートフォリオ計画 アップグレードする場合は、roadmap_editor ロールが使用されなくなるため、milestone_editorロールをroadmap_editorロールから削除するための修正スクリプトが実行されます。この場合、インスタンスにroadmap_editorロールを持つ多数のユーザーがいると ServiceNow 、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、「 KB1443618 」を参照してください。

3. ポートフォリオ計画を有効にするには、レンズを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

「ポートフォリオ計画 でのレンズの設定」を参照してください。

4. ServiceNow® ポートフォリオ計画 を プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) と統合します。

   「プロジェクトポートフォリオ管理 による ポートフォリオ計画」を参照してください。

5. キャパシティ計画立案を構成し、リソースキャパシティを生成します。

   「ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案構成」を参照してください。

6. エピックの財務計画立案を有効にし、[財務] 画面ビューをカスタマイズします。

   「ポートフォリオ計画 の財務の構成」を参照してください。

ポートフォリオ計画 を構成するための **Guided Setup**

Guided Setup には一連のタスクがあり、ServiceNow のインスタンスで必要な設定を行うのに役立ちます。をインストールした後 ポートフォリオ計画、に移動します。 すべて > > ポートフォリオ計画 > ガイド付き設定.

Guided Setup からタスクを設定する場合は、[ヘルプを表示] アイコン () をクリックすると、追加のガイダンスのアプリ内ヘルプを起動できます。

ポートフォリオ計画 のインストール

管理者ロールを持っている場合は、ポートフォリオ計画 アプリケーション (sn_align_ws) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store の ポートフォリオ計画 アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

ポートフォリオ計画 とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- テーブル

詳細については、「ポートフォリオ計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、ポートフォリオ計画 アプリケーション (sn_align_ws) を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

タスクの結果

以下のコンポーネントは、ポートフォリオ計画 アプリケーションのインストール時にインストールされます。

- ロール
- テーブル

詳細については、「ポートフォリオ計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

ポートフォリオ計画 でのレンズの設定

会社の計画プロセスを表すレンズを設定できるように、ポートフォリオ計画 での レンズの構造と事前定義されたレンズについて説明します。

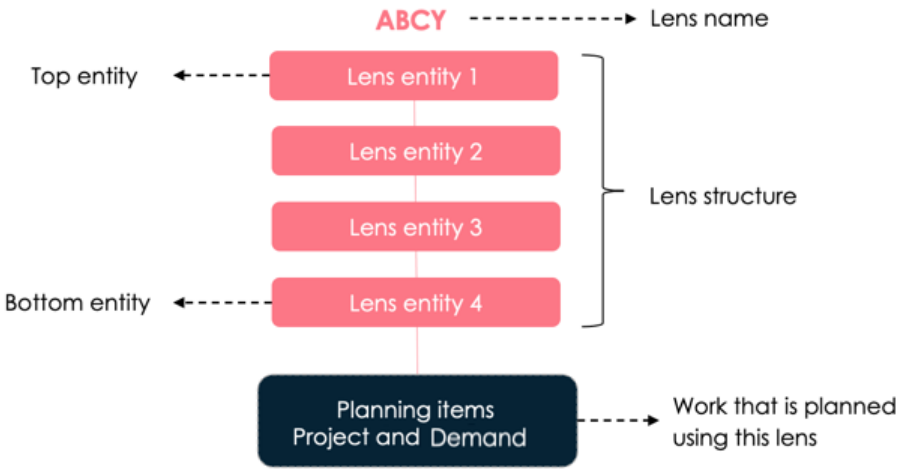
レンズ構造

ポートフォリオ計画 内の各レンズは、 レンズエンティティで構成される構造で構成されます。これらのエンティティは、さまざまなレベルの計画を表します。計画マネージャーは、これらのレベルのいずれかでポートフォリオ計画を構築し、このレンズに関連付けられている作業アイテムのタイプの計画を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レンズ構造の例

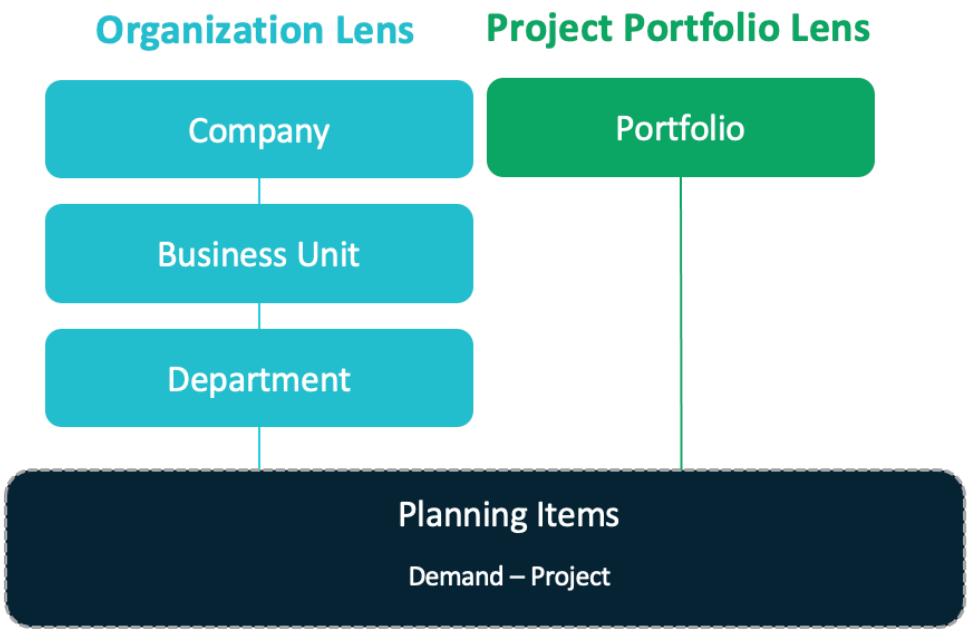


ポートフォリオ計画 の事前定義されたレンズ

組織とプロジェクトポートフォリオの 2 つの事前定義されたレンズを使用できます。

たとえば、組織レンズには、エンティティとして [会社]、[事業部門]、および [部門] があります。部門長は部門レベルでポートフォリオ計画を作成し、部門の作業の優先順位付けとロードマップを開始できます。この作業は、プロジェクト、デマンド、または構成されたその他のカスタムタイプの形式にすることができます。

事前定義されたレンズのレンズ構造



ポートフォリオ計画 ワークスペースで、計画立案マネージャーは、事前定義されたいずれかのレンズを使用してポートフォリオ計画の作成を開始できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レンズの計画立案アイテム

レンズを使用して構築するすべてのポートフォリオ計画について、そのレンズに含まれるアイテムタイプのみが計画に使用できます。たとえば、レンズ XYZ にデマンドのみが追加されているとします。この場合、XYZ レンズを使用して構築される任意のポートフォリオ計画では、デマンドの形式のみで作業を計画できます。

レンズとレンズ構造の構成

事前定義されたレンズをそのまま使用することも、既存の構成を更新することもできます。

- レンズをそのまま使用するには、ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理 との統合を設定して、レンズの設定を完了します。

  「ポートフォリオ計画 with PPM の構成」を参照してください。

- レンズ構成を更新するには、以下を実行します。
  - レンズ内に含まれる計画立案アイテムを変更します。「レンズフォーム」を参照してください。
  - さらにエンティティをレンズ構造に追加します。「ポートフォリオ計画 のレンズ構造の変更」を参照してください。

ポートフォリオ計画 のレンズ構造の変更

計画マネージャーが ポートフォリオ計画 でポートフォリオ計画の作成を開始できるように、レンズ構造のエンティティを追加または変更します。

始める前に

アプリケーションスコープが **Portfolio Planning Core** に設定されていることを確認します。

必要なロール：admin

このタスクについて

レンズの場合は、エンティティを追加して既存の構造を変更します。最大 6 つのエンティティをレンズ構造に追加できます。レンズとその構造の詳細については、「ポートフォリオ計画 でのレンズの設定」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > レンズ.
2. [レンズ] リストから、レンズ構造を更新するレンズを選択します。
3. エンティティをレンズ構造に追加します。
   a. [レンズ構造] 関連リストから、[新規] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

      フィールドの詳細については、「レンズ構造フォーム」を参照してください。

   c. [送信] を選択します。
4. ステップ 3 を繰り返して、すべてのレンスエンティティの追加を完了します。

自動翻訳

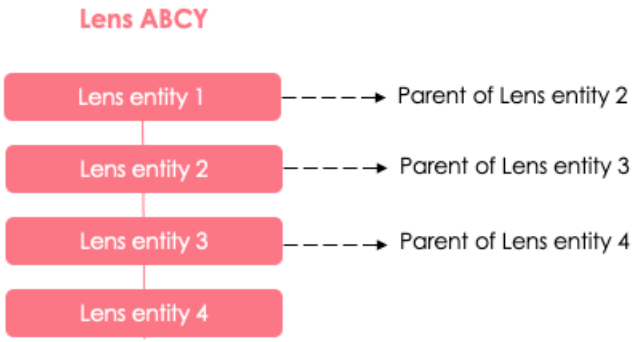
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- トップダウン方式でエンティティを追加します。

  最初にトップレベルのエンティティを追加し、次に第 2 レベルのエンティティを追加し、その後に 3 番目のエンティティを追加します。

- トップレベルを除くすべてのエンティティに親エンティティ参照があることを確認します。

  たとえば、第 2 レベルのエンティティは、トップレベルのエンティティを親として参照する必要があります。



次のタスク

1. 計画立案アイテムテーブル [sn_align_core_planning_item] にこのレンズの下部エンティティを参照するフィールドがあることを確認します。
2. レンズに関連付けられているすべての計画立案アイテムタイプの次のフォームビューに、レンズ構造の下部エンティティのフィールドが含まれていることを確認します。
   - APW プレビュー
   - APW 新規
   - APW デフォルト
3. このレンズに関連付けるすべての計画立案アイテムタイプのテーブルのロードマップ構成を更新します。

   このレンズ構造の下部エンティティとその親を [フィールド別にグループ化]と [フィールド別の色] に追加します。これらのフィールドは、ポートフォリオロードマップのデフォルトのグループ化基準および色分け基準設定として使用されます。「ポートフォリオ計画 Workspace での優先順位およびロードマップの表示設定のカスタマイズ」を参照してください。
4. レンズ構成を検証してアクティブ化します。「ポートフォリオ計画 でレンズをアクティブ化」を参照してください。

ポートフォリオ計画 でレンズをアクティブ化

計画マネージャーがこのレンズを使用してポートフォリオ計画の作成を開始できるように、レンズ構成を検証して有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
既存のレンズの構造を変更した場合、その構成を検証し、そのステータスを [アクティブ] に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画マネージャーは、アクティブなレンズのみを使用してポートフォリオ計画を作成できます。計画マネージャーのワークスペースでレンズを使用できるようにするには、その構成が有効であり、[アクティブ] ステータスである必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > レンズ.
2. [レンズ] リストから、レンズを選択します。
3. [レンズ] フォームで、[レンズの検証] 関連リンクをクリックします。
   - 構成が有効な場合は、有効化できることを示す成功メッセージが表示されます。
   - レンズ構成が有効でない場合は、エラーメッセージを使用して問題を理解し、構成を修正します。

     関連リンクを使用して、再度レンズを検証してください。
4. [アクティブ] フィールドを選択し、フォームを保存します。

関連情報

ポートフォリオ計画 のレンズ構造の変更

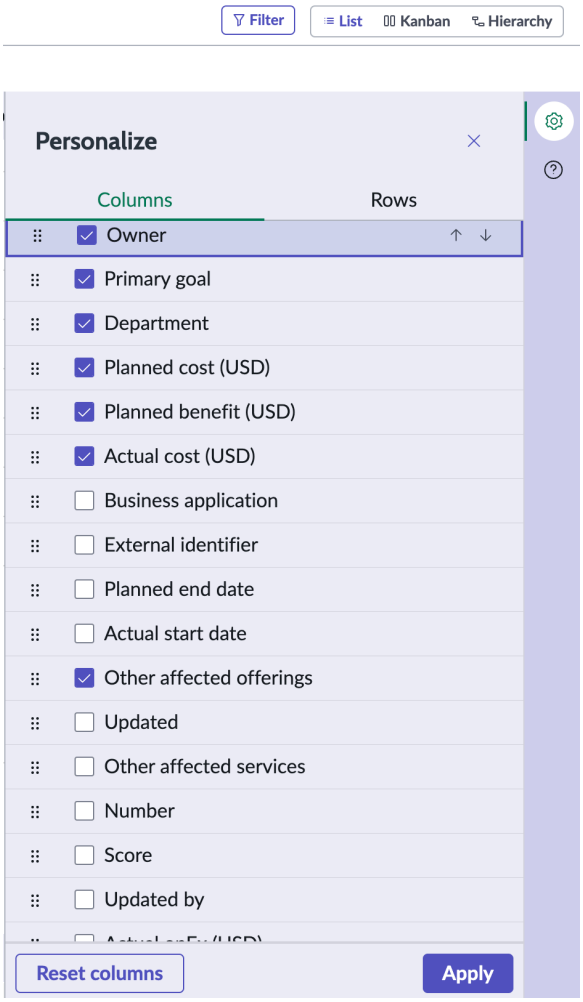
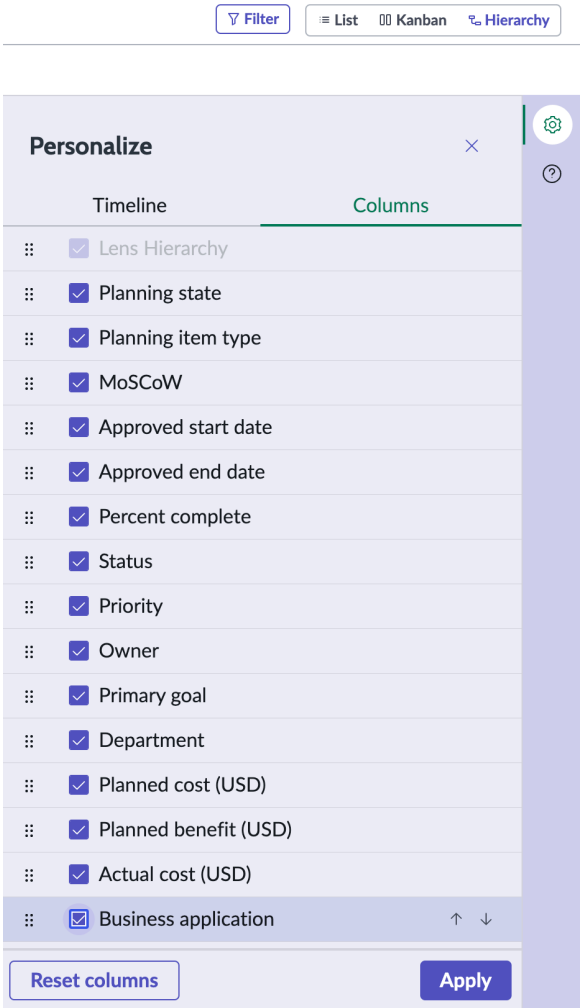
ポートフォリオ計画 の [優先順位付け] ページの追加列の設定

ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページにどの列を表示する必要があるかを構成して、計画マネージャーが、適切なデータポイントを選択できるようにします。

ポートフォリオマネージャーまたはプロダクトオーナーは、ワークスペースの [優先順位付け] ページにある [カスタマイズ] サイドパネルを使用して、計画立案アイテムのデータを表示したり非表示にしたりすることができます。デフォルトでは、リストビューおよび階層ビューのこのサイドパネルには、その計画立案アイテムで利用可能なすべてのデフォルトフィールドが表示されます。たとえば、計画マネージャーが追加の列を表示する場合は、ドット連結フィールドからの情報が必要になる可能性があります。このような場合、または既存の選択肢を削除するには、管理者ロールを使用して設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストビューの設定をカスタマイズする	階層ビューの設定をカスタマイズする
	

このサイドパネルに追加の列を選択肢として追加するか、ポートフォリオ計画に関連付けられた計画立案アイテムタイプのリストレイアウト構成を更新して、デフォルトの列の選択肢を削除します。

- ポートフォリオ計画に複数のアイテムタイプが関連付けられている場合は、計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] テーブルのビュー構成を更新します。
- ポートフォリオ計画に単一のアイテムタイプが関連付けられている場合、関連するテーブルのビュー構成を更新します。

識別されたテーブルのフォームビューから、ビューを **[APW** バックログ] に変更し、リストレイアウトを更新します。リストレイアウト構成を更新する詳細な手順については、「リストのレイアウトの構成」を参照してください。

注:
リスト v3 は、新しい展開では使用できなくなりました。既にリスト v3 を使用している場合は引き続き使用できますが、この場合、一部の機能が利用できない可能性があります。

ポートフォリオ計画 での優先順位およびロードマップ設定の構成

関連する情報を計画立案マネージャーが表示できるように、ワークスペースの [優先順位付け] ページと [ロードマップ] ページでのデータの表示方法を構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けページのハイライト表示されたフィールドのカスタマイズ

計画マネージャーのニーズに応じて、ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページで強調表示されるフィールドをカスタマイズします。

デフォルトでは、ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページのリストビューおよび階層ビューで、計画立案アイテムの [計画ステータス] および [ステータス]フィールドが色付きでハイライト表示されます。計画立案マネージャーの要件に基づいて、 [所有者] または [優先度] などの選択肢タイプのフィールドを、ページ上でのハイライト表示される列になるように構成できます。このカスタマイズでは次を行う必要があります。

- 優先順位付けビュー [スクリプトインクルード] (リストビューの場合は APWBacklogConfigImpl、階層ビューの場合は APWGanttConfigImpl) の変更
- sys_highlighted_value テーブルの必須フィールドに対する新しいレコードの設定

ポートフォリオ計画 で [優先順位付け] ページのスクリプトインクルードを変更

[優先順位付け] ページのリストビューと階層ビューのスクリプトインクルードを変更して、ワークスペースのこれらのビューでハイライト表示される列を変更します。

始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スクリプトインクルード.
2. リストから、次のいずれかを選択します。
   - リストビューの場合は、[APWBacklogConfigImpl] を選択します。
   - 階層ビューの場合は、[APWGanttConfigImpl] を選択します。
3. スクリプトインクルードの [スクリプト] フィールドの列名を更新します。

   `getColumnsForHighlightedValues` 関数で、戻り値を目的の列に更新します。

   たとえば、[優先度] 列を強調表示する場合は、戻り値を ("planning_state", "state", "priority") に更新します。
4. [送信] を選択します。

次のタスク

ポートフォリオ計画 の [優先順位付け] 列でハイライト表示される新しい値の作成

ポートフォリオ計画 の [優先順位付け] 列でハイライト表示される新しい値の作成

計画マネージャーのニーズに応じて、ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページで強調表示されるフィールドをカスタマイズします。

始める前に

ポートフォリオ計画 で [優先順位付け] ページのスクリプトインクルードを変更.

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペースエクスペリエンス > 管理 > ハイライト表示される値.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールドの詳細については、「ハイライト表示される値フォーム」を参照してください。

4. フォームを保存します。
5. [ハイライト表示される値の条件] 関連リストで、ワークスペースでハイライト表示する各フィールド値の色、順序、およびアイコンを構成するレコードを作成します。

   a. [新規] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ハイライト表示される値の条件フォーム」を参照してください。

   c. [送信] を選択します。

6. ステップ 5 を繰り返して、すべてのフィールド値に対してこの構成を完了します。
   たとえば、[ステータス] 列を設定している場合、 [ハイライト表示される値の条件] 関連リストで、選択肢の [赤]、 [緑]、[黄] のそれぞれに対して 3 つのレコードを作成する必要があります。
7. [更新] を選択します。

ポートフォリオ計画 でのフリーフォームロードマップに対する追加のソーステーブルの構成

ロードマップ設定に新しいテーブルを追加して詳細を設定し、ポートフォリオ計画 でのフリーフォームロードマップの作成時にこれらのテーブルをソーステーブルとして使用できるようにします。

始める前に
ポートフォリオ計画 のインストール.

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > ポートフォリオ計画の構成.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[ポートフォリオ計画の構成] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

ポートフォリオ計画 **Workspace** での優先順位およびロードマップの表示設定のカスタマイズ

ソーステーブル構成を更新して、ビジネスの優先度に従って ポートフォリオ計画 でロードマップビューをカスタマイズできるようにします。

始める前に
ポートフォリオ計画 のインストール.

必要なロール：sn_roadmap_plng.roadmap_admin or sn_align_core.apw_admin

このタスクについて
ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップの作成に使用するソーステーブルについて、構成を変更します。フィールドを更新して、ロードマップ上のアイテム、またはアイテムごとに表示される測定基準などをグループ化して色分けすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > ポートフォリオ計画の構成.
2. 構成を編集するテーブルを開きます。
3. 必須フィールドを編集します。
   フィールドの詳細については、「[ポートフォリオ計画の構成] フォーム」を参照してください。
4. [更新] を選択します。

ポートフォリオ計画 での優先順位付けおよびロードマップに対するアイテムの表示制限の更新

[優先順位付け] ページ、[ロードマップ] ページ、および ポートフォリオ計画 の ロードマップビュー のアイテムマイルストーンに表示されるアイテムの表示制限を更新するシステムプロパティを作成します。

始める前に
必要なロール：管理者

このタスクについて
[優先順位付け] ページと [ロードマップ] ページのデフォルトの表示制限は、次のとおりです。

- 優先順位付けビューに表示される計画立案アイテム = 500
- ロードマップビューに表示されるロードマップアイテム = 500
- ロードマップビューのアイテムレベルのマイルストーン = 100
- すべてのカンバンビューに表示されるアイテム = 500

合計数がこれらのデフォルト制限を超えた場合、追加の数の計画立案アイテムとマイルストーンインジケーター、および垂直レーンは、ワークスペースに表示されません。このデフォルト設定を上書きするには、システムプロパティを作成し、その値を目的の表示制限値に設定します。

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「**sys_properties.list**」と入力します。
   システムプロパティ [sys_properties] テーブル内の全プロパティのリストが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   その他のフォームフィールドの詳細については、「システムプロパティの追加」のフィールド説明テーブルを参照してください。
4. [送信] を選択します。

ポートフォリオ計画 の階層ビュー構成

システムプロパティを構成することで、上位レベルおよび通常のポートフォリオ計画の階層ビューに表示される計画立案アイテムの親レコードを表示または非表示にします。

階層ビューに空の親エンティティを表示する

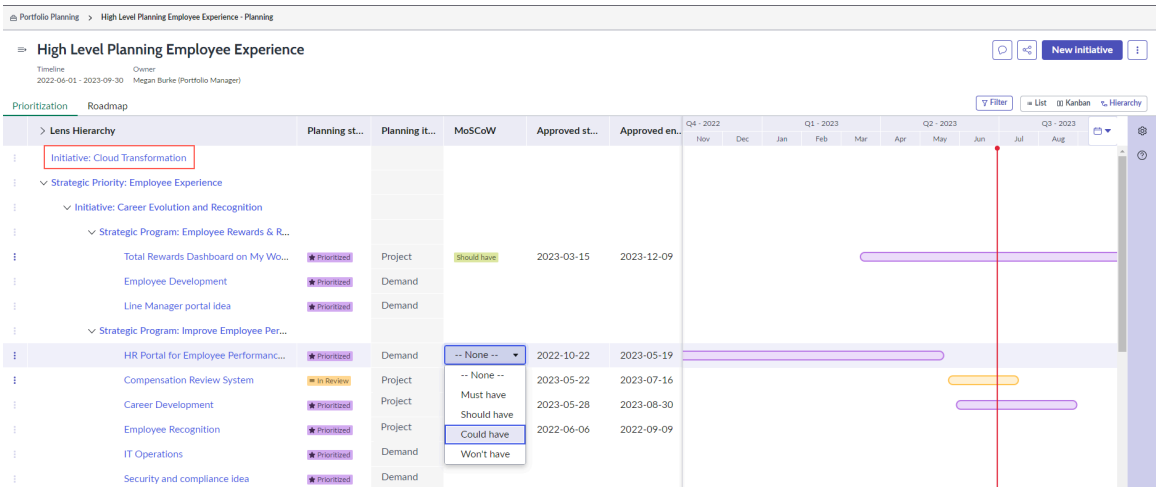
[優先順位付け] タブの階層ビューでは、関連付けられた計画立案アイテムがある場合にのみ、親レコードが表示されます。

たとえば、組織レンズ ([会社] > [事業部門] > [部門]) から作成されたポートフォリオ計画は、デマンドとプロジェクトの計画を管理および追跡するために使用されます。そのため、優先順位付け階層ビューに切り替えると、少なくとも 1 つのデマンドまたはプロジェクトが関連付けられている部門のみがビューに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このポートフォリオ計画に含まれていても、計画立案アイテムが関連付けられていない他の部門を表示する場合は、管理者と協力してシステムプロパティ *sn_align_ws.gantt_hide_empty_entities* を作成し、それを **false** に設定します。

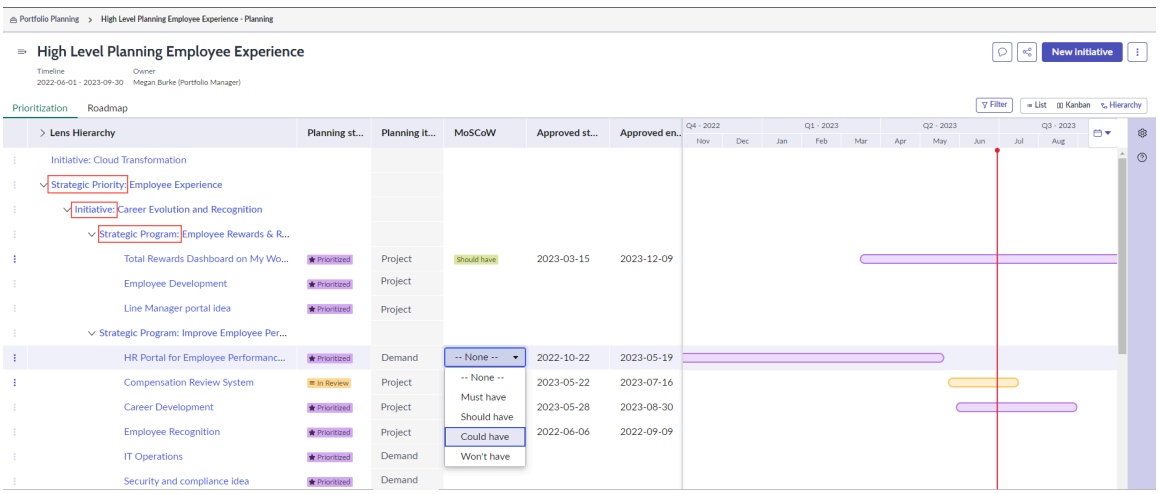


上位レベルのポートフォリオ計画の完全な階層を表示する

上位レベルのポートフォリオ計画の場合、階層ビューにはデフォルトで親レベルまでの階層のみが表示されます。

たとえば、戦略的投資レンズ ([会社] > [戦略的優先事項] > [イニシアチブ] > [戦略的プログラム]) から作成されたポートフォリオ計画は、戦略的プログラムの計画を管理および追跡するために使用されます。そのため、優先順位付け階層ビューに切り替えると、デフォルトでは [戦略的優先事項] > [イニシアチブ] レベルのみが表示されます。

[戦略的優先事項] > [イニシアチブ] > [戦略的プログラム] > [計画立案アイテム] の階層全体を表示する場合は、管理者と協力してシステムプロパティ *sn_align_ws.gantt_show_higher_planning_upper_entities* を作成し、それを **true** に設定します。



ワークスペースのリストの ポートフォリオ計画 カスタマイズ

ワークスペースの ポートフォリオ計画 [リスト] メニューにカスタムテーブルを追加し、新しく作成されたカテゴリとリストへのアクセスを管理できます。

リストをカスタマイズし、ワークスペースの ポートフォリオ計画 [リスト] ページで新しく作成されたカテゴリとリストへのアクセスを管理するには、次のタスクを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- APW リストメニュー構成ページに [新規] ボタンを追加します。詳細については、「[リスト] メニューへのカスタムテーブルの追加を有効にする」を参照してください。
- カスタムテーブルを [リスト] メニューに追加します。詳細については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ」を参照してください。
- [リスト] ページで新しく作成されたカテゴリとリストを表示できるユーザーを管理します。詳細については、「ポートフォリオ計画 での新しいリストの対象者を定義」を参照してください。

[リスト] メニューへのカスタムテーブルの追加を有効にする

APW リストメニュー設定ページに [新規 アクション] ボタンを追加して、ワークスペースの [リスト] メニュー ポートフォリオ計画 にカスタムテーブルを追加できるようにします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 ワークスペースエクスペリエンス > アクション & コンポーネント > リストアクション.
2. アクションの割り当て ページで、 新規 を選択してアクション ボタンを作成します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「アクションのアサインフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
[新規アクション] ボタンが APW リストメニュー設定ページに追加されます。

次のタスク
ポートフォリオ計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ。

ポートフォリオ計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ

ポートフォリオ計画 ワークスペースの [リスト] メニューにカスタムテーブルを追加します。

始める前に
必要なロール：admin

- アプリケーションスコープが **[Portfolio Planning]** に設定されていることを確認します。
- [リスト] メニューへのカスタムテーブルの追加を有効にする。

このタスクについて
ワークスペースホームページの [リスト] メニューは、計画マネージャーが必要なレコードをすばやく見つけるのに役立ちます。デフォルトでは、このビューには、この ServiceNow インスタンスで利用可能なすべての計画立案アイテムとレンズのエンティティのリストが表示されます。計画マネージャーがさらにカテゴリまたはリストを必要とする場合は、追加できます。

ワークスペースでのリストの構成の詳細については、「リスト」を参照してください。

手順

1. **sys_ux_list_menu_config.list** に移動します。
2. [UX リストメニュー構成] リストから、**[APW** リストメニュー構成] を選択します。
3. 新しいカテゴリまたは新しいリストを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヒント:
最初にカテゴリを作成してから、リストを作成します。

4. フォームのフィールドに入力します。
   - UX リストカテゴリフォーム。
   - UX リストフォーム。
5. [送信] を選択します。
   すべてのカスタムカテゴリとリストを作成するまで、この手順を繰り返します。

ポートフォリオ計画 での新しいリストの対象者を定義

ポートフォリオ計画 ワークスペースの [リスト] ページで新しく作成されたカテゴリとリストを表示できるユーザーを管理します。

始める前に
ポートフォリオ計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ.

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 **sys_ux_applicability_m2m_list.**リスト.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「リスト適用性フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

ポートフォリオ計画 診断

計画立案マネージャーがプロジェクトとデマンドに優先順位を付け、ロードマップを作成する前に、診断スキャンを実行して、 ポートフォリオ計画 の構成およびその他の一般的な設定のエラーを識別して修正します。

ポートフォリオ計画 診断スキャンは、以下に対する構成を検証することで、不一致を見つけるのに役立ちます。

- レンズとレンズ構造
- 計画立案アイテムのフォームビュー、リストビュー、関連リストビュー、およびワークスペースビューのルール
- 計画立案アイテムのグローバルランク
- ポートフォリオ計画

ポートフォリオ計画で使用可能なデフォルトの診断スキャンは次のとおりです。

ポートフォリオ計画 診断

スキャンの名前	説明
グローバルランクのない計画立案アイテムを識別する	グローバルランクが設定されていない、[優先順位付けリスト] ページの計画アイテムの数を識別します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキャンの名前	説明
	このスキャンが失敗した場合、結果にはグローバルランクのない計画立案アイテムが表示されます。[修復スクリプトを実行] をクリックして、このフィールドが空のアイテムにグローバルランクを入力します。
計画立案アイテムのリストビューを検証	ポートフォリオ計画に追加できるすべての計画立案アイテムに、[APW の優先順位付け] および [APW のデフォルト] のリストビューがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落しているリストビューが表示されます。 これらの修正方法については、「Strategic Planning での新しい計画立案アイテムテーブルのリストビューの作成」を参照してください。
計画立案アイテムのフォームセクションビューを検証	ポートフォリオ計画に追加できるすべての計画立案アイテムに、[APW の優先順位付け]、[APW のデフォルト]、および [APW 新規] のフォームビューがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落しているフォームセクションビューが表示されます。 これらの修正方法については、「戦略的計画 での新しい計画立案アイテムテーブルのフォームビューの作成」を参照してください。
計画立案アイテムの関連リストビューを検証	ポートフォリオ計画で許可されたすべての計画立案アイテムに、[APW のデフォルト] 関連リストビューがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落している関連リストビューが表示されます。 これらの修正方法については、「Strategic Planning での新しい計画立案アイテムタイプの関連リストビューの作成」を参照してください。
計画立案アイテムのデフォルトビューのワークスペースビュールールを検証	ポートフォリオ計画で許可されたすべての計画立案アイテムにデフォルトのビューのワークスペースビュールールがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落しているデフォルトの表示ルールが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキャンの名前	説明
	これらの修正方法については、「戦略的計画 の新規計画立案アイテムフォームに対するワークスペースビュールールの作成」を参照してください。
計画立案アイテムの APW デフォルトビューのワークスペースビュールールを検証	ポートフォリオ計画で許可されたすべての計画立案アイテムに APW デフォルトのビューのワークスペースビュールールがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落している APW デフォルトの表示ルールが表示されます。 これらの修正方法については、「戦略的計画 の新規計画立案アイテムフォームに対するワークスペースビュールールの作成」を参照してください。
ポートフォリオ計画構成の無効なフィールドの検証	既存のすべてのポートフォリオ計画のポートフォリオ計画構成レコード内の無効なフィールドを検索します。 このスキャンが失敗した場合は、[修復スクリプトの実行] をクリックして、特定された無効なフィールドを削除します。
すべてのポートフォリオ計画のポートフォリオ計画構成の検証	インスタンスで作成された既存の各ポートフォリオ計画に有効なポートフォリオ計画構成があるかどうかを確認します。

ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案構成

リソースの従業員プロファイルを生成し、それをプライマリ属性にマッピングして、キャパシティ計画立案を開始します。

- キャパシティ計画立案の計画立案属性を有効にして、リソースを一意の属性にマッピングします。詳細については、「ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案の計画属性の有効化」を参照してください。
- リソースのアサインを作成し、従業員プロファイルを生成します。詳細については、「キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成」を参照してください。
- リソースを一意のグループ、ロール、およびスキルにマッピングして、従業員プロファイルを生成します。詳細については、「プライマリ属性をリソースにマッピング」を参照してください。

ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案の計画属性の有効化

リソースのキャパシティの詳細をフィルタリングして表示するには、計画属性の [グループ]、[スキル]、および [ロール] を有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

注:
この有効化は、キャパシティ計画立案の計画属性を有効にするための 1 回限りのタスクです。

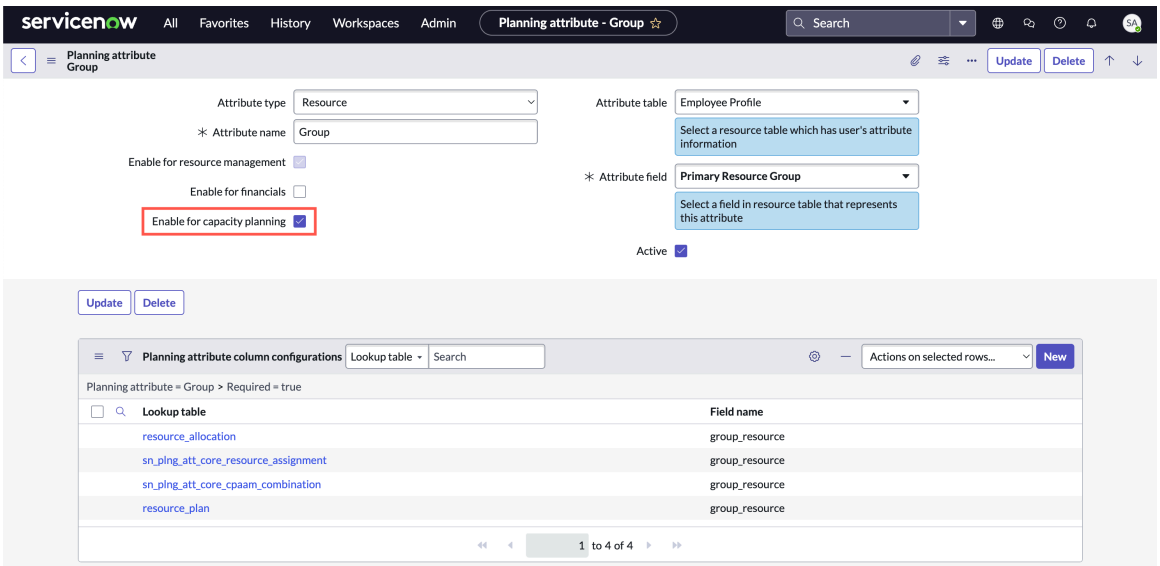
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

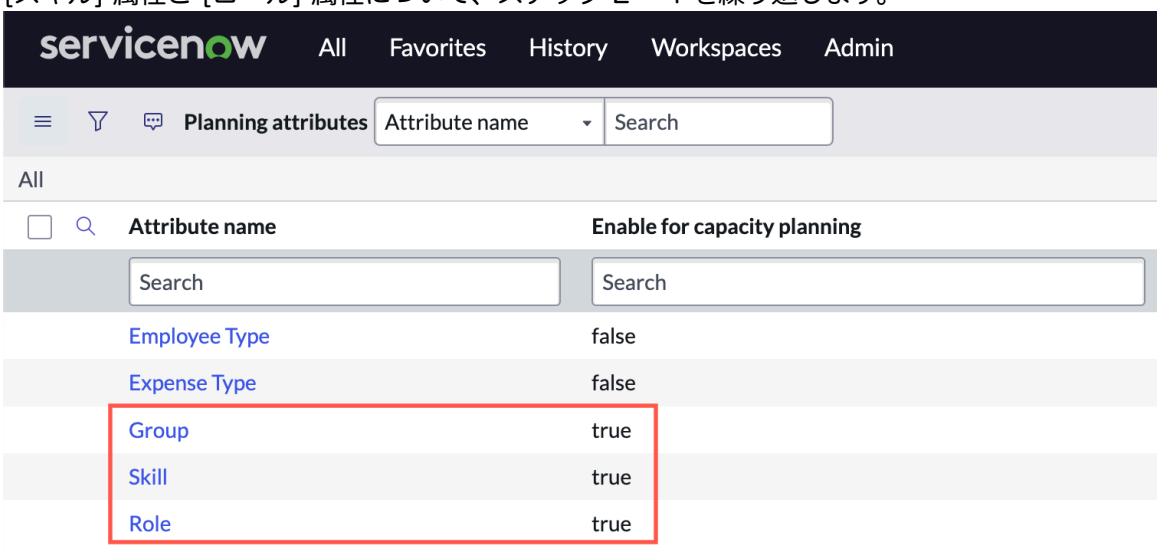
手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > 計画立案属性.
2. [属性名] をフィルタリングして、[グループ] 属性を見つけて開きます。
3. [キャパシティ計画立案を有効にします] オプションを選択します。
4. [更新] を選択します。

> **注:**
> キャパシティ計画立案で属性が有効になっている場合、リソース管理ではその属性がデフォルトで有効になります。



5. [スキル] 属性と [ロール] 属性について、ステップ 2 ~ 4 を繰り返します。



カスタム属性を作成してリソースにマップできます。詳細については、「計画立案属性の作成または編集」を参照してください。

6. [グループ]、[ロール]、および [スキル] フィールドの [キャパシティ計画立案を有効にします] 列の値を **true** に設定します。

キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成

プライマリ属性に対してマッピングするリソースの従業員プロファイルを生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 従業員プロファイル > 従業員の定義.
2. 名前をフィルタリングして sys_user テーブルを見つけて開きます。
3. [従業員の定義] ページで、テーブルリストから [ユーザー] を選択します。
4. 条件ビルダーを使用して必要なリソースをフィルタリングし、更新数アイコン ( ) を選択します。
5. [従業員プロファイルを生成] ( ) を選択します。
6. [従業員プロファイルを生成] ウィンドウで、[続行] を選択します。

タスクの結果
選択したリソースの従業員プロファイルが生成されます。

次のタスク
リソースのプライマリグループ、プライマリロール、およびプライマリスキルに従業員プロファイルを入力します。詳細については、「プライマリ属性をリソースにマッピング」を参照してください。

プライマリ属性をリソースにマッピング

既存の従業員プロファイルテーブルに関連付けられているリソースのプライマリグループ、プライマリロール、およびプライマリスキルを探してマッピングします。

始める前に
キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 従業員プロファイル > 従業員プロファイル.
2. [ユーザー] 列をフィルタリングして、従業員プロファイルを含むリソースを見つけて開きます。
3. [プライマリリソース属性を入力します] 関連リンクを選択すると、属性が自動入力されます。
   - 従業員が単一のグループ、ロール、およびスキルにアサインされている場合は、プライマリ属性が入力されます。
   - 従業員が複数のグループ、スキル、またはロールにアサインされている場合は、ルックアップアイコンを使用して、[プライマリリソースグループ]、[プライマリリソースロール]、および [プライマリリソーススキル] を選択します。
4. [更新] を選択します。

ポートフォリオ計画 の財務の構成

ポートフォリオ計画 の計画立案アイテムの財務情報が表示されるように ServiceNow 内部統合を構成します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 作業アイテムのリソースのアサインに基づいて財務で人件費を生成するように属性を構成します。
詳細については、「計画立案属性」と「計画立案属性の作成または編集」を参照。
2. デフォルトのマッピング構成を生成してテーブルマップを作成します。
詳細については、「デフォルトのマッピング構成を生成」を参照してください。
3. ロールアップされた財務データを計画立案アイテムレベルで表示するための新しいウィジェットを作成します。
詳細については、「ウィジェットの設定とプロジェクトとの関連付け」を参照してください。
4. オプション: 組織の要件に合わせて、[財務] 画面の左ペインをカスタマイズします。
詳細については、「財務の左ペインビューのカスタマイズ」を参照してください。
5. オプション: 組織の要件に合わせて [コスト計画を作成] フォームのフィールドをカスタマイズします。
詳細については、「[コスト計画] フォームのカスタマイズ」を参照してください。
6. デフォルトの経費タイプをカスタマイズして、計画立案アイテムのコスト計画を管理します。
計画立案アイテムのデフォルトの経費タイプを変更する
7. ベースライン名のカスタム接頭辞を定義します。
詳細については、「ベースラインのカスタムプリフィックスの作成」を参照してください。
8. スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して定義し、定義された頻度で計画立案アイテムの財務ベースラインを自動的に作成します。
詳細については、「スケジュール設定済みジョブを有効化して、プロジェクトおよびデマンドの財務ベースラインを作成する」を参照してください。
9. 属性ベースのリソース割り当てに基づいてプロジェクトとデマンドの人件費を生成するスケジュール設定済みジョブを有効化して定義します。
詳細については、「スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、プロジェクトとデマンドの人件費を生成する」を参照してください。

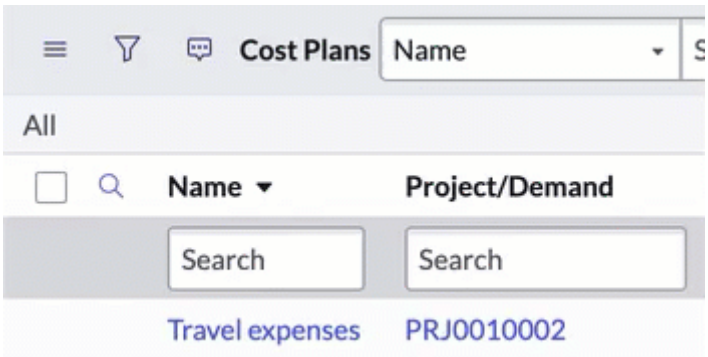
財務の左ペインビューのカスタマイズ

財務の左ペインをカスタマイズして、カスタムフィールド情報を表示します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [ラベル] フィールドをフィルタリングして、[コスト計画] テーブルを開きます。
3. [リストを表示] 関連リンクを選択します。
4. 次に移動して財務ビューを選択します。 リストコントロール > ビュー > 財務ビュー.

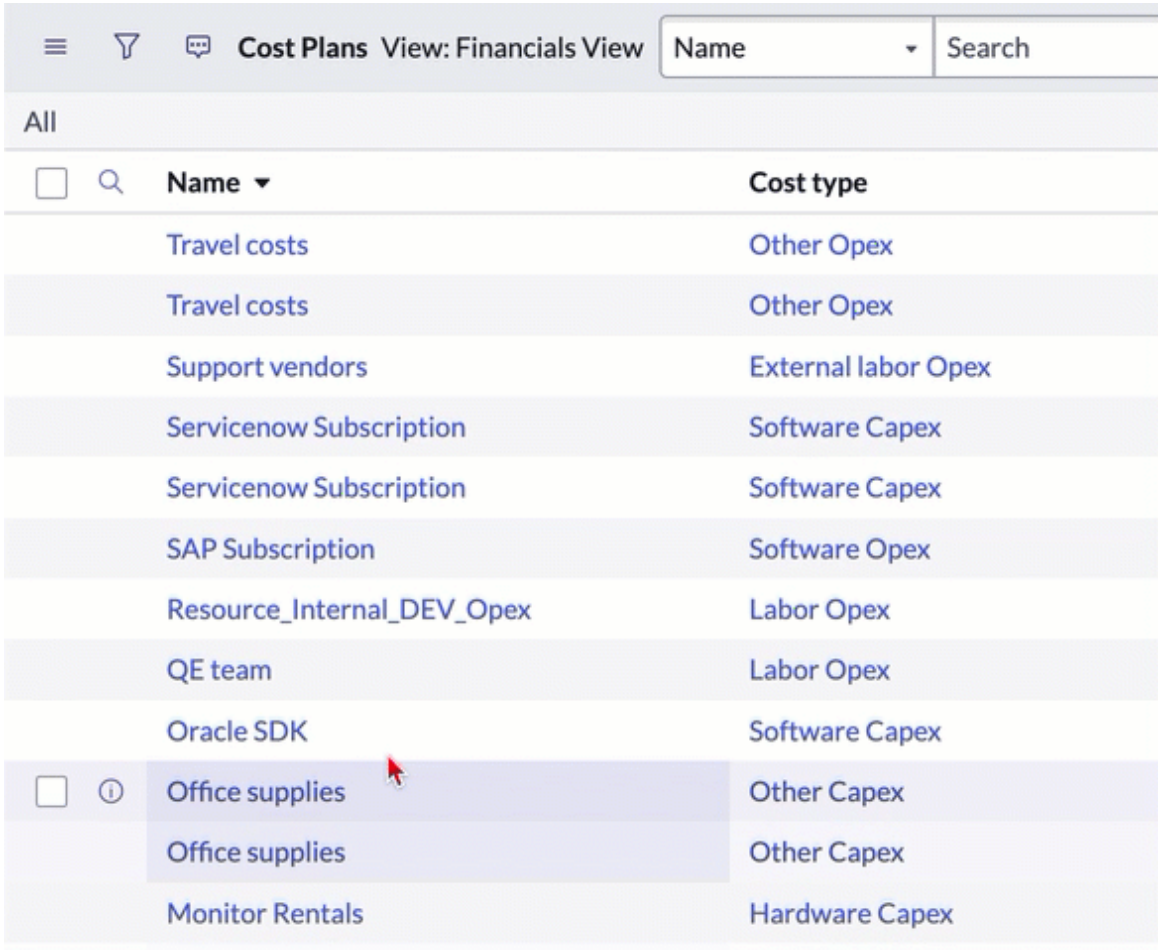


選択したビュー ( ) がヘッダーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ヘッダーオプションを選択して、リストのレイアウトを構成します。



6. [選択済み] 列のフィールドを追加または削除して、財務ビューの左ペインビューをカスタマイズします。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果
財務ビューのカスタマイズされたフィールドが含まれるコスト計画テーブルが表示されます。

[コスト計画] フォームのカスタマイズ

組織のニーズに応じて、新しいコスト計画フォームで必要なフィールドを管理します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [ラベル] フィールドをフィルタリングして、[コスト計画] テーブルを開きます。
3. [フォームをデザイン] 関連リンクを選択します。
4. ヘッダー行で、テーブルリストから [コスト計画 **[cost_plan]]** を選択し、ビューリストから [財務ビュー] を選択します。
5. このフォームでは次のことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [フィールド] 列から必要なフィールドをドラッグアンドドロップする。
- [フィールドを削除] アイコンを使用して、既存のフィールドを削除する。

6. [保存] を選択します。

ポートフォリオ計画 のデフォルトの経費タイプの変更

デフォルトの経費タイプを設定して、計画立案アイテムのコスト計画を作成または編集します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. 名前をフィルタリングし、**sn_plng_att_core.default.expense_type** テーブルを見つけて開きます。
3. 値フィールドを必要な経費タイプに変更し、 [保存] を選択します。
   デフォルト値は [Opex] です。

スケジュール設定済みジョブを有効化して、プロジェクトおよびデマンドの財務ベースラインを作成する

スケジュール設定済みジョブを定義して、必要な頻度で計画立案アイテムの財務ベースラインを自動的に作成します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 名前フィールドをフィルタリングして、[アクティブなデマンドおよびプロジェクトの財務ベースラインを作成] を見つけて開きます。
3. ジョブをアクティブ化してスケジュールするには、[アクティブ] オプションを選択します。
4. [スクリプトの実行を予定] フォームのフィールドを編集してジョブをカスタマイズし、要件を満たします。
   フィールドの説明とスクリプトの詳細については、を参照してください Automatically run a script of your choosing。
5. [今すぐ実行] を選択してスケジュールされたジョブを実行するか、[更新] を選択して変更を保存します。

スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、プロジェクトとデマンドの人件費を生成する

スケジューラージョブを有効にして、属性ベースのリソースアサインの人件費を自動的に作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 名前フィールドをフィルタリングして、 *`Generate Labor Costs`* スケジュール設定済みジョブを見つけて開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [アクティブ] を選択し、[スクリプトの実行を予定] フォームでフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「プロジェクトおよびデマンドの人件費を生成するためのスクリプトの実行を予定フォーム」を参照してください。
4. [更新] を選択して変更を保存するか、[今すぐ実行] を選択してスケジュール設定済みジョブを実行します。

ポートフォリオ計画 **with PPM** ® の構成

ポートフォリオ計画 が ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理 と連携するようにセットアップするために必要なプロセスを理解します。

構成ワークフロー

以下の手順は、with プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) セットアッププロセスのガイドラインポートフォリオ計画として使用してください。これらのステップの中には、管理者ロール (sn_align_core.apw_admin) が必要なものと、ユーザーロール (sn_align_core.apw_user) が必要なものがあります。

1. 配置統合を作成。
2. デフォルトのマッピング構成を生成。
3. カスタムマッピング構成の作成。

Guided Setup

ポートフォリオ計画 をインストールした後、ガイド付き設定を使用して必要な構成を行うことができます。ガイド付き設定を開くには、次の場所に移動します。 ポートフォリオ計画 > ガイド付き設定.

配置統合を作成

ポートフォリオ計画 をインストールすると、**[ServiceNow** 内部] 配置統合がデフォルトで作成されます。配置統合が利用できない場合は、配置統合タイプを作成できます。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] 配置統合が存在するかどうかを検証します。
3. 存在しない場合は、[新規] をクリックして、配置統合を作成します。
4. [名前] フィールドに、配置統合の名前を入力します。
   または、関連リンクから **[ServiceNow** 内部統合を作成] をクリックして、内部配置統合を作成することもできます。
5. [送信] をクリックします。

デフォルトのマッピング構成を生成

デフォルトのマッピング構成を生成して、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のテーブルマップを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core_apw.admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] をクリックして、内部アプリケーションの配置統合を表示します。
3. [デフォルトのマッピング構成を生成] をクリックして、プロジェクトとデマンドのテーブルマップを作成します。

> **注:**
> マッピング構成は、各レコードのテーブル、フィールド、および選択マップで構成されます。

カスタムマッピング構成の作成

機能、ストーリーなど、デフォルトで作成されない計画立案アイテムのマッピング構成を作成します。

管理者は、デフォルトで作成されない計画立案アイテムのテーブルマップ、フィールドマップ、および選択マップを作成できます。詳細については、以下を参照してください。

1. テーブルマップの作成。
2. フィールドマップの作成。
3. 選択マップの作成。

テーブルマップの作成

テーブルマップを作成して、(ポートフォリオ計画)PPM 内のプロジェクトポートフォリオ管理テーブルとのテーブル間のマッピングを定義します。

始める前に
必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] を選択します。
3. [テーブルマップ] タブで [新規] を選択して、新しいテーブルマップを作成します。
4. テーブルマップフォーム で、フィールドに入力します。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果
配置テーブルと実行テーブルの構成を使用して、新しいテーブルマップが作成されます。

> **注:**
> デマンドまたはプロジェクト以外のタイプの計画立案アイテムに関するテーブルマップを作成または更新するには、SPM Pro ライセンスが必要です。詳細については、管理者にお問い合わせください。

次のタスク
この新しいテーブルマップ構成の へのエクスポートをサポートする PPMビジネスルールを作成します。詳細については、「カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成」を参照してください。

カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成

および (PPM) アプリケーションからのプロジェクトポートフォリオ管理新しいカスタムテーブルマップ構成のインポートを有効にするビジネスルールを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_align_core_apw.admin

このタスクについて
ポートフォリオ計画 統合でカスタムテーブルマップを作成した後、 rm_epic または dmn_demand テーブルで「実行から調整までのデータを同期」ビジネスルールに類似したビジネスルールを作成します。

注:
ビジネスルールが実行アプリケーションで作成されていることを確認します。 PPM

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. 使用可能なビジネスルールのリストから、[実行から調整までのデータを同期] ルールを見つけて開きます。
3. コンテキストメニュー (☰) から、このビジネスルールに対して [挿入と維持] 操作を実行します。
   ServiceNow インスタンスで [挿入と維持] アクションを有効にしていない場合は、「レコードの挿入オプションの許可」を参照してください。
4. [ビジネスルール] フォームで、次のフィールドを編集します。

[ビジネスルール] フォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスルールの一意の名前。 たとえば、新しいテーブルマップがデマンドをマップする場合は、このルールに「ポートフォリオ計画 とのデマンドの同期」と名前を付けます。
テーブル	カスタムマップを作成したテーブルを選択します。 たとえば、機能 [sn_safe_feature] です。

5. [更新] をクリックします。

フィールドマップの作成

各テーブルマップのフィールドを To プロジェクトポートフォリオ管理 およびそのポートフォリオ計画逆にマッピングします。

始める前に
配置統合レコードのテーブルマップが作成されていることを確認してください。詳細については、「テーブルマップの作成」を参照してください。

注:
実行フィールドタイプが [参照] で配置フィールドタイプが [文字列] である場合、同期は機能しません。

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] を選択します。
3. [テーブルマップ] 関連リストで、フィールドマップを作成するテーブルマップを選択します。
4. [フィールドマップ] タブで [新規] を選択して、新しいフィールドマップを作成します。
5. フィールドマップフォーム で、フィールドに入力します。
6. [送信] をクリックします。

選択マップの作成

[後] および [逆] プロジェクトポートフォリオ管理 の値のリストポートフォリオ計画を含むフィールドの各フィールドマップの選択リストをマッピングします。

始める前に
フィールドマップを作成し、値のリストを含む選択フィールドが含まれていることを確認してください。詳細については、「フィールドマップの作成」を参照してください。

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] を選択します。
3. [テーブルマップ] 関連リストで、選択マップを作成するフィールドがあるテーブルマップを選択します。
4. [フィールドマップ] 関連リストで、選択マップを作成する関連フィールドマップを選択します。
5. [選択マップ] タブで [新規] を選択して、新しい選択マップを作成します。
6. 選択マップフォーム で、フィールドに入力します。
7. [送信] をクリックします。

ポートフォリオ計画 **Workspace** の使用

ポートフォリオ計画 の機能を併用する方法を説明します。これにより、会社の事業達成目標に沿ってポートフォリオの作業を調整できるようになります。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の管理

ポートフォリオ計画 ワークスペースでカスタマイズされたポートフォリオ計画を作成し、事業達成目標に沿って目的の視点 (レンズ) で集中的に作業を計画できます。

次のセクションでは、ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の作成、更新、共有、および共同作業について説明します。

ポートフォリオ計画のロードマップの使用方法の詳細については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースの計画ロードマップ」を参照してください。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成

選択した計画の視点で作業の優先順位付けと調整を開始できるように、ポートフォリオ計画 ワークスペースでレンズを使用してカスタマイズされたポートフォリオ計画を構築します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

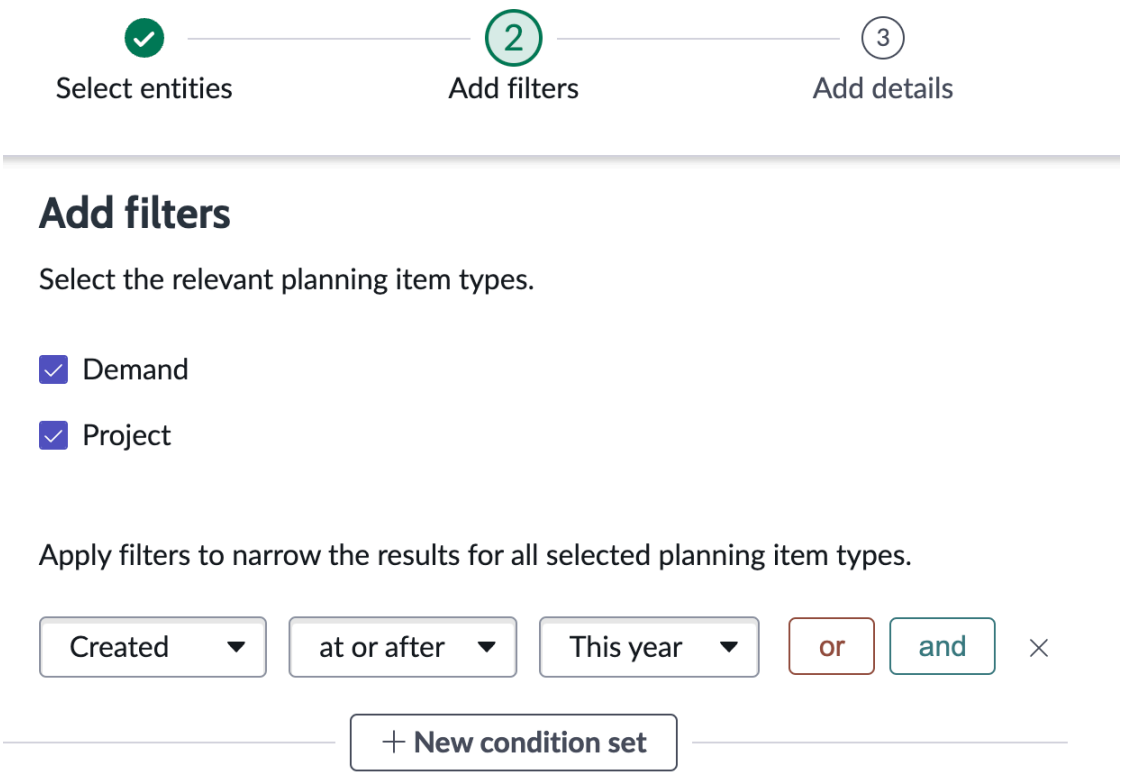
手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. [新規] を選択します。
   ポートフォリオ計画が存在しない場合は、[最初のポートフォリオ計画を作成] を選択します。
   ポートフォリオ計画を作成ウィザードが表示されます。
3. ポートフォリオ計画を作成ウィザードを使用して選択します。

   a. レンズを選択します。

   b. 選択したレンズについて、エンティティタイプとそのタイプの目的のエンティティを選択します。

      エンティティタイプは、作業を計画する視点を表します。たとえば、[組織] レンズを選択した場合は、エンティティタイプとして [事業部門] を選択し、必要な事業部門を選択して、その視点から作業を計画できます。



      複数の条件を追加して、複雑なフィルターを設定し、適切な種類のデータをポートフォリオ計画に追加することもできます。

   c. ポートフォリオ計画に含める計画立案アイテムのタイプを選択します。

      追加の条件を使用して、計画立案アイテムデータをさらにフィルターできます。

   d. ポートフォリオ計画の詳細を入力します。

      ポートフォリオ計画の名前、開始日と終了日、および説明の情報を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[前 へ] および [次へ] ボタンを使用して、ステップ間を移動できます。

4. [作成] を選択します。

タスクの結果

ポートフォリオ計画が作成され、ページが更新されて、この新しいポートフォリオ計画の [目標] ページと [計画] ページが表示されます。ホームページから、所有または共有しているすべてのポートフォリオ計画のリストを表示できます。

次のタスク

- バックログを分析し、ポートフォリオ計画の作業に優先順位を付けます。「ポートフォリオ計画 ワークスペースを使用した作業の優先順位付け」を参照してください。
- 優先順位付けされた作業をロードマップして、計画の進捗状況をビジュアル化します。「ポートフォリオ計画 ワークスペースの計画ロードマップ」を参照してください。
- ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を変更。
- ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の共有。

ワークスペースでの ポートフォリオ計画 既存のポートフォリオ計画のコピーの作成

既存のポートフォリオ計画のデータを使用してポートフォリオ計画を作成します。作成するポートフォリオ計画が既存のポートフォリオ計画に類似している場合は、既存のポートフォリオ計画をコピーすると時間を節約できます。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

[ポートフォリオ計画をコピー] オプションでは、選択したポートフォリオ計画とそのすべてのデータ (優先順位付けおよびロードマップ) がポートフォリオ計画にコピーされます。また、コピーされたアイテムとその子アイテム間のすべての依存関係と関係も保持されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のアクションアイコン (⋮) を選択し、[ポートフォリオ計画をコピー] を選択します。
4. [ポートフォリオ計画をコピー] ウィンドウで、詳細を入力します。

   a. [ポートフォリオ計画名] フィールドにポートフォリオ計画の名前を入力します。
   デフォルトでは、名前は *ABC（Copy）*「ABC」で、コピー元のポートフォリオ計画の名前になります。

   b. オプション: コピー元のポートフォリオ計画のユーザーにアクセス権を付与するには、[同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択します。
   このアクションでは、コピー元のポートフォリオ計画に対してユーザーが持っていたのと同じ読み取りおよび編集アクセス権が付与されます。

   c. [確認] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
新しいポートフォリオ計画が作成され、新しいポートフォリオ計画にアクセスするためのリンクが画面に生成されます。

次のタスク

- バックログを分析し、ポートフォリオ計画の作業に優先順位を付けます。「ポートフォリオ計画 ワークスペースを使用した作業の優先順位付け」を参照してください。
- 優先順位付けされた作業をロードマップして、計画の進捗状況をビジュアル化します。「ポートフォリオ計画 ワークスペースの計画ロードマップ」を参照してください。
- ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を変更。
- ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の共有。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を変更

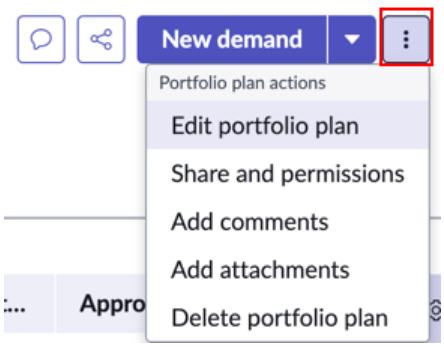
ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画の詳細を更新するか、削除して、計画の優先度の変更を反映します。

始める前に
ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のアクションアイコン (⋮) を選択します。



4. ポートフォリオ計画の詳細を更新するか、[ポートフォリオ計画アクション] メニューを使用して削除します。

次のタスク
更新されたポートフォリオ計画を共有するか、他のステークホルダーと共同作業を行います。

- ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の共有。
- ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の共同作業。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の共有

ポートフォリオ計画をステークホルダーや他の計画マネージャーと共有して、計画の進捗状況に対する可視性を得て、共同作業を開始できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成.
- ポートフォリオ計画を共有するユーザーまたはグループは、ポートフォリオ計画への読み取りまたは編集アクセス権をそれぞれ取得するために、sn_align_core.ap_read_only または sn_align_core.apw_user ロールを持っている必要があります。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオを共有する個々のユーザーまたはグループを選択します。

ポートフォリオ計画を個々のユーザーまたはグループと共有すると、優先順位付けやロードマップを含む、ポートフォリオ計画全体にアクセスできます。 また、ユーザーが sn_align_ws.spw_capacity_user または sn_align_ws.spw_capacity_read ロールを持っている場合は、[計画] ページの [キャパシティ計画] タブにアクセスできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. [計画] ページのポートフォリオ計画ヘッダーから、[ポートフォリオ計画を共有] アイコン ( ) を選択します。
4. [ポートフォリオ計画を共有] フォームで、ポートフォリオ計画を共有するユーザーを選択し、そのアクセス権を適切に設定します。
   a. [メンバーまたはグループ] フィールドに、個々のユーザーまたはグループの名前を入力します。
   b. [アクセス] フィールドで、選択した名前のアクセスレベルとして [ビューアー] または [エディター] を選択します。
      - エディターは、ポートフォリオ計画の設定とデータを表示および変更できます。
      - ビューアーは、コメントまたは添付ファイルの追加のみを行うことができます。設定やデータを変更することはできません。
5. [招待を送信] を選択します。

タスクの結果
選択した個人およびグループユーザーに、ポートフォリオ計画の共有がメールで通知されます。

次のタスク
ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の共同作業。

ユーザーまたはグループのアクセスレベルを変更するか、アクセス権を削除できます。

1. [ポートフォリオ計画を共有] フォームで、[アクセスを管理] を選択します。
2. ユーザーまたはグループカードから、[アクションメニュー] アイコン ( ) を選択します。
3. 適切なアクセスレベルを選択するか、[削除]を選択します。

関連情報

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を変更

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の共同作業

ユーザーがフィードバックを確認して共有できるように、ポートフォリオ計画にコメントと添付ファイルを追加します。ステークホルダーと共同作業し、結果の共有を推進します。

始める前に

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

計画やデータポイントについてコメントし、添付ファイルを共有し、ワークスペース内の 1 つの場所からフィードバックを提供することで、すべてのステークホルダーがビジネスの優先順位と連携していることを確認します。

ポートフォリオ計画のヘッダーから追加する添付ファイルとコメントは、優先順位付けおよびロードマップを含む、ポートフォリオ計画全体に適用されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [計画] ページのポートフォリオ計画ヘッダーから、[コメント] アイコン ( ) を選択します。
4. ポートフォリオ計画にコメントまたは添付ファイルを追加します。

ポートフォリオ計画 ワークスペースを使用した作業の優先順位付け

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付け機能を使用して、適切な時間に適切な作業を優先順位付けできるように、計画立案アイテムを追加、更新、およびランク付けします。

優先順位付けビュー

ポートフォリオ計画 の優先順位付けページはバックログを表し、作業パイプラインのアイテムをリストおよび階層ビューで表示します。これらのビューの概要については、「ポートフォリオ計画 での作業の優先順位付け」を参照してください。

注:
優先順位付け機能は、ポートフォリオ計画でのみ使用できます。

優先順位付け機能

[優先順位付け] ページのこれらの各ビューでは、次のアクションを実行できます。

新しい計画立案アイテムの追加

[優先順位付け] ページからバックログに新しいアイテムを直接追加します。ここで作成できる計画立案アイテムのタイプは、ポートフォリオ計画の構成によって異なります。「ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加」を参照してください。

計画立案アイテムの詳細の更新

優先順位付けページビューから、計画立案アイテムの詳細を編集し、添付ファイルを追加し、それらをステークホルダーと直接共同作業することで、リアルタイムのバックログ調整をスムーズに行うことができます。

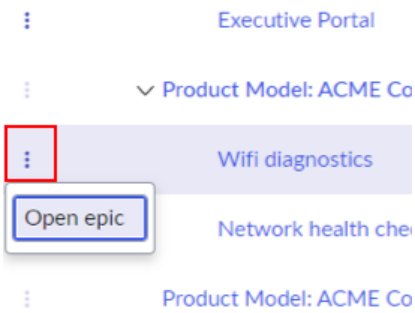
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「ポートフォリオ計画 Workspace の [優先順位付け] ページからの計画立案アイテムの詳細更新」を参照してください。

実行アプリで計画立案アイテムを開く

ServiceNow PPM、Agile Development 2.0、または SAFe アプリケーションを使用して計画された作業を実行している場合は、それらのアプリケーションで計画立案アイテムを開くことができます。たとえば、計画立案アイテムがプロジェクトの場合、プロジェクトフォーム、プロジェクト計画コンソール、またはプロジェクトステータスレポートに、[優先順位付け] ページから直接移動できます。



[優先順位付け] ページビューをカスタマイズ

優先順位付けページの表示方法を変更して、必要な形式で情報を表示できるようにします。「ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けページビューのカスタマイズ」を参照してください。

行と列のカスタマイズ、グループ化、ソートなどの設定はすべて、ポートフォリオ計画初期設定として保存することができます。したがって、これらの設定は、ポートフォリオ計画が共有されるすべてのユーザーまたはユーザーグループに適用されます。

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

ポートフォリオ計画 ワークスペースのポートフォリオ計画の作業バックログに新しい計画立案アイテムを追加し、作業パイプラインが最新であることを確認します。

始める前に

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページを使用して、新しい計画立案アイテムを追加するか、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) などの他の ServiceNow 実行システムからそれらをインポートします。

このタスクを実行するときは、リストビューまたは階層ビューを使用できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページから、ポートフォリオ 計画の新しい計画立案アイテムを追加します。

   [その他のオプション] ドロップダウンを使用して、作成する計画立案アイテムを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームにて、簡単な説明や承認日を入力します。
   完全なフィールドの詳細については、「デマンド計画立案アイテムフォーム」または「プロジェクト計画立案アイテムフォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。
6. オプション: PPM を使用して計画された作業を実行する場合は、アプリケーションから作業アイテムをインポートすることもできます。
   詳細については、「PPM での ポートフォリオ計画 作業の実行」を参照してください。

タスクの結果

[計画ステータス] フィールドが [新規] に設定された状態で新しいアイテムが作成され、アイテムの位置は現在のビューに基づいています。

- リストビュー：リストの下部に追加されます。
- 階層ビュー：適切なグループに追加されます。たとえば、選択したレンズが [組織] であるとします。次に、新しいアイテムがその部門のグループ化に追加されます。

次のタスク

- ポートフォリオ計画 ワークスペースでの計画立案アイテムのランク付け。
- ポートフォリオ計画 Workspace の [優先順位付け] ページからの計画立案アイテムの詳細更新。

ワークスペースでの ポートフォリオ計画 既存の計画立案アイテムのコピーの作成

既存の計画立案アイテムのコピーを作成して、ワークスペース内の ポートフォリオ計画 ポートフォリオ計画の作業バックログに追加し、作業パイプラインが最新であることを確認します。作成する計画立案アイテムが既存の計画立案アイテムと類似している場合は、既存の計画立案アイテムをコピーすると時間を節約できます。

始める前に

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページを使用して、新しい計画立案アイテムを追加するか、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) などの他の ServiceNow 実行システムからそれらをインポートします。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページで、[リスト ビュー] を選択します。
4. コピーする計画立案アイテムのその他のアクションアイコン (⋮) を選択します。
5. コピーオプションを選択して、計画立案アイテムをコピーします。
   たとえば、計画立案アイテムタイプがデマンドの場合、コピーするオプションは [デマンドをコピー] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい計画立案アイテムが作成され、コピー元の計画立案アイテムのすぐ下にアイテムが表示されます。また、新しい計画立案アイテムのランクは、コピー元の計画立案アイテムのランクに基づいて自動的に更新されます。

デフォルトでは、名前は *ABC（Copy）*「ABC」の場合、コピー元の計画立案アイテムの名前になります。

6. オプション: PPM を使用して計画された作業を実行する場合は、アプリケーションから作業アイテムをインポートすることもできます。
詳細については、「PPM での ポートフォリオ計画 作業の実行」を参照してください。

次のタスク

- ポートフォリオ計画 ワークスペースでの計画立案アイテムのランク付け。
- ポートフォリオ計画 Workspace の [優先順位付け] ページからの計画立案アイテムの詳細更新。
- ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けページビューのカスタマイズ。

ポートフォリオ計画 **Workspace** の [優先順位付け] ページからの計画立案アイテムの詳細更新

計画立案アイテムの詳細情報を更新または削除して、ポートフォリオ計画 ワークスペースで優先順位付けページに最新の作業パイプラインが反映されるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ポートフォリオの [優先順位付け] ページのリストビューおよび階層ビューを使用して、計画立案アイテムの詳細を更新します。グリッドビューからインラインで詳細を編集して、リアルタイムのバックログ調整をスムーズにします。計画立案アイテムの [完全な詳細] ページを使用して添付ファイルを追加し、ステークホルダーとコラボレーションします。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページで、[リスト] または [階層] ビューを選択します。
4. アイテムの詳細を更新したり、アイテムにファイルを添付したり、アイテムを削除したりします。

   [完全な詳細] ページで編集できない特定の列の情報は、インラインでも編集できません。たとえば、計画コストや計画利益などです。これらのセルは、背景がグレー色になり視覚的に区別できるようになっています。

   属性別に優先順位付けアイテムリストをグループ化する場合、アイテムの簡単な説明をグリッドビューから直接編集することはできません。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでの計画立案アイテムのランク付け

ポートフォリオ計画のパイプラインに追加された計画立案アイテムをランク付けし、その優先度を決定して、ポートフォリオロードマップの計画を開始できるようにします。

始める前に

- ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成.
- 優先順位付けページの計画立案アイテムが、[ランク] 列で昇順でソートされていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
リストビューを使用して、ポートフォリオ計画の計画立案アイテムをスタックランクします。

ServiceNow システム内で、すべての計画立案アイテムにグローバルランクが割り当てられます。[優先順位付け] ページでアイテムを並べ替えてランクを変更し、計画ステータスを更新します。計画立案アイテムをロードマップスケジュールに含めることを決定した場合は、アイテムの [計画ステータス] を [優先] としてマークし、優先順位付けページから直接ロードマップに追加します。

バックログ内の他のアイテムと関連性があるアイテムにおいては、[ランク] 列により、ランクをすばやく特定することができるようになります。計画立案アイテムのリストが長い場合、上位のアイテムを判断する上でこうした情報が役立ちます。カスタムのグループ化やソートがない場合、計画立案アイテムはランクでソートされ、行を並べ替えることができます。

注:
計画立案アイテムが既に他の属性でグループ化またはソートされている場合、行を並べ替えることはできません。グループ化またはソートを解除してから、行を並べ替えます。

手順
1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [リスト] ビューから、順序を並べ替えて、優先順位に従って計画立案アイテムをランク付けします。

   計画立案アイテムのランキングがビジネスの優先度と一致するまで、このステップを繰り返します。必要なデータの可視性を高めるには：

   - 必要な列でリストをソートまたはグループ化します。「ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けリストビューのカスタマイズ」を参照してください。
   - 計画立案アイテムをフィルタリングします。ポートフォリオ計画 での優先順位付けとロードマップデータへのクイックフィルターの適用 を参照してください。

   ヒント:

   行コンテキストメニュー (行 ⋮) を使用して、[一番上 に移動] オプションと [一番下 に移動] オプションをそれぞれ使用して、計画立案アイテムに最高ランクと最低ランクをアサインすることもできます。

タスクの結果
アイテムのランクは自動的に更新され、[ランク] 列で確認することができます。[ランク] 列は読み取り専用です。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでの作業の優先順位付け

チームが作業を開始できるように、ポートフォリオ計画パイプラインのアイテムを確認して優先順位を付けて計画のロードマップに追加します。

始める前に
- ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成.
- 優先順位付けページの計画立案アイテムが、[ランク] 列で昇順でソートされていることを確認します。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
調整セッション中に、[優先順位付け] タブのリストビューまたは階層ビューでアイテムを確認し、優先順位付けします。アイテムに割り当てられた MoSCoW 値を使用して、作業の優先度を判断できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページで、計画立案アイテムを [レビュー中] または [優先順位付け] としてマークします。

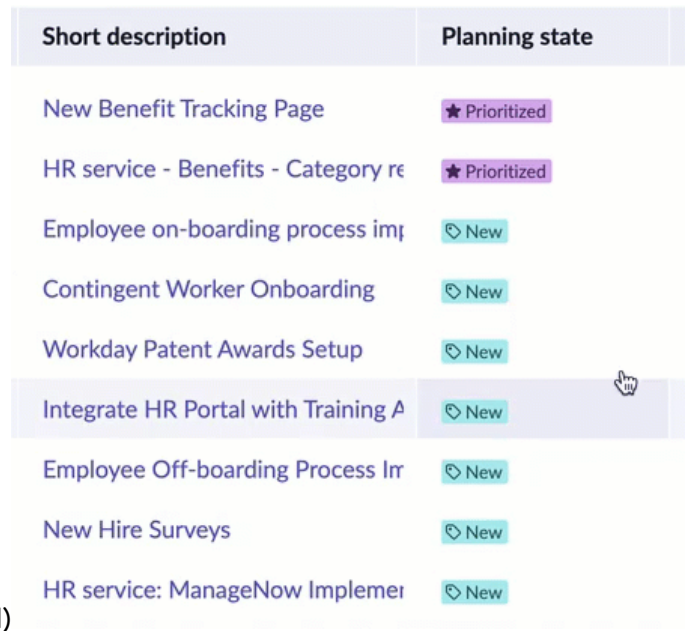
   計画立案アイテムが [優先順位付け] とマークされると、[承認された開始日] フィールドと [承認された終了日] フィールドの値に基づいてポートフォリオロードマップに自動的に追加されます。

   - 日付がポートフォリオの計画期間内にある場合、アイテムがロードマップに表示されます。
   - いずれかの日付フィールドが空白の場合、アイテムはロードマップの [予定外のアイテム] リストに追加されます。

   注:
   ロードマップには、[計画ステータス (Planning state)] が [優先順位付け] に設定されているアイテムのみが表示されます。

   アイテムが [完了] または [キャンセル]とマークされている場合、デフォルトでそのアイテムは優先順位付けページに表示されません。[計画ステータス] 列のフィルターを更新して、完了またはキャンセルされたアイテムを表示できます。

4. オプション: リストビューから、一度に複数のアイテムの計画ステータスを更新できます。
   a. 更新する行から [計画ステータス **(Planning state)]** セルを 1 つ選択します。
   b. **Ctrl** キー (Windows OS の場合) または **command** キー (Mac OS の場合) を押したまま、更新する他の行の [計画ステータス **(Planning state)]** セルを選択します。
   c. 選択したセルの 1 つをダブルクリックし、ステータスを選択します。



(Optional)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けページビューのカスタマイズ

ポートフォリオ計画 ワークスペースの [優先順位付け] ページのリストおよび階層ビューをカスタマイズして、自分とステークホルダーにとって最も関連性の高い情報を表示できるようにします。

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けリストビューのカスタマイズ

選択した属性で計画立案アイテムをグループ化してソートし、表示される列をカスタマイズして効果的な調整を容易にします。

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付け階層ビューのカスタマイズ

レンズに基づいてビューを変更し、現在のポートフォリオ計画の作業が他のレンズにどのように関連しているかを学習し、財務とスケジュールのロールアップをよりよく把握できるようにします。

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けリストビューのカスタマイズ

ワークスペースの [優先順位付け] ページのリストビューをカスタマイズして、自分とステークホルダーにとって最も関連性の高い情報を表示できるようにします。

始める前に
ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
このタスクでは、[優先順位付け] ページのリストビューをカスタマイズするためのさまざまなオプションについて説明します。

カスタマイズ初期設定は、ポートフォリオ計画 にポートフォリオ計画の設定として保存されます。したがって、これらの設定は、ポートフォリオ計画が共有されるすべてのユーザーまたはユーザーグループに適用されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [カスタマイズ] サイドパネルを使用して、ページの行と列の表示を更新します。

   a. [カスタマイズ] アイコン ( ) を選択します。

   b. [列] セクションから、データを表示または非表示にする列を選択します。

      ここで列を並べ替えて、バックログの表示順序を変更することができます。

      このページで列を追加して使用する場合、管理者が追加の列を構成することができます。「ポートフォリオ計画 の [優先順位付け] ページの追加列の設定」を参照してください。

   c. [行] セクションで、**[1** 行おきに網掛け] トグルを使用して、行を表示する方法を選択します。

4. [優先順位付け] ページに表示されている 1 つまたは複数の列ごとにアイテムをグループ化します。

   タイプ選択や参照の属性ごとに計画立案アイテムをグループ化することもできます。グループ化の例としては、計画ステータス、計画立案アイテムタイプ、所有者、主要目標などが挙げられます。

   次のいずれかの方法で、計画立案アイテムをグループ化します。アクションを繰り返して、複数の属性でリストをグループ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 列名をクリックして、計画立案アイテムを列でソートします。
   たとえば、[承認された開始日] でアイテムをソートすることができます。
6. 属性で計画立案アイテムをフィルタリングします。

   a. フィルタリングする列で、[列アクション] アイコン ( ) を選択します。

   b. [フィルター] を選択します。

   c. 適用するフィルターを選択または入力します。

      たとえば、[計画ステータス **(Planning state)**] 列をフィルタリングして [新規] アイテムのみを表示するようにリストを設定することができます。その他、フィルタリングの例としては、アイテムの計画ステータス、主要目標、優先順位が挙げられます。

   注:

      さらに、タイプ選択、文字列、参照の属性のみでフィルタリングすることもできます。

7. 列をリストの左または右に固定します。

   a. 固定する列において、[列アクション] アイコン ( ) を選択します。

   b. [列の固定] セクションで、[左に固定 **(Pin to left)**] または [右に固定 **(Pin to right)**] を選択します。
      デフォルトの選択は [固定を解除] です。

8. 選択に従って幅を調整するか、自動調整で幅を設定します。
   列の境界線でマウスを長押ししたままドラッグして、幅を調整します。[列アクション] ( ) の [この列を自動調整] または [すべての列を自動調整] オプションを使用して、列幅を自動調整することができます。
9. [カスタマイズ] メニュー ( ) から [列をリセット] を選択して、列をデフォルト設定にリセットします。

   このオプションを選択すると、列のカスタマイズ、グループ化、ソートがデフォルト設定に戻ります。

   これまでに優先順位付けページで行ったカスタマイズ設定は消去されます。この後に行われるあらゆるカスタマイズは、ポートフォリオの新しい初期設定として設定されます。

10. ポートフォリオ計画 での優先順位付けとロードマップデータへのクイックフィルターの適用

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付け階層ビューのカスタマイズ

ポートフォリオ計画 ワークスペースの [優先順位付け] ページの階層ビューをカスタマイズして、自分とステークホルダーにとって最も関連性の高い情報を表示できるようにします。

始める前に

ポートフォリオ計画 ワークスペースでポートフォリオ計画を作成.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
選択した属性で計画立案アイテムをソートし、[カスタマイズ] サイドパネルを使用して列の表示をカスタマイズします。

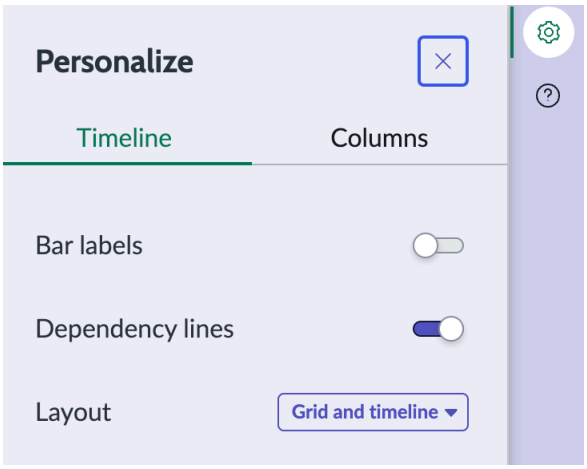
カスタマイズ初期設定は、ポートフォリオ計画 にポートフォリオ計画の設定として保存されます。したがって、これらの設定は、ポートフォリオ計画が共有されるすべてのユーザーまたはユーザーグループに適用されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [カスタマイズ] サイドパネルを使用して、タイムラインビューとグリッドビューの列をカスタマイズします。

   a. [カスタマイズ] アイコン ( ) を選択します。

   [カスタマイズ] サイドパネルが開きます。



   b. [タイムライン] セクションで、アイテム名と依存関係線の表示を切り替えます。
   レイアウトを更新することもできます。グリッドとタイムラインビュー、グリッドビュー、またはタイムラインビューのみを選択します。

   c. [列] セクションから、グリッドビューに表示される計画立案アイテムフィールドを更新します。
   必要な列を選択し、[適用] をクリックします。

4. 列名をクリックして、計画立案アイテムを列でソートします。
   たとえば、[承認された開始日] でアイテムをソートすることができます。
5. ポートフォリオ計画 での優先順位付けとロードマップデータへのクイックフィルターの適用

優先順位付けから **Excel** または **CSV** へのポートフォリオ計画アイテムのデータのエクスポート

ポートフォリオ計画アイテムのデータをポートフォリオ計画から Excel または CSV ファイルにエクスポートします Microsoft 。このデータを共有し、ビジネスのステークホルダーと共同作業を行うことができます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] タブで、[リスト ビュー] を選択します。
4. エクスポートする列がカスタマイズされていることを確認します。

   注:
   フィルターがビューに適用されると、フィルターされたデータがエクスポートされます。

5. カスタマイズされたサイドパネルを使用して、ポートフォリオ計画アイテムをエクスポートします。

   a. エクスポートアイコン () を選択します。

   b. [エクスポート] ウィンドウの [ファイルの種類] ドロップダウンから [Excel] または **[CSV]** を選択して、データをMicrosoftそれぞれ **Excel** ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートします。
   選択した形式のファイルがエクスポートされます。デフォルトでは、ファイルの名前は ABC で、データのエクスポート元のポートフォリオ計画の名前になります *ABC_Prioritization_List* 。

ポートフォリオ計画 ワークスペースの計画ロードマップ

一元化されたワークスペースでロードマップを使用して、今後のプロジェクトまたはイニシアチブの計画のレイアウトを作成しながら、それらを事業達成目標に合わせて調整します。ステークホルダー間のコラボレーションを促進し、外出先で計画を調整します。

ポートフォリオ計画 ワークスペースのロードマップには、ポートフォリオ計画ロードマップとフリーフォームロードマップの 2 つのタイプがあります。

ポートフォリオ計画の場合、[優先順位付け] ページから優先順位付けされた計画立案アイテムのみがロードマップに表示されます。「ポートフォリオ計画 ワークスペースでの作業の優先順位付け」を参照してください。

ビジネス計画でロードマップ機能を使用する場合は、以下のセクションの情報を活用してください。

関連情報

ポートフォリオ計画 のロードマップ

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成

スタンドアロンのビジュアルロードマップを作成して、会社のさまざまな部門から作業の概要計画を開始します。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

すべての部門のプロジェクトなど、組織の複数のユニットにわたる作業を計画するためのスタンドアロンロードマップを作成します。フリーフォームロードマップの詳細については、「ポートフォリオ計画 のロードマップ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロードマップの基礎となる開始点としてソーステーブルを選択します。簡易ロードマップのプロジェクトまたはデマンドのいずれかまたはハイブリッドロードマップの計画立案アイテムテーブルを選択します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. [新規] を選択します。
   これが ServiceNow インスタンス内の最初のフリーフォームロードマップである場合は、[最初のフリーフォームロードマップを作成] を選択します。
3. フリーフォームロードマップを作成ウィザードを使用して、ロードマップの詳細を入力します。
   a. ロードマップの基礎となるソーステーブルを選択します。
   b. ソーステーブルからデータをフィルターする条件を追加します。
      たとえば、ソーステーブルが [プロジェクト] の場合、関連するフィルター条件は、[事業部門] が [経理] かつ [アクティブ] が **[true]** になります。
   c. ロードマップの名前と予定日の詳細を入力します。
4. [作成] を選択します。

タスクの結果

- 新しいロードマップが作成され、表示されます。
- このロードマップは、ポートフォリオ計画 ワークスペースの ホームページの [フリーフォームロードマップ] タブにリストされます。

次のタスク

- ロードマップを使用して更新、カスタマイズ、および共同作業を行います。
- マイルストーンを追加するか、ロードマップで計画されているアイテムの依存関係を作成します。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの詳細の更新

フリーフォームロードマップの詳細を更新して、ロードマップの優先度またはタイムラインの変更を反映します。

始める前に

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. ロードマップを選択して開きます。
3. ロードマップヘッダーから、[その他のアクション] アイコン (⋮) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. フリーフォームロードマップを更新ウィザードを使用して、ロードマップの詳細を編集します。
5. [更新] を選択します。

タスクの結果
ロードマップが更新され、ロードマップアイテムが最新の変更に従って表示されます。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでステークホルダーとフリーフォームロードマップを共有する

ロードマップ計画に関係する作業のステークホルダーである組織のメンバーを追加して、ロードマップの進捗状況を可視化できるようにします。

始める前に

- ポートフォリオ計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成.
- ステークホルダーとして追加するユーザーに、ロードマップにアクセスするための適切なロールがあることを確認します。ユーザーロールの詳細については、「ポートフォリオ計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
組織内の他のユーザーとステークホルダーにフリーフォームロードマップへのアクセス権を付与します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. ロードマップを選択して開きます。
3. ロードマップヘッダーで、[ロードマップを共有] アイコン ( ) を選択します。
4. [ロードマップを共有] フォームで、ロードマップを共有するユーザーを選択し、そのアクセス権を適切に設定します。
   a. [メンバーまたはグループ] フィールドに、個々のユーザーまたはグループの名前を入力します。
   b. [アクセス] フィールドで、選択したユーザーのアクセスレベルとして [ビューアー] または [エディター] を選択します。
      - エディターは、ロードマップの設定とデータを表示および変更できます。
      - ビューアーは、コメントまたは添付ファイルの追加のみを行うことができます。設定やデータを変更することはできません。
5. [招待を送信] を選択します。

次のタスク
ユーザーまたはグループのアクセスレベルを変更するか、アクセス権を削除します。

1. [ロードマップを共有] フォームで、[アクセスを管理] を選択します。
2. ユーザーまたはグループカードから、[アクションメニュー] アイコン ( ) を選択します。
3. 適切なアクセスレベルを選択するか、[削除]を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークスペースでの ポートフォリオ計画 既存のフリーフォームロードマップのコピーの作成

既存のロードマップのデータを使用してロードマップを作成します。作成するロードマップが既存のロードマップと類似している場合は、既存のロードマップをコピーすると時間を節約できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
すべての部門のプロジェクトなど、組織の複数のユニットにわたる作業を計画するためのスタンドアロンロードマップを作成します。フリーフォームロードマップの詳細については、「ポートフォリオ計画 のロードマップ」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. コピーを作成するロードマップを選択します。
3. ロードマップヘッダーから、[その他のアクション] アイコン (⋮) を選択し、[ロードマップをコピー] を選択します。
4. [ロードマップをコピー] ウィンドウで、詳細を入力します。

   a. [ロードマップ名] フィールドにロードマップの名前を入力します。
   デフォルトでは、名前は *ABC（Copy）* ABC がコピー元のロードマップの名前です。

   b. オプション: コピー元のロードマップのユーザーにアクセス権を付与するには、[同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択します。
   このアクションでは、コピー元のロードマップに対してユーザーが持っていたのと同じ読み取りおよび編集アクセス権が付与されます。

   c. [確認] を選択します。

タスクの結果
- 新しいロードマップが作成され、新しいロードマップにアクセスするためのリンクが画面に生成されます。
- このロードマップは、ポートフォリオ計画 ワークスペースの ホームページの [フリーフォームロードマップ] タブにリストされます。

次のタスク
- ロードマップを使用して更新、カスタマイズ、および共同作業を行います。
- マイルストーンを追加するか、ロードマップで計画されているアイテムの依存関係を作成します。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップビューからの計画立案アイテムを作成

ロードマップビューから直接、新しい計画立案アイテムを作成してポートフォリオロードマップまたはフリーフォームロードマップに追加します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップビューから、[新規 <アイテムタイプ>] オプションを選択します。

   - フリーフォームロードマップの場合、オプションはロードマップのソーステーブルによって異なります。
   - ポートフォリオ計画ロードマップの場合、オプションはポートフォリオ計画の設定によって異なります。

1 つの計画立案アイテムタイプ	複数の計画立案アイテムタイプ
	

3. フォームの必須フィールド情報を入力します。
   完全なフィールドの詳細については、「デマンド計画立案アイテムフォーム」または「プロジェクト計画立案アイテムフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
新しいアイテムは、その承認済みの開始日と終了日に基づいて、ロードマップ上の場所に表示されます。

承認された開始日と終了日の両方のフィールドに入力しないと、作成したアイテムは未スケジュールアイテムのリストに移動されます。それらのアイテムを後でロードマップ計画に追加することができます。詳細については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースで予定外のアイテムをロードマップに計画する」を参照してください。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップから計画立案アイテムを変更

ロードマップに最新の計画が反映されるように、ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップから計画立案アイテムの詳細を更新または削除します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
サイドパネルビュー、またはロードマップの完全な詳細ビューから、計画立案アイテムの詳細を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップビューで、更新または削除する計画立案アイテムをクリックします。

   サイドパネルが開き、[詳細] タブが表示されます。

   さらに、[完全な詳細] をクリックしてアイテムのレコードページを開くこともできます。[完全な詳細] ページでは、マイルストーンや依存関係など、関連リストを表示することもできます。フィールドの詳細については、「デマンド計画立案アイテムフォーム」または「プロジェクト計画立案アイテムフォーム」を参照してください。

   > **注:**
   > フリーフォームロードマップが、プロジェクト [pm_project] やデマンド [dmn_demand] など、PPM テーブルのいずれかで構築されている場合、完全な詳細ページからのみ更新が可能です。

3. 詳細を更新するか、アイテムを削除します。
   - 更新するには、フィールドの詳細を編集して [更新] をクリックします。

     完全な詳細ページが表示されている場合は、[保存] をクリックします。
   - 削除するには、次の手順を実行します。
     a. [完全な詳細] ページで、[その他のアクション] アイコン () をクリックして、[削除] を選択します。
     b. **[OK]**をクリックして確認する。

ポートフォリオ計画 ワークスペースで予定外のアイテムをロードマップに計画する

まだ開始日または終了日のないアイテムをポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップに追加します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップの基準に一致しているが、開始日も終了日も設定されていない計画立案アイテムは、未スケジュールアイテムとして分類されます。計画を進めながら、未スケジュールアイテムリストを使用して、これらのアイテムをロードマップタイムラインにスケジュール設定します。

手順

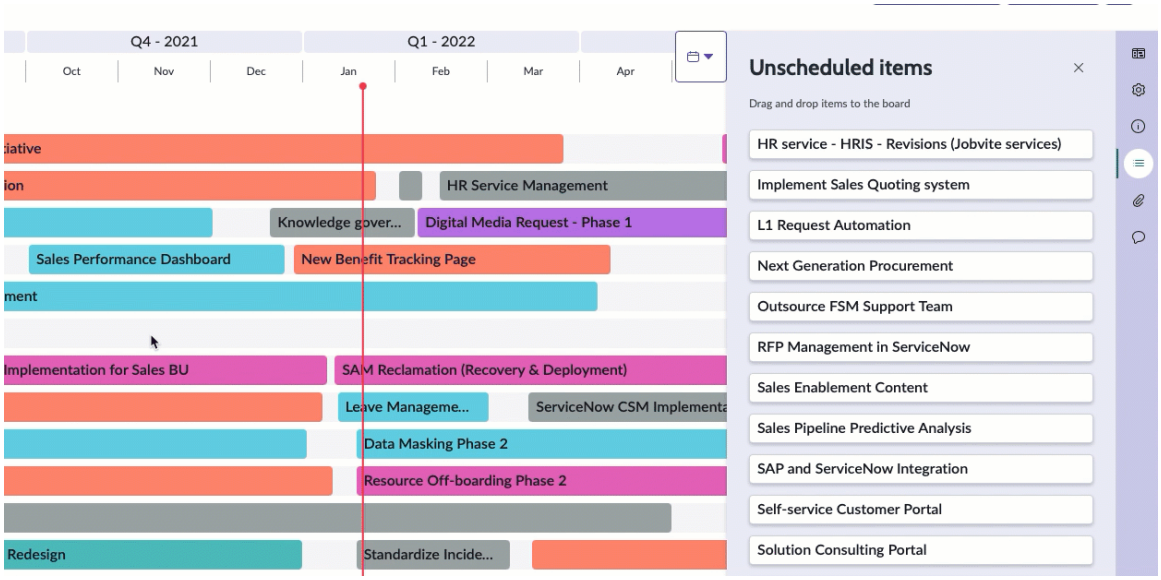
1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. サイドバーから、[未スケジュールアイテム] () を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. サイドパネルの予定外のアイテムのリストから、計画立案アイテムをドラッグし、ロードマップ上の任意の場所にドロップします。



ポートフォリオ計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの再スケジュール

ロードマップアイテムの予定日を更新して、スケジュールの優先度の変更を説明します。

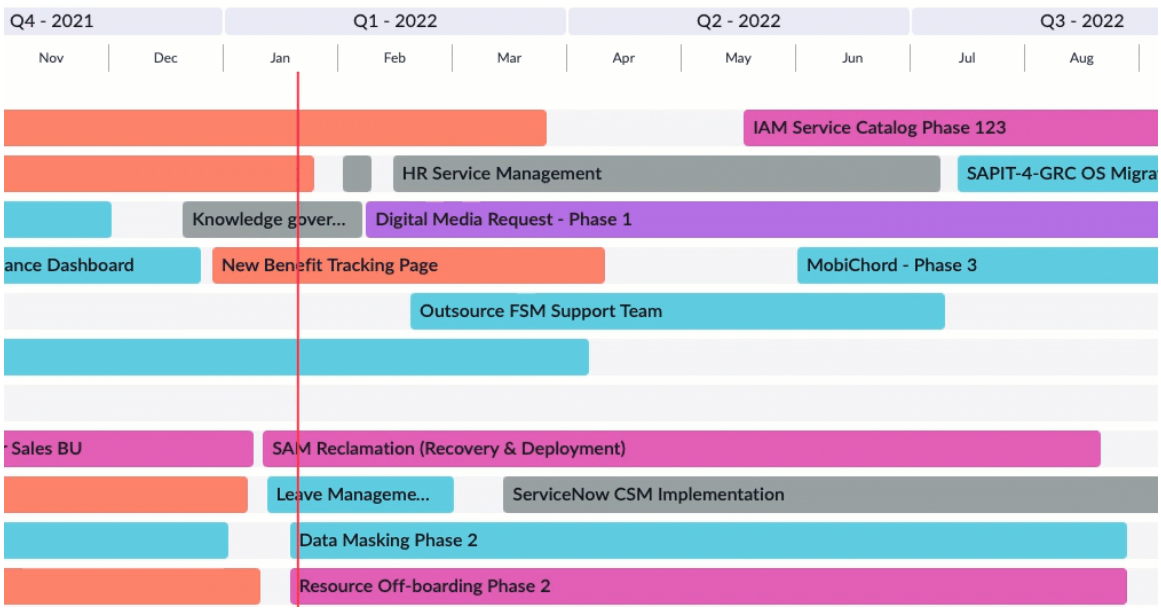
始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップアイテムに予定されている日付を変更するには、ロードマップアイテムバーのサイズを変更します。
3. ロードマップアイテムを再スケジュールするには、選択したタイムライン領域にアイテムをドラッグアンドドロップします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加

マイルストーンを作成してロードマップに表示することにより、計画のタイムラインの重要な日付を追跡します。

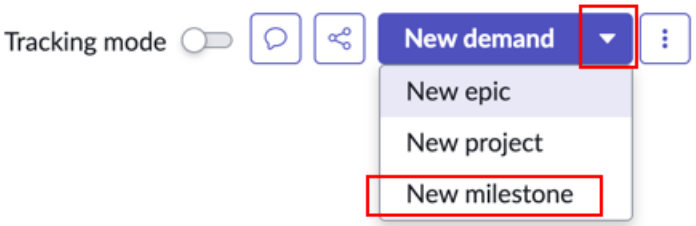
始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップのタイムラインに、ロードマップビューから、開始日、期限、その他の重要なイベントなどのマイルストーンを直接作成します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. [その他のアクション] ドロップダウンから、[新しいマイルストーン] を選択します。



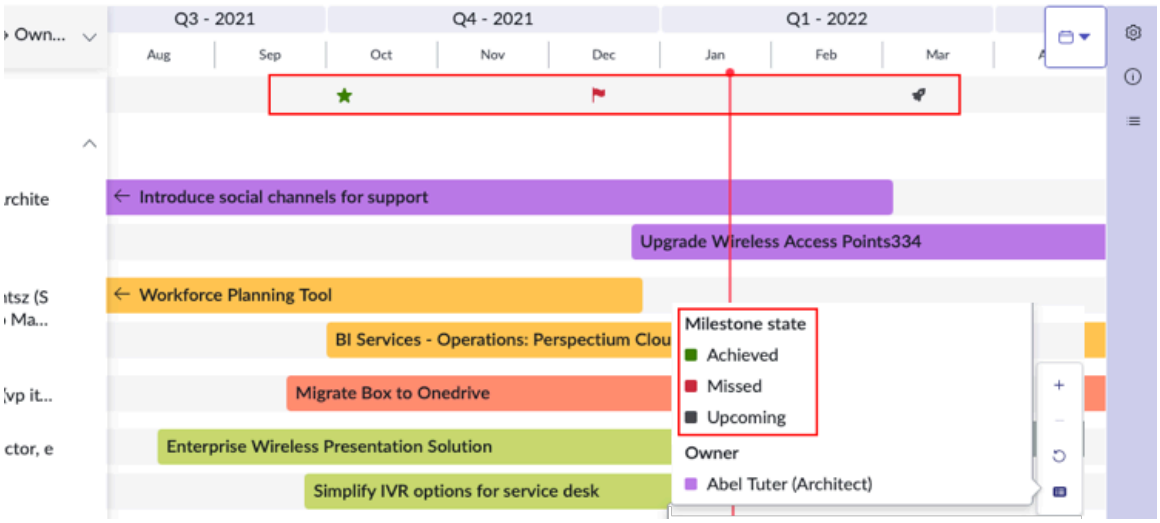
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ロードマップのマイルストーンフォーム」を参照してください。

4. [送信] を選択します。
5. オプション: ロードマップにマイルストーンを追加するには、ステップ 2 ～ 4 を繰り返します。

タスクの結果
作成したマイルストーンはロードマップに表示されます。

以下は、計画期間のさまざまなマイルストーンを示すマイルストーンバーを含むサンプルロードマップの画像で



す。

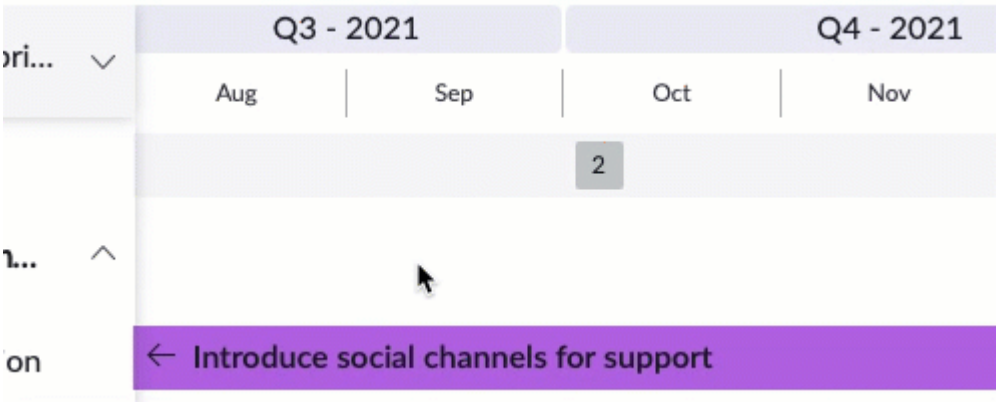
凡例に表示されるマイルストーンの色は、マイルストーンのステータスを示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 赤：達成できなかったマイルストーン。
- 緑：達成されたマイルストーン。
- グレー：今後のマイルストーン。

複数のマイルストーンが互いに近くにスケジュールされている場合、マイルストーンバーにグループ化されて表示されることがあります。この場合、マイルストーンバーを展開したり折りたたんだりして、その期間のすべてのマイルストーンを表示できます。



ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップマイルストーンを更新

ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップに追加したマイルストーンを更新または削除して、計画の変更が反映されるようにします。

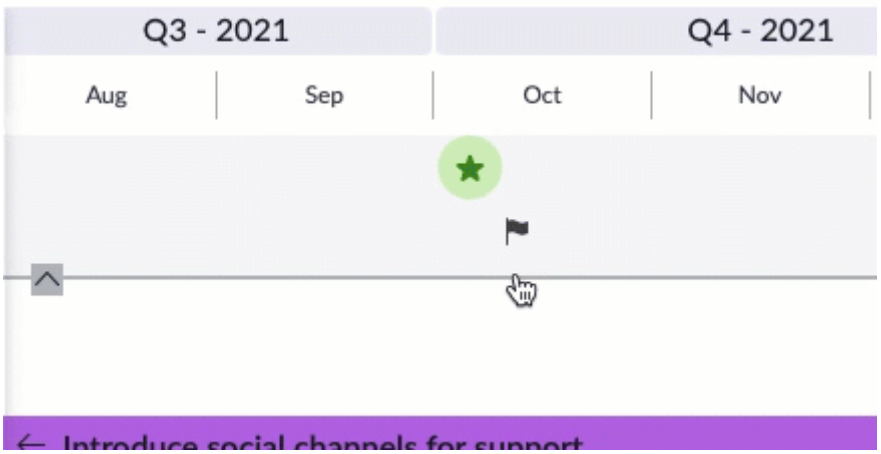
始める前に
ポートフォリオ計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. マイルストーンを再スケジュールするには、マイルストーンを選択したタイムライン領域にドラッグアンドドロップします。



他の詳細を更新したり、マイルストーンを削除したりする場合は、次の手順に進みます。

3. ロードマップビューで、更新するマイルストーンをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サイドパネルが開き、マイルストーンの詳細が表示されます。

4. マイルストーンを更新または削除します。
   - 更新するには、フィールドの詳細を編集して [保存] をクリックします。

     フォームフィールドの詳細については、「ロードマップ構成フォーム」を参照してください。
   - マイルストーンを削除するには、[削除] をクリックします。

     [OK] を選択して確定します。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムのマイルストーンを追加

ロードマップビューから直接マイルストーンを作成して、計画立案アイテム (デマンドやプロジェクトなど) の主要な結果を追跡します。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ロードマップアイテムを選択して、そのマイルストーンを作成します。ロードマップサイドパネルを使用して詳細を入力し、送信します。

フリーフォームロードマップの場合、ソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかの場合のみマイルストーンはサポートされます。

> **重要:**
>
> ロードマップビューからプロジェクトマイルストーンを追加することはできません。プロジェクトマイルストーンを作成または更新すると、関連するプロジェクト計画に影響を与える可能性があります。そのため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のプロジェクトワークスペースを使用してプロジェクトマイルストーンを作成または更新することをお勧めします。
>
> ただし、すでに プロジェクトポートフォリオ管理 による ポートフォリオ計画 と統合している場合、プロジェクトの既存のマイルストーンはすべてロードマップに表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。
2. ロードマップビューから、マイルストーンを追加する計画立案アイテムをクリックします。
   サイドパネルが開き、アイテムの詳細が表示されます。
3. [マイルストーン] タブを選択します。
   または、[完全な詳細] をクリックして、完全な詳細ページから [マイルストーン] タブを選択することもできます。
4. [マイルストーンを追加] アイコン (アイコン) を選択します。
   アイテムにマイルストーンがない場合は、[新しいマイルストーン] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「計画立案アイテムのマイルストーンフォーム」を参照してください。
6. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

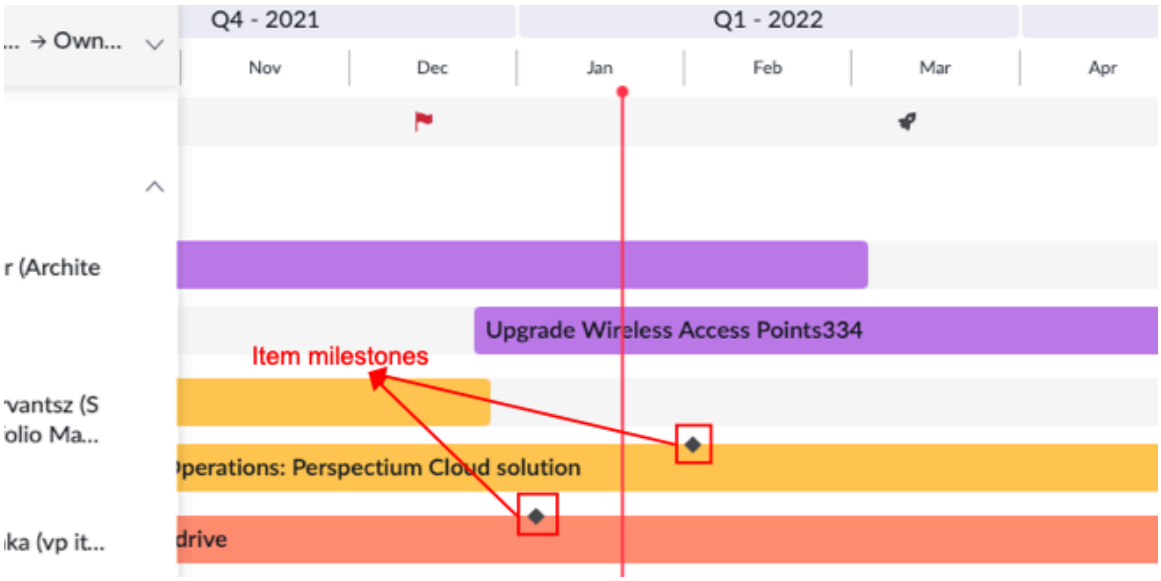
[マイルストーン] タブに戻ると、マイルストーンが一覧表示されます。

7. オプション: アイテムにマイルストーンを追加するには、ステップ 2 ～ 6 を繰り返します。

タスクの結果

- 作成したマイルストーンは、ロードマップアイテムバーに示されます。

  以下は、マイルストーンがあることを示すロードマップアイテムを含むサンプルロードマップの画像で



す。

- これらのマイルストーンインジケーターの上にカーソルを合わせると、マイルストーン名、タイプ、期日などの詳細が表示されます。
- これらのインジケーターのいずれかをクリックすると、[アイテムの詳細] サイドパネルの [マイルストーン] タブが開きます。ここでは、この計画立案アイテムのすべてのマイルストーンのリストを確認できます。

次のタスク

マイルストーンの管理の詳細を表示：

- ポートフォリオ計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ
- ポートフォリオ計画 Workspace のアイテムマイルストーンエラー
- ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムマイルストーンを更新

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムマイルストーンを更新

計画立案アイテム (デマンド、スクラムエピック、プログラムなど) に追加したマイルストーンを更新または削除して、計画の変更が反映されるようにします。

始める前に

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムのマイルストーンを追加.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ポートフォリオロードマップまたはフリーフォームロードマップから、計画マイルストーンを選択して詳細を更新します。ロードマップサイドパネルを使用して、詳細を編集して送信します。

フリーフォームロードマップの場合、ソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかの場合のみマイルストーンはサポートされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:

ロードマップビューからプロジェクトマイルストーンを追加することはできません。プロジェクトマイルストーンを作成または更新すると、関連するプロジェクト計画に影響を与える可能性があります。そのため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のプロジェクトワークスペースを使用してプロジェクトマイルストーンを作成または更新することをお勧めします。

ただし、すでに プロジェクトポートフォリオ管理 による ポートフォリオ計画 と統合している場合、プロジェクトの既存のマイルストーンはすべてロードマップに表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。
2. ロードマップビューから、計画立案アイテムをクリックして、[マイルストーン] タブを選択します。

   サイドパネルに、この計画立案アイテムに関連付けられているすべてのマイルストーンのリストが表示されます。

   または、[完全な詳細] をクリックしてアイテムのレコードページを開き、[マイルストーン] タブを選択できます。
3. 更新するマイルストーンをクリックします。
4. マイルストーンフォームから、詳細を更新するか、マイルストーンを削除します。
   - 更新するには、フィールドの詳細を編集して [保存] をクリックします。

     フォームフィールドの詳細については、「計画立案アイテムのマイルストーンフォーム」を参照してください。
   - マイルストーンを削除するには、[削除] をクリックします。

     [OK] を選択して確定します。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加

ポートフォリオまたはフリーフォームロードマップの計画立案アイテム間で、依存関係を作成して関係性を可視化して、スケジュールを調整できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオロードマップまたはフリーフォームロードマップから、アイテム詳細のサイドパネルを使用して、2 つの計画立案アイテム間の依存関係を作成します。依存関係は、プロジェクト、エピック、デマンド、イニシアチブ、プログラム、作成したカスタム計画立案アイテムタイプに対応しています。

ロードマップ上の計画立案アイテムの依存関係は、同じロードマップまたは別のロードマップのアイテムにあるか、またはアイテムがまだ計画されていない可能性があります。ロードマップの依存関係について、詳しく説明します。

注:
フリーフォームロードマップの場合、依存関係は、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張の 1 つである場合のみ利用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップビューから、依存関係を追加する計画立案アイテムをクリックします。
サイドパネルが開き、アイテムの詳細が表示されます。

3. 選択 その他 > 依存関係.

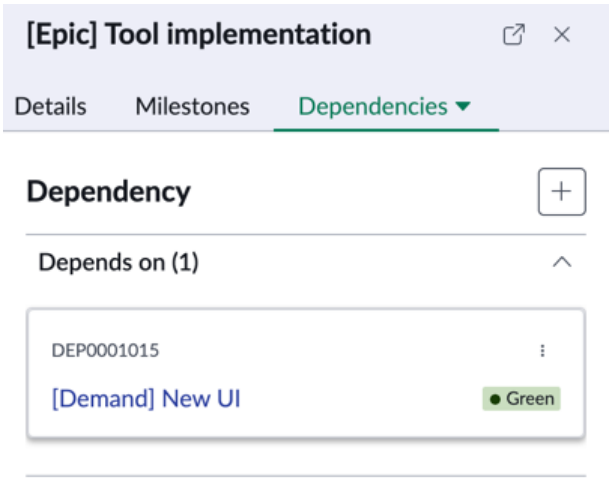
4. [依存関係] タブで、[依存関係を追加] アイコン (アイコン) を選択します。

5. フォームのフィールドに入力します。

   フォームフィールドについては、「依存関係フォーム」を参照してください。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果
選択した計画立案アイテム間で依存関係が作成され、アイテム詳細のサイドパネルにある [依存関係]



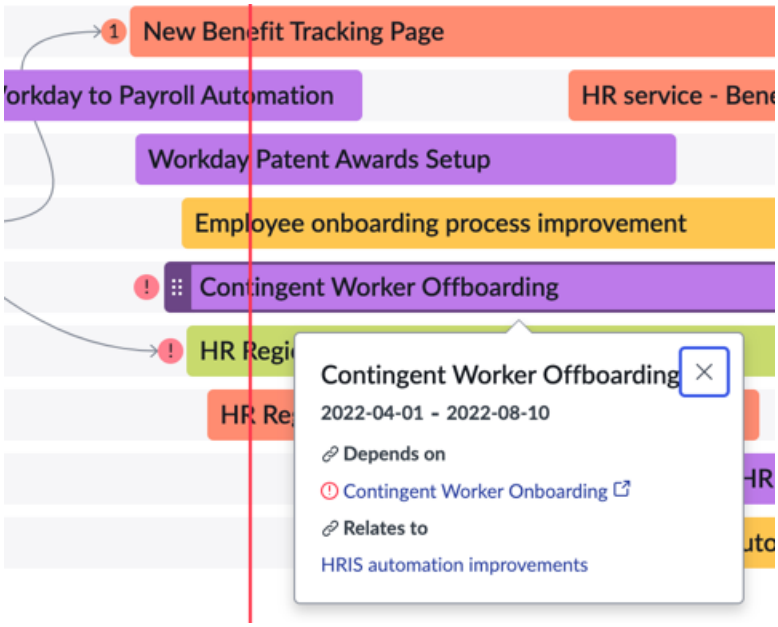
タブに一覧表示されます。

ロードマップで、ロードマップアイテムカードまたは依存関係線から依存関係の詳細を確認することができます。ロードマップにおける依存関係に対して利用可能な表示設定について説明します。

依存関係アイテムのいずれかがロードマップにない場合、依存関係の詳細情報が、外部計画立案アイテムへのリダイレクトリンクと併せて、ロードマップのアイテムカードに表示されます。この場合、アイテムは同じロードマップに属している場合も属していない場合もあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク

- ロードマップアイテムの依存関係エラーを解決する方法について説明します。
- 依存関係の詳細を更新するか、依存関係を削除します。「ポートフォリオ計画 でロードマップアイテムの依存関係を更新」を参照してください。

ポートフォリオ計画 でロードマップアイテムの依存関係を更新

ロードマップ上の計画立案アイテムの依存関係を更新または削除して、計画の変更が反映されるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ロードマップサイドパネルを使用して、依存関係の詳細を変更するか依存関係を削除します。

フリーフォームロードマップの場合、依存関係は、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張の 1 つである場合のみ利用できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。
2. ロードマップビューで、依存関係を更新または削除する計画立案アイテムをクリックします。

   サイドパネルが開き、アイテムの詳細が表示されます。
3. 選択 その他 > 依存関係.
   この計画立案アイテムの依存関係は、カードの形式でリストされます。
4. サイドパネルから、[その他のアクション] アイコン (⋮) を使用して編集または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのロードマップビューのカスタマイズ

ロードマップの表示方法をカスタマイズします。ロードマップアイテムをグループ化し、カテゴリ別に色分けし、数値データポイントを追加してマイルストーンや依存関係を表示することで、ロードマップを効率的に分析し、情報に基づいた意思決定を行うことができるようになります。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

このタスクでは、ロードマップビューをカスタマイズするためのさまざまなオプションについて説明します。適用するオプションを選択します。

ここで適用される設定は、ロードマップに従う初期設定として保存されます。ロードマップにアクセスできるすべてのユーザーに同じ設定が表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップのタイムラインのスケールを変更します。
   タイムスケールアイコン ( ) を選択し、[月]、[四半期]、または [年] を選択します。

   注:
   選択したタイムスケールビューは、ロードマップ初期設定に保存されます。

3. サイドパネルを使用して、ロードマップの外観をカスタマイズします。

   a. サイドバーから、[カスタマイズ] アイコン ( ) を選択します。

   b. 使用可能な属性でロードマップアイテムをグループ化し、色分けします。

      ロードマップアイテムを最大 2 つの属性でグループ化し、1 つの属性で色分けすることができます。

      管理者と協力して、[グループごと]、[色別]、および [測定基準] フィールドの他の属性を追加できます。「ポートフォリオ計画 Workspace での優先順位およびロードマップの表示設定のカスタマイズ」を参照してください。

   c. [所有者] トグルを使用すると、ロードマップアイテムの所有者を表示できるようになります。

   d. [測定基準] セクションにフィールドを追加して、ロードマップアイテムバーに予定コストなどのデータポイントを表示します。

      最大 3 つの測定基準を追加できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. ロードマップアイテム (プロジェクト、エピック、デマンドなど) にマイルストーンがある場合は、[マイルストーン] セクションの切り替えを使用して、それらの表示方法を調整します。
詳細については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ」を参照してください。

f. ロードマップアイテムに依存関係がある場合、[依存関係] セクションのトグルで表示方法を調整します。
詳細については、「ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係表示をカスタマイズ」を参照してください。

g. 現在の日付のインジケーターを使用して、タイムライン上の現在の日付を特定します。
[その他の設定] セクションで、[現在の日付行] のトグルを有効化します。

4. 計画立案アイテムに条件を適用して、ロードマップに表示されるデータをフィルターします。

a. サイドバーから、[ロードマップアイテムをフィルタリング] アイコン ( ) を選択します。
サイドパネルが開き、現在適用されているフィルターが [フィルターの概要] に表示されます。

b. [フィルターを更新] を選択して、条件を追加したり更新したりします。
AND や **OR** の演算子を使用して条件を作成します。

c. [適用] を選択します。

5. [依存関係線を表示] アイコン ( ) を使用して、ロードマップアイテム間での依存関係の線表示をすばやく有効化または無効化します。
6. ズームオプションを使用して、ロードマップビューのズームイン、ズームアウト、およびズームのリセットを行います。



注:
選択したズームレベルは、ロードマップ設定として保存されません。

7. ポートフォリオ計画 での優先順位付けとロードマップデータへのクイックフィルターの適用

ポートフォリオ計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ

ロードマップビューでのマイルストーンの表示方法を選択することで、ロードマップタイムラインや計画立案アイテムのマイルストーンを簡単に追跡できます。

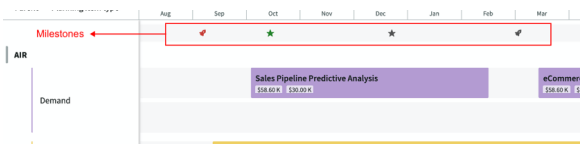
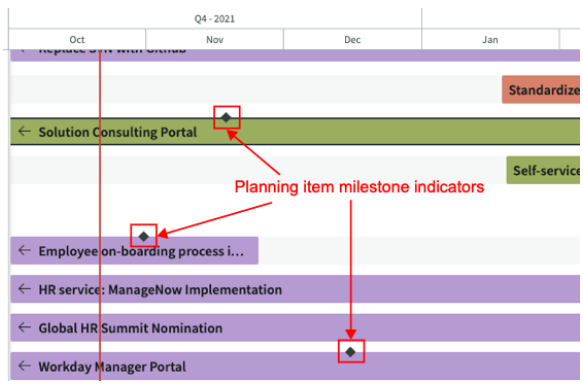
ロードマップの [カスタマイズ] ( ) サイドパネルには、ロードマップのマイルストーン表示をカスタマイズするためのさまざまな切り替え機能があります。

- ポートフォリオ計画ロードマップでは、これらの切り替えを常に使用できます。
- フリーフォームロードマップの場合、これらの切り替えは、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテムテーブル [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかである場合のみ使用できます。

自動翻訳

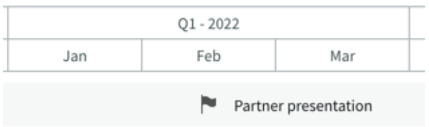
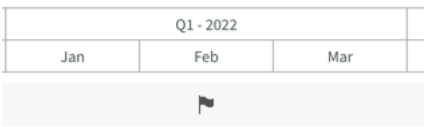
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マイルストーンの切り替え	ロードマップビュー
ロードマップのマイルストーン ロードマップタイムラインのマイルストーンを表示します。	
アイテムマイルストーン 計画立案アイテムのマイルストーンを表示します。	
マイルストーンのみ すべての計画立案アイテムバーを非表示にして、ロードマップ上のマイルストーンのみを表示します。 この切り替えを選択すると、[グループごと] フィールドと [色別] フィールドが変更され、無効になります。この切り替えをオフにすると、以前のカスタマイズ設定が使用可能になります。 このビューでは、マイルストーンインジケーターが色分けされていることも確認できます。 • 赤：欠落 • 緑：達成 • 黒/ダークグレー：予定	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マイルストーンの切り替え	ロードマップビュー
注: アイテムレベルのマイルストーンの合計数 (未スケジュールアイテムのマイルストーンを含む) が 100 を超える場合、そのアイテムのマイルストーンインジケーターはロードマップに表示されません。管理者と協力して、この数を希望の値に変更することができます。詳細については、「ポートフォリオ計画 での優先順位付けおよびロードマップに対するアイテムの表示制限の更新」を参照してください。	
マイルストーンラベル マイルストーンラベルを表示します。	ラベル付きのマイルストーンインジケーター  ラベルなしのマイルストーンインジケーター 

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係表示をカスタマイズ

ロードマップビューでの依存関係の表示方法を選択することで、計画立案アイテム間の関係性の識別の効率を向上します。

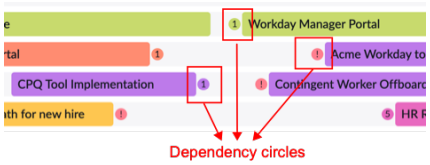
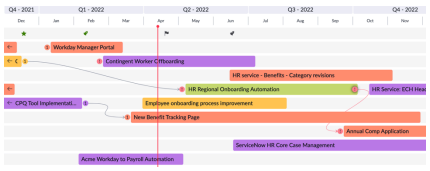
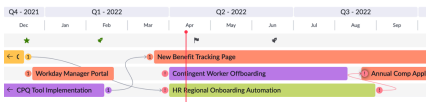
ロードマップの [カスタマイズ] ( ) サイドパネルには、ロードマップにおける依存関係表示をカスタマイズするためのさまざまな切り替え機能があります。

- ポートフォリオ計画ロードマップでは、これらの切り替えを常に使用できます。
- フリーフォームロードマップの場合、これらの切り替えは、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテムテーブル [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかである場合のみ使用できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係トグル	ロードマップビュー
依存関係を表示 計画立案アイテムバーの左右にある円の形態で依存関係を示します。 これらの円 (1) の中に数字が示されています。これは、アイテムが共有する依存関係の番号を表します。また、赤色で表示 (!) されている場合は、依存関係が競合していることを表します。 **注:** [依存関係] セクションで他の 2 つのトグルを使用するには、このトグルを有効にする必要があります。	ロードマップにおける依存関係の円 
依存関係行 依存関係を計画立案アイテム間の線で示します。 これらの線は、次の場合にのみ表示されます。 • 依存関係にある両方の計画立案アイテムが同じロードマップ内にある • 依存関係のタイプが [依存] である	計画立案アイテム間の依存関係の線 
依存関係のあるアイテムのみ ロードマップをフィルタリングして、少なくとも 1 つの [依存] タイプを持つ計画立案アイテムのみを表示します。 ここで表示されるアイテムは、現行のロードマップ内外のアイテムに依存している可能性があります。	依存関係のあるアイテムのみを表示するロードマップ 

ポートフォリオ計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの進捗状況の追跡

追跡モードを使用して、ポートフォリオ計画ロードマップまたはフリーフォームロードマップ上の作業アイテムの完了を視覚的に追跡します。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

トグルを使用して、ロードマップビューを計画モードから追跡モードに切り替えます。ロードマップアイテムカードは、ステータスと進捗状況を示す進捗状況バーに変わります。

注:
追跡モードでは、ロードマップアイテムとマイルストーンを作成、更新、または再スケジュールすることはできません。このビューは読み取り専用モードです。

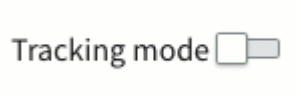
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップの追跡ビューをオンにするには、追跡モードの切り替えを使用します。



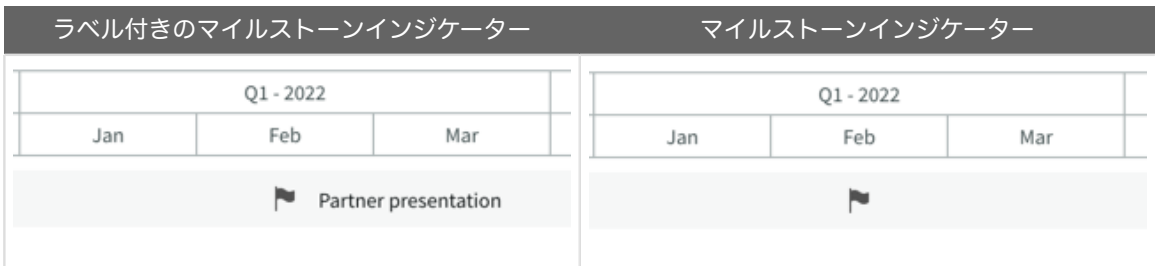
3. オプション: 追跡モードでロードマップビューをカスタマイズします。

> **注:**
> ロードマップの計画立案モードで行ったグループ化とパーソナライズによる色分けは追跡モードに引き継がれますが、測定基準は引き継がれません。

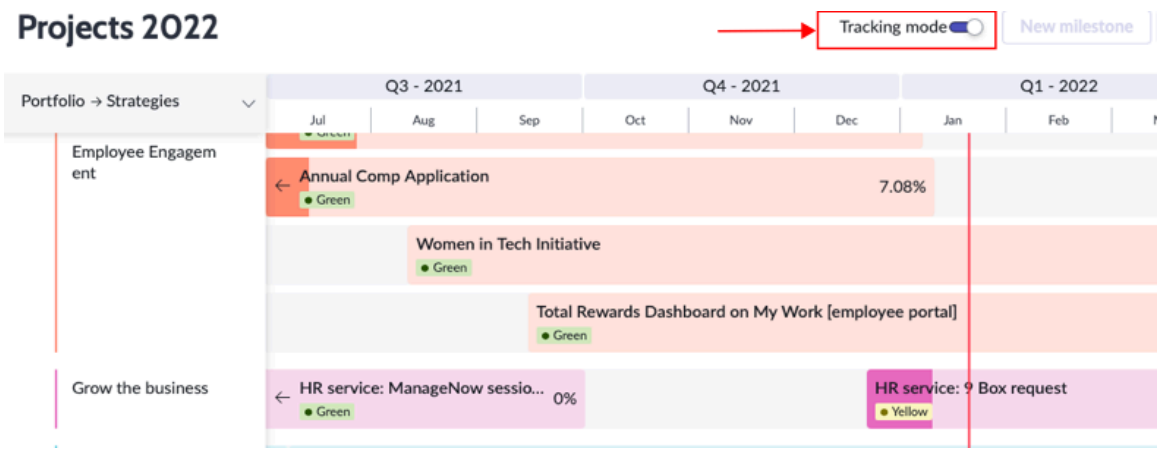
a. [ステータス] と [完了率] をそれぞれ切り替えて、ロードマップアイテムの [ステータス] と [完了率] の表示を有効または無効にします。

b. [測定基準] セクションにフィールドを追加して、ロードマップアイテムバーに予定コストなどのデータポイントを表示します。
追跡モードでは、最大 2 つの測定基準を追加できます。

c. マイルストーンの表示をカスタマイズします。
マイルストーンをアイコンだけで表示するか、ラベルと一緒に表示するかを選択できます。



タスクの結果
ロードマップの追跡ビューは、カスタマイズ設定に従って表示されます。ロードマップ追跡のサンプルビューを次の画像に示します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ポートフォリオ計画 ワークスペースのフリーフォームロードマップで共同作業する

組織の他のユーザーがフィードバックを確認して共有できるように、フリーフォームロードマップにコメントと添付ファイルを追加します。ロードマップが会社の優先順位と一致していることを、協力して確認します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user または sn_roadmap_plng.roadmap_editor

このタスクについて
[コメント] サイドパネルを使用して、ロードマップレベルまたは計画立案アイテムレベルで添付ファイルまたはメモを追加します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. 共同作業するロードマップを選択します。
3. ロードマップレベルまたは計画立案アイテムレベルで適切なタブを選択します。
4. 添付ファイルまたは作業メモを追加します。

ポートフォリオ計画 での優先順位付けとロードマップデータへのクイックフィルターの適用

[優先順位付け] および [ロードマップ] タブのデータにフィルターをすばやく適用し、タブのすべてのビューで一貫したデータを使用してシームレスに計画できるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
クイックフィルターは、優先順位付けとロードマップのリストビューと階層ビューに表示されるデータをフィルタリングするのに役立ちます。これらのフィルターはユーザー初期設定として保存されます。これにより、後で再度ログインした場合でも、タブのすべてのビューで同じデータを表示できるため、作業をシームレスに計画、優先順位付け、ロードマップすることができます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. 作業するタブに基づいて、[優先順位付け]、[ロードマップ]、または [キャパシティ計画立案] を選択します。

   デフォルトでは、[ロードマップ] タブのデータは [優先順位付け] の [計画立案ステータス] でフィルタリングされ、 優先順位付けされたアイテムのみが表示されます。
4. ポートフォリオ計画ヘッダーから、[フィルター] を選択して、条件を追加します。

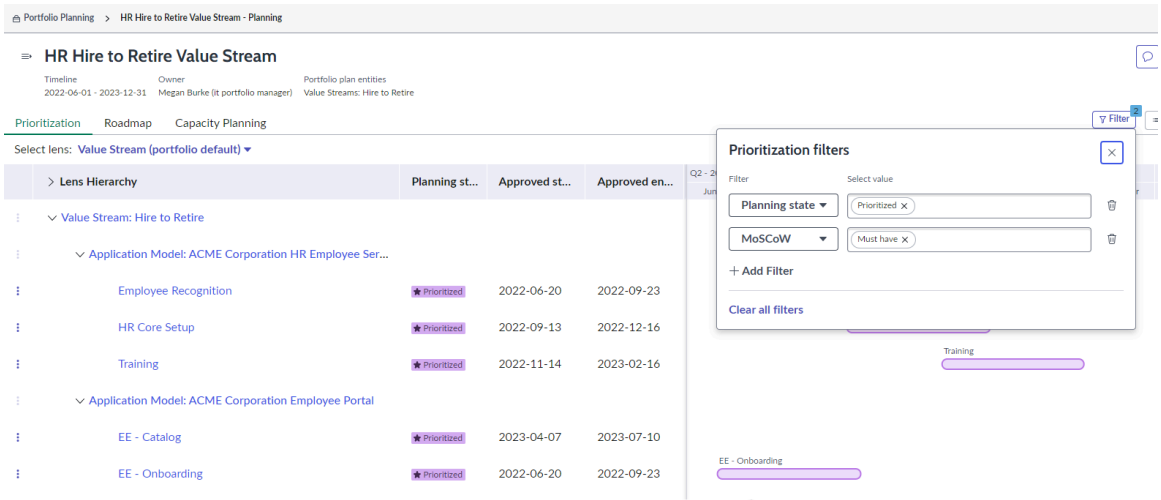
   タブ内で、選択または参照タイプのフィールドのみにフィルターを追加できます。

   - それぞれのビューで利用可能なフィールドのみにフィルターを適用できます。
   - フィルターが自動的に適用され、タブに表示されるデータが自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [優先順位付け] タブで設定されたフィルターは [ロードマップ] タブに適用されず、その逆も同様です。
- 1 つのビューに設定されたフィルターは、同じタブ内の他のビューにも適用されます。



ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案の使用

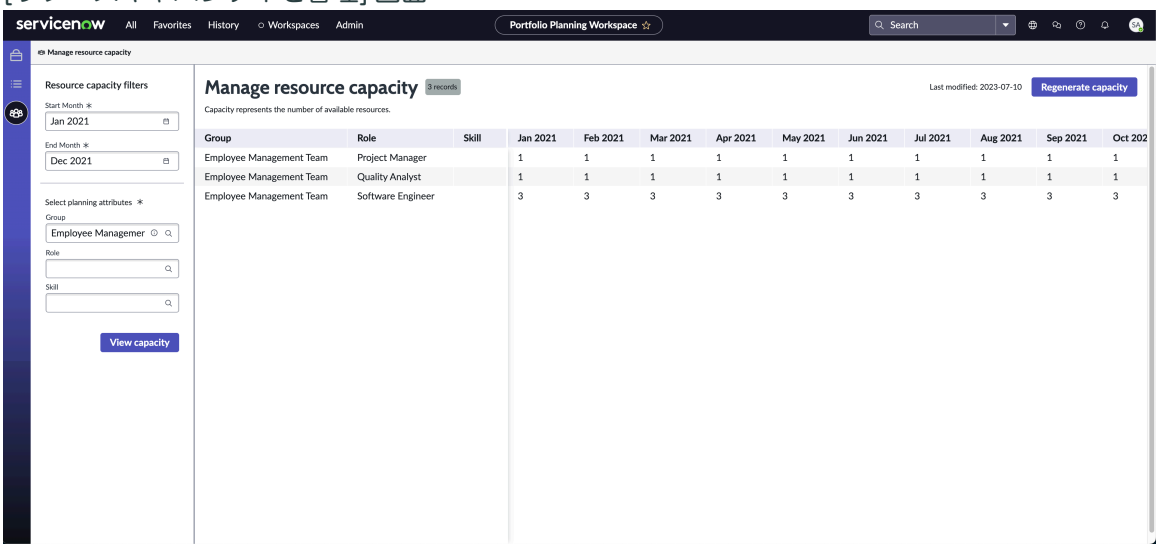
リソースキャパシティを評価し、既存の割り当てを確認します。これは、リソースのアサイン作業中に情報に基づいた意思決定を行うのに役立ちます。

[リソースキャパシティを管理] 画面を使用して、リソースキャパシティの詳細を生成します。

[キャパシティ計画立案] 画面を使用して、ポートフォリオへのリソースキャパシティマッピングに関する詳細情報を表示します。

リソースキャパシティを管理

[リソースキャパシティを管理] 画面



[リソースキャパシティを管理] 画面には、以下の詳細情報が表示されます。

- リソースキャパシティの詳細と指定した日付範囲で選択した属性
- フィルタリングされた結果のリソースの合計数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

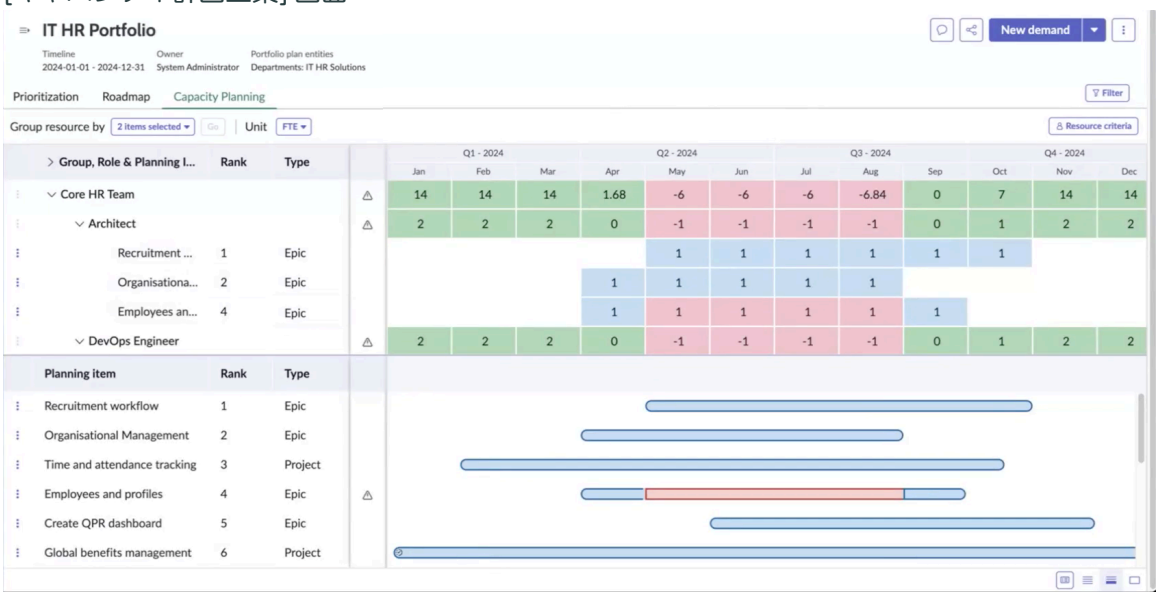
- フィルタリングされた結果の最終変更日
- 従業員プロファイルマッピングから最新のキャパシティの詳細を再生成してフェッチするオプション

[リソースキャパシティを管理] 画面では、次のことができます。

- 必要な日付範囲で特定のキャパシティ属性が含まれるリソースをフィルタリングして、そのリソース割り当てを表示します。
- キャパシティの詳細を再生成し、リソース従業員プロファイルマッピングから最新の詳細を表示します。

キャパシティ計画立案

[キャパシティ計画立案] 画面



[キャパシティ計画立案] タブには、以下のリソースキャパシティ情報が表示されます。

- リソースキャパシティと割り当ての包括的な概要
- 現在のリソースキャパシティ割り当て
- 作業の分析と計画立案を容易にするために、優先順位付けされた計画立案アイテムのインタラクティブなガントチャートビュー

[キャパシティ計画立案] 画面では、次のことができます。

- [リソース基準] ( ) を選択して、人員の基準を再定義します。
- 現在のポートフォリオのキャパシティ割り当てを表示し、将来のリソース要件をより適切に予測します。

リソースキャパシティの管理

必要な時間スコープのプライマリ属性でリソースをフィルタリングし、そうしたリソースのキャパシティを生成して表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

1. キャパシティ計画立案の計画属性を有効にする詳細については、「ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案の計画属性の有効化」を参照してください。
2. リソースの従業員プロファイルを生成する詳細については、「キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成」を参照してください。

必要なロール：sn_align_ws.spw_capacity_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [リソースキャパシティを管理] オプション ( ) を選択します。

   注:
   キャパシティ計画立案で計画属性が有効になっていない場合は、空のステータス画面と構成オプションが表示されます。管理者に連絡し、キャパシティ計画立案の計画属性を有効にしてもらいます。詳細については、「キャパシティ計画立案の計画属性を有効にする」を参照してください。

3. キャパシティの詳細を表示して再生成するには、次のいずれかのオプションを使用します。

ポートフォリオ計画 でのキャパシティ計画立案の使用

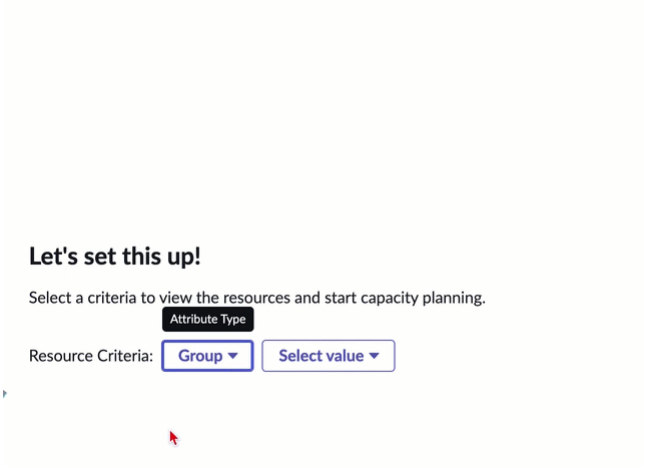
ポートフォリオのリソースキャパシティを表示および分析して、リソースの割り当てを計画および再予測します。

始める前に
リソースキャパシティの管理を使用してリソースキャパシティを生成します。

必要なロール：sn_align_ws.spw_capacity_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース.
2. ポートフォリオ計画から計画を選択します。
3. 選択 計画 > キャパシティ計画立案.
4. [属性を選択] リストと [値を選択] リストを使用して、リソース基準を定義します。



5. [送信] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
選択した人員の基準のリソースキャパシティ割り当ての [キャパシティ計画立案] 画面が表示されます。人員の基準の選択に基づいて、リソースキャパシティはグループ、スキル、およびロールでネストされます。

ポートフォリオ計画 での財務の使用

プロジェクトのコストコンポーネントのブレークダウンを表示および管理します。

包括的な財務ビューは、選択したエンティティの計画コストと実績コスト、完了時の推定 (EAC)、完了までの推定 (ETC)、現在までの合計実績などを把握するのに役立ちます。コスト計画を管理し、処理された経費明細を関連付けて、計画立案アイテムの実績を反映できます。

財務管理

[財務] ビューでは、カスタマイズアイコン (歯車アイコンのカスタマイズ) を使用して左ペインの属性を 

財務画面では、次のことができます。

- 計画立案アイテムのコスト計画を追加または編集する。詳細については、「コスト計画の追加、編集、または削除」を参照してください。
- 経費明細を追加または編集し、コスト計画に関連付ける。詳細については、「経費明細の追加または編集」を参照してください。
- 会計期間の人件費を生成する。詳細については、「人件費の生成」を参照してください。
- ベースラインを作成して比較し、計画立案アイテムの財務スナップショットをキャプチャします。詳細については、「デマンドとプロジェクトの財務ベースラインを作成して比較する」を参照してください。

ベースライン

ベースラインを作成して 、計画立案アイテムの財務的変更のスナップショットをキャプチャします。オンデマンドのベースラインを作成することも、スケジューラジョブを使用して周期で作成することもできます。

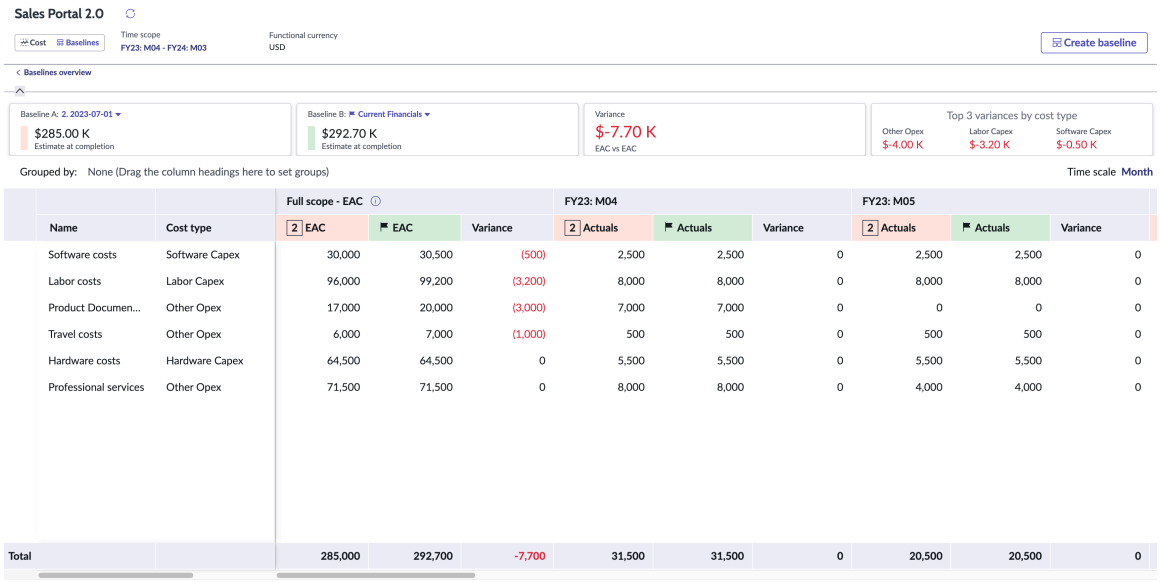
ベースラインを比較して、最新ステータスとベースライン間、または任意の 2 つのベースライン間のコストの差を比較します。

注:
各ベースラインには、作成された順序に基づいて番号が付けられます。現在の財務ベースラインは、財務の詳細をリアルタイムでキャプチャし、常にフラグアイコン ( ) で表されます。

ベースライン比較ビューは、2 つのベースライン間の差異を理解するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



		Full scope - EAC			FY23: M04			FY23: M05		
Name	Cost type	EAC	EAC	Variance	Actuals	Actuals	Variance	Actuals	Actuals	Variance
Software costs	Software Capex	30,000	30,500	(500)	2,500	2,500	0	2,500	2,500	0
Labor costs	Labor Capex	96,000	99,200	(3,200)	8,000	8,000	0	8,000	8,000	0
Product Documen...	Other Opex	17,000	20,000	(3,000)	7,000	7,000	0	0	0	0
Travel costs	Other Opex	6,000	7,000	(1,000)	500	500	0	500	500	0
Hardware costs	Hardware Capex	64,500	64,500	0	5,500	5,500	0	5,500	5,500	0
Professional services	Other Opex	71,500	71,500	0	8,000	8,000	0	4,000	4,000	0
Total		285,000	292,700	-7,700	31,500	31,500	0	20,500	20,500	0

ベースラインを比較するときにウィジェットを活用して以下を表示します。

- EAC を表示する各ベースラインの 2 つの専用ウィジェット。
- 3 番目のウィジェットには、選択したベースラインの EAC 値間の合計差異が表示されます。
- 4 番目のウィジェットには、全体的な差異に寄与する上位 3 つの差異がコストタイプ別に表示されます。

ウィジェットとヘッダー行は色分けされており、選択したベースラインを識別するのに役立ちます。

ヒント:
1 番目または 2 番目のウィジェットからベースラインの名前を選択して、異なるベースラインを比較します。

2 つのベースライン (2023-10-01 ベースライン A と現在の財務、ベースライン B B) の比較ビューの例を見てみましょう。

ベースラインを比較すると、コスト計画とそれに関連するコストタイプ、フルスコープの EAC、実際の経費と計画コストのブレークダウンビューのリストが表示されます。

デフォルトでは、ブレークダウン ビューのタイム スケールは [月] に設定されています。

- [タイムスケール] オプションを使用して、月次、四半期、および年次レベルで比較ブレークダウンビューを表示します。
- 会計期間、ウィジェットのデータ、および比較表をフィルタリングするには、[時間範囲] を選択します。

Example: 異なるタイムスタンプでキャプチャされた **2** つのベースライン間で実績、計画、EAC を比較する方法

作成日に基づいて選択したベースラインについて、テーブルには作成日からの過去の会計期間の実績値と、現在および将来の会計期間の計画値が表示されます。

2023 年 7 月から 2024 年 6 月までの計画立案アイテムを考えてみましょう。ベースライン A は 2023-10-01 に作成されます。2023 年 12 月の現在の財務ベースラインと 2023 年 10 月に取得されたベースラインを比較すると、次のようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. ベースライン比較ビューには、2023 年 7 月から 2023 年 9 月までの実績と実績の列が表示されます。

			FY23: M07			FY23: M08			FY23: M09		
	Name	Cost type	2 Actuals	Actuals	Variance	2 Actuals	Actuals	Variance	2 Actuals	Actuals	Variance
	Professional services	External labor Capex	3,500	3,500	0	3,500	3,500	0	4,700	4,700	0
	Travel costs	Other Opex	800	800	0	450	450	0	0	6,000	(6,000)
	Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
	Software costs	Software Capex	0	0	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0
	Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0
	other costs	Other Capex									
	Server costs	Hardware Capex									
Total			18,100	18,100	0	20,750	20,750	0	21,500	27,500	-6,000

2. 2023 年 10 月および 2023 年 11 月の予定と実績。

			FY23: M10			FY23: M11		
	Name	Cost type	2 Planned	Actuals	Variance	2 Planned	Actuals	Variance
	Professional servi...	External labor Capex	3,000	3,000	0	3,000	4,000	(1,000)
	Travel costs	Other Opex	450	500	(50)	450	600	(150)
	Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
	Software costs	Software Capex	3,000	3,500	(500)	3,000	3,000	0
	Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0
	other costs	Other Capex		0	0		0	0
	Server costs	Hardware Capex					1,200	(1,200)
Total			20,250	20,800	-550	20,250	22,600	-2,350

3. 計画 vs 2023 年 12 月から 2024 年 6 月までの計画。

			FY23: M12			FY24: M01			FY24: M02			FY24: M03		
	Name	Cost type	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance
	Professional servi...	External labor Capex	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0
	Travel costs	Other Opex	450	450	0	450	450	0	450	450	0	450	450	0
	Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
	Software costs	Software Capex	3,000	3,000	0	3,000	4,000	(1,000)	3,000	4,000	(1,000)	3,000	4,000	(1,000)
	Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	5,000	(1,000)	4,000	5,000	(1,000)	4,000	5,000	(1,000)
	other costs	Other Capex		1,000	(1,000)									
	Server costs	Hardware Capex		1,000	(1,000)									
Total			20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000

注:
列は、前会計期間までの実績コストと現在から将来の会計期間の計画コストの合計である EAC を計算するように定義されます。

コスト計画の追加、編集、または削除

必要な期間のコスト計画を作成して、予定の経費と実際の経費を追跡します。コスト計画を編集して予定経費を調整し、スコープ解除された予測を削除します。

始める前に

必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース 計画立案アイテムを開きます
2. [財務] タブをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

経費明細の追加または編集

経費ラインを作成または編集して、実績コストをキャプチャします。経費ラインをコスト計画に関連付けるか、スタンドアロンの経費ラインを作成して予定外の経費を記録できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

このタスクについて
経費明細は、特定のソースに関連付けることができるプロジェクトコスト計画の一部です。コスト計画に対して複数の経費明細を作成できます。処理済みステータスの経費明細のみが、作業アイテムのロールアップで考慮されます。
どのコスト計画にも関連付けられていない予定外の経費明細については、自動的にコスト計画が作成されるか、同じ経費タイプの既存のシステム生成コスト計画に関連付けられます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース 計画立案アイテムを開きます
2. [財務] タブをクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを使用して、経費明細を追加します。

4. [Expense Line を作成] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[Expense Line を作成] フォーム」を参照してください。
5. [保存] を選択します。

人件費の生成

計画属性ページで構成された財務属性に基づいて、属性ベースのリソースアサインの財務ビューで人件費を生成します。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース をクリックし、計画立案アイテムを選択します。
2. [財務] タブをクリックします。
3. [人件費の生成] (Generate labor cost) を選択します。
4. [人件費を生成] 確認ウィンドウで [生成] を選択します。

> **注:**
> または、 スケジュール設定済みジョブをアクティブ化 して、必要な頻度でベースラインを自動的に作成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドとプロジェクトの財務ベースラインを作成して比較する

財務ベースラインを作成して比較し、プロジェクト経費のスナップショットを取得し、計画コストを実際の経費と比較します。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース をクリックし、計画立案アイテムを選択します。
2. 左側のメニューから [財務] を選択します。
3. ベースラインを作成または比較します。

> **注:**
> スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、財務ベースラインを自動的に作成できます。

財務を **Excel** または **CSV** ファイルとしてエクスポート

計画立案アイテムのコストまたはベースライン比較データをエクスポートして、ステークホルダーと簡単に共有できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース をクリックし、計画立案アイテムを選択します。
2. [財務] タブをクリックします。
3. [エクスポート]オプションを選択します(
4. [エクスポート] サイド パネルで、[ファイルの種類] ボックスの一覧から [**Excel**] または **[CSV**] を選択し、[エクスポート] ボタン (Export) を選択します。

   財務データは、 name_fin_mmddyy 命名規則に従って Excel ファイルまたは CSV ファイルとしてダウンロードされます。命名規則の内訳:

   a. 名前:計画立案アイテムの名前から最初の 10 文字をフェッチします。

   b. fin - ファイルに財務データがあることを示します。

   c. mmddyy:このデータをエクスポートするときのシステム日付形式。
   たとえば、2024 年 1 月 26 日に「ドキュメント」という名前の計画立案アイテムの財務データをダウンロードする場合、ファイル名は documentat_fin_012624 になります。

> **注:**
> 財務データは、コストビューとベースライン比較ビューからエクスポートできます。

ポートフォリオ計画 **Workspace** から **Microsoft PowerPoint** へのポートフォリオ計画ステータスのエクスポート

ポートフォリオ計画の作業アイテムおよび主要測定基準のステータスを PowerPoint ファイルにエクスポートして、ビジネスステークホルダーが最新の進捗状況を常に把握できるようにします。レ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートへのデータのコピーを回避することで時間を節約し、ServiceNow インスタンスにアクセスできないステークホルダーとも連携できるようにすることで、成果の共有を促進します。

始める前に
必要なロール：admin

戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint のインストール。

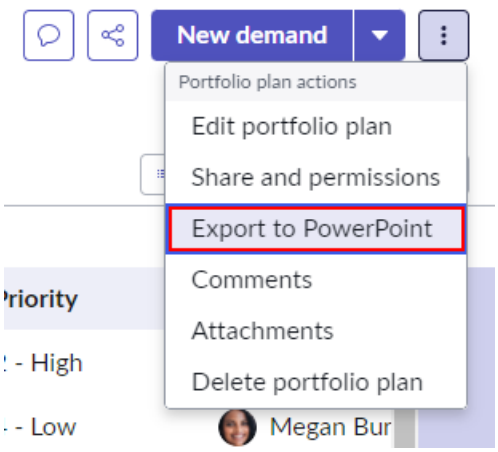
重要:
Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

このタスクについて
ポートフォリオ計画のステータスレポートを生成するために、ポートフォリオ計画ステータステンプレートがデフォルトで提供されています。このテンプレートでは、ランク別に優先順位付けされた上位 5 つのアイテムの個々の詳細スライドを生成します。

事前定義されたテンプレートを更新するか、独自のブランド化されたテンプレートを作成することで、生成されたレポートに表示されるデータのタイプをカスタマイズできます。「Microsoft PowerPoint テンプレートの作成」を参照してください。

手順

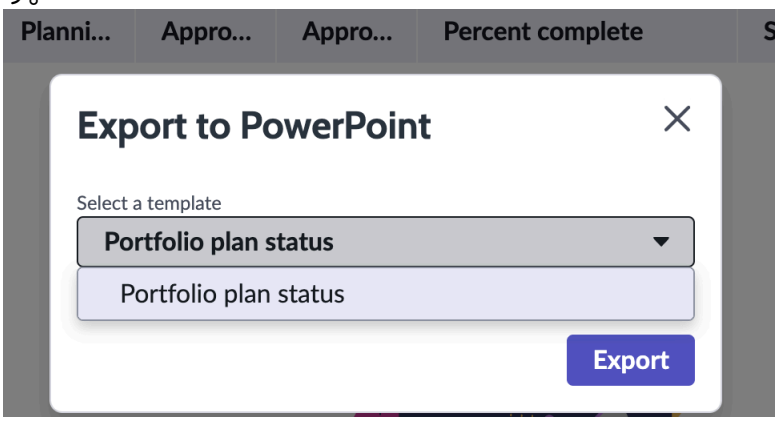
1. 移動先 ワークスペース > ポートフォリオ計画ワークスペース > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のオプションアイコン ( ) を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [ポートフォリオ計画のステータス **(Portfolio plan status)]** を選択し、[エクスポート] を選択します。



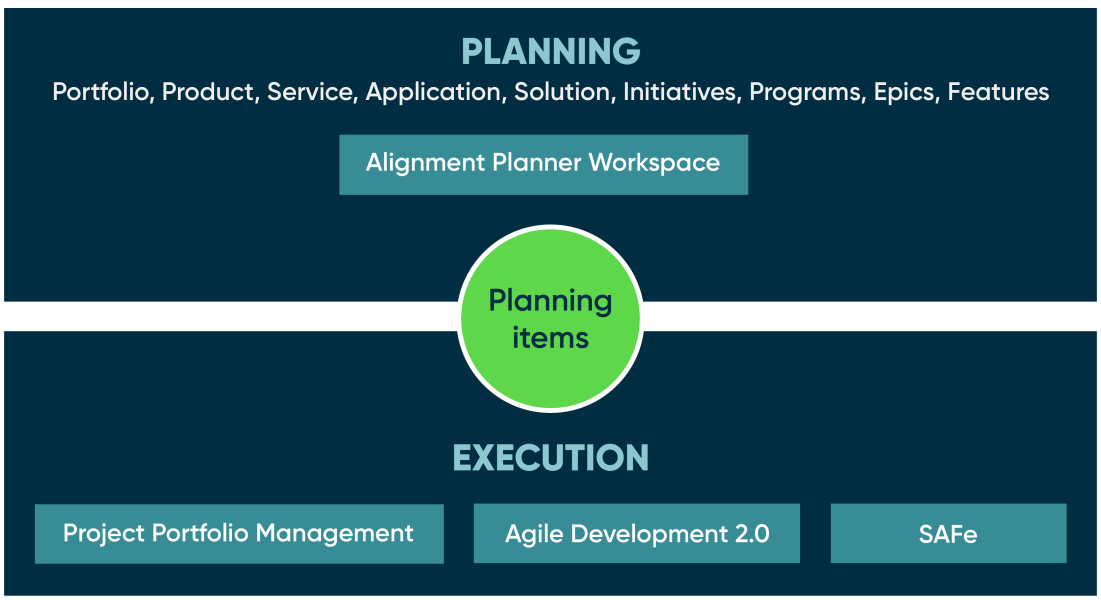
タスクの結果
関連するデータが含まれる PowerPoint ファイルが生成されます。

PPM での ポートフォリオ計画 作業の実行

ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理 アプリケーションの ポートフォリオ計画 で計画された作業がスムーズに実行できるようになります。

ポートフォリオ計画 と PPM の間で計画立案アイテムをインポート、エクスポート、および管理します。

ポートフォリオ計画 と **PPM** の統合



一括インポートの設定

このシステムプロパティを使用すると、ポートフォリオ計画 with PPM の一括インポート機能を更新できます。

始める前に
必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ナビゲーションフィルターに、「sys_properties.list」と入力します。
2. *com.sn_align_cmn_int.bulk_import* を検索します。
3. プロパティ値を次のいずれかのオプションに設定します。
   PPM から ポートフォリオ計画 にレコードがインポートされると、最後のコメントのみがインポートされます。

エラーログの表示

エラーログを表示して、統合プロセス中に発生した可能性のある問題の原因を理解します。

始める前に
必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > ポートフォリオ計画 > 統合.
2. エラーログを表示するには、[統合エラー] タブを選択します。

ポートフォリオ計画 の参照

ユーザーロール、テーブル、ドメイン分離情報など、ポートフォリオ計画 に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

ポートフォリオ計画 とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、ポートフォリオ計画 アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
ポートフォリオ計画 admin [sn_align_core.apw_admin]	ポートフォリオ計画 アプリケーションのすべてのモジュールにアクセスできます。	• it_portfolio_manager • sn_align_core.apw_user • view_changer
ポートフォリオ計画 ユーザー [sn_align_core.apw_user]	ポートフォリオ計画、フリーフォームロードマップ、計画立案アイテムを作成、更新、および削除できます。 このロールは、ポートフォリオマネージャーや製品マネージャー、事業部門リーダー、その他の計画立案ペルソナなどのユーザーに付与できます。	• sn_align_cmn_int.user • sn_milestones.milestone_editor

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
sn_align_core.ap_read_only	• 共有されているポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップを表示できます。 • 共有されているポートフォリオ計画とロードマップにメモ、コメントまたは添付ファイルを追加できます。	sn_milestones.milestone_viewer
マイルストーンエディター [sn_milestones.milestone_editor]	ロードマップ上のマイルストーンを作成、更新、および削除できます。	sn_milestones.milestone_viewer
マイルストーンビューア [sn_milestones.milestone_viewer]	ロードマップにマイルストーンを表示できます。	なし
ビジネスステークホルダー [business_stakeholder]	• ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップを作成および更新できます。 • 共有されているポートフォリオ計画とロードマップにメモ、コメントまたは添付ファイルを追加できます。 • ロードマップをカスタマイズできます。 • [キャパシティ計画立案] 画面で、計画立案アイテムに対して生成されたリソースキャパシティを表示できます。 • プラットフォームビューを使用して目標と関連レコードを表示できます。	• sn_align_core.ap_read_only • sn_align_ws.spw_capacity_read • sn_gf.goal_user_read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
	注: このロールを持つユーザーには、ロードマップアイテムを作成または編集するためのアクセス権がありません。	
ポートフォリオ計画 with PPM ロール		
ポートフォリオ計画 統合ユーザー [sn_align_cmn_int.user]	ポートフォリオ計画と PPM の間で計画立案アイテムをインポート、エクスポート、および管理します。	connection_admin
キャパシティ計画立案ロール		
sn_align_ws.spw_capacity_user	リソースキャパシティの詳細を生成できます。	sn_align_ws.spw_capacity_read
sn_align_ws.spw_capacity_read	リソースキャパシティの詳細を表示できます。	なし
財務計画立案ロール		
sn_align_ws.spw_financial_user	計画立案アイテムのコスト計画と経費明細を作成します。	なし

インストールされるテーブル

テーブル	説明
配置統合 [sn_align_cmn_int_integrations_setup]	ServiceNow インスタンスの統合情報のデータを保存します。
選択マップ sn_align_cmn_int_choice_map	ポートフォリオ計画 の計画立案アイテムのフィールドと PPM 間の選択マップ関係を保存します。
デマンド [sn_align_core_demand]	デマンド計画立案アイテムタイプで作成されたレコードを保存します。
依存関係 [sn_align_core_dependency]	ロードマップアイテム間の依存関係に関するデータを格納します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
フィールドマップ [sn_align_cmn_int_field_map]	ポートフォリオ計画 の計画立案アイテムと PPM 間のフィールドマップ関係を保存します。
インポート要求 [sn_align_cmn_int_import_request]	ポートフォリオ計画 から PPM へのインポート要求を保存します。
インスタンスマッピング [sn_align_cmn_int_instance_mapping]	インスタンス間のマッピング情報を保存します。
統合エラー [sn_align_cmn_int_integration_error]	ポートフォリオ計画 と PPM 間の統合のエラーを保存します、
統合マッピング [sn_align_cmn_int_integration_mapping]	ポートフォリオ計画 と PPM 間の統合マッピングを保存します。
レンズ [sn_align_core_lens]	レンズ構成のデータを保存します。
レンズ構造 [sn_align_core_lens_structure]	レンズエンティティのデータとさまざまなレンズ間でのそれらの関係を保存します。
計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item]	すべての計画立案アイテムタイプのデータを保存します。
ポートフォリオ計画 [sn_align_ws_portfolio_plan]	ポートフォリオ計画のデータを保存します。
プロジェクト [sn_align_core_project]	プロジェクト計画立案アイテムタイプで作成されたレコードを保存します。
ロードマップ構成 [sn_align_ws_roadmap_configuration]	ポートフォリオロードマップとフリーフォームロードマップの作成に使用されるテーブルの構成データを格納します。
テーブルマップ sn_align_cmn_int_table_map	ポートフォリオ計画 の計画立案アイテムと PPM 間のテーブルマッピング関係を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているシステムプロパティ

名前	説明
Portfolio Planning with PPM	
com.sn_align_cmn_int.bulk_import	• タイプ：選択リスト • デフォルト値：INSERT • 他の可能な値： ○ 挿入 ○ <値 2 名>： • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る： 一括インポートの設定

ドメイン分離と ポートフォリオ計画

ポートフォリオ計画 ではドメイン分離がサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

さまざまなドメインで、レンズ、ポートフォリオ計画、計画立案アイテム、およびロードマップを作成できます。

ポートフォリオ計画におけるドメイン分離の仕組み

ServiceNow インスタンスでドメイン分離を有効にした後、ポートフォリオ計画 のデータは自動的にドメイン分離されます。つまり、さまざまなドメインの計画階層、計画立案アイテム、および計画組織のデータは、これらのドメインにアクセスできるユーザーにのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ計画 のドメイン分離テーブル

ポートフォリオ計画 でインストールされるすべてのテーブルは、ドメイン分離をサポートしています。テーブルの完全なリストについては、「ポートフォリオ計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

ポートフォリオ計画 での計画立案アイテムの並べ替えエラー

ポートフォリオ計画 ワークスペースの優先順位付けのリストビューでアイテムの並べ替えに失敗するシナリオを確認してください。

ポートフォリオ計画の作業パイプライン内の計画立案アイテムのランクを更新するために、[優先順位付け] ページのリストビューからアイテムを並べ替えることができます。その際、ランキング構成のエラーが原因で並べ替えが失敗する可能性があります。計画立案アイテムの並べ替えが失敗する可能性があるシナリオは次のとおりです。

シナリオ 1：Global ranking プラグインがアクティブでない

ServiceNow インスタンスで Global Ranking Application プラグイン (com.snc.sdlc.ranking) がアクティブかどうかを確認します。アクティブでない場合は、管理者に連絡してアクティブにしてください。

シナリオ 2：計画立案アイテムにランク構成がない

並べ替えしているすべての計画立案アイテムにランク構成があるかどうかを確認します。ない場合は、管理者に連絡して、これらの計画立案アイテムタイプのランク構成を更新してください。

シナリオ 3：ターゲット行にグローバルランクがない

並べ替えるターゲット位置の前または後の計画立案アイテムにグローバルランクがあるかどうかを確認します。ない場合は、システム管理者に連絡してグローバルランクを生成してください。

関連情報

ポートフォリオ計画 ワークスペースでの計画立案アイテムのランク付け

ポートフォリオ計画 **Workspace** のアイテムマイルストーンエラー

ポートフォリオ計画ロードマップまたはフリーフォームロードマップにおける計画立案アイテムのマイルストーンが ポートフォリオ計画 Workspace でエラーステータスになることがある場合のシナリオを説明します。

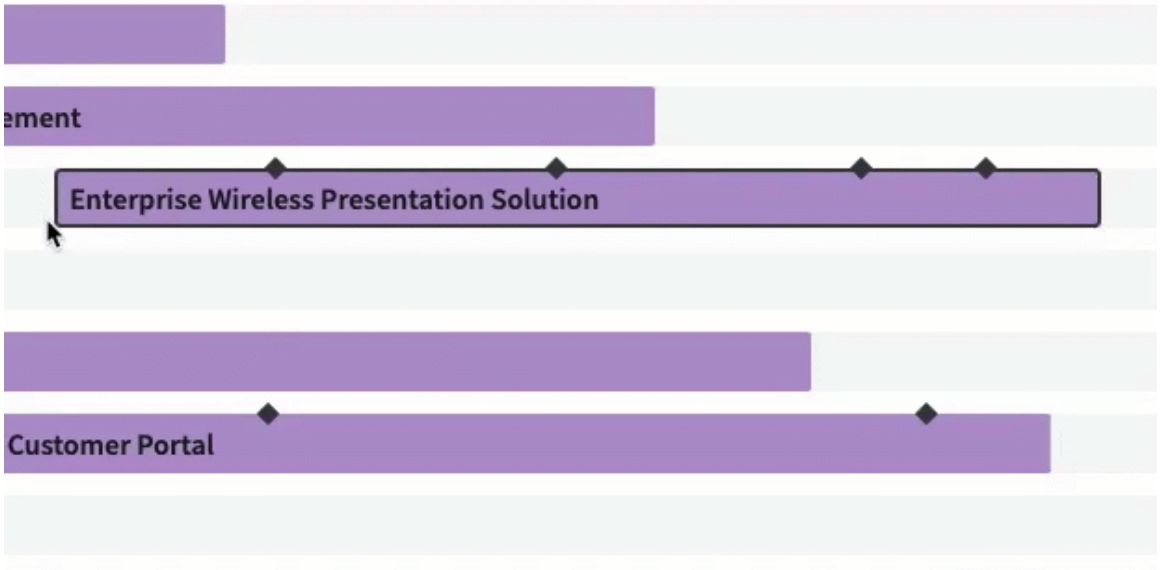
既存の計画立案アイテムを再スケジュールすると、アイテムのマイルストーンがアイテムの承認された開始日または終了日から外れる場合があります。

ロードマップで計画立案アイテムを再スケジュールしても、マイルストーンの期日は変更されません。そのため、マイルストーンの期日がアイテムの日付範囲外である場合、その範囲外のマイルストーンのインジーターは非表示になり、エラーステータスに移行

自動翻訳

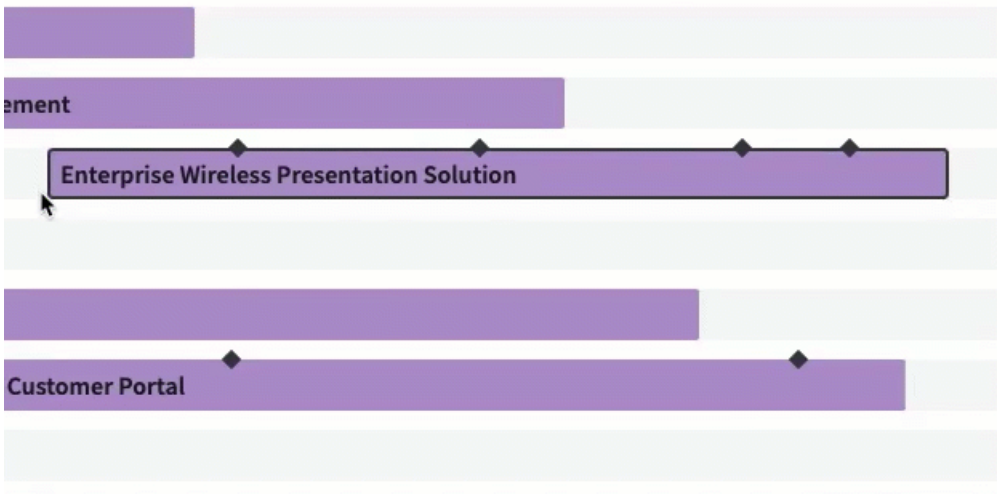
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

します。まだアイテムの日付範囲内にあるマイルストーンのインジケーターが表示されま



す。

アイテムのスケジュールと同期していないマイルストーンは、サイドパネルの [マイルストーン] タブから表示できます。サイドパネルから、計画の変更を反映するようにマイルストーンの期日を編集および調整できます。「戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムマイルストーンを更新」を参照してくださ



い。

注:
ロードマップビューからプロジェクトマイルストーンを更新することはできません。プロジェクトマイルストーンを更新すると、関連付けられているプロジェクトのコストとリソース計画に影響を与える可能性があります。そのため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のプロジェクトワークスペースを使用して、プロジェクトマイルストーンを更新することをお勧めします。

ポートフォリオ計画 **Workspace** のアイテム依存関係エラー

ポートフォリオ計画 Workspace のポートフォリオ計画ロードマップまたはフリーフォームロードマップにおける計画立案アイテムの依存関係がエラーステータスになることがある場合のシナリオを説明します。

アイテム間のスケジュールが競合している場合は、2 つの計画立案アイテム間の依存関係がエラーになることがあります。線形の依存関係 (線形依存性) では、一方のアイテムの作業を開始するにはもう一方のアイテムの作業を完了する必要があるというように、アイテムがスケジュールされます。

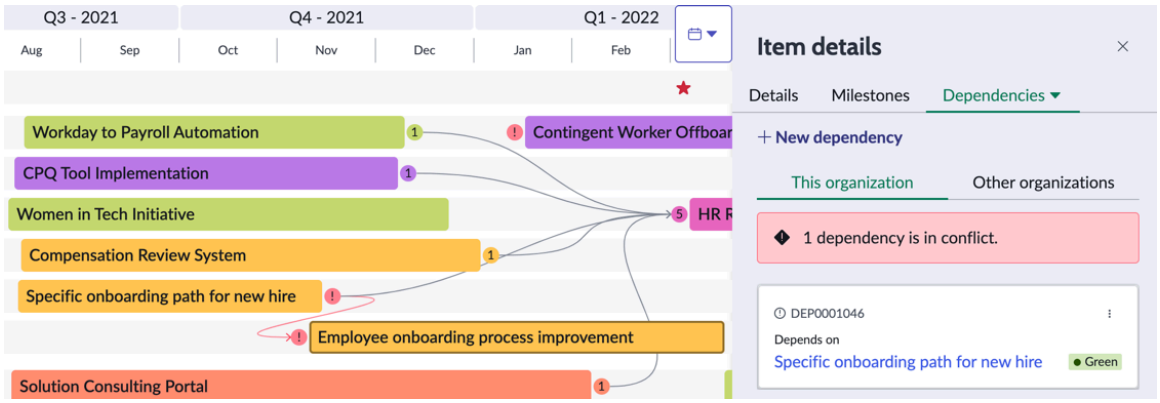
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
エラーステータスは、計画立案アイテムの関係タイプが [依存] になっている場合にのみ表示されます。

ここで示されているサンプルロードマップの場合、従業員のオンボーディングプロセスの改善での作業の開始は、新規雇用に関する特定のオンボーディングパスの完了に依存しています。こうした関係が、線形の依存関係と見なされます。この場合、従業員のオンボーディングプロセスの改善は、新規雇用に関する特定のオンボーディングパスの終了日より前に開始するようにスケジュール設定されています。このような競合がある場合、ロードマップではエラーアイコン ( ) とともに表示され、[アイテムの詳細] サイドパネルの [依存関係] タブにも表示されるようになっています。

このようなエラーを解消するには、計画立案アイテムのスコープを確認し、開始日や終了日を更新してスケジュールを適宜調整する必要があります。



関連情報

ポートフォリオ計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加

ポートフォリオ計画 でロードマップアイテムの依存関係を更新

ポートフォリオ計画 **with PPM** の管理

ポートフォリオ計画 が、これらのガイドラインに従って、Project Portfolio Management (PPM) と適切に統合されていることを確認します。

- レコードが連動された後は、テーブルマップのフィルター条件を変更しないでください。既に連動されたレコードは新しいフィルター条件と一致しない可能性があり、フィルター条件を変更するとデータ不整合が発生する可能性があります。フィルター条件を変更する必要がある場合は、データの不整合の問題を回避するために、連動されたレコードの関連属性を必ず手動で更新してください。
- テーブルマップを作成するときは常に、関連するフィールドマップと選択マップも設定されていることを確認してください。
- テーブルマップのインポートジョブが実行中 (処理中) のときは、テーブルマップまたはそのフィールドマップを変更しないでください。
- 計画立案アイテムフォームの [変換先] フィールドを使用して、変換元の元のレコードを特定できます。
- 参照または Glide リストのフィールドタイプのフィールドマップを作成する間、実行テーブルと配置テーブルが 2 つの異なるテーブルを参照しているときは常に [ルックアップ] フィールドと [ルックアップ] 列の値が追加されていることを確認してください。
- データ同期に失敗した場合は、次のことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- その配置統合レコード内の [統合エラーログ] 関連リスト。
- [配置テーブルフィルター] (インポート用) および [実行テーブルフィルター] (エクスポート用) の条件が満たされていること。
- 配置統合とテーブルマップの両方で [アクティブ] フラグがチェックされていること。
- 各テーブルマップに適切なフィールドと選択肢が設定されていること。

- [実行 **URL]** フィールドを表示する場合は、計画立案アイテムレコードを構成して表示します。
- 同期された計画立案アイテムの [実行 URL] フィールドが空白の場合は、次の場所に移動します。ポートフォリオ計画 > 統合 をクリックし、[計画立案アイテムの実行 **URL** を修正] をクリックします。このアクションでは、実行 URL フィールドを作成して更新します。
- プロジェクト、デマンド、およびエピックテーブルマップに [主要目標] フィールドが導入され、配置テーブルと実行テーブルの間の [目標] フィールドの統合がサポートされています。
- プロジェクトをインポートまたはエクスポートしようとしている場合は、(そのプロジェクトの一部である) デマンドが同期されていることを確認してください。
- 任意の実行テーブルのテーブルマップを作成できます。展開されたテーブル (rm_epic、dmn_demand、pm_project) のいずれかからテーブルマップが作成されていない場合、またはテーブルマップから拡張されていない場合は、テーブルマップレコードのインターフェイスをサポートするビジネスルールを作成する必要があります。ビジネスルールの作成に関する詳細については、「カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成」を参照してください。

ポートフォリオ計画 のフォームフィールドの情報

ポートフォリオ計画 アプリケーションで使用されるフォームのフィールド情報。

アクションのアサインフォーム

アクションのアサインフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、[APW リストメニュー構成] ページに [新規 アクション] ボタンを追加します。

[目標] フォーム

フィールド	説明
アクションラベル	アクションラベルの名前。「新規」と入力します。
アクション名	アクションの名前。create-new-uxf と入力します。
実装方法	アクションの実装。[**UXF** クライアントアクション] を選択します。
テーブル	アクションが作成されるテーブルの名前。[**sys_ux_list_menu_config**] を選択します。
クライアントアクションを指定	クライアントアクション。[**Create New Record]** を検索して選択します。
ビュー	アクションボタンが表示されるフォームのビュー。

選択マップフォーム

選択マップフォームのフィールドについて理解します。このフォームを使用して、選択マップを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択マップフォーム

フィールド	説明
実行テーブル列	マッピングする必要がある、選択した実行テーブルのフィールド列。このフィールドの値は、フィールドマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
実行の選択	選択した実行テーブルコラムフィールドの選択フィールド値を選択します。
配置テーブル列	マッピングする必要がある、選択した配置テーブルのフィールド列。このフィールドの値は、フィールドマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
配置の選択	選択した配置テーブルコラムフィールドの選択フィールド値を選択します。

[コスト計画を作成] フォーム

このフォームを使用して、計画立案アイテムのコスト計画を作成します。

[コスト計画を作成] フォーム

フィールド	説明
名前	コスト計画の名前。
原価費目	コスト計画の原価費目。 リストから原価費目のフォームを選択します。 **注:** 選択した原価費目に基づいて、[ロール] フィールドと [製品モデル] フィールドが表示されます。
ロール	コスト計画を経費計上するロールの名前。
製品モデル	コスト計画を経費計上するハードウェア支出のモデル名。 コスト計画を経費計上するモデルをリストから選択します。
会計期間の開始	コスト計画の会計期間の開始月。
会計期間の終了	コスト計画の会計期間の終了月。
コストの配賦基準	単位値のコスト配分。 このリストから値を選択します。 • 総コスト：選択した会計期間の単位コスト値を等分します。 • 会計期間：選択した会計期間の各月の繰り返し単位コスト値。
入力通貨 (Entered currency)	単位コスト値をキャプチャする通貨値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コスト計画を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
単位コスト	コスト計画の予想コスト。
数量	コスト計画の数量。
合計計画コスト	コスト計画の合計計画コスト値。

[Expense Line を作成] フォーム

このフォームを使用して、実際の経費の経費明細を作成します。

[Expense Line を作成] フォーム

フィールド	説明
番号	経費明細の自動生成番号。
総計	発生した経費。
簡単な説明	経費の簡単な説明を入力します。 経費明細を識別するための一意で具体的な詳細を記載します。
日付	経費が発生した日付。
処理日	経費の処理日。
コスト計画	経費明細を記録するための関連コスト計画名。
原価費目	経費の原価費目。 デフォルトでは、コスト計画の原価費目が選択されています。
ステータス	経費ラインのステータス。 処理済みの経費明細のみが投資エンティティに考慮されます。
経費タイプ	経費タイプ (内部または外部) を定義します。 デフォルトでは、経費タイプは [原価費目] フィールドエントリから考慮されます。
レートカード	レートカードの名前。
サマリータイプ	経費明細のビジネス目的。

依存関係フォーム

依存関係フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画のロードマップにおける計画立案アイテム間の依存関係を追加したり確立したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係フォーム

フィールド	説明
計画立案アイテム	依存関係を作成するためにロードマップから選択した計画立案アイテム。これを後続のアイテムと見なします。 このフィールドは、選択内容に基づいて自動的に入力されます。
関係性タイプ	次のいずれかを選択します。 • 依存：一方のアイテムの作業開始が、もう一方のアイテムの作業終了に依存しています。この依存関係は、線形関係と見なされます。 • 関連：2 つのアイテムの作業は互いに関連していますが、互いの作業完了においては、厳密な依存関係がありません。この依存関係は、非線形関係と見なされます。
計画立案アイテム	必要な計画立案アイテム。これを先行アイテムと見なします。
番号	システムで生成された依存関係の一意の識別番号。

フィールドマップフォーム

フィールドマップフォームのフィールドについて理解します。このフォームは、対応するテーブルマップのマッピングを作成するために使用されます。

フィールドマップフォーム

フィールド	説明
実行テーブル	戦略的計画 のテーブルとマッピングする必要がある Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブル。このフィールドの値は、テーブルマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
実行テーブル列	マッピングする必要がある、選択した実行テーブルのフィールド列。
配置テーブル	Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブルとマッピングする必要がある 戦略的計画 のテーブル。このフィールドの値は、テーブルマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
配置テーブル列	マッピングする必要がある、選択した配置テーブルのフィールド列。
フロータイプ	マッピングを配置から実行、実行から配置、またはその両方で行うかどうかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドマップフォーム (続く)

フィールド	説明
	ここで、配置は 戦略的計画 を意味し、実行は PPM、Agile Development 2.0、および SAFe アプリケーションを意味します。

デマンド計画立案アイテムフォーム

デマンドフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画でデマンドタイプの計画立案アイテムの詳細を作成または編集します。

これらのフィールドは、計画立案アイテムの [完全な詳細] ページに表示されます。

デマンド計画立案アイテムフォーム

フィールド	説明
デマンド	
名前	計画立案アイテムの簡単な説明
説明	計画立案アイテムの詳細情報
ステータス	計画立案アイテムに関する現在の進捗状況
所有者	この計画立案アイテムにアサインされたユーザー
[計画] ステータス	戦略的計画 バックログの計画立案アイテムに関する進捗状況。
カテゴリ	この計画立案アイテムのカテゴリ。[戦略的] または [稼働] から選択
主要目標	主要目標としてこの計画立案アイテムに関連付けられている目標
作業メモ	作業の進行に伴う計画立案アイテムの更新や検討を記録するためのメモ
戦略的優先事項	この計画立案アイテムが関連付けられている戦略的優先度
日付	
承認された開始日	この計画立案アイテムにおいて承認された開始日
承認された終了日	この計画立案アイテムにおいて承認された終了日
開始予定日	この計画立案アイテムの作業開始予定日。この値は、[承認された開始日] フィールドからコピーされます。
終了予定日	この計画立案アイテムの作業完了予定日。この値は、[承認された終了日] フィールドからコピーされます。
詳細	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
このセクションでは、投資タイプ、実行タイプ、影響を受けるビジネスアプリケーションなど、この計画立案アイテムに関する付加的な詳細情報を取得します。	
投資クラス	[実行] と [変更]から選択
投資タイプ	この計画立案アイテムの投資タイプ。たとえば、このアイテムの作業完了により製品のユーザーエクスペリエンスが向上する場合、[エンドユーザーエクスペリエンス] を選択します。
優先度	この計画立案アイテムの優先度
ビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムが関連するビジネスアプリケーション
影響を受けるその他のビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムにより影響を受けるビジネスアプリケーション
ビジネス機能	この計画立案アイテムのビジネス機能
ビジネスケース	
このセクションでは、計画立案アイテムのリスク、スコープ、ブロッカーなど、この計画立案アイテムにおけるビジネスの詳細情報を取得します。	
ビジネスケース	この計画立案アイテムに投資するビジネスケース
実行リスク	この計画立案アイテムの作業が完了した場合のビジネス上のリスク
不実行リスク	この計画立案アイテムの作業が未完了の場合のビジネス上のリスク
実現要因	
障害	この計画立案アイテムに対するブロッカー (もしある場合)
スコープの範囲内	この計画立案アイテムの定義された基準
スコープの範囲外	この計画立案アイテムでは不要な、明確に定義された基準
仮定	この計画立案アイテムで作業するための前提 (もしある場合)
財務管理	
このセクションでは、コスト、投資、経費、利益、ROI、その他の推定など、この計画立案アイテムに関する財務的な詳細情報を取得します。	
予定コスト	この計画立案アイテムにかかる計画コスト
計画投資	この計画立案アイテムに対する計画資本的支出
計画経費	この計画立案アイテムに対する計画運用支出
計画 ROI	この計画立案アイテムの計画投資利益率
収支	この計画立案アイテムの収支
計画利益	この計画立案アイテムによる計画利益

自動翻訳

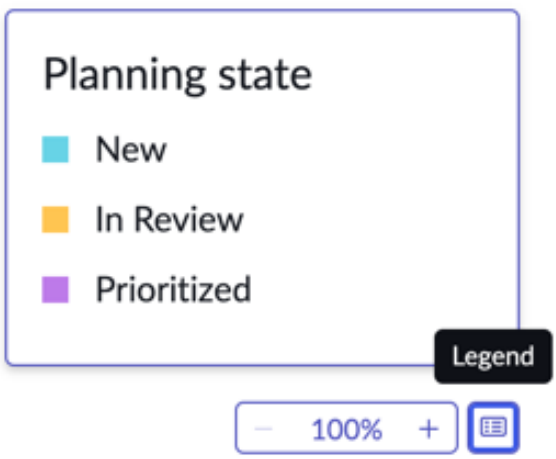
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
アセスメントデータ	
影響	この計画立案アイテムがビジネスに与える影響
リスク	この計画立案アイテムに関連するリスクに関する数値
値	この計画立案アイテムにより得られる値に関する数値
スコア	

ハイライト表示される値の条件フォーム

ハイライト表示される値の条件フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 ワークスペースでハイライト表示されたフィールドの表示を設定します。

フィールド	説明
条件	フィールド値の条件。 たとえば、ステータスが緑だとします。
色	指定された条件を満たすフィールド値の色。
アプリケーション	ServiceNow インスタンスのスコープ。デフォルトでは、このフィールドは **[Portfolio Planning]** に設定されています。
順番	[優先順位付け] ページの階層ビューにある凡例でこの色が表示される順番。 たとえば、[計画ステータス] 列の場合、値 [新規] には順序 1 が指定されます。 
アイコンを表示	フィールド値の横にアイコンを表示するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アイコン	フィールド値の横に表示されるアイコン。このフィールドは、[アイコンを表示] フィールドが選択されている場合にのみ表示されます。

ハイライト表示される値フォーム

ハイライト表示される値フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 ワークスペースのポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページでハイライト表示されるフィールドをカスタマイズします。

フィールド	説明
テーブル	ハイライト表示された列を含むテーブル。「**sn_align_core_planning_item**」と入力します。
アプリケーション	ServiceNow インスタンスのスコープ。デフォルトでは、このフィールドは **[Portfolio Planning]** に設定されています。
フィールド	ワークスペースでハイライト表示されているテーブルの列。

レンズフォーム

レンズフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 にレンズを作成します。

レンズフォーム

フィールド	説明
名前	レンズの名前
有効	レンズがアクティブかどうかを示します。
説明	レンズの簡潔な説明。 このレンズのビジネス目的と、このレンズを使用する計画マネージャーを指定できます。
計画立案アイテム	このレンズを使用して計画できる作業のタイプ。 目的の計画立案アイテムを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

レンズ構造フォーム

レンズ構造フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 アプリケーションのレンズの構造を定義します。

レンズ構造フォーム

フィールド	説明
エンティティ	レンズエンティティのソーステーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レンズ構造フォーム (続く)

フィールド	説明
	エンティティは、レンズの視点での計画レベルを表します。 このレンズの視点から計画ペルソナに関連するエンティティを選択します。たとえば、部門、製品モデル、ビジネス目標です。
エンティティフィルター	エンティティソースからデータをフィルターするための条件。 フィルターされたデータは、選択および計画する計画ペルソナのワークスペースに表示されます。
最上位エンティティ	このエンティティがレンズ構造のトップレベルエンティティであるかどうかを示します。
親エンティティ	現在のレンズ構造でこのエンティティの 1 レベル上にあるエンティティ。 このフィールドは、[最上位エンティティ] フィールドが選択されていない場合にのみ使用できます。
親エンティティへの参照	親エンティティテーブルを参照する現在のエンティティテーブルの列。 例： • エンティティ：戦略的プログラム **[sn_align_core_program]** • 親エンティティ：部門 **[cmn_department]** この場合、部門 [cmn_Department] テーブルを参照する戦略的プログラム [sn_align_core_program] テーブルのフィールドは [部門] になります。 このフィールドは、[最上位エンティティ] フィールドが選択されていない場合にのみ使用できます。

関連情報

ポートフォリオ計画 のレンズ構造の変更

リスト適用性フォーム

リスト適用性フォームのフィールド情報について説明します。この情報を使用して、ポートフォリオ計画 ワークスペースの新しく作成されたリストの対象者を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスト	対象者を定義するリストの名前。
アプリケーション	デフォルトでは、このフィールドは **[Portfolio Planning]** に設定されています。
適用	このリストの対象者。 このフィールドを **[Alignment Workspace ホーム対象者 (Alignment Workspace Home Audience)]**に設定します。
有効	この適用性をリストに有効にするオプション。

計画立案アイテムのマイルストーンフォーム

計画立案アイテムのマイルストーンフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 のロードマップに計画立案アイテムのマイルストーンを作成します。

フィールド	説明
名前	マイルストーンに使用したい名前。
タイプ	マイルストーンタイプ。次のいずれかを選択します。 • 期限 • 主要マイルストーン • 重要なイベント • 開始の日付 • 重要な日付
期日	マイルストーンの日付。
ステータス	マイルストーンのステータス。次のいずれかを選択します。 • 予定 • 欠落 • 達成
担当者	マイルストーンにアサインされているユーザー。
説明	マイルストーンに関する簡単な説明。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム

プロジェクトフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 でプロジェクトタイプの計画立案アイテムの詳細を作成または編集します。

これらのフィールドは、計画立案アイテムの [完全な詳細] ページに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム

フィールド	説明
プロジェクト	
名前	計画立案アイテムの簡単な説明
説明	計画立案アイテムの詳細情報
ステータス	計画立案アイテムのステータス
所有者	この計画立案アイテムにアサインされたユーザー
ステータス	計画立案アイテムに関する現在の進捗状況
完了率 (%)	この計画立案アイテムにおける作業完了率
[計画] ステータス	戦略的計画 または ポートフォリオ計画 バックログの計画立案アイテムに関する進捗状況
主要目標	主要目標としてこの計画立案アイテムに関連付けられている目標
作業メモ	作業の進行に伴う計画立案アイテムの更新や検討を記録するためのメモ
戦略的優先事項	この計画立案アイテムが関連している戦略的優先度。
日付	
開始予定日	この計画立案アイテムの作業開始予定日。この値は、[承認された開始日] フィールドからコピーされます。
終了予定日	この計画立案アイテムの作業完了予定日。この値は、[承認された終了日] フィールドからコピーされます。
承認された開始日	この計画立案アイテムにおいて承認された開始日
承認された終了日	この計画立案アイテムにおいて承認された終了日
実開始日	この計画立案アイテムの作業が開始された実際の日付
終了実績日時	この計画立案アイテムの作業が完了した実際の日付
詳細	
このセクションでは、投資タイプ、計画立案アイテムのフェーズ、実行タイプ、影響を受けるビジネスアプリケーションなど、この計画立案アイテムに関する付加的な詳細情報を取得します。	
投資クラス	この計画立案アイテムの投資クラス。[実行] と [変更]から選択
投資タイプ	この計画立案アイテムの投資タイプ。たとえば、このアイテムの作業完了により製品のユーザーエクスペリエンスが向上する場合、[エンドユーザーエクスペリエンス] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
デマンド	この計画立案アイテムが関連付けられているデマンド
実行タイプ	この計画立案アイテムの実行方法論[ウォーターフォール]、[アジャイル]、[ハイブリッド] から選択します。 このフィールドは、計画立案アイテムタイプがプロジェクトである場合にのみ使用できます。
優先度	この計画立案アイテムの優先度
フェーズ	この計画立案アイテムのフェーズ。 このフィールドは、計画立案アイテムタイプがプロジェクトである場合にのみ使用できます。
ビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムが関連するビジネスアプリケーション
影響を受けるその他のビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムにより影響を受けるビジネスアプリケーション
ビジネス機能	この計画立案アイテムのビジネス機能
ビジネスケース	
このセクションでは、計画立案アイテムのリスク、スコープ、ブロッカーなど、この計画立案アイテムにおけるビジネスの詳細情報を取得します。	
ビジネスケース	この計画立案アイテムに投資するビジネスケース
実行リスク	この計画立案アイテムの作業が完了した場合のビジネス上のリスク
不実行リスク	この計画立案アイテムの作業が未完了の場合のビジネス上のリスク
実現要因	このプロジェクトの実現要因
障害	この計画立案アイテムに対するブロッカー (もしある場合)
スコープの範囲内	この計画立案アイテムの定義された基準
スコープの範囲外	この計画立案アイテムでは不要な、明確に定義された基準
仮定	この計画立案アイテムで作業するための前提 (もしある場合)
財務管理	
このセクションでは、コスト、投資、経費、利益、ROI、その他の推定など、この計画立案アイテムに関する財務的な詳細情報を取得します。	
予定コスト	この計画立案アイテムにかかる計画コスト
計画投資	この計画立案アイテムに対する計画資本的支出

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
計画経費	この計画立案アイテムに対する計画運用支出
計画利益	この計画立案アイテムによる計画利益
実績利益	この計画立案アイテムにより達成された実績利益
ETC	この計画立案アイテムの作業を完了するためにかかる推定コスト
実績コスト	この計画立案アイテムの実績コスト
実績投資	この計画立案アイテムに対する実際の資本的支出額
実績経費	この計画立案アイテムに対する実際の運用経費
計画 ROI	この計画立案アイテムの計画投資利益率
予定リターン	この計画立案アイテムの収支
完了時の推定 (EAC)	この計画立案アイテムの作業完了時点での推定コスト。

ロードマップ構成フォーム

ロードマップ構成フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ロードマップ設定に新しいテーブルを追加し、ポートフォリオ計画 にてその詳細を構成します。

ロードマップ構成フォーム

フィールド	説明
ソーステーブル	ロードマップを構築するために使用するテーブル。
開始日フィールド	ロードマップアイテムの開始日に使用されるフィールド。 例：[開始予定日]。
終了日フィールド	ロードマップアイテムの終了日に使用されるフィールド。 例：[終了予定日]。
アイテム名フィールド	ロードマップアイテムの名前に使用されるフィールド。 例：[簡単な説明]。
アイテムオーナーフィールド	ロードマップアイテムのオーナーに使用されるフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロードマップ構成フォーム (続く)

フィールド	説明
	例：[担当者]。
ステータス	ロードマップアイテムの名前に使用されるフィールド。
完了率 (%)	ロードマップアイテムの完了を追跡するために使用されるフィールド。 このフィールド値は、追跡モードでロードマップアイテムの進捗状況を視覚化するために使用されます。
フィールド別のグループ	ロードマップアイテムをグループに分類できるフィールドのリスト。 たとえば、[ステータス] 属性を使用して、アイテムを [ドラフト]、[準備完了]、[対応中] などのステータスグループに分類できます。
フィールド別の色	ロードマップアイテムを色で分類できるフィールドのリスト。 たとえば、[計画立案アイテムタイプ] 属性を使用して、特定のタイプに属するアイテムの各グループに一意の色を割り当てることができます。
測定基準フィールド	ロードマップアイテムの測定基準として使用されるフィールドのリスト。 たとえば、[計画利益] や [実績コスト] などです。 これらの値は、ロードマップアイテムにマウスカーソルを合わせると表示されます。

テーブルマップフォーム

テーブルマップフォームのフィールドについて理解します。このフォームを使用して、Agile Development 2.0、SAFe、PPM と統合するレコードに新しいカスタムテーブルマップを作成します。

テーブルマップフォーム

フィールド	説明
配置統合	配置統合タイプを指定します。デフォルトでは、値は **[ServiceNow** 内部] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルマップフォーム (続く)

フィールド	説明
実行テーブル	戦略的計画 のテーブルとマッピングする必要がある Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブル。例：欠陥 [rm_defect]。
配置テーブル	Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブルとマッピングする必要がある 戦略的計画 のテーブル。例：マイルストーン [sn_milestones_milestone]。
マイルストーンテーブルマップ	このフィールドは、プロジェクト [pm_project] テーブルマップにのみ関連します。これは、Project Portfolio Management ワークスペースから 戦略的計画 にプロジェクトのマイルストーンを統合するための新しいマイルストーンテーブルマップ (sn_milestones_milestone) への参照です。他のすべてのテーブルマップでは、[マイルストーンテーブルマップ] フィールドは使用できません。
実行テーブルフィルター	PPM、Agile Development 2.0、または SAFe から関連レコードを取得するためのフィルター条件。たとえば、[ポートフォリオ] が [HR] である、[アクティブ] が [True] である、などです。
配置テーブルフィルター	戦略的計画 から関連レコードを取得するためのフィルター条件。
アクティブフラグ	テーブルマップ同期がアクティブであることを確認します。このフィールドはデフォルトでオンになっています。
添付ファイルを同期する	添付ファイルがアプリケーション間で同期されていることを確認します。このフィールドはデフォルトでオンになっています。

ロードマップのマイルストーンフォーム

ロードマップのマイルストーンフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 にロードマップのタイムラインに関するマイルストーンを作成します。

フィールド	説明
名前	マイルストーンに使用したい名前。
タイプ	マイルストーンタイプ。次のいずれかから選択します。 • 重要なイベント • 開始の日付 • 重要な日付 • 期限 • 主要マイルストーン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期日	マイルストーンの日付。
担当者	マイルストーンにアサインされているユーザー。

プロジェクトおよびデマンドの人件費を生成するためのスクリプトの実行を予定フォーム

[スクリプトの実行を予定] フォームを使用して、プロジェクトおよびデマンドの人件費生成スケジューラージョブを有効にします。

スケジュールアイテムフォーム

フィールド	説明
名前	このスケジュール設定済みジョブを識別する名前
アクティブ	スケジュール設定済みジョブがアクティブであり、指定された日時に実行する必要があることを示すオプション
実行	スケジュール設定済みジョブの実行に使用する時間間隔： • 日次：指定された時刻に毎日実行されます。 • 週次：指定された時刻と曜日に、毎週実行されます。 • 月次：指定された日の時刻に、毎月実行されます。 • 定期的：指定した繰り返し間隔で実行されます。 • **1**回：1 回のみ実行されます。 • オンデマンド：オンデマンドですぐに実行されます。 • ビジネスカレンダー：エントリ開始：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール設定済みジョブが実行されます。 たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール設定済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 • ビジネスカレンダー：エントリ終了：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカレンダー：エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** [ビジネスカレンダー：エントリ開始 **(Business Calendar: Entry Start)]** または [ビジネスカレンダー：エントリ終了 **(Business Calendar: Entry End)]** を選択すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュールを設定できます。詳細については、[オフセットタイプ **(Offset Type)]** フィールドと [オフセット **(Offset)]** フィールドを参照してください。 ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「Creating business calendars」および「Define business calendar entries」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
タイムゾーン	スケジュール設定済みジョブの実行時間を指定するときに [時間] フィールドエントリで使用するタイムゾーン。タイムゾーンエントリを次のように選択します。 • なし：スケジュール設定済みジョブを作成しているログインユーザーのデフォルトのタイムゾーンを使用します。 たとえば、ユーザーのアサインされたタイムゾーンが米国太平洋標準時であり、[時間] フィールドに 16:45 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国太平洋標準時の午後 4 時 45 分に実行されます。 • システムのタイムゾーンを使用：実行するインスタンスに指定されたデフォルトのシステムタイムゾーンを使用します。 たとえば、インスタンスのデフォルトのシステムタイムゾーンがヨーロッパ/ロンドンであり、[時間] フィールドに 22:15 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブはロンドン時間の午後 10 時 15 分に実行されます。 • 実際のタイムゾーン。 たとえば、[米国/東部] を選択し、[時間] フィールドに 13:30 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国東部標準時の午後 1 時 30 分に実行されます。
日	スケジュール設定済みジョブを実行する日。 • [実行] が [週次] の場合は、曜日を選択します。たとえば、水曜日を選択します。 • [実行] が [月次] に設定されている場合は、月の日を選択します。たとえば、毎月 25 日の場合、25 を選択します。 このフィールドは、[実行] フィールドで [月次] または [週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し間隔	スケジュール設定された各ジョブ実行の繰り返し間隔の期間。期間を日数、時間数、または分数で入力します。例： • 4 日ごとにスケジュール設定済みジョブを実行するには、[日数] フィールドに「04」と入力します。 • 26 時間ごとに実行するには、[時間] フィールドに「26」と入力します。 • 13:30:25 の間隔で繰り返す必要がある場合は、[時間] フィールドに「13」と入力し、その後のラベルのない 2 つのフィールドに「30」と「25」を入力します。 これらのフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** この設定では、夏時間の変更は考慮されません。たとえば、期間に 1 日を選択した場合、計算によりジョブの開始時間が 24 時間追加されます。開始時間が夏時間 (DST) の期間であり、そのタイムゾーンが DST でない場合、ジョブは 1 時間オフセットされて実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
ビジネスカレンダー	スケジュール設定済みジョブに対するビジネスカレンダーの開始日または終了日を決定するために使用しているビジネスカレンダーエントリ。このフィールドは、[時間] フィールドで [ビジネスエントリ：開始日 **(Business Entry: Start Date)]** または [ビジネスエントリ：終了日 **(Business Entry: End Date)]** を選択した場合にのみ表示されます。
オフセットタイプ (Offset Type)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットのタイプ (存在する場合)。 • 過去 **(Past)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの開始前に実行するジョブをスケジュール設定します。 • 将来 **(Future)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの終了後に実行するジョブをスケジュール設定します。 • なし：このジョブのスケジュール設定に時間オフセットを適用しません。 オフセット係数を追加すると、次のユースケースに対するビジネスカレンダーで定義された正式な時間スパンの前または後にジョブの実行をスケジュール設定できます。 • 選択したビジネスカレンダーの時間スパン外である特定の時間にジョブをスケジュール設定します。 • 選択したビジネスカレンダーの時間スパンに沿って複数のジョブを順番に実行するように調整します。 [オフセットタイプ] フィールドと [オフセット] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセット (OffSet)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットの量 (日、時間、分、秒)。たとえば、ビジネスカレンダーの開始日よりも 3 日、14 時間、10 分、45 秒前にジョブを開始するようにスケジュール設定する場合は、次のようにします。 • [オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [過去 **(Past)]** を選択します。 • [日数] フィールドに「**3**」と入力します。 • [時間] フィールドに「**14**」、「**10**」、「**45**」と入力します。 [オフセット日数 **(Offset days)]** フィールドと [時間] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択し、[オフセットタイプ] フィールドで [過去] または [予定] を選択した場合にのみ表示されます。
時刻	スケジュール設定済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 時間値は常に、Now Platform® に UTC 時間で保存されてから、適切な時間に変換されます。この変換は、選択した [タイムゾーン] と [時間] フィールドのエントリによって異なります。 このフィールドは、[実行] フィールドで [日次]、[週次]、または [月次] を選択した場合にのみ表示されます。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	スケジュール設定済みジョブの数値の優先度： • 必須ジョブの優先度値を 100 未満に設定します。 • 必須でないジョブの優先度値を 100 より高く設定します。 • すべてのジョブスケジュールの 70 パーセント以上が [期限切れ] の場合、100 を超える値でマークされたジョブは実行されません。
実行方法	スケジュール設定済みジョブを作成して実行するユーザーの名前。スケジュール設定済みジョブを作成するユーザーの代わりにスケジュール設定済みジョブをシステムにアサインするには、システムまたはダミーユーザーを作成し、このフィールドに追加します。
条件付き	関連するスクリプトで特定の条件が満たされた場合にスケジュール設定済みジョブの実行を有効にするオプション。
条件	スケジュール設定済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。

UX リストカテゴリフォーム

UX リストカテゴリフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 ワークスペースの [リスト] メニューのリストに追加のカテゴリを作成します。

フィールド	説明
タイトル	ワークスペースでのカテゴリの表示名。
アプリケーション	アプリケーションスコープ。アプリケーションスコープが **[Portfolio Planning]**に設定されていることを確認します。
順番	このカテゴリがワークスペースに表示される順番。
有効	ワークスペースでのこのカテゴリの表示を有効にするオプション。
説明	カテゴリの簡単な説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
設定	リストカテゴリが参照している構成。 デフォルトでは、このフィールドは **[APW リストメニュー構成 (APW List Menu Configuration)]** に設定されています。

関連情報

ポートフォリオ計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ

UX リストフォーム

UX リストフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ポートフォリオ計画 ワークスペースの [リスト] メニューの追加のリストを作成します。

フィールド	説明
タイトル	ワークスペースでのカテゴリの表示名。
アプリケーション	アプリケーションスコープ。アプリケーションスコープが **[Portfolio Planning]**に設定されていることを確認します。
順番	このカテゴリがワークスペースに表示される順番。
カテゴリ	ワークスペースでこのリストが表示されるカテゴリ。
有効	ワークスペースでのこのカテゴリの表示を有効にするオプション。
テーブル	リストのソーステーブル。
設定	リストカテゴリが参照している構成。 デフォルトでは、このフィールドは **[APW リストメニュー構成 (APW List Menu Configuration)]** に設定されています。
条件	ソーステーブルのデータをフィルターする条件。
列	ワークスペースのリストに表示する必要があるテーブルの列。
列でグループ化	レコードのリストをグループ化するために使用される属性。
表示	ワークスペースのリストに表示する列を決定するビュー。ビューを選択すると、[列] フィールドが無効になります。

関連情報

ポートフォリオ計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

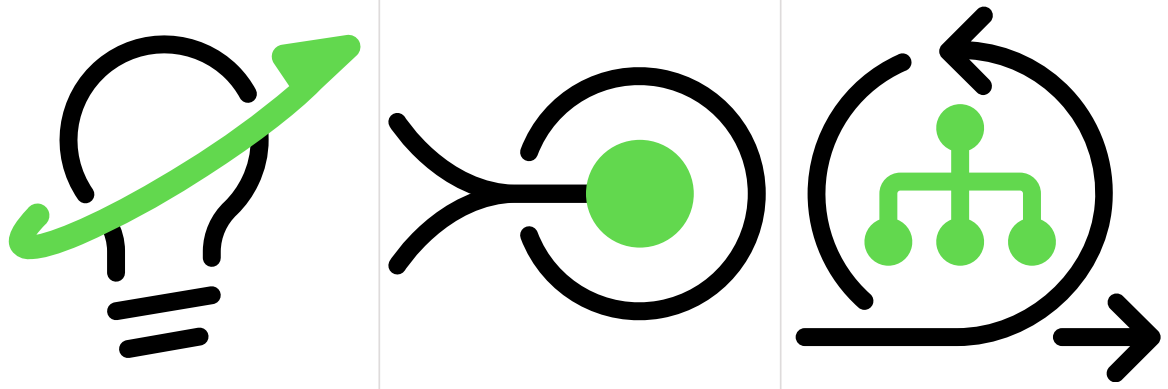
戦略的計画

戦略的計画 ワークスペース (SPW) を使用すると、組織の製品フィードバック、ポートフォリオ計画立案、およびエンタープライズアジャイル計画を管理できます。製品パフォーマンスを評価し、作業を戦略に合わせて調整し、単一のワークスペースからアジャイルフレームワークを拡張します。

戦略的計画 は 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (SPM) Pro ライセンスを持つユーザーが利用できます。

インストールする 戦略的計画 と、製品フィードバック、Portfolio Planning、および Enterprise Agile Planning 機能もインストールされます。これらの機能へのアクセスは、割り当てられたユーザーロールに基づいています。これらの機能の詳細については、次のセクションで説明します。

開始するには



製品フィードバック | ポートフォリオ計画 | Enterprise Agile Planning

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

Product Feedback 入力 戦略的計画

顧客中心のフィードバック管理システムを構築し、フィードバックと製品アイデア Product Feedbackを作成してに関連付けるプロセスを最適化します。

概要

これはProduct Feedback、(SPM) Pro ライセンスを持つ戦略的ポートフォリオ管理 (SPM)ユーザーが使用できます。

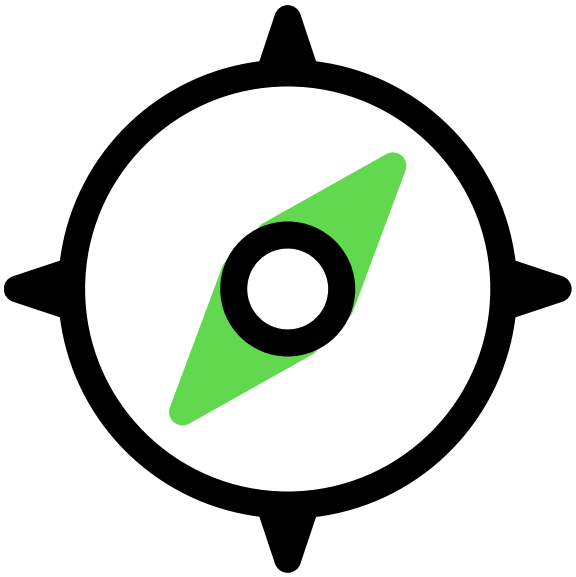
により Product Feedback 、ユーザーからのフィードバックを収集および分析して、製品について情報に基づいた意思決定を行うプロセスが簡素化されます。直感的なインターフェイスは、製品の機能、使いやすさ、パフォーマンスに関するリアルタイムのフィードバックを提供し、ユーザーが自分の考えを共有するのに役立ちます。を使用して Product Feedback、フィードバックまたは製品アイデアを作成し、それらをフィードバックまたは製品アイデア、計画立案アイテムまたは計画立案以外のアイテムにリンクします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

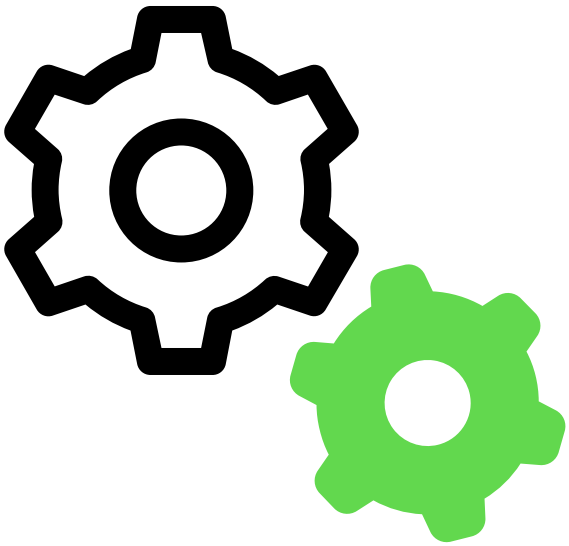
開始するには

探索



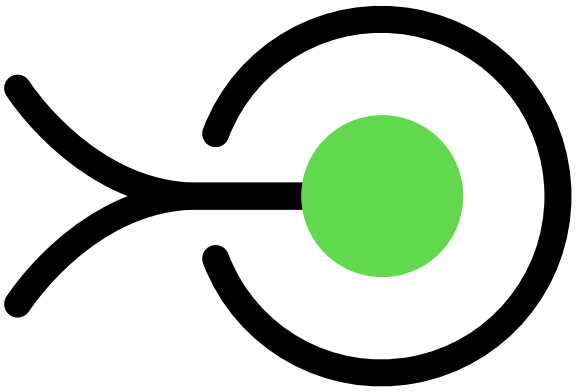
の主な機能とビジネス価値 Product Feedback を学ぶ 戦略的計画

構成



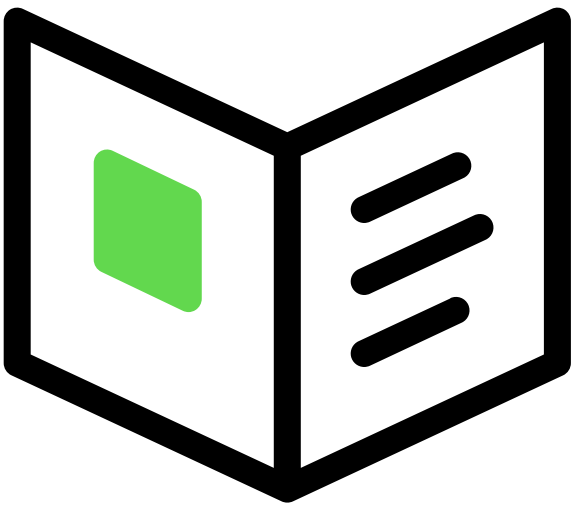
のコア構成を設定する Product Feedback

使用方法



フィードバックや製品アイデアを管理し、フィードバックに基づいた意思決定を行う

参照



コンポーネント、フォーム、テーブル、システムプロパティに関する情報を取得する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

戦略的計画 での **Product Feedback** の探索

でフィードバックと製品アイデアを管理し、情報に基づいた意思決定 Product Feedbackを行う方法を学びます。

Product Feedback の概要

この Product Feedback アプリケーションは、フィードバックと製品アイデアを収集、管理、評価するように設計されています。フィードバックは、メール、ソーシャルメディア、チャット、会議、アイデアポータルなどのさまざまなソースから届きます。を使用すると Product Feedback、製品に関するフィードバックを分析したり、フィードバックを製品アイデアにリンクしたりできます。フィードバックまたは製品アイデアを計画立案アイテムまたは非計画立案アイテムに直接関連付けることができます。このアプリケーションは、顧客フィードバックを製品ロードマップに合わせて調整し、傾向と統計情報を特定し、フィードバック実装の進捗状況を追跡します。

Product Feedback のメリット

[Product Feedback] では、次のことができます。

- ユーザーからのフィードバックを収集し、製品開発、改善、および将来の戦略についてデータに基づいた意思決定を行います。
- フィードバックまたは製品アイデアを作成し、フィードバックまたは製品アイデア、計画立案アイテムまたは計画立案以外のアイテムにリンクします。
- アイデアポータルから にアイデアをインポートします Product Feedback。
- Outlook アカウントから直接フィードバックを送信するには、Microsoft Outlook アドインを構成します。
- この設定されたメールアドレスにメールを送信することでフィードバックレコードが作成されるように、インスタンスでメールアカウントを構成してください。

メリット	機能	ロール
複数のソースからのフィードバックを取得して評価し、製品について情報に基づいた意思決定を行います。	Strategic Planning でのフィードバックの作成	pf_user
実装可能な製品アイデアを作成し、優先順位を付けます。	Strategic Planning での製品アイデアの作成	pf_user
評価、優先順位付け、および作業が可能な 1 つ以上の製品アイデアに関連付けることにより、フィードバックを管理します。	フィードバックと製品アイデアとの関連付け	pf_user
フィードバックまたは製品アイデアを計画立案アイテムまたは非計画アイテムにリンクして、懸念事項に対処します。	フィードバックまたは製品アイデアの計画立案アイテムとの関連付け およびフィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以	pf_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ロール
	外のアイテムに関連付ける	
製品アイデアに関連付けられた目標を関連付けて管理します。	製品アイデアと目標との関連付け	pf_userとgoal_user
製品アイデアに関連付けられたドキュメント、ファイル、またはリソースを収集および管理します。	製品フィードバックのドキュメント	pf_user
アイデアポータルから にアイデアをインポートします Product Feedback。	アイデアポータルとProduct Feedbackの統合	sn_align_core.apw_admin
ワークフローを妨げることなく、 Microsoft Outlook から直接フィードバックを作成または送信します。	Microsoft Outlook からフィードバックを送信する	pf_user
関連アイテムを切り替えることなく、フィードバックまたは製品アイデアにリンクする非計画立案アイテムを構成します。	フィードバックまたは製品アイデアレコードの計画外のアイテムを構成	admin
フィードバックまたは製品アイデアの概要ページのフィルターを設定して、好みに基づいて情報を取得できます。	フィルター構成	admin

関連情報

Product Feedback での戦略的計画の構成

戦略的計画 でのProduct Feedbackの管理

Product Feedback 参照

Product Feedback での戦略的計画の構成

他のアプリケーションでProduct Feedbackを構成して、フィードバックを送信します。

戦略的計画からServiceNow Storeアプリケーションをインストールし、 の構成Product Feedbackを開始します。のインストール 戦略的計画方法の詳細については、「」を参照してください 戦略的計画 のインストール。

関連情報

戦略的計画 の構成

Microsoft Outlook 用の ServiceNow® アドインのインストール

ユーザーロールを構成し、Microsoft Outlook 用の ServiceNow® アドインを使用するためのアドインマニフェストファイルをダウンロードします。

始める前に
必要なロール：admin

注:

(com.sn_outlook_addin) 用のMicrosoft Outlookアドインがあるインスタンスを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Office** 用 **ServiceNow** アドイン > **Office** アドインマニフェスト インスタンスからエクスポートしますServiceNow
2. **[ServiceNow for Product Feedback]** を選択します。
3. [マニフェストをダウンロード] を選択します。
4. で Microsoft Outlookメールアカウントを開きます。
5. [その他のアイテム] メニューから、 アドインを取得 > 自分のアドイン > カスタムアドインを追加する > ファイルから追加.
6. ServiceNow® インスタンスからダウンロードした manifest.xml ファイルを選択し、[開く] を選択します。
7. [インストール] を選択します。
   [ServiceNow for Product Feedback] タイルが [カスタムアドイン (custom add-ins)] セクションに追加されます。
8. [その他のアイテム (more items)] メニューから、**[ServiceNow for Product Feedback]** を選択し、資格情報でログインします。
   ®
   インスタンスを使用してServiceNow アカウントに接続Microsoft Outlookできます。

関連情報

Microsoft Outlook からのフィードバックの作成

フィードバック送信用のメールの構成

Microsoft Outlook からのフィードバックの作成

Microsoft Outlook から直接フィードバックを作成または送信します。Microsoft Outlook 内でフィードバックの作成と送信を構成することで、プロジェクトマネージャーは、さまざまなアプリケーションを切り替えることなく、簡単にフィードバックを提供できます。

始める前に
必要なロール：pf_user

このタスクについて
プロジェクトマネージャーは、Microsoft Outlook で日常のタスクを実行しながらフィードバックを提供できます。たとえば、製品マネージャーがメールでフィードバックを受け取った場合、ワークフローを中断することなく、アドインを使用して Microsoft Outlook メールをフィードバックとして直接送信できます。

手順

1. Microsoft Outlookアカウントから、フィードバックとして使用するメールを選択します。
2. **[ServiceNow for Product Feedback]** アドインを選択します。

   メールの件名がフィードバックの名前としてコピーされ、メールの本文が説明として追加されます。ソースはメールとして自動入力されます。

3. [タイプ] リストから、フィードバックのタイプを選択します。
4. [アサイン先] リストから、ユーザーを選択します。
5. フィードバックにタグを追加し、[保存] を選択します。

フィードバック送信用のメールの構成

インスタンスでメール設定を構成し、この ID にメールを送信してフィードバックを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
インスタンスでメール設定を構成し、それを使用してメールを直接送信します。*sn_apw_advanced.feedback.idea_feedback_queue_address* システムプロパティを使用すると、インスタンス内でメール設定を構成し、メールアカウントからフィードバックを直接送信できます。

手順

1. インスタンスに移動します。
2. 移動先 すべて > システムプロパティ > メールプロパティ.
3. オプション: メールのプロパティを更新します。
   a. [メール送信の有効化] および [メール受信の有効化] を [はい] に設定します。
   b. [信頼するドメインからのメール受信に対してユーザーを自動的に作成する] を [はい] に設定します。
      (Optional) このフィールドのデフォルト値は [いいえ] です。[はい] を選択すると、ユーザーテーブルにユーザーが自動的に作成されます。
   c. **[Save** (保存)] を選択します。
4. [システムのプロパティ] リストを更新します。
   a. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ プロパティを検索します*sn_apw_advanced.feedback.idea_feedback_queue_address*
   b. *sn_apw_advanced.feedback.idea_feedback_queue_address* プロパティを開き、[値] フィールドにインスタンスのメール ID を入力します。
      構成済みの任意のメールアカウントを使用できます。
5. フィードバックとして転送する既存のメールを選択するか、フィードバックを作成します。
6. [送信] を選択します。

アイデアポータルと**Product Feedback**の統合

アイデアポータルをProduct Feedbackと統合して、製品アイデアとフィードバックを連携させます。

始める前に
必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

このタスクについて
一方向の同期がサポートされており、アイデアポータルからProduct Feedbackへのマッピングが実行されます。すべてのアイデアがProduct Feedbackにインポートされます。これらのアイデアはフィードバック Product Feedback レコードとして作成され、各アイデアに対して受け取った投票数もインポートされます。受け取った投票数でフィードバックの人気を評価し、それらに優先順位を付けて情報に基づいた意思決定を行うことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. ServiceNow インスタンスに移動します。
2. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.
3. **[ServiceNow** 内部] を選択して、内部アプリケーションの配置統合を表示します。
4. [デフォルトのマッピング構成を生成] を選択して、フィードバックとアイデアテーブル間のテーブルマップを作成します。
   マッピング構成は、各レコードのテーブル、フィールド、および選択マップで構成されます。
   フィードバックと他のテーブル間のカスタムマッピング構成の作成の詳細については、「カスタムマッピング構成の作成」を参照してください。

フィードバックまたは製品アイデアレコードの計画外のアイテムを構成

非計画立案アイテムを構成してフィードバックまたは製品アイデアのレコードをリンクし、関連アイテム間をすばやく移動できるようにします。

始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. *sn_apw_advanced.product_feedback_allowed_non_planning_items_for_link_item* プロパティを開きます。
3. ここを選択してプロパティを編集します。
4. 値フィールドに非計画立案アイテムテーブル名を入力し、[更新] を選択します。
   グローバルアプリケーションまたはスコープ対象のアプリケーションから、インシデント、ケース、スクラムタスク、アジャイルストーリー、またはテーブルのテーブル名を追加できます。値フィールドには、1 つまたは複数のテーブル名をカンマで区切って入力できます。
5. リンクする非計画立案アイテムを構成します。
   a. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
   b. [ラベル] リストからフィードバックを検索します。
   c. テーブル名を含む *sn_align_core_feedback* フィードバックレコードを開き、[リストを表示] 関連リンクを選択します。
   d. フィードバックレコードを開き、他のアクション (☰) を選択して、[**>**関連リストの構成] を選択します。
   e. [このビューを編集] リンクを選択します。
   f. 関連アイテムを [利用可能] パネルから [選択済み] パネルに移動します。
   g. **[Save** (保存)] を選択します。
6. ステップ 4 で追加したすべての非計画立案アイテムテーブルのビュー名 workspace_apw_new を使用してフォームビューを構成します。

次のタスク

フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以外のアイテムに関連付ける

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィードバックまたは製品アイデアの概要ページのフィルターを構成する

フィードバックまたは製品アイデアの概要ページのフィルターを構成して、ユーザーの好みに基づいて情報を表示します。フィルターを使用して、ユーザーの関心に最も関連性の高いフィードバックや製品アイデアを見つけて関与します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. *sn_apw_advanced.product_feedback_product_idea_filters* プロパティを開きます。
3. ここを選択してプロパティを編集します。
4. 値フィールドに、クエリのフィールド名を入力します。
   JSON クエリにフィールド名を追加できます。JSON には、各フィルターの列オブジェクトがあります。各列オブジェクトには、次の 2 つのプロパティがあります。
   - fieldname:フィードバックまたは製品アイデアテーブルのフィールド名。
   - encodedQuery:参照テーブルのフィルター。
     フィードバックテーブルまたは製品アイデアテーブルの参照タイプまたは選択肢タイプのフィールドのみをフィルターとして追加できます。新しいフィルターを追加することも、既存のフィルターに条件を追加することもできます。
5. [更新] を選択します。

戦略的計画 での**Product Feedback**の管理

Product Feedback製品アイデアを使用して戦略的計画作成Product Feedbackし、製品開発中にデータ主導の意思決定を行います。フィードバックを、追跡、優先順位付け、および実装が可能な製品アイデアや計画立案アイテムまたは計画立案以外のアイテムに関連付けます。

内部戦略的計画を管理するには、Product Feedback次のコンポーネントを使用します。

- フィードバック
- 製品アイデア

フィードバック

フィードバックとは、製品についてユーザーまたは顧客から提供された提案、問題、提案されたソリューション、または問題の説明を指します。 戦略的計画 を使用すると、複数のソースからフィードバックを収集し、受信したフィードバックを確認して、重大な問題や機能要求を把握できます。概要またはリストビューでフィードバックを受け取ることができます。

フィードバックの概要

概要ページのフィードバック数に基づいて、フィードバック、フィードバックにリンクされた製品アイデアの数、上位のタグ、および顧客のインサイトを取得します。以下のフィルターに基づいて傾向と統計情報を表示します。

- トップタグは、主にフォーカスエリアを決定するために使用されます
- フィードバックを最も積極的に送信している上位の顧客
- 過去 7 日間に受信したフィードバック
- 製品アイデアにリンクされていないフィードバック
- 全体的なステータスに基づくフィードバック

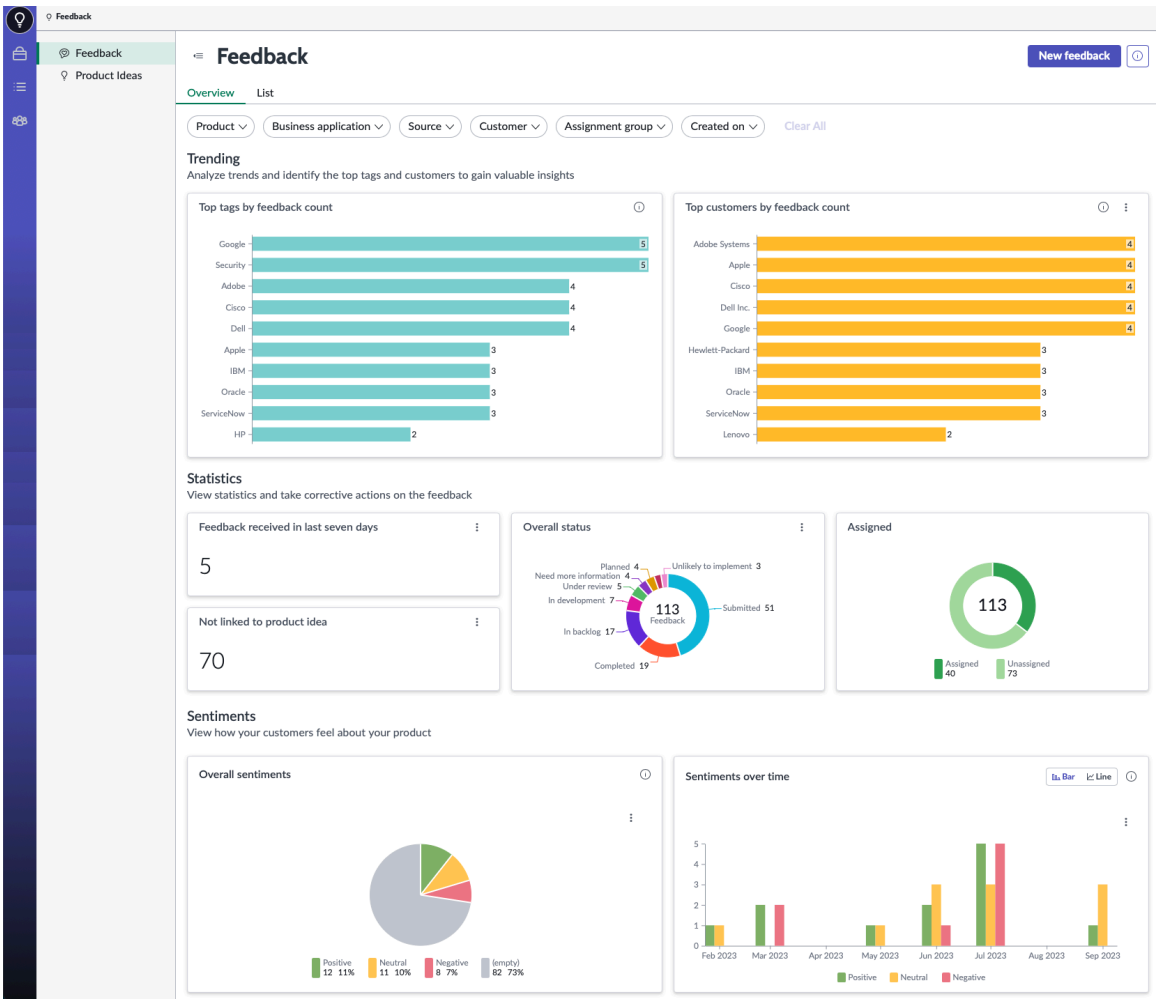
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ユーザーにアサインされているフィードバックとアサインされていないフィードバック
- フィードバック データ全体の全体的なセンチメント分布を特定します。
- 過去 9 か月間に受け取ったフィードバックの感情を分析します。

次の図では、顧客フィードバックの概要のサンプルと、 [概要] タブのさまざまな機能を示しています。たとえば、上位の顧客に基づくフィードバック数の表示によって、どの顧客が最も多くフィードバックを提供したかがわかります。ページの上部にあるフィルターを使用して、製品フィードバックに関するフィードバック情報を表示します。フィルタの詳細については、次のリンクを参照してください フィードバックまたは製品アイデアの概要ページのフィルターを構成する。

フィードバックの概要



フィードバックリストビュー

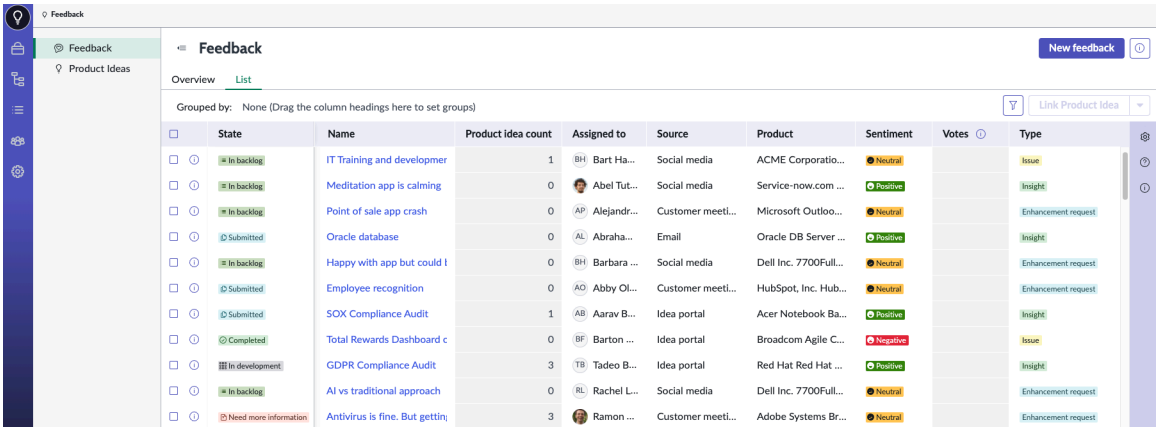
製品マネージャーは、ユーザーまたは顧客から受信したフィードバック送信のリストを表示できます。フィードバックを移動、ソート、フィルタリング、グループ化、またはリンクし、要件に基づいてアクションに優先順位を付けることができます。

フィードバックレコードを作成し、このページのアイデアまたは計画立案アイテムにリンクすることもできます。たとえば、複数のフィードバックレコードを選択して、アイデア、エピック、デマンド、またはプロジェクトに関連付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィードバックリスト



製品アイデア

製品アイデアは、1 つまたは複数のフィードバックレコードに基づいて開発されたソリューションまたは改善であり、すべての顧客にメリットをもたらします。製品アイデアを評価して優先順位を付けるか、別の計画立案アイテム (エピック、デマンド、またはプロジェクト) にリンクします。製品アイデアを管理し、 の 戦略的計画製品アイデアを使用してカスタムレンズを作成します。

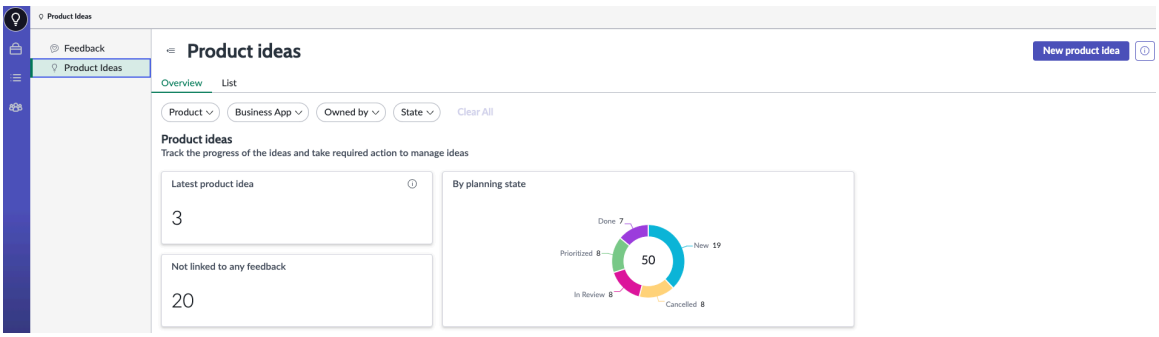
製品アイデアの概要

製品アイデアの概要、フィードバックにリンクされた製品アイデアの数、最新のアイデア、およびアイデアの計画立案ステータスを取得します。ページの上部にあるフィルターを使用して、製品アイデアを表示します。

- 最新の製品アイデア (Latest product ideas)：過去 7 日間に受信した製品アイデアの数
- フィードバックにリンクされていません：フィードバックにリンクされていない製品アイデアの数
- 計画立案ステータス別 (By planning state)：さまざまな計画立案ステータスにある製品アイデアの数のブレークダウン

次の図では、製品アイデアの概要のサンプルと、 [概要] ページのさまざまな機能を示しています。

製品アイデアの概要



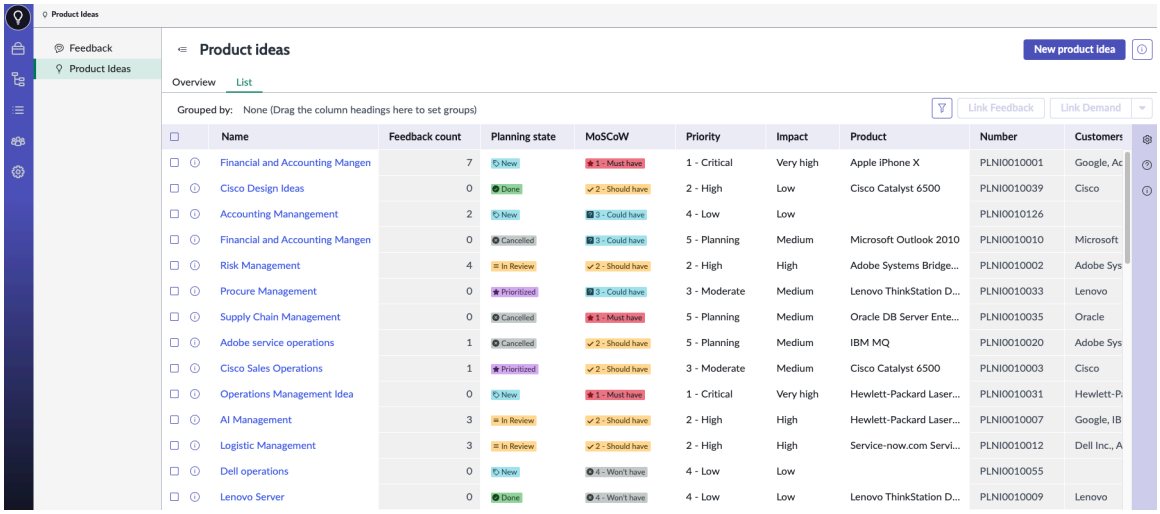
製品アイデアのリストビュー

製品マネージャーは、製品アイデア送信のリストを表示できます。計画立案ステータス、MoSCoW、優先度、影響などのさまざまな属性に基づいてアイデアをソートできます。リストビューで MoSCoW 値を使用して、製品アイデアに優先順位を付けます。リストビューには、リンクされたフィードバック数と製品アイデアに関心のある顧客の数が表示されます。顧客の数は、リンクされたフィードバックに基づいて計算またはロールアップされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品アイデアのリスト



これらのタブを使用して、フィードバックまたは製品アイデアを管理します。

フィードバックと製品アイデアのタブ

タブ	説明	アクション
フィードバック		
詳細	送信されたフィードバックに関する追加情報を提供します。	• フィードバック情報を表示および追跡します。 • フィードバックに基づいて作業メモを作成します。 • フィードバックレコードに添付ファイルまたはファイルを追加します。
製品アイデア	フィードバックレコードにリンクされているアイデアを管理できます。こうしたアイデアは評価され、優先順位が付けられ、処理されます。	• フィードバックレコードにリンクされている製品アイデアを表示および追跡します。 • 製品アイデアを作成し、フィードバックレコードにリンクします。 • フィードバックレコードからアイデアのリンクを解除します。
計画立案アイテム	作業アイテムを追跡し、フィードバックをアクション可能なアイテムに変換します。	• フィードバックレコードにリンクされている計画立案アイテムの数を表示します。 • 計画立案アイテムを作成し、フィードバックレコードにリンクします。計画立案アイテムのステータスを監視し、計画立案アイテムの全体的な進捗状況を追跡します。 • フィードバックレコードからアイデアのリンクを解除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィードバックと製品アイデアのタブ (続く)

タブ	説明	アクション
製品アイデア		
詳細	製品アイデアレコードの詳細ビュー。説明、添付ファイル、およびアクティビティを表示します。	• 説明、添付ファイル、アクティビティを表示し、製品アイデアに関連するその他の関連情報にアクセスします。 • 製品のアイデアに関する作業メモを作成します。 • 製品アイデアレコードに添付ファイルまたはファイルを追加します。
計画立案アイテム	製品アイデアレコードにリンクされている計画立案アイテムの数を表示できます。	• 製品アイデアレコードにリンクされている計画立案アイテムの数を表示します。 • 計画立案アイテムを作成し、製品アイデアレコードにリンクします。 • 製品アイデアレコードから計画立案アイテムのリンクを解除します。
目標関係	製品アイデアを、そのアイデアが貢献しようとしている特定の目標に関連付けることができます。	• 目標を作成し、製品アイデアレコードに追加します。 • 製品アイデアレコードから目標を削除します。
フィードバック	製品アイデアにリンクされているフィードバックレコードを表示および管理できます。このタブには、フィードバックがカードとして表示されます。カードを選択するとフィードバックレコードが開き、フィードバックに関する詳細情報が表示されます。	• 製品アイデアレコードにリンクされている関連するフィードバックを表示および追跡します。 • フィードバックカードを選択すると、フィードバックに関する詳細情報が開きます。 • ステータス、優先度、またはその他の属性別にフィードバックを並べ替えます。 • タイトル、キーワード、またはコンテンツでフィードバックを検索します。
ドキュメント	プロダクトマネージャーが、製品アイデア、フィードバック、または計画立案アイテムに関連するドキュメントを整理、保存、および共同作業するための一元化された場所を提供します。これには、詳細な要件、設計ドキュメント、技術仕様、または	• テンプレートを使用して複数のページを作成します。 • ドキュメントコンポーネント内で特定のユーザーをタグ付けまたはメンションします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィードバックと製品アイデアのタブ (続く)

タブ	説明	アクション
	その他のファイルを含めることができます。	• レコードをメンションして、ドキュメントコンポーネント内にレコードの直接リンクを作成します。 • テーブル、画像、リンク、ビデオを挿入します。 • Miro ボードをページに埋め込みます。

関連情報

Product Feedback 参照

でのフィードバックの作成 戦略的計画

を使用して Product Feedback フィードバックを作成し、製品について情報に基づいた意思決定を行います。

始める前に
必要なロール：pf_user

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [製品フィードバック] を選択します。
3. フィードバックの概要ページで、[新しいフィードバック] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドと説明の詳細については、「[フィードバック] フォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。
   これでフィードバックを追跡できるようになります。インスタンスに移動し、フィードバック番号で検索して、フィードバックを開きます。

次のタスク

- リストページからフィードバックまたは製品アイデアレコードを更新します
- フィードバックと製品アイデアとの関連付け
- フィードバックまたは製品アイデアの計画立案アイテムとの関連付け

フィードバックと製品アイデアとの関連付け

フィードバックレコードを、計画して優先順位付けし、実行できる 1 つ以上の製品アイデアにリンクします。

始める前に
必要なロール：pf_user

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [製品フィードバック] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [フィードバック] リストから、製品アイデアに関連付けるフィードバックレコードを 1 つ以上選択します。
4. [製品アイデアをリンク **(Link Product idea)]** を選択します。
5. [製品アイデアをリンク (Link Product idea)] リストから、1 つまたは複数の製品アイデアを選択します。
6. [確認] を選択します。
これでフィードバックを追跡できるようになります。インスタンスに移動し、フィードバック番号で検索して、フィードバックを開きます。

関連情報

フィードバックまたは製品アイデアの計画立案アイテムとの関連付け

フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以外のアイテムに関連付ける

フィードバックまたは製品アイデアの計画立案アイテムとの関連付け

フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案アイテムにリンクします。この関連付けを行うことで、一元的な場所で顧客の懸念に迅速に対処し、意思決定を行うときにすべての入力が考慮されるようにすることができます。

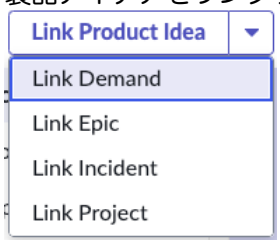
始める前に
必要なロール：pf_user または apw_user

このタスクについて
フィードバックや製品アイデアのレコードは、一度に 1 つの計画立案アイテムにのみ関連付けることができます。フィードバックまたは製品アイデアレコードをデマンド、エピック、またはプロジェクトのいずれかにリンクできます。

注:
フィードバックまたは製品アイデアレコードが計画立案アイテム (プロジェクト、デマンド、またはエピック) に関連付けられると、フィードバックまたは製品アイデアレコードの [計画立案アイテム] タブにレコードが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [製品フィードバック] を選択します。
3. フィードバックのリストから、計画立案アイテムに関連付けるフィードバックレコードを 1 つ以上選択します。
製品アイデアについても同様の手順を実行できます。製品アイデアリストから、計画立案アイテムに関連付けるアイデアを 1 つ以上選択し、2 ～ 4 の手順に従います。
4. 製品アイデアをリンクするリストから、計画立案アイテムを選択します。



5. 計画立案アイテムリストから、1 つまたは複数のレコードを選択し、[確認] を選択します。
インスタンスを開き、フィードバック番号または製品アイデア番号で検索して、フィードバックまたは製品アイデアレコードを開きます。完了ステータスのデマンドを製品アイデアまたはフィードバックに関連付けることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的計画での製品アイデアの作成

Product Feedbackを使用して製品のアイデアを作成し、ユーザーにとって重要なアイデアに優先順位を付けます。製品アイデアをフィードバックに組み込んで、製品を強化します。

始める前に
必要なロール：pf_user

このタスクについて
ユーザーが作成した製品アイデアは、製品のフォーカスエリアを特定するのに役立ちます。こうした製品アイデアは、製品開発ライフサイクルでの継続的な改善を促進します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [フィードバック] ページで、 製品フィードバック > 製品アイデア.
3. [新しい製品アイデア] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドと説明の詳細については、「[製品アイデア] フォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。

次のタスク

- リストページからフィードバックまたは製品アイデアレコードを更新します
- 製品アイデアとフィードバックとの関連付け
- フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以外のアイテムに関連付ける
- 製品アイデアと目標との関連付け

製品アイデアとフィードバックとの関連付け

分析して優先順位付けし、実現できる製品アイデアを 1 つ以上のフィードバックレコードに関連付けます。

始める前に
必要なロール：pf_user

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [製品フィードバック] を選択します。
3. [製品アイデアのリスト] ページから、関連付けるアイデアを 1 つ以上選択します。
4. [フィードバックをリンク] を選択します。
5. [フィードバックをリンク] リストから、1 つ以上の製品フィードバックレコードを選択し、[確認] を選択します。
   これで、製品アイデアを追跡できます。インスタンスに移動し、製品アイデア番号で検索して製品アイデアを開きます。新しいフィードバックレコードを作成し、[新しいフィードバックを作成] リンクを使用して製品アイデアに関連付けることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以外のアイテムに関連付ける

製品アイデアと目標との関連付け

Product Feedbackでのドキュメントの管理

フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以外のアイテムに関連付ける

フィードバックレコードまたは製品アイデアレコードを計画立案アイテムにリンクします。この関連付けを行うことで、一元的な場所で顧客の懸念に迅速に対処し、意思決定を行うときにすべての入力が考慮されるようにすることができます。

始める前に

確認してください フィードバックまたは製品アイデアレコードの計画外のアイテムを構成。

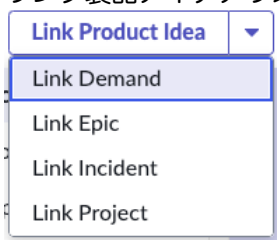
必要なロール：pf_user

このタスクについて

一度に 1 つまたは複数のフィードバックレコードまたは製品アイデアレコードを 1 つまたは複数の非計画立案アイテムに関連付けることができます。計画立案以外のアイテムは、インシデント、スクラムタスク、アジャイルストーリー、または Agile Development や PPM Standard、または Safe アプリケーションなどのグローバルアプリケーションやスコープ対象のアプリケーションのアイテムです。

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [製品フィードバック] を選択します。
3. フィードバックのリストから、計画立案以外のアイテムに関連付けるフィードバックレコードを 1 つ以上選択します。
   製品アイデアについても同様の手順を実行できます。製品アイデアリストから、非計画立案アイテムに関連付けるアイデアを 1 つ以上選択し、2 ～ 4 の手順に従います。
4. リンク製品アイデアリストから、計画立案以外のアイテムを選択します。



   非計画アイテムは、アイテムが構成されている場合にのみリンク製品アイデアリストに表示されます。たとえば、インシデントを設定した場合は、リストに [インシデントをリンク] オプションが表示されます。

5. 計画立案以外のアイテムリストから、1 つまたは複数のレコードを選択し、[確認] を選択します。
   [関連アイテム] タブでフィードバックや製品アイデアを追跡できるようになりました。

製品アイデアと目標との関連付け

1 つ以上の製品アイデアを目標に関連付けることで、目標関係を作成します。特定の目標を定義することで、製品のアイデアに焦点を当ててターゲットを絞ります。

始める前に

必要なロール：pf_user、apw_user、または goal_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [製品フィードバック] を選択します。
3. [製品アイデアのリスト] から、関連付けるアイデアを 1 つ以上選択します。
4. [追加] を選択します。
5. [目標] リストから目標を選択します。
   目標の詳細については、「計画立案アイテムを目標に関連付ける」を参照してください。
6. 目標を主要目標として設定する場合は、[主要目標] チェックボックスをオンにします。
   残りのフィールドは、目標レコードから自動入力されます。
7. [保存] を選択します。
   これで、[目標関係] リストから目標を追跡できます。

Product Feedbackでのドキュメントの管理

[ドキュメント] タブで製品アイデアに関連付けられたドキュメント、ファイル、またはリソースをキャプチャします。

始める前に
必要なロール：pf_user

ドキュメントコンポーネントプラグイン (com.sn_docs) がインストールされていることを確認します。

このタスクについて

手順

1. で Product Feedback製品アイデアを作成します。
2. 製品アイデアリストのタブで、開くレコードを選択します。
3. サイドパネルで、[完全な詳細] ボタンを選択してレコードの詳細を開きます。
4. [ドキュメント] タブに移動します。
5. [ページ] セクションで、[ページを作成] を選択します。
   [ドキュメント] タブで、以下のタスクを実行できます。
   - [その他のアクション] メニューを選択して、[ページ] セクションで子ページを削除、複製、または作成します。
   - キーボードの前方スラッシュを使用して、 必要に応じてユーザーの メンションや レコードのメンション を含むアクションのリストを開きます。
   - Miro ボードをページに埋め込み、リアルタイム更新を実行する。
   - 書式設定セクションを使用して、テキストの外観をカスタマイズします。

リストページからフィードバックまたは製品アイデアレコードを更新します

フィードバックまたは製品アイデアのリストページを使用して、フィードバックまたは製品アイデアレコードの詳細を編集し、リアルタイムで更新します。

始める前に
必要なロール：pf_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
インライン編集を使用して、リストビューまたはサイドパネル内でフィードバックまたは製品アイデアレコードを変更します。リストビューからインラインで詳細を編集するか、サイドパネルを使用します。リストページの簡単な説明やステータスなどのフィールドのクイック更新を有効にします。[完全な詳細] ページを使用して、作業メモや添付ファイルを追加したり、フィードバックまたは製品アイデアレコードの関連リストを表示したりできます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. フィードバックまたは製品アイデアリストから、編集するフィードバックまたは製品アイデアレコードを選択します。
   [完全な詳細] ページを使用して、フィードバックまたは製品アイデアレコードを編集できます。[を選択します。 をクリックして、リストビューからフィードバックまたは製品アイデアレコードのプレビューを開きます。
3. レコードの詳細を更新したり、ファイルを添付したり、フィードバックや製品アイデアレコードを削除したりします。
   [完全な詳細] ページで編集できない特定の列の情報は、インラインでも編集できません。たとえば、製品アイデアのカウントと投票などです。フィードバックレコードまたは製品アイデアレコードを属性別にグループ化する場合、リストビューから直接アイテムの簡単な説明を編集することはできません。

Product Feedback 参照

フィールド、ユーザーロール、テーブル、システムプロパティ情報などに関する Product Feedback 追加の詳細を提供するための参照情報。

一緒にインストールされるコンポーネント Product Feedback

ユーザーロール、テーブル、システムプロパティなど、とともにProduct Feedback戦略的計画インストールされるいくつかのタイプのコンポーネントについて説明します。

> **注:**
> アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
[sn_align_core.pf_read]	製品フィードバックを表示できます。	なし
[sn_apw_advanced.pf_user]	製品フィードバック エンティティを作成、表示、更新、および削除します。	• pf_read • pf_basic
[sn_align_core.pf_basic]	製品フィードバックを作成、表示、更新、削除しますが、Strategic Planning Workspace から製品フィードバックにアクセスすることはできません。	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
フィードバック [sn_align_core_feedback]	さまざまなソースから受信した製品フィードバックに関するすべての情報を保存します。
製品アイデア [sn_align_core_product_idea]	製品アイデアに関するすべての情報を保存します。
フィードバック関係 [sn_align_core_m2m_feedback_rel]	エンティティ (計画立案または非計画立案アイテム) に関連付けられたフィードバックに関する情報を保存します。

インストールされているシステムプロパティ

名前	説明
sn_apw_advanced.feedback.idea_feedback_queue_address	フィードバックを作成または送信するためのアドレスを指定します。*sn_apw_advanced.feedback.idea_feedback_queue_a*システムプロパティを使用すると、インスタンス内でメール設定を構成し、メールアカウントから直接フィードバックを送信できます。
sn_apw_advanced.product_feedback_allowed_non_planning_items	フィードバックまたは製品アイデアにリンクできる計画立案以外のアイテムを指定します。*sn_apw_advanced.product_feedback_allowed_non_p*ステムプロパティを使用すると、インシデント、スクラムタスク、アジャイルストーリーなどの非計画立案アイテム、または SAFe アプリケーション、Agile Development、PPM 標準、またはグローバルテーブルやスコープ対象のアプリケーションテーブルのアイテムをフィードバックや製品アイデアにリンクできます。
sn_apw_advanced.product_feedback_feedback_filters	フィードバック情報を並べ替えるフィルターを指定します。*sn_apw_advanced.product_feedback_feedback_filt*ステムプロパティを使用すると、フィードバックの概要ページでフィルターを追加および削除するように構成できます。
sn_apw_advanced.product_feedback_product_idea_filters	製品アイデア情報を並べ替えるフィルターを指定します。*sn_apw_advanced.product_feedback_product_idea_*ステムプロパティを使用すると、製品アイデアの概要ページでフィルターを追加または削除するように設定できます。
sn_apw_advanced.pf_docs_config	を使用すると*sn_apw_advanced.pf_docs_config*、さま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	ざまな属性を使用して Doc コンポーネントをカスタマイズできます。 • タイプ：文字列 • 可能な値:次の属性を持つキーと値のペアを持つ JSON。 `{ "hideLeftPanel": true/false, "hideDocTitle": false, "hideFavorites": false, "collapseLeftPanel": false, "collapseRigthPanel": false, "allowExternalLink": false, "implicitSave": true, "recordMentionEnabled": true, "userMentionEnabled": true, "recordMentionConfig": [{ (Record mention configuration) "sourceTable": TABLE_NAME, "filterCondition": "", "label": TABLE_LABEL, "fields": [FIELD1_NAME, FIELD2_NAME] }], }` • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
sn_align_ws.pf_max_list_items	フィードバックまたは製品アイデアのリストビューに表示されるレコードの最大数を指定します。を使用すると *sn_align_ws.pf_max_list_items*、表示されるレコード数に制限を設定することで、フィードバックまたは製品アイデアのリストビューをカスタマイズできます。 • タイプ：整数 • 可能な値: 0 より大きい任意の整数。 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル

とともに 戦略的計画インストールされるコンポーネントの詳細については、「」を参照してください 戦略的計画 とともにインストールされるコンポーネント。

Product Feedback のフォームフィールドの情報

Product Feedback で使用されるフォームのフィールド情報。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[製品アイデア] フォーム

[製品アイデア] フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画で製品アイデアの詳細を作成または編集します。

[製品アイデア] フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
名前	製品アイデアの簡単な説明。
説明	製品アイデアの詳細な説明。
[計画] ステータス	製品アイデアのステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 新規 • レビュー中 • 優先順位付け • 完了 • キャンセル
オーナー	この製品アイデアにアサインされたユーザー。
MoSCoW	製品アイデアの優先度は、その重要性に基づいています。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 必須 • 必要 • 可能性 • なし
作成者	この製品アイデアを作成したユーザー。
製品	製品アイデアに関連付けられた製品。
顧客	製品アイデアに関心を示した顧客。このフィールドは、リンクされたフィードバックに基づいて自動的に設定されます。
ロケーション	製品アイデアの影響を受ける場所。
部門	製品アイデアに関連付けられた部門。
戦略的プログラム	製品アイデアに関連付けられた戦略的プログラム。
作業メモ	製品アイデアのアクティビティを追加および追跡するためのメモ。
日付	
承認された開始日	この製品アイデアの承認された開始日。
承認された終了日	この製品アイデアの承認された終了日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品アイデア] フォーム (続く)

フィールド	説明
詳細	
優先度	この製品アイデアの優先度。

関連するタブのリストは次のとおりです。

- [計画立案アイテム] タブ:製品アイデアレコードにリンクされているすべての計画立案アイテムを表示します。詳細については、「フィードバックまたは製品アイデアの計画立案アイテムとの関連付け」を参照してください。
- [目標関係] タブ:製品アイデアレコードにリンクされているすべての目標を表示します。詳細については、「製品アイデアと目標との関連付け」を参照してください。
- [フィードバック] タブ:製品アイデアレコードにリンクされているすべてのフィードバックレコードを表示します。詳細については、「製品アイデアとフィードバックとの関連付け」を参照してください。
- [ドキュメント] タブ:製品アイデアレコードに関連するドキュメントまたは情報を表示します。詳細については、「Product Feedbackでのドキュメントの管理」を参照してください。
- [関連アイテム] タブ:製品アイデアレコードにリンクされているすべての非計画アイテムを表示します。このタブは、計画立案以外のアイテムがリンクされている場合にのみ使用できます。詳細については、「フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以外のアイテムに関連付ける」を参照してください。

関連情報

戦略的計画での製品アイデアの作成

[フィードバック] フォーム

[フィードバック] フォーム

[フィードバック] フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、 Product Feedbackのフィードバックレコードの詳細を作成または編集します。

注:
ESG ワークスペース また 戦略的計画 、ユーザーはワークスペースのデフォルト/カスタムフォームレイアウトに追加されていないフィールドを表示できません。これらのフィールドを表示するデフォルト/カスタムフォームレイアウトを設定します。フォームレイアウトの構成方法については、「フォームレイアウトの構成」を参照してください。

[フィードバック] フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
名前	フィードバックの簡単な説明。
説明	フィードバックの詳細な説明。
製品アイデア数	フィードバックに関連付けられた製品アイデアの数。
ステータス	フィードバックの現在のステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィードバック] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 送信済み • 詳細情報が必要 • レビュー中 • バックログ • 計画 • 開発中 • 完了 • 実装する可能性は低い (Unlikely to Implement) • 重複 • 既に存在 (Already Exists)
アサイン先	フィードバックにアサインされたユーザー。
ソース	フィードバックのソース。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • チャット • 顧客会議 • メール • ソーシャルメディア • アイデアポータル
タイプ	フィードバックのタイプ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 問題 • 拡張要求 • インサイト
製品	フィードバックに関連付けられた製品。
顧客	フィードバックを送信した顧客。
感情	フィードバックレコードの感情。使用可能なオプションは、[ポジティブ]、[ネガティブ]、または [ニュートラル] です。
作成者	フィードバックレコードを作成したユーザー。
ビジネスアプリケーション	このフィードバックが関連するビジネスアプリケーション。

関連するタブのリストは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [製品アイデア] タブ:フィードバックレコードにリンクされているすべてのアイデアを表示します。詳細については、「フィードバックと製品アイデアとの関連付け」を参照してください。
- [計画立案アイテム] タブ:フィードバックレコードにリンクされているすべての計画立案アイテムを表示します。詳細については、「フィードバックまたは製品アイデアの計画立案アイテムとの関連付け」を参照してください。
- [関連アイテム] タブ:フィードバックレコードにリンクされているすべての非計画アイテムを表示します。このタブは、計画立案以外のアイテムがリンクされている場合にのみ使用できます。詳細については、「フィードバックまたは製品アイデアレコードを計画立案以外のアイテムに関連付ける」を参照してください。

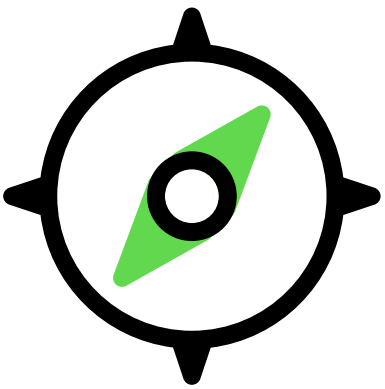
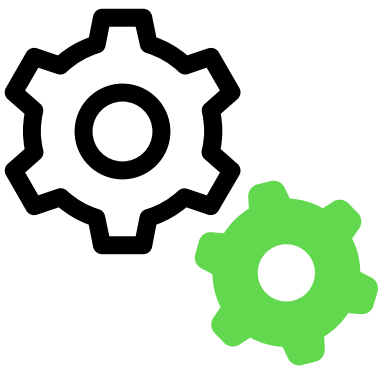
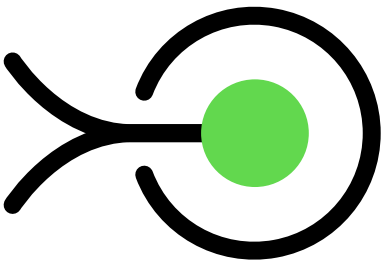
関連情報

でのフィードバックの作成 戦略的計画

のポートフォリオ計画立案 戦略的計画

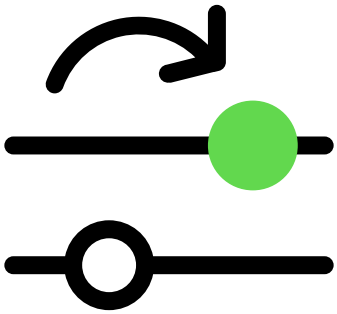
Workspace の Portfolio Planning は 戦略的計画 、従来のワークストリームとアジャイルなワークストリームを組み合わせることで、製品マネージャーとポートフォリオマネージャーが組織全体の戦略に合わせて作業を調整するのに役立ちます。

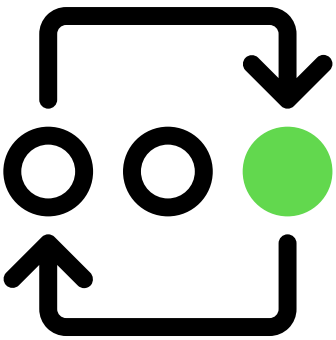
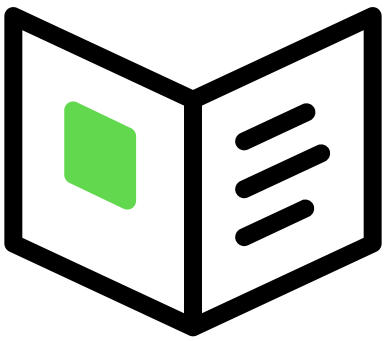
開始するには

探索	構成	使用方法
		
での Portfolio Planning の主な機能とビジネス価値について学びます。 戦略的計画	コア構成を設定する	会社全体の作業を計画、資金調達、調整する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

優先	ロードマップ	レポート
		
ポートフォリオ計画の作業をランク付けおよび優先順位付けします	ポートフォリオ計画の作業のロードマップ	ポートフォリオ計画ステータスレポートを PPT としてエクスポート

統合	参照	
		
実行システムとの統合戦略的計画	コンポーネント、フォームフィールド、一般的なガイドラインに関する詳細を取得します	

自動翻訳

トラブルシューティングとヘルプ

- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

での **Portfolio Planning** の探索 戦略的計画

戦略的計画 が提供する特性、機能、ビジネス価値について説明します。

概要

戦略的計画 でレンズを使用すると、自分で選択した配送の観点で会社の作業を計画することができます。レンズを使用して作成されたカスタマイズしたポートフォリオ計画を使用すれば、 エンタープライズレベルからポートフォリオや製品まで計画をカスケードしたり、組織の目標や価値ストリー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ムに沿って作業を調整できます。関連する作業の優先順位を付けてロードマップを作成することで、適切な実行チームを適切な戦略に配置します。

戦略的計画がプロジェクトやエピックなどの計画立案アイテムに分解された後、これらのアイテムを製品またはポートフォリオのロードマップにスケジュールすることができます。ハイブリッドロードマップを使用すると、ウォーターフォールとアジャイルの両方の作業アイテムを共有イニシアチブにロールアップできます。これらの計画立案アイテムごとにキャパシティと財務をすべて単一のワークスペースから計画することもできます。

次の表から、の機能の詳細と、 戦略的計画 マネージャーが効果的な計画を作成し、会社全体でアジャイルな変革を推進する方法について説明します。

機能と利点

機能	メリット
レンズ	計画立案の視点を選択して、作業の優先順位付け、資金調達、調整を行います。
レンズ構成	事前定義された 6 つのレンズを使用するか、カスタムレンズを作成します。
ポートフォリオ計画	戦略に沿って目的の視点 (レンズ) で集中的に作業を計画でき、成果の共有を促進します。
上位レベルのポートフォリオ計画	イニシアチブなどの戦略的アイテムのポートフォリオ計画を構築することで、より上位レベルで作業の優先順位を付けてロードマップを作成します。
計画立案アイテム	従来のアプローチ、アジャイルアプローチ、またはハイブリッドアプローチに合わせて、プロジェクト、エピック、デマンド、またはカスタムタイプの形式で作業を計画します。
優先順位付け	リストビュー、カンバンビュー、および階層ビューを使用して、バックログの調整をスムーズにし、適切な作業に優先順位を付けます。
ポートフォリオロードマップ	ロードマップを作成して優先順位付けされた作業を可視化し、マイルストーンを設定して重要な成果を追跡できるようにします。
フリーフォームロードマップ	計画立案組織やポートフォリオに制限されることなく、会社全体の作業を柔軟に計画および追跡します。
採点	ポートフォリオ計画のアイテムのスコアリングを開始し、事前定義またはカスタムのスコアに基づいて作業に優先順位を付けます。
目標管理	ポートフォリオ計画の目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネスの成果を推進します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	メリット
診断	構成およびその他の一般的な設定のエラーを特定して修正します。
キャパシティ計画立案	優先順位付けされた計画立案アイテムのリソースキャパシティを生成、表示し、適切に計画します。
財務計画	新しい [財務] 画面の包括的なビューを使用して、計画立案アイテムの財務計画を表示します。

戦略的計画 のレンズ

レンズは計画立案の視点を表します。視点は、組織内のさまざまなレベルの計画立案マネージャーによって異なります。レンズを使用すると、カスタマイズされたポートフォリオ計画を作成し、それを通じて作業 に優先順位を付け、高レベルのイニシアチブと目標に合わせることができます。

レンズ概要

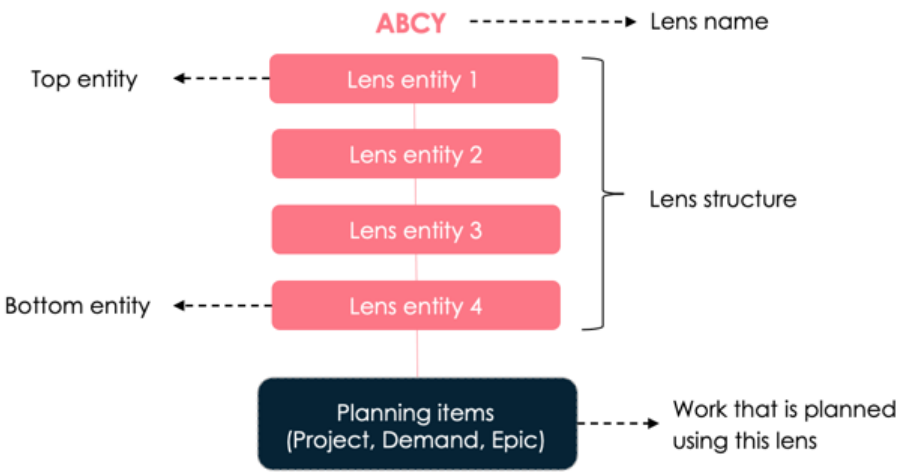
戦略的計画 のレンズは、作業の計画と資金調達を行うための視点を示します。レンズを選択して、計画立案の視点を選択し、作業の優先順位付けと調整を行います。たとえば、部門リーダーであれば、 組織レンズを選択できます。製品マネージャーは、製品レンズを選択できます。

レンズ構造

戦略的計画 内の各レンズは、 エンティティで構成される構造で構成されます。レンズのエンティティは、会社のさまざまなレベルの計画立案を表します。こうしたいずれかのレベルでポートフォリオ計画を作成できます。

レンズの下部エンティティに関連付けられた計画立案アイテムタイプは、これらのポートフォリオ計画を使用して計画できる作業のタイプを表します。

レンズ構造の例



たとえば、組織レンズ には、エンティティとして [会社]、[事業部門]、および [部門] があります。サポート部門の部門長は、部門レベルでポートフォリオ計画を作成できます。次に、部門にアサインされた作業に優先順位を付け、優先順位付けされた作業のロードマップを計画できます。この作業は、エピック、プロジェクト、デマンド、またはその他のカスタムタイプの形式にすることができます。

事前定義されたいずれかのレンズを使用して開始するか、計画のニーズに合わせて、最大 6 つのレベルでカスタムレンズ構造を構築します。

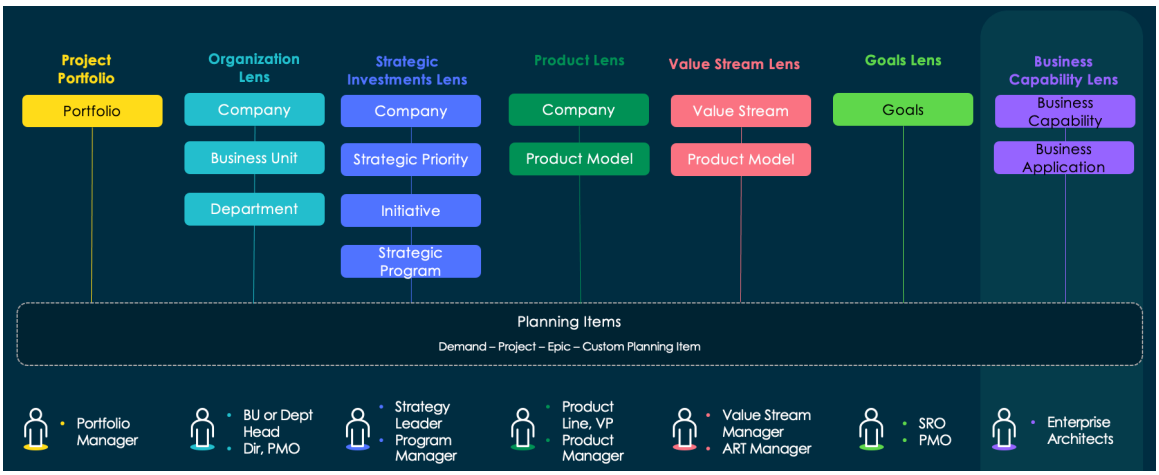
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前定義されたレンズとその構造

戦略的計画 には、ポートフォリオ計画の構築を開始するための、組織、製品、 戦略的投資、目標 、価値ストリーム、およびビジネス機能の 6 つの定義済みのレンズが用意されています。計画マネージャーは、会社でのロールに基づいてこれらのレンズを使用できます。

事前定義されたレンズの構造



レンズ	計画立案レベル (レンズのエンティティ)	計画マネージャー	説明
組織	• 会社 • 事業部門 • 部門	• 部門長 • 事業部門長	組織内の作業の移動を計画および追跡し、作業がさまざまなレベルに合わせてどのように調整されるかをビジュアル化します。
Product	• 会社 • 製品モデル	• プロダクトリーダー • プロダクトマネージャー	製品レンズから作業を計画、資金調達、および優先順位付けします。
戦略的投資	• 会社 • 戦略的優先事項 • イニシアチブ • 戦略的プログラム	• 戦略リーダー • EPMO	作業者にかかわらず、戦略的イニシアチブまたは戦略的プログラムを計画、管理、および監督します。
目標	目標	• ポートフォリオマネージャー • 事業部門長	• 定義された目標のためのポートフォリオ計画を作成、共有、および共同作業します。 • 進捗状況を追跡するターゲットを作成および設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レンズ	計画立案レベル (レンズのエンティティ)	計画マネージャー	説明
			• 目標を達成するために必要な作業を調整し、優先順位を付け、ロードマップを作成します。
バリューストリーム	• 製品モデル • Epic	• バリューストリームマネージャー • ART マネージャー	バリューストリームの作業を計画、資金調達、および優先順位付けします。
プロジェクトポートフォリオ	ポートフォリオ	• プロダクトマネージャー • ポートフォリオマネージャー	自社のプロジェクトポートフォリオの作業を計画、資金調達、および優先順位付けします。
ビジネスケイパビリティ	• ビジネス機能 • ビジネスアプリケーション	エンタープライズアーキテクト	ビジネス機能またはビジネスアプリケーションに基づいて作業を計画、優先順位付け、およびロードマップします。 このレンズは、ServiceNow エンタープライズアーキテクチャワークスペースが取り付けられている場合にのみ使用できます。

- 管理者の場合は、計画立案マネージャーの要件に基づいて、このような事前定義されたレンズの構造を変更するか、まったく新しいレンズを構成することができます。詳細については、「戦略的計画 でのレンズの構成」を参照してください。
- 計画マネージャーの場合は、ポートフォリオ計画について確認し、ビジネス戦略に沿って作業の調整を開始します。「戦略的計画 でのポートフォリオ計画」を参照してください。

戦略的計画 でのポートフォリオ計画

カスタマイズされたポートフォリオ計画は、適切な時期に会社の目標に沿って適切な作業のロードマップを作成するのに役立ちます。ポートフォリオ計画の計画に関するインサイトを使用して、共有戦略を促進し、エンタープライズ計画を改善します。

ポートフォリオ計画の概要

ポートフォリオ計画は、計画マネージャーごとのカスタム計画であり、レンズを使用して構築されます。これにより、計画立案マネージャーは目標を定義し、このような目標のターゲットを設定し、作業のロードマップの作成を行い、目標と計画された作業の整合性を確保できます。

戦略リーダーは、戦略的投資レンズを使用してイニシアチブの視点で計画し、部門長は、組織レンズを使用して部門の視点で計画します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

計画マネージャーは、さまざまなレンズを使用して複数のポートフォリオ計画を作成できます。さまざまな視点から作業の計画と進捗状況をビジュアル化し、ステークホルダーと共有します。

ポートフォリオ計画を使用すると、次のことができます。

- 目的の視点 (レンズ) で集中的に作業を計画できるようにします。
- 適切な作業に優先順位を付け、ビジネス戦略との整合性を向上させます。
- 実行チームを適切な作業に配置するために費やす時間を短縮します。

ポートフォリオ計画を使用した上位レベルの計画

戦略的計画 では、イニシアチブなどの戦略的アイテムのポートフォリオ計画を構築することで、組織の作業のロードマップを上位レベルで作成できます。上位レベルの計画立案アイテムは、通常、会社の複数の事業部門、部門、またはポートフォリオにまたがります。こうした戦略的作業アイテムは、会社の優先事項をさらに細分化するのに役立ちます。

- イニシアチブ：長期的な目標を達成するために使用されます。イニシアチブは、組織に持続可能な競争上の優位性をもたらすように設計されています。多くの場合、複数の部門間や事業部門間の調整とコラボレーションを必要とする大規模な作業が伴います。
- 戦略的プログラム：イニシアチブの特定のマイルストーンと成果を達成するために使用されます。

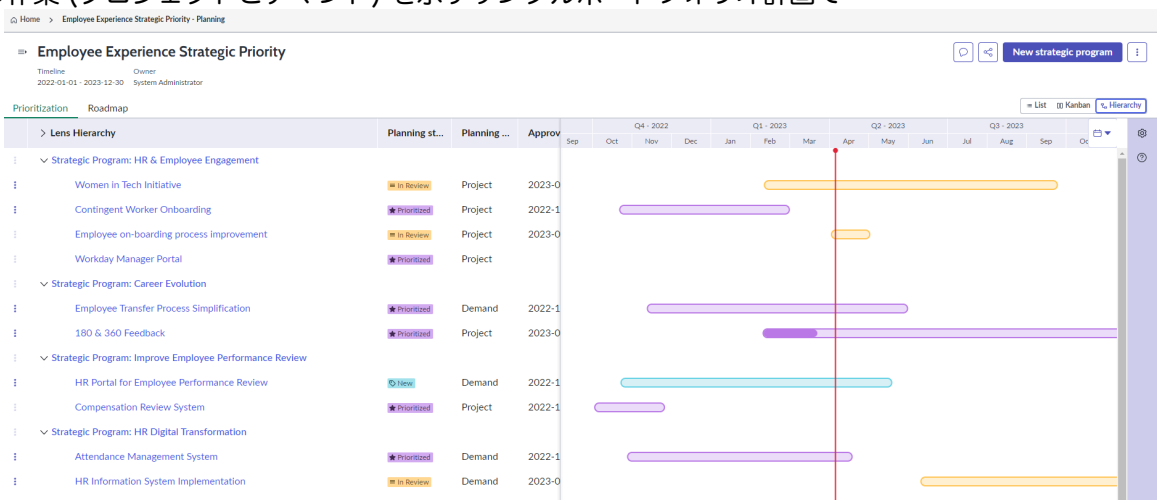
階層ビューを使用して、作業パイプラインをレビューし、 戦略的アイテムに関連付けられた下位レベルの計画立案アイテムにドリルダウンできます。

たとえば、EPMO として、各イニシアチブに関連付けられたエピックを表示できます 。また、これらのイニシアチブが整合している目標を表示および管理することもできます。

デフォルトでは、戦略的投資レンズからイニシアチブまたは戦略的プログラムを使用して、上位レベルのポートフォリオ計画を作成できます。「上位レベルのポートフォリオ計画の作成」を参照してください。

イニシアチブまたは戦略的プログラム以外の計画立案アイテムに対して上位レベルの計画立案を有効にする必要がある場合は、ServiceNow 管理者と協力して追加の構成を完了してください。「戦略的計画 での上位レベルの計画立案の構成」を参照してください。

以下は、会社のいくつかの戦略的プログラムと、それらに沿った下位レベルの作業 (プロジェクトとデマンド) を示すサンプルポートフォリオ計画です。



管理者と協力して、必要なレンズのセットアップを確実に行ってください。「戦略的計画 でのレンズの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ計画の作成を開始して、作業をビジネス戦略に合わせて調整します。「でのポートフォリオ計画の管理 戦略的計画」を参照してください。

Strategic Planning での採点

スコアリングにより、定義された定量的測定基準に基づいて、エピック、プロジェクト、デマンド、イニシアチブ、戦略的プログラム、その他の計画立案アイテムなどのアイテムに優先順位を付けることができます。

ポートフォリオ計画の採点フレームワークを選択する前に、使用できる事前定義されたフレームワークについてまず理解しておくと役立ちます。その後、希望する採点パラメーターに基づいて、事前定義された採点フレームワークのいずれかを使用するのか、カスタム採点フレームワークを作成するのかを選択できます。

以下は、ポートフォリオ計画に使用できる事前定義された 3 つの採点フレームワークです。

RICE

各基準を採点することによってアイテムを優先順位付けして評価するためのフレームワーク。これは、チームが 4 つの主要な基準 (リーチ、影響、信頼性、工数) に基づいてアイテムを評価および比較するのに役立ちます。

パラメーター：

- リーチ - プロジェクトまたは機能の影響を受けるユーザーまたはユーザーの数を示します。アイテムが到達できる潜在的なオーディエンスを推定することが不可欠です。たとえば、新しい機能が少数のユーザーサブセットによって使用される可能性が高い場合、ユーザーベースの大部分のユーザーによって使用される機能と比較して、リーチスコアが低くなる可能性があります。

  この値を設定するには、「一定期間内の既存/ターゲットユーザーの数は?」という質問に答え てください。

- 影響度:アイテムがユーザーまたは組織にもたらす潜在的な影響または利益を測定します。この基準は、プロジェクトが提供できる肯定的な結果と価値に焦点を当てています。

  この値を設定するには、「個々のユーザーにどの程度影響するか」という質問に答えてください。

- 信頼度-信頼度は、プロジェクトが意図した結果を達成する確実性のレベルを測定します。この基準は、チームがリーチと影響の見積もりにどの程度自信を持っているかを評価するものです。信頼度の高い項目は、通常、確かなデータ、ユーザーフィードバック、または以前の経験に基づいているため、期待される結果が得られる可能性が高くなります。

  この値を設定するには、「影響度とリーチスコアについてどの程度自信がありますか?」という質問に答えてください。

- 工数 - 製品、設計、開発の工数に基づく、人月の期間。この基準は、チームが実行の相対的な難しさを理解するのに役立ちます。作業スコアが高いアイテムには、より多くの開発時間、財務的投資、または既存のシステムの大幅な変更が必要になる場合があります。

  この値を入力するには、「このアイテムに必要な時間は人面月でどれくらいですか?」という質問に答えてください。

RICE スコアは次の式で計算されます。

```
RICE Score = (Reach x Impact x Confidence)/Effort
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

価値と工数

予定作業量とユーザー/顧客にもたらす価値に基づいて、計画立案アイテムに優先順位を付けるフレームワーク。価値と工数メソッドは、バックログ項目に優先順位を付ける最も簡単な方法です。

パラメーター：

- 価値 - 潜在的な収益、ユーザーのメリット、ビジネスへの影響度、および戦略的目標に基づくアイテムの有意性。

  この値を設定するには、「これは目標にどのように貢献しますか」という質問に答えてください。

- 工数 - 製品、設計、開発の見積もりなど、製品を構築するための期間。

  この値を設定するには、「タスクの提供の難易度はどれくらいですか?」という質問に答えてください。

価値と工数スコアは次の式で計算されます。

```
Value vs. Effort Score = Value/Effort
```

WSJF

最大の利益を得るためにアイテムを順序付けするためのフレームワークで、頻繁な優先順位変更が経済的価値の推進力である場合に特に役立ちます。このスコアは、遅延の相対的なコストと相対的なジョブ期間、ビジネス価値、時間の重要度、リスク削減、およびジョブのサイズに基づいています。

パラメーター：

- ユーザーのビジネス価値 - ユーザー/顧客にとっての相対的な重要性と、収益への潜在的な影響度。

  この値を設定するには、「このアイテムはビジネスにとってどの程度重要ですか?」という質問に答えてください。

- 時間の重要度 - ユーザーのビジネス価値が時間の経過とともにどのように低下するかを特定し、アイテム/機能をリリースする緊急性を示します。

  この値を設定するには、「アイテムの価値は時間の経過とともにどのように減衰するか」という質問に答えてください。

- リスク削減 - 技術的およびビジネス上のリスクを軽減し、新しい機会を可能にすることができるアイテムを特定します。

  この値を設定するには、「このアイテムはビジネスにとって他にどのような役割を果たしますか?

- ジョブのサイズ - タスクを完了するための相対期間。
- この値を設定するには、「タスクはいつ完了しますか?」という質問に答えてください。

WSJF スコアは次の式で計算されます。

```
WSJF Score = (User Business value + Time criticality + Risk reduction)/Job Size
```

Strategic Planning で計画立案アイテムのスコアリングを開始するには、「」を参照してくださいでの計画立案アイテムの採点 戦略的計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Strategic Planning のカスタム採点フレームワーク

戦略的計画 での目標管理

ポートフォリオ計画の目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、SE の目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネスの成果を推進します。

目標管理の主要 コンポーネント:

- 目標：戦略計画に基づいて達成したい目標。
- ターゲット：目標の進捗状況を追跡して測定するための目標のターゲット
- ターゲットソース：ターゲットの実績値を自動更新するためのターゲットの構成。

目標

目標とは、組織が組織計画を達成するために設定する目標を指します。目標は本来、定性的なものが一般的です。目標は意欲的なものでなければならず、チームの意欲をかきたて、やりがいを与えることが期待されます。目標の例を次に示します。

- 2022 年末までに再生可能エネルギーを使用。
- 職場の多様性を 50% 向上させる。

目標にサブ目標を設定することもできます。作業 (計画立案アイテム) と目標を結びつければ、目標達成の責任者を追跡することができます。

計画立案アイテム (デマンド、プロジェクト、およびエピック)、および戦略アイテム (プログラムとイニシアチブ) を目標と関連付けて、目標を達成するために行われている作業をキャプチャできます。

ターゲット

ターゲットは、目標を測定するのに役立ちます。たとえば、職場の多様性を 50 % 増やすという目標を達成するために、2022 年の第 1 四半期までに 30 % 多様な従業員を雇用することをターゲットにできます。

ターゲットの測定単位を定義することで、ターゲットを定量的または定性的に設定できます。定量的ターゲットは、数値ベース、カウント可能、測定可能です。定性的ターゲットは、解釈ベースで説明的であり、通常は [はい] または [いいえ] タイプです。

ターゲットは短い期間 (例：四半期) に細分化できるため、ターゲットを四半期ごとに設定したり、特定のブレークダウンターゲットを絞り込むことができます。ターゲットブレークダウンは、ターゲットに設定されたブレークダウン間隔に基づいて作成されます。ターゲットブレークダウン機能の仕組みついては、「のターゲットブレークダウン戦略的計画」を参照してください。

定性的ターゲット

定性的ターゲットは、通常は測定できませんが、ターゲットが達成されたかどうか追跡できます。定性的ターゲットに使用できる測定単位は「はい/いいえ」です。必要に応じて、定性的ターゲットの測定単位 (使用可能な選択セット) を定義したり、目標に合わせて定性的ターゲットを設定したりすることもできます。

たとえば、2023 年第 2 四半期のハッカソン実行のターゲットを達成するには、「はい/いいえ」の測定単位を使用して、2023 年第 2 四半期のハッカソン実行としてターゲットを設定できます。ターゲットのベースまたはターゲット値は、それぞれ「いいえ」と「はい」にすることができます。ハッカソンイベントでターゲットが成功した場合は、ターゲット値を「はい」に更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットソース

ターゲットソースは、ターゲットの実績値を自動更新するターゲットの構成であり、ターゲットとその目標の進捗状況が自動的に更新されます。Now Platform に存在する任意のテーブルまたはテーブルの組み合わせ (利益計画、コスト計画、サーベイ、インシデント、PA インジケーターなど) をターゲットソースとして構成できます。

ターゲットの実績値を自動化するために、次のターゲットソースタイプがサポートされています。

- PA インジケーター：PA インジケーターから必要なデータを取得して、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新します。
- アセスメント/サーベイ：アセスメント測定基準タイプとアセスメント測定基準カテゴリレコードから必要なデータを取得して、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新します。
- カスタムスクリプト：カスタムスクリプトは、設定されている任意の Now Platform テーブルから必要なデータをフェッチします。カスタムスクリプトオプションを使用すると、Now Platform に存在する任意のテーブルまたはテーブルの組み合わせをターゲットソースとして設定できます。

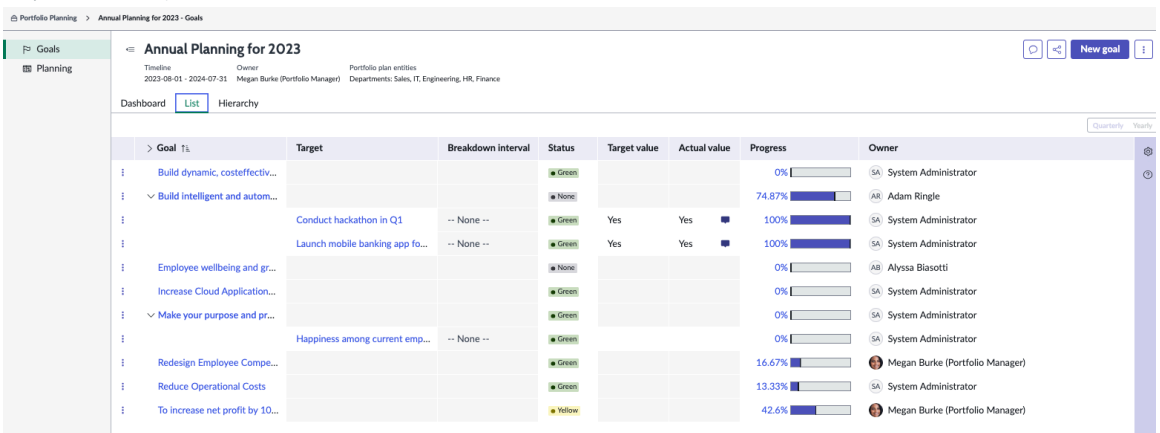
  利益計画の事前定義されたターゲット自動化スクリプト：事前定義されたデフォルトのスクリプトは、関連する作業アイテムの金銭的または金銭以外の利益計画の [実績利益] フィールドまたは [金銭以外の実績利益] フィールドから金銭的または金銭以外の値を取得することによって、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新するターゲットソースです。

  コンテキスト変数

  コンテキスト変数は、ターゲットソースの追加構成です。コンテキスト変数は、ターゲットフォームで必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新するために使用できる情報を提供します。コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。ターゲットソースの作成中に SPM のゴールフレームワーク スコープが選択されている場合、(アセスメント/サーベイおよび PA インジケータータイプの) ターゲットソースに対してコンテキスト変数が自動的に作成されます。コンテキスト変数の詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数」を参照してください。

自動翻訳

目標ビューの例



戦略的計画 での目標管理ワークフロー

戦略的計画 Workspace の目標ビューを使用すると、次のアクティビティを実行できます。

- 会社、事業部門、部門などのエンティティ の目標を作成します。詳細については、「での目標 の作成 戦略的計画」を参照してください。
- SPM のゴールフレームワーク を使用してターゲットを設定し、ターゲットの実績値を自動化します。詳細については、「ターゲット自動化のためのターゲットソースの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ターゲットの実績値を自動化しない場合でも、ターゲットの実績値を手動で更新できます。詳細については、「での目標 のターゲット設定 戦略的計画」を参照してください。

- 計画立案アイテムを目標に関連付けます。詳細については、「計画立案アイテムを目標に関連付ける」を参照してください。
- 計画立案アイテムの主要目標を関連付けまたは更新します。詳細については、「計画立案アイテムの主要目標の関連付けまたは更新」を参照してください。

目標 戦略的計画 を定義および管理する方法の詳細については、「」を参照してください 戦略的計画での目標管理。

戦略的計画 での優先順位付け

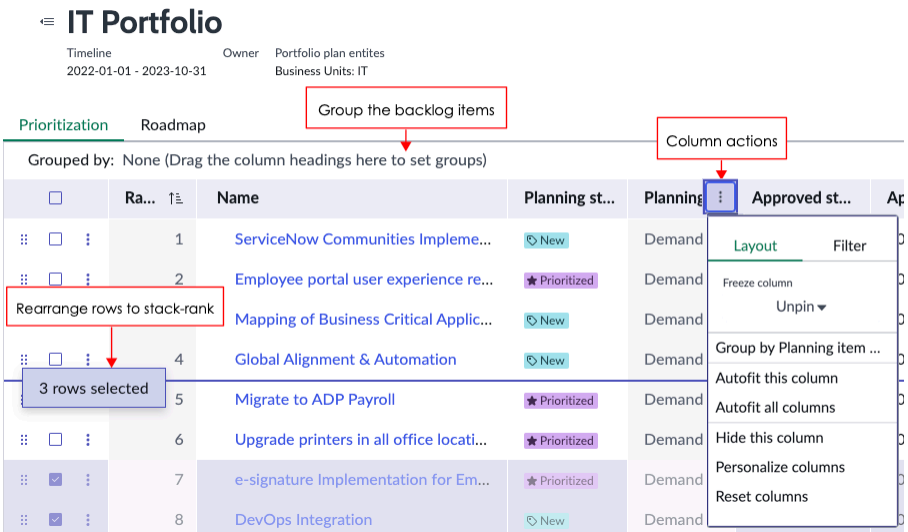
戦略的計画 の一元化されたワークスペースを使用して、ポートフォリオに関連する作業に優先順位を付けます。レビューして投資する適切な作業を決定します。

ポートフォリオ計画のロードマップをスケジュール設定する前に、既存の作業負荷と今後の作業負荷をあらかじめ把握しておくとよいでしょう。すべての作業アイテムを 1 か所にリストアップしておくと、作業パイプライン全体を把握しやすくなります。統合ビュー により、バックログの調整をスムーズに行えるため、優先順位付けが必要なアイテムを簡単に確認して決定できます。

ワークスペースの [優先順位付け] タブを使用して、ポートフォリオ計画のすべての新規および既存の作業をレビューし、そのバックログを表すことができます。優先順位付けでは、作業負荷を効率的に確認できるように、関連目標、計画コスト、計画利益などの各作業アイテムに関する情報が提供されています。これらのデータポイントを使用すると、アイテムを優先順に並べて、どのアイテムを他のアイテムよりも優先するかを決定できるようになります。[優先順位付け] タブには、バックログを確認および管理するための次のビューがあります。

リストビュー

計画立案アイテムはグリッド形式でリストされます。ドラッグ機能を使用して、アイテムをスタックランクし、目的の属性でグループ化して、優先度に基づいてソートすることができます。



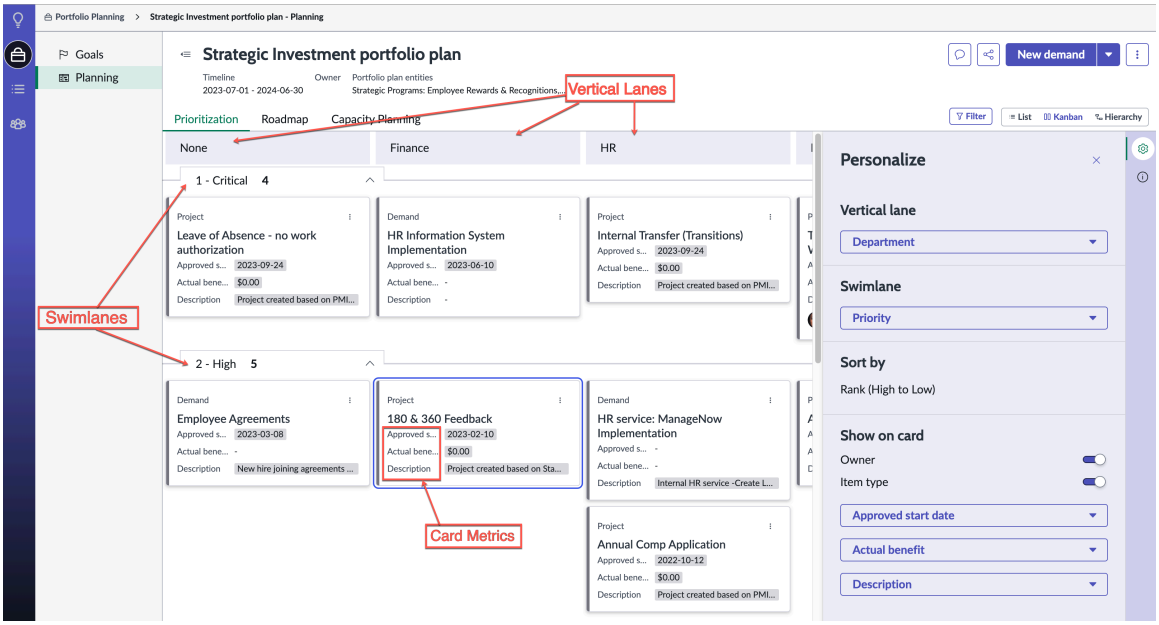
カンバンビュー

計画立案アイテムはカンバンボードに表示されます。ポートフォリオマネージャーは、垂直レーンとスイムレーンのアイテムをビジュアルして調整できます。カスタマイズ設定を使用すると、垂直レーンとスイムレーンを表示する属性を変更できます。 たとえ

自動翻訳

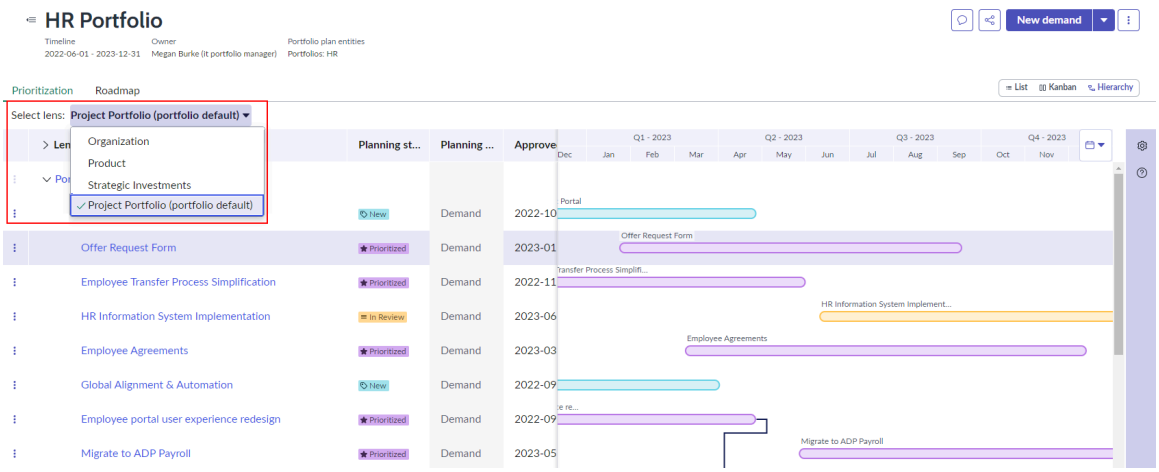
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ば、垂直レーンとスイムレーンの値を変更するだけで、計画ステータスと優先度別にグループ化したレコード表示できます。ドロップダウンリストから [なし] を選択して、スイムレーンの値を持たないようにすることもできます。カードに表示されるデータは、サイドパネルを使用して変更できます。この機能を使用すると、より効果的に優先順位を付け、必要な詳細のみをカードに表示できます。また、カードをクリックして詳細が表示されたサイドパネルを開き、同じページで計画立案アイテムの詳細を編集します。



階層ビュー

このビューには、現在のポートフォリオ計画の作業と他のレンズのエンティティとの調整がどのように行われるかが表示されます。レンズスイッチャーを使用すると、作業の調整を表示する視点を変更できます。ビューのタイムラインセクションを使用して、計画立案アイテム間のスケジュールや依存関係を可視化することで、作業の優先順位を効果的に設定できます。



戦略的計画 で作業パイプラインの管理を開始するには、「でのポートフォリオ計画作業の優先順位付け 戦略的計画」を参照してください。

戦略的計画 のロードマップ

戦略的計画 Workspace のビジュアルロードマップを使用して、会社の作業を戦略的に計画します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

組織が成長し、優先順位が変化していくにつれ、既存の計画を変更したり、新たな計画を簡単に作成したりできる柔軟性が重要になります。ロードマップを使用して、現在と今後の計画のレイアウトを作成しながら、それらを事業達成目標に合わせることができます。これらの視覚的な計画を組織全体の他のステークホルダーと共有し、有意義な会話を促進し、共通の理解を検証します。

各ロードマップは上位レベルの作業ブロックであり、エンタープライズプロジェクトマネージャー、ポートフォリオマネージャー、プロジェクトマネージャーなどのさまざまな計画立案ペルソナによって優先順位が付けられます。また、ロードマップは、開発中にデリバリーチームをガイドしながら、ステークホルダーにインサイトを提供します。

操作できるロードマップのタイプは次のとおりです。

- ポートフォリオ計画ロードマップ
- フリーフォームロードマップ

これらのロードマップで使用可能な機能は次のとおりです。

- ハイブリッドロードマップ
- ロードマップレベルのマイルストーン
- 計画立案アイテムレベルのマイルストーン
- 計画立案アイテムの依存関係
- トラッキングモード

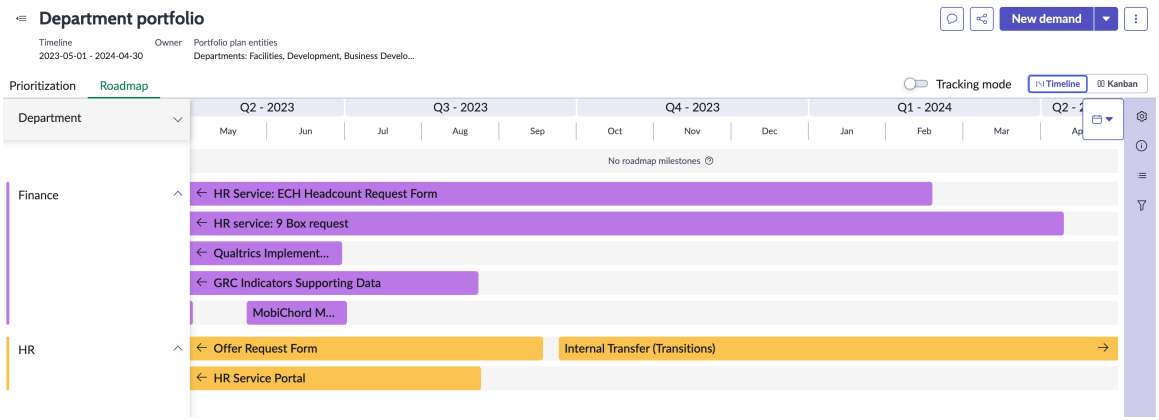
注:
ロードマップは 戦略的計画 でデフォルトで利用可能です 。Roadmap Planning (sn_roadmap_plng) は、独立したアプリケーションとしてインストールできなくなりました。

ポートフォリオ計画ロードマップ

レンズを使用して柔軟なポートフォリオ計画を作成することで、ポートフォリオの作業の優先順位付けとロードマップを行うことができます。これらのポートフォリオロードマップを使用して、組織のさまざまな視点の作業を個別に計画および追跡し、それらを会社の計画の概要に接続します。

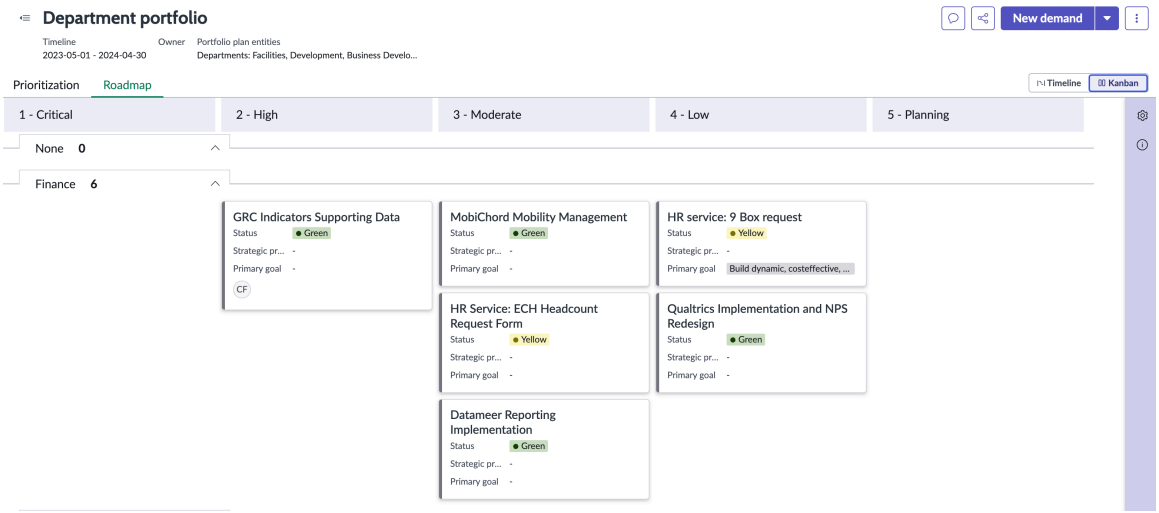
でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画 で開始します。ロードマップは、タイムラインビューとカンバンビューの両方で表示および編集できます。

ロードマップタイムラインビュー



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロードマップカンバンビュー



フリーフォームロードマップ

自由形式のロードマップを使用すると、複数のポートフォリオにわたる作業など、会社のさまざまな部門からの作業を柔軟に計画および追跡できます。

フィルター条件を使用して、ロードマップに必要な作業アイテムの種類を定義できます。部門のプロジェクト専用のロードマップが必要な場合は、プロジェクトのロードマップを定義して現在のプロジェクトの進捗状況の追跡を開始し、新しいプロジェクトの計画を作成します。

フリーフォームロードマップは、タイムラインビューとカンバンビューの両方で表示および編集できます。

「戦略的計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成」を参照してください。

ハイブリッドロードマップ

戦略的計画 では、ポートフォリオロードマップとフリーフォームロードマップの両方を使用して、ハイブリッドロードマップを構築できます。たとえば、プロジェクト、デマンド、およびエピックを組み合わせたものを単一のビューに含めることができます。

ロードマップのマイルストーン

ロードマップまたはロードマップ上の各計画立案アイテムのマイルストーンを作成できます。

ロードマップレベルまたはポートフォリオレベルのマイルストーン

ロードマップレベルで作成されたマイルストーンは、そのロードマップのタイムライン中に開始日または主要なイベントを追跡するのに役立ちます。ロードマップマイルストーンの作成方法については、「戦略的計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加」を参照してください。

計画立案アイテムのマイルストーン

アイテムレベルで作成されたマイルストーンを使用すると、戦略的な成果にさらに重点を置くことができます。こうしたマイルストーンは、期限や他の重要な日付を追跡するのに役立ちます。プロジェクト、デマンド、スクラムエピックなどのすべての計画立案アイテムのマイルストーンにアクセスできます。

ロードマップから、プロジェクトを除くすべてのタイプの計画立案アイテムに対してマイルストーンを作成および更新できます。プロジェクトマイルストーンを変更すると、関連するプロジェクト計画に影響する恐れがあるため、プロジェクトマイルストーンは

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロードマップ上では読み取り専用になります。そのため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) でプロジェクトワークスペースを使用してプロジェクトマイルストーンを作成または更新することをお勧めします。

ロードマップでアイテムレベルマイルストーンを作成する方法については、「戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムのマイルストーンを追加」を参照してください。

計画立案アイテムの依存関係

計画立案の際は、計画立案アイテムがそれぞれどのように関係しているのかを把握することが重要です。これが把握できていないと、タイムクリティカルなプロジェクトやデマンドの優先順位付けを誤ってしまう恐れがあります。また、情報が不足すると、適切な作業を適切な期間にスケジュール設定できなくなる可能性もあります。

ロードマップにおける依存関係を把握することで、こうした計画立案アイテム間の関係を視覚化することができ、それに応じてスケジュールを調整することができるようになります。

戦略的計画 では、依存関係をシンプル化したりハイブリッド化したりすることができます。たとえば、2 つのプロジェクト間、またはプロジェクトとエピック間の依存関係を確立することができます。また、計画立案アイテムは、同じポートフォリオ計画内のアイテムまたはまだ計画されていないアイテムに依存する可能性があります。

依存関係の行は、まとめて優先順位付けする必要があるアイテムを簡単に識別するのに役立ちます。このように計画立案アイテム間の関係性を簡単に識別できるようになることで、計画立案プロセスにおけるコラボレーションが向上し、意思決定が強化されます。

依存関係の作成や管理については、「戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加」を参照してください。

ロードマップの追跡モード

ロードマップ上の各アイテムのステータス、進捗状況、および測定基準を追跡します。計画立案アイテムバーのステータスインジケーターや完了率スコアを使用すると、情報に基づいた意思決定を事前に行い、作業の進捗状況をステークホルダーに簡単に伝えることができるようになります。

「戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの進捗状況の追跡」を参照してください。

作業とビジネス目標の整合性

作成してロードマップにスケジューリングする各計画立案アイテムは、高レベルのビジネス目標に関連付けることができます。戦略的計画 を使用すると、作業がこれらのビジネス目標にどのように沿っているかをロードマップビューから直接ビジュアル化できます。

ロードマップでは、計画立案アイテムを [戦略的優先事項] フィールドと [主要目標] フィールドでグループ化して、作業を目標にマッピングすることができます。

他の ServiceNow® アプリケーションとうまく併用する

ServiceNow® デジタルポートフォリオ管理 (DPM) を 戦略的計画 と統合することで、DPM マネージャーがロードマップ計画立案にアクセスできるようになります。この統合により、次のことが可能になります。

- 包括的なロードマップでサービスとパフォーマンスレベルを監視して、ポートフォリオのパフォーマンスを最適化する。
- 情報に基づいた予算決定を行い、バックログの優先順位付けとビジネスアプリケーションのロードマップの管理により、成果を共有する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「Digital Portfolio Management の詳細」を参照してください。

関連情報

- でのロードマップの使用 戦略的計画
- ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク

戦略的計画 でのキャパシティ計画立案

[キャパシティ計画立案] タブは、リソースのキャパシティ、割り当て、および使用率の包括的なビューをポートフォリオマネージャーに提供します。

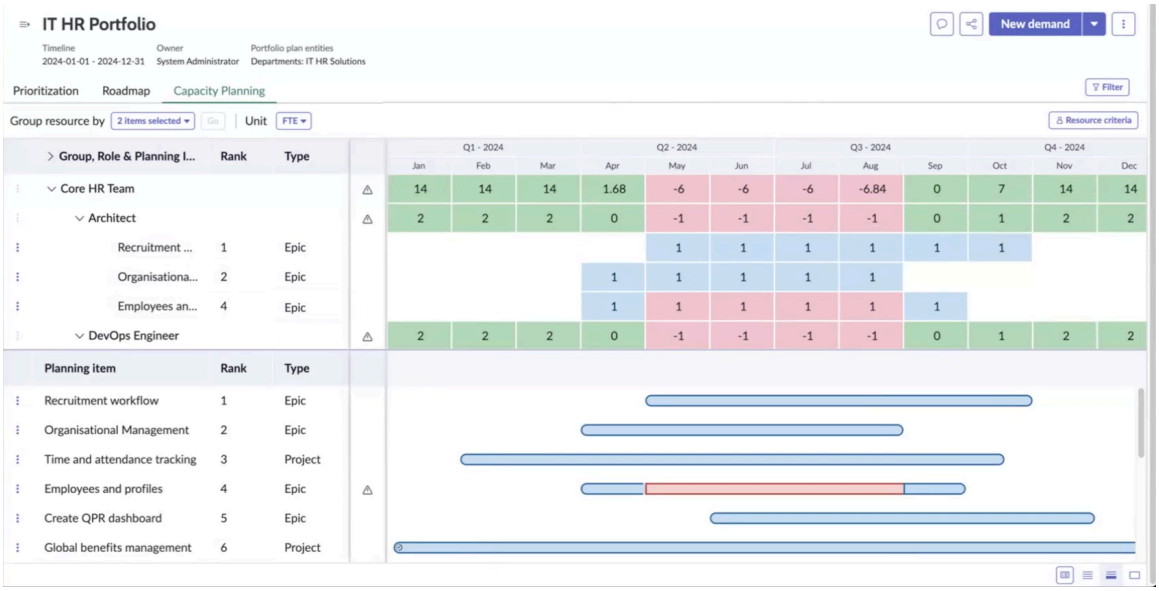
[キャパシティ計画立案] 画面を分析すると、次のことが簡単にできます。

- 優先順位付けされたポートフォリオアイテムのリソースキャパシティを表示します。
- グループ、ロール、スキルなどの主要な属性を使用して、組織全体のリソースキャパシティのニーズと見積りを把握します。
- ポートフォリオにおけるリソースの供給と作業のデマンドを効果的に予測します。
- 色インジケーターを使用して、リソースキャパシティ割り当てを理解し、その概要を把握します。
- 今後のアサインに備えて特定のスキルまたはロールを持つリソースを計画します。
- 直感的な新しいユーザーインターフェイスを使用して、リソース割り当ての健全性をすぐに表示すると、過剰な割り当てがある月別にポートフォリオ期間の詳細なブレークダウンが得られます。
- [ランク] フィールドを使用して、優先順位付けされた計画立案アイテムのリソースキャパシティのリスクを特定します。
- 警告アイコンを使用すると、使用率の高いリソース (過剰  リソースアイコン)、実際の日付を含む計画立案アイテム (実際の日付を持つ計画立案アイテムの [進行中] アイコン)、およびリソースのアサインがない  またはリソースグループ ([) を簡単に識別できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[キャパシティ計画立案] 画面



トップ画面の領域には、以下が表示されます。

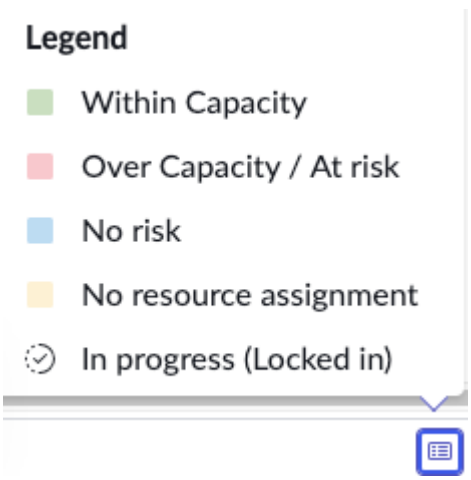
- 定義されたリソース基準に応じたリソースキャパシティの詳細
- 期間の割り当ての詳細
- プライマリ属性でグループ化されたリソース

画面下部の領域には、以下が表示されます。

- 優先順位付けされた計画立案アイテム
- 計画立案アイテムの期間でのインタラクティブなガントチャートガントバーを選択すると、その特定の計画立案アイテムのキャパシティのみが表示されます。

  注:
  計画立案アイテムのガントバーを移動して、利用可能なリソースキャパシティに応じて予定日を調整します。進行中アイコン ( ) で示され、実際の日付の計画立案アイテムは、リソースの可用性に合わせて調整することはできません。

- リソースキャパシティビューを調整するための切り替えオプション ( )。
- 計画立案アイテムのリソースキャパシティとガントバーの視覚的表現を説明する凡例。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案アイテムの財務計画立案

プロジェクト、デマンド、エピックなどの計画立案アイテムの計画立案、再予測、財務の追跡、ベースラインの作成を行います。

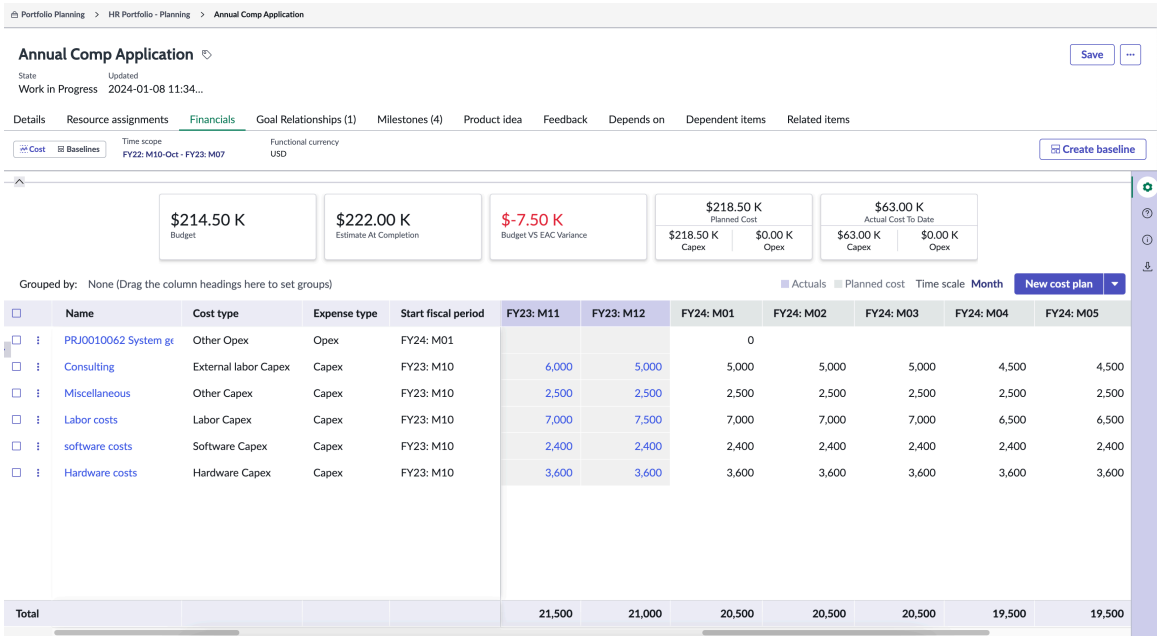
財務ビューでは、会計期間全体の実際の経費と予定経費が簡素化されて表示されます。過去の会計期間の実績コスト、現在および将来の会計期間の計画コスト、四半期および年の合計、および合計作業期間を表示することで、最新の完了コスト概算を表示できます。

このインターフェイスを使用すると、コスト計画、経費明細、およびベースラインを作成できます。プロジェクトマネージャーまたは財務ユーザーは、次のことができます。

- [詳細] タブの簡易財務セクションを使用して、計画立案アイテムの上位レベルの財務予測を入力します。
- 計画経費および計画投資の概括的な見積もりを処理します。
- [財務] タブを使用して、計画コストの詳細なブレークダウンを作成します。
- 優先順位付けグリッドで、各エピックの計画コスト、実績コスト、および計画利益のロールアップを表示します。
- コスト計画の追加、編集、または削除 コスト画面から簡単に。
- インライン編集機能を使用して、予定経費を再予測します。
- 計画立案アイテムの時間スコープ全体について、過去の実績コストと将来の計画経費を示す簡素化されたビューを表示する。
- 合計時間スコープと年次ブレークダウンについて、EAC (完了時の推定)、ETC (完了までの推定)、および各コスト計画の現在までの実績を表示することで、より優れた包括的なソリューションを得る。
- グリッドのインライン編集機能を使用して、四半期および年次の合計を直接更新することで、将来の会計期間の計画コストを再予測します。
- 人件費の生成 計画立案アイテムの全スコープに対するリソースのアサインに応じて、組織用に構成された財務属性によって分類されます。属性ベースのマッピングの計画立案属性の詳細については、「計画立案属性」を参照してください。
- 関連するコスト計画の詳細が事前入力されたサイドパネルから、コスト計画について簡単に経費明細の追加または編集。
- [新しい経費明細] サイドパネルを使用して予定外の経費を記録します。
- 財務ベースラインを作成して比較し、計画立案アイテムの財務を追跡します。
- 財務ベースラインを作成し、ベースラインの比較機能を使用して、最新のコスト (過去の会計期間の実際の経費と、現在および将来の会計期間の計画コスト) を当初の予測計画コストと比較します。
- 財務ベースラインを手動または自動でキャプチャして、コストの差異の原因と、いつ発生したかを経時的に分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[財務] 画面では、以下の情報を表示できます。

- 時間スコープ：計画立案アイテムまたはコスト計画の期間のうち、会計期間の範囲が大きい方。
- 機能通貨 – 財務の計算に定義および使用される通貨。
- 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、計画コストのブレークダウン、コストタイプ別の現在までの実績など、さまざまな財務情報を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。

  注:
  [予算] および [予算と EAC の差異] ウィジェットは、デマンドとプロジェクトでのみ使用できます。

- タイムスケール： 財務を表示するための期間ブレークダウン。デフォルト値は、会計カレンダータイプに応じて [月]/[期間] に設定されます。
- 人件費の生成：リソースのアサインに応じて計画立案アイテムの計画人件費を生成または更新するワンクリックソリューション。

  注:
  このオプションは、属性ベースのリソースがアサインされているプロジェクトでのみ有効になります。

- 左ペインには、[名前]、[コストタイプ]、[経費タイプ]、[統計会計期間]、[会計期間の終了]、[合計計画コスト]、[従業員タイプ]、および [ロール] が表示されるコスト計画属性が表形式で表示されます。これらのフィールドはカスタマイズできます。詳細については、「財務の左ペインビューのカスタマイズ」を参照してください。
- 右ペインに、現在までの合計実績、選択した時間スコープ期間の合計 EAC (完了時の推定) と合計 ETC (完了までの推定)、過去の会計期間のコスト計画に対する実績経費、現在までの実績、現在の会計年度の EAC と ETC、および現在および将来の会計期間の計画コストを表示します。

  注:
  経費タイプを簡単に識別して区別できるように、実績経費と予定経費のヘッダー行が異なる色で色分けされています。凡例は [タイムスケール] フィールドに対してマークされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 新しいコスト計画：エンティティの新しいコスト計画を作成するための簡素化されたサイドパネルを開きます。
- テーブルの左ペインの列をカスタマイズするための [カスタマイズ] オプション
- コストまたはベースラインの比較を Microsoft Excel または CSV ファイルとしてダウンロードするためのエクスポートオプション。

戦略的計画 **with** PPM、Agile 2.0、および **SAFe**

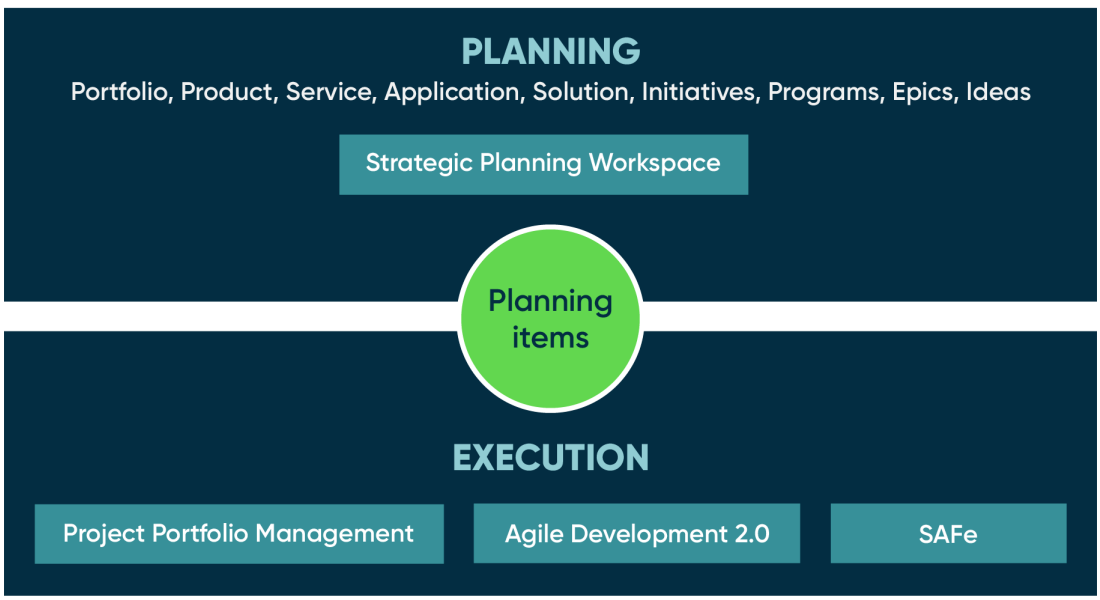
プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) や Agile Development 2.0 などの ServiceNow アプリケーションや、Scaled Agile Framework などの 戦略的計画 で計画された作業がスムーズに実行できるようになります。

ポートフォリオマネージャーやプロダクトオーナーなどの計画立案ペルソナは、戦略的計画 を使用することで、計画を事業達成目標に合わせられるようになるだけでなく、作業の遂行方法を決定する実行チームに柔軟性を持たせることもできるようになります。

チームは、最も効果的な方法を選択して、ニーズに最適な実行システムを決定することができるようになります。さらに、ServiceNow プロジェクトポートフォリオ管理、Agile Development 2.0、Scaled Agile Framework (SAFe) などのアプリケーションを使用して、マネージャーが計画した作業を実行できるようになります。

こうした柔軟性のあるアプローチで作業を遂行することにより、チームは活気づけられ、さらなる価値を生み出せるようになります。さらに、あらゆる作業における資金調達、管理、監視が 1 つのワークスペースで可能になります。

ServiceNow® アプリケーションとの 戦略的計画 統合



戦略的計画 **with** PPM、Agile 2.0、および **SAFe** の主なメリット

- 利用可能な PPM、Agile 2.0、および SAFe 計画立案アイテムを 戦略的計画で表示します。
- PPM、Agile 2.0、または SAFe から 戦略的計画に計画立案アイテムをインポートします。
- 戦略的計画 から PPM、Agile 2.0、または SAFe に計画立案アイテムをエクスポートします。
- 戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe のリンクされた計画立案アイテムの更新を同期します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リンクされた計画立案アイテムの進捗状況を 戦略的計画 で追跡します。
- アイデアポータルをProduct Feedbackと統合することで、アイデアポータルからProduct Feedbackへのアイデアのフローを追跡します。

戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe の統合を開始するには、「戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe の構成」を参照してください。

戦略的計画 の構成

戦略的計画 を設定して製品マネージャーやポートフォリオマネージャーがビジネス目標と戦略に合わせて作業に取り組むために必要なプロセスについて説明します。

構成ワークフロー

戦略的計画 をセットアップするプロセスの指針として、次のステップを使用してください。これらのステップの中には、admin ロールが必要なものと、sn_line_core.apw_admin ロールが必要なものがあります。

1. 戦略的計画 のインストール。
2. ユーザーロールをアサインします。

   戦略的計画 とともにインストールされるコンポーネント のインストールされるロールのテーブルを参照してください。

   注:
   古いバージョンから v2.1.0 以降に 戦略的計画 アップグレードする場合は、roadmap_editor ロールが使用されなくなるため、milestone_editorロールをroadmap_editor ロールから削除するための修正スクリプトが実行されます。この場合、インスタンスにroadmap_editorロールを持つ多数のユーザーがいると ServiceNow 、アップグレードが完了するまでに時間がかかることがあります。詳細については、「KB1443618」を参照してください。

3. 計画マネージャーがポートフォリオ計画を作成できるようにレンズを設定します。

   「戦略的計画 でのレンズの構成」を参照してください。

4. デフォルトで有効になっていないテーブルの上位レベルの計画立案を有効にします。

   (Optional) 「戦略的計画 での上位レベルの計画立案の構成」を参照してください。

5. レンズ、計画立案アイテム、ポートフォリオ計画、上位レベルの計画などの構成を検証します。

   「戦略的計画 診断」を参照してください。

6. 優先順位付けおよびロードマップ表示設定を構成します。

   (Optional) 「の優先順位付けの表示設定 戦略的計画」を参照してください。

7. フィードバックと製品アイデアを設定 Product Feedback および管理 します。「Product Feedback での戦略的計画の構成」を参照してください。
8. 戦略的計画 を、選択した ServiceNow 実行システムと統合します。この統合により、戦略的計画 で計画し、選択した実行アプリで実行できるようになります。

   「戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe の構成」および「Product Feedback での戦略的計画の構成」を参照してください。

9. 既存の目標を 戦略的計画 に移行し、目標設定を構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

「戦略的計画 での目標の設定」を参照してください。

10. キャパシティ計画立案を構成し、リソースキャパシティを生成します。

    「戦略的計画 でのキャパシティ計画立案構成」を参照してください。

11. エピックの財務計画立案を有効にし、[財務] 画面ビューをカスタマイズします。

    「戦略的計画 の財務の構成」を参照してください。

戦略的計画 を構成するための **Guided Setup**

Guided Setup には一連のタスクがあり、ServiceNow のインスタンスで必要な設定を行うのに役立ちます。後 インストール 戦略的計画、移動先 すべて > 戦略的計画 > ガイド付き設定.

Guided Setup からタスクを設定する場合は、[ヘルプを表示] アイコン () をクリックすると、追加のガイダンスのアプリ内ヘルプを起動できます。

戦略的計画 のインストール

管理者ロールを持っている場合は、ServiceNow Store から 戦略的計画 アプリケーションをインストールします。

始める前に

アプリケーションとその関連するすべてのストアアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください： のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して 戦略的計画 アプリケーションを検索します。

   名前または ID (sn_apw_advanced) でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow へのリクエストが必要になることもあります。

3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   使用中のアプリケーションが他のアプリケーションを必要とし、それがまだインストールされていない場合は、先にインストールしておいてください。アプリケーションをインストールする時点で、依存アプリケーションまたはプラグインがインストールされていない場合は、それらも自動的にインストールされます。

5. デモデータをインストールする場合は、[デモデータのロード] をクリックします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> インストール時にストアアプリケーションのデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] をクリックします。

タスクの結果
以下のコンポーネントは、戦略的計画 アプリケーションのインストール時にインストールされます 。

- ロール
- テーブル

詳細については、「戦略的計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

Strategic Planning v2.0.1 への移行

古いバージョンの アラインメントプランナーワークスペース から 戦略的計画 v2.0.1 以降にアップグレードする場合は、移行スクリプトを実行してアップグレードを完了する必要があります。次の表に、アラインメントプランナーワークスペース の既存の各バージョンで実行する必要がある移行スクリプトに関する情報を示します。

この既存のバージョンの場合	次の移行を実行
• アラインメントプランナーワークスペース (v4.1.1 以前) • アラインメントプランナーワークスペース with PPM, Agile 2.0 and SAFe (v3.01 以前)	• 計画階層をレンズ構造に移行する • 計画立案組織を戦略的優先度テーブルと目標テーブルのターゲットテーブルに移行する • アサインされたエンティティの目標関係を移行する **注:** これらの移行スクリプトは、上記と同じ順序で実行する必要があります。
アラインメントプランナーワークスペース (v5.0.1)	アサインされたエンティティの目標関係を移行する **注:** この移行を実行する必要があるのは、 会社、 事業部門、 部門、および ポートフォリオ以外のレンズエンティティで目標関係 (m2m) を作成した場合のみです。

レンズおよびポートフォリオ計画の計画立案アイテム構成

戦略的計画 Workspace で計画立案マネージャーが作業できるデフォルトおよびカスタムの計画立案アイテムのタイプについて説明します。

レンズを使用して構築するすべてのポートフォリオ計画について、そのレンズに追加されたアイテムタイプのみが計画に使用できます。たとえば、レンズ XYZ にエピックとプロジェクトが追加されているとします。この場合、XYZ レンズを使用して構築する任意のポートフォリオ計画では、エピックおよびプロジェクトの形式の作業のみを計画できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトの計画立案アイテム

デフォルトでは、プロジェクト、デマンド、およびエピックをレンズの計画立案アイテムとして使用して、計画を作成できます。

事前定義されたカスタム計画立案アイテム

別のアイテムタイプを使用する場合は、ServiceNow インスタンスで利用可能な最大 5 つの事前定義済みカスタム計画立案アイテムテーブルを使用できます。

1. 利用可能なカスタム計画立案アイテムタイプテーブルを 1 つ選択します。「戦略的計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
2. 使用するテーブルのラベルを変更します。

   たとえば、インシデントを計画する場合は、[カスタム計画立案アイテム 1] のラベルを [インシデント] に変更します。

3. このテーブルを *sn_align_core.planning_item_types_allow_list* プロパティに追加します。「戦略的計画 でのカスタムアイテムタイプの有効化」を参照してください。

新しいカスタム計画立案アイテム

これらの 5 つの事前定義済みカスタム計画立案アイテムテーブルをすべて使用し、 別のアイテムタイプをポートフォリオ計画に使用する場合は、新しいアイテムタイプを定義できます。「戦略的計画での新しい計画立案アイテムタイプの定義」を参照してください。

戦略的計画 での既存の計画立案アイテムタイプの確認

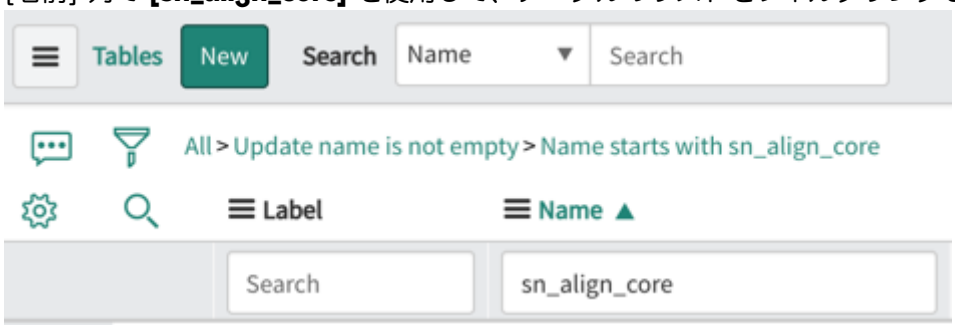
レンズを使用してポートフォリオ計画を作成する場合は、 戦略的計画 のデフォルトの計画立案アイテムタイプが会社の計画立案ニーズに合っていることの検証から開始します。

始める前に
会社の計画ニーズの詳細があることを確認します。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [名前] 列で **[sn_align_core]** を使用して、テーブルのリストをフィルタリングします。



3. [拡張テーブル] 列に [計画立案アイテム] があるテーブルをレビューします。
   これらが、ポートフォリオ計画に必要なレンズの設定に必要なすべてのテーブルであるかどうかを確認します。

次のタスク
利用可能なもの以外の計画立案アイテムタイプが必要な場合は、5 つの事前定義済みのカスタム計画立案アイテムテーブルを使用するか、独自のものを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 事前定義されたカスタム計画立案アイテムテーブルを有効にします。
- 戦略的計画 での新しい計画立案アイテムタイプの定義

戦略的計画 での新しい計画立案アイテムタイプの定義

戦略的計画 にカスタム計画立案アイテムタイプを作成して、ポートフォリオ計画で計画できるようにします。

始める前に

インスタンスのアプリケーションスコープが ポートフォリオ計画 に設定されていることを確認します。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「計画立案アイテムタイプフォーム」を参照してください。
4. オプション: [モジュールの作成] チェックボックスの選択を解除します。
5. フォームを保存します。
   a. 追加アクションアイコン (☰) を選択します。
   b. [保存] を選択します。

次のタスク

計画立案アイテムタイプを作成した場合は、それに関連するフォームビューを作成します。詳細については、「戦略的計画 での新しい計画立案アイテムテーブルのフォームビューの作成」を参照してください。

戦略的計画 での新しい計画立案アイテムテーブルのフォームビューの作成

作成する新しい計画立案アイテムのテーブルごとに、それに必要なフォームビューを作成する必要があります。既存の計画立案アイテムのビューをカスタマイズすることもできます。

始める前に

- 戦略的計画 での新しい計画立案アイテムタイプの定義。
- インスタンスのアプリケーションスコープが ポートフォリオ計画 に設定されていることを確認します

必要なロール：admin

このタスクについて

必要なフォームビューは次のとおりです。

- APW プレビュー：ロードマップサイドパネルに計画立案アイテムの詳細を表示するために使用されるビューをサポートします。
- APW のデフォルト：戦略的計画 の計画立案アイテムフォームのデフォルトビューをサポートします。
- APW 新規：ロードマップからこのタイプの計画立案アイテムを作成する際に使用されるフォームビューをサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [拡張テーブル] 列の [計画立案アイテム] を使用して、テーブルのリストをフィルタリングします。
3. 作成した計画立案アイテムタイプを選択します。
4. [レイアウトフォーム] 関連リンクを選択します。
5. [ビュー名] フィールドから、[新規] を選択します。
6. [新規ビューを作成] ウィンドウで、[ビュー名] フィールドに次のいずれかの名前を入力します。
   - APW プレビュービューを作成するには、「**Workspace APW Preview**」と入力します。
   - APW デフォルトビューを作成するには、「**Workspace APW Default**」と入力します。
   - APW 新規ビューを作成するには、 「**Workspace APW New**」と入力します。

   これら以外のビューを作成する場合は、ビュー名に特殊文字が含まれていないことを確認してください。たとえば、「SAFe-Portfolio」という名前のビューを作成する場合は、ハイフン (-) をスペースに置き換え、「SAFe Portfolio」という名前を入力します。
7. **[OK]** を選択します。
8. フィールドの [利用可能] および [選択済み] リストを使用して、フォームに表示するフィールドを選択します。
   選択した順序で並べ替えることもできます。新しいテーブルのフォームビューをデフォルト設定のフォームビューと一致させるには、次の変更を行ってください。
   - [プレビュー] ビューと [APW デフォルト] ビューの場合、[戦略的優先事項] フィールドと [主要目標] フィールドを選択して、フォームに表示できるようにします。
   - 3 つのビューすべてで、フォームに表示されるように、レンズの下部のエンティティのフィールドを選択します。
   - 3 つのビューすべてに対して、[マイルストーン] 関連リストを追加します。「フォームに関連リストを追加する」を参照してください。
9. [保存] を選択します。
   この計画立案アイテムタイプに対して新しいフォームビューが作成されます。
10. ステップ 4 ～ 8 を繰り返して、他の 2 つのフォームビューの作成を完了します。

次のタスク
Strategic Planning での新しい計画立案アイテムテーブルのリストビューの作成。

Strategic Planning での新しい計画立案アイテムテーブルのリストビューの作成

作成する新しい計画立案アイテムのテーブルごとに、それに必要なリストビューを作成する必要があります。既存の計画立案アイテムのビューをカスタマイズすることもできます。

始める前に

- 戦略的計画 での新しい計画立案アイテムタイプの定義。
- インスタンスのアプリケーションスコープが ポートフォリオ計画 に設定されていることを確認します

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
作成した計画立案アイテムテーブルの [APW のデフォルト] および [APW の優先順位付け] リストビューを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [拡張テーブル] 列の [計画立案アイテム] を使用して、テーブルのリストをフィルタリングします。
3. 作成した計画立案アイテムタイプを選択します。
4. [リストレイアウト] 関連リンクを選択します。
5. [リストビュー] セクションの [ビュー名] フィールドから、[新規] を選択します。
6. [ビュー名] フィールドに「**APW** のデフォルト」と入力します。
7. **[OK]** を選択します。
8. フィールドの [利用可能] および [選択済み] リストを使用して、この計画立案アイテムのリストビューに表示するフィールドを選択します。
   選択した順序で並べ替えることもできます。
9. [保存] を選択します。
   この計画立案アイテムタイプに新しいリストビューが作成されます。
10. 手順 4 ~ 9 を繰り返して、**[APW** の優先順位付け] のリストビューを作成します。

次のタスク
Strategic Planning での新しい計画立案アイテムタイプの関連リストビューの作成

Strategic Planning での新しい計画立案アイテムタイプの関連リストビューの作成

作成する新しい計画立案アイテムのテーブルごとに、それに必要な関連リストビューを作成する必要があります。既存の計画立案アイテムの関連リストビューをカスタマイズすることもできます。

始める前に

- 戦略的計画 での新しい計画立案アイテムタイプの定義。
- インスタンスのアプリケーションスコープが ポートフォリオ計画 に設定されていることを確認します

必要なロール：admin

このタスクについて
計画立案アイテムテーブルに追加するすべての関連リストは、[APW のデフォルト] ビューにある必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [拡張テーブル] 列の [計画立案アイテム] を使用して、テーブルのリストをフィルタリングします。
3. 作成した計画立案アイテムタイプを選択します。
4. [フォームを表示] 関連リンクを選択します。
5. フォームヘッダーで [他のアクション] メニュー (☰) を選択し、 構成 > 関連リスト.
6. [リストビュー] セクションの [ビュー名] フィールドから、[新規] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [ビュー名] フィールドに「**APW** のデフォルト」と入力します。
8. **[OK]** を選択します。
9. 関連リストの [利用可能] リストと [選択済み] リストを使用して、計画立案アイテムフォームに必要なものを選択します。
   選択した順序で並べ替えることもできます。
10. [保存] を選択します。

次のタスク
戦略的計画 の新規計画立案アイテムフォームに対するワークスペースビュールールの作成。

戦略的計画 の新規計画立案アイテムフォームに対するワークスペースビュールールの作成

戦略的計画 で新規計画立案アイテムタイプのフォームビューのワークスペースビュールールを定義します。

始める前に

- 戦略的計画 での新しい計画立案アイテムテーブルのフォームビューの作成
- インスタンスのアプリケーションスコープが ポートフォリオ計画 に設定されていることを確認します

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペースエクスペリエンス > フォーム > ワークスペースビュールール.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ビュールールフォーム」を参照してください。
4. [条件] セクションで、[フィルター条件の追加] を選択し、次の条件を追加します。
   - APW デフォルトビューの場合：[作成済み] は [空ではない]
   - デフォルトビューの場合：[作成済み] は [空]
5. [送信] を選択します。
6. 両方のワークスペースビュールールの作成が完了するまで、このプロセスを繰り返します。

次のタスク
戦略的計画 でのカスタムアイテムタイプの有効化。

戦略的計画 でのカスタムアイテムタイプの有効化

戦略的計画 でカスタム計画立案アイテムタイプの使用を有効にして、計画立案マネージャーがフリーフォームロードマップまたはポートフォリオ計画への追加を開始できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップでの計画立案を許可するテーブルをシステムプロパティに追加します。

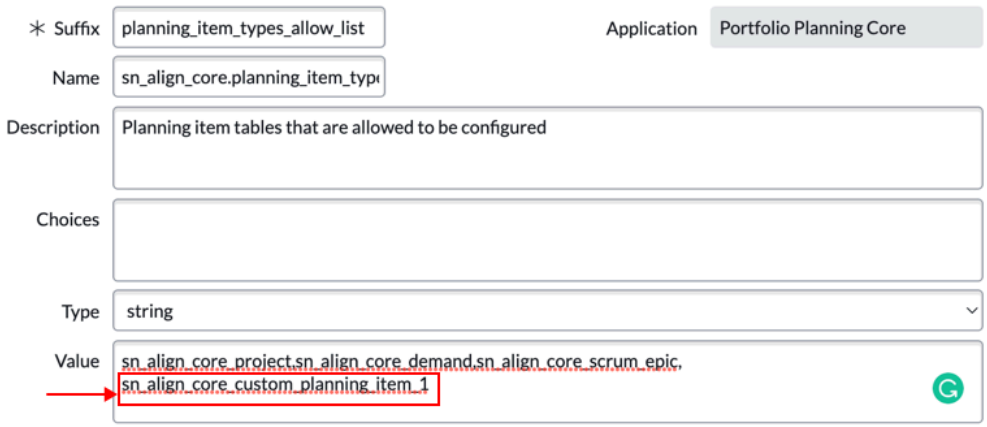
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. 次のいずれかのシステムプロパティを開きます。
   - ポートフォリオ計画の場合：*sn_align_core.planning_item_types_allow_list*
   - フリーフォームロードマップの場合：*freeform_planning_items_creation_list*
3. [値] フィールドに、カスタムテーブルを追加します。

   たとえば、**sn_align_core_custom_planning_item_1** を追加します。



4. [更新] を選択します。

次のタスク

- ポートフォリオ計画の場合：カスタム計画立案アイテムタイプを、計画立案マネージャーが使用するレンズに追加します。「レンズフォーム」を参照してください。
- フリーフォームロードマップの場合：戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する

戦略的計画 でのレンズの構成

計画立案マネージャーのレンズを設定できるように、戦略的計画 で計画立案アイテムの設定を構成し、レンズの構成を追加する方法について説明します。

計画立案マネージャーは、事前定義された 6 つのレンズ (組織、プロジェクトポートフォリオ、製品、戦略的投資、価値ストリーム、目標) のいずれか 1 つを使用して、ポートフォリオ計画を作成したり、それらのカスタムレンズ構成を設定したりできます。

事前定義済みレンズ	カスタムレンズ
1. [レンズ] リストに移動し、事前定義された各レンズの計画立案アイテムとして [エピック] を追加します。「レンズフォーム」を参照してください。 2. (オプション) 要件に従って、これらのレンズの構造を変更します。「戦略的計画 のレンズ構造の追加または変更」を参照してください。 3. 製品レンズまたは戦略的投資レンズに含まれている計画立案アイテムタイプについては、必要	1. でのレンズの作成または変更 戦略的計画。 2. 戦略的計画 のレンズ構造の追加または変更。 3. 計画立案アイテムをレンズの下部エンティティに関連付けます。「レンズ構造フォーム」を参照してください。 4. すべての計画立案アイテムタイプのすべての APW フォームビューに、レンズの下部

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前定義済みレンズ	カスタムレンズ
なすべてのフォームビューやリストビューにレンズの下部エンティティのフィールドが含まれていることを確認してください。 **4.** 製品または戦略的投資の場合は、[フィールド別にグループ化] および [フィールド別の色] に下位エンティティとその親エンティティを含めるようにロードマップ構成を更新します。「優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ」を参照してください。 **5.** 選択した ServiceNow 実行アプリケーションとの統合を設定します。「戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe の構成」を参照してください。	エンティティのフィールドが含まれていることを確認します。 **5.** [フィールド別にグループ化] および [フィールド別の色] に下位エンティティとその親エンティティを含めるようにロードマップ構成を更新します。「優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ」を参照してください。 **6.** レンズを検証してアクティブ化します。「戦略的計画 でレンズをアクティブ化」を参照してください。 **7.** 選択した ServiceNow 実行アプリケーションとの統合を設定します。「戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe の構成」を参照してください。

でのレンズの作成または変更 戦略的計画

レンズを作成して、戦略的計画 で会社の計画の視点の定義を開始します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
レンズレコードを作成し、このレンズを使用して計画できるアイテムのタイプ (プロジェクト、デマンドなど) を追加します。レンズに関連付ける計画立案アイテムのタイプは、ポートフォリオ計画で、計画マネージャーが使用できる唯一の作業のタイプです。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > レンズ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「レンズフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

次のタスク
戦略的計画 のレンズ構造の追加または変更。

関連情報

戦略的計画 のレンズ

戦略的計画 のレンズ構造の追加または変更

計画マネージャーが 戦略的計画 でポートフォリオ計画の作成を開始できるように、エンティティをレンズに追加し、その構造を構築します。

始める前に
アプリケーションスコープが **Portfolio Planning Core** に設定されていることを確認します。

必要なロール：admin

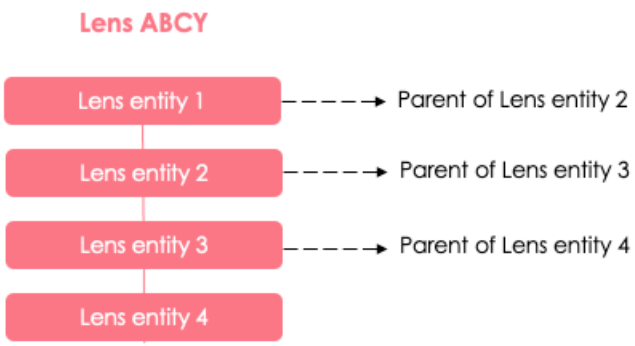
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
レンズの場合は、エンティティを追加して新しいレンズ構造を構築するか、既存の構造を変更します。最大 6 つのエンティティをレンズ構造に追加できます。レンズとその構造の詳細については、「戦略的計画 でのレンズの構成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > レンズ.
2. [レンズ] リストから、レンズ構造を追加または更新するレンズを選択します。
3. エンティティをレンズ構造に追加します。
   a. [レンズ構造] 関連リストから、[新規] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。
      フィールドの詳細については、「レンズ構造フォーム」を参照してください。
   c. [送信] を選択します。
4. ステップ 3 を繰り返して、すべてのレンスエンティティの追加を完了します。
   - トップダウン方式でエンティティを追加します。
     最初にトップレベルのエンティティを追加し、次に第 2 レベルのエンティティを追加し、その後に 3 番目のエンティティを追加します。
   - トップレベルを除くすべてのエンティティに親エンティティ参照があることを確認します。
     たとえば、第 2 レベルのエンティティは、トップレベルのエンティティを親として参照する必要があります。



次のタスク

1. 計画立案アイテムテーブル [sn_align_core_planning_item] にこのレンズの下部エンティティを参照するフィールドがあることを確認します。
2. レンズに関連付けられているすべての計画立案アイテムタイプの次のフォームビューに、レンズ構造の下部エンティティのフィールドが含まれていることを確認します。
   - APW プレビュー
   - APW 新規
   - APW デフォルト
3. このレンズに関連付けるすべての計画立案アイテムタイプのロードマップ構成を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このレンズ構造の下部エンティティとその親を [フィールド別にグループ化]と [フィールド別の色] に追加します。これらのフィールドは、ポートフォリオロードマップのデフォルトのグループ化基準および色分け基準設定として使用されます。「優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ」を参照してください。

4. レンズ構成を検証してアクティブ化します。「戦略的計画 でレンズをアクティブ化」を参照してください。

戦略的計画 でレンズをアクティブ化

計画マネージャーがこのレンズを使用してポートフォリオ計画の作成を開始できるように、レンズ構成を検証して有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
既存のレンズの構造を変更した場合、またはカスタムレンズを作成した場合は、その構成を検証し、そのステータスを [アクティブ] に設定します。

計画マネージャーは、アクティブなレンズのみを使用してポートフォリオ計画を作成できます。計画マネージャーのワークスペースでレンズを使用できるようにするには、その構成が有効であり、[アクティブ] ステータスである必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > レンズ.
2. [レンズ] リストから、レンズを選択します。
3. [レンズ] フォームで、[レンズの検証] 関連リンクをクリックします。
   - 構成が有効な場合は、有効化できることを示す成功メッセージが表示されます。
   - レンズ構成が有効でない場合は、エラーメッセージを使用して問題を理解し、構成を修正します。

     関連リンクを使用して、再度レンズを検証してください。
4. [アクティブ] フィールドを選択し、フォームを保存します。

関連情報
戦略的計画 のレンズ構造の追加または変更

戦略的計画 での上位レベルの計画立案の構成

計画立案マネージャーが、デフォルト以外のアイテムに対して上位レベルの計画立案を有効にする必要がある場合は、レンズエンティティとポートフォリオ計画の構成を更新する必要があります。

デフォルトでは、戦略的プログラムとイニシアチブが、上位レベルの計画立案で有効になっている計画立案アイテムタイプです。他の計画立案アイテムタイプを有効にするには、以下の構成タスクを完了します。

注:
上位レベルの計画立案は、戦略的計画 v2.1.0 以降で有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案アイテムテーブルを拡張するアイテムの場合

たとえば、カスタム計画立案アイテム 1 [sn_align_core_custom_planning_item_1] をレンズ構造に追加し、それを上位レベルのポートフォリオ計画に使用するとします。レンズの [レンズ構造] 関連リストで、[カスタム計画立案アイテム 1] エンティティの [計画が有効です] フィールドを **true** に設定します。詳細については、「レンズエンティティの上位レベルの計画立案の有効化」を参照してください。

計画立案アイテムテーブルを拡張しないアイテムの場合

戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] 計画立案アイテムタイプに対して上位レベルの計画立案を有効にする例を考えてみましょう。

1. 戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルにグローバルランク列を作成します。「上位レベルの計画立案に備えたグローバルランク列の作成」を参照してください。
2. 新しいグローバルランク列のランク構成を作成します。「上位レベルの計画立案に備えたランク構成の作成」を参照してください。
3. 戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルのポートフォリオ計画構成を作成します。「上位レベルの計画立案に備えたポートフォリオ計画構成の作成」を参照してください。
4. レンズ構造レコードの戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] エンティティに対して上位レベルの計画立案を有効にします。「レンズエンティティの上位レベルの計画立案の有効化」を参照してください。
5. 診断と修正スクリプトを実行して、既存のすべての戦略的優先事項レコードのグローバルランクを入力します。「上位レベルの計画立案アイテムのグローバルランクの入力」を参照してください。
6. 戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルのビジネスルールを作成して、今後作成されるレコードのグローバルランクを設定できるようにします。「上位レベルの計画立案に備えたビジネスルールの作成」を参照してください。

> **ヒント:**
> 上位レベルの計画立案エンティティとしてテーブルを選択するときは、これを計画立案アイテムとして使用できるように、開始日と終了日、所有者またはアサイン先、名前または簡単な説明などのフィールドがあることを確認してください。たとえば、組織テーブルまたは製品テーブルを上位レベルの計画立案エンティティとして使用することはできません。一方、戦略的優先事項テーブルは計画立案アイテムの要件を満たしているので、上位レベルの計画立案用に構成できます。

これらのタスクがすべて完了したら、計画立案マネージャーは目的のエンティティに対して上位レベルのポートフォリオ計画を作成できます。この例では、ポートフォリオ計画を作成して、会社の戦略的優先事項の優先順位付けとロードマップの作成を行い、会社全体の作業がどの程度こうした戦略的優先事項に沿っているかを表示できます。

上位レベルの計画立案に備えたグローバルランク列の作成

計画立案アイテム [sn_align_planning_item] テーブルを拡張しない計画立案アイテムタイプのグローバルランク列を作成して、戦略的計画 Workspace でこうしたアイテムの上位レベルの計画立案を有効にできるようにします。

始める前に
戦略的計画 v2.1.0 にアップグレードします。

必要なロール：admin

このタスクについて
上位レベルの計画立案を有効にする計画立案アイテムテーブルに [グローバルランク] 列を作成します。この列では、ServiceNow インスタンス内のこのテーブルのすべての既存および新規レコードのグローバルランクを入力できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. 計画立案アイテムテーブルを検索して開きます。

   たとえば、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルを検索して開きます。
3. [列] 関連リストから [新規] を選択します。
4. フォームで次のフィールドに入力します。

[辞書エントリ] フォームのフィールド

フィールド	説明
テーブル	この列を作成するテーブル。 このフィールドは、ステップ 2 で選択したテーブルに自動的に設定されます。
タイプ	作成する列の値タイプ。 [長] を選択します。
列ラベル	ランク列のラベル。 「グローバルランク」と入力します。
列名	列の自動生成された一意の名前。
アプリケーション	テーブルのアプリケーションスコープ。 このフィールドには、選択したテーブルに基づいて自動入力されます。

[辞書エントリ] フォームのフィールドの詳細については、「Dictionary entry form」を参照してください。

5. フォームを保存します。

次のタスク
作成したグローバルランクフィールドのランク構成を作成します。「上位レベルの計画立案に備えたランク構成の作成」を参照してください。

上位レベルの計画立案に備えたランク構成の作成

戦略的計画 Workspace で計画立案アイテムではないテーブルでの上位レベルの計画立案を有効にするには、テーブルのグローバルランク列のランク構成を作成します。

始める前に
上位レベルの計画立案に備えたグローバルランク列の作成。

必要なロール：admin

このタスクについて
上位レベルの計画立案を有効にするテーブルの global_rank 列の構成を作成します。このタスクを完了すると、このテーブルのレコードにグローバルランク値をアサインできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクでは、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルのランク構成の作成例を検討します。

手順

1. 移動先 すべて > **rank_configuration.**リスト.
   [グローバルランク] フィールドが構成されているテーブルのリストが表示されます。
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[ランクの構成] フォーム

フィールド	説明
テーブル	上位レベルの計画立案を有効にするテーブル。 例：戦略的優先事項 [sn_gf_strategy]
列	テーブルのグローバルランク列。

4. [送信] を選択します。

次のタスク
上位レベルの計画立案テーブルのポートフォリオ計画構成を作成します。「上位レベルの計画立案に備えたポートフォリオ計画構成の作成」を参照してください。

上位レベルの計画立案に備えたポートフォリオ計画構成の作成

戦略的計画 Workspace で計画立案アイテムではないテーブルでの上位レベルの計画立案を有効にするには、テーブルのポートフォリオ計画構成を作成します。

始める前に
上位レベルの計画立案に備えたランク構成の作成

必要なロール：admin

このタスクについて
グローバルランク列とその列のランク構成を作成したら、上位レベルの計画立案用に選択したテーブルのポートフォリオ計画構成を作成します。このタスクに続いて、計画立案マネージャーがこのテーブルに対して作成するポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページと [ロードマップ] ページの設定を構成します。

このタスクでは、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルの例を検討します。

手順

1. 移動先 すべて > **sn_align_ws_roadmap_configuration.**リスト.
   戦略的計画 テーブルの既存のポートフォリオ計画構成レコードのリストが表示されます。
2. [新規] を選択して、テーブルにポートフォリオ計画構成を作成します。
3. フォームの各フィールドに入力します。

ポートフォリオ計画の構成

フィールド	説明
ソーステーブル	上位レベルの計画立案を有効にするテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	例：戦略的優先事項 **[sn_gf_strategy]**。
ランクの構成	
ランクの構成	ポートフォリオ計画の作成に使用されるテーブル。 このフィールドの値は、[ソーステーブル] フィールドで選択されたテーブルです。

このフォームのフィールドの詳細については、「[ポートフォリオ計画の構成] フォーム」を参照してください。

4. フォームを保存します。

次のタスク
上位レベルの計画立案テーブルの既存のすべてのレコードのグローバルランク値を入力します。

レンズエンティティの上位レベルの計画立案の有効化

戦略的計画 Workspace でエンティティの上位レベルの計画立案を有効にするには、レンズエンティティ構成を更新します。

始める前に
上位レベルの計画立案に備えたポートフォリオ計画構成の作成。

必要なロール：admin

このタスクについて
上位レベルの計画立案を有効にするテーブルについて、[レンズ] フォームの [計画が有効です] フィールドを [はい] に設定します。このタスクを完了すると、計画立案マネージャーは、戦略的計画 Workspace でこのテーブルを計画立案アイテムとして使用して、ポートフォリオ計画を作成できるようになります。

このタスクでは、レンズとしての戦略的投資の例と、上位レベルの計画立案エンティティとしての戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルを検討します。

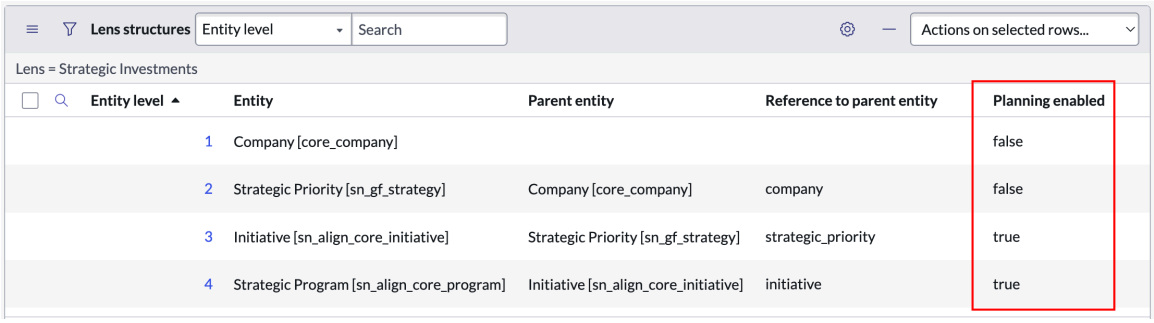
手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > レンズ.
2. 上位レベルの計画立案に使用するレンズを選択して開きます。
   たとえば、[戦略的投資] を選択します。
3. [レンズ] フォームの [レンズ構造] 関連リストで、上位レベルのエンティティの [計画が有効です] フィールドを **true** に設定します。
   たとえば、戦略的優先事項エンティティの [計画が有効です] フィールドを **true** に設定します。

   上位レベルのエンティティがレンズ構造に含まれていない場合は、追加できます。「戦略的計画のレンズ構造の追加または変更」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



	Entity level	Entity	Parent entity	Reference to parent entity	Planning enabled
1		Company [core_company]			false
2		Strategic Priority [sn_gf_strategy]	Company [core_company]	company	false
3		Initiative [sn_align_core_initiative]	Strategic Priority [sn_gf_strategy]	strategic_priority	true
4		Strategic Program [sn_align_core_program]	Initiative [sn_align_core_initiative]	initiative	true

4. [レンズ] フォームを保存します。

タスクの結果
計画立案マネージャーは、戦略的投資レンズでポートフォリオ計画を作成し、戦略的優先事項を計画立案アイテムとして使用できるようになりました。

重要:
このエンティティに基づいてポートフォリオ計画が作成されると、その上位レベルの計画立案を無効にしたり、レンズ構造からエンティティレコードを削除したりすることはできません。

次のタスク
上位レベルの計画立案アイテムのグローバルランクの入力。

上位レベルの計画立案アイテムのグローバルランクの入力

戦略的計画 Workspace で計画立案アイテムではないテーブルでの上位レベルの計画立案を有効にするには、このテーブルの既存のレコードのグローバルランクを入力します。

始める前に
レンズエンティティの上位レベルの計画立案の有効化。

必要なロール：admin

このタスクについて
Strategic Planning 診断モジュールを使用して、計画立案マネージャーが上位レベルの計画立案用に選択したテーブルの既存のすべてのレコードのグローバルランクを入力します。このタスクを完了すると、テーブルの [グローバルランク] フィールドの値が生成されます。

このタスクでは、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルの既存のすべてのレコードのランク値の生成例を検討します。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 診断.
2. [診断を実行] を選択して、[グローバルランクなしで、計画立案が有効になっている上位レベルの計画立案エンティティを識別する] 診断スクリプトを実行します。
   診断が失敗し、グローバルランクがないレコードのタイプと合計数が表示されます。
3. [スクリプト修復の実行] を選択して、フラグが付けられたすべてのレコードのグローバルランク値を入力します。
   診断スクリプトを再度実行することで、ランクが入力されていることを確認できます。診断が成功したことがわかります。

次のタスク
上位レベルの計画立案テーブルに今後作成されるレコードにグローバルランクを入力するビジネスルールを作成します。「上位レベルの計画立案に備えたビジネスルールの作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

上位レベルの計画立案に備えたビジネスルールの作成

戦略的計画 Workspace で計画立案アイテムではないテーブルでの上位レベルの計画立案を有効にするには、このテーブルの今後のすべてのレコードにランク値をアサインできるようにするビジネスルールを作成します。

始める前に

上位レベルの計画立案アイテムのグローバルランクの入力。

必要なロール：admin

このタスクについて

計画立案マネージャーがポートフォリオ計画でこのタイプのアイテムを並べ替えて優先順位を付けるときに、ランクが自動的に更新されるように、上位レベルの計画立案エンティティの今後の全レコードにはグローバルランクが必要です。新しいレコードへのランク値の自動アサインを有効にするには、ビジネスルールを作成します。

このタスクでは、今後の全レコードのランク値の自動アサインを有効にするために、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] でビジネスルールを作成する例を検討します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. 計画立案アイテムテーブルを検索して開きます。

   たとえば、戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルを検索して開きます。
3. フォームヘッダーを右クリックし、 構成 > ビジネスルール.
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   [ビジネスルール] フォーム

フィールド	説明
名前	ルールを識別する名前。 例：戦略的優先度ランク挿入ルール。
テーブル	このビジネスルールが適用されるテーブル。 この例では、 戦略的優先事項 **[sn_gf_strategy]** を選択します。
詳細	このビジネスルールの詳細設定を有効にするオプション。

6. [詳細] 関連リストで、[スクリプト] フィールドに次のコードを入力します。

```
(function executeRule(current, previous /*null when async*/)
{
    var spwRankingHelper = new sn_align_core.SPWRankingHelper();
    var rankConfig = spwRankingHelper.getRankConfiguration(current.getTableName());
    if (rankConfig.isValidRecord())
    {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    var sequencer = new
sn_align_core.AlignmentPlanningRankProcessor(rankConfig.getValue("table"),
rankConfig.getValue("column"));
    sequencer.generateNewIndex(current);
  }
})
(current, previous);
```

7. [実行タイミング] 関連リストで、[挿入] オプションを有効にします。

8. フォームを保存します。

タスクの結果

このタスクは、テーブルでの上位レベルの計画立案を有効にするための一連のタスクの最後であり、計画立案アイテム [sn_align_planning_item] テーブルを拡張するものではありません。このタスクが完了したら、構成されたエンティティタイプのポートフォリオ計画の作成を開始できることを計画立案マネージャーに通知できます。

「でのポートフォリオ計画の管理 戦略的計画」を参照してください。

Strategic Planning のカスタム採点フレームワーク

定義されたスコアに基づいて計画立案アイテムに優先順位を付けることができるように、カスタム採点フレームワークを作成してポートフォリオ計画に関連付ける方法について説明します。

事前定義された 3 つの採点フレームワーク (RICE、価値と工数、または WSJF) のいずれかを使用するか、カスタム採点フレームワークを作成してポートフォリオ計画に関連付けることができます。

> **注:**
> 事前定義されたスコアリングフレームワークは編集できません。 管理者は、[採点フレームワーク] フォームの [アクティブ] フィールドを設定することで、ベースシステムの採点フレームワークを有効または無効にできます。

カスタム採点フレームワークの作成

カスタム採点フレームワークを作成して、設定に基づいて計画立案アイテムの採点を開始します。

始める前に

必要なロール:sn_align_core_apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 採点フレームワーク.

2. [新規] を選択します。

3. [名前] フィールドに採点フレームワークの名前を入力します。

4. [説明] フィールドに採点フレームワークの詳細を入力します。

5. [送信] を選択します。

次のタスク

採点フレームワークの属性の作成

採点フレームワークの属性の作成

採点フレームワーク内に属性を追加して、式を構築し、ポートフォリオ計画内で計画立案アイテムの採点を開始できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 採点フレームワーク.
2. [採点フレームワーク] リストから、採点フレームワークの属性を追加するフレームワークを選択します。
3. [採点フレームワーク属性] 関連リストから [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

採点フレームワークの属性フォーム

フィールド	説明
ラベル	採点フレームワークを定義する 名前。
タイプ	ラベルのタイプ (整数、選択肢、星形など)。
説明	採点フレームワークの詳細。

ヒント:
選択肢タイプの採点属性を追加する場合は、[タイプ] フィールドに [10 進数] または [整数] があり、[表示タイプ] フィールドに [選択肢] があることを確認します。

5. [送信] を選択します。
6. ステップ 3 を繰り返して、すべての採点フレームワークの属性を追加します。

次のタスク
最終スコア属性の作成

最終スコア属性の作成

採点フレームワークの最終スコアを計算する属性を作成する方法について説明します。

始める前に
必要なロール:sn_align_core_apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 採点フレームワーク.
2. [採点フレームワーク] リストから、最終スコアに帰属を追加するフレームワークを選択します。
3. [採点フレームワーク属性] 関連リストから [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

採点フレームワークの属性フォーム

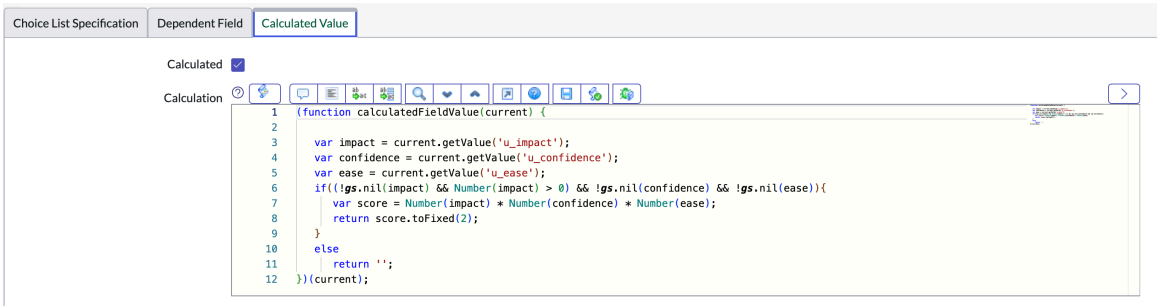
フィールド	説明
ラベル	採点フレームワークの最終スコアを定義する名前。
Type (タイプ)	ラベルのタイプ (選択肢、10 進数、整数、文字列など)。
説明	採点フレームワーク属性の詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [最終スコア] オプションを選択して、この属性を採点フレームワークの最終スコア属性としてマークします。
6. [計算された値]タブを選択し、式を選択して、最終スコア属性の値を導き出します
   この式は、採点フレームワークの採点属性にのみ基づいている必要があります。この例では、ICE カスタム フレームワークの式は次のとおりです。

```
ICE score = Impact * Confidence * Ease
```



7. [更新] を選択します。

戦略的計画 での目標の設定

戦略的計画 で目標を定義して管理するには、初期管理タスクをいくつか実行してワークスペースを完全に機能させる必要があります。戦略的計画 の目標ビューに表示されるデータは ゴールフレームワーク テーブルに格納されています。

- admin ロールで、既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行できます。
- sn_gf.goal_admin ロールでは、目標設定を行うことができます。

既存の目標 (存在する場合) の移行後、および目標設定を行う場合は、戦略的計画 の目標ビューを使用して目標を定義します。詳細については、「戦略的計画 での目標管理」を参照してください。

既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行する

admin ロールを使用すると、スケジュール設定済みジョブを実行して、既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

> **注:**
> ゴールフレームワーク テーブルへのデータの移行は 1 回限りの作業であり、スケジュールどおりに行われることを意図したものではありません。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [目標、戦略、および作業アイテムデータを **Goal Framework** と関連する計画アイテムテーブルに移行 **(Migrate Goal, Strategy, and Work item data to the Goal Framework and related Planning item tables)]** ジョブスケジュールを検索してクリックします。
3. スクリプトの実行を予定フォームで：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [実行] フィールドで頻度が [オンデマンド] に選択されていることを確認します。

b. [このスクリプトを実行] フィールドで、必須パラメーターの値を **[true]** に設定します。
パラメーターの詳細については、「目標、戦略、および作業アイテムデータを Goal Framework と関連する計画立案アイテムテーブルに移行」を参照して ください。

4. [今すぐ実行する] をクリックします。

目標設定を構成する

目標設定に使用されるカレンダータイプ、目標進捗状況の加重平均計算、目標やターゲットの削除など、目標を管理するための目標設定を構成します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_admin

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > 設定.
2. [目標設定] フォームで、プロパティを設定します。
プロパティについては「目標設定フォーム」を参照してください。
3. [保存] をクリックします。

アサインされたエンティティのテーブルの構成

アサインされたエンティティタイプのテーブルを構成して、目標ユーザーが目標を必須のアサインされたエンティティに関連付けることができるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて

- デフォルトでは、戦略的計画 のインストールにより、事業部門 [business_unit]、部門 [cmn_department]、会社 [core_company]、製品モデル [cmdb_model]、バリューストリーム [cmn_value_stream]、イニシアチブ [sn_align_core_initiative]、および戦略的プログラム [sn_align_core_program] がインストールされます。
- PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) を有効にすると、ポートフォリオ [pm_portfolio] アサイン済みエンティティがインストールされます。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > アサインされたエンティティ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「目標がアサインされたエンティティ構成フォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

スプレッドシートから目標とターゲットのデータをインポート

管理者ロールを使用すると、既存の目標とターゲットのデータをスプレッドシートから ゴールフレームワーク テーブルにインポートできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_admin

- ジョブが正常に実行されると、スプレッドシートの目標データが目標 [sn_gf_goal] テーブルにインポートされます。
- ジョブが正常に実行されると、スプレッドシートのターゲットデータがターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルにインポートされます。

注:
ターゲットは目標に関連付けられているため、最初に目標をインポートしてからターゲットをインポートする必要があります。

重要:
スプレッドシートの目標とターゲットのデータは、サポートされている形式である必要があります。スプレッドシートから目標とターゲットのデータをインポートするためにサポートされているデータ形式の詳細については、「Import goals and targets data (目標とターゲットのデータのインポート) [KB1191233]」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムインポートセット > データをロード.
2. [インポートセットテーブル] ドロップダウンリストから、 [目標インポートセット] **[imp_sn_gf_goal]** または [ターゲットインポートセット] **[imp_sn_gf_goal_target]** を選択します。
3. [インポート元] フィールドで、[ファイル] を選択します。
4. [ファイル] オプションで [選択] をクリックし、データをインポートするスプレッドシートを選択します。

   重要:
   - スプレッドシートの目標とターゲットのデータは、特定の形式である必要があります。サポートされているデータ形式の詳細については、「Import goals and targets data (目標とターゲットのデータのインポート) [KB1191233]」を参照してください。
   - データは各列のヘッダータイトルに基づいて目標テーブルとターゲットテーブルのそれぞれのフィールドにインポートされるため、スプレッドシートのヘッダー行の名前は変更しないでください。

5. [送信] をクリックします。
6. [進捗状況] ページで、[変換の実行] をクリックします。
7. [インポートセットと変換マップを指定] フォームで、[変換] をクリックします。
8. [変換履歴] をクリックし、[インポートセット実行] 関連リストの [ステータス] 列が [完了] に設定されていることを確認します。
   [インポートセットテーブル] ドロップダウンリストから選択したオプションに応じて、目標またはターゲットデータが目標 [sn_gf_goal] またはターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルにインポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブが失敗した場合は、[変換履歴] をクリックして詳細を参照してください。

注:
[インポート] 操作を使用して、テーブルで新しいデータを挿入、または既存のデータを更新できます。デフォルトでは、 [名前] と [所有者] の値は、既存のレコードを更新するために使用されるプライマリキーです。新しいデータを挿入したり、既存のデータを更新したりするためのプライマリキーとしてさらにフィールドを追加することもできます。プライマリキーとしてフィールドを追加する方法の詳細については、「Import goals and targets data (目標とターゲットのデータのインポート) [KB1191233]」を参照してください。

スケジュールジョブを更新してターゲットの実績値を自動化

SPM のゴールフレームワーク アプリケーションを使用して、ターゲットソースが構成されているターゲットの実績値を自動更新するため、設定に従ってジョブスケジュールの実行時間を変更します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて
デフォルトでは、スケジュール設定済みジョブは毎日午前 00:00:00 (システムタイムゾーン) に実行されます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. **[SPM の目標フレームワークを使用してターゲットの実際の値を更新 (Update Actual value of the targets using Goal Framework for SPM)]** ジョブスケジュールを検索してクリックします。
3. スケジュールされた時刻にジョブを実行するには、[アクティブ] チェックボックスをオンになっていることを確認します。
4. 必要に応じて、[実行] フィールドと [時刻] フィールドの詳細を編集します。
5. [更新] をクリックします。
   ジョブスケジュールの詳細については、「ジョブスケジュール」を参照してください。

アサインされたエンティティの目標関係を移行する

スケジュール設定済みジョブを実行して、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルから既存の目標関係データを移行します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

- アラインメントプランナーワークスペース v4.1.1 または v5.0.1 から 戦略的計画 v2.0.1 にアップグレードし、[会社]、[事業部門]、[部門]、および [ポートフォリオ] 以外のレンズエンティティとの m2m 関係を作成した場合は、それらのレンズエンティティを目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルから目標テーブルに移行して、それぞれのポートフォリオ計画内でこれらのレンズエンティティの目標にアクセスして管理します。
- アサインされたエンティティの目標関係データの移行は 1 回限りの作業であり、スケジュールして実行することを意図したものではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [会社]、[事業部門]、[部門]、[ポートフォリオ] レンズエンティティタイプ以外のカスタマイズされたレンズがある場合、ジョブを実行すると、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルのデータに基づく [目標] フォーム にある [アサインされたエンティティタイプ] フィールドと [アサインされたエンティティ] フィールドに値が入力されます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. *`Migrate goal relationships for assigned entities`* スケジュール済みジョブを検索してクリックします。
3. スクリプトの実行を予定フォームで：

   a. [実行] フィールドで頻度が [オンデマンド] に選択されていることを確認します。

   b. [このスクリプトを実行] フィールドに、目標関係データを移行する、目標がアサインされたエンティティ構成 [sn_gf_assigned_entity_config] テーブルで構成されたエンティティをリストします。
   パラメーターの詳細については、「スクリプトの実行を予定フォーム」を参照して ください。

4. [今すぐ実行する] をクリックします。

ターゲット自動化のためのターゲットソースの構成

目標のターゲットを設定するときに目標ユーザーがターゲットソースを定義できるように、ターゲット自動化のターゲットソースを構成します。ターゲットのターゲットソースを定義すると、ターゲットの実際の値が自動的に更新されます。

次の手順は、ターゲットソースを構成するガイドラインとして使用してください。

1. ターゲットのターゲットソースを作成して、ターゲットの実績値を更新するためのソースとして構成します。詳細については、「ターゲットソースの作成」を参照してください。

   コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。ターゲットソースの作成中にアセスメント/サーベイまたは PA インジケーターとしてタイプが選択されている場合、必須コンテキスト変数が自動的に作成されます。必須のコンテキスト変数が作成されるタイミングの詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数」を参照してください。

2. 必要な場合は、ターゲットソースのコンテキスト変数を作成して、コンテキスト変数から必要なデータをフェッチしてターゲットの実績値を更新します。詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数を作成」を参照してください。

ターゲットソースのコンテキスト変数

コンテキスト変数は、ターゲットフォームで必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを自動更新するために使用できるターゲットソースの追加構成です。コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。

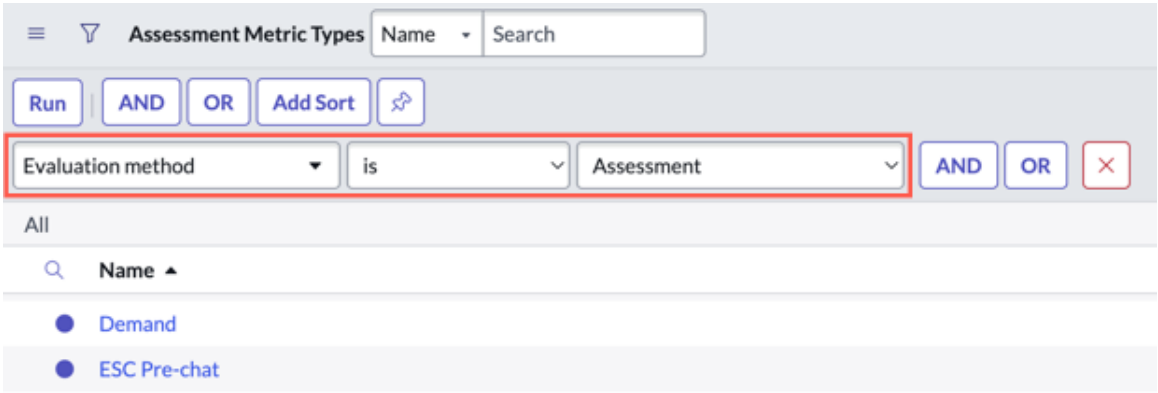
ターゲットソースを作成する前に SPM のゴールフレームワーク スコープが選択されている場合、(アセスメント/サーベイおよび PA インジケータータイプの) ターゲットソースに対して、コンテキスト変数が (コンテキスト変数フォームで [必須] フィールドが **true** に設定された状態で) 自動的に作成されます。自動的に作成されたコンテキスト変数は、必須コンテキスト変数とも呼ばれます。

必須のコンテキスト変数は、SPM のゴールフレームワーク スコープを選択し、次のいずれかの条件を満たしている場合に作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- (ターゲットソースタイプが [アセスメント/サーベイ] の場合) [ターゲットソース] フォームで、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定され、**[**アセスメント測定基準タイプ] フィールドに [評価方法 = アセスメント] の測定基準タイプが入力されます。



- (ターゲットソースタイプが PA インジケーターの場合) [ターゲットソース] フォームで、[タイプ] フィールドが **[PA** インジケーター] に設定され、[ブレークダウン] フィールドに入力される値が選択肢リストタイプではありません。

  [ブレークダウン] フィールドが選択リストタイプであるターゲットソースタイプ、PA インジケーターのコンテキスト変数を作成するには、「ターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数の作成」を参照してください。

注:
必須のコンテキスト変数は削除できません。

ターゲットソースのコンテキスト変数を手動で作成し、それらを使用して、ターゲットフォームで必要なデータをフェッチして [実績値] フィールドを自動更新するように設定することもできます。手動でコンテキスト変数を作成する方法の詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数の作成」を参照してください。

ターゲットの実績値を自動化するためのターゲットソースの作成

ターゲットソースを作成して、目標ユーザーがターゲットの実績値を自動化するように構成できるようにします。

始める前に
アプリケーションの SPM のゴールフレームワーク スコープを選択します。

必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて
コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。ターゲットソースの作成中にアセスメント/サーベイまたは PA インジケーターとしてタイプが選択されている場合、必須コンテキスト変数が自動的に作成されます。必須のコンテキスト変数が作成されるタイミングの詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > ターゲットソース.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「ターゲットソースフォーム」を参照して ください。
4. [送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ターゲットソースのコンテキスト変数の作成

ターゲットソースにさらにコンテキスト変数を設定する場合は、コンテキスト変数を手動で作成します。

始める前に
アプリケーションの SPM のゴールフレームワーク スコープを選択します。

必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて
コンテキスト変数は、必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] を自動更新するために使用できる情報を提供します。ターゲットソースのコンテキスト変数が作成された後、目標ユーザーは、実績値が自動的に更新されるように、ターゲットフォームの [実績値ソース構成] セクションを設定できます。

コンテキスト変数の作成は、テーブルでの列の作成に似ています。

ターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数を作成し、ブレークダウンが選択リストタイプである場合は、次を参照してくださいターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数の作成。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > ターゲットソース.
2. コンテキスト変数を作成する必要なターゲットソースを開きます。
3. [コンテンツの変数] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「コンテキスト変数フォーム」を参照して ください。
5. [送信] をクリックします。

ターゲットソースタイプ **PA** インジケーターのコンテキスト変数の作成

[ブレークダウン] フィールドが選択リストタイプである場合、ターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数を手動で作成します。

始める前に
アプリケーションの SPM のゴールフレームワーク スコープを選択します。

必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて
コンテキスト変数は、必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] を自動更新するために使用できる情報を提供します。ターゲットソースのコンテキスト変数が作成された後、目標ユーザーは、実績値が自動的に更新されるように、ターゲットフォームの [実績値ソース構成] セクションを設定できます。

コンテキスト変数の作成は、テーブルでの列の作成に似ています。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > ターゲットソース.
2. コンテキスト変数を作成する必要なターゲットソースを開きます。
3. [コンテンツの変数] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームで [タイプ] フィールドを選択肢として入力し、他のフィールドを必要に応じて入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド値の説明については、「コンテキスト変数フォーム」を参照してください。

5. **[Submit** (送信)] をクリックします。
   選択肢タイプのコンテキスト変数が作成されます。
6. 作成したコンテキスト変数の [選択肢] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   注:
   [コンテキスト変数] フォームに [選択肢] 関連リストが表示されない場合は、次に移動して追加します。 構成 > 関連リスト フィードバックを得ます

7. フォームのフィールドに入力します。

   選択肢フォーム

フィールド	説明
テーブル	選択肢が作成されるコンテキスト変数の名前。
要素	選択肢が作成されるコンテキスト変数フォームの列名。
ラベル	選択肢の名前。
値	コンテキスト変数を作成する選択肢の値の Sys_id。 辞書エントリ [sys_dictionary] テーブルの [選択肢] 関連リストから sys_id をコピーできます。

8. **[Submit** (送信)] をクリックします。
9. オプション: ステップ 6 ～ 8 を繰り返して、コンテキスト変数の選択肢をさらに作成します。

次のタスク
目標ユーザーは、ターゲットソースが構成されている [ターゲット] フォームで、選択肢 をコンテキスト変数s として設定できます。

カスタム測定単位の定義

カスタム測定単位を定義すると、目標ユーザーが選択に従ってターゲットの測定単位を設定できます。測定単位には、定量的および定性的の 2 種類があります。

デフォルトでは、定量的ターゲットに使用可能な単位は **[#]**、**[$]**、**[%]**、および [日] です。デフォルトでは、定性的ターゲットに使用可能な単位は [はい]/[いいえ] です。

管理者はカスタム測定単位を作成し、目標ユーザーがそれを使用してターゲットの測定単位を設定できるようにする必要があります。

- 定量的ターゲットの場合は、単位 [sn_gf_unit] テーブルからカスタム測定単位を定義できます。
- 定性的ターゲットの場合は、最初に選択セットを作成してから、選択セットの選択リストを作成する必要があります。

の優先順位付けの表示設定 戦略的計画

関連する情報を計画立案マネージャーが表示できるように、ワークスペースの [優先順位付け] タブでのデータの表示方法を構成します。

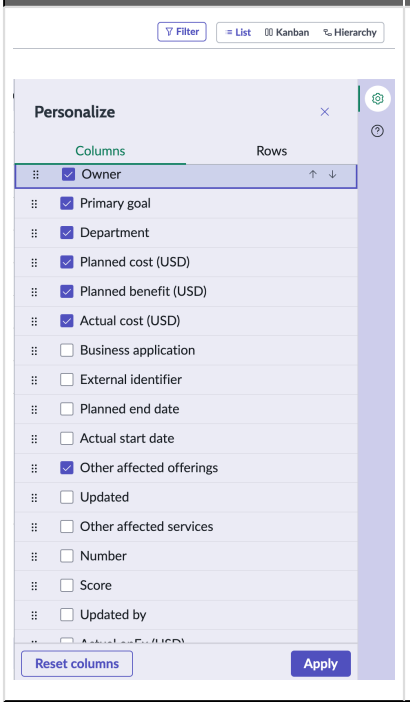
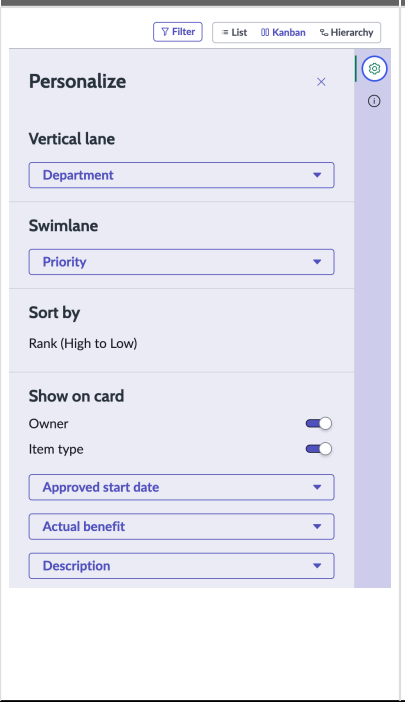
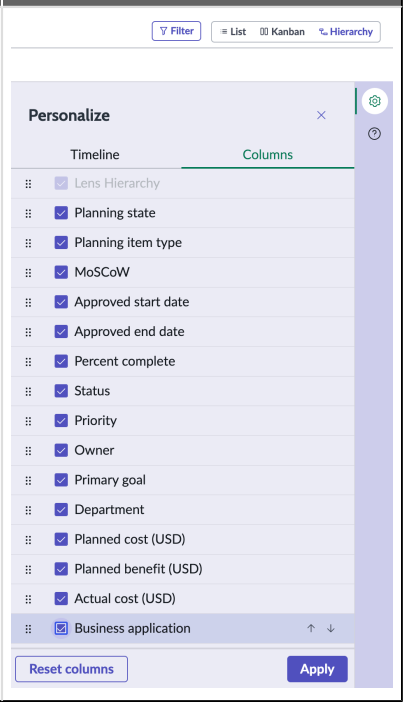
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的計画 での優先順位付けのために追加する列の構成

ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページのデフォルトの列構成をカスタマイズして、計画マネージャーが、必要なデータポイントを適切に選択できるようにします。

ポートフォリオマネージャーまたはプロダクトオーナーは、ワークスペースの [優先順位付け] ページにある [カスタマイズ] サイドパネルを使用して、計画立案アイテムのデータを表示したり非表示にしたりすることができます。デフォルトでは、リストビューおよび階層ビューのこのサイドパネルには、その計画立案アイテムで利用可能なすべてのデフォルトフィールドが表示されます。たとえば、計画マネージャーが追加の列を表示する場合は、ドット連結フィールドからの情報が必要になる可能性があります。このような場合、または既存の選択肢を削除するには、管理者ロールを使用して設定できます。

リストビューの設定をカスタマイズする	カンバンビューの設定をカスタマイズする	階層ビューの設定をカスタマイズする
		

このサイドパネルに追加の列を選択肢として追加するか、ポートフォリオ計画に関連付けられた計画立案アイテムタイプのリストレイアウト構成を更新して、デフォルトの列の選択肢を削除します。

- ポートフォリオ計画に複数のアイテムタイプが関連付けられている場合は、計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] テーブルのビュー構成を更新します。
- ポートフォリオ計画に単一のアイテムタイプが関連付けられている場合、関連するテーブルのビュー構成を更新します。

識別されたテーブルのフォームビューから、ビューを **[APW** バックログ] に変更し、リストレイアウトを更新します。リストレイアウト構成を更新する詳細な手順については、「リストのレイアウトの構成」を参照してください。

> **注:**
> リスト v3 は、新しい展開では使用できなくなりました。既にリスト v3 を使用している場合は引き続き使用できますが、この場合、一部の機能が利用できない可能性があります。

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページのハイライト表示されたフィールドのカスタマイズ

計画マネージャーのニーズに応じて、ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページで強調表示されるフィールドをカスタマイズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトでは、ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページのリストビューおよび階層ビューで、計画立案アイテムの [計画ステータス] および [ステータス]フィールドが色付きでハイライト表示されます。計画立案マネージャーの要件に基づいて、 [所有者] または [優先度] などの選択肢タイプのフィールドを、ページ上でのハイライト表示される列になるように構成できます。このカスタマイズでは次を行う必要があります。

- 優先順位付けビュー [スクリプトインクルード] (リストビューの場合は APWBacklogConfigImpl、階層ビューの場合は APWGanttConfigImpl) の変更
- sys_highlighted_value テーブルの必須フィールドに対する新しいレコードの設定

戦略的計画 で [優先順位付け] ページのスクリプトインクルードを変更

[優先順位付け] ページのリストビューと階層ビューのスクリプトインクルードを変更して、ワークスペースのこれらのビューでハイライト表示される列を変更します。

始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スクリプトインクルード.
2. リストから、次のいずれかを選択します。
   - リストビューの場合は、[APWBacklogConfigImpl] を選択します。
   - 階層ビューの場合は、[APWGanttConfigImpl] を選択します。
3. スクリプトインクルードの [スクリプト] フィールドの列名を更新します。

   `getColumnsForHighlightedValues` 関数で、戻り値を目的の列に更新します。

   たとえば、[優先度] 列を強調表示する場合は、戻り値を（"planning_state", "state", "priority"）に更新します。
4. [送信] を選択します。

次のタスク

戦略的計画 の [優先順位付け] 列でハイライト表示される新しい値の作成

戦略的計画 の [優先順位付け] 列でハイライト表示される新しい値の作成

計画マネージャーのニーズに応じて、ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページで強調表示されるフィールドをカスタマイズします。

始める前に

戦略的計画 で [優先順位付け] ページのスクリプトインクルードを変更.

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペースエクスペリエンス > 管理 > ハイライト表示される値.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ハイライト表示される値フォーム」を参照してください。
4. フォームを保存します。
5. [ハイライト表示される値の条件] 関連リストで、ワークスペースでハイライト表示する各フィールド値の色、順序、およびアイコンを構成するレコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「ハイライト表示される値の条件フォーム」を参照してください。

c. [送信] を選択します。

6. ステップ 5 を繰り返して、すべてのフィールド値に対してこの構成を完了します。
たとえば、[ステータス] 列を設定している場合、 [ハイライト表示される値の条件] 関連リストで、選択肢の [赤]、 [緑]、[黄] のそれぞれに対して 3 つのレコードを作成する必要があります。
7. [更新] を選択します。

優先順位付けおよびロードマップのアイテムの表示制限の更新

戦略的計画 Workspace の優先順位付けビューおよびロードマップビューに表示されるアイテムの表示制限を更新するシステムプロパティを作成します。

始める前に
必要なロール：管理者

このタスクについて
[優先順位付け] ページと [ロードマップ] ページのデフォルトの表示制限は、次のとおりです。

- 優先順位付けビューに表示される計画立案アイテム = 500
- ロードマップビューに表示されるロードマップアイテム = 500
- 階層ビューに表示される目標 = 500
- ロードマップビューのアイテムレベルのマイルストーン = 100
- すべてのカンバンビューに表示されるアイテム = 500
- すべてのカンバンビューに表示されるレーン = 30

合計数がこれらのデフォルト制限を超えた場合、追加の数の計画立案アイテムとマイルストーンインジケーター、および垂直レーンは、ワークスペースに表示されません。このデフォルト設定を上書きするには、システムプロパティを作成し、その値を目的の表示制限値に設定します。

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「**sys_properties.list**」と入力します。
システムプロパティ [sys_properties] テーブル内の全プロパティのリストが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
その他のフォームフィールドの詳細については、「システムプロパティの追加」のフィールド説明テーブルを参照してください。
4. [送信] を選択します。

フリーフォームロードマップの追加のソーステーブルを構成

ロードマップ設定に新しいテーブルを追加して詳細を設定し、戦略的計画 でのフリーフォームロードマップの作成時にこれらのテーブルをソーステーブルとして使用できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
戦略的計画 のインストール。

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > ポートフォリオ計画の構成.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「[ポートフォリオ計画の構成] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ

優先順位付け、ポートフォリオ計画ロードマップ、およびフリーフォームロードマップページでの計画立案アイテム属性のデフォルトの表示構成を更新して、関連するデータが 戦略的計画 Workspace に表示されるようにします。

始める前に
戦略的計画 のインストール.

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

このタスクについて
以下のページで、[グループ] フィールド、[色別] フィールド、[測定基準] フィールドなどの計画立案アイテムの表示のデフォルト設定、およびカンバン設定 (デフォルトの垂直レーンやスイムレーン、カンバンカードの測定基準など) を更新します。

- ポートフォリオ計画：
  - カンバンの優先順位付けビュー
  - ロードマップタイムラインビュー
  - ロードマップカンバンビュー
- フリーフォームロードマップ：
  - タイムラインビュー
  - カンバンビュー

これらの構成のオプションは、次のとおりです。

テーブル構成

設定テーブル	フィールド
ロードマップタイムラインの構成	• フィールド別のグループ • フィールド別の色 • 測定基準フィールド • ステータスフィールド • 完了率フィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル構成 (続く)

設定テーブル	フィールド
カンバンの構成	優先順位付け、ロードマップ、およびフリーフォームロードマップのタブ： • スイムレーン • 垂直レーン • カンバンカードの測定基準
ランクの構成	ランクの構成

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > ポートフォリオ計画の構成.
2. 構成を編集するテーブルを開きます。
3. 必須フィールドを編集します。
   フィールドの詳細については、「[ポートフォリオ計画の構成] フォーム」を参照してください。
4. [更新] を選択します。

戦略的計画 の階層ビューの表示構成

システムプロパティを構成することで、上位レベルおよび通常のポートフォリオ計画の階層ビューに表示される計画立案アイテムの親レコードを表示または非表示にします。

階層ビューに空の親エンティティを表示する

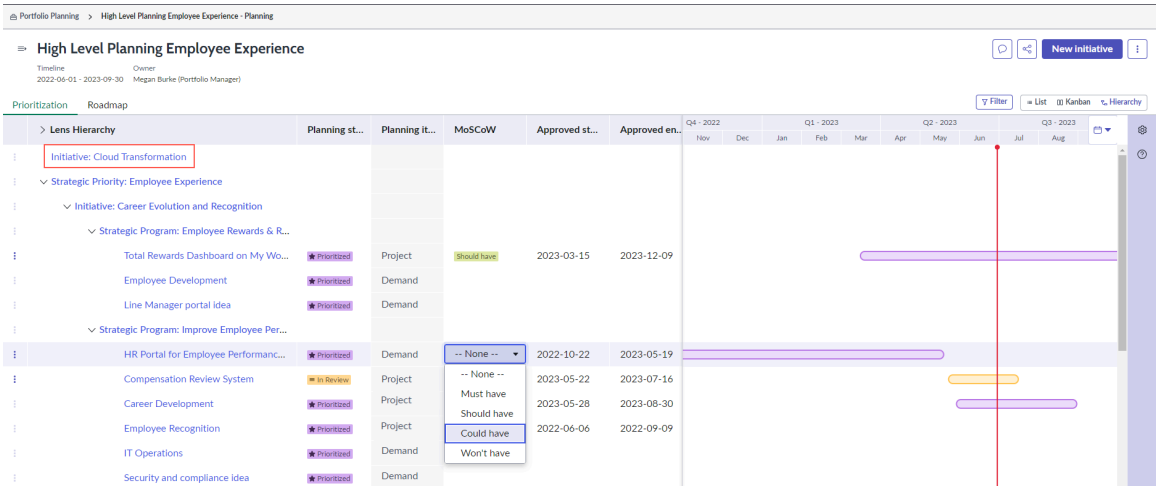
[優先順位付け] タブの階層ビューでは、関連付けられた計画立案アイテムがある場合にのみ、親レコードが表示されます。

たとえば、組織レンズ ([会社] > [事業部門] > [部門]) から作成されたポートフォリオ計画は、デマンドとプロジェクトの計画を管理および追跡するために使用されます。そのため、優先順位付け階層ビューに切り替えると、少なくとも 1 つのデマンドまたはプロジェクトが関連付けられている部門のみがビューに表示されます。

このポートフォリオ計画に含まれていても、計画立案アイテムが関連付けられていない他の部門を表示する場合は、管理者と協力してシステムプロパティ *`sn_align_ws.gantt_hide_empty_entities`* を作成し、それを **false** に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

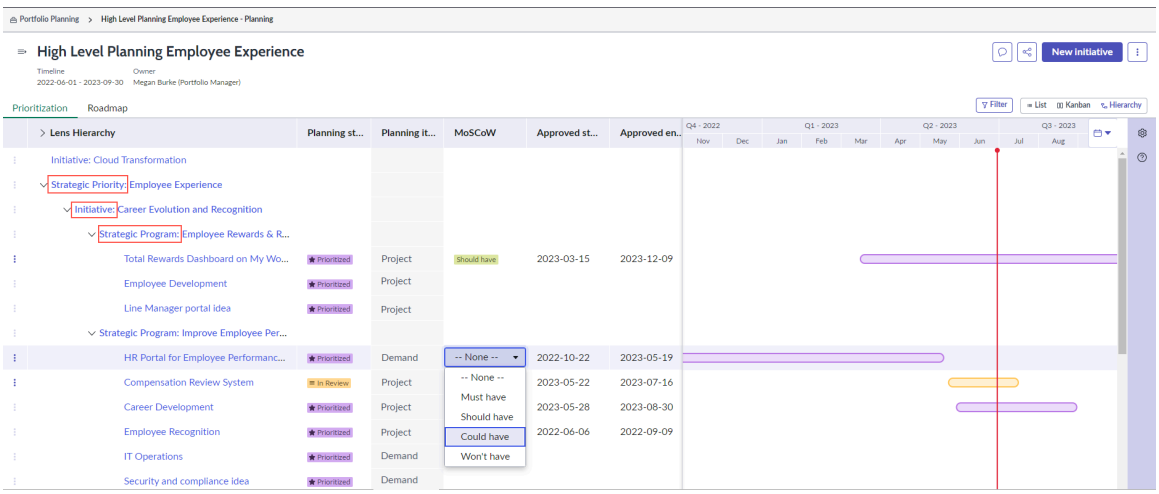


上位レベルのポートフォリオ計画の完全な階層を表示する

上位レベルのポートフォリオ計画の場合、階層ビューにはデフォルトで親レベルまでの階層のみが表示されます。

たとえば、戦略的投資レンズ ([会社] > [戦略的優先事項] > [イニシアチブ] > [戦略的プログラム]) から作成されたポートフォリオ計画は、戦略的プログラムの計画を管理および追跡するために使用されます。そのため、優先順位付け階層ビューに切り替えると、デフォルトでは [戦略的優先事項] > [イニシアチブ] レベルのみが表示されます。

[戦略的優先事項] > [イニシアチブ] > [戦略的プログラム] > [計画立案アイテム] の階層全体を表示する場合は、管理者と協力してシステムプロパティ *`sn_align_ws.gantt_show_higher_planning_upper_entities`* を作成し、それを **true** に設定します。



戦略的計画 でのキャパシティ計画立案構成

リソースの従業員プロファイルを生成し、それをプライマリ属性にマッピングして、キャパシティ計画立案を開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- キャパシティ計画立案の計画立案属性を有効にして、リソースを一意の属性にマッピングします。詳細については、「戦略的計画 のキャパシティ計画立案の計画属性の有効化」を参照してください。
- リソースのアサインを作成し、従業員プロファイルを生成します。詳細については、「キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成」を参照してください。
- リソースを一意のグループ、ロール、およびスキルにマッピングして、従業員プロファイルを生成します。詳細については、「プライマリ属性をリソースにマッピング」を参照してください。

戦略的計画 のキャパシティ計画立案の計画属性の有効化

リソースのキャパシティの詳細をフィルタリングして表示するには、計画属性の [グループ]、[スキル]、および [ロール] を有効にします。

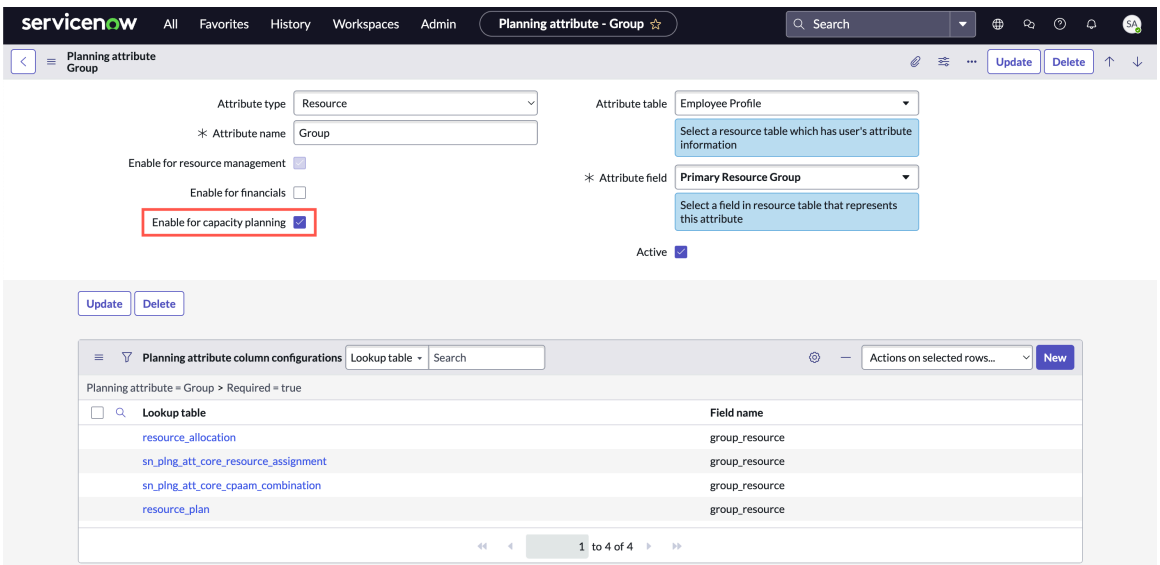
始める前に
必要なロール：admin

注:
この有効化は、キャパシティ計画立案の計画属性を有効にするための 1 回限りのタスクです。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 計画立案属性.
2. [属性名] をフィルタリングして、[グループ] 属性を見つけて開きます。
3. [キャパシティ計画立案を有効にします] オプションを選択します。
4. [更新] を選択します。

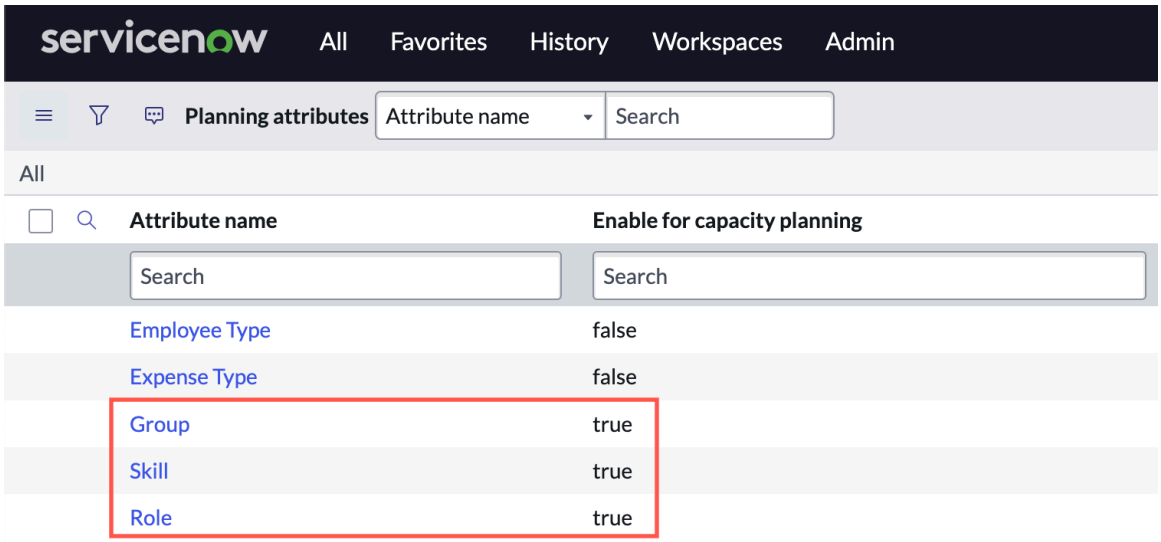
注:
キャパシティ計画立案で属性が有効になっている場合、リソース管理ではその属性がデフォルトで有効になります。



5. [スキル] 属性と [ロール] 属性について、ステップ 2 ~ 4 を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



カスタム属性を作成してリソースにマップできます。詳細については、「計画立案属性の作成または編集」を参照してください。

6. [グループ]、[ロール]、および [スキル] フィールドの [キャパシティ計画立案を有効にします] 列の値を **true** に設定します。

キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成

プライマリ属性に対してマッピングするリソースの従業員プロファイルを生成します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 従業員プロファイル > 従業員の定義.
2. 名前をフィルタリングして、 **sys_user** テーブルを開きます。
3. [従業員の定義] ページで、テーブルリストから [ユーザー] を選択します。
4. 条件ビルダーを使用して必要なリソースをフィルタリングし、更新数アイコン ( ) を選択します。
5. [従業員プロファイルを生成] ( ) を選択します。
6. [従業員プロファイルを生成] ウィンドウで、[続行] を選択します。

タスクの結果
選択したリソースの従業員プロファイルが生成されます。

次のタスク
リソースのプライマリグループ、プライマリロール、およびプライマリスキルに従業員プロファイルを入力します。詳細については、「プライマリ属性をリソースにマッピング」を参照してください。

プライマリ属性をリソースにマッピング

既存の従業員プロファイルテーブルに関連付けられているリソースのプライマリグループ、プライマリロール、およびプライマリスキルを探してマッピングします。

始める前に
キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成。

必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 従業員プロファイル > 従業員プロファイル.
2. [ユーザー] 列をフィルタリングして、従業員プロファイルを含むリソースを見つけて開きます。
3. [プライマリリソース属性を入力します] 関連リンクを選択すると、属性が自動入力されます。
   - 従業員が単一のグループ、ロール、およびスキルにアサインされている場合は、プライマリ属性が入力されます。
   - 従業員が複数のグループ、スキル、またはロールにアサインされている場合は、ルックアップアイコンを使用して、[プライマリリソースグループ]、[プライマリリソースロール]、および [プライマリリソーススキル] を選択します。
4. [更新] を選択します。

戦略的計画 の財務の構成

戦略的計画 の計画立案アイテムの財務情報が表示されるように ServiceNow 内部統合を構成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 作業アイテムのリソースのアサインに基づいて財務で人件費を生成するように属性を構成します。
   詳細については、「計画立案属性」と「計画立案属性の作成または編集」を参照。
2. デフォルトのマッピング構成を生成してテーブルマップを作成します。
   詳細については、「デフォルトのマッピング構成を生成」を参照してください。
3. 財務計画立案で作業するエピックの財務を有効にします。
   詳細については、「戦略的計画 でのエピックの財務の有効化」を参照してください。
4. ロールアップされた財務データを計画立案アイテムレベルで表示するための新しいウィジェットを作成します。
   詳細については、「ウィジェットの設定とプロジェクトとの関連付け」を参照してください。
5. オプション: 組織の要件に合わせて、[財務] 画面の左ペインをカスタマイズします。
   詳細については、「財務の左ペインビューのカスタマイズ」を参照してください。
6. オプション: 組織の要件に合わせて [コスト計画を作成] フォームのフィールドをカスタマイズします。
   詳細については、「[コスト計画] フォームのカスタマイズ」を参照してください。
7. デフォルトの経費タイプをカスタマイズして、計画立案アイテムのコスト計画を管理します。
   計画立案アイテムのデフォルトの経費タイプを変更する
8. ベースライン名のカスタム接頭辞を定義します。
   詳細については、「ベースラインのカスタムプリフィックスの作成」を参照してください。
9. スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して定義し、定義された頻度で計画立案アイテムの財務ベースラインを自動的に作成します。
   詳細については、「スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、計画立案アイテムの財務ベースラインを作成」を参照してください。
10. スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して定義し、属性ベースのリソースアサインに基づいて、定義された頻度で計画立案アイテムの人件費を自動的に生成します。
    詳細については、「ジョブスケジュールを有効化して、計画立案アイテムの人件費を生成します」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的計画 でのエピックの財務の有効化

投資エンティティの財務グリッドを表示するには、計画立案テーブルと実行テーブルがシームレスに同期していることを確認します。エピックの財務をアクティブ化して、財務見積もりを処理します。

始める前に
必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [名前] フィールドをフィルタリングして、sn_invst_pln_invst_funding_entity テーブルを見つけて開きます。
3. [リストを表示] 関連リンクを選択します。
4. [投資エンティティ] リストで、[エピック] を選択します。
5. [アクティブ] オプションを有効にし、[更新] を選択します。

ウィジェットの設定とプロジェクトとの関連付け

ウィジェットを有効にして関連付け、作業アイテムの財務概要を高レベルで表示します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > ウィジェット.
2. [新規] を選択します。
3. ウィジェットの新規レコード フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「ウィジェットの新規レコード フォーム」を参照してください。
4. [他のアクション] メニューを選択し、[保存] を選択します
5. [ウィジェットの関連性] 関連リストで、[新規] を選択します。
6. [ウィジェットの関連付けの新規レコード (Widget associations New Record)] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「ウィジェットの関連性フォーム」を参照してください。
7. [送信] を選択します。

財務の左ペインビューのカスタマイズ

財務の左ペインをカスタマイズして、カスタムフィールド情報を表示します。

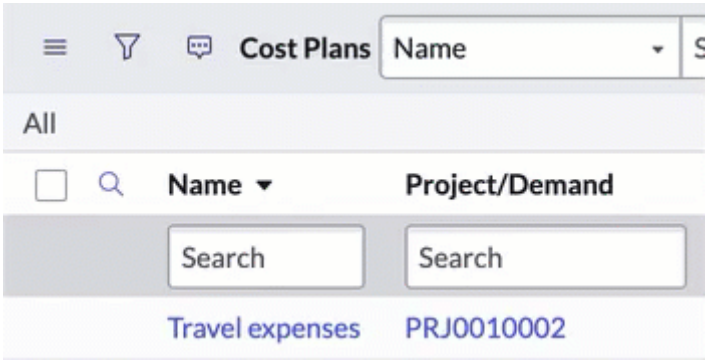
始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [ラベル] フィールドをフィルタリングして、[コスト計画] テーブルを開きます。
3. [リストを表示] 関連リンクを選択します。
4. 次に移動して財務ビューを選択します。 リストコントロール > ビュー > 財務ビュー.

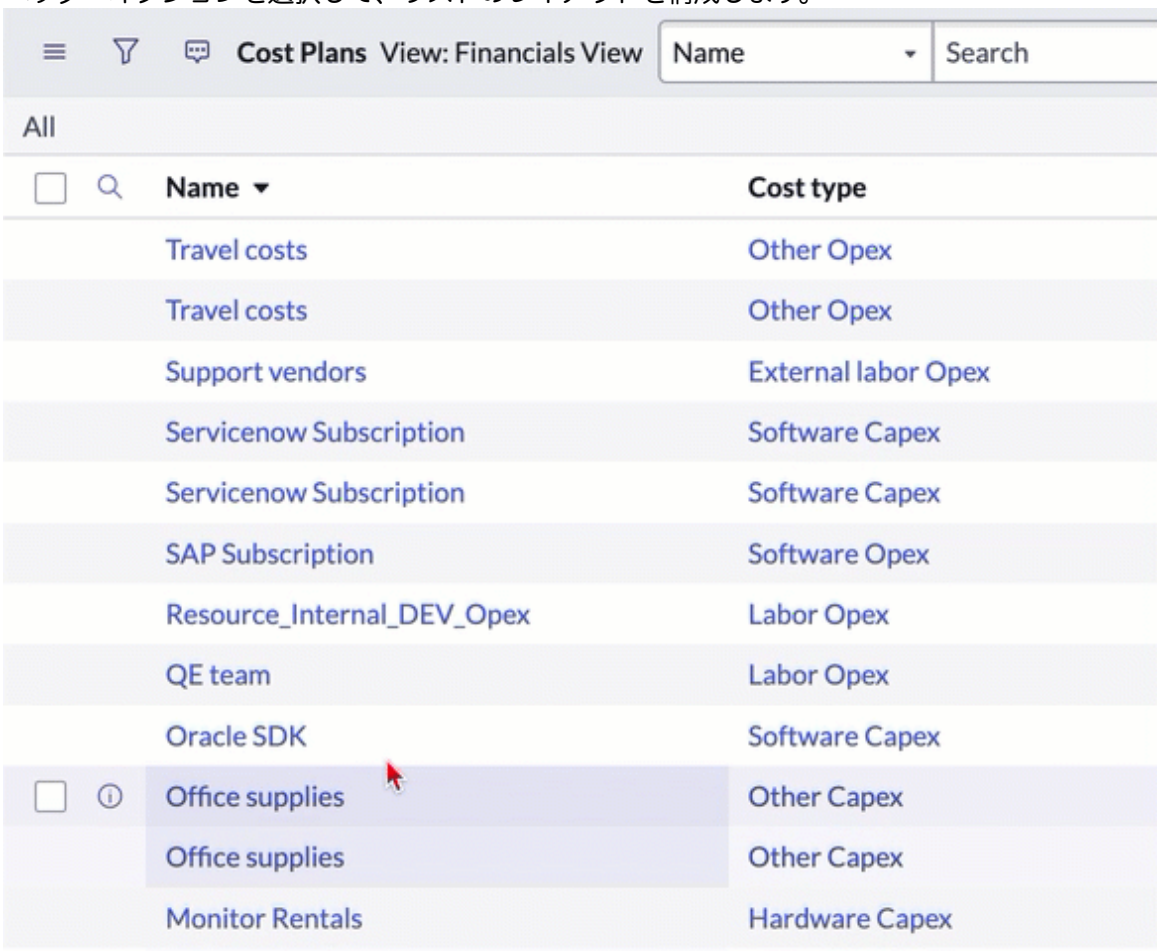
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



選択したビュー (.....) がヘッダーに表示されます。

5. ヘッダーオプションを選択して、リストのレイアウトを構成します。



6. [選択済み] 列のフィールドを追加または削除して、財務ビューの左ペインビューをカスタマイズします。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果

財務ビューのカスタマイズされたフィールドが含まれるコスト計画テーブルが表示されます。

[コスト計画] フォームのカスタマイズ

組織のニーズに応じて、新しいコスト計画フォームで必要なフィールドを管理します。

始める前に

必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [ラベル] フィールドをフィルタリングして、[コスト計画] テーブルを開きます。
3. [フォームをデザイン] 関連リンクを選択します。
4. ヘッダー行で、テーブルリストから [コスト計画 **[cost_plan]]** を選択し、ビューリストから [財務ビュー] を選択します。
5. このフォームでは次のことができます。
   - [フィールド] 列から必要なフィールドをドラッグアンドドロップする。
   - [フィールドを削除] アイコンを使用して、既存のフィールドを削除する。
6. [保存] を選択します。

計画立案アイテムのデフォルトの経費タイプを変更する

デフォルトの経費タイプを設定して、計画立案アイテムのコスト計画を作成または編集します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. 名前をフィルタリングし、**sn_plng_att_core.default.expense_type** テーブルを見つけて開きます。
3. 値フィールドを必要な経費タイプに変更し、 [保存] を選択します。
   デフォルト値は [Opex] です。

ベースラインのカスタムプリフィックスの作成

プリフィックスを変更して、計画立案アイテムのベースラインの名前をカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. 入力した名前をフィルタリングして、 **sn_invst_pln.baseline_prefix** を見つけて開きます。
3. [値] フィールドを変更して、ベースラインのカスタムプレフィックスを作成します。

   販売ポートフォリオで作業している場合は、[値] フィールドを [販売ベースライン] に変更できます。

4. [更新] を選択します。

Example:
2023 年 12 月 4 日に上記のプレフィックスを使用して営業プロジェクトのベースラインを作成しているとします。新しいベースラインの名前は、 **2023-12-04** の売上ベースラインになります。

スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、計画立案アイテムの財務ベースラインを作成

スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して定義し、必要な頻度で計画立案アイテムの財務ベースラインを自動的に作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 名前フィールドをフィルタリングして、[計画立案アイテムの財務ベースラインを作成] を見つけて開きます。
3. ジョブをアクティブ化してスケジュールするには、[アクティブ] オプションを選択します。
4. [スクリプトの実行を予定] フォームのフィールドを編集してジョブをカスタマイズし、要件を満たします。
   フィールドの説明とスクリプトの詳細については、を参照してください Automatically run a script of your choosing 。
5. [今すぐ実行] を選択してスケジュールされたジョブを実行するか、[更新] を選択して変更を保存します。

ジョブスケジュールを有効化して、計画立案アイテムの人件費を生成します

ジョブスケジュールをアクティブ化して、属性ベースのリソースアサインの人件費を自動的に生成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [名前] フィールドをフィルタリングし、[人 件費を生成] および [エピックの人件費を生成] ジョブを見つけて開きます。
3. [アクティブ] を選択し、[スクリプトの実行を予定] フォームでフィールドに入力します。

   フィールド名の説明については、「計画立案アイテムの人件費を生成するためのスクリプトの実行を予定フォーム」を参照してください。

4. [更新] を選択して変更を保存するか、[今すぐ実行] を選択してスケジュール設定済みジョブを実行します。

のリストのカスタマイズ 戦略的計画

ワークスペースの 戦略的計画 [リスト] メニューにカスタムテーブルを追加し、新しく作成されたカテゴリとリストへのアクセスを管理できます。

リストをカスタマイズし、ワークスペースの 戦略的計画 [リスト] ページで新しく作成されたカテゴリとリストへのアクセスを管理するには、次のタスクを実行します。

- APW リストメニュー構成ページに [新規] ボタンを追加します。詳細については、「[リスト] メニューへのカスタムテーブルの追加を有効にする」を参照してください。
- カスタムテーブルを [リスト] メニューに追加します。詳細については、「戦略的計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ」を参照してください。
- [リスト] ページで新しく作成されたカテゴリとリストを表示できるユーザーを管理します。詳細については、「戦略的計画 での新しいリストの対象者を定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リスト] メニューへのカスタムテーブルの追加を有効にする

APW リストメニュー設定ページに [新規 アクション] ボタンを追加して、ワークスペースの [リスト] メニュー 戦略的計画 にカスタムテーブルを追加できるようにします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 ワークスペースエクスペリエンス > アクション & コンポーネント > リストアクション.
2. アクションの割り当て ページで、 新規 を選択してアクション ボタンを作成します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「アクションのアサインフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
[新規アクション] ボタンが APW リストメニュー設定ページに追加されます。

次のタスク
戦略的計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ。

戦略的計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ

戦略的計画 ワークスペースの [リスト] メニューにカスタムテーブルを追加します。

始める前に

- アプリケーションスコープが **[Portfolio Planning]** に設定されていることを確認します。
- [リスト] メニューへのカスタムテーブルの追加を有効にする。

必要なロール：admin

このタスクについて
ワークスペースホームページの [リスト] メニューは、計画マネージャーが必要なレコードをすばやく見つけるのに役立ちます。デフォルトでは、このビューには、この ServiceNow インスタンスで利用可能なすべての計画立案アイテムとレンズのエンティティのリストが表示されます。計画マネージャーがさらにカテゴリまたはリストを必要とする場合は、追加できます。

ワークスペースでのリストの構成の詳細については、「リスト」を参照してください。

手順

1. **sys_ux_list_menu_config.list** に移動します。
2. [UX リストメニュー構成] リストから、**[APW** リストメニュー構成] を選択します。
3. 新しいカテゴリまたは新しいリストを選択します。

   ヒント:
   最初にカテゴリを作成してから、リストを作成します。

4. フォームのフィールドに入力します。
   - UX リストカテゴリフォーム。
   - UX リストフォーム。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] を選択します。
   すべてのカスタムカテゴリとリストを作成するまで、この手順を繰り返します。

次のタスク
戦略的計画 での新しいリストの対象者を定義。

戦略的計画 での新しいリストの対象者を定義

戦略的計画 ワークスペースの [リスト] ページで新しく作成されたカテゴリとリストを表示できるユーザーを管理します。

始める前に
戦略的計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ.

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 **sys_ux_applicability_m2m_list.**リスト.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「リスト適用性フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

戦略的計画 診断

計画立案マネージャーがポートフォリオ計画の作業に優先順位を付け、ロードマップを作成する前に、診断スキャンを実行して、 戦略的計画 の構成およびその他の一般的な設定のエラーを特定して修正します。

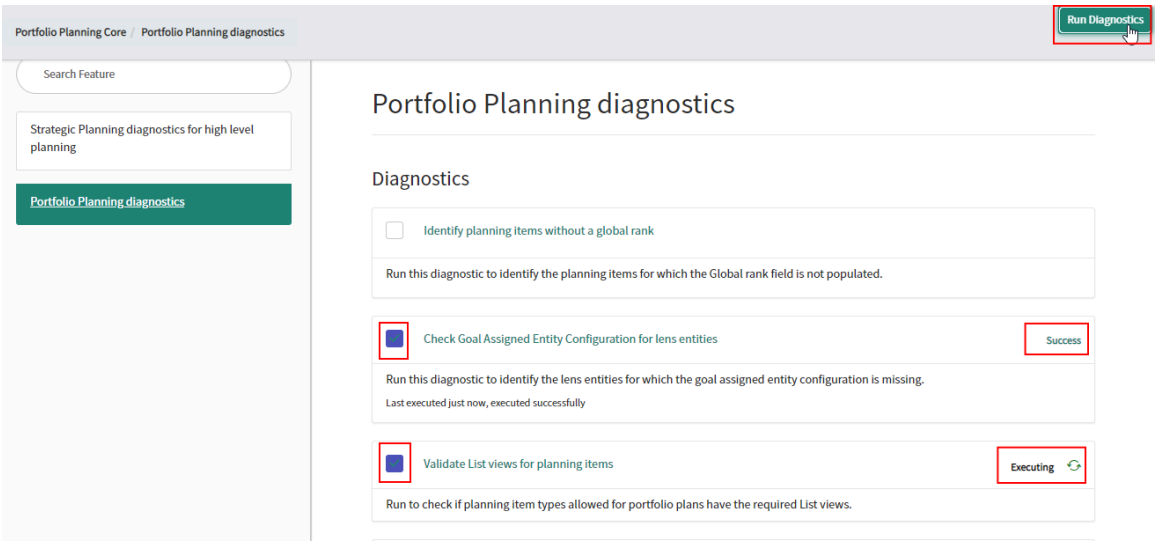
戦略的計画 診断スキャンは、以下に対する構成を検証することで、不一致を見つけるのに役立ちます。

- レンズとレンズ構造
- 計画立案アイテムのフォームビュー、リストビュー、関連リストビュー、およびワークスペースビューのルール
- 計画立案アイテムのグローバルランク
- ポートフォリオ計画
- 目標データ
- 上位レベルの計画立案エンティティ

戦略的計画で使用可能なデフォルトの診断スキャンは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



上位レベルの計画立案のための **Strategic Planning** 診断

フィールド	説明
上位レベルの計画立案エンティティのランク構成の検証 (Validate Rank configuration for the high-level planning entities)	上位レベルの計画立案が有効になっているエンティティにランク構成があることを確認します。 このテストが失敗した場合は、「上位レベルの計画立案に備えたランク構成の作成」を参照して失敗を修正してください。
上位レベルの計画立案エンティティのフォームセクションビューの検証 (Validate Form section views for high-level planning entities)	上位レベルの計画立案が有効になっているすべてのレンズエンティティに、必要なフォームセクションビューがあることを確認します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、上位レベルの計画立案が有効になっている特定のエンティティに欠落しているフォームセクションビューが表示されます。 これらの修正方法については、「戦略的計画 での新しい計画立案アイテムテーブルのフォームビューの作成」を参照してください。
上位レベルの計画立案エンティティの関連リストビューの検証 (Validate Related list views for high-level planning entities)	上位レベルの計画立案が有効になっているすべてのレンズエンティティに、必要な関連リストビューがあることを確認します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、上位レベルの計画立案が有効になっている特定のエンティティに欠落している関連リストビューが表示されます。 これらの修正方法については、「Strategic Planning での新しい計画立案アイテムタイプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	の関連リストビューの作成」を参照してください。
上位レベルの計画立案エンティティのリストビューの検証 (Validate List views for high-level planning entities)	上位レベルの計画立案が有効になっているすべてのレンズエンティティに、必要なリストビューがあることを確認します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落しているリストビューが表示されます。 これらの修正方法については、「Strategic Planning での新しい計画立案アイテムテーブルのリストビューの作成」を参照してください。
グローバルランクなしで、計画立案が有効になっている上位レベルの計画立案エンティティの特定 (Identify high-level planning entities enabled for planning, without a global rank)	グローバルランクがない上位レベルの計画立案エンティティの数を特定します。 このスキャンが失敗した場合、結果にはグローバルランクのない計画立案アイテムが表示されます。[修復スクリプトを実行] をクリックして、このフィールドが空のアイテムにグローバルランクを入力します。

ポートフォリオ計画 診断

計画立案アイテム、目標、およびポートフォリオ計画の一般的な構成エラーを検証するために使用できる診断スキャンは、次のとおりです。

スキャンの名前	説明
グローバルランクのない計画立案アイテムを識別する	グローバルランクが設定されていない、[優先順位付けリスト] ページの計画アイテムの数を識別します。 このスキャンが失敗した場合、結果にはグローバルランクのない計画立案アイテムが表示されます。[修復スクリプトを実行] をクリックして、このフィールドが空のアイテムにグローバルランクを入力します。
レンズエンティティの、目標がアサインされたエンティティ構成をチェック (Check Goal Assigned Entity Configuration for lens entities)	目標がアサインされたエンティティ構成が欠落しているレンズエンティティを識別します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、アサインされたエンティティ構成がないレンズエンティティが表示されます。
計画立案アイテムのリストビューを検証	ポートフォリオ計画に追加できるすべての計画立案アイテムに、[APW の優先順位付け] およ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキャンの名前	説明
	び [APW のデフォルト] のリストビューがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落しているリストビューが表示されます。 これらの修正方法については、「Strategic Planning での新しい計画立案アイテムテーブルのリストビューの作成」を参照してください。
計画立案アイテムのフォームセクションビューを検証	ポートフォリオ計画に追加できるすべての計画立案アイテムに、[APW の優先順位付け]、[APW のデフォルト]、および [APW 新規] のフォームビューがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落しているフォームセクションビューが表示されます。 これらの修正方法については、「戦略的計画 での新しい計画立案アイテムテーブルのフォームビューの作成」を参照してください。
計画立案アイテムの関連リストビューを検証	ポートフォリオ計画で許可されたすべての計画立案アイテムに、[APW のデフォルト] 関連リストビューがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落している関連リストビューが表示されます。 これらの修正方法については、「Strategic Planning での新しい計画立案アイテムタイプの関連リストビューの作成」を参照してください。
計画立案アイテムのデフォルトビューのワークスペースビュールールを検証	ポートフォリオ計画で許可されたすべての計画立案アイテムにデフォルトのビューのワークスペースビュールールがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落しているデフォルトの表示ルールが表示されます。 これらの修正方法については、「戦略的計画 の新規計画立案アイテムフォームに対するワークスペースビュールールの作成」を参照してください。
アサインされたエンティティの目標関係を検証 (Validate the goal relationships for assigned entities)	アサインされたエンティティに定義された m2m 目標関係があるかどうかを特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキャンの名前	説明
	このスキャンが失敗した場合、結果には、m2m 目標関係とアサインされたエンティティテーブルがある目標が表示されます。*`Migrate goal relationships for assigned entities`* スケジュール設定済みジョブを実行すると、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルから目標テーブルに既存の目標関係データを移行できます。詳細については、「アサインされたエンティティの目標関係を移行する」を参照してください。
計画立案アイテムの APW デフォルトビューのワークスペースビュールールを検証	ポートフォリオ計画で許可されたすべての計画立案アイテムに APW デフォルトのビューのワークスペースビュールールがあることを検証します。 このスキャンが失敗した場合、結果には、特定の計画立案アイテムテーブルに欠落している APW デフォルトの表示ルールが表示されます。 これらの修正方法については、「戦略的計画 の新規計画立案アイテムフォームに対するワークスペースビュールールの作成」を参照してください。
ポートフォリオ計画構成の無効なフィールドの検証	既存のすべてのポートフォリオ計画のポートフォリオ計画構成レコード内の無効なフィールドを検索します。 このスキャンが失敗した場合は、[修復スクリプトの実行] をクリックして、特定された無効なフィールドを削除します。
すべてのポートフォリオ計画のポートフォリオ計画構成の検証	インスタンスで作成された既存の各ポートフォリオ計画に有効なポートフォリオ計画構成があるかどうかを確認します。

戦略的計画 **with** PPM、Agile 2.0、および **SAFe** の構成

戦略的計画 が Agile Development 2.0、Scaled Agile Framework、プロジェクトポートフォリオ管理 と連携するようにセットアップするために必要なプロセスを理解します。

構成ワークフロー

戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe のセットアッププロセスの指針として、次のステップを使用してください。これらのステップの中には、管理者ロール (sn_align_core.apw_admin) が必要なものと、ユーザーロール (sn_align_core.apw_user) が必要なものがあります。

1. 配置統合を作成
2. デフォルトのマッピング構成を生成
3. カスタムマッピング構成の作成 (オプション)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Guided Setup

戦略的計画 をインストールした後、ガイド付き設定を使用して必要な構成を行うことができます。ガイド付き設定を開くには、次の場所に移動します。 戦略的計画 > ガイド付き設定.

配置統合を作成

戦略的計画 をインストールすると、**[ServiceNow** 内部] 配置統合がデフォルトで作成されます。配置統合が利用できない場合は、配置統合タイプを作成できます。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] 配置統合が存在するかどうかを検証します。
3. 存在しない場合は、[新規] をクリックして、配置統合を作成します。
4. [名前] フィールドに、配置統合の名前を入力します。
   または、関連リンクから **[ServiceNow** 内部統合を作成] をクリックして、内部配置統合を作成することもできます。
5. [送信] をクリックします。

デフォルトのマッピング構成を生成

デフォルトのマッピング構成を生成して、利用可能なアプリケーションのテーブルマップを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core_apw.admin

手順

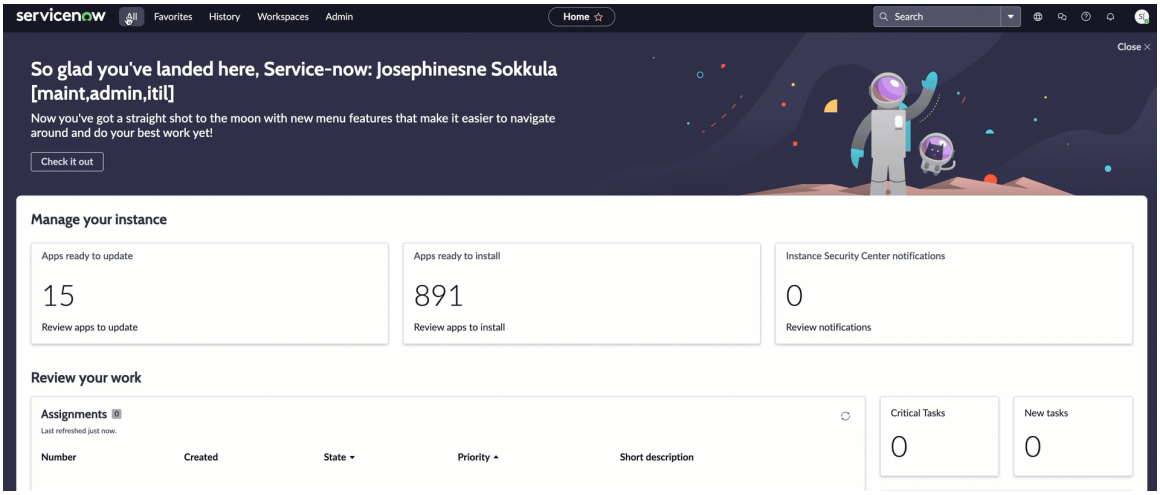
1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] をクリックして、内部アプリケーションの配置統合を表示します。
3. [デフォルトのマッピング構成を生成] をクリックして、利用可能なアプリケーションのテーブルマップを作成します。
   各アプリケーション用に作成されたテーブルマップのリストの詳細については、次の表を参照してください。

インストールされているアプリケーション	作成されたテーブルマップ
プロジェクトポートフォリオ管理	プロジェクト、プロジェクトタスク (マイルストーン用)、デマンド、およびアイデア
Agile Development 2.0	エピック
SAFe	SAFe エピック

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのマッピング構成



注:
マッピング構成は、各レコードのテーブル、フィールド、および選択マップで構成されます。

カスタムマッピング構成の作成

機能、ストーリーなど、デフォルトで作成されない計画立案アイテムのマッピング構成を作成します。

管理者は、デフォルトで作成されない計画立案アイテムのテーブルマップ、フィールドマップ、および選択マップを作成できます。詳細については、以下を参照してください。

1. テーブルマップの作成
2. フィールドマップの作成
3. 選択マップの作成

テーブルマップの作成

テーブルマップを作成して、戦略的計画 のテーブルと Agile Development 2.0、SAFe、および PPM のテーブル間のマッピングを定義します。

始める前に
必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

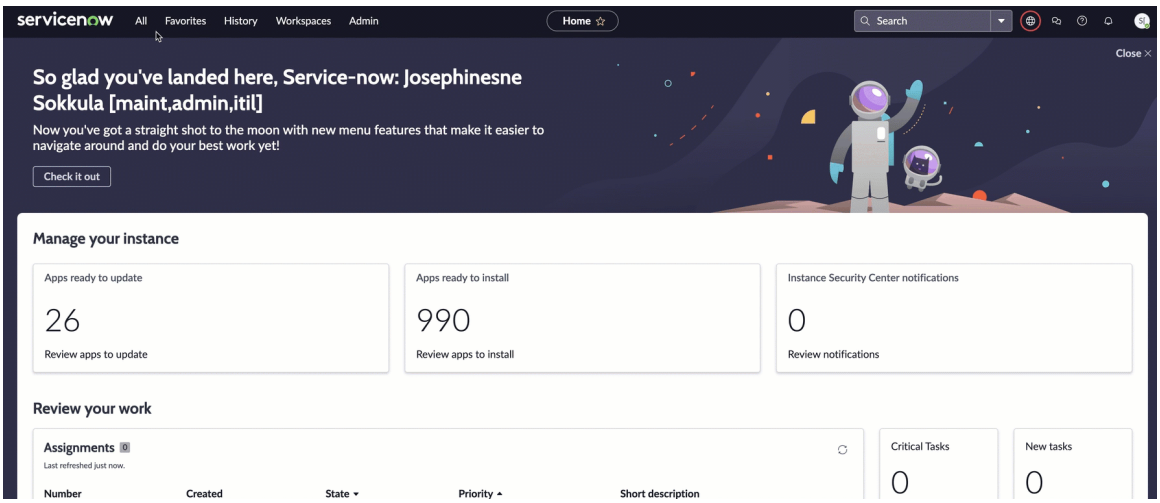
1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] を選択します。
3. [テーブルマップ] タブで [新規] を選択して、新しいテーブルマップを作成します。
4. テーブルマップフォーム で、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] を選択します。

新しいテーブルマップの作成



タスクの結果

配置テーブルと実行テーブルの構成を使用して、新しいテーブルマップが作成されます。

注:
デマンドまたはプロジェクト以外のタイプの計画立案アイテムに関するテーブルマップを作成または更新するには、SPM Pro ライセンスが必要です。詳細については、管理者にお問い合わせください。

次のタスク

この新しいテーブルマップ構成を Agile Development 2.0、SAFe、または PPM にエクスポートするビジネスルールを作成します。詳細については、「カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成」を参照してください。

カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成

Agile Development 2.0、SAFe、および PPM アプリケーションから新しいカスタムテーブルマップ構成へのエクスポートを有効にするビジネスルールを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_align_core_apw.admin

このタスクについて

戦略的計画 統合でカスタムテーブルマップを作成した後、 rm_epic または dmn_demand テーブルで「実行から調整までのデータを同期」ビジネスルールに類似したビジネスルールを作成します。

注:
ビジネスルールが、Agile Development 2.0、SAFe、PPM などの実行アプリケーションで作成されていることを確認します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. 使用可能なビジネスルールのリストから、[実行から調整までのデータを同期] ルールを見つけて開きます。
3. コンテキストメニュー (☰) から、このビジネスルールに対して [挿入と維持] 操作を実行します。
   ServiceNow インスタンスで [挿入と維持] アクションを有効にしていない場合は、「レコードの挿入オプションの許可」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [ビジネスルール] フォームで、次のフィールドを編集します。

[ビジネスルール] フォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスルールの一意の名前。 たとえば、新しいテーブルマップがデマンドをマップする場合は、このルールに「戦略的計画とのデマンドの同期」と名前を付けます。
テーブル	カスタムマップを作成したテーブルを選択します。 たとえば、機能 [sn_safe_feature] です。

5. [更新] をクリックします。

フィールドマップの作成

各テーブルマップのフィールドを 戦略的計画 から Agile Development 2.0、SAFe、Project Portfolio Management へ、またその逆にマッピングします。

始める前に

配置統合レコードのテーブルマップが作成されていることを確認してください。詳細については、「テーブルマップの作成」を参照してください。

> **注:**
> 実行フィールドタイプが [参照] で配置フィールドタイプが [文字列] である場合、同期は機能しません。

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.

2. **[ServiceNow** 内部] を選択します。

3. [テーブルマップ] 関連リストで、フィールドマップを作成するテーブルマップを選択します。

4. [フィールドマップ] タブで [新規] を選択して、新しいフィールドマップを作成します。

5. フィールドマップフォーム で、フィールドに入力します。

6. [送信] をクリックします。

選択マップの作成

戦略的計画 から Agile Development 2.0、SAFe、Project Portfolio Management へ、またはその逆の値のリストを使用して、フィールドの各フィールドマップの選択リストをマッピングします。

始める前に

フィールドマップを作成し、値のリストを含む選択フィールドが含まれていることを確認してください。詳細については、「フィールドマップの作成」を参照してください。

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] を選択します。
3. [テーブルマップ] 関連リストで、選択マップを作成するフィールドがあるテーブルマップを選択します。
4. [フィールドマップ] 関連リストで、選択マップを作成する関連フィールドマップを選択します。
5. [選択マップ] タブで [新規] を選択して、新しい選択マップを作成します。
6. 選択マップフォーム で、フィールドに入力します。
7. [送信] をクリックします。

チームスペースの操作

戦略的計画 を Project Portfolio Management のチームスペースと統合すると、関連するプロジェクトとデマンドにアクセスして、対応する計画立案アイテムレコードを使用して管理できます。

チームスペース機能を使用するには、チームスペースプラグインをアクティブ化する必要があります。次のチームスペースプラグインを使用できます。

- Project Management TeamSpace 1 (com.snc.ppm_teamspace_1)
- Project Management TeamSpace 2 (com.snc.ppm_teamspace_2)
- Project Management TeamSpace 3 (com.snc.ppm_teamspace_3)
- Project Management TeamSpace 4 (com.snc.ppm_teamspace_4)
- Project Management TeamSpace 5 (com.snc.ppm_teamspace_5)

これらのプラグインとともにインストールされたチームスペースには同じコンポーネントが含まれていますが、コンポーネントのプリフィックスは異なります。たとえば、チームスペース 1 には **[Teamspace_1** プロジェクト **[tsp1_project]]** という名前のプロジェクトテーブルが含まれ、チームスペース 5 には **[Teamspace_5** プロジェクト **[tsp5_project]]** という名前のプロジェクトテーブルが含まれます。

また、対応するチームスペースロールを、戦略的計画 管理者 (sn_ament_core.apw_admin) ロールに追加する必要があります。たとえば、teamspace1 の場合は tsp1_portfolio_manager、teamspace2 の場合は tsp2_portfolio_manager のようになります。

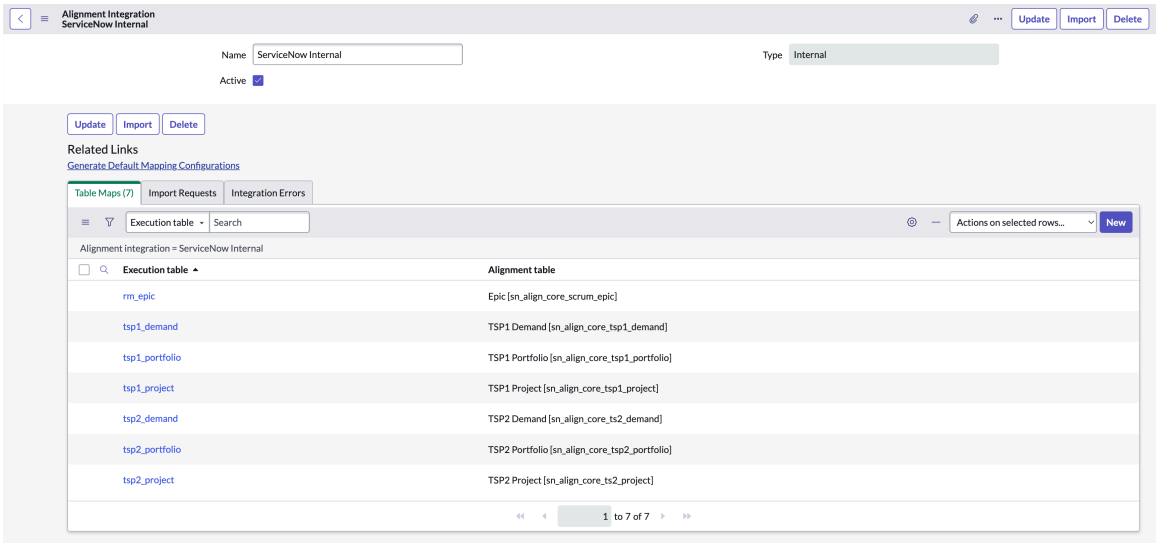
チームスペースを 戦略的計画 レコードと統合するには：

1. すべてのチームスペースに対して 1 つの配置統合を作成します。配置側で、個々のチームスペーステーブルデータ (TSP1 ポートフォリオ [sn_align_core_tsp1_portfolio]、TSP1 デマンド [sn_align_core_tsp1_demand]、TSP2 プロジェクト [sn_align_core_tsp2_project] など) を保存するための拡張テーブルを作成します。
2. 配置統合で、ステップ 1 で作成した拡張テーブルをそれぞれのチームスペーステーブル (tsp1_portfolio、tsp1_demand、tsp2_project など) にマッピングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チームスペースとの統合



関連情報

テーブルマップの作成

でのポートフォリオ計画の管理 戦略的計画

戦略的計画 Workspace でカスタマイズされたポートフォリオ計画を作成し、目的の視点 (レンズ) で集中的に作業を計画し、調整を促進できるようにします。

次のセクションでは、戦略的計画 ワークスペースでのポートフォリオ計画の作成、更新、共有、および共同作業について説明します。

上位レベルのポートフォリオ計画の作成

戦略的計画 Workspace で上位レベルの戦略的アイテムのポートフォリオ計画を作成し、こうした戦略的アイテムに沿った作業の優先順位付け、ロードマップ作成、および管理を行えるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
デフォルトでは、戦略的投資レンズを選択し、イニシアチブまたは戦略的プログラムを上位レベルの計画立案アイテムとして使用できます。別のアイテムを使用して計画する場合は、管理者と協力して、ServiceNow インスタンスでそうしたアイテムを有効にしてください。構成の詳細については、「戦略的計画 での上位レベルの計画立案の構成」を参照してください。

このタスクでは、レンズを選択し、条件を追加して、必要な計画立案アイテムデータをフィルタリングし、追加の詳細を追加してポートフォリオ計画を作成します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. [ポートフォリオ計画] ページで、[新規] を選択します。
   ポートフォリオ計画が存在しない場合は、[最初のポートフォリオ計画を作成] を選択します。
3. 上位レベルの計画立案のレンズを選択します。

   デフォルトでは、戦略的投資レンズは上位レベルの計画立案に対して有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

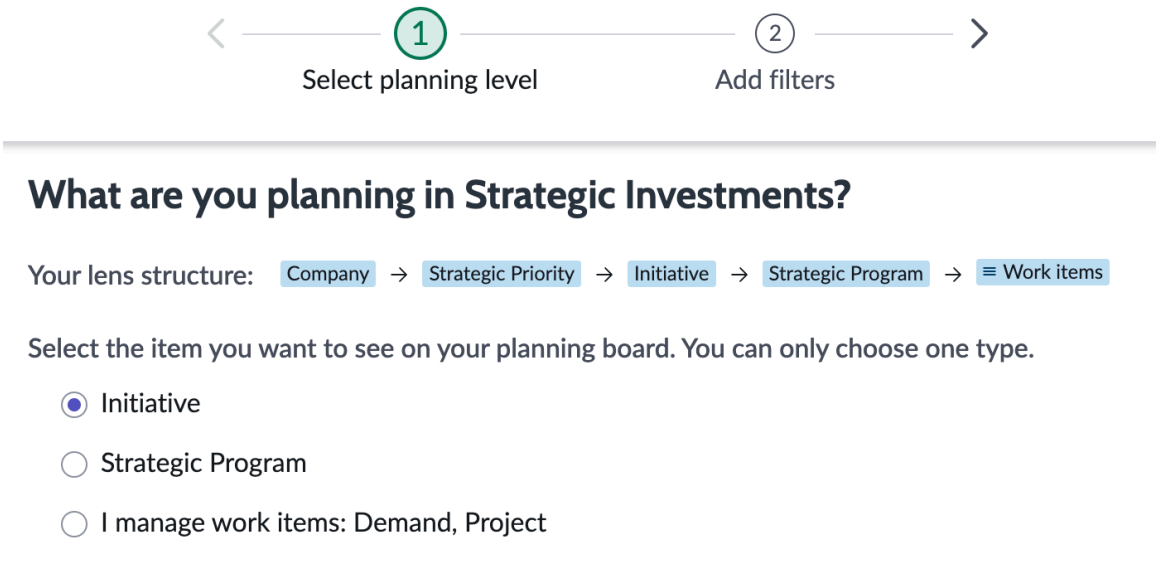
注:
目標 [sn_gf_goal] テーブルは上位レベルの計画立案をサポートしていないため、目標レンズを選択しないでください。

[ポートフォリオ計画を作成] ウィザードが表示されます。

4. [ポートフォリオ計画を作成] ウィザードを使用して選択します。

   a. 選択したレンズについて、計画する作業のタイプを選択します。

      たとえば、会社のイニシアチブの作業を管理するとします。上位レベルの計画立案アイテムとして [イニシアチブ] を選択します。これにより、イニシアチブを計画し、こうしたイニシアチブに沿った作業をレビューできます。



   b. 条件を追加して、計画立案アイテムのデータをさらにフィルタリングします。

      たとえば、カスタマーサポート部門のイニシアチブを担当しているとします。イニシアチブテーブルからカスタマーサポート部門のみのイニシアチブをフィルタリングする条件を設定できます。

      複数の条件を追加して、複雑なフィルターを設定し、適切な種類のデータをポートフォリオ計画に追加することもできます。

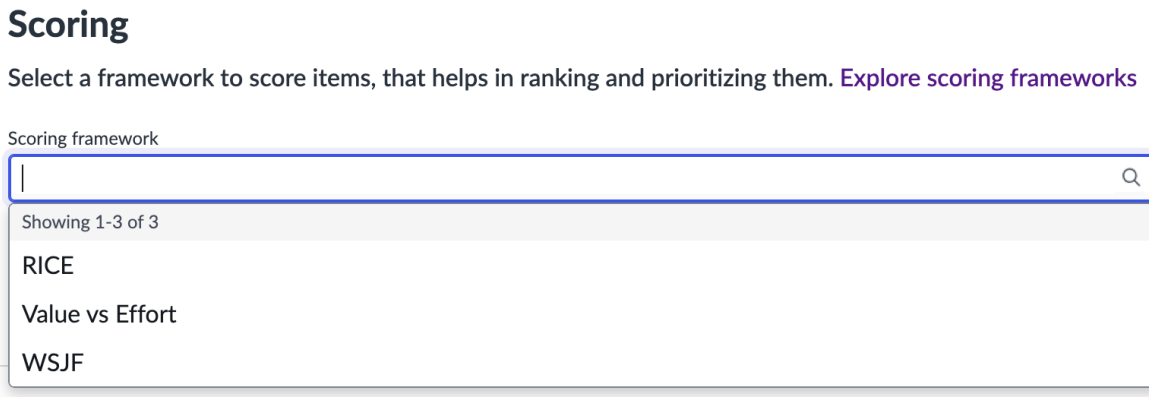
   c. ポートフォリオ計画の詳細を入力します。

      ポートフォリオ計画の名前、所有者、開始日と終了日、および説明の情報を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. ドロップダウン値 を使用するか、[スコアリングフレームワーク] ウィンドウからスコアリングフレームワークを選択します。
ポートフォリオ計画のカスタムスコアリングフレームワークを作成するには、 [スコアリングフレームワークの探索] を選択します。



[前 へ] および [次へ] ボタンを使用して、ステップ間を移動します。

5. [作成] を選択します。

タスクの結果
ポートフォリオ計画が作成され、ページが更新されて、 [目標] ページと [計画] ページが表示されます。ホームページから、所有または共有しているすべてのポートフォリオ計画のリストを表示できます。

次のタスク
- ポートフォリオ計画の目標を定義し、それに合わせて作業を調整します。「戦略的計画 での目標管理」を参照してください。
- バックログを分析し、ポートフォリオ計画の作業に優先順位を付けます。「でのポートフォリオ計画作業の優先順位付け 戦略的計画」を参照してください。

でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画

ワークスペースでカスタマイズされたポートフォリオ計画をレンズとビューで 戦略的計画 使用して、作業の優先順位付けと調整を開始できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
4 ステップのウィザードでレンズを選択し、条件を追加して、必要な計画立案アイテムをフィルタリングし、追加の詳細を入力して、ポートフォリオ計画を作成します。

エンタープライズアーキテクチャワークスペース(ユーザーのみ) ビジネス機能レンズを使用してポートフォリオ計画を作成するには、 をインストールするエンタープライズアーキテクチャワークスペース必要があります。ビジネス機能レンズを使用してポートフォリオ計画を作成するには、sn_apm.apm_user ロールが必要です。

この タスクでは、通常の作業アイテムレベルのポートフォリオ計画の作成について説明します。上位レベルのポートフォリオ計画を作成するには、「」を参照してください上位レベルのポートフォリオ計画の作成。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. [ポートフォリオ計画] ページで、[新規] を選択します。
   既存の計画がない場合は、[最初のポートフォリオ計画を作成] を選択します。
3. ポートフォリオ計画を作成ウィザードを使用して選択します。

   a. レンズを選択します。

   b. 選択したレンズについて、エンティティタイプとそのタイプの目的のエンティティを選択します。

   エンティティタイプは、作業を計画するレベルを表します。

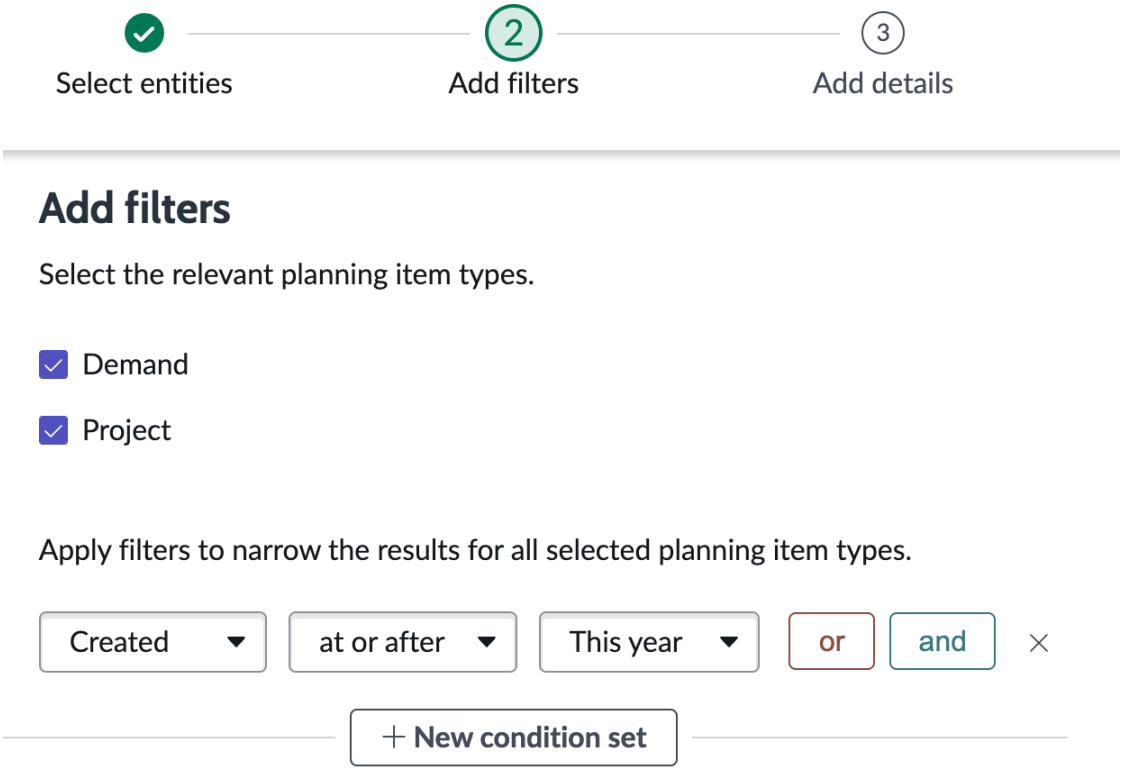
   たとえば、HR 部門の作業を計画するには、レンズとして [組織]、エンティティタイプとして [部門]、部門のリストから **[HR]** を選択します。 この選択により、HR 部門に関連付けられた作業のみがポートフォリオ計画に追加されます。

   c. ポートフォリオ計画に含める計画立案アイテムのタイプを選択します。

   追加の条件を使用して、計画立案アイテムデータをさらにフィルターできます。

   たとえば、今年作成するすべての人事プロジェクトを計画および追跡するには、計画立案アイテムとして [プロジェクト] を選択し、今年作成するすべての人事プロジェクトをフィルターする条件を追加します。

   複数の条件を追加して、複雑なフィルターを設定し、適切な計画立案アイテムをポートフォリオ計画に追加することもできます。



   d. ポートフォリオ計画の詳細を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

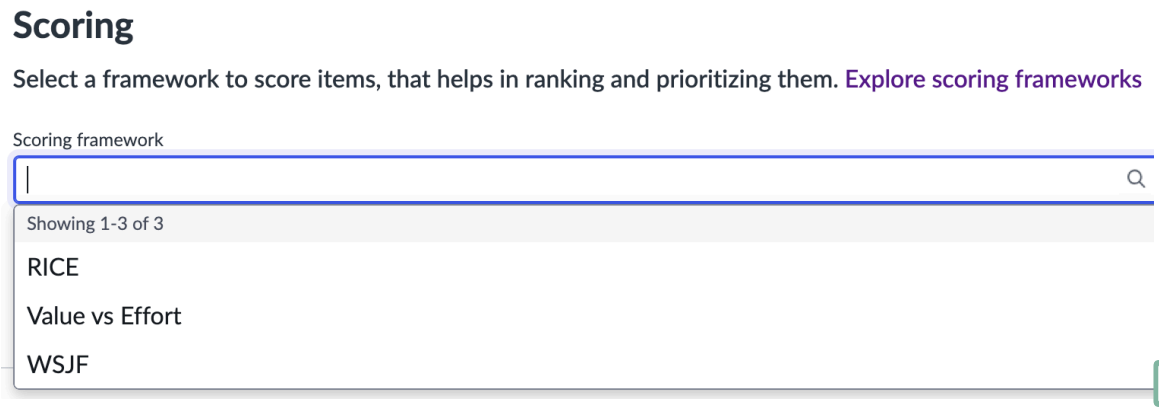
自動翻訳

ポートフォリオ計画の名前、所有者、開始日と終了日、および説明を入力します。

> **重要:**
> ポートフォリオ計画の開始日と終了日は、計画に追加されるすべての計画立案アイテムの日付範囲フィルターとして機能します。

たとえば、 ポートフォリオ計画が 2023 年 3 月 1 日から 2024 年 7 月 6 日までの場合、2023 年 2 月の開始日と終了日で承認されたプロジェクトは、「2023 年作成」 基準を満たしていても計画に表示されません。

e. ドロップダウン値 を使用するか、[スコアリングフレームワーク] ウィンドウからスコアリングフレームワークを選択します。
ポートフォリオ計画のカスタムスコアリングフレームワークを作成するには、 [スコアリングフレームワークの探索] を選択します。



[前へ] と [次へ] を使用して、ステップ間を移動できます。

4. [作成] を選択します。

タスクの結果

ポートフォリオ計画が作成され、ページが更新されて、この新しいポートフォリオ計画の [目標] ページと [計画] ページが表示されます。ホームページから、所有または共有しているすべてのポートフォリオ計画のリストを表示できます。

次のタスク

- ポートフォリオ計画の目標を定義し、それに合わせて自身の作業を調整します。「戦略的計画 での目標管理」を参照してください。
- バックログを分析し、ポートフォリオ計画の作業に優先順位を付けます。「でのポートフォリオ計画作業の優先順位付け 戦略的計画」を参照してください。

での既存のポートフォリオ計画のコピーの作成 戦略的計画

既存のポートフォリオ計画のデータを使用してポートフォリオ計画を作成します。作成するポートフォリオ計画が既存のポートフォリオ計画に類似している場合は、既存のポートフォリオ計画をコピーすると時間を節約できます。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

[ポートフォリオ計画をコピー] オプションでは、選択したポートフォリオ計画とそのすべてのデータ (目標、優先順位付け、およびロードマップ) がポートフォリオ計画にコピーされます。また、コピーされたアイテムとその子アイテム間のすべての依存関係と関係も保持されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のアクションアイコン ( ) を選択し、[ポートフォリオ計画をコピー] を選択します。
4. [ポートフォリオ計画をコピー] ウィンドウで、詳細を入力します。
   a. [ポートフォリオ計画名] フィールドにポートフォリオ計画の名前を入力します。
   デフォルトでは、名前は *ABC（Copy）*「ABC」で、コピー元のポートフォリオ計画の名前になります。
   b. オプション: コピー元のポートフォリオ計画のユーザーにアクセス権を付与するには、[同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択します。
   このアクションでは、コピー元のポートフォリオ計画に対してユーザーが持っていたのと同じ読み取りおよび編集アクセス権が付与されます。
   c. [確認] を選択します。

タスクの結果
新しいポートフォリオ計画が作成され、新しいポートフォリオ計画にアクセスするためのリンクが画面に生成されます。

次のタスク

- 新しいポートフォリオ計画に従って、ポートフォリオ計画の目標を表示または更新します。「戦略的計画 での目標管理」を参照してください。
- バックログを分析し、ポートフォリオ計画の作業に優先順位を付けます。「でのポートフォリオ計画作業の優先順位付け 戦略的計画」を参照してください。

でのポートフォリオ計画の変更 戦略的計画

戦略的計画 ワークスペースでポートフォリオ計画の詳細を更新するか、削除して、計画の優先度の変更を反映します。

始める前に
でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画.

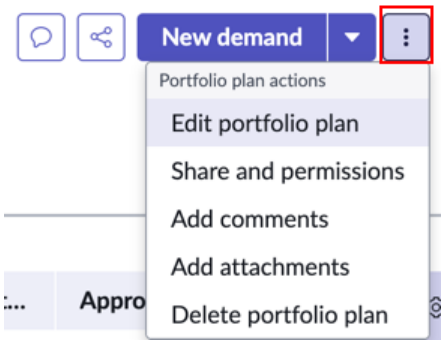
必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のアクションアイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. ポートフォリオ計画の詳細を更新するか、削除します。

関連情報

でのポートフォリオ計画の共有 戦略的計画

でのポートフォリオ計画の共同作業 戦略的計画

でのポートフォリオ計画の共有 戦略的計画

ポートフォリオ計画をステークホルダーや他の計画マネージャーと共有して、計画の進捗状況に対する可視性を得て、共同作業を開始できるようにします。

始める前に

- でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画。
- ポートフォリオ計画を共有するユーザーまたはグループは、ポートフォリオ計画への読み取りまたは編集アクセス権をそれぞれ取得するために、sn_align_core.ap_read_only または sn_align_core.apw_user ロールを持っている必要があります。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ポートフォリオを共有する個々のユーザーまたはグループを選択します。

ポートフォリオ計画を個々のユーザーまたはグループと共有すると、ポートフォリオ計画の次のデータにアクセスできます。

- デフォルトでは、[計画] ページ ([優先順位付け] タブと [ロードマップ] タブ)
- ユーザーが sn_align_ws.spw_capacity_user または sn_align_ws.spw_capacity_read ロールを持っている場合、[計画] ページの [キャパシティ計画] タブ
- ユーザーが sn_apw_advanced.spw_goal_user ロールを持っている場合は、[目標] ページ。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. [計画] ページのポートフォリオ計画ヘッダーから、[ポートフォリオ計画を共有] アイコン ( ) を選択します。
4. [ポートフォリオ計画を共有] フォームで、ポートフォリオ計画を共有するユーザーを選択し、そのアクセス権を適切に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [メンバーまたはグループ] フィールドに、個々のユーザーまたはグループの名前を入力します。

b. [アクセス] フィールドで、選択した名前のアクセスレベルとして [ビューアー] または [エディター] を選択します。

- エディターは、ポートフォリオ計画の設定とデータを表示および変更できます。
- ビューアーは、コメントまたは添付ファイルの追加のみを行うことができます。設定やデータを変更することはできません。

5. [招待を送信] を選択します。

タスクの結果
選択した個人およびグループユーザーに、ポートフォリオ計画の共有がメールで通知されます。

次のタスク
でのポートフォリオ計画の共同作業 戦略的計画。

ユーザーまたはグループのアクセスレベルを変更するか、アクセス権を削除します。

1. [ポートフォリオ計画を共有] フォームで、[アクセスを管理] を選択します。
2. ユーザーまたはグループカードから、[アクションメニュー] アイコン ( ) を選択します。
3. 適切なアクセスレベルを選択するか、[削除]を選択します。

関連情報
でのポートフォリオ計画の変更 戦略的計画

でのポートフォリオ計画の共同作業 戦略的計画
ユーザーがフィードバックを確認して共有できるように、ポートフォリオ計画にコメントと添付ファイルを追加します。ステークホルダーと共同作業し、結果の共有を推進します。

始める前に
でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
計画やデータポイントについてコメントし、添付ファイルを共有し、ワークスペース内の 1 つの場所からフィードバックを提供することで、すべてのステークホルダーがビジネスの優先順位と連携していることを確認します。

ポートフォリオ計画のヘッダーから追加する添付ファイルとコメントは、ポートフォリオ計画全体 (目標、優先順位付け、およびロードマップ) に適用されます。

手順
1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. [計画] ページのポートフォリオ計画ヘッダーから、[コメント] アイコン ( ) を選択します。
4. ポートフォリオ計画にコメントまたは添付ファイルを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

でのポートフォリオ計画の変更 戦略的計画

でのポートフォリオ計画の共有 戦略的計画

ポートフォリオ計画のステータス **Microsoft PowerPoint** のエクスポート先 戦略的計画

ポートフォリオ計画の目標、作業アイテム、および主要測定基準のステータスを PowerPoint ファイルにエクスポートして、ビジネスステークホルダーが最新の進捗状況を常に把握できるようにします。レポートへのデータのコピーを回避することで時間を節約し、ServiceNow インスタンスにアクセスできないステークホルダーとも連携できるようにすることで、成果の共有を促進します。

始める前に

戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint のインストール。

必要なロール：admin

重要:
Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

このタスクについて

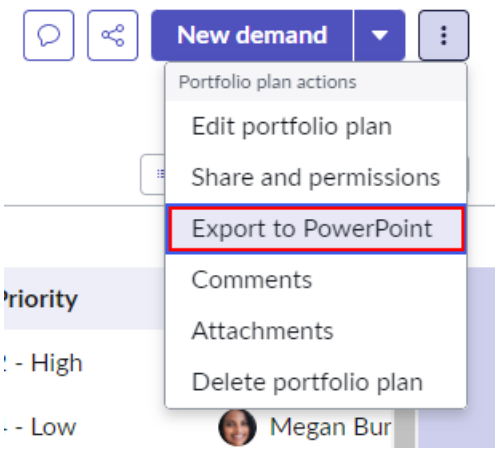
ポートフォリオ計画のステータスレポートを生成するために、次の 2 つの PowerPoint テンプレートがデフォルトで提供されています。

- ポートフォリオ計画ステータス：ランク別に優先順位付けされた上位 5 つのアイテムの個々の詳細スライドが含まれています。
- ポートフォリオ計画と目標のステータス：このポートフォリオの目標とターゲットのスライド、達成された目標、リスクのある目標、およびランク別に優先順位付けされた上位 5 つのアイテムの個々の詳細なスライドが含まれています。

事前定義されたテンプレートを更新するか、独自のブランド化されたテンプレートを作成することで、生成されたレポートに表示されるデータのタイプをカスタマイズできます。「Microsoft PowerPoint テンプレートの作成」を参照してください。

手順

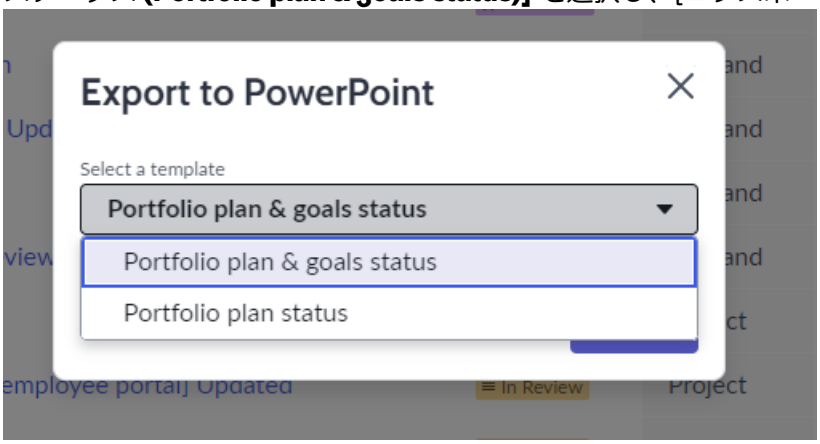
1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択します。
3. ポートフォリオ計画ヘッダーから、その他のオプションアイコン (⋮) を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [ポートフォリオ計画のステータス **(Portfolio plan status)**] または [ポートフォリオ計画と目標のステータス **(Portfolio plan & goals status)**] を選択し、[エクスポート] を選択します。



タスクの結果
関連するデータが含まれる PowerPoint ファイルが生成されます。

注:
生成されたレポートにはロードマップデータは含まれません。

での計画立案アイテムの採点 戦略的計画

ワークスペースで採点フレームワークを使用して、ポートフォリオ計画の作業を評価します 戦略的計画 。割り当てられたスコアを使用して計画立案アイテムの優先度と実現可能性を判断し、リソースと財務の割り当てについて情報に基づいた意思決定を行うことができます。

次のセクションでは、ワークスペースでの 戦略的計画 ポートフォリオ計画のアイテムのスコアリングとランク付けについて説明します。

ポートフォリオ計画のアイテムのスコアリング

ポートフォリオ計画内のアイテムの優先順位付けとランク付けに役立つスコアを生成するスコアリングフレームワーク属性を使用して、アイテムをスコアリングします。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace**.
2. 選択して、スコアリングを開始するポートフォリオ計画を開きます。
   ポートフォリオ計画に採点フレームワークが割り当てられていない場合:
   a. その他のアクションアイコン (⋮) を選択します。
   b. [ポートフォリオ計画を編集] を選択します。
   c. [詳細の追加] ステップに移動します。
   d. ポートフォリオ計画のフレームワークを選択します。

      注:
      採点フレームワークの選択は、計画立案アイテムでのみ使用できます。

3. [スコアリング] を選択します。
4. 採点フレームワークの各属性の値を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Reach	Impact	Confidence	Effort	RICE score	Scoring framework
	☆☆☆☆☆				RICE
	☆☆☆☆☆				RICE
	☆☆☆☆☆				RICE

採点フレームワーク属性と採点式の詳細については、各フィールドの情報アイコン (ⓘ) を選択します。

タスクの結果
各アイテムのスコアは、採点属性値と計算式に基づいて入力 されます。

注:
事前定義された採点フレームワークの最終スコアを生成するには、採点フレームワークのすべての属性に値が必要です。

関連情報

Strategic Planning での採点

Strategic Planning のカスタム採点フレームワーク

ポートフォリオ計画のアイテムのランク付け

計画立案アイテム属性と採点フレームワーク属性 (計画コスト、モスクワ、優先度、スコアなど) に基づいて、アイテムにランクをアサインします。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace**.
2. アイテムのランキングを開始するポートフォリオ計画を選択して開きます。
3. [計画] を選択します。
4. 優先順位付けビューで [アイテムのランク付け] を選択します。
5. ドロップダウン リストを使用して属性を選択します。
   たとえば、信頼性に基づいてアイテムをランク付けする場合は、属性として [信頼性] を選択します。計画立案アイテムの選択肢および番号タイプ属性でランク付けできます。
6. アイテムをランク付けする順序を選択します。
7. [適用] を選択します。

タスクの結果
ポートフォリオ計画のアイテムは、ランク付けされた属性に基づいてランク付けされます。

スコアリングから **Excel** または **CSV** への計画立案アイテムデータのエクスポート

ポートフォリオ計画のポートフォリオ計画Microsoftアイテムのデータを Excel ファイルまたは CSV ファイルに出力します。このデータを共有し、ビジネスのステークホルダーと共同作業を行うことができます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択し、[スコアリング] を選択します。
3. エクスポートする列がカスタマイズされていることを確認します。

   注:
   フィルターがビューに適用されると、フィルターされたデータがエクスポートされます。

4. カスタマイズされたサイドパネルを使用して、ポートフォリオ計画アイテムをエクスポートします。

   a. エクスポートアイコン ( ) を選択します。

   b. [エクスポート] ウィンドウの [ファイルの種類] ドロップダウンから [Excel] または **[CSV]** を選択して、データをMicrosoftそれぞれ **Excel** ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートします。
   選択した形式のファイルがエクスポートされます。デフォルトでは、ファイルの名前は ABC で、データのエクスポート元のポートフォリオ計画の名前になります *`ABC_Scoring_List`* 。

戦略的計画 での目標管理

ポートフォリオ計画の目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、Workspace で 戦略的計画 目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネスの成果を推進します。

戦略的計画 Workspace の目標ビューでは、[ダッシュボード]、[リスト]、および [階層] タブで、目標とターゲットの概要を確認できます。[ダッシュボード] タブ (旧称：[概要] タブ) には、特定のポートフォリオ計画のすべての目標の概要が表示されます。[リスト] タブは、特定のポートフォリオレベルの目標とターゲットを表示、作成、および管理するのに役立ちます。[階層] タブを使用すると、ポートフォリオ計画エンティティの目標とターゲットを階層的に表示できます。また、このタブは、現在のポートフォリオ計画の目標とターゲットとともに、(ポートフォリオ計画エンティティの) 親エンティティの目標を表示するのにも役立ちます。

目標ビューの [ポートフォリオ計画の詳細] セクション

目標ビューのポートフォリオ計画の詳細セクションには、ポートフォリオ計画の詳細と、ポートフォリオ計画を管理して目標を作成するためのオプションが表示されます。ヘッダーセクションは、目標ビューのすべてのタブで同じです。

- ポートフォリオ計画：レンズを使用して構築されたユーザー定義のポートフォリオ。
  - タイムライン：ポートフォリオ計画の計画開始日と計画終了日。
  - 所有者：ポートフォリオ計画を所有するユーザー。
  - ポートフォリオ計画エンティティ：ポートフォリオ計画に対して定義されるエンティティ。
- 新しい目標：目標を作成するための新しい目標フォームを開きます。
- ポートフォリオ計画を共有 ( )：ステークホルダーや他の計画立案マネージャーとポートフォリオ計画を共有して、計画の進捗状況を可視化して、共同作業を開始できるようにします。
- コメントアイコン ( )：ポートフォリオ計画にコメントと添付ファイルを追加して、ユーザーがフィードバックをレビューして共有できるようにすることで、ステークホルダーと共同作業を行い、成果の共有を促進できます。

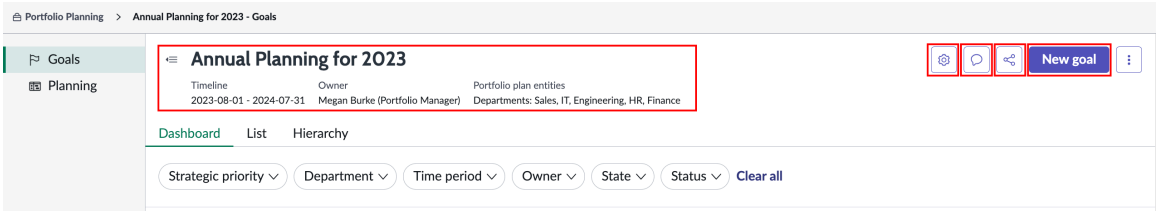
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- カスタマイズ：[ダッシュボード] タブに表示するウィジェットやカードをカスタマイズできます。
  [ダッシュボード] タブにウィジェットやカードを表示できるようにするには、設定アイコン ( ) を選択します。この設定は、[ダッシュボード] タブが選択されている場合にのみ使用できます。

  注:
  ポートフォリオ計画を編集するためのアクセス権を持つユーザーのみが、ウィジェットやカードをカスタマイズできます。

  目標ビューのヘッダーセクションの例



目標ビューの [ダッシュボード] タブ

[ダッシュボード] タブには、目標とターゲットのドリルダウン、詳細の表示、および管理に役立つ複数のウィジェットがあります。次の図では、[ダッシュボード] タブにサンプルの目標リストと 戦略的計画 Workspace での目標に適したさまざまな機能が示されています。

- 目標：ポートフォリオ計画に定義された目標とターゲットを表示および管理するのに役立つ複数のウィジェットを含むセクション。
  - 合計進捗状況：ポートフォリオ計画のすべてのエンティティからのすべての目標の平均進捗状況を表示します。
  - <ポートフォリオ計画のエンティティタイプ>別の進捗状況：ポートフォリオ計画のエンティティタイプ別の合計目標の平均進捗状況 (パーセンテージ) を表示します。たとえば、ポートフォリオ計画のエンティティタイプが部門の場合、ウィジェットには各部門の合計目標の平均進捗状況が表示されます。
  - ステータス：ステータス (赤、緑、黄など) に基づいて目標を表示します。
  - <ポートフォリオ計画のエンティティタイプ>別のステータス：ポートフォリオ計画のエンティティタイプ別の目標のステータスを表示します。たとえば、ポートフォリオ計画のエンティティタイプが部門の場合、ウィジェットには各部門の目標のステータスが表示されます。
  - 合計目標：ポートフォリオ計画に定義された合計目標の数を表示します。
  - 親目標に調整されていません：親目標にもポートフォリオ計画のエンティティにも直接関連付けられていない目標数を表示します。このような目標を親目標またはエンティティに関連付けて、工数が表示されるようにします。

    注:
    目標と親目標の関連付けはオプションです。

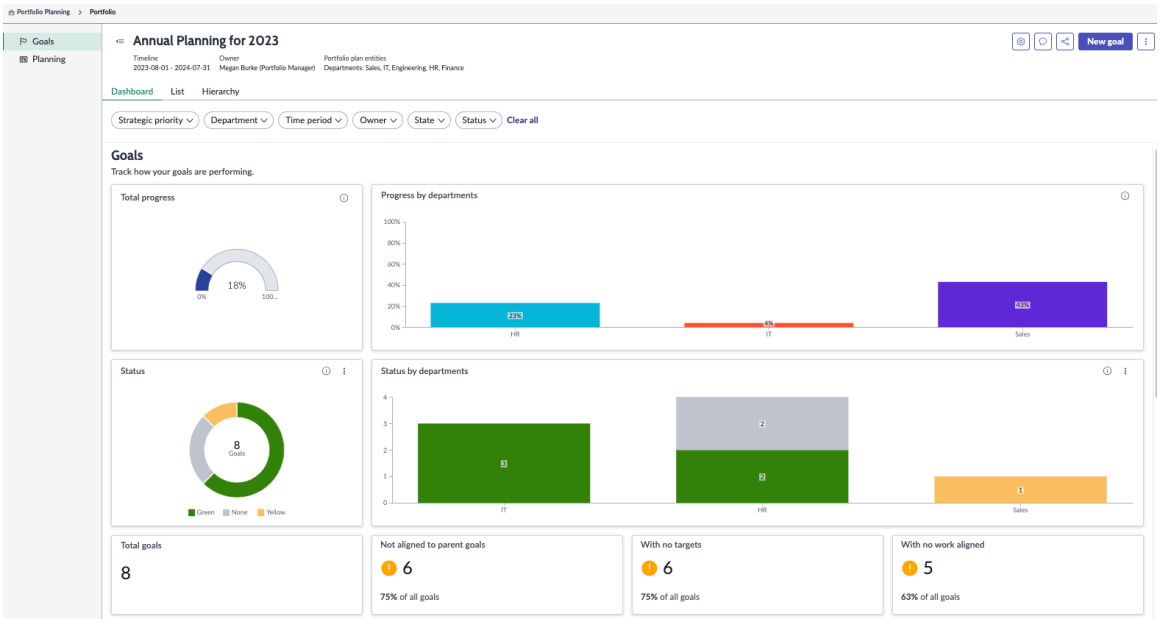
  - ターゲットなし (With no targets)：ターゲットが設定されていない目標数を表示します。このような目標を達成するためのターゲットを設定します。
  - 作業が調整されていない ：作業に関連付けられていない目標数を表示します。作業アイテム (プロジェクト、デマンド、およびエピック) を目標に関連付けて、目標を達成してターゲットを満たすために実行されている作業を簡単に表示できます。

「親目標に調整されていません」、「ターゲットなし (With no targets)」、および「作業が調整されていない」のカードは、調整の観点からシステムの目標を正しくレビューおよび定義するのに役立ちます。目標を定義して調整した後、これらのカードを非表示にすることができます。

自動翻訳

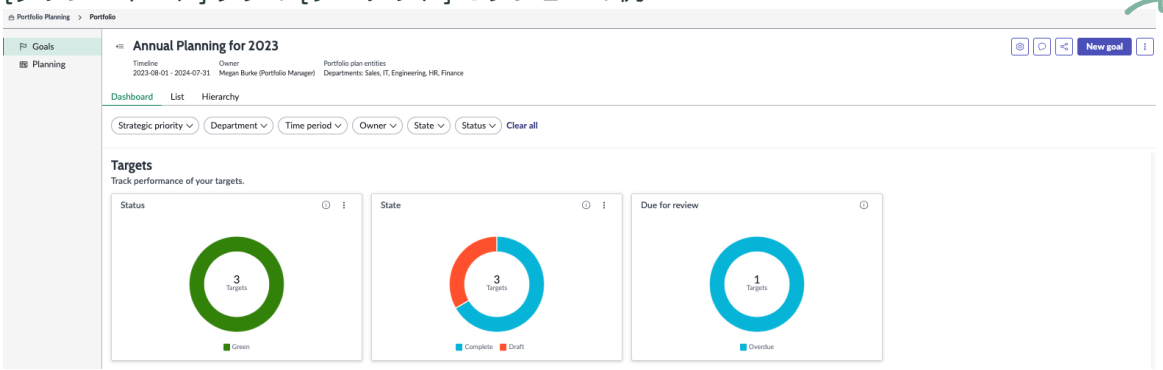
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ダッシュボード] タブの [目標] セクションの例



- ターゲット：ポートフォリオ計画に設定されたターゲットを表示および管理するのに役立つ複数のウィジェットを含むセクション。
  - ステータス：ステータスに基づくターゲット数を表示します。ステータスは、ターゲットが終了予定日までに完了する可能性が高いかどうかを示します。
  - 状態 (State)：ポートフォリオ計画のすべてのエンティティのターゲットの状態を表示します。
  - レビューの期限：1 週間以内に期限切れになるターゲット数、または 既に期限切れのターゲット数をそれぞれのレビュー期日の観点から表示します。ターゲットフォームの[レビュー期限]フィールドは、レビュー頻度に基づいてターゲットを定期的に更新するのに役立ちます。

[ダッシュボード] タブの [ターゲット] セクションの例

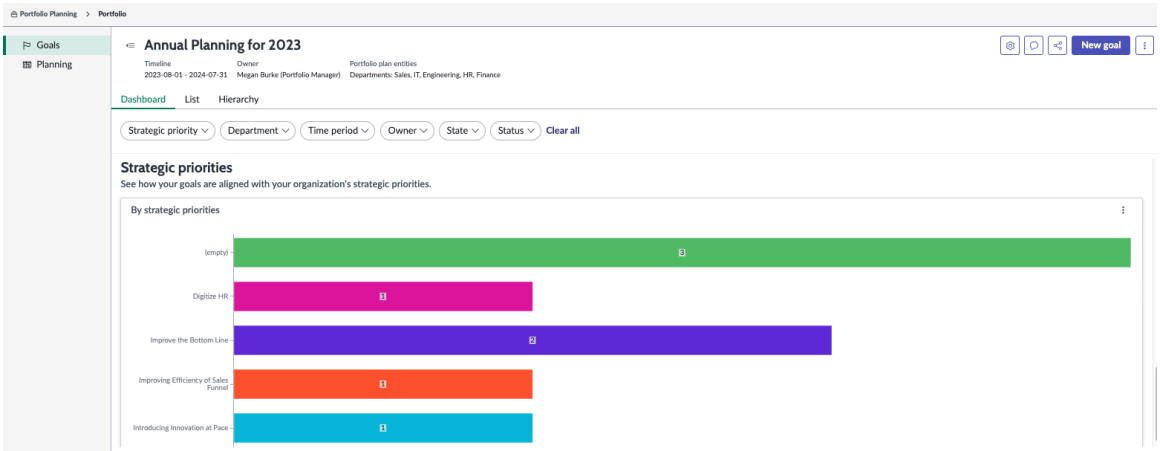


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

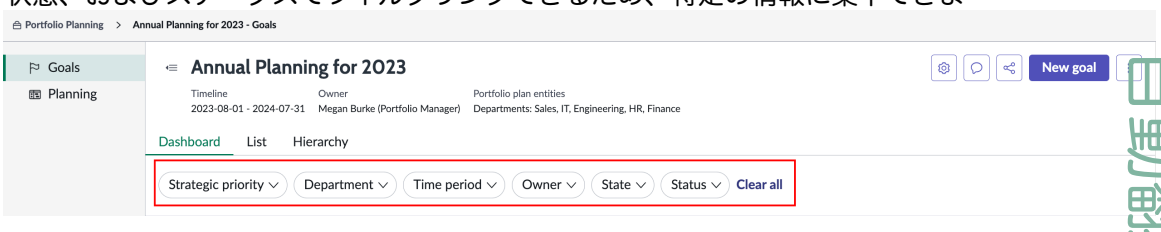
- 戦略的優先事項：目標がどの程度組織の長期戦略に沿っているかを確認し、目標を管理するのに役立つ [戦略的優先事項別] ウィジェットを含むセクション。

  [ダッシュボード] タブの [戦略的優先事項] セクションの例

  ポートフォリオ計画のデータのフィルタリング

  [ダッシュボード] タブのフィルタリングオプションを使用すると、目標とターゲットのデータを戦略的優先度、ポートフォリオ計画のエンティティタイプ、期間、所有者、状態、およびステータスでフィルタリングできるため、特定の情報に集中できます。

目標ビューの [リスト] タブ

[リスト] タブは、特定のポートフォリオ計画の目標とターゲットを表示、作成、および管理するのに役立ちます。[リスト] タブでは、ダウンストリームおよびアップストリームの目標が表示されないため、現在のポートフォリオ計画の目標とターゲットのみに集中できます。[リスト] タブは、ターゲットブレークダウンの実際の値を直接更新するのに役立ちます。ただし、[階層] タブからダウンストリームとアップストリームの目標とターゲットを表示できます。次の図では、[リスト] タブにサンプルの目標リストと 戦略的計画 Workspace での目標に適したさまざまな機能が示されています。

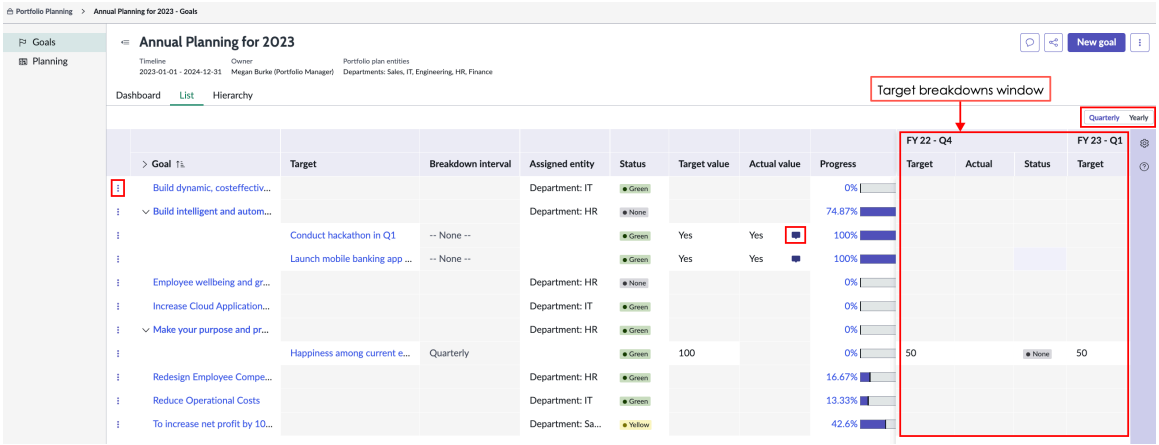
- 行コンテキストメニューアイコン ( ) を使用すると、サブ目標の作成、ターゲットの設定、選択した目標と作業との整合など、目標を管理するためのオプションを確認することができるようになります。
- アサインされたエンティティ：目標が属するエンティティの名前。
- カスタマイズ：[リスト] タブに表示する列をカスタマイズできます。[リスト] タブに表示する列を有効にするには、設定アイコン ( ) を選択します。
- ブレークダウン間隔：ターゲットのブレークダウン間隔を指定します。ターゲットを短い期間 (四半期など) にブレークダウンすると、ターゲットを四半期ごとに設定して、特定のブレークダウンターゲットに絞り込むことができます。
- [注釈を追加 (Add remarks)] アイコン ( )：ブレークダウン実績の更新時にビジネス上の根拠についてユーザーが入力した注釈を指定します。[注釈] アイコンを選択すると、[詳細] タブと [コメント] タブを含むブレークダウンサイドパネルが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ターゲットブレークダウンウィンドウ：ターゲットブレークダウンの詳細を年ごとまたは四半期ごとの間隔で表示するのに役立ちます。このウィンドウで実際の値を入力または更新することもできます。
- 四半期ごと/年ごと：四半期ごとまたは年ごとにターゲットブレークダウンのビューをカスタマイズするのに役立ちます。

[リスト] タブの目標とターゲットビューの例



目標ビューの [階層] タブ

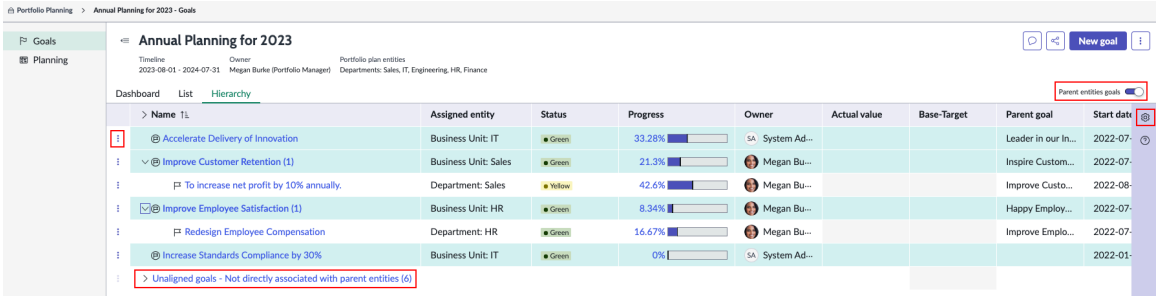
[階層] タブを使用すると、ポートフォリオ計画エンティティの目標とターゲットを階層的に表示できます。また、このタブは、現在のポートフォリオ計画の目標とターゲットとともに、(ポートフォリオ計画エンティティの) 親エンティティの目標を表示するのにも役立ちます。たとえば、次の図では、部門がポートフォリオ計画エンティティになっており、事業部門がその親エンティティになっています。[親エンティティの目標] オプションを有効にすると、現在のポートフォリオ計画の目標とターゲットとともに、(ポートフォリオ計画エンティティの) 親エンティティの目標が表示されます。[親エンティティの目標] オプションを有効にすると、ポートフォリオの目標を計画し、親エンティティの目標に合わせて調整できます。

- 親エンティティの目標：(ポートフォリオ計画エンティティの) 親エンティティの目標を表示します。これは、ポートフォリオ目標を計画し、親エンティティの目標に合わせて調整するのに役立ちます。
- カスタマイズ：[階層] タブに表示する列をカスタマイズできます。[階層] タブに表示する列を有効にするには、設定アイコン ( ) を選択します。
- 行コンテキストメニューアイコン ( ) を使用すると、サブ目標の作成、ターゲットの設定、選択した目標と作業との整合など、目標を管理するためのオプションを確認することができるようになります。
- 調整されていない目標 - 親エンティティに直接関連付けられていない (Unaligned goals – Not directly associated with parent entities)：親目標に直接関連付けられていない目標をリストします。このような目標レコードをサイドパネルから開き、目標が属する親エンティティの目標に基づいて [親目標] フィールドに入力できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[階層] タブの目標ビューの例



での目標 の作成 戦略的計画

ポートフォリオ計画の目標を作成し、ターゲットを設定して全体的な目標の進捗状況を測定し、目標を組織の戦略的優先事項と整合させます。

始める前に

必要なロール:sn_apw_advanced.spw_goal_user および sn_align_core.apw_user

このタスクについて

目標は本来、定性的なものが一般的です。目標は意欲的なものでなければならず、チームの意欲をかきたて、やりがいを与えることが期待されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. [ポートフォリオ計画] を選択します。
3. ポートフォリオ計画のリストから、目標を作成するポートフォリオ計画を選択します。
4. [目標] ビューから、[新しい目標] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[目標] フォーム」を参照して ください。
6. [保存] を選択します。

次のタスク

目標のターゲットを設定します。詳細については、での目標 のターゲット設定 戦略的計画およびターゲット自動化のためのターゲットソースの構成を参照してください。

での目標 のターゲット設定 戦略的計画

目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標のための SMART ターゲットを設定します。

始める前に

必要なロール:sn_apw_advanced.spw_goal_user および sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ターゲットにターゲットソースを構成すると、[ターゲット] フォームの [実際の値] フィールドが自動的に更新されます。

SMART ターゲットは、S = 特定、M = 測定可能、A = 達成可能、R = 関連、T = 期限付きとして定義できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 所有者か目標の貢献者のみが目標のターゲットを設定することができます。
- また、ServiceNow® ESG Management アプリケーションがインストールされている場合、ターゲットフォームの [機密性] フィールドを有効化することで、特定のユーザーに対してターゲットレコードへのアクセスを制限することもできます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[ターゲット] フォーム」を参照して ください。
3. [保存] を選択します。

タスクの結果
[実際の値] フィールド入力後にターゲットを保存すると、ターゲット進捗レコードが自動的に作成されます。ターゲット進捗レコードは、目標に対する各ターゲットの進捗状況を指定します。

注:
目標を削除すると、[ターゲットの削除を許可] プロパティが [いいえ] に設定されていても、関連するターゲット (存在する場合) およびその進捗レコードも削除されます。

次のタスク
自動化の対象のターゲットが有効になっていない場合は、ターゲットの進捗状況を手動で更新します。

手動ターゲットの進捗状況の更新

ターゲットのステータスが変更されたときにターゲットの進捗状況を更新します。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.spw_goal_user および sn_align_core.apw_user

このタスクについて

注:
目標の所有者または貢献者のみが目標のターゲットを更新することができます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットレコードを開きます。

2. フォームで、[実際の値] フィールドを更新し、[注釈] フィールドにビジネス上の根拠を追加します。

   フィールド値の説明については、「[ターゲット] フォーム」を参照して ください。

3. [更新] または [保存] を選択します。

タスクの結果
[実際の値] フィールドが更新された後、ターゲットとその目標の進捗値が自動的に更新されます。進捗値の計算方法については、「進捗値の計算」を参照してください。ターゲットブレークダウンを持つターゲットの進捗値の計算方法については、「のターゲットブレークダウン戦略的計画」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動化されたターゲットの進捗状況の更新

[ターゲット] フォームの [実績値を更新] 関連リンクを使用して、ターゲットの進捗状況を更新します。

始める前に

必要なロール:sn_apw_advanced.spw_goal_user および sn_align_core.apw_user

このタスクについて

> **注:**
> 目標の所有者または貢献者のみが目標のターゲットを更新することができます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. [ポートフォリオ計画] を選択します。
3. ポートフォリオ計画のリストから、ターゲットが属する必要なポートフォリオ計画を選択します。
4. [目標] ビューで、[リスト] または [階層] タブを選択します。
5. 進捗状況を更新するターゲットを選択します。
   [ターゲット] サイドパネルが開き、[詳細] タブが表示されます。
6. サイドパネルから [完全な詳細] を選択して [ターゲット] フォームを開きます。
7. [ターゲット] フォームで、[実績値を更新] 関連リンクを選択します。
   フィールド値の説明については、「[ターゲット] フォーム」を参照して ください。

タスクの結果

[実際の値] フィールドが更新された後、ターゲットとその目標の進捗値が自動的に更新されます。進捗値の計算方法については、「進捗値の計算」を参照してください。ターゲットブレークダウンを持つターゲットの進捗値の計算方法については、「のターゲットブレークダウン戦略的計画」を参照してください。

のターゲットブレークダウン戦略的計画

ターゲットを短い期間 (例：四半期) にブレークダウンすると、ターゲット値を四半期ごとに設定したり、その特定の四半期のターゲットに焦点を当てることができます。ターゲットブレークダウンは、ターゲットに設定されたブレークダウン間隔に基づいて作成されます。

ターゲットのブレークダウン間隔は、[四半期ごと] または [年ごと] に設定できます。[四半期ごと] または [年ごと] に設定されたブレークダウン間隔に関係なく、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。ターゲット値は、ブレークダウン間隔とターゲットの累積設定に基づいて、ターゲットブレークダウンに自動的に設定されます。

ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定され、ターゲットが非累積に設定されている場合のターゲット値の動作:

- ターゲット値は、毎年のブレークダウンごとに自動的に設定 (均等に除算) されます。
- 毎年のブレークダウンごとのターゲット値は、必要に応じて変更できます。
- ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定されているため、四半期ごとのブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定され、ターゲットが [累積] に設定されている場合のターゲット値の動作:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ターゲット値は、前年ごとのブレークダウンに対して (メインターゲットのターゲット値に) 自動的に設定されます。
- 毎年のブレークダウンごとのターゲット値は、必要に応じて設定できます。

  注:
  各年ごとのブレークダウン (昨年の年ごとのブレークダウンを除く) に入力したターゲット値は参照のみを目的としており、計算には考慮されません。ただし、毎年のブレークダウンごとに累積ターゲット値 (以前のターゲットブレークダウンのターゲット値に基づいて構築された値) を設定すると、目標ユーザーまたは貢献者がターゲットの進捗状況をより適切に追跡できるようになります。

- ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定されているため、四半期ごとのブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定され、ターゲットが非累積に設定されている場合のターゲット値の動作:

- ターゲット値は、四半期ごとのブレークダウンごとに自動的に設定 (均等に除算) されます。
- 四半期ごとのブレークダウンのターゲット値は、必要に応じて変更できます。
- ブレークダウン間隔が四半期ごとに設定されているため、毎年のブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定され、ターゲットが [累積] に設定されている場合のターゲット値の動作:

- ターゲット値は、前回の四半期ごとのブレークダウンに対して (メインターゲットのターゲット値に) 自動的に設定されます。
- 四半期ごとのブレークダウンごとのターゲット値は、必要に応じて設定できます。

  注:
  各四半期ごとのブレークダウン (最後の四半期ごとのブレークダウンを除く) に入力したターゲット値は参照のみを目的としており、計算には考慮されません。ただし、四半期ごとのブレークダウンごとに累積ターゲット値 (以前のターゲットブレークダウンのターゲット値に基づいて構築された値) を設定すると、目標ユーザーまたは貢献者がターゲットの進捗状況をより適切に追跡できるようになります。

- ブレークダウン間隔が四半期ごとに設定されているため、毎年のブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ターゲットブレークダウンが作成されると、メインターゲットの基準値とターゲット値に基づいて、対応するターゲットブレークダウンのターゲット値が自動的に設定されます。ターゲットブレークダウンの実際の値が更新された後、実際の値は毎年のブレークダウンの実際の値にロールアップされ、メインターゲットの実際の値が自動更新されます。

注:
ターゲットブレークダウン機能は定性的ターゲットではサポートされていません。

ターゲットブレークダウンのメリット

ターゲットブレークダウン機能は、1 年または複数年のターゲットを設定したいけれども、ターゲットの進捗状況を四半期ごとまたは年ごとに追跡したい場合に役立ちます。たとえば、基準値が 0 でターゲット値が 100 の年のターゲットを設定したとします。また、四半期ごとに 25 の四半期ごとのターゲットを設定するとします。この場合、ターゲットを四半期ごとのターゲットにブレークダウ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ンし、四半期ごとにターゲット値を設定することで、四半期ごとの特定のターゲットに焦点を当て、そうした四半期ごとのターゲットに対して実績を更新できるようになります。

ターゲットブレークダウン機能には、次のようなメリットがあります。

- 長期的なターゲットを四半期ごとや年ごとなどの短期的な間隔に分解して、進捗状況をより適切に追跡またはレポートできるようにします
- 必要に応じて、各ターゲットブレークダウンのターゲット値を設定または変更する
- 各ターゲットブレークダウンの実際の値を更新し、メインターゲットの進捗状況を追跡する
- ターゲット全体ではなく、四半期ごとの特定のターゲットに焦点を当てる
- 短期および長期のターゲットの進捗状況を累積的または非累積的に追跡します

ターゲット値ブレークダウン間隔のさまざまな組み合わせの例

以下の表は、目標期間が 1 暦年のさまざまな目標タイプに対して実績値を入力する方法を示しています。2023 暦年に 800 人の新規顧客を獲得することを目標とし、各四半期に 200 人の顧客を獲得したシナリオを考えてみましょう。この場合、次の表に示すように実際の値を入力する必要があります。

ターゲット値ブレークダウン間隔	ターゲットブレークダウンに入力する実際の値			
	Q1 - 23	**Q2 - 23**	**Q3 - 23**	**Q4 - 23**
年次 (累積または非累積)	200	400	600	800
四半期ごと (非累積)	200	200	200	200
四半期ごと (累積)	200	400	600	800

以下の表は、目標期間が 2 暦年のさまざまな目標タイプに対して実績値を入力する方法を示しています。目標が 2023 年から 2024 年の暦年に 800 人の新規顧客を獲得することであり、各四半期に 100 人の新規顧客を獲得したシナリオを考えてみましょう。この場合、次の表に示すように実際の値を入力する必要があります。

ターゲット値ブレークダウン間隔	ターゲットブレークダウンに入力する実際の値							
	Q1 - 23	**Q2 - 23**	**Q3 - 23**	**Q4 - 23**	**Q1 - 24**	**Q2 - 24**	**Q3 - 24**	**Q4- 24**
年次 (非累積)	100	200	300	400	100	200	300	400
年次 (累積)	100	200	300	400	500	600	700	800
四半期ごと (非累積)	100	100	100	100	100	100	100	100
四半期ごと (累積)	100	200	300	400	500	600	700	800

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

毎年のブレークダウン間隔の実際の値の計算方法 (非累積)

非累積ターゲットのブレークダウン間隔を [年ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにブレークダウンが作成されます。四半期ごとのブレークダウンの実際の値と年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値を設定できます。四半期ごとのブレークダウンに入力された実際の値は、特定の年の累積値 (特定の年の現在の四半期までに達成された実際の値) である必要があります。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定し、進捗状況を非累積的 (四半期ごと) で追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 年のターゲットを設定し、進捗状況を非累積的 (四半期ごと) で追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを非累計として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともに作成され、年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 400 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 600 と 800 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 年から 2024 年の期間にターゲットを設定し、進捗状況を非累積的 (四半期ごと) で追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを非累計として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、各年間ターゲットブレークダウンのターゲット値を 400 (基準値とターゲット値の差を年数で割った値) に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 100 人、23 - Q4 に 100 人を獲得した場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 300 と 400 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、最初の 1 年間のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

実際の値は、最初の暦年についてのみ累積されます。翌暦年については、最初のターゲットブレークダウン (24 - Q1) に新しい実績値を入力してから、連続するターゲットブレークダウン (24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4) に累積数を入力する必要があります。たとえば、24 - Q1 に 100 人を獲得した場合、24 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。同様に、24 - Q2 にさらに 100 人、24 - Q3 に 100、24 - Q4 に 100 人を獲得した場合は、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 200、300、400 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、2 年ごとのターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

毎年のブレークダウン間隔に対する実際の値の計算方法 (累積)

累積ターゲットのブレークダウン間隔を [年ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにブレークダウンが作成されます。四半期ごとのブレークダウンの実際の累積値と年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値を設定できます。四半期ごとのブレークダウンに入力された実際の値は、累積する必要があります (特定の年の最新の四半期までに達成された実際の値)。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定し、進捗状況を累積的に (四半期ごと) 追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 年のターゲットを設定し、進捗状況を累積的に (四半期ごと) 追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを累積として設定する

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともに作成され、年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 400 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 600 と 800 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 ～ 2024 年の期間のターゲットを設定し、進捗状況を累積的に (四半期ごと) 追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを累積として設定する

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、最後の年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 から 24 - Q4 までの各四半期でさらに 100 人の顧客を獲得した場合は、それぞれの四半期ターゲットブレークダウンの実際の値として 300、400、500、600、700、および 800 を入力します (23 - Q3 から 24 - Q4 まで)。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、カレンダー年のターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

四半期ごとのブレークダウン間隔の実際の値の計算方法 (非累積)

非累積ターゲットのブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定されている場合、ターゲットブレークダウンに入力する実際の値は、その特定の四半期 (その年の特定の四半期に達成された実際の値) に固有のものでなければなりません。ブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定して進捗状況を四半期ごとに追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定して、進捗状況を四半期ごとに追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを非累積として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともにアプリケーションで作成され、四半期ごとにターゲット値が 200 (基準値とターゲット値の差を四半期の数で割った値) に設定されます。四半期ごとのブレークダウンのターゲット値は、必要に応じて変更できます。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲットブレークダウンには特定の四半期で達成された実際の値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 の両方のターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、合計値を毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定して、進捗状況を四半期ごとに追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを非累積として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、四半期ごとにターゲット値が 100 (基準値とターゲット値の差、 を四半期数で割った値)。四半期ごとのブレークダウンのターゲット値は、必要に応じて変更できます。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲットブレークダウンには特定の四半期で達成された実際の値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。同様に、23 - Q3 から 24 - Q4 までの各四半期にさらに 100 人の顧客を獲得した場合は、四半期ごとのターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します (23 - Q3 から 24 - Q4 まで)。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、合計値を毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

四半期ごとのブレークダウン間隔の実際の値の計算方法 (累積)

累積ターゲットのブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定されている場合、ターゲットブレークダウンに入力する実際の値は、その特定の四半期に固有の値 (その年の特定の四半期に達成された実際の値) である必要があります。ブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定し、四半期ごとに累積的に進捗状況を追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定し、四半期ごとに進捗状況を累積的に追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを累積として設定します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともに作成され、最後の四半期ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 400 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 600 と 800 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定し、四半期ごとに進捗状況を累積的に追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを累積として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、最後の年間のターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 から 24 - Q4 までの各四半期でさらに 100 人の顧客を獲得した場合は、それぞれの四半期ターゲットブレークダウンの実際の値として 300、400、500、600、700、および 800 を入力します (23 - Q3 から 24 - Q4 まで)。

ブレークダウン間隔が [なし] に設定されている場合の実際の値の計算方法

ターゲットのブレークダウン間隔が [なし] に設定されている場合は、実際の値をメインターゲットに入力する必要があります。入力する実際の値は、ターゲットの期間に関係なく累積する必要があります。ブレークダウン間隔が [なし] に設定されている場合、ターゲットブレークダウンは作成されません。

ターゲット自動化でのターゲットブレークダウン

ターゲットに対してターゲット自動化機能を有効にし、ブレークダウン間隔を設定した場合は、ターゲット自動化機能によって、レビュー期日に基づいてそれぞれのターゲットブレークダウンの実際の値が自動的に更新されます。ターゲットブレークダウンの実際の値が更新された後、値がそのターゲットにロールアップされてから、ターゲットとその目標の進捗値が自動更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[四半期ごと] または [年ごと] に設定されたブレークダウン間隔に関係なく、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。ブレークダウン間隔が [四半期ごと] または [年ごと] に設定されている場合、レビュー頻度は編集できません。

ターゲットブレークダウンの実際の値の更新

ターゲットブレークダウンのステータスが変更されたときに、その実際の値を更新します。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.spw_goal_user および sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ターゲットブレークダウンの実際の値を更新すると、そのターゲットの実際の値が自動的に更新されます。ターゲットの [実際の値] フィールドが更新された後、ターゲットとその目標の進捗値が自動的に更新されます。

注:
目標の所有者または貢献者のみがターゲットブレークダウンを更新することができます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットレコードを開きます。
2. フォームで、[実際の値] フィールドを更新し、[注釈] フィールドにビジネス上の根拠を追加します。
   フィールド値の説明については、「[ターゲットブレークダウン] フォーム」を参照して ください。
3. [保存] を選択します。

タスクの結果
[実際の値] フィールドが更新された後、ターゲットとその目標の進捗値が自動的に更新されます。進捗値の計算方法については、「進捗値の計算」を参照してください。ターゲットブレークダウンの実際の値がそのターゲットにどのようにロールアップされるかについては、「のターゲットブレークダウン戦略的計画」を参照してください。

計画立案アイテムを目標に関連付ける

計画立案アイテムまたはその他の任意のアイテムで目標関係を作成し、現在または将来の作業を特定して関連付け、目標を達成します。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.spw_goal_user および sn_align_core.apw_user

このタスクについて
目標を計画立案アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム、エピック) に関連付けることができます。

一度に目標と関連付けられる計画立案アイテムは 1 つだけです。複数のアイテムを目標に関連付けるには、アイテムごとに 1 つの目標関係レコードを作成します。

計画立案アイテムテーブルが *planning_item_types_allow_list* プロパティに追加されている場合にのみ、[作業を調整] ウィンドウからカスタム計画立案アイテムとの目標関係を作成できます。詳細については、「戦略的計画 でのカスタムアイテムタイプの有効化」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
計画立案アイテム (プロジェクト、デマンド、またはエピック) で目標関係が作成されると、目標レコードの [計画立案アイテム] タブにレコードが表示されます。その他の任意のアイテムで目標関係が作成されると、レコードは目標レコードの [その他のアイテム] タブが表示されます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、必要な目標レコードを開きます。

2. 計画立案アイテム (プロジェクト、デマンド、またはエピック) の場合は、[作業を調整] ウィンドウや [目標関係] フォームで、[計画立案アイテムタイプ] および [計画立案アイテム] フィールドに入力します。
   計画立案アイテム以外の任意のアイテムの場合は、[目標関係] フォームで [テーブル] フィールドと [ドキュメント **ID**] フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「目標関係フォーム」を参照して ください。

3. [完了] または [保存] を選択します。

計画立案アイテムの主要目標の関連付けまたは更新

目標を、目標の達成に寄与する計画立案アイテムに対する主要目標として関連付けることができます。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.spw_goal_user および sn_align_core.apw_user

このタスクについて
計画立案アイテムフォームの [主要目標] フィールドに入力することで、目標を計画立案アイテムにプライマリとして関連付けることができます。詳細については、「計画立案アイテムフォーム」を参照してください。

計画立案アイテムを目標と関連付けた後、目標のフォームの [計画立案アイテム] タブや計画立案アイテムのフォームの各 [目標関係] タブで、こうした関係を直接確認できるようになります。

注:
- イニシアチブや戦略的プログラムなどの戦略的アイテムでは、主要目標の関連付けはサポートされていません。
- 主要目標をカスタム計画立案アイテムに関連付けるには、カスタム計画立案アイテムが *planning_item_types_allow_list* プロパティに追加されていることを確認します。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、必要な計画立案アイテムのフォームを開きます。

2. [アイテムの詳細] サイドパネルや [詳細] タブで、関連付けや更新が必要な目標を [主要目標] フィールドに入力したり更新したりします。
   フィールド値の説明については、「計画立案アイテムフォーム」を参照して ください。

3. [更新] または [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのポートフォリオ計画作業の優先順位付け 戦略的計画

Workspace で 戦略的計画 ポートフォリオの作業パイプラインを確認します。計画立案アイテムを追加、更新、ランク付けすることで、適切な作業を適切なタイミングで優先順位付けできます。

優先順位付けビュー

戦略的計画 の優先順位付けページはバックログを表し、作業パイプラインのアイテムをリスト、カンバン、階層の各ビューで表示します。これらのビューの概要については、「戦略的計画 での優先順位付け」を参照してください。

注:
優先順位付け機能は、ポートフォリオ計画でのみ使用できます。

[優先順位付け] タブに表示される計画立案アイテム

デフォルトでは、ポートフォリオ計画には、計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] テーブルとその子テーブル内に作成されたレコードのみが表示されます。統合が確立されない限り、他の Now Platform テーブルに保存されているレコードは表示されません。

ポートフォリオ計画を通じてプロジェクトを管理するとします。計画立案アイテムプロジェクト [sn_align_project] テーブルにのみ保存されているプロジェクトレコードが [優先順位付け] タブに表示されます。ただし、PPM Standard を使用して作成されたプロジェクトは、PPM プロジェクト [pm_project] テーブルに保存されるため、デフォルトでは表示されません。戦略的計画 Workspace での表示を有効にするには、PPM との統合を設定して、戦略的計画 のテーブル が PPM のテーブルにマッピングされるようにします。

Agile Development 2.0 や SAFe のアプリケーションを使用して作成されたエピックの場合も同様です。「戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe の構成」を参照してください。

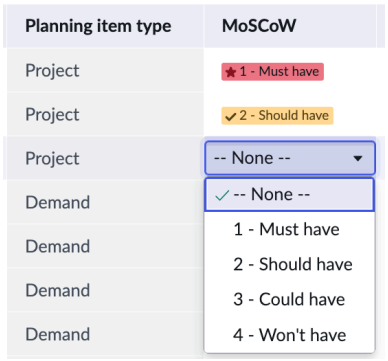
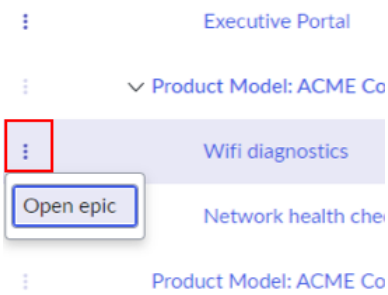
優先順位付け機能

[優先順位付け] ページでは、以下のアクションを実行できます。

機能	説明	UI の例
新しい計画立案アイテムの追加	[優先順位付け] ページからバックログに新しいアイテムを直接追加します。 ここで作成できる計画立案アイテムのタイプは、ポートフォリオ計画の構成によって異なります。	
計画立案アイテムの詳細の更新	リアルタイムのバックログ調整をスムーズに行えるように、[優先順位付け] ページビューから直接、計画立案アイテムの詳細を編集して、添付ファイルを追加し、それをステークホルダーと共同で作業します。	

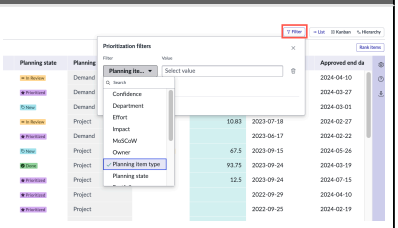
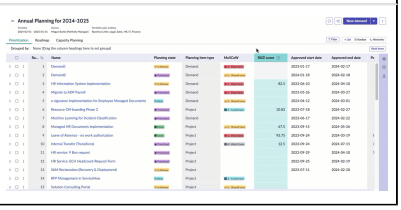
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	説明	UI の例
MoSCoW 値	リストビューと階層ビューの [必須 (Must have)]、[可能性 (Could have)]、[必要 (Should have)] または [なし (Won't have)] (MoSCoW) の値を使用して、計画立案アイテムを分類します。このカテゴリ設定では、ポートフォリオの作業を調整および優先順位付けする場合に、後で使用できる優先度のベースラインが作成されます。	
計画立案アイテムのランク付け	ドラッグ 機能を使用して再配置することで、計画立案アイテムの優先順位を決定します。	
ロードマップへのアイテムの優先順位付け	アイテムの計画立案ステータスを [優先順位付け] に設定して、ポートフォリオのロードマップに追加します。	
実行アプリで計画立案アイテムを開く	ServiceNow PPM、Agile Development 2.0、または SAFe アプリケーションを使用して計画された作業を実行している場合は、それらのアプリケーションで計画立案アイテムを開くことができます。 たとえば、計画立案アイテムがエピックの場合、[優先順位付け] ページからエピックフォームに直接移動できます。	
[優先順位付け] ページビューのカスタマイズ	優先順位付けページの表示方法を変更して、必要な形式で情報を表示できるようにします。 行と列のカスタマイズ、グループ化、ソートなどの設定はすべて、ポートフォリオ計画初期設定として保存することができます。したがって、これらの設定は、ポートフォリオ計画が共有されるすべてのユーザーまたはユーザーグループに適用されます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	説明	UI の例
優先順位付けのフィルターを適用	優先順位付け、ロードマップ、またはスコアリングのすべてのビューにフィルターを適用して、ポートフォリオ計画の一貫したデータセットを表示できるようにします。	
列を水平方向にドラッグして並べ替える	リストビューおよび階層ビューの列の位置を水平方向にドラッグして並べ替えます。	

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

戦略的計画 ワークスペースのポートフォリオ計画の作業バックログに新しい計画立案アイテムを追加し、作業パイプラインが最新であることを確認します。

始める前に
でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページを使用して、新しい計画立案アイテムを追加するか、Agile Development 2.0 (PPM)、または SAFe などの他の ServiceNow 実行システムからそれらをインポートします。

このタスクを実行するときは、リストビュー、カンバンビュー、または階層ビューを使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページから、ポートフォリオ 計画の新しい計画立案アイテムを追加します。

   [その他のオプション] ドロップダウンを使用して、作成する計画立案アイテムを選択します。

4. フォームにて、簡単な説明や承認日を入力します。
   完全な詳細については、「計画立案アイテムフォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。
6. オプション: PPM、Agile Development 2.0、または SAFe を使用して計画された作業を実行する場合は、これらのアプリケーションから作業アイテムをインポートすることもできます。
   詳細については、「PPM、Agile 2.0、および SAFe での 戦略的計画 作業の実行」を参照してください。

タスクの結果
[計画ステータス] フィールドが [新規] に設定された状態で新しいアイテムが作成され、アイテムの位置は現在のビューに基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リストビュー：リストの下部に追加されます。
- カンバンビュー：**[4-** 優先度「低」] のスイムレーンに追加されます。
- 階層ビュー：適切なグループに追加されます。

  たとえば、選択したレンズが [組織] であるとします。次に、新しいアイテムがその部門のグループ化に追加されます。

次のタスク

- での計画立案アイテムのランク付け 戦略的計画。
- 戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページから計画立案アイテムの詳細を更新。
- 「の [優先順位付け] ページビューのカスタマイズ 戦略的計画」を参照してください。

での既存の計画立案アイテムのコピーの作成 戦略的計画

既存の計画立案アイテムのコピーを作成して、ワークスペース内の 戦略的計画 ポートフォリオ計画の作業バックログに追加し、作業パイプラインが最新であることを確認します。作成する計画立案アイテムが既存の計画立案アイテムと類似している場合は、既存の計画立案アイテムをコピーすると時間を節約できます。

始める前に

でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページを使用して、新しい計画立案アイテムを追加するか、Agile Development 2.0 (PPM)、または SAFe などの他の ServiceNow 実行システムからそれらをインポートします。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページで、[リスト ビュー] を選択します。
4. コピーする計画立案アイテムのその他のアクションアイコン (⋮) を選択します。
5. コピーオプションを選択して、計画立案アイテムをコピーします。
   たとえば、計画立案アイテムタイプがデマンドの場合、コピーのオプションは [コピーを作成] です。

   新しい計画立案アイテムが作成され、コピー元の計画立案アイテムのすぐ下にアイテムが表示されます。また、新しい計画立案アイテムのランクは、コピー元の計画立案アイテムのランクに基づいて自動的に更新されます。

   デフォルトでは、名前は *ABC（Copy）*「ABC」の場合、コピー元の計画立案アイテムの名前になります。
6. オプション: PPM、Agile Development 2.0、または SAFe を使用して計画された作業を実行する場合は、これらのアプリケーションから作業アイテムをインポートすることもできます。
   詳細については、「PPM、Agile 2.0、および SAFe での 戦略的計画 作業の実行」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- での計画立案アイテムのランク付け 戦略的計画。
- 戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページから計画立案アイテムの詳細を更新。
- 「の [優先順位付け] ページビューのカスタマイズ 戦略的計画」を参照してください。

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページから計画立案アイテムの詳細を更新

計画立案アイテムの詳細情報を更新または削除して、戦略的計画 優先順位付けページに最新の作業パイプラインが反映されるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオの [優先順位付け] ページのリスト、カンバン、階層ビューを使用して、計画立案アイテムの詳細を更新します。グリッドビューからインラインで詳細を編集するか、サイドパネルを使用します。簡単な説明、MoSCoW、承認日などの詳細情報を編集して、スムーズなリアルタイムのバックログ調整を促進できます。計画立案アイテムの [完全な詳細] ページを使用して添付ファイルを追加し、ステークホルダーとコラボレーションします。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページで、[リスト]、[カンバン]、または [階層] ビューを選択します。
4. アイテムの詳細を更新したり、アイテムにファイルを添付したり、アイテムを削除したりします。

   [完全な詳細] ページで編集できない特定の列の情報は、インラインでも編集できません。たとえば、計画コストや計画利益などです。これらのセルは、背景がグレー色になり視覚的に区別できるようになっています。

   属性別に優先順位付けアイテムリストをグループ化する場合、アイテムの簡単な説明をグリッドビューから直接編集することはできません。

での計画立案アイテムのランク付け 戦略的計画

ポートフォリオ計画のパイプラインに追加された計画立案アイテムをランク付けし、その優先度を決定して、ポートフォリオの作業の優先順位付けを開始できるようにします。

始める前に

- でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画.
- 優先順位付けリストビューの計画立案アイテムが、[ランク] 列で昇順にソートされていることを確認します。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

> **重要:**
> リストビューを使用して、ポートフォリオ計画の計画立案アイテムをスタックランクします。

ServiceNow システム内で、すべての計画立案アイテムにグローバルランクが割り当てられます。[優先順位付け] ページでアイテムを並べ替えてランクを変更し、計画ステータスを更新します。計画

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

立案アイテムをロードマップスケジュールに含めることを決定した場合は、アイテムの [計画ステータス] を [優先] としてマークし、優先順位付けページから直接ロードマップに追加します。

バックログ内の他のアイテムと関連性があるアイテムにおいては、[ランク] 列により、ランクをすばやく特定することができるようになります。計画立案アイテムのリストが長い場合、上位のアイテムを判断する上でこうした情報が役立ちます。カスタムのグループ化やソートがない場合、計画立案アイテムはランクでソートされ、行を並べ替えることができます。

注:
計画立案アイテムが既に他の属性でグループ化またはソートされている場合、行を並べ替えることはできません。グループ化またはソートを解除してから、行を並べ替えます。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] タブの [リスト] ビューから、順序を並べ替えて、優先度に従って計画立案アイテムをランク付けします。

   計画立案アイテムのランキングがビジネスの優先度と一致するまで、このステップを繰り返します。必要なデータの可視性を高めるには：

   - 必要な列でリストをソートまたはグループ化します。「戦略的計画 Workspace の [優先順位付け] ページのリストビューのカスタマイズ」を参照してください。
   - フィルターを適用して計画立案アイテムをフィルタリングします。

   ヒント:

   行コンテキストメニュー (行 ⋮) を使用して、[一番上 に移動] オプションと [一番下 に移動] オプションをそれぞれ使用して、計画立案アイテムに最高ランクと最低ランクをアサインすることもできます。

次のタスク
での作業の優先順位付け 戦略的計画

での作業の優先順位付け 戦略的計画

チームが作業を開始できるように、ポートフォリオ計画パイプラインのアイテムを確認して優先順位を付けて計画のロードマップに追加します。

始める前に

- でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画.
- 優先順位付けページの計画立案アイテムが、[ランク] 列で昇順でソートされていることを確認します。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
調整セッション中に、[優先順位付け] タブのリストビュー、カンバンビュー、または階層ビューでアイテムを確認し、優先順位付けします。アイテムに割り当てられた MoSCoW 値を使用して、作業の優先度を判断できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

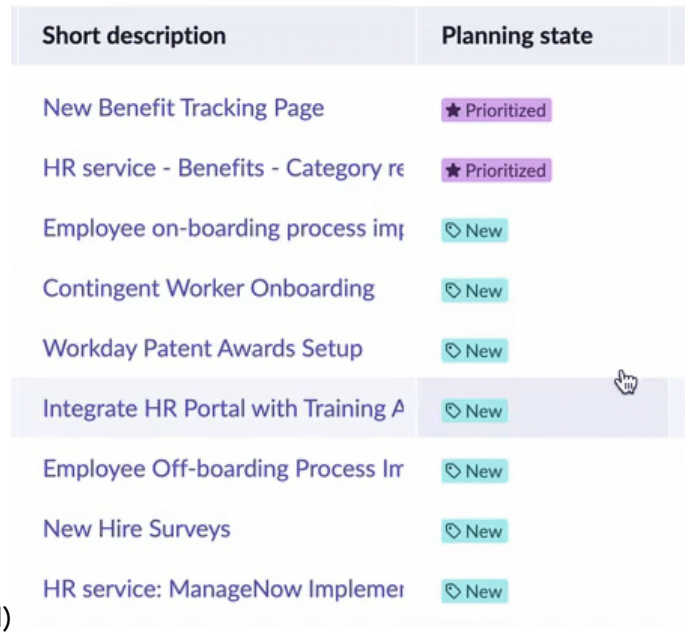
1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [優先順位付け] ページで、次のいずれかのビューから計画立案アイテムを [レビュー中] または [優先順位付け] としてマークします。

   計画立案アイテムは、[優先順位付け] とマークされると、[承認された開始日] フィールドと [承認された終了日] フィールドの値に基づいてポートフォリオロードマップに自動的に追加されます。ロードマップには、[計画ステータス] が [優先順位付け] に設定されているアイテムのみが表示されます。

   - 日付がポートフォリオの計画期間内にある場合、アイテムがロードマップに表示されます。
   - いずれかの日付フィールドが空白の場合、アイテムはロードマップの [予定外のアイテム] リストに追加されます。

   アイテムが [完了] または [キャンセル] とマークされている場合、デフォルトではそのアイテムは [優先順位付け] ページに表示されません。[計画ステータス] 列のフィルターを更新すると、完了またはキャンセルされたアイテムを表示できます。

4. オプション: リストビューから、一度に複数のアイテムの計画ステータスを更新できます。
   a. 更新する行から [計画ステータス **(Planning state)**] セルを 1 つ選択します。
   b. **Ctrl** キー (Windows OS の場合) または **command** キー (Mac OS の場合) を押したまま、更新する他の行の [計画ステータス **(Planning state)**] セルを選択します。
   c. 選択したセルの 1 つをダブルクリックし、ステータスを選択します。



(Optional)

の [優先順位付け] ページビューのカスタマイズ 戦略的計画

[優先順位付け] ページのリスト、カンバン、階層の各ビューの表示方法をカスタマイズして、自分とステークホルダーにとって最も関連性の高い計画立案アイテム情報を表示できるようにします。

戦略的計画 **Workspace** の [優先順位付け] ページのリストビューのカスタマイズ

計画立案に最も関連する情報を表示できるように、列をグループ化、ソート、および非表示にして、[優先順位付け] ページのリストビューをカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
このタスクでは、[優先順位付け] ページのリストビューをカスタマイズするためのさまざまなオプションについて説明します。

カスタマイズ初期設定は、戦略的計画 にポートフォリオ計画の設定として保存されます。したがって、これらの設定は、ポートフォリオ計画が共有されるすべてのユーザーまたはユーザーグループに適用されます。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [カスタマイズ] サイドパネルを使用して、ページの行と列の表示を更新します。

   a. [カスタマイズ] アイコン ( ) を選択します。

   b. [列] セクションから、データを表示または非表示にする列を選択します。

      ここで列を並べ替えて、バックログの表示順序を変更することができます。

      このページで列を追加して使用する場合、管理者が追加の列を構成することができます。「戦略的計画 での優先順位付けのために追加する列の構成」を参照してください。

   c. [行] セクションで、**[1** 行おきに網掛け] トグルを使用して、行を表示する方法を選択します。

4. [優先順位付け] ページに表示されている 1 つまたは複数の列ごとにアイテムをグループ化します。

   タイプ選択や参照の属性ごとに計画立案アイテムをグループ化することもできます。グループ化の例としては、計画ステータス、計画立案アイテムタイプ、所有者、主要目標などが挙げられます。

   次のいずれかの方法で、計画立案アイテムをグループ化します。アクションを繰り返して、複数の属性でリストをグループ化します。
   カンバンビューまたは階層ビューに切り替えても、グループ化に影響はありません。リストビューに戻っても、同じ設定が保持されます。この設定は、ポートフォリオ計画のセッションごとに保存されます。
5. 列名をクリックして、計画立案アイテムを列でソートします。
   たとえば、[承認された開始日] でアイテムをソートすることができます。
6. 列をリストの左または右に固定します。

   a. 固定する列において、[列アクション] アイコン ( ) を選択します。

   b. [列の固定] セクションで、[左に固定 **(Pin to left)]** または [右に固定 **(Pin to right)]** を選択します。
      デフォルトの選択は [固定を解除] です。

7. 選択に従って幅を調整するか、自動調整で幅を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列の境界線でマウスを長押ししたままドラッグして、幅を調整します。[列アクション] ( ) の [この列を自動調整] または [すべての列を自動調整] オプションを使用して、列幅を自動調整することができます。

8. [カスタマイズ] メニュー ( ) から [列をリセット] を選択して、列をデフォルト設定にリセットします。

   このオプションを選択すると、列のカスタマイズ、グループ化、ソートがデフォルト設定に戻ります。

   これまでに優先順位付けページで行ったカスタマイズ設定は消去されます。この後に行われるあらゆるカスタマイズは、ポートフォリオの新しい初期設定として設定されます。

9. 優先順位付けに表示されるデータにフィルターを適用します。

戦略的計画 **Workspace** の [優先順位付け] ページのカンバンビューのカスタマイズ

ポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページにあるカンバンビューの 戦略的計画 での表示方法をカスタマイズして、自分とステークホルダーにとって最も関連性の高い情報を表示できるようにします。

始める前に

でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

カンバンビューの [優先順位付け] ページをカスタマイズするためのさまざまなオプションについて説明します。

カンバン設定は、ポートフォリオ計画レベルで保存されます。したがって、これらの設定は、ポートフォリオ計画が共有されるすべてのユーザーまたはユーザーグループに適用されます。

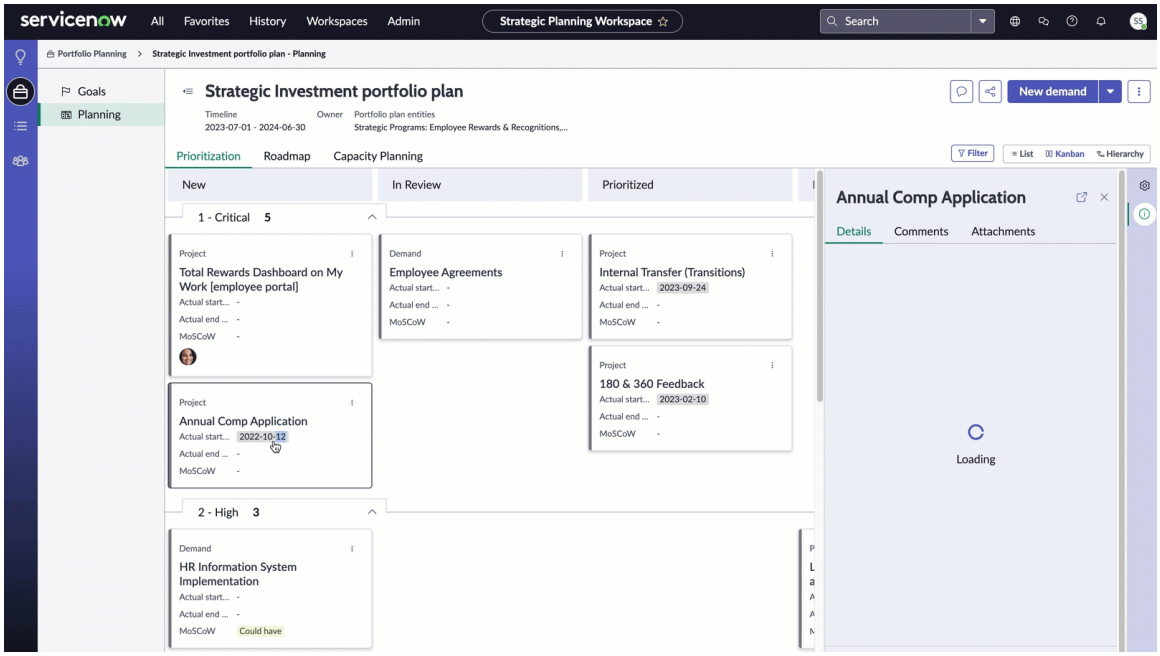
手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [カンバン] ビューを選択します。
4. [カスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、設定に基づいてビューを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ」を参照してくださ



い。

重要:
カンバンボードに表示される垂直レーンとスイムレーンのデフォルトの表示制限は、それぞれ 30 と 30 です。これらのレーンは、参照フィールドと選択フィールドのみをサポートしています。ユーザーは、カンバンカードのフィールド測定基準を変更することはできません。

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページの階層ビューのカスタマイズ

戦略的計画 ワークスペースの [優先順位付け] ページの階層ビューをカスタマイズして、自分とステークホルダーにとって最も関連性の高い情報を表示できるようにします。

始める前に
でのポートフォリオ計画の作成 戦略的計画.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
選択した属性で計画立案アイテムをソートし、[カスタマイズ] サイドパネルを使用して列の表示をカスタマイズします。

カスタマイズ初期設定は、戦略的計画 にポートフォリオ計画の設定として保存されます。したがって、これらの設定は、ポートフォリオ計画が共有されるすべてのユーザーまたはユーザーグループに適用されます。

手順

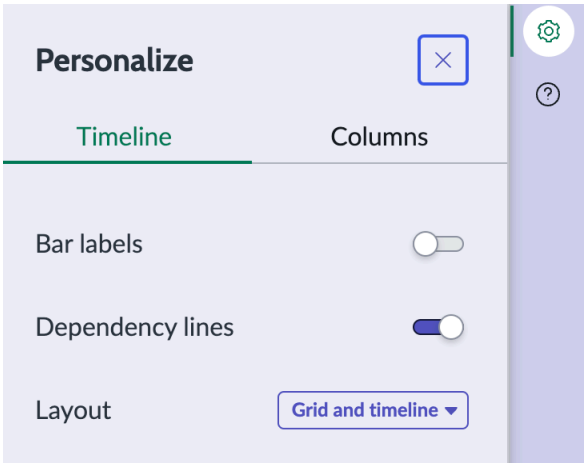
1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [カスタマイズ] サイドパネルを使用して、タイムラインビューとグリッドビューの列をカスタマイズします。

   a. [カスタマイズ] アイコン ( ) を選択します。

      [カスタマイズ] サイドパネルが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



b. [タイムライン] セクションで、アイテム名と依存関係線の表示を切り替えます。
レイアウトを更新することもできます。グリッドとタイムラインビュー、グリッドビュー、またはタイムラインビューのみを選択します。

c. [列] セクションから、グリッドビューに表示される計画立案アイテムフィールドを更新します。
必要な列を選択し、[適用] をクリックします。

4. 列名をクリックして、計画立案アイテムを列でソートします。
たとえば、[承認された開始日] でアイテムをソートすることができます。

5. 優先順位付けに表示されるデータにフィルターを適用します。

優先順位付けから **Excel** または **CSV** へのポートフォリオ計画アイテムのデータのエクスポート

ポートフォリオ計画アイテムのデータをポートフォリオ計画から Excel または CSV ファイルにエクスポートします Microsoft 。このデータを共有し、ビジネスのステークホルダーと共同作業を行うことができます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.

2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。

3. [優先順位付け] タブで、[リスト ビュー] を選択します。

4. エクスポートする列がカスタマイズされていることを確認します。

> **注:**
> フィルターがビューに適用されると、フィルターされたデータがエクスポートされます。

5. カスタマイズされたサイドパネルを使用して、ポートフォリオ計画アイテムをエクスポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. エクスポートアイコン ( ) を選択します。

b. [エクスポート] ウィンドウの [ファイルの種類] ドロップダウンから [Excel] または **[CSV]** を選択して、データをMicrosoftそれぞれ **Excel** ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートします。
選択した形式のファイルがエクスポートされます。デフォルトでは、ファイルの名前は ABC で、データのエクスポート元のポートフォリオ計画の名前になります *ABC_Prioritization_List* 。

でのロードマップの使用 戦略的計画

ワークスペースでロードマップ 戦略的計画 を使用して、今後のプロジェクトまたはイニシアチブの計画のレイアウトを作成しながら、それらを事業達成目標に合わせて調整します。ステークホルダー間のコラボレーションを促進し、外出先で計画を調整します。

戦略的計画 ワークスペースのロードマップには、ポートフォリオ計画ロードマップとフリーフォームロードマップの 2 つのタイプがあります。

ポートフォリオ計画の場合、[優先順位付け] ページから優先順位付けされた計画立案アイテムのみがロードマップに表示されます。詳細については、ロードマップのバックログアイテムの管理とバックログアイテムの優先順位付けに関する箇所を参照してください。

ビジネス計画でロードマップ機能を使用する場合は、以下のセクションの情報を活用してください。

注:
ロードマップは 戦略的計画 でデフォルトで利用可能です 。Roadmap Planning (sn_roadmap_plng) は、独立したアプリケーションとしてインストールできなくなりました。

関連情報

戦略的計画 のロードマップ

戦略的計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成

スタンドアロンのビジュアルロードマップを作成して、会社のさまざまな部門から作業の概要計画を開始します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
すべての部門のプロジェクトなど、組織の複数のユニットにわたる作業を計画するためのスタンドアロンロードマップを作成します。フリーフォームロードマップの詳細については、「戦略的計画 のロードマップ」を参照してください。

ロードマップの基礎となる開始点としてソーステーブルを選択します。簡易ロードマップのプロジェクト、エピック、プログラム、デマンド、SAFe エピック、および SAFe 機能テーブルのいずれかを選択するか、ハイブリッドロードマップの計画立案アイテムテーブルを選択します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. [新規] を選択します。
   これが ServiceNow インスタンス内の最初のフリーフォームロードマップである場合は、[最初のフリーフォームロードマップを作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フリーフォームロードマップを作成ウィザードを使用して、ロードマップの詳細を入力します。

   a. ロードマップの基礎となるソーステーブルを選択します。

      管理者は、他のテーブルがこのリストに表示されるように設定できます。詳細については、「[ポートフォリオ計画の構成] フォーム」を参照してください。

   b. ソーステーブルからデータをフィルターする条件を追加します。

      たとえば、ソーステーブルが [プロジェクト] の場合、関連するフィルター条件は、[事業部門] が [経理] かつ [アクティブ] が **[true]** になります。

   c. ロードマップの名前と予定日の詳細を入力します。

4. [作成] を選択します。

タスクの結果

- 新しいロードマップが作成され、表示されます。
- このロードマップは、戦略的計画 ワークスペースの ホームページの [フリーフォームロードマップ] タブにリストされます。

次のタスク

- ロードマップを使用して更新、カスタマイズ、および共同作業を行います。
- マイルストーンを追加するか、ロードマップで計画されているアイテムの依存関係を作成します。

関連情報

戦略的計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの詳細の更新
戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する
戦略的計画 ワークスペースで予定外のアイテムをロードマップに計画する
戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加
戦略的計画 ワークスペースのフリーフォームロードマップで共同作業する
戦略的計画 ワークスペースでステークホルダーとフリーフォームロードマップを共有する

戦略的計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの詳細の更新

フリーフォームロードマップの詳細を更新して、ロードマップの優先度またはタイムラインの変更を反映します。

始める前に

戦略的計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. ロードマップを選択して開きます。
3. ロードマップヘッダーから、[その他のアクション] アイコン (⋮) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. フリーフォームロードマップを更新ウィザードを使用して、ロードマップの詳細を編集します。フィールドの詳細については、「戦略的計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成」を参照してください。
5. [更新] を選択します。

タスクの結果
ロードマップが更新され、ロードマップアイテムが最新の変更に従って表示されます。

関連情報
- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する
- 戦略的計画 ワークスペースで予定外のアイテムをロードマップに計画する
- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加
- 戦略的計画 ワークスペースのフリーフォームロードマップで共同作業する
- 戦略的計画 ワークスペースでステークホルダーとフリーフォームロードマップを共有する

戦略的計画 ワークスペースでステークホルダーとフリーフォームロードマップを共有する

ロードマップ計画に関係する作業のステークホルダーである組織のメンバーを追加して、ロードマップの進捗状況を可視化できるようにします。

始める前に
- 戦略的計画 ワークスペースでのフリーフォームロードマップの作成.
- ステークホルダーとして追加するユーザーに、ロードマップにアクセスするための適切なロールがあることを確認します。ユーザーロールの詳細については、「戦略的計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
組織内の他のユーザーとステークホルダーにフリーフォームロードマップへのアクセス権を付与します。

手順
1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. ロードマップを選択して開きます。
3. ロードマップヘッダーで、[ロードマップを共有] アイコン ( ) を選択します。
4. [ロードマップを共有] フォームで、ロードマップを共有するユーザーを選択し、そのアクセス権を適切に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [メンバーまたはグループ] フィールドに、個々のユーザーまたはグループの名前を入力します。

b. [アクセス] フィールドで、選択したユーザーのアクセスレベルとして [ビューアー] または [エディター] を選択します。

ビジネスステークホルダーユーザーの場合、編集アクセス権を付与した場合でも、ロードマップにコメントを追加することしかできません。

5. [招待を送信] を選択します。

次のタスク
ユーザーまたはグループのアクセスレベルを変更するか、アクセス権を削除します。

1. [ロードマップを共有] フォームで、[アクセスを管理] を選択します。
2. ユーザーまたはグループカードから、[アクションメニュー] アイコン ( ) を選択します。
3. 適切なアクセスレベルを選択するか、[削除]を選択します。

戦略的計画 ワークスペースのフリーフォームロードマップで共同作業する

組織の他のユーザーがフィードバックを確認して共有できるように、フリーフォームロードマップにコメントと添付ファイルを追加します。ロードマップが会社の優先順位と一致していることを、協力して確認します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user または sn_roadmap_plng.roadmap_editor

このタスクについて
[コメント] サイドパネルを使用して、ロードマップレベルまたは計画立案アイテムレベルで添付ファイルまたはメモを追加します。

手順
1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. 共同作業するロードマップを選択します。
3. ロードマップレベルまたは計画立案アイテムレベルで適切なタブを選択します。
4. 添付ファイルまたは作業メモを追加します。

ワークスペースでの 戦略的計画 既存のフリーフォームロードマップのコピーの作成

既存のロードマップのデータを使用してロードマップを作成します。作成するロードマップが既存のロードマップと類似している場合は、既存のロードマップをコピーすると時間を節約できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
すべての部門のプロジェクトなど、組織の複数のユニットにわたる作業を計画するためのスタンドアロンロードマップを作成します。フリーフォームロードマップの詳細については、「戦略的計画 のロードマップ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム > フリーフォームロードマップ
2. コピーを作成するロードマップを選択します。
3. ロードマップヘッダーから、[その他のアクション] アイコン ( ) を選択し、[ロードマップをコピー] を選択します。
4. [ロードマップをコピー] ウィンドウで、詳細を入力します。

   a. [ロードマップ名] フィールドにロードマップの名前を入力します。
   デフォルトでは、名前は *ABC（Copy）* ABC がコピー元のロードマップの名前です。

   b. オプション: コピー元のロードマップのユーザーにアクセス権を付与するには、[同じユーザーおよびグループと共有] オプションを選択します。
   このアクションでは、コピー元のロードマップに対してユーザーが持っていたのと同じ読み取りおよび編集アクセス権が付与されます。

   c. [確認] を選択します。

タスクの結果

- 新しいロードマップが作成され、新しいロードマップにアクセスするためのリンクが画面に生成されます。
- このロードマップは、戦略的計画 ワークスペースの ホームページの [フリーフォームロードマップ] タブにリストされます。

次のタスク

- ロードマップを使用して更新、カスタマイズ、および共同作業を行います。
- マイルストーンを追加するか、ロードマップで計画されているアイテムの依存関係を作成します。

戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する

ロードマップビューから直接、新しい計画立案アイテムを作成してポートフォリオロードマップまたはフリーフォームロードマップに追加します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。
2. ロードマップビューから、[新規 **<**アイテムタイプ**>]** オプションを選択します。
   - フリーフォームロードマップの場合、オプションはロードマップのソーステーブルによって異なります。
   - ポートフォリオ計画ロードマップの場合、オプションはポートフォリオ計画の構成によって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 つの計画立案アイテムタイプ	複数の計画立案アイテムタイプ
	

フリーフォームロードマップの場合、ソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] テーブルの場合、オプションは *freeform_planning_items_creation_list* プロパティに設定された値によって異なります。デフォルトでは、プロジェクトとデマンドが利用可能です。管理者と協力して、これらのオプションを構成します。「戦略的計画 でのカスタムアイテムタイプの有効化」を参照してください。

3. フォームの必須フィールド情報を入力します。
   完全なフィールドの詳細については、「計画立案アイテムフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果

新しいアイテムは、その承認済みの開始日と終了日に基づいて、ロードマップ上の場所に表示されます。

承認された開始日と終了日の両方のフィールドに入力しないと、作成したアイテムは未スケジュールアイテムのリストに移動されます。それらのアイテムを後でロードマップ計画に追加することができます。詳細については、「戦略的計画 ワークスペースで予定外のアイテムをロードマップに計画する」を参照してください。

戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを変更する

ロードマップに最新の計画が反映されるように、ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップから計画立案アイテムの詳細を更新または削除します。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

サイドパネルビュー、またはロードマップの完全な詳細ビューから、計画立案アイテムの詳細を編集します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。
2. ロードマップビューで、更新または削除する計画立案アイテムをクリックします。

   サイドパネルが開き、[詳細] タブが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さらに、[完全な詳細] をクリックしてアイテムのレコードページを開くこともできます。[完全な詳細] ページでは、マイルストーンや依存関係など、関連リストを表示することもできます。フィールドの詳細については、「計画立案アイテムフォーム」を参照してください。

> **注:**
> フリーフォームロードマップが、プロジェクト [pm_project] やデマンド [dmn_demand] など、PPM テーブルのいずれかで構築されている場合、完全な詳細ページからのみ更新が可能です。

3. 詳細を更新するか、アイテムを削除します。
   - 更新するには、フィールドの詳細を編集して [更新] をクリックします。

     完全な詳細ページが表示されている場合は、[保存] をクリックします。
   - 削除するには、次の手順を実行します。
     a. [完全な詳細] ページで、[その他のアクション] アイコン () をクリックして、[削除] を選択します。
     b. **[OK]**をクリックして確認する。

関連情報

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムのマイルストーンを追加

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加

戦略的計画 ワークスペースで予定外のアイテムをロードマップに計画する

まだ開始日または終了日のないアイテムをポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップに追加します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップの基準に一致しているが、開始日も終了日も設定されていない計画立案アイテムは、未スケジュールアイテムとして分類されます。計画を進めながら、未スケジュールアイテムリストを使用して、これらのアイテムをロードマップタイムラインにスケジュール設定します。

手順

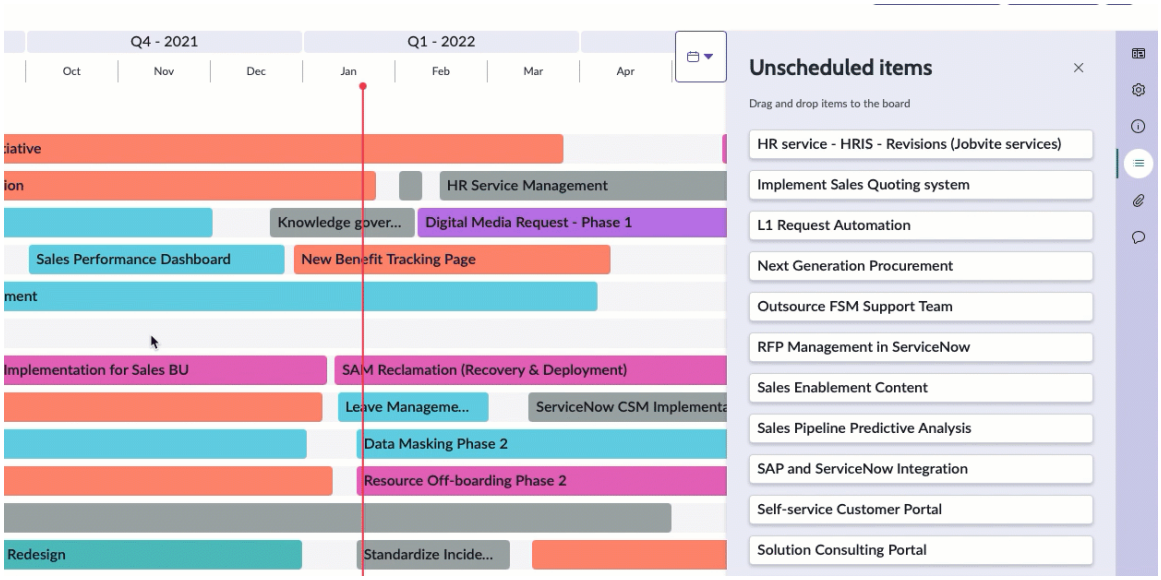
1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. サイドバーから、[未スケジュールアイテム] () を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. サイドパネルの予定外のアイテムのリストから、計画立案アイテムをドラッグし、ロードマップ上の任意の場所にドロップします。



関連情報

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの再スケジュール

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの再スケジュール

ロードマップアイテムの予定日を更新して、スケジュールの優先度の変更を説明します。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

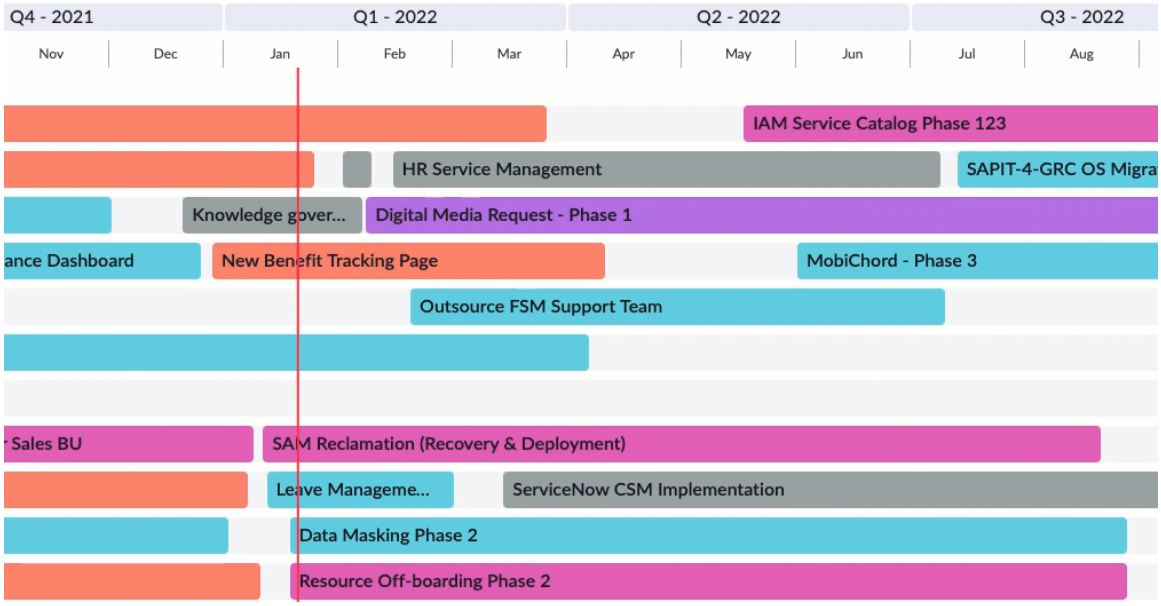
2. ロードマップアイテムに予定されている日付を変更するには、ロードマップアイテムバーのサイズを変更します。

   注:
   ロードマップに沿ってデマンドの開始日が変更されると、関連するコスト計画のタイムラインがデマンドのタイムラインと一致するように自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ロードマップアイテムを再スケジュールするには、選択したタイムライン領域にアイテムをドラッグアンドドロップします。



関連情報

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムのマイルストーンを追加

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加

マイルストーンを作成してロードマップに表示することにより、計画のタイムラインの重要な日付を追跡します。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

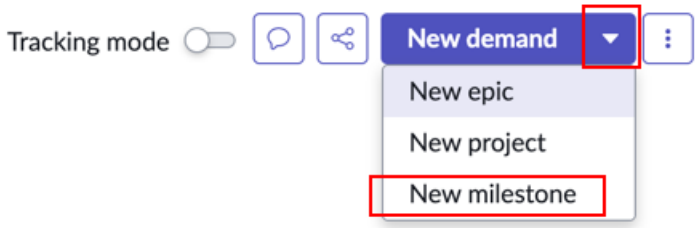
このタスクについて

ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップのタイムラインに、ロードマップビューから、開始日、期限、その他の重要なイベントなどのマイルストーンを直接作成します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. [その他のアクション] ドロップダウンから、[新しいマイルストーン] を選択します。



3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「ロードマップのマイルストーンフォーム」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

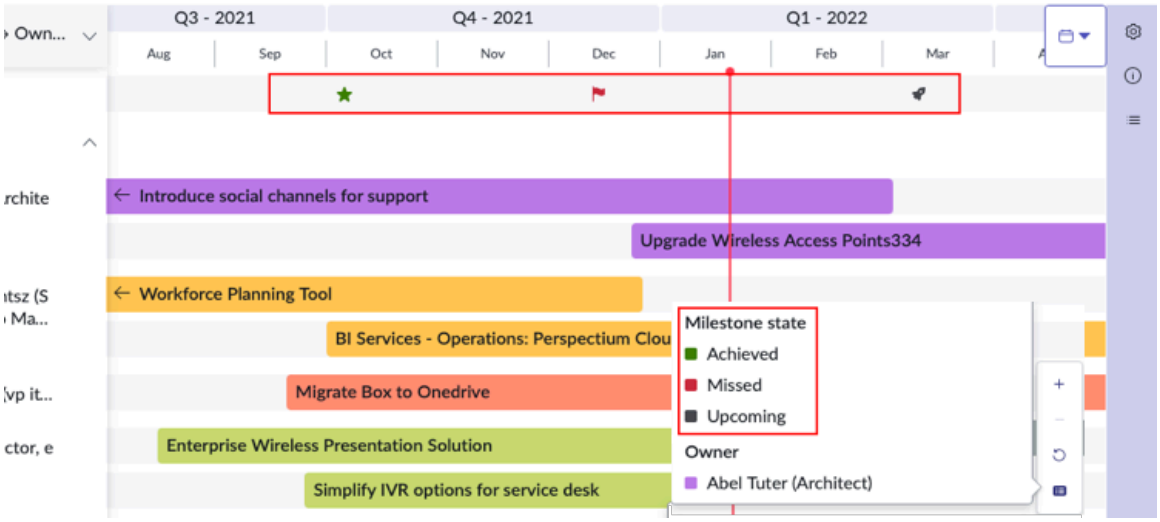
自動翻訳

4. [送信] を選択します。
5. オプション: ロードマップにマイルストーンを追加するには、ステップ 2 ～ 4 を繰り返します。

タスクの結果

作成したマイルストーンはロードマップに表示されます。

以下は、計画期間のさまざまなマイルストーンを示すマイルストーンバーを含むサンプルロードマップの画像で

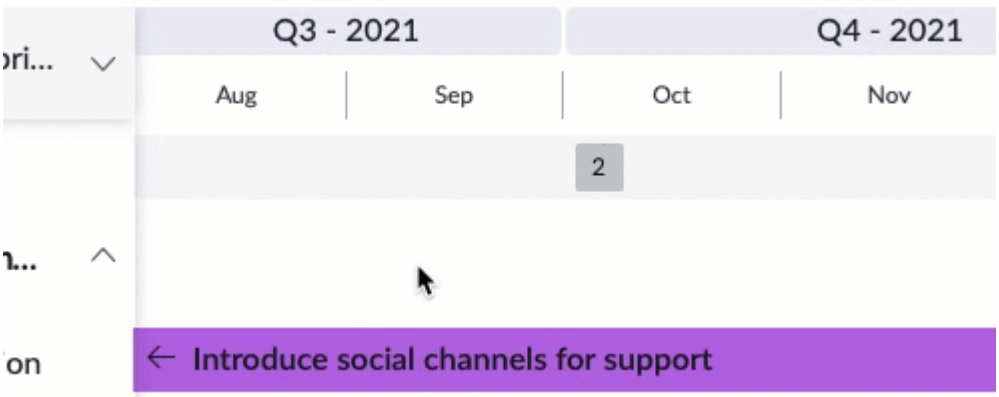


す。

凡例に表示されるマイルストーンの色は、マイルストーンのステータスを示します。

- 赤：達成できなかったマイルストーン。
- 緑：達成されたマイルストーン。
- グレー：今後のマイルストーン。

複数のマイルストーンが互いに近くにスケジュールされている場合、マイルストーンバーにグループ化されて表示されることがあります。この場合、マイルストーンバーを展開したり折りたたんだりして、その期間のすべてのマイルストーンを表示できます。



関連情報

戦略的計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ

戦略的計画 ワークスペースでロードマップマイルストーンを更新

ポートフォリオ計画またはフリーフォームロードマップに追加したマイルストーンを更新または削除して、計画の変更が反映されるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

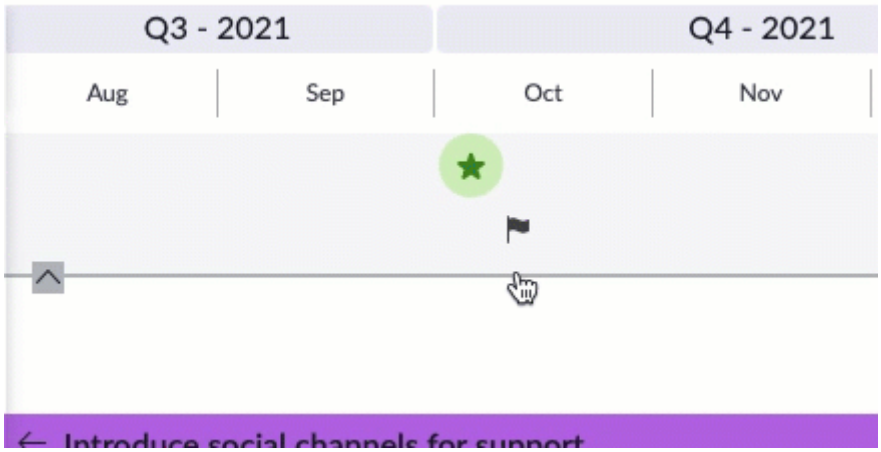
始める前に
戦略的計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加.

必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. マイルストーンを再スケジュールするには、マイルストーンを選択したタイムライン領域にドラッグアンドドロップします。



他の詳細を更新したり、マイルストーンを削除したりする場合は、次の手順に進みます。

3. ロードマップビューで、更新するマイルストーンをクリックします。
サイドパネルが開き、マイルストーンの詳細が表示されます。
4. マイルストーンを更新または削除します。
   - 更新するには、フィールドの詳細を編集して [保存] をクリックします。

     フォームフィールドの詳細については、「ロードマップ構成フォーム」を参照してください。
   - マイルストーンを削除するには、[削除] をクリックします。

     [OK] を選択して確定します。

関連情報

戦略的計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムのマイルストーンを追加

ロードマップビューから直接マイルストーンを作成して、計画立案アイテム (デマンド、スクラムエピック、プログラムなど) の主要な結果を追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ロードマップアイテムを選択して、そのマイルストーンを作成します。ロードマップサイドパネルを使用して詳細を入力し、送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フリーフォームロードマップの場合、ソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかの場合のみマイルストーンはサポートされます。

重要:

ロードマップビューからプロジェクトマイルストーンを追加することはできません。プロジェクトマイルストーンを作成または更新すると、関連するプロジェクト計画に影響を与える可能性があります。そのため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のプロジェクトワークスペースを使用してプロジェクトマイルストーンを作成または更新することをお勧めします。

ただし、次の場合、プロジェクトの既存のマイルストーンはすべてロードマップに表示されます 統合 戦略的計画 PPM を使用.

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。
2. ロードマップビューから、マイルストーンを追加する計画立案アイテムをクリックします。
   サイドパネルが開き、アイテムの詳細が表示されます。
3. [マイルストーン] タブを選択します。
   または、[完全な詳細] をクリックして、完全な詳細ページから [マイルストーン] タブを選択することもできます。
4. [マイルストーンを追加] アイコン (アイコン) を選択します。
   アイテムにマイルストーンがない場合は、[新しいマイルストーン] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「計画立案アイテムのマイルストーンフォーム」を参照してください。
6. [保存] を選択します。
   [マイルストーン] タブに戻ると、マイルストーンが一覧表示されます。
7. オプション: アイテムにマイルストーンを追加するには、ステップ 2 ～ 6 を繰り返します。

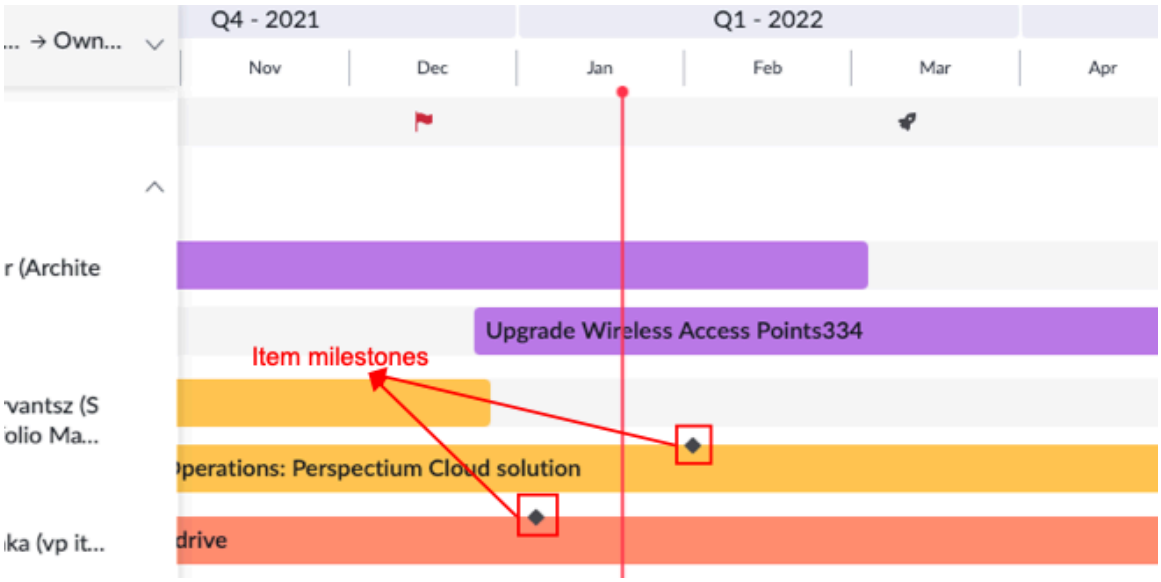
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 作成したマイルストーンは、ロードマップアイテムバーに示されます。

  以下は、マイルストーンがあることを示すロードマップアイテムを含むサンプルロードマップの画像で



  す。

- これらのマイルストーンインジケーターの上にカーソルを合わせると、マイルストーン名、タイプ、期日などの詳細が表示されます。
- これらのインジケーターのいずれかをクリックすると、[アイテムの詳細] サイドパネルの [マイルストーン] タブが開きます。ここでは、この計画立案アイテムのすべてのマイルストーンのリストを確認できます。

次のタスク

- ロードマップのマイルストーン表示をカスタマイズする方法を説明します。
- どのようなときに計画立案アイテムのマイルストーンがエラーになりやすいかを説明します。
- 計画立案アイテムのマイルストーンを管理する方法を説明します。

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムマイルストーンを更新

計画立案アイテム (デマンド、スクラムエピック、プログラムなど) に追加したマイルストーンを更新または削除して、計画の変更が反映されるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオロードマップまたはフリーフォームロードマップから、計画マイルストーンを選択して詳細を更新します。ロードマップサイドパネルを使用して、詳細を編集して送信します。

フリーフォームロードマップの場合、ソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかの場合のみマイルストーンはサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

ロードマップビューからプロジェクトマイルストーンを追加することはできません。プロジェクトマイルストーンを作成または更新すると、関連するプロジェクト計画に影響を与える可能性があります。そのため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のプロジェクトワークスペースを使用してプロジェクトマイルストーンを作成または更新することをお勧めします。

ただし、次の場合、プロジェクトの既存のマイルストーンはすべてロードマップに表示されます 統合 戦略的計画 PPM を使用.

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップビューから、計画立案アイテムをクリックして、[マイルストーン] タブを選択します。

   サイドパネルに、この計画立案アイテムに関連付けられているすべてのマイルストーンのリストが表示されます。

   または、[完全な詳細] をクリックしてアイテムのレコードページを開き、[マイルストーン] タブを選択できます。

3. 更新するマイルストーンをクリックします。
4. マイルストーンフォームから、詳細を更新するか、マイルストーンを削除します。
   - 更新するには、フィールドの詳細を編集して [保存] をクリックします。

     フォームフィールドの詳細については、「計画立案アイテムのマイルストーンフォーム」を参照してください。

   - マイルストーンを削除するには、[削除] をクリックします。

     [OK] を選択して確定します。

関連情報

戦略的計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加

ポートフォリオまたはフリーフォームロードマップの計画立案アイテム間で、依存関係を作成して関係性を可視化して、スケジュールを調整できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
ポートフォリオロードマップまたはフリーフォームロードマップから、アイテム詳細のサイドパネルを使用して、2 つの計画立案アイテム間の依存関係を作成します。依存関係は、プロジェクト、エピック、デマンド、イニシアチブ、プログラム、作成したカスタム計画立案アイテムタイプに対応しています。

ロードマップ上の計画立案アイテムの依存関係は、同じロードマップまたは別のロードマップのアイテムにあるか、またはアイテムがまだ計画されていない可能性があります。ロードマップの依存関係について、詳しく説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
フリーフォームロードマップの場合、依存関係は、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張の 1 つである場合のみ利用できます。

手順

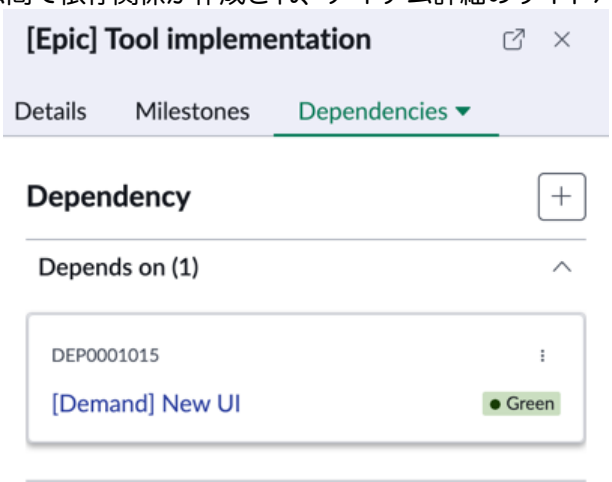
1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップビューから、依存関係を追加する計画立案アイテムをクリックします。
サイドパネルが開き、アイテムの詳細が表示されます。
3. 選択 その他 > 依存関係.
4. [依存関係] タブで、[依存関係を追加] アイコン (アイコン) を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   フォームフィールドについては、「依存関係フォーム」を参照してください。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果
選択した計画立案アイテム間で依存関係が作成され、アイテム詳細のサイドパネルにある [依存関係] タブに一覧表示されます。

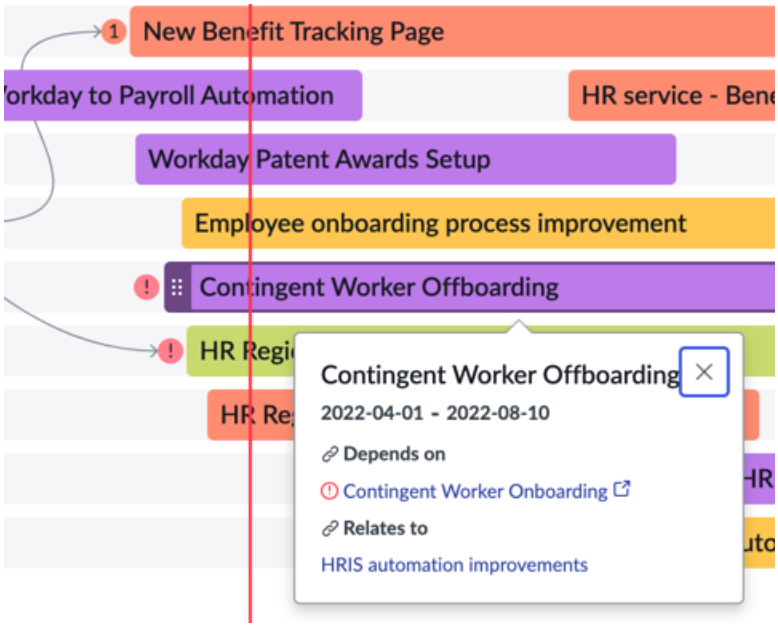


ロードマップで、ロードマップアイテムカードまたは依存関係線から依存関係の詳細を確認することができます。ロードマップにおける依存関係に対して利用可能な表示設定について説明します。

依存関係アイテムのいずれかがロードマップにない場合、依存関係の詳細情報が、外部計画立案アイテムへのリダイレクトリンクと併せて、ロードマップのアイテムカードに表示されます。この場合、アイテムは同じロードマップに属している場合も属していない場合もあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク

- ロードマップアイテムの依存関係エラーを解決する方法について説明します。
- 依存関係の詳細を更新するか、依存関係を削除します。「戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの依存関係の更新」を参照してください。

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの依存関係の更新

ロードマップ上の計画立案アイテムの依存関係を更新または削除して、計画の変更が反映されるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて

ロードマップサイドパネルを使用して、依存関係の詳細を変更するか依存関係を削除します。

フリーフォームロードマップの場合、依存関係は、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] またはその拡張の 1 つである場合のみ利用できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップビューで、依存関係を更新または削除する計画立案アイテムをクリックします。

   サイドパネルが開き、アイテムの詳細が表示されます。

3. 選択 その他 > 依存関係.
   この計画立案アイテムの依存関係は、カードの形式でリストされます。

4. サイドパネルから、[その他のアクション] アイコン (⋮) を使用して編集または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的計画 **Workspace** でのロードマップタイムラインビューのカスタマイズ

タイムラインビューでのロードマップの表示方法をカスタマイズします。ロードマップアイテムをグループ化し、カテゴリ別に色分けし、数値データポイントを追加してマイルストーンや依存関係を表示することで、ロードマップを効率的に分析し、情報に基づいた意思決定を行うことができるようになります。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

このタスクについて
このタスクでは、ロードマップのタイムラインビューをカスタマイズするためのさまざまなオプションについて説明します。適用するオプションを選択します。

ここで適用される設定は、ロードマップに従う初期設定として保存されます。ロードマップにアクセスできるすべてのユーザーに同じ設定が表示されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップのタイムラインのスケールを変更します。
   タイムスケールアイコン ( ) を選択し、[月]、[四半期]、または [年] を選択します。

   注:
   選択したタイムスケールビューは、ロードマップ初期設定に保存されます。

3. サイドパネルを使用して、ロードマップの外観をカスタマイズします。

   a. サイドバーから、[カスタマイズ] アイコン ( ) を選択します。

   b. 使用可能な属性でロードマップアイテムをグループ化し、色分けします。

      ロードマップアイテムを最大 2 つの属性でグループ化し、1 つの属性で色分けすることができます。

      管理者と協力して、[グループごと]、[色別]、および [測定基準] フィールドの他の属性を追加できます。「優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ」を参照してください。

      重要:
      ロードマップアイテムを名前属性でグループ化しないでください。アイテムバーをあるグループから別のグループに移動すると、アプリケーションによってロードマップアイテムの名前が変更されるためです。

   c. [所有者] トグルを使用すると、ロードマップアイテムの所有者を表示できるようになります。

   d. [測定基準] セクションにフィールドを追加して、ロードマップアイテムバーに予定コストなどのデータポイントを表示します。

      最大 3 つの測定基準を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



e. ロードマップアイテム (プロジェクト、エピック、デマンドなど) にマイルストーンがある場合は、[マイルストーン] セクションの切り替えを使用して、それらの表示方法を調整します。
詳細については、「戦略的計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ」を参照してください。

f. ロードマップアイテムに依存関係がある場合、[依存関係] セクションのトグルで表示方法を調整します。
詳細については、「戦略的計画 ワークスペースでのロードマップの依存関係表示のカスタマイズ」を参照してください。

g. 現在の日付のインジケーターを使用して、タイムライン上の現在の日付を特定します。
[その他の設定] セクションで、[現在の日付行] のトグルを有効化します。

4. [依存関係線を表示] アイコン ( ) を使用して、ロードマップアイテム間での依存関係の線表示をすばやく有効化または無効化します。
5. ズームオプションを使用して、ロードマップビューのズームイン、ズームアウト、およびズームのリセットを行います。



注:
選択したズームレベルは、ロードマップ設定として保存されません。

6. ロードマップに表示されているデータにフィルターを適用します。

戦略的計画 **Workspace** でのロードマップカンバンビューのカスタマイズ

ロードマップカンバンの表示方法をカスタマイズします。レーンの値を変更してカードの並べ替え方法を変更するか、カード測定基準をカスタマイズしてカードに表示するフィールドのみを表示します。

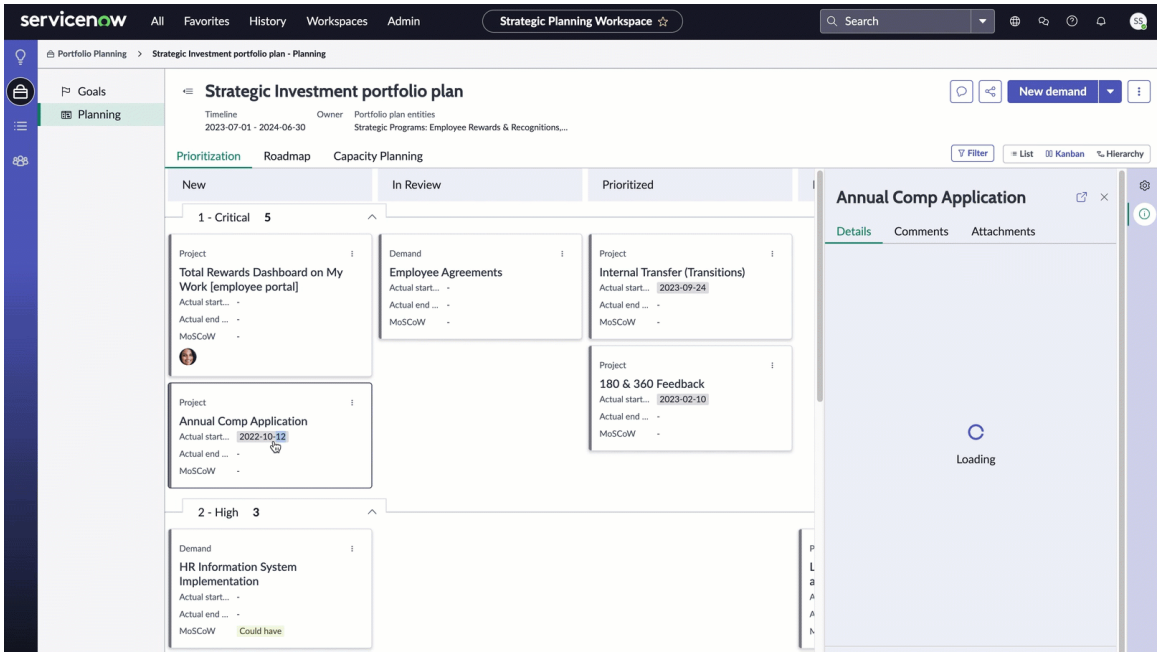
始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

手順
1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > **Strategic Planning Workspace** > ホーム.
2. ポートフォリオ計画のリストから、1 つを選択してから [計画] を選択します。
3. [カンバン] ビューを選択します。
4. [カスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、設定に基づいてビューを更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

「優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ」を参照してくださ



い。

> **重要:**
> カンバンボードに表示される垂直レーンとスイムレーンのデフォルトの表示制限は、それぞれ 30 と 30 です。これらのレーンは、参照フィールドと選択フィールドのみをサポートしています。ユーザーは、カンバンカードのフィールド測定基準を変更することはできません。

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの進捗状況の追跡

追跡モードを使用して、ポートフォリオ計画ロードマップまたはフリーフォームロードマップ上の作業アイテムの完了を視覚的に追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_align_core.apw_user

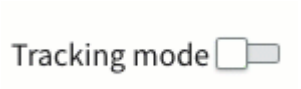
このタスクについて
トグルを使用して、ロードマップビューを計画モードから追跡モードに切り替えます。ロードマップアイテムカードは、ステータスと進捗状況を示す進捗状況バーに変わります。

> **注:**
> 追跡モードでは、ロードマップアイテムとマイルストーンを作成、更新、または再スケジュールすることはできません。このビューは読み取り専用モードです。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > ホーム をクリックし、ロードマップを開きます。

2. ロードマップの追跡ビューをオンにするには、追跡モードオプションを選択します。



3. オプション: 追跡モードでロードマップビューをカスタマイズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

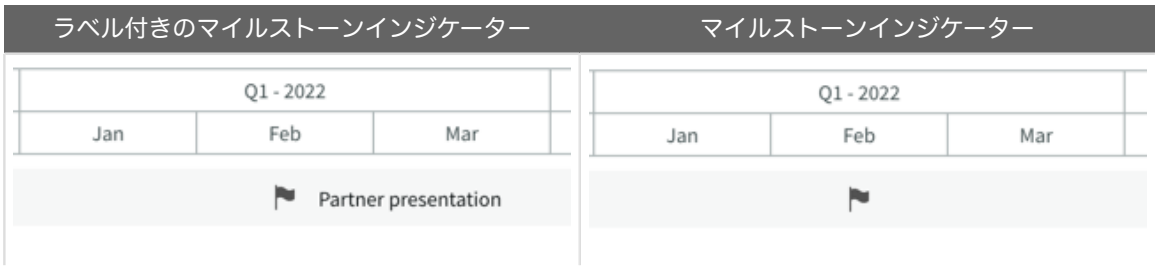
自動翻訳

注:
ロードマップの計画立案モードで行ったグループ化とパーソナライズによる色分けは追跡モードに引き継がれますが、測定基準は引き継がれません。

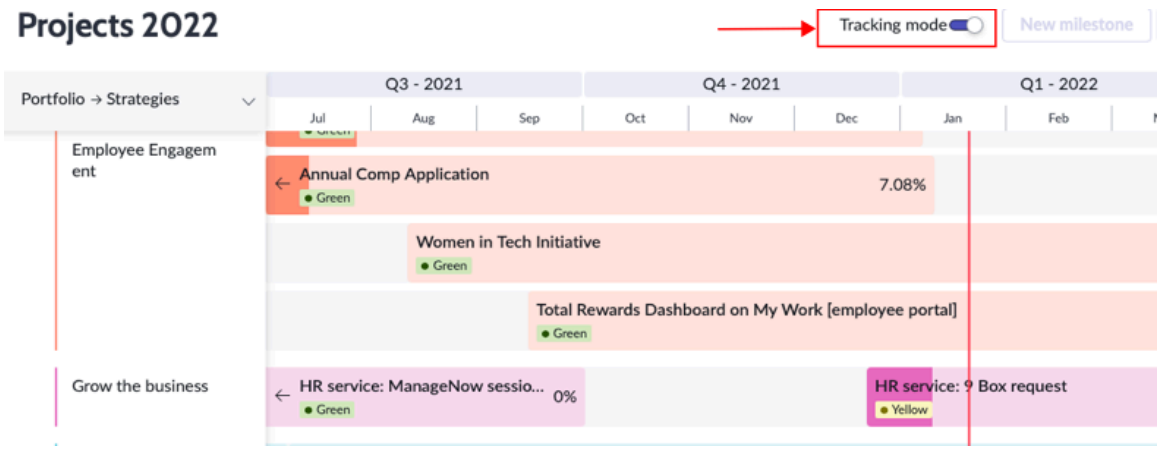
a. [ステータス] と [完了率] をそれぞれ切り替えて、ロードマップアイテムの [ステータス] と [完了率] の表示を有効または無効にします。

b. [測定基準] セクションにフィールドを追加して、ロードマップアイテムバーに予定コストなどのデータポイントを表示します。
追跡モードでは、最大 2 つの測定基準を追加できます。

c. マイルストーンの表示をカスタマイズします。
マイルストーンをアイコンだけで表示するか、ラベルと一緒に表示するかを選択できます。



タスクの結果
ロードマップの追跡ビューは、カスタマイズ設定に従って表示されます。ロードマップ追跡のサンプルビューを次の画像に示します。



戦略的計画 でのキャパシティ計画立案の使用

リソースキャパシティを評価し、既存の割り当てを確認します。これは、リソースのアサイン作業中に情報に基づいた意思決定を行うのに役立ちます。

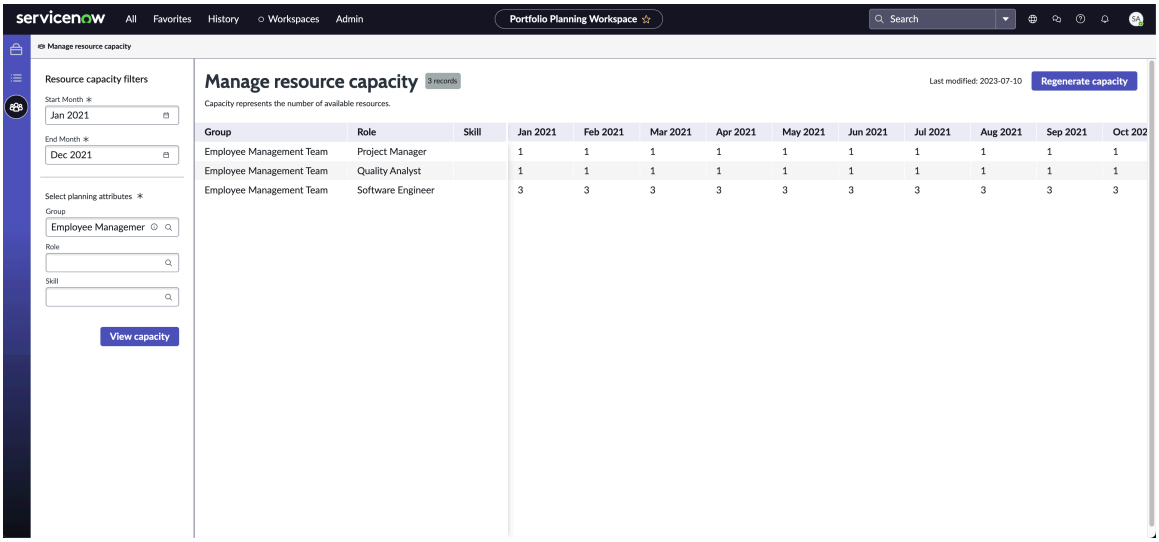
[リソースキャパシティを管理] 画面を使用して、リソースキャパシティの詳細を生成します。

[キャパシティ計画立案] 画面を使用して、ポートフォリオへのリソースキャパシティマッピングに関する詳細情報を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースキャパシティを管理

[リソースキャパシティを管理] 画面



[リソースキャパシティを管理] 画面には、以下の詳細情報が表示されます。

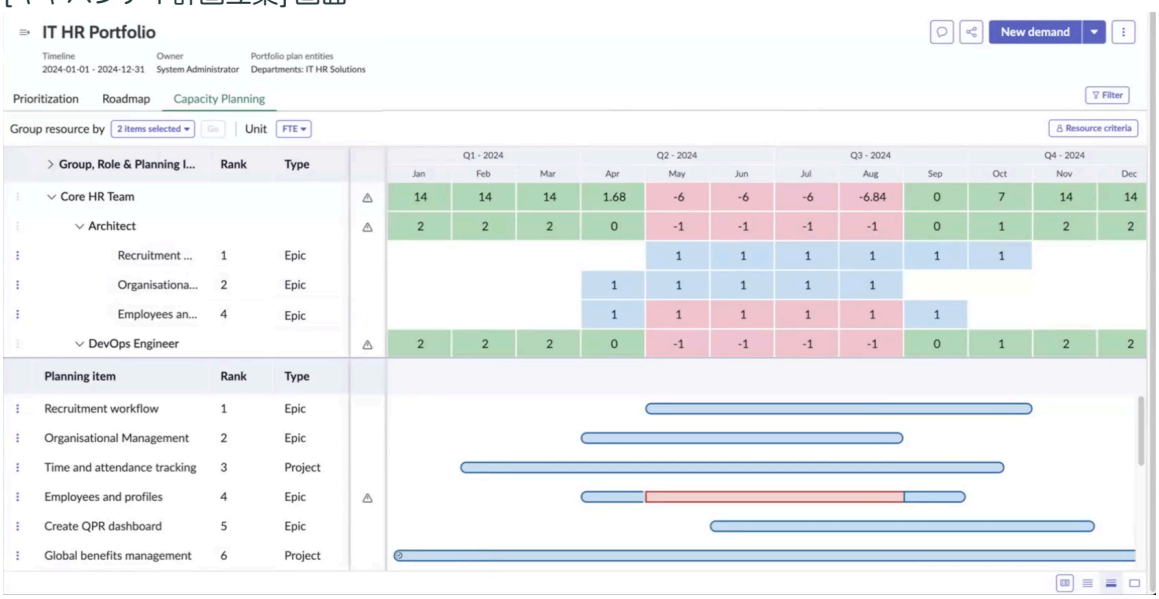
- リソースキャパシティの詳細と指定した日付範囲で選択した属性
- フィルタリングされた結果のリソースの合計数
- フィルタリングされた結果の最終変更日
- 従業員プロファイルマッピングから最新のキャパシティの詳細を再生成してフェッチするオプション

[リソースキャパシティを管理] 画面では、次のことができます。

- 必要な日付範囲で特定のキャパシティ属性が含まれるリソースをフィルタリングして、そのリソース割り当てを表示します。
- キャパシティの詳細を再生成し、リソース従業員プロファイルマッピングから最新の詳細を表示します。

キャパシティ計画立案

[キャパシティ計画立案] 画面



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[キャパシティ計画立案] タブには、以下のリソースキャパシティ情報が表示されます。

- リソースキャパシティと割り当ての包括的な概要
- 現在のリソースキャパシティ割り当て
- 作業の分析と計画立案を容易にするために、優先順位付けされた計画立案アイテムのインタラクティブなガントチャートビュー

[キャパシティ計画立案] 画面では、次のことができます。

- [リソース基準] (基準] ボタン) を選択して、人員基準を再定義します。
- 現在のポートフォリオのキャパシティ割り当てを表示し、将来のリソース要件をより適切に予測します。
- フィルターオプション (キャパシティ計画立案 Filter) を使用して、タイプ、ステータス、優先度、またはキャパシティ計画を作成するために必要な属性別に計画立案アイテムを表示します。

リソースキャパシティの管理

必要な時間スコープのプライマリ属性でリソースをフィルタリングし、そうしたリソースのキャパシティを生成して表示します。

始める前に

1. キャパシティ計画立案の計画属性を有効にする詳細については、「キャパシティ計画立案の計画属性を有効にする」を参照してください。
2. リソースの従業員プロファイルを生成する詳細については、「キャパシティ計画立案で作業するリソースの従業員プロファイルの生成」を参照してください。

必要なロール：sn_align_ws.spw_capacity_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [リソースキャパシティを管理] オプション ( ) を選択します。

   注:
   キャパシティ計画立案で計画属性が有効になっていない場合は、空のステータス画面と構成オプションが表示されます。管理者に連絡し、キャパシティ計画立案の計画属性を有効にしてもらいます。詳細については、「キャパシティ計画立案の計画属性を有効にする」を参照してください。

3. キャパシティの詳細を表示して再生成するには、次のいずれかのオプションを使用します。

戦略的計画 での [キャパシティ計画立案] 画面の使用

ポートフォリオのリソースキャパシティを表示および分析して、リソースの割り当てを計画および再予測します。

始める前に

[リソースキャパシティを管理] を使用してリソースキャパシティを生成します。

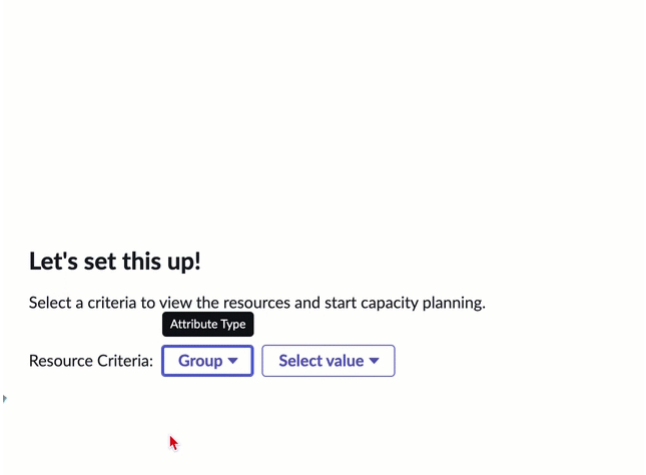
必要なロール：sn_align_ws.spw_capacity_user

自動翻訳

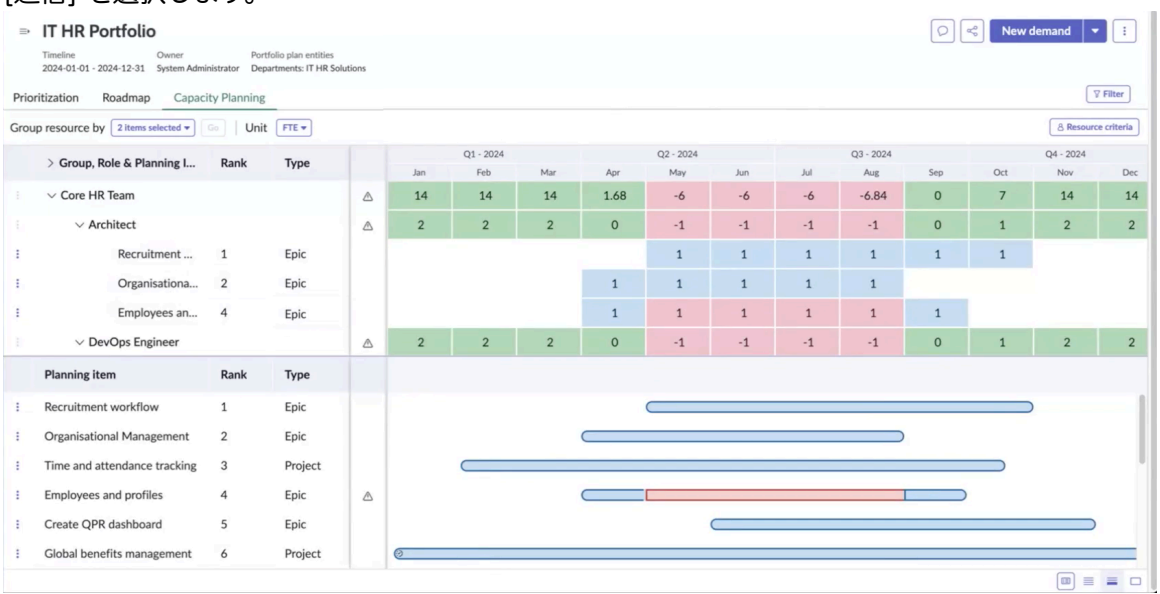
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. ポートフォリオ計画から計画を選択します。
3. 選択 計画 > キャパシティ計画立案.
4. [属性を選択] リストと [値を選択] リストを使用して、リソース基準を定義します。



5. [送信] を選択します。



タスクの結果
選択した人員の基準のリソースキャパシティ割り当ての [キャパシティ計画立案] 画面が表示されます。人員の基準の選択に基づいて、リソースキャパシティはグループ、スキル、およびロールでネストされます。

でのポートフォリオ計画の財務の管理 戦略的計画

ワークスペースで計画立案アイテムのコストコンポーネントのブレークダウンを表示および管理します 戦略的計画 。

包括的な財務ビューは、選択したエンティティの計画コストと実績コスト、完了時の推定 (EAC)、完了までの推定 (ETC)、現在までの合計実績などを把握するのに役立ちます。コスト計画を管理し、処理された経費明細を関連付けて、計画立案アイテムの実績を反映できます。

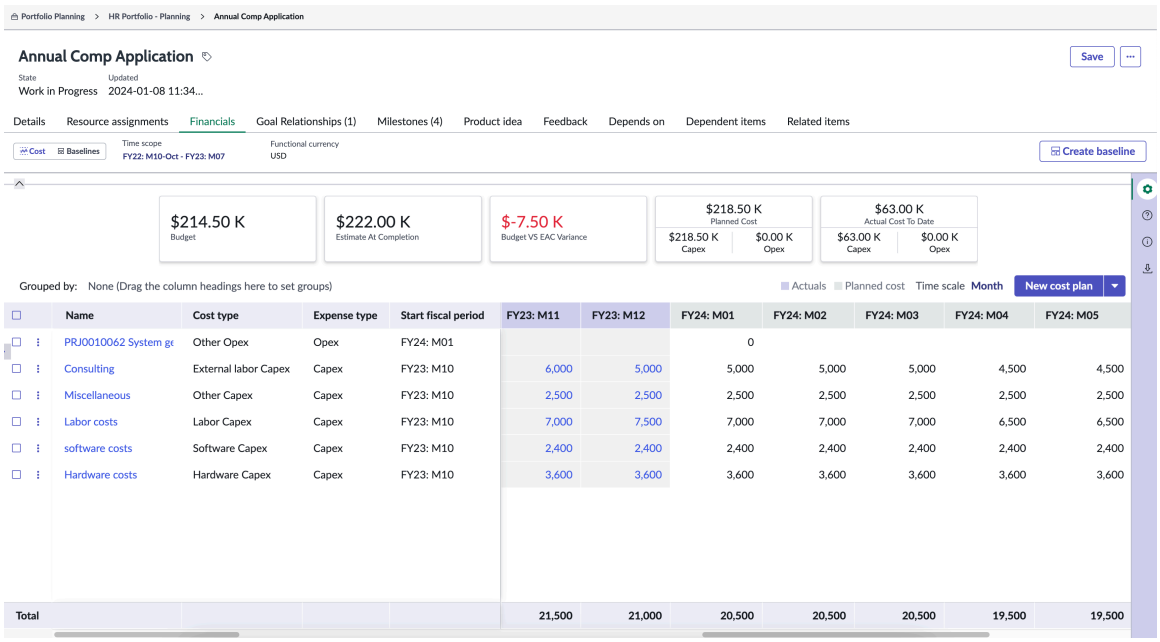
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コスト比較ビューまたはベースライン比較ビューから財務データを Microsoft Excel または CSV ファイルとしてエクスポートし、ステークホルダーと共有して計画立案アイテムとポートフォリオの財務実績を確認します。

コストビュー

[財務] ビューでは、カスタマイズアイコン (歯車アイコンのカスタマイズ) を使用して左ペインの属性を



[コスト] 画面では、次のことができます。

- 計画立案アイテムの計画を管理します。詳細については、「コスト計画の追加、編集、または削除」を参照してください。
- 計画立案アイテムの経費明細を追加または編集して、予定または予定外の経費を記録します。詳細については、「経費明細の追加または編集」を参照してください。
- 会計期間の人件費を生成する。詳細については、「人件費の生成」を参照してください。
- ベースラインを作成して比較し、計画立案アイテムの財務スナップショットをキャプチャします。詳細については、「計画立案アイテムの財務ベースラインを作成して比較する」を参照してください。
- ウィジェットを構成して 、計画立案アイテムの財務データの概要のスナップショットを取得します。

ヒント:
コストビューでは、ユーザー初期設定を保存して、列の表示や時間スコープの表示などの非表示、表示、調整を行ったカスタマイズを保持することで、ユーザーエクスペリエンスを向上できます。

ベースラインビュー

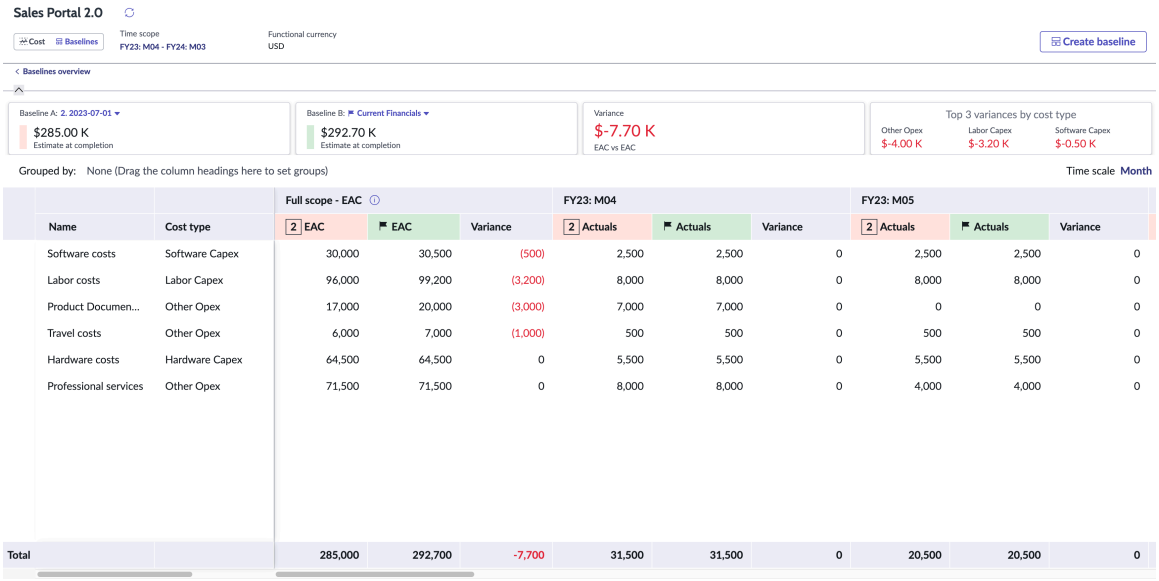
ベースラインを作成して 、計画立案アイテムの財務的変更のスナップショットをキャプチャします。オンデマンドのベースラインを作成することも、スケジューラジョブを使用して周期で作成することもできます。

ベースラインを比較して、最新ステータスとベースライン間、または任意の 2 つのベースライン間のコストの差を比較します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
各ベースラインには、作成された順序に基づいて番号が付けられます。現在の財務ベースラインは、財務の詳細をリアルタイムでキャプチャし、常にフラグアイコン (⚑) で表されます。

ベースライン比較ビューは、2 つのベースライン間の差異を理解するのに役立ちます。



		Full scope - EAC			FY23: M04			FY23: M05		
Name	Cost type	2 EAC	⚑ EAC	Variance	2 Actuals	⚑ Actuals	Variance	2 Actuals	⚑ Actuals	Variance
Software costs	Software Capex	30,000	30,500	(500)	2,500	2,500	0	2,500	2,500	0
Labor costs	Labor Capex	96,000	99,200	(3,200)	8,000	8,000	0	8,000	8,000	0
Product Documen...	Other Opex	17,000	20,000	(3,000)	7,000	7,000	0	0	0	0
Travel costs	Other Opex	6,000	7,000	(1,000)	500	500	0	500	500	0
Hardware costs	Hardware Capex	64,500	64,500	0	5,500	5,500	0	5,500	5,500	0
Professional services	Other Opex	71,500	71,500	0	8,000	8,000	0	4,000	4,000	0
Total		285,000	292,700	-7,700	31,500	31,500	0	20,500	20,500	0

ベースラインを比較するときにウィジェットを活用して以下を表示します。

- EAC を表示する各ベースラインの 2 つの専用ウィジェット。
- 3 番目のウィジェットには、選択したベースラインの EAC 値間の合計差異が表示されます。
- 4 番目のウィジェットには、全体的な差異に寄与する上位 3 つの差異がコストタイプ別に表示されます。

ウィジェットとヘッダー行は色分けされており、選択したベースラインを識別するのに役立ちます。

ヒント:
1 番目または 2 番目のウィジェットからベースラインの名前を選択して、異なるベースラインを比較します。

2 つのベースライン (2023-10-01 ベースライン A と現在の財務、ベースライン B B) の比較ビューの例を見てみましょう。

ベースラインを比較すると、コスト計画とそれに関連するコストタイプ、フルスコープの EAC、実際の経費と計画コストのブレークダウンビューのリストが表示されます。

デフォルトでは、ブレークダウン ビューのタイム スケールは [月] に設定されています。

- [タイムスケール] オプションを使用して、月次、四半期、および年次レベルで比較ブレークダウンビューを表示します。
- 会計期間、ウィジェットのデータ、および比較表をフィルタリングするには、[時間範囲] を選択します。

Example: 異なるタイムスタンプでキャプチャされた **2** つのベースライン間で実績、計画、EAC を比較する方法

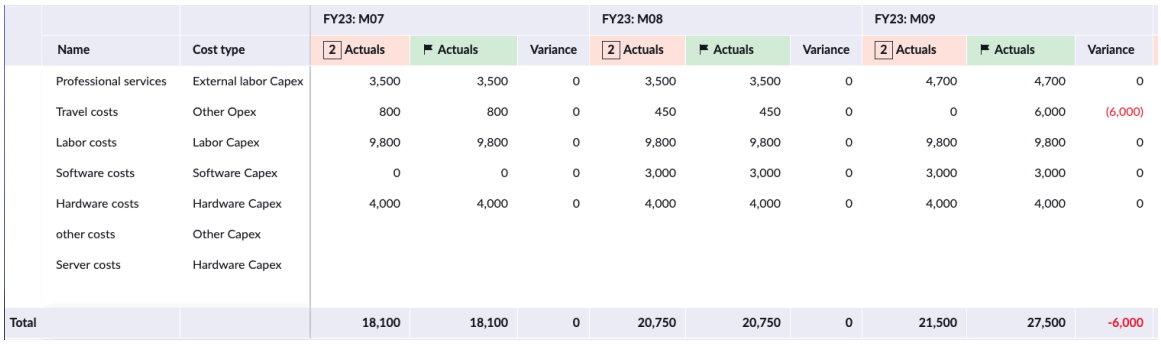
作成日に基づいて選択したベースラインについて、テーブルには作成日からの過去の会計期間の実績値と、現在および将来の会計期間の計画値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

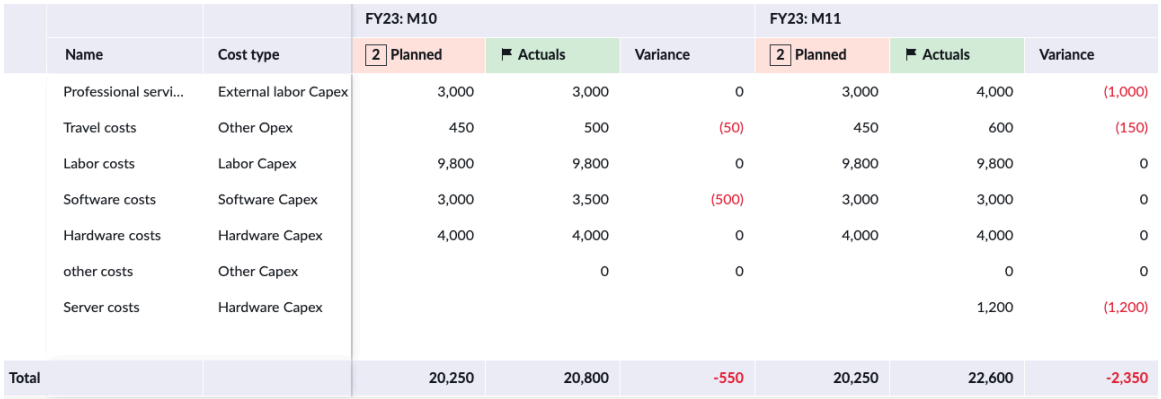
2023 年 7 月から 2024 年 6 月までの計画立案アイテムを考えてみましょう。ベースライン A は 2023-10-01 に作成されます。2023 年 12 月の現在の財務ベースラインと 2023 年 10 月に取得されたベースラインを比較すると、次のようになります。

1. ベースライン比較ビューには、2023 年 7 月から 2023 年 9 月までの実績と実績の列が表示されます。



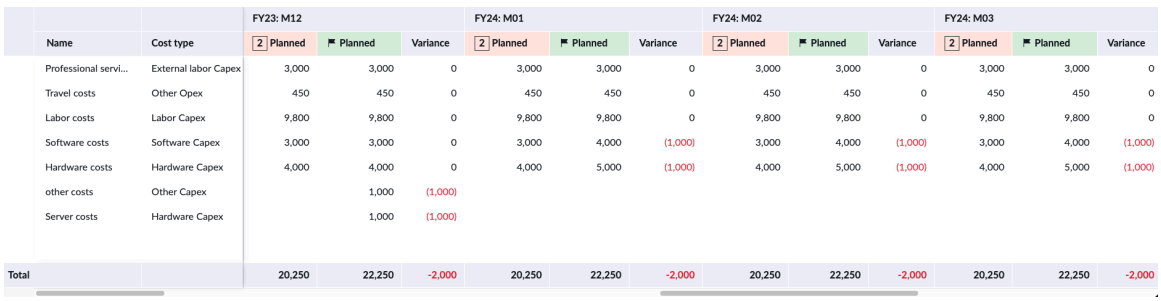
			FY23: M07			FY23: M08			FY23: M09		
	Name	Cost type	2 Actuals	Actuals	Variance	2 Actuals	Actuals	Variance	2 Actuals	Actuals	Variance
	Professional services	External labor Capex	3,500	3,500	0	3,500	3,500	0	4,700	4,700	0
	Travel costs	Other Opex	800	800	0	450	450	0	0	6,000	(6,000)
	Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
	Software costs	Software Capex	0	0	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0
	Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0
	other costs	Other Capex									
	Server costs	Hardware Capex									
Total			18,100	18,100	0	20,750	20,750	0	21,500	27,500	-6,000

2. 2023 年 10 月および 2023 年 11 月の予定と実績。



		FY23: M10			FY23: M11		
Name	Cost type	2 Planned	Actuals	Variance	2 Planned	Actuals	Variance
Professional servi...	External labor Capex	3,000	3,000	0	3,000	4,000	(1,000)
Travel costs	Other Opex	450	500	(50)	450	600	(150)
Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
Software costs	Software Capex	3,000	3,500	(500)	3,000	3,000	0
Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0
other costs	Other Capex		0	0		0	0
Server costs	Hardware Capex					1,200	(1,200)
Total		20,250	20,800	-550	20,250	22,600	-2,350

3. 計画 vs 2023 年 12 月から 2024 年 6 月までの計画。



			FY23: M12			FY24: M01			FY24: M02			FY24: M03		
	Name	Cost type	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance
	Professional servi...	External labor Capex	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0
	Travel costs	Other Opex	450	450	0	450	450	0	450	450	0	450	450	0
	Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
	Software costs	Software Capex	3,000	3,000	0	3,000	4,000	(1,000)	3,000	4,000	(1,000)	3,000	4,000	(1,000)
	Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	5,000	(1,000)	4,000	5,000	(1,000)	4,000	5,000	(1,000)
	other costs	Other Capex		1,000	(1,000)									
	Server costs	Hardware Capex		1,000	(1,000)									
Total			20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000

注:
列は、前会計期間までの実績コストと現在から将来の会計期間の計画コストの合計である EAC を計算するように定義されます。

コスト計画の追加、編集、または削除

必要な期間のコスト計画を作成して、予定の経費と実際の経費を追跡します。コスト計画を編集して予定経費を調整し、スコープ解除された予測を削除します。

始める前に

必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** 計画立案アイテムを開きます
2. [財務] タブをクリックします。

> ヒント:
> 初期計画コストをキャプチャした直後に財務ベースラインを作成して、計画コストのスナップショットを作成します。このベースラインを使用して、作業の進行に応じて後の日付のベースラインと比較し、当初の計画コストと実際の経費の差異を特定します。

これは、将来の経費を計画し、計画コストを再予測するのに役立ちます。

経費明細の追加または編集

経費ラインを作成または編集して、実績コストをキャプチャします。経費ラインをコスト計画に関連付けるか、スタンドアロンの経費ラインを作成して予定外の経費を記録できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

このタスクについて
経費明細は、特定のソースに関連付けることができるプロジェクトコスト計画の一部です。コスト計画に対して複数の経費明細を作成できます。処理済みステータスの経費明細のみが、作業アイテムのロールアップで考慮されます。
どのコスト計画にも関連付けられていない予定外の経費明細については、自動的にコスト計画が作成されるか、同じ経費タイプの既存のシステム生成コスト計画に関連付けられます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** 計画立案アイテムを開きます
2. [財務] タブをクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを使用して、経費明細を追加します。

4. [Expense Line を作成] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[Expense Line を作成] フォーム」を参照してください。
5. [保存] を選択します。

人件費の生成

計画属性ページで構成された財務属性に基づいて、属性ベースのリソースアサインの財務ビューで人件費を生成します。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** をクリックし、計画立案アイテムを選択します。
2. [財務] タブをクリックします。
3. [人件費の生成] ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [人件費を生成] 確認ウィンドウで [生成] を選択します。

> **注:**
> または、 スケジュール設定済みジョブをアクティブ化 して、必要な頻度でベースラインを自動的に作成することもできます。

計画立案アイテムの財務ベースラインを作成して比較する

財務ベースラインを作成して比較し、プロジェクト経費のスナップショットを取得し、計画コストを実際の経費と比較します。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** をクリックし、計画立案アイテムを選択します。
2. [財務] タブをクリックします。
3. ベースラインを作成または比較します。

> **注:**
> スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、財務ベースラインを自動的に作成できます。

財務を **Excel** または **CSV** ファイルとしてエクスポート

計画立案アイテムのコストまたはベースライン比較データをエクスポートして、ステークホルダーと簡単に共有できます。

始める前に
必要なロール：sn_align_ws.spw_financial_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** をクリックし、計画立案アイテムを選択します。
2. [財務] タブをクリックします。
3. [エクスポート]オプションを選択します(
4. [エクスポート] サイド パネルで、[ファイルの種類] ボックスの一覧から [**Excel**] または **[CSV**] を選択し、[エクスポート] ボタン (Export) を選択します。

   財務データは、 name_fin_mmddyy 命名規則に従って Excel ファイルまたは CSV ファイルとしてダウンロードされます。命名規則の内訳:

   a. 名前:計画立案アイテムの名前から最初の 10 文字をフェッチします。

   b. fin - ファイルに財務データがあることを示します。

   c. mmddyy:このデータをエクスポートするときのシステム日付形式。
   たとえば、2024 年 1 月 26 日に「ドキュメント」という名前の計画立案アイテムの財務データをダウンロードする場合、ファイル名は documentat_fin_012624 になります。

> **注:**
> 財務データは、コストビューとベースライン比較ビューからエクスポートできます。

自動翻訳

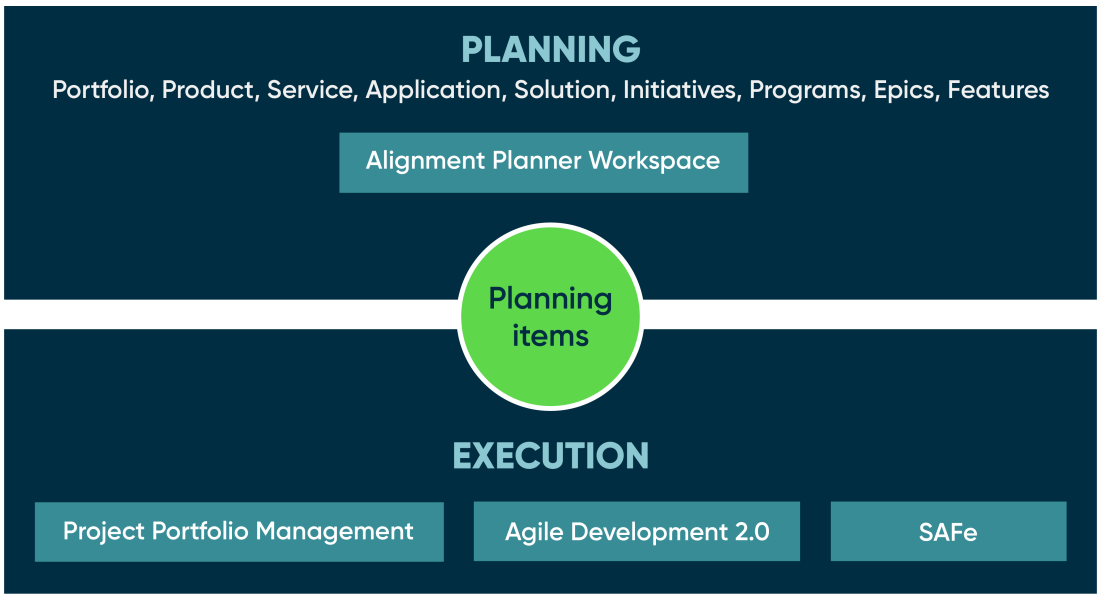
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM、Agile 2.0、および **SAFe** での 戦略的計画 作業の実行

プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) や Agile Development 2.0 などの ServiceNow アプリケーションや、Scaled Agile Framework (SAFe) などの 戦略的計画 で計画された作業がスムーズに実行できるようになります。

戦略的計画 と PPM、Agile 2.0、および SAFe の 間で計画立案アイテムをインポート、エクスポート、および管理します。

計画システムと実行システムの統合



一括インポートの設定

このシステムプロパティを使用すると、戦略的計画 with PPM、Agile 2.0、および SAFe の一括インポート機能を更新できます。

始める前に

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. ナビゲーションフィルターに、「sys_properties.list」と入力します。
2. *com.sn_align_cmn_int.bulk_import* を検索します。
3. プロパティ値を次のいずれかのオプションに設定します。
   PPM、Agile Development 2.0、または SAFe から 戦略的計画 にレコードがインポートされると、最後のコメントのみがインポートされます。

戦略的計画 へのレコードのインポート

関連するテーブルマップ、フィールドマップ、および選択マップが構成された後に、Agile Development 2.0 からレコードをインポートします。

始める前に

必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

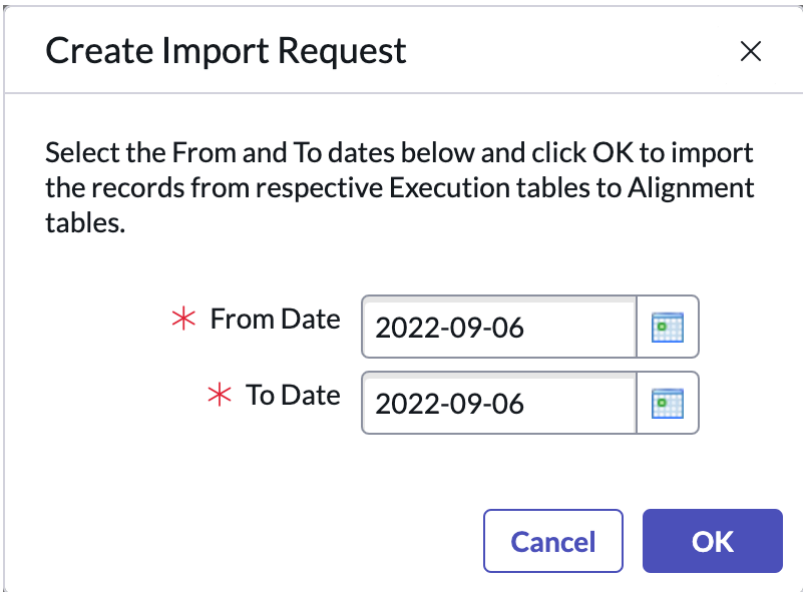
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.
2. **[ServiceNow** 内部] 配置統合タイプを選択します。
3. [インポート] をクリックします。
4. [インポート要求を作成] フォームで、レコードをインポートする日付範囲を入力します。

インポート要求を作成



5. **[OK]** を選択します。

注:
指定された日付内に作成されたレコードがインポートされます。

タスクの結果
インポート要求が作成され、要求の進捗状況を追跡するためのリンクが共有されます。

注:
特定のテーブルマップのレコードをインポートする場合は、それぞれのテーブルマップで使用できる [インポート] ボタンをクリックします。

エラーログの表示

エラーログを表示して、統合プロセス中に発生した可能性のある問題の原因を理解します。

始める前に
必要なロール：sn_ament_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > 戦略的計画 > 統合.
2. エラーログを表示するには、[統合エラー **]** タブを選択します。

戦略的計画 参照

フィールド、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、ドメイン分離情報など、戦略的計画 に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

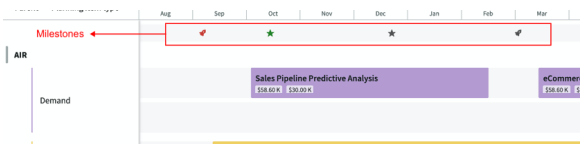
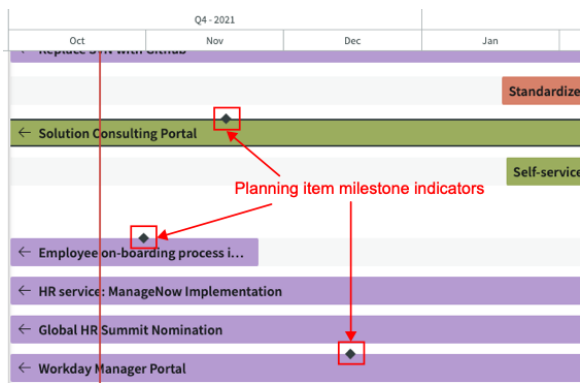
戦略的計画 ワークスペースのロードマップでのマイルストーン表示のカスタマイズ

ロードマップビューでのマイルストーンの表示方法を選択することで、ロードマップタイムラインや計画立案アイテムのマイルストーンを簡単に追跡できます。

ロードマップの [カスタマイズ] ( ) サイドパネルには、ロードマップのマイルストーン表示をカスタマイズするためのさまざまな切り替え機能があります。

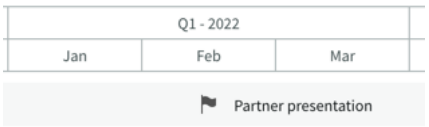
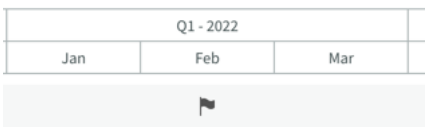
- ポートフォリオ計画ロードマップでは、これらの切り替えを常に使用できます。
- フリーフォームロードマップの場合、これらの切り替えは、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテムテーブル [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかである場合のみ使用できます。



マイルストーンの切り替え	ロードマップビュー
ロードマップのマイルストーン ロードマップタイムラインのマイルストーンを表示します。	
アイテムマイルストーン 計画立案アイテムのマイルストーンを表示します。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マイルストーンの切り替え	ロードマップビュー
マイルストーンのみ すべての計画立案アイテムバーを非表示にして、ロードマップ上のマイルストーンのみを表示します。 この切り替えを選択すると、[グループごと] フィールドと [色別] フィールドが変更され、無効になります。この切り替えをオフにすると、以前のカスタマイズ設定が使用可能になります。 このビューでは、マイルストーンインジケーターが色分けされていることも確認できます。 • 赤：欠落 • 緑：達成 • 黒/ダークグレー：予定 **注:** アイテムレベルのマイルストーンの合計数 (未スケジュールアイテムのマイルストーンを含む) が 100 を超える場合、そのアイテムのマイルストーンインジケーターはロードマップに表示されません。管理者と協力して、この数を希望の値に変更することができます。詳細については、「優先順位付けおよびロードマップのアイテムの表示制限の更新」を参照してください。	
マイルストーンラベル マイルストーンラベルを表示します。	ラベル付きのマイルストーンインジケーター  ラベルなしのマイルストーンインジケーター 

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップの依存関係表示のカスタマイズ

ロードマップビューでの依存関係の表示方法を選択することで、計画立案アイテム間の関係性の識別の効率を向上します。

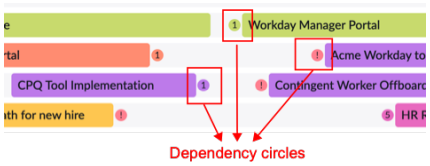
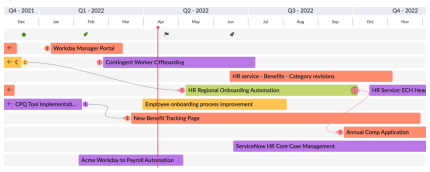
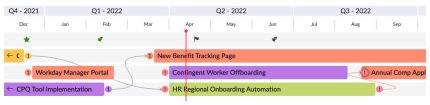
ロードマップの [カスタマイズ] ( ) サイドパネルには、ロードマップにおける依存関係表示をカスタマイズするためのさまざまな切り替え機能があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ポートフォリオ計画ロードマップでは、これらの切り替えを常に使用できます。
- フリーフォームロードマップの場合、これらの切り替えは、ロードマップのソーステーブルが計画立案アイテムテーブル [sn_align_core_planning_item] またはその拡張のいずれかである場合のみ使用できます。



依存関係トグル	ロードマップビュー
依存関係を表示 計画立案アイテムバーの左右にある円の形態で依存関係を示します。 これらの円 (1) の中に数字が示されています。これは、アイテムが共有する依存関係の番号を表します。また、赤色で表示 (!) されている場合は、依存関係が競合していることを表します。 注: [依存関係] セクションで他の 2 つのトグルを使用するには、このトグルを有効にする必要があります。	ロードマップにおける依存関係の円 
依存関係行 依存関係を計画立案アイテム間の線で示します。 これらの線は、次の場合にのみ表示されます。 • 依存関係にある両方の計画立案アイテムが同じロードマップ内にある • 依存関係のタイプが [依存] である	計画立案アイテム間の依存関係の線 
依存関係のあるアイテムのみ ロードマップをフィルタリングして、少なくとも 1 つの [依存] タイプを持つ計画立案アイテムのみを表示します。 ここで表示されるアイテムは、現行のロードマップ内外のアイテムに依存している可能性があります。	依存関係のあるアイテムのみを表示するロードマップ 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的計画 とともにインストールされるコンポーネント

戦略的計画 アプリケーションのインストールでは、数種類のコンポーネント (ユーザーロール、ジョブスケジュール、システムのプロパティ、カスタムスクリプトなど) がインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
戦略的計画 ワークスペース管理者 [sn_align_core.apw_admin]	アプリケーションのすべての機能戦略的計画にアクセスできます。 **注:** 目標とキャパシティ計画立案には、それぞれ sn_apw_advanced.spw_goal_user_read ロールと sn_align_ws.spw_capacity_read ロールでのみアクセスできます。	• it_portfolio_manag • sn_align_core.apw_ • sn_gf.goal_admin • view_changer
戦略的計画 ワークスペースユーザー [sn_align_core.apw_user]	ポートフォリオ計画、フリーフォームロードマップ、計画立案アイテムを作成、更新、および削除できます。 このロールは、ポートフォリオマネージャーや製品マネージャー、事業部門リーダー、その他の計画立案ペルソナなどのユーザーに付与できます。	• sn_align_cmn_int.u • sn_milestones.mile • sn_gf.strategy_plan • sn_gf.goal_user • sn_align_core.ap_r • model_manager
sn_align_core.ap_read_only	• 共有されているポートフォリオ計画 ([計画] ページと [スコアリング] ページ) とフリーフォームロードマップを表示できます。 • 共有されているポートフォリオ計画とロードマップにメモ、コメントまたは添付ファイルを追加できます。	sn_milestones.milest
マイルストーンエディター [sn_milestones.milestone_editor]	ロードマップ上のマイルストーンを作成、更新、および削除できます。	sn_milestones.milest
マイルストーンビューア [sn_milestones.milestone_viewer]	ロードマップにマイルストーンを表示できます。	なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
ビジネスステークホルダー [business_stakeholder]	• ポートフォリオ計画とフリーフォームロードマップを作成および更新できます。 • 共有されているポートフォリオ計画とロードマップにメモ、コメントまたは添付ファイルを追加できます。 • ロードマップをカスタマイズできます。 • [キャパシティ計画立案] 画面で、計画立案アイテムに対して生成されたリソースキャパシティを表示できます。 • ポートフォリオ計画に定義された目標を表示できます。 注: このロールを持つユーザーには、ロードマップアイテムを作成または編集するためのアクセス権がありません。	• sn_align_core.ap_r • sn_align_ws.spw_c • sn_apw_advanced.
目標ロール		
sn_gf.goal_user_read	目標を表示できます。このロールは、プロジェクトユーザーやデマンドユーザーなどのユーザーに付与できます。	なし
sn_gf.goal_user	• 目標、サブ目標、および関連するターゲットを作成、表示、編集、および削除できます。 注: ◦ **[sn_gf.allow_goal_deletion]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合、目標やサブ目標を削除できるのは、目標やその直接の親目標の所有者および貢献者のみです。 ◦ **[sn_gf.allow_goal_deletion]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合、関連ターゲットを削除できるのは、目標のターゲットの所有者および貢献者のみです。 ◦ 目標を編集できるのは、目標やその直接の親目標の所有者および貢献者のみです。 ◦ ターゲットを編集できるのは、目標やターゲットの所有者および貢献者のみです。 • 目標関係性 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルから、作業アイテムと目標の間の既存の目標関係性を削除できます。	sn_gf.goal_user_read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
sn_gf.goal_admin	目標設定を更新できます。	• sn_gf.goal_user_re • sn_gf.goal_user
sn_gf.strategy_planner_read	すべての戦略的計画と戦略値を表示できます。	なし
sn_gf.stategy_planner	戦略的計画と戦略値を作成、表示、編集、および削除できます。 注: • 戦略的計画は、戦略的計画の所有者とスポンサーのみが編集できます。 • 戦略値は、戦略計画のスポンサーのみが編集できます。	sn_gf.strategy_plann
sn_gf.epmo_stategy_planner	任意の目標を作成、表示、編集、および削除できます。	• sn_gf.goal_user_re • sn_gf.goal_user • sn_gf.goal_admin • sn_gf.strategy_pla
sn_gf.goal_admin	ターゲット自動化機能の有効化の一環として、ターゲットソースとコンテキスト変数を作成できます。 注: sn_gf.goal_admin ロールは ゴールフレームワーク インストールの一部としてインストールされますが、この特権は SPM のゴールフレームワーク のインストール時にロールに追加されます。	• sn_gf.goal_user_re • sn_gf.goal_user
sn_apw_advanced.spw_goal_user	ワークスペースで目標ページを表示し、 戦略的計画 目標とターゲットを編集できます。	• sn_apw_advanced. • sn_gf.goal_user
sn_apw_advanced.spw_goal_user_read	ワークスペースで 戦略的計画 目標ページを表示できます。	sn_gf.goal_user_read
アラインメントプランナーワークスペースと PPM、Agile 2.0、および SAFe ロール		
戦略的計画 統合ユーザー [sn_align_cmn_int.user]	戦略的計画 と Agile、SAFe、PPM の間で計画立案アイテムをインポート、エクスポート、および管理します。	connection_admin
キャパシティ計画立案ロール		
sn_align_ws.spw_capacity_user	リソースキャパシティの詳細を生成できます。	sn_align_ws.spw_cap
sn_align_ws.spw_capacity_read	リソースキャパシティの詳細を表示できます。	なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
財務計画立案ロール		
sn_align_ws.spw_financial_user	デマンドおよびプロジェクトのコスト計画と経費明細を作成します。	なし

インストールされるテーブル

テーブル	説明
カスタム計画立案アイテム 1 [sn_align_core_custom_planning_item_1]	追加の計画立案アイテムタイプの情報を保存します。
カスタム計画立案アイテム 2 [sn_align_core_custom_planning_item_2]	追加の計画立案アイテムタイプの情報を保存します。
カスタム計画立案アイテム 3 [sn_align_core_custom_planning_item_3]	追加の計画立案アイテムタイプの情報を保存します。
カスタム計画立案アイテム 3 [sn_align_core_custom_planning_item_3]	追加の計画立案アイテムタイプの情報を保存します。
カスタム計画立案アイテム 4 [sn_align_core_custom_planning_item_4]	追加の計画立案アイテムタイプの情報を保存します。
カスタム計画立案アイテム 5 [sn_align_core_custom_planning_item_5]	追加の計画立案アイテムタイプの情報を保存します。
デマンド [sn_align_core_demand]	デマンド計画立案アイテムタイプで作成されたレコードを保存します。
エピック [sn_align_core_scrum_epic]	エピック計画立案アイテムタイプで作成されたレコードを保存します。 これらのレコードは、スクラムまたは SAFe エピックである可能性があります。
イニシアチブ [sn_ament_core_initiative]	イニシアチブ計画立案アイテムタイプで作成されたレコードを保存します。
レンズ [sn_align_core_lens]	レンズ構成のデータを保存します。
レンズ構造 [sn_align_core_lens_structure]	レンズエンティティのデータとさまざまなレンズ間でのそれらの関係を保存します。
マイルストーン	マイルストーンのデータを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_milestones_milestone]	
計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item]	すべての計画立案アイテムタイプのデータを保存します。
ポートフォリオ計画 [sn_align_ws_portfolio_plan]	ポートフォリオ計画のデータを保存します。
プロジェクト [sn_align_core_project]	プロジェクト計画立案アイテムタイプで作成されたレコードを保存します。
ロードマップ構成 [sn_align_ws_roadmap_configuration]	ポートフォリオロードマップとフリーフォームロードマップの作成に使用されるテーブルの構成データを格納します。
戦略的プログラム [sn_align_core_program]	戦略的プログラムの計画立案アイテムタイプで作成されたレコードを保存します。
目標テーブル	
コンテキスト変数 [sn_gfa_context_variable]	ターゲットソースのコンテキスト変数の詳細を保存します。
目標 [sn_gf_goal]	目標の詳細を保存します。
目標がアサインされたエンティティ構成 [sn_gf_assigned_entity_config]	アサインされたエンティティタイプのテーブルにアサインされたエンティティ構成を保存して、目標ユーザーが目標を必須のアサインされたエンティティに関連付けることができるようにします。
目標コア [sn_gf_core_goal]	目標のコア (基本) 詳細を保存します。目標 [sn_gf_goal] テーブルは、目標コア [sn_gf_core_goal] テーブルを拡張します。
目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship]	目標とアイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム、スクラムエピック、スクラム機能、SAFe エピック、SAFe 機能、および計画立案アイテム) の間の関係を定義します。
戦略計画 [sn_gf_strategic_plan]	計画立案組織階層ごとに定義された戦略計画を保存します。
戦略的優先事項 [sn_gf_strategy]	組織に対して定義された戦略的優先事項を保存します。
戦略値 [sn_gf_stategy_value]	戦略計画の戦略値を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブル	説明
ターゲット [sn_gf_goal_target]	目標のターゲット詳細を保存します。
ターゲットブレークダウン [sn_gfa_target_breakdown]	ターゲットに指定されたブレークダウン間隔に基づいて作成された、ターゲットのターゲットブレークダウンの詳細を保存します。
ターゲット進捗状況 [sn_gf_goal_target_progress]	目標のターゲット進捗状況の詳細を保存します。
ターゲットソース [sn_gfa_target_source]	ターゲットの実績値を自動化するためのターゲットソース構成の詳細を保存します。
ユニット [sn_gf_units]	ターゲットの進捗状況を測定するために利用可能な単位を保存します。
アラインメントプランナーワークスペースと PPM、Agile 2.0、および SAFe テーブル	
フィールドマップ [sn_align_cmn_int_field_map]	戦略的計画 と実行アプリケーションの間の作業アイテムのフィールドマッピング。
配置統合 [sn_align_cmn_int_integrations_setup]	インスタンスの統合セットアップ情報。
テーブルマップ [sn_align_cmn_int_table_map]	戦略的計画 と実行アプリケーションの間の作業アイテムのテーブルマップ。
統合マッピング [sn_align_cmn_int_integration_mapping]	戦略的計画 と実行アプリケーションの間の作業アイテムの統合マッピング。
インポート要求 [sn_align_cmn_int_import_request]	
インスタンスマッピング [sn_align_cmn_int_instance_mapping]	戦略的計画 と実行アプリケーション間のインスタンスマッピング情報を保存します。
統合エラー [sn_align_cmn_int_integration_error]	統合エラーのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
選択マップ [sn_align_cmn_int_choice_map]	戦略的計画 と実行アプリケーションの間の作業アイテムのワークフロー選択マッピング。
財務テーブル	
投資ベースライン [sn_invst_pln_invst_investment_baseline]	財務ベースラインに関する情報を保存します。
投資ベースラインヘッダー [sn_invst_pln_invst_investment_baseline_header]	財務ベースラインと投資テーブルに関するすべての情報を保存します。
採点表	
採点フレームワーク [sn_apw_advanced_scoring_framework]	RICE、WSJF、価値と工数、または新しいカスタムフレームワークなどの採点フレームワークのレコードを保存します。
採点フレームワークの属性 [sn_apw_advanced_scoring_attributes]	リーチ、影響度、信頼性、工数、価値、ジョブサイズ、時間の重要度など、各採点フレームワークの属性を保存します。これらの属性は Glide 変数タイプフィールドです。

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
Goal Framework のジョブスケジュール	
目標、戦略、および作業アイテムデータを Goal Framework と関連する計画立案アイテムテーブルに移行	既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行します。移行するデータとそのデータの移行方法については、「目標データの移行」を参照してください。
アサインされたエンティティの目標関係を移行する	[会社]、[事業部門]、[部門]、[ポートフォリオ] 以外のレンズエンティティとの m2m 関係を作成している場合、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルのデータに基づく [目標] フォーム にある [アサインされたエンティティタイプ] フィールドと [アサインされたエンティティ] フィールドに値が入力されます。
戦略的アイテムの目標関係の計画立案アイテム値をクリア	戦略的アイテム (プログラムおよびイニシアチブ) の既存の目標関係レコードの計画立案アイテム値をクリアします。
Advanced Goal Framework SPM のゴールフレームワーク のジョブスケジュール	
SPM のゴールフレームワーク を使用してターゲットの実績値を更新	各ターゲットソースからデータを収集してターゲットの実績値を更新し、ターゲットの進捗状況が更新され、ターゲットの進捗状況が目標にロールアップされるようにします。
財務のジョブスケジュール	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブスケジュール	説明
計画立案アイテムの財務ベースラインを作成	計画立案アイテムの財務ベースラインを、定義された頻度で自動的に作成します。

インストールされたカスタムスクリプト

名前	説明
SPM のゴールフレームワーク カスタムスクリプト	
利益計画 事前定義されたスクリプトがあるターゲットソース。	金銭的または金銭以外の利益計画レコードからの [実績利益] フィールドまたは [金銭以外の実績利益] フィールドから必要な値を取得することによって、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新する事前定義されたスクリプト。スクリプトテンプレートについては、「 利益計画の事前定義されたターゲット自動化スクリプト」を参照してください。 **注:** 利益計画カスタムスクリプトは、PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) がインストールされている場合にのみ使用できます。

インストールされているシステムプロパティ

名前	説明
SPM のゴールフレームワーク のシステムプロパティ	
sn_align_ws.goal_hierarchy.max_records	目標ビューの [階層] タブにロードする目標の数を指定します。 **注:** システムプロパティの値が 500 を超えると、目標 UI のパフォーマンスが低下する恐れがあります。デフォルト値は 500 です。
sn_gfa_disable_target_breakdown	インスタンスレベルでターゲットブレークダウン機能を有効にするオプション。
戦略的計画 with PPM	

com.sn_align_cmn_int.bulk_import	• タイプ：選択リスト
	• デフォルト値：INSERT
	• 他の可能な値：
	  ○ 挿入
	  ○ <値 2 名>：
	• 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
	• 詳細を見る： 一括インポートの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメイン分離と 戦略的計画

戦略的計画 ではドメイン分離がサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

さまざまなドメインで、レンズ、ポートフォリオ計画、計画立案アイテム、およびロードマップを作成できます。

戦略的計画におけるドメイン分離の仕組み

ServiceNow インスタンスでドメイン分離を有効にした後、戦略的計画 のデータは自動的にドメイン分離されます。つまり、さまざまなドメインの計画階層、計画立案アイテム、および計画組織のデータは、これらのドメインにアクセスできるユーザーにのみ表示されます。

戦略的計画 のドメイン分離テーブル

戦略的計画 でインストールされるすべてのテーブルは、ドメイン分離をサポートしています。テーブルの完全なリストについては、「戦略的計画 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

戦略的計画 **Workspace** での計画立案アイテムの並べ替えエラー

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けのリストビューでアイテムの並べ替えに失敗するシナリオを確認してください。

ポートフォリオ計画の作業パイプライン内の計画立案アイテムのランクを更新するために、[優先順位付け] ページのリストビューからアイテムを並べ替えることができます。その際、ランキング構成のエラーが原因で並べ替えが失敗する可能性があります。計画立案アイテムの並べ替えが失敗する可能性があるシナリオは次のとおりです。

シナリオ 1：Global ranking プラグインがアクティブでない

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow インスタンスで Global Ranking Application プラグイン (com.snc.sdlc.ranking) がアクティブかどうかを確認します。アクティブでない場合は、管理者に連絡してアクティブにしてください。

シナリオ 2：計画立案アイテムにランク構成がない

並べ替えしているすべての計画立案アイテムにランク構成があるかどうかを確認します。ない場合は、管理者に連絡して、これらの計画立案アイテムタイプのランク構成を更新してください。

シナリオ 3：ターゲット行にグローバルランクがない

並べ替えるターゲット位置の前または後の計画立案アイテムにグローバルランクがあるかどうかを確認します。ない場合は、システム管理者に連絡してグローバルランクを生成してください。

関連情報

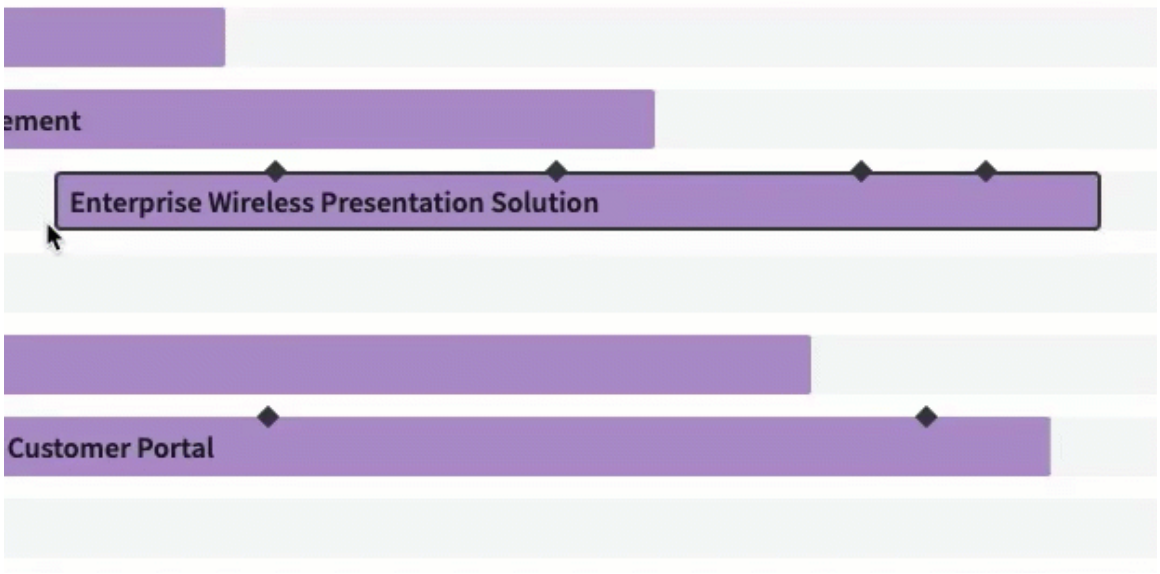
での計画立案アイテムのランク付け 戦略的計画

戦略的計画 **Workspace** のアイテムマイルストーンエラー

ポートフォリオ計画ロードマップまたはフリーフォームロードマップにおける計画立案アイテムのマイルストーンが 戦略的計画 Workspace でエラーステータスになることがある場合のシナリオを説明します。

既存の計画立案アイテムを再スケジュールすると、アイテムのマイルストーンがアイテムの承認された開始日または終了日から外れる場合があります。

ロードマップで計画立案アイテムを再スケジュールしても、マイルストーンの期日は変更されません。そのため、マイルストーンの期日がアイテムの日付範囲外である場合、その範囲外のマイルストーンのインジケーターは非表示になり、エラーステータスに移行します。まだアイテムの日付範囲内にあるマイルストーンのインジケーターが表示されます。

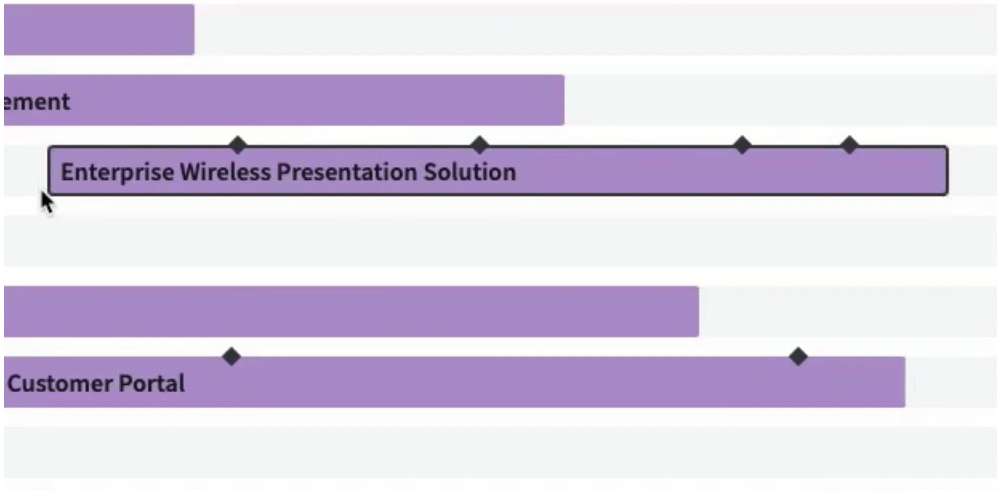


アイテムのスケジュールと同期していないマイルストーンは、サイドパネルの [マイルストーン] タブから表示できます。サイドパネルから、計画の変更を反映するようにマイルストーンの期日を編集および調整できます。「戦略的計画 ワー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クスペースでロードマップアイテムマイルストーンを更新」を参照してくださ



い。

> **注:**
> ロードマップビューからプロジェクトマイルストーンを更新することはできません。プロジェクトマイルストーンを更新すると、関連付けられているプロジェクのコストとリソース計画に影響を与える可能性があります。そのため、プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) のプロジェクトワークスペースを使用して、プロジェクトマイルストーンを更新することをお勧めします。

関連情報

- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加
- 戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの依存関係の更新
- 戦略的計画 ワークスペースでのロードマップの依存関係表示のカスタマイズ

戦略的計画 **Workspace** のアイテム依存関係エラー

戦略的計画 および ポートフォリオ計画 におけるポートフォリオ計画ロードマップまたはフリーフォームロードマップにおける計画立案アイテムの依存関係がエラーステータスになることがある場合のシナリオを説明します。

アイテム間のスケジュールが競合している場合は、2 つの計画立案アイテム間の依存関係がエラーになることがあります。線形の依存関係 (線形依存性) では、一方のアイテムの作業を開始するにはもう一方のアイテムの作業を完了する必要があるというように、アイテムがスケジュールされます。

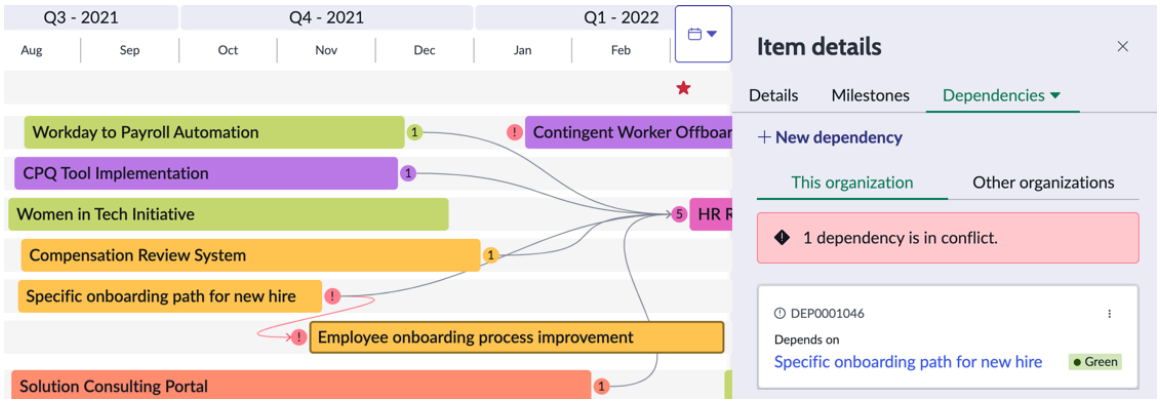
> **注:**
> エラーステータスは、計画立案アイテムの関係タイプが [依存] になっている場合にのみ表示されます。

ここで示されているサンプルロードマップの場合、従業員のオンボーディングプロセスの改善での作業の開始は、新規雇用に関する特定のオンボーディングパスの完了に依存しています。こうした関係が、線形の依存関係と見なされます。この場合、従業員のオンボーディングプロセスの改善は、新規雇用に関する特定のオンボーディングパスの終了日より前に開始するようにスケジュール設定されています。このような競合がある場合、ロードマップではエラーアイコン ( ) とともに表示され、[アイテムの詳細] サイドパネルの [依存関係] タブにも表示されるようになっています。

このようなエラーを解消するには、計画立案アイテムのスコープを確認し、開始日や終了日を更新してスケジュールを適宜調整する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加

戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの依存関係の更新

プロジェクトポートフォリオ管理、**Agile Development 2.0**、および **SAFe** での 戦略的計画 の管理

次の指針に従って、戦略的計画 が PPM、Agile Development 2.0、および SAFe と適切に統合されていることを確認してください。

- レコードが連動された後は、テーブルマップのフィルター条件を変更しないでください。既に連動されたレコードは新しいフィルター条件と一致しない可能性があり、フィルター条件を変更するとデータ不整合が発生する可能性があります。フィルター条件を変更する必要がある場合は、データの不整合の問題を回避するために、連動されたレコードの関連属性を必ず手動で更新してください。
- テーブルマップを作成するときは常に、関連するフィールドマップと選択マップも設定されていることを確認してください。
- テーブルマップのインポートジョブが実行中 (処理中) のときは、テーブルマップまたはそのフィールドマップを変更しないでください。
- 計画立案アイテムフォームの [変換先] フィールドを使用して、変換元の元のレコードを特定できます。
- 参照または Glide リストのフィールドタイプのフィールドマップを作成する間、実行テーブルと配置テーブルが 2 つの異なるテーブルを参照しているときは常に [ルックアップ] フィールドと [ルックアップ] 列の値が追加されていることを確認してください。
- データ同期に失敗した場合は、次のことを確認します。
  - その配置統合レコード内の [統合エラーログ] 関連リスト。
  - [配置テーブルフィルター] (インポート用) および [実行テーブルフィルター] (エクスポート用) の条件が満たされていること。
  - 配置統合とテーブルマップの両方で [アクティブ] フラグがチェックされていること。
  - 各テーブルマップに適切なフィールドと選択肢が設定されていること。
- [実行 **URL**] フィールドを表示する場合は、配置計画立案アイテムレコードを構成して表示します。
- 同期された計画立案アイテムの [実行 URL] フィールドが空白の場合は、次の場所に移動します。戦略的計画 > 統合 をクリックし、[計画立案アイテムの実行 **URL** を修正] をクリックします。このアクションでは、実行 URL フィールドを作成して更新します。
- プロジェクト、デマンド、およびエピックテーブルマップに [主要目標] フィールドが導入され、配置テーブルと実行テーブルの間の [目標] フィールドの統合がサポートされています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトをインポートまたはエクスポートしようとしている場合は、(そのプロジェクトの一部である) デマンドが同期されていることを確認してください。
- 任意の実行テーブルのテーブルマップを作成できます。展開されたテーブル (pm_portfolio、rm_epic, dmn_demand、pm_project) のいずれかからテーブルマップが作成されていない場合、またはテーブルマップから拡張されていない場合は、テーブルマップレコードのインターフェイスをサポートするビジネスルールを作成する必要があります。ビジネスルールの作成に関する詳細については、「カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成」を参照してください。

戦略的計画 のフォームフィールドの情報

戦略的計画 アプリケーションで使用されるフォームのフィールド情報。

アクションのアサインフォーム

アクションのアサインフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、[APW リストメニュー構成] ページに [新規 アクション] ボタンを追加します。

[目標] フォーム

フィールド	説明
アクションラベル	アクションラベルの名前。「新規」と入力します。
アクション名	アクションの名前。create-new-uxf と入力します。
実装方法	アクションの実装。[**UXF** クライアントアクション] を選択します。
テーブル	アクションが作成されるテーブルの名前。[**sys_ux_list_menu_config**] を選択します。
クライアントアクションを指定	クライアントアクション。[**Create New Record]** を検索して選択します。
ビュー	アクションボタンが表示されるフォームのビュー。

選択マップフォーム

選択マップフォームのフィールドについて理解します。このフォームを使用して、選択マップを作成します。

選択マップフォーム

フィールド	説明
実行テーブル列	マッピングする必要がある、選択した実行テーブルのフィールド列。このフィールドの値は、フィールドマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
実行の選択	選択した実行テーブルコラムフィールドの選択フィールド値を選択します。
配置テーブル列	マッピングする必要がある、選択した配置テーブルのフィールド列。このフィールドの値は、フィールドマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
配置の選択	選択した配置テーブルコラムフィールドの選択フィールド値を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテキスト変数フォーム

コンテキスト変数フォームを使用して、構成された入力値に基づいてターゲットの実績値を計算するためのターゲットソースのコンテキスト変数を作成します。

コンテキスト変数フォーム

フィールド	説明
タイプ	コンテキスト変数タイプ。 さまざまなフィールドタイプについては、「フィールドタイプ」を参照してください。
アプリケーション	アプリケーションスコープの名前。
ラベル	コンテキスト変数タイプを作成するラベルの名前。
列名	コンテキスト変数タイプを作成するコンテキスト変数の ID。
選択リストの仕様	
選択肢	[実績値ソース構成] セクションのターゲットフォームにコンテキスト変数を表示するオプション。
デフォルト値	
デフォルト値	ターゲットの実績値を更新するために考慮するデフォルト値。

[コスト計画を作成] フォーム

このフォームを使用して、計画立案アイテムのコスト計画を作成します。

[コスト計画を作成] フォーム

フィールド	説明
名前	コスト計画の名前。
原価費目	コスト計画の原価費目。 リストから原価費目のフォームを選択します。 注: 選択した原価費目に基づいて、[ロール] フィールドと [製品モデル] フィールドが表示されます。
ロール	コスト計画を経費計上するロールの名前。
製品モデル	コスト計画を経費計上するハードウェア支出のモデル名。 コスト計画を経費計上するモデルをリストから選択します。
会計期間の開始	コスト計画の会計期間の開始月。
会計期間の終了	コスト計画の会計期間の終了月。
コストの配賦基準	単位値のコスト配分。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コスト計画を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
	このリストから値を選択します。 • 総コスト：選択した会計期間の単位コスト値を等分します。 • 会計期間：選択した会計期間の各月の繰り返し単位コスト値。
入力通貨 (Entered currency)	単位コスト値をキャプチャする通貨値。
単位コスト	コスト計画の予想コスト。
数量	コスト計画の数量。
合計計画コスト	コスト計画の合計計画コスト値。

[Expense Line を作成] フォーム

このフォームを使用して、実際の経費の経費明細を作成します。

[Expense Line を作成] フォーム

フィールド	説明
番号	経費明細の自動生成番号。
総計	発生した経費。
簡単な説明	経費の簡単な説明を入力します。 経費明細を識別するための一意で具体的な詳細を記載します。
日付	経費が発生した日付。
処理日	経費の処理日。
コスト計画	経費明細を記録するための関連コスト計画名。
原価費目	経費の原価費目。 デフォルトでは、コスト計画の原価費目が選択されています。
ステータス	経費ラインのステータス。 処理済みの経費明細のみが投資エンティティに考慮されます。
経費タイプ	経費タイプ (内部または外部) を定義します。 デフォルトでは、経費タイプは [原価費目] フィールドエントリから考慮されます。
レートカード	レートカードの名前。
サマリータイプ	経費明細のビジネス目的。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係フォーム

依存関係フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 Workspace のロードマップにおける計画立案アイテム間の依存関係を追加したり確立したりします。

依存関係フォーム

フィールド	説明
計画立案アイテム	依存関係を作成するためにロードマップから選択した計画立案アイテム。これを後続のアイテムと見なします。 このフィールドは、選択内容に基づいて自動的に入力されます。
関係性タイプ	次のいずれかを選択します。 • 依存：一方のアイテムの作業開始が、もう一方のアイテムの作業終了に依存しています。この依存関係は、線形関係と見なされます。 • 関連：2 つのアイテムの作業は互いに関連していますが、互いの作業完了においては、厳密な依存関係がありません。この依存関係は、非線形関係と見なされます。
計画立案アイテム	必要な計画立案アイテム。これを先行アイテムと見なします。
番号	システムで生成された依存関係の一意の識別番号。

関連情報

計画立案アイテムの依存関係

戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加

フィールドマップフォーム

フィールドマップフォームのフィールドについて理解します。このフォームは、対応するテーブルマップのマッピングを作成するために使用されます。

フィールドマップフォーム

フィールド	説明
実行テーブル	戦略的計画 のテーブルとマッピングする必要がある Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブル。このフィールドの値は、テーブルマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
実行テーブル列	マッピングする必要がある、選択した実行テーブルのフィールド列。
配置テーブル	Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブルとマッピングする必要がある 戦略的

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドマップフォーム (続く)

フィールド	説明
	計画 のテーブル。このフィールドの値は、テーブルマップ構成での選択に基づいて自動的に追加されます。
配置テーブル列	マッピングする必要がある、選択した配置テーブルのフィールド列。
フロータイプ	マッピングを配置から実行、実行から配置、またはその両方で行うかどうかを指定します。 ここで、配置は 戦略的計画 を意味し、実行は PPM、Agile Development 2.0、および SAFe アプリケーションを意味します。

目標がアサインされたエンティティ構成フォーム

目標がアサインされたエンティティ構成フォームを使用して、アサインされたエンティティタイプのテーブルを構成して、目標ユーザーが目標を必須のアサインされたエンティティに関連付けることができるようにします。

目標がアサインされたエンティティ構成フォーム

フィールド	説明
アサインされたエンティティテーブル	目標をアサインするエンティティテーブル。
アプリケーション	アプリケーションスコープの名前。
アサインされたエンティティフィールド	目標フォームの参照フィールド。

[目標] フォーム

目標フォームを使用して、組織の戦略的優先事項の目標を作成します。

注:
ESG ワークスペース および 戦略的計画 のユーザーの場合、ワークスペースのフォームに他のフィールド (デフォルトとカスタムのどちらのフォームビューにも追加されていないもの) を表示するには、デフォルト/カスタムのフォームレイアウトを構成します。フォームレイアウトの構成方法については、「フォームレイアウトの構成」を参照してください。

[目標] フォーム

フィールド	説明
名前	目標の名前。
ステータス	目標のステータス。ステータスには、[ドラフト]、[処理中]、[承認済み]、[完了] [保留中]、[達成]、[未達成] があります。
カテゴリ	目標のカテゴリ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • アプリケーション合計 • 総コスト • 経費 • 投資

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[目標] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• クラウドアプリケーション • 自家製アプリケーション • サポート費 • 人件費 • 標準コンプライアンス • 戦略的 • オペレーショナル • 戦術的
ステータス	目標のステータス。ステータスには、[赤]、[黄]、[緑] または [なし] があります。
進行状況	目標の完了率。目標にサブ目標やターゲットがある場合、進捗状況の値は自動的に計算されます。 進捗値の計算方法の詳細については、「進捗値の計算」を参照してください。
説明	目標の簡単な説明。
親情報	
戦略的優先事項	この目標の作成対象の戦略的優先事項の名前。
親目標	この目標が寄与する親目標の名前。
親目標への影響	親目標の下にある兄弟目標やその他の目標と比較して、この目標の重要度を表す数値。デフォルトでは、 値は (1) [どちらでもない]です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない • **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大 注: このフィールドは、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
所有者と貢献者	
アサインされたエンティティタイプ	目標をアサインするエンティティタイプ。例：事業部門、部門、会社、ポートフォリオ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[目標] フォーム (続く)

フィールド	説明
アサインされたエンティティ	目標をアサインするエンティティ。
オーナー	目標の所有者。デフォルトでは、目標を作成するユーザーの名前が入力されます。
貢献者	目標の達成に貢献するユーザー。
期間	
開始日	目標の開始日。デフォルトでは、現在の四半期の開始日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の開始日が入力されます。
終了日	目標の終了日。デフォルトでは、現在の四半期の終了日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の終了日が入力されます。
その他	
コメント	コラボレーションを促進するための、目標に関する詳細なコメント。
チーム	目標を達成するためのさまざまなアクティビティを担当するアサイン先グループ。
分類	目標の分類タイプ。利用可能なオプションは、[環境]、[ソーシャル]、[ガバナンス] です。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。

目標設定フォーム

目標設定に使用されるカレンダータイプ、目標進捗状況の加重平均計算、目標やターゲットの削除など、目標を管理するための目標設定フォームを使用します。

目標設定フォーム

プロパティ	説明
加重平均ロジックを有効にして、サブ目標とターゲットから目標の進捗状況を計算します。	有効にすると、[親目標への影響] および [目標への影響] のフィールドが、目標 [sn_gf_goal] とターゲット [sn_gf_goal_target] のテーブルにそれぞれ表示されます。親目標の進捗値は、加重平均ロジックを適用して計算されます。 デフォルト値は [はい] です。 親目標の進捗状況の値は、進捗値と、サブ目標とターゲットの [親目標への影響] および [目標への影響] のフィールドでそれぞれ定義された値に基づいて計算されます。 進捗値の計算方法の詳細については、「進捗値の計算」を参照してください。
目標の削除を許可します。	目標を削除できます。 デフォルト値は [はい] です。
ターゲットの削除を許可します。	ターゲットを削除できます。 デフォルト値は [はい] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目標設定フォーム (続く)

プロパティ	説明
	注: 目標を削除すると、[ターゲットの削除を許可] プロパティが [いいえ] に設定されていても、関連するターゲット (存在する場合) も削除されます。
目標の設定に使用されるカレンダータイプ。	目標の設定に使用されるカレンダータイプ。利用可能なカレンダータイプは、グレゴリオ暦と会計期間です。 デフォルト値は [グレゴリオ暦] です。
インスタンスレベルでターゲットブレークダウンを無効にします。	ターゲットブレークダウン機能を無効にできます。この機能を有効にすると、ターゲットブレークダウンは、ターゲットに設定されたブレークダウン間隔に基づいて自動的に作成されます。 デフォルト値は false です。

目標関係フォーム

目標関係フォームを使用して、目標と計画立案アイテム、戦略アイテム、またはその他の任意のアイテム間の関係を作成します。

目標関係フォーム

フィールド	説明
計画立案および戦略アイテムのフィールド	
計画立案アイテムタイプ	計画立案アイテムのタイプ。
計画立案アイテム	目標と併せて目標関係が作成される計画立案アイテム。
(エンティティタイプ、製品モデルの) アイテムのフィールド	
テーブル	参照テーブルの名前。
ドキュメント ID	選択した参照テーブルの列のドキュメント ID。 このフィールドの推奨値は、[テーブル] フィールドで選択された参照テーブルによって異なります。

ハイライト表示される値フォーム

ハイライト表示される値フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 ワークスペースのポートフォリオ計画の [優先順位付け] ページでハイライト表示されるフィールドをカスタマイズします。

フィールド	説明
テーブル	ハイライト表示された列を含むテーブル。「**sn_align_core_planning_item**」と入力します。

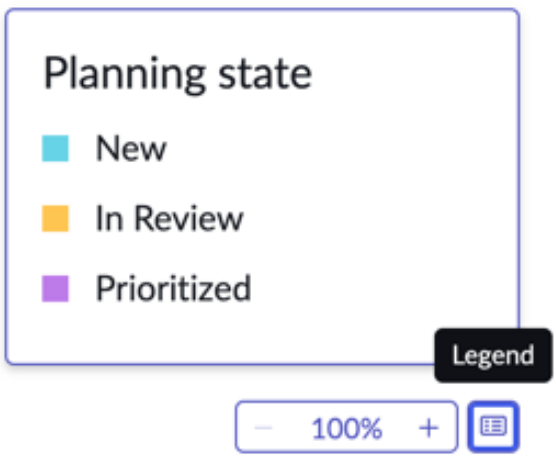
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
アプリケーション	ServiceNow インスタンスのスコープ。デフォルトでは、このフィールドは **[Portfolio Planning]** に設定されています。
フィールド	ワークスペースでハイライト表示されているテーブルの列。

ハイライト表示される値の条件フォーム

ハイライト表示される値の条件フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 ワークスペースでハイライト表示されたフィールドの表示を設定します。

フィールド	説明
条件	フィールド値の条件。 たとえば、ステータスが緑だとします。
色	指定された条件を満たすフィールド値の色。
アプリケーション	ServiceNow インスタンスのスコープ。デフォルトでは、このフィールドは **[Portfolio Planning]** に設定されています。
順番	[優先順位付け] ページの階層ビューにある凡例でこの色が表示される順番。 たとえば、[計画ステータス] 列の場合、値 [新規] には順序 1 が指定されます。 
アイコンを表示	フィールド値の横にアイコンを表示するオプション。
アイコン	フィールド値の横に表示されるアイコン。このフィールドは、[アイコンを表示] フィールドが選択されている場合にのみ表示されます。

レンズフォーム

レンズフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 にレンズを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レンズフォーム

フィールド	説明
名前	レンズの名前
有効	レンズがアクティブかどうかを示します。
説明	レンズの簡潔な説明。 このレンズのビジネス目的と、このレンズを使用する計画マネージャーを指定できます。
計画立案アイテム	このレンズを使用して計画できる作業のタイプ。 目的の計画立案アイテムを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

追加の計画立案アイテムタイプが必要な場合は、作成できます。「戦略的計画 での新しい計画立案アイテムタイプの定義」を参照してください。

関連情報

でのレンズの作成または変更 戦略的計画

レンズ構造フォーム

レンズ構造フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 のレンズの構造を定義します。

レンズ構造フォーム

フィールド	説明
エンティティ	レンズエンティティのソーステーブル。 エンティティは、レンズの視点での計画レベルを表します。 このレンズの視点から計画ペルソナに関連するエンティティを選択します。たとえば、部門、製品モデル、ビジネス目標です。
エンティティフィルター	エンティティソースからデータをフィルターするための条件。 フィルターされたデータは、選択および計画する計画ペルソナのワークスペースに表示されます。
最上位エンティティ	このエンティティがレンズ構造のトップレベルエンティティであるかどうかを示します。
親エンティティ	現在のレンズ構造でこのエンティティの 1 レベル上にあるエンティティ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レンズ構造フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[最上位エンティティ] フィールドが選択されていない場合にのみ使用できます。
親エンティティへの参照	親エンティティテーブルを参照する現在のエンティティテーブルの列。 例： • エンティティ：戦略的プログラム **[sn_align_core_program]** • 親エンティティ：部門 **[cmn_department]** この場合、部門 [cmn_Department] テーブルを参照する戦略的プログラム [sn_align_core_program] テーブルのフィールドは [部門] になります。 このフィールドは、[最上位エンティティ] フィールドが選択されていない場合にのみ使用できます。

関連情報

戦略的計画 のレンズ構造の追加または変更

リスト適用性フォーム

リスト適用性フォームのフィールド情報について説明します。この情報を使用して、戦略的計画 ワークスペースの新しく作成されたリストの対象者を定義します。

フィールド	説明
リスト	対象者を定義するリストの名前。
アプリケーション	デフォルトでは、このフィールドは **[Portfolio Planning]** に設定されています。
適用	このリストの対象者。 このフィールドを **[Alignment Workspace ホーム対象者 (Alignment Workspace Home Audience)]**に設定します。
有効	この適用性をリストに有効にするオプション。

計画立案アイテムタイプフォーム

戦略的計画 において新しい計画立案アイテムタイプを新たに追加するのに必要な新規テーブル フォームのフィールドについて説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいテーブルフォーム

フィールド	説明
ラベル	テーブルの一意のラベル。
名前	このフィールドは、[ラベル] フィールドの入力から自動生成されます。
アプリケーション	このフィールドは、スコープに基づいて自動的に **[Alignment Planner Workspace]** に設定されます。 このフィールドに別の値が表示されている場合は、ServiceNow インスタンスが **[Alignment Planner Workspace]** スコープ内にあることを確認してください。
拡張テーブル	この新しいテーブルが計画立案アイテムのタイプである場合は、[計画立案アイテム] を選択します。
コントロール	
ユーザーロール	このテーブルに対する 戦略的計画 ユーザーへのアクセスを許可するために、このフィールドを **[sn_align_core.apw_user]** に設定します。
アプリケーションのアクセス	
[読み取り可能]、[作成可能]、[更新可能]、および [削除可能] フィールドを有効にします。	

関連情報

戦略的計画 での新しい計画立案アイテムタイプの定義

テーブルの作成

計画立案アイテムフォーム

戦略的計画 で利用可能なさまざまな計画立案アイテムタイプのフォームのフィールドについて説明します。これらのフォームを使用して、計画立案アイテムを新たに追加したり、既存のアイテムの詳細情報を更新したりします。

管理者が作成したカスタムアイテムタイプなど、戦略的計画 の計画立案アイテムタイプはすべて、計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] テーブルの拡張です。ワークスペースに表示される計画立案アイテムフォームのフィールドは、ポートフォリオ計画用に構成されたアイテムタイプに基づいています。

次に示すとおり、デフォルトで利用可能な計画立案アイテムタイプはさまざまです。使用する計画立案アイテムタイプのフォームフィールドの詳細については、以下のセクションを参照してください。

- デマンドフォーム
- エピック計画立案アイテムフォーム
- イニシアチブ計画立案アイテムフォーム
- プロジェクト計画立案アイテムフォーム
- 戦略的プログラムの計画立案アイテムフォーム

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

エピック計画立案アイテムフォーム

エピックフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 でエピックタイプの計画立案アイテムの詳細を作成または編集します。

これらのフィールドは、計画立案アイテムの [完全な詳細] ページに表示されます。

エピック計画立案アイテムフォーム

フィールド	説明
エピック	
名前	計画立案アイテムの簡単な説明
説明	計画立案アイテムの詳細情報
ステータス	計画立案アイテムに関する現在の進捗状況
所有者	この計画立案アイテムにアサインされたユーザー
[計画] ステータス	戦略的計画 バックログの計画立案アイテムに関する進捗状況
完了率 (%)	この計画立案アイテムにおける作業完了率
方法論	使用されるアジャイル方法論。
実現要因	このエピックが実現要因かどうかを示すオプション
主要目標	主要目標としてこの計画立案アイテムに関連付けられている目標
作業メモ	作業の進行に伴う計画立案アイテムの更新や検討を記録するためのメモ
戦略的優先事項	この計画立案アイテムが関連している戦略的優先度。
日付	
承認された開始日	この計画立案アイテムにおいて承認された開始日
承認された終了日	この計画立案アイテムにおいて承認された終了日
実開始日	この計画立案アイテムの作業が開始された実際の日付
終了実績日時	この計画立案アイテムの作業が完了した実際の日付
開始予定日	この計画立案アイテムの開始予定日
終了予定日	この計画立案アイテムの終了予定日
詳細	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エピック計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
このセクションでは、投資タイプ、実行タイプ、影響を受けるビジネスアプリケーションなど、この計画立案アイテムに関する付加的な詳細情報を取得します。	
優先度	この計画立案アイテムの優先度
フェーズ	この計画立案アイテムのフェーズ。 このフィールドは、計画立案アイテムタイプがプロジェクトである場合にのみ使用できます。
ビジネス機能	この計画立案アイテムのビジネス機能
ビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムが関連するビジネスアプリケーション
影響を受けるその他のビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムにより影響を受けるビジネスアプリケーション
推定値なし	推定値が欠落しているエピック内のストーリー数。
数による完了率 (%)	エピック内で完了した作業のパーセンテージ。ストーリー数は、この値の計算に使用されます。
完了数	エピック内の完了したストーリーの数。
完了推定	エピック内のすべての完了したストーリーの推定合計値。
合計数	エピックのストーリーの数。
推定合計	エピック内のすべてのストーリーの推定合計値。
推定による完了率 (%)	エピック内で完了した作業のパーセンテージ。ストーリーの推定値は、この値の計算に使用されます。
WSJF スコア	
エピックが SAFe エピックである場合は、このセクションを使用します。	
WSJF スコア	加重最短ジョブ優先 (WSJF) スコアは、ジョブの優先順位付けと並べ替えを行い、結果として最適なビジネス価値となるようにするために使用されます。WSJF スコアが最も高いエピックは、実装の優先度が最も高くなります。 このフィールドは、このセクションの他のフィールド値に基づいて自動的に入力されます。
ユーザー/ビジネス価値	収益への影響や、同様の機能を提供する市場内の他のソリューションなどのパラメーターに基づく、ジョブのビジネス価値。
ジョブの大きさ	ジョブの推定完了期間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エピック計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
時間の重要度	期限を過ぎた場合のビジネスへの影響。たとえば、期限が変更された場合に、予測収益が時間経過とともにどのように減少するかなどです。
リスクの削減	次のような質問に答えることで、このエピックがどの程度のリスク回避に役立つかを分析します。 • ジョブは他の方法でビジネスに付加価値をもたらしますか？ • ジョブは新しいビジネス機会をもたらしますか？ • このジョブは将来の納品のリスクを軽減しますか？
財務管理	
このセクションでは、コスト、投資、経費、利益、ROI、その他の推定など、この計画立案アイテムに関する財務的な詳細情報を取得します。	
予定コスト	この計画立案アイテムにかかる計画コスト
計画投資	この計画立案アイテムに対する計画資本的支出
計画経費	この計画立案アイテムに対する計画運用支出
計画利益	この計画立案アイテムによる計画利益
実績利益	この計画立案アイテムにより達成された実績利益
実績コスト	この計画立案アイテムの実績コスト
実績投資	この計画立案アイテムに対する実際の資本的支出額
実績経費	この計画立案アイテムに対する実際の運用経費
計画 ROI	この計画立案アイテムの計画投資利益率

関連情報

戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

デマンド計画立案アイテムフォーム

デマンドフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 でデマンドタイプの計画立案アイテムの詳細を作成または編集します。

これらのフィールドは、計画立案アイテムの [完全な詳細] ページに表示されます。

デマンド計画立案アイテムフォーム

フィールド	説明
デマンド	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
名前	計画立案アイテムの簡単な説明
説明	計画立案アイテムの詳細情報
ステータス	計画立案アイテムに関する現在の進捗状況
所有者	この計画立案アイテムにアサインされたユーザー
[計画] ステータス	戦略的計画 バックログの計画立案アイテムに関する進捗状況。
カテゴリ	この計画立案アイテムのカテゴリ。[戦略的] または [稼働] から選択
主要目標	主要目標としてこの計画立案アイテムに関連付けられている目標
作業メモ	作業の進行に伴う計画立案アイテムの更新や検討を記録するためのメモ
戦略的優先事項	この計画立案アイテムが関連付けられている戦略的優先度
日付	
承認された開始日	この計画立案アイテムにおいて承認された開始日
承認された終了日	この計画立案アイテムにおいて承認された終了日
開始予定日	この計画立案アイテムの作業開始予定日。この値は、[承認された開始日] フィールドからコピーされます。
終了予定日	この計画立案アイテムの作業完了予定日。この値は、[承認された終了日] フィールドからコピーされます。
詳細	
このセクションでは、投資タイプ、実行タイプ、影響を受けるビジネスアプリケーションなど、この計画立案アイテムに関する付加的な詳細情報を取得します。	
投資クラス	[実行] と [変更]から選択
投資タイプ	この計画立案アイテムの投資タイプ。たとえば、このアイテムの作業完了により製品のユーザーエクスペリエンスが向上する場合、[エンドユーザーエクスペリエンス] を選択します。
優先度	この計画立案アイテムの優先度
ビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムが関連するビジネスアプリケーション
影響を受けるその他のビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムにより影響を受けるビジネスアプリケーション
ビジネス機能	この計画立案アイテムのビジネス機能

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
ビジネスケース	
このセクションでは、計画立案アイテムのリスク、スコープ、ブロッカーなど、この計画立案アイテムにおけるビジネスの詳細情報を取得します。	
ビジネスケース	この計画立案アイテムに投資するビジネスケース
実行リスク	この計画立案アイテムの作業が完了した場合のビジネス上のリスク
不実行リスク	この計画立案アイテムの作業が未完了の場合のビジネス上のリスク
実現要因	
障害	この計画立案アイテムに対するブロッカー (もしある場合)
スコープの範囲内	この計画立案アイテムの定義された基準
スコープの範囲外	この計画立案アイテムでは不要な、明確に定義された基準
仮定	この計画立案アイテムで作業するための前提 (もしある場合)
財務管理	
このセクションでは、コスト、投資、経費、利益、ROI、その他の推定など、この計画立案アイテムに関する財務的な詳細情報を取得します。	
予定コスト	この計画立案アイテムにかかる計画コスト
計画投資	この計画立案アイテムに対する計画資本的支出
計画経費	この計画立案アイテムに対する計画運用支出
計画 ROI	この計画立案アイテムの計画投資利益率
収支	この計画立案アイテムの収支
計画利益	この計画立案アイテムによる計画利益
アセスメントデータ	
影響	この計画立案アイテムがビジネスに与える影響
リスク	この計画立案アイテムに関連するリスクに関する数値
値	この計画立案アイテムにより得られる値に関する数値
スコア	

関連情報

- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する
- 戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イニシアチブ計画立案アイテムフォーム

イニシアチブフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 でイニシアチブタイプの計画立案アイテムの詳細を作成または編集します。

これらのフィールドは、計画立案アイテムの [完全な詳細] ページに表示されます。

イニシアチブ計画立案アイテムフォーム

フィールド	説明
イニシアチブ	
簡単な説明	計画立案アイテムの簡単な説明
説明	計画立案アイテムの詳細情報
ステータス	計画立案アイテムに関する現在の進捗状況
所有者	この計画立案アイテムにアサインされたユーザー
[計画] ステータス	戦略的計画 Workspace の計画立案アイテムのステータス。
完了率 (%)	この計画立案アイテムにおける作業完了率
主要目標	主要目標としてこの計画立案アイテムに関連付けられている目標
作業メモ	作業の進行に伴う計画立案アイテムの更新や検討を記録するためのメモ
戦略的優先事項	この計画立案アイテムが関連付けられている戦略的優先度
詳細	
承認された開始日	この計画立案アイテムにおいて承認された開始日
承認された終了日	この計画立案アイテムにおいて承認された終了日
実開始日	この計画立案アイテムの作業が開始された実際の日付
終了実績日時	この計画立案アイテムの作業が完了した実際の日付
優先度	この計画立案アイテムの優先度
ビジネス機能	この計画立案アイテムのビジネス機能
ビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムが関連するビジネスアプリケーション
影響を受けるその他のビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムにより影響を受けるビジネスアプリケーション
ビジネスケース	
概要	この計画立案アイテムのビジネスケース概要
バックグラウンド	この計画立案アイテムのバックグラウンド
制限事項	この計画立案アイテムに適用される制限事項。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イニシアチブ計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
アプローチ	この計画立案アイテムで作業するために計画されたアプローチ
メリット	この計画立案アイテムによるビジネス上のメリット
財務管理	
このセクションでは、コスト、投資、経費、利益、ROI、その他の推定など、この計画立案アイテムに関する財務的な詳細情報を取得します。	
予定コスト	この計画立案アイテムにかかる計画コスト
計画投資	この計画立案アイテムに対する計画資本的支出
計画経費	この計画立案アイテムに対する計画運用支出
計画利益	この計画立案アイテムによる計画利益
実績利益	この計画立案アイテムにより達成された実績利益
実績コスト	この計画立案アイテムの実績コスト
実績投資	この計画立案アイテムに対する実際の資本的支出額
実績経費	この計画立案アイテムに対する実際の運用経費
計画 ROI	この計画立案アイテムの計画投資利益率

関連情報

- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する
- 戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

プロジェクト計画立案アイテムフォーム

プロジェクトフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 Workspace でプロジェクトタイプの計画立案アイテムの詳細を作成または編集します。

これらのフィールドは、計画立案アイテムの [完全な詳細] ページに表示されます。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム

フィールド	説明
プロジェクト	
名前	計画立案アイテムの簡単な説明
説明	計画立案アイテムの詳細情報
ステータス	計画立案アイテムのステータス
所有者	この計画立案アイテムにアサインされたユーザー
ステータス	計画立案アイテムに関する現在の進捗状況
完了率 (%)	この計画立案アイテムにおける作業完了率

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
[計画] ステータス	戦略的計画 または ポートフォリオ計画 バックログの計画立案アイテムに関する進捗状況
主要目標	主要目標としてこの計画立案アイテムに関連付けられている目標
作業メモ	作業の進行に伴う計画立案アイテムの更新や検討を記録するためのメモ
戦略的優先事項	この計画立案アイテムが関連している戦略的優先度。
日付	
開始予定日	この計画立案アイテムの作業開始予定日。この値は、[承認された開始日] フィールドからコピーされます。
終了予定日	この計画立案アイテムの作業完了予定日。この値は、[承認された終了日] フィールドからコピーされます。
承認された開始日	この計画立案アイテムにおいて承認された開始日
承認された終了日	この計画立案アイテムにおいて承認された終了日
実開始日	この計画立案アイテムの作業が開始された実際の日付
終了実績日時	この計画立案アイテムの作業が完了した実際の日付
詳細	
このセクションでは、投資タイプ、計画立案アイテムのフェーズ、実行タイプ、影響を受けるビジネスアプリケーションなど、この計画立案アイテムに関する付加的な詳細情報を取得します。	
投資クラス	この計画立案アイテムの投資クラス。[実行] と [変更]から選択
投資タイプ	この計画立案アイテムの投資タイプ。たとえば、このアイテムの作業完了により製品のユーザーエクスペリエンスが向上する場合、[エンドユーザーエクスペリエンス] を選択します。
デマンド	この計画立案アイテムが関連付けられているデマンド
実行タイプ	この計画立案アイテムの実行方法論[ウォーターフォール]、[アジャイル]、[ハイブリッド] から選択します。 このフィールドは、計画立案アイテムタイプがプロジェクトである場合にのみ使用できます。
優先度	この計画立案アイテムの優先度
フェーズ	この計画立案アイテムのフェーズ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、計画立案アイテムタイプがプロジェクトである場合にのみ使用できます。
ビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムが関連するビジネスアプリケーション
影響を受けるその他のビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムにより影響を受けるビジネスアプリケーション
ビジネス機能	この計画立案アイテムのビジネス機能
ビジネスケース	
このセクションでは、計画立案アイテムのリスク、スコープ、ブロッカーなど、この計画立案アイテムにおけるビジネスの詳細情報を取得します。	
ビジネスケース	この計画立案アイテムに投資するビジネスケース
実行リスク	この計画立案アイテムの作業が完了した場合のビジネス上のリスク
不実行リスク	この計画立案アイテムの作業が未完了の場合のビジネス上のリスク
実現要因	このプロジェクトの実現要因
障害	この計画立案アイテムに対するブロッカー (もしある場合)
スコープの範囲内	この計画立案アイテムの定義された基準
スコープの範囲外	この計画立案アイテムでは不要な、明確に定義された基準
仮定	この計画立案アイテムで作業するための前提 (もしある場合)
財務管理	
このセクションでは、コスト、投資、経費、利益、ROI、その他の推定など、この計画立案アイテムに関する財務的な詳細情報を取得します。	
予定コスト	この計画立案アイテムにかかる計画コスト
計画投資	この計画立案アイテムに対する計画資本的支出
計画経費	この計画立案アイテムに対する計画運用支出
計画利益	この計画立案アイテムによる計画利益
実績利益	この計画立案アイテムにより達成された実績利益
ETC	この計画立案アイテムの作業を完了するためにかかる推定コスト
実績コスト	この計画立案アイテムの実績コスト
実績投資	この計画立案アイテムに対する実際の資本的支出額

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
実績経費	この計画立案アイテムに対する実際の運用経費
計画 ROI	この計画立案アイテムの計画投資利益率
予定リターン	この計画立案アイテムの収支
完了時の推定 (EAC)	この計画立案アイテムの作業完了時点での推定コスト。

関連情報

- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する
- 戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

戦略的プログラムの計画立案アイテムフォーム

戦略的プログラムフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画で戦略的プログラムタイプの計画立案アイテムの詳細を作成または編集します。

これらのフィールドは、計画立案アイテムの [完全な詳細] ページに表示されます。

戦略的プログラムの計画立案アイテムフォーム

フィールド	説明
戦略的プログラム	
名前	計画立案アイテムの簡単な説明
説明	計画立案アイテムの詳細情報
ステータス	計画立案アイテムに関する現在の進捗状況
[計画] ステータス	戦略的計画 Workspace の計画立案アイテムのステータス。
オーナー	この計画立案アイテムにアサインされたユーザー
完了率 (%)	この計画立案アイテムにおける作業完了率
親	このアイテムの親計画立案アイテム (もしある場合)
主要目標	主要目標としてこの計画立案アイテムに関連付けられている目標
戦略的優先事項	この計画立案アイテムが関連付けられている戦略的優先度
作業メモ	作業の進行に伴う計画立案アイテムの更新や検討を記録するためのメモ
詳細	
承認された開始日	この計画立案アイテムにおいて承認された開始日
承認された終了日	この計画立案アイテムにおいて承認された終了日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的プログラムの計画立案アイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
実開始日	この計画立案アイテムの作業が開始された実際の日付
終了実績日時	この計画立案アイテムの作業が完了した実際の日付
優先度	この計画立案アイテムの優先度
ビジネス機能	この計画立案アイテムのビジネス機能
ビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムが関連するビジネスアプリケーション
影響を受けるその他のビジネスアプリケーション	この計画立案アイテムにより影響を受けるビジネスアプリケーション
ビジネスケース	
概要	この計画立案アイテムのビジネスケース概要
バックグラウンド	この計画立案アイテムのバックグラウンド
制限事項	この計画立案アイテムに適用される制限事項
アプローチ	この計画立案アイテムで作業するために計画されたアプローチ
利点	この計画立案アイテムによるビジネス上のメリット
財務管理	
このセクションでは、コスト、投資、経費、利益、ROI、その他の推定など、この計画立案アイテムに関する財務的な詳細情報を取得します。	
予定コスト	この計画立案アイテムにかかる計画コスト
計画投資	この計画立案アイテムに対する計画資本的支出
計画経費	この計画立案アイテムに対する計画運用支出
計画利益	この計画立案アイテムによる計画利益
実績利益	この計画立案アイテムにより達成された実績利益
実績コスト	この計画立案アイテムの実績コスト
実績投資	この計画立案アイテムに対する実際の資本的支出額
実績経費	この計画立案アイテムに対する実際の運用経費
計画 ROI	この計画立案アイテムの計画投資利益率

関連情報

戦略的計画 ワークスペースでロードマップビューから計画立案アイテムを作成する

戦略的計画 ワークスペースの優先順位付けページに計画立案アイテムを追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案アイテムのマイルストーンフォーム

計画立案アイテムのマイルストーンフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 Workspace のロードマップに計画立案アイテムのマイルストーンを作成します。

フィールド	説明
名前	マイルストーンに使用したい名前。
タイプ	マイルストーンタイプ。次のいずれかを選択します。 • 期限 • 主要マイルストーン • 重要なイベント • 開始の日付 • 重要な日付
期日	マイルストーンの日付。
ステータス	マイルストーンのステータス。次のいずれかを選択します。 • 予定 • 欠落 • 達成
担当者	マイルストーンにアサインされているユーザー。
説明	マイルストーンに関する簡単な説明。

関連情報

- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップアイテムの依存関係を追加
- 戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの依存関係の更新
- 戦略的計画 ワークスペースでのロードマップの依存関係表示のカスタマイズ

[ポートフォリオ計画の構成] フォーム

[ポートフォリオ計画の構成] フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 Workspace でポートフォリオ計画の計画立案アイテムの表示設定を作成または更新します。

フィールド	説明
ソーステーブル	ポートフォリオ計画を構成するテーブル。 例：戦略的優先事項 **[sn_gf_strategy]**。
開始日フィールド	開始日の値の取得元フィールド。
終了日フィールド	終了日の値の取得元フィールド。
アイテム名フィールド	アイテムの名前の取得元フィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アイテムオーナーフィールド	アイテムオーナーの名前の取得元フィールド。
ロードマップタイムラインの構成	
フィールド別のグループ	ロードマップアイテムをグループに分類できるフィールドのリスト。 たとえば、[ステータス] 属性を使用して、アイテムを [ドラフト]、[準備完了]、[対応中] などのステータスグループに分類できます。
フィールド別の色	ロードマップアイテムを色で分類できるフィールドのリスト。 たとえば、[計画立案アイテムタイプ] 属性を使用して、特定のタイプに属するアイテムの各グループに一意の色を割り当てることができます。
測定基準フィールド	ロードマップアイテムの測定基準として使用されるフィールドのリスト。 たとえば、[計画利益] や [実績コスト] などです。 これらの値は、ロードマップアイテムにマウスカーソルを合わせると表示されます。
ステータスフィールド	ロードマップアイテムの名前に使用されるフィールド。
完了率フィールド	ロードマップアイテムの完了を追跡するために使用されるフィールド。 このフィールド値は、追跡モードでロードマップアイテムの進捗状況を視覚化するために使用されます。
カンバンの構成	
[優先順位付け] タブのカンバンビューのデフォルト	
スイムレーン	優先順位付けビューでボードのスイムレーンに使用するフィールド。
垂直レーン	優先順位付けビューでボードの垂直レーンに使用するフィールド。
カンバンカードの測定基準	計画立案マネージャーがカンバンボードの優先順位付けビューの計画立案アイテムカードに表示するデフォルトの測定基準。
[ロードマップ] タブおよびフリーフォームロードマップのカンバンビューのデフォルト	
スイムレーン	ロードマップビューでボードのスイムレーンに使用するフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
垂直レーン	ロードマップビューでボードの垂直レーンに使用するフィールド。
カンバンカードの測定基準	計画立案マネージャーがカンバンボードのロードマップビューの計画立案アイテムカードに表示するデフォルトの測定基準。
ランクの構成	
ランクの構成	ポートフォリオ計画の作成に使用されるテーブル。 このフィールドの値は、[ソーステーブル] フィールドで選択されたテーブルです。

関連情報

上位レベルの計画立案に備えたポートフォリオ計画構成の作成

進捗値の計算

目標の進捗値や完了率の値は、さまざまな式を使用して自動的に計算されます。計算式は、ターゲットのみを含む目標であるか、サブ目標とターゲットの組み合わせであるか、また加重平均計算が有効になっているかどうかによって異なります。

シナリオ	目標の進捗値の計算に使用される式
• 目標にターゲットがある。 • 目標にサブ目標がない。 • [目標への影響] フィールドはターゲットで定義されている。	目標の進捗値 = 関連するターゲットの進捗値の合計/ターゲットの数
• 目標にサブ目標とターゲットがある。 • [親目標への影響] および [目標への影響] フィールドは、サブ目標とターゲットでそれぞれ定義されている。	目標の進捗値 = サブ目標と関連するターゲットの進捗値の合計/サブ目標とターゲットの数
• 目標に 2 つのターゲット (ターゲット 1 とターゲット 2) がある。 • 目標にサブ目標がない。 • [目標への影響] フィールドは、ターゲットで定義されており、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている。	目標の進捗値 = [(ターゲット 1 の進捗値 * ターゲット 1 の重み付けスケール) + (ターゲット 2 の進捗値 * ターゲット 2 の重み付けスケール)] / (ターゲット 1 の重み付けスケール + ターゲット 2 の重み付けスケール)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ	目標の進捗値の計算に使用される式
• 目標に 2 つのターゲット (ターゲット 1 とターゲット 2) がある。 • 目標に 2 つのサブ目標 (サブ目標 1 とサブ目標 2) がある。 • [親目標への影響] および [目標への影響] フィールドは、サブ目標とターゲットでそれぞれ定義されており、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている。	目標の進捗値 = [(サブ目標 1 の進捗値 * サブ目標 1 の重み付けスケール) + (サブ目標 2 の進捗値 * サブ目標 2 の重み付けスケール) + (ターゲット 1 の進捗値 * ターゲット 1 の重み付けスケール) + (ターゲット 2 の進捗値 * ターゲット 2 の重み付けスケール)] / (サブ目標 1 の重み付けスケール + サブ目標 2 の重み付けスケール + ターゲット 1 の重み付けスケール + ターゲット 2 の重み付けスケール)

ロードマップのマイルストーンフォーム

ロードマップのマイルストーンフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 Workspace でロードマップのタイムラインに関するマイルストーンを作成します。

フィールド	説明
名前	マイルストーンに使用したい名前。
タイプ	マイルストーンタイプ。次のいずれかから選択します。 • 重要なイベント • 開始の日付 • 重要な日付 • 期限 • 主要マイルストーン
期日	マイルストーンの日付。
担当者	マイルストーンにアサインされているユーザー。

関連情報

- 戦略的計画 ワークスペースでのロードマップのマイルストーンの追加
- 戦略的計画 ワークスペースでロードマップマイルストーンを更新

ロードマップ構成フォーム

ロードマップ構成フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、ロードマップ設定に新しいテーブルを追加し、戦略的計画 にてその詳細を構成します。

ロードマップ構成フォーム

フィールド	説明
ソーステーブル	ロードマップを構築するために使用するテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロードマップ構成フォーム (続く)

フィールド	説明
開始日フィールド	ロードマップアイテムの開始日に使用されるフィールド。 例：[開始予定日]。
終了日フィールド	ロードマップアイテムの終了日に使用されるフィールド。 例：[終了予定日]。
アイテム名フィールド	ロードマップアイテムの名前に使用されるフィールド。 例：[簡単な説明]。
アイテムオーナーフィールド	ロードマップアイテムのオーナーに使用されるフィールド。 例：[担当者]。
ステータス	ロードマップアイテムの名前に使用されるフィールド。
完了率 (%)	ロードマップアイテムの完了を追跡するために使用されるフィールド。 このフィールド値は、追跡モードでロードマップアイテムの進捗状況を視覚化するために使用されます。
フィールド別のグループ	ロードマップアイテムをグループに分類できるフィールドのリスト。 たとえば、[ステータス] 属性を使用して、アイテムを [ドラフト]、[準備完了]、[対応中] などのステータスグループに分類できます。
フィールド別の色	ロードマップアイテムを色で分類できるフィールドのリスト。 たとえば、[計画立案アイテムタイプ] 属性を使用して、特定のタイプに属するアイテムの各グループに一意の色を割り当てることができます。
測定基準フィールド	ロードマップアイテムの測定基準として使用されるフィールドのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロードマップ構成フォーム (続く)

フィールド	説明
	たとえば、[計画利益] や [実績コスト] などです。 これらの値は、ロードマップアイテムにマウスカーソルを合わせると表示されます。

関連情報

優先順位付けとロードマップのための計画立案アイテムの表示設定のカスタマイズ

スクリプトの実行を予定フォーム

ジョブスケジュールは、特定の時間または繰り返しスケジュールで実行できる自動化された作業です。

目標、戦略、および作業アイテムデータを **Goal Framework** と関連する計画立案アイテムテーブルに移行

[目標、戦略、および作業アイテムデータを **Goal Framework** と関連計画立案アイテムテーブルに移行 **(Migrate Goal, Strategy, and Work item data to the Goal Framework and related Planning item tables)]** ジョブを使用して、既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行します。

スクリプトの実行を予定フォーム

パラメーター	説明
目標データの移行	• 既存のすべての目標レコードを目標 [goal] テーブルから目標 [sn_gf_goal] テーブルに移行します。sys_id は同じままです。対応するターゲットレコードがターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルに作成されます。 • 目標と作業アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム) 間の既存の関係を、最初の目標 (Glide リストの順) を主目標とする目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに作成します。
戦略データの移行	企業戦略 [enterprise_strategy]、事業部門戦略 [business_unit_strategy]、および戦略的達成目標 [strategic_objective] のテーブルから、既存のすべての戦略レコードを戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルに移行します。sys_id は同じままです。
目標戦略 M2M データの移行	ゴールフレームワーク では、1 つの目標は 1 つの戦略にのみマッピングできます。既存の目標にマッピングされた 2 つの戦略がある場合、目標のクローンが作成され (1 つは汎用目標として、もう 1 つはサブ目標として)、両方に同じ戦略が設定されます。また、サブ目標については、最初の目標が親目標として設定されます。 たとえば、既存の目標 (G1) が 5 つの戦略 (S1、S2、S3、S4、および S5) にマッピングされているシナリオを考えてみましょう。この場合、G1 の 4 つのクローンがサブ目標 (G2、G3、G4、および G5) として作成され、親目標が G1 として設定されます。親目標 (G1) と サブ目標 (G2、G3、G4、および G5) については、[戦略] フィールドにそれぞれ (S1、S2、S3、S4、および S5) が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトの実行を予定フォーム (続く)

パラメーター	説明
	注: クローンされたサブ目標の名前には、Cloned SubGoal: のプリフィックスが付き、その後に親の目標名が続きます。
戦略/作業アイテム関係性データの移行	• 戦略と作業アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム) 間の既存の関係を目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに移行します。 • 目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに、目標に対する、(現在の戦略としての) 戦略と作業アイテム間の関連付けがない場合、現在の戦略の戦略値でダミー目標が作成されます。そして、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに、ダミー目標と作業アイテムとの目標関係が作成されます。 **注:** ダミー目標の名前にはプリフィックス Goal: が付き、その後に戦略名が続きます。

アサインされたエンティティの目標関係を移行する

[アサインされたエンティティの目標関係を移行] ジョブを使用して、[目標] フォーム の [アサインされたエンティティタイプ] および [アサインされたエンティティ] フィールドを、従来のフィールド ([事業部門]、[部門]、[会社]、[ポートフォリオ]、およびカスタマイズされたエンティティフィールド) に入力します。

スクリプトの実行を予定フォーム

パラメーター	説明
アサインされたエンティティの目標関係を移行する	(戦略的計画 ユーザーの場合) [会社]、[事業部門]、[部門]、[ポートフォリオ] 以外のレンズエンティティとの m2m 関係を作成している場合、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルのデータに基づく [目標] フォーム にある [アサインされたエンティティタイプ] フィールドと [アサインされたエンティティ] フィールドに値が入力されます。 ユーザーがすでに m2m 関係を作成している場合は、このスクリプトを使用して、それぞれのポートフォリオ計画のこれらの目標にアクセスして管理するために、それらの関係を m2m テーブルから目標テーブルに移動できます。 目標に、割り当てエンティティテーブルタイプとの関係が 1 つしかない場合、[エンティティタイプのアサイン **(Assign entity type)]** フィールドと [エンティティのアサイン **(Assign entity)]** フィールドが、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに基づいて 設定されます。 目標に割り当てエンティティテーブルタイプとの関係が複数ある場合、関係の数 (n) のクローンされたサブ目標が作成され、[エンティティタイプのアサイン **(Assign entity type)]** フィールドと [エンティティのアサイン **(Assign entity)]** フィールドが、それぞれのクローンされたサブ目標の目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルにあるデータに基づき、目標 [sn_gf_goal] テーブルに入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案アイテムの人件費を生成するためのスクリプトの実行を予定フォーム

スクリプトの実行を予定フォームを使用して、計画立案アイテムの [エピックの人件費を生成] および [エピックの人件費を生成] ジョブを有効にします。

スケジュールアイテムフォーム

フィールド	説明
名前	このスケジュール設定済みジョブを識別する名前
アクティブ	スケジュール設定済みジョブがアクティブであり、指定された日時に実行する必要があることを示すオプション
実行	スケジュール設定済みジョブの実行に使用する時間間隔： • 日次：指定された時刻に毎日実行されます。 • 週次：指定された時刻と曜日に、毎週実行されます。 • 月次：指定された日の時刻に、毎月実行されます。 • 定期的：指定した繰り返し間隔で実行されます。 • **1**回：1 回のみ実行されます。 • オンデマンド：オンデマンドですぐに実行されます。 • ビジネスカレンダー：エントリ開始：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール設定済みジョブが実行されます。 たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール設定済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 • ビジネスカレンダー：エントリ終了：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカレンダー：エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** [ビジネスカレンダー：エントリ開始 **(Business Calendar: Entry Start)]** または [ビジネスカレンダー：エントリ終了 **(Business Calendar: Entry End)]** を選択すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュールを設定できます。詳細については、[オフセットタイプ **(Offset Type)]** フィールドと [オフセット **(Offset)]** フィールドを参照してください。 ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「Creating business calendars」および「Define business calendar entries」を参照してください。
タイムゾーン	スケジュール設定済みジョブの実行時間を指定するときに [時間] フィールドエントリで使用するタイムゾーン。タイムゾーンエントリを次のように選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	• なし：スケジュール設定済みジョブを作成しているログインユーザーのデフォルトのタイムゾーンを使用します。 たとえば、ユーザーのアサインされたタイムゾーンが米国太平洋標準時であり、[時間] フィールドに 16:45 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国太平洋標準時の午後 4 時 45 分に実行されます。 • システムのタイムゾーンを使用：実行するインスタンスに指定されたデフォルトのシステムタイムゾーンを使用します。 たとえば、インスタンスのデフォルトのシステムタイムゾーンがヨーロッパ/ロンドンであり、[時間] フィールドに 22:15 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブはロンドン時間の午後 10 時 15 分に実行されます。 • 実際のタイムゾーン。 たとえば、[米国/東部] を選択し、[時間] フィールドに 13:30 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国東部標準時の午後 1 時 30 分に実行されます。
日	スケジュール設定済みジョブを実行する日。 • [実行] が [週次] の場合は、曜日を選択します。たとえば、水曜日を選択します。 • [実行] が [月次] に設定されている場合は、月の日を選択します。たとえば、毎月 25 日の場合、25 を選択します。 このフィールドは、[実行] フィールドで [月次] または [週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し間隔	スケジュール設定された各ジョブ実行の繰り返し間隔の期間。期間を日数、時間数、または分数で入力します。例： • 4 日ごとにスケジュール設定済みジョブを実行するには、[日数] フィールドに「04」と入力します。 • 26 時間ごとに実行するには、[時間] フィールドに「26」と入力します。 • 13:30:25 の間隔で繰り返す必要がある場合は、[時間] フィールドに「13」と入力し、その後のラベルのない 2 つのフィールドに「30」と「25」を入力します。 これらのフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** この設定では、夏時間の変更は考慮されません。たとえば、期間に 1 日を選択した場合、計算によりジョブの開始時間が 24 時間追加されます。開始時間が夏時間 (DST) の期間であり、そのタイムゾーンが DST でない場合、ジョブは 1 時間オフセットされて実行されます。
ビジネスカレンダー	スケジュール設定済みジョブに対するビジネスカレンダーの開始日または終了日を決定するために使用しているビジネスカレンダーエントリ。このフィールドは、[時間]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	フィールドで [ビジネスエントリ：開始日 **(Business Entry: Start Date)]** または [ビジネスエントリ：終了日 **(Business Entry: End Date)]** を選択した場合にのみ表示されます。
オフセットタイプ (Offset Type)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットのタイプ (存在する場合)。 • 過去 **(Past)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの開始前に実行するジョブをスケジュール設定します。 • 将来 **(Future)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの終了後に実行するジョブをスケジュール設定します。 • なし：このジョブのスケジュール設定に時間オフセットを適用しません。 オフセット係数を追加すると、次のユースケースに対するビジネスカレンダーで定義された正式な時間スパンの前または後にジョブの実行をスケジュール設定できます。 • 選択したビジネスカレンダーの時間スパン外である特定の時間にジョブをスケジュール設定します。 • 選択したビジネスカレンダーの時間スパンに沿って複数のジョブを順番に実行するように調整します。 [オフセットタイプ] フィールドと [オフセット] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセット (OffSet)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットの量 (日、時間、分、秒)。たとえば、ビジネスカレンダーの開始日よりも 3 日、14 時間、10 分、45 秒前にジョブを開始するようにスケジュール設定する場合は、次のようにします。 • [オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [過去 **(Past)]** を選択します。 • [日数] フィールドに「**3**」と入力します。 • [時間] フィールドに「**14**」、「**10**」、「**45**」と入力します。 [オフセット日数 **(Offset days)]** フィールドと [時間] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択し、[オフセットタイプ] フィールドで [過去] または [予定] を選択した場合にのみ表示されます。
時刻	スケジュール設定済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。 **注:** 時間値は常に、Now Platform® に UTC 時間で保存されてから、適切な時間に変換されます。この変換は、選択した [タイムゾーン] と [時間] フィールドのエントリによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[実行] フィールドで [日次]、[週次]、または [月次] を選択した場合にのみ表示されます。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	スケジュール設定済みジョブの数値の優先度： • 必須ジョブの優先度値を 100 未満に設定します。 • 必須でないジョブの優先度値を 100 より高く設定します。 • すべてのジョブスケジュールの 70 パーセント以上が [期限切れ] の場合、100 を超える値でマークされたジョブは実行されません。
実行方法	スケジュール設定済みジョブを作成して実行するユーザーの名前。スケジュール設定済みジョブを作成するユーザーの代わりにスケジュール設定済みジョブをシステムにアサインするには、システムまたはダミーユーザーを作成し、このフィールドに追加します。
条件付き	関連するスクリプトで特定の条件が満たされた場合にスケジュール設定済みジョブの実行を有効にするオプション。
条件	スケジュール設定済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。

テーブルマップフォーム

テーブルマップフォームのフィールドについて理解します。このフォームを使用して、Agile Development 2.0、SAFe、PPM と統合するレコードに新しいカスタムテーブルマップを作成します。

テーブルマップフォーム

フィールド	説明
配置統合	配置統合タイプを指定します。デフォルトでは、値は **[ServiceNow** 内部] です。
実行テーブル	戦略的計画 のテーブルとマッピングする必要がある Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブル。例：欠陥 [rm_defect]。
配置テーブル	Agile Development 2.0、SAFe、または PPM のテーブルとマッピングする必要がある 戦略的計画 のテーブル。例：マイルストーン [sn_milestones_milestone]。
マイルストーンテーブルマップ	このフィールドは、プロジェクト [pm_project] テーブルマップにのみ関連します。これは、Project Portfolio Management ワークスペースから 戦略的計画 にプロジェクトのマイル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブルマップフォーム (続く)

フィールド	説明
	ストーンを統合するための新しいマイルストーンテーブルマップ (sn_milestones_milestone) への参照です。他のすべてのテーブルマップでは、[マイルストーンテーブルマップ] フィールドは使用できません。
実行テーブルフィルター	PPM、Agile Development 2.0、または SAFe から関連レコードを取得するためのフィルター条件。たとえば、[ポートフォリオ] が [HR] である、[アクティブ] が [True] である、などです。
配置テーブルフィルター	戦略的計画 から関連レコードを取得するためのフィルター条件。
アクティブフラグ	テーブルマップ同期がアクティブであることを確認します。このフィールドはデフォルトでオンになっています。
添付ファイルを同期する	添付ファイルがアプリケーション間で同期されていることを確認します。このフィールドはデフォルトでオンになっています。

利益計画のターゲット自動化スクリプト

事前定義された利益計画スクリプトをターゲットソースとして使用して、関連する作業アイテムの利益計画からターゲットの実績値を自動化します。

次の事前定義された利益計画スクリプトを使用して、ターゲットにターゲットソースを設定します。スクリプトは、金銭または金銭以外の利益計画に必要なデータをフェッチし、ターゲットの実績値を更新します。このスクリプトはそのまま使用することも、要件に応じて変更することもできます。コンテキスト変数を作成して、このターゲットソースに設定することもできます (利益計画)。

```
result = '';
var benefitPlans = new GlideRecord(sn_gfa.GFAdvancedConstants.BENEFIT_PLAN_TABLE);
benefitPlans.addQuery('sys_id', 'IN', benefit_plan);
benefitPlans.query();

var nonMonetaryBenefitSum = 0;
var monetaryBenefitSum = 0;
var hasMonetary = false;
var hasNonMonetary = false;
while (benefitPlans.next() && !(hasMonetary && hasNonMonetary)) {
    if (!gs.nil(benefitPlans.getValue('currency'))) {
        monetaryBenefitSum += parseInt(benefitPlans.getValue('actual_benefit'));
        hasMonetary = true;
    } else {
        nonMonetaryBenefitSum += parseInt(benefitPlans.getValue('nm_actual_benefit'));
        hasNonMonetary = true;
    }
}

if (hasMonetary && hasNonMonetary)
    gs.addErrorMessage(gs.getMessage('The Benefit Plan list can contain either monetary or
 non-monetary benefit plans.'));
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
else
    result = hasMonetary ? monetaryBenefitSum : nonMonetaryBenefitSum;
```

[ターゲットブレークダウン] フォーム

[ターゲットブレークダウン] フォームを使用して、ターゲットブレークダウンと目標の進捗状況を追跡して測定します。

[ターゲットブレークダウン] フォーム

フィールド	説明
ブレークダウン期間	ターゲットブレークダウンの期間。
親ブレークダウン	ターゲットブレークダウンの年。
ターゲット	ターゲットブレークダウンの親ターゲット。
ステータス	ターゲットブレークダウンのステータス。ステータスは、ターゲットブレークダウンが終了予定日までに完了する可能性が高いかどうかを示します。
ブレークダウン	親ターゲットで指定されたブレークダウン間隔。
ターゲット値	ターゲットブレークダウンのターゲット値。
実際の値	ターゲットブレークダウンの実際の値。
注釈	実績を更新する場合のビジネス上の根拠について入力した注釈。

[ターゲット] フォーム

目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標フォームを使用します。

このフォームの一部のフィールドは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされている場合にのみ使用できます。

注:
ESG ワークスペースおよび 戦略的計画 のユーザーの場合、ワークスペース内のフォームに他のフィールド (デフォルトビューとカスタムフォームビューのどちらにも追加されていないもの) を表示するには、デフォルトまたはカスタムのフォームレイアウトを構成します。フォームレイアウトの構成方法については、「フォームレイアウトの構成」を参照してください。

[ターゲット] フォーム

フィールド	説明
名前	ターゲットの名前。
目標	関連付けられた目標の名前。このフィールドは、[目標] フォームの [ターゲット] 関連リストからターゲットを作成するときに自動的に入力されます。
説明	ターゲットの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
ステータス	ターゲットのステータス：ドラフト、処理中、承認済み、完了。
ステータス	ターゲットのステータス。ステータスは、ターゲットブレークダウンが終了予定日までに完了する可能性が高いかどうかを示します。

進捗状況	実行が完了したターゲットの割合。この値は自動的に計算されます。
	
	[タイプ] フィールドが [最大化] に設定されている場合、進捗状況の値は次の式を使用して計算されます。
	
	`Progress = (Actual value - Base value) / (Target value - Base value) x 100`
	
	[タイプ] フィールドが [最小化] に設定されている場合、進捗状況の値は次の式を使用して計算されます。
	
	`Progress = (Base value - Actual value) / (Base value - Target value) x 100`
	
	重み付けスケールが定義されているときの進捗値の計算方法の詳細については、「進捗値の計算」を参照してください。

目標への影響	目標の他のターゲットと比較したターゲットの重要度を表す数値。サブ目標が存在する場合は、相対的な重み付けとその後の進捗状況の計算でも考慮されます。デフォルトでは、値は **(1)** [どちらでもない] です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない • **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大 注: このフィールドは、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
オーナー	ターゲットの所有者。デフォルトでは、ターゲットを作成するユーザーの名前が入力されます。
貢献者	ターゲットの達成に貢献するユーザー。
期間	
開始日	ターゲットの開始日。デフォルトでは、関連付けられた目標の開始日が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
終了日	ターゲットの終了日。デフォルトでは、関連付けられた目標の終了日が入力されます。
測定基準	
測定単位	指定された値の測定タイプ。コスト、時間、レートなど、使用する測定項目。使用可能な測定タイプは、単位 [sn_gf_units] テーブルに格納されています。測定単位は、ターゲットのタイプを定性的または定量的として定義します。定量的ターゲットに使用可能な単位は **[#]**、**[$]**、**[%]**、および [日] です。定性的ターゲットに使用可能な単位は [はい]/[いいえ] です。
タイプ	達成の方向を示すターゲットタイプ。 • 最大化：進行方向は基準値からターゲット値に向かっており、基準値はターゲット値よりも小さくなければなりません。 • 最小化：進行方向は基準値からターゲット値に向かっており、ターゲット値は基準値よりも小さくなければなりません。 • マイルストーン：固定タイプ。ターゲットの達成度をキャプチャするには、定性的ターゲット値 (ターゲットの [測定単位] フィールドで設定) のみが許可されます。[マイルストーン] オプションは、定性的ターゲットにのみ適用されます。 [タイプ] フィールドは、値が定性的ターゲットの [マイルストーン] として入力され ([測定単位] フィールドが定性的ターゲット値に設定されている場合)、読み取り専用になります。
基準値	ターゲットの基準値。基準値は、現在または最近の値と見なすこともできます。 [実際の値] フィールドに値を入力すると、このフィールドは読み取り専用になります。[基準値] フィールドの値を更新するには、[実際の値] フィールドをクリアします。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化] または [最小化] に設定されている場合に使用できます。
ターゲット値	ターゲットのターゲット値。目標値は意欲的で、チームにやりがいを起こさせるものでなければなりません。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化] または [最小化] に設定されている場合に使用できます。
ターゲット値ブレークダウン間隔	ターゲットのブレークダウン間隔。ターゲットを短い期間にブレークダウンすると、ターゲットを短い期間に設定して、特定のブレークダウンターゲットに絞り込むことができます。使用可能なオプションは、[四半期ごと]、[年ごと]、および [なし]です。このフィールドを [四半期ごと] または [年ごと] に設定すると、ターゲットブレークダウンが自動的に作成されます。ターゲットブレークダウンの詳細については、「のターゲットブレークダウン戦略的計画」を参照してください。 **注:** ターゲットブレークダウン機能は定性的ターゲットではサポートされていません。
実際の値	特定の時点でのターゲットの実際値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化] または [最小化] に設定されている場合に使用できます。
レビュー頻度	オーナーまたは貢献者がターゲットの実際の値を更新する頻度を指定するオプション。利用可能なオプションは、[日次]、[週次]、[隔週]、[月次]、および[四半期ごと] です。 注: [ターゲット値ブレークダウン間隔] フィールドが [年ごと] または [四半期ごと] に設定されている場合、このフィールドは自動的に [四半期ごと] に設定されます。
注釈	実績を更新する場合のビジネス上の根拠についてユーザーが入力した注釈。
レビュー期限	ターゲットの所有者または貢献者がターゲットの実績値を更新する必要がある期日。
実際の値の自動化	ターゲットのターゲット自動化機能を有効にするオプション。 このフィールドは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされている場合に使用できます。
実際の値のソース	ターゲットのレビュー期日にターゲットの実績値を自動更新するためにデータがフェッチされるターゲットソーステーブル。 このフィールドは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされ、**[**実績値の自動化] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。
機密	ターゲットレコードのアクセスを [許可されたグループ] および [許可されたユーザー] フィールドに入力された特定のユーザーに制限するオプション。 このフィールドは、ESG Management アプリケーションがインストールされていて、かつ *sn_grc.enable_record_confidentiality* プロパティが有効な場合に利用できます。このフィールドは、ターゲットの目標フォームの [分類] フィールドが [環境]、[ソーシャル]、または [ガバナンス] として設定されている場合にのみ適用されます。このフィールドを設定するために必要なロールは sn_esg.reader です。 注: ターゲットレコードが機密とされているかどうかに関係なく、ターゲットの進捗状況の値は目標までロールアップされて、目標の進捗値が計算されます。
許可されたグループ	ターゲットレコードにアクセスできるユーザーグループ。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。 このフィールドに入力されているユーザーグループでも、sn_esg.reader ロールがなければ、機密レコードにアクセスすることはできません。 このフィールドは、[機密] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。
許可されたユーザー	ターゲットレコードにアクセスできるユーザー。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。 このフィールドに入力されているユーザー名でも、sn_esg.reader ロールがなければ、機密レコードにアクセスすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[機密] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。
コメント	コラボレーションを促進するための、ターゲットに関する詳細なコメント。
実際の値のソース構成	
	このセクションは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされ、**[**実績値の自動化] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。 このセクションのフィールドは、 [実績値ソース] フィールドで選択されるターゲットソースで使用可能なコンテキスト変数に基づいて表示されます。 ターゲットソースを [利益計画] (利益計画の事前定義されたターゲット自動化スクリプト) として選択すると、このセクションに [利益計画] フィールドが表示され、ターゲットの実際の価値を自動化するために必要な利益計画を選択できます。 **注:** 利益計画カスタムスクリプトは、PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) がインストールされている場合にのみ使用できます。

ターゲットソースフォーム

ターゲットソースフォームを使用して、ターゲットのソースを構成し、ターゲットの実績値が自動更新されるようにします。

ターゲットソースフォーム

フィールド	説明
名前	ターゲットソースの名前。
有効	このターゲットソースの使用を有効にするオプション。
タイプ	ターゲットソースのタイプ。利用可能なオプションは次のとおりです。 • アセスメント/サーベイ • **PA** インジケーター • カスタムスクリプト
詳細	事前定義されたスクリプトを使用して、ターゲット ソースタイプ [アセスメント/サーベイ] の [カスタムスクリプト] オプションを有効にします。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されている場合に使用できます。
アセスメント測定基準タイプ	ターゲットソースのアセスメント測定基準タイプ。 **ヒント:** フィールドに [評価方法] = [アセスメント] の測定基準タイプが入力されている場合、ターゲットソースのコンテキスト変数が自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットソースフォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されている場合に使用できます。
アセスメント測定基準カテゴリ	アセスメント測定基準タイプのアセスメント測定基準カテゴリ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されている場合に使用できます。
説明	ターゲットソースの簡単な説明。
PA インジケーター	ターゲットソースの PA インジケーター。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが **[PA** インジケーター] に設定されている場合に使用できます。
ブレークダウン	PA インジケーターのブレークダウン このフィールドは、[タイプ] フィールドが **[PA** インジケーター] に設定されている場合に使用できます。
カスタムスクリプト	ターゲットソースの Now Platform テーブルから必要なデータをフェッチするカスタムスクリプト。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [カスタム] に設定されている場合に使用できます。または、 [タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されていて、[詳細] フィールドが **true** に設定されている場合。

UX リストカテゴリフォーム

UX リストカテゴリフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 ワークスペースの [リスト] メニューのリストに追加のカテゴリを作成します。

フィールド	説明
タイトル	ワークスペースでのカテゴリの表示名。
アプリケーション	アプリケーションスコープ。アプリケーションスコープが **[Portfolio Planning]**に設定されていることを確認します。
順番	このカテゴリがワークスペースに表示される順番。
有効	ワークスペースでのこのカテゴリの表示を有効にするオプション。
説明	カテゴリの簡単な説明。
設定	リストカテゴリが参照している構成。 デフォルトでは、このフィールドは **[APW** リストメニュー構成 **(APW List Menu Configuration)]** に設定されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

戦略的計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ

UX リストフォーム

UX リストフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 ワークスペースの [リスト] メニューの追加のリストを作成します。

フィールド	説明
タイトル	ワークスペースでのカテゴリの表示名。
アプリケーション	アプリケーションスコープ。アプリケーションスコープが **[Portfolio Planning]**に設定されていることを確認します。
順番	このカテゴリがワークスペースに表示される順番。
カテゴリ	ワークスペースでこのリストが表示されるカテゴリ。
有効	ワークスペースでのこのカテゴリの表示を有効にするオプション。
テーブル	リストのソーステーブル。
設定	リストカテゴリが参照している構成。 デフォルトでは、このフィールドは **[APW リストメニュー構成 (APW List Menu Configuration)]** に設定されています。
条件	ソーステーブルのデータをフィルターする条件。
列	ワークスペースのリストに表示する必要があるテーブルの列。
列でグループ化	レコードのリストをグループ化するために使用される属性。
表示	ワークスペースのリストに表示する列を決定するビュー。ビューを選択すると、[列] フィールドが無効になります。

関連情報

戦略的計画 ワークスペースのリストをカスタマイズ

ビュールールフォーム

ビュールールフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、戦略的計画 の新規計画立案アイテムタイプのフォームビューに関するワークスペースビュールールを定義します。

新しいビュールールフォーム

フィールド	説明
名前	計画立案アイテムのルールを識別する一意の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいビュールールフォーム (続く)

フィールド	説明
	例：**new_pi_type-alignment-planner**
アプリケーション	このフィールドは、スコープに基づいて、自動的に **[Strategic Planning]** に設定されます。 このフィールドに別の値が表示されている場合は、ServiceNow インスタンスが **[Strategic Planning]** スコープ内にあることを確認してください。
テーブル	作成した計画立案アイテムテーブルを選択します。
表示	次のいずれかを選択します。 • APW デフォルト • デフォルト

関連情報

戦略的計画 の新規計画立案アイテムフォームに対するワークスペースビュールールの作成

ウィジェットの関連性フォーム

これらのフォーム フィールドを使用して、ウィジェットをプロジェクト テーブルに関連付け、財務で表示します。

ウィジェットの関連性フォーム

フィールド	説明
関連性 ID	ウィジェットに関連付けるレコード。ルックアップアイコンを使用して、テーブルを識別および選択します。 関連するレコードにアクセスするには、[テーブル名] リストから [テーブル **[sys_db_objects**]] を選択し、ドキュメントリストから [投資] を選択します。
関連付けテーブル	ウィジェットに関連付けるテーブル。 リストからテーブル [sys_db_objects] を選択する必要があります。
ウィジェット	ウィジェットの一意の名前。
順番	プロジェクトワークスペースの [財務] タブの他のウィジェットに関連するウィジェットの位置。 ウィジェットは番号順に表示され、最も小さい番号が最初に表示されます。
カードに表示	[財務] タブにウィジェットを表示するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットの関連性フォーム (続く)

フィールド	説明
デフォルトで含める	[財務] タブにデフォルトでウィジェットを表示するオプション。

ウィジェットの新規レコード フォーム

これらのフォームフィールドを使用して、プロジェクト管理用の新しいウィジェットを作成します。

ウィジェットフォーム

フィールド	説明
名前	ウィジェットの一意の名前。
スクリプト化	ウィジェットの値がコードスクリプトから取得されたことを示すオプション。 デフォルトでは、このオプションは選択され、読み取り専用です。
ラベルを表示	ラベルまたは色インジケーターを表示するためのオプション。 このチェックボックスをオフにすると、[色] フィールドが表示され、色を設定できます。
有効	ウィジェットのステータスを示すためのオプション。 プロジェクトワークスペースの [財務] タブには、アクティブなウィジェットのみを表示できます。
親ウィジェット	現在のウィジェットの親であるウィジェット。 現在のウィジェットが、選択したウィジェットの [子ウィジェット] 関連リストに表示されます。 最大 3 個の子ウィジェットを親ウィジェットに追加できます。
フォーマッターが必要	ウィジェットに通貨フォーマッターが必要かどうかを指定するためのオプション。

スクリプト	ウィジェットに表示される要求された測定基準値を返すコードスクリプト。
	
	スクリプトでは、コンテキストオブジェクトとフィルターオブジェクトを使用します。コンテキストオブジェクトには、すべてのプロジェクト財務フィールド (capex_costs、opex_costs、budget_cost など) が含まれています。
	
	次のサンプルスクリプトは、ウィジェットに表示するプロジェクトの [完了時の推定 (EAC)] 測定基準値を返します。
	`var context = JSON.parse(context);`
	`var filter = context.filters;`
	
	`var now_GR = new GlideRecord('pm_project');`
	`gr.addEncodedQuery(filter['pm_project']);`
	`gr.query();`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットフォーム (続く)

フィールド	説明

	if(gr.next())
	gr.getValue('forecast_cost');
	Collapse

簡単な説明	ウィジェットの説明。

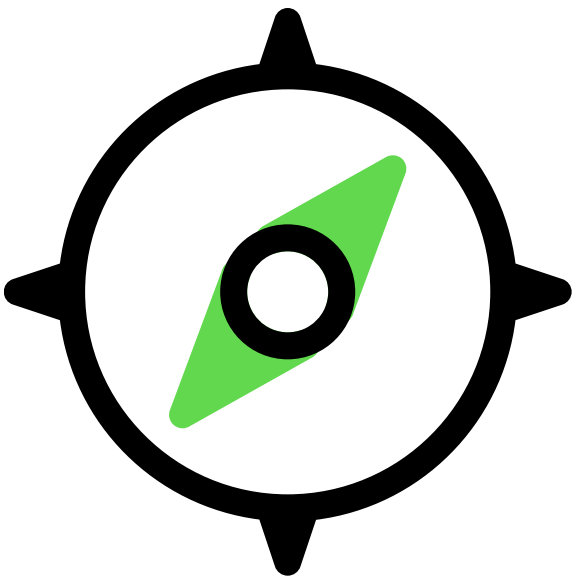
Enterprise Agile Planning® 入力 戦略的計画

ServiceNow Enterprise Agile Planning は、チーム間のコミュニケーションとコラボレーションを簡素化し、多様なチームとの調整を促進するのに役立ちます。直感的なワークスペースを使用して、柔軟な作業とチーム構造の構成により、アジャイルフレームワークを組織全体に拡張します。

Enterprise Agile Planning(EAP)は、Proライセンスを使用してSPM製品ServiceNow Storeをインストールする戦略的計画ときに使用できます。

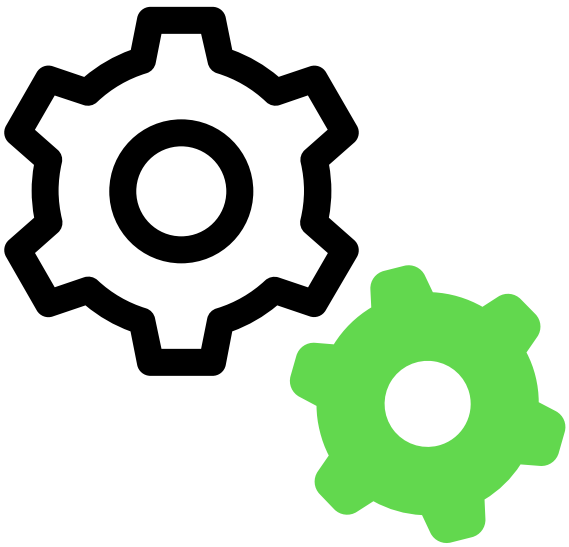
開始するには

探索



Enterprise Agile Planning の機能について説明します。

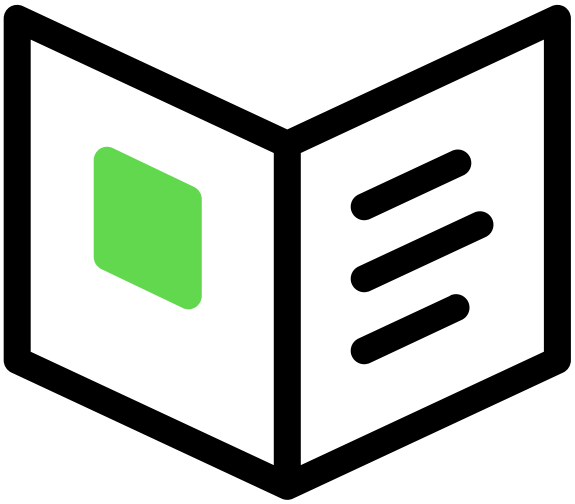
構成



Agile 構成、チームレベル、および作業タイプを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用方法	参照
	
バックログを構築し、プログラムインクリメントを計画し、アサインされた作業の進捗状況を評価します。	ロール、テーブル、プロパティ、フォーム、リストなどの EAP コンポーネントの詳細を取得します。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

Enterprise Agile Planning の詳細

(EAP) の詳細Enterprise Agile Planningを確認し、() が組織にもたらすメリットを確認してください。

Enterprise Agile Planning のメリット

スクラムリーダー、プロダクトオーナー、ポートフォリオマネージャー、ソリューショントレーニングエンジニア、Agile リリーストレーニングエンジニアなどのペルソナは、次の EAP 機能を使用してアジャイルフレームワークを拡張できます。

メリット	機能
バックログの管理と作業の優先順位付け	バックログ
PI とスプリントの作成、チームへの作業の割り当て、チームレベルのイテレーションへのこの作業のスケジュール設定などのアクティビティを作成して計画します	
チームと Agile リリーストレーニング (ART) 間の依存関係を管理する	計画ボード
アクティビティを追跡し、進捗状況を視覚化する	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能
リアルタイムかつ非同期的にコラボレーションして、ブロッカーの解決策について話し合う	
チーム階層と作業階層を柔軟に構成	のアジャイル構成 EAP

Enterprise Agile Planning の構成

チームが でバックログ管理と PI 計画を開始できるように、構成を有効化し、チームをアジャイル構造に追加し、計画 EAPカレンダーを定義します。

構成の概要

次のタスクには、 EAP admin (sn_apw_advanced.eap_admin) ロールが必要です。

1. 戦略的計画 のインストール。

   Enterprise Agile Planning はワークスペース内で 戦略的計画 利用できます。

2. ユーザーにロールをアサインします EAP 。「一緒にインストールされるコンポーネント Enterprise Agile Planning」を参照してください。
3. 構成、チーム レベルの階層、および作業項目の種類のロールアップについて説明します EAP 。

   「のアジャイル構成 EAP」を参照してください。

4. (オプション)。での構成の作成または更新 EAP
5. 構成の EAP アクティブ化
6. 構成にチームを追加して、アジャイル構造を定義します EAP 。「でのアジャイル構造の定義 EAP」を参照してください。

次のタスクには、システム管理者ロールが必要です。

1. (オプション)追加の計画カレンダータイプを作成します。「での計画カレンダーの作成 EAP」を参照してください。
2. での反復のカレンダー エントリーの作成 EAP。
3. (オプション)既定で使用できるものとは異なる種類のチームまたは作業項目が必要な場合は、カスタムの種類を作成できます。「でのカスタムチームタイプの作成 EAP」および「でのカスタム作業項目の種類の作成 EAP」を参照してください。

のアジャイル構成 EAP

() でEnterprise Agile PlanningEAP利用可能なさまざまなSAFe構成について学習し、管理者と協力してチームのニーズに応じて構成を更新できるようにします。

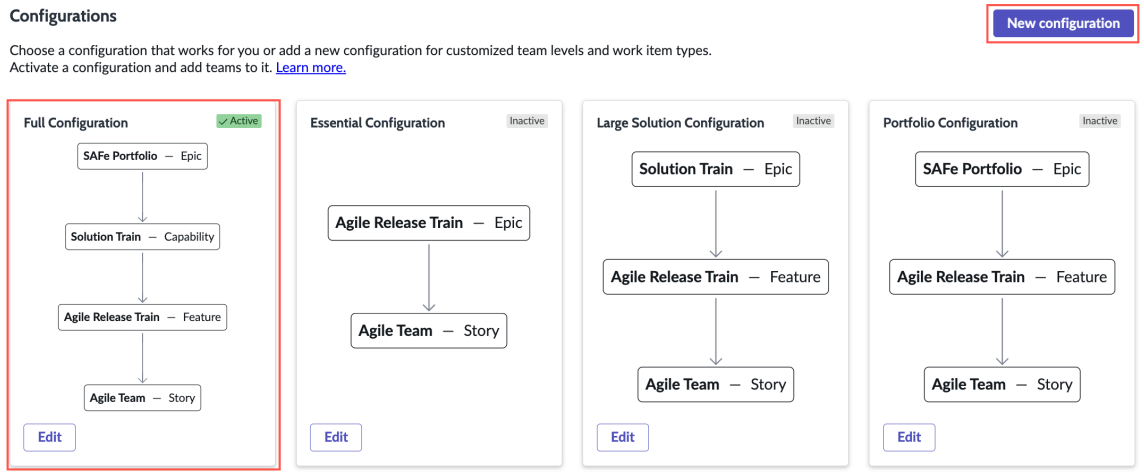
デフォルト EAP 構成

構成には、チーム レベルの構造と作業項目の種類が含まれます。関連するチーム レベルと作業項目の種類のマッピングを含む、次の 4 つの SAFe 構成が既定で使用できます。

- 完全な構成
- 基本構成
- 大規模なソリューション構成
- ポートフォリオ構成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



デモデータをインストール 戦略的計画 した場合は、[完全な構成] が有効になります。別の構成を有効にするか、新しい構成を定義するかを選択できます。

詳細については、構成の EAP アクティブ化およびでの構成の作成または更新 EAPを参照してください。

既定のチーム レベルと作業項目階層

- EAPチームは、Portfolio > Solution Train>Agile Release Train>Agile チームの階層に従います。
- 作業アイテムタイプは、エピック>機能>機能>ストーリーの階層に従います。

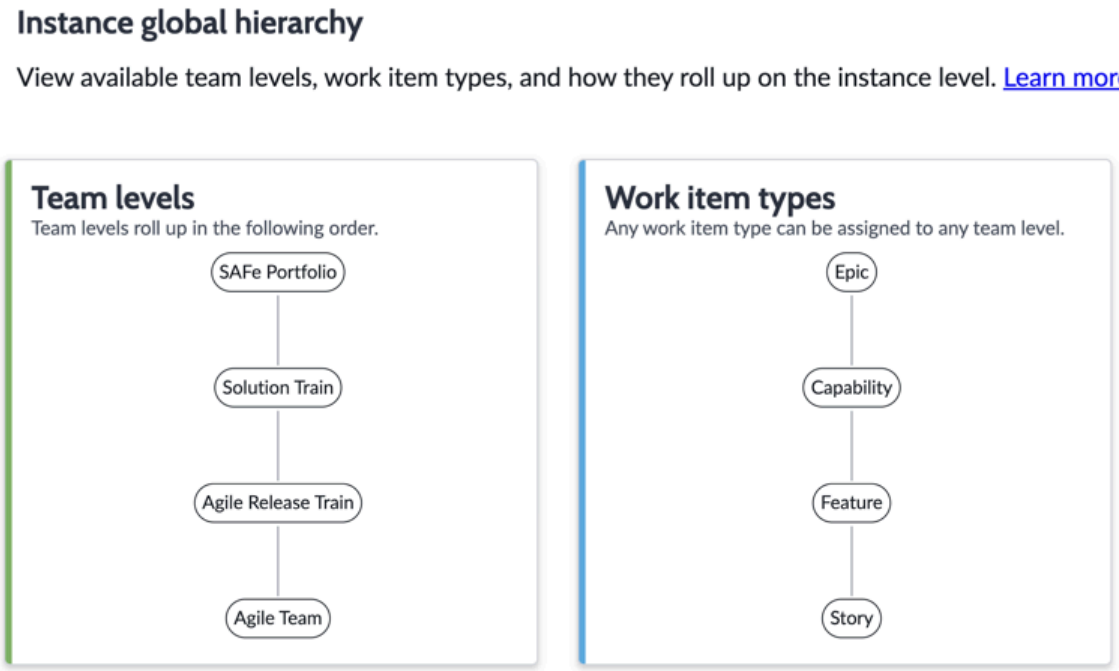
  ただし、新しい構成を設定したり、既存の構成を編集したりするときに、任意の作業項目の種類を任意のチーム レベルに割り当てることができます。たとえば、機能をソリューショントレーニングレベルにマッピングしたり、ストーリーを ART レベルにマッピングしたりすることができます。組織内のチームの運用方法に基づいて、構成を柔軟に定義または更新 EAP できます。

- で使用される EAP すべての作業アイテムタイプは、 EAP 計画立案アイテム [sn_align_core_eap_planning_item] テーブルから拡張されます。さらに、計画立案アイテム [sn_align_core_planning_item] テーブル 戦略的計画から拡張されます。
- ストーリーレコードは、プラグインとともに Agile Development 2.0 インストールされるストーリー [rm_story] テーブルに保存されます。

  カスタム作業項目の種類を作成することもできます。「でのカスタム作業項目の種類の作成 EAP」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



での構成の作成または更新 **EAP**

()EAPでEnterprise Agile Planning独自のアジャイル構成を定義するか、既存の構成を更新します。

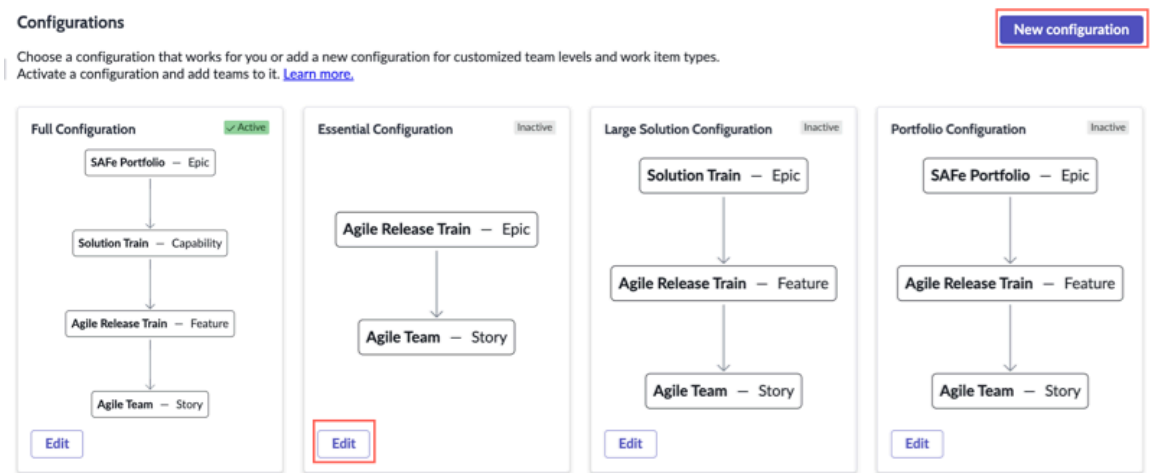
始める前に
戦略的計画 のインストール。

インスタンスのアプリケーションスコープを Strategic Planning に設定します ServiceNow 。

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [設定] メニューから、 **Enterprise Agile Planning** > 構成.
3. 構成を作成するか、既存の構成を更新するかを選択します。
   - 作成するには、 新しい構成 を選択します。
   - 更新するには、利用可能な構成のいずれかから [編集] を選択します。



自動翻訳

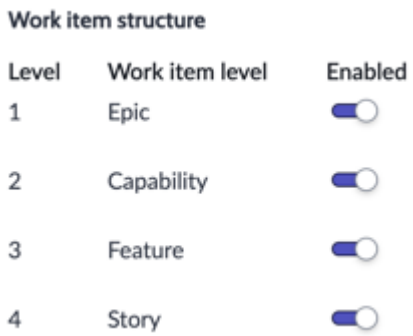
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. フォームのフィールドに入力または更新します。

新しい構成フォーム

フィールド	説明
構成名	構成を識別する名前。
State (ステータス)	構成のステータス。このフィールドのデフォルト値は [非アクティブ] です。 これを [アクティブ] に変更して、.Enterprise Agile Planning
Agile Development との同期	[計画間隔] や [スプリント] などの反復を Agile Development 2.0 と同期するには、このオプションを選択します。詳細については、「との統合EAPAgile Development 2.0」を参照してください。

5. この構成内で使用できるようにする作業項目の種類を選択します。
ここで有効にした作業アイテムタイプのみが、バックログおよび計画ボードでの計画に使用できます。



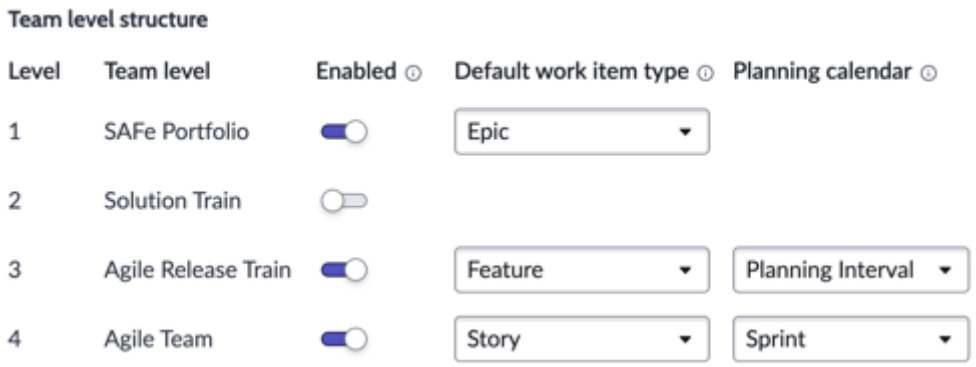
6. 構成に含めるチームレベルを選択します。

ここで有効にしたチームレベルに基づいて、それらのエンティティのみをアジャイル構造に追加できます。たとえば、構成でソリューショントレーニングチームレベルを有効にしていない場合、ソリューショントレーニングをアジャイル構造に追加したり、バックログボードまたは計画ボードから ソリューショントレーニング の作業を計画したりすることはできません。

7. 各チーム レベルとその計画カレンダーで使用できる既定の作業項目の種類を選択します。
計画カレンダーは Agile リリーストレーニング (ART) とアジャイルチームに対してのみ設定でき、デフォルトで利用可能な計画カレンダータイプは 計画間隔 と スプリントです。別のカレンダーが必要な場合は、作成します。「での計画カレンダーの作成 EAP」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
構成の EAP アクティブ化。

でのアジャイル構造の定義 **EAP**

組織のエンティティとチームを Enterprise Agile Planning (EAP) 構成に追加して、ユーザーがバックログおよび計画ボードで EAP それらの作業を計画できるようにします。

始める前に
構成の EAP アクティブ化。

インスタンスのServiceNowアプリケーションスコープが **Strategic Planning** に設定されていることを確認します。

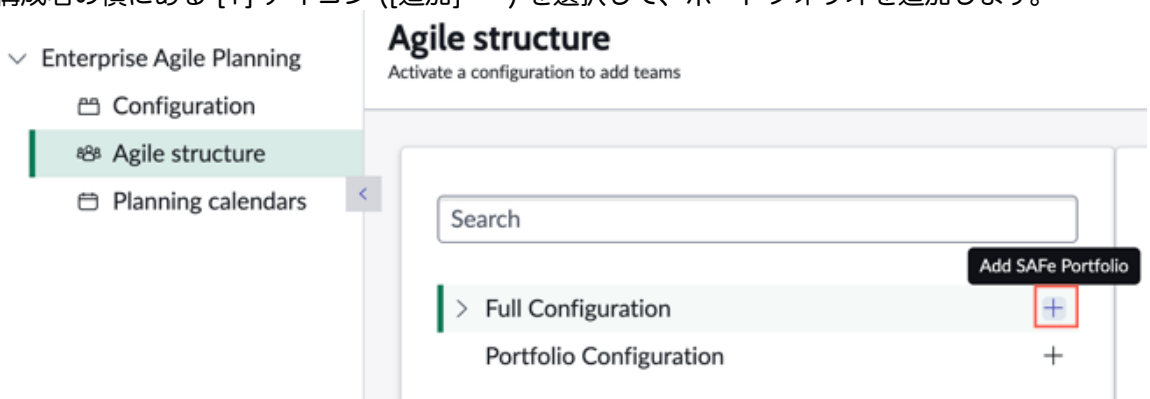
必要なロール:sn_apw_advanced.eap_admin

このタスクについて
構成に基づいて、ポートフォリオ、ソリューション、トレーニング、ART、アジャイルチームなどのエンティティを、構成のさまざまなチームレベルに追加します。

注:
このタスクについては、 例として [完全な構成] を使用して説明します。これらの手順をガイダンスとして使用して、 にある EAP他の構成にエンティティとチームを追加します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [設定] メニューから、 **Enterprise Agile Planning** > アジャイル構造.
3. 構成名の横にある [+] アイコン ([追加] ＋) を選択して、ポートフォリオを追加します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [SAFe ポートフォリオ] フォームで、名前、説明、親ポートフォリオなどの詳細を入力します。

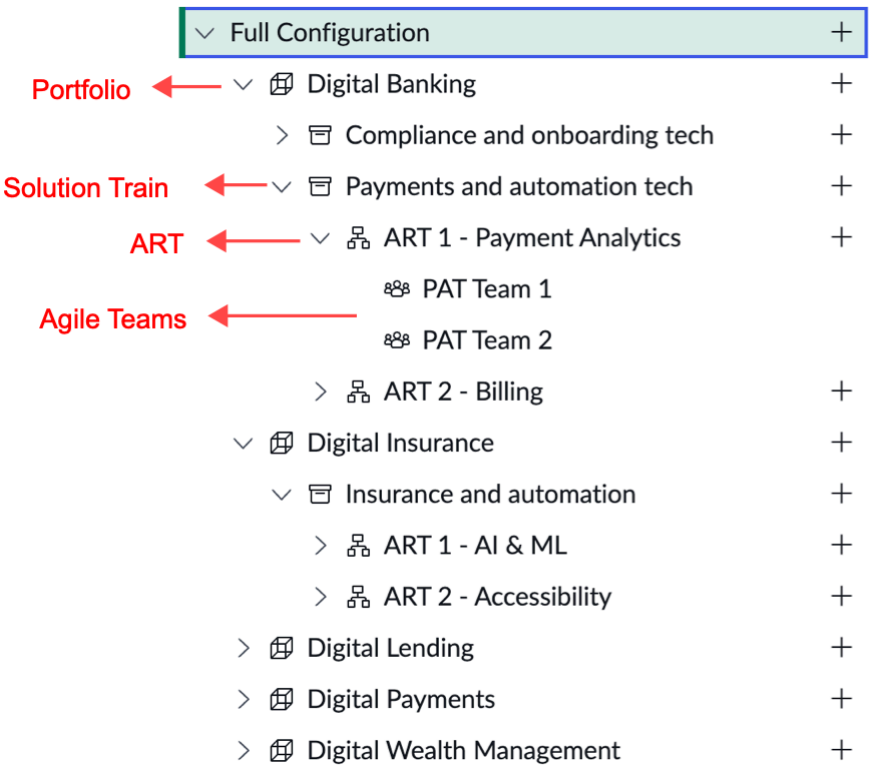
b. [送信] を選択します。

c. アクションを繰り返して、必要な数のポートフォリオを追加します。

4. 他のエンティティをポートフォリオに追加するには、このアクションを繰り返します。

- ポートフォリオに、ソリューショントレインを追加します。
- ソリューショントレーニングに、Agile リリーストレーニング (ART) を追加します。
- ART に、アジャイルチームを追加します。

  アジャイルチームとして追加するチームは、 アジャイルタイプである必要があります。新しいチームが必要な場合、または既存のチームが見つからない場合は、管理者にお問い合わせください。詳細については、「のアサイン先グループ Agile Development 2.0」を参照してください。



構成の **EAP** アクティブ化

(EAP) のEnterprise Agile Planning新規または既存の構成をアクティブ化して、ユーザーがチームの作業計画を開始できるようにします。

始める前に

インスタンスのアプリケーションスコープを Strategic Planning に設定します ServiceNow 。

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.

2. [設定] メニューから、 **Enterprise Agile Planning** > 構成.

3. 使用可能な構成のいずれかから [編集] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 構成フォームで、 ステータス フィールドを アクティブ に設定します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
構成にチームを追加します。「でのアジャイル構造の定義 EAP」を参照してください。

での計画カレンダーの作成 **EAP**

リリースなど、組織で使用する追加の計画カレンダーを作成して、選択したカレンダーで作業を計画および追跡できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
[スプリント] と [計画間隔] は、デフォルトで利用可能な 2 つの計画カレンダーです。別の計画カレンダーを作成するには、[設定] EAP メニューから作成します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [設定] メニューから、 **Enterprise Agile Planning** > 計画カレンダー.
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Enterprise Agile カレンダーフォーム

フィールド	説明
名前	カレンダーの一意の名前。
ラベル	このカレンダーがアプリケーションでどのように表示される EAP かを示すラベル。
複数形ラベル	このカレンダーのラベルの複数形。
反復タイプ	このカレンダーが属するタイプ。[計画間隔] と [スプリント] から 1 つを選択します。
親	このカレンダーの親カレンダー。 たとえば、計画間隔はスプリントの親です。
説明	カレンダー、そのユースケース、およびその他の詳細の簡単な説明。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
新しく作成されたカレンダーのエントリーを作成します。「での反復のカレンダー エントリーの作成 EAP」を参照してください。

での反復のカレンダー エントリーの作成 **EAP**

計画カレンダーのタイムラインを定義して、チームが のバックログおよび計画ボード Enterprise Agile Planningで独自の反復を作成できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

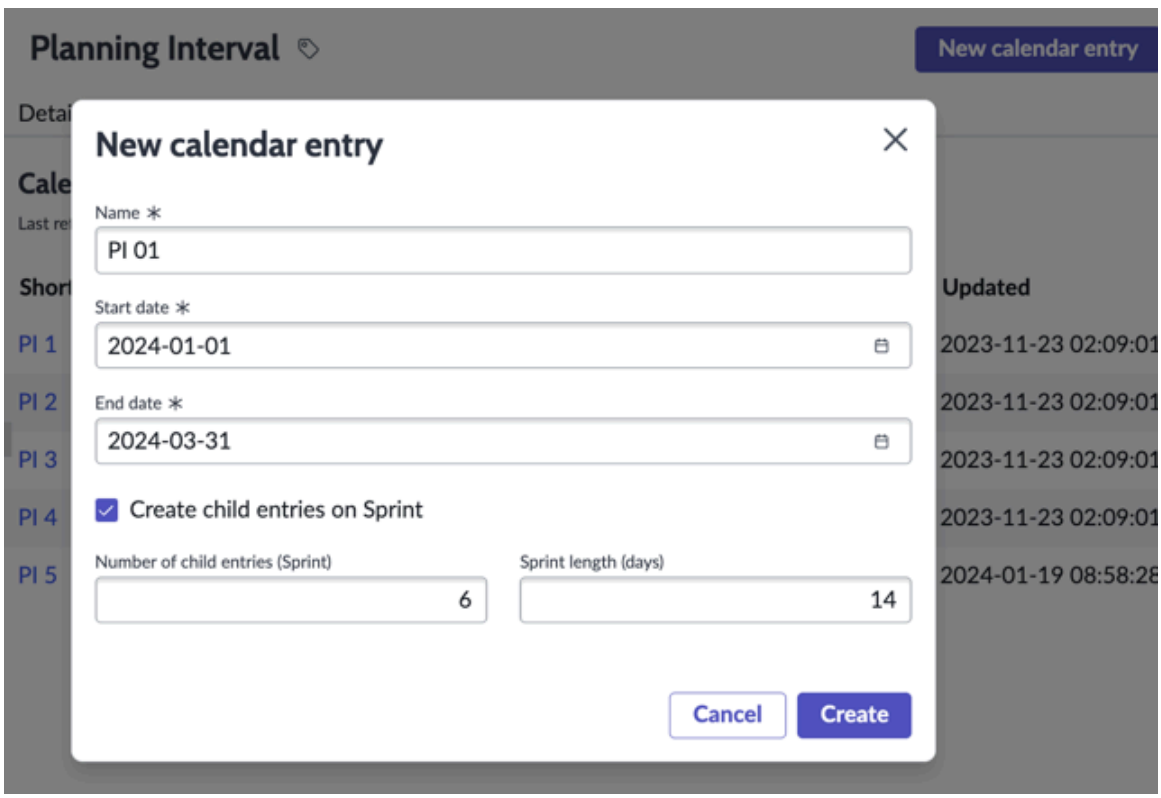
始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このタスクについては、例として計画間隔 (PI) とスプリントを使用して説明します。これらはワークスペースでデフォルトで利用可能なカレンダーであり、PI はスプリントの親として設定されます。

このタスクの終わりまでに、PI とその子スプリントのタイムラインを定義します。EAPチームは、この定義されたタイムライン内で、選択した命名規則に従って、独自のチーム固有の PI とスプリントを作成できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace**.
2. [設定] メニューから、 **Enterprise Agile Planning** > 計画カレンダー.
3. [計画間隔]を選択して、エントリを登録します。
4. [新しいカレンダー エントリ] を選択します。
5. フォームで、エントリの名前と、計画間隔の開始日と終了日を入力します。
   たとえば、2024 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの PI を作成しているとします。
6. PI の開始日と終了日に基づいて、スプリントカレンダーのカレンダーエントリーを作成します。
   a. [スプリントに子エントリを作成] を選択します。
   b. [子エントリの数 (スプリント)] フィールドに、この PI に対して作成するスプリントの数を入力します。
   c. [スプリント期間 (日数)] フィールドに、スプリントを構成する日数を入力します。
   2024 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの PI では、それぞれ 14 日間の長さの 6 つのスプリントを作成できます。



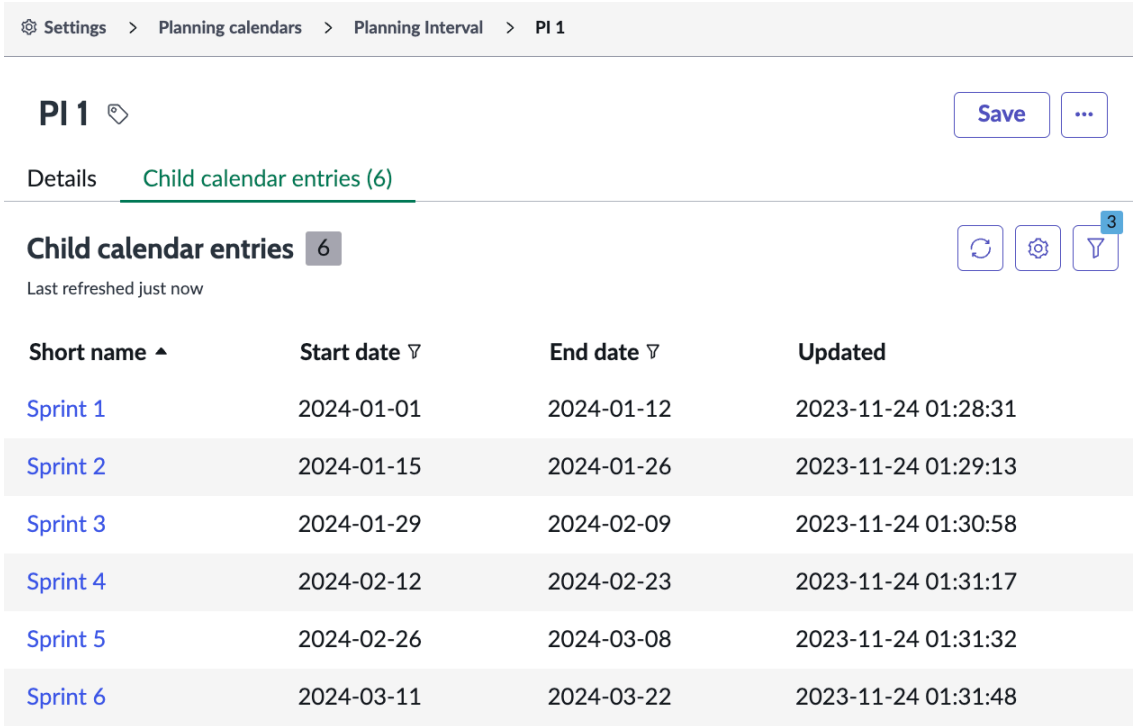
7. [作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
PI とその子スプリントは、定義したタイムラインで作成されます。EAP チームは、独自の名前付け規則を使用して、独自の PI とスプリントのイテレーションを作成できます。

PI 1 は 2024-01-01 から 2024-03-31 に作成されます。この PI 内で、それぞれ長さが 14 日間の子 6 つのスプリントが作成されます。



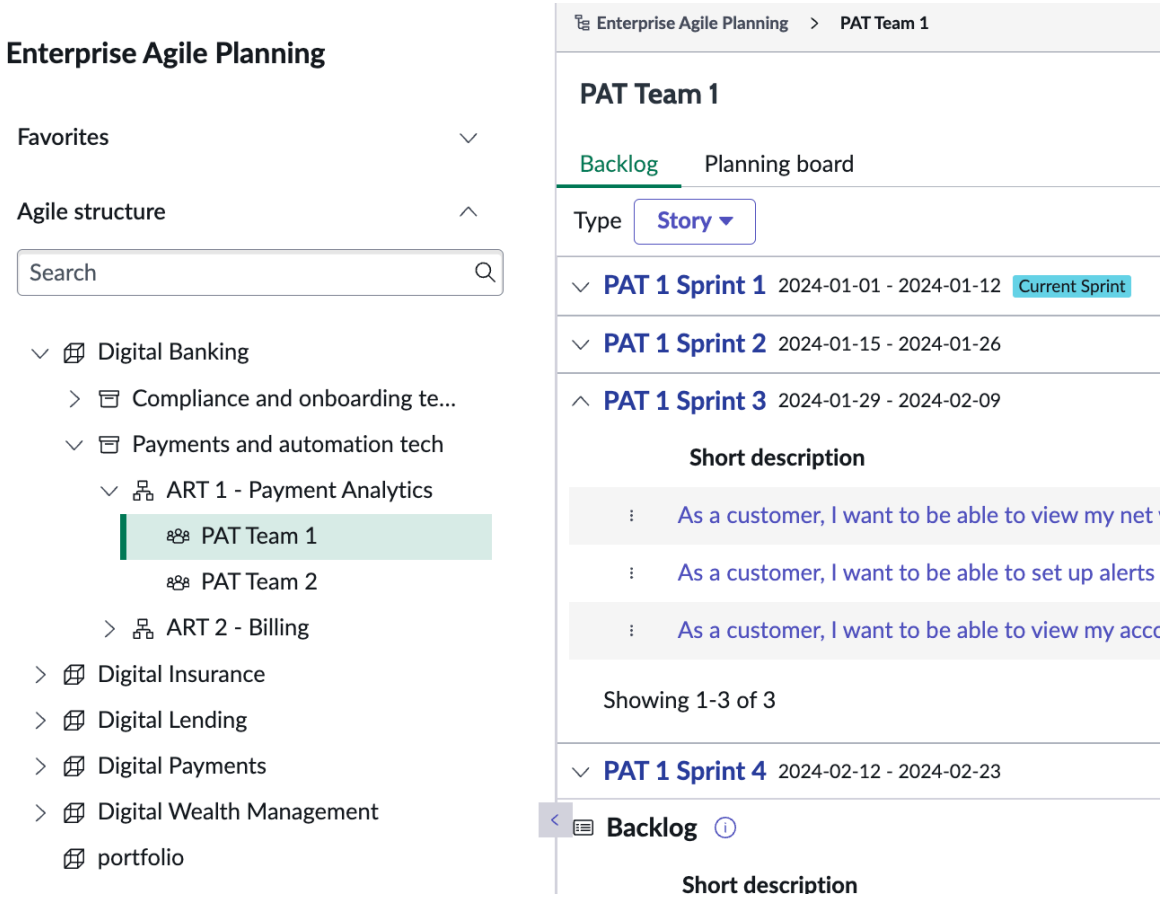
Short name	Start date	End date	Updated
Sprint 1	2024-01-01	2024-01-12	2023-11-24 01:28:31
Sprint 2	2024-01-15	2024-01-26	2023-11-24 01:29:13
Sprint 3	2024-01-29	2024-02-09	2023-11-24 01:30:58
Sprint 4	2024-02-12	2024-02-23	2023-11-24 01:31:17
Sprint 5	2024-02-26	2024-03-08	2023-11-24 01:31:32
Sprint 6	2024-03-11	2024-03-22	2023-11-24 01:31:48

デジタルバンキングのポートフォリオでは、チームは次のように独自の ART とスプリントを作成します。

- Payment Analytics ART は、Digi bank ST2 ART1 PI1 と **Digi bank ST2 ART1 PI2** の 2 つの PI を作成します。
- アジャイルチームの PAT チーム 1 と PAT チーム 2 は、次の PI 内でスプリントを作成します。
  - PAT チーム 1 は、PAT 1 スプリント 1、**PAT 1** スプリント **2** などを作成します。
  - PAT チーム 2 は、PAT 2 スプリント 1、PAT **2** スプリント **2** というように作成します。

チームは、これらの PI とスプリントを使用して作業をスケジュール設定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



でのカスタムチームタイプの作成 **EAP**

の Enterprise Agile Planningアジャイル構成に含めるカスタムチームタイプを作成します。

始める前に
インスタンスのアプリケーションスコープを Portfolio Planning Core に設定します。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「作業アイテムタイプフォーム」を参照してください。
4. オプション: [モジュールを作成] チェックボックスをオフにします。
5. [送信] を選択します。

でのカスタム作業項目の種類の作成 **EAP**

のアジャイル構成 Enterprise Agile Planningに含めるカスタム作業項目の種類を作成します。

始める前に
インスタンスのアプリケーションスコープを Portfolio Planning Core に設定します。

必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「作業アイテムタイプフォーム」を参照してください。
4. オプション: [モジュールを作成] チェックボックスをオフにします。
5. [送信] を選択します。

次のタスク
新しい作業項目の種類のテーブルに対して、関連するフォーム ビューとリスト ビューを作成します。「作業アイテムのフォームビューを作成または更新するEAP」および「作業アイテムのリストビューを作成または更新するEAP」を参照してください。

作業アイテムのフォームビューを作成または更新する**EAP**

作業アイテムタイプのフォームビューを作成または更新して、[バックログ] および [計画ボード] ページ Enterprise Agile Planning に表示されるフィールドがチームの要件に適合するようにします。

始める前に
インスタンスのアプリケーションスコープを Portfolio Planning Core に設定します。

必要なロール：admin

このタスクについて
作業アイテムテーブルのフォームビューの構成によって、ワークスペースに表示されるフィールドが決まります。の EAP作業項目の種類の場合、必要なフォーム ビューは次のとおりです。

- EAP デフォルト:[完全な詳細] ページに表示するフィールドを決定します。
- EAP プレビュー:バックログまたは計画ボードのサイドパネルに表示するフィールドを決定します。
- EAP 新規:バックログまたは計画ボードから作業アイテムを作成するときに表示するフィールドを決定します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [拡張テーブル] 列の **EAP** 計画立案アイテム を使用して、テーブルのリストをフィルタリングします。
3. 作成した作業項目の種類を選択します。
4. [レイアウトフォーム] 関連リンクを選択します。
5. フォームビューを作成するか、更新します。
6. [保存] を選択します。

次のタスク
作業アイテムのリストビューを作成または更新するEAP。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業アイテムのリストビューを作成または更新するEAP

作業アイテムの種類のリストビューを作成または更新 EAP して、[バックログ] ページ Enterprise Agile Planning に表示される列がチームの要件に合うようにします。

始める前に
インスタンスのアプリケーションスコープを Portfolio Planning Core に設定します。

必要なロール：admin

このタスクについて
リストビューの構成 EAP は、ワークスペースの [バックログ] ページで作業アイテムに表示される列を決定します。

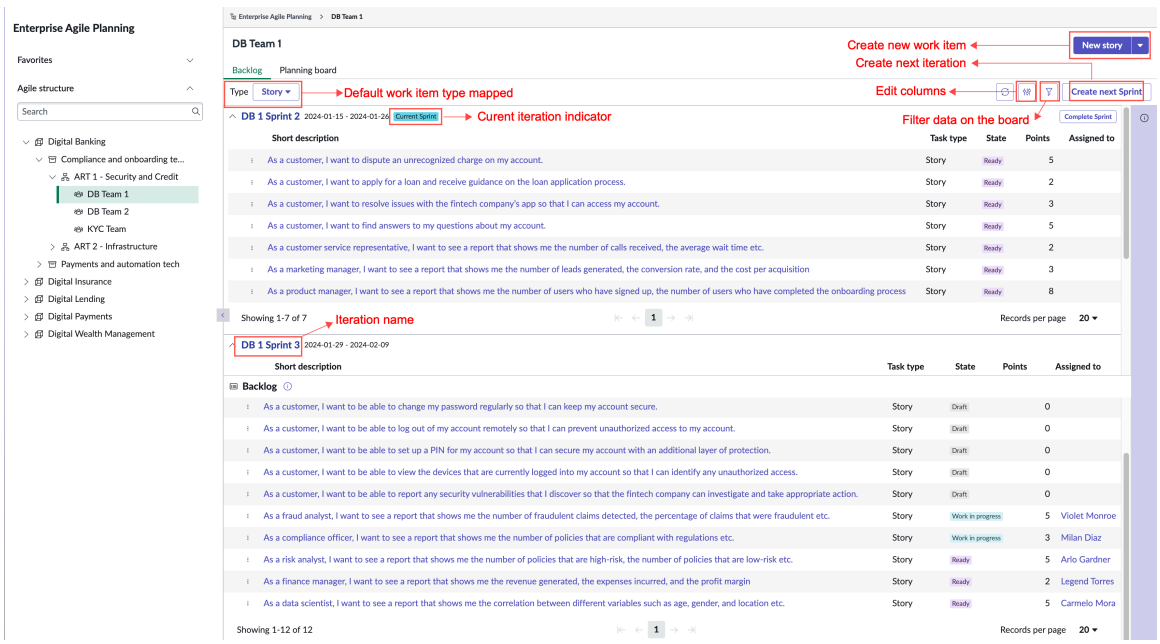
手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [拡張テーブル] 列の **EAP** 計画立案アイテム を使用して、テーブルのリストをフィルタリングします。
3. 作成した作業項目の種類を選択します。
4. [リストレイアウト] 関連リンクを選択します。
5. リストビューを作成するか、 EAP その構成を更新します。

6. **[Save** (保存)] を選択します。

を使用したチームバックログの管理 **EAP**

の Enterprise Agile Planning[バックログ] ページを使用して、作業項目を作成、更新、および優先順位付けします。さらに、作業項目を計画間隔 (PI) やスプリントなどのイテレーションにスケジュールします。



レイアウトとデフォルトのグループ化

アジャイルチーム、Agile リリーストレーニング (ART)、ソリューショントレーニング、ポートフォリオなど、さまざまなチームレベルにわたるバックログのレイアウトは同じままです。変更は、作業

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

項目をグループ化する方法にあります。アジャイル構造で下から上に移動すると、チームに割り当てられた作業は次のようにグループ化されます。

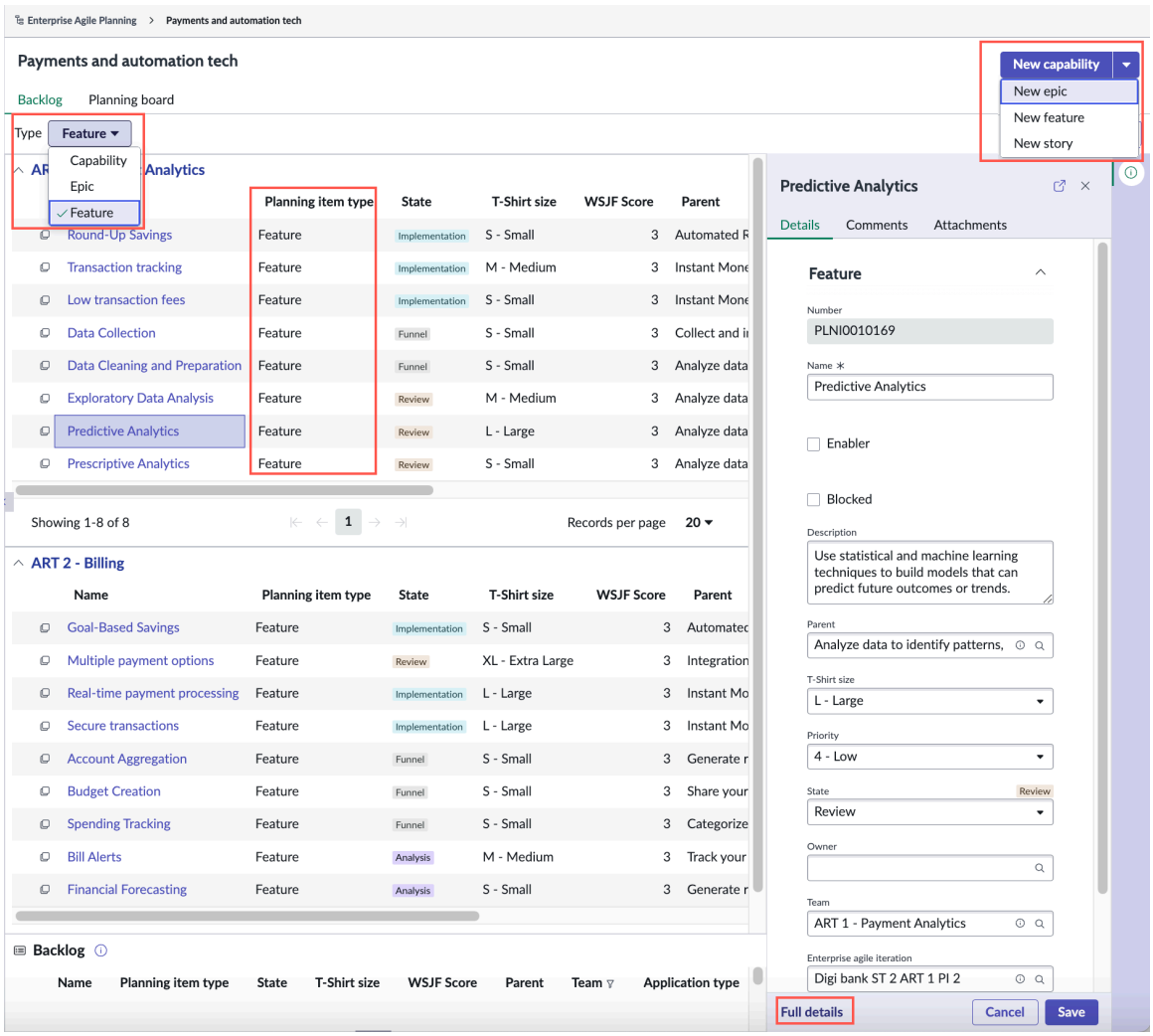
> **重要:**
> チーム階層とチーム内のイテレーションは、構成 EAP に基づいています。次の情報は、既定の [完全な構成] に適用されます。

- アジャイルチーム:スプリントごとにグループ化。
- ART:計画間隔別にグループ化。
- ソリューション トレーニング:子 ART でグループ化されます。
- ポートフォリオ:子ソリューショントレインによってグループ化されます。

これらのグループのいずれにも該当しない作業項目は、[バックログ] セクションに表示されます。

デフォルトの作業アイテム

バックログに表示される作業アイテムは、構成でこのチームにマッピングされている タイプ です。アジャイル構造内で上に移動すると、アサインされる作業のレベルも上がります。アジャイルチームレベルではストーリーの情報が表示され、ART とポートフォリオを上に移動すると、特徴、能力、およびエピックの情報が表示されます。ただし、どのレベルでも、表示される作業項目の種類を変更できます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、このスクリーンショットでは、 機能は 、その構成に基づいて **Payment and Automation tech** Solution Train にマップされたデフォルトのアイテムタイプです。この選択を変更すると、このチームに割り当てられた他のタイプの作業を表示できます。この選択を [機能] に変更すると、この ART に割り当てられているすべての機能が表示されます。同様に、デフォルトのアイテムタイプが 「機能」であっても、このソリューショントレーニングに異なるタイプの作業アイテムを作成して割り当てることができます。

プライマリ列を選択して、サイドパネル内の作業アイテムの詳細を表示します。作業アイテムのすべてのフィールドと関連リストにアクセスするには、サイドパネルから [完全な詳細] を選択します。

バックログでは、次のことができます。

- チームの PI やスプリントなどの反復を作成します。
- チームのバックログに作業を追加します。
- バックログからの作業をさまざまなイテレーションにスケジュールします。
- インライン編集を行って、[ステータス]、[アサイン先]、[ストーリーポイント] などの作業の情報を更新します。
- 計画立案アイテム (グループ内) を並べ替えて優先順位付けします。
- これらの反復を開始して完了します。
- 未完了の作業をバックログに移動します。
- 表示されるデータをフィルター処理します。
- 表示する列を選択します。

で EAPチームの作業の作成とスケジュール設定を開始するには、次のタスクを使用します。

バックログから **EAP** 次の **PI** およびスプリントを作成

計画間隔 (PI) とスプリントの反復を作成して、チームが (EAP) のバックログEnterprise Agile Planningから作業の優先順位付けとスケジュール設定を開始できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

このタスクについて

バックログから、Agile リリース トレーニング (ART) と Teams の次のイテレーションを作成します。チームと計画カレンダーの構成に基づいて EAP 、PI、スプリント、または作成した他のカレンダーの反復を作成できます。

このタスクでは、デフォルトの [完全な構成] を例として使用して説明しています。ここでは ART が計画間隔にマッピングされ、アジャイルチームはスプリントにマッピングされます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションで、ART を選択します。
3. ART の計画間隔を作成します。
   a. 選択した ART の [バックログ] タブで、[次の計画間隔の作成] を選択します。
   b. 確認ダイアログ ボックスで、 [作成] を選択します。

   選択した ART の PI が作成されます。開始日と終了日は、システム管理者が作成した次に利用可能なビジネスカレンダースパンに基づきます。

   PI のデフォルト名は **<calendar name> <n+1>** です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- [カレンダー名] は、システム管理者が作成したビジネスカレンダーエントリの名前です。
- **n** は、最後に作成された PI の番号です。

  たとえば、ビジネスカレンダーエントリの名前が「 **Greenbacks** PI」として設定されており、Greenbacks PI 1 と Greenbacks PI 2 がすでに存在する場合、新しい PI の名前は **Greenbacks PI 3** になります。

PI が作成されたら、命名規則に従ってこの名前を編集できます。「での反復の詳細の更新 EAP」を参照してください。

システム管理者がカレンダー エントリーとその日付を定義する方法の詳細については、「」を参照してください での反復のカレンダー エントリーの作成 EAP。

> **注:**
> この ART にアジャイルチームが追加されている場合は、それらのチームにもスプリントが自動的に作成されます。チームに対して作成されるスプリントの数は、PI の日付と一致する子カレンダースパンに基づいています。後でこの ART にアジャイルチームを追加した場合、スプリントは自動的に追加されません。その場合は、手順4に進みます。

4. アジャイルチームのスプリントを作成します。
   a. 左側のナビゲーションパネルから、アジャイルチームを選択します。
   b. このチームの [バックログ] タブで、[次のスプリントの作成] を選択します。
   c. [作成] を選択して確定します。

   このスプリントのデフォルトの名前と日付は、システム管理者によって定義されたビジネスカレンダーエントリに従います。

   スプリントが作成されたら、命名規則に従ってこの名前を編集できます。「での反復の詳細の更新 EAP」を参照してください。

次のタスク

- での反復の詳細の更新 EAP。
- 作業アイテムをバックログの EAP 反復にスケジュールする。

での反復の詳細の更新 **EAP**

PI またはスプリントの詳細を編集して、名前、チームキャパシティ、コミットポイントなどの詳細を更新します。

始める前に

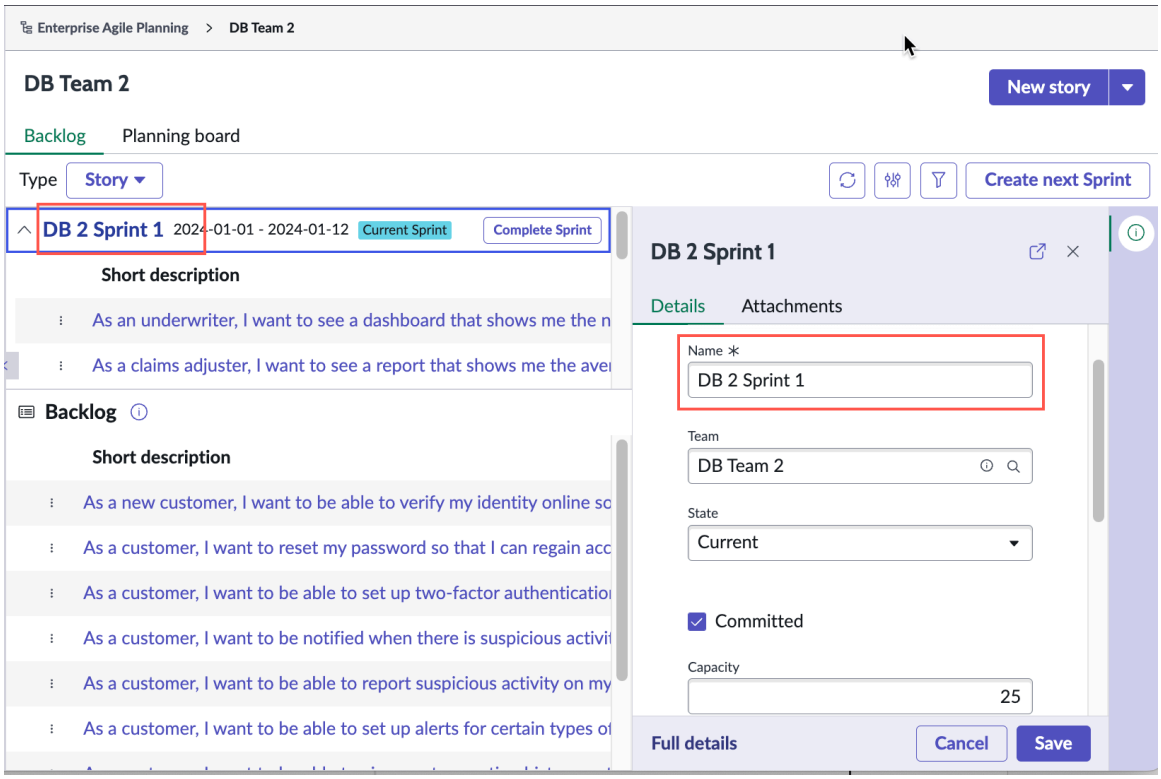
バックログから EAP 次の PI およびスプリントを作成。

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、チームを選択します EAP 。
3. ART またはアジャイル チームの [バックログ] タブで、イテレーションの名前を選択してサイドパネルで詳細を開きます。
4. サイドパネルから、名前、キャパシティ、コミットポイントなどの詳細を編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存] を選択して変更を保存します。

関連情報

作業アイテムをバックログの EAP 反復にスケジュールする

バックログの **EAP** チーム用の作業アイテムを作成する

チームがバックログ Enterprise Agile Planningに作業を追加するためのストーリー、機能、エピック、または機能を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

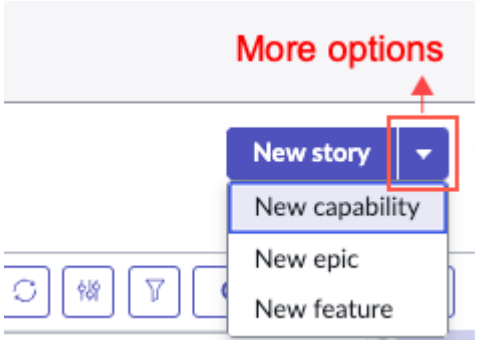
手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、チームを選択します EAP 。
3. ページ ヘッダーから、 [新しい **<**作業項目の種類**>** を選択します。

   画面に表示される項目の種類は、EAP チームの構成によって異なります。または、[その他のオプション] メニューから別のアイテムタイプを選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームのフィールドに入力します。
   フォームに表示されるフィールドは、選択した作業項目の種類によって異なります。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果

新しい作業項目は、フォームに入力した値に基づいて、ページのセクションの 1 つに追加されます。

サイドパネルで作業項目をクリックして開き、情報を追加できます。作業アイテムのすべてのフィールドと関連リストにアクセスするには、サイドパネルから [完全な詳細] を選択します。

次のタスク

作業アイテムをバックログの EAP 反復にスケジュールする。

バックログの **EAP** 作業アイテムのコピーを作成する

既存のアイテムと類似した詳細を持つ作業アイテムを作成するには、既存のアイテムのコピーを作成することで時間と労力を節約します。

始める前に

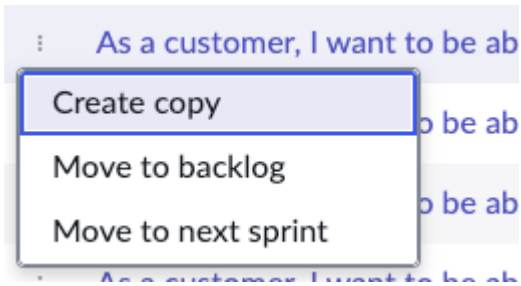
バックログの EAP チーム用の作業アイテムを作成する。

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、チームを選択します EAP 。
3. [バックログ] ページで、コピーを作成するアイテムを探します。
4. [その他] アイコン (⋮) を選択し、[コピーの作成] を選択します。

   または、作業項目を右クリックして、これらのオプションを表示することもできます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
選択した作業アイテムのコピーが作成され、必須フィールドの情報がコピーされます。この新しい作業項目は、元の作業項目と同じセクションに追加されます。たとえば、[バックログ] セクションからストーリーのコピーを作成した場合、コピーしたストーリーは [バックログ] セクションに追加されます。

関連情報

を使用したチームバックログの管理 EAP

作業アイテムをバックログの EAP 反復にスケジュールする

作業アイテムをバックログの **EAP** 反復にスケジュールする

バックログの調整を実行し、チームのバックログから次のイテレーション Enterprise Agile Planningの作業をスケジュールします。

始める前に

- バックログから EAP 次の PI およびスプリントを作成。
- バックログの EAP チーム用の作業アイテムを作成する。

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.

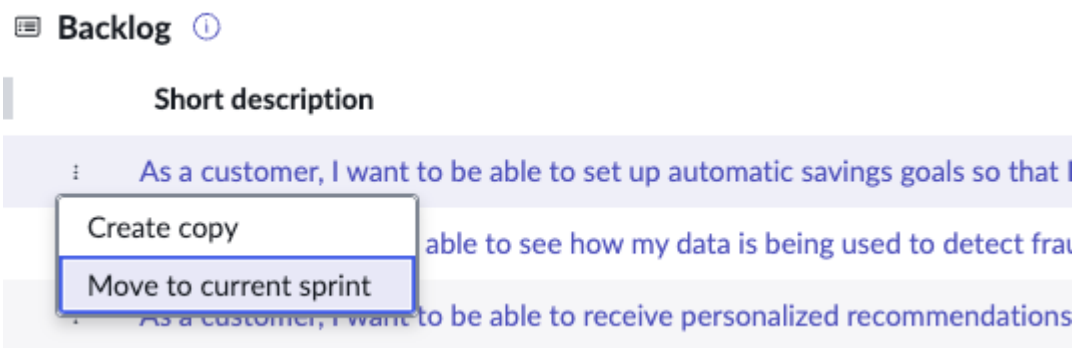
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、チームを選択します EAP 。

3. 項目を [バックログ] セクションからイテレーションに移動します。

a. イテレーションにスケジュールする項目を見つけます。
バックログ調整セッション中に、ストーリーポイントを推定し、この作業項目にインラインで追加できます。

b. [その他] アイコン ([⋮) を選択し、[現在のスプリントに移動] を選択します。

または、作業項目を右クリックして、これらのオプションを表示することもできます。



4. イテレーション間で項目を移動します。

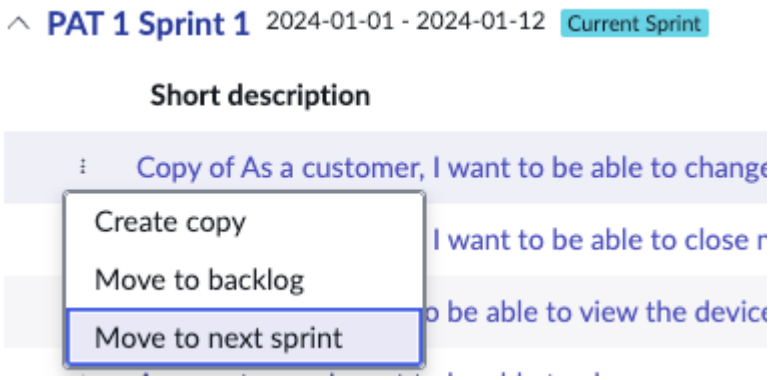
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. イテレーションにスケジュールする項目を見つけます。

b. [その他] アイコン ([⋮) を選択し、[バックログに移動] または [次のスプリントに移動] を選択します。

または、作業項目を右クリックして、これらのオプションを表示することもできます。



5. このプロセスを繰り返して、チームの次のイテレーションのスケジュール作業を完了します。

次のタスク

- での ART の作業の計画 EAP。
- でアジャイルチームの進捗状況を追跡する EAP。
- での反復の開始または完了 EAP。

での反復の開始または完了 **EAP**

スプリントまたは PI のイテレーションを開始して、チームが作業を開始して作業の進捗状況を追跡できるようにします。チームがアサインされた作業を完了した後、 の Enterprise Agile Planningバックログから直接、このイテレーションを完了としてマークします。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、チームを選択します EAP 。
3. 反復を完了します。

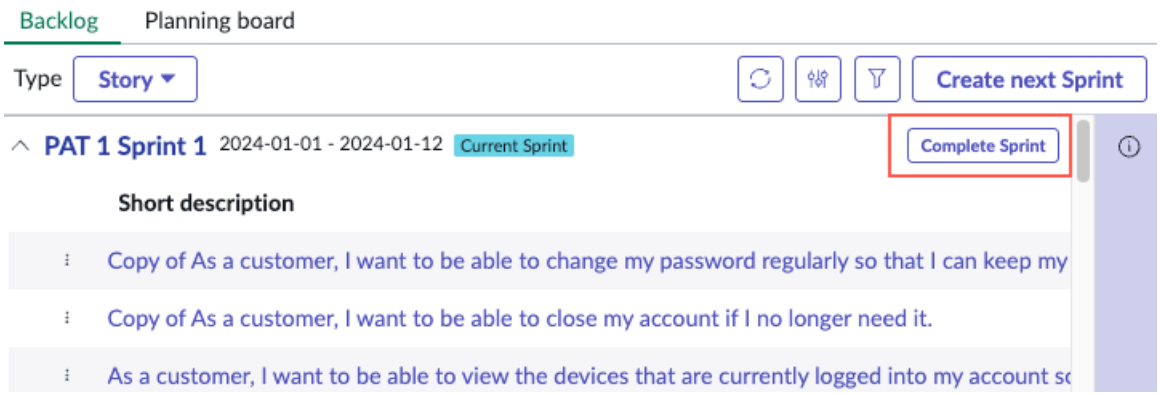
a. [バックログ] ページで、完了するイテレーションを見つけて [完了 **<イテレーション>** を選択します。

- スプリントの場合、オプションは [スプリントの完了] として表示されます。
- PI の場合、オプションは [計画完了間隔] として表示されます。

注:
計画間隔を完了としてマークする前に、関連するすべての子スプリントを完了する必要があります。

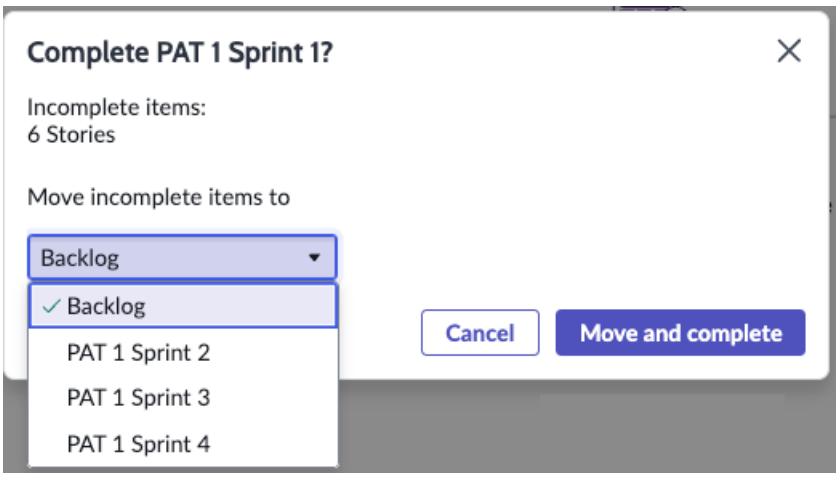
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



b. 現在のイテレーションで未完了のまま残っている作業の量に応じて、その完了を確認します。

- 現在のイテレーションに未完了の作業項目がある場合は、未完了の項目をバックログまたは将来のイテレーションに移動するように求められます。

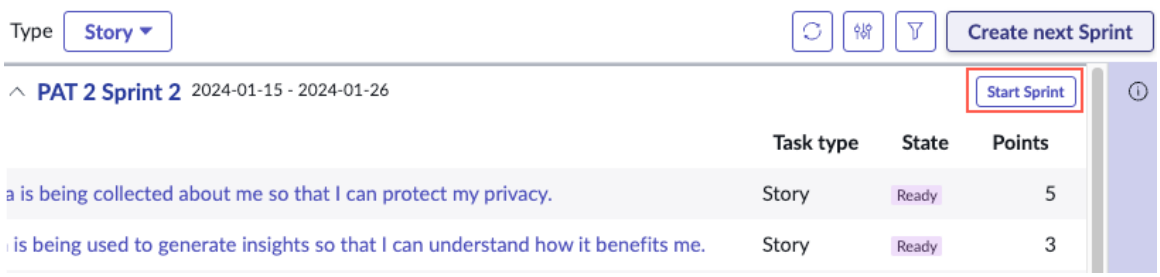


- アサインされたすべての作業が完了すると、確認なしでイテレーションが自動的に完了としてマークされます。

4. イテレーションを開始します。

a. [バックログ] ページで、開始するイテレーションを見つけて、 [**<**イテレーションの開始**>** を選択します。

- スプリントの場合、オプションは [スプリントの開始] として表示されます。
- PI の場合、オプションは [計画開始間隔] として表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のお気に入りに対するチームの追加または削除 **EAP**

EAP頻繁に連携するチームをお気に入りに追加して、チームを検索しなくてもワークスペースでチームに移動する時間を節約できるようにします。

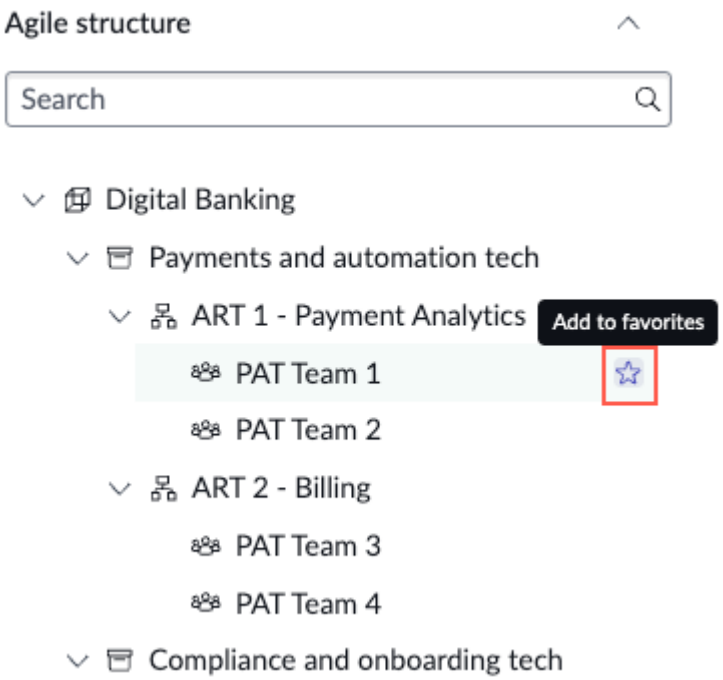
始める前に

でのアジャイル構造の定義 EAP。

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. お気に入りにチームを追加します。
   a. 左側のナビゲーションパネルから、お気に入りに追加するチームを見つけます。
   b. チーム名の横にある [お気に入りに追加] アイコン ([☆) を選択します。



チームがナビゲーションパネルの [お気に入り] セクションに追加されます。

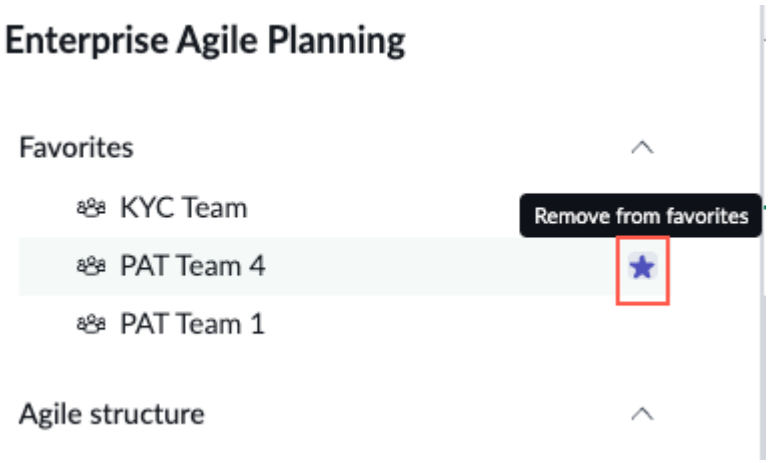
3. お気に入りからチームを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [お気に入り] セクションで、削除するチームを見つけます。

b. チーム名の横にある [お気に入りから削除] アイコン (お気に入り ★) を選択します。



チームが [お気に入り] セクションから削除されます。

バックログの **EAP** データのカスタマイズとフィルタリング

の Enterprise Agile Planning [バックログ] ページに表示する列を選択し、フィルターを適用してページのデータを絞り込み、自分とチームに最も関連性の高い情報を表示できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.

2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、チームを選択します EAP 。

3. [バックログ] ページで列を追加または削除し、表示順序を変更します。

a. 列の編集 (列) を選択します。

b. [利用可能な列] セクションから、バックログに表示する列を選択します。

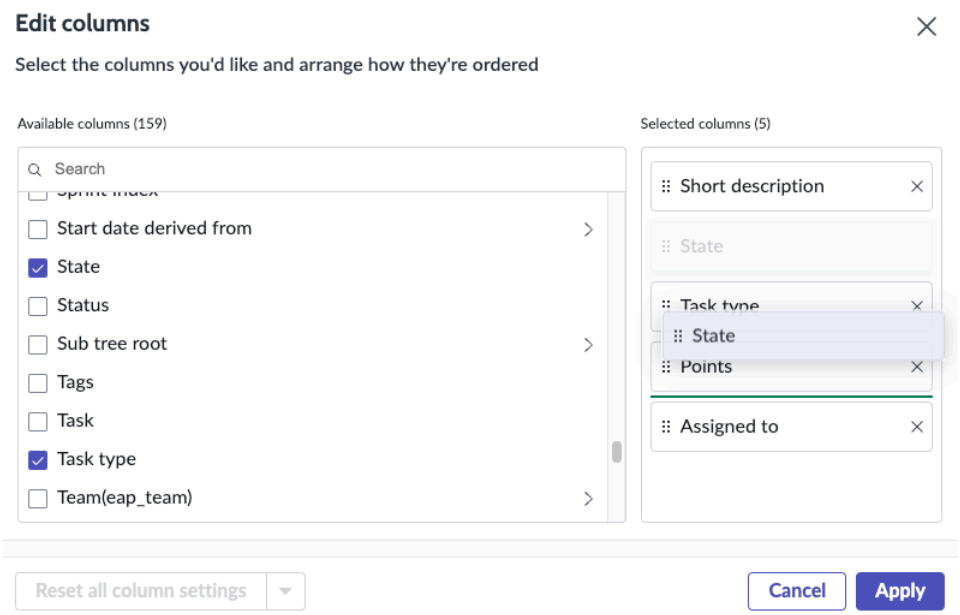
c. [選択した列] セクションから、バックログに不要な列を削除します。

d. 選択した列セクションから列を再配置して、バックログでの表示順序を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. **[Apply** (適用)] を選択します。



4. 作業項目にフィルターを適用して、バックログに表示されるデータを絞り込みます。

   a. **[**フィルタ]()を選択します。

   b. 作業アイテムをフィルタリングする条件を追加します。

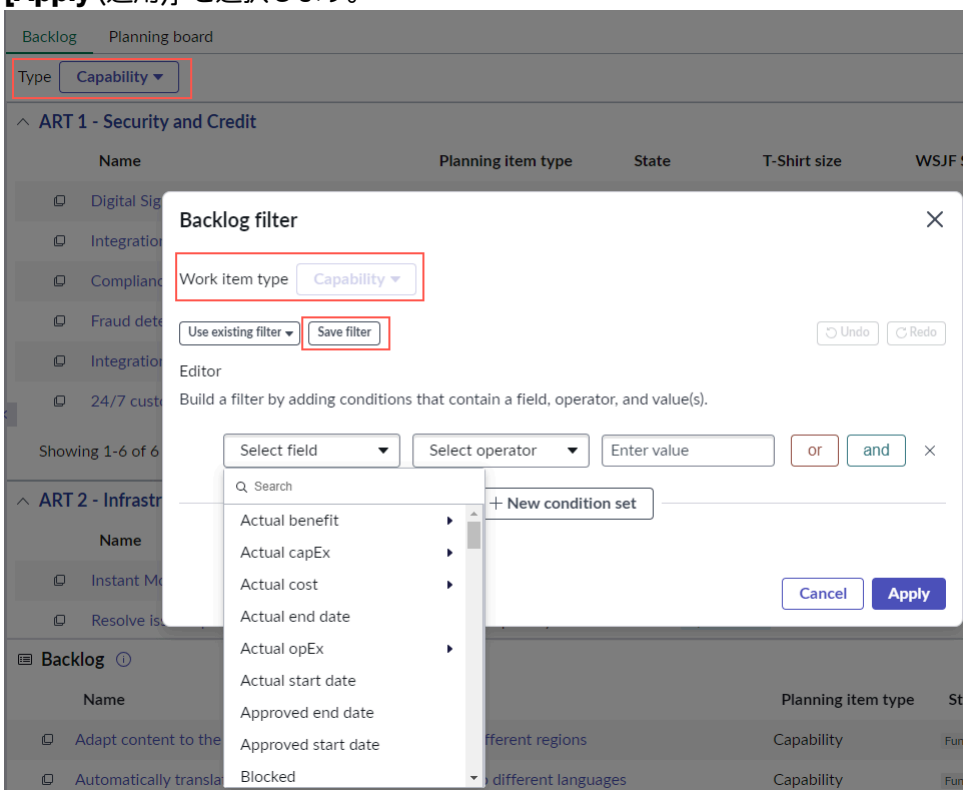
      複数の条件を追加できます。これらの条件は、[バックログ] ページに表示される作業項目 の種類 に適用されます。

   c. オプション: [フィルターの保存] を選択すると、同じ条件を再作成して別のデータ セットに適用する必要がなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [Apply (適用)] を選択します。

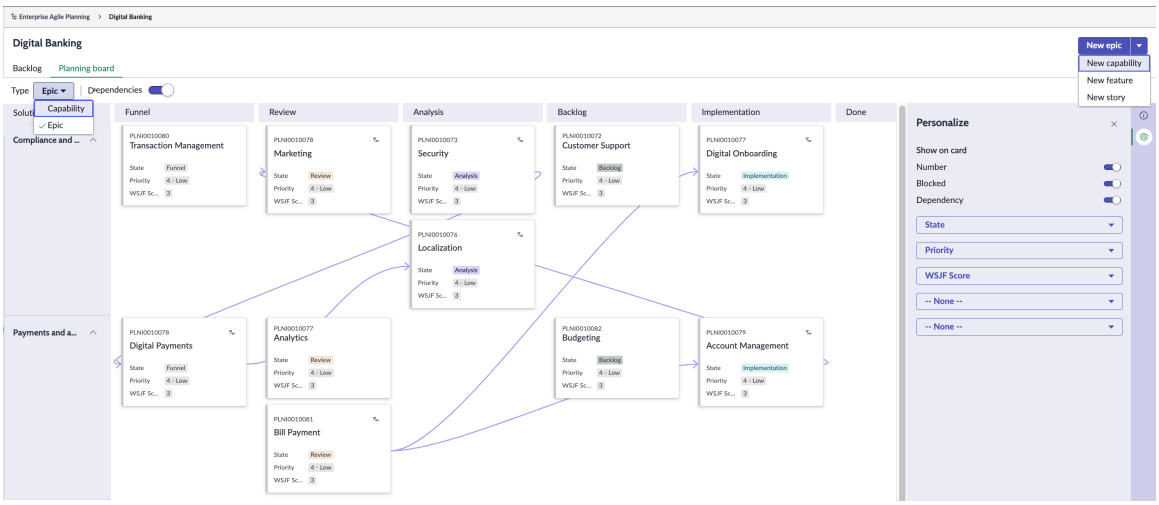


の **PI** 計画 **EAP**

の計画ボードを使用して、イテレーション全体で複数のチームの作業を計画します (ビッグ ルームの計画 Enterprise Agile Planningなど)。作業の進捗状況を追跡し、作業アイテム間の依存関係を作成して視覚化し、ビジネスの優先順位との整合性を確保しながら変更に迅速に対応できるように作業を再スケジュールします。

計画ボードのレイアウト

ポートフォリオの計画ボード



構成に基づいて EAP 、アジャイルチーム、ART、ソリューショントレーニング、ポートフォリオなどのさまざまなチームレベルにわたる計画ボードのレイアウトは次のようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ART、ソリューション トレイン、およびポートフォリオ: 水平レーンと垂直レーンの違いを含む 2 次元かんばんボード レイアウト。
- Agile チーム:作業アイテムの状態が垂直レーンであるシンプルなカンバンボード。

作業項目はカードとして表示されます。これらのカードには、アイテム番号、ステータスなどのデータポイントがあり、実現要因、依存関係、ブロック済みインジケーターのインジケーターがあります。これらのデータ ポイントの表示を変更またはオフにすることができます。

作業アイテムのデフォルトのグループ化

アジャイル構造で下から上に移動すると、各チームのカードは次のようにグループ化されます。

重要:
チーム階層とチーム内のイテレーションは、構成 EAP に基づいています。次の情報は、既定の [完全な構成] に適用されます。

- アジャイルチーム:反復の場合、垂直レーンはストーリーのステータスを表します。

  たとえば、スプリントがアジャイルチーム用に構成された計画カレンダーである場合、計画ボードのカードは選択したスプリントに割り当てられた作業を表します。

- ART:反復の場合、ストーリーカードは子チームごとに水平方向にグループ化され、垂直レーンは子チームの反復を表します。

  計画間隔 (PI) が ART に構成された計画カレンダーである場合、垂直レーンは選択した PI 内のスプリントを表します。

  注:
  ART およびアジャイルチームの場合、計画ボードにはストーリーのみが表示されます。

- ソリューショントレーニング:子 ART で水平方向にグループ化され、垂直レーンはアイテムのステータスを表します。
- ポートフォリオ:子ソリューションごとに水平方向にグループ化 トレーニングと垂直レーンはアイテムのステータスを表します。
- [依存関係] トグルが有効になっている場合は、作業項目間の依存関係を視覚化できます。

バックログと同様に、計画ボードから表示される作業 アイテムのタイプを変更したり 、複数タイプの作業アイテムを作成したりすることができます。

内の Enterprise Agile PlanningPI 計画を開始するには、次のタスクを使用します。

での **ART** の作業の計画 **EAP**

の 計画ボード Enterprise Agile Planningを使用して、ART 内のすべてのチームにわたる複数の計画間隔の作業を計画し、さまざまなチームと調整して依存関係を管理し、ブロッカーをリアルタイムで解決します。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

このタスクについて
このタスクは、カレンダーとして計画間隔 (PI) を持つ Agile リリーストレーニング (ART) を使用して説明されます。この ART には子チームが関連付けられており、子チームにはスプリントが定義されています。

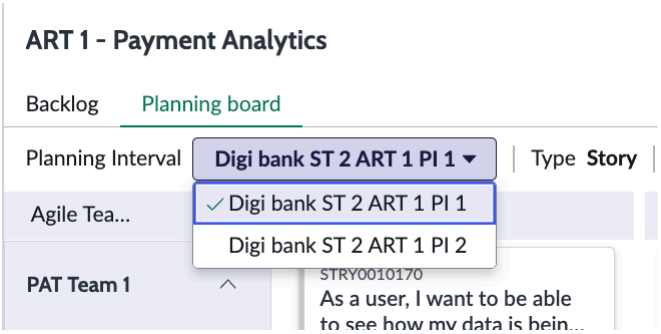
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボードで、計画会議中にストーリーカードを別のレーンに移動するか、チームの新しいストーリーを追加します。[依存関係] トグルを有効にして、チームの作業全体の依存関係とブロッカーを表示します。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから ART を選択し、[計画ボード] を選択します。
   - 計画ボードには、デフォルトで ART の現在のイテレーションが表示されます。別のイテレーションを選択できます。



   - [バックログ] ページで完了した作業のスケジュールに基づいて、ストーリーカードがスプリントレーンに表示されます。
3. [依存関係] トグルを有効にして、ストーリー間の依存関係を表示します。
   依存関係の作成方法によっては、ストーリーのスケジュール変更が必要になる場合があります。ストーリーの依存関係の詳細については、での作業項目間の依存関係の作成と管理 EAP を参照してください。
4. サイドパネルで開いているカードをクリックして、ストーリーでチームと共同作業します。
   計画ミーティング中に、複数のチームと共同作業し、優先度、ストーリーポイント、ブロックされた理由などのストーリー情報を更新します。

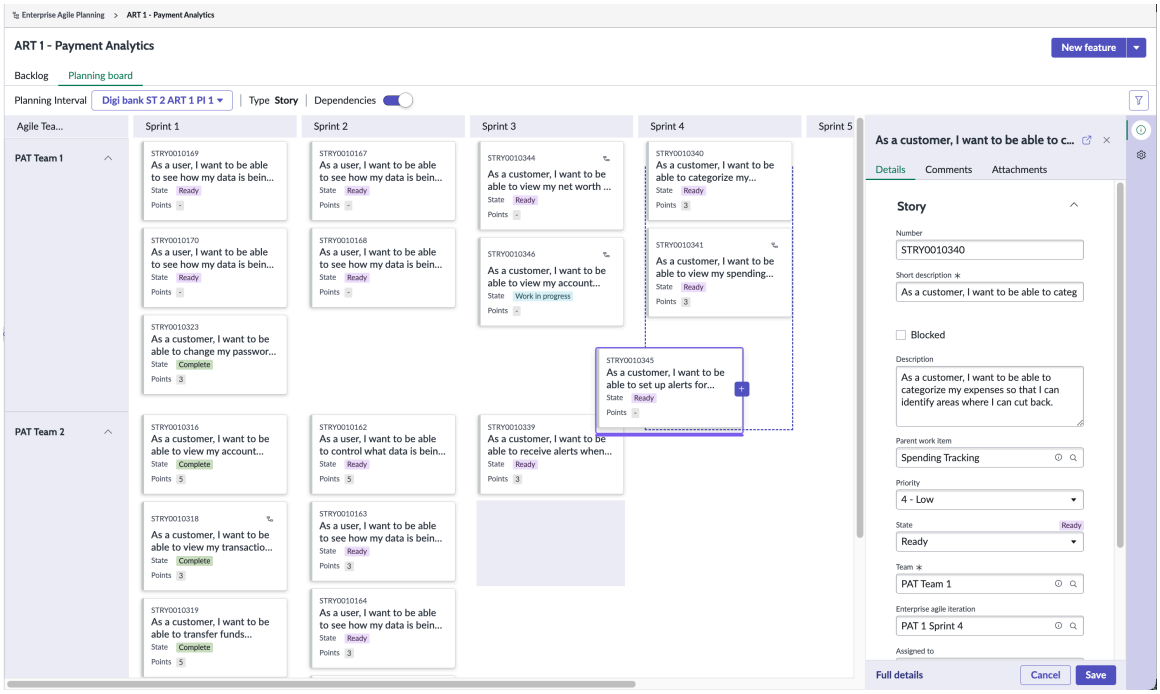
   [添付ファイル] タブでファイルをアップロードし、サイドパネルの [コメント] タブでメモと @ メンションチームメンバーを追加することもできます。

   スクラムタスクなどのストーリーの追加情報にアクセスする場合は、サイドパネルから [完全な詳細] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ストーリーを別のスプリントに再スケジュールするか、カードをそれぞれのレーンにドラッグして別のチームに再アサインします。



次のタスク
アサインしてスケジュールした作業について、アジャイルチームレベルで進捗状況を追跡します。「でアジャイルチームの進捗状況を追跡する EAP」を参照してください。

での作業アイテムの依存関係 **EAP**

作業アイテムの依存関係と、それらがチームの Enterprise Agile Planning計画ボードにどのように表示されるかについては、 を参照してください。

概要

計画を立てる際には、作業項目が互いにどのように関連しているかを把握することが不可欠です。作業項目間の依存関係を把握することで、課題の特定、解決に向けた調整、およびチーム間のコラボレーションの全体的な改善が可能になります。各項目の依存関係を把握していない限り、適切なイテレーションに対して適切な作業をスケジュールできないリスクがあります。の依存関係 EAPを開始するには、「」を参照してください での作業項目間の依存関係の作成と管理 EAP。

依存関係の線の色

の計画 EAPボード では、依存関係線の色はストーリーのスケジュール方法を示しています。

- 紫:前提条件ストーリーは、依存ストーリーよりも前のスプリントにスケジュールされています。この依存関係を変更する必要はありません。
- 黄:前提条件ストーリーは、依存ストーリーと同じスプリントにスケジュールされています。この場合、ストーリーの再スケジュールは必要な場合と不要な場合があります。
- 赤:前提条件ストーリーは、依存ストーリーよりも後のスプリントにスケジュールされています。この場合、ストーリーを再スケジュールする必要があります。

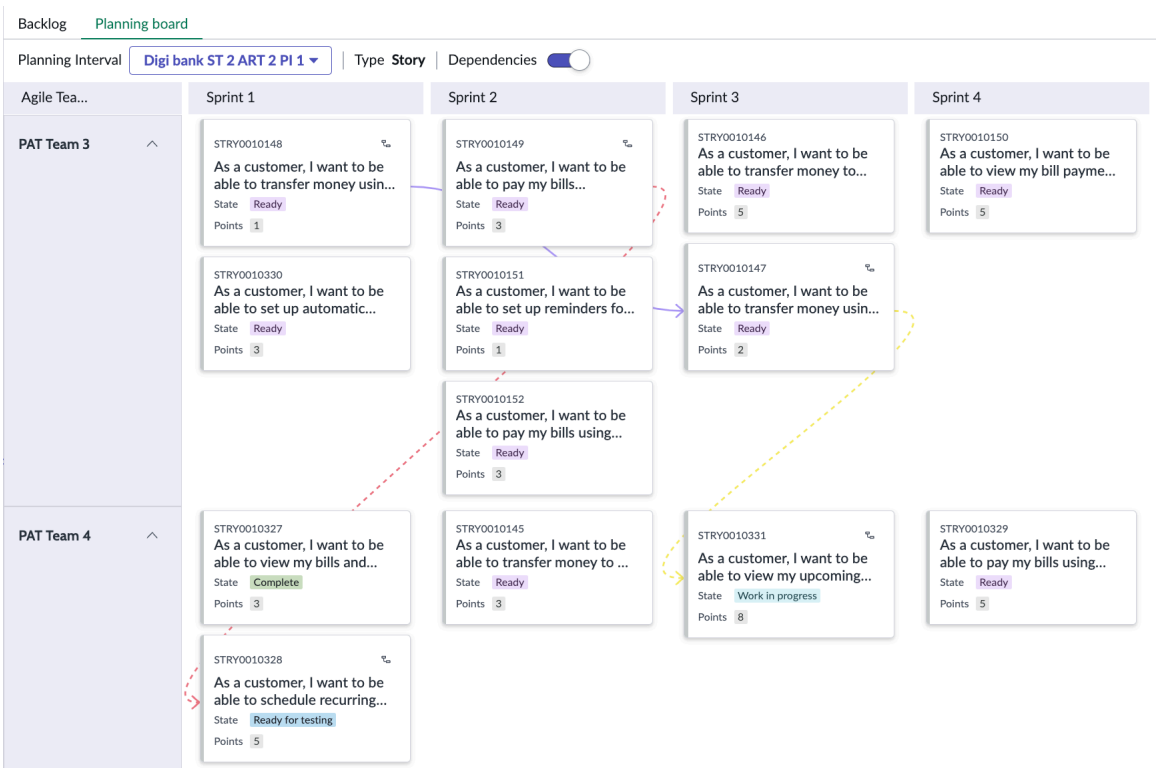
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

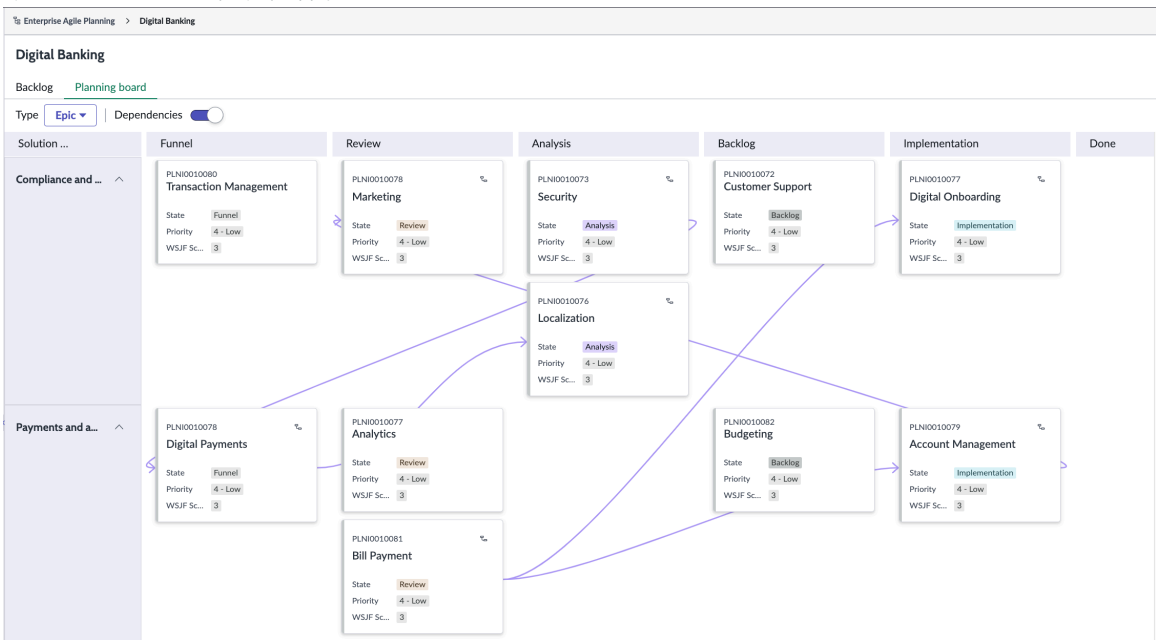
注:
これらの色は通常、計画カレンダーを含むため、ART およびアジャイルチームの計画ボードに適用されます。

- ソリューショントレーニングまたはポートフォリオの計画ボードでの依存関係は紫色で表示され、スケジュールの競合を示すものではありません。
- アジャイルチームの計画ボードでの依存関係は、同じスプリントにスケジュールされているため、黄色で表示されます。

ART の依存関係行



ポートフォリオの依存関係行



自動翻訳

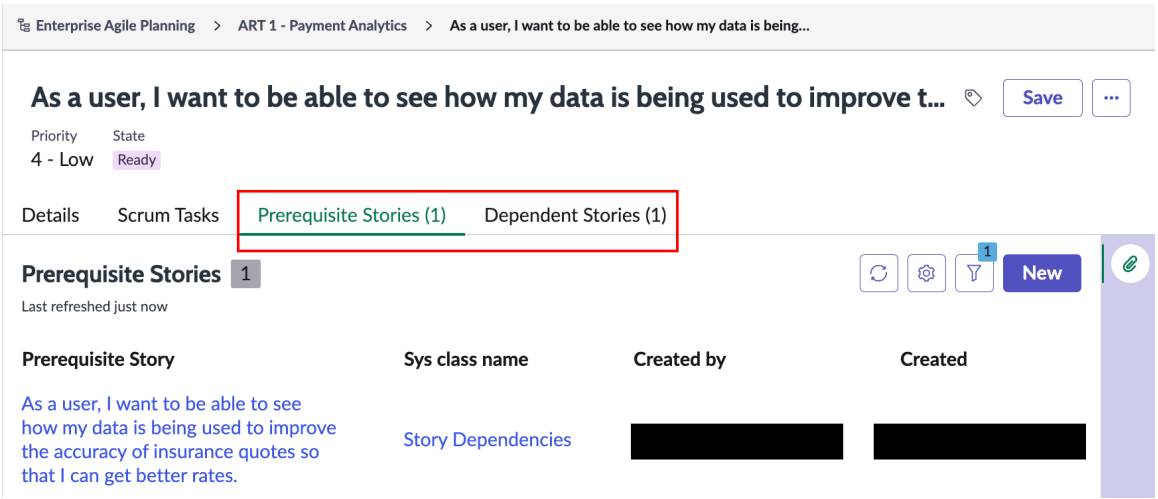
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業アイテムの依存関係関連リスト

作業項目に追加された依存関係は、作業項目の [完全な詳細] ページに表示されます。依存アイテムと前提条件アイテムは、この作業アイテムの関連リストに一覧表示されます。これらの関連リストから新しい依存関係を追加することもできます。

これらの関連リストの名前は、エピック、機能、機能、およびストーリーの間でさまざまです。表示しているアイテムのタイプに基づいて、リストには依存アイテム、依存先、前提条件ストーリー、および依存ストーリーという名前を付けることができます。

次のスクリーンショットは、ストーリーの依存関係関連リストを示しています。



関連情報

での作業項目間の依存関係の作成と管理 EAP

での作業項目間の依存関係の作成と管理 **EAP**

チーム間およびイテレーション間で作業アイテムの依存関係をリアルタイムで描画し、 の計画ボード Enterprise Agile Planningを使用して共同作業中に視覚的に分析します。

始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

このタスクについて
このタスクの説明は、例として、計画間隔 (PI) をカレンダーとする Agile リリーストレーニング (ART) のストーリーを使用して説明されています。アジャイル チーム、ソリューション トレイン、またはポートフォリオの作業項目の依存関係の作成、更新、および削除にも同じガイダンスが適用されます。

- 別のストーリーによって依存関係があるストーリーは、前提条件ストーリーと呼ばれます。
- 別のストーリーに依存するストーリーは、依存ストーリーと呼ばれます。

手順

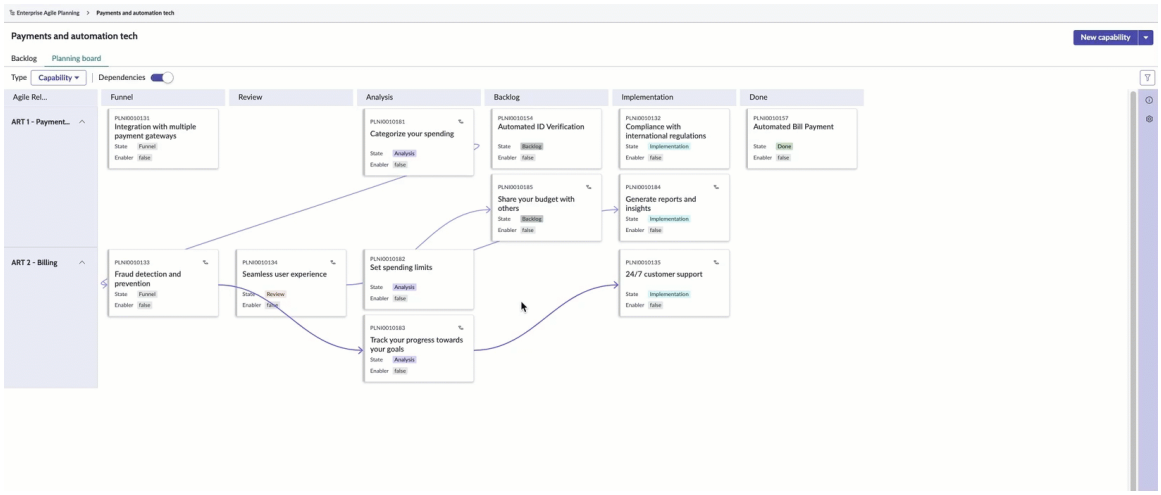
1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、チームを選択します EAP 。
3. 依存関係があるストーリーを特定し、計画ボードのインタラクティブ機能を使用してストーリー間に依存関係線を引きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 依存ストーリーカードで、[依存関係線を追加] アイコン (依存関係  アイコン) をクリックします。
依存関係の点線が表示されます。

b. 前提条件ストーリーカードを選択して、依存関係線の描画を終了します。



ボードの作業項目に依存関係が追加されます。

4. 依存関係の線の色が黄色または赤である場合は、それをレビューし、必要に応じてストーリーを再スケジュールします。

5. 依存関係を削除して、要件の変更を考慮します。

a. 依存関係を持つ作業アイテムカードの完全詳細ページに移動します。

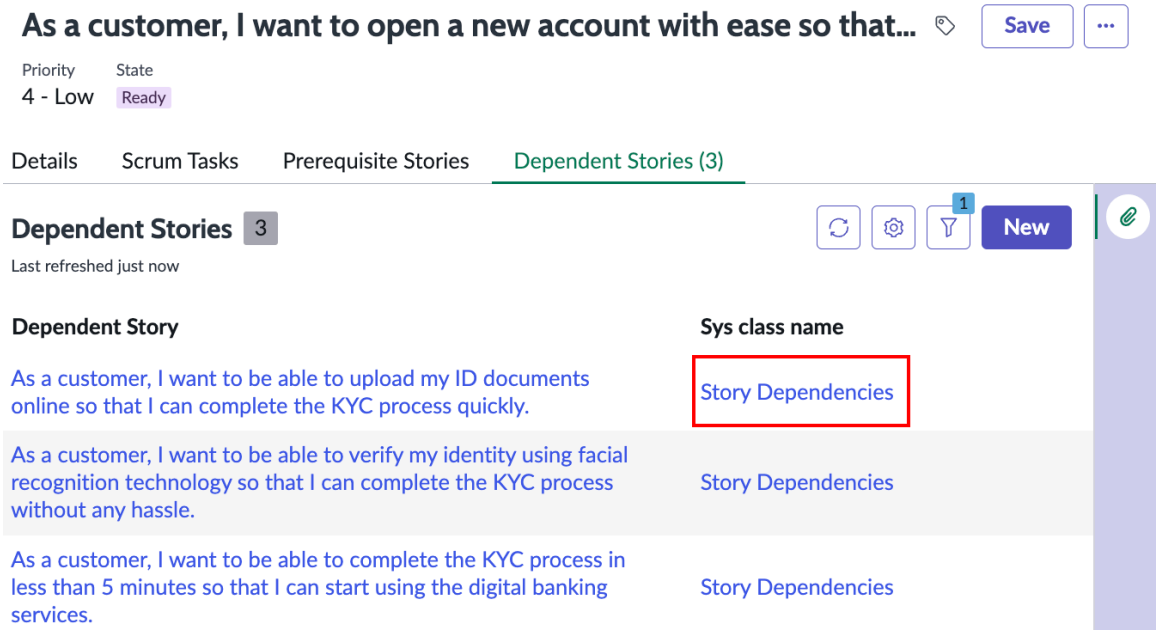
b. [前提条件ストーリー] 関連リストまたは [依存ストーリー] 関連リストから、削除する依存関係を見つけます。

> **注:**
> これらの関連リストの名前は、エピックとソリューショントレーニングで異なります。

c. [システムクラス名] 列から、[ストーリーの依存関係] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. 依存関係アイテムのヘッダーから、[その他のアクション] アイコン ( ) を選択し、[削除] を選択します。

e. [**OK]** を選択して、依存関係の削除を確認します。

でアジャイルチームの進捗状況を追跡する **EAP**

計画ボード Enterprise Agile Planning を使用して、現在のイテレーションでアジャイルチームにアサインされた作業の進捗状況を追跡します。

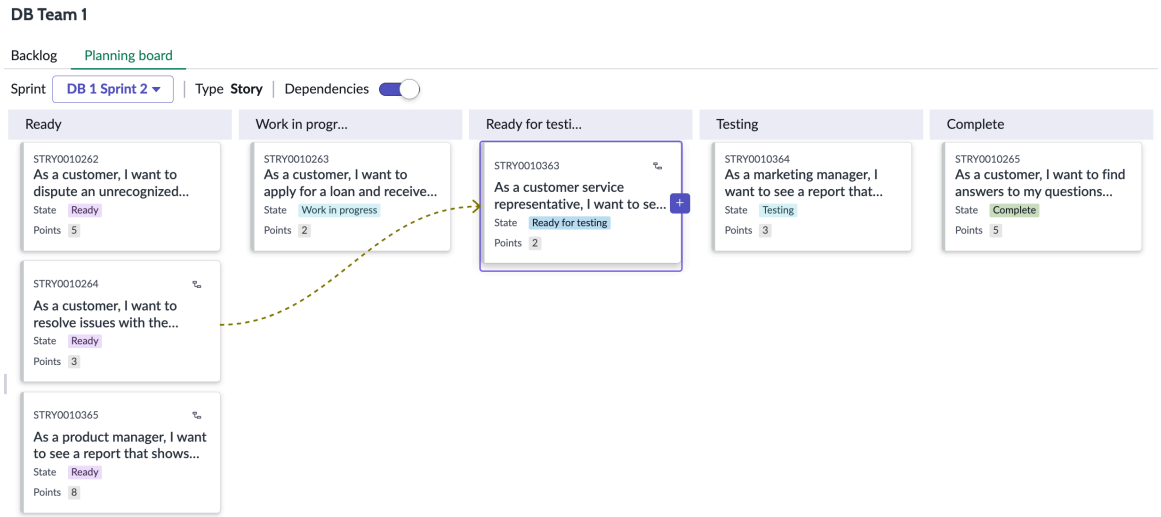
始める前に
必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションから、アジャイルチームを選択します。
3. 計画ボードで、垂直ステータスレーンを使用してストーリーのステータスを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



前提条件ストーリーと依存ストーリーの両方が同じスプリントにスケジュールされているため、選択したイテレーションのストーリー間の依存関係は黄色で表示されます。の依存関係 EAPの詳細については、「」を参照してください での作業項目間の依存関係の作成と管理 EAP。

4. チームがアサインされた作業を進めていく過程で、ストーリーのカードを関連するレーンに移動して、ストーリーの進行状況をマークします。

計画ボードの **EAP** カードのカスタマイズ

ストーリーカードに表示する測定基準とインジケーターを選択して、計画ボードで重要な情報を一目でわかるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_apw_advanced.eap_user

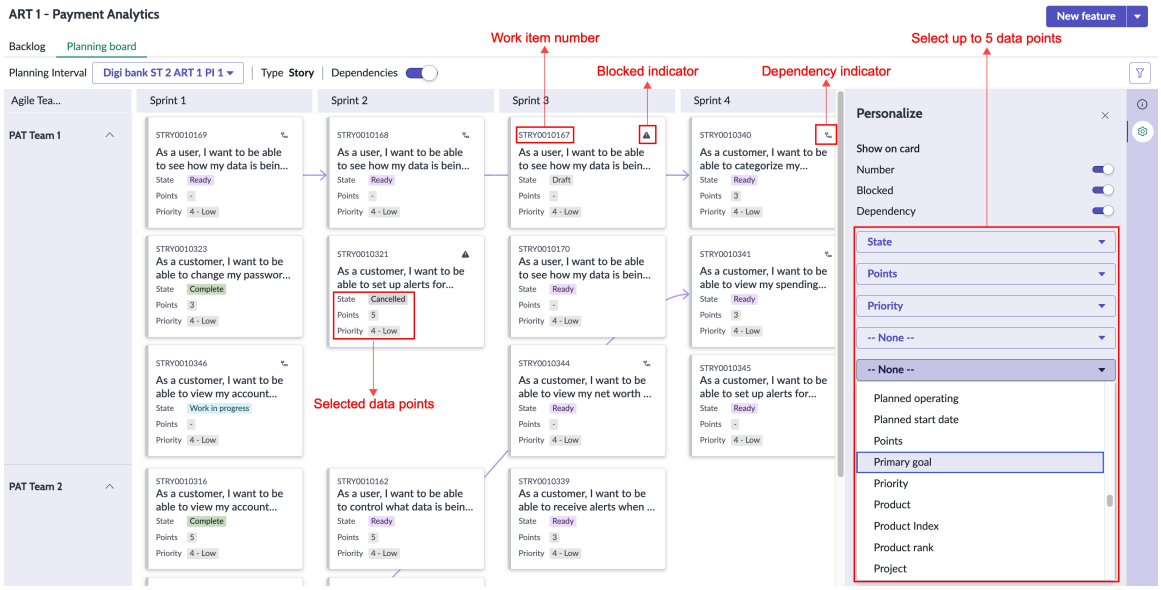
手順

1. 移動先 ワークスペース > **Strategic Planning Workspace** > **Enterprise Agile Planning**.
2. 左側のナビゲーションパネルの [アジャイル構造] セクションで、チームを選択します EAP 。
3. 計画ボードから、計画ボードのカスタマイズパネルアイコン ( ) を選択します。
4. [カスタマイズ] サイドパネルから、ストーリーカードに表示するインジケーターとデータポイントを選択します。

   選択内容は自動的にカードに適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 必要な選択をすべて行ったら、サイドパネルを閉じます。

Enterprise Agile Planning の参照

参照トピックには、Enterprise Agile Planning (EAP) の構成と使用に使用するリスト、フォーム、ロール、テーブル、およびその他のコンポーネントに関する追加情報が記載されています。

一緒にインストールされるコンポーネント Enterprise Agile Planning

アプリケーションをインストールすると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) がインストールされ Enterprise Agile Planning ます 戦略的計画 。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
EAP 管理者 [sn_apw_advanced.eap_admin]	チームを EAP 構成に追加したり、削除したりできます。	sn_apw_advanced.eap_user
EAP ユーザー [sn_apw_advanced.eap_user]	• 作業項目を作成、更新、および削除できます • 計画間隔やスプリントなどの反復を作成および変更できます • チームのバックログおよび計画ボードにアクセスできます。	• scrum_master • sn_apw_advanced.eap_read_only

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
EAP 読み取り専用ロール [sn_apw_advanced.eap_read_only]	チームのバックログおよび計画ボードを表示できます EAP 。	• scrum_user • workspace_user • canvas_user

インストールされるテーブル

テーブル	説明
アジャイルリリーストレイン [sn_apw_advanced_agile_release_train]	構成のアジャイル構造 EAP に対して作成されたすべての Agile リリーストレーニングの情報を保存します。 このテーブルは、Enterprise Agile チーム [sn_apw_advanced_eap_team] テーブルを拡張します。
アジャイルチーム [sn_apw_advanced_agile_team]	構成のアジャイル構造 EAP に対して作成されたすべてのアジャイルチームの情報を保存します。 このテーブルは、Enterprise Agile チーム [sn_apw_advanced_eap_team] テーブルを拡張します。
機能 [sn_align_core_capability]	で EAP作成された作業アイテムのすべての機能タイプの情報を保存します。 このテーブルは、計画立案アイテム [sn_align_core_eap_planning_item] テーブルを拡張します EAP 。
EAP 計画立案アイテム [sn_align_core_eap_planning_item]	すべての EAP 作業項目の種類のベーステーブル。 このテーブルは、計画立案アイテムエントリ [sn_align_core_planning_item] テーブルを拡張します。
Enterprise アジャイルカレンダー [sn_apw_advanced_eap_calendar]	計画間隔やスプリントなどの反復タイプの情報を保存します。 このテーブルは、ビジネスカレンダー [business_calendar] テーブルを拡張します。
Enterprise アジャイルカレンダーエントリ [sn_apw_advanced_eap_calendar_span]	ビジネスカレンダースパンのカレンダーエントリについて、定義されたタイムラインの情報または日付スパンを保存します。 たとえば、スプリントカレンダータイプでは、3 か月にわたる 6 つのカレンダーエントリを作成できます。このテーブルには、これらの各スプリントカレンダーエントリの日付スパンが格納されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	このテーブルは、ビジネスカレンダーエントリ [business_calendar_span] テーブルを拡張します。
Enterprise アジャイル構成 (sn_apw_advanced_eap_configuration)	完全な構成、ポートフォリオ構成、その他のデフォルト構成やカスタム構成などのアジャイル構成の情報を保存します。
Enterprise アジャイル構成の詳細 [sn_apw_advanced_eap_configuration_detail]	構成のチームタイプに関連付けられたデフォルトの作業アイテムタイプと計画カレンダーの詳細を保存します。 また、次のものも保存されます。 • 構成のアジャイル構造におけるチーム階層。 • [バックログ] および [計画ボード] ページで利用可能な作業アイテムタイプ。
Enterprise アジャイル反復 [sn_apw_advanced_eap_iteration]	キャパシティ、合計ポイント、状態など、チームレベルの反復の詳細を格納します。
Enterprise アジャイル反復タイプ [sn_apw_advanced_eap_iteration_type]	計画間隔やスプリントなどの計画カレンダータイプに関する情報を保存します。
Enterprise アジャイルチーム [sn_apw_advanced_eap_team]	構成のアジャイル構造で作成された ART、ソリューショントレーニング、Agile リリーストレーニング、ポートフォリオなどのすべての EAP チームのベーステーブル。
Enterprise アジャイルチームの構造 [sn_apw_advanced_eap_team_structure]	チーム階層の情報が含まれています。
Enterprise アジャイル作業の構造 [sn_apw_advanced_eap_work_structure]	作業項目の種類の階層の情報が含まれます。
エピック [sn_align_core_epic]	で EAP作成されたすべてのエピック作業アイテムの情報を保存します。 このテーブルは、計画立案アイテム [sn_align_core_eap_planning_item] テーブルを拡張します EAP 。
機能 [sn_align_core_feature]	で EAP作成されたすべてのフィーチャー作業アイテムの情報を保存します。 このテーブルは、計画立案アイテム [sn_align_core_eap_planning_item] テーブルを拡張します EAP 。

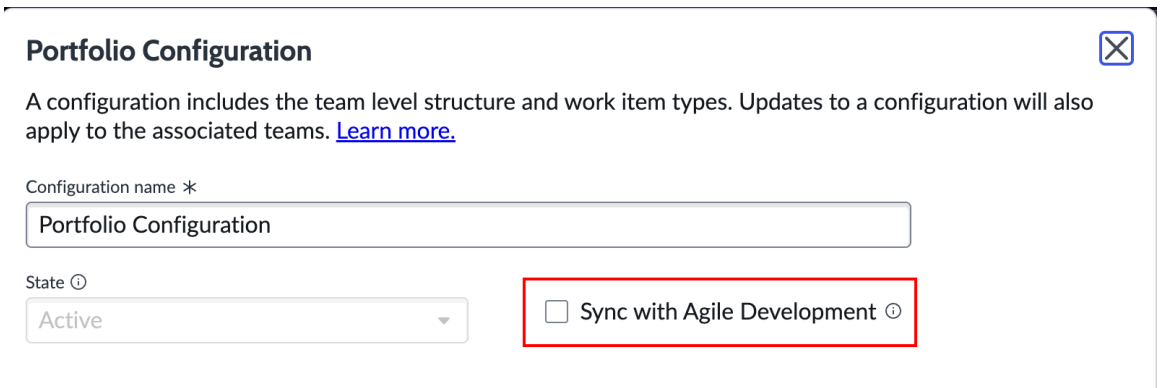
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ソリューショントレーニング [sn_apw_advanced_solution_train]	構成のアジャイル構造 EAP に対して作成されたすべてのソリューショントレーニングの情報を保存します。 このテーブルは、Enterprise Agile チーム [sn_apw_advanced_eap_team] テーブルを拡張します。
SAFe ポートフォリオ [sn_apw_advanced_eap_portfolio]	構成の EAP アジャイル構造に対して作成されたすべてのポートフォリオの情報を保存します。 このテーブルは、Enterprise Agile チーム [sn_apw_advanced_eap_team] テーブルを拡張します。
ストーリー [rm_story]	作成されたすべてのストーリーの情報を保存します。 このテーブルは、 Agile Development 2.0 とともに 戦略的計画インストールされるアプリケーションとともにインストールされます。

との統合**EAPAgile Development 2.0**

での構成 Enterprise Agile Planningのセットアップ中に、 と Agile Development 2.0の統合を確立できます。接続されているテーブルと情報へのアクセス方法の詳細を確認します。



構成フォームで EAP**[Agile Development** と 同期] オプションを有効にすると、次のテーブルの情報が 2 つのアプリ間で同期されます。

EAP テーブル	Agile Development 2.0 テーブル
エンタープライズアジャイルイテレーション [sn_apw_advanced_eap_iteration]	スプリント [rm_sprint]

構成に対してこの同期が確立されると、次の機能が変更されます。

スプリントの作成と更新

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スプリントの作成は、EAP から行うことをお勧めします。
- で EAP スプリントを作成すると、関連するスプリントが Agile Development 2.0に作成されます。

  スプリント EAP の日付がrm_sprintテーブルのレコードと重複している場合、の新しい Agile Development 2.0スプリントは作成されません。重複しない日付のスプリントを作成するか、rm_sprintテーブルから既存のスプリントを削除するかを選択できます。

- のスプリントの開始予定日と終了予定日のフィールドは読み取り専用になり、 の Agile Development 2.0 イテレーション EAPにマップされたビジネスカレンダースパンから派生します。
- で EAP スプリントの詳細を更新すると、 の Agile Development 2.0対応するスプリントの詳細が更新されます。
- から EAP スプリントを削除すると、対応するレコードがスプリント [rm_sprint] テーブルから削除されます。
- スプリント [rm_sprint] テーブルで、反復の EAP 親と EAP 、この反復が属するチームの参照フィールドが作成されます。

ストーリーの作成と更新

- この構成のスプリントにスケジュール設定されているすべてのストーリーには、 のスプリント Agile Development 2.0でアクセスできます。

  アジャイルボードからこのスプリントの進捗状況を追跡できます。

- ストーリーの詳細に加えられた変更や進行状況は、両方のアプリケーションに表示されます。
- ストーリー [rm_story] テーブルで、フィールド関連リストのチーム、反復、構成、および親作業アイテムEAPのEAP参照フィールドが作成されます。
- ストーリーが別のスプリントに再スケジュールされたり、アジャイルボードのバックログに移動されたりすると、ストーリーは更新 EAP され、その逆も同様です。

注:
EAP のストーリーレコードは、デフォルトではプラグインとともにインストールされるストーリー [rm_story] テーブルに保存されます Agile Development 2.0 。

チームタイプフォーム

に新しいチームタイプ Enterprise Agile Planningを追加するために必要な新しいテーブルフォームのフィールドについて説明します。

新しいテーブルフォーム

フィールド	説明
ラベル	テーブルの一意のラベル。
名前	このフィールドは、[ラベル] フィールドの入力から自動生成されます。
アプリケーション	このフィールドは、スコープに基づいて 自動的に **[Portfolio Planning Core]** に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいテーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドに別の値が表示されている場合は、インスタンスの ServiceNow スコープを **Portfolio Planning Core** に設定します。
拡張テーブル	[エンタープライズアジャイルチーム] を選択します。
コントロール	
ユーザーロール	このテーブルへのアクセス権をユーザーに付与するには、このフィールドを EAP**sn_apw_advanced.eap_user** に設定します。
アプリケーションのアクセス	
[読み取り可能]、[作成可能]、[更新可能]、および [削除可能] フィールドを有効にします。	

関連情報

でのカスタムチームタイプの作成 EAP

作業アイテムタイプフォーム

に新しい作業項目の種類 Enterprise Agile Planningを追加するために必要な新しいテーブル フォームのフィールドについて説明します。

新しいテーブルフォーム

フィールド	説明
ラベル	テーブルの一意のラベル。
名前	このフィールドは、[ラベル] フィールドの入力から自動生成されます。
アプリケーション	このフィールドは、スコープに基づいて 自動的に **[Portfolio Planning Core]** に設定されます。 このフィールドに別の値が表示されている場合は、インスタンスの ServiceNow スコープを **Portfolio Planning Core** に設定します。
拡張テーブル	**EAP** 計画立案アイテムを選択します。
コントロール	
ユーザーロール	このテーブルへのアクセス権をユーザーに付与するには、このフィールドを EAP**sn_apw_advanced.eap_user** に設定します。
アプリケーションのアクセス	
[読み取り可能]、[作成可能]、[更新可能]、および [削除可能] フィールドを有効にします。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

でのカスタム作業項目の種類の作成 EAP

のアジャイル構成 EAP

共同作業管理

ServiceNow® 共同作業管理 (CWM) は、チームとの作業を計画、視覚化、管理、および共同作業するための中心的なハブを提供します。作業の進捗状況と目標を管理するための複数のツールの切り替えを回避することで、時間を節約し、チームの効率を向上させます。

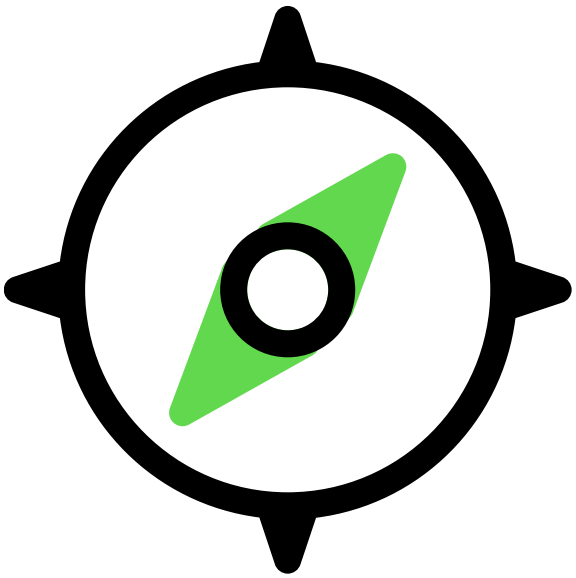
概要

CWM を使用すると、タスクを詳細に計画し、予定されていない作業とそのリソースを整理し、部門横断チームとのコラボレーションを行うことができます。アプリケーションの概要については、次のインフォグラフィックを確認してください。

進行中のインフォグラフィック。

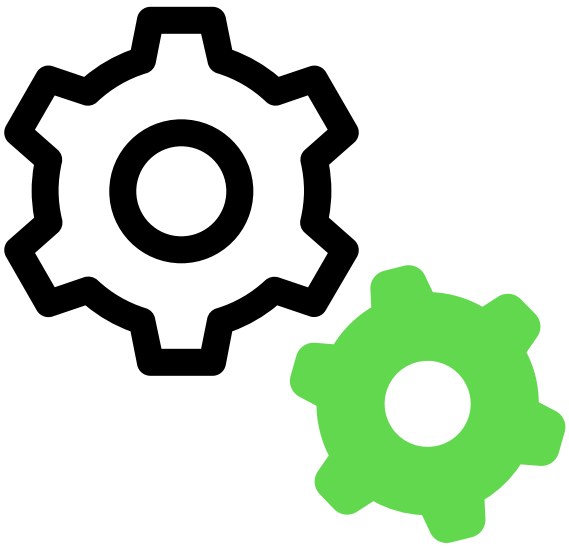
開始するには

探索



の主な機能とビジネス価値を学ぶ CWM

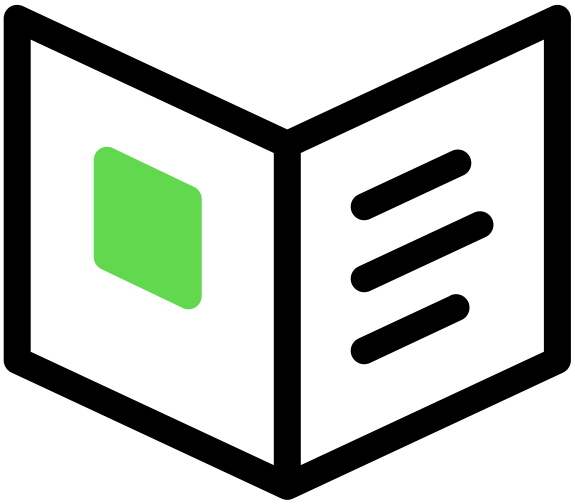
構成



CWM のセットアップ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用方法	参照
	
CWM を使用した作業で のコラボレーションを開始	の CWMロール、テーブル、およびシ ステムプロパティについて説明します。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community .
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索します 。
- 担当者 カスタマーサービス & サポート .

共同作業管理 の詳細

(CWM) の詳細共同作業管理を確認し、() がチームにもたらすメリットを確認してください。

共同作業管理 の概要

CWM は、コラボレーションスペースを使用して自分とチームに割り当てられたタスクを整理および管理できるエンタープライズ作業管理ツールです。異なるアプリケーションを切り替えることなく、1つの場所から作業を管理し、価値を追跡できます。

[CWM] では、次のことができます。

- 共有スペースを使用してリアルタイムで共同作業できます。
- カスタマイズ可能なボードを使用して、チームで柔軟に作業できるようにします。
- 個人作業タスク、チームタスク、予定されていないタスク、開発作業など、あらゆるタイプの作業を中央ワークスペースから整理および管理します。
- リッチテキストドキュメントを作成して、必要なすべてのドキュメントをタスク内で直接管理します。
- 戦略的計画ポートフォリオ計画でボードの優先順位付けとロードマップを作成できるワークスペースに接続します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ボード上のすべての作業をビジネス目標に結び付けることで、チームの仕事がもたらしている価値を理解します。
- インシデント、リスク、問題などの作業 Now Platform を参照します。

共同作業管理 のワークフロー

ワークフローのインフォグラフィックが進行中です。チームのリリースキックオフなどの小さなユースケースを示すことを計画します。製品オーナー、スクラムマスター、およびチームメンバーがスペース、タスクボード、およびドキュメントを使用して共同作業を行い、タスクを完了する方法を示します。

を使用した作業のコラボレーションと管理 **CWM**

共同作業管理 のメリット

メリット	機能
スペースを作成し、チームの他のユーザーと共有して、チームの作業を整理および管理します。スペース内では、タスクを管理するための無制限のボードと、それらのタスクのドキュメントを管理するためのドキュメントを作成できます。 マイ スペースを個人用 スペース として使用して、自分に割り当てられた作業を管理します。	スペース
管理者ユーザーの関与なしに柔軟なワークスペースを構築します。独自のワークフローを定義し、思い通りに作業を整理できます。 • タスクレコードのカスタムフィールドを作成します。 • リストビュー、ガントビュー、カンバンビューを切り替えます。 • カスタム作業項目の種類を作成します。	ボード
会議メモ、技術仕様、機能要件などのさまざまな種類のドキュメントを 1 か所から管理し、複数の切断されたツールの使用を回避します。 • リッチテキストドキュメントを作成し、チーム内外のユーザーにアクションアイテムを追加します。 • チームメンバーとリアルタイムでドキュメントの共同作業を行います。	ドキュメント
ワークスペースのポートフォリオ計画の 戦略的計画 ボードに優先順位を付けてロードマップします。 組織、プロジェクトポートフォリオ、および戦略的投資の各レンズは、計画立案アイテムとしてのボードをサポートします CWM 。	接続:CWM戦略的計画

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能
インシデント、リスク、問題などの他のレコードへの Now Platform 参照をドキュメントに追加します CWM 。	他との統合 Now Platform 可能にします

共同作業管理 の構成

チームが実装 共同作業管理する方法を計画および構成します。

構成の概要

共同作業管理 をセットアップするプロセスの指針として、次のステップを使用してください。ステップ 3 ～ 5 はオプションであり、CWM エクスペリエンス Now Platformを .

1. 共同作業管理 のインストール。
2. 関連するユーザーにロールをアサインします CWM 。「共同作業管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
3. 優先順位付け、ロードマップ、および目標のための CWM ボードを含めるように設定します 戦略的計画 。「接続:CWM戦略的計画」を参照してください。
4. ドキュメントで参照できる他の Now Platform テーブルを追加します。

   「共同作業管理でインストールされるプロパティ」を参照してください。
5. ユーザー以外のCWMユーザーがワークスペースへのアクセスCWMを要求できるように、[アクセスを要求] ボタンを有効にします。

   「共同作業管理でインストールされるプロパティ」を参照してください。

共同作業管理 のインストール

admin ロールを持っている場合は、共同作業管理() アプリケーション (CWMcom.snc.cwm) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンス交付やサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、の Collaborative Work Management アプリケーションのリスト ServiceNow Store を確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

共同作業管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- テーブル
- システムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「共同作業管理 とともにインストールされるコンポーネント」と「共同作業管理 でインストールされるプロパティ」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション 共同作業管理 (com.snc.cwm) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
6. [インストール] を選択します。

接続:CWM戦略的計画

ポートフォリオ計画で目標を計画、ロードマップし、ボードに関連付けることができるように、ボードを含めるCWMように構成戦略的計画します。

ボードをレンズ構成に追加する CWM と、ポートフォリオ計画の [優先順位付け]、[ロードマップ]、および [目標] ページで計画立案アイテムとしてボードにアクセスできます。

注:
この機能を使用するには、 戦略的計画 から ServiceNow Storeアプリケーションをインストールする必要があります。

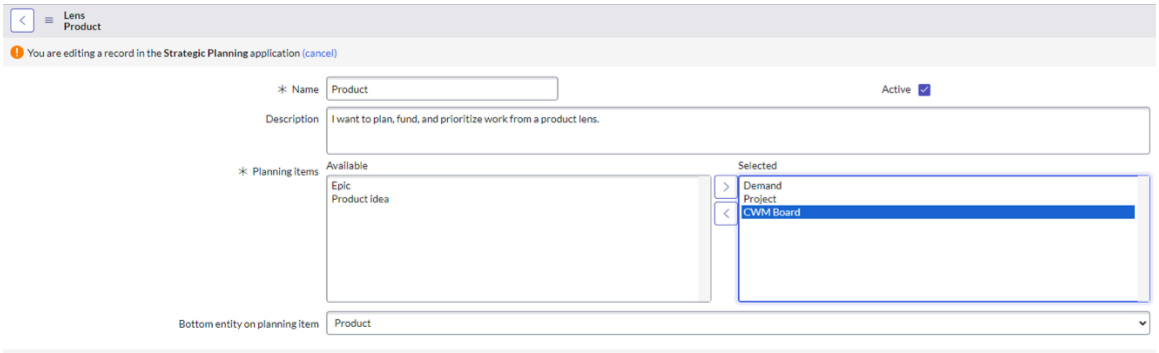
レンズ構成にボードを含める

ワークスペースで 戦略的計画 ポートフォリオ計画を構築するために使用するレンズについて、構成を更新して **CWM** ボード を計画立案アイテムとして含めます。

組織、プロジェクトポートフォリオ、および戦略的投資の各レンズは、計画立案アイテムとしてのボードをサポートします CWM 。レンズ構成を更新する方法については、「」を参照してください でのレンズの作成または変更 戦略的計画。

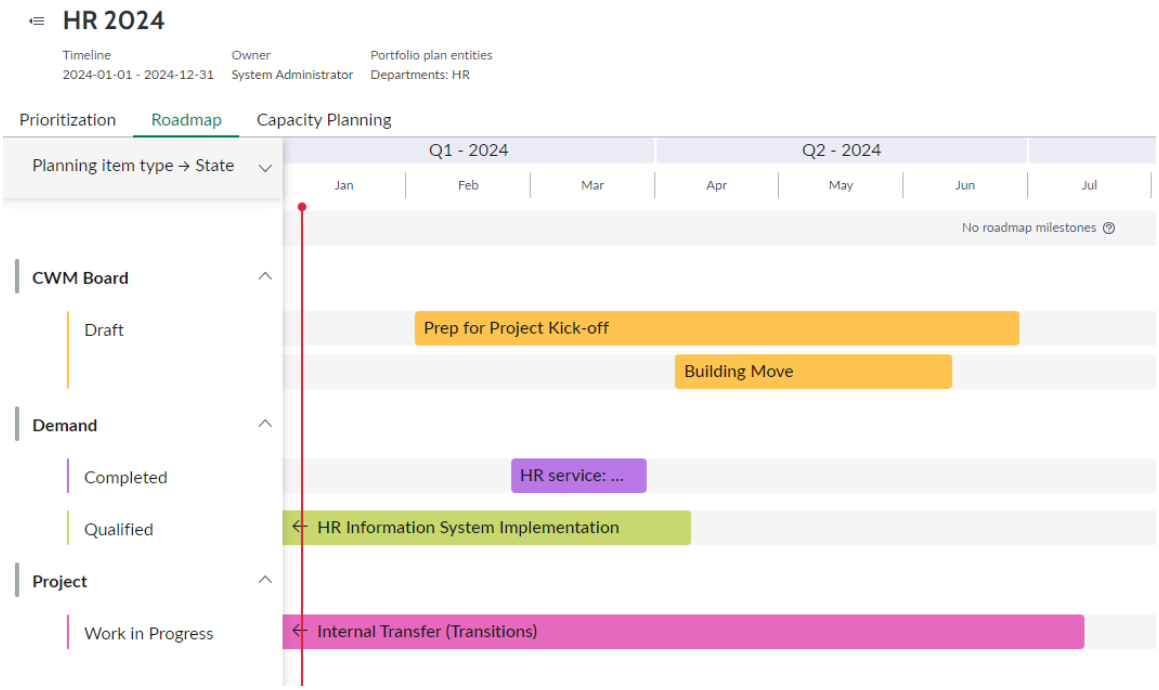
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ポートフォリオ計画でのボードの優先順位付けとロードマップ

計画立案アイテムの形式で、ポートフォリオ計画の CWM ボードに優先順位を付けてロードマップします。ロードマップ上でボードのスケジュールを視覚化し、その進捗状況を追跡することもできます。詳細については、「での作業の優先順位付け 戦略的計画」と「戦略的計画 ワークスペースでのロードマップアイテムの進捗状況の追跡」を参照。

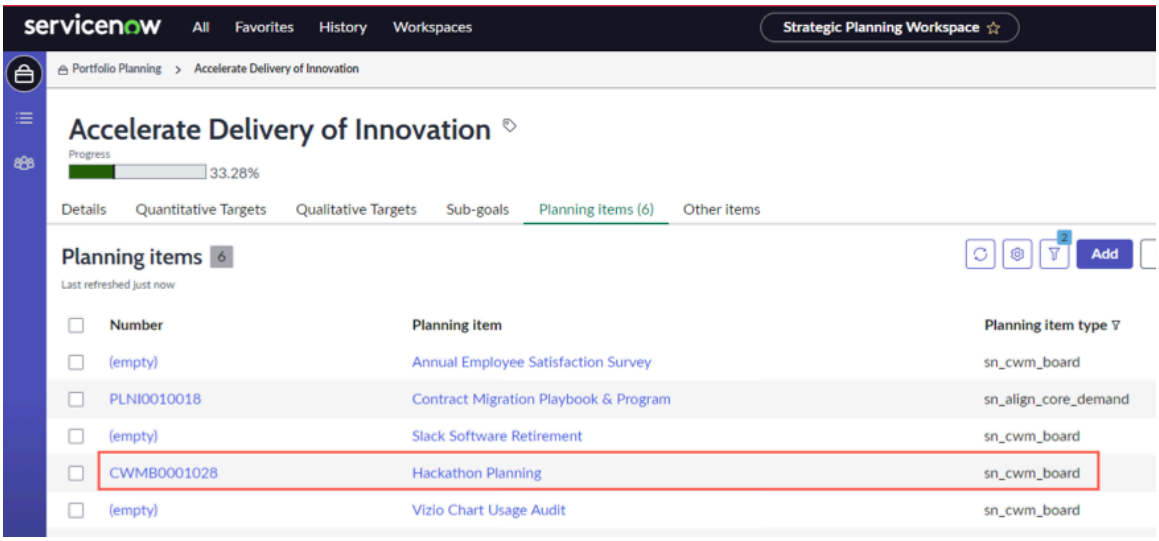


ポートフォリオ計画の目標へのボードの追加

ポートフォリオ計画の目標に計画立案アイテムとしてボードを追加します。この目標に貢献するすべてのアクティビティとタスクの進捗状況を CWM ワークスペースから直接整理および監視できます。詳細については、「戦略的計画 での目標管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



でのスペースとのコラボレーション **CWM**

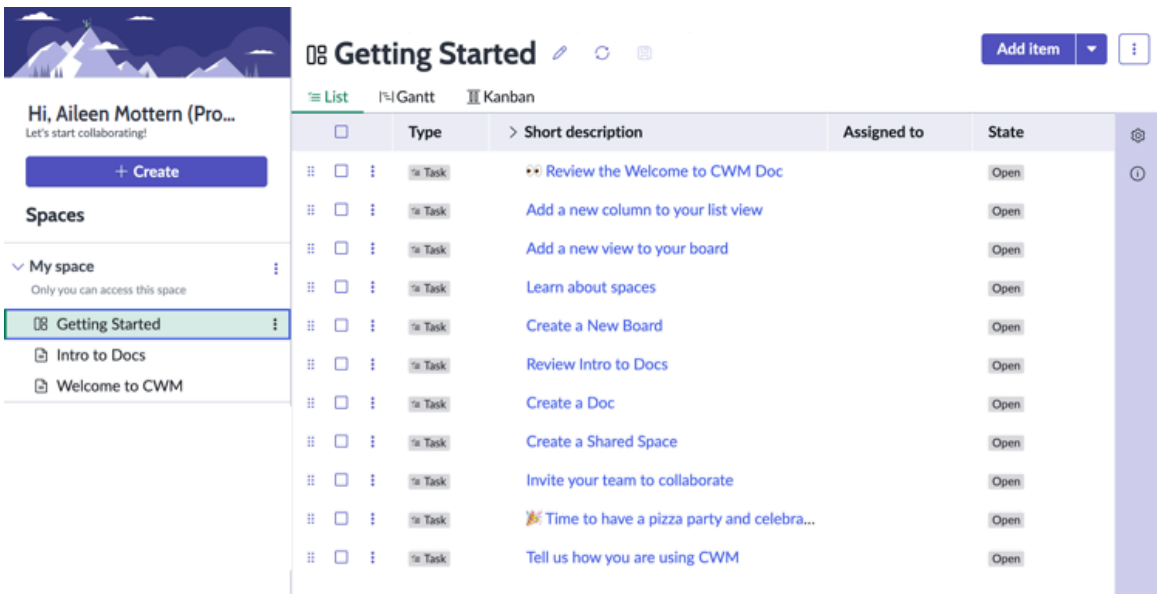
チームがプロジェクト、目標、または割り当てに共同で取り組むためのコラボレーションスペースを作成します。

CWM には、自分だけがアクセスできる個人用スペースと、組織内の他のユーザーと共同作業するために作成できる共有スペースの 2 種類のスペースが用意されています。

自分のスペース

デフォルトでは、ワークスペースのさまざまな機能やオプションに慣れることができるように、スペースとサンプルボードが自動的に作成されます。個人用スペースから、「 ドキュメントの概要 」および「 **CWM** へようこそ」ドキュメントを参照して、 で実行できる CWM操作の概要を確認できます。

タスクボードやドキュメントをさらに作成し、フォルダに整理して、自分に割り当てられた作業を管理します。



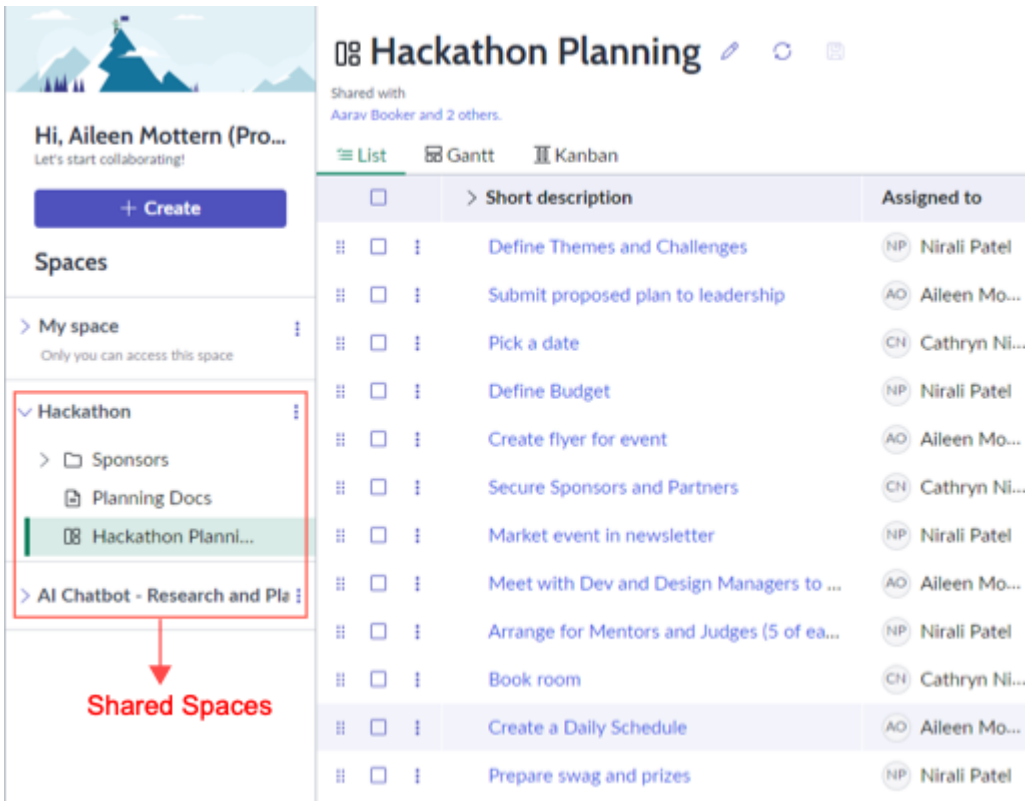
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有スペース

共有スペースは、部門横断的なチームが集まり、共通の目標に向かってコラボレーションするための中心的な場所として機能します。次の大きなリリースの計画、プレゼンテーションの準備、会議の開催など、タスクボードや共同ドキュメントを使用してさらに多くのことを行います。

を介して任意のレコード Now Platformに接続できるため、情報が複数のアプリに分散したり、予定されていないタスクが欠落したりするリスクを回避できます。



次のセクションを使用して、ワークスペースで共有スペースの使用を開始します。

でのスペースの作成 CWM

にスペース 共同作業管理 を作成して、部門横断的なチームが集まって作業タスクとドキュメントを管理できるようにします。

始める前に

共同作業管理 のインストール。

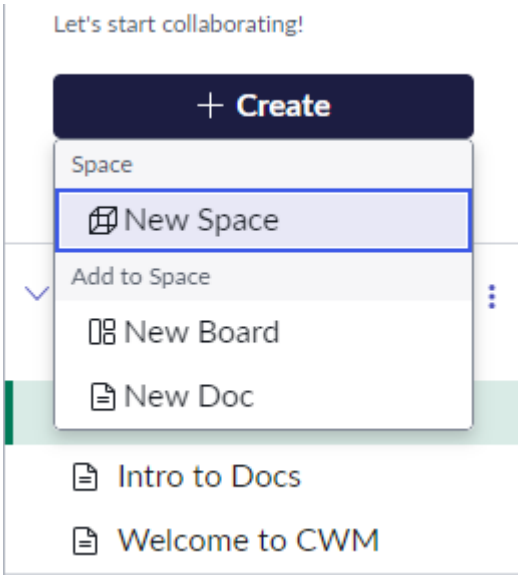
必要なロール:sn_cwm.cwm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. 左側のパネルで、 + 作成 > 新しいスペース.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [スペース名] フィールドに、スペースの名前を入力します。



4. [作成] を選択します。

タスクの結果

新しいスペースが作成され、[自分のスペース] セクションのすぐ下に追加されます。

各プロジェクト、チーム、またはその他のアサインに必要な数のスペースを追加できます。

次のタスク

- ボードを作成して、チームやプロジェクトの作業を整理および管理します。「でのボードの作成 CWM」を参照してください。
- チームの他のメンバーとスペースを共有します。「でのスペースの共有 CWM」を参照してください。

でのスペースの共有 **CWM**

複数のチームメンバーを招待して、 共同作業管理 タスクまたはプロジェクトで共同作業を行う。

始める前に

でのスペースの作成 CWM。

必要なロール:sn_cwm.cwm_user

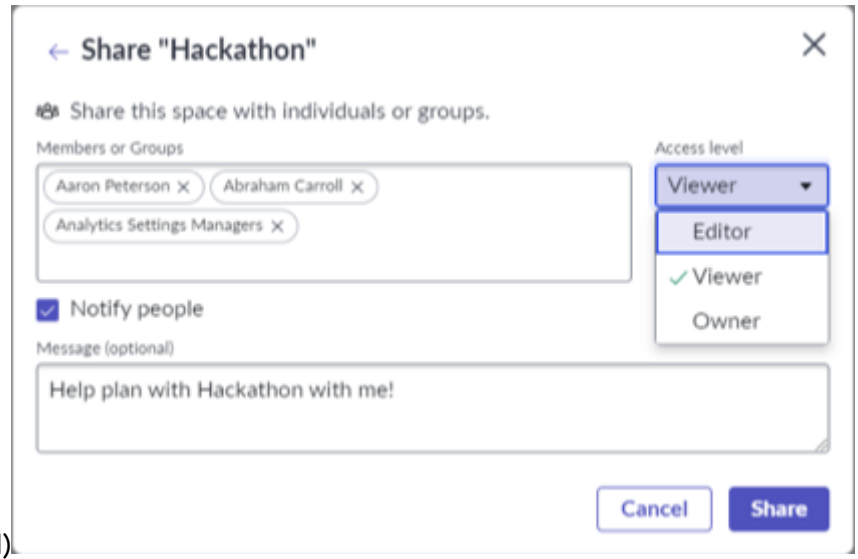
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. 左側のパネルから [スペース] を選択します。
3. スペースのヘッダーから [共有] を選択します。
4. [メンバーまたはグループ] フィールドに、個々のユーザーまたはグループの名前を入力します。
5. [アクセスレベル] フィールドで、これらのユーザーに必要なアクセス権を設定します。
6. オプション: このスペースに招待された理由をメンバーに通知するメッセージを追加します。

(Optional)



7. [共有] を選択します。

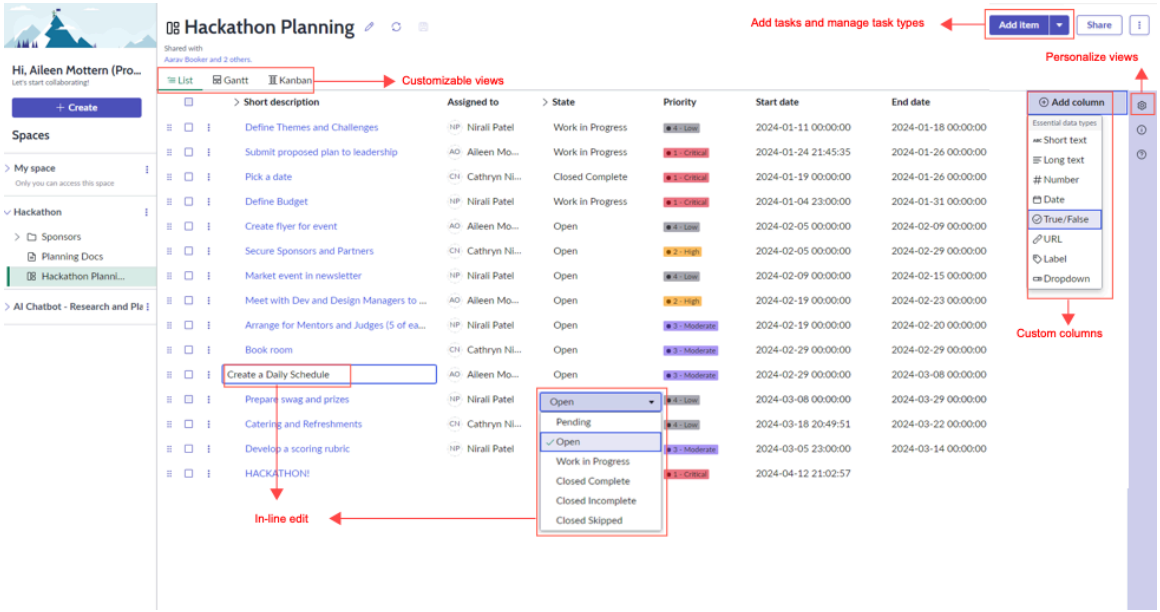
タスクの結果
このスペースを共有したユーザーに招待メールが送信されます。

でのボードを使用した作業の管理 CWM

のボード 共同作業管理 を使用して、タスクを定義し、整理します。リスト、カンバン、ガントなどのビューを使用して、自分とチームの作業方法に基づいてワークスペースを構成します。

次のセクションを使用して、ワークスペースでタスク ボードの使用を開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



でのボードの作成 CWM

チームに割り当てられた作業をタスクとして管理し、 の共有スペースの 共同作業管理カスタマイズ可能なボードを使用して完了まで追跡します。

始める前に

でのスペースの作成 CWM。

必要なロール:sn_cwm.cwm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. ボードを追加するスペースを開きます。
3. [スペース] ヘッダーから、 作成 > 新規ドキュメント
4. [ボード名] フィールドに、ボードの名前を入力します。
5. [作成] を選択します。

タスクの結果

選択したスペース内にボードが作成され、ワークスペースに空のボードが表示されます。スペースには、ワークフローの管理方法に基づいて無制限のボードを追加できます。

次のタスク

- ボードにタスクを追加します。「ボードに CWM タスクを追加する」を参照してください。
- ボードヘッダーの編集アイコン (編集) を使用して、ボードの名前を変更または編集します。

ボードに CWM タスクを追加する

ボードでの作業の計画を開始するには、タスクを追加してワークスペースで 共同作業管理 チームメンバーにアサインします。

始める前に

でのボードの作成 CWM。

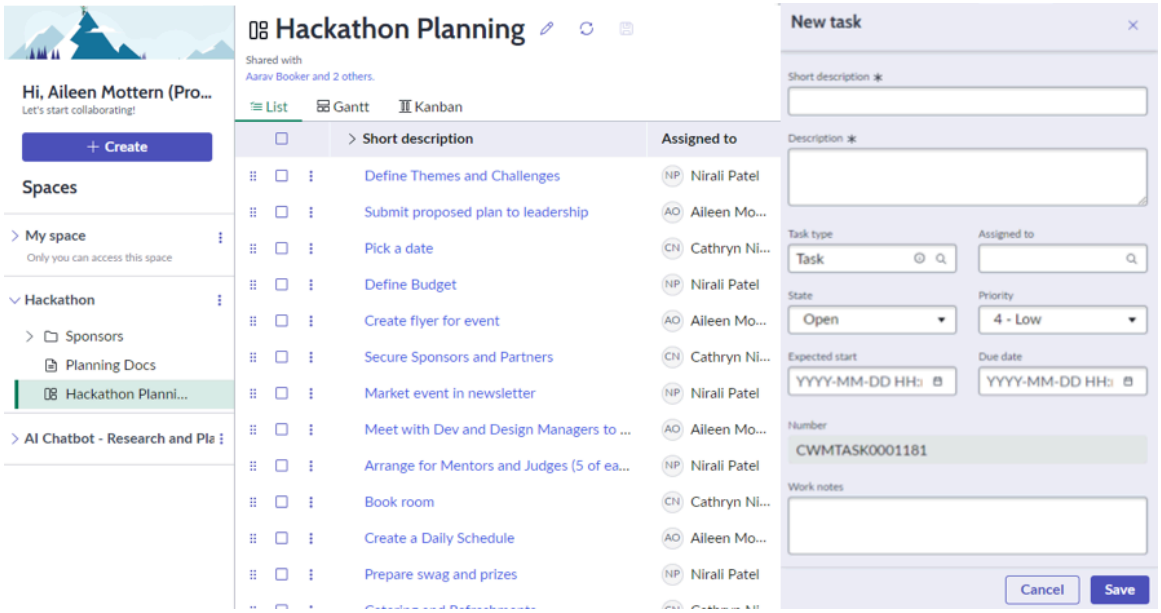
必要なロール:sn_cwm.cwm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. スペースから、タスクを追加するボードを選択します。
3. ボード ヘッダーから、 品目の追加 を選択します。
   で使用できる CWM 既定の作業項目の種類は、タスクと欠陥です。To Do、イベントなどの他の作業項目を作成する場合は、独自のタスクの種類を作成できます。「でのカスタム作業項目の種類の作成と管理 CWM」を参照してください。
4. 新しいタスク フォームで、簡単な説明、担当者、開始日、期日などのタスクの詳細を入力し、 保存 を選択します。



タスクの結果
タスクが作成され、ボードに追加されます。

次のタスク
ボードにタスクをさらに追加し、自分またはチームにアサインします。必要なユーザーとコラボレーションすることで作業の進捗状況を追跡し、すべてのタスクを完了します。

さらに、タスクの計画と管理を強化するために、次のことができます。

- タスクの追加列を作成して、他の詳細を追加します。「ボードの CWM タスクにカスタム列を追加する」を参照してください。
- ボード上のタスクに表示する列を選択します。「ボードビューの CWM カスタマイズ」を参照してください。

でのカスタム作業項目の種類の作成と管理 CWM

のボードの 共同作業管理カスタムアイテムタイプを作成して、ワークフローに関係なく、複数のタイプのタスクを 1 か所から整理および管理できるようにします。

始める前に
でのボードの作成 CWM。

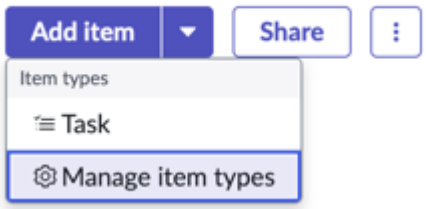
必要なロール:sn_cwm.cwm_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. スペースから、カスタムタスクを追加するボードを選択します。
3. ボードヘッダーから、[その他のアクション] アイコン ( ) を選択します。

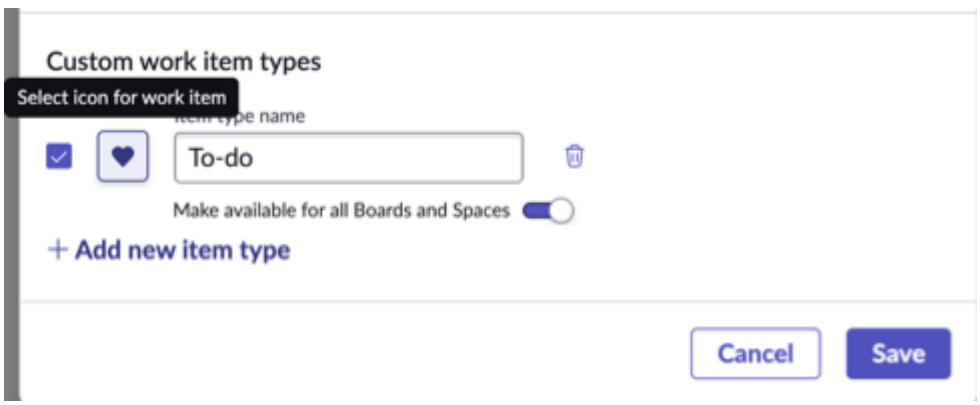


4. [デフォルトのアイテムタイプ] セクションで、ボードで使用できるようにタスクまたは欠陥を有効または無効にします。
5. [カスタム作業項目の種類] セクションから、新しい項目の種類を追加します。

   a. [項目タイプ名] フィールドで、[作業項目の編集] アイコン ( ) を選択し、作業項目の種類の名前を入力します。

   b. アイテムタイプを表すアイコンを選択します。

   c. このアイテムタイプをボードで使用できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。



   d. オプション: ワークスペース内のすべてのボードとスペースに対してこの作業アイテムタイプを有効にします。

   (Optional) このオプションを無効にすると、カスタムアイテムタイプは現在のボードにのみ適用されます。

   e. [+ 新しい項目の種類の追加] を選択して、別の 項目の種類の追加 を繰り返します。

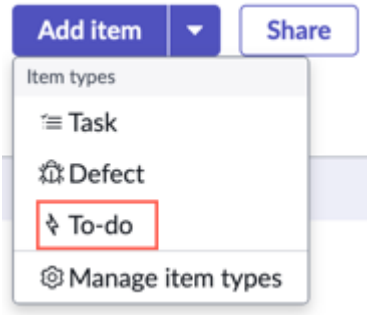
6. 必要なすべての作業項目の種類を追加したら、 [保存] を選択します。

次のタスク

ボードヘッダーの [その他のアクション] メニュー ( ) を使用して、新しいアイテムタイプのタスクをボードに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



ボードの CWM タスクにカスタム列を追加する

ボードにカスタムフィールドを作成すると、タスクのすべての詳細を 1 か所で整理できるため、システム管理者への依存度が軽減され、タスク管理が改善され、時間を節約できます。

始める前に

でのボードの作成 CWM。

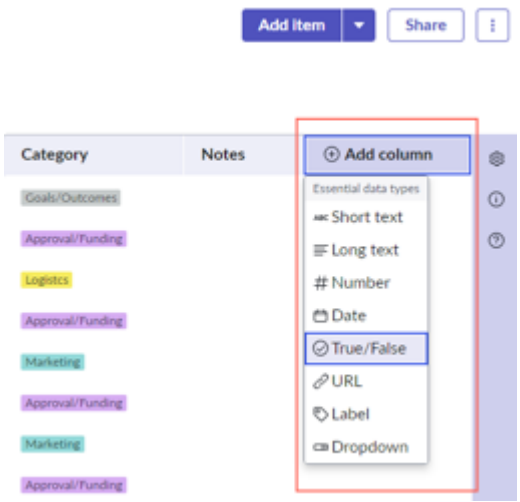
必要なロール:sn_cwm.cwm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.

2. スペースから、タスクを追加するボードを選択します。

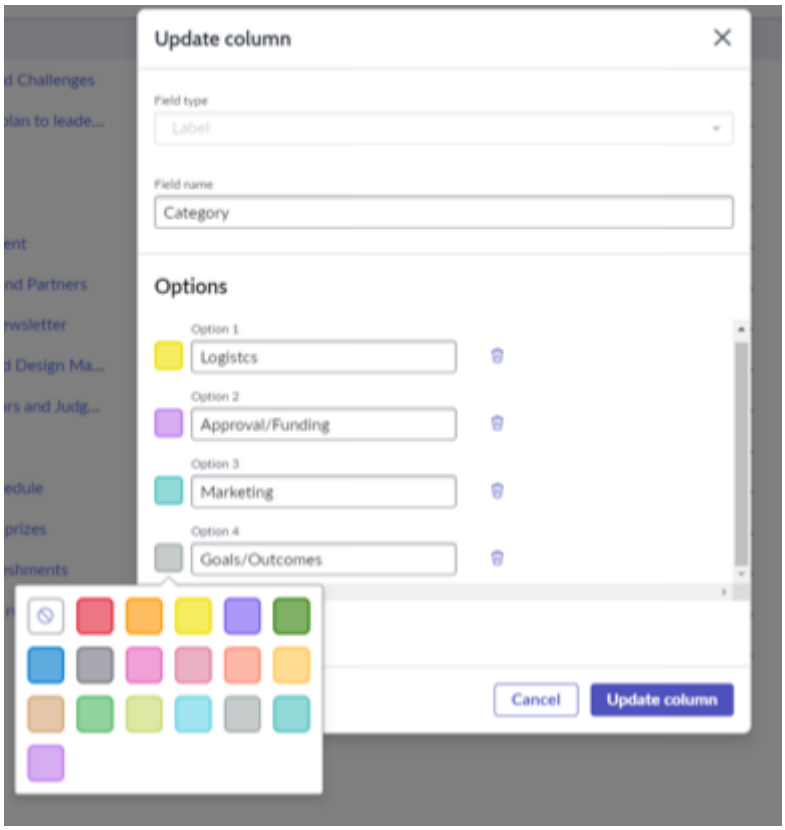
3. ボードのリストビューで、列ヘッダーから [列の追加] を選択し、データタイプを選択します。



4. [フィールド名] フィールドに、この新しい列の名前とその他の詳細 (求められた場合) を入力します。
   - タイプとして [ラベル] または [ドロップダウン] を選択すると、このフィールドのオプションを入力するように求められます。
   - [人] を選択すると、このフィールドで使用できるユーザーのタイプを選択するように求められます。また、このフィールドへの単一または複数のユーザーの入力を許可するように選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [列の追加] を選択します。

タスクの結果

新しい列がタスクに追加され、この列の値の入力を開始できるようになります。

> **注:**
> タスクに追加されたカスタム列は、それらが作成されたボードに対してローカルであり、ワークスペース内の他のボードとスペースには適用されません。

ボードに **CWM** 目標を追加する

目標をボードに関連付けて、この目標に寄与するすべてのタスクとアクティビティをワークスペースから直接 共同作業管理 計画および追跡できるようにします。

始める前に

でのボードの作成 CWM。

必要なロール:sn_cwm.cwm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.

2. スペースから、目標を追加するボードを選択します。

3. ボードヘッダーから編集アイコン (編集) を選択してボードを編集します。

4. サイドパネルの [ボード] フォームで、[主要目標] フィールドから 目標 を選択します。

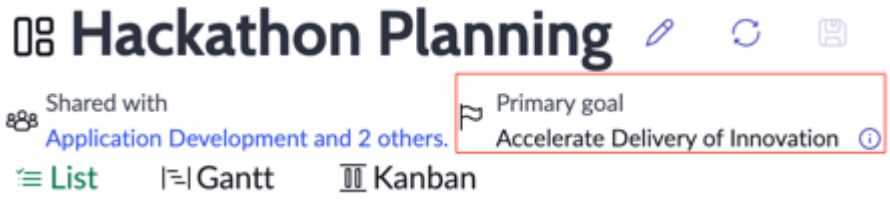
5. [更新] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

ワークスペース内CWM

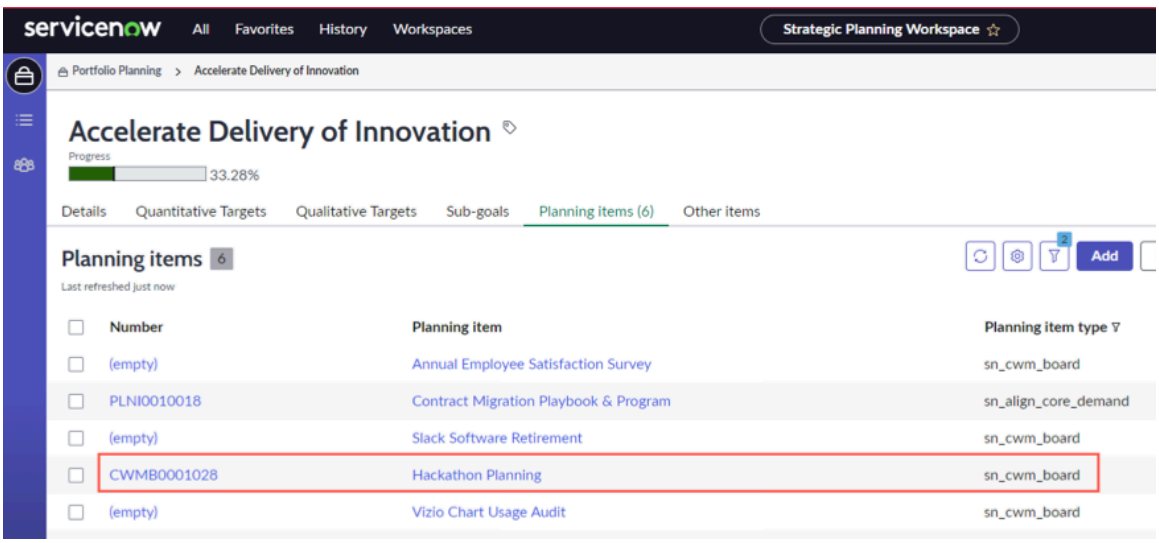
現在のボードは選択した目標に関連付けられ、ボードヘッダーに表示されます。



ワークスペース内戦略的計画

選択した目標がワークスペース内の 戦略的計画 ポートフォリオ計画の一部である場合、この CWM ボードが計画立案アイテムとして目標に追加されていることを確認できます。

注:
CWM ボードは、ポートフォリオ計画の作成に使用されるレンズの計画立案アイテムとして構成する必要があります。「接続:CWM戦略的計画」を参照してください。



CWM ボードビュー

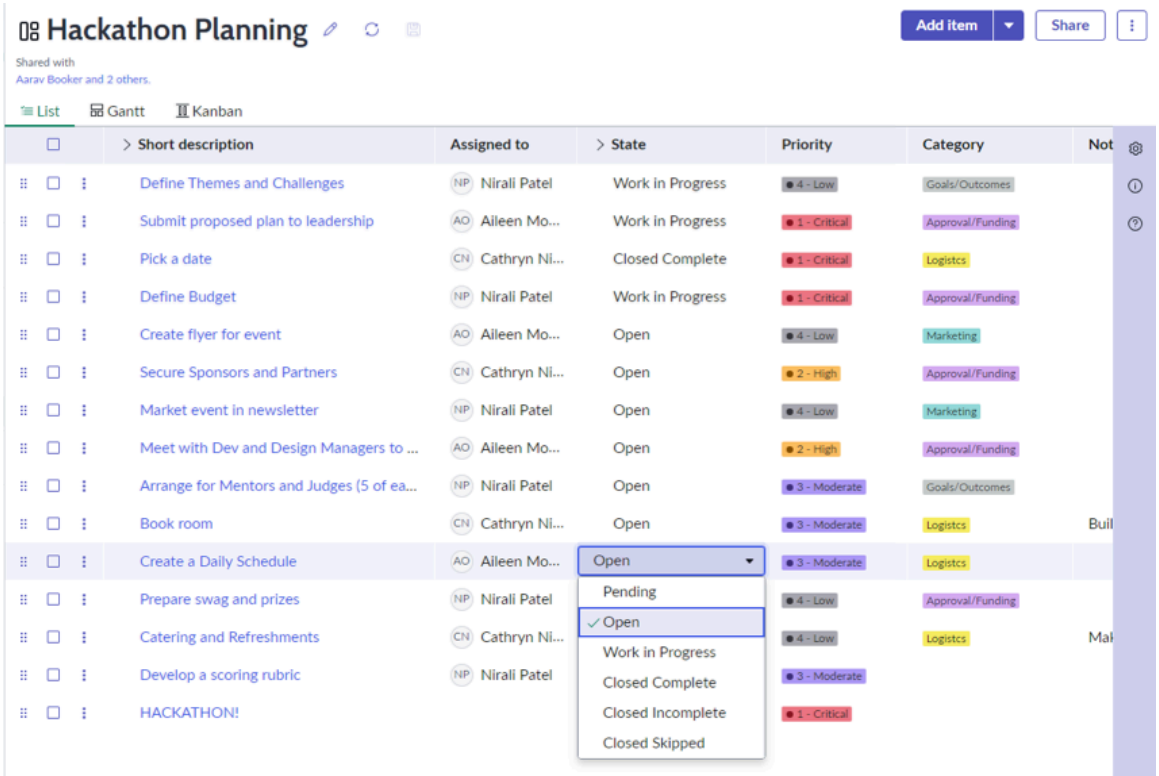
ボードのリストビュー、ガントビュー、カンバンビューを 共同作業管理 シームレスに切り替え、ワークフローに基づいて柔軟な方法でタスクを管理します。

CWM ボードでデフォルトで使用できるビューは次のとおりです。3 つのビューすべてで、データの表示方法をカスタマイズできるため、チームの作業を柔軟に整理および管理できます。詳細については、「ボードビューの CWM カスタマイズ」を参照してください。

リストビュー

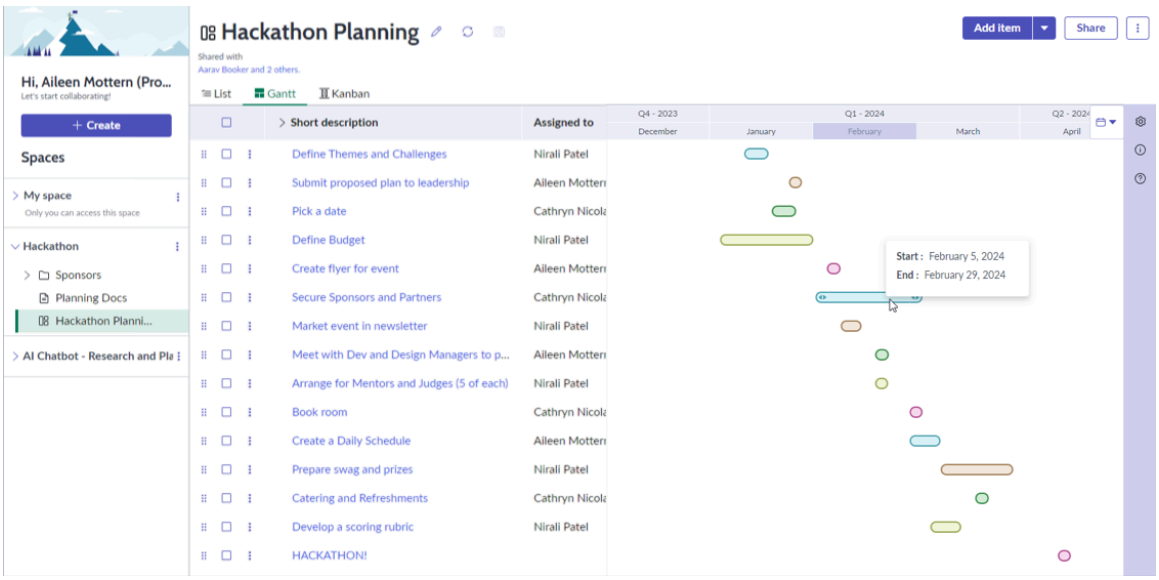
リストビューには、このボードに追加されたすべてのタスクがグリッド形式で表示されます。このビューを使用して、タスクのステータスを一目で確認したり、外出先でユーザーにタスクを割り当てたりします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ガントビュー

ガントビューではグリッドビューとカレンダービューが並べて表示されるため、優先度の変更に基づいてタスクを簡単に再スケジュールできます。



カンバンビュー

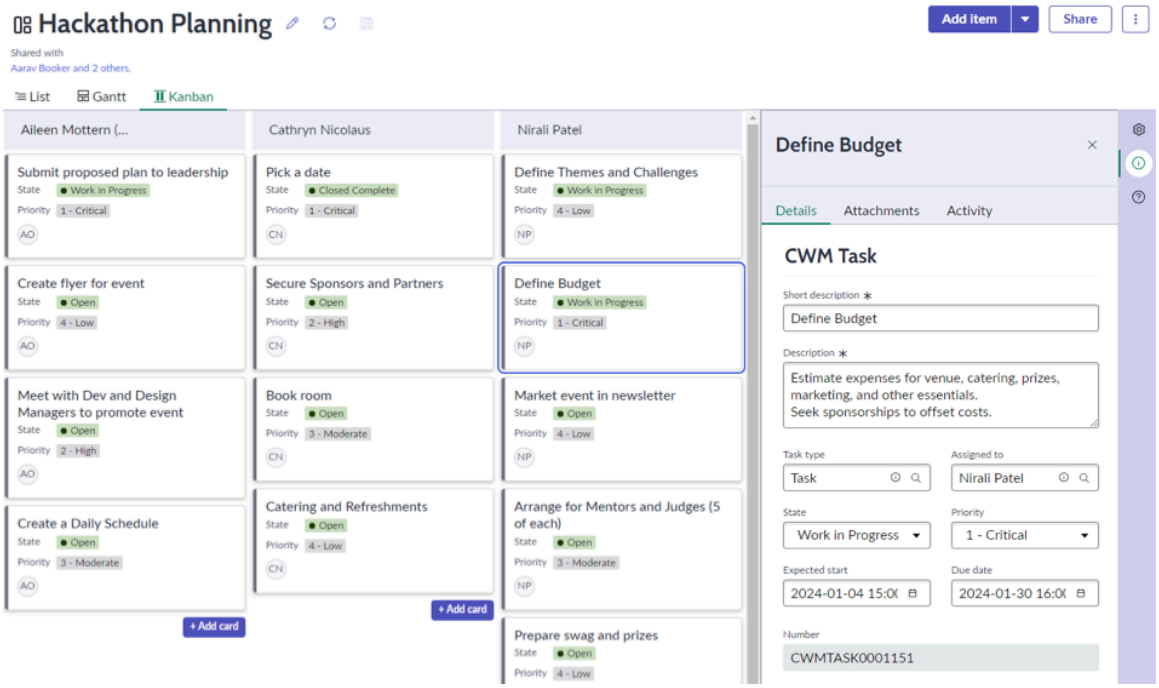
カンバンビューでは、選択した属性 (担当者など) に基づいてタスクを垂直に分類できます。この垂直レーンを他の列に変更できます。

以下に例を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 垂直レーンを [状態] に変更して、さまざまな状態のレーン間でタスク カードを移動します。
- 垂直レーンをカスタム列の [部門] に変更して、カードを部門別に分類します。
- 一目で確認し、垂直レーンを [優先度] に変更してタスクの優先度を変更します。



ボードビューの **CWM** カスタマイズ

列をカスタマイズし、ワークフローのニーズに基づいてボードの 共同作業管理 ビューを表示または非表示にします。

始める前に
でのボードの作成 CWM。

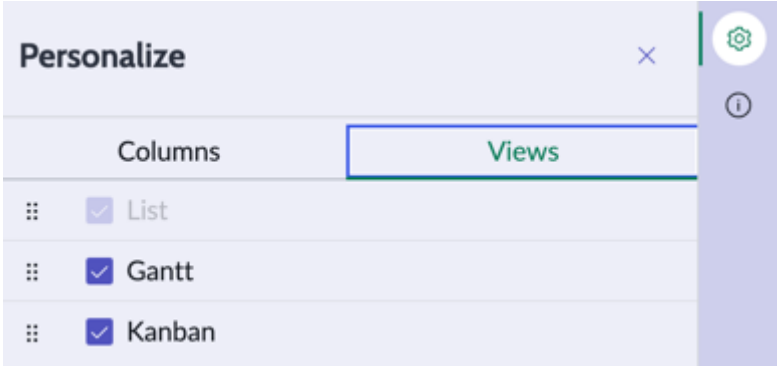
必要なロール:sn_cwm.cwm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. スペースから、パーソナライズするボードを選択します。
3. ボードのリストビュー、ガントビュー、またはカンバンビューを選択し、パーソナライズアイコン () を選択します。
4. ボードのビューの表示を更新します。
5. [カスタマイズ] サイドパネルの [ビュー] タブからボードビューを表示または非表示にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. リストビューとガントビューの場合は、グリッドの左側に列を固定し、列からデータをフィルタリングし、列サイズをデフォルトにリセットするなどの列アクション (列 ⋮) を使用します。

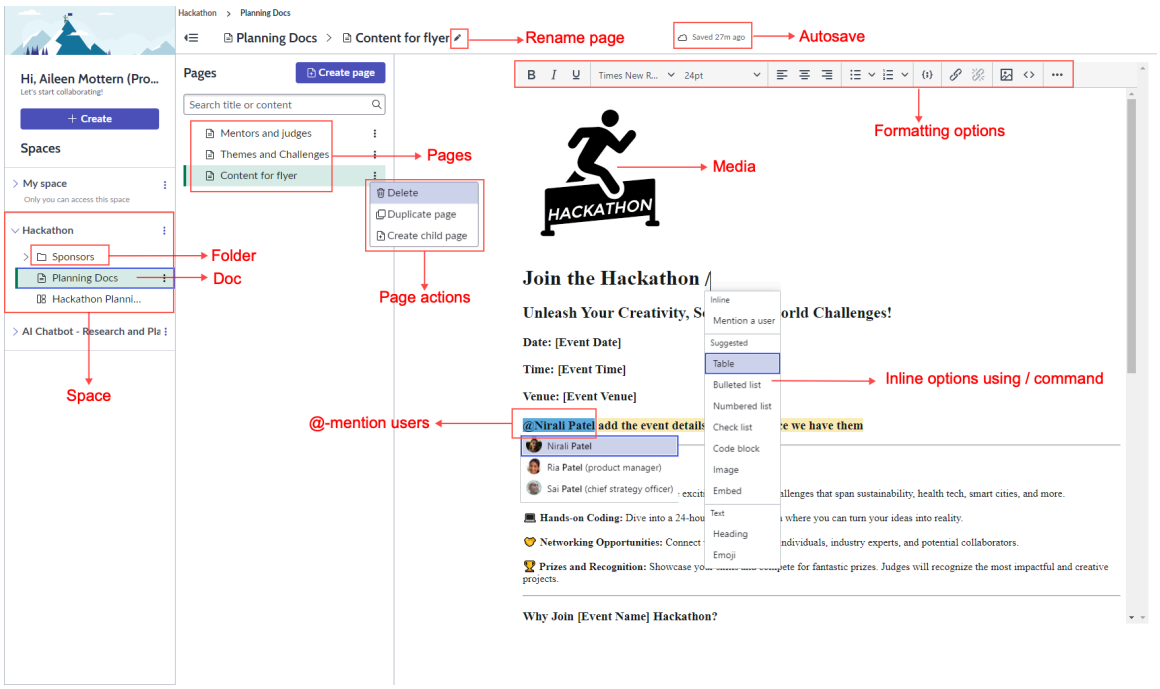
を使用したコラボレーションドキュメンテーション CWM

リアルタイムのコラボレーションでリッチテキストドキュメントを使用して、会議メモ、プロジェクト要件、技術仕様など、作業に関するあらゆる種類のドキュメントを管理します。

ドキュメントはスペース内で作成し、フォルダに整理できます。スペース内では複数のドキュメントを作成でき、各ドキュメント内には無制限のページを作成して、情報を効果的に整理できます。

ドキュメントを使用すると、チームメンバーとタスクレコードを参照できるため、ドキュメントから直接アクションアイテムを割り当てることができます。画像、動画、外部メディア、絵文字を埋め込んで、ドキュメントのコンテンツを充実させ、補完することもできます。

次のスクリーンショットは、ワークスペース内の CWM ドキュメントのさまざまなオプションを示しています。



でドキュメントを作成する CWM

タスクに関連する情報を保存し、ユーザーとタスクレコードを参照し、ワークスペースの 共同作業管理 ドキュメントを使用してリアルタイムで共同作業します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
でのスペースの作成 CWM。

必要なロール:sn_cwm.cwm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. ドキュメントを作成するスペースを開きます。
3. [スペース] ヘッダーから、 作成 > 新規ドキュメント
4. [ドキュメント名] フィールドに、ドキュメントの名前を入力します。
   たとえば、 会議メモなどです。
5. [作成] を選択します。

タスクの結果
現在のスペースに新しいドキュメントが作成され、ノートの下書きを開始するための無題のページが開きます。

次のタスク
ドキュメントのリッチテキスト形式オプションを使用して、チームに関連する情報の下書きを作成し、スペースまたは「 **/** 」と入力して、次のような他のオプションを確認します。

- ユーザーのメンション
- CWM タスク、インシデント、リスクなどの別の Now Platform レコードを参照しています。
- メディアとライブ外部コンテンツを埋め込み、表と絵文字を挿入して、フォーマットされたテキストを補完します。

注:
タスク以外のCWMレコードを参照するNow Platformには、管理者と協力してシステムプロパティを更新`sn_cwm.record_mention_config`してください。詳細については、「共同作業管理でインストールされるプロパティ」を参照してください。

でのフォルダーの作成 CWM

スペースのボードとドキュメントをワークスペース内の 共同作業管理 フォルダーに整理します。

始める前に
でのスペースの作成 CWM。

必要なロール:sn_cwm.cwm_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > 共同作業管理.
2. フォルダーを作成するスペースを開きます。
3. [スペース] ヘッダーから、 作成 > 新しいフォルダー.
4. [フォルダー名] フィールドに、フォルダーの名前を入力します。
5. [作成] を選択します。

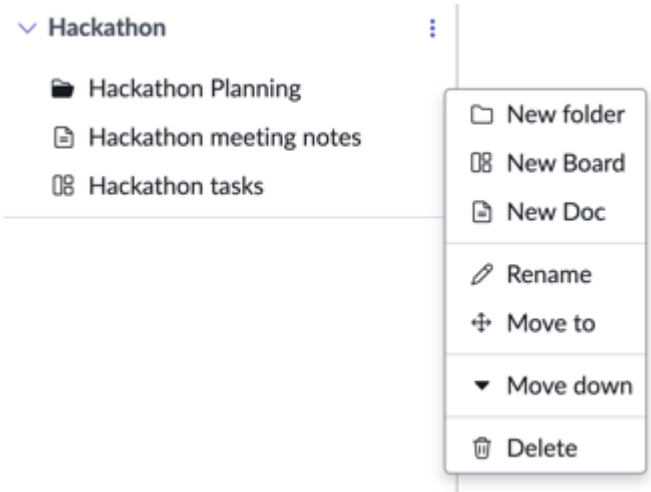
タスクの結果
選択したスペースに新しいフォルダーが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- この新しいフォルダにサブフォルダ、ボード、ドキュメントを作成します。
- 既存のボード、ドキュメント、フォルダをこの新しいフォルダに移動します。



共同作業管理 参照

参照トピックには、()CWM とともに共同作業管理インストールされるロール、テーブル、およびプロパティの詳細が記載されています。

共同作業管理 とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、共同作業管理 アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
CWM ユーザー [sn_cwm.cwm_user]	ワークスペースにアクセスする CWM ために必要な基本ロール。	なし

インストールされるテーブル

テーブル	説明
CWM スペース [sn_cwm_space]	他のすべての要素を接続します。
CWM 権限 [sn_cwm_permission]	スペースのユーザーおよびグループの異なるレベルの権限を格納します。
CWM ボード	すべてのタスク、ビュー、および列構成が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_cwm_board]	
ボードのユーザー設定 [sn_cwm_board_user_pref]	ビューのユーザー初期設定を格納します。
列の選択 [sn_cwm_col_choice]	カスタム列用に作成された選択肢とラベルのデータを保存します。
列の使用法 [sn_cwm_columns_usage]	カスタム列の使用状況とその型を保存します。
メニューアイテム [sn_cwm_menu_item]	スペース内のボード、ドキュメント、フォルダーのコンテンツ階層を保存します。
CWM タスク [sn_cwm_task]	タスクデータを格納します。
CWM タスクカスタム [sn_cwm_task_custom]	ボード間で共有される各タスクのカスタム列を保存します。
CWM 作業タイプ [sn_cwm_work_type]	スペース内で許可されたタスクの作業タイプを保存します。

自動翻訳

共同作業管理でインストールされるプロパティ

ドキュメントにCWM他のNow Platformレコードを含めたり、ユーザー以外のCWMユーザーがワークスペースへのアクセスを要求する方法を変更したりするように構成できるシステム プロパティ。

これらのプロパティは共同作業管理で利用可能です。

注:
システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーション フィルターに「sys_properties.list」と入力します。

共同作業管理 のプロパティ

プロパティ	説明
sn_cwm.request_role_access	ワークスペース内の非ユーザーに対して [アクセスの要求] ボタンCWM を表示表示にするプロパティ。 デフォルトでは、このボタンは非表示になっています。このプロパティが true ている場合、イベント *sn_cwm.REQUEST_ROLE_ACCESS* が発生します。管理者イベントを設定して次のいずれかのワークフローをトリガーし、非CWM ユーザクスペースへのアクセスを要求できるようにすることができます。 • 要求の提出。サービスカタログ • メールを送信する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共同作業管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：true | false • デフォルト値：**false** • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
sn_cwm.record_mention_config	ワークスペースのドキュメントページ内のレコード Now Platform の CWM メ を構成するプロパティ。 • タイプ：文字列 • デフォルト値: [{"sourceTable":"sn_cwm_task","label":& Task","fields": ["short_description","number"]}] デフォルトでは、このプロパティはタスクレコードを含む CWM ように構成さ す。 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル 他の Now Platform レコードを含めるには、プロパティを更新します。 たとえば、ドキュメントページのインシデントレコードを参照するには、このプ の [値] フィールドを更新してインシデントテーブルを含めます。 更新された [値] フィールドには、タスクレコードとインシデントレコードの構成 が含まれます。 [{"sourceTable":"sn_cwm_task","label":"CWM Task","fields":["short_description","number"]}, {"sourceTable":"incident","label":"Incident","fields":["short_description","num

自動翻訳

ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク

目標を作成し、そのためのターゲットを設定して、目標とターゲットの進捗状況を評価し、ServiceNow® ゴールフレームワーク を使用して組織計画を達成してビジネスの成果を推進します。

ServiceNow® SPM のゴールフレームワーク アプリケーション (旧 Advanced Goal Framework) を使用すると、ターゲットの実績値を自動化できます。SPM のゴールフレームワーク アプリケーションは ゴールフレームワーク アプリケーションの拡張です。SPM のゴールフレームワーク アプリケーションをインストールすると、ゴールフレームワーク のすべての機能とターゲット自動化機能を入手できます。

ゴールフレームワーク を使用すると、組織の戦略的優先順位および関連する目標を戦略的計画の一部として定義できます。目標が作成された後、デマンド、プロジェクト、エピック、プログラム、イニシアチブなどの作業、計画アイテム、戦略アイテムを関連付けることができます。

ServiceNow® 戦略的計画 ユーザーは、組織のレンズを使用してカスタマイズされたポートフォリオ計画を定義し、それを使用して組織のポートフォリオ計画に従って目標を調整できます。レンズを使用してポートフォリオ計画を定義する方法については、「レンズとポートフォリオ計画」を参照して

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ください。組織のビジョン、ミッション、および価値をキャプチャすることによって、戦略的計画を作成することもできます。

ゴールフレームワーク の主なメリット：

- 組織全体が同じ戦略的優先事項に確実に集中して取り組めるようになる。
- 取り組みを調整して可視化することに注力できる。
- 作業アイテムや計画アイテムを目標に関連付けることにより、目標を達成し、ターゲットを満たすために実行されている作業を簡単に可視化できる。
- 週次、月次、および四半期ごとの期間にわたる目標のリアルタイムチェックポイントを提供する。
- sn_gf.epmo_strategy_planner ロールを持つユーザーに目標パフォーマンスのエンドツーエンドのビューを提供する。

SPM のゴールフレームワーク の主なメリット：

- 利益計画、コスト計画、アセスメント/サーベイ、PA インジケーターなどのさまざまなターゲットソースから実績を収集することで、ターゲットの実績値を自動化できます。
- Now Platform® に存在する任意のテーブルまたはテーブルの組み合わせをターゲットソースとして設定できます。

開始するには

探索	比較	構成
		
ゴールフレームワークの詳細とSPM のゴールフレームワーク機能	の機能 ゴールフレームワーク を比較する SPM のゴールフレームワーク	構成 ゴールフレームワーク 方法および SPM のゴールフレームワーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用方法	参照	
		
組織の計画を達成し、ビジネスの成果を促進するための目標を定義する方法を学ぶ	フィールド、テーブル、ロール、プロパティなどのコンポーネントの詳細を取得します。	

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community.
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する詳細については、「既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する」を参照してください。
- カスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。詳細については、次を参照してください： 担当者 カスタマーサービス & サポート.

自動翻訳

ゴールフレームワーク と **SPM** のゴールフレームワーク の探索

ゴールフレームワーク アプリケーションは、目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネスの成果を推進するのに役立ちます。

SPM のゴールフレームワーク アプリケーションを使用すると、利益計画、コスト計画、アセスメント/サーベイ、PA インジケーターなどのさまざまなターゲットソースから実績を収集することで、ターゲットの実績値を自動化できます。

ゴールフレームワーク キーコンポーネント

- 戦略的優先事項：組織の戦略計画を目標に向けるために役立つ戦略計画のアクション
- 目標：戦略計画に基づいて達成したい目標。
- ターゲット：目標の進捗状況を追跡して測定するための目標のターゲット

SPM のゴールフレームワーク の主要コンポーネント：

ターゲットソースは SPM のゴールフレームワーク の主要コンポーネントです。ターゲットソースは、ターゲットの実績値を自動更新するために使用されるターゲットの構成であり、ターゲットとその目標の進捗状況が自動的に更新されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的優先事項

戦略的優先度は、組織の計画の目標です。戦略的優先度は、指定された期間に目標を達成するのに役立ちます。戦略的優先事項は、重点分野または長期戦略とも呼ばれます。戦略的優先事項を定義すると、組織の戦略的計画を目標に向けることができます。

目標

目標とは、組織が組織計画を達成するために設定する目標を指します。目標は通常、定性的な性質のものです。目標は意欲的なものでなければならず、チームの意欲をかきたて、やりがいを与えることが期待されます。目標の例を次に示します。

- 2022 年末までに再生可能エネルギーを使用。
- 職場の多様性を 50% 向上させる。

目標にサブ目標を設定することもできます。作業アイテムおよび計画アイテムを目標に関連付けて、目標達成の責任者を追跡することもできます。

他の製品で ゴールフレームワーク® を使用する場合は、次のこともできます。

- ServiceNow® プロジェクトポートフォリオ管理 ユーザーの場合は、デマンド、プロジェクト、およびプログラムを目標に関連付けて、目標を達成するために行われている作業をキャプチャできます。
- ServiceNow® Agile Development 2.0 ユーザーの場合は、スクラムエピックを目標に関連付けて、目標を達成するために行われている作業をキャプチャできます。
- ServiceNow® Scaled Agile Framework (SAFe) ユーザーの場合は、SAFe エピックおよび SAFe 機能を目標に関連付けて、目標を達成するために行われている作業をキャプチャできます。
- 戦略的計画 ユーザーは、計画アイテム (デマンド、プロジェクト、およびエピック)、および戦略アイテム (プログラムとイニシアチブ) を目標と関連付けて、目標を達成するために行われている作業をキャプチャできます。

ターゲット

ターゲットは、目標を測定するのに役立ちます。たとえば、職場の多様性を 50 % 増やすという目標を達成するために、2022 年の第 1 四半期までに 30 % 多様な従業員を雇用することをターゲットにできます。

ターゲットの測定単位を定義することで、ターゲットを定量的または定性的なものとして設定できます。定量的ターゲットは、数値ベース、カウント可能、測定可能です。定性的ターゲットは、解釈ベース、説明的、通常は「はい」または「いいえ」のタイプです。

ターゲットは短い期間 (例：四半期) にブレークダウンできるため、ターゲットを四半期ごとに設定したり、特定のブレークダウンターゲットを絞り込むことができます。ターゲットブレークダウンは、ターゲットに設定されたブレークダウン間隔に基づいて作成されます。ターゲットブレークダウン機能の仕組みついては、「ターゲットブレークダウン」を参照してください。

定性的ターゲット

定性的ターゲットは、通常は測定できませんが、ターゲットが達成されたかどうか追跡できます。定性的ターゲットに使用できる測定単位は「はい/いいえ」です。必要に応じて、定性的ターゲットの測定単位 (使用可能な選択セット) を定義したり、目標に合わせて定性的ターゲットを設定したりすることもできます。

たとえば、2023 年第 2 四半期のハッカソン実行のターゲットを達成するには、「はい/いいえ」の測定単位を使用して、2023 年第 2 四半期のハッカソン実行としてターゲットを設定できます。ターゲットのベースまたはターゲット値は、それぞれ「いいえ」と「はい」にすることができます。ハッカソンイベントでターゲットが成功した場合は、ターゲット値を「はい」に更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットソース

ターゲットソースは、ターゲットの実績値を自動更新するために使用されるターゲットの構成であり、ターゲットとその目標の進捗状況が自動的に更新されます。Now Platform に存在する任意のテーブルまたはテーブルの組み合わせ (利益計画、コスト計画、サーベイ、インシデント、PA インジケーターなど) をターゲットソースとして構成できます。

ターゲットの実績値を自動化するために、次のターゲットソースタイプがサポートされています。

- PA インジケーター：PA インジケーターから必要なデータを取得して、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新します。
- アセスメント/サーベイ：アセスメント測定基準タイプとアセスメント測定基準カテゴリレコードから必要なデータを取得して、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新します。
- カスタムスクリプト：カスタムスクリプトは、設定されている任意の Now Platform テーブルから必要なデータをフェッチします。カスタムスクリプトオプションを使用すると、Now Platform に存在する任意のテーブルまたはテーブルの組み合わせをターゲットソースとして設定できます。

  利益計画の事前定義されたターゲット自動化スクリプト：事前定義されたデフォルトのスクリプトは、関連する作業アイテムの金銭的または金銭以外の利益計画の [実績利益] フィールドまたは [金銭以外の実績利益] フィールドから金銭的または金銭以外の値を取得することによって、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新するターゲットソースです。

  コンテキスト変数

  コンテキスト変数は、ターゲットソースの追加構成です。コンテキスト変数は、ターゲットフォームで必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新するために使用できる情報を提供します。コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。ターゲットソースの作成中に SPM のゴールフレームワーク スコープが選択されている場合、(アセスメント/サーベイおよび PA インジケータータイプの) ターゲットソースに対してコンテキスト変数が自動的に作成されます。コンテキスト変数の詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数」を参照してください。

利益とワークフロー

ゴールフレームワーク または SPM のゴールフレームワーク アプリケーションを使用すると、次のアクティビティを実行できます。

- 組織の戦略計画を作成する (戦略的計画 がインストールされている場合) 詳細については、「戦略的計画の作成」を参照してください。
- 組織の戦略的計画を目標に向けるために、戦略的優先事項を作成します。詳細については、「戦略的計画の戦略的優先事項を作成」を参照してください。
- 目標を作成します。詳細については、「目標の作成」を参照してください。
- (ゴールフレームワーク ユーザーの場合) 目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標のためのターゲットを設定します。詳細については、「目標のためのターゲットを設定する (Set targets for a goal)」を参照してください。
- (SPM のゴールフレームワーク ユーザーの場合) ターゲットを設定し、ターゲットの実績値を自動化します。詳細については、「SPM のゴールフレームワーク を使用したターゲットの設定とターゲットの実績値の自動化」を参照してください。
- 作業、計画、戦略、またはその他の任意のアイテムで目標関係を作成し、現在または将来の作業を特定して関連付け、目標を達成します。詳細については、「作業または計画アイテムを目標に関連付ける」を参照してください。
- 作業および計画アイテムの主要目標を関連付けます。詳細については、「作業および計画アイテムの主要目標を関連付ける」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゴールフレームワーク と **SPM** のゴールフレームワーク の比較

- ゴールフレームワーク：目標を作成し、そのためのターゲットを設定し、目標とターゲットの進捗状況を評価して、組織計画を達成してビジネスの成果を推進します。
- SPM のゴールフレームワーク：利益計画、コスト計画、アセスメント/サーベイ、PA インジケーターなどのさまざまなターゲットソースから実績を収集することで、ターゲットの実績値を自動化します。

ゴールフレームワーク と **SPM** のゴールフレームワーク の機能の比較

機能	Goal Framework	Goal Framework for SPM
戦略計画を作成	いいえ	はい
戦略的優先事項を作成	はい	はい
目標を作成	はい	はい
ターゲットを設定	はい	はい
ターゲットブレークダウンを設定	いいえ	はい
作業を目標に関連付ける	はい	はい
ターゲットの実績値を自動化	いいえ	はい

注:
SPM のゴールフレームワーク アプリケーションは ゴールフレームワーク アプリケーションの拡張です。SPM のゴールフレームワーク アプリケーションをインストールすると、ゴールフレームワーク のすべての機能とターゲット自動化機能を入手できます。

ゴールフレームワーク と **SPM** のゴールフレームワーク の構成

管理者は、このセクションを使用して ゴールフレームワーク と SPM のゴールフレームワーク アプリケーションを設定します。

ゴールフレームワーク と **SPM** のゴールフレームワーク のインストール

管理者ロールを持っている場合は、ゴールフレームワーク(sn_gf) および SPM のゴールフレームワーク (sn_gfa) アプリケーションをインストールできます。

始める前に

アプリケーションと関連するすべてのストアアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください： のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

SPM のゴールフレームワーク アプリケーションをインストールすると、ゴールフレームワーク のすべての機能とターゲット自動化機能を入手できます。

必要なロール：admin

重要:
戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (SPM、以前の ITBM) Pro ライセンスがある場合のみ、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションをインストールできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して ゴールフレームワーク または SPM のゴールフレームワーク アプリケーションを検索します。
   名前または ID (sn_gf または sn_gfa) でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow ストアからのリクエストが必要になることもあります。をご覧ください ServiceNow Store 利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアへの要求の送信に関する情報を提供する Web サイト。リリースされたすべてのアプリの累積リリースメモ情報については、「 ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート .
3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   使用中のアプリケーションが他のアプリケーションを必要とし、それがまだインストールされていない場合は、先にインストールしておいてください。

   アプリケーションをインストールする時点で、依存アプリケーションまたはプラグインがインストールされていない場合は、それらも自動的にインストールされます。
5. [インストール] をクリックします。

タスクの結果
以下のコンポーネントは、ゴールフレームワーク または SPM のゴールフレームワーク アプリケーションのインストール時にインストールされます。

- ロール
- テーブル
- ジョブスケジュール
- 利益計画のターゲット自動化スクリプト (SPM のゴールフレームワーク とともにインストール)

SPM のゴールフレームワーク のインストールの一部として、ゴールフレームワーク と SPM のゴールフレームワーク の両方のコンポーネントがインストールされます。詳細については、「ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行する

admin ロールを使用すると、スケジュール設定済みジョブを実行して、既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

注:
ゴールフレームワーク テーブルへのデータの移行は 1 回限りの作業であり、スケジュールどおりに行われることを意図したものではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [目標、戦略、および作業アイテムデータを **Goal Framework** と関連する計画アイテムテーブルに移行 **(Migrate Goal, Strategy, and Work item data to the Goal Framework and related Planning item tables)]** ジョブスケジュールを検索してクリックします。
3. スクリプトの実行を予定フォームで：
   a. [実行] フィールドで頻度が [オンデマンド] に選択されていることを確認します。
   b. [このスクリプトを実行] フィールドで、必須パラメーターの値を **[true]** に設定します。
   パラメーターの詳細については、「目標、戦略、および作業アイテムデータを Goal Framework と関連する計画立案アイテムテーブルに移行」を参照して ください。
4. [今すぐ実行する] をクリックします。

目標設定を構成する

目標設定に使用されるカレンダータイプ、目標進捗状況の加重平均計算、目標やターゲットの削除など、目標を管理するための目標設定を構成します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_admin

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > 設定.
2. [目標設定] フォームで、プロパティを設定します。
   プロパティについては「目標設定フォーム」を参照してください。
3. [保存] をクリックします。

アサインされたエンティティのテーブルの構成

アサインされたエンティティタイプのテーブルを構成して、目標ユーザーが目標を必須のアサインされたエンティティに関連付けることができるようにします。

始める前に

- デフォルトでは、ゴールフレームワーク をインストールすると、割り当てられたエンティティである事業部門 [business_unit]、部門 [cmn_department]、および会社 [core_company] がインストールされます。
- PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) を有効にすると、ポートフォリオ [pm_portfolio] アサイン済みエンティティがインストールされます。
- 戦略的計画 をインストールすると、アサインされたエンティティ、製品モデル [cmdb_model]、バリューストリーム [cmn_value_stream]、イニシアチブ [sn_align_core_initiative]、および戦略的プログラム [sn_align_core_program] がインストールされます。

必要なロール：sn_gf.goal_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > アサインされたエンティティ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「目標がアサインされたエンティティ構成フォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

スプレッドシートから目標とターゲットのデータをインポート

管理者ロールを使用すると、既存の目標とターゲットのデータをスプレッドシートから ゴールフレームワーク テーブルにインポートできます。

始める前に

- ジョブが正常に実行されると、スプレッドシートの目標データが目標 [sn_gf_goal] テーブルにインポートされます。
- ジョブが正常に実行されると、スプレッドシートのターゲットデータがターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルにインポートされます。

注:
ターゲットは目標に関連付けられているため、最初に目標をインポートしてからターゲットをインポートする必要があります。

重要:
スプレッドシートの目標とターゲットのデータは、サポートされている形式である必要があります。スプレッドシートから目標とターゲットのデータをインポートするためにサポートされているデータ形式の詳細については、「Import goals and targets data (目標とターゲットのデータのインポート) [KB1191233]」を参照してください。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムインポートセット > データをロード.
2. [インポートセットテーブル] ドロップダウンリストから、 [目標インポートセット] **[imp_sn_gf_goal]** または [ターゲットインポートセット] **[imp_sn_gf_goal_target]** を選択します。
3. [インポート元] フィールドで、[ファイル] を選択します。
4. [ファイル] オプションで [選択] をクリックし、データをインポートするスプレッドシートを選択します。

重要:

- スプレッドシートの目標とターゲットのデータは、特定の形式である必要があります。サポートされているデータ形式の詳細については、「Import goals and targets data (目標とターゲットのデータのインポート) [KB1191233]」を参照してください。
- データは各列のヘッダータイトルに基づいて目標テーブルとターゲットテーブルのそれぞれのフィールドにインポートされるため、スプレッドシートのヘッダー行の名前は変更しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] をクリックします。
6. [進捗状況] ページで、[変換の実行] をクリックします。
7. [インポートセットと変換マップを指定] フォームで、[変換] をクリックします。
8. [変換履歴] をクリックし、[インポートセット実行] 関連リストの [ステータス] 列が [完了] に設定されていることを確認します。
   [インポートセットテーブル] ドロップダウンリストから選択したオプションに応じて、目標またはターゲットデータが目標 [sn_gf_goal] またはターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルにインポートされます。

   ジョブが失敗した場合は、[変換履歴] をクリックして詳細を参照してください。

   注:
   [インポート] 操作を使用して、テーブルで新しいデータを挿入、または既存のデータを更新できます。デフォルトでは、 [名前] と [所有者] の値は、既存のレコードを更新するために使用されるプライマリキーです。新しいデータを挿入したり、既存のデータを更新したりするためのプライマリキーとしてさらにフィールドを追加することもできます。プライマリキーとしてフィールドを追加する方法の詳細については、「Import goals and targets data (目標とターゲットのデータのインポート) [KB1191233]」を参照してください。

ジョブスケジュールを更新してターゲットの実績値を自動化

SPM のゴールフレームワーク アプリケーションを使用して、ターゲットソースが構成されているターゲットの実績値を自動更新するため、設定に従ってジョブスケジュールの実行時間を変更します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、スケジュール設定済みジョブは毎日午前 00:00:00 (システムタイムゾーン) に実行されます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. **[SPM** の目標フレームワークを使用してターゲットの実際の値を更新 **(Update Actual value of the targets using Goal Framework for SPM)]** ジョブスケジュールを検索してクリックします。
3. スケジュールされた時刻にジョブを実行するには、[アクティブ] チェックボックスをオンになっていることを確認します。
4. 必要に応じて、[実行] フィールドと [時刻] フィールドの詳細を編集します。
5. [更新] をクリックします。
   ジョブスケジュールの詳細については、「ジョブスケジュール」を参照してください。

カスタム測定単位の定義

カスタム測定単位を定義すると、目標ユーザーが選択に従ってターゲットの測定単位を設定できます。測定単位には、定量的および定性的の 2 種類があります。

デフォルトでは、定量的ターゲットに使用可能な単位は **[#]**、**[$]**、**[%]**、および [日] です。デフォルトでは、定性的ターゲットに使用可能な単位は [はい]/[いいえ] です。

管理者はカスタム測定単位を作成し、目標ユーザーがそれを使用してターゲットの測定単位を設定できるようにする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 定量的ターゲットの場合は、単位 [sn_gf_unit] テーブルからカスタム測定単位を定義できます。
- 定性的ターゲットの場合は、最初に選択セットを作成してから、選択セットの選択リストを作成する必要があります。

ゴールフレームワーク または SPM のゴールフレームワーク を使用した目標管理

ゴールフレームワーク を使用して目標を定義するのに必要なプロセスを理解します。

目標を定義するには、次のステップを使用してください。これらのステップの中には、sn_gf.stategy_planner ロールが必要なものや、sn_gf.goal_user ロールが必要なものがあります。SPM のゴールフレームワーク ユーザーである場合、ターゲット自動化機能を設定するには sn_gf.goal_admin ロールが必要です。ゴールフレームワーク または SPM のゴールフレームワークのいずれかを使用して目標を定義する手順は、すべて同じです。

1. 組織の目的 (ビジョン、ミッション、および価値) を定義する戦略的計画を作成します。詳細については、「戦略的計画の作成」を参照してください。

   戦略的計画を作成できるのは、戦略的計画 がインストールされている場合のみです。戦略的計画の作成は、目標を定義するために必須ではありません。

2. 組織の戦略的計画を目標に向けるために、戦略的優先事項を作成します。詳細については、「戦略的優先事項の作成」を参照してください。
3. 目標を作成します。詳細については、「目標の作成」を参照してください。
4. 目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標のためのターゲットを設定します。詳細については、次を参照してください： を使用して目標にターゲットを設定する ゴールフレームワーク.
5. (SPM のゴールフレームワーク ユーザー専用) 目標にターゲットを設定し、ターゲットのターゲットソースを構成して、ターゲットの実績値を自動更新します。ターゲットの進捗状況が更新されると、ターゲットの進捗状況がその目標にロールアップされます。詳細については、「SPM のゴールフレームワーク を使用したターゲットの設定とターゲットの実績値の自動化」を参照してください。
6. 作業アイテムまたは戦略アイテムとの目標関係を作成します。詳細については、「Associate work or strategy with goals (作業または戦略を目標に関連付ける)」を参照してください。
7. アイテムが目標の達成に寄与する作業および計画アイテムに対する、プライマリとしての目標を設定します。詳細については、「作業および計画アイテムの主要目標を関連付ける」を参照してください。

戦略計画の作成

戦略計画者は、組織の戦略計画を作成および管理できます。戦略計画を作成して、組織の目的、その戦略的優先事項、および関連する目標を定義します。

始める前に

ServiceNow インスタンスに 戦略的計画 をインストールします。

必要なロール：sn_gf.stategy_planner

手順

1. 移動先 すべて > 戦略 > 戦略的プラン.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールドの詳細については、「[戦略計画] フォーム」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
[値] 関連リストから、[整合性]、[顧客へのコミットメント]、[信頼] など、組織の値をキャプチャします。

戦略計画の戦略的優先事項を作成

戦略計画者は、組織の戦略計画の戦略的優先事項を作成して管理します。組織の戦略的計画を目標に向けるために、戦略的優先事項を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.stategy_planner

このタスクについて
戦略的優先事項は、重点分野または長期戦略とも呼ばれます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、戦略計画の戦略的優先事項を作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[戦略的優先事項] フォーム」を参照してください。
3. [送信] をクリックします。

次のタスク
戦略的優先事項を達成するための目標を定義し、そのターゲットを設定します。

目標の作成

目標を作成し、ターゲットを設定して全体的な目標の進捗状況を測定し、組織の戦略的優先事項に沿って評価します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

このタスクについて
目標は通常、定性的な性質のものです。目標は意欲的なものでなければならず、チームの意欲をかきたて、やりがいを与えることが期待されます。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > 目標.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[目標] フォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

次のタスク
目標のターゲットを設定します。

ゴールフレームワーク を使用して目標にターゲットを設定する

目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標のための SMART ターゲットを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

このタスクについて
SMART ターゲットは、S = 特定、M = 測定可能、A = 達成可能、R = 関連、T = 期限付きとして定義できます。

- 所有者か目標の貢献者のみが目標のターゲットを設定することができます。
- また、ESG Management アプリケーションがインストールされている場合、ターゲットフォームの [機密] フィールドを有効化することで、特定のユーザーに対してターゲットレコードへのアクセスを制限することもできます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[ターゲット] フォーム」を参照してください。
3. [送信] をクリックします。

タスクの結果
[実際の値] フィールド入力後にターゲットを保存すると、ターゲット進捗レコードが自動的に作成されます。ターゲット進捗レコードは、目標に対する各ターゲットの進捗状況を指定します。

注:
目標を削除すると、[ターゲットの削除を許可] プロパティが [いいえ] に設定されていても、関連するターゲット (存在する場合) およびその進捗レコードも削除されます。

次のタスク
ターゲットの進捗状況を更新します。

ターゲットの進捗状況を更新する

ターゲットのステータスが変更されたときにターゲットの進捗状況を更新します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

このタスクについて

注:
目標の所有者または貢献者のみが目標のターゲットを更新することができます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットレコードを開きます。

2. [ターゲット] フォームで、[実際の値] フィールドを更新し、[注釈] フィールドにビジネス上の根拠を追加します。
   フィールドの詳細については、「[ターゲット] フォーム」を参照してください。
3. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
[実際の値] フィールドが更新されると、ターゲットの進捗値が自動的に更新されます。進捗値の計算方法については、「進捗値の計算」を参照してください。

SPM のゴールフレームワーク を使用したターゲットの設定とターゲットの実績値の自動化

目標にターゲットを設定し、ターゲットのターゲットソースを構成して、ターゲットの実績値が自動更新されるようにします。

次の手順をターゲットを設定するためのガイドラインとして使用し、SPM のゴールフレームワークを使用してターゲットの実績値を自動化します。これらのステップの中には、sn_gf.goal_user ロールが必要なものや sn_gf.goal_admin ロールが必要なものがあります。

1. ターゲットのターゲットソースを作成して、ターゲットの実績値を更新するためのソースとして構成します。詳細については、「ターゲットソースの作成」を参照してください。

   コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。ターゲットソースの作成中にアセスメント/サーベイまたは PA インジケーターとしてタイプが選択されている場合、必須コンテキスト変数が自動的に作成されます。必須のコンテキスト変数が作成されるタイミングの詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数」を参照してください。

2. 必要な場合は、ターゲットソースのコンテキスト変数を作成して、コンテキスト変数から必要なデータをフェッチしてターゲットの実績値を更新します。詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数を作成」を参照してください。
3. 目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標にターゲットを設定し、ターゲットにターゲットソースを構成します。詳細については、「目標にターゲットを設定し、ターゲットにターゲットソースを構成」を参照してください。
4. [実績値を更新] 関連リンクを使用してターゲットの実績値を更新するか、スケジュールされたジョブによって実績値を自動更新します。詳細については、「関連リンクを使用したターゲットの実績値の更新」を参照してください。

   デフォルトでは、スケジュールジョブは毎日午前 00:00:00 (システムタイムゾーン) に実行されます。

ターゲットソースのコンテキスト変数

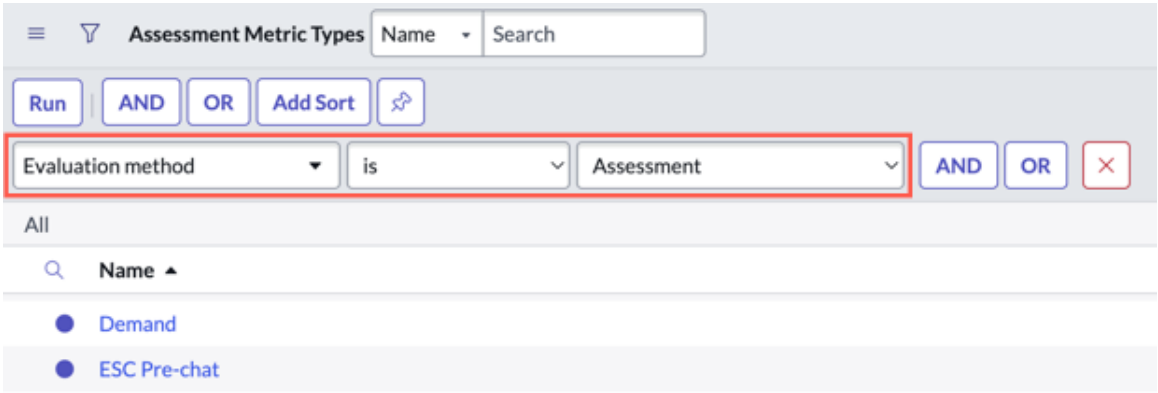
コンテキスト変数は、ターゲットフォームで必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを自動更新するために使用できるターゲットソースの追加構成です。コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。

ターゲットソースを作成する前に SPM のゴールフレームワーク スコープが選択されている場合、(アセスメント/サーベイおよび PA インジケータータイプの) ターゲットソースに対して、コンテキスト変数が (コンテキスト変数フォームで [必須] フィールドが **true** に設定された状態で) 自動的に作成されます。自動的に作成されたコンテキスト変数は、必須コンテキスト変数とも呼ばれます。

必須のコンテキスト変数は、SPM のゴールフレームワーク スコープを選択し、次のいずれかの条件を満たしている場合に作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- (ターゲットソースタイプが [アセスメント/サーベイ] の場合) [ターゲットソース] フォームで、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定され、**[**アセスメント測定基準タイプ] フィールドに [評価方法 = アセスメント] の測定基準タイプが入力されます。



- (ターゲットソースタイプが PA インジケーターの場合) [ターゲットソース] フォームで、[タイプ] フィールドが **[PA** インジケーター] に設定され、[ブレークダウン] フィールドに入力される値が選択肢リストタイプではありません。

  [ブレークダウン] フィールドが選択リストタイプであるターゲットソースタイプ、PA インジケーターのコンテキスト変数を作成するには、「ターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数の作成」を参照してください。

注:
必須のコンテキスト変数は削除できません。

ターゲットソースのコンテキスト変数を手動で作成し、それらを使用して、ターゲットフォームで必要なデータをフェッチして [実績値] フィールドを自動更新するように設定することもできます。手動でコンテキスト変数を作成する方法の詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数の作成」を参照してください。

ターゲットの実績値を自動化するためのターゲットソースの作成

ターゲットソースを作成して、目標ユーザーがターゲットの実績値を自動化するように構成できるようにします。

始める前に
アプリケーションの SPM のゴールフレームワーク スコープを選択します。

必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて
コンテキスト変数は、ターゲットソースタイプ [アセスメント/サーベイ] および [PA インジケーター] に必要です。ターゲットソースの作成中にアセスメント/サーベイまたは PA インジケーターとしてタイプが選択されている場合、必須コンテキスト変数が自動的に作成されます。必須のコンテキスト変数が作成されるタイミングの詳細については、「ターゲットソースのコンテキスト変数」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > ターゲットソース.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「ターゲットソースフォーム」を参照して ください。
4. [送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ターゲットソースのコンテキスト変数の作成

ターゲットソースにさらにコンテキスト変数を設定する場合は、コンテキスト変数を手動で作成します。

始める前に
アプリケーションの SPM のゴールフレームワーク スコープを選択します。

必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて
コンテキスト変数は、必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] を自動更新するために使用できる情報を提供します。ターゲットソースのコンテキスト変数が作成された後、目標ユーザーは、実績値が自動的に更新されるように、ターゲットフォームの [実績値ソース構成] セクションを設定できます。

コンテキスト変数の作成は、テーブルでの列の作成に似ています。

ターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数を作成し、ブレークダウンが選択リストタイプである場合は、次を参照してください ターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数の作成。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > ターゲットソース.
2. コンテキスト変数を作成する必要なターゲットソースを開きます。
3. [コンテンツの変数] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「コンテキスト変数フォーム」を参照して ください。
5. [送信] をクリックします。

ターゲットソースタイプ **PA** インジケーターのコンテキスト変数の作成

[ブレークダウン] フィールドが選択リストタイプである場合、ターゲットソースタイプ PA インジケーターのコンテキスト変数を手動で作成します。

始める前に
アプリケーションの SPM のゴールフレームワーク スコープを選択します。

必要なロール：sn_gf.goal_admin

このタスクについて
コンテキスト変数は、必要なデータをフェッチし、ターゲットフォームの [実績値] を自動更新するために使用できる情報を提供します。ターゲットソースのコンテキスト変数が作成された後、目標ユーザーは、実績値が自動的に更新されるように、ターゲットフォームの [実績値ソース構成] セクションを設定できます。

コンテキスト変数の作成は、テーブルでの列の作成に似ています。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > ターゲットソース.
2. コンテキスト変数を作成する必要なターゲットソースを開きます。
3. [コンテンツの変数] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームで [タイプ] フィールドを選択肢として入力し、他のフィールドを必要に応じて入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド値の説明については、「コンテキスト変数フォーム」を参照してください。

5. **[Submit** (送信)] をクリックします。
   選択肢タイプのコンテキスト変数が作成されます。
6. 作成したコンテキスト変数の [選択肢] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   注:
   [コンテキスト変数] フォームに [選択肢] 関連リストが表示されない場合は、次に移動して追加します。 構成 > 関連リスト フィードバックを得ます

7. フォームのフィールドに入力します。

   選択肢フォーム

フィールド	説明
テーブル	選択肢が作成されるコンテキスト変数の名前。
要素	選択肢が作成されるコンテキスト変数フォームの列名。
ラベル	選択肢の名前。
値	コンテキスト変数を作成する選択肢の値の Sys_id。 辞書エントリ [sys_dictionary] テーブルの [選択肢] 関連リストから sys_id をコピーできます。

8. **[Submit** (送信)] をクリックします。
9. オプション: ステップ 6 ～ 8 を繰り返して、コンテキスト変数の選択肢をさらに作成します。

次のタスク
目標ユーザーは、これらの選択肢を、ターゲットソースが構成されているターゲットフォームのコンテキスト変数として設定できます。

SPM のゴールフレームワーク を使用して目標にターゲットを設定する

目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標のための SMART ターゲットを設定します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

このタスクについて
ターゲットにターゲットソースを構成すると、ターゲットフォームの [実績値] フィールドが自動的に更新されます。

SMART ターゲットは、S = 特定、M = 測定可能、A = 達成可能、R = 関連、T = 期限付きとして定義できます。

- 所有者か目標の貢献者のみが目標のターゲットを設定することができます。
- また、ESG Management アプリケーションがインストールされている場合、ターゲットフォームの [機密] フィールドを有効化することで、特定のユーザーに対してターゲットレコードへのアクセスを制限することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[ターゲット] フォーム」を参照して ください。
3. [送信] をクリックします。

タスクの結果
[実際の値] フィールドが更新されると、ターゲット進捗レコードが自動的に作成されます。ターゲット進捗レコードは、目標に対する各ターゲットの進捗状況を指定します。

注:
目標を削除すると、[ターゲットの削除を許可] プロパティが [いいえ] に設定されていても、関連するターゲット (存在する場合) およびその進捗レコードも削除されます。

SPM のゴールフレームワーク を使用したターゲットの進捗状況の更新

[ターゲット] フォームの [実績値を更新] 関連リンクを使用して、ターゲットの進捗状況を更新します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

このタスクについて

注:
目標の所有者または貢献者のみが目標のターゲットを更新することができます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットレコードを開きます。

2. [ターゲット] フォームで、[実績値を更新] 関連リンクをクリックします。
   フィールド値の説明については、「[ターゲット] フォーム」を参照して ください。

タスクの結果
[実際の値] フィールドが更新された後、ターゲットとその目標の進捗値が自動的に更新されます。進捗値の計算方法については、「進捗値の計算」を参照してください。ターゲットブレークダウンを持つターゲットの進捗値の計算方法については、「ターゲットブレークダウン」を参照してください。

ターゲットブレークダウン

ターゲットを短い期間 (例：四半期) にブレークダウンすると、ターゲット値を四半期ごとに設定したり、特定の四半期のターゲットに焦点を当てることができます。ターゲットブレークダウンは、ターゲットに設定されたブレークダウン間隔に基づいて作成されます。

ターゲットのブレークダウン間隔は、[四半期ごと] または [年ごと] に設定できます。[四半期ごと] または [年ごと] に設定されたブレークダウン間隔に関係なく、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。ターゲット値は、ブレークダウン間隔とターゲットの累積設定に基づいて、ターゲットブレークダウンに自動的に設定されます。

ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定され、ターゲットが非累積に設定されている場合のターゲット値の動作:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ターゲット値は、毎年のブレークダウンごとに自動的に設定 (均等に除算) されます。
- 毎年のブレークダウンごとのターゲット値は、必要に応じて変更できます。
- ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定されているため、四半期ごとのブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定され、ターゲットが [累積] に設定されている場合のターゲット値の動作:

- ターゲット値は、前年ごとのブレークダウンに対して (メインターゲットのターゲット値に) 自動的に設定されます。
- 毎年のブレークダウンごとのターゲット値は、必要に応じて設定できます。

> **注:**
> 各年ごとのブレークダウン (昨年の年ごとのブレークダウンを除く) に入力したターゲット値は参照のみを目的としており、計算には考慮されません。ただし、毎年のブレークダウンごとに累積ターゲット値 (以前のターゲットブレークダウンのターゲット値に基づいて構築された値) を設定すると、目標ユーザーまたは貢献者がターゲットの進捗状況をより適切に追跡できるようになります。

- ブレークダウン間隔が [年ごと] に設定されているため、四半期ごとのブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定され、ターゲットが非累積に設定されている場合のターゲット値の動作:

- ターゲット値は、四半期ごとのブレークダウンごとに自動的に設定 (均等に除算) されます。
- 四半期ごとのブレークダウンのターゲット値は、必要に応じて変更できます。
- ブレークダウン間隔が四半期ごとに設定されているため、毎年のブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定され、ターゲットが [累積] に設定されている場合のターゲット値の動作:

- ターゲット値は、前回の四半期ごとのブレークダウンに対して (メインターゲットのターゲット値に) 自動的に設定されます。
- 四半期ごとのブレークダウンごとのターゲット値は、必要に応じて設定できます。

> **注:**
> 各四半期ごとのブレークダウン (最後の四半期ごとのブレークダウンを除く) に入力したターゲット値は参照のみを目的としており、計算には考慮されません。ただし、四半期ごとのブレークダウンごとに累積ターゲット値 (以前のターゲットブレークダウンのターゲット値に基づいて構築された値) を設定すると、目標ユーザーまたは貢献者がターゲットの進捗状況をより適切に追跡できるようになります。

- ブレークダウン間隔が四半期ごとに設定されているため、毎年のブレークダウンにターゲット値を設定することはできません。

ターゲットブレークダウンが作成されると、メインターゲットの基準値とターゲット値に基づいて、対応するターゲットブレークダウンのターゲット値が自動的に設定されます。ターゲットブレークダウンの実際の値が更新された後、実際の値は毎年のブレークダウンの実際の値にロールアップされ、メインターゲットの実際の値が自動更新されます。

> **注:**
> ターゲットブレークダウン機能は定性的ターゲットではサポートされていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ターゲットブレークダウンのメリット

ターゲットブレークダウン機能は、1 年または複数年のターゲットを設定したいけれども、ターゲットの進捗状況を四半期ごとまたは年ごとに追跡したい場合に役立ちます。たとえば、基準値が 0 でターゲット値が 100 の年のターゲットを設定したとします。また、四半期ごとに 25 の四半期ごとのターゲットを設定するとします。この場合、ターゲットを四半期ごとのターゲットにブレークダウンし、四半期ごとにターゲット値を設定することで、四半期ごとの特定のターゲットに焦点を当て、そうした四半期ごとのターゲットに対して実績を更新できるようになります。

ターゲットブレークダウン機能には、次のようなメリットがあります。

- 長期的なターゲットを四半期ごとや年ごとなどの短期的な間隔に分解して、進捗状況をより適切に追跡またはレポートできるようにします
- 必要に応じて、各ターゲットブレークダウンのターゲット値を設定または変更する
- 各ターゲットブレークダウンの実際の値を更新し、メインターゲットの進捗状況を追跡する
- ターゲット全体ではなく、四半期ごとの特定のターゲットに焦点を当てる
- 短期および長期のターゲットの進捗状況を累積的または非累積的に追跡します

ターゲット値ブレークダウン間隔のさまざまな組み合わせの例

以下の表は、目標期間が 1 暦年のさまざまな目標タイプに対して実績値を入力する方法を示しています。2023 暦年に 800 人の新規顧客を獲得することを目標とし、各四半期に 200 人の顧客を獲得したシナリオを考えてみましょう。この場合、次の表に示すように実際の値を入力する必要があります。

ターゲット値ブレークダウン間隔	ターゲットブレークダウンに入力する実際の値			
	Q1 - 23	**Q2 - 23**	**Q3 - 23**	**Q4 - 23**
年次 (累積または非累積)	200	400	600	800
四半期ごと (非累積)	200	200	200	200
四半期ごと (累積)	200	400	600	800

以下の表は、目標期間が 2 暦年のさまざまな目標タイプに対して実績値を入力する方法を示しています。目標が 2023 年から 2024 年の暦年に 800 人の新規顧客を獲得することであり、各四半期に 100 人の新規顧客を獲得したシナリオを考えてみましょう。この場合、次の表に示すように実際の値を入力する必要があります。

ターゲット値ブレークダウン間隔	ターゲットブレークダウンに入力する実際の値							
	Q1 - 23	**Q2 - 23**	**Q3 - 23**	**Q4 - 23**	**Q1 - 24**	**Q2 - 24**	**Q3 - 24**	**Q4- 24**
年次 (非累積)	100	200	300	400	100	200	300	400
年次 (累積)	100	200	300	400	500	600	700	800
四半期ごと (非累積)	100	100	100	100	100	100	100	100

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット値ブレークダウン間隔	ターゲットブレークダウンに入力する実際の値							
	Q1 - 23	Q2 - 23	Q3 - 23	Q4 - 23	Q1 - 24	Q2 - 24	Q3 - 24	Q4- 24
四半期ごと (累積)	100	200	300	400	500	600	700	800

毎年のブレークダウン間隔の実際の値の計算方法 (非累積)

非累積ターゲットのブレークダウン間隔を [年ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにブレークダウンが作成されます。四半期ごとのブレークダウンの実際の値と年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値を設定できます。四半期ごとのブレークダウンに入力された実際の値は、特定の年の累積値 (特定の年の現在の四半期までに達成された実際の値) である必要があります。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定し、進捗状況を非累積的 (四半期ごと) で追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 年のターゲットを設定し、進捗状況を非累積的 (四半期ごと) で追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを非累計として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともに作成され、年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 400 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 600 と 800 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 年から 2024 年の期間にターゲットを設定し、進捗状況を非累積的 (四半期ごと) で追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを非累計として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、各年間ターゲットブレーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダウンのターゲット値を 400 (基準値とターゲット値の差を年数で割った値) に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 100 人、23 - Q4 に 100 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 300 と 400 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、最初の 1 年間のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

実際の値は、最初の暦年についてのみ累積されます。翌暦年については、最初のターゲットブレークダウン (24 - Q1) に新しい実績値を入力してから、連続するターゲットブレークダウン (24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4) に累積数を入力する必要があります。たとえば、24 - Q1 に 100 人を獲得した場合、24 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。同様に、24 - Q2 にさらに 100 人、24 - Q3 に 100、24 - Q4 に 100 人を獲得した場合は、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 200、300、400 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、2 年ごとのターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

毎年のブレークダウン間隔に対する実際の値の計算方法 (累積)

累積ターゲットのブレークダウン間隔を [年ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにブレークダウンが作成されます。四半期ごとのブレークダウンの実際の累積値と年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値を設定できます。四半期ごとのブレークダウンに入力された実際の値は、累積する必要があります (特定の年の最新の四半期までに達成された実際の値)。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定し、進捗状況を累積的に (四半期ごと) 追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 年のターゲットを設定し、進捗状況を累積的に (四半期ごと) 追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを累積として設定する

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともに作成され、年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 400 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 600 と 800 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、2023 ～ 2024 年の期間のターゲットを設定し、進捗状況を累積的に (四半期ごと) 追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [毎年] に設定し、ターゲットを累積として設定する

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、最後の年ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 から 24 - Q4 までの各四半期でさらに 100 人の顧客を獲得した場合は、それぞれの四半期ターゲットブレークダウンの実際の値として 300、400、500、600、700、および 800 を入力します (23 - Q3 から 24 - Q4 まで)。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、カレンダー年のターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

四半期ごとのブレークダウン間隔の実際の値の計算方法 (非累積)

非累積ターゲットのブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定されている場合、ターゲットブレークダウンに入力する実際の値は、その特定の四半期 (その年の特定の四半期に達成された実際の値) に固有のものでなければなりません。ブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定して進捗状況を四半期ごとに追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定して、進捗状況を四半期ごとに追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを非累積として設定します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともにアプリケーションで作成され、四半期ごとにターゲット値が 200 (基準値とターゲット値の差を四半期の数で割った値) に設定されます。四半期ごとのブレークダウンのターゲット値は、必要に応じて変更できます。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲットブレークダウンには特定の四半期で達成された実際の値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 の両方のターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、合計値を毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定して、進捗状況を四半期ごとに追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを非累積として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、四半期ごとにターゲット値が 100 (基準値とターゲット値の差、 を四半期数で割った値)。四半期ごとのブレークダウンのターゲット値は、必要に応じて変更できます。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲットブレークダウンには特定の四半期で達成された実際の値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。同様に、23 - Q3 から 24 - Q4 までの各四半期にさらに 100 人の顧客を獲得した場合は、四半期ごとのターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します (23 - Q3 から 24 - Q4 まで)。

アプリケーションでは、各四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、合計値を毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

四半期ごとのブレークダウン間隔の実際の値の計算方法 (累積)

累積ターゲットのブレークダウン間隔が [四半期ごと] に設定されている場合、ターゲットブレークダウンに入力する実際の値は、その特定の四半期に固有の値 (その年の特定の四半期に達成された実際の値) である必要があります。ブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定すると、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期および年ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、毎年および複数年のターゲットを設定し、四半期ごとに累積的に進捗状況を追跡する方法を理解するのに役立ちます。

例 1:2023 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定し、四半期ごとに進捗状況を累積的に追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2023-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを累積として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4) のターゲットブレークダウンが、2023 年の年ごとのターゲットブレークダウンとともに作成され、最後の四半期ごとのターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 200 人の顧客を獲得した場合、Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。23 - Q2 にさらに 200 人の顧客を獲得した場合、Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 400 を入力します。同様に、23 - Q3 にさらに 200 人、23 - Q4 に 200 人を獲得した場合は、Q3 と Q4 のターゲットブレークダウンの実際の値として、それぞれ 600 と 800 を入力します。

アプリケーションでは、最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値を考慮し、毎年のターゲットブレークダウンの実際の値にロールアップしてから、メインターゲットにロールアップします。その後、ターゲットとその目標の進捗状況が自動更新されます。

例 2:2023 年と 2024 年に 800 人の新規顧客を獲得する

このターゲット例では、四半期ごとにターゲットを設定し、四半期ごとに進捗状況を累積的に追跡する場合、ターゲットを次のように設定できます。

- 開始日と終了日をそれぞれ 2023-01-01 と 2024-12-31 に設定する
- ターゲットのブレークダウン間隔を [四半期ごと] に設定し、ターゲットを累積として設定します

この場合、四半期ごと (23 - Q1、23 - Q2、23 - Q3、23 - Q4、24 - Q1、24 - Q2、24 - Q3、24 - Q3、24 - Q4)、および 2023 年から 2024 年の期間の各年 (2023、2024) のターゲットブレークダウンが作成され、最後の年間のターゲットブレークダウンのターゲット値が 800 に設定されます。

アプリケーションでは、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに入力された実際の値のみが考慮されるため、ターゲット期間全体の最新の四半期ターゲットブレークダウンに実際の累積値を入力する必要があります。たとえば、23 - Q1 に 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q1 ターゲットブレークダウンの実際の値として 100 を入力します。23 - Q2 にさらに 100 人の顧客を獲得した場合、23 - Q2 ターゲットブレークダウンの実際の値として 200 を入力します。同様に、23 - Q3 から 24 - Q4 までの各四半期でさらに 100 人の顧客を獲得した場合は、それぞれの四半期ターゲットブレークダウンの実際の値として 300、400、500、600、700、および 800 を入力します (23 - Q3 から 24 - Q4 まで)。

ブレークダウン間隔が [なし] に設定されている場合の実際の値の計算方法

ターゲットのブレークダウン間隔が [なし] に設定されている場合は、実際の値をメインターゲットに入力する必要があります。入力する実際の値は、ターゲットの期間に関係なく累積する必要があり

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。ブレークダウン間隔が [なし] に設定されている場合、ターゲットブレークダウンは作成されません。

ターゲット自動化でのターゲットブレークダウン

ターゲットに対してターゲット自動化機能を有効にし、ブレークダウン間隔を設定した場合は、ターゲット自動化機能によって、レビュー期日に基づいてそれぞれのターゲットブレークダウンの実際の値が自動的に更新されます。ターゲットブレークダウンの実際の値が更新された後、値がそのターゲットにロールアップされてから、ターゲットとその目標の進捗値が自動更新されます。

注:
[四半期ごと] または [年ごと] に設定されたブレークダウン間隔に関係なく、[レビュー頻度] は自動的に [四半期ごと] に設定され、四半期ごとにターゲットブレークダウンが作成されます。ブレークダウン間隔が [四半期ごと] または [年ごと] に設定されている場合、レビュー頻度は編集できません。

ターゲットブレークダウンの実際の値の更新

ターゲットブレークダウンのステータスが変更されたときに、その実際の値を更新します。ターゲットブレークダウンの実際の値を更新すると、そのターゲットの実際の値が自動的に更新されます。ターゲットの [実際の値] フィールドが更新された後、ターゲットとその目標の進捗値が自動的に更新されます。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

このタスクについて

注:
目標の所有者または貢献者のみがターゲットブレークダウンを更新することができます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、目標のターゲットレコードを開きます。
2. [ターゲット] フォームで、[実際の値] フィールドを更新し、[注釈] フィールドにビジネス上の根拠を追加します。
   フィールドの詳細については、「[ターゲットブレークダウン] フォーム」を参照してください。
3. [更新] を選択します。

タスクの結果
[実際の値] フィールドが更新された後、ターゲットとその目標の進捗値が自動的に更新されます。進捗値の計算方法については、「進捗値の計算」を参照してください。ターゲットブレークダウンの実際の値がそのターゲットにどのようにロールアップされるかについては、「ターゲットブレークダウン」を参照してください。

作業または計画アイテムを目標に関連付ける

作業、計画、戦略、またはその他の任意のアイテムで目標関係を作成し、現在または将来の作業を特定して関連付け、目標を達成します。

始める前に
必要なロール：sn_gf.goal_user

このタスクについて
目標を一度に関連付けることができるのは、作業アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム、スクラム機能、 スクラム/SAFe エピック)、または SAFe 機能、計画アイテム (プロジェクト、デマ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンド、またはエピック)、または戦略アイテム (プログラムまたはイニシアチブ) のうちの 1 つのみです。複数のアイテムを目標に関連付けるには、アイテムごとに 1 つの目標関係レコードを作成します。

- (プロジェクトポートフォリオ管理) がインストールされている場合にのみPPM Standard、目標をプロジェクト、デマンド、およびプログラムの作業項目に関連付けることができます。
- Agile Development 2.0 がインストールされている場合にのみ、目標をスクラム機能およびスクラムエピック作業アイテムに関連付けることができます。
- Scaled Agile Framework (SAFe) がインストールされている場合にのみ、目標を SAFe エピックおよび SAFe 機能作業アイテムに関連付けることができます。
- 戦略的計画 がインストールされている場合にのみ、目標を計画立案アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム、エピック) および戦略アイテム (プログラムおよびイニシアチブ) に関連付けることができます。

注:

- インストールされている PPM戦略的計画 プラグインに応じて、またはそれぞれの関連リストが目標フォームに表示されます。PPM がインストールされている場合、プロジェクト、デマンド、およびプログラムの作業アイテム関連リストが目標フォームに表示されます。戦略的計画 のみがインストールされている場合、または PPM と 戦略的計画 の両方がインストールされている場合は、 [計画立案アイテム] および [その他のアイテム] 関連リストが目標フォームに表示されます。
- 作業アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム、スクラム機能、 スクラム/SAFe エピック、または SAFe 機能) との目標関係が作成されると、目標フォームのそれぞれの関連リストにレコードが表示されます。計画アイテム (プロジェクト、デマンド、またはエピック) で目標関係が作成されると、目標フォームの [計画アイテム] 関連リストにレコードが表示されます。戦略アイテム (プログラムまたはイニシアチブ) またはその他の任意のアイテムで目標関係が作成されると、目標フォームの [その他のアイテム] 関連リストにレコードが表示されます。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズゴール管理 > 目標.
2. 必要な目標を開きます。
3. 次のオプションを使用して、作業または計画アイテムと目標との関係を作成します。
4. [送信] をクリックします。

作業および計画アイテムの主要目標を関連付ける

目標を、アイテムが目標の達成に寄与する作業および計画アイテムに対する主要目標として関連付けることができます。作業および計画アイテムの主要目標として目標を設定するには、さまざまなロールが必要です。

プロジェクト、デマンド、プログラム、機能、エピック、および計画アイテムフォームの [主要目標] フィールドに入力することで、目標を作業および計画立案アイテムのプライマリとして関連付けることができます。

また、プロジェクト、デマンド、プログラム、機能、エピック、および計画アイテムフォームの [目標関係] 関連リストから、非主要目標を作業および計画立案アイテムに関連付けることができます。

作業および計画立案アイテムを目標に関連付けると、目標の関連リストあるいは、それぞれの作業または計画アイテムの関連リストでこれらの関係を直接確認できるようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の表に、各作業および計画立案アイテムの主要目標を設定する方法を示します。

作業/計画立案アイテム	必要なプラグイン	必要なロール	主要目標を関連付ける手順
プロジェクト	PPM Standard	project_manager	1. 必要なプロジェクトを開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、プロジェクトに関連付ける目標を入力します。
デマンド	PPM Standard	demand_manager	1. 必要なデマンドを開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、デマンドに関連付ける目標を入力します。
プログラム	PPM Standard	program_manager	1. 必要なプログラムを開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、プログラムに関連付ける目標を入力します。
機能	Agile Development 2.0	rm_feature_admin	1. 必要な機能を開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、機能に関連付ける目標を入力します。
SAFe 機能	Scaled Agile Framework	safe_art_user または safe_admin	1. 必要な機能を開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、機能に関連付ける目標を入力します。
スクラムエピック	Agile Development 2.0	scrum_story_creator	1. 必要なエピックを開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、エピックに関連付ける目標を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業/計画立案アイテム	必要なプラグイン	必要なロール	主要目標を関連付ける手順
SAFe エピック	Scaled Agile Framework	safe_art_user	1. 必要なエピックを開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、エピックに関連付ける目標を入力します。
計画アイテム (プロジェクト、デマンド、およびスクラム/SAFe エピック)	戦略的計画	sn_align_core.apw_user	1. 必要な計画立案アイテムを開きます。 2. フォームの [主要目標] フィールドに、計画立案アイテムに関連付ける目標を入力します。

ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク の参照

フィールド、ユーザーロール、テーブルなど、ゴールフレームワーク と SPM のゴールフレームワーク に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク とともにインストールされるコンポーネント

ゴールフレームワーク および SPM のゴールフレームワーク アプリケーションをインストールすると、いくつかのタイプのコンポーネント (ユーザーロール、ジョブスケジュール、テーブル、スクリプトなど) がインストールされます。

インストールされるロール

ロール	説明	ロールを含む
sn_gf.goal_user_read	目標を表示できます。このロールは、プロジェクトユーザーやデマンドユーザーなどのユーザーに付与できます。	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
sn_gf.goal_user	• 目標、サブ目標、および関連するターゲットを作成、表示、編集、および削除できます。 注: ○ **[sn_gf.allow_goal_deletion]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合、目標やサブ目標を削除できるのは、目標やその直接の親目標の所有者および貢献者のみです。 ○ **[sn_gf.allow_goal_deletion]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合、関連ターゲットを削除できるのは、目標のターゲットの所有者および貢献者のみです。 ○ 目標を編集できるのは、目標やその直接の親目標の所有者および貢献者のみです。 ○ ターゲットを編集できるのは、目標やターゲットの所有者および貢献者のみです。 • 目標関係性 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルから、作業アイテムと目標の間の既存の目標関係性を削除できます。	sn_gf.goal_user_read
sn_gf.goal_admin	• 目標設定を更新できます。 • ターゲット自動化機能の有効化の一環として、ターゲットソースとコンテキスト変数を作成できます。 注: SPM のゴールフレームワークがインストールされている場合は、ターゲットソースとコンテキスト変数を作成できます。	• sn_gf.goal_user_read • sn_gf.goal_user
sn_gf.strategy_planner_read	すべての戦略的計画と戦略値を表示できます。	なし
sn_gf.stategy_planner	戦略的計画と戦略値を作成、表示、編集、および削除できます。	sn_gf.strategy_planner_read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
	注: • 戦略的計画は、戦略的計画の所有者とスポンサーのみが編集できます。 • 戦略値は、戦略計画のスポンサーのみが編集できます。	
sn_gf.epmo_stategy_planner	任意の目標を作成、表示、編集、および削除できます。	• sn_gf.goal_user_read • sn_gf.goal_user • sn_gf.goal_admin • sn_gf.strategy_planner

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
Goal Framework のジョブスケジュール	
目標、戦略、および作業アイテムデータを Goal Framework と関連する計画立案アイテムテーブルに移行	既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行します。移行するデータとそのデータの移行方法については、「目標データ移行」を参照してください。
アサインされたエンティティの目標関係を移行する	(戦略的計画 ユーザーの場合) [会社]、[事業部門]、[部門]、[ポートフォリオ] 以外のレンズエンティティとの m2m 関係を作成している場合、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルのデータに基づく [目標] フォーム にある [アサインされたエンティティタイプ] フィールドと [アサインされたエンティティ] フィールドに値が入力されます。
SPM のゴールフレームワーク ジョブスケジュール	
SPM のゴールフレームワーク を使用してターゲットの実績値を更新	各ターゲットソースからデータを収集してターゲットの実績値を更新し、ターゲットの進捗状況が更新され、ターゲットの進捗状況が目標にロールアップされるようにします。

インストールされるテーブル

表示名 [テーブル名]	説明
Goal Framework テーブル	
目標 [sn_gf_goal]	目標の詳細を保存します。
目標コア	目標のコア (基本) 詳細を保存します。目標 [sn_gf_goal] テーブルは、目標コア [sn_gf_core_goal] テーブルを拡張します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

表示名 [テーブル名]	説明
[sn_gf_core_goal]	
ターゲット [sn_gf_goal_target]	目標のターゲット詳細を保存します。
ユニット [sn_gf_units]	ターゲットの進捗状況を測定するために利用可能な単位を保存します。
ターゲット進捗状況 [sn_gf_goal_target_progress]	目標のターゲット進捗状況の詳細を保存します。
目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship]	目標とアイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム、スクラムエピック、スクラム機能、および計画立案アイテム) の間の関係を定義します。
戦略計画 [sn_gf_strategic_plan]	計画立案組織階層ごとに定義された戦略計画を保存します。 **注:** このテーブルは、アラインメントプランナーワークスペース (APW) がインストールされている場合にのみ表示されます。
戦略的優先事項 [sn_gf_strategy]	組織に対して定義された戦略的優先事項を保存します。
戦略値 [sn_gf_stategy_value]	戦略計画の戦略値を保存します。 **注:** このテーブルは、APW がインストールされている場合にのみ表示されます。
SPM のゴールフレームワーク テーブル	
コンテキスト変数 [sn_gfa_context_variable]	ターゲットソースのコンテキスト変数の詳細を保存します。
ターゲットブレークダウン [sn_gfa_target_breakdown]	ターゲットに指定されたブレークダウン間隔に基づいて作成された、ターゲットのターゲットブレークダウンの詳細を保存します。
ターゲットソース [sn_gfa_target_source]	ターゲットの実績値を自動化するためのターゲットソース構成の詳細を保存します。

インストールされたカスタムスクリプト

名前	説明
SPM のゴールフレームワーク カスタムスクリプト	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
利益計画 事前定義されたスクリプトがあるターゲットソース。	金銭的または金銭以外の利益計画レコードからの [実績利益] フィールドまたは [金銭以外の実績利益] フィールドから必要な値を取得することによって、ターゲットフォームの [実績値] フィールドを更新する事前定義されたスクリプト。スクリプトテンプレートについては、「利益計画のターゲット自動化スクリプト」を参照してください。 **注:** 利益計画カスタムスクリプトは、PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) がインストールされている場合にのみ使用できます。

インストールされているシステムプロパティ

名前	説明
SPM のゴールフレームワーク のシステム プロパティ	
sn_gfa_disable_target_breakdown	インスタンスレベルでターゲットブレークダウン機能を有効にするオプション。

コンテキスト変数フォーム

コンテキスト変数フォームを使用して、構成された入力値に基づいてターゲットの実績値を計算するためのターゲットソースのコンテキスト変数を作成します。

コンテキスト変数フォーム

フィールド	説明
タイプ	コンテキスト変数タイプ。 さまざまなフィールドタイプについては、「フィールドタイプ」を参照してください。
アプリケーション	アプリケーションスコープの名前。
ラベル	コンテキスト変数タイプを作成するラベルの名前。
列名	コンテキスト変数タイプを作成するコンテキスト変数の ID。
選択リストの仕様	
選択肢	[実績値ソース構成] セクションのターゲットフォームにコンテキスト変数を表示するオプション。
デフォルト値	
デフォルト値	ターゲットの実績値を更新するために考慮するデフォルト値。

目標がアサインされたエンティティ構成フォーム

目標がアサインされたエンティティ構成フォームを使用して、アサインされたエンティティタイプのテーブルを構成して、目標ユーザーが目標を必須のアサインされたエンティティに関連付けることができるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目標がアサインされたエンティティ構成フォーム

フィールド	説明
アサインされたエンティティテーブル	目標をアサインするエンティティテーブル。
アプリケーション	アプリケーションスコープの名前。
アサインされたエンティティフィールド	目標フォームの参照フィールド。

[目標] フォーム

目標フォームを使用して、組織の戦略的優先事項の目標を作成します。

注:
ESG ワークスペース および 戦略的計画 のユーザーの場合、ワークスペースのフォームに他のフィールド (デフォルトとカスタムのどちらのフォームビューにも追加されていないもの) を表示するには、デフォルト/カスタムのフォームレイアウトを構成します。フォームレイアウトの構成方法については、「フォームレイアウトの構成」を参照してください。

[目標] フォーム

フィールド	説明
名前	目標の名前。
ステータス	目標のステータス。ステータスには、[ドラフト]、[処理中]、[承認済み]、[完了] [処理待ち]、[達成]、[未達成] があります。
親目標	この目標が寄与する親目標の名前。
戦略的優先事項	この目標の作成対象の戦略的優先事項の名前。
開始日	目標の開始日。デフォルトでは、現在の四半期の開始日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の開始日が入力されます。
終了日	目標の終了日。デフォルトでは、現在の四半期の終了日が入力されます。サブ目標の場合、その親目標の終了日が入力されます。
所有者	目標の所有者。デフォルトでは、目標を作成するユーザーの名前が入力されます。
カテゴリ	目標のカテゴリ。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • アプリケーション合計 • 総コスト • 経費 • 投資 • クラウドアプリケーション • 自家製アプリケーション • サポート費 • 人件費 • 標準コンプライアンス • 戦略的

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[目標] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• オペレーショナル • 戦術的
ステータス	目標のステータス。ステータスには、[赤]、[黄]、[緑] または [なし] があります。
貢献者	目標の達成に貢献するユーザー。
チーム	目標を達成するためのさまざまなアクティビティを担当するアサイン先グループ。
親目標への影響	親目標の下にある兄弟目標やその他の目標と比較して、この目標の重要度を表す数値。デフォルトでは、 値は (1) [どちらでもない]です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない • **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大 注: このフィールドは、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
進行状況	目標の完了率。目標にサブ目標やターゲットがある場合、進捗状況の値は自動的に計算されます。 進捗値の計算方法の詳細については、「進捗値の計算」を参照してください。
アサインされたエンティティタイプ	目標をアサインするエンティティタイプ。例：事業部門、部門、会社、ポートフォリオ。
アサインされたエンティティ	目標をアサインするエンティティ。
コメント	コラボレーションを促進するための、目標に関する詳細なコメント。
分類	目標の分類タイプ。利用可能なオプションは、[環境]、[ソーシャル]、[ガバナンス] です。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。

目標設定フォーム

目標設定に使用されるカレンダータイプ、目標進捗状況の加重平均計算、目標やターゲットの削除など、目標を管理するための目標設定フォームを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目標設定フォーム

プロパティ	説明
加重平均ロジックを有効にして、サブ目標とターゲットから目標の進捗状況を計算します。	有効にすると、[親目標への影響] および [目標への影響] のフィールドが、目標 [sn_gf_goal] とターゲット [sn_gf_goal_target] のテーブルにそれぞれ表示されます。親目標の進捗値は、加重平均ロジックを適用して計算されます。 デフォルト値は [はい] です。 親目標の進捗状況の値は、進捗値と、サブ目標とターゲットの [親目標への影響] および [目標への影響] のフィールドでそれぞれ定義された値に基づいて計算されます。 進捗値の計算方法の詳細については、「進捗値の計算」を参照してください。
目標の削除を許可します。	目標を削除できます。 デフォルト値は [はい] です。
ターゲットの削除を許可します。	ターゲットを削除できます。 デフォルト値は [はい] です。 **注:** 目標を削除すると、[ターゲットの削除を許可] プロパティが [いいえ] に設定されていても、関連するターゲット (存在する場合) も削除されます。
目標の設定に使用されるカレンダータイプ。	目標の設定に使用されるカレンダータイプ。利用可能なカレンダータイプは、グレゴリオ暦と会計期間です。 デフォルト値は [グレゴリオ暦] です。
インスタンスレベルでターゲットブレークダウンを無効にします。	ターゲットブレークダウン機能を無効にできます。この機能を有効にすると、ターゲットブレークダウンは、ターゲットに設定されたブレークダウン間隔に基づいて自動的に作成されます。 デフォルト値は false です。

進捗値の計算

目標の進捗値や完了率の値は、さまざまな式を使用して自動的に計算されます。計算式は、ターゲットのみを含む目標であるか、サブ目標とターゲットの組み合わせであるか、また加重平均計算が有効になっているかどうかによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ	目標の進捗値の計算に使用される式
• 目標にターゲットがある。 • 目標にサブ目標がない。 • [目標への影響] フィールドはターゲットで定義されている。	目標の進捗値 = 関連するターゲットの進捗値の合計/ターゲットの数
• 目標にサブ目標とターゲットがある。 • [親目標への影響] および [目標への影響] フィールドは、サブ目標とターゲットでそれぞれ定義されている。	目標の進捗値 = サブ目標と関連するターゲットの進捗値の合計/サブ目標とターゲットの数
• 目標に 2 つのターゲット (ターゲット 1 とターゲット 2) がある。 • 目標にサブ目標がない。 • [目標への影響] フィールドは、ターゲットで定義されており、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている。	目標の進捗値 = [(ターゲット 1 の進捗値 * ターゲット 1 の重み付けスケール) + (ターゲット 2 の進捗値 * ターゲット 2 の重み付けスケール)] / (ターゲット 1 の重み付けスケール + ターゲット 2 の重み付けスケール)
• 目標に 2 つのターゲット (ターゲット 1 とターゲット 2) がある。 • 目標に 2 つのサブ目標 (サブ目標 1 とサブ目標 2) がある。 • [親目標への影響] および [目標への影響] フィールドは、サブ目標とターゲットでそれぞれ定義されており、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている。	目標の進捗値 = [(サブ目標 1 の進捗値 * サブ目標 1 の重み付けスケール) + (サブ目標 2 の進捗値 * サブ目標 2 の重み付けスケール) + (ターゲット 1 の進捗値 * ターゲット 1 の重み付けスケール) + (ターゲット 2 の進捗値 * ターゲット 2 の重み付けスケール)] / (サブ目標 1 の重み付けスケール + サブ目標 2 の重み付けスケール + ターゲット 1 の重み付けスケール + ターゲット 2 の重み付けスケール)

スクリプトの実行を予定フォーム

ジョブスケジュールは、特定の時間または繰り返しスケジュールで実行できる自動化された作業です。

目標、戦略、および作業アイテムデータを **Goal Framework** と関連する計画立案アイテムテーブルに移行

[目標、戦略、および作業アイテムデータを **Goal Framework** と関連計画立案アイテムテーブルに移行 **(Migrate Goal, Strategy, and Work item data to the Goal Framework and related Planning item tables)]** ジョブを使用して、既存の目標データを ゴールフレームワーク テーブルに移行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトの実行を予定フォーム

パラメーター	説明
目標データの移行	• 既存のすべての目標レコードを目標 [goal] テーブルから目標 [sn_gf_goal] テーブルに移行します。sys_id は同じままです。対応するターゲットレコードがターゲット [sn_gf_goal_target] テーブルに作成されます。 • 目標と作業アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム) 間の既存の関係を、最初の目標 (Glide リストの順) を主目標とする目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに作成します。
戦略データの移行	企業戦略 [enterprise_strategy]、事業部門戦略 [business_unit_strategy]、および戦略的達成目標 [strategic_objective] のテーブルから、既存のすべての戦略レコードを戦略的優先事項 [sn_gf_strategy] テーブルに移行します。sys_id は同じままです。
目標戦略 M2M データの移行	ゴールフレームワーク では、1 つの目標は 1 つの戦略にのみマッピングできます。既存の目標にマッピングされた 2 つの戦略がある場合、目標のクローンが作成され (1 つは汎用目標として、もう 1 つはサブ目標として)、両方に同じ戦略が設定されます。また、サブ目標については、最初の目標が親目標として設定されます。 たとえば、既存の目標 (G1) が 5 つの戦略 (S1、S2、S3、S4、および S5) にマッピングされているシナリオを考えてみましょう。この場合、G1 の 4 つのクローンがサブ目標 (G2、G3、G4、および G5) として作成され、親目標が G1 として設定されます。親目標 (G1) と サブ目標 (G2、G3、G4、および G5) については、[戦略] フィールドにそれぞれ (S1、S2、S3、S4、および S5) が入力されます。 **注:** クローンされたサブ目標の名前には、`Cloned SubGoal:` のプリフィックスが付き、その後に親の目標名が続きます。
戦略/作業アイテム関係性データの移行	• 戦略と作業アイテム (プロジェクト、デマンド、プログラム) 間の既存の関係を目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに移行します。 • 目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに、目標に対する、(現在の戦略としての) 戦略と作業アイテム間の関連付けがない場合、現在の戦略の戦略値でダミー目標が作成されます。そして、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに、ダミー目標と作業アイテムとの目標関係が作成されます。 **注:** ダミー目標の名前にはプリフィックス `Goal:` が付き、その後に戦略名が続きます。

アサインされたエンティティの目標関係を移行する

[アサインされたエンティティの目標関係を移行] ジョブを使用して、[目標] フォーム の [アサインされたエンティティタイプ] および [アサインされたエンティティ] フィールドを、従来のフィールド ([事業部門]、[部門]、[会社]、[ポートフォリオ]、およびカスタマイズされたエンティティフィールド) に入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトの実行を予定フォーム

パラメーター	説明
アサインされたエンティティの目標関係を移行する	(戦略的計画 ユーザーの場合) [会社]、[事業部門]、[部門]、[ポートフォリオ] 以外のレンズエンティティとの m2m 関係を作成している場合、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルのデータに基づく [目標] フォーム にある [アサインされたエンティティタイプ] フィールドと [アサインされたエンティティ] フィールドに値が入力されます。 ユーザーがすでに m2m 関係を作成している場合は、このスクリプトを使用して、それぞれのポートフォリオ計画のこれらの目標にアクセスして管理するために、それらの関係を m2m テーブルから目標テーブルに移動できます。 目標に、割り当てエンティティテーブルタイプとの関係が 1 つしかない場合、[エンティティタイプのアサイン **(Assign entity type)]** フィールドと [エンティティのアサイン **(Assign entity)]** フィールドが、目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルに基づいて 設定されます。 目標に割り当てエンティティテーブルタイプとの関係が複数ある場合、関係の数 (n) のクローンされたサブ目標が作成され、[エンティティタイプのアサイン **(Assign entity type)]** フィールドと [エンティティのアサイン **(Assign entity)]** フィールドが、それぞれのクローンされたサブ目標の目標関係 [sn_gf_goal_m2m_relationship] テーブルにあるデータに基づき、目標 [sn_gf_goal] テーブルに入力されます。

[戦略計画] フォーム

戦略計画フォームを使用して、組織の目的、その戦略的優先事項、および関連する目標を定義します。

[戦略計画] フォーム

フィールド	説明
名前	戦略計画の名前。
スポンサー	戦略計画のスポンサー。
開始日	戦略計画の開始日。
終了日	戦略計画の終了日。
説明	戦略計画の詳細な説明。
視覚	戦略と関連する目標に基づいた、将来のある時点での組織のビジネスの予定についての簡単な説明。
ミッション	組織の達成目標とその目標を達成するためのアプローチについての簡単な説明。

[戦略的優先事項] フォーム

組織の戦略的計画を目標に向けるために、戦略的優先事項フォームを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[戦略的優先事項] フォーム

フィールド	説明
名前	戦略的優先事項の名前。
親	この戦略的優先事項が寄与する親の戦略的優先事項の名前。
所有者	戦略的優先事項の所有者。デフォルトでは、戦略を作成するユーザーの名前が入力されます。
開始日	戦略的優先事項の開始日。
終了日	戦略的優先事項の終了日。
タイプ	戦略的優先事項のタイプ。利用可能なオプションは、[主要イニシアチブ]、[共有ビジョン]、[戦略的ターゲット]、[運用原則]、[関係戦略]、[環境]、[ソーシャル]、および [ガバナンス]です。
戦略計画	この戦略的優先事項が作成される戦略計画の名前。
説明	戦略的優先事項の詳細な説明。

利益計画のターゲット自動化スクリプト

事前定義された利益計画スクリプトをターゲットソースとして使用して、関連する作業アイテムの利益計画からターゲットの実績値を自動化します。

次の事前定義された利益計画スクリプトを使用して、ターゲットにターゲットソースを設定します。スクリプトは、金銭または金銭以外の利益計画に必要なデータをフェッチし、ターゲットの実績値を更新します。このスクリプトはそのまま使用することも、要件に応じて変更することもできます。コンテキスト変数を作成して、このターゲットソースに設定することもできます (利益計画)。

```
result = '';
var benefitPlans = new GlideRecord(sn_gfa.GFAdvancedConstants.BENEFIT_PLAN_TABLE);
benefitPlans.addQuery('sys_id', 'IN', benefit_plan);
benefitPlans.query();

var nonMonetaryBenefitSum = 0;
var monetaryBenefitSum = 0;
var hasMonetary = false;
var hasNonMonetary = false;
while (benefitPlans.next() && !(hasMonetary && hasNonMonetary)) {
    if (!gs.nil(benefitPlans.getValue('currency'))) {
        monetaryBenefitSum += parseInt(benefitPlans.getValue('actual_benefit'));
        hasMonetary = true;
    } else {
        nonMonetaryBenefitSum += parseInt(benefitPlans.getValue('nm_actual_benefit'));
        hasNonMonetary = true;
    }
}

if (hasMonetary && hasNonMonetary)
    gs.addErrorMessage(gs.getMessage('The Benefit Plan list can contain either monetary or
 non-monetary benefit plans.'));
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
else
   result = hasMonetary ? monetaryBenefitSum : nonMonetaryBenefitSum;
```

[ターゲットブレークダウン] フォーム

[ターゲットブレークダウン] フォームを使用して、ターゲットと目標の進捗状況を追跡して測定します。

このフォームは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされている場合に使用できます。

[ターゲットブレークダウン] フォーム

フィールド	説明
ブレークダウン期間	ターゲットブレークダウンの期間。
親ブレークダウン	ターゲットブレークダウンの年。
ターゲット	ターゲットブレークダウンの親ターゲット。
ステータス	ターゲットブレークダウンのステータス。ステータスには、[赤]、[黄]、[緑] があります。
ブレークダウン	親ターゲットで指定されたブレークダウン間隔。
ターゲット値	ターゲットブレークダウンのターゲット値。
実際の値	ターゲットブレークダウンの実際の値。
注釈	実績を更新する場合のビジネス上の根拠についてユーザーが入力した注釈。

[ターゲット] フォーム

目標の進捗状況を追跡して測定するために、目標フォームを使用します。

フォームの一部のフィールドは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされている場合に使用できます。

注:
ESG ワークスペースおよび 戦略的計画 のユーザーの場合、ワークスペース内のフォームに他のフィールド (デフォルトビューとカスタムフォームビューのどちらにも追加されていないもの) を表示するには、デフォルトまたはカスタムのフォームレイアウトを構成します。フォームレイアウトの構成方法については、「フォームレイアウトの構成」を参照してください。

[ターゲット] フォーム

フィールド	説明
名前	ターゲットの名前。
目標	関連付けられた目標の名前。このフィールドは、[目標] フォームの [ターゲット] 関連リストからターゲットを作成するときに自動的に入力されます。
説明	ターゲットの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
ステータス	ターゲットのステータス。ステータスには、[ドラフト]、[処理中]、[承認済み]、[完了] があります。
ステータス	ターゲットのステータス。ステータスには、[赤]、[黄]、[緑] があります。

進行状況	実行が完了したターゲットの割合。この値は自動的に計算されます。
	
	[タイプ] フィールドが [最大化] に設定されている場合、進捗状況の値は次の式を使用して計算されます。
	
	`Progress = (Actual value - Base value) / (Target value - Base value) x 100`
	
	[タイプ] フィールドが [最小化] に設定されている場合、進捗状況の値は次の式を使用して計算されます。
	
	`Progress = (Base value - Actual value) / (Base value - Target value) x 100`
	
	重み付けスケールが定義されているときの進捗値の計算方法の詳細については、「進捗値の計算」を参照してください。

目標への影響	目標の他のターゲットと比較したターゲットの重要度を表す数値。サブ目標が存在する場合は、相対的な重み付けとその後の進捗状況の計算でも考慮されます。デフォルトでは、値は (1) [どちらでもない]です。 使用可能なオプションは、次のとおりです。 • **(0)** 影響なし • **(1)** どちらでもない • **(2)** 中 • **(3)** 高 • **(4)** 非常に高 • **(5)** 最大 **注:** このフィールドは、**[sn_gf.weighted_average_enabled]** システムプロパティが [はい] に設定されている場合にのみ使用できます。
オーナー	ターゲットの所有者。デフォルトでは、ターゲットを作成するユーザーの名前が入力されます。
貢献者	ターゲットの達成に貢献するユーザー。
期間	
開始日	ターゲットの開始日。デフォルトでは、関連付けられた目標の開始日が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
終了日	ターゲットの終了日。デフォルトでは、関連付けられた目標の終了日が入力されます。
測定基準	
測定単位	指定された値の測定タイプ。コスト、時間、レートなど、使用する測定項目。使用可能な測定タイプは、単位 [sn_gf_units] テーブルに格納されています。測定単位は、ターゲットのタイプを定性的または定量的として定義します。定量的ターゲットに使用可能な単位は **[#]**、**[$]**、**[%]**、および [日] です。定性的ターゲットに使用可能な単位は [はい]/[いいえ] です。
タイプ	達成の方向を示すターゲットタイプ。 • 最大化：進行方向は基準値からターゲット値に向かっており、基準値はターゲット値よりも小さくなければなりません。 • 最小化：進行方向は基準値からターゲット値に向かっており、ターゲット値は基準値よりも小さくなければなりません。 • マイルストーン：固定タイプ。ターゲットの達成度をキャプチャするには、定性的ターゲット値 (ターゲットの [測定単位] フィールドで設定) のみが許可されます。[マイルストーン] オプションは、定性的ターゲットにのみ適用されます。 [タイプ] フィールドは、値が定性的ターゲットの [マイルストーン] として入力され ([測定単位] フィールドが定性的ターゲット値に設定されている場合)、読み取り専用になります。
基準値	ターゲットの基準値。基準値は、現在または最近の値と見なすこともできます。 [実際の値] フィールドに値を入力すると、このフィールドは読み取り専用になります。[基準値] フィールドの値を更新するには、[実際の値] フィールドをクリアします。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化] または [最小化] に設定されている場合に使用できます。
ターゲット値	ターゲットのターゲット値。目標値は意欲的で、チームにやりがいを起こさせるものでなければなりません。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化] または [最小化] に設定されている場合に使用できます。
ターゲット値ブレークダウン間隔	ターゲットのブレークダウン間隔。ターゲットを短い期間にブレークダウンすると、ターゲットを短い期間に設定して、特定のブレークダウンターゲットに絞り込むことができます。使用可能なオプションは、[四半期ごと]、[年ごと]、および [なし]です。このフィールドに [なし] オプション以外を入力すると、ターゲットブレークダウンが自動的に作成されます。ターゲットブレークダウンの詳細については、「ターゲットブレークダウン」を参照してください。 **注:** ターゲットブレークダウン機能は定性的ターゲットではサポートされていません。
実際の値	特定の時点でのターゲットの実際値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[タイプ] フィールドが [最大化] または [最小化] に設定されている場合に使用できます。
レビュー頻度	オーナーまたは貢献者がターゲットの実際の値を更新する頻度を指定するオプション。利用可能なオプションは、[日次]、[週次]、[隔週]、[月次]、および[四半期ごと] です。 注: [ターゲット値ブレークダウン間隔] フィールドが [年ごと] または [四半期ごと] に設定されている場合、このフィールドは自動的に [四半期ごと] に設定されます。
注釈	実績を更新する場合のビジネス上の根拠についてユーザーが入力した注釈。
レビュー期限	ターゲットの所有者または貢献者がターゲットの実績値を更新する必要がある期日。
実際の値の自動化	ターゲットのターゲット自動化機能を有効にするオプション。 このフィールドは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされている場合に使用できます。
実際の値のソース	ターゲットのレビュー期日にターゲットの実績値を自動更新するためにデータがフェッチされるターゲットソーステーブル。 このフィールドは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされ、**[**実績値の自動化] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。
機密	ターゲットレコードのアクセスを [許可されたグループ] および [許可されたユーザー] フィールドに入力された特定のユーザーに制限するオプション。 このフィールドは、ESG Management アプリケーションがインストールされていて、かつ *sn_grc.enable_record_confidentiality* プロパティが有効な場合に利用できます。このフィールドは、ターゲットの目標フォームの [分類] フィールドが [環境]、[ソーシャル]、または [ガバナンス] として設定されている場合にのみ適用されます。このフィールドを設定するために必要なロールは sn_esg.reader です。 注: ターゲットレコードが機密とされているかどうかに関係なく、ターゲットの進捗状況の値は目標までロールアップされて、目標の進捗値が計算されます。
許可されたグループ	ターゲットレコードにアクセスできるユーザーグループ。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。 このフィールドに入力されているユーザーグループでも、sn_esg.reader ロールがなければ、機密レコードにアクセスすることはできません。 このフィールドは、[機密] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。
許可されたユーザー	ターゲットレコードにアクセスできるユーザー。このフィールドは、ESG ワークスペース ユーザーにのみ適用されます。 このフィールドに入力されているユーザー名でも、sn_esg.reader ロールがなければ、機密レコードにアクセスすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ターゲット] フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[機密] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。
コメント	コラボレーションを促進するための、ターゲットに関する詳細なコメント。
実際の値のソース構成	
	このセクションは、SPM のゴールフレームワーク アプリケーションがインストールされ、**[**実績値の自動化] フィールドが **true** に設定されている場合に使用できます。 このセクションのフィールドは、 [実績値ソース] フィールドで選択されるターゲットソースで使用可能なコンテキスト変数に基づいて表示されます。 ターゲットソースを [利益計画] (利益計画の事前定義されたターゲット自動化スクリプト) として選択すると、このセクションに [利益計画] フィールドが表示され、ターゲットの実際の価値を自動化するために必要な利益計画を選択できます。 **注:** 利益計画カスタムスクリプトは、PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) がインストールされている場合にのみ使用できます。

ターゲットソースフォーム

ターゲットソースフォームを使用して、ターゲットのソースを構成し、ターゲットの実績値が自動更新されるようにします。

ターゲットソースフォーム

フィールド	説明
名前	ターゲットソースの名前。
有効	このターゲットソースの使用を有効にするオプション。
タイプ	ターゲットソースのタイプ。利用可能なオプションは次のとおりです。 • アセスメント/サーベイ • **PA** インジケーター • カスタムスクリプト
詳細	事前定義されたスクリプトを使用して、ターゲット ソースタイプ [アセスメント/サーベイ] の [カスタムスクリプト] オプションを有効にします。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されている場合に使用できます。
アセスメント測定基準タイプ	ターゲットソースのアセスメント測定基準タイプ。 **ヒント:** フィールドに [評価方法] = [アセスメント] の測定基準タイプが入力されている場合、ターゲットソースのコンテキスト変数が自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットソースフォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されている場合に使用できます。
アセスメント測定基準カテゴリ	アセスメント測定基準タイプのアセスメント測定基準カテゴリ。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されている場合に使用できます。
説明	ターゲットソースの簡単な説明。
PA インジケーター	ターゲットソースの PA インジケーター。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが **[PA** インジケーター] に設定されている場合に使用できます。
ブレークダウン	PA インジケーターのブレークダウン このフィールドは、[タイプ] フィールドが **[PA** インジケーター] に設定されている場合に使用できます。
カスタムスクリプト	ターゲットソースの Now Platform テーブルから必要なデータをフェッチするカスタムスクリプト。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [カスタム] に設定されている場合に使用できます。または、 [タイプ] フィールドが [アセスメント/サーベイ] に設定されていて、[詳細] フィールドが **true** に設定されている場合。

ドメイン分離と ゴールフレームワーク

ゴールフレームワーク と SPM のゴールフレームワーク ではドメイン分離がサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゴールフレームワーク と **SPM** のゴールフレームワーク におけるドメイン分離の仕組み

ServiceNow インスタンスでドメイン分離を有効にした後、ゴールフレームワーク と SPM のゴールフレームワーク のデータは自動的にドメイン分離されます。さまざまなドメインのポートフォリオ計画の目標とターゲットデータは、これらのドメインにアクセスできるユーザーにのみ表示されます。

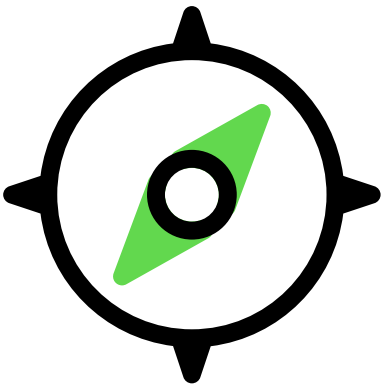
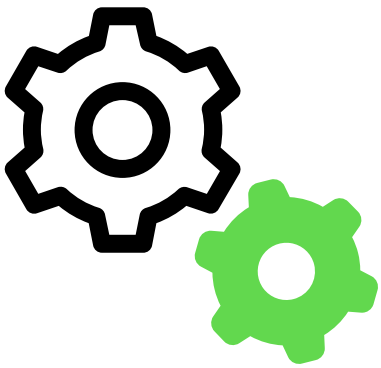
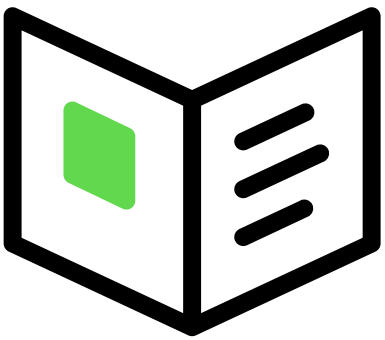
データ分離

ServiceNow® データ分離 アプリケーションは、組織がレンズ階層とそのリーフノードに基づいて機密データへのアクセスを制限するのに役立ちます。

データ分離は、レコード、関連アイテム、計画立案コンソール、ワークベンチ、およびレポートをサポートします。

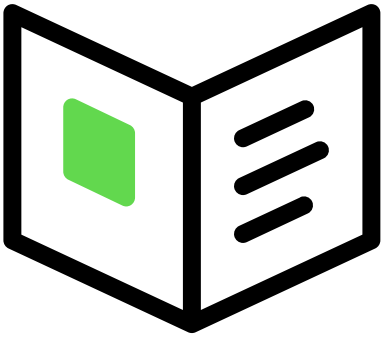
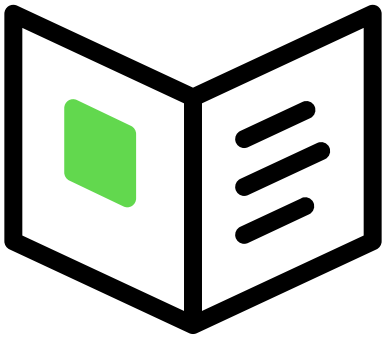
注:
現在、データ分離は ServiceNow® プロジェクトポートフォリオ管理 でのみサポートされています。

開始するには

探索	構成	参照
		
機能について データ分離 学習します。	機密データを制限するように構成する データ分離 方法について説明します。	フィールド、テーブル、ロール、プロパティなどのコンポーネントの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているテーブル	制限事項	
		
でサポートされている データ分離テーブルのリストを参照してください。	の データ分離制限事項 を参照してください。	

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community.
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する詳細については、「既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する」を参照してください。
- カスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。詳細については、次を参照してください： 担当者 カスタマーサービス & サポート.

データ分離 の詳細

データ分離 が提供する機能、構成、およびメリットについて説明します。

概要

データ分離 は、レンズ階層とそのリーフノードに基づいて ServiceNow® 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) のデータを制限するのに役立ちます。リーフノードとは、レンズ階層の最下位レベルのエンティティのことです。たとえば、組織レンズがデータ分離に使用されている場合、ベースシステムレンズのリーフノードは部門になります。必要に応じてレンズ階層を変更することもできます。レンズ構造を変更する方法の詳細については、ServiceNow Communityのデータ分離のためのレンズ構造の変更 に関する記事を参照してください。

必要に応じて、選択したデマンド、プロジェクト、リソース計画、およびコスト計画のエンティティで データ分離 を有効にすることができます。また、選択したコスト計画ブレークダウンおよびプロジェクトタスクの関連エンティティで データ分離 を有効にすることもできます。

データ分離 は、レコード、関連アイテム、計画立案コンソール、ワークベンチ、およびレポートをサポートします。

注:
アクセス制御リスト (ACL) およびクエリビジネスルール (BR) の制限は、データ分離 が有効になっている場合でも適用されます。たとえば、集計数が含まれるレポートはデータ分離されない場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ分離 は、親プロジェクトまたは親タスクの データ分離 構成に基づいて、子プロジェクトおよびサブタスクにも適用されます。

データ分離 の主要コンポーネント

- 階層：レンズとそのリーフノードを使用して データ分離 を有効にするための階層を定義します。
- サポートされているエンティティ：必要に応じて、選択したエンティティおよび関連エンティティで データ分離 を有効にします。
- エンティティグループマッピング：ビジネスエリアとユーザーグループ間のエンティティグループマッピングを定義します。

特徴

データ分離 機能を使用して、次のことを実行できます。

- レンズ階層とそのリーフノードを使用してデータ分離階層を構成します。
- 必要に応じて、選択したエンティティと関連エンティティでデータ分離を有効にします。
- 指定されたユーザーグループにデータを制限するために、必要な数だけエンティティグループマッピングを作成します。
- データ分離の権限を持つユーザー (sn_ds.ds_privileged_user) ロールをアサインすることで、機密データに常にアクセスする必要があるユーザーにアクセス権を付与します。

データ分離 の仕組み

データ分離 を使用して 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) での機密データへのアクセスを制限するプロセスフローを次に示します。

- データ分離 の階層を定義するためにレンズが選択されます。データ分離 管理者は、必要に応じてデータ分離のためにレンズの階層を変更できます。
- 必要なエンティティと関連エンティティが データ分離 に対して有効になっています。
- エンティティグループマッピングは、アクセスが制限される一連のユーザーを定義するビジネスグループ (ビジネスグループは事業部門、部門、または会社) ごとに作成されます。
- 有効なエンティティについては、ビジネスグループのデータは、エンティティグループマッピングレコードに入力されたユーザーグループの一員であるユーザーのみに制限されます。

機能とトラブルシューティングの データ分離 その他のユースケースを理解するには、 データ分離 FAQ [KB1443046] の記事。Now Support ナレッジベース

データ分離の例

例 1

たとえば、次のようなシナリオを考えてみましょう。

- データ分離 階層は組織レンズを使用して定義され、レンズ構造は (上から) 会社、事業部門、部門になっています。
- HR 部門 (部門：HR) のエンティティマッピングが、グループ HR リードとともに作成されます。
- データ分離 は、デマンドエンティティとプロジェクトエンティティに対して有効になっています。

この場合、HR リードグループに属するユーザー以外は、HR 部門のプロジェクトレコードとデマンドレコードにアクセスできません。ただし、すべてのユーザー (ユー

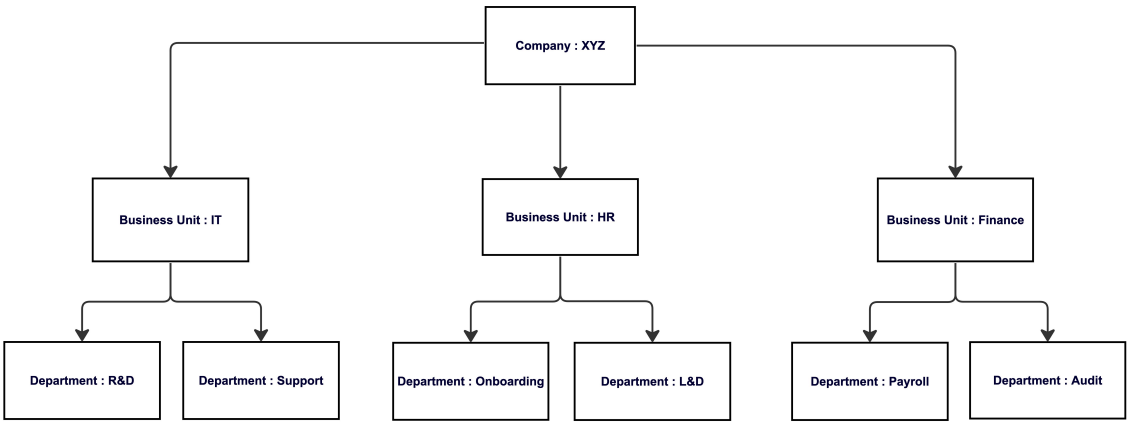
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ザーが現在設定されている ACL に基づく) は、HR 部門の他のレコード (リソース計画やコスト計画など) にはアクセスできます。

例 2

XYZ 社は、次の画像に示すようなデータ分離対応のレンズ構造になっており、さまざまなユースケースに基づいてデータを特定のグループに制限したいと考えています。また、サポートされているすべてのエンティティが データ分離 に対して有効になっています。次のユースケースは、 データ分離 の仕組みと、さまざまなユースケースでの データ分離 の構成方法を理解するのに役立ちます。



- ケース 1：給与部門のデータを給与マネージャーに制限する

  このケースのデータを制限するには、データ分離 を次のように設定します。

  - 給与マネージャーユーザーグループを作成します。
  - レンズエンティティレコード (部門：給与) と給与マネージャーユーザーグループを使用して、給与部門のエンティティグループマッピングを作成します。
- ケース 2：HR 事業部門 (オンボーディング部門と L&D 部門の両方) のデータを HR リードに制限する

  このケースのデータを制限するには、データ分離 を次のように設定します。

  - HR リードユーザーグループを作成します。
  - レンズエンティティレコード (事業部門：HR) と HR リードユーザーグループを使用して、HR 事業部門のエンティティグループマッピングを作成します。
- ケース 3：組織全体のデータを組織リードに制限する

  このケースのデータを制限するには、データ分離 を次のように設定します。

  - 組織リードユーザーグループを作成します。
  - レンズエンティティレコード (会社：XYZ) と組織リードユーザーグループを使用して、会社 XYZ のエンティティグループマッピングを作成します。

データ分離 の構成

管理者は、データ分離 をインストールし、必要なユーザーに データ分離 ロールをアサインできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成ワークフロー

データ分離 管理者は、データ分離 の階層を定義して、エンティティを有効にし、データ分離 のユーザーグループをマッピングできます。

データ分離 を構成するための **Guided Setup**

Guided Setup には一連のタスクがあり、ServiceNow のインスタンスで必要な構成を行うのに役立ちます。をインストールした後 データ分離、に移動します。 すべて > データ分離 > ガイド付き設定 をクリックして構成 データ分離します。

データ分離 のインストール

admin ロールがあれば、データ分離 アプリケーション (sn_ds) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- データ分離 には、次のプラグインとストアアプリケーションが必要です。データ分離 をインストールする前に、次のプラグインとアプリケーションがアクティブ化されていることを確認します。

  必須の ServiceNow プラグイン

  PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo)

  データ分離 をインストールする前に、ServiceNow インスタンスの PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をアクティブ化します。詳細については、「PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) の有効化」を参照してください。

  必須の ServiceNow Store アプリケーション

  Portfolio Planning (sn_align_ws)

  データ分離 をインストールする前に、ServiceNow インスタンスに Portfolio Planning (sn_align_ws) アプリケーションをインストールします。詳細については、「ポートフォリオ計画 のインストール」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

データ分離 とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ロール
- テーブル

詳細については、「Data Separation とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、データ分離 アプリケーション (sn_ds) を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションは、インストールされる場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、データ分離 をインストールする前にインストールする必要があります。

4. [インストール] を選択します。

データ分離 を管理するためのロールのアサイン

ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに データ分離 ロールをアサインします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ロールを個々のユーザーまたはグループにアサインできます。グループにロールを適用すると、グループのすべてのメンバーにアクセス権が付与されます。データ分離 とともにインストールされるロールの詳細については、「データ分離 とともにインストールされるコンポーネント」の「インストールされるロール」の表を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > データ分離 > ガイド付き設定.
2. [開始する] を選択します。
3. タスクリストから [ロールをアサイン] を選択します。
4. 必要なロール (sn_ds.ds_admin または sn_ds.ds_privileged_user) を選択し、[構成] を選択して、ユーザーまたはユーザーグループにロールをアサインします。

次のタスク
データ分離 を有効にするためのデータ分離階層を構成します。詳細については、「データ分離 を有効にするためのレンズの構成」を参照してください。

データ分離 を有効にするためのレンズの構成

レンズ階層とそのリーフノードを使用して、データ分離 を有効にするためのデータ分離階層を構成します。

始める前に
必要なロール：sn_ds.ds_admin

このタスクについて

注:
データ分離 に対して一度に有効にできるレンズは 1 つだけです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > データ分離 > 階層.
   [レンズ] リストビューが開き、データ分離に利用可能なレンズが表示されます。
2. データ分離 を構成するための階層として使用するレンズレコードを開きます。
3. [レンズ] フォームで、[データ分離が有効] を選択します。
   フィールド値の説明については、「レンズフォーム」を参照して ください。
4. [更新] を選択して構成を保存します。
5. 移動先 すべて > データ分離 > 階層.
6. [レンズ] リストビューから、[データ分離を同期 **(Sync data separation)]** を選択して、データ分離 のレンズ構成を同期します。

次のタスク
必要に応じて、選択したエンティティで データ分離 を有効にします。詳細については、「データ分離 のエンティティの有効化」を参照してください。

データ分離 のエンティティの有効化

必要に応じて、選択したエンティティで データ分離 を有効にします。

始める前に
必要なロール：sn_ds.ds_admin

このタスクについて
以下のエンティティおよび関連エンティティで データ分離 を有効にできます。

- エンティティ：
  - デマンド [dmn_demand]
  - プロジェクト [pm_project]
  - リソースプラン [resource_plan]
  - コスト計画 [cost_plan]
- 関連エンティティ：
  - コスト計画ブレークダウン [cost_plan_breakdown]
  - プロジェクトタスク [pm_project_task]

手順

1. 移動先 すべて > データ分離 > サポートされているエンティティ.
   データ分離 でサポートされているエンティティがリストで開きます。
2. データ分離 を有効にする各サポート対象エンティティレコードを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

[サポートされているエンティティ**(Supported Entities)]** フォーム

フィールド	説明
エンティティ	エンティティテーブルの名前
データ分離を有効化	エンティティの データ分離 を有効にするオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [更新] を選択して構成を保存します。
5. 移動先 すべて > データ分離 > サポートされているエンティティ.
6. [サポートされているエンティティ(Supported Entities)] リストビューから、[データ分離を同期 **(Sync data separation)]** を選択して、データ分離 のエンティティ構成を同期します。

> **注:**
> 関連するコスト計画ブレークダウンエンティティとプロジェクトタスクエンティティは、コスト計画とプロジェクトの親エンティティがそれぞれ有効になっている場合にのみ有効にできます。

次のタスク
データ分離 のユーザーグループをマッピングします。詳細については、「データ分離 のユーザーグループのマッピング」を参照してください。

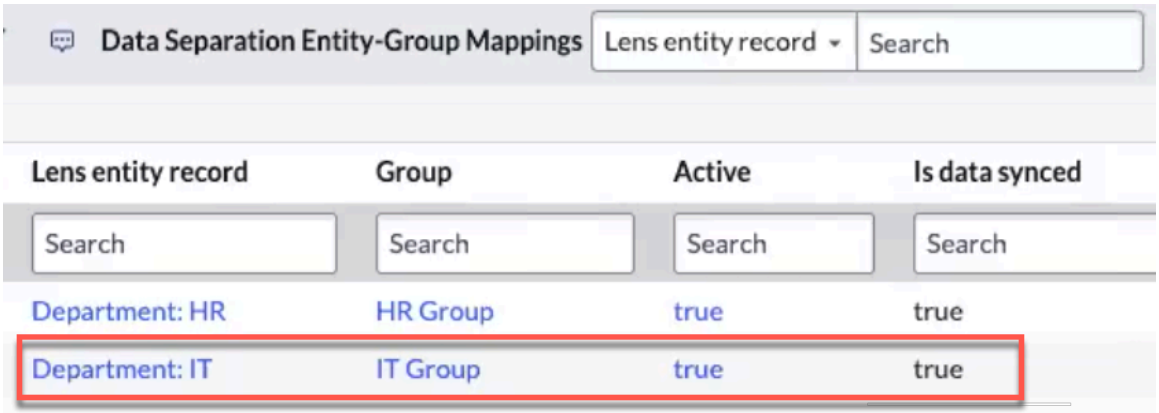
データ分離 のユーザーグループのマッピング

データ分離 のユーザーグループをマッピングして、グループおよびサブグループの指定されたユーザーのみにデータを制限します。

始める前に
必要なロール：sn_ds.ds_admin

このタスクについて
レンズエンティティレコードごとに作成できるエンティティグループマッピングは 1 つだけです。

たとえば、次の画像は、リーフノードが部門であり、IT が部門の 1 つであることを示しています。IT 部門のデータを特定のグループに制限するとします。そのときは、必要なユーザーグループを使用して、IT 部門のエンティティグループマッピングを作成します。



複数のグループに IT 部門のデータへのアクセス権を付与する場合は、親ユーザーグループを作成し、他のすべてのグループを親グループの下にサブグループとして追加します。これにより、IT 部門のエンティティグループマッピングレコードで親グループをマッピングできます。

> **注:**
> 1 つのユーザーグループにすべての部門のデータへのアクセス権を付与する場合は、部門エンティティの親エンティティを使用してエンティティグループマッピングを作成します。または、ユーザーグループの部門ごとに 1 つのエンティティグループマッピングを作成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > データ分離 > エンティティグループマッピング.
2. [新規] を選択します。
3. [エンティティグループマッピング (Entity-Group Mappings)] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「エンティティグループマッピングフォーム」を参照して ください。
4. [送信] をクリックしてレコードを保存します。
5. 移動先 すべて > データ分離 > エンティティグループマッピング.
6. [エンティティグループマッピング (Entity-Group Mappings)] リストビューから、[データ分離を同期 **(Sync data separation)]** を選択して、データ分離 のエンティティグループマッピングを同期します。

タスクの結果
データは、有効なエンティティのエンティティグループマッピングレコードに入力されたユーザーグループに制限されます。

データ分離 の同期

レンズ、サポートされているエンティティ、またはエンティティグループマッピングテーブルで構成が変更されたときに データ分離 を同期します。

始める前に
必要なロール：sn_ds.ds_admin

このタスクについて
データ分離 構成に従ってデータを制限するには、データ分離 構成のすべてのレコード (レンズ、エンティティ、エンティティグループマッピング) の [データ同期中] フィールドの値を **true** にする必要があります。設定レコードのいずれかの部分で [データ同期中] フィールドの値が **false** の場合、データ分離は同期されません。

[データ同期中] フィールドの値は、データ分離 のいずれかの構成が変更された場合にのみ **false** になります。

手順

データ分離 で行われた構成変更のタイプに応じて、次の手順を実行してデータ分離を同期します。

この構成変更の場合	次の手順を実行します
• 既存のレンズで データ分離 がオフになり、同じレンズで再度有効になる • 既存のレンズで Data Separation がオフになり、別のレンズで再度有効になる	**a.** 移動先 すべて > データ分離 > 階層. **b.** [レンズ] リストビューから、[データ分離を同期 **(Sync data separation)]** を選択して、データ分離 のレンズ構成を同期します。
エンティティで データ分離 が有効またはオフになっている	**a.** 移動先 すべて > データ分離 > サポートされているエンティティ. **b.** [サポートされているエンティティ(Supported Entities)] リストビューから、[データ分離

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この構成変更の場合	次の手順を実行します
	を同期 **(Sync data separation)]** を選択して、データ分離 のエンティティ構成を同期します。
エンティティグループマッピングレコードでグループが追加、削除、または更新される	**a.** 移動先 すべて > データ分離 > エンティティグループマッピング. **b.** [エンティティグループマッピング (Entity-Group Mappings)] リストビューから、[データ分離を同期 **(Sync data separation)]** を選択して、データ分離 のエンティティグループマッピングを同期します。

データ分離 の参照

フィールド、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、データ分離 情報など、データ分離 に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

データ分離 とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、データ分離 プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるロール

ロール	説明	含んでいるロール
sn_ds.ds_admin	データ分離 機能の構成に必要なテーブルのレコードを作成/更新/削除できます。	sn_align_core.ap_read_only
sn_ds.ds_privileged_user	データ分離 が有効になっている場合でも、戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) のビジネス機能のレコードを作成/更新/削除できます。	なし

インストールされるテーブル

表示名 [テーブル名]	説明
サポートされているエンティティ [sn_ds_data_separation_config]	データ分離 を有効にするためのエンティティの詳細 (デマンド、プロジェクト、リソース計画、コスト計画、コスト計画ブレークダウン、およびプロジェクトタスク) を保存します。
エンティティグループマッピング [sn_ds_entity_group_mapping]	データ分離 のレンズエンティティとユーザーグループの詳細を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データ分離 の制限事項

データ分離 が有効になっている場合でも、一部のデータタイプでは データ分離 が機能しません。

データ分離 の制限は次のとおりです。

- データ分離 は、プロジェクトポートフォリオ管理 と プロジェクトポートフォリオ管理 テーブルのサブセットのみをサポートしています。
- データ分離 が有効になっている場合でも、アクセス制御リスト (ACL) とクエリビジネスルール (BR) が適用されます。たとえば、集計数が含まれるレポートはデータ分離されない場合があります。
- データ分離 のパフォーマンスが、ある程度影響を受ける可能性があります。

エンティティグループマッピングフォーム

エンティティグループマッピングフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、選択したエンティティグループとユーザーグループの データ分離 を有効にするエンティティグループマッピングを定義します。

エンティティグループマッピングフォーム

フィールド	説明
レンズエンティティテーブル	レンズエンティティテーブルの名前。例：事業部門、部門、会社。
アクティブ	エンティティグループマッピングがアクティブかどうかを示します。
レンズエンティティレコード	レンズの簡潔な説明。 データ分離 が有効になっているエンティティグループ。
グループ	選択したエンティティのデータが制限されるユーザーグループ。

レンズフォーム

レンズフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、レンズ階層とそのリーフノードに基づいてデータ分離を有効にします。

レンズフォーム

フィールド	説明
名前	レンズの名前
有効	レンズがアクティブかどうかを示します。
説明	レンズの簡潔な説明。 このレンズのビジネス目的と、このレンズを使用する計画マネージャーを指定できます。
計画立案アイテム	このレンズを使用して計画できる作業のタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レンズフォーム (続く)

フィールド	説明
	目的の計画立案アイテムを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。
計画立案アイテムの下部エンティティ	レンズ階層の下部エンティティ。
データ分離が有効	レンズ階層を使用してデータ分離を有効にするオプション。

データ分離 でサポートされているテーブル

データ分離 では、各エンティティの直接的および間接的な関連テーブルを含む、数種類のテーブルがサポートされています。

以下のエンティティおよび関連エンティティに対してデータ分離を有効にできます。

- エンティティ：
  - デマンド [dmn_demand]
  - プロジェクト [pm_project]
  - リソースプラン [resource_plan]
  - コスト計画 [cost_plan]
- 関連エンティティ：
  - コスト計画ブレークダウン [cost_plan_breakdown]
  - プロジェクトタスク [pm_project_task]

ドメイン分離と データ分離

データ分離 ではドメイン分離がサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

自動翻訳

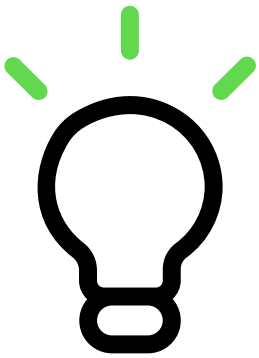
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトポートフォリオ管理

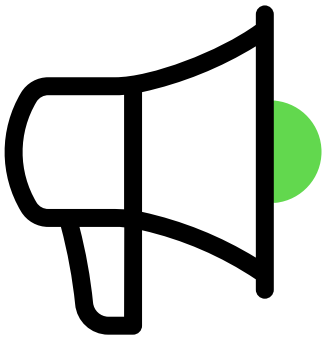
ServiceNow® プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) は、複数の個別アプリケーションを組み合わせることで、プロジェクト、ポートフォリオ、そのリソース、財務を管理するための、簡素化されたチーム指向アプローチを提供します。

Project Portfolio Management を既に所有している顧客は、PPM Standard にアップグレードできます。新規顧客は PPM Standard を購入する必要があります。

開始するには



Innovation Management



デマンド管理



プロジェクト管理



リソース管理



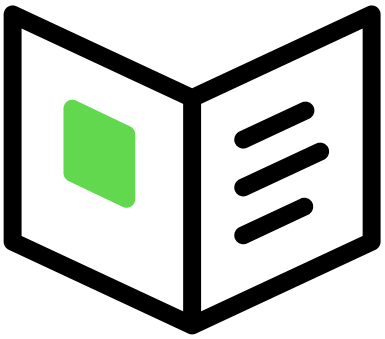
ポートフォリオ管理



プログラム管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

		
Timecard Management	PPM 分析およびレポート	PPM 参照

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

プロジェクトポートフォリオ管理の詳細

サンプルワークフローを使用して (PPM) の詳細 プロジェクトポートフォリオ管理 を確認し、組織内のさまざまなユーザーにもたらされるメリットを確認してください。

プロジェクトポートフォリオ管理 の概要

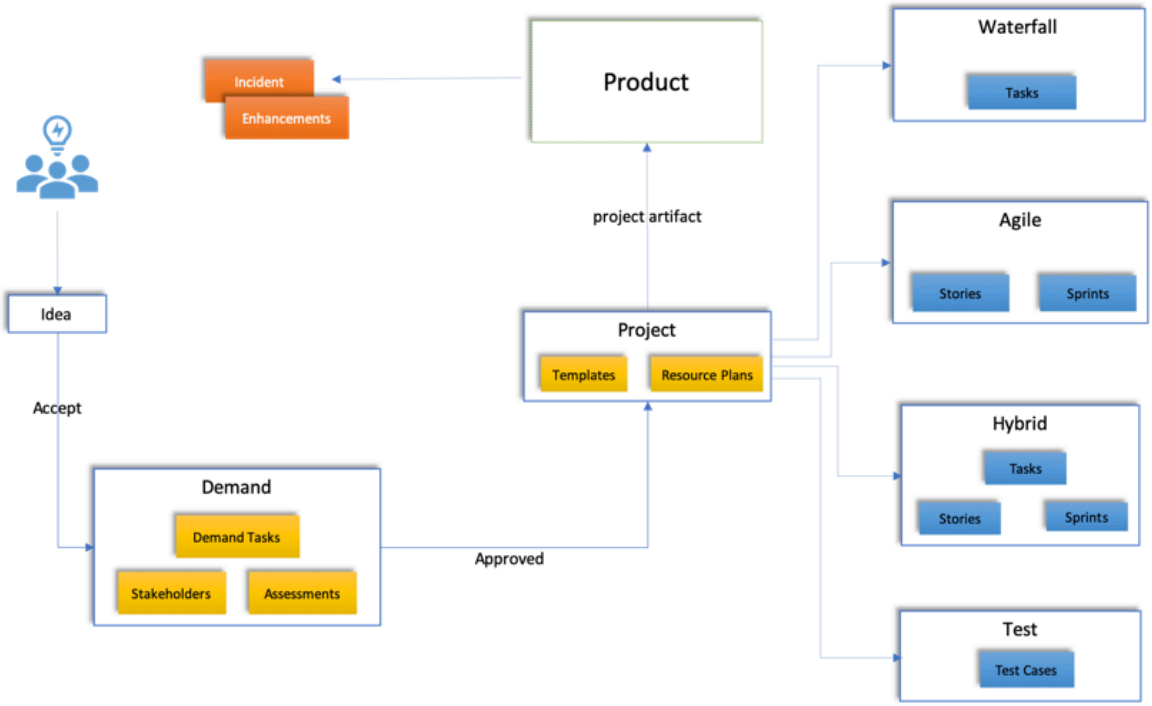
PPM は、アイデアやデマンドの分析と承認、プロジェクトへの変換、完了までの管理に役立つ複数のアプリケーションのコレクションです。個々のプロジェクト、またはプログラムやポートフォリオにロールアップされたプロジェクトのリソースと財務を管理できます。PPM を使用すると、チームは従来のウォーターフォール手法で作業を計画して実行したり、アジャイルアプローチを組み合わせてハイブリッド手法を使用して実行したりできます。

プロジェクトポートフォリオ管理 のワークフロー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM を使用したウォーターフォール、アジャイル、またはハイブリッドアプローチでのプロジェクトの実行



プロジェクトマネージャー (project_manager ロール) には、PPM スイートに含まれるアプリケーションのすべてのマネージャーロールが含まれています。

プロジェクトポートフォリオ管理 のメリット

メリット	機能	ユーザー
アイデアを収集して評価し、承認されたアイデアをデマンド、ストーリー、エピック、またはプロジェクトに昇格させます。	Innovation Management	プロジェクトチーム、デマンドマネージャー
デマンドを評価、承認、および戦略的および運用上のデマンドに昇格させます。	デマンド管理	デマンドマネージャー
プロジェクト、タスク、およびリソースを管理します。	プロジェクト管理 (PM)	プロジェクトマネージャー、プロジェクトチーム
プログラム、プログラムの下のプロジェクト、およびそのタスクを管理します。	プログラム管理	プログラムマネージャー
さまざまなポートフォリオのプロジェクトとプログラムを管理します。	ポートフォリオ管理	ポートフォリオマネージャー
リソース計画を作成し、リソースを要求します。	リソース管理	リソースマネージャー
タスクに対して日次ベースで時間を追跡する	タイムカード管理	
プログラム、プロジェクト、およびデマンドのステータスと健全性を可視化します。	プロジェクトポートフォリオ管理 プラットフォームアナリティクスソリューション	プロジェクト、プログラム、またはポートフォリオマネージャーまたはビジネスステークホルダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合： デジタルポートフォリオ管理

デジタルポートフォリオ管理 (DPM) は、オーナーに統一されたワークスペースを提供し、ライフサイクル全体を通じてサービスおよびアプリケーションを表示し、まとめて管理できるようにします。DPM および プロジェクトポートフォリオ管理 をインストールすると、プロジェクト管理 (PM) と デマンド管理 の統合が有効になります。この統合により、DPM マネージャーは、ビジネスアプリケーションに影響を与える可能性のあるプロジェクトデータを表示し、DPM でビジネスアプリケーションのデマンドを作成できます。

詳細については、「Digital Portfolio Management の詳細」を参照してください。

[qa: BEGIN review]

Agile 2.0 との統合

TBD.

[End]

[qa: BEGIN review]

Test Management 2.0 との統合

TBD.

[End]

Domain Separation

ドメイン分離は、ドメイン固有のユーザーに対して完全なデータ分離を提供します。Project Portfolio Management は、いくつかの制限付きでドメイン分離をサポートしています。詳細については、「ドメイン分離と Project Portfolio Management」を参照してください。

PPM Standard (Project Portfolio Management)

以前は ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート と呼ばれていた ServiceNow PPM Standard アプリケーションは、Financial Management と Project Portfolio Management をデータ連携します。

Financial Management がまだアクティブ化されていない場合は、PPM Standard が自動的にアクティブ化します。

このデータ連携により、プロジェクトマネージャーとポートフォリオマネージャーは次のアクティビティを実行できます。

- ポートフォリオ内のすべてのデマンドとプロジェクトの全体的なコスト要件を決定する
- リソース要件を確立し、デマンドとプロジェクトのコストを追跡する
- 承認された予算と比較して実際の支出額を追跡する

アップグレードおよび新規顧客

Project Portfolio Management Suite with Financials をすでに所有している顧客は、PPM Standard にアップグレードできます。新規顧客は PPM Standard を購入する必要があります。

PPM Standard のアプリケーション

PPM Standard プラグインは、Financial Management と Project Portfolio Suite をインストールします。次の図は、利用可能なアプリケーションを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM Standard とともにインストールされるアプリケーション



PPM Standard の追加機能

PPM Standard は、財務計画のあらゆる側面を実行するために使用できるポートフォリオワークベンチを追加します。関連リストの UI アクションを使用して財務計画立案と予算業務を実行することもできますが、ワークベンチを使用することをお勧めします。詳細については、「従来のポートフォリオワークベンチ」を参照してください。実際のコストのトラッキングや Financial Management アプリケーションの一部としての予算作成など、プロジェクトとポートフォリオのエンドツーエンドの財務計画を立案する方法については、「レガシー - ポートフォリオの計画立案」を参照してください。

関連情報

- ポートフォリオ管理
- Financial Management
- プロジェクトポートフォリオ管理

プロジェクトおよびデマンド向けの 投資枠管理 の有効化

admin ロールを持っている場合は、Investment Funding プラグイン (com.snc.investment_funding) を有効化します。このプラグインはデモデータを含んでおり、関連プラグインがまだ有効化されていない場合はそれらを有効化します。

始める前に
PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインがインストールされていることを確認します。

必要なロール：admin

このタスクについて
Investment Funding (com.snc.investment_finding) プラグインを使用すると、プロジェクトおよびデマンドの資金を要求または割り当てることができるようになります。

このプラグインは、まだ有効化されていない関連プラグインを有効化します。また、sn_invst_pln_investment_user ロールを次のロールに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- project_manager
- demand_manager
- portfolio_manager
- program_manager

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

関連情報

投資枠管理 のインストール

プラグインのリスト (Washington DC)

通貨と予算参照レート

複数通貨の使用がサポートされているため、異なる通貨での予算アイテムを変換できます。

通貨のサポート

アプリケーションでは、基準通貨を使用できます。これはレポート通貨とも呼ばれ、システムのプロパティで指定 します。予算および予算アイテムに他の通貨を指定することもできます。

通貨の使用

アイテム	使用される通貨
予算計画	予算計画フォームで指定する通貨。計画が予測に変換されると、アプリケーションは通貨をレポート通貨に変換します。
予算計画アイテム	予算アイテムフォームで指定する通貨。 予算計画アイテムの通貨が予算計画通貨と異なる場合、予算計画アイテムの金額は予算計画通貨に変換されます。
予算予測	レポート通貨。

予算参照レート

予算参照レートは通貨間の為替レートです。各参照レートは、指定された期間有効です。予算アイテムが予算計画および予測と異なる通貨である場合に、アプリケーションは予算参照レートを使用しま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。アプリケーションは、予算計画で予算金額を計算するとき、および予算予測に値を表示するときに、予算アイテムの通貨値をグローバルシステム通貨値に自動的に変換します。

注:
通貨のサポートは予算のみが対象です。割り当てを複数の通貨で作成することはできません。

Test Management 2.0 の Project Portfolio Management とのデータ連携

テスト管理 2.0 の プロジェクトポートフォリオ管理 とのデータ連携により、プロジェクトに対してテストアクティビティを実行できます。

テスト管理 2.0 および プロジェクトポートフォリオ管理 アプリケーションの両方を有効にすると、次が可能になります。

- プロジェクトにテストフェーズを追加します。
- テスト実行スイートをテストフェーズにアサインします。
- テスト実行スイートに関連付けられたテストを表示します。
- テスターにテストをアサインします。
- テストを実行し、結果を記録します。
- タイムラインの [完了率] フィールドを使用して進捗状況を追跡します。

テスターがテストを実行して結果を記録すると、その情報はテスト、テストフェーズ、その後、プロジェクトに更新されます。

注:
既存のユーザーの場合、プロジェクトポートフォリオ管理 と テスト管理 1.0 のデータ連携は継続して同様に動作します。引き続き、テストフェーズを作成したり、テストフェーズとテスト計画を関連付けたり、テストアクティビティを実行したりすることができます。

Agile Development 2.0 の Project Portfolio Management とのデータ連携

プロジェクトポートフォリオ管理 は Agile Development 2.0 アプリケーションを活用して、スクラム手法とプロジェクトベースの IT 開発を組み合わせます。

IT 組織は通常、より短期間のスケジュールで複数のプロジェクトに取り組みます。プロジェクトの計画とトラッキングはウォーターフォールを使用して行われますが、グループは作業の実行にはスクラム手法を用いることが好まれています。その後、アジャイル開発フェーズがある場合には、プロジェクトのステータスを追跡することが課題になります。この Agile Development 2.0 の プロジェクトポートフォリオ管理 とのデータ連携では、プロジェクトの管理と開発向けにウォーターフォール手法とアジャイル手法を容易に組み合わせることができます。

以下に説明するフローは、Agile Development 2.0 が プロジェクトポートフォリオ管理 とともに有効化されている場合に適用されます。

- スクラムチームを表すグループを作成します。
- グループにメンバーを追加します。
- スプリントを作成します。
- プロジェクトワークベンチからプロジェクトにグループをアサインします。
- グループとプロジェクトのバックログを維持します。複数のプロジェクトを並行して開発し、グループを複数のプロジェクトにアサインすることができます。各プロジェクトおよび各グループには、独自のバックログがあります。プロジェクトバックログには、プロジェクトに関連するすべてのストーリーが含まれます。グループバックログには、グループにアサインされた複数のプロジェクトのストーリーが含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- グループのスプリント計画を実行します。グループは、結合されたバックログを絞り込み、ストーリーをランク付けしてポイントをアサインし、優先度に基づいてスプリントにストーリーを追加します。
- プロジェクトに関連しないワンオフストーリーも含め、ストーリーを作成します。
- ストーリー、フェーズ、およびプロジェクトの進捗状況を追跡します。

アジャイルプロジェクトの作成と管理

アジャイルプロジェクトの作成に関連するタスクの概要。

次の表に、アジャイルプロジェクトの作成に関連するタスクを、タスクグループ別に示します。

開発グループを設定する

タスク	タスクの実行方法
アジャイルグループの定義	移動先 **[Agile Development**] > [アジャイルグループの作成] をクリックし、[新規] をクリックします。
グループメンバーを追加する	グループフォームの [グループメンバー] 関連リストに移動し、[編集] をクリックします。
グループのキャパシティを決定する	**[Agile Development]** > [グループ] に移動し、目的のグループを選択して、[グループキャパシティ (ポイント)] フィールドに数値を入力します。

スプリントを作成する

タスク	タスクの実行方法
スプリントの作成	グループフォームの [スプリントの作成] 関連リンクを使用して複数のスプリントを作成するか、[スプリント] 関連リストを使用して個々のスプリントを作成します。
作成されたスプリントを表示する	グループフォームの [スプリント] 関連リストを使用します。

新しいプロジェクトを作成する

タスク	タスクの実行方法
プロジェクトを作成する	• [プロジェクト] > [プロジェクト] > [新規作成] に移動します。 • [プロジェクト] > [プロジェクト] > [プロジェクトワークスペース] に移動し、[新規プロジェクト] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既存のプロジェクトを開く

タスク	タスクの実行方法
既存のプロジェクトを開く	• プロジェクトフォームで [プロジェクトワークスペース] 関連リンクをクリックします。 • [プロジェクト] > [プロジェクト] > [プロジェクトワークスペース] に移動し、ワークスペースヘッダーの [プロジェクトを選択] 選択リストからプロジェクトを選択します。

プロジェクトワークベンチからプロジェクトにフェーズを追加する

タスク	タスクの実行方法
プロジェクトのアジャイルフェーズを作成する	[フェーズを追加] アイコン (+) をクリックし、[フェーズタイプ] 選択リストから [アジャイル] を選択します。 **注:** このオプションは、プロジェクトポートフォリオ管理 および Agile Development 2.0 アプリケーションの両方がインストールされている場合にのみ表示されます。
プロジェクトのテストフェーズを作成する	[フェーズを追加] アイコン (+) をクリックし、[フェーズタイプ] 選択リストから [テスト] を選択します。 **注:** このオプションは、プロジェクトポートフォリオ管理 および テスト管理 2.0 アプリケーションの両方がインストールされている場合にのみ表示されます。

プロジェクトワークベンチからプロジェクトフェーズに詳細を追加する

タスク	タスクの実行方法
フェーズの詳細をリストビューまたは VTB で表示する	プロジェクトワークベンチヘッダーの [リスト] または **[VTB]** ボタンをクリックします。
アジャイルフェーズにグループをアサインする	アジャイルフェーズを編集し、[グループ] フィールドでグループを選択します。
アジャイルフェーズのスプリントを選択する	アジャイルフェーズを編集し、グループがアサインされていることを確認して、[スプリントの開始] と [スプリントの終了] を選択します。
アジャイルフェーズのストーリーを作成する	プロジェクトワークベンチでアジャイルフェーズをクリックし、詳細ビューヘッダーで [新規] をクリックします。
1 つのプロジェクトのストーリーを絞り込む	[ストーリーを管理] ボタンをクリックして、[ストーリーを管理] ダイアログボックスを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークベンチからプロジェクトフェーズに詳細を追加する (続く)

タスク	タスクの実行方法
	注: プロジェクトフォームの アジャイル計画および追跡 関連リンクを使用して、バックログを表示したり、プロジェクトにストーリーをアサインしたり、プロジェクトの新しいストーリーを作成したりすることもできます。
複数のプロジェクトにまたがるストーリーを絞り込む	グループフォームの [ストーリーを管理] 関連リンクをクリックします。
アジャイルフェーズにグループをアサインする	アジャイルフェーズの編集アイコンをクリックし、[グループ] 選択リストからグループを選択します。

プロジェクトワークベンチからプロジェクトにマイルストーンを追加する

タスク	タスクの実行方法
プロジェクトにマイルストーンを追加する	[フェーズを追加] アイコン (+) をクリックし、[フェーズを追加] ポップアップウィンドウの上部にある [マイルストーン] をクリックします。

スプリントを計画する

タスク	タスクの実行方法
スプリント計画立案を開始する	移動先 アジャイル開発 > グループをクリックし、目的のグループを開いて、[スプリント計画立案] 関連リンクをクリックします。
スプリントにストーリーを追加する	移動先 アジャイル開発 > グループをクリックし、目的のグループを開き、[スプリント計画立案] 関連リンクをクリックして、[ストーリーの作成] をクリックします。

プロセスをテストする **(**テスト管理 **1.0** が有効化されている場合のみ)

タスク	タスクの実行方法
テスト計画を作成する	**[Test Management]** > [テスト実行] > [テスト計画] > [新規] に移動します。
テスト計画にテストケースを追加する	テスト計画フォームの [テストスイートからテストケースを追加] 関連リンクをクリックします。
テスターにテストケースをアサインする	テストケースフォームの [アサイン先] フィールドでユーザーを選択します。
テストを開始するようにテスターに通知する	テスト計画フォームで、[テスターに通知] をクリックしてテスト関連リンクを開始します。
テスターがテストを実行し、結果を送信する	[セルフサービス] > [自分のテスト **(My Tests)]** または [セルフサービス] > [自分のアセスメント **(My Assessments)]** に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスをテストする (テスト管理 **1.0** が有効化されている場合のみ) (続く)

タスク	タスクの実行方法
テストの進捗状況を監視する	テスト計画リスト、テスト計画フォーム、およびテストケースフォームのすべてに、テストケースと個々のテスト結果が表示されます。
サインオフをテストする	テスト計画フォームの [サインオフテスト計画] 関連リンクをクリックします。

プロセスをテストする (テスト管理 **2.0** が有効化されている場合のみ)

タスク	タスクの実行方法
テスト実行スイートを作成する	移動先 テスト管理 **2.0** > テスト実行スイートをクリックし、[新規] をクリックします。
テスト実行スイートにテストを追加する	テスト実行スイートを開き、[テストを追加] をクリックします。[テスト] リストから必要なテストを選択し、[実行スイートに追加] をクリックします。
テスターにテストをアサインする	テスト実行スイートを開きます。[テスト実行のアサイン] 関連リストで、テストをテスターにアサインします。 **注:** [準備完了] ステータスのテストのみアサインできます。
テスターがテストを実行し、結果を送信する	移動先 テスト管理 **2.0** > 自分にアサインされたテスト. 必要なテストを選択し、[実行] をクリックします。

アジャイルグループの定義

アジャイルプロジェクトの作業を後でアサインするアジャイルグループを作成します。

始める前に

必要なロール：scrum_master または scrum_admin

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

グループフォーム

フィールド	説明
名前	グループ名を入力します。
マネージャー	このグループのマネージャを選択します。
グループキャパシティ (ポイント)	スプリントごとに、予測されたグループのキャパシティをストーリーポイント単位で入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループメール	グループのメールアドレス。
説明	グループの簡単な説明。
関連リンク	
スプリントの作成	[チーム用スプリントの作成] ダイアログボックスにアクセスします。フィールドに入力し、**[OK]** をクリックして、現在のグループ用に複数のスプリントを作成します。新しいスプリントが [スプリント] 関連リストに追加されます。
スプリント計画立案	アジャイルボードの [スプリント計画立案] タブにアクセスします。
グループの速度	プロジェクト内のストーリーポイントがスプリント全体にどのように割り当てられているかを示すチャートにアクセスします。

4. [送信] をクリックします。

グループメンバーを追加する

アジャイルプロジェクトのタスクを後からアサインするメンバーをグループに追加します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. 目的のグループを開きます。
3. [グループメンバー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [名前] フィールドにグループメンバーの名前を追加します。
5. グループメンバーの [スクラムロール] を選択します。
6. [送信] をクリックします。

グループのキャパシティを決定する

スプリントごとに、グループの速度の履歴に基づいて、グループのキャパシティを決定します。

始める前に
必要なロール：scrum_master

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. 目的のグループを開きます。
3. グループキャパシティをポイント単位で決定し、[グループキャパシティ (ポイント)] フィールドに数値を入力します。
4. [更新] をクリックします。

リリースチームをアジャイルグループに変換する

アジャイルプロジェクトの作業を後からアサインするために、リリースチームをアジャイルグループに変換します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：project_manager

このタスクについて
このセクションは、Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 にアップグレードした場合にのみ適用されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. [リリースチームをグループに変換] 関連リンクをクリックします。
3. アジャイルグループに変換するチームを選択します。
4. [グループへ変換] をクリックします。

スプリントの作成

スプリントを作成して、プロジェクトのアジャイルフェーズの作業を計画します。

始める前に
必要なロール：なし。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. 目的のグループを開きます。
3. [スプリント] 関連リストで [新規] をクリックします。
4. スプリントフォームで以下のフィールドに入力します。
   - 簡単な説明：スプリントの名前または簡単な説明
   - 開始予定日：このスプリントの開始日
   - 終了予定日：このスプリントの終了日
   - グループキャパシティ (ポイント)：グループの予測されたキャパシティ (ストーリーポイント単位)
5. [送信] をクリックします。

複数のスプリントを作成する

複数のスプリントを作成して、アサイン先グループの作業を計画します。

始める前に
必要なロール：なし。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. 目的のチームを開きます。
3. [スプリントの作成] 関連リンクをクリックして、[チーム用スプリントの作成] ダイアログボックスを開きます。
4. スプリントフォームで、フィールドに入力します。
   - 名前：スプリントの名前。
   - 開始番号：作成される最初のスプリントの番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 開始日：作成される最初のスプリントの開始日。
- 期間：スプリントの日数。
- スプリント数：作成されるスプリントの数。

5. [**OK**] をクリックします。
   新しいスプリントが、チームフォームの [スプリント] 関連リストに追加されます。

プロジェクトにグループをアサインする

プロジェクトワークベンチから、プロジェクトにグループをアサインします。グループはその後に、アサインされたプロジェクトのタスクを処理します。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
プロジェクトには複数の開発フェーズを含めることができ、開発フェーズごとに 1 グループずつアサインできます。

手順

1. プロジェクトタイムラインで開発フェーズを作成するか、既存のアジャイルフェーズを編集します。
2. [グループ] フィールドからグループを選択してグループをアサインします。

ストーリーの作成

プロジェクトに関連付けられたストーリーと、製品にもプロジェクトにも関連付けられていないワンオフストーリーを作成します。

始める前に
必要なロール：なし。

このタスクについて

- ストーリーリストには、現在アクティブなストーリーが表示されます。このリストからストーリーを作成したり、現在のストーリーのストーリーフォームを表示したりできます。ストーリーフォームからスクラムタスクを追加したり、ストーリーとタスクの進捗ボードを表示したりすることもできます。
- ストーリーはプロジェクトに関連付けることができますが、必須ではありません。ストーリーの作成時に、プロジェクトに 1 つのフェーズしかない場合には、ストーリーは自動的に唯一のフェーズにタグ付けされます。
- ワンオフストーリーは、製品またはプロジェクトへのリンクなしで作成できます。ワンオフストーリーは簡単な説明のみで作成され、グループにアサインすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > ストーリー.
2. [新規] をクリックします。
3. ストーリーフォームのフィールドに入力します。
   フォームフィールドの詳細については、「Agile Development 2.0 でストーリーを作成する」の説明を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストーリーを管理する

プロジェクトワークベンチからグループのストーリーを管理します。

始める前に
必要なロール：なし。

手順

1. プロジェクトワークベンチヘッダーの [ストーリーを管理] をクリックします。
   ストーリーを管理フォームには、現在選択されているプロジェクトのバックログが表示されます。
2. このプロジェクトに関連付けられたストーリーのリストをレビューします。
   - ストーリーを管理フォームの上部のセクションには、合計ポイント数も含め、プロジェクトのすべてのフェーズにまたがるバックログが表示されます。
   - このフォームの下部のセクションには、スプリントにアサインされていないプロジェクトのストーリーが表示されます。

スプリントを計画する

[スプリント計画立案] タブを使用して、スプリント計画立案と完了アクティビティを簡素化します。

始める前に
必要なロール：scrum_admin、scrum_master、または scrum_sprint_planner

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. 目的のグループを開きます。
3. [スプリントを計画] 関連リンクをクリックします。
   [アジャイルボード]、[スプリント計画立案] タブが表示されます。
4. いずれかのオプションを使用して、チームにアサインされていて、[バックログ] セクションのいずれのスプリントにもアサインされていない、すべてのアクティブなストーリーを表示します。

   注:
   - バックログに 50 を超えるストーリーが含まれている場合、ページネーションコントロールがリストの下部に表示され、リスト内の前ページ、次ページ、最初のページ、または最後のページに移動できます。
   - バックログ内でストーリーを並べ替えると、ストーリーのランキングが変わります。ランクは、ストーリーの [rm_story] テーブルの global_rank 列に格納されます。バックログ内でストーリーを移動すると、同じバックログ内で相対的にそのストーリーのランクが変更されます。したがって、ストーリーが他のバックログに存在する場合、そのランキングは変更される可能性がありますが、バックログ内の位置は変わりません。

5. スプリントを開始するには、最初または一番上のスプリントの右隅に表示された [開始] をクリックします。
   [スプリント追跡] タブが表示されます。
6. スプリントを完了するには、最初または一番上のスプリントの右隅に表示された [開始] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 未完了のストーリーがある場合は、バックログまたは将来のスプリントに移動します。

b. [完了] をクリックします。
スプリントが [スプリント計画立案] タブから消え、[スプリント] リストに完了として表示されます。

進捗状況の追跡

プロジェクトワークベンチのタイムラインでアジャイルフェーズの進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
ストーリーはプロジェクトにアサインされ、プロジェクトワークベンチのアジャイル開発フェーズに関連付けられます。ストーリーが完了すると、ストーリーポイントとストーリーステータスがスプリントとプロジェクトフェーズにロールアップされます。次に、フェーズがプロジェクトにロールアップされます。

手順

1. プロジェクトワークベンチのタイムラインに移動します。
2. フェーズバーの色が付いた部分の長さで進捗状況が示され、[完了率] フィールドが更新されます。

PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) の有効化

admin ロールを持っている場合は、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) を有効にします。このプラグインはアプリケーション プロジェクトポートフォリオ管理 をインストールします。

始める前に
必要なロール：管理者

このタスクについて
PPM Standard は、PPM (Project Portfolio Management) アプリケーションの基本的なプラグインです。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
すべての PPM アプリケーションが、そのユーザーロールおよびテーブルとともにインスタンスにインストールされます ServiceNow 。詳細については、「(PPM) 標準とともに プロジェクトポートフォリオ管理 インストールされるコンポーネント」を参照してください。

Innovation Management

Innovation Managementを使用すると、アイデアを効率的に収集して評価し、実装の可能性が最も高いアイデアを迅速に特定して処理できます。

アイデアポータルは、アイデアの収集、評価、選択、および実行を迅速化および体系化します。アイデアマネージャーまたはデマンドマネージャーは、送信されたアイデアを評価し、承認されたアイデアをデマンド、エピック、機能、またはストーリーに昇格させます。

分離したデータストレージを維持し、アクセスを制御する

アイデアモジュールを使用すると、次のことができます。

- 異なる部門、製品、または事業部門に属するアイデアとカテゴリを分けて保存します。
- アイデアを保存して整理し、投票を有効にします。組織が大規模な場合は、人事、IT、サポートなど、独自のカテゴリセットを使用してさまざまなポータルページを構成できます。
- アクセスを制御し、カテゴリ用に使用するテーブルにアクセス制御リストを作成することで、特定の事業部門または部門のユーザーのみがアイデアポータルから特定のカテゴリに属するアイデアを送信および表示できるようにします。たとえば、給与カテゴリに関連付けられたアイデアを給与部門以外のユーザーには表示させないようにするには、給与カテゴリの派生に使用される親テーブルの給与部門の従業員に対して、少なくとも読み取りアクセス権を持つ ACL を作成します。この ACL により、給与部門外の従業員は、給与カテゴリに関連付けられたアイデアを表示できなくなります。詳細については、「アイデアモジュールの作成」を参照してください。

> **注:**
> Innovation Management は、ドメイン分離の基本レベルをサポートしています。ドメイン分離の詳細については、「アプリケーションのドメイン分離のサポート」および「ドメイン分離と Project Portfolio Management」を参照してください。

カテゴリを使用してアイデアの送信を体系化する

アイデアカテゴリは、アイデアの送信を体系化するためのテーマを表します。アイデアポータルから送信されるすべてのアイデアは、少なくとも 1 つのアイデアカテゴリに関連付けられている必要があります。既存のテーブルの値を使用することも、新しいアイデアカテゴリを作成してアイデアを整理することもできます。ユーザーは、管理者が設定した 1 つ以上のアイデアカテゴリを選択し、送信時にアイデアに関連付けます。詳細については、「アイデアモジュールの作成」および「アイデアカテゴリ構成」を参照してください。

アイデアの送信、表示、および登録

アイデアポータルは、製品、機能、変更、または拡張のアイデアを共有する場所です。アイデアを送信したり、他のユーザーのアイデアを表示して登録したり、登録済みのアイデアの進捗状況を追跡したりします。詳細については、「アイデアの表示、フィルタリング、およびソート」と「アイデアに関するコラボレーション」を参照。

アイデアに関するコラボレーション

他の送信者やステークホルダーとアイデアについてコラボレーションします。コメントの追加、コメントへの返信、詳細情報の要求、質問への回答などを行います。開発を希望するアイデアに投票します。詳細については、「アイデアに関するコラボレーション」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

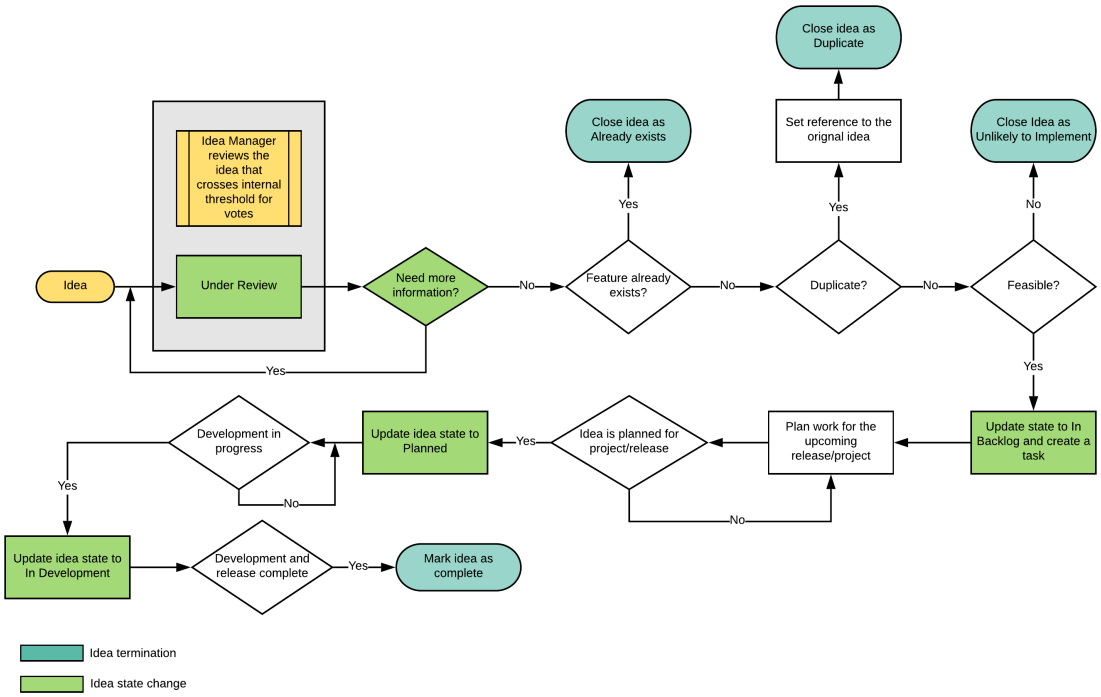
自動翻訳

アイデアの管理と評価

アイデアマネージャーは、送信されたアイデアをレビューし、必要に応じて詳細情報を要求して、アイデアを承認するか却下するかを選択します。アイデアへの投票数は、アイデアの人気とデマンドの評価に役立ちます。詳細については、「アイデアの管理」を参照してください。

アイデアの実行方法に基づいて、承認済みのアイデアをデマンド、エピック、ストーリー、または機能に変換します。PPM Standard、Agile Development 2.0、Scaled Agile Framework (SAFe) などのインストールされているプラグインに基づいて、エピック、SAFe エピック、または改善イニシアチブなどの関連オプションを使用します。デマンドまたはプロジェクトを作成した後に、アイデアのステータスを変更し、開発のさまざまな段階でそのステータスを追跡します。詳細については、「アイデアを評価する」を参照してください。

アイデアワークフロー



従来の **Ideas** アプリケーションからアイデアポータルへの移行

Washington DC リリースにアップグレードする場合は、アップグレード後に移行タスクを完了して、新しいアイデアポータルの使用を開始してください。

次の情報を確認し、構成に必要な変更を加えます。

アイデアのステータス

新しいアイデアポータルでは、[完了]、[レビュー中]、[バックログ (In Backlog)] などの新しいアイデアステータスが提供され、既存のアイデアステータスにマッピングされます。次の表に、既存のアイデアステータスに対する変更と、同等の新しいステータスとその値を一覧表示します。

従来の **Ideas** アプリケーション		アイデアポータル	
アイデアのステータス	値	アイデアのステータス	値
ドラフト	-5	ドラフト	-5
送信済み	1	送信済み	1

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

従来の Ideas アプリケーション		アイデアポータル	
アイデアのステータス	値	アイデアのステータス	値
NA	NA	レビュー中	-1
NA	NA	詳細情報が必要	-2
受入済み	2	バックログ (In Backlog)	2
NA	NA	計画	4
NA	NA	開発中	5
完了してクローズ	3	完了	3
スキップしてクローズ	7	実装する可能性は低い (Unlikely to Implement)	7
NA	NA	複製	8
NA	NA	既に存在 (Already Exists)	9

Washington DC リリース以降、アイデアステータスはアイデア [im_idea_core] テーブルに保存され、そこから取得されます。引き続き、既存のアイデアステータスを新しいアイデアステータスとともに使用できます。ただし、アイデアの管理に新しいステータスのみを使用する場合は、選択肢 [sys_choice] テーブルに移動し、古いアイデアステータスを削除します。

アイデアカテゴリ

カテゴリを使用してアイデアを整理します。たとえば、特定の製品、部門、または事業部門に関連するアイデアをグループ化します。既存のアイデアがどのカテゴリにも関連付けられていない場合は、新しいカテゴリを作成するか、既存のテーブルを選択して、アイデアをマッピングできるカテゴリを定義します。Ideas アプリケーションでは、既存のアイデアを関連付けることができる一連のデフォルトの新しいカテゴリもインストールされます。

アイデアが既にカテゴリに関連付けられていて、新しいカテゴリを使用する場合は、既存のアイデアカテゴリをデフォルトの新しいカテゴリにマッピングできます。次に、スクリプトを記述して使用し、既存のアイデアとカテゴリ間の m2m マッピングを作成します。

注:
アイデアがアイデアポータルに表示されるようにするには、既存のアイデアを適切なカテゴリにマッピングする必要があります。

アイデアをデマンドまたはプロジェクト、ストーリー、イニシアチブ、およびエピックに変換する

アイデアをデマンド以外の作業エンティティに変換できます。[タスクを作成] ボタンを使用すると、アイデアをプロジェクト、エピック、またはストーリーに変換したり、デマンドをアイデアフォームで利用可能にしたりすることができます。

これらのオプションを表示するには、必要な Agile プラグイン Agile Development 2.0 および Scaled Agile Framework (SAFe) と Continual Improvement Management がインストールされている必要があります。

アイデアのデマンドへの変換のみを許可する場合は、[タスクを作成] ボタンを無効にして [承認] ボタンを使用し続けるか、[承認] および [保留] ボタンを無効にして他のオプションを使用します。詳細については、「フォームデザイナーの使用」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスルール

アイデアテーブルにある既存のビジネスルールをレビューします。適用しないビジネスルールは False に設定します。

従来の **Ideas** アプリケーションのナビゲーション

ユーザーが新しいアイデアポータルからアイデアを送信するように促すには、アプリケーションメニューから古い Ideas アプリケーションのナビゲーションを削除し、Service Catalog の [アイデアの送信] オプションを非アクティブ化します。詳細については、「アプリケーションメニューまたはモジュールを有効または無効にする」を参照してください。

アイデアポータル管理

アイデアポータルを使用すると、エンドユーザーはアイデアを表示、送信、フィルター、ソート、コメント、および投票することができます。アイデアマネージャーは、アイデアポータルを使用して、アイデアのレビュー、評価、共同作業、および管理を行います。アイデア管理者は、アイデアモジュールを設定し、アイデアカテゴリをアイデアモジュールにマッピングし、アイデアポータルページにナビゲーションを追加します。

アイデアポータルの使用 はアイデアモジュールからデータを取得するので、最初にアイデアモジュールを設定する必要があります。製品、部門、または事業部門ごとに個別のアイデアモジュールを設定することを検討してください。アイデアポータルを設定する前に、次のアイテムをレビュー、計画、および特定します。

- アイデアテーブル
- アイデアモジュール
- アイデアカテゴリ
- アイデアポータルページへのナビゲーション

製品、部門、または事業部門のアイデアポータルを設定および構成するには、次のタスクを完了します。

アイデアモジュールの作成

アイデアモジュールは、アイデアポータルに表示されるアイデアとカテゴリを定義します。アイデアを保存してグループ化するためのアイデアモジュールを作成し、製品、部門、または事業部門に基づいてカテゴリを定義します。

始める前に

- アイデアを保存するアイデアテーブルを特定します。既存のテーブルを使用するか、新しいテーブル を作成してアイデア [im_idea_core] テーブルを拡張します。

  アイデアモジュールごとに異なるアイデアテーブルを使用します。アイデアテーブルが分離されているので、異なるモジュールのアイデアが分けて保存されます。

- 必要なロール：idea_admin

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > 設定 > アイデアモジュール > 新規.
2. アイデアモジュールフォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイデアモジュールフォームのフィールド

フィールド	説明
モジュール名	モジュールの名前。モジュールの作成対象エンティティを明確に特定できる名前を使用します。たとえば、部門用のモジュールを作成する場合は、人事、サポート、IT などの部門名を使用します。
モジュール ID	ユーザーを誘導するアイデアポータル URL のパラメーターとして使用される、モジュールの一意の識別子。たとえば、**hr** をモジュール **ID** として使用した場合、アイデアポータルにアクセスするための URL は次の例のようになります：/idea/?id=ideas_list&sysparm_module_id=hr
アイデアテーブル	アイデアの保存に使用するテーブル。このテーブルは、アイデア [im_idea_core] テーブルを拡張する必要があります。
反対票の有効化	アイデアに反対票を投じる機能を有効にするためのオプション。 デフォルト：オン
有効	アイデアモジュールを有効にするためのオプション。 デフォルト：オン
カテゴリ制限	ユーザーがアイデアを送信するときに選択できるカテゴリの最大数。デフォルト：5 このフィールドは、デフォルトではアイデアモジュールフォームに表示されません。フォームをカスタマイズして追加する必要があります。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
新しいアイデアカテゴリを定義するか、既存のテーブルを使用して、指定した列からカテゴリを派生させ、アイデアモジュールにマッピングします。詳細については、「アイデアカテゴリの設定」を参照してください。

新しいアイデアカテゴリの定義

ユーザーが送信済みのアイデアに関連付けるために選択できる新しいアイデアカテゴリを作成します。カスタムアイデアカテゴリを追加することもできます。

始める前に
必要なロール：idea_admin

このタスクについて
デフォルトのアイデアカテゴリ [im_category] テーブルには、ユーザー定義のアイデアカテゴリが保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既存のテーブルを使用しない場合や、カスタムのアイデアカテゴリを使用する必要がある場合は、新しいアイデアカテゴリを定義します。アイデアカテゴリの階層を定義するには、ネストされたアイデアカテゴリを作成します。

アイデアモジュールでは複数のアイデアカテゴリを使用できますが、1 つのアイデアカテゴリにマッピングできるカテゴリテーブルは 1 つだけです。アイデアカテゴリの詳細については、「カテゴリを使用してアイデアの送信を体系化する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアカテゴリ > 新規.
2. アイデアカテゴリフォームのフィールドに入力します。

アイデアカテゴリフォームのフィールド

フィールド	説明
カテゴリ名	アイデアカテゴリの名前。カテゴリリストの作成対象エンティティを明確に特定できる名前を使用します。たとえば、部門用のカテゴリオプションを作成する場合は、人事、サポート、IT などの部門名を使用します。
有効	アイデアカテゴリを有効にするためのオプション。有効化すると、アイデアを作成フォームとアイデアポータルの [カテゴリ] リストに、アイデアカテゴリが表示されます。 デフォルト：オン
モジュール	このアイデアカテゴリが属するモジュール。
親	このカテゴリがサブカテゴリである親アイデアカテゴリ。 たとえば、部門 A のサブカテゴリとして部門 1 と 2 を一覧表示するには、部門 1 と 2 の [親] フィールドで [部門 A] を選択します。
ドメイン	アイデアカテゴリが属するドメイン。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク

アイデアカテゴリをアイデアモジュールにマッピングします。詳細については、「アイデアカテゴリの設定」を参照してください。

アイデアカテゴリの設定

アイデアカテゴリテーブルをアイデアモジュールにマッピングして、アイデアポータルおよびアイデアを作成フォームに表示されるカテゴリオプションを指定します。

始める前に

- 必要なロール：idea_admin
- 使用するアイデアモジュールとアイデアカテゴリテーブルを特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
アイデアポータルでカテゴリのリストを取得するには、アイデアモジュールにアイデアカテゴリを設定する必要があります。静的カテゴリを作成した場合は、アイデアカテゴリ [im_category] テーブルを使用して、アイデアモジュールとアイデアカテゴリテーブル間のマッピングを設定します。
既存の製品または部門テーブルを使用して、動的なアイデアカテゴリを定義します。動的カテゴリは、親テーブルの特定の列とフィールドから導出されます。アイデアカテゴリの詳細については、「カテゴリを使用してアイデアの送信を体系化する」を参照してください。

注:
アイデアモジュールとマッピングできるカテゴリテーブルは 1 つだけです。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアカテゴリ構成 > 新規.
2. アイデアカテゴリ構成フォームのフィールドに入力します。

アイデアカテゴリ構成フォームのフィールド

フィールド	説明
カテゴリテーブル	アイデアカテゴリの派生元となる親テーブル。 静的なアイデアカテゴリを使用するには、デフォルトのアイデアカテゴリ [im_category] テーブルを選択します。 動的なアイデアカテゴリを使用するには、既存のテーブルを選択します。たとえば、部門名をアイデアカテゴリとして使用するには、すべての部門の詳細を含むテーブルを選択します。
カテゴリフィールド	アイデアカテゴリの派生元であるカテゴリテーブルのフィールド。カテゴリテーブルでこのフィールドに対応する値は、アイデアポータルの [カテゴリ] フィールドに表示されます。 たとえば、部門名をカテゴリオプションとして一覧表示するには、このフィールドの値を [名前] に設定します。システムは、親テーブルから部門名を検索して取得し、すべての部門名をカテゴリオプションとして表示します。
親フィールド	ネストされたアイデアカテゴリを使用している場合は、親カテゴリの取得に使用するカテゴリテーブルのフィールドを指定します。 **注:** ネストされたアイデアカテゴリを使用しない場合は、このフィールドを空白のままにします。 たとえば、部門 A のサブカテゴリとして部門 1 と 2 を一覧表示するには、このフィールドの値に [親] を設定します。システムは、親テーブルから値を検索して取得し、部門 1 と 2 を部門 A のサブカテゴリとして表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
モジュール	このアイデアカテゴリが属するアイデアモジュール。

3. フィルター条件を作成して、アイデアポータルに一覧表示するアイデアカテゴリを決定します。
4. [送信] をクリックします。

アイデアポータルのナビゲーション

アプリケーションナビゲーターからアイデアポータルにアクセスできるように、アイデアポータルの URL を設定します。

始める前に
必要なロール：idea_admin

このタスクについて
アプリケーションメニューモジュールを使用して、アイデアポータルモジュールへのアクセスを有効にします。

手順

1. を開く アイデア アプリケーションメニューを記録し、アイデアポータルをナビゲーションメニューに追加します。
   ナビゲーションメニューにアイデアポータルを追加する方法については、「モジュールの作成」を参照してください。
2. モジュールフォームで、[リンクタイプ] フィールドの値を **[URL (引数から)]** として設定します。

   URL 内でモジュール ID をパラメーターとして使用し、アイデアポータルに関連付けるアイデアモジュールを指定します。

   たとえば、HR 部門のアイデアモジュールを作成し、**hr** を [モジュール **ID]** として使用する場合、アイデアポータルにアクセスするための URL は次の例のようになります：/idea/?id=ideas_list&sysparm_module_id=hr。

従業員センター へのアイデアポータルの追加

従業員センター からアイデアポータルへのナビゲーションを有効にして、従業員のエンゲージメントエクスペリエンスを向上させます。

従業員センター ポータルで、アイデアポータルに次のリンクを追加して、従業員が簡単に移動できるようにします。

従業員センター ポータルのヘッダーメニューアイテム

従業員センター ポータルヘッダーの [アイデアポータル] ページのメニューアイテムを構成します。[Employee Center] メニューの [従業員フォーラムメニューアイテムを作成] のステップ 1 ～ 5 に従います。

従業員センター ポータルのクイックリンク

従業員センター のクイックリンクモジュールを使用して、アイデアポータルページへのクイックリンクを作成します。「クイックリンクを作成」の手順に従います。

アイデアポータルの使用

アイデアポータルは、アイデアを収集、キュレーションし、デマンド、プロジェクト、エピック、またはストーリーに昇格させる一元的な場所を提供します。重要なフィードバックや要求を、製品計画および開発プロセスにデータ連携できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アイデアポータルでは、次のことを実行できます。

- アイデアを表示、送信、投票、および登録します。
- コメントを使用してコラボレーションし、アイデアについて話し合い、情報を交換します。
- アイデアを送信、コメント、または登録するユーザーは、ステータスの変更、コメント、またはアイデアへの返信の通知を受け取り、そのアイデアのステータスと進捗状況について最新情報を得ることができます。
- アイデアの詳細の表示、質問または質問への回答、コメントを使用したアイデアに関する情報交換を行います。コメントに話し合いの経緯が残るので、アイデアの主要な貢献者や、その成功や失敗の理由の特定に役立ちます。

アイデアマネージャーとデマンドマネージャーは、アイデアポータルを使用して次のことを実行できます。

- 送信されたアイデアを管理します。
- 送信されたアイデアをレビューおよび評価し、要件を満たすアイデアを選択します。
- 投票数からアイデアの人気とデマンドを評価します。

選択したアイデアは、計画立案のためのタスクに変換されてから、新しい製品、機能、または拡張へと発展します。

アイデアの送信

他のユーザーが投票できるように、アイデアポータルで製品、機能、拡張、または変更のためのアイデアを送信します。アイデアに関連するカテゴリを選択し、有用な場合は、ファイルを添付して詳細を追加します。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
新しいアイデアは [送信済み] ステータスで作成されます。送信されたアイデアは、送信後、ステータスが [完了] に変更されるまで、アイデアポータルで編集できます。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアポータル > アイデアを作成.
2. アイデアを作成フォームのフィールドに入力します。

アイデアを作成フォームのフィールド

フィールド	説明
タイトル	アイデアの簡単な説明。アイデアのタイトルを入力し始めると、[関連アイデア] セクションが表示され、アイデアと一致する可能性のある既存のアイデアが表示されます。
カテゴリ	アイデアに関連付けるカテゴリ。1 つのアイデアに対して複数のカテゴリを選択できます。送信されたアイデアを表示するときに、カテゴリはアイデアポータルの他のユーザーにも表示されます。
説明	アイデアの詳細な説明。なぜそれが役立つのか、誰がそれからメリットを得るのか、どのように機能するのかなどの詳細を含めることを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	検討してください。書式設定ツールバーを使用して、テキストを書式設定したり、画像または Web リンクを追加したりできます。

3. オプション: アイデアに関連する添付ファイルがある場合は、[添付ファイルを追加] をクリックして添付します。
4. [作成] をクリックします。

アイデアの表示、フィルタリング、およびソート

自分が送信したアイデアや、送信されたすべてのアイデアを表示します。アイデアのステータス、カテゴリ、または日付に基づいて、アイデアをフィルタリングおよびソートします。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
アイデアに関する次の情報を表示できます。

- タイトル
- 投票数
- 送信者の名前
- 経過時間
- 現在のステータス
- アイデアが属するカテゴリ。

手順

移動先 すべて > アイデア > アイデアポータル.

[自分のアイデア] および [すべてのアイデア] タブ

タスク	ステップ
自分が送信したアイデアを表示します。	移動先 アイデアポータル > 自分のアイデア.
すべての送信されたアイデアを表示します。	移動先 アイデアポータル > すべてのアイデア.
アイデアの詳細を表示します。	アイデアのタイトルをクリックします。
アイデアのステータスに基づいてアイデアをフィルタリングします。	[ステータス] リストからステータスを選択します。
アイデアのカテゴリに基づいてアイデアをフィルタリングします。	[カテゴリ] リストからカテゴリを選択します。
最新のアイデア、投票数、または作成日に基づいてアイデアをソートします。	[ソート基準] リストからオプションを選択します。

アイデアに関するコラボレーション

コメントオプションを使用して、アイデアについて話し合い、アイデアに関する情報を交換します。アイデアに対する関心や支持のレベルを登録するために、アイデアに賛成票または反対票を投じます。アイデアを登録して進捗状況を追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
[完了]、[実装する可能性は低い **(Unlikely to Implement)**]、[重複]、または [既に存在 **(Already Exists)**] ステータスのアイデアには、コメントも投票もできません。[オープン] (Open) または [クローズ済み] (Closed) アイコンは、コメントと投票に対してアイデアがオープンかクローズかを示します。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアポータル.
2. アイデアのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。
3. 選択したアイデアでコラボレーションするには、次のアクションを実行します。

アイデアに関するコラボレーション

アクション	ステップ
コメントを投稿する	**a.** コメント (Comment) アイコンをクリックし、コメントを入力します。 **b.** [コメント] をクリックしてコメントを投稿します。
コメントに返信する	**a.** [返信] (Reply) アイコンをクリックして、返信を入力します。 **b.** [返信] をクリックして返信を投稿します。
コメントを編集または削除する	アイデアが [完了] ステータスに達するまでは、コメントの編集や削除が可能です。 **a.** コメントに移動します。 **b.** その他のオプション (•••) アイコンをクリックし、[編集] または [削除] をクリックします。
アイデアに投票する	投票は、アイデアの人気とデマンドの評価に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	○ 賛成票アイコン (^) をクリックして、そのアイデアを支持していることを示します。 ○ 反対票アイコン  ( ) をクリックして、そのアイデアに反対していることを示します。
アイデアに登録する	[登録] をクリックします。

アイデアの管理

アイデアマネージャーは、送信されたアイデアのレビュー、変更、古いアイデアの削除、重複の特定、ステータスの更新とトラッキングを行うことで、アイデアを管理します。

始める前に
必要なロール：idea_manager

このタスクについて
アイデアのステータスを変更して、そのステータスを反映します。ステータスを変更すると、アイデアの進捗状況がアイデアの送信者と登録者に通知されます。

> **注:**
> アイデアのステータスが変更されるたびに、アイデアの送信者とすべての登録者に通知メールが送信されます。また、ユーザーがアイデアにコメントしたり、コメントに返信したりするたびに、通知メールが送信されます。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアポータル.
2. アイデアのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。
3. その他のオプションアイコン (•••) をクリックし、[プラットフォームで開く] オプションをクリックしてフォームビューでアイデアを開きます。
4. アイデアを管理するには、次のアクションを実行します。

アイデアの管理

アクション	ステップ
タイトルを変更する	より明確または正確にするためにアイデアのタイトル変更が必要な場合は、次のいずれかのアクションを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクション	ステップ
	a. [タイトル] フィールドに新しいタイトルを入力します。 **b.** [提案] ( ) アイコンをクリックして、事前定義されたタイトルのリストから選択します。
ステータスを変更する	アイデアがライフサイクルのさまざまなステージを移動するときに、そのアイデアのステータスを変更します。アイデアのステータスを変更することは、アイデアの送信者と登録者に常に情報を提供することにもなります。 [ステータス] リストで、アイデアのステータスと優先度に基づいて適切なステータスを選択します。 次のオプションが使用可能です。 ○ 送信済み：アイデアが送信されたときのデフォルトのステータスです。 ○ レビュー中：アイデアマネージャーまたはデマンドマネージャーのレビュー待ちです。 ○ 詳細情報が必要：アイデアを開発のために昇格して優先順位を付ける前に、追加情報が必要です。 ○ バックログ **(In Backlog)**：承認済みですが、将来的に可能な開発のために保留されています。 ○ 計画済み：承認済みで、現在の実装のアイデアからプロジェクト、デマンド、エピック、機能、またはストーリーが作成されます。 ○ 開発中 **(In Development)**：アイデアから作成されたタスクで作業が開始されています。 ○ 実装する可能性は低い **(Unlikely to Implement)**：要件を満たしていないか、実行不可能であるか、または人気がありません。アイデアは非アクティブになり、コメントと投票に対してクローズされます。 ○ 重複：同様のアイデアがデータベースに存在します。重複したアイデアは元のアイデアに関連付けられ、非アクティブになり、コメントと投票に対してクローズされます。 ○ 既に存在 **(Already Exists)**：アイデアの送信時に既に開発されているか、開発間近です。
重複としてマークする	アイデアを重複としてマークすると、一方のアイデアが [元のアイデア **(Original idea)**] としてマークされ、もう一方が [重複するアイデア **(Duplicate idea)**] としてマークされます。コメントは、この情報とともに両方のアイデアに記

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
	録されます。重複としてマークされたアイデアは非アクティブになり、コメントと投票に対してクローズされます。 **a.** [ステータス] リストで、アイデアのステータスを [重複] に設定します。 **b.** [重複] フィールドで、元のアイデアとしてマークするアイデアを検索して選択します。 **c.** [クローズメモ] フィールドに理由を入力します。
アイデアを削除する	関連性がなくなったアイデアや古くなったアイデアをデータベースから削除します。アイデアを削除すると、コメント、添付ファイル、投票などの詳細すべてがデータベースから削除されます。 アイデアとそれに関連付けられたすべての詳細を削除するには、次の手順を実行します。 ○ アイデアを選択します。 ○ [削除] をクリックします。

5. [更新] をクリックします。

次のタスク
選択したアイデアをデマンド、プロジェクト、ストーリー、およびエピックなどのタスクに変換します。

アイデアを評価する

送信されたアイデアをレビューし、承認または却下します。

始める前に
必要なロール：idea_manager

このタスクについて
アイデアマネージャーは、アイデアを評価し、アイデアを承認するか却下するかを決定します。アイデアをすぐに実装できない場合は、アイデアをバックログに移動しておき、後で取得します。
実装に適したアイデアを承認し、それからデマンド、プロジェクト、ストーリーなどのタスクを作成します。これらのタスクを計画して作業し、アイデアを新しい機能、製品、または拡張へと発展させます。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアポータル.

2. アイデアのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。

3. その他のオプション (•••) アイコンをクリックし、[プラットフォームで開く] オプションを選択して、フォームビューでアイデアを開きます。

4. アイデアの詳細をレビューし、アイデアに対して実行するアクションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイデアを評価する

アクション	ステップ
承認	アイデアが興味深く、新しい機能、製品、または拡張へと発展する可能性があると思われる場合は、そのアイデアを承認します。その後、バックログに移動し、適切なタイミングでそこから取得できます。 アイデアを承認するには、アイデアのステータスを [ステータス] リストから [バックログ **(In Backlog)]** に設定します。 アイデアを早期に実装する必要がある場合は、そのアイデアのタスクを作成します。詳細については、「アイデアのタスクを作成する」を参照してください。
追加情報の要求	送信時にアイデアとともに提供された情報が不十分な場合は、[ステータス] リストから [詳細情報が必要] を設定して、アイデアに関する詳細情報を要求します。
却下	アイデアが実現不可能な場合や、すでに実装されている場合は、ステータスをそれぞれ [実装する可能性は低い **(Unlikely to Implement)]** または [既に存在 **(Already Exists)]** に設定して、そのアイデアを却下します。アイデアは非アクティブになり、コメントと投票に対してクローズされます。
実装時にアイデアをクローズする	アイデアが正常に実装されたら、アイデアを完了としてマークし、さらなるコメントと投票に対してアイデアをクローズします。 アイデアを完了としてマークするには、次の手順を実行します。 **a.** [ステータス] リストからアイデアのステータスを [完了] に設定します。 **b.** アイデアがどのように実装されたかについての情報を [クローズメモ] フィールドに入力します。

5. [更新] をクリックします。

アイデアのタスクを作成する

承認されたアイデアを計画および開発するためのタスクを作成します。

始める前に

必要なロール：idea_manager または idea_manager_professional

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
承認されたアイデアのデマンド、プロジェクト、ストーリー、SAFe エピック、SAFe 機能、SAFe ストーリーなどのタスクを作成します。これらのタスクを計画して作業し、アイデアを新しい機能、製品、または拡張へと発展させます。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアポータル.
2. タスクを作成するアイデアのタイトルをクリックします。
3. その他のオプション (···) アイコンをクリックし、[プラットフォームで開く] オプションを選択して、フォームビューでアイデアを開きます。
4. アイデアの優先度に基づいて、[ステータス] リストでアイデアの適切なステータスを選択します。各アイデアステータスの詳細については、「アイデアの管理」を参照してください。
5. [タスクを作成] をクリックします。
6. [アイデアをタスクに変換 **(Convert Idea to task)]** ダイアログボックスで、[タスクタイプを選択] リストからタスクタイプを選択します。
   利用可能なタスクタイプは次のとおりです。
   - デマンド
   - プロジェクト管理
   - Epic
   - ストーリー
   - SAFe エピック
   - SAFe 機能
   - SAFe ストーリー

   これらのタスクオプションは、PPM Standard、 Agile Development 2.0、 Scaled Agile Framework (SAFe) などのインストールされたプラグインに基づいています。

   注:
   これらのタスクタイプを作成するには、プラグインに基づいた適切なロールも必要です。

Idea Manager Dashboard

Idea Manager Dashboard には、さまざまなステータスのアイデア、アイデアの経過時間、カテゴリ、さまざまな作業エンティティに変換されたアイデアなど、アイデアの測定基準と傾向のサマリービューが表示されます。

Idea Manager Dashboard のインストール

admin ロールを持っている場合は、Idea Manager Dashboard アプリケーションを ServiceNow Store からインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連するプラグインがインストールされます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべてのストアアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください： のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- アプリケーションがプラグインまたはその他のストアアプリケーションを必要とし、それがまだインストールされていない場合は、先にインストールしてください。Idea Manager Dashboard アプリケーションには、次のプラグインが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo)

  有効化手順の詳細については、「PPM Standard の有効化 (Project Portfolio Management)」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

タスクの結果
Idea Manager ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 アイデア > **Idea Manager Dashboard**.

次のタスク
Idea Manager Dashboard を使用する前に、次の Performance Analytics データコレクタージョブを実行します。

- *[PA PPM IMD] Historic Data Collection*：アイデアに関連する履歴データを収集し、オンデマンドで実行してダッシュボードのデータを更新します。
- *[PA PPM IMD] Daily Data Collection*：日次インジケーターのデータを収集し、毎日実行してダッシュボードのデータを更新します。

関連情報

プラグインのリスト (Washington DC)

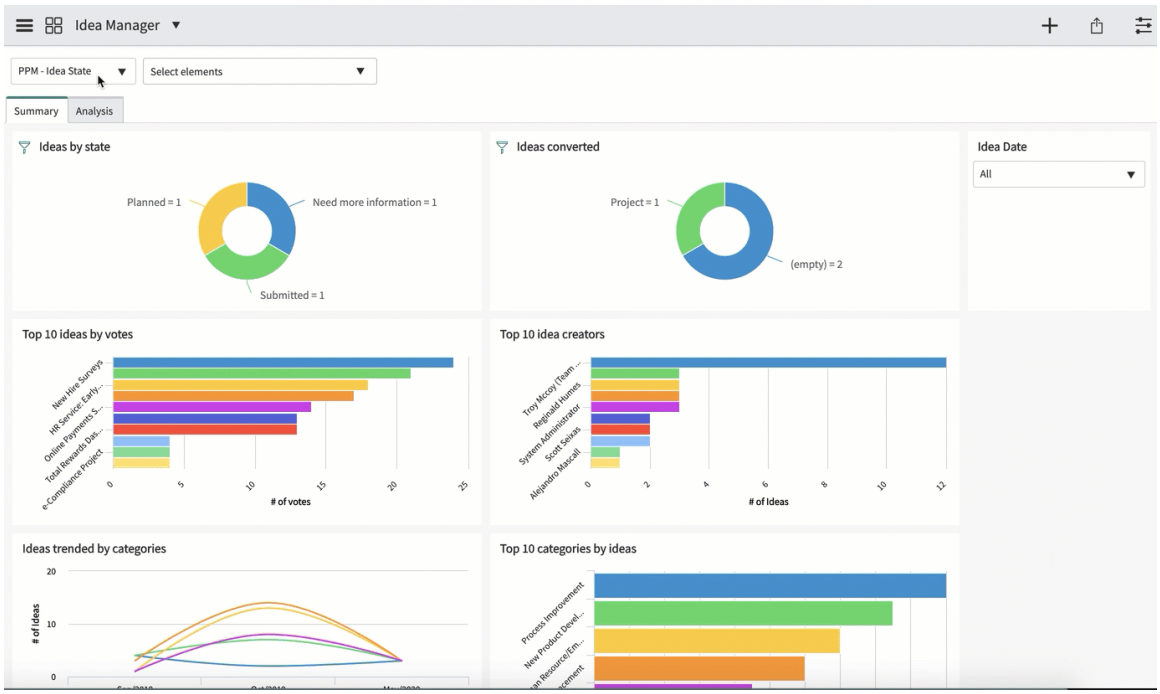
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Idea Manager Dashboard の使用方法

アイデアダッシュボードマネージャーを使用して、アイデアを効果的にレビュー、分析、管理します。

Idea Manager Dashboard は、アイデアマネージャーと、ppm の読み取り専用ロール (sn_ppm_read) を持つユーザーに包括的なレポートを提供します。ダッシュボードは Performance Analytics を使用して、履歴データの傾向と定期的なレポートを提供します。アイデアの概要、作業エンティティに変換されたアイデアの数、およびカテゴリ、アイデアの送信者、投票に基づく傾向が表示されます。アイデアのレビューと分析に役立ち、アイデアを効果的に管理するために必要なアクションを実行できます。



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
アイデアマネージャー：さまざまなステータスのアイデア、作成されたアイデアの数、およびアイデアの経過時間に対する可視性が必要です。	idea_manager
PPM の読み取り専用ロール：さまざまなステータスのアイデア、作成されたアイデアの数、およびアイデアの経過時間に対する可視性が必要です。	sn_ppm_read

ユースケース

このダッシュボードには、Project Portfolio Management に関連するアイデアが表示されます。

カテゴリに関連付けられたアイデアのみが、ダッシュボードに表示されます。削除対象としてマークされたアイデアは表示されません。デフォルトでは、ダッシュボードに 1 年間のデータが表示されます。インタラクティブな日付フィルターを使用して、月次、四半期、または年次のデータを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードからアイデアポータルに移動すると、アイデアインジケーターデータ内をドリルダウンしてさらに分析することができます。たとえば、アイデアポータルでオープンなアイデアの個々のレコードを表示するには、 [オープンなアイデア] インジケーターの値をクリックして アナリティクスハブ を開きます。アナリティクスハブ で、[レコードを表示] をクリックしてオープンなアイデアのリストを表示し、フォームビューでアイデアを開き、[アイデアポータル] 関連リンクをクリックしてアイデアポータルにアイデアレコードを表示します。

インジケーター

ダッシュボードの [サマリー] タブと [分析] タブには、次のインジケーターが含まれています。アイデアのデータは [idea] テーブルから収集されます。

オープンなアイデア

現在の月の [送信済み]、[詳細情報が必要]、または [レビュー中] ステータスにあるアイデアの数。

オープンなアイデアの平均経過時間

[送信済み]、[詳細情報が必要]、または [レビュー中] ステータスにあるアイデアの作成以降の平均経過時間 (日単位)。式 [[PPM：オープンなアイデアの合計経過時間]]/[[PPM：オープンなアイデアの数]]/24 によって計算されます。

変換されたアイデア

他のプラグインに基づいて、デマンド、プロジェクト、ストーリー、エピックなどのさまざまな作業エンティティに変換されたアイデアの数。

変換されたアイデアの割合

他のプラグインに基づいて、デマンド、プロジェクト、ストーリー、エピックなどのさまざまな作業エンティティに変換されたアイデアの割合 (%)。式 [[PPM：変換されたアイデアの数]/[PPM：アクティブなアイデアの数]] * 100 によって計算されます。

アイデア

さまざまなステータスのアイデアの数。週、月、四半期、および年に作成された、さまざまなステータスのアイデアの数を表示できます。

アクティブなアイデア

[送信済み]、[詳細情報が必要]、[レビュー中]、[バックログ (In Backlog)]、[計画済み]、および [開発中 (In Development)] ステータスのアイデアの数。このインジケーターはダッシュボードには表示されませんが、式で使用されます。

オープンなアイデアの合計経過時間

作業エンティティに変換する前に、アイデアが [送信済み]、[詳細情報が必要]、[レビュー中] のステータスにある合計日数。このインジケーターはダッシュボードには表示されませんが、式で使用されます。

ブレークダウン

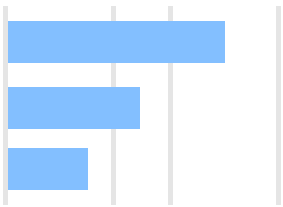
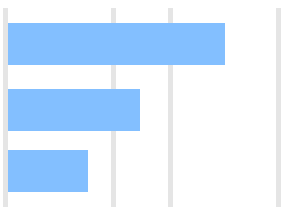
- PPM：アイデアカテゴリ
- PPM：アイデアのステータス

データの可視化

ダッシュボードには、以下の可視化が含まれています。

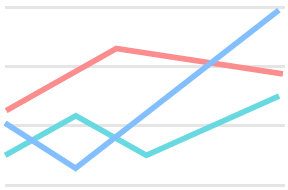
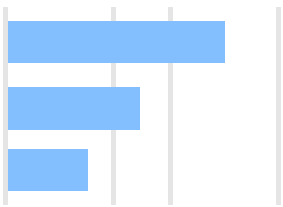
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
ステータス別アイデア (Ideas by state)	円グラフ 	各種ステータスのアイデア数のブレークダウン。
変換されたアイデア	円グラフ 	デマンドやプロジェクトなどの作業エンティティに変換されたアイデアの数のブレークダウン。
投票による上位 10 件のアイデア (Top 10 ideas by votes)	水平棒グラフ 	賛成票の総数に基づく上位 10 件のアイデア。
上位 10 名のアイデア作成者 (Top 10 idea creators)	水平棒グラフ 	送信されたアイデアの数に基づく上位 10 名のユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
カテゴリ別のアイデアの傾向 (Ideas trended by categories)	線グラフ 	各種カテゴリで送信されたアイデアの総数の傾向。傾向は月次ベースで表示されます。
アイデア別上位 10 のカテゴリ (Top 10 categories by ideas)	水平棒グラフ 	各カテゴリで送信されたアイデアの数に基づく上位 10 のカテゴリ。

Innovation Management統合：ユニバーサル要求

Innovation Management の ユニバーサル要求 とのデータ連携により、ユニバーサル要求 の機能が拡張され、従業員とエージェントは、ユニバーサル要求からアイデアを作成できるようになります。

概要

Innovation Management を ユニバーサル要求 アプリケーションとデータ連携して、一貫性のあるチケットエクスペリエンスを提供し、部門間の要求転送を円滑化します。

ユニバーサル要求は、次のいずれかの理由で新規タスクレコードを作成する必要があるとエージェントが判断した場合に、インタラクションレコードまたは新規コールレコードから作成されます。

- 特定の部門にアサインせずにユニバーサル要求をすぐに解決します。
- ユニバーサル要求を階層 1 のアサイン先グループにアサインして、別の部門に転送します。

ユニバーサル要求は、INC、HRC、カスタムタスクタイプなど、子レコードとして作成される他のレコードの親レコードとして機能します。また、すべての部門間レポートにも使用されます。Universal Request の詳細については、「Universal Request の探索」を参照してください。

機能

データ連携により、次の機能が提供されます。

- ユニバーサル要求からアイデアを作成する：ユニバーサル要求が作成されると、エージェントが要求を分析します。要求によって新しい製品、機能、または変更が生じる可能性がある場合、エージェントはそのユニバーサル要求からアイデアを作成します。

  アイデアマネージャーは、送信されたアイデアをレビューして、必要に応じて詳細情報を要求し、アイデアを承認するか却下するかを選択します。承認されたアイデアは、デマンド、エピック、ストーリー、または機能に変換されます。

  [簡単な説明] フィールドや [説明] フィールドの詳細など、ユニバーサル要求の関連情報が、アイデアの [タイトル] フィールドと [アイデアの説明] フィールド にコピーされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

また、ユニバーサル要求から作成されたアイデアがユニバーサル要求のプライマリチケットになり、[プライマリチケット] フィールドにアイデア番号が入力されます。

- 解決の有無にかかわらずアイデアを別の部門に転送する：アイデアが却下された場合や実装できない場合に、ルーティングエージェントはアイデアを別の部門に転送できます。

  アイデアが別の部門に転送されると、そのアイデアはクローズされ、新しいレコードが作成されます。たとえば、人事プロセスの改善に関連するユニバーサル要求をアイデアに変換し、そのアイデアが実現不可能と判断された場合に、HRC として HR 部門に転送することができます。

  > **注:**
  > ユニバーサル要求から作成されたアイデアが別の部門に転送されると、最終的な INC、HRC、またはカスタムタスクが親ユニバーサル要求のプライマリチケットになります。

プラグイン要件

admin ロールを持っている場合は、次のプラグインを有効化できます。これらのプラグインはデフォルトではアクティブではないため、Innovation Management を ユニバーサル要求 アプリケーションとデータ連携する際に、これらのプラグインをインストールする必要があります。

- PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo)。
- Universal Request プラグイン (com.snc.universal_request)。アクティベーションについては、「Universal Request の有効化」を参照してください。

Human Resources Scoped アプリ：コア (com.sn_hr_core) プラグインや 従業員センター (com.snc.employee_center) プラグインなどの他の関連プラグインを有効化して、部門間のアイデアの転送を容易にします。

Universal Request からのアイデアの作成

新製品、機能、拡張、または変更の初期評価後に、ユニバーサル要求からアイデアを作成します。

始める前に

- Universal Request (sn_uni_req) および PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインを有効化します

必要なロール：sn_uni_req.request_write または ITIL

このタスクについて

新しいアイデアは [送信済み] ステータスで作成されます。送信されたアイデアは、送信後、ステータスが [完了] に変更されるまで、アイデアポータルで編集できます。

手順

1. 移動先 **Universal Requests** > すべて.
2. アイデアの作成元になるユニバーサル要求レコードを開きます。
3. [アイデアを作成] をクリックします。
4. アイデアを作成フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイデアを作成フォーム

フィールド	説明
タイトル	アイデアの簡単な説明。ユニバーサル要求フォームの簡単な説明がこのフィールドに入力されます。このフィールドの情報を更新できます。
カテゴリ	アイデアに関連付けるカテゴリ。1 つのアイデアに対して複数のカテゴリを選択できます。
説明	アイデアの詳細な説明。ユニバーサル要求フォームの説明がこのフィールドに入力されます。このフィールドの情報を更新できます。

5. オプション: アイデアに関連する添付ファイルがある場合は、[添付ファイルを追加] をクリックして添付します。
6. [作成] をクリックします。
   アイデアの作成元のユニバーサル要求番号は、アイデアフォームのヘッダーに表示されます。アイデア番号は、ユニバーサル要求フォームの [プライマリチケット] フィールドに表示されます。

次のタスク
実行するために選択されている場合は、アイデアを評価するし、アイデアからタスクを作成します。アイデアを実装できない場合は、INC、HRC、またはカスタムタスクとして関連部門にアイデアを転送します。

アイデアステータスのマッピング

アイデアのステータスをユニバーサル要求ステータスにマッピングすることで、アイデアステータスの移行中のユーザーエクスペリエンスを向上させ、アイデアの進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
アイデアのステータスをユニバーサル要求のステータスにマッピングすると、アイデアのステータスがユニバーサル要求のステータスにも反映されます。アイデアがライフサイクルの各種ステージを移動すると、ユニバーサル要求のステータスにも変更が反映されて更新されます。

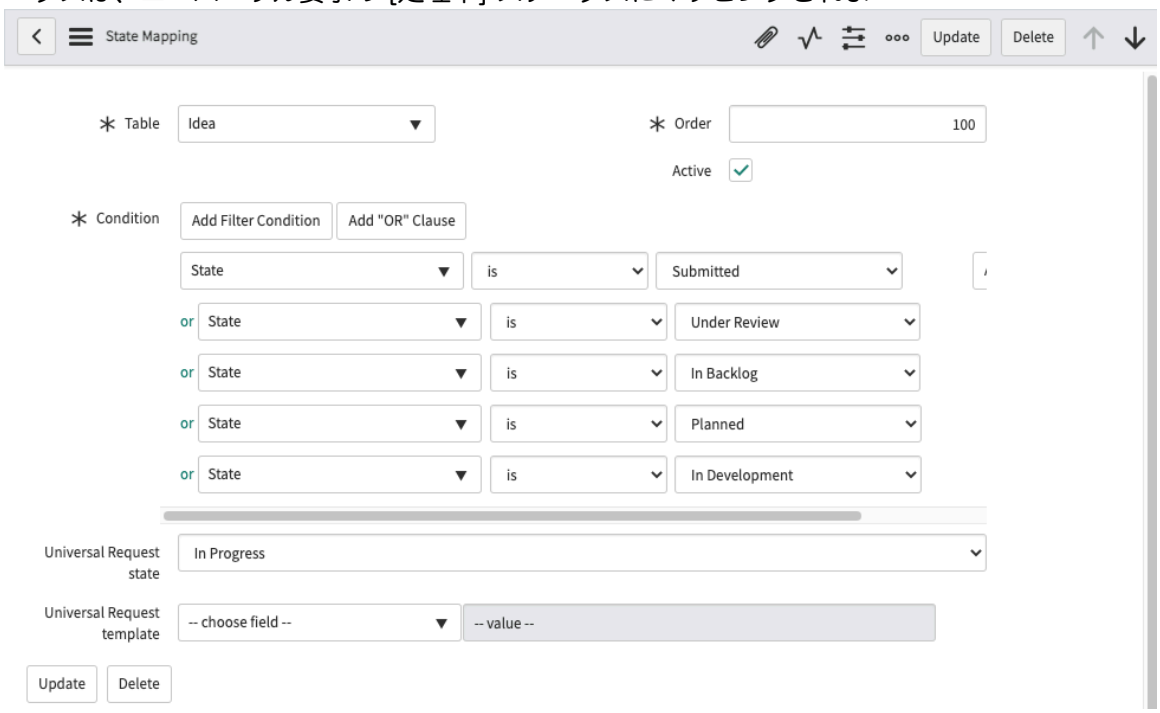
たとえば、ユニバーサル要求にアイデアがプライマリチケットとして含まれているとします。アイデアのステータスが [送信済み] から [詳細情報が必要] に変わると、ユニバーサルチケットのステータスも [応答待ち] に更新されます。

次の図は、デフォルトのステータスマッピングの例です。アイデアの [送信済み]、[レビュー中]、[バックログ **(In Backlog)]**、[計画 済み]、および [開発中 **(In Development)]**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスは、ユニバーサル要求の [処理中] ステータスにマッピングされま



す。

次の表に、各種アイデアステータスとユニバーサル要求ステータスのデフォルトマッピングを一覧表示します。

アイデアステータスとユニバーサル要求ステータスとのデフォルトマッピング

アイデアのステータス	ユニバーサル要求ステータス
送信済み	処理中
レビュー中	処理中
バックログ (In Backlog)	処理中
計画	処理中
開発中	処理中
実装する可能性は低い (Unlikely to Implement)	クローズ済み
複製	クローズ済み
既に存在 (Already Exists)	クローズ済み
完了	クローズ済み
詳細情報が必要	応答待ち

手順

1. 移動先 すべて > ユニバーサル要求 > 管理 > ステータスマッピング.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   詳細については、「ステータスマッピングフォーム」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイデアを別の部門に転送する

アイデアが却下された場合やアイデアを実装できない場合は、解決の有無にかかわらず、アイデアを別の部門に転送します。

始める前に

次の要件が満たされていることを確認します。

- アイデアは、ユニバーサル要求から作成されている。
- アイデアはカテゴリに関連付けられている。
- アイデアを作成フォームをカスタマイズして、[アサイン先] フィールドが追加されている。
- アイデアがエージェントにアサインされている。
- 転送に必要な追加のプラグインがアクティブになっている。たとえば、アイデアが人事ケース (HRC) として転送される場合は、Human Resources Scoped アプリ：コア (com.sn_hr_core) および 従業員センター (com.snc.employee_center) プラグインを有効化します。

必要なロール：アイデアがアサインされたエージェント、またはアサインされたワークグループに属するエージェント。

このタスクについて

アイデアが却下された場合やアイデアを実装できない場合は、HRC、インシデント、またはカスタムタスクとして、別の部門にアイデアを転送します。
アイデアが別の部門に転送されると、そのアイデアはクローズされ、新しいレコードが作成されます。たとえば、人事プロセスの改善に関連するユニバーサル要求をアイデアに変換し、そのアイデアが実現不可能と判断された場合に、HRC として HR 部門に転送することができます。

手順

1. 移動先 すべて > アイデア > アイデアポータル.
2. アイデアのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。
3. その他のオプションアイコン (•••) をクリックし、[プラットフォームで開く] オプションをクリックしてフォームビューでアイデアを開きます。
4. [転送] をクリックします。
5. [チケットを転送] ダイアログボックスで、次の詳細を入力します。
   - 部門：リストから部門を選択します。
   - 転送理由：リストから理由を選択します。
   - 転送メモ：UR ルーティングエージェントに渡すアイデアを転送するための簡単な説明。
   - 追加のコメントと添付ファイルをコピー：追加のコメントや添付ファイル付きのアイデアを転送しない場合は、チェックボックスをオフにします。
6. [転送] をクリックします。
   アイデアが選択した部門に転送され、アイデアのステータスが [実装する可能性は低い **(Unlikely to Implement)]** に変更されます。
7. アイデアが却下またはクローズされた理由に関する情報を、[クローズメモ] フィールドに入力します。
8. [更新] をクリックします。

タスクの結果

選択した部門にアイデアが転送されます。親ユニバーサル要求の [プライマリチケット] フィールドは、転送の結果として作成された INC、HRC、またはカスタムタスクの番号で更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求をアイデアとして転送するためのアイデアカテゴリを設定する

人事ケース、インシデント、またはカスタムタスクを部門からアイデアとして直接転送するときに使用する、アイデアステータスを設定します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
アイデアポータルでアイデアを作成するときは、1 つ以上のカテゴリに関連付ける必要があります。サービスチケットをアイデアとして別の部門に転送するときに使用する、部門固有のプライマリチケットとアイデアカテゴリ間のマッピングを作成します。

手順

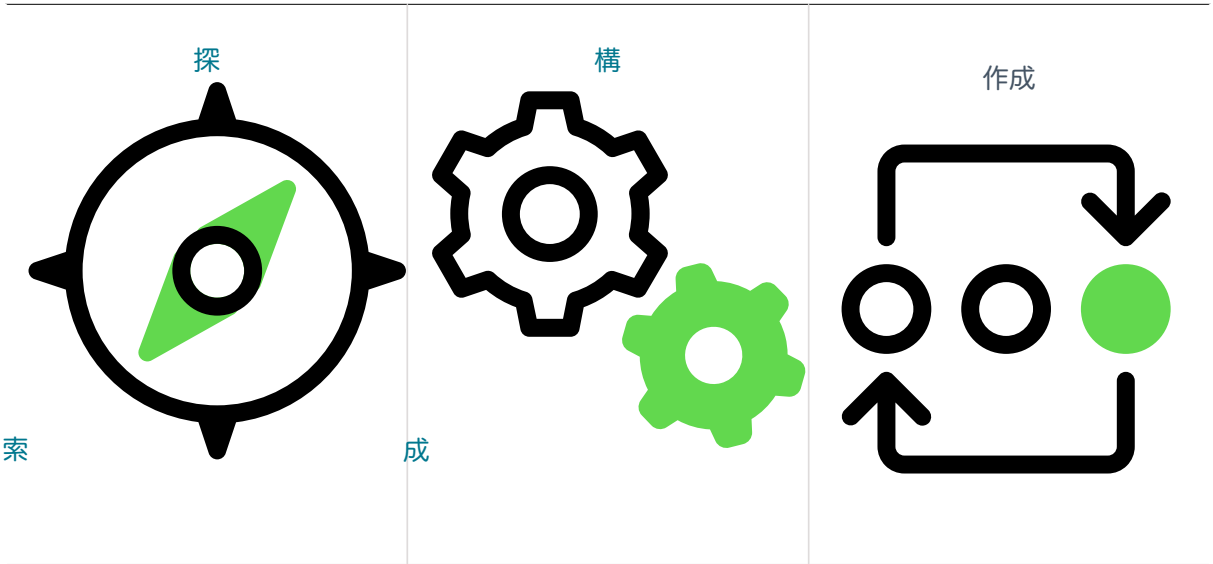
1. 移動先 すべて > ユニバーサル要求 > 管理 > 直接転送構成.
2. 「直接転送マッピング」で説明されている手順に従います。
3. [送信] をクリックします。

デマンド管理

Demand Management アプリケーションは、戦略的および運用上のデマンドをキャプチャ、一元化、および評価するためのツールで構成されています。また、すべてのデマンド情報を管理する単一の場所を提供します。

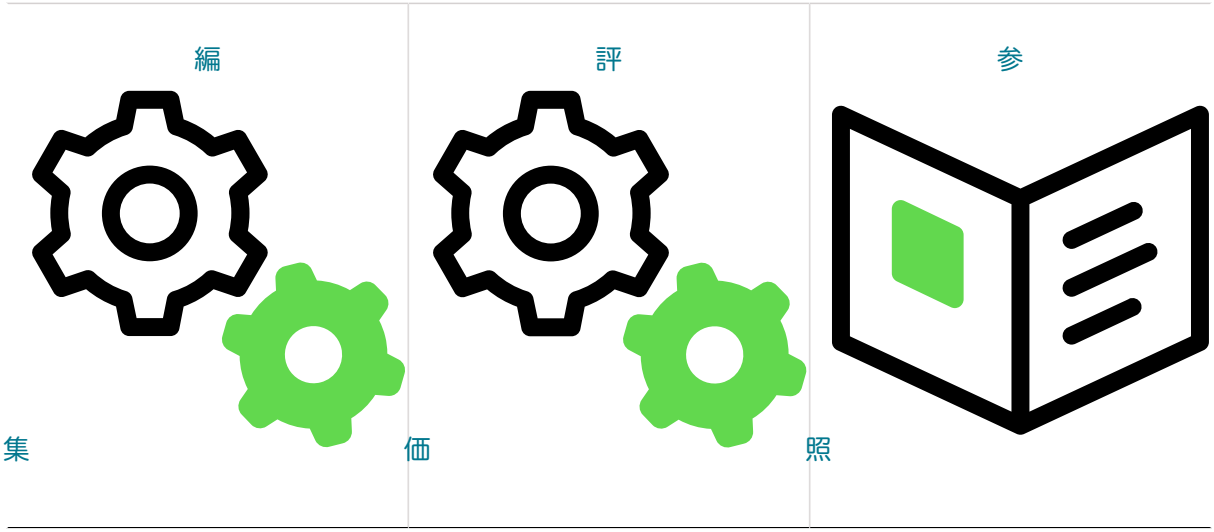
概要

開始するには



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



トラブルシューティングとヘルプの取得

- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

デマンドマネージャーの一般的なワークフローは次のとおりです。

- デマンドに取り組み、デマンドの実現可能性、作業量、およびコストを評価し、デマンドを承認するためのビジネスケースを作成します。
- 初期実現可能性レビュー、コスト推定、予定作業量などのデマンドタスクを作成し、専門のリソースまたはグループにアクティビティを委任します。たとえば、デマンドマネージャーは、ソフトウェアのアップグレードに関連するコストと必要なリソースを評価するデマンドタスクを作成できます。
- デマンドタスクをビジネスアナリスト、リソースユーザー、または適切なグループにアサインします。アサインされたリソースまたはグループは、デマンドマネージャーがデマンドを評価して認定する際に役立つ、コストおよびリソース計画を作成します。詳細については、「デマンドタスク」を参照してください。

Demand Management の基礎

- アプリケーションを設定する：計画し、ステークホルダーとアセスメントカテゴリを作成し、バブルチャートを作成します。
- アイデアを評価する：アイデアをデマンドに昇格する前に、送信されたアイデアをレビューおよび分析します。
- デマンドの詳細を作成および追加する：デマンドを作成してデマンドタスク、ステークホルダー、アセスメントを追加し、デマンドを評価して認定します。
- Demand Management アプリケーションまたはデマンドワークベンチを使用して、デマンドを比較および評価し、プロジェクト、拡張、変更、または欠陥に対するデマンドを昇格します。

デマンド管理 の詳細

デマンド管理の詳細とそのプロセスフロー、および組織に対するメリットについて説明します。

デマンド管理 の概要

デマンド管理 でアイデアポータルまたは観念化モジュールを通じて送信されたアイデアを評価し、実現可能なアイデアをデマンドに昇格させます。承認されたアイデアの進捗状況を、デマンドライフ

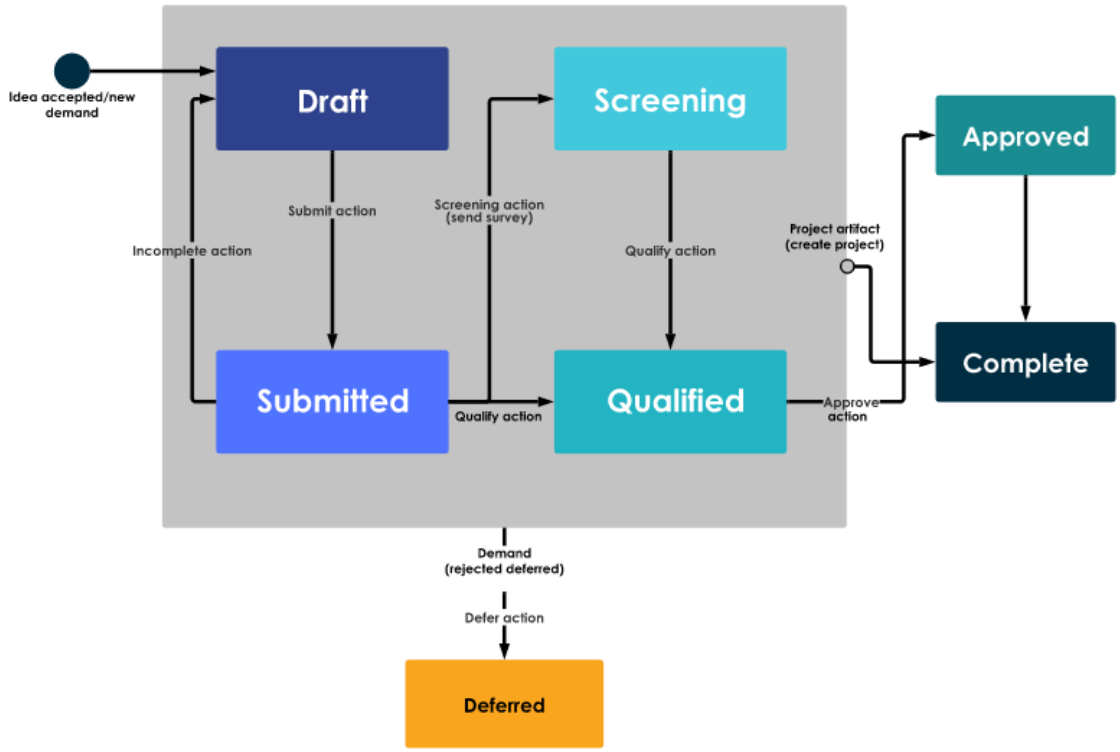
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイクル (アイデアからデマンド、プロジェクト、拡張、変更、または欠陥まで) を通して追跡できます。

デマンド管理 のワークフロー

デマンド管理では、デマンドは次のいずれかのステータスになりま



す。

理想的には、デマンドのステータスは、ドラフト、送信済み、スクリーニング、承認済み、および完了です。

デマンド管理 のメリット

メリット	機能	ユーザー
デマンドとして承認されたアイデアを一元的に表示および評価します。	デマンドワークベンチ	デマンドマネージャー
承認されたアイデアの進捗状況を、デマンドライフサイクル (アイデアからデマンド、プロジェクト、拡張、変更、または欠陥まで) を通して追跡できます。		
企業、地域通貨、またはプロジェクトの管理に使用する通貨と同じ通貨で、デマンドの財務面を管理および追跡します。	デマンド管理 における複数通貨	デマンドマネージャー
ステークホルダーレジストリーにユーザーを追加して、ユーザーがデマンドまたはプロジェクトを作成したときに、デマンドおよびプロジェクト管理が自動的にステークホルダーリストを入力できるようにします。	ステークホルダーレジストリーへの入力	デマンドマネージャー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Demand Management のプロセスフロー

Demand Management のプロセスフローは、次のタスクで構成されています。

Demand Management のプロセスフロー

タスク	説明
アイデアの送信	どのユーザーも、次の場所からアイデアを送信できます。 • サービスカタログ > 何かお困りですか? > アイデアを送信. • セルフサービス > アイデア > 新規作成. **注:** 送信者または協力者は、アイデアが [送信済み] ステータスであれば、アイデアを編集できます。
デマンドの作成	デマンドマネージャーとデマンドユーザーは、Demand Management アプリケーションを使用してデマンドを作成できます。 別の方法として、どのユーザーも次の場所からデマンドを作成できます。 • サービスカタログ > 何かお困りですか? > 新規デマンドを作成. • セルフサービス > デマンド > 新規作成. **注:** 要求者または協力者は、デマンドが [ドラフト] ステータスであれば、デマンドを編集できます。
デマンドへの詳細の追加	デマンドマネージャーは、デマンドタスク、ステークホルダー、要件、リスク、意思決定、およびリソース計画を追加することで、デマンド要求に詳細を追加できます。
デマンドの評価	意思決定者は、承認または却下するデマンドを決定する際に、アセスメント結果とデマンドバックログを使用できます。 デマンドマネージャーは、デマンドフォームの [アセスメントが必要] フィールドを使用して、デマンドに対してアセスメントをトリガーするかどうかを決定できます。
デマンドの完了	デマンドマネージャーは、デマンドの作業が完了したときにデマンドを [完了] に設定できます。 [完了] または [保留 (Deferred)] のデマンドについて、将来のリソース計画をキャンセルしたり、割り当て済みのリソース計画を完了したりできます。

デマンドワークベンチ

デマンドワークベンチは、ビジネスデマンドを表示および評価するための一元的な場所を提供します。

デマンドワークベンチでは、1 ページにデマンド情報の複数のインタラクティブビューを表示して、デマンドを簡単に管理できます。ワークベンチは 2 つのペインに分割されています。上部ペインにはデマンドを評価するためのインタラクティブなバブルチャートが表示され、下部ペインにはデマンドの詳細がリストビューで表示されます。

デマンドワークベンチでは、2 つのペイン間でリアルタイムに相互反映されます。バブルチャートでデマンドを変更すると、デマンドレコードの値が自動的に更新されます。同様に、デマンドレコードに加えられた変更は、バブルチャートに自動的に反映されます。

自動翻訳

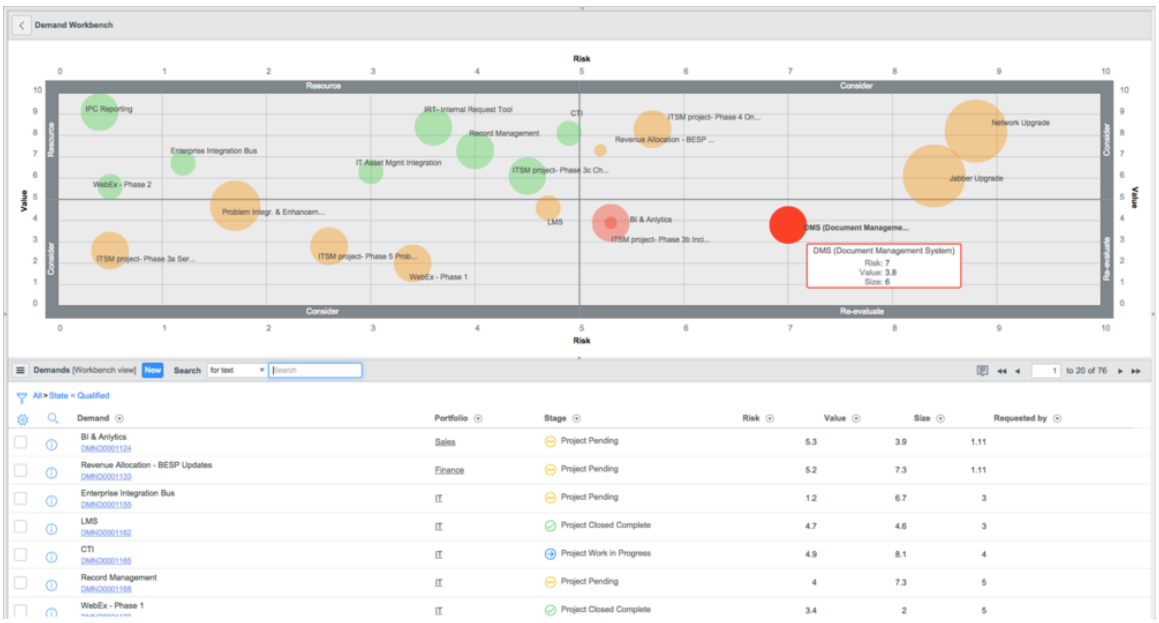
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、ワークベンチには、ステークホルダーによってスクリーニングされた、またはデマンドマネージャーによって認定されたデマンドが表示されます。デマンドマネージャーロールでは、ワークベンチを使用して次のことができます。

- デマンドを表示、評価、および更新する
- デマンドを作成する
- プロジェクト、拡張、変更、欠陥などのデマンドからアーティファクトを作成する

デマンドマネージャーロールがあれば、デマンドを表示および評価できます。

デマンドワークベンチ



デマンドワークベンチには、次のコンポーネントが含まれています。

- 上部ペインでは、バブルチャートにデマンドが表示されます。
- 下部ペインでは、リストビューにデマンドが表示されます。
- ヘッダーには、デマンドリストを開く [戻る] ボタン ( ) が含まれています。

デマンドワークベンチのバブルチャート

デマンドワークベンチのインタラクティブなバブルチャートは、動的に更新されるグラフで、複数のデマンドレコードの測定基準をプロットします。

デマンドマネージャーは、バブルチャートを使用して、リスク、価値、およびサイズの 3 つのカテゴリにおけるデマンドの相対的な状態を視覚化、比較、および評価できます。X 軸はデマンドのリスクを表し、Y 軸は値を表し、Z 軸はサイズを表します。デマンドは円またはバブルとしてプロットされ、そのサイズは、デマンドのサイズに応じて変化します。3 つの測定値はすべて、0 ～ 10 の値を基準としています。このスケールにより、デマンドマネージャーは、あるデマンドがチャート内の他のデマンドと比較してどのようになっているかを確認できます。

バブルチャートには 4 つの象限が含まれ、各象限はデマンドに対する価値とリスクのトレードオフを表しています。象限は、バブルチャートの端に沿ってラベル付けされ、このような価値とリスクの組み合わせを表します。各象限に表示されるバブルの色は、価値とリスクのトレードオフも表しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [リソース] とラベル付けされた左上の象限には、高価値で低リスクのデマンドが含まれています。緑色のバブルは、この象限のデマンドを表します。
- [検討 **(Consider)**] とラベル付けされた左下および右上の象限には、さらに評価が必要なデマンドが含まれます。左下の象限には、低リスクで低価値のデマンドが含まれ、右上の象限には高価値で高リスクのデマンドが含まれます。オレンジ色のバブルは、この象限のデマンドを表します。
- [再評価] とラベル付けされた右下の象限には、低価値で高リスクのデマンドが含まれます。赤色のバブルは、この象限のデマンドを表します。

各バブルには、デマンドの名前が付いたラベルも含まれています。

デマンドワークベンチのバブルチャートから、次のアクションを実行できます。

- バブルをポイントすると、デマンド名、リスク、価値、サイズなどを含むデマンドのサマリーが表示されます。
- バブルをクリックしてサイジングウィンドウを開き、デマンドのサイズを変更します。
- バブルをクリックしてドラッグし、デマンドのリスクまたは価値を増減させます。
- バブルを右クリックして、デマンドを表示したり、アーティファクトを作成したり、デマンドから作成されたアーティファクトを表示したりすることができます。

> **注:**
> Agile Development 2.0 が有効化されていない場合、拡張または欠陥を作成するオプションは表示されません。

バブルチャート内のデマンドに変更を加えると、デマンドレコードが自動的に更新されます。

デマンドワークベンチのリストビュー

デマンドワークベンチの下部ペインには、バブルチャートに表示されているデマンドのリストが表示されます。

バブルチャートのリストビューには、一度に最大 20 のデマンドが表示されます。リストで次のページや前のページに移動することで、他のデマンドを表示できます。

[デマンド] 列には、デマンドフォームへのリンクを提供するデマンド番号が表示されます。[ステージ] 列には、デマンドのステータスまたは進捗状況が表示されます。詳細については、「ステージフィールド」を参照してください。

インタラクティブなバブルチャートは、リストビューでデマンドを変更するたびに更新されます。デマンドワークベンチから新しいデマンドを作成すると、デマンドが認定済みステータスで作成され、バブルチャートに表示されます。デマンドは、プロジェクト、拡張、変更要求、または欠陥に昇格すると、バブルチャートから削除されます。

リストビューで次のタスクを実行すると、バブルチャートに表示されているデマンドに影響します。

- リストビューでレコードを検索またはフィルタリングすると、その検索基準またはフィルター基準を満たすデマンドのバブルが表示されます。
- リストビューでレコードを追加または削除すると、対応するバブルが追加または削除されます。
- いずれかのページ矢印アイコンをクリックしてリストビューのページを切り替えると、ページに表示されているデマンドのバブルが表示されます。

Demand Management の構成

プロジェクト、拡張、変更、または欠陥に対するデマンドを評価して昇格するには デマンド管理 アプリケーションを構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

構成の概要

デマンド管理 における複数通貨

企業通貨、地域通貨、または複数通貨機能を使用して、プロジェクトの管理に使用する通貨と同じ通貨で、デマンドの財務面を管理および追跡します。通常、この設定の選択は企業ポリシーによって決まります。

グローバルな組織や多国籍組織では、多くの場合、デマンドは 1 か所の地理的な場所で管理および追跡され、地理的に異なる場所で実行されます。拠点ごとに異なる通貨で予算を使う可能性があるため、地理的な違いがあると、このようなデマンドに対する財務面の監視や追跡が困難になります。

デマンド管理 の複数通貨機能を使用すると、地理的な場所や通貨にかかわらず、デマンドをより容易に管理および追跡できます。ある通貨でデマンドの財務面を監視および追跡し、機能通貨、地域通貨、または後からプロジェクト管理に使用する通貨など、別の通貨で予算を使うことができます。ある通貨でデマンドを管理し、将来のプロジェクト管理に別の通貨を指定することもできます。

アクティベーション情報

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化して、デマンド管理の複数通貨機能を有効化します。このプラグインを有効化すると、デマンド、コスト計画、利益計画フォームで、デマンド通貨ビューが有効化されます。デマンド通貨ビューでは、単純なデマンドの財務面、コスト計画、利益計画、および予算をデマンド通貨で管理できます。

注:
このプラグインを有効化すると、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインが自動的に有効化されるので、デフォルトビューとデマンド通貨ビューを切り替えるオプションが表示されます。

通貨設定

複数通貨プラグインを有効化した後に、デマンドの財務を管理するための通貨設定を指定します。機能通貨、地域通貨、または現地通貨を選択できます。詳細については、「デマンド通貨設定の選択」を参照してください。

デマンド通貨ビュー

デマンドフォームのデフォルトビューに加え、デマンド通貨ビューで複数通貨フィールドを表示できます。このビューは、フォームのコンテキストメニューから有効にできます。

機能通貨以外の通貨を、デマンド処理通貨として指定できます。デマンドフォームの [財務] タブには、[デマンド通貨] フィールドがあります。通貨 [fx_currency] テーブルから、有効な通貨を選択できます。

注:

デマンドのコスト計画、コスト計画ブレークダウン、利益計画、または利益計画ブレークダウンを作成すると、そのデマンドの [デマンド通貨] フィールドは読み取り専用になります。

デマンドタスクにおける複数通貨

デマンドタスクを実行している間に発生した経費を、デマンド通貨で追跡します。デマンドタスクのタイムカードが送信されて処理されると、レートモデル、デフォルトの賃金レート、またはシステムプロパティで定義されたレートに基づいて、実績コストが計算されます。この実績コストは、デマンドタスクフォームの [デマンド通貨] および [デマンド通貨での実績コスト] フィールドで表示できます。詳細については、「デマンドタスク」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドベースラインにおける複数通貨

デマンドの財務ベースラインを比較して、経時的なデマンドのパフォーマンスを追跡します。ベースライン比較を使用すると、デマンドライフサイクルのさまざまなステージでデマンドに加えられた財務上の変更を特定してレビューできます。複数通貨機能を使用すると、ベースラインを比較するときにデマンド通貨で財務情報を表示できます。ベースラインビューを設定して、フィールドを追加し、デマンド通貨で詳細を表示することもできます。詳細については、「デマンドの財務ベースラインの比較」を参照してください。

デマンド通貨設定の選択

デマンドの財務を管理およびトラッキングするために使用する通貨設定を、機能通貨、地域通貨、または現地通貨から指定します。

始める前に
PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化します。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > 設定 - プロジェクト.
2. [デマンド通貨設定] リストからデマンドを管理する際の通貨オプションを選択します。
3. [保存] をクリックします。

次のタスク
デマンドフォームおよびその他のデマンド関連フォームで複数通貨ビューを有効にします。詳細については、「デマンド通貨ビューの有効化」を参照してください。

デマンド通貨ビューの有効化

デマンド通貨ビューに切り替えて、選択した通貨で、デマンドの計画コストを追跡します。

始める前に
PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化します。

必要なロール：admin または it_demand_manager

このタスクについて
機能通貨とは異なる通貨でデマンドを管理するために、コスト詳細と [財務] タブが含まれている次のテーブルに、デマンド通貨フィールドが追加されています。

デマンド通貨フィールドのあるテーブル

テーブル名	説明
デマンド [dmn_demand] テーブル	別の通貨でデマンドを追跡します。デマンドを作成し、[財務] タブに移動して [デマンド通貨] フィールドで通貨を選択して、別の通貨を選択します。デマンドを作成するには、「デマンドの作成」を参照してください。
デマンドタスク [dmn_demand_task] テーブル	デマンドタスクは、コスト、作業量、リスク、および利益のアセスメントアクティビティを委任するために使用されます。デマンドタスクを作成するには、「デマンドタスクを作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド通貨フィールドのあるテーブル (続く)

テーブル名	説明
コスト計画 [cost_plan] テーブル	コスト計画は、デマンドのコストをキャプチャします。コスト計画フォームに移動するには、「デマンドコスト計画を作成する」を参照してください。
コスト計画ブレークダウン [cost_plan_breakdown] テーブル	コスト計画ブレークダウンは、会計期間のコスト概算と実績コストを詳細なレベルで指定します。コスト計画ブレークダウンフォームに移動するには、「デマンドコスト計画を作成する」を参照してください。
利益計画 [benefit_plan] テーブル	デマンド通貨ビューでデマンドフォームを開くと、デフォルトで、デマンド通貨に関連するフィールドが [利益計画] 関連リストに表示されます。デマンド利益計画を作成するには、「デマンドの金銭的利益計画の作成」を参照してください。
利益計画ブレークダウン [benefit_plan_breakdown] テーブル	利益計画は、デマンドの実行時にデマンドによって発生する潜在的な利益をキャプチャします。利益計画のブレークダウンを更新するには、「デマンドの金銭的利益計画の作成」を参照してください。
経費ライン [fm_expense_line] テーブル	経費ラインはデマンドコスト計画の一部であり、特定のリソースに関連付けられたコストを格納します。経費ラインフォームに移動するには、「デマンドの経費ラインを作成する」を参照してください。
プロジェクト資金調達 [project_ Fundding] テーブル	単一会計期間の資本経費と運用経費の両方について、デマンドターゲットと予算経費の値を保存します。デマンドに予算を割り当てるには、「デマンドに予算を割り当てる」を参照してください。

手順

1. それぞれのフォームに移動します。
2. フォームのコンテキストメニューを右クリックします。
3. [表示] をクリックします。
4. リストから [デマンド通貨] を選択します。

次のタスク

選択した [デマンド通貨] ビュー専用のフォームフィールドを参照してください。他のすべてのフォームタブとフィールドは、デフォルトビューとデマンド通貨ビューの両方で同じままです。デフォルトのビューの場合と同じように、フィールドに値を入力し続けます。

デマンド関連フォームの複数通貨フィールド

デマンド、コスト計画、コスト計画ブレークダウンフォームで [デマンド通貨] ビューを有効にすると、フォームの [財務] セクションに複数通貨フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォームの [財務] タブ

デマンドフォーム

フィールド	説明
デマンド通貨	デマンドの管理と追跡に使用する通貨。 **注:** デマンド通貨を選択できるかどうかは、[プロジェクト管理] の [設定 - プロジェクト] で選択した通貨オプションで決まります。詳細については、「デマンド通貨設定の選択」を参照してください。 コスト計画、コスト計画ブレークダウン、利益計画、または利益計画ブレークダウンを作成すると、そのデマンドの [デマンド通貨] フィールドは読み取り専用になります。
プロジェクト通貨	このデマンドがプロジェクトに変換されたときに、プロジェクト実装に使用される通貨。 **注:** Project Management のプロジェクトフォームにある [プロジェクト通貨] フィールドは、変換時にデマンドから引き継がれます。
デマンド通貨での資本経費 (Capital expense in demand currency)	デマンドの資本的支出 (投資)。
デマンド通貨での資本予算 (Capital budget in demand currency)	すべての会計年度にわたってデマンドに割り当てられた資本予算の合計。 この値は、デマンドの資本的支出 (投資) 予算からロールアップされます。
デマンド通貨での運用経費 (Operating expense in demand currency)	選択したデマンド通貨でのデマンドの運用支出 (経費)。
デマンド通貨での運経費予算 (Operating budget in demand currency)	選択したデマンド通貨ですべての会計年度にわたってデマンドに割り当てられた運用予算の合計。 この値は、デマンドの経費予算からロールアップされます。
デマンド通貨での計画コストの合計	デマンド通貨でのデマンドのコスト概算。
デマンド通貨での収支	[デマンド通貨での計画コストの合計] および [デマンド通貨での予定利益] フィールドに基づく推定収益。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
デマンド通貨での予定利益	選択したデマンド通貨でデマンドが承認された場合の推定収益。 この値は、デマンドの利益ブレークダウンからロールアップされます。
デマンド通貨での正味現在価値	所定の年利に基づく、デマンド通貨での将来の現金の現在価値。 これは、現在の支出額を将来予想される予定利益と比較するための指標です。投資パフォーマンス全体を評価する際に役立ちます。
デマンド通貨での実績コスト	選択したデマンド通貨での、デマンドおよびデマンドタスクの作業中に発生した合計コスト。

デマンドタスクフォームの複数通貨フィールド

デマンドタスクフォーム

フィールド	説明
デマンド通貨	デマンドフォームの [デマンド通貨] フィールドで指定した通貨。
デマンド通貨での実績コスト	選択したデマンド通貨での、デマンドタスクの作業中に発生した合計コスト。 実績コストは、デマンドタスクの受託者がタイムカードを作成して送信した後に表示されます。タイムカードが承認されると、レートカード、賃金レート、またはシステムのプロパティから導出されたリソースレートを使用して、このフィールドに値が入力されます。

コスト計画フォームの [財務] セクション

コスト計画フォーム

フィールド	説明
デマンド通貨	デマンドフォームの [デマンド通貨] フィールドで指定した通貨。
デマンド通貨でのコスト	すべてのコスト計画ブレークダウンの [入力通貨でのコスト] フィールドからロールアップされた値。

注:
コスト計画の単価、数量、または会計期間を変更すると、金額はデマンド通貨で再計算されます。「デマンド通貨でのコスト計画の更新とコストの再計算」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コスト計画ブレークダウンフォームの複数通貨フィールド

コスト計画ブレークダウンフォーム

フィールド	説明
デマンド通貨	デマンドフォームの [デマンド通貨] フィールドで指定した通貨。
デマンド通貨でのコスト	デマンド通貨での、ブレークダウンの金額。
デマンド通貨の為替レート	コスト計画ブレークダウンに対応する期間で有効なデマンド通貨でのレート。
デマンド通貨の為替レート日付	換算に通貨為替レートが適用される基準日。

[利益計画] フォームの [財務] セクション

利益計画フォーム

フィールド	説明
デマンド通貨	デマンドフォームの [デマンド通貨] フィールドで指定した通貨。
デマンド通貨での利益	デマンド通貨で、デマンドから発生する利益。
デマンド通貨での実績利益	実績利益値は、利益ブレークダウンの実績利益からロールアップされます。

利益計画ブレークダウンフォームの複数通貨フィールド

利益計画ブレークダウンフォーム

フィールド	説明
デマンド通貨	デマンドフォームの [デマンド通貨] フィールドで指定した通貨。
デマンド通貨での利益	デマンド通貨で、デマンドから発生する利益。
デマンド通貨の為替レート	デマンド通貨での利益計画ブレークダウンに対応する期間で有効なレート。
デマンド通貨の為替レート日付	換算に通貨為替レートが適用される基準日。

経費ラインフォームの複数通貨フィールド

経費ラインフォーム

フィールド	説明
デマンド通貨	デマンドフォームの [デマンド通貨] フィールドで指定した通貨。
デマンド通貨での金額	デマンド通貨での経費コスト。[金額] フィールドに入力された金額は、デマンド通貨に変換されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド予算フォームの複数通貨フィールド

デマンド予算フォーム

フィールド	説明
デマンド通貨での投資予算	選択した通貨で資本的支出に割り当てられた計画経費の金額。
デマンド通貨での経費予算	選択した通貨での運用経費の金額。
デマンド通貨での予算合計	選択した通貨での投資および経費の合計額。

デマンド予算をデマンド通貨で割り当てる

資本経費 (投資) および運用経費 (経費) の予算を、会計年度に応じてデマンド通貨または機能通貨で設定します。投資予算および経費予算の合計は、デマンド通貨で合計予算として計算されます。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて

機能通貨の場合と同様の方法で予算を割り当てます。詳細については、「デマンドに予算を割り当てる」を参照してください。

デマンドフォームで [デマンド通貨] ビューを有効にして、デマンド通貨で予算を割り当てます。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 予算の割り当て先のデマンドを選択します。
3. デマンドフォームの [デマンド予算を作成] 関連リンクを選択します。

   [デマンド予算] ダイアログボックスが開きます。
4. [デマンド予算] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デマンド予算フォーム」を参照してください。
5. **[OK]** を選択します。

タスクの結果

選択した年のデマンド予算が、[デマンド予算] 関連リストに表示されます。リスト内の金額を選択して金額を修正します。

デマンド通貨でのコスト計画の更新とコストの再計算

単位コスト、数量、または会計期間を更新すると、コスト計画とそのブレークダウンの関連するすべての金額フィールドが更新されます。また、コスト計画がロールアップされるデマンドの関連フィールドの金額が再計算され、デマンド通貨で反映されます。

コスト計画の [単位コスト]、[数量]、および [繰り返し] チェックボックスの変更

複数通貨ビューを有効にして、コスト計画フォームでこれらのいずれかのフィールドの値を変更すると、次の値が再計算されます。

- コスト計画フォームの [単位コスト] フィールド、[数量] フィールド、または [繰り返し] チェックボックスを変更すると、合計予定コストがデマンド通貨で再計算されます。
- コスト計画ブレークダウンの [デマンド通貨でのコスト] も再計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デマンドの [デマンド通貨での資本経費 **(Capital expense in demand currency)]**、[デマンド通貨での運用経費 **(Operating expense in demand currency)]**、および [デマンド通貨での計画コストの合計] フィールドの値が再計算されます。

コスト計画の会計期間の変更

コスト計画フォームで会計期間の開始日または終了日のいずれかを変更すると、次の値が再計算されます。

- コスト計画の [合計計画コスト] と [デマンド通貨でのコスト] が再計算されます。したがって、コスト計画ブレークダウンレコードを追加または削除することができます。
- [繰り返し] チェックボックスが選択されていない場合、各コスト計画ブレークダウンレコードの [デマンド通貨でのコスト] が再計算されます。
- デマンドの [デマンド通貨での資本経費 **(Capital expense in demand currency)]**、[デマンド通貨での運用経費 **(Operating expense in demand currency)]**、および [デマンド通貨での計画コストの合計] フィールドの値が再計算されます。

コスト計画ブレークダウンの入力通貨でのコストの変更またはブレークダウンの手動追加

個々のコスト計画ブレークダウンレコードの入力通貨でのコストを変更するか、コスト計画ブレークダウンを手動でコスト計画に追加すると、次の値が再計算されます。

- コスト計画の [合計計画コスト] がデマンド通貨で再計算されます。
- デマンドの [デマンド通貨での資本経費 **(Capital expense in demand currency)]**、[デマンド通貨での運用経費 **(Operating expense in demand currency)]**、および [デマンド通貨での計画コストの合計] フィールドの値が再計算されます。

デマンド通貨での利益計画の更新と再計算

入力通貨、入力通貨での利益、オフセットタイプ、または利益計画の会計期間を更新すると、利益計画とそのブレークダウンの関連するすべての金額フィールドも更新されます。また、利益計画がロールアップされるデマンドの関連フィールドの金額が再計算され、デマンド通貨に反映されます。

利益計画の [入力通貨]、[入力通貨での利益]、および [繰り返し] チェックボックスの変更

複数通貨ビューを有効にして、[利益計画] フォームでこれらのいずれかのフィールドの値を変更すると、次の値が再計算されます。

- 利益計画フォームの [入力通貨] フィールド、[入力通貨での利益] フィールド、または [繰り返し] チェックボックスを変更すると、合計計画利益がデマンド通貨で再計算されます。
- 利益計画ブレークダウンの [デマンド通貨での利益] も再計算されます。
- デマンドの [デマンド通貨での予定利益] フィールドの値が再計算されます。

利益計画のオフセットタイプの変更

利益計画のオフセットタイプ (開始日または終了日のいずれか) を変更し、利益計画フォームでそのオフセット期間と該当する継続期間を指定すると、次の値が再計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 利益計画の [合計計画利益] と [デマンド通貨での利益] が再計算されます。そのため、利益計画ブレークダウンレコードが追加または削除される場合があります。
- [繰り返し] チェックボックスがオフの場合、各利益計画ブレークダウンレコードの [デマンド通貨での利益] が再計算されます。
- デマンドの [デマンド通貨での予定利益] フィールドの値が再計算されます。

利益計画の会計期間の変更

利益計画フォームで会計期間の開始日または終了日のいずれかを変更すると、次の値が再計算されます。

- 利益計画の [デマンド通貨での利益] と [合計計画利益 **(Total planned benefit)]** が再計算されます。そのため、利益計画ブレークダウンレコードが追加または削除される場合があります。
- [繰り返し] チェックボックスがオフの場合、各利益計画ブレークダウンレコードの [デマンド通貨での利益] が再計算されます。
- デマンドの [デマンド通貨での予定利益] フィールドの値が再計算されます。

利益計画ブレークダウンの入力通貨での利益の変更

個々の利益計画ブレークダウンレコードに入力通貨での利益を変更すると、次の値が再計算されます。

- 利益計画の [デマンド通貨での利益] が、デマンド通貨で再計算されます。
- デマンドの [デマンド通貨での予定利益] フィールドの値が再計算されます。

デマンド管理 における複数通貨のクイックスタートテスト

アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後でも、デマンド管理 の複数通貨が変わらず正常に動作するかどうかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

危険:
デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないように無効になっています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。「Automated Test Framework テストの実行を有効または無効にする」を参照してください。

デマンド通貨クイックスタートでは、PPM Standard Multicurrency – ATF Tests プラグイン (com.snc.ppm_multicurrency.atf) をアクティブ化する必要があります。

デマンド通貨テストスイートのテスト

テスト	説明	リリースバージョン
コスト計画のデマンド通貨でコストを確認	予算参照レートを使用してコスト計画ブレークダウンの計算を検証し、デマンド通貨でのコスト計画へのロールアップを確認します。	Quebec
デマンド通貨で利益計画の利益を確認	予算参照レートを使用してコスト計画ブレークダウンの計算を検証し、デマンド通貨での利益	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド通貨テストスイートのテスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	計画へのロールアップを確認します。	

関連情報

クイックスタートテスト

既存のデマンドのアップグレード

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化した後に、スケジュール済みジョブを実行して、既存のアクティブなデマンドと非アクティブなデマンドをそれぞれアップグレードします。

始める前に
PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化します。

必要なロール：admin

このタスクについて
これらのジョブスケジュールをオンデマンドで実行し、必要な場合にのみ、既存のアクティブおよび非アクティブなデマンドをデマンド通貨でアップグレードします。

注:
デマンドの数とコスト計画によっては、このジョブがパフォーマンスに影響を与える可能性があるため、必要な場合にのみジョブを実行します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. ジョブスケジュールを実行して、既存のアクティブおよび非アクティブなデマンドをアップグレードします。

Demand Management の設定

Demand Management を設定するには、次のタスクを実行します。

Demand Management を使用する前に、PPS 管理者はいくつかのセットアップタスクを実行します。

Demand Management の計画立案

Demand Management の計画立案が必要なアイテムを一覧に示します。

Demand Management の計画立案

名前	説明
ロール	デマンドマネージャー [it_demand_manager] ロールとデマンドユーザー [it_demand_user] ロールを持つユーザーを決定します。
ポートフォリオ	デマンドをグループ化または分類する方法を決定し、プロジェクトマネージャー [it_project_manager] ロールを持つユーザーに、それらのグループ化に基づくポートフォリオの作成を依頼します。
ステークホルダー	各ポートフォリオに関連するデマンドを評価するための適切な分野の知識を持つ個人を特定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Demand Management の計画立案 (続く)

名前	説明
	次に、該当者をそのポートフォリオのステークホルダーにします。
アセスメント	情報収集プロセスを容易にするために、アセスメントの使用を検討します。 測定基準カテゴリとアセスメント測定基準を定義して、アセスメントを策定し、適切な対象者に配布します。
バブルチャートの定義	ステークホルダー、部門、および組織にとって重要な測定基準を特定します。 これらの測定基準を使用して、デマンドを視覚的に比較するバブルチャートを作成します。 たとえば、どのプロジェクトを実施するか検討する際に、多くの組織は、リスク評価、投資収益率、コストなどの測定基準を比較します。
リソースプラン	組織がデマンドに関連する時間とリソースコストを理解できるように、リソース計画の策定を検討します。デマンドに関連付けられているすべてのリソース計画がプロジェクトに伝播されます。 リソースプランでは、Resource Management アプリケーションが有効化されている必要があります。
拡張と欠陥の要求	必要に応じて拡張要求と欠陥要求をデマンドとして管理する機能が必要かどうかを判断します。 この機能を使用するには、Agile Development アプリケーションが有効化されている必要があります。

自動翻訳

ステークホルダーレジストリーへの入力

ステークホルダーレジストリーにユーザーを追加して、ユーザーがデマンドまたはプロジェクトを作成したときに、デマンドおよびプロジェクト管理が自動的にステークホルダーリストを入力できるようにします。

始める前に

必要なロール：it_pps_admin

手順

1. [プロジェクト管理] > [設定] > [ステークホルダー] に移動します。
   デマンドまたはプロジェクトフォームの [ステークホルダー] 関連リストまでスクロールし、[新規] をクリックしてレコードを作成することもできます。
2. [新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
3. ステークホルダー登録フォームのフィールドに記入します。

   フィールド名の説明については、「ステークホルダー登録フォーム」を参照してください。

   注:
   ステークホルダーレジストリーにユーザーを追加する場合、ユーザーとアサインされたポートフォリオの組み合わせは一意になっている必要があります。ただし、同じユーザーであっても、ポートフォリオが異なる形で、複数のレコードが存在する場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント測定基準カテゴリの表示

Demand Workbench で、バブルチャートを生成する際に、アセスメント測定基準タイプとアセスメント測定基準とともに使用されるアセスメント測定基準カテゴリを表示します。バブルチャートは、デマンドマネージャーが視覚的にデマンドを評価するために役立ちます。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

このタスクについて
デマンド管理 アプリケーションには、[デマンド] というアセスメント測定基準タイプ、5 つのデフォルトのアセスメント測定基準カテゴリ、およびアセスメント測定基準が付属しています。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > 測定基準カテゴリ.
2. 確認するアセスメント測定基準カテゴリを開きます。
   次のデフォルトのアセスメント測定基準カテゴリが デマンド管理 で利用可能です。

デマンドアセスメント測定基準カテゴリ

アセスメント測定基準カテゴリ	データソース	説明
サイズ	[デマンド] フォームの **[T** シャツサイズ] フィールド	デマンドサイズを他のデマンドのサイズと相対的に評価します。
戦略的配置	戦略的配置の測定基準カテゴリのアセスメントカテゴリ結果の [アセスメントカテゴリ結果の表示 (View an assessment category result)] フィールド	デマンドが他のデマンドと比較して組織の戦略目標とどれほど緊密に整合しているかを評価します。
リスク	リスクの測定基準カテゴリのアセスメントカテゴリ結果における [評価] フィールド。	デマンドリスクを他のデマンドと比較して評価します。
ROI	デマンドフォームの [影響度] および [収支] フィールド。	投資に対するデマンドリターンを他のデマンドと比較して評価します。
コスト	デマンドフォームの [人件費]、[資本経費]、および [運用経費] フィールド。	デマンドコストを他のデマンドと比較して評価します。

デマンドの財務測定基準のウィジェットを設定する

デマンド財務ページでデマンドの財務測定基準を表示および追跡するためのウィジェットを設定します。

始める前に
必要なロール：pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > ウィジェット.
2. [新規] をクリックします。
3. [ウィジェット] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「ウィジェットフォーム」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
ウィジェットをデマンドテーブルに関連付けます。

ウィジェットをデマンドテーブルに関連付けます。

ウィジェットを設定したら、それをデマンドテーブルに関連付けて、デマンドの財務データを表示します。

始める前に
ウィジェットをデマンド [dmn_demand] テーブルに関連付ける前に、ウィジェットを設定する必要があります。

必要なロール：pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > ウィジェット.
2. ウィジェットを開いて、デマンドテーブルに関連付けます。
3. [ウィジェットの関連性] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [ウィジェットの関連性] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「ウィジェットの関連性フォーム」を参照してください。

デマンドワークベンチの構成

デマンドワークベンチを更新して、バブルチャートなどのパラメーターを構成します。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

このタスクについて
ベースシステムで提供されるデマンドワークベンチのパラメーターを構成できます。
バブルチャートは、リスク評価、投資利益率、コストなどの一般的な測定基準に基づいてデマンドを比較する際に役立ちます。意思決定者は、どのデマンドを承認または却下するかを検討する際にバブルチャートを使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > ワークベンチの設定 - デマンド.
2. [デマンドワークベンチ] レコードを開きます。
3. 必要な設定を更新し、[更新] をクリックします。

Demand Management の使用

デマンドマネージャーロールを持つユーザーは、Demand Management アプリケーションを使用してデマンドを作成、表示、および変更できます。

デマンドを承認し、承認したデマンドから次のアーティファクトを作成することもできます。

- プロジェクト
- 変更
- 拡張
- 欠陥

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドから作成されるアーティファクトのタイプは、デマンドフォームの [カテゴリ] フィールドと [タイプ] フィールドの選択によって決まります。システム管理者が SDLC-SCRUM プラグインを有効化している場合は、拡張と欠陥を作成できます。

Demand Management のライフサイクル

デマンド管理のライフサイクルは、次のように簡素化できます。

- デマンドの作成：ユーザーがアイデアを送信し、デマンドマネージャーがそのアイデアを承認すると、そのアイデアからデマンドが自動的に作成されます。
- デマンドのリストの表示：デマンドマネージャーは、デマンドワークベンチまたはリストビューからデマンドを表示します。
- デマンドの強化：デマンドマネージャーは、スクリーニングにデマンドを送信して、ステークホルダーにアセスメントを送信できます。
- デマンドの評価：
  - デマンドマネージャーは、デマンドをスクリーニングし、アセスメントを完了するためにステークホルダーにサーベイを送信できます。
  - デマンドマネージャーは、デマンドのステータスを [認定 (qualify)]、[保留]、または [未完了] に設定することができます。
  - デマンドワークベンチを使用してデマンドを分析し、承認することができます。
- アーティファクトの作成：デマンドマネージャーは、プロジェクト、拡張、変更、または欠陥を作成します。

デマンド管理アプリケーションは、次の簡素化されたデマンドステータスを使用します。

デマンドのステータス

ステータス	説明
ドラフト	デマンドマネージャーは、送信されたアイデアを受け入れます。 レコードをレビューまたは編集した後、次のいずれかのボタンをクリックします。 • 更新：デマンドレコードは更新されますが、デマンドは現在のステータスのままです。 • デマンドの送信：デマンドは [送信済み] ステータスに移行します。 • 削除：デマンドレコードが削除されます。
送信済み	受け取ったアイデアのデマンドレコードが作成され、デマンドマネージャーがデマンドを送信します。 レコードをレビューまたは編集した後、次のいずれかのボタンをクリックします。 • 更新：デマンドレコードは更新されますが、デマンドは現在のステータスのままです。 • スクリーニング：デマンドが [スクリーニング] ステータスに移行します。 • 認定 **(Qualify)**：デマンドが [認定済み] ステータスに移行します。 • 保留：デマンドが [保留] ステータスに移行します。 • 未完了：デマンドが [未完了] ステータスに移行します。 • 削除：デマンドレコードが削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドのステータス (続く)

ステータス	説明
スクリーニング	デマンドはデマンドのアセスメントを開始します。 レコードをレビューまたは編集した後、次のいずれかのボタンをクリックします。 • 更新：デマンドレコードは更新されますが、デマンドは現在のステータスのままです。 • 認定 **(Qualify)**：デマンドが [認定済み] ステータスに移行します。 • 保留：デマンドが [保留] ステータスに移行します。 • 削除：デマンドレコードが削除されます。
認定済み	デマンドは認定済みで、レビューの準備が整っています。 レコードをレビューした後、次のいずれかのボタンをクリックします。 • 更新：デマンドレコードは更新されますが、デマンドは現在のステータスのままです。 • 承認：デマンドが [承認済み] ステータスに移行します。 • 保留：デマンドが [保留] ステータスに移行します。 • 削除：デマンドレコードが削除されます。
保留	デマンドは保留されています。デマンドは将来再アクセスしてレビューすることができます。 レコードをレビューした後、次のいずれかのボタンをクリックします。 • 更新：デマンドレコードは更新されますが、デマンドは現在のステータスのままです。 • 承認：デマンドが [承認済み] ステータスに移行します。 • ドラフトにリセット：デマンドがドラフトステータスに戻されます。 • 削除：デマンドレコードが削除されます。
承認済み	デマンドが承認されています レコードをレビューまたは編集した後、次のいずれかのボタンをクリックします。 • 更新：デマンドレコードは更新されますが、デマンドは現在のステータスのままです。 • クローズ：デマンドが [クローズ済み] ステータスに移行します。 • 削除：デマンドレコードが削除されます。
完了	デマンドが [完了] ステータスに移行します。

これらのステータスは、デマンドフォームの上部にあるプロセスフローインジケーターに表示されます。プロセスフローインジケーター：

- デマンドの現在のステータスを強調表示します。
- デマンドが経由したステータスにチェックマークを付けます。
- スキップされたステータスは空白のままになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、デマンドは [承認済み] ステータスです。[ドラフト]、[送信済み]、および [認定済み] ステータスを経由しましたが、[スクリーニング] ステータスはスキップされています。



デマンドの評価

Demand Management アプリケーションには、意思決定者がデマンドを評価する際に役立つ 2 つのデマンド視覚化ツールが付属しています。

デマンドワークベンチは、デマンドを評価および承認し、プロジェクト、拡張、変更、または欠陥を作成するための単一のエンゲージメントの視点を提供します。このページでは、インタラクティブなバブルチャートや現在のデマンドのリストを表示する詳細エリアなど、デマンド情報の複数のビューが組み合わされています。デマンドロードマップは、組織の経時的なデマンドを視覚的に表現したものです。

デマンドワークベンチの使用

バブルチャートは、リスク、価値、サイズの 3 つのカテゴリに基づいて複数のデマンドをプロットするグラフです。各デマンドは、バブルチャート上で、これらのカテゴリの平均スコアに応じたサイズと色の円で表されます。デマンドワークベンチのバブルチャートには、認定済みのすべてのデマンドが表示され、デマンドが作成および評価されると動的に更新されます。このチャートは、デマンドマネージャー、ステークホルダー、意思決定者が視覚的にデマンドを評価して比較するための便利なツールになります。

デマンドワークベンチのリストビューには、バブルチャートに表示されている認定済みのデマンドのリストが表示されます。このリストからデマンドを選択すると、バブルチャートでデマンドが強調表示され、デマンドフォームが表示されます。リストビューは、Live Feed にもデータ連携されているため、ユーザーはデマンドの現在のアクティビティを確認できます。

デマンドワークベンチにアクセスするには、次に移動します。 デマンド > デマンド > ワークベンチ.

ロードマップの使用

ロードマップは、現在アクティブなステータスのすべてのデマンドを表示するインタラクティブな視覚化ツールです。バックログの外観は、[設定] ペインを使用して変更できます。[設定] ペインでは、2 次元 (2D) ビューと 3 次元 (3D) ビューを切り替えたり、ポートフォリオでデマンドをフィルタリングしたり、リストビューでデマンドを開いたりすることができます。リストビューでは、パネルの色を再アサインしたり、フィルターを作成してレーンとパネルに使用するレコードを制限したり、ソートを適用したりすることができます。ロードマップを使用するには、次の場所に移動します。 デマンド > ロードマップ.

デマンドを作成

デマンドを作成して、戦略的および運用上のデマンドをキャプチャします。

始める前に
必要なロール：demand_manager、demand_user

このタスクについて
デマンドマネージャーは、デマンドワークベンチからデマンドを作成することもできます。デマンドワークベンチから作成されたデマンドは、認定済みステータスで作成されます。

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化し、デマンド通貨ビューが有効化されている状態でデマンドを作成すると、[財務] タブのフィールドはデフォル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トビューとは異なるものになります。デマンド通貨ビューでのみ利用可能なフィールドの詳細については、「デマンド管理 における複数通貨」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > デマンド > デマンド > 新規作成.
   別の方法として、どのユーザーも次の場所からデマンドを作成できます。
   - サービスカタログ > 何かお困りですか? > 新規デマンドを作成.
   - セルフサービス > デマンド > 新規作成.
2. デマンドフォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「デマンドフォーム」を参照してください。
3. [保存] をクリックします。

> **注:**
> 要求者または協力者は、デマンドが [ドラフト] ステータスであれば、デマンドを編集できます。

次のタスク

次の関連リンクとリストを使用します。

デマンドフォームの関連リンクとリスト

関連リンク	
資金を割り当て	デマンドが複数年にわたる大規模な投資である場合は、それを承認済みのデマンドとして使用し、そのデマンドから 1 つ以上のプロジェクト、エピック、またはプログラムに直接資金を提供します。 このリンクは、Investment Funding プラグインが有効化されていて、かつ、このデマンドに対応する既存の投資レコード、および Investment_user ロールがある場合にのみ表示されます。
デマンド予算を作成	デマンドに予算を割り当てできます。
ベースラインの作成	デマンドのベースラインを作成できます。ベースラインは、デマンドの現在の財務計画のスナップショットであり、コストおよび利益計画は含まれていますが、実績は含まれていません。
プロジェクト作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが [プロジェクト] に設定されている場合に表示されます。このデマンドのプロジェクトレコードを作成するには、このリンクをクリックします。プロジェクトレコードの番号が [プロジェクト] フィールドに表示されます。
拡張を作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが [拡張] に設定されている場合に表示されます。このデマンドの拡張レコードを作成するには、このリンクをクリックします。拡張レコードの番号が [拡張] フィールドに表示されます。
ストーリーの作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが [ストーリー] に設定されている場合に表示されます。このデマンドのストーリーレコードを作成するには、このリンクをクリックします。Agile Development 2.0 ストーリーフォームに [デマンド] 参照フィールドが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォームの関連リンクとリスト (続く)

エピックの作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが [エピック] に設定されている場合に表示されます。このデマンドのエピックレコードを作成するには、このリンクをクリックします。Agile Development 2.0 エピックフォームに [デマンド] 参照フィールドが作成されます。
SAFe ストーリーの作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが **[SAFe** ストーリー] に設定されている場合に表示されます。このデマンドの SAFe ストーリーレコードを作成するには、このリンクをクリックします。SAFe ストーリーフォームに [デマンド] 参照フィールドが作成されます。 **注:** SAFe ストーリーを作成するには、safe_art_user ロールが必要です。
SAFe 機能の作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが **[SAFe** 機能] に設定されている場合に表示されます。このデマンドの SAFe 機能レコードを作成するには、このリンクをクリックします。SAFe 機能フォームに [デマンド] 参照フィールドが作成されます。 **注:** SAFe 機能を作成するには、safe_art_user ロールが必要です。
SAFe エピックを作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが **[SAFe** エピック] に設定されている場合に表示されます。このデマンドの SAFe エピックレコードを作成するには、このリンクをクリックします。SAFe エピックフォームに [デマンド] 参照フィールドが作成されます。 **注:** SAFe エピックを作成するには、safe_art_user ロールが必要です。
変更要求を作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [運用 **(Operational)]** に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが [変更] に設定されている場合に表示されます。このデマンドの変更レコードを作成するには、このリンクをクリックします。変更レコードの番号が [変更] フィールドに表示されます。
欠陥を作成	このリンクは、[カテゴリ] フィールドが [運用 **(Operational)]** に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが [欠陥] に設定されている場合に表示されます。このデマンドの欠陥レコードを作成するには、このリンクをクリックします。欠陥レコードの番号が [欠陥] フィールドに表示されます。
RIDAC を表示	デマンドのリスク (Risks)、問題 (Issues)、意思決定 (Decisions)、アクション (Actions)、および変更要求 (request Changes) (これらをまとめて RIDAC) のエントリーを表示します。詳細については、「デマンドの RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードエントリー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォームの関連リンクとリスト (続く)

	注: このリンクには、変換された RIDAC エンティティのみが表示されます。たとえば、リスクは、問題、意思決定、アクション、および変更要求に変換されます。
戦略と目標の割り当てを再計算	[戦略] タブと [目標割り当て] タブでコストフィールド値を再計算して更新します。デマンドの戦略と目標の割り当てが変更されたときに、このリンクを使用して、デマンドの総コストと利益を更新します。詳細については、「Strategic Spend Tracking for PPM」を参照してください。 **注:** この関連リンクは、Strategic Spend Tracking for PPM がインストールされている場合にのみ使用できます。この関連リンクを表示するには、戦略的配置ビューに切り替える必要があります。使用しているフォームビューでこの関連リンクが利用できない場合は、管理者に対して、デマンドフォームを構成してこの関連リンクを追加するように依頼してください。
関連リスト	
デマンドタスク	デマンドに対して作成されたタスクを一覧表示します。 新しいデマンドタスクを作成するには、[新規] をクリックします。 既存のデマンドタスクを変更するには、[編集] をクリックします。
ステークホルダー	デマンドのステークホルダーを一覧表示します。 新しいステークホルダーを作成するには、[新規] をクリックします。 既存のステークホルダーをデマンドに追加するには、[編集] をクリックします。 **注:** デマンドに関連付けられたポートフォリオにステークホルダーが存在する場合は、ポートフォリオのステークホルダーがデマンドに自動的に追加されます。
要件	デマンドの要件を一覧表示します。 新しい要件を作成するには、[新規] をクリックします。
リスク	デマンドのリスクを一覧表示します。 新しいリスクを作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「デマンドにリスクを追加する」を参照してください。 デマンドリスクが親プログラムとポートフォリオに追加されます。
問題	デマンドに含まれている問題を一覧表示します。 新しい問題を作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「デマンドに問題を追加する」を参照してください。
決定	デマンドの意思決定を一覧表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォームの関連リンクとリスト (続く)

	新しい意思決定を作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「デマンドに意思決定を追加する」を参照してください。
アクション	デマンドに対して識別されたアクションアイテムを一覧表示します。 新しいアクションを作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「デマンドにアクションを追加する」を参照してください。
変更を要求	現在のデマンドのリソース、スコープ、コスト、およびスケジュールに関連する変更を一覧表示します。 新しいデマンド変更要求を作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「変更要求をデマンドに追加する」を参照してください。
リソースプラン	デマンドのリソース計画を一覧表示します。 リソース計画を作成するには [新規] を、既存のリソース計画を管理するには [管理] クリックします。
コスト計画	デマンドのコスト計画を一覧表示します。 新しいコスト計画を作成するには [新規] を、既存の計画を変更するには [管理] をクリックします。 デマンドコスト計画が親プログラムとポートフォリオに追加されます。 デマンドコスト計画の会計期間のコスト概算と実績コストを詳細なレベルで指定するコスト計画ブレークダウンは、プロジェクト通貨で再計算されます。同様に、デマンド利益計画の計画利益と実績利益の推定ブレークダウン金額がプロジェクト通貨で再計算されます。その後、プロジェクト通貨金額は、コスト計画、利益計画、およびプロジェクトレコードにロールアップされます。
利益計画	デマンドの利益計画を一覧表示します。 新しい利益計画を作成するには [新規] を、既存の計画を変更するには [管理] をクリックします。
デマンド予算	デマンド予算を会計年度別に一覧表示します。リスト内の金額をクリックして金額を修正します。
ストーリー	デマンドのストーリーを一覧表示します。 新しいストーリーを作成するには、[新規] をクリックします。 既存のストーリーを追加または変更するには、[編集] をクリックします。 **注:** この関連リストは、 Agile Development 2.0 プラグインがインストール済みである。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォームの関連リンクとリスト (続く)

インスタンスのアセスメント	このデマンドのアセスメントインスタンス。詳細については、「アセスメントインスタンスの表示」を参照してください。
アセスメント結果	ステークホルダーがこのデマンドに対して送信したアセスメントの結果。
経費ライン	経費ラインはデマンドコスト計画の一部であり、特定のリソースに関連付けられたコストを格納します。経費ラインを作成するには、「デマンドの経費ラインを作成する」を参照してください。
戦略割り当て	デマンドに関連する戦略の達成に向けて割り当てられた、デマンドの総コストと利益の割合を一覧表示します。詳細については、「デマンドに対する戦略および目標の割合の割り当てまたは変更」を参照してください。 注: この関連リストは、Strategic Spend Tracking for PPM がインストールされている場合にのみ表示されます。このアプリケーションは ServiceNow Store で利用できます。この関連リストを表示するには、[戦略的配置] ビューに切り替える必要があります。使用しているフォームビューでこの関連リストが利用できない場合は、管理者に、デマンドフォームを構成して関連リストを追加するように依頼してください。詳細については、「Strategic Spend Tracking for PPM のインストール」を参照してください。
目標割り当て	デマンドに関連する戦略の達成に向けて割り当てられた、デマンドの総コストと利益の割合を一覧表示します。詳細については、「デマンドに対する戦略および目標の割合の割り当てまたは変更」を参照してください。 注: この関連リストは、Strategic Spend Tracking for PPM がインストールされている場合にのみ表示されます。このアプリケーションは ServiceNow Store で利用できます。この関連リストを表示するには、[戦略的配置] ビューに切り替える必要があります。使用しているフォームビューでこの関連リストが利用できない場合は、管理者に、デマンドフォームを構成して関連リストを追加するように依頼してください。詳細については、「Strategic Spend Tracking for PPM のインストール」を参照してください。

新しい認定済みデマンドを作成

デマンドマネージャーは、デマンドワークベンチのリストビューから新しい認定済みデマンドを作成することもできます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
デマンドを保存すると、それが [デマンド] リストに追加され、バブルチャートにデマンドを表すバブルが追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [デマンド] > [デマンド] > [ワークベンチ] に移動します。
2. リストビューの上部にある [新規] をクリックします。
3. デマンドフォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「デマンドを作成」を参照してください。

デマンドタスクを作成

デマンドのタスクを作成し、コスト、作業量、リスク、利益アセスメントといったアクティビティを委任します。リソースまたはグループをデマンドタスクにアサインして、指定されたアクティビティの実行に費やされた実際の時間と作業量を追跡します。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
プロジェクト、変更、欠陥、拡張などのターゲット作業エンティティではなく、デマンドの作業を計画するためのデマンドタスクを作成します。詳細については、「デマンドタスク」を参照してください。

- 予定日、実際の日付、および元の日付は、デマンドタスクではなくプロジェクトタスクの一部です。
- 期日は、タスク完了のターゲット日付を示すもので、デマンドワークフローには影響しません。ただし、プロジェクトタスクでは、予定日および実際の日付が変更された場合、プロジェクトの完了日に影響します。
- ネストされたデマンドタスクの作成はサポートされていません。
- [すぐに開始] や [特定の日に開始] の設定などのタスク制約はサポートされていません。
- アジャイル、ウォーターフォール、ハイブリッドなどの実行タイプはサポートされていません。
- [アサイン先] フィールド、[他の受託者] リスト、および [アサイン先グループ] フィールドを使用して、デマンドタスクにリソースをアサインします。

  注:
  リソース計画をデマンドタスクに関連付けると、関連付けられたリソース計画はそのデマンドから作成された作業エンティティに転送されません。そのため、リソースまたはグループをデマンドタスクに割り当てる目的では、リソース計画を作成して使用しないでください。

デマンドタスクにアサインされたリソースは、タイムカードを使用してタスクに費やした時間を送信できます。

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化し、デマンド通貨ビューが有効化されている状態でデマンドタスクを作成すると、デフォルトビューに加えて、追加のフィールドが使用可能になります。デマンド通貨ビューでのみ利用可能なフィールドの詳細については、「デマンド管理 における複数通貨」および「デマンド関連フォームの複数通貨フィールド」を参照してください。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. タスクの追加先のデマンドを選択します。
3. [デマンドタスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. デマンドタスクフォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド名の説明については、「デマンドタスクフォーム」を参照してください。

5. [保存] をクリックします。

次のタスク

ロールに応じて、コスト計画、リソース計画、利益計画、およびリスクをデマンドに追加します。これらのタスクにアクセスするには、次の関連リンクを使用します。

デマンドタスクフォームの関連リンク

関連リンク	
デマンドにコスト計画を追加	デマンドのコストをキャプチャするためにコスト計画を追加します。コスト計画を作成して、会計期間の原価費目の単位コストを指定します。このリンクは、[カテゴリ] 値が [推定コスト] に設定されていて、かつユーザーが it_project_manager または it_demand_manager ロールを持っている場合に表示されます。リンクをクリックしてコスト計画フォームを開き、詳細を入力します。詳細については、「コスト計画の作成」を参照してください。
デマンドにリソースプランを追加	リソース計画を作成して、リソースの利用可能性を検索し、リソース計画をデマンドに追加します。このリンクは、[カテゴリ] 値が [予定作業量] に設定されていて、かつユーザーが it_resource_user ロールを持っている場合に表示されます。リンクをクリックして、リソースプランページに移動し、リソースを要求します。詳細については、「デマンドのリソース計画の作成および管理」を参照してください。
デマンドに利益計画を追加	デマンドの実行時にデマンドによって発生する潜在的な利益をキャプチャするために、利益計画を作成します。このリンクは、[カテゴリ] 値が [利益概算(Benefit estimate)] に設定されていて、かつユーザーが it_project_manager または it_demand_manager ロールを持っている場合に表示されます。リンクをクリックして、[利益計画] フォームを開き、詳細を入力します。詳細については、「デマンドの金銭的利益計画の作成」を参照してください。
デマンドにリスクを追加	デマンドの実行の成功または結果に影響を与える可能性があるリスクを追加します。このリンクは、[カテゴリ] 値が [リスク推定 (Risk estimate)] に設定されていて、かつユーザーが it_project_manager または it_demand_manager ロールを持っている場合に表示されます。リンクをクリックして、リスクフォームを開き、詳細を入力します。詳細については、「リスクの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドタスクのタイムカードの送信

デマンドタスクにアサインされたリソースは、デマンドタスクに費やされた時間を記録するタイムカードまたはタイムシートを作成して送信します。報告された時間は、デマンドタスクの実績コストと作業量の計算に使用されます。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
リソースは、デマンドタスクで実行された作業を記録および追跡するために、タイムカードまたはタイムシートを送信します。その後、適切な承認者が、送信されたタイムカードまたはタイムシートを承認する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムシートポータル.
2. タイムカードを作成します。
3. デマンドタスクの作業に費やした各日の時間を入力します。
4. [送信] をクリックします。

デマンドからアーティファクトを作成する

デマンドから作業アイテムなどのアーティファクトを作成し、これらのアーティファクトに対し、選択した方法で作業を開始できるようにします。

始める前に

- デマンドを作成します。
- デマンドを拡張または欠陥に変換するには、Project Portfolio Suite プラグインを有効化します。
- デマンドを Agile Development エンティティ (ストーリーまたはエピック) に変換するには、Agile Development 2.0 プラグインを有効化します。
- デマンドを SAFe エンティティ (ストーリー、機能、またはエピック) に変換するには、Essential SAFe または Portfolio SAFe プラグインを有効化します。

必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
デマンドを作成するときは、そのデマンドのカテゴリとタイプを指定します。[カテゴリ] フィールドと [タイプ] フィールドでの選択で、デマンドから作成できるアーティファクトが決まります。使用可能なアーティファクトタイプは、プロジェクト、拡張、変更、欠陥、またはスクラムと、SAFe エンティティ (エピック、ストーリー、機能など) です。

手順

1. 以下のいずれかのオプションを使用して、デマンドに移動します。
   - デマンド > デマンド > すべて
   - Investment Funding プラグインを有効にした場合は、次の場所に移動します。 デマンド (投資要求) > デマンド (投資要求) > すべて
2. アーティファクトに変換するデマンドを開きます。
3. [カテゴリ] リストからカテゴリを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [タイプ] リストから、アーティファクトタイプを選択します。
   [タイプ] リストのオプションは、選択したカテゴリに応じて変わります。
5. [更新] をクリックします。
6. 関連リンクをクリックしてアーティファクトを作成します。
   [カテゴリ] リストと [タイプ] リストから選択した値に応じて、次のいずれかの関連リンクが表示されます。

デマンドの金銭的利益計画の作成

デマンド利益計画は、デマンドの実行時にデマンドによって発生する潜在的な利益をキャプチャします。金銭的利益計画を作成して、会計期間のカテゴリの推定利益を指定します。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて

利益計画を保存すると、金銭的利益計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。金銭的利益計画ブレークダウンレコードは、特定の会計期間 (FY16 の 4 月および FY16 の 5 月など) の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定します。[金銭的利益計画ブレークダウン] 関連リストには、デマンドの各会計期間における推定利益と実績利益の集計利益が表示されます。

注:
デマンドをプロジェクトに変換すると、利益計画がデマンドからターゲットプロジェクトに転送されます。

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化し、デマンド通貨ビューが有効化されている状態でデマンドの利益計画を作成している場合、[財務] セクションのフィールドはデフォルトビューとは異なります。デマンド通貨ビューでのみ利用可能なフィールドの詳細については、「デマンド関連フォームの複数通貨フィールド」を参照してください。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドフォームを開きます。
3. [金銭的な利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 金銭的な利益計画を作成するには、[新規] をクリックします。

   注:
   [財務概要] ページから金銭的利益計画を作成するには、[管理] をクリックします。

5. [利益計画] フォームのフィールドに入力します。

   フィールド名の説明については、「[利益計画] フォーム」を参照してください。

   注:
   デマンドの日付を移動すると、利益計画がデマンドの開始日、または終了日に関連付けられているかどうかに応じて、関連する利益計画も変更されます。プロジェクトプロパティの [デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更に基づきリソースプラン、コスト計画、および利益計画の開始日を変更します] が、デマンドの日付変更の動作を制御します。

6. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
[利益計画] フォームの [金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。

デマンドの金銭的利益計画ブレークダウンの更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭的利益計画ブレークダウンレコードを更新します。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドを開きます。
3. [金銭的な利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 必要な金銭的利益計画を開きます。
5. [金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、金銭的利益計画ブレークダウンの情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
6. [レコードを開く] をクリックします。
7. 金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdown) フォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
   フィールド名の説明については、「[金銭的利益ブレークダウン (Monetary Benefit Breakdown)] フォーム」を参照してください。
8. [更新] をクリックします。

デマンドの金銭以外の利益計画の作成

金銭以外の利益計画を作成して、会計期間のカテゴリの推定利益を指定します。デマンド利益計画は、デマンドの実行時にデマンドによって発生する潜在的な金銭以外の利益をキャプチャします。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
[ブレークダウンタイプ] フィールドで [自動] または [手動] を選択して利益計画を保存すると、金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードは、特定の会計期間 (FY16 の 4 月および FY16 の 5 月など) の財務以外の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定します。[金銭以外の利益計画ブレークダウン] 関連リストには、デマンドの各会計期間における財務以外の推定利益と実績利益の集計利益が表示されます。

注:
デマンドをプロジェクトに変換すると、利益計画がデマンドからターゲットプロジェクトに転送されます。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドフォームを開きます。
3. [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 金銭以外の利益計画を作成するには、[新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド名の説明については、「[金銭以外の利益計画] フォーム」を参照してください。

> **注:**
> デマンドの日付を移動すると、利益計画がデマンドの開始日、または終了日に関連付けられているかどうかに応じて、関連する利益計画も変更されます。プロジェクトプロパティの [デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更に基づきリソースプラン、コスト計画、および利益計画の開始日を変更します] が、デマンドの日付変更の動作を制御します。

6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 利益計画フォームの [金銭以外の利益計画ブレークダウン] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。
- 金銭的利益計画と金銭以外の利益計画を関連付けて、ハイブリッド利益計画のデマンドによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

デマンドの金銭以外の利益計画ブレークダウンの更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードを更新します。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドを開きます。
3. [金銭以外の利益計画] 関連リストを選択します。
4. 必要な金銭以外の利益計画を開きます。
5. [金銭以外の利益計画明細] 関連リストで、金銭以外の利益計画明細の情報アイコン (ⓘ) を選択します。
6. [レコードを開く] を選択します。
7. 金銭以外の利益計画ブレークダウンフォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
   フィールドの詳細な説明については、「[金銭以外の利益計画明細] フォーム」を参照してください。
8. [更新] を選択します。

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画の関連付け

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画を関連付けて、デマンドによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
金銭的利益計画を金銭以外の利益計画に関連付けることも、その逆も可能です。

> **注:**
> 利益計画を削除すると、関連する利益計画 (存在する場合) との関係も削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドフォームを開きます。
3. [金銭的な利益計画] または [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 関連付ける利益計画の情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
5. [レコードを開く] をクリックします。
6. 金銭的利益計画または金銭以外の利益計画を関連付けます。
7. [保存] をクリックします。

タスクの結果
選択した利益計画は別の計画に関連付けられます。

次のタスク
[関連する利益計画を表示] 関連リンクをクリックして、関連付けられている利益計画を表示します。

デマンドコスト計画を作成する

デマンドコスト計画は、デマンドのコストをキャプチャします。コスト計画を作成して、会計期間の原価費目の単位コストを指定します。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
コスト計画を保存すると、アプリケーションによってコスト計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。コスト計画ブレークダウンは、特定の会計期間 (FY16 の 4 月および FY16 の 5 月など) の推定コストと実績コストおよび予算を詳細なレベルで指定します。

注:
コスト計画は、デマンドに関連付けられているリソース計画に対して自動的に作成されます。

複数の通貨を使用する場合は、別の通貨の新しいコスト計画を作成します。

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化し、デマンド通貨ビューが有効化されている状態でデマンドの利益計画を作成している場合、[財務] セクションのフィールドはデフォルトビューとは異なります。デマンド通貨ビューでのみ利用可能なフィールドの詳細については、「デマンド関連フォームの複数通貨フィールド」を参照してください。

手順

1. 必要なデマンドフォームを開きます。
2. 関連リンクで、[コスト計画] をクリックします。
3. [財務概要] ページをグリッドで表示するには、[管理] をクリックします。
4. コスト計画を作成するには、[新規] をクリックします。
5. [コスト計画] フォームのフィールドに入力します。

   フィールド名の説明については、「[コスト計画] フォーム」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> デマンドの開始予定日を変更すると、関連するコスト計画とリソース計画も変更されます。プロジェクトプロパティの [デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更でリソースプランとコスト計画の開始日を変更 **(Change Resource Plan and Cost Plan Start Date with Demand or Project Start Date Change)]** が、デマンドの開始日変更の動作を制御します。

6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- デマンドフォームの [コストブレークダウン] 関連リストで、会計期間別のブレークダウンを表示します。
- [予測] フィールドの値を再計算するには、[予測金額を計算] 関連リンクを使用します。

コストおよび金銭的利益計画の財務概要を表示する

デマンドのコストと利益のコンポーネントのブレークダウンを表示して、デマンドの財務を追跡します。財務概要を使用すると、デマンドの進捗状況を評価し、財務的な変化と一定期間にわたるデマンドへの影響を追跡できます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
[財務概要] タブを使用して、デマンドのコストコンポーネントの詳細なブレークダウンを表示します。合計計画コスト、予算コスト、実績コスト、および予定リターンとそれらのブレークダウンは、読み取り専用カードの形式で表示されます。コスト計画、利益計画、およびそれらのブレークダウンは、編集可能なグリッドビューで提供されます。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.

2. デマンドを開きます。

3. デマンドフォームで、[コスト計画] または [利益計画] 関連リストを選択します。

4. [管理] を選択します。

5. オプション: フィールドの追加、計画詳細の表示、財務データの再編成が可能です。

デマンドの経費ラインを作成する

デマンド経費ラインは、ユーザー、固定資産、CI などの特定のソースに関連付けられたコストです。経費ラインはデマンドコスト計画の一部です。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager
必要なアプリケーション：プロジェクトポートフォリオ管理 with Financials

このタスクについて
デマンドに対しては、処理済みの経費ラインのみが考慮されます。プロジェクトまたはデマンドに対して複数の経費ラインを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. デマンドフォームを開きます。
2. [経費ライン] 関連リストで、[新規] をクリックします。
3. [経費明細] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「経費ラインフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果

経費ラインが処理されると、発生した実際の金額がコスト計画の一部になります。
実際に支出された金額は、適切な経費タイプ ([投資] または [経費]) の下でデマンドコスト計画に対して記録されます。経費ラインの作成時にコスト計画参照を指定しない場合、実績コストはデマンドレベルでコスト計画関連リストに記録されます。

デマンドのリソース計画の作成および管理

リソース要求者は、リソースの可用性を確認し、デマンドのリソース計画を作成および管理します。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて

[リソース計画] ページでは、選択したデマンドのリソース計画が編集可能なグリッドビューに表示されます。このページは、次のセクションで構成されています。

リソースグリッド

ページ上部のセクションで、次のことができます。

- デマンドのリソース計画を作成します。グループ、ロール、またはユーザーレベルでリソース計画を作成できます。
- デマンドのすべてのリソース計画を一元的な場所で表示および管理します。
- 各リソース計画のリソース割り当てをグリッドビューで表示します。

ページのグリッドビューを使用して、次のことを実行できます。

- フォームでレコードを開くことなく、計画時間と割り当て済み時間をインラインで編集します。
- 要件に応じて特定の列を展開または非表示にします。

リソースファインダー

このセクションはページの下部にあります。セクションはデフォルトでは非表示で、ページの右上にあるリソースファインダーアイコン () をクリックして表示できます。これにより、次のことが可能になります。

- リソースおよびリソースの可用性を検索します。グループ、ロール、またはユーザーでリソースを検索できます。
- 検索されたリソースのリソース計画をデマンドに追加します。

リソースグリッドセクションでリソース計画を選択すると、そのリソースの可用性の詳細が、リソースファインダーセクションに表示されます。たとえば、グループリソース計画を選択した場合、グループとそのメンバーの可用性の詳細が [ファインダー] セクションに表示されます。選択を変更すると、現在の選択に基づいてファインダーが自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドフォームを開きます。
3. [リソースプラン] 関連リストで、[管理] をクリックします。
   - リソース計画を作成するには、[新規] をクリックします。
   - 割り当てを週次または月次の形式でグリッドに表示するには、[週] または [月] ボタンをクリックします。

     グリッド内の期間は、デマンドまたはリソース計画の最も早い開始日と、デマンドまたはリソース計画の最後の終了日に基づいて表示されます。
   - 割り当てを時間、FTE、または人日形式でグリッドに表示するには、リストの [時間]、**[FTE]**、または [人日] オプションをクリックします。選択したオプションにより、リソースグリッドセクションとリソースファインダーセクションの両方のグリッドビューが変更されます。
   - リソースを検索してそれらのリソース計画を作成するには、リソースファインダーアイコン () をクリックします。
   - グリッドビューの特定の列を表示または非表示にするには、構成アイコン () をクリックします。アイテム列の非表示と表示を切り替えても、テーブルは更新されません。グループ化された列は非表示にできません。
   - リソース割り当てをユーザーレベルで表示するには、グリッドでリソース計画を展開します。ユーザーレベルの割り当ては、グループおよびロールのリソース計画についてのみリストされます。
   - 計画済みの時間と割り当て済みの時間をグリッドでインライン編集するには、行をダブルクリックします。[要求済み]、[確認済み]、および [割り当て済み] ステータスのリソース計画について、将来の期間の計画済み時間を更新できます。
   - フォームでリソース計画の詳細を表示および更新するには、リソース計画の行の先頭にある情報アイコン () をクリックします。
   - [アクション] 列でリソース計画を要求するには、アクションアイコン ( ) をクリックし、[要求] を選択します。
   - [アクション] 列でリソース計画を削除するには、アクションアイコン ( ) をクリックし、[削除] を選択します。
   - [アクション] 列で、デマンドに作成されたすべてのリソース計画を要求するには、デマンド行でアクションアイコン ( ) をクリックし、[すべてを要求] を選択します。このアイコンは、リストされたデマンドのリソース計画の少なくとも 1 つが [計画] または [却下] ステータスである場合に有効になります。

デマンドのリソース計画のコストを再計算する

計画のコストを最新の状態で維持するために、関連付けられたレートモデルで時間単価が変更されるたびに、デマンド内のすべてのアクティブなリソース計画のコストを再計算します。

始める前に

次のセットアップを確認してください。

- デマンドはアクティブである必要があります。
- デマンドには、アクティブなレートモデルがアサインされている必要があります。
- リソース計画が [計画]、[要求済み]、[確認済み]、または [割り当て済み] ステータスである必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：demand_manager

このタスクについて

このオプションは、デマンドのすべてのリソース計画のコストを一度に再計算します。[リソース計画] 関連リストからリソース計画を開いて、個々のリソース計画のリソースコストを再計算することもできます。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. デマンドを開きます。
3. デマンドフォームでヘッダーバーを右クリックし、[リソースコストを再計算] オプションを選択します。
4. [リソースコストを再計算] フォームの各フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[リソースコストを再計算] フォーム」を参照してください。
5. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果

- デマンド内の適用可能なすべてのリソース計画について、選択されたリソースコストを最新の時間単価に基づいて再計算します。時間単価は、デマンドに関連付けられたレートモデルから導出されます。
- リソース計画フォームおよび [リソース計画] 関連リストのそれぞれのコストフィールドで再計算されたリソースコストを更新します。
- 変更された値をデマンドのそれぞれのコストフィールドに反映します。

人件費の生成

人件費を生成し、リソース計画とそれに関連するコスト計画を使用して、リソースの経費を表示します。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [デマンドおよびプロジェクトの人件費の生成] スケジュール済みジョブを開きます。
3. [アクティブ] を選択し、[スクリプトの実行を予定] フォームでフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「スクリプトの実行を予定フォーム」を参照してください。
4. [更新] を選択します。

> **ヒント:**
> または、管理者は、スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して定義し、必要な頻度で人件費を生成することもできます。スケジュール設定済みジョブをアクティブにする方法の詳細については、次を参照してくださいスケジュール設定済みジョブをアクティブ化して人件費を生成する。

デマンドに予算を割り当てる

会計年度に応じて、デマンドの予算を設定します。

始める前に

必要なロール：portfolio_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. デマンドフォームを開きます。
2. 関連リンクで、[デマンド予算] をクリックします。
   [デマンド予算] ダイアログボックスが開きます。
3. デマンドの予算を設定する会計年度を選択します。
4. [投資予算] および [経費予算] の金額を入力します。
   [予算合計] は、投資と経費の合計金額で更新されます。
5. **[OK]** をクリックします。

注:

- デマンドにコスト計画、開始日、期日がない場合、デマンド予算は今月からデマンド予算会計年度の終わりまで配分されます。
- デマンドにコスト計画と期日がなく、開始日はある場合、デマンド予算は次のいずれかで配分されます。
  - 開始日 (開始日が所定の予算会計年度に該当する場合) からデマンド予算会計年度の終わりまで。
  - デマンド予算会計年度の開始からデマンド予算会計年度の終わりまで。
- デマンドにコスト計画と開始日がなく、期日はある場合、デマンド予算は次のいずれかで配分されます。
  - 期日までの当月 (期日が所定の予算会計年度に該当する場合)。
  - デマンド予算会計年度の終わりまでの当月。

デマンドにコスト計画が関連付けられている場合、デマンド予算は、コスト計画の会計期間に従って配分されます。

タスクの結果
選択した年のデマンド予算が、[デマンド予算] 関連リストに表示されます。リストで金額をクリックすると修正できます。

デマンドのベースラインを作成する

財務ベースラインを作成します。財務ベースラインは、特定の時点における利益および財務測定基準情報 (コスト計画、利益計画、およびデマンドレベルの財務測定基準のスナップショット) をキャプチャします。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager
財務ベースラインは必要な数だけ作成できます。また、前回のベースライン以降にデマンドに加えられた財務の変更をレビューすることができます。財務ベースラインは、デマンドの実績コストコンポーネントをキャプチャしません。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドを選択します。
3. デマンドの財務ベースラインを作成するには、次のいずれかのオプションを使用します。

デマンドの財務ベースラインの比較

ベースラインを比較して、デマンドの財務データの差異をレビューし、何が変更されたかを確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
デマンドのライフサイクルのさまざまなステージで複数のベースラインを作成できます。たとえば、各フェーズの終わりや、各暦月または四半期の後に作成できます。各ベースラインは、特定の時点でのデマンドの財務データをキャプチャし、デマンドに加えられた変更を特定およびレビューするための基礎を提供します。複数のベースラインを用意して比較すると、デマンドのパフォーマンス追跡に役立ちます。

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効化されていて、かつデマンド通貨ビューが有効化されている状態でデマンドを作成している場合は、ベースラインのデマンドの財務詳細をデマンド通貨で表示して比較できます。デマンド通貨ビューでのみ利用可能なフィールドの詳細については、「デマンド管理 における複数通貨」を参照してください。

手順

1. デマンドの財務ベースラインを比較するには、次のいずれかのオプションを使用します。

2. 財務ベースラインフォームで、比較するベースラインを 2 つの選択リストから選択します。
   デフォルトでは、現在のベースラインと最新のベースラインが選択されます。
3. [比較] をクリックします。
   ベースラインの比較データは、次の 2 つのセクションに表示されます。
   - [財務ベースラインの概要 **(Financial Baseline Summary)]** セクションには 3 つのウィジェットが表示されます。最初の 2 つのウィジェットには 2 つのベースラインの財務データが含まれ、3 つ目のウィジェットにはその差異が含まれます。
   - [財務ベースラインの詳細] セクションには、2 つの異なるグリッドに 2 つのベースラインのコスト計画と利益計画が表示されます。各計画タイプには、各基本データに対応する 2 つの行があります。

     注:
     各ベースラインを表す行のカラーコードを表示するには、ベースライン凡例アイコン () をクリックします。

4. オプション: フォームの [財務ベースラインの概要 **(Financial Baseline Summary)]** セクションでフィールドを追加するか、比較データを再編成します。
   - [財務ベースラインの概要 **(Financial Baseline Summary)]** セクションの表示を切り替えるには、折りたたみアイコン () または展開アイコン ( ) をクリックします。
   - [財務ベースラインの概要 **(Financial Baseline Summary)]** セクションのウィジェットで他のフィールドを表示または非表示にするには、構成アイコン () をクリックして、フィールド名を選択します。

     注:
     PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効化されている場合は、[デマンド通貨での計画コストの合計]、[デマンド通貨での経費予算]、[デマンド通貨での収支] などのフィールドをベースラインに追加できます。

     (Optional) 選択したフィールドの設定が保存され、財務ベースラインフォームを再度開くと利用できるようになります。

   - デフォルトのウィジェットレイアウトにリセットするには、[デフォルト値にリセット] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ベースラインの財務情報をデマンド通貨で表示するには、[デマンド通貨でウィジェットを表示] ボタンを切り替えます。

  注:
  このボタンは、PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効化されている場合にのみ利用可能です。

5. オプション: フォームの [財務ベースラインの詳細] セクションで、コスト計画および利益計画の財務データ詳細を表示します。
   - コスト計画または利益計画の比較データを年次、四半期ごと、または月次の形式で表示するには、それぞれ [年]、[四半期] または [月] ビューをクリックします。
   - 会計年度の詳細を表示するには、[展開] アイコン ( ) または [折りたたみ] アイコン ( ) をクリックします。

デマンドを表示

既存のデマンドはいつでも表示できます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
デマンドマネージャーがデマンドからプロジェクトを作成すると、[プロジェクト] フィールドにプロジェクト名が表示されます。[リスク]、[値]、および [サイズ] フィールドには、デマンドのアセスメント測定基準が表示されます。この情報は [デマンド] リストに表示されます。

注:
[デマンド] リストの [ステージ] 列は、検索もソートもできません。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用してデマンドを表示します。
   a. デマンド > ワークベンチ バブルチャートとデマンドワークベンチのリストビューには、認定済みのすべてのデマンドが表示されます。
   b. デマンド > デマンド > すべて[デマンド] リストを表示します。
   c. デマンドユーザーは、次の場所に移動してデマンドを表示できます。 デマンド > デマンド > すべて.
2. [デマンド] リストの [番号] フィールドをクリックして、デマンドフォームを表示します。
3. [ステージ] フィールドを使用して、デマンドのステータスを表示します。

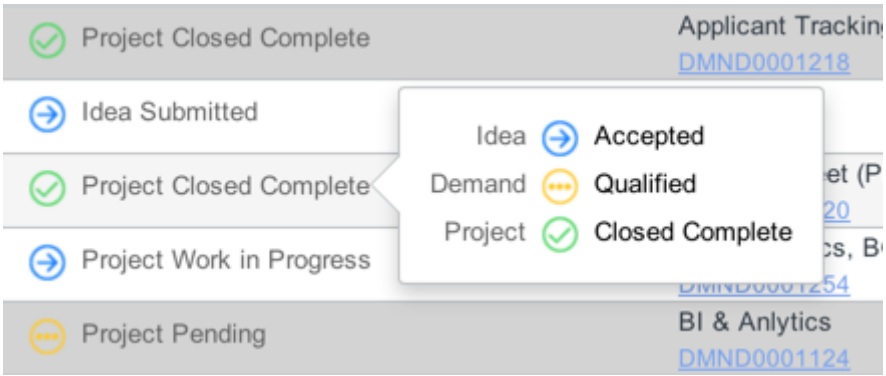
   このフィールドは、デマンドが、アイデアからデマンド、最終的なプロジェクト、拡張、変更、または欠陥に至るまでのライフサイクルを経るごとに更新されます。ユーザーはこのフィールドを使用して、一目で、デマンドの進捗状況を追跡できます。
4. [デマンド] リストの [ステージ] フィールドをポイントして、アイデアの進捗と、その進捗に含まれる各ステップの [ステータス] フィールドの値を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アイデア：アイデアが評価されている場合は、ポップアップウィンドウにアイデアの現在のステータスが表示されます。
- デマンド：アイデアがデマンドに昇格された場合、ポップアップウィンドウにデマンドの現在のステータスとアイデアが表示されます。
- プロジェクト、拡張、変更、または 欠陥：デマンドが承認された場合、ポップアップウィンドウには、デマンドとアイデアに加え、最終的なアーティファクトの現在のステータスが表示されます。

[アイデアステージの概要 **(Idea Stage Summary)]** ポップアップウィンドウ



デマンドから作成されたアーティファクトを表示する

デマンドマネージャーは、デマンドから作成されたアーティファクトを表示できます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

手順

1. [デマンド] > [デマンド] > [ワークベンチ] に移動します。
2. 関連付けられたアーティファクトがあるバブルを右クリックします。
3. **[<アーティファクト>を表示 (View <artifact>)]** をクリックします。
   このアクションにより、選択したデマンドのアーティファクトフォームが新しいタブに表示されます。

デマンドサマリーを表示する

デマンドワークベンチのバブルチャートのバブルをポイントすると、デマンド情報のサマリーが表示されます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

手順

1. バブルチャートでデマンドをポイントすると、バブルとそのラベルが強調表示されます。

   バブルサマリーウィンドウには、デマンド名、リスク、値、サイズのデータも表示されます。バブルをポイントすると、リストビューの対応するデマンド行も強調表示されます。リストビューでデマンドをポイントすると、バブルチャートの対応するバブルが強調表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブルサマリーウィンドウ



注:
バブルをポイントしているときに、リストビューを下方向にスクロールすると、対応するデマンド行が強調表示されます。必要に応じて、リストビューまたはバブルチャートの高さを調整します。

2. 複数のデマンドがある場合、一部のバブルまたはラベルが重なって見えにくくなります。

   ラベルをポイントすると、対応するバブルが強調表示されます。

   次の場合に使用します。

   - 2 つ以上のバブルが同じ測定基準を持ち、直接重なっている。
   - いくつものバブルが交差して重なり合っている。
   - バブルが、バブルチャートのエッジに部分的にしか表示されていない。

デマンドへの詳細の追加

デマンドマネージャーは通常、事業関係マネージャーと協力してステークホルダーを特定し、要件、リスク、およびその他の重要な情報を導き出します。

Demand Management アプリケーションは、ステークホルダーの識別プロセスを簡素化します。サービスカタログまたは Demand Management アプリケーションでデマンドフォームに入力する際に、ユーザーが選択したポートフォリオからステークホルダーのリストを自動入力します。Demand Management アプリケーションでは、アセスメントを使用して情報収集プロセスの一部を自動化することもできます。

デマンドタスクの追加

デマンドマネージャーは、ビジネスデマンドを分析し、デマンドを承認して、プロジェクトと拡張を作成します。多くの場合、デマンドを分析して、デマンドを承認するためのビジネスケースを作成するには、工数、コスト、リスク、利益の見積もりなどのアクティビティが必要になります。デマンドマネージャーは、デマンドタスクを作成し、これらのタスクを個々のリソースまたはグループにアサインして、これらのアクティビティを実行できます。

デマンドタスクにアサインされたリソースは、タイムカードを使用してデマンドまたはデマンドタスクの作業中に費やされた時間を知らせます。タイムカードデータは、デマンドタスクおよびデマンドで発生した実績工数とコストの計算に使用されます。

デマンドタスクを作成するには、デマンドフォームの [デマンドタスク] 関連リストまでスクロールし、[新規] をクリックしてレコードを作成します。

ステークホルダーの追加

デマンドが送信されると、関連するポートフォリオから、デマンドのステークホルダーリストが自動的に入力されます。ステークホルダーを追加することもできます。ステークホルダーリストにユーザーを追加するには、デマンドフォームの [ステークホルダー] 関連リストまでスクロールし、[新規] をクリックしてレコードを作成し、フォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォームからステークホルダーを追加する場合、[ポートフォリオ] フィールドにはデマンドフォームで選択されたポートフォリオが表示されます。

1 つのデマンドに複数のステークホルダーを含めることができます。また、1 人のステークホルダーを複数のデマンドに関連付けることができます。

新しく追加されたステークホルダーは、現在のデマンド、および同じポートフォリオを使用する他のすべてのデマンドに、自動的に関連付けられます。

要件の追加

デマンドマネージャーは必要な数の要件を作成できますが、要件は必須ではありません。通常は、デマンド要求に関連付けられたステークホルダーが、デマンド要求の完了要件を入力します。

デマンドマネージャーは、要件フォームを使用して要件を記述し、要件が満たされていることを確認する責任を担うオーナーをアサインします。要件が複雑な場合、デマンドマネージャーはプロジェクトタスクなどの計画タスクを要件に関連付けることができます。デマンドマネージャーは、タスクをアサインし、完了するまで追跡します。

デマンドに要件を追加するには、次の手順に従います。

1. デマンドフォームを開き、[新規] を選択します。
2. [要件] 関連リストのフィールドに入力します。フィールド名の説明については、「要件フォーム」を参照してください。

リソース計画の追加

リソースプランは、意思決定者がデマンドを評価するときに使用できるもう 1 つの情報源です。[リソース計画] 関連リストからデマンドのリソース計画を作成できます。これは、Resource Management アプリケーションが有効化されている場合にのみ表示されます。

リソース計画をデマンドに追加するには、デマンドフォームの [リソース計画] 関連リストまでスクロールし、[管理] をクリックしてレコードを作成します。

デマンドの **RIDAC** (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードエントリー

RIDAC は、リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求レコードの頭字語です。デマンドのリスクレコードを作成し、デマンドライフサイクル中に他のレコードに変換して問題を追跡したり、関連レコードで関連する詳細を手動でコピーしたりする必要がないようにします。

デマンドがデマンドライフサイクルを進むにつれて、リスクが問題になったり、リスクによって新しい問題が発生したりする可能性があります。リスクレコードを取得したら、そのレコードを問題、アクション、意思決定などの関連レコードに変換します。このレコードの変換と関連付けは、将来のデマンドを計画するためのパターン、傾向、および考えられる解決策の分析と特定に役立ちます。レコードを変換する機能には、次の利点があります。

- 関連情報を手動で繰り返し入力する必要なく、関連レコードを作成できる。
- 将来のデマンドを計画するためのパターン、傾向、および考えられる解決策の分析と特定に役立つ。
- デマンドフォームの **[RIDAC** を表示] 関連リンクを使用して、変換されたすべての RIDAC レコードの統合リストを表示できる。

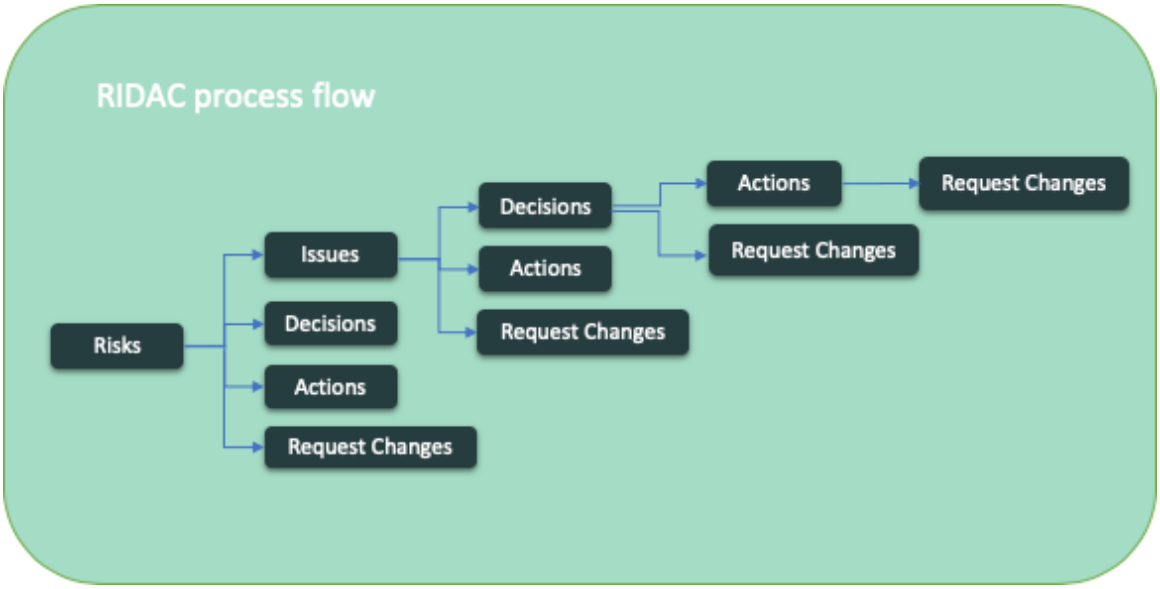
RIDAC レコードの変換または関連付けを行う前に、次の点を考慮してください。

- あるレコードを別のレコードに変換できるのは、RIDAC シーケンスにおいてのみです。たとえば、リスクを問題、意思決定、アクション、または変更要求に変換することはできますが、問題をリスクに、または意思決定を問題に変換することはできません。次の図は、RIDAC プロセスフローを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RIDAC フロー



- 1 つのレコードを複数の RIDAC レコードに変換できます。たとえば、1 つのリスクレコードから複数の問題レコードを作成できます。
- 1 つのレコードを複数の異なるレコードに関連付けることができます。たとえば、1 つの問題レコードを複数の異なるリスク、意思決定、アクション、または変更要求レコードにリンクさせることができます。詳細については、「デマンドの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

デマンドにリスクを追加する

デマンドにリスクを追加して、デマンドライフサイクルの任意のフェーズでリスクを特定、分析、優先順位付け、計画、および追跡します。潜在的な問題とその影響の重大度を評価し、デマンドについて情報に基づいた意思決定を行います。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて

リスクとは、デマンドの成功または結果に影響を与える可能性がある不確実なイベントのことです。たとえば、財務支出やリソースのアサインなどのファクターの見積もりが正しくないと、スケジュールにずれが生じる可能性があります。リスクのもう 1 つの例として、デマンド要件の変更があります。リスクを記録することで、意思決定者はデマンドの進捗状況を評価する際にすべての関連情報を確実に把握できます。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. リスクの追加先のデマンドを選択します。
3. [リスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [リスク] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「リスクフォーム」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- 既存のリスクを問題、意思決定、アクション、または変更要求に変換し、リスクをクローズします。詳細については、「デマンドの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、リスクを既存の問題に関連付けます。詳細については、「デマンドの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

デマンドのカスタムリスクランクとリスク値の設定

カスタムのリスクランクとリスク値のスコア ([高 - 中]、[中 - 低]、または [絶対 - 低] など) を設定して、リスクの影響度と確率のファクターを評価します。

始める前に

必要なロール：pps_admin

このタスクについて

リスク値のルックアップモジュールを使用して、リスクの影響度と確率の特定の組み合わせに対するリスクランクとリスク値を設定します。システムではこれらの値を使用して、リスクの影響度と確率のファクターに基づいて、リスクの程度 ([絶対]、[高]、[中]、[低]) を判定します。

[確率] フィールドの値に [影響度] フィールドの値を乗算して、リスクフォームの [リスクのランク] および対応する [リスク値] の値を生成します。

デフォルトでは、リスクの次の影響度、値、および可能性スコアを使用して、リスクランクおよびリスク値のスコアを作成できます。

- 絶対
- 低
- 中または中 (Medium or Moderate)
- 高

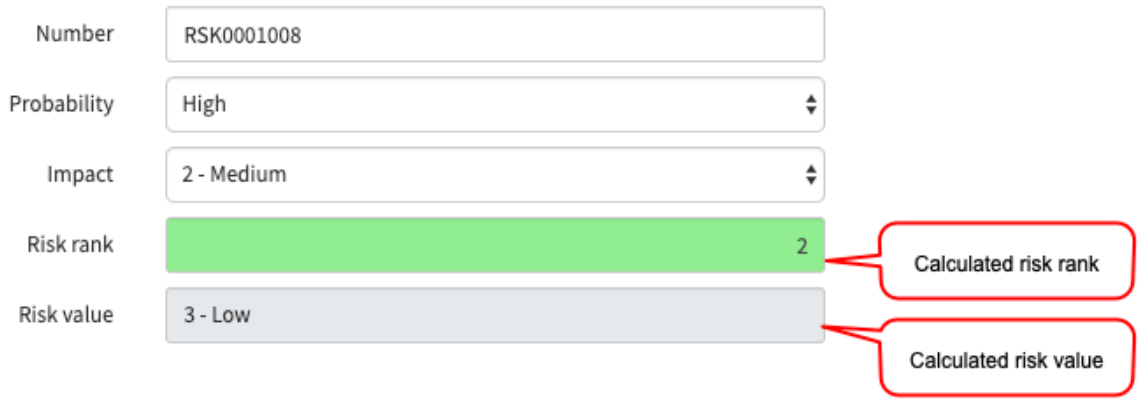
たとえば、確率は高で、影響度は中だが、デマンド全体のリスクは低と見なしたい場合があります。その場合は、次の値を使用して リスク値マッチャーフォームを設定します。

- 影響度 = 2 - 中
- リスクランキングの色 = 緑色
- 確率 = 高
- 確率数 = 1
- リスク値 = 3 - 低

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の画像は、リスクフォームでのこの例の結果を示していま



す。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > リスク値のルックアップ.
2. [新規] をクリックします。
3. リスク値マッチャーフォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「リスク値マッチャーフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。

デマンドに問題を追加する

デマンドに問題を追加して、リスクを昇格したり、デマンドライフサイクルの任意のフェーズで発生する技術的な誤動作やリソースの不足などの予期しない問題を追跡したりします。問題が未解決のままである場合、不要な競合、遅延、さらには障害が発生する可能性があります。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 問題を追加するデマンドを選択します。
3. [問題] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 問題フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「問題フォーム」を参照してください。
5. オプション: ナレッジベースで問題に関連する記事を検索します。

   a. ナレッジ検索アイコン ( ) をクリックします。

   b. 関連する記事を見つけたら、記事のタイトルをクリックしてそのコンテンツを表示します。

   c. 記事の内容を問題に含める場合は、[問題に添付 **(Attach to Issue)]** をクリックします。
   記事の内容が、問題フォームの [説明] フィールドにコピーされます。必要に応じて、テキストを変更できます。

6. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- 既存の問題を意思決定、アクション、または変更要求に変換し、問題をクローズします。詳細については、「デマンドの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、問題を既存のリスクに関連付けます。詳細については、「デマンドの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

デマンドに意思決定を追加する

デマンドマネージャーは、ソリューションを使用してリスクと問題を積極的に管理するための計画を策定します。リスクまたは問題のためのソリューションを意思決定の形でデマンドに追加します。リスクまたは問題を意思決定に変換したり、意思決定をアクションまたは変更要求に変換したりすることもできます。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 意思決定を追加するデマンドを選択します。
3. [意思決定 (Decisions)] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 意思決定フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「意思決定フォーム」を参照してください。
5. オプション: ナレッジベースで意思決定に関連する記事を検索します。
   a. ナレッジ検索アイコン () をクリックします。
   b. 関連する記事を見つけたら、記事のタイトルをクリックしてそのコンテンツを表示します。
   c. 記事の内容を問題に含める場合は、[意思決定に添付 **(Attach to Decision)**] をクリックします。
   記事の内容が、意思決定フォームの [説明] フィールドにコピーされます。必要に応じて、テキストを変更できます。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 意思決定をアクションまたは変更要求に変換し、意思決定をクローズします。詳細については、「デマンドの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、意思決定を既存の問題に関連付けます。詳細については、「デマンドの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

デマンドにアクションを追加する

デマンドの問題またはリスクの解決に必要なアクションを追加します。分析に基づいてリスク、問題、または意思決定をアクションに変換し、リスクまたは問題の解決を計画することもできます。

始める前に

必要なロール：it_demand_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
リスクと問題を分析し、それらのリスクと問題を管理する方法を決定したら、リスクまたは問題を解決するためのアクションをデマンドに追加します。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. アクションを追加するデマンドを選択します。
3. [アクション] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. アクションフォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「アクションフォーム」を参照してください。
5. オプション: アクションに他のステークホルダーからの承認が必要な場合は、[承認] および [期日] フィールドを使用して期日の承認を要求します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- アクションを変更要求に変換し、アクションをクローズします。詳細については、「デマンドの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、アクションを既存のリスク、問題、および意思決定レコードに関連付けます。詳細については、「デマンドの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

変更要求をデマンドに追加する

デマンドマネージャーは、問題の解決やリスクの軽減のために実行したアクションの結果として、変更要求を作成できます。変更要求により、デマンドのスコープ、リソース要件、コスト、またはスケジュールが変更され、リスクまたは問題の影響が最小限に抑えられる場合があります。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 変更要求を追加するデマンドを選択します。
3. [変更を要求] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 変更要求フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「変更要求フォーム」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

次のタスク
依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、変更要求を既存のリスク、問題、意思決定、およびアクションレコードに関連付けます。詳細については、「デマンドの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

デマンドの特定の **RIDAC** (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換

特定の RIDAC レコード (リスク、問題、アクション、意思決定、および変更要求) をこの順序で別のレコードに変換し、新しいレコードを手動で作成することなくレコード情報を保持して、より簡単に問題を追跡できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
RIDAC レコードを別のレコードに変換すると、[簡単な説明]、[要求者]、および [アサイン先] フィールドの値が引き継がれます。

親レコードを手動でクローズする代わりに、新規レコードの作成時に親レコードを終結するように指定することもできます。

デマンドフォームの **[RIDAC** を表示] 関連リンク、およびデマンドモジュールの Application Navigator の **[RIDAC** を表示] を使用して、変換されたすべての RIDAC レコードの統合リストを表示することもできます。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. リスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求レコードを別の RIDAC レコードに変換するデマンドを選択します。
3. [デマンドフォーム] 関連リストから、リスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求レコードを選択してフォームビューを開きます。
4. フォームの **[RIDAC** に変換] 関連リンクをクリックします。
5. オプション: [変換] ダイアログボックスの [タスクタイプを選択] リストから、選択したレコードを変換する RIDAC レコードを選択します。
   たとえば、リスクを問題に変換する場合は、[問題] を選択します。
6. オプション: 親レコードからコピーされた [簡単な説明] フィールドのテキストを変更します。
7. オプション: [アサイン先] フィールドの親レコードからコピーされたデフォルトのアサインを変更するには、ルックアップアイコン (🔍) をクリックし、別のユーザーを選択します。
8. オプション: 新規レコードの作成時に親 RIDAC レコードをクローズする場合は、親レコードをクローズするオプションを選択します。
   親レコードをクローズするオプションのラベルは、親レコードタイプに応じて変わります。たとえば、親レコードがリスクで、それを問題レコードに変換する場合、レコードをクローズするオプションは [リスクをクローズ **(Close Risk)]** と表示されます。
9. **[OK]** をクリックします。

デマンドの既存の **RIDAC** (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け

デマンドの既存の RIDAC レコード (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) を相互にリンクさせることができます。RIDAC レコードを相互に関連付けると、デマンドのクローズ時および計画時の分析のために、リスクまたは問題とその結果のレコードを保持できます。また、デマンドのライフサイクル全体にわたってリスクと問題を追跡する際にも役立ちます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
1 つのレコードを複数の異なるレコードに関連付けることができます。たとえば、1 つの問題レコードを複数のリスク、意思決定、アクション、または変更要求レコードにリンクさせることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 特定の RIDAC エントリーを別のエントリーに関連付けるデマンドを選択します。
3. [デマンドフォーム] 関連リストで、RIDAC レコードを選択します。
4. フォームで、**[RIDAC** の関連付け] 関連リンクをクリックします。
5. [関連付け] ダイアログボックスの [タイプの選択] リストから、選択したレコードを関連付ける RIDAC レコードを選択します。
   たとえば、リスクを問題に関連付ける場合は、[問題] を選択します。
6. 選択したレコードの関連付け先のレコード番号を、[関連付け先] リストから選択します。
   たとえば、選択したリスクを問題 (ISU0010003) に関連付ける場合は、**[ISU0010003]** を選択します。
7. **[OK]** をクリックします。

デマンドをドラフトステータスにリセットする

必要に応じて、デマンドを [ドラフト] ステータスに戻すことができます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

このタスクについて
プロジェクト、拡張、欠陥、変更などのアーティファクトがデマンドから作成されるまでは、デマンドを任意のデマンドステータスから [ドラフト] ステータスに戻すことができます。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 必要なデマンドフォームを開きます。
3. [ドラフトにリセット] をクリックします。
   以下が存在する場合は、確認メッセージが表示されます。
   - ステークホルダーとの間で処理待ちのアクティブなアセスメント、または
   - [要求済み]、[確認済み]、または [割り当て済み] ステータスのリソースプラン
4. 実績時間が報告されていない割り当て済みリソース計画を再計画するには、このチェックボックスをオンにします。
5. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果

- デマンドが [ドラフト] ステータスに移行します。
- [アセスメントデータ] タブのすべてのスコア値がデフォルトにリセットされます。
- デマンドに対してアクティブなすべてのアセスメントがキャンセルされます。デマンドフォームの [アセスメントが必要] フィールドが true に設定されている場合、デマンドが [スクリーニング] ステータスに移行すると、新しいアセスメントがトリガーされます。
- 実績時間が報告されていない関連付けられたリソース計画はすべて、[計画] ステータスに移行されます。

デマンドの削除

[処理待ち] ステータスのデマンドのみ削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager または it_demand_user

このタスクについて
デマンドを削除すると、リスク、デマンドタスク、要件、意思決定など、デマンドに関連するすべてのデータが削除されますが、そのステークホルダーがステークホルダー登録 [dmn_stakeholders_register] テーブルから削除されることはありません。

プロジェクトが既にデマンドから作成されている場合、その参照はデマンドに関連するデータとともにプロジェクトから削除されますが、プロジェクトがデータベースから削除されることはありません。

デマンドを削除するには、以下の手順を実行します。

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 以下の操作を実行します。
   - デマンドをクリックしてデマンドフォームを開き、[削除] をクリックします。
   - デマンドの横にあるチェックボックスをオンにし、[アクション] 選択リストから [削除] を選択します。

デマンドの移動とサイズ変更

デマンドマネージャーは、バブルチャート内のバブルを移動したり、サイズを変更したりすることができます。

始める前に
必要なロール：it_demand_manager

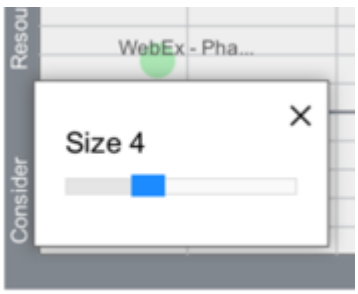
このタスクについて
バブルチャートでバブルを移動してサイズを変更すると、リストビューでそのデマンドに対応する値が更新されます。

手順

1. バブルをクリックして水平軸に沿って左右にドラッグして、デマンドのリスクを増減します。
   デマンドの新しいリスクが [リスク] 列で更新されます。
2. バブルをクリックして垂直軸つまり Y 軸に沿って上下にドラッグして、デマンドの値を増減します。
   デマンドの新しい価値が [価値] 列で更新されます。
3. バブルをクリックして、バブルのサイズを拡大または縮小できるサイジングウィンドウを開きます。

   デマンドの新しいサイズが [サイズ] 列で更新されます。

バブルサイズウィンドウ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デマンド管理 参照

フィールド、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、ドメイン分離情報など、デマンド管理 に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

デマンドタスク

デマンドタスクは、デマンド内で作成され、デマンドをプロジェクト、変更、拡張または欠陥に変換する前に初期計画アクティビティを分割するための作業単位となります。

デマンドタスクを作成し、デマンドの実現可能性評価に役立つアクティビティを委任します。デマンドタスクは、次の点でプロジェクトタスクと異なります。

- 予定日、実際の日付、および元の日付は、デマンドタスクではなくプロジェクトタスクの一部です。
- 期日は、タスク完了のターゲット日付を示すもので、デマンドワークフローには影響しません。ただし、プロジェクトタスクでは、予定日および実際の日付が変更された場合、プロジェクトの完了日に影響します。
- ネストされたデマンドタスクの作成はサポートされていません。
- [すぐに開始] や [特定の日に開始] の設定などのタスク制約はサポートされていません。
- アジャイル、ウォーターフォール、ハイブリッドなどの実行タイプはサポートされていません。

リソースのアサイン

[アサイン先]、[他の受託者リスト]、および [アサイン先グループ] フィールドを使用して、デマンドタスクのリソースをアサインします。リソースやグループをデマンドタスクに割り当てたり、デマンドに費やした時間を送信したりする目的では、リソース計画を作成して使用しないでください。リソース計画をデマンドタスクに関連付けると、関連付けられたリソース計画はそのデマンドから作成された作業エンティティに転送されません。

デフォルトでは、リソース計画はデマンドに関連付けられていません。デマンドから作成された将来の作業エンティティ用に作成したリソース計画を使用して、デマンドに費やされた時間を送信しないでください。

デマンドのタイムカードを送信すると、発生した時間とコストはデマンドから作成された作業エンティティに転送されず、デマンドのコストと作業量としてデマンド内に留まります。

リソース計画を手動でデマンドに関連付けると、実績工数とコストはデマンド内に留まり、デマンドから作成された作業エンティティには転送されません。

デマンドタスクにアサインされたリソースは、タイムカードを使用してタスクに費やした時間を送信できます。詳細については、次のリンクを参照してください。デマンドタスクのタイムカードの送信。

デマンドタスクの実績コストと作業量

デマンドタスクで実行された作業の実績工数は、タイムカードから導出されます。実績コストは、レートモデル、デフォルトの賃金レート、またはデフォルトのシステムのプロパティで定義されたリソースの時間単価から算出されます。その後、デマンドタスクの実績コストと作業量がロールアップされ、関連付けられたデマンドの実績コストと作業量が導出されます。詳細については、次のリンクを参照してください。デマンドおよびデマンドタスクの実績コストと作業量の計算。

デマンドに作業アイテムを追加する

選択したデマンドタスクカテゴリとアサインされたロールに基づいて、デマンドタスクフォームを使用して次のことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デマンドにコスト計画を追加
- デマンドにリソース計画を追加
- デマンドに利益計画を追加
- デマンドにリスクを追加

デマンドおよびデマンドタスクの実績コストと作業量の計算

実績コストと作業量は、特定の期間中にデマンドおよびデマンドタスクで実行された作業で発生した実現コストと費やされた時間です。実績コストと作業量は、リソースの承認済みタイムカードと時間単価に基づいて計算され、リソースの時間単価の導出方法によって変化します。

デマンドタスクとデマンドの作業にはコストと時間がかかるので、デマンドを製品、機能、または拡張に変換するための支出全体が増加します。したがって、デマンドマネージャーは、デマンドのアクティビティを評価および計画する際に、発生する実績コストと作業量を把握する必要があります。実績コストの計算は、タイムカードで報告された時間をリソースの時間単価で乗算することによって算出されます。デマンドタスクの実績工数は、タイムカードで報告された時間に基づいて計算されます。

その後、デマンドの実績工数とコストを計算するために、デマンドタスクの実績工数とコストがロールアップされます。リソースの実績コストと時間単価の計算は、次のように導出されます。

- レートモデルがデマンドに関連付けられている場合、実績コストはレートモデルで定義された時間単価に基づいて計算されます。
- レートモデルがない場合、または時間単価がレートモデルで見つからない場合、時間単価はデフォルトの賃金レートから導出されます。
- 時間単価がデフォルトの賃金レートで見つからない場合、時間単価はデフォルトのシステムのプロパティから導出されます。

リソースまたはグループをデマンドタスクに割り当てる目的では、リソース計画を作成して使用しないでください。デマンドで作成されたリソース計画は、デマンドから作成される作業エンティティのリソース推定に使用されます。これらのリソース計画は、デマンドが認定されて変換されると、結果の作業エンティティに自動的に移動されます。

デフォルトでは、リソース計画はデマンドに関連付けられていないため、デマンドのタイムカードを送信しても、実績工数とコストはリソース計画に反映されません。リソース計画を手動でデマンドに関連付けた場合でも、デマンドの実績コストと実績工数はデマンド内に留まり、デマンドから作成されたプロジェクトには転送されません。

デマンドタスクに関連付けられていないデマンドの作業に、リソースが追加の時間を費やす場合は、この時間も記録する必要があります。リソースは、タイムシートポータルを使用してデマンドに費やされた追加時間を記録するためにタイムカードを送信します。この追加コストと作業量はデマンドに追加されますが、デマンドタスクの実績コストと作業量には反映されません。

タイムカードデータから導出されたデマンドの実績コストと実績工数は、デマンドタスクの実績コストと作業量の合計に追加されます。[デマンドの実績コスト] および [デマンドの実際の労力] フィールドの値は、次のように計算されます。

- デマンドの実績コスト：すべてのデマンドタスクの実績コスト + 追加アクティビティの実績コスト
- デマンドの実際の労力：すべてのデマンドタスクの実績工数 + 追加アクティビティの実績工数

次の例は、デマンドタスクの実績コストと作業量の計算と、その結果のデマンドへのロールアップを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: デマンドタスクに基づく実績コストと作業量の計算

デマンド (D1) の場合、デマンドマネージャーは、初期アセスメント、コスト推定、予定作業量などのアクティビティを委任します。これらのアクティビティを委任するために、デマンドマネージャーは 3 つのデマンドタスク (DT1、DT2、DT3) を作成し、リソース R1、R2、R3 を各デマンドタスクにそれぞれアサインします。

レートモデル内でリソースに定義された時間単価、デフォルトの賃金レート、またはデフォルトのシステムのプロパティを次の表に一覧表示します。

リソースの時間単価

リソース	レートモデル内の時間単価	デフォルトの賃金レートでの時間単価	システムのプロパティ内の時間単価
R1	$200	$150	$50
R2	$250	$200	$50
R3	$150	$100	$50

各リソースは、アサインされたデマンドタスクの作業中に合計 8 時間を費やし、タイムカードを送信します。

デマンドタスクの実績コストと作業量の計算：デマンドタスクの実績コストと作業量が計算され、デマンドタスクフォームに表示されます。この合計は、導出方法によって異なります。

シナリオ 1 は、リソースの時間単価がレートモデルから導出される場合に合計を計算する方法を示しています。

レートモデルから導出されたレート

デマンドタスク **DT1**		デマンドタスク **DT2**	デマンドタスク **DT3**
実績工数	8 時間	8 時間	8 時間
実績コスト	200 * 8 = $1600	250 * 8 = $2000	150 * 8 = $1200

シナリオ 2 は、レートモデルがデマンドに関連付けられておらず、リソースの時間単価がデフォルトの賃金レートから導出される場合に合計を計算する方法を示しています。

デフォルトの賃金レートから導出されたレート

デマンドタスク **DT1**		デマンドタスク **DT2**	デマンドタスク **DT3**
実績工数	8 時間	8 時間	8 時間
実績コスト	150 * 8 = $1200	200 * 8 = $1600	100 * 8 = $800

シナリオ 3 は、レートモデルがデマンドに関連付けられておらず、リソースの時間単価がデフォルトのシステムのプロパティから導出される場合に合計を計算する方法を示しています。

デフォルトのシステムのプロパティから導出されたレート

デマンドタスク **DT1**		デマンドタスク **DT2**	デマンドタスク **DT3**
実績工数	8 時間	8 時間	8 時間
実績コスト	50 * 8 = $400	50 * 8 = $400	50 * 8 = $400

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 実績コストと作業量のデマンドへのロールアップ

デマンドフォームの [財務] タブの [デマンドの実績コスト] および [デマンドの実際の労力] フィールドには、すべてのデマンドタスクの実績コストと実績工数の合計が入力されます。

1. デマンドタスクのリソースレートがレートモデルから導出されている場合 (シナリオ 1)、[デマンドの実績コスト] フィールドの値は「$4800」と表示されます。[デマンドの実際の労力] フィールドの値は 24 時間制として表示されます。
2. デマンドタスクのリソースレートがデフォルトの賃金レートから導出されている場合 (シナリオ 2)、[デマンドの実績コスト] フィールドの値は「$3600」と表示されます。[デマンドの実際の労力] フィールドの値は 24 時間制として表示されます。
3. デマンドタスクのリソースレートがデフォルトのシステムのプロパティから導出されている場合 (シナリオ 3)、[デマンドの実績コスト] フィールドの値は「$1200」と表示されます。[デマンドの実際の労力] フィールドの値は 24 時間制として表示されます。

Demand Management の主要な用語

デマンド管理 の重要な用語を表に示します。

デマンド管理 の主要な用語

用語	説明
ポートフォリオ	戦略的および運用上の目標を達成するためにグループとして管理されるデマンドのコレクション。
アセスメント可能なレコード	測定基準タイプのデマンドについて評価するデマンドレコード。 評価する特性と値を定義する測定基準カテゴリと測定基準を使用して、アセスメント可能なレコードを評価します。
測定基準	アセスメント可能なレコードを評価するために使用する特性または価値。 測定基準は、アセスメントアンケートで主観的な値を測定したり、スクリプトによって実行されるデータベースクエリーで目的の値を収集したりできます。 測定基準の例としては、デマンドの知覚価値やデマンドの投資収益率などがあります。
測定基準タイプ	評価するレコードのセットを定義する特性。 Demand Management には、デマンド [dmn_demand] テーブルのレコードを使用する測定基準タイプのデマンドが付属しています。
測定基準カテゴリ	アセスメント可能なレコードを評価するためのテーマ。カテゴリには、テーマを構成する特定の特性または値を定義する 1 つ以上の個別の測定基準が含まれます。 カテゴリの例としては、投資利益率やコストなどがあります。フィルター条件を設定することで、カテゴリ内の測定基準に対して評価するアセスメント可能なレコードを制御します。
ステークホルダー	デマンドの影響を受ける人、またはデマンドに利害関係がある人。
スコアカード	アセスメント結果に基づいた、アセスメント可能なレコードのパフォーマンスの視覚的なブレークダウン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド管理 の主要な用語 (続く)

用語	説明
	スコアカードを使用して、1 つのアセスメント可能なレコードのさまざまなデータサマリーを表示し、その評価を他のアセスメント可能なレコードと比較します。
要件	存在している必要がある追加のアイテム、またはデマンド要求をクローズする前に終了する必要がある追加のアクションアイテム。
デマンドタスク	デマンドをプロジェクトに変換する前に初期計画アクティビティを分割する、デマンド内に作成される作業単位。デマンドタスクは、プロジェクトタスクのような計画タスクではありません。

ステージフィールド

アイデアがデマンドライフサイクルを移動すると、[アイデア] リストの [ステージ] フィールドに、アイデアの現在のステータスが表示されます。現在のステータスには、アイデアからデマンド、さらに最終的なプロジェクト、拡張、変更、または欠陥が含まれます。

アイデアの結果は、デマンドフォームの [カテゴリ] フィールドと [タイプ] フィールドの初期設定によって異なります。[ステージ] フィールドは [デマンド] リストにも表示されます。[ステージ] フィールドは表示専用フィールドであり、検索もソートもできません。

重要:
New York リリース以降、[ステージ] フィールドは使用できなくなります。 New York 以降でプロビジョニングされたインスタンスでは、[アイデア] テーブルから [ステージ] フィールドがなくなります。ただし、New York より前のリリースからアップグレードしている場合、[ステージ] フィールドは利用可能です。

新しいアイデアは [送信済み] ステータスで作成されます。受け入れられたアイデアは [受入済み] ステータスに更新され、保留されたアイデアは [スキップ] ステータスに更新されます。デマンドがクローズされると、関連するアイデアは [完了] としてマークされます。

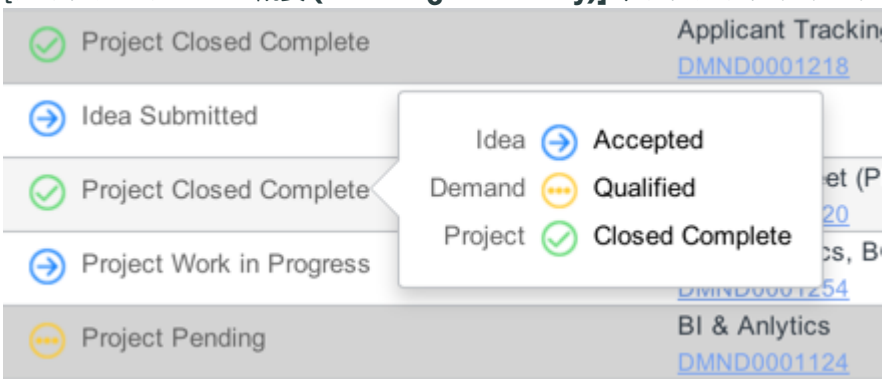
[ステージ] フィールドをポイントすると、アイデアの進行と、進行の各ステップの [ステータス] フィールドの値を示すポップアップウィンドウが表示されます。

- アイデア：アイデアが評価されている場合は、ポップアップウィンドウにアイデアの現在のステータスが表示されます。
- デマンド：アイデアがデマンドに昇格された場合、ポップアップウィンドウにデマンドの現在のステータスとアイデアが表示されます。
- プロジェクト、拡張、変更、または 欠陥：デマンドが受け入れられた場合、ポップアップウィンドウには、デマンドとアイデアに加え、最終的なプロジェクト、拡張、変更、または欠陥の現在のステータスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アイデアステージの概要 **(Idea Stage Summary)**] ポップアップウィンドウ

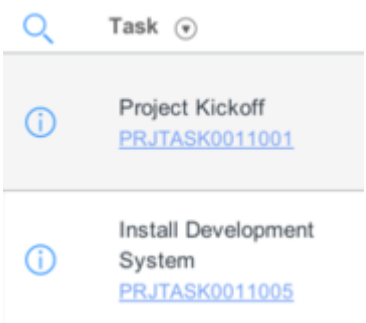


複合フィールド

複合フィールドは、テーブル内の 2 つのフィールドからの情報を組み合わせて単一のフィールドを形成します。

たとえば、[プロジェクトタスク] リストの [タスク] フィールドには、簡単な説明とプロジェクトタスク番号が表示されます。簡単な説明がプロジェクトタスク番号の上に表示されます。プロジェクトタスク番号が表示され、これはプロジェクトタスクフォームへのリンクになります。

複合フィールド



複合フィールドの使用

- 複合フィールドを編集すると、簡単な説明が変更されます。簡単な説明を編集すると、複合フィールドが変更されます。
- 複合フィールドでのソートは、簡単な説明のみに基づいて行われ、番号に基づいてソートされることはありません。
- 複合フィールドでの検索は、簡単な説明と番号の両方で有効になっています。
  - リストヘッダーを使用して番号で検索するには、検索要素の前にアスタリスク (*) を入力します。例：*PRJTASK0010016。
  - フィルターを使用して番号で検索するには、[Task] [contains] [PRJTASK0010016] のような条件を作成します。

ドメイン分離と デマンド管理

ドメイン分離は デマンド管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

Demand Management フォーム

Demand Management アプリケーションで使用されるフォームのフィールド情報。

デマンド予算フォーム

デマンド予算フォームを使用して、デマンドに予算を割り当てます。

デマンド予算フォーム

フィールド	説明
会計年度	デマンドの予算を設定する会計年度。
通貨	デマンドの予算を割り当てる際の通貨。 PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効化されている場合は、デマンド通貨または機能通貨で予算を割り当てることができます。
デマンド通貨での投資予算	選択した通貨で資本的支出に割り当てられた計画経費の金額。
デマンド通貨での経費予算	選択した通貨での運用経費の金額。
デマンド通貨での予算合計	投資および経費金額の合計。

ステークホルダー登録フォーム

ステークホルダー登録フォームを使用して、ステークホルダーレジストリにユーザーを追加します。

ステークホルダー登録フォームのフィールド

フィールド	説明
番号	ステークホルダーの一意の識別番号。新しいエントリが作成されると、この番号が自動的に生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステークホルダー登録フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
ユーザー	ステークホルダーレジストリーに追加されるユーザーの名前。
ポートフォリオ	ビジネス目標または運用目標に合わせて管理されたアクティビティのグループ。通常、ポートフォリオには組織の事業部門に応じた名前が付けられます。
利害関係のレベル	デマンドまたはプロジェクトを遂行する上でのステークホルダーの利害関係のレベル。
アセスメント対象者	ユーザーにデマンドのアセスメントアンケートの受け取りが許可されているかどうかを示します。
承認者	ユーザーがプロジェクトのデマンドまたは変更要求を承認する権限を持っているかどうかを示します。
影響	デマンドまたはプロジェクトを評価するグループに対してユーザーが及ぼす影響レベル。
エンゲージメント	ユーザーがデマンドまたはプロジェクトに関与する方法を示します。
関数	デマンドまたはプロジェクトプロセスにおけるユーザーの機能。

ウィジェットフォーム

ウィジェットフォームを使用して、新しいウィジェットを構成します。

ウィジェットフォーム

フィールド	説明
名前	ウィジェットの一意の名前。
スクリプト化	ウィジェットの値がコードスクリプトから取得されたことを示すオプション。 デフォルトでは、このオプションは選択され、読み取り専用です。
ラベルを表示	ラベルまたは色インジケーターを表示するためのオプション。 このチェックボックスをオフにすると、[色] フィールドが表示され、色を設定できます。
有効	ウィジェットのステータスを示すためのオプション。 デマンド財務ページには、有効化されているウィジェットのみが表示されます。
親ウィジェット	現在のウィジェットの親であるウィジェット。 現在のウィジェットが、選択したウィジェットの [子ウィジェット] 関連リストに表示されます。 最大 3 個の子ウィジェットを親ウィジェットに追加できます。
フォーマッターが必要	ウィジェットに通貨フォーマッターが必要かどうかを指定するためのオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットフォーム (続く)

フィールド	説明

スクリプト	ウィジェットに表示される要求された測定基準値を返すコードスクリプト。
	
	スクリプトでは、コンテキストオブジェクトとフィルターオブジェクトを使用します。コンテキストオブジェクトには、total_costs、irr_value、capital_budget などのすべてのデマンド財務フィールドが含まれています。
	
	次のサンプルスクリプトは、ウィジェットに表示するデマンドの資本予算測定基準値を返します。
	
	`var context = JSON.parse(context);`
	`var filter = context.filters;`
	
	`var now_GR = new GlideRecord('dmn_demand');`
	`gr.addEncodedQuery(filter['dmn_demand']);`
	`gr.query();`
	`if(gr.next())`
	`gr.getValue('capital_budget');`
	`Collapse`

簡単な説明	ウィジェットの説明。

ウィジェットの関連性フォーム

ウィジェットの関連性フォームを使用して、ウィジェットをデマンドに関連付けます。

ウィジェットの関連性フォーム

フィールド	説明
関連性ID	ウィジェットに関連付けるレコード。 関連するレコードにアクセスするには、[テーブル名] リストでテーブル [sys_db_objects] テーブルを選択し、[ドキュメント] リストでデマンド [dmn_demand] テーブルを選択する必要があります。
関連付けテーブル	ウィジェットに関連付けるテーブル。 リストからテーブル [sys_db_objects] を選択する必要があります。
ウィジェット	ウィジェットの一意の名前。
順番	デマンド財務ページの他のウィジェットとの関連でのウィジェットの位置。 ウィジェットは番号順に表示され、最も小さい番号を持つものが最初に表示されます。
カードに表示	デマンド財務ページにウィジェットを表示するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットの関連性フォーム (続く)

フィールド	説明
デフォルトで含める	デマンド財務ページにデフォルトでウィジェットを表示するオプション。

デマンドフォーム

デマンドフォームを使用して、新しいデマンドを作成します。

デマンドフォーム

フィールド	説明
名前	デマンドの名前。
カテゴリ	デマンドのカテゴリ： • 戦略 (Strategic) - デマンドがプロジェクトやストーリーなどの将来の計画立案用である場合は、このカテゴリを選択します。 • 運用 - デマンドが変更や欠陥などの運用作業用である場合は、このカテゴリを選択します。
タイプ	デマンドのタイプ： • プロジェクト • 拡張 • ストーリー • Epic • SAFe ストーリー • SAFe 機能 • SAFe エピック • 変更 • 欠陥 • 変換なし [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。 [ストーリー]、[エピック]、[拡張]、および [欠陥] オプションは、管理者が Agile Development 2.0 プラグインを有効化している場合にのみ表示されます。 **[SAFe** ストーリー]、**[SAFe** 機能]、および **[SAFe** エピック] オプションは、管理者が Essential SAFe または Portfolio SAFe のいずれかのプラグインを有効化している場合にのみ表示されます。 デマンドを使用して、1 つ以上のプロジェクト、エピック、またはプログラムを含む大規模なプロジェクトに資金を提供する場合は、[変換なし] を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
	[カテゴリ] および [タイプ] フィールドの選択によって、[アセスメントデータ] 関連リストに表示されるフィールドも決まります。 作業エンティティがデマンドから作成されると、[カテゴリ] および [タイプ] フィールドは読み取り専用になります。作成した作業エンティティを削除すると、これらのフィールドは再び編集可能になります。
プロジェクト	このデマンドから作成されるプロジェクトの名前。 このフィールドは、デマンドをプロジェクトに変換する場合にのみ表示されます。デマンドに関連付けられているすべてのリソース計画がプロジェクトにアタッチされます。
拡張	このデマンドから作成される拡張の番号。
変更	このデマンドから作成される変更の番号。
欠陥	このデマンドから作成される欠陥の番号。
番号	デマンドに対して自動生成された一意な識別番号。
承認された開始日	承認されたデマンド開始日付。この日付は、デマンドマネージャーがデマンドを実行するスケジュールを調整できるように、ポートフォリオマネージャーによって入力されます。デマンドがプロジェクトに変換された場合、このフィールドはプロジェクトフォームの [承認された開始日] フィールドに引き継がれます。このフィールドの日付が [開始日] フィールドと異なる場合、このフィールドは赤色で強調表示されます。 **注:** デマンドの作成時にこのフィールドを空白のままにすると、[開始日] フィールドの日付がこのフィールドに入力されます。
承認された終了日	承認されたデマンド完了日付。この日付は、デマンドマネージャーがデマンドを実行するスケジュールを調整できるように、ポートフォリオマネージャーによって入力されます。デマンドがプロジェクトに変換された場合、このフィールドはプロジェクトフォームの [承認された終了日] フィールドに引き継がれます。このフィールドの日付が [期日] フィールドと異なる場合、このフィールドは赤色で強調表示されます。 **注:** デマンドの作成時にこのフィールドを空白のままにすると、[期日] フィールドの日付がこのフィールドに入力されます。
開始日	デマンドの開始日。この日付は、デマンドがプロジェクトに変換されるときに開始予定日に変更されます。 **注:** デマンドまたはプロジェクトの開始予定日を変更すると、関連付けられたコスト計画とリソース計画も変更されます。プロジェクトプロパティの [デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更でリソースプランとコスト計画の開始日を変更 **(Change Resource Plan and Cost Plan Start Date with Demand or Project Start Date Change)]** が、デマンドの開始日変更の動作を制御します。このプロパティはデフォルトで有効になってはいません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
期日	要求されたデマンド完了日。この日付は、デマンドがプロジェクトに変換されるときに開始終了日に変更されます。
類似デマンド	予測インテリジェンスと機械学習アルゴリズムにより、[簡単な説明] フィールドに類似した値を持つと判断されたデマンド。詳細については、「デマンド管理 対応の 予測インテリジェンス」を参照してください。
関連検索	デフォルトでは、[名前] フィールドに一致する検索結果。このフィールドに他の用語を使用して、一致するデマンドを検索することもできます。
詳細	
ポートフォリオ	デマンドのビジネス上の焦点を示すポートフォリオ。
プログラム	デマンドが属するプログラムの名前。
投資クラス	デマンドにアサインされている投資クラスカテゴリのタイプ。 • 実行：既存のビジネスを維持するために行われた投資。 • 変更：ビジネスの変更を実装するために行われた投資。
投資タイプ	デマンドの投資タイプ。
送信者	デマンドの送信ユーザー。
デマンドマネージャー	デマンドマネージャーの名前。
協力者	デマンドに対する編集や貢献が可能なユーザー。デマンド要求者は、任意のユーザーを協力者として選択できます。
部門	デマンドの送信者が属する事業部門内の部門。 **注:** 部門を選択しない場合、デフォルト値は送信者が属する部門の名前になります。
プロジェクトマネージャー	このデマンドから作成されたプロジェクトにアサインされるプロジェクトマネージャー。プロジェクトが作成されると、このフィールドは読み取り専用になります。このフィールドは、[カテゴリ] フィールドが [戦略的] に設定されていて、かつ [タイプ] フィールドが [プロジェクト] に設定されている場合に表示されます。このデマンドから作成されたプロジェクトを削除すると、このフィールドは編集可能になります。
事業部門	デマンドの送信者が属する事業部門。
影響を受ける事業部門	送信されたデマンドの影響を受ける事業部門。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
アイデア	デマンドの作成元となったアイデアの一意の識別番号。
ビジネス機能	デマンドで 1 つ以上のビジネス機能を変更、拡張、または追加する場合は、それらの機能をデマンドに関連付けることができます。ビジネス機能 は、アプリケーションポートフォリオ管理 モジュールで定義されます。
ビジネスアプリケーション	デマンドで 1 つ以上のビジネスアプリケーションを変更、拡張、または追加する場合は、それらのアプリケーションをデマンドに関連付けることができます。ビジネスアプリケーション は、アプリケーションポートフォリオ管理 モジュールで定義されます。 [ビジネス機能] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。
ビジネスケース	
戦略	デマンドが達成する組織の戦略的目標。1 つのデマンドで複数の戦略的目標を達成することができます。 デマンドの事業部門が [詳細] タブで選択されている場合、リストには、選択した事業部門のビジネス戦略が他の企業戦略とともに表示されます。
目標	選択した戦略に関連付けられた目標。デマンドは複数の目標を達成できます。 戦略が選択されていない場合は、すべての目標がリストに表示されます。
ビジネスケース	デマンドの裏付けとなるビジネス上の論拠。
実行リスク	デマンドが承認されて実装された場合のリスク。
不実行リスク	機会を失うリスクなど、デマンドが承認されない場合のリスク。
実現要因	デマンドの主要な実現要因。
バリア	デマンドの主要なバリア。
スコープの範囲内	デマンドのスコープ。デマンドの範囲を定義する一連の境界です。
スコープの範囲外	デマンドの範囲に含まれないアクティビティまたは成果物。スコープに定義されていないものはすべてスコープの範囲外です。
仮定	デマンドのために作成された仮定。仮定は、スコープとリスクの定義や、時間とコストの予測の微調整に役立ちます。
財務	
レートモデル	デマンドにアサインされたレートモデル。レートモデルは、関連付けられたリソース計画とタイムカードの時間単価を算出するのに使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: デマンドにアサインされたレートモデルが変更または削除された場合、関連付けられたリソース計画のコストフィールドは再計算されません。
プロジェクト通貨	このデマンドからプロジェクトが作成された後に、そのプロジェクトの実行に使用される通貨。 通貨 [fx_currency] テーブルに示されている値のリストから、任意のアクティブな通貨を選択できます。 デマンドにコスト計画、利益計画、またはプロジェクト予算が含まれている場合、選択したプロジェクト通貨でプロジェクトを作成した後は、プロジェクトフォームでプロジェクト通貨を変更することはできなくなります。デマンドに計画または予算が添付されていない場合は、プロジェクトフォームでプロジェクト通貨を変更できます。 **注:** このフィールドのデフォルト値は、プロジェクトフォームのプロジェクト通貨ビューにある [財務] タブの [プロジェクト通貨] フィールドです。このフィールドは、PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、かつデマンド通貨ビューが有効化されている場合にのみ利用可能です。
資本経費	デマンドの資本的支出 (投資)。
運用経費	デマンドの運用支出 (経費)。
計画コストの合計	結果は、[資本経費] および [運用経費] フィールドの値に基づいて計算されます。
収支	結果は、[総コスト] および [予定利益] フィールドの値に基づいて計算されます。
予定利益	デマンドが承認された場合の推定収益。 この値は、デマンドの利益ブレークダウンからロールアップされます。 また、値を手動で入力することもできます。通貨アイコンを選択して、値を入力します。
ROI %	結果は、[総コスト] および [収支] フィールドの値に基づいて計算されます。 このフィールドの値は、[認定済み] または [承認済み] ステータスのデマンドに対してコスト計画、利益計画、またはリソース計画が作成または更新されたときに更新されます。
投資予算	すべての会計年度にわたってデマンドに割り当てられた資本予算の合計。 この値は、デマンドの投資予算からロールアップされます。
経費予算	すべての会計年度にわたってデマンドに割り当てられた運用予算の合計。 この値は、デマンドの経費予算からロールアップされます。
割引率 (%)	デマンドの割引率。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
	割引率は、将来のキャッシュフローの現在価値を決定するための利率です。
正味現在価値	所定の年利に基づく将来のキャッシュの現在価値。 これは、現在の支出額を将来予想される予定利益と比較するための指標です。投資パフォーマンス全体を評価する際に役立ちます。 たとえば、12% の割引率では、今日の 1.00 ドルは 2 年後に 0.80 ドルの価値になります。したがって、2 年後に 1.00 ドルを受け取ることは、今日 0.80 ドルを受け取ることと同じです。 正味現在価値 (NPV) は、年間合計コスト、年間の予定利益、およびデマンドの割引率から計算されます。
内部利益率 (%)	ゼロ NPV を達成するために必要な年利。 内部利益率 (IRR) は、収益の観点からどのデマンドがより高い利益率を実現できるかを判断する際に役立ちます。
デマンドの実績コスト	デマンドおよびデマンドタスクの作業中に発生した合計コスト。デマンドの実績コストは、デマンドタスクの受託者がタイムカードを作成して送信した後に表示されます。タイムカードが承認されると、レートカード、賃金レート、またはシステムのプロパティから導出されたリソースレートを使用して、このフィールドに値が入力されます。 **注:** New York にアップグレードする場合、このフィールドは既存のデマンドでは空のままです。このフィールドに値を入力するには、[デマンドの実績コストと実績工数の更新 (Update Demand Actual Cost and Actual Effort)] スケジュールジョブを実行します。
デマンドの実際の労力	送信および承認されたタイムカードから導出された、デマンドまたはデマンドタスクの作業中にリソースによって発生または費やされた時間。デフォルトでは、このフィールドはデマンドフォーム上では利用できません。必要に応じて、フォームを設定してこのフィールドを追加します。 **注:** New York にアップグレードする場合、このフィールドは既存のデマンドでは空のままです。このフィールドに値を入力するには、[デマンドの実績コストと実績工数の更新 (Update Demand Actual Cost and Actual Effort)] スケジュールジョブを実行します。
アセスメントデータ	
影響	デマンドによって生み出されたビジネスへの影響度。
リスク	デマンドアセスメントから計算されたリスク値。
値	[影響度] および [収支] フィールドから計算されたデマンドのビジネス価値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
T シャツサイズ	デマンドのサイズ。 デマンドサイズのインジケーターとして **[T** シャツサイズ] を使用する前に、アプリケーションの外部で各オプションの定義を作成して公開することを検討してください。このプロセスにより、組織または部門全体で値が正しく一貫して解釈されるようになります。
スコア	デマンドスコアは、ベースシステムのリスク、価値、およびサイズ属性に基づいて計算されます。 リスク、価値、およびサイズ属性の値は、アセスメント測定基準カテゴリの結果から導出されます。詳細については、「アセスメント測定基準カテゴリとその結果」を参照してください。 • リスクと サイズが高いと、デマンドのスコアは低くなります。 • 価値が高いと、デマンドのスコアは高くなります。
アセスメントが必要	デマンドのアセスメントを有効にするためのオプション。 このフィールドは、デフォルトで選択されています。クリアされていると、デマンドに対してアセスメントアンケートがトリガーされなくなります。 デマンドが [ドラフト] または [送信済み] ステータスの場合、デマンドマネージャーのみがフィールドを更新できます。 **注:** このフィールドをクリアし、デマンドをドラフトにリセットすると、[アセスメントが必要] の値はクリアされたものとして保持されます。
注: [価値] と [スコア] フィールドの値は、[認定済み] または [承認済み] ステータスのデマンドに対してコスト計画、利益計画、またはリソース計画が作成または更新されたときに更新されます。これらのフィールドの値は、プロジェクト、拡張、欠陥、変更などのアーティファクトがデマンドから作成されるまでの間のみ更新されます。	
メモ	
ウォッチリスト	デマンドに登録され、追加コメントを表示できるグループとユーザーのリスト。
作業メモリスト	デマンドに登録され、作業メモを表示できるグループとユーザーのリスト。
作業メモ	デマンドに関する情報。顧客には表示されません。デマンドに関連付けられている他のユーザーとやり取りするために、デマンド管理ライフサイクル全体にわたって作業メモが追加されます。
初期設定	
デマンドをクローズ	デマンドがプロジェクトに変換された場合に、デマンドを自動的にクローズするタイミングを指定する選択肢。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドフォーム (続く)

フィールド	説明
	• なし：プロジェクトに変換された後もデマンドを [オープン] ステータスのまま保持します。 • プロジェクトの作成時：デマンドがプロジェクトに変換されたときにデマンドをクローズします。 • プロジェクトのクローズ時：デマンドから作成されたプロジェクトがクローズされたときにデマンドをクローズします。 **注:** [プロジェクトの作成時] および [プロジェクトのクローズ時] オプションは、[タイプ] フィールドの値が [プロジェクト] に設定されている場合に表示されます。[タイプ] フィールドが [拡張] に設定されている場合は、デフォルトオプションとして [なし] が表示されます。
プロジェクト計算	デマンドがプロジェクトに変換されるときに、プロジェクトのタスク依存関係に使用する計算を指定する選択肢。 • マニュアル：依存関係に加えられた変更は、タスクの日付には反映されません。 • 自動：依存タスクまたは子タスクに加えられた変更を反映して、タスクの日付が自動的に更新されます。 **注:** デフォルトの計算方法として、[自動] が選択されています。

デマンドタスクフォーム

デマンドタスクフォームを使用して、デマンドのタスクを作成します。

デマンドタスクフォーム

フィールド	説明
簡単な説明	デマンドタスクの名前。
アサイン先グループ	デマンドタスクにアサインされたグループ。
担当者	リデマンドタスクにアサインされたプライマリリソース。次の条件が適用されます。 • アサイン先グループが定義されている場合、アサイン先グループ内のユーザーのみが一覧表示されます。 • スキルが定義されている場合、それらのスキルを持つユーザーのみが一覧表示されます。 • アサイン先グループもスキルも定義されていない場合は、 Project Management アプリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドタスクフォーム (続く)

フィールド	説明
	ケーションのいずれかのユーザーロールを持つユーザーのみが一覧表示されます。 • timecard_user ロールを持つユーザーも一覧表示されます。
他の受託者リスト	[アサイン先] フィールドで定義された単一のプライマリリソースに加えてデマンドタスクにアサインされたユーザー。
カテゴリ	デマンドタスクのカテゴリ： • 初期レビュー • 予定作業量 • コスト推定 • 利益概算 (Benefit estimate) • リスクアセスメント [カテゴリ] フィールドの選択により、関連リンクで利用可能なリンクが決まります。たとえば、[カテゴリ] の値を [予定作業量] に設定すると、[デマンドにリソースプランを追加] 関連リンクが表示されます。ユーザーは、これらの関連リンクを使用するための適切なロールを保有している必要があります。
実績工数	デマンドタスクの作業に費やされた実際の時間。このデマンドタスクに対して承認されたタイムカードから導出されます。 このフィールドは、デフォルトではデマンドタスクフォームに表示されないため、フォームをカスタマイズして追加する必要があります。
説明	デマンドタスクの簡単な説明。
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
優先度	影響度と緊急度に基づいた、タスクを完了すべき順序。
ステータス	デマンドタスクの現在のステータス。ステータスには、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] などがあります。
期日	タスク完了のターゲット日付。
実績コスト	レートカードで定義されたリソースの作業時間数と時間単価から導出された、デマンドタスクの実績コスト。レートカードで見つからない場合、時間単価はデフォルトの賃金レートカード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドタスクフォーム (続く)

フィールド	説明
	またはデフォルトのシステムのプロパティから導出されます。
メモ	
作業メモ	デマンドタスクに関する情報。デマンドに関連付けられている他のユーザーとやり取りするために、デマンド管理ライフサイクル全体にわたって作業メモが追加されます。 **注:** PPM のビジネスステークホルダーロールを持つユーザーは、このフィールドを表示できます。詳細については、「PPM のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。

[利益計画] フォーム

[利益計画] フォームを使用して、会計期間にデマンドによって発生した推定利益を指定します。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するデマンド番号。
スポンサー	デマンドのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： • ハード：収益の観点から測定できる利益。 • ソフト：価値の観点から測定される利益。
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
利益タイプ	利益のタイプ。[金銭的な利益] を選択します。
オフセットタイプ (Offset type)	利益がいつ実現し始めるかを示すオフセットタイプフィールド。 選択したオフセットタイプの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、オフセットタイプが [終了日] に設定されていて、デマンドの期日が変更された場合、デマンドの新しい期日に合わせて利益計画の開始日がシフトします。
作業開始日	デマンドの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [開始日] を選択した場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[利益計画] フォーム (続く)

フィールド	説明
作業終了日	デマンドの終了日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [終了日] を選択した場合に表示されます。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] に設定され、オフセットが「-2」である場合、利益計画はデマンド終了日の 2 期間前になります。デマンドの終了日がシフトされると、利益計画の開始日が新しいデマンド期日の 2 期間前にシフトされます。
期間	利益計画の長さ (期間)。
会計期間の開始	会計期間の開始。選択した [プロジェクト/デマンドの開始日] または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭的利益計画に関連付けられている金銭以外の利益。
財務	
入力通貨での利益	潜在的利益の推定額。 利益計画の計画利益に変更があると、将来の会計期間について、関連する利益ブレークダウン値が更新されます。
入力通貨 (Entered currency)	利益計画の通貨。 選択した通貨が Financial Management アプリケーションで設定されたデフォルトの通貨と異なる場合は、予算参照レートを使用して、デマンドの予定利益が計算されます。
機能通貨	Financial Management アプリケーションで構成されたデフォルト通貨。デマンドやプロジェクトの管理で使用されます。
合計計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値の合計。
機能通貨での利益	機能通貨で、デマンドから発生する利益。[入力通貨] が機能通貨と異なる場合、このフィールドの値が変わります。
実績利益	実績利益値は、利益ブレークダウンの実績利益からロールアップされます。
繰り返し	利益ブレークダウンの各会計期間で利益が繰り返し発生するかどうかを示すチェックボックス。

[金銭的利益ブレークダウン **(Monetary Benefit Breakdown)**] フォーム

[金銭的利益ブレークダウン (Monetary Benefit Breakdown)] フォームを使用して、特定の会計年度の推定および実際の金銭的利益を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[金銭的利益ブレークダウン **(Monetary Benefit Breakdown)**] フォーム

フィールド	説明
タスク	利益計画ブレークダウンが属するタスク。
ポートフォリオ	利益計画ブレークダウンが属するポートフォリオ。
入力通貨	利益計画で指定された通貨。
為替レート	利益計画ブレークダウンに対応する期間に対して有効なレート。利益計画ブレークダウンに対応する期間に複数のレートがある場合、その期間の最初の日付で有効なレートが使用されます。 為替レートは、入力通貨での利益を機能的利益に変換するために使用されます。これは、itfm_fx_rate [budget_reference_rates] テーブルから取得されます。
実績利益	プロジェクトまたはデマンドから発生する実績利益。
利益計画	利益計画ブレークダウンが属する利益計画。
会計期間	期間レベルで生成される会計。期間については、「会計カレンダー」を参照してください。
入力通貨での利益	入力通貨での利益。
機能的利益	為替レートと入力通貨での利益を乗算して得られる機能的利益。
為替レート日付	利益計画ブレークダウンに対応する会計期間の最初の日付。

[金銭以外の利益計画] フォーム

[金銭以外の利益計画] フォームを使用して、デマンドの実行時に発生する金銭以外の潜在的な利益を指定します。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するデマンド番号。
スポンサー	デマンドのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： • ハード：収益の観点から測定できる利益。 • ソフト：価値の観点から測定される利益。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[利益計画] フォーム (続く)

フィールド	説明
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
利益タイプ	利益のタイプ。[金銭以外の利益] を選択します。
オフセットタイプ (Offset type)	利益がいつ実現し始めるかを示すフィールド。 選択したオフセットタイプの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、オフセットタイプが [終了日] に設定されていて、デマンドの期日が変更された場合、デマンドの新しい期日に合わせて利益計画の開始日がシフトします。
作業開始日	デマンドの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [開始日] を選択した場合にのみ表示されます。
作業終了日	デマンドの終了日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [終了日] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] に設定され、オフセットが「-2」である場合、利益計画はデマンド終了日の 2 期間前になります。デマンドの終了日がシフトされると、利益計画の開始日が新しいデマンド期日の 2 期間前にシフトされます。
期間	利益計画の長さ (期間)。
会計期間の開始	会計期間の開始。選択した [プロジェクト/デマンドの開始日]、または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] フィールドの値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭以外の利益計画に関連付けられている金銭的利益。
金銭以外の詳細	
測定	金銭以外の利益計画の測定のタイプ。測定タイプは、カウント、パーセンテージ、時間、日、スコアです。 定量化できない利益を追跡するには、[はい/いいえ] オプションを選択します。このオプションを選択した場合、利用できるフィールドは [利益の達成] のみです。チェックボックスをオンにして、利益が達成されたことを示すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[利益計画] フォーム (続く)

フィールド	説明
金銭以外の入力通貨での利益	潜在的利益の推定値。 利益計画の計画利益に変更があると、将来の会計期間についてのみ、関連する利益ブレークダウン値が更新されます。
金銭以外の計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
利益の達成	利益が達成されたかどうかを示すオプション。
ブレークダウンタイプ	利益計画を保存するときのブレークダウン作成のタイプ。 • なし：ブレークダウンは作成されません。 • 自動：金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードがデータとともに自動的に作成されます。ブレークダウンは線形に計算されます。 • 手動: 金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードは自動的に作成されますが、[入力通貨での利益] 列にデータは存在しません。
集計モード	ブレークダウンから利益計画へのロールアップをどのように行うかを決定し、[金銭以外の計画利益] および [金銭以外の実績利益] フィールドの値を更新します。 • 合計：すべてのブレークダウンのデータを集計します。 • 平均：すべてのブレークダウンの平均値。 • 最新：最新のブレークダウン値。 • 最大：ブレークダウンの最大値。 • 最小：ブレークダウンの最小値。
金銭以外の実績利益	金銭以外の利益計画ブレークダウンの実績利益からロールアップされる実績利益値。

[金銭以外の利益計画明細] フォーム

[金銭以外の利益計画明細] フォームを使用して、特定の会計年度の推定および実際の金銭以外の利益を更新します。

[金銭以外の利益計画明細] フォーム

フィールド	説明
タスク	利益計画ブレークダウンが属するタスク。
ポートフォリオ	利益計画ブレークダウンが属するポートフォリオ。
測定	利益計画で指定された測定タイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[金銭以外の利益計画明細] フォーム (続く)

フィールド	説明
実績利益	プロジェクトまたはデマンドから発生する実績利益。
利益計画	利益計画ブレークダウンが属する利益計画。
会計期間	期間レベルで生成される会計。期間については、「会計カレンダー」を参照してください。
入力通貨での利益	入力した値での利益。
差異	推定利益と実績利益の差。

[コスト計画] フォーム

[コスト計画] フォームを使用して、デマンドのコストをキャプチャします。

[コスト計画] フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	コスト計画の内容を表す名前。
プロジェクト/デマンド	コスト計画が属するデマンド番号。
会計期間の開始	会計期間の開始。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられたコストブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられたコストブレークダウンの値も変更されます。
財務	
入力通貨 (Entered currency)	コスト計画の通貨。 選択した通貨が Financial Management アプリケーションで設定されたデフォルトの通貨と異なる場合は、予算参照レートを使用して、デマンドのコストが計算されます。
単位コスト	リソース単体のコスト。
リソースプラン	コスト計画に関連付けられたリソースプラン番号。このフィールドは、リソース計画に由来するコスト計画に表示されます。[原価費目] の値は [賃金 (Labor)] です。
製品モデル	コスト計画が作成される製品。[原価費目] として [ハードウェア] または [ソフトウェア] を選択した場合に、このフィールドが表示されます。
数量	必要なリソースの数量。
繰り返し	コストが会計期間ごとに繰り返し発生するかどうかを示すオプション。 会計期間ごとに、数量 x 単位コストが発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コスト計画] フォームのフィールド (続く)

フィールド	説明
原価費目	原価費目。「原価費目定義の作成」を参照してください。
合計計画コスト	コスト計画の合計計画コスト。コストが繰り返し発生している場合、計算は数量 x 単位コスト x 会計期間の数となります。 コストが繰り返し発生していない場合、計算は数量 x 単位コストとなります。 この値は、コストブレークダウンからロールアップされます。
機能通貨	Financial Management アプリケーションで構成されたデフォルト通貨。デマンドやプロジェクトの管理で使用されます。
機能通貨でのコスト	機能通貨でのデマンドの合計計画コスト。[入力通貨] が機能通貨と異なる場合、このフィールドの値が変わります。
実際の合計コスト	コスト計画の実際の合計コスト。この値は、コストブレークダウンからロールアップされます。
予測	過去の会計期間のすべての実績の合計と将来の会計期間のコスト概算を加算した値。

経費ラインフォーム

経費ラインフォームを使用して、特定のコストをデマンドに関連付けます。

経費ラインフォーム

フィールド	説明
番号	自動生成された番号。
総計	通貨タイプを選択して、経費コストを入力します。
日付	経費が発生した日付。
処理日	経費ラインが処理された日付。
ソース ID	関連コストを生成したレコード。
ステータス	経費ラインのステータス。ステータスは [処理待ち] または [処理済み] になります。コストロールアップは、経費ラインが処理されている場合にのみ発生します。
コスト計画	経費ラインを作成するコスト計画の名前。
サマリータイプ	経費をグループ化するカテゴリを選択します。
原価費目	原価費目を選択します。
経費タイプ	資本経費の場合は [投資] を、運用経費の場合は [経費] を選択します。
簡単な説明	経費タイプの簡単な説明を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

経費ラインフォーム (続く)

フィールド	説明
ソース	経費ラインのソースのレコードを選択します。これらのソースは次のとおりです。 • 資産 • 固定資産 • 契約 • ユーザー • 構成アイテム • タスク • コストセンター

[リソースコストを再計算] フォーム

[リソースコストを再計算] フォームを使用して、計画コストが最新であることを確認します。

[リソースコストを再計算] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	コストを再計算する期間の開始日。 デフォルトでは、フィールドには現在の日付が表示されます。
終了日	コストを再計算する期間の終了日。 このフィールドには、デフォルトでデマンドの期日が表示されます。デマンドに期日が指定されていない場合、フィールドは空になります。
要求されたリソースプランの計画コスト (Planned costs for Requested Resource plans)	要求されたリソース計画の計画コストを再計算するためのオプション。
確認済み/割り当て済みリソース計画の確認済み/割り当て済みコスト (Confirmed/Allocated costs for Confirmed/Allocated resource plans)	確認済みまたは割り当て済みのリソース計画の確認済みまたは割り当て済みコストを再計算するためのオプション。
確認済み/割り当て済みリソース計画の計画コスト (Planned costs for Confirmed/Allocated resource plans)	確認済みまたは割り当て済み計画の計画コストを含めるためのオプション。 このオプションは、[確認済み/割り当て済みリソース計画の確認済み/割り当て済みコスト **(Confirmed/Allocated costs for Confirmed/Allocated resource plans)]** オプションが選択されている場合に有効になります。 デフォルトでは、このオプションは選択されていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要件フォーム

要件フォームを使用して、新しい要件をデマンドに追加します。

要件フォーム

フィールド	説明
番号	要件の一意の識別番号。新しい要件レコードが作成されると、この番号が自動的に生成されます。
ソース	要件を要求しているユーザー。このフィールドには、フォームに入力しているユーザーの名前が自動的に入力されますが、ソースは要件を特定した別のユーザーである可能性もあります。
所有者	要件の管理または要件が満たされていることを確認する責任を担うユーザー。
工数概算	要件と関連タスクを完了するための概算時間。
優先度	全体的なデマンドに適用される要件の重要性。
ステータス	要件のステータスは、[処理待ち]、[承認済み]、または [却下] です。 **注:** 要求ステータスは、デマンド要求ステータスおよび要件に関連付けられた計画タスクのステータスに依存しません。要件ステータスを [クローズ済み] にせずに、要求をクローズすることができます。同様に、要求を終結しても、要件のステータスは変更されません。
タイプ	要件のタイプは、[ビジネス]、[ソリューション (機能的)]、[ソリューション (非機能的)]、[品質]、[ステークホルダー]、または [移行] です。
簡単な説明	要件の簡単な説明。
説明	要件と関連付けられたタスクの詳細な説明。たとえば、このフィールドを使用して、期待される成果または結果を記述することができます。

リスクフォーム

リスクフォームを使用して、デマンドにリスクを追加します。

リスクフォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	リスクの現在のステータス。すべての新しいリスクは、[処理待ち] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
リスクステータス	リスクのステータス。使用可能なオプションは、[処理待ち]、[達成]、[未達成]、[回避]、[軽減 (Mitigate)]、[転送]、および [承認] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフォーム (続く)

フィールド	説明
確率 (Probability)	リスクに記載されているイベントが発生する可能性。使用可能なオプションは、[絶対]、[高]、[中]、および [低] です。
影響	デマンドの結果に対するリスクイベントの影響。
コスト概算	リスクイベントによって生成されるコスト概算。
リスクのランク	リスクにアサインされた値と色。この値は、リスクの確率と影響度を使用して計算されます。リスク値のルックアップを使用して色と値を設定できます。詳細については、「デマンドのカスタムリスクランクとリスク値の設定」を参照してください。
リスクオーナー (Risk owner)	リスクの監視と管理を担当するプライマリリソース。
担当者	リスクの対応をアサインされたプライマリリソース。
リスク値	リスク値のルックアップから計算された値。詳細については、「デマンドのカスタムリスクランクとリスク値の設定」を参照してください。
期日	アサインされたリソースへのリスク解決の要求日、またはリソースにアサインされていない場合にリスクをクローズまたは対処する必要がある日付。
タスク	このリスクが属するデマンド。
簡単な説明	イベント、およびイベントがデマンドの成功に与える潜在的な影響の簡単な説明。
説明	イベントとその潜在的な影響の詳細。
軽減計画 (Mitigation plan)	リスクイベントによって生成されたコスト。この情報は、イベントが発生した場合に追加されます。
作業メモ	リスクを軽減するために行う取り組みの簡単な説明。

リスク値マッチャーフォーム

リスク値マッチャーフォームを使用して、リスクの影響度と可能性を評価します。

リスク値マッチャーフォーム

フィールド	説明
影響	リスクの影響度の値。 デフォルト値は次のとおりです。 • 1 = 高 • 2 = 中 • 3 = 低
アプリケーション	これらのリスク値が属するアプリケーション。
リスクランキングの色	リスクの重大度を示す色。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク値マッチャーフォーム (続く)

フィールド	説明
	ヒント: 色のバリエーションを入力して、影響度と確率の値が類似しているリスクを区別できます。たとえば、重大度の低いリスクを示すために **[lightgreen]** と入力できます。
リスク値	指定されたリスクの影響度と確率の組み合わせの値。 オプションは、[高]、[中]、および [低] です。 この値は、リスクフォームの [リスク値] フィールドに表示されます。
確率 (Probability)	リスクの影響度値に関連付けるリスクの確率値。オプションは、[絶対]、[高]、[中]、および [低] です。
確率数	確率を示す数値。この値に [影響度] フィールドの値を乗算して、リスクのランクが計算されます。 デフォルト値は次のとおりです。 • 1 = 絶対 • 1 = 高 • 2 = 中 • 3 = 低 計算されたリスクのランクとリスクランキングの色は、リスクフォームの [リスクのランク] フィールドに表示されます。

問題フォーム

問題フォームを使用して、問題をデマンドに追加します。

問題フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	問題の現在のステータス。すべての新しい問題レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	考えられる影響度に基づいて問題を解決または管理する緊急性。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題フォーム (続く)

フィールド	説明
コスト概算	問題によって生成されるコスト概算。
影響	問題が未解決のままである場合のデマンドの結果への影響。
期日	アサインされたリソースへの問題解決の要求日、またはリソースにアサインされていない場合に問題をクローズまたは対処する必要がある日付。
担当者	問題解決の対応をアサインされたプライマリリソース。
親	この問題が属するデマンド。
簡単な説明	問題、および問題がデマンドの成功に与える潜在的な影響の簡単な説明。 問題のタイトルを入力し始めると、問題と一致する可能性がある関連する問題が表示されます。 提案アイコン () をクリックして、事前定義された問題の説明のリストから選択します。
説明	問題とその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	問題解決のために完了した作業を記録および追跡するための情報。

意思決定フォーム

意思決定フォームを使用して、デマンドに意思決定を追加します。

意思決定フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	意思決定の現在のステータス。すべての新しい意思決定レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	考えられる影響度に基づいて意思決定を承認または実装する緊急性。
意思決定ステータス	意思決定のステータス。使用可能なオプションは、[処理待ち]、[承認済み]、および [却下] です。
影響	意思決定を実装しない場合のデマンドの結果への影響。
承認が必要	意思決定の承認が必要かどうかを決定するためのオプション。
コスト概算	意思決定を実装するためのコスト概算。
期日	意思決定を承認または実装する必要がある要求日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

意思決定フォーム (続く)

フィールド	説明
担当者	意思決定の対応をアサインされたプライマリリソース。デフォルト値は、意思決定レコードを作成するユーザーの名前です。
親	この意思決定が属するデマンド番号。
簡単な説明	意思決定の内容、意思決定者、意思決定の影響、および意思決定の結果など、意思決定の簡単な説明。 意思決定のタイトルを入力し始めると、意思決定と一致する可能性がある関連する意思決定が表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義された意思決定の説明のリストから説明を選択します。
説明	意思決定とその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	意思決定の実装または承認のステータスを記録および追跡するための情報。

アクションフォーム

アクションフォームを使用して、デマンドにアクションを追加します。

アクションフォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成番号。
ステータス	アクションの現在のステータス。すべての新しいアクションレコードは、ステータスを [オープン] に設定して作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	影響度に基づいてアクションを実装または承認する緊急性。
コスト概算	アクションによって生成されるコスト概算。
影響	アクションを実装しない場合のデマンドの結果への影響。
承認	アクションのステークホルダーからの承認のステータス。使用可能なオプションは、[未要求]、[要求済み]、[承認済み] および [却下] です。
担当者	アクションを実装するためにアサインされたプライマリリソース。
期日	アクションを承認または実装する必要がある要求日。
親	このアクションが属するデマンド。
簡単な説明	アクションで必要になる内容、アクションの実装方法、影響を受けるユーザー、およびアクションの結果など、アクションの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションフォーム (続く)

フィールド	説明
	アクションのタイトルを入力し始めると、アクションのタイトルと一致する可能性がある関連アクションが表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義されたアクションのリストから説明を選択します。
説明	アクションとその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	アクションに関する情報。作業メモを追加して、アクションの承認、却下、または実装のステータスについて他のユーザーとやり取りします。

変更要求フォーム

変更要求フォームを使用して、デマンドのスコープ、リソース要件、コスト、スケジュールなどのデマンドの測定基準を変更します。

変更要求フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	変更要求の現在のステータス。すべての新しい変更要求レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	影響度に基づいて要求された変更を承認する緊急度。
コスト概算	要求された変更によって生成されるコスト概算。
影響	要求された変更を承認しない場合のデマンドの結果への影響。
承認	要求された変更のステークホルダーからの承認のステータス。
担当者	変更要求の対応をアサインされたプライマリリソース。
期日	変更要求を完了するための要求日。
カテゴリ	変更要求の作成対象のエンティティ。オプションは、[リソース]、[スコープ]、[コスト]、および [スケジュール] です。
親	この変更要求が属するデマンド。
タイトル	変更要求のタイトル。
説明	変更要求とその潜在的な影響の詳細。
ビジネス上の根拠	デマンドで提案された変更を要求する理由とそのビジネスへの影響。
作業メモ	デマンドの変更要求の進捗状況を示す追加情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト管理 (PM)

ServiceNow® プロジェクト管理 (PM) アプリケーションは、プロジェクト、タスク、およびリソースの管理を支援するツールスイートです。いくつかのタスクを含む小規模なプロジェクトから、さまざまな関係や依存関係を持つ複雑なタスクを含む大規模なポートフォリオまで、作成および管理できます。

探索 • アップグレード先 Washington DC • 開始： プロジェクト管理 (PM) • プロジェクト管理 (PM) の基本 • チームスペース	設定 • プロジェクトタスクのメール通知の有効化 • プロジェクト管理 (PM)原価計算アドオン • チームスペースの有効化	使用 • プロジェクトワークスペース • プロジェクトの定義 • 進行中のプロジェクトの更新 • 計画立案コンソール • プロジェクトワークベンチ
開発 • 開発者トレーニング • 開発者ドキュメント • Project Management とともにインストールされるプロパティ • チームスペースと一緒のインストール	統合 プロジェクトのインポートとエクスポート	トラブルシューティングとヘルプ • ビジネスマネジメントコミュニティ で質問や回答をする • Known Error Portal で既知のエラー記事を検索 • 担当者 カスタマーサービス & サポート

開始： プロジェクト管理 (PM)

プロジェクト管理 (PM)には、プロジェクトの作成、表示、および管理に役立つツールが含まれています。

プロジェクト管理 (PM)の目的、プロジェクトワークスペース、プロジェクトテンプレート、ベースライン、プロジェクトに関するその他の考慮事項、およびワークスペースでのプロジェクトの表示の詳細については、この 6 分間のビデオをご覧ください。 Project Management の目的、プロジェクトワークスペースとテンプレート、ベースライン、プロジェクトに関する考慮事項、およびプロジェクトの表示などの、プロジェクトとプログラム管理の概要。

プロジェクト管理 (PM)は次の機能で構成されています。

- プロジェクトワークベンチを使用すると、プロジェクトマネージャーはプロジェクトのさまざまな要素を単一のページから管理できます。このワークベンチは、プロジェクト管理 (PM)および Application Lifecycle Management アプリケーションの両方をサポートするため、ハイブリッドアプローチによるプロジェクト管理が可能になります。プロジェクトマネージャーは、ウォーターフォール、アジャイル、およびテストのフェーズを使用することで、ウォーターフォールとアジャイルの両方の手法を組み合わせたプロジェクトを作成できます。
- プロジェクトテンプレートは、プロジェクトタスクとサブタスク、添付ファイル、およびその他のプロジェクト情報を含む、プロジェクトの基本構造を定義します。プロジェクトテンプレート機能を使用すると、プロジェクトマネージャーはこのプロジェクト構造を簡単に作成、保存、および再利用できます。

自動翻訳

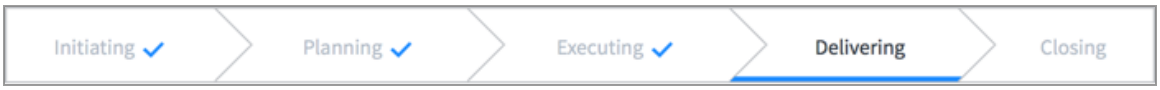
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

またプロジェクト管理 (PM)には、組織が管理している他のアクティビティに合わせてプロジェクトの目標を達成できるようにする、次のような機能も含まれています。

- 変更管理、リソース管理、レポートなどの、プラットフォーム上の他の機能やアプリケーションとの統合。
- 複雑な関係や依存関係を持つ大規模なプロジェクトを視覚化するのに役立つ、読みやすいガントチャートと作業ブレークダウン構成リスト。
- プロジェクトの現在のフェーズを強調表示する、各プロジェクトレコードの上部にあるフェーズフォーマッター。

  この例では、プロジェクトは [展開中 **(Delivering)]** フェーズにあります。フェーズは、プロジェクトレコードの [フェーズ] フィールドで選択されます。

プロジェクトフェーズフォーマッター



主要な用語

プロジェクト管理 **(PM)**主要な用語

用語	説明
ポートフォリオ	戦略的および運用上の目標を達成するためにグループとして管理されるプロジェクトの集まり。
プロジェクト管理	目標の達成を目的として共同で取り組む計画された作業。
アジャイルプロジェクト	目標の達成を目的として共同で取り組む計画された作業で、アジャイルを活用します。
プロジェクトコンソール	新しい WBS 階層リストと新しいガントチャートを含む、 プロジェクト管理 (PM)アプリケーションに対する統一されたグラフィカルインターフェイス。
フェーズ	プロジェクトの 1 つのステージまたは 1 つのセグメント。プロジェクトワークベンチのタイムラインには、次の 3 つのタイプのフェーズを追加できます。 • ウォーターフォールフェーズ：プロジェクトタスクが含まれます。1 つのプロジェクトは複数のウォーターフォールフェーズを持つことができます。 • アジャイルフェーズ：ストーリーが含まれます。また、グループアサインを含めることもできます。1 つのプロジェクトは複数のアジャイルフェーズを持つことができます。 • テストフェーズ：テストケースが含まれます。また、テスト計画に関連付けることもできます。1 つのプロジェクトは複数のテストフェーズを持つことができます。
ストーリー	アジャイルソフトウェア開発のスクラム方式で使用される製品要件または顧客のビジネスケースの簡単な説明。通常、ストーリーは、読者がソフトウェアの機能を理解しやすいように分かりやすい言葉で表現されます。
タスク	プロジェクト内の作業単位。プロジェクトには通常、複数のタスクが含まれています。
テストケース	関連するテストのコレクション。テストケースはテストスイートの一部として保存され、テスト計画に追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト管理 **(PM)**主要な用語 (続く)

用語	説明
チェックリスト	プロジェクトタスクで実行する必要があるアイテムのリスト。
チームスペース	プロジェクトポートフォリオ管理 アプリケーション上に構築されたスタンドアロンアプリケーション。

スケジュール

スケジュール	説明
プロジェクト管理 (PM) スケジュール	すべての新規プロジェクトのデフォルトスケジュール。週末を除く、月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 12 時および午後 1 時から午後 5 時 (合計 8 時間) です。
デフォルトの MS Project	Microsoft Project からインポートするプロジェクトのデフォルトスケジュール。スケジュールは、週末を除く、月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 12 時および午後 1 時から午後 5 時 (合計 8 時間) です。

統合： プロジェクトポートフォリオ管理

プロジェクト管理 (PM)個別のアプリケーションとして使用することも、PPM の一部としてアクティブ化することもできます。

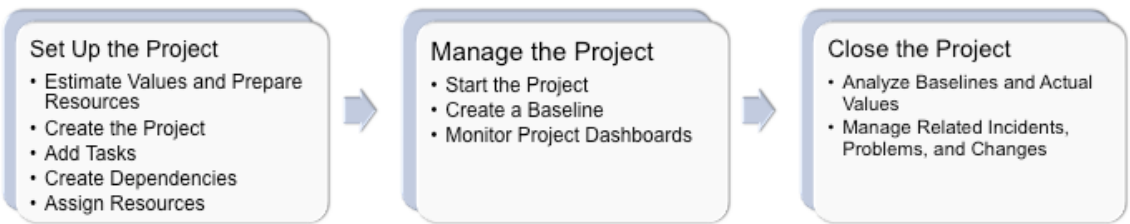
このアプリケーションは、いくつかの個別のアプリケーションを組み合わせ、プロジェクト開発ライフサイクルのさまざまなコンポーネントを統合することで、IT 開発に対する簡素化されたチーム指向のアプローチを提供します。

プロジェクト管理 **(PM)** の基本

プロジェクトとは、目標の達成を目的として共同で取り組む計画された作業です。プロジェクト管理 (PM) アプリケーションは、プロジェクトの計画と追跡に役立つだけでなく、他のアプリケーションとも統合できます。

プロジェクトを管理するための道筋は複数あります。最適な道筋は、通常、ビジネスニーズによって異なります。図のフェーズは、最小限の労力でプロジェクトを立ち上げて実行できるように設計されています。

プロジェクトのフェーズ



プロジェクトの立ち上げ

プロジェクトを立ち上げるには、プロジェクトタスクを作成してリンクさせるためのアプローチを決定する必要があります。また、プロジェクトタスクにアサインできるように、ServiceNow で必要なユーザーとグループを作成することも必要です。

プロジェクトの計画立案

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロジェクトを作成する前に、次の質問と問題について検討します。

- タスクに必要なのは、トップダウンアプローチとボトムアップアプローチのどちらですか？

  トップダウンタスクでは、最初にプロジェクトを作成し、次に主要なプロジェクトフェーズを特定します。後で、フェーズをタスクとサブタスクに分割できます。フェーズや親タスクなどの高レベルのアイテムの見積もりを作成し、そこからより詳細なレベルに向けてプロジェクトを構築することに重点が置かれています。トップダウンタスクでタスクを作成する場合は注意が必要です。立ち上げ日がプロジェクトの開始日よりも後のプロジェクトでタスクを作成すると、プロジェクトはより遅い開始日にシフトされます。プロジェクト管理 (PM) アプリケーションでは、ボトムアップタスクをより適切にサポートします。

  ボトムアップタスクでは、小さなタスクのセットを複数作成し、労力、コスト、期間などのタスクアイテムを見積もります。これらの見積もりは、高レベルの親タスク (ロールアップタスク) およびフェーズに集約されます。最初に作業のより小さなチャンクをできるだけ正確に見積もり、次にそれらの見積もりを親タスク、フェーズ、およびプロジェクト自体にロールアップすることに重点が置かれています。

- プロジェクトは、より大きなプロジェクトポートフォリオの一部ですか？

  また、 ポートフォリオ計画立案と、プロジェクトが類似のプロジェクトまたはイニシアチブとどのように関連しているかについても検討します。

- タスクには他のタスクとどのような依存関係がありますか？

  プロジェクト管理 (PM) アプリケーションは、さまざまな依存関係をサポートしています。「プロジェクトタスクの関係と依存関係」を参照してください。

- マイルストーンとプロジェクトベースラインはプロジェクトの管理に役立ちますか？

  マイルストーンは、期間が 0 のプロジェクトタスクです。マイルストーンを使用して、プロジェクトの重要な日付を示します。必要に応じて、マイルストーンに到達するまでタスクが開始されないように、タスクとマイルストーンの間に依存関係を作成します。

  ベースラインは、各タスクのベースラインが作成された時点における現在の開始予定日と終了予定日のスナップショットです。ガントチャートの各タスクの下に、当初の開始予定日と終了予定日を示す線が表示されます。タスクの開始が早いか遅いかに応じて、線が左または右にシフトして表示されます。タスクが後の日付にずれこんだ場合、ベースラインインジケーターを使用して、遅延の重大度を簡単に確認できます。

- 必要なスキル、グループ、およびリソースが ServiceNow で作成されていますか？

  プロジェクトタスクが、必要なスキルを持つさまざまなグループまたは個別のリソースにアサインされている場合は、ユーザーとグループを作成し、Skills Management アプリケーションを構成します。

- 既存のインシデント、問題、または変更により、プロジェクトを作成して追跡することが正当化されますか？

  これらのレコードタイプのうち、プロジェクトとして追跡されるアクティビティにつながる可能性が最も高いのは変更です。

- プロジェクトコストを追跡することを希望しますか？

  プロジェクトを開始する前に、グループのリソースコストを見積もります。次に、タイムカードから各ユーザーリソースの実際のコストを追跡します。プロジェクト管理 (PM) アプリケーションでは、プロジェクト内の影響を受ける CI のコストも計算できます。コストを追跡するには、プロジェクト管理 (PM) Costing アドオンが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトで達成したいのはどのような目標ですか？

  すべてのプロジェクトには少なくとも 1 つの目標があります。プロジェクトの目標は [目標] テーブルに保存され、任意のタスクにリンクできます。一般的なシナリオでは、1 つの目標を各プロジェクトにリンクさせ、目標の [ステータス] フィールドを最新の状態に維持します。

プロジェクトの作成

次を行った後、プロジェクト管理 (PM) アプリケーションでプロジェクトを作成します。

- アプローチの選択
- 開始予定日の初期推定の収集
- コストの推定
- 明確に定義されたビジネスケースの策定

プロジェクトタスク、依存関係、および関係の追加

プロジェクトレコードを作成したら、タスクを作成します。

- トップダウンの計画立案の場合は、複数の子タスクが含まれることがわかっているタスクを作成します。その後で、子タスクを作成し、作成した最初のタスクの子タスクであることを指定します。
- ボトムアップの計画立案の場合は、最小作業単位のタスクを最初に作成します。その後で、関連する子タスクのグループをカバーする中間の親タスクを作成できます。たとえば、「データベースのインストール」というプロジェクトの 1 フェーズが 5 つの順次タスクで構成される場合は、最初に 5 つのタスクを作成します。その後で、「データベースインストール」という別のタスクを作成し、それを 5 つのタスクの親タスクにします。「データベースインストール」タスクの [計画された期間] などのロールアップ計算は、子タスクに基づいて自動的に計算されます。

タスクのセットを作成するのと同時に、タスクの関係と依存関係を構築するのが最も簡単です。

- 依存関係とは、あるタスクの実行が、他のタスクの実行に (完全にまたは部分的に) 依存していることを意味します。サポートされるさまざまなタイプの依存関係の詳細については、「プロジェクトタスクの関係と依存関係」を参照してください。
- 関係とは、複数のサブタスクが親タスクまたはフェーズの下に構成され、[計画期間] や [コスト概算] などのフィールドをロールアップする親子関係を意味します。

  ガントチャートとタスクフォームおよび関連リストを使用して、関係を構築します。プロジェクトの主要なイベントに基づいてマイルストーンを追加し、必要に応じて、マイルストーンとタスク間の依存関係を作成します。

  また、タスクが [対応中] ステータスに移行したときにプロジェクトタスクのアサイニーにアラートを送信するように通知を設定します。タスクの作成の詳細については、「プロジェクトタスクの作成」を参照してください。

リソースまたはアサイン先グループのタスクへのアサイン

ユーザーリソースは、プロジェクトタスクにアサインされている組織内の個人です。Resource Management アプリケーションのリソース計画を使用して、リソースを管理できます。

ポートフォリオへのプロジェクトの追加

ポートフォリオは、関連するプロジェクトのグループです。プロジェクトが他のプロジェクトに関連している場合は、ポートフォリオを作成してそのプロジェクトを追加します。プロジェクト管理 (PM) アプリケーションは、ポートフォリオ内のすべてのプロジェクトのステータスを簡単に報告できる、便利なポートフォリオビューを提供します。ポートフォリオにはデマンドも含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトの管理

上記の手順が完了したら、プロジェクトを開始できます。初期推定に対してプロジェクトを測定するには、ベースラインを作成します。これは、すべてのプロジェクトタスクとマイルストーンのすべての予定日を含むプロジェクト全体のスナップショットです。プロジェクトマネージャーは、プロジェクトワークベンチからプロジェクトを管理できます。

プロジェクトの開始

プロジェクトのステータスを [対応中] に変更して、プロジェクトを開始します。プロジェクトフォームの [ステータス] フィールドを [対応中] に変更すると、プロジェクトの実開始日が開始予定日に変更されます。

プロジェクトの監視およびダッシュボードのカスタマイズ

ずれこんだマイルストーンの数など、重要なプロジェクトステータス情報を更新できます。コスト、スコープ、プロジェクトリスクなどのサマリーを表示することもできます。必要に応じて、ポートフォリオフォームの [ポートフォリオビュー] 関連リストでこの情報を変更し、[プロジェクトの概要] ホームページにこの情報を表示します。さらに、アプリケーションとともにインストールされたプロジェクトレポート ([アクティブなプロジェクト] や [プロジェクト (優先度別)] など) を使用して、重要なプロジェクト情報を表示します。

プロジェクトが進行中の場合は、引き続きプロジェクトレコードにアクセスし、ロールアップではないコスト、優先度、スケジュール、計画値などのいくつかのアイテムを編集します。リスクと問題の詳細なプロジェクトレコードを保持し、プロジェクトの完了後にそれらを参照します。また、途中でベースラインを作成し、ベースラインの作成時点で遅れているプロジェクトのフェーズやタスクがないかを簡単に確認できます。

プロジェクトのクローズ

プロジェクトが完了したら、そのステータスをプロジェクトフォームで [完了してクローズ] に変更します。プロジェクトがクローズ済みステータスの場合、プロジェクト管理 (PM) アプリケーションでは [実績期間] などの実績値を計算します。

プロジェクト後のアクティビティには、プロジェクトのベースラインと実績値の分析、およびプロジェクトの最終ダッシュボードの生成が含まれます。クローズ済みのプロジェクトについて、将来のリソース計画をキャンセルしたり、割り当て済みのリソース計画を完了したりできます。

プロジェクトが成功し、将来のプロジェクトのテンプレートとして使用できる場合は、そのコピーを作成します。プロジェクトが変更、インシデント、または問題レコードから作成された場合、ServiceNow で実行する他のアクティビティがいくつかあります。

Project Management とともにインストールされるプロパティ

構成できるプロジェクトプロパティがいくつかあります。

プロジェクトプロパティにアクセスするには、PPS 管理者ロールが必要です。

移動先 プロジェクト管理 > 設定 > 設定 - プロジェクト をクリックして、次のプロパティを設定します。

プロパティ	説明
計画立案コンソールからの保存時にビジネスルールの適用を有効にします。このプロパティは、タスクと関係の挿入および削除中にのみ適用されます。 com.snc.project.fire_brs_from_planning_console	true に設定すると、プロジェクトフォームの [ステータス] フィールドが変更されたときに、プロジェクト計画立案コンソールで

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
	ビジネスルールがトリガーされます。false に設定すると、[ステータス] フィールドは編集できません。 **注:** このプロパティを変更した場合は、コンソールを再ロードしてください。 デフォルト値：false
WIP プロジェクトのプロジェクトの移動を有効にする com.snc.project.move_project.wip	true に設定すると、このプロパティを使用して、WIP ステータスのプロジェクトを移動できます。 **注:** プロジェクトを移動すると、オープンおよび処理待ちステータスのタスクのみが移動され、プロジェクトはすべてのプロジェクトタスクからロールアップされた日付を取得します。 デフォルト値：false
プロジェクトのコスト概算と正味価格に基づいた ROI パーセントを計算 com.snc.project.calculate_roi	true に設定すると、このプロパティは (正味価格 / コスト概算) x 100 の計算式を使用して投資利益率を計算します。このフィールドは、プロジェクトフォームの詳細ビューからのみ使用できます。 デフォルト値：true
予定日の手動プロジェクトの実績での変更を有効にする (Enable alter of planned date with Actual for Manual Project) com.snc.project.change_planned_date_from_actual_for_manual	true に設定すると、このプロパティは、手動プロジェクトの終了予定日を実開始日と計画期間から再計算します。 デフォルト値：false
プロジェクトコストのロールアップを有効にします (推定および実際) - プロジェクトタスクのコストを更新すると、その親のコストが更新されます com.snc.project.rollup.cost	true に設定すると、このプロパティは、子タスクのコストが更新されると親プロジェクトタスクのコストを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	デフォルト値：false
タスクに基づくプロジェクト開始日のロールアップ com.snc.project.rollup_project_start_date	true に設定すると、プロジェクトの開始予定日が、最も早いタスクの開始予定日からロールアップされます。最も早いタスクの開始日にかかわらずプロジェクトの開始予定日を同じままにする場合は、このプロパティを無効にします。 デフォルト値：true
作業ステータスに移行したら、プロジェクトマイルストーンタスクを自動的に閉じる com.snc.project.auto_close_milestones	true に設定すると、このプロパティはマイルストーンを自動的にクローズするため、マイルストーンを手動でクローズする必要がありません。 デフォルト値：false
WIP/クローズ済みのタスクに対して予定日付の変更を有効にする com.snc.project.enable_alter_of_planned_dates	true に設定すると、このプロパティを使用して、タスクが対応中ステータスまたはいずれかのクローズ済みステータスであっても、タスクの開始予定日を変更できます。 デフォルト値：false
デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更に基づきリソースプラン、コスト計画、および利益計画の開始日を変更します。利益計画の開始日は、計画のオフセットタイプが [なし] でない場合にのみ変更されます (Benefit Plan Start Date will change only if the offset type for the plan is not None) com.snc.project.date_change_cascade	true に設定すると、このプロパティは、プロジェクトまたはデマンドの開始日に変更がある場合に、リソース計画、コスト計画、および利益計画の開始日を変更します。 **注:** オフセットタイプが [なし] の利益計画の開始日は、プロジェクトまたはデマンドの日付変更によって変更されません。 デフォルト値：true
プロジェクトが移動した場合、ユーザーおよびリソース計画のステータスは、「確認済み」/「割り当て済み」のままになります com.snc.project.date_change_cascade_persist_resource	true に設定すると、このプロパティは、プロパティが移動されたときにリソース計画、予約済みリソース、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	および計画された日次配分の確認済みまたは割り当て済みステータスを保持します。プロジェクトを移動すると、プロジェクトが移動される将来の期間のリソースの可用性に基づいて、リソース計画が再割り当てまたは再確認されます。 **注:** このプロパティは、[デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更に基づきリソースプラン、コスト計画、および利益計画の開始日を変更します] が true に設定されている場合にのみ有効になります。 デフォルト値：true
ポートフォリオワークベンチからのデマンドの確認後にプロジェクトを作成します com.snc.project.portfolio_workbench.confirm_to_create_project	true に設定されている場合、このプロパティは、ポートフォリオ内の選択されたすべてのデマンドをプロジェクトに変換します。 デフォルト値：false
元のプロジェクトタスクからコピーされる属性のリスト (カンマ区切り) (List of attributes (comma-separated) that will be copied from the originating project task) com.snc.project.copy.additional_attributes	デフォルトでは、[プロジェクトをコピー **(Copy Project)]** および [部分プロジェクトをコピー] オプションでは、簡単な説明、予定日、および期間のフィールドのみが、ソースプロジェクトからターゲットプロジェクトにコピーされます。追加の列をコピーする必要がある場合は、このプロパティで宣言する必要があります。 デフォルト値：空欄
新しいプロジェクトの経費タイプをデフォルトに設定します。 sn_plng_att_core.default.expense_type	プロジェクトワークスペースで新しいプロジェクトが作成されると、プロジェクトの経費タイプは [経費] としてマークされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のプロジェクトプロパティは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルで使用できます。これらのプロパティを編集できるのはシステム管理者のみです。

プロパティ	説明
関係の追加後もタスクに対する開始日の制約を保持します com.snc.project.allow_start_on_relations	このプロパティは、タスクを別のタスク (FS 関係など) との関係に置いた後でも、タスクの [開始日] の選択を保持します。 デフォルト値：true
プロジェクトまたはプロジェクトタスクに許される最大期間 (日数) (Max duration (in days) allowed for a project/project task) com.snc.project.task.max_task_duration	このプロパティは、プロジェクトタスクまたはプロジェクト全体の最大期間を管理します。 **注:** プロジェクトにマイルストーンが含まれている場合、期間は休日と週末を考慮に入れて計算されます。 デフォルト値：2600 **警告:** このプロパティの値を 2600 より大きい値にすると、プラットフォームのメモリー使用率に影響します。非常に大きい値、たとえば期間 15000 日でプロジェクトまたはプロジェクトタスクを作成しようとすると、メモリー不足エラーが発生します。
プロジェクトまたはプロジェクトタスクの現在の日付を基準とした将来または過去の最大日数スパン (Max date span into future or past from the current date for the project/project task) com.snc.project.task.check_date_span_years	このプロパティは、プロジェクトまたはプロジェクトタスクの予定日を入力するときの将来の最大日付を管理します。 デフォルト値：10 **警告:** このプロパティの値を 10 より大きい値にすると、プラットフォームのメモリー使用率に影響します。値が非常に大きいと、メモリー不足エラーが発生します。
プロジェクトまたはタスクの作成または更新時に予定日と元の日付を同期する com.snc.project.sync_original_dates_with_planned_dates	true に設定すると、このプロパティは予定日と元の日付を同期します。 デフォルト値：true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペースクラシック版

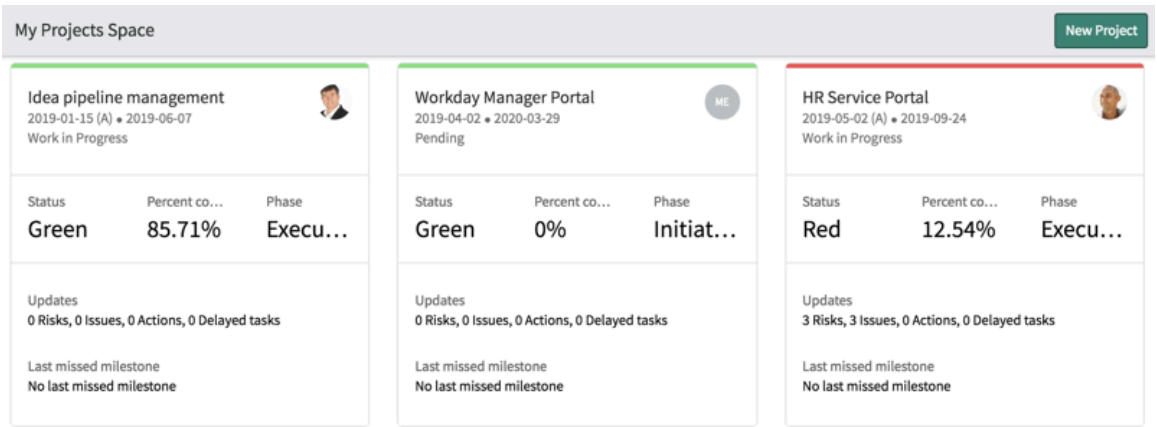
単一の場所からプロジェクトを定義、計画、追跡、および監視します。ステータスレポートと KPI を表示して、プロジェクトに対してさらにアクションを実行します。

Washington DC リリースから、プロジェクトを効率的に管理するために拡張 UI を備えた新しいプロジェクトワークスペースを利用できます。詳細については、「プロジェクトワークスペース」を参照してください。

[自分のプロジェクトスペース] ページのプロジェクト

プロジェクトワークスペースの概要ページ ([自分のプロジェクトスペース]) には、フィルター基準に基づいてプロジェクトがカードとして表示されます。最後に更新された最大 200 件のプロジェクトがページに表示されます。カードをクリックすると、プロジェクトワークスペースでプロジェクトが開きます。カードに表示される情報を設定できます。

[自分のプロジェクトスペース] ページのプロジェクトカード



ワークスペースのコンポーネントは次のとおりです。

バナーアイコン

プロジェクトワークスペースでは、次のバナーアイコンを使用できます。

ホーム

ホームアイコン ( ) を使用すると、[自分のプロジェクトスペース] ページのプロジェクトカードのリストに戻ることができます。

プロジェクト選択リスト

選択リストに表示されたプロジェクトを選択して、プロジェクトワークスペースで開くことができます。[自分のプロジェクトスペース] ページで適用されたフィルター基準に基づいて、選択リストにプロジェクトが表示されます。

プロジェクトチェックリスト

チェックリストアイコン ( ) は、プロジェクトで完了する必要があるアクティビティのチェックリストを作成するのに役立ちます。

プロジェクトワークスペースのタブ

プロジェクトワークスペースは、以下に概要を説明しているタブで構成されています。

分析

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[分析] タブは、未解決のリスク、未解決の問題、遅延したマイルストーンなどのプロジェクトの要素に関する分析を提供します。

詳細

[詳細] タブではプロジェクトフォームが開き、プロジェクトの重要な要素を定義できます。

計画

[計画] タブでは、計画立案コンソールにプロジェクトが開きます。このタブでは、プロジェクトワークベンチに移動し、ワークベンチでプロジェクトを追跡することもできます。

リソース

[リソース] タブでは、リソースの検索、およびプロジェクトとプロジェクトタスクのリソース計画の作成および管理ができます。このタブは、プロジェクトマネージャーのみが使用できます。

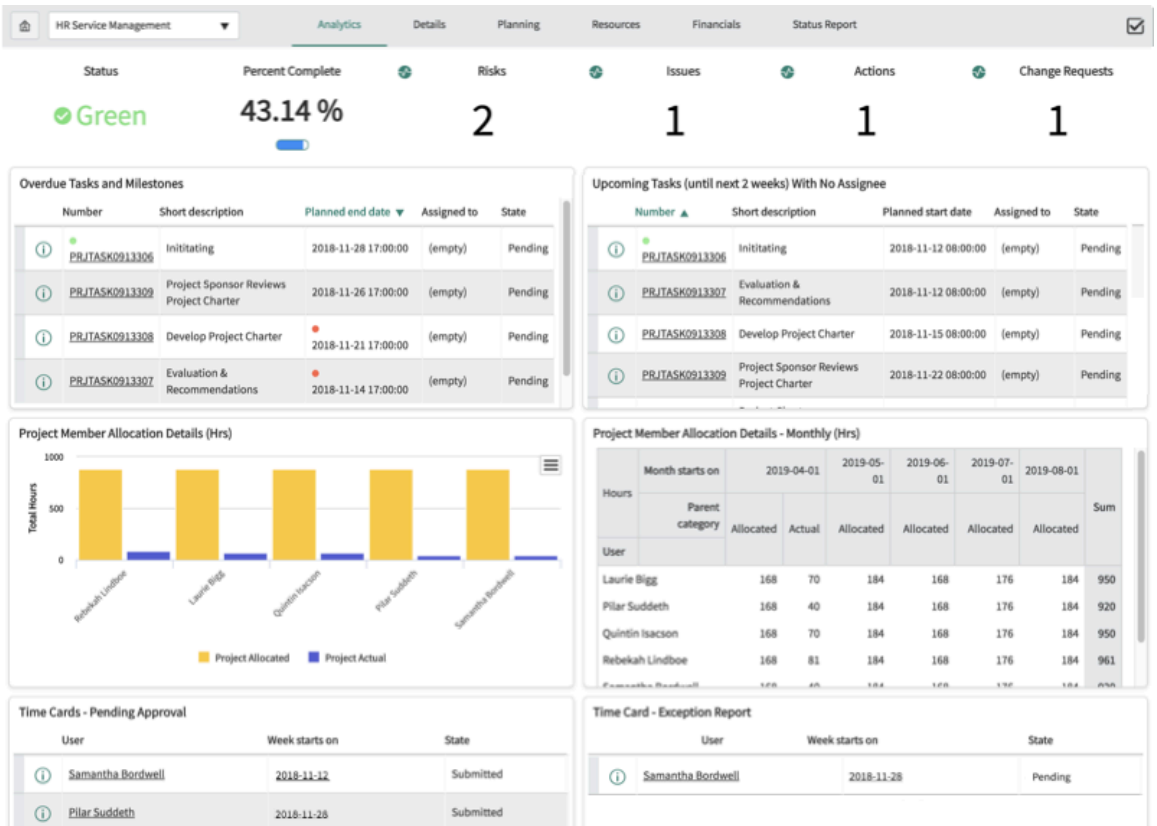
財務管理

[財務] タブには、プロジェクトのコストコンポーネントのブレークダウン (計画コスト、推定リターン、割り当てられた予算、コスト計画、および利益計画) が表示されます。このタブからベースラインを作成してベースラインを比較し、プロジェクトまたはデマンドの実行中に発生した変更を追跡できます。

ステータスレポート

[ステータスレポート] タブには、プロジェクトステータスレポートが表示されます。

プロジェクトワークスペースの例



クラシックプロジェクトワークスペースへのアクセス

プロジェクトワークスペースを開くと、すべてのプロジェクトが 1 つの場所に表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース をクリックして [自分のプロジェクトスペース] ページを開きます。
2. [自分のプロジェクトスペース] ページで、必要なプロジェクトをカードとして表示するためのフィルター基準を追加します。

   注:
   カードに表示される情報を設定できます。

3. プロジェクトをクリックしてプロジェクトワークスペースで開きます。
4. プロジェクトワークスペースで必要なタブをクリックして作業します。

クラシックプロジェクトワークスペースでプロジェクトカードに表示されるパラメーターの設定

クラシックプロジェクトワークスペースの [自分のプロジェクトスペース] ページのプロジェクトカードに表示されるパラメーターを設定します。カードにプロジェクトのサマリーが表示されるため、プロジェクトマネージャーはカードを確認することでプロジェクトのステータスと健全性をすばやく評価できます。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

このタスクについて
プロジェクトワークスペースの概要ページ ([自分のプロジェクトスペース]) には、フィルター基準に基づいてプロジェクトがカードとして表示されます。カードの上部にはカラーバンドがあります。バンドの色は、それぞれのプロジェクトレコードの [ステータス] フィールドに基づいています。各カードにはさらに、プロジェクトに関する次の情報が 3 行で表示されます。

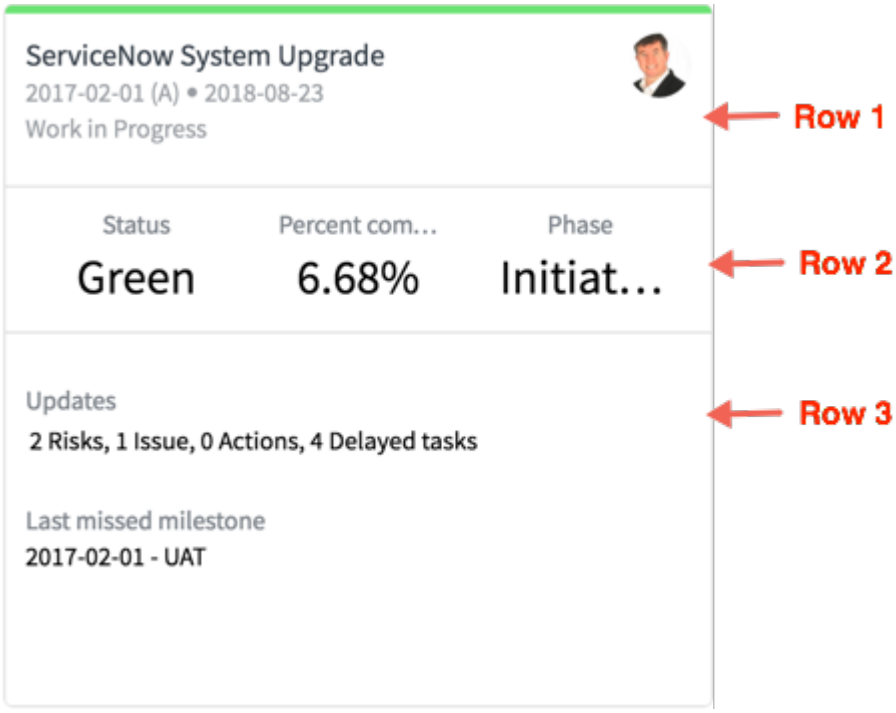
- 行 1 には、プロジェクト名、ステータス、プロジェクトマネージャー名、および重要なプロジェクトの日付が表示されます。表示されるプロジェクトの日付は、プロジェクトの現在のステータスに基づいています。
  - プロジェクトのステータスが [処理待ち] または [オープン] の場合、開始予定日と終了予定日が表示されます。
  - プロジェクトのステータスが [対応中] の場合、実開始日と終了予定日が表示されます。
  - プロジェクトのステータスが [クローズ済み] の場合、実開始日と実終了日が表示されます。
- 行 2 には、プロジェクト [pm_project] テーブルの [ステータス]、[完了率 (%)]、および [フェーズ] 列が表示されます。この行に表示される列の数は 3 に固定されていますが、表示する列は [pm_home_page_config] テーブルで設定できます。
- 行 3 には、プロジェクトの現在のステータスに基づいて、次のプロジェクト情報が表示されます。
  - [更新] 見出しの下にあるプロジェクトの未解決のリスク、未解決の問題、アクション、および期限切れのタスク。
  - [実行されなかった直近のマイルストーン] 見出しの下にある実行されなかった直近のマイルストーンタスクの日付と簡単な説明。

  表示されるパラメーターは、[pm_home_page_card] テーブルのレコードから取得されます。[pm_home_page_card] テーブルで各プロジェクトのステータスに、表示するパラメーターがアサインされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトカードの例



カードの行 2 および行 3 に表示される情報を設定できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > プロジェクトワークスペース.
2. カード構成を変更するテーブルを選択します。たとえば、プロジェクト [pm_project]を選択します。
3. PM ホームページ構成 [pm_home_page_config] テーブルで、カードの行 2 の表示列を設定します。
   a. [列 **-1]**、[列 **-2]**、および [列 **-3]** フィールドに表示する列を選択します。
   b. [更新] をクリックします。
   選択した列がプロジェクトカードの行 2 に表示されます。
4. PM ホームページカード [pm_home_page_card] テーブルで、カードの行 3 のパラメーターを設定します。
   [pm_home_page_card] テーブルで各プロジェクトのステータスに、プロジェクトカードの 3 行目に表示する必要があるパラメーターがアサインされます。
   a. **[PM** ホームページカード] 関連リストで、[新規] をクリックします。
   b. フォームのフィールドに入力します。

PM ホームページカードフォーム

フィールド	説明
順番	カードの行 3 でパラメーターが表示される位置。
ステータス	パラメーターを追加する必要があるプロジェクトのステータス。

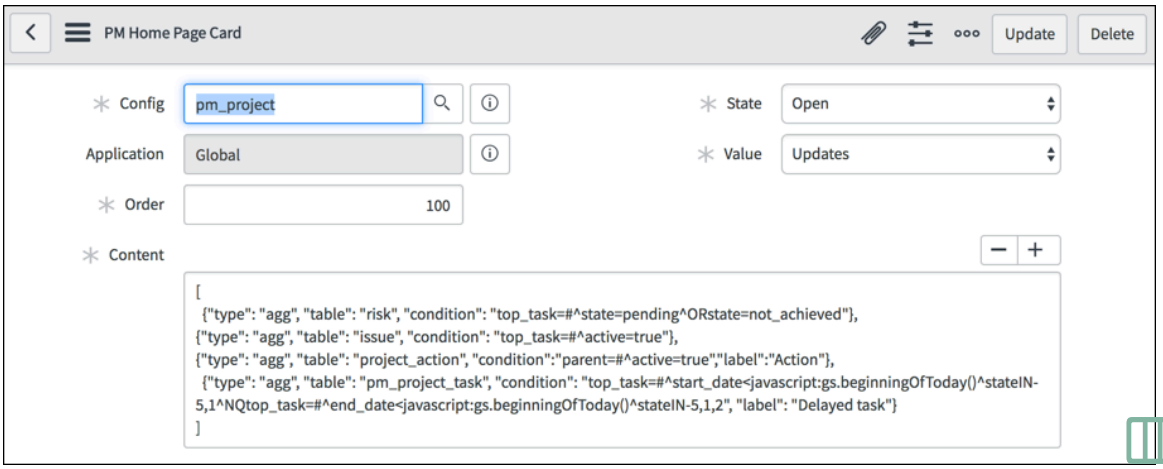
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
値	行 3 で選択されたステータスに対して表示されるセクション ([更新] や [実行されなかった直近のマイルストーン] など)。
コンテンツ	選択したステータスの選択したセクションに表示するパラメーターを追加する JSON フィールド。

次のスクリーンショットは、[オープン] ステータスの [更新] 見出しの下にリスク、問題、アクション、および期限切れのタスクのパラメーターを追加する JSON の例を示しています。

行 **3** 構成の **JSON** の例



c. [送信] をクリックします。

> **注:**
> 同じ手順を使用して、ステータスにアサインされた表示パラメーターを変更します。

選択したステータスのパラメーターが追加または更新されます。パラメーターが追加されたステータスの、プロジェクトカードの行 3 の選択されたセクションに表示されます。

クラシックプロジェクトワークスペースでのプロジェクト分析の表示

クラシックプロジェクトワークスペースの [分析] タブでのプロジェクトサマリーの表示

始める前に

必要なロール：it_project_user

このタスクについて

[分析] タブは、未解決のリスク、実際のコスト、遅延したマイルストーンなど、プロジェクトのさまざまな要素の進捗状況を追跡するための事前設定されたウィジェットとレポートを表示する PA ダッシュボードです。レポートの情報は、プロジェクトフォームのフィールドからロールアップされます。さまざまなプロジェクトタイプの各種のウィジェットとレポートの詳細については、「プロジェクト分析ウィジェットとレポート」を参照してください。

手順

1. でプロジェクトワークスペース必要なプロジェクトを開きます。

2. [分析] タブをクリックして、そのコンテンツを表示します。

3. 表示されたレポートを確認し、必要に応じて必要なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト分析ウィジェットとレポート

ウィジェットとレポートは、アジャイル、ウォーターフォール、およびハイブリッドプロジェクトのプロジェクトワークスペースの [分析] タブで、プロジェクトサマリーの情報を提供します。

プロジェクトウィジェットとレポート

ウィジェットとレポートは、アジャイル、ウォーターフォール、およびハイブリッドプロジェクトの進捗状況を表示および追跡するための情報を提供します。

> **注:**
> アジャイルおよびハイブリッドプロジェクトのウィジェットとレポートを表示するには、Agile Development 2.0 プラグインがインストールされている必要があります。

システム管理者は、ダッシュボードのウィジェットとレポートを設定して、[分析] タブにプロジェクト情報を表示できます。以下のダッシュボードを使用できます。

プロジェクトの実行タイプ	表示されるダッシュボード	説明
ハイブリッド	プロジェクトサマリー - ハイブリッド	ハイブリッドプロジェクトのレポートとウィジェットが含まれます。
アジャイル (Agile)	プロジェクトサマリー - スクラム	アジャイルプロジェクトのレポートとウィジェットが含まれます。
ウォーターフォール	プロジェクトサマリー - ウォーターフォール **注:** このダッシュボードは、以前はプロジェクトマネージャーサマリーダッシュボードと呼ばれていました。	ウォーターフォールプロジェクトのレポートとウィジェットが含まれます。

プロジェクトの実行タイプによって、[分析] タブに表示されるダッシュボードが決まります。

[分析] タブにカスタムダッシュボードを埋め込むこともできます。システム管理者は、*`PMViewDataUtils`* スクリプトインクルードを変更し、 *`getDashboardUrl`* メソッドの *`dashboards_tabs`* の変数値を設定できます。その結果、プロジェクト分析でカスタムダッシュボードを表示できます。例を次に示します。

```
var dashboards_tabs =

    {
        waterfall: {
                dashboard_sysId: '5d4959dd878003008b9b3a0548cb0bd0',
                tab_sysId: '1d99d5dd878003008b9b3a0548cb0bbd'
                   },
        hybrid: {
                dashboard_sysId: '96dc46c78700330047d84c2c59cb0bf1',
                tab_sysId: '520d4ac78700330047d84c2c59cb0bab'
                    },
        agile: {
                dashboard_sysId: 'f3dd4ec78700330047d84c2c59cb0b93&tab',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                tab_sysId: '52fd8ec78700330047d84c2c59cb0bae'
                    },
        any_other_executionType: {
                dashboard_sysId: 'custom_dashboard_sys_id',
                tab_sysId: 'custom_dashboard_tab_sys_id'
                    },
    };
```

すべてのプロジェクトタイプについて、次のウィジェットとレポートが [分析] タブに表示され、プロジェクトマネージャーがプロジェクトを分析する際に役立ちます。

さまざまなプロジェクトタイプのウィジェットとレポート

名前	説明
アジャイルプロジェクト	
受け入れ条件のないストーリー	受け入れ条件情報のないプロジェクトのストーリーの数。
ストーリーの欠落ポイント	[ポイント] フィールドが空白のプロジェクトのストーリーの数。
ストーリー受け入れの期限切れ	スプリントの終了後に完了またはキャンセルステータスになっていないプロジェクト内のストーリーの数。
チームに関するスプリントステータス	リリース全体でさまざまなスクラムチームのスプリント関連のステータスを追跡します。チーム名をクリックして、スプリントの詳細を表示します。
ステータス別のストーリー	ドラフト、準備完了、WIP など、開発のさまざまなステージにあるストーリーの数を示すドーナツグラフ。適切なステータスをクリックして、ストーリーの詳細を表示します。
ポイント別の進捗状況	ポイントに基づいてプロジェクトの進捗状況を追跡します。エピック、アサイン先グループ、およびステータスの任意の組み合わせに基づいて、ストーリーのグループ化と積み重ねを行うことができます。
ストーリー別の進捗状況	ストーリーの数に基づいてプロジェクトの進捗状況を追跡します。エピック、アサイン先グループ、およびステータスに基づいて、ストーリーのグループ化と積み重ねを行うことができます。
ウォーターフォールおよびハイブリッドプロジェクト	
問題	プロジェクトに含まれる [処理待ち]、[オープン]、および [対応中] ステータスの問題の数。
アクション	プロジェクトの [処理待ち]、[オープン]、および [対応中] ステータスのアクションアイテムの数。
変更要求	プロジェクトの [処理待ち]、[オープン]、および [対応中] ステータスの変更要求の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さまざまなプロジェクトタイプのウィジェットとレポート (続く)

名前	説明
ステータス別のストーリー	[ドラフト]、[準備完了]、[WIP] など、開発のさまざまなステージにあるストーリーの数を示す円グラフ 。適切なステータスをクリックして、ストーリーの詳細を表示します。 **注:** このウィジェットは、ハイブリッドプロジェクトにのみ適用されます。
ステータス別のタスク	[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ] など、開発のさまざまなステージにあるプロジェクトタスクの数を示すドーナツグラフ。適切なステータスをクリックして、タスクの詳細を表示します。
プロジェクトメンバーに対する割り当ての詳細 (時間)	プロジェクトにアサインされたリソースの割り当てられた時間と実績時間を示す積み上げ棒グラフ。
プロジェクトメンバーに対する割り当ての詳細 - 月次 (時間)	プロジェクトにアサインされたリソースの割り当てられた時間と実績時間を示すピボットグラフ。
タスクのアサイン	アサインされたユーザーまたはグループに基づいて、リリース全体でさまざまなプロジェクトタスクのステータスを追跡します。ユーザー名またはグループ名をクリックして、アサインされたタスクの詳細を表示します。
ステータス別のリソース計画	現在のステータスに従ってグループ化されたリソース計画の数を示すドーナツグラフ。
期限切れのタスクとマイルストーン	プロジェクトタスク [pm_project_task] テーブルの次のいずれかの条件を満たすタスクである、期限切れのプロジェクトタスクとマイルストーンのリスト。 • [開始予定日] の値が本日の日付より前で、[ステータス] の値が [オープン] または [処理待ち] である。 • [シャドウ] フィールドの値が false に設定されている。
(今後 2 週間に) 予定されている、アサイニーのないタスク	現在の日付から 14 日後に開始する予定の未アサインの [オープン] または [処理待ち] のプロジェクトタスクのリスト。
一般的なウィジェット	
フェーズ	[開始中] や [計画中] など、プロジェクトの現在のステータス。
ステータス	プロジェクトのステータスを示すカラーインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さまざまなプロジェクトタイプのウィジェットとレポート (続く)

名前	説明
完了率 (%)	完了済みのプロジェクトの割合。
経過時間	プロジェクトの作業中に実開始日から終了予定日までに経過した時間。 プロジェクトが [オープン] または [処理待ち] ステータスの場合、経過時間は開始予定日と現在の日付に基づいて計算されます。
リスク	プロジェクト関連の [処理待ち]、[達成]、および [未達成] ステータスのリスクの数。
コスト傾向分析	月次での計画コストと実際のコストの比較を示す線グラフです。
利益の傾向分析	月次の計画財務利益の傾向を示す線グラフです。
金銭以外の利益計画	アクティブなプロジェクトの金銭以外の利益計画とそれに関連する利益計画の数のブレークダウン。
金銭以外の計画利益と実績利益	会計期間別にグループ化されたアクティブなプロジェクトの財務以外の合計計画利益と実際利益の比較。
確認済みの時間と配分時間と実績時間	プロジェクトの合計確認時間、割り当て済み時間、および実績時間の比較
タイムカード - 承認待ち (Pending Approval)	選択したプロジェクトの送信済みだがまだ承認されていないタイムカード。
タイムカード - 例外レポート	選択したプロジェクトのタイムカードを送信していないユーザーと、選択したプロジェクトに対してまだ承認されていないタイムカードのリスト。例外レポートは、進行中のタスクにアサインされているユーザー、またはプロジェクト/タスクにハード割り当てされているユーザーに対して生成されます。

クラシックプロジェクトワークスペースでのプロジェクトの定義

期間、コスト概算、およびクラシックプロジェクトワークスペースの組織に対する正味価値など、選択したプロジェクトの重要な要素を定義します。

始める前に

必要なロール：it_project_user

このタスクについて

プロジェクトワークスペースの [詳細] タブに、選択したプロジェクトのプロジェクトフォームが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. でプロジェクトワークスペース必要なプロジェクトを開きます。
2. [詳細] タブをクリックして、プロジェクトフォームを表示します。
3. 必要に応じてプロジェクトレコードを編集します。

クラシックプロジェクトワークスペースで計画立案コンソールを使用したプロジェクトの計画立案

クラシックプロジェクトワークスペースで計画立案コンソールを使用して、プロジェクトスケジュールの作成、リソースのアサイン、ベースラインの作成、クリティカルパスの表示などのプロジェクト計画立案を実行します。

始める前に
必要なロール：it_project_user

このタスクについて
プロジェクトワークスペースの [計画] タブでは、計画立案コンソールに選択したプロジェクトが表示されます。

手順

1. プロジェクトワークスペースで必要なプロジェクトを開きます。
2. [計画] タブをクリックすると、計画立案コンソールにプロジェクトが表示されます。

   注:
   プロジェクトワークベンチが [計画] タブにすでに開いている場合は、バナーの [プロジェクトワークベンチ] 選択矢印をクリックして、[計画立案コンソール] を選択します。

3. WBS 階層やガントチャートなどの計画立案コンソールの機能を使用して、プロジェクトを計画します。
   リストおよびフォームで実行できる計画立案コンソールのタスク (プロジェクトタスクの作成など) を複数実行することもできます。

クラシックプロジェクトワークスペースでプロジェクトワークベンチを使用したプロジェクトの追跡

プロジェクトマネージャーは、プロジェクトワークベンチでプロジェクトの追跡および管理を行います。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトワークスペースの [計画] タブを使用して、プロジェクトワークベンチに選択したプロジェクトを表示できます。

手順

1. プロジェクトワークスペースで必要なプロジェクトを開きます。
2. [計画] タブをクリックします。
3. プロジェクトワークベンチでプロジェクトを表示するには、バナーの [計画立案コンソール] 選択矢印をクリックして、[プロジェクトワークベンチ] を選択します。
4. プロジェクトワークベンチを使用して、プロジェクトのあらゆる要素を追跡および管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシックプロジェクトワークスペースでのプロジェクトのリソース計画の作成および管理

リソース要求者は、リソースの可用性の確認、およびプロジェクトとプロジェクトタスクのリソース計画の作成および管理をプロジェクトワークスペースで行います。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

プロジェクトワークスペースの [リソース] タブでは、選択したプロジェクトのリソース計画が編集可能なグリッドビューに表示されます。このタブは、次のセクションで構成されています。

リソースグリッド

ページ上部のセクションで、次のことができます。

- プロジェクトまたはそのタスクのリソース計画を作成できます。グループ、ロール、またはユーザーレベルでリソース計画を作成できます。
- オープンプロジェクトとそのタスクのすべてのリソース計画を 1 つの場所で表示および管理できます。
- 各リソース計画のリソース割り当てをグリッドビューで表示できます。

タブのグリッドビューを使用して、次のことを行います。

- フォームでレコードを開くことなく、計画時間と割り当て済み時間をインラインで編集します。
- 要件に応じて列をグループ化、非表示、または表示します。
- キャンセルまたは完了したリソース計画を非表示にします。
- リソース計画を要求、確認、または割り当てます。
- リソース計画とその割り当てを、グループ、ロール、またはユーザーリソース計画の将来の日付に移動します。
- グループ、ロール、またはユーザーのリソース計画のユーザーを別のユーザーに置き換えて、プロジェクト中にユーザーが休暇を取るなどの状況に対応します。
- 割り当てられたリソース計画の延長を要求します。
- グループまたはロールのリソース計画のユーザー割り当てを将来の日付にシフトします。
- リソース計画の横にある特定のメンバーで作成されたリソース計画アイコン ( ) を確認して、特定のメンバー設定で作成されたリソース計画を特定できます。

リソースファインダー

このセクションはページの下部にあります。このセクションはデフォルトで非表示になっています。ページの右上にあるリソースファインダーアイコン ( ) をクリックして表示できます。これにより、次のことが可能になります。

- リソースを検索し、その可用性を確認します。グループ、ロール、またはユーザーでリソースを検索できます。
- 検索されたリソースのリソース計画をプロジェクトとそのタスクに追加します。
- リソースを検索し、その可用性と利用状況を確認します。グループ、ロール、またはユーザーでリソースを検索できます。
- 現在のリソースのリソース計画を追加または確認します。
- 詳細ビューを使用して [実績] 列を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リソースファインダーで、リソースを可用性、割り当て超過、またはすべてのリソースでフィルターします。
- リソースの横にあるリソース計画で指定されたメンバーアイコン ( ) を確認して、リソース計画で特定のメンバーとして作成されたリソースを特定できます。
- キャパシティまたは可用性の列をクリックして、[リソース可用性] グリッドと [リソースキャパシティ] グリッドを表示します。
  - [リソース可用性] グリッドで [ユーザー] 列と [割り当てられた時間] 列をそれぞれ選択して、ポップアップウィンドウにユーザーとリソースの割り当ての詳細を表示します。
  - **注:**
    割り当てられた値は、割り当てワークベンチで行った選択に基づいて、[時間]、[FTE]、または [人日] フィールドに表示されます。

リソースグリッドセクションでリソース計画を選択すると、そのリソースの可用性の詳細が、リソースファインダーセクションに表示されます。たとえば、グループリソース計画を選択した場合、グループとそのメンバーの可用性の詳細が [ファインダー] セクションに表示されます。選択を変更すると、現在の選択に基づいてファインダーが自動的に更新されます。

手順

1. プロジェクトワークスペースで必要なプロジェクトを開きます。
2. [リソース] タブをクリックします。
   - リソース計画を作成するには、[新規] をクリックします。
   - 割り当てを週次または月次形式でグリッドに表示するには、[週] または [月] ボタンをクリックします。選択したオプションにより、リソースグリッドセクションとリソースファインダーセクションの両方のグリッドビューが変更されます。

     グリッド内の期間は、プロジェクトまたはリソース計画の最も早い開始日と、プロジェクトまたはリソース計画の最後の終了日に基づいて表示されます。
   - 割り当てを時間、FTE、または人日形式でグリッドに表示するには、リストの [時間]、**[FTE]**、または [人日] オプションをクリックします。選択したオプションにより、リソースグリッドセクションとリソースファインダーセクションの両方のグリッドビューが変更されます。
   - リソースを検索してそれらのリソース計画を作成するには、リソースファインダーアイコン ( ) をクリックします。
   - グリッドビューの特定の列を表示または非表示にするには、構成アイコン ( ) をクリックします。アイテム列の非表示と表示を切り替えても、テーブルは更新されません。グループ化された列は非表示にできません。
   - リソース割り当てをユーザーレベルで表示するには、グリッドでリソース計画を展開します。ユーザーレベルの割り当ては、グループおよびロールのリソース計画についてのみリストされます。
   - 計画済みの時間と割り当て済みの時間をグリッドでインライン編集するには、行をダブルクリックします。[要求済み]、[確認済み]、および [割り当て済み] ステータスのリソース計画について、将来の期間の計画済み時間を更新できます。
   - フォームでリソース計画の詳細を表示および更新するには、リソース計画の行の先頭にある情報アイコン ( ) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [アクション] 列でリソース計画を要求するには、アクションアイコン (⋮) をクリックし、[要求] を選択します。
- [アクション] 列でリソース計画を削除するには、アクションアイコン (⋮) をクリックし、[削除] を選択します。
- [アクション] 列で、プロジェクトに作成されたすべてのリソース計画を要求するには、プロジェクト行でアクションアイコン (⋮) をクリックし、[すべてを要求] を選択します。このアイコンは、リストされたプロジェクトのリソース計画の少なくとも 1 つが [計画] または [却下] ステータスである場合に有効になります。

[アクション] メニューで使用可能な各種オプションの詳細については、「 割り当てワークベンチを使用したリソースの管理 」トピックを参照してください。

クラシックプロジェクトワークスペースでのプロジェクトに関する予測の表示と財務計画の管理

プロジェクトワークスペースの [財務] タブを使用して、プロジェクトのコストと利益を取得します。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

[財務] タブには、プロジェクトのコスト要素の内訳が表示されます。合計計画コスト、予算コスト、実績コスト、および予定リターンとそれらのブレークダウンは読み取り専用カードの形式で表示され、コスト計画、利益計画、およびそれらのブレークダウンは編集可能なグリッドビューで提供されます。グリッドビューを使用すると、次のことができます。

- 計画レベルの列をグループ化します。計画レベルとブレークダウンの両方の列を設定、ソート、展開、折りたたみ、およびフリーズします。
- フォームで計画を開かずに、コスト計画または利益計画のブレークダウン値をインライン編集します。インライン編集は、 月次ビューでのみ使用できます。
- プロジェクトのコスト計画と利益計画を作成します。

手順

1. プロジェクトワークスペースで必要なプロジェクトを開きます。
2. [財務] タブをクリックします。
3. コスト計画を作成するには：
   a. リストから [コスト計画] を選択します。
   b. [新規] をクリックします。
4. 金銭的利益計画を作成するには：
   a. リストから [利益計画] を選択します。
   b. [新規] をクリックします。
5. 選択した会計年度のプロジェクトコストと財務ブレークダウンサマリーを表示するには、リストから [概要] を選択します。
   [概要] タブには、[予定コスト]、[実際のコスト]、[差異 (計画コストと実績コスト)]、[完了時の推定 (EAC)]、および [残作業コスト見積り (ETC)] の財務概要が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> プロジェクトにコスト計画を備えたサブプロジェクトがある場合、財務概要ブレークダウンビューはデフォルトで有効になりません。このビューを有効にするには、it_pps_admin のロールを有するユーザーが **com.snc.project.rollup.cost** プロパティ値を **true** に設定する必要があります。

- [概要] タブで財務概要ビューを管理できます。

  a. 移動先 すべて > システム定義 > スクリプトインクルード.

  b. **PmOverviewTabConsts** スクリプトを検索して選択します。

  c. スクリプトのコードを再配置または削除して、[更新] をクリックします。

  ヘッダーをドラッグして必要な位置にドロップすると、[概要] タブの財務概要列を並べ替えることができます。この配置は、現在のセッションが終了または期限切れになるとリセットされます。

- 管理者は、次の場所に移動して、 プロジェクト関連プロパティ ページに会計年度の財務概要データが表示されるレベルを設定できます プロジェクト管理 > 設定 > 設定 - プロジェクト. 値が指定されていない場合、デフォルトでは四半期別のブレークダウンが表示されます。

6. オプション: フォームで追加フィールドを確認するか、計画の詳細を表示するか、比較データを再編成します。

- ベースラインを作成するか、利用可能なベースラインを比較するには、ベースライン情報アイコン (···) をクリックして、[新しいベースラインを作成] または [ベースラインを比較] オプションをそれぞれ選択します。

  財務ベースラインの比較画面では、先頭の 2 行にすべての値が機能通貨またはプロジェクト通貨で表示されます。プロジェクト通貨で値を表示するには、構成アイコン ( ) をクリックし、[プロジェクト通貨でウィジェットを表示] ビューに切り替えます。

  [財務ベースラインの詳細] ペインには、選択された機能通貨とプロジェクト通貨が表示されます。

  財務ベースライングリッドには、機能コスト、プロジェクト通貨でのコスト、実績、およびプロジェクト通貨での実績が表示されます。プロジェクト通貨はグリッドレベルで表示できます。このビューは、異なるプロジェクト通貨のサブプロジェクトのコスト計画がある場合に役立ちます。

- コスト計画または利益計画の詳細をフォームに表示するには、グリッドの [名前] 列にある情報アイコン ( ) をクリックします。
- コスト計画または利益計画の詳細を年次、四半期ごと、または月次の形式で表示するには、それぞれ [年]、[四半期]、または [月] ビューをクリックします。
- [財務の概要] セクションでウィジェットの表示を切り替えるには、ウィジェットアイコン ( ) をクリックし、[ウィジェットを表示] オプションを選択します。

  個々のウィジェット名を選択してウィジェットを表示します。選択をクリアすると、ウィジェットが非表示になります。

  選択したフィールドの設定が保存され、[財務] タブを再度開くと利用できるようになります。

- グリッドの列を表示または非表示にするには、構成アイコン ( ) をクリックしてフィールド名を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化された列を非表示にすることはできません。デフォルトのグリッド列レイアウトにリセットするには、[デフォルト値にリセット] オプションを選択します。

- プロジェクトコストをプロジェクト通貨で表示するには、構成アイコン () をクリックし、プロジェクト通貨での金額を表示する 5 つのウィジェットを選択します。ウィジェットは、[プロジェクト通貨での合計計画コスト]、[プロジェクト通貨での予算コスト]、[プロジェクト通貨での実績コスト]、[プロジェクト通貨での予定リターン (Planned Return in Project Currency)]、および [プロジェクト通貨での利益] です。

  通貨インジケーターでは、機能通貨とプロジェクト通貨の両方を表示できます。

  [コスト計画] および [利益計画] タブの [財務の概要] グリッドビューでは、[プロジェクト通貨でのコスト]、[プロジェクト通貨]、[プロジェクト通貨での合計実績コスト] など、プロジェクト通貨に関連するすべてのアイテムが列見出しとして構成されます。

  デフォルトでは、機能通貨列のみを表示できます。プロジェクト通貨列を表示するには、構成アイコン () をクリックして、アイテム列内のプロジェクト通貨列のチェックボックスをオンにします。

  異なるプロジェクト通貨のサブプロジェクトのコスト計画がある場合、[プロジェクト通貨でのコスト] フィールドの集計金額は空白になります。

プロジェクト財務測定基準のウィジェットの設定

[プロジェクトワークスペース] ページの [財務] タブでプロジェクトの財務測定基準を表示および追跡するウィジェットを設定します。

始める前に
必要なロール：pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > ウィジェット.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ウィジェットフォーム

フィールド	説明
名前	ウィジェットの一意の名前。
スクリプト化	ウィジェットの値がコードスクリプトから取得されたことを示すオプション。 デフォルトでは、このオプションは選択され、読み取り専用です。
ラベルを表示	ラベルまたは色インジケーターを表示するためのオプション。 このチェックボックスをオフにすると、[色] フィールドが表示され、色を設定できます。
有効	ウィジェットのステータスを示すためのオプション。 プロジェクトワークスペースの [財務] タブには、アクティブなウィジェットのみを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親ウィジェット	現在のウィジェットの親であるウィジェット。 現在のウィジェットが、選択したウィジェットの [子ウィジェット] 関連リストに表示されます。 最大 3 個の子ウィジェットを親ウィジェットに追加できます。
フォーマッターが必要	ウィジェットに通貨フォーマッターが必要かどうかを指定するためのオプション。

スクリプト	ウィジェットに表示される要求された測定基準値を返すコードスクリプト。
	
	スクリプトでは、コンテキストオブジェクトとフィルターオブジェクトを使用します。コンテキストオブジェクトには、すべてのプロジェクト財務フィールド (capex_costs、opex_costs、budget_cost など) が含まれています。
	
	次のサンプルスクリプトは、ウィジェットに表示するプロジェクトの [完了時の推定 (EAC)] 測定基準値を返します。
	`var context = JSON.parse(context);`
	`var filter = context.filters;`
	
	`var now_GR = new GlideRecord('pm_project');`
	`gr.addEncodedQuery(filter['pm_project']);`
	`gr.query();`
	`if(gr.next())`
	`gr.getValue('forecast_cost');`
	Collapse

簡単な説明	ウィジェットの説明。

自動翻訳

次のタスク

ウィジェットをプロジェクトテーブルに関連付けます。

プロジェクトテーブルへのウィジェットの関連付け

ウィジェットを設定したら、それをプロジェクトテーブルに関連付けて、プロジェクトの財務データを表示します。

始める前に

ウィジェットを設定してから、プロジェクト [[pm_project] テーブルに関連付ける必要があります。

必要なロール：pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > ウィジェット.
2. ウィジェットを開いて、プロジェクトテーブルに関連付けます。
3. [ウィジェットの関連性] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットの関連性フォーム

フィールド	説明
関連性ID	ウィジェットに関連付けるレコード。 関連するレコードにアクセスするには、 [テーブル名] リストでテーブル [sys_db_objects] テーブルを選択し、 [ドキュメント] リストでプロジェクト [pm_project] テーブルを選択する必要があります。
関連付けテーブル	ウィジェットに関連付けるテーブル。 リストからテーブル [sys_db_objects] を選択する必要があります。
ウィジェット	ウィジェットの一意の名前。
順番	プロジェクトワークスペースの [財務] タブの他のウィジェットに関連するウィジェットの位置。 ウィジェットは番号順に表示され、最も小さい番号が最初に表示されます。
カードに表示	[財務] タブにウィジェットを表示するオプション。
デフォルトで含める	[財務] タブにデフォルトでウィジェットを表示するオプション。

クラシックプロジェクトワークスペースでのプロジェクトの資金の要求

プロジェクトアクティビティに取り組み、ビジネス目標を達成するためのプロジェクト投資の資金を要求します。

始める前に

次の条件が満たされている場合は、プロジェクトの資金を要求できます。

- Investment Funding (com.snc.investment_funding) プラグインが有効になっている。
- プロジェクトの資金調達エンティティが利用可能で、アクティブになっている。

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

プロジェクトにコスト計画を追加した場合は、各期間の列ヘッダーに表示される合計計画コストを参照して、要求する金額を決定できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース.
2. 資金をレビューまたは管理する対象のプロジェクトをクリックします。
3. プロジェクトワークスペースで、[財務] タブをクリックします。
4. [資金] タブをクリックします。
   以前にプロジェクトのために資金調達ソースの資金を要求したことがある場合、[資金] リストには資金調達ソースが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [新しいソースを追加] リンクをクリックして、資金調達ソースを選択します。
6. [ソースを選択] ペインで、リストから 1 つ以上のソース投資を選択し、[選択項目を追加] をクリックします。
   指定した資金源が [予算を要求] グリッドに追加されます。
7. [予算を要求] グリッドで、資金を要求する資金源の [新規/変更要求] の [投資] 列および [経費] 列で金額を指定します。
   更新されたすべての資金源のステータスが [ドラフト] または [計画] に変更され、セルが強調表示されます。
8. [要求] をクリックします。
9. [要求を確認] ダイアログボックスで、要求を確認し、必要に応じてコメントを追加します。
10. [要求] をクリックします。

クラシックプロジェクトワークスペースでのプロジェクトの実費の入力

プロジェクトの実際の支出を入力して、資金の使用状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトに割り当てられた資金を使ってプロジェクトアクティビティを完了する場合、その金額を実績として記録し、プロジェクトの財務状況をレビューして追跡します。

> **注:**
> 経費ラインから計算されたプロジェクトレコードの実績は、資金の実績に自動的に反映されません。実際の支出には人件費やその他の経費が含まれている可能性があるため、[資金] リストの対応する資金調達ソースに対して手動で入力する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース.
2. 資金をレビューまたは管理する対象のプロジェクトをクリックします。
3. プロジェクトワークスペースで、[財務] タブをクリックします。
4. [資金] タブをクリックします。
5. [資金] リストで、対応する資金調達ソースの [実績投資] 列と [実績経費] 列に、プロジェクトで実際に費やした金額を入力します。

   > **注:**
   > リストに [実績投資] 列と [実績経費] 列が表示されない場合は、構成アイコン () から選択します。

タスクの結果
入力した金額は、プロジェクトの実績として更新されます。

クラシックプロジェクトワークスペースでのプロジェクトステータスレポートの表示

プロジェクトマネージャーとして、クラシックプロジェクトワークスペースで [ステータスレポート] タブを使用して、プロジェクトのプロジェクトステータスレポートを表示します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
[ステータスレポート] タブから、次のことを実行できます。

- プロジェクトで利用可能なステータスレポートを表示および印刷します。
- ステータスレポートを作成します。
- プロジェクトの既存のステータスレポートからフィールドをコピーすることで、ステータスレポートの作成時の時間を節約できます。

手順

1. プロジェクトワークスペースで必要なプロジェクトを開きます。
2. [ステータスレポート] タブをクリックします。
   プロジェクトに対して作成された最新のステータスレポートが表示されます。
3. ステータスレポートを作成するには、右上の [新規作成] ボタンをクリックします。
4. 既存のステータスレポートをコピーするには：
   a. 選択リストから、コピーするステータスレポートを選択します。
   b. [新規作成] の横にある選択リストから [コピー] をクリックします。
      このオプションでは、すべてのフィールドを含む選択されたステータスレポートが新しいレポートにコピーされます。
   c. [保存] をクリックします。
5. 選択リストからステータスレポートを選択し、プロジェクトで利用可能なステータスレポートの内容を表示します。
   レポートは、作成日別に選択リストにリストされます。
6. ステータスレポートを印刷するには、右上の印刷アイコン ( ) をクリックします。

プロジェクトの定義

期間、コスト概算、正味価値など、アジャイル、ウォーターフォール、またはハイブリッドプロジェクトの重要な要素を組織に対して定義して、プロジェクトの進捗状況を効率的に追跡します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトは、プロジェクトリストまたはプロジェクト計画立案コンソールから作成できます。アジャイルまたはハイブリッドプロジェクトを作成するための Agile Development 2.0 プラグインと、プロジェクトのテストフェーズを作成するための テスト管理 プラグインが必要です。

> **注:**
> デマンドワークベンチからプロジェクトを作成することもできます。

複数通貨機能を使用して、機能通貨とは異なる現地通貨でプロジェクトを作成することもできます。PPM Standard Multicurrency プラグイン (com.snc.ppm_multicurrency) を有効にして、[プロジェクト] フォームの [財務] タブにある追加フィールドの [プロジェクト通貨] ビューに切り替える必要があります。詳細については、「プロジェクト財務における複数通貨」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のいずれかの方法でプロジェクトを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。

プロジェクトフォーム

フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトの名前。[自分のプロジェクトスペース] ページからプロジェクトを作成すると、[プロジェクト名] フィールドが自動的に入力されます。
プロジェクトマネージャー	プロジェクトにアサインされたプロジェクトマネージャー。
ステータス	プロジェクトの現在のステータス。この情報は、プロジェクトの最新のプロジェクトステータスレポートの [総合健全性] フィールドから取得されます。
番号	設定可能なプリフィックス付きのシステム生成番号。
完了率 (%)	完了済みのプロジェクトの割合。
ステータス	プロジェクトの現在のステータス。すべての新規プロジェクトは、 [処理待ち] として開始されます。プロジェクトのステータスは、プロジェクトフォームで設定することも、タスクステータスから取得することもできます。 使用可能なデフォルトのステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。 ステータスディクショナリ属性を上書きして、各ステータスタイプのカスタムステータスを作成することもできます。 たとえば、プロジェクトタスクに対して、[対応中] ステータスタイプの [テスト中] というカスタムステータスを作成したとします。プロジェクトタスクのステータスを [テスト中] に更新すると、プロジェクトのステータスも [テスト中] に更新されます。ただし、[対応中] ステータスタイプに対して [テスト中] ステータスを作成していない場合、プロジェクトのステータスはデフォルトの [対応中] ステータスに更新されます。
説明	プロジェクトの詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プロジェクトの説明では特殊文字はサポートされていません。また、テキストプロセッサーからテキストをコピーしないでください。プロジェクト情報を計画コンソールに表示する際に問題が発生する可能性があります。
類似のプロジェクト	予測インテリジェンスと機械学習アルゴリズムを使用して、[説明] フィールドと [簡単な説明] フィールドに類似した値を持つプロジェクトを表示します。詳細については、「プロジェクト管理 (PM) 対応の 予測インテリジェンス」を参照してください。
関連検索	デフォルトで [名前] フィールドに一致する検索結果を表示します。このフィールドを使用して、他の用語を使用して一致するプロジェクトを検索することもできます。
日付	
スケジュール	このプロジェクトで使用する作業スケジュール。デフォルトのスケジュールは、1 作業日あたり 8 時間 (午前 8 時から午後 12 時および午後 1 時から午後 5 時) です。1 日 24 時間ではなく、1 作業日が 1 日と見なされます。
承認された開始日	プロジェクトを開始する日付。プロジェクトがデマンドから変換された場合、このフィールドはデマンドの承認開始日を保持します。プロジェクトスケジュールはこの日付には適用されず、プロジェクトタスクをプロジェクトに追加しても日付は変更されません。このフィールドの日付が [開始予定日] フィールドより後の日付に設定されている場合、このフィールドは赤色で強調表示されます。 注: プロジェクトの承認開始日も、そのプロジェクトに関連付けられたすべてのサブプロジェクトに引き継がれます。
承認された終了日	このプロジェクトが終了する日付。プロジェクトがデマンドから変換された場合、このフィールドはデマンドの承認期日を保持します。プロジェクトスケジュールはこの日付には適用されず、プロジェクトタスクをプロジェクトに追加しても日付は変更されません。このフィールドの日付が [終了予定日] フィールドより前の日付に設定されている場合、フィールドが赤色で強調表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プロジェクトの承認終了日も、そのプロジェクトに関連付けられたすべてのサブプロジェクトに引き継がれます。
開始予定日	プロジェクト内のプロジェクトタスクの開始日。この日付は、プロジェクトタスクからロールアップされます。この日付は、[承認された開始日] からコピーされます。計画タスクが追加されると、この値はプロジェクトスケジュールで許可される最も早い時間に設定されます。 たとえば、プロジェクトタスクが午前 3 時に作成され、デフォルトのスケジュール (開始日の午前 8 時) を使用している場合、デフォルトのタスク開始は翌日の午前 8 時になります。 注: 開始予定日は、現在の日付から 10 年以内である必要があります。プロジェクトプロパティの[現在の日付を基準とした将来または過去の最大日数スパン **(Max date span into future or past from the current date)]** が、プロジェクトの開始予定日の動作を制御します。 デマンドをプロジェクトに変換すると、デマンドの開始日がプロジェクトの開始予定日として引き継がれます。デマンドの開始日が週末で、プロジェクトがプロジェクトスケジュールに従っている場合、開始予定日は週の最初の作業日に調整されます。 [自分のプロジェクトスペース] ページからプロジェクトを作成すると、[開始予定日] フィールドが自動的に入力されます。カレンダーのアイコンをクリックして、プロジェクトの開始日を選択します。プロジェクトは、開始予定日に自動的には開始されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ プロジェクトの開始予定日を変更すると、関連するコスト計画とリソース計画も変更されます。プロジェクトプロパティの[デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更でリソースプランとコスト計画の開始日を変更 **(Change Resource Plan and Cost Plan Start Date with Demand or Project Start Date Change)]** が、プロジェクトの開始日変更の動作を制御します。 ○ プロジェクトの作成時、デフォルトではこのフィールドが使用できません。[承認された開始日] フィールドを使用して、プロジェクトの開始日を指定します。このフィールドを表示するには、このフォームを設定します。ただし、このフィールドは、既存のプロジェクトおよびデマンドから変換されたプロジェクトで使用できます。
終了予定日	プロジェクト内のプロジェクトタスクの終了日。タスクを追加すると、フィールドの値がタスクから計算されます。 手動プロジェクトの場合、プロジェクトの実開始日を更新しても、終了予定日は更新されません。プロジェクトプロパティの [予定日の手動プロジェクトの実績での変更を有効にする **(Enable alter of planned date with Actual for Manual Project)]** を有効にすると、実開始日および計画期間から終了予定日を更新できます。 注: このフィールドは、デフォルトではプロジェクトの作成時には使用できません。[承認された終了日] フィールドを使用してプロジェクトの終了日を指定します。このフィールドを表示するには、このフォームを設定します。 デマンドをプロジェクトに変換すると、デマンドの期日がプロジェクトの終了予定日として引き継がれます。デマンドの期日が週末で、プロジェクトがプロジェクトスケジュールに従っている場合、終了予定日は週の最初の作業日に調整されます。
計画された期間	プロジェクト内のタスクの予定期間。タスクを追加すると、フィールドの値がタスクの期間から計算されます。期間はプロジェクトスケ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ジュールも考慮し、スケジュール内の非作業時間を考慮します。 注: プロジェクトプロパティの[プロジェクト/プロジェクトタスクに許可された最大期間 (日数) **(Max duration (in days) allowed for a project/project task)]** は、プロジェクトの計画期間の動作を制御します。 たとえば、標準的な 8 時間の作業日でデフォルトのスケジュールが使用されている場合、7 月 1 日の午前 8 時に開始して 7 月 2 日の正午に終了するプロジェクトは、28 時間ではなく、1 日と 4 時間として計算されます。
計画工数	プロジェクトの完了までにかかる推定時間。この計算では、このプロジェクトのすべてのタスクとストーリー (アジャイルおよびハイブリッドプロジェクトの場合) の計画工数の値が合計されます。タスクを追加すると、このフィールドは読み取り専用になってロールアップ計算が適用され、以前に行った入力が上書きされます。
開始実績日時	計画タスクが開始される日付。 実開始日と実終了日の時間コンポーネントは、実際の日付を手動で入力するときの [初期設定] タブの [予定日から時間コンポーネントを取得 **(Derive time component from planned dates)]** フィールドの値によって異なります。 ただし、プロジェクトの [ステータス] または [完了率] を変更すると、予定日からコピーされた時間コンポーネントが実際の日付に自動的に入力されます。この場合、[予定日から時間コンポーネントを取得 **(Derive time component from planned dates)]** フィールドの値は、実際の日付の時間コンポーネントには影響しません。
終了実績日時	計画タスクが終了する日付。
実際の期間	プロジェクト開始からプロジェクト終了までのプロジェクトタスクの期間。計画期間と同様に、実際の期間には合計プロジェクト時間が表示され、プロジェクトスケジュールが考慮されます。
実績工数	このプロジェクトでリソースに課される実際の時間数。タイムカードアプリケーションを使用している場合は、このフィールドの値が自動的に計算されます。プロジェクトとそのすべての

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	タスクで作業したすべてのリソースの承認済みタイムカードからの作業時間の合計を使用します。 **注:** アジャイルおよびハイブリッドプロジェクトのストーリーからの実績工数も、プロジェクトの実績工数にロールアップされます。 [初期設定] タブで [タイムカードから実績工数を更新する] フィールドが [はい] に設定されている場合、このフィールドは編集できません。
詳細	
ポートフォリオ	プロジェクトが属するプライマリポートフォリオ。1 つのプロジェクトが複数のポートフォリオに属することができます。 **注:** ○ [ポートフォリオ] フィールドが設定されていないプロジェクトが、ポートフォリオフォームを使用してポートフォリオに関連付けられている場合、ポートフォリオ名が [ポートフォリオ] フィールドに入力されます。 ○ ポートフォリオが削除されると、ポートフォリオ名は、プロジェクトフォームの [ポートフォリオ] フィールドから削除されます。
プログラム	プロジェクトが属するプログラム。 **注:** [ポートフォリオ] フィールドが設定されていない場合は、システム内のすべてのプログラムのリストから選択できます。[ポートフォリオ] フィールドが設定されている場合、他のポートフォリオに属するプログラムを選択することはできません。
投資クラス	プロジェクトにアサインされている投資クラスカテゴリのタイプ。 ○ 実行：既存のビジネスを維持するために行われる投資。 ○ 変更：ビジネスに変更を実施するために行われる投資。
投資タイプ	プロジェクトの投資タイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルトで利用可能なオプションは、[コスト削減 (Cost Reduction)]、[エンドユーザーエクスペリエンス]、[法務と規制 (Legal and Regulatory)]、[収益の創出 (Revenue Generating)]、[サービスの維持 (Service Sustaining)]、および [戦略の実現 (Strategic Enabler)] です。
実行タイプ	プロジェクトの実施に使用される実行方法：[ウォーターフォール]、 [アジャイル]、および [ハイブリッド]。 デフォルト値は [ウォーターフォール]です。 [実行タイプ] フィールドの選択によって、使用可能な関連リンクと関連リストが決まります。たとえば、[実行タイプ] の値を [アジャイル] に設定すると、[アジャイル計画および追跡] 関連リンクが表示されます。これらの関連リンクと関連リストを表示するには、Agile Development 2.0 や テスト管理 などの適切なプラグインが必要です。また、これらの関連リンクと関連リストを使用するための適切なロールも必要です。
デマンド	プロジェクトの作成元のデマンド。このフィールドは、プロジェクトにデマンドが関連付けられている場合にのみ表示されます。
フェーズ	プロジェクトの現在のフェーズ。 [フェーズ] フィールドに加えて、さまざまなプロジェクトフェーズも各プロジェクトレコードの上部に表示されます。選択したフェーズが強調表示されます。 デフォルトのフェーズは、 [開始中]、[計画中]、[実行中]、[展開中 **(Delivering)]**、および [終結] です。
部門	プロジェクトが属する事業部門の部門。
事業部門	プロジェクトが属する事業部門。
影響を受ける事業部門	プロジェクトの影響を受ける事業部門。
ビジネス機能	プロジェクトで 1 つ以上のビジネス機能を変更、拡張、または追加する場合は、それらの機能をプロジェクトに関連付けることができます。ビジネス機能 は、アプリケーションポートフォリオ管理 モジュールで定義されます。
ビジネスアプリケーション	プロジェクトで 1 つ以上のビジネスアプリケーションを変更、拡張、または追加する場合は、それらのアプリケーションをプロジェクトに関連付けることができます。ビジネスアプリケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ション は、アプリケーションポートフォリオ管理 モジュールで定義されます。 [ビジネス機能] フィールドで選択した機能に関連しているかどうかに関係なく、企業内の任意のビジネスアプリケーションを選択できます。
ビジネスケース	
注: デマンドがプロジェクトに変換されると、[ビジネスケース] タブのデータが、デマンドからプロジェクトに引き継がれます。	
戦略	プロジェクトが達成する組織の戦略的目標。1 つのプロジェクトで複数の戦略的目標を達成することができます。 プロジェクトの事業部門が [詳細] タブで選択されている場合、選択した事業部門のビジネス戦略が他の企業戦略とともにリストに表示されます。
目標	選択した戦略に関連付けられた目標。1 つのプロジェクトで複数の目標を達成することができます。 戦略が選択されていない場合は、すべての目標がリストに表示されます。
ビジネスケース	プロジェクトを支えるビジネス上のテーマ。
実行リスク	プロジェクトが実施された場合に伴うリスク。
不実行リスク	機会を失うリスクなど、プロジェクトが実施されない場合に伴うリスク。
実現要因	プロジェクトの主要な実現要因。
バリア	プロジェクトの主要なバリア。
スコープの範囲内	プロジェクトの範囲。スコープは、プロジェクトの範囲を定義する一連の境界です。
スコープの範囲外	プロジェクトの範囲に含まれないアクティビティまたは成果物。スコープに定義されていないものはすべてスコープの範囲外です。
仮定	プロジェクトのために作成された仮定。仮定は、スコープとリスクを定義したり、時間とコストの予測を微調整したりするのに役立ちます。
財務	
レートモデル	プロジェクトにアサインされたレートモデル。レートモデルは、関連付けられたリソース計画とタイムカードの時間単価を算出するのに使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デマンドからプロジェクトを作成すると、レートモデルがデマンドからプロジェクトにコピーされます。 プロジェクト内のサブプロジェクトは、トップタスクに関連付けられたレートモデルからリソース計画の計算を導き出します。 割り当てられたレートモデルが削除または置換された場合、またはレートモデルの時給が変更された場合、関連するリソース計画のコストフィールドは自動的に再計算されません。[リソースコストを再計算] メニューオプションを使用してプロジェクト内のすべてのリソース計画のコストを更新し、レートモデルの新しいレートを反映させる必要があります。 また、一度に 1 つのリソース計画のコストを更新することもできます。
合計計画コスト	プロジェクトのコスト概算。 運用支出、資本的支出、またはその両方がプロジェクトに関連付けられている場合、計画コストは、プロジェクトに対して選択した通貨による運用支出と資本的支出の合計です。 アジャイルおよびハイブリッドプロジェクトでは、アジャイルアサイン先グループのリソース計画が作成されるときに、ストーリーの計画コストが考慮されます。 **注:** アジャイルアサイン先グループのリソース計画を作成するには、グループに pps_resource ロールをアサインする必要があります。
計画投資	プロジェクトの資本的支出 (投資)。プロジェクトに関連付けられているコスト計画がない場合、[計画投資] フィールドが編集可能です。通貨タイプを選択して、値を入力します。
計画経費	プロジェクトの運用支出 (経費)。プロジェクトに関連付けられているコスト計画がない場合、[計画経費] フィールドが編集可能です。通貨タイプを選択して、値を入力します。
予算コスト	このプロジェクトの予算コスト。このフィールドは、コスト計画明細テーブルのプロジェクト予算明細から自動的に入力されます。プロジェクト資金が会計年度に割り当てられると、コスト計画明細には各会計期間の予算割り当てが保存されます。これらの金額はロールアップされ、予算コストに保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	手動で値を入力するには、通貨アイコンを選択して値を入力します。
実績コスト	このプロジェクトの実績コスト。通貨アイコンを選択して、値を入力します。
完了時の推定 (EAC)	過去の会計期間のすべての実績の合計と将来の会計期間の計画コストを加算した値。 **注:** EAC の計算上では、現在の月は将来の月と見なされます。 たとえば、プロジェクトの期間が 1 月 1 日から 12 月 31 日で、5 月の完了時の推定 (EAC) を確認する場合、1 月から 4 月までの実績の合計 + 5 月から 12 月までの計画コストの合計として計算されます。
計画利益	プロジェクトの計画利益。 この値は、プロジェクトの利益明細からロールアップされます。 また、値を手動で入力することもできます。通貨アイコンを選択して、値を入力します。
予定リターン	予定リターンの値は、計画利益と計画コスト値の差から導出されます。 ([計画利益] フィールドの値 – [計画コスト] フィールドの値。)
計画 ROI (%)	ROI (投資利益率) のパーセンテージ結果は、[予定リターン] フィールドと [コスト概算] フィールドの値に基づいて計算されます。 (予定リターン / コスト概算 x 100)
割引率 (%)	プロジェクトの割引率。 割引率は、将来のキャッシュフローの現在価値を決定するための利率です。
正味現在価値	所定の年利に基づく将来のキャッシュの現在価値。 この値は、現在の支出額を将来予想される予定利益と比較するための指標です。この情報は、投資成果全体を評価する際に役立ちます。 たとえば、12% の割引率では、今日の 1.00 ドルは、2 年後の 0.80 ドルに相当します。したがって、2 年後に 1.00 ドルを受け取ることは、今日 0.80 ドルを受け取ることと同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	正味現在価値 (NPV) は、年間コスト概算、年間計画利益、およびプロジェクトの割引率から計算されます。
内部利益率 (%)	ゼロ NPV を達成するために必要な年利。 内部利益率 (IRR) は、どのプロジェクトが収益の観点からより高い利益率を実現できるかを判断するのに役立ちます。
ETC	将来の会計期間のすべての計画コストの合計。 EAC や ETC の値を計算する頻度を定義して、経費ラインと一致させることができます。移動先 システム定義 > スケジュール済みジョブをクリックし、[プロジェクト完了推定を計算] ジョブを選択して、[実行] リストを使用して頻度を設定します。 注: ETC の計算上では、現在の月は将来の月と見なされます。
スコア	
リスクスコア	プロジェクトリスクに基づいて計算されます。
ビジネス価値スコア	プロジェクトの ROI (%) に基づいて計算されます。
サイズスコア	[計画コスト] フィールドの値に基づいて計算されます。
スコア	属性 [リスクスコア]、[ビジネス価値スコア]、および [サイズスコア] の個々のスコアに基づいて計算されます。また、これらの属性はそれぞれ、プロジェクトのリスク属性、計画 ROI (%) 属性、およびコスト概算属性に基づいて計算されます。 注: ○ スコアの計算式を設定できます。 ○ デマンドがプロジェクトに変換されると、デマンドに基づいて計算されたスコアがプロジェクトに引き継がれます。
メモ	
ウォッチリスト	プロジェクトの通知に登録しているユーザー。
作業メモリスト	プロジェクトの作業メモが更新されたときにメール通知を受け取ることを選択したユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティビティ / 作業メモ	プロジェクトの進捗に伴うマイルストーン、障害、または変更に関する情報。[アクティビティ] フィールドにメモを入力し、[作業メモ] をクリックします。テキストがフィードに表示されます。
初期設定	
タイムカードレポートを有効にする	プロジェクトタスクのタイムカードを作成できるレベル： ○ プロジェクトのみ：プロジェクトのすべてのタイムカードは、プロジェクトレベルでのみ作成されます。たとえば、ユーザーがプロジェクト内の複数のタスクにアサインされている場合、すべてのタスクに費やされた時間は、プロジェクトの 1 つのタイムカードにのみ記録されます。 **注:** タイムシートポータルでは、タスクとプロジェクトが [タスク] タブに一覧表示されます。これらのタスクでは、[タイムシートに追加] および [選択項目をタイムシートに追加] オプションは使用できません。[クイック追加] オプションのみを使用できます。[クイック追加] をクリックすると、タスクに対してではなく、トッププロジェクトに対してタイムカードが作成されます。 ○ プロジェクトタスクのみ：計画された各タスクに対応する個別のタイムカードが作成されます。 **注:** タイムシートポータルでは、[タイムシートに追加]、[クイック追加]、および [選択項目をタイムシートに追加] オプションをプロジェクトに使用できません。 ○ プロジェクトおよびプロジェクトタスク：タイムカードは、プロジェクトレベルおよびプロジェクトタスクレベルで作成できます。デフォルト値は **true** です。 ○ 時間レポートなし：プロジェクトのタイムカードは作成されません。ユーザーがタイムカードを手動で送信すると、ビジネスルール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	により、ユーザーはタイムカードを送信できません。 **注:** タイムシートポータルでは、[タイムシートに追加]、[クイック追加]、および [選択項目をタイムシートに追加] オプションを、プロジェクトにもプロジェクトタスクにも使用できません。
タイムカードから実績工数を更新する	[日付] タブの [実績工数] フィールドを、プロジェクトのタイムカードに入力された時間に基づいて更新するかどうかを決定します。 フィールドが [はい] に設定されている場合、[実績工数] フィールドは編集できません。[いいえ] に設定されている場合、タイムカードの実際の時間はプロジェクトとタスクにロールアップされません。デフォルトでは、このフィールドは [いいえ] に設定されています。
計算	タスクの依存関係に使用する計算のタイプ： ○ マニュアル：依存関係に加えられた変更は、タスクの日付には反映されません。 ○ 自動：依存タスクまたは子タスクに加えられた変更を反映して、タスクの日付が自動的に更新されます。
プログラムステータスレポートに表示	プロジェクトとその主要な要素 (コスト、リソース、スコープ、スケジュールなど) をプロジェクトが属するプログラムのステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。 デフォルト：オン
制約日付	プロジェクトの開始予定日を表示する読み取り専用フィールド。このフィールドの日付は、[すぐに開始] 制約のあるタスクの開始日を計算するために使用されます。 [プロジェクト移動] 関連リンクを使用して、制約日を変更します。この日付を変更すると、[すぐに開始] 制約のあるすべてのタスクの開始日も変更されます。詳細については、「プロジェクトの開始予定日の変更」を参照してください。
リソース計画から担当者リストを作成	プロジェクトフォームおよびプロジェクトタスクフォームの [アサイン先] および [他のアサイニーリスト] フィールドのリソースを、関連する割り当て済みリソース計画からのみ作成するように制約するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロジェクト変更時にスコアを再計算する	プロジェクトスコアを再計算して更新するかどうかを決定します。 ○ このフィールドの値が [はい] に設定されている場合、プロジェクトの計画 ROI (%)、コスト概算、またはリスクが変更されると、プロジェクトスコアが再計算されます。 ○ このフィールドの値が [いいえ] に設定されている場合、プロジェクトの計画 ROI (%)、コスト概算、またはリスクが変更されても、プロジェクトスコアは同じままです。ユーザーがプロジェクトをデマンドに変換する際にスコア値を保持したい場合は、このフィールドの値を [いいえ] に設定できます。
プロジェクトのスケジュール日付形式	計画コンソールの日付を時間コンポーネントとともに表示するかどうかを決定します。デフォルト値は [日付] です。
計画期間から時間コンポーネントを派生	実開始日と実終了日の時間コンポーネントを、開始予定日と終了予定日の時間コンポーネントからコピーする必要があるかどうかを決定します。デフォルトでは **true** に設定されています。 [プロジェクトのスケジュール日付形式] フィールドが [日付] に設定されている場合、このオプションが選択され、無効になります。 **注:** プロジェクトの [ステータス] または [完了率] の値を変更すると、予定日からコピーされた時間コンポーネントが実際の日付に自動的に入力されます。この場合、[予定日から時間コンポーネントを取得 **(Derive time component from planned dates)]** フィールドの値は、実際の日付の時間コンポーネントには影響しません。このフィールドの値は、実際の日付を手動で入力した場合にのみ時間コンポーネントに影響します。
リスク概要	
注: このタブは、Advanced Risk プラグインが有効 *Enable Advanced Risk PPM Integration* になっており、プロパティが **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティ が有効です。	
固有リスク	リスクアセスメントから自動的に計算された固有リスクのスコア。
残存リスク	リスクアセスメントから自動的に計算された残存リスクのスコア。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
固有ヒートマップ	固有リスクのヒートマップ。
残存ヒートマップ	残存リスクのヒートマップ。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
以下の関連リンクと関連リストから得られる情報を使用して、プロジェクトの重要な要素を把握し、プロジェクトレコードを完成させます。

プロジェクトフォームの関連リンクと関連リスト

フィールド	説明
関連リンク	
アジャイル計画および追跡	アジャイルプロジェクトのアジャイルボードの [バックログ] タブを開きます。バックログの詳細については、「製品バックログの管理」を参照してください。 この関連リンクは、[実行タイプ] フィールドの値が [アジャイル **(Agile)]** に設定され、Agile Development 2.0 プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
完了見積を計算	プロジェクトの [完了時の推定 **(EAC)]** フィールドの値を再計算します。
アジャイルフェーズを作成	プロジェクトのアジャイルフェーズを作成します。アジャイルフェーズには、[ストーリー] 関連リストのストーリーが含まれます。 この関連リンクは、[実行タイプ] フィールドの値が [アジャイル **(Agile)]** に設定され、Agile Development 2.0 プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
テストフェーズを作成	プロジェクトのテストフェーズを作成します。テストフェーズには、[テストケース] 関連リストのテストケースが含まれます。 この関連リンクは、[実行タイプ] フィールドの値が [ウォーターフォール] または [ハイブリッド] に設定され、テスト管理 プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
計画立案コンソール	計画立案コンソールを開きます。
戦略と目標の割り当てを再計算	[戦略] タブと [目標割り当て] タブでコストフィールド値を再計算して更新します。プロジェクトの戦略と目標の割り当てが変更されたときに、このリンクを使用して、プロジェクトの総コストと利益を更新します。詳細については、「Strategic Spend Tracking for PPM」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトフォームの関連リンクと関連リスト (続く)

フィールド	説明
	注: この関連リンクは、 Strategic Spend Tracking for PPM がインストールされている場合にのみ使用できます。この関連リンクを表示するには、戦略的配置ビューに切り替える必要があります。使用しているフォームビューで関連リンクが利用できない場合は、プロジェクトフォームを設定して関連リンクを追加するよう管理者に依頼してください。
RIDACを表示	プロジェクトのリスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求 (RIDAC) エントリーを表示します。詳細については、「プロジェクトワークスペースにあるプロジェクトの RIDAC レコード」を参照してください。 注: このリンクには、変換された RIDAC エンティティのみが表示されます。たとえば、リスクは、問題、意思決定、アクション、および変更要求に変換されます。
プロジェクト予算	プロジェクトに予算を割り当てるオプション。
プロジェクトワークベンチ	プロジェクトワークベンチを開きます。
ステータスレポート	計画立案コンソールで [ステータスレポート] タブを開きます。
ベースラインの作成	選択に基づいてスケジュールと財務ベースラインを作成します。
テンプレートを適用	1 つまたは複数のプロジェクトテンプレートをプロジェクトに適用します。
新規テンプレートとして保存	プロジェクトタスクとサブタスク、添付ファイル、チェックリスト、その他のプロジェクト情報など、現在のプロジェクトの詳細をテンプレートとして保存します。テンプレートから新しいプロジェクトを作成することも、既存のプロジェクトにテンプレートを適用することもできます。詳細については、「プロジェクトテンプレート」を参照してください。
プロジェクト診断	現在のプロジェクトのデータ破損を検出します。プロジェクト内のタスクに関連するデータ、および無効な関係性や循環関係に関連するデータを確認できます。プロジェクト診断の詳細については、「プロジェクト診断を使用した破損したプロジェクトデータの検出」を参照してください。
関連リスト	
プロジェクトタスク	現在のプロジェクトのタスク。次レベルのタスク (直接のサブタスク) のみがこの関連リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトフォームの関連リンクと関連リスト (続く)

フィールド	説明
	プロジェクトに外部依存関係が作成されている場合は、対応するシャドウタスクもリストされます。
アジャイルフェーズ	プロジェクトのアジャイルフェーズを一覧表示します。アジャイルフェーズにはプロジェクトタスクと、これらのプロジェクトタスクに関連するストーリーが含まれています。 この関連リストは、[実行タイプ] フィールドの値が [アジャイル **(Agile)]** に設定され、Agile Development 2.0 プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
サブプロジェクト	現在のプロジェクトの子プロジェクトレコード。
ストーリー	現在のプロジェクトのストーリーのリスト。[新規] をクリックして新しいストーリーを作成し、プロジェクトに追加します。 [既存を追加] をクリックして、Agile アプリケーションの Stories モジュールからストーリーを追加します。詳細については、「ストーリーの作成」を参照してください。 この関連リストは、[実行タイプ] フィールドの値が [アジャイル **(Agile)]** に設定され、Agile Development 2.0 プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
エピック	現在のプロジェクトのエピックのリスト。 この関連リストは、[実行タイプ] フィールドの値として [アジャイル **(Agile)]** が選択され、Agile Development 2.0 プラグインがインストールされている場合にのみ表示されます。
要件	プロジェクト要件とそのステータスを一覧表示します。 新しい要件を作成するには、[新規] をクリックします。 既存の要件をプロジェクトに追加するには、[編集] をクリックします。
リソースプラン	プロジェクトおよびプロジェクトタスクのリソース計画を一覧表示します。リソース計画の作成および既存のリソース計画の管理を行うには、[管理] をクリックします。
コスト計画	プロジェクトに含まれているコスト計画を一覧表示します。 新しいコスト計画を作成するには、[新規] をクリックします。
利益計画	プロジェクトに含まれている利益計画を一覧表示します。 新しい利益計画を作成するには、[新規] をクリックします。
プロジェクト予算	プロジェクト予算を会計年度別に一覧表示します。リスト内の金額をクリックして金額を修正します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトフォームの関連リンクと関連リスト (続く)

フィールド	説明
ベースライン	ベースライン作成時におけるすべてのタスクとマイルストーンのすべての予定日のコレクション
ステータスレポート	プロジェクトのステータスレポートを一覧表示します。 新しいステータスレポートを生成するには、[新規] をクリックします。「プロジェクトステータスレポートの作成」を参照してください。
リスク	プロジェクトの一部であるリスクを一覧表示します。 新しいリスクを作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「プロジェクトのリスクの追加」を参照してください。または、[ライブラリーから作成] をクリックして、既存のリスクライブラリーからリスクを選択することもできます。 **注:** [ライブラリーから作成] オプションは、Advanced Risk プラグインが有効になっており *Enable Advanced Risk PPM Integration* 、プロパティが **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティ が有効です。 **注:** プロジェクトが別のプログラムまたはポートフォリオの一部である場合、プロジェクトに追加されたリスクはすべて親プログラムおよびポートフォリオにも追加されます。
問題	プログラムに含まれている問題を一覧表示します。 新しい問題を作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「プロジェクトの問題の追加」を参照してください。 プロジェクトの問題は、プログラムおよびプライマリポートフォリオとともに追加されます。
決定	現在のプロジェクトの意思決定を一覧表示します。 新しい意思決定を作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「プロジェクトの意思決定の追加」を参照してください。
アクション	プロジェクトに対して識別されたアクションアイテムを一覧表示します。 新しいアクションを作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「プロジェクトのアクションの追加」を参照してください。
変更を要求	現在のプロジェクトのリソース、スコープ、コスト、およびスケジュールに関連する変更を一覧表示します。 プロジェクトの新しい変更要求を作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「変更要求の作成」を参照してください。
ステークホルダー	プロジェクトのステークホルダーを一覧表示します。 プロジェクトにステークホルダーを追加するには、[編集] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトフォームの関連リンクと関連リスト (続く)

フィールド	説明
	注: • デマンドからプロジェクトを作成すると、ステークホルダーがデマンドからプロジェクトに転送されます。 • プロジェクトに関連付けられたポートフォリオにステークホルダーがいる場合、ポートフォリオのステークホルダーはプロジェクトに自動的に追加されます。 ステークホルダーレジストリーに新しいステークホルダーを追加するには、[新規] をクリックします。
タイムカード	プロジェクトに対して送信されたタイムカードを一覧表示します。 新しいタイムカードを作成するには、[新規] をクリックします。
経費ライン	プロジェクトの経費ラインを一覧表示します。 新しい経費ラインを作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「経費ラインの作成」を参照してください。
通知	後続プロジェクトで発生した外部依存関係に関連する通知を一覧表示します。通知は、先行プロジェクトで行われた変更の結果としてトリガーされます。
戦略割り当て	プロジェクトに関連する戦略の達成に向けて割り当てられた、プロジェクトの総コストと利益の割合を一覧表示します。詳細については、「プロジェクトの戦略と目標の割合の割り当てまたは変更」を参照してください。 注: この関連リストは、Strategic Spend Tracking for PPM がインストールされている場合にのみ表示されます。このアプリケーションは ServiceNow Store で利用できます。この関連リストを表示するには、[戦略的配置] ビューに切り替える必要があります。使用しているフォームビューで関連リストが利用できない場合は、プロジェクトフォームを設定して関連リストを追加するよう管理者に依頼してください。詳細については、「Strategic Spend Tracking for PPM のインストール」を参照してください。
目標割り当て	プロジェクトに関連する目標の達成に向けて割り当てられたプロジェクトの総コストと利益の割合を一覧表示します。詳細については、「プロジェクトの戦略と目標の割合の割り当てまたは変更」を参照してください。 注: この関連リストは、Strategic Spend Tracking for PPM がインストールされている場合にのみ表示されます。このアプリケーションは ServiceNow Store で利用できます。この関連リストを表示するには、[戦略的配置] ビューに切り替える必要があります。使用しているフォームビューで関連リストが利用できない場合は、プロジェクトフォームを設定して関連リストを追加するよう管理者に依頼してください。詳細については、「Strategic Spend Tracking for PPM のインストール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プロジェクトポートフォリオ管理

リソース管理

ウォーターフォールプロジェクトの作成と管理

ウォーターフォールプロジェクトの作成に関連するタスクの概要。

次の表に、ウォーターフォールプロジェクトの作成に関連するタスクをタスクグループ別に示します。

新しいプロジェクトを作成

タスク	タスクの実行方法
新しいプロジェクトを作成	• [プロジェクト] > [プロジェクト] > [新規作成] に移動します。 • [プロジェクト] > [プロジェクト] > [ワークベンチ] に移動し、[新規プロジェクト] をクリックします。

既存のプロジェクトを開く

タスク	タスクの実行方法
プロジェクトワークベンチでプロジェクトを開く	• プロジェクトフォームで [プロジェクトワークベンチ] 関連リンクをクリックします。 • [プロジェクト] > [プロジェクト] > [ワークベンチ] に移動し、ワークベンチヘッダーの [プロジェクトを選択] 選択リストからプロジェクトを選択します。

プロジェクトワークベンチからプロジェクトにフェーズを追加する

タスク	タスクの実行方法
プロジェクトのウォーターフォールフェーズを作成する	[フェーズを追加] アイコン (+) をクリックし、[フェーズタイプ] 選択リストから [ウォーターフォール] を選択します。
プロジェクトのテストフェーズを作成する	[フェーズを追加] アイコン (+) をクリックし、[フェーズタイプ] 選択リストから [テスト] を選択します。

プロジェクトワークベンチからプロジェクトフェーズを編集する

タスク	タスクの実行方法
プロジェクトのウォーターフォールフェーズを編集する	プロジェクトフェーズの [フェーズを編集] アイコン ( ) をクリックし、プロジェクトフェーズの詳細に必要な変更を加えます。
プロジェクトのテストフェーズを編集する	テストフェーズの [フェーズを編集] アイコン ( ) をクリックし、テストフェーズの詳細に必要な変更を加えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークベンチからプロジェクトにマイルストーンを追加する

タスク	タスクの実行方法
プロジェクトにマイルストーンを追加する	[フェーズを追加] アイコン (+) をクリックし、[フェーズを追加] ポップアップウィンドウの上部にある [マイルストーン] をクリックします。

手動テストを設定する

タスク	タスクの実行方法
テスト計画を作成する	**[Test Management]** > [テスト実行] > [テスト計画] > [新規] に移動します。
テスト計画にテストケースを追加する	テスト計画フォームの [テストスイートからテストケースを追加] 関連リンクをクリックします。
テストフェーズを作成する	プロジェクトワークベンチの [フェーズを追加] ボタンをクリックします。
テストフェーズにテスト計画を追加する	テストフェーズの [フェーズを編集] アイコン ( ) をクリックし、テスト計画の名前を入力します。
テスターにテストケースをアサインする	テストケースフォームの [アサイン先] フィールドでユーザーを選択します。
テストを開始するようにテスターに通知する	テスト計画フォームで、[テスターに通知] をクリックしてテスト関連リンクを開始します。
テスターがテストを実行し、結果を送信する	[セルフサービス] > [自分のテスト **(My Tests)]** または [セルフサービス] > [自分のアセスメント **(My Assessments)]** に移動します。
テストの進捗状況を監視する	テスト計画リスト、テスト計画フォーム、およびテストケースフォームのすべてに、テストケースと個々のテスト結果が表示されます。
サインオフをテストする	テスト計画フォームの [サインオフテスト計画] 関連リンクをクリックします。

プロジェクトをコピー

プロジェクトを作成するもう 1 つのオプションは、既存のプロジェクトおよびそのすべてのタスクと関係をコピーすることです。コピーの開始日を指定すると、すべてのタスクの開始日と終了日が自動的に調整されます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

1. プロジェクトフォームで、ヘッダーを右クリックして [プロジェクトをコピー **(Copy Project)]** を選択します。
2. 作成する新しいプロジェクトの新しいプロジェクト名を入力します。
3. 開始日を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトタスク (Project Task) フォームから利用できる [部分プロジェクトをコピー] も同様の機能を提供します。選択したプロジェクトからすべてのタスクまたはプロジェクトの関係と子をコピーし、現在のプロジェクトに挿入します。この場合、新しいプロジェクトレコードは作成されません。

タスクの結果

実際の期間および実開始日と実終了日は、null 値にリセットされます。ステータスは [新規] に設定され、完了率は **[0]** に設定されます。

デフォルトでは、簡単な説明、予定日、および期間のフィールドのみが、ソースプロジェクトからターゲットプロジェクトにコピーされます。追加の列をコピーする必要がある場合は、プロジェクトプロパティの [元のプロジェクトタスクからコピーされる属性のリスト **(List of attributes that will be copied from the originating project task)]** で宣言する必要があります。

コピーしたプロジェクトのデフォルト値の変更

新しくコピーされた部分プロジェクトまたはプロジェクト全体の、コピーされたフィールドのデフォルト値をリセットまたは変更します。

始める前に

必要なロール：管理者

このタスクについて

子タスクは同じ関係で定義され、それぞれが元のタスクと同じ期間持続します。すべてのプロジェクトタスクが [処理待ち]に設定されます。実際の期間および実開始日と実終了日は、null 値にリセットされます。ステータスは [新規] に設定され、完了率は「0」に設定されます。管理者は、スクリプトインクルードの CopyProjectFieldOverride を上書きして、リセットするフィールドを決定したり、デフォルト値を変更したりできます。

手順

1. 移動先 すべて > システム **UI** > スクリプトインクルード.
2. CopyProjectFieldOverride レコードを開きます。
3. 値をリセットまたはデフォルト設定するために、CopyProjectFieldOverrideSNC スクリプトで定義されたメソッドを上書きするメソッドを追加します。

   たとえば、部分プロジェクトをコピーするには次のようにします。

```
   /* getResetFieldsForCopyPartialProject method returns the array containing the list of
names of fields that need to be erased from the copied project tasks
                * getDefaultObjectForCopyPartialProject method returns the object containing
the key, value pairs of field names and values that need to be set on the copied tasks
                */var CopyProjectFieldOverride = Class.create();
                CopyProjectFieldOverride.prototype =
Object.extendsObject(CopyProjectFieldOverrideSNC, {
                getResetFieldsForCopyPartialProject: function() {
                return ['work_start', 'work_end', 'work_duration'];
                },
                getDefaultObjForCopyPartialProject: function() {
                return {'state': -5,'percent_complete: 0'};
            },
            type: 'CopyProjectFieldOverride'
            });
```

   プロジェクト全体をコピーするには次のようにします。

```
/* getResetFieldsForCopyProject method returns the array containing the list of names of
fields that need to be erased from the copied project tasks
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
        * getDefaultObjectForCopyProject method returns the object containing the key,
value pairs of field names and values that need to be set on the copied tasks
        */var CopyProjectFieldOverride = Class.create();
        CopyProjectFieldOverride.prototype =
Object.extendsObject(CopyProjectFieldOverrideSNC, {
        getResetFieldsForCopyProject: function() {
              return ['work_start' ,"work_end","work_duration"];},
              getDefaultObjForCopyProject: function()
              {
                 return {'state': -5, ‘percent_complete: 0’};
               },
              type: 'CopyProjectFieldOverride'
            });
```

4. [更新] をクリックします。

プロジェクトのベースラインの作成

プロジェクトのスケジュールベースラインと財務ベースラインを作成します。スケジュールベースラインは、特定の時点におけるすべてのタスクとマイルストーンの予定日をキャプチャします。財務ベースラインは、特定の時点における利益および財務測定基準情報 (コスト計画、利益計画、およびプロジェクトレベルの財務測定基準のスナップショット) をキャプチャします。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

スケジュールベースライン

スケジュールベースラインを必要なだけ作成し、前回のベースライン以降にプロジェクトに加えられた変更をレビューすることができます。プロジェクトがスケジュールどおりに進んでいない場合は、スケジュールベースラインを作成して、スケジュールにどの程度のずれが生じているかを把握できます。また、実際の値と計画値の間のリアルタイムの偏差を表示するのにも役立ちます。

ベースラインは、ガントチャートの実際のタスクを表す棒の下に、一連の灰色の線として表示されます。これらのベースラインは予定日を表し、タスクバーは実際の日付を表します。プロジェクトタスクがベースラインの右側にシフトされている場合、プロジェクトはスケジュールより遅れて実行されています。

財務ベースライン

財務ベースラインを必要なだけ作成し、それらを比較して、前回のベースライン以降にプロジェクトに加えられた財務の変更をレビューすることができます。財務ベースラインは、プロジェクトの実績コストコンポーネントをキャプチャしません。

> **注:**
> ネストされたプロジェクトにベースラインを設定することはできません。ベースラインは、トップレベルのプロジェクトでのみ使用できます。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.

2. 必要なプロジェクトを選択します。

3. プロジェクトのスケジュールベースラインと財務ベースラインを作成するには、次のいずれかのオプションを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトの財務ベースラインの比較

ベースラインを比較して、プロジェクトの財務データの差異を確認し、何が変更されたかを確認できます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

プロジェクトのさまざまなステージで複数のベースラインを作成できます。たとえば、各フェーズの終わりや、各暦月または各暦四半期の後に作成できます。各ベースラインは、特定の時点でのプロジェクトの財務データをキャプチャし、プロジェクトに加えられた変更を識別およびレビューするための基礎を提供します。複数のベースラインを用意して比較すると、プロジェクトのパフォーマンスを追跡するのに役立ちます。

手順

1. プロジェクトの財務ベースラインを比較するには、次のいずれかのオプションを使用します。

2. 財務ベースラインフォームで、比較するベースラインを 2 つの選択リストから選択します。
   デフォルトでは、現在のベースラインと最新のベースラインが選択されます。
3. [比較] をクリックします。
   ベースラインの比較データは、次の 2 つのセクションに表示されます。
   - [財務ベースラインの概要 **(Financial Baseline Summary)]** セクションには 4 つのウィジェットが表示されます。最初の 2 つのウィジェットには 2 つのベースラインの財務データが含まれ、3 つ目のウィジェットにはその差異が含まれ、4 つ目のウィジェットにはプロジェクトの現在までの実績コストが含まれます。
   - [財務ベースラインの詳細] セクションには、2 つの異なるグリッドの 2 つのベースラインのコスト計画と利益計画が表示されます。各計画タイプには、各ベースラインデータに対応する 2 つの行があります。

     注:
     ベースライン凡例アイコン (ⓘ) をクリックすると、各ベースラインを表す行のカラーコードが表示されます。

4. オプション: フォームで他のフィールドを確認したり、比較データを再編成したりできます。
   - [財務ベースラインの概要 **(Financial Baseline Summary)]** セクションのウィジェットで他のフィールドを表示または非表示にするには、構成アイコン (···) をクリックして、フィールド名を選択します。

     選択したフィールドの設定が保存され、財務ベースラインフォームを再度開くと利用できるようになります。デフォルトのウィジェットレイアウトにリセットするには、[デフォルト値にリセット] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コスト計画または利益計画の比較データを年別、四半期別、月別形式で表示するには、それぞれ [年]、[四半期] または [月] ビューをクリックします。
- [財務ベースラインの概要 **(Financial Baseline Summary)**] セクションの表示を切り替えるには、折りたたみアイコン (^) または展開アイコン (>) をクリックします。

プロジェクトのスケジュールベースラインの比較

ベースラインを比較してタスク間の差異を確認し、現在の終了予定日とベースライン終了日との差異があるタスクを特定します。ベースラインの差異列には、2 つの日付比較間の差異の総計が表示されます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトのさまざまなステージ (各フェーズの終わりや、各暦月または各暦四半期の後など) で、スケジュールベースラインを作成します。各ベースラインは、特定の時点でのプロジェクトタスクのスケジュール情報をキャプチャします。このスナップショットは、比較の基礎となり、プロジェクトに加えられた変更を特定して確認するのに役立ちます。複数のベースラインを用意して比較すると、プロジェクトのパフォーマンスを追跡するのに役立ちます。

手順

1. プロジェクトのスケジュールベースラインを比較するには、次のいずれかのオプションを使用します。
   計画立案コンソールに、選択したスケジュールベースラインが表示されます。
2. 計画立案コンソールでさまざまなベースラインを選択して、プロジェクトタスクのスケジュール差異情報を表示します。
   次の各列に、ベースライン情報が表示されます。
   - ベースライン開始日付：タスクの開始予定日。
   - ベースライン終了日付：タスクの終了予定日。
   - ベースラインの差異：ベースライン終了日と終了予定日の差異。このフィールド列の値は、プロジェクトタスクまたはプロジェクトに変更が行われているかどうかを示します。タスクの終了予定日がベースライン日付より前の場合、差異は負の値として表示されます。たとえば、終了予定日が 4 月 24 日で、ベースラインが 4 月 17 日に作成されているタスクの場合、タスクが期限を過ぎているか遅れていることを意味します。この場合、[ベースラインの差異] 列には、-5 日間の値が表示されます。

注:

ガントで列を表示または非表示アイコン (⚙) を使用して、これらの列を計画立案コンソールに追加します。

プロジェクトスケジュールのアサイン

スケジュールがアサインされていない場合、プロジェクトは 1 日を 24 作業時間として計算します。より現実的な作業日でタスクをスケジュールするには、プロジェクトにスケジュールをアサインします。ベースシステムで指定されているスケジュールがニーズに合わない場合は、新しいスケジュールを定義します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. プロジェクトを開きます。
2. デフォルトビューがアクティブな場合は、ヘッダーバーを右クリックして ビュー > 詳細.
3. [スケジュール] フィールドでスケジュールを選択します。

プロジェクトコスト計画の作成

プロジェクトコスト計画は、プロジェクトのコストをキャプチャします。コスト計画を作成して、会計期間の原価費目の単位コストを指定します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager
必要なアプリケーション： プロジェクトポートフォリオ管理 with Financials

このタスクについて
コスト計画を保存すると、アプリケーションによってコスト計画明細レコードが自動的に作成されます。コスト計画には、経費ラインを関連付けることもできます。

> **注:**
> コスト計画は、プロジェクトおよびプロジェクトタスクに関連付けられているリソース計画に対して自動的に作成されます。

複数の通貨を使用するには、別の通貨の新しいコスト計画を作成します。

手順

1. プロジェクトフォームを開きます。
2. 関連リンクで、[コスト計画] をクリックします。
3. [新規] をクリックします。

> **注:**
> プロジェクトワークスペースの [財務] タブからコスト計画を作成するには、[管理] をクリックします。

4. フォームのフィールドに入力します。

コスト計画フォーム

フィールド	説明
名前	コスト計画の内容を表す名前。
プロジェクト/デマンド	コスト計画が属するプロジェクトまたはデマンド。
会計期間の開始	会計期間の開始を示します。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられたコスト計画明細も変更されます。会計期間の開始よりも前にコスト計画明細を作成すると、会計期間の開始も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	会計期間の終了を変更すると、関連付けられたコスト計画明細も変更されます。会計期間の終了よりも後にコスト計画明細を作成すると、会計期間の終了も変更されます。
財務	
入力通貨	コスト計画の作成に使用する通貨。 選択した通貨が機能通貨と異なる場合は、対応する予算参照レートを使用して、プロジェクトの合計計画コスト、計画投資、計画経費が計算されます。
単位コスト	単一の単位によるリソースのコストで、入力通貨で表されます。
数量	必要なリソースの数量。
繰り返し	コストが会計期間ごとに繰り返し発生することを示すオプション。 会計期間ごとに発生した数量 x 単位コスト。
原価費目	原価費目の定義。
Investment (投資)	プロジェクトに対して作成された投資の名前。 このフィールドは、従来の Investment Funding (com.snc.investment_funding) プラグインが有効になっている場合、または Investment Funding (sn_invst_pln) アプリケーションがインストールされている場合のみ表示されます。
ソースタイプ	資金調達のためのプロジェクト投資に関連付けられる資金調達エンティティ。 このフィールドは、従来の Investment Funding (com.snc.investment_funding) プラグインが有効になっている場合、または Investment Funding (sn_invst_pln) アプリケーションがインストールされている場合のみ表示されます。
ソース	資金を要求する元となる資金調達エンティティの値。 [ソースタイプ] フィールドで値を選択すると、このフィールドを使用できます。 このフィールドは、従来の Investment Funding (com.snc.investment_funding) プラグインが有効になっている場合、または Investment Funding (sn_invst_pln) アプリケーションがインストールされている場合のみ表示されます。
合計計画コスト	コスト計画の合計コスト概算。 コストが繰り返し発生している場合、計算は数量 x 単位コスト x 会計期間の数となります。コストが繰り返し発生していない場合、計算は数量 x 単位コストとなります。
機能通貨	**glide.system.locale** プロパティ から取得される通貨。 アップグレードされた顧客で、選択した通貨が Financial Management アプリケーションで設定された機能通貨と異なる場合は、対応する予算参照レートを使用して、プロジェクトの合計計画コスト、計画投資、計画経費が計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 予算参照レートが定義されていない場合、為替レートは 1 とみなされます。たとえば、機能通貨が USD で、入力通貨でのコストが EUR であり、為替レートが定義されていない場合、1000 USD は 1000 EUR に等しくなります。
機能通貨でのコスト	すべてのコスト計画明細の [機能コスト] フィールドからロールアップされる値。
合計実績コスト (Total actual cost)	すべてのコスト計画明細の [実績コスト] フィールドからロールアップされる値。
完了時の推定 (EAC)	過去の会計期間のすべての実績の合計と将来の会計期間の機能コストを加算した値。 たとえば、プロジェクトの期間が 1 月 1 日から 12 月 31 日で、5 月の完了時の推定 (EAC) を確認する場合、1 月から 4 月までの実績の合計 + 5 月から 12 月までの機能コストの合計として計算されます。

注:
プロジェクトの開始予定日を変更すると、関連するコスト計画とリソース計画も変更されます。プロジェクトプロパティの[デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更でリソースプランとコスト計画の開始日を変更 **(Change Resource Plan and Cost Plan Start Date with Demand or Project Start Date Change)]** が、プロジェクトの開始日変更の動作を制御します。

5. [送信] をクリックします。

次のタスク
[完了時の推定 **(EAC)]** フィールドの値を再計算するには、[完了時の推定 **(EAC)** を計算 **(Calculate Estimate at Completion)]** 関連リンクを使用します。コスト計画明細を表示するには、[コスト計画明細] 関連リストをクリックします。

コスト計画明細

コスト計画明細は、各会計期間のコスト概算と実績コストをキャプチャします。コスト計画、プロジェクト、デマンド、プログラム、およびポートフォリオは、利用可能な明細のタイプです。

要件

要件は単一のコスト計画に対応します。たとえば、標準カレンダーと 1 年にわたるコスト計画の 場合、12 個の明細が表示されます。

タスク

タスクはプロジェクトまたはデマンドに対応します。期間ごとのすべてのコスト計画にわたるコストは、プロジェクトまたはデマンドレベルにロールアップされます。これらのレコードの明細タイプは [タスク] に設定されています。[タスク] タイプのレコードは期間ごとに 1 つのみ存在します。作成される [タスク] タイプのレコードの数は、プロジェクトまたはデマンドの期間と、プロジェクトまたはデマンドで計画されている要件によって異なります。たとえば、標準カレンダーと 3 つのコスト計画を含むプロジェクトの 場合、12 個の明細が表示されます。

プログラム

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロジェクトまたはデマンドがプログラムの一部である場合、[プログラム] の明細タイプでは、期間ごとのプログラムレベルコストの集計が提供されます。

ポートフォリオ

プロジェクトまたはデマンドがポートフォリオの一部である場合、[ポートフォリオ] の明細タイプでは、期間ごとのポートフォリオレベルコストの集計が提供されます。

コスト計画明細の更新

特定の会計期間の推定コストと実績コストを詳細なレベルで指定する、コスト計画明細レコードを更新します。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

1. 必要なプロジェクトを開きます。
2. [コスト計画] 関連リストをクリックします。
3. [コスト計画明細] 関連リストをクリックします。
4. コスト計画明細の **[i]** アイコンをクリックします。
5. [レコードを開く] をクリックします。
6. [コスト計画明細フォーム] で、有効なフィールドを表示して更新します。

システム生成のコスト計画

[コスト計画] フィールドを入力せずに経費明細を作成すると、システム生成のコスト計画が自動的に作成されます。

孤立経費明細は、システム生成のコスト計画に関連付けられます。この関連付けにより、ウィジェットに表示されるプロジェクト実績または合計実績が、プロジェクト財務ページおよび投資ポータルに表示されるグリッド上のコスト計画実績の集計と同じになります。

注:
システム生成のコスト計画は、プロジェクトに最低 1 つのコスト計画がある場合にのみ作成されます。

システム生成のコスト計画は、次のいずれかの理由で作成されます。

- [コスト計画] フィールドを入力せずに経費明細を作成する場合。
- タイムカードを作成して承認する場合。

システム生成のコスト計画には、投資と経費があります。経費明細の作成時に選択した経費のタイプに応じて、システム生成のコスト計画のタイプが作成されます。システム生成コスト計画の名前の形式は次のとおりです。

- <project number> システム生成の投資コスト計画
- <project number> システム生成の経費コスト計画

タイムカードを作成して承認すると、投資タイプの経費明細が作成され、孤立経費明細が投資タイプのシステム生成コスト計画に関連付けられます。システム生成のコスト計画は、コスト計画に関連付けられていない経費明細が残らないようにするために作成されます。システム生成のコスト計画は読み取り専用です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Washington DC にアップグレードするお客様は、[孤立経費明細をシステム生成コスト計画に関連付ける **(Associate orphan expense lines to the system generated cost plan)]** プロジェクト診断を実行して、 孤立経費明細をシステム生成コスト計画に関連付けることができます。診断スキャンにより、コスト計画に関連付けられていない経費明細がリストされます。修正スクリプトを実行すると、システム生成コスト計画が作成され、孤立経費明細は、システム生成コスト計画に関連付けられます。

プロジェクトの金銭的利益計画の作成

プロジェクトの利益計画は、プロジェクトの実行時にプロジェクトによって発生する潜在的な利益をキャプチャします。金銭的利益計画を作成して、1 つ以上の会計期間にわたるカテゴリの推定利益を指定します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
利益計画を保存すると、金銭的利益計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 必要なプロジェクトを開きます。
3. [金銭的な利益計画] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   注:
   プロジェクトワークスペースの [財務] タブから金銭的利益計画を作成するには、[管理] をクリックします。

4. フォームのフィールドに入力します。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するプロジェクトまたはデマンド。
スポンサー	プロジェクトのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： ○ ハード：収益の観点から測定できる利益。 ○ ソフト：価値の観点から測定される利益。
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
利益タイプ	利益のタイプ。[金銭的な利益] を選択します。
オフセットタイプ	利益がいつ実現し始めるかを示すフィールド。次のオプションのいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
(Offset type)	○ なし：デフォルト値は [なし] です。[なし] を選択した場合は、利益計画の会計期間の開始および終了を手動で入力する必要があります。 ○ マイルストーン：マイルストーンの完了後。 ○ 開始日：プロジェクトの開始時。 ○ 終了日：プロジェクトの終了後。 選択したオフセットタイプの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、オフセットタイプが [終了日] に設定されていて、プロジェクトの終了日が変更された場合、利益計画の開始日はプロジェクトの新しい終了日に合わせてシフトされます。
マイルストーン	注: このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合に表示されます。 利益計画が属するプロジェクトのマイルストーン。
マイルストーンの開始日	注: このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合に表示されます。 選択したマイルストーンの開始日。
作業開始日	注: このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [開始日] を選択した場合に表示されます。 プロジェクトまたはデマンドの開始日。
作業終了日	注: このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [終了日] を選択した場合に表示されます。 プロジェクトまたはデマンドの終了日。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] として選択され、オフセットが「-2」である場合、利益計画はプロジェクト終了日の 2 期間前になります。プロジェクトの終了日がシフトされると、利益計画の開始日が新しいプロジェクト期日の 2 期間前にシフトされます。
期間	利益計画の長さ (期間)。
会計期間の開始	会計期間の開始。選択した [マイルストーン]、[プロジェクト/デマンドの開始日]、または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
会計期間の終了	会計期間の終了。選択した [マイルストーン]、[プロジェクト/デマンドの開始日]、または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭的利益計画に関連付けられている金銭以外の利益。
財務	
入力通貨での利益	入力通貨で表される、指定のプロジェクトまたはデマンドから発生する利益。 選択した通貨が機能通貨と異なる場合は、対応する予算参照レートを使用して、プロジェクトの合計計画利益が計算されます。
入力通貨	利益計画の作成に使用する通貨。
機能通貨	**glide.system.locale** プロパティ から取得される通貨。 アップグレードされた顧客で、選択した通貨が Financial Management アプリケーションで設定された機能通貨と異なる場合は、対応する予算参照レートを使用して、プロジェクトの合計計画利益が計算されます。
合計計画利益	プロジェクトまたはデマンドの潜在的な利益の推定額。
機能通貨での利益	機能通貨で表される、プロジェクトまたはデマンドから発生する利益。
実績利益	プロジェクトまたはデマンドから発生する実績利益。この値は、すべての利益計画ブレークダウンの [実績利益] フィールドからロールアップされます。
繰り返し	利益計画のすべての会計期間で利益が繰り返し発生することを示すチェックボックス。

注:
プロジェクトまたはマイルストーンの日付を移動すると、利益計画がプロジェクトの開始日、終了日、またはプロジェクトマイルストーンの 1 つに関連付けられているかどうかに応じて、関連する利益計画も変更されます。プロジェクトプロパティの[デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更に基づきリソースプラン、コスト計画、および利益計画の開始日を変更します] が、プロジェクトの日付変更の動作を制御します。

5. [送信] をクリックします。

次のタスク
[利益計画] フォームの [金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトの金銭的利益計画明細の更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭的利益計画明細レコードを更新します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 必要なプロジェクトを開きます。
3. [金銭的な利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 必要な金銭的利益計画を開きます。
5. [金銭的利益計画明細 (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、金銭的利益計画明細の情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
6. [レコードを開く] をクリックします。
7. 金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdown) フォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
8. [更新] をクリックします。

> **注:**
> 記録された実績利益が日付範囲外である場合、利益計画の開始日と終了日を変更することはできません。

プロジェクトの金銭以外の利益計画の作成

金銭以外の利益計画を作成して、1 つ以上の会計期間にわたるカテゴリの推定利益を指定します。プロジェクトの利益計画は、プロジェクトの実行時にプロジェクトによって発生する潜在的な財務以外の利益をキャプチャします。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
[明細タイプ] フィールドで [自動] または [手動] を選択して利益計画を保存すると、金銭以外の利益計画明細レコードが自動的に作成されます。金銭以外の利益計画明細レコードは、特定の会計期間 (FY16 の 4 月および FY16 の 5 月など) の財務以外の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定します。[金銭以外の利益計画明細] 関連リストには、プロジェクトの各会計期間における財務以外の推定利益と実績利益の集計利益が表示されます。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 必要なプロジェクトを開きます。
3. [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 金銭以外の利益計画を作成するには、[新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するプロジェクトまたはデマンド。
スポンサー	プロジェクトのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： ○ ハード：収益の観点から測定できる利益。 ○ ソフト：価値の観点から測定される利益。
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
利益タイプ	利益のタイプ。[金銭以外の利益] を選択します。
オフセットタイプ (Offset type)	利益がいつ実現し始めるかを示すフィールド。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ なし：デフォルト値は [なし] です。[なし] を選択した場合は、利益計画の会計期間の開始および終了を手動で入力する必要があります。 ○ マイルストーン：マイルストーンの完了後。 ○ 開始日：プロジェクトの開始時。 ○ 終了日：プロジェクトの終了後。 選択した [オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドが [終了日] に設定されていて、プロジェクトの終了日が変更された場合、利益計画の開始日はプロジェクトの新しい終了日に合わせてシフトされます。
マイルストーン	利益計画が属するプロジェクトのマイルストーン。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合にのみ表示されます。
マイルストーンの開始日	選択したマイルストーンの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合にのみ表示されます。
作業開始日	プロジェクトまたはデマンドの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [開始日] を選択した場合にのみ表示されます。
作業終了日	プロジェクトまたはデマンドの終了日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [終了日] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] として選択され、オフセットが「-2」である場合、利益計画はプロジェクト終了日の 2 期間前になります。プロジェクトの終了日がシフトされると、利益計画の開始日が新しいプロジェクト期日の 2 期間前にシフトされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間	利益計画の長さ (期間)。
会計期間の開始	会計期間の開始。選択した [マイルストーン]、[プロジェクト/デマンドの開始日]、または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] フィールドの値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。選択した [マイルストーン]、[プロジェクト/デマンドの開始日]、または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭以外の利益計画に関連付けられている金銭的利益。
金銭以外の詳細	
測定	金銭以外の利益計画の測定のタイプ。測定タイプは、カウント、パーセンテージ、時間、日、スコアです。 定量化できない利益を追跡するには、[はい/いいえ] オプションを選択します。このオプションを選択した場合、利用できるフィールドは [利益の達成] のみです。チェックボックスをオンにして、利益が達成されたことを示すことができます。
金銭以外の入力通貨での利益	潜在的利益の推定値。 利益計画の計画利益に変更があると、将来の会計期間についてのみ、関連する利益ブレークダウン値が更新されます。
金銭以外の計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
利益の達成	利益が達成されたかどうかを示すオプション。
ブレークダウンタイプ	利益計画を保存するときのブレークダウン作成のタイプ。 ○ なし：明細は作成されません。 ○ 自動：金銭以外の利益計画明細レコードがデータとともに自動的に作成されます。明細は線形的に計算されます。 ○ 手動：金銭以外の利益計画明細レコードが自動的に作成されますが、[入力通貨での利益] 列にはデータがありません。
集計モード	ブレークダウンから利益計画へのロールアップをどのように行うかを決定し、[金銭以外の計画利益] および [金銭以外の実績利益] フィールドの値を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 合計：すべてのブレークダウンのデータを集計します。 ○ 平均：すべてのブレークダウンの平均値。 ○ 最新：最新のブレークダウン値。 ○ 最大：ブレークダウンの最大値。 ○ 最小：ブレークダウンの最小値。
金銭以外の実績利益	金銭以外の利益計画明細の実績利益からロールアップされる実績利益値。

注:
プロジェクトまたはマイルストーンの日付を移動すると、利益計画がプロジェクトの開始日、終了日、またはプロジェクトマイルストーンの 1 つに関連付けられているかどうかに応じて、関連する利益計画も変更されます。プロジェクトプロパティの[デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更に基づきリソースプラン、コスト計画、および利益計画の開始日を変更します] が、プロジェクトの日付変更の動作を制御します。

6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 利益計画フォームの [金銭以外の利益計画ブレークダウン] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。
- 金銭的利益計画と金銭以外の利益計画を関連付けて、ハイブリッド利益計画のプロジェクトによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

プロジェクトの金銭以外の利益計画明細の更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭以外の利益計画明細レコードを更新します。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 必要なプロジェクトを開きます。
3. [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 必要な金銭以外の利益計画を開きます。
5. [金銭以外の利益計画明細] 関連リストで、金銭以外の利益計画明細の情報アイコン ( ) をクリックします。
6. [レコードを開く] をクリックします。
7. 金銭以外の利益計画ブレークダウンフォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
8. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画の関連付け

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画を関連付けて、ハイブリッド利益計画のプロジェクトによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
金銭的利益計画を金銭以外の利益計画に関連付けることも、その逆も可能です。

> **注:**
> 利益計画を削除すると、関連する利益計画 (存在する場合) との関係も削除されます。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 必要なプロジェクトフォームを開きます。
3. [金銭的な利益計画] または [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
4. 関連付ける利益計画の情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
5. [レコードを開く] をクリックします。
6. 金銭的利益計画または金銭以外の利益計画を関連付けます。
7. [保存] をクリックします。

タスクの結果
選択した利益計画は別の計画に関連付けられます。

次のタスク
[関連する利益計画を表示] 関連リンクをクリックして、関連付けられている利益計画を表示します。

プロジェクトとポートフォリオの資金調達

プロジェクトとポートフォリオが保持できる金額を指定します。

PPM Standard with Financials を有効にすると、プロジェクトとポートフォリオの資金調達を行うことができます。

資金調達プロセスでは、次の手順を実行します。

1. プロジェクトまたはデマンドレベルでコスト計画を作成して、会計年度などの時間のコストを特定します。これらのコストは、ポートフォリオの [コスト計画] 関連リストにロールアップされます。コスト計画には、各会計期間のコスト計画明細が自動的に含まれます。「プロジェクトコスト計画の作成」および「デマンドコスト計画を作成する」を参照してください。
2. ポートフォリオの運用経費および資本経費の目標コスト値を入力します。「ポートフォリオの作成」および「レガシー - ポートフォリオの計画立案」を参照してください。
3. ポートフォリオ内のプロジェクトの予算計画を作成し、計画を予測に昇格させます。「レガシー - 予算計画の作成および昇格」および「予算計画の昇格」を参照してください。

経費ラインの作成

プロジェクトの経費ラインは、ユーザー、固定資産、CI などの特定のソースに関連するコストです。経費ラインはプロジェクトコスト計画の一部です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager
必要なアプリケーション： プロジェクトポートフォリオ管理 with Financials

このタスクについて
プロジェクト、プロジェクトタスク、およびデマンドに対しては、処理済みの経費ラインのみが考慮されます。プロジェクトまたはデマンドに対して複数の経費ラインを作成できます。

手順

1. プロジェクトフォームを開きます。
2. 関連リストで、[コスト計画] をクリックします。
3. コスト計画を右クリックします。
4. [経費ラインを作成] をクリックします。
5. 経費ラインフォームに入力します (テーブルを参照)。
6. [送信] をクリックします。

経費ラインフォームのフィールド

フィールド	説明
番号	自動生成された番号。
総計	通貨タイプを選択して、経費コストを入力します。
日付	経費が発生した日付。
処理日	経費ラインが処理された日付。
ソース ID	関連コストを生成したレコード。
ステータス	経費ラインのステータス。ステータスは [処理待ち] または [処理済み] になります。コストロールアップは、経費ラインが処理されている場合にのみ発生します。
コスト計画	経費ラインを作成するコスト計画の名前。
サマリータイプ	経費をグループ化するカテゴリを選択します。
原価費目	原価費目を選択します。
経費タイプ	資本経費の場合は [投資] を、運用経費の場合は [経費] を選択します。
簡単な説明	経費タイプの簡単な説明を入力します。
ソース	経費ラインのソースのレコードを選択します。これらのソースは次のとおりです。 ○ 資産 ○ 固定資産 ○ 契約 ○ ユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 構成アイテム ○ タスク ○ コストセンター

注:

- インポートされた処理済みの経費明細は、コスト計画の [合計実績コスト] フィールドにロールアップされません。
- [処理待ちの経費明細 の金額] を変更し、ステータスを [処理済み] に変更すると、最新の値が経費明細に取得され、同じ値がコスト計画の [合計実績コスト] にロールアップされます。

タスクの結果

経費ラインが処理されると、発生した実際の金額がコスト計画の一部になります。
実際に支出された金額は、適切な経費タイプ ([投資] または [経費]) の下でプロジェクトコスト計画に対して記録されます。経費ラインの作成時にコスト計画参照を指定しない場合、実績コストはプロジェクトレベルでコスト計画関連リストに記録されます。

[コスト計画] フィールドを入力せずに経費明細を作成する場合は、システム生成のコスト計画が作成されます。

人件費の生成

プロジェクトのリソースのアサインの計画属性ページで財務用に構成された計画属性に基づいて人件費を生成します。

始める前に

- 財務に対して有効になっている計画立案属性をレビューします。詳細については、「計画立案属性」を参照してください。
- 必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > すべて をクリックし、必要なプロジェクトを選択します。
   コスト計画を生成するために、リソースのアサインが確定していることを確認します。プロジェクトのリソースのアサインがない場合は、リソース計画をリソースのアサインに移行します。詳細については、「プロジェクトとデマンドのリソース計画とコスト計画の移行」を参照してください。
2. 次のいずれかのオプションを使用して人件費を生成します。
3. ブラウザーページを更新して、[コスト計画] 関連リストに属性ベースの人件費を表示します。

タスクの結果

属性ベースの人件費は、コスト計画の名前として反映される属性の一意の組み合わせに対して作成されます。

スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して人件費を生成する

スケジュール設定済みジョブをアクティブ化してトリガーし、必要な頻度ですべてのプロジェクトとデマンドの属性ベースの人件費を生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [デマンドおよびプロジェクトの人件費の生成] スケジュール済みジョブを開きます。
3. [アクティブ] を選択し、[スクリプトの実行を予定] フォームでフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「スクリプトの実行を予定フォーム」を参照してください。
4. [更新] を選択します。

スクリプトの実行を予定フォーム

[スクリプトの実行を予定] フォームを使用して、ジョブスケジュールを定義します。

スケジュールアイテムフォーム

フィールド	説明
名前	このスケジュール設定済みジョブを識別する名前
アクティブ	スケジュール設定済みジョブがアクティブであり、指定された日時に実行する必要があることを示すオプション
実行	スケジュール設定済みジョブの実行に使用する時間間隔： • 日次：指定された時刻に毎日実行されます。 • 週次：指定された時刻と曜日に、毎週実行されます。 • 月次：指定された日の時刻に、毎月実行されます。 • 定期的：指定した繰り返し間隔で実行されます。 • **1**回：1 回のみ実行されます。 • オンデマンド：オンデマンドですぐに実行されます。 • ビジネスカレンダー：エントリ開始：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール設定済みジョブが実行されます。 たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール設定済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 • ビジネスカレンダー：エントリ終了：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカレン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	ダー：エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** [ビジネスカレンダー：エントリ開始 **(Business Calendar: Entry Start)**] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了 **(Business Calendar: Entry End)**] を選択すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュールを設定できます。詳細については、[オフセットタイプ **(Offset Type)**] フィールドと [オフセット **(Offset)**] フィールドを参照してください。 ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「Creating business calendars」および「Define business calendar entries」を参照してください。
タイムゾーン	スケジュール設定済みジョブの実行時間を指定するときに [時間] フィールドエントリで使用するタイムゾーン。タイムゾーンエントリを次のように選択します。 • なし：スケジュール設定済みジョブを作成しているログインユーザーのデフォルトのタイムゾーンを使用します。 たとえば、ユーザーのアサインされたタイムゾーンが米国太平洋標準時であり、[時間] フィールドに 16:45 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国太平洋標準時の午後 4 時 45 分に実行されます。 • システムのタイムゾーンを使用：実行するインスタンスに指定されたデフォルトのシステムタイムゾーンを使用します。 たとえば、インスタンスのデフォルトのシステムタイムゾーンがヨーロッパ/ロンドンであり、[時間] フィールドに 22:15 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブはロンドン時間の午後 10 時 15 分に実行されます。 • 実際のタイムゾーン。 たとえば、[米国/東部] を選択し、[時間] フィールドに 13:30 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国東部標準時の午後 1 時 30 分に実行されます。
日	スケジュール設定済みジョブを実行する日。 • [実行] が [週次] の場合は、曜日を選択します。たとえば、水曜日を選択します。 • [実行] が [月次] に設定されている場合は、月の日を選択します。たとえば、毎月 25 日の場合、25 を選択します。 このフィールドは、[実行] フィールドで [月次] または [週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し間隔	スケジュール設定された各ジョブ実行の繰り返し間隔の期間。期間を日数、時間数、または分数で入力します。例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 4 日ごとにスケジュール設定済みジョブを実行するには、[日数] フィールドに「04」と入力します。 • 26 時間ごとに実行するには、[時間] フィールドに「26」と入力します。 • 13:30:25 の間隔で繰り返す必要がある場合は、[時間] フィールドに「13」と入力し、その後のラベルのない 2 つのフィールドに「30」と「25」を入力します。 これらのフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** この設定では、夏時間の変更は考慮されません。たとえば、期間に 1 日を選択した場合、計算によりジョブの開始時間が 24 時間追加されます。開始時間が夏時間 (DST) の期間であり、そのタイムゾーンが DST でない場合、ジョブは 1 時間オフセットされて実行されます。
ビジネスカレンダー	スケジュール設定済みジョブに対するビジネスカレンダーの開始日または終了日を決定するために使用しているビジネスカレンダーエントリ。このフィールドは、[時間] フィールドで [ビジネスエントリ：開始日 **(Business Entry: Start Date)]** または [ビジネスエントリ：終了日 **(Business Entry: End Date)]** を選択した場合にのみ表示されます。
オフセットタイプ (Offset Type)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットのタイプ (存在する場合)。 • 過去 **(Past)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの開始前に実行するジョブをスケジュール設定します。 • 将来 **(Future)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの終了後に実行するジョブをスケジュール設定します。 • なし：このジョブのスケジュール設定に時間オフセットを適用しません。 オフセット係数を追加すると、次のユースケースに対するビジネスカレンダーで定義された正式な時間スパンの前または後にジョブの実行をスケジュール設定できます。 • 選択したビジネスカレンダーの時間スパン外である特定の時間にジョブをスケジュール設定します。 • 選択したビジネスカレンダーの時間スパンに沿って複数のジョブを順番に実行するように調整します。 [オフセットタイプ] フィールドと [オフセット] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセット (OffSet)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットの量 (日、時間、分、秒)。たとえば、ビジネスカレンダーの開始日よりも 3 日、14 時間、10 分、45 秒前にジョブを開始するようにスケジュール設定する場合は、次のようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールアイテムフォーム (続く)

フィールド	説明
	• [オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [過去 **(Past)**] を選択します。 • [日数] フィールドに「**3**」と入力します。 • [時間] フィールドに「**14**」、「**10**」、「**45**」と入力します。 [オフセット日数 **(Offset days)**] フィールドと [時間] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択し、[オフセットタイプ] フィールドで [過去] または [予定] を選択した場合にのみ表示されます。
時刻	スケジュール設定済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。 **注:** 時間値は常に、Now Platform® に UTC 時間で保存されてから、適切な時間に変換されます。この変換は、選択した [タイムゾーン] と [時間] フィールドのエントリによって異なります。 このフィールドは、[実行] フィールドで [日次]、[週次]、または [月次] を選択した場合にのみ表示されます。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	スケジュール設定済みジョブの数値の優先度： • 必須ジョブの優先度値を 100 未満に設定します。 • 必須でないジョブの優先度値を 100 より高く設定します。 • すべてのジョブスケジュールの 70 パーセント以上が [期限切れ] の場合、100 を超える値でマークされたジョブは実行されません。
実行方法	スケジュール設定済みジョブを作成して実行するユーザーの名前。スケジュール設定済みジョブを作成するユーザーの代わりにスケジュール設定済みジョブをシステムにアサインするには、システムまたはダミーユーザーを作成し、このフィールドに追加します。
条件付き	関連するスクリプトで特定の条件が満たされた場合にスケジュール設定済みジョブの実行を有効にするオプション。
条件	スケジュール設定済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)**] を選択した場合にのみ表示されます。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。

プロジェクトステータスレポートの作成

プロジェクトフォームの関連リストから、プロジェクトステータスレポートを定期的に作成できます。最新のステータス日付で作成されたプロジェクトステータスレポートにより、ポートフォリオ内のプロジェクトのステータスが更新されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトステータスレポートには、RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードのスナップショットステータス、主要なマイルストーン、およびチャートのみが表示されます。

ステータスレポートに RIDAC レコードを含めるには、個々の RIDAC フォームで [プロジェクトステータスレポートに表示] オプションを選択します。

プロジェクトワークスペースからプロジェクトステータスレポートを印刷することもできます。レポートを印刷するには、[ステータスレポート] タブのヘッダーにある印刷アイコン ( ) をクリックします。

手順

1. プロジェクトステータスレポートの作成

2. フォームに入力します。

ステータスレポートフォームのフィールド

フィールド	説明
プロジェクト管理	プロジェクトの名前。
ステータス報告日	ステータスレポートを生成する期限の日付。
番号	設定可能なプリフィックス付きの、ステータスレポートのシステム生成番号。
ステータス	プロジェクトの現在のステータス。
完了率 (%)	完了済みのプロジェクトの割合。
開始予定日	プロジェクトの開始予定日。
終了予定日	プロジェクトの終了予定日。
開始実績日時	プロジェクトの実開始日。
終了実績日時	プロジェクトの実終了日。
コスト概算	プロジェクトのコスト概算。
実績コスト	プロジェクトの実績コスト。
[全体的なステータス] タブ	
総合健全性	レポートでプロジェクトの総合健全性のステータスを示す色。
エグゼクティブ サマリー	プロジェクトの簡単な要約と分析。
コメント	全体的なステータスに関するコメント。
先週の達成度	先週のプロジェクトの進捗状況。
予定されている主要アクティビティ	プロジェクトで次に予定されているアクティビティ。
[スケジュール] タブ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スケジュール	レポートでプロジェクトのスケジュール関連情報のステータスを示す色。
スケジュールについてのコメント	プロジェクトスケジュールに関連するコメント。
[コスト] タブ	
コスト	レポートでプロジェクトのコスト関連情報のステータスを示す色。
コストについてのコメント	プロジェクトコストに関連するコメント。
[リソース] タブ	
リソース	レポートでプロジェクトのリソース関連情報のステータスを示す色。
リソースについてのコメント	プロジェクトリソースに関連するコメント。
[スコープ] タブ	
スコープ	レポートでプロジェクトのスコープ関連情報のステータスを示す色。
スコープについてのコメント	プロジェクトスコープに関連するコメント。

3. [送信] をクリックします。

プロジェクトステータスレポートの表示

プロジェクトステータスレポートでは、いくつかのカテゴリに表示されたプロジェクトの最新の進捗状況を一目で確認できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトステータスレポートはスナップショットとして機能します。つまり、レポートは、ステータスレポートが生成された日時のさまざまなパラメーターのステータスを保持し、さまざまなパラメーターのステータスを動的には表示しません。たとえば、前週に作成されたプロジェクトステータスレポートは、その週と同じステータスを保持し、ステータスを動的に更新しません。
プロジェクトステータスレポートを使用して、プロジェクトの進捗状況を比較できます。最近の変更がレポートに反映されるように、新しいプロジェクトステータスレポートを生成します。

プロジェクトステータスレポートには、RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードのスナップショットステータス、主要なマイルストーン、およびチャートのみが表示されます。

手順

1. プロジェクトステータスレポートを開きます。

   注:
   ポートフォリオワークベンチからプロジェクトステータスレポートを開くこともできます。ポートフォリオワークベンチでポートフォリオを開き、[ポートフォリオを追跡] をクリックします。[タイムライン表示] でプロジェクトを右クリックし、コンテキストメニューから [ステータスレポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 次のセクションでプロジェクトのステータスを確認します。

プロジェクトステータスレポートのセクション

セクション	説明
概要	プロジェクトに関する次のような概要を示します。 ◦ プロジェクト名：プロジェクトの名前。 ◦ プロジェクトマネージャー：プロジェクトにアサインされたプロジェクトマネージャー。 ◦ ポートフォリオ：プロジェクトが属するプライマリポートフォリオ。 ◦ ステータス：プロジェクトの現在のステータス。 ◦ フェーズ：プロジェクトの現在のフェーズ ([開始中]、[計画中]、および [実行中] など)。 ◦ 完了率 **(%)**：プロジェクトが完了したパーセンテージ。 ◦ 開始予定日：プロジェクトの開始予定日。 ◦ 終了予定日：プロジェクトの終了予定日。 ◦ 計画コスト：プロジェクトのコスト概算。 ◦ 実開始日：プロジェクトが開始された日付。 ◦ 実終了日：プロジェクトの実終了日。 ◦ 実績コスト：プロジェクトの実績コスト。 この情報はプロジェクトフォームからロールアップされます。 プロジェクトフォームの [ステータスレポート通貨] フィールドのユーザー設定をプロジェクト通貨として設定した場合は、[概要] タブに次のプロジェクト通貨フィールドが表示されます。 ◦ プロジェクト通貨での計画コスト：プロジェクト通貨でのプロジェクトのコスト概算。 ◦ プロジェクト通貨での実績コスト：プロジェクト通貨でのプロジェクトのコスト。 **注:** 上記のフィールドは、PPM Standard Multicurrency プラグイン (com.snc.ppm_multicurrency) を有効にして、プロジェクト通貨ビューに切り替えると表示されます。詳細については、「プロジェクト財務における複数通貨」を参照してください。
サマリ	プロジェクトの総合健全性に関する情報を提供します。この情報は、プロジェクトのプロジェクトマネージャーが入力した最新のステータスからロールアップされます。 ◦ エグゼクティブ サマリー：プロジェクトの簡単な要約と分析。 ◦ 先週の達成度：プロジェクトの前週の進捗状況。 ◦ 予定されている主要アクティビティ：プロジェクトで次に予定されているアクティビティ。
コスト (計画 対実績) チャート	プロジェクト通貨ビューを有効にしている場合は、[プロジェクト通貨でのコスト（予定 対 実績)] セクションに、プロジェクト通貨での実績コストと計画コストの比較に関する情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セクション	説明
	この情報は、プロジェクトのコスト計画からロールアップされます。 ○ 計画：プロジェクトの承認済みコスト。 ○ 実績：プロジェクトの実績コストは、プロジェクトコスト計画に対して作成された経費ラインと、プロジェクトに対して作成されたタイムカードから導出されます。
リソース (配分 対 実績) チャート	使用された実績リソース時間と割り当て済みリソース時間の比較に関する情報を提供します。この情報は、プロジェクトのリソース計画からロールアップされます。 ○ 割り当て済み：プロジェクトを実行するために割り当てられたリソース時間。 ○ 実績：実際に費やされた時間は、プロジェクトに対して作成された処理済みのタイムカードから取得されます。
現在のステータス	プロジェクトの総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、およびスコープに関連するステータスを提供します。この情報は、プロジェクトのプロジェクトマネージャーが入力した最新のステータスから入力されます。 ○ ステータス：ステータスを示す色インジケーター。 ○ コメント：ステータスに関するコメント。
ステータス履歴	プロジェクトの総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、およびスコープの傾向を提供します。この情報は、プロジェクトに対して作成された最新の 11 件のステータスレポートから入力されます。 日付：ステータスレポートのステータス日付。色インジケーターは、これらの日付におけるプロジェクトのステータスを示します。
主要マイルストーン	プロジェクトの主要なマイルストーンに関する情報を提供します。この情報は、主要なマイルストーンとして識別されたプロジェクトタスクから入力されます。 ○ 処理待ち：[処理待ち]、[オープン]、および [対応中] ステータスの主要なマイルストーンタスクのリスト。 ○ 完了：[クローズ済み] ステータスの主要なマイルストーンタスクのリスト。
リスク	プロジェクト関連のリスクに関する情報を提供します。この情報は、プロジェクトの一部であるリスクからロールアップされます。 ○ 処理待ち：[処理待ち] ステータスのリスクのリスト。 ○ 完了：[達成] および [未達成] ステータスのリスクのリスト。 リスクレコードの次の情報が表示されます。 ○ 簡単な説明 ○ 確率 (Probability) ○ リスクステータス ○ ステータス ○ 担当者 ○ 期日 詳細については、「プロジェクトのリスクの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セクション	説明
問題	プロジェクトに含まれている問題に関する情報を提供します。この情報は、プロジェクトについてレポートされた問題からロールアップされます。 ○ 処理待ち：[オープン] および [対応中] ステータスの問題のリスト。 ○ 完了：[クローズ済み] ステータスの問題のリスト。 問題レコードの次の情報が表示されます。 ○ 簡単な説明 ○ 優先度 ○ ステータス ○ 担当者 ○ 期日 詳細については、「プロジェクトの問題の追加」を参照してください。
意思決定 (Decisions)	プロジェクトに含まれている意思決定に関する情報を提供します。この情報は、プロジェクトについてレポートされた意思決定からロールアップされます。 ○ 処理待ち：[オープン] および [対応中] ステータスの問題のリスト。 ○ 完了：[クローズ済み] ステータスの問題のリスト。 意思決定レコードの次の情報が表示されます。 ○ 簡単な説明 ○ 優先度 ○ 意思決定ステータス ○ ステータス ○ 担当者 ○ 期日 詳細については、「プロジェクトの意思決定の追加」を参照してください。
アクション	プロジェクトのアクションアイテムに関する情報を提供します。この情報は、プロジェクトについてレポートされたアクションからロールアップされます。 ○ 処理待ち：[オープン] および [対応中] ステータスのアクションのリスト。 ○ 完了：[クローズ済み] ステータスのアクションのリスト。 アクションレコードの次の情報が表示されます。 ○ 簡単な説明 ○ 優先度 ○ ステータス ○ 承認 ○ 担当者 ○ 期日 詳細については、「プロジェクトのアクションの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セクション	説明
変更を要求	プロジェクトの変更要求に関する情報を提供します。この情報は、プロジェクトに対して作成された変更要求からロールアップされます。 ○ 処理待ち：[処理待ち]、[オープン]、および [対応中] ステータスのプロジェクトの変更要求のリスト。 ○ 完了：[クローズ済み] ステータスのプロジェクトの変更要求のリスト。 変更要求レコードの次の情報が表示されます。 ○ タイトル ○ 優先度 ○ ステータス ○ カテゴリ ○ 承認 ○ 担当者 ○ 期日 詳細については、「変更要求の作成」を参照してください。

原価費目定義の作成

原価費目定義を作成して、原価費目、経費、または投資を、ファイナンシャルマネジメント アプリケーションから総勘定元帳のアカウントに関連付けます。プロジェクトポートフォリオ管理 with Financials を使用している場合は、原価費目定義を作成します。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > コストタイプ定義.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	内容を端的に表す名前を入力します。
GI アカウント	総勘定元帳アカウント [itfm_gl_accounts] テーブルからアカウントを選択します。
経費タイプ	投資コストの場合は [投資] を、経費の場合は [経費] を選択します。

4. [送信] をクリックします。

プロジェクトへの予算の割り当て

会計年度に応じて、プロジェクトの予算を設定します。

始める前に
必要なロール：it_portfolio_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プロジェクトフォームを開きます。
2. 関連リンクで、[プロジェクト予算] をクリックします。
   [プロジェクト予算] ダイアログボックスが開きます。
3. プロジェクトの予算を設定する会計年度を選択します。
4. [投資予算] および [経費予算] の金額を入力します。
   [予算合計] は、投資と経費の合計金額で更新されます。
5. **[OK]** をクリックします。
   - プロジェクトにコスト計画が関連付けられていない場合、プロジェクト予算は、プロジェクトの開始予定日と終了予定日に従って配分されます。
   - プロジェクトにコスト計画が関連付けられている場合、プロジェクト予算は、コスト計画の会計期間に従って配分されます。

タスクの結果
選択した年のプロジェクト予算が、[プロジェクト予算] 関連リストに表示されます。リストで金額をクリックすると修正できます。

プロジェクトワークスペースにあるプロジェクトの **RIDAC** レコード

RIDAC は、リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求レコードの頭字語です。プロジェクトワークスペースでは、プロジェクトライフサイクル中に他のレコードに変換できるプロジェクトのリスクレコードを作成できます。問題を追跡し、関連する詳細を関連レコードでコピーすることを避けることができます。

プロジェクトがプロジェクトライフサイクルの各段階を進むにつれて、リスクによって問題が発生したり、新しい問題が発生したりする可能性があります。リスクレコードを取得した後は、そのレコードを問題、アクション、意思決定などの関連レコードに変換できます。レコードの変換と関連付けは、将来のプロジェクトを計画するためのパターン、傾向、および考えられる解決策の分析と特定に役立ちます。

プロジェクトワークスペースの単一の RIDAC ページですべての RIDAC レコードを計画および管理します。このページでは、一元的な場所で RIDAC レコードを作成、編集、変換、および関連付けることができます。プロジェクトワークスペースインターフェイスから RIDAC ページまたはクラシック版プロジェクトワークスペースに移動します。

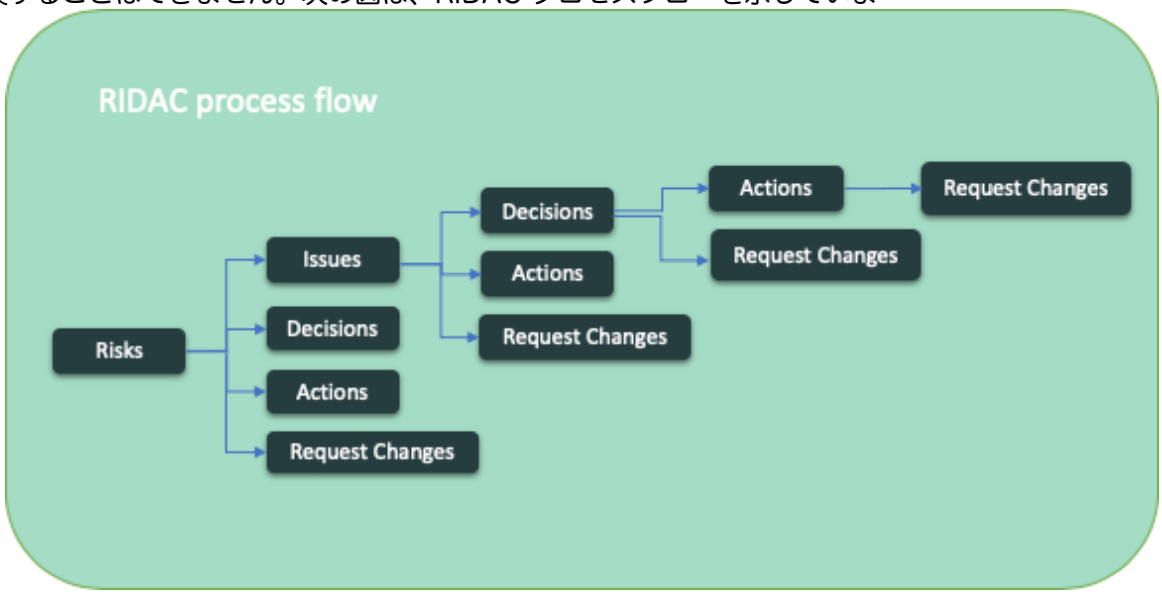
プロジェクトワークスペースで RIDAC レコードの変換または関連付けを行う前に、次の点を考慮してください。

- あるレコードを別のレコードに変換できるのは、RIDAC シーケンスにおいてのみです。たとえば、リスクを問題、意思決定、アクション、または変更要求に変換することはできますが、問題をリスクに、または意思決定を問題に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変換することはできません。次の図は、RIDAC プロセスフローを示していま



す。

- 1 つのレコードを複数の RIDAC レコードに変換できます。たとえば、1 つのリスクレコードから複数の問題レコードを作成できます。

  クラシック版プロジェクトワークスペースでの RIDAC レコードの変換については、「プロジェクトの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。プロジェクトワークスペースでの RIDAC レコードの変換については、「プロジェクトワークスペース でプロジェクトの特定の RIDAC レコードを別のレコードに変換する」を参照してください。

- 1 つのレコードを複数の異なるレコードに関連付けることができます。たとえば、1 つの問題レコードを複数の異なるリスク、意思決定、アクション、または変更要求レコードにリンクさせることができます。

  クラシック版プロジェクトワークスペースでの RIDAC レコードの関連付けについては、「プロジェクトの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。プロジェクトワークスペースでの RIDAC レコードの関連付けについては、「プロジェクトワークスペース でプロジェクトの既存の RIDAC レコードを関連付け」を参照してください。

プロジェクトのリスクの追加

プロジェクトにリスクを追加して、プロジェクトライフサイクルの任意のフェーズでリスクを特定、分析、優先順位付け、計画、および追跡します。潜在的な問題とその影響の重大度を評価し、プロジェクトについて情報に基づいた意思決定を行います。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

リスクとは、プロジェクトの成功または結果に影響を与える可能性がある不確実なイベントのことです。たとえば、財務支出やリソースのアサインなどのファクターの見積もりが正しくないと、スケジュールにずれが生じる可能性があります。リスクのもう 1 つの例として、プロジェクト要件の変更があります。リスクを記録することで、意思決定者はプロジェクトの進捗状況を評価する際にすべての関連情報を確実に把握できます。プロジェクトマネージャーは、プロジェクトにリスクを追加して評価することができます。プロジェクトマネージャーは、リスクを追加する際に、固有のプロジェクトに適用可能なプロジェクトリスクの既存のライブラリーからリスクを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. リスクを追加するプロジェクトを選択します。
3. [リスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. または、Advanced Risk プラグインを有効にしている場合は、[ライブラリーから作成] をクリックします。
   a. 必要に応じてリスクステートメントを選択します。
   b. [リスクを作成] をクリックします。
   プロジェクトカテゴリに属するリスクステートメントのみがユーザーに表示されます。
5. リスクフォームのフィールドに入力します。

リスクフォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	リスクの現在のステータス。すべての新しいリスクは、[処理待ち] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
リスクステータス	リスクのステータス。リスクが達成されているか、緩和されているか、受け入れられているかなど、リスクの現在のステータスに関する情報を提供します。 使用可能なオプションは、[処理待ち]、[達成]、[未達成]、[回避]、[軽減 (Mitigate)]、[転送]、および [承認] です。
確率 (Probability)	リスクに記載されているイベントが発生する可能性。使用可能なオプションは、[絶対]、[高]、[中]、および [低] です。
影響	プロジェクトの結果に対するリスクイベントの影響。
コスト概算	リスクイベントによって生成されるコスト概算。
リスクのランク	リスクにアサインされた値と色。この値は、リスクの確率と影響度を使用して計算されます。リスク値のルックアップを使用して色と値を設定できます。詳細については、「プロジェクトのカスタムのリスクランクとリスク値の設定」を参照してください。
リスクオーナー (Risk owner)	リスクの監視と管理を担当するプライマリリソース。
担当者	リスクの対応をアサインされたプライマリリソース。
リスク値	リスク値のルックアップから計算された値。詳細については、「プロジェクトのカスタムのリスクランクとリスク値の設定」を参照してください。
期日	アサインされたリソースへのリスク解決の要求日、またはリソースにアサインされていない場合にリスクをクローズまたは対処する必要がある日付。
プロジェクトステータスレポートに表示	リスク情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タスク	このリスクが属するプロジェクト。
簡単な説明	イベント、およびイベントがプロジェクトの成功に与える潜在的な影響の簡単な説明。リスクがリスクライブラリーから作成されている場合、このフィールドにはリスクステートメント名が表示されます。
説明	イベントとその潜在的な影響の詳細。リスクがリスクライブラリーから作成されている場合、このフィールドにはリスクステートメントの簡単な説明が表示されます。
実績コスト	リスクイベントによって生成されたコスト。この情報は、イベントが発生した場合に追加されます。
軽減計画 (Mitigation plan)	リスクを軽減するために行う取り組みの簡単な説明。
リスクアセスメントのサマリー	
注: [リスクアセスメントのサマリー] セクションは、[*Enable Advanced Risk PPM Integration*] プロパティが有効になっている場合にのみ表示されます。	
固有リスク	このフィールドには、リスク査定人が固有リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。
エンタープライズリスクに昇格	このオプションは、プロジェクトマネージャーによってリスクがエンタープライズリスクに昇格されたときに自動的に選択されます。
残存リスク	このフィールドには、リスク査定人が残存リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。
企業固有リスク (Enterprise inherent risk)	このフィールドには、リスク査定人が企業固有リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。
企業残存リスク (Enterprise residual risk)	このフィールドには、リスク査定人が企業残存リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。

6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 追加されたリスクを評価します。詳細については、「アセスメントのためにプロジェクトリスクをステークホルダーにアサインする」を参照してください
- 既存のリスクを問題、意思決定、アクション、または変更要求に変換し、リスクをクローズします。詳細については、「プロジェクトの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、リスクを既存の問題に関連付けます。詳細については、「プロジェクトの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトのカスタムのリスクランクとリスク値の設定

カスタムのリスクランクとリスク値のスコア ([高 - 中]、[中 - 低]、または [絶対 - 低] など) を設定して、リスクの影響度と確率のファクターを評価します。

始める前に

必要なロール：pps_admin

このタスクについて

リスク値のルックアップモジュールを使用して、リスクの影響度と確率の特定の組み合わせに対するリスクランクとリスク値を設定します。システムではこれらの値を使用して、リスクの影響度と確率のファクターに基づいて、リスクの程度 ([絶対]、[高]、[中]、[低]) を判定します。

[確率] フィールドの値に [影響度] フィールドの値を乗算して、リスクフォームの [リスクのランク] および対応する [リスク値] の値を生成します。

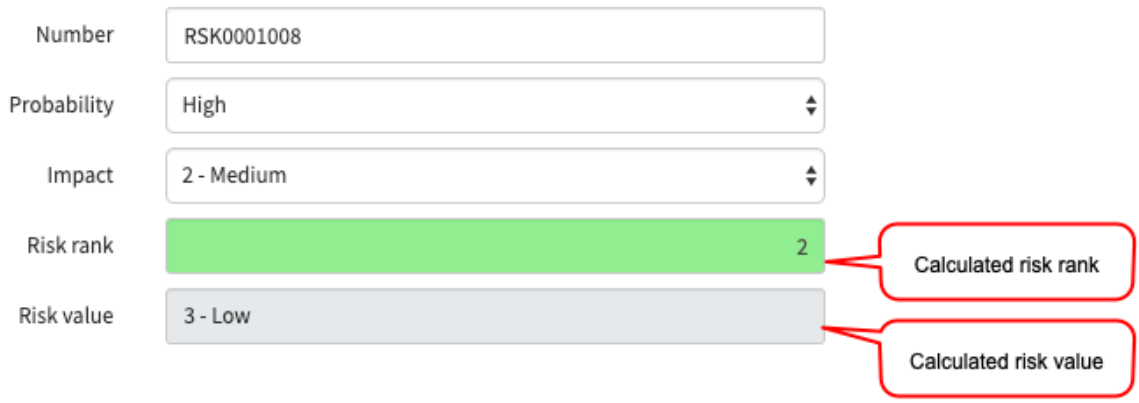
デフォルトでは、リスクの次の影響度、値、および可能性スコアを使用して、リスクランクおよびリスク値のスコアを作成できます。

- 絶対
- 低
- 中または中 (Medium or Moderate)
- 高

たとえば、確率は高で、影響度は中だが、プロジェクト全体のリスクは低と見なしたい場合があります。その場合は、次の値を使用して リスク値マッチャーフォームを設定します。

- 影響度 = 2 - 中
- リスクランキングの色 = 緑色
- 確率 = 高
- 確率数 = 1
- リスク値 = 3 - 低

次の画像は、リスクフォームでのこの例の結果を示していま



す。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > リスク値のルックアップ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク値マッチャーフォーム

フィールド	説明
影響	リスクの影響度の値。 デフォルト値は次のとおりです。 ○ 1 = 高 ○ 2 = 中 ○ 3 = 低
アプリケーション	これらのリスク値が属するアプリケーション。
リスクランキングの色	リスクの重大度を示す色。 ヒント: 色のバリエーションを入力して、影響度と確率の値が類似しているリスクを区別できます。たとえば、重大度の低いリスクを示すために **[lightgreen]** と入力できます。
リスク値	指定されたリスクの影響度と確率の組み合わせの値。 オプションは、[高]、[中]、および [低] です。 この値は、リスクフォームの [リスク値] フィールドに表示されます。
確率 (Probability)	リスクの影響度値に関連付けるリスクの確率値。オプションは、[絶対]、[高]、[中]、および [低] です。
確率数	確率を示す数値。この値に [影響度] フィールドの値を乗算して、リスクのランクが計算されます。 デフォルト値は次のとおりです。 ○ 1 = 絶対 ○ 1 = 高 ○ 2 = 中 ○ 3 = 低 計算されたリスクのランクとリスクランキングの色は、リスクフォームの [リスクのランク] フィールドに表示されます。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトの問題の追加

プロジェクトに問題を追加して、リスクを昇格したり、プロジェクトライフサイクルの任意のフェーズで発生する技術的な誤動作やリソースの不足などの予期しない問題を追跡したりします。問題が未解決のままである場合、不要な競合、遅延、さらには障害が発生する可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 問題を追加するプロジェクトを選択します。
3. [問題] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 問題フォームのフィールドに入力します。

問題フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	問題の現在のステータス。すべての新しい問題レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	考えられる影響度に基づいて問題を解決または管理する緊急性。
コスト概算	問題によって生成されるコスト概算。
影響	問題が未解決のままである場合のプロジェクトの結果への影響。
期日	アサインされたリソースへの問題解決の要求日、またはリソースにアサインされていない場合に問題をクローズまたは対処する必要がある日付。
担当者	問題解決の対応をアサインされたプライマリリソース。
親	この問題が属するプロジェクト。
プロジェクトステータスレポートに表示	問題情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	問題、および問題がプロジェクトの成功に与える潜在的な影響の簡単な説明。 問題のタイトルを入力し始めると、問題と一致する可能性がある関連する問題が表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義された問題の説明のリストから選択します。
説明	問題とその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	問題解決のために完了した作業を記録および追跡するための情報。

5. オプション: ナレッジベースで問題に関連する記事を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ナレッジ検索アイコン ( ) をクリックします。

b. 関連する記事を見つけたら、記事のタイトルをクリックしてそのコンテンツを表示します。

c. 記事の内容を問題に含める場合は、[問題に添付 **(Attach to Issue)]** をクリックします。
記事の内容が、問題フォームの [説明] フィールドにコピーされます。必要に応じて、テキストを変更できます。

6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 既存の問題を意思決定、アクション、または変更要求に変換し、問題をクローズします。詳細については、「プロジェクトの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、問題を既存のリスクに関連付けます。詳細については、「プロジェクトの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

プロジェクトの意思決定の追加

プロジェクトマネージャーは、ソリューションを使用してリスクと問題を積極的に管理するための計画を策定します。リスクまたは問題のためのソリューションを意思決定の形でプロジェクトに追加します。リスクまたは問題を意思決定に、または意思決定をアクションや要求の変更に変換することもできます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 意思決定を追加するプロジェクトを選択します。
3. [意思決定 (Decisions)] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 意思決定フォームで、フィールドに入力します。

意思決定フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	意思決定の現在のステータス。すべての新しい意思決定レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	考えられる影響度に基づいて意思決定を承認または実装する緊急性。
意思決定ステータス	意思決定のステータス。使用可能なオプションは、[処理待ち]、[承認済み]、および [却下] です。
影響	意思決定を実装しない場合のプロジェクトの結果への影響。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
承認が必要	意思決定の承認が必要かどうかを決定するためのオプション。
コスト概算	意思決定を実装するためのコスト概算。
期日	意思決定を承認または実装する必要がある要求日。
担当者	意思決定の対応をアサインされたプライマリリソース。デフォルト値は、意思決定レコードを作成するユーザーの名前です。
親	この意思決定が属するプロジェクト番号。
プロジェクトステータスレポートに表示	意思決定情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	意思決定の内容、意思決定者、意思決定の影響、および意思決定の結果など、意思決定の簡単な説明。 意思決定のタイトルを入力し始めると、意思決定と一致する可能性がある関連する意思決定が表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義された意思決定の説明のリストから説明を選択します。
説明	意思決定とその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	意思決定の実装または承認のステータスを記録および追跡するための情報。

5. オプション: ナレッジベースで意思決定に関連する記事を検索します。

   a. ナレッジ検索アイコン ( ) をクリックします。

   b. 関連する記事を見つけたら、記事のタイトルをクリックしてそのコンテンツを表示します。

   c. 記事の内容を問題に含める場合は、[意思決定に添付 **(Attach to Decision)**] をクリックします。記事の内容が、意思決定フォームの [説明] フィールドにコピーされます。必要に応じて、テキストを変更できます。

6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 意思決定をアクションまたは変更要求に変換し、意思決定をクローズします。詳細については、「プロジェクトの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、意思決定を既存の問題に関連付けます。詳細については、「プロジェクトの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

プロジェクトのアクションの追加

プロジェクトの問題またはリスクを解決するために必要なアクションを追加します。分析に基づいてリスク、問題、または意思決定をアクションに変換し、リスクまたは問題の解決を計画することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
リスクと問題を分析し、それらのリスクと問題を管理する方法を決定したら、リスクまたは問題を解決するためのアクションをプロジェクトに追加します。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. アクションを追加するプロジェクトを選択します。
3. [アクション] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. アクションフォームで、フィールドに入力します。

アクションフォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成番号。
ステータス	アクションの現在のステータス。すべての新しいアクションレコードは、ステータスを [オープン] に設定して作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	影響度に基づいてアクションを実装または承認する緊急性。
コスト概算	アクションによって生成されるコスト概算。
影響	アクションを実装しない場合のプロジェクトの結果への影響。
承認	アクションのステークホルダーからの承認のステータス。承認管理者ロールを持つユーザーは、承認のステータスのみを変更できます。
担当者	アクションを実装するためにアサインされたプライマリリソース。
期日	アクションを承認または実装する必要がある要求日。
親	このアクションが属するプロジェクト。
プロジェクトステータスレポートに表示	アクション情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	アクションで必要になる内容、アクションの実装方法、影響を受けるユーザー、およびアクションの結果など、アクションの簡単な説明。 アクションのタイトルを入力し始めると、アクションのタイトルと一致する可能性がある関連アクションが表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義されたアクションのリストから説明を選択します。
説明	アクションとその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	アクションに関する情報。作業メモを追加して、アクションの承認、却下、または実装のステータスについて他のユーザーとやり取りします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: アクションに他のステークホルダーからの承認が必要な場合は、[承認] および [期日] フィールドを使用して期日の承認を要求します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- アクションを変更要求に変換し、アクションをクローズします。詳細については、「プロジェクトの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、アクションを既存のリスク、問題、および意思決定レコードに関連付けます。詳細については、「プロジェクトの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。

変更要求の作成

プロジェクトマネージャーは、問題の解決やリスクの軽減のために実行したアクションの結果として、変更要求を作成できます。要求変更により、プロジェクトのスコープ、リソース要件、コスト、またはスケジュールが変更され、リスクまたは問題の影響が最小限に抑えられる場合があります。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 変更要求を追加するプロジェクトを選択します。
3. [変更を要求] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

変更要求フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	変更要求の現在のステータス。すべての新しい変更要求レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] です。
優先度	影響度に基づいて要求された変更を承認する緊急度。
コスト概算	要求された変更によって生成されるコスト概算。
影響	要求された変更を承認しない場合のプロジェクトの結果への影響。
承認	要求された変更のステークホルダーからの承認のステータス。
担当者	変更要求の対応をアサインされたプライマリリソース。
期日	変更要求を完了するための要求日。
カテゴリ	変更要求の作成対象のエンティティ。オプションは、[リソース]、[スコープ]、[コスト]、および [スケジュール] です。
親	この変更要求が属するプロジェクト番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロジェクトステータスレポートに表示	変更要求情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
タイトル	変更要求のタイトル。
説明	変更要求とその潜在的な影響の詳細。
ビジネス上の根拠	プロジェクトで提案された変更を要求する理由とそのビジネスへの影響。
作業メモ	プロジェクトの変更要求の進捗状況を示す追加情報。

5. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、変更要求を既存のリスク、問題、意思決定、およびアクションレコードに関連付けます。詳細については、「プロジェクトの既存の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け」を参照してください。
- 変更要求を処理するタスクを作成します。詳細については、「インシデント、問題、または変更要求からのタスクの作成」を参照してください。

プロジェクトの特定の **RIDAC** (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの、別のレコードへの変換

特定の RIDAC レコード (リスク、問題、アクション、意思決定、および変更要求) をこの順序で別のレコードに変換し、新しいレコードを手動で作成することなくレコード情報を保持して、より簡単に問題を追跡できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
RIDAC レコードを別のレコードに変換すると、[簡単な説明]、[要求者]、および [アサイン先] フィールドの値が引き継がれます。

親レコードを手動でクローズする代わりに、新規レコードの作成時に親レコードを終結するように指定することもできます。

プロジェクトフォームの **[RIDAC** を表示] 関連リンク、およびプロジェクトモジュールのアプリケーションナビゲーターの **[RIDAC** を表示] を使用して、変換されたすべての RIDAC レコードの統合リストを表示することもできます。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. リスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求レコードを別の RIDAC レコードに変換するプロジェクトを選択します。
3. [プロジェクトフォーム] 関連リストから、リスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求レコードをクリックしてフォームビューを開きます。
4. フォームの **[RIDAC** に変換] 関連リンクをクリックします。
5. オプション: [変換] ダイアログボックスの [タスクタイプを選択] リストから、選択したレコードを変換する RIDAC レコードを選択します。
   たとえば、リスクを問題に変換する場合は、[問題] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. オプション: 親レコードからコピーされた [簡単な説明] フィールドのテキストを変更します。
7. オプション: [アサイン先] フィールドの親レコードからコピーされたデフォルトのアサインを変更するには、ルックアップアイコン ( ) をクリックし、別のユーザーを選択します。
8. オプション: 新規レコードの作成時に親 RIDAC レコードをクローズする場合は、親レコードをクローズするオプションを選択します。
   親レコードをクローズするオプションのラベルは、親レコードタイプに応じて変わります。たとえば、親レコードがリスクで、それを問題レコードに変換する場合、レコードをクローズするオプションは [リスクをクローズ **(Close Risk)]** と表示されます。
9. **[OK]** をクリックします。

プロジェクトの既存の **RIDAC** (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの関連付け

プロジェクトの既存の RIDAC レコード (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) を相互にリンクさせることができます。RIDAC レコードを相互に関連付けると、プロジェクトの終了時および計画時の分析のために、リスクまたは問題とその結果のレコードを保持できます。また、プロジェクトのライフサイクル全体にわたってリスクと問題を追跡するのにも役立ちます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
1 つのレコードを複数の異なるレコードに関連付けることができます。たとえば、1 つの問題レコードを複数のリスク、意思決定、アクション、または変更要求レコードにリンクさせることができます。

手順
1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 特定の RIDAC エントリーを別のエントリーに関連付けるプロジェクトを選択します。
3. [プロジェクトフォーム] 関連リストで、RIDAC レコードを選択します。
4. フォームで、**[RIDAC** の関連付け] 関連リンクをクリックします。
5. [関連付け] ダイアログボックスの [タイプの選択] リストから、選択したレコードを関連付ける RIDAC レコードを選択します。
   たとえば、リスクを問題に関連付ける場合は、[問題] を選択します。
6. 選択したレコードの関連付け先のレコード番号を、[関連付け先] リストから選択します。
   たとえば、選択したリスクを問題 (ISU0010003) に関連付ける場合は、**[ISU0010003]** を選択します。
7. **[OK]** をクリックします。

プロジェクトの開始予定日の変更

プロジェクトの開始予定日を変更し、現在の計画済みスケジュールよりも後または前にシフトして、プロジェクトのスケジュールを調整します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトの開始予定日を新しい日付に変更すると、プロジェクトの更新された開始日に関連する、そのすべてのタスクとサブプロジェクトも移動されます。次の条件が満たされている場合、プロジェクトの開始予定日を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトの [ステータス] が [処理待ち] または [オープン] です。
- WIP ステータスのプロジェクトの開始日を移動するには、**[WIP** プロジェクトのプロジェクトの移動を有効にする] プロパティ (*com.snc.project.move_project.wip*) を true に設定します。このプロパティのデフォルト値は false です。
- 実行対象として project_funding レコードが選択されていません。
- プロジェクトの実際の日付は入力されません。

注:

- [プロジェクト移動] オプションは、タスクまたはサブプロジェクトがあるプロジェクトでのみ使用できます。
- スプリントを使用するアジャイルフェーズがプロジェクトに関連付けられている場合、プロジェクトの開始予定日を変更すると、スプリントの開始日と終了日もクリアされます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、プロジェクトの開始予定日を変更します。

2. ダイアログボックスで日付を選択します。
3. [制約タイプに関係なくすべてのタスクを移動] チェックボックスをオンまたはオフにします。
   - チェックボックスをオフにすると、[すぐに開始] 制約のあるタスクのみが新しいプロジェクト日付に移動されます。
   - チェックボックスをオンにすると、[すぐに開始] 制約のあるタスクを除き、すべてのプロジェクトタスクが制約に関係なく、同じオフセットで新しいプロジェクト日付に移動されます。

   このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。

   注:
   WIP ステータスとクローズステータスのタスクは移動されません。

4. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果

- プロジェクトの開始予定日が新しい日付に更新されます。
- プログラムの日付は、プロジェクトの開始日を基準にして更新されます。
- [制約タイプに関係なくすべてのタスクを移動] チェックボックスがオンになっている場合、[特定の日に開始] および [以下以降に開始] 制約のあるすべてのプロジェクトタスクは、前のプロジェクト開始日からの同じオフセットで新しい開始日に移動されます。制約日付も同じオフセットで移動されます。

  たとえば、プロジェクトが 11 月 10 日に開始され、タスクの開始日時が 11 月 15 日である場合、オフセットは 5 日間になります。プロジェクト開始日を 11 月 20 日に移動すると、タスク開始日は 11 月 25 日に移動され、プロジェクト開始日から 5 日間のオフセットが維持されます。

- [すぐに開始] 制約のあるすべてのプロジェクトタスクは、プロジェクトフォームの [制約日付] フィールドに基づいて新しい開始日に移動されます。タスクのステータスは、[オープン] または [処理待ち] である必要があります。
- [デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更でリソース計画とコスト計画の開始日を変更 **(Change Resource Plan and Cost Plan Start Date with Demand or Project Start Date**

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Change)] プロパティが選択されている場合、コスト計画、リソース計画、利益計画などのすべての関連エンティティが、プロジェクト開始日を基準にして移動されます。このプロパティの設定方法の詳細については、「Project Management とともにインストールされるプロパティ」を参照してください。

プロジェクトタスクの日付を前の日付に移動

タスクの開始予定日をプロジェクトの開始予定日より前に移動します。前の日付に移動されたタスクを追加すると、プロジェクトの開始予定日より前に開始する必要があるタスクに対応できます。

始める前に

プロジェクトタスクを作成しておくか、プロジェクトに追加しておく必要があります。

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

プロジェクトタスクの日付を前に移動する前に、次の条件に注意してください。

- プロパティ project.rollup_project_start_date を true に設定する必要があります。
- タスクの開始予定日より前の日付にすると、プロジェクトの開始予定日も移動されます。
- 子タスクの開始日を親タスクの開始日より前に移動することはできません。たとえば、[以下以降に開始] 制約のある親タスクが 20 日に開始され、子タスクが 30 日に開始される場合、子タスクの開始日は 20 日までしか移動できません。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. リストからプロジェクトを選択します。
3. プロジェクトフォームで次のいずれかのオプションを使用して、プロジェクトタスクの開始予定日を更新します。
4. [移動日 (Move date)] ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。

プロジェクトのすべてのリソース計画のコストの再計算

計画のコストを最新の状態で維持するために、関連付けられたレートモデルで時間レートが変更されるたびに、プロジェクト内のすべてのリソース計画のリソースコストを再計算します。

始める前に

次の設定を確認します。

- プロジェクトがアクティブである必要があります。
- プロジェクトにアクティブなレートモデルがアサインされている必要があります。
- リソース計画が [計画]、[要求済み]、[確認済み]、または [割り当て済み] ステータスである必要があります。

必要なロール：project_manager

このタスクについて

このオプションでは、プロジェクトのすべてのリソース計画のコストを同時に再計算します。[リソース計画] 関連リストからリソース計画を開いて、個々のリソース計画のリソースコストを再計算することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. プロジェクトを開きます。
3. プロジェクトフォームでヘッダーバーを右クリックし、[リソースコストを再計算] オプションを選択します。
4. [リソースコストを再計算] ダイアログボックスの各フィールドに入力します。

[リソースコストを再計算] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	コストを再計算する期間の開始日。 デフォルトでは、フィールドには現在の日付が表示されます。
終了日	コストを再計算する期間の終了日。 デフォルトでは、フィールドにはプロジェクトの終了日が表示されます。
要求されたリソースプランの計画コスト (Planned costs for Requested Resource plans)	要求されたリソース計画の計画コストを再計算するためのオプション。
確認済み/割り当て済みリソース計画の確認済み/割り当て済みコスト (Confirmed/Allocated costs for Confirmed/Allocated resource plans)	要求されたリソース計画の確認済みまたは割り当て済みコストを再計算するためのオプション。
確認済み/割り当て済みリソース計画の計画コスト (Planned costs for Confirmed/Allocated resource plans)	確認済みまたは割り当て済み計画の計画コストを含めるためのオプション。 このオプションは、[確認済み/割り当て済みリソース計画の確認済み/割り当て済みコスト **(Confirmed/Allocated costs for Confirmed/Allocated resource plans)]** オプションが選択されている場合に有効になります。 デフォルトでは、このオプションは選択されていません。

5. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果

- プロジェクト内の適用可能なすべてのリソース計画の選択されたリソースコストを、最新の時間レートに基づいて再計算します。時間レートは、プロジェクトに関連付けられたレートモデルから導出されます。
- リソース計画フォームおよび [リソース計画] 関連リストのそれぞれのコストフィールドで再計算されたリソースコストを更新します。
- 変更された値をプロジェクトのそれぞれのコストフィールドに反映します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトテンプレート

プロジェクトテンプレートは、プロジェクトの基本構造を定義します。

プロジェクトテンプレートには、プロジェクトタスクとサブタスク、添付ファイル、チェックリスト、その他のプロジェクト情報を含めることができます。プロジェクトは繰り返されることが多いため、テンプレートを使用すると、プロジェクト構造を作成、保存、および再利用できます。また、既存のテンプレートを変更したり、テンプレートからプロジェクトを作成したり、空のプロジェクトにテンプレートを適用したりすることもできます。サブタスクが含まれていないプロジェクトは空であると見なされます。

プロジェクトマネージャーロールでは、次の操作が可能です。

- プロジェクトテンプレートの作成
- テンプレートを使用したプロジェクトの作成

PPS 管理者ロールでは、プロジェクトテンプレート構成を変更できます。

プロジェクトテンプレートの作成

既存のテンプレートまたはプロジェクトからテンプレートを作成できます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

プロジェクトからテンプレートを作成すると、プロジェクトのすべての添付ファイルとチェックリストがテンプレートにコピーされます。プロジェクトテンプレートフォームを使用して、テンプレートの添付ファイルを追加または削除できます。スケジュール外のプロジェクトから作成されたプロジェクトテンプレートでは、スケジュール外のタスクを優先します。

手順

1. テンプレートを作成します。

2. 次のフィールドに入力します。
   - テンプレート名：新しいテンプレートに一意の名前を入力します。
   - 説明：新しいテンプレートの簡単な説明を入力します。
3. [**OK**] をクリックします。
   新しく作成されたテンプレートのプロジェクトテンプレートフォームが開きます。
4. プロジェクトテンプレートフォームのフィールドで必要な変更を行います。
   プロジェクトテンプレートフォームの上部セクションには、テンプレート名や説明などの基本的なテンプレート情報が含まれます。プロジェクトテンプレートフォームの中央セクションでは、テンプレートに含まれる特定のデータを定義します。このセクションの情報は、ユーザーが選択したプロジェクト [pm_project] テーブルのフィールドと、ユーザーが定義したフィールドの値から作成されます。

プロジェクトテンプレートフォームのフィールド

フィールド	説明
名前	プロジェクトテンプレートの名前。
テーブル	表示専用。テンプレートはプロジェクトテーブルに基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	プロジェクトテンプレートの簡単な説明。
テンプレート	テンプレートに含めるフィールドの列とフィールド値が含まれます。左側の列のフィールドをクリックして目的のフィールド名を選択し、右側の列のフィールドをクリックしてフィールド値を入力します。フィールドの追加情報が必要な場合は、3 列目にフィールドが表示されます。たとえば、金銭フィールドで通貨を識別する場合などです。 ○ フィールドの右側にある **[X]** をクリックすると、そのフィールドがテンプレートから削除されます。 ○ 新しいフィールドを追加するには、リストの下部にある空白のフィールドを使用します。
関連リンク	
プロジェクト作成	このプロジェクトテンプレートからプロジェクトを作成します。
テンプレートをコピー	このプロジェクトテンプレートのコピーを作成します。
関連リスト	
プロジェクトテンプレートタスク	プロジェクトテンプレートタスクのリスト。
添付ファイル	テンプレートに添付されているファイル。

5. [更新] をクリックします。

プロジェクトテンプレートへの添付ファイルの追加

プロジェクトまたはタスクにファイルを添付するのと同じ方法で、プロジェクトテンプレートにファイルを添付します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > テンプレート.

2. 目的のテンプレートを開きます。

3. [添付ファイル] タブをクリックして、関連リストを開きます。

4. [新規] をクリックします。

5. [添付ファイル] ダイアログボックスで [参照] をクリックし、ファイルを選択します。

6. 必要に応じて、[別の添付ファイルを追加] をクリックして別のファイルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [添付] をクリックします。
   選択したファイルが [添付ファイル] 関連リストに表示されます。

プロジェクトフォームでのテンプレートの適用

プロジェクトフォームを使用してプロジェクトを作成する際、プロジェクトテンプレートを適用して、プロジェクトタスクとサブタスク、添付ファイル、チェックリスト、およびその他のプロジェクト情報を含めることができます。プロジェクトテンプレートは、新しいプロジェクトにも既存のプロジェクトにも適用できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
スケジュール外のプロジェクトテンプレートから作成されたプロジェクトは、スケジュール外のタスクを優先し、指定された開始日に合わせて日付を調整します。
テンプレートをプロジェクトに適用すると、プロジェクトのステータスはデフォルトステータスに設定されます。デフォルトのプロジェクトステータス (pm_project.state = -5) を有効にし、すぐに使えるデフォルト値として使用します。[処理待ち] が適切でない場合は、要件に合わせて [ステータス] フィールドのラベルを更新できます。

手順

- 空白のプロジェクトフォームでテンプレートを適用するには：

  1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > 新規作成.

  2. **[**
     テンプレートからプロジェクトを作成するには **(To create project from a template)]** の横にあるリンクをクリックします。
     [テンプレートを適用] ウィンドウが表示されます。

  3. プロジェクト名を入力し、開始日を選択して、プロジェクトテンプレートを選択します。

- プロジェクトタスクまたはサブプロジェクトのない既存のプロジェクトにテンプレートを適用するには：

  1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて をクリックし、プロジェクトを選択します。

  2. [テンプレートを適用するにはここをクリック **(To apply template click here)]** リンクをクリックします。
     [テンプレートを適用] ウィンドウが表示されます。

  3. 開始日を選択して、プロジェクトテンプレートを選択します。

既存のプロジェクトへのテンプレートの適用

プロジェクトフォームまたは計画立案コンソールから、1 つまたは複数のプロジェクトテンプレートを既存のプロジェクトに適用します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
スケジュール外のプロジェクトテンプレートから作成されたプロジェクトは、スケジュール外のタスクを優先し、指定された開始日に合わせて日付を調整します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テンプレートをプロジェクトに適用すると、プロジェクトのステータスはデフォルトステータスに設定されます。デフォルトのプロジェクトステータス (pm_project.state = -5) を有効にし、すぐに使えるデフォルト値として使用します。[処理待ち] が適切でない場合は、要件に合わせて [ステータス] フィールドのラベルを更新できます。

> **重要:**
> プロジェクトタスクを持つプロジェクトにテンプレートを適用すると、ヘッダー情報は適用されず、プロジェクトの最後のプロジェクトタスクの後にのみプロジェクトタスクが追加されます。

手順

1. 次のいずれかの場所から既存のプロジェクトにプロジェクトテンプレートを適用します。
2. [テンプレートを適用] ダイアログボックスの [プロジェクトテンプレート] リストから、プロジェクトテンプレートを選択します。
3. [保存] をクリックします。
4. オプション: 複数のプロジェクトテンプレートを適用するには、ステップ 1 ～ 3 を繰り返します。
   テンプレートのタスクは、最後のタスクの後に追加されます。

プロジェクトワークスペースでの空のプロジェクトへのテンプレートの適用

プロジェクトワークスペースで新しいプロジェクトを作成するときに、テンプレートを適用できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
スケジュール外のプロジェクトテンプレートから作成されたプロジェクトは、スケジュール外のタスクを優先し、指定された開始日に合わせて日付を調整します。
テンプレートをプロジェクトに適用すると、プロジェクトのステータスはデフォルトステータスに設定されます。デフォルトのプロジェクトステータス (pm_project.state = -5) を有効にし、すぐに使えるデフォルト値として使用します。[処理待ち] が適切でない場合は、要件に合わせて [ステータス] フィールドのラベルを更新できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース.
2. [自分のプロジェクトスペース] ページのプロジェクトワークスペースヘッダーで、[新規プロジェクト] ボタンをクリックします。
3. [プロジェクト作成] ダイアログボックスで、プロジェクト名を入力し、開始日を選択して、テンプレートを選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

関連情報

プロジェクトの定義

プロジェクトテンプレート構成

[プロジェクトテンプレート構成] リストは、テンプレートに含まれるアイテムを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移動先 プロジェクト管理 > 設定 > テンプレート をクリックして、[プロジェクトテンプレート構成] リストを表示します。このリストの各アイテムには次のものがあります。

- 定義された親テーブル。例外は pm_project で、これはテンプレートのルートまたはトップレベルのオブジェクトです。
- リンク要素。親テーブルと子テーブルをリンクするフィールド。
- テンプレートに含めるフィールドのリスト。この列で定義されているフィールドは、プロジェクトテンプレートにコピーされるフィールドです。

[プロジェクトテンプレート構成] リストには、プロジェクト、プロジェクトタスク、およびプロジェクトサブタスクの 3 つのデフォルトテンプレート構成アイテムが含まれています。このリストからこれらのデフォルトアイテムを変更することも、追加アイテムを作成することもできます。

デフォルトのプロジェクトテンプレート構成アイテム

アイテム	定義	親	リンク要素
pm_project	プロジェクトオブジェクト	なし。このオブジェクトはルートレベルであるため、親はありません。	なし。このオブジェクトはルートレベルにあるため、リンク要素はありません。
pm_project_task	プロジェクトタスクオブジェクト	pm_project	親。このタスクオブジェクトはルートレベルの 1 レベル下にあるため、親テーブルをリンク要素として使用します。
pm_project_task	プロジェクトサブタスクオブジェクト	pm_project_task	親。このサブタスクオブジェクトはルートレベルの 2 レベル下にあるため、親テーブルをリンク要素として使用します。

[プロジェクトテンプレート構成] リストのアイテムをクリックして、プロジェクトテンプレート構成フォームを開きます。

プロジェクトテンプレート構成フォーム



プロジェクトテンプレート構成フォームのフィールド

フィールド	定義
テーブル	テンプレートのパラメーター化されるエンティティ。
親テーブル	このアイテムの親テーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトテンプレート構成フォームのフィールド (続く)

フィールド	定義
リンク要素	テーブルを親テーブルとリンクするフィールド。
有効	このアイテムがテンプレートに含まれていることを示すチェックボックス。
要素	テンプレートに含まれる [テーブル] フィールドで選択されたテーブルのフィールドのカンマ区切りリスト。

プロジェクトテンプレート構成アイテムの追加

テンプレートに含めるプロジェクトテンプレート構成アイテムを追加します。

始める前に

必要なロール：it_pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. プロジェクトテンプレート構成フォームのフィールドに入力します。
4. [送信] をクリックします。
   たとえば、プロジェクトテンプレート構成に要件オブジェクトを追加するには、次のようにフィールドに入力します。
   - テーブル：要件 [dmn_requirement]
   - 親テーブル：プロジェクト [pm_project]
   - リンク要素：親
   - アクティブ：このチェックボックスをオンにする
   - 要素：short_description、description、priority、type、state

関連情報

プロジェクトテンプレート

プロジェクトテンプレート構成

プロジェクトテンプレート構成アイテムの変更

テンプレートに含まれたプロジェクトテンプレート構成アイテムを変更します。

始める前に

必要なロール：it_pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > テンプレート.
2. リストから構成アイテムを選択します。
3. プロジェクトテンプレート構成フォームのフィールドに必要な変更を行います。
4. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プロジェクトテンプレート

プロジェクトテンプレート構成

プロジェクトテンプレート構成アイテムの追加

プロジェクトテンプレート構成アイテムの削除

デフォルトのテンプレート構成アイテム (プロジェクト、プロジェクトタスク、またはプロジェクトサブタスク) は削除しないでください。これを行うと、プロジェクトテンプレートを作成する機能に影響します。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > テンプレート.
2. リストから構成アイテムを選択します。
3. [削除] をクリックします。

プロジェクトタスク

プロジェクトタスクは、プロジェクトを構成する作業単位です。

プロジェクトを構成するタスクのサイズと数は、必要な詳細のレベルによって異なります。例を次に示します。

- タスクの一部には特定のスキルが必要です。
- タスクの他のアクティビティには特定のスキルは必要ありません。

そのタスクをさらに細分化していきます。

ボトムアップタスク

ボトムアップ (戦術的) タスクとは、必要な小さい個々の作業単位を計画し、より大きなフェーズを含むようにプロジェクトを構築することを意味します。達成する必要がある個々のタスクがわかっていて、プロジェクト全体の期間とコスト概算についてより柔軟に対応できる場合は、このアプローチを採用します。このアプローチを使用すると、各タスクを含めた場合にプロジェクトのコストと所要時間がどの程度になるかを把握できます。プロジェクト管理は、プロジェクト期間などの複数のプロジェクトフィールドでロールアップ計算を使用して戦術的なタスクをサポートし、含まれるタスクに合わせてプロジェクトが調整されるようにします。これは、プロジェクト管理 (PM)アプリケーションに推奨されるアプローチです。

トップダウンタスク

トップダウン (戦略的) タスクとは、最初に高レベルのタスクを計画し、その後で作業を小さな単位に分割することを意味します。固定された、または柔軟性のない時間と予算の制約があり、フェーズが明確に定義されたプロジェクトを構築する場合は、このアプローチを採用します。タスク間のマイルストーンと依存関係を最初から考慮し、明確に設定します。後でプロジェクトに小さなタスクを少しずつ追加していきます。このアプローチでは、可能性のあるすべてのタスクをプロジェクトに含めることを回避し、どのタスクを含めるか柔軟に対応できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
この方法を使用する場合でも、プロジェクト管理 (PM)アプリケーションは、タスク期間などのいくつかの値をロールアップします。プロジェクトよりも期間が長いタスクを作成すると、タスクの全期間をカバーするように拡張され、このアプローチを使用する目的が損なわれます。値は親タスクからロールダウンされません。また、親の指定された期間よりも長い子タスクを作成することに制限はありません。

プロジェクトタスクの関係と依存関係

プロジェクト管理 (PM) アプリケーションを使用すると、タスク間の親子関係、およびタスク間の依存関係 (終了 - 開始、終了 - 終了など) を作成できます。

この表では、作成できるタスクの関係と依存関係のタイプについて説明します。

プロジェクトの関係と依存関係

コンセプト	説明
終了 - 開始の依存関係	先行タスクが終了するまでタスクを開始できないことを示す依存関係。
開始 - 開始の依存関係	先行タスクが開始されるまで後続タスクを開始できないことを示す依存関係。
開始 - 終了の依存関係	先行タスクが開始されるまで後続タスクを終了できないことを示す依存関係。
終了 - 終了の依存関係	別のタスクが終了するまでタスクを終了できないことを示す依存関係。
遅延時間	先行タスクと後続タスクの間の手動で指定された中断時間。
親タスク	配下に子タスクと呼ばれるより小さなタスクを持つプロジェクトタスク。子タスクは、親タスクの作業をより管理しやすいサブセットに分割します。子タスクの特定のフィールド (終了予定日など) はロールアップされ、親タスクの同じフィールドに影響します。
子タスク	より大きなタスクのサブセットであるプロジェクトタスク。子タスクの開始日を親タスクの開始日より前にすることはできません。
ロールアップタスク	労力やリソースなどの子タスクアイテムをより大きな親タスクの計算に集計するコンテキストにおける親タスクの別の用語。ロールアップタスクフォーム内のすべてのフィールドは読み取り専用です。
ロールダウン	ステータスの変更は、プロジェクトからプロジェクトタスクへ、および親タスクから子タスクへとロールダウンされます。

注:
2 つのタスク間に存在できる関係は 1 つだけです。

プロジェクト管理 (PM)アプリケーションは、タスクの計算方法と動作を制御する複数のプロパティを提供します。詳細については、「プロジェクトプロパティ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロジェクトタスクの依存関係

タスクの依存関係は、1 つのタスクが先行タスクと後続タスクとの関係に基づいて開始または終了できない場合に作成されます。

プロジェクト管理 (PM)アプリケーションは、複数のタイプの依存関係をサポートしています。

タスク時間の制約

プロジェクトタスクフォームには [時間の制約] フィールドがあり、次のいずれかの値に設定できます。

- タスクが [すぐに開始] に設定されている場合：依存関係で許される場合、タスクは開始としてガントチャートに表示されます。ただし、関係に遅延の値が設定されている場合、タスクは後の日付で開始できます。
- タスクが [特定の日に開始] に設定されている場合：タスクは制約日付に開始としてガントチャートに表示されます。このようなタスクの開始日は、タスクを別のタスクとの関係 (FS 関係など) に置いた後でも影響を受けません。
- タスクが [以下以降に開始] に設定されている場合：タスクは制約日付以降に開始としてガントチャートに表示されます。タスクに先行タスクがない場合、タスクは指定された日付に開始されます。開始日は、先行タスクの終了日に基づいて、またはタスクが別のタスクとの関係 (FS 関係など) にある場合、後の日付に変更されます。
- タスクが [以下以前に開始] に設定されている場合：タスクは制約日付以前に開始としてガントチャートに表示されます。タスクに先行タスクがある場合、先行タスクへの依存関係によって、タスクをいつ開始できるかが決まります。先行タスクが [制約日付] フィールドで指定された日付を超えてタスクを移動しようとすると、スケジューリングの競合が発生します。

  注:
  プロジェクトプロパティの [関係の追加後もタスクに対する開始日の制約を保持します] は、[開始日時 **(Start on)]** の選択の動作を制御します。このプロパティはデフォルトで True に設定されており、編集することはできません。

- 依存関係を遵守していないタスクは、計画立案コンソールに赤色のカレンダーアイコン ( ) で示されます。タスクで依存関係が遵守され、それに応じて開始が調整されるようにする場合は、タスクの制約タイプを [すぐに開始]に変更します。

計画立案コンソールからの依存関係の作成

計画立案コンソールで 2 つのタスク間に依存関係を作成できます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

任意のタイプの依存関係を作成できます。各タイプの説明については、「プロジェクトタスクの関係と依存関係」を参照してください。

計画立案コンソールの [先行タスク (Predecessor)] 列を使用して依存関係を作成することもできます。詳細については、「計画立案コンソールでの先行タスクの依存関係」を参照してください。

手順

1. 計画立案コンソールのガントチャート部分でタスクをクリックします。
   タスクの両端に白色の円が表示されます。一方はタスクの開始時点に、もう一方はタスクの終了時点に表示されます。
2. 依存関係を作成するには、いずれかの白色の円をクリックして、別のタスクの開始または終了にドラッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 依存関係の行をダブルクリックして、計画タスク関係 (Planned Task Relationship) フォームに依存関係を表示します。
4. 依存関係が正しいことを確認します。
必要に応じて、依存関係を変更できます。

プロジェクトタスクの依存関係の変更

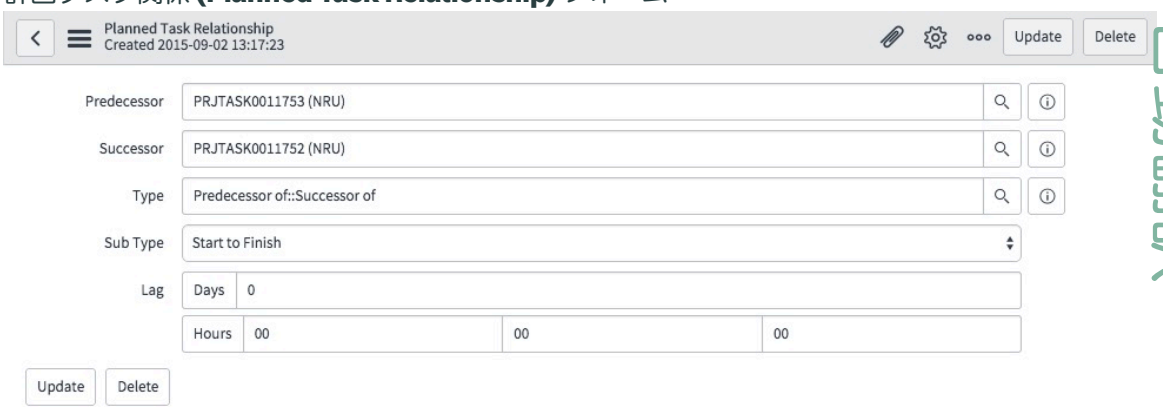
依存関係、依存関係タイプ、または遅延時間にリンクされているタスクを編集するときに、依存関係を変更できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトタスクの依存関係は、計画タスク関係 (Planned Task Relationship) [planned_task_rel_planned_task] テーブルに保存されます。依存関係には、計画立案コンソールからアクセスできます。

手順
1. 計画立案コンソールのガントチャートで依存関係をダブルクリックします。
2. 任意のフィールドで変更を行います (表を参照)。

計画タスク関係 **(Planned Task Relationship)** フォーム



計画タスク関係 **(Planned Task Relationship)** フォームのフィールド

フィールド	説明
前任者	関係における先行タスク、つまり決定要因。新しいタスクを選択できます。ただし、関係を削除し、正しいタスク間に新しい関係を作成することをお勧めします。
後任	関係における後続タスク。後続タスクは先行タスクに依存します。新しいタスクを選択できます。ただし、関係を削除し、正しいタスク間に新しい関係を作成することをお勧めします。
タイプ	関係のタイプ。常に **[Predecessor of::Successor of]** です。この値は変更しないでください。
サブタイプ	依存関係のタイプ。各タイプの説明については、「プロジェクトタスクの関係と依存関係」を参照してください。
遅れ	タスク間の遅延時間。遅延の日、時、分、秒を入力します。遅延時間は正または負にできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [更新] をクリックします。

依存関係は、プロジェクトフォームまたはプロジェクトタスクフォームの [プロジェクトタスク] 関連リストで、またはワークベンチの [プロジェクトタスク] リストから表示できます。次の列に依存関係が表示されます。

- [依存関係 **(Dependency)]** 列には、関係の後続タスクが表示されます。
- [依存関係 **(Dependencies)]** 列には、依存関係の値が表示されます。この列に表示される内容の説明については、「計画立案コンソールでの先行タスクの依存関係」を参照してください。

依存関係の削除

計画立案コンソールを使用して、不要になった依存関係を削除します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
依存関係を削除すると、[計画タスク関係 (Planned Task Relationship)] テーブルの依存関係レコードも削除されます。

手順

1. 計画立案コンソールでプロジェクトを開きます。
2. 次のいずれかを実行します。

オプション	説明
ガントチャート上	○ 関係を右クリックし、 [リンクを削除 **(Delete Link)]** をクリックします。 ○ 関係をダブルクリックし、表示される計画タスク関係 **(Planned Task Relationship)** フォームで [削除] をクリックします。
WBS リスト上	○ [先行タスク **(Predecessor)]** 列の値を削除します。 ○ [先行タスク **(Predecessor)]** 列の値をクリックし、表示される計画タスク関係 **(Planned Task Relationship)** フォームで [削除] をクリックします。

親子タスク関係

タスクが比較的大きく、異なる管理スキルを持つ複数のユーザーが必要な場合は、タスクをサブタスクに分割して、親子関係を作成します。子タスクは比較的小さく、管理しやすいサイズの作業です。

子タスクを親の下でグループ化すると、[コスト概算] などの値が集計され、親タスクにロールアップされます。そのため、親タスクは、子タスクのサマリータスクまたはロールアップタスクの形をとります。開始予定日と終了予定日のロールアップは、子タスクを作成するときに発生します。親の期間が、その子タスクをカバーするように自動的に調整されます。

親子関係は、依存関係とは異なります。依存関係では、あるタスクは別のタスクが開始する前に終了する必要があります。親子関係では、依存関係の有無にかかわらず、任意の数のタスクを親タスクの下にネストできます。親子関係を作成すると、親タスク番号が、[プロジェクトタスク] テーブルの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[親] フィールドに保存されます。すべてのプロジェクト管理タスクには親があります。別のプロジェクトタスクまたはプロジェクト自体のいずれかです。

依存関係とは異なり、親子関係は、どのテーブルにもレコードとして保存されません。親子関係が変更されたときに行われる変更は、子タスクレコードの [親] フィールドのみです。

異なる親を持つ子タスク間、2 つの異なる親タスク間、または子タスクと別の親タスク間に、先行 - 後続関係を作成できます。ただし、後続タスクの開始後に先行タスクが終了した場合、異なる親を持つ子タスク間に依存関係を作成することはできません。

注:
ガントチャートでは、親タスクをドラッグアンドドロップして、階層全体をスケジュール上の新しい場所に移動できます。

プロジェクトタスクフォームでの親子関係の作成

任意のプロジェクトタスクフォームから子タスクを作成できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 関係内の親タスクに移動します。
2. [プロジェクトタスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
3. タスクを作成し、[送信] をクリックします。
   新しく作成されたタスクは、関係の子タスクになります。

次のタスク
タスクの親が何であるかを思い出せるように、プロジェクトタスクフォームの上部にあるブレッドクラムを表示します。[親] フィールドを含めるようにフォームレイアウトを構成することも有用です。このフィールドから親タスクを変更することもできます。

親タスク



親子関係における時間の制約

親子タスク関係は、タスク時間の制約にいくつかの影響を及ぼします。

子タスクが [すぐに開始] に設定されている場合

子タスクは親タスクと同時に開始されます。プロジェクト自体が親として設定されている場合、[すぐに開始] タスクは他の子タスクとの依存関係がない限り、[制約日] フィールドで設定された日付と同じ日に開始されます。

親タスクが [すぐに開始] に設定され、子タスクが [特定の日に開始] に設定されている場合：

- 他の依存関係がないと想定して、最も早い子タスクの開始日により親の開始日が決定されます。
- この場合、親の [時間の制約] フィールドは [すぐに開始] のままですが、実開始日は最も早い子タスクの開始日に変更されます。

親タスクが [すぐに開始] に設定され、子タスクが [特定の日に開始] に設定されている場合：

子の優先順位は終了日にも適用されます。子タスクの予定終了日が親タスクの終了日より後の場合、予定終了日は子が含まれるように延長されます。実際の値の場合、親の開始日は子の最も早い開始日と同じになります。最も遅い実際の終了日は、その子の最も

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

遅い終了日です。子タスクが [完了してクローズ] であると仮定します。子タスクが [完了してクローズ] ステータスでない場合、親の実際の終了日は空です。

親タスクの開始予定日の場合：

- 開始予定日は、実開始日を持たないすべての子の中で最も早い開始予定日です。
- すべての子タスクに実開始日がある場合、親タスクの開始予定日は実開始日に設定されます。

親タスクの終了予定日の場合：子タスクの最も遅い終了予定日または実際の終了日によって、親の終了予定日が決まります。

[以下以前に開始] または [特定の日に開始] の時間制約のあるタスクは親タスクにできません。これらの時間制約のあるタスクに新しい子タスクが追加されると、親タスクの時間制約が [すぐに開始] に変わります。

親子ロールアップタスクの計算

日付の変更、ステージの変更、および値の計算は、子タスクから親タスクにロールアップされます。

- 日付の変更では、子タスクの値に基づいて親タスクの開始予定日または終了予定日を変更します。
- ステータスの変更では、すべての子レコードが特定のステータスに設定された場合に、プロジェクトレコードまたは親タスクレコードのステータスを変更します。
- 計算では、子タスクの値を合計してから、新しい合計を反映するように親を自動的に更新します。

ロールアップタスクでは次のフィールドが変更されます。

- 開始予定日： 親タスクについては読み取り専用に設定されます。プロジェクトレコードについては編集可能なままです (トップレベルのタスクとも見なされます)。
- 終了予定日： 読み取り専用になります。
- 計画期間： 読み取り専用になります。
- 実開始日： 読み取り専用になります。
- 実終了日： 読み取り専用になります。
- ステータス： 読み取り専用になります。

期間のロールアップ

次のアイテムについてロールアップが計算されます。

- 計画期間と計画工数： すべての子タスクのすべての計画期間と計画工数の値の合計。
- 実際の期間と実際の労力： すべての実際の期間と実際の労力の値の合計。実際の期間と実際の労力の値は、すべての子タスクが [完了してクローズ] ステータスにある場合に計算されます。実際の労力の値には、タイムカードからのロールアップを含めることができます。

注:
タイムカードプロパティ **com.snc.time_card.update.effort** が有効になっていることを確認します。移動先 システムプロパティ > すべてのプロパティ このプロパティを有効にします。

コストのロールアップ

Costing アドオンがアクティブな場合、コスト計算はロールアップされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- コスト概算：プロジェクト開始時のすべてのコスト推定の合計。子タスクのコスト概算は、親タスクとプロジェクトにロールアップされます。
- 実際のコスト：プロジェクトのデフォルトでは、すべての経費ラインのすべてのコストの合計で、通常はタイムカードと賃金レートに関連付けられています。コストを追跡するには、次のいずれかのオプションを使用してレートを導出できます。
  - レートモデルをプロジェクトに関連付けます。
  - タスクおよび人件費のレートカードを定義します。
  - リソース計画レベルでレートを関連付けます。

  これらのレートにより、プロジェクトに関連付けられている実際の支出を示す経費ラインが自動的に生成されます。レートカードが定義されている場合、各プロジェクトタスクがクローズされるとタスク経費ラインが生成され、タイムカードが承認されると人件費ラインが生成されます。経費ラインは [経費ライン] 関連リストに表示されます。これには、プロジェクトフォームとプロジェクトタスクフォームの両方に詳細ビューが必要です。

子タスクの実際のコストがプロジェクトに正しくロールアップされ、プロジェクトの経費ラインに追加されるようにするには、次の条件が満たされている必要があります。

- com.snc.project.rollup.cost プロパティを **true** に設定する必要があります。このプロパティを有効にするには、次の場所に移動します。 プロジェクト管理 > 設定 > 設定 - プロジェクト をクリックし、[プロジェクトコストのロールアップを有効にする] チェックボックスをオンにします。
- glide.cost_mgmt.process_task_top_task プロパティを false に設定する必要があります。Cost Management アプリケーションの原価計算プロパティに移動します。[タスク経費ラインの作成時に、タスクのトップタスクの経費ラインも作成しますか] ボックスがオンになっていることを確認します。
- glide.cost_mgmt.calc_actual_cost プロパティを true に設定する必要があります。Cost Management アプリケーションの原価計算プロパティに移動します。[予定されているタスクタイプに対して、タスクの経費ライン合計を使って実際のコストフィールドを計算します] ボックスをオンにします。

プロジェクトステータスのロールアップとロールダウン

プロジェクトタスクのステータスはロールアップされます。親タスクのステータスは読み取り専用になり、子タスクのステータスを変更すると自動的に変更されます。

プロジェクトタスクのステータスは、次の場合にロールアップできます。

- 子タスクのステータスが手動で変更され、親タスクに他の条件がない場合。
- 子タスクのステータスが [対応中] または [クローズ済み] に変更された場合。これらのステータスは親にロールアップされます。[処理待ち] および [オープン] は、親タスクにロールアップされません。

プロジェクトステータスもロールダウンできます。プロジェクトのステータスをクローズ済みに変更すると、その下にあるすべてのタスクがデフォルトのクローズ済み値 ([完了してクローズ]) に変更されます。クローズ済みプロジェクトまたはクローズ済みタスクを再度開くと、その下のすべてのタスクが次のように変更されます。

- プロジェクトまたは親がクローズ済みから [処理待ち] または [オープン] に変更された場合：子タスクが [オープン] に変更されます。
- プロジェクトまたは親がクローズ済みから [対応中] に変更された場合：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [開始日時 **(Start on)**] の日付を過ぎた子タスクは、[すぐに開始] するよう変更され、ステータスが [対応中] に変更されます。
- [開始日時 **(Start on)**] の日付をまだ過ぎていない子タスクは同じ開始日を保持しますが、ステータスは [オープン] に変更されます。

コストのロールアップ計算の有効化

プロジェクトプロパティからロールアップ計算を有効にします。

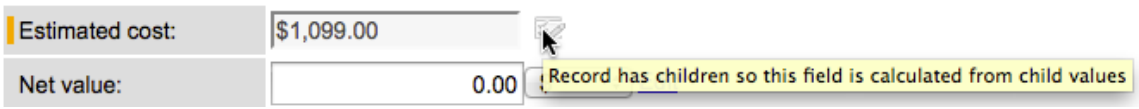
始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > 設定 > 設定.
2. [プロジェクトコストのロールアップを有効にします] を選択します。
3. [保存] をクリックします。

タスクの結果
フォームでは、ロールアップ値は読み取り専用です。ツールヒントメッセージのフィールドの横にあるアイコンをポイントします。

ツールヒント



プロジェクトタスク間のスケジュールの競合

スケジュールの競合は、依存関係を遵守していないプロジェクトタスクを特定するのに役立ちます。依存関係または制約タイプが原因で、あるプロジェクトタスクにより、他のタスクが指定された日付に開始するのが妨げられている場合、スケジュールの競合が発生します。

依存関係の適用、制約タイプの変更、または制約日付などのアクションによってタスク開始日がプロジェクトの制約日付に違反している場合、スケジュールの競合が発生します。

スケジュールの競合が発生すると、システムは競合について警告します。競合の原因となっているアクションをキャンセルするか、競合を続行するかを選択できます。競合を続行するよう選択した場合は、制約日の優先順位が最も高くなり、日付が再計算されます。開始日はタスク制約日で許可される日まで移動されますが、依存関係は考慮されません。

たとえば次のシナリオを考えます。

プロジェクトタスクの [制約日] が 1 月 20 日に設定されているプロジェクトの場合、次の 2 つのタスクがあります。

- T1 は、制約タイプが [できるだけ早く] に設定され、開始日は 1 月 20 日です。
- T2 は、制約タイプが [以下以前に開始] に設定され、開始日は 1 月 20 日です。

タスク T1 と T2 の間に FS 依存関係を追加すると、タスク T2 は 1 月 21 日に開始する必要がありますが、[以下以前に開始] の制約により、タスク T2 は 1 月 21 日に開始できません。指定された日付にタスク T2 を開始できないこの事例は、競合の一例です。

この例では、競合を続行することを選択した場合、タスク T2 の開始日は制約日である 1 月 20 日に移動されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[以下以前に開始] と [特定の日に開始] の時間制約があるタスクについて、タスク間のスケジュールの競合が表示されます。

タスクで依存関係が遵守され、それに応じて開始が調整されるようにする場合は、タスクの制約タイプを [すぐに開始]に変更します。

スケジュールの競合が特定されたら、そのようなタスクを計画立案コンソールで特定できます。

- クライアント側の計画立案コンソールには、競合を続行するか、アクションをキャンセルするかを選択できるポップアップメッセージが表示されます。競合を続行する場合、制約タイプが適用されるか、日付が次の実行可能日に適切に変更されます。
- クライアント側の計画立案コンソールのカレンダーアイコン ( ) が、競合を示す赤色 ( ) に変わります。
- サーバー側の計画立案コンソールのカレンダーアイコンが、競合を示す赤色 ( ) に変わります。

プロジェクトタスクの作成

プロジェクトタスクはさまざまな方法で (インスタンス内の他のアプリケーションからでも) 作成できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
次のいずれかのオプションを使用して、プロジェクトタスクを作成できます。

手順

- [プロジェクトタスク] 関連リストを使用します。
  この関連リストは、プロジェクトレコードとプロジェクトタスクレコードの両方から利用できます。[新規] UI アクション を使用するか、または関連リストに新しい行を挿入することができます。
- 計画立案コンソールを使用します。
- プロジェクトタスククリエイターを使用します。
  ダイアログボックスを使用して、複数のタスクを一度に作成します。プロジェクトタスククリエイターは、プロジェクトレコードとプロジェクトタスクレコードの両方から利用できます。
- 既存のプロジェクトまたはタスクをコピーします。
  このオプションでは、選択したタスク、またはすべての子タスクを含むプロジェクト全体でもコピーします。
- インシデント、問題、または変更要求から作成します。
  [プロジェクトタスク] 関連リストは、インシデントフォーム、問題フォーム、および変更要求フォームからも利用できます。これらのフォームから作成したタスクでは、プロジェクトタスクはプロジェクトではなく、インシデント、問題、または変更の子になります。

プロジェクトからのプロジェクトタスクの作成

プロジェクトフォームからタスクを作成します。プロジェクトポートフォリオ管理 がアクティブで、プロジェクトフォームが [基本 **(Basic)]** ビューの場合、フィールドが表示されます。フィールドを表示するようにフォームを設定します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. リストからプロジェクトを選択します。
3. [プロジェクトタスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

プロジェクトタスクフォーム

フィールド	説明
簡単な説明	プロジェクトタスクの簡単な説明。
番号	設定可能なプリフィックス付きのシステム生成番号。
ステータス	プロジェクトタスクのステータス。 ステータスは、タスクの終了予定日の現在の日付からの差異に基づいて自動的に更新されます。終了予定日が近づくと、ステータスの色が変わります。 ○ 緑色：プロジェクトタスクの終了予定日が、定義したオフセット作業日より長くなっています。 ○ 黄色：プロジェクトタスクの終了予定日が、定義したオフセット作業日より短くなっています。 ○ 赤色：プロジェクトタスクの終了予定日が、定義したオフセット作業日を過ぎています。 ステータス計算のデフォルトのオフセットは 3 営業日です。*com.snc.ppm.yellow_status_duration* プロパティを更新して、オフセット期間を変更できます。プロジェクトスケジュールによって作業日が決まります。 **重要:** プロジェクトタスクのステータスはプロジェクトの全体的なステータスには影響しません。つまり、プロジェクトタスクのステータスはプロジェクトにロールアップされません。また、子タスクのステータスは親タスクのステータスには影響しません。 [*Update Active Project Task Status*] スケジュール設定済みジョブを実行して、既存のタスクのステータスを更新します。このスケジュール設定済みジョブは、デフォルトでは毎日実行されますが、このジョブをオンデマンドで実行することもできます。 タスクのステータスを自動的に更新しない場合は、タスクのステータスを手動で変更できます。ステータスを手動で変更すると、自動更新が上書きされます。スケジュール設定済みジョブの実行によってプロジェクトタスクのステータスが変更されることはありません。 **注:** ステータスの自動更新のタスクタイプを含めるか除外するには、プロパティ *com.snc.status_process_planned_task_entities* を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
上書きステータス	プロジェクトタスクのステータスが手動で更新されるかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。[ステータス] フィールドを手動で変更すると、このチェックボックスがオンになります。
ステータス	プロジェクトの現在のステータス。ステータスには、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] などがあります。 ステータスは、プロジェクトタスクから自動的にロールアップされます。詳細については、「プロジェクト計算」と「親子ロールアップタスクの計算」を参照。
説明	プロジェクトタスクの詳細な説明。
担当者	プロジェクトタスクにアサインされたユーザー。次の条件が適用されます。 ○ アサイン先グループが定義されている場合、アサイン先グループ内のユーザーのみがルックアップリストに表示されます。 ○ スキルが定義されている場合、それらのスキルを持つユーザーのみがルックアップリストに表示されます。 ○ アサイン先グループまたはスキルが定義されていない場合は、プロジェクト管理 (PM)アプリケーションのユーザーロールのいずれかを持つユーザーのみがルックアップリストに表示されます。 ○ timecard_user ロールを持つユーザーもルックアップリストに表示されます。
アサイン先グループ	プロジェクトタスクにアサインされたユーザーグループ。
他の受託者リスト	プロジェクトタスクにアサインされた追加ユーザー。
完了率 (%)	プロジェクトタスクの完了済みの作業の割合。
[詳細] タブ	
マイルストーン	タスクをマイルストーンに変換するためのオプション。
主要マイルストーン	タスクを主要マイルストーンに変換するためのオプション。
スケジュール外の日付を許可	プロジェクトタスクが、週末などのスケジュール外の日 (通常のプロジェクトスケジュール外) に開始および終了するように設定されているかどうかを示します。オフスケジュールタスクは、1 日中いつでも任意の曜日に開始できます。 たとえば、「月曜日から金曜日の 8:00 ～ 17:00」のプロジェクトスケジュールを使用し、期間 2 日間のプロジェクトタスクを土曜日に開始する必要がある場合、オフスケジュールタスクを土曜日にスケジュールし、日曜日に終了することができます。同様に、期間 3 日間のタスクを金曜日に開始した場合、オフスケジュールは火曜日ではなく、日曜日に終了します。 このオプションは、親タスクに対しては有効ではありません。親タスクのこのフィールドの値は、子タスクから派生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ プロジェクトで定義されているスケジュールがない場合、オフスケジュールタスクとオンスケジュールタスクの間に違いはありません。 ○ 通常スケジュールのタスクでは 1 日は 8 時間で、スケジュール外タスクでは 24 時間です。
[日付] タブ	
開始予定日	プロジェクトタスクの推定開始日時。この日付は、[時間の制約] が [特定の日に開始]、[以下以降に開始]、または [以下以前に開始] の場合に編集できます。 制約タイプが [すぐに開始] または [以下以前に開始] である場合、タスクの開始予定日を変更すると、制約タイプが [以下以降に開始] に変更されます。
終了予定日	プロジェクトタスクの推定終了日時。 手動プロジェクトの場合、プロジェクトタスクの実開始日を更新しても、終了予定日は更新されません。プロジェクトプロパティの [予定日の手動プロジェクトの実績での変更を有効にする **(Enable alter of planned date with Actual for Manual Project)]** を有効にすると、実開始日および計画期間から終了予定日が更新されます。
計画された期間	プロジェクトタスクの推定所要時間 (開始時間から終了時間まで)。
計画工数	このタスクの完了までにかかる推定時間。子タスクを追加すると、このフィールドは読み取り専用になって計算がロールアップされ、以前に行った入力が上書きされます。
制約日付	[以下以降に開始]、[以下以前に開始]、および [特定の日に開始] 制約のあるタスクの開始日を決定する読み取り専用フィールド。[プロジェクト移動] 関連リンクを使用して、この日付を変更します。詳細については、「プロジェクトの開始予定日の変更」を参照してください。
元の開始日	タスクの元の開始予定日時。
開始実績日時	プロジェクトタスクが開始された日付。実開始日が入力されると、タスクは [対応中] に設定されます。 タスクの [ステータス] または [完了率 **(%)]** を変更すると、予定日からコピーされた日付コンポーネントが実際の日付に自動入力されます。 プロジェクトフォームの [計画期間から時間コンポーネントを派生] フィールドが True に設定されている場合、実開始日と実終了日を入力すると、実際の日付の時間コンポーネントはデフォルトで予定日の日付コンポーネントに設定されます。
終了実績日時	プロジェクトタスクが終了した日付。実終了日が入力されると、タスクは [完了してクローズ] に設定されます。
実際の期間	タスクの開始からクローズまでのタスクの期間。計画期間と同様に、実際の期間には合計タスク時間が表示されます。
実績工数	このプロジェクトタスクでリソースから課される実際の時間数。タイムカード Management アプリケーションを使用している場合、このフィールドの値はアプリケーションから自動的に取得されます。アプリケーションは、タスクで作業したすべ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	てのリソースのすべての承認済みタイムカードから合計作業時間を取得することで、タスクの実績工数を計算します。
時間の制約	プロジェクトタスクが開始されると、次のようになります。 ○ すぐに開始：関係と依存関係によって決められたとおりに、タスクはできるだけ早く開始されます。これらのタスクの日付は、プロジェクトの制約日付から導出されます。 ○ 特定の日に開始：タスクは指定した日付に開始されます。タスクの依存関係は、日付の計算では考慮されません。 ○ 以下以降に開始：タスクは制約日付以降に開始されます。 ○ 以下以前に開始：タスクは制約日付以前に開始されます。開始日は、関係と依存関係によって決まります。 **注:** プロジェクトフォームの [計算] フィールドが [手動] に設定されている場合、そのようなプロジェクトの制約タイプを変更することはできません。制約タイプを変更するには、プロジェクトを [自動] に変更します。
元の終了日	タスクの元の終了予定日時。
[メモ] タブ	
アクティビティ / 作業メモ / 追加コメント	プロジェクトの進捗に伴うマイルストーン、障害、または変更に関する情報。[アクティビティ] フィールドにメモまたはコメントを入力し、[追加コメント] または [作業メモ] をクリックします。テキストがフィードに表示されます。
[チェックリスト] タブ	
チェックリスト	完了する必要があるタスクのアイテムを追跡するためのチェックリスト 。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果

新しいタスクが、プロジェクトフォームの [プロジェクトタスク] 関連リストに表示されます。タイムカードが使用されている場合、アプリケーションはリソースのタイムカードを作成します。

次のタスク

[完了率 **(%)**] フィールドの値は、v3 アプリケーションの [ステータス] フィールドに関連しています。完了率を「**0**」から他の値に変更すると、レコードの保存時または更新時にタスクのステータスが [対応中] に変更されます。同様に、タスクのステータスを [完了してクローズ]に変更すると、[完了率 **(%)**] フィールドは「**100**」に設定され、読み取り専用になります。

プロジェクトタスクのステータスを [対応中] から [スキップしてクローズ] または [未完了でクローズ] に変更すると、[完了率 **(%)**] フィールドは現在の値を保持し、読み取り専用になります。

[完了率 **(%)**] フィールドは、親タスクのガントチャートに明るい色のバー (タスクの完了した部分) として表示されます。このバーは、下にある暗いバー (タスク全体) と重なっています。たとえ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ば、デモプロジェクトは、ポップアップウィンドウに示されているように、5.41% 完了しています。[フェーズ **1]** タスクは約 50% 完了しています (ポップアップウィンドウには表示されません)。

プロジェクトフォームの [プロジェクトタスク] リストと [プロジェクトタスク] 関連リストには、[依存関係] フィールドが含まれています。親タスクなどのタスクの依存関係は、このフィールドに表示されます。依存関係レコードをクリックします。この列に表示される内容の説明については、「計画立案コンソールでの先行タスクの依存関係」を参照してください。

インシデント、問題、または変更要求からのタスクの作成

新しいプロジェクトタスクを、インシデントフォーム、問題フォーム、および変更要求フォームの [プロジェクトタスク] 関連リストから作成できます。これらのフォームから作成したタスクでは、プロジェクトタスクはプロジェクトではなく、インシデント、問題、または変更の子になります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. インシデントフォーム、問題フォーム、または変更要求フォームに移動します。
2. 追加するフォームの設定 プロジェクトタスク > 親 関連リストがまだ存在しない場合。
3. [プロジェクト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. プロジェクトフォームに入力します。

   プロジェクトタスクは、インシデント、問題、または変更レコードの子タスクになります。

プロジェクトタスククリエイターからのタスクの作成

プロジェクトタスククリエイターを使用して、一度に複数のタスクを作成します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. プロジェクトフォームで、ヘッダーバーを右クリックして [プロジェクトタスククリエイター] を選択します。
2. 作成するタスクの数を入力します。
3. これらのタスク間に完了 - 開始の依存関係 (最初のタスクが終了すると次のタスクが開始される) を作成するには、**[FS** の依存関係を作成します] チェックボックスをオンにします。
   依存関係のないタスクを作成するには、チェックボックスをオフにします。
4. **[OK]** をクリックします。
   新しいタスクが [プロジェクトタスク] 関連リストに表示されます。アプリケーションによりタスクの番号と、「自動作成されたタスク **(Auto Created Task)**」で始まり、複数のタスクを作成した場合は番号が続く簡単な説明が自動的に作成されます。

プロジェクトタスクリストへの行の挿入

新しいプロジェクトタスクを、プロジェクトフォームの [プロジェクトタスク] 関連リストから作成できます。管理者は、このタスク作成機能を有効にする必要があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プロジェクトフォームで、[プロジェクトタスク] 関連リストに移動します。
2. [新規行を挿入] をダブルクリックします。
3. 緑色のチェック マークをクリックします。
4. 新しいタスクを開き、必要に応じてレコードを編集します。

既存のタスクまたはプロジェクトのコピー

他のプロジェクトからタスクをコピーすると、プロジェクトの構築時に時間を節約できます。

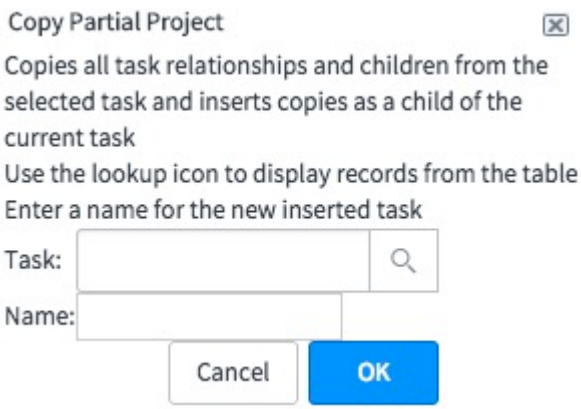
始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
[部分プロジェクトをコピー] オプションでは、選択したタスクとその子タスクがプロジェクトにコピーされるか、またはすべてのプロジェクトタスクがサブプロジェクトにコピーされます。また、コピーされたタスクとその子タスクの間のすべての依存関係と関係も保持されます。コピーされたタスクのスコープ外のタスクを含む関係または依存関係は保持されません。

手順

1. プロジェクトまたはプロジェクトタスクフォームで、ヘッダーバーを右クリックして [部分プロジェクトをコピー] を選択します。
2. [タスク] フィールドで、コピーするプロジェクトタスクまたはプロジェクトを選択します。
   デフォルトでは、プロジェクトは PRJ で始まり、プロジェクトタスクは PRJTASK で始まります。
3. 新しいプロジェクトまたはタスクの名前を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

   コピーしたタスクが現在のタスクまたはプロジェクトに追加されます。プロジェクトがコピーされた場合、すべてのタスクが新しいサブプロジェクトに挿入されます。



タスクの結果
コピーされたタスクは、現在表示しているいずれのタスクまたはプロジェクトでも子として挿入されます。実際の期間および実開始日と実終了日は、null 値にリセットされます。ステータスは [新規] に設定され、完了率は **[0]** に設定されます。

デフォルトでは、簡単な説明、予定日、および期間のフィールドのみが、ソースプロジェクトからターゲットプロジェクトにコピーされます。追加の列をコピーする必要がある場合は、プロジェクト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティの [元のプロジェクトタスクからコピーされる属性のリスト **(List of attributes that will be copied from the originating project task)**] で宣言する必要があります。

コピーしたフィールドのデフォルト値の変更

新しい部分プロジェクトでデフォルト値を変更します。

始める前に
必要なロール：管理者

このタスクについて
実際の期間および実開始日と実終了日は、null 値にリセットされます。ステータスは [新規] に設定され、完了率は **[0]** に設定されます。管理者は、UI ページを変更して、リセットするフィールドの決定や、デフォルト値の変更を行うことができます。

手順

1. 移動先 すべて > システム **UI** > **UI** ページ.
2. copy_partial_project レコードを開きます。
3. [処理スクリプト] フィールドにある場合は、次のスクリプトを使用します。

```
/* resetFields is the array containing the list of names of fields that need to be erased from the copied project tasks
   * defaultFields is the array containing the key, value pairs of field names and values that need to be set on the copied tasks
   */var resetFields =new Array();var defaultFields ={};
  resetFields.push("work_start","work_end","work_duration");
  defaultFields["state"]="-5";
  defaultFields["percent_complete"]="0";
```

プロジェクトタスクテンプレートからのタスクの作成

プロジェクトタスクをテンプレートとして保存し、タスクの作成時に再利用できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager
必須フィールドに値を持つ既存のプロジェクトタスクを基にしたテンプレートが必要です。このプラットフォーム機能の詳細については、「テンプレート」を参照してください。

手順

1. 移動先 プロジェクト > タスク > すべて.
2. [新規] をクリックします。
3. テンプレートが下部に表示されない場合、フォームの上部にある省略記号 (···) アイコンをクリックして、[テンプレートバーの切り替え] を選択します。
4. フォームの下部にあるテンプレートバーのテンプレートリンクをクリックします。



テンプレートがプロジェクトに適用されます。

マイルストーンの作成

マイルストーンは、期間がゼロ (0) のプロジェクトタスクです。マイルストーンを使用して、主要な意思決定ポイント、承認、および休日など、プロジェクトの重要な日付をマークします。マイルス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トーンは他のプロジェクトタスクと同様に扱われ、タスクとマイルストーンの間に依存関係を作成できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

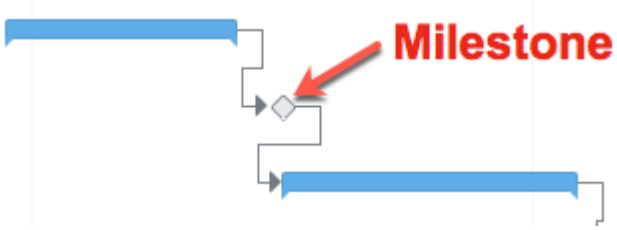
注:
あるプロジェクトが別のプロジェクトの下にネストされていない限り、マイルストーンをプロジェクト間で共有することはできません。

手順

1. プロジェクトタスクを作成し、[期間] フィールドの値を「**0**」にします。
2. 計画立案コンソールのガントチャートを開き、ダイヤモンド形で表示されていることを確認します。
   計画立案コンソールを使用して、タスクをマイルストーンに変換することもできます。

タスクの結果

マイルストーン



変更要求およびプロジェクトタスク

変更承認委員会 (CAB) によって承認された大規模な変更では、新規または既存のプロジェクトを実装する必要があります。

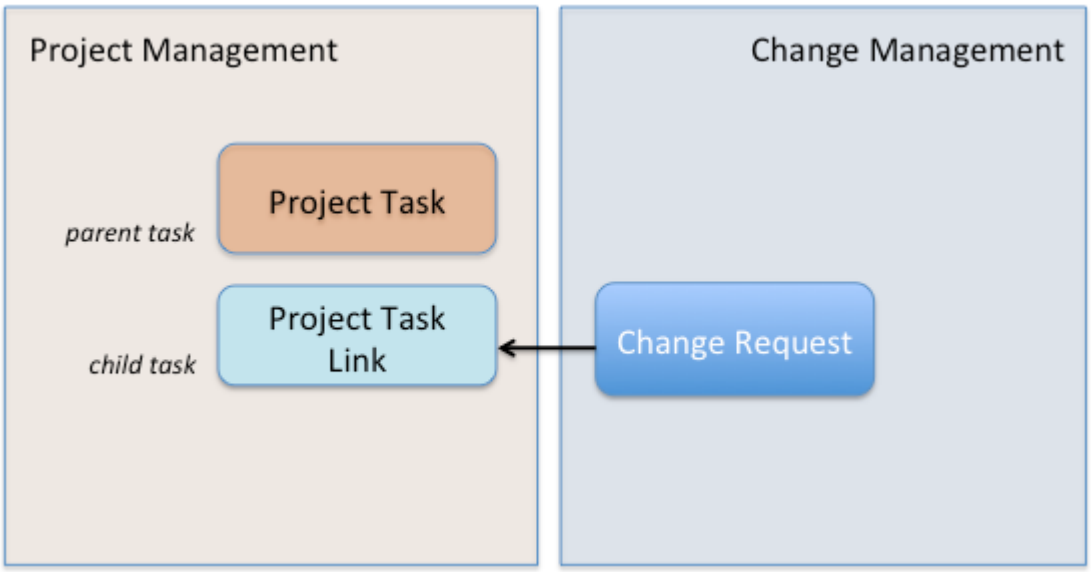
変更管理とプロジェクト管理の間のギャップを埋めるために、インスタンスでは 1 つ以上の変更要求をプロジェクトタスクにリンクすることができます。既存の変更要求をプロジェクトタスクにリンクすることも、新しい変更要求をプロジェクトタスクから直接作成することもできます。

プロジェクトタスクを変更要求レコードにリンクすると、新しいプロジェクトタスクリンクレコードが作成されます。これにより、プロジェクトタスクレコードと変更要求レコードの間の実際のリンクが提供されます。プロジェクトタスクリンクは、変更要求レコードのすべての属性をコピーします。その後、変更要求にリンクさせたプロジェクトタスクの子タスクになります。プロジェクトタスクとプロジェクトタスクリンクの関係を管理するルールは、すべての親タスクと子タスクのルールと同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

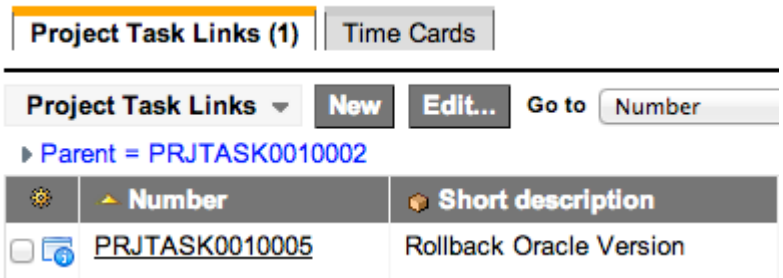
変更要求にリンクされたプロジェクトタスク



注:
プロジェクトタスクに、タスクリンクレコードと子プロジェクトタスクの両方を含めることはできません。プロジェクトタスクが変更要求にリンクされている場合、そのプロジェクトタスクの子タスクを作成することもできません。同様に、プロジェクトタスクに子タスクがある場合、親プロジェクトタスクを変更レコードにリンクすることはできません。

プロジェクトタスクリンクレコードは読み取り専用です。プロジェクトタスクリンクは、プロジェクトタスクフォームの関連リストから表示できます。

[プロジェクトタスクリンク] 関連リスト

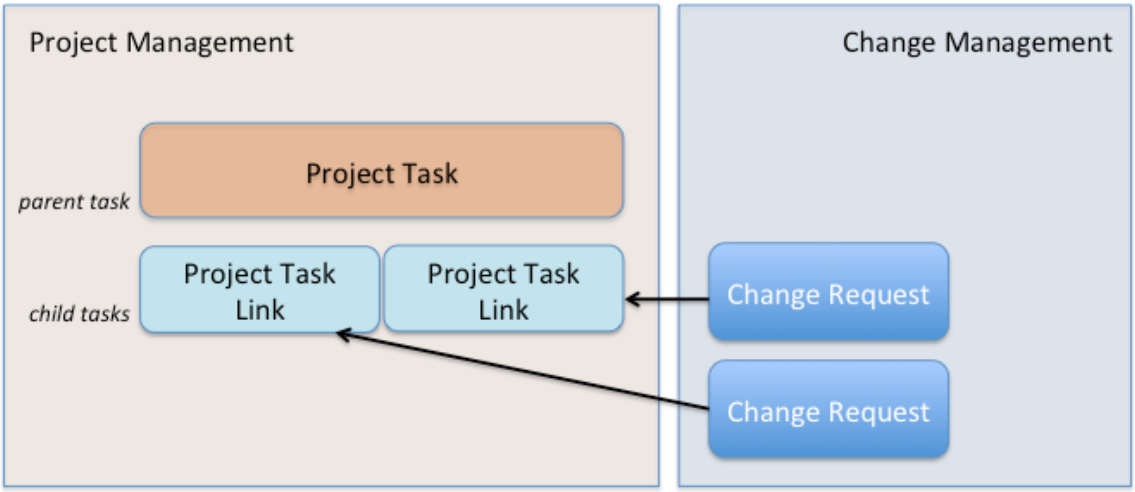


複数の変更要求を単一のプロジェクトタスクにリンクすることもできます。この場合、リンクごとにプロジェクトタスクリンクレコードが作成され、すべてのプロジェクトタスクリンクレコードが、プロジェクトタスクの子タスクになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトタスクリンク



変更要求プロジェクトタスクの関係

すべての親 - 子タスクに適用されるルールが、プロジェクトタスクとプロジェクトタスクリンク間の関係も管理します。

開始日と終了日

プロジェクトタスクリンクは、変更要求から開始日と終了日を継承します。ただし、 プロジェクト管理 (PM)アプリケーションは、次の状況が発生した場合に日付を調整します。

- プロジェクトタスクと変更要求の開始予定日が異なる場合、プロジェクトタスクリンクは 2 つの日付のうち遅い方の日付を使用します。たとえば、プロジェクトタスクは 10 月 1 日に開始されるが、変更要求は 10 月 2 日に開始される場合、プロジェクトタスクリンクは 10 月 2 日に変更されます。
- 変更要求の開始日が早い場合、プロジェクトタスクリンクの [時間の制約] 値は、リンクの作成時に [すぐに開始] になります。終了日は、変更要求レコードで指定された終了日と同じままです。
- 変更要求がプロジェクト開始日より前に開始および終了する場合、プロジェクトタスクリンクの期間はゼロ (0) です。また、プロジェクトの開始時に発生するマイルストーンとしても表示されます。
- 変更要求がプロジェクトスケジュールに従って非作業時間中に開始するようにスケジュールされている場合、プロジェクトタスクリンクの開始予定日はスケジュールを無視します。それだけでなく、変更要求で指定された時間に開始されます。ただし、プロジェクトタスクリンクの期間では、スケジュールが考慮されます。例：プロジェクトでデフォルトのスケジュールを使用しており、そのスケジュールでは、作業時間は月曜日から金曜日の 08:00 から 17:00 で、正午から 13:00 までの 1 時間の休憩が指定されています。期間が 13 時間の変更要求が午前 0 時に開始されます。プロジェクトタスクリンクは午前 0 時に開始され、スケジュールの開始時刻 08:00 まで続きます。正午に 1 時間停止し、13:00 から 14:00 まで続行されます。合計時間は 13 時間になります。

プロジェクトタスク期間

変更要求の期間によって、プロジェクトタスクリンクの期間が決まります。その期間は、すべての子タスク期間が親タスクにロールアップされるのと同じように、親プロジェクトタスクにロールアップされます。変更要求フォームの [スケジュール] セクションの [開始予定日] と [終了予定日] は、期間を決定するフィールドです。変更要求フォームに予定日がない場合、デフォルトの期間は 1 プロジェクト日です。プロジェクトにはスケジュールがあり、プロジェクトにスケジュールがない場合は 24 時間です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のリンクされた変更要求

追加の変更要求をプロジェクトタスクにリンクすると、追加のプロジェクトタスクリンクが作成されます。すべてがプロジェクトタスクの子タスクになります。日付は親タスクにロールアップされます。たとえば、リンクされたプロジェクトタスクが 10 月 30 日に終了する予定であるとします。11 月 30 日に終了するようスケジュールされた新しい変更要求をリンクすると、新しいプロジェクトタスクリンクが作成されます。親タスクの終了予定日は、両方のプロジェクトタスクリンクの期間をカバーするために 11 月 30 日まで延長されます。変更要求は、1 つのプロジェクトタスクにのみリンクできます。同じプロジェクト内または複数のプロジェクトにまたがる複数のタスクにリンクすることはできません。1 つ以上の子タスクを持つプロジェクトタスクに、変更要求に接続するプロジェクトタスクリンクを含めることはできません。

プロジェクトタスクステータス

変更要求のステータスが [処理待ち]、[オープン]、または [対応中] に変更されると、それに応じてプロジェクトタスクリンクのステータスが変更されます。変更要求のステータスがいずれかのクローズ済みステータスに変更されると、プロジェクトタスクリンクのステータスが [完了してクローズ] に変更されます。

変更要求とプロジェクトタスクの間で変更がどのように伝播されるか

リンクされた変更要求に対する変更は、プロジェクトタスクリンクに伝播されます。ただし、その逆は当てはまりません。プロジェクト管理 (PM)アプリケーションから変更要求レコードを変更することはできません。

次のフィールドに対する変更は、変更要求からプロジェクトタスクリンクに伝播されます。

- 開始予定日
- 終了予定日
- ステータス

これらの変更要求設定は、プロジェクトタスクリンクの親であるプロジェクトタスク、およびプロジェクトレコードにもロールアップされます。次の例を考えてみます。プロジェクトがまだ開始されておらず、そのすべてのタスクが [処理待ち] ステータスであるとします。リンクされた変更要求レコードのステータスを [オープン] から [対応中] に変更した場合、プロジェクトタスクリンク、その親タスク、およびプロジェクト自体がすべて [対応中] に変更されます。

プロジェクトを開始すると、時間の制約が [すぐに開始] で、他の開始の依存関係がないタスクがすぐに開始されます。ただし、リンクされた変更要求を持つプロジェクトタスクは自動的には開始されません。プロジェクトマネージャーは、[ステータス] フィールドを [対応中] に変更して、手動でタスクを開始する必要があります。

プロジェクト管理 (PM)アプリケーションで行った変更はリンクされた変更要求レコードに伝播されないため、プロジェクトを終結してもリンクされた変更はクローズされません。変更を正常に実装し、それが属するプロジェクトをクローズしたら、変更要求レコードに移動し、ステータスを手動で[クローズ済み]に変更する必要があります。

プロジェクトタスクへの変更要求のリンク

プロジェクトタスクフォームで、変更要求をタスクにリンクします。変更要求は、子タスクを持たないプロジェクトタスクにのみリンクすることができます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
変更要求のスケジュールやステータスに関係なく、任意の変更要求レコードをプロジェクトタスクにリンクすることができます。ただし、次の点を考慮することをお勧めします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 変更スケジュール：変更要求に、リンク先のプロジェクトの期間に該当するスケジュールがあります。または、変更要求フォームの [スケジュール] セクションの [開始予定日] と [終了予定日] フィールドに値がありません。
- 変更ステータス：変更要求をリンクするときは、[オープン] または [処理待ち] ステータスであることが必要です。すでに進行中またはクローズ済みの変更を停止して、新しい変更要求にコピーすることができます。

手順

1. 子タスクを持たないプロジェクトタスクを開きます。
   子タスクが既に存在するタスクは、変更要求にリンクすることができません。
2. 次のいずれかの関連リンクをクリックします。
   - 既存の変更要求をプロジェクトタスクにリンク **(Link an Existing Change Request to Project Task)**：

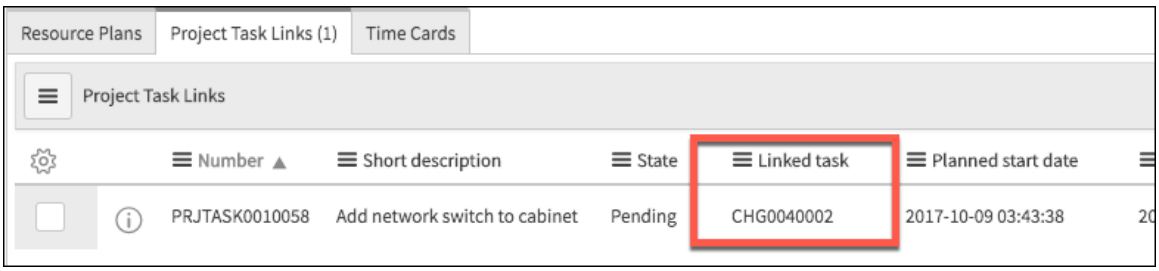
     表示されるダイアログボックスで、リンクする変更を入力または選択します。
   - 変更要求を作成し、プロジェクトタスクからリンク：

     変更要求フォームが表示されます。フォームに情報を入力します。変更要求の簡単な説明は、プロジェクトタスクから取得されます。

   注:
   これらの関連リンクは、プロジェクトタスクタイプがウォーターフォールの場合にのみ使用できます。

タスクの結果
プロジェクトタスクフォームに、タスクが 1 つ以上の変更要求にリンクされていることを示す通知が上部に表示されます。

関連リスト内の、リンクされた変更要求に指定されたタスクの例



プロジェクトタスクチェックリスト

プロジェクトタスクチェックリストを使用すると、タスクで完了する必要があるアクティビティを追跡できます。

プロジェクトタスクを完了と見なすために、個別のサブタスクを必要としないアクティビティを追跡できます。たとえば、候補者に面談するタスクを含む人事関連プロジェクトがあるとします。会議室の予約や、候補者からの面談確認の受け取りを追跡することもできます。それぞれのチェックリストアイテムを作成し、完了したらマークします。

チェックリストアイテムには開始日や終了日がなく、工数やコストも追跡されません。デフォルトでは、チェックリストアイテムレコードには名称と [完了] フィールドのみがあり、これらを true または false に設定できます。プロジェクトタスクのステータスは、チェックリストアイテムの [完了] フィールドのステータスとは無関係です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

チェックリストとタスクがプロジェクトテンプレートにコピーされます。また、任意のプロジェクトタスクフォームからすべてのチェックリストテンプレートにアクセスすることもできます。

注:
チェックリストは、タスクテーブルから拡張されたテーブルに基づくすべてのフォームで使用できます。管理者は、必要に応じてチェックリストを追加または削除できます。

プロジェクトタスクチェックリストの使用

プロジェクトタスクでチェックリストを作成し、完了する必要があるタスクのアイテムを追跡できます。

始める前に
必要なロール：it_project_user、it_project_manager

手順

1. プロジェクトタスクに移動します。
2. プロジェクトタスクのチェックリストを作成するには、[チェックリスト] セクションで [新規作成] をクリックして、チェックリストの名前を指定します。
3. プロジェクトタスクからチェックリストを削除するには、[チェックリスト] の横にある下向き矢印をクリックし、[チェック リストの削除] を選択します。
4. **注:**
   このオプションは、[チェックリスト] セクションに少なくとも 1 つのチェックリストがある場合に表示されます。

   チェックリストをテンプレートとして保存するには、[チェックリスト] の横にある下向き矢印をクリックして [テンプレートとして保存] を選択します。

テンプレートとしてのチェックリストの保存

プロジェクトタスクでチェックリストを作成したら、それをテンプレートとして保存し、他のタスクで再利用できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. プロジェクトタスクに移動します。
2. [チェックリスト] の横にある下向き矢印をクリックします。
3. [テンプレートとして保存] を選択します。
4. チェックリストの名前を入力します。
5. [保存] をクリックします。

プロジェクトタスクの通知の承認または却下

外部ソフト依存関係の通知の変更を承認または却下します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

プロジェクトレコードの [通知] 関連リストは、後続プロジェクトで発生した外部依存関係に関連する通知を一覧表示します。通知は、先行プロジェクトで行われた変更の結果としてトリガーされ、後続プロジェクトまたはタスクに影響を与える可能性があります。

- ハード依存関係の通知の [ステータス] は、デフォルトで [処理済み] に設定されています。
- ソフト依存関係の通知の [ステータス] は、デフォルトで [新規] に設定されています。後続プロジェクトのプロジェクトマネージャーは、通知の変更を承認するか却下するかを選択できます。

手順

1. プロジェクトフォームを開きます。
2. [通知] 関連リストをクリックします。
3. 参照アイコン (ⓘ) をクリックして、外部ソフト依存関係のプロジェクトタスク通知レコードを開きます。
4. 承認または却下をクリックします。

タスクの結果

- 通知レコードの [ステータス] が [承認] または [却下] に変更されます。
- 通知レコードの [ステータス] が [処理済み] に変更されます。

タスクリソース

リソースは、 プロジェクト管理 (PM)でタスクとサブタスクを実行するためにアサインされた個人またはグループです。

Resource Management を使用してリソース計画を設定し、プロジェクトに関連付けることができます。Project Portfolio Management を有効にして、Resource Management をプロジェクト管理 (PM)で使用します。

関連情報

リソース管理

外部依存関係

プロジェクトマネージャーは、外部依存関係を使用して、あるプロジェクトのタスクから別のプロジェクトのタスクへの依存関係を設定できます。

外部依存関係は、先行プロジェクトが変更されたときに、プロジェクトスケジュールの変更による影響を確認するのに役立ちます。

外部依存関係の仕組み

外部依存関係を定義するには、後続プロジェクトのタスクにリンクする先行プロジェクトからプロジェクトタスクを選択します。外部依存関係が追加されると、システムは後続プロジェクトと先行プロジェクトの両方にシャドウタスクを追加します。

シャドウタスクは、それぞれのプロジェクトの読み取り専用タスクです。true に設定されたデータベース属性 **shadow** と、元のタスクの **sys_id** を指す **orig_sys_id** があります。シャドウタスクは、関係が処理されるたびに元のタスクとの同期が行われます。

シャドウタスクに加えて、2 つのシャドウ関係も planned_task_rel_planned_task テーブルに追加されます。これらの関係は、元の関係のシャドウです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、2 つのプロジェクトがあり、プロジェクト P1 が先行プロジェクトで、P2 が後続プロジェクトだとします。プロジェクト P1 にはタスク T1 があり、プロジェクト P2 にはタスク T2 があります。

T1 から T2 に外部依存関係が作成された場合、次のタスクが 2 つのプロジェクトに追加されます。

プロジェクト	タスク
P1	T2 のシャドウ
P2	T1 のシャドウ

外部依存関係を追加した後、planned_task_rel_planned_task テーブル内に次のシャドウ関係レコードが作成されます。

親	子	プロジェクト	外部
T1	T2		true
T1 のシャドウ	T2	P2	False
T1	T2 のシャドウ	P1	False

各項目の意味は次のとおりです。

- 親は先行プロジェクトです。
- 子は後続プロジェクトです。
- プロジェクトは、関係性のあるプロジェクトです。
- 外部は外部依存関係です。

外部依存関係のタイプ

プロジェクト管理アプリケーションは、ハードとソフトの 2 種類の外部依存関係をサポートします。

外部依存関係のタイプは、計画立案コンソールで 2 つのプロジェクトタスク間の依存関係を追加するときに設定できます。

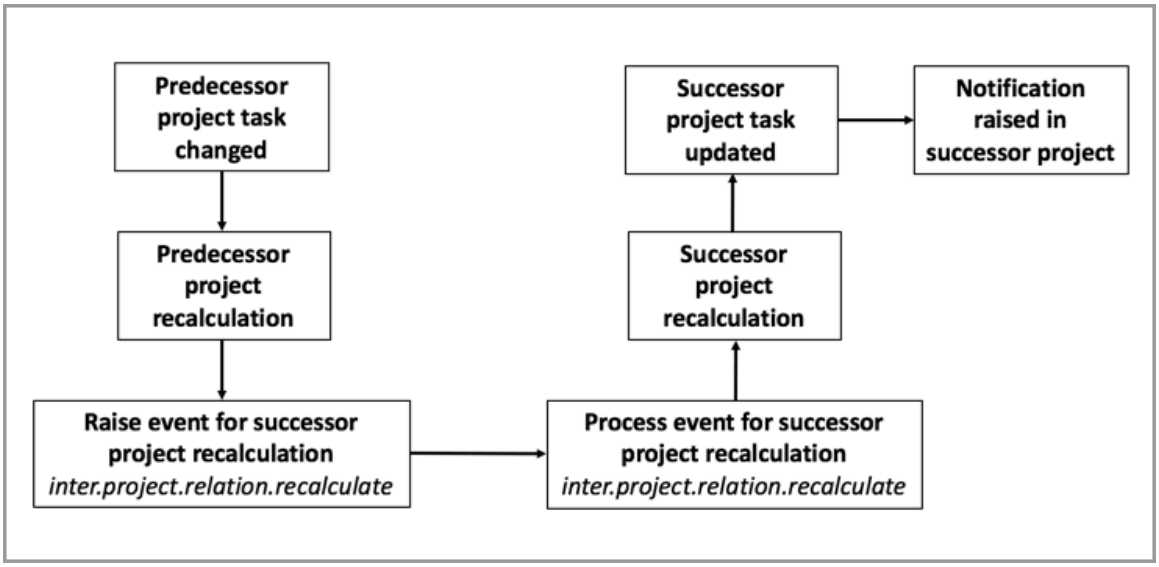
ハード依存関係

ハード依存関係では、先行プロジェクトで行われた変更は自動的に後続プロジェクトに伝播されます。行われた変更の通知は、後続プロジェクトでトリガーされます。次の画像は、ハード依存関係タイプのプロセスフローを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

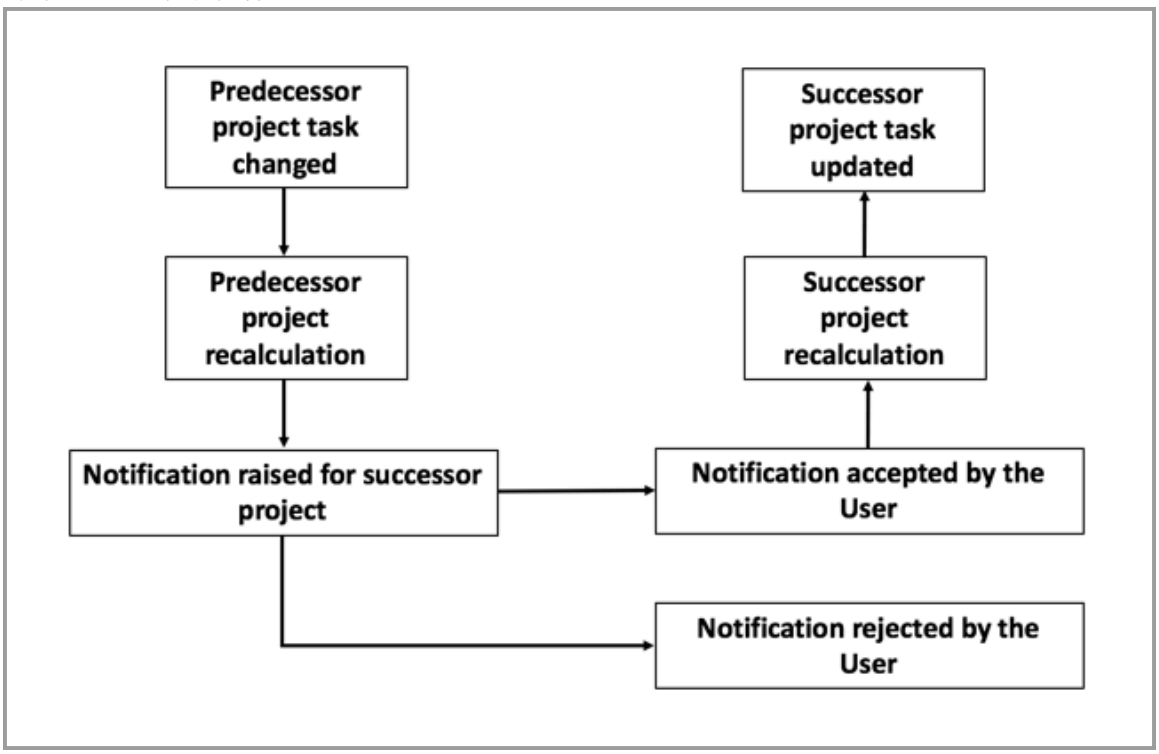
外部のハード依存関係



ソフト依存関係

ソフト依存関係では、先行プロジェクトで変更が行われると、後続プロジェクトで通知がトリガーされます。後続プロジェクトのプロジェクトマネージャーは、通知の変更を承認するか却下するかを選択できます。通知の変更内容を承認すると、先行プロジェクトの変更が後続プロジェクトに同期され、プロジェクトが再計算されます。通知の変更内容を却下した場合、変更が後続プロジェクトに反映されません。次の画像は、ソフト依存関係タイプのプロセスフローを示しています。

外部のソフト依存関係



計画立案コンソールでの外部依存関係の追加

計画立案コンソールで 2 つのプロジェクト間の外部依存関係を追加します。計画立案コンソールの作業ブレークダウン構成 (WBS) 列を使用して、異なるプロジェクトタスクの間に依存関係を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 計画立案コンソールの [WBS] 列でタスクを右クリックします。
2. [外部依存関係を追加] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

依存関係を追加フォーム

フィールド	説明
プロジェクト	依存関係の追加元の先行プロジェクト。
タスク	依存関係の追加元の先行プロジェクトのタスク。
依存関係タイプ	外部依存関係のタイプ：ハードまたはソフト。

4. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果

- 先行タスクに対応するシャドウタスクが、後続プロジェクトの計画立案コンソールの [WBS] セクションに表示されます。後続タスクに対応する類似のシャドウタスクが、先行プロジェクトの計画立案コンソールの [WBS] セクションに表示されます。

  シャドウタスクは、グレー表示されたタスクとして [WBS] 列に表示されます。
- 先行タスクに対応するシャドウタスクが、後続プロジェクトのフォームの [プロジェクトタスク] 関連リストに表示されます。後続タスクの類似のシャドウタスクが、先行プロジェクトのフォームの [プロジェクトタスク] 関連リストに表示されます。
- 後続プロジェクトの計画立案コンソールの [WBS] 列の [依存関係] 列に、プロジェクトとタスクの間の外部依存関係の値が表示されます。外部依存関係の値の形式は次のとおりです。

  `{project_number}\{WBS_number}{dependency_type}+{lag_time}`

  ここで
  - `project_number` は、先行プロジェクトの番号です。
  - `WBS_number` は、関係内の先行タスクの番号です。
  - `dependency_type` は、アプリケーションがサポートする終了 - 開始の依存関係タイプです。
  - `lag_time` は、依存タスクの開始を遅らせる時間 (日数) です。この値は、正または負の整数にすることができます。

注:
外部依存関係は、計画立案コンソールの [外部依存関係を非表示] スイッチがオフの場合にのみ表示されます。ただし、後続プロジェクトの [WBS] セクションの [依存関係] 列には、外部依存関係の値がそのまま表示されます。

Example:
以下の例では、2 つのプロジェクト P1 と P2 の間に外部依存関係が作成されます。P1T1 は先行プロジェクト P1 のシャドウタスクであり、PRJ0010127\1fs+0 は後続プロジェクト P2 の計画立案コンソールの [依存関係] 列の外部依存関係値です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



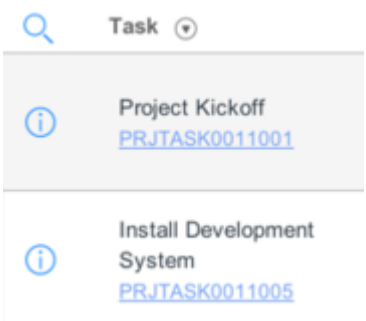
次のタスク
プロジェクトまたはそのタスクに影響を与える可能性がある外部依存関係に関連する通知がないかを確認します。

複合フィールド

複合フィールドは、テーブル内の 2 つのフィールドからの情報を組み合わせて単一のフィールドを形成します。

たとえば、[プロジェクトタスク] リストの [タスク] フィールドには、簡単な説明とプロジェクトタスク番号が表示されます。簡単な説明がプロジェクトタスク番号の上に表示されます。プロジェクトタスク番号が表示され、これはプロジェクトタスクフォームへのリンクになります。

複合フィールド



複合フィールドの使用

- 複合フィールドを編集すると、簡単な説明が変更されます。簡単な説明を編集すると、複合フィールドが変更されます。
- 複合フィールドでのソートは、簡単な説明のみに基づいて行われ、番号に基づいてソートされることはありません。
- 複合フィールドでの検索は、簡単な説明と番号の両方で有効になっています。
  - リストヘッダーを使用して番号で検索するには、検索要素の前にアスタリスク (*) を入力します。例：*PRJTASK0010016。
  - フィルターを使用して番号で検索するには、[Task] [contains] [PRJTASK0010016] のような条件を作成します。

プロジェクトの開始

プロジェクトの開始は、プロジェクトを設定し、プロジェクトにタスクを追加して、リソースをアサインした後の次のステップです。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 開始するプロジェクトを開きます。
2. [ステータス] フィールドを [対応中] に変更し、[保存] をクリックして変更を保存します。

> **注:**
> プロジェクトは、クローズ後に再開 (ステータスを [対応中] に変更) することも、再オープンすることもできません。プロジェクトステータスを [クローズ済み] から [対応中]、[処理待ち]、または [オープン] に更新することはできません。プロジェクトを再オープンする代わりに、既存のプロジェクトタスクを再オープンするか、プロジェクトに新しいタスクを追加します。これにより、他のクローズ済みタスクに影響を与えることなく、プロジェクトが [クローズ済み] から [対応中] ステータスに移行します。

タスクの結果
プロジェクトを開始した後、次のようになります。

- プロジェクトの読み取り専用の [開始実績日時] フィールドに予定日が入力されます。
- タスクまたは一連のタスクがプロジェクトの開始直後に開始するようにスケジュールされている場合 (つまり、時間制約が [すぐに開始] に設定され、他の開始依存関係がない場合)、それらのタスクの開始実績日時にも予定日が入力されます。
- 他のすべてのタスクの開始予定日は、プロジェクトを開始したタイミングに応じて調整されます。新しい開始予定日は、他のタスクとの依存関係や各タスクの期間など、いくつかの要因によって変わります。

> **注:**
> プロジェクトが [対応中] ステータスになっても、すべてのタスクのステータス更新が開始予定日に基づいて自動的に開始されるわけではありません。プロジェクトの開始時にすぐに開始するようにスケジュールしたプロジェクトタスクを除き、プロジェクトタスクは自動的には開始されません。プロジェクトの管理を継続して行い、各タスクのステータスを [対応中] に変更します。

進行中のプロジェクトの更新

プロジェクトの進行中は、実際の値を可能な限り最新の状態に維持します。継続して実際の値を測定し、潜在的なプロジェクトリスクの影響を分析し、スコープ、コスト、およびスケジュールをそれに応じて処理するように調整します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. [対応中] ステータスのプロジェクトを開きます。
2. 次のフィールドを最新の状態に維持します。
   プロジェクトのステータスが [対応中] の間は、次のフィールドを最新の状態に維持ちます。
   - 優先度：特にポートフォリオ内の他のプロジェクトに関連する場合の、プロジェクトの優先度。
   - 正味価格：会社にとってのプロジェクトの価値で、予定収益で表されます。
   - リスクコスト：潜在的なプロジェクトリスクに関連するすべてのコストの合計。このフィールドはコスト管理とは関係ありませんが、このフィールドを使用してプロジェクト中に発生するリスクのコストを見積もることができます。
   - 構成アイテム：プロジェクトに関連する CI。
   - スケジュール：作業スケジュールのタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 作業メモ：プロジェクトに関連するメモとコメントの有用なレコード。
- ライブフィード：プロジェクトのさまざまなステークホルダー間のコラボレーションの記録。

プロジェクトタスクの場合は、次のフィールドを最新の状態に維持します。

- ステータス：タスクの開始時点 (開始日が指定されているタスクの場合) でプロジェクトタスクのステータスを [対応中]に変更し、タスクが終了したら [クローズ済み] に変更することを忘れないでください。タスクの時間制約が [すぐに開始] に設定され、先行タスクのステータスがいずれかのクローズ済みステータスに変更された場合を除き、タスクのステータスは自動的に変更されません。
- アサイン先グループ：タスクで現在作業しているリソースのグループ。
- アサイン先：タスクにアサインされた個人。
- タイムカード：リソースがプロジェクトで作業する時間。[実績工数] にロールアップされます。タイムカードに賃金レートが設定されている場合、タイムカードの変更はプロジェクトの実績コストに影響します。

3. [更新] をクリックして、レコードを保存します。

プロジェクトのコメントの追跡とステークホルダーとのコラボレーション

プロジェクトが進行中の場合は、プロジェクト参加者のやり取りと共同作業に役立つ、ジャーナルフィールドと Live Feed という 2 つのプラットフォーム機能を利用できます。役立つ 2 つのジャーナルフィールドは、[コメント] と [作業メモ] です。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

- ジャーナルフィールドをプロジェクトフォームに追加するには：
  1. [コメント] と [作業メモ] を表示するようにプロジェクトフォームを構成 します。
- ライブフィード をプロジェクトフォームに追加するには：
  1. 移動先 システム定義 > ディクショナリ.
  2. 対応する列名がない **pm_project** テーブル名をクリックします。
  3. [属性] フィールドに「live_feed=true」と入力します。
  4. [更新] をクリックします。
  5. 移動先 システム定義 > **UI** アクション.
  6. [ライブフィードをフォロー] リストアクションを開きます。
  7. [テーブル] フィールドで、[pm_project] テーブルを選択します。
  8. ヘッダーを右クリックして [挿入] を選択し、[pm_project] テーブルを対象とした UI アクションのコピーを作成します。
  9. [ライブフィードを表示] フォームアクションの UI アクションについて手順を繰り返します。
  10. プロジェクトフォームをカスタマイズし、アクティビティフォーマッターであるアクティビティ (フィルター付き) をプロジェクトフォームの目的の場所に追加します。

計画立案コンソール

計画立案コンソールは、 プロジェクト管理 (PM)アプリケーションのための一元的なインターフェイスです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

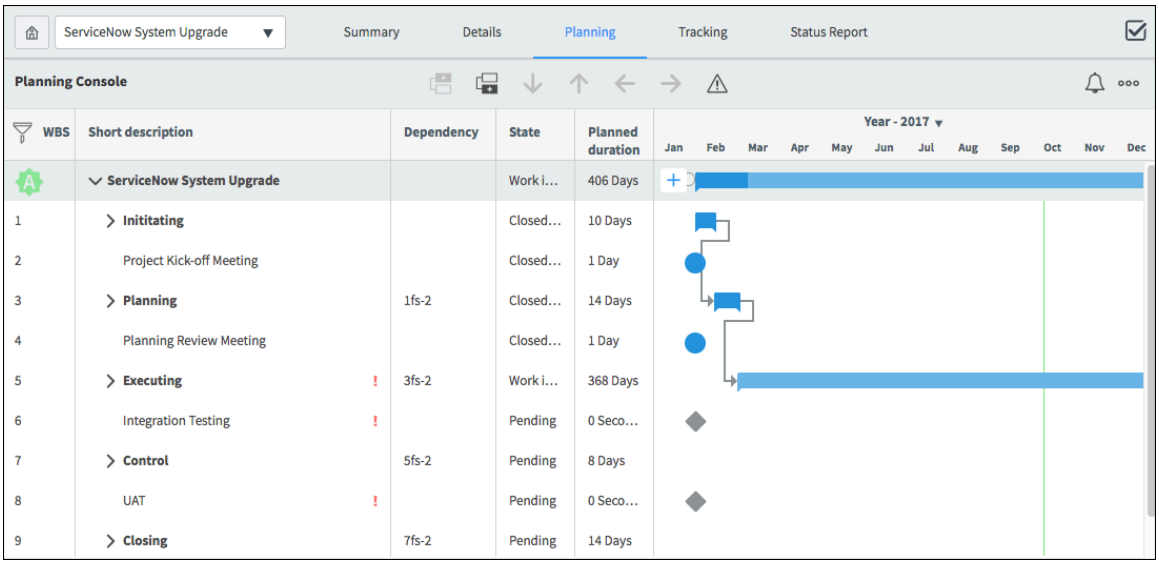
計画立案コンソールを使用すると、プロジェクトマネージャーはプロジェクトのすべての要素を包括的に把握できます。これには、サブプロジェクトの階層リスト (存在する場合)、作業ブレークダウン構成 (WBS) リストに表示されるプロジェクトタスク、およびプロジェクトガントチャートが含まれます。またコンソールはライブフィードと統合されているため、ユーザーはプロジェクトで共同作業を行うことができます。

計画立案コンソールのセクション

計画立案コンソールは、次のセクションに分かれています。

- プロジェクトの計画立案コンソールを開いた場合のプロジェクトタスクのリスト。
- ガントチャート。
- コンソールでタスクを実行するためのバナーアイコンとリスト。

計画立案コンソールの例



ガントチャート、および構築できるタスクの関係と依存関係の詳細については、「ガントチャート」および「プロジェクトタスクの関係と依存関係」を参照してください。

注:
計画立案コンソールの [アサイン先] 列のリソースは、プロジェクトまたはそのタスクに関連付けられた割り当て済みのリソース計画からのみ導出されるように制限できます。プロジェクトフォームの [リソース計画から担当者リストを作成] フィールドで動作を制御します。

ビジネスルール

デフォルトでは、ビジネスルールは計画立案コンソールでの操作中にトリガーされません。ビジネスルールは、[*Enable firing of Business Rules*] プロパティを使用して有効にできます。

注:
このプロパティを有効にするには、[クライアント側での計画立案を有効化] チェックボックスをオフにする必要があります。

[保存時に **BR** を開始] フィールドを使用して計画立案コンソールの列を定義するときに、ビジネスルールを有効にすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアント側の計画立案コンソール

計画立案コンソールでの各インタラクションの詳細をサーバーに保存することなく、クライアント側でプロジェクト構造を迅速に構築します。クライアント側の計画立案コンソールを有効にすると、計画立案コンソールでアクションを実行した後に発生するタイムラグが防止され、スケジューリングのパフォーマンスが向上します。

自動プロジェクトと手動プロジェクト

自動プロジェクトでは、プロジェクトタスクの日付、期間、または関係を変更すると、必要に応じて、プロジェクトレコードを含むプロジェクト全体のすべてのタスクが自動的に更新されます。自動プロジェクトアイコン ( ) がプロジェクト名の横に表示されます。

手動プロジェクトでは、プロジェクトタスクの日付、期間、または関係を変更しても、すべてのタスクが自動的に更新されるわけではありません。したがって、親タスクの日付には、依存タスクまたは子タスクに加えられた変更は反映されません。自動的に行われる唯一の変更は、タスクの日付または期間の変更によりプロジェクトレコードの日付と期間が更新される場合です。手動プロジェクトでは、実開始日が更新されても、プロジェクトまたはプロジェクトタスクの終了予定日は更新されません。ただし、プロジェクトプロパティの [予定日の手動プロジェクトの実績での変更を有効にする **(Enable alter of planned date with Actual for Manual Project)]** を有効にすると、実開始日および計画期間から終了予定日が更新されます。手動プロジェクトアイコン ( ) がプロジェクト名の横に表示されます。

プロジェクトが自動か手動かは、プロジェクトフォームの [計算] フィールドで指定できます。このフィールドは、プロジェクトの開始時に読み取り専用になります。

チュートリアル

チュートリアルウォークスルーをコンソールで利用できます。コンソールのすべての機能とその使用方法が示されます。ヘルプアイコン ( ) 内のウォークスルーにアクセスします。

プロジェクト計画立案コンソールを開く

計画立案コンソールにアクセスして、プロジェクトの計画立案を行います。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

次のいずれかの方法を使用して、計画立案コンソールを開きます。

計画立案コンソールのタスク

プロジェクトタスクの作成やプロジェクトのコピーなど、リストやフォームで実行できる複数のタスクを計画立案コンソールで実行できます。コンソールに固有のいくつかのタスクも実行できます。

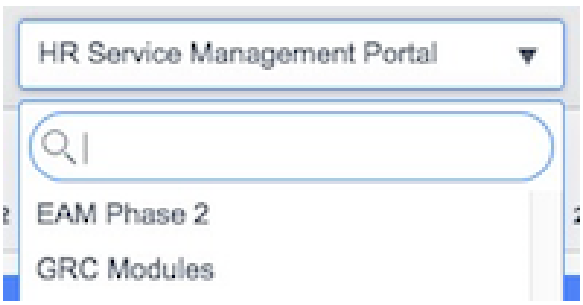
計画立案コンソールのタスク

タスク	タスクの実行方法
コンソールの全般設定	
計画立案コンソールでプロ	プロジェクトワークスペースバナーのリストからプロジェクトを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
ジェクトを表示	プロジェクトリスト 
WBS 階層	
プロジェクトタスクの作成	新しいタスクを作成する行で、タスクを以下に追加アイコン ( ) をクリックします。 また、既存のタスクをクリックして新しいタスクの挿入ポイントを決定し、タスクを上に追加アイコン ( ) またはタスクを以下に追加アイコン ( ) をクリックすることもできます。
階層内でタスクを上下に移動	既存のタスクをクリックし、上に移動 ( ) または下に移動 ( ) アイコンをクリックします。
階層内のタスクをインデントまたはインデント解除	既存のタスクをクリックし、インデント解除 ( ) アイコンまたはインデント ( ) アイコンをクリックします。
タスクレコードを編集	タスクを右クリックして、[編集] を選択します。プロジェクトタスクフォームがオーバーレイに表示されます。計画立案コンソールのいずれかの列のフィールドを直接編集することもできます。プロジェクトワークベンチのフェーズを表すプロジェクトタスクを編集することもできます。
[ステータス] フィールドを編集	[ステータス] 列の値をダブルクリックして、新しいステータスを選択します。タスクの完了率 (%) が変更されると、[ステータス] フィールドの値も自動的に変更されます。
タスクステータスを表示および変更	タスクの終了予定日と現在の日付の差に基づいて、プロジェクトタスクのステータスを表示します。終了予定日が近づくと、タスクのステータスが緑色から黄色、赤色に自動的に更新されます。 [ステータス] 列をダブルクリックして別のタスクステータスを選択すると、タスクのステータスを手動で更新できます。詳細については、「プロジェクトからのプロジェクトタスクの作成」トピックの [ステータス] フィールドの説明を参照してください。
アジャイルフェーズまたはテストフェーズを追加	プロジェクトを右クリックし、[アジャイルフェーズの追加] または [テストフェーズの追加] を選択します。アジャイルフェーズアイコンまたはテストフェーズアイコンは、[名前] 列のタスクの横に表示されます。「フェーズアイコン」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
	注: • [アジャイルフェーズの追加] オプションは、アジャイルおよびハイブリッドプロジェクトでのみ使用できます。Agile Development 2.0 プラグインもインストールしておく必要があります。 • 複数のアジャイルフェーズと複数のテストフェーズをプロジェクトに追加できます。 • プロジェクトのテスト計画に追加できるテストフェーズは 1 つだけです。[テストフェーズの追加] オプションを表示するには、テスト管理 プラグインがインストールされている必要があります。 • アジャイルフェーズは、プロジェクト内のアサイン先グループの別のアジャイルフェーズと重複することはできません。 • ストーリーの作成中に、プロジェクトにフェーズが 1 つしかない場合、ストーリーはフェーズにタグ付けされます。
テスト計画またはストーリーを開く	タスク (ワークベンチのフェーズを表すタスク) を右クリックし、 [テスト計画の管理] を選択します。[ストーリーを表示] を選択して、ストーリーリストを表示します。scrum_product_owner ロールを持っている場合は、[ストーリーを表示] を選択して、[アジャイルボード] の [バックログ] タブに移動します。 注: [ストーリーを表示] オプションは、アジャイルおよびハイブリッドプロジェクトでのみ使用できます。Agile Development 2.0 プラグインもインストールしておく必要があります。
クローズ済みプロジェクトのリソース計画をキャンセル	プロジェクトを右クリックし、[リソースプランをキャンセル] を選択します。選択したリソース計画に対する過去および将来のすべての割り当てがキャンセルされます。 このオプションは、いずれかのクローズ済みステータスのプロジェクトでのみ使用できます。
クローズ済みプロジェクトのリソース計画を完了	プロジェクトを右クリックし、[リソースプランを完了] を選択します。完了日以降のリソース計画のすべての要求された割り当てとリソース割り当てが削除されます。 リソース計画を完了するオプションは、いずれかのクローズ済みステータスのプロジェクトでのみ使用できます。
異なるプロジェクトのタスク間に外部依存関係を追加	タスクを右クリックし、[外部依存関係を追加] を選択します。依存関係を追加するプロジェクトとタスクを選択します。
外部依存関係のプロジェクト名を表示	外部依存関係タスクの横にあるリンクアイコン (🔗) をポイントすると、外部依存関係が追加されるプロジェクトの名前を示すツールヒントが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

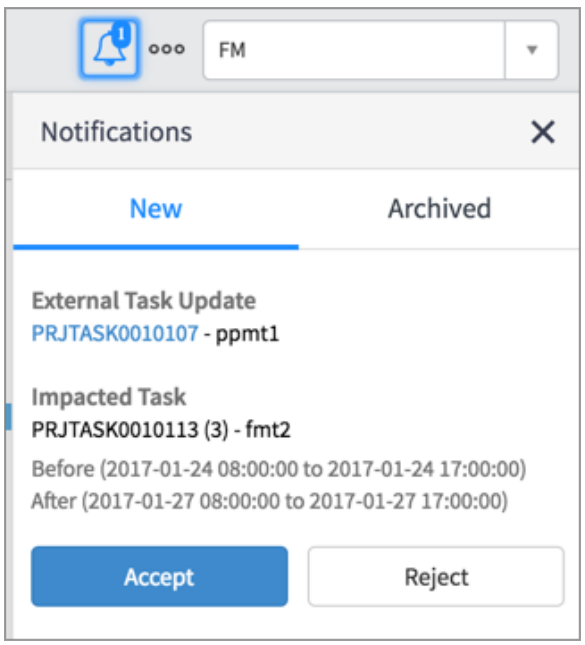
計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
タスクの時間の制約を変更する	[制約タイプ] 列の下のタスクをダブルクリックし、[すぐに開始]、[特定の日に開始]、[以下以降に開始]、または [以下以前に開始] のオプションを選択します。 • 自動プロジェクトについてのみ [制約タイプ] を変更できます。 • タスクの時間制約を [特定の日に開始] から [すぐに開始] に、またはその逆に変更すると、タスクの開始予定日と終了予定日がそれに応じて再計算されます。 • [制約日] 列には、 [すぐに開始] タスク以外のすべての制約タイプの開始日が表示されます。この列はデフォルトでは使用できません。[構成] メニューからこの列を計画立案コンソールに追加する必要があります。 • このオプションは、親タスクでは使用できません。タスクに子タスクがある場合、このオプションは子タスクでのみ使用できます。 • [以下以前に開始] または [特定の日に開始] の時間制約で親タスクを作成することはできません。これらの時間制約のあるタスクに新しい子タスクが追加されると、親タスクの時間制約が [すぐに開始]に変換されます。 • [計算] タイプが [手動] に設定されているプロジェクトの制約タイプは変更できません。
スケジュール外のタスク日付を許可	プロジェクトタスクを右クリックし、 [スケジュール外を許可]を選択します。選択したタスクは、週末などのスケジュール外の日 (通常のプロジェクトスケジュール外) に開始および終了することができます。[簡単な説明] 列のタスクの横に、スケジュール外のタスクアイコン ( ) が表示されます。 たとえば、「月曜日から金曜日の 8:00 ～ 17:00」のプロジェクトスケジュールを使用し、期間 2 日間のプロジェクトタスクを土曜日に開始する必要がある場合、オフスケジュールタスクを土曜日にスケジュールし、日曜日に終了することができます。同様に、期間 3 日間のタスクを金曜日に開始した場合、オフスケジュールは火曜日ではなく、日曜日に終了します。 • このオプションは、親タスクでは使用できません。タスクをスケジュール外にすると、その親もスケジュール外になります。プロジェクトは、いずれかの子がスケジュール外に設定されている場合も、スケジュール外として動作します。 • タスクでスケジュール外が許可されると、そのタスクに対して [スケジュールに従う] オプションが使用可能になります。タスクを右クリックし、[スケジュールに従う] を選択して、タスクのスケジュールに従います。 **注:** • プロジェクトレベルで定義されているスケジュールがない場合、オフスケジュールタスクとオンスケジュールタスクの間に違いはありません。 • 通常スケジュールのタスクでは 1 日は 8 時間で、スケジュール外タスクでは 24 時間です。
タスクをマイルストーンに変換	タスクを右クリックし、[マイルストーンに変換] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

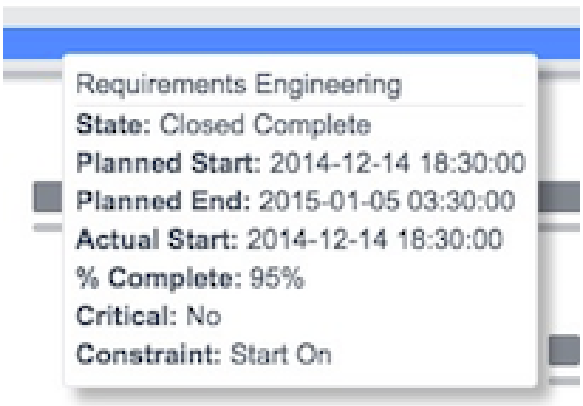
計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
	• タスクをマイルストーンに変換できるのは、[対応中] ステータスになっていない間のみです。対応中になると、タスクでこのオプションはグレー表示されます。 • このオプションは、親タスクでは使用できません。タスクに子タスクがある場合、このオプションは子タスクでのみ使用できます。
外部依存関係を表示または非表示	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[外部依存関係を非表示] スイッチをクリックします。 このオプションを有効にすると、2 つのプロジェクト間に外部依存関係を追加しても、外部依存関係は表示されません。ただし、後続プロジェクトの [WBS] セクションの [依存関係] 列には、外部依存関係の値がそのまま表示されます。
外部依存関係の通知を表示	通知ベルアイコンをクリックして、 後任プロジェクトで発生した通知を表示します。通知は、先行プロジェクトで行われた変更の結果としてトリガーされます。  • ソフト依存関係の場合は、[承認] または [却下] をクリックして、通知の変更を承認または却下します。 • ハード依存関係の場合は、表示された通知を確認して、通知の変更をレビューします。
変更をサーバーに保存	保存アイコンをクリックして、計画立案コンソールで行った変更をコミットします。このオプションは、クライアント側の計画立案コンソールが有効になっている場合にのみ使用できます。
列幅を拡大または縮小	列の側面をクリックし、右または左にドラッグします。
計画立案コンソールで列を表示または非表示にする	ガントで列を表示または非表示アイコン ( ) をクリックし、使用可能な列のチェックボックスをオンまたはオフにします。管理者は、このリストに表示する列をカスタマイズできます。選択内容はユーザー初期設定に保存されます。次回計画立案コンソールを開くと、選択した同じ列が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

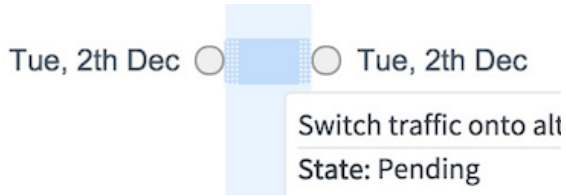
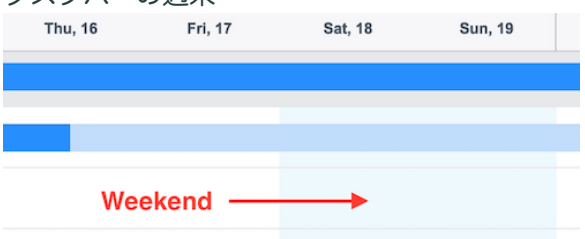
計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
表示する WBS レベルを選択	ガントで列を表示または非表示アイコン ( ) をクリックし、WBS の [奥行] リストからレベルを選択します。
任意のレベルのサブレベルを展開/折りたたむ	矢印をクリックして、1 つ以上のサブタスクを持つタスクを展開または折りたたむことができます。
ガントチャート	
タスクの概要を表示	タスクをポイントします。 ツールヒントには、タスクの概要が表示されます。 
タスクの開始予定日または終了予定日を変更	タスクをクリックし、タスクバーの左端または右端をドラッグします。
タスクを新しい日付に移動	タスクをクリックし、タスクバー全体を新しい場所にドラッグします。
タスク間の依存関係を作成	関係内で後続タスクを探し、[先行タスク **(Predecessor)]** 列の値をダブルクリックして、関係を指定する値を入力します。例については、計画立案コンソールでの先行タスクの依存関係 を参照してください。 または、タイムラインビューで対応するタスクバーの端を接続して、2 つのタスク間に関係を作成することもできます。
ベースラインを選択	その他のオプションアイコン ( ) をクリックし、ベースラインリストからベースラインを選択します。
ベースラインを作成	その他のオプションアイコン ( ) をクリックし、[新しいベースラインを作成] をクリックします。詳細については、「プロジェクトのベースラインの作成」を参照してください。
スケジュールベースラインを比較	その他のオプションアイコン ( ) をクリックし、ベースラインリストからスケジュールベースラインを選択します。ガントで列を表示または非表示アイコン ( ) をクリックし、次の列を選択して、スケジュールベースラインを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

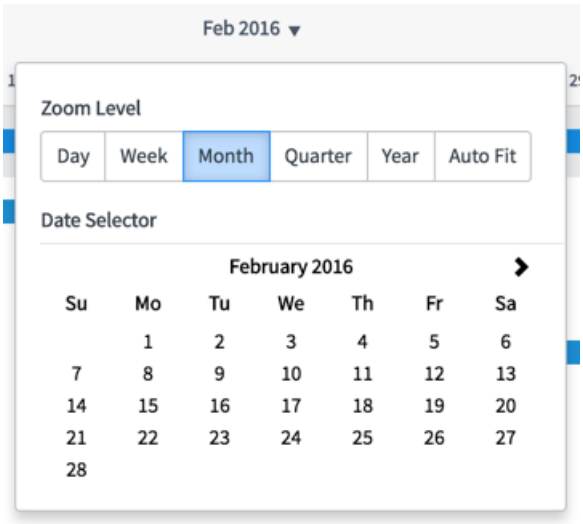
計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
	• ベースライン開始日付 • ベースライン終了日付 • ベースラインの差異
クリティカルパスを表示	クリティカルパスアイコン (⚠) をクリックします。クリティカルパスの詳細については、「ガントチャート」を参照してください。
日付の変化を表示	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[日付の変化を表示] スイッチをクリックします。このオプションを有効にすると、タスクバーをドラッグしたときにタスクの開始日と終了日が表示されます。 タスクバーの開始日と終了日 
期間変化を表示	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[期間変化を表示] スイッチをクリックします。このオプションを有効にすると、タスクバーのいずれかの端をドラッグしたときにタスクの期間が表示されます。 タスク期間 
カレンダーに週末を表示	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[週末を表示] スイッチをクリックします。週末がライトブルーの垂直バーでガントチャートに表示されます。 タスクバーの週末 
カレンダーをズームインま	カレンダーの上部で、月または日などのいずれかの期間をクリックします。次に、カレンダーから [ズームレベル] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
たはズームアウト	カレンダーズーム  カレンダーのズームレベルが [自動調整] として選択されている場合、ガントビューは 1 ページに収まり、スクロールバーを使用せずにプロジェクトのタイムライン全体を一度に表示できます。
チュートリアルを開く	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[チュートリアル] をクリックします。
キーボードショートカットのリストを開く	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[キーボードショートカット] をクリックします。
その他の機能またはアプリケーション	
プロジェクトワークベンチを開く	バナーの [計画立案コンソール] 選択矢印をクリックし、[プロジェクトワークベンチ] を選択します。詳細については、「プロジェクトワークベンチ」を参照してください。
ライブフィードを開く	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[ライブフィードを表示] をクリックします。
プロジェクトデータを MPP、CSV、または XML 形式でエクスポート	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[計画立案コンソールをエクスポート] をクリックします。詳細については、「プロジェクトデータのエクスポート」を参照してください。
ガントタイムラインを印刷	その他のオプションアイコン (···) をクリックし、[印刷] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案コンソールのタスク (続く)

タスク	タスクの実行方法
	注: • 小さいサイズの用紙に印刷すると、ガントチャートの画像が切り取られる場合があります。ガントチャートカレンダーを使用してズームアウトするか、用紙サイズを大きくして、プロジェクトとタスクのガントタイムラインを印刷できます。 • ガントチャート領域の色付きのバーが印刷プレビューに表示されない場合は、[印刷] ダイアログで背景グラフィックのオプションを選択します。

クライアント側の計画立案コンソール

計画立案コンソールでのプロジェクトスケジュールの計算時に、各インタラクションの詳細をサーバーに保存することなく、クライアント側 (ブラウザ) でプロジェクト構造を迅速に構築できます。これにより、計画立案コンソールでアクションを実行した後に発生するタイムラグが防止され、スケジューリングのパフォーマンスが向上します。

たとえば、プロジェクトマネージャーが計画立案コンソールでプロジェクトタスクの日付を変更したときに、依存タスクとプロジェクトの日付を再計算すると、各インタラクションがサーバーに保存される場合はタイムラグが発生する可能性があります。同様に、新しいタスクまたは依存関係が作成されたときに、毎回サーバー側に保存されると、新しい日付が表示されるまでにタイムラグが生じる可能性があります。

クライアント側の計画立案が有効になっている場合、日付の再計算などの変更は、サーバーにすぐにはポストされません。計画立案コンソールで行ったすべての変更は、コミットする変更をユーザーが明示的にサーバーに保存するまで、クライアント側で保持されます。

例外

続行する前に変更をすぐにサーバー側に保存する必要があるアクションがいくつかあります。

- ベースラインの作成
- プロジェクトのコピー
- 部分プロジェクトのコピー
- 子タスクの追加
- 外部依存関係を追加
- アサイン先の編集
- 他のアサイニーの編集

さらに、いずれかの列でカスタムビジネスルールを有効にすると、それらの列も例外の一部になります。

クライアント側での計画立案の有効化

計画立案コンソールでクライアント側での計画立案を有効にして、クライアント側でプロジェクトのスケジューリングを有効にします。

始める前に
必要なロール：pps_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
計画立案コンソールでの各インタラクションの詳細をサーバーに保存することなく、クライアント側でプロジェクト構造を迅速に構築します。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > 計画立案コンソール.
2. [計画立案コンソール] リストで [コンテキスト：デフォルト (Context：**default)]** を展開し、[プロジェクト [pm_project]] を選択します。
3. [クライアント側での計画立案を有効化] チェックボックスをオンにして、クライアント側でプロジェクトのスケジューリングを有効にします。

> **注:**
> このチェックボックスをオンにするには、プロジェクトプロパティの [計画立案コンソールからの保存時にビジネスルールの適用を有効にします] を false に設定する必要があります。

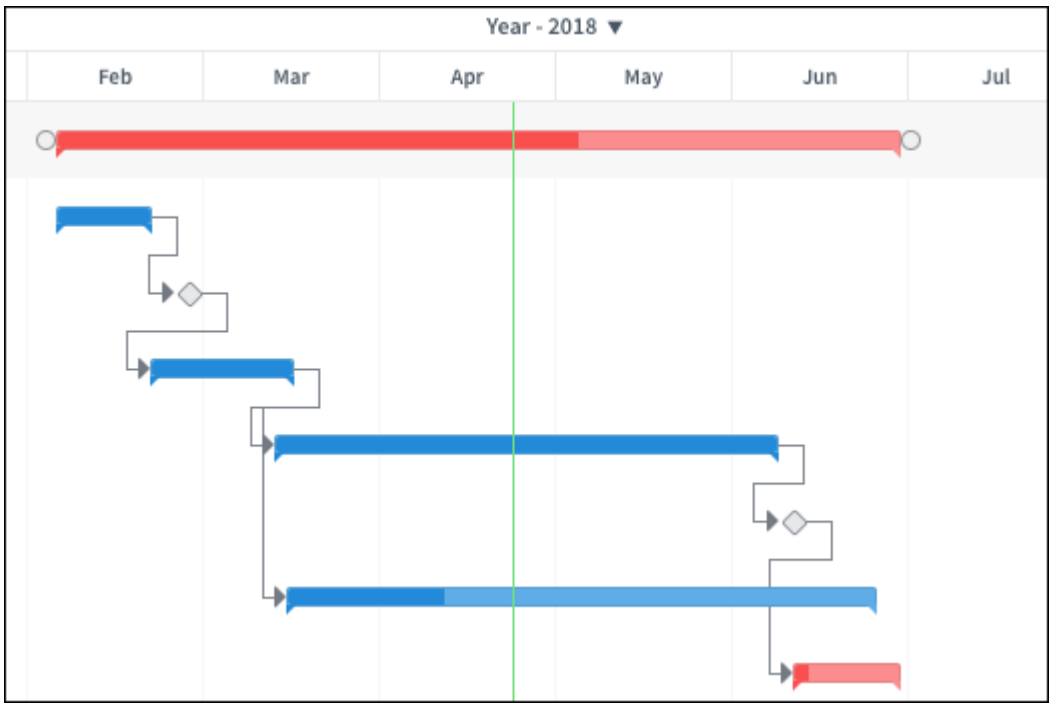
ガントチャート

計画立案コンソールのガントチャートは、タスクの開始日と終了日、およびタスク間の依存関係を示すプロジェクトタイムラインを視覚的に表したものです。

ガントチャートを使用して、タスクの追加と削除、タスクの日付と依存関係の変更、プロジェクト全体の進捗状況の評価を行います。

ガントチャート

ガントチャート



クリティカルパス

ガントチャートでは、クリティカルパスが赤色でハイライト表示され、クリティカルパスタスクが青色の標準タスクと区別されます。すべてのタスクがクリティカルパスに含まれるわけではなく、該当するのは終了日に直接影響するタスクのみです。クリティカルパスを使用して、終了日を左右するタスクを特定します。スケジュールの調整が必要な場合は、クリティカルパス上のタスクにリソースまたはその他の変更を加えることを検討します。

自動翻訳

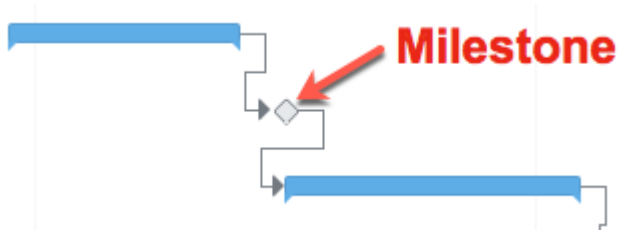
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クリティカルパスの一部ではないために遅延する可能性があるタスクは、一般にスラックタスクまたはフロートタスクと呼ばれます。ガントチャートにはデフォルトでスラック/フロートタスクが表示されますが、プロジェクトに影響を与えずにタスクが遅延できる時間など、これらのタスクを扱う計算は利用できません。

マイルストーン

マイルストーンは、期間が **0** のプロジェクトタスクです。マイルストーンを使用して、プロジェクトの重要な日付を示します。必要に応じて、マイルストーンに到達するまでタスクが開始されないように、タスクとマイルストーンの間に依存関係を作成します。

マイルストーン



色分け

ガントチャートのタスクバーの色は、完了率とタスクのステータスに基づいています。プロジェクトとタスクで利用できるデフォルトの色分けが表示されます。

プロジェクトタスクの色分け

色	説明
ライトブルーのバー ライトブルーのバー 	タスクは処理待ちまたはオープンです。
ダークブルーのバー (全体または一部) ダークブルーのバー 	完了率は 1% から 100% の間です。ダークブルーのセクションは、完了率を示します。タスクは、[対応中] ステータスまたは [完了] ステータスになります。

注:
ガントチャートのタスクバーの色は、ポートフォリオまたはプログラムワークベンチから設定できます。

SDLC フェーズ

タスクの横にアイコンが表示され、タスクが属するフェーズを示します。

フェーズアイコン

アイコン	フェーズ
	アジャイルフェーズ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フェーズアイコン (続く)

アイコン	フェーズ
	テストフェーズ。

注:
ウォーターフォールフェーズのタスクにはアイコンは表示されません。

ガントチャートのオプション

ガントチャートを使用すると、各タスクフォームを開いてフィールド値を 1 つずつ変更することなく、開始時間や終了時間などのタスク属性をすばやく変更できます。

ガントチャートから、次のタスク属性を変更できます。

タスクの変更

属性	説明
プロジェクトタスクの開始予定日	タイムラインに沿ってタスクを移動して、開始時間を変更したり、[特定の日に開始] の時間制約を課したりできます。タスクの [時間の制約] が ([すぐに開始] ではなく) [特定の日に開始] に設定されていて、タスクがまだ開始されていない場合は、タスクをドラッグして開始日を変更することもできます。タスクがすでに開始されている (実開始日がある)、タスクが既に終了している (実終了日がある)、またはタスクの時間の制約が [すぐに開始] に設定されている場合、タスクの開始日を変更することはできません。 コンソールの [開始予定日] 列で日付を変更することもできます。
プロジェクトの開始予定日	コンソールの [開始予定日] 列で日付を変更できます。 プロジェクトの開始予定日より前に開始するタスクを追加できます。デフォルトでは、最も早いタスク開始日に合わせてタスクを追加すると、開始予定日が前後にシフトします。ただし、 プロジェクトプロパティの [タスクに基づくプロジェクト開始日のロールアップ] を有効にすると、開始予定日が前または後のタスクを追加した場合でも、プロジェクトの開始予定日を保持することができます。
終了予定日	タスクバーの右端をドラッグして、終了予定日を延長します。親タスクではなく、まだ終了していないタスクについてのみ、予定日を延長できます。
依存関係	依存関係を編集または削除するには、2 つのタスク間の既存の依存関係コネクター行をダブルクリックし、[計画タスク関係 (Planned Task Relationship)] ポップアップで設定を更新します。計画タスクの関係の [タイプ] は *[Predecessor of::Successor of]* であり、変更できません。
遅延時間とリードタイム	遅延時間は、先行タスクの終了から後続タスクの開始までの時間間隔です。遅延時間は、指定した時間だけ先行タスクを遅延させます。 リードタイム は、先行タスクが通常の開始よりも前に開始できる時間間隔です。これは実質的に、負の遅延時間です。[遅れ] フィールドの値は、遅延時間とリードタイムの両方を指定します。 [遅れ] の値を編集するには、コネクターをダブルクリックし、 計画タスク関係 (Planned Task Relationship) フォームの設定を更新します。リードタイムを指定するには、負の値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの変更 (続く)

属性	説明
リソース	既存のタスクのユーザーリソースを変更したり、新しいタスクにリソースを追加したりするには、タスクバーをダブルクリックし、プロジェクトタスクフォームの [アサイン先] フィールドを編集します。 注: [アサイン先] 列のリソースは、プロジェクトまたはそのタスクに関連付けられた割り当て済みのリソース計画からのみ導出されるように制限できます。プロジェクトフォームの [リソース計画から担当者リストを作成] フィールドで動作を制御します。

プロジェクト管理 (PM)アプリケーションは、タスクの計算方法と動作を制御する複数のプロパティを提供します。詳細については、「プロジェクトプロパティ」を参照してください。

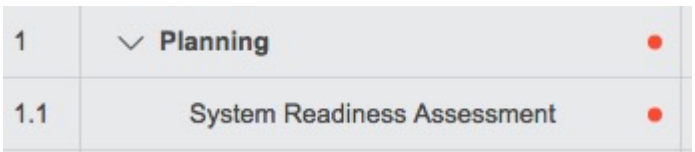
計画立案コンソールでの親子関係の作成

計画立案コンソールの [WBS] セクションでは、新しいタスクの親子関係を作成したり、新しい親子関係で既存のタスクを移動したりすることができます。階層内のタスクの位置とインデントのレベルによって、タスクとその上下のタスクとの親子関係が決まります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
この例では、「システム準備アセスメント (System Readiness Assessment)」タスクは、計画タスクの 1 レベル下にあり、インデントされているため、計画タスクの子です。

タスクの親子関係



手順
1. 計画立案コンソールの [WBS] セクションでタスクをクリックしてハイライト表示します。
2. 次のいずれかのアイコンの組み合わせをクリックしてタスクを作成して移動するか、他のタスクを移動して必要な階層を作成します。

親子関係の作成

アイコン	アクション
上にタスクを追加アイコン ( )	ハイライト表示されたタスクの上にタスクを作成します。
タスクを以下に追加アイコン ( )	ハイライト表示されたタスクの下にタスクを作成します。
インデントアイコン ( )	ハイライト表示されたタスクをその上のタスクの子にします。

計画立案コンソールでの先行タスクの依存関係

計画コンソールの [WBS] セクションでは、一連の値を指定してタスク間の依存関係を作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

計画立案コンソールの [先行タスク **(Predecessor)]** 列で、タスク間の依存関係を指定できます。この列に入力する値は、次の形式である必要があります。

{WBS_number}{dependency_type}+{lag_time}

ここで

- WBS_number は、関係内の先行タスクの番号です。
- dependency_type は、アプリケーションでサポートされる依存関係のタイプのいずれかです。
- lag_time は、依存タスクの開始を遅らせる時間 (日数) です。この値は、正または負の整数にすることができます。

値は中括弧 {} を付けずに入力します。表に示した例を参照してください。

注:
関係線をクリックして、ガントチャートからタスクを編集することもできます。詳細については、「ガントチャートのオプション」および「プロジェクトタスクの依存関係の変更」を参照してください。

プロジェクトタスクの依存関係の値

依存関係タイプ	例	追加情報
終了 - 開始	**1.1fs+0**	タスク 1.1 が終了すると、編集中のタスクが開始されます。
開始 - 開始	**1.1ss+0**	タスク 1.1 は、編集中のタスクが終了するまで終了できません。
開始 - 終了	**1.1sf + 0**	タスク 1.1 は、編集中のタスクが終了するまで開始できません。
終了 - 終了	**1.1ff+0**	編集中のタスクは、タスク 1.1 が終了するまで終了できません。

計画立案コンソールのカスタム列

ベースシステムで提供される通常の列に加えて、PPS 管理者は、計画立案コンソールに表示する列を構成できます。

プロジェクト計画立案コンソール、 プログラムワークベンチ、ポートフォリオワークベンチの計画ビューと追跡ビュー、およびリリース管理ガントチャートで利用できる列を定義できます。この定義済み列のリストから、これらの計画立案コンソールの UI に表示する列をいつでも選択できます。

次のテーブルは、カスタム列の構成に使用されます。

- 計画立案コンソール **[pm_console]**：プロジェクトやポートフォリオなどの計画立案コンソールの定義を格納します。
- 計画立案コンソール表示列 **[pm_console_display_column]**：簡単な説明、WBS、優先度などの計画立案コンソール表示列を格納します。

  [pm_console] に格納されているコンソールには、 [pm_console_display_column] に格納されている複数の表示列があります。

  注:
  列が [sys_user] テーブル以外のテーブルを参照している場合は、列のリストを編集できません。

- 計画立案コンソールテーブル **[pm_console_table]**：コンソールにデータを提供するテーブルのリストが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンソールのデータは、複数のテーブルから供給されます。たとえば、プロジェクトコンソール [pm_project] は pm_project および pm_project_task テーブルからデータをプルします。このテーブルのリストは [pm_console_table]で維持されます。

- 計画立案コンソール列 **[pm_console_columnn]**：各テーブルからプルする必要がある列と pm_console_display_column の列のマッピングが維持されます。

計画立案コンソールへのカスタム列の追加

プロジェクト計画立案コンソール、 ポートフォリオワークベンチ、プログラムワークベンチ、およびリリース管理ガントチャートで利用できるようにする列を定義します。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > 計画立案コンソール.
2. 計画立案コンソールのカスタム表示列を追加します。

   a. [計画立案コンソール] リストで、カスタム列を追加するコンソールを選択します。たとえば、プロジェクト計画立案コンソールに列を追加するには、［プロジェクト [pm_project]］を選択します。

   b. 選択したコンソールの表示列を作成するには、[計画立案コンソール表示列] 関連リストで [新規] をクリックします。

   c. 計画立案コンソール表示列フォームで、フィールドに入力します。

計画立案コンソール表示列フォーム

フィールド	説明
ラベル	計画立案コンソールに表示される列のラベル。
タイプ	列のデータタイプ。
JSON 列	データの送信時にガントチャートで内部的に使用される JSON 列名。 **注:** 空白のままにします。このフィールドは、ステップ 3 で表示列に列を追加すると自動入力されます。
順番	計画立案コンソールで列が表示される位置。
ツールヒントに含める	計画立案コンソールのタイムラインのツールヒントに表示する列のボックスをオンにします。
幅	計画立案コンソールの列のデフォルト幅。
保存時に BR を開始	計画立案コンソールで列が変更されたときにビジネスルールをトリガーする必要がある場合のオプション。 **注:** デフォルトでは、このフィールドはフォームに表示されません。このフィールドを追加するには、フォームを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
再計算をトリガー	計画立案コンソールで列が変更されたときに日付と期間の再計算をトリガーする必要がある場合のオプション。 **注:** デフォルトでは、このフィールドはフォームに表示されません。このフィールドを追加するには、フォームを設定します。

d. [送信] をクリックします。

列は、計画立案コンソール表示列 [pm_console_display_column] テーブルに追加されます。

3. ステップ 2 で作成した計画立案コンソール表示列を、計画立案コンソールテーブル [pm_console_table] で定義されたテーブルの列にマップします。

a. [計画立案コンソール表示列] 関連リストで、表示列レコードを開きます。

b. 計画立案コンソール列 [pm_console_column] テーブルに実際の列のレコードを作成するには、[計画立案コンソール列] 関連リストで [新規] をクリックします。

c. 計画立案コンソール列フォームで、フィールドに入力します。

計画立案コンソール列フォーム

フィールド	説明
表示列	計画立案コンソール表示列 [pm_console_display_column] テーブルに作成された表示列。
コンソールテーブル	表示列にマップするコンソールテーブル。
テーブル	表示列でデータがプルされる実際のテーブル。コンソールテーブルを選択すると、このフィールドは自動入力されます。 たとえば、プロジェクト計画立案コンソールのプロジェクト [pm_project] に追加された表示列に対して、[pm_project] または [pm_project_task] からテーブルを選択します。
列	表示列のデータが取得されるテーブルの実際の列。
編集可能	計画立案コンソールで列を編集可能にするためのチェックボックス。

d. [送信] をクリックします。

タスクの結果

計画立案コンソールの列フィルターリスト ( ) に表示列が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト診断

プロジェクト診断を使用すると、診断スクリプトを実行する診断スキャンを使用して、タスクの有効性、依存関係、関係などの、プロジェクト内の破損データを検出できます。修正スクリプトを使用して、破損したデータを修正することもできます。

データは、次のようなさまざまな理由で破損したり、無効になったりする可能性があります。

- プロジェクトのインポート中のフィールドマッピングが正しくない
- タスクのスケジュールが正しくない
- 依存関係と関係の定義が正しくない

プロジェクト診断では、診断スキャンと修正スクリプトを使用して、プロジェクト内の破損したデータを検出して修正します。次のアクションを実行できます。

- 診断機能の作成および追加
- 診断スクリプトおよび修正スクリプトの追加破損または無効なプロジェクトデータを修正します。
- 診断スキャンの作成および関連スクリプトのマップ
- ユーザーが特定のフィルター条件を作成するためのフィールドを定義します。診断スクリプトはこれらのフィルター条件の結果を、破損または無効なデータを検出するための入力として使用します。

[プロジェクト診断] ページには、次の表で説明しているデフォルトのスキャンが表示されます。

プロジェクト診断のデフォルトスキャン

診断スキャン名	説明
トップタスクが無効なタスク	無効なトップタスクを持つタスクをリストします。トップタスクの値が **Null** に設定されているか、または階層内の別のタスクにマップされている場合、タスクは無効なトップタスクを持つと見なされます。
トップポートフォリオが無効なタスク	無効なトップポートフォリオを持つタスクをリストします。タスクが別のポートフォリオに属しているか、またはどのポートフォリオにも関連付けられていない場合、タスクは無効なトップポートフォリオを持つと見なされます。
トッププログラムが無効なタスク	無効なトッププログラムを持つタスクをリストします。タスクが同じポートフォリオ内の別のプログラムに属しているか、またはどのプログラムにも関連付けられていない場合、タスクは無効なトッププログラムを持つと見なされます。
無効な関係	プロジェクト内の無効な関係をリストします。 先行タスクまたは後続タスクがプロジェクトの一部でない場合 (外部関係である場合を除く)、または先行タスクまたは後続タスクのレコードがシステムに存在しない場合、関係は無効と見なされます。
親タスクの検証	親が空または無効なタスクをリストします。
循環依存関係を持つタスクの確認	プロジェクト内で許可されていない循環関係を確認します。たとえば、タスク A がタスク B に関連しているプロジェクトがあるとします。タスク B からタスク A への逆の関係は、循環依存関係と見なされます。
プロジェクトの再計算	プロジェクトのタスク日付を再計算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト診断のデフォルトスキャン (続く)

診断スキャン名	説明
	⚠ 警告: このアクションを実行すると、プロジェクトの日付が変更される可能性があります。
重複/冗長関係の確認	選択したプロジェクトで重複または冗長な関係を持つタスクをリストします。
会計期間の開始と終了がないコスト計画	選択したプロジェクト内で会計期間の開始と終了がないコスト計画を確認してリストします。
プロジェクトのプロジェクトタスク制約の検証	無効な制約タイプを持つすべてのタスクをリストします。たとえば、[以下以前に開始] が親として設定されているタスクや、[以下以降に開始] および [以下以前に開始] 制約があるタスクの [制約日] フィールドが空である場合などです。
無効なステータスのタスクの検証	実際の日付に基づいて、無効な WIP またはクローズ済みステータスのすべてのタスクをリストします。
対応する会計期間に予算が割り当てられていない年の計画コストがマイナスのプロジェクトを特定する	会計年度のプロジェクト予算がマイナスのプロジェクトをチェックして一覧表示します。
プロジェクト予算の不一致を特定する	プロジェクト資金がタスクタイプのブレークダウンコストまたは会計年度のプロジェクト予算の合計と一致しないプロジェクトをチェックして一覧表示します。
無効な会計期間があるコスト計画のブレークダウンを特定する	無効会計期間があるコスト計画ブレークダウンをチェックして一覧表示します。
経費タイプと会計期間の重複するタスクタイプブレークダウンを特定する	重複するタスクタイプブレークダウンをチェックして一覧表示します。
孤立経費明細をシステム生成コスト計画に関連付ける	コスト計画に関連付けられていない経費明細を一覧表示します。修正スクリプトを実行すると、これらの孤立経費明細がシステム生成コスト計画に関連付けられ、次にシステム生成コスト計画のそれぞれのブレークダウンに関連付けられます。

プロジェクト診断を使用した破損したプロジェクトデータの検出

プロジェクト診断では、アプリケーション診断ツールを使用して、無効な親を持つタスク、トップタスクのないタスク、プロジェクト内の無効な関係や循環関係などの、プロジェクト内の破損データを検出します。

始める前に

必要なロール：it_pps_admin

このタスクについて

プロジェクト診断では、プロジェクトの日付計算が正しくない可能性がないか、プロジェクトの計画立案コンソールが開かないことがないか、または計画立案コンソールにいくつかのタスクまたは関係が表示されないことがないかを検出することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 診断スキャンを単一のプロジェクトで実行するか、複数のプロジェクトで実行するかを決定します。

2. [アプリケーション診断ツール] ページで、診断機能を選択します。
3. [機能入力] の各フィールドを使用してフィルター条件を指定します。
4. [診断] セクションから、フィルター基準に一致するプロジェクトに対して単一の診断スキャンまたは複数のスキャンを実行します。

5. スキャンの結果を表示します。

次のタスク
独自の診断スキャンを追加し、スクリプトを修正します。

診断機能の作成および追加

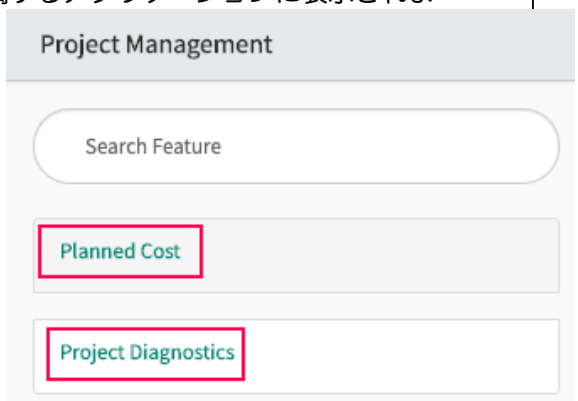
マップされたスクリプトを実行してデータの破損や無効なデータを検出する単一または複数の診断スキャンで構成される診断機能を作成して追加します。

始める前に
必要なロール：adt_admin

手順

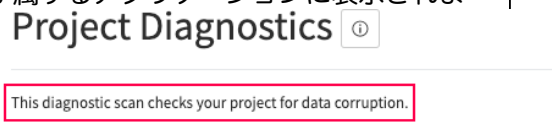
1. 移動先 すべて > アプリケーション診断ツール > さまざまな機能.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

診断機能フォーム

フィールド	説明
名前	診断機能の名前。この名前は、診断機能が属するアプリケーションに表示されます。 
有効	診断機能を有効にするためのオプション。
アプリケーション	この診断機能を関連付けるアプリケーションを検索して選択します。
ロール	診断機能へのアクセスを許可するユーザーロール。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

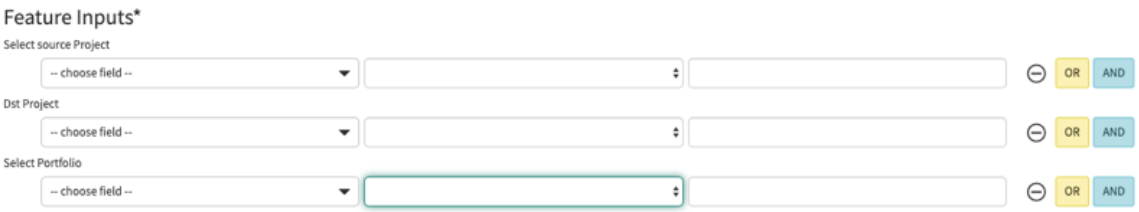
フィールド	説明
説明	診断機能のスキャンの詳細。説明は、診断機能が属するアプリケーションに表示されます。 

4. [診断入力] セクションで、フィルター条件を指定するためにユーザーが利用できるフィールドを定義します。

[診断入力] の各フィールド

フィールド	説明
ラベル	入力フィールドのラベルの名前。
フィールド タイプ	[参照] フィールドタイプ。
テーブル	条件で指定されたクエリを実行するテーブルの名前。
キー	ユーザー入力条件の識別子。ユーザーが複数の条件を指定した場合、このキーは各条件の一意の識別子として機能します。このキーは、診断スクリプトの *scanContext* セクションの入力として使用できます。 たとえば、**projectFilter** をキーとして指定した場合、診断スクリプトの *scanContext* セクションは、「var encodedQuery = scanContext.input.projectFilter;」のように表示されます。

[診断入力] セクションで設定したフィールドは、次の例に示すように、[アプリケーション診断ツール] ページの [機能入力] セクションに表示されます。



5. [送信] をクリックします。

次のタスク

診断スクリプトを作成し、診断機能で使用する修正スクリプトを追加します。詳細については、「診断スクリプトおよび修正スクリプトの追加」を参照してください。

診断スクリプトおよび修正スクリプトの追加

診断スクリプトを追加して、アプリケーションのデータに破損がないかどうかをスキャンします。修復スクリプトを添付して、診断スクリプトによって特定された破損または無効なデータを修正することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：adt_admin

このタスクについて
診断機能で指定したフィルター条件の結果は、実行時に診断スクリプトの入力として使用されます。1 つのスクリプトの結果を後続のスクリプトで使用することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション診断ツール > スクリプト.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

診断スクリプトフォーム

フィールド	説明
名前	診断スクリプトの名前。スクリプトの目的を明確に説明する名前を使用してください。スクリプト名を使用すると、診断スキャンの作成時にスクリプトを機能にマッピングするときに、正しいスクリプトを識別できます。
説明	診断スクリプトのアクションを説明する詳細。

診断スクリプト	診断スクリプトのコード。次の例は、無効なトップポートフォリオを持つタスクを特定する診断スクリプトを示しています。
	/*
	- Inputs can be accessed from scanContext.input as per, the key specified in feature input table.
	eg. scanContext.input.projectSysID
	- To pass variables from the one script to another script use varSpace in scanContext.
	eg. scanContext.varSpace.variable1 = '...';
	*/
	(function(scanContext) {
	try {
	var errorTasks = [];
	var encodedQuery = scanContext.input.projectFilter;
	var now_GR = new GlideRecord("pm_project");
	gr.addEncodedQuery(encodedQuery);
	gr.query();
	while (gr.next()) {
	var entitySysID = gr.getValue("sys_id");
	var projectData = new ProjectData(entitySysID);
	var projectTopTaskValidator = new ProjectTopTaskValidator(projectData);

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明

	if (projectTopTaskValidator.tasksWithInvalidTopPortfolioPresent()) {
	var failedTasks = projectTopTaskValidator.getTasksWithInvalidTopPortfolio();
	if (failedTasks && failedTasks.length) {
	for (var i = 0; i < failedTasks.length; i++) {
	errorTasks.push(failedTasks[i].sys_id);
	}
	}
	}

4. オプション: 診断スクリプトによって特定された破損または無効なデータを修正するためのスクリプトを含めます。
   a. [修正スクリプトあり] チェックボックスをオンにします。
   b. ユーザーロールの編集アイコン ( ) をクリックし、診断スクリプトにアクセスできるロールを選択します。
   c. [修正スクリプト] セクションで、修正スクリプトのコードを追加します。
5. [送信] をクリックします。

診断スキャンの作成および関連スクリプトのマップ

診断機能と診断スクリプトを作成したら、それらのスクリプトを診断スキャンにマップして、アプリケーションのデータの健全性を確認します。修正スクリプトを使用して、診断スキャンで特定された破損または無効なデータを修正します。

始める前に

診断スキャンを作成するには、診断機能と診断スクリプトを作成しておく必要があります。詳細については、「診断機能の作成および追加」および「診断スクリプトおよび修正スクリプトの追加」を参照してください。

必要なロール：adt_admin

このタスクについて

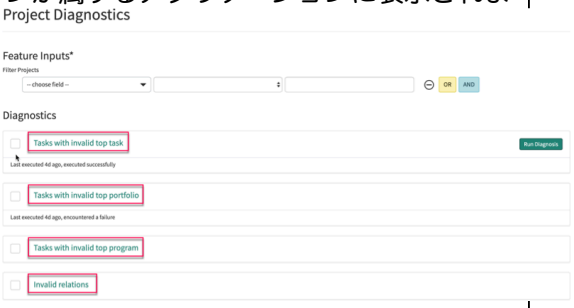
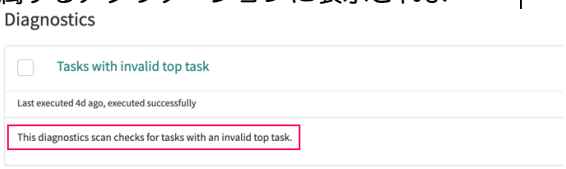
診断スキャンごとに複数のスクリプトをマッピングし、実行順序を定義できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション診断ツール > 診断.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

診断フォーム

フィールド	説明
名前	診断スキャンの名前。この名前は、この診断スキャンが属するアプリケーションに表示されます。 
有効	診断スキャンを有効にするためのオプション。
順番	この診断スキャンがアプリケーションに表示される順序。
機能	この診断スキャンを関連付ける診断機能。
ロール	診断スキャンにアクセスできるユーザーロールを追加または削除するためのオプション。
説明	診断スキャンの詳細。説明は、診断スキャンが属するアプリケーションに表示されます。 

4. ロールアイコン ( ) をクリックし、目的のロールを [選択済み] リストに移動します。
   選択したロールを持つユーザーは、診断スクリプトにアクセスできます。
5. [診断とスクリプトのマッピング] セクションで、診断スキャンにマッピングする診断スクリプトを検索して選択します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- アプリケーションの診断機能と診断スキャンに移動するための関連リンクを作成します。詳細については、「UI アクションの作成」を参照してください。
- 診断スキャンを実行し、結果を表示します。診断スキャンの仕組みの例については、「プロジェクト診断を使用した破損したプロジェクトデータの検出」を参照してください。

作業ブレークダウン構成 (WBS)

作業ブレークダウン構成 (WBS) は、プロジェクト内のすべてのタスクを階層的に表したものです。

WBS を使用すると、プロジェクトにネストされたタスクやサブタスクを含む、プロジェクト全体の簡単な概要を把握できます。ガントビューは、タスクの依存関係や長さを示すラインやバーなどのグラフィカル要素を使用して、同様の概要を提供します。WBS はよりデータ駆動型であり、広範なタスク情報を展開可能な行に表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WBS は、計画立案コンソールで表示するか、プロジェクトフォームまたはプロジェクトタスクフォームの関連リストとして表示できます。「プロジェクト計画立案コンソールを開く」または「関連リストとしての WBS へのアクセス」を参照してください。

WBS をプロジェクトフォームまたはプロジェクトタスクフォームの関連リストとして表示すると、テーブルのいくつかの重要な列がデフォルトで表示されます。

重要な列

列名	説明
WBS	WBS 階層内のタスクの番号。階層の最初のタスクには番号 1 が割り当てられます。サブタスクは、1.1 や 1.2 のように、小数第 1 位の番号がインクリメントされます。番号は読み取り専用です。
WBS 順序	親との関連でタスクを表す番号。タスクの下にある最初のサブタスクの WBS 順序は 1 で、次のタスクは 2 です。番号を編集すると、リストを更新した後に、それに応じてすべてのタスクが移動されます。
番号	タスク ID 番号。変更できません。

説明や完了率など、その他の有用な情報もデフォルトで表示されます。リストを他のリストと同じようにカスタマイズするには、リストをカスタマイズアイコン ( ) をクリックし、表示する列を選択します。

関連リストとしての **WBS** へのアクセス

WBS は、プロジェクトフォームとプロジェクトタスクフォームのいずれの関連リストとしても表示できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

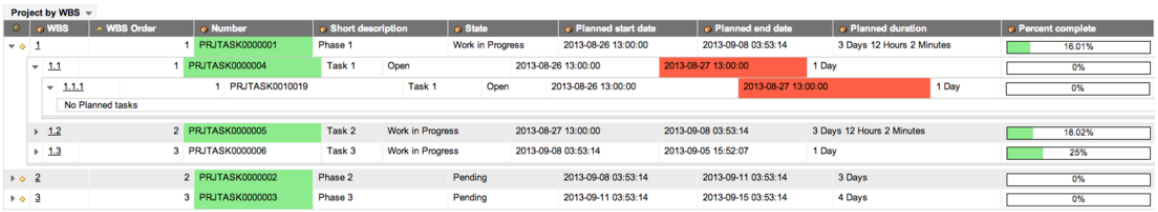
このタスクについて
WBS の完全なリストを表示するには、プロジェクトフォームに移動し、[計画立案コンソール] 関連リンクをクリックします。計画立案コンソールで WBS を使用して実行できる操作のリストについては、「計画立案コンソールのタスク」を参照してください。

WBS は、プロジェクトフォームまたはプロジェクトタスクフォームの関連リストとして表示することもできます。

手順

1. プロジェクトフォームまたはプロジェクトタスクフォームに移動します。
2. ヘッダーを右クリックし、[表示] > **[WBS]** を選択します。
   WBS リストが関連リストとして表示されます。
3. WBS で、矢印アイコン ( ) をクリックしてタスクを展開し、子タスクを表示します。

デモプロジェクト **WBS**



自動翻訳

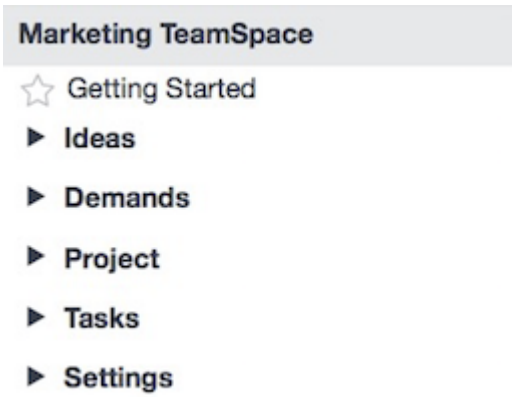
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チームスペース

チームスペースは、インスタンスアプリケーションナビゲーターにアプリケーションとして表示されます。チームスペースには、プロジェクト、アイデア、デマンド、プログラム、およびポートフォリオアプリケーションなどの Project Portfolio Management アプリケーションからのモジュールリンクが含まれています。

チームスペースを使用して、組織内の異なるチーム間でこれらのアプリケーションの機能とデータの分離を実現します。マーケティングチームのチームスペースの例を次に示します。

チームスペースの例



チームスペースの有効化

チームスペース機能を使用するには、チームスペースプラグインを有効化する必要があります。次のチームスペースプラグインを利用できます。

- **Project Management TeamSpace 1** (com.snc.ppm_teamspace_1)
- **Project Management TeamSpace 2** (com.snc.ppm_teamspace_2)
- **Project Management TeamSpace 3** (com.snc.ppm_teamspace_3)
- **Project Management TeamSpace 4** (com.snc.ppm_teamspace_4)
- **Project Management TeamSpace 5** (com.snc.ppm_teamspace_5)

これらのプラグインとともにロードされたチームスペースには同じコンポーネントが含まれていますが、コンポーネントのプリフィックスは異なります。たとえば、チームスペース 1 には **[Teamspace_1** プロジェクト **[tsp1_project]]** という名前のプロジェクトテーブルが含まれ、チームスペース 5 には **[Teamspace_5** プロジェクト **[tsp5_project]]** という名前のプロジェクトテーブルが含まれます。

これらのチームスペースのいずれかまたはすべてを有効にし、チームスペースを使用する必要があるグループ内の関連ユーザーにチームスペース固有のロールをアサインすることができます。プラグインを使用して最大 5 つのチームスペースを作成できます。

チームスペースのカスタマイズ

他のチームスペースに影響を与えることなく、チームスペースのプロジェクト部分とデマンド部分をカスタマイズできます。次の表に、カスタマイズが可能なものを要約しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チームスペースのカスタマイズ

チームスペース内のプロジェクトまたはデマンドのカスタマイズ	サポートの可否
データモデルの変更 (プロジェクトフォームまたはデマンドフォームへのフィールドの追加など)。	はい
ビジネスルール、UI アクション、UI ポリシー、セキュリティルール、データポリシー、およびワークフローの変更。	はい
共有ロール (project_manager、demand_manager など) の変更。	はい
フォームとリストのレイアウト、リストコントロール、および関連リスト	はい
辞書オーバーライド	あり

チームスペースの有効化

チームスペース機能を使用するには、チームスペースプラグインの 1 つまたはすべてを有効化する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

チームスペース機能を使用するには、チームスペースプラグインを有効化する必要があります。次のチームスペースプラグインを利用できます。

- **Project Management TeamSpace 1** (com.snc.ppm_teamspace_1)
- **Project Management TeamSpace 2** (com.snc.ppm_teamspace_2)
- **Project Management TeamSpace 3** (com.snc.ppm_teamspace_3)
- **Project Management TeamSpace 4** (com.snc.ppm_teamspace_4)
- **Project Management TeamSpace 5** (com.snc.ppm_teamspace_5)

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

チームスペースと一緒のインストール

プロジェクトチームスペースとともにインストールされるテーブルとロールには、チームスペースの名前に基づく省略形がプリフィックスとして追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル

テーブルは、プロジェクト、アイデア、およびデマンドベースアプリケーションテーブルから拡張されます。

チームスペースと一緒にインストールされるテーブル

テーブル	説明
アイデア [prefix_idea]	アイデアを格納します。
デマンド [prefix_demand]	デマンドを格納します。
プロジェクト [prefix_project]	プロジェクトを格納します。
ポートフォリオ [prefix_portfolio]	ポートフォリオを格納します。
プロジェクトタスク [prefix_project_task]	プロジェクトタスクを格納します。
ポートフォリオ目標 [prefix_portfolio_goal]	ポートフォリオ目標を格納します。
ポートフォリオ問題 [prefix_portfolio_issue]	ポートフォリオ問題を格納します。
ポートフォリオリスク [prefix_portfolio_risk]	ポートフォリオリスクを格納します。
ポートフォリオプロジェクト [prefix_portfolio_project]	ポートフォリオプロジェクトを格納します。
プロジェクトテンプレート [prefix_project_template]	プロジェクトテンプレートを格納します。 **注:** チームスペースエリアで作成されたプロジェクトテンプレートは、メインのプロジェクト管理 (PM)アプリケーションでは使用できなくなりました。これらのテンプレートは、作成されたチームスペースでのみ使用できます。
プロジェクトテンプレートタスク [prefix_project_template_task]	プロジェクトテンプレートタスクを格納します。
ステークホルダー登録 [prefix_stakeholder_register]	ステークホルダーを格納します。
プログラム [prefix_pm_program]	プログラムを格納します。
プログラムタスク [prefix_pm_program_task]	プログラムタスクを格納します。
プログラムタスク [prefixpm_program_task project_status]	プログラムタスクのプロジェクトステータスを格納します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール

チームスペースと一緒にインストールされるロール

ロール	説明
プリフィックス_demand_manager	チームスペースのデマンド機能のマネージャー。
プリフィックス_demand_user	チームスペースのデマンド機能のユーザー。
プリフィックス_project_manager	チームスペースのプロジェクト機能のマネージャー。
プリフィックス_project_portfolio_user	チームスペースのプロジェクトポートフォリオのユーザー。
プリフィックス_project_user	チームスペースのプロジェクト機能のユーザー。
プリフィックス_program_manager	チームスペースのプログラム機能のマネージャー。
プリフィックス_portfolio_manager	チームスペースのポートフォリオ機能のマネージャー。

チームスペースアプリケーションでは、プロジェクト、アイデア、およびデマンドベースアプリケーションで提供されるものと同じビューを使用します。

注:
これらのベースアプリケーションが使用するデフォルトのクライアントスクリプトは、チームスペースアプリケーションの拡張テーブルに継承されます。いずれかのベースアプリケーション用にカスタムクライアントスクリプトを作成した場合は、チームスペースを作成する前に、各クライアントスクリプトフォームで [継承済み] オプションを選択します。

チームスペース設定の構成

チームスペースプラグインを有効にした後、チームスペース設定を構成します。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > チームスペース.
2. チームスペース名をクリックします。
3. 必要に応じてチームスペース名を変更します。
   名前を変更すると、アプリケーションメニューに表示されるタイトルのみが変更されます。テーブル名やロール名など、他のコンポーネントの名前は変更されません。
4. [テーブル]、[ロール]、および [アプリケーションメニュー] 関連リストで、チームスペースのテーブル、ロール、およびアプリケーションモジュールを追加または変更できます。

タスクの結果
チームスペースがメニューで利用可能になります。チームスペースにアサインされたレコード (プロジェクト、ポートフォリオ、デマンドなど) は、自動的にチームスペースに追加されます。

次のタスク
チームスペースロールを、そのチームスペースのユーザーにアサインします。プロジェクトポートフォリオスイートのアプリケーションに付属する一般的なロールをアサインしないでください。

プロジェクトワークベンチ

プロジェクトワークベンチは、プロジェクトを作成および管理するための一元的な場所を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークベンチは、プロジェクト管理 (PM)およびアプリケーションのライフサイクル管理アプリケーションをサポートしているため、ハイブリッドアプローチによるプロジェクト管理が可能です。プロジェクトマネージャーは、ウォーターフォールとアジャイルの両方の手法を組み合わせたプロジェクトを作成し、これらのプロジェクトにウォーターフォール、アジャイル、およびテストのフェーズを追加できます。

プロジェクトワークベンチでは、プロジェクト情報が 2 つのペインに表示されるため、プロジェクトを簡単に管理できます。上部ペインには、プロジェクトフェーズとマイルストーンを含むタイムラインが表示されます。下部ペインには、タイムラインで選択されたフェーズの詳細が表示されます。プロジェクトワークベンチは、タイムライン、リストビュー、およびビジュアルタスクボード間のリアルタイムインタラクションを実現します。

プロジェクトワークベンチは、次の機能もサポートしています。

- プロジェクトテンプレート：プロジェクトマネージャーは、プロジェクトの基本構造を定義するテンプレートに基づいて、プロジェクトを迅速かつ簡単に作成できます。
- 手動によるプロジェクト計算：ワークベンチでは、手動計算を使用するプロジェクトを作成する機能が追加されます。プロジェクトマネージャーは、プロジェクト管理 (PM)アプリケーションから自動計算されるプロジェクトを作成することもできます。
- 複合フィールド：このフィールドタイプは、テーブル内の 2 つのフィールドからの情報を組み合わせて単一のフィールドを形成します。

プロジェクトマネージャーロールでは、プロジェクトワークベンチを使用して次のことができます。

- プロジェクトを管理します。
- プロジェクトフェーズとマイルストーンを作成および更新します。
- グループをアジャイルフェーズにアサインします。
- プロジェクトタスク、ストーリー、およびテストケースを作成および更新します。
- テスト計画をテストフェーズに添付します。
- リストビューまたはビジュアルタスクボードからプロジェクトの詳細を表示および管理します。

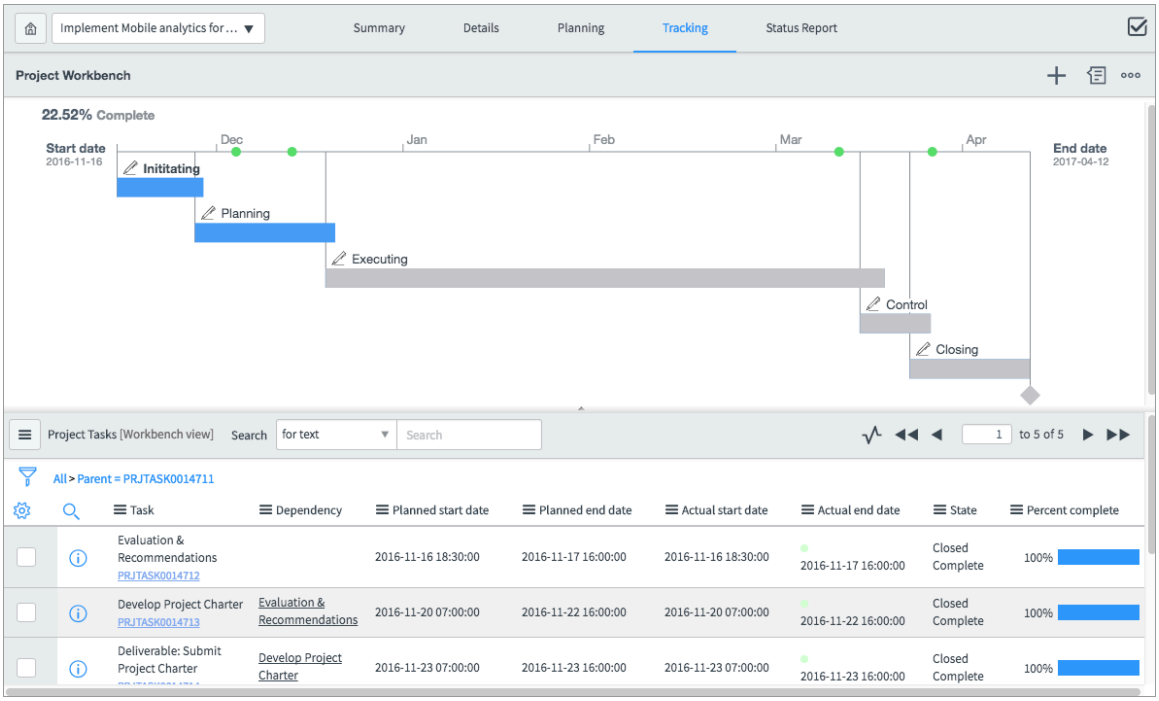
プロジェクトワークベンチでは、プロジェクト情報が 2 つの異なる領域に表示されます。上部ペインにはプロジェクトがビジュアル化して表示され、下部ペインにはフェーズの詳細がリストビューまたはビジュアルタスクボードに表示されます。ワークベンチの上には、いくつかのボタンとコントロールを含むヘッダーもあります。

プロジェクトワークベンチは、使用可能なブラウザの高さに合わせて拡大縮小されます。必要に応じて、ワークベンチの詳細を表示するスクロールバーが追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークベンチ



プロジェクトワークベンチへのアクセス

プロジェクトワークベンチには、プロジェクトフォームまたはアプリケーションナビゲーターからアクセスします。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

プロジェクトワークベンチには、次のいずれかの方法でアクセスします。

> **注:**
> sys_id が関連付けられていないか、または不正な sys_id でプロジェクトワークベンチが開くと、エラーメッセージが表示されます。プロジェクトワークスペースバナーのプロジェクト選択リストからプロジェクトを選択します。

プロジェクトワークベンチのコンポーネント

プロジェクトワークベンチでは、プロジェクト情報が 2 つの異なる領域に表示されます。上部ペインにはプロジェクトがビジュアル化して表示され、下部ペインにはフェーズの詳細がリストビューまたはビジュアルタスクボードに表示されます。ワークベンチの上には、いくつかのボタンとコントロールを含むヘッダーもあります。

プロジェクトワークベンチは、使用可能なブラウザの高さに合わせて拡大縮小されます。必要に応じて、ワークベンチの詳細を表示するスクロールバーが追加されます。

ヘッダー

ヘッダーは、プロジェクトワークベンチの上部を横断する灰色のバーです。

ユーザーが [プロジェクト] メニューからプロジェクトワークベンチに初めてアクセスすると、ヘッダーに次のコンポーネントが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトを開くと、選択したプロジェクトのタイプに応じて、ヘッダーに追加のコンポーネントが表示されます。

- 戻る ( ) : プロジェクトフォームに移動して、プロジェクトの詳細を表示します。
- プロジェクトを選択 : 現在のプロジェクト名が表示されます。下向き矢印をクリックして、新しいプロジェクトを選択します。
- フェーズを追加アイコン ( ) : フェーズまたはマイルストーンをタイムラインに追加します。
- テンプレートを適用 : 開始日の設定およびプロジェクトへのテンプレートの追加を行うためのダイアログボックスが開きます。このボタンは、新規またはフェーズのない空のプロジェクトに表示されます。
- ストーリーを管理 : オプションアイコン ( ) の下に、このプロジェクトのストーリーバックログが表示されます。
- リスト : オプションアイコン ( ) の下に、現在選択されているフェーズに関する追加の詳細がリストビューに表示されます。このボタンは、プロジェクトに 1 つ以上のフェーズがある場合に表示されます。
- **VTB** : オプションアイコン ( ) の下に、現在選択されているフェーズに関する追加の詳細がビジュアルタスクボードに表示されます。このボタンは、プロジェクトに 1 つ以上のフェーズがある場合に表示されます。

タイムライン

プロジェクトワークベンチの上部ペインには、プロジェクトのタイムラインが表示されます。タイムラインは、月次または四半期ごとのマーカーを使用して時間を表します。プロジェクトの期間が 500 日未満の場合、これらのマーカーは月を表し、期間が 500 日を超える場合、これらのマーカーは四半期を表します。

プロジェクトタイムラインには、次のプロジェクト情報が表示されます。

- プロジェクト名 : プロジェクトにアサインされた名前。プロジェクト名をポイントすると、このプロジェクトで使用されるプロジェクト日付の計算方法に関するメッセージが表示されます。
- 完了率 : 完了したプロジェクトの割合。このパーセンテージは、個々のフェーズの期間と完了率に基づいています。
- プロジェクトの開始日と終了日 : このプロジェクトの [開始予定日] フィールドと [終了予定日] フィールドで指定された日付。
- プロジェクトフェーズ : プロジェクトの各種フェーズを表す色付きのバー。
- マイルストーン : プロジェクトライフサイクルの重要な日付を表す、タイムライン上の色付きの動的な円。

タイムラインのフェーズ

プロジェクトフェーズは、タイムラインに水平バーで表されます。バーは、フェーズの開始日を示す細い縦線でタイムラインにつながっています。フェーズの名前が水平バーのすぐ上に表示されます。プロジェクトフェーズは、開始日、フェーズ、および一番上に表示される最も早い開始日でタイムラインに積み重ねられます。タイムラインに収まらないフェーズがある場合は、右側にスクロールバーが表示されます。

水平バーの色は、フェーズの完了率を反映して段階的に変化します。完了率は、次のフェーズタイプに基づいて計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウォーターフォール：プロジェクトタスクが含まれます。完了率は、完了したプロジェクトタスクの数に基づきます。
- アジャイル：ストーリーが含まれます。完了率は、完了したストーリーポイントの数に基づきます。
- テスト：テストケースが含まれます。完了率は、完了したテストケースの数に基づきます。

利用可能なフェーズは、プロジェクト管理 (PM)のインストール方法によって異なります。プロジェクト管理 (PM)がスタンドアロンアプリとしてインストールされている場合、プロジェクトマネージャーは、ウォーターフォールフェーズタイプの作成と編集のみを行うことができます。プロジェクト管理 (PM)が プロジェクトポートフォリオ管理 (PPS) の一部としてインストールされている場合、プロジェクトマネージャーは、すべてのフェーズタイプ (ウォーターフォール、アジャイル、およびテスト) を作成および編集できます。

フェーズをポイントすると、カーソルが矢印から手に変わり、ポップアップウィンドウにフェーズ名および開始日と終了日が表示されます。タイムラインのフェーズをクリックすると、対応するタスク情報がプロジェクトワークベンチの下部ペインに表示されます。

注:

- [アジャイルフェーズの追加] オプションは、アジャイルおよびハイブリッドプロジェクトでのみ使用できます。Agile Development 2.0 プラグインもインストールしておく必要があります。
- 複数のアジャイルフェーズと複数のテストフェーズをプロジェクトに追加できます。
- プロジェクトのテスト計画に追加できるテストフェーズは 1 つだけです。[テストフェーズの追加] オプションを表示するには、テスト管理 プラグインがインストールされている必要があります。
- アジャイルフェーズは、プロジェクト内のアサイン先グループの別のアジャイルフェーズと重複することはできません。
- ストーリーの作成中に、プロジェクトにフェーズが 1 つしかない場合、ストーリーはフェーズにタグ付けされます。

タイムラインのマイルストーン

マイルストーンはプロジェクトの重要な日付を示し、タイムラインに沿って色付きの円で表されます。マイルストーンに使用できる色は、緑色、黄色、および赤色の 3 つです。プロジェクトマネージャーが、色の使用方法を決定します。

マイルストーンをポイントすると、カーソルが矢印から手に変わり、簡単な説明と開始予定日を示すポップアップウィンドウが表示されます。

マイルストーンをクリックして、マイルストーン情報を更新します。タイムラインに沿ってマイルストーンをドラッグして日付を変更することもできます。マイルストーンは、タイムライン上のプロジェクトの開始日と終了日の境界内の、任意のポイントにドラッグできます。

詳細ビュー

プロジェクトワークベンチの下部ペインには、タイムラインで現在選択されているフェーズの詳細情報が表示されます。表示される情報は、選択されているフェーズタイプによって異なります。

- ウォーターフォール：フェーズに関連付けられたプロジェクトタスクを表示します。
- アジャイル：フェーズにアサインされたストーリーを表示します。
- テスト：テストフェーズのテストケースを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

下部ペインの情報は、リストビューまたはビジュアルタスクボードに表示できます。プロジェクトワークベンチのヘッダーの [リスト] ボタンと **[VTB]** ボタンは、この情報の表示方法を制御します。

プロジェクト計算

プロジェクトの作成時、プロジェクトマネージャーは使用する計算のタイプとして、手動または自動 (デフォルト) を選択できます。

プロジェクトワークベンチには、現在のプロジェクトが自動で計算されるか手動で計算されるかを説明するヘルプテキストが表示されます。ヘルプテキストは、プロジェクトワークベンチページがロードされたとき、またユーザーが左上隅のプロジェクト名をポイントしたときにも表示されます。

手動計算の場合：

- タスクの日付には、依存タスクの変更が自動的に反映されません。
- プロジェクトワークベンチから作成された新規プロジェクトおよびデマンドから作成されたプロジェクトは、デフォルトで手動計算に設定されています。手動として作成されたプロジェクトは、自動に変更できます。
- プロジェクトのタイムラインには、プロジェクトタスクに基づく最も早い開始予定日と最も遅い終了予定日が反映されます。
- 制約タイプは変更できません。
- プロジェクトタスクでは、[特定の日に開始] 制約タイプのみが許可されます。

自動計算の場合：

- 依存タスクおよび子タスクの変更がタスクに自動的に反映されます。
- プロジェクト管理 (PM)アプリケーションから作成された新規プロジェクトは、デフォルトで自動計算に設定されています。

注:

- 1 つ以上のタスクが自動として作成されているプロジェクトは、手動に変換できません。
- フェーズの完了率とステータスは、手動計算と自動計算の両方で自動的に更新されます。

プロジェクトワークベンチのアクション

プロジェクトワークベンチを使用すると、プロジェクトマネージャーはプロジェクトのあらゆる要素を管理できます。

プロジェクトワークベンチでプロジェクトを開く

プロジェクトマネージャーは、既存のプロジェクトをプロジェクトワークベンチで開くことができます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

手順

1. プロジェクトワークベンチのヘッダーの上にあるプロジェクトワークスペースバナーで、プロジェクトセレクターボックスの下矢印をクリックします。
2. 選択リストからプロジェクトを選択します。
   選択したプロジェクトが、プロジェクトワークスペースの [計画] タブの下のプロジェクトワークベンチで開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークベンチでのプロジェクトタスクの作成

ウォーターフォールフェーズのプロジェクトタスクを作成します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトワークベンチでプロジェクトタスクを作成する際、時間制約タイプはプロジェクトタイプに基づいてデフォルト設定されます。

- 手動プロジェクトの場合、デフォルトの制約は [開始日時 (Start On)] であり、変更することはできません。
- 自動プロジェクトの場合、デフォルトの制約は [すぐに開始] で、必要に応じて [開始日時 (Start On)] に変更できます。
- 制約が [すぐに開始] の場合、 [開始予定日] は無効になります。
- アジャイルフェーズを作成してスプリントを関連付けると、タスクの開始日がスプリントの開始日から設定され、制約が自動的に [開始日時 (Start On)] になります。

手順

1. プロジェクトワークベンチのタイムラインでウォーターフォールフェーズをクリックします。
2. 詳細ビューで [新規] をクリックします。
3. プロジェクトタスクフォームに入力します。
4. [送信] をクリックします。

プロジェクトワークベンチでのプロジェクトストーリーの管理

プロジェクトポートフォリオ管理 と Agile Development 2.0 が有効になっている場合、プロジェクトマネージャーはプロジェクトワークベンチから、プロジェクトのストーリーを管理できます。

始める前に
プロジェクトポートフォリオ管理 プラグインと Agile Development 2.0 プラグインを有効にします。

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトワークベンチの [ストーリーを管理] オプションを使用して、プロジェクトのストーリーを管理します。

手順

1. プロジェクトワークベンチのヘッダーで、オプションアイコン ( ) をクリックし、[ストーリーを管理] をクリックします。
   アジャイルボードの [バックログ] セクションが新しいタブで開きます。
2. ストーリーをクリックしてポップアップウィンドウでストーリーフォームを開くか、[新規] をクリックして新しいストーリーを作成します。
3. ストーリーフォームのフィールドに入力します。
4. [更新] または [送信] をクリックします。

プロジェクトワークベンチでのストーリーの作成

アジャイルフェーズのストーリーを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. プロジェクトワークベンチのタイムラインでアジャイルフェーズをクリックします。
2. 詳細ビューで [新規] をクリックします。
3. ストーリーフォームに記入します。
4. [送信] をクリックします。

プロジェクトワークベンチでのテストケースの作成

テスト計画を指定することは、テストフェーズの作成時には任意です。ただし、テストケースをテストフェーズに追加する前に、テスト計画を指定する必要があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. プロジェクトワークベンチのタイムラインでテストフェーズをクリックします。
2. 詳細ビューで [新規] をクリックします。
3. テストケースフォームに入力します。
4. [送信] をクリックします。

投資ポータル

プロジェクトとデマンドを予算内で予定どおりに完了するのは難題です。投資ポータルでは、直観的なユーザーインターフェイスでプロジェクトとデマンドの財務、期限、およびその他の重要な測定基準を包括的に把握できるため、プロジェクトとデマンドの管理をより効率的に行うことができます。

投資 (プロジェクトとデマンドの両方) を追跡および管理し、投資レポートを作成してメールで共有するのは時間がかかり、非効率的です。レポートを生成するには、プロジェクトマネージャーとデマンドマネージャーからプロジェクトとデマンドのステータスを取得し、レポートを生成して、メールで送信する必要があります。

投資ポータルを使用すると、フィルター定義を使用して投資ボードを作成し、それを他のステークホルダーと共有できます。必要に応じてボードを作成、クローン、または変更することで、新しい投資の時間を節約できます。フィルタリングを使用すると、情報を臨機応変に表示して、レポートを作成することが容易になります。

以下に、投資ポータルを使用することで管理とレポート作成をより効率的にする方法の例をいくつか示します。

- アプリケーションストアを起動する場合は、プログラムの全体的な進捗状況を監視し、ボトルネックの原因となっているプロジェクトを明らかにすることができます。
- 新しいビジネスアプリケーションの場合は、今後数週間、数か月、または数年間の投資ロードマップを確認および編集できます。
- 重要な戦略的イニシアチブについては、前年に達成したことを確認し、次の 18 か月の計画を立てることができます。

投資ポータルは、次のセクションに分かれています。

バナーアイコン

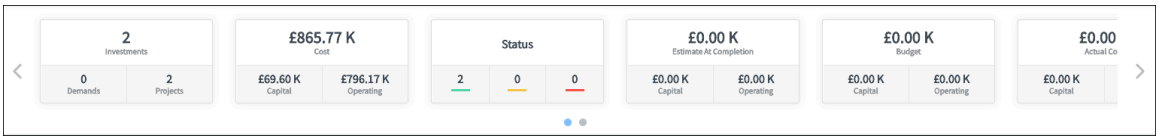
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

投資ポータルのヘッダーにあるバナーアイコンを使用して、投資ボードを編集、コピー、削除、ブックマークし、他のメンバーやグループと共有することができます。詳細については、「主要な投資の追跡」を参照してください。

投資ウィジェット

構成可能な投資ウィジェットを使用して、総コスト、実績コスト、および予算などの重要な測定基準を表示できます。



主要なタブ

次のタブを使用して、プロジェクトとデマンドの重要な要素を 1 つの場所で追跡できます。

- 概要：プロジェクトとデマンドの概括的なサマリー。グリッドの情報は、プロジェクトおよびデマンドフォームのフィールドに基づいています。
- タイムライン：ガントビューの主要なマイルストーン。ガントビューは、タスクの依存関係や長さを示すラインやバーなどのグラフィカル要素を使用して、プロジェクトの概要を示します。

  このタブの作業ブレークダウン構成 (WBS) には、マイルストーンと主要なマイルストーンのみが表示されます。

- 財務：年次、月次、四半期ごとの形式で、プロジェクトとデマンドに関連付けられたコスト計画に基づいた、プロジェクトとデマンドのコストの詳細なブレークダウン。

  このタブは、it_project_manager ロールを持つユーザーにのみ表示されます。

注:

投資ポータルのロード時間は、定義されたクエリに一致するデマンドまたはプロジェクトの数と、それらに関連するエンティティ (コスト計画やブレークダウンなど) に直接依存します。通常、ボードのパフォーマンスは約 50 のプロジェクトまたはデマンドと、各プロジェクトに 10 ～ 15 のコスト計画が含まれている状態で最適です。

アプリケーションは、フェッチされるレコードの数を制限しません。したがって、パフォーマンスに影響を与えないように、最適な数のレコードがフェッチされるようにクエリを定義することをお勧めします。

1 つの場所でのすべての投資ボードの表示

[自分の投資ビュー] ページを使用して、すべての重要な投資ボードを 1 つの場所に表示します。

投資ポータルモジュールを開くと、[自分の投資ビュー] ページが表示され、次の操作を実行できます。

- フィルター条件を使用して投資ボードを作成します。
- 投資ボードのウィジェットを表示します。
- 名前または所有者で投資ボードを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ポートフォリオやプログラムなど、適用されたフィルターに基づいて異なるカラーバンドでボードを表示します。たとえば、次のスクリーンショットにあるカードの緑色のカラーバンドは、プロジェクトとデマンドがポートフォリオでフィルターされていることを示します。
- 投資ボードをドリルダウンして、そのプロジェクトとデマンドをコスト、スケジュール、およびスコープの観点からレビューします。

タブ

タブを使用すると、投資ボードにすばやくアクセスできます。

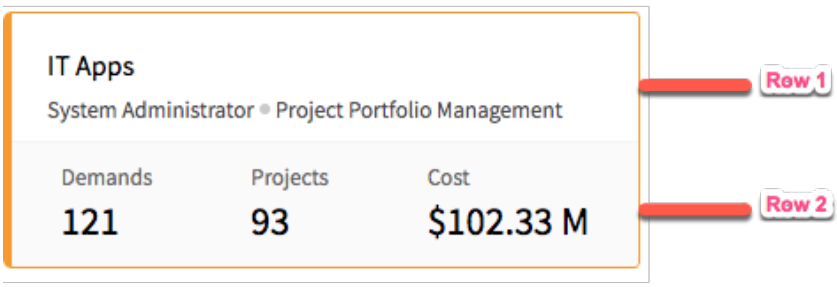
- 最近：最近アクセスした投資ボード。
- ブックマーク済み：ブックマークされた投資ボード。
- 自分が作成：所有している投資ボード。
- 自分に共有：自分と共有されている投資ボード。

投資ボード

投資ボードの主な詳細は次のとおりです。

- 行 **1**：ボードの名前、所有者、およびタイプ。
- 行 **2**：すぐに使用できるいくつかの投資測定基準。この行に表示される測定基準の数は固定ですが、どの測定基準を表示するかは設定できます。

投資ボードの例



投資ボードの作成

定義したフィルター基準を使用してパーソナライズされた投資ボードを作成し、自分にとって重要なプロジェクトとデマンドを表示します。

始める前に

必要なロール：it_project_manager または it_project_user

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > 投資ポータル.
2. [自分の投資ビュー] ページで、[新規] をクリックします。
3. 新規作成ウィンドウで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
投資ボードが作成されると、投資ポータルページで開きます。

注:
デフォルトでは、投資ボードには、[デフォルトで含める] チェックボックスがオンになっているウィジェットが含まれています。[ウィジェット構成] を使用して、投資ボードのウィジェットを追加または削除できます。

主要な投資の追跡

投資ポータルを使用して、投資のコスト、スケジュール、およびスコープを 1 つの場所で追跡および分析します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager または it_project_user

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > 投資ポータル.
2. [自分の投資ビュー] ページから、投資レポートを作成し、投資ポータルに移動します。
3. 次のバナーアイコンを使用します。

4. [概要]、[タイムライン]、および [財務] タブで次のアクションを実行します。

ウィジェットとしての投資測定基準の設定

ビジネス要件に基づいて投資測定基準を設定します。これらの測定基準は、[投資ポータル] ページにウィジェットとして表示されます。

始める前に
必要なロール：pps_admin

手順

1. 移動先 プロジェクト管理 > 投資ポータルウィジェット.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ポータルボードウィジェットフォーム

フィールド	説明
名前	構成するウィジェットの一意の名前。
順番	ウィジェットが投資ボードと [投資ポータル] ページの両方に表示される順序。小さい数値は大きな数値より前に配置されます。 たとえば、順序が 100 に設定されたウィジェットは、順序が 200 に設定されたウィジェットの前に表示されます。
集計タイプ	投資ウィジェットの計算に適用される集計のタイプ： 合計、平均、最小、最大、およびカウント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、A、B、C の 3 つのプロジェクトの実績コストを集計し、フィルターで表示するとします。実績コストは、プロジェクト A が 1000、プロジェクト B が 2000、プロジェクト C が 3000 です。 集計タイプとして合計が選択されている場合、実績コストの測定基準値は 6000 になります。集計タイプとして平均が選択されている場合、実績コストの測定基準値は 2000 になります。集計タイプとして最小が選択されている場合、実績コストの測定基準値は 1000 になります。集計タイプとして最大が選択されている場合、実績コストの測定基準値は 3000 になります。集計タイプとしてカウントが選択されている場合、実績コストの測定基準値は 3 になります。
スクリプト化	投資ウィジェット計算のスクリプトを指定するためのチェックボックス。
ラベルを表示	ラベルまたはカラーインジケーターを表示するためのチェックボックス。 このチェックボックスをオフにすると、[色] フィールドが表示され、色を設定できます。
有効	投資ウィジェットがアクティブであることを示すためのチェックボックス。
ボードに表示	投資ボードに投資ウィジェットを表示するためのチェックボックス。
親ウィジェット	この投資測定基準ウィジェットの親ウィジェット。親ウィジェットは、最大 3 つの子ウィジェットを持つことができます。
デフォルトで含める	アクティブな投資ウィジェットの表示をデフォルトでオンにするためのチェックボックス。 ○ 新しいボード ○ ウィジェット選択が構成されていない既存のボード チェックボックスはデフォルトでオンになっています。 投資ボードでウィジェットを構成する方法の詳細については、「ウィジェット構成」を参照してください。
簡単な説明	投資ウィジェットに関する簡単な説明。
スクリプト	投資ウィジェットの動的計算用に作成されたスクリプト。このフィールドは、[スクリプト化] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。 次のスクリプトは、ウィジェットに表示する目的の出力を含む文字列を返します。次の 5 つの変数 (プログラムによりスクリプトに組み込まれる) が利用可能です。 ○ projectFilter：投資ポータルボードのプロジェクトフィルター。 ○ demandFilter：投資ポータルボードのデマンドフィルター。 ○ projectClass：チームスペース値の評価時に使用される投資ポータルボードのプロジェクトクラス。Teamspace1 ポータルボードの tsp1_project を返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明

	○ demandClass：チームスペース値の評価時に使用される投資ポータルボードのデマンドクラス。Teamspace1 ポータルボードの tsp1_demand を返します。
	○ boardSysId：投資ポータルボードの SysId。必要に応じて、投資ポータルボードの詳細情報へのアクセスを提供します。
	プロジェクトコストのスクリプト化されたウィジェットのサンプル
	`totalProjectCost();`
	
	`function totalProjectCost()`
	`{`
	`  var totalCost = 0;`
	
	`  if(!JSUtil.nil(projectClass) && !JSUtil.nil(projectFilter))`
	`{`
	`  var projectGa = new GlideAggregate(projectClass);`
	`  projectGa.addEncodedQuery(projectFilter);`
	`  projectGa.setGroup(false);`
	`  projectGa.addAggregate('SUM', 'cost');`
	
	`  projectGa.query();`
	
	`  if(projectGa.next())`
	`{`
	`  if(projectGa.getAggregate('SUM', 'cost'))`
	`  totalCost += parseFloat(projectGa.getAggregate('SUM', 'cost'));`
	`  }`
	`  }`
	`  return PPMCurrencyHelper.defaultCurrencySymbol() +`
	`PPMCurrencyHelper.getFormattedAmount(totalCost);`
	`}`

プロジェクト	
プロジェクト集計列	集計は、プロジェクト [pm_project] テーブルの選択した列に適用されます。
プロジェクトテーブル	プロジェクトがフィルターされるテーブル。
プロジェクトフィルター	プロジェクトテーブルからプロジェクトをフィルターするために適用される基準。
デマンド	
デマンド	集計は、デマンド [dmn_demand] テーブルの選択した列に適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計列	
デマンドテーブル	デマンドがフィルターされるテーブル。
デマンドフィルター	デマンドテーブルからデマンドをフィルターするために適用される基準。

4. [送信] をクリックします。

プロジェクトのインポートとエクスポート

プロジェクトは、Microsoft Project と ServiceNow プロジェクト管理 (PM)アプリケーションの両方を使用して管理できます。

プロジェクトのインポート

it_project_manager ロールを持つユーザーは、プロジェクトおよびプロジェクトタスクを Microsoft Project から ServiceNow プロジェクト管理 (PM)にインポートできます。

Microsoft Project から ServiceNow インスタンスにプロジェクトデータをインポートして、プロジェクトを作成するか、既存のプロジェクトを更新します。詳細については、「Microsoft Project からのプロジェクトのインポート」を参照してください。

プロジェクトを ServiceNow インスタンスにインポートする際に、プロジェクトの日付を計算するための計算方法を指定することもできます。[手動] または [自動] 計算を使用して、さまざまな制約タイプのプロジェクトタスクをインポートできます。サポートされている制約とその変換の詳細については、「Microsoft Project からのプロジェクトのインポート」を参照してください。

ServiceNow インスタンスにカスタムフィールドを作成し、プロジェクトのインポート中にこれらのフィールドを Microsoft Project にマップすることができます。詳細については、「Microsoft Project ファイルのインポート用のカスタムフィールドマッピングの作成」を参照してください。

データファイルと変換マップを使用して、複数のプロジェクトのプロジェクトタスクを一度にインポートできます。詳細については、「複数のプロジェクトのプロジェクトタスクのインポート」を参照してください。

一部のカレンダー要素は、Microsoft Project からプロジェクト管理 (PM)にインポートされません。カレンダー要素とスケジュールの詳細については、「カレンダーとスケジュール - 制限事項」を参照してください。

プロジェクトのエクスポート

it_project_manager ロールを持つユーザーは、プロジェクトデータをエクスポートできます。プロジェクトタスクやタスク制約などのプロジェクトデータは、エクスポートファイルとしてエクスポートできます。このエクスポートファイルを使用して、プロジェクトを他の ServiceNow インスタンスにインポートします。

Microsoft Project を使用してプロジェクトを管理している場合は、エクスポート機能を使用して ServiceNow プロジェクトをエクスポートできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトデータを MPP、XML、または CSV ファイル形式でエクスポートすることを選択できます。詳細については、「Microsoft Project へのプロジェクトのエクスポート」を参照してください。

ServiceNow インスタンスのプロジェクトに、サポートされている制約タイプのいずれかを持つ日付が含まれている場合、プロジェクトおよびプロジェクトタスクをエクスポートするときに、これらの制約もエクスポートされます。詳細については、「Microsoft Project へのプロジェクトのエクスポート」を参照してください。

サポートされているバージョン

次のバージョンの Microsoft Project で作成されたプロジェクトは、ServiceNow プロジェクト管理 (PM)アプリケーションにインポートできます。

- Microsoft Project 2003
- Microsoft Project 2007
- Microsoft Project 2010
- Microsoft Project 2013
- Microsoft Project 2016

カレンダーとスケジュール - 制限事項

Microsoft Project の一部のカレンダー要素は、プロジェクト管理 (PM)アプリケーションにインポートされません。

- プロジェクトカレンダー
- ユーザーカレンダー
- スケジュール

インポートされたプロジェクトは、v3 アプリケーション以降、月曜日から金曜日の営業日の午前 8 時から午後 5 時まで (1 時間の昼休みを含む) のデフォルトスケジュールを使用します。

プロジェクトのフィールドマッピング

インポート中に、Microsoft Project の値がプロジェクトレコードのフィールドを上書きします。

プロジェクトのフィールドマッピング

Microsoft Project のフィールド	プロジェクト管理 (PM) フィールド
タスク名 (Task Name)	簡単な説明。このフィールドは、初回インポート時にのみ上書きされます。
注意	説明
開始	開始予定日
フィンランド語	終了予定日
期間	計画された期間
実績開始日	開始実績日時
実績終了日	終了実績日時
実際の期間	実際の期間

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトのフィールドマッピング (続く)

Microsoft Project のフィールド	プロジェクト管理 (PM) フィールド
達成率	完了率 (%) (このフィールドを追加するには、フォームをカスタマイズします)
先行タスクの遅れ (Predecessor Lag)	先行タスクと後続タスクの間の遅延時間 (Lag time between predecessor and successor)
WBS	WBS
重大	クリティカルパス
ロールアップ	ロールアップ
テキスト 10 (同期の目的で使用されるフィールド)	タスク Sys_Id
プロジェクト ヘッダー タイトル (Project Header Title)	プロジェクト名
プロジェクト ヘッダー件名 (Project Header Subject) (同期の目的で使用されるフィールド)	トップタスク Sys_Id
リソース	担当者 [assigned_to] **注:** インポート時に、Microsoft Project のタスクに複数のリソースがアサインされている場合： • 最初のリソースが [アサイン先] フィールドに追加されます。 • 残りのリソースは [他のアサイニーリスト] フィールドに追加されます。
リソースグループ	アサイン先グループ

Microsoft Project ファイルのインポート用のカスタムフィールドマッピングの作成

プロジェクトをインポートする前に、カスタムフィールドを Microsoft Project から ServiceNow のフィールドにマップします。

始める前に

Microsoft Project とマッピングする前に、ServiceNow インスタンスでカスタムフィールドを作成します。詳細については、「テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズする」を参照してください。

必要なロール：it_pps_admin

このタスクについて

ServiceNow インスタンスで作成したカスタムフィールドを、インポートする予定の Microsoft Project ファイルのカスタムフィールドにマップします。

Microsoft Project と ServiceNow インスタンス間のフィールドマッピングでサポートされているデータタイプは次のとおりです。

- True/False
- カレンダー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 日付/時刻
- 選択肢
- 色
- 通貨
- 10 進数
- 期日
- 浮動小数点数
- 日付
- 日付/時刻
- 期間
- リスト
- 時刻
- HTML
- 整数
- 長
- 完了率 (%)
- 電話番号 (E164)
- 参照
- 名前/値ペア
- 文字列
- 翻訳された HTML
- 翻訳されたテキスト
- URL
- Wiki

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > プロジェクト **- MSP**インポートのフィールドマッピング.
2. [新規] をクリックします。
3. [テーブル] リストから、カスタムフィールドを作成したテーブルを選択します。
4. **[Microsoft Project** 列] フィールドに、マップする Microsoft Project ファイルのカスタムフィールドの名前を入力します。
5. [宛先列] リストで、プロジェクトのインポート時に Microsoft Project フィールドにマップするカスタム ServiceNow フィールドを選択します。
6. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- Microsoft Project ファイルをインポートします。詳細については、「インポートモジュールを使用した Microsoft Project ファイルのインポート」を参照してください。
- 表示するカスタムフィールドを追加するようにプロジェクトフォームを設定します。詳細については、「フォームの構成」を参照してください。

Microsoft Project からのプロジェクトのインポート

Microsoft Project ファイルを ServiceNow プロジェクト管理 (PM)アプリケーションにインポートします。

プロジェクトマネージャーロールを持つユーザーは、以下を使用してプロジェクトをインポートできます。

- インポートモジュール
- プロジェクトフォーム
- 計画立案コンソール

プロジェクトを新しいプロジェクトとしてインポートするか、または既存のプロジェクトにインポートすると、プロジェクトは次のように更新されます。

- 新規プロジェクト：新規レコードがプロジェクト [pm_project] テーブルに作成されます。プロジェクトに関連付けられたタスクがプロジェクトタスク [pm_project_task] テーブルに追加されます。

  共通フィールドまたはマップされたフィールドのみがインポートされます。インポートされたプロジェクトは、[優先度] と [リスク] の両方が [低] に設定された状態でインスタンスに取り込まれます。

- 既存のプロジェクト：インスタンスは、最上位の Microsoft Project タスクの [テキスト 10] フィールドを確認します。[テキスト 10] フィールドに認識可能な sys_id が含まれている場合は、プロジェクトが以前に ServiceNow インスタンスからエクスポートされていることを意味します。この場合、プロジェクトの値は既存のプロジェクトの値を上書きします。

インポートされたタスクのスケジュール計算タイプを [自動] または [手動] に指定することもできます。プロジェクトをインスタンスにインポートすると、プロジェクトの制約は次のように変換されます。

- [計算タイプ]を [手動] として選択した場合、インポートされたすべてのタスクの時間の制約は、Microsoft Project の制約タイプに関係なく、[特定の日に開始] に設定されます。
- 計算タイプを [自動] として選択すると、次の制約タイプがサポートされます。
  - 特定の日に開始
  - できるだけ早く
  - 以下以前に開始
  - 以下以降に開始

  他の制約タイプのタスクは、[特定の日に開始] に変換されます。

注:
Microsoft Project のリソース名は、インスタンス内のユーザーの名前にマップする必要があります。

インポートモジュールを使用した Microsoft Project ファイルのインポート

インポートモジュールを使用して、Microsoft Project ファイルを新しいプロジェクトとして プロジェクト管理 (PM)アプリケーションにインポートします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
Microsoft Project ファイルを ServiceNow インスタンスにインポートする前に、次の情報を考慮してください。

- チームスペースにインポートされた Microsoft Project プロジェクトは、チームスペースにアクセスできるユーザーのみが使用できます。
- カスタムフィールドを Microsoft Project にインポートするには、まず ServiceNow インスタンスにそれらのカスタムフィールドを作成し、プロジェクトをインポートする前にこれらのフィールド間のマッピングを作成します。詳細については、「Microsoft Project ファイルのインポート用のカスタムフィールドマッピングの作成」を参照してください。

  注:
  また、カスタムフィールドを手動で作成してマッピングすることなく、スクリプト拡張ポイントを使用してカスタムフィールドをインポートすることもできます。`MSProjectImportTaskFormatter` 拡張ポイントを使用して、スクリプトインクルードを作成し、 Microsoft Project および ServiceNow のカスタムフィールドをマップします。この拡張ポイントを使用して、プロジェクトのインポート中にデータを変更することもできます。

- 計算タイプが [手動] に設定されている場合、 Microsoft Project ファイルからインポートされたプロジェクトタスクでは再計算は行われません。プロジェクトが ServiceNow システムに入ると、手動プロジェクトとして扱われます。
- プロジェクト間の依存関係がある Microsoft Project プロジェクトをインポートしても、シャドウタスクはインポートされません。
- サブプロジェクト (ヘッダーと親タスク) のみが ServiceNow インスタンスにインポートされ、子タスクはインポートされません。
- ServiceNow への Microsoft Project ファイルのインポート中、次の場合はインポートが失敗します。
  - タスクを含むプロジェクトがインポート前に ServiceNow インスタンスで作成された場合。
  - 以前に Microsoft Project ファイルからインポートしたプロジェクトを再インポートし、ServiceNow インスタンスでタスクを作成して追加した場合。

    注:
    ServiceNow インスタンスで作成されたプロジェクトタスクを保持するには、まずそのプロジェクトを Microsoft Project ファイルにエクスポートする必要があります。その後、ファイルを ServiceNow インスタンスに再インポートします。

  - インポートにより削除されるタスクに、コスト計画、利益計画、リソースプラン、タイムカード、または経費ラインのいずれかの関連エンティティがある場合。
  - 遅延またはリードタイムの依存関係の値がサポートされている形式でない場合。
    - 日、時間、および分については、遅延時間の依存関係に正の値が許可されます。遅延時間の依存関係に負の値が許可されるのは、日についてのみです。
    - Microsoft Project の他のすべての経過期間タイプ (emin、eday、eweek、emon、eyr、% など) はインポートできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > インポート.
2. [ファイルを選択] をクリックして、Microsoft Project (mpp) ファイルを選択します。
3. Microsoft プロジェクトを新しいプロジェクトとしてインポートするには、[新規プロジェクトを作成] オプションを選択します。
4. オプション: [プロジェクト名] フィールドで、新規プロジェクトの名前を指定します。
5. Microsoft プロジェクトをアクティブな既存のプロジェクトのサブセットとしてインポートするには、次の手順を実行します。
   a. [既存のプロジェクトを更新] を選択します。
   b. 参照ルックアップアイコン (🔍) をクリックし、プロジェクトまたはタスクを選択します。アクティブなプロジェクトのみがリストに表示されます。
6. スケジュールの計算方法を指定するには、次のいずれかのオプションを選択します。
   - 自動：プロジェクトタスクのインポート中にスケジューリングエンジンを適用するには、このオプションを選択します。サポートされている制約タイプは、同じ制約が適用された状態でインポートされますが、他の制約タイプは [特定の日に開始] に変換されます。
   - [手動]：このオプションを選択すると、Microsoft Project での制約タイプに関係なく、すべてのプロジェクトタスクは [特定の日に開始] 制約タイプでインポートされます。

   サポートされている制約タイプの詳細については、「Microsoft Project からのプロジェクトのインポート」を参照してください。
7. [インポート] をクリックします。

タスクの結果

- 以前に ServiceNow インスタンスにインポートされ、タイムカード、リソース計画、コスト計画、利益計画、または経費ラインが関連付けられているプロジェクトタスクは、 Microsoft Project から削除された場合でも再インポート時に保持されます。
- ServiceNow プロジェクトの日付は、Microsoft Project ファイルの日付と同じままです。
- サブプロジェクトを含む ServiceNow プロジェクトでは、次の詳細が変更されます。
  - インポートされたタスクの WBS 順序は、インポート後に再生成されます。
  - 親プロジェクトの [開始予定日] と [終了予定日] がロールアップされます。
  - 親プロジェクトとタスクの [ステータス] がロールアップされます。
  - トップタスクの [完了率 (%)] がロールアップされます。

Microsoft Project ファイルを使用したプロジェクトの更新

プロジェクトフォームまたは計画立案コンソールを使用して、Microsoft Project ファイルから ServiceNow インスタンスの既存のプロジェクトにプロジェクトデータをインポートします。

始める前に

プロジェクトを作成します。

必要なロール：it_project_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 更新するプロジェクトを開きます。
3. 次のいずれかの画面から、Microsoft Project ファイルをインポートして選択したプロジェクトを更新します。
   - プロジェクトフォームで、コンテキストメニューから **[MS Project** からインポート] を選択します。
   - 計画立案コンソールで、その他のアクションアイコン ( ) をクリックし、**[MS Project** からインポート] オプションを選択します。
4. [Microsoft Project インポート] ダイアログボックスで、Microsoft Project ファイルと計算タイプを選択します。

   a. [ファイルを選択] をクリックして、Microsoft Project (mpp) ファイルを選択します。

   b. スケジュールの計算方法を指定するには、次のいずれかのオプションを選択します。
      - 自動：プロジェクトタスクのインポート中にスケジューリングエンジンを適用するには、このオプションを選択します。サポートされている制約タイプは、同じ制約が適用された状態でインポートされますが、他の制約タイプは [特定の日に開始] に変換されます。
      - [手動]：このオプションを選択すると、Microsoft Project での制約タイプに関係なく、すべてのプロジェクトタスクは [特定の日に開始] 制約タイプでインポートされます。

      サポートされている制約タイプの詳細については、「Microsoft Project からのプロジェクトのインポート」を参照してください。

5. [インポート] をクリックします。

タスクの結果

- 以前に ServiceNow インスタンスにインポートされ、タイムカード、リソース計画、コスト計画、利益計画、または経費ラインが関連付けられているプロジェクトタスクは、 Microsoft Project から削除された場合でも再インポート時に保持されます。
- ServiceNow プロジェクトの日付は、Microsoft Project ファイルの日付と同じままです。
- サブプロジェクトを含む ServiceNow プロジェクトでは、次の詳細が変更されます。
  - インポートされたタスクの WBS 順序は、インポート後に再生成されます。
  - 親プロジェクトの [開始予定日] と [終了予定日] がロールアップされます。
  - 親プロジェクトとタスクの [ステータス] がロールアップされます。
  - トップタスクの [完了率 (%)] がロールアップされます。

複数のプロジェクトのプロジェクトタスクのインポート

インポートセットと変換マップを使用して、外部のファイルシステムまたはデータソースから複数のプロジェクトのプロジェクトタスクをインポートします。

始める前に
必要なロール：import_transformer、import_admin、または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムインポートセット > データをロード.
2. [既存のテーブル] オプションを選択します。
3. [インポートセットテーブル] リストから、[計画タスク **[imp_planned_task]** のインポート **(Import planned task [imp_planned_task])]** オプションを選択します。
4. [インポート元] フィールドで [ファイル] を選択し、[ファイルを選択] をクリックして、ソースの Excel スプレッドシートを選択します。
5. オプション: 必要に応じて、ワークシートとヘッダー行番号を指定します。
6. [送信] をクリックします。
   インポートされたデータが、選択したインポートセットテーブルで利用できるようになります。
7. オプション: カスタム列のフィールドマッピングを作成します。
   詳細については、「フィールドマッピングの作成」を参照してください。
8. データをインポートセットテーブルからターゲットテーブルに変換します。
   詳細については、「インポートを実行」を参照してください。

Microsoft Project へのプロジェクトのエクスポート

Microsoft Project を使用してプロジェクトアクティビティを管理している場合は、プロジェクトを Microsoft Project (mpp) ファイル、XML ファイル、または CSV ファイルにエクスポートできます。

プロジェクトマネージャーロールを持つユーザーは、以下を使用してプロジェクトをエクスポートできます。

- エクスポートモジュール
- プロジェクトフォーム
- 計画立案コンソール

プロジェクトデータをエクスポートする形式を指定することもできます。使用可能なオプションは次のとおりです。

- **XML**：プロジェクトデータを他の ServiceNow インスタンスにインポートする場合に適しています。
- **CSV**：プロジェクトデータを計画立案コンソールからそのままエクスポートし、他のアプリケーションを使用してプロジェクトデータを表示するのに適しています。
- **Microsoft Project**：プロジェクトデータを Microsoft Project にインポートする場合に適しています。

> **注:**
> プロジェクトデータを CSV および Microsoft Project 形式でエクスポートするオプションは、計画立案コンソールからプロジェクトをエクスポートする場合に使用できます。

プロジェクトのタスクに、サポートされているいずれかの制約が含まれている場合、プロジェクトをエクスポートするときに制約もエクスポートされます。この制約のエクスポートは、プロジェクトを別の ServiceNow インスタンスにインポートするときにプロジェクトの日付を維持するのに役立ちます。次の制約がサポートされています。

- 特定の日に開始：Microsoft Project へのエクスポート時に、[開始日時] 制約にマップされます。
- できるだけ早く

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 以下以前に開始
- 以下以降に開始

注:
プロジェクトデータのエクスポート時に、シャドウタスクと外部依存関係はエクスポートされません。

プロジェクトデータのエクスポート

エクスポートモジュール、プロジェクトフォーム、または計画立案コンソールを使用して、プロジェクトデータをエクスポートします。エクスポートファイルを Microsoft Project (MPP)、XML、または CSV 形式で、システム上のフォルダーに保存します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトをエクスポートするには、プロジェクトが プロジェクト管理 (PM)スケジュールまたはデフォルトの MS Project スケジュールのいずれかを使用している必要があります。

プロジェクトデータを MPP および CSV 形式でエクスポートするオプションは、計画立案コンソールからプロジェクトをエクスポートする場合に使用できます。計画立案コンソールに表示されている列のみがエクスポートされます。

手順

1. 次のいずれかのオプションからプロジェクトデータをエクスポートします。

2. オプション: エクスポートファイルを保存するよう求めるダイアログボックスが表示される場合があります。
   ファイルを XML ファイルとして保存します。計画立案コンソールからプロジェクトをエクスポートし、[CSV] オプションを選択した場合は、ファイルを CSV 形式で保存できます。

   注:
   ブラウザの設定によっては、ブラウザによってファイルがダウンロードフォルダーに自動的に保存される場合があります。

次のタスク

- MPP ファイルを使用して、プロジェクトデータを Microsoft Project にインポートします。
- XML ファイルを使用して、プロジェクトデータを他の ServiceNow インスタンスまたは Microsoft Project にインポートします。
- CSV ファイルを使用して、他のアプリケーションでプロジェクトデータを表示します。

プロジェクトタスクのエクスポート

エクスポートするタスクは、 プロジェクト管理 (PM) スケジュールまたはデフォルトの MS Project スケジュールのいずれかを使用しているプロジェクトに関連付けられている必要があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. プロジェクトを開きます。
3. [プロジェクトタスク] 関連リストまでスクロールし、タスク番号をクリックして、プロジェクトタスクフォームを開きます。
4. フォームヘッダーを右クリックし、コンテキストメニューから [タスクを **MS Project** にエクスポート] を選択します。

   タスクがシステム上のフォルダーにエクスポートされます。
5. Microsoft Project を開き、エクスポートされたプロジェクトタスクファイルをインポートします。
   手順については、Microsoft の製品ドキュメントを参照してください。

プロジェクトレポート

レポート、ポートフォリオダッシュボード、およびプロジェクトビューを使用して、プロジェクトを一目で把握できます。マイルストーンがずれこんでいるプロジェクト、プロジェクト別のリソースのグラフ、完了率順のプロジェクトのリストなどの情報を表示できます。

注:
レポート、ダッシュボード、およびビューで利用できる情報の多くはカスタマイズ可能です。以下の例は、デフォルト設定に基づいています。

アプリケーションでは、リストとチャートの両方を含むグローバルレポートを複数提供しており、プロジェクトのステータスを一目で把握できます。また、カスタムレポートを作成したり、特定のグループが表示できるレポートを作成したりすることもできます。ベースシステムでは、次のプロジェクト管理 (PM)レポートを利用できます。

- アクティブなプロジェクトの未アサインタスク (30 日間)：リストレポート：リストレポート
- プロジェクト (優先度別)：棒グラフ
- プロジェクト (優先度別)：リストレポート
- プロジェクト (リスク別)：リストレポート
- プロジェクト (リスク別)：棒グラフ
- プロジェクト (ステータス別)：リストレポート
- プロジェクト (ステータス別)：棒グラフ
- アクティブなプロジェクト：リストレポート
- 処理待ちのプロジェクト：リストレポート
- マネージャー別のアクティブなプロジェクト：棒グラフ

関連情報

Reporting

プロジェクトのクローズ

プロジェクトのクローズには、プロジェクトのステータスを終結に変更するだけでなく、さまざまな作業が含まれます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
プロジェクト後のアクティビティには、ベースラインと実際の値を表示して、プロジェクトが元の推定値からどの程度ずれ込んでいるかを評価することが含まれます。また、インスタンスを介してプロジェクトにリンクされている関連インシデント、問題、または変更をフォローアップすることも含まれます。

プロジェクトをクローズすると、プロジェクトに関連付けられているすべてのプロジェクトタスクとサブプロジェクトが自動的にクローズされます。通常、プロジェクトをクローズした後に再オープンすることはできません。プロジェクトステータスを [クローズ済み] から [対応中]、[処理待ち]、または [オープン] に更新することはできません。クローズしたプロジェクトをそれでも再オープンする必要がある場合は、既存のプロジェクトタスクを再オープンするか、またはプロジェクトに新しいタスクを追加します。タスクに対するこのアクションにより、他のクローズ済みタスクに影響を与えることなく、プロジェクトが [クローズ済み] から [対応中] ステータスに移行します。

関連する将来のリソース計画をキャンセルし、クローズ済みプロジェクトに割り当てられたリソース計画を完了することができます。

手順

1. プロジェクト内のすべてのタスクの作業が完了したことを確認します。
2. プロジェクトフォームで、[ステータス] フィールドを次のいずれかのクローズ済みステータスに変更します。
   - 完了してクローズ：プロジェクトが完了し、すべてのタスクが完了しました。
   - 未完了でクローズ：プロジェクトは完了しましたが、タスクは未完了のままです。
   - スキップしてクローズ：プロジェクトは放棄されました。

   または、最低レベルの子タスクから始めて、すべてのプロジェクトタスクを最初にクローズします。クローズ済みステータスは親タスクにロールアップされ、最上位レベルの親タスクがすべてクローズされると、プロジェクトのステータスがクローズ済みに変更されます。ただし、親タスクおよびプロジェクトのデフォルトのクローズ済みステータスは、[完了してクローズ] です。したがって、プロジェクトタスクの一部またはすべてを [未完了でクローズ] または [スキップしてクローズ] に変更しても、プロジェクトのステータスは [完了してクローズ] に変更されます。

   また、[フェーズ] の値を [終結]に変更します。プロジェクトフェーズは参照専用であり、[ステータス] フィールドにリンクされたり依存したりすることはありません。

   プロジェクトにサブプロジェクトが含まれている場合は、親プロジェクトに影響を与えずにサブプロジェクトをクローズできます。サブプロジェクトをクローズするには、サブプロジェクトの [ステータス] を任意のクローズ済みステータスに変更します。サブプロジェクトを終結すると、そのサブプロジェクトに関連付けられているすべてのタスクのステータスがクローズまたは変更されます。また、サブプロジェクトのステータスを [対応中] に変更すると、関連付けられたすべてのタスクが [対応中] ステータスに移行します。

   クローズされていない親プロジェクトに関連付けられたプロジェクトタスクがある場合、親プロジェクトは [オープン]、[対応中]、または [処理待ち] ステータスのままになります。親プロジェクトに関連付けられたタスクがクローズされると、親プロジェクトのステータスも [完了してクローズ]に変更されます。
3. プロジェクトが完了したら、最終的なベースラインを作成して、プロジェクトの実際の値が推定値にどれだけ近づいたかを確認します。

   注:
   ベースラインでは、開始予定日と終了予定日の値のみを実開始日と実終了日の値と比較します。レポートを使用して、工数とコストを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

インシデント、問題、または変更から作成されたプロジェクトの場合、プロジェクトステータスを更新しても、関連するインシデント、問題、または変更要求レコードは自動的に更新されません。関連レコードは手動で更新する必要があります。たとえば、プロジェクトの完了によって関連する変更もクローズできる場合は、[変更レコード] に移動して、その [ステータス] フィールドを変更します。また、プロジェクトに関連する情報を含むように、関連レコードの作業メモフィールドを更新することもお勧めします。

次のタスク

- 次のいずれかの条件に該当するプロジェクトに関連付けられているリソース計画をキャンセルします。
  - [確認済み]、[計画]、または [要求済み] ステータスの対応するリソース計画がある場合。
  - プロジェクトの終了日より後の開始日を持つ、[割り当て済み] ステータスのリソース計画がある場合。
- 次の条件に該当するプロジェクトに関連付けられているリソース計画を完了します。
  - [割り当て済み] ステータスの対応するリソース計画がある場合。
  - リソース計画の開始日が、プロジェクトまたはタスクの実終了日以前である場合。

実際のプロジェクトコストの表示

プロジェクトポートフォリオ管理 with Financials を使用すると、コスト計画およびプロジェクトの実際のプロジェクトコストを表示できます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

実績コストで考慮されるためには、経費ラインを処理する必要があります。実績コストは、処理日ではなく、経費ラインの作成日に対して記録されます。経費ラインは、承認されたタイムカードに対してのみ作成されます。
プロジェクトの実績コストも同じ方法でポートフォリオにロールアップされます。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 実績コストを表示するプロジェクトを開きます。
3. [コスト計画] 関連リストをクリックします。

実際のプロジェクトコスト

実際のプロジェクトコストは、コスト計画の経費ラインを作成した後、または人事がタイムカードを使用して経費ラインを作成した後に表示されます。

システムは、経費ラインから実際のプロジェクトコストをキャプチャします。

- コスト計画からの経費ライン：コスト計画から経費ラインを作成できます。経費が発生した金額と日付を指定できます。発生した実際の金額は、経費ラインが処理された後にコスト計画に含まれます。
- タイムカードからの経費ライン：人事は、タイムカードを使用して、プロジェクト作業の時間を記録できます。タイムカードが承認されると、システムにより経費ラインが生成されます。経費ラインが処理された後、実際のコストがプロジェクトに記録されます。タイムカードの作成時にリソース計画を指定すると、コスト計画名はリソース計画から取得され、コストはリソース計画に対してキャプチャされます。リソース計画を指定しない場合、コストはプロジェクトに対してキャプチャされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトとプロジェクトタスクのステータス

ベースシステムでは、プロジェクトとプロジェクトタスクのステータスはタスクテーブルのステータスを継承します。

ステータスは、次のような各種のカテゴリにグループ化されます。

ステータス	ラベル	カテゴリ
-5	処理待ち	処理待ち
1	オープン	オープン
2	対応中	対応中
3	完了してクローズ	クローズ済み
4	未完了でクローズ	クローズ済み
7	スキップしてクローズ	クローズ済み

ステータスのカテゴリ情報は、属性 フィールドにある [予定されているタスク] (planned_task) テーブルの [ステータス] 列の辞書オーバーライド で宣言されます。計画タスクは、プロジェクトテーブルおよびプロジェクトタスクテーブルの親テーブルです。

デフォルトのプロジェクトおよびプロジェクトタスクステータスのカテゴリの表示

デフォルトのプロジェクトおよびプロジェクトタスクステータスのカテゴリ情報を表示します。ベースシステムでは、プロジェクトとプロジェクトタスクのステータスはタスクテーブルのステータスを継承します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > ディクショナリ.
2. 次の AND 条件でフィルターを更新します。
   a. [テーブル] [次の値に等しい **(=)**] [タスク]
   b. [列名] [次の値に等しい **(=)**] [ステータス]
3. フィルターを実行します。
4. タスクテーブルをクリックし、[辞書オーバーライド] 関連リストで **[planned_task]** テーブルを選択します。

タスクの結果
[属性] フィールドには、次に示すように各種のステータスとステータスのカテゴリが表示されます。また、各カテゴリのデフォルトのステータス値も表示されます。

```
close_states=3;4;7,default_close_state=3,default_work_state=2,default_open_state=1,default_skipped_state=7,d
```

プロジェクトまたはプロジェクトタスクのステータスのカスタマイズ

辞書オーバーライドを使用して、プロジェクトまたはプロジェクトタスクのステータスを追加または変更します。

始める前に
必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

例として、プロジェクトタスクの [対応中] ステータスカテゴリにカスタムステータスを追加する手順について説明します。この例では、次のようになります。

- 既存の [対応中] ステータスが削除され、次の 3 つの新しいステータスが追加されます。

ステータス	ラベル	カテゴリ
10	デザイン	対応中
11	開発	対応中
12	テスト	対応中

- デフォルトの [対応中] は 10 ([デザイン]) のままです。

手順

1. [タスク - ステータス (Task - State)] 辞書の下に、pm_project_task テーブルの新しい辞書オーバーライドを定義します。
2. 次のように、辞書オーバーライドのオーバーライド属性を [属性] フィールドで指定します。
   close_states=3;4;7,default_close_state=3,default_work_state=10,default_open_state=1,default_skipped_state=

タスクの結果

- ステップ 2 で指定したように、default_work_state は 10 として宣言され、work_in_progress_states は 10、11、および 12 として宣言されます。これで、プロジェクトタスクが新しい [対応中] ステータスに変更されるたびに、その親も対応する [対応中] ステータスに移行します。

  プロジェクトタスクに 2 つの子レコードがあるとします。1 番目の子レコードが [開発] ステータスに移行すると、親も [開発] ステータスに移行します。ここで、2 番目の子レコードが [設計] ステータスに移行した場合、プロジェクトタスクの下の 2 つの子レコードは 2 つの異なる [対応中] ステータスになります。このような場合、親レコードはデフォルトの [対応中] ステータスに移行します。この場合、default_work_state が 10 ([デザイン]) として指定されているため、親レコードは [デザイン] に移行します。

- プロジェクトのステータスは、同じ手順を使用してカスタマイズすることもできます。

プロジェクト管理 (PM)原価計算アドオン

プロジェクト管理 (PM)原価計算アドオンは、 プロジェクト管理 (PM)アプリケーションを Cost Management アプリケーションに接続して、プロジェクトに関連するコストを見積もり、追跡できるようにします。

このプラグインにより、次のプロジェクト原価計算機能が有効になります。

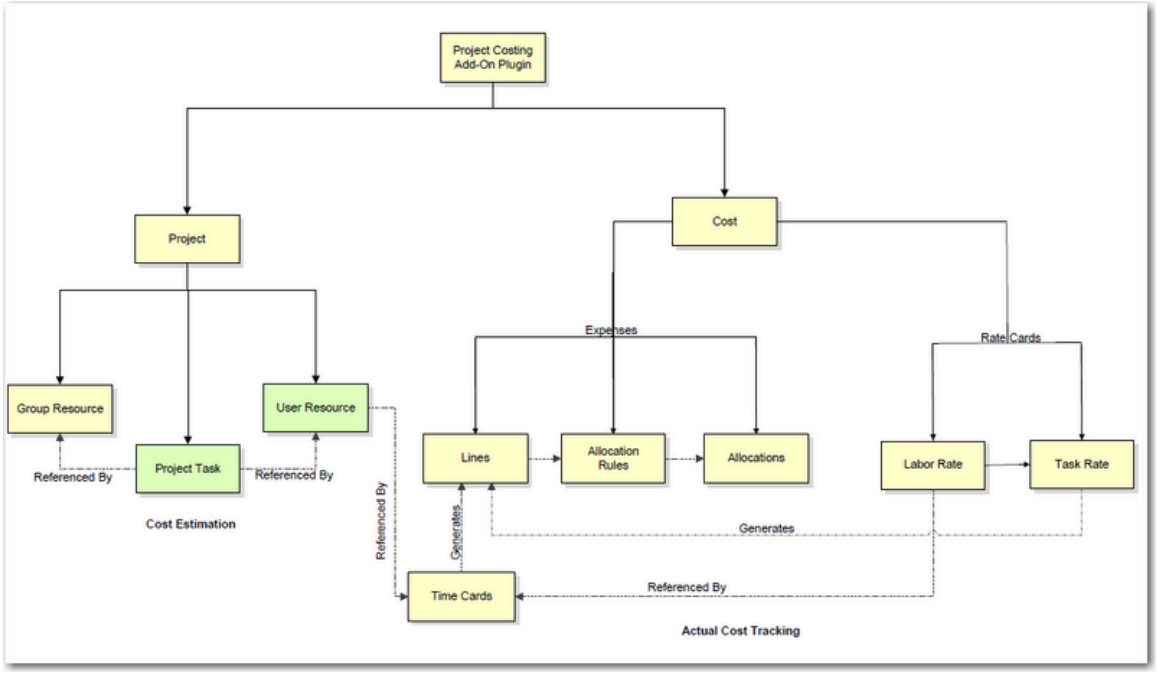
- プロジェクトの計画立案時にグループのリソースコストを見積もります。
- プロジェクトの各ユーザーリソースの実際のコストを追跡します。
- タイムカードやその他のプロジェクト経費から実際のプロジェクトタスクコストを追跡します。
- プロジェクトコストをビジネスに割り当てます。
- プロジェクトが影響を与える CI のプロジェクトコストを表します。
- 実際のタスク経費を親タスクおよびプロジェクトレコードにロールアップします。

次の図に示すように、プロジェクトとコストアプリケーションは連携して動作します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトとコストアプリケーション



このプラグインでは、次のプロパティを使用できます。

原価計算アドオンのプロパティ

説明	プロパティ名	メモ
予定されているタスクタイプに対して、タスクの経費ライン合計を使って実績コストフィールドを計算します。	glide.cost_mgmt.calc_actual_cost	デフォルト：**true**。これは Cost Management からのプロパティです。**planned_tasktype** のいずれかのタスクに対して経費ラインが作成され、このプロパティが true の場合、システムはすべての経費ラインのコストの合計を取得し、 **work_cost** フィールドに総コストを設定します。
タスク経費ラインの作成時に、トップタスクの経費ラインも作成しますか？(When creating a task expense line should the system also create expense lines for the top task?)	glide.cost_mgmt.process_task_top_task	デフォルト値：**true**
プロジェクトコストのロールアップを有効にします (推定および実際) - プロジェクトタスクのコ	com.snc.project.rollup.cost	デフォルト値：**true**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

原価計算アドオンのプロパティ (続く)

説明	プロパティ名	メモ
ストを更新すると、その親のコストが更新されます。		

このプラグインでは、次のビジネスルールが追加または変更されます。

原価計算アドオンのビジネスルール

名前	テーブル	説明
プロジェクトコストのロールアップ (Project Cost Rollup)	計画タスク [planned_task]	デフォルト：**true**。これは Cost Management からのプロパティです。**planned_tasktype** のいずれかのタスクに対して経費ラインが作成され、このプロパティが true の場合、システムはすべての経費ラインのコストの合計を取得し、 **work_cost** フィールドに総コストを設定します。
トップタスクの親を処理 (Process Top Task Parent)	[fm_expense_line]	デフォルト値：**true**

プロジェクトタスクのメール通知の有効化

プロジェクト管理 (PM)アプリケーションの次のメール通知はデフォルトで利用可能ですが、無効になっています。それらを手動で有効化する必要があります。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム通知 > メール > 通知.
2. 次の通知を有効化します。

メール通知

通知	テーブル	フィールド	条件	説明
プロジェクトタスクのアサイン	pm_project_task	担当者	挿入時または更新時	タスクがリソースにアサインされたとき、またはアサインされたリソースが変更されたときに、メール通知を送信します。
プロジェクトタスクの開始	pm_project_task	ステータス	[対応中] への変更	プロジェクトタスクが開始されたときにメール通知を送信します。
プロジェクトタスクのコメント追加	pm_project_task	追加コメント	変更の発生時	コメントフィールドが更新されたときにメール通知を送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローツールを使用したプロジェクト通知の設定

ワークフローツールを使用して、たとえば、プロジェクトタスクのステータスが [対応中] になったときにメール通知を送信するワークフローを設定します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

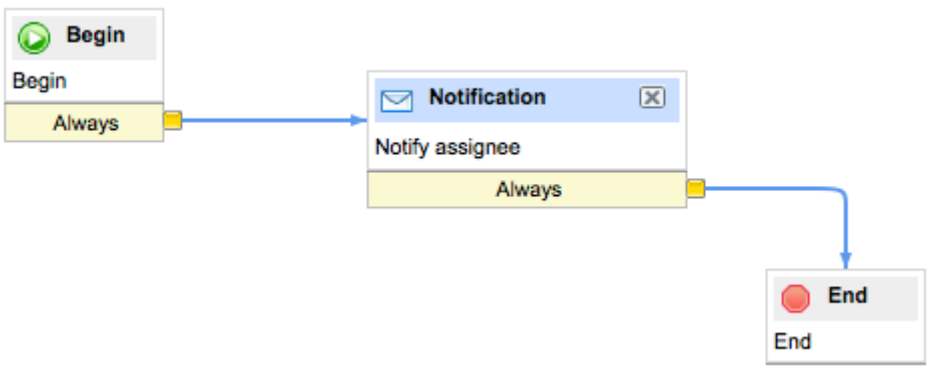
1. 次の属性を持つワークフローを作成します。
   - 名前：通知先アサイニー
   - テーブル：プロジェクトタスク [pm_project_task]
   - 条件に一致した場合：他のワークフローと一致しない場合に実行
   - 条件：ステータスが [対応中] で、[アサイン先] が空でない

   > **注:**
   > この例では、他の属性を変更しないでください。

2. 開始アクティビティと終了アクティビティの間に 1 つの通知アクティビティを追加します。

   色が変わるまでアクティビティをコネクター行にドラッグします。アクティビティの属性は、次の例のようになります。

   - 名前：通知先アサイニー
   - 宛先 (To)：${assigned_to}
   - 件名： プロジェクトタスク ${number} が有効化され、あなたにアサインされました
   - メッセージ：プロジェクトタスク ${number} が有効化され、あなたにアサインされました
     - 番号 (Number)：${number}
     - 簡単な説明：${short_description}
     - 開始予定日：${start_date}
     - 終了予定日：${end_date}
     - 計画期間 (Planned duration)：${duration}



プロジェクトステータス アプリ

プロジェクトステータス モバイルアプリを使用すると、プロジェクトのステータスを追跡し、ステークホルダーと協力して例外を解決し、場所に関係なくタイムリーにアクションを実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロジェクトステータス 機能を使用して、次のことを実行できます。

- プロジェクトの最新ステータスを表示する
- プロジェクトの最新のステータスレポートを表示する
- リスクと意思決定をレビューする
- プロジェクトで他のステークホルダーとコラボレーションを行う
- プロジェクトのステータスが変更されたとき、または他のユーザーがコメントやメモを追加したときにモバイル通知を受信する

アクティベーション情報

プロジェクトステータス モバイルアプリケーションは、ServiceNow® Mobile Platform 上で実行されます。プロジェクトステータス アプリを有効にするには、admin ロールを持つユーザーが PPM Mobile プラグイン (com.sn_ppm_mobile) を有効にします。

Mobile Project Status の有効化

admin ロールを持っている場合、Mobile：Project Status アプリケーション (以前の PPM Mobile (com.sn_ppm_mobile)) を ServiceNow Storeから有効化できます。このアプリケーションをインストールすると、関連プラグインも有効になります (まだ有効になっていない場合)。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Mobile：Project Status ステータスは、次の関連プラグインを有効にします (まだ有効になっていない場合)。

PPM Mobile のプラグイン

プラグイン	説明
Project Portfolio Suite with Financials [com.snc.financial_planning_pmo]	デマンド、リソース、ポートフォリオ、およびプロジェクトを管理できます。また、投資とリターンのバランスを取るために、ポートフォリオ内のプロジェクトとデマンドのコストと予算を計画、追跡、および管理するのにも役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プラグインのリスト (Washington DC)

プロジェクトステータス アプリの開始

プロジェクトステータス モバイルアプリでプロジェクトステータスレポートとステータスレポートにアクセスして、プロジェクトのステータスを確認し、場所に関係なくステークホルダーとコラボレーションを行います。

始める前に

- モバイルエージェント モバイルアプリケーションをダウンロードします (iOS プラットフォームには Apple App Store から、Android プラットフォームには Google Play Store から)。
- PPM Mobile プラグインを有効にします。

必要なロール：admin

手順

1. モバイルアプリを開き、プラスアイコン () をタップします。
2. ServiceNow インスタンスを追加し、ログインするための資格情報を入力します。
   インスタンス名の末尾に service-now.com を含める必要はありません。
3. オプション: 簡単に特定できるように、インスタンスに [ニックネーム] を付けることができます。
4. [プロジェクトステータス] () をタップして、プロジェクトの追跡を開始します。

関連情報

エージェントモバイルアプリ

モバイルアプリでのプロジェクトの詳細の表示

モバイルアプリを使用して、プロジェクトのステータス、およびプロジェクトの他の詳細 (財務データ、ステータスレポート、リスク、および意思決定など) を表示できます。

始める前に

必要なロール：portfolio_manager または project_manager または program_manager

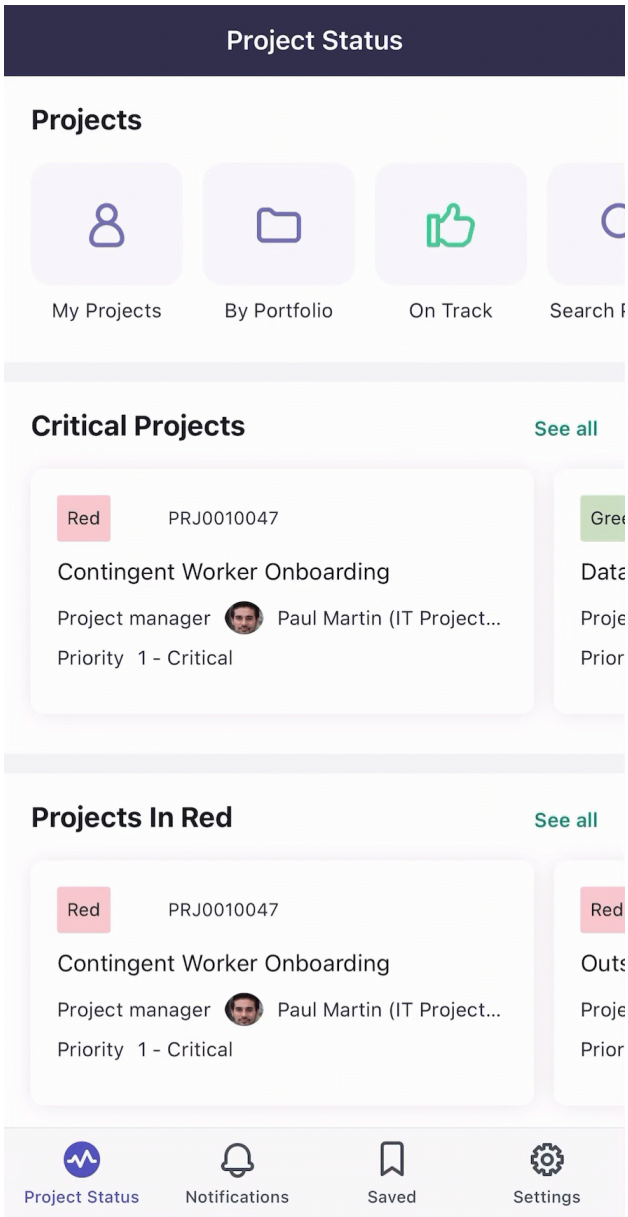
手順

1. モバイルアプリの [プロジェクトステータス] アプリケーションに移動します。
2. 次のいずれかのオプションを使用して、詳細を表示するプロジェクトを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タップしてアプレットを開き、プロジェクトをタップします。
- [プロジェクトを検索] アプレットをタップして、特定のプロジェクトを検索します。
- [最重要プロジェクト] または [赤字のプロジェクト] リストで、プロジェクトをタップします。



自動翻訳

プロジェクトステータスレポートの表示

モバイルアプリを使用して、全体的な進捗状況、エグゼクティブサマリー、財務データ、および RIDAC レコードなどのプロジェクトのステータスを表示できます。

始める前に

必要なロール：portfolio_manager または project_manager または program_manager

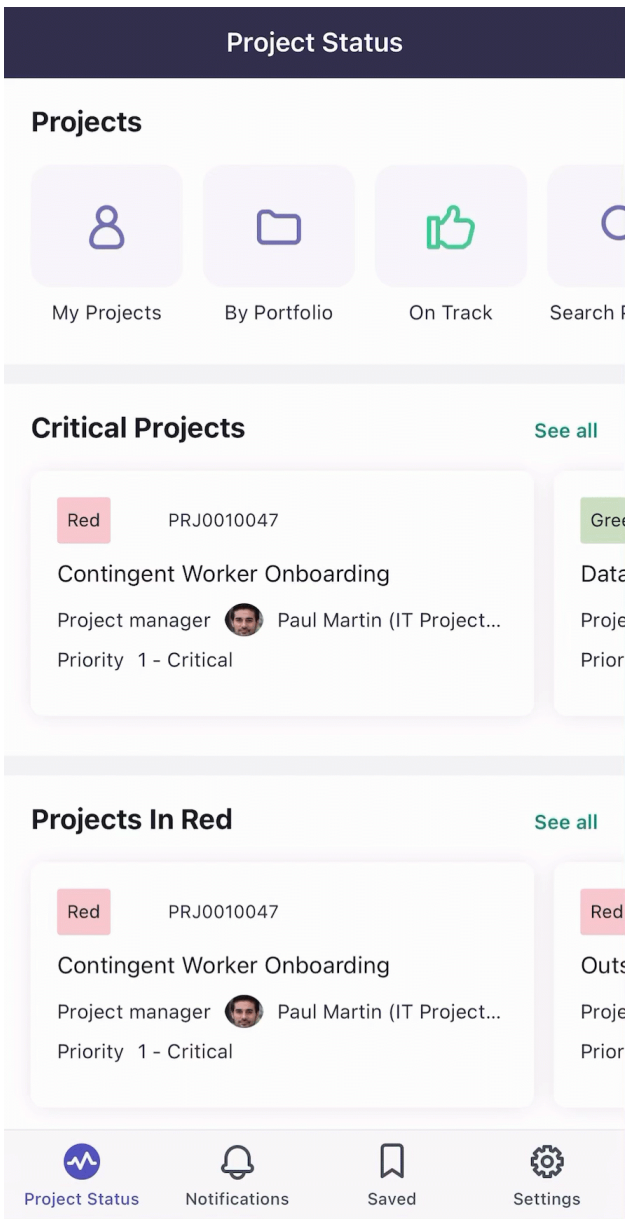
手順

1. モバイルアプリの [プロジェクトステータス] アプリケーションに移動します。
2. 次のいずれかのオプションを使用して、プロジェクトステータスレポートを表示するプロジェクトを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [自分のプロジェクト] ( ) アプレットをタップして、自分のプロジェクトを表示します。
- [プロジェクトを検索] ( ) アプレットをタップして、特定のプロジェクトを検索します。
- [最重要プロジェクト] または [赤字のプロジェクト] リストで、プロジェクトをタップします。

3. プロジェクトカードをタップして、そのステータスレポートを表示します。
   - [ステータス] タブには、プロジェクトの総合健全性、エグゼクティブサマリー、達成度、プロジェクトで計画されている主要なアクティビティなど、プロジェクトのサマリーが表示されます。
   - [詳細] タブには、プロジェクトのスケジュール、スコープ、コスト、およびリソースに関連する情報のステータスと詳細が表示されます。



RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードの作成

モバイルアプリを使用して、プロジェクトのリスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求のレコードを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：portfolio_manager または project_manager または project_user

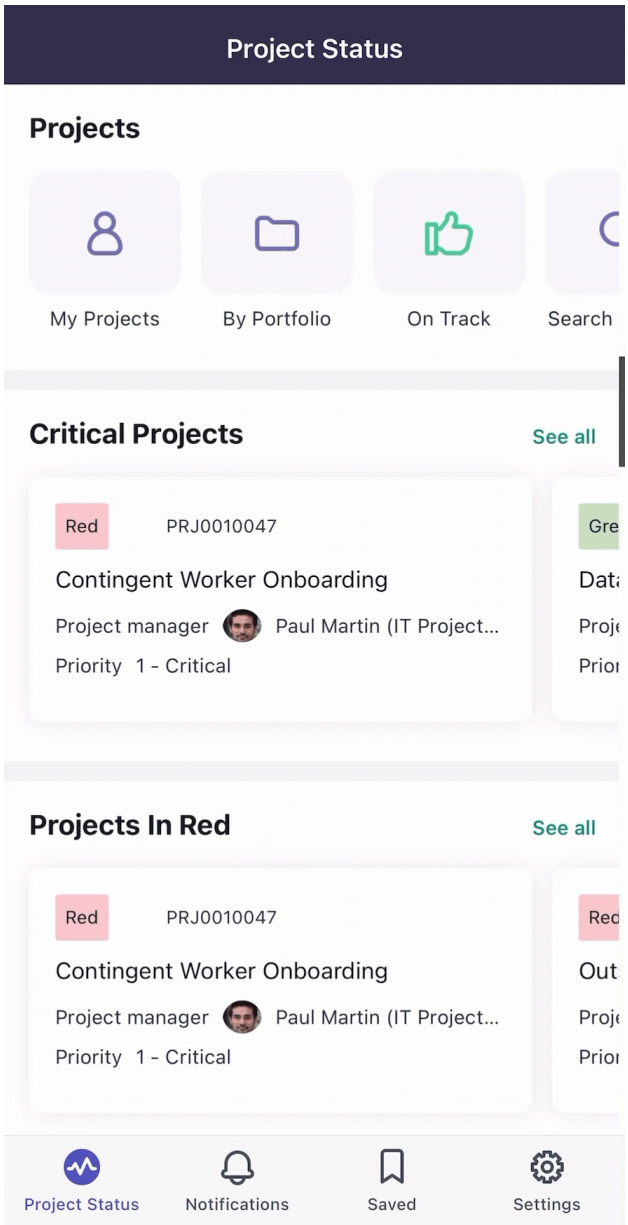
このタスクについて
プロジェクトに対するリスクの影響を分析し、RIDAC レコードを作成して、将来のプロジェクトを計画するためのリスク、問題、およびそれらの考えられる解決策を追跡します。詳細については、「プロジェクトワークスペースにあるプロジェクトの RIDAC レコード」を参照してください。

手順

1. モバイルアプリの [プロジェクトステータス] アプリケーションに移動します。
2. 次のいずれかのオプションを使用して、RIDAC レコードを作成するプロジェクトを開きます。
   - タップしてアプレットを開き、プロジェクトをタップします。
   - [自分のプロジェクト] アプレットをタップして、自分のプロジェクトを表示します。
   - [プロジェクトを検索] アプレットをタップして、特定のプロジェクトを検索します。
   - [最重要プロジェクト] または [赤字のプロジェクト] リストで、プロジェクトをタップします。
3. 次のいずれかのオプションを使用して、RIDAC レコードを作成します。
   - その他のアクションアイコン (•••) をタップし、次のいずれかのオプションを選択します。
     - 新しいリスク (New Risk)
     - 新しい問題
     - 新しい意思決定 (New Decision)
     - 新しいアクション
     - 新しい変更要求 (New Request Changes)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 選択したオプションに基づいて、フォームのフィールドに入力します。

5. または、RIDAC レコードを開き、新しい RIDAC レコードを作成します。

- **a. [RIDAC]** タブをタップします。
- **b.** RIDAC レコードの右矢印をタップして詳細を表示し、その他のアクションアイコン (...) をタップしてから、選択したレコードに基づいて [新しいリスク **(New Risk)]**、[新しい問題]、[新しい意思決定 **(New Decision)]**、[新しいアクション]、または [新しい変更要求 **(New Request Changes)]** オプションをタップします。
- **c.** フォームのフィールドに入力します。

プロジェクトステークホルダーとのコラボレーション

プロジェクトでプロジェクトマネージャーや他のステークホルダーとコラボレーションして、モバイルアプリからプロジェクトの更新、ドキュメントの共有、またはメールの送信を実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：portfolio_manager または project_manager または project_user

手順

1. モバイルアプリの [プロジェクトステータス] アプリケーションに移動します。
2. 次のいずれかのオプションを使用して、詳細を表示するプロジェクトを開きます。
   - [プロジェクトを検索] アプレットをタップして、特定のプロジェクトを検索します。
   - [最重要プロジェクト] または [赤字のプロジェクト] リストで、プロジェクトをタップします。
3. 次のいずれかの方法で、プロジェクトステータスレポートでプロジェクトマネージャーや他のステークホルダーとコラボレーションを行います。
   - 作業メモやコメントを追加する機能、画像を選択およびアップロードする機能、写真とファイルを添付する機能などのアクティビティをプロジェクトステータスレポートに追加します。
     a. [アクティビティ] タブをタップします。
     b. アクティビティを追加アイコン ( ) をタップし、次のいずれかのオプションを選択します。
        - 作業メモを追加
        - その他のコメントを追加 (Add Additional Comments)
        - カメラを開く (Open Camera)
        - ライブラリーを開く (Open Library)
        - ファイルの添付 (Attach File)
   - プロジェクトの詳細については、プロジェクトマネージャーにメールを送信してください。
     a. [詳細] タブをタップします。
     b. メール送信アイコン ( ) をタップします。
     c. メールアプリケーションでメールを作成し、アドレスを追加して、送信します。

        デフォルトでは、[宛先 **(To)]** フィールドにプロジェクトマネージャーのメール ID が入力されます。その他のステークホルダーを追加できます。

タスクの結果
プロジェクトでアクティビティの追加やステータスの変更を行うと、プロジェクトマネージャーはモバイル通知を受け取ります。プロジェクトマネージャーは、プロジェクトステータス アプリをインストールし、モバイルデバイスで通知を受信できるように通知を有効にしておく必要があります。

PPM Collaboration

PPM Collaboration アプリケーションを使用して、Slack や Microsoft Teams などの一般的なエンタープライズメッセージングプラットフォームでプロジェクトチームとコラボレーションします。プロジェクトのチームメンバー間でのプロジェクトに関するアクティブでタイムリーなコミュニケーションを促進し、プロジェクトに関する重要なディスカッションに参加し、プロジェクトのステータスに関する最新情報をリアルタイムで受け取ります。

Slack のプロジェクト固有チャネルや Microsoft Teams のチームを使用することで、プロジェクトに関して行われる決定や更新が、すべてのチームメンバーに効果的に届けられます。チームは、すべて 1 つの場所で参照できるチャット履歴や共有プロジェクトドキュメントを通じて、過去のコミュニケーションに簡単にアクセスできます。そうすることで、プロジェクトマネージャーとチームメンバーは、メールやその他のオフラインコミュニケーションに費やす時間を節約できます。

プロジェクトマネージャーとチームメンバーは、プロジェクトコラボレーションチャネルやチームを利用することで次のような利点が得られます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロジェクトマネージャー	チームメンバー
• 1 日の始めに、管理しているプロジェクトの詳細なステータスを確認する • ステータスの詳細を活用して、希望するコミュニケーションモードで関連するチームメンバーによってフォローアップすることを選択する • コラボレーションチャネルまたはチームから直接プロジェクトを開いて、詳細にドリルダウンする	• 直面している問題解決のためにチームメンバーとコミュニケーションを取る • チームメンバーからステータスの最新情報を受け取る • プロジェクトに関するディスカッションに寄与する
• マイルストーン、リスク、問題、意思決定、アクション、変更要求 (RIDAC) に関する変更、およびプロジェクトの財務をリアルタイムで更新します。 • プロジェクトタスクのアサイン先に基づいて、コラボレーションチャネルまたはチームのメンバーを自動的に追加および削除します。	

注:
PPM Collaboration は、チームスペースではサポートされていません。

PPM Collaboration のインストール

PPM Collaboration (sn_ppm_collab) アプリケーションを ServiceNow Store からインストールします。

始める前に

- インストールと設定をスムーズに行うには、次のセットアップチェックリストを完了してください。

注:
Slack とのコラボレーションを有効にする場合は、Slack スポーク v2 プラグインを有効にする必要があります。Microsoft Teams とのコラボレーションを有効にする場合は、Microsoft Teams Graph スポークと Microsoft Azure AD スポークを有効にする必要があります。同じプロジェクトについて Slack と Microsoft Teams の両方で Collaboration を有効にすることはできません。

セットアップタスク	説明
PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインが有効になっていることを確認します。	移動先 サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。
Slack とのコラボレーションのために、Slack スポーク v2 (sn_slack_ah_v2) プラグインが有効になっていることを確認します。	
Microsoft Teams とのコラボレーションのために、Microsoft Teams Graph スポーク (sn_msteams_ahv2) プラグインが有効になっていることを確認します。	
Microsoft Teams とのコラボレーションのために、Microsoft Azure AD スポーク	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セットアップタスク	説明
(com.sn.azure_ad.spoke) プラグインが有効になっていることを確認します。	

注:
本番インスタンスで PPM Standard、Microsoft Teams、および Slack スポークプラグインを有効化するには、個別のライセンスが必要な場合があります。詳細については、ServiceNow のカスタマーサポートにお問い合わせください。

- PPM Collaboration アプリケーションとそれに関連するすべてのストアアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください： のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

必要なロール：管理者

手順

1. に移動します。 ServiceNow Store.
2. ServiceNow Storeで、「PPM Collaboration」を検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   アプリケーションに関する詳細情報を表示できます。該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。
4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [インストールを要求] をクリックします。
6. [インスタンス名] フィールドに詳細を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [インスタンスの理由] フィールドに詳細を入力し、[要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. PPM Collaboration アプリケーションをインストールするインスタンスにログインします。
9. 選択 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
10. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

タスクの結果
以下のコンポーネントは、アプリケーションのインストール時にインストールされます 。

- ロール
- テーブル

詳細については、「PPM Collaboration と一緒にインストールされるコンポーネント」を参照してください。

次のタスク
Slack 用の PPM コラボレーションの設定。

PPM Collaboration と一緒にインストールされるコンポーネント

ロールとテーブルは、PPM Collaboration アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるロール

ロール	説明
コラボレーションユーザー [SN_collab_common.collab_user]	このロールを持つユーザーには、エンティティチャネルテーブルへの読み取り専用アクセス権があります。 このロールは、プロジェクトマネージャーとタスクアサイニーに自動的にアサインされます。
コラボレーション所有者 [SN_collab_common.collab_owner]	このロールを持つユーザーには、エンティティチャネルテーブルへの完全な作成、読み取り、更新、および削除アクセス権があります。 このロールは、プロジェクトマネージャーに自動的にアサインされます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
エンティティチャネル [sn_collab_common_entity_channel]	プロジェクト用に作成された Slack チャネルの ID と名前のリストを格納します。

自動翻訳

Microsoft Teams 用の **PPM** コラボレーションの設定

ServiceNow インスタンスを組織の Microsoft Teams とデータ連携して、Microsoft Teams でプロジェクトのコラボレーションを可能にします。

PPM Collaboration では、Microsoft Teams Graph および Microsoft Azure AD スポークアクション (プロジェクトのチームの作成、プロジェクトチームメンバーの追加または削除、プロジェクトのクローズ時のチームのアーカイブ、およびレコードの更新時のメッセージの投稿など) を使用します。これらのスポークアクションを有効にするには、ServiceNow インスタンスを Microsoft Teams Graph および Microsoft Azure AD とデータ連携して、ServiceNow 要求を認証する必要があります。詳細については、「Microsoft Teams Graph スポークの設定」および「Microsoft Azure AD スポークの設定」トピックを参照してください。

重要:
Microsoft Teams Graph と Microsoft Azure AD スポークを有効にすると、Microsoft Teams Graph と Microsoft Azure AD の接続および資格情報エイリアスが、それぞれ ID *sn_msteams_ahv2.Microsoft_Teams_Spoke* および *sn_azure_ad_spoke.AzureAD* でデフォルトで作成されます。このエイリアスの [接続] 関連リストでアクティブな ([アクティブ] フィールドが *true*に設定されている) 接続は、このデフォルト ID を使用して、ServiceNow インスタンスを Microsoft Teams Graph および Microsoft Azure AD に接続します。そのため、このエイリアスに複数の接続を関連付けることができますが、常に 1 つの接続のみがアクティブになるようにしてください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Slack 用の PPM コラボレーションの設定

ServiceNow インスタンスを組織の Slack とデータ連携して、Slack でプロジェクトのコラボレーションを可能にします。

PPM Collaboration では、Slack スポークアクション (プロジェクトのチャネルの作成、プロジェクトチームメンバーの追加または削除、プロジェクトのクローズ時のチャネルのアーカイブ、およびレコードの更新時のメッセージの投稿など) を使用します。これらのスポークアクションを有効にするには、ServiceNow インスタンスを Slack とデータ連携して、ServiceNow 要求を認証する必要があります。詳細については、「Slack スポークの設定」を参照してください。

重要:
Slack スポークを有効にすると、Slack の接続および資格情報エイリアスが、ID *sn_slack_ah_v2.Slack* でデフォルトで作成されます。このエイリアスの [接続] 関連リストでアクティブな ([アクティブ] フィールドが *true*に設定されている) 接続は、このデフォルト ID を使用して、ServiceNow インスタンスを Slack に接続します。そのため、このエイリアスに複数の接続を関連付けることができますが、常に 1 つの接続のみがアクティブになるようにしてください。

関連情報

Slack スポーク v2

プロジェクトをコラボレーションツールと同期する目的で設計されたフロー

必要に応じて構成を編集できるように、PPM Collaboration アプリケーション用に設計されたフローを理解しておきます。

PPM Collaboration のフロー

Slack フロー [名前]	Microsoft Teams フロー [名前]	説明
アクションスラック [action_slack]	アクションチーム [action_teams]	アクションが優先度 **[1-**重大] または **[2 -** 高] で作成された場合、または既存のアクションの優先度が **[1-**重大] または **[2 -** 高]に更新された場合は常に、プロジェクトチャネルまたはチームにメッセージを投稿します。
チャネルへのアサイン済みユーザーの追加 [add_assigned_users_to_channel]	MS グループへのアサイン済みユーザーの追加 [add_assigned_users_to_ms_group]	プロジェクトタスクの [アサイン先] または [他のアサイニーリスト] フィールドでの、プロジェクトチャネルまたはチームへのユーザーの追加を処理します。
プロジェクトチャネルのアーカイブ [archive_project_channel]	MS グループのアーカイブ [archive_group]	プロジェクトがクローズ済みステータスに移行された日数に基づいて、プロジェクトチャネルまたはチームのアーカイブを処理します。このフローは、毎日午前 8 時に実行されるように設定されています。
変更要求 Slack [cr_updated_slack]	変更要求 Teams [change_request_teams]	変更要求が優先度 **[1-**重大] または **[2 -** 高] で作成された場合、または既存の変更要求レコードの優先度が **[1-**重大] または **[2 -** 高] に更新された場合は常に、プロジェクトチャネルまたはチームにメッセージを投稿します。
日次プロジェクトステータス Slack	日次プロジェクトステータス Teams	毎日午前 8 時に、プロジェクトの全体的なステータスに関するメッセージをプロジェクトチャネルまたはチームにトリガーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM Collaboration のフロー (続く)

Slack フロー [名前]	**Microsoft Teams** フロー [名前]	説明
[daily_project_status]	[daily_project_status_teams]	
意思決定 Slack [decision_updated_slack]	意思決定 Teams [decision_teams]	意思決定が優先度 **[1-**重大] または **[2 -** 高] で作成された場合、または既存の意思決定の優先度が **[1-**重大] または **[2 -** 高]に更新された場合は常に、プロジェクトチャネルまたはチームにメッセージを投稿します。
問題 Slack [issue_updated_slack]	問題 Teams [issue_teams]	問題が優先度 **[1-**重大] または **[2 -** 高] で作成された場合、または既存の問題の優先度が **[1-**重大] または **[2 -** 高]に更新された場合は常に、プロジェクトチャネルまたはチームにメッセージを投稿します。
マイルストーン/主要マイルストーン Slack [milestonekeymilestone]	マイルストーン/主要マイルストーン Teams [milestonekeymilestone_teams]	マイルストーンまたは主要マイルストーンタスクがクローズ済みステータスに移行するたびに、プロジェクトチャネルまたはチームにメッセージを投稿します。
プロジェクトマネージャーの変更 Slack [project_manager_changes]	プロジェクトマネージャーの変更 MS Teams [project_manager_changes_ms_teams]	新しいプロジェクトマネージャーをメンバーとしてプロジェクトチャネルまたはチームに追加する処理を行います。このフローでは、以前のプロジェクトマネージャーであったユーザーがいずれかのプロジェクトタスクにアサインされているかどうかも確認し、いずれのタスクにもアサインされていない場合はチャネルからユーザーを削除します。
プロジェクトステータス Slack [project_status_slack]	プロジェクトステータス Teams [project_status_teams]	次の 3 つのシナリオで、プロジェクトチャネルまたはチームにメッセージを投稿します。 • [ステータス] フィールドが、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [スキップしてクローズ (Close Skipped)] ステータスに更新される • [ステータス] フィールドが更新される • このプロジェクトのプロジェクトマネージャーが変更される
リスクフロー Slack [risk_created_slack]	リスクフロー Teams [risk_created_teams]	リスクが確率 [高] または [絶対] で作成された場合、または既存のリスクの確率が [高] または [絶対] に更新された場合は常に、プロジェクトチャネルまたはチームにメッセージを投稿します。

サブフローを除くすべてのフローは、デフォルトでは非アクティブです。特定のアクションに対して PPM と Slack または Microsoft Teams 間のコラボレーションを有効にするには、これらのフローをアクティブにします。これらのフローをすべて表示するには、次の場所に移動します。 フローデザイナー > デザイナー PPM Collaboration アプリケーションでフローをフィルタリングできます詳細については、「フローを有効化する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのフローのいずれかの構成を更新する場合は、フローを編集できます。たとえば、毎日のステータス更新の時間を午前 8 時から午前 9 時に更新する場合は、日次プロジェクトステータス Slack [daily_project_status] または日次プロジェクトステータス Teams [daily_project_status_teams] フローを編集できます。詳細については、「フローを編集する」を参照してください。

関連情報

Flow Designer

フロー

プロジェクトの **Microsoft** チームの作成

プロジェクトの Microsoft チームを作成して、チームとのコラボレーションを開始し、プロジェクトの適時の更新を受信します。

始める前に

チームを作成するプロジェクトがアクティブで、クローズ済みステータスになっていないことを確認します。

必要なロール：it_project_manager

> **重要:**
> it_project_manager ロールに加えて、このプロジェクトの指定プロジェクトマネージャーである必要があります。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. チームを作成するプロジェクトを開きます。

   開いているプロジェクトのプロジェクトマネージャーであることを確認します。
3. **[MS Teams** コラボレーションを有効化] 関連リンクをクリックして、プロジェクトのコラボレーションを有効にします。

タスクの結果

- プロジェクトの Microsoft チームが作成されます。チームの名前は、プロジェクトフォームの成功メッセージに表示されます。プロジェクトフォームにリンクを表示して MS チームグループにアクセスすることもできます。リンクをクリックすると、プロジェクトの MS チームグループに移動します。
- 自分と管理者がチームのオーナーとして追加されます。
- このプロジェクトのアクティブなプロジェクトタスクのすべてのアサイニーと追加のアサイニーが、メンバーとしてこのチームに追加されます。

  [MS グループへのアサイン済みユーザーの追加 (Add Assigned Users To MS Group)] フローを有効にすると、後で作成するプロジェクトタスクのアサイニーと追加のアサイニーが、メンバーとしてこのチームに自動的に追加されます。ただし、プロジェクトに追加された新規または既存のステークホルダーは、メンバーとしてこのチャネルに追加されません。

  > **注:**
  > 計画立案コンソールからタスクにアサインされたユーザー (アサイニーと追加のアサイニー) は、Microsoft チームに自動的に追加されません。

- プロジェクトのチームが正常に作成されると、**[MS Teams** コラボレーションを有効化] 関連リンクがそのプロジェクトから削除されます。同じプロジェクトについて Slack と Microsoft Teams

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の両方で Collaboration を有効にすることはできません。プロジェクトの **[MS Teams** コラボレーションを有効化] 関連リンクをクリックし、MS チームが作成される前に **[Slack** コラボレーションを有効にする] 関連リンクをクリックすると、MS Teams の作成が進行中であることを示すメッセージが表示されます。

チームを作成できない場合は、しばらくしてから手順を再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

プロジェクトの **Slack** チャネルの作成

プロジェクトの Slack チャネルを作成して、チームとのコラボレーションを開始し、プロジェクトの適時の更新を受信します。

始める前に

Slack チャネルを作成するプロジェクトがアクティブで、クローズ済みステータスになっていないことを確認します。

必要なロール：it_project_manager

重要:
it_project_manager ロールに加えて、このプロジェクトの指定プロジェクトマネージャーである必要があります。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. Slack チャネルを作成するプロジェクトを開きます。

   開いているプロジェクトのプロジェクトマネージャーであることを確認します。
3. **[Slack** コラボレーションを有効にする] 関連リンクをクリックして、プロジェクトのコラボレーションを有効にします。

タスクの結果

- このプロジェクトの Slack チャネルが作成されます。チャネルの名前は、プロジェクトフォームの成功メッセージに表示されます。プロジェクトフォームにリンクを表示して Slack チャネルにアクセスすることもできます。リンクをクリックすると、プロジェクトの Slack チャネルに移動します。
- 自分、およびこのプロジェクトのアクティブなプロジェクトタスクの既存のすべてのアサイニーと追加のアサイニーが、メンバーとしてこのチャネルに追加されます。

  [チャネルへのアサイン済みユーザーの追加 (Add Assigned Users To Channel)] フローを有効にすると、後で作成するプロジェクトタスクのアサイニーと追加のアサイニーが、メンバーとしてこのチャネルに自動的に追加されます。ただし、プロジェクトに追加された新規または既存のステークホルダーは、メンバーとしてこのチャネルに追加されません。

  注:
  計画立案コンソールからタスクにアサインされたユーザー (アサイニーと追加のアサイニー) は、Slack チャネルに自動的に追加されません。

- プロジェクトのチャネルが正常に作成されると、**[Slack** コラボレーションを有効にする] 関連リンクがそのプロジェクトから削除されます。同じプロジェクトについて Slack と Microsoft Teams の両方で Collaboration を有効にすることはできません。プロジェクトの **[Slack** コラボレーションを有効にする] 関連リンクをクリックし、Slack チャネルが作成される前に **[MS Teams** コラボレーションを有効化] 関連リンクをクリックすると、Slack チャネルの作成が進行中であることを示すメッセージが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

チャネルを作成できない場合は、しばらくしてから手順を再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

コラボレーションツールでのプロジェクト更新の通知

Slack チャネルまたは Microsoft チームでプロジェクトに関連する更新を受信します。遅延および期限切れのタスクを分析し、マイルストーンのクローズをフォローし、プロジェクトのリスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求 (RIDAC) アイテムの変更を監視します。

プロジェクトコラボレーションチャネルまたはチームでプロジェクトステータスの自動更新を使用すると、プロジェクトマネージャーは、プロジェクト計画、リソース管理、財務配分について情報に基づいた意思決定を行うことができます。チームメンバーは、プロジェクトに加えられた更新を理解し、遅延または期限切れのタスクについてアクティブにコラボレーションを行うことができます。

注:
プロジェクトマネージャーは、システム管理者に連絡して、ニーズに応じてこれらの通知のアプリケーション設定を構成することができます。

プロジェクトステータスに関する日次通知

統合プロジェクトステータスの通知は、毎日午前 8 時にプロジェクトのチャネルに送信されます。この通知は次の情報で構成されます。

通知	情報
プロジェクト概要	• プロジェクトの直接 URL。この URL をクリックすると、ServiceNow インスタンスでプロジェクトが開きます。 • プロジェクトの名前。 • プロジェクトの開始予定日と終了予定日。 • プロジェクトのステータス ([対応中] など)。 • プロジェクトのステータス (緑など)。 • プロジェクトの完了率。 • 完了時の推定が合計計画コストを上回っている、終了予定日が承認終了日より遅い、プロジェクトが開始日に開始されていない、プロジェクトの実行が遅れているなどの例外があります。
今日が期限のプロジェクトタスク	終了予定日が本日とマークされており、[対応中] ステータスになっているプロジェクトタスクのリスト。リストには、簡単な説明でアルファベット順にソートされた 5 つのプロジェクトタスクのみが表示されます。
期限切れのタスク (開始予定日に開始されていないタスク)	開始予定日が本日より前であるが、[対応中] ステータスまたは [クローズ済み] ステータスのいずれでもないプロジェクトタスクのリスト。リストには、開始予定日の昇順でソートされた 5 つのプロジェクトタスクのみが表示されるため、長期間期限切れになっているタスクを容易に視認できます。
遅延タスク (終了予定日に完了していないタスク)	終了予定日が本日より前で、[対応中] ステータスになっているプロジェクトタスクのリスト。リストには、終了予定日の昇順でソートさ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

通知	情報
	れた 5 つのプロジェクトタスクのみが表示されるため、長期間期限切れになっているタスクを容易に視認できます。
期限が 7 日以内のプロジェクトタスク	終了予定日が本日から 7 日以内である後続の 5 つのプロジェクトタスクのリスト。これらのタスクはすべて、期日の昇順で表示されるため、まもなく期日が来るタスクを容易に視認できます。 注: [クローズ済み] ステータスにあるタスクは、このリストに表示されません。 • 優先度の高いリスク、問題、およびアクションアイテム • マイルストーンまたは主要マイルストーンタスク

プロジェクトマネージャーの変更に関する通知

プロジェクトのマネージャーが変更されると、プロジェクトレコードの [プロジェクトマネージャー] フィールドが更新されます。

- この更新時に、プロジェクト URL を含む通知がプロジェクトチャネルに送信されます。
- 新しいプロジェクトマネージャーがチャネルのメンバーとして追加されます。
- 古いプロジェクトマネージャーにプロジェクトタスクがアサインされていない場合、このユーザーはチャネルのメンバーとして削除されます。

プロジェクトに対するその他の更新の通知

通知	情報
プロジェクトのステータス	プロジェクトの [ステータス] または [ステータス] フィールドが更新されると、プロジェクト URL を含む通知がプロジェクトチャネルに送信されます。
RIDAC レコード	次のシナリオでは、プロジェクトで新しい RIDAC レコードが追加されたとき、または既存の RIDAC レコードが更新されたときに、プロジェクトチャネルで通知を受け取ります。すべての通知で、対応するレコードへの直接 URL を受け取ります。 • リスク ○ [確率 (Probability)] フィールドを [高] または [絶対]に設定して新しいリスクが作成される ○ 既存のリスクの [確率 (Probability)] フィールドが [高] または [絶対]に更新される • 問題、意思決定、アクション、および変更要求 ○ 優先度フィールドを **[1 -** 重大] または **[2 -** 高] に設定して新しいレコードが作成される ○ 既存のレコードの優先度が **[1 -** 重大] または **[2-**高] に更新される

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

通知	情報
主要マイルストーン/マイルストーン	主要マイルストーンまたはマイルストーンタスクが [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] になるたびに、クローズとそれをクローズしたユーザーが、マイルストーンタスクへの直接 URL とともに通知されます。

プロジェクトコラボレーションチャネルまたはチームのアーカイブ

プロジェクトがクローズ済みステータスに移行したときに、プロジェクトの Slack チャネルまたは Microsoft チームがどのようにアーカイブされるかについて確認します。

プロジェクトのクローズ済みステータスへの移行

プロジェクトマネージャーがプロジェクトを [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [スキップしてクローズ] ステータスに移行すると、次のアクションがトリガーされます。

- プロジェクトのクローズに関する通知が、チャネルまたはチームにすぐに送信されます。
- チャネルまたはチームは、プロジェクトがクローズ済みステータスに移行した日から 15 日以内にアーカイブされます。

  この 15 日間の期間により、プロジェクトメンバーは処理待ちのコミュニケーションをクローズしたり、処理待ちのプロジェクトドキュメントを共有したりできます。

  プロジェクトマネージャーは、管理者に連絡して、この 15 日間の期間を選択した値に更新することができます。

プロジェクトタスクの削除

プロジェクトタスクが削除されても、対応する Slack チャネルまたは Microsoft チームのメンバーは自動的に削除されません。プロジェクトタスクの削除時にメンバーを削除するには、**[Slack/Teams** チャネルからユーザーを削除 **(Remove Users From Slack/Teams Channel)]** ビジネスルールを有効にする必要があります。このビジネスルールはプロジェクトタスクテーブルで作成され、デフォルトでは有効になっていません。詳細については、「ビジネスルール」を参照してください。

プロジェクトチャネルまたはチームの削除

Slack アプリケーションでチャネルが削除された場合、または Microsoft Teams アプリケーションでチームが削除された場合、PPM Collaboration アプリケーションは、エンティティチャネル [sn_collab_common_entity_channel] テーブル内のプロジェクトの参照の削除を自動的に処理しません。そのため、プロジェクトマネージャーは、プロジェクトフォームの **[Slack** コラボレーションを有効にする] または **[MS Teams** コラボレーションを有効化] 関連リンクを再度表示することはできません。

プロジェクトマネージャーがこのプロジェクトのチャネルまたはチームを再度作成する場合、管理者はエンティティチャネルテーブルからプロジェクトの参照を手動で削除する必要があります。これにより、コラボレーションを有効にするための関連リンクがプロジェクトフォームに表示されます。

PPM 向けの仮想エージェント

ServiceNow® PPM 向けの仮想エージェントを使用すると、プロジェクトマネージャーは、さまざまなメッセージングサービスを介して仮想エージェントとやり取りすることで、ビジネス関連のクエリーに対する迅速な回答を得ることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM 向けの仮想エージェントを使用すると、プロジェクトマネージャーは、さまざまなリスト間を移動することなく、ビジネス関連の情報を 1 つのステップですばやく表示できます。たとえば、期限切れのすべてのプロジェクトタスクのリストを取得できます。

ベースシステムでは、事前定義された次のような仮想エージェントトピック (チャットボット会話) を提供します。

- プロジェクトおよびタスクステータス
  - すべてのアクティブなプロジェクト
  - 赤いステータスのプロジェクト
  - 来週終了する、完了率が 60% 未満のプロジェクト
  - 期限切れのマイルストーン/主要マイルストーン
  - 期限切れのタスク
  - 遅延タスク
- リソース
  - 実際の時間が割り当てられた時間を超えるリソースプラン
  - 来週から始まる未割り当てリソース計画
  - 要求された拡張を含む未割り当てリソース計画
- 財務管理
  - 自分のアクティブなプロジェクト
  - 計画コストより大きい EAC のあるプロジェクト
  - 予算より大きい EAC のあるプロジェクト
- RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求)
  - 今週が期限の絶対リスクと高確率リスク
  - 今週が期限の重要かつ高優先度の問題
  - 今週が期限の重要かつ高優先度のアクションアイテム
- データ品質
  - ビジネスケースのないプロジェクト
  - 戦略のないプロジェクト
  - プログラムまたはポートフォリオのないプロジェクト

トピックは、仮想エージェント (チャットサポートボット) とユーザーの間のダイアログを定義します。これにより、特定のビジネスニーズに関する情報を収集できます。詳細については、次を参照してください： 仮想エージェント.

メッセージ アプリケーションとの統合

Slack や Microsoft Teams などのサードパーティのメッセージングアプリケーションを使用して、PPM の仮想エージェントボットの会話を実行できます。

仮想エージェント Integrations アプリを使用して、インスタンスのメッセージングアプリを構成します。

詳細については、「仮想エージェントのメッセージングアプリとの統合」を参照してください。

Slack または Microsoft Teams との統合の詳細については、「仮想エージェント通知の設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM 向けの仮想エージェントのインストール

PPM 向けの仮想エージェントを ServiceNow ストアからインストールします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
PPM 向けの仮想エージェントをインストールするには、次のプラグインを有効にします。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、PPM 向けの仮想エージェントをインストールする前にインストールする必要があります。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] をクリックします。

   (Optional) デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:**
   > インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] をクリックします。

PPM 向けの仮想エージェントの有効化

PPM 向けの仮想エージェントを有効にして、仮想エージェントとのチャットを開始します。

始める前に
必要なロール：admin、virtual_agent_admin
ベースシステムでは、事前定義された仮想エージェントトピック (チャットボット会話) を提供します。トピックをカスタマイズするには、複製してから編集します。「仮想エージェントデザイナー」を参照

手順

1. 移動先 すべて > 仮想エージェント>デザイナー>トピック>コラボレーション.
2. **[PPM** 仮想エージェント] カードをクリックして開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 提供されたトピックを変更せずに使用するには、[公開] をクリックします。
- カスタマイズするためにトピックを複製するには、[複製] をクリックします。重複するトピックの名前を入力し、[保存] をクリックします。

PPM 仮想エージェントの会話フロー

PPM 向けの仮想エージェントには、プロジェクトマネージャーがビジネス関連タスクに関する情報を収集できるように、事前定義されたトピックの会話がいくつか用意されています。

it_project_manager ロールを持っている場合は、次のような事前定義されたトピックの会話を表示できます。

プロジェクトおよびタスクステータス

プロジェクトおよびタスクに関連する情報。たとえば、アクティブなプロジェクト、赤のステータスのプロジェクト、近い将来に終了する予定のプロジェクト、および期限切れのタスクとマイルストーンのあるプロジェクトなどです。この情報は、設定されたマイルストーンごとにプロジェクトを追跡および計画するのに役立ちます。

リソース

リソース関連情報。たとえば、割り当てられた時間を超える実績時間を含むリソース計画、翌週に開始予定の未割り当てのリソース計画、または延長が要求されているリソース計画などです。その後、リソースを管理し、計画どおりに進んでいないリソース計画に対処できます。

財務管理

財務関連情報。たとえば、完了時の推定金額が計画コストを上回っているプロジェクトや、完了時の推定額が予算金額を上回っているプロジェクトなどです。この情報は、プロジェクトの財務実績を理解するのに役立ちます。

RIDAC

RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) 関連情報。たとえば、期限が翌週で絶対または高確率のリスクのあるプロジェクトや、期限が今週で重大または高確率の問題およびアクションのあるプロジェクトなどです。この情報は、将来のプロジェクトを計画するためのパターン、傾向、および考えられる解決策を分析および特定するのに役立ちます。

データ品質

品質関連情報。たとえば、ビジネスケース、戦略、プログラム、またはポートフォリオがアサインされていないプロジェクトなどです。この情報は、戦略、ビジネスケース、プログラム、またはポートフォリオに沿っていないプロジェクトを評価するのに役立ちます。

PPM 仮想エージェントの再利用可能なトピックブロック

トピックブロックを作成して再利用することで、トピックの作成およびメインテナンスのプロセスを簡素化できます。トピックブロックを使用すると、会話トピック全体で標準的な手順を再利用できます。

次のような、事前定義された再利用可能なトピックブロックを利用できます。

- PPM VA のプロジェクトのトピック
- 特定プロジェクトのオプション
- PPM VA のプロジェクトデータ品質のトピック
- PPM VA のプロジェクト財務のトピック
- PPM VA のリソースのトピック
- PPM VA の RIDAC トピック

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

再利用可能なトピック機能のみを表示するには、仮想エージェントデザイナーの [トピック] ページにアクセスして、[トピックブロック] タブをクリックします。詳細については、「再利用可能なトピックブロック」を参照してください。

計画立案属性

計画立案属性は、財務で リソース管理 属性ベースのリソースマッピングを定義して処理し、財務でこれらのリソースの人件費を生成するように設計されています。

属性は、リソースまたはタスクタイプとして定義されたプロパティまたは特性であり、属性ベースの計画で考慮されます。これらの属性は、リソース管理と財務計画に使用できます。

計画立案属性が特定された後、管理者は、プロジェクト要件とリソーステーブルから利用可能なメタデータに基づいて、 計画立案属性を作成または編集できます 。計画立案属性の作成作業には、プロジェクト計画プロセスで使用する属性の識別と定義が含まれます。

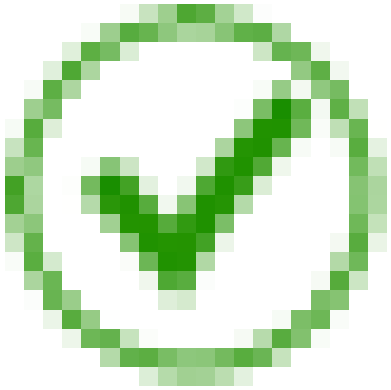
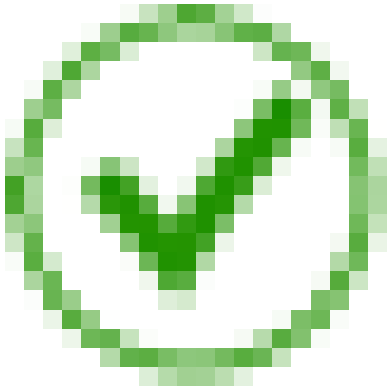
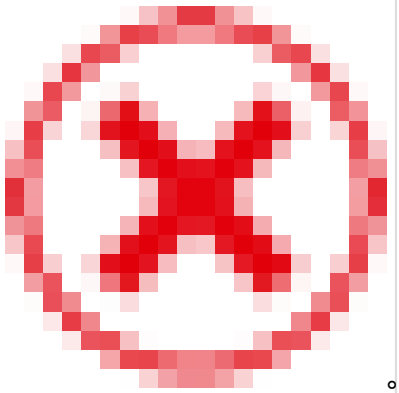
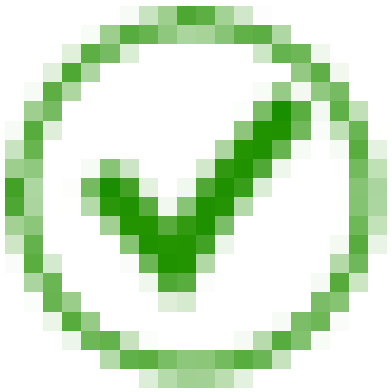
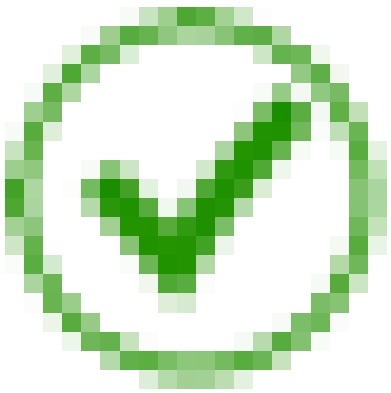
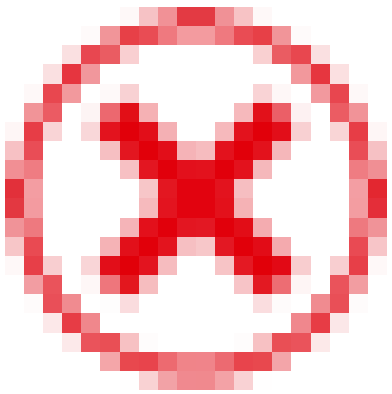
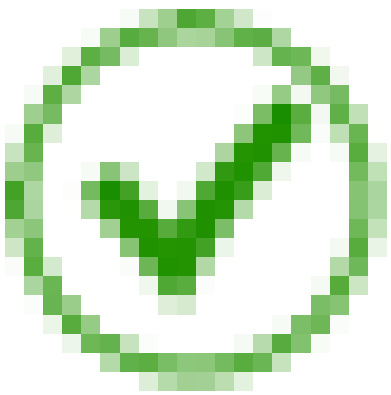
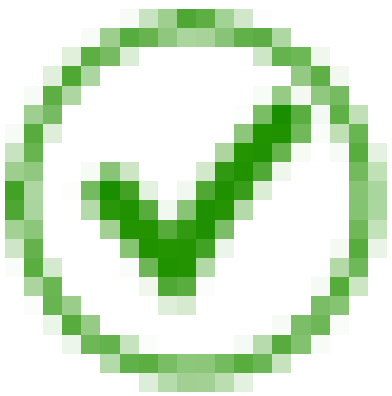
計画立案属性を使用するロールベースの長所

ロール	長所
リソースマネージャー (リソース管理)	• 計画立案レベルにリソースを追加します。 • リソースグリッドを使用して、属性を計画したり、必要な詳細な変更を行ったりします。 • ヒートマップを割り当てて、週次または月次の割り当ての競合を表示および管理します。
プロジェクトマネージャー (Project Financials)	• 新しい リソース管理 に基づく属性ベースの人件費の作成。 • 外部リソースの人件費を自動的に生成します。 • リソースにアサインされたタスクに基づいて、経費タイプ別に人件費を表示します。 • 分割された人件費の財務予測を表示します。

属性ベースのリソースマッピングでは、次の属性がデフォルトで有効になっており、財務を使用して人件費を生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

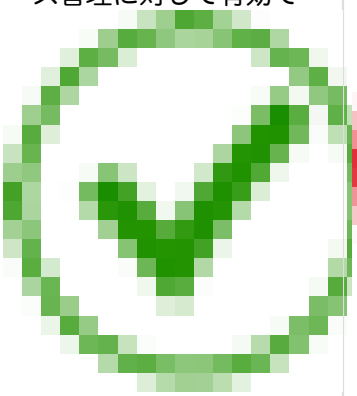
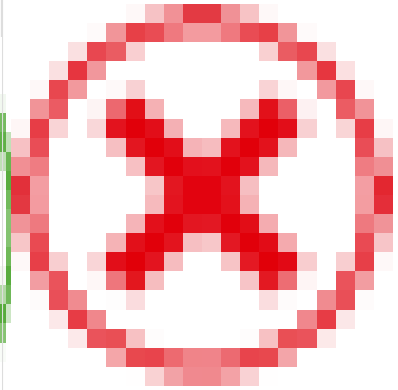
計画立案属性

属性の名前	リソース管理	財務管理
従業員タイプ		
経費タイプ		
グループ		
ロール		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案属性 (続く)

属性の名前	リソース管理	財務管理
スキル	リソース管理に対して有効で  す。	

計画立案属性の作成または編集

計画立案属性を作成または編集して、プロジェクトのリソースと財務を計画および予測します。

始める前に
必要なロール：pps_admin、sn_align_core.apw_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 計画立案属性.
2. 計画立案属性を作成または編集するには、次のオプションを使用します。
3. [計画立案属性列構成] テーブルにルックアップテーブル値のフィールド名を入力します。
4. オプション: 財務属性またはリソース管理属性を含むテーブルのデフォルトの列構成リストに新しい構成を追加するには、次のようにします。
   a. [新規] を選択します。
   b. リストからルックアップテーブルを選択します。
   c. リストからフィールド名を選択し、**[Submit** (送信)] を選択します。
   たとえば、[場所] フィールドの属性を作成する場合は、選択したルックアップテーブルに場所関連の列を追加します。
   選択したアイテムが、自動生成されたフィールドの説明とともに列構成リストに追加されます。
5. [更新] を選択します。

> **重要:**
> リソース管理の属性を作成する場合は、必ず 属性 フィールドを 、 、*resource_plan*および *sn_plng_att_core_resource_assignment* ルックアップテーブルに追加*resource_allocation*してください。同様に、財務の属性を作成する場合は、リソース管理参照テーブルとともに参照テーブルに [属性] フィールド *cost_plan* を追加します。

計画立案属性フォーム

計画立案属性を変更するには、[計画立案属性] フォームのフィールドを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案属性フォーム

フィールド	説明
属性タイプ	属性タイプリスト。 • リソース: プロジェクトのリソースまたは財務の属性を使用します。 • タスク:属性を使用して人件費のみを生成します。
属性の名前	属性の名前。
リソース管理を有効にします	リソース計画立案の属性を有効にするオプション。 このオプションがデフォルトで選択されています。
財務を有効にします	Financial Planning の属性を有効/無効にするオプション。 注: • 財務の属性を有効にするには、リソース管理に対して有効にする必要があります。 • 進行中のプロジェクトの財務属性を無効にするには:既存の人件費計画をすべて削除し、財務の属性を無効にして、人件費計画を再生成します。
属性テーブル	デフォルトの属性テーブルは、属性の情報のソースとなる従業員プロファイルです。
属性フィールド	属性を定義する Employee Profile テーブルの要素名。 フォームを保存した後、選択したフィールド値に関連するルックアップテーブルが [計画立案属性列構成] テーブルに表示されます。 列のそれぞれのフィールド名を入力して、属性をアクティブにします。
有効	計画立案のために属性を有効化して使用するオプション。
タスク属性テーブルとフィールド	タスク属性のテーブル名とフィールド値。 このフィールドは、タスクタイプ属性の作成時にのみ表示されます。

プロジェクトワークスペース

ServiceNow® プロジェクトワークスペース は、プロジェクトマネージャーが一元的な場所からプロジェクトを計画および管理するのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

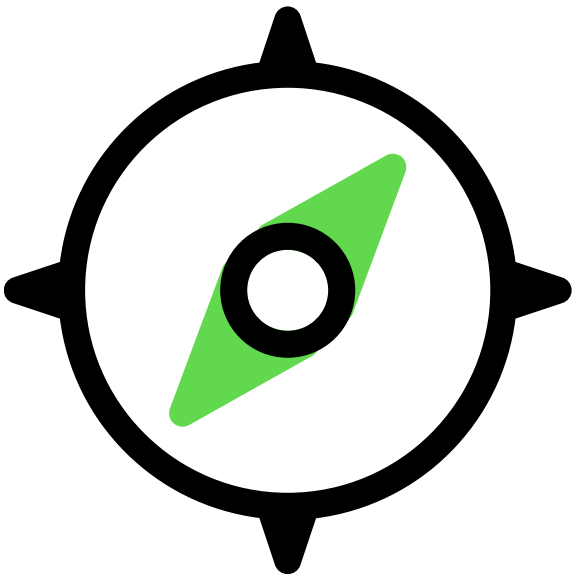
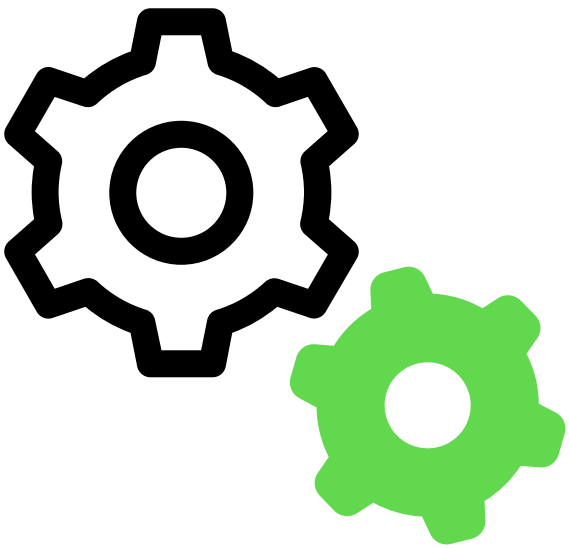
新しい プロジェクトワークスペース ページには、[計画]、[財務]、[RIDAC]、および [詳細] ページが付属しています。アプリの概要については、次のビデオをご覧ください。機能の詳細な説明はビデオの後にあります。

新しいプロジェクトワークスペース UI の概要

概要

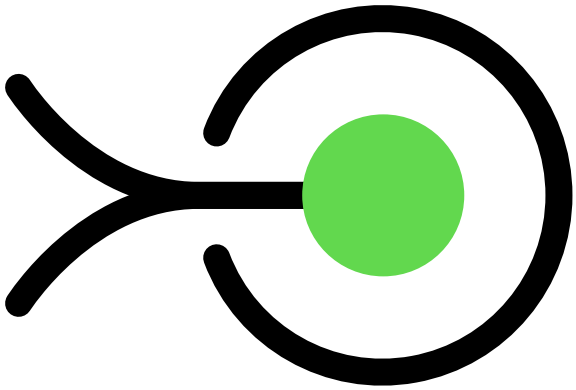
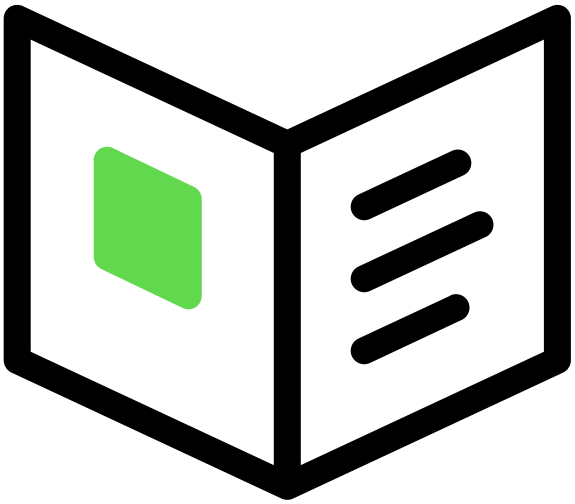
を使用すると プロジェクトワークスペース 、単一のワークスペースでタスクのコラボレーション、計画、整理、および実行が可能になります。このアプリケーションは、プロジェクト、タスク、サブプロジェクト、依存関係、およびタイムラインを作成および監視する機能を提供します。プロジェクトマネージャーは、内の プロジェクトワークスペース リソースを割り当てて最適化し、適切な個人が適切なタスクにアサインされるようにすることができます。を使用すると プロジェクトワークスペース、プロジェクトの財務、予算、コスト計画を計画および追跡できます。このプロジェクト管理アプリケーションは、関連するプロジェクト情報を 1 か所で提供することで、情報に基づいたタイムリーな意思決定を支援します。

開始するには

探索	構成
	
の機能とビジネス価値について学ぶ プロジェクトワークスペース	コア構成を設定する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用方法	参照
	
を使用したプロジェクトの管理 プロジェクトワークスペース	のフォームとフィールドについて説明します プロジェクトワークスペース

トラブルシューティングとヘルプ

- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

プロジェクトワークスペース の詳細

この ServiceNow® プロジェクトワークスペース アプリケーションは、プロジェクト、リソース、および財務を単一のワークスペースで管理するのに役立ちます。

プロジェクトワークスペース の概要

プロジェクトワークスペース は、さまざまなワークフローを最適化し、プロジェクトまたはタスク、リソース、および財務の計画と管理を 1 か所で行えるようにするプロジェクト管理アプリケーションです。このアプリケーションでは、プロジェクト、サブプロジェクト、プロジェクトタスク、リソース、および財務へのアクセスが一元化されるため、さまざまなアプリケーション間を移動する必要性が軽減されます。は プロジェクトワークスペース 、すべてのプロジェクトとプロジェクト関連情報の包括的な概要をプロジェクトマネージャーに提供します。このプロジェクト管理アプリケーションは、プロジェクトの範囲、依存関係、およびタイムラインを定義する方法を提供することで、より良いプロジェクト計画を可能にします。

プロジェクトワークスペース のメリット

メリット	機能
プロジェクトを開始し、プロジェクトタスクの計画を開始します。	プロジェクトを作成し、プロジェクト計画を開始する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メリット	機能
プロジェクトタスクをプロジェクトに追加し、タスクをチームに直接割り当てて、プロジェクトの実装を成功に導きます。	プロジェクトタスクを作成してプロジェクトに追加する
プロジェクトタスクの依存関係を追加して、プロジェクト内で構造化されたワークフローを確立します。	プロジェクトの内部依存関係の作成
異なるプロジェクトのタスク間に依存関係を追加して、相互に関連するプロジェクト間のタイムラインを調整します。	外部依存関係を介して異なるプロジェクトのタスクを接続する
プロジェクトのベースラインを作成して比較し、プロジェクトの進捗状況を経時的にキャプチャします。	プロジェクトのベースラインを設定する
フィードバックやメモのために関係者をタグ付けし、コメントを追加してプロジェクトで共同作業します。	プロジェクトのステークホルダーとのコラボレーション
リスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求をプロジェクトに追加して、プロジェクト開発全体で RIDAC レコードを追跡および管理します。	プロジェクトへの RIDAC レコードの追加
プロジェクト情報をスライドにコピーせずに、プロジェクトをワークスペースから直接 PowerPoint ファイルとしてエクスポートします。	プロジェクトを Microsoft PowerPoint にエクスポート
プロジェクトまたはタスクレベルでリソース割り当てを作成および追跡して、プロジェクト全体のリソース割り当てを最適化します。	リソースのアサインを作成し、リソース計画立案を開始する
予測経費と実際の経費を監視するために必要な期間のコスト計画を作成します。	プロジェクトのコスト計画の作成
プロジェクトコスト計画に経費明細を追加して、プロジェクトの包括的で詳細な財務フレームワークを確立します。	コスト計画の経費明細の追加
属性ベースのリソースアサインの人件費を生成し、プロジェクトの経費を追跡します。	プロジェクトの人件費を生成する

関連情報

- プロジェクトワークスペースでのプロジェクトの管理
- プロジェクトの財務管理
- によるリソース計画 プロジェクトワークスペース
- プロジェクトワークスペースクラシック版

でのプロジェクト計画立案 プロジェクトワークスペース

直感的な プロジェクトワークスペース アプリケーションでプロジェクトを計画し、プロジェクトを成功に導きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

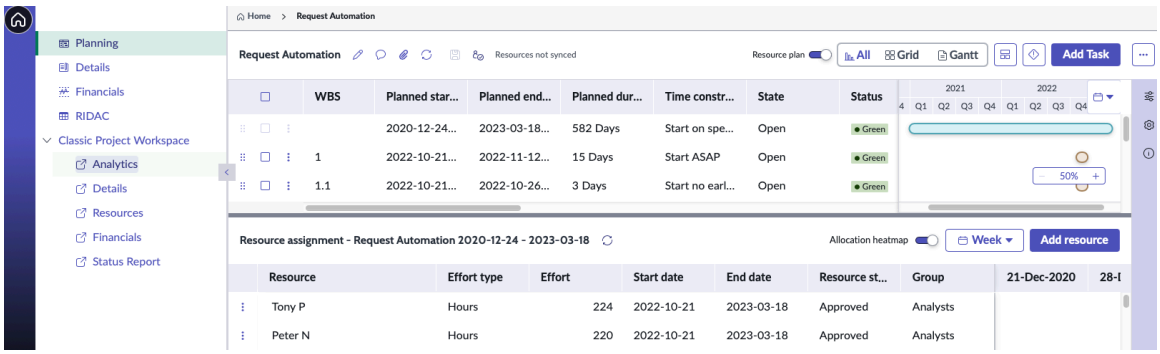
概要

プロジェクトマネージャーは、この プロジェクトワークスペース アプリケーションを使用して、単一のワークスペース内でプロジェクト、サブプロジェクト、プロジェクトタスクを定義、計画、および優先順位付けできます。

プロジェクトの プロジェクトワークスペース 日付とマイルストーンの定義から、リソースの割り当て、タスクのスケジュール設定、依存関係の確立まで、プロジェクト計画フェーズを構成します。

新しいプロジェクトワークスペースは、計画、詳細、財務、および RIDAC の 4 つのコンポーネントまたはページで構成されています。[計画] ページは、プロジェクト、プロジェクトタスク、およびリソースの作成と計画に役立ちます。[詳細] ページには、プロジェクトの包括的な概要が表示されます。[財務] ページは、プロジェクトの財務面の管理に役立ちます。[RIDAC] ページは、プロジェクトのライフサイクル全体にわたって、リスク、問題、意思決定、アクション、または変更を特定、追跡、および管理するのに役立ちます。

主な特長



[計画立案] ページを使用して、プロジェクトタスクの整理、リソースの割り当て、およびプロジェクトタイムラインの設定を行います。プロジェクトマネージャーは、次のことができます。

- 新しいプロジェクトを開始し、プロジェクトの詳細、目的、および初期計画を定義して、プロジェクトチームに明確な方向性を提供します。
- プロジェクト、サブプロジェクト、タスク、マイルストーン、依存関係の作成など、ワークスペース内でのプロジェクトの構造を確立します。
- プロジェクトの開始予定日と終了予定日を定義します。
- リソースを割り当て、プロジェクトのリソースの可用性と使用率を分析します。
- プロジェクト、サブプロジェクト、タスク、およびマイルストーンの進捗状況を監視します。プロジェクトの全体的な進捗状況を追跡します。
- プロジェクトのドキュメントを整理および管理し、関連するすべてのファイル、レポート、およびデータに簡単にアクセスできるようにします。
- 財務計画立案に関与し、予算の割り当て、経費、および財務測定基準を追跡します。

のリソース計画 プロジェクトワークスペース

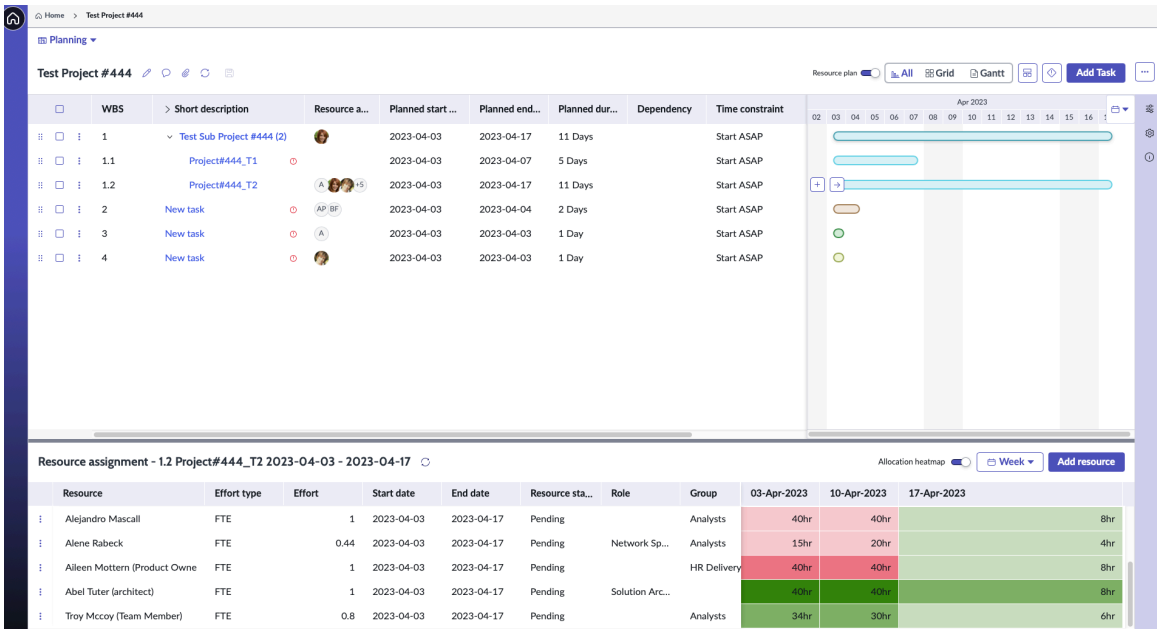
アプリケーションを使用して プロジェクトワークスペース リソースを計画および割り当て、最適なリソース使用率と実行を可能にします。

リソース管理 アプリケーションを使用すると、プロジェクトマネージャーはプロジェクトワークスペースでリソースのアサインを作成して、リソースを割り当て、リソースの可用性を分析できます。リソース管理 アプリケーションは、任意のプロジェクトまたはプロジェクトタスクでプロジェクトワークスペースとともに使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

主な特長

アプリケーションは リソース管理 、プロジェクトのどのフェーズでもリソースのアサインと割り当て プロジェクトワークスペース を可視化します。



リソース管理ではプロジェクトワークスペース、次のことができます。

- プロジェクト開発の任意のステージでリソースをアサインします。リソースは詳細なレベルで計画できます。
- プロジェクトの任意のフェーズで、リソースのアサイン日、リソース、およびリソースの可用性への取り組みを変更します。
- プロジェクトワークスペースで属性ベースのリソースのアサインを作成します。
- ヒートマップで可用性を表示し、リソースの可用性に基づいて割り当てます。割り当ては、タスクのリソースの可用性を表示するために色分けされます。
- プロジェクトワークスペースの 1 か所でリソースを要求して割り当て、リソースの可用性を確認します。

自動翻訳

プロジェクトワークスペースでの リソース管理 ワークフロー

プロジェクトマネージャーは、プロジェクトワークスペースで属性ベースのリソースのアサインを作成できます。任意のタイプのプロジェクトタスクをリソースのアサインに追加できます。

リソースのアサインが作成された後、プロジェクトマネージャーはリソースの可用性を確認し、リソースのアサインにリソースをアサインします。リソースが利用できない場合、プロジェクトマネージャーはリソースマネージャーと協力してリソースの可用性を調整します。すべての関係者が同意すると、リソースの作業が開始されます。プロジェクトマネージャーは、ヒートマップでリソースの割り当てを表示できます。

注:
リソースのアサインが作成され、割り当てが要求されると、リソース計画がバックエンドで自動的に作成され、割り当て済みステータスになります。新しいリソース計画とリソースの割り当てが作成されるか、属性に基づいて既存のリソース計画が取得されます。その結果、計画コストと割り当て済みコストが照合され、予定時間と割り当て済み時間も照合されます。こうしたリソース計画は、リソース割り当てワークベンチに表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペースの財務計画立案

プロジェクトの計画、再予測、財務の追跡、ベースラインの作成を行います。

財務ビューでは、会計期間全体の実際の経費と予定経費が簡素化されて表示されます。過去の会計期間の実績コスト、現在および将来の会計期間の計画コスト、四半期および年の合計、および合計作業期間を表示することで、最新の完了コスト概算を表示できます。

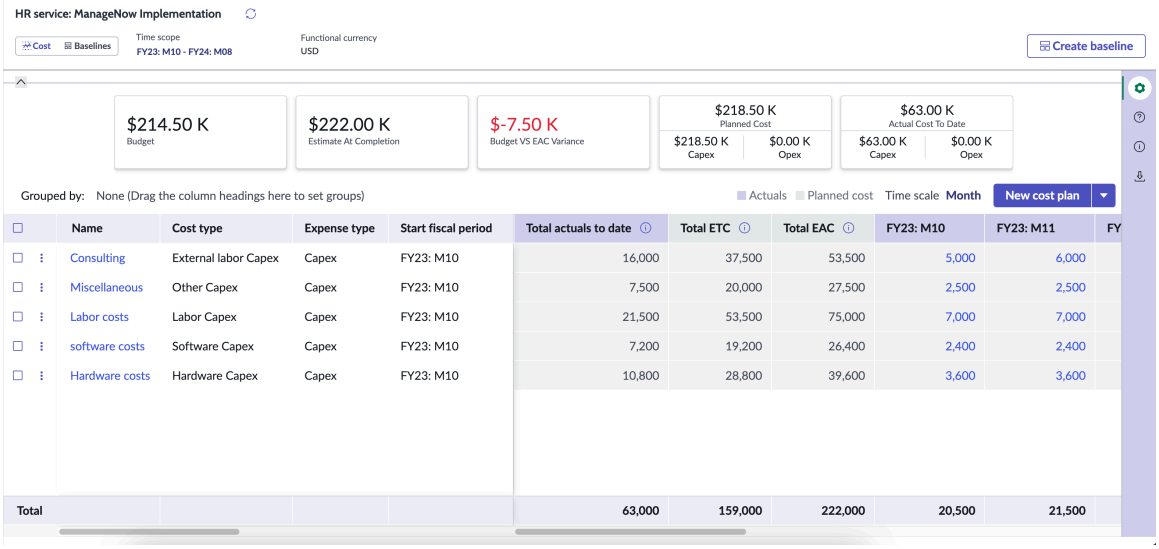
このインターフェイスを使用すると、コスト計画、経費明細、およびベースラインを作成できます。プロジェクトマネージャーまたは財務ユーザーは、次のことができます。

- [詳細] タブの簡易財務セクションを使用して、計画立案アイテムの上位レベルの財務予測を入力します。
- 計画経費および計画投資の概括的な見積もりを処理します。
- 財務を使用して、計画コストの詳細なブレークダウンを作成します。
- コスト計画の追加、編集、または削除 サイドパネルから。
- プロジェクトの時間スコープ全体について、過去の実績コストと将来の計画経費を示す簡素化されたビューを表示する。
- 合計時間スコープと年次ブレークダウンについて、EAC (完了時の推定)、ETC (完了までの推定)、および各コスト計画の現在までの実績を表示することで、より優れた包括的なソリューションを得る。
- グリッドのインライン編集機能を使用して、四半期および年次の合計を直接更新することで、将来の会計期間の計画コストを再予測します。
- 人件費の生成 計画立案アイテムの全スコープに対するリソースのアサインに応じて、組織用に構成された財務属性によって分類されます。属性ベースのマッピングの計画立案属性の詳細については、「計画立案属性」を参照してください。
- 経費明細の追加または編集 関連するコスト計画の詳細が事前に入力されたサイドパネルのコスト計画に対して。
- [新しい経費明細] サイドパネルを使用して予定外の経費を記録します。
- 財務ベースラインを作成して比較し、プロジェクトの実行中にプロジェクトの財務を追跡します。
- 財務ベースラインを作成し、ベースラインの比較機能を使用して、最新のコスト (過去の会計期間の実際の経費と、現在および将来の会計期間の計画コスト) を当初の予測計画コストと比較します。
- 財務ベースラインを手動または自動でキャプチャして、コストの差異の原因と、いつ発生したかを経時的に分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[財務] 画面



[財務] 画面では、以下の情報を表示できます。

- 時間スコープ：計画立案アイテムまたはコスト計画の期間のうち、会計期間の範囲が大きい方。
- 機能通貨 – 財務の計算に定義および使用される通貨。
- 割り当てられた予算、合計最新コスト (EAC)、差異 (予算と EAC の差)、計画コストのブレークダウン、コストタイプ別の現在までの実績など、さまざまな財務情報を表示するカスタマイズ可能なウィジェット。
- タイムスケール： 財務を表示するための期間ブレークダウン。デフォルト値は、会計カレンダータイプに応じて [月]/[期間] に設定されます。
- 人件費の生成：リソースのアサインに応じて計画立案アイテムの計画人件費を生成または更新するワンクリックソリューション。

  注:
  このオプションは、属性ベースのリソースがアサインされているプロジェクトでのみ有効になります。

- 左ペインには、[名前]、[コストタイプ]、[経費タイプ]、[統計会計期間]、[会計期間の終了]、[合計計画コスト]、[従業員タイプ]、および [ロール] が表示されるコスト計画属性が表形式で表示されます。これらのフィールドはカスタマイズできます。詳細については、「財務の左ペインビューのカスタマイズ」を参照してください。
- 右ペインに、現在までの合計実績、選択した時間スコープ期間の合計 EAC (完了時の推定) と合計 ETC (完了までの推定)、過去の会計期間のコスト計画に対する実績経費、現在までの実績、現在の会計年度の EAC と ETC、および現在および将来の会計期間の計画コストを表示します。

  注:
  経費タイプを簡単に識別して区別できるように、実績経費と予定経費のヘッダー行が異なる色で色分けされています。凡例は [タイムスケール] フィールドに対してマークされます。

- 新しいコスト計画：エンティティの新しいコスト計画を作成するための簡素化されたサイドパネルを開きます。
- テーブルの左ペインの列をカスタマイズするための [カスタマイズ] オプション
- コストまたはベースラインの比較を Microsoft Excel または CSV ファイルとしてダウンロードするためのエクスポートオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペース の構成

プロジェクト、財務、およびリソースを開始および計画するためのアプリケーションを設定および構成 プロジェクトワークスペース します。

関連情報

プロジェクトワークスペースでのプロジェクトの管理

プロジェクトの財務管理

によるリソース計画 プロジェクトワークスペース

プロジェクトワークスペース 参照

を使用したプロジェクトの構成 プロジェクトワークスペース

アプリケーションを設定し、 プロジェクトワークスペース プロジェクトの計画立案を開始します。

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のプロジェクトワークスペース アプリケーションリストを確認してください。
- プロジェクトワークスペースをインストール。

プロジェクトワークスペースをインストール

admin ロールをお持ちであれば、プロジェクトワークスペースアプリケーション (sn_pw) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のプロジェクトワークスペース アプリケーションリストを確認してください。
- PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効化されていることを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、プロジェクトワークスペースアプリケーション (sn_pw) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

タスクの結果

計画立案属性依存関係プラグインは、プロジェクトワークスペース とともにインストールされます。

を使用したリソースの構成 プロジェクトワークスペース

の要件プロジェクトワークスペースに基づいてのリソース管理さまざまな側面を構成し、プロジェクトにリソースを割り当てます。

- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のプロジェクトワークスペース アプリケーションリストを確認してください。
- プロジェクトワークスペースをインストール。
- PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) がアクティブ化されていることを確認してください。
- リソース管理 の属性が有効になっていることを確認してください。詳細については、「計画立案属性」を参照してください。

プロジェクトワークスペースを使用したプロジェクトの財務構成

財務ビューおよび計画属性をカスタマイズし、スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、プロジェクトの財務計画立案を処理します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 作業アイテムのリソースのアサインに基づいて財務で人件費を生成するように属性を構成します。
   詳細については、「計画立案属性」と「計画立案属性の作成または編集」を参照。
2. デフォルトのマッピング構成を生成してテーブルマップを作成します。
   詳細については、「デフォルトのマッピング構成を生成」を参照してください。
3. ロールアップされた財務データを計画立案アイテムレベルで表示するための新しいウィジェットを作成します。
   詳細については、「ウィジェットの設定とプロジェクトとの関連付け」を参照してください。
4. オプション: 組織の要件に合わせて、[財務] 画面の左ペインをカスタマイズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「財務の左ペインビューのカスタマイズ」を参照してください。

5. 組織の要件に合わせて [コスト計画を作成] フォームのフィールドをカスタマイズします。
詳細については、「[コスト計画] フォームのカスタマイズ」を参照してください。
6. デフォルトの経費タイプをカスタマイズして、プロジェクトとデマンドのコスト計画を管理します。
詳細については、「 プロジェクトの既定の経費の種類を変更する」を参照してください。
7. スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して定義し、計画立案アイテムの財務ベースラインを作成します。
詳細については、「 スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、プロジェクトの財務ベースラインを作成する」を参照してください。
8. スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して定義し、属性ベースのリソース割り当てに基づいてプロジェクトの人件費を生成します。
詳細については、「 スケジュールされたジョブをアクティブ化して、プロジェクトの人件費を生成する」を参照してください。

財務の左ペインビューのカスタマイズ

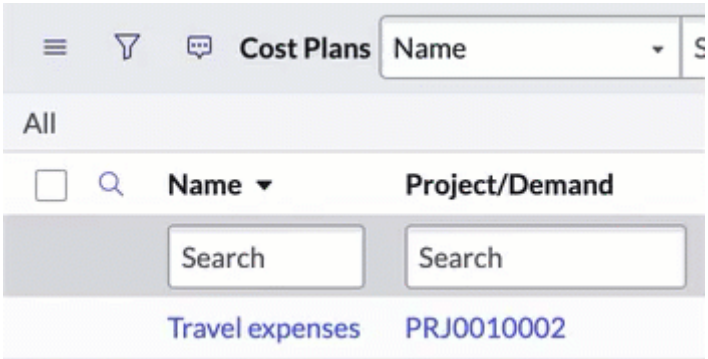
財務の左ペインをカスタマイズして、カスタムフィールド情報を表示します。

始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [ラベル] フィールドをフィルタリングして、[コスト計画] テーブルを開きます。
3. [リストを表示] 関連リンクを選択します。
4. 次に移動して財務ビューを選択します。 リストコントロール > ビュー > 財務ビュー.

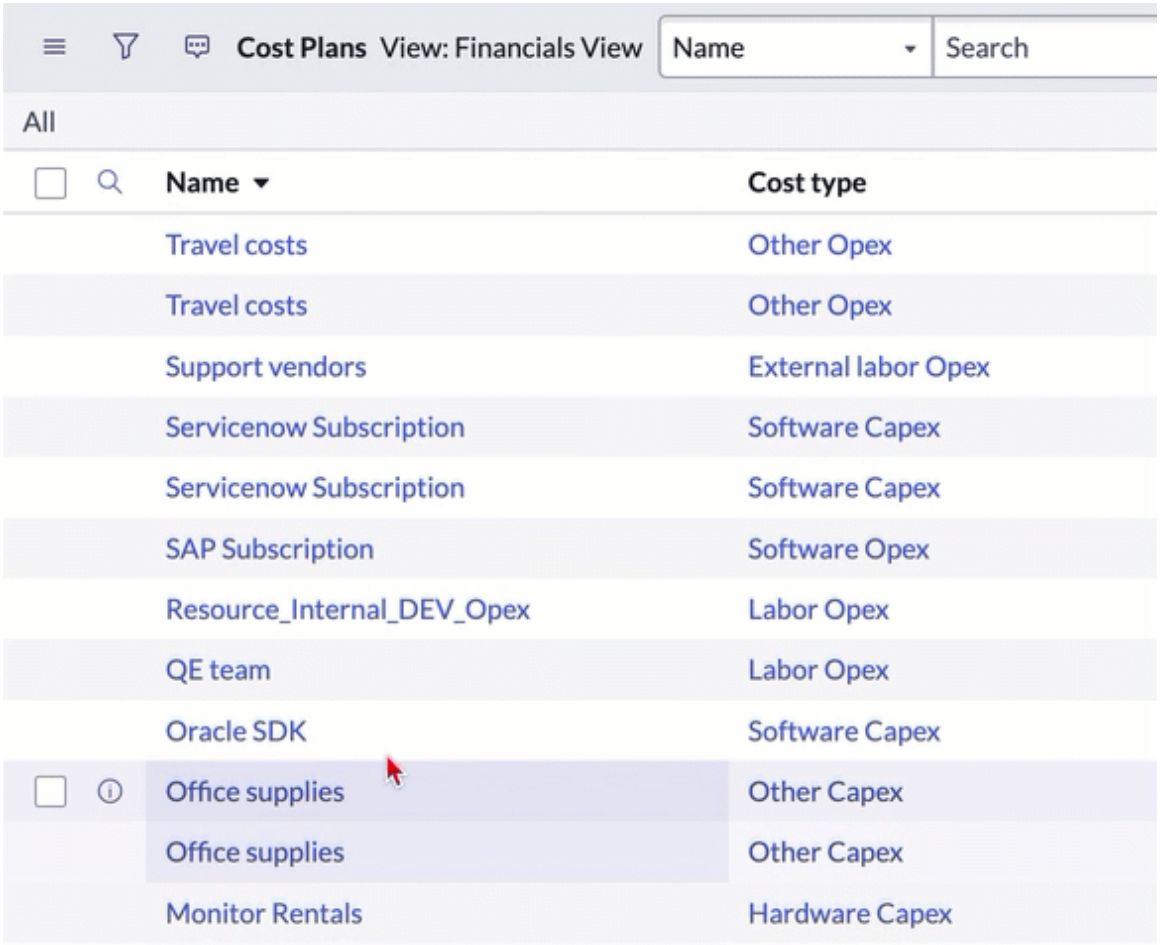


選択したビュー (　) がヘッダーに表示されます。

5. ヘッダーオプションを選択して、リストのレイアウトを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [選択済み] 列のフィールドを追加または削除して、財務ビューの左ペインビューをカスタマイズします。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果
財務ビューのカスタマイズされたフィールドが含まれるコスト計画テーブルが表示されます。

[コスト計画] フォームのカスタマイズ

組織のニーズに応じて、新しいコスト計画フォームで必要なフィールドを管理します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順
1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. [ラベル] フィールドをフィルタリングして、[コスト計画] テーブルを開きます。
3. [フォームをデザイン] 関連リンクを選択します。
4. ヘッダー行で、テーブルリストから [コスト計画 **[cost_plan]]** を選択し、ビューリストから [財務ビュー] を選択します。
5. このフォームでは次のことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

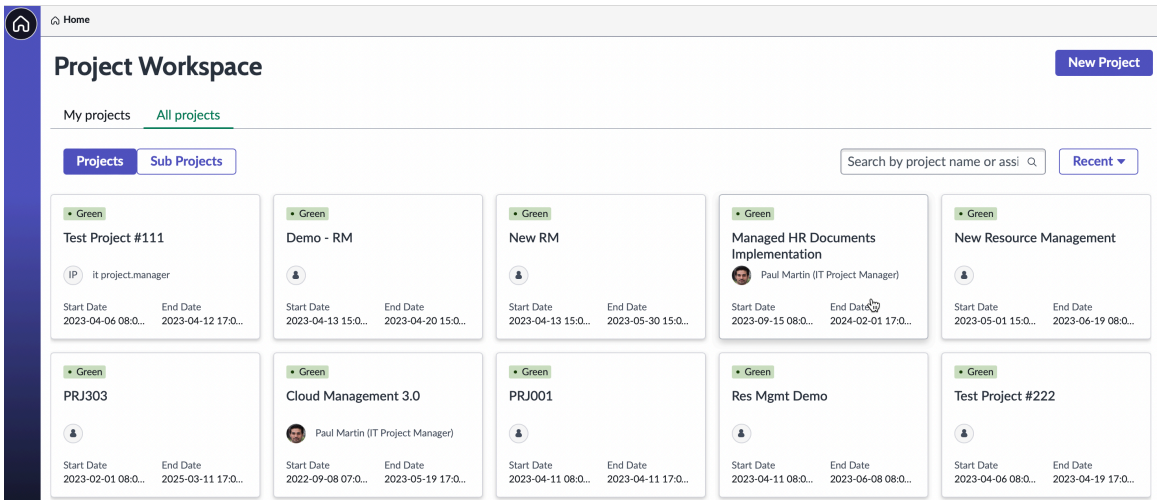
- [フィールド] 列から必要なフィールドをドラッグアンドドロップする。
- [フィールドを削除] アイコンを使用して、既存のフィールドを削除する。

6. [保存] を選択します。

プロジェクトワークスペースでのプロジェクトの管理

の機能を使用して プロジェクトワークスペース 、プロジェクトを計画および管理します。

ホームページ



ホームページには、次の UI コンポーネントが含まれており、ワークスペース内を移動するのに役立ちます。

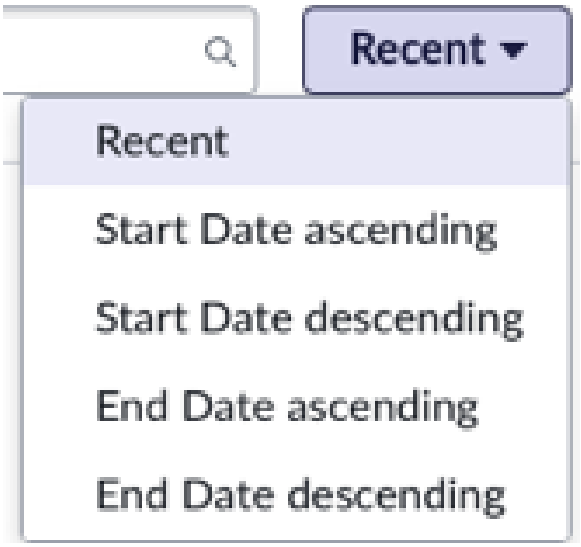
プロジェクトワークスペースホームページ UI

機能	説明
自分のプロジェクト	このセクションでは、自分が所有しているすべてのプロジェクト (サブプロジェクトを含む) が表示されます。
すべてのプロジェクト	このセクションには、システム内のすべてのプロジェクトが表示されます。 すべてのプロジェクトには、カスタマープロジェクト、チームスペース、および監査からのプロジェクトが含まれます。
プロジェクト	このセクションではプロジェクトのみが表示されます。
サブプロジェクト	このセクションではサブプロジェクトのみが表示されます。
プロジェクトカード (Project cards)	各プロジェクトはプロジェクトカードで表されます。 こうしたカードには、プロジェクト名、ステータス、予定日、プロジェクトがアサインされているマネージャーなど、大まかな詳細が表示されます。

自動翻訳

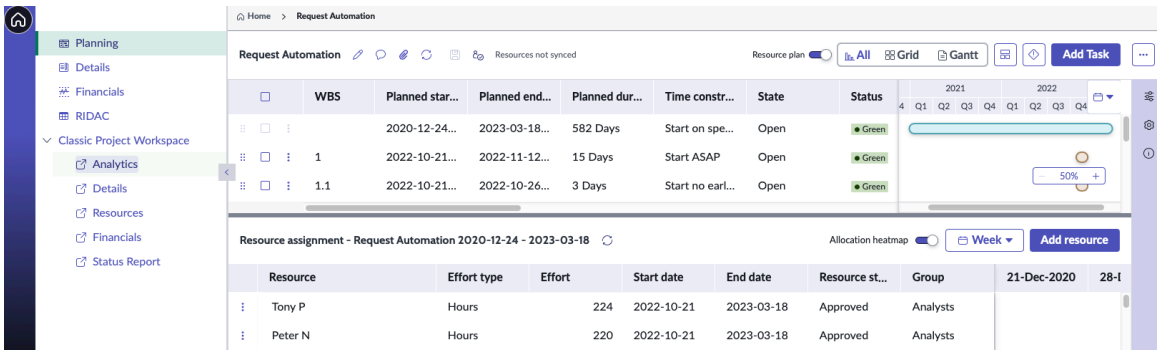
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペースホームページ UI (続く)

機能	説明
プロジェクト検索	プロジェクトを、名前またはアサイン先ユーザーで検索するためのオプション。
プロジェクトソート	最近更新、開始日、または終了日でプロジェクトをソートします。 
新規プロジェクト	プロジェクトを作成するオプション。

[計画立案] ページ

[計画立案] ページには、プロジェクトの管理に役立つ次の UI コンポーネントが含まれています。



計画立案のヘッダー

ヘッダーにはプロジェクト名が表示され、次のさまざまなオプションを備えています。

名前	説明
プロジェクトの詳細を編集 ( )	サイドパネルでプロジェクトの詳細を開いて編集します。

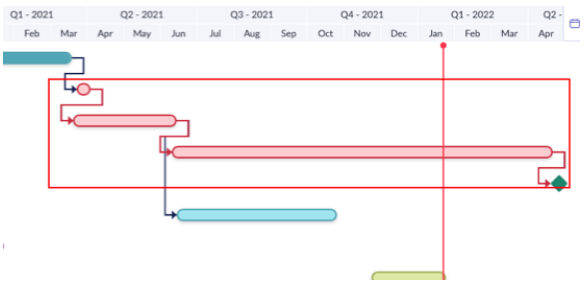
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
	「からプロジェクトを作成 プロジェクトワークスペース」を参照してください。
アクティビティ ( )	さまざまなステークホルダー間の会話を促進します。 「からのステークホルダーとのコラボレーション プロジェクトワークスペース」を参照してください。
添付ファイル ( )	プロジェクトにファイルを追加できます。 「からのステークホルダーとのコラボレーション プロジェクトワークスペース」を参照してください。
プロジェクトをリフレッシュ ( )	計画立案ページを再ロードします。
保存 ( )	変更内容を保存します。 このボタンは、プロジェクト計画に加えられた変更の自動保存を容易にするため、デフォルトでは無効になっています。 設定( )パネルの詳細タブから自動保存機能を有効または無効にします。
同期されていないリソース ( )	プロジェクトとリソースのアサイン日を同期できます。プロジェクトタスクの予定日または実際の日付に変更がある場合、このアイコンが有効になります。 プロジェクトにクラシックリソース計画がある場合、このアイコンは、デフォルトでは非アクティブです。
Resource plan	このトグルを有効にすると、[リソースのアサイン] ペインが表示されます。
All	[計画立案] ページのグリッドビューとガントビューの両方にデータを表示します。このボタンはデフォルトでアクティブになっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[計画立案] ページのガントビューにデータを表示します。このボタンを使用して、タスクの日付と依存関係を変更します。
	[計画立案] ページのグリッドビューにデータを表示します。このボタンを使用して、タスクの追加と削除、タスクの日付と依存関係の変更、プロジェクト全体の進捗状況の評価を行います。
ベースライン ( )	スケジュールと財務ベースラインを作成して比較できます。 「でプロジェクトベースラインを作成して比較する プロジェクトワークスペース」を参照してください。
クリティカルパス ( )	ボタンを切り替えて、プロジェクトのクリティカルパスの表示のオン/オフを切り替えます。 
タスクを追加 	データグリッドにプロジェクトタスクを追加します。 「プロジェクトワークスペースからのプロジェクトタスクの作成およびアサイン」を参照してください。
	この列構成サイドパネルを使用して、リストビューに表示される列をカスタマイズします。 タスク計画 このタブを使用して、タスク計画立案をカスタマイズします。[計画立案] ページのデータグリッドに表示する列を選択できます。 リソースプラン

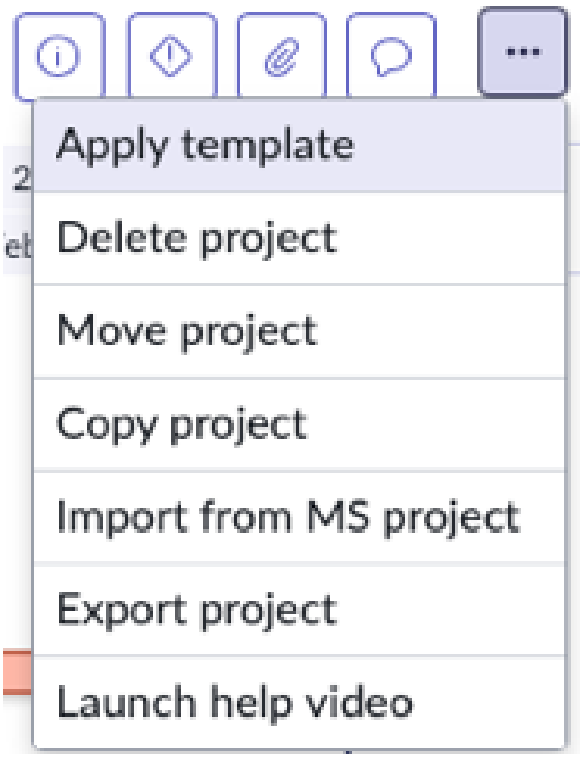
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	このタブを使用して、[リソースのアサイン] ペインをカスタマイズします。[リソースのアサイン] ペインのデータグリッドに表示する列を選択できます。 「での計画ページビューのカスタマイズ プロジェクトワークスペース」を参照してください。
設定 ( )	[設定] サイドパネルには 2 つのタブがあり、データグリッドや [計画立案] ページをさまざまにカスタマイズできます。 全般 このタブを使用して、現在のプロジェクトにおける任意のサブプロジェクトのワークスペースに移動し、棒ラベル、クリティカルパス、依存関係の線など、タイムラインにおける他の設定をカスタマイズします。 表示設定をカスタマイズできます。選択した サマリータスク設定の表示 は、環境設定に保存されます。 詳細 このタブを使用して、自動保存オプションを有効または無効にしたり、プロジェクトタスクの日付形式を選択したり、計算モードを [手動] または [自動] に変更したりします。 このタブは、サブプロジェクトの [計画立案] ページでは使用できません。
ヘルプ ( )	[計画立案] ページのさまざまなアクションに使用される凡例とキーボードショートカットを提示します。
プロジェクトアクション ( )	プロジェクトで実行する、その他のアクションを提供します。 • テンプレートを適用 • プロジェクトを削除 • プロジェクトを移動 • プロジェクトのコピー • MS プロジェクトからインポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
	• プロジェクトをエクスポート • ヘルプビデオを起動  [プロジェクトを移動] を使用して、プロジェクトの日付を、関連するリソース計画、コスト計画、利益計画、リソースのアサイン、プロジェクトタスク、およびサブプロジェクトの開始日と同期します。

[リソースのアサイン] ペイン

[リソースのアサイン] ペインには、プロジェクトワークスペースからリソースを管理するのに役立つ次の UI コンポーネントが含まれています。

名前	説明
リソースのアサインをリフレッシュ ( )	選択したアサインと割り当てをリロードします。
Allocation heatmap	[リソースのアサイン] ペインにリソース割り当てを表示します。
Month	週別または月別に工数を表示します。

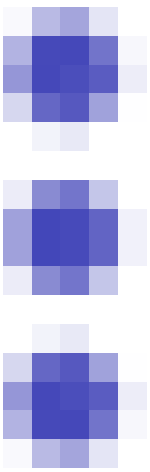
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
Add resource	[リソースのアサイン] ペインでリソースを追加します。

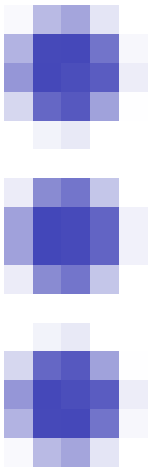
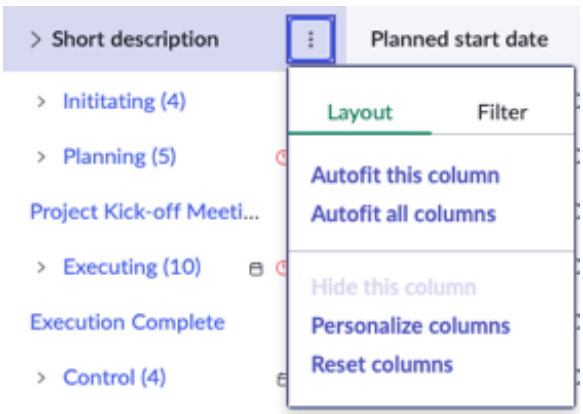
データグリッド

データグリッドでは、プロジェクトタスクやサブプロジェクトのリストが行表示され、行に対するアクションを実行するための以下のオプションが表示されます。プロジェクトにサブプロジェクトがある場合は、こうしたサブプロジェクトのタスクとスケジュールにもドリルダウンできます。

オプション	説明
データグリッドヘッダー	ヘッダーのアクションを使用して、プロジェクトタスクをソートおよびフィルタリングします。列ヘッダーにマウスデバイスを合わせると、コンテキストメニューアイコン  ( ) が表示されます。 このメニューを使用して、自動調整、非表示、またはリセットなどのアクションを実行できます。 [簡単な説明] や [ステータス] など、特定の列に対してコンテキストメニュー

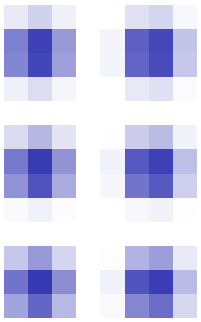
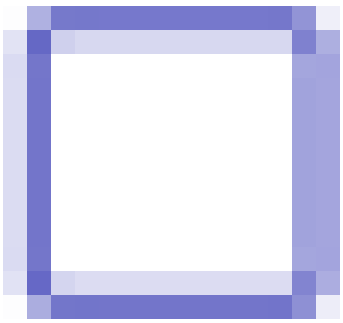
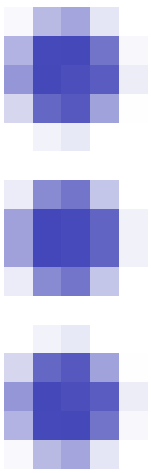
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	 ( ) を選択した場合は、プロジェクトタスクの行をフィルタリングすることもできます。 

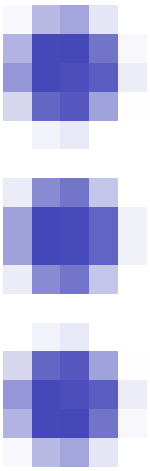
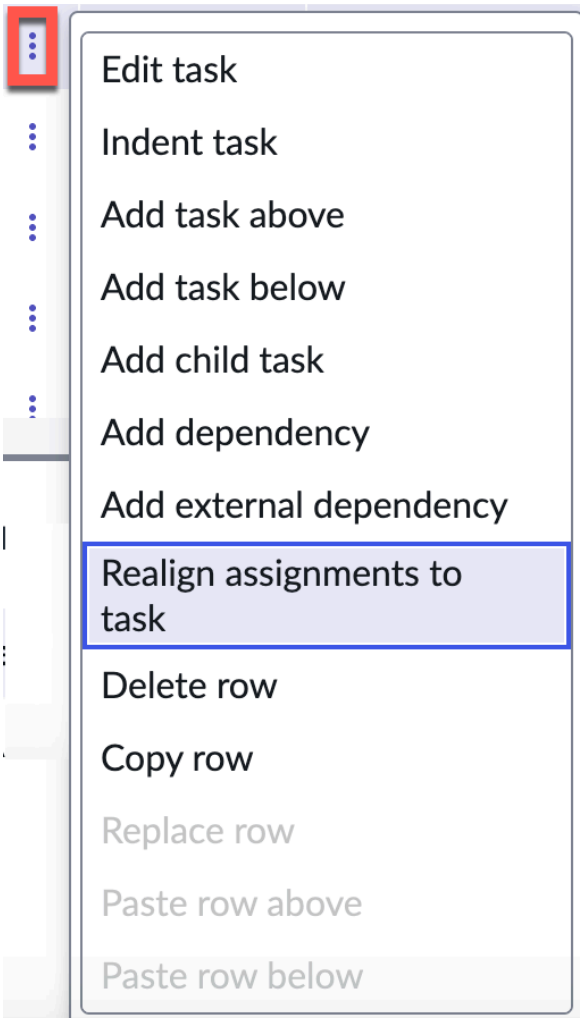
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
行を再配置  ( )	プロジェクトタスク行をグリッド上の任意の位置にドラッグできるようにします。
行を選択  ( )	複数のプロジェクトタスク行を一度に選択することを選択します。 行コンテキストメニュー  ( ) を使用して、さまざまなアクションを実行します。

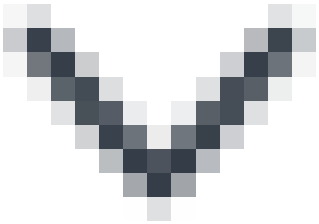
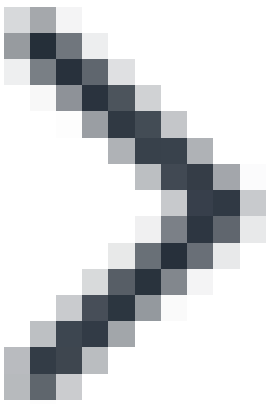
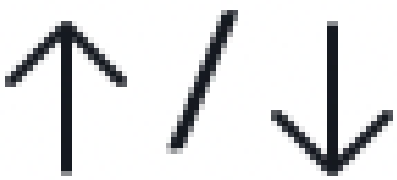
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

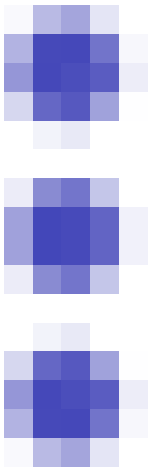
オプション	説明
行コンテキストメニュー  ( )	タスクの編集、上下のタスクの追加、行の削除、依存関係の追加など、選択した行にさまざまなアクションを提供します。 また、行コンテキストメニューを使用すると、複数の行を選択して、それらに対してアクションを一括で実行することもできます。たとえば、複数のタスクをインデントしたり削除したりすることができます。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

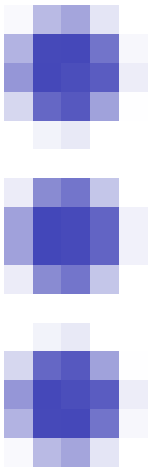
オプション	説明
展開された行  ( )	プロジェクトタスクの行が展開され、その子タスクが表示されていることを示します。このアイコンを選択すると、行が折りたたまれ、子タスクが非表示になります。
折りたたまれた行  ( )	プロジェクトタスクに子タスクが含まれていることを示します。このアイコンを選択すると行が展開され、子タスクが表示されます。
列を並べ替え  ( )	データグリッドの列を並べ替えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
個々のセルを編集	セルのコンテキストメニュー () を選択するか、セルを長押し (または右クリック) して、このセルの情報を編集またはコピーします。 このメニューを使用して、セルの内容をコピーして貼り付けたり、依存関係を追加したり、このセル位置の真上または真下にプロジェクトタスクを追加したり、行全体を削除したりします。
複数のセルを編集	複数のセルを選択し、そのうちの 1 つのセルを長押し (または右クリック) して、セルを一括編集します。セルコンテキストメニュー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	 (を使用してその他のオプションを選択することもできます。)

簡単な説明を選択してプロジェクトタスクを選択すると、サイドパネルにタスクの詳細が表示され、それを編集することができます。「からプロジェクトタスクを更新 プロジェクトワークスペース」を参照してください。

データグリッドを区切る線をドラッグして、データグリッドが占める領域を増減することもできます。

タイムラインビュー

タイムラインビューには、計画された開始日と終了日に基づいてプロジェクトのタイムラインが表示され、プロジェクトのタスクバーとマイルストーンが表示されます。

計画立案の設定 ( ) を使用して、棒ラベル、依存関係行、およびクリティカルパスの表示を選択できます。「での計画ページビューのカスタマイズ プロジェクトワークスペース」を参照してください。

プロジェクトタイムライン

タイムラインには、プロジェクトの計画期間が表示されます。タイムスケールを [年]、[四半期]、[月]、[日]、または [週] に変更することで、プロジェクト期間の可視性を増減できます。タイムスケールアイコン ( ) を選択して、いずれかのオプションを選びます。

選択したタイムスケールビューが環境設定に保存されます。

依存関係行

これらの行は、プロジェクトタスク間の依存関係を示します。新しい依存関係をタイムラインビューに描画して追加するか、既存の依存関係を選択してサイドパネルで詳細を編集できます。「次からプロジェクトタスクの内部依存関係を追加: プロジェクトワークスペース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択した依存関係は環境設定に保存されます。

新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース

計画ページでプロジェクト プロジェクトワークスペース に移動して開く方法について説明します。

始める前に

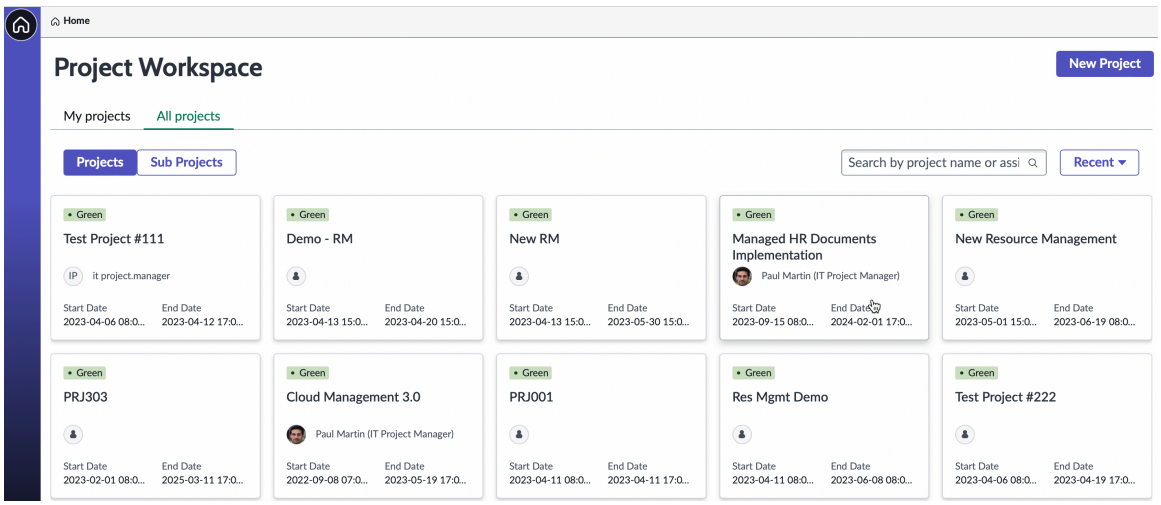
プロジェクトワークスペースをインストール。

必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース.
2. 表示するプロジェクトに応じて、[自分のプロジェクト] または [すべてのプロジェクト] を選択します。

   プロジェクトは、ホームページにカードとして表示されます。

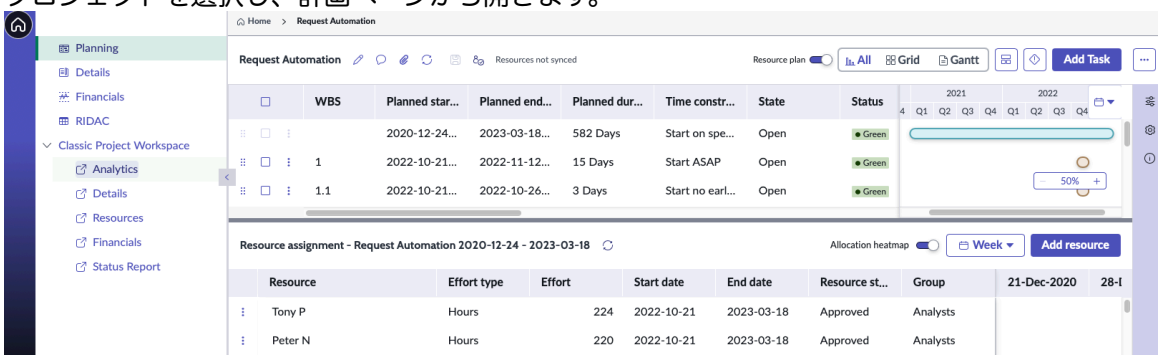


3. オプション: 検索バーを使用して名前または所有者でプロジェクトを検索したり、[最近] を選択してプロジェクトの表示順序を並べ替えたりできます。

   (Optional)



4. プロジェクトを選択し、計画ページから開きます。



[ホーム] アイコンを選択すると表示されるリストを使用して、計画、詳細、RIDAC、および財務にアクセスして管理できます。このリストは、レベル 2 (L2) メニューとも呼ばれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
からプロジェクトを作成 プロジェクトワークスペース

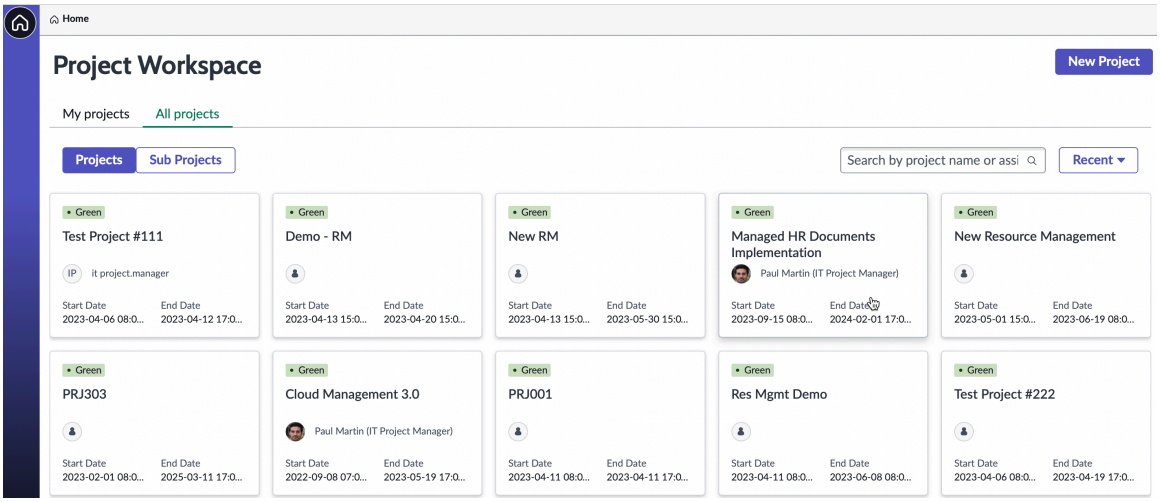
からプロジェクトを作成 プロジェクトワークスペース

プロジェクトを作成し、プロジェクトタスクの計画を開始するために使用します プロジェクトワークスペース 。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース.
2. ホームページから [新しいプロジェクト] を選択します。



3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「のプロジェクトフォーム プロジェクトワークスペース」を参照してください。
4. [確認] を選択します。

次のタスク

- からプロジェクトの詳細を更新 プロジェクトワークスペース
- での計画ページビューのカスタマイズ プロジェクトワークスペース

からプロジェクトの詳細を更新 プロジェクトワークスペース

から プロジェクトワークスペースの詳細ページを使用して、プロジェクトの詳細を更新して更新内容や変更された優先度を反映します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

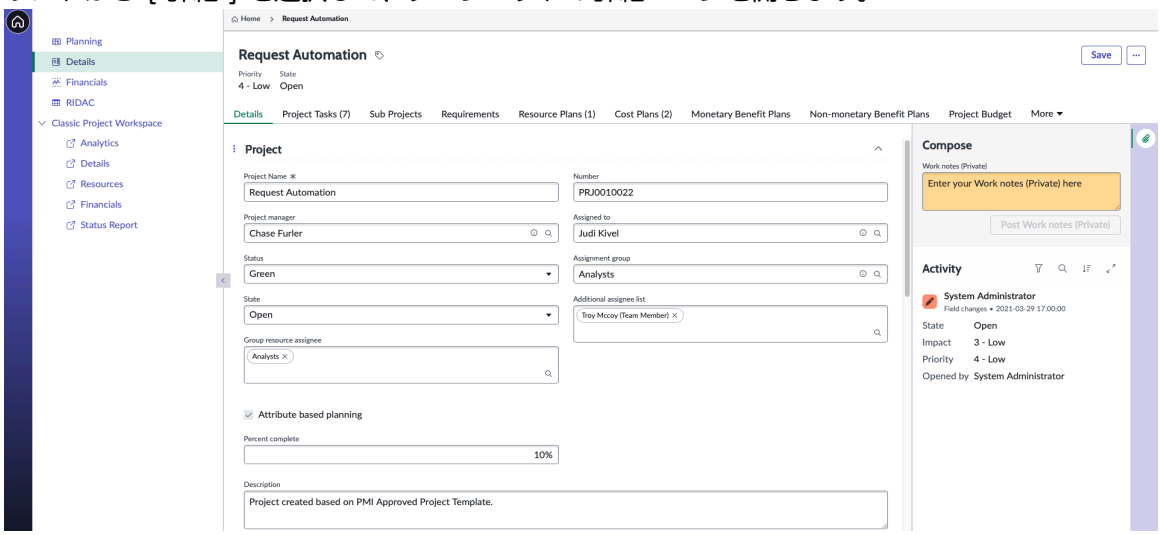
このタスクについて
プロジェクトのプロジェクト、プロジェクトの日付、ビジネスケース、財務、スコア、メモ、および設定を編集できます。詳細ページの関連タブを使用して、プロジェクトタスク、サブプロジェクト、要件、リソース計画、コスト計画、金銭などを表示および編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. リストから [詳細] を選択して、プロジェクトの詳細ページを開きます。



3. 更新するフィールドを編集します。
4. [保存] を選択します。

での計画ページビューのカスタマイズ プロジェクトワークスペース

計画ページの表示をカスタマイズします。データグリッドとタイムラインに表示するデータを選択します。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

ステップ 2 ～ 4 は、ワークスペースのさまざまな側面をカスタマイズするためのガイダンスとなります。適用するオプションを選択します。

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. サイドパネルを使用して、計画立案ページビューをカスタマイズします。

   a. [設定] アイコン ( ) を選択します。
   [設定] サイドパネルが開きます。

   b. [列] タブから、計画立案コンソールのデータグリッドに表示する列を選択します。
   これらの列は、プロジェクトタスクの情報を提供します。

   c. [全般] タブから、依存関係の線、クリティカルパス、バーのプロジェクトタスク名など、タイムラインビューに表示する属性を選択します。
   [サマリータスクを表示] オプションを使用すると、すべてのプロジェクトタスクが 1 つのプロジェクトサマリータスクにグループ化されて表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [詳細] タブで、自動保存オプションを有効にしたり、予定日の列の日付形式を変更したり、計算モードを [手動] または [自動] に変更したりすることを選択します。
ワークスペースで計算モードを [自動] から [手動] に変更できるのは、プロジェクトにタスクがない場合のみです。

3. [計画立案] ページビューのプロジェクトタスクに追加の列を表示します。

サイドパネルで利用可能なフィールド以外に、計画ページビューに追加の列を表示する場合は、プロジェクトタスクリスト (pm_project_task_list.do) のビューをカスタマイズし プロジェクトワークスペース ます。「計画ページへの新しい列の追加」を参照してください。

注:
タイムスケール、サマリータスクの表示、棒ラベル、および依存関係線の設定をカスタマイズできます。「サマリータスク設定とタイムスケールビューを表示」に加えた変更は、環境設定に保存されます。

4. タイムスケールを変更することで、タイムラインでのプロジェクト期間の可視性を増減します。
[タイムスケール] アイコン ( ) を選択し、[日]、[週]、[月]、[四半期]、[年]、または [自動調整] を選択します。

計画ページへの新しい列の追加

新しいプロジェクトワークスペースの計画ページに新しい列を表示して、プロジェクトマネージャーが計画ページのプロジェクトタスクのカスタムフィールドを表示できるようにします。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
新しいプロジェクトワークスペースの計画ページに表示されるプロジェクトタスクには、pm_project_taskテーブルのプロジェクトワークスペースビューのフィールドが表示されます。新しいフィールドを表示するには、pm_project_task テーブルのこのプロジェクトワークスペースビューをカスタマイズする必要があります。

手順

1. **pm_project_task_list.do**に移動します。

2. ビューを [プロジェクトワークスペース] に変更します。

a. ヘッダーを右クリックし、[表示] を選択します。

b. [プロジェクトワークスペース] を選択します。

3. 必要な列をリストに追加します。

a. [カスタマイズされたリスト] アイコン ( ) を選択します。

b. [利用可能] から [選択済み] に必要なフィールドを移動します。

c. **[OK]** を選択します。

タスクの結果
変更に応じて pm_project_task テーブルのプロジェクトワークスペースビューが更新されます。新しいプロジェクトワークスペースの [計画立案] ページには、これらの変更が反映されます。

プロジェクトワークスペースからのプロジェクトタスクの作成およびアサイン

プロジェクトの新しいタスクを追加し、新しい プロジェクトワークスペース.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

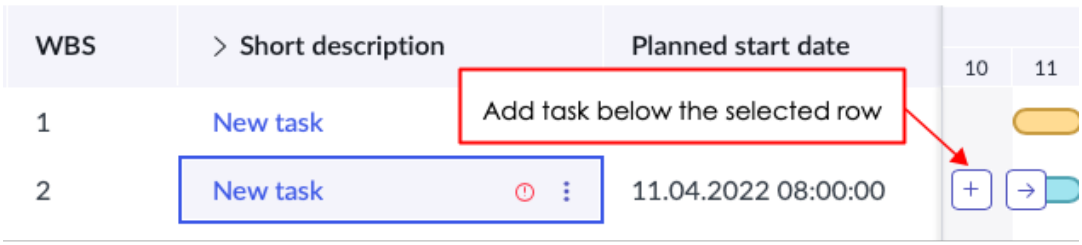
始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. [タスクを追加] を選択します。

   新しい行が計画ページのデータグリッドの一番下に追加され、[新しいタスク] がタスクのデフォルト名になります。

   または、プロジェクトタスクの行を選択して、[タスクを以下に追加] アイコン ( ) をクリックします。このアクションにより、選択したタスクのすぐ下に新しいタスクが追加されます。



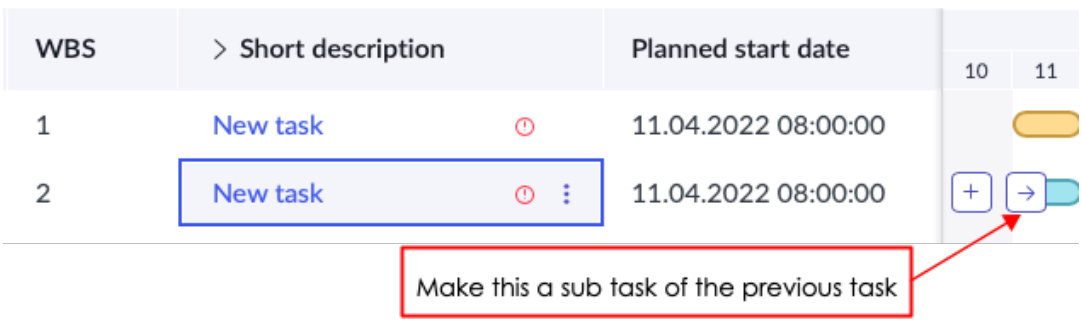
3. タスクの詳細を編集します。
   たとえば、タスク名、予定日、担当者などです。
4. オプション: Enter キーを押して詳細を保存し、別のタスクのための行を作成します。
5. タスクフィールドの外側にあるデータグリッドの任意の場所をクリックして、詳細を保存します。
6. [アサイン先] フィールドを更新して、ユーザーにタスクをアサインします。

   タスクがアサインされたユーザーにはメール通知が送信されます。また、ログイン時の ServiceNow インスタンスでも通知を確認できます。

   通知を機能させるには、管理者が [メール通知] および [プロバイダー通知] において、通知レコードにアサインされたプロジェクトタスクを **true** に設定して通知を有効にする必要があります。

次のタスク

- [タスクをインデント] アイコン ( ) を使用して、新しいタスクを既存のタスクやサブプロジェクトのサブタスクにします。



- からプロジェクトタスクを更新 プロジェクトワークスペース。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

からプロジェクトタスクを更新 プロジェクトワークスペース

の プロジェクトワークスペース[計画立案] ページから既存のタスクの詳細を更新します。

始める前に
必要なロール： it_project_manager、it_project_user

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. データグリッド上のタスクのリストから、更新するタスクを選択します。
   サイドパネルにタスクの詳細が開きます。
3. フィールドを編集します。
4. [更新] を選択します。

次からプロジェクトタスクの内部依存関係を追加: プロジェクトワークスペース

の プロジェクトワークスペースインタラクティブ UI を使用して、プロジェクトタスク間の依存関係を作成します。

始める前に
タイムラインの設定で [依存関係線 (Dependency Lines)] トグルが有効になっていることを確認します。設定の更新方法については、「での計画ページビューのカスタマイズ プロジェクトワークスペース」を参照してください。

必要なロール：it_project_manager

手順

1. プロジェクトを選択し、計画ページから開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. 次のいずれかの方法でタスクの依存関係を作成します。
   作成された依存関係は、タイムラインビュー上の 2 つのタスクバーの間に線として表示されます。

次のタスク
依存関係は編集できます。詳細については、「プロジェクトワークスペースからタスクの依存関係の詳細を更新する」を参照してください。

プロジェクトワークスペースからタスクの依存関係の詳細を更新する

プロジェクトワークスペースから、依存関係の詳細 (タイプや遅延時間など) を更新します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. 2 つの方法のいずれかで依存関係サイドパネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フィールドを編集します。
4. [更新] を選択します。

からのプロジェクト間の外部依存関係の追加 プロジェクトワークスペース

新しい プロジェクトワークスペースを使用して、異なるプロジェクトのタスク間の依存関係を設定します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
外部的な依存関係により、先行タスクに変更が生じても、プロジェクトスケジュールへの影響を把握できるようになります。プロジェクトタスクの行コンテキストメニューを使用して、別のプロジェクトのタスクから依存関係を追加します。

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. データグリッドから、依存関係の追加先のプロジェクトタスクを選択します。
3. タスクの行コンテキストメニュー ( ) を選択し、[外部依存関係を追加] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

外部依存関係フォーム

フィールド	説明
プロジェクト管理	外部タスクが属するプロジェクト
タスク	依存関係が追加されるタスク
依存関係タイプ	依存関係のタイプ。デフォルトでは [ハード] が選択されています。 ハード依存関係では、先行プロジェクトで行われた変更は自動的に後続プロジェクトに伝播されます。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果

- 2 つのプロジェクトのタスクに対する依存関係が作成されます。
- プロジェクトの簡単な説明がグレー表示され、名前が「外部プロジェクト名：外部タスク名」の形式に変わり、外部的な依存関係がわかるようになります。
- リンクアイコン ( ) がタスクの簡単な説明のセルに追加され、依存関係が示されるようになります。

次のタスク
現在のプロジェクトから外部プロジェクトに直接移動して、先行タスクのステータスを表示したり、詳細情報を更新したりすることができます。依存タスクの行コンテキストメニューから、[プロジェクトを表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

外部依存関係

でプロジェクトベースラインを作成して比較する プロジェクトワークスペース

プロジェクトのスケジュールベースラインと財務ベースラインを作成します。ベースラインは、特定の時点でのプロジェクトの進捗状況のスナップショットです。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
必要な数のベースラインを作成し、これらのベースラインを比較して、プロジェクトに加えられた変更や進捗状況を確認します。ベースラインを比較すると、プロジェクトタスクの計画値と実際値の間のリアルタイムの偏差を理解するのに役立ちます。

注:
プロジェクトにサブプロジェクトがある場合、計画ページビューからそれらのベースラインを作成することはできません。

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. プロジェクトのベースラインを作成します。

   a. [ベースライン] アイコン ( ) を選択します。

   b. [新規作成]を選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。
   ベースラインの名前と説明を入力し、[スケジュールベースライン] または [財務ベースライン]、またはその両方を選択します。

   d. [保存] を選択します。

   ベースラインは当日に対して作成され、[ベースライン] ( ) を選択すると一覧表示されます。
3. プロジェクトのベースラインを比較します。

   a. [ベースライン] アイコン ( ) を選択します。

   b. 利用可能なベースラインのリストから、比較するベースラインを選択します。
   最大 2 つのベースラインを選択できます。

   c. [適用] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タイムラインビューでは、ベースラインはタスクバーの下に一連の灰色の線として表示されます。これらの灰色の線は予定日を表し、タスクバーは実際の日付を表します。
- グリッドビューで、ベースライン関連の列を追加することができます。追加した列では、選択したベースラインの以下の情報が表示されます。こうした列は、[設定] サイドパネル ( ) から選択できます。
  - 開始日
  - 終了日
  - 差異

Trouble?

データグリッドにベースライン列が表示されない場合、[リフレッシュ] アイコン ( ) を使用してワークスペースをリフレッシュします。

からのステークホルダーとのコラボレーション プロジェクトワークスペース

コメントや添付ファイルをプロジェクトまたはプロジェクトタスクに追加し、組織の他のユーザーと共有します。プロジェクトが組織の優先順位と一致していることを、協力して確認します。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

コンピューターからファイルを参照してアップロードします。コメントを追加し、ステークホルダーを彼らのフィードバックやメモにタグ付けします。

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. 自分のプロジェクトやプロジェクトタスクにファイルを添付します。
3. コメントを追加するか、ステークホルダーをタグ付けして、プロジェクトに関する添付ファイルや情報への注意を促します。
   コメントは、プロジェクトレベルで直接追加することも、プロジェクトタスクに対して追加することもできます。

プロジェクトワークスペース でプロジェクトに **RIDAC** レコードを追加

プロジェクトワークスペース のプロジェクトにリスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求 (RIDAC) レコードを追加します。RIDAC レコードを追加すると、プロジェクトのライフサイクル中にリスクや問題を追跡し、プロジェクトの結果の分析に役立てることができます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

作成するレコードのタイプを選択し、必要な詳細を入力して、プロジェクトに関連付けることができます。の プロジェクトワークスペース [RIDAC] ページを使用して、すべての RIDAC レコードを表示、追加、管理、および評価できます。

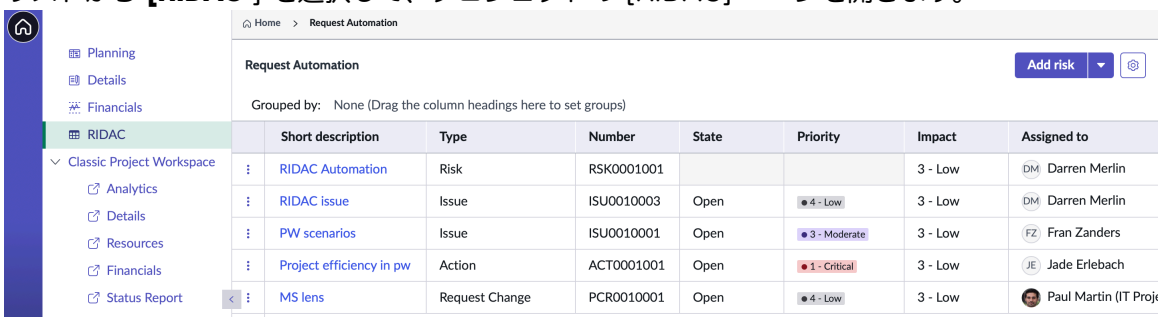
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

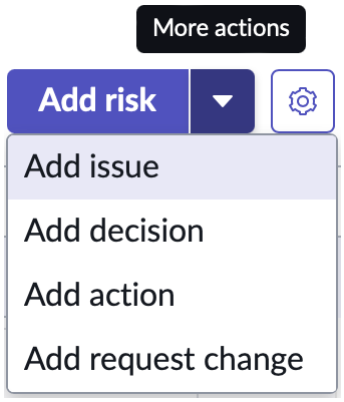
プロジェクト管理の RIDAC レコードの詳細については、「プロジェクトワークスペースにあるプロジェクトの RIDAC レコード」を参照してください。

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. リストから **[RIDAC**] を選択して、プロジェクトの [RIDAC] ページを開きます。



3. [その他のアクション] メニューから、作成する RIDAC レコードのタイプを選択します。



4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、次を参照：
   - プロジェクトワークスペース のリスクフォーム
   - プロジェクトワークスペース の問題フォーム
   - プロジェクトワークスペース のアクションフォーム
   - プロジェクトワークスペース の意思決定フォーム
   - プロジェクトワークスペース の変更要求フォーム
5. [送信] を選択します。

次のタスク

- 既存のプロジェクトリスクを問題、意思決定、アクション、または変更要求に変換し、リスクをクローズします。詳細については、「プロジェクトワークスペース でプロジェクトの特定の RIDAC レコードを別のレコードに変換する」を参照してください。
- 依存関係を追跡し、将来の傾向を認識できるように、プロジェクトリスクを既存の問題に関連付けます。詳細については、「プロジェクトワークスペース でプロジェクトの既存の RIDAC レコードを関連付け」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペース でプロジェクトの既存の **RIDAC** レコードを関連付け

プロジェクトワークスペース でプロジェクトの既存の RIDAC レコードを相互にリンクします。RIDAC は、リスク、問題、意思決定、アクション、変更要求の略語です。プロジェクトの終了時および計画時の分析のために、リスクまたは問題とその結果のレコードを保持します。

始める前に

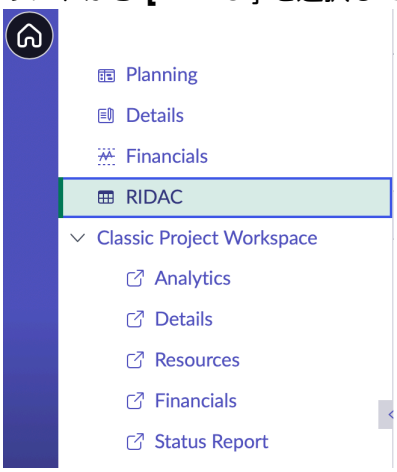
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて

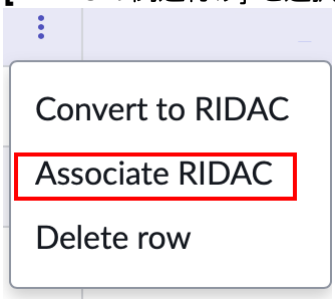
1 つのレコードを複数の異なるレコードに関連付けることができます。たとえば、1 つの問題レコードを複数のリスク、意思決定、アクション、または変更要求レコードにリンクさせることができます。

手順

1. 特定の RIDAC エントリーを別のエントリーに関連付けるプロジェクトを選択します。
でプロジェクト プロジェクトワークスペースに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. リストから **[RIDAC**] を選択して、プロジェクトの [RIDAC] ページを開きます。



3. プロジェクトフォームで、個々のリスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求レコードの [行コンテキストメニュー] を選択します。
4. **[RIDAC** の関連付け] を選択します。



5. [関連付け] ダイアログボックスの [タイプの選択] リストから、選択したレコードを関連付ける RIDAC レコードを選択します。
たとえば、問題を意思決定に関連付ける場合は、[意思決定] を選択します。
6. [関連付け先] リストから、選択したレコードの関連付け先のレコード番号を選択します。
たとえば、選択した問題を意思決定 (DCSN0001005) に関連付ける場合は、**[DCSN0001005]** を選択します。
7. **[OK]** をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペース でプロジェクトの特定の **RIDAC** レコードを別のレコードに変換する

プロジェクトワークスペース でプロジェクトの特定の RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、変更要求) レコードを別のレコードに変換します。プロジェクトの終了時および計画時の分析のために、リスクまたは問題とその結果のレコードを保持します。プロジェクトのライフサイクル全体にわたってリスクと問題を追跡します。

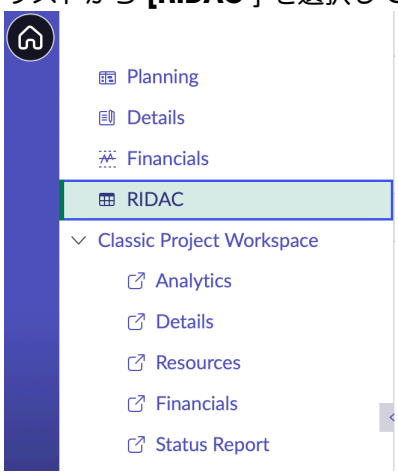
始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
RIDAC レコードを別のレコードに変換すると、[簡単な説明]、[要求者]、および [アサイン先] フィールドの値が親レコードから引き継がれます。

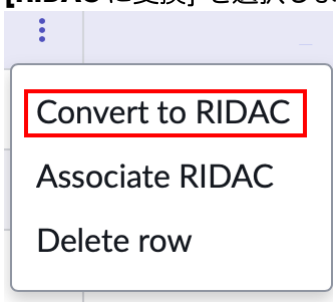
親レコードを手動でクローズする代わりに、新規レコードの作成時に親レコードを終結するように指定することもできます。

手順

1. 特定の RIDAC エントリーを別のエントリーに変換するプロジェクトを選択します。
   プロジェクトワークスペースでプロジェクトに移動する方法については、「新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース」を参照してください。
2. リストから **[RIDAC**] を選択して、プロジェクトの [RIDAC] ページを開きます。



3. プロジェクトフォームで、個々のリスク、問題、意思決定、アクション、または変更要求レコードの [行コンテキストメニュー] を選択します。
4. **[RIDAC** に変換] を選択します。



5. [変換] ダイアログボックスの [タスクタイプを選択] リストから、選択したレコードを変換する RIDAC レコードを選択します。
   たとえば、問題を意思決定に変換する場合は、[意思決定] を選択します。
6. 親レコードからコピーされた [簡単な説明] フィールドのテキストを変更します。
7. オプション: [アサイン先] フィールドの親レコードからコピーされたデフォルトのアサインを変更するには、ルックアップアイコン ( ) をクリックし、別のユーザーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: 新規レコードの作成時に親 RIDAC レコードをクローズする場合は、親レコードをクローズするオプションを選択します。
   親レコードをクローズするオプションのラベルは、親レコードタイプに応じて変わります。たとえば、親レコードが問題で、それを意思決定レコードに変換する場合、レコードをクローズするオプションは [問題をクローズ **(Close Issue)]** と表示されます。
9. **[OK]** をクリックします。

プロジェクトステータスレポートを **Microsoft PowerPoint** に プロジェクトワークスペース からエクスポート

プロジェクトのステータスレポートを生成し、プロジェクトワークスペース から Microsoft PowerPoint ファイルとしてエクスポートします。このファイルを使用して、プロジェクトステータスをステークホルダーに提示したり、リスクや次のステップについてステークホルダーとコラボレーションしたりすることができます。最新の情報で Microsoft PowerPoint ファイルを生成し、情報をスライドにコピーするのを避けることで、時間を節約します。

始める前に

- ServiceNow ストアから 戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint アプリケーションをインストールします。詳細については、「Install Export to PowerPoint for Strategic Portfolio Management」を参照してください。
- Microsoft PowerPoint テンプレートを作成してアップロードし、ステータスレポートに適用します。テンプレートの作成およびアップロード方法の詳細については、「Create a Microsoft PowerPoint template (Microsoft PowerPoint テンプレートの作成)」および「Upload your Microsoft PowerPoint template (Microsoft PowerPoint テンプレートのアップロード)」をそれぞれ参照してください。

必要なロール：it_project_manager

> **重要:**
> Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

このタスクについて

ステータスレポートを作成したり、既存のステータスレポートを使用して Microsoft PowerPoint ファイルとしてダウンロードしたりします。

ステークホルダーがダッシュボードを使用するよりもスライドを使用することを希望する場合は、プロジェクトをエクスポートすると便利です。また、ダッシュボードにアクセスできないが更新を待っているさらに幅広い対象者や外部のステークホルダーにも役立ちます。

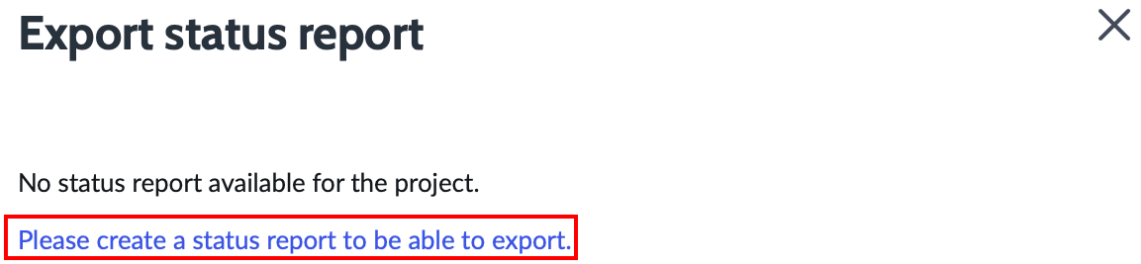
手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. [その他のアクション] メニュー (⋮) から、[ステータスレポートのエクスポート **(Export status report)]** を選択します。
3. [ステータスレポートのエクスポート (Export status report)] フォームで、既存のプロジェクトのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「プロジェクトワークスペース のエクスポートステータスレポートフォーム」を参照してください。
4. [エクスポート] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. プロンプトが表示されたら、目的の場所を選択してファイルを保存します。
6. オプション: [ステータスレポートのエクスポート] フォームで、[エクスポートできるようにステータスレポートを作成してください] リンクをクリックして、プロジェクトのステータスレポートを作成します。



7. [ステータスレポート] タブで、[新規作成] をクリックしてステータスレポートを作成します。
8. [ステータスレポート] フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「プロジェクトステータスレポートの作成」を参照してください。
9. [送信] を選択します。
10. [Export to PowerPoint] アイコン ( ) をクリックします。
11. [PowerPoint にエクスポート] ウィンドウで、[ステータス レポートの日付] をクリックして レポートの日付を選択します。
12. [PowerPoint にエクスポート] ウィンドウで、[テンプレートの選択] をクリックして テンプレートを選択します。
13. [エクスポート] をクリックします。

タスクの結果
プロジェクトステータスレポートは、プロジェクト番号とステータスレポートの日付をファイル名として Microsoft PowerPoint ファイルとしてダウンロードされます。

プロジェクトを **Microsoft PowerPoint** に プロジェクトワークスペース からエクスポート

プロジェクトを Microsoft PowerPoint ファイルとして プロジェクトワークスペース からエクスポートします。このファイルを使用して、外部のステークホルダーやさらに幅広い対象者にプロジェクトの最新情報を提供します。最新の情報で Microsoft PowerPoint ファイルを生成し、情報をスライドにコピーするのを避けることで、時間を節約します。

始める前に

- ServiceNow ストアから 戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint アプリケーションをインストールします。詳細については、「Install Export to PowerPoint for Strategic Portfolio Management」を参照してください。
- Microsoft PowerPoint テンプレートを作成してアップロードし、ステータスレポートに適用します。テンプレートの作成およびアップロード方法の詳細については、「Create a Microsoft PowerPoint template (Microsoft PowerPoint テンプレートの作成)」および「Upload your Microsoft PowerPoint template (Microsoft PowerPoint テンプレートのアップロード)」を参照してください。

重要:
Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

必要なロール：it_project_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

プロジェクトを作成したり、既存のプロジェクトを使用して Microsoft PowerPoint ファイルとしてダウンロードしたりします。

ステークホルダーがダッシュボードを使用するよりもスライドを使用することを希望する場合は、プロジェクトをエクスポートすると便利です。また、ダッシュボードにアクセスできないが更新を待っているさらに幅広い対象者や外部のステークホルダーにも役立ちます。

手順

1. の計画 プロジェクトワークスペースページからプロジェクトを開きます。
   計画ページに移動する方法については、「」を参照してください 新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース。
2. [その他のアクション] メニュー ( ) から、[プロジェクトをエクスポート] を選択します。
3. **[PowerPoint]** を選択します。
4. PowerPoint テンプレートリストからテンプレートを選択し、 [エクスポート] をクリックします。

タスクの結果

プロジェクトは Microsoft PowerPoint ファイルとしてダウンロードされます。

プロジェクトの財務管理

ワークスペースで計画立案アイテムのコストコンポーネントのブレークダウンを表示および管理します 戦略的計画 。

包括的な財務ビューは、選択したエンティティの計画コストと実績コスト、完了時の推定 (EAC)、完了までの見積もり (ETC)、現在までの合計実績など、財務情報を理解するのに役立ちます。コスト計画を管理し、処理された経費明細を関連付けて、計画立案アイテムの実績を反映できます。

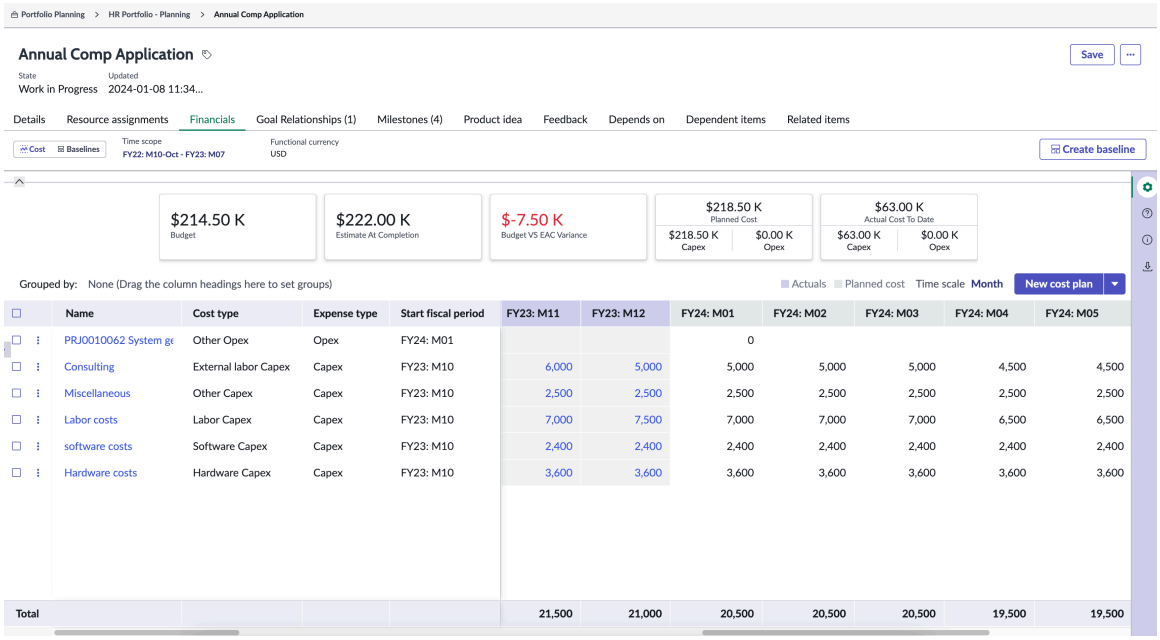
コスト比較ビューまたはベースライン比較ビューから、Microsoft Excel または CSV ファイルとして財務データをエクスポートします。ステークホルダーと共有して、計画立案アイテムとポートフォリオの財務実績をレビューします。

コストビュー

[コスト] ビューでは、カスタマイズアイコン (歯車アイコンのカスタマイズ) を使用して左ペインの属性を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[コスト] 画面では、次のことができます。

- プロジェクトのコスト計画を管理します。

  詳細については、「コスト計画の追加、編集、または削除」を参照してください。

- 計画立案アイテムの経費明細を追加または編集して、予定または予定外の経費を記録します。

  詳細については、「経費明細の追加または編集」を参照してください。

- 会計期間の人件費を生成する。

  詳細については、「人件費の生成」を参照してください。

- ベースラインを作成して比較し、計画立案アイテムの財務スナップショットをキャプチャします。

  詳細については、「計画立案アイテムの財務ベースラインを作成して比較する」を参照してください。

- 作業アイテムの財務データの高レベルのスナップショットを取得するようにウィジェットを構成します。

ヒント:
コストビューでは、ユーザー初期設定を保存して、列の表示や時間スコープの表示などの非表示、表示、調整を行ったカスタマイズを保持することで、ユーザーエクスペリエンスを向上できます。

ベースラインビュー

ベースラインを作成して 、計画立案アイテムの財務的変更のスナップショットをキャプチャします。オンデマンドのベースラインを作成することも、スケジューラジョブを使用して周期で作成することもできます。

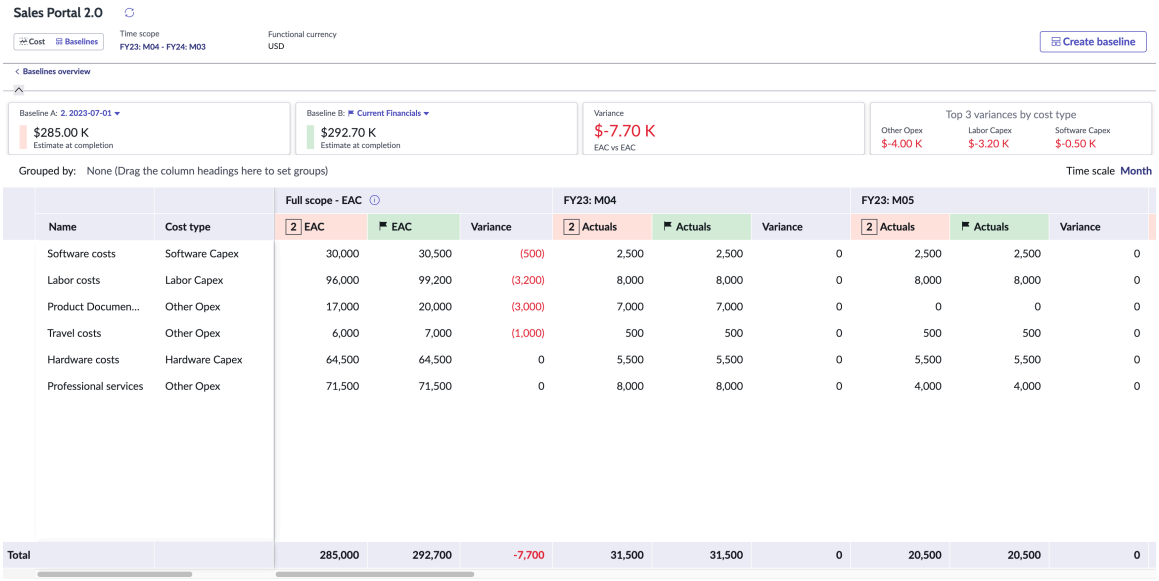
ベースラインを比較して、最新ステータスとベースライン間、または任意の 2 つのベースライン間のコストの差を比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
各ベースラインには、作成された順序に基づいて番号が付けられます。現在の財務ベースラインは、財務の詳細をリアルタイムでキャプチャし、常にフラグアイコン (⚑) で表されます。

ベースライン比較ビューは、2 つのベースライン間の差異を理解するのに役立ちます。



		Full scope - EAC			FY23: M04			FY23: M05		
Name	Cost type	2 EAC	⚑ EAC	Variance	2 Actuals	⚑ Actuals	Variance	2 Actuals	⚑ Actuals	Variance
Software costs	Software Capex	30,000	30,500	(500)	2,500	2,500	0	2,500	2,500	0
Labor costs	Labor Capex	96,000	99,200	(3,200)	8,000	8,000	0	8,000	8,000	0
Product Documen...	Other Opex	17,000	20,000	(3,000)	7,000	7,000	0	0	0	0
Travel costs	Other Opex	6,000	7,000	(1,000)	500	500	0	500	500	0
Hardware costs	Hardware Capex	64,500	64,500	0	5,500	5,500	0	5,500	5,500	0
Professional services	Other Opex	71,500	71,500	0	8,000	8,000	0	4,000	4,000	0
Total		285,000	292,700	-7,700	31,500	31,500	0	20,500	20,500	0

ベースラインを比較するときは、ウィジェットを活用します。ウィジェットには、次のタイプの情報が表示されます。

- EAC を表示するベースラインごとに 2 つの専用ウィジェットがあります。
- 3 番目のウィジェットには、選択したベースラインの EAC 値間の合計分散が表示されます。
- 4 番目のウィジェットには、全体的な差異に寄与する上位 3 つの差異がコストタイプ別に表示されます。

ウィジェットとヘッダー行は色分けされており、選択したベースラインを識別するのに役立ちます。

ヒント:
1 番目または 2 番目のウィジェットからベースラインの名前を選択して、異なるベースラインを比較します。

ベースラインを比較すると、コスト計画とそれに関連するコストタイプ、フルスコープの EAC、実際の経費と計画コストのブレークダウンビューのリストが表示されます。

デフォルトでは、ブレークダウン ビューのタイム スケールは [月] に設定されています。

- [タイムスケール] オプションを使用して、月次、四半期、および年次レベルで比較ブレークダウンビューを表示します。
- 会計期間、ウィジェットのデータ、および比較表をフィルタリングするには、[時間範囲] を選択します。

Example: 異なるタイムスタンプでキャプチャされた **2** つのベースライン間で実績、計画、EAC を比較する方法

2 つのベースラインの比較ビューの例を見てみましょう。ベースライン A は 2023-10-01、ベースライン B は流動財務です。

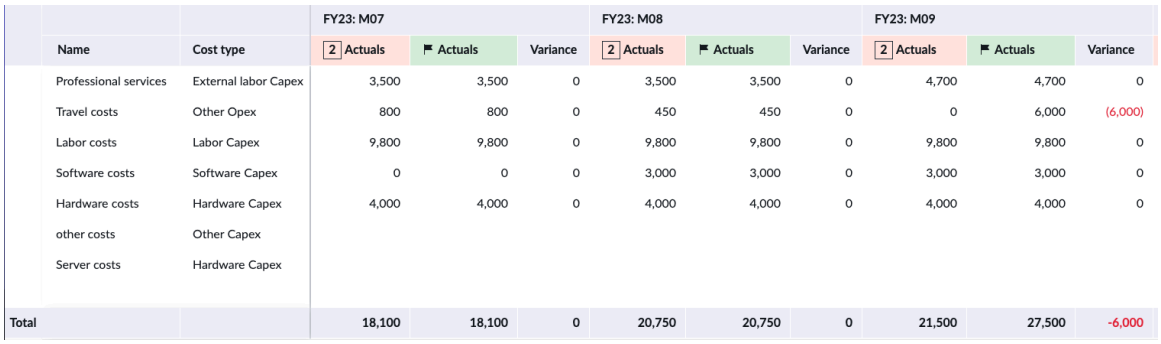
作成日に基づいて選択したベースラインについて、テーブルには作成日からの過去の会計期間の実績値と、現在および将来の会計期間の計画値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

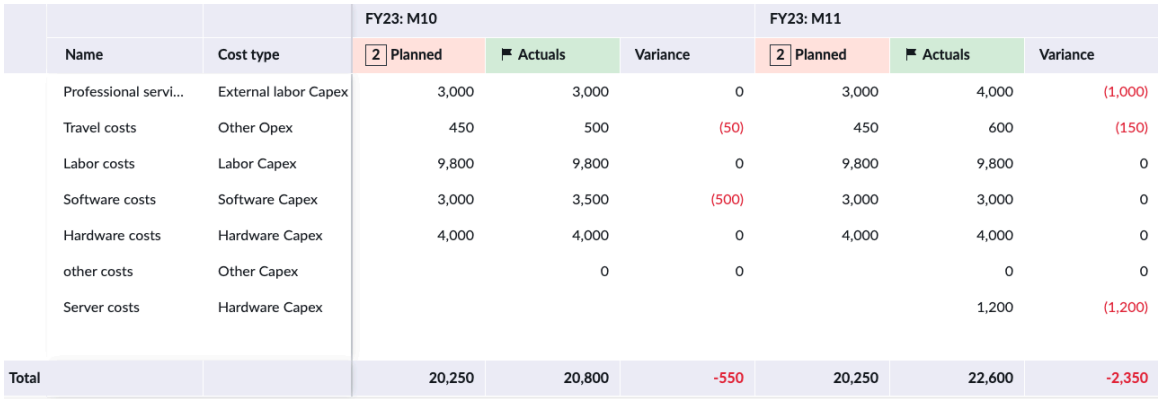
2023 年 7 月から 2024 年 6 月までの計画立案アイテムを考えてみましょう。ベースライン A は 2023-10-01 に作成されます。2023 年 12 月の現在の財務ベースラインと 2023 年 10 月に取得されたベースラインを比較してみましょう。

1. ベースライン比較ビューには、2023 年 7 月から 2023 年 9 月までの実績と実績の列が表示されます。



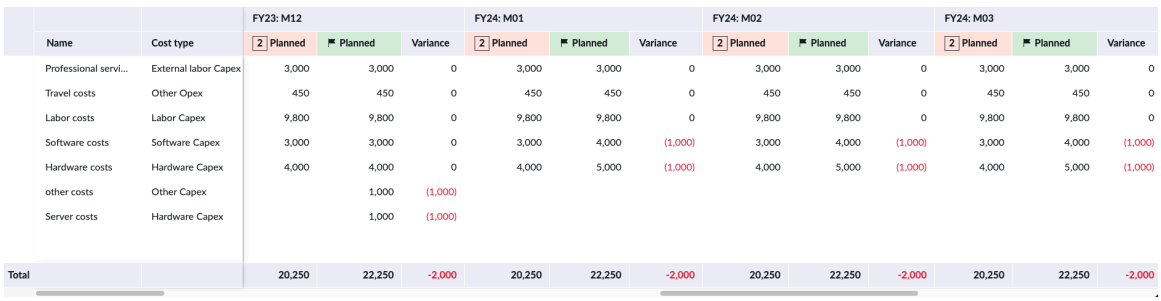
			FY23: M07			FY23: M08			FY23: M09		
	Name	Cost type	2 Actuals	Actuals	Variance	2 Actuals	Actuals	Variance	2 Actuals	Actuals	Variance
	Professional services	External labor Capex	3,500	3,500	0	3,500	3,500	0	4,700	4,700	0
	Travel costs	Other Opex	800	800	0	450	450	0	0	6,000	(6,000)
	Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
	Software costs	Software Capex	0	0	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0
	Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0
	other costs	Other Capex									
	Server costs	Hardware Capex									
Total			18,100	18,100	0	20,750	20,750	0	21,500	27,500	-6,000

2. 2023年10月および2023年11月の予定対実績は以下の通りです。



		FY23: M10			FY23: M11		
Name	Cost type	2 Planned	Actuals	Variance	2 Planned	Actuals	Variance
Professional servi...	External labor Capex	3,000	3,000	0	3,000	4,000	(1,000)
Travel costs	Other Opex	450	500	(50)	450	600	(150)
Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
Software costs	Software Capex	3,000	3,500	(500)	3,000	3,000	0
Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	4,000	0
other costs	Other Capex		0	0		0	0
Server costs	Hardware Capex					1,200	(1,200)
Total		20,250	20,800	-550	20,250	22,600	-2,350

3. 2023年12月から2024年6月までの計画対計画は以下の通りです。



		FY23: M12			FY24: M01			FY24: M02			FY24: M03		
Name	Cost type	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance	2 Planned	Planned	Variance
Professional servi...	External labor Capex	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0
Travel costs	Other Opex	450	450	0	450	450	0	450	450	0	450	450	0
Labor costs	Labor Capex	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0	9,800	9,800	0
Software costs	Software Capex	3,000	3,000	0	3,000	4,000	(1,000)	3,000	4,000	(1,000)	3,000	4,000	(1,000)
Hardware costs	Hardware Capex	4,000	4,000	0	4,000	5,000	(1,000)	4,000	5,000	(1,000)	4,000	5,000	(1,000)
other costs	Other Capex		1,000	(1,000)									
Server costs	Hardware Capex		1,000	(1,000)									
Total		20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000	20,250	22,250	-2,000

注:
列は、前会計期間までの実績コストと現在から将来の会計期間の計画コストの合計である EAC を計算するように定義されます。

コスト計画の追加、編集、または削除

必要な期間のコスト計画を作成して、予定の経費と実際の経費を追跡します。コスト計画を編集して予定経費を調整し、スコープ解除された予測を削除します。

始める前に

必要なロール：it_project_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. 左側のメニューから [財務] を選択します。

> ヒント:
> 初期計画コストをキャプチャした直後に財務ベースラインを作成して、計画コストのスナップショットを作成します。このベースラインを使用して、作業の進行に応じて後の日付のベースラインと比較し、当初の計画コストと実際の経費の差異を特定します。

これは、将来の経費を計画し、計画コストを再予測するのに役立ちます。

経費明細の追加または編集

経費ラインを作成または編集して、実績コストをキャプチャします。経費ラインをコスト計画に関連付けるか、スタンドアロンの経費ラインを作成して予定外の経費を記録できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
経費明細は、特定のソースに関連付けることができるプロジェクトコスト計画の一部です。コスト計画に対して複数の経費明細を作成できます。処理済みステータスの経費明細のみが、作業アイテムのロールアップで考慮されます。
どのコスト計画にも関連付けられていない予定外の経費明細については、自動的にコスト計画が作成されるか、同じ経費タイプの既存のシステム生成コスト計画に関連付けられます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. 左側のメニューから [財務] を選択します。
3. 次のいずれかのオプションを使用して、経費明細を追加します。

4. [Expense Line を作成] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[Expense Line を作成] フォーム」を参照してください。
5. [保存] を選択します。

人件費の生成

計画立案属性ページで構成された財務属性に基づいて、属性ベースのリソースアサインの [コスト] ビューで人件費を生成します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. 左側のメニューから [財務] を選択します。
3. [人件費の生成] (Generate labor cost) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [人件費を生成] 確認ウィンドウで [生成] を選択します。

> **注:**
> または、 スケジュール設定済みジョブをアクティブ化 して、必要な頻度でベースラインを自動的に作成することもできます。

プロジェクトの財務ベースラインを作成して比較する

財務ベースラインを作成して比較し、プロジェクト経費のスナップショットを取得し、計画コストと実際の経費を比較します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. 左側のメニューから [財務] を選択します。
3. ベースラインを作成または比較します。

> **注:**
> スケジュール設定済みジョブをアクティブ化して、財務ベースラインを自動的に作成できます。

プロジェクト財務と **Source-to-Pay Operations** の統合

プロジェクトの資産の調達要求を要求、追跡、管理します。

このタスクについて
プロジェクトマネージャーは、調達アプリケーションから プロジェクトワークスペース 移動し、プロジェクトの購買要求を作成できます。注文された購買要求はに反映 プロジェクトワークスペースされます。購入要求が処理されると、購入明細、コスト計画、および経費明細が自動的に生成されます。統合の詳細については、「」を参照してください Sourcing and Procurement Operations integration with Project Management 。

始める前に
必要なロール:it_project_manager、sn_shop.shopper

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース.
2. プロジェクトを開き、左側のメニューから [詳細] を選択します。
3. [その他のアクション] ( ) アイコンを選択し、[購買要求の作成] を選択します。
   Source-to-Pay ショッピング ハブ ポータルが新しいタブで開きます。
4. 資産を要求します。

   を使用して Source-to-Pay 共通アーキテクチャ製品を要求する方法の詳細については、「」を参照してください Order a product with quick checkout 。

   資産の要求を行う際に、[この要求の対象プロジェクトは何ですか?] フィールドにプロジェクト番号を入力します。

   購買要求が行われた後、そこから購入明細を追跡できます。
5. [プロジェクトワークスペース 詳細] ページで、[購入明細] 関連リストを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

購入明細番号、購入数量、単価、税、ステータスなどの要求の詳細を追跡できます。

の Source-to-Pay オペレーション 調達スペシャリストが購買要求書を承認し、発注書を作成します。プロジェクトマネージャは、この発注書とコスト計画を プロジェクトワークスペースで表示できます。

6. で要求 プロジェクトワークスペースの発注明細を表示するには:
   a. で プロジェクトワークスペース プロジェクトを開き、左側のメニューから [詳細] を選択します。
   b. [購入明細] 関連リストを選択します。
7. 要求 プロジェクトワークスペースのコスト計画を表示するには:
   a. で プロジェクトワークスペース プロジェクトを開き、左側のメニューから [詳細] を選択します。
   b. [コスト計画] 関連リストを選択します。

   注:
   コスト計画は、会計期間の開始と終了、各会計期間の計画コスト計画ブレークダウンなどの追加の詳細とともに財務に反映されます。

   次のステップとして、発注書が処理され、請求書が生成されます。購買要求の実際の経費をキャプチャする請求書明細が作成されます。

8. 処理された請求書から生成された経費明細を表示するには:
   a. で プロジェクトワークスペース プロジェクトを開き、左側のメニューから [財務] を選択します。
   b. 購買要求の作成に使用するプロジェクトを開きます。
   c. 行オプションを選択 経費明細 選択した会計期間の [経費明細を表示] を選択します。

タスクの結果
処理済みの購買要求が、選択したプロジェクトにタグ付けされます。コスト計画や経費ラインなどの財務レコードが自動的に作成され、プロジェクト経費に関連付けられます。

財務を **Excel** または **CSV** ファイルとしてエクスポート

プロジェクトのコストまたはベースライン比較データをエクスポートして、ステークホルダーと共有します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順
1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. 左側のメニューから [財務] を選択します。
3. [エクスポート]オプションを選択します(
4. [エクスポート] サイド パネルで、[ファイルの種類] ボックスの一覧から [**Excel**] または **[CSV**] を選択し、[エクスポート] ボタン (Export) を選択します。

   財務データは、 name_fin_mmddyy 命名規則に従って Excel ファイルまたは CSV ファイルとしてダウンロードされます。命名規則の内訳:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 名前:計画立案アイテムの名前から最初の 10 文字をフェッチします。

b. fin - ファイルに財務データがあることを示します。

c. mmddyy:このデータをエクスポートするときのシステム日付形式。
たとえば、2024 年 1 月 26 日に「ドキュメント」という名前の計画立案アイテムの財務データをダウンロードする場合、ファイル名は documentat_fin_012624 になります。

注:
財務データは、コストビューとベースライン比較ビューからエクスポートできます。

によるリソース計画 プロジェクトワークスペース

アプリケーションを使用して、 リソース管理 で プロジェクトワークスペースリソースを割り当てて管理します。

主な特長

リソース管理 を使用すると、プロジェクトワークスペースのプロジェクトまたはタスクレベルでリソースのアサインを作成、計画、追跡、および監視できます。

リソース管理ではプロジェクトワークスペース、次のことができます。

- 属性ベースのリソースのアサインを作成する。
- プロジェクトの任意のレベルで、リソースのアサイン日、リソース、工数、および提案された割り当てを変更する。
- ヒートマップでリソースの割り当てを表示する。割り当ては、リソースの可用性を表示するために色分けされます。

のリソースのアサイン プロジェクトワークスペース

内の プロジェクトワークスペースタスクにリソースを割り当てることで、プロジェクトの実行を最適化します。任意のプロジェクトまたはプロジェクトタスクのリソース割り当てを作成し、実行するタスクと割り当てるリソースを指定できます。

リソースのアサイン

リソースまたはリソースのグループをプロジェクトタスクに割り当てるリソースアサインプロセス。リソースのアサインが開始されると、プロジェクト管理システムのバックエンドでリソース計画が自動生成されます。このリソース計画は、プロジェクト全体でリソースが割り当てられる方法に関する情報を詳述します。リソースのアサインは、可用性、スキル、プロジェクトの優先順位などの要素を考慮して、割り当てが全体的なリソース戦略と一致していることを確認するために、リソースマネージャーによって承認されます。リソースのアサインは動的なままで、プロジェクトのライフサイクル全体を通じて編集できます。リソースは、スキル、専門知識、またはプロジェクトやタスクに関連するその他の基準など、定義された属性に基づいて割り当てることができます。

主な機能

リソースのアサインにより、次のことができます。

- リソースエンゲージメントのタイミングを決定し、指定された期間にリソースを割り当てて、タスク完了のタイムラインの作成に貢献します。
- タスクの実行をプロジェクト計画に合わせて調整し、指定されたタイムラインとリソース要件に従ってタスクが実行されるようにします。
- リソースマネージャーによって実施される承認プロセスを開始し、プロジェクトのターゲットとリソースの可用性に沿っていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- プロジェクトワークスペースからのリソースのアサインの作成
- プロジェクトワークスペースからのリソースのアサインの更新
- リソースプラン

プロジェクトワークスペースからのリソースのアサインの作成

任意のプロジェクトまたはプロジェクトタスクに、プロジェクトワークスペースアプリケーションで属性ベースのリソースのアサインを作成します。

始める前に

リソースのアサインが作成されると、リソース計画がバックエンドで自動的に作成されます。リソースがプロジェクトに割り当てられ、リソースマネージャーによって承認されます。プロジェクトのライフサイクル全体を通じてアサインを編集できます。

必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [リソース計画] トグルボタンを有効にして、[リソースのアサイン] ペインを表示します。

   注:
   プロパティ *sn_pw.enable_resource_planning* が true に設定されている場合、[リソース計画] トグルボタンと [リソースのアサイン] ペインがプロジェクトワークスペースに表示されます。デフォルト値は false です。このプロパティを有効にするには、pps_admin ロールが必要です。

3. [計画立案] ペインで、プロジェクトタスクの [リソースのアサイン先] フィールドをダブルクリックします。

   [計画立案] ペインと [リソースのアサイン] ペインの両方からリソースをアサインできます。

4. [リソースのアサイン先] リストからユーザーまたはグループを選択し、**Enter** キーを押します。
   リソースのアサインレコードが作成され、自動保存されます。[リソースのアサイン] フォームには、プロジェクトまたはタスクの情報が自動入力されます。
5. オプション: [リソースのアサイン] ペインで、[リソースを追加] を選択して、プロジェクトまたはタスクのリソースのアサインを作成します。
   プロジェクトのリソースのアサインは、[リソースのアサイン] ペインからのみ作成できます。
6. [割り当てヒートマップ] トグルボタンを有効にして、ヒートマップにリソースのアサインを表示します。
   要件に基づいて、週次ビューから月次ビューに切り替えることができます。

次のタスク

プロジェクトワークスペースからのリソースのアサインの更新

関連情報

- プロジェクトワークスペースからのリソースのサインの削除
- ヒートマップでのリソース割り当ての更新
- プロジェクトタスクへのリソースのアサインの再調整

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペースでのユーザーのリソースアサインの作成

プロジェクトワークスペースを使用して、ユーザーベースのリソースのアサインを作成します。ユーザーレコードには、インスタンスまたはアプリケーションにアクセスする個人の情報が格納されます。こうしたレコードをグループとロールにアサインして、個人がアクセスできるレコードとアクションを決定できます。

始める前に
必要なロール：admin または it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー.
2. Create a user.
3. ユーザーベースのリソースのアサインに必要なユーザーに pps_resource ロールをアサインします。
   ロールのアサイン方法については、「Assign a role to a user」を参照してください。
4. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
5. [計画立案] ペインで、プロジェクトタスクの [リソースのアサイン先] フィールドをダブルクリックします。
6. [リソース] フィールドで、ステップ 2 のユーザーを選択し、**Enter** キーを押します。

タスクの結果
ユーザーのリソースのアサインレコードが作成され、自動保存されます。

プロジェクトワークスペースでのグループのリソースアサインの作成

プロジェクトワークスペースを使用してグループを作成し、リソースのアサインに関連付けます。共通の目的を共有する一連のユーザーをグループに関連付けることができます。

始める前に
必要なロール：admin または it_project_manager

このタスクについて
グループを作成して、そのグループにロールをアサインします。グループにアサインされたユーザーは、そのロールを継承します。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > グループ.
2. グループを作成します。

   グループの作成方法の詳細については、「Create a user group」を参照してください。
3. グループベースのリソースのアサインに必要なグループに pps_resource ロールをアサインします。
   ロールをグループにアサインする方法の詳細については、「Assign a role to a group」を参照してください。
4. メンバーをグループに追加して、グループにアサインされたすべてのロールをユーザーが継承するようにします。
   詳細については、「グループにユーザーを追加」を参照してください。
5. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
6. [計画立案] ペインで、プロジェクトタスクの [リソースのアサイン先] フィールドをダブルクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[計画立案] ペインと [リソースのアサイン] ペインの両方からリソースをアサインできます。

7. [リソース] フィールドで、ステップ 2 のグループを選択し、**Enter** キーを押します。

タスクの結果
グループのリソースのアサインレコードが作成され、自動保存されます。

> **注:**
> [リソース] フィールドでグループを選択すると、アサインは [処理待ち] ステータスで作成されます。アサインタイプがグループに設定されている場合、グループのすべてのメンバーにアサインが作成され、そのグループのすべてのメンバーに割り当て時間が均等に分割されます。

属性ベースのリソースのアサインの作成

プロジェクトワークスペースで属性ベースのリソースのアサインを作成します。要件に基づいて属性を事前定義できます。

始める前に
必要なロール:pps_admin または it_project_manager

手順
1. 計画立案属性を作成します。

   > **注:**
   > アサインが属性ベースの場合、アサインは [未アサイン] ステータスで作成されます。計画立案属性を構成するには、pps_admin ロールが必要です。

2. 移動先 すべて > 従業員プロファイル > 従業員プロファイル.
3. 従業員プロファイルを作成します。
   詳細については、「Activate Employee Profile」を参照してください。
4. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
5. [計画立案] ペインで、プロジェクトタスクの [リソースのアサイン先] フィールドをダブルクリックします。

   [計画立案] ペインと [リソースのアサイン] ペインの両方からリソースをアサインできます。

6. [リソース] フィールドで、リストから属性ベースのロール、グループ、またはスキルを選択し、**Enter** キーを押します。

タスクの結果
属性のリソースのアサインレコードが作成され、自動保存されます。

> **注:**
> リソース管理 に対して [プライマリグループ]、[プライマリスキル]、および [プライマリロール] 属性を有効にできます。要件に基づいて属性をさらに作成できます。

プロジェクトワークスペースからのリソースのアサインの更新

プロジェクトまたはプロジェクトタスクに関連付けられているリソースのアサインを更新します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

リソースのアサインでは、グループリソースのアサインのステータスに加えられた変更は、関連付けられているすべての子リソースのアサインステータスにロールダウンされます。同様に、子リソース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のアサインのステータスに加えられた変更は、対応するグループリソースのアサインステータスに自動的にロールアップされます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [リソース計画] トグルボタンを有効にして、[リソースのアサイン] ペインを表示します。
3. [リソースのアサイン] ペインで、任意のセルをダブルクリックして行全体を編集します。
4. 目的のフィールドを編集し、データグリッドの任意の場所を選択して詳細を保存します。

タスクの結果
[リソースのアサイン] ペイン内のリソースのアサインが更新されます。

> **注:**
> フルタイム相当 (FTE) 工数が複数ある空のリソースのアサインにリソースが追加されると、追加の行が自動的に作成され、リソースのアサインが両方の行で自動更新されます。

プロジェクトワークスペースからのリソースのサインの削除

プロジェクトワークスペースからリソースのアサインを削除します。アサインを削除すると、関連するすべてのリソースのアサインも削除されます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [リソース計画] トグルボタンを有効にして、[リソースのアサイン] ペインを表示します。
3. [リソースのアサイン] ペインで、行コンテキストメニュー (⋮) をクリックし、[行を削除] をクリックします。

タスクの結果
リソースのアサインが [リソースのアサイン] ペインから削除されます。

ヒートマップでのリソース割り当ての更新

プロジェクトワークスペースで割り当てヒートマップ機能を使用して、リソース割り当てを表示および更新します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
[割り当てヒートマップ] トグルボタンを使用すると、個々のリソースの割り当ての詳細なブレークダウンが提供されます。割り当てヒートマップは、週または月のリソースの合計使用率を表します。デフォルトでは、その週の割り当て情報が表示されます。この情報は、プロジェクトマネージャーがプロジェクトレベルまたはタスクレベルでリソースを効果的に計画するのに役立ちます。

ServiceNow® インスタンスを組織の Microsoft Teams と統合して、Microsoft Teams でのプロジェクトとリソース割り当てのコラボレーションを可能にします。Microsoft Teams 統合を使用すると、プロジェクトのチームメンバーとコミュニケーションを取り、プロジェクトとリソース割り当てのステータスに関するリアルタイムの更新を共有できます。詳細については、「Microsoft Teams 用の PPM コラボレーションの設定」を参照してください。

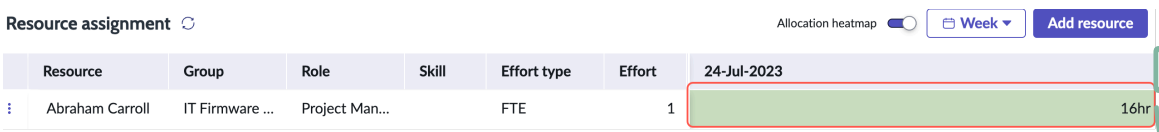
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プロジェクトワークスペースからのリソースのアサインの作成。
2. [割り当てヒートマップ] トグルボタンを有効にして、ヒートマップにリソースのアサインを表示します。
   要件に基づいて、週次ビューから月次ビューに切り替えることができます。
3. 目的のフィールドを編集し、データグリッドの任意の場所を選択して、詳細を保存します。
   作業割り当てはキャパシティに基づいています。割り当ては、この後に示すようにリソースの可用性を表示するために色分けされます。これらの色は、特定のタスクのリソースの可用性を識別するのに役立ちます。

Very Over Utilized	150 +	%
Over Utilized	100 - 150	%
Full Utilization	100	%
Good Utilization	51 - 99	%
Under Utilized	0- 50	%

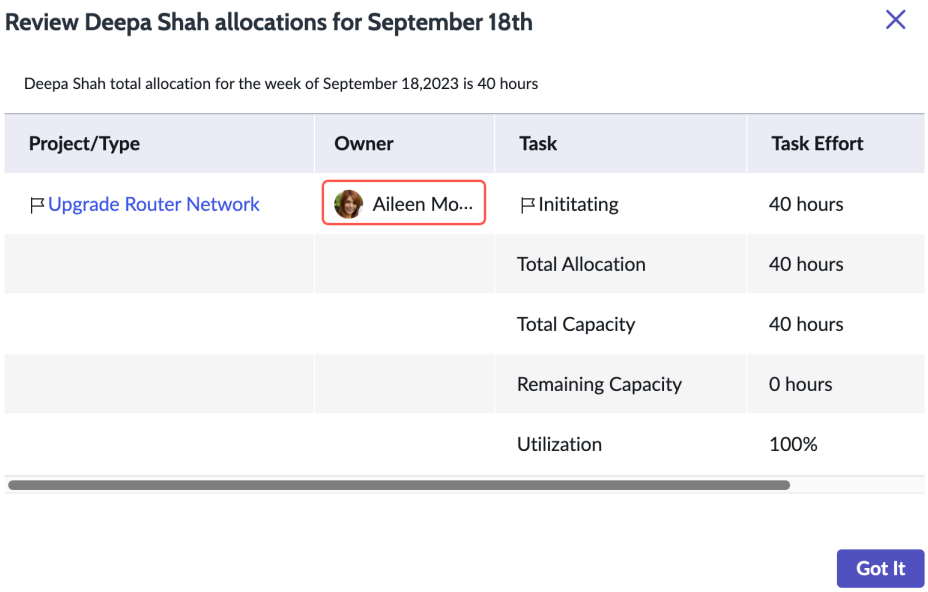
4. 割り当て時間のセルを選択して、[リソース割り当て] ウィンドウを編集します。



5. [リソース割り当て] ウィンドウから、リソースのアサインされたプロジェクト、所有者、タスク、および作業工数を表示および追跡します。
6. [所有者] フィールドを選択して、チームのプロジェクト所有者にダイレクトメッセージを送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[所有者] は、ServiceNow® インスタンスが組織の Microsoft Teams と統合されている場合にのみ選択できます。デマンドのリソースのアサインは、プロジェクトになる前と後の両方で割り当てウィンドウに表示されます。

関連情報

プロジェクトワークスペースからのリソースのアサインの作成

プロジェクトタスクへのリソースのアサインの再調整

リソースのアサイン日をプロジェクトタスクの日付に再調整または同期します。この同期により、リソースのアサインを適切にスケジュールし、プロジェクトのタスクタイムラインに合わせて調整できるようになります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > ワークスペース > プロジェクトワークスペース をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [プロジェクト計画立案] ペインで、プロジェクトタスクの [開始予定日] または [実際の開始日] をダブルクリックします。
3. フィールドを編集し、**[OK]** を選択します。
4. プロジェクトタスクの行から、行コンテキストメニューを選択し、[タスクへのアサインの再調整] を選択します。
   または、[同期されていないリソース] アイコンを使用して、リソースのアサイン日をプロジェクトレベルでプロジェクトの日付と同期します。フォームから同じアクションを実行するには、[タスクへのアサインの再調整] 関連リンクを使用できます。

タスクの結果
リソースのアサイン日はプロジェクトタスクの日付と同期されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

のリソースのアサイン プロジェクトワークスペース

プロジェクトワークスペース 参照

プロジェクトワークスペース 参照

フィールド、ユーザーロール、テーブル、ジョブスケジュール、システムプロパティ、カスタムスクリプトなど、に関する プロジェクトワークスペース追加の詳細を提供するための参照情報。

とともに プロジェクトワークスペース インストールされるコンポーネントとプロパティは、「」で説明した プロジェクト管理 (PM)ものと同じです。詳細については、次の参照トピックを参照してください。

- Project Management とともにインストールされるプロパティ
- Resource Management プロパティ

プロジェクトワークスペース のフォームフィールドの情報

プロジェクトワークスペース アプリケーションで使用されるフォームのフィールド情報。

プロジェクトワークスペース のアクションフォーム

プロジェクトワークスペース のアクションフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プロジェクトにアクションを追加します。

アクションフォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成番号。
ステータス	アクションの現在のステータス。すべての新しいアクションレコードは、ステータスを [オープン] に設定して作成されます。 使用可能なステータスは、次のとおりです。 • 処理待ち • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
優先度	影響度に基づいてアクションを実装または承認する緊急性。
コスト概算	アクションによって生成されるコスト概算
Impact	アクションを実装しない場合のプロジェクトの結果への影響
承認	アクションのステークホルダーからの承認のステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 未要求 • 要求済み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 承認済み • 却下
担当者	アクションを実装するためにアサインされたプライマリリソース。
期日	アクションを承認または実装する必要がある要求日。
親	このアクションが属するプロジェクト。
プロジェクトステータスレポートに表示	アクション情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	アクションに関係する内容、アクションの実装方法、影響を受けるユーザー、およびアクションの結果など、アクションの簡単な説明。 アクションのタイトルを入力し始めると、アクションのタイトルと一致する可能性がある関連アクションが表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義されたアクションのリストから説明を選択します。
説明	アクションとその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	アクションに関する情報。作業メモを追加して、アクションの承認、却下、または実装のステータスについて他のユーザーとやり取りします。

プロジェクトワークスペース の意思決定フォーム

プロジェクトワークスペース の意思決定フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プロジェクトに意思決定を追加します。

意思決定フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	意思決定の現在のステータス。すべての新しい意思決定レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、次のとおりです。 • 処理待ち • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
優先度	考えられる影響度に基づいて意思決定を承認または実装する緊急性。
意思決定ステータス	意思決定のステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

意思決定フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 処理待ち • 承認済み • 却下
Impact	意思決定を実装しない場合のプロジェクトの結果への影響
承認が必要	意思決定の承認が必要かどうかを決定するためのオプション。
コスト概算	意思決定を実装するためのコスト概算。
期日	意思決定を承認または実装する必要がある要求日。
担当者	意思決定の対応をアサインされたプライマリリソース。デフォルト値は、意思決定レコードを作成するユーザーの名前です。
親	この意思決定が属するプロジェクト番号。
プロジェクトステータスレポートに表示	意思決定情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	意思決定の内容、意思決定者、意思決定の影響、および意思決定の結果など、意思決定の簡単な説明。 意思決定のタイトルを入力し始めると、意思決定と一致する可能性がある関連する意思決定が表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義された意思決定の説明のリストから説明を選択します。
説明	意思決定とその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	意思決定の実装または承認のステータスを記録および追跡するための情報。

プロジェクトワークスペース のエクスポートステータスレポートフォーム

プロジェクトワークスペース のエクスポートステータスレポートフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プロジェクトのステータスをエクスポートします。

ステータスレポートのエクスポートフォーム

フィールド	説明
エクスポートするレポート	PowerPoint としてエクスポートする既存のプロジェクトステータスレポート。
PowerPoint テンプレート	ステータスレポートに適用する PowerPoint テンプレート

プロジェクトワークスペース の問題フォーム

プロジェクトワークスペース の問題フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プロジェクトに問題を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	問題の現在のステータス。すべての新しい問題レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、次のとおりです。 • 処理待ち • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
優先度	考えられる影響度に基づいて問題を解決または管理する緊急性。
推定コスト	問題によって生成されるコスト概算
Impact	問題が未解決のままである場合のプロジェクトの結果への影響。
期日	次のいずれかの状況の要求日： • 問題にアサインされたリソースがある場合、 [期日] は問題を解決する日付です。 • 問題がどのリソースにもアサインされていない場合、[期日] は問題をクローズまたは対処する必要がある日付です。
担当者	問題解決の対応をアサインされたプライマリリソース。
親	この問題が属するプロジェクト。
プロジェクトステータスレポートに表示	問題情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
簡単な説明	問題、および問題がプロジェクトの成功に与える潜在的な影響の簡単な説明。 問題のタイトルを入力し始めると、問題と一致する可能性がある関連する問題が表示されます。 提案アイコン ( ) をクリックして、事前定義された問題の説明のリストから選択します。
説明	問題とその潜在的な影響の詳細。
作業メモ	問題解決のために完了した作業を記録および追跡するための情報。

のプロジェクトフォーム プロジェクトワークスペース

のプロジェクトフォームの プロジェクトワークスペースフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プロジェクトを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトフォーム

フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトの希望する名前。
開始予定日	このプロジェクトのタスクを開始する予定の日付。
プロジェクトクラス	作成するプロジェクトのタイプを選択します。たとえば、標準プロジェクト、カスタマープロジェクト、チームスペースプロジェクトなどです。
プロジェクトテンプレート	プロジェクトに適用するテンプレート。 必要なテンプレートがリストにない場合は、後でテンプレートを作成してプロジェクトに適用できます。

プロジェクトワークスペース の変更要求フォーム

プロジェクトワークスペース の変更要求フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プロジェクトに変更要求を追加します。

変更要求フォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	変更要求の現在のステータス。すべての新しい変更要求レコードは、[オープン] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、次のとおりです。 • 処理待ち • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
優先度	影響度に基づいて要求された変更を承認する緊急度。
コスト概算	要求された変更によって生成されるコスト概算
Impact	要求された変更を承認しない場合のプロジェクトの結果への影響。
承認	要求された変更のステークホルダーからの承認のステータス。
担当者	変更要求の対応をアサインされたプライマリリソース。
期日	変更要求を完了するための要求日。
カテゴリ	変更要求の作成対象のエンティティ。オプションは次のとおりです。 • リソース • スコープ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更要求フォーム (続く)

フィールド	説明
	• コスト • スケジュール
親	この変更要求が属するプロジェクト番号。
プロジェクトステータスレポートに表示	変更要求情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
タイトル	変更要求のタイトル。
説明	変更要求とその潜在的な影響の詳細。
ビジネス上の根拠	プロジェクトで提案された変更を要求する理由とそのビジネスへの影響。
作業メモ	プロジェクトの変更要求の進捗状況を示す追加情報。

プロジェクトワークスペース のリスクフォーム

プロジェクトワークスペース のリスクフォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プロジェクトにリスクを追加します。

リスクフォーム

フィールド	説明
番号	構成可能なプリフィックス付きのシステム生成 ID 番号。
ステータス	リスクの現在のステータス。すべての新しいリスクは、[処理待ち] ステータスで作成されます。 使用可能なステータスは、次のとおりです。 • 処理待ち • オープン • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
リスクステータス	リスクのステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 処理待ち • 達成 • 未達成 • 回避 • 軽減 • 移転 • Accept

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフォーム (続く)

フィールド	説明
確率 (Probability)	リスクに記載されているイベントが発生する可能性。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 絶対 • 高 • 中 • 低
Impact	プロジェクトの結果に対するリスクイベントの影響。
推定コスト	リスクイベントによって生成されるコスト概算
リスクのランク	リスクにアサインされた値と色。この値は、リスクの確率と影響度を使用して計算されます。リスク値のルックアップを使用して色と値を設定できます。詳細については、「プロジェクトのカスタムのリスクランクとリスク値の設定」を参照してください。
リスクオーナー (Risk owner)	リスクの監視と管理を担当するプライマリリソース。
担当者	リスクの対応をアサインされたプライマリリソース。
リスク値	リスク値のルックアップから計算された値。詳細については、「プロジェクトのカスタムのリスクランクとリスク値の設定」を参照してください。
期日	次のいずれかの状況の要求日： • リスクにアサインされたリソースがある場合、 [期日] はリスクを解決する日付です。 • リスクが何らかのリソースにもアサインされている場合、[期日] は問題をクローズまたは対処する必要がある日付ではありません。
プロジェクトステータスレポートに表示	リスク情報をプロジェクトステータスレポートに含めるかどうかを指定するオプション。
タスク	このリスクが属するプロジェクト。
簡単な説明	イベント、およびイベントがプロジェクトの成功に与える潜在的な影響の簡単な説明。リスクがリスクライブラリから作成されている場合、このフィールドには [リスクステートメント] 名が表示されます。
説明	イベントとその潜在的な影響の詳細。リスクがリスクライブラリーから作成されている場合、このフィールドにはリスクステートメントの簡単な説明が表示されます。
実績コスト	リスクイベントによって生成されたコスト。この情報は、イベントが発生した場合に追加されます。
軽減計画 (Mitigation plan)	リスクを軽減するために行う取り組みの簡単な説明。
リスクアセスメントのサマリー	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフォーム (続く)

フィールド	説明
注: [リスクアセスメントのサマリー] セクションは、[*Enable Advanced Risk PPM Integration*] プロパティが有効になっている場合にのみ表示されます。	
固有リスク	このフィールドには、リスク査定人が固有リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。
エンタープライズリスクに昇格	このオプションは、プロジェクトマネージャーによってリスクがエンタープライズリスクに昇格されたときに自動的に選択されます。
残存リスク	このフィールドには、リスク査定人が残存リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。
企業固有リスク (Enterprise inherent risk)	このフィールドには、リスク査定人が企業固有リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。
企業残存リスク (Enterprise residual risk)	このフィールドには、リスク査定人が企業残存リスクを評価する場合のリスクスコアが自動的に入力されます。

[リソースのアサイン] フォーム

このフォームを使用して、プロジェクトワークスペースからリソースのアサインを作成します。

[リソースのアサイン] フォーム

フィールド	説明
リソース	リソースのカテゴリ。グループのメンバーまたはユーザーを要求するには、リソースリストから名前を選択します。
工数タイプ	リソースのアサインの作成時に選択された工数のタイプ。次のいずれかの選択肢を選択すると、その選択肢のフィールドが表示されます。 • 時間 • FTE • 人日 たとえば、[時間] を選択すると、[時間] フィールドが表示されます。
工数	リソースのアサインの工数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースのアサイン] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• [時間] を選択すると、選択したリソースに割り当てられた時間数が表示されます。 • **[FTE]** を選択すると、選択したリソースのフルタイム相当値の単位数が表示されます。デフォルトでは、リソースのアサインは 1 FTE (1 FTE = 8 時間) の工数で作成されます。 • [人日] を選択すると、選択したリソースの日数が表示されます。
開始日	リソースのアサインの開始日。デフォルトでは、このフィールドには関連するプロジェクトレコードまたはタスクレコードの [開始予定日] が表示されます。プロジェクトタスクで開始予定日と実際の開始日の両方が利用可能な場合、リソースのアサイン開始日にはデフォルトで実際の日付が考慮されます。
終了日	リソース計画の終了日。デフォルトでは、日付は関連するプロジェクトレコードまたはタスクレコードの [終了予定日] から取得されます。必要に応じて、デフォルトの日付を編集します。プロジェクトタスクで終了予定日と実際の終了日の両方が利用可能な場合、リソースのアサインにはデフォルトで実終了日が考慮されます。
ロール	ロールリソースのアサインに関連付けられているロール。 **注:** チームメンバーのスキルと能力に基づいて、チームメンバーのプロジェクト固有のロールを定義できます。
グループ	リソースのアサインに関連付けられているグループ。 **注:** [リソース] フィールドでグループを選択すると、アサインはグループのすべてのメンバーに作成されます。ロール、スキル、場所、およびその他の属性をグループに関連付けて、グループ内のユーザーに適用できます。グループは、要件に基づいてプライマリグループとしてアサインすることもできます。
スキル	要求されたリソースが、リソースのアサインにそのリソースを割り当てるために備えているスキル。
リソースステータス	リソースのアサインのステータス。 **注:** リソースのアサインがユーザーまたはグループに対するものである場合、アサインは [処理待ち] ステータスで作成されます。 アサインが属性ベースの場合、アサインは [未アサイン] ステータスで作成されます。
従業員タイプ	従業員のタイプ。たとえば、内部リソースや外部リソースなどです。
割り当てステータス	リソース割り当てのステータス。このフィールドは、自動的に [割り当て済み] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースのアサイン] フォーム (続く)

フィールド	説明
タスク	アサインが適用されるタスク。リソースのアサインがプロジェクトタスクから作成された場合は、タスク番号がここに表示されます。
トップタスク	アサインが作成される親タスク
リソース割り当て	リソースの割り当て番号。
アサインタイプ	リソースのアサインのタイプ • グループ • ユーザー
割り当てタイプ	割り当てのタイプ。 • 月次 • 週次 たとえば、[月次] を選択すると、割り当て時間はその月に均等に配分され、[週次] を選択すると、割り当て時間はその週に均等に配分されます。
オフセット (OffSet)	プロジェクトまたはタスクの実際の開始日または開始予定日とリソースのアサイン開始日の差。

[コスト計画を作成] フォーム

このフォームを使用して、計画立案アイテムのコスト計画を作成します。

[コスト計画を作成] フォーム

フィールド	説明
名前	コスト計画の名前。
原価費目	コスト計画の原価費目。 リストから原価費目のフォームを選択します。 注: 選択した原価費目に基づいて、[ロール] フィールドと [製品モデル] フィールドが表示されます。
ロール	コスト計画を経費計上するロールの名前。
製品モデル	コスト計画を経費計上するハードウェア支出のモデル名。 コスト計画を経費計上するモデルをリストから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コスト計画を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
会計期間の開始	コスト計画の会計期間の開始月。
会計期間の終了	コスト計画の会計期間の終了月。
コストの配賦基準	単位値のコスト配分。 このリストから値を選択します。 • 総コスト：選択した会計期間の単位コスト値を等分します。 • 会計期間：選択した会計期間の各月の繰り返し単位コスト値。
入力通貨 (Entered currency)	単位コスト値をキャプチャする通貨値。
単位コスト	コスト計画の予想コスト。
数量	コスト計画の数量。
合計計画コスト	コスト計画の合計計画コスト値。

[**Expense Line** を作成] フォーム

このフォームを使用して、実際の経費の経費明細を作成します。

[**Expense Line** を作成] フォーム

フィールド	説明
番号	経費明細の自動生成番号。
総計	発生した経費。
簡単な説明	経費の簡単な説明を入力します。 経費明細を識別するための一意で具体的な詳細を記載します。
日付	経費が発生した日付。
処理日	経費の処理日。
コスト計画	経費明細を記録するための関連コスト計画名。
原価費目	経費の原価費目。 デフォルトでは、コスト計画の原価費目が選択されています。
ステータス	経費ラインのステータス。 処理済みの経費明細のみが投資エンティティに考慮されます。
経費タイプ	経費タイプ (内部または外部) を定義します。 デフォルトでは、経費タイプは [原価費目] フィールドエントリから考慮されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Expense Line を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
レートカード	レートカードの名前。
サマリータイプ	経費明細のビジネス目的。

プロジェクト管理 **(PM)** における複数通貨

複数通貨機能を使用して、異なる現地通貨の異なる地理的な場所でプロジェクトまたはプロジェクトの一部を実行します。

この機能は、機能通貨とは異なる通貨でプロジェクトのコストの詳細を表示するのに役立ちます。プロジェクトフォームのプロジェクトのコスト計画、利益計画、および対応するコストフィールドの値も、プロジェクト通貨として指定した通貨に変換されます。したがって、機能通貨とは異なる通貨を使用する場所でプロジェクトが実行される場合、プロジェクト通貨をプロジェクトの機能通貨に変換する必要はありません。

アクティベーション情報

PPM Standard 複数通貨 (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効化して、プロジェクト管理 (PM) の複数通貨機能を有効化します。プラグインを有効にすると、プロジェクト、コスト計画、および利益計画フォームのプロジェクト通貨ビューが有効になります。プロジェクト通貨ビューでは、プロジェクトの財務およびコスト計画を複数のプロジェクト通貨で管理できます。

注:
このプラグインを有効にすると、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインが自動的に有効になるため、デフォルトビューとプロジェクト通貨ビューを切り替えるオプションが表示されます。

プロジェクト通貨ビュー

プロジェクトフォームのデフォルトビューに加えて、プロジェクト通貨ビューがあり、オプションで複数通貨フィールドの表示を有効にすることができます。このビューは、フォームのコンテキストメニューから有効にできます。このビューは、PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインを有効にした場合にのみ表示されます。

デフォルトビューとは異なり、プロジェクト通貨ビューには複数通貨関連のフィールドが含まれています。

プロジェクトの処理プロジェクト通貨として、機能通貨以外の通貨を指定することができます。[プロジェクト] フォームの [財務] タブには、[プロジェクト通貨] フィールドがあります。通貨 [fx_currency] テーブルから、有効な通貨を選択できます。

注:

プロジェクトのコスト計画、コスト計画ブレークダウン、利益計画、利益計画ブレークダウン、または経費ラインを作成すると、プロジェクトの [プロジェクト通貨] フィールドは読み取り専用フィールドになり、通貨を更新するためにロックダウンされます。

デマンドにおけるプロジェクト通貨の指定

デマンドをプロジェクトに変換するときに、プロジェクトの管理に使用するプロジェクト通貨を指定できます。機能通貨、プロジェクト通貨、または現地通貨を使用して、引き続きデマンドを管理できます。詳細については、「デマンド管理 における複数通貨」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトワークスペースのプロジェクト

プロジェクトワークスペースでプロジェクトをプロジェクト通貨で追跡します。プロジェクト通貨でプロジェクトのコスト計画と利益計画を作成および監視します。プロジェクトワークスペースの詳細については、「」を参照してください プロジェクトワークスペース。

グリッドレベルおよびブレークダウンレベルでプロジェクト通貨でコストコンポーネントを表示するには、「プロジェクトのコスト計画と利益計画の作成と管理 (Create and manage cost plans and benefit plans for a project)」を参照してください。

プロジェクトステータスレポート

プロジェクトの計画および実際のコストステータスをプロジェクト通貨で表示するには、プロジェクトステータスレポートの概要セクションとコストセクションを開きます。

プロジェクト関連フォームでプロジェクト通貨ビューを有効にする

プロジェクト通貨ビューに切り替えて、選択したプロジェクト通貨でプロジェクトの予定コストを追跡します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
現地通貨でプロジェクトを管理し、デマンドからプロジェクトを作成するために、コストの詳細と財務タブがある次のテーブルにプロジェクト通貨フィールドが追加されます。

プロジェクト通貨フィールドのあるテーブル

テーブル名	説明
デマンド [dmn_demand] テーブル	プロジェクト通貨でデマンドからプロジェクトを作成します。プロジェクトの管理に使用する通貨を指定するには、[デマンド] フォームの [財務] タブに移動し、[プロジェクト通貨] フィールドで通貨を選択します。 **注:** プロジェクト通貨を指定できるのは、[デマンド通貨] ビューに切り替えた場合のみです。詳細については、「デマンド管理 における複数通貨」を参照してください。 デマンドを作成するには、「デマンドの作成」を参照してください。
プロジェクト [pm_project] テーブル	プロジェクトフォームに移動するには、「プロジェクトの定義」を参照してください。
コスト計画 [cost_plan] テーブル	[コスト計画] フォームに移動するには、「プロジェクトのコスト計画の作成」を参照してください。
コスト計画ブレークダウン [cost_plan_breakdown] テーブル	[コスト計画ブレークダウン] フォームに移動するには、「コスト計画ブレークダウンの後進」を参照してください。
利益計画 [benefit_plan] テーブル	プロジェクト通貨ビューでプロジェクトフォームを開くと、デフォルトでは、プロジェクト通

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト通貨フィールドのあるテーブル (続く)

テーブル名	説明
	貨関連のフィールドが利益計画関連リストに表示されます。プロジェクト利益計画を作成するには、「プロジェクト利益計画の作成」を参照してください。
利益計画ブレークダウン [benefit_plan_breakdown] テーブル	利益計画ブレークダウンを更新するには、「利益計画ブレークダウンの更新」を参照してください。
経費ライン [fm_expense_line] テーブル	経費ラインはプロジェクトコスト計画の一部であり、特定のリソースに関連付けられたコストを格納します。[経費ライン] フォームに移動するには、「経費ラインの作成」を参照してください。
プロジェクト資金調達 [project_ Fundding] テーブル	単一会計期間の資本コストと運用コストの両方について、プロジェクトターゲットと予算経費の値を保存します。

手順

1. それぞれのフォームに移動します。
2. フォームのコンテキストメニューを右クリックします。
3. [表示] をクリックします。
4. リストから [プロジェクト通貨] を選択します。

次のタスク
選択した [プロジェクト通貨] ビュー専用のフォームフィールドを参照してください。他のすべてのフォームタブとフィールドは、デフォルトビューとプロジェクト通貨ビューの両方で同じままです。デフォルトのビューの場合と同じように、フィールドに値を入力し続けます。

プロジェクト関連フォームの複数通貨フィールド

プロジェクト、コスト計画、およびコスト計画のブレークダウンフォームで [プロジェクト通貨] ビューを有効にすると、フォームの [財務] セクションで複数通貨フィールドを確認できます。

プロジェクトフォームの [財務] タブ

プロジェクトフォーム

フィールド	説明
プロジェクト通貨	プロジェクトが実施される通貨。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 通貨を選択せずに通貨フィールドを変更してプロジェクトフォームを保存すると、[プロジェクト通貨] フィールドのデフォルトは [機能通貨] になります。 プロジェクトのコスト計画、コスト計画ブレークダウン、利益計画、利益計画ブレークダウン、または経費ラインを作成すると、プロジェクトの [プロジェクト通貨] フィールドは読み取り専用フィールドになり、変更できなくなります。
プロジェクト通貨での合計予定コスト	プロジェクト通貨でのプロジェクトのコスト概算。
プロジェクト通貨での計画投資	プロジェクトの資本的支出 (投資)。
プロジェクト通貨での計画経費	プロジェクト通貨でのプロジェクトの運用支出 (経費)。
プロジェクト通貨での合計予算	プロジェクトの現地通貨での予算コスト。
プロジェクト通貨での実績コスト	プロジェクトの実績コスト (現地通貨)。
プロジェクト通貨での EAC	プロジェクト通貨で将来の会計期間の機能コストに追加された過去の会計期間のすべての実績の合計。
プロジェクト通貨での予定給付	プロジェクト通貨でのプロジェクトの予定給付
プロジェクト通貨での予定リターン	予定給付と予定コストの値の差。
計画 ROI (%)	[予定リターン] フィールドと [コスト概算] フィールドの値に基づいて計算されたパーセンテージ。
プロジェクト通貨での正味現在価値	指定された年利に基づいたプロジェクト通貨での将来の現金の現在価値。
内部リターン率 (%)	正味現在価値 (NPV) をゼロにするために必要な年利。
プロジェクト通貨での ETC	すべての会計期間の機能コストの合計 (プロジェクト通貨)。
[設定] タブ	
ステータスレポート通貨	プロジェクトステータスレポートが生成される通貨。 プロジェクトフォームでプロジェクト通貨ビューを有効にしている場合は、次の通貨オプションのいずれかを使用してプロジェクトステータスレポートを生成することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 機能通貨：プロジェクトステータスレポートが作成される glide.system.locale プロパティから取得される通貨。 • プロジェクト通貨：プロジェクトステータスレポートは、選択した現地通貨で作成されます。[プロジェクト通貨] を選択すると、選択したプロジェクト通貨で予定コストと実績コストを表示できます。 プロジェクトのステータスレポートを表示するには、「プロジェクトステータスレポートの表示」を参照してください。

コスト計画フォームの [財務] セクション

コスト計画フォーム

フィールド	説明
プロジェクト通貨	コスト計画を作成できる通貨。
プロジェクト通貨でのコスト	すべてのコスト計画ブレークダウンの [入力通貨でのコスト] フィールドからロールアップされた値。
プロジェクト通貨での合計実績コスト	プロジェクト通貨ですべてのコスト計画ブレークダウンの [実績コスト] フィールドからロールアップされる値。
プロジェクト通貨での EAC	プロジェクト通貨で将来の会計期間の機能コストに追加された過去の会計期間のすべての実績の合計。
プロジェクト通貨での ETC	すべての会計期間の機能コストの合計 (プロジェクト通貨)。

注:
コスト計画の単価、数量、または会計期間を変更すると、金額はプロジェクト通貨で再計算されます。「コスト計画の更新とプロジェクト通貨でのコストの再計算」を参照してください。

コスト計画ブレークダウンフォームの複数通貨フィールド

コスト計画ブレークダウンフォーム

フィールド	説明
プロジェクト通貨の為替レート	プロジェクト通貨でのコスト計画ブレークダウンに対応する期間に有効なレート。
プロジェクト通貨	コスト計画ブレークダウンに選択された現地通貨。
プロジェクト通貨でのコスト	プロジェクト通貨でのブレークダウン金額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コスト計画ブレークダウンフォーム (続く)

フィールド	説明
プロジェクト通貨での実績コスト	処理済み経費ラインからプロジェクト通貨で生成された実績コスト。
プロジェクト通貨の差異	プロジェクト通貨でのコストとプロジェクト通貨での実績コストの差。
予算	会計年度に入力されたプロジェクト予算額は、機能通貨で月次ブレークダウンに均等に配分されます。
プロジェクト通貨での合計予算	会計年度に入力されたプロジェクト予算額は、プロジェクト通貨で月次ブレークダウンに均等に配分されます。

利益計画フォームの [財務] セクション

利益計画フォーム

フィールド	説明
プロジェクト通貨	プロジェクトで選択されたプロジェクト通貨が入力されます。 プロジェクトに添付された利益計画は、プロジェクトと同じ通貨を継承します。
プロジェクト通貨での利益	プロジェクト通貨でのプロジェクトまたはデマンドから発生する利益。

利益計画ブレークダウンフォームの複数通貨フィールド

利益計画ブレークダウンフォーム

フィールド	説明
プロジェクト通貨	プロジェクトフォームで選択されている通貨。
プロジェクト通貨での利益	プロジェクト通貨でのプロジェクトまたはデマンドから発生する利益。
プロジェクト通貨為替レート	プロジェクト通貨での利益計画ブレークダウンに対応する期間に有効なレート。
プロジェクト通貨参照レート	入力通貨がプロジェクト通貨に交換されるレート。

経費ラインフォームの複数通貨フィールド

経費ラインフォーム

フィールド	説明
プロジェクト通貨	プロジェクトに関連する経費ラインがある場合、プロジェクトから継承された通貨。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

経費ラインフォーム (続く)

フィールド	説明
プロジェクト通貨での金額	プロジェクト通貨での経費[金額] フィールドに入力された金額は、プロジェクト通貨に変換されます。

[プロジェクト資金調達] フォームの [複数通貨] フィールド

[プロジェクト資金調達] フォーム

フィールド	説明
プロジェクト通貨での資本予算	選択した通貨での資本的支出に割り当てられる予定経費額。
プロジェクト通貨での経費予算	選択した通貨での営業費用の金額。
プロジェクト通貨での予算	投資および経費の合計額。 プロジェクト資金調達予算の合計額は、[プロジェクト通貨での予算コスト] フィールドにロールアップされます。
プロジェクト通貨	プロジェクトに資金が提供される通貨。
為替レート	通貨間の為替レートに基づく通貨換算。
為替レート日付	為替レートが適用される日付。
為替参照日付	為替レートの取得元である予算参照レート。

コストおよび利益計画におけるプロジェクト通貨

コストおよび利益計画の通貨フィールドは、プロジェクトのプロジェクト通貨にデフォルト設定されます。

コストおよび利益計画における入力通貨フィールド

複数通貨プラグインがインストールされている場合、コスト計画の [入力通貨] フィールドは、デフォルトまたは機能通貨のビューに関係なく、プロジェクトのプロジェクト通貨にデフォルト設定されます。ただし、複数通貨プラグインがインストールされていない場合、コスト計画の [入力通貨] フィールドはプロジェクトの機能通貨にデフォルト設定されます。

同様に、複数通貨プラグインがインストールされている場合、利益計画の [入力通貨] フィールドは、デフォルトまたは機能通貨のビューに関係なく、プロジェクトのプロジェクト通貨にデフォルト設定されます。ただし、複数通貨プラグインがインストールされていない場合、利益計画の [入力通貨] フィールドはプロジェクトの機能通貨にデフォルト設定されます。

コスト計画の更新とプロジェクト通貨でのコストの再計算

コスト計画の単価、数量、または会計期間が更新されると、コスト計画のすべての関連金額フィールド、そのブレークダウン、およびロールアップ先のプロジェクトがプロジェクト通貨で再計算されます。

コスト計画の [単位コスト]、[数量]、および [繰り返し] チェックボックスの変更

[コスト計画] フォームの [単位コスト] フィールド、[数量] フィールド、または [繰り返し] チェックボックスを変更すると、合計予定コストがプロジェクト通貨で再計算さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

れます。同様に、コスト計画ブレークダウンの [プロジェクト通貨でのコスト] も再計算されます。したがって、[プロジェクト通貨での予定資本]、[プロジェクト通貨での計画経費]、およびプロジェクトの [プロジェクト通貨フィールドでの合計予定コスト] の値も再計算されます。

コスト計画の会計期間の変更

会計期間を変更すると、コスト計画フォームの開始日または終了日、[合計計画コスト] 、およびコスト計画の [プロジェクト通貨でのコスト] が再計算されます。したがって、コスト計画ブレークダウンレコードを追加または削除することができます。[繰り返し] チェックボックスが選択されていない場合、各コスト計画ブレークダウンレコードの [プロジェクト通貨でのコスト] が再計算されます。これに合わせて、[プロジェクト通貨での予定資本]、[プロジェクト通貨での計画経費]、およびプロジェクトの [プロジェクト通貨フィールドでの合計予定コスト] の値も再計算されます。

コスト計画の入力通貨でのコストの変更

[個別のコスト計画ブレークダウン] レコードで [入力通貨でのコスト] を変更すると、コスト計画の [合計予定コスト] がプロジェクト通貨で再計算されます。したがって、[プロジェクト通貨での予定資本]、[プロジェクト通貨での計画経費]、およびプロジェクトの [プロジェクト通貨フィールドでの合計予定コスト] の値も再計算されます。

コスト計画へのブレークダウンの追加

コスト計画ブレークダウンをコスト計画に手動で追加すると、コスト計画の[合計予定コスト] がプロジェクト通貨で再計算されます。したがって、[プロジェクト通貨での予定資本]、[プロジェクト通貨での計画経費]、およびプロジェクトの [プロジェクト通貨フィールドでの合計予定コスト] の値も再計算されます。

プロジェクトの通貨でのプロジェクト予算の追跡

プロジェクトに予算を割り当て、投資予算 (投資) および経費予算 (経費) の金額をプロジェクト通貨で入力します。投資と経費の合計は、プロジェクト通貨での合計予算として計算されます。

始める前に

必要なロール：it_portfolio_manager

このタスクについて

機能通貨の場合と同様の方法で予算を割り当てます。詳細については、「プロジェクトへの予算の割り当て」を参照してください。

プロジェクトフォームのプロジェクト通貨ビューを有効にして、プロジェクトに予算を割り当てます。

手順

1. プロジェクトフォームの [プロジェクト予算] 関連リンクをクリックします。

[プロジェクト予算] フォーム

フィールド	説明
通貨	プロジェクトに予算を割り当てる際の通貨。 複数通貨プラグインを有効にすると、プロジェクト通貨または機能通貨で予算を組むことができます。
プロジェクト通貨での投資予算	選択した通貨での資本的支出に割り当てられる予定経費額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロジェクト通貨での経費予算	選択した通貨での営業費用の金額。
プロジェクト通貨での合計予算	投資および経費の合計額。 プロジェクト資金調達予算の合計額は、[プロジェクト通貨での予算コスト] フィールドにロールアップされます。

2. [**OK**] をクリックします。
3. [プロジェクト予算] 関連リストをクリックして、レコードを更新または表示します。

次のタスク
単一会計期間の資本および運用経費の両方のプロジェクト目標および予算費用の値は、プロジェクト資金 [project_funding] テーブルに格納されます。プロジェクト資金調達レコードを更新すると、金額はプロジェクト通貨に変換されます。

プロジェクト通貨でのコストロールアップ

通貨が異なるプロジェクトおよびサブプロジェクトのコストロールアップ計算は、予算参照レートによって異なります。金額が換算されるレートは、換算レートによって異なります。

機能通貨フィールドに入力された金額のプロジェクト通貨への変換

デフォルトビューの機能通貨でプロジェクトを作成する場合、[予定資本]、[計画経費]、[実績コスト]、および [予定給付] フィールドに金額を手動で入力または更新できます。これらのフィールドに値を入力すると、金額がプロジェクト通貨に変換され、対応するプロジェクト通貨フィールド ([プロジェクト通貨での予定コスト]、[プロジェクト通貨での計画経費]、[プロジェクト通貨での実績コスト]、[プロジェクト通貨での予定給付] など) に保存されます。

注:
これを行うことができるのは、プロジェクトにコスト計画、利益計画、または経費ラインが添付されていない場合のみです。

プロジェクト財務をサブプロジェクトから親プロジェクトにロールアップする

サブプロジェクトと親プロジェクトのプロジェクト通貨が異なる場合は、財務ロールアップに *com.snc.project.multicurrency.rollup_if_different* プロパティを使用します。

複数通貨コストロールアッププロパティの動作

プロパティフラグ	動作
true	プロパティが [True] に設定されている場合、次のことができます。 1. 両方のプロジェクトのプロジェクト通貨が異なる親プロジェクトにサブプロジェクトを関連付けます。 2. サブプロジェクトの金額を親プロジェクトの金額にロールアップします。ただし、通貨の変動により、親プロジェクトのロールアップ金額の精度は異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数通貨コストロールアッププロパティの動作 (続く)

プロパティフラグ	動作
	○ 親プロジェクトとサブプロジェクトのプロジェクト通貨が同じ場合、サブプロジェクトからその親および最上位プロジェクトへのプロジェクト通貨金額は、サブプロジェクトの金額を合計することによってロールアップされ、ロールアップ金額は正確です。 ○ 親プロジェクトとサブプロジェクトのプロジェクト通貨が異なる場合、予算参照レートを参照して、サブプロジェクトのすべてのコストが親プロジェクトまたは最上位プロジェクトのプロジェクト通貨に変換されます。金額が換算されるレートは、プロジェクト通貨間の為替レートと、指定された換算期間によって異なります。したがって、ロールアップされた金額は推定値または概算値にすぎません。
False	プロパティが [False] に設定されている場合、次のことができます。 1. プロジェクトの通貨が同じまたは異なる親プロジェクトに、任意の数のサブプロジェクトを関連付けます。 2. サブプロジェクトと親プロジェクトのプロジェクト通貨が一致する場合にのみロールアップします。

ただし、*com.snc.project.rollup.cost* プロパティとともにフラグを設定すると、*com.snc.project.multicurrency.rollup_if_different* プロパティの動作は異なります。

機能通貨プロパティと組み合わせた複数通貨コストロールアッププロパティ

プロパティフラグ	動作
com.snc.project.rollup.cost プロパティが [false]	同じまたは異なるプロジェクト通貨を持つ任意のサブプロジェクトを親プロジェクトに関連付けることができますが、サブプロジェクトのコストは親プロジェクトにロールアップされません。
com.snc.project.rollup.cost プロパティが [true] で、*com.snc.project.multicurrency.rollup_if_different* プロパティが [false]	同じプロジェクト通貨を持つ親プロジェクトにサブプロジェクトを関連付けることができます。
com.snc.project.rollup.cost プロパティが [true] で、*com.snc.project.multicurrency.rollup_if_different* が [true]	プロジェクトの通貨が同じまたは異なるサブプロジェクトは、親プロジェクトに関連付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティの不適切な関連付けと考えられるエラー

不適切な関連付けの実行中に発生する可能性があるエラーは次のとおりです。

サブプロジェクトと親プロジェクトの関連付けのプロパティの組み合わせ

com.snc.project.rollup.cost	com.snc.project.multicurrency.rol	動作
False	true または false のいずれか	サブプロジェクトと親プロジェクトのプロジェクト通貨が異なる場合でも、サブプロジェクトを親プロジェクトに関連付けることができますが、サブプロジェクトから親プロジェクトへのコストをロールアップすることはできません。
true	False	サブプロジェクトと親プロジェクトのプロジェクト通貨が異なる場合、サブプロジェクトを親プロジェクトに関連付けることはできません。 このような関連付けの場合、[システムポリシーにより、親プロジェクトと子プロジェクトに異なるプロジェクト通貨を使用することはできません] というエラーメッセージが表示されます。

PPM Standard 複数通貨のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、PPM Standard Multicurrency が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

プロジェクト通貨クイックスタートでは、PPM Standard Multicurrency – ATF Tests プラグイン (com.snc.ppm_multicurrency.atf) をアクティブ化する必要があります。

プロジェクト通貨テストスイートのテスト

テスト	説明	リリースバージョン
コスト計画のプロジェクト通貨でコストを確認	予算参照レートを使用してコスト行ブレークダウンの計算を検証し、コスト計画へのロールアップを確認します。プロジェクト通貨でプロジェクトについても確認します。	Orlando
プロジェクト通貨で利益計画の利益を確認	予算参照レートを使用して利益行ブレークダウンの計算を検証し、利益計画へのロールアップを確認します。プロジェクト通	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト通貨テストスイートのテスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	貨でプロジェクトについても確認します。	

関連情報

クイックスタートテスト

複数通貨プラグインの有効化時に既存のプロジェクトをアップグレードする

複数通貨プラグインを有効にした後、*PM upgrade project currency for active projects* および *PM upgrade project currency for inactive projects* ジョブスケジュールを実行して、アクティブなプロジェクトと非アクティブなプロジェクトをそれぞれアップグレードします。ジョブスケジュールを選択してオンデマンドで実行し、必要な場合にのみプロジェクト通貨でプロジェクトをアップグレードします。

始める前に
必要なロール：admin または it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [*PM upgrade project currency for active projects*] をクリックします。
3. [今すぐ実行] をクリックして、既存のすべてのアクティブなプロジェクトをプロジェクト通貨にアップグレードします。

   ジョブの実行時に、プロジェクト、プロジェクトタスク、ベースライン、コスト計画、コスト計画ブレークダウン、利益計画、利益計画ブレークダウンフォームのコスト関連フィールドのすべての金額が機能通貨からプロジェクト通貨フィールドにコピーされます。機能通貨フィールドの値がプロジェクト通貨フィールドにコピーされると、財務コストが既に存在するため、プロジェクト通貨を編集することはできません。
4. 非アクティブなプロジェクトをアップグレードするには、[*PM upgrade project currency for inactive projects*] をクリックします。
5. [今すぐ実行する] をクリックします。

   スケジュール設定済みジョブを実行すると、既存のすべてのプロジェクトのプロジェクト通貨値が機能通貨に設定されます。[プロジェクトタスク]、[ベースライン]、[コスト計画]、[コスト計画ブレークダウン]、[利益計画]、[利益計画ブレークダウン]、[経費ライン] フォームのプロジェクト通貨は、機能通貨に設定されています。

   注:
   ジョブは、プロジェクトの数とコスト計画によってはパフォーマンスに影響を与える可能性があるため、必要な場合にのみジョブを実行します。

リソース管理

ServiceNow® リソース管理 アプリケーションを使用すると、プロジェクトマネージャーや変更マネージャーなどのリソース要求者は、リソース計画を作成し、リソースを要求し、リソースの可用性と使用率を分析できます。

リソースマネージャーは、アプリケーションを使用してタスクにリソースを割り当てます。リソース管理 アプリケーションは、プロジェクトタスク、インシデント、問題、変更など、プラットフォーム上の任意のタスクと組み合わせて使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この 4 分間のビデオを視聴して、リソース管理 アプリケーションの目的、リソース計画の作成、リソースの要求と割り当て、およびリソースの可用性とキャパシティを分析してリソースを最大限に活用する方法について学習してください。

目的、リソースの計画、リソースの要求と割り当て、およびリソースを最大限に活用できるリソースの可用性とキャパシティの分析を含む リソース管理 の概要。

リソース管理 アプリケーションを使用すると：

- リソース要求者は、タスクに必要なグループまたはユーザーのリソースを指定するリソース計画を作成できます。リソースを要求する前に、リソースの可用性を確認し、リソース計画を変更できます。
- リソースマネージャーは、要求されたリソースの可用性、既存の割り当て、および使用率を表示し、リソースの可用性に基づいて割り当てを行うことができます。
- リソースマネージャーは、リソースの使用率と可用性のリソース計画の日付、リソース、要求された時間、および提案された割り当てを変更できます。

リソース管理 アプリケーションは、PPM Standard の一部として有効化されています。

リソース管理プロセス

リソース計画は、リソース管理がどのように機能するかを理解するための鍵となります。

resource_user ロールを持つユーザーは、リソース要求者になることができます。プロジェクトマネージャーは、通常 resource_user ロールを持っているため、多くの例でリソース要求者として使用されています。

リソース要求者は、タスクのユーザーまたはグループのリソースを要求するリソース計画を作成します。変更要求、Agile スクラムプロセスのタスク、プロジェクトタスクなど、あらゆるタイプのタスクをリソース計画に追加できます。

リソース計画が送信された後、リソースマネージャーは計画をレビューし、リソースを確認して、最終的に計画にリソースを割り当てます。すべての関係者が同意すると、リソースの作業が開始されます。

リソースプラン

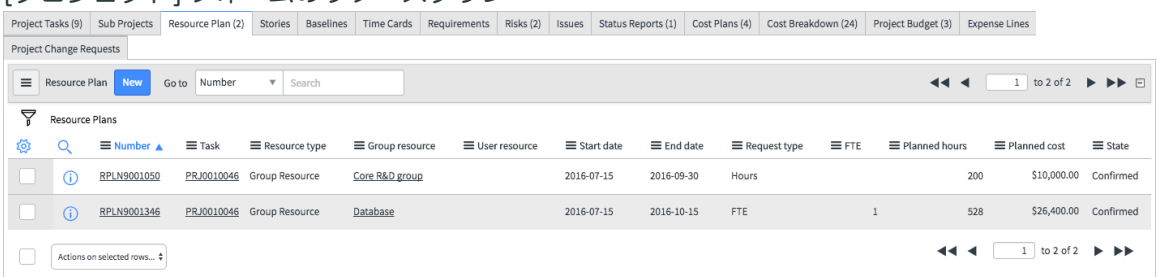
リソースプランは、リソース管理の重要な要素です。

プロジェクトマネージャーなどのリソース要求者は、リソースを要求し、作業を追跡し、コストを追跡するリソース計画を作成します。リソースマネージャーは、計画が使用される前に、リソース計画を変更して承認します。

タスクのすべてのリソース計画は、プロジェクトタスクフォームの [リソース計画] 関連リストに表示され、リソース要求者がアクセスできます。

リソース計画の目的と使用方法については、この 3 分間のビデオをご覧ください。 リソースプランとその使用法

[プロジェクト] フォームのリソースプラン



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースプランは、いくつかのステータスを経て進行します。

リソースプランステータス

ステータス	説明
計画	[計画] は、リソース要求者がリソース計画を作成するときのデフォルトのステータスです。このステータスのすべてのプランを編集できます。要求された割り当て は、リソース計画が [計画] ステータスのときに作成されます。 リソース要求者が既に送信されたプランへの変更を要求すると、プランは [計画] ステータスに戻ります。
要求済み	リソース要求者は、[送信] をクリックしてリソースマネージャーレビュー用のリソース計画を送信します。その後、リソース計画は [要求済み] ステータスに移行します。リソースマネージャーは、リソースを確認して割り当てるか、プランを却下し、最後にプランをクローズします。 リソース要求者は、グループ、グループ内の特定のユーザー、または特定のユーザーに、選択したタスクの作業を要求できます。レビューのためにプランを送信した後、リソースマネージャーは要求されたユーザーの一部またはすべてを確認して割り当てることができます。 タスクに複数のユーザーまたはグループが必要な場合は、指定されたタスクに対して複数のリソース計画を作成できます。
却下	リソースマネージャーは、[却下] をクリックしてリソース計画を却下できます。その後、リソース計画は [却下] ステータスに移行します。却下されたプランは、変更が行われ、要求者がリソースを再要求できるようになるまで、そのステータスのままになります。
確認済み	プランが要求された後、リソースマネージャーは将来のプロジェクトとデマンドのためにリソースをブロック/確認できます。その後、リソース計画は [確認済み] ステータスに移行します。[確認済み] ステータスのプランを変更できるのは、リソースマネージャーのみです。 リソース計画が [確認済み] ステータスに移行すると、ソフト割り当てが作成されます。
割り当て数	プランが確認されると、リソースマネージャーはプランを確認し、可用性を表示し、リソース設定を変更し、リソース割り当てを実行できます。その後、リソース計画は [割り当て済み] ステータスに移行します。リソースマネージャーは、キャンセル、完了、または変更のみを行うことができます。 リソース計画が [割り当て済み] ステータスに移行すると、ソフト割り当てはハード割り当てに変換されます。 **注:** [確認および割り当て] オプションを使用して、プランを [要求済み] ステータスから [割り当て済み] ステータスに直接設定することもできます。
完了	関連するすべてのタスクとプロジェクトが完了またはキャンセルされた後、割り当て済みリソース計画を完了できます。これにより、完了日以降のリソース計画のすべてのリソース割り当てが削除されます。

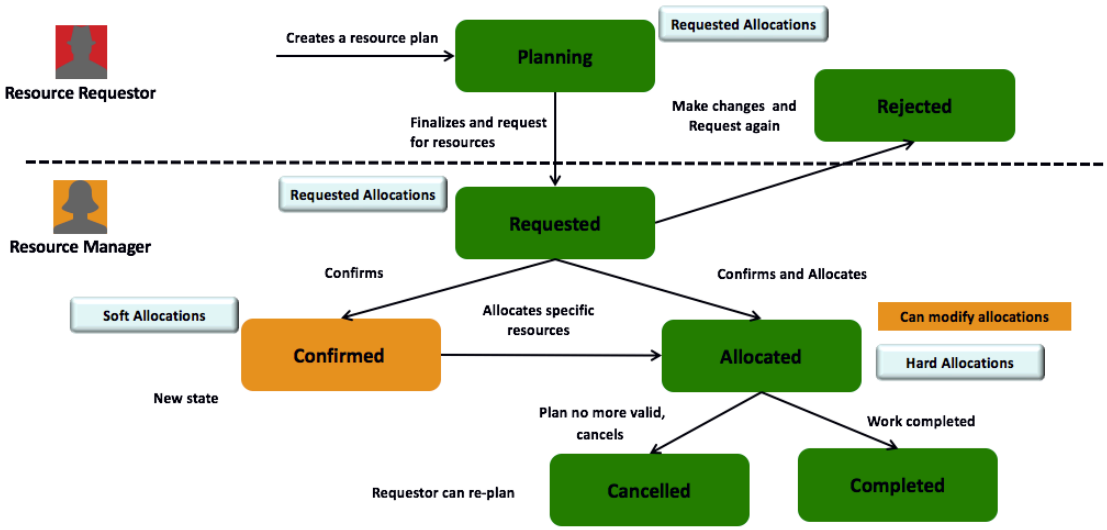
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースプランステータス (続く)

ステータス	説明
キャンセル	割り当てが不要になった場合は、プランをキャンセルできます。これにより、過去および将来のすべての割り当てが削除されます。キャンセルされたリソース計画は、過去の割り当てがない場合は [計画] ステータスに戻すことができます。 [計画]、[要求済み]、[確認済み]、または [割り当て済み] ステータスのリソースプランはキャンセルできます。

Resource Management のステータス



注:
リソース要求者が、すでにレビューのために送信されたプラン ([要求済み] または [確認済み] ステータスであるが、まだ割り当てられていない) を変更したい場合、要求者は変更を要求できます。その後、プランは [計画] ステータスに戻ります。

Resource Management は、[自分のカレンダー] および [リソースワークベンチ]モジュールで重要なタイムゾーンをサポートしています。

[確認済み] または [割り当て済み] ステータスの変更

[確認済み] または [割り当て済み] ステータスのリソース計画を変更できるのは、リソースマネージャーのみです。

[確認済み] ステータスの [リソース計画] フォームのヘッダー領域の変更による影響は次のとおりです。

- すべてのソフト割り当てが削除されます。
- 要求された割り当ては、変更された値で再作成されます。
- その後、リソースプランは [要求済み] ステータスに戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[割り当て済み] ステータスの [リソース計画] フォームのヘッダー領域の変更による影響は次のとおりです。

- すべてのリソース割り当て (ソフトおよびハード) が削除されます。
- 要求された割り当ては、変更された値で再作成されます。
- その後、リソースプランは [要求済み] ステータスに戻ります。

リソース割り当てレコードに実績時間が記録されていない場合、リソースマネージャーは、割り当て済みリソース計画の過去の日付のリソース割り当てを変更または削除することもできます。ユーザーがタイムカードを送信すると、タイムカードが承認された時点で割り当てレコードの実績時間が更新されます。

注:
割り当てレコードのみに変更が加えられた場合、リソース計画は [要求済み] ステータスに戻りません。

要求タイプ

次のいずれかのオプションを使用して、リソース計画を要求できます。

- 時間単位：要求は、リソースが必要な時間数で表されます。
- FTE：要求は、フルタイムの作業を表す同等の値で表されます。要求タイプが FTE の場合、予定時間は次のように計算されます：`平均日次 FTE * リソース計画の稼働日数 * FTE 値`。1 日の平均 FTE 時間は、ユーザーレコードとグループレコードで指定されます。ユーザーまたはグループレコードに値が指定されていない場合、平均日次 FTE 時間は、*`Default Average Daily FTE`* プロパティから取得されます。

  稼働日数は、ユーザーリソースのユーザースケジュールまたはグループリソースのデフォルトスケジュールに基づいて計算されます。デフォルトのスケジュールは、デフォルトの [スケジュール名] プロパティから取得されます。

  たとえば、グループの 1 日の平均 FTE が 40 時間で、リソース計画期間が 9 月 1 日から 9 月 10 日で、FTE が 0.5 であるとします。

  計画期間中に 8 営業日を想定すると、予定時間数 = `40 * 8 * 0.5` = 160 時間となります。

  注:
  キャパシティは FTE からではなく、スケジュールから導出されます。FTE とスケジュールの両方が互いに同期している必要があります。

- 人日：要求は人日で表示されます。要求タイプが人日である場合、予定時間数は次のように計算されます：`合計人日数 * 平均日次 FTE 時間/人日あたりの時間数`。

  たとえば、グループの平均日次 FTE 時間/人日あたりの時間数を 8 時間とし、人日を 3 人日とすると、予定時間数 = `8 * 3` = 24 時間となります。

リソースプランのコスト

リソース計画のコストは、リソース計画レコードで直接追跡できます。リソースプランのコストは、計画済み、割り当て済み、および実績に分けられます。

リソース計画の [レート上書き] オプションが選択されている場合、対応するリソース計画のコストを計算するための時給は、[リソースレート] フィールドで指定されたレートから導出されます。

レートモデルがプロジェクトまたはデマンドに関連付けられている場合、時給はレートモデルから導出されます。関連するレートモデルの時給が変更されるたびに、新しい料金を反映するようにリソース計画のリソースコストを再計算する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レートモデルが利用できない場合、対応するリソース計画コストを計算するための時給は、賃金レートカードから導出されます。

プロジェクトとデマンドには、複数のリソース計画を含めることができます。すべてのリソースプランの集計コストは、[予定コスト] フィールドと [割り当てられたコスト] フィールド、およびプロジェクトとデマンドの両方の [リソースコスト] セクションにロールアップされます。

リソース計画の作成

リソース管理 アプリケーションから、デマンド、プロジェクト、プロジェクトタスク、インシデント、問題、変更などの任意のタスクのリソース計画を作成できます。承認のために送信するまで、プランを編集および調整できます。

始める前に

必要なロール：resource_manager または admin

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、リソース計画を作成します。

オプション	説明
[割り当てワークベンチ] から	**a.** 移動先 リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ. **b.** 必要な割り当てボードをクリックします。 **c.** [割り当てワークベンチ] で、右上隅にある [新しいプラン] をクリックします。
プロジェクトワークスペースの [リソース] タブから	**a.** プロジェクトワークスペースでプロジェクトレコードを開きます。「新しいものにアクセス プロジェクトワークスペース」を参照してください。 **b.** [リソース] タブで、[新規] をクリックします。
[プロジェクト] フォームから	**a.** 移動先 プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** プロジェクトレコードを開きます。 **c.** [リソースプラン] 関連リストで、[新規] をクリックします。
デマンドフォームから	**a.** 移動先 デマンド > デマンド > すべて. **b.** デマンドを開きます。 **c.** [リソースプラン] 関連リストで、[管理] をクリックします。 **d.** [リソースプラン] タブで、[新規] をクリックします。
プロジェクトタスクから	**a.** 移動先 プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** プロジェクトレコードを開きます。 **c.** [詳細] タブをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	d. [プロジェクトタスク] 関連リストで、[タスク] を開きます。 **e.** [リソースプラン] 関連リストで、[新規] をクリックします。
既存のリソース計画から	**a.** コピーするリソース計画レコードを開きます。 **b.** 関連リンクで、[リソースプランをコピー] をクリックします。 **注:** 既存のリソース計画からリソース計画を作成すると、すべてのフィールドが新しいリソース計画にコピーされます。新しいプランが [計画] ステータスで作成されます。

2. [リソース計画] フォームのフィールドに入力します。
フィールド名の説明については、「[リソースプラン] フォーム」を参照してください。
3. フォームヘッダーの [保存] をクリックします。
リソース計画が保存され、[計画] ステータスになります。
4. [リソース計画] フォームのタブの値の更新を確認します。
フィールド名の説明については、「[リソースプラン] フォームタブ」を参照してください。

注:
割り当てられたレートモデルが削除または置換された場合、またはレートモデルの時給が変更された場合、関連するリソース計画のコストフィールドは自動的に再計算されません。レートモデルからの新しいレートを反映するには、リソース計画のリソースコストを再計算する必要があります。

ただし、コストに影響するフィールドのいずれかがリソース計画で更新されると、時給を取得するためにレートモデルが呼び出されます。たとえば、リソース計画の終了日を変更してリソース計画を延長すると、新しいレートが利用可能になる可能性があるため、レートモデルが呼び出されます。

タスクの結果

- リソース計画が保存され、[計画] ステータスになります。
- リソース計画がリソースグリッドから作成されると、計画はプロジェクトまたはデマンドのリソース計画リストの一番上の行として表示されます。プランには、次のいずれかのプリフィックスがあります。
  - グループに対して作成されたリソース計画の [G]。
  - ロールに対して作成されたロールリソース計画の [R]。
  - ユーザーに対して作成されたユーザーリソース計画の [U]。

  プリフィックスは、[リソースタイプ] フィールドで選択されたリソースのタイプに基づいています。
- 最後に作成されたリソース計画は、プロジェクトまたはデマンドのリソース計画リストの一番上に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
リソースプラン関連リンクとリストを使用して、リソース計画、ワークベンチで作業するか、既存の要求割り当てを変更します。

リソースファインダーを使用してリソースの可用性を分析する

リソースファインダーを使用してリソースの可用性を検索して分析し、プロジェクトまたはデマンドのリソース計画を作成できるようにします。

始める前に
必要なロール：it_project_manager、it_demand_manager、または resource_manager

このタスクについて
リソースファインダーで、必要なリソースを検索し、選択したリソースの計画を作成します。

- ステップ 1 と 2 で、リソースファインダーに移動します。
- ステップ 3 は、リソースの可用性をフィルタリングおよび分析するためのさまざまなオプションに関するガイダンスを提供します。ニーズに合ったオプションを選択してください。
- ステップ 4 は、選択したリソースの新しいリソース計画を作成する方法を示しています。

手順

1. プロジェクトまたはデマンドの [リソースプラン] ページを開きます。

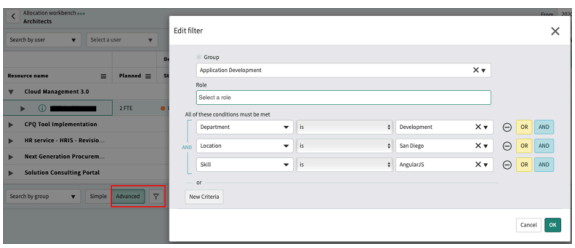
2. リソースグリッドセクションでプロジェクトまたはデマンドを選択し、リソースファインダーアイコン ( ) をクリックします。

   ページの下部に [リソースファインダー] セクションが開きます。最大 50 件のレコードリストが最初に表示されます。リソースが 50 件を超える場合は、[詳細を取得] をクリックしてロードできます。

3. 次のオプションを使用して、リソースのキャパシティをフィルタリングおよび分析します。

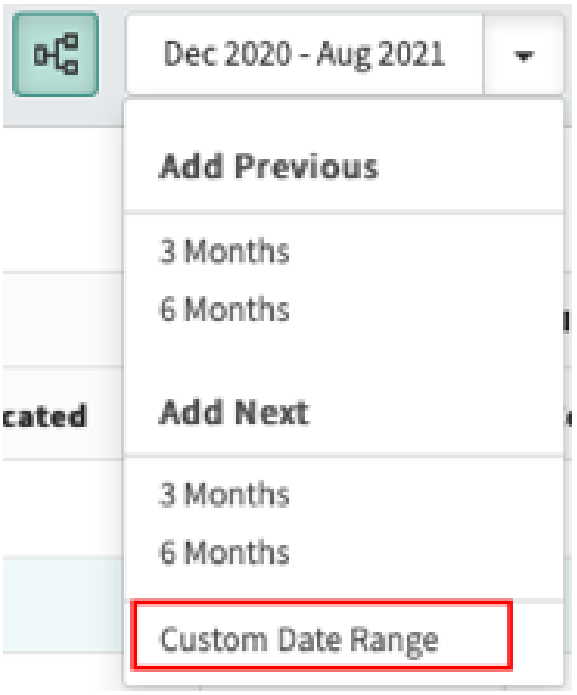
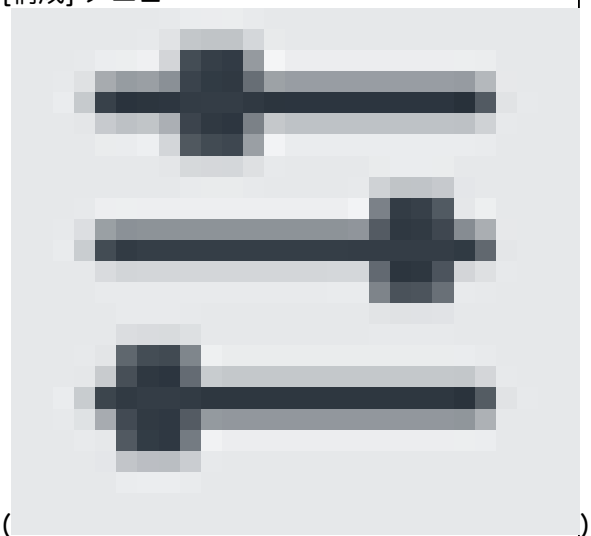
オプション	説明
利用可能なリソースまたは割り当て超過リソースを表示する	[表示/非表示] メニュー  ( ) を使用して、リソースを対応可能または割り当て超過でフィルタリングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
シンプルな検索を実行する	検索条件を選択して、グループ、ロール、またはユーザー属性でリソースを検索します。 
独自の検索条件を作成する	詳細検索を使用して、フィルター条件を追加します。 たとえば、[グループで検索] を選択し、[詳細] をクリックして、詳細検索フィルターアイコン  ( ) をクリックします。ここでは、このグループをさらにフィルタリングするための条件を追加できます。 **注:** フィルターを追加するときは、同じ属性の異なる値に AND 条件を追加しないようにしてください。たとえば、スキル **[X]** AND スキル **[Y]** の条件でユーザーグループをフィルタリングしないでください。 
長期間のリソースの可用性を表示する	日付範囲セレクターのオプションを使用します。

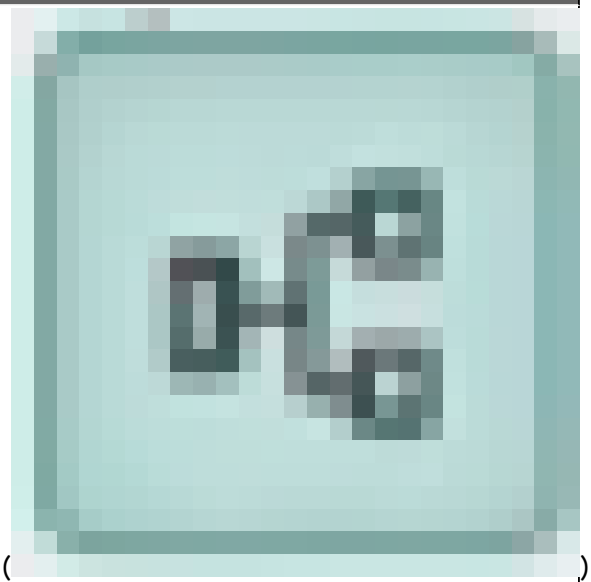
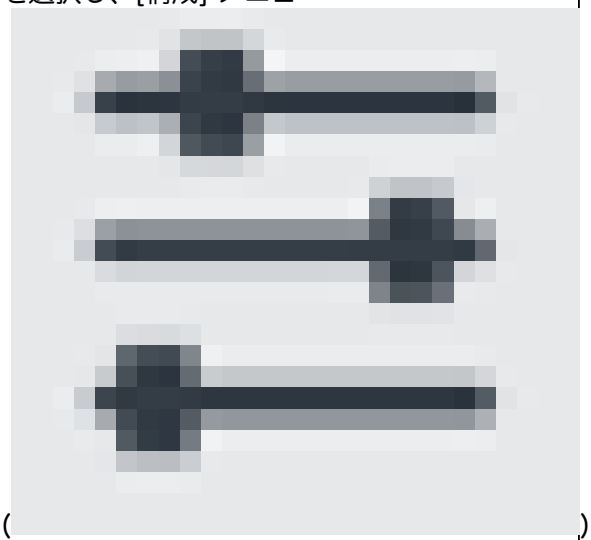
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	Washington DC リリース以降では、カスタムの日付範囲を選択できます。  プロパティ *Maximum time duration in Resource Finder in months* の値は、リソースファインダーにリソースの詳細が表示される最大期間を決定します。
リソースリストを分析する	[構成] メニュー  ( ) を使用して、キャパシティ、可用性、実際の時間などのさまざまな制約をさまざまな期間で分析します。 デフォルトでは、[可用性] の時間のみが表示されます。その他の詳細を表示するには、[詳細ビュー]

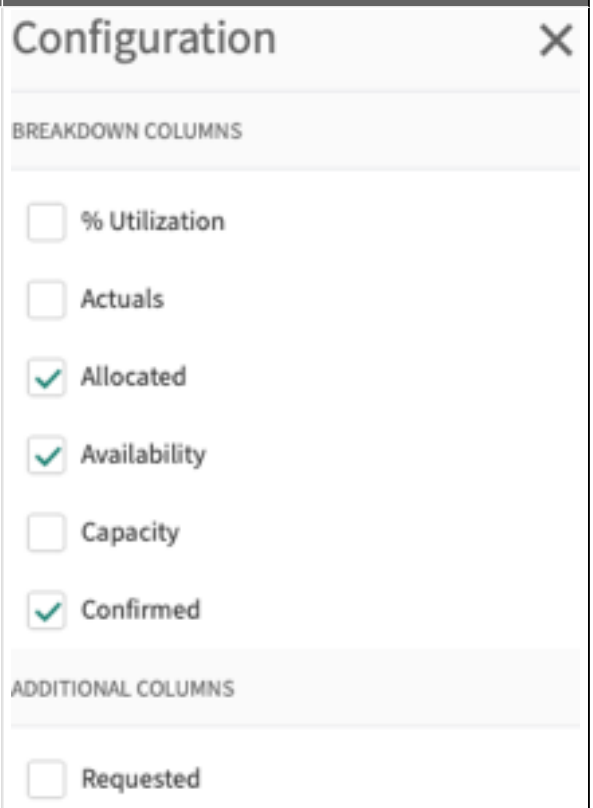
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	 ( ) を選択し、[構成] メニュー  ( ) から必要な列を選択します。

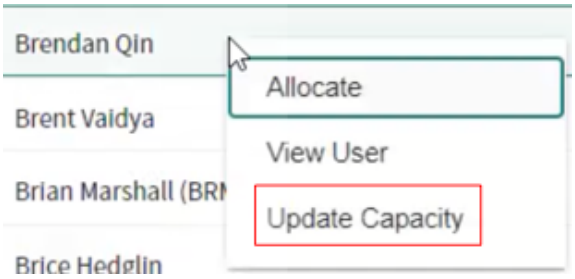
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	 ユーザーグループまたはロールに要求された時間を表示すると、リソース要求を履行する必要があるかどうかがすぐにわかり、そのユーザーグループまたはロールに十分なキャパシティがある場合に、それを実行できます。 次の条件では、[要求済み] 列は [構成] メニューで使用できません。 ○ シンプルフィルターまたは詳細フィルターを使用してリソースリストをさらにフィルタリングする ○ 可用性ビューでリソースファインダーを使用する ○ [表示/非表示] メニューを使用して [利用可能を表示 (show available)] または [過剰割り当てを表示 (show over allocated)] オプションを使用する 列が既に有効になっていても、後で上記の条件のいずれに合致した場合、[要求済み] 列は自動的に無効になります。 カレンダーからユーザーに対して作成されたすべての非プロジェクトイベントは、リソースファインダーでユーザーの運用作業として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
リソースキャパシティの更新	ユーザーを右クリックし、[キャパシティを更新] を選択します。 

4. リソース計画を作成するリソースを選択し、[新しいプランを追加] をクリックします。

タスクの結果

- リソース計画は、予定時間数ゼロの [計画] ステータスで作成されます。
- リソース計画は、プロジェクトまたはデマンドのリソース計画リストの一番上の行として表示されます。ファインダーで選択されたリソースのタイプに基づいて、リソース計画には次のいずれかのプリフィックスが付きます。
  - グループに対して作成されたリソース計画の [G]。
  - ロールに対して作成されたロールリソース計画の [R]。
  - ユーザーに対して作成されたユーザーリソース計画の [U]。

> **注:**
> 最後に作成されたリソース計画は、プロジェクトまたはデマンドのリソース計画リストの一番上に表示されます。

次のタスク

- リソースグリッドを使用して、リソース計画の予定時間を更新します。
- リソース計画の詳細を表示および更新するには、リソース計画の行の先頭にある情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
- リソース計画を要求できるようになりました。

運用リソース計画の作成

運用リソース計画を作成し、管理、会議、トレーニングなどの運用作業にチームキャパシティの特定の部分を割り当てます。

始める前に

必要なロール：resource_manager または admin

このタスクについて

会議、トレーニング、管理作業、電話などの運用作業タイプのリソース計画を作成します。

運用リソース計画の詳細については、「運用リソース計画 - 知っておくべきこと」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > 新しい運用計画の作成.
2. [リソース] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[リソース] フォーム」を参照してください。
3. [保存] を選択します。

関連情報

運用作業タイプにタイムカードカテゴリをマップ

リソースの要求

リソース計画を作成したら、リソースマネージャーにリソースを要求します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager、resource_user

このタスクについて

注:
リソース計画のリソースタイプがグループの場合、そのグループにアクティブなメンバーが存在する場合にのみ、リソースを要求できます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.
2. [計画] ステータスのリソース計画を開きます。
3. [要求] を選択します。

割り当てワークベンチからリソースを要求することもできます。

タスクの結果
リソース計画は [要求済み] ステータスに移行し、リソースマネージャーによるレビューの準備が整います。

リソース計画の確認

リソースマネージャーは、リソース計画が要求された後に、リソースを確認またはブロックできます。リソース計画を確認するには、[要求済み] ステータスである必要があります。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
[確認済み] ステータスのリソース計画を変更またはキャンセルできます。

リソースタイプがグループのリソース計画の場合、指定したグループにアクティブなメンバーが存在する場合にのみ、リソースを確認できます。

注:
割り当てワークベンチからリソース計画を確認することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > 要求済み.
2. 確認するリソース計画を開き、[確認] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
リソース計画が [確認済み] ステータスに移行し、ソフト割り当てが作成されます。

リソース計画の確認と割り当て

リソース計画が要求されたら、リソースマネージャーはリソースを直接割り当てることができます。確認して割り当てるには、リソース計画が [要求済み] ステータスである必要があります。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
[割り当て済み] ステータスのリソース計画を変更またはキャンセルできます。

リソース計画のリソースタイプがグループの場合、そのグループにアクティブなメンバーが存在する場合にのみ、リソースを要求できます。

> **注:**
> プロジェクトまたはデマンドに関連付けられたリソース計画の場合は、割り当てワークベンチを使用してこれらの計画を確認して割り当てることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > 要求済み.
2. 確認して割り当てるリソース計画 (要求済み) を開き、[確認して割り当て] を選択します。

タスクの結果
リソース計画は、[要求済み] ステータスから [割り当て済み] ステータスに自動的に移行されます。リソース計画が [割り当て済み] ステータスに移行すると、ソフト割り当てはハード割り当てに変換されます。

割り当て中のエラーまたは警告は、[リソースプラン] フォームの [リソースプランログ] 関連リストに記録されます。特定の日にリソースが 24 時間を超えて割り当てられた場合、ログが生成されます。これらのログを確認して、適切なアクションを実行し、さらにリソースを割り当てることができます。

リソース計画の変更要求

レビューのために送信した後にリソース計画を変更するには、リソース計画の変更を要求します。

始める前に
必要なロール：resource_user

このタスクについて
変更できるのは、[要求済み] または [確認済み] ステータスのリソース計画のみです。計画のフォームフィールドを変更するには、最初にリソース計画の変更を要求する必要があります。ただし、変更を要求することなく、要求された割り当てをプランで直接調整することができます。これらの調整は、リソース計画にロールアップされます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.
2. [要求済み] または [確認済み] のリソース計画を開き、[変更を要求] を選択します。

   割り当てワークベンチから変更を要求することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
リソース計画は [計画] ステータスに戻り、フォームフィールドが有効になり、必要な変更が可能になります。

プロジェクトまたはデマンドのリソース計画のコストの再計算

関連するレートモデルで時間レートが変更されるたびに、プロジェクトまたはデマンドの個々のリソース計画のリソースコストを再計算します。

始める前に
次のセットアップを確認してください。

- プロジェクトまたはデマンドには、アクティブなレートモデルが割り当てられている必要があります。
- リソース計画が [計画済み]、[要求済み]、[確認済み]、または [割り当て済み] ステータスである必要があります。

必要なロール：resource_manager

このタスクについて
プロジェクトまたはデマンドのすべてのリソース計画のコストを一度に更新するには、プロジェクトフォームまたはデマンドフォームから [リソースコストを再計算] オプションを使用します。

手順

1. プロジェクトまたはデマンドのリソース計画を開くには、次のいずれかのアクションを実行します。
   - 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべてをクリックし、プロジェクトを開きます。
   - 移動先 デマンド > デマンド > すべてをクリックし、デマンドを開きます。
2. [リソース計画] 関連リストから、コストを再計算するリソース計画を開きます。
3. [リソース計画] フォームで、[リソースコストの再計算] 関連リンクを選択します。
4. [リソースコストの再計算] ダイアログボックスで、[開始日] フィールドと [終了日] フィールドに再計算期間を指定します。
   デフォルトでは、[開始日] フィールドには現在の日付があり、[終了日] フィールドにはリソース計画の終了日があります。
5. 予定コストを再計算するには、[予定コストを含める] オプションを選択します。
   [予定コストを含める] オプションは、[確認済み] または [割り当て済み] ステータスのリソース計画で使用できます。このオプションはデフォルトでは選択されていません。
6. **[OK]** を選択します。

タスクの結果

- プロジェクトまたはデマンドに関連付けられたレートモデルから導出された最新の時給に基づいて、選択したリソースコストを再計算します。
- [リソース計画] フォームの各コストフィールドで再計算されたリソースコストと、関連するプロジェクトまたはデマンドの [リソース計画] 関連リストを更新します。
- 変更された値を、関連するプロジェクトまたはデマンドのそれぞれのコストフィールドに反映します。

リソース計画に関連するコストプランの更新

リソース計画がプロジェクト、プロジェクトタスク、またはデマンドに関連付けられ、関連するコストプランがある場合、要求者またはリソースマネージャーは、リソース計画を更新した後に関連するコストプランを更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：resource_user または resource_manager または it_project_manager または it_demand_manager

このタスクについて
リソース計画に関連コストプランがない場合、リソース計画の [コストプランを更新] 関連リンクは表示されません。

手順

1. リソース計画の更新を保存します。
2. [コストプランを更新] 関連リンクをクリックします。

   リソース計画に関連付けられているコストプランは、リソース計画の [予定コスト] が更新されるとすぐに自動的に更新されます。以下に変更があると、リソース計画の予定コストが更新されます。

   - 予定時間数
   - ユーザー
   - ステータス
   - 開始日と終了日

タスクの結果
リソース計画に関連付けられたコストプランが次のように更新されます。

- リソース計画が [計画] または [要求済み] ステータスの場合、コストプランの予定時間が更新されます。
- リソース計画が確認済み/割り当て済みステータスで、確認済み/割り当て済み時間が予定時間数よりも少ない場合、計画コストと確認済み/割り当て済みコストのうち高い方がコストプランで更新されます。
- リソース計画が確認済み/割り当て済みステータスで、確認済み/割り当て済み時間が予定時間数以上の場合、確認済み/割り当て済みコストがコストプランで更新されます。

リソース計画のコストは、コスト計画 [cost_plan] テーブルの unit_cost フィールドに接続されます。

リソース計画の完了

関連するすべてのタスクとプロジェクトが完了またはキャンセルされた後、リソースマネージャーはリソース計画を [完了] ステータスに移行してクローズできます。

始める前に
完了するリソース計画は、[割り当て済み] ステータスである必要があります。

必要なロール：resource_manager

このタスクについて
プロジェクトマネージャーとデマンドマネージャーは、プロジェクト、プロジェクトタスク、計画立案コンソール、またはデマンドからリソース計画を完了できます。

注:
割り当てワークベンチからリソース計画を完了して閉じることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > 割り当て済み.
2. 完了するリソース計画を開きます。
3. フォームのすべての情報を確認します。

   注:
   [実績時間] および [実績コスト] フィールドには、計画タスクに費やされた時間とリソースコストが表示されます。これらのフィールドはタイムカード情報から取得され、リソース計画で編集することはできません。

4. オプション: メモを追加します。
5. [完了] を選択します。
6. [確認] ダイアログボックスで、リソース計画の完了日を選択し、[はい] を選択します。

   デフォルトでは、システム日付またはリソース計画の終了日のいずれか早い方が [完了日] に入力されます。

   注:
   [完了日] はリソース計画開始日より前にすることはできません。

タスクの結果

- その後、リソース計画は [完了] ステータスに移行します。
- 完了日がリソースプランの終了日よりも前の日付である場合、リソース計画の終了日が完了日で更新されます。入力された完了日がリソース計画の終了日より後の場合、リソース計画の終了日が保持されます。
- 完了日以降のリソース計画のすべての要求された割り当てとリソース割り当てが削除されます。割り当てに対して実績時間が記録されている場合、その割り当てレコードは削除されません。ただし、割り当て済みの時間はゼロになり、実績時間は保持されます。リソースの利用可能な時間と割り当て済みの時間も、集計テーブルで更新されます。

Example:
例 1：11 月 1 日から 1 月 31 日までの [月次] の割り当てタイプのリソース計画は、12 月 15 日に完了します。完了時に、

- 1 月のリソース割り当てエントリが [Resource_Allocation] テーブルから削除されます。
- 12 月のリソース割り当て終了日がリソース計画の完了日に更新されます。
- 完了日以降の 12 月の [Resource_Allocation_Daily] テーブルのエントリーが削除されます。

例 2：同じリソース計画に [予定期間] と割り当てタイプがある場合、割り当ては削除されず、割り当ての終了日が完了日に更新されます。

プロジェクト、計画立案コンソール、またはデマンドレコードからリソース計画を完了する

プロジェクトまたはプロジェクトタスクが「クローズ済み」とマークされている場合、プロジェクトマネージャーは関連する割り当て済みリソース計画を完了できます。同様に、デマンドマネージャーは、クローズ済みまたは保留デマンドのリソース計画を完了することができます。

始める前に
完了するリソース計画は、[割り当て済み] ステータスである必要があります。

必要なロール：it_project_manager または it_demand_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
プロジェクトまたはプロジェクトタスクが [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [スキップしてクローズ] ステータスに移行すると、次の条件が満たされると、プロジェクトとプロジェクトタスクフォーム、および計画立案コンソールで、割り当てられたリソース計画を完了するためのメッセージが表示されます。

- 対応するリソース計画が [割り当て済み] ステータス
- リソースプランの開始日がプロジェクトまたはタスクの実際の終了日以前

デマンドが [クローズ済み] または [保留] ステータスに移行すると、リソース計画を完了するための同様のメッセージがデマンドフォームに表示されます。

手順

1. プロジェクト、タスク、またはデマンドレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。

オプション	説明
クローズ済みプロジェクトレコードを開く	**a.** 移動先 プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** プロジェクトレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。 **c.** [詳細] タブを選択して、プロジェクトフォームを表示します。
クローズ済みプロジェクトタスクレコードを開く	**a.** 移動先 プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** 必要なプロジェクトレコードを開きます。 **c.** [プロジェクトタスク] 関連リストで、プロジェクトタスクレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。
計画立案コンソールでクローズ済みプロジェクトを開く	**a.** 移動先 プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** プロジェクトレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。 **c.** [計画] タブを選択すると、計画立案コンソールにプロジェクトが表示されます。
クローズ済みまたは保留デマンドレコードを開く	**a.** 移動先 デマンド > デマンド > すべて. **b.** [クローズ済み] または [保留] ステータスでデマンドレコードを開きます。

関連するリソース計画を完了するためのメッセージがレコードの上部に表示されます。

リソース計画を完了するためのメッセージ



注:
計画立案コンソールでは、プロジェクトタスクの [クローズ済み] ステータスに関係なく、プロジェクトが [クローズ済み] ステータスの場合にのみメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 完了するリソース計画のリストを開くには、メッセージ内のリンクを選択します。

   注:
   計画立案コンソールで、プロジェクトを右クリックし、[リソースプランの完了] を選択します。

   - リストには、完了する必要があるレコードのリソース計画のみが含まれます。
   - [プロジェクト] フォームのメッセージリンクからリストを開くと、プロジェクトのリソース計画とプロジェクトタスクが一覧表示されます。
   - プロジェクトタスクフォームのメッセージリンクからリストを開くと、プロジェクトタスクのリソース計画のみが一覧表示されます。
3. リストで、完了するリソース計画を選択し、[完了] を選択します。
4. [確認] ダイアログボックスで、リソース計画の完了日を選択し、[はい] を選択します。

   デフォルトでは、システム日付またはリソース計画の終了日のいずれか早い方が [完了日] に入力されます。

   注:
   [完了日] はリソース計画開始日より前にすることはできません。

タスクの結果

- 選択したリソース計画が [完了] ステータスに移行します。
- 完了日がリソースプランの終了日よりも前の日付である場合、リソース計画の終了日が完了日で更新されます。入力された完了日がリソース計画の終了日より後の場合、リソース計画の終了日が保持されます。
- 完了日を過ぎたリソース計画のすべての要求された割り当てとリソース割り当てが削除されます。割り当てに対して実績時間が記録されている場合、その割り当てレコードは削除されません。ただし、割り当て済みの時間はゼロになり、実績時間は保持されます。リソースの利用可能な時間と割り当て済みの時間も、集計テーブルで更新されます。

リソース計画のキャンセル

リソース計画が不要になった場合は、キャンセルすることができます。これにより、過去および将来の割り当てもキャンセルされます。

始める前に

キャンセルされるリソース計画は、[計画]、[要求済み]、[確認済み]、または [割り当て済み] ステータスである必要があります。

必要なロール：resource_manager

このタスクについて

プロジェクトマネージャーとデマンドマネージャーは、プロジェクト、プロジェクトタスク、計画立案コンソール、またはデマンドからリソース計画をキャンセルすることもできます。

注:
割り当てワークベンチからリソース計画をキャンセルすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.
2. キャンセルするリソース計画レコードを開きます。
3. フォームヘッダーで [キャンセル] を選択します。

タスクの結果

- その後、リソース計画は [キャンセル] ステータスに移行します。
- リソース計画に対する過去および将来のすべての割り当てもキャンセルされます。割り当てに対して実際の時間が記録されている場合、その割り当ては削除されません。ただし、割り当て済みの時間はゼロになり、実績時間は保持されます。

次のタスク
変更を加えて計画を再度使用する場合は、キャンセルされた計画を編集します。リソース計画を [計画] ステータスに戻すには、[再計画] を選択します。

注:
リソース計画のステータスは、過去に割り当てがない場合にのみ [キャンセル] から [計画] ステータスに戻すことができます。

プロジェクト、計画立案コンソール、またはデマンドレコードからリソース計画をキャンセルする

プロジェクトまたはプロジェクトタスクが「クローズ済み」とマークされている場合、プロジェクトマネージャーは関連する将来のリソース計画をキャンセルできます。同様に、デマンドマネージャーは、クローズ済みまたは保留デマンドの将来のリソース計画をキャンセルできます。

始める前に
キャンセルされるリソース計画は、[確認済み]、[計画]、または [要求済み] ステータスである必要があります。リソース計画の開始日がプロジェクト、タスク、またはデマンドの終了日より後の場合、割り当てられたリソースプランをキャンセルできます。

必要なロール：it_project_manager または it_demand_manager

このタスクについて
プロジェクトまたはプロジェクトタスクが [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [スキップしてクローズ] ステータスに移行すると、次の条件の 1 つが満たされると、プロジェクトとプロジェクトタスクフォーム、および計画立案コンソールで、割り当てられたリソース計画をキャンセルするためのメッセージが表示されます。

- 対応するリソース計画が [確認済み]、[計画]、または [要求済み] ステータス
- リソースプランがプロジェクトまたはタスクの終了日より後の開始日の [割り当て済み] ステータス

デマンドが [クローズ済み] または [保留] ステータスに移行すると、リソース計画をキャンセルするための同様のメッセージがデマンドフォームに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

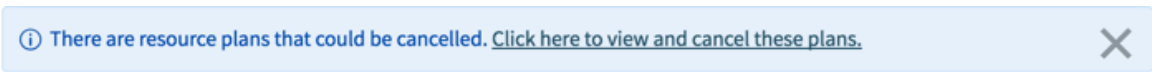
手順

1. プロジェクト、タスク、またはデマンドレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。

オプション	説明
クローズ済みプロジェクトレコードを開く	**a.** 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** プロジェクトレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。 **c.** [詳細] タブをクリックして、プロジェクトフォームを表示します。
クローズ済みプロジェクトタスクレコードを開く	**a.** 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** 必要なプロジェクトレコードを開きます。 **c.** [プロジェクトタスク] 関連リストで、プロジェクトタスクレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。
計画立案コンソールでクローズ済みプロジェクトを開く	**a.** 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > プロジェクトワークスペース. **b.** プロジェクトレコードを [クローズ済み] ステータスで開きます。 **c.** [計画] タブをクリックすると、計画立案コンソールにプロジェクトが表示されます。
クローズ済みまたは保留デマンドレコードを開く	**a.** 移動先 すべて > デマンド > デマンド > すべて. **b.** [クローズ済み] または [保留] ステータスでデマンドレコードを開きます。

関連するリソース計画をキャンセルするためのメッセージがレコードの上部に表示されます。

リソース計画をキャンセルするためのメッセージ



注:
計画立案コンソールでは、プロジェクトタスクの [クローズ済み] ステータスに関係なく、プロジェクトが [クローズ済み] ステータスの場合にのみメッセージが表示されます。

2. キャンセルするリソース計画のリストを開くには、メッセージ内のリンクをクリックします。

注:
計画立案コンソールで、プロジェクトを右クリックし、[リソース計画をキャンセル] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リストには、キャンセルできるレコードのリソース計画のみが含まれます。
- [プロジェクト] フォームのメッセージリンクからリストを開くと、プロジェクトのリソース計画とプロジェクトタスクが一覧表示されます。
- プロジェクトタスクフォームのメッセージリンクからリストを開くと、プロジェクトタスクのリソース計画のみが一覧表示されます。

3. リストで、キャンセルするリソース計画を選択し、[キャンセル] をクリックします。

タスクの結果

- 選択したリソース計画が [キャンセル] ステータスに移行します。
- リソース計画に対する過去および将来の割り当てはすべてキャンセルされます。割り当てに対して実績時間が記録されている場合、その割り当ては削除されます。この場合、割り当て済みの時間はゼロになり、実績時間はそのまま保持されます。

リソース計画の削除

プランを削除すると、関連するすべてのリソース割り当ても削除されます。

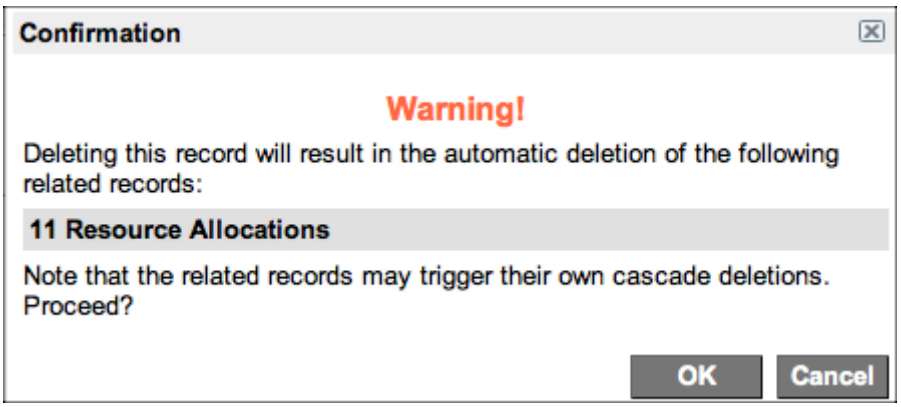
始める前に

必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.
2. リソース計画を開き、フォームヘッダーで [削除] を選択します。
   確認メッセージが表示されます。

削除確認メッセージ



3. **[OK]** を選択します。
   リソース計画と関連するすべての割り当てが削除されます。

リソース計画の延長

割り当てられたリソース計画の日付を延長し、延長された期間にリソースを割り当てることができます。

始める前に

必要なロール：resource_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

プロジェクトの作業が開始されたが、プロジェクトが延長されたため、割り当てられたリソース計画の日付を延長する必要があるとします。このシナリオでは、割り当てられたリソース計画の日付を延長できます。リソース計画が延長される新しい日付は、既存の割り当て済みの時間には影響しません。リソース計画を延長する際に、新しい終了日と要求タイプを指定できます。選択した要求タイプに基づいて、必要な割り当て済みの時間が自動的に入力されます。

たとえば、2 か月に 100 時間を割り当て、毎月 50 時間を割り当てたとします。ここで、リソース計画を 1 か月延長するとします。延長月の場合、割り当てレコードは選択した要求タイプに基づいて作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.
2. リソース計画を開き、[リソース計画を拡張] を選択します。
3. **[OK]** を選択します。
4. [リソース計画を拡張] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[リソース計画を拡張] フォーム」を参照してください。

タスクの結果

- リソース計画の終了日が更新されます。
- [延長] フィールドに、ステータスが [割り当て済み]として表示されます。
- 延長期間の場合、割り当てレコードは選択した要求タイプに基づいて作成されます。
- 要求された FTE 数、時間数、または人日数は、割り当て期間ごとに均等に分割され、各割り当てレコードに事前に入力されます。
- リソース計画を延長すると、時給を取得するためのレートモデルが呼び出されます。

割り当てられたリソース計画の延長の要求

プロジェクトマネージャーは、割り当てられたリソース計画の延長を要求できます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager、resource_user

このタスクについて

リソースが割り当てられたプロジェクトが 1 か月遅れると仮定します。期間のリソースが必要な場合は、プロジェクトマネージャーとして、リソース計画の延長を要求できます。このオプションは、リソース計画が [割り当て済み] ステータスの場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.

   割り当てワークベンチからリソース計画にアクセスしている場合は、次の場所に移動します。 リソース**>**リソースワークベンチ**>**割り当てワークベンチをクリックし、リソース計画を延長する割り当てボードを開きます。

2. リソース計画を開き、[拡張を要求] を選択します。
3. [拡張を要求] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[拡張を要求] フォーム」を参照して ください。

タスクの結果

リソース計画の終了日が更新され、[延長] フィールドが [要求済み] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
延長期間にリソースを割り当てる。

延長期間にリソースを割り当てる

リソースマネージャーは、延長期間にリソースを割り当てることができます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
プロジェクトマネージャーが、割り当てられたリソース計画を延長する要求を送信した後、リソースマネージャーはリソース計画の上部にメッセージを受け取ります。次に、リソースマネージャーは、延長期間にリソースを確認して割り当てます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.
2. リソース計画を開きます。
3. 次のいずれかの方法で拡張を確認します。
   - [リソース割り当て] 関連リストで、[要求された時間]、**[FTE]**、または [人日] フィールドの値を確認して更新します。
   - [拡張] フィールドで [割り当て済み] を選択します。

タスクの結果
リソースは延長期間に割り当てられます。

割り当て中のエラーまたは警告は、[リソースプラン] フォームの [リソースプランログ] 関連リストに記録されます。特定の日にリソースが 24 時間を超えて割り当てられた場合、ログが生成されます。これらのログを確認して、適切なアクションを実行し、さらにリソースを割り当てることができます。

リソース計画の期間の短縮

リソースごとに個別に行う必要なく、割り当てられたまたは確認されたリソース計画の期間を短縮し、1 つのアクションでリソースの割り当てを解除します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
リソース計画の終了日が現在の日付より後の場合にのみ、割り当て済みまたは確認済みのリソース計画を減らすことができます。

ステータスが割り当てられている場合にのみ、運用リソース計画の期間を短縮できます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべて.
2. リソース計画を開き、[短縮] を選択します。
   リソース計画の終了日を減らすと、新しい終了日以降にリソース割り当てが削除され、すべてのリソースが解放されます。

   リソース計画に将来の実績が転記されていない場合、リソース計画を短縮すると、リソースの割り当て済みまたは確認済みの時間がすべて解放されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実績が将来転記される場合、リソース計画の終了日は実績が存在する将来の日付に更新され、実績が存在する日から元の終了日までのすべてのリソースのすべての割り当て済みまたは確認済みの時間がリリースされます。

3. リソース計画の新しい終了日を [終了日] フィールドに入力します。
4. 確認メッセージで [はい] を選択します。

タスクの結果

- リソース計画の終了日が新しい短縮終了日に更新されます。
- リソース計画のステータスは変わりません。
- リソース計画に将来の実績が転記されていない場合、リソースの割り当て済みまたは確認済みの時間はすべて解放されます。
- 実績が将来転記される場合、リソース計画の終了日は実績が存在する将来の日付に更新され、実績が存在する日から元の終了日までのすべてのリソースのすべての割り当て済みまたは確認済みの時間がリリースされます。

Example: 実績に関するリソース割り当て

たとえば、2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの 1 FTE のリソース計画が作成され、2021 年 3 月 1 日にリソース計画の終了日が 2021 年 3 月 1 日に更新されたとします。この場合、2021 年 3 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までのこのプランで割り当てられた、または確認されたリソースのすべての時間が解放されます。たとえば、2021 年 5 月 25 日など、将来の実績が転記された場合、リソース計画の終了日は 2021 年 5 月 25 日として更新され、2021 年 3 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの確認済みまたは割り当て済みのすべての時間がリリースされます。

リソース計画のタイムゾーン

リソースタスクを実行するユーザーとグループが異なる地域にいる場合、リソース管理においてタイムゾーンが重要になります。

ユーザーは [自分のカレンダー] モジュールで時間を管理し、リソースマネージャーはリソースワークベンチまたはリソース計画を使用して、さまざまなユーザーにタスクを割り当てます。

すべてのユーザーにスケジュールが割り当てられます。ユーザーのスケジュールが変更されると、すべての時間計算が自動的に変更されます。スケジュールは、フローティングまたはタイムゾーン固有にすることができます。

- フローティングスケジュールはどのタイムゾーンでも同じです。たとえば、アムステルダムのリソースマネージャーがフローティングスケジュールを午前 8 時から午後 5 時までに設定した場合、サンノゼのユーザーにはそのスケジュールが午前 8 時から午後 5 時と表示されます。
- スケジュールが特定のタイムゾーンで定義されている場合、異なるタイムゾーンのユーザーには、自分のタイムゾーンが適用されたスケジュールが表示されます。たとえば、リソースマネージャーが、タイムゾーン固有のスケジュールを午前 8 時から午後 5 時までに設定した場合、サンノゼのユーザーには、前日の午後 11 時から現在の日の午前 7 時までのスケジュールが表示されます。これは、サンノゼのタイムゾーンがアムステルダムのタイムゾーンより 9 時間遅れているためです。

タイムカードをリソース計画に関連付ける

1 つのリソースが 2 つのリソース計画で同じ名前のタスクに割り当てられている場合は、次の手順を使用して、タイムカードを割り当てるリソース計画を指定します。

始める前に

必要なロール：resource_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

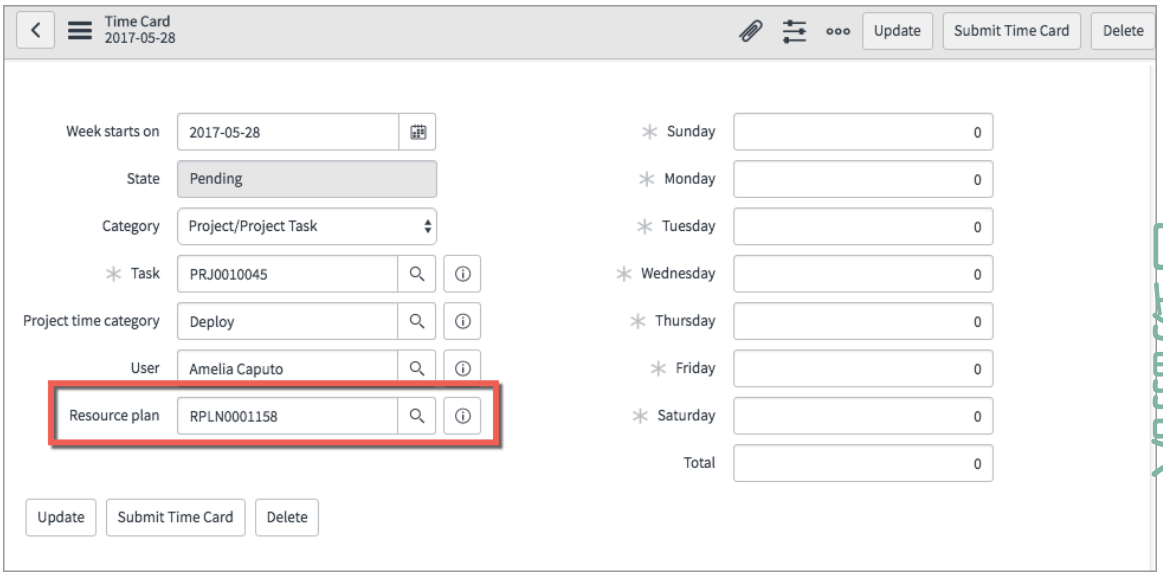
- リソース計画にユーザーのハード割り当てが含まれている場合にのみ、リソース計画をタイムカードに関連付けることができます。
- リソース計画が手動でタイムカードに関連付けられていない場合、リソース計画は自動的に関連付けられます。自動関連付けは、タイムカードで選択した [タスク] に基づいて行われます。

手順

1. に移動します。 すべて > タイムカード > すべて.
2. タイムカードを選択します。
3. [リソースプラン] フィールドを追加するフォームを設定します。
4. [リソース計画] フィールドで、タイムカードの割り当て先の計画を選択します。

   選択したタスクを含むリソース計画のみが一覧表示されます。

リソースプランを含むタイムカード



5. [更新] を選択します。

リソース計画、運用リソース計画、およびコスト計画の移行

リソース計画をリソースのアサインに、関連するコスト計画をプロジェクトまたはデマンドの属性ベースの人件費に簡単に 移行し、 を使用してリソース割り当て プロジェクトワークスペースを簡単に処理できます。

リソースのアサインに対するリソースプラン

計画属性に応じて、プロジェクトまたはデマンドのすべてのリソース計画を 属性 ベースのリソース割り当てに移行し、Next Experience の使用 プロジェクトワークスペース および キャパシティ計画でプロジェクトを簡単に管理できるようにします。

グループ、スキル、およびロールは、リソース計画がリソースのアサインに移行される内容に応じて、Resource Management で有効になるプライマリ属性です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
[計画]、[要求済み]、[確認済み]、[割り当て済み]、[却下]、および [完了] ステータスのリソースプランは、[リソースのアサイン] にのみ移行されます。[キャンセル] および [進行中] ステータスのリソース計画は移行されません。

リソース計画のステータスがリソースのアサインのステータスにどのようにマッピングされるかを見てみましょう。

リソース計画とリソースアサインの間のステータスマッピング

リソースプランステータス	リソースのアサインステータス
計画済みまたは要求済み	未アサイン
割り当て済み	承認済み
確認済み	
完了	
キャンセル済みまたは対応中	リソース計画は移行されません
却下	未承認

リソース計画が移行されると、リソース計画のプライマリ属性に基づいて、対応するリソースのアサインが作成されます。リソースのアサインは、割り当てタイプと割り当て分散のカスタム選択をサポートしていません。

リソース計画の移行では、次のようになります。

- リソースプランが [計画] または [要求済み] ステータスの場合、リソースのアサインは、デフォルトのステータスが [未アサイン] で、予定日と計画期間に基づいて作成されます。
- 割り当てタイプが [計画期間] に設定されている。
- 割り当て分散は常に [均等] です。
- 既存のリソース割り当ては削除され、リソース名と予定期間を含むリソース割り当てに対応するために再度作成されます。
- 割り当てられたコストと割り当てられた時間が、予定コストと予定時間にコピーされます。
- [確認済み] および [割り当て済み] ステータスのリソース計画の実際の時間は、リソース計画とともに保持されます。

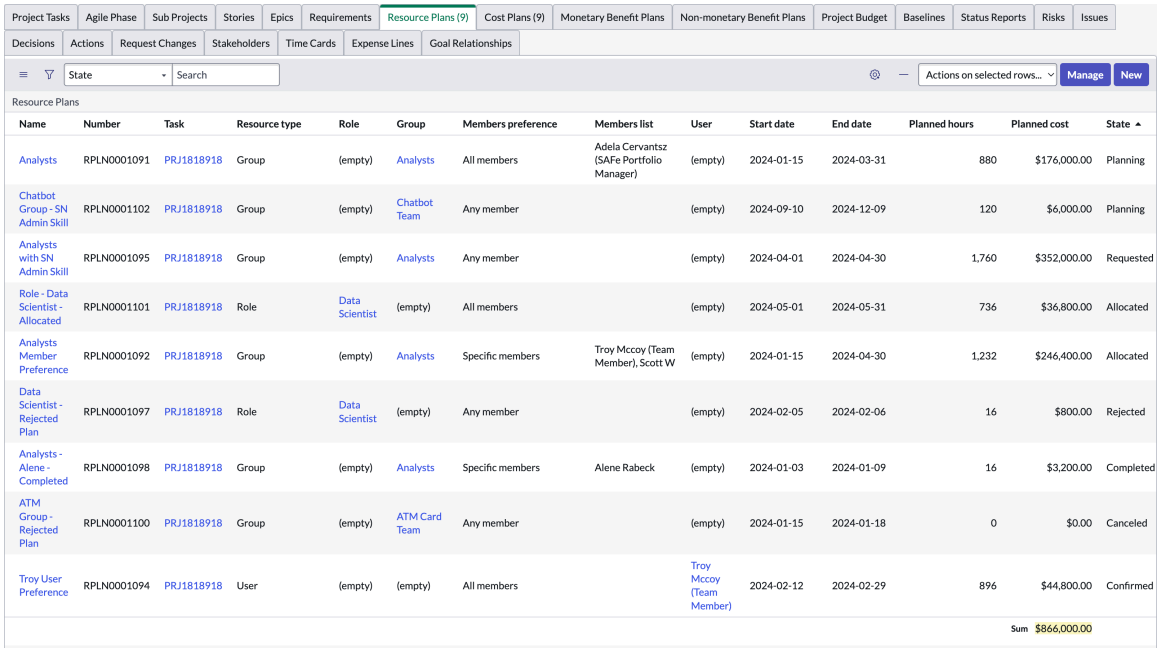
注:
リソースのアサインは、プライマリ属性 (グループ、スキル、およびロール) の一意の組み合わせごとに 1 つだけ作成され、選択したメンバー設定でリソース計画が作成されている場合は、ユーザーごとに 1 つ作成されます。移行後に、既存の組み合わせのいずれかを使用してリソースのアサインを作成すると、利用可能なリソースのアサインが新しい要求で更新されます。

Example: リソース計画のリソースのアサインへの移行

さまざまなステータスのリソースプラン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Project Tasks | Agile Phase | Sub Projects | Stories | Epics | Requirements | Resource Plans (9) | Cost Plans (9) | Monetary Benefit Plans | Non-monetary Benefit Plans | Project Budget | Baselines | Status Reports | Risks | Issues

Decisions | Actions | Request Changes | Stakeholders | Time Cards | Expense Lines | Goal Relationships

State | Search | Actions on selected rows... | Manage | New

Resource Plans

Name	Number	Task	Resource type	Role	Group	Members preference	Members list	User	Start date	End date	Planned hours	Planned cost	State
Analysts	RPLN0001091	PRJ1818918	Group	(empty)	Analysts	All members	Adela Cervantsz (SAFe Portfolio Manager)	(empty)	2024-01-15	2024-03-31	880	$176,000.00	Planning
Chatbot Group - SN Admin Skill	RPLN0001102	PRJ1818918	Group	(empty)	Chatbot Team	Any member		(empty)	2024-09-10	2024-12-09	120	$6,000.00	Planning
Analysts with SN Admin Skill	RPLN0001095	PRJ1818918	Group	(empty)	Analysts	Any member		(empty)	2024-04-01	2024-04-30	1,760	$352,000.00	Requested
Role - Data Scientist - Allocated	RPLN0001101	PRJ1818918	Role	Data Scientist	(empty)	All members		(empty)	2024-05-01	2024-05-31	736	$36,800.00	Allocated
Analysts Member Preference	RPLN0001092	PRJ1818918	Group	(empty)	Analysts	Specific members	Troy Mccoy (Team Member), Scott W	(empty)	2024-01-15	2024-04-30	1,232	$246,400.00	Allocated
Data Scientist - Rejected Plan	RPLN0001097	PRJ1818918	Role	Data Scientist	(empty)	Any member		(empty)	2024-02-05	2024-02-06	16	$800.00	Rejected
Analysts - Alene - Completed	RPLN0001098	PRJ1818918	Group	(empty)	Analysts	Specific members	Alene Rabeck	(empty)	2024-01-03	2024-01-09	16	$3,200.00	Completed
ATM Group - Rejected Plan	RPLN0001100	PRJ1818918	Group	(empty)	ATM Card Team	Any member		(empty)	2024-01-15	2024-01-18	0	$0.00	Canceled
Troy User Preference	RPLN0001094	PRJ1818918	User	(empty)	(empty)	All members		Troy Mccoy (Team Member)	2024-02-12	2024-02-29	896	$44,800.00	Confirmed
											Sum	$866,000.00	

リソースのアサインとして移行されたリソース計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Project Tasks | Agile Phase | Sub Projects | Stories | Epics | Requirements | Resource Plans (9) | Cost Plans (11) | Monetary Benefit Plans | Non-monetary Benefit Plans | Project Budget | Baselines | Status Reports | Risks | Issues

Decisions | Actions | Request Changes | Stakeholders | Time Cards | Expense Lines (3) | Goal Relationships | Resource assignments (35)

Number | Search | Actions on selected rows... | New

Task = PRJ1818918

Number	Resource	Group	Role	Skill	Effort type	Effort	Start date	End date	Resource status	Planning item	Resource rate	Resource plan	Plan type
RA0001621	(empty)	Analysts	(empty)	(empty)	FTE	2	2024-01-15	2024-03-31	Unassigned	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001091	Task
RA0001622	(empty)	Chatbot Team	(empty)	ServiceNow Administration	Hours	120	2024-09-10	2024-12-09	Unassigned	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001102	Task
RA0001623	(empty)	Analysts	(empty)	ServiceNow Administration	FTE	10	2024-04-01	2024-04-30	Unassigned	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001095	Task
RA0001620	(empty)	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	1	2024-02-05	2024-02-06	Unapproved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001097	Task
RA0001619	Troy Mccoy (Team Member)	Analysts	(empty)	(empty)	FTE	0.99	2024-01-15	2024-04-30	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001092	Task
RA0001618	Scott W	Analysts	(empty)	(empty)	FTE	1	2024-01-15	2024-04-30	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001092	Task
RA0001617	Shane McConnell	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001616	Salem O'Connell	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001615	Nicolas Butler	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001613	Lily Schroeder	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001614	Madilynn Vance	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001612	Leighton Olson	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001611	Lauryn King	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001610	Lana Gordon	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001609	Kyrie Owens	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001608	Karter Thornton	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001607	Julian Ibarra	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001606	Jillian Myers	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001605	Jaxtyn Sanchez	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001604	Jaxon Caldwell	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001603	Izaiah Wiley	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.16	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001602	Isabel Shields	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001601	Halo Perkins	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001598	Devon Lamb	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.17	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001599	Evelynn Eaton	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001600	Haisley Bryan	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.17	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001597	Casen Reeves	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001596	Aron Guevara	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001595	Aria Mitchell	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.17	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001594	Amaya Sims	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.12	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001592	Alexia Wyatt	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.17	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001593	Amaia Hull	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.17	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001591	Adam McCarty	(empty)	Data Scientist	(empty)	FTE	0.17	2024-05-01	2024-05-31	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001101	Task
RA0001590	Alene Rabeck	Analysts	(empty)	(empty)	Person days	2	2024-01-03	2024-01-09	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001098	Task
RA0001589	Troy Mccoy (Team Member)	(empty)	(empty)	(empty)	FTE	2.9	2024-02-12	2024-02-29	Approved	Migrate resource plans	$0.00	RPLN0001094	Task

1 to 35 of 35

運用リソース計画から運用リソースの割り当て

運用リソース計画も同じロジックに従って、運用リソース計画を運用リソース割り当てに移行します。

重要:
[割り当て済み] および [完了済み] ステータスの運用リソース計画は、運用リソースのアサインとしてのみ移行されます。

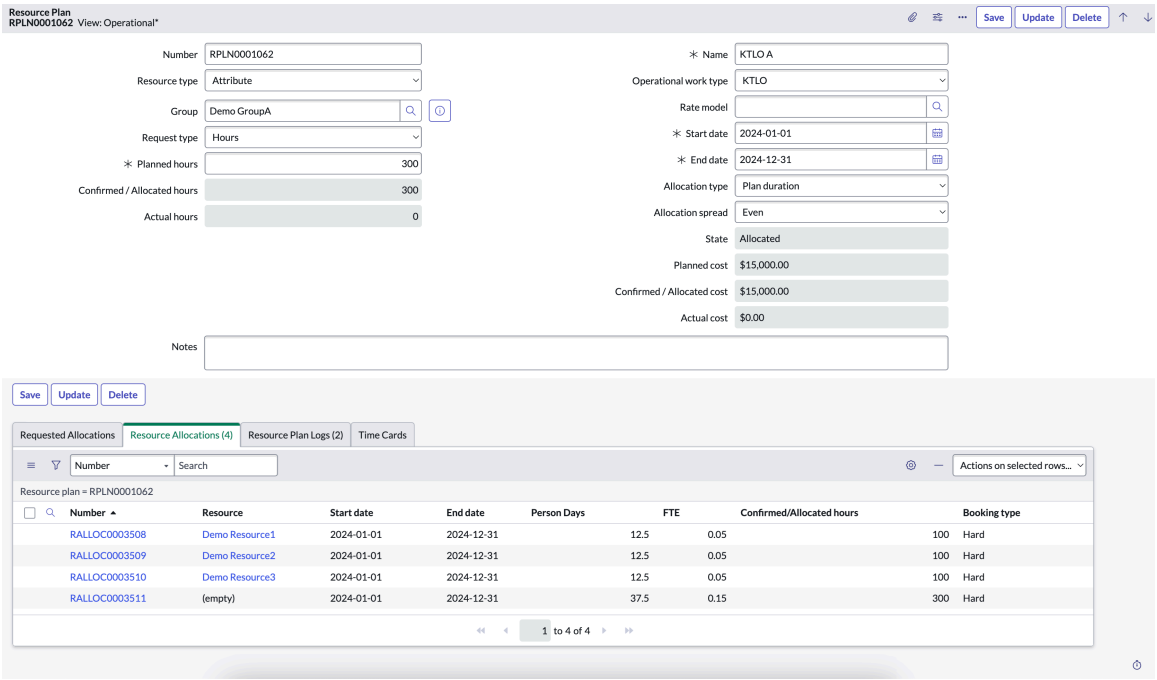
移行後、運用リソース計画の 要求タイプ は 時間 に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

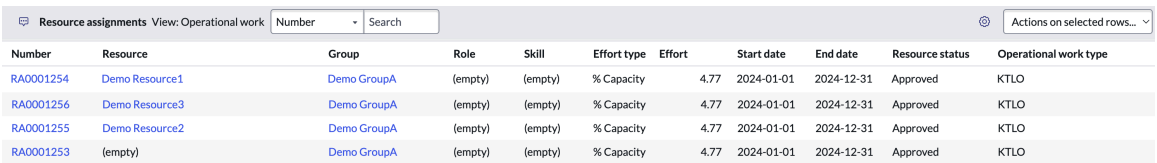
Example: 運用リソース計画の運用リソースの割り当てへの移行

デモグループ A に対して作成された割り当て済みステータスの運用リソース計画。



移行後、グループのすべてのメンバーに対して次の運用リソースの割り当てが行われます。

注:
親子マッピングは保持され、空のリソースを持つ追加のリソースのアサインが表示される場合があります。



属性ベースのコスト計画へのコスト計画の移行

プロジェクトまたはデマンドのリソース計画がリソースのアサインに移行されると、リソース計画に基づく対応する財務コスト計画が新しい属性ベースの人件費に移行されます。[リソース計画を移行] 関連リンクトリガーは、リソース計画の移行とともにコスト計画を移行します。

すべてのリソース計画には、コストタイプとして人件費を含むコスト計画が関連付けられています。移行中に、リソース計画 の計画属性 が分析され、 財務に対して有効 になっている 3 つの計画属性 (従業員タイプ、経費タイプ、およびロール) の一意の組み合わせに対する属性ベースのコスト計画が作成されます。移行後は、リソースのアサインと属性ベースのコスト計画の間に 1 対 1 の関連付けはありません。

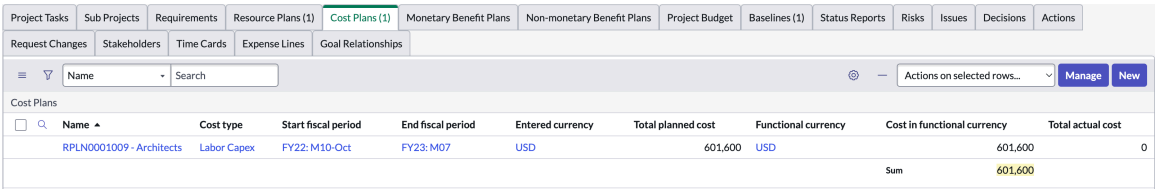
注:
リソース計画が従業員タイプにもロールにも関連付けられていない場合、移行されたコスト計画のコストは単一のコスト計画に統合されます。

計画コストは新しい属性ベースのコスト計画に移動されますが、実際コストは既存のコスト計画レコードに残ります。プロジェクトまたはデマンドに関連付けられた レートモデル 値は、属性ベースの人件費を生成すると見なされます。

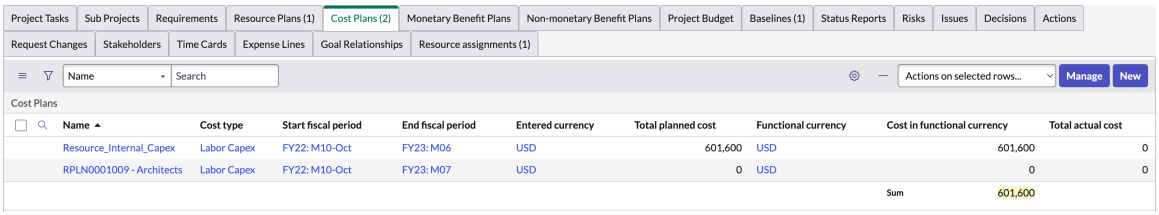
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 属性ベースのコスト計画へのコスト計画の移行

リソース計画に関連付けられたコスト計画。



属性ベースのコスト計画 **Resource_Internal_Capex** は移行後に作成されます。



プロジェクトとデマンドのリソース計画とコスト計画の移行

プロジェクトまたはデマンドのリソース計画とコスト計画をリソースアサインと属性ベースのコスト計画に移行し、を使用して プロジェクトワークスペースリソース割り当てとプロジェクト財務を処理します。

始める前に

- リソース計画、運用リソース計画、およびコスト計画の移行 の詳細を確認してください。
- プロジェクトまたはデマンドにリソース計画とコスト計画があることを確認する。
- 必要なロール：resource_user

手順

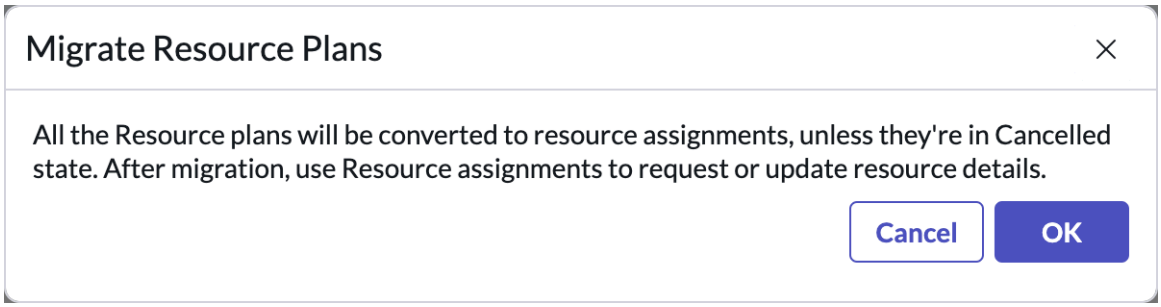
1. プロジェクトまたはデマンドを開くには、次のいずれかのオプションを使用します。
   - プロジェクトを開くには、次の場所に移動します。 すべて > プロジェクト > プロジェクト > すべて をクリックし、プロジェクトを開きます。
   - デマンドを開きすぎている場合は、 すべて > デマンド > デマンド > すべて デマンドを開きます
2. [リソース計画を移行] 関連リンクを選択します。

   注:
   この選択により、リソース計画とコスト計画の移行が同時にトリガーされます。

3. [リソース計画の移行] 確認ウィンドウで、 [**OK]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヒント:
スケジュール設定済みジョブをアクティブ化してリソース計画とコスト計画を移行するできます。

タスクの結果
リソース計画はリソースのアサインに移行され、コスト計画は属性ベースのコスト計画に移行されます。プロジェクトページを更新して、[リソースのアサイン] 関連リストにリソースのアサインを表示します。

次のタスク
リソースのアサインを作成して、リソースの取り組みを管理します。

リソースのアサインの作成

リソースのアサインを作成して、プロジェクトまたはデマンドのチームまたはリソースのキャパシティの一部を要求します。

始める前に

- プロジェクトとデマンドのリソース計画とコスト計画の移行
- 必要なロール：resource_manager

手順

1. プロジェクトまたはデマンドを開くには、次のいずれかのオプションを使用します。
   - プロジェクトを開くには、次の場所に移動します。 すべて > プロジェクト > プロジェクト > すべて をクリックし、プロジェクトを開きます。
   - デマンドを開きすぎている場合は、 すべて > デマンド > デマンド > すべて デマンドを開きます
2. リソースのアサイン 関連リストで、新規 を選択します。
3. [リソースのアサイン] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[リソースのアサイン] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

運用リソース計画の移行

必要な運用リソース計画を属性ベースの運用リソースの割り当てに移行します。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > すべての運用計画.
2. 移行する運用リソース計画のリストを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [選択した行のアクション] リストから [リソース計画を移行] を選択します。
運用リソース計画は、運用リソースの割り当てに移行されます。運用リソースのアサインのリストは、次の場所で表示できます すべて > リソース > リソースのアサイン > 運用リソースのアサイン.

ヒント:
スケジュール設定済みジョブをアクティブ化してリソース計画とコスト計画を移行するできます。

運用リソースのアサインの作成

運用リソースの割り当てを作成して、管理作業、会議、トレーニングなどの運用作業にチームまたはリソースのキャパシティの一部を割り当てます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソースのアサイン > 運用リソースのアサインを作成.
2. [リソースのアサイン] フォームのフィールドに入力します。
フィールド名の説明については、「[リソースのアサイン] フォーム」を参照してください。
3. [送信] を選択します。

タスクの結果
運用リソースのアサインが作成されます。次の場所に移動できます。 すべて > リソースのアサイン > 運用リソースのアサイン 運用リソースのアサインのリストを表示します。

スケジュール設定済みジョブをアクティブ化してリソース計画とコスト計画を移行する

[リソース計画を移行] スケジュール設定済みジョブを有効にして、プロジェクトとデマンドのリソース計画、運用リソース計画、およびコスト計画を、リソース割り当てと属性ベースのコスト計画に移行します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [名前] フィールドをフィルタリングして、[リソース計画を移行] スケジュール設定済みジョブを見つけて開きます。
3. ジョブをアクティブ化してスケジュールするには、[アクティブ] オプションを選択します。
4. [スクリプトの実行を予定] フォームのフィールドを編集してジョブをカスタマイズし、要件を満たします。
フィールドの説明とスクリプトの詳細については、を参照してください Automatically run a script of your choosing 。
5. [今すぐ実行] を選択してスケジュールされたジョブを実行するか、[更新] を選択して変更を保存します。
または、リソース計画プロジェクトとデマンドのリソース計画とコスト計画の移行を移行し、必要なプロジェクトとデマンドの運用リソース計画を移行することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソース計画に対する要求された割り当ての作成

要求された割り当ては、リソース計画が送信され、[計画] ステータスになると自動的に作成されます。必要に応じて、リソース要求者は、[計画] または [却下] ステータスのリソース計画に対して、要求された新しい割り当てを作成できます。リソースマネージャーは、[要求済み] ステータスのプランに対して要求された割り当てを作成できます。

始める前に
必要なロール：resource_user

このタスクについて
要求された割り当てには、名前付きリソースの割り当てがありません。開始日、終了日、および予定時間の詳細のみが表示されます。

月次または週次の割り当てタイプのリソース要件の分割を指定するために、要求された割り当てを変更できます。たとえば、1 月から 2 月に 100 時間のリソースを要求しましたが、1 月に 20 時間、2 月に 80 時間のリソースが必要であるとします。これらの詳細は、[要求された割り当て] フォームで指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > 計画 または 拒否されました。
2. リソース計画を開きます。
3. [要求された割り当て] 関連リストで、[新規] を選択します。
4. [要求された割り当て] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[要求された割り当て] フォーム」を参照して ください。
5. レコードを保存してリソース計画に戻るには、[送信] を選択します。

Example:
リソースが 9 月 1 日から 11 月 30 日まで 360 時間要求された場合、要求された割り当てレコードは次のように作成されます。

ケース 1：計画期間割り当てタイプ

計画期間割り当てタイプの場合、次の要求された割り当てレコードが作成されます。

開始日	終了日	予定時間数
9 月 1 日 (リソースプラン開始日)	11 月 30 日 (リソースプラン終了日)	360

ケース 2：月次割り当てタイプ

月次割り当てタイプの場合、時間は次のように稼働日に基づいて比例割り当てされます。

- 計画期間の合計作業日数 = 65 日
- 作業日あたりの割り当て時間 = 360/65 = 5 時間

次の要求された割り当てレコードが作成されます。

開始日	終了日	稼働日数	予定時間数
9 月 1 日	9 月 30 日	22	22 * 5 = 110
10 月 1 日	10 月 31 日	21	21 * 5 = 105

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始日	終了日	稼働日数	予定時間数
11 月 1 日	11 月 30 日	22	22 * 5 = 110

週次割り当ての場合、要求された割り当てレコードは月次と同様に作成されます。月ごとに 1 つずつ、合計 3 つの割り当てレコードが作成されます。

リソース割り当て

リソース要求者がリソース計画を作成した後、リソースマネージャーはリソースを確認して、プランを [確認済み] ステータスに移行できます。リソースマネージャーは、リソースをプランに割り当て、それを [割り当て済み] ステータスに移行できます。

カレンダーとスケジュールの情報に基づいて、リソースマネージャーはリソースの可用性を表示し、確認して特定のタスクに割り当てることができる管理下のリソースを選択します。

ソフト割り当てとハード割り当て

リソース計画が [確認済み] ステータスに移行すると、要求された割り当てに対応するリソース割り当てが自動的に作成されます。これらの割り当ての [予約タイプ] は [ソフト] です。ソフト割り当ては、要求されたユーザーの一時的な割り当てに似ており、カレンダーイベントを作成しません。

プランが [割り当て済み] ステータスに移行すると、[予約タイプ] が [ソフト] から [ハード] に変更されます。ハード予約の場合、リソースはプランに割り当てられ、割り当て済みの時間内に他のプランで利用することはできません。予約時間はユーザーカレンダーにも表示されます。要求されたリソースを割り当て期間全体にわたって割り当てることができない場合、割り当てレコードの予約タイプは [ソフト] のままになります。

割り当て中のエラーまたは警告は、[リソースプラン] フォームの [リソースプランログ] 関連リストに記録されます。これらのログを確認して、適切なアクションを実行し、さらにリソースを割り当てることができます。

注:
リソースプロパティ *com.snc.resource_management.allocation_interval_minutes* を使用すると、10 進数値でソフト割り当てとハード割り当てを作成できます。

ソフト割り当ての時間の計算

ケース 1：比例割り当て

たとえば、[メンバー設定] 値が [すべてのメンバー] または [特定のメンバー] に設定されている場合に、2 つのリソースを持つグループに要求された割り当ては次のようになります。

開始日	終了日	予定時間数
10 月 3 日	10 月 7 日	40

デフォルトでは、[リソースプラン] フォームの予定時間数は、要求された各割り当てレコードの作業日数に基づいて、要求されたすべての割り当てに比例割り当てされます。

リソース	リソースの休暇	利用可能なキャパシティ (時間)	ソフト割り当て時間
リソース 1	2 日間	3 * 8 = 24	24 * 0.625 = 15
リソース 2		5 * 8 = 40	40 * 0.625 = 25

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の計算が使用されます。

- 合計利用可能キャパシティ = 利用可能キャパシティユーザー 1 + 利用可能キャパシティユーザー 2 = 24 + 40 = 64 時間
- 利用可能なキャパシティの 1 時間あたりの割り当て時間 = 予定時間/利用可能な総キャパシティ = 40/64 = 0.625 時間

注:
グループリソース計画に対して要求された 1 つの割り当てに対して、複数のソフト割り当てを作成できます。

ケース 2：利用可能な最も利用可能なリソースが最初に要求される

たとえば、[メンバー設定] 値が [すべてのメンバー] に設定されている場合に、3 つのリソースを持つグループに要求された割り当ては次のようになります。

開始日	終了日	予定時間数
10 月 3 日	10 月 7 日	40

指定された期間内に最も利用可能なリソースが検索され、これらのリソースに対するソフト割り当てが作成されます。

リソース	利用可能な時間	ソフト割り当て時間
リソース 1	24	10
リソース 2	30	30
リソース 3	20	

リソース 2 は最も利用可能なリソースです。リソース 2 から利用可能なすべての時間を消費するまで、最初にリソース 2 のソフト割り当てが作成されます。その後、次に利用可能なリソースに移動し、以下同様に続きます。すべてのリソースの利用可能時間が消費され、すべてのメンバーに割り当てた後も予定時間が残っている場合 (利用可能なものが最も多いものから少ないものへ)、残りの時間はすべてのリソースに均等に割り当てされます。

ハード割り当ての時間の計算

ケース 1：均等に分散

ハード割り当て分散タイプとして [均等] を選択すると、すべての営業日に時間を均等に分割することにより、リソースのリソースイベントが作成されます。

スマート均等負荷割り当て分散は、割り当て時にリソースの可用性を考慮に入れ、可能な場合にのみ時間を均等に適用します。リソースが 1 日過剰に割り当てられている場合、その日をバイパスし、リソース計画が履行されるまで次の日に割り当てを再開します。

たとえば、1 週間に 20 時間要求されたリソースの場合、均等に分散されたハード割り当ては次のようになります。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
利用可能な時間	6	6	6	6	休暇

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
割り当て済みの時間	5	5	5	5	0

ケース 2：フロントロード

ハード割り当て分散タイプとして [フロントロード] を選択すると、割り当ての開始日から利用可能なすべてのリソーススロットがいっぱいになります。リソースが開始日と終了日の間に完全に割り当てられると、残りの時間は開始日から最大 24 時間まで入力されます。

たとえば、1 週間に 20 時間要求されたリソースの場合、フロントロード分散のハード割り当ては次のようになります。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
利用可能な時間	6	6	6	6	休暇
割り当て済みの時間	6	6	6	2	0

ハード割り当て中のイベント作成

イベントの最小単位を制御するには、カレンダーイベント期間 (分) (*com.snc.resource_management.allocation_interval_minutes property*) を変更します。デフォルトは 60 分です。

リソース割り当てでは、このプロパティを使用して 10 進数値で割り当てを作成します。次のテーブルを使用して、プロパティ値を正しく設定してください。

ユーザーの予定時間	カレンダーイベント期間値
0.5	30
0.25/0.5/0.75	15
0.2/0.4/0.6/0.8	12
0.1、0.2 など	6

例：1 週間で 4 時間、割り当て間隔は 60 分

月曜日から木曜日までの 60 分のブロックを作成します。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
60 分	60 分	60 分	60 分	

例：1 週間で 4 時間、割り当て間隔は 30 分

このプロパティの値が 30 分に設定されており、1 時間をユーザーに割り当てる必要がある場合、ユーザーが空いているときにその割り当ては 2 つの 30 分ブロックに分割されます。この設定では月曜日から水曜日まで 60 分のブロックが作成され、木曜日と金曜日に 30 分のブロックが作成されます。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
30 分 + 30 分	30 分 + 30 分	30 分 + 30 分	30 分	30 分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
スケジュールされた時間がカレンダーイベント期間プロパティで割り切れない場合、1 日あたり数時間の損失が生じます。たとえば、1 日あたりの予定時間数が 8.5 で、プロパティ値が 60 に設定されているとします。この場合、各日に割り当てられる最大時間は 8 になり、1 日あたり 0.5 時間の損失になります。

休暇処理

リソースプランのリソースイベントは、リソースが休暇をマークした日、または他のイベント (トレーニングや会議など) に参加した日には作成されません。管理者は、プロパティ *com.snc.resource_management.exclude_events_from_schedule* を使用してリソースのキャパシティと割り当てを管理し、以下を指定できます。

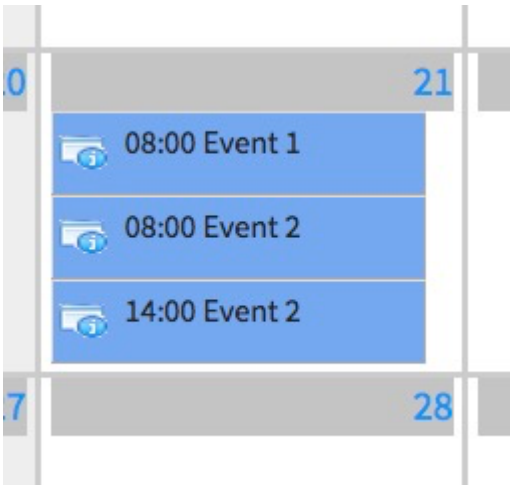
- キャパシティ計算で除外する必要があるイベント。たとえば、リソースの休暇が月曜日と水曜日の間にある場合、リソースの週次キャパシティは (40 時間ではなく) 16 時間として計算されます。
- システムが割り当てを作成してはならない場合。たとえば、リソースが金曜日にトレーニング中の場合、リソースは金曜日のタスクに割り当てられません。

過剰割り当て

リソースの過剰割り当ては許可されます。リソースを過剰に割り当てると、ユーザーの予定時間内にユーザーカレンダーに重複するイベントが作成されます。ただし、任意の日に割り当てることができるのは最大 24 時間です。重複するイベントは、週次ビューのカレンダーで重複して表示されます。月次ビューでは、重複するイベントが別のイベントの上または下に表示されます。

たとえば、ユーザーが、毎日の作業日を 08:00 から 17:00 まで指定するスケジュールがあるとします。イベント 1 は、ユーザーのカレンダーの 08:00 から 14:00 までです。同じ日にイベント 2 に対してさらに 5 時間を追加すると、空いていた 3 時間 (14:00 ～ 17:00) にイベントが作成されます。重複するイベントも、その日の始まり (08:00 ～10:00) から残りの 2 時間に作成されます。

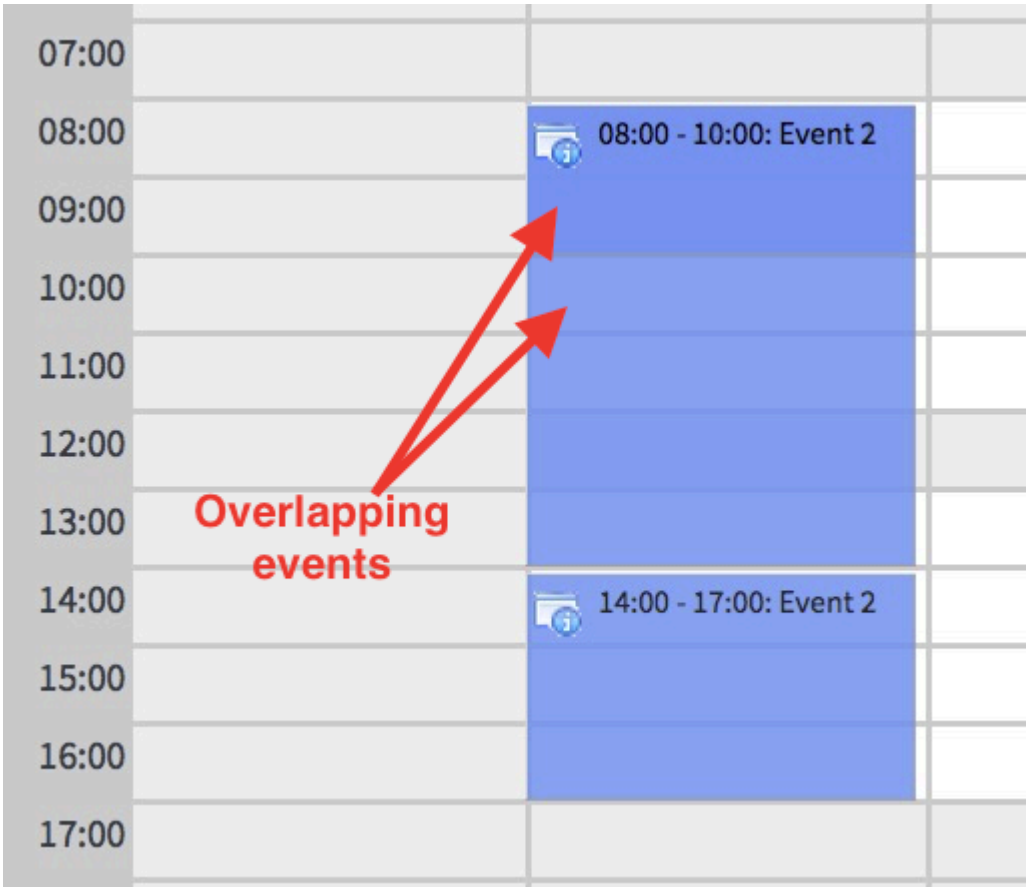
月次ビューからの重複イベント



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

週次ビューからの重複イベント



リソースロールの作成

チームメンバーのスキルと能力に基づいて、プロジェクト固有のロールを定義します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース > リソースロール.
2. [新規] を選択します。
3. [リソースロール] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[リソースロール] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

ユーザーリソースとグループリソース

リソースを割り当てる場合、リソースマネージャーは管理者と協力して、pps_resource ロールを持つグループにユーザーを追加する必要がある場合があります。

[リソースマネージャー] ビュー

の [リソースマネージャー] ビュー リソース > リソース > ユーザー pps_resourceロールを持つユーザーのみをリストします。[ユーザー管理] > [ユーザー] フォームに表示される一部のフィールドに加えて、[リソースマネージャー] ビュー > [ユーザー] フォームには、resource_manager ロールを持つユーザーのみが編集できる次のフィールドも表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ロケーション
- スケジュール
- タイムシートポリシー
- 平均日次 **FTE** 時間 **/** 人日あたりの時間数

> **注:**
> [リソースキャパシティの更新] 関連リンクを使用して、日付範囲を指定します。ユーザーキャパシティは、ユーザーのスケジュールに基づいてすべての集計テーブルに入力されます。

の [リソースマネージャー] ビュー リソース > リソース > グループ pps_resourceロールを持つグループのみをリストします。リソースマネージャーがこのビューから新しいグループを作成すると、デフォルトで pps_resource ロールがグループレコードに追加されます。リソースマネージャーにはいくつかのフィールドへの書き込みアクセス権がありますが、編集する必要があるのは [平均日次 **FTE** 時間/人日あたりの時間数] および [時給] のみです。

リソースキャパシティの更新

[リソースマネージャー] ビューから、特定の期間のユーザーのキャパシティを更新します。ユーザーのスケジュールと指定された期間に基づいて、それに応じてユーザーのキャパシティがすべてのリソース集計テーブルに入力されます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
次のシナリオでは、[リソースキャパシティを更新] 関連リンクを使用します。

- ユーザーが新たに追加され、ユーザーのキャパシティを更新する場合。
- 既存のユーザーのスケジュールが変更され、ユーザーのキャパシティを更新したい場合。

このアクションのために使用されるスケジュール設定済みジョブは、[リソースキャパシティの更新] です。

キャパシティは、人事アプリケーションの従業員プロファイルで指定された雇用開始日と雇用終了日の間の日付範囲に対してのみ生成されます。この情報は、Employee Profile プラグインがインストールされている場合に利用可能です。従業員の開始日と終了日が利用できない場合は、これらの日付を手動で指定します。

また、年の開始後に従業員が利用可能になった場合は、不足しているキャパシティが確実に考慮されるように、現在の年の始めからキャパシティが生成されます。たとえば、従業員のキャパシティが 2022 年 3 月 1 日から 2022 年 6 月 1 日まで利用可能である場合、更新されたキャパシティは 2022 年 1 月 1 日から 2022 年 6 月 1 日まで生成されます。

終了日がジョブの実行日より後である場合、[リソース終了ハンドラー] ジョブを実行すると、終了したリソースのキャパシティと可用性が自動的に 0 に更新されます。ユーザーの終了日を超えてリソースが予約されている場合、それらの予約もリソース計画で 0 に更新されます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース管理 > リソース > ユーザー.

2. ユーザー **ID** を選択します。

3. [リソースキャパシティを更新] 関連リンクを選択します。

4. ウィンドウで、開始日と終了日を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> Employee Profile プラグインがインストールされている場合、雇用開始日より前の開始日または雇用終了日より後の終了日を選択することはできません。

5. **[OK]** を選択します。

リソース集計の更新

[リソースマネージャー] ビューから、特定の期間のリソース集計を更新できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
次のシナリオでは、[リソース集計の更新] 関連リンクを使用できます。

- 集計の不一致に気づき、正しいデータを生成したい場合。
- 特定の期間のリソース割り当て日次 [resource_allocation_daily] エントリと集計を同期する場合。

手順

1. 移動先 すべて > リソース管理 > リソース > ユーザー.
2. ユーザー **ID** を選択します。
3. [リソース集計を更新] 関連リンクを選択します。
4. ウィンドウで、開始日と終了日を入力します。
5. **[OK]** を選択します。

割り当ての作成

リソースマネージャーは、[リソース割り当て] 関連リストを使用して割り当てを作成できます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > 要求済み.
2. リソース計画を開きます。
3. [リソース割り当て] 関連リストで、[新規] を選択します。
4. [リソース割り当て] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[リソース割り当て] フォーム」を参照して ください。
5. [送信] を選択してレコードを保存し、リソース計画に戻ります。

次のタスク
[リソース計画] フォームで、[確認] または [確認して割り当て] を選択して、リソースを [確認済み] または [割り当て済み] ステータスに移行します。

[リソース計画] フォームからリソース計画を却下する

リソースマネージャーは、[リソースプラン] フォームまたはリソースワークベンチからプランを却下できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
割り当てワークベンチからこのタスクを実行することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース計画 > 要求済み.
2. 却下するプランを開きます。
3. オプション: 却下理由の説明を [メモ] フィールドに追加します。
4. [却下] を選択します。

キャパシティ計画の概要

[キャパシティ計画] ページは、リソースのキャパシティ、割り当て、および使用率の包括的なビューをリソースマネージャーに提供します。リソースマネージャーは、これを使用してリソースキャパシティと既存の割り当てを確認し、デマンドまたはプロジェクトに対するリソースを確認できます。

注:
[キャパシティ計画] ページはサービスポータルに基づいており、要件と組織ワークフローに従って構成、カスタマイズ、および拡張できます。詳細については、「サービスポータル」を参照してください。

[キャパシティ計画] ページは、次のセクションに分かれています。

リソースプラン

左側のペインには、要求されたリソース計画がフィルター条件に基づいてカードとして表示されます。複数のリソース計画を選択して、関連するリソースのキャパシティを確認できます。

リソース予測

このセクションでは、次のタブで、選択したリソース計画のリソース予測を確認できます。

- [概要] タブ：積み上げ棒グラフに次のアイテムを表示します。
  - リソースの総キャパシティの傾向
  - 要求済みの時間 (選択したプランのみ)
  - 確認済みの時間 (すべてのプロジェクト間)
  - 割り当て済みの時間 (すべてのプロジェクト間)

  棒グラフのセクションのいずれかをポイントすると、その詳細が表示されます。

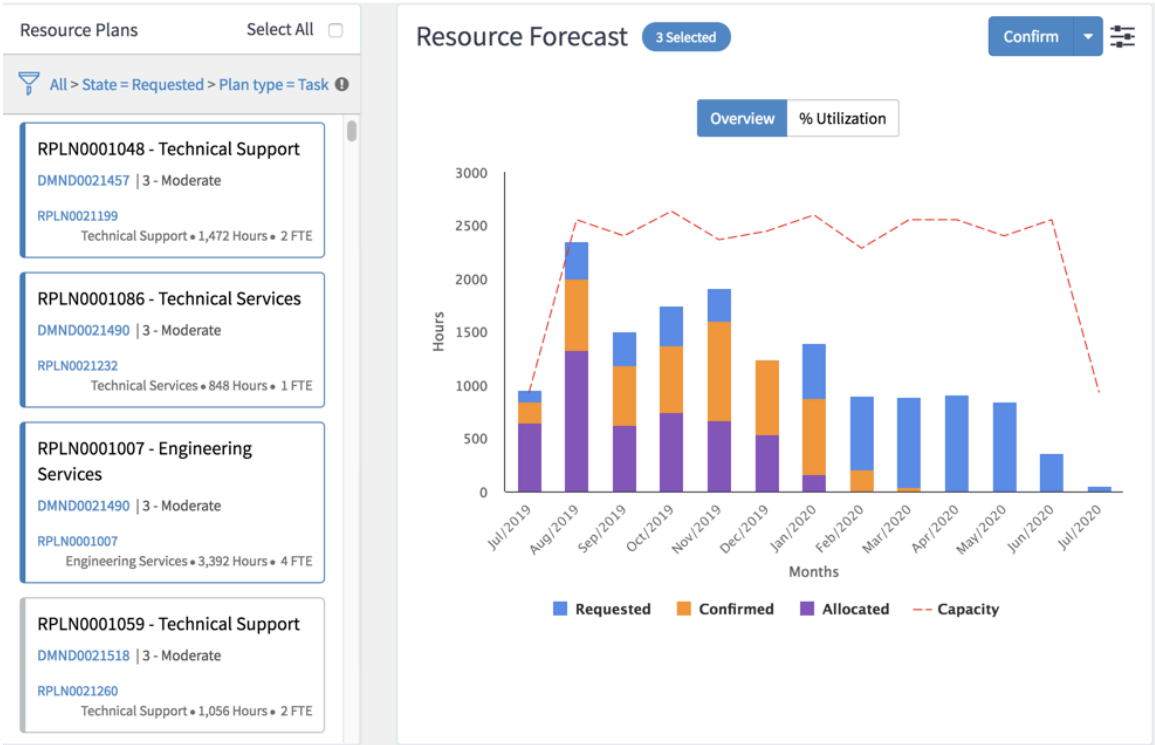
- [% 使用率] タブ：選択したリソース計画のハード割り当てとソフト割り当て、および要求済みの時間を含む、リソースの使用率のヒートマップが表示されます。ヒートマップは、リソースが要求されたステータスのリソース計画に割り当てられた場合に、確定した稼働率がどのようになるかをリソースマネージャーが理解するのに役立ちます。使用率が 100% を超えると、リソースが過剰に割り当てられます。リソースマネージャーは、すべてのリソースの使用率が 100% 以内であることを確認する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
リソース計画が既に割り当てられている場合は、それを選択して [リソース予測] セクションに詳細を表示することはできません。

[キャパシティ計画] ページの例



リソースのキャパシティのレビュー

[キャパシティ計画] ページを使用して、要求されたリソース計画に関連付けられたリソースのキャパシティと使用率の傾向を確認します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースワークベンチ > キャパシティ計画立案.
2. 表示されているリソース計画のリストをフィルタリングするには、[リソース計画] セクションのフィルターアイコン ( ) を選択します。
   フィルタリングされたリソース計画はカードとして表示されます。
3. リソース予測を表示するには、[リソース計画] セクションでリソース計画を選択します。
   複数のリソース計画を選択できます。リスト内のすべてのプランを選択するには、[すべて選択] チェックボックスをオンにします。

   注:
   複数のプランを選択すると、要求済みの時間が棒グラフの選択したプランに追加されます。チームのキャパシティ (赤い点線で表示) が十分に活用されるまで、計画の追加を続けることができます。

4. [リソース予測] セクションで、選択したリソース計画のリソースキャパシティと使用率を確認します。
   このセクションでは、次のタブに情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [概要] タブ：積み上げ棒グラフに次の情報を表示します。棒グラフの任意のセクションをポイントすると、その詳細が表示されます。
  - 要求済み：選択したリソース計画に対してのみリソースが要求された時間数
  - 確認済み：確認された時間数この値は、選択したリソース計画に対して要求されたグループまたはユーザーのすべてのプロジェクトおよびデマンドのすべてのリソース計画と時間を考慮します。
  - 割り当て済み：リソースが既にコミットされている時間数この値は、ユーザーカレンダーのすべてのリソース計画と時間を考慮します。たとえば、すべてのプロジェクトの運用作業または会議に割り当て済みの時間や、選択したリソース計画に要求されたグループまたはユーザーの要求などです。
  - キャパシティ：リソースの総キャパシティの傾向。ユーザーまたはグループのスケジュールから導出されます。グループキャパシティは、すべてのメンバーのスケジュールからロールアップされます。

    注:
    キャパシティは FTE からではなく、スケジュールから導出されます。FTE とスケジュールの両方が互いに同期している必要があります。

- [% 使用率] タブ：選択したリソース計画のハード割り当てとソフト割り当て、および要求済みの時間を含む、リソースの使用率のヒートマップが表示されます。

5. グラフのそれぞれの棒または線を表示または非表示にするには、グラフの下にある凡例の項目を選択します。
6. グラフとヒートマップの表示設定を開いて変更するには、[リソース予測] セクションの [設定] アイコン ( ) を選択します。
7. [リソース予測] セクションで、次のオプションを使用してリソース計画に対してアクションを実行します。

オプション	説明
[確認]	選択したプランのリソースを確認します。 選択したリソース計画が [確認済み] ステータスに移行します。リソース計画が [確認済み] ステータスに移行すると、ソフト割り当てが作成されます。
確認して割り当て	リソースを最初に確認せずに、選択したプランに直接割り当てます。 選択したリソース計画が [割り当て済み] ステータスに移行します。リソース計画が [割り当て済み] ステータスに移行すると、ハード割り当てが作成されます。
[却下]	選択したプランを却下します。

注:
複数のリソース計画を選択して、[確認]、[確認して割り当て]、または [却下] を選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

割り当てワークベンチ

割り当てワークベンチを使用して、リソースのキャパシティと可用性を評価し、要求元の投資にリソースを効果的に割り当てします。

割り当てボード

割り当てボードは、フィルターに基づいてリソースをグループ化し、投資のための特定のリソースを表示および管理できるようにします。たとえば、特定のプログラムでフィルタリングして、プロジェクトに要求または割り当てられたリソースとプログラムの要求をグループ化することで、割り当てボードを作成できます。

[割り当てボード] ページには、すべての割り当てボードが表示されます。フィルター定義を使用して、パーソナライズされた割り当てボードを作成できます。ボード名を選択すると、割り当てワークベンチが開き、割り当てボードのフィルタータイプに一致するプロジェクト、デマンド、および運用作業タイプのリストが表示されます。

[リソースグリッド] セクションでリソース計画を選択すると、関連するリソースの可用性の詳細が [リソースファインダー] セクションに表示されます。たとえば、グループリソース計画を選択すると、グループとそのメンバーの可用性の詳細が [リソースファインダー] セクションに表示されます。[詳細ビュー] アイコンを選択して、[構成] リストから列を選択すると、他の列を展開して表示できます。選択を変更すると、結果が自動的に更新されます。

リソース割り当てワークベンチの目的と使用方法については、このビデオをご覧ください。 リソース割り当てワークベンチとその使用方法

ワークベンチヘッダーのさまざまなオプションを使用して、次のアクションを実行します。

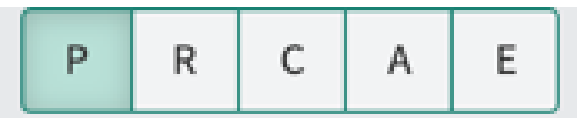
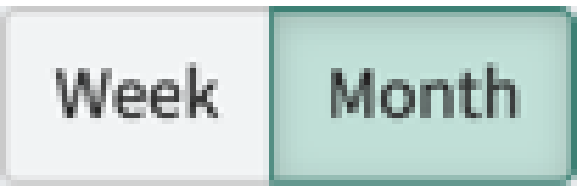
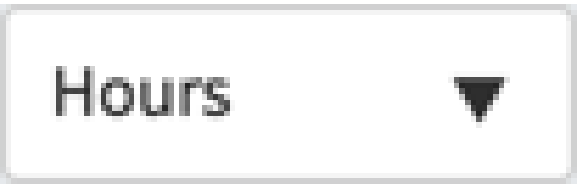
割り当てワークベンチオプション

オプション	説明
日付範囲セレクター 	選択した時間範囲のリソース計画を表示します。 新しい割り当てボードの場合、デフォルトの期間は現在の日付として 6 か月に設定されます。これらの日付を変更すると、将来のボード使用のために新しい範囲がボードのデフォルトとして保存されます。 Washington DC リリース以降、ボードで次の機能拡張を利用できます。 • リソースグリッドビューは、[開始]フィールドで設定した値に従って月または週から開始されます。過去の月と未来の月は、グリッドビューで水平スクロールで表示できます。 ただし、選択した月または週に開始するリソース計画がない場合、すべてのリソース計画の中で最も早い日付からリソースグリッドビューが開始されます。 • リソース計画を切り替える場合、選択した日付範囲にフォーカスが留まるように、グリッドビューのタイムラインは変更されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

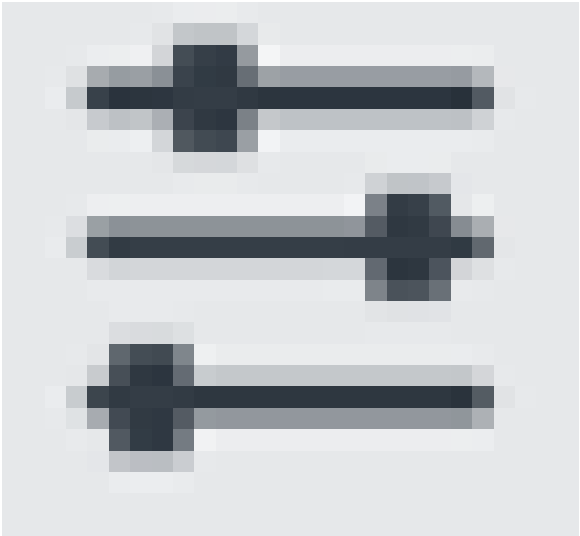
割り当てワークベンチオプション (続く)

オプション	説明
	ただし、ビューを計画の開始日に簡単に設定するには、[アクション] メニュー (⋮) から [開始日に移動] を選択します。
リソースフィルター 	に移動して 、[リソース割り当てワークベンチから運用リソース計画を作成および管理] プロパティを有効にします。 プロジェクト管理>プロパティ - リソース をクリックして、割り当てワークベンチから運用リソース計画を検索します。 選択した期間のグループ、ロール、ユーザー、またはタスクによって、リソースグリッド内のプロジェクトとデマンドをフィルタリングします。 リソースグリッドの運用リソース計画を運用作業タイプでフィルタリングします。
ステータスフィルター 	(P) 計画、(R) 要求済み、(C) 確認済み、(A) 割り当て済み、および (E) 延長要求済みオプションを使用して、リソースグリッド内のリソース計画をフィルタリングします。 **注:** (P) 計画および (C) 確認済みフィルターは、運用リソース計画には適用されません。
週または月ビュー 	リソースグリッドとリソースファインダーの両方のセクションで、割り当てを週次または月次の形式で表示します。
時間、FTE、または人日ビュー 	リソースグリッドとリソースファインダーの両方のセクションで、割り当てを時間、FTE、または人日の形式で表示します。
リソースファインダー 	ワークベンチの下部に [リソースファインダー] セクションが表示されます。[リソースファイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

割り当てワークベンチオプション (続く)

オプション	説明
	ダー] セクションを使用してリソースを検索し、リソース計画を作成します。
設定 	グリッド上の選択した列を表示または非表示にします。 [予定コスト]、[実績コスト]、[確認済み/割り当て済みのコスト]、または [リソースタイプ] 列を選択すると、グリッド上で [詳細] 列グループの前に固定されます。その他の列は、折りたたまれた状態で [詳細] 列グループに追加されます。折りたたまれた列を表示するには、[詳細] 列グループの [展開] アイコン (›) をクリックします。
凡例 	[一部割り当て済み] の凡例を使用して、リソース計画のステータスを指定します。

リソースグリッド

リソースグリッドには、すべての投資と、それらに要求または割り当てられたリソースが一覧表示されます。グリッドビューでは、次のタスクを実行できます。

- フォームでレコードを開かずに、計画、確認済み、および割り当て済みの時間をインラインで編集します。
- 送信されたリソース計画の変更を要求するか、割り当てられたリソース計画の延長を要求します。
- リソース計画を確認するか、プロジェクトまたはデマンドに割り当てます。
- 運用リソース計画にリソースを割り当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- あるユーザーの割り当てを別のユーザーに置き換える
- ユーザーの割り当てを将来の日付に移動
- リソース計画とその割り当てを将来の日付に移動
- リソース計画を完了、削除、またはキャンセルします。
- 列をグループ化、非表示、または表示します。
- リソース計画の横にある [特定のメンバーで作成されたリソース計画] アイコン ( ) を表示して、特定のメンバー設定で作成されたリソース計画を特定します。

> **注:**
> 確認、置換、シフト、移動の各アクションは、運用リソース計画に対して実行できません。

リソースファインダー

割り当てワークベンチの下部の [リソースファインダー] セクションは、デフォルトでは非表示になっています。表示するには、右上の [リソースファインダー] アイコン ( ) を選択します。リソースファインダーでは、次のアクションを実行できます。

- リソースを検索し、その可用性と使用率を表示します。グループ、ロール、またはユーザーでリソースを検索できます。
- 現在のリソースのリソース計画を追加または確認します。
- [詳細ビュー] を使用して [実績] 列を設定します。
- [リソースファインダー] で、リソースを可用性、割り当て超過、またはすべてのリソースでフィルタリングします。
- リソースの横にあるリソース計画で指定されたメンバーアイコン ( ) を確認して、リソース計画で特定のメンバーとして作成されたリソースを特定できます。
- キャパシティまたは可用性の列を選択して、[リソース可用性] グリッドと [リソースキャパシティ] グリッドを表示します。

  [リソース可用性] グリッドで [ユーザー] 列と [割り当てられた時間] 列をそれぞれ選択して、ポップアップウィンドウにユーザーとリソースの割り当ての詳細を表示します。

> **注:**
> 割り当てられた値は、割り当てワークベンチで行った選択に基づいて、[時間]、[FTE]、または [人日] フィールドに表示されます。

割り当てボードの作成または更新

カスタマイズされた割り当てボードを作成し、フィルタリングされたリソースをキャパシティ、可用性、および使用率の観点から管理します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
ボードを作成するためのフィルター基準を定義します。既存のボードの詳細を変更したり、未使用のボードを削除したりすることができます。

ステップ 1 では、割り当てワークベンチへのナビゲーションが提供されます。ボードを作成、更新、または削除するには、ステップ 2、3、または 4 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

割り当てボードは、フィルター基準に基づいてリソースをグループ化します。ボードを開くと、割り当てワークベンチでその基準に基づくリソースのリストが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ.
2. ボードを作成するには、次の手順を実行します。
   a. [割り当てボード] ページで、[新規] を選択します。
   b. [新規作成] ウィンドウで、フィールドに入力します。
      フィールド値の説明については、「[新規作成] フォーム」を参照して ください。
   c. [作成] を選択します。
3. ボード情報を更新するには、次の手順を実行します。
   a. 既存の割り当てボードを選択して開きます。
   b. [割り当てワークベンチ] メニュー ( ) を選択し、[編集] を選択します。
   c. フィールドを更新し、[更新] を選択します。
4. ボードを削除するには、次の手順を実行します。
   a. 既存の割り当てボードを選択して開きます。
   b. [割り当てワークベンチ] メニュー ( ) を選択し、[削除] を選択します。
   c. [削除] を選択して確定します。

タスクの結果

- 割り当てボードが作成され、割り当てワークベンチに移動します。割り当てワークベンチには、割り当てボードによって定義されたフィルター基準に基づいてリソースが表示されます。
- [割り当てボード] ページでボードが追加され、適用された [タイプ] フィルターに基づくカラーバンドが表示されます。

割り当てワークベンチを使用したリソースの管理

割り当てワークベンチを使用して、リソースを効果的に管理します。チームのすべてのリソース要求を 1 つの場所でレビューできます。要求されたユーザーの利用可能な時間を確認し、効率的にリソースを割り当てることもできます。

始める前に

必要なロール：resource_manager

このタスクについて

割り当てワークベンチリソースグリッドは、リソースデータの詳細なブレークダウンを提供します。データの表示とフィルターを変更できます。

[アクション] メニューから時間を確認または割り当てる場合、リソースの 1 日あたりのキャパシティは 24 時間です。

リソースファインダーを使用して、リソースの可用性と使用率を表示および管理できます。リソースファインダーを有効にするには、リソースファインダーアイコン ( ) をクリックします。[リソー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スファインダー] セクションで時間を確認または割り当てる場合、リソースの 1 日あたりのキャパシティはリソースのスケジュールに基づきます。

割り当てワークベンチからタスクの実行中に警告が表示された場合は、メッセージのハイパーリンクをクリックして、新しいタブでそのアクションの詳細なログに移動できます。たとえば、リソース計画の延長を要求しているときに、要求されたすべての時間にリソース計画を延長できない場合、延長できない時間があることを示す警告が表示されます。

[リソース計画の日付をプロジェクト/デマンドの日付以外にすることはできません] プロパティが有効になっている場合、リソース計画を拡張、シフト、移動、またはそのステータスを要求済みから確認または割り当てに変更するときは、リソース計画の開始日と終了日がプロジェクトまたはデマンドの日付範囲内である必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ.
2. [割り当てボード] ページで、リソース計画を管理する割り当てボードを選択します。
3. リソースグリッドで次のタスクを実行します。

   利用可能なオプションは、リソース計画のステータスに応じて変わります。

タスク	ステップ
プロジェクトまたはデマンドのリソース計画を作成する	**a.** リソースグリッドでプロジェクトまたはデマンドをクリックします。 **b.** 右上隅にある [新しいプラン] ボタンをクリックします。
プロジェクトまたはデマンドのリソース計画を作成する	**a.** リソースグリッドでプロジェクトまたはデマンドをクリックします。 **b.** [リソースファインダー] セクションで、利用可能な必要なリソースを検索して選択します。 **c.** [新しいプランを追加] ボタンをクリックします。
リソース計画の要求	**a.** リソースグリッドでリソース計画をクリックします。 **b.** アクションアイコン (⋮) をクリックし、要求>ステータスの変更.
リソース計画を確認または割り当て	**a.** リソースグリッドでリソース計画をクリックします。 **b.** アクションアイコン (⋮) をクリックし、ステータスの変更>確認 または 割り当て>ステータスを変更.
リソース計画の延長	**a.** リソースグリッドでリソース計画を開きます。 **b.** [アクション] アイコン (⋮) をクリックし、[リソースプランの延長] を選択します。

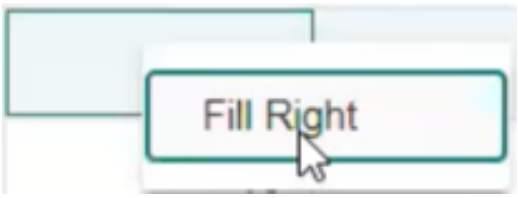
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	ステップ
	c. リソース計画の新しい終了日を [新しい終了日] フィールドに入力します。 **d.** 要求のタイプを選択し、**[OK]** をクリックします。
延長の割り当て	プロジェクトマネージャーから要求された延長期間のリソースを割り当てます。 **a.** リソースグリッドでリソース計画をクリックします。 **b.** アクションアイコン（ ⋮ ）をクリックし、拡張割り当て.
リソース計画の全期間について、要求されたグループ、ロール、またはユーザーのリソース計画のリソースを確認または割り当てる	「割り当てワークベンチのリソースの確認または割り当て」トピックを参照してください。
特定の期間にグループ、ロール、またはユーザーのリソース計画のリソースを確認または割り当てる	「割り当てワークベンチのリソースの確認または割り当て」トピックを参照してください。
特定の期間にリソース計画を一部割り当てる	このオプションは、確認済みのリソース計画でのみ使用できます。 全期間のリソース計画を割り当てる代わりに、特定の期間のリソース計画を割り当てることができます。グループおよびロールのリソース計画では、ユーザーレベルで計画を一部割り当てることができます。 次のいずれかの方法でリソースを割り当てることができます。 ○ 行で更新されたすべての期間にリソースを割り当てるには、[アクション] アイコン (⋮) をクリックし、[割り当て] オプションを選択します。 ○ 特定の期間にリソースを割り当てるには： **a.** [リソースグリッド] セクションで、必要な期間、[確認/割当済] セルを右クリックします。 **b.** [割り当て] を選択します。 リソース計画が一部割り当てられ、[一部割り当て済み] アイコン (○) がリソースグリッドの [ステータス] セルに表示されます。
リソース計画の削除	**a.** リソースグリッドでリソース計画をクリックします。 **b.** [アクション] アイコン (⋮)をクリックして、[削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	ステップ
グリッドの時間を編集する	次の方法のいずれかを使用します。 ○ 個々のセルの値を入力します。 **a.** リソース計画または特定のリソース行をダブルクリックします。 **b.** グリッド内のリソース計画またはリソースの割り当て済みの時間を編集します。 **c.** ポインターをセルの外に移動して保存します。 ○ 複数のセルを一度に更新： セルから既存の値をコピーし、その右側のセルを更新できます。たとえば、リソース計画のすべての月について、リソースの予定時間数を更新するとします。 ▪ 値をコピーするセルを右クリックし、[右方向へコピー] を選択します。  ▪ 更新するセルの数と時間の詳細を入力します。 ▪ [更新] を選択します。 **注:** [右方向へコピー] オプションは、編集可能な列でのみ使用できます。たとえば、リソース計画が割り当て済みステータスになっているとします。
グループ、ロール、またはユーザーのリソース計画のユーザーを別のユーザーに置き換える	「リソース計画のユーザーの置換」トピックを参照してください。
リソース計画とその割り当てを、グループ、ロール、またはユーザーのリソース計画の将来の日付に移動する	「リソース計画の移動」トピックを参照してください。
グループまたはロールリソース計画の将来の日付にユーザーの割り当てを移動する	「ユーザーの割り当ての移動」トピックを参照してください。
プロジェクトまたはデマンドのすべてのリソース計画を要求する	[すべて要求] オプションは、プロジェクトまたはデマンドの下にリストされているリソース計画の少なくとも 1 つが [計画] ステータスにある場合に使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	ステップ
	a. リソースグリッドのプロジェクトまたはデマンドの行で [アクション] アイコン (⋮) をクリックします。 **b.** [すべて要求] を選択します。
送信されたリソース計画の変更を要求する	[変更要求] オプションは、[要求済み] または [確認済み] ステータスのリソース計画で使用できます。 **a.** リソースグリッドのリソース計画の行で [アクション] アイコン (⋮) をクリックします。 **b.** [変更要求] を選択します。
割り当てられたリソース計画の延長の要求	「割り当てられたリソース計画の延長の要求」トピックを参照してください。
割り当て済み、または確認済みのリソース計画の期間を短縮する	リソース計画に将来の実績が転記されていない場合、リソース計画を短縮すると、すべてのリソースの割り当て済みまたは確認済みの時間がすべて解放されます。実績が将来転記される場合、リソース計画の終了日は実績が存在する将来の日付に更新され、実績が存在する日から元の終了日までのすべてのリソースのすべての割り当て済みまたは確認済みの時間がリリースされます。 **a.** リソースグリッドのリソース計画の行で [アクション] アイコン (⋮) をクリックします。 **b.** [リソースプランの短縮] を選択します。 **c.** リソース計画の新しい終了日を [終了日] フィールドに入力し、[はい] をクリックします。
リソース計画の完了	関連するすべてのタスクとプロジェクトが完了またはキャンセルされた後、リソースマネージャーとして、リソース計画を完了およびクローズ済みとしてマークできます。プランのステータスが [完了] に変更されます。 **a.** リソースグリッドのリソース計画の行で [アクション] アイコン (⋮) をクリックします。 **b.** [完了] を選択します。 **c.** [確認] ダイアログボックスで、[完了日] オプションを選択し、[はい] をクリックします
リソース計画のキャンセル	リソース計画が不要になった場合は、リソースマネージャーとしてキャンセルできます。これにより、過去および将来の割り当てもキャンセルされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	ステップ
	a. リソースグリッドのリソース計画の行で [アクション] アイコン (⋮) をクリックします。 **b.** [キャンセル] を選択します。
リソース割り当てをユーザーレベルで表示する	[リソースグリッド] セクションで、[リソース計画] エントリを展開します。ユーザーレベルの割り当ては、グループおよびロールのリソース計画に対してのみ一覧表示されます。エントリにリソース計画が関連付けられていない場合、展開オプションは使用できません。 ユーザー行の負の値は、ユーザーがその期間に過剰に割り当てられていることを示します。値をクリックすると、ユーザーのリソースの過剰割り当て日次レコードが表示され、特定の過剰割り当て日が表示されます。
プロジェクトまたはデマンドの詳細を表示する	**a.** リソースグリッドのプロジェクトまたはデマンドの行で [アクション] アイコン (⋮) をクリックします。 **b.** プロジェクトの [プロジェクトを表示] を選択するか、デマンドの [デマンドを表示] を選択します。

割り当てワークベンチのリソースの確認または割り当て

割り当てワークベンチから、リソース計画の全期間またはリソース計画の特定の期間のグループ、ロール、またはユーザーのリソース計画のリソースを確認または割り当てます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
特定の期間のリソースを確認または割り当てるには、割り当て期間がリソース計画期間内である必要があります。

リソースを確認できるのは、要求済みまたは確認済みのリソース計画のみです。確認アクションは、運用リソース計画には適用されません。

一部割り当てられた、または割り当てられたリソース計画に対してのみ、リソースを割り当てることができます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ.
2. [割り当てボード] ページで、リソース計画を管理する割り当てボードを選択します。
3. リソースグリッドでグループ、ロール、ユーザーリソース計画を選択します。
   リソースファインダーには、そのリソース計画内のすべてのリソースが表示されます。
4. [リソースファインダー] セクションで、リソースの可用性を確認します。
5. 必要なリソースを選択してください。
6. リソースプランを確認または割り当てます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 特定の期間の場合：[確認] または [割り当て] に対応する下矢印 ( ) を選択し、[特定の期間について確認] または [特定の期間に割り当て] を選択します。割り当て期間を選択し、[確認] または [割り当て] を選択します。
- 全期間の場合：[確認] または [割り当て] を選択します。

運用リソース計画の場合、リソースに割り当て済みの時間は、運用リソース計画で指定されたキャパシティの割合に基づいて計算されます。新しいメンバーがグループに追加された場合、新しく追加されたメンバーを、同じグループに既に割り当てられている運用リソース計画に割り当てることができます。

注:
ある期間に既に確認または割り当てられているユーザーを、同じ期間に再度確認または割り当てることはできません。

リソース計画のユーザーの置き換え

グループ、ロール、またはユーザーのリソース計画のユーザーを別のユーザーに置き換えて、プロジェクト中にユーザーが休暇を取るなどの状況に対応します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
このオプションは、確認済みまたは割り当て済みのリソース計画でのみ使用できます。

既存のユーザーの実績がその期間に存在しない場合にのみ、ユーザーを置き換えることができます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ.
2. [割り当てボード] ページで、リソース計画を管理する割り当てボードを選択します。
3. リソースグリッドでグループ、ロール、またはユーザーリソース計画を選択します。
4. 置き換えるユーザーの [アクション] アイコン ( ) を選択し、[ユーザーを置換] を選択します。
5. [宛先] セクションの [ユーザーを置換] ウィンドウの [ユーザー] フィールドで、割り当てを転送する必要がある新しいユーザーを選択します。
6. 置換期間を選択します。

   デフォルトでは、置換期間は現在の割り当て週または月から始まります。

   置換終了期間をリソース割り当ての終了日より後にすることはできません。また、置換開始期間をリソース割り当ての開始期間より前にすることはできません。
7. オプション: 完全な転送が行われた場合に元のユーザー割り当てを削除するには、[転送が完了した場合、元の割り当てを削除します] チェックボックスをオンにします。

   (Optional) 新しいユーザーが置換期間のすべての期間およびすべての時間に対応可能である場合、完全な転送が行われます。
8. [割り当て] または [確認] を選択します。

タスクの結果
ユーザーリソース計画でユーザーが置き換えられると、新しいユーザーに対して新しいリソースプランが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいユーザーが完全な割り当てに利用できない場合、利用可能な最大割り当てが新しいユーザーに転送され、残りの割り当ては既存のユーザーに残ります。

リソース計画の移動

リソース計画とその割り当てを、グループ、ロール、またはユーザーのリソース計画の将来の日付に移動します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
このオプションは、計画、要求済み、確認済み、または割り当て済みのリソース計画でのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ.
2. [割り当てボード] ページで、リソース計画を管理する割り当てボードを選択します。
3. リソースグリッドでグループ、ロール、ユーザーリソース計画を選択します。
4. 移動するリソース計画の [アクション] アイコン (⋮) を選択し、[リソース計画を移動] を選択します。
5. [リソース計画を移動] ウィンドウの [宛先] フィールドで、割り当てを移動する必要がある期間を選択します。
6. [更新] を選択します。

   移動されたリソース計画とその割り当ての日付が更新され、計画と予約済みリソースのステータスが保持されます。

ユーザーの割り当ての移動

グループまたはロールのリソース計画の将来の日付にユーザーの割り当てを移動して、グループまたはロールのリソース計画の特定ユーザーに予定されている作業を先送りする必要がある状況に対応します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ.
2. [割り当てボード] ページで、リソース計画を管理する割り当てボードを選択します。
3. リソースグリッドでグループまたはロールリソース計画を選択します。
4. 割り当てを移動するユーザーの [アクション] アイコン (⋮) を選択し、[割り当ての移動] を選択します。
5. [割り当ての移動] ウィンドウの [開始] フィールドで、割り当てを移動する期間を選択します。

   注:
   開始期間を現在の割り当て期間より前にすることはできません。

6. [宛先] フィールドで、割り当てをシフトする期間を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シフトされたリソース割り当ての日付がリソース計画の終了日を過ぎている場合、リソース計画は延長されます。

7. [更新] を選択します。

1 日あたりの割り当て上限は 24 時間です。

ユーザーがシフトされた期間に既に予約されている場合、そのユーザーはシフトされた期間に過剰に割り当てられます。

> **注:**
> リソース割り当てのすべての期間について実績が転記されると、[アクション] メニューの [割り当ての移動] オプションが無効になります。

割り当てワークベンチから運用リソース計画を管理する

リソース割り当てワークベンチを使用して、運用リソース計画のフォームまたはリストに個別に移動することなく、1 つの場所から運用リソース計画を効果的に作成および管理できます。

始める前に

に移動して 、[リソース割り当てワークベンチから運用リソース計画を作成および管理] プロパティを有効にします。 すべて > プロジェクト管理 > プロパティ - リソース 割り当てワークベンチから運用リソース計画を作成します。詳細については、「Resource Management のプロパティ」を参照してください。

必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 リソース > リソースワークベンチ > 割り当てワークベンチ.

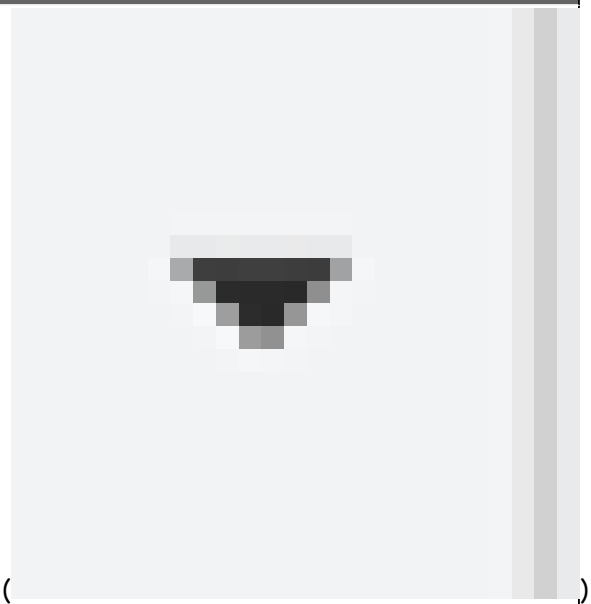
2. [割り当てボード] ページで、オプションのリソース計画を管理する割り当てボードを選択します。

3. [構成] アイコン () を選択し、[運用計画] を選択します。
リソースグリッドでは、運用リソース計画を表示する次の管理オプションを使用できます。

タスク	ステップ
運用リソース計画の作成	右上隅の [新しい計画] の横にあるリストアイコン

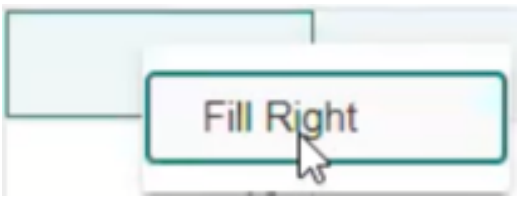
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	ステップ
	 ( ) を選択し、[新しい運用計画] を選択します。 運用リソース計画が作成されると、リソースグリッドの運用リソース計画ヘッダーの下に表示されます。
リソース計画を割り当てる	**a.** リソースグリッドでリソース計画を開きます。 **b.** アクションアイコン（ ⋮ ）を選択し、 割り当て>ステータスを変更.
リソース計画の延長	**a.** リソースグリッドでリソース計画を開きます。 **b.** [アクション] アイコン (⋮) を選択し、[リソース計画を拡張] を選択します。 **c.** リソース計画の新しい終了日を [新しい終了日] フィールドに入力します。 **d.** 要求のタイプを選択し、**[OK]** を選択します。
延長の割り当て	プロジェクトマネージャーから要求された延長期間のリソースを割り当てます。 **a.** リソースグリッドでリソース計画を開きます。 **b.** アクションアイコン (⋮) を選択し、 拡張割り当て.
リソース計画の全期間について、要求されたグループ、ロール、またはユーザーのリソース計画ンのリソースを割り当てる	運用リソース計画で指定されたキャパシティの割合をユーザーに割り当てます。詳細については、「割り当てワークベンチのリソースの確認または割り当て」を参照してください。
特定の期間にグループ、ロール、またはユーザーのリソース計画のリソースを割り当てる	運用リソース計画で指定されたキャパシティの割合をユーザーに割り当てます。詳細について

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	ステップ
	は、「割り当てワークベンチのリソースの確認または割り当て」を参照してください。
リソース計画の削除	**a.** リソースグリッドでリソース計画を開きます。 **b.** [アクション] アイコン (⋮)を選択して、[削除] を選択します。
グリッドの時間を編集する	次の方法のいずれかを使用します。 ○ 個々のセルの値を入力します。 **a.** リソース計画または特定のリソース行をダブルクリックします。 **b.** グリッド内のリソース計画またはリソースの割り当て済みの時間を編集します。 **c.** ポインターをセルの外に移動して保存します。 ○ 複数のセルを一度に更新： セルから既存の値をコピーし、その右側のセルを更新できます。たとえば、リソース計画のすべての月について、リソースの予定時間数を更新するとします。 ▪ 値をコピーするセルを右クリックし、[右方向へコピー] を選択します。  ▪ 更新するセルの数と時間の詳細を入力します。 ▪ [更新] を選択します。 **注:** [右方向へコピー] オプションは、編集可能な列でのみ使用できます。たとえば、リソース計画が割り当て済みステータスになっているとします。
割り当て済みのリソース計画の期間を短縮する	リソース計画に将来の実績が転記されていない場合、リソース計画を短縮すると、リソースの割り当て済みまたは確認済みの時間がすべて解放されます。実績が将来のために転記される場合、リソース計画の終了日は実績が存在する将来の日付に更新されます。実績が存在する日から元の終了日までのすべてのリソースのすべての割り当て済みまたは確認済みの時間がリリースされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	ステップ
	a. リソースグリッドでリソース計画を開きます。 **b.** リソースグリッドのリソース計画の行で [アクション] アイコン (⋮) を選択します。 **c.** [リソースプランの短縮] を選択します。 **d.** リソース計画の新しい終了日を [終了日] フィールドに入力し、[はい] を選択します。
リソース計画の完了	関連するすべてのタスクが完了またはキャンセルされた後、リソースマネージャーとして、リソース計画を完了およびクローズ済みとしてマークできます。 **a.** リソースグリッドのリソース計画の行で [アクション] アイコン (⋮) を選択します。 **b.** [完了] を選択します。 **c.** [確認] ダイアログボックスで、[完了日] オプションを選択し、[はい] を選択します。 プランのステータスが [完了] に変更されます。
リソース計画のキャンセル	リソース計画が不要になった場合は、リソースマネージャーとしてキャンセルできます。これにより、過去および将来の割り当てもキャンセルされます。 **a.** リソースグリッドでリソース計画を開きます。 **b.** リソースグリッドのリソース計画の行で [アクション] アイコン (⋮) を選択します。 **c.** [キャンセル] を選択します。
リソース割り当てをユーザーレベルで表示する	[リソースグリッド] セクションで、[リソース計画] エントリを展開します。ユーザーレベルの割り当ては、グループおよびロールのリソース計画に対してのみ一覧表示されます。 ユーザー行の負の値は、ユーザーがその期間に過剰に割り当てられていることを示します。ユーザーのリソースの過剰割り当ての日次レコードを表示するには、値を選択します。

リソーススケジュール

Resource Management で使用されるデフォルトスケジュールを理解し、独自のカスタムスケジュールを作成する方法を学びます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソース管理では、「リソース管理スケジュール」という名前のデフォルトのスケジュールが使用されます。リソース管理スケジュールには、次の特性があります。

- 毎週平日
- 月曜日から金曜日の 08:00 ~ 12:00
- 月曜日から金曜日の 13:00 ~ 17:00

リソース計画のリソース要求を計画する際、そのリソース計画内のすべてのユーザーが同じスケジュールを持ち、そのスケジュールがリソース管理スケジュールと異なる場合、ユーザーのスケジュールは予定時間数と要求時間数を計算するために考慮されます。

デフォルトスケジュール

各ユーザーに割り当てられたスケジュールは、ユーザープロファイルに関する次の情報を使用して把握できます。

- [スケジュール] フィールドに指定された値
- [スケジュール] 関連リストで提供され、[コンテキスト] フィールドが [Resource Management] に設定されているスケジュール。

  この関連リストは、ユーザープロファイルの [リソースマネージャー] ビューに表示されます。

[スケジュール] 関連リストにエントリーがない場合は、[スケジュール] フィールドに指定された値を使用してリソーススケジュールが決定されます。[スケジュール] フィールドが空の場合も、*Default Schedule Name (com.snc.resource_management.default_schedule)* プロパティで指定されたスケジュールがリソーススケジュールとして適用されます。このプロパティ値を変更する方法を理解するには、「デフォルトのリソース管理スケジュールの指定」を参照してください。

リソースのカスタムスケジュール

リソースに関連付けられたデフォルトのスケジュールを確認し、それを必要とするリソースにカスタムスケジュールを適用します。

カスタムスケジュールが必要な場合は、管理者と協力してそれらを作成します。管理者は、要件に従ってスケジュールを作成し、それをユーザーに割り当てることができます。このカスタムスケジュールは、必要に応じて他のユーザーに割り当てることもできます。

ユーザープロファイルの [スケジュール] フィールドで指定されたスケジュールで、*Default Schedule Name* プロパティで指定されたスケジュールが上書きされます。

注:
スケジュールの [タイムゾーン] フィールドを [フローティング] に設定することをお勧めします。

必要に応じて、管理者はスケジュールの階層を作成できます。これは、月曜日～金曜日 8 時～ 17 時などのプライマリスケジュールと、土曜日～日曜日 12 時～ 16 時などのセカンダリスケジュールをユーザーに設定する場合に便利です。「カスタムスケジュール階層」を参照してください。

カスタムスケジュール階層

任意のユーザーのスケジュール階層を作成するには、[スケジュール] 関連リストを使用します。スケジュールを作成し、新しいスケジュール内で、[スケジュール エントリー] 関連リストを使用してタイプ、日付、繰り返しスケジュールを定義します。

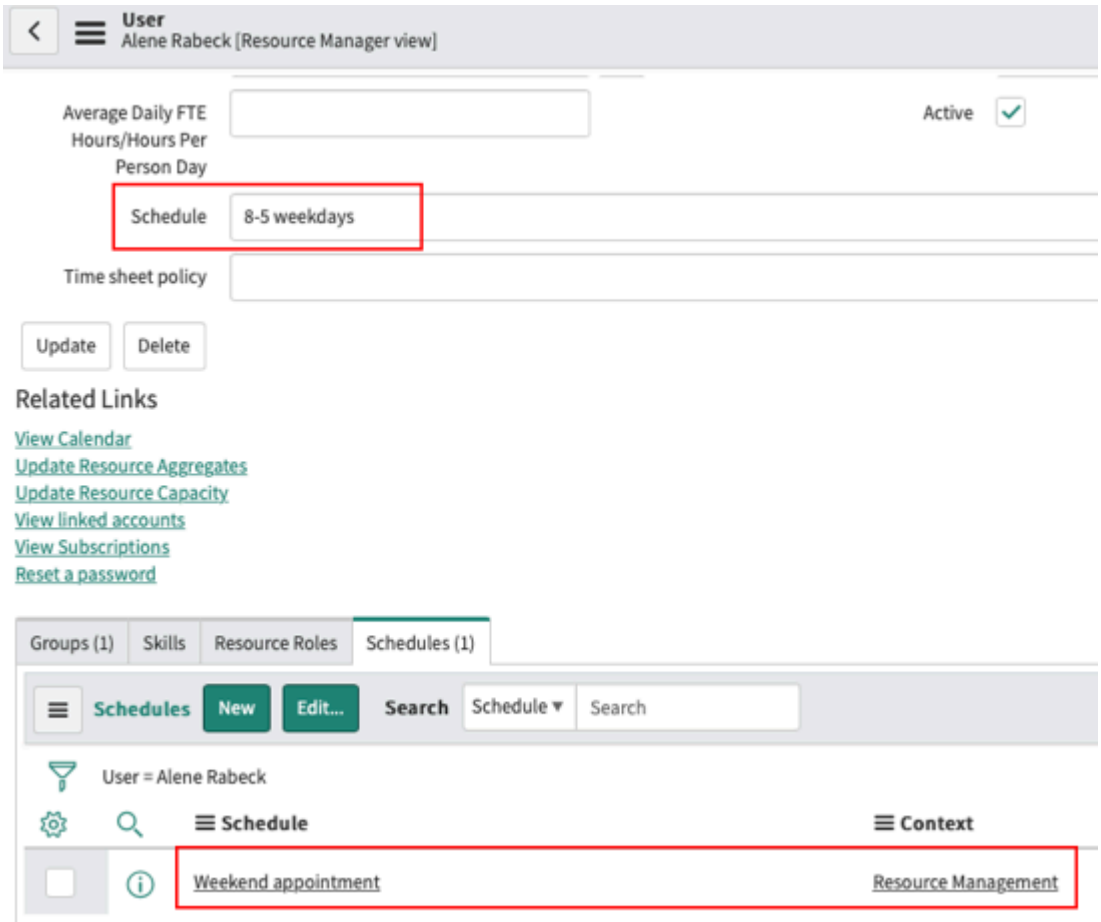
たとえば、Alene さんの通常のスケジュールは 8 ～ 5 時で、これはユーザープロファイルの **[Schedule]** フィールドで指定されています。Alene さんは通常の作業に加えて、毎週土曜日に現場

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

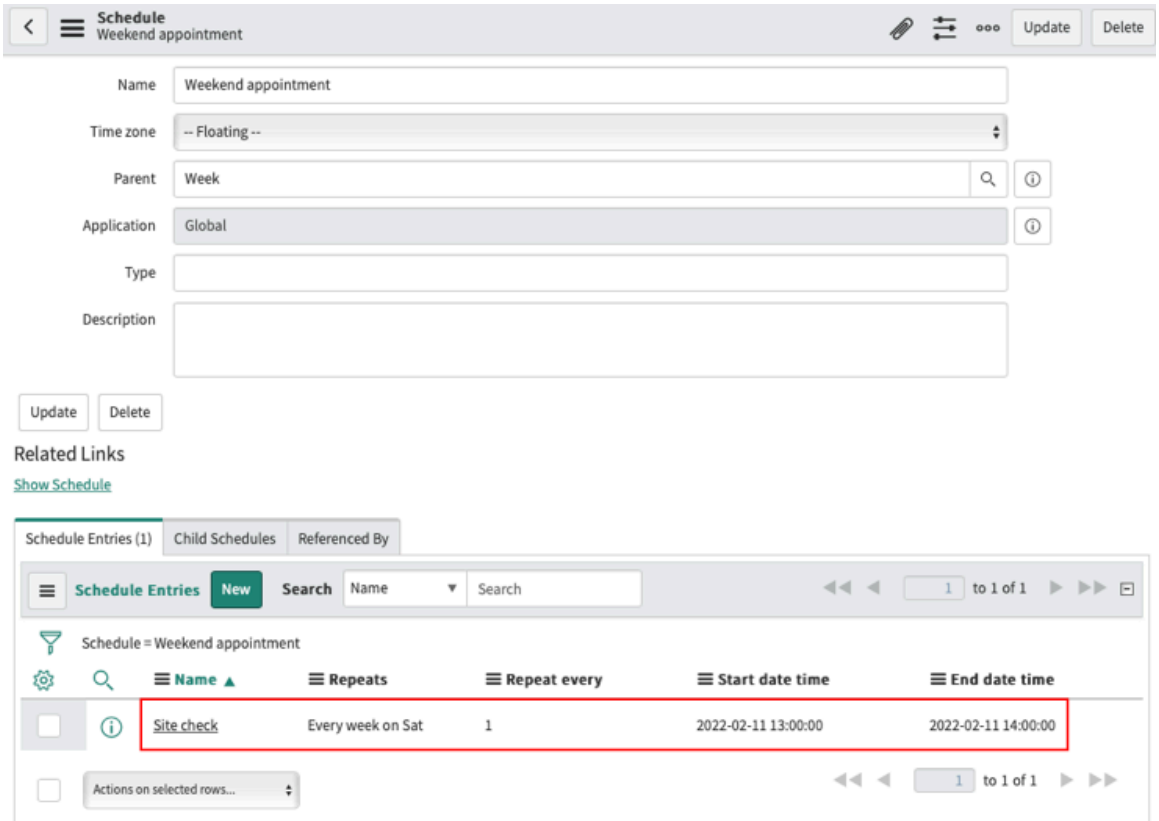
を確認する必要があります。この予約のスケジュールは、[スケジュール] 関連リストから作成できます。

カスタムスケジュール階層の例



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムスケジュール内のスケジュールエントリー



デフォルトのリソース管理スケジュールの指定

リソースに適用するデフォルトのスケジュールを選択します。

始める前に

必要なロール：it_pps_admin

このタスクについて

ベースシステムはリソース管理スケジュールを使用します。*Default Schedule Name* プロパティを使用して、いつでもデフォルトのスケジュールを変更できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムスケジューラ > スケジュール > スケジュール.
2. スケジュールを確認し、使用するスケジュールの [名前] をコピーします。
3. 移動先 プロジェクト管理 > 設定 > プロパティ - リソース.
4. [デフォルトスケジュール名] プロパティフィールドに、ステップ 2 で特定したスケジュールの名前を貼り付けます。

リソースイベント

リソースイベントは、リソースがタスクに費やす時間のブロックです。

リソースマネージャーが割り当てを行うたびに、システムはそのリソースに対して 1 つ以上のリソースイベントを作成します。リソースイベントは、ユーザーのパーソナルカレンダーに表示されます。

予約がソフトからハードに変更されると、リソースのリソースイベントが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースイベントとスケジュール

スケジュールは、時間を作業時間と非作業時間として分類し、リソースとプロジェクトに関連付けることができます。

[自分のカレンダー] モジュールには、ユーザーの作業スケジュールと非作業時間が表示されます。

リソースマネージャーが割り当てを行うと、自動的に次のことが行われます。

- 指定されたリソースに関連付けられたスケジュールが分析されます。
- [ハード] イベントおよびカレンダーイベントへの割り当てタイプの変更は、ユーザースケジュール内の個々のリソースに対して作成されます。時間は、ハード割り当て分散タイプに応じて分散されます。

カレンダーイベント期間プロパティを使用して、イベントのデフォルトの最小単位を制御します。例については、Resource Management プロパティ を参照してください。

注:
Geneva リリース以降は、過剰割り当てが許可されています。ただし、特定の日にユーザーに割り当てることができるのは 24 時間以内です。詳細については、「リソース割り当て」を参照してください。

リソースイベントの変更

リソース計画に含まれていないリソースイベントは変更できます。

「自分のカレンダー」モジュールで自分用に作成したイベントのみを変更できます。リソースマネージャーがカレンダーにイベントを追加した場合は、リソースマネージャーのみがイベントを変更できます。

リソースマネージャーは、イベントを削除して作成することで、リソース計画に含まれているイベントを変更できます。たとえば、リソースマネージャーがリソース計画のタスクにリソースを割り当てた後、タスクの作業タイプを [電話] に変更したいとします。リソースマネージャーは、イベントを削除してから、作業タイプを [電話] に設定して別のイベントを作成する必要があります。

リソース計画の一部であるリソースイベントを変更する

リソース計画の一部であるリソースイベントを変更できます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

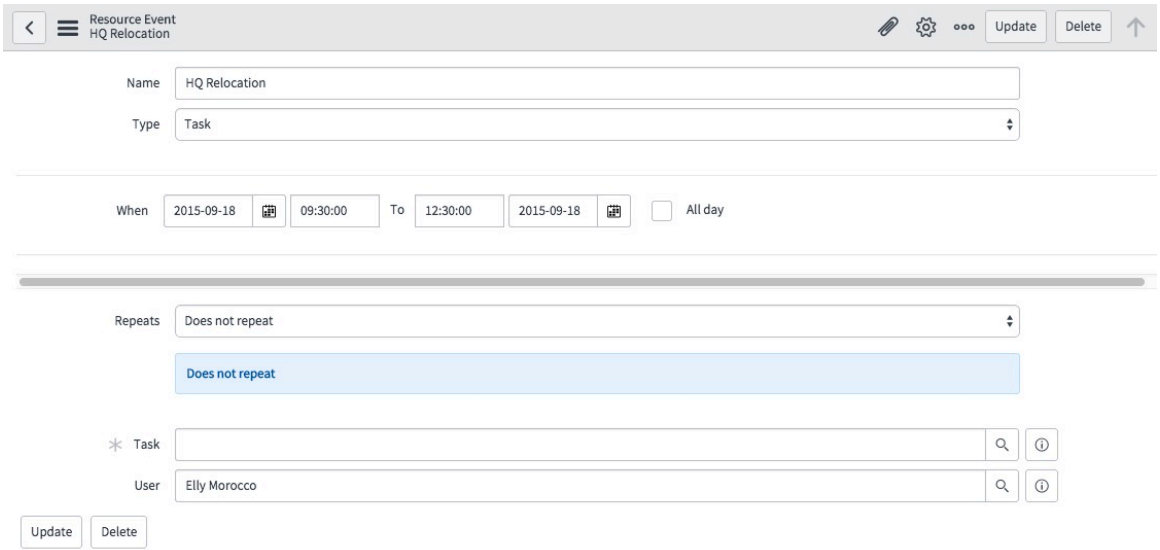
1. 移動先 リソース > リソース計画 > すべて.
2. 計画の番号を選択します。
3. [リソース割り当て] 関連リストで、割り当ての番号をクリックします。
4. [リソースイベント] フォームで、フィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド名の説明については、「[リソースイベント] フォーム」を参照してください。

リソースイベント



自己作成のリソースイベントの変更

作成したリソースイベントを変更できます。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > リソース > カレンダー > 自分のカレンダー.
2. リソース計画に割り当てられていないイベントをダブルクリックします。
3. 必要に応じてイベントを変更します。
4. [更新] を選択します。

リソースイベントの色の変更

各イベントタイプは色で表されます。PPS 管理者はいつでも色を変更できます。

始める前に
必要なロール：it_pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > 設定 > リソースイベントの色.
2. [イベントタイプ] をクリックします。
3. 別の [色] を指定します。
4. [更新] をクリックします。

リソース管理レポート

リソース管理レポートは、リソースの割り当て、可用性、および使用率をリソース要求者とリソースマネージャーに提供します。

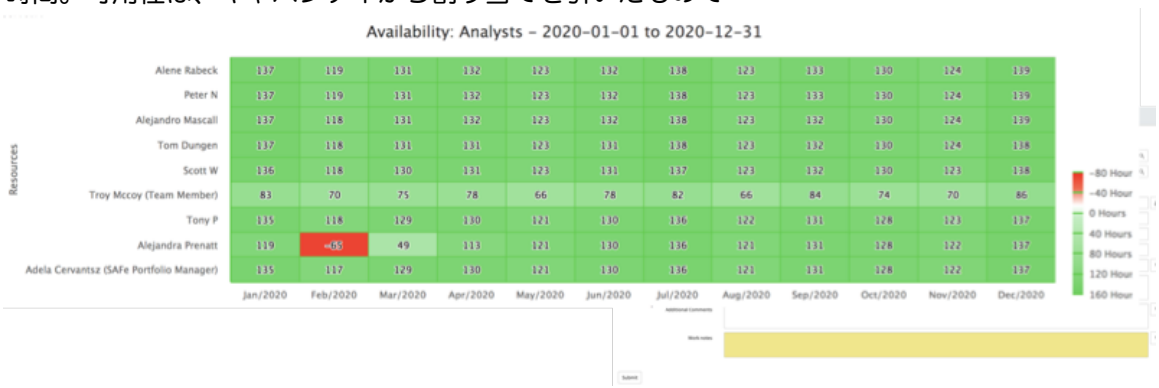
次のタイプの情報のレポートを生成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可用性

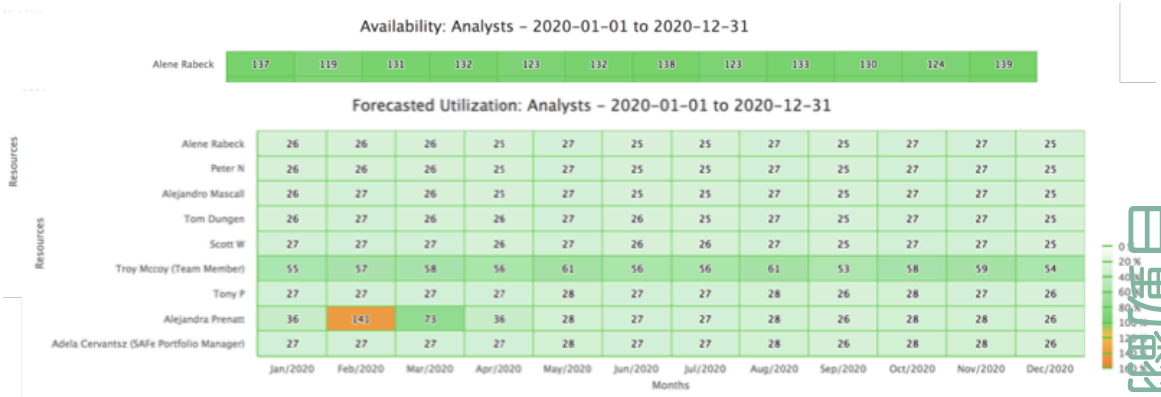
ハードとソフトの割り当て両方の後にリソースが利用可能になる合計時間。可用性は、キャパシティから割り当てを引いたもので



す。

稼働率の予測

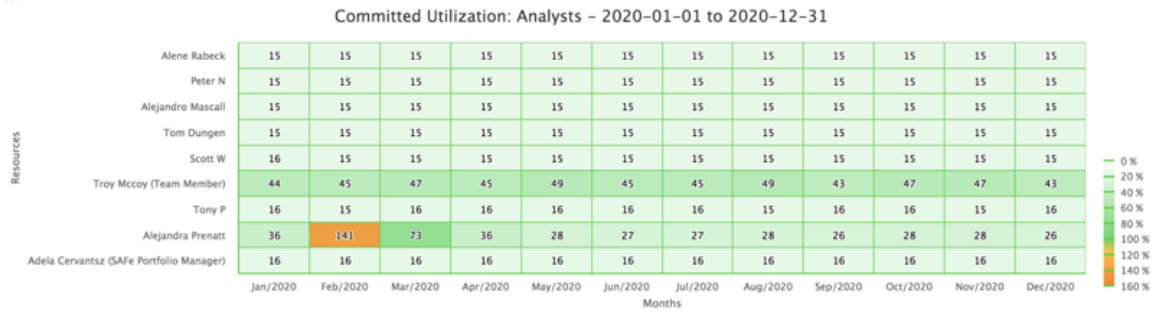
予測されるリソース時間使用率。割り当て済みの時間と確認済みの時間の合計を総キャパシティで割って計算されま



す。

確定した稼働率

確定したリソース時間使用率。割り当て済み時間を総キャパシティで割って計算されま



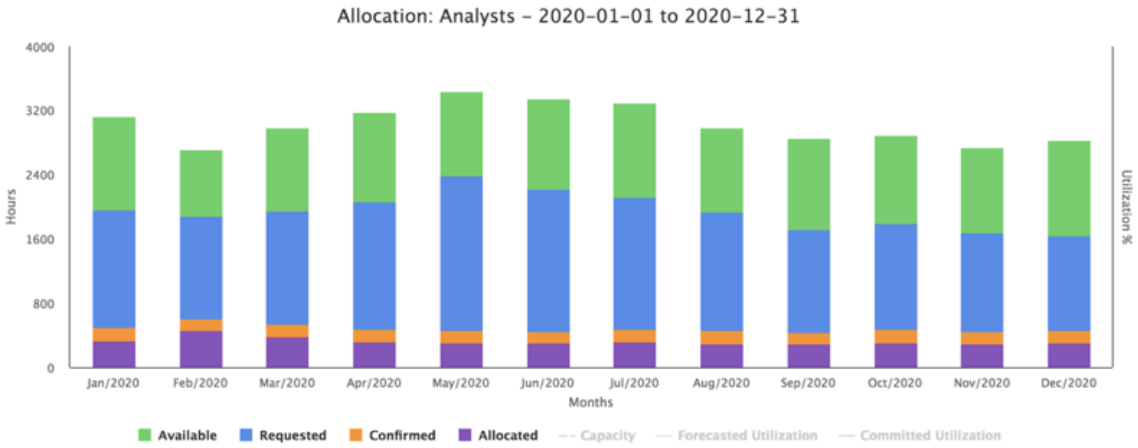
す。

割り当て

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースのキャパシティ、割り当て、可用性、および使用



率。

割り当ての詳細

すべての割り当て要求 (ソフト予約)、確定した割り当て (ハード予約)、可用性、キャパシティ、および実績時間の表形式のブレークダウン。

リソースの実績時間が割り当て済みの時間よりも長い場合、実績時間のセルが強調表示され、マウスにカーソルを合わせるとメッセージが表示されます。

Allocation Details: Analysts - 2020-08-26 to 2021-08-25

Resource	Months																	
	Aug/2020						Sep/2020						Oct/2020					
	Capacity	Requested	Confirmed	Allocated	Actuals	Available	Capacity	Requested	Confirmed	Allocated	Actuals	Available	Capacity	Requested	Confirmed	Allocated	Actuals	Available
Adela Cervantsz (SAFe Portfolio Manager)	32	0	0	0	0	32	176	0	30	66	0	80	176	0	30	69	0	77
Alejandra Prenatt	32	6	0	0	0	32	176	30	30	66	0	80	176	30	30	69	0	77
Alejandro Mascall	32	0	0	0	0	32	176	0	30	63	0	83	176	0	30	66	0	80
Alene Rabeck	32	5	0	0	0	32	176	29	27	58	120	91	176	29	27	349	65	-200
Peter N	32	0	0	36	0	-4	176	0	27	268	0	-119	176	0	27	271	0	-122
Scott W	32	0	0	0	0	32	176	0	30	63	0	83	176	0	30	69	0	77
Tom Dungen	32	0	0	0	0	32	176	0	30	63	0	83	176	0	30	69	0	77
Tony P	32	0	0	0	0	32	176	0	30	66	0	80	176	0	30	69	0	77
Troy Mccoy (Team Member)	32	5	0	0	0	32	176	32	30	63	20	83	176	32	30	69	0	77

自動翻訳

可用性、使用率、および割り当てレポートの表示

リソースの可用性、使用率、および割り当てに焦点を当てたリソースレポートを表示できます。

始める前に

必要なロール：admin、resource_user、または resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースレポート > リソースレポート.
2. [リソースレポート] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[リソースレポート] フォーム」を参照してください。
3. [実行] を選択して、レポートを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソース管理レポートの編集

リソース管理レポートには、さまざまな期間のさまざまな形式でリソース割り当ての詳細が表示されます。ビジネス要件に従ってこれらのレポートを構成して使用します。

始める前に
必要なロール：resource_user または admin

このタスクについて
新しいレポートの集計タイプ、要求タイプ、カレンダータイプなどのレポート設定を更新できます。たとえば、[リソース - グループに対する割り当ての詳細 - 月次 (時間)] レポートを編集して、時間ではなく FTE で割り当ての詳細を表示できます。レポートに関連付けられたチャートをグループ化された棒または積み上げ棒別に表示するように選択することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソースレポート > レポート-新規.
   次のレポートが表示されます。

   a. [編集] アイコン ( ) を選択するか、レポート名を選択します。
   b. [構成] タブのフィールド値を更新して、レポートを構成します。
   c. [実行] を選択してレポートを実行するか、[保存] を選択して後でレポートを実行します。

2. オプション: [レポートの作成] を選択して、新しいレポートを作成します。

自分のカレンダー

resource_user ロールを持つすべてのユーザーは、[自分のカレンダー] を開いて、予定されている作業、実際の作業、運用作業、管理タスク、および個人アクティビティを表示、追加、および変更できます。

ユーザーがカレンダーにイベントを追加すると、そのイベントの時間ブロックは、リソースコンソールとリソース可用性ダッシュボードに、ビジー状態を示す赤色で表示されます。

リソースマネージャーは、ユーザーのカレンダーを表示してタスクを完了するためのオープン時間を決定し、任意のリソースのパーソナルカレンダーにタスクを追加できます。ユーザーのカレンダーで作成されたすべてのイベントについて、ユーザーカレンダーイベント [user_calendar_event] テーブルにレコードが作成されます。リソースイベントは、ユーザーにとって多忙な時間の塊です。ユーザーとリソースマネージャーは、これらのレコードを変更できる場合があります。「リソースイベントの変更」を参照してください。

カレンダーはタイムゾーンを使用します。時間は、ユーザー初期設定に従ってローカルタイムゾーンでユーザーに表示されます。「リソース計画のタイムゾーン」を参照してください。

各リソースイベントは特定の色で表されます。PPS 管理者はこれらの色を変更できます。「リソースイベントの色の変更」を参照してください。

> **注:**
> ユーザーはインシデントなどのタスクをカレンダーに追加できますが、タスクの [アサイン先] フィールドには追加されません。

カレンダーへのイベントの追加

カレンダーにタスク、イベント、予約を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：pps_resource または resource_manager

このタスクについて
日次、週次、または月次で繰り返されるイベントを作成するには、「繰り返し可能なイベントの作成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 自分のカレンダー.

   カレンダーはデフォルトで週次ビューに表示され、今日のスケジュールが強調表示されます。ユーザーの非番のスケジュール (グレー)。

2. 必要に応じてビューを変更します。
   - [日]、[週]、または [月] を選択します。
   - 前後矢印を使用して、日、週、月の間を移動します。
   - カレンダーアイコン ( ) を使用して日付を選択します。
   - [今日] を選択すると、カレンダービューが設定変更されて今日のカレンダーが表示されます。
3. カレンダーの空のセルをダブルクリックして、[イベントの追加] フォームを開きます。
4. [新しいイベント] フォームのフィールドに入力します。

   フィールド名の説明については、「[新しいイベント] フォーム」を参照してください。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果

- カレンダーイベントを追加すると、日次、週次、月次のリソース集計テーブルが更新されます。リソース集計日次テーブルは、デフォルトでは有効になっていません。日次集計を生成してこのテーブルに保存するには、*com.snc.resource_management.generate_daily_aggregates* プロパティを作成し、その値を [true] に設定します。
- カレンダーからユーザーに対して作成されたすべての非プロジェクトイベントは、リソースファインダーでユーザーの運用作業として表示されます。

繰り返し可能なイベントの作成

イベントは、毎日、毎週、毎月などの定期的なスケジュールで繰り返すように設定できます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

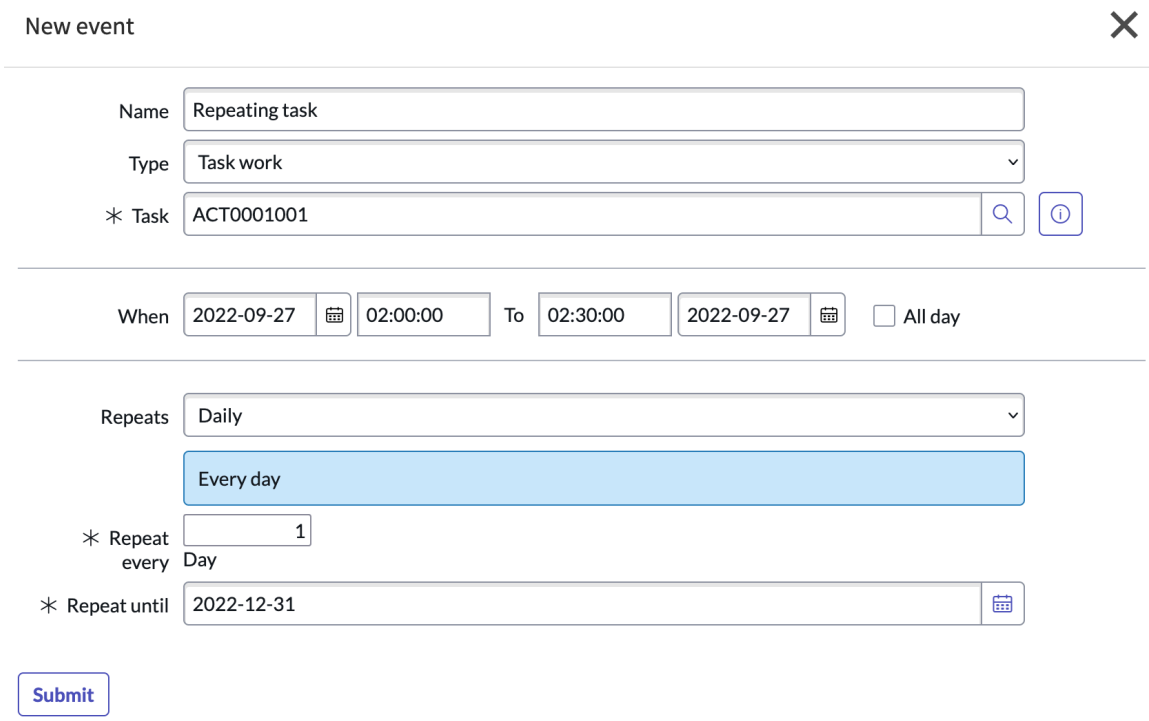
このタスクについて
タイムスロットが他のイベントによって予約されている場合でも、イベントを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 自分のカレンダー.
2. カレンダーの空白のセルをダブルクリックします。
3. [新しいイベント] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[新しいイベント] フォーム」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[When] フィールドと [To] フィールドの日付は同じである必要があります。

4. [送信] をクリックします。

ユーザーカレンダーの表示

ユーザーのカレンダーを表示して、可用性を確認します。

始める前に
必要なロール：resource_manager

このタスクについて
グループ内のすべてのユーザーではなく、特定のユーザーのカレンダーを表示できます。

手順
1. 移動先 すべて > リソース > リソース > ユーザー.

2. 次のいずれかのオプションを実行します。

オプション	説明
[ユーザー] リストから	[ユーザー] リストでユーザー名を右クリックし、[カレンダーを表示] を選択します。
[ユーザー] フォームから	[ユーザーレコード] を選択して [ユーザー] フォームを開き、[カレンダーを表示] 関連リンクを選択します。

ユーザーカレンダーへのイベントの追加

リソースマネージャーは、ユーザーカレンダーにイベントを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース > ユーザー.
2. 次のいずれかを実行します。

オプション	説明
[ユーザー] リストから	[ユーザー] リストでユーザー名を右クリックし、[カレンダーを表示] を選択します。
[ユーザー] フォームから	[ユーザーレコード] を選択して [ユーザー] フォームを開き、[カレンダーを表示] 関連リンクを選択します。

   そのユーザーのカレンダーが新しいウィンドウまたはタブで開きます。

3. カレンダーの空のセルを選択して、[イベントの追加] フォームを開きます。
4. フォームの各フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「カレンダーへのイベントの追加」を参照してください。

タスクの結果

- カレンダーイベントを追加すると、日次、週次、月次のリソース集計テーブルが更新されます。リソース集計日次テーブルは、デフォルトでは有効になっていません。日次集計を生成してこのテーブルに保存するには、*com.snc.resource_management.generate_daily_aggregates* プロパティを作成し、値を [true] に設定します。
- カレンダーからユーザーに対して作成されたすべての非プロジェクトイベントは、リソースファインダーでユーザーの運用作業として表示されます。

イベントの削除

作成したイベントはいつでも削除できます。

始める前に
必要なロール：resource_user

このタスクについて
リソースマネージャーによってカレンダーに追加されたイベントを削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 自分のカレンダー.
2. 削除するイベントを検索します。

   カレンダーの上にあるアイコンを使用して、適切な日、週、または月を見つけます。

3. イベントをダブルクリックします。
4. [削除] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。

タスクの結果
カレンダーイベントを削除すると、それに応じて日次、週次、月次のリソース集計テーブルが更新されます。リソース集計日次テーブルは、デフォルト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

では有効になっていません。日次集計を生成してこのテーブルに保存するには、*com.snc.resource_management.generate_daily_aggregates* プロパティを作成し、値を [true] に設定します。

リソース診断を使用して破損したリソースデータを検出する

リソース診断機能は、アプリケーション診断ツールを使用して、ユーザーの重複集計やトップタスクのない日次など、リソースの破損データを検出します。

始める前に

必要なロール：pps_admin

手順

1. 移動先 すべて > リソース > リソース診断.
2. [アプリケーション診断ツール] ページで、[リソース管理] を選択します。
3. 1 つまたは複数の診断スキャンを選択します。
4. [診断を実行] を選択します。
5. スキャンの結果を表示します。
   トップタスクがない場合は、ユーザーまたはプロジェクト関連のリソース割り当て日次の重複集計が一覧表示されます。

次のタスク

独自の診断スキャンを追加し、スクリプトを修正します。

リソースの診断機能の追加

アプリケーション機能を評価し、アプリケーションのさまざまな診断スキャンを整理するための診断機能を作成します。診断機能がターゲットアプリケーションに表示され、そのアプリケーションの診断機能に関連付けられているすべての診断スキャンが一覧表示されます。

始める前に

必要なロール：adt_admin

このタスクについて

診断機能は、単一または複数の診断スキャンで構成できます。これらの診断スキャンは、マッピングされているスクリプトを実行して、データの破損や無効なデータを検出します。その後、スクリプトを使用して診断スキャンを作成し、これらのスキャンを実行して、破損または無効なデータがないかリソースをチェックできます。修正スクリプトがスキャンに関連付けられている場合は、破損または無効なデータを修正するために使用できます。

ユーザーが特定のフィルター条件を作成するためのフィールドを定義することもできます。診断スクリプトは、これらのフィルター条件の結果を、破損または無効なデータを検出するための入力として使用します。

[機能] モジュールで既存の機能を確認できます。ニーズに一致するものが見つからない場合は、診断機能を作成し、それをアプリケーションに関連付けます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション診断ツール > さまざまな機能.
2. [新規] を選択します。
3. [診断機能] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「診断機能フォーム」を参照してください。
4. [診断入力] セクションでフィルター条件を指定するためのユーザー入力値を定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このセクションのフィールドは、条件ビルダーとしてアプリケーションに表示されます。フィールド名の説明については、「[診断入力] フォーム」を参照してください。

5. [送信] を選択します。

次のタスク
診断スクリプトを作成し、診断機能で使用する修正スクリプトを追加します。詳細については、「リソースの診断と修正スクリプトの追加」を参照してください。

リソースの診断と修正スクリプトの追加

既存または新規の診断スクリプトを追加して、アプリケーションのデータに破損がないかどうかをスキャンします。修復スクリプトを添付して、診断スクリプトによって特定された破損または無効なデータを修正することもできます。

始める前に
必要なロール：adt_admin

このタスクについて
複数の診断スクリプトを作成して、データのさまざまな側面を確認できます。診断機能で指定したフィルター条件の結果は、実行時に診断スクリプトの入力として使用されます。1 つのスクリプトの結果を後続のスクリプトで使用することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション診断ツール > スクリプト.
2. [新規] を選択します。
3. [診断スクリプト] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[診断スクリプト] フォーム」を参照してください。
4. オプション: 診断スクリプトによって特定された破損または無効なデータを修正するためのスクリプトを含める場合は、[スクリプトを修正する] チェックボックスをオンにします。
5. [修正スクリプトアクセスロール] を使用して、必要なロールを [選択済み] リストに移動します。
   選択したロールを持つユーザーは、診断スクリプトにアクセスできます。
6. [修正スクリプト] セクションで、修正スクリプトの実際のコードを追加します。
7. [送信] を選択します。

リソースの診断スキャンおよびマッピングスクリプトの作成

診断および修正スクリプトを使用して、診断スキャンおよびマッピング診断機能を作成します。診断スクリプトを実行する診断スキャンを作成して、アプリケーションのデータの健全性を確認できます。修正スクリプトを使用して、診断スキャンで特定された破損または無効なデータを修正します。

始める前に

- 必要なロール：adt_admin
- 診断機能を作成します。詳細については、「リソースの診断機能の追加」を参照してください。
- 診断および修正スクリプトを作成します。詳細については、「診断と修正スクリプトの追加」を参照してください。

このタスクについて
診断機能、診断スクリプト、および修正スクリプトを作成したら、診断機能とスクリプトをマッピングして診断スキャンを作成します。診断スキャンごとに複数のスクリプトをマッピングし、実行順序を定義できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション診断ツール > 診断.
2. [新規] を選択します。
3. [診断] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド名の説明については、「[診断] フォーム」を参照してください。
4. [診断とスクリプトのマッピング] セクションで、診断スキャンにマッピングする診断スクリプトを検索して選択します。
5. [送信] を選択します。

リソース管理 の参照

フィールド、ユーザーロール、テーブル、ガイドラインなど、リソース管理 に関する追加の詳細を提供するための参照情報。

Resource Management プロパティ

リソース管理 アプリケーションには、割り当て、スケジュール、およびその他の設定を制御するためのいくつかのプロパティが用意されています。

リソースプロパティにアクセスするには、PPS admin ロールが必要です。

リソースのプロパティを管理するには、次の場所に移動します。 プロジェクト管理 > 設定 > プロパティ - リソース.

Resource Management プロパティ

プロパティ	説明	デフォルト値
確認と割り当てのための同期モードで考慮する必要がある日次リソース割り当てレコードの最大数 (*com.snc.resource_management.plan.auto_async_threshold*)	確認と割り当て中に同期モードで考慮する必要がある日時リソース割り当てレコードの最大数を決定します。このプロパティは、日次割り当てレコードの数がプロパティに設定された値より多い場合に、システムパフォーマンスを向上させます。 デフォルト値は 2600 です。これは、同期モードで確認または割り当てが考慮される日次レコードの数が 2600 であることを意味します。この値は、グループリソース計画で 1 年間 (260 営業日) に 10 人のユーザーを確認または割り当てるか、2 年間で 5 人のユーザーを割り当てるか、などに相当します。グループリソース計画に 1 年間で 11 人のユーザーが含まれている場合、日次レコードの数は 2860 になります。したがって、この場合のリソース計画の確認と割り当ては非同期モードになります。 常に同期モードでリソース計画を確認して割り当てる場合は、要件に基づいてプロパティの値をより高い数値に設定します。	2600

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Resource Management プロパティ (続く)

プロパティ	説明	デフォルト値
	注: プロパティ *com.snc.resource_management.run_state_changes_async* が [true] に設定されている場合、リソース計画の確認と割り当ては常に非同期モードで考慮されます。	
リソースグリッドインターフェイスに週/月トグルを表示 (*com.snc.resource_management.show_week_month_toggle*)	リソースグリッドで週と月を切り替えるための切り替えボタンを表示します。	あり
リソースファインダーの最大期間 (月) (*com.snc.resource_management.max_dur_resource_finder*)	リソースファインダーにリソースの詳細を表示する最大期間。	24
予算参照レートを使用し、リソース要求/割り当て済みコストを計算して、賃金レートカードから時給を導出 (*com.snc.resource_management.use_budget_reference_rates*)	• プロパティが [はい] に設定されている場合、予算参照レート [itfm_fx_rate] は、要求されたリソースまたは割り当てられたコストを計算するために使用されます。 • プロパティが [いいえ] に設定されている場合、為替レート [fx_rate] は、要求されたリソースまたは割り当てられたコストを計算するために使用されます。 アップグレードされたお客様の場合、プロパティはデフォルトで [いいえ] に設定されています。	あり
リソース計画を作成できる最大日数 (*com.snc.resource_management.plan.max_duration*)	リソース計画を作成する最大日数を制限します。	3660
デフォルトスケジュール名 (*com.snc.resource_management.default_schedule*)	リソース管理 アプリケーションがデフォルトで使用するインスタンスのスケジュール。	Resource Management スケジュール
リソース/グループにレポートする resource_management において、percentage_allocation の値がこの値よりも小さい場合は、緑色で表示されます。 (*com.snc.resource_management.percentage_allocation_normal*)	リソースの可用性がリソースレポートに緑色で表示されるタイミングを決定する値。緑色は、リソースが十分に活用されておらず、作業が割り当てられる可能性があることを示します。	50
リソース/グループにレポートする resource_management	リソースの可用性がリソースレポートにオレンジ色で表示されるタイミングを決定する値。オレンジ色は、リソースの可用性が低いことを示します。	90

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Resource Management プロパティ (続く)

プロパティ	説明	デフォルト値
において、percentage_allocation の値がこの値よりも小さく、com.snc.resource_management.percentage_allocation_normal よりも大きい場合は、オレンジ色で表示されます。(*com.snc.resource_management.percentage_allocation_warning*)		
平均日次 FTE 時間 / 人日あたりの時間数 (*com.snc.resource_management.average_daily_fte_hours*)	人日あたりの平均日次フルタイム換算時間数 (時間数)。ユーザーまたはグループリソースレコードの [平均日次 FTE 時間 / 人日あたりの時間数] フィールドに値が指定されていない場合、この値はフルタイムの 1 日と同等に使用されます。 **注:** キャパシティは FTE からではなく、スケジュールから導出されます。FTE とスケジュールの両方が互いに同期している必要があります。	8 (時間)
カレンダーイベント期間 (分) (*com.snc.resource_management.allocation_interval_minutes*)	カレンダーイベントのデフォルトの期間。 リソース割り当ては、このプロパティを使用して 10 進数値で割り当てを作成します。 たとえば、ユーザーは 30 分ブロック 2 つと 60 分ブロック 1 つで対応可能です。 • このプロパティの値が 30 分に設定されており、1 時間をユーザーに割り当てる必要がある場合、ユーザーが空いているときにその割り当ては 2 つの 30 分ブロックに分割されます。 • このプロパティの値が 60 分に設定されている場合、割り当ては 60 分ブロックに割り当てられます。 **注:** デフォルト値を変更する場合は、60 で割ったときに有限の値になる値を入力します。たとえば、6、12、15、30 などです。	60 (分)
週の初日 (月曜日 = 1、日曜日 = 7) (*com.snc.resource_management.first_day_of_week*)	最初の曜日を指定します。リソースワークベンチでは、この値を使用して週数を計算します。 たとえば、リソースが 10 月 14 日 (水曜日) から 10 月 21 日 (水曜日) に要求されたとします。 このプロパティの値が 2 (火曜日) に設定されている場合、割り当てが行われ、ワークベンチに次の 2 つのブロックで表示されます。	1 (月曜日)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Resource Management プロパティ (続く)

プロパティ	説明	デフォルト値
	• 10 月 14 日水曜日から 10 月 15 日土曜日まで。 • 10 月 20 日火曜日。	
リソースの確認/割り当て/キャンセルを非同期モードで実行 (*com.snc.resource_management.run_state_changes_async*)	リソース計画を確認、割り当て、またはキャンセルするときに非同期モードを使用して、アプリケーションのパフォーマンスを向上させます。 リソースの確認と割り当てでは、グループ内の各リソースのカレンダーイベントが作成され、各リソースのスケジュールも考慮されるため、確認と割り当てのプロセスが完了するまでに非常に長い時間がかかることがあります。 非同期モードでは、アプリケーションはイベントマネージャーを使用して、リソース計画のステータスを処理するときに発生する可能性のあるエラーを処理します。プロパティが有効になっている場合： • リソース計画のステータスが [確認処理中] / [割り当て処理中] / [キャンセル処理中] に変わります。 • 確認、割り当て、またはキャンセルが機能しない場合は、[確認]、[割り当て]、または [キャンセル] UI アクションが表示され、アクションを再処理できます。割り当てが一部しか完了していない場合は、[割り当て] UI アクションを再度クリックして、プランに対して以前に作成されたすべてのイベントを削除し、アクションを再処理できます。 確認、割り当て、またはキャンセルを処理するときにエラーが発生したり、処理時間が長くなったりする場合は、このプロパティを有効にします。これは、グループに 25 人を超えるメンバーがいる場合、またはリソース計画の期間が 6 か月を超えている場合に発生する可能性があります。	なし
使用可能なキャパシティを計算し、イベント (time_off、meeting など) のある日にリソースが割り当てられないようにするために、ユーザーのスケジュールから除外されるリソースイベントタイプのカンマ区切りのリスト (*com.snc.resource_management.exclude_events_from_schedule*)	リソースのキャパシティ計算から除外する必要があるイベントと、システムがイベントを作成してはならないタイミングを指定します。 入力するイベントは、タイムカードテーブルの [カテゴリ] フィールドからのものである必要があります。	time_off

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Resource Management プロパティ (続く)

プロパティ	説明	デフォルト値
カレンダーにソフト割り当てを表示 (*com.snc.resource_management.calendar_show_soft_allocations*)	次のオプションが表示されます。 • リソースマネージャー：選択すると、ソフト割り当てはリソースマネージャーのみがカレンダーに表示できます。 • 全員：選択すると、PPS リソースロールを持つすべてのユーザーがソフト割り当てをカレンダーに表示できます。	リソースマネージャー
リソースグリッドで一度にフェッチするレコードの数 (*com.snc.resource_management.number_of_records_to_fetch_at_a_time*)	1 回のサーバー呼び出しでリソースグリッドにフェッチされたレコードの数。 たとえば、割り当てボードに 100 のプロジェクトがある場合、最初の呼び出しでは 30 のみがフェッチされます。ユーザーが下にスクロールすると、次の 30 のプロジェクトをフェッチするための呼び出しが行われます。同様に、ユーザーがたとえば 100 のリソース計画を含むプロジェクトを展開すると、最初の呼び出しで 30 のリソース計画のみがフェッチされます。スクロールすると、次の 30 のプランがフェッチされ、以下同様に続きます。	30
リソース計画の日付をプロジェクト/デマンドの日付以外にすることはできません (*com.snc.resource_management.do_not_allow_resource_plan_dates_outside_project_demand_da*	プロジェクトまたは要求の日付とリソース計画の日付の間の不一致を避けるために、プロジェクトまたは要求の日付を超えるリソース計画の日付の入力を制限します。 このプロパティが有効になっている場合、リソース計画を拡張、シフト、移動、またはそのステータスを要求済みから確定または割り当てに変更するときは、リソース計画の開始日と終了日がプロジェクトまたはデマンドの日付範囲内である必要があります。	なし
リソース割り当てワークベンチから運用リソース計画を作成および管理 (*com.snc.resource_management.create_and_manage_operational_resource_plans_from_raw*)	リソース割り当てワークベンチからの運用リソース計画の作成と管理を可能にします。	なし
リソースファインダー検索でグループまたはロールに対して取得するユーザーの数を制限 (*com.snc.resource_management.number_of_users_to_fetch_in_finder_at_once*)	リソースファインダーでユーザーを検索するときにグループまたはロールに表示する必要があるユーザーの最大数を設定します	50

[リソースプラン] フォーム

[リソース計画] フォームフィールドのフィールドの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースプラン] フォーム

フィールド	説明
番号	プランの自動生成された識別番号。
リソース タイプ	リソースのカテゴリ。グループを選択するには、[グループ] を選択します。個々のユーザーを選択するには、[ユーザー] を選択します。ロール別にリソースを選択するには、[ロール] を選択します。
グループ	プランに関連付ける特定のグループリソース。 [リソースタイプ] フィールドで [ロール] を選択した場合、[グループ] リストには選択したロールのグループのみが含まれます。
ユーザー	プランに関連付ける特定のユーザーリソース。 このフィールドは、[リソースタイプ] フィールドで [ユーザー] を選択した場合に表示されます。
ロール	プランに関連付ける特定のリソースロール。 このフィールドは、[リソースタイプ] フィールドで [ロール] を選択した場合に表示されます。
メンバー設定	選択したグループまたはロールの特定のメンバー、任意のメンバー、またはすべてのメンバー。デフォルトは [すべてのメンバー] です。 このフィールドは、[リソースタイプ] フィールドで [グループ] または [ロール] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。 • グループまたはロールのすべてのメンバーを要求するには、[すべてのメンバー] を選択します。要求済みの時間は、キャパシティに応じて、選択したグループまたはロールのすべてのメンバー間で分割されます。ハード割り当てを行う前に、すべてのメンバーが必要でない場合、リソースマネージャーはグループまたはロールの目的のメンバーのみを選択できます。 • グループまたはロールの特定のメンバーを要求するには、[特定のメンバー] を選択し、[メンバー] リストからメンバーを選択します。要求済みの時間は、キャパシティに応じて、選択したグループまたはロールの選択したメンバー間で分割されます。 • グループまたはロールの任意のメンバーを選択するには、[任意のメンバー] を選択します。計画期間中に最も利用可能なリソースが最初に要求されます。確認時に、これらのリソースに対してのみソフト割り当てが作成されます。 ソフト割り当てとハード割り当ての時間計算に対するメンバー設定の影響の詳細については、「リソース割り当て」を参照してください。
スキル	リソース計画に割り当てるために要求されたリソースが持つ必要がある特定のスキル。 このフィールドは、[リソースタイプ] フィールドで [グループ] または [ロール] を選択し、[メンバー設定] フィールドで [すべてのメンバー] または [任意のメンバー] を選択した場合に表示されます。 詳細については、「Skills Management」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースプラン] フォーム (続く)

フィールド	説明
要求タイプ	要求のタイプ。要求を時間単位で指定するには、[時間] を選択します。フルタイムで同等の要求を指定するには、**[FTE]** を選択します。
FTE	フルタイム相当の選択の単位数。 このフィールドは、[要求タイプ] フィールドで **[FTE]** を選択した場合に表示されます。 詳細については、「リソースプラン」を参照してください。
予定時間数	すべてのリソース計画の作業を完了するために必要な推定作業時間。 **注:** リソース計画内のすべてのユーザーが同じスケジュールを持ち、そのスケジュールがリソース管理スケジュールと異なる場合、ユーザーのスケジュールは予定時間数を計算するために考慮されます。
名前	プランの内容を表す名前名前を入力しない場合、名前は [番号] + [簡単な説明] になります。タスクの簡単な説明が空の場合は、計画番号が使用されます。
タスク	プランが適用されるタスク。リソース計画がプロジェクトタスクから作成された場合は、タスク番号がここに表示されます。
開始日	リソース計画の開始日。デフォルトでは、このフィールドには関連するプロジェクトレコードまたはタスクレコードの [開始予定日] が表示されます。必要に応じて、デフォルトの日付を編集します。 **注:** [リソース計画の日付をプロジェクト/デマンドの日付以外にすることはできません] プロパティが有効になっている場合、リソース計画の開始日をプロジェクトまたはデマンドの開始日より前にすることはできません。
終了日	リソース計画の終了日。デフォルトでは、日付は関連するプロジェクトレコードまたはタスクレコードの [終了予定日] から取得されます。必要に応じて、デフォルトの日付を編集します。 **注:** [リソース計画の日付をプロジェクト/デマンドの日付以外にすることはできません] プロパティが有効になっている場合、リソース計画の終了日をプロジェクトまたはデマンドの開始日より後にすることはできません。
割り当ての分散	ハード割り当てのタイプ。このフィールドの値は、ハード割り当ての作成中に割り当て済みの時間を分散する方法を決定します。以下のいずれかのオプションを選択します。 • 均等：割り当て期間のすべての営業日に時間を均等に分割して、リソースのリソースイベントを作成します。 • フロントロード：割り当ての開始日からリソースの利用可能なすべてのスロットを埋めることによって、リソースのリソースイベントを作成します。 たとえば、リソースが第 10 週に 30 時間要求された場合：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースプラン] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• [均等] を選択すると、30 時間をすべての平日に均等に分割します。つまり、週 5 日間の作業で 1 日あたり 6 時間になります。 • [フロントロード] を選択すると、最初に月曜日に利用可能なすべての時間が消費され、次に火曜日に移動し、以下同様に続きます。すべての 30 時間が割り当てられます。リソースが第 10 週に 30 時間利用できない場合は、開始日から 1 日あたり 24 時間までの残り時間を埋めることで、フロントロードが過剰に割り当てられます。
ステータス	リソース計画のステータス。プランは [計画] ステータスで開始されます。
レート上書き	レートモデルまたは賃金レートカードから導出された時給を上書きするオプション。 オプションを選択すると、 • リソースプランの予定コスト、確認済みコスト、および割り当て済みコストは、[リソースレート] フィールドで指定されたレートから導出されます。 • ユーザーがリソース計画のタイムカードを送信すると、[リソースレート] フィールドで指定されたレートが、リソース計画の実績コストの計算に使用されます。 このオプションは、リソース計画が [計画済み] ステータスの場合にのみ有効になります。 デフォルトでは、このオプションは選択されていません。
リソースレート	リソース計画の予定コストと実績コストを計算するためにレートモデルから返される時給を上書きする、リソースの時給。 このフィールドは、[レート上書き] オプションを選択すると表示されます。[レート上書き] チェックボックスをオフにすると、リソースレート値もクリアされ、すべての計算から削除されます。[レート上書き] チェックボックスを再度選択すると、以前のリソースレートは取得されません。

注:
[メンバーの基本設定]、[割り当て分散]、および [ステータス] フィールドは、リソースグリッドから開いた場合、フォームではデフォルトで使用できません。必要に応じて、これらのフィールドを設定できます。リソース計画がリストビューから作成されている場合、フィールドは既に利用可能です。

[リソースプラン] フォームタブ

[リソース計画] フォームのタブを使用して、リソース計画を作成します。

[リソースプラン] フォームタブ

フィールド	説明
リソースの詳細	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースプラン] フォームタブ (続く)

フィールド	説明
リソース タイプ	リソース計画の作成時に選択されたリソースのタイプ。
グループ	リソース計画に関連付けられているグループ。
ロール	ロールリソース計画に関連付けられているロール。
ユーザー	ユーザーリソース計画に関連付けられているユーザー。
スキル	要求されたリソースがリソース計画に割り当てるために備えているスキル。 **注:** このフィールドは、すべてまたは任意のメンバー設定のリソース計画でのみ使用できます。
メンバー設定	選択したグループまたはロールの特定のメンバー、任意のメンバー、またはすべてのメンバー。
メンバーリスト	特定のメンバー設定リソース計画の特定のメンバーとして選択されたリソース。
確認済み/割り当て済みのユーザー	リソース計画のためにリソースマネージャーによって確認/割り当てられたリソース。デフォルトでは、このフィールドは、リソース計画の特定のメンバー設定タイプに対して表示されます。
要求の詳細	
要求タイプ	リソース計画の作成時に選択された要求のタイプ。 • [要求タイプ] フィールドで **[FTE]** を選択すると、**[FTE]** フィールドが表示されます。 • [要求タイプ] フィールドで [人日] を選択すると、[人日] フィールドが表示されます。
予定時間数	すべてのリソース計画の作業を完了するために必要な推定作業時間。
確認済み/割り当て済みの時間	リソース割り当てからロールアップされた確認済みまたは割り当て済みの時間。
実績時間	タイムカードエントリーからロールアップされた実績時間。
FTE	フルタイム相当の選択の単位数。
デマンド通貨	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、デマンド通貨ビューが有効になっている場合に、デマンドタスクに関連付けられている通

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースプラン] フォームタブ (続く)

フィールド	説明
	貨のタイプ。詳細については、「Demand Management における複数通貨」トピックを参照してください。
プロジェクト通貨	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、プロジェクト通貨ビューが有効になっている場合に、プロジェクトまたはプロジェクトタスクに関連付けられている通貨のタイプ。詳細については、「Project Management における複数通貨」トピックを参照してください。
予定コスト	[予定時間] の値に、指定されたユーザーまたはグループリソースの時給を掛けたもの。この金額は、リソース計画コストの最初のドラフト見積もりです。 時給は、次のいずれかのソースから算出されます。 • [レート上書き] オプションが選択されている場合、[リソースレート] フィールドで指定された時給が使用されます。 • レートモデルがリソース計画が関連付けられているプロジェクトまたはデマンドに設定されている場合、時給はレートモデルから導出されます。 • リソース計画が特定のユーザーに割り当てられ、そのユーザーのタイムシートポリシーが複数のレートタイプに設定されている場合、予定コストは、デフォルトのレートタイプの賃金レートカードを使用して決定されます。デフォルトのレートタイプが無効の場合、システムレートを使用して予定コストが決定されます。 • リソース計画が特定のユーザーに割り当てられており、ユーザーのタイムシートポリシーが複数のレートタイプに設定されていない場合、予定コストはレートタイプのない賃金レートカードを使用して決定されます。それ以外の場合は、システムレートが使用されます。 • 時給が機能しない通貨である場合、予算参照レートが使用されます。 **注:** リソースのレートを設定すると、リソース計画のより正確な予測と予定コストが提供されます。 予定コストは、[計画] または [要求済み] ステータスのプランの [要求済みの割り当て] から、および [確認済み] または [割り当て済み] ステータスのプランの [リソース割り当て] からロールアップされます。グループにリソースを要求しているときにリソースロールが指定されている場合、予定コストは指定されたロールの時給から計算されます。
デマンド通貨での予定コスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、デマンド通貨ビューが有効になっている場合に、デマンド通貨でのデマンドまたはデマンドタスクに関連付けられているリソース計画の予定コスト。デマンド通貨での予定コストの値は、予定時間を指定されたユーザーまたはグループリソースの時給で乗算し、その結果を予算参照レートに基づいてデマンド通貨に変換することによって導出されます。
プロジェクト通貨での予定コスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、プロジェクト通貨ビューが有効になっている場合に、プロジェクト通貨でのプロジェクトまたはプロジェクトタスクに関連付けられているリソース計画の予定コスト。プロジェクト通貨での予定コストの値は、予定時間を指定されたユーザーまたはグループリソースの時給で乗算し、その結果を予算参照レートに基づいてプロジェクト通貨に変換することによって導出されます。
確認済み/割り当て	確認済みまたは割り当て済みのリソースの時給を掛けた、確認済みまたは割り当て済みの時間数。確認または割り当てられたプランのコストをより正確に見積もることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースプラン] フォームタブ (続く)

フィールド	説明
済みのコスト	• [レート上書き] オプションが選択されている場合、[リソースレート] フィールドで指定された時給が使用されます。 • レートモデルがリソース計画が関連付けられているプロジェクトまたはデマンドに設定されている場合、時給はレートモデルから導出されます。 • レートモデルが利用できない場合は、賃金レートカードによって時給が決定されます。 • ユーザーの賃金カードが見つからない場合、時給は次のタイムカードプロパティから取得されます。[タイムカードの処理時に、賃金レートカードからレートを取得できない場合に使用するデフォルトの時給 (システム通貨)]。
デマンド通貨での確認済み/割り当て済みコスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、デマンド通貨ビューが有効になっている場合に、デマンド通貨でのデマンドまたはデマンドタスクに関連付けられているリソース計画の確認済みまたは割り当て済みのコスト。デマンド通貨での確認済み/割り当て済みコストは、確認済みまたは割り当て済みの時間に確認済みまたは割り当て済みのリソースの時給で乗算し、その結果を予算参照レートに基づいてデマンド通貨に変換することによって導出されます。
プロジェクト通貨での確認済み/割り当て済みコスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、プロジェクト通貨ビューが有効になっている場合に、プロジェクト通貨でのプロジェクトまたはプロジェクトタスクに関連付けられているリソース計画の確認済みまたは割り当て済みのコスト。プロジェクト通貨での確認済み/割り当て済みコストは、確認済みまたは割り当て済みの時間に確認済みまたは割り当て済みのリソースの時給で乗算し、その結果を予算参照レートに基づいてプロジェクト通貨に変換することによって導出されます。
実績コスト	実績時間に使用されたものと同じタイムカードに基づいて、各ユーザーの時給と作業時間を使用して実績コストが計算されます。ユーザーリソースが承認済みタイムカードに追加した実績時間に基づいて、リソース要求者とリソースマネージャーに実績コストを通知するために使用されます。 時給は次のように算出されます。 • [レート上書き] オプションが選択されている場合、[リソースレート] フィールドで指定された時給が使用されます。 • レートモデルがリソース計画が関連付けられているプロジェクトまたはデマンドに設定されている場合、時給はレートモデルから導出されます。 • ユーザーのタイムシートポリシーが複数のレートタイプに設定されている場合、実績コストは、デフォルトのレートタイプの賃金レートカードを使用して決定されます。 • デフォルトのレートタイプが無効の場合、システムレートを使用して実績コストが決定されます。 • ユーザーのタイムシートポリシーが複数のレートタイプに設定されている場合、実績コストは、レートタイプのない賃金レートカードを使用して決定されます。それ以外の場合は、システムレートが使用されます。
デマンド通貨	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、デマンド通貨ビューが有効になっている場合に、デマンド通貨でのデマンドまたはデマン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースプラン] フォームタブ (続く)

フィールド	説明
での実績コスト	ドタスクに関連付けられているリソース計画の実績コスト。デマンド通貨での実績コストの値は、各ユーザーの時給を作業時間で乗算し、その結果を為替レートに基づいてデマンド通貨に変換することによって導出されます。
プロジェクト通貨での実績コスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、プロジェクト通貨ビューが有効になっている場合に、プロジェクト通貨でのプロジェクトまたはプロジェクトタスクに関連付けられているリソース計画の実績コスト。プロジェクト通貨での実績コストの値は、各ユーザーの時給を作業時間で乗算し、その結果を為替レートに基づいてプロジェクト通貨に変換することによって導出されます。
割り当ての構成	
割り当てタイプ	割り当てレコードのタイプを決定するプロジェクト全体のリソース割り当てのタイプ。このフィールドの値は、要求されたリソース間で予定時間数がリソース計画期間全体にどのように割り当てされるかを決定します。 • 週次：終了予定日の終わりまでの 1 週間分の割り当てを作成します。 • 月次：終了予定日の終わりまでの 1 か月間分の割り当てを作成します(デフォルト値)。 • 計画期間：リソース計画の全期間について、ユーザーごとに 1 つの割り当てを作成します。 たとえば、リソースが 1 月 1 日から 3 月 31 日までに要求された場合、タイプごとに次のレコードが作成されます。 • 月次：毎月 1 つずつ、3 つの割り当てレコード。 • 週次：月曜日が週の最初の日である各週に 1 つずつ、合計 14 件の割り当てレコード。 • 計画期間：リソース計画の全期間について 1 つのレコードのみ。
割り当ての分散	リソース計画の作成時に選択されたハード割り当てのタイプ。
メモ	
メモ	リソース計画に関するその他の連絡およびメモ。

[リソースのアサイン] フォーム

リソースのアサインフォームのフィールドの説明。

[リソースのアサイン] フォーム

フィールド	説明
リソース	プランに関連付ける特定のユーザーリソース。 **注:** 特定のリソースを選択すると、そのリソースに関連付けられたグループ、ロール、およびスキル計画属性が自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースのアサイン] フォーム (続く)

フィールド	説明
グループ	プランに関連付けるリソースのグループ。
ロール	プランに関連付けるリソースのロール。
スキル	プランに関連付けるリソースのスキル。
工数タイプ	計画に関連付ける作業のタイプ。 [時間] を選択して定義された時間セットを要求するか、[キャパシティの割合] を選択してリソース キャパシティの特定の割合 を要求します。
工数	必要な工数タイプ。
運用作業タイプ	運用作業のタイプ：KTLO、管理者、会議、トレーニング、不在、外部作業、休暇、予約、および電話。
レートモデル	運用リソース計画に割り当てられたレートモデル。レートモデルは、リソース計画の時給を導出するために使用されます。 運用リソース計画に割り当てられたレートモデルを変更または削除すると、計画のコストフィールドが再計算されます。
開始日	運用リソース計画が開始される日付。
終了日	運用リソース計画が終了する日付。
リソースステータス	リソースのアサインのステータス。

自動翻訳

リソースプラン関連リンクとリスト

リソース計画の関連リンクとリストを使用して、リソース計画の詳細のクローン作成、リソースワークベンチの表示、コスト計画の更新、リソースコストの再計算、または要求割り当ての変更の作業を行います。

リソースプラン関連リンクとリスト

フィールド	説明
関連リンク	
リソースプランをコピー	開いたリソース計画を新しいリソースプランにコピーします。
リソースワークベンチ	ワークベンチを開きます。リンクは、[確認済み] または [割り当て済み] ステータスのリソース計画のリソースマネージャーに対してのみ表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースプラン関連リンクとリスト (続く)

フィールド	説明
コストプランを更新	Project Portfolio Management を使用している場合、リソース計画はプロジェクトまたはデマンドのコストプランを自動的に作成します。 リソース計画を更新するたびに、[コストプランを更新] をクリックしてコストプランを最新の状態に保ちます。 **注:** リソース計画が更新されると、リソース計画に関連付けられたコストプランも自動的に更新されます。
リソースコストを再計算	レートモデルで時給が変更されるたびにリソース計画のリソースコストを再計算して、コストを最新に保ちます。
関連リスト	
要求された割り当て	リソース計画に対して要求された割り当てのリスト。 作成される要求された割り当てレコードの数は、[割り当てタイプ] フィールドの値によって異なります。たとえば、リソースが 1 月 1 日から 3 月 31 日までに要求された場合、タイプごとに次の要求された割り当てレコードが作成されます。 • 月次：毎月 1 つずつ、3 つの割り当てレコード。 • 週次：月曜日が週の最初の日である各週に 1 つずつ、合計 14 件の割り当てレコード。 • 計画期間：計画された期間全体について 1 つのレコードのみ。
リソース割り当て	プランに割り当てられたリソースのリスト。
リソースプランのログ	リソースの割り当て中に発生する可能性があるエラーまたは警告を一覧表示します。

[リソース] フォーム

[リソース] フォームを使用して、運用リソース計画を作成します。

[リソース] フォーム

フィールド	説明
番号	運用リソース計画の自動生成された識別番号。
リソース タイプ	リソースのカテゴリ。グループを選択するには、[グループ] オプションを選択します。個々のユーザーを選択するには、[ユーザー] オプションを選択します。ロール別にリソースを選択するには、[ロール] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース] フォーム (続く)

フィールド	説明
グループ	運用リソース計画が作成されるグループ。 [リソースタイプ] フィールドで [ロール] を選択すると、選択リストには選択したロールのグループが表示されます。
ユーザー	運用リソース計画が作成されるユーザー。このオプションは、[リソースタイプ] フィールドで [ユーザー] を選択した場合に表示されます。
ロール	プランに関連付ける特定のリソースロール。このオプションは、[リソースタイプ] フィールドで [グループ] または [ロール] を選択した場合に表示されます。 [リソースタイプ] フィールドで [グループ] を選択すると、選択リストには選択したグループのロールが表示されます。
メンバー設定	選択したグループまたはロールの特定のメンバー、またはすべてのメンバー。デフォルトは [すべてのメンバー] に設定されています。このフィールドは、[リソースタイプ] フィールドで [グループ] または [ロール] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。 • [すべてのメンバー] オプションを選択した場合、選択したグループまたはロールのすべてのメンバーがリソース計画に含まれます。時間は、そのキャパシティに応じて、選択したグループまたはロールのメンバー間で比例的に分割されます。ハード割り当てを行う前に、すべてのメンバーが必要でない場合は、リソースマネージャーとして、グループまたはロールから特定のメンバーのみを選択できます。 • [特定のメンバー] オプションが選択されている場合、指定されたメンバーに対して要求が行われます。要求済みの時間は、利用可能なキャパシティに基づいて、グループまたはロールの指定されたユーザー間で比例して分割されます。
スキル	プランに関連付ける特定のスキル。このフィールドは、[メンバー設定] フィールドで [すべてのメンバー] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。 Skills Management の詳細については、「Skills Management」を参照してください。
要求タイプ	要求のタイプ：[時間単位] または [% キャパシティ]。作業時間を時間単位で見積もるには、[時間単位] オプションを選択します。作業をキャパシティのパーセンテージで見積もるには、[% キャパシティ] オプションを選択します。
予定時間数	運用作業を完了するために必要な推定時間数。
確認済み/割り当て済みの時間	運用作業のために確認または割り当てられたリソースの時間。
実績時間	計画された運用タスクに費やされた時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース] フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: タイムカードを送信すると、タイムカードの承認時に、運用リソース計画の割り当てレコードの実績時間が更新されます。
名前	運用リソース計画の内容を表す名前
運用作業タイプ	運用作業のタイプ：KTLO、管理者、会議、トレーニング、不在、外部作業、休暇、予約、および電話。デフォルトは **[KTLO]** です。
レートモデル	運用リソース計画に割り当てられたレートモデル。レートモデルは、リソース計画の時給を導出するために使用されます。 運用リソース計画に割り当てられたレートモデルを変更または削除すると、計画のコストフィールドが再計算されます。
開始日	運用リソース計画が開始される日付。
終了日	運用リソース計画が終了する日付。
割り当てタイプ	割り当てレコードのタイプを決定するリソース分散タイプ。このフィールドの値は、要求されたリソース間で予定時間数がリソース計画期間全体にどのように割り当てされるかを決定します。次のオプションのいずれかを選択します。 • 週次：終了予定日の終わりまでの 1 週間分の割り当てを作成します。 • 月次：終了予定日の終わりまでの 1 か月間分の割り当てを作成します。[月次] がデフォルト値です。 • 計画期間：リソース計画の全期間について、ユーザーごとに 1 つの割り当てを作成します。 たとえば、リソースが 1 月 1 日から 3 月 31 日までに要求された場合、タイプごとに次のレコードが作成されます。 • 月次：毎月 1 つずつ、3 つの割り当てレコード。 • 週次：月曜日が週の最初の日である各週に 1 つずつ、合計 14 件の割り当てレコード。 • 計画期間：リソース計画の全期間について 1 つのレコードのみ。
割り当ての分散	割り当て分散のタイプ。このフィールドの値は、ハード割り当ての作成中に割り当て済みの時間を分散する方法を決定します。 • 均等：割り当て期間のすべての営業日に時間を均等に分割して、リソースのリソースイベントを作成します。 • フロントロード：割り当ての開始日からリソースの利用可能なすべてのスロットを埋めることによって、リソースのリソースイベントを作成します。 たとえば、リソースが第 10 週に 30 時間要求された場合：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• [均等] を選択すると、すべての平日の間で 30 時間が均等に分割されます。これは、週 5 日間の勤務時間で 1 日あたり 6 時間になります。 • [フロントロード] を選択すると、30 時間すべてが割り当てられるまで、月曜日に利用可能なすべての時間が消費され、次に火曜日に移動し、以下同様に続きます。リソースが第 10 週に 30 時間利用できない場合は、開始日から 1 日あたり 24 時間までの残り時間を埋めることで、フロントロードが過剰に割り当てられます。
ステータス	プランは [計画] ステータスで開始されます。プランは、送信後に [要求済み] ステータスに移行します。
予定コスト	*Planned Hours* の値に、指定されたユーザーまたはグループリソースの時給を掛けたもの。予定コストは、リソース計画コストの最初のドラフト見積もりです。 予定コストは、[計画] または [要求済み] ステータスのプランの [要求済みの割り当て] から、および [割り当て済み] ステータスのプランの [リソース割り当て] からロールアップされます。 時給は、次のいずれかのソースから算出されます。 • レートモデル (運用リソース計画に設定されている場合)。 • レートモデルが利用できない場合の賃金レートカード。 • 他のすべての条件が満たされない場合は、システムプロパティ *com.snc.time_card.default_rate* を使用します。 **注:** グループにリソースを要求しているときにリソースロールが指定されている場合、予定コストは指定されたロールの時給から計算されます。
確認済み/割り当て済みのコスト	確認済みまたは割り当て済みのリソースの時給を掛けた、確認済みまたは割り当て済みの時間数。確認または割り当てられたプランのコストをより正確に見積もることができます。 時給は、次のいずれかのソースから算出されます。 • レートモデル (運用リソース計画に設定されている場合)。 • レートモデルが利用できない場合の賃金レートカード。 • 他のすべての条件が満たされない場合は、システムプロパティ *com.snc.time_card.default_rate* を使用します。
実績コスト	実績時間の値に、指定されたリソースの時給を掛けたもの。 **注:** タイムカードを送信すると、タイムカードの承認時に、運用リソース計画の割り当てレコードの実績コストが更新されます。
メモ	追加の連絡および情報。
関連リンク	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース] フォーム (続く)

フィールド	説明
リソースプランをコピー	開いたリソース計画をコピーして、新しいリソース計画を作成します。
関連リスト	
要求された割り当て	リソース計画に対して要求された割り当てのリスト。 作成される要求された割り当てレコードの数は、[割り当てタイプ] フィールドの値によって異なります。たとえば、リソースが 1 月 1 日から 3 月 31 日までに要求された場合、タイプごとに次の要求された割り当てレコードが作成されます。 • 月次：毎月 1 つずつ、3 つの割り当てレコード。 • 週次：月曜日が週の最初の日である各週に 1 つずつ、合計 14 件の割り当てレコード。 • 計画期間：リソース計画の全計画期間について 1 つのレコードのみ。
リソース割り当て	プランに割り当てられたリソースのリスト。

[リソース計画を拡張] フォーム

[リソース計画を拡張] フォームのフィールドを使用して、プロジェクトのリソース計画を拡張します。

[リソース計画を拡張] フォームのフィールド

フィールド	説明
新しい終了日	リソース計画をいつまで延長するかという日付。
要求タイプ	要求のタイプ。オプションには、FTE、人日、または時間が含まれます。
FTE または人日または時間	リソースを要求する単位数。 このフィールドは、[要求タイプ] フィールドでオプションの 1 つを選択した場合に表示されます。選択した要求タイプに基づいて、単位を指定します。 詳細については、「要求タイプ」を参照してください。

[拡張を要求] フォーム

[拡張を要求] フォームを使用して、割り当てられたリソース計画の延長を要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[拡張を要求] フォーム

フィールド	説明
延長期限	リソース計画を延長してリソースを要求する日付。
要求タイプ	要求のタイプ。オプションには、FTE、人日、または時間が含まれます。
FTE または人日または時間	リソースを要求する単位数。 このフィールドは、[要求タイプ] フィールドでオプションの 1 つを選択した場合に表示されます。選択した要求タイプに基づいて、単位を指定します。 詳細については、「要求タイプ」を参照してください。
メモ	プロジェクトマネージャーがリソースマネージャーと連絡するために必要な、リソース計画に関するその他の連絡および情報。

[要求された割り当て] フォーム

[要求された割り当て] フォームを使用して、[計画] または [却下] ステータスのリソース計画の要求を作成します。

[要求された割り当て] フォーム

フィールド	説明
開始日	要求された割り当てレコードの開始日。
終了日	要求された割り当てレコードの終了日。
FTE	要求された割り当てレコードのフルタイム相当の選択の単位数。 リソースが FTE として要求された場合、要求された各割り当てレコードの予定時間が最初に計算されます。すべての時間の合計が、リソース計画の予定時間としてロールアップされます。FTE の説明については、「リソースプラン」を参照してください。 **注:** キャパシティは FTE からではなく、スケジュールから導出されます。FTE とスケジュールの両方が互いに同期している必要があります。
リソースプラン	要求された割り当てレコードが添付されているリソースプラン番号。要求された割り当てレコードがリソース計画からアクセスされた場合、このフィールドは自動的に入力されます。
予定時間数	要求された割り当てレコードに割り当てる時間数。 デフォルトでは、[リソース計画] フォームの[リソースプラン] フォームは、要求された各割り当てレコードの作業日数に基づいて、要求されたすべての割り当てに比例配分されます。ただし、予定時間または FTE を上書きすることは可能です。
予定コスト	リソースのコスト概算。 `予定コスト = 予定時間 * 時給` 時給は、次のいずれかのソースから算出されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[要求された割り当て] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• [レート上書き] オプションが選択されている場合、リソース計画の [リソースレート]。 • リソース計画が関連付けられているプロジェクトまたはデマンドにデータが設定されている場合、レートモデル。 • ユーザーリソース計画の賃金レートカード。 • ロールにレートがある場合、リソースロールによってリソースが要求されたときのロールレート。 • ロールにレートがない場合、またはロールが null の場合は、時給をグループ化します。 • 他のすべての条件が満たされない場合は、システムプロパティ *com.snc.time_card.default_rate* を使用します。 予定コストは、リソース計画の [予定コスト] フィールドにロールアップされます。
プロジェクト通貨での予定コスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインがアクティブ化されており、プロジェクト通貨ビューが有効になっている場合の、プロジェクト通貨でのプロジェクトタスクの予定コスト。
デマンド通貨での予定コスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、デマンド通貨ビューが有効になっている場合の、デマンド通貨でのデマンドタスクの予定コスト。

[リソースロール] フォーム

[リソースロール] フォームを使用して、プロジェクトチームメンバーのロールを作成します。

[リソースロール] フォーム

フィールド	説明
名前	リソースロールの名前。 **注:** リソースロール名は一意である必要があります。重複するロールを作成しないでください。
時間単価	作業時間に基づいてタスクコストを計算するために使用されるリソースロールの時給。
説明	リソースロールの詳細な説明。

[リソース割り当て] フォーム

[リソース割り当て] フォームを使用して、リソースの割り当てを行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース割り当て] フォーム

フィールド	説明
開始日	リソース割り当ての開始日。開始日と終了日は、リソース計画の日付内である必要があります。
終了日	リソース割り当ての終了日。
リソース	割り当てられるリソース。ルックアップの結果は、リソース計画で選択されたグループ、ロール、またはユーザーによってフィルタリングされます。
確認済み/割り当て済みの時間	リソース計画が確認または割り当てられたときに、システムが確認またはリソースに割り当てる時間数。確認済みおよび割り当て済みの時間は、リソース計画の [確認済み/割り当て済みの時間] フィールドにロールアップされます。
FTE	フルタイム相当の選択の単位数。 このオプションは、リソース計画の [要求タイプ] フィールドで **[FTE]** を選択した場合に表示されます。
人日	人日選択の単位数。 このオプションは、リソース計画の [要求タイプ] フィールドで [人日] を選択した場合に表示されます。
予定コスト	リソースの予定コスト。 `予定コスト = 予定時間 * 時給`時給は、次のいずれかのソースから算出されます。 • [レート上書き] オプションが選択されている場合、リソース計画の [リソースレート]。 • リソース計画が関連付けられているプロジェクトまたはデマンドにデータが設定されている場合、レートモデル。 • レートモデルが利用できない場合の賃金レートカード。 • 他のすべての条件が満たされない場合は、システムプロパティ *`com.snc.time_card.default_rate`* を使用します。 予定コストは、リソース計画の [予定コスト] フィールドにロールアップされます。 デフォルトでは、このフィールドはフォームに表示されません。このフィールドが表示されていない場合は、それを追加するようにフォームを設定します。
確認済み/割り当て済みのコスト	リソースのコスト。 `確認済み/割り当て済みコスト = 確認済み/割り当て済み時間 * 時給` 時給は、次のいずれかのソースから算出されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース割り当て] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• [レート上書き] オプションが選択されている場合、リソース計画の [リソースレート]。 • リソース計画が関連付けられているプロジェクトまたはデマンドにデータが設定されている場合、レートモデル。 • レートモデルが利用できない場合の賃金レートカード。 • 他のすべての条件が満たされない場合は、システムプロパティ *com.snc.time_card.default_rate* を使用します。 確認済みおよび割り当て済みのコストは、リソース計画の [確認済み/割り当て済みのコスト] フィールドにロールアップされます。 デフォルトでは、このフィールドはフォームに表示されません。このフィールドが表示されていない場合は、それを追加するようにフォームを設定します。
デマンド通貨での確認済み/割り当て済みコスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、デマンド通貨ビューが有効になっている場合の、デマンド通貨でのデマンドタスクの確認済み/割り当て済みコスト。
プロジェクト通貨での確認済み/割り当て済みコスト	PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効で、プロジェクト通貨ビューが有効になっている場合の、プロジェクト通貨でのプロジェクトタスクの確認済み/割り当て済みコスト。

[新規作成] フォーム

[新規作成] フォームを使用して、割り当てボードを作成します。

新しいフォームの作成

フィールド	説明
名前	割り当てボードの一意の名前。
タイプ	リソースをフィルタリングするレベル。 • デマンド/プロジェクト：選択すると、リソースはデマンドとプロジェクトからフィルタリングされます。 • グループ：選択すると、リソースはグループからフィルタリングされます。 • グループマネージャー：選択すると、pps_resource ロールを持つすべてのリソースがフィルタリングされます。 • ポートフォリオ：選択すると、リソースはポートフォリオからフィルタリングされます。 • プログラム：選択すると、リソースはプログラムからフィルタリングされます。 • リソースプラン：選択すると、リソースはフィルター基準でフィルタリングされ、特定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいフォームの作成 (続く)

フィールド	説明
	のグループ、ロール、マネージャー、ポートフォリオ、またはプログラムにバインドされません。 • ロール：選択すると、リソースはロールからフィルタリングされます。 • ユーザーマネージャー：選択すると、pps_resource ロールを持つすべてのリソースがフィルタリングされます。 [タイプ] フィールドの値に応じて、レコードの名前を選択するフィールドが表示されます。たとえば、[タイプ] が [グループ] の場合、グループの名前を選択できる [グループ] フィールドが表示されます。

[リソースイベント] フォーム

[リソースイベント] フォームを使用して、リソース計画に含まれているリソースであっても更新します。

[リソースイベント] フォーム

フィールド	説明
名前	イベントの名前
タイプ	イベントのタイプ： • 休暇 • 予約 • 会議 • 電話 • タスク
時期/宛先	イベントの開始日と終了日。
終日	イベントがスケジュールで指定された終日のイベントである場合。
周期	イベントが [日次]、[週次]、[月次]、または [繰り返さない] 場合。
タスク	このイベントに関連付けられたタスク。
ユーザー	イベントに関連付けられたユーザー。

[リソースレポート] フォーム

[リソースレポート] フォームを使用して、リソースレポートを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースレポート] フォーム

フィールド	説明
レポートタイプ	表示するレポートのタイプ。次のオプションから選択できます。 • [可用性]- 選択した期間のエンティティの可用性を表示します。 • [稼働率の予測] - 選択した期間のエンティティの稼働率の予測を表示します。 • [確定した稼働率] - 選択した期間のエンティティの確定した稼働率を表示します。 • [割り当て] - 選択した期間の割り当てを表示します。 • [割り当ての詳細] - 選択した期間のエンティティの割り当ての詳細を表示します。
エンティティ タイプ	レポートを表示するエンティティ。次のオプションから選択できます。 • ユーザー • グループ • デマンド • プロジェクト • プログラム • ポートフォリオ • 他のタスク 注: [レポートタイプ] フィールドで [割り当て] を選択した場合は、[ユーザー] と [グループ] のみを使用できます。
ユーザー	レポートを表示するユーザー。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます。
グループ	レポートを表示するグループ。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [グループ] を選択した場合にのみ表示されます。
グループごと	選択したグループのレポートを [ロール] または [メンバー] でフィルタリングするオプション。このフィールドは、[レポートタイプ] フィールドで [可用性] または [稼働率の予測] または [確定した稼働率] を選択し、[エンティティタイプ] フィールドで [グループ化] を選択した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースレポート] フォーム (続く)

フィールド	説明
メンバー	レポートを表示する、選択したグループのグループメンバー。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [グループ] を選択し、[グループ] フィールドで [メンバー] を選択した場合にのみ表示されます。
ロール	レポートを表示する、選択したグループのリソースロール。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [グループ] を選択し、[グループ] フィールドで [ロール] を選択した場合にのみ表示されます。
デマンド	レポートを表示するデマンド。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [デマンド] を選択した場合にのみ表示されます。
プロジェクト	レポートを表示するプロジェクト。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [プロジェクト] を選択した場合にのみ表示されます。
プログラム	レポートを表示するプログラム。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [プログラム] を選択した場合にのみ表示されます。
ポートフォリオ	レポートを表示するポートフォリオ。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [ポートフォリオ] を選択した場合にのみ表示されます。
他のタスク	レポートを表示するタスク (デマンド、プロジェクト、プログラム、またはポートフォリオ以外)。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [他のタスク] を選択した場合にのみ表示されます。
リソースプラン	レポートを表示するリソース計画。このフィールドは、[エンティティタイプ] フィールドで [ユーザー] または [グループ] を選択した場合表示されません。
開始日と終了日	レポートを表示する開始日から終了日までの期間
ズームレベル	レポートを表示するズームレベル。次のオプションから選択できます。 • 週次：選択した期間中の各週のデータを表示します。 • 月次：選択した期間中の各月のデータを表示します。
レポートの単位	リソースのキャパシティ、可用性、または割り当てが表示される単位。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソースレポート] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 時間：リソースのキャパシティ、可用性、または割り当てを時間単位で表示します。 • FTE：リソースのキャパシティ、可用性、または割り当てを FTE で表示します。 • 人日：リソースのキャパシティ、可用性、または割り当てを人日で表示します。 このフィールドは、[レポートタイプ] フィールドの値が [可用性]、[割り当て]、または [割り当ての詳細] である場合にのみ表示されます。

[新しいイベント] フォーム

[新しいイベント] フォームを使用して、タスク、イベント、および予約をカレンダーに追加します。

[新しいイベント] フォーム

フィールド	説明
名前	イベントのわかりやすい名前を入力します。
タイプ	リストからタイプを選択します。 • 休暇：個人の休暇。 • 予約：管理タスクの一種。 • 会議：仕事に関連する会議。 • 電話：仕事に関連する電話。 • タスク作業：ServiceNow システム内のタスク (アサインされているインシデントや変更など)。
タスク	参照ルックアップアイコンをクリックし、実行する必要のあるタスクを選択します。 このフィールドは、アクティビティのタイプとして [タスク] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** このアクションによって、タスクフォームの [割り当て先] フィールドにユーザーが追加されることはありません。
時期	開始と終了の日時を選択するか、[終日] オプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいイベント] フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドを使用して反復可能なイベントを設定しないでください。
周期	[日次]、[週次]、[月次] など、アクティビティが繰り返される頻度を選択するか、このイベントが繰り返されないイベントの場合は [繰り返さない] を選択します。 たとえば、月曜日と金曜日に作業するタスクがある場合は、月曜日と金曜日に週次の繰り返し可能なイベントを設定します。「繰り返し可能なイベントの作成」を参照してください。
繰り返し間隔	頻度を表す数値を入力します。 このフィールドは、[繰り返し] フィールドで [日次]、[月次]、または [年次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し：	アクティビティを繰り返す曜日を選択します。 このフィールドは、[繰り返し] フィールドで、[週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し期限：	終了日を選択します。 このフィールドは、[繰り返し] フィールドで [日次]、[月次]、または [年次] を選択した場合にのみ表示されます。

診断機能フォーム

診断機能フォームを使用して、リソースの新しい診断機能を作成します。

診断機能フォーム

フィールド	説明
名前	診断機能の名前。この名前は、この診断機能が属するアプリケーションに表示されます。
有効	診断機能を有効にするためのオプション。
アプリケーション	この診断機能を関連付けるアプリケーションを検索して選択します。
ロール	目的のロールを [選択済み] リストに移動します。選択したロールを持つユーザーは、診断機能にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

診断機能フォーム (続く)

フィールド	説明
説明	診断機能の詳細。説明は、診断機能が属するアプリケーションに表示されます。これにより、ユーザーは機能で実行された診断スキャンを理解できます。

[診断入力] フォーム

[診断入力] フォームのフィールドを使用して、ユーザーのフィルター条件を指定します。

[診断入力] の各フィールド

フィールド	説明
ラベル	入力フィールドのラベルの名前。
フィールド タイプ	[参照] フィールドタイプを選択します。
テーブル	条件で指定されたクエリを実行するテーブルの名前。
キー	ユーザー入力条件の識別子。ユーザーが複数の条件を指定した場合、このキーは各条件の一意の識別子として機能します。このキーは、診断スクリプトの `scanContext` セクションの入力として使用できます。

[診断スクリプト] フォーム

[診断スクリプト] フォームを使用して、アプリケーションのデータに破損がないかどうかをスキャンします。

[診断スクリプト] フォームフィールド

フィールド	説明
名前	診断スクリプトの名前。スクリプトの目的を明確に説明する名前を使用してください。スクリプト名を使用すると、診断スキャンの作成時にスクリプトを機能にマッピングするときに、正しいスクリプトを識別できます。
説明	診断スクリプトの詳細。説明により、ユーザーはスクリプトの機能を理解できます。
診断スクリプト	診断スクリプトの実際のコード。

[診断] フォーム

[診断] フォームを使用して、診断スクリプトと修正スクリプトを備えた診断スキャンおよびマッピング診断機能を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

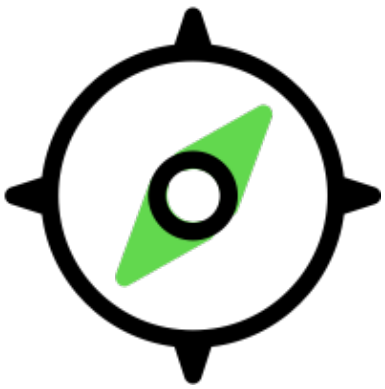
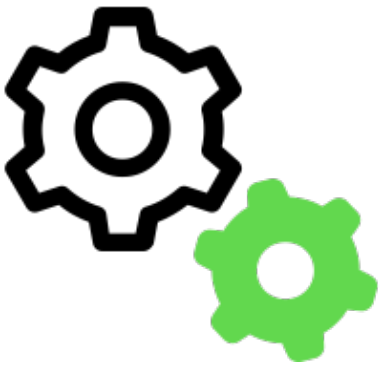
[診断] フォームフィールド

フィールド	説明
名前	診断スキャンの名前。この名前は、この診断スキャンが属するアプリケーションに表示されます。
有効	診断スキャンを有効にするためのオプション。
順番	この診断スキャンがアプリケーションに表示される順序。
機能	この診断スキャンを関連付ける診断機能を検索して選択します。
ロール	目的のロールを [選択済み] リストに移動します。選択したロールを持つユーザーは、診断スキャンにアクセスできます。
説明	診断スキャンの詳細。説明は、診断スキャンが属するアプリケーションに表示されます。これにより、ユーザーは診断スキャンを理解できます。

リソース管理ワークスペース

リソースマネージャーが ServiceNow® リソース管理ワークスペース 、すべてのリソースのすべての作業を一元的に表示できるようにします。

開始するには

探索	構成	使用方法
		
Resource Management Workspace の主な機能とビジネス価値について学ぶ	アプリケーション、依存アプリケーション、またはプラグインをインストールする	計画立案アイテム全体のリソースを計画して割り当てる

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

リソース管理ワークスペース の詳細

が提供する リソース管理ワークスペース 特徴、機能、およびビジネス価値について説明します。

これにより、リソースの割り当てと要求を一元的に表示できます。リソースマネージャーは、リソースに割り当てられた作業のチームの割り当てとブレークダウンを表示する専用のワークスペースを取得します。

リソース管理ワークスペース リソース割り当てとリソース要求を一元的に表示します。このワークスペースは、リソース管理の問題を緩和し、より幅広いユースケースをカバーするように設計されています。

機能と利点

機能	メリット
永続カードビュー	集中ビューを作成して、リソース割り当てを表示して作業します。
[リソース割り当て] ビュー	週次または月次レベルでのリソース割り当てのブレークダウンビュー。
未アサイン作業の割り当て	未アサインタスクをフィルタリングして、作業を表示および割り当てます。
統合： Microsoft Teams	追加のインサイトを得るために、タスク所有者と簡単に共同作業します。
リソースの作業を承認	アサインされた作業のステータスを [承認済み]、[未承認]、または [保留中] に移動して、優先順位付けされた作業を割り当てます。
図像	過剰に割り当てられたリソースを特定し、リソース帯域幅内で割り当てを維持するために再割り当てします。
ヒートマップモーダル	アサインされた作業と工数のブレークダウンビュー。

リソース管理ワークスペース のインストール

リソース管理ワークスペース アプリケーションを ServiceNow Store からインストールします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して リソース管理ワークスペース アプリケーションを検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前または ID (sn_rm_ws) でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、以下からリクエストする必要があります。 ServiceNow ストア.

3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   使用中のアプリケーションが他のアプリケーションを必要とし、それがまだインストールされていない場合は、先にインストールしておいてください。アプリケーションをインストールする時点で、依存アプリケーションまたはプラグインがインストールされていない場合は、それらも自動的にインストールされます。

5. デモ データをインストールする場合は、 [デモ データの読み込み] を選択します。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   注:
   インストール時にストアアプリケーションのデモデータをインストールしないと、後で要求することはできません。

6. [インストール] をクリックします。

タスクの結果
リソース管理ワークスペースアプリケーションがインスタンスにインストールされます。

リソース管理ワークスペース の使用

カスタムカードを作成して永続的なポートフォリオを作成し、すべてのリソースと作業の現在のリソース割り当てとリソース要求を表示します。

さまざまな計画ワークスペースからのリソース割り当ては、リソースマネージャーのこの専用ビューにプルされ、全体的な作業ビューが提供されます。リソースマネージャーは、 リソースカードを簡単に作成 して、永続的なポートフォリオを構築し、リソース割り当てを表示できます。

リソースカードを使用して複数のポートフォリオをすばやく作成し、これらのカード間を移動してリソース要求を処理します。詳細条件ビルダーを使用して、チーム、属性、グループなどに基づいてポートフォリオをカスタマイズし、リソース割り当てを表示します。

ヒント:
作成したフィルタークエリと条件を保存して、リソース割り当てに再度アクセスして作業します。

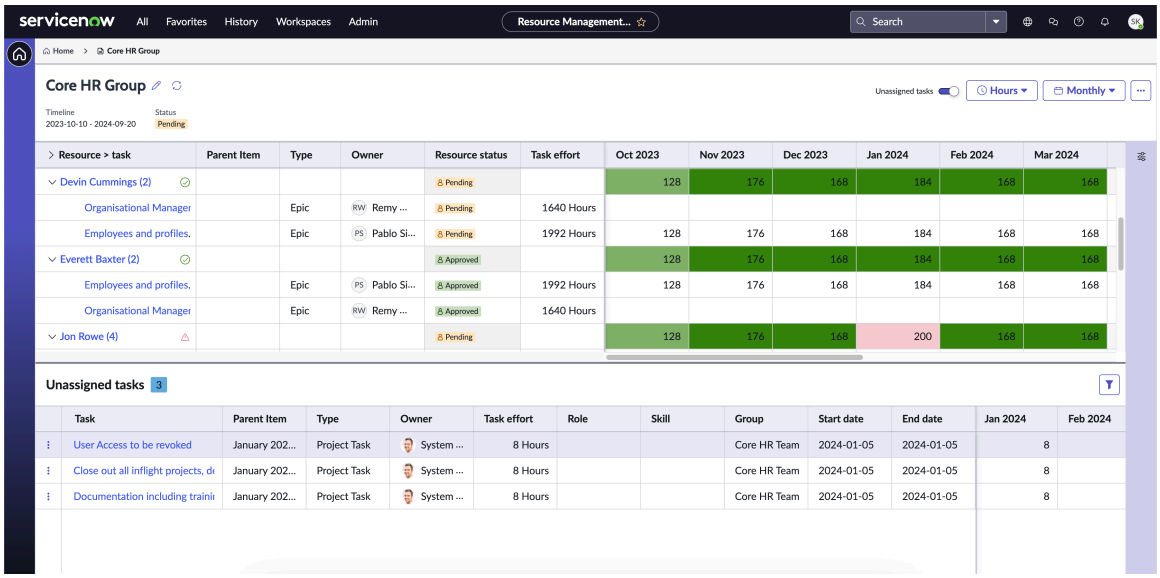
この直感的なワークスペースを利用して、リソースマネージャーは次のことを簡単に実行できます。

- リソースにアサインされたタスクの数を表示します。
- 新しい図像を使用して、リソースが使用可能な帯域幅内にリソースが割り当てられているかどうか (リソース割り当てが)、または過剰割り当て ( ) を分析します。
- [リソースステータス] 列を使用して、リソースレベルにロールアップされたアサイン済みタスクのステータスを把握します。
- 新しいヒートマップモーダルを使用して、リソース割り当てに関するインサイトを取得します。
- 下部トレイで未アサインの作業を表示または非表示にします。
- カスタム要求を表示するファイラー未アサイン作業。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 未アサインタスクをアサインします。
- アサインされた作業要求を承認または未承認にします。

これらのリソース カードにアクセスすると、広範な分析情報を含む次の例と同様のビューが表示されま



す。

リソース割り当て

割り当て明細

上部トレイの [リソース割り当て] ビューには、入れ子になったビュー、リソースレベルにロールアップされた割り当て済み作業アイテム、および時間枠 (週次または月次) と作業工数 (時間、FTE、または人日) に基づくリソース割り当てブレークダウンビューがあります。

リソースにアサインされた個々のタスクレベル (エピック、デマンドなど) の詳細を取得するには、矢印 (> を展開します) アイコンを選択します。これは、ブレークダウンビューで次のことを理解するのに役立ちます。

- 特定のリソースに割り当てられた作業。
- リソースが個々のタスクに割り当てられる時間。

アサインされた作業ステータス値

[リソースステータス] 列を使用すると、リソースにアサインされた作業アイテムが保留中 (黄色の長方形の Pending ステータスアイコン) または未承認 (Unapproved を簡単に識別できます。

> **注:**
> アサインされた作業のステータスは、リソースレベルとリソースカードレベルにロールアップされます。最上部トレイに処理待ちまたは未アサインの作業アイテムがある場合、リソースレベルおよびカードレベルでロールアップされたステータスには [保留中] と表示されます。

割り当てヒートマップモーダル

は、リソース使用率の概要を示し、過剰に割り当てられたリソースと利用可能なリソースを特定します。割り当ては、リソースの可用性を表示して、フィルタリングされた期間のリソースの可用性を識別するのに役立つ色分けされています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Very Over Utilized	150 +	%
Over Utilized	100 - 150	%
Full Utilization	100	%
Good Utilization	51 - 99	%
Under Utilized	0- 50	%

新しいヒートマップモーダルは、それぞれの所有者に割り当てられたタスク、合計割り当て、合計キャパシティ、残りのキャパシティ、リソース使用率、割り当てブレークダウンなどの有益な詳細をヒートマップモーダルを使用して上部トレイから提供し、リソースの合計割り当てを完全に可視化します。

これらのパラメーターを簡単に理解できるように、上記の例から、2024 年 1 月の Jon Rowe の割り当てヒートマップモーダルを見てみましょう。

未アサインタスク

下部トレイの [未アサインタスク] ビューには、期間、要求された工数のブレークダウンビュー、要求された作業アイテムとその親アイテム、タスクの所有者または要求者などの詳細を含む未アサイン要求が表示されます。

[未アサインタスク] トグル ([Unassigned tasks) を使用して、アサインされていない作業の下部トレイを表示または非表示にします。

リソースカードの作成

カスタムリソースカードを作成して、リソースと未アサインタスクを表示し、永続的で集中的なポートフォリオのリソースマッピングに取り組みます。

始める前に
必要なロール：resource_manager

手順

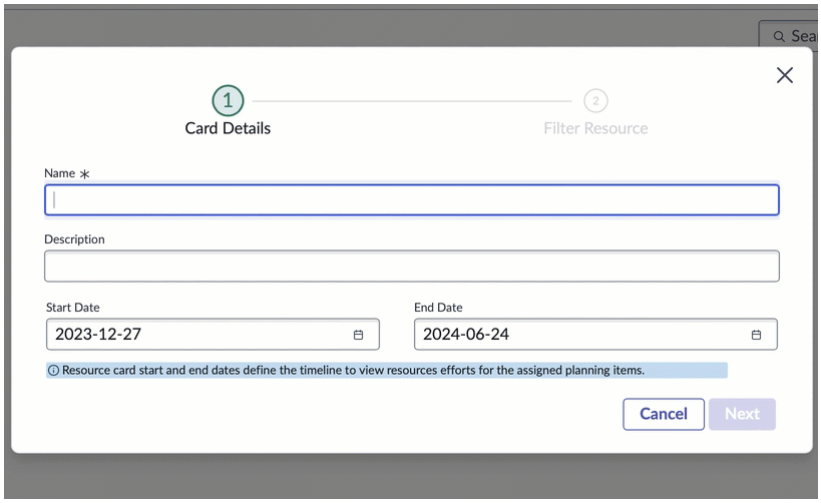
1. 移動先 ワークスペース > リソース管理ワークスペース.
2. [新しいリソース カード] ボタン ( ) を選択します。
3. 名前と説明を入力し、日付範囲を選択してリソースの取り組みを表示します。
   デフォルトでは、日付範囲は今日の日付から 6 か月に設定されています。最大日付範囲は、選択した開始日から 3 年間です。
4. [次へ] を選択します。
5. リソースのカスタムセットを表示するためのフィルター条件を作成します。
   デフォルトの条件は、すべてのアクティブなユーザーを表示するように設定されています。

> ヒント:
> [フィルターの保存] オプション ([フィルター) を使用してフィルター条件を保存し、後で識別しやすいようにフィルターに名前を付けます。次回リソース カードを作成するときに、 [既存のフィルターを使用] リストから保存したフィルターの 1 つを選択し、さらにカスタマイズできます。

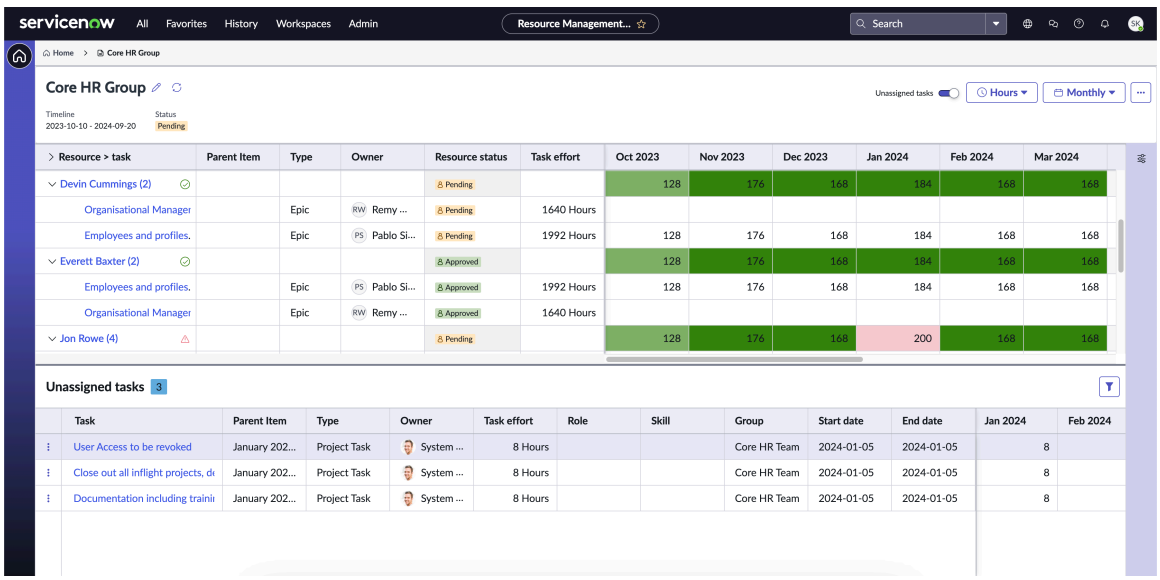
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [確認] を選択します。



タスクの結果
リソースボードビューには、リソースの合計割り当て、作業中のプロジェクト、および未割り当てタスクが表示されます。



次のタスク
未アサインタスクを割り当て、アサインされた作業を管理します。

を使用した未アサイン作業の割り当ておよび承認 リソース管理ワークスペース

アサインされていない作業をフィルタリングして優先度要求を表示し、リソースにアサインします。を使用して要求者に Microsoft Teams すばやく連絡し、追加のインサイトを取得して、インライン編集機能を使用してアサインされた作業を承認します。

始める前に

- Create an active employee definition リソースがで割り当ての詳細 リソース管理ワークスペースを表示するには、.
- リソースカードの作成。
- 必要なロール：resource_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 ワークスペース > リソース管理ワークスペース.

2. [未アサインタスク] トグル ([未アサイン Unassigned tasks) を有効にして、下部トレイに未アサインの作業要求を表示します。
プロジェクトマネージャーは、プライマリ属性 (グループ、スキル、またはロール) に基づいてリソース要求を作成します。

3. 下部トレイで、フィルター (フィルター) を選択して、未割り当ての作業をフィルター処理し、表示する内容のカスタム ビューを取得します。

   リソースグループ、チーム、ロール、スキル、プロジェクト、期間などの属性を使用して、高度なフィルターを操作できます。

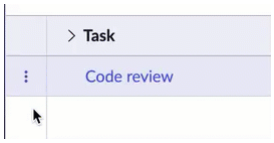
   ヒント:
   条件ビルダーを使用して、優先度要求を処理します。

   例: これは、特定のユーザーに対してこの四半期に作成された未アサインの作業要求をフィルターする条件です。



4. [フィルター] を選択します。
フィルター条件に一致する未アサイン作業が表示されます。

5. [行コンテキスト メニュー] ( ) を選択し、[作業の割り当て] を選択します。



6. [作業の割り当て] ウィンドウで、[ユーザー] リストをフィルター処理してリソースを選択し、[割り当て] を選択します。

   作業をアサインする際に、リソースが使用可能かどうか ( ) または過剰使用 (。

   注:
   デフォルトでは、アサインされた作業は保留中ステータス (Pending) になり、上部トレイのネストされたビューに移動されます。

7. リソース行を展開)をクリックして、アサインされたタスクを表示します。
8. 所有者の名前を選択して共同作業を行い、追加の Microsoft Teams 分析情報を取得して要求を承認または却下できます。
9. タスクの [リソースステータス] セルをダブルクリックし、次のいずれかのオプションを選択して割り当てを管理します。

タスクの結果
アサインされた作業アイテムは、承認済み (Approved) または未承認 (Unapproved) であり、作業アサインのステータスがリソースレベルにロールアップされます。

ポートフォリオ管理

ServiceNow® Portfolio Management アプリケーションを使用すると、関連するプログラム、プロジェクト、およびデマンドのコレクションであるポートフォリオを作成できます。その後、財務計画立案を実行し、これらのポートフォリオのステータスと進捗状況を監視できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

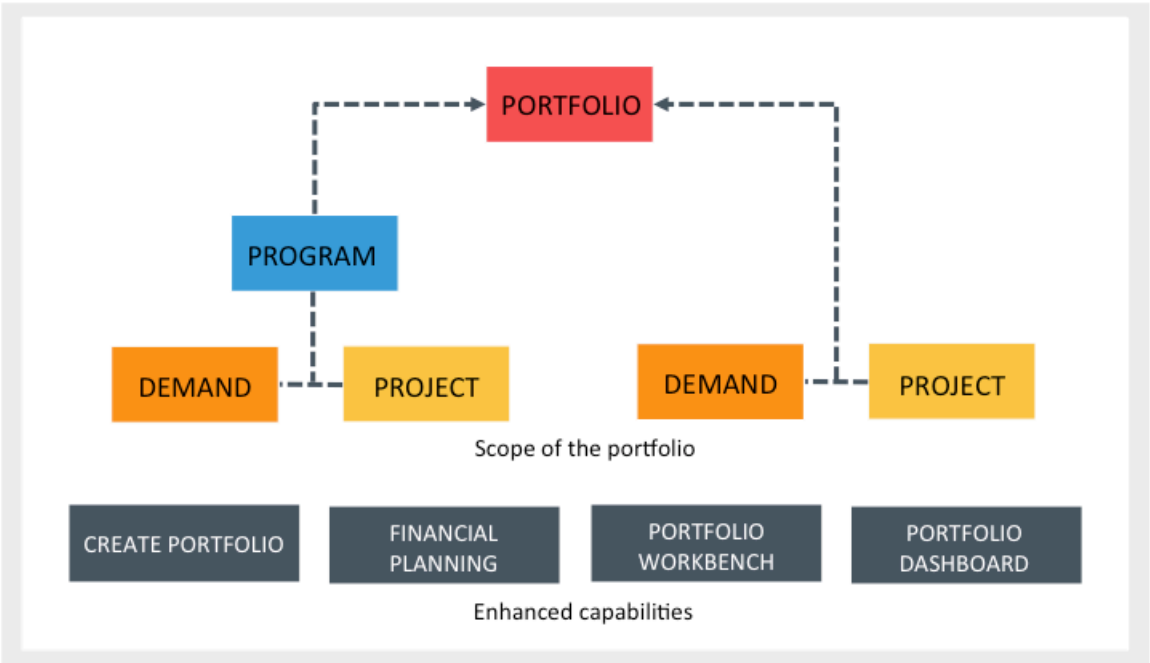
ポートフォリオ構造、ポートフォリオとプログラムの作成、ステークホルダーレジストリーの設定、およびポートフォリオワークベンチについては、この 4 分間のビデオをご覧ください。 ポートフォリオ構造、ポートフォリオとプログラムの作成、ステークホルダーレジストリーの設定、およびポートフォリオワークベンチに関する情報。

ポートフォリオを管理するには、it_portfolio_manager ロールが必要です。Portfolio Management アプリケーションは、ポートフォリオマネージャーに次の機能を提供します。

- 関連するプログラム、プロジェクト、およびデマンドを追加して、ポートフォリオを作成します。
- デマンド、プロジェクト、およびプログラムを選択して、年毎ポートフォリオ計画立案を実行します。
- ポートフォリオの一部であるすべてのプログラム、プロジェクト、およびデマンドの進捗状況とステータスを追跡します。コスト、リソース、スケジュール、リスク、および問題を追跡できます。

次の図は、Portfolio Management の概要を示しています。

Portfolio Management の概要



特徴

Portfolio Management には、次の機能もあります。

ポートフォリオワークベンチ

ポートフォリオワークベンチは、ポートフォリオの一部であるプログラム、プロジェクト、およびデマンドの進捗状況を表示および監視するための中心的な場所を提供します。また、年毎ポートフォリオ計画の実行や、ポートフォリオの予算および予測計画の作成を行うこともできます。

ポートフォリオの年毎計画

年毎計画ウィザードは、ポートフォリオワークベンチで利用できます。年毎計画プロセスは、次のステップで構成されています。

1. ポートフォリオの全体的なコスト要件を決定し、ターゲットを設定します。
2. 予算ターゲットとリソースの可用性に基づいて、会計年度のデマンドとプロジェクトを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 予算計画を作成および昇格します。
4. 必要に応じて、予算が確定する前にプロジェクトとデマンドを追加または削除して what-if 分析を実行し、予算計画を再度昇格させます。

ポートフォリオの予算予測

ポートフォリオワークベンチを使用して、ポートフォリオマネージャーは、実績コストおよび変更されたプロジェクト要件に基づいて、将来の期間のポートフォリオ予算を再見積もり (予測) できます。

ポートフォリオの追跡

財務計画立案が完了すると、ポートフォリオワークベンチでポートフォリオの進捗状況を追跡できます。この追跡には、予算に対して費やされている実際の金額、費やされた実際の時間、リスク、および問題が含まれます。

ポートフォリオマネージャーダッシュボード

ポートフォリオマネージャーダッシュボードは、ポートフォリオおよびポートフォリオ財務のさまざまなグラフィカルレポートを生成するための中心的な場所を提供します。

シナリオベースのポートフォリオ計画立案

Scenario Planning for PPM アプリケーションを ServiceNow Store からインストールして、ポートフォリオマネージャーがデマンドとプロジェクトのさまざまな組み合わせでシナリオベースのポートフォリオ計画立案を実行できるようにします。ポートフォリオ内の複数のシナリオを比較し、組織に財務的価値を付加するデマンドとプロジェクトにのみ資金を提供することができます。

ポートフォリオの作成

関連するプログラム、プロジェクト、およびデマンドを管理するためのポートフォリオを作成します。

始める前に

- ポートフォリオの一部として含めるデマンド、プログラム、およびプロジェクトを作成します。
- 必要なロール：it_portfolio_manager または admin

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > ポートフォリオ > 新規作成.
   次の場所に移動することもできます。 プロジェクト > ポートフォリオ > ワークベンチをクリックし、[新規作成] をクリックします。
2. このポートフォリオに含まれるプログラム、プロジェクト、およびデマンドを要約する一意の名前を入力します。
3. 付属するさまざまなプログラム、プロジェクト、およびデマンドを適切に説明するポートフォリオの説明を入力します。
4. ポートフォリオマネージャーの名前を入力します。
5. 計画立案のためのモードを選択します。

   注:
   このフィールドが表示されていない場合は、それを追加するようにフォームを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- シンプル：プロジェクトの簡易の財務計画立案を実行します。
- 詳細：予算計画と予測計画を含む詳細な財務計画立案を実行します。

6. [ポートフォリオを作成] をクリックします。

タスクの結果
ポートフォリオが作成され、フォームが再度開いて、追加のフィールド、関連リンク、および関連リストが表示されます。

次のタスク
次の関連リンクとリストに入力して、ポートフォリオを完成させます。

ポートフォリオフォーム

フィールド	説明
関連リンク	
デマンドワークベンチ	デマンドワークベンチを開くためのリンク。
ポートフォリオターゲット	各会計年度の投資および経費ターゲットを入力する [ポートフォリオターゲット] ダイアログボックスを開くためのリンク。このターゲット金額は、会計期間の間で均等に分割されます。 ポートフォリオターゲットは、[ポートフォリオターゲット] 関連リストに含まれます。
ポートフォリオワークベンチ	ポートフォリオワークベンチを開くためのリンク。
ポートフォリオ計画立案	シナリオ計画用のポートフォリオ計画立案ワークベンチを開くためのリンク。この関連リンクは、Scenario Planning for PPM がインスタンスにインストールされている場合に利用できます。詳細については、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。
関連リスト	
デマンド	ポートフォリオの一部であるデマンドのリスト。 デマンドを作成するには、[新規] をクリックします。 既存のデマンドをポートフォリオに追加するには、[編集] をクリックします。
プロジェクト	ポートフォリオの一部であるプロジェクトのリスト。既存のプロジェクトをポートフォリオに追加するには、[編集] をクリックします。
プログラム	ポートフォリオの一部であるプログラムのリスト。 プログラムを作成するには、[新規] をクリックします。 既存のプログラムをポートフォリオに追加するには、[編集] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオフォーム (続く)

フィールド	説明
リスク	ポートフォリオの一部であるリスクのリスト。プログラム、プロジェクト、およびデマンドのリスクもこのリストに表示されます。 リスクを作成するには、[新規] をクリックします。
問題	ポートフォリオの一部である問題のリスト。ポートフォリオ、プログラム、プロジェクト、およびデマンドの問題もこのリストに含まれます。 問題を作成するには、[新規] をクリックします。
コスト計画	ポートフォリオの一部であるプロジェクトとデマンドのコスト計画のリスト。
利益計画	ポートフォリオの一部であるプロジェクトとデマンドの金銭的利益計画のリスト。 金銭的利益計画を作成するには、プロジェクトまたはデマンドレコードを開き、[金銭的利益計画] 関連リストで [新規] をクリックします。
金銭以外の利益計画	ポートフォリオの一部であるプロジェクトとデマンドの金銭以外の利益計画のリスト。 金銭以外の利益計画を作成するには、プロジェクトまたはデマンドレコードを開き、[金銭以外の利益計画] 関連リストで [新規] をクリックします。
ポートフォリオターゲット	さまざまな会計年度のポートフォリオ投資コストターゲットと経費コストターゲットのリスト。値は、project_finding テーブルから表示されます。これらの値は、ポートフォリオワークベンチの [ターゲットを設定] ステージで設定します。さまざまな会計期間のターゲットを作成できます。 **注:** PPS 管理者は、次の場所に移動してポートフォリオターゲットを設定することもできます。 プロジェクト管理 > ポートフォリオターゲットの入力.
予算計画と予算策定	会計年度に応じて、ポートフォリオの一部であるプロジェクトとデマンドを一覧表示します。プロジェクトまたはデマンドをポートフォリオ予算計画に含めることも、除外することもできます。 ポートフォリオワークベンチの [プロジェクトおよびデマンドを選択] ステップでプロジェクトまたはデマンドを選択して次のステージに進むと、[計画] の値が **[true]** に変わります。

ポートフォリオステータスリストを開く

ポートフォリオのステータスリストを開いて、ポートフォリオに含まれているプロジェクトを確認します。

始める前に

必要なロール：it_portfolio_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > ポートフォリオ > すべて.

2. ポートフォリオを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ポートフォリオのステータス] 関連リンクをクリックします。
   ポートフォリオステータスレコードリストが開きます。
4. 必要に応じて、現在のポートフォリオに関連付けられている別のプロジェクトを選択できます。

従来のポートフォリオワークベンチ

ポートフォリオワークベンチは、関連するデマンドとプロジェクトのリストを表示し、ポートフォリオを計画し、その進捗状況を追跡するための中心的な場所を提供します。ポートフォリオワークベンチは、Paris リリースで廃止されました。ポートフォリオワークベンチは、以前のリリースからアップグレードしたインスタンスでは引き続き使用できますが、新しいインスタンスでは使用できません。

> **注:**
> このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

ポートフォリオワークベンチを次の目的で使用するには、it_portfolio_manager ロールが必要です。

- ポートフォリオ計画立案：ポートフォリオの計画立案を実行します。ポートフォリオでターゲットを設定し、プロジェクトとデマンドを選択し、予算計画を作成できます。
- ポートフォリオ予算予測：財務計画の一環として、実績コストに基づいて将来の期間のポートフォリオ予算を再見積もり (予測) します。
- ポートフォリオ追跡：プログラムの進捗状況と、ポートフォリオの一部であるプロジェクトおよびデマンドを表示および監視します。

> **注:**
>
> - ポートフォリオワークベンチは Service Portal に基づいています。つまり、要件および組織のワークフローに応じてワークベンチを構成、カスタマイズ、および拡張できます。詳細については、Service Portal ドキュメントを参照してください。
> - ポートフォリオワークベンチでは、モバイルデバイスをサポートしていません。

New York で始まるポートフォリオワークベンチに加えて、ポートフォリオ計画立案ワークベンチを使用してシナリオベースのポートフォリオ計画立案を実行できます。このシナリオベースの計画立案では、投資予算とリソースを組織に最適なデマンドとプロジェクトに集中させることができます。

Scenario Planning for PPM を使用すると、将来発生する可能性のあるリスクと不確実性を特定し、考えられる計画立案シナリオを作成し、いずれかのシナリオが現実になるのを追跡できます。たとえば、選択したすべてのデマンドとプロジェクトを含むシナリオ A があるが、チームの速度を低下させる可能性があるリスクがあることがわかっているとします。シナリオ B では速度を下げて、特定したリスクが現実になったときにシナリオ B に切り替えることができます。詳細については、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

ポートフォリオワークベンチには、 開いているポートフォリオの次のセクションが表示されます。

- 左側のセクションには、ポートフォリオの計画立案に使用される次のフィールドがあります。
  - 会計年度：計画立案を行う対象の会計年度を選択するリスト。

    > **注:**
    > リストに会計年度がない場合は、会計カレンダーを生成 します。

  - 計画立案ステップ **(Planning Steps)**：ポートフォリオの計画立案に関連するステップ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 完了した、および現在の計画立案ステップ番号を表示します。
- 完了した計画立案ステップにチェックを入れます。
- ポートフォリオの現在の計画立案ステップを強調表示します。

示されているポートフォリオワークベンチの例では、ポートフォリオはステップ 2 (デマンドおよびプロジェクトの選択) にあります。ステップ 1 (ターゲットの設定) は実行されています。

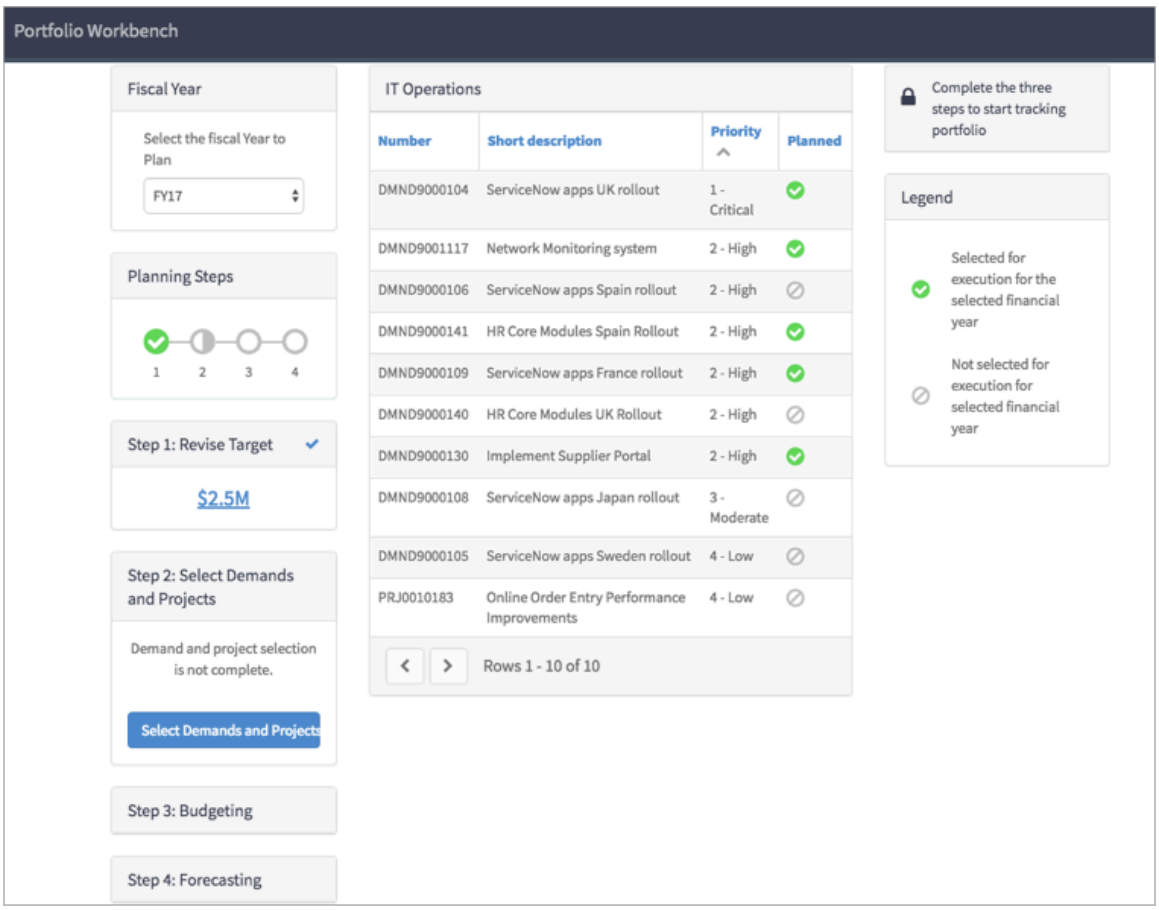
- 中央のセクションには、ポートフォリオの一部であり、選択した会計年度に属するすべてのデマンドとプロジェクトのリストが表示されます。緑色のチェックマークは、選択した会計年度での実行が選択されたデマンドとプロジェクトを示します。

  注:

  - このセクションでデマンドまたはプロジェクトをクリックして、それぞれのレコードを開きます。プロジェクトまたはデマンドフォームに必要な変更を加えることができます。
  - デマンドは、[開始予定日] および [期日] フィールドが設定されており、デマンドが承認済みまたは認定済みステータスの場合にのみ含まれます。

- 右上のセクションのロックは、ポートフォリオ計画立案がまだ完了しておらず、追跡アクションが有効になっていないことを示しています。財務計画立案が完了すると、[ポートフォリオを追跡] アクションが有効になり、ポートフォリオマネージャーがポートフォリオの進捗状況を追跡できるようになります。

ポートフォリオワークベンチの例



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

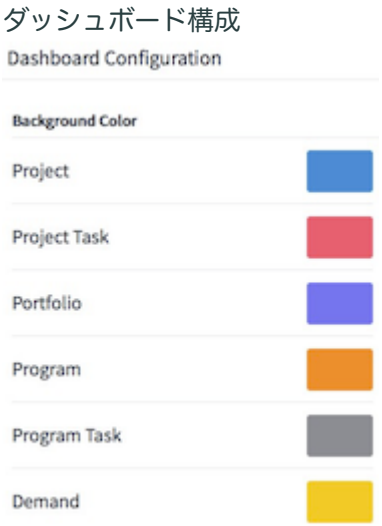
従来のポートフォリオワークベンチへのアクセス

ポートフォリオワークベンチにアクセスすると、すべてのポートフォリオのリストがダッシュボードに表示されます。

始める前に
必要なロール：it_portfolio_manager

手順

1. ポートフォリオワークベンチに次のいずれかの方法でアクセスします。
   - ポートフォリオフォームで、[ポートフォリオワークベンチ] 関連リンクをクリックします。
   - 移動先 すべて > プロジェクト > ポートフォリオ > ワークベンチ
2. 構成アイコン ( ) をクリックし、プロジェクト、タスク、ポートフォリオなどの色を選択します。
   ワークベンチではこれらの色を使用して、ポートフォリオのアイテムをタイムラインビューのガントチャートに表示します。

3. 開くポートフォリオをクリックします。

レガシー - ポートフォリオの計画立案

ポートフォリオマネージャーは、ポートフォリオワークベンチを使用して、会計年度のポートフォリオの財務計画立案を実行できます。ポートフォリオの計画立案は、簡易モードまたは詳細モードのいずれかを使用して完了できます。

このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

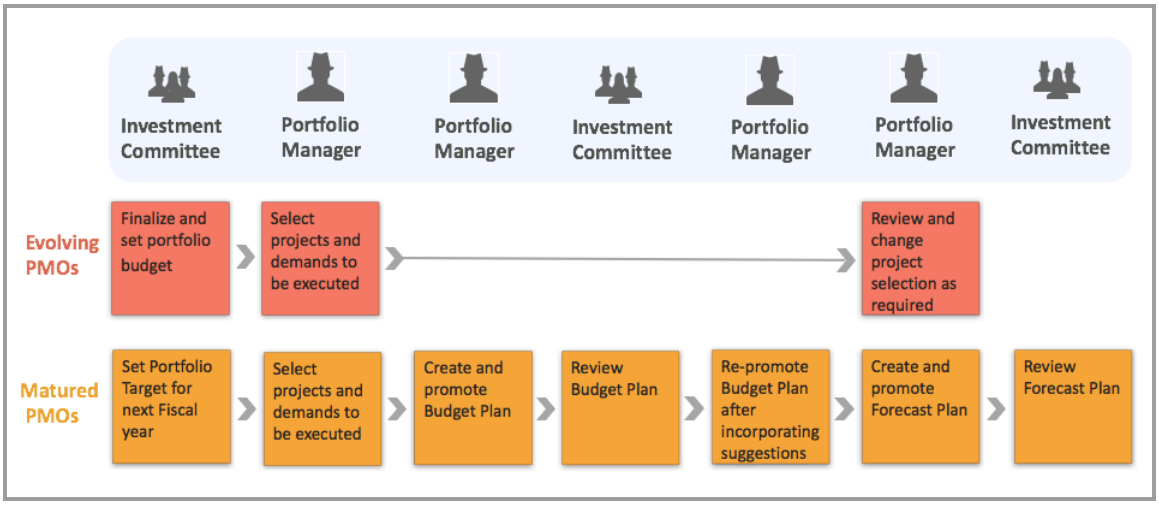
ポートフォリオフォームで、[ポートフォリオ計画立案] フィールドを [詳細] または [シンプル] に設定できます。選択内容に応じて、ポートフォリオワークベンチに計画立案ステップが入力されます。

次の図は、詳細計画立案モードと簡易計画立案モードでの計画立案プロセスの概要を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオの計画立案



簡易モードでのポートフォリオの計画立案

ポートフォリオが簡易計画立案モードの場合は、ポートフォリオ内のプロジェクトおよびデマンドに対して簡易の財務計画立案を実行できます。次の手順を実行します：

1. 会計期間を選択し、ターゲットを設定します。
2. プロジェクトおよびデマンドを選択します。

計画立案が完了したら、ポートフォリオのパフォーマンスを追跡し、予定予算を実績と比較し、リスクと問題をレビューします。

詳細モードでのポートフォリオの計画立案

ポートフォリオが詳細計画立案モードの場合は、次の手順に従います。

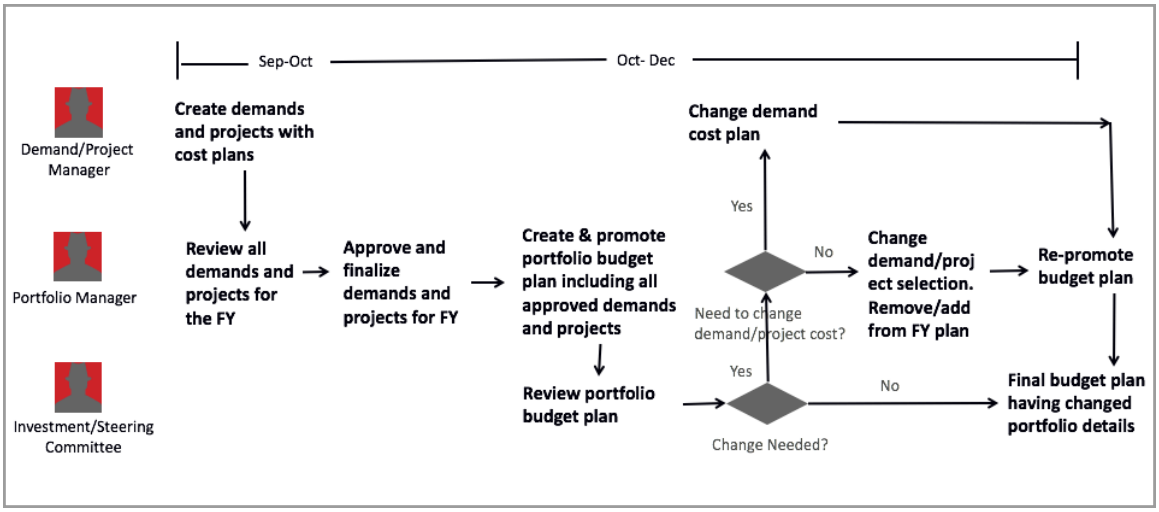
1. 会計年度を選択し、ターゲットを設定します。
2. プロジェクトおよびデマンドを選択します。
3. 予算計画を作成します。
4. 必要に応じて、予算計画を再度昇格させます。
5. 予測計画を作成します。

詳細モードでのポートフォリオ計画立案フローの例が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細ポートフォリオ計画立案の例



計画立案が完了したら、ポートフォリオのパフォーマンスを追跡し、予定予算を実績と比較し、リスクと問題をレビューします。

Scenario Planning for PPM

Scenario Planning for PPM アプリケーションを ServiceNow Store からインストールして、ポートフォリオマネージャーがデマンドとプロジェクトのさまざまな組み合わせでシナリオベースのポートフォリオ計画立案を実行できるようにします。ポートフォリオ内の複数のシナリオを比較し、組織に財務的価値を付加するデマンドとプロジェクトにのみ資金を提供することができます。

レガシー - ポートフォリオワークベンチの計画立案ビュー

選択した会計年度にスケジュールされているすべてのデマンドとプロジェクトを、計画コスト、リソース要件、および優先度とともに表示し、実行用に確定できます。

これらのセクションは、ポートフォリオワークベンチの計画立案ビューに表示されます。

デマンドおよびプロジェクト

デマンドおよびプロジェクトは、2 つの異なるタブに表示されます。

- [バブルチャート] タブ：選択した会計年度に計画されている認定済みまたは承認済みのすべてのデマンドを表示します。デマンドは、計画コスト、ROI %、リスクなどの属性に基づいてスコアが付けられ、 バブルチャート形式で表示されます。

  実行用に選択されたデマンドは、青色の境界線 ( ) で強調表示されます。

  選択されたデマンドの数とデマンドの合計数の対比は、チャートの右上隅にカウンターとして表示されます (DMN: 3 of 4)。

  > **注:**
  > デマンドがプロジェクトに変換され、プロジェクトが [対応中] ステータスになっている場合があります。これらのデマンドはバブルチャートには表示されません。これらのデマンドをプロジェクトとしてタイムラインビューに表示します。

- [タイムライン表示] タブ：ポートフォリオの一部であるすべてのデマンドとプロジェクトのリストを表示します。また、ポートフォリオ内のすべてのプロジェクト、デマンド、およびプログラムの経時的なガントチャートも表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブルチャートで実行用に選択されたすべてのデマンドは、タイムラインビューで選択済みとして表示されます。

ポートフォリオマネージャーは、次のアクションを実行できます。

- [ダッシュボード構成] 設定を使用して、ガントチャートのポートフォリオアイテムの色を設定します。
- ガントチャートカレンダーのズームレベルに [自動調整] を選択します。ガントビューは、スクロールバーを使用せずにタイムライン全体を表示できるように 1 ページに収まります。
- 各デマンドまたはプロジェクトの横にあるチェックボックスをオンにして、実行するデマンドまたはプロジェクトをオンまたはオフにします。選択されたデマンドの数、デマンドの合計数、選択されたプロジェクトの数、およびプロジェクトの合計数が、それぞれのカウンターとして表示されます (DMN: 3 of 4 および PRJ: 8 of 10)。
- 必要に応じて [投資予算] および [経費予算] 列を使用して、個々のプロジェクトおよびデマンドの投資予算および経費予算を直接レビューまたは修正します。
- ポートフォリオのプロジェクト間の外部依存関係を確認します。
- スコア、通貨、数値属性、または手動調整に基づいてデマンドとプロジェクトをランク付けします。ランクは、ポートフォリオ内でのデマンドとプロジェクトの承認と実行のための優先順位付けに役立ちます。

  デフォルトでは、[スコアによるランク付け] リストは、システムで生成されたスコアに基づいてデマンドとプロジェクトをランク付けします。リストには次のオプションがあります。

  - ビジュアルソートによるランク付け：ROI %、優先度、計画コストなどの通貨または数値属性に基づいてプロジェクトとデマンドをランク付けする場合は、最初に必要な属性でソートし、このアクションを実行してその属性でランク付けする必要があります。
  - ランクを調整：ランクにギャップがある場合 (たとえば、一部のプロジェクトが次の会計年度に移動された場合やキャンセルされた場合)、このアクションを実行してプロジェクトを再配置できます。たとえば、ランクが 1、2、5、8 の場合、このアクションではランクを 1、2、3、および 4 として調整します。

  ポートフォリオマネージャーは、[ランク] フィールドを編集してランクを変更することもできます。プロジェクトまたはデマンドのランクが変更されると、他のランクが自動的に調整されます。たとえば、ランク 2 のプロジェクトが 4 とランク付けされた場合、ランク 3 のプロジェクトは自動的にランク 2 と見なされ、ランク 4 のプロジェクトは自動的にランク 3 と見なされます。

  注:
  エンティティのランクは会計年度に固有です。プロジェクトを FY17 に 3 としてランク付けし、FY18 には 6 としてランク付けできます。

注:

- 重要なマイルストーンは、プロジェクトタイムラインの上にオーバーレイとして表示されます。
- 管理者は、タイムラインビューの列フィルターリスト ( ) に表示する列をカスタマイズできます。

チャート

表示されるチャートはポートフォリオのさまざまな要素を表しており、ポートフォリオの計画立案に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コスト (計画 対 ターゲット)：計画コストと、[ターゲットを設定] ステップで入力したターゲットを表示します。ポートフォリオの計画立案のためにプロジェクトとデマンドを選択する場合に、このチャートを使用します。

  デマンドまたはプロジェクトを選択すると、選択したすべてのデマンドとプロジェクトの合計計画コストを表すコストバーが埋まり始めます。選択したすべてのデマンドおよびプロジェクトの合計計画コストが目標予算を超えている場合、例外アイコン () が合計計画コストとともに表示されます。

  このウィジェットでは、次のことを実行できます。

  - 選択リストで会計期間を選択します。
  - [投資] または [経費] についてのみ、または [すべて] について計画コストを表示します。

- [リソースの概要] と [使用率 **(%)**]：ポートフォリオの計画立案のためにプロジェクトとデマンドを選択する場合は、これらのチャートを使用します。
  - [リソースの概要] タブ：次のアイテムを積み上げ棒グラフで表示します。棒グラフの任意のセクションをポイントすると、その詳細が表示されます。
    - キャパシティ：ポートフォリオ内の選択したデマンドおよびプロジェクトによって要求されたすべてのグループまたはリソースの総キャパシティ。
    - 要求された時間：ポートフォリオの選択されたすべてのデマンドとプロジェクトによって要求された合計時間数。他のポートフォリオのデマンドまたはプロジェクトによって要求された時間は含まれません。
    - 確認済みの時間：選択したデマンドおよびプロジェクトによって要求されたグループのすべてのポートフォリオで確認された時間数。
    - 割り当てられた時間：選択したデマンドおよびプロジェクトによって要求されたグループのすべてのポートフォリオで割り当てられた時間数。

    チャートの設定を変更するには、次のいずれかのオプションを選択します。
    - 時間：時間と会計期間に関連してチャートを表示します。
    - **FTE**：FTE および会計期間の観点からチャートを表示します。
    - 人日：人日と会計期間に関連してチャートを表示します。

    理想的には、合計リソース時間 (すべての四半期) が、リソースの総キャパシティ以下である必要があります。合計時間がリソースのキャパシティを超えている場合は、いくつかのデマンドまたはプロジェクトを保留するか、リソースを追加してキャパシティを増やすことができます。

    割り当て済み、確認済み、または要求済みを示す棒グラフのセクションをクリックすると、関連するリソース計画が開きます。

  - [使用率 **(%)**] タブ：ポートフォリオ内の選択したデマンドおよびプロジェクトによって要求されたすべてのリソースの使用率のヒートマップが表示されます。各リソースグループまたはグループのロールの使用率は、次のように計算されます。

    `(現在のポートフォリオの選択されたデマンドとプロジェクトにより要求された合計時間 + すべてのポートフォリオの選択されたデマンドおよびプロジェクトにより確認済みのグループの合計時間および割り当てられたグループの合計時間) / グループキャパシティ`

    グループの使用率が 100% を超える場合、ポートフォリオマネージャーはドリルダウンして、デマンドまたはプロジェクトの要求を確認できます。その後、優先度の低いデマンドまたはプロジェクトを除外して、使用率のバランスを取ることができます。

    ヒートマップの表示設定を変更するには、次のいずれかのオプションを選択します。

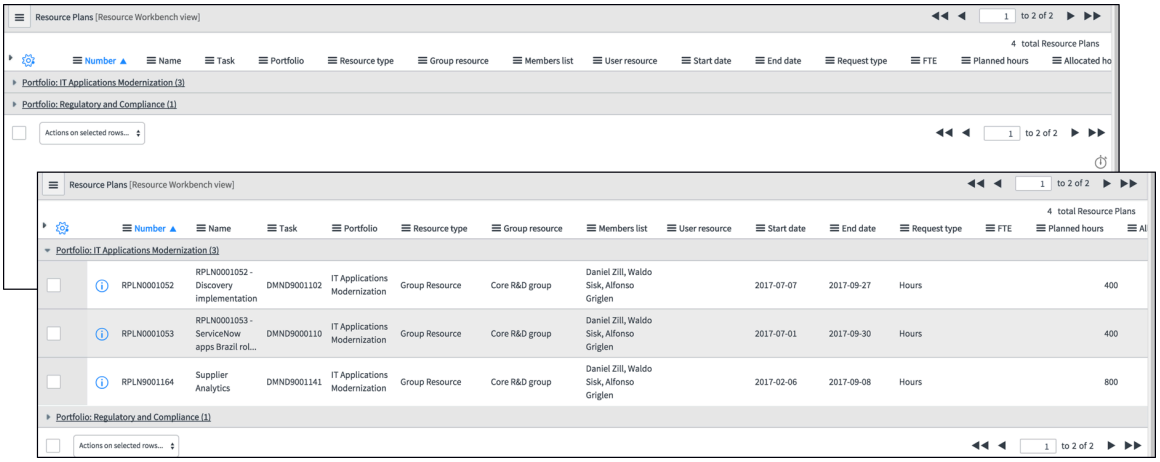
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- グループ：ポートフォリオに対して要求されたリソースグループのヒートマップを表示します。
- ロール：ポートフォリオに対して要求されたリソースロールのヒートマップを表示します。

ヒートマップ内の任意のセルをクリックすると、関連するリソース計画にドリルダウンし、特定のグループが要求されている場所が示されます。例：

ヒートマップからのリソース計画のドリルダウン



UI アクション

ポートフォリオワークベンチの計画立案ビューの上部には、次のオプションがあります。

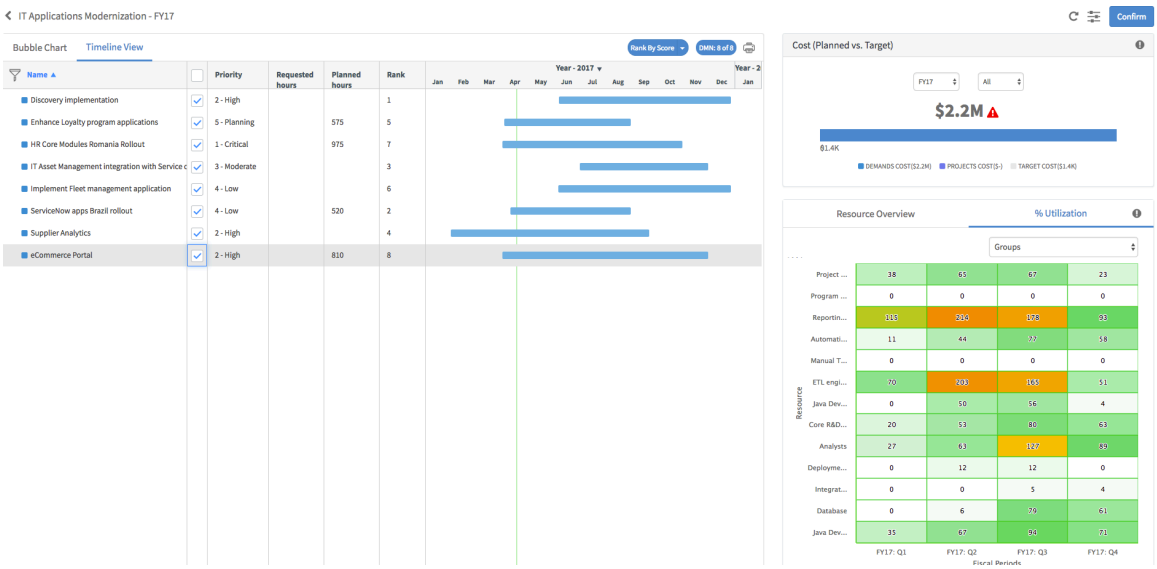
- リフレッシュアイコン ( )：デマンドまたはプロジェクトが実行用に選択または選択解除された後に、コストチャートとリソースチャートを手動で更新します。
- [自動リフレッシュ] スイッチ：構成アイコン ( ) をクリックすると、[自動リフレッシュ] スイッチが表示されます。スイッチは、デマンドまたはプロジェクトが実行用に選択されるか選択解除されると、コストチャートとリソースチャートの自動リフレッシュを有効にします。

計画立案ビューの例 1



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案ビューの例 **2**



レガシー - 会計年度の選択およびターゲットの設定

ポートフォリオの簡易および詳細計画立案のいずれにおいても、最初のステップは、処理するデータの会計期間を選択することです。次に、経費と投資コストのターゲット金額を設定します。

始める前に

ポートフォリオフォームで、ポートフォリオの [ポートフォリオ計画立案] フィールドを [シンプル] または [詳細] に設定します。

必要なロール：it_portfolio_manager または it_pps_admin

このタスクについて

通常、ターゲット金額は運営委員会または投資委員会によって提供されます。計画会計年度のターゲットは、前会計年度の実績支出額を基準にして、前年度の支出額の 110% にすることができます。ターゲットは、翌会計年度の計画立案プロジェクトの出発点です。

注:
PPS 管理者は、次の場所に移動してポートフォリオターゲットを設定することもできます。 プロジェクト管理 > ポートフォリオターゲットの入力.

手順

1. 従来のポートフォリオワークベンチへのアクセス、計画立案を行うポートフォリオを開きます。
2. [会計年度] 選択リストで、計画立案を行う対象の年を選択します。
   財務計画立案は、一度に 1 つの会計期間についてのみ実行できます。
3. [ステップ 1：ターゲットの設定 **(Step 1: Set Target)]** で、[ターゲットを設定] をクリックします。
4. [投資ターゲット] および [経費ターゲット] の金額を入力します。

   注:
   ポートフォリオワークベンチで定義された予算ターゲットは、ITFM でも表示できます。

5. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- ステップ 1 で予算ターゲットが表示されます。ターゲット金額をクリックすると、金額を変更できます。
- 異なる会計年度のポートフォリオの投資コストおよび経費コストターゲットは、ポートフォリオレコードの [ポートフォリオターゲット] 関連リストで更新されます。

次のタスク

レガシー - ポートフォリオ計画立案のためのデマンドとプロジェクトの選択。

レガシー - ポートフォリオ計画立案のためのデマンドとプロジェクトの選択

会計期間を選択して予算ターゲットを設定したら、予算計画立案に含めるデマンドとプロジェクトを選択します。選択した会計年度に予定されているすべてのデマンドとプロジェクトを、その計画コストおよび優先度とともに表示して、実行用に確定できます。

始める前に

必要なロール：it_portfolio_manager

このタスクについて

このステージでは、デマンドまたはプロジェクトとそれらの計画コストを含めたり除外したりして、what-if 分析を実行できます。計画コストは、プロジェクトまたはデマンドに対して作成されたすべてのコスト計画から導出されます。これは、会計年度における特定のプロジェクトまたはデマンドのすべてのコスト計画のすべてのコストの合計です。

手順

1. ポートフォリオワークベンチの [ステップ **2]** で [デマンドおよびプロジェクトを選択] をクリックします。
2. ポートフォリオワークベンチの計画立案ビューで、次の操作を実行できます。

オプション	説明
バブル チャート内	右クリックして、次の項目を選択します。 ○ デマンドを表示：デマンドフォームを開いて表示できます。 ○ 実行用に選択 ：デマンドをポートフォリオ計画立案に含めることができます。 ○ 削除：デマンドをポートフォリオ計画立案から除外できます。
タイムラインビュー内	リストの各プロジェクトまたはデマンドの横にあるチェックボックスを使用して、計画立案に含めるか、または除外します。

3. 計画立案ビューで次のアイテムを確認し、計画立案に含めるまたは除外するデマンドとプロジェクトを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [コスト (計画 対 ターゲット)] チャートを使用して、計画コストと、[ターゲットを設定] ステージで入力したターゲットを確認します。計画コストがターゲットコストを上回っている場合、例外アイコン ( ) が計画コストとともに表示されます。
- [リソースの概要] チャートを使用して、選択したデマンドとプロジェクトの実行用に要求されたリソース時間数を確認します。この数を、すべてのポートフォリオ全体で確認済み/割り当て済みの、要求されたリソースの数と比較します。
- ポートフォリオ内の選択したデマンドおよびプロジェクトによって要求されたすべてのリソースに対する [使用率 **(%)**] ヒートマップを使用します。

注:
計画コストをターゲット予算内に、またリソース使用率を 100% 以内にするために、ポートフォリオマネージャーは優先度の低いいくつかのデマンドまたはプロジェクトの選択を解除します。これらの選択解除されたデマンドとプロジェクトは、別の会計期間に移動できます。

4. 必要に応じて [投資予算] および [経費予算] 列を使用して、個々のプロジェクトおよびデマンドの投資および経費予算を直接レビューまたは修正します。

   タイムラインビューでフィルターアイコン ( ) をクリックし、[投資予算] および [経費予算] 列が表示されていない場合は追加します。
5. デマンドとプロジェクトを確定したら、[確認] をクリックします。
6. [確認] ダイアログボックスで、2 つのチェックボックスをオンにして、選択したデマンドとプロジェクトに対して追加のアクションを実行できます。
   選択したデマンドのみを承認するか、またはデマンドをプロジェクトに変換するには、最初のチェックボックスをオンにします。このチェックボックスは、 プロジェクトプロパティの [ポートフォリオワークベンチからのデマンドの確認後にプロジェクトを作成します] が true と false のいずれに設定されているかに応じて異なります。
   - プロジェクトプロパティが true の場合、チェックボックスは [選択したすべてのデマンドをプロジェクトに変換] になり、これをオンにすると選択したデマンドが承認され、プロジェクトに変換されます。
   - プロジェクトプロパティが false の場合、チェックボックスは [選択したすべてのデマンドをプロジェクトに対して承認 **(Approve all the selected demands to projects)**] になり、これをオンにすると、選択したデマンドが承認だけされます。

   選択したデマンドとプロジェクトのリソースを確認するには、2 番目のチェックボックス [選択したプロジェクトとデマンドのリソースを確認] をオンにします。
7. [確認] ダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

タスクの結果
[確認] ダイアログボックスで選択したチェックボックスに基づいて、次のアクションが実行されます。

- 選択したデマンドが承認されてプロジェクトに変換されるか、または承認だけされます。
- 選択したデマンドとプロジェクトに対してリソースが確認されます。関連するすべてのリソース計画が、[要求済み] ステータスから [確認済み] ステータスに移行します。

次のタスク
レガシー - 予算計画の作成および昇格：[ポートフォリオ計画立案] が [詳細] に設定されている場合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レガシー - ポートフォリオワークベンチを使用した、デマンドまたはプロジェクトの開始予定日の変更

デマンドまたはプロジェクトの開始日を変更し、別の会計期間にシフトすることで、コストとリソースのバランスを取ります。

始める前に

デマンドとプロジェクトは、ポートフォリオワークベンチのタイムラインビューで開きます。

必要なロール：it_portfolio_manager

手順

1. ポートフォリオワークベンチの [ステップ **2**] で [デマンドおよびプロジェクトを選択] をクリックします。
2. タイムラインビューで、フィルターアイコン ( ) をクリックし、[開始予定日] 列が表示されていない場合は追加します。
3. デマンドの開始予定日を変更するには、[開始予定日] 列の値をダブルクリックし、新しい日付を選択します。
4. プロジェクトの開始予定日を変更するには、次のアクションを実行します。
   a. プロジェクトを右クリックし、[編集] オプションを選択します。
   b. プロジェクトフォームでヘッダーバーを右クリックして、コンテキストメニューから [プロジェクト移動] オプションを選択します。
   c. ダイアログボックスで日付を選択し、**[OK]** をクリックします。

タスクの結果

日付を変更すると、コスト計画とリソース計画に次のような影響があります。

- コスト計画：コスト計画の日付は、プロジェクトまたはデマンドの日付の変更に対応して変更されます。たとえば、デマンドが 2 か月シフトすると、関連するすべてのコスト計画も 2 か月シフトします。
- リソース計画：リソース計画の日付は、プロジェクトまたはデマンドの日付の変更に関連して変更されます。リソース計画のステータスの変更は次のとおりです。
  - 割り当て済みステータスのリソース計画：割り当て済みステータスのリソース計画への影響は次のとおりです。
    - リソース計画の開始日が将来の場合、リソース計画は [要求済み] ステータスに戻されます。
    - リソース計画の開始日が過去の場合、リソース計画はキャンセルされます。過去の日付のハード割り当ては保持され、将来のハード割り当ては削除されます。新しい日付の新しいリソース計画が [要求済み] ステータスで作成されます。
  - 確認済みステータスのリソース計画：ソフト割り当ては削除され、計画は [要求済み] ステータスに移動します。
  - 計画ステータスおよび要求済みステータスのリソース計画：リソース計画のステータスに変更はありません。

注:
プロジェクトプロパティの [デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更でリソースプランとコスト計画の開始日を変更 **(Change Resource Plan and Cost Plan Start Date with Demand or Project Start Date Change)**] が、デマンドまたはプロジェクトの開始日の変更に関するコスト計画とリソース計画の変更を制御します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レガシー - プロジェクト間の外部依存関係の確認

ポートフォリオ内のプロジェクト間の外部依存関係を確認し、相互に依存しているプロジェクトをより詳細に追跡します。

始める前に

必要なロール：it_portfolio_manager
デマンドとプロジェクトを、ポートフォリオ計画立案ワークベンチのタイムラインビューで開きます。

このタスクについて

ポートフォリオマネージャーは、互いに依存しているプロジェクトを把握して、これらのプロジェクトをより詳細に追跡することができます。
たとえば、プロジェクト B がプロジェクト A (外部ソフト依存関係) に依存していて、プロジェクト B のスケジュールが影響を受けないように、プロジェクト A が時間どおりに実行されるようにしたいとします。[依存関係] 列には、プロジェクト A から送信する外部依存関係とプロジェクト B に受信する外部依存関係があることが示されます。受信する依存関係を使用して、プロジェクト A の遅延がプロジェクト B に影響するかどうかを判断できます。

手順

1. タイムラインビューで、ガントで列を表示または非表示アイコン ( ) をクリックし、表示されていない場合は [依存関係] 列を追加します。
   受信および送信する外部依存関係の数が表示されます (存在する場合)。
2. プロジェクトの [依存関係] 列で外部依存関係をクリックします。
3. [依存関係] ポップアップダイアログで、タブをクリックして依存関係を確認します。

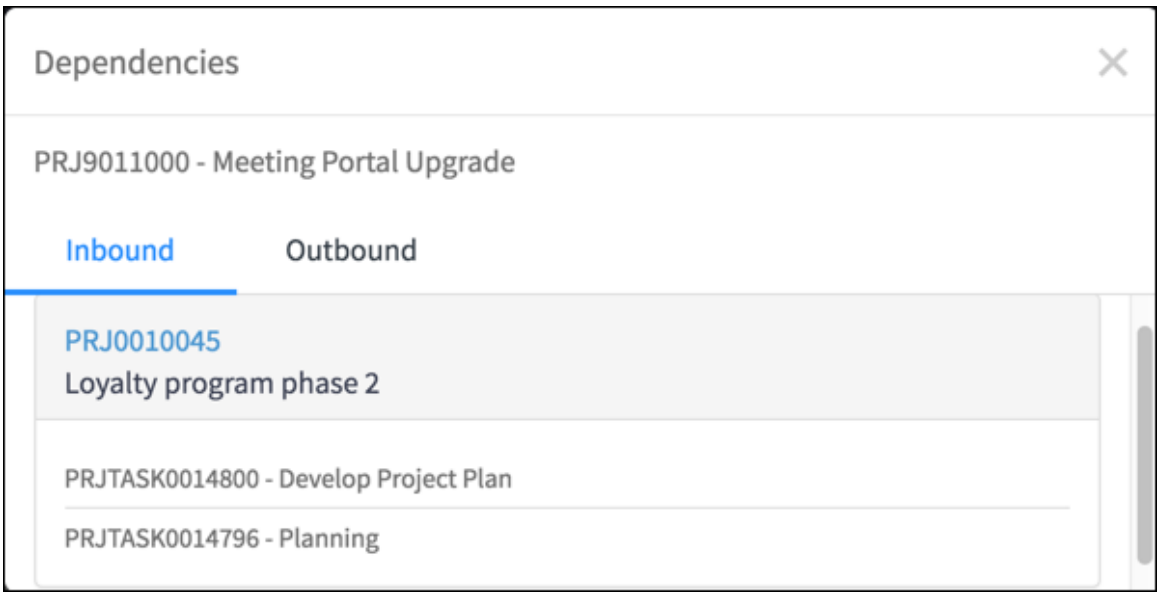
   [受信] タブ

   プロジェクトから受信する依存関係を持つタスクがリストされます。

   [送信] タブ

   プロジェクトに送信する依存関係を持つタスクがリストされます。

   プロジェクト間の外部依存関係



4. タブのプロジェクト番号をクリックして、リンクされたプロジェクトを計画立案コンソールビューで開いて確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レガシー - 予算計画の作成および昇格

PPM Standard (Project Portfolio Management) 統合の一環として、ポートフォリオの予算計画を作成して昇格することができます。

始める前に

- 必要なロール：it_portfolio_manager
- ポートフォリオフォームで、ポートフォリオの [ポートフォリオ計画立案] フィールドを [詳細] に設定する必要があります。
- ポートフォリオマネージャーの名前は、ポートフォリオフォームの [ポートフォリオマネージャー] フィールドで設定する必要があります。
- ポートフォリオの予算計画を作成して昇格するには、選択した会計期間の予算期間がオープンしている必要があります。

> **注:**
> PPS 管理者は、会計期間の予算期間を次のようにオープンおよびクローズすることもできます。 プロジェクト管理 > 予算期間のオープン/クローズ.

このタスクについて

予算計画には、選択したすべてのプロジェクトとデマンドからのコストが含まれます。予算計画の概要はポートフォリオワークベンチに表示され、詳細は Financial Planning で確認できます。詳細計画モードでは、ポートフォリオを追跡できるように予算計画の作成が必須です。

手順

1. ポートフォリオワークベンチに移動し、追跡するポートフォリオを開きます。
2. [ステップ 3：予算業務] で [予算計画を昇格] をクリックします。

タスクの結果

- 選択した会計年度のポートフォリオの予算計画が作成され、昇格されます。必要に応じて、予算計画を再度昇格させることができます。
- 予算期間内で初めてポートフォリオマネージャーが予算計画を昇格させると、ステータスが [承認待ち] の予算タスクが作成されます。タスクのステータスは、ポートフォリオワークベンチに表示されます。

次のタスク

- ポートフォリオワークベンチの [ステップ 3：予算業務] の下で、予算計画名の下にある予算計画のステータスを確認します。[ステータス] リンクをクリックして、 財務計画立案ワークベンチで予算計画の予算タスクを表示します。経理は、 計画立案ワークベンチでポートフォリオ予算計画をレビューし、計画を承認します。
- レガシー：ポートフォリオの追跡。
- レガシー - 予測計画の作成および昇格。
- 予算計画が確定し、それ以上変更が予定されていない場合は、予算期間をクローズする必要があります。

関連情報

従来のポートフォリオワークベンチ

Financial Management

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レガシー - 財務計画立案ワークベンチ

財務計画立案ワークベンチは、予算タスクを管理し、昇格した計画をレビューおよび承認するための中心的な場所です。財務計画立案ワークベンチは、Paris リリースで廃止されました。財務計画立案ワークベンチは、以前のリリースからアップグレードしたインスタンスでは引き続き使用できますが、新しいインスタンスでは使用できません。

注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

財務計画立案ワークベンチを使用するには、itfm_plan_analyst ロールが必要です。

予算タスクは、予算プロセスの簡素化を支援します。予算期間中に経理が予算オーナーと会話するのに役立ちます。

IT 財務アナリストロールでは、ワークベンチを使用して次のことを実行できます。

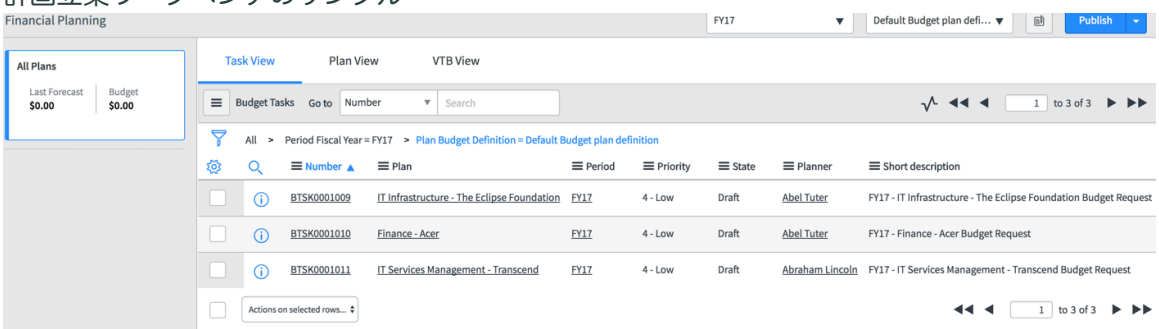
- 予算タスクの生成：すべての予算オーナーの予算タスクを作成します。
- 予算タスクの公開：予算オーナーが予算期間の計画の作業を開始できるように、予算タスクを公開します。
- 計画の進捗状況の追跡：予算期間の昇格された計画を表示および監視します。
- 計画の承認：タスクを承認して、昇格した計画を承認します。

注:
計画立案ワークベンチは、 Jakarta リリースで使用された予算コンソールに置き換わるものです。計画立案ワークベンチを使用できるのは IT 財務アナリストのみで、予算オーナーは使用できません。

財務計画立案ワークベンチの詳細は次のとおりです。

- 財務アナリストは、年および予算計画の定義を選択できます。予算期間がオープンで、計画がまだ昇格されていない場合、アナリストには、予算オーナーの予算タスクを作成するオプションがあります。
- 予算タスクが生成された後、財務アナリストはターゲットを更新し、予算タスクに特定の指示を入力できます。予算タスクは、予算期間の計画を実行できるように予算オーナーに対して公開されます。
- その後、オープンしている予算または予測期間の昇格された計画が左ペインに表示されます。

計画立案ワークベンチのサンプル



財務計画立案ワークベンチの右ペインには、次の 3 つのタイプのビューがあります。

タスクビュー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

各計画者のタスクとそのステータスのリストを表示します。タスクレコードを開いて計画者にメモを追加し、タスクのステータスを更新します。

計画ビュー

計画者が昇格した計画を表示します。グリッドビューを使用すると、次のことができます。

- テンプレートで構成した列別にデータを表示します。
- コストセンターやベンダーなど、任意の列で列をグループ化します。
- 予算金額、前回の予測金額、および年別、四半期別、または月別の実績を表示します。

VTB ビュー

予算タスクをステータス別に表示します。

ドラフト

IT 財務アナリストが予算期間のタスクを生成しました。

公開

IT 財務アナリストが、計画タスクを実行できるように計画者にタスクを公開しました。

入力待ち

計画者はタスクを IT 財務アナリストに昇格しますが、アナリストは計画者が予算金額について再作業できるようにタスク作業メモを更新します。

承認待ち

計画者がタスクを送信し、IT 財務アナリストが計画タスクに関するコメントを承認または提供するのを待機しています。

承認済み

IT 財務アナリストが計画を承認します。

[実績を生成] ボタンを使用すると、予算定義データソースの実績を生成してグリッドに表示できます。

次に行うこと

予算計画を昇格させる予算期間を作成します。

レガシー - 予算期間の作成

予算期間は、予算計画の昇格を制御します。会計年度に作成された予算計画は、予算期間がオープンである場合にのみ昇格させることができます。

始める前に

必要なロール：itfm_plan_analyst、admin

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルプラン > 管理 > 予算期間.
2. [予算期間] リストビューで [新規] をクリックします。
3. 選択リストから [予算期間] を入力します。
4. [オープン] チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チェックボックスをオンにすると、値が true に設定され、会計年度に作成された予算計画を昇格させる予算期間が開きます。

5. [送信] をクリックします。

レガシー - 予測期間

予測期間は、予測計画の昇格を制御することを目的とした予算期間に似ています。

クローズ済み予算期間に対して予測期間を作成できます。予測計画は、予測会計月期間がオープンである場合にのみ昇格させることができます。

注:

いずれの時点においても、オープンすることができるのは 1 つの予測期間のみです。

レガシー：予算ターゲットの作成

予算ターゲットは、特定の会計期間における推定金額と、経費および投資コストの予算キーの組み合わせです。予算ターゲットを使用して、予算計画の財務目標を設定します。

始める前に
必要なロール：itfm_plan_analyst、admin

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルプラン > ファイナンシャルプラン > 予算ターゲット.
2. フォームフィールドに入力します (表を参照)。
3. [送信] をクリックします。

予算ターゲットフォーム

フィールド	説明
予算キー	このターゲットが適用される予算キー。キーを選択します。
会計期間	このターゲットが適用される会計期間の年。会計期間を選択します。
ターゲット通貨	使用通貨。
資本ターゲット	使用されている通貨でのターゲットの金額。
運用ターゲット	経費のターゲット金額。

レガシー - 生成済み実績

アカウントコード (予算キー) 経費は、予算キーの総勘定元帳金額を示すレコードです。金額は会計期間ごとに集計されます。

アカウントコード経費 [itfm_plan_actuals] テーブルの経費は、財務計画立案ワークベンチで実際の経費の計算に使用されます。通常、このテーブルのデータを作成または変更する必要はありません。

財務アナリストは、アカウントコード経費にアクセスできます。 ファイナンシャルプラン > ファイナンシャルプラン > 生成済み実績. 経費は、財務ワークベンチの [実績を生成] ボタンをクリックすると入力されます。

レガシー - 計画立案ワークベンチを使用した予算計画の開始

予算プロセス定義を設定した後、予算を開始できます。予算期間を開きます。財務計画立案ワークベンチを使用して、会計期間と予算計画定義を選択し、予算タスクを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：itfm_plan_analyst
IT 財務アナリストは、プランナーごとにタスクを生成します。計画者は、次の場所に移動することで、計画者が所有するタスクを表示できます ファイナンシャルプラン > 自分のタスク.

手順

1. 移動先 ファイナンシャルプラン > ワークベンチ.
2. ワークベンチの右上にある選択リストから、計画立案している予算期間を選択します。
   予算期間を作成して開き、予算策定に使用することもできます。
3. 選択リストから予算計画定義を選択します。
4. [タスクを生成] をクリックします。

   計画が存在せず、選択した会計期間の計画タスクの場合は、[タスクを生成] ボタンをクリックすると、各計画キーの計画が作成されます。計画者に関連付けられた計画キーは、計画の生成時にのみ考慮されます。生成された予算タスクは、[ドラフト] ステータスです。

5. 予算リストから予算タスクレコードを開き、確認して、必要に応じて更新します。
   IT 財務アナリストは、[作業メモ] フィールドで計画者にメモを追加できます。
6. [更新] をクリックして変更を保存します。
7. タスクを公開するには、[公開] をクリックします。
   表示される [計画タスクを公開] ポップアップで、計画の [開始日] と [終了日] を期限として設定します。
8. [作成] をクリックします。
9. [計画ビュー] をクリックします。

   ビューの列を非表示にするには、[構成] アイコンをクリックします。

   アイテム列は、予算定義 [itfm_plan_definition] テーブルからレンダリングされます。アイテム列を非表示にするか表示しても、テーブルは更新されません。グループ化された列は非表示にできません。
10. **[VTB** ビュー] をクリックします。
11. 予算タスクをステータス別に表示します。
    計画者が計画を昇格した場合、その計画は [承認待ち] 列に表示されます。必要に応じて、計画をレビューし、推奨事項を作成できます。
12. 予算に対する推奨事項を作成するには、[承認待ち] 列のタスクをクリックします。
13. [説明を追加] フィールドにコメントを追加します。
14. 予算タスクのポップアップを閉じます。
15. 計画を [入力待ち] 列にドラッグします。
    計画者が計画を更新して昇格させると、タスクのステータスは [承認待ち]になります。
16. 計画者が推奨事項で計画を更新し、予算金額が目標を満たしている場合は、計画を [承認済み] 列に移動します。
    予算計画が承認されます。

次のタスク
計画者は、計画を更新して財務に昇格することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レガシー - 予算計画の再昇格

予算計画を再度昇格させて、デマンドまたはプロジェクト選択の計画コストの変更によって生じたポートフォリオ予算の変更を反映します。

始める前に

- 必要なロール：it_portfolio_manager
- ポートフォリオの予算計画を再度昇格させるには、選択した会計期間の予算期間がオープンしている必要があります。

> **注:**
> PPS 管理者は、次に移動して会計期間の予算期間をオープンしたりクローズしたりすることもできます。 プロジェクト管理 > 予算期間のオープン/クローズ.

このタスクについて

ポートフォリオ予算計画を昇格した後、ポートフォリオマネージャーは、投資委員会の提案に基づいて予算を変更するよう決定できます。プロジェクトマネージャーおよびデマンドマネージャーと連携して、デマンドおよびプロジェクトのコスト計画を変更し、提案された変更を実装できます。その後、予算計画の変更を反映するために、予算計画を再度昇格させることができます。

手順

1. ポートフォリオワークベンチに移動し、追跡するポートフォリオを開きます。
2. [ステップ 3：予算業務] で [予算計画を再度昇格] をクリックします。

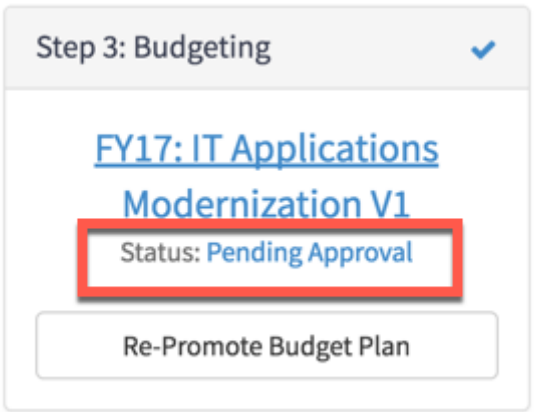
タスクの結果

予算計画は、選択した会計年度の更新された予算として再度昇格されます。

次のタスク

- ポートフォリオワークベンチの [ステップ 3：予算業務] の下で、予算計画名の下にある予算計画のステータスを確認します。財務計画立案ワークベンチで予算計画の予算タスクを表示するには、[ステータス] リンクをクリックします。

予算ステータス



- 予算計画が再度昇格された後、それ以上変更が予定されていない場合は、予算期間をクローズする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レガシー - 計画立案ワークベンチでの昇格済みポートフォリオ予算計画の表示

財務計画立案ワークベンチを使用して、ポートフォリオマネージャーによって昇格されたポートフォリオ予算計画を表示します。これは Project Portfolio Management で開始され、 ファイナンシャルマネジメント で予算計画として変換されます。

始める前に

注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

必要なロール：itfm_plan_analyst

ポートフォリオの予算策定と予測を実行するには、Project Portfolio Suite with Financials [com.snc.financial_planning_pmo] プラグインが必要です。

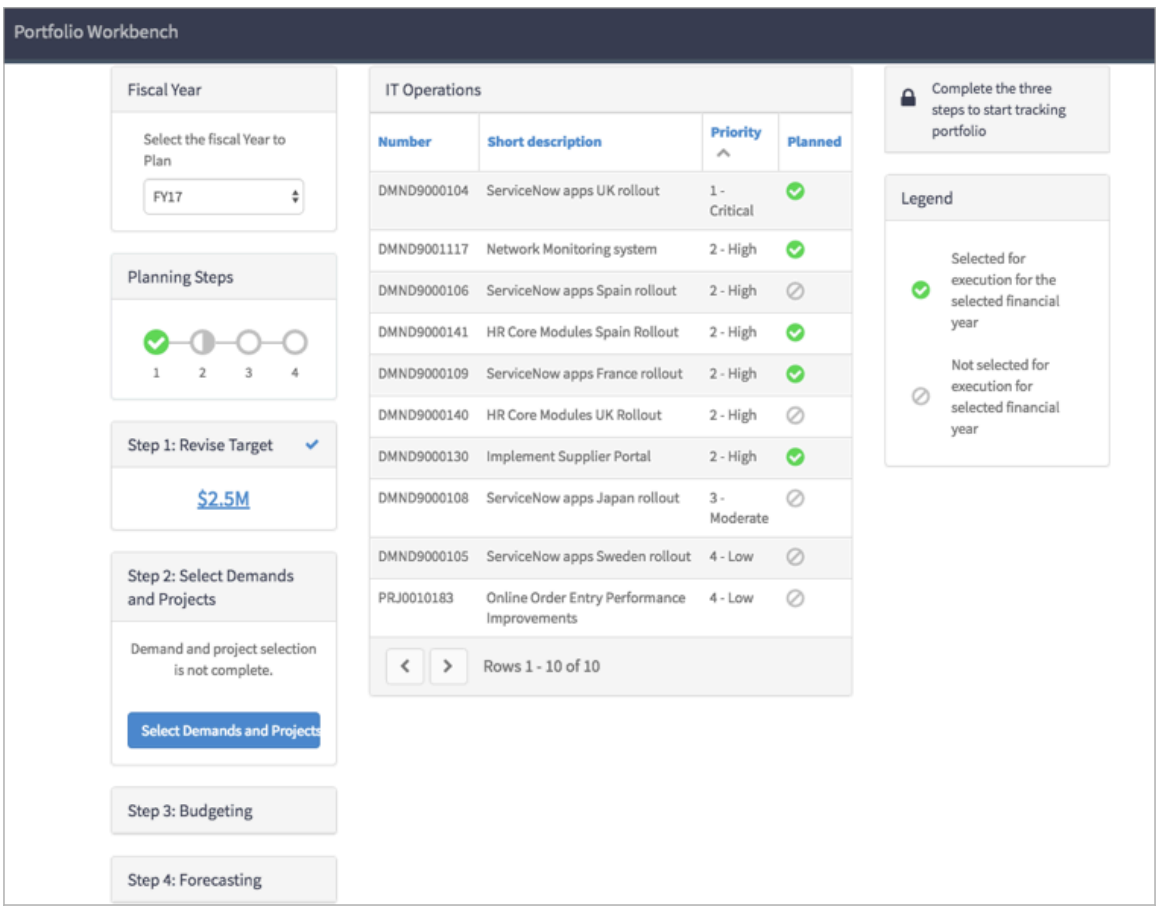
このタスクについて

Project Portfolio Management では、ポートフォリオマネージャーはポートフォリオワークベンチを使用して、ポートフォリオの年毎予算計画を計画し、昇格させます。

注:
ポートフォリオ計画を昇格させるには、予算期間または予測期間がオープンしている必要があります。

予算期間内で初めてポートフォリオマネージャーが予算計画を昇格させると、ステータスが [承認待ち] の予算タスクが作成されます。タスクのステータスは、ポートフォリオワークベンチに表示されます。

ポートフォリオワークベンチ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

経理は、 計画立案ワークベンチでポートフォリオ予算計画をレビューし、計画を承認します。

ポートフォリオマネージャーと IT 財務の間の計画立案プロセスは完全に自動化されています。ポートフォリオワークベンチで昇格された計画は、計画立案ワークベンチで利用できます。経理は、タスクを承認して計画を承認するか、ステータスを [入力待ち] として示して、タスクをポートフォリオマネージャーに返送します。ポートフォリオマネージャーは、IT 財務レビューの推奨事項を再検討し、計画を昇格させます。

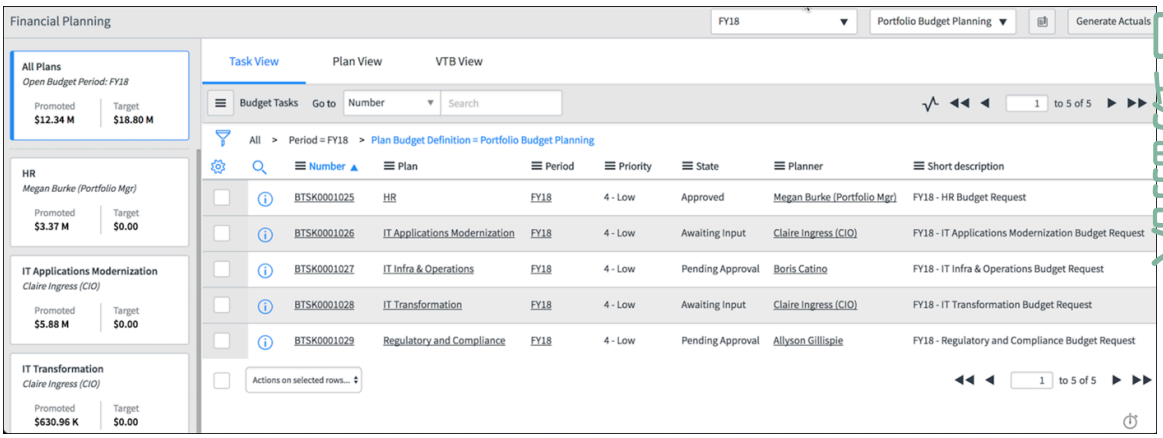
> **注:**
> 計画立案ワークベンチは、 Jakarta リリースで使用された予算コンソールに置き換わるものです。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルプラン > ワークベンチ.
2. ワークベンチの右上にある選択リストから、計画立案している予算期間を選択します。
   予算期間を作成して開き、予算策定に使用することもできます。
3. 選択リストから、[ポートフォリオ予算計画 **(Portfolio Budget Planning)]** 定義を選択します。

> **注:**
> ポートフォリオワークベンチから発生した予算タスクは、最初は [承認待ち] ステータスになっています。

ポートフォリオ予算計画



4. 昇格された予算金額または前回の予測金額を表示するには、[計画ビュー] をクリックします。
5. 予算タスクリストから予算タスクレコードを開きます。

このタスクは、ワークベンチの VTB ビューでも実行できます。

IT 財務アナリストは、昇格された計画の詳細を承認するか、[作業メモ] フィールドにメモを追加してポートフォリオマネージャーに返送し、[ステータス] フィールドを [入力待ち] に更新します。

予測

予測期間についても同様のプロセスが適用されます。計画ビューには、最後に昇格された列 (ポートフォリオマネージャーから最後に昇格された予測計画) が表示されます。予測金額には、予測月までの実績とポートフォリオマネージャーによる残りの期間の予測が含まれます。

コスト計画実績

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画ビューの実績列は、Project Portfolio Management のタイムカードの承認された経費ラインと実績に基づいて生成されるコスト計画実績に基づいています。実績金額の不一致に気付いた場合は、ワークベンチの右上隅にある [実績を生成] から実績を再生成します。

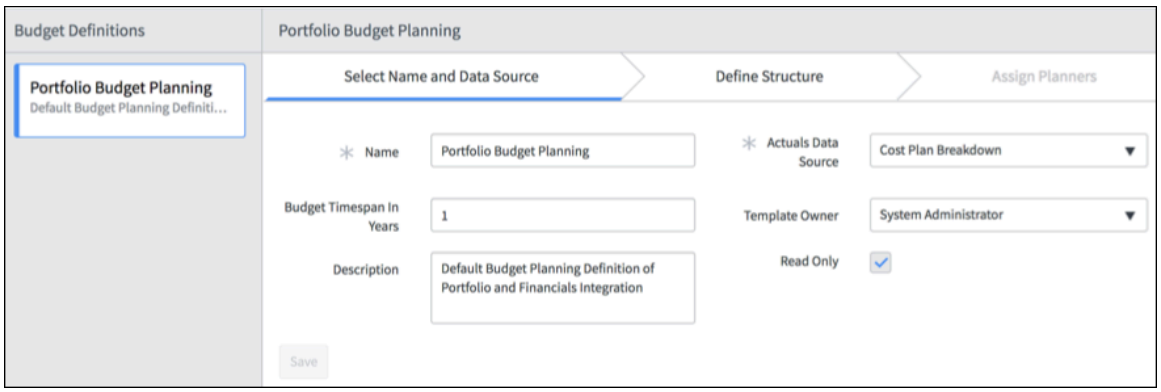


レガシー - ポートフォリオ予算オブジェクト構成

ポートフォリオ内のコスト計画の計画コストは、ポートフォリオマネージャーによって昇格されると、予算計画に変換されます。ベースシステムには、読み取り専用の予算定義 [ポートフォリオ予算計画 (Portfolio Budget Planning)] プロセスがシードされており、ポートフォリオの昇格に使用されます。

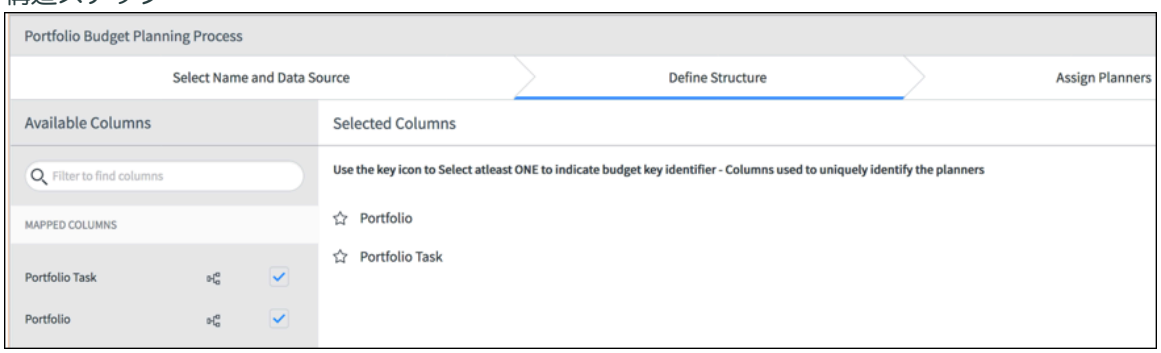
注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

予算計画プロセス



昇格された予算オブジェクトの粒度は、[ポートフォリオ予算計画 (Portfolio Budget Planning)] プロセスの予算定義の [構造の定義] ステップで定義されます。デフォルトでは、プロジェクト定義の粒度は、[ポートフォリオ]、プロジェクトまたはデマンド ([ポートフォリオタスク])、および [アカウント番号] です。

構造ステップ



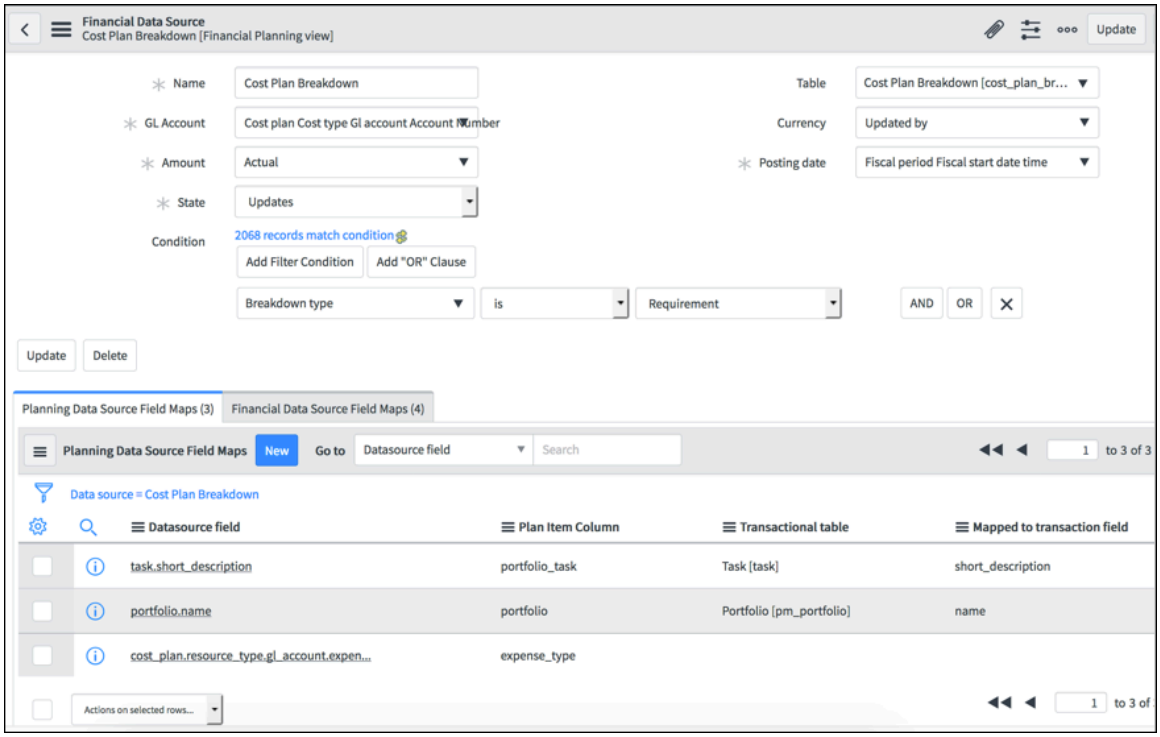
昇格させたポートフォリオ予算オブジェクトで組織がより多くの属性 (コストセンターやコスト計画名など) を必要とする場合は、コスト計画データソースで追加のマッピングを定義できます。コスト計画オブジェクトから必要な属性をドット連結して設定します。マッピングが完了したら、[ポートフォリオ予算計画プロセス (Portfolio Budget Planning Process)] の [構造の定義] で属性を選択して、保存します。

昇格された予算には、[ポートフォリオ]、プロジェクトまたはデマンド ([ポートフォリオタスク])、[アカウント番号] で選択した属性が含まれます。この属性は、ポートフォリオワークベンチにも表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
GL アカウント番号は、自動的にいずれかのテンプレート列と見なされます

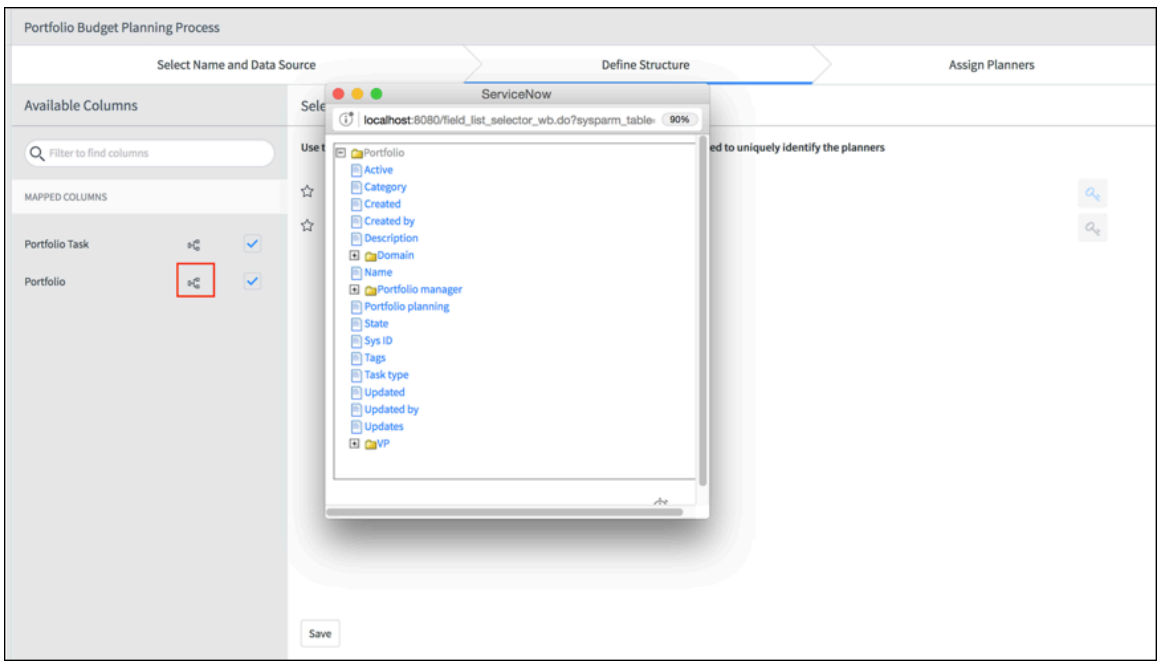
計画立案データフィールド



ワークベンチの追加の列

昇格済みポートフォリオを確認しながら、追加のドット連結列をワークベンチにプルして可視化できます。[ポートフォリオ予算計画プロセス (Portfolio Budget Planning Process)] の [構造の定義] を使用して、ポートフォリオマネージャーなどの追加のドット連結列をプルして、構成を保存します。保存すると、列がワークベンチに表示されます。

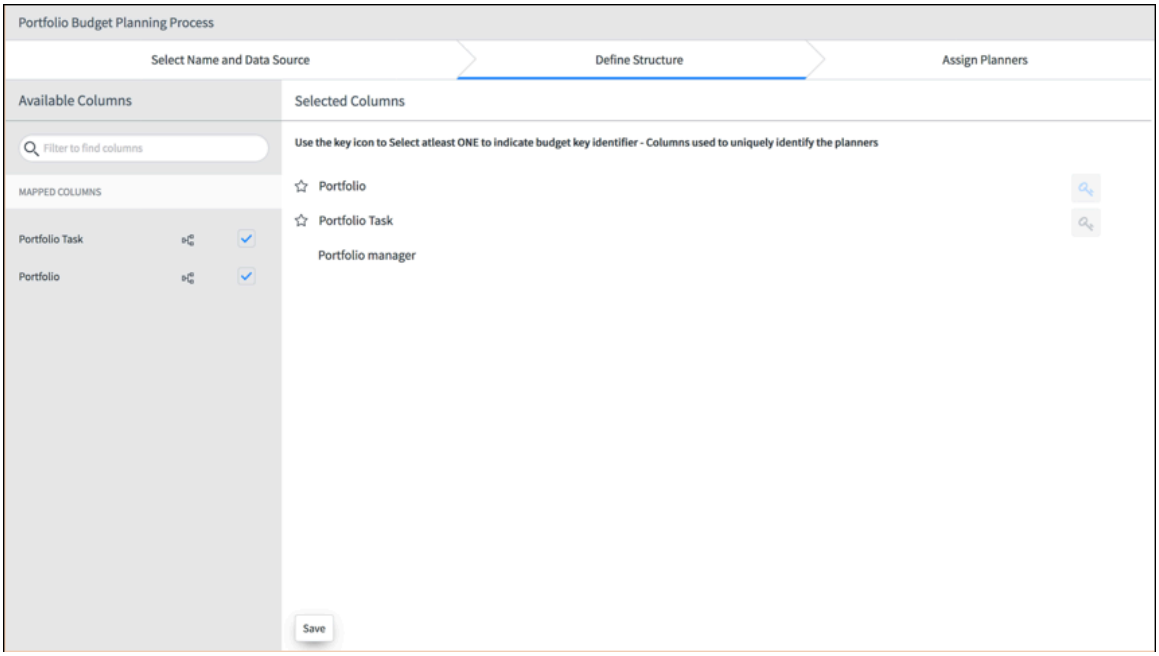
追加の列



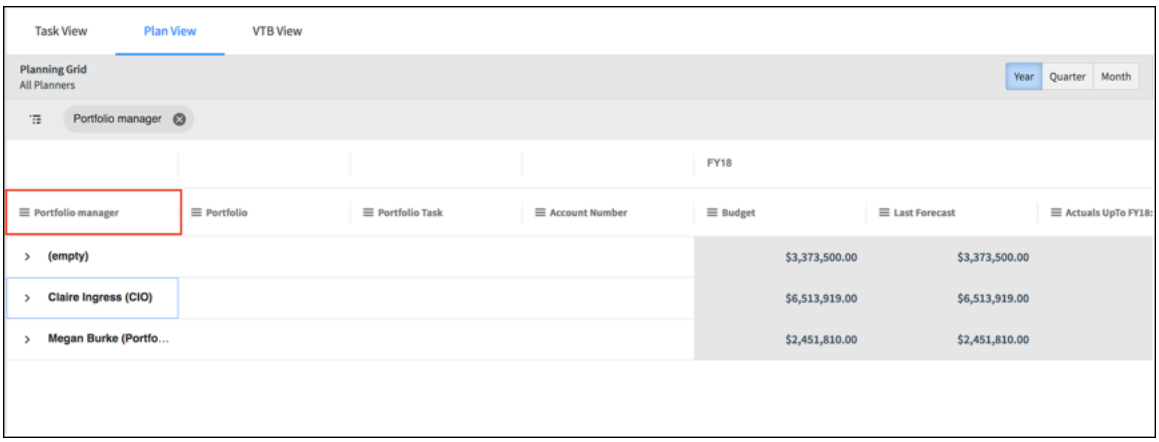
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構造の定義



計画ビュー



自動翻訳

レガシー - ポートフォリオの予算の予測

プロジェクトマネージャーまたはポートフォリオマネージャーは、実績コストおよび変更されたプロジェクト要件に基づいて、プロジェクトとポートフォリオの将来のコストを予測できます。予算予測は、Paris リリースで廃止されました。予算予測は、以前のリリースからアップグレードしたインスタンスでは引き続き使用できますが、新しいインスタンスでは使用できません。

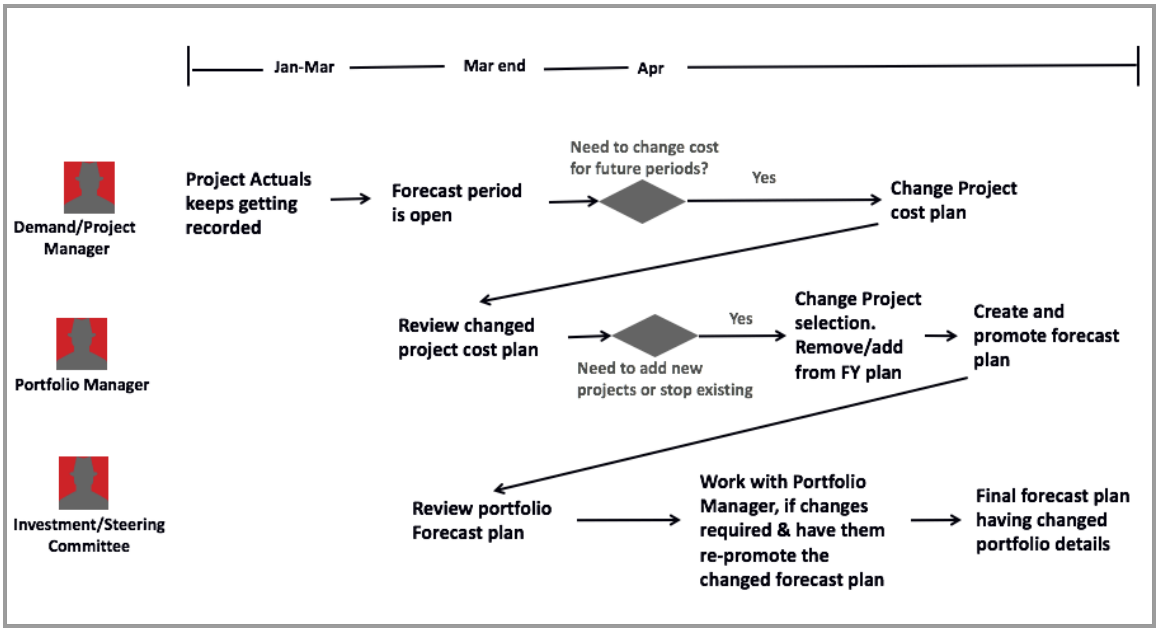
注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

予算の計画立案と承認の後、プロジェクトの実行中に、プロジェクトマネージャーは将来の期間の計画コストを再見積もり (予測) することができます。この予測は、プロジェクトで発生した実績コストやその他の変更に基づいています。予測されたプロジェクトコストはポートフォリオにロールアップされ、ポートフォリオマネージャーはポートフォリオの予測計画を作成できます。

4 月四半期の四半期予測プロセスの例を示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算予測



予測期間が所定の期間についてオープンの場合：

- プロジェクトマネージャーは、次のことを行います。
  - 現在および過去の期間の実績コストを確認し、予測期間と将来のすべての期間のコスト概算を編集します。たとえば、予測期間が 2016 年 4 月においてオープンである場合、4 月以降の月のコスト概算を編集できます。

    注:
    プロジェクトマネージャーは、過去の期間のコストを編集することはできません。たとえば、この場合、4 月より前の月のコストは編集できません。

  - 必要に応じて、プロジェクトのコスト計画を予測 (再見積もり) します。予測されたプロジェクトコストはポートフォリオにロールアップされます。
- ポートフォリオマネージャーは、次のことを行います。
  - ポートフォリオワークベンチで、ポートフォリオ内のすべてのプロジェクトの再見積もりコストを確認します。
  - 会計年度中に予算ターゲットが変更されたときに、ポートフォリオ計画立案ビューを使用して、新しいプロジェクトを含めるか、またはいくつかのプロジェクトを除外するかを決定します。
  - 変更されたプロジェクト見積もりを含むポートフォリオの予測計画を作成し、レビューのために計画を投資委員会に送信します。
  - 投資委員会からのフィードバックに基づいてポートフォリオの予測計画を更新し、再昇格させます。

ポートフォリオマネージャーは、ITFM 計画立案ワークベンチでプロジェクトの予算コスト、実績コスト、および予測コストを表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- ポートフォリオの予算計画を作成するには、会計期間の予測期間がオープンしている必要があります。たとえば、4 月に予測計画を作成するには、「FY17：4 月」の予測期間をオープンします。PPS 管理者は、次の場所に移動して会計期間の予測期間をオープンすることができます。 プロジェクト管理 > フォーキャスト期間のオープン/クローズ.
- 対応する会計期間の予測期間をオープンするには、会計期間の予算期間をクローズする必要があります。PPS 管理者は、次の場所に移動して会計期間の予算期間をクローズできます。 プロジェクト管理 > 予算期間のオープン/クローズ.
- 一度にオープンすることができるのは 1 つの予測期間のみです。

レガシー - 予測計画の作成および昇格

ポートフォリオマネージャーは、実績コストおよび変更されたプロジェクト要件に基づいて、将来の期間のポートフォリオ予算を再見積もり (予測) できます。

始める前に

注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

- 必要なロール：it_portfolio_manager
- ポートフォリオフォームで、ポートフォリオの [ポートフォリオ計画立案] フィールドを [詳細] に設定する必要があります。
- ポートフォリオの予算計画を作成するには、会計期間の予測期間がオープンしている必要があります。たとえば、4 月に予測計画を作成するには、「FY17：4 月」の予測期間がオープンしている必要があります。PPS 管理者は、次の場所に移動して会計期間の予測期間をオープンすることができます。 プロジェクト管理 > フォーキャスト期間のオープン/クローズ.
- 対応する会計期間の予測期間をオープンするには、会計期間の予算期間をクローズする必要があります。PPS 管理者は、次の場所に移動して会計期間の予算期間をクローズできます。 プロジェクト管理 > 予算期間のオープン/クローズ.
- 一度にオープンすることができるのは 1 つの予測期間のみです。

手順

1. ポートフォリオワークベンチに移動し、追跡するポートフォリオを開きます。
2. [ステップ 4：予測] で [予測計画を昇格] をクリックします。

タスクの結果

- 選択した予測期間のポートフォリオの予測計画が作成され、昇格されます。必要に応じて、予測計画を再度昇格させることができます。
- ポートフォリオマネージャーが予測計画を昇格させると、ステータスが [承認待ち] のタスクが作成されます。タスクのステータスは、ポートフォリオワークベンチに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- 予測計画のタスクを表示するには、[ステータス] リンクをクリックします。経理は、 計画立案ワークベンチでポートフォリオ予測計画をレビューし、計画を承認します。
- ポートフォリオのすべての昇格済み予測計画のリストを表示するには、[ステップ 4：予測] で [すべての昇格済み予測計画] リンクをクリックします。昇格された予測計画が、すべての予測期間についてリストされます。
- 予測計画の確定後、それ以上変更が予定されていない場合は、予測期間をクローズする必要があります。

レガシー - 予測計画の再昇格

ポートフォリオ予測コストが変更されている場合、ポートフォリオマネージャーは予測計画の変更を反映するために、予測計画を再度昇格させることができます。

始める前に

注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

- 必要なロール：it_portfolio_manager
- ポートフォリオの予測計画を再度昇格させるには、選択した会計期間の予測期間がオープンしている必要があります。

  注:
  PPS 管理者は、次に移動して会計期間の予測期間をオープンしたりクローズしたりすることもできます。 プロジェクト管理 > フォーキャスト期間のオープン/クローズ.

このタスクについて

ポートフォリオ予測計画を作成した後、投資委員会で計画がレビューされます。デマンドとプロジェクトの予測計画を変更するよう決定して、投資委員会によって提案された変更を実装できます。その後、予測計画の変更を反映するために、予測計画を再度昇格させることができます。

手順

1. ポートフォリオワークベンチに移動し、追跡するポートフォリオを開きます。
2. [ステップ 4：予測] で [予測計画を再度昇格] をクリックします。

タスクの結果

予測計画が、選択した予測期間の更新済みの計画として再度昇格されます。

次のタスク

- ポートフォリオのすべての昇格済み予測計画のリストを表示するには、[ステップ 4：予測] で [すべての昇格された予測計画] リンクをクリックします。昇格された予測計画が、すべての予測期間についてリストされます。
- 予測計画が再度昇格された後、それ以上変更が予定されていない場合は、予測期間をクローズする必要があります。

レガシー：ポートフォリオの追跡

財務計画立案を完了したら、ポートフォリオの進捗状況の追跡を開始できます。ポートフォリオ追跡ビューには、ポートフォリオ内の選択されたデマンドとプロジェクトのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_portfolio_manager

このタスクについて

注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

財務計画立案が完了すると、ポートフォリオワークベンチの [ポートフォリオを追跡] アクションが有効になり、ポートフォリオの進捗状況の追跡を開始できます。

ポートフォリオの追跡の詳細については、この 3 分間のビデオをご覧ください。

https://www.youtube.com/embed/t7A61MtVFws

手順

1. ポートフォリオワークベンチに移動し、追跡するポートフォリオを開きます。
2. [会計年度] 選択リストで会計年度を選択し、[ポートフォリオを追跡] をクリックします。
3. タイムラインビューで、プロジェクトまたはデマンドを右クリックして、次を選択します。
   - 編集：プロジェクトまたはデマンドを編集します。
   - 計画立案コンソール：プロジェクトの計画立案コンソールを開きます。このオプションは、プロジェクトについてのみ使用できます。
   - ステータスレポート：最新のプロジェクトステータスレポートを開きます。このオプションは、プロジェクトについてのみ使用できます。
4. タイムラインビューで、ポートフォリオのプロジェクト間の外部依存関係を確認します。
5. [プロジェクト **KPI]** タブで、ポートフォリオ内の選択されたすべてのプロジェクトの総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、およびスコープなどの最新のステータスを表示します。
6. 次のチャートを確認します。
   - コスト (計画 対実績) ：ポートフォリオ内の選択したすべてのプロジェクトの実績コストと計画コストの比較を追跡します。
   - リソース (配分 対実績)：すべてのプロジェクトタスクに費やされた実際のリソース時間と、ポートフォリオ内の選択されたプロジェクトおよびデマンドを実行するために割り当てられたリソース時間の比較を追跡します。
7. ポートフォリオで選択されたすべてのプロジェクトのリスク、問題、およびプロジェクト変更要求を確認するには、[リスク]、[問題]、および [変更] タブを使用します。

次のタスク
レガシー - ポートフォリオの予算の予測。

レガシー - ポートフォリオワークベンチの追跡ビュー

財務計画立案が完了すると、ポートフォリオワークベンチの [ポートフォリオを追跡] オプションが有効になります。デマンドとプロジェクトの進捗状況の追跡、およびポートフォリオで選択された会計期間のコスト、リソース、スケジュール、およびスコープのステータスの監視を行うことができます。

注:
このトピックの内容は、以前のリリースから Washington DC にアップグレードしたお客様向けのものです。新しいお客様の場合は、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオワークベンチは、追跡ビューの次のコンポーネントで構成されています。

タイムラインビュー：このタブには、ポートフォリオの一部である選択されたデマンドとプロジェクトのリスト、および経時的なガントチャートが表示されます。

[タイムラインビュー] タブでは、次のことを実行できます。

- [ダッシュボード構成] 設定を使用して、ガントチャートのポートフォリオアイテムの色を設定します。
- ガントチャートカレンダーのズームレベルに [自動調整] を選択します。ガントビューは、スクロールバーを使用せずにタイムライン全体を表示できるように 1 ページに収まります。
- ポートフォリオのプロジェクト間の外部依存関係を確認します。

注:
管理者は、タイムラインビューの列フィルターリスト ( ) に表示する列をカスタマイズできます。

プロジェクト **KPI**：このタブには、ポートフォリオ内の選択されたすべてのプロジェクトの総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、およびスコープなどの、プロジェクト KPI の最新のステータスが表示されます。この情報は、プロジェクトに対して作成された最新のステータスレポートから入力されます。

以下のことを行うことができます。

- タブでプロジェクトの名前をクリックして、プロジェクトに対して作成された最新のステータスレポートを開きます。
- プロジェクト KPI のステータスインジケーターをポイントして、そのプロジェクトの KPI に入力されたコメントを表示します。

コスト (計画 対実績)：このチャートには、ポートフォリオ内の選択したすべてのプロジェクトの実績コストと計画コストの比較が表示されます。プロジェクトの実績コストは、経費ラインから導出されます。

注:
特定の経費が発生した場合、プロジェクトの経費ラインを手動で作成できます。たとえば、プロジェクト用にハードウェアを調達した場合、ハードウェアの調達に費やした金額の経費ラインを作成できます。ServiceNow 調達 を使用してアイテムを受け取ると、経費ラインが自動的に作成されます。リソース時間については、プロジェクトのタイムカードが承認されると、経費ラインが自動的に作成されます。

チャートの表示設定を変更するには、選択リストから次のいずれかを選択します。

- 投資：投資コストのみに関するコストチャートを表示します。
- 経費：経費のみに関するコストチャートを表示します。
- すべて：投資コストと経費の両方に関するコストチャートを表示します。

リソース (配分 対実績)：このチャートには、すべてのプロジェクトタスクに費やされた実際のリソース時間と、ポートフォリオ内の選択されたプロジェクトおよびデマンドを実行するために割り当てられたリソース時間の比較が表示されます。実際に費やされた時間は、プロジェクトの処理済みタイムカードから取得されます。

[リスク]、[問題]、および [変更]：これらのタブには次の情報が表示されます。

自動翻訳

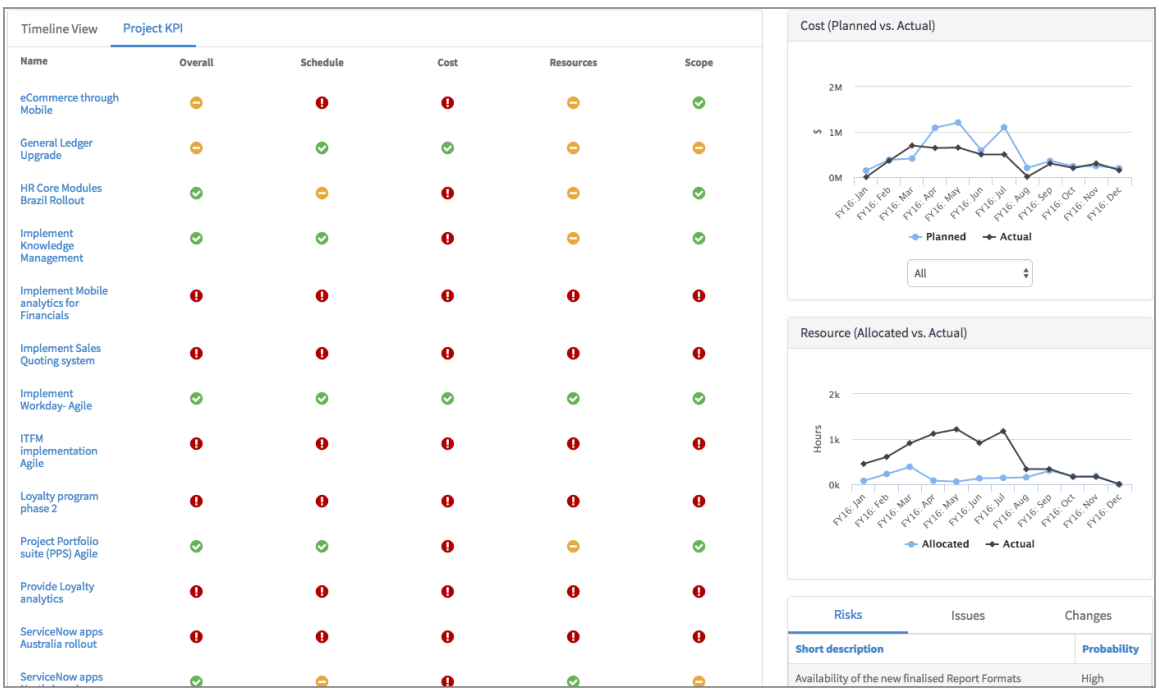
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスク：ポートフォリオ内の選択されたすべてのデマンドとプロジェクトに関するリスクとその可能性を表示します。この情報は、ポートフォリオに関連付けられたデマンドとプロジェクトの一部であるリスクから入力されます。
- 問題：ポートフォリオ内の選択されたすべてのプロジェクトのすべての問題とその優先度を表示します。この情報は、ポートフォリオ内のプロジェクトについて報告された問題から入力されます。
- 変更：ポートフォリオ内の選択されたすべてのプロジェクトのすべてのプロジェクト変更要求とその優先度を表示します。この情報は、ポートフォリオ内のプロジェクトに対して作成された変更要求から入力されます。

ポートフォリオ追跡タイムラインビューの例 **1**



ポートフォリオ追跡 **KPI** ビューの例 **2**



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実際のプロジェクトコスト

実際のプロジェクトコストは、コスト計画の経費ラインを作成した後、または人事がタイムカードを使用して経費ラインを作成した後に表示されます。

システムは、経費ラインから実際のプロジェクトコストをキャプチャします。

- コスト計画からの経費ライン：コスト計画から経費ラインを作成できます。経費が発生した金額と日付を指定できます。発生した実際の金額は、経費ラインが処理された後にコスト計画に含まれます。
- タイムカードからの経費ライン：人事は、タイムカードを使用して、プロジェクト作業の時間を記録できます。タイムカードが承認されると、システムにより経費ラインが生成されます。経費ラインが処理された後、実際のコストがプロジェクトに記録されます。タイムカードの作成時にリソース計画を指定すると、コスト計画名はリソース計画から取得され、コストはリソース計画に対してキャプチャされます。リソース計画を指定しない場合、コストはプロジェクトに対してキャプチャされます。

実際のプロジェクトコストの表示

プロジェクトポートフォリオ管理 with Financials を使用すると、コスト計画およびプロジェクトの実際のプロジェクトコストを表示できます。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
実績コストで考慮されるためには、経費ラインを処理する必要があります。実績コストは、処理日ではなく、経費ラインの作成日に対して記録されます。経費ラインは、承認されたタイムカードに対してのみ作成されます。
プロジェクトの実績コストも同じ方法でポートフォリオにロールアップされます。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 実績コストを表示するプロジェクトを開きます。
3. [コスト計画] 関連リストをクリックします。

Scenario Planning for PPM

Scenario Planning for PPM アプリケーションは、ポートフォリオマネージャーが特定の会計年度のプロジェクト実行のロードマップを作成および追跡するための中心的な場所を提供します。プロジェクトおよびデマンドのロードマップやリソースのさまざまなシナリオを作成して比較することで、予算とリソースの使用を最適化します。

シナリオは、資金調達の意思決定をサポートするために、選択された会計年度の計画インスタンスとして機能するデマンドとプロジェクトの集まりです。

ポートフォリオ内の対象となるデマンドとプロジェクトは、計画サイクルのデフォルトまたは既存のシナリオに収集されます。追加のシナリオを作成するための基礎として、デフォルトまたは既存のシナリオを使用します。デマンドまたはプロジェクトは、現在の計画サイクルの複数のシナリオに属することができますが、複数のポートフォリオに属することはできません。詳細については、「計画立案シナリオの作成」を参照してください。

ポートフォリオワークベンチを使用したポートフォリオ計画立案への影響

ポートフォリオワークベンチは、シナリオベースのポートフォリオ計画立案をサポートしていません。ポートフォリオは、簡易計画立案モードまたは詳細計画立案モードで計画できます。詳細モードでは、予算計画を再度昇格させ、予測計画を作成できます。Paris リリース以降、ポートフォリオ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークベンチは新規顧客に対しては廃止されました。詳細については、「ポートフォリオワークベンチ」を参照してください。

シナリオベースの計画立案では、複数のシナリオを作成して比較し、シナリオを確認または再確認することができます。

ポートフォリオ計画立案にポートフォリオワークベンチを使用しており、シナリオベースの計画立案に切り替える場合は、次の点に注意してください。

- Scenario Planning for PPM をインストールした後、ポートフォリオフォームから [ポートフォリオワークベンチ] モジュールと関連リンクを削除します。2 つの方法の計画立案とデータ破損との競合を避けるために、ポートフォリオワークベンチの非アクティブ化が必要です。詳細については、「アプリケーションメニューまたはモジュールを有効または無効にする」を参照してください。
- [ポートフォリオ計画立案] 関連リンクまたは [ポートフォリオ計画立案ワークベンチ] モジュールを使用して、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。
- ポートフォリオのデマンドとプロジェクトの既存の選択はすべて、ポートフォリオ計画立案ワークベンチを開くと、デフォルトのシナリオとして表示されます。詳細については、「計画立案シナリオの作成」を参照してください。

特徴

Scenario Planning for PPM は、ポートフォリオマネージャーに次の機能を提供します。

- 1 年または複数年のリソースキャパシティに基づいてポートフォリオを計画します。
- 継続的な追跡と計画調整のために、複数年のポートフォリオ計画を小さな計画期間に分割します。
- Investment Funding からポートフォリオ内のデマンドとプロジェクトに予算を割り当てます。
- ポートフォリオのシナリオベースの計画を作成します。
- フィルターを適用して、ポートフォリオ内の選択したデマンドとプロジェクトのリストを絞り込みます。
- 計画立案シナリオで、デマンドとプロジェクトのさまざまな組み合わせを試します。
- 戦略的目標に沿っていないデマンドとプロジェクトの詳細を表示します。
- 各シナリオのデマンドとプロジェクトの資金調達方法を編集します。
- 各種のシナリオを比較して、さまざまなプロジェクトとデマンドの組み合わせの結果を評価します。
- 現在のポートフォリオ計画として、組織の目標に最も適した計画立案シナリオを確認します。
- 変化する優先度と環境に応じて、以前に確認された計画立案シナリオを上書きします。
- 実績コストと計画コスト、プロジェクト、目標や戦略に沿っていないデマンド、およびプロジェクトの実際のコストなど、予算の詳細を表示します。
- リソースの使用率と割り当てを表示します。
- リソースが過剰に割り当てられているデマンドとプロジェクトを表示します。

Scenario Planning for PPM のインストール

ServiceNow Store アプリケーションから Scenario Planning for PPM アプリケーションをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
インストールと設定をスムーズに行うには、次のセットアップチェックリストを完了してください。

セットアップタスク	説明
PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) がアクティブ化されていることを確認します。	移動先 サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。
Investment Funding for PPM (com.snc.investment_planning_pmo) プラグインがアクティブ化されていることを確認します。 **注:** このプラグインは、 Investment Funding から 年毎タイプの計画のポートフォリオについてターゲット金額を取得する場合にのみアクティブ化する必要があります。	移動先 サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。

必要なロール：admin

このタスクについて
Scenario Planning for PPM をインストールする前に、ServiceNow インスタンスの PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をアクティブ化します。詳細については、「PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) の有効化」を参照してください。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、Scenario Planning for PPMをインストールする前にインストールする必要があります。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] をクリックします。

   (Optional) デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール]をクリックします。

関連情報

プラグインのリスト (Washington DC)

Scenario Planning for PPM とともにインストールされるコンポーネント

Scenario Planning for PPM アプリケーションのインストール時に、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、デモデータなど) がインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

Scenario Planning for PPM とともにインストールされるテーブル

テーブル	説明
ポートフォリオシナリオ [sn_pw_scenario_pm_portfolio_scenario]	シナリオの名前、シナリオのステータス、会計年度、およびシナリオが属するポートフォリオの名前などのポートフォリオ計画立案シナリオ情報を保存します。
ポートフォリオシナリオ資金調達 [sn_pw_scenario_pm_portfolio_scenario_funding]	ポートフォリオ計画立案シナリオに関する資金調達情報を保存します。資金調達情報には、シナリオの名前、経費予算、資本予算、予算合計、およびデマンドまたはプロジェクトが実行用に選択されているかどうかが含まれます。
シナリオ計画の構成 [sn_pw_scenario_pm_portfolio_scenario_configuration]	計画タイプやスコープなどのポートフォリオ計画立案構成情報を保存します。
[ポートフォリオ計画立案] ウィンドウ [sn_pw_scenario_pm_planning_window]	複数年およびリソースキャパシティベースの計画のための、ポートフォリオの計画期間情報を保存します。

年毎および複数年のリソースキャパシティベースの計画

利用可能なキャパシティに対するリソースの使用率を分析した後、単一会計年度または複数年のシナリオを使用してポートフォリオを計画します。すべてのポートフォリオまたは 1 つのポートフォリオにデマンドとプロジェクトを含めて、ビジネス目標に一致するデマンドとプロジェクトを評価、優先順位付け、および選択します。

ポートフォリオを計画し、ターゲット予算内で実行するデマンドとプロジェクトを選択します。シナリオを作成して、ポートフォリオと組織の事業達成目標との整合性を分析します。Scenario Planning for PPM アプリケーションを使用すると、複数セットの予測シナリオを評価し、投資を一貫して分析できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

年毎財務およびリソースキャパシティベースの計画

単一会計年度のポートフォリオを計画します。計画用に、すべてのポートフォリオまたは単一のポートフォリオを選択できます。ポートフォリオを選択したら、複数のシナリオを作成して、総コスト、リソース使用状況とキャパシティ、および戦略的目標に基づいてデマンドとプロジェクトを評価できます。

年毎計画では、特定の会計年度の特定のポートフォリオまたはすべてのポートフォリオから、さまざまな組み合わせのデマンドとプロジェクトを使用してシナリオを作成します。選択したデマンドとプロジェクトに基づいて、関連付けられたリソース計画から導出された、選択したデマンドとプロジェクトのリソース割り当てを分析します。リソースの可用性とキャパシティを分析した後、各種のシナリオでデマンドとプロジェクトの選択を変更し、リターンを最大化して組織に財務価値を追加するシナリオを確認します。

重要:
デフォルトの構成は、新規インストールまたはアップグレードの場合は [年毎財務およびリソースキャパシティベースの計画] および [単一の選択されたポートフォリオ] です。計画の構成を変更して、複数年のポートフォリオおよびすべてのポートフォリオを計画できます。

Investment Funding データ連携

Scenario Planning for PPM と 投資枠管理 を統合して、年毎財務およびリソースキャパシティベースの計画のために、トップレベルの投資資金から 1 つのポートフォリオまたはすべてのポートフォリオのターゲット金額を取得します。単一のポートフォリオを計画している場合、そのポートフォリオのターゲット金額は、トップレベルの投資におけるそのポートフォリオ投資と会計期間の [新しい資金] 列から取得されます。すべてのポートフォリオを計画している場合は、組織に資金を提供する必要がある資金調達エンティティを設定し、投資計画者がトップレベルの投資でその特定のエンティティの資金を追加できます。たとえば、組織が事業部門である場合、その事業部門を資金調達エンティティとして有効にし、その事業部門に割り当てられたすべての資金を組織のターゲットとして設定できます。

注:
Scenario Planning for PPM を 2.3.0 以降のバージョンにアップグレードする場合は、データ連携が機能するように従来の 投資枠管理 を ServiceNow Store にアップグレードする必要があります。従来の 投資枠管理 から ServiceNow Store アプリケーションへのアップグレード手順については、従来の 投資枠管理 をストアアプリケーションにアップグレードを参照してください。

複数年のリソースキャパシティベースの計画

複数年計画を使用すると、3 か月から 24 か月の計画期間を使用してポートフォリオを計画できます。ポートフォリオが 1 年超にわたるデマンドとプロジェクトで構成されている場合、またはより長い期間を計画している場合は、より小さな計画期間でポートフォリオを計画することができます。複数年計画を使用すると、選択した計画期間中にさまざまなデマンドとプロジェクトのリソース使用状況を分析し、予算、リソース、またはビジネス環境の変更に対応するために優先度を調整できます。

複数年計画では、年毎計画と同様のシナリオを作成しますが、特定のポートフォリオまたはすべてのポートフォリオの指定された計画期間に対して作成します。選択したデマンドとプロジェクトに基づいて、選択した計画期間のリソース割り当てを分析します。リソースの可用性とキャパシティを分析した後、各種のシナリオでデマンドとプロジェクトの選択を変更し、リターンを最大化して組織に財務価値を追加するシナリオを確認します。

シナリオ計画のタイプとスコープの構成

シナリオ計画タイプを設定し、ポートフォリオのスコープを選択して、ポートフォリオの計画と作業方法を決定します。ポートフォリオ内のデマンドとプロジェクトの資金調達用の 投資枠管理 を使用して指定することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:
計画タイプとスコープを変更すると、既存のシナリオと確認済みの計画がすべて削除されます。

必要なロール：it_pps_admin

このタスクについて
ポートフォリオの資金調達に 投資枠管理 を使用するオプションは、Investment Funding プラグインをアクティブ化した場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > ポートフォリオ > 計画立案の構成.
2. シナリオ計画の設定レコードを開きます。
3. 計画のタイプとスコープを構成します。
4. オプション: 完了または非アクティブステータスのデマンドとプロジェクトの選択を有効にする場合は、[完了したプロジェクトの選択を許可] を選択します。
5. オプション: Investment Funding からターゲット金額を取得する場合は、**[Investment Funding データ連携]** を選択します。

   注:
   このオプションは、Investment Funding for PPM (com.snc.investment_planning_pmo) プラグインがアクティブで、計画タイプが [年毎財務およびリソースキャパシティベースの計画] として選択されている場合にのみ使用できます。

   - 計画スコープが [単一の選択されたポートフォリオ] である場合、そのポートフォリオのターゲット金額は、選択されたポートフォリオ投資の [新しい資金] 列から取得されます。詳細については、「投資への資金の割り当て」を参照してください。
   - 計画スコープが [すべてのポートフォリオ] の場合は、ターゲット金額を取得するソースを指定します。
     a. [資金調達エンティティ] リストから、デマンドとプロジェクトの資金調達元となる資金調達エンティティを選択します。
     b. [資金調達レコード] リストから、選択した資金調達エンティティのトランザクションテーブルを選択します。
6. [更新] をクリックします。

タスクの結果
シナリオ計画構成が更新され、すべてのシナリオ計画と確認済みの計画が削除されます。構成を変更すると、ポートフォリオ計画立案ワークベンチも更新され、更新された計画タイプとスコープに基づいてシナリオ計画を実行できるようになります。

シナリオ計画のタイプとスコープを変更した場合の影響

計画のタイプとスコープを変更すると、計画立案シナリオとポートフォリオ計画立案におけるデマンドとプロジェクトの選択に影響します。計画のタイプとスコープは、ポートフォリオ計画立案中にいつでも変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画タイプの変更

計画タイプを変更すると、この変更の時点でポートフォリオに確認済みの計画または計画立案シナリオがあるかどうかに関係なく、ポートフォリオ計画に影響します。

年毎財務計画から複数年のリソースキャパシティベースの計画への変更

この計画タイプの変更は、確認済みの計画と計画立案シナリオに次の影響を及ぼします。

- すべてのシナリオとシナリオ資金調達レコードが削除されます。
- デフォルトのシナリオは、現在の月を開始月として、デフォルトの 3 か月の計画期間で作成されます。

複数年のリソースキャパシティベースの計画から年毎財務計画への変更

この計画タイプの変更は、確認済みの計画と計画立案シナリオに次の影響を及ぼします。

- すべてのシナリオとシナリオ資金調達レコードが削除されます。
- 以前に年毎計画を使用していた場合は、ターゲット予算が取得されます。そうでない場合は、現在の会計年度がデフォルトとして設定され、ターゲット予算の設定が必要になります。

計画期間の変更

計画期間を変更すると、計画に関与するすべてのユーザーに影響し、ポートフォリオ計画立案に次の影響があります。

- 新しい計画期間は、すべてのポートフォリオのすべてのシナリオと確認済みの計画に適用されます。
- 選択した計画期間外のデマンドまたはプロジェクトは、選択または選択解除できません。ただし、プロジェクトまたはデマンドの [計画] チェックボックスの値は変更されません。これらのデマンドとプロジェクトは、引き続きシナリオに関連します。
- シナリオを確認すると、計画期間に当てはまるデマンドとプロジェクトのみが確認され、計画期間外のデマンドとプロジェクトは確認されません。

計画スコープの変更

計画スコープを、単一の選択されたポートフォリオからすべてのポートフォリオに変更すると、確認済みの計画と計画立案シナリオに次の影響があります。

- 年毎計画の場合、確認済みの計画がいずれかのポートフォリオに存在する場合、追跡ステータスでポートフォリオ計画立案レコードが作成されます。
- 年毎計画の場合、すべての会計年度の確認済み計画と、いずれかのポートフォリオに対して少なくとも 1 つの確認済み計画を作成します。
- 複数年計画の場合、ポートフォリオに対して確認済みの計画が保持されます。
- 既存のすべてのシナリオとシナリオ資金調達レコードが削除されます。

会計年度のターゲット予算の設定

1 つのポートフォリオまたはすべてのポートフォリオを計画するときは、作業するデマンドとプロジェクトの会計期間を選択することから始めます。次に、シナリオ計画が Investment Funding と統合されていない場合は、ポートフォリオの経費と投資コストの両方のターゲット金額を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_portfolio_manager または it_pps_admin

このタスクについて
内部グループは通常、会計年度のターゲット金額を提供します。計画会計年度のターゲットは、実績支出額を基準にして前年度の支出額の 110% にすることができます。ターゲットは、翌会計年度の計画立案プロジェクトの出発点です。

注:
PPS 管理者は、次の場所に移動してポートフォリオターゲットを設定できます。 プロジェクト管理 > ポートフォリオターゲットの入力.

シナリオ計画が Investment Funding と統合されている場合、ターゲット金額は、単一のポートフォリオまたはすべてのポートフォリオに割り当てられた上位の投資資金から取得されます。

単一のポートフォリオまたはすべてのポートフォリオの投資資金調達設定を構成する方法については、「シナリオ計画のタイプとスコープの構成」を参照してください。

トップレベルの投資の作成と資金の割り当てについては、「トップレベルの投資の作成」トピックを参照してください。

手順

1. 次の 2 つの開始点のいずれかから、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。

2. ポートフォリオ計画立案ワークベンチの [会計年度] 選択リストで、計画立案を行う対象の年を選択します。
   財務計画立案は、一度に 1 つの会計期間についてのみ実行できます。
3. ターゲット予算金額を設定または更新します。
   - 選択した会計年度の計画立案を初めて行う場合は、[ターゲットを設定] をクリックします。
   - 選択した会計年度のターゲット予算金額を既に設定していて、その金額を変更する場合は、[ターゲットを編集] をクリックします。
4. [ターゲットを編集] ダイアログボックスで、[投資ターゲット] および [経費ターゲット] の金額を入力します。
5. [保存] をクリックします。

タスクの結果
異なる会計年度のポートフォリオの投資コストおよび経費コストターゲットは、ポートフォリオレコードの [ポートフォリオターゲット] 関連リストで更新されます。

次のタスク
ポートフォリオ計画立案のシナリオの作成を開始します。詳細については、「計画立案シナリオの作成」を参照してください。

計画立案シナリオの作成

ポートフォリオ内のデマンドとプロジェクトのさまざまな組み合わせで、計画立案シナリオを作成します。さまざまなシナリオを試して、会計年度の予算支出を計画します。

始める前に
年毎タイプの計画の計画立案シナリオを作成する対象の、会計年度のターゲット予算が設定されていることを確認します。詳細については、「会計年度のターゲット予算の設定」を参照してください。
複数年のリソースキャパシティタイプの計画では、ターゲットの設定は必要ありません。

必要なロール：it_portfolio_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
実行対象のプロジェクトとデマンドのさまざまな組み合わせで、最大 4 つの計画立案シナリオを作成できます。たとえば、シナリオ A を作成し、標準のリソース割り当てですべてのプロジェクトとデマンドを選択することができます。リスクがビジネスの成果に影響を与える可能性があることを認識している場合は、プロジェクトとデマンドの数を減らしてシナリオ B を作成し、その戦略によってリスクを軽減または回避できるかどうかを確認できます。シナリオの定義の詳細については、「Scenario Planning for PPM」を参照してください。

手順

1. 次の 2 つの開始点のいずれかから、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。

2. ポートフォリオ計画立案ワークベンチで、年毎財務およびリソースキャパシティベースの計画または複数年のリソースキャパシティベースの計画のシナリオを作成します。
   - 年毎計画の場合は、次の手順を実行します。

   a. 計画立案シナリオを作成する対象の会計年度を選択します。

   b. ようこそページの [計画を開始] ボタンをクリックします。
   選択した会計年度のすべてのアクティブなデマンドとプロジェクトを含むデフォルトの計画立案シナリオが作成されます。

   > **注:**
   > 選択した会計年度のポートフォリオ計画が存在する場合、ポートフォリオ計画立案ワークベンチには、それが現在の計画として表示されます。

   c. シナリオ作成アイコン (+) をクリックします。

   d. [シナリオを作成] ダイアログボックスで、シナリオの名前と簡単な説明を入力します。

   e. [データのコピー元 (Copy Data From)] リストで、データのコピー元のソースを選択します。

   使用可能なオプションは、次のとおりです。

   - なし：プロジェクトまたはデマンドが選択されていないシナリオを作成します。
   - 前年に資金調達された進行中のプロジェクト **(Ongoing projects funded last year)**：前年中に資金調達され、選択した現在の年に継続しているプロジェクトを使用してシナリオを作成します。このオプションは、前年に承認された既存の計画が存在する場合にのみ使用できます。これは、特定の会計年度の初期シナリオを作成するときのデフォルトのオプションです。
   - 他のシナリオのリスト **(A list of other scenarios)**：別の既存のシナリオから選択されたプロジェクトとデマンドを使用してシナリオを作成します。このオプションは、同じ会計年度の同じポートフォリオに他のシナリオが存在する場合に使用できます。
   - 確認済み計画 **(Confirmed Plan)**：既存の承認済み計画から選択されたプロジェクトとデマンドを使用してシナリオを作成します。このオプションは、現在の会計年度に確認済みの計画が存在する場合にのみ使用できます。

   f. [保存] をクリックします。

   - 複数年計画の場合、現在の月を開始月とし、[シナリオ計画の構成] ページで構成された計画期間を使用して、デフォルトの計画が自動的に作成されます。新しいシナリオを作成するには、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. シナリオ作成アイコン (+) をクリックします。

b. [シナリオを作成] ダイアログボックスで、シナリオの名前と簡単な説明を入力します。

c. [データのコピー元 (Copy Data From)] リストで、データのコピー元のソースを選択します。

使用可能なオプションは、次のとおりです。

- なし：プロジェクトまたはデマンドが選択されていないシナリオを作成します。
- 前年に資金調達された進行中のプロジェクト **(Ongoing projects funded last year)**：前年中に資金調達され、選択した現在の年に継続しているプロジェクトを使用してシナリオを作成します。このオプションは、前年に承認された既存の計画が存在する場合にのみ使用できます。これは、特定の会計年度の初期シナリオを作成するときのデフォルトのオプションです。
- 他のシナリオのリスト **(A list of other scenarios)**：別の既存のシナリオから選択されたプロジェクトとデマンドを使用してシナリオを作成します。このオプションは、同じ会計年度の同じポートフォリオに他のシナリオが存在する場合に使用できます。
- 確認済み計画 **(Confirmed Plan)**：既存の承認済み計画から選択されたプロジェクトとデマンドを使用してシナリオを作成します。このオプションは、現在の会計年度に確認済みの計画が存在する場合にのみ使用できます。

d. [保存] をクリックします。

タスクの結果
計画立案シナリオが作成され、新しいタブに表示されます。

次のタスク
計画立案シナリオで実行するプロジェクトとデマンドを選択します。

ポートフォリオ計画立案のためのデマンドとプロジェクトの選択

計画立案シナリオを作成したら、予算計画立案に含めるデマンドとプロジェクトを選択します。選択した会計年度または計画期間のすべてのデマンドとプロジェクトを、その計画コストおよび優先度とともに表示して、実行用に確定できます。

始める前に
少なくとも 1 つの計画立案シナリオが必要です。詳細については、「計画立案シナリオの作成」を参照してください。

必要なロール：it_portfolio_manager

このタスクについて
デマンドまたはプロジェクト、およびそれらの年毎タイプの計画の計画コストを含めたり除外したりして、 what-if 分析を実行できます。計画コストは、プロジェクトまたはデマンドに対して作成されたすべてのコスト計画から導出されます。これは、会計年度または計画期間における特定のプロジェクトまたはデマンドのすべてのコスト計画のすべてのコストの合計です。

デマンドまたはプロジェクト、およびそれらの複数年のリソースキャパシティタイプの計画の計画コスト、予算、および使用状況を含めたり除外したりして、 what-if 分析を実行できます。

手順

1. 次の 2 つの開始点のいずれかから、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ポートフォリオ計画立案ワークベンチで、デマンドとプロジェクトを含めるまたは除外するシナリオをクリックします。
選択したポートフォリオのプロジェクトとデマンドが [タイムラインビュー] に表示されます。
3. オプション: [バブルチャート] タブを使用して、デマンドの相対的な順位を比較および評価します。

   (Optional) デマンドを右クリックし、コンテキストメニューから [実行用に選択] を選択して、ポートフォリオ計画立案にデマンドを含めます。詳細については、「デマンドワークベンチのバブルチャート」を参照してください。特定のデマンドを検索するには、フィルター ( ) アイコンを使用してフィルターを適用します。

   注:
   [バブルチャート] タブは、複数年のリソースキャパシティベースの計画の構成では使用できません。

4. 各プロジェクトまたはデマンドの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにして、[タイムラインビュー] タブでデマンドおよびプロジェクトを計画立案に含めるか、または除外します。
   タイムラインの特定のデマンドとプロジェクトを検索するには、フィルター ( ) アイコンを使用してフィルターを適用します。
   選択したプロジェクトとデマンドの数は、[概要] タブの [選択されているアイテム] セクションで更新されます。
5. オプション: ポートフォリオで選択されているプロジェクト間の外部依存関係を確認します。
詳細については、「プロジェクト間の外部依存関係の確認」を参照してください。
6. 右側の [概要] セクションの情報と [リソース] タブを確認して、計画に含めるデマンドとプロジェクトの選択を評価および調整します。
[概要] タブの次のセクションを確認します。
   - 年毎タイプの計画で [ターゲットを設定] ステージ (予算 対 ターゲット] セクション) に入力した予算合計とターゲットの比較。予算合計がターゲットコストを上回っている場合、例外アイコン ( ) が合計計画コストとともに表示されます。
   - [合計計画コスト] セクションの複数年タイプの計画のすべてのプロジェクトおよびデマンドの合計計画コスト。
   - [利益合計] セクションで選択したデマンドおよびプロジェクトの実行時に発生する可能性のある利益合計。

     注:
     複数年のリソースキャパシティタイプの計画の場合、選択した計画期間に関係なく、プロジェクトまたはデマンドの全期間における計画コストと利益の合計値が表示されます。

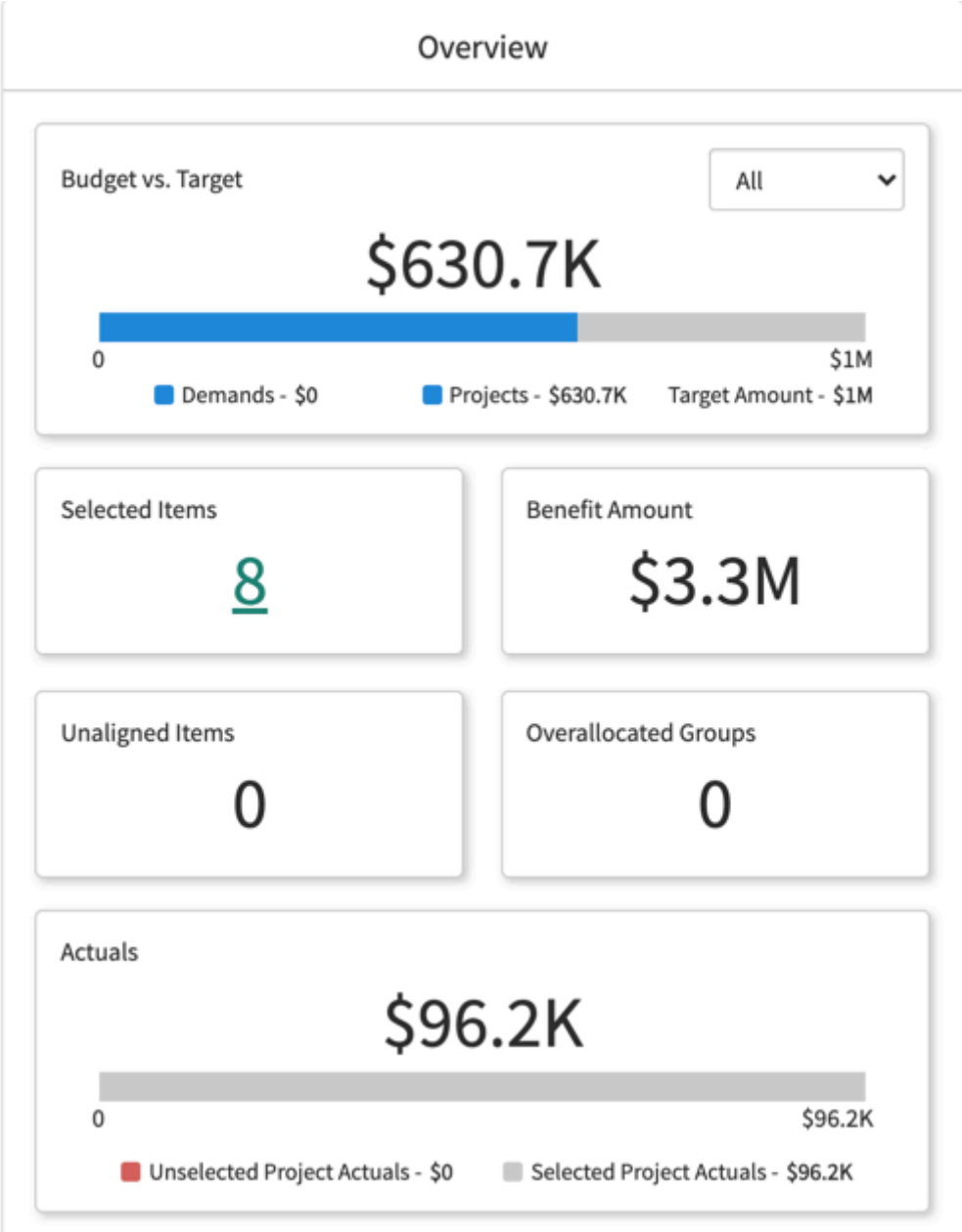
   - 組織の戦略や目標に関連付けられていないデマンドとプロジェクトの数を [未調整] セクションで表示することによる、ポートフォリオの戦略的配置。
   - 選択した会計年度のいずれかの四半期において、要求された時間数が [割り当て超過のグループ] セクションの合計時間キャパシティを超えるアサイン先グループの数。
   - [実績] セクションで、実行用に選択されたプロジェクトとポートフォリオ内の残りのプロジェクトに費やされた実績額を確認します。

     注:
     複数年のリソースキャパシティタイプの計画の場合、実績値は、選択および未選択のプロジェクト実績の凡例なしでウィジェットに表示されます。

   次の画像は、年毎タイプの計画の [概要] セクションにポートフォリオ情報がどのように表示されるかの例を示しています。

自動翻訳

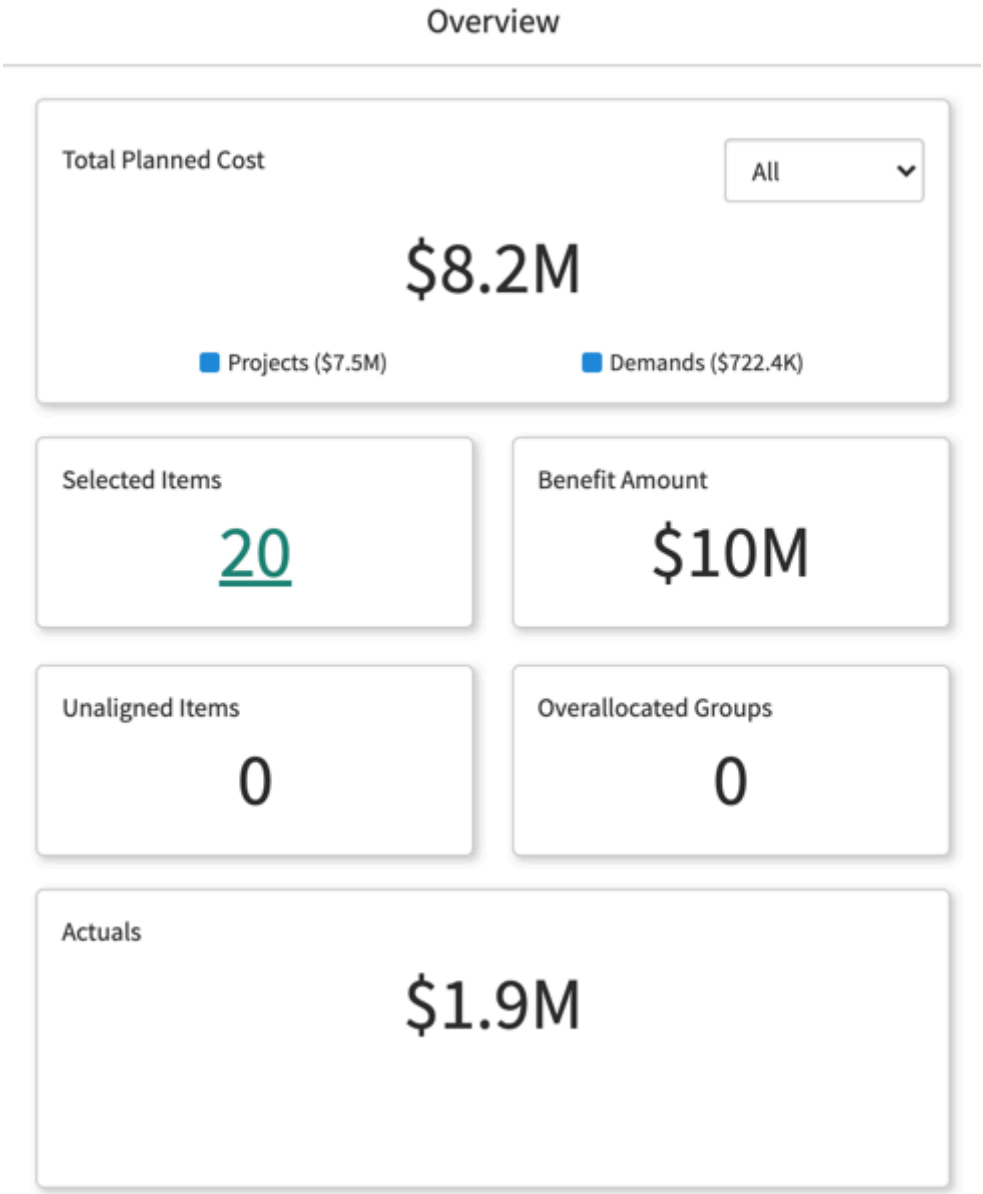
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の画像は、複数年タイプの計画の [概要] セクションにポートフォリオ情報がどのように表示されるかの例を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[リソース] タブの次のセクションを確認します。

ヒートマップ内のポートフォリオの選択したデマンドおよびプロジェクトによって要求されたすべてのリソースの使用率が表示されます。すべてのリソースグループまたは過剰に割り当てられたリソースグループの使用率を月または四半期で表示できます。

ヒント:
ヒートマップ内の任意のセルをクリックして、選択したリソースグループに関連付けられたプロジェクトまたはデマンドを表示します。

次の画像は、リソース情報がヒートマップにどのように表示されるかの例を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヒント:
計画コストをターゲット予算内に、またリソース使用率を 100% 以内にするために、優先度の低いいくつかのデマンドまたはプロジェクトの選択を解除することを検討します。選択解除されたデマンドとプロジェクトは、その後で、別の会計期間に移動できます。

7. オプション: 必要に応じて [投資予算] および [経費予算] 列を使用して、個々のプロジェクトおよびデマンドの投資および経費予算を直接レビューして修正します。

   注:
   [タイムラインビュー] タブで、列を表示または非表示 ( ) をクリックし、これらの列が表示されていない場合は [投資予算] 列および [経費予算] 列を追加します。

8. オプション: 編集アイコン ( ) をクリックして変更を加えることで、名前と簡単な説明を更新します。
9. オプション: 削除アイコン ( ) をクリックして、シナリオを削除します。
10. オプション: [確認] をクリックして、選択したシナリオを現在の計画になるように変換します。
11. オプション: 計画立案シナリオをさらに作成して比較します。
12. オプション: リフレッシュアイコン (ボタン) をクリックして、デマンドまたはプロジェクトが実行用に選択または選択解除された後に、コストウィジェットとリソースウィジェットを手動で更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
計画立案シナリオを比較して、プロジェクトとデマンドのさまざまな組み合わせを分析し、組織の目標に最も適したシナリオを選択します。詳細については、「計画立案シナリオの比較」を参照してください。

プロジェクト間の外部依存関係の確認

ポートフォリオ内のプロジェクト間の外部依存関係を確認し、相互に依存しているプロジェクトをより詳細に追跡します。

始める前に
必要なロール：it_portfolio_manager
デマンドとプロジェクトを、ポートフォリオ計画立案ワークベンチのタイムラインビューで開きます。

このタスクについて
ポートフォリオマネージャーは、互いに依存しているプロジェクトを把握して、これらのプロジェクトをより詳細に追跡することができます。
たとえば、プロジェクト B がプロジェクト A (外部ソフト依存関係) に依存していて、プロジェクト B のスケジュールが影響を受けないように、プロジェクト A が時間どおりに実行されるようにしたいとします。[依存関係] 列には、プロジェクト A から送信する外部依存関係とプロジェクト B に受信する外部依存関係があることが示されます。受信する依存関係を使用して、プロジェクト A の遅延がプロジェクト B に影響するかどうかを判断できます。

手順

1. タイムラインビューで、ガントで列を表示または非表示アイコン ( ) アイコンをクリックし、表示されていない場合は [依存関係] 列を追加します。
   受信および送信する外部依存関係の数が表示されます (存在する場合)。
2. プロジェクトの [依存関係] 列で外部依存関係をクリックします。
3. [依存関係] ポップアップダイアログで、タブをクリックして依存関係を確認します。

   [受信] タブ

   プロジェクトから受信する依存関係を持つタスクがリストされます。

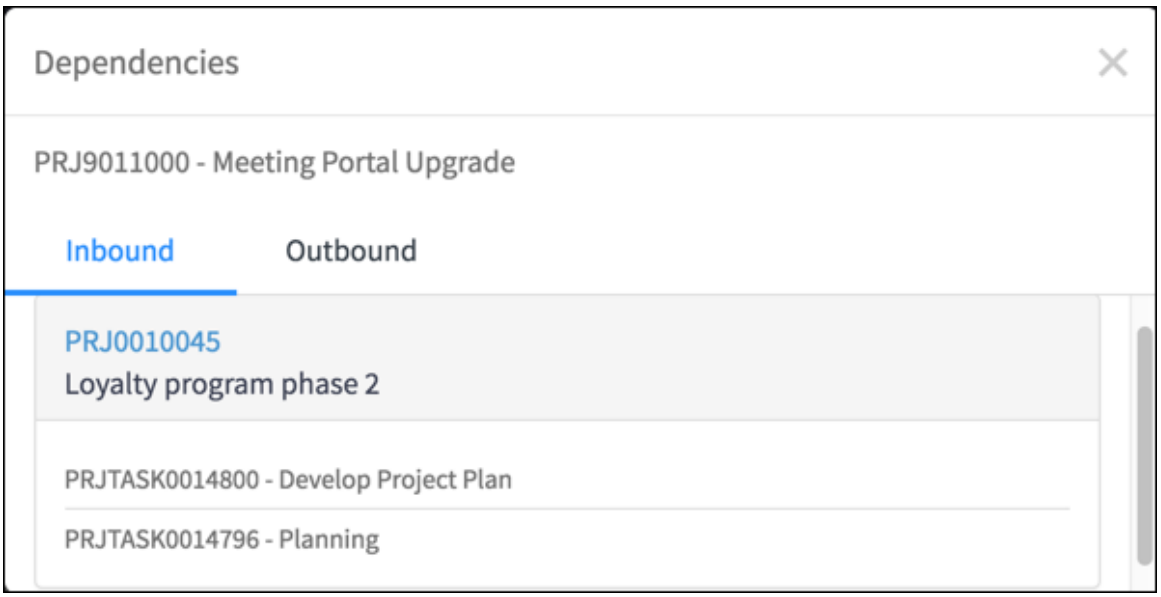
   [送信] タブ

   プロジェクトに送信する依存関係を持つタスクがリストされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト間の外部依存関係の例。



4. タブのプロジェクト番号をクリックして、リンクされたプロジェクトを計画立案コンソールビューで開いて確認します。

デマンドおよびプロジェクトのランク付け

デマンドとプロジェクトをランク付けして、ポートフォリオ内でのデマンドとプロジェクトの承認と実行のために優先順位付けします。

始める前に
必要なロール：it_portfolio_manager

このタスクについて
デフォルトでは、[スコアによるランク付け] リストは、システムで生成されたスコアに基づいてデマンドとプロジェクトをランク付けします。デマンドまたはプロジェクトのランクは会計年度に固有です。プロジェクトが FY17 で 3 番目にランク付けされながら、FY18 では 6 番目にランク付けされることもあります。

手順

1. 次の 2 つの開始点のいずれかから、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。

2. オプション: ランクを自動または手動で調整します。

Example:
次の表で、ランクの手動調整について説明します。

計画立案シナリオの比較

さまざまな計画立案シナリオを現在の計画またはデフォルトの計画と比較して、実行するポートフォリオ内のプロジェクトとデマンドのさまざまな組み合わせを評価します。What-if 分析を実行し、ターゲット予算の達成とリソースの使用を最適に行う計画立案シナリオを決定できます。

始める前に
最大 4 つの計画立案シナリオを作成し、実行するプロジェクトとデマンドを選択していることを確認します。詳細については、「計画立案シナリオの作成」と「ポートフォリオ計画立案のためのデマンドとプロジェクトの選択」を参照。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：it_portfolio_manager

手順

1. 次の 2 つの開始点のいずれかから、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。

2. ポートフォリオ計画立案ワークベンチの [計画] タブで、[シナリオを比較] をクリックします。
   [シナリオを比較] ページには、すべての計画立案シナリオが表示されます。
3. 選択したプロジェクトとデマンドのコスト、プロジェクトとデマンドの数、利益合計、実績など、シナリオのさまざまな要素を比較します。
4. コスト、プロジェクトとデマンドの数、利益合計、選択したプロジェクトとデマンドの実績などのシナリオ間の差異を比較します。
   さまざまなフィールドの差異の値は、赤色または緑色で表示されます。たとえば、シナリオの計画コストが確認済み計画の計画コストよりも大きい場合、計画コストの差異は赤色で表示されます。または、シナリオの利益合計が確認済み計画の利益合計より多い場合は、利益合計の差異が緑色で表示されます。

次のタスク
組織の目標に最も適合し、ターゲット予算を最適に達成し、リソースを活用できるシナリオを確認します。詳細については、「計画立案シナリオの確認」を参照してください。

計画立案シナリオの確認

選択したデマンドとプロジェクトを会計年度に実行するための予算とリソースを割り当てるシナリオを選択して確認します。

始める前に
最大 4 つの計画立案シナリオを作成し、実行するプロジェクトとデマンドを選択していることを確認します。詳細については、「計画立案シナリオの作成」と「ポートフォリオ計画立案のためのデマンドとプロジェクトの選択」を参照。

必要なロール：it_portfolio_manager

手順

1. 次の 2 つの開始点のいずれかから、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。

2. プロジェクト計画立案ワークベンチで、次のいずれかのオプションを使用して、シナリオを会計年度の現在の計画として確認します。
   - シナリオを選択し、[確認] をクリックします。
   - [シナリオを比較] をクリックし、[シナリオを比較] ページで [シナリオを確認] をクリックします。
   - 確認済みの計画を上書きする場合は、[上書き] をクリックします。
3. [確認] ダイアログボックスで、計画立案シナリオを保存した後に選択したデマンドとプロジェクトに対して実行する追加オプションを設定します。

   注:
   確認済みの計画が存在する場合、ダイアログボックスの名前は [確認] ではなく [選択を上書き] になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトプロパティ [ポートフォリオワークベンチからのデマンドの確認後にプロジェクトを作成します] が false に設定されている場合は、[選択したすべてのデマンドを承認 (まだ承認されていない場合)] を選択することで、保存後に選択したすべてのデマンドを承認するよう選択できます。
- プロジェクトプロパティ [ポートフォリオワークベンチからのデマンドの確認後にプロジェクトを作成します] が true に設定されている場合は、[選択したすべてのデマンドをプロジェクトに変換] を選択することで、保存後に選択したデマンドをプロジェクトに変換するよう選択できます。
- 選択したデマンドとプロジェクトのリソースを確認するには、[選択したデマンドまたはプロジェクトのリソースを確認 **(Confirm resources for selected demands or projects)]** をオンにします。
- 新たに選択されていないデマンドとプロジェクトに関連付けられた確認済みおよび割り当て済みのリソース計画に、実績時間が関連付けられていない場合は、[選択されていないデマンドおよびプロジェクトのリソース計画のステータスを要求済みにします (実績時間/コストが入力されていないリソース計画のみ変更されます)] を選択して、そのようなリソース計画のステータスを要求済みに変更します。確認済みおよび割り当て済みのリソース計画に実績が関連付けられている場合、そのようなリソースを手動で解放する必要があることを示す通知がプロジェクトマネージャーまたはデマンドマネージャーに送信されます。
- 選択したシナリオを確認した後、[すべての作業シナリオを削除] を選択して、未確認の作業シナリオをすべて削除します。このオプションがデフォルトで選択されています。

4. [保存] をクリックします。

タスクの結果

予算は、選択したデマンドとプロジェクトに割り当てられます。残りのデマンドとプロジェクトは実行から削除されます。ただし、選択されていないデマンドとプロジェクトについて確認済みのリソースは、自動的には削除されません。

ポートフォリオの進捗状況の追跡

シナリオを確認してポートフォリオの計画立案を完了したら、ポートフォリオの進捗状況を追跡します。ポートフォリオで選択された会計期間または計画期間のコスト、リソース、スケジュール、およびスコープのステータスを監視することもできます。

始める前に

必要なロール：it_portfolio_manager

手順

1. 次の 2 つの開始点のいずれかから、ポートフォリオ計画立案ワークベンチに移動します。

2. ポートフォリオ計画立案ワークベンチで、[追跡 **(Track)]** タブをクリックします。
プロジェクトとデマンドのステータスは、経時的なガントチャートを含む [タイムライン表示] タブおよび **[KPI]** タブに表示されます。

3. [タイムライン表示] タブで主要なパラメーターのステータスを確認して、ポートフォリオの進捗状況を追跡します。

- 選択したデマンドとプロジェクトの計画コストと実績コスト、差異、計画日と終了日、優先度などの詳細。
- 相互に依存しているプロジェクトを特定するには、ポートフォリオ内のプロジェクト間の外部依存関係を確認します。詳細については、「プロジェクト間の外部依存関係の確認」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ステータスレポート] オプションを選択して最新のプロジェクトステータスレポートを表示し、個々のプロジェクトの現在のステータスを追跡します。
- [計画立案コンソール] オプションを使用して、ポートフォリオ内の個々のプロジェクトのプロジェクトタスクの進捗状況を追跡します。このオプションは、プロジェクトのコンテキストメニューで使用できます。

4. [プロジェクト **KPI]** タブで、ポートフォリオ内の選択されたすべてのプロジェクトの総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、およびスコープなどのステータス情報を確認します。
プロジェクトに対して作成された最新のステータスレポートにより、この情報が入力されます。ステータスインジケーターをポイントして、プロジェクトマネージャーがその KPI に入力したコメントを表示します。

   注:
   任意のプロジェクト KIP の横にある灰色の X アイコン ( ) は、プロジェクトマネージャーがステータスレポートに、その要素についてコメントを入力していないことを示します。

5. コストおよびリソース関連の情報を、[コスト (予算 対 実績)] および [リソース (配分 対 実績)] チャートで確認します。
   - [コスト (予算 対 実績)] チャートに示されている、ポートフォリオ内の選択されたすべてのプロジェクトの実績コストと計画コストの比較を確認します。プロジェクトの実績コストは、経費ラインから導出されます。

     注:
     [コスト (予算 対 実績)] グラフは、複数年タイプの計画には使用できません。

   - リストからそれぞれのオプションを選択すると、投資または経費のみ、あるいはその両方を表示できます。
   - 割り当てられたリソースの使用状況を確認するには、[リソース (配分 対 実績)] チャートに示されている、すべてのプロジェクトタスクに費やされた実際のリソース時間と、ポートフォリオ内の選択したプロジェクトとデマンドの実行に割り当てられたリソース時間の比較を確認します。実際に費やされた時間は、プロジェクトの処理済みタイムカードから取得されます。

6. ポートフォリオ内の選択されたすべてのプロジェクトのリスク、問題、意思決定、アクション、およびプロジェクト変更要求を追跡するには、[リスク]、[問題]、[意思決定 **(Decisions)]**、[アクション]、および [変更] タブに移動します。

ポートフォリオダッシュボード

ポートフォリオダッシュボードは、ポートフォリオマネージャーがポートフォリオのさまざまなグラフィカルレポートを生成するための中心的な場所を提供します。

Madrid リリース以降、ポートフォリオマネージャーダッシュボードは廃止され、PMO ダッシュボードに置き換えられました。PMO ダッシュボードを使用して、ポートフォリオに関するインサイトを取得できます。詳細については、「PMO ダッシュボード」を参照してください。

ポートフォリオダッシュボードへのアクセス

さまざまなグラフィカルレポートを PMO ダッシュボードに表示します。

始める前に
必要なロール：it_portfolio_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

移動先 プロジェクト > ポートフォリオ > ポートフォリオダッシュボード.
PMO ダッシュボードが表示されます。

プログラム管理

プログラムは、関連するプロジェクトまたはデマンドを単一のエンティティの下で論理的にグループ化するのに役立ちます。ServiceNow プログラム管理 アプリケーションを使用すると、関連するプロジェクトとデマンドを協調的に管理できます。これは、プロジェクトとデマンドを個別に管理する場合には実現できないことです。

it_program_manager ロール は、プログラムを管理するうえで不可欠です。プログラム管理 アプリケーションは、プログラムマネージャーに次の機能を提供します。

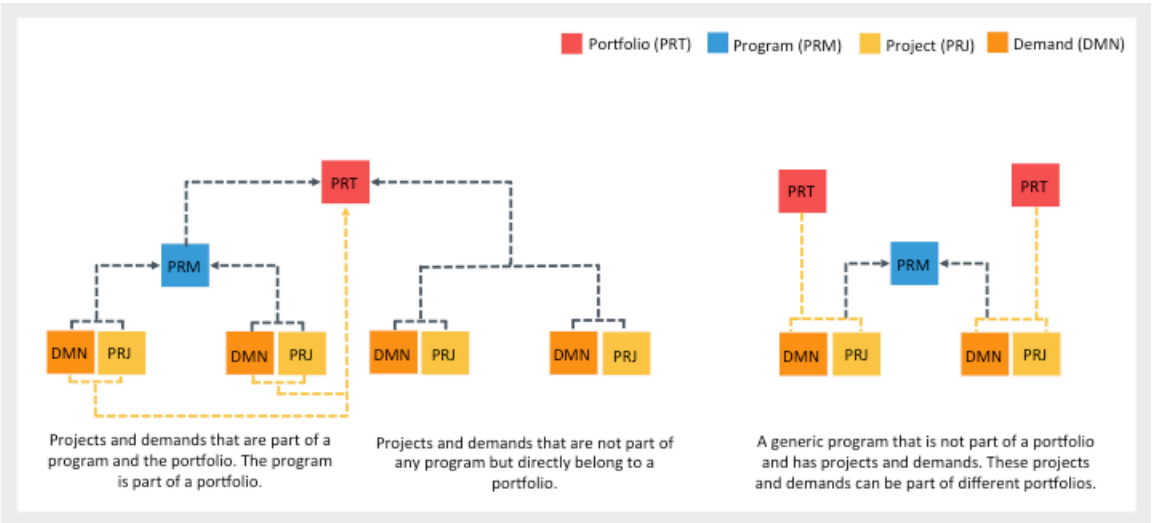
- 関連するプロジェクトおよびデマンドを追加して、プログラムを作成します。
- プログラムに固有のタスクを作成します。これらのタスクはプログラムの完了に不可欠ですが、プロジェクトのスコープ外です。
- プログラムの主要なマイルストーン、予想されるリスク、および問題を定義します。
- プログラムの一部であるすべてのプロジェクトとデマンドの進捗状況とステータスを追跡します。プログラムマネージャーは、コスト、リソース、およびスケジュールを追跡できます。

プログラムを作成するときは、次の点を考慮してください。

- プログラムは、ポートフォリオの一部にすることも、どのポートフォリオにも含まれない汎用のスタンドアロンプログラムにすることもできます。
- プログラムを複数のポートフォリオに含めることはできません。
- プロジェクトまたはデマンドを複数のプログラムの一部にすることはできません。
- プロジェクトとデマンドを、プログラムには含めずに、直接ポートフォリオに含めることができます。

次の図は、プログラムを実装する方法を示しています。

プログラムの実装



プログラム管理 の基本

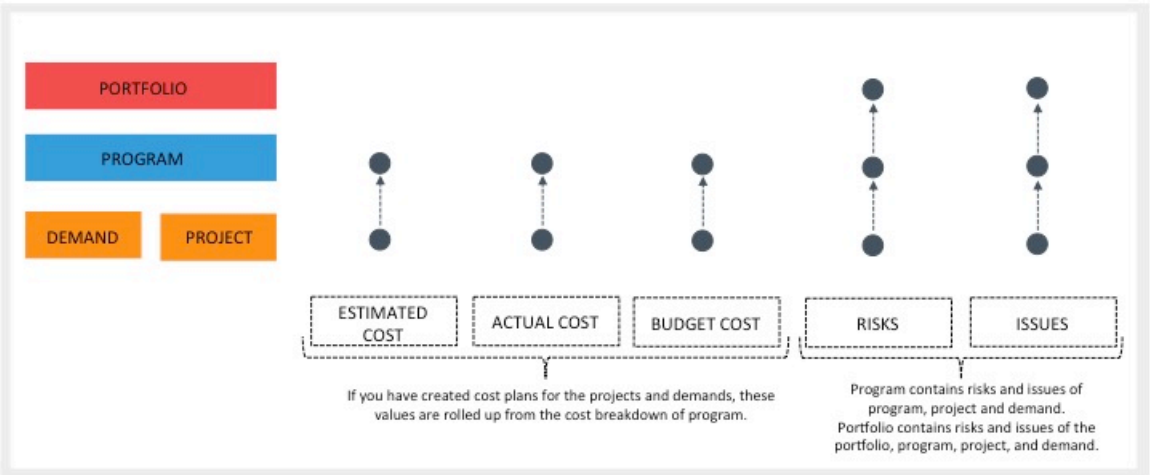
プログラムを作成するときに、複数のプロジェクトまたはデマンドを追加できます。プロジェクトとデマンドのコスト計画を作成した場合、特定の値は、プログラムのコスト明細からロールアップされ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ます。同時に、プロジェクトとデマンドのリスクと問題もプログラムに含められます。次の図は、プログラム内の情報が、プログラムの一部であるプロジェクトとデマンドにどのように関連しているかを示しています。

プログラムへの情報の入力



プロジェクトワークベンチは、プログラムと、その一部であるプロジェクトとデマンドの進捗状況を表示および監視するためのグラフィカルなチャートを提供します。プログラム、プロジェクト、およびデマンドの進捗状況を、マイルストーンと主要マイルストーンの詳細を含むタイムラインに照らして表示することもできます。

プロジェクトマネージャーダッシュボードは、プログラムマネージャーが、プログラムとプログラム財務のさまざまなグラフィカルレポートを生成するための中心的な場所を提供します。

プロジェクトとデマンドを管理するためのプログラムの作成

関連するプロジェクトとデマンドを管理するためのプログラムを作成します。期間、コスト概算、利益、および ROI を組織に対して定義します。

始める前に

必要なロール：it_program_manager

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プログラム > 新規作成.
2. プログラムフォームの各フィールドに入力します。

プログラムフォーム

フィールド	説明
プログラム名	プログラムの名前。
プログラムマネージャー	プログラムにアサインされたプログラムマネージャー。
番号	設定可能なプリフィックス付きのシステム生成番号。
ポートフォリオ	プログラムが属するポートフォリオ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	プログラムのポートフォリオを選択しない場合、プログラムはグローバルプログラムになります。グローバルプログラム内のプロジェクトとデマンドを任意のポートフォリオに関連付けることができます。
優先度	プログラムに関連付けられた優先度。
ステータス	プログラムのステータス。この情報は、このプログラムの一部であるすべてのプロジェクトのステータスからロールアップされます。
ステータス	プログラムの現在の状態。 デフォルトのステータス：[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ]。 **注:** プログラムのステータスを [クローズ済み] に手動で設定します。プログラムタスク、プロジェクト、およびデマンドが [クローズ済み] ステータスに移行しても、プログラムステータスは [クローズ済み] ステータスにロールアップしません。
フェーズ	[開始中]、[計画中]、および [実行中] などのプロジェクトの現在のフェーズ。
事業部門	このプログラムが属する事業部門。
投資タイプ	プログラムの投資タイプ。 デフォルトで利用可能なオプションは、[コスト削減 **(Cost Reduction)]**、[エンドユーザーエクスペリエンス]、[法務と規制 **(Legal and Regulatory)]**、[収益の創出 **(Revenue Generating)]**、[サービスの維持 **(Service Sustaining)]**、および [戦略の実現 **(Strategic Enabler)]** です。
影響を受ける事業部門	このプログラムが影響する組織の事業部門。
戦略	プログラムが達成する組織の戦略的目標。1 つのプログラムで複数の戦略的目標を達成することができます。 **注:** プログラムで戦略的目標を達成できない場合は、このフィールドを空のままにします。
目標	選択した戦略に関連付けられた目標。プログラムは複数の目標を達成できます。 戦略を選択しない場合、目標リストにはシステム内のすべての目標が表示されます。 **注:** プログラムに関連付けられた目標がない場合は、このフィールドを空のままにします。
説明	プログラムの詳細な説明。
[日付] タブ	
開始予定日	予定されているプログラム開始日。関連するプログラムタスク、プロジェクト、およびデマンドの開始日がプログラム開始日よりも前である場合、開始日はより早い日付に調整されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	プログラムからデマンドまたはプロジェクトを削除しても、プログラムの開始予定日には影響しません。
終了予定日	予定されているプログラム終了日。終了日は、プログラムタスク、プロジェクト、およびデマンドの終了日に基づいて延長されます。 プログラムからデマンドまたはプロジェクトを削除しても、プログラムの開始予定日には影響しません。 関連するプログラムタスク、プロジェクト、またはデマンドの開始日と終了日に基づいて、プログラムの終了日を手動で調整できます。 **注:** プログラムの終了日より後の日付のデマンドが追加された場合、 [終了予定日] フィールドは読み取り専用になります。
計画された期間	このプログラムの予定期間。予定期間は、プログラムの開始予定日または終了予定日の変更に基づいて変更されます。
開始実績日時	プログラムが実際に開始される日付。
終了実績日時	プログラムが実際に終了した日付。
実際の期間	プログラムの開始から終了までのプログラムの実際の期間。
[財務] タブ	
合計計画コスト	プログラムのコスト概算。 運用支出と資本的支出がプログラムに関連付けられている場合、計画コストは、機能通貨で表された運用支出と資本的支出の合計です。
計画投資	プログラムの資本的支出 (投資)。プログラムにコスト計画が関連付けられていない場合、[投資コスト] フィールドは編集可能です。通貨タイプを選択して、値を入力します。
計画経費	プログラムの運用支出 (経費)。プログラムにコスト計画が関連付けられていない場合、[経費 **(Operational expense)]** フィールドは編集可能です。通貨タイプを選択して、値を入力します。
予算コスト	このプログラムの予算コスト。
実績コスト	プログラムの実際のコスト。 値は、プログラム内のプロジェクトとデマンドのコスト計画明細からロールアップされます。
計画利益	プログラムの計画利益の値。 この値は、プログラムの利益計画明細からロールアップされます。 また、値を手動で入力することもできます。[通貨タイプ] リストから通貨を選択し、値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予定リターン (Planned returns)	予定リターンは、計画利益と計画コストの差異に基づいています。
計画 ROI (%)	結果は、[予定リターン **(Planned return)**] フィールドと [計画コスト] フィールドの値から導出されます。 式は、予定リターン / 計画コスト x 100 です。
スコア	プログラムスコアは、[リスクスコア]、[値スコア]、および [サイズスコア]の各属性の個々のスコアに基づいています。また、これらの属性はそれぞれ、リスク属性、計画 ROI % 属性、およびコスト概算属性 (プログラム上) に基づいて計算されます。 **注:** スコアの計算式を設定できます。
リスク	プログラムに関連付けられたリスク。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
次の関連リンクとリストを使用します。

プログラムフォームの関連リンクとリスト

フィールド	説明
関連リンク	
PMO ダッシュボード	PMO ダッシュボードにアクセスして、プログラム内のプロジェクトとデマンドの包括的なレポートを表示します。
プログラム予算 (Program Budget)	プログラムに予算を割り当てることができます。
プログラムワークベンチ	プログラムワークベンチにアクセスして、プログラムに関連付けられたプロジェクト、デマンド、およびプログラムタスクの詳細を表示します。
ステータスレポート	最新のプログラムステータスレポートを表示するか、新しいプログラムステータスレポートを作成します。
関連リスト	
プログラムタスク	関連付けられたすべてのプログラムタスクのリストを表示します。 新しいプログラムタスクを作成するには、[新規] ボタンをクリックします。詳細については、「プログラムタスクの作成」を参照してください。
プロジェクト	プログラムに含まれるプロジェクトのリストを表示します。 新しいプロジェクトを作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「プロジェクトの定義」を参照してください。 既存のプロジェクトをプログラムに追加するには、[編集] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムフォームの関連リンクとリスト (続く)

フィールド	説明
デマンド	プログラムに含まれるデマンドのリストを表示します。 新しいデマンドを作成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「デマンドの作成」を参照してください。 既存のデマンドをプログラムに追加するには、[編集] をクリックします。
リスク	プログラムまたはプログラム自体のプロジェクトとデマンドに関連付けられたリスクのリストを表示します。 新しいリスクを作成するには、[新規] をクリックします。
問題	プログラムまたはプログラム自体のプロジェクトとデマンドに関連付けられた問題のリストを表示します。 新しい問題を作成するには、[新規] をクリックします。
コスト計画	プログラムの一部であるプロジェクトとデマンドのすべてのコスト計画のリストを表示します。
利益計画	プログラムの一部であるプロジェクトとデマンドのすべての利益計画のリストを表示します。
プログラム予算 (Program Budget)	会計年度に応じたプログラム予算を表示します。リスト内の金額をクリックして金額を修正します。
プログラムステータスレポート	プログラムのステータスレポートのリストを表示します。 新しいステータスレポートを生成するには、[新規] をクリックします。詳細については、「プログラムステータスレポートの作成」を参照してください。

プログラムタスクの作成

[プログラムフォーム] 関連リストからプログラムタスクを作成できます。

始める前に

必要なロール：it_program_manager

このタスクについて

手順

1. 移動先 プロジェクト > プログラム > すべて.
2. リストからプログラムを選択します。
3. [プログラムタスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームフィールドに入力します (テーブルを参照)。
   タスクの作成後に入力されるフィールドがいくつかあります。
5. [送信] をクリックします。

タスクの結果

新しいタスクが、プログラムフォームの [プログラムタスク] 関連リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムタスクフォーム

フィールド	説明
簡単な説明	[必須] プログラムタスクの簡単な説明。
番号	設定可能なプリフィックス付きのシステム生成番号。
ステータス	プログラムの現在のステータス。ステータスには、[処理待ち]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、および [スキップしてクローズ] などがあります。
開始予定日	プログラムタスクの推定開始日時。
終了予定日	プログラムタスクの推定終了日時。
計画された期間	プログラムタスクの推定所要時間 (開始時間から終了時間まで)。
アサイン先	プログラムタスクにアサインされたユーザー。
マイルストーン	マイルストーンは、期間がゼロ (0) のプログラムタスクです。マイルストーンを使用して、主要な意思決定ポイントや承認など、プログラムの重要な日付をマークします。
主要マイルストーン	プログラムの進捗状況を追跡するための主要なマイルストーンとしてマイルストーンを定義できます。たとえば、プログラム計画などの成果物完了のための主要なマイルストーンを作成できます。主要なマイルストーンはプログラムのタイムラインに表示されます。
説明	プログラムタスクの詳細な説明。
追加コメント (顧客に表示)	ユーザーに表示する情報を入力します。
作業メモ	プログラムの進行に伴うマイルストーン、障害、または変更に関する作業メモを入力します。 **注:** PPM のビジネスステークホルダーロールを持つユーザーは、このフィールドを表示できます。詳細については、「PPM のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。

タスクの作成後に入力および更新されるフィールド

フィールド	説明
開始実績日時	このプログラムが開始された日付。この日付は、プログラムのステータスを [対応中] に更新した後に入力されます。
終了実績日時	このプログラムが終了した日付。この日付は、プログラムのステータスを [完了してクローズ] に更新した後に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの作成後に入力および更新されるフィールド (続く)

フィールド	説明
実際の期間	プログラムの開始から終了までのプログラムの実際の期間。計画期間と同様に、実際の期間には合計プログラム時間が表示されます。

プログラムへの予算の割り当て

会計年度に応じて、プログラムの予算を設定します。

始める前に

必要なロール：it_portfolio_manager

手順

1. プログラムフォームを開きます。
2. 関連リンクで、[プログラム予算 **(Program Budget)]** をクリックします。
   [プログラム予算 **(Program Budget)]** ダイアログボックスが開きます。
3. プログラムの予算を設定する年を選択します。
4. [投資予算] および [経費予算] の金額を入力します。
   [予算合計] は、投資と経費の合計金額で更新されます。
5. [**OK**] をクリックします。

タスクの結果

選択した年のプログラム予算が、[プログラム予算] 関連リストに表示されます。リストで金額をクリックすると修正できます。

プログラムステータスレポートの作成

プログラムステータスレポートを定期的に作成して、プログラム内のプロジェクトのステータスロールアップを表示します。ステータスレポートを作成すると、プログラムのさまざまな要素のステータスが、すべてのプロジェクトのプロジェクトステータスレポートからロールアップされます。

始める前に

ステータスレポートに含めるすべてのプロジェクトについて、プロジェクトフォームの [プログラムステータスレポートに表示] オプションが選択されていることを確認します。

必要なロール：it_program_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > プログラム > すべて.
2. プログラムリストで、プログラムレコードを開きます。
3. [プログラムステータスレポート] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
>
> プログラムステータスレポートフォームの任意の要素のステータスを変更すると、プログラムフォームの対応するフィールドも更新されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムステータスレポートフォーム

フィールド	説明
プログラム	プログラムの名前。
ステータス報告日	ステータスレポートを生成する期限の日付。 デフォルト値は現在の日付です。
番号	設定可能なプリフィックス付きの、ステータスレポートのシステム生成 ID 番号。
プログラムフォームからロールアップされた読み取り専用フィールド	
ステータス	[処理待ち]、[オープン]、[対応中] など、プログラムの現在のステータス。
完了率 (%)	プログラムが完了したパーセンテージ。
開始予定日	プログラムの開始予定日。
終了予定日	プログラムの終了予定日。
開始実績日時	プログラムの実開始日。
終了実績日時	プログラムの実終了日。
計画コスト	プログラムのコスト概算。
実績コスト	プログラムの実際のコスト。
[全体的なステータス] タブ	
総合健全性	プログラムの総合健全性は、プログラム内の各プロジェクトの最新のステータスレポートからロールアップされます。ステータスは、デフォルトで赤色、緑色、および黄色を使用して示されます。
エグゼクティブ サマリー	プログラムの簡単な要約と分析。
コメント	全体的なステータスに関するコメント。
先週の達成度	前週に完了した主要なタスクまたはプログラムの重要な進捗の説明。
予定されている主要アクティビティ	プログラムで次に予定されているアクティビティ。
[スケジュール] タブ	
スケジュール	プログラムのスケジュールのステータスは、プログラム内の各プロジェクトの最新のプロジェクトステータスレポートからロールアップされます。ステータスは、デフォルトで赤色、緑色、および黄色を使用して示されます。
スケジュールについてのコメント	プログラムのスケジュールに関する情報。
[コスト] タブ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コスト	プログラムコストのステータスは、プログラム内の各プロジェクトの最新のプロジェクトステータスレポートからロールアップされます。ステータスは、デフォルトで赤色、緑色、および黄色を使用して示されます。
コストについてのコメント	プログラムのコストに関する情報。
[リソース] タブ	
リソース	リソースのステータスは、プログラム内の各プロジェクトの最新のプロジェクトステータスレポートからロールアップされます。ステータスは、デフォルトで赤色、緑色、および黄色を使用して示されます。
リソースについてのコメント	プログラムのリソースに関する追加情報。
[スコープ] タブ	
スコープ	プログラムのスコープのステータスは、プログラム内の各プロジェクトの最新のプロジェクトステータスレポートからロールアップされます。ステータスは、デフォルトで赤色、緑色、および黄色を使用して示されます。
スコープについてのコメント	プログラムのスコープに関する情報。

5. オプション: プログラムのさまざまな要素のロールアップされた色を上書きするには、別のステータス色を選択します。または、プログラムステータスレポートに要素のステータスを表示しない場合は、[なし] を選択します。

   (Optional) [なし] を選択すると、プログラムステータスレポートでそのプログラム要素に灰色の X アイコン ( ) が表示されます。

   設定した上書きの色は、あるレポートから次のレポートに保持されません。次のプログラムステータスレポートが生成されると、関連するプロジェクトの色が使用されます。

6. [送信] をクリックします。
7. オプション: プログラムステータスレポートを印刷するには、[ステータスレポート] タブのヘッダーにある印刷アイコン ( ) をクリックします。

プログラムステータスレポートの表示

プログラムステータスレポートでは、いくつかのカテゴリにおけるプログラム内のすべてのプロジェクトの最新の進捗状況を一目で確認できます。

始める前に

必要なロール：it_program_manager

このタスクについて

[プログラムステータスレポート] 関連リストを使用して、プログラムに対して作成されたプログラムステータスレポートを表示します。レポートがリストされていない場合は、プログラムステータスレポートを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 プロジェクト > プログラム > すべて.
2. プログラムリストで、プログラムレコードを開きます。
3. [ステータスレポート] 関連リンクをクリックします。
4. ページの左上隅からステータスレポートを選択して、その内容を表示します。
5. レポートでプログラムのステータスを確認します。

プログラムステータスレポート

セクション	説明
概要	プログラムに関する一般的な概要情報を提供します。 ○ プログラム名：プログラムの名前。 ○ プログラムマネージャー：プログラムマネージャー。 ○ ポートフォリオ：プログラムが属するポートフォリオ。 ○ 事業部門：プログラムが属する事業部門。 ○ 投資タイプ：プログラムの投資タイプ。 ○ 影響を受ける **BU**：このプログラムが影響する組織の事業部門。 ○ ステータス：プログラムの現在のステータス。 ○ フェーズ：プログラムの現在のフェーズ ([開始中]、[計画中]、および [実行中] など)。 ○ 完了率 **(%)**：プログラムが完了したパーセンテージ。 ○ 開始予定日：プログラムの開始予定日。 ○ 終了予定日: プログラムの終了予定日。 ○ 計画コスト：プログラムのコスト概算。 ○ 開始実績日時：プログラムの実開始日。 ○ 終了実績日時：プログラムの実終了日。 ○ 実績コスト：プログラムの実際のコスト。 この情報は、プログラムフォームからロールアップされます。
サマリー	プロジェクトのプログラムマネージャーによって入力された最新のステータスに基づく、プログラムの総合健全性に関する情報。 ○ エグゼクティブ サマリー：プログラムの簡単な要約と分析。 ○ 先週の達成度：プログラムの前週の進捗状況。 ○ 予定されている主要アクティビティ：プログラムで次に予定されているアクティビティ。
現在のステータス	プログラム内のすべてのプロジェクトの最新のプロジェクトステータスレポートからロールアップされた、総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、およびスコープに関連するプログラムのステータス。 これらのプロジェクトごとに複数のプロジェクトステータスレポートがある場合は、各プロジェクトの最新のプロジェクトステータスレポートの値が集計され、プログラムステー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セクション	説明
	タスにロールアップされます。詳細については、「プログラムステータスレポートフォーム」を参照してください。 異なる色で上記の要素のステータスを示します。最終ステータスのロールアップされた色は、デフォルトでは赤色、黄色、緑色の順です。赤色、黄色、および緑色のプロジェクトがある場合、プログラムのステータスは赤色になります。黄色および緑色のみのプロジェクトがある場合、プログラムのステータスは黄色になります。 次の画像は、プロジェクトからロールアップされたプログラムステータスのカラーコードを示しています。  **注:** プログラムの要素に灰色の X アイコン ( ) がある場合は、プログラムマネージャーがその要素をステータスレポートから除外したことを意味します。
プロジェクト KPI	プログラム内の各プロジェクトの総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、およびスコープの重要業績評価指標のステータス。プロジェクトフォームで [プログラムステータスレポートに表示] オプションが選択されているプロジェクトのみがリストされます。 これらの KPI の値はロールアップされ、プログラムステータスレポートの [現在のステータス] セクションに表示されます。 **注:** プロジェクト KPI の横にある灰色の X アイコン ( ) は、プログラムマネージャーがその要素をステータスレポートから除外したことを意味します。

6. オプション: 印刷されたレポートのコピーが必要な場合は、[ステータスレポート] タブのヘッダーにある印刷アイコン ( ) をクリックします。

プログラムワークベンチ

プログラムワークベンチは、プログラム、およびプログラムの一部であるプロジェクトとデマンドの詳細を表示するための中心的な場所です。

プログラムマネージャーロールは、プログラムワークベンチを使用して、プログラム、およびプロジェクトとデマンドの進捗状況を表示および監視できます。プログラムワークベンチは、プログラムを追跡するための情報のみを提供します。

デマンドとプロジェクトの進捗状況を追跡し、プログラムに対して選択した会計期間のコスト、リソース、スケジュール、およびスコープのステータスを監視できます。

注:

- プログラムワークベンチは Service Portal に基づいています。つまり、要件および組織のワークフローに応じてワークベンチを構成、カスタマイズ、および拡張できます。詳細については、Service Portal のドキュメントを参照してください。
- プログラムワークベンチでは、モバイルデバイスをサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムワークベンチは、次のコンポーネントで構成されています。

会計期間：右上にある選択リストで、プログラムを監視する会計年度を選択します。

タイムラインビュー：プログラムの一部である選択したすべてのデマンドとプロジェクトのリスト、および経時的なすべてのプロジェクトとデマンドのガントチャートを表示します。

以下のことを行うことができます。

- [ダッシュボード構成] 設定を使用して、ガントチャートのプログラムアイテムの色を設定します。
- ガントチャートカレンダーのズームレベルに [自動調整] を選択します。ガントビューは、スクロールバーを使用せずにタイムライン全体を一度に表示できるように 1 ページに収まります。
- プログラム内のプロジェクト間の外部依存関係を確認します。外部依存関係の確認の詳細については、「ポートフォリオ内のプロジェクト間の外部依存関係の確認」を参照してください。
- 表示/非表示アイコン (⚙) をクリックして、列を表示または非表示にします。

注:

- デマンドは、[開始予定日] および [期日] フィールドが設定されており、デマンドが認定済みまたは承認済みステータスの場合にのみタイムラインビューに含まれます。
- 管理者は、タイムラインビューで列を表示/非表示アイコン (⚙) がクリックされたときに列フィルターリストに表示される列をカスタマイズできます。

プロジェクト **KPI**：このタブには、プログラム内のすべてのプロジェクトの総合健全性、スケジュール、コスト、リソース、スコープなどの、プロジェクト KPI の最新ステータスが表示されます。この情報は、プロジェクトに対して作成された最新のステータスレポートから入力されます。

以下のことを行うことができます。

- タブでプロジェクトの名前をクリックして、プロジェクトに対して作成された最新のステータスレポートを開きます。
- プロジェクト KPI のステータスインジケーターをポイントして、そのプロジェクトの KPI に入力されたコメントを表示します。

コスト (計画 対実績)：このチャートには、プログラム内のすべてのプロジェクトの実際のコストと承認済み予算の比較が表示されます。プロジェクトの実績コストは、経費ラインから導出されます。

注:
特定の経費が発生した場合、プロジェクトの経費ラインを手動で作成できます。たとえば、プロジェクト用にハードウェアを調達した場合、ハードウェアの調達に費やした金額の経費ラインを作成できます。ServiceNow 調達 を使用してアイテムを受け取ると、経費ラインが自動的に作成されます。リソース時間については、プロジェクトのタイムカードが承認されると、経費ラインが自動的に作成されます。

チャートの表示設定を変更するには、選択リストから次のいずれかを選択します。

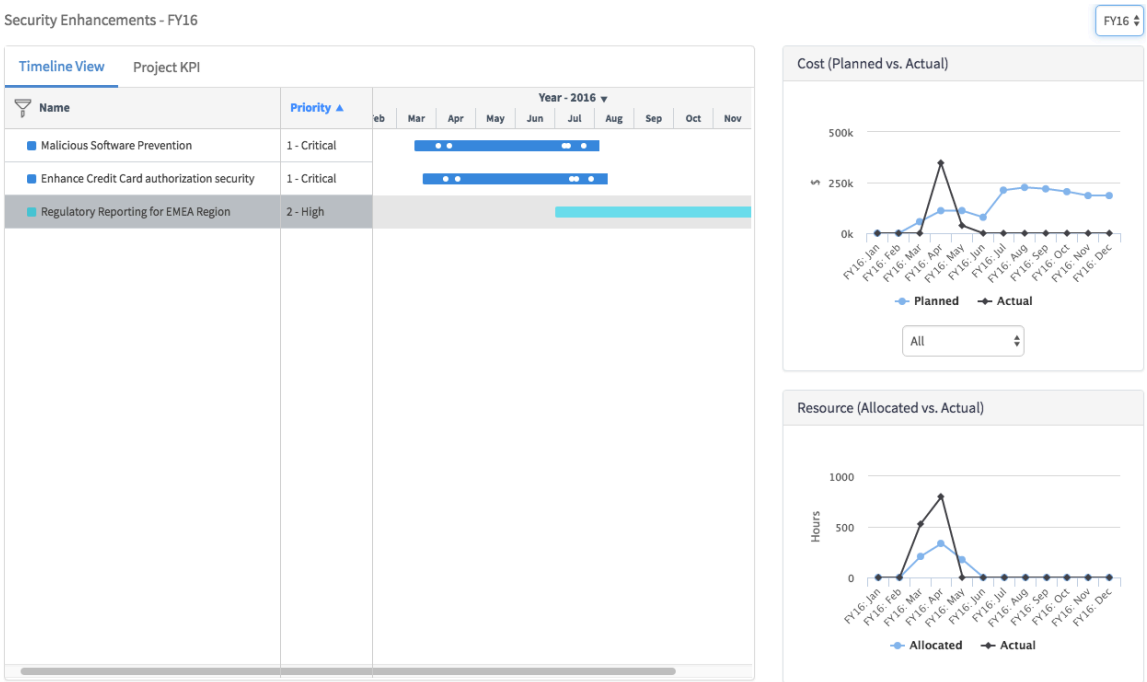
- 投資：投資コストのみに関するコストチャートを表示します。
- 経費：経費のみに関するコストチャートを表示します。
- すべて：投資コストと経費の両方に関するコストチャートを表示します。

リソース (配分 対実績)：このチャートには、すべてのプロジェクトタスクに費やされた実際のリソース時間と、プログラム内のプロジェクトおよびデマンドを実行するために割り当てられたリソース時間の比較が表示されます。実際に費やされた時間は、プロジェクトの処理済みタイムカードから取得されます。

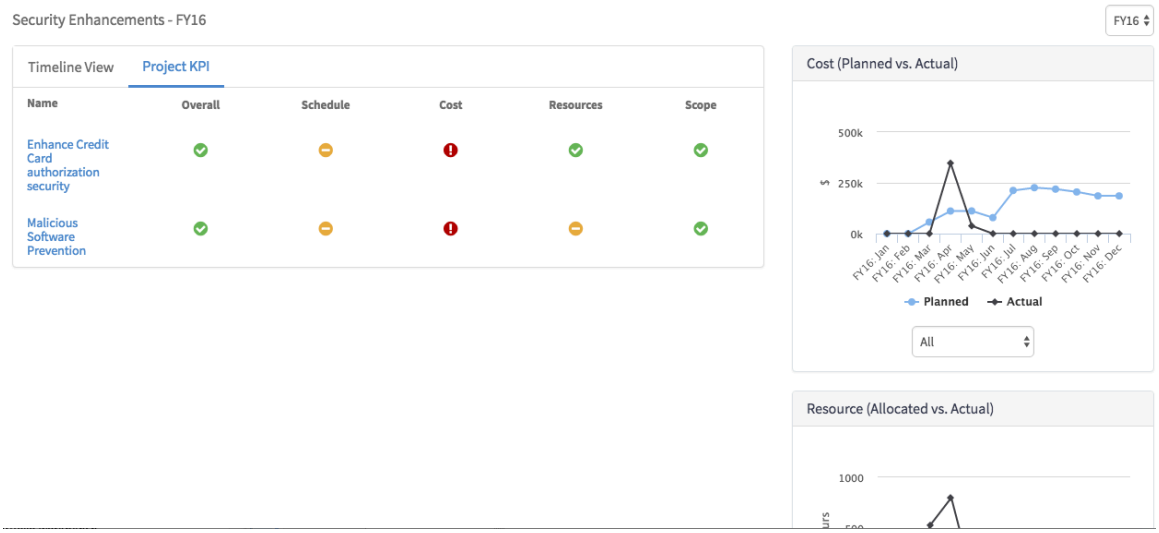
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムワークベンチの例 1



プログラムワークベンチの例 2



プログラムワークベンチへのアクセス

プログラムワークベンチにアクセスすると、すべてのプログラムのリストが表示されます。

始める前に

必要なロール：it_program_manager

このタスクについて

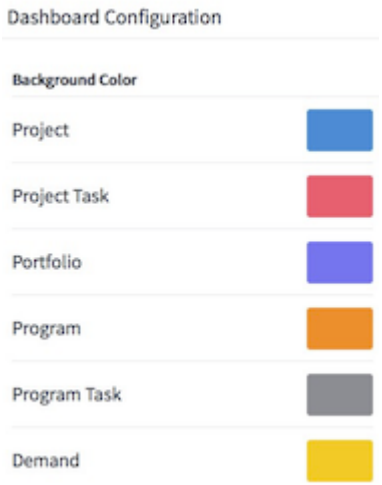
プログラムワークベンチには、次のいずれかの方法でアクセスできます。

手順

1. プログラムフォームで [プログラムワークベンチ] 関連リンクをクリックします。
2. 移動先 プロジェクト > プログラム > ワークベンチ をクリックし、構成アイコン ( ) をクリックし、プロジェクト、タスク、プログラムなどの色を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークベンチではこれらの色を使用して、プログラムのアイテムをタイムラインビューのガントチャートに表示します。



3. 開くプログラムをクリックします。
ワークベンチに表示されるプログラムは、プログラムワークベンチをどのように起動したかによって異なります。

   - すべてのプログラムは、ワークベンチでナビゲーションメニューオプションを使用して利用できます。
   - プログラムフォームを使用して表示されるのは、関連付けられたプログラムのみです。

プログラムダッシュボード

PMO ダッシュボードは、プログラムマネージャーがさまざまなグラフィカルレポートを生成するための中心的な場所を提供します。

Madrid リリース以降、プログラムマネージャーダッシュボードは廃止され、PMO ダッシュボードに置き換えられました。PMO ダッシュボードを使用して、プログラムに関するインサイトを取得できます。詳細については、「PMO ダッシュボード」を参照してください。

プログラムダッシュボードへのアクセス

プログラムのさまざまなグラフィカルレポートを PMO ダッシュボードに表示します。

始める前に
必要なロール：it_program_manager

手順

[プロジェクト] > [プログラム] > [プログラムダッシュボード] に移動します。
PMO ダッシュボードが表示されます。

レートモデル

レートモデルを使用して、プロジェクトまたはデマンドの計画および実際のリソースコストを計算するための、日付有効で基準に基づく時給を導出します。

ユーザー属性のみに基づく賃金レートとは異なり、レートモデルでは最大 10 の属性に基づいて時給を導出できます。これらの属性は、プロジェクト、デマンド、ユーザー、ロールなどの事前定義されたエンティティから選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レートライン

レートモデルは、複数のレートラインの集合です。レートラインは、特定の日付範囲のリソース、グループ、またはロールの時給を定義するさまざまな基準値の一意の組み合わせです。同じ基準のセットに対して、異なる日付範囲に対して異なるレートで複数のレートラインを作成することができます。ただし 日付は重複しません。

レートモデルの処理

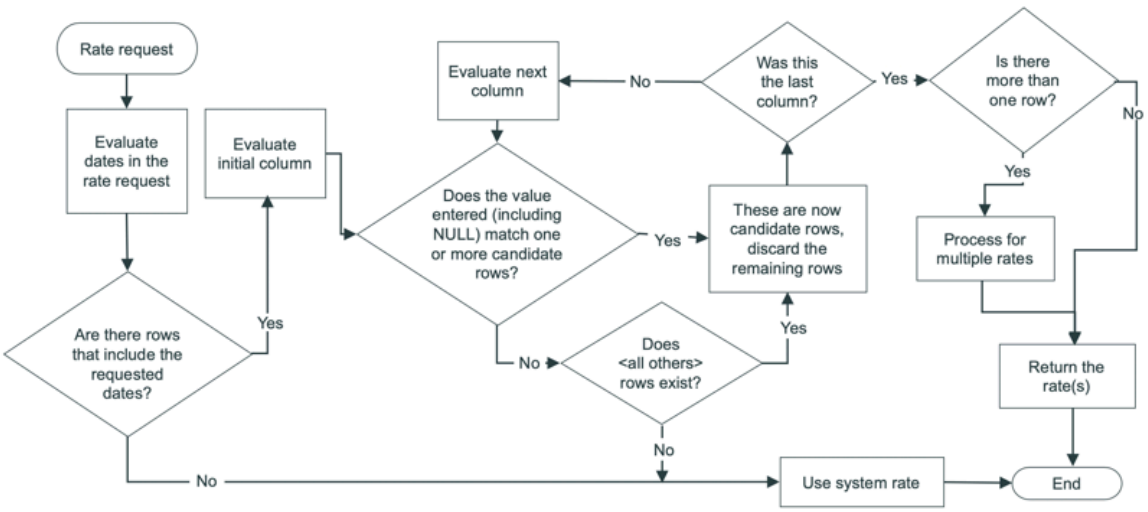
プロジェクトまたはデマンドのリソース計画とタイムカードのレートモデルから時給を導出するには、レートモデルをプロジェクトまたはデマンドに関連付けます。

注:
レートモデルのないプロジェクトまたはデマンドは、レートタイプに関連付けられた賃金レートカードを使用してタイムカードのレートを検索します。

プロジェクトまたはデマンドに関連付けられたレートモデルは、レートラインを評価して、要求された基準に一致する時給を見つけて返します。レートは、リソースの計画または割り当て時、およびタイムカード処理時にレートモデルから導出されます。

レートは、一致するレートラインで指定された機能通貨で返されます。

レートモデル処理フロー図



次のビデオでは、要求の時給を見つけて返すレートモデルと評価方法を設定する方法について説明しています。 レートモデルの操作方法を説明するビデオ

レートが要求されると、レートモデルは次のプロセスを使用します。

1. 要求された日付範囲内のレートラインを検索し、残りのレートラインを破棄します。
2. 識別されたレートラインを評価して、最初の基準列で要求された値に一致する値を見つけ、残りのレートラインを破棄します。

   要求された値が空の場合、NULL を含むレートラインをチェックします。

   完全に一致するものが見つからない場合は、値が [その他すべて (*)] であるレートラインをチェックします。

   すべての基準列が処理されるまで、他の基準列の評価が優先度順に繰り返されます。
3. 1 つ以上のレートラインが要求に一致した場合にレートを返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 単一のレートラインが見つかった場合は、対応するレートが返されます。
- 複数のレートラインが見つかった場合、システムは各レートに適用される要求の時間数を決定します。
- たとえば、要求されたレートが 7 月 1 日から 7 月 30 日までのリソース割り当てであるとします。レートモデルには、7 月 1 日から 7 月 15 日までのレートが 1 つあり、同じ基準セットに対して 7 月 16 日から 7 月 30 日まではレートが異なります。レートモデルは、7 月 1 ～ 15 日の要求された時間に最初のレートを適用し、7 月 16 ～ 30 日の要求された時間に 2 番目のレートを適用します。

要求に一致するレートラインがない場合、要求はデフォルトのレートカードを使用します。

レートモデルの作成または変更

プロジェクトまたはデマンドにリンクできるレートモデルを作成または変更して、リソースの予定コストと実績を決定します。レートモデルは、これらの投資に対して、日付有効で基準に基づく時給を提供します。

始める前に

レートモデルを作成する前に：

- 時給を導出するためのレートモデルの基準を定義する属性を選択します。
- 必要な期間における非機能通貨の予算参照レートを定義します。

必要なロール：pps_admin または it_rate_model_admin

手順

1. レートモデルを作成します。
2. フォームのフィールドに入力します。

[レートモデル] フォーム

フィールド	説明
名前	レートモデルの一意の名前。
有効	レートモデルのステータスを示すオプション。 プロジェクトまたはデマンドに割り当てることができるのは、アクティブなレートモデルのみです。
デフォルト	レートモデルをデフォルトとして設定するためのオプション。 デフォルトとして設定できるレートモデルは 1 つだけです。 デフォルトのレートモデルは、新しいプロジェクトとデマンドに自動的に関連付けられます。
レートモデルコンテキスト	レートモデルに設定されたコンテキスト。 読み取り専用システムフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
通貨	レートモデルのレートラインのデフォルト通貨。
レートタイプ	レートモデルのレートラインでレートタイプ属性を有効にするためのオプション。 選択すると、[レートタイプ] が他の定義済み属性とともに属性の 1 つとして追加されます。詳細については、「賃金レードカードのレートタイプ」を参照してください。
説明	レートモデルの簡単な説明。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
事前定義されたエンティティのセットから属性を追加して、リソースコストを導出するためのレートモデルの基準を定義します。

レートモデルの基準の定義

事前定義されたエンティティのセットから属性を追加してレートモデルの基準を設定し、基準に基づいてリソース時給を導出します。

始める前に
必要なロール：pps_admin または it_rate_model_admin

このタスクについて
レートモデルは、1 つ以上のレートラインで構成されます。各ラインには、基準値とリソースの時給の一意の組み合わせが含まれています。基準を定義するには、次のエンティティから最大 10 個の属性を追加します。

- プロジェクト
- プロジェクトタスク
- デマンド
- ユーザー
- グループ
- ロール
- リソースプラン

タイプが [文字列]、[参照]、[数値]、[ブール]、および [選択肢] の属性を選択できます。

手順

1. 次のアクションのいずれかを実行して、レートモデルを開きます 。
   - 移動先 プロジェクト管理 > レートモデル > すべて.
   - 移動先 タイムシート > レートモデル > すべて.
2. [レートモデル属性] 関連リストで [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レートモデル属性] フォーム

フィールド	説明
エンティティ	基準を定義するために属性が使用されるエンティティ。
属性	基準を定義する、選択したエンティティの属性のリスト。
優先度	時給を導出するためにレートモデルの属性が評価される順序を決定する一意の番号。 優先度が最も低い属性が最初に評価されます。 **注:** 2 つの属性に同じ優先度を設定することはできません。
名前	属性を識別するための分かりやすい名前。 入力されるデフォルトの名前は、選択したエンティティと属性に基づいています。たとえば、[エンティティ] フィールドで [リソース]、[属性] フィールドで [場所] を選択した場合、デフォルト名は [リソース/場所] です。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
リソースの時給を定義するレートラインを作成します。

レートラインの作成

レートモデルで、特定の日付範囲の一連の基準に基づいて時給を定義するレートラインを作成します。

始める前に
必要なロール：pps_admin または it_rate_model_admin

このタスクについて
レートラインを作成または更新する前に、次の点に注意してください。

- 同じ基準値のセットを持つレートラインの日付を重複させることはできません。
- 基準フィールドは空にすることができます。
- フォームのすべての基準フィールドの値は [その他すべて (*)] であり、選択した場合、その基準に完全に一致するものがない場合は、レートモデルによってこの値が検討されます。
- レートラインで機能しない (デフォルト以外の) 通貨を使用するには、対応する予算参照レートが使用可能であることを確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のアクションのいずれかを実行して、レートモデルを開きます 。
   - 移動先 プロジェクト管理 > レートモデル > すべて.
   - 移動先 タイムシート > レートモデル > すべて.
2. [レートモデル] フォームで、[レートラインを表示] 関連リンクをクリックします。
3. [レートライン] フォームで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[レートライン] フォーム

フィールド	説明
レートモデル	レートラインが属するレートモデル。
開始日	レートが適用される期間の開始日。
終了日	レートが適用される期間の終了日。
基準フィールド	基準を定義するために追加されたレートモデル属性に対応するフィールド。フィールドの数は異なる場合があります。 たとえば、グループと場所をレートモデル属性として追加した場合、それらの値を指定できるフォームのフィールドとして使用できます。
レート	レートラインの適用レートと通貨。 デフォルトでは、レートラインが属するレートモデルの通貨が通貨として選択されます。レートモデル通貨とは異なるレート通貨を選択できます。同じ基準値と通貨のセットを持つレートラインには、重複する日付があってはなりません。 プロジェクトまたはデマンドマネージャーは、PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインをインストールし、リソース計画のプロジェクト通貨ビューまたはデマンド通貨ビューを有効にすることで、対応するプロジェクトまたはデマンド通貨でプロジェクトまたはデマンドのリソースコストを追跡できます。詳細については、「リソース計画の作成」トピックを参照してください。
レートタイプ	レートラインに適用される賃金レートタイプ。 [レートモデル] フォームの [レートタイプ] チェックボックスが選択されている場合、このフィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
機能通貨のレート	Financial Management アプリケーションで設定されたデフォルト通貨でのレート。このフィールドは編集できません。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
定義された属性に基づいてリソースの時給を表すレートラインが作成されます。

レートラインのファイルへのエクスポート

レートラインを Microsoft Excel または CSV ファイルにエクスポートして、新しいレートラインをすばやく更新または追加し、レートモデルにインポートし直します。

始める前に
レートラインをエクスポートする前に、属性を追加してレートモデルの基準を定義します。ダウンロードされたエクスポートファイルには、選択した属性に対応する列と次のデフォルト列が含まれています。

必要なロール：pps_admin または it_rate_model_admin。

このタスクについて
レートラインを一度に 1 つ作成する だけでなく、レートラインのエクスポートおよびインポート機能を使用して、レートモデルに複数のレートラインを追加することもできます。

- レートモデル
- 番号
- 開始日
- 終了日
- 通貨
- レート
- レートタイプ

> **注:**
> [レートタイプ] 列は、レートモデルの [レートタイプ] チェックボックスがオンになっている場合にのみ使用できます。

基準列の数は、レートモデルに追加された属性の数によって異なります。

手順
1. 次のアクションのいずれかを実行して、レートモデルを開きます 。
   - 移動先 プロジェクト管理 > レートモデル > すべて.
   - 移動先 タイムシート > レートモデル > すべて.
2. [レートモデル] フォームで、[レートラインを表示] 関連リンクをクリックします。
3. [その他のアクション] アイコン ( ) をクリックし、**[CSV** にエクスポート] オプションを選択します。
   エクスポートファイルを保存するか開くかを尋ねるダイアログボックスが表示される場合があります。デフォルトでは、ファイルの名前はレートモデルと同じです。ただし、別のファイル名を指定

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

することはできます。CSV ファイルまたは Microsoft Excel (.XLSX) ファイルとしてファイルを保存します。

> **注:**
> ブラウザの設定によっては、ブラウザがファイルをダウンロードフォルダに自動的に保存する場合があります。

4. 希望するアプリケーションを使用して、ダウンロードしたファイルを開きます。
   新しいレートラインを入力するか、既存のレートラインを更新して、ファイルを CSV ファイルまたは Microsoft Excel (.XLSX) ファイルとして保存します。

タスクの結果
レートモデルのすべてのレートラインがファイルにエクスポートされます。レートモデルにレートラインがない場合、ファイルは最初の行の列名のみを含む空のテンプレートになります。

次のタスク
ファイルからレートモデルにレートラインをインポートします。

レートラインのレートモデルへのインポート

レートラインのインポート機能を使用して、エクスポートファイルからレートモデルに複数のレートラインをすばやく追加します。

始める前に
`glide.import_set_row.dynamically_add_fields` システムプロパティを true に設定します。

必要なロール：pps_admin または it_rate_model_admin

このタスクについて
エクスポート機能を使用して作成されたファイルでレートラインを追加または更新した後、ファイルからレートモデルにレートラインをインポートできます。

> **注:**
> 次の状況では、レートラインをインポートできません。
>
> - 同じ基準値セットの有効日が重複している場合。
> - システムに一致するデータがない基準値の場合。たとえば、レートラインに [ロール] 基準としてビジネスアナリストが含まれていても、そのロールがシステムに存在しない場合があります。
> - 機能しない (デフォルト以外の) 通貨でのレートであり、必要な期間に対応する予算参照レートがシステムに存在しない場合。

手順
1. 次のいずれかの方法で、インポートファイルからレートモデルにレートラインをインポートします。
   - 移動先 プロジェクト管理 > レートモデル > レート行をインポート.
   - 移動先 タイムシート > レートモデル > レート行をインポート.
   - 移動先 タイムシート > レートモデル > すべてをクリックし、レートモデルレコードを開き、[レートラインをインポート] 関連リンクをクリックします。
2. [ファイルを選択] をクリックして、インポートファイルを選択します。
3. オプション: 複数のシートを含む Excel ファイルからインポートする場合は、インポートするデータを含むシート番号を [シート番号] フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> CSV ファイルからインポートする場合、最後に保存された CSV ファイルのデータは、指定されたシート番号に関係なくインポート対象と見なされます。

4. オプション: インポートファイルにヘッダー行がある場合は、ヘッダー情報を含む行番号を [ヘッダー行] フィールドに入力します。
5. [送信] をクリックします。
6. [変換を実行] をクリックしてデータをインポートします。
   詳細については、「インポートを実行」を参照してください。

タスクの結果

- 新しいレートラインがレートモデルのレートラインリストに追加されます。
- レートモデルの既存のレートラインは、最新の値で更新されます。

タイムカード管理

タイムカード管理機能を使用すると、タスクの割当先などのタイムカードユーザーは、割り当てられたタスクの時間を報告および追跡できます。

プロジェクトの時間追跡機能を設定し、時間を入力して、タイムカードを承認する方法を説明するビデオ。 時間追跡機能のセットアップ、時間の入力、および承認については、こちらの 5 分間のビデオをご覧ください。

タイムカード管理は、タスクテーブルと連携して、プロジェクト、インシデント、問題、変更要求などのさまざまなタスクタイプで作業した時間を記録します。

タイムカード管理機能：

- タイムカードユーザーは、タイムカードとタイムシートを使用して、タスクの作業時間を記録できます。ユーザーは、タイムカードとタイムシートを承認のために送信できます。
- タイムカードとタイムカードは承認のために、ユーザータイムシートポリシーの [プロジェクト以外の時間承認者] および [プロジェクト時間の承認者] フィールドに基づいてルーティングされます。タイムカード承認者ロールを持つユーザーマネージャーは、時間を記録し、リソースのタイムシートを送信することもできます。
- タイムカード承認者は、次のタスクを実行できます。
  - 送信されたタイムシートのタイムカードを確認し、承認または却下します。
  - 承認されたタイムシートまたはタイムカードを取り消して、修正のためにユーザーに返却します。
  - ダッシュボードを使用して、タイムカードとタイムシートの例外レポートを表示し、ユーザーによって報告された時間を分類します。
  - 時間がない場合や利用できない場合に、別のタイムカード承認者に委任して、リソースのタイムシートを処理することができます。委任の際には、次の点に注意してください。
    - 個々のリソースに対してのみ承認を委任することはできません。
    - 委任されたタイムカード承認者は、タイムシート承認をこれ以上委任することはできません。

  project_manager ロールと resource_manager ロールには、ベースシステムの timecard_approver ロールが含まれています。ただし、timecard_approver ロールは、これらのロールがなくても独立して使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タイムカード管理者は、タイムシートポリシーを作成および管理できます。また、例外により承認または却下し、タイムシートを処理することもできます。タイムカードのステータスが [処理待ち] または [却下済み] の場合、タイムカード管理者は任意のユーザーのタイムカードを作成または編集することもできます。

> **注:**
> [変更管理 - リスク アセスメント] プラグインが有効化されているときは、「 タイムカード管理プラグイン はタイムカードを使用するために必要です。一部の手順では、タイムカードを自動的に有効化するプロジェクト管理機能が必要です。詳細については、プロジェクト管理 (com.snc.financial_planning_pmo) を参照してください。

タイムカード管理におけるドメイン分離

ドメイン分離は、ドメイン固有のユーザーに対して完全なデータ分離を提供します。Time Card Management は、データのみのレベルでドメイン分離に準拠しています。

Time Card Management の有効化

管理者は タイムカード Management プラグイン (com.snc.time_card) を有効化できます。プラグインは、Performance Analytics - Content Pack - Project Portfolio Suite Dashboards プラグイン (com.snc.pps_dashboards) を有効化できます。ただし、ダッシュボードを使用するには パフォーマンスアナリティクス ライセンスが必要です。

始める前に

必要なロール：管理者

このタスクについて

> **注:**
> タイムカード Management プラグインは、PPM 標準プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) の一部としても有効になります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   > **注:**
   > ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

タイムシートポリシー

タイムシートポリシーには、タイムシートまたはタイムカードで遵守する必要があるポリシーが含まれています。

デフォルトでは、デフォルトのタイムシートポリシーがシステムで利用可能です。タイムカード管理者は、組織内のさまざまな要件とワークフローに基づいて、複数のタイムシートポリシーを作成でき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。たとえば、各部門またはチームのタイムシートポリシーを指定し、適切なユーザーを割り当てます。

タイムシートポリシーでは、プロジェクトおよび非プロジェクトタスクに適切な承認ワークフローを指定することもできます。

タイムシートポリシーは、デフォルトポリシーとして設定できます。デフォルトのポリシーは、タイムシートポリシーにアサインされていない他のすべてのユーザーに適用される、グローバルタイムシートポリシーです。1 つのタイムシートポリシーのみをデフォルトポリシーとして設定できます。

移動先 タイムシート > 管理 > タイムシートポリシー をクリックして、タイムシート ポリシーの一覧を表示します。

タイムシートポリシーの作成

タイムカード管理者は、タイムシートポリシーを作成して、タイムカードユーザーが作業時間を記録するための要件を定義できます。タイムカード承認者は、該当するタイムシートポリシーに基づいてタイムシートを確認し、処理する必要があります。

始める前に
必要なロール：timecard_admin

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > 管理 > タイムシートポリシー.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

タイムシートポリシーのフォーム

フィールド	説明
名前	一意のポリシー名。
空のタイムカードを許可する	承認のために空のタイムカードを送信できるようにするオプション。 デフォルトでは、このオプションが選択されていません。
予定されているタスク更新時にタイムカードを自動作成する	次の条件が満たされている場合に、予定されているタスクの更新時にタイムカードを自動的に作成するオプション。 ○ あなたがタイムカードユーザーであること。 ○ [アサイン先] または [追加のアサイン先リスト] フィールドからタスクにアサインされていること。 ○ タスクのステータスが処理待ちでないこと。 デフォルトでは、このオプションが選択されていません。
作業時間の入力によりタイムカードを自動入力する	タスクフォームの [作業時間] フィールドに時間を入力すると、タイムカードを自動的に入力するオプション。 タスクのタイムカードが存在しない場合、次の条件が満たされていれば、作業時間が更新されたときにタイムカードが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ あなたがタイムカードユーザーであること。 ○ [アサイン先] または [追加のアサイン先リスト] フィールドからタスクにアサインされていること。 デフォルトでは、このオプションが選択されていません。
タイムカードを毎週自動作成する	タイムシートポリシーに割り当てられたすべてのユーザーのスケジュール設定済みジョブを通じて、毎週自動的にタイムカードを生成するオプション。タイムカードは、ユーザーの計画されたタスク割り当てとハード割り当てされたリソース計画に基づいて生成されます。 デフォルトでは、このオプションが選択されています。
リソース計画/レポートの実績時間とコストを更新	承認済みタイムカードに入力された時間に基づいて、関連するリソース計画の実績時間と実績コストを更新するオプション。 選択すると、以下の方法で、選択したタスクに関連するリソース計画をタイムカードに関連付けることができます。 ○ タスクに複数のリソース計画がある場合、適切な計画を選択できます。 ○ タスクにリソース計画が 1 つある場合、そのプランがデフォルトで選択されます。 タイムカードエントリからの時間と時間単位のリソースレートは、関連するリソース計画の [実績時間] と [実績コスト] の値を更新するために使用されます。 **注:** タスクにリソース計画がない場合、関連するレコードは対応するプロジェクトを更新します。 デフォルトでは、このオプションが選択されていません。
取り消しを許可	タイムシートまたはタイムカードが承認および処理された後に取り消しアクションを有効にするオプション。 デフォルトでは、このオプションが選択されています。
許可された取り消し期間 (日数)	タイムシートまたはタイムカードを取り消すことができる日数。 このフィールドは、[取り消しを許可] オプションを選択すると表示されます。 デフォルト値は 30 です。
週の開始日	タイムシートの開始曜日。 デフォルト値は日曜です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドを使用したタイムシートのフィルタリングの詳細については、Now Support ナレッジベース の KB0852458 の記事を参照してください。
1 日あたりの最大時間数	タイムシートに毎日入力できる最大時間数。 デフォルト値は 24 です。 このフィールドを -1 に設定すると、リソースは次のように入力できます。 ○ 毎日の作業時間としての 0 から 24 までの値 ○ 以前に入力したタイムカードを修正するための負の値。
週あたりの最大時間数	タイムシートで 1 週間に許容される最大時間数。 タイムシートの 1 週間の合計時間の値は、その週の 1 日あたりに入力された時間の合計です。-1 に設定されている場合、許容される 1 週間あたりの合計時間は最大 168 (24 x 7) 時間です。 デフォルト値は 40 です。
プロジェクト以外の時間の承認者	プロジェクト以外のタスクがアサインされているタイムカードを送信するときに必要な承認のタイプ。 ○ 自動：タイムカードは送信時に自動承認されます。 ○ ユーザーマネージャー：タイムカードは、送信時に承認のためにユーザーマネージャーにルーティングされます。 ユーザーマネージャーはタイムカード承認者ロールを持ち、[ユーザー] フォームでタイムカードユーザーのマネージャーとしても選択されます。 ○ なし：timecard_admin ロールを持つユーザーは、送信時にタイムカードを承認できます。
プロジェクト時間の承認者	プロジェクトタスクがアサインされているタイムカードを送信するときに必要な承認のタイプ。 ○ 自動：タイムカードは送信時に自動承認されます。 ○ プロジェクトマネージャー：プロジェクトタスクのタイムカードは、送信時に承認のためにそれぞれのプロジェクトマネージャーにルーティングされます。プロジェクトマネージャーは、時間を送信する対象のタスクから選択されます。 ○ ユーザーマネージャー：タイムカードは、送信時に承認のためにユーザーマネージャーにルーティングされます。 ○ 両方：タイムカードは、送信時に承認のためにユーザーマネージャーおよびプロジェクトマネージャーの両方にルーティングされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	いずれかの承認者のみがタイムカードを承認した場合、タイムカードは[送信済み]ステータスのままになります。 ○ なし：time_card admin ロールを持つユーザーは、タイムカードを承認できます。 **注:** ○ プロジェクトマネージャーとユーザーマネージャーは、承認のためにルーティングされたタイムカードのみを表示できます。 ○ タイムカードがまだ承認されていない間にユーザーマネージャーまたはプロジェクトマネージャーが変更された場合、システムはタイムカードの承認者を自動的に更新します。 ○ プロジェクトマネージャーまたはユーザーマネージャーの名前がそれぞれのフォームに入力されていない場合は、time_card admin ロールを持つユーザーがタイムカードを承認できます。
複数のレートタイプを許可	経費ラインの生成時に使用するレートタイプをタイムカードに提供するオプション。 このオプションを選択すると、タイムカードフォームに [レートタイプ] フィールドが表示され、レートタイプを選択できるようになります。 詳細については、「賃金レートカードのレートタイプ」を参照してください。
デフォルトレートタイプ	タイムカードにデフォルトで使用されるレートタイプ。 [なし] を選択すると、[標準料金タイプ] オプションが使用されます。 このフィールドは、[複数のレートタイプを許可] チェックボックスが選択された場合に表示されます。
デフォルトポリシー	タイムシートポリシーをデフォルトとして設定するオプション。デフォルトのポリシーは、タイムシートポリシーにアサインされていない他のすべてのユーザーに適用される、グローバルタイムシートポリシーです。 デフォルトとして設定できるタイムシートポリシーは 1 つだけです。 デフォルトポリシーとして設定したタイムシートポリシーは削除できません。最初に、別のポリシーをデフォルトポリシーとして設定する必要があります。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 必要に応じて、タイムシートポリシーをデフォルトポリシーとして設定します。
- タイムシートポリシーをユーザーにアサインします。

タイムシートポリシーをデフォルトポリシーとして設定する

タイムカード管理者は、タイムシートポリシーをデフォルトのポリシーとして設定できます。デフォルトのポリシーは、タイムシートポリシーにアサインされていない他のすべてのユーザーに適用される、グローバルタイムシートポリシーです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：timecard_admin

このタスクについて
1 つのタイムシートポリシーのみをデフォルトポリシーとして設定できます。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > 管理 > タイムシートポリシー.
2. タイムシートポリシーレコードを開きます。
3. [デフォルトとして設定] 関連リンクをクリックします。

> **注:**
> 関連リンクは、デフォルトポリシーとしてまだ設定されていないタイムシートポリシーに対してのみ表示されます。

タスクの結果
[レコードフォーム] の [デフォルトポリシー] オプションは、現在のタイムシートポリシーがデフォルトポリシーとして設定されていることを示すために選択されています。以前のデフォルトのタイムシートポリシーの [デフォルトポリシー] オプションはクリアされます。

デフォルトのタイムシートポリシーは削除できません。現在のデフォルトポリシーを削除するには、最初に別のポリシーをデフォルトポリシーとしてマークする必要があります。

タイムシートポリシーをユーザーにアサインする

タイムカード管理者は、タイムシートポリシーをユーザーに割り当てることができます。

始める前に
必要なロール：timecard_admin

このタスクについて
ユーザーに割り当てることができるタイムシートポリシーは 1 つだけです。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > 管理 > タイムシートポリシー.
2. タイムシートポリシーレコードを開きます。
3. [ユーザー]関連リストで、[編集]をクリックします。
4. [メンバーの編集] フォームで、ユーザーを [ユーザーリスト] に移動します。
5. [保存] をクリックします。

タスクの結果
選択したユーザーが [ユーザー] 関連リストに表示されます。選択したユーザーにタイムシートポリシーが割り当てられます。

プロジェクト時間カテゴリの作成

タイムカード管理者またはプロジェクトマネージャーは、サブカテゴリを作成してプロジェクト内の特定のアクティビティを定義できます。タイムカードユーザーは、これらのプロジェクトサブカテゴリを使用して、プロジェクト内の特定のアクティビティの時間を報告できます。

始める前に
必要なロール：timecard_admin、it_project_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > 管理 > プロジェクト時間カテゴリ.
2. [新規] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

[プロジェクト時間カテゴリ] フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	プロジェクト時間カテゴリの一意の名前。
説明	プロジェクトアクティビティのタイプの説明。

4. [送信] をクリックします。

レートタイプの作成

レートタイプは、レートタイプ機能を使用して作成できます。

始める前に
必要なロール：timecard_admin

このタスクについて
レートタイプ機能は、さまざまなタイプの作業を分類するために使用されます。たとえば、標準と残業などです。また、実行された作業の性質について下流のサードパーティ製品に指示することもできます。

たとえば、

- 日中に作業時間の延長があるユーザーは、標準時間を残業と区別する必要があります。
- タスクの実行に関連した作業タイプに基づいて、技術者に高いレートで給与が支払われることがあります。
- 装置の修理タスクは、最初の 1 時間と残りの時間を別々のレートで請求される場合があります。
- サービスコールは 4 時間続き、その間に専用の機器が 1 時間使用されます。企業は、追加請求から法務コンプライアンスや保証の追跡などの目的のために、特殊な機器の使用を把握する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > 管理 > レートタイプ.
2. [新規] をクリックし、フォームに入力します。
3. [送信] をクリックします。

タスクの結果

- レートタイプが [レートタイプ] リストに表示されます。
- レートタイプがアクティブな場合は、[賃金レートカード] フォーム、[作業時間] フォーム、[タイムカード] フォーム、およびタイムシートポータルの [レートタイプ] フィールドにも表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイムシートポータル

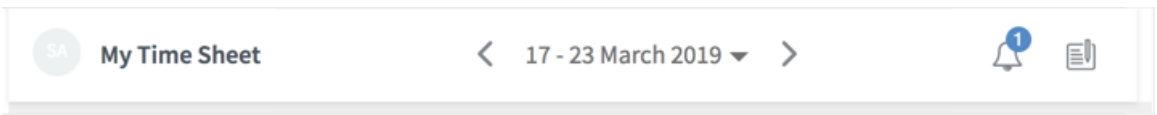
タイムシートポータルでは、特定の週に割り当てられたすべてのタスクを 1 つのビューに分類して表示します。ポータルを使用すると、タスクに費やされた時間を毎日記録し、一回でタイムシートを送信できます。

タイムシートポータルは、タスクテーブルと連携して、プロジェクト、インシデント、問題、変更要求などのさまざまなタスクタイプに費やした時間を記録します。タスクに対して入力した時間、タスクカテゴリ、および 1 週間の日数の完全なブレークダウンが表示されます。これにより、次のことが可能になります。

- 割り当てられたプロジェクトまたはプロジェクトタスクのタイムカードを生成します。
- 前のタイムシートからタイムカードをコピーします。
- 割り当て済みのタスクリストに表示されていないタスクのタイムカードを検索して作成します。
- タイムカードのメモを編集、削除、または追加します。
- タイムシートを送信、承認、却下、取り消します。
- 送信済み、却下済み、取り消し済みのタイムシートまたはタイムカードの通知を表示します。

タイムシートポータルは、次のセクションで構成されています。

ヘッダー



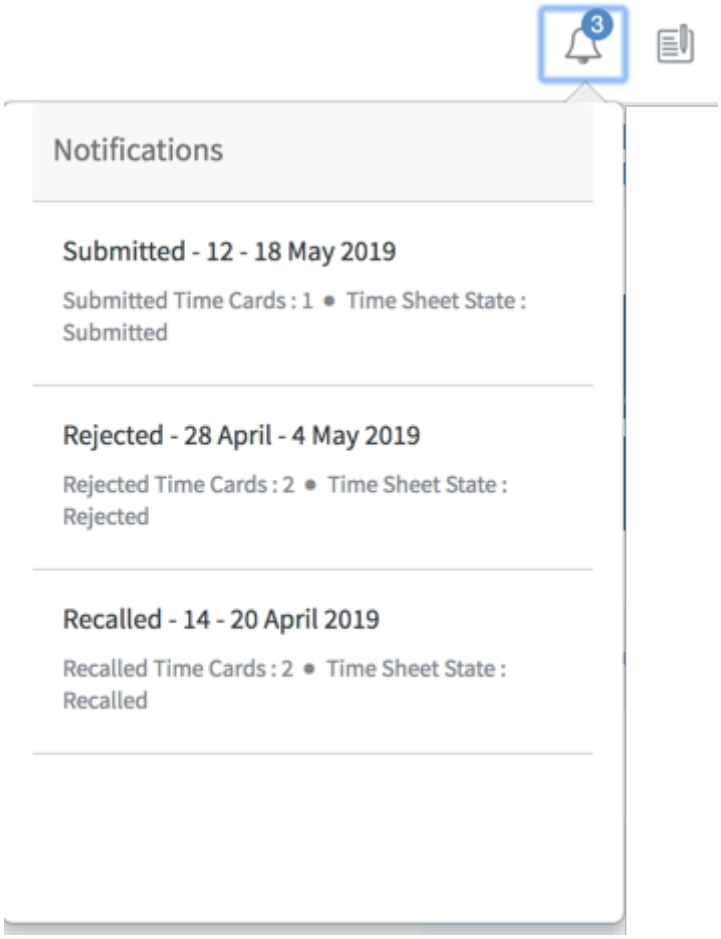
タイムシートポータルのヘッダー：

- 選択した週のタイムシートの日付範囲を表示し、前週または翌週のタイムシートに移動するオプションを提供します。
- 日付範囲とカレンダーを提供します。カレンダーの日付をクリックすると、選択した日付の週のタイムシートが表示されます。
- 別のタイムシートを表示しているときに、現在の週のタイムシートに移動するためのリンクを提供します。
- [自分のタイムシート] の下に、リソースのタイムシートを開いて編集できるオプションがあります。このオプションは、ユーザーマネージャーのみが使用できます。
- タイムシートフォームビューアイコン ( ) を使用して、フォームビューでタイムシートを表示するオプションを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

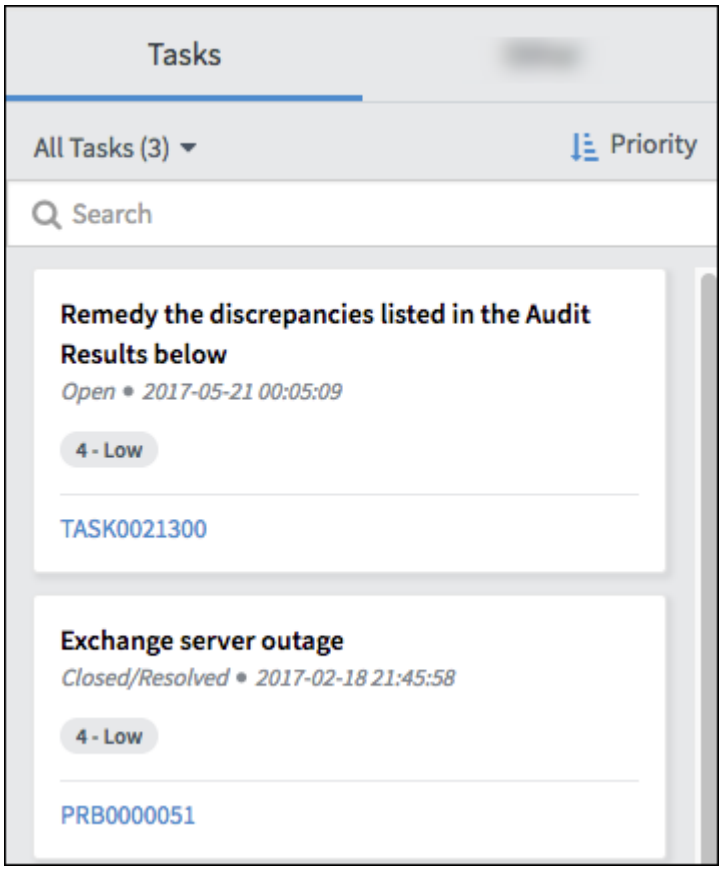
- 送信済み、却下済み、または取り消し済みのタイムシートの通知を、通知を表示アイコン ( ) の下に表示します。各エントリには、タイムカードの数とステータスが表示されます。通知アイテムをクリックして、タイムシートを開きます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク



[タスク] タブに割り当てられたタスクがカードとして表示されます。各カードには、簡単な説明、ステータス、最終更新日時、優先度など、タスクに関する情報が記載されています。タスクは、次のフィルター条件から派生します。

- あなたに割り当てられたすべてのアクティブなインシデント、問題、または変更要求。
- 選択した週であなたに割り当てられたすべてのクローズ済みのインシデント、問題、または変更要求。
- 選択した週にハードアサインされたすべてのタスク。
- あなたに割り当てられたすべてのプロジェクトまたはプロジェクトタスクで、選択した週にアクティブであるものすべて。プロジェクトまたはプロジェクトタスクは、次の条件から派生します。
  - すでに開始され、実際の開始日が選択した週の終わりより前のプロジェクトまたはプロジェクトタスク。
  - すでにクローズされ、実際の終了日が週の始まりより後のプロジェクトまたはプロジェクトタスク。
  - プロジェクトの実績日付がない場合、プロジェクトの予定日は選択した週内である必要があります。
- 自分に割り当てられているすべてのアクティブなストーリー。
- 自分にアサインされた、または選択した週にクローズされたすべてのアクティブなスクラムタスク。
- 自分に割り当てられているすべてのアクティブなテストプラン。
- 自分にアサインされた、または選択した週にクローズされたすべてのアクティブな欠陥および拡張。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
カスタマーサービス管理 (CSM) プラグイン (com.sn_customerservice) が有効になっている場合、選択した週にアクティブおよびクローズされている割り当て済みタスクも、次のテーブルから派生します。

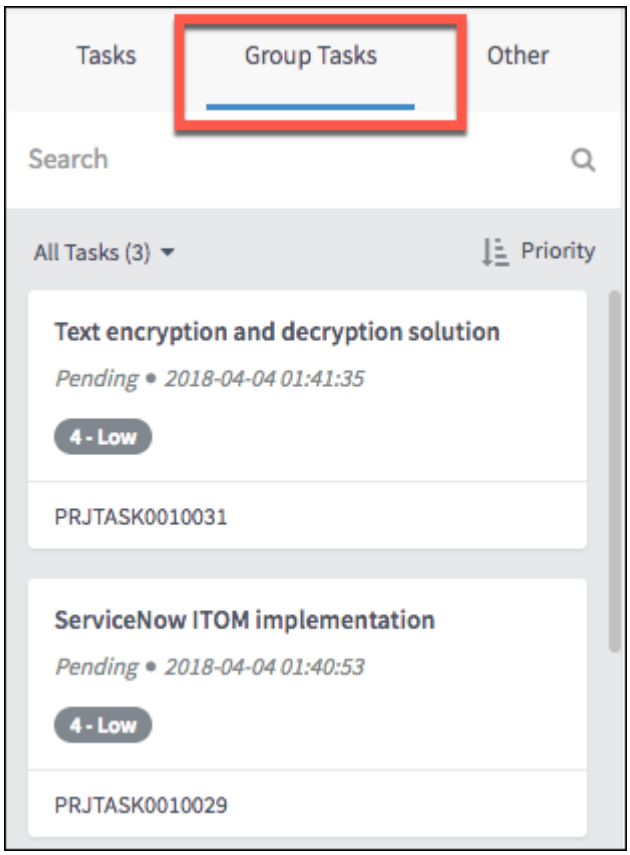
- ケース [sn_customerservice_case]
- 作業指示 [wm_order]
- 作業指示タスク [wm_task]

[タスク] タブでは、次の操作を実行できます。

- 検索フィールドにキーワードを入力すると、キーワードにマッチする詳細を含んだカードのみが表示されます。
- タスクタイプに関係なく、優先度に基づいて昇順または降順でカードをソートします。
- プロジェクト、プロジェクトタスク、インシデント、問題、変更、欠陥、拡張、テストプラン、スクラムタスクなどのカテゴリに基づいてカードを表示します。
- 割り当てられたタスクのタイムカードを作成します。「タイムシートポータルを使用してタイムカードを作成して時間を記録する」を参照してください。

注:
タイムシートポリシー はタイムカードを作成または編集するときに適用されます。

グループタスク

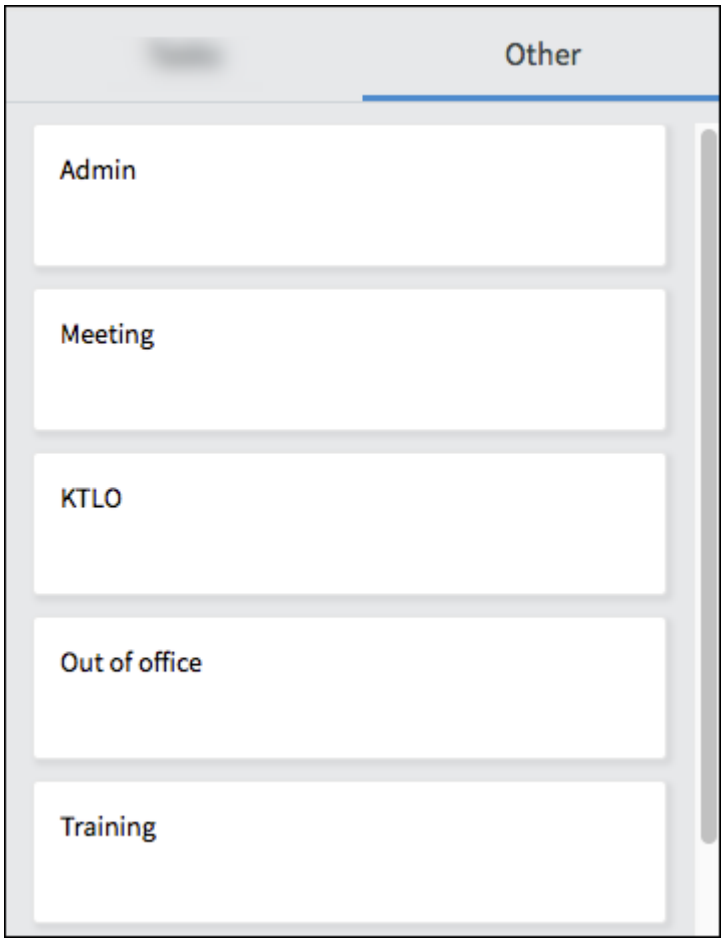


[グループタスク] タブには、自分のアサイン先グループにアサインされたタスクが表示されます。グループタスクは、タブにカードとして表示されます。カードには、簡単な説明、ステータス、最終更新日時、優先度など、タスクに関する情報が記載されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

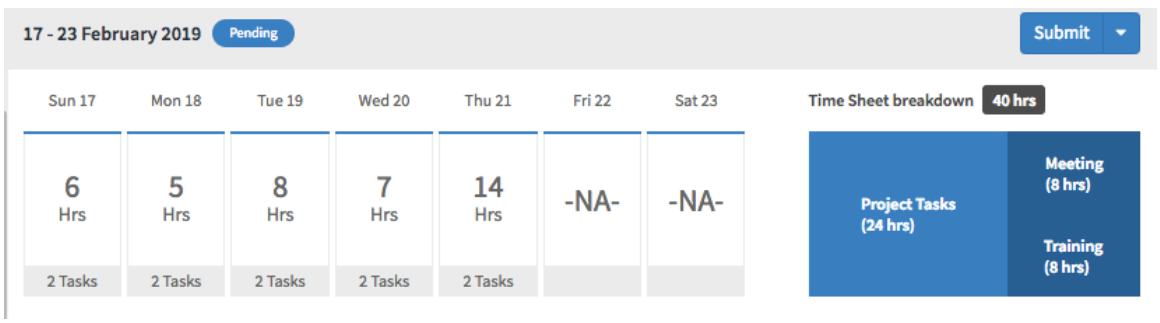
その他



[その他] タブでは、管理、会議、KTLO などの運用作業で時間記録のために使用されるカードが表示されます。

> **注:**
> タイムカードのカテゴリのリストは、[その他] タブに表示されるカードのリストを制御します。管理者がタイムカードでいずれかのカテゴリを非アクティブとしてマークした場合、それらのカテゴリは [その他] タブに表示されません。

タイムシート



[タイムシート] セクション：

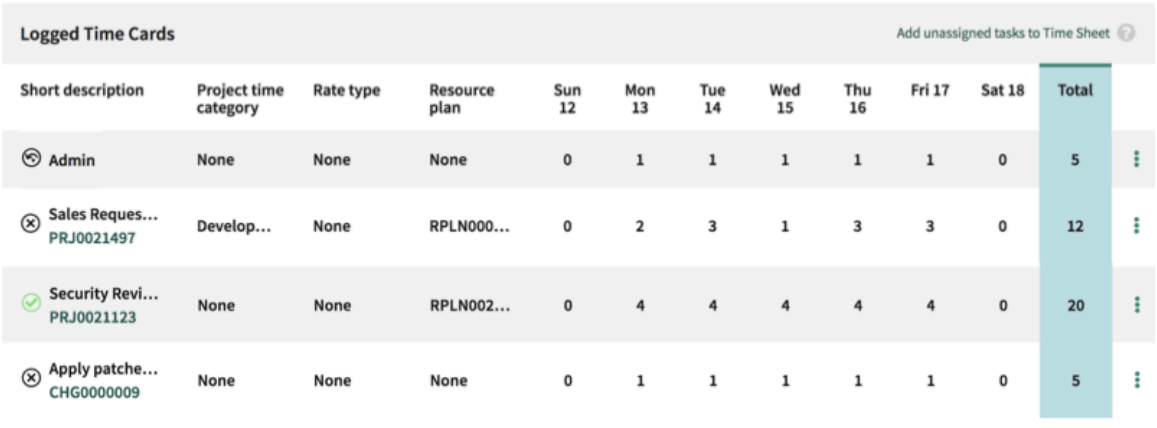
- 選択した週のタイムシートの日付範囲を表示します。
- 表示されているタイムシートのステータスを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 1 週間の各日に入力したタスクの合計数と時間を表示します。タイムシートで日をクリックすると、その日の列が [タイムシート] セクションと [記録されたタイムカード] セクションの両方で強調表示されます。[タイムシート] セクションに表示される最初の曜日は、ユーザーの [タイムシートポリシー] の [週の開始日] フィールドで指定された値に基づきます。たとえば、[週の開始日] フィールドが金曜日に設定されている場合、[タイムシート] セクションは金曜日から始まります。
- タイムシートに入力した合計時間数を示します。タイムシートの内訳には、プロジェクトタスク、管理者、会議、後続タスク、変更要求など、さまざまな作業カテゴリでユーザーが入力した時間のブレークダウンも表示されます。
- タイムシートを送信し、以前のタイムシートからタイムカードをコピーできるオプションを提供します。承認者は、送信されたタイムシートを承認または却下し、処理済みのタイムシートを取り消すオプションを利用できます。

ログが記録されたタイムカード



[ログが記録されたタイムカード] セクションの各行は、特定の週のタイムカードエントリを表します。タイムカードのステータスのアイコン、タスクの簡単な説明、プロジェクト時間カテゴリ、レートタイプ、リソース計画、ログに記録された時間などの詳細が表示されます。タイムカードの各行には、タイムカードのメモを編集、削除、または追加できるオプションが含まれています。詳細については、「タイムシートポータルを使用してタイムカードを作成して時間を記録する」を参照してください。

注:

- [レートタイプ] 列は、ユーザーのタイムシートポリシーで [複数のレートタイプを許可] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
- [リソース計画]列は、ユーザーのタイムシートポリシーで[リソースプラン/レポートの実績時間とコストを更新]オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

行についての簡単な説明の横にあるアイコンは、タイムカードのステータスを示します。タイムカード行の結合アイコン ( ) は、同じタスクに対して重複するタイムカードがタイムシートに存在することを示し、それらを単一のタイムカードに結合するオプションを提供します。

タイムカードがない場合、[ログに記録されたタイムカード] セクションには、タイムカードを作成するための [タイムカードを生成] および [以前のタイムシートからコピー] ボタンが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
タイムシートポータルはモバイルデバイス用に設計されていないため、このドキュメントに示されているとおりに表示されない場合があります。

ログに記録されたタイムカードリストに列を追加

タイムシートポータルのログに記録されたタイムカードリストに列を追加して、タイムカードのログ記録に必要な追加情報を表示します。

始める前に
必要なロール：admin または sp_admin

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > サービスポータル > ウィジェットインスタンス.
2. タイムカードヘッダーのプレビューアイコン ( ) をクリックして、タイムカードポータルのメインコンテナーウィジェットインスタンスを開きます。
3. [インスタンス] フォームで、[追加オプション、JSON 形式] フィールドに次の列構成の値を入力して、コードを更新します。

インスタンスフォーム

列構成	説明
name	テーブル内の列名。
label	タイムシートポータルのログに記録されたタイムカードリストに表示する列名。 タイムカード [time_card] テーブル以外のテーブルの列を追加する場合、この設定は必須です。
width_in_percent	ログに記録されたタイムカードリストの列幅 (%)。

注:
複数の列を追加するには、各列構成をカンマで区切ります。列は、コードに追加するのと同じ順序で追加されます。

4. [更新] をクリックします。

Example:
次のサンプルコードは、タイムシートポータルのログに記録されたタイムカードリストに、列名が [カテゴリ] で幅が 10 % のタイムカード [time_card] テーブルの [カテゴリー] 列を追加します。

```
{
 "tm_grid_options": {
  "displayValue": "Time card grid options",
  "value": {
   "header_fields": [
    {name:"category",label:'Category', width_in_percent: 10}
   ]
  }
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  }
}
```

タイムシートポータルを使用してタイムカードを作成して時間を記録する

タイムシートポータルでタイムカードを作成した後、タイムカードに時間を記録します。

始める前に
必要なロール：timecard_ user

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムシートポータル.
2. 次のいずれかのオプションを使用して、[ログに記録されたタイムカード] セクションでタイムカードを作成します。

   プロジェクトの [設定] タブの [タイムカードレポートを許可する] フィールド設定に基づいて、[タイムシートに追加] および [選択項目をタイムシートに追加] オプションがタイムシートポータルに表示されます。

   タイムカードに重複するタイムカードが存在する場合、処理済み、承認済み、または取り消し済みステータスのタイムカードを除き、両方のタイムカードを結合して単一のタイムカードにすることができます。重複するタイムカードは、タイムカードの [簡単な説明]、[ステータス]、[タスク]、[カテゴリ]、[レートタイプ]、[リソースプラン]、または [プロジェクト時間カテゴリ] フィールドの値を比較することによって識別されます。
3. [ログが記録されたタイムカード] セクションで、タイムカードに時間を記録します。

タイムシートポータルからタイムシートを送信

特定の週の作業時間でタイムシートを更新したら、承認のために送信します。

始める前に
必要なロール：timecard_ user

このタスクについて
タイムシートを送信すると、タイムカードは割り当てられたタイムシートポリシーに照らして検証されます。タイムシートポリシーが割り当てられていない場合、タイムカードはデフォルトのタイムシートポリシーに照らして検証されます。ビジネスルールにより、違反が見つかった場合は、タイムシートを送信することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムシートポータル.
2. **[Submit** (送信)] をクリックします。
   タイムシートが [送信済み] ステータスに移行します。

タイムシートポータルからタイムシートを承認または拒否

管理しているタイムカードユーザーによって送信されたタイムシートをレビュー、承認、または却下します。

始める前に
必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

ユーザーマネージャーは、タイムカードユーザーが送信したタイムシートまたはタイムカードをレビュー、承認、または却下できます。ユーザーマネージャーは、必要なロールのいずれかを持ち、タイムカードユーザーのマネージャーとして一覧表示されています。

休暇中、ユーザーマネージャーは、タイムシート承認者として必要なロールを持つ[別のユーザーを委任する]などの操作を行うことができます。委任されたユーザーは、指定された期間、タイムカードユーザーが送信したすべてのタイムシートを受信して処理します。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムシートポータル.
2. [マイタイムシート] リストをクリックし、[マイリソース] でタイムカードユーザーを選択します。
   [マイタイムシート] リストは、ユーザーマネージャーのみが使用できます。
3. カレンダー内を移動して、適切なタイムシート期間を選択します。
4. 承認または却下をクリックします。

時間を記録し、リソースのタイムシートを送信する

ユーザーマネージャーは、時間を記録したり、リソースのタイムシートを送信できます。

始める前に

タイムカードを作成および編集し、他のタイムカードユーザーのタイムシートを送信するために、ユーザーマネージャーにはタイムカード承認者ロールが必要です。ユーザーマネージャーは、必要なロールのいずれかを持ち、タイムカードユーザーのマネージャーとして一覧表示されています。

必要なロール：timecard_approver

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムシートポータル.
2. [自分のタイムシート] 選択リストをクリックし、[自分のリソース] でタイムシートを承認または却下するユーザーを選択します。

   [自分のリソース] セクションには、自分の部下であるタイムカードユーザーが一覧表示されます。

   注:
   [自分のタイムシート] 選択リストは、ユーザーマネージャーのみが使用できます。

3. 必要に応じて タイムシートポータルを使用してタイムカードを作成して時間を記録する。
4. [送信] をクリックします。

タスクの結果

- 選択したユーザーのタイムシートが [送信済み] ステータスに移行します。タイムカードユーザーに割り当てられたタイムシートポリシーは、タイムシートを送信する際の検証に使用されます。
- タイムシートに関連付けられているすべてのタイムカードも自動的に送信され、[送信済み] ステータスに移行します。
- [タイムシート] セクションに [承認] および [却下] ボタンが表示されます。前述した 2 つのボタンは、ユーザーマネージャーに対してのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
リソースのタイムシートを送信したら、[承認] または [却下] をクリックして承認または却下できます。ユーザーマネージャーにルーティングされたタイムカードのみが承認または却下されます。承認へのルーティングは、タイムカードユーザーのタイムシートポリシーの [プロジェクト以外の時間承認者] および [プロジェクト時間の承認者] フィールドに基づいて実行されます。

タイムシート

タイムシートには、特定の週におけるユーザーのすべてのタイムカードがグループ化されます。

タイムシートでは以下のことができます。

- タイムカードユーザーは、タイムシートを使用するとワンステップで 1 週間の作業をすべて送信できます。
- タイムカード承認者は、タイムシートを承認することで、ユーザーのタイムシート内のすべてのタイムカードをワンステップで承認できます。特定のユーザーの複数のタイムカードを個別に承認する必要はありません。
- タイムシートフォームの [アクティビティ] セクションで、タイムシートを送信または承認したユーザーなど、タイムシートのアクティビティを追跡します。このタイムシートアクティビティ監査は、タイムカード処理の責任を別のユーザーに委任した場合の追跡に役立ちます。アクティビティを追跡するには、タイムカードアクティビティを監査するためにタイムカード [time_card] テーブルの [ステータス] フィールドを有効にします (まだ有効になっていない場合)。詳細については、「 監査にテーブルフィールドを含める 」を参照してください。

タイムシートのステータスは次のいずれかになります。

処理待ち
: タイムシートが作成されましたが、送信前にユーザーはまだ変更を行っています。

送信済み
: タイムシートが承認のために送信されました。承認者はそれを承認または却下できます。

承認済み
: タイムシートが承認されました。タイムシートが自動的に [処理済み] に更新されない場合は、タイムシートに関連付けられたタスクがなかったことを意味します。

処理済み
: タイムシートがシステムによって処理されました。タイムシートが承認されると、後 (After) ビジネスルール [承認されたタイムカードから経費を作成 (Create expense from approved time card)] がトリガーされます。このビジネスルールは、関連するタスクの経費明細を作成し、ステータスを [処理済み] に更新します。

却下
: 変更のためにタイムシートが送信者に返送されました。

取り消し済み
: 送信者が修正のためにタイムシートを取り消しました。

タイムシートを作成

タイムカードユーザーとして、指定された週のすべてのタイムカードをグループ化するタイムシートを作成し、ワンステップで送信します。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
ユーザーは、1 週間に 1 つのタイムシートしか作成できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ユーザーが 1 週間のタイムカードを作成すると、その週のタイムシートも自動的に作成されます。

手順

1. これらのオプションのいずれかを使用してタイムシートを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。

タイムシートのフォーム

フィールド	説明
週の開始日	タイムシートが作成される週の開始曜日。 **注:** [タイムシートポリシー][週の開始日]は、週の開始日を制御します。
合計時間	ユーザーがその週に作業した時間数。このフィールドは、関連付けられたタイムカードに記録された時間から自動的に入力されます。
ユーザー	タイムシートが作成されるユーザーの名前。
ステータス	タイムシートの現在のステータス。すべての新しいタイムシートは [処理待ち] として開始されます。 デフォルトのステータス：[処理待ち]、[送信済み]、[承認済み]、[処理済み]、[却下済み]、[取り消し済み]。
コメント	タイムシートに関連するコメント。
メモ	その他の追加情報。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
タイムシートにタイムカードを追加します。関連リンクと関連リストを使用して、タイムカードを追加できます。タイムシートポータルを使用してタイムカードを追加することもできます。

タイムシートフォームの関連リンクとリスト

フィールド	説明
関連リンク	
タイムカードを生成	割り当てられたプロジェクトタスクのタイムカードを生成するリンク。
前のタイムシートからコピー	以前のタイムシートからタイムカードをコピーするための [タイムシートをコピー] ウィンドウを開くためのリンク。
タイムシートポータル	タイムシートを表示および管理するためのタイムシートポータルを開くためのリンク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイムシートフォームの関連リンクとリスト (続く)

フィールド	説明
関連リスト	
タイムカード	タイムシートの一部であるタイムカードのリスト。 タイムカードを作成するには、[新規] をクリックします。

タイムシートを送信

タイムシートが作業した時間で更新されたら、その週のタイムシートとその週のすべてのタイムカードをまとめて送信できます。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
タイムシートを送信する際、ユーザーに割り当てられた タイムシートポリシーは検証に使用されます。ユーザーにタイムシートポリシーが割り当てられていない場合、タイムカードはデフォルトのタイムシートポリシーが使用されます。ビジネスルールにより、ユーザーの違反が見つかった場合は、タイムシートを送信することはできません。

注:
このタスクは、 タイムシートポータルからも実行できます。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、タイムシートに移動します。
   - [保留中] ステータスのタイムシートを送信するには、次に移動します。タイムシート > 自分のタイムシート > **Pending** (保留中).
   - 今週のタイムシートを送信するには、次に移動します。 タイムシート > 自分のタイムシート > 現在のタイムシート.
   - 却下済みステータスのタイムシートを送信するには、 タイムシート > 自分のタイムシート > 却下. 却下コメントに提案されている必要な変更を加えて、却下されたタイムシートを再送信することができます。
2. タイムシートリストで送信するには、タイムシートを開きます。
3. 必要に応じてコメントを追加します。
4. [タイムシートの送信] をクリックします。

タスクの結果
- タイムシートが [送信済み] ステータスに移行します。
- タイムシートに関連付けられているすべてのタイムカードも自動的に送信され、[送信済み] ステータスに移行します。

タイムシートの承認または却下

指定された週のユーザーのタイムシートまたはタイムカードを 1 つのステップで表示、承認、または却下します。

始める前に
必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

ユーザーマネージャーは、必要なロールのいずれかを持ち、タイムカードユーザーのユーザーフォームの [マネージャー] フィールドで選択されます。

休暇中、ユーザーマネージャーは、タイムシート承認者として必要なロールを持つ別のユーザーにタイムシートの承認を委任するなどの操作を行うことができます。委任されたユーザーは、指定された期間、タイムカードユーザーが送信したすべてのタイムシートを受信して処理します。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムシート > 承認待ち.
2. [タイムシート] リストで、承認または却下するタイムシートを開きます。
3. 必要に応じてコメントを追加します。
4. 承認または却下をクリックします。

タスクの結果

- タイムシートが [承認済み] または [却下] ステータスに移行します。

  注:

  タイムシートが却下された場合、 タイムシートポータルの [通知を表示] アイコン ( ) の下にある却下済みのタイムシートの通知に一覧表示されます。

- タイムシートに関連付けられているすべてのタイムカードも、自動的に承認または却下されます。
- タイムシートポリシーとして定義されているタイムシート内のいずれかのタイムカードが承認者の誰かによる承認待ちの場合、シートは [送信済み] ステータスのままになります。

注:

- 1 つ以上のタイムカードを選択して承認または却下することで、タイムシート内のタイムカードを選択的に承認または却下することもできます。
- タイムシートが却下された場合、[送信済み] ステータスの関連するすべてのタイムカードも自動的に却下されます。タイムシートの [承認済み] および [処理済み] ステータスのタイムカードは影響を受けません。
- タイムシート内のすべてのタイムカードが承認されると、タイムシートは自動的に [承認済み] ステータスに移行します。
- タイムシート内のタイムカードが [却下済み] ステータスの場合、タイムシート内の他のタイムカードのステータスに関係なく、タイムシートも[却下済み]ステータスに移行します。

処理済みのタイムシートを取り消す

承認済みまたは処理済みステータスの誤ったタイムシートを取り消して、送信者に戻すことができます。送信者は必要な変更を行い、タイムシートを再送信できます。

始める前に

必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

このタスクについて

取り消しオプションは、関連付けられたタイムシートポリシー で [取り消しを許可]オプションが選択されている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、取り消したい承認済みまたは処理済みのタイムシートに移動します。

2. [取り消し]をクリックします。

タスクの結果

- タイムシートと関連するタイムカードのステータスが、[取り消し済み]に変わります。
- タスクタイプのタイムカードが承認されたときに作成されたプロジェクトまたはデマンドの実際の労力とリソース時間を元に戻します。
- タイムシートが承認されたときに作成された、対応する経費ラインをゼロにするために、負の経費ラインを作成します。
- 変更のためにタイムシートを送信者に戻します。

タイムシートの承認を別のユーザーに委任する

時間がない場合や利用できない場合に、リソースのタイムシートを処理する責任を別のユーザーに委任することができます。

始める前に
必要なロール：timecard_admin または timecard_approver

このタスクについて
委任には、timecard_approver ロールが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > 代理人.
2. [代理人] リストで、[新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

委任フォーム

フィールド	説明
ユーザー	別のユーザーへの承認とタスクの委任元のユーザー。
代理人	承認とタスクが委任されたユーザー。
開始	委任期間の開始日。
終了	委任期間の終了日。
Approvals	タイムカード承認の委任を有効にするオプション。

注:
フォームの他のオプション ([アサイン]、**[CC** 通知]、および [会議への招待]) は、タイムシート承認の委任には適用されません。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
承認委任は、指定された期間に次の影響を及ぼします。

- 自分と代理人の両方が、承認アクティビティに関する通知を受け取ります。
- タイムシートポータルで、代理人は[自分のタイムシート] リストの[代理人] の下にリソースを表示できます。
- 自分がタイムシートポータルでリソースに対して実行できるすべての機能、すなわちタイムシートの作成と送信、送信されたタイムシートの承認または却下、処理されたタイムシートの取り消しを、代理人が実行できます。

タイムカード

タイムカードは、タスクの割当先がタスクに費やした時間を記録するために使用されます。

タイムカード管理機能は、タスクテーブルと連携して、プロジェクト、インシデント、問題、および変更要求の作業時間を記録します。

タスクの割当先は、タスクレコードの [作業時間] フィールドに作業時間を記録するか、タイムカードに直接時間を入力することができます。一部のテーブルでは、開始日と終了日フィールドに基づくタイムカードの自動作成に対応しています。

タイムカードフォームの [アクティビティ] セクションで、タイムカードを送信または承認したユーザーなど、タイムカードのアクティビティを追跡します。このタイムカードアクティビティ監査は、タイムシート処理の責任を別のユーザーに委任した場合の追跡に役立ちます。アクティビティを追跡するには、タイムカードアクティビティを監査するためにタイムカード[time_card]テーブルの[ステータス]フィールドを有効にします (まだ有効になっていない場合)。詳細については、「 監査にテーブルフィールドを含める 」を参照してください。

プロジェクトタスクや、会議やトレーニングなどの他のタスクカテゴリのタイムカードを、関連するリソース計画に関連付けることができます。

タイムカードを承認すると、タイムカードに記録された時間が、日ごとにタイムカード日次 [time_card_daily] テーブルに保存されます。日次のタイムログデータを使用して、タイムカードが属するタイムシート期間に関係なく、任意の期間のタイムカードレポートを日単位で生成できます。たとえば、月初日から最終日までのタイムカードを含む月次タイムカードレポートを作成できます。

タイムカードには、プロジェクトマネージャーがタイムカードを承認するためのオプションの承認メカニズムもあります。管理者とタイムカード承認者は、その週のすべてのタイムカードを表示できます。タスクの作業を担当するロールに属するすべてのユーザーは、自分のタイムカードにアクセスすることもできます。タイムカードのステータスは、次のいずれかになります。

タイムカードのステータス

ステータス	説明
処理待ち	承認のために送信されていないタイムカード。
送信済み	承認のために送信されたタイムカード。
承認済み	承認済みのタイムカード。
処理日時	関連タスクの経費ラインを含む承認済みのタイムカード。
却下	却下されたタイムカード。
取り消し済み	必要な調整のために取り消される承認済みのタイムカード。

タイムカードを作成

タイムカードを作成して、実行した作業の時間を記録できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
[プロジェクトフォーム] の [タイムカードレポートを有効にする] フィールドによって、プロジェクトタスクのタイムカードを作成できるレベルが決まります。

> **注:**
> プロジェクトフォームから作成されたタイムカードは、ランダム割り当てを避けるためにリソース計画に自動的に入力されません。詳細については、Now Support ナレッジベース の記事 KB0814884 を参照してください。

タイムカードは、自動または手動で作成できます。

- 自動：タイムカードを自動的に生成するには、次のオプションを使用します。
  - タスクを更新する：

    タスク更新時にタイムカードを自動作成する

    ユーザーがタスクレコードを更新したときに作成されるタイムカードを設定します。割り当てられたタイムシートポリシーの [タスク更新時にタイムカードを自動作成] 設定がこの動作を制御するため、デフォルトでは false に設定されています。

    作業時間の入力によりタイムカードを自動入力する

    ユーザーが作業時間を記録した時にタイムカードが作成されるように設定します。タスクのタイムカードが存在しない場合、タイムカードが作成されます。タイムシートポリシーの [作業時間の入力によりタイムカードを自動入力する] は、この動作を制御するため、デフォルトでは false に設定されています。

    [プロジェクトタスク]、[インシデント]、[問題]、および [変更] のレコードで、[作業時間] フィールドはデフォルトでは表示されないため、フォームで設定する必要があります。

  - スケジュール設定済みジョブ別：スケジュール設定済みジョブを通じて、ユーザーに対して自動的に生成されるプロジェクトタスクのタイムカードを設定します。管理者だけがスケジュール設定済みジョブを設定できます。

    > **注:**
    > モバイルインターフェイスを使用している場合、タイムカードを自動的に作成することはできません。自動タイムカード機能を使用する場合は、デスクトップインターフェイスを使用します。

- 手動：タスクごとにタイムカードを作成し、手動で時間を入力します。

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、タイムカードを作成します。
2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイムカードフォーム

フィールド	説明
週の開始日	タイムシートの週の開始曜日。 注: [タイムシートポリシー][週の開始日]は、週の開始日を制御します。タイムカードの開始週がリソース計画の日付外である場合に、リソース計画をタイムカードに関連付けようとすると、メッセージが表示されます。
ステータス	タイムカードの現在のステータス。新しいタイムカードはすべて [処理待ち] 状態で開始されます。 タイムカードのステータスには、[処理待ち]、[送信済み]、[承認済み]、[処理済み]、[却下済み]、[取り消し済み] があります。
カテゴリ	タイムカードが作成されるタスクのタイプ。
タスク	タイムカードに関連付けられているタスク。
プロジェクト時間カテゴリ	時間が報告されるプロジェクト内のアクティビティタイプ。 このフィールドは、[カテゴリ] フィールドで [プロジェクト/プロジェクトタスク] または [タスク作業] を選択すると表示されます。
ユーザー	タイムカードが作成されるユーザーの名前。
レートタイプ	経費ラインの生成時に考慮されるレートタイプ。 詳細については、「賃金レートカードのレートタイプ」を参照してください。 注: このフィールドは、ユーザーの割り当てられたタイムシートポリシーで [複数のレートタイプを許可] オプションが選択されている場合に表示されます。
リソースプラン	タイムカードに関連付けられているタスクのリソースプラン。タイムカードが承認されると、タイムカードエントリからの時間と時間単位のリソースレートは、関連するリソース計画の [実績時間] と [実績コスト] の値を更新するために使用されます。 リソース計画は、次の方法でタイムカードに関連付けられます。 ○ タスクに複数のリソース計画がある場合、適切な計画を選択できます。 ○ タスクにリソース計画が 1 つある場合、そのプランがデフォルトで選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ タスクにリソース計画がない場合、関連するレコードは対応するプロジェクトを更新します。 ◦ リソース計画の日付が時間送信週の日付外である場合、タイムカードにメッセージが表示されます。 ◦ このフィールドは、ユーザーの割り当てられたタイムシートポリシーで [リソース計画/レポートの実績時間とコストを更新] オプションが選択されている場合に表示されます。
残り労力	計画されたタスクの残りの作業時間。残り労力は、 計画されたタスクテーブル の残り労力であり、次のように計算されます。 残り労力 = 計画工数 - 実績工数 **注:** デフォルトでは、このフィールドはタイムカードフォーム上では利用できません。必要に応じて、フォームを設定してこのフィールドを追加します。

3. [送信] をクリックします。

タスクの結果

- 選択したタイムカード期間のタイムカードが作成されます。
- その週のタイムシートが存在しない場合は、タイムカード週のタイムシートが作成されます。

次のタスク

タイムカードの作成後、タスクにかかった時間をタスクレコードの [作業時間] フィールドから自動的にインクリメントできます。タイムシートポリシーの[作業時間の入力によりタイムカードを自動入力する] は、タイムカードでの時間の更新方法を制御します。デフォルトでは、このポリシーは *[false]* に設定されています。作業時間の自動更新が設定されていない場合、ユーザーはタイムカードを手動で更新する必要があります。

関連情報

運用作業タイプにタイムカードカテゴリをマップ

以前のタイムシートからタイムカードをコピー

タイムカードを作成するもう 1 つのオプションは、既存のタイムシートからタイムカードをコピーすることです。これにより、選択したタイムシートから (プロジェクトおよびプロジェクト以外のタスクの) すべてのタイムカードがコピーされます。

始める前に

必要なロール：timecard_user

このタスクについて

このタスクは、 タイムシートポータルからも実行できます。

手順

1. タイムカードを作成するタイムシートレコードを開きます。
2. [以前のタイムシートからコピー] 関連リンクをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [タイムシートを選択] フィールドで、タイムカードをコピーする以前のタイムシートを選択します。
4. オプション: 以前のタイムシートのタスクについて記録された時間をコピーできます。[ログに記録された時間をコピー] チェックボックスをオンにします。
5. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果

プロジェクトタスクのタイムカード

今週進行中または予定されているすべてのプロジェクトタスクのタイムカードが、選択したタイムシートからコピーされます。選択した週にプロジェクトタスクのタイムカードが存在する場合、コピー中は重複するタイムカードは作成されません。

タスク以外のカテゴリのタイムカード

会議やトレーニングなど、タスク以外のすべてのカテゴリのタイムカードが、選択したタイムシートからコピーされます。選択した週にタスク以外のカテゴリのタイムカードが存在する場合、コピー中に重複するタイムカードが作成されます。

注:

- 以前のタイムシートにレートタイプがあり、ユーザー のタイムシートポリシーでレートタイプが許可されている場合、レートタイプも現在のタイムシートにコピーされます。
- 以前のタイムシートにレートタイプがあっても、ユーザーのタイムシートポリシーでレートタイプが許可されなくなった場合、レートタイプは現在のタイムシートにコピーされません。
- 以前のタイムシートに非アクティブなレートタイプがある場合、そのレートタイプはコピーされません。必要に応じて、ユーザーは個々のタイムカードを保存する前に別のレートタイプを入力できます。

タイムカードを自動生成

管理者は、タイムカードユーザーに割り当てられたプロジェクトタスクのタイムカードを自動的に生成するように、スケジュール設定済みジョブを設定できます。

始める前に

必要なロール：管理者

このタスクについて

手動オプション [タイムカードを生成] に加えて、スケジュール設定済みジョブを実行して、プロジェクトタスクのタイムカードを自動的に生成することもできます。たとえば、毎週日曜日にジョブを毎週実行するようにスケジュールして、翌週のすべてのユーザーのタイムシートを生成することができます。組織のビジネスプロセスに基づいて、スケジュール設定済みジョブをいつ実行するかを設定できます。デフォルトでは、スケジュール設定済みジョブはオフになっています。詳細については、「 スクリプト実行のスケジュール 」を参照してください。

注:
スケジュール設定済みジョブでは、割り当てられたタイムシートポリシーで [タイムカードを毎週自動作成する] オプションが true に設定されているユーザーに対してのみ、タイムカードが自動生成されます。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [ジョブスケジュール] リストで、[タイムカードの自動生成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ビジネス要件に従って、スクリプトで次のパラメーターを構成します。
   - 実行対象 (CURRENT_WEEK, NEXT_WEEK, LAST_WEEK)
   - グループ名 (includeGroups、excludeGroups)

   注:
   - タイムカードの週にプロジェクトタスクのタイムカードが存在する場合、重複するタイムカードは作成されません。
   - タイムカードは、週中に進行中または予定されているプロジェクトタスクに対してのみ生成されます。
   - [プロジェクトフォーム]の [タイムカードレポートを許可]フィールドによって、プロジェクトタスクのタイムカードを作成できるレベルが決まります。

Example:
次のスクリプト例は、スケジュール設定済みジョブが実行され、データベースグループとハードウェアグループの現在の週のタイムカードが生成されるときに実行されます。

```
// Clone this schedule job to run separately for different groups at different times
// One of the following values
// TimeCardConstants.CURRENT_WEEK
// TimeCardConstants.NEXT_WEEK
// TimeCardConstants.LAST_WEEK
var runFor = TimeCardConstants.CURRENT_WEEK;

// Comma separated group sys ids or group names. TimeSheet/TimeCards will be auto
 generated for time card users in the given groups.
var includeGroups = [Database,Hardware];
var excludeGroups = [];

var generator = new TimeCardGenerator();
generator.generateFromConfig(runFor, includeGroups, excludeGroups);
```

自動翻訳

タイムカードを送信

タイムカードユーザーは、その週のタイムカードが作業した時間で更新されると、個別にタイムカードを送信できます。

始める前に
[処理待ち] または [却下済み] ステータスのタイムカードを送信できます。

必要なロール：timecard_user

このタスクについて
タイムカードを送信する際、ユーザーに割り当てられた タイムシートポリシーは検証に使用されます。ユーザーにタイムシートポリシーが割り当てられていない場合、タイムカードはデフォルトのタイムシートポリシーが使用されます。ビジネスルールにより、ユーザーの違反が見つかった場合は、タイムカードを送信することはできません。

手順
1. 移動先：
   - タイムシート > 私のタイムカード > すべて
   - タイムシートのタイムカード関連リスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 送信するタイムカードは複数選択できます。

2. [タイムカード] リストで、送信するタイムカードを開きます。
3. [タイムカードを送信] をクリックします。

タスクの結果

- タイムカードが [送信済み] ステータスに移行します。
- タイムカードは、ユーザーに割り当てられたタイムシートポリシーの[プロジェクト時間の承認者]フィールドと[プロジェクト以外の時間承認者]フィールドに設定された値に基づいて承認者に送信されます。

> **注:**
> タイムカードの送信後にプロジェクトまたはユーザーマネージャーが変更された場合、タイムカードは承認のために新しいプロジェクトまたはユーザーマネージャーに自動的にリダイレクトされます。

タイムカードの承認または却下

タイムカード承認者は、送信されたタイムカードを表示して承認または却下できます。

始める前に

必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

このタスクについて

承認のために送信されたタイムカード、または他のユーザーマネージャーによってタイムカード承認者として委任されたタイムカードのみを表示できます。ユーザーに割り当てられたタイムシートポリシーによって、承認プロセスが決まります。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムカード > 承認待ち.
2. 承認または却下するタイムカードを選択します。
3. 承認または却下をクリックします。

タスクの結果

- タイムカードが [承認済み] または [却下済み] ステータスに移行します。
- 承認されたタイムカードの経費ラインが作成されます。
- 承認されたタイムカードの場合、タイムカード日次レコードが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- ユーザーマネージャーは、1 つ以上のタイムカードを選択して承認することで、タイムシート内のタイムカードを承認することもできます。タイムシート内のすべてのタイムカードが承認されると、タイムシートは自動的に [承認済み] ステータスに移行します。

  ユーザーマネージャーは、タイムカードユーザーのユーザーフォームのマネージャーフィールドで選択されます。

- タイムカードが [却下] ステータスの場合、タイムシート内の他のタイムカードのステータスに関係なく、関連するタイムシートも [却下] ステータスに移行します。

  注:

  タイムシートが却下された場合、 タイムシートポータルの [通知] アイコン ( ) の下にある却下済みタイムシートの通知に一覧表示されます。

- 割り当てられたタイムシートポリシーで [プロジェクト時間の承認者] が [両方] に設定されている場合、タイムカードは双方の承認者が承認した場合にのみ [送信済み] ステータスになります。承認者のいずれかが却下した場合、タイムカードのステータスは [却下済み] に設定され、[承認者] フィールドがクリアされ、再送信時に両方の承認者の承認が必要になります。

処理済みのタイムカードを取り消す

承認済みまたは処理済みステータスの誤ったタイムカードを取り消して、送信者に戻すことができます。送信者は必要な変更を行い、タイムカードを再送信できます。

始める前に

必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

このタスクについて

取り消しオプションは、関連付けられたタイムシートポリシー で [取り消しを許可]オプションが選択されている場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > タイムシートポータル.
2. [自分のタイムシート]リストをクリックし、[自分のリソース]でユーザーを選択します。
3. カレンダーウィジェット内を移動して、タイムシートを選択します。
   タイムシートは、タイムシートポリシーで指定された取り消し期間内でなければなりません。
4. タイムカードを取り消すには、[その他のアクション] アイコン () をクリックして、[取り消し] を選択します。
   タイムカードを取り消す前にコスト計画の原価費目が更新された場合、取り消されたタイムカードの経費ラインには新しい経費タイプが設定されます。例：
   a. タイムカードが、コスト計画 = 人件費で処理され、経費タイプ = 人件費の $500 の経費ラインが生成されます。
   b. コスト計画の原価費目が、原価費目 = 人件費に更新された場合。
   c. タイムカードが取り消された場合、取り消された経費ラインは、経費タイプ = 人件費になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- タイムカードのステータスが、[取り消し済み] に変わります。タイムシート内のすべてのタイムカードが承認されるか、再度処理されるまで、関連するタイムシートのステータスも [取り消し済み] に変更されます。
- タスクタイプのタイムカードが承認されたときに作成されたプロジェクトまたはデマンドの実際の労力とリソース時間を元に戻します。
- タイムカードが承認されたときに作成された、対応する経費ラインをゼロにするために、負の経費ラインを作成します。
- 変更のために関連するタイムシートを送信者に戻します。

運用作業タイプにタイムカードカテゴリをマップ

カスタムタイムカードカテゴリを運用作業タイプにマップして、投稿時間中の特定のタイムカード期間とカテゴリのユーザーに関連付けられている運用リソース計画のみを選択できるようにします。

始める前に

必要なロール：pps_admin

このタスクについて

デフォルトでは、すべての基本システムのタイムカードカテゴリが基本システムの運用作業タイプにマッピングされます。カスタムカテゴリのマッピングが行われていない場合、[リソース計画] フィールドには、タイムカードの作成時にその期間のユーザーに関連付けられたすべての運用リソース計画が表示されます。

タイムカードの作成時に、タイムカードのカテゴリとタスクを選択した後、または他のカテゴリのタイムカードのタイムシート送信時に、次の表に示すように、そのカテゴリとタスクの運用リソース計画が設定されます。

タスクとカテゴリの運用リソース計画

カテゴリ	タスク	リソースプラン
• 管理 • 外部作業 • 会議 • 電話 • トレーニング • 不在 • 予約 • 休暇 • KTLO	タスク、プロジェクト、デマンド、プロジェクトタスク、デマンドタスクが [タスク] フィールドで選択されているか、値が選択されていません。	タスクが選択されたときに、タスク、プロジェクト、デマンド、プロジェクトタスク、またはデマンドタスクに関連付けられたリソース計画を表示します。 選択したタスクにリソース計画が関連付けられていない場合、またはタスクが選択されていない場合は、そのカテゴリの運用作業タイプにマップされた運用リソース計画が表示されます。
カスタム	タスク/プロジェクト/デマンド/プロジェクトタスク/デマンドタスクのいずれか	タスクが選択されたときに、タスク、プロジェクト、デマンド、プロジェクトタスク、またはデマンドタスクに関連付けられたリソース計画を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクとカテゴリの運用リソース計画 (続く)

カテゴリ	タスク	リソースプラン
		選択したタスクにリソース計画が関連付けられていない場合、またはタスクが選択されていない場合は、そのカテゴリのカスタム運用作業タイプにマップされた運用リソース計画が表示されます。 マッピングが行われていない場合は、すべての運用リソース計画が表示されます。
タイムシートポータルのその他のカテゴリ (カスタムおよびOOTB)	適用外	マップされた運用リソース計画を表示します。 マッピングが行われていない場合は、すべての運用リソース計画が表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト管理 > タイムカードカテゴリマッピング.
2. [新規] をクリックします。
3. [タイムカードカテゴリ] メニューから、必要なタイムカードカテゴリを選択します。
4. [運用作業タイプ] メニューから、前のステップで選択したタイムカードカテゴリにマップする運用作業タイプを選択します。
5. [送信] をクリックします。

作業時間の記録

タイムカードは、プロジェクトで発生した時間またはタスクテーブルの任意のレコードの作業に費やされた時間を [作業時間] フィールドから取得します。

このフィールドは、[プロジェクトタスク]、[インシデント]、[問題]、および [変更] フォームでデフォルトでは表示されません。フォームをパーソナライズして追加する必要があります。このフィールドに記録された時間は、既存のタイムカードを入力するため、またはタイムカードが存在しない場合は新しいタイムカードを作成するために使用されます。タイムシートポリシーは、この動作を制御します。

注:

作業時間が更新されると、タイムカードは次の場合にのみ作成されます。

- ユーザーがタイムカードユーザーであり、かつ
- ユーザーが [アサイン先] または [追加のアサイン先リスト] フィールドからタスクにアサインされている。

[作業時間] フィールドには、レコードに使われた時間の間、ストップウォッチのように機能するカウンターがあります。フィールドのボタンで、カウンターを停止および開始できます。デフォルトで

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、 作業時間カウンターは有効になっており、レコードを開くと経過時間の記録を開始します。停止ボタンでカウンターを停止し、開始ボタンで再開します。

タイムカウンターが開始しました：

作業時間が開始されました



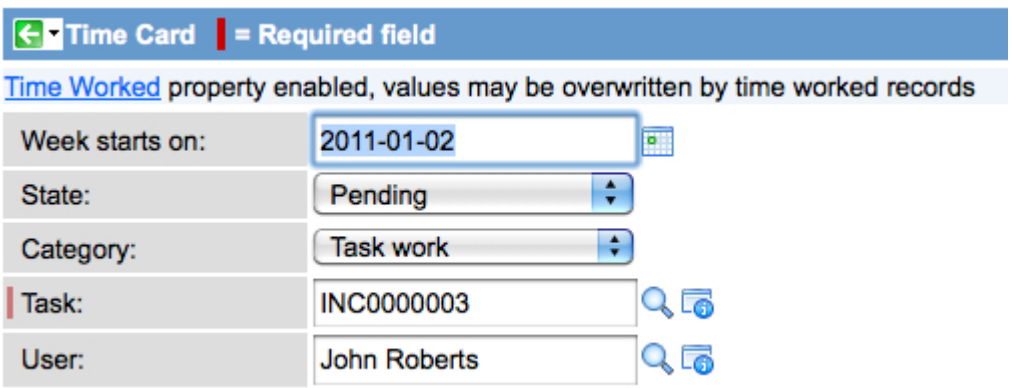
タイムカウンターが停止しました：

作業時間が停止されました



作業時間エントリからタイムカードを作成する場合は、[作業時間] 関連リストを追加してタイムカードフォームに作業時間レコードを表示するように管理者に依頼することができます。また、タイムカードには、作業時間レコードへの変更がタイムカードの値よりも優先されることを知らせる情報メッセージが表示されます。これは フォーマッター を使用して表示され、フォームを設定することで追加または削除できます。

作業時間の通知



コストを管理

コスト管理機能を有効にすると、Cost Management アプリケーションでタイムカードを使用して人件費を管理できます。

プロジェクトタスクのタイムカードが承認されると、プロジェクトに関連付けられた対応する人件費の経費ラインが生成されます。プロジェクトにレートモデルが関連付けられている場合、経費ラインの人件費を計算するための時給はレートモデルから算出されます。レートモデルがプロジェクトに関連付けられていない場合は、賃金レートカードに記載されているレートが考慮されます。適用可能な賃金レートカードがない場合は、プロパティ `com.snc.time_card.default_rate` によってデフォルトの時給が定義されます。

ロール

timecard_admin ロールを使用すると、ユーザーは他のユーザーのタイムカードを承認、変更、削除できます。

関連情報

コスト管理を有効化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトマネージャーダッシュボード

プロジェクトマネージャーダッシュボードは、タイムカードの例外のクイックレポートと、プロジェクトについて報告されたカテゴリごとの時間をプロジェクトマネージャーに提供します。ダッシュボードには、プロジェクトマネージャーによって管理されているプロジェクトのタイムカードレポートのみが表示されます。

ダッシュボードは、Performance Analytics - コンテンツパック - プロジェクトポートフォリオスイートダッシュボードプラグイン (com.snc.pps_dashboards) を使用して有効化できます。このダッシュボードを使用するには、パフォーマンスアナリティクス ライセンスが必要です。

ダッシュボードのレポートは、[プロジェクト] と [選択した日付] に基づいてフィルタリングされます。

プロジェクトマネージャーダッシュボードは、次のコンポーネントで構成されています。

プロジェクトタイムカードの例外数

プロジェクトタイムカードの例外レポートのエントリ合計数が表示されます。

プロジェクトタイムカードの例外数



プロジェクトタイムカードの例外レポート

プロジェクトタイムカードの例外レポートには、タイムカードを送信しなかったユーザーと、選択したプロジェクトおよび時間範囲に対してまだ承認されていないタイムカードが一覧表示されます。例外レポートは、進行中のタスクにアサインされているユーザー、またはその時間範囲内のプロジェクト/タスクにハード割り当てされているユーザーに対して生成されます。このレポートには、次のデータが表示されます。

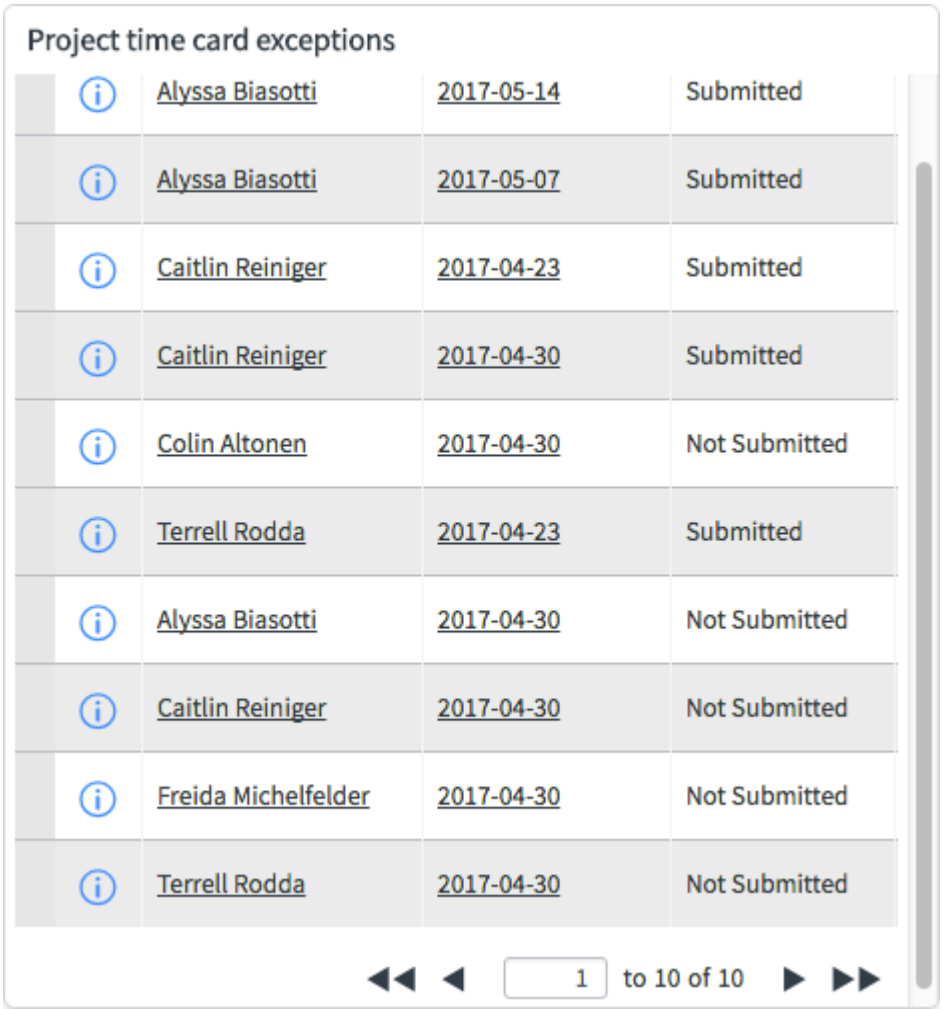
- ユーザー：選択したプロジェクトに割り当てられたタイムカードユーザー、またはプロジェクトに関連付けられたリソース計画にハード割り当てされたタイムカードユーザー。指定された日付範囲のユーザーに対して、送信されていないか承認が必要なタイムカードが複数ある場合、そのユーザーの複数のエントリーがリストされます。
- 週の開始日：選択した時間範囲内のタイムカード週の開始日。
- ステータス：タイムカードのステータス。その週のタイムカードが作成されていない場合は、ステータスが未送信のタイムカードエントリーも一覧表示されます。

レポートは、project_timecard_exceptionion テーブルから生成されます。最新の情報を取得するには、スケジュールジョブ [プロジェクトタイムカードの例外] を実行する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトタイムカードの例外レポート



プロジェクトの合計承認時間

[プロジェクト時間カテゴリ別の時間] レポートに示される、すべてのプロジェクトカテゴリの合計承認時間が表示されます。

プロジェクトの合計承認時間



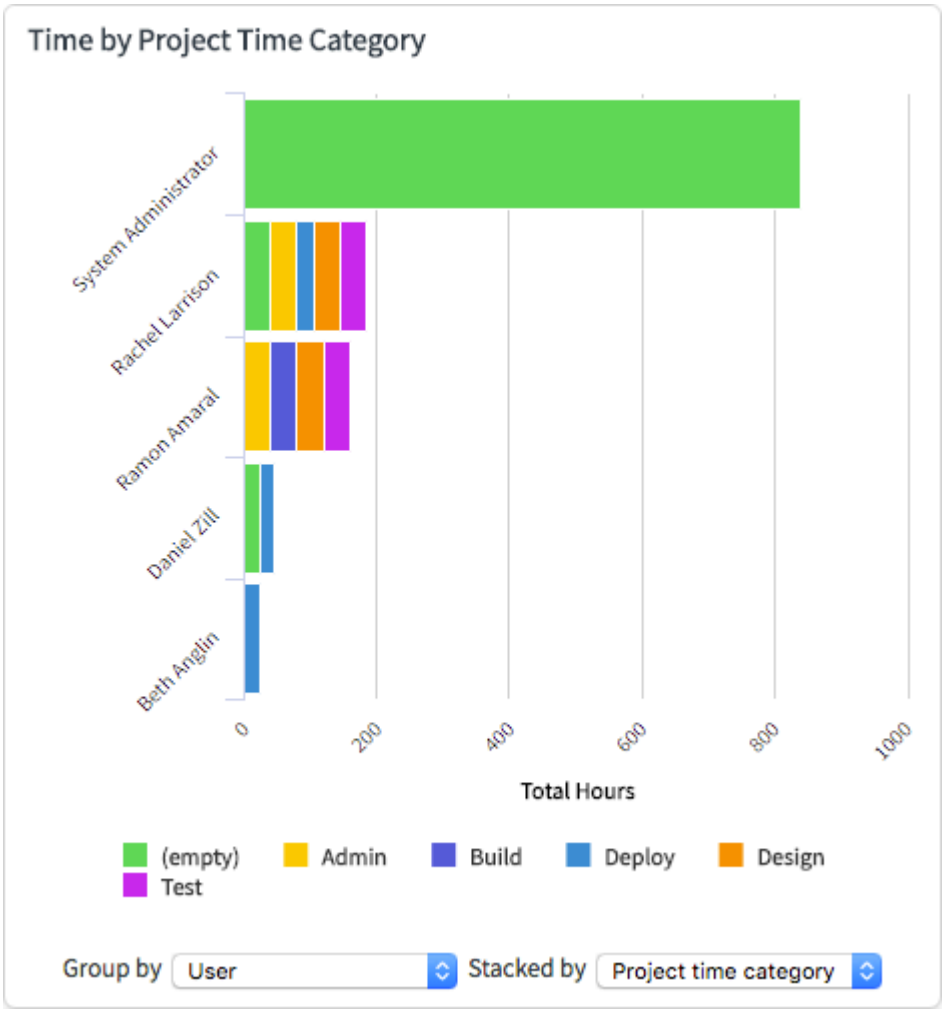
プロジェクト時間カテゴリ別の時間レポート

棒グラフレポートには、選択したプロジェクトに割り当てられたユーザーの各プロジェクトカテゴリに対して承認された時間が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト時間カテゴリ別の時間レポート



プロジェクトマネージャーダッシュボードを使用する

プロジェクトマネージャーダッシュボードには、選択したプロジェクトのタイムカードレポートが表示されます。

始める前に

必要なロール：it_project_manager、timecard_admin

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > プロジェクトマネージャーダッシュボード.
2. [プロジェクト] および [日付] 選択リストからプロジェクトと日付範囲を選択します。
3. 表示されたレポートを確認し、必要に応じて必要なアクションを実行します。

ユーザーマネージャーダッシュボード

ユーザーマネージャーダッシュボードは、タイムシートの例外レポートと、ユーザーごとに報告されたカテゴリごとの時間をユーザーマネージャーに提供します。

ダッシュボードは、Performance Analytics - コンテンツパック - プロジェクトポートフォリオスイートダッシュボードプラグイン (com.snc.pps_dashboards) を使用して有効化できます。このダッシュボードを使用するには、パフォーマンスアナリティクス ライセンスが必要です。

ダッシュボードには、[ユーザーフォーム] の [マネージャー] フィールドが現在のユーザーに設定されているタイムカードユーザーのタイムシートレポートのみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードのレポートは、選択した [日付] 範囲と [ユーザー] に基づいてフィルタリングされます。

ユーザーマネージャーダッシュボードは、次のコンポーネントで構成されています。

タイムシートの例外数

タイムシートの例外レポートのエントリ合計数が表示されます。

タイムシートの例外数



タイムシートの例外数

タイムシートの例外数レポートは、タイムシートを提出/作成していないユーザー、ならびに選択されたユーザーおよび時間範囲に対して承認されていないタイムシートを一覧表示します。このレポートには、次のデータが表示されます。

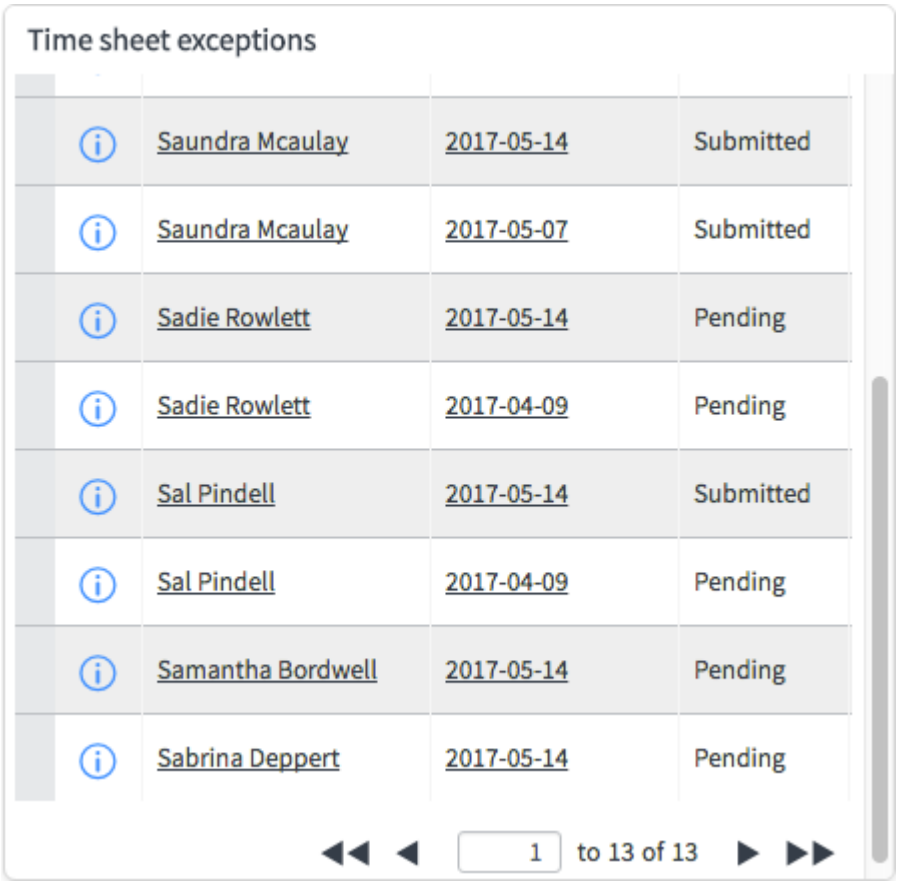
- ユーザー：ユーザープロファイル内のマネージャーが現在のユーザーであるタイムカードユーザー。指定された日付範囲のユーザーに対して、送信されていないか承認が必要なタイムシートが複数ある場合、そのユーザーの複数のエントリーがリストされます。
- 週の開始日：選択した時間範囲内のタイムシート週の開始日。
- ステータス：タイムカードのステータス。その週のタイムシートが作成されていない場合は、ステータスが未送信のタイムシートエントリーも一覧表示されます。

レポートは、time_sheet_exception テーブルから生成されます。最新の情報を取得するには、スケジュールジョブ [タイムシートの例外] を実行する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイムシートの例外数



承認された合計時間

カテゴリ別時間レポートに示される、すべてのカテゴリの合計承認時間が表示されます。

承認された合計時間

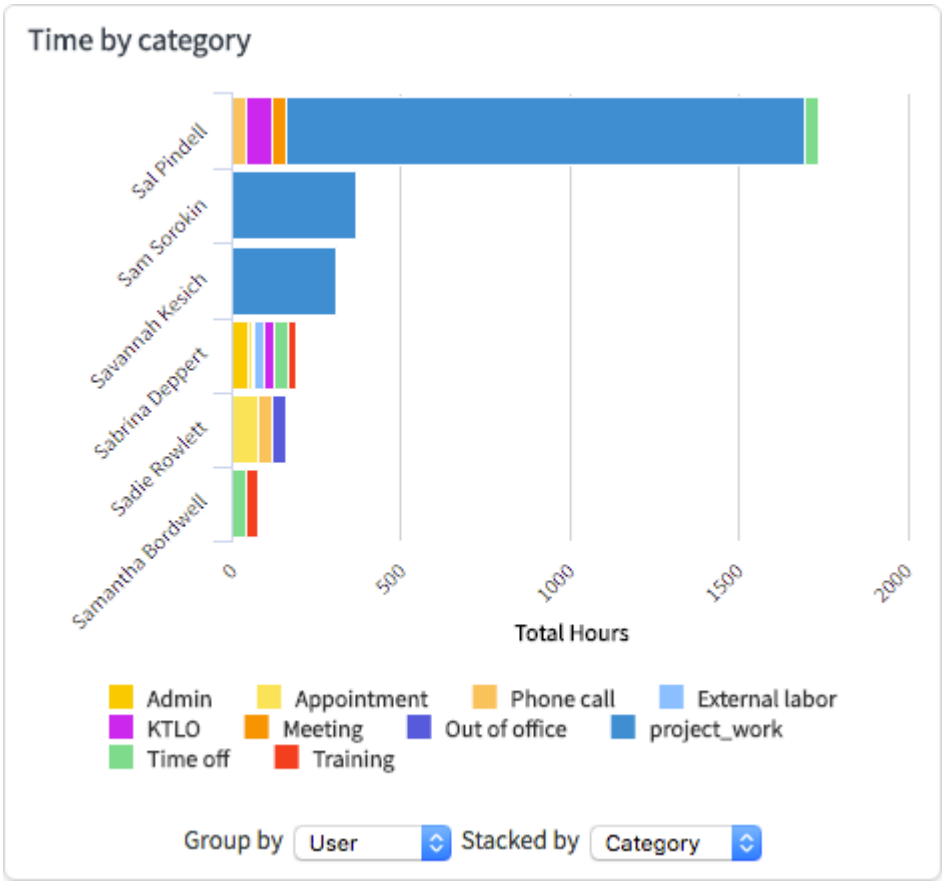


カテゴリレポート別の時間

棒グラフレポートには、ユーザープロファイル内のマネージャーが現在のユーザーである、選択されたユーザーの各カテゴリに対して承認された時間が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリレポート別の時間



ユーザーマネージャーダッシュボードを使用する

ユーザーマネージャーダッシュボードには、ユーザーのタイムシートレポートが表示されます。

始める前に
必要なロール：resource_manager、timecard_admin

このタスクについて
ダッシュボードには、[ユーザーフォーム] の [マネージャー] フィールドがあなたに設定されているタイムカードユーザーのタイムシートレポートのみが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > タイムシート > ユーザーマネージャーダッシュボード.
2. [日付] および [ユーザー] 選択リストから日付範囲とユーザーを選択します。
3. 表示されたレポートを確認し、必要に応じて必要なアクションを実行します。

タイムカード **Management** の **Performance Analytics** ダッシュボード

この プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

Time Card Management ダッシュボードとタイムシートダッシュボードは、Project Portfolio Suite with Financials ダッシュボードに含まれています。詳細については、「プロジェクトポートフォリオ管理 プラットフォームアナリティクスソリューション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プラットフォームアナリティクスソリューション

Domain Separation とタイムカード

Domain Separation はタイムカードでサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

タイムカード でのドメイン分離の使用の詳細については、「https://community.servicenow.com/community?id=community_article&sys_id=616d706edbb318d066f1d9d9689619c1」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

モバイルタイムシート

ServiceNow® モバイルタイムシートアプリを使用すると、タイムシートユーザーとマネージャーはモバイルデバイスからタイムシートにアクセスできます。モバイルタイムシートは Now Mobile アプリで利用でき、iOS および Android デバイスでサポートされています。

タイムシートユーザーは、モバイルタイムシートを使用して、モバイルデバイスからタイムカードの作成、表示、編集、メモの入力、および送信を行うことができます。タイムシートプロジェクトマネージャーまたはユーザーマネージャーは、モバイルデバイスからタイムシートまたはタイムカードを表示、承認、却下、または取り消すことができます。

モバイルデバイスからタイムシートにアクセスするには、Now Mobile アプリケーションをダウンロードします (iOS プラットフォームには Apple App Store から、Android プラットフォームには Google Play Store から)。

特徴

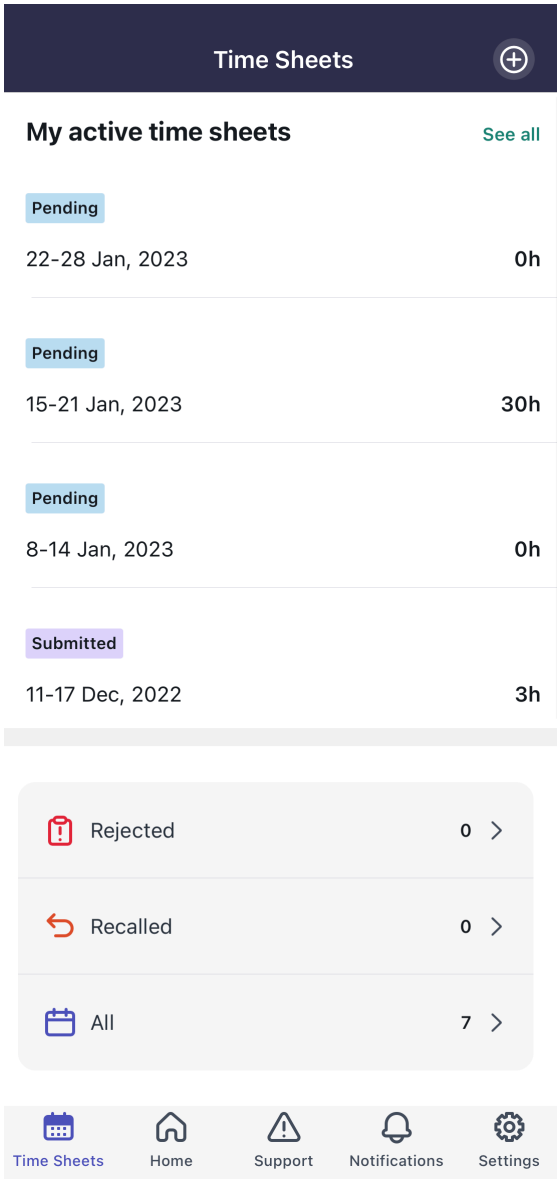
モバイルタイムシートアプリは、タイムシートユーザーに次の機能を提供します。

- タイムシートを作成
- タイムカードを作成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- タイムカードに時間を記録
- 特定のタイムカードの週の時間を更新
- タイムカードにメモを追加
- タイムシートを送信
- タイムカードを送信

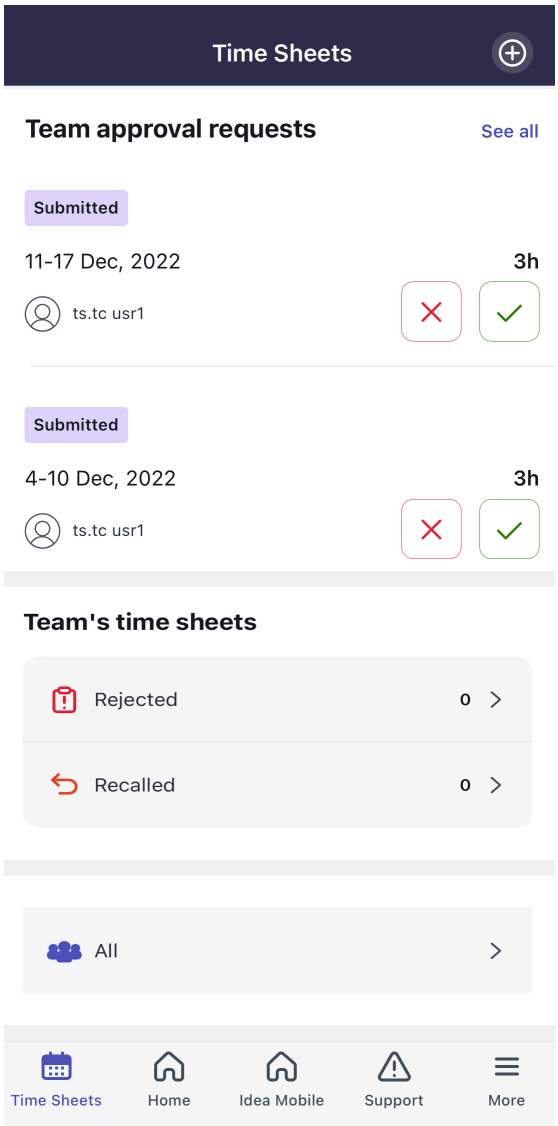


モバイルタイムシートアプリは、リソースマネージャーまたはプロジェクトマネージャーに次の機能を提供します。

- タイムシートの承認または却下
- タイムカードの承認または却下
- タイムシートまたはタイムカードを取り消す

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

モバイルタイムシートをインストール

ServiceNow Store の Web サイトからモバイルタイムシートアプリケーションをインストールします。

始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow ストアへのリクエストが必要になることもあります。
3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   使用中のアプリケーションが他のアプリケーションを必要とし、それがまだインストールされていない場合は、先にインストールしてください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションをインストールする時点で、依存アプリケーションまたはプラグインがインストールされていない場合は、それらも自動的にインストールされます。

5. 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] をクリックします。
一部のアプリケーションには、デモデータ (一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコード) が含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。
6. [インストール] をクリックします。

モバイルタイムシートのモバイルエクスペリエンスを有効化

モバイルタイムシートのモバイルエクスペリエンスを有効にして、ユーザーがタイムシートに記入し、ユーザーマネージャーがモバイルデバイスからタイムシートを承認または却下できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Mobile Time Sheets アプリケーション をインスタンスにインストールします。
2. Now Mobile アプリケーションをダウンロードします (iOS プラットフォームには Apple App Store から、Android プラットフォームには Google Play Store から)。

   モバイルアプリの使用方法の詳細については、「Now Mobile アプリ 」を参照してください。
3. モバイルタイムシートがインストールされているインスタンスを Now Mobile アプリケーションに追加し、ログインしてモバイルデバイスのアプリケーションデータにアクセスします。

次のタスク
モバイルアプリを使用してインスタンスにログインする 。

Now Mobile で **Mobile Time Sheets** を使用する

Now Mobile アプリケーションでモバイルタイムシートを使用するようにプラットフォームシステムを設定できます。デフォルトでは、モバイルタイムシートは Now Mobile アプリケーションで表示できます。

始める前に
必要なロール：admin
モバイルタイムシートアプリがシステムにインストールされている必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムモバイル > ナビゲーションバー.
2. **[Now Mobile** ナビ] をクリックします。
3. [ナビゲーションタブ] 関連リストから、タイムシートレコードを削除します。
4. 移動先 システムモバイル**>**ナビゲーションバー.
5. **[Now Agent]** をクリックします。
6. [ナビゲーションタブ] 関連リストで、タイムシートの新しいレコードを作成します。
7. Now Mobile アプリをダウンロードして有効にします。
詳細については、「Now Mobile アプリ 」トピックを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルデバイスからタイムシートを作成

指定された週のすべてのタイムカードをグループ化するタイムシートを作成し、Now Mobile アプリケーションからワンステップで送信します。

始める前に
必要なロール：timecard_ user

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. 右上隅にあるプラスアイコンをタップします。
3. [タイムシートの作成日を選択] フィールドで、タイムシートの作成を開始する日を選択します。
4. 進むアイコンをタップします。

次のタスク
タイムシートにタイムカードを追加します。

タイムシートリストからタイムシートを検索

フィルターを適用して、タイムシートリストから特定のタイムシートを検索します。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
タイムシートリストにフィルターを適用して、[すべて]、[却下]、および [取り消し] の各グループで特定のタイムシートを検索したり、以前のタイムシートからタイムカードをコピーしたりすることができます。タイムシートの検索中に 1 つ以上のフィルターを適用できます。

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. [却下]、[取り消し]、または [すべて] リストを開きます。
3. 右上隅にある [フィルター] アイコンをタップして、フィルター基準を指定します。
4. [ステータス] メニューからタイムシートのステータスを選択し、[戻る] アイコンをタップします。
5. [名前] フィールドでタイムシートにアサインされたユーザーを選択します。
6. タイムシートを開始する週を選択します。
7. [適用] をタップします。

モバイルタイムシートアプリケーションを使用してタイムカードを追加し、時間を記録します

モバイルアプリケーションから作業時間を記録するタイムカードを作成します。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
[プロジェクトフォーム] の [タイムカードレポートを有効にする] フィールドによって、プロジェクトタスクのタイムカードを作成できるレベルが決まります。たとえば、プロジェクトレベルでは、ユーザーがプロジェクト内の複数のタスクに割り当てられている場合、すべてのタスクに費やされた時間は 1 つのタイムカードにのみ記録されます。プロジェクトタスクレベルでは、計画された各タスクに対応する個別のタイムカードが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. [タイムシート] タブからタイムシートを開きます。
3. アクションアイコンをタップします。
4. タスク関連またはタスク以外の関連タイムカードを追加します。

5. タイムカードに時間を記録します。
   - タイムシートのタスクをタップし、該当する日の作業時間を入力します。
6. [保存] をタップします。

タスクのタイムカード時間を更新

特定の日のタイムカードの時間を更新します。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
特定のタイムカードの指定された日の時間フィールドを更新できます。既存の値は、タイムカードの新しい値で上書きされます。

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. [自分のアクティブなタイムシート] からタイムシートを開きます。
3. 時間を更新する日を選択します。
4. 時間を更新するタスクをタップします。
5. テキストボックスの時間を更新します。
6. デバイスのキーボードを使用して変更を保存します。

タイムカードを管理

モバイルデバイスでタイムカードを表示、編集、または削除します。

始める前に
必要なロール：timecard_user

このタスクについて
モバイルデバイスを使用して、タイムカードの送信、メモの表示、メモの追加、リソース計画の編集、またはタイムカードの削除などのアクションを実行して、タイムカードを管理します。

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. [タイムシート] タブからタイムシートを開きます。
3. [すべての週] タブで、タスクのアクションメニューをタップします。
4. タイムカードを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルデバイスからタイムカードを送信

その週のタイムカードが作業した時間で更新されると、モバイルアプリケーションからタイムカードを送信できます。

始める前に
必要なロール：timecard_user

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. タイムシートを開きます。
   未送信のカードは、[処理待ち] ステータスになります。却下の原因となった問題を修正した後、却下ステータスのカードを送信することもできます。
3. タイムシート上のタイムカードのアクションメニューをタップし、[タイムカードを送信] を選択します。

タスクの結果

- タイムカードが [送信済み] ステータスに移行します。
- タイムカードは、ユーザーに割り当てられたタイムシートポリシーの[プロジェクト時間の承認者]フィールドと[プロジェクト以外の時間承認者]フィールドに設定された値に基づいて承認者に送信されます。

> **注:**
> タイムカードの送信後にプロジェクトまたはユーザーマネージャーが変更された場合、タイムカードは承認のために新しいプロジェクトまたはユーザーマネージャーに自動的にリダイレクトされます。

モバイルデバイスからタイムシートを送信

作業した時間でタイムシートを更新したら、その週のタイムシートとその週のすべてのタイムカードをモバイルアプリケーションから一緒に送信できます。

始める前に
必要なロール：timecard_user

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. 送信するタイムシートを開きます。
3. 次のいずれかのオプションを使用して、タイムシートを送信します。
   - アクションアイコンをタップし、[タイムシートを送信] をタップします。
   - 画面の下部にある [タイムシートを送信] をタップします。

   タイムシートは、自分にアサインされたタイムシートポリシーに対して検証されます。タイムシートポリシーが未アサインの場合は、デフォルトのタイムシートポリシーに対して検証されます。
   - タイムシートがタイムシートポリシー要件を満たしている場合、タイムシートが送信されます。タイムシートに関連付けられているすべてのタイムカードも自動的に送信され、[送信済み] ステータスに移行します。
   - タイムシートがタイムシートポリシー要件を満たしていない場合、検証エラーが表示されます。エラーメッセージで示された問題を解決し、タイムシートを再送信してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルデバイスからのタイムシートまたはタイムカードの承認または却下

ユーザーマネージャーは、タイムシートを承認または却下することで、特定の週のユーザーのすべてのタイムカードをモバイルデバイスからワンステップで承認または却下できます。

始める前に

必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

このタスクについて

ユーザーマネージャーは、いずれかの必要なロールを持つユーザーです。タイムシートを承認または却下できるマネージャーは、タイムカードユーザーのユーザーフォームの [マネージャー] フィールドで選択されます。

マネージャーは、タイムシート承認者として必要なロールを持つ別のユーザーに委任することができます。委任されたユーザーは、指定された期間、タイムカードユーザーが送信したすべてのタイムシートを受信して処理します。

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. [タイムシート] リストで、承認または却下するタイムシートを開きます。
3. タイムシートまたはタイムカードを承認または却下します。
   - チームのタイムシートを承認するには、[チームの承認要求] セクションで、承認 ( ) アイコンをタップします。
   - チームのタイムシートを却下するには、[チームの承認要求] セクションで、却下 ( ) アイコンをタップします。
   - タイムシートを承認するには、アクションアイコンをタップして [タイムシートを承認] を選択するか、画面の下部にある [タイムシートを承認] ボタンをタップします。
   - タイムシートを却下するには、アクションアイコンをタップして [タイムシートを却下] を選択するか、画面の下部にある [タイムシートを却下] ボタンをタップします。
   - 特定のタイムカードを承認するには、アクションメニューをタップし、[タイムカードを承認] をタップします。
   - 特定のタイムカードを却下するには、アクションメニューをタップし、[タイムカードを却下] をタップします。

タスクの結果

- タイムシートが [承認済み] または [却下] ステータスに移行します。
- タイムシートに関連付けられているすべてのタイムカードも、自動的に承認または却下されます。
- タスクタイプ以外のタイムカードは、[処理済み] ステータスに移行します。
- タイムシート内のいずれかのタイムカードが承認者の誰かによる承認待ちの場合、シートは [送信済み] ステータスのままになります。
- タイムシート内のタイムカードが [却下] ステータスの場合、タイムシート内の他のタイムカードのステータスに関係なく、タイムシートも [却下] ステータスに移行します。

タイムシートを追跡

提出日 (今週、先週、またはそれ以前など) に従ってグループ化されたタイムシートを表示および追跡します。

始める前に

必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Now Mobile アプリケーションでインスタンスにログインします。
2. タイムシートリストから、[すべて] セクションに移動し、進むアイコンをタップします。
3. 現在または前の週のさまざまなステータス (送信済み、処理待ち、承認済み、取り消し済みなど) のタイムシートを表示します。
   - 今週のタイムシートを表示するには、[今週] タブをタップします。
   - 先週のタイムシートを表示するには、[先週] タブをタップします。
   - 以前の週のタイムシートを表示するには、[それ以前] タブをタップします。

モバイルデバイスで処理済みのタイムシートまたはタイムカードを取り消す

ユーザーマネージャーは、承認済みまたは処理済みステータスの誤ったタイムシートまたはタイムカードを取り消して、送信者に戻すことができます。送信者は必要な変更を行い、タイムシートまたはタイムカードを再送信できます。

始める前に
必要なロール：timecard_approver または timecard_admin

手順

1. Now Mobile アプリケーションを使用してインスタンスにログインします。
2. [チーム承認要求] セクションのタイムシートリストから、取り消すタイムシート、または取り消すタイムカードを含むタイムシートを開きます。
3. タイムシートまたはタイムカードを取り消します。
   - 承認されたタイムシートを取り消すには、[すべて] のタイムシートセクションに移動し、[今週]、[先週]、または [それ以前] タブからタイムシートを選択して、取り消し ( ) アイコンをタップします。
   - タイムシートを取り消すには、アクションアイコンをタップして [タイムシートを取り消す] を選択するか、画面の下部にある [タイムシートを取り消す] ボタンをタップします。
   - 特定のタイムカードを取り消すには、アクションアイコンをタップし、[タイムカードを取り消す] をタップします。

Financial Management

ServiceNow® ファイナンシャルマネジメント アプリケーションを使用して、組織内で経費を割り当て、追跡、およびレポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

2021 年 3 月以降、Financial Modeling は有効化できなくなりました。

- 新規顧客：現在 Financial Modeling のエンタイトルメントがなく、その使用に興味がある場合は、パートナーストアアプリに連絡してください。ServiceNow 実装パートナーがパートナーストアアプリの詳細をお手伝いします。
- 既存の顧客：
  - 現在 Financial Modeling のエンタイトルメントがあるが実装していない場合は、パートナーストアアプリに連絡してください。ServiceNow 実装パートナーがパートナーストアアプリの詳細をお手伝いします。
  - Financial Modeling の資格付与を既に実装している場合は、引き続き使用できます。ServiceNow サポートチームは、実装された方法で引き続きアプリケーションをサポートします。

    将来、アプリケーションの拡張はパフォーマンスに対してのみ行われ、機能に対しては行われません。

財務計画、実際の経費、および予算業務の詳細については、この 5 分間のビデオをご覧ください。Financial Management における財務計画、実績経費、予算業務に関する情報

アプリケーションは、総勘定元帳から経費を抽出するために使用できる視覚的なツールであるワークベンチを提供します。また、これを使用して経費を処理し、IT が使用する機能にマッピングすることもできます。支出のうち IT に関連する金額を正確に把握するためのさまざまなレポートも用意されています。

Financial Management アプリケーションは Fuji リリースから利用可能です。Fuji リリースより前の Financial Management アプリケーションのモジュールは、IT Cost Management に含まれています。

Financial Management の仕組み

Financial Management アプリケーションは、次のコンポーネントを使用します。

- 総勘定元帳：組織経費のリスト。
- 会計期間：経費が発生した期間。一度に作業できる会計期間は 1 つだけです。
- コストモデル：セグメントの階層内のアカウントに経費を割り当てる方法をアプリケーションに指示する基礎となるレコード。
- 割り当てエンジン：コストモデルを使用して経費を計算し、経費を割り当てる方法を決定するアプリケーションの中核。
- 財務レポートとダッシュボード：経費がどこから来ているかを示す経費割り当てのグラフィカル表現。

ワークベンチでは、会計期間を選択し、コストモデルを構築し、割り当てエンジンを実行できます。

ビジネスアプリケーションに関連する重要なデータを追跡するために使用できるビジネスアプリケーション原価計算コストモデル専用のダッシュボードがあります。

要件

Financial Management を使用するには、次の条件が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- すべての財務概要レポートとダッシュボードレポートが正しく機能するようにするために、インスタンスで Report Charting v2 を有効にします。
- Internet Explorer を使用している場合は、バージョン 11 以降を使用してください。他の一般的にサポートされている Web ブラウザーを使用することもできます。

Financial Management とともにインストール

Financial Management アプリケーションにはいくつかのコンポーネントがインストールされています。

デモデータは Financial Management で利用できます。デモデータは、セグメント情報、割り当て、および経費のサンプル階層を提供します。

Financial Management とともにインストールされたテーブル

Financial Management は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
実績ログ [itfm_actuals_run_log]	関連する計画定義に対して生成された実績とキーのログ。
基本ステートメントのアイテムブレークダウン [itfm_charge_item_breakdown]	ステートメントアイテムブレークダウンの定義。
ブレークダウンの関係性 [itfm_breakdown]	ステートメントアイテムブレークダウンの定義。
バケット [itfm_bucket]	類似の経費をグループ化するために割り当てワークベンチで使用されるバケット。
バケットアカウント割り当て [itfm_bucket_account_allocation]	バケット割り当て情報。
バケット割り当てアカウント [itfm_bucket_allocation_account]	バケット、アカウント、およびコストモデル間の参照リンク。
バケット割り当てルール [itfm_bucket_allocation_rule]	経費をバケットに割り当てます。
予算 [itfm_budget]	最終予算。
実績予算 [itfm_cl_actuals]。	実際の経費。
予算定義 [itfm_plan_definition]	名前、予算計画の年スパン、予測期間、所有権、予測頻度などのメタデータを保持する予算業務の親テーブル。
予算予測 [itfm_budget_forecast]	すべての予算予測。
予算予測アイテム [itfm_bf_item]	予算予測のすべてのアイテム。
予算キー [itfm_plan_key]	予測と計画を識別するために使用されるキー。
予算メモ [itfm_budget_note]	予算差異レポートに入力する予算に関するメモ。
予算の上書きカテゴリ [itfm_budget_override_categories]	予算の上書きを分類するために使用するカテゴリ。
予算期間 [itfm_budget_period]	予算期間。
予算参照レート構成 [itfm_fx_config]	為替レート/会計期間の関係。
予算参照レート [itfm_fx_rate]	予算で使用される為替レート。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
予算セグメントマップ [itfm_budget_segment_map]	予算が使用するセグメントと予算キーの間の関係。
予算目標 [itfm_budget_target]	すべての予算目標値。
予算タスク [itfm_budget_task]	予算タスク。
事業部門 [business_unit]	すべての事業部門。
クレンジング条件 [itfm_cleansing_condition]	ワークベンチのデータをクリーンアップするときにアプリケーションが自動的に生成する条件。
消費ブレークダウン [itfm_charge_item_breakdown_cons]	ユーザー定義の消費テーブルに基づくステートメントアイテムのブレークダウン定義。
消費ステートメントアイテム [itfm_charge_item_cons]	ユーザー定義の消費テーブルに基づくステートメントアイテムのショーバックソース定義。
コスト割り当て [itfm_account_allocation]	各アカウントとの間で行われる割り当ての包括的なビュー。
コスト割り当て [itfm_allocation]	割り当てから処理されるすべての割り当て明細。このテーブルには、コスト割り当て集計テーブルと比較してより詳細なレベルの割り当て明細が保持されます。
コスト割り当てブレークダウン集計 [itfm_allocation_breakdown]	コスト割り当てブレークダウンの関係性に基づいて作成された割り当て明細。
コスト割り当てグループ [itfm_cost_allocation_group]	割り当てに関連付けることができるグループ。
コスト配分評価指標 [itfm_cost_allocation_metric]	重み付けおよびカスタム割り当て方法で使用される測定基準。
コスト割り当て集計 [itfm_allocation_aggregate]	コスト割り当て [itfm_allocation] テーブルに保存されるよりも簡単な割り当て明細データのセット。
コスト割り当てロールアップ [itfm_rollup]	ワークベンチを使用するときにアプリケーションによって作成されるロールアップ。
コスト割り当てロールアップ上書き [itfm_rollup_override]	割り当てロールアップを上書きするために使用できる値。
コスト割り当て実行ログ [itfm_ca_run_log]	実行されたすべての割り当てのログ。
コストモデルブレークダウン [itfm_charge_item_breakdown_cm]	Financial Modeling の出力に基づくステートメントアイテムのブレークダウン定義。
コストモデルステートメントアイテム [itfm_charge_item_cm]	Financial Modeling の出力に基づくステートメントアイテムのショーバックソース定義。
財務データソース [itfm_data_source]	財務データのソース：ステージング済みの総勘定元帳またはコスト計画のブレークダウン。
財務データソースフィールドマップ [itfm_data_source_field_map]	財務データのソースにマッピングされた個々のフィールド。
財務モデル [itfm_cost_model]	財務コストモデル。
FM レポート [itfm_report]	財務レポート。
予測期間 [itfm_forecast_period]	予測期間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
総勘定元帳アカウント [itfm_cl_accounts]	アカウントと関連するアカウント番号。
総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_cl_data_cleansed]	クレンジングされる総勘定元帳の経費。
総勘定元帳ログ [itfm_gl_log]	会計期間の総勘定元帳に経費が追加されたときに作成されるログレコード。
総勘定元帳ステージング済みデータ [itfm_gl_data_staged]	クレンジングも調整もされていないインポート済み経費。
調整済み総勘定元帳データ [itfm_cl_data_groomed]	調整された総勘定元帳の経費。
調整条件 [itfm_grooming_condition]	ワークベンチでの財務調整プロセス中にアプリケーションが作成する条件。
ITCOA 定義 [itfm_itcoa_definition]	コストモデルの参照フィールドマッピング。
IT シェアードサービス [itfm_shared_service]	IT インフラストラクチャ全体で共有されるサービス。
IT 共有サービスタイプ [itfm_shared_service_type]	IT シェアードサービスに関連付けられているカテゴリ。
ITFM セッション [itfm_session]	ワークベンチのセッション情報を保存します。
メインレポート構成 [itfm_ca_main_config]	メインの Financial Management レポートの構成設定。
計画実績 [itfm_plan_actuals]	ステージング済みソース経費明細からの予算定義に基づいて作成された実際のアイテム。
計画実績のブレークダウン [itfm_ai_breakdown]	各会計期間におけるアイテムの実績金額のブレークダウン。
計画コア [itfm_plan_core]	計画の名前、元の計画、予算通貨などのメタ情報。itfm_plan および itfm_plan_versions はテーブルから拡張されます。
計画アイテムブレークダウン [itfm_pi_breakdown]	特定の計画アイテムのコストのブレークダウン。
計画アイテム実行 [itfm_plan_item_execution]	単位コストと計画アイテムの有効性。
計画アイテム [itfm_plan_item]	アカウント番号、予算金額、予測金額、実績金額、資産、プロジェクト、カタログ、契約に関連付けられた属性などの財務詳細。
計画 [itfm_plan]	予算キーと計画の会計年度の詳細を関連付けます。
計画者 [itfm_planner]	予算キーの所有者。
計画テンプレート列 [itfm_plan_template_column]	予算定義のテンプレート列として列を定義します。
計画バージョン [itfm_plan_versions]	各プランの昇格時に作成されるプラン。
計画ビューアー [itfm_plan_viewer]	計画を表示するためのアクセス。
年次詳細計画 [itfm_plan_year_details]	年間計画の詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
計画データソースフィールドマップ [itfm_plan_data_source_field_map]	計画立案データソースフィールドマップ
計画立案ログ [itfm_plan_run_log]	計画立案ログ。
レポートエンティティ [itfm_reporting_entity]	ユーザーまたはグループに割り当てられたレポートエンティティ。
セグメント定義 [itfm_ca_segment_map]	セグメントの階層で指定されたセグメント。
セグメントグループアカウント [itfm_group_segment_acct]	グループ化された ITCOA アカウント。
セグメント関係 [itfm_itcoa_hierarchy]	ワークベンチのデータ定義ステージで定義されたセグメント階層内のセグメント間の関係。
サービスカタログブレークダウン [itfm_charge_item_breakdown_sc]	サービスカタログ要求に基づくステートメントアイテムのブレークダウン定義。
サービスカタログステートメントアイテム [itfm_charge_item_sc]	サービスカタログ要求に基づくステートメントアイテムのショーバックソース定義。
サービスの課金ライン [itfm_charge_line]	個々のショーバックライン
サービスの課金ラインドリルダウン [itfm_charge_line_drilldown]	個々のショーバックラインのドリルダウン。
サービスの課金価格レートカード [itfm_sc_price_rate_card]	ショーバック価格レートカード。
ショーバックステートメント [itfm_sb_stmt]	ショーバックステートメント。
ショーバックステートメントの定義 [itfm_sb_stmt_def]	ショーバックステートメント定義。
ショーバックステートメントラインの定義 [itfm_sb_stmt_def]	ショーバックステートメントライン定義。
ショーバックステートメントライン単位コストの定義 [itfm_sb_stmt_line_unit_cost_def]	ショーバックステートメントライン単位コスト定義。
兄弟ロールアップ関係 [itfm_sibling_relationship]	兄弟セグメントロールアップ関係定義。
ステートメント異議申し立て [itfm_dispute]	ショーバックの異議申し立て。
ステートメント経費明細 [itfm_charge_expense_line]	個々のショーバックステートメントの経費アイテム。
ステートメント経費明細の詳細 [itfm_charge_expense_line_details]	詳細なショーバック経費情報。
ステートメントアイテム [itfm_charge_item]	ショーバックステートメント定義。
ステートメントアイテムドリルダウン [itfm_chg_item_drilldown]	ステートメントアイテムドリルダウンの定義。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
単位コスト測定基準 [itfm_segment_unit_metrics]	単位コスト測定基準の定義。
単位コスト [itfm_unit_cost]	コスト割り当てによって生成された単位コストライン。
重み付けマップ実行ログ [itfm_weight_map_run_log]	重み付けマップ生成ログ。
重み付けマップ [itfm_weight_map]	アプリケーションが重み付けされた測定基準を計算するために使用する重み付けの関係。

アプリケーションは、会計カレンダーによって作成されたこのテーブルも使用します。

会計カレンダーのテーブル

テーブル	説明
会計期間 [fiscal_period]	会計カレンダーおよび会計カレンダーで使用される期間。

Financial Management とともにインストールされたユーザーロール

Financial Management は、次のユーザーロールを追加します。

ロール	説明	ロールを含む
cost_transparency_admin	すべての Financial Modeling メニューとモジュールにアクセスできます。	• cost_transparency_analyst • cost_transparency_owner
cost_transparency_user	総勘定元帳および割り当てレコードへの読み取り専用アクセス権があります。	なし
cost_transparency_analyst	Financial Modeling モジュールとワークベンチにアクセスできます。	cost_transparency_user
sn_itfm_read	ベースシステムによって提供される FM APM ダッシュボードと、ダッシュボードのデータが取得される基礎となるテーブルを表示するためにアクセスします。 Financial Management アプリケーションの TCO ダッシュボード、ビジネスアプリケーション向け原価計算ダッシュボード、CIO ダッシュボードを表示します。	• pa_viewer • cmdb_read
service_charging_analyst	• 課金アイテムを作成、更新、削除、および表示できます。 • 課金アイテムブレークダウンを作成、更新、削除、および表示できます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
	• 課金アイテムドリルダウンを作成、更新、削除、および表示できます。 • ショーバックステートメント定義を作成、更新、削除、および表示できます。 • ショーバックステートメントライン定義を作成、更新、削除、および表示できます。 • ショーバックステートメントを生成して公開します。	
service_charging_owner	• 課金アイテムを表示します。 • サービスの課金コンソールにアクセスして、価格設定ポリシーを確認および設定します。 • 利用可能なブレークダウンとドリルダウンを使用して、課金アイテムのドリルダウンを確認します。	
showback_user	• ショーバックステートメントを表示します。 • ショーバックステートメントを受け入れます。	

自動翻訳

ファイナンシャルマネジメント の読み取り専用ロール

ファイナンシャルマネジメント (FM) ダッシュボードを表示できる読み取り専用ロールを使用して、ユーザーのアクセスレベルを制限できます。読み取り専用ロールを持つユーザーは、FM レポートと、データを提供する基礎となるテーブルを表示できます。

プラグイン情報

新規のお客様の場合、PPM Standard (com.snc.pmo_read_roles) プラグインの読み取り専用ロールが zBoot で有効化されます。ただし、Financial Management For APM (com.snc.financial_management_for_apm) プラグインも必要です。これにより、Performance Analytics – Content Pack – Financial Management for Application Portfolio Management (com.snc.pa.fm.apm) プラグインが有効になります。このプラグインを使用すると、FM APM ダッシュボードにアクセスできます。

FM に読み取り専用ロールがある理由

Financial Management (sn_itfm_read) の読み取り専用ロールは、PPM Standard プラグイン (com.snc.pmo_read_roles) の読み取り専用ロールが有効になっている場合に使用できます。このロールを持つユーザーは、Financial Management for Application Portfolio Management でダッシュボードにアクセスし、レポートを表示できます。読み取り専用ロールを含むユーザーロールを割り当てるには、「ユーザーへのロールの割り当て」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FM 読み取りロールを持つユーザーがアクセスできるダッシュボード

読み取り専用ロールを持つユーザーが使用できるダッシュボードは次のとおりです。

- Financial Management アプリケーションの TCO ダッシュボード
- ビジネスアプリケーション原価計算ダッシュボード
- CIO ダッシュボード

FM 読み取りロールを持つユーザーがアクセスできるテーブル

FM 読み取りロールを持つユーザーがアクセスできる ファイナンシャルマネジメント テーブルは次のとおりです。

FM テーブル

ラベル	テーブル名
コスト割り当て集計	itfm_allocation_aggregate
コスト割り当て	itfm_allocation
財務モデル	itfm_cost_model
バケット	itfm_bucket
セグメント定義	itfm_ca_segment_map
IT 共有サービス	itfm_shared_service
コスト割り当てブレークダウン集計	itfm_allocation_breakdown

ドメイン分離と ファイナンシャルマネジメント

ファイナンシャルマネジメント ではドメイン分離はサポートされていません。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

ライセンスされた APM ユーザー向け Financial Management

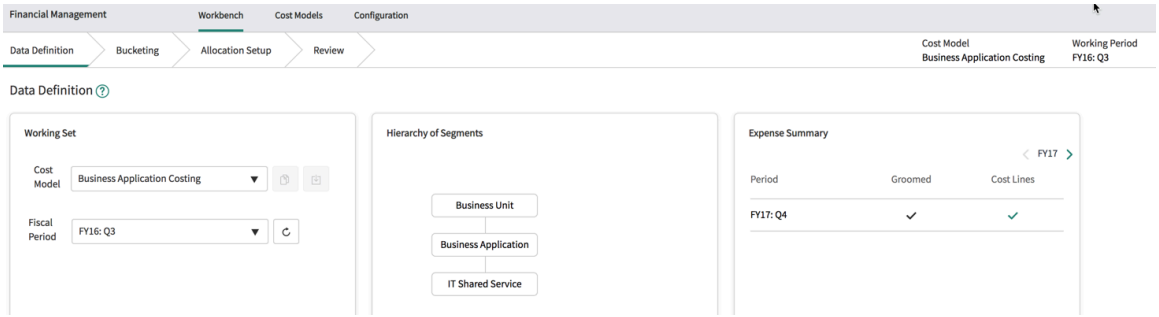
アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) ライセンスを取得したユーザーが Financial Management を使用している場合、ベースシステムは、ビジネスアプリケーションのコストを所定の測定基準とともに評価するために使用できるビジネスアプリケーション原価計算コストモデルを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーション原価計算コストモデル

ビジネスアプリケーション原価計算コストモデル



ビジネスアプリケーション原価計算コストモデルの仕様は次のとおりです。

- コストバケットレイヤーは ITFM バケットテーブル [itfm_bucket] に関連付けられており、コストバケットはモデルに固有です。
- IT 共有サービスセグメントアカウントは、IT 共有サービステーブル [itfm_shared_service] から供給されます。
- ビジネスアプリケーションセグメントアカウント (このモデルの中間層) は、ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルから供給されます。このテーブルは、アプリケーションセグメントに対するアカウントのソースです。または、アプリケーション [cmdb_ci_appl] テーブルまたは他のカスタムテーブルにすることもできます。
- 事業部門レイヤーは、プラットフォーム事業部門テーブル [business_unit] に関連付けられています。
- このコストモデルにはデータソースがありません。つまり、総勘定元帳から取得するのではなく、モデルに直接支出情報を入力する必要があります。支出情報のソースとして総勘定元帳を使用することは、構成可能なオプションの機能です。詳細については、「コストモデルのデータソースを変更するための前提条件」を参照してください。

シードされた **IT** シェアードサービス

IT 共有サービス：エンドユーザーコンピューティング

IT 共有サービス：エンドユーザーに装備：パーソナル (共有ではない) デバイスをエンドユーザーに提供するために費やした資金、これらのデバイスで実行されるソフトウェア、およびこれらのデバイスの機能の作成と維持に関連するサポートを保持するコスト収集コンテナーです。このコンテナーには、進行中の変更の円滑化コンテナー内で取得される主要なデバイスのアップグレード、リースサイクルの売上高、およびその他の補充関連コストは含まれません。

IT シェアードサービス：データベース

IT シェアードサービス：構成変更の促進は、ITSM の変更、リリース、および構成管理プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、進行中、日次、共通、およびアドホックの構成変更の管理に費やされた金額です。これには、パッチ適用 (セキュリティ関連以外)、ファームウェアの更新、ハードウェア/ソフトウェア構成設定の変更、ハードウェアコンポーネントのインストール、アンインストール、アップグレード、および IT ランドスケープ全体での一般的な追加、移動、または変更要求などのアクティビティが含まれます。このコンテナーは、プロジェクト計画や資金を確保する必要がある環境の大部分での主要なアップグレードや変更を除外します。

IT シェアードサービス：ネットワーク

IT シェアードサービス：Facilitate Connectivity は、企業へのすべてのデバイスネットワーク接続、そのコンピューティングおよび/または知識資産、それを行うためのハードウェアとソフトウェア、およびアクセスの作成 (および維持) に関連するサポー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トの提供に費やされた費用を保持するコスト収集コンテナーです。これには、すべての個人用デバイスとエンタープライズデバイスが含まれます。このコンテナーには、「環境の監視」コンテナーに取り込まれた監視ハードウェア、ソフトウェア、および人件費は含まれません。

IT シェアードサービス：IT 管理

IT 共有サービス：管理およびオーバーヘッドは、IT 役員報酬に費やされた金額のほか、IT 運用、コンプライアンスまたは監査コスト、その他未分類のコストの存在に適用される 1 回限りの課金アイテムを保持するコスト収集コンテナーです。このコンテナーは、他の IT プロセス定義で取得または計上されたコストを除外します。

IT 共有サービス：データセンター

IT 共有サービス：環境の監視は、ITOM Event Management プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、IT 全体の監視に費やされた金額です。これには、エンドポイント接続速度、エンドポイントアプリケーションパフォーマンステスト、ハードウェア/ソフトウェア/ネットワーク/ストレージしきい値チェック、運用管理担当者が使用する障害およびイベント相関管理ツールが含まれます。このコンテナーは、他のプロセス領域で言及されているセキュリティ固有のサービスやクラウド監視サービスを除外します。

IT 共有サービス：IT 運用

IT 共有サービス：アップグレード/メインテナンスの実行は、ITSM の変更、リリース、および構成管理プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、計画されたプロジェクトおよび/または特別に資金提供された主要なアップグレードの管理に費やされたすべての金額です。これには、広範な OS アップグレード、ハードウェア交換サイクルアクティビティ、および IT ランドスケープ全体にわたる内部またはサードパーティのビジネスまたは IT 管理ソフトウェアパッケージのリリース更新などのアクティビティが含まれます。このコンテナーは、変更チケットの実行のみを必要とする進行中、日次、共通、およびアドホック構成の変更を除外します。

IT 共有サービス：サービスデスク

IT 共有サービス：技術サポートの提供は、ITSM インシデント、問題、およびナレッジ管理プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、組織全体のエンドユーザーにテクニカルサポートサービスを提供するために費やした費用です。これには、階層 1、2、および 3 の担当者、インシデントまたは問題管理ソフトウェア、根本原因分析時間、ルーチンまたはアドホック支援 (パスワードのリセット、Q&A の方法)、および/または標準運用手順ガイダンスが含まれます。このコンテナーは、文書化された変更チケットによって実行されたエンドユーザーや企業資産に対する実際の構成変更を除外します。

IT 共有サービス：アプリケーション

IT 共有サービス：ビジネスアプリケーションの実行は、ビジネスアプリケーションの運用を維持するために継続的な人事時間に費やされた金額を保持するコスト収集コンテナーです。これには、アプリケーション専用のリソースが含まれ、IT やインフラストラクチャの運用コストは含まれません。

IT 共有サービス：セキュリティとコンプライアンス

IT 共有サービス：Secure the Environment は、Security Operations のサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、企業の IT ランドスケープ全体で情報セキュリティを提供するために費やされた金額です。これには、すべてのデスクトップ、ラップトップ、スマートフォン、ネットワーク機器、サーバー、データベース、およびアプリケーションに加えて、個々のユーザーエンドポイントデバイス、クラウドアプリケーション、クラウドコンピューティング、および/またはすべてのタイプのオンプレミスコンピューティングリソースが含まれます。これには、データセンターおよびオフィススペースカードリーダーに関連する物理的なセキュリティコストは含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT シェアードサービス：ストレージ

IT シェアードサービス：データの保存と管理は、構造化データと非構造化データの管理に関連する基盤となるツールと基本的なアクティビティ (暗号化、バックアップ、パージ、アーカイブ、移行、DR レプリケーションなど) および/ またはストレージ容量 (たとえば、再編成や過剰容量の取得) に費やされた金額を保持するコスト収集コンテナーです。これには、これらのタイプのアクティビティと、データおよびストレージ状況の健全性を確保するために使用されるすべての人員権限が含まれます。このコンテナーは、個人および特定のアクティビティによって使用されるエンドユーザーデバイスのローカルストレージに関連する要素と、特定のアプリケーションまたはシステムに関連する可能性のある割り当てられたストレージを除外します。

IT シェアードサービス：コンピューティング

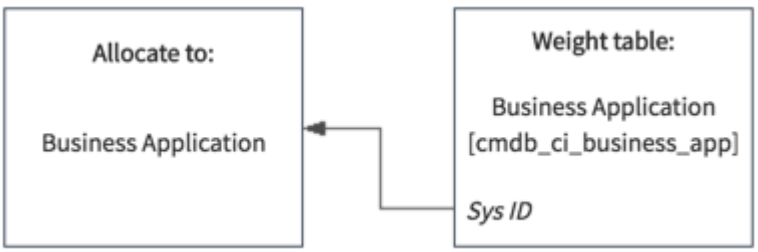
IT シェアードサービス：供給計算能力は、既存の基本要素の提供に費やされた費用、維持に費用がかかるが、災害復旧施設や契約、ハードウェアの予備在庫、オンプレミス UPS システム、およびジェネレーターなど、実際には使用されない可能性のあるコスト収集コンテナーです。また、スペース、電力、冷却などに関連する毎日のアクティブなデータセンターのコストも含まれます。

ITFM で規定された測定基準

アクティブユーザー数に基づいてアプリケーションに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされた測定基準に基づいて共有サービスコストをアプリケーションに割り当てます。

アクティブユーザー数を使用してアプリケーションに割り当てる

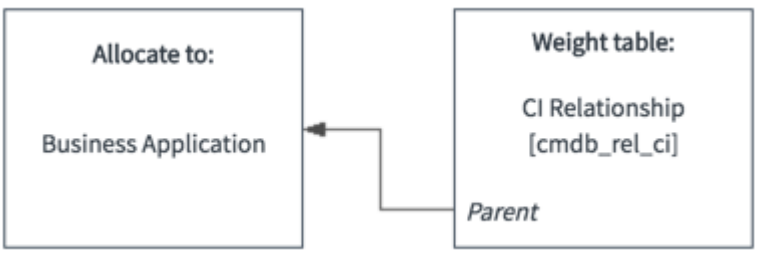


- ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルには、すべてのビジネスアプリケーションのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、アクティブなユーザーの合計を実行し、**[Sys ID]** による受信アプリケーションに応じてコストを重み付けします。

計算能力に基づいてアプリケーションに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストをアプリケーションに割り当てます。

計算能力に基づいてアプリケーションに割り当てる



自動翻訳

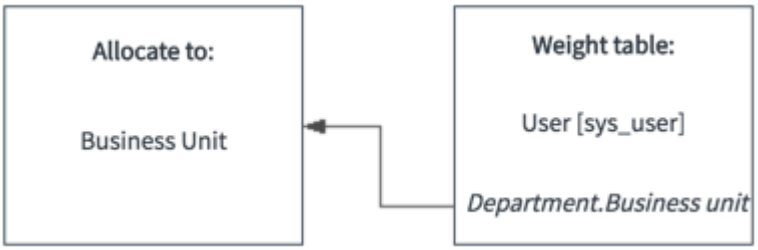
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルには、構成アイテム間のすべての関係のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、Child.Class = Server の構成アイテムのカウントを実行し、受信アプリケーションに応じてコストを重み付けします。

人数によって事業部門に割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

人数によって事業部門に割り当てる



- ユーザー [sys_user] テーブルには、すべてのシステムユーザーとその関連部門のリストが表示されます。
- 部門 [cmn_department] テーブルには、すべての部門とその関連事業部門のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、事業部門あたりのユーザー数をカウントし、それに応じてコストを重み付けします。

  フィルター基準：アクティブなユーザーのみをカウントします。

ビジネスアプリケーション原価計算コストモデルのダッシュボード

ビジネスアプリケーション原価計算コストモデルでアクセスできる Performance Analytics ダッシュボードは 3 つあります。それらは次のとおりです。

- アプリケーション TCO ダッシュボード。
- ビジネスアプリケーション原価計算ダッシュボード。
- ビジネスアプリケーション用の CIO ダッシュボード。ビジネスアプリケーション用の CIO ダッシュボード。

ビジネスアプリケーション原価計算コストモデルの構成

経費を割り当てるビジネスアプリケーション原価計算コストモデルを構成し、要件に合わせて会計期間のバケットコストラインを生成します。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **APM** のファイナンシャルモデリング > ビジネスアプリケーションの原価設定モデル.

   財務モデル - [ビジネスアプリケーション] フォームのフィールド値は事前に入力されています。ビジネスアプリケーション原価計算コストモデルのモデル所有者とユーザーグループを入力できます。このコストモデルのデータソースはありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. フォームで、必須フィールドを更新します。

財務モデル – [ビジネスアプリケーション原価計算] フォーム

フィールド	説明
名前	コストモデルの名前。
説明	コストモデルの簡単な説明。
モデル所有者	コストモデルを所有するユーザー。
データソース	コストモデルのデータのソース。 このコストモデルにはデータソースがないため、このフィールドは編集できません。
ユーザーグループ	コストモデルにアクセスできるユーザーのグループ。
サブバケット情報を含める	サブバケット情報を表示するオプション。選択すると、生成されたコストラインとブレークダウンラインにサブバケット情報が保持されます。

3. [更新] をクリックします。
4. コスト割り当てを実行するには、[経費割り当て] ボタンをクリックします。

> **注:**
> アナリストのライセンスを受けていない顧客である場合は、各セグメントのアカウント数とコストモデルのアカウントの合計数がそれぞれ 4000 と 12000 のしきい値内にあることを確認してください。

必ずしもワークベンチからではなく、コストモデルフォームからコスト割り当てを実行するには、このオプションを使用します。

a. [経費割り当て] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

b. **[OK]** をクリックします。

割り当てエンジンが実行され、選択した会計期間のコスト割り当てが生成されます。エンジンはクレンジングとバケットを実行します。経費を割り当て、割り当て明細を作成します。ただし、コストモデルにデータソースがない場合、エンジンはクレンジングステージとバケットステージを無視して、割り当て明細を作成します。

5. コストモデルに関連付けられたリーフバケットのコスト行を生成するには、[バケットコストを生成] ボタンをクリックします。

データソースのないこのコストモデルのバケット金額行を生成するには、このオプションを使用します。それ以上サブバケットがないリーフバケットごとにコスト行が生成されます。バケットに金額がない場合でも、調整済みの総勘定元帳データ [itfm_gl_data_groomed] テーブルに金額行が生成され、[金額] 列にゼロが入力されます。テーブルには、選択した会計期間のコストモデルに関連付けられたバケット、サブバケット、および金額が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [バケットコストを生成] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

b. [OK] をクリックします。

- バケットに金額がない場合でも、割り当てエンジンは、コストモデルの選択された会計期間に対して、経費ゼロの調整済み行を生成します。
- その会計期間のバケットに金額がある調整済み行が既に存在する場合、エンジンはそれらのコスト行を上書きしません。

[金額] 列を編集して、各サブバケットの金額を入力できます。

6. バケット金額を表示するには、次に移動します。 **APM** のファイナンシャルモデリング > バケット金額.

   詳細については、「データソースのないコストモデルの調整済みラインを作成する」を参照してください。

7. このコストモデルに関連付けられているバケットを表示するには、次に移動します **APM** のファイナンシャルモデリング > バケット.

   詳細については、「アカウントのバケットの作成」を参照してください。

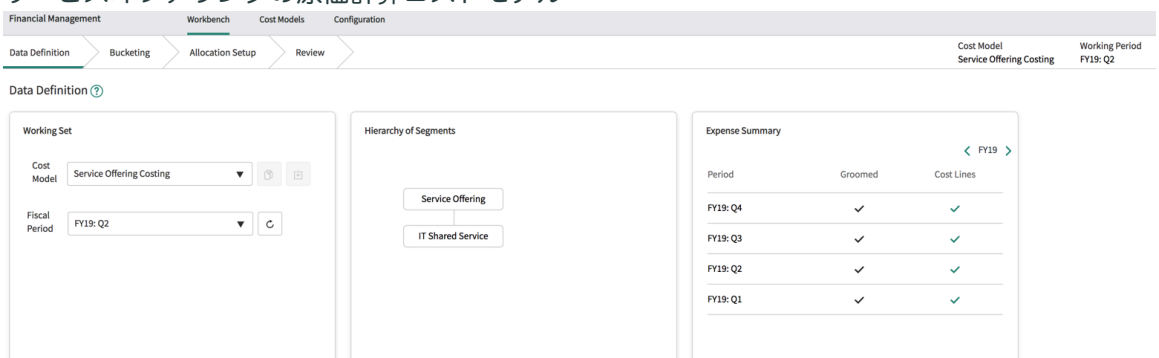
8. このコストモデルで利用可能なダッシュボードにアクセスするには、次に移動します **APM** のファイナンシャルモデリング > **APM** ダッシュボードの **Financial Modeling**.

ライセンスされた **SPM** ユーザー向け **Financial Management**

サービスポートフォリオ管理 (SPM) (SPM) ユーザーで、Financial Management を有効にしている場合、ベースシステムはサービスオファリングの原価計算コストモデルを提供します。このコストモデルを使用して、各サービスレベルでの支出額を評価します。Financial Modeling は、定義された価格のサービスレベルに基づいて経費を割り当て、コストラインを生成します。

サービスオファリングの原価計算コストモデル

サービスオファリングの原価計算コストモデル



サービスオファリングの原価計算コストモデルの仕様は次のとおりです。

- IT シェアードサービスセグメントアカウントは、IT シェアードサービス [itfm_shared_service] テーブルから供給されます。
- サービスオファリングセグメントアカウントは、サービスオファリング [service_offering] テーブルから供給されます。
- IT 共有サービスセグメントは、サービスオファリングセグメントにロールアップします。ただし、デフォルトのロールアップの上書きはありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- すべてのサブバケットは、基本システムセットアップによって提供される IT シェアードサービスのすべてのアカウントに均等に割り当てられます。
- このコストモデルにはデータソースがありません。つまり、総勘定元帳から取得するのではなく、モデルに直接支出情報を入力する必要があります。支出情報のソースとして総勘定元帳を使用することは、構成可能なオプションの機能です。詳細については、「コストモデルのデータソースを変更するための前提条件」を参照してください。
- 経費は、基本システムの均等メソッドによって IT シェアードサービスセグメントからサービスオファリングセグメントに割り当てられます。デフォルトでは、[割り当てセットアップ] ステージで提供される割り当てセットアップは、均等ロールアップメソッドです。必要に応じて、特定の要件に合わせてロールアップメソッドを設定できます。

シードされた IT シェアードサービス

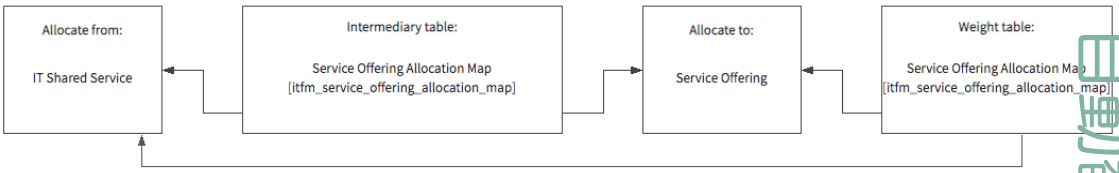
「シードされた IT シェアードサービス」のリストを参照してください。

ITFM で規定された測定基準

割り当てマップでサービスオファリングに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされた測定基準に基づいて共有サービスコストをサービスオファリングに割り当てます。

割り当てマップでサービスオファリングに割り当てる

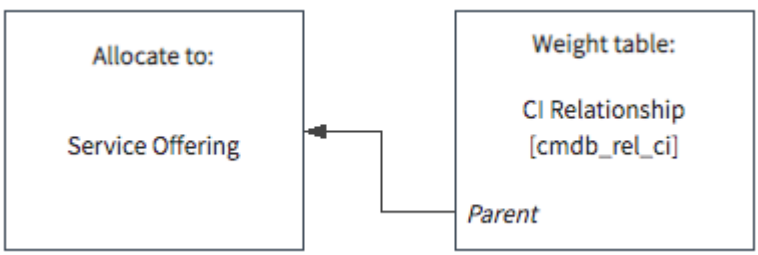


- サービスオファリング割り当てマップ [itfm_service_offering_allocation_map] は、すべてのサービスオファリング割り当てのリストを提供します。この中間テーブルは、IT シェアードサービス [itfm_shared_service] テーブルの IT シェアードサービスと、サービスオファリング [service_offering] テーブルのサービスオファリングを参照します。
- 所定の測定基準は、シェアードサービスの合計を実行し、受けるサービスオファリングに応じてコストを重み付けします。

関連 CI のサービスオファリングに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされた測定基準に基づいて共有サービスコストをサービスオファリングに割り当てます。

割り当てマップでサービスオファリングに割り当てる



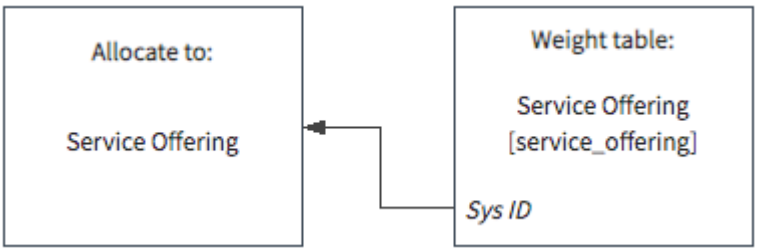
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルには、構成アイテム間のすべての関係のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、構成アイテムのカウントを実行し、受けるサービスオファリングに応じてコストを重み付けします。

合計登録者でサービスオファリングに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされた測定基準に基づいて共有サービスコストをサービスオファリングに割り当てます。

合計登録者でサービスオファリングに割り当てる



- サービスオファリング [service_offering] テーブルには、すべてのサービスオファリングのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、すべての登録者の合計を実行し、**[SysID]** 別に受けるサービスオファリングに応じてコストを重み付けします。

サービスオファリングの原価計算コストモデルの構成

経費を割り当て、各レベルで提供されるサービスのバケットコストラインを生成するように、サービスオファリングの原価計算コストモデルを構成します。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **SPM** のファイナンシャルモデリング > サービスオファリングコストモデル.

   財務モデル - [サービスオファリング原価計算] フォームのフィールド値は事前に入力されています。サービスオファリング原価計算コストモデルのモデル所有者とユーザーグループを入力できます。このコストモデルのデータソースはありません。

2. フォームで、必須フィールドを更新します。

財務モデル – [サービスオファリング原価計算] フォーム

フィールド	説明
名前	コストモデルの名前。
説明	コストモデルの簡単な説明。
モデル所有者	コストモデルを所有するユーザー。
データソース	コストモデルのデータのソース。 このコストモデルにはデータソースがないため、このフィールドは編集できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザーグループ	コストモデルにアクセスできるユーザーのグループ。
サブバケット情報を含める	サブバケット情報を表示するオプション。選択すると、生成されたコストラインとブレークダウンラインにサブバケット情報が保持されます。

3. [更新] をクリックします。
4. コスト割り当てを実行するには、[経費割り当て] ボタンをクリックします。

   注:
   アナリストのライセンスを受けていない顧客である場合は、各セグメントのアカウント数とコストモデルのアカウントの合計数がそれぞれ 4000 と 12000 のしきい値内にあることを確認してください。

   必ずしもワークベンチからではなく、コストモデルフォームからコスト割り当てを実行するには、このオプションを使用します。

   a. [経費割り当て] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

   b. **[OK]** をクリックします。

      割り当てエンジンが実行され、選択した会計期間のコスト割り当てが生成されます。エンジンはクレンジングとバケットを実行します。経費を割り当て、割り当て明細を作成します。ただし、コストモデルにデータソースがない場合、エンジンはクレンジングステージとバケットステージを無視して、割り当て明細を作成します。

5. コストモデルに関連付けられたリーフバケットのコスト行を生成するには、[バケットコストを生成] ボタンをクリックします。

   データソースのないこのコストモデルのバケット金額行を生成するには、このオプションを使用します。それ以上サブバケットがないリーフバケットごとにコスト行が生成されます。バケットに金額がない場合でも、調整済みの総勘定元帳データ [itfm_gl_data_groomed] テーブルに金額行が生成され、[金額] 列にゼロが入力されます。テーブルには、選択した会計期間のコストモデルに関連付けられたバケット、サブバケット、および金額が表示されます。

   a. [バケットコストを生成] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

   b. **[OK]** をクリックします。

      - バケットに金額がない場合でも、割り当てエンジンは、コストモデルの選択された会計期間に対して、経費ゼロの調整済み行を生成します。
      - その会計期間のバケットに金額がある調整済み行が既に存在する場合、エンジンはそれらのコスト行を上書きしません。

      [金額] 列を編集して、各サブバケットの金額を入力できます。

6. バケット金額を表示するには、次に移動します。 **SPM** のファイナンシャルモデリング > バケット金額.
7. このコストモデルに関連付けられているバケットを表示するには、次に移動します **SPM** のファイナンシャルモデリング > バケット.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. すべてのサービスオファリング割り当てのリストを表示するには、次の場所に移動します。 **SPM** のファイナンシャルモデリング > サービスオファリング割り当てマップ.
9. オプション: [割り当てマップでサービスオファリングに割り当てる] 測定基準を使用し、重み付けメソッドを使用して経費を割り当てます。

   (Optional) サービスオファリング割り当てマップテーブルに保存されている消費データに基づいて、サービスオファリングごとの支出を計算します。

   サービスオファリング割り当てマップテーブルを構成し、重み付けメソッドを使用して経費を割り当てるには、「サービスオファリング割り当てマップを使用して経費を割り当てる」を参照してください。

サービスオファリング割り当てマップを使用して経費を割り当てる

重み付けメソッドを使用して、提供されるサービスの実際の消費量に基づいて経費を割り当てることができます。重み付けロールアップメソッドでは、測定基準はアカウント値で金額を重み付けします。サービスオファリング割り当てマップテーブルを使用して、サービスオファリングのコストの実際の消費データを保存します。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_analyst

このタスクについて
ベースシステムには、IT シェアードサービスセグメントからサービスオファリングセグメントに経費をロールアップするためのデフォルトの [均等] メソッドが用意されていますが、[重み付け] ロールアップメソッドを選択することもできます。このメソッドでは、サービスオファリング割り当てマップ [itfm_service_offering_allocation_map] テーブルに保存または入力した消費データに基づいて、IT 共有サービスセグメントの経費がサービスオファリングセグメントに割り当てられます。この場合、経費は消費の重み付けに基づいて割り当てられます。したがって、コストは [割り当てマップでサービスオファリングに割り当てる] 測定基準を使用して分割され、消費データを含むサービスオファリング割り当てマップテーブルが測定基準の重み付けに使用されます。

手順
1. 移動先 すべて > **SPM** のファイナンシャルモデリング > サービスオファリング割り当てマップ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[サービスオファリング割り当てマップ] フォーム

フィールド	説明
割り当ての重み付け	重み付け計算に基づいて割り当てられた経費。
IT 共有サービス	資金が割り当てられるセグメント。
サービスオファリング	資金がロールアップされるセグメント。

4. **[Submit** (送信)] をクリックします。

   オファリングごとの計算済み消費量の詳細と、オファリングの推定コストソースの構成については、以下を参照してください ファイナンシャルマネジメント for Service Owner Workspace .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Financial Modeling

Financial Modeling を使用すると、割り当てルールを決定し、将来のすべてのデータに対して自動的に実行することができます。ワークベンチを使用して経費を割り当てる前にセットアップする必要があるコンポーネントが他にもいくつかあります。

データソースをコストモデルに関連付けることから始めます。データソースを使用して、財務データソースフィールドマップレコードの [クレンジングで使用] オプションを選択し、クレンジングまたはバケット分割の列を追加します。

IT 財務管理の下にあった会計カレンダーが Now Platform エリアに移動されました。会計カレンダーのドキュメントは、こちら からアクセスできます。

財務データのインポート

財務データは、[ステージング済みの総勘定元帳データ] テーブルにあります。

次のいずれかのメソッドを使用して、ステージング済みの総勘定元帳データ [itfm_cl_data_staged] テーブルにインポートできます。

- インポートセット
- 簡単インポート

「Import Sets 」を参照してください。

重要:
会計カレンダーを財務データで使用できることを確認してください。

総勘定元帳

総勘定元帳には、すべての会計期間における組織のすべての経費が含まれています。

総勘定元帳には、次のタイプの経費が含まれています。

- 外部ソースからインポートしたステージング済み経費。インポートされた経費は、総勘定元帳ステージング済みデータ [itfm_cl_data_staged] テーブルに保存されます。
- データクレンジングステージ中にワークベンチが使用する [クレンジング済み経費]。このステージでの経費への変更は、総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_cl_data_cleansed] テーブルに保存されます。経費を [総勘定元帳ステージング済みデータ] テーブルに追加するたびに、対応する経費がこのテーブルに作成されます。
- バケット化ステージ中にワークベンチが使用する [調整済み経費]。このステージでの経費への変更は、調整済み総勘定元帳データ [itfm_gl_data_groomed] テーブルに保存されます。これは、ワークベンチから手動で入力した金額を保持するため、または金額を直接入力するための総勘定元帳以外の経費にも使用されます。

総勘定元帳での経費の表示

任意の総勘定元帳テーブルのレコードを表示し、必要に応じて変更を加えることができます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin、cost_transparency_analyst

手順

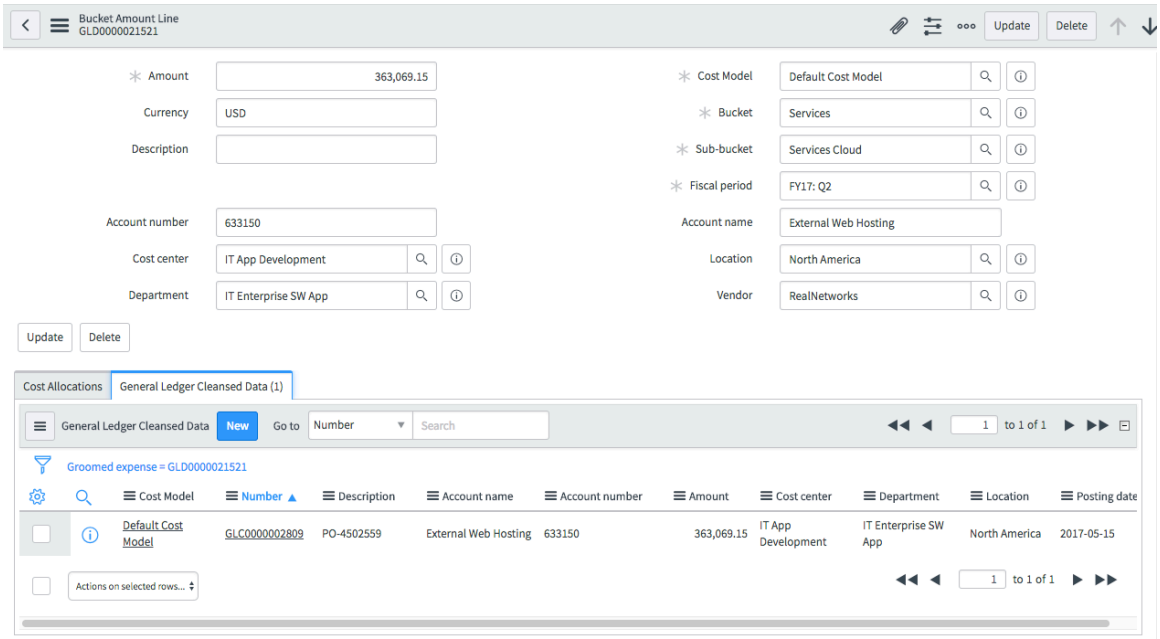
1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > ワークベンチ をクリックし、ワークベンチのレビューステージに移動します。
2. [その他] セクションで生成された [調整済みライン] の番号のリンクを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。

[調整済み総勘定元帳データ] フォーム



[調整済み総勘定元帳データ] フォーム

フィールド	説明
番号	総勘定元帳データレコードの自動生成された識別番号。
ステータス	レコードの現在のステータス： ○ 未割り当て：この経費の割り当ては割り当てられません。 ○ 割り当て済み：この経費は割り当て済みです。 ○ ロック済み：割り当て明細行を元に戻せないように、総勘定元帳経費がロックされています。
アカウント名	アカウントの名前。
アカウント番号	この経費が適用されるアカウント番号。クレンジング済みのすべての経費をワークベンチのバケット化ステージのアカウントに確実に表示されるようにするために、[クレンジング済みの総勘定元帳データ] フォームではこのフィールドが必須です。
説明	費用の詳細な説明。
総計	経費の金額。
クレンジング済み経費	[ステージング済みの総勘定元帳データフォーム] [総勘定元帳クレンジング済みデータ] テーブル内の対応するレコードへの参照。[総勘定元帳ステージング済みデータ] テーブルで経費を作成すると自動的に作成される [総勘定元帳クレンジング済みデータ] テーブルの経費。
ステージング済み経費	[総勘定元帳クレンジング済みデータフォーム] [総勘定元帳クレンジング済みデータ] テーブル内の対応するレコードへの参照。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
調整済み経費	[総勘定元帳クレンジング済みデータフォーム] 調整済み総勘定元帳データテーブル内の対応するレコードへの参照。
調整ルール	[総勘定元帳クレンジング済みデータフォーム] バケットに入れられる経費をフィルタリングするためにワークベンチが使用する条件。
通貨	経費が評価される通貨。通貨は、通貨 [px_currency] テーブルで定義された 3 文字のコードです。このフィールドの値が通貨テーブルのどのコードとも一致しない場合、すべての経費に対してデフォルトでドル記号が表示されます。すべての総勘定元帳フォームの経費がシステム通貨と同じ通貨であることを確認してください。
ドキュメント金額	元の経費ドキュメントの金額。
ドキュメント通貨	元の経費ドキュメントで使用される通貨。[通貨] フィールドと同様に、フィールドの値は通貨テーブルで定義された 3 文字のコードです。
バケット	[調整済み総勘定元帳データフォーム] この経費が関連付けられているバケット。
サブバケット	[調整済み総勘定元帳データフォーム] この経費が関連付けられているサブバケット。
コストセンター	この経費が適用されるコストセンター。
部門	この経費に関連する部門。
会計期間	[調整済み総勘定元帳データフォーム] この経費が発生した期間。
ドキュメント日付	元の経費ドキュメントが発行された日付。
インポート セット番号	インスタンスにインポートしたデータを含むインポートセット。
ロケーション	経費が発生した場所。
ベンダー	会社 [core_company] テーブルから参照されるベンダーレコード。
転記日	この経費が発生した日付。
現地金額	現地通貨で表される金額。
現地通貨	アカウントに関連付けられている通貨。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
セグメント	セグメントの階層で定義されているセグメントの経費額。
関連リスト	
コスト割り当て	[調整済み総勘定元帳データフォーム] この経費から作成された割り当て明細。
クレンジング済みの総勘定元帳データ	[調整済み総勘定元帳データフォーム] 経費がバケットに入れられた後に調整済み経費レコードを作成した [クレンジング済みの総勘定元帳データ] テーブルのレコード。

4. [送信] をクリックします。

財務データソースとフィールドマップ

財務データソースは、Financial Modeling および Financial Planning で使用される実際の生の経費データテーブルを指します。

Financial Management アプリケーションでは、データソースは生の経費データとそのフィールドをトランザクションテーブルフィールドにマッピングするのに役立ちます。

基本システム財務モデルアクティビティには、[ステージング済みの総勘定元帳データ] テーブルと [ステージング済みの一般予算データ] テーブルを使用できます。これらのテーブルを拡張して、財務モデルのカスタムソーステーブルを作成することもできます。財務アクティビティは、任意のデータソースを使用して、またはデータソースをまったく使用せずにモデル化できます。データソースがない場合は、金額が手動でコストモデルに直接入力されることが想定されます。必要に応じて、フィールドマップをさらに作成し、クレンジングまたはバケットの分割に使用するフィールドを設定できます。

Financial Planning では、データソースを使用して実績を生成します。実績を予算に正確にマッピングするためには、予算モデル階層で使用されるセグメントがデータソースフィールドマップの必須部分である必要があります。また、予算キーの生成にも役立ちます。

アプリケーションで利用可能な次のデータソースで作業を開始します。

- GL ステージング済み
- コスト計画ブレークダウン (FM-PPS 財務計画データ連携)

次の表に、各データソースで提供されるデフォルトのフィールドマップを示します。デフォルトのマッピングを変更して、別のセグメントまたは列を指すようにすることができます。たとえば、デフォルトでは、[コストセンター] 列はコストセンター名 [cmn_cost_center] にマッピングされます。その列のデータがケースのコードである場合は、コストセンターコード[cmn_cost_center] に変更できます。必要に応じて、カスタムフィールドのフィールドマップをさらに作成できます。

デフォルトのデータソースフィールドマップ

セグメント名	トランザクションテーブル
コストセンター	コスト センター [cmn_cost_center]
ロケーション	場所 [cmn_location]

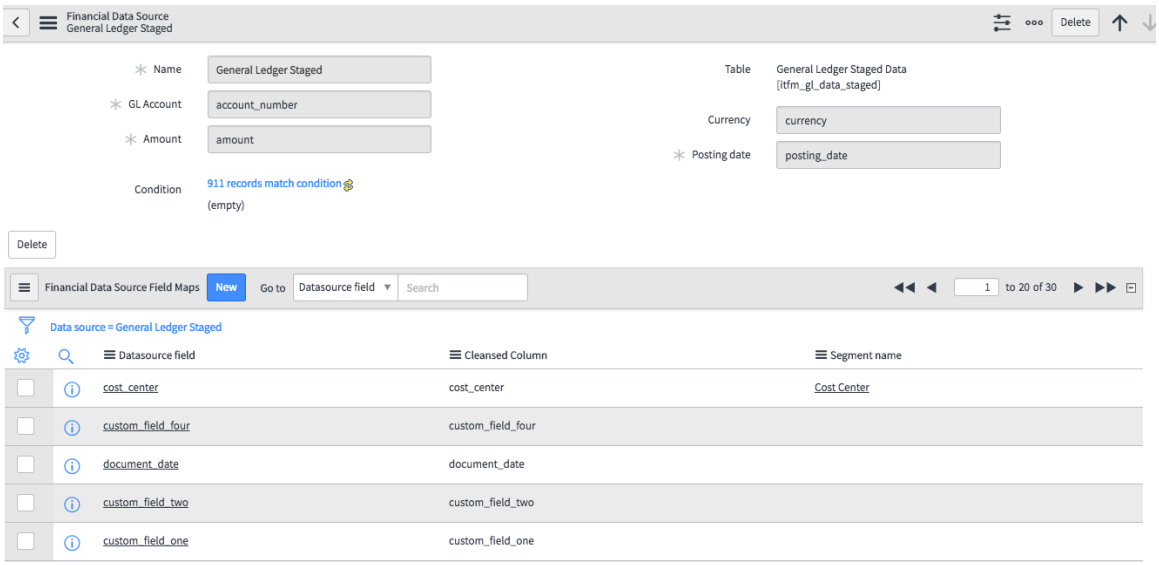
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトのデータソースフィールドマップ (続く)

セグメント名	トランザクションテーブル
ベンダー	会社 [core_company]
部門	部門 [cmn_department]
プロジェクト	プロジェクト [pm_project]

財務データソースとそのフィールドマップ



財務データソースの作成

Financial Management で新しいデータソースを作成するには、生の経費の詳細を参照するデータベース列を特定する必要があります。

始める前に

必要なロール：itfm_plan_analyst、admin、cost_transparency_admin

このタスクについて

データソースは、Financial Modeling アプリケーションと Financial Planning アプリケーションの両方で使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > データソース > セットアップ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[財務データソース] フォーム

フィールド	説明
名前	新しいデータソースレコードのわかりやすい名前を入力します。
GL アカウント	総勘定元帳アカウントの経費を参照するデータベース列を選択します。
総計	実際の経費額を参照するデータベース列を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル	実際の生の経費データを含むデータベーステーブルを選択します。 [テーブル] フィールドには、財務データの取得元のソースが表示されます。Financial Modeling アプリケーションのソースは、[総勘定元帳ステージング済み] テーブルのみに限定されることはなくなりましたが、財務トランザクション情報を含む任意のテーブルを指すことができます。金額、アカウント番号、および日付を表す必須の列要件が満たされている限り、プラットフォーム内の任意のテーブルを使用できます。
通貨	経費の通貨値を参照するデータベース列を選択します。
転記日	経費が発生した日付を参照するデータベース列を選択します。
条件	条件を適用してレコードをフィルタリングします。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
データソースのフィールドマップを作成します。

データソースフィールドマップの作成

フィールドマップは、データソース列とトランザクション列の間に参照を作成します。

始める前に
必要なロール：itfm_plan_analyst または cost_transparency_admin

このタスクについて
トランザクションテーブルはセグメントに関連付けられています。データソースフィールドとトランザクションフィールドの関係を定義して、柔軟なデータクレンジングとバケット分割を有効にします。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > データソース > セットアップ.
2. クリックしてデータソースレコードを開きます。
3. [財務データソースフィールドマップ] タブで [新規] をクリックして、フィールドマップを作成します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[財務データソースフィールドマップ] フォーム

フィールド	説明
データソース	フィールドマップが作成されるデータソースに自動入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データソースフィールド	フィールドマッピング用のデータソーステーブルの列。
クレンジング済みの列	[データソーステーブル] 列と [クレンジング済みテーブル] 列の間のマッピングを定義します。 フィールドが [なし] の場合、[データソーステーブル] 列のデータはクレンジング中にコピーされません。既存の総勘定元帳では、ステージング済みデータソースマッピングが事前設定されています。
クレンジングで使用	このフィールドマップ参照を Financial Modeling のクレンジングに使用できるようにするには、チェックボックスをオンにします。
セグメント名	トランザクションテーブルをマッピングするセグメント。
トランザクションフィールドにマッピング	フィールドマッピング用のトランザクションテーブルの列。
バケット分割に使用	チェックボックスをオンにすると、ワークベンチの [割り当てセットアップ] タブを使用するときに、フィールドマップ参照をコストバケット分割で使用できるようになります。

5. [送信] をクリックします。

セグメント

セグメントは、コストモデル階層で使用されるトランザクションテーブルを定義します。

Financial Modeling アプリケーションによって提供されるデフォルトのセグメントを変更できます。要件に基づいて新しいセグメントを作成することもできます。セグメントでコスト割り当てが有効になっている場合は、コストモデル階層の構築中にセグメントを使用できます。

デフォルトセグメント

セグメント名	トランザクションテーブル
事業部門	事業部門 [business_unit]
部門	部門 [cmn_department]
ビジネスサービス	サービス [cmdb_ci_service]
ビジネス機能	ビジネス機能 [cmdb_ci_business_capability]
ビジネスアプリケーション	ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app]
サービスオファリング	サービス オファリング [service_offering]
サーバー	サーバー [cmdb_ci_server]
コストセンター	コスト センター [cmn_cost_center]
ロケーション	場所 [cmn_location]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトセグメント (続く)

セグメント名	トランザクションテーブル
ベンダー	会社 [core_company] 注: [ベンダー] チェックボックスがオンになっている会社のみが含まれます。
IT 共有サービス	IT 共有サービス [itfm_shared_service]

注:
コストモデルに割り当てられたセグメントは削除できません。

セグメント定義の作成

コストおよび予算モデルで使用するセグメントを定義します。

始める前に
必要なロール：budget_admin または cost_transparency_admin

このタスクについて
同じトランザクションテーブルに、フィルター条件が異なる複数のセグメントを作成できます。たとえば、[ベンダー] フィールドが **[true]** の core_company テーブルにベンダー用に 1 つのセグメントを作成し、[ベンダー] フィールドが **[false]** になっている同じテーブルの顧客用に別のセグメントを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > 管理 > セグメント.
   ワークベンチの [セグメント定義] タブから新しいセグメントを作成することもできます。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[セグメント定義] フォーム

フィールド	説明
セグメント名	新しいセグメントのわかりやすい名前。
トランザクションテーブル	セグメントに関連付けるトランザクションデータのデータベーステーブル。
プライマリ フィールド	セグメントの主要な情報ソースとして機能するトランザクションテーブルのフィールド。
コスト割り当てで使用	セグメントを Financial Modeling に使用できるようにするには、チェックボックスをオンにします。
予算業務で使用	セグメントを Financial Planning に使用できるようにするには、チェックボックスをオンにします。
条件	レコードをフィルタリングするために設定できる条件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
会計有効期間の開始日	その会計期間の割り当てセットアップのレコードをフィルタリングする会計開始期間。Financial Modeling で使用
会計有効期間の終了日	その会計期間の割り当てセットアップのレコードをフィルタリングする会計終了期間。Financial Modeling で使用

4. オプション: 割り当てに有効なレコードのみを含めるようにセグメントの会計上の有効性を設定します。
すべての会計期間のすべてのアカウントを表示するには、会計の有効開始日と終了日を「なし」として指定します。

   a. 例 1：「サーバー」をセグメントと見なします。
   割り当てに対して有効なサーバーをフィルタリングするには、会計開始日をインストール日、会計終了日を廃止日として設定します。

   b. 例 2：会計期間のアクティブなプロジェクトのみを表示するには、プロジェクトテーブルでアクティブな開始日と終了日を使用します。

5. [送信] をクリックします。

IT シェアードサービス

IT シェアードサービスは、IT 関連でありながら、組織全体で共有および使用されているビジネスサービスです。

IT シェアードサービスの例としては、ヘルプデスクなどのユーザーサービスや、コールセンターなどの音声ネットワークサービスがあります。組織向けのビジネスサービスを作成し、IT 運用やセキュリティおよびコンプライアンスなど、より幅広いカスタマイズ可能なカテゴリに分類できます。

デフォルトでは、セグメントの階層には IT シェアードサービスのセグメントが含まれます。経費が IT シェアードサービスに関連付けられている場合、デフォルトではビジネスサービスにロールアップされます。これにより、任意の IT 共有サービスに経費を割り当て、ビジネスサービス、最終的には組織を構成する事業部門に対する経費の影響を確認できます。

シードされた IT シェアードサービスのリストについては、「シェアードサービスとビジネスアプリケーションの規範的コストモデル」を参照してください。

IT シェアードサービスの作成

IT シェアードサービスを作成して、セグメントの階層に IT シェアードサービスセグメントをセットアップします。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin

このタスクについて
次に、これらのシェアードサービスに経費をロールアップするロールアップルールを作成できます。このシェアードサービスは、デフォルトでビジネスサービスにロールアップされます。次に、シェアードサービスで使用するサービスタイプを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > セグメントの階層 > **IT** シェアードサービス.
2. [新規] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

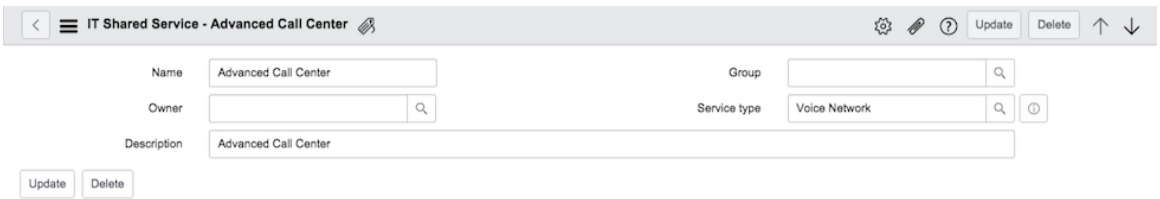
自動翻訳

3. フォームのフィールドに入力します。

IT 共有サービスフォームフィールド

フィールド	説明
名前	共有サービスの名前。
所有者	共有サービスを所有するグループ内のユーザー。
説明	共有サービスの詳細な説明。
グループ	共有サービスを所有するグループ。
サービスタイプ	作成するサービスのタイプ。

IT 共有サービスの例



4. [送信] をクリックします。

サービスタイプの作成

IT シェアードサービスで使用されるサービスタイプを作成します。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin

手順

1. IT 共有サービスレコードの 1 つを開きます。
2. [サービスタイプ] フィールドのルックアップアイコンをクリックします。
   [IT 共有サービスタイプ] リストが表示されます。
3. [新規] をクリックします。
4. 名前を入力します。
5. [送信] をクリックします。

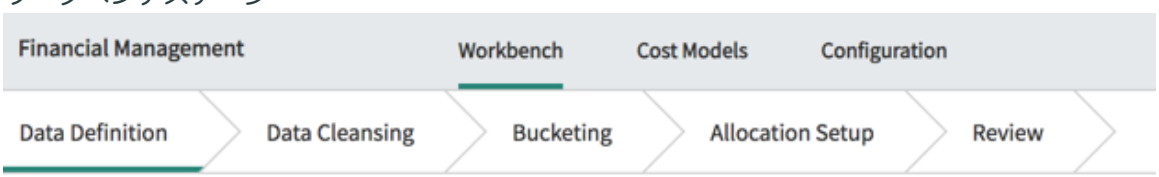
Financial Management ワークベンチ

Financial Management ワークベンチは、経理管理者に経費を割り当てるためのグラフィカルインターフェイスを提供します。

からワークベンチにアクセスします。 ファイナンシャルモデリング > ワークベンチ 移動します

ワークベンチを使用して経費を割り当てる場合、次のステージを通過します。

ワークベンチステージ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

財務モデルフォームでデータソースを選択しない場合、経費明細をプルする財務データソースがないため、データクレンジングステージはワークベンチステージで使用できません。この場合、調整済みラインをサブバケットに直接入力できます。

[ワークベンチ] タブ

- データ定義：使用する会計期間とコストモデルを選択します。「データ定義ステージ」を参照してください。
- データクレンジング：不要な財務経費を削除し、同様の経費を同じセグメントに入れます。このクレンジングステージでは、総勘定元帳の経費を整理する機会があります。「データクレンジングステージ」を参照してください。
- バケット化：関連する経費をカスタマイズ可能なバケットにグループ化します。「バケット化ステージ」を参照してください。
- 割り当てセットアップ：アカウントの階層を構成するアカウントとセグメントにバケットを割り当て、セグメントの相互関係を管理するルールを作成します。「[割り当てセットアップ] ステージ」を参照してください。
- レビュー：経費の割り当てをレビューしてから、割り当てエンジンを実行して経費を割り当てます。「割り当てレビューステージ」を参照してください。

[コストモデル] タブ

アプリケーション内のすべてのコストモデル。このタブから基本コストモデルを作成し、既存のコストモデルを開いたり、変更したり、削除したりすることができます。「[コストモデル] タブ」を参照してください。

[構成] タブ

通貨、会計カレンダー、メインの Financial Management レポート、財務データを削除できる詳細アクションなどの一般的な構成設定。「[構成] タブ」を参照してください。

アカウント数のしきい値

アナリストのライセンスを受けていない顧客の場合、セグメントまたはコストモデルのアカウント数がしきい値を超えると、[基本割り当てセットアップ] オプションが自動的に有効になります。

パラメーター	しきい値
セグメントで許可されているアカウントの最大数	4000
コストモデルで許可されているアカウントの合計数	12000

注:
アカウント数がしきい値を超えると、割り当て経費の実行は機能しません。

ブラウザー要件

Internet Explorer を使用している場合、ワークベンチを使用するにはバージョン 11 以降を使用してください。他の一般的にサポートされている Web ブラウザーを使用することもできます。

自動翻訳

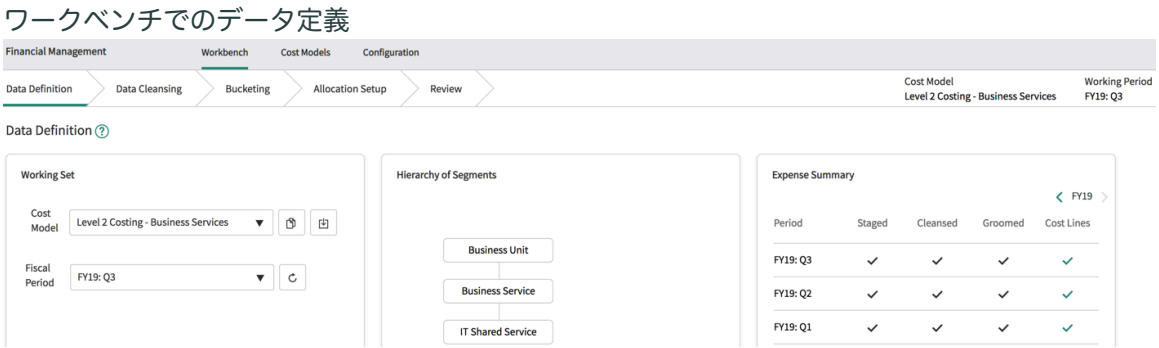
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ定義ステージ

データ定義ステージでは、経費の割り当てを開始する前に、アプリケーションをセットアップするための設定が提供されます。

次のセクションが表示されます。

- 作業セット：作業する会計期間を選択します。会計期間は、インポートした財務データに基づいて自動的に作成されます。ワークベンチを進めると、ここで選択した会計期間中に発生した経費のみが利用可能になります。使用するコストモデルを選択し、選択したコストモデルからクローンを作成することもできます。
  - 既存のコストモデルからコストモデルをクローンを作成するには、[このコストモデルをクローン] ( ) アイコンを使用します。
  - [ダウンロード] ( ) アイコンを使用してコストモデルをダウンロードするか、別のインスタンスに展開して別の本番前環境でコストモデリングを実行します。後でコストモデルを他の本番環境に移動できます。
  - ワークベンチを開いたときに現在の会計期間で表示されない場合、または異なるコストモデルを切り替えたときに会計期間が更新されない場合は、[コストモデルの会計期間を更新] ( ) アイコンをクリックして現在の会計期間を表示します。
- セグメントの階層：セグメントの階層内のセグメントと、処理しているコストモデルの階層内の位置を表示します。
- 経費概要：ステージングおよび調整済みの総勘定元帳テーブルにレコードがあるかどうか、および割り当て明細があるかどうかを確認します。



作業セットの選択

作業セットとは、すべてのステージを通過するときにワークベンチで使用する一連の経費を指します。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて

作業セットは会計期間で構成されます。会計期間は、経費が発生した会計カレンダー上の時間ブロックです。正しい会計期間を選択していることを確認してください。ワークベンチのステージを進むにつれ、作業する経費は選択した会計期間中にのみ発生した経費であり、他の会計期間では発生しません。選択した会計期間は「作業期間」と呼ばれ、すべてのワークベンチページの右上に常に表示されます。

手順

[会計期間] 選択リストから、処理するデータの会計期間を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この選択リストのオプションは、会計カレンダーから取得されます。目的の会計期間が表示されない場合は、会計カレンダーを変更できます。

ワークベンチでのコストモデルのクローン作成

事前設定されたコストモデルを使用するか、財務モデルアクティビティの基本コストモデルからクローンを作成します。クローンを作成することで、元のコストモデルに影響を与えることなく、財務データソースをビジネス要件に従ってコストモデルにマッピングできます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

> **重要:**
>
> - この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。
> - 以前のバージョンから Washington DC にアップグレードする場合、デフォルトでは、新しいモデルで [管理されたコスト明細を生成 **(Generate Controlled Cost Lines)]** オプションが有効になり、新しいモデルで **[GL** 経費明細を生成] オプションが無効になります。ベースモデルでこれらのオプションが有効であったか無効であったかは関係ありません。これらのオプションは編集できず、[コストモデルビュー] ページのデフォルトビューには表示されません。

このタスクについて

[ワークベンチ] の [データ定義] ステージまたは [コストモデル] タブから、事前設定された基本コストモデルを選択するか、コストモデルのクローンを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > ワークベンチ.
2. 基本コストモデルインターフェイスにアクセスするには、次のいずれかを実行します。
   - [データ定義] ステージの [作業セット] リージョンの [コストモデル] 選択リストからコストモデルを選択し、[このコストモデルをクローン] ( ) アイコンをクリックします。
   - [コストモデル] タブをクリックし、基本コストモデルを選択して、[コストモデルのクローン] ボタンまたは [このコストモデルをクローン] ( ) [アクション] アイコンをクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[コストモデルのクローン] フォーム

フィールド	説明
名前	選択したコストモデルの名前がフィールドに事前入力されます。
説明	コストモデルデフォルトの説明。
クローン元	新しいクローンを作成するコストモデル。
データソース	Financial Modeling アクティビティに使用される実際の生の経費データテーブル。「財務データソースとフィールドマップ」を参照してください。基本システムオプションは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ コスト計画ブレークダウン：生の経費データにマッピングします。ここで、コスト計画ブレークダウン [cost_plan_breakdown] テーブルの会計期間の実際のコストと割り当てられたコストが取得されます。 ○ ステージング済みの総勘定元帳：総勘定元帳ステージング済みデータ **[itfm_cl_data_staged]** テーブル内の総勘定元帳アカウント経費を参照するデータベース列にマッピングします。 ○ データソースなし：バケット化ステージでコストモデルに金額を手動で入力するオプション。

4. [コストモデルのクローン] ボタンをクリックします。

コストモデルフォームでコストモデルを作成することもできます。

経費サマリ

ワークベンチの [データ定義] ステージには、アプリケーションの経費の概要が表示されます。各経費タイプおよび各会計期間のアイコンは、割り当てレコードのステータスを示します。

経費サマリのアイコン

アイコン	説明
×	レコードが存在しません。
✓	レコード行が存在します。
ⓘ	割り当てが最後に生成されてから変更されたレコード。
❗	アプリケーションが割り当てを実行しているときにエラーが発生しました。このアイコンが表示された場合は、ワークベンチのすべての設定を確認し、割り当てを再実行してください。

[経費サマリ] セクション

ラベル	説明
期間	会計カレンダーの各期間。
ステージング済み	レコードが総勘定元帳ステージング済みデータ [itfm_gl_data_staged] テーブルにあるかどうか。
クレンジング済み	レコードが総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_gl_data_cleansed] テーブルにあるかどうか。
調整済み	レコードが調整済み総勘定元帳データ [itfm_gl_data_groomed] テーブルにあるかどうか。
行	レコードがコスト割り当て [itfm_cost_allocation] テーブルにあるかどうか。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データクレンジングステージ

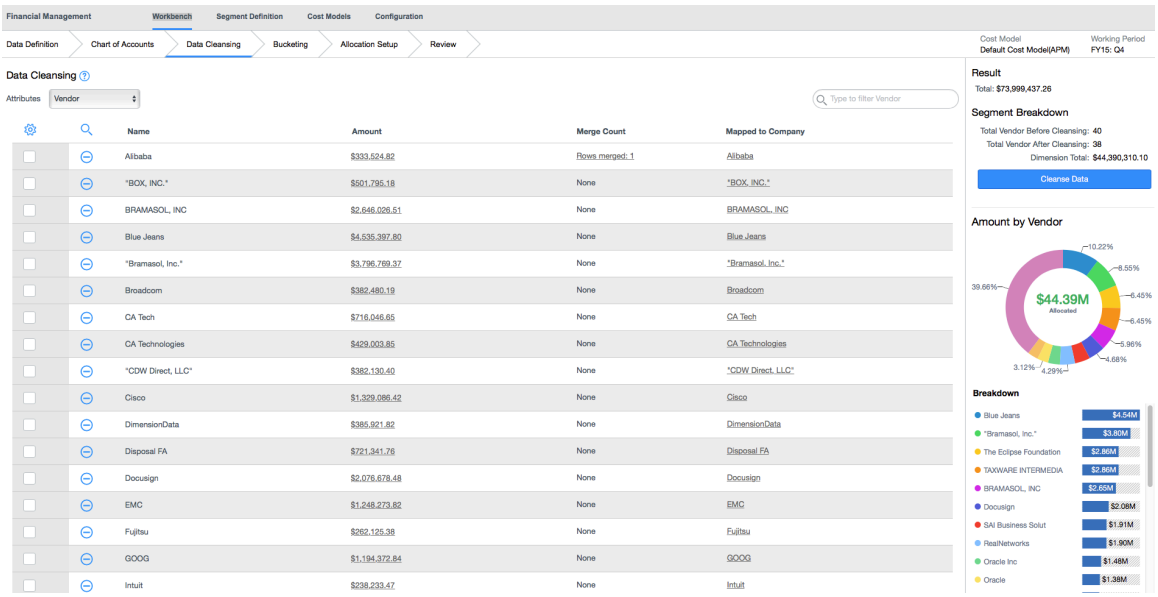
データクレンジングステージでは、アプリケーションにインポートした経費をクリーンアップできます。

[データクレンジング] ページで、インポートした経費は、ベンダー、コストセンター、部門、および場所のいずれかのセグメントでグループ化された経費明細に表示されます。Istanbul 以降、カスタムフィールドでデータクレンジングを実行できるようになりました。カスタムフィールドクレンジングを有効にするには、[財務データソースフィールドマップ] の [クレンジングで使用] チェックボックスをオンにします。

右ペインの [サマリ] セクションには、各セグメントを構成する経費のブレークダウンが表示されます。次の操作を行うことができます。

- インポートされた経費を確認
- 経費明細を結合
- 選択したセグメントのレコードに経費をマッピング

ワークベンチでのデータクレンジング



クレンジング前の経費の確認

アプリケーションにインポートした経費に関する追加の詳細をいくつか表示できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. [属性] 選択リストからセグメントを選択し、データを確認します (列の説明についてはテーブルを参照)。

データクレンジングテーブル

列	説明
名前	ベンダーの名前や場所など、選択したセグメント内の特定のアイテムの名前。
総計	セグメント内のアイテムに関連付けられているインポート済み経費の金額。

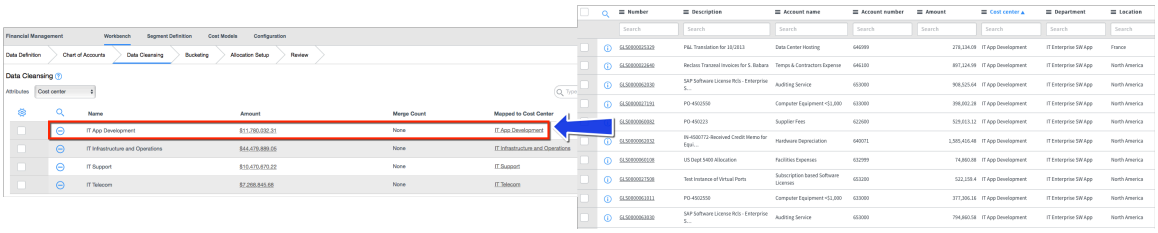
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	説明
カウントを結合	他の経費の数は、その行の経費と結合されています。デフォルトでは、各レコードの値は [なし] です。経費を結合すると、値が変更され、結合された経費の数が表示されます。
マップ先：	アプリケーションが、既にインスタンスに存在する、選択したセグメント内の特定のアイテムの名前 (同じベンダーやコストセンターなど) 間で一致するものを見つけることができるかどうか。アプリケーションで一致するレコードが見つからない場合は、データをクレンジングしたときに新しいレコードが作成されます。

各経費明細はシステム内のレコードではなく、選択したセグメントと同じ値を含む [総勘定元帳ステージング済みデータ] テーブルの経費の集計ビューです。たとえば、[コストセンター] セグメントを選択した場合、各経費明細は実際には同じコストセンターを持つすべての総勘定元帳経費の合計になります。

データクレンジングテーブルの経費



2. 表示される経費のリストでは、次のいずれかを行うことができます。
   - リストの右上にある検索フィールドにテキストを入力して、経費明細のリストをフィルタリングします。[名前] 列のテキストが検索されます。
   - [金額] 列の経費金額をクリックすると、その行を構成する経費レコードが [総勘定元帳ステージング済みデータ] テーブルに表示されます。
   - 経費の左側にある [削除] アイコン (⊖) をクリックして、行を無視します。ここで無視した経費は、バケットに割り当てられる次のステージには持ち越されません。

セグメントごとの経費明細の結合

経費を結合することは、1 つのセグメントレコードに関連付けられている経費を取ることを意味します。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて
たとえば、ベンダー ABC を取得し、このベンダーの経費をベンダー XYZ などの別のセグメントレコードに関連付けることができます。事実上、経費の [ベンダー] フィールドの値を ABC から XYZ に変更することになります。

手順
1. 1 行以上の経費明細をクリックして選択します。
   これらの行は、ソース経費と呼ばれます。
2. それらを別の経費にドラッグします。

   この行は、宛先経費として参照できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソース経費の総勘定元帳経費レコードが変更されます。変更されるフィールドは、[ベンダー] など、現在作業しているセグメントです。フィールドの値は、そのフィールドが宛先経費に対して持っていた値に変更されます。

> **注:**
> 経費を結合すると、ベンダーやコストセンターなどのセグメント値のみが変更されます。経費明細を構成する総勘定元帳経費に関連付けられているアカウント番号は変更されません。

3. [結合数] 列のエントリ数をクリックします。
4. 結合された経費明細を無視するには、[結合されたセグメント] ウィンドウのエントリーの横にある [削除] アイコン ( ) をクリックします。
   経費明細がすべての経費のリストに再表示されます。

セグメントレコードの経費明細へのマッピング

アプリケーションは、選択したセグメントの既存のレコードへの経費明細のマッピングを試み、経費明細のセグメントフィールドに値がある限り、セグメントのテーブルに新しいレコードを作成するオプションを提供します。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて
例を次に示します。

- ベンダーセグメントに基づいてデータをクレンジングしており、経費明細のベンダーがすでに会社 [core_company] テーブルにある場合、[マッピング先] 列には [既存のベンダー] が表示されます。
- 経費のベンダーが会社テーブルに存在しない場合、[マッピング先] 列には [新しいベンダーが作成されます] が表示されます。このメッセージは、最終的にデータをクレンジングすると、アプリケーションが会社テーブルにベンダーのレコードを作成することを示しています。
- 経費 [ベンダー] フィールドが空の場合に [ベンダー] を選択すると、経費はどの経費明細にも表示されません。

一致するものが見つかった場合は一致するレコードが表示され、編集アイコン ( ) をクリックしてフォームを変更することで変更を加えることができます。

一致するものが見つからず、システムでレコードを作成する場合は、フィールドをそのままにしておきます。後で [データのクレンジング] をクリックすると、レコードが自動的に作成されます。

一致するものが見つからず、レコードを作成しない場合は、既存のレコードを経費に手動で関連付けることができます。

手順

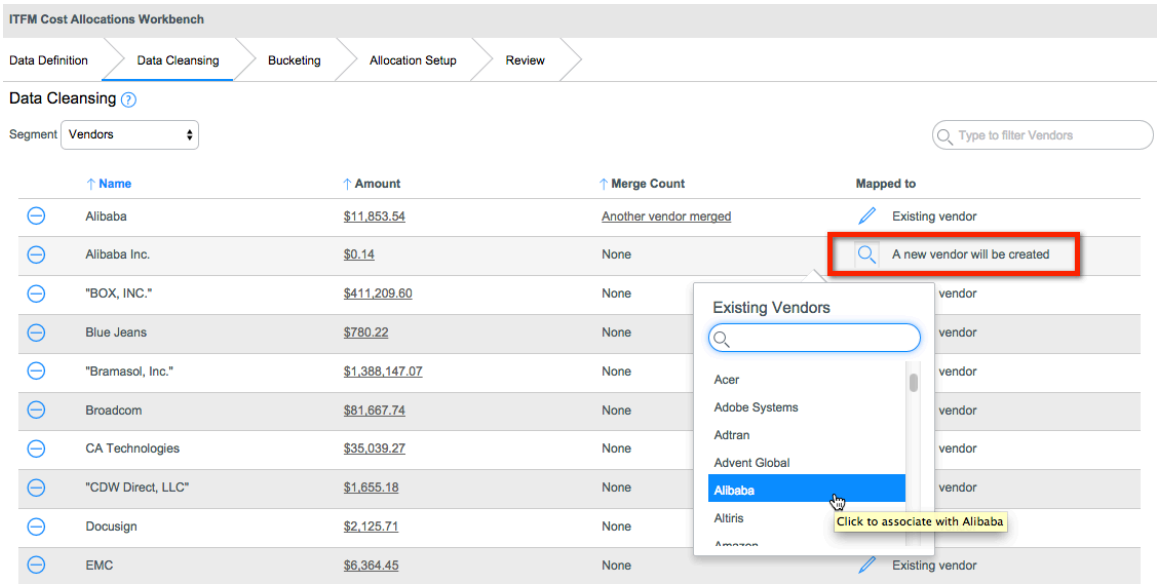
1. [マッピング先] 列の値の横にあるルックアップアイコンをクリックします。
2. 検索フィールドにキーワードを入力して、リストをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. リストから既存のレコードを選択します。

ベンダーと経費の関連付け



データのクレンジング

データクレンジングテーブルの経費をクリーンアップした後、クレンジングエンジンを実行します。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

右側のペインで [データのクレンジング] をクリックします。

データクレンジングステージで操作している実際の経費レコードは、[ステージング済みの総勘定元帳データ] テーブルにありますが、各経費レコードのレプリカが [総勘定元帳クレンジング済みデータ] テーブルにもあります。データをクレンジングした後、変更は [総勘定元帳ステージング済みデータ] テーブルではなく、[総勘定元帳クレンジング済みデータ] テーブルのレコードに保存されます。

バケット化ステージ

バケット化ステージでは、バケットと呼ばれるグループに経費を割り当てることができます。

バケットは、経費を整理するのに役立つ任意のタイプのカテゴリにすることができます。バケットとセグメントを混同しないでください。バケットは、割り当て前に経費を入れるカスタマイズ可能なグループです。階層で定義されているセグメントは、経費を割り当てることができる組織の一部です。

[バケット (Bucketing)] ページでは、クレンジングした経費がアカウント番号でグループ化されて左ペインに表示されます。経費をグループ化できるバケットが中央のペインに表示されます。右ペインの [サマリ] セクションは、経費がバケットにどのように割り当てられているかのブレークダウンを示しています。[アカウント] 列に正しいデータが表示されない場合は、クレンジングされた総勘定元帳を開き、レコードが正しいことを確認します。

バケット化ステージでは、次のことができます。

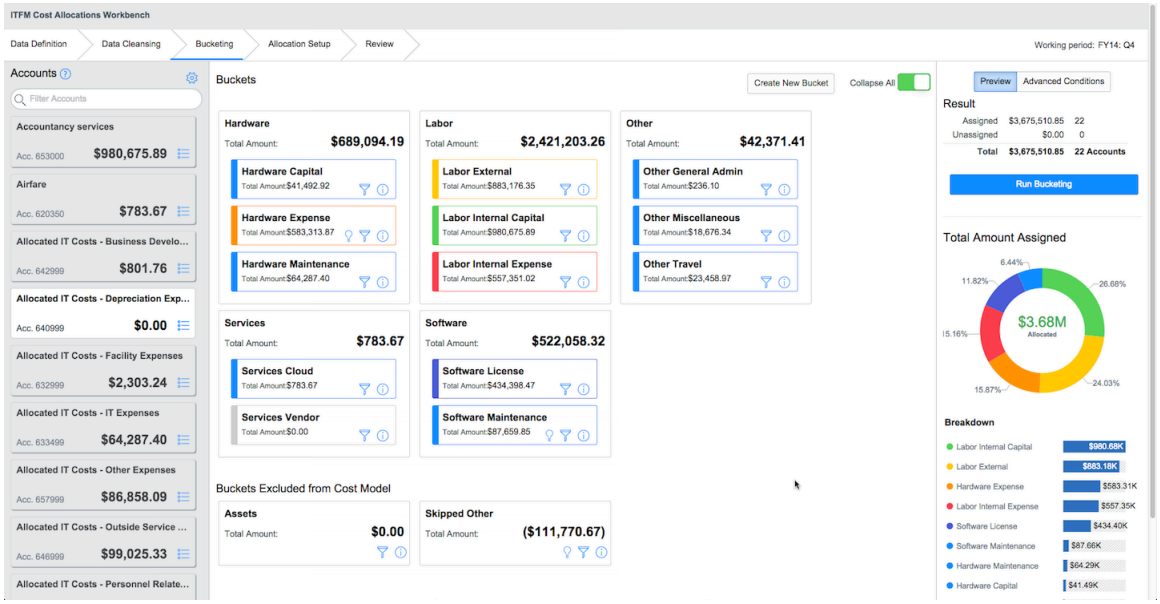
- バケットの作成と変更
- フィルター条件の作成
- 詳細については、「データソースのないコストモデルの調整済みラインを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 各アカウントの経費を適切なバケットに入れる
- バケット割り当ての確認とバケット化エンジンの実行

ワークベンチでのバケット化



アカウントの詳細の表示

バケット化ページには、左側のペインにアカウント別にグループ化されたクレンジング済みデータがすべて表示され、メインペインに既存のバケットが表示されます。バケットは、親バケット内でグループ化されたサブバケットとともに表示されます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. [アカウント] の横にある歯車アイコン ( ) をクリックします。
2. [バケットに分類されたアカウントを表示] トグルをクリックして、既に割り当てられているアカウントを表示または非表示にします。
   経費は、割り当てられていないアカウントのバケットにのみ割り当てることができます。
3. [ソート基準] リストで [名前]、[アカウント]、または [金額] を選択してアカウントをソートします。
4. [ソート] リストから [昇順] または [降順] を選択して、アカウントをさらにソートします。
5. 線グラフアイコン ( ) をクリックして、アカウントに属する [総勘定元帳クレンジング済みデータ] テーブルのレコードを表示します。
   レコードは、新しいブラウザータブまたはブラウザーウィンドウのリストビューで開きます。

バケットの作成と変更

標準のバケットフォームでバケットを作成していない場合は、ワークベンチの [バケット化] ステージでバケットを作成できます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

中央ペインの右上にある [新規バケットを作成] をクリックします。

[バケット] フォームが表示されます。このフォームは、からアクセスできるバケットフォームと同じです 財務 > コストモデル > アカウントのバケット. 詳細については、「バケットの作成」を参照してください。

> **注:**
> コストモデルから除外されたバケットを作成することができます。つまり、次のステージである割り当てセットアップでアカウントとセグメントに割り当てることはできません。バケットフォームで [コストモデルから除外] オプションを選択すると、バケットが [バケット化] ページの下部の [コストモデルから除外されたバケット] の下に表示されます。

バケットフィルター条件の作成

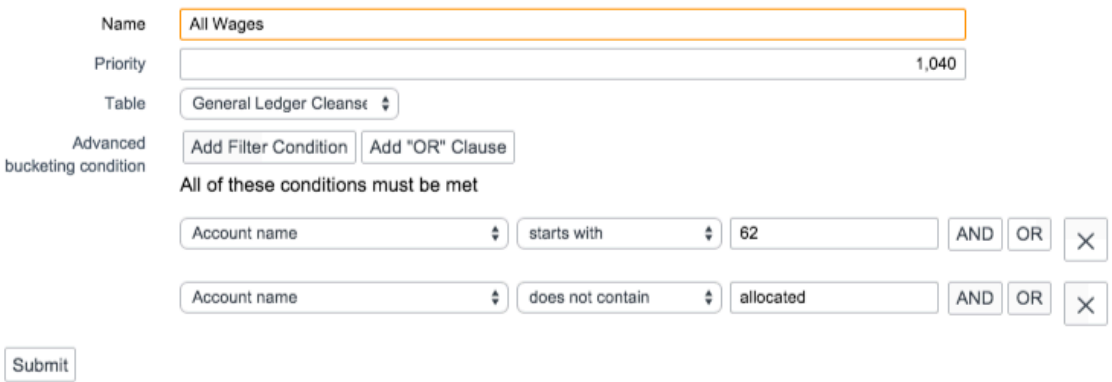
バケットに入るデータをフィルタリングする条件を作成することもできます。これらのバケットフィルター条件は、調整条件とも呼ばれ、[詳細クエリ条件] タイプです。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. バケットのフィルターアイコンをクリックします。
2. フォームフィールドに入力します (テーブルを参照)。
3. [送信] をクリックします。

バケットフィルタリング条件の例



バケットフィルター条件のフィールド

フィールド	説明
名前	条件のわかりやすい名前。
優先度	フィルターが他のフィルターと比較していつ適用されるかを決定する値。2 つのフィルターの設定が同じ場合は、優先度の高いフィルターが適用されます。
テーブル	バケットに入れるときにフィルタリングされる経費を含むテーブル。レコードが総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_gl_data_cleansed] テーブルにあるかどうか。

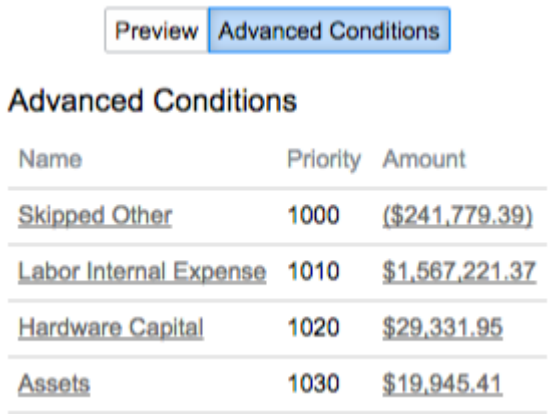
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
詳細バケット化条件	条件ビルダーを使用してフィルターを作成します。

バケットフィルターを作成すると、右ペインのドーナツグラフの上にある [詳細条件] タブに表示されます。

[詳細条件] タブ



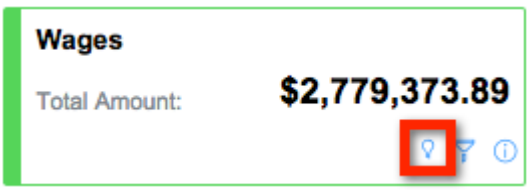
次のタスク

フィルター条件を確認したり、変更を加えたりすることができます。

- 条件の名前をクリックして、[詳細条件] フォームを開きます。
- 金額をクリックして、フィルターに一致する総勘定元帳経費のリストを開きます。

バケットにも詳細フィルター条件アイコンが表示されます。

バケットの詳細フィルター条件アイコン。



詳細については、「データソースのないコストモデルの調整済みラインを作成する」を参照してください。

Financial Management ワークベンチのデータ定義ステージで選択したコストモデルのデータソースがない場合は、クレンジングプロセスもありません。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて

バケット化ステージでは、アカウントを表示する左ペインはありません。このような場合、サブバケットで編集アイコンをクリックすると、[バケット金額行] フォームで調整済みラインを作成または編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
アプリケーションポートフォリオ管理 または サービスポートフォリオ管理 (SPM) ユーザーの場合、ビジネスアプリケーション原価計算モデルコストモデルとサービスオファリング原価計算コストモデルにはデータソースがありません。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > ワークベンチ.
2. バケット化ステージで、調整済みラインを追加するサブバケットの編集アイコン ( ) をクリックします。
3. フォームで、フォームフィールドに入力します。

調整済みラインフォーム

フィールド	説明
総計	サブバケットの金額。
通貨	金額の通貨。
説明	バケット金額の説明。

事前設定された Customer Service Management (CSM) コストモデルの場合、[アカウント番号]、[コストセンター]、[部門]、[アカウント名]、[場所]、および [ベンダー] フィールドは適用外です。

特定のサブバケットに複数の調整済みラインが存在する場合、調整済みラインのリストが表示されます。

4. [送信] をクリックします。

経費をバケットに入れる

バケットをセットアップしたら、経費をバケットにドラッグアンドドロップするだけです。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

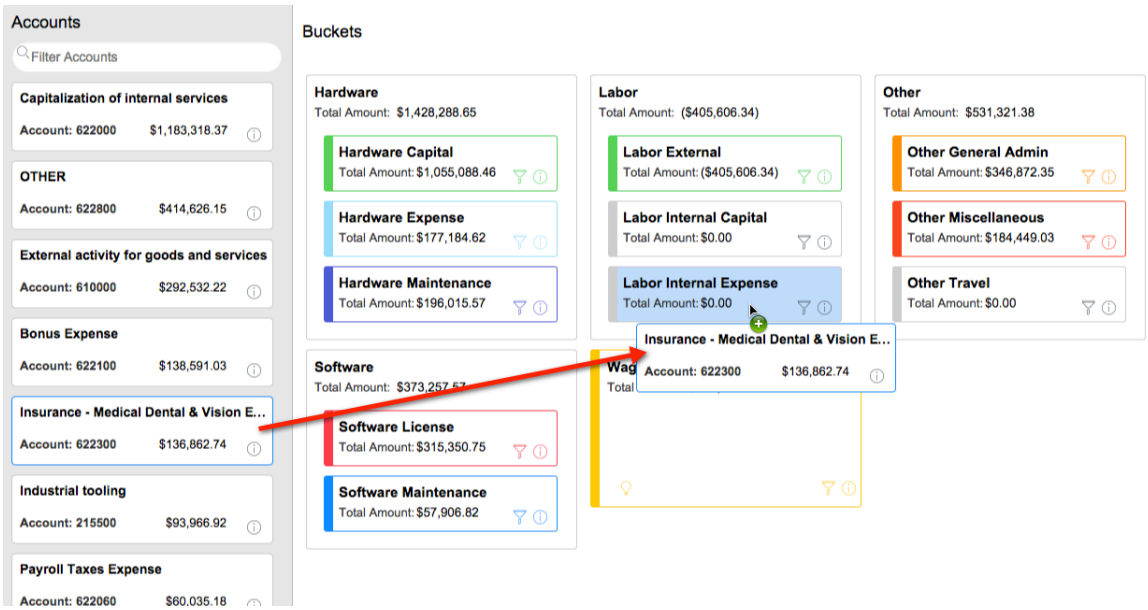
1. [アカウント] ペインで、フィルターボックスにアカウント名を入力するか、リストをスクロールして、バケットに割り当てるアカウントを見つけます。
2. [バケット] ペインで、[すべて折りたたむ] をクリックしてサブバケットを表示または非表示にすることができます。
3. 経費を [アカウント] ペインから関連するサブバケットにドラッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バケットの [合計額] と右ペインのドーナツグラフの [割り当てられた合計額] は、割り当てに基づいて変更されます。

経費をバケットに入れる



バケット割り当ての確認とバケット化の実行

データがバケットに格納されると、各バケットの合計金額と各バケットの個々の総勘定元帳経費レコードを確認できます。

始める前に

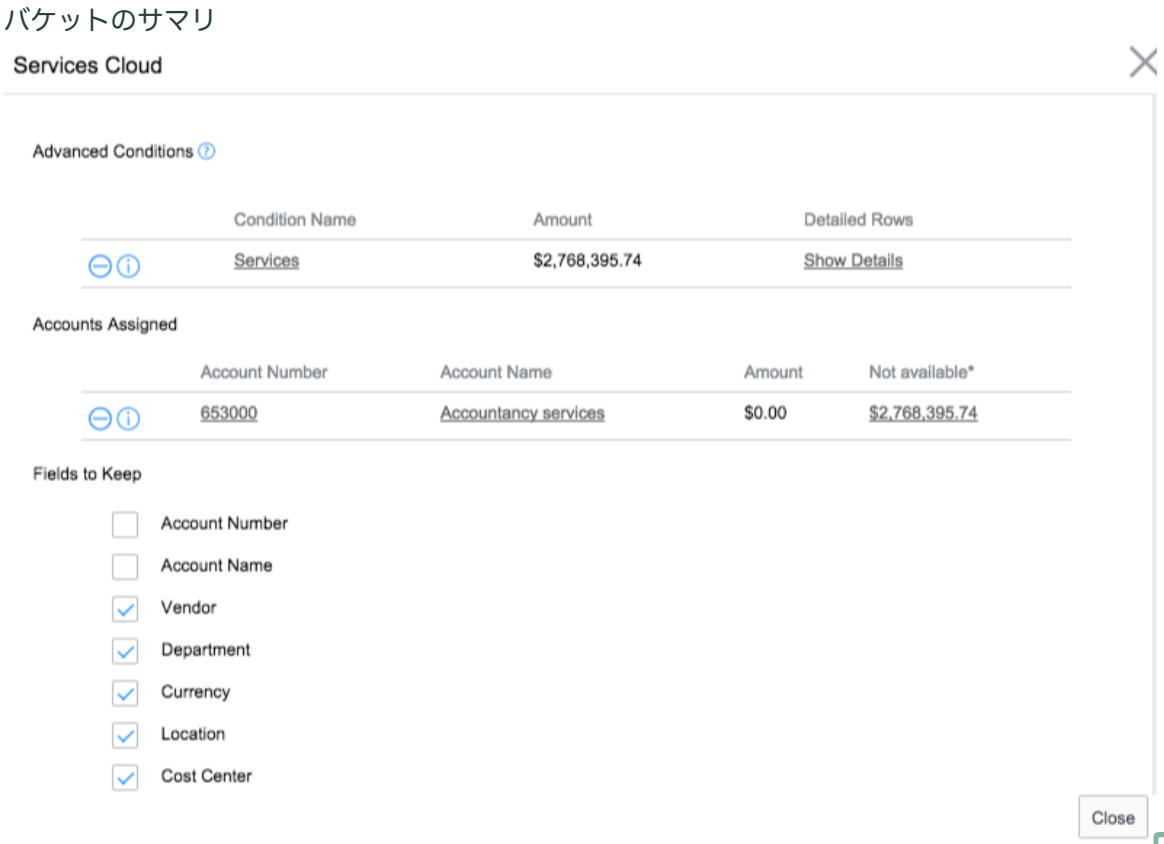
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. バケットの情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、バケットに関するサマリ情報が表示されます。
2. [詳細条件] で、バケットフィルター条件が正しいことを確認します。
   a. 条件名をクリックしてバケットフィルター条件フォームを開き、必要に応じて変更します。
   b. [詳細な行] で [詳細を表示] をクリックして、バケットに割り当てられている経費レコードを表示します。この経費レコードは、総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_cl_data_cleansed] テーブルに保存されています。
   c. バケットフィルター条件を削除するには、削除アイコン (⊖) をクリックします。
3. [割り当てられたアカウント] で、正しいアカウントとその中のすべての経費がバケットに表示されていることを確認します。
   a. アカウント名をクリックすると、バケットに割り当てられている [総勘定元帳クレンジング済みデータ] テーブルの経費レコードが表示されます。
   b. アカウントとそのアカウントに属するすべての経費をバケットから削除するには、削除アイコン (⊖) をクリックします。
4. [保持するフィールド] で、バケット内のレコードに保持するフィールドのチェックボックスを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 終了したら、ウィンドウを閉じます。
6. データが正しい場合は、右ペインの [バケットを実行] をクリックします。
   - バケット化エンジンを実行すると、データは調整済み総勘定元帳データ [itfm_cl_data_groomed] テーブルに保存されます。
   - [バケットを実行] をクリックすると、作業している会計期間の既存の割り当て明細がすべて削除されます。

[割り当てセットアップ] ステージ

[割り当てセットアップ] ステージでは、アカウントとセグメントに経費を割り当てることができます。

[割り当てセットアップ] ページでは、作成したサブバケットが左ペインに表示されます。ただし、コストモデルから除外したサブバケットは除きます。セグメントとそのアカウントは、データ定義ステージで定義した階層の中央ペインに表示されます。右ペインのサマリは、経費が各セグメントのアカウントにどのように割り当てられているかのブレークダウンを示しています。

[割り当てセットアップ] ステージでは、次のことができます。

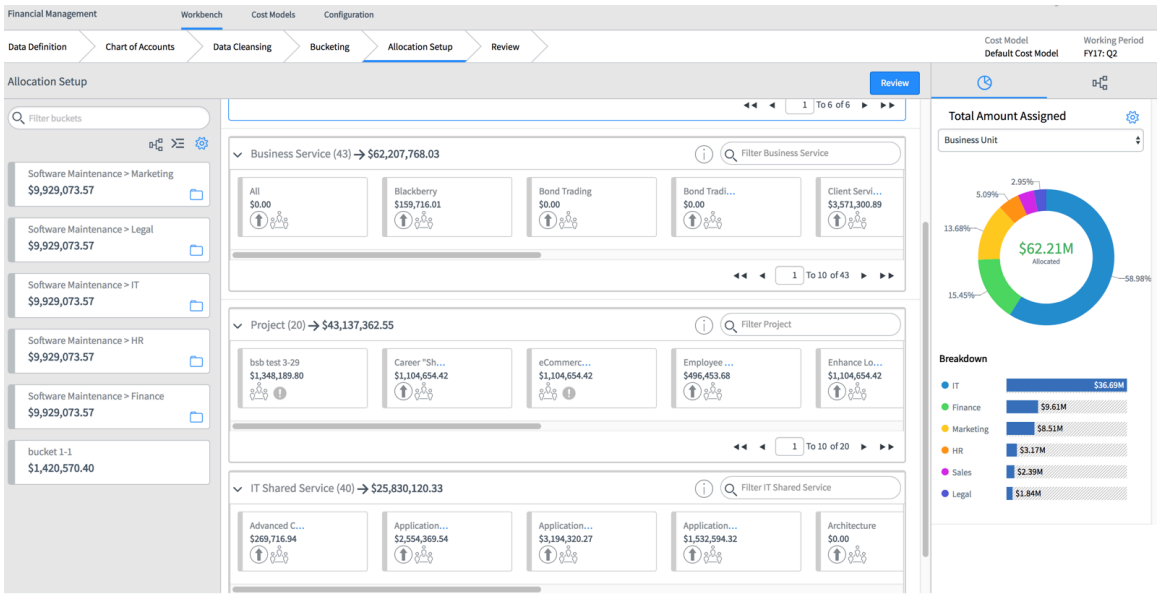
- バケットの内容を表示し、必要に応じてバケットを小さいバケットに分割します。
- ロールアップを作成および変更して、階層内の上位レベルのセグメントに経費を適用する方法を正確に指定します。
- 経費をアカウントに割り当てます。
- 割り当てられた経費を確認し、必要に応じてバケット割り当てを元に戻します。
- 特定の値以上の金額で割り当てセットアップセグメントアカウントをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [構成] タブの [セグメントごとのレコードの表示 (Configure the Display Records per segment)] ページネーションオプションで、ページごとに同時に表示するオプションを 5、10、15、25、または 50 件に構成します。ページネーションオプションは、ページあたりのセグメント内のアカウントの合計数から選択したアカウント数を表示します。左右の矢印を使用すると、セグメント内のすべてのアカウントが表示されるまで、次のレコードセットに移動できます。
- 同様に、[構成] タブでページネーションオプションを設定することにより、表示するアカウントの数を選択して、ワークベンチページを軽量化できます。

ワークベンチでの割り当てのセットアップ



基本割り当てセットアップ

この機能を使用すると、特に大規模なアカウントや割り当てルールを扱う場合に、割り当てセットアップを簡単に行うことができます。

基本割り当てセットアップパラメーターを設定して、割り当てセットアップ UI をライターモードで開きます。基本割り当てセットアップを有効にすると、アカウントとともに金額プレビューとともに UI をロードしなくても、最小限の情報で割り当てセットアップページをすばやく開くことができます。基本割り当てセットアップの情報は、オンデマンドでのみフェッチされます。

機能的には、基本割り当てセットアップでは、通常の割り当てセットアップ UI と同様にすべての機能を実行できます。主な目的は、バケットアカウントの割り当てとロールアップ割り当てルールの定義です。バケットとロールアップのアイコンインジケーターは、基本割り当てセットアップでルールが定義されるときにガイドします。

注:
アナリストのライセンスを受けていない顧客の場合、[基本割り当てセットアップ] オプションは自動的に有効になりますが、次の場合にはこのオプションは無効になります。

- セグメント内のアカウント数がしきい値 (4000) を超えている場合
- コストモデルの合計アカウント数がしきい値 (12000) を超えている場合

このパラメーターを有効にすると、次の詳細は表示できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 各アカウントに表示される金額プレビュー。
- 右ペインのサマリチャート。
- アカウントの [リレーションシップを表示] リンク。ただし、アカウントポップアップの [アカウントのロールアップ] タブでは、必要に応じて各アカウントのロールアップ先のアカウントを表示できます。

資金不足分析

注:

資金不足分析は、Madrid リリースより前に利用可能になった割り当てログ機能の拡張および改善されたバージョンです。

割り当てセットアップステージでは、金額が正しくロールアップされず、処理中に資金が不足する可能性があります。理由は、次のいずれかのステージのエラーが原因である可能性があります。

- バケット割り当て
- セグメントロールアップ
- アカウントロールアップ

資金不足ログには、金額の一部が不足し、設定された割り当てルールに従ってターゲットセグメントまたはアカウントに到達できない理由の詳細と、問題を解決するためのアクション可能なリンクが表示されます。

資金不足ログを構成するには、[構成] タブをクリックし、[資金不足分析] を切り替えてログを有効にします。このアクションにより、ワークベンチの割り当てセットアップステージで [資金不足ログ] ( ) アイコンが有効になります。

警告:
ログを有効にすると、割り当てセットアップページのロードが遅くなる場合があります。

資金不足ログは、選択リストにリストされているセグメントロールアップエラー、アカウントロールアップエラー、およびバケット割り当てエラーに分類され、割り当て中に不足している金額を識別し、誤ったルールと割り当ての問題を明確に示すのに役立ちます。分離は、割り当てとロールアップの問題を迅速に解決し、資金が目標に到達する代わりにどのように不足しているかを追跡するのに役立ちます。

[エラー/警告のトラブルシューティング] リンクをクリックすると、各エラーを解決するために従うことができる手順とともに必要なアクションを実行するためのガイドとなる Web ページが開きます。

バケットのコンテンツの表示

IT 財務ワークベンチのバケット化ステージで、バケットのリストに表示される内容を変更できます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. [割り当てセットアップ] の横にある歯車アイコン ( ) をクリックします。
2. [割り当てられたバケットを表示] トグルをクリックして、既に割り当てられているバケットを表示または非表示にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

バケット内の経費は、割り当てられていないバケットのアカウントにのみ割り当てることができます。

3. [ソート基準] リストで [名前] または [金額] を選択してアカウントをソートします。
4. [ソート] リストから [昇順] または [降順] を選択して、アカウントをさらにソートします。

情報アイコンをクリックして、バケットに属する総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_cl_data_cleansed] テーブルに保存されているレコードを表示します。レコードは、新しいブラウザータブまたはブラウザーウィンドウのリストビューで開きます。

バケットの分割

バケットには、調整された総勘定元帳経費が含まれています。これらの経費は、コストセンター、ベンダー、部門、場所などのアイテムに関連付けることができます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst
分割できるのは、アカウントにまだ割り当てられていないバケットのみです。

このタスクについて

バケット内の経費は、コストセンター、ベンダー、部門、場所などの任意の属性で分割できます。Istanbul リリース以降は、任意のカスタム属性を使用してバケットを分割できます。財務データソースフィールドマップを使用して、[バケット分割に使用] オプションを有効にし、バケットを分割する追加の属性を取得します。

たとえば、バケットに 2 つの異なるベンダーの経費が含まれている場合、バケットをベンダーごとに 1 つずつ、合計 2 つのバケットに分割できます。各分割バケットには、そのベンダーに関連付けられた調整済みの総勘定元帳経費が含まれています。

手順

1. ワークベンチで [割り当てセットアップ] ステージを開きます。
2. [割り当てセットアップ] ペインで、分割するバケットのバケット分割アイコン ( ) をクリックします。
   [分割バケット] ウィンドウが表示され、バケット内の金額が示されます。
3. [分割] リストから、調整済みの総勘定元帳経費に関連付けられている属性を選択するか、[パーセンテージ] を選択します。
   - 属性を選択すると、新しいバケットが [元のバケット名] > [属性名] の形式でデフォルト名でウィンドウに表示されます。
   - [パーセンテージ] を選択した場合は、新しいバケットのパーセンテージを入力し、各バケットに名前を付けます。
   - [重み付け] 分割メソッドを選択した場合は、使用可能な測定基準に基づいてバケット数を階層内の任意のセグメントに分割することができます。

     注:

     測定基準が設定済みの重み付け合計の場合、その重み付けされた測定基準を使用してバケットを分割することはできません。

     [重み付け] メソッドに基づいてバケットを分割した後は、それ以上分割することはできません。

   分割バケットのプレビューが、各バケットの経費金額とともにウィンドウに表示されます。
4. [バケットの分割] をクリックします。

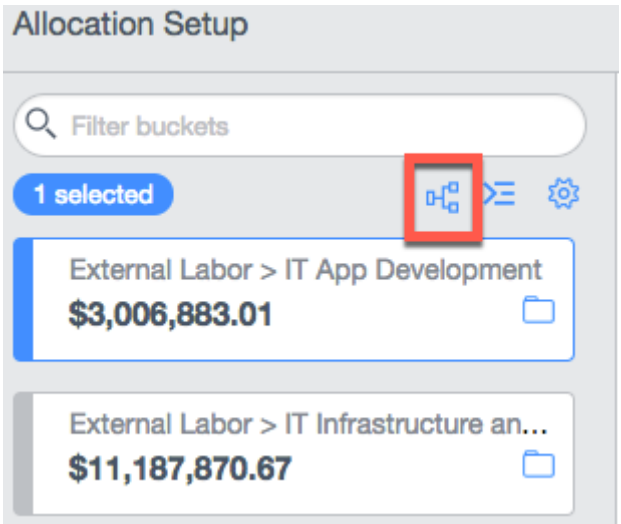
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. アプリケーションは新しいバケットを作成し、設定に従って経費をそれらの間で分割します。

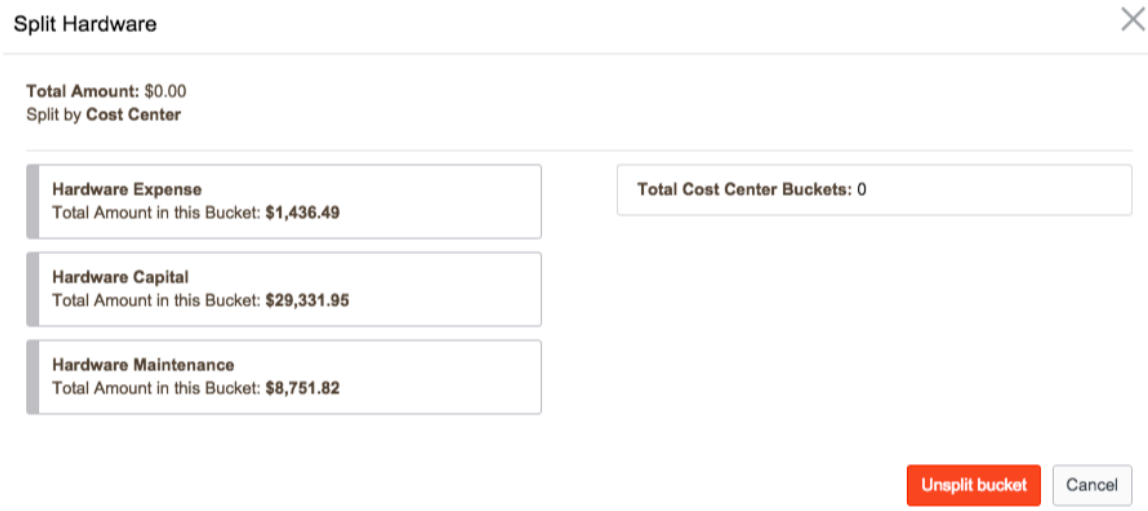
   分割されたバケットは、フォルダーアイコンとともに表示されます。

バケットの分割



6. 新しく分割されたバケットと一緒に分割された他のバケットを表示するには、フォルダーアイコンをクリックします。
7. バケット分割を元に戻すには、[未分割のバケット] をクリックします。

ハードウェアバケットの分割



割り当てのロールアップ

ロールアップは、セグメント階層内の下位レベルのアカウントが、階層内で上位にある他のアカウントにどのように接続するかを指定する割り当てルールです。ロールアップを使用すると、経費を下位レベルのアカウントに割り当て、経費を上位レベルのアカウントに自動的に割り当てることができます。

ロールアップは、アカウント固有またはセグメント固有にすることができます。アカウント固有のロールアップでは、経費を特定の 1 つのアカウントからその上の 1 つ以上のアカウントにロールアップする方法を指定します。セグメント固有のロールアップでは、セグメントのすべてのアカウントの経費を、その上のセグメント、つまり親レベルのすべてのアカウントにロールアップする方法を指定します。階層内で先行する任意のセグメント、つまり祖父母レベルにセグメントをロールアップすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

個々のアカウントに指定されたロールアップは、セグメントに指定されたロールアップよりも優先されます。たとえば、次の 2 つのロールアップを作成する場合：

- ビジネスサービスセグメントのメールアカウントの経費を事業部門セグメントの IT アカウントに割り当てるアカウント固有のロールアップ。
- ビジネスサービスセグメントの経費を事業部門セグメントに割り当てるセグメント固有のロールアップ。

次に、アカウント固有のロールアップによって経費が割り当てられます。セグメント固有のロールアップでは経費は割り当てられません。

アカウント固有のレベルのロールアップでは、階層内の任意の親または祖父母のアカウントへのロールアップがサポートされています。経費は階層内の任意のアカウントにロールアップできますが、必ずしも階層内の直接の親にロールアップする必要はありません。

ロールアップは階層内で上になるだけでなく、兄弟セグメントのアカウントに金額をロールアップすることもできます。

[ロールアップ] ポップアップで [親セグメント] を選択し、アカウントレベルで階層内の任意の親セグメントへのロールアップを設定します。

重み付けされた測定基準を使用した割り当ての重み付け合計サポート

重み付け合計サポートで有効になっている重み付けされた測定基準を使用する場合、測定基準は次の重み付け合計計算で割り当てパーセンテージを正確に計算します。

- 測定基準に [割り当て先] が使用され、アカウントにロールアップがないセグメントレベルのロールアップでは、セグメント内のすべてのアカウントの合計パーセンテージが 100% 未満になります。
- セグメントレベルのロールアップでは、[割り当て先] 測定基準が使用され、セグメント内の各アカウントのパーセンテージがアカウントの消費の重み付けに基づいて計算されます。
- アカウントレベルのロールアップでは、アカウントレベルのロールアップルールがセグメントレベルのロールアップルールよりも優先され、すべてのアカウントの合計パーセンテージが 100% 未満になります。
- アカウントレベルのロールアップでは、各アカウントのパーセンテージは、アカウントの消費の重み付けに基づいて計算されます。
- セグメントにバケット金額を割り当てる場合、セグメントに割り当てられる合計パーセンテージは合計で 100% 未満になります。
- バケット金額をセグメントに割り当てる場合、セグメント内の各アカウントに個別に割り当てられるパーセンテージは、アカウントの消費の重み付けに基づいて計算されます。

アカウントにロールアップするアカウントの表示

別のアカウントにロールアップするアカウントを表示できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. アカウントの情報アイコン (ⓘ) をクリックします。

   アカウントのサマリウィンドウが表示され、次の情報が表示されます。

   - 現在このアカウントに割り当てられている合計金額。
   - このアカウントに経費を提供するバケット。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- このアカウントが親セグメントにロールアップするために使用するメソッド。
- このアカウントにロールアップするアカウント。
- このアカウントがロールアップするアカウント。

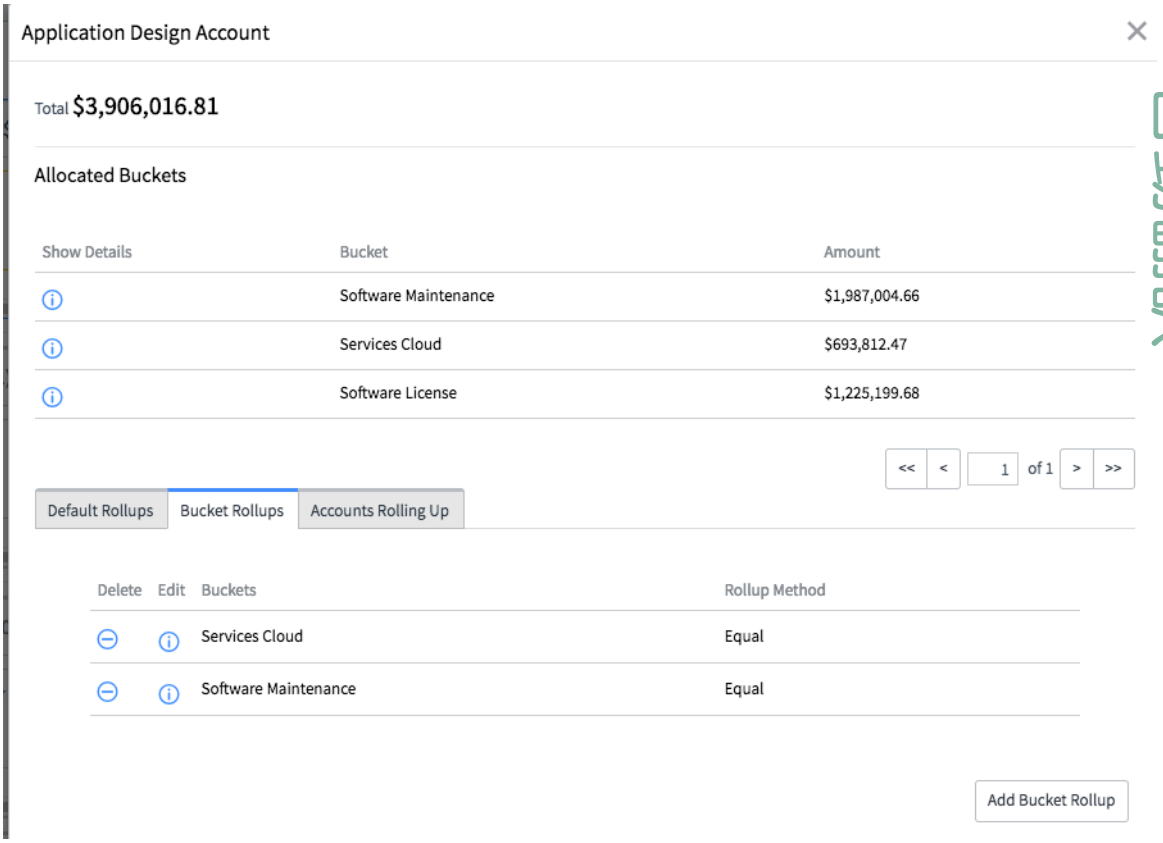
2. このアカウントに直接割り当てられているバケットを表示するには、[割り当てられたバケットを表示] をクリックします。
3. デフォルトのロールアップを上書きする特定のアカウントセグメントに (ステップ 2 で説明したように、このアカウントに割り当てられたすべてのバケットの中で) 1 つ以上のバケット金額を割り当てる場合は、[バケットロールアップ] タブをクリックします。

   このようなバケットベースのロールアップは、なし、均等、手動、重み付け、またはスクリプト化された方法を使用して実行できます。

   この方法でロールアップされない他の未定義のバケットは、デフォルトのロールアップメソッドに従います。

   移動先 ファイナンシャルモデリング > コストモデル > 割り当てロールアップの上書き をクリックして、そのような割り当ての [開始元アカウントセグメント]、[終了アカウントセグメント]、[ロールアップ測定基準]、およびタイプの詳細を表示します。

   バケットベースのロールアップの例



4. [アカウントのロールアップ] タブが選択されていない場合は、そのタブをクリックします。

   ロールアップするアカウントと、アカウントの [合計] 経費を構成するバケットを確認できます。

5. 情報アイコンをクリックすると、ロールアップするアカウントまたはバケットが表示されます。
6. リストをソートするには、歯車アイコンをクリックしてページあたりのアイテム数を選択し、アイテムのソート方法を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

あるアカウントから別のアカウントへのロールアップの作成

セグメント階層内のあるアカウントから、その上のセグメント内の別のアカウントへのロールアップを作成できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. アカウント名のハイパーリンクをクリックします。

   [アカウントのサマリ] ポップアップが表示され、次の情報が表示されます。

   - 現在アカウントに割り当てられている合計金額。
   - アカウントに経費を提供するバケット。
   - アカウントが親セグメントにロールアップするために使用するメソッド。
   - アカウントにロールアップするアカウント。
   - アカウントからロールアップするアカウント。

2. このアカウントに直接割り当てられているバケットを表示するには、[合計] 値の横にある [割り当てられたバケットを表示]をクリックします。
3. [ロールアップ] タブが選択されていない場合は、それをクリックします。
4. [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。

オプション	説明
セグメントのデフォルトメソッド	経費は、データ定義ステージで作成された CI 関係のデフォルトのロールアップルールに従います。これは、CMDB 内の他のアイテムにロールアップする CMDB 内のアイテムのデフォルトのオプションです。
なし	経費は親アカウントにロールアップされません。
均等	経費は同じパーセンテージで親アカウントにロールアップされます。親アカウントを指定します。
[手動]	経費は指定したパーセンテージで親アカウントにロールアップされます。[パーセンテージ] フィールドに金額を入力します。
重み付け	経費は、存在する重み付けされた測定基準を使用して親アカウントにロールアップされます。使用可能な測定基準は、親アカウントが属するセグメントへのロールアップを指定する測定基準です。測定基準で [関係を強制] オプションが選択されている場合、子アカウントが属するセグメントも考慮されます。測定基準で [関係を強制] オプションが選択されていない場合、子アカウントのセグメントは無視されます。
スクリプト化	スクリプトがロールアップを決定します。

5. アカウントをその上のアイテムにリンクするには、[ロールアップを追加] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [親セグメント] 選択リストで値を選択します。
7. [親アカウント] 選択リストからアカウントを選択します。
8. 手動ロールアップメソッドを選択した場合は、[パーセンテージ] フィールドに金額を入力します。
9. 必要な数のロールアップを入力します。
   パーセンテージの合計は 100% になる必要があります。アカウントを削除するには、削除アイコン ( ) をクリックします。
10. 変更を行った後、[変更を保存] をクリックします。
    ロールアップルールは、右ペインのドーナツグラフの下に表示されます。
11. 選択したアカウントがロールアップされているアカウントのみを表示するには、アカウントの関係アイコン ( ) をクリックします。

    リンクされたアカウントのみが表示されます。経費が割り当てられるアカウントの色は、ワークベンチによってランダムに割り当てられます。色は、ドーナツグラフのアカウントの色と一致します。

    上向き矢印アイコン ( ) は、セグメントまたはアカウントレベルで定義されたロールアップを示します。

12. セグメント階層内のすべてのアカウントを再度表示するには、 をクリックします。

    ロールアップを作成すると、階層内のセグメント関係を管理するために使用されるシステム測定基準が自動的に更新されます。この測定基準は、データ定義ステージ中にアプリケーションによって作成されます。

あるセグメントから別のセグメントへのロールアップの作成

セグメントは、重み付けされた測定基準を使用して、階層内でその上のセグメントにロールアップできます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. セグメントの情報アイコン ( ) をクリックします。
2. [ロールアップメソッド] 選択リストで、[重み付け] を選択します。

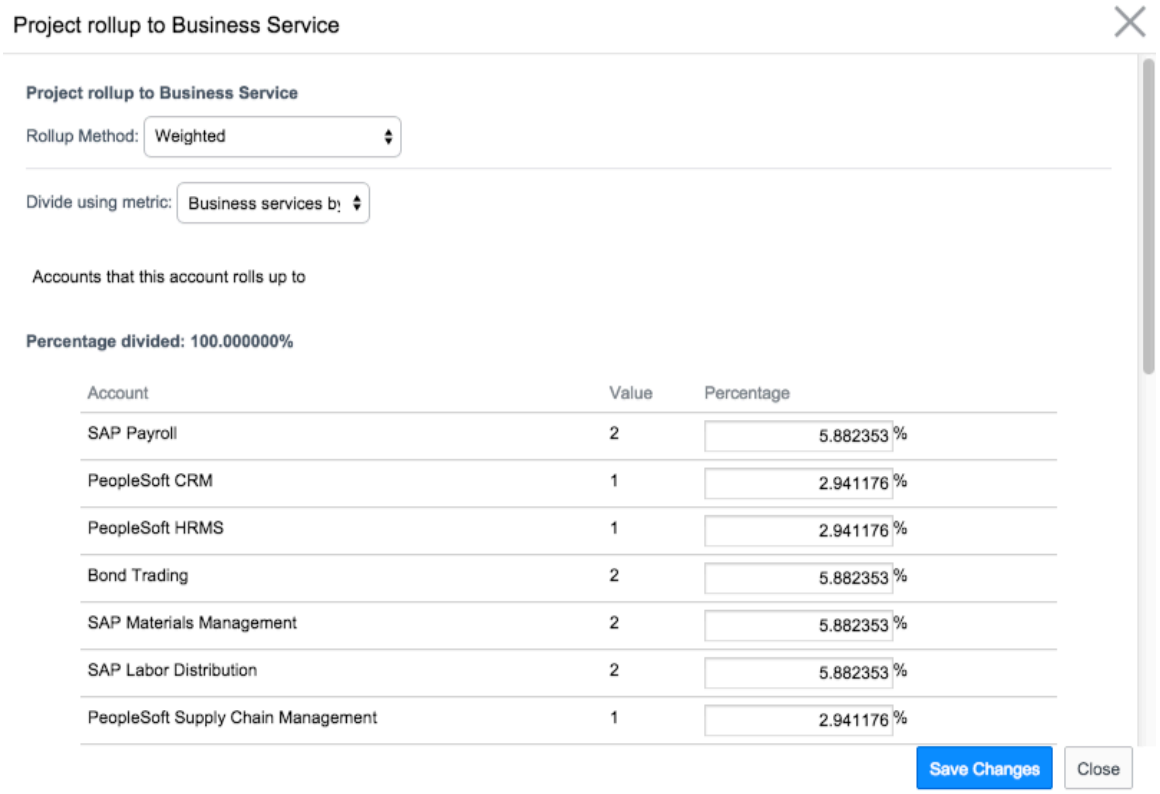
   a. [測定基準を使用して分割] 選択リストで測定基準を選択します。
      この測定基準は、[値] 列の値によって金額を自動的に重み付けします。

   b. 金額をさらに変更するには、[パーセンテージ] 列の値を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールアップの例



c. [変更を保存] をクリックします。

3. [ロールアップメソッド] 選択リストで、[スクリプト化] を選択します。

a. フォームのフィールドに入力します。

セグメントフォーム

フィールド	説明
アカウントスコープ	[アカウントスコープ] チェックボックスを有効にすると、セグメントレベルで各アカウントに対して定義されたロールアップスクリプトが実行されます。このチェックボックスを無効にすると、セグメントレベルで定義されたデフォルトのロールアップが実行され、sys_id (FromAccountID) で各アカウントに定義されたロールアップが上書きされます。 セグメントのアカウントに対して同様のロールアップスクリプトを繰り返す代わりに、各アカウントの FromAccountID を使用して個々のアカウントのロールアップスクリプトを提供することができます。FromAccountID を指定していない残りのすべてのアカウントに対して、デフォルトのロールアップを指定できます。これらすべてのロールアップを単一のスクリプトで提供して実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スクリプト	アカウントをロールアップするスクリプト。

b. [更新] をクリックします。

属性別のセグメントグループ化：数千のセグメントアカウントがある場合は、属性によるグループを使用してセグメントアカウントを分類できます。アカウントは、グループ化されていないセグメントにロールアップされるのと同じように、グループ化されたセグメントにロールアップされ、割り当て明細が [itfm_allocation_breakdown] テーブルに生成されます。グループ化されたセグメントにロールアップすると、パフォーマンスが向上します。

ロールアップレコードの編集

必要に応じて、セグメントロールアップとアカウントロールアップのレコードを表示および編集できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて

注:
ロールアップレコードのスクリプトを変更するのではなく、ワークベンチを使用してロールアップを作成、変更、および削除することをお勧めします。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > コストモデル > 割り当てロールアップ を使用して、あるアカウントから別のアカウントに作成されたロールアップにアクセスします。
2. ロールアップ名をクリックして開きます。
3. 必要に応じて変更を加えます。

バケット割り当て

割り当てのセットアップとは、バケット内の経費をセグメント内のアカウントまたはセグメント内の複数のアカウントに割り当てることを意味します。

バケット内の経費は、ロールアップ用に作成した割り当てルールに基づいて自動的にロールアップされます。経費を割り当てると、アプリケーションは名前に BCK:ALLC: というプリフィックスが付いた割り当てルールを作成し、ロールアップ用に作成されたルールの値を含まない最高値よりも 10 多い順序値を指定します。アプリケーションがロールアップ用に作成するルールのデフォルト値は 1,000,000 です。アプリケーションは、アカウントに割り当てられるパーセンテージを指定するメソッドも作成します。

セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる

ワークベンチの [割り当てセットアップ] ステージでは、バケットから階層内のアカウントに経費を割り当てることができます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. バケットを特定のアカウントにドラッグします。

   複数のバケットを選択して特定のアカウントにドラッグすることもできます。バケットがアカウントに割り当てられている場合、割り当て方法は常に [100% 割り当て] になります。

   あるいは、1 つまたは複数のバケットを選択します。次の手順を実行して、単一のアカウントまたは複数のアカウントに割り当てる経費が含まれている [バケットの割り当て] アイコン ( ) をクリックします

   a. [割り当て方法] で、[アカウントに割り当て] を選択します。

   b. [セグメントに割り当て] で、セグメントを選択します。

   c. [アカウントに割り当て] で、選択したバケット内のすべての経費を割り当てるセグメントアカウントを選択します。

   d. 一方、選択したバケットを複数のアカウントに割り当てるには、[アカウントに割り当て] でデフォルトの [複数のアカウント] を選択した状態で [移動] をクリックします。

      [割り当てルールを作成] ウィンドウが表示され、[選択したバケット] のリストと、選択したセグメントのアカウントを選択するための選択したアカウントまたはオプションが表示されます。バケットを割り当てない場合は、バケットを選択して削除します。

2. バケットをセグメントにドラッグするか、[バケットの割り当て] アイコン ( ) をクリックして、セグメントにバケットを割り当てます。
   バケットはセグメントに一度に 1 つずつ割り当てることができます。複数バケットの選択は、セグメントの割り当てには適用されません。バケット割り当てがセグメントに対するものである場合は、選択リストから割り当て方法を選択する必要があります。

オプション	説明
均等	経費は同じパーセンテージでアカウントに割り当てられます。
[手動]	経費は指定されたパーセンテージでアカウントに割り当てられます。[パーセンテージ] フィールドに金額を入力します。
重み付け	経費は、重み付けされた測定基準を使用してアカウントに割り当てられます。 測定基準が重み付け合計で設定されている場合、その重み付けされた測定基準を使用してバケットを分割することはできません。

3. [分割] 選択リストから、セグメントを選択します。
4. 重み付けメソッドを選択した場合は、[測定基準を使用して分割] 選択リストから事前設定された測定基準を選択します。
   使用可能な測定基準は、親セグメントと子セグメントを指定する測定基準のみです。
5. [作成] をクリックします。
6. 以前にセグメントまたはアカウントにバケット金額がどのように割り当てられたかを知るには、バケット名をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

バケットがポップアップで開き、メッセージが上部に表示されます。メッセージには、バケット金額が割り当てられた割り当て方法と、金額が割り当てられたセグメントの名前が表示されます。割り当てが [アカウントに割り当て] メソッドによるものである場合、メッセージにはアカウント名と割り当てのパーセンテージも表示されます。

バケット割り当て情報のサンプルメッセージ

'Facilities Data Center' bucket is distributed equally to 'Business Unit' segment

割り当てられた経費の確認

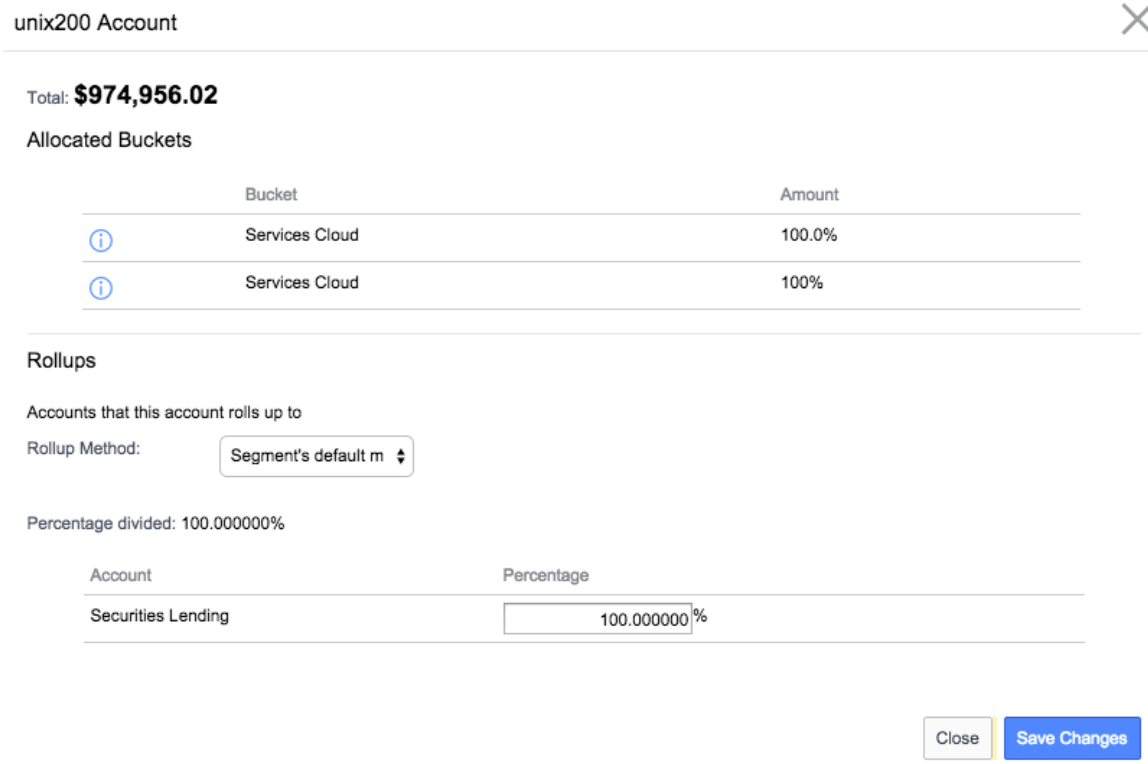
アカウントに割り当てられた経費を確認し、右ペインの [割り当てられた合計額] セクションで情報が正しいことを確認します。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. アカウントの情報アイコン (ⓘ) をクリックして、割り当てのサマリを表示します。
   次の情報が表示されます。
   - 割り当てられた合計額。
   - アカウントに割り当てられているバケット。
   - このアカウントへのロールアップ。
2. バケットの横にある情報アイコン (ⓘ) をクリックして、バケットのサマリを表示します。

[アカウントのサマリ] ウィンドウ



割り当てられた合計額の確認

右側のドーナツグラフには、すべてのセグメントに割り当てられた経費が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて
デフォルトでは、ドーナツグラフとセグメント階層の両方の計算には、ワークベンチで作成した新しいルールのデータと、以前に作成した既存のルールのデータが含まれます。[ユーザールール] と呼ばれる既存のルールをオフにして、新しく作成したルールからの計算のみが表示されるようにすることができます。

手順

1. [プレビュー] タブで、[割り当てられた合計額] リストからセグメントを選択して、そのセグメントの割り当てを表示します。
   各アカウントのブレークダウンは、ドーナツグラフの下に表示されます。
2. 変更時にドーナツグラフの情報が自動的に更新されるかどうかを変更するには、アカウントの歯車アイコン ( ) をクリックして割り当ての概要を表示し、[自動的に更新] トグルをクリックします。

   [プレビュー] タブ
   

3. [ユーザールール] タブをクリックして、ワークベンチの外部で手動でセットアップした割り当てルールとロールアップを表示します。
   このタブでは、次のアクションを実行できます。
   - ルール名をクリックして、そのルールの [コスト割り当てルール] フォームを開きます。
   - プレビューアイコン ( ) をクリックして、割り当てビューアーでそのルールの割り当てをプレビューします。
   - [表示] チェックボックスをクリックして、ユーザーが作成した既存のルールの割り当て明細を、割り当てられたバケットの計算に含めます。このチェックボックスをオンにすると、アプリケーションには、アカウントでアクティブな既存の割り当て明細が含まれます。これらの割り当て明細を含めると、セグメントとドーナツグラフに表示される金額が影響を受けます。計算された値にバケットから割り当てたもののみを表示する場合は、このオプションを選択しないでください。
   - [すべてのルールを表示] をクリックすると、アプリケーションのすべての割り当てルールのリストが表示されます。

   [ユーザールール] タブ
   

バケットからの割り当てのプレビュー

割り当てビューアーを開くと、ワークベンチがバケット内の経費をどのように割り当てるかをグラフでプレビューできます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

ビューアーを開くには、バケットの割り当てプレビューアイコン ( ) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バケット割り当てを元に戻す

バケット割り当てを元に戻すには、セグメントとアカウントから経費を取り出し、バケットに残しておく必要があります。バケットを元に戻すと、このバケットに関連付けられている作業会計期間の既存の割り当て明細も削除されます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

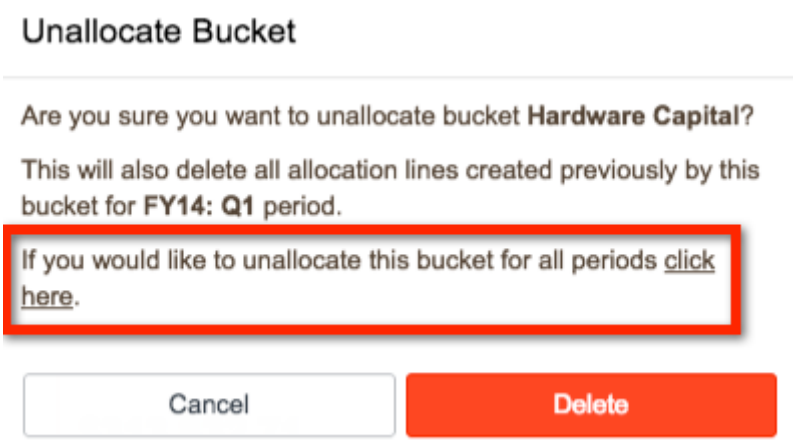
このタスクについて
単一のバケットまたはすべてのバケットのバケット割り当てを元に戻すことができます。

> **注:**
> ワークベンチ外の経費を元に戻すこともできます。

手順

1. 単一のバケットのバケット割り当てを元に戻すには、次のアクションを実行します。
   a. バケットの情報アイコンをクリックして、アカウントのサマリを開きます。
   b. [バケットを未割り当てにする] をクリックします。
2. 単一のバケットのバケット割り当てを元に戻し、その作業会計期間の既存の割り当て明細を削除するには、次のアクションを実行します。
   a. バケットの割り当て解除アイコン ( ) をクリックします。
   b. 確認ポップアップウィンドウで [はい] をクリックします。
   c. 確認ウィンドウで [ここをクリック] をクリックし、[削除] をクリックして、すべての会計期間の既存の割り当て明細を削除することもできます。

[バケットの割り当て解除] ウィンドウ



3. すべてのバケット割り当てを元に戻すには、次のアクションを実行します。
   a. [割り当てセットアップ] の横にある歯車アイコン ( ) をクリックします。
   a. [すべてのバケットを未割り当てにする] をクリックします。
   b. アクションを確認します。

割り当てレビューステージ

割り当てレビューステージでは、割り当てを処理する前に割り当てセットアップを確認できます。

自動翻訳

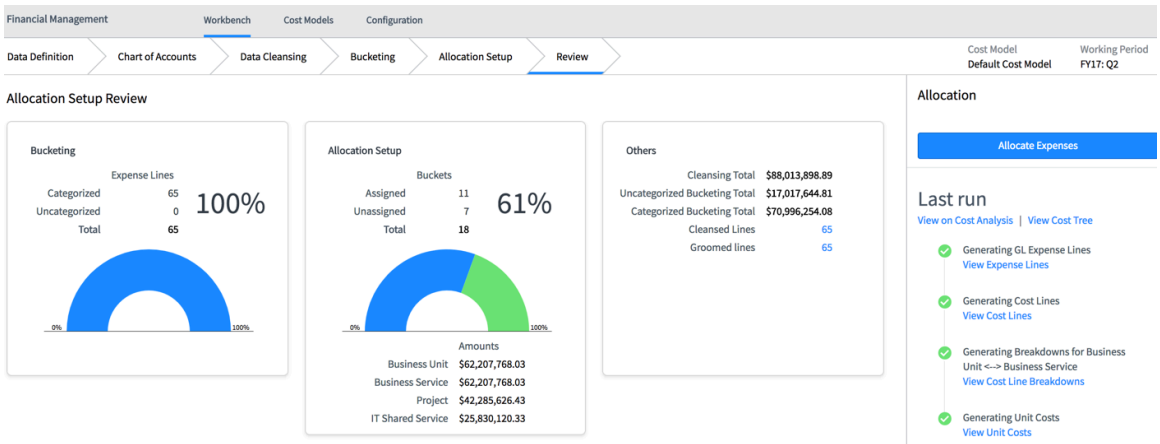
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

割り当てセットアップのレビュー

[レビュー] ページでは、次のサマリを利用できます。

- バケット化：バケット化ステージでバケットに割り当てられた経費のパーセンテージ。
- 割り当てセットアップ：割り当てセットアップステージでセグメント階層内のアカウントに割り当てられているバケットのパーセンテージ。
- その他：セグメントに割り当てられる経費の金額、データクレンジングステージでクレンジングされた金額、未割り当てバケットと割り当て済みバケットの金額などの詳細な割り当て情報。

割り当てセットアップのレビュー



割り当て

割り当てエンジンへの割り当てジョブをキューに入れることで、さまざまな会計期間の複数のコストモデルの割り当て実行を同時にトリガーできます。これにより、同じインスタンス上の複数のユーザーが、要求された割り当て実行をキューに入れることもできます。割り当てエンジンが割り当ての実行を完了すると、確認メッセージが表示されます。

- 現在のジョブが完了すると、エンジンは自動的にキュー内の次のジョブを取得します。
- 複数のコストモデルと会計期間の割り当てジョブをいくつでもキューに入れることができます。
- ジョブの進行中にジョブをキャンセル (エンジンを停止) すると、キューにある次のジョブのエンジン実行時間を短縮できます。
- 実行しない場合は、キューから削除することで、キューに格納されたジョブの状態を取り消すこともできます。

この機能拡張では、コストモデルの前回の実行の詳細とそのブレークダウンの詳細を、割り当てと単位コストへのリンクとともに表示できます。

- コスト分析で表示：分析のためにコストラインを表示します。
- 経費明細の表示：(顧客が前のバージョンから Washington DC にアップグレードする場合) 既存のコストモデルの財務モデルフォームで **[GL** 経費明細を生成] チェックボックスをオンにしている場合は、割り当てエンジンの実行後にコストモデルの GL 経費明細を表示できます。GL 経費明細は、Washington DC にアップグレードした後に作成したコストモデルに対しては生成されません。

> **重要:**
> この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有しているお客様のみが利用できます。

- コスト行を表示：コスト割り当て集計を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コスト行ブレークダウンの表示：コストモデルのコスト割り当てブレークダウン集計。[オンデマンドのみ実行] フラグが [true] に設定されている場合、割り当てエンジンはブレークダウンラインを生成しません。ブレークダウンラインを明示的に生成するには、財務モデルフォームの [ブレークダウンの関係性] 関連リストでブレークダウン割り当てを生成します。
- 単位コストの表示：単位コストを表示します。

進行中の現在のコストモデルの詳細と、キュー内の割り当てジョブの合計数を表示することもできます。また、現在のジョブの進捗状況を、現在の割り当て実行のステータスとその詳細とともに表示します。

コストツリーの表示：選択したアカウントに貢献しているすべてのセグメントアカウントを階層ビューで表示します。各セグメントアカウントで、階層をさらにドリルダウンすることができます。

1. [コストツリーを表示] をクリックします。
2. [セグメント] 選択リストでセグメントを選択します。
3. [アカウント] 選択リストからアカウントを選択します。
4. [移動 **(Go)**] をクリックします。

ワークベンチでの経費の割り当て

この情報のいずれかが間違っていると思われる場合は、前のステージに戻って必要な変更を行ってください。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. [構成] タブで割り当てセットアップを確認します。
2. ワークベンチの [レビュー] ステージに移動します。
3. 生成する割り当て明細の種類を選択します。
4. [経費割り当て] をクリックします。

> **注:**
> アナリストのライセンスを受けていない顧客である場合は、各セグメントのアカウント数とコストモデルのアカウントの合計数がそれぞれ 4000 と 12000 のしきい値内にあることを確認してください。

タスクの結果

システムは経費を割り当て、割り当て明細を作成し、総勘定元帳レコードの [ステータス] フィールドを [割り当て済み] に変更します。割り当てから作成されたすべての割り当て明細の値を合計すると、総勘定元帳経費の値になります。総勘定元帳経費にルールが適用されない場合、割り当て明細は作成されず、総勘定元帳レコードのステータスは [未割り当て] のままになります。

> **注:**
> 割り当て明細は小数点以下 2 桁に丸められます。合計 $100.495 の割り当ては、$100.50 に切り上げられます。合計 $100.494 の割り当ては、$100.49 に切り捨てられます。割り当てが $0.00 に切り捨てられた場合、システムは割り当て明細を作成しません。

[コストモデル] タブ

[コストモデル] タブでは、既存のすべてのコストモデルを表示したり、既存のコストモデルからコストモデルをクローンしたり、不要なコストモデルを削除したりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

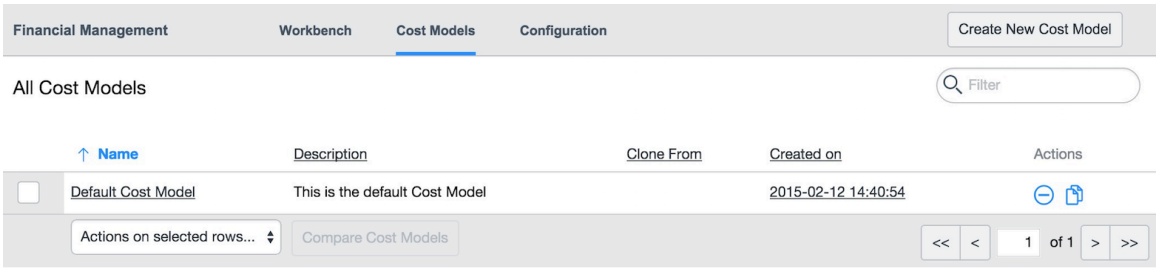
重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

コストモデルのリストがこのタブに表示されます。ここからいくつかのアクションを実行できます。

- 既存のコストモデルからコストモデルをクローンします。
- 各コストモデルの設定を表示します。
- コストモデルを削除します。
- コストモデルをインポートおよびエクスポートします。
- コストモデルを比較します。

[コストモデル] タブ



シェアードサービスとビジネスアプリケーションの規範的コストモデル

第 1 レベルの原価計算 – シェアードサービスは、完全にロードされた IT インフラストラクチャコスト、インフラストラクチャシェアードサービスのショーバックを完全に可視化し、将来の成長に向けた基盤を提供します。第 2 レベルの原価計算 – ビジネスアプリケーションは、アプリケーションとエンドユーザーのコストを提供し、アプリケーションを事業部門に合わせて調整し、ビジネス用語で各事業部門をサポートするためのコスト情報を提供します。

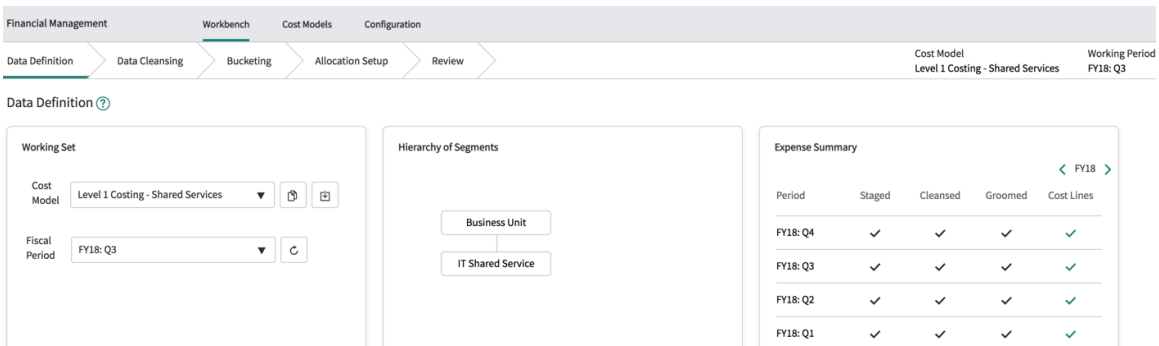
重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

第 1 レベルの原価計算 - シェアードサービス

第 1 レベルの原価計算 – シェアードサービスの仕様は次のとおりです。

第 1 レベルの原価計算 - シェアードサービス

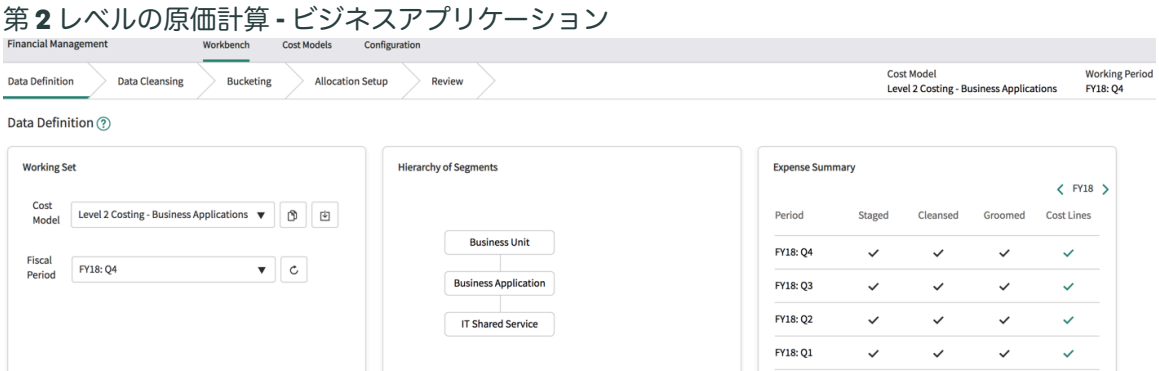


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コストバケットレイヤーは ITFM バケットテーブル [itfm_bucket] に関連付けられており、コストバケットはモデルに固有です。
- IT 共有サービスセグメントアカウント (このモデルの中間レイヤー) は、IT 共有サービステーブル [itfm_shared_service] から供給されます。
- 事業部門レイヤーは、プラットフォーム事業部門テーブル [business_unit] に関連付けられています。

第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーション



第 2 レベルの原価計算 – ビジネスアプリケーションの仕様は、第 1 レベルの原価計算 – シェアードサービスとほぼ同じです。ただし、アプリケーション用に追加のレイヤーがあります。APM ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルは、アプリケーションセグメントに対するアカウントのソースです。または、アプリケーション [cmdb_ci_appl] テーブルまたは他のカスタムテーブルにすることもできます。

シードされた IT シェアードサービス

IT シェアードサービス：エンドユーザーに装備

IT 共有サービス：エンドユーザーに装備：パーソナル (共有ではない) デバイスをエンドユーザーに提供するために費やした資金、これらのデバイスで実行されるソフトウェア、およびこれらのデバイスの機能の作成と維持に関連するサポートを保持するコスト収集コンテナーです。このコンテナーには、進行中の変更の円滑化コンテナー内で取得される主要なデバイスのアップグレード、リースサイクルの売上高、およびその他の補充関連コストは含まれません。

IT 共有サービス：構成変更の促進

IT 共有サービス：構成変更の促進は、ITSM の変更、リリース、および構成管理プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、進行中、日次、共通、およびアドホックの構成変更の管理に費やされた金額です。これには、パッチ適用 (セキュリティ関連以外)、ファームウェアの更新、ハードウェア/ソフトウェア構成設定の変更、ハードウェアコンポーネントのインストール、アンインストール、アップグレード、および IT ランドスケープ全体での一般的な追加、移動、または変更要求などのアクティビティが含まれます。このコンテナーは、プロジェクト計画や資金を確保する必要がある環境の大部分での主要なアップグレードや変更を除外します。

IT 共有サービス：Facilitate Connectivity

IT 共有サービス：Facilitate Connectivity は、企業へのすべてのデバイスネットワーク接続、そのコンピューティングおよび/または知識資産、それを行うためのハードウェアとソフトウェア、およびアクセスの作成 (および維持) に関連するサポートの提供に費やされた費用を保持するコスト収集コンテナーです。これには、すべての個人用デバイスとエンタープライズデバイスが含まれます。このコンテナーには、「環境の監視」コンテナーに取り込まれた監視ハードウェア、ソフトウェア、および人件費は含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT 共有サービス：管理およびオーバーヘッド

IT 共有サービス：管理およびオーバーヘッドは、IT 役員報酬に費やされた金額のほか、IT 運用、コンプライアンスまたは監査コスト、その他未分類のコストの存在に適用される 1 回限りの課金アイテムを保持するコスト収集コンテナーです。このコンテナーは、他の IT プロセス定義で取得または計上されたコストを除外します。

IT シェアードサービス：環境の監視

IT シェアードサービス：環境の監視は、ITOM Event Management プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、IT 全体の監視に費やされた金額です。これには、エンドポイント接続速度、エンドポイントアプリケーションパフォーマンステスト、ハードウェア/ソフトウェア/ネットワーク/ストレージしきい値チェック、運用管理担当者が使用する障害およびイベント相関管理ツールが含まれます。このコンテナーは、他のプロセス領域で言及されているセキュリティ固有のサービスやクラウド監視サービスを除外します。

IT シェアードサービス：アップグレード/メインテナンスの実行

IT シェアードサービス：アップグレード/メインテナンスの実行は、ITSM の変更、リリース、および構成管理プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、計画されたプロジェクトおよび/または特別に資金提供された主要なアップグレードの管理に費やされたすべての金額です。これには、広範な OS アップグレード、ハードウェア交換サイクルアクティビティ、および IT ランドスケープ全体にわたる内部またはサードパーティのビジネスまたは IT 管理ソフトウェアパッケージのリリース更新などのアクティビティが含まれます。このコンテナーは、変更チケットの実行のみを必要とする進行中、日次、共通、およびアドホック構成の変更を除外します。

IT シェアードサービス：技術サポートの提供

IT シェアードサービス：技術サポートの提供は、ITSM インシデント、問題、およびナレッジ管理プロセスのサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、組織全体のエンドユーザーにテクニカルサポートサービスを提供するために費やした費用です。これには、階層 1、2、および 3 の担当者、インシデントまたは問題管理ソフトウェア、根本原因分析時間、ルーチンまたはアドホック支援 (パスワードのリセット、Q&A の方法)、および/または標準運用手順ガイダンスが含まれます。このコンテナーは、文書化された変更チケットによって実行されたエンドユーザーや企業資産に対する実際の構成変更を除外します。

IT 共有サービス：ビジネスアプリケーションの実行

IT 共有サービス：ビジネスアプリケーションの実行は、ビジネスアプリケーションの運用を維持するために継続的な人事時間に費やされた金額を保持するコスト収集コンテナーです。これには、アプリケーション専用のリソースが含まれ、IT やインフラストラクチャの運用コストは含まれません。

IT 共有サービス：Secure the Environment

IT 共有サービス：Secure the Environment は、Security Operations のサポートに費やされた資金を保持するコスト収集コンテナーです。つまり、企業の IT ランドスケープ全体で情報セキュリティを提供するために費やされた金額です。これには、すべてのデスクトップ、ラップトップ、スマートフォン、ネットワーク機器、サーバー、データベース、およびアプリケーションに加えて、個々のユーザーエンドポイントデバイス、クラウドアプリケーション、クラウドコンピューティング、および/またはすべてのタイプのオンプレミスコンピューティングリソースが含まれます。これには、データセンターおよびオフィススペースカードリーダーに関連する物理的なセキュリティコストは含まれません。

IT 共有サービス：データの保存と管理

IT 共有サービス：データの保存と管理は、構造化データと非構造化データの管理に関連する基盤となるツールと基本的なアクティビティ (暗号化、バックアップ、パージ、アーカイブ、移行、DR レプリケーションなど) および/ またはストレージ容量 (たと

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

えば、再編成や過剰容量の取得) に費やされた金額を保持するコスト収集コンテナーです。これには、これらのタイプのアクティビティと、データおよびストレージ状況の健全性を確保するために使用されるすべての人員権限が含まれます。このコンテナーは、個人および特定のアクティビティによって使用されるエンドユーザーデバイスのローカルストレージに関連する要素と、特定のアプリケーションまたはシステムに関連する可能性のある割り当てられたストレージを除外します。

IT 共有サービス：供給計算能力

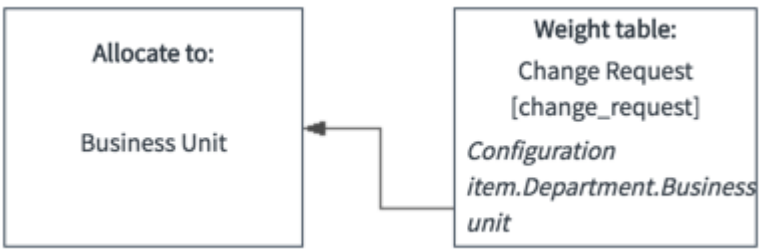
IT 共有サービス：供給計算能力は、既存の基本要素の提供に費やされた費用、維持に費用がかかるが、災害復旧施設や契約、ハードウェアの予備在庫、オンプレミス UPS システム、およびジェネレーターなど、実際には使用されない可能性のあるコスト収集コンテナーです。また、スペース、電力、冷却などに関連する毎日のアクティブなデータセンターのコストも含まれます。

ITFM で規定された測定基準

CI に基づく変更要求ボリュームに基づいて事業部門に割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

CI に基づく変更要求ボリュームに基づいて事業部門に割り当てる



- 変更要求 [change_request] テーブルには、すべての変更要求とそれに関連する構成アイテムのリストが表示されます。
- CMDB [CMDB_ci] は、すべての構成アイテムとその関連部門のリストを提供します。
- 部門 [cmn_department] テーブルには、すべての部門とその事業部門のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、事業部門あたりの (CI の) 変更要求をカウントし、それに応じてコストを重み付けします。関連する会計期間の BU によって要求されたものに関連する (割り当てマトリクスと一致しない) CR の数をカウントします。

  重み付けテーブルは、この測定基準の有効期間を強制します。

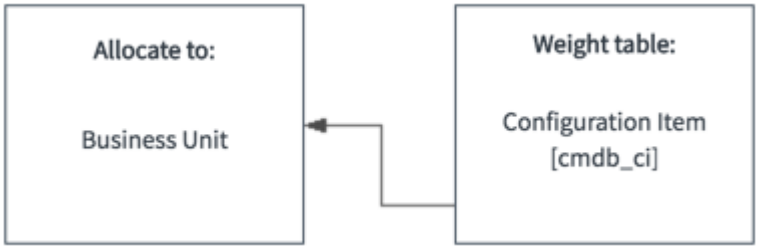
  - 期間開始：実際の開始。
  - 期間終了：実際の終了。

CI 数に基づいて事業部門に割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI 数に基づいて事業部門に割り当てる

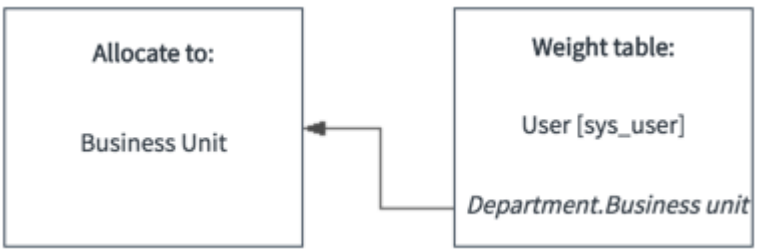


- CMDB [CMDB_ci] は、すべての構成アイテムとその関連部門のリストを提供します。
- 部門 [cmn_department] テーブルには、すべての部門とその関連事業部門のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、事業部門あたりの構成アイテムをカウントし、それに応じてコストを重み付けします。

人数によって事業部門に割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

人数によって事業部門に割り当てる



- ユーザー [sys_user] テーブルには、すべてのシステムユーザーとその関連部門のリストが表示されます。
- 部門 [cmn_department] テーブルには、すべての部門とその関連事業部門のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、事業部門あたりのユーザー数をカウントし、それに応じてコストを重み付けします。

  フィルター基準：アクティブなユーザーのみをカウントします。

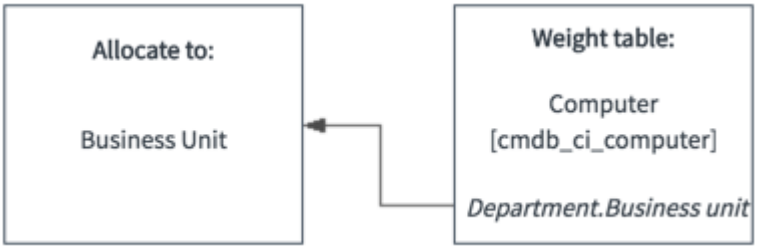
コンピューター数によって事業部門に割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンピューター数によって事業部門に割り当てる

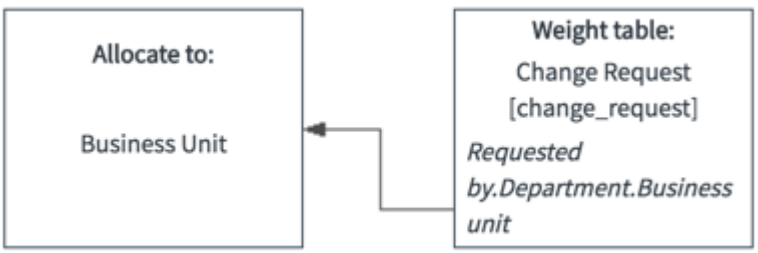


- コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルには、すべてのコンピューター名とその関連部門のリストが表示されます。
- 部門 [cmn_department] テーブルには、すべての部門とその関連事業部門のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、事業部門あたりのコンピューター数をカウントし、それに応じてコストを重み付けします。

変更要求ボリュームに基づいて事業部門に割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

変更要求ボリュームに基づいて事業部門に割り当てる



- 変更要求 [change_request] テーブルには、すべての変更要求とその要求者のリストが表示されます。
- 部門 [cmn_department] テーブルには、すべての部門とその関連事業部門のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、事業部門あたりの変更要求をカウントし、それに応じてコストを重み付けします。
  - 重み付けテーブルは、この測定基準の有効期間を強制します。
  - 期間開始：実際の開始。
  - 期間終了：実際の終了。

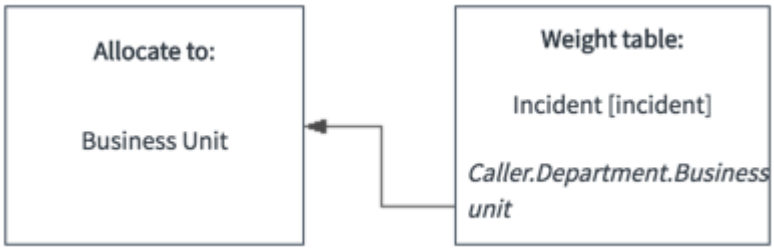
インシデントボリュームに基づいて事業部門に割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントボリュームに基づいて事業部門に割り当てる

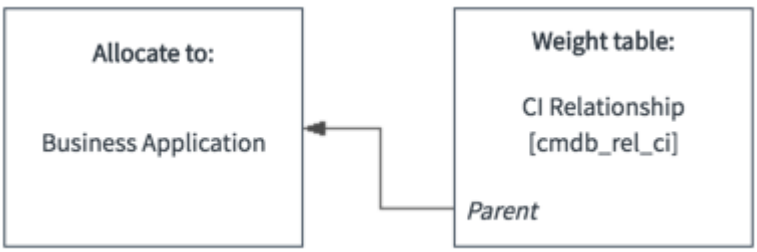


- インシデント [incident.list] テーブルには、すべてのインシデントとそれに関連する発信者のリストが表示されます。
- インシデント [users [ITIL view]] テーブルには、すべての部門とその関連事業部門のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、事業部門 (期間内にオープンおよびクローズ) あたりのインシデントをカウントし、それに応じてコストを重み付けします。

計算能力に基づいてビジネスアプリケーションに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストをアプリケーションに割り当てます。

計算能力に基づいてアプリケーションに割り当てる



- CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルには、構成アイテム間のすべての関係のリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、Child.Class = Server の構成アイテムのカウントを実行し、受信アプリケーションに応じてコストを重み付けします。

ビジネスサービスおよびビジネス機能の規範的コストモデル

事前設定されたビジネスサービスとビジネス機能のコストモデルを、重み付けの割り当て用に規定された測定基準とともに使用します。各モデルがサポートするシステム要件、割り当て方法、およびそれらを効果的に使用するために必要なデータセットを理解します。

重要:

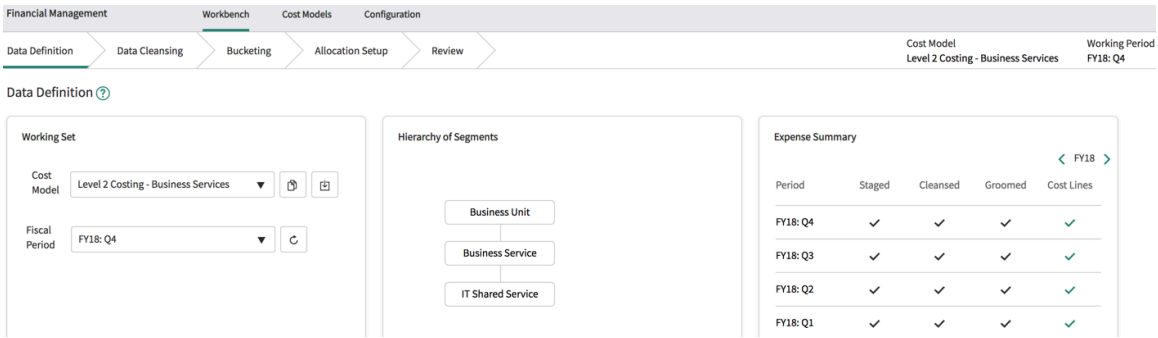
この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービスコストモデル

第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービスコストモデル



コストモデルは以下を提供します。

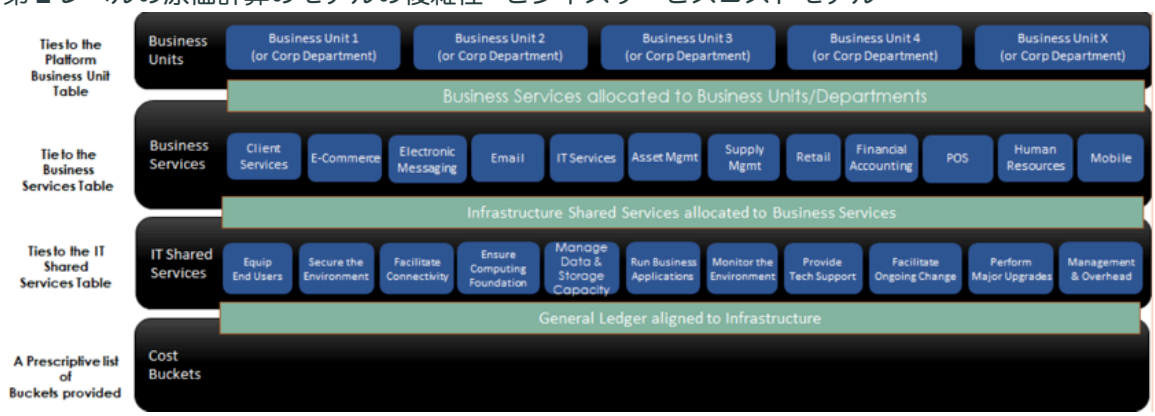
- ビジネスを実現するためのコスト：ビジネスを変革イニシアチブに確実に合わせるための IT のコスト。
- ビジネス用語で各ビジネスサービスをサポートするためのコスト：ビジネスサービスを提供するためのコスト。

次の場合に、コストモデルをお勧めします。

- フェーズ II の場合、または以前に Financial Management で投資したことがある場合。
- コアビジネス機能またはビジネス機能との整合性に関するショーバック用。
- 運用コストの推進要因に関するインサイトを提供するため。

第 2 レベルの原価計算の仕様 - ビジネスサービスコストモデル

第 2 レベルの原価計算のモデルの複雑性 - ビジネスサービスコストモデル



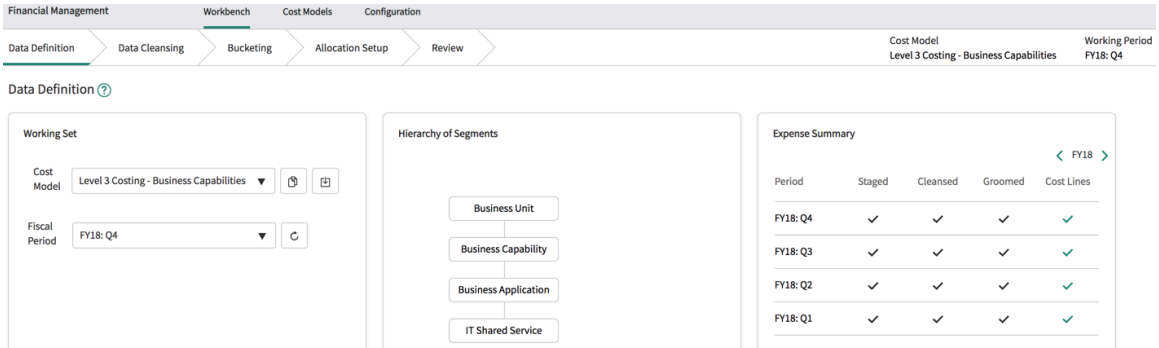
- コストバケットレイヤーは、ITFM バケットテーブル [itfm_bucket] に関連付けられています。コストバケットはモデル固有です。
- IT 共有サービスセグメントアカウント (このモデルの 2 番目のレイヤー) は、IT 共有サービステーブル [itfm_shared_service] から供給されます。
- ビジネスサービスセグメントアカウント (このモデルの 3 番目のレイヤー) は、サービステーブル [cmdb_ci_service] から供給されます。
- 事業部門レイヤーは、プラットフォーム事業部門テーブル [business_unit] に関連付けられています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

第 3 レベルの原価計算 - ビジネス機能コストモデル

第 3 レベルの原価計算 - ビジネス機能コストモデル



コストモデルは以下を提供します。

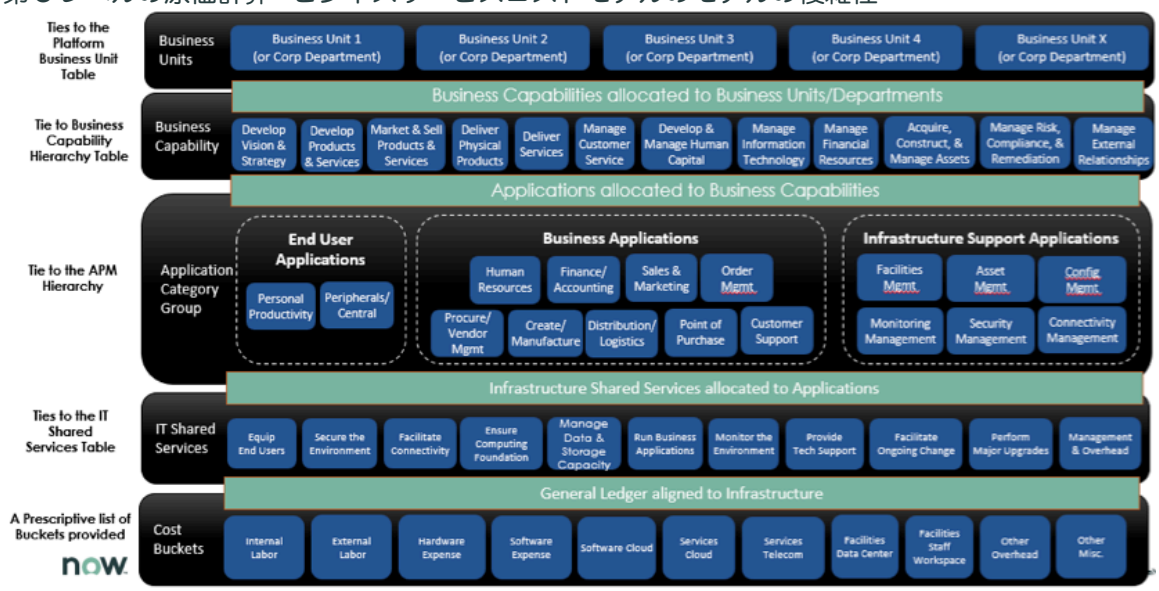
- ビジネスを実現するためのコスト：ビジネスを変革イニシアチブに確実に合わせるための IT のコスト。
- ビジネス用語で各ビジネス機能をサポートするためのコスト：イノベーションのコスト。

次の場合に、コストモデルをお勧めします。

- フェーズ II の場合、または以前に Financial Management で投資したことがある場合。
- コアビジネス機能またはビジネス機能との整合性に関するショーバック用。

第 3 レベルの原価計算 - ビジネス機能コストモデルの仕様

第 3 レベルの原価計算 - ビジネスサービスコストモデルのモデルの複雑性



- 仕様は、ビジネスアプリケーションに合わせて、第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービスコストモデルの仕様と類似しています。ただし、ビジネス機能用に追加のレイヤーがあります。このセグメントのアカウントは、フラットリストであるビジネス機能 [cmdb_ci_business_capability] テーブルから供給されます。
- アプリケーションに関連付けられた実際の機能をテーブル内の高レベルのビジネス機能と整合させる、規定のスクリプト化済み測定基準があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールアップメソッド

次の割り当て方法を使用して、コストをコストバケットからモデルの上位レイヤー (IT シェアードサービス、割り当て、または事業部門) に移動します。

ロールアップメソッド	説明
なし	次のレイヤーに割り当てません。
均等	コストを関連する各アイテムに均等に分割します。
[手動]	推定または事前計算済みの固定パーセンテージで割り当てられます。
重み付け	実際の使用状況に基づいて割り当てられます。たとえば、変更要求ボリューム、インシデントボリューム、または CI 数に基づいて、または割り当て先のオブジェクトのプロパティ (人員) に基づいて BU に割り当てます。

所定の測定基準は、[重み付け] ロールアップメソッドをサポートし、ServiceNow プラットフォーム内のアプリケーションから直接データを調達します。例を次に示します。

- IT 組織構造：事業部門または部門レベル。
- PPM またはタイムカード：プロジェクトに課せられる労力。
- CMDB：関係、使用状況、および所有者の配置を含む CI インベントリ。
- Asset Management：資産所有者に合わせて調整された資産インベントリ (エンドユーザーとインフラストラクチャ)。
- IT Service Management：インシデント、問題、および変更に関連するボリューム。
- IT Operations Management：ハードウェアおよびアプリケーションとの関係および調整。
- Application Portfolio Management：アプリケーション階層、関連するビジネスオーナー、およびテクノロジーマッピングのインベントリ。

規定の測定基準 - IT シェアードサービスからビジネスサービス

以下は、各測定基準の説明と、ServiceNow システム内の重み付け方法および関連テーブルの説明です。

注:
関連するテーブルに不完全なデータがある場合、またはデータにギャップがある場合、計算された重み付けのパーセンテージが影響を受けます。

事前設定されたコストモデルは、次のセグメントに等しい重み付けで始まります。規範的な測定基準は、より成熟したソリューションに利用できます。

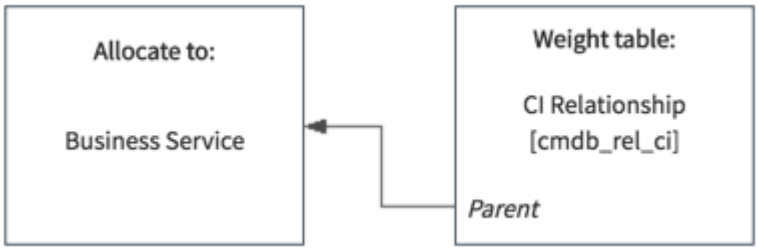
CI 数に基づいてビジネスサービスに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストをビジネスサービスに割り当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI 数に基づいてビジネスサービスに割り当てる



- CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルには、すべての CI と、それらの親 CI との関係 (依存関係、使用、実行、および包含など) のリストが表示されます。
- サービス [cmdb_ci_service] テーブルには、親 CI であるすべてのビジネスサービスのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、親あたりの CI をカウントし、それに応じてビジネスサービスのコストを重み付けします。

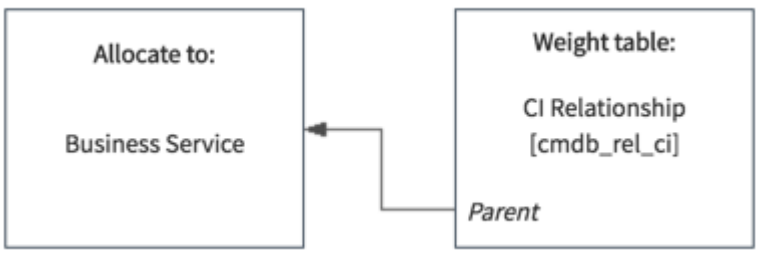
  重み付けテーブルは、次の測定基準の有効期間を強制します。

  - フィルター：Child.Class はビジネスサービスではなく、タイプは Depends on::Used by です。
  - 期間開始：実際の開始。
  - 期間終了：実際の終了。

計算能力に基づいてビジネスサービスに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストをビジネスサービスに割り当てます。

計算能力に基づいてビジネスサービスに割り当てる



- CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルには、すべての CI と、それらの親 CI との関係 (依存関係、使用、実行、および包含など) のリストが表示されます。
- サービス [cmdb_ci_service] テーブルには、親 CI であるすべてのビジネスサービスのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、サーバー (Child.Class) あたりの CI をカウントし、それに応じて (親) ビジネスサービスのコストを重み付けします。

  重み付けテーブルは、次の測定基準の有効期間を強制します。

自動翻訳

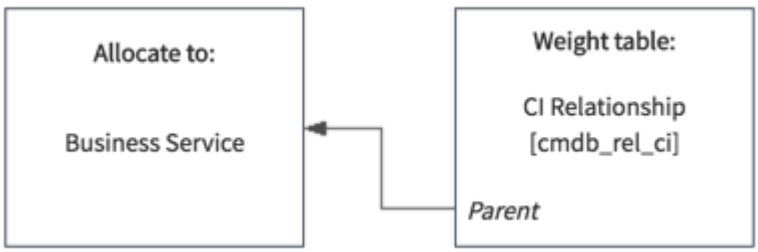
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィルター：Child.Class はサーバーであり、タイプは Depends on::Used by です。
- 期間開始：実際の開始。
- 期間終了：実際の終了。

データベース数に基づいてビジネスサービスに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストをビジネスサービスに割り当てます。

データベース数に基づいてビジネスサービスに割り当てる



- CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルには、すべての CI と、それらの親 CI との関係 (依存関係、使用、実行、および包含など) のリストが表示されます。
- サービス [cmdb_ci_service] テーブルには、親 CI であるすべてのビジネスサービスのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、データベース (Child.Class) あたりの CI をカウントし、それに応じて (親) ビジネスサービスのコストを重み付けします。

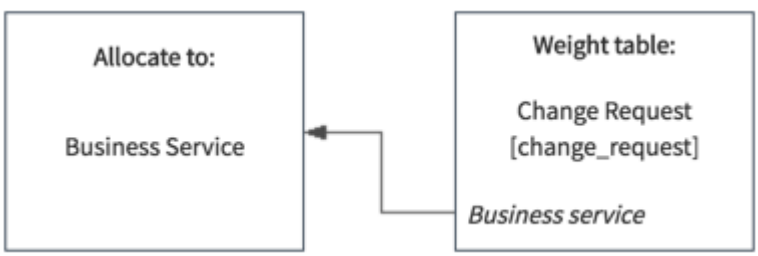
  重み付けテーブルは、次の測定基準の有効期間を強制します。

  - フィルター：Child.Class はデータベースであり、タイプは Depends on::Used by です。
  - 期間開始：実際の開始。
  - 期間終了：実際の終了。

変更要求ボリュームに基づいてビジネスサービスに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

変更要求ボリュームに基づいてビジネスサービスに割り当てる



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 変更要求 [change_request] テーブルには、すべての変更要求と、関連するビジネスサービスを含むその要求者のリストが表示されます。
- サービス [cmdb_ci_service] テーブルには、すべてのビジネスサービスのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、ビジネスサービスあたりの変更要求をカウントし、それに応じてコストを重み付けします。

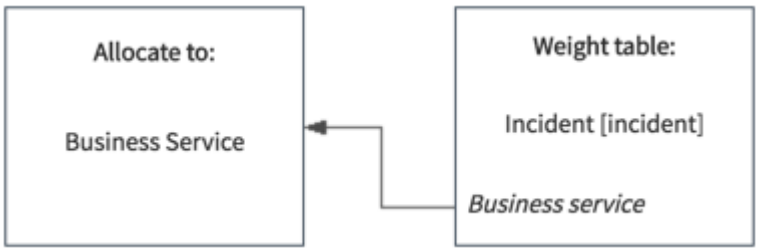
  重み付けテーブルは、次の測定基準の有効期間を強制します。

  - 期間開始：実際の開始。
  - 期間終了：実際の終了。
  - 重み付けテーブルで選択された有効期間を強制します。

インシデントボリュームに基づいてビジネスサービスに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされたテーブルに基づいて共有サービスコストを事業部門に割り当てます。

インシデントボリュームに基づいてビジネスサービスに割り当てる



- インシデント [incident.list] テーブルには、すべてのインシデント、それらに関連する発信者、および関連するビジネスサービスのリストが表示されます。
- サービス [cmdb_ci_service] テーブルには、すべてのビジネスサービスのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、ビジネスサービス (期間内にオープンおよびクローズ) あたりのインシデントをカウントし、それに応じてコストを重み付けします。
  - 期間開始：オープン
  - 期間終了：解決済み。
  - 重み付けテーブルで選択された有効期間を強制します。

規定の測定基準 - IT シェアードサービスからビジネスアプリケーション

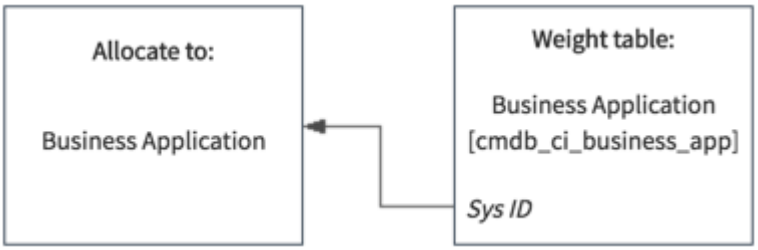
アクティブユーザー数を使用してアプリケーションに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされた測定基準に基づいて共有サービスコストをアプリケーションに割り当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティブユーザー数を使用してアプリケーションに割り当てる

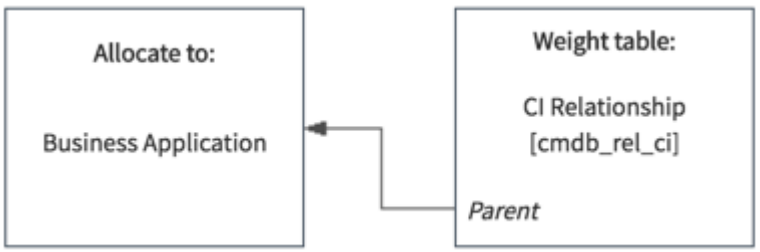


- ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルには、すべてのビジネスアプリケーションのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、アクティブなユーザーの合計を実行し、**[Sys ID]** による受信アプリケーションに応じてコストを重み付けします。

データベース数を使用してアプリケーションに割り当てる

この測定基準は、次の重み付けされた測定基準に基づいて共有サービスコストをアプリケーションに割り当てます。

データベース数を使用してアプリケーションに割り当てる



- CI 関係 [cmdb_rel_ci] テーブルには、すべての CI と、それらの親 CI との関係 (依存関係、使用、実行、および包含など) のリストが表示されます。
- ビジネスアプリケーション [cmdb_ci_business_app] テーブルには、親 CI であるすべてのビジネスアプリケーションのリストが表示されます。
- 所定の測定基準は、データベース (Child.Class) あたりの CI をカウントし、それに応じて (親) ビジネスアプリケーションのコストを重み付けします。
  - フィルター：Child.Class はデータベースであり、タイプは Depends on::Used by です。
  - 期間開始：実際の開始。
  - 期間終了：実際の終了。

規定の測定基準 - ビジネスアプリケーションからビジネス機能

ビジネス機能に割り当てるスクリプト化済み測定基準は次のとおりです。

```
// Create a Scripted metric if you have complex logic to derive the weights for an Allocate to
 Segment.
//
// This Return Object is json:
// 1) key: The sys_id of the Allocate To segment's transaction table
// 2) value: the weight for the
//
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// The API is called for each fiscal period and stored in weight Maps table which is in turn used
 in allocation.
// 'inputObject'  is available in the script to have access to fiscal period and from Account id.
// The  from account id is applicable only for "Allocate From" is part of metric setup where each
 entity in Allocate From table have their own weight distribution
// An 'inputObject' is injected during the evaluation of the script.
// It is an object of 2 key value pairs for fiscal period and allocate from accountId.
function getTopCapability(capabilityId){
  var now_GR = new GlideRecord('cmdb_ci_business_capability');
  gr.get(capabilityId);
   if(gr.isValidRecord())
    return getParentCapabilityRecur(now_GR);
 }
 function getParentCapabilityRecur(capabilityGr){
   if(JSUtil.nil(capabilityGr.parent))
    return capabilityGr;
  else
    return getParentCapabilityRecur(capabilityGr.parent.getRefRecord());
}
getScriptedWeightedMetric();
function getScriptedWeightedMetric(){
var appId = inputObject.from_id; // where inputObject.from_id is one of the Business
 Applications Id from Allocate From segment(Business Applications)
var relGr= new GlideRecord('cmdb_rel_ci');
relGr.addEncodedQuery('parent.sys_class_name=cmdb_ci_business_capability^child.sys_class_
name=cmdb_ci_business_app');
relGr.addQuery('child',appId);
relGr.query();
var retObj={};
 while(relGr.next()){
   retObj[getTopCapability(relGr.parent).getUniqueValue()] = 1;
 }
 return retObj;
}
```

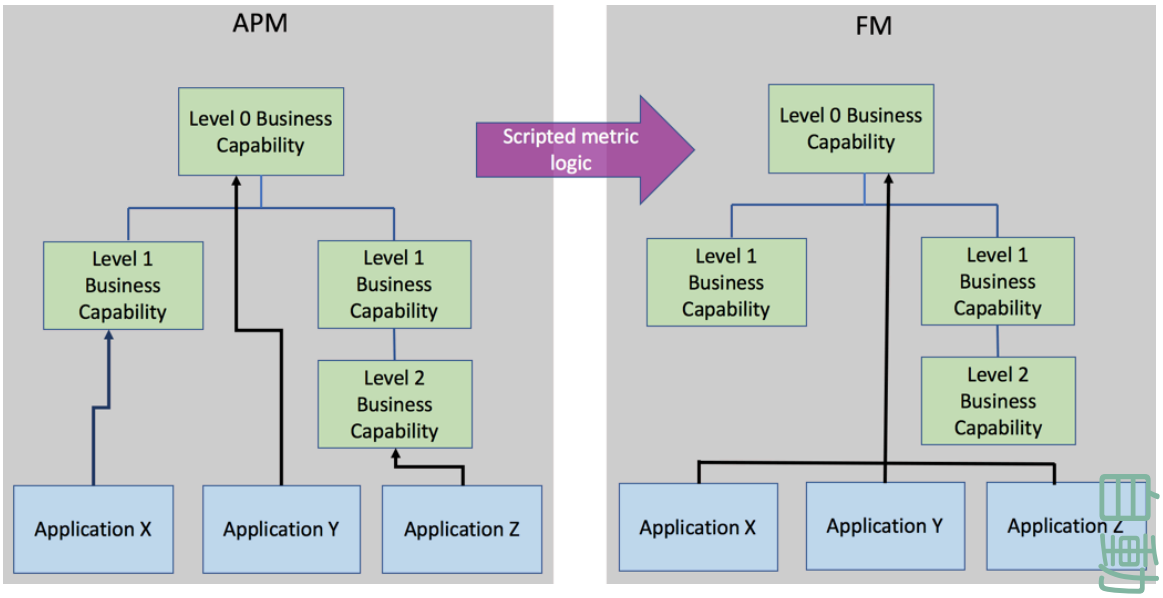
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネス機能 [cmdb_ci_business_capability] テーブルは、すべてのビジネス機能のリストを提供し、アプリケーションポートフォリオ管理 の一部です。
- スクリプトは、本質的に、ビジネス機能リストをフラット化します。

> **注:**
> アプリケーションポートフォリオ管理 内のアプリケーションはより低いレベルの機能に割り当てられている場合もありますが、すべてが Financial Modeling のレベル 0 ビジネス機能に関連している必要があります。

APM から **FM** へのスクリプト化済み測定基準ロジック



各コストモデルの設定の表示

基本コストモデルは、ワークベンチの [データ定義] ステージまたは [コストモデル] タブから作成できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. ワークベンチの [コストモデル] タブを開きます。
2. 確認するコストモデルの名前をクリックします。

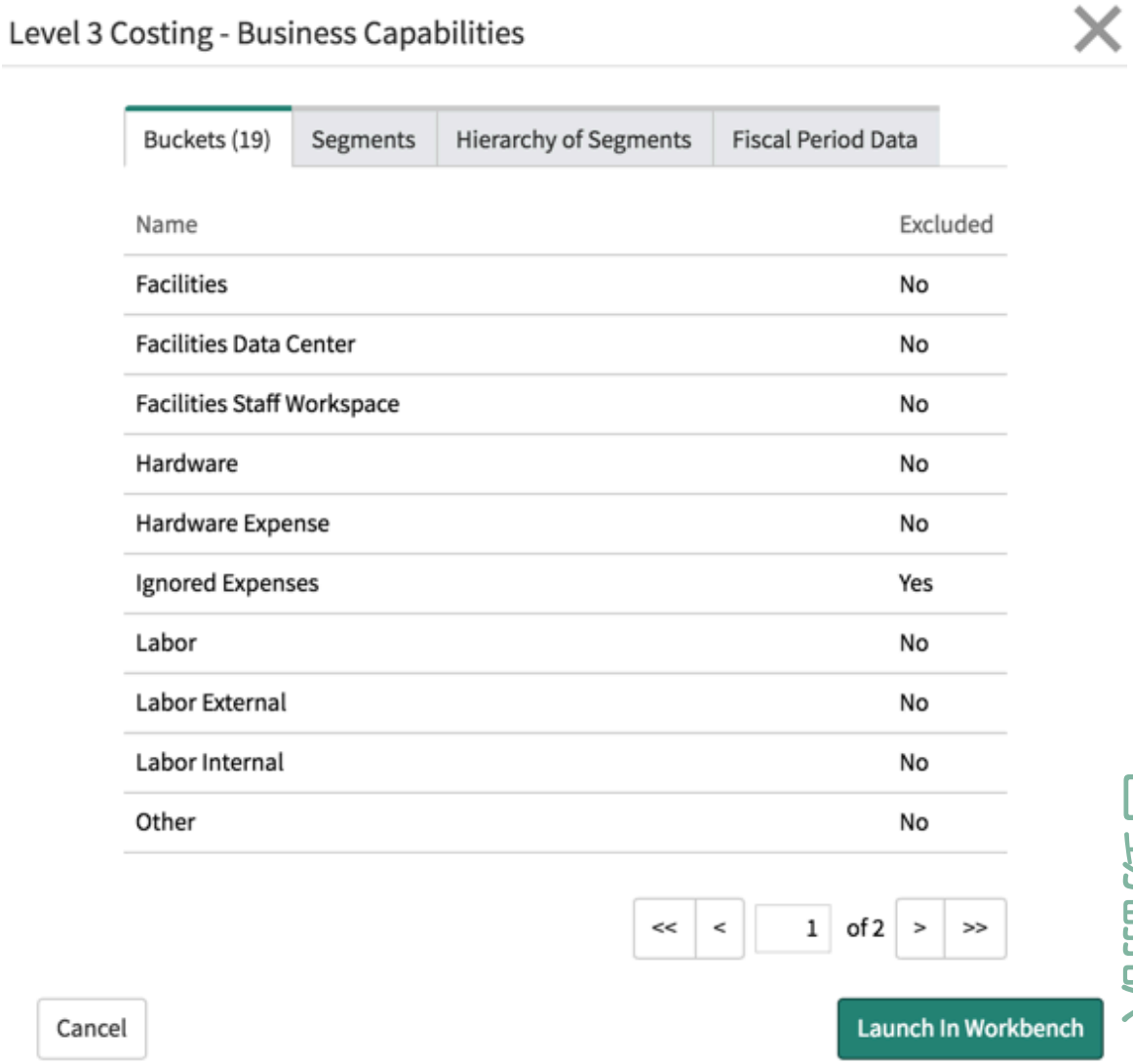
   次のタブを含むウィンドウが表示されます。

   - バケット：現在コストモデルに関連付けられているアカウントのバケット。バケットは、1 つのコストモデルにのみ関連付けることができます。
   - セグメント：セグメント定義の階層からコストモデルが使用するセグメント。
   - セグメントの階層：コストモデルのセグメント階層。
   - 会計期間データ：すべての会計期間の経費サマリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コストモデルサマリの例



3. [ワークベンチで起動] をクリックしてワークベンチの [データ定義] ステージでコストモデルを開くか、[キャンセル] をクリックしてウィンドウを閉じます。

コストモデルの削除

コストモデルが不要になった場合は削除できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

次のいずれかの手順を実行します。

- ワークベンチの [コストモデル] タブを開き、削除アイコンをクリックします。
- ワークベンチで [コストモデル] タブを開き、削除するモデルの横にあるチェックボックスをオンにして、選択リストから [削除] アクションを選択します。
- 移動先 財務 > コストモデルをクリックし、コストモデルレコードを開いて、[削除] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コストモデルの比較

任意の 2 つのコストモデルを比較して、バケット経費、セグメントの階層、および会計期間の割り当てデータの違いを確認できます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて
新しい可能性があるコストモデルの経費が割り当てにどのように分類されるかを確認するには、コストモデルを比較します。コストモデルの比較に表示されるデータは、バケット化ステージの実際のデータと実際の割り当てデータです。ワークベンチでバケットと割り当てのステージをまだ完了していない場合、データは表示されません。

一度に比較できるコストモデルは 2 つだけです。

手順

1. ワークベンチの [コストモデル] タブを開きます。
2. 比較するコストモデルの横にあるチェックボックスを選択します。
3. [コストモデルの比較] をクリックします。
4. 会計期間を選択します。
5. 次のいずれかのアイテムをクリックします。

オプション	説明
バケット	各バケットおよびサブバケットの金額。すべてのバケットを表示または非表示にするには、[すべて折りたたむ] または [すべて表示] をクリックします。
階層	セグメントの階層。
データ	コストが割り当てられている各セグメントの割り当てデータ。

6. いずれかの側の [現在のコストモデル] または [提案されたコストモデル] リストから新しいモデルを選択して、コストモデルを変更することもできます。

コストモデルのクローン

既存のコストモデルに基づいてコストモデルを作成する場合は、コストモデルのクローンを作成できます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて
コストモデルのクローンを作成すると、クレンジング条件、割り当て、バケット、セグメントの階層、およびロールアップに関連するすべてのデータが新しいコストモデルにコピーされます。割り当て明細のクローンは作成されません。割り当て明細を生成し、新しい割り当てデータについてレポートを実行するには、割り当てを実行する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ワークベンチの [コストモデル] タブを開きます。
2. クローンを作成するコストモデルのクローンアイコンをクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[コストモデルのクローン] フォーム

フィールド	説明
名前	新しいコストモデルの名前。
説明	新しいコストモデルの説明。
クローン元	新しいコストモデルの基になっているコストモデル。

4. [作成] をクリックします。

ブレークダウンの関係性の作成

セグメント間に生成されたコストラインを表示するには、必須セグメント間のブレークダウンの関係性を定義します。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > コストモデル > すべて.
2. [ブレークダウンの関係性] 関連リストで [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[ブレークダウンの関連性] フォーム

フィールド	説明
コストモデル	リストのコストモデル。
X セグメント	リストのセグメント名。 [セグメント定義] フォームを使用して、新しいセグメントを作成することもできます。
Y セグメント	リストのセグメント名。 [セグメント定義] フォームを使用して、新しいセグメントを作成することもできます。
オンデマンドでのみ実行	コストラインブレークダウンをオンデマンドで手動で生成するオプション。 デフォルトでは、フラグは [false] に設定されています。これは、割り当てエンジンがコストモデルの関連セグメントのブレークダウンを生成することを意味します。フラグが [true] の場合、割り当てエンジンはコストラインのブレークダウンを生成しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [送信] をクリックします。

   ブレークダウンの残りの計算

   ブレークダウンの残りとは、他のセグメントから間接的に得られた金額、セグメントとのブレークダウン関係の一部ではない金額、またはセグメントへの直接バケット割り当てによる金額に対して生成されたコストラインです。

   ブレークダウンの残りを計算する場合は、システムのプロパティ *com.glide.financial_management.generate_breakdown_leftovers* を [true] に設定します。

   オンデマンドでのみ実行

   オプションを使用して、オンデマンドでコストラインブレークダウンを生成します。このオプションは、割り当てエンジンのランタイムを最適に使用するのに役立ちます。

5. ブレークダウンコストラインを手動で生成するには、財務モデルフォームの [ブレークダウンの関連性] 関連リストに移動します。
   a. ブレークダウンの横にあるチェックボックスを選択し、[選択した行のアクション] リストから [ブレークダウン割り当ての生成] アクションをクリックします。
   b. [ブレークダウン割り当ての生成] ダイアログボックスに会計期間を入力します。
   c. [**OK**] をクリックします。
6. 手動で生成したブレークダウンのコストラインを表示するには、Financial Management ワークベンチの [レビュー] ステージに移動します。
7. ブレークダウンの [コストラインブレークダウンの表示] リンクをクリックします。
   コストラインは [コスト割り当てブレークダウン] リストで確認できます。

[構成] タブ

[構成] タブには追加の設定があります。

次のセクションが表示されます。

- 一般設定：アプリケーションに使用されているシステム通貨を表示し、アプリケーションが作成する割り当て明細の詳細レベルを制御します。
- メインレポート構成：CIO ダッシュボード に表示されるメインの Financial Management レポートの設定を構成します。
- 詳細アクション：経費の割り当てを元に戻すか、割り当て明細を削除します。

全般設定の構成

ワークベンチの [構成] タブで割り当て明細の詳細レベルを構成します。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて

割り当てデータで利用可能な詳細レベルを変更できます。アプリケーションでは、割り当て明細テーブルのセグメント値の Sys_ID を追跡できます。これにより、割り当てレポートをドット連結することができます。これは、生成する割り当て明細の数によっては、アプリケーションのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ワークベンチで、[構成] タブをクリックします。

   基本システム通貨の通貨コードが [全般設定] ペインに表示されます。

   注:

   Kingston リリースまでは、*com.glide.financial_management.currency_code* プロパティを使用して通貨コードを取得できます。このプロパティは London リリースで削除されました。London でアップグレードされたお客様の場合でも、このプロパティを使用できます。現在、*glide.system.locale* は機能通貨です。

   通貨コードを取得するには、アップグレードされたお客様または新規のお客様であるかどうかに関係なく、スクリプト可能な新しい *SNC.FMCurrency().getGlobalCurrencyCode()* API を使用します。

2. [基本割り当てセットアップ] を有効にして、割り当てセットアップ UI をライターモードで開きます。

   注:
   アナリストのライセンスを受けていない顧客である場合は、セグメントのアカウント数またはコストモデルのアカウントの合計数がそれぞれ 4000 と 12000 のしきい値を超えない場合、このオプションは自動的に有効になります。

3. [資金不足分析] を有効にして、ワークベンチの [割り当てセットアップ] ページでログを有効にします。

   資金不足分析は、Madrid リリースより前に利用可能になった割り当てログ機能の拡張および改善されたバージョンです。

4. [セグメントごとにレコードの表示] は、ワークベンチの [割り当てセットアップ] ページ、ライターワークベンチの [割り当てセットアップ] ページ、および [コストライン分析] ページに表示するセグメントのアカウント数を 5、10、15、25、50 などに選択するための構成セットアップです。

メインレポートの設定を構成する

表示するコストモデルや会計期間など、メインの財務レポートの設定を構成します。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて

メインの財務レポートは、CIO ダッシュボードおよびその他のレポート概要の財務レポートの基礎を提供します。メインレポートに対して構成できる主な設定は、アプリケーションが各会計期間のレポートを生成するために使用するコストモデルです。経理管理者またはアナリストロールがある場合は、デフォルトレポートのレポートパラメーターでコストモデルを選択できます。財務ユーザーロールがある場合、コストモデルはこれらの設定によって決定されます。

手順

1. ワークベンチで、[構成] タブをクリックします。
2. [メインコストモデル] リストからコストモデルを選択します。
   新しい会計期間が追加されると、メインの財務レポートにこのコストモデルが含まれます。
3. [構成の更新] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [コストモデルの選択] ウィンドウで、各会計期間のコストモデルを選択します。
   レポートでは、このコストモデルを使用して、メインの財務レポートに表示されるデータを計算して表示します。
5. [保存] をクリックします。

割り当て明細の削除

ワークベンチの [構成] タブで、このデータが不要になった場合、または既に割り当て明細に関連付けられているセグメントまたは会計期間を変更する必要がある場合は、任意の会計期間の割り当て明細を削除できます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順
1. ワークベンチを開き、[構成] タブに移動します。
2. [詳細アクション] で、[データの削除対象] の横にある会計期間を選択します。
3. [削除] をクリックします。
4. アクションを確認します。

資金不足ログファクタリングのヒント

エラータイプ、考えられる原因、および解決のヒントは、エラーのトラブルシューティングを簡単に行うのに役立ちます。

注:
資金不足分析は、Madrid より前に利用可能になった割り当てログ機能の拡張および改善されたバージョンです。

資金不足ログと解決策

カテゴリ	条件	原因	アクション
バケット割り当て	バケットデータ検証：「{0}」が除外されている：{1} ただしそのサブバケットの 1 つは除外されていない：{2}	親または子バケット ({テスト親バケット}/{テスト子バケット}) のいずれかが割り当てから除外されている	担当者 カスタマーサービス & サポート
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が無効なセグメントに割り当てられている	バケット {Test Parent Bucket} に破損したターゲットセグメントがある	バケットを元に戻して再割り当てします。 1. エラーメッセージをクリックして、バケットをハイライト表示します。 2. バケット割り当てを元に戻すには、バケット割り当てを元に戻す ( ) アイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			コンをクリックします。 3. セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が、現在のコストモデルに関連付けられていないセグメント {1} に割り当てられている	バケット {Test Parent Bucket} は、現在のコストモデルに関連付けられていないセグメントに割り当てられている	バケットを元に戻して再割り当てします。 1. エラーメッセージをクリックして、バケットをハイライト表示します。 2. バケット割り当てを元に戻すには、バケット割り当てを元に戻す ( ) アイコンをクリックします。 3. セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」は重み付け割り当て方法を使用しているが、測定基準が指定されていない	{Test Bucket} は重み付け割り当て方法を使用しているが、測定基準が指定されている	バケットを元に戻して再割り当てします。 1. エラーメッセージをクリックして、バケットをハイライト表示します。 2. バケット割り当てを元に戻すには、バケット割り当てを元に戻す ( ) アイコンをクリックします。 3. セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が無効な配分評価指標を使用して割り当てられている	{Test Bucket} は重み付け割り当て方法を使用しているが、無効な測定基準が使用されている	バケットを元に戻して再割り当てします。 1. エラーメッセージをクリックして、バケットをハイライト表示します。 2. バケット割り当てを元に戻すには、バ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			ケット割り当てを元に戻す ( ) アイコンをクリックします。 3. セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が不特定のアカウントに割り当てられている	{Test Bucket} が不特定のアカウントに割り当てられている	バケットを元に戻して再割り当てします。 1. エラーメッセージをクリックして、バケットをハイライト表示します。 2. バケット割り当てを元に戻すには、バケット割り当てを元に戻す ( ) アイコンをクリックします。 3. セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が無効なアカウントに割り当てられている	{Test Bucket} が無効なアカウントに割り当てられている	バケットを元に戻して再割り当てします。 1. エラーメッセージをクリックして、バケットをハイライト表示します。 2. バケット割り当てを元に戻すには、バケット割り当てを元に戻す ( ) アイコンをクリックします。 3. セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」に必須の手動割り当て情報がない	{Test Bucket} 割り当てで、手動で割り当てられたラインのいずれかに情報 (トランザクションアカウント、トランザクションセグメ	トランザクションアカウント、トランザクションセグメント、割り当てパーセンテージなど、不足している必須情報を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
		ント、またはパーセンテージ割り当て) がない	1. リンクをクリックして、[バケット割り当てアカウント] フォームに移動します。 2. トランザクション [セグメント]、トランザクション [アカウント]、[パーセンテージ] などの不足している必須情報をそれぞれのフィールドに入力します。 3. [更新] をクリックします。
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が無効なセグメントに手動で割り当てられている：「{1}」	{Test Bucket} が手動で割り当てられ、割り当てられたラインのいずれかに無効なセグメント {Test Segment} がある	バケット割り当てアカウントのセグメント情報を修正します。 1. リンクをクリックして、[バケット割り当てアカウント] フォームに移動します。 2. [セグメント] 選択リストからセグメントを選択します。 3. [更新] をクリックします。
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が、セグメント {2} の無効なアカウント {1} に手動で割り当てられている。金額の {3}% が失われる	{Test Bucket} がセグメント {Test Account} の無効なアカウント {Test Account} に手動で割り当てられています。金額の {Amount}% が失われる可能性がある	バケット割り当てアカウントのアカウント情報を修正します。 1. リンクをクリックして、[バケット割り当てアカウント] ページに移動します。 2. [アカウント] 選択リストからアカウントを選択します。 3. [更新] をクリックします。
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」が手動で割り当てられ、パーセンテー	{Test Bucket} が手動で割り当てられ、パー	バケット割り当てアカウントのパーセンテージを修正します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
	ジ値が欠落しているか無効	センテージ値が欠落しているか無効	**1.** リンクをクリックして、[バケット割り当てアカウント] ページに移動します。 **2.** [パーセンテージ] フィールドに正しいパーセンテージを入力します。 **3.** [更新] をクリックします。
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」：手動パーセンテージの合計が {1}% で、100% を超えている	{Test Bucket} の手動割り当てでは割り当てパーセンテージの合計が 120% である	バケット割り当てアカウントの割り当てパーセンテージを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[バケット割り当てアカウント] リストに移動します。 **2.** [パーセンテージ] 列に正しいパーセンテージを入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」：手動パーセンテージの合計が {1}% で、100% 未満である	{Test Bucket} の手動割り当てでは割り当てパーセンテージの合計が 70% である	バケット割り当てアカウントの割り当てパーセンテージを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[バケット割り当てアカウント] リストに移動します。 **2.** [パーセンテージ] 列に正しいパーセンテージを入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			か、各エントリの後に Enter を押します。
バケット割り当て	バケット割り当て：「{0}」手動割り当てが選択されたが、アカウントが指定されていない	{Test Bucket} の手動割り当てで、アカウントが指定されていません。	バケットを元に戻して再割り当てします。 **1.** エラーメッセージをクリックして、バケットをハイライト表示します。 **2.** バケット割り当てを元に戻すには、バケット割り当てを元に戻す ( ) アイコンをクリックします。 **3.** セグメントまたはアカウントにバケットを割り当てる
バケット割り当て	「{0}」のバケット分割：分割パーセンテージの合計が {1} で、100 未満である	{Test Bucket} のバケット分割：分割パーセンテージの合計が 70% である	担当者 カスタマーサービス & サポート
バケット割り当て	「{0}」のバケット分割：分割パーセンテージの合計が {1} で、100 を超えている	{Test Bucket} のバケット分割：分割パーセンテージの合計が 120% である	担当者 カスタマーサービス & サポート
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが階層にない：{1}	{Test Segment} のロールアップに、階層にない破損したターゲットセグメントがあります。	セグメントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、セグメントをハイライト表示します。 **2.** セグメント名をクリックします。 **3.** セグメントロールアップポップアップの選択リストから適切なセグメントを選択します。 **4.** [ロールアップメソッド] 選択リストから

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			メソッドを選択します。 **5.** [変更を保存] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが指定されていない：{1}	{Test Segment} のロールアップに、破損したターゲットセグメントがあります。	セグメントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、セグメントをハイライト表示します。 **2.** セグメント名をクリックします。 **3.** セグメントロールアップポップアップの選択リストから適切なセグメントを選択します。 **4.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 **5.** [変更を保存] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが指定されていない：{1}	{Test Segment} のロールアップに、破損したターゲットセグメントがあります。	セグメントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、セグメントをハイライト表示します。 **2.** セグメント名をクリックします。 **3.** セグメントロールアップポップアップの選択リストから適切なセグメントを選択します。 **4.** [ロールアップメソッド] 選択リストから

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			メソッドを選択します。 **5.** [変更を保存] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが無効：{1}	{Test Segment} のロールアップに、破損したターゲットセグメントがあります。	セグメントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、セグメントをハイライト表示します。 **2.** セグメント名をクリックします。 **3.** セグメントロールアップポップアップの選択リストから適切なセグメントを選択します。 **4.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 **5.** [変更を保存] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：重み付けされたロールアップが選択されているが、測定基準が指定されていない	{Test Segment} のロールアップに、破損した測定基準があります。	セグメントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、セグメントをハイライト表示します。 **2.** セグメント名をクリックします。 **3.** セグメントロールアップポップアップの選択リストから適切なセグメントを選択します。 **4.** [ロールアップメソッド] 選択リストから

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			[重み付け] を選択します。 **5.** [変更を保存] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」ロールアップで無効な測定基準が使用されている：{1}	{Test Segment} のロールアップに、破損した測定基準があります。	セグメントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、セグメントをハイライト表示します。 **2.** セグメント名をクリックします。 **3.** セグメントロールアップポップアップの選択リストから適切なセグメントを選択します。 **4.** [ロールアップメソッド] 選択リストから [重み付け] を選択します。 **5.** [変更を保存] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：ロールアップスクリプトに構文エラーが含まれている	{Test Segment} に定義されたロールアップスクリプトに構文エラーがあります。	ロールアップスクリプトは、[セグメントロールアップ上書き] フォームで構文的に修正する必要があります。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：ターゲットアカウント {2} のス	{Test Segment}：ターゲットアカウント {Test Account} の	ロールアップスクリプトを構文的に修正する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
	クリプトのロールアップに{1} 引数がない	ロールアップスクリプトに {Test Argument} がない	**1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：トランザクションセグメントへ：アカウント {1} へのスクリプト化済みロールアップに対して空または null が指定されている	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値の 1 つが Null です。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：トランザクションセグメントへ：{1} がアカウント {1} へのスクリプト化済みロールアップでは無効	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値の 1 つが無効です。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			2. [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：トランザクションセグメントへ：{1} がアカウント {1} へのスクリプト化済みロールアップの階層にない	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値の 1 つが階層にありません。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：トランザクションアカウントへ：スクリプト化済みロールアップに対してセグメント ({2}) の ({1}) が存在しない	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値 (アカウント) のいずれかが存在しません。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：トランザクションアカウントが null であり、スクリプト化済みロールアップに対してセグメント ({1}) が存在しない	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値 (アカウント) の 1 つが Null です。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」：トランザクションアカウントへ：{1} ({2}) がアカウント {3} へのスクリプトロールアップでは無効	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値 (アカウント) の 1 つが無効です。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」ロールアップが、アカウント {1} へのスクリプト化済みロールアップのパーセント値なし/無効なパーセント値で除算されている	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。ロールアップパーセンテージ値の 1 つが無効です。	ロールアップスクリプトは、合計が 100% になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			1. リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 2. [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 3. [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」スクリプト化済みロールアップが、100% を超える {1}% で除算されている	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。ロールアップ額の合計が 120% である	ロールアップスクリプトは、合計が 100% になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 1. リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。 2. [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 3. [更新] をクリックします。
セグメントロールアップ	セグメントロールアップ：「{0}」スクリプト化済みロールアップが、100% 未満の {1}% で除算されている	{テストセグメント} に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。ロールアップ額の合計が 70% である	ロールアップスクリプトは、合計が 100% になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[コスト割り当てロールアップ] フォームのスクリプトを修正します。 1. リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] フォームに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			2. [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが指定されていない：{1}	「100 South Charles Street, Baltimore, MD」アカウントのロールアップに破損したターゲットセグメントがあります。	アカウントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** アカウントロールアップポップアップのアクション ( ) アイコンをクリックして、既存の破損したターゲットセグメントを削除します。 **4.** [ロールアップを追加] ボタンをクリックし、[セグメントへ] 選択リストでターゲットセグメントを選択します。 **5.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 **6.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが無効：{1}	「100 South Charles Street, Baltimore, MD」アカウントのロールアップに破損したターゲットセグメントがあります。	アカウントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** アカウントロールアップポップアップ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			のアクション ( ) アイコンをクリックして、既存の破損したターゲットセグメントを削除します。 **4.** [ロールアップを追加] ボタンをクリックし、[セグメントへ] 選択リストでターゲットセグメントを選択します **5.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 **6.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが階層にない：{1}	「100 South Charles Street, Baltimore, MD」アカウントのロールアップに、階層にないターゲットセグメントがあります。	アカウントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** アカウントロールアップポップアップのアクション ( ) アイコンをクリックして、既存の破損したターゲットセグメントを削除します。 **4.** [ロールアップを追加] ボタンをクリックし、[セグメントへ] 選択リストで階層にあるターゲットセグメントを選択します。 **5.** [ロールアップメソッド] 選択リストから

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			メソッドを選択します。 **6.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：ターゲットセグメントが階層にない：{1}	「100 South Charles Street, Baltimore, MD」アカウントのロールアップに破損したターゲットアカウントがあります。	アカウントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** アカウントロールアップポップアップのアクション ( ) アイコンをクリックして、既存の破損したターゲットセグメントを削除します。 **4.** [ロールアップを追加] ボタンをクリックし、[セグメントへ] 選択リストでターゲットセグメントを選択します。 **5.** [アカウントへ] 選択リストでターゲットアカウントを選択します。 **6.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 **7.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：トランザクションアカウントへ：{1} ({2}) が無効	「101 Broadway East, Seattle, WA」アカウントのロールアップは、無効なアカウントにロールアップされます。	アカウントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			2. アカウント名をクリックします。 3. アカウントロールアップポップアップのアクション ( ) アイコンをクリックして、既存の破損したターゲットセグメントを削除します。 4. [ロールアップを追加] ボタンをクリックし、[セグメントへ] 選択リストでターゲットセグメントを選択します。 5. [アカウントへ] 選択リストで有効なアカウントを選択します。 6. [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 7. [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：重み付けされたロールアップが選択されているが、測定基準が指定されていない	「開発」アカウントのロールアップに破損した測定基準があります。	アカウントのロールアップを再定義します。 1. エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 2. アカウント名をクリックします。 3. アカウントロールアップポップアップのアクション ( ) アイコンをクリックして、既存のターゲットセグメントを削除します。 4. [ロールアップを追加] ボタンをクリックし、[セグメントへ] 選択リストで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			ターゲットセグメントを選択します。 **5.** [アカウントへ] 選択リストで有効なアカウントを選択します。 **6.** [ロールアップメソッド] 選択リストで [重み付け] 測定基準を選択します。 **7.** [測定基準の選択] 選択リストで有効な測定基準を選択します。 **8.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：重み付けされたロールアップが選択されているが、測定基準が指定されていない	アカウントロールアップ：「開発」アカウントのロールアップに破損した測定基準があります。	アカウントのロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** アカウントロールアップポップアップのアクション ( ) アイコンをクリックして、既存のターゲットセグメントを削除します。 **4.** [ロールアップを追加] ボタンをクリックし、[セグメントへ] 選択リストでターゲットセグメントを選択します。 **5.** [アカウントへ] 選択リストで有効なアカウントを選択します。 **6.** [ロールアップメソッド] 選択リストで [重

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			み付け] 測定基準を選択します。 **7.** [測定基準の選択] 選択リストで有効な測定基準を選択します。 **8.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：欠落しているか無効なパーセンテージ値により、「{0}」が手動で除算されている	「人事」の合計ロールアップパーセンテージは 70% です。	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：手動パーセンテージの合計が {1}% で、100% を超えている	「人事」の合計ロールアップパーセンテージは 70% です。	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			か、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：手動パーセンテージの合計が {1}% で、100% 未満である	「人事」の合計ロールアップパーセンテージは 70% です。	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します 1. リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 2. すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 3. [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：欠落しているか無効なパーセンテージ値により、「{0}」が均等に除算されている	「{0}」ロールアップ上書きが、欠落/無効パーセント値で均等に除算されています。	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します 1. リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 2. すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 3. [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：100% を超える {1}% により、「{0}」が均等に除算されている	「125 West South Street, Indianapolis, IN」アカウントのロールアップは 100% を超えており、金額が計上できない可能性があります。	[アカウントロールアップ上書き] フォームで、合計が 100% になるようにロールアップを再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：100% 未満の {1}% により、「{0}」が均等に除算されている	「125 West South Street, Indianapolis, IN」アカウントのロールアップは 100% を超えており、金額が計上できない可能性があります。	[アカウントロールアップ上書き] フォームで、合計が 100% になるようにロールアップを再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：ロール	Facilitate Connectivity アカウン	ロールアップスクリプトは、[アカウント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
	アップスクリプトに構文エラーが含まれている	ト用に定義されたロールアップスクリプトに構文エラーがあります。	ロールアップ上書き] フォームで構文的に修正する必要があります。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのスクリプトの構文を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：トランザクションセグメントへ：{1} がアカウント {2} へのスクリプト化済みロールアップ上書きに対して空または null が指定されている	Facilitate Connectivity アカウント用に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値の 1 つが null です。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドのロールアップ値を修正します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：トランザクションセグメントへ：{1} がアカウント {2} へのスクリプト化済みロールアップ上書きでは無効	Facilitate Connectivity アカウント用に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。ロールアップ値の 1 つがテストアカウントです。これは有効な事業部門ではありません。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドに有効な rollupValue を入力します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：トランザクションセグメントへ：{1} がアカウント {2} へのスクリプト化済みロールアップ上書きの階層にない	Facilitate Connectivity アカウント用に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。rollupToSegment の 1 つは、階層にないテストセグメントです。	ロールアップスクリプトは、有効な rollupToSegment になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドに有効な rollupToSegment を入力します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：トランザクションセグメントへ：セグメント ({2}) の ({1}) がスクリプト化済みロールアップ上書きに対して空または null が指定されている	Facilitate Connectivity アカウント用に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値の 1 つが空/Null が指定されています。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドに有効な

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			rollupValue を入力します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：トランザクションアカウントが、スクリプト化済みロールアップ上書きに対して null である	Facilitate Connectivity アカウント用に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。JSON のロールアップ値の 1 つが空/Null が指定されています。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドに有効な rollupValue を入力します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」：トランザクションアカウントへ：{1} ({2}) がスクリプト化済みロールアップ上書きでは無効	スクリプトは無効な JSON を返します。ロールアップ値の 1 つが BlackBerry です。これは有効な事業部門ではありません。	ロールアップスクリプトは、有効なロールアップ値になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** [スクリプト] フィールドに有効な rollupValue を入力します。 **3.** [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」ロールアップ上書きが、アカウント {1} へのスクリプト化済みロールアップ上書きのパーセント値なし/無効なパーセント値で除算されている	パーセンテージ値の 1 つであるロールアップ額に、ロールアップ値「テストアカウント」に対して Null または無効な値が指定されています。	[アカウントロールアップ上書き] フォームでスクリプトのロールアップ額を修正します。 [アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** スクリプトの rollupAmount を修正します。 **3.** [スクリプト] フィールドに有効なパーセンテージ値を入力します。 **4.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」ロールアップ上書きが、アカウント {1} へのスクリプト化済みロールアップ上書きのパーセント値なし/無効なパーセント値で除算されている	ロールアップ引数またはロールアップ値がない場合、パーセンテージ値のいずれかが Null または無効になります。	[アカウントロールアップ上書き] フォームでスクリプトのロールアップ額を修正します。 [アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] フォームに移動します。 **2.** スクリプトの rollupAmount を修正します。 **3.** [スクリプト] フィールドに有効なパーセ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			ンテージ値を入力します。 **4.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」スクリプト化済みロールアップが、100% を超える {1}% で除算されている	Facilitate Connectivity アカウント用に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。ロールアップ額の合計が 120% です。	ロールアップスクリプトは、合計が 100% になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] リストのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」スクリプト化済みロールアップが、100% 未満の {1}% で除算されている	Facilitate Connectivity アカウント用に定義されたロールアップスクリプトに、無効な JSON リターンがあります。rollupAmount の合計が 70% である	ロールアップスクリプトは、合計が 100% になるように修正する必要がある JSON 変数を返します。[アカウントロールアップ上書き] フォームのスクリプトを修正します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			[パーセント] 列に入力します。 **3.** [更新] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」に、無効なバケットを含むバケットベースのロールアップがある	アカウントロールアップ：「{0}」に、無効なバケットを含むバケットベースのロールアップがある	アカウントのバケットロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** [バケットロールアップ] タブをクリックします。 **4.** [削除] ( ) アイコンをクリックして、既存の無効なバケットレコードを削除します。 **5.** [バケットロールアップの追加] をクリックします。 **6.** バケットロールアップポップアップの [バケット] 選択リストからバケットを選択します。 **7.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 詳細については、「アカウントにロールアップするアカウントの表示」を参照してください。 **8.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」に、バケットに親がないバケット	アカウントロールアップ：「{0}」に、バケットに親がないバケット	担当者 カスタマーサービス & サポート.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
	ベースのロールアップがある	ベースのロールアップがある	
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」に、バケットが現在のコストモデルに含まれていないバケットベースのロールアップがある	アカウントロールアップ：「{0}」に、バケットが現在のコストモデルに含まれていないバケットベースのロールアップがある	アカウントのバケットロールアップを再定義します。 **1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** [バケットロールアップ] タブをクリックします。 **4.** [削除] ( ) アイコンをクリックして、既存のバケットレコードを削除します。 **5.** [バケットロールアップの追加] をクリックします。 **6.** バケットロールアップポップアップの [バケット] 選択リストから、現在のコストモデルにあるバケットを選択します。 **7.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 詳細については、「アカウントにロールアップするアカウントの表示」を参照してください。 **8.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」に、バケットが最低の分割レベルではないバケットベー	アカウントロールアップ：「{0}」に、バケットが最低の分割レベルではないバケットベー	アカウントのバケットロールアップを再定義します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
	スのロールアップがある	スのロールアップがある	**1.** エラーメッセージをクリックして、アカウントをハイライト表示します。 **2.** アカウント名をクリックします。 **3.** [バケットロールアップ] タブをクリックします。 **4.** [削除] ( ) アイコンをクリックして、既存のバケットレコードを削除します。 **5.** [バケットロールアップの追加] をクリックします。 **6.** バケットロールアップポップアップの [バケット] 選択リストから、分割レベルが最も低いバケットを選択します。 **7.** [ロールアップメソッド] 選択リストからメソッドを選択します。 詳細については、「アカウントにロールアップするアカウントの表示」を参照してください。 **8.** [変更を保存] をクリックします。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」には、欠落しているか無効なパーセンテージ値がある「{1}」に対して手動で除算されているバケットベースのロールアップがある	アカウント「{0}」ロールアップ上書きが、欠落/無効パーセント値で手動で分割されています。	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			のパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」では、バケット「{1}」に対してバケットベースのロールアップが手動で除算され、{2}% が 100% を超えている	「人事」の合計ロールアップパーセンテージは 70% です。	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」では、バケット「{1}」に対してバケットベースのロールアップが手動で除算され、{2}% が 100% 未満	「人事」の合計ロールアップパーセンテージは 70% です。	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			か、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」には、欠落しているか無効なパーセンテージ値がある「{1}」に対して均等に除算されているバケットベースのロールアップがある	「{0}」ロールアップ上書きが、欠落/無効パーセント値で均等に除算されている	ロールアップの合計が 100% になるように再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」では、バケット「{1}」に対してバケットベースのロールアップが均等に除算され、{2}% が 100% を超えている	「125 West South Street, Indianapolis, IN」アカウントのロールアップは 100% を超えており、金額が計上できない可能性があります。	[アカウントロールアップ上書き] フォームで、合計が 100% になるようにロールアップを再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金不足ログと解決策 (続く)

カテゴリ	条件	原因	アクション
			か、各エントリの後に Enter を押します。
アカウントロールアップ	アカウントロールアップ：「{0}」では、バケット「{1}」に対してバケットベースのロールアップが均等に除算され、{2}% が 100% 未満	「125 West South Street, Indianapolis, IN」アカウントのロールアップは 100% 未満であり、金額が計上できない可能性があります。	[アカウントロールアップ上書き] フォームで、合計が 100% になるようにロールアップを再定義します。 **1.** リンクをクリックして、[コスト割り当てロールアップ上書き] リストに移動します。 **2.** すべてのレコードのパーセンテージの合計が 100% になるように、各レコードのパーセンテージを [パーセント] 列に入力します。 **3.** [保存] () アイコンをクリックするか、各エントリの後に Enter を押します。

コストモデル

コストモデルは、階層内のアカウントに経費を割り当てる方法をアプリケーションに指示するルール、メソッド、および測定基準のセットです。

コストモデルは、割り当てとレポートに関連付けられています。ITBM アナリストライセンスを所有している場合は、複数のコストモデルを作成し、割り当てエンジンを実行するモデルを選択できます。

コストモデルには、経費配賦をより詳細に制御できる次の属性があります。

- ユーザーグループ：コストモデルを ITFM タイプのユーザーグループに関連付けます。ユーザーがユーザーグループに含まれていれば、適切な財務モデルロールを持つユーザーは誰でも (関連するユーザーグループを使用して) コストモデルにアクセスできます。この関連付けでは、コストモデルにアクセスできるユーザーを制限できます。
- 会計期間：コストモデルを会計単位に関連付けます。財務モデルの [データ定義] ステージの [会計期間] フィールドは、コストモデルで選択した会計単位に基づいて設定されます。したがって、さまざまな会計期間 (月、四半期、または期間) の財務モデルアクティビティを実行できます。
- データソース：コストモデルのステージング済み行ソースを定義します。必要に応じて、データソースを定義しないことを選択できます。その場合は、調整済みラインを直接作成するか、バケットに直接金額を入力できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ITBM アナリストのライセンスを所有している場合は、作成できるコストモデル以外に、基本システムが提供する所定のコストモデルを使用できます。次のコストモデルについては、「シェアードサービスとビジネスアプリケーションの規範的コストモデル」、および「ビジネスサービスとビジネス機能の規範的コストモデル」を参照してください。

- 第 1 レベルの原価計算 - シェアードサービス
- 第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーション
- 第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービス
- 第 3 レベルの原価計算 - ビジネス機能

Application Portfolio Management (APM) または Service Portfolio Management (SPM) を使用している場合は、使用するアプリケーションに応じて、次のいずれかのコストモデルを使用できます。

- ビジネスアプリケーション原価計算
- サービスオファリングの原価計算

コストモデルフォームからのコストモデルの作成

割り当てを処理する複数のコストモデルを作成できます。コストモデルフォームを使用して、コストモデルで利用可能なすべての設定を構成します。

始める前に

重要:
この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

必要なロール：cost_transparency_admin

このタスクについて

割り当てをセットアップするときにデータ定義ステージでコストモデルを選択できます。ワークベンチでコストモデルのクローンを作成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > コストモデル > すべて.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームフィールドに入力します (テーブルを参照)。

[財務モデル] フォーム

フィールド	説明
名前	説明に従ったコストモデルの名前。長さは最大 80 文字です。
説明	コストモデルの説明。
コスト割り当てで使用	モデルをコスト割り当てに使用するかどうかを指定するオプション。
モデル所有者	コストモデルを作成したユーザー。
データソース	データが取得されるソース。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[データソース] フィールドは、財務モデルアクションが実行されなくなるまで編集可能です。 アプリケーションは、ITFM 予算ステージング済み経費にリンクされているため、デフォルト予算コストモデルのデータソースとして予算ステージング済みテーブルを指すように事前設定されています。 データソースを選択しないオプションもあります。このような場合、経費明細をプルする財務データソースがないため、ワークベンチステージにはデータクレンジングステージがありません。金額は、バケット化ステージで手動で入力されます。
予算業務で使用	モデルが予算に使用されている場合は、チェックボックスをオンにします。
コストの透明性	
会計単位	会計カレンダーに基づいて、会計単位を月、四半期、または期間として定義します。
サブバケット情報を含める	有効にすると、生成されたコストラインとブレークダウンラインにサブバケット情報が保持されます。
ユーザーグループ	選択したユーザーグループはコストモデルに関連付けられています。これにより、タイプ ITFM のユーザーグループに関連付けられていない他のユーザーグループによるコストモデルへのアクセスが制限されます。 cost_transparency_analyst ロールを持つユーザーは、デフォルトのコストモデルとユーザーグループに関連付けられたコストモデルにのみアクセスできます。 cost_transparency_admin およびシステム管理者ロールを持つユーザーは、デフォルトのコストモデルを含むすべてのコストモデルにアクセスできます。 コストモデルで [予算業務で使用] チェックボックスがオンになっている場合、適切な予算ロールを持つユーザーはすべての予算モデルを表示できます。 コストモデルが予算業務とコスト割り当て明細の生成の両方の目的で使用されている場合、つまり [コスト割り当てで使用] および [予算業務で使用] チェックボックスが有効になっている場合、すべてのユーザーがコストモデルにアクセスできます。

4. [送信] をクリックします。
5. コスト割り当てを実行するには、[経費割り当て] ボタンをクリックします。

> **注:**
> アナリストのライセンスを受けていない顧客である場合は、各セグメントのアカウント数とコストモデルのアカウントの合計数がそれぞれ 4000 と 12000 のしきい値内にあることを確認してください。

必ずしもワークベンチからではなく、コストモデルフォームからコスト割り当てを実行するには、このオプションを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [経費割り当て] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

b. [OK] をクリックします。

割り当てエンジンが実行され、選択した会計期間のコスト割り当てが生成されます。エンジンはクレンジングとバケットを実行します。経費を割り当て、割り当て明細を作成します。ただし、コストモデルにデータソースがない場合、エンジンはクレンジングステージとバケットステージを無視して、割り当て明細を作成します。

6. コストモデルをダウンロードするには、[コストモデルのダウンロード] ボタンをクリックします。

コストモデルをダウンロードしてアップロードしたり、別のインスタンスに展開して別の本番前環境でコストモデリングを実行したりできます。後でコストモデルを他の本番環境に移動できます。

コストモデルをダウンロードする機能を使用すると、すべての関連テーブルと、セグメント定義と階層、バケット、クレンジングと調整条件、バケット割り当て、ロールアップとロールアップの上書き、消費測定基準などの関連要素をダウンロードすることもできます。

7. コストモデルに関連付けられたリーフバケットのコスト行を生成するには、[バケットコストを生成] ボタンをクリックします。

データソースのないこのコストモデルのバケット金額行を生成するには、このオプションを使用します。それ以上サブバケットがないリーフバケットごとにコスト行が生成されます。バケットに金額がない場合でも、調整済みの総勘定元帳データ [itfm_gl_data_groomed] テーブルに金額行が生成され、[金額] 列にゼロが入力されます。テーブルには、選択した会計期間のコストモデルに関連付けられたバケット、サブバケット、および金額が表示されます。

a. [バケットコストを生成] ダイアログボックスで会計期間を選択します。

b. [OK] をクリックします。

- バケットに金額がない場合でも、割り当てエンジンは、コストモデルの選択された会計期間に対して、経費ゼロの調整済み行を生成します。
- その会計期間のバケットに金額がある調整済み行が既に存在する場合、エンジンはそれらのコスト行を上書きしません。

[金額] 列を編集して、各サブバケットの金額を入力できます。

8. インタラクティブなユーザーインターフェイスを使用してモデル階層を作成するには、[セグメント階層を構築] 関連リンクをクリックします。
階層に新しいセグメントを追加するか、要件に従ってコストモデルからセグメントを削除します。

9. クローンを作成する選択済みのコストモデルで最上位セグメントを置き換えるには、次の手順に従います。

a. [モデルのクローンおよびトップセグメントの置換] 関連リンクをクリックします。

b. [モデルのクローンおよびトップセグメントの置換] ポップアップの選択リストからセグメントを選択し、**[OK]** をクリックします。

コストモデルの一番上のセグメントを、選択した別のセグメントに置き換えることができます。コストモデルで使用されていないセグメントは、コストモデルの最上位セグメントを置き換えることを選択できます。置換セグメントは利用可能なセグメントで、現在のコストモデルセグメント階層ではまだ使用されていないものです。選択したセグメントは既存の最上位セグメントを置

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

き換え、階層内の既存のセグメントレベルには追加されません。最上位のセグメントを置き換えることで、企業の組織構造に合わせてコストモデルを構成することができます。

> **注:**
> 元のセグメントに設定されたバケット割り当て、ロールアップ、ロールアップの上書き、ブレークダウンの関係、単位測定基準、兄弟の関係、GL セグメントなどのルールは、置換されたセグメントでは無効になります。したがって、置換されたトップセグメントに対してこれらのルールを設定する必要があります。

次のタスク
このコストモデルを使用するバケットは、バケット関連リストに表示されます。

アカウントのバケットを作成することもできます。

単位コスト測定基準をコストモデルのセグメントにマッピングして、単位コストを生成します。

特定のセグメント間マッピングの itfm_allocation_breakdown テーブルにブレークダウンコストラインを明示的に生成するブレークダウン関係は、[ブレークダウンの関係性] 関連リストに表示されます。

兄弟関係を定義して、兄弟レベルでアカウントをロールアップすることもできます。

管理されたコスト明細の生成

管理されたコスト明細を生成すると、ビジネスニーズに必要な割り当て明細を制御するのに役立ちます。

新規顧客の場合、デフォルトでは、管理されたコスト明細が割り当てエンジンによって自動的に生成されます。

以前のバージョンから Washington DC リリースにアップグレードする場合、[管理されたコスト明細] および [GL 経費明細] オプションに次の変更が加えられます。

- コストモデルをクローンすると、新しいモデルで [管理されたコスト明細を生成] オプションが有効になり、新しいモデルで **[GL** 経費明細を生成] オプションが無効化されます。ベースモデルでこれらのオプションが有効であったか無効であったかは関係ありません。これらのオプションは編集できず、コストモデル表示ページのデフォルトビューには表示されません。
- コストモデルを作成すると、デフォルト値が設定されます。[管理されたコスト明細を生成] オプションのデフォルト値は **[true]** で、**[GL** 経費明細を生成] オプションのデフォルト値は **false** です。これらのオプションは編集できず、コストモデル表示ページのデフォルトビューには表示されません。
- 既存のコストモデルの場合、既存の値は変わりません。[管理されたコスト明細を生成] オプションが無効になっている場合、このオプションは無効のままになります。**[GL** 経費明細を生成] オプションが有効になっている場合、このオプションは有効のままになります。これらのオプションの値はデフォルト値に変更できます。

サブバケット情報を表示し、2 つのセグメント間の関係に関するレポートを表示するには、次の手順を実行します。

- 生成されたラインのサブバケット情報が必要な場合は、コストモデルビューページの [サブバケット情報を含める] オプションを選択します。

  生成された [管理されたコスト明細] は、バケットのある単一ディメンションチャートをプロットするのに十分です。

- ブレークダウン関係を明示的に定義して、2 つのセグメント間の関係に関するレポートを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その後、エンジンはコスト割り当てブレークダウン集計 [itfm_allocation_breakdown] テーブルに追加のブレークダウン割り当て明細を生成します。これは、セグメント間に 2 ディメンションチャートをプロットするのに役立ちます。たとえば、事業部門への IT 共有サービスの貢献などです。

単位コストの生成

単位コスト測定基準をコストモデル階層のセグメントに関連付けて、単位コストを生成します。マッピングは、Financial Modeling アプリケーションから割り当て明細に基づいて単位コストを導出するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. 移動先 ファイナンシャルモデリング > コストモデル > すべて.
2. コスト測定基準をコストモデルのセグメントまたはセグメントのアカウントに関連付けるには、コストモデルをクリックして開きます。
3. [コスト測定基準] 関連リストをクリックします。
4. [新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

[単位コスト測定基準] フォーム

フィールド	説明
コストモデル	リストのコストモデル。
単位コストセグメント	単位コストを生成するコストモデルセグメント。
単位コスト測定基準	消費/重み付けテーブルで定義された単位コスト測定基準。
単位	単位コストの測定単位。
トランザクションテーブル	編集できないセグメントトランザクションテーブル。
バケット情報を含める	単位コストでバケット情報を有効にするオプション。 デフォルトでは、バケット情報を含めるフラグは [False] に設定されています。フラグが [true] の場合、バケット情報は単位コスト [itfm_unit_cost] テーブルのバケット列に入力されます。
単位コストアカウントフィルター	基準に基づいてフィルタリングされたアカウント。 単位コストは、フィルタリングされたアカウントに対してのみ生成されます。

6. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 単位コスト測定基準を選択し、[単位コストの測定基準を生成] をクリックします。
8. 表示される [単位コストの測定基準を生成] ポップアップで会計期間を選択します。

   エンジンは、リストに表示されている会計期間の割り当てを既に実行しています。
9. **[OK]** をクリックします。
10. 単位コストを表示するには、次の場所に移動します。 ファイナンシャルモデリング > コストモデル明細 > 単価.

    単位コストが生成され、[単位コスト] テーブルに入力されます。単位コストは、単位コストテーブルの [単位コストアカウント] 列で、単位コストセグメントのフィルタリングされたすべてのアカウントに対して生成されます。

    [バケット情報を含める] チェックボックスを有効にすると、さまざまなバケットからの金額を表示できます。単位コストテーブルのバケットおよびサブバケット列で、バケットごとの単位コストを追跡できます。

    このテーブルには、総コストと数量も表示されます。測定基準の強制された関係に基づいて、アカウントの単位コストからさらにドリルダウンすることができます。

兄弟ロールアップ関係の定義

兄弟セグメントのアカウントに金額をロールアップする関係を定義します。階層内の直接の親または祖父母に限定されるのではなく、階層内の任意のアカウントに経費をロールアップできます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

手順

1. 移動先 ファイナンシャルモデリング > コストモデル > すべて.
2. [兄弟ロールアップ関係] タブをクリックします。
3. [新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[兄弟ロールアップ関係] フォーム

フィールド	説明
関係名	定義した兄弟関係に対して生成される名前。
始点セグメント	関係が作成されるセグメント。
終点セグメント	関係が確立されるセグメント。

5. [送信] をクリックします。

コストモデルのデータソースを変更するための前提条件

既存のデータソースのコストモデルと、関連するテーブルで収集および蓄積されたすべてのデータを消去します。次の手順に従って、データソースをシームレスに変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コストモデルのデータソースを変更する手順

1. 次のデータをそれぞれのテーブルから削除します。
   a. コスト割り当てブレークダウン集計 [itfm_allocation_breakdown] テーブルからのコストモデルの割り当てブレークダウン。
   b. コスト割り当て [itfm_allocation] テーブルからのコストモデルの割り当て。
   c. コスト割り当て集計 [itfm_allocation_aggregate] テーブルからのコストモデルの割り当て集計。
   d. 調整済み総勘定元帳データ [ltfm_gl_data_groomed] テーブルからのコストモデルの調整済みレコード。
   e. 総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_cl_data_cleansed] テーブルからのコストモデルの調クレンジング済みコード。
   f. コストモデルのコスト割り当て実行ログ [itfm_ca_run_log] テーブルのレコード。
2. コストモデルのデータソースを変更します。

コストモデルの選択

すべてのステージを通過するときに、ワークベンチで使用するコストモデルを 1 つ選択できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin

手順

[データ定義] ステージの [コストモデル] 選択リストから、処理するデータのコストモデルを選択します。

必要なコストモデルが表示されない場合は、コストモデルを作成できます。

コストモデル階層

すべてのアカウントは、コストモデル階層で構造化されたセグメントに属しています。

コストモデル階層を使用すると、下位レベルのアカウントとセグメントから上位レベルのアカウントとセグメントに経費をロールアップできます。たとえば、事業部門セグメントの下にビジネスサービスセグメントがあるデフォルトの階層を使用するとします。このロールアップを使用すると、メールなどのビジネスサービスに割り当てられた経費を、メールサービスを使用する事業部門 (そのうちの 1 部門は一般的に IT) にも適用することができます。

注:
セグメント関係フォームを使用するのではなく、ワークベンチを使用して階層を変更することをお勧めします。ワークベンチを使用して階層を変更すると、すべてのルールとメソッドが自動的に作成されます。

セグメント階層の構築

重要:
この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

財務モデルフォームの [セグメント階層の構築] リンクを使用すると、Financial Modeling ワークベンチのようにインタラクティブなユーザーインターフェイスを使用して簡単にモデル階層を作成できます。階層に新しいセグメントを追加するか、要件に従ってコストモデルからセグメントを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

割り当て

Financial Management アプリケーションで経費を割り当てると、経費は割り当てと呼ばれる詳細な金額に分割されます。

割り当ては、セグメントの階層内の特定のセグメントとアカウントに関連付けられます。

経費を割り当てるために、アプリケーションはコストモデルを構成する次のアイテムを使用します。

バケット割り当て
: 均等ベース、手動、または重み付けのいずれかで、ルールを使用して経費のブレークダウンを計算する、割り当て方法を使用したセグメントまたはセグメント内のアカウントへの特定のバケット割り当て。

セグメントロールアップ
: 金額があるセグメントから別のセグメントにロールアップする方法を定義します。

ロールアップ上書き
: セグメントの特定のアカウントからの金額は、階層内の任意のアカウントまたはセグメントにロールアップできます。

配分評価指標
: アプリケーションが重み付け計算またはスクリプトに基づいて経費を割り当てるために使用する追加の指示が含まれています。1 つのメソッドは、1 つ以上の測定基準を使用できます。

ワークベンチを使用して経費をアカウントとセグメントに割り当てると、すべてのルール、メソッド、および条件が自動的に作成されます。

Financial Management 管理者または財務アナリストロールを持つユーザーは、ワークベンチ (推奨される方法) を使用するか、リストやフォームを使用してコスト割り当てを管理できます。

チャージバック

アプリケーションは、「チャージバック」、つまり共有コストのセグメント間でクレジットを転送するために使用できる総勘定元帳経費の負の金額をサポートしています。チャージバック経費は、他の経費とは逆の方法で固定金額方式を処理します。たとえば、$100 のチャージバックに $50 を割り当てる固定金額タイプのメソッドは、総勘定元帳の経費で「-100」と表示され、ルールで指定された $50 のクレジットを適用します。

割り当て例

アプリケーションで提供されるデモデータには、さまざまなタイプの割り当ての良い例が示されています。次のような割り当てを行うことができます。

- 消費量に基づくストレージコスト
- 仮想マシンの使用に基づくプライベートクラウドコスト
- コスト、CPU、場所などに基づくサーバー
- プロジェクト管理契約コスト

アカウントのバケット

アカウントのバケットは、経費をアカウントとセグメントに割り当てる前に、クレンジング済み経費を分類するのに役立ちます。

複数の子バケットが単一の親バケットを参照できるように、バケットを親子関係に置くことができます。

Geneva リリース以降は、バケットも 1 つのコストモデルに関連付ける必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アカウントのバケットの作成

アカウントのバケットはワークベンチで作成できますが、バケットフォームを使用して作成することもできます。

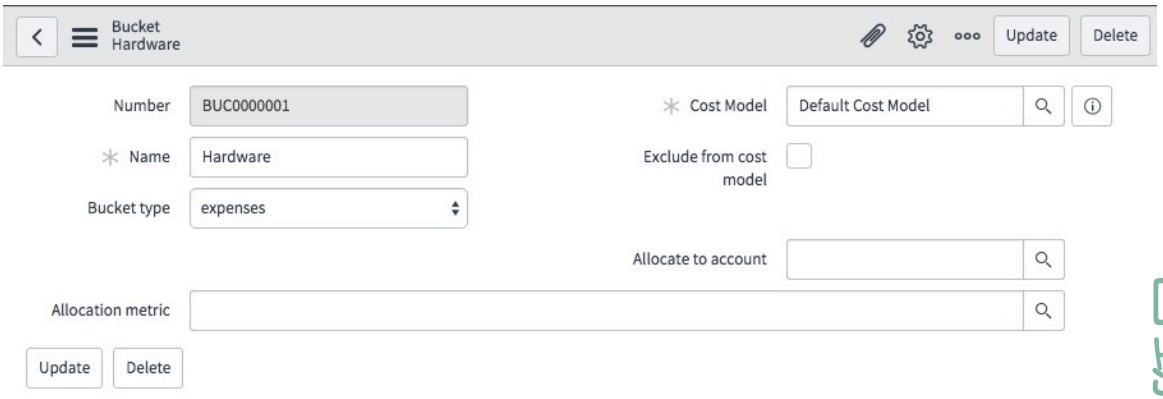
始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > コストモデル > バケット.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに適宜入力します (テーブルを参照)。
4. [送信] をクリックします。

バケットフォーム



バケットフォームフィールド

フィールド	説明
番号	バケットの識別番号が自動生成されます。
名前	バケットのわかりやすい名前。
バケットタイプ	バケットのタイプ： ○ セレクター：分割バケット ○ 経費：標準バケット (非分割)
コストモデル	このバケットに関連付けられたコストモデル。コストモデルを選択します。コストモデルレコードを開くと、それに関連付けられているバケットが [バケット] 関連リストに表示されます。これらは、経費をバケットに入れるときに、ワークベンチのそのコストモデルで使用できるバケットです。
コストモデルから除外	バケットが割り当てに使用されていない場合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親バケット	このバケットが関連付けられている親バケット。

経費をバケットに入れるときに、新しいバケットを追加し、バケットに入るデータをフィルタリングするバケットの条件を作成することもできます。

調整およびクレンジング条件

調整条件は、ワークベンチで変更を行った場合の経費の相互関係およびバケットとの関係を定義し、クレンジング条件は、セグメントごとの財務データのクレンジング方法を定義します。

調整条件

ワークベンチは、次の 3 つのタイプの調整条件を作成します。

- データクレンジング条件：クレンジングステージで行う経費の組み合わせを定義します。たとえば、Acme ベンダーの経費エントリを Acme Inc. ベンダーにドラッグすると、アプリケーションは、これらの経費すべてを Acme Inc. ベンダーに属するものとみなすようにワークベンチに指定する調整ルールを作成します。アプリケーションは、総勘定元帳クレンジング済みデータテーブル [itfm_cl_data_cleansed] の経費レコードの追加、削除、または変更を実際には行いません。
- バケット条件：バケット化ステージでバケットに追加した経費を定義します。
- 詳細クエリ条件：バケット化ステージでバケットに追加できる経費を定義します。ワークベンチを使用すると、アプリケーションによってデータクレンジングとバケット条件が自動的に作成されます。フォームビューまたはワークベンチから手動で作成する調整条件のタイプは、詳細クエリ条件のみです。

クレンジング条件

アプリケーションは、ワークベンチのクレンジングステージで経費を結合するときにクレンジング条件を作成します。これらのクレンジング条件を変更する必要はありません。

詳細クエリ条件の変更

経費をバケットに追加する方法を定義する既存の詳細クエリ条件を変更できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin

このタスクについて

注:
調整条件は、ワークベンチで自動的に作成されます。

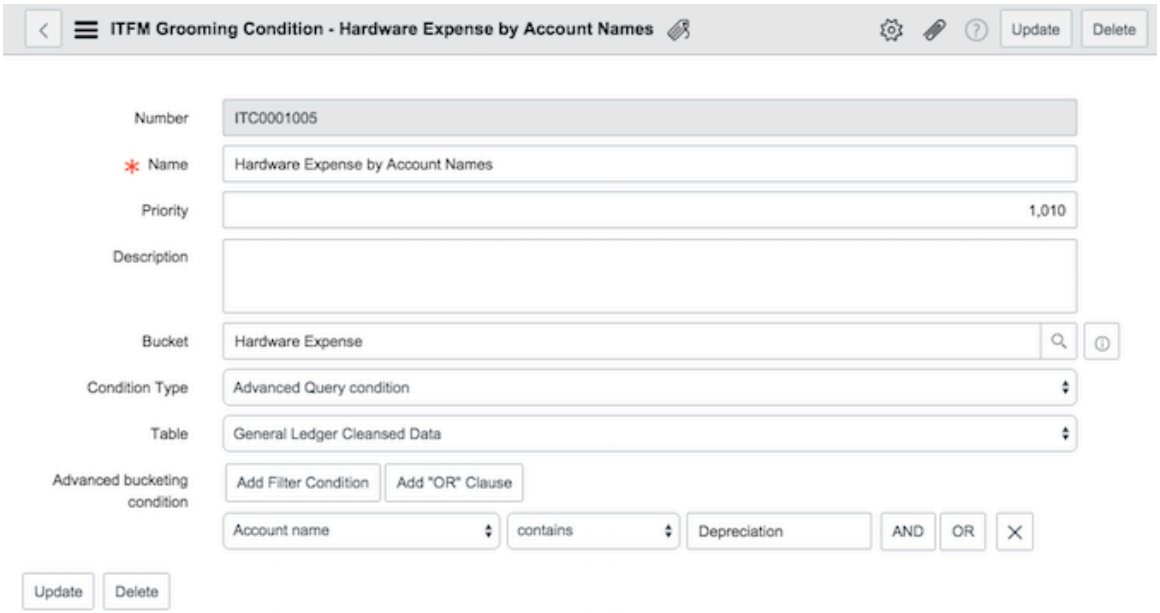
手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > コストモデル > 調整条件.
   結果のレコードリストは、詳細クエリ条件のみを表示するようにフィルタリングされます。
2. 調整条件番号をクリックして開きます。
3. 必要に応じてフォームのフィールドを変更します (テーブルを参照)。
4. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整条件の例



調整条件の例

フィールド	説明
番号	バケットの識別番号が自動生成されます。
名前	バケットのわかりやすい名前。
優先度	バケットを識別するためにシステムが使用するバケットのコード。任意の英数字コードを入力します。バケットコードを重複させることはできません。
説明	バケットが割り当てに使用されていない場合。
バケット	このバケットを親として使用するバケット。サブバケットを作成するには、[新規] をクリックし、フォームのフィールドに入力します。フィールドは、[親バケット] フィールドが表示される点を除いて、バケットフォームと同じです。
条件タイプ	調整条件のタイプ。[詳細クエリ条件] を選択します。
テーブル	バケットに入れるときにフィルタリングされる経費を含むテーブル。レコードが総勘定元帳クレンジング済みデータ [itfm_gl_data_cleansed] テーブルにあるかどうか。テーブルは変更しないでください。
詳細バケット化条件	詳細クエリ条件を満たす必要がある財務データを決定する条件。条件ビルダーを使用してフィルターを作成します。

自動翻訳

経費割り当て

経費割り当てとは、セグメントの階層内のアカウントに経費を割り当てることです。

総勘定元帳の調整済み経費にルールを適用することで、経費を割り当てることができます。ルールのメソッドと測定基準は、経費の割り当て方法を指定します。ルール、メソッド、および測定基準の仕組みの詳細については、「割り当て」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

復帰と再割り当て

総勘定元帳の調整済み経費が割り当てられた後は、元の割り当てを元に戻さない限り、再度割り当てることはできません。割り当てルール、メソッド、または測定基準が変更され、その変更に従って総勘定元帳経費を再割り当てする必要がある場合は、割り当てを元に戻す必要があります。さらに、セグメントの階層を変更する場合は、最初にすべての経費を元に戻す必要があります。

割り当て明細の表示

割り当てが完了したら、アプリケーションが作成した割り当て明細を表示できます。

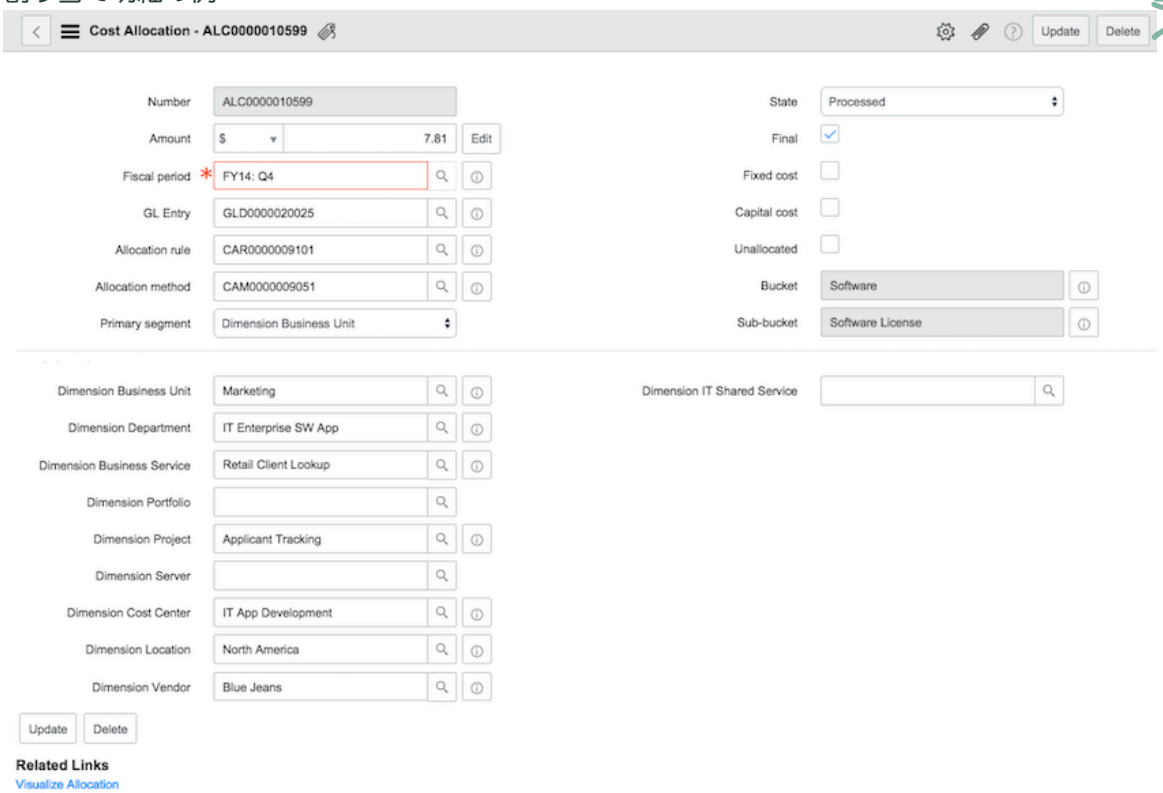
始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin

手順

1. 次のいずれかの方法で、変更する割り当て明細を開きます。
   - 割り当てを作成した総勘定元帳を介して割り当てにアクセスするには、次の手順を実行します。
   a. 移動先 ファイナンシャルモデリング > 総勘定元帳 > 調整済み経費.
   b. 探している割り当てを生成した経費を開きます。
   c. [コスト割り当て] 関連リストで、割り当て番号をクリックします。
   - すべての割り当てのリストから割り当てにアクセスするには、次の手順を実行します。
   a. 移動先 財務 > コストモデル > 割り当て明細.
   b. 割り当て番号をクリックします。
2. フォームの編集可能なフィールドのいずれかを確認または変更します (テーブルを参照)。
3. [更新] をクリックします。

割り当て明細の例



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コスト割り当て] フォームフィールド

フィールド	説明
総計	割り当ての額。
会計期間	この経費が属する会計期間会計期間。
GL エントリ	この割り当て明細の派生元である調整済み経費。
最終	最終とマークされたルールによって割り当て明細が処理された場合、または後続のルールがこの割り当てを処理できない場合。レポートは最終割り当て明細で実行されます。
バケット	割り当てが属するバケット。このバケットは、割り当て時に経費から取得されます。
サブバケット	割り当てが属するサブバケット。このサブバケットも、割り当て時に経費から取得されます。
[ディメンション]	セグメントの階層内のセグメント。値を含むセグメントフィールドは、割り当てを処理した割り当て方法で指定したセグメントです。複数のメソッドが割り当てを処理する場合、すべてのメソッドで指定されたすべての割り当て済みセグメントに値が含まれます。変更するには、各ディメンションの次にあるルックアップアイコンをクリックし、関連するレコードを選択します。

Financial Management の割り当て例

Financial Management アプリケーションで利用可能なデモデータには、割り当てルール、メソッド、および測定基準をモデル化するために使用できるコスト割り当ての例が示されています。

サーバーの数で割り当て

この重み付けされた配分評価指標は、サーバーコストに基づいてサーバーに割り当てます。

- 測定基準名：サーバーごとのサーバーコスト
- タイプ：重み付け

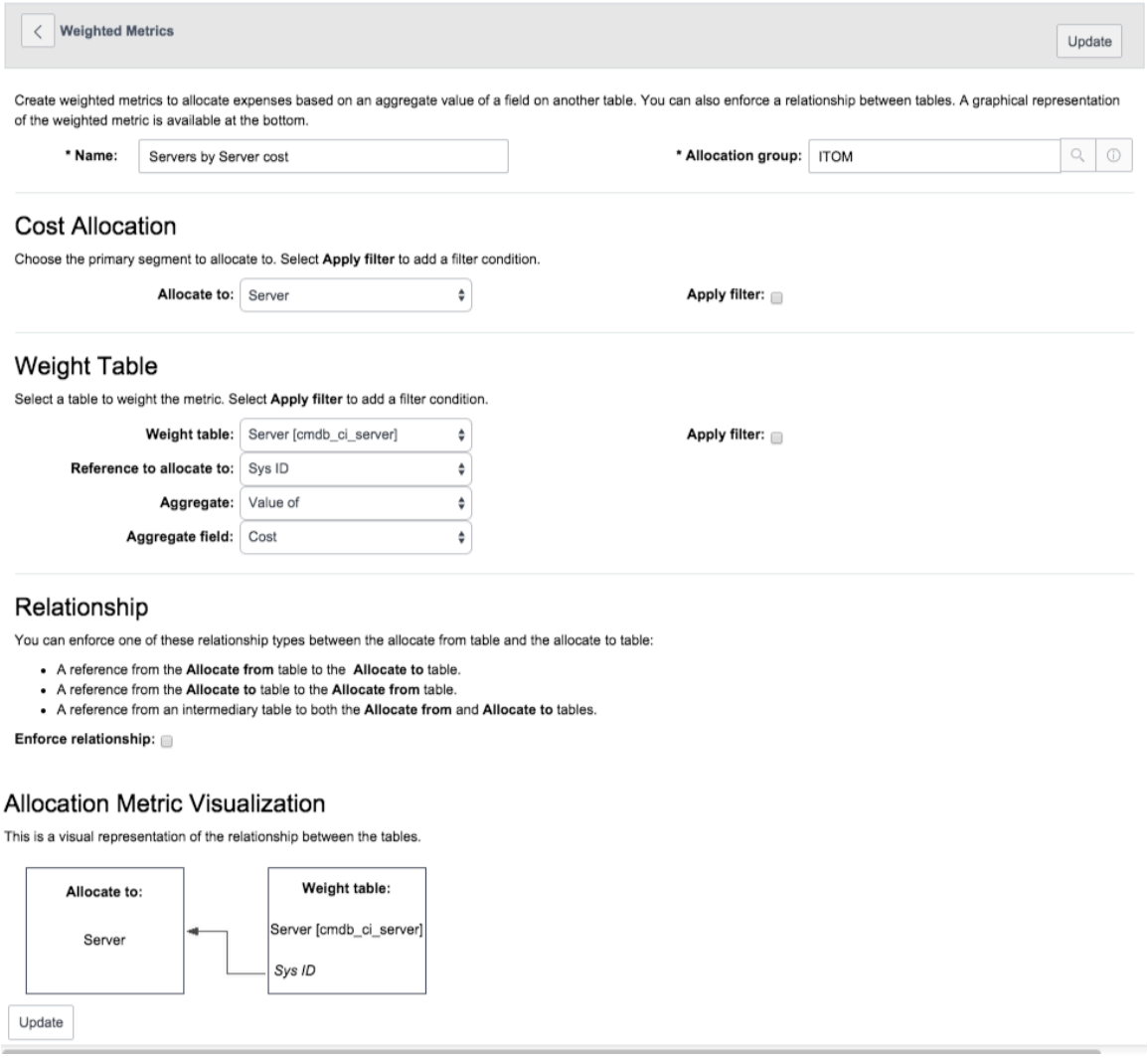
次のフィールド値に注意してください。

- [重み付けテーブル] は、CMDB のサーバーテーブルです。
- [割り当て先への参照] は、割り当て先の重み付けテーブルのフィールドです。この場合は、sys_id で識別される個々のサーバーに割り当てます。
- [集計] は、重み付けテーブルの [集計数 **(Aggregate count)]** フィールドの値を取得します。この場合は [コスト]です。
- [集計数 **(Aggregate count)]** は各サーバーのコストであり、サーバーレコードで識別されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーバーごとのコスト割り当てを重み付けする測定基準



測定基準の重み付けマップ

重み付けマップは、com.glide.fiscal_calendar.fiscal_unit プロパティで設定されたすべての会計単位の測定基準ごとに生成されます。

重み付けマップは、測定基準にアカウントを割り当てるための重み付けされた分割を保持する JSON です。重み付けされた測定基準に基づく割り当てまたはロールアップは、特定の会計期間に対して正しい重み付けマップが生成された場合にのみ機能します。

重み付けされた測定基準ビルダーフォームの [重み付けマップをプレビュー] (アプリケーションナビゲーターからも利用可能) は、特定の会計期間のアカウント間で重み付けがどのように分割されるかを示します。重み付けマッププレビューリストビューには、重み付けの総数と、重み付けマップが最後に生成された日時が表示されます。現在の重み付けマップが正しくないか生成されていない場合は、各アカウントブレークダウンの分割パーセンテージを表示し、[重み付けマップをプレビュー] ユーザーインターフェイスで重み付けマップを生成または再生成することもできます。

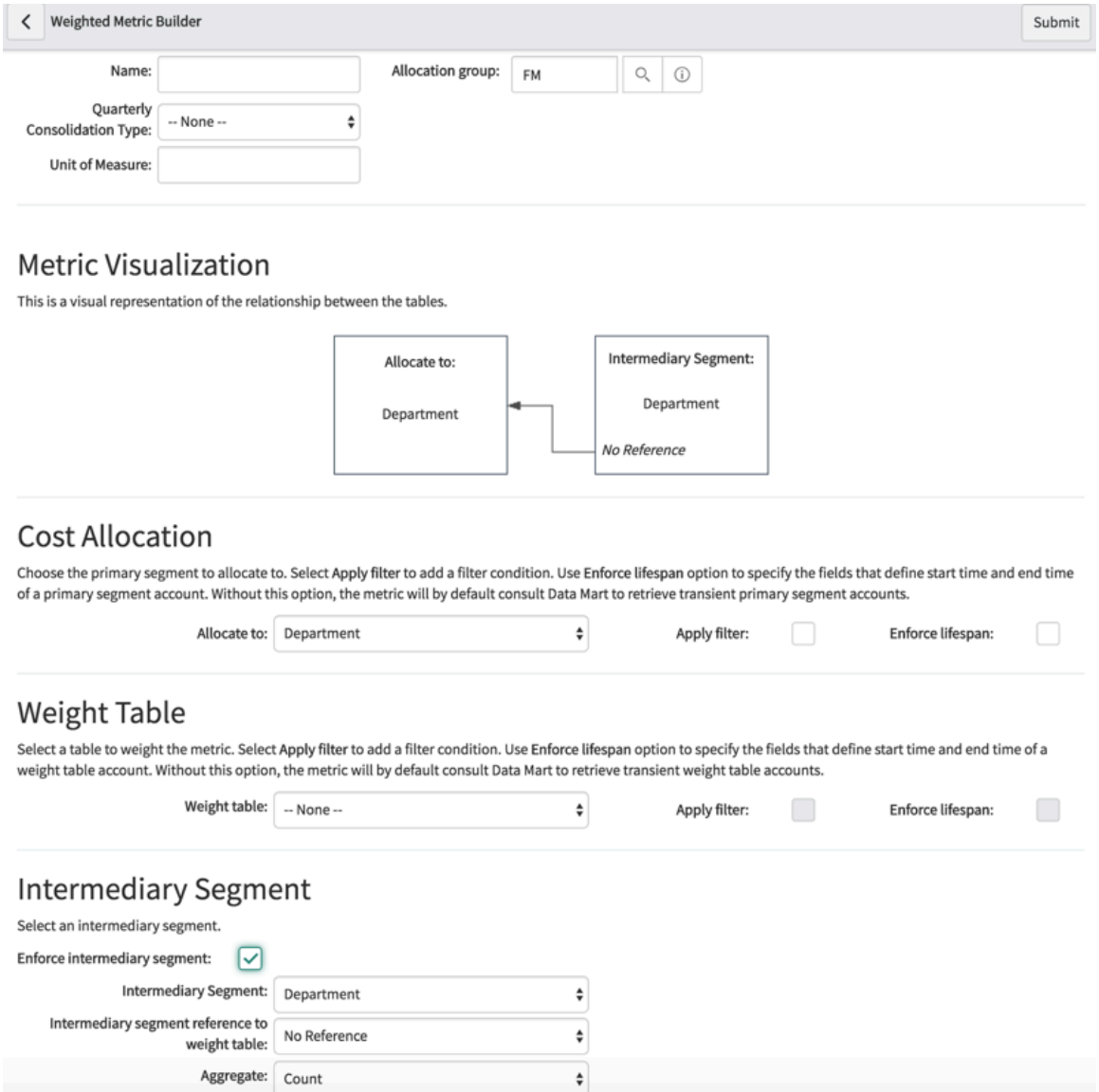
会計期間に対して事前に生成された重み付けマップは、割り当てページがまだロード処理中である間に、重み付けマップが自発的に生成されないように、割り当てワークベンチのパフォーマンスにも役立ちます。

次に、測定基準を使用する場合の重み付けマップとパーセンテージ割り当てを理解するための例を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重み付けマップとパーセンテージ割り当ての例



コスト分析を使用して金額の割り当てを表示する

会計期間の特定のコストモデルのコスト分析を使用し、割り当てワークベンチと同様の UI を使用してコストラインを表示します。コスト分析は、割り当てエンジンによって生成されたコストラインに基づいて、バケット金額、アカウントに割り当てられた金額、およびセグメントとアカウント全体のロールアップ金額を表示するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて

コスト分析は純粋にコスト割り当て明細に基づいているため、前の会計期間に行われた割り当てを、現在のコストモデルに定義された割り当てまたはロールアップルールに干渉することなく表示できます。

コスト分析は、割り当てられたコストを表示するために使用できる効果的なショーバックレポートツールです。割り当てエンジンを実行した後、アナリストはコスト分析を使用して、割り当てルールによって予想される金額が割り当てられているかどうかを検証できます。

自動翻訳

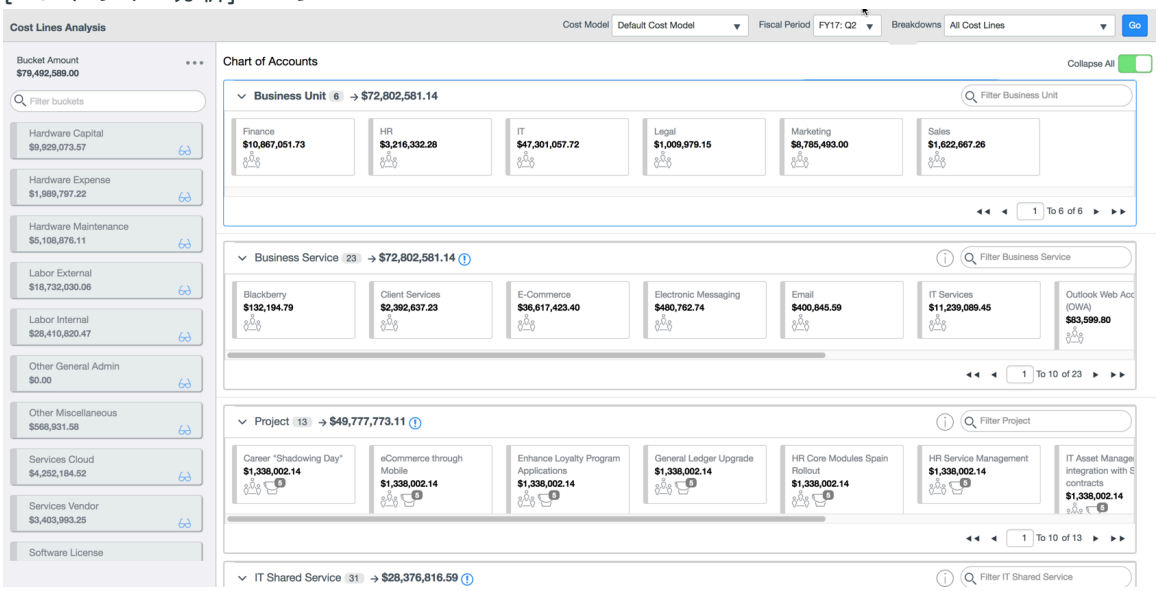
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

移動先 ファイナンシャルモデリング > ワークベンチ.

次の場所に移動することもできます。 ファイナンシャルモデリング > コスト分析.

[コストライン分析] ページ



[コストライン分析] ページには、次の主要な機能があります。

- 生成されたコストラインに基づくバケット、アカウント、およびそれらの金額。
- アカウントに割り当てられた統合バケット金額。
- そのセグメント内のすべてのアカウントのセグメントレベルの統合金額。
- バケットアイコン ( ) とリレーションシップアイコン ( ) は、[ワークベンチ] ページと同じように機能しますが、生成されたコストラインに基づいて機能します。
- アカウントとバケットの割り当てビューアー ( ) は、金額がどのようにロールアップされたかを示します。
- セグメントあたりの合計アカウント数のうち、5、10、15、25、または 50 個のアカウントをページに表示するように構成します。[構成] タブで設定したページネーションオプションは、[コストライン分析] ページでセグメントの選択したアカウント数を表示します。左右の矢印を使用すると、セグメント内のすべてのアカウントが表示されるまで、次のレコードセットに移動できます。

配分評価指標

配分評価指標には、アプリケーションが重み付け計算またはスクリプトに基づいて経費を割り当てるために使用する追加の指示が含まれています。割り当て方法は、測定基準を使用して割り当てを実行します。

利用可能な測定基準のタイプは次のとおりです。

- [重み付けされた測定基準] は、セグメントの集計値に基づく計算です。重み付けされた測定基準を使用して、セグメントで使用されるサーバーの数や資産の減価償却額など、インスタンス内の他のレコードに基づいてセグメントに割り当てられる経費の額に影響を与えます。経理管理者ロールを持つユーザーは、重み付けされた測定基準を作成できます。
- [スクリプト化され重み付けされた測定基準] は、スクリプト形式の重み付けされた測定基準です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スクリプト化された方法は、割り当て方法 API を使用するカスタマイズ可能なスクリプトに基づく計算です。これらの測定基準は、以前はスクリプト化済み測定基準と呼ばれていました。
- [システム測定基準] は、ワークベンチを使用するときにアプリケーションによって自動的に作成される測定基準です。これらの測定基準は読み取り専用であり、経理管理者ロールを持つユーザーがアクセスできます。詳細については、「ワークベンチの使用」トピックを参照してください。

注:
ワークベンチを使用して経費をアカウントとセグメントに割り当てると、すべてのルール、メソッド、および条件が自動的に作成されます。割り当てを設定するには、リストやフォームを使用するのではなく、ワークベンチを使用することをお勧めします。

Geneva リリース以降、会計期間が測定基準でサポートされています。

会計期間の表示、変更、および検証

会計カレンダーを生成した後、会計期間レコードを表示し、開始日と終了日を変更し、必要に応じて会計期間を非アクティブ化し、検証することができます。

始める前に
必要なロール：fiscal_calendar_user

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > 会計期間.
2. いずれかの会計期間を開いて (フィールドの説明については表を参照)、表示、変更、または非アクティブ化します。

[会計期間] フォーム

フィールド	説明
名前	会計期間の名前。
開始日時	会計期間の開始日。
終了日時	会計期間の終了日。
会計タイプ	[読み取り専用] 期間のタイプ。[年] または [四半期] のいずれかです。

3. 会計期間を検証して、ギャップがなく、有効なカレンダーのスタイルと一致していることを確認します。
   a. 検証するには、会計期間のリストビューに戻り、[検証期間] をクリックします。

重み付けされた配分評価指標の作成

拡張フォームまたは標準フォームを使用して、重み付けされた測定基準を作成できます。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin

このタスクについて
拡張フォームは、測定基準のさまざまなコンポーネント間の関係を理解するのに役立つ視覚化を提供します。デフォルトで開く拡張フォームを使用します。

自動翻訳

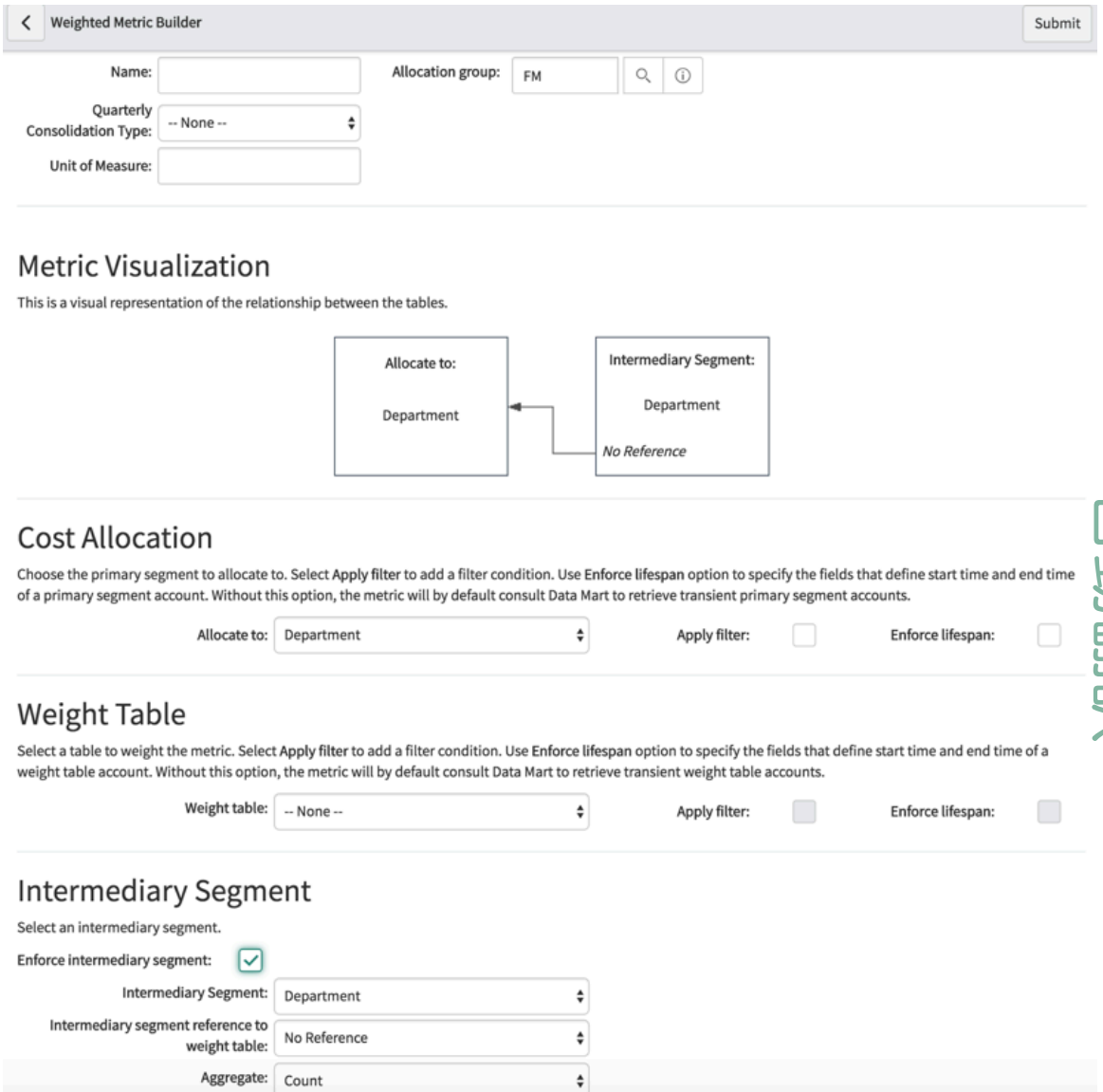
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > 消費測定基準 > 重み付けされた測定基準の作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

   重み付けされた割り当てのグラフ表示が [評価指標の表示方法] セクションに表示されます。
   フォームに変更を加えると、グラフィックが動的に更新されます。

重み付けされた測定基準ビルダー



[重み付けされた測定基準] フォーム

フィールド	説明
名前	測定基準のわかりやすい名前。
割り当てグループ	この測定基準に関連付けられたグループ。デフォルトのグループは ITSM です。
システムの測定基準	アプリケーションによってワークベンチで作成された測定基準。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リフレッシュ頻度	データが更新される頻度。
コスト割り当て	
割り当て先	割り当てが処理される階層内のセグメント。 関連するテーブルのフィールドにアクセスでき、ドットで区切られたフィールド名のチェーンへの参照は任意の数まで続けることができます。
フィルターの適用 (コスト割り当て)	条件ビルダーを表示するには、チェックボックスをオンにします。この測定基準を適用するには、選択した [割り当て先] セグメントフィールドを満たす必要がある基準を指定します。 条件の最初の部分に使用できるフィールドは、[割り当て先] に選択したテーブルによって異なります。条件ビルダーはドット連結をサポートしているため、別のテーブルのフィールドを選択できます。
重み付けテーブル	
重み付けテーブル	集計に基づいて割り当て金額を重み付けするために使用されるテーブル。
割り当て元への参照	[割り当て元] セグメントを参照する重み付けテーブルのフィールド。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックスがオンの場合に利用可能です。 関連するテーブルのフィールドにアクセスでき、ドットで区切られたフィールド名のチェーンへの参照は任意の数まで続けることができます。
割り当て先への参照	[割り当て先] セグメントを参照する重み付けテーブルのフィールド。 関連するテーブルのフィールドにアクセスでき、ドットで区切られたフィールド名のチェーンへの参照は任意の数まで続けることができます。
集計	重み付けテーブルのレコードに対して実行する集計のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ カウント：重み付け条件を満たすレコードの数を重み付けテーブルでカウントします。 ○ 値：選択したフィールドの値。 ○ 合計：選択したフィールドのテーブルの値の合計。 ○ 平均：選択したフィールドのテーブルの値の平均。 ○ 最小：選択したフィールドのテーブルの値の最小値。 ○ 最大：選択したフィールドのテーブルの値の最大値。
集計フィールド	集計計算に使用される重み付けテーブルのフィールド。このフィールドは、 [カウント] 以外の集計が選択されている場合に使用できます。
フィルターを適用 (重み付けテーブル)	条件ビルダーを表示するには、チェックボックスをオンにします。アプリケーションが重み付けテーブルを使用して経費を割り当てる前に、この条件を満たす必要がある場合。
中間セグメント	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
中間セグメントを強制	中間セグメントを強制するオプション。
中間セグメント	コストモデル階層に含まれていない中間セグメントとして識別されるセグメント。
重み付けテーブルへの中間セグメント参照	中間セグメントと、重み付けテーブルで定義および参照される [割り当て先] セグメントとの関係。
集計	重み付けテーブルのレコードに対して実行される集計のタイプ。
関係	
関係を強制	別のセグメントとの既存の関係に基づいて、この測定基準が割り当てるセグメントを制限します。
割り当て元	割り当てが処理される元のテーブル。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックスがオンの場合に利用可能です。 関連するテーブルのフィールドにアクセスでき、ドットで区切られたフィールド名のチェーンへの参照は任意の数まで続けることができます。
関係タイプ	[割り当て元] テーブルと [割り当て先] テーブルの間の関係のタイプ。 ○ 割り当て元：[割り当て元] テーブルから [割り当て先] テーブルへの参照。 ○ 割り当て先：[割り当て先] テーブルから [割り当て元] テーブルへの参照。 ○ 中間：[割り当て元] テーブルと [割り当て先] テーブルの両方への中間テーブルからの参照。
以下からの関係フィールド	割り当て元テーブルの [割り当て元] テーブルのフィールド。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックスと [割り当て元] 関係タイプが選択されている場合に利用可能です。
以下への関係フィールド	割り当て元テーブルの [割り当て先] テーブルのフィールド。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックスと [割り当て先] 関係タイプが選択されている場合に利用可能です。
フィルターを適用 (関係)	アプリケーションが次のいずれかのアクションを実行する前に、以下の条件を満たす必要があります。 ○ [割り当て元] 関係タイプを選択した場合は、[割り当て元] テーブルを使用して経費を割り当てます ○ [中間] 関係タイプを選択した場合は、[中間] テーブルを使用して経費を割り当てます 次に、このチェックボックスを選択して、条件ビルダーを表示します。
中間テーブル	[割り当て元] テーブルと [割り当て先] テーブルの間で接続するために使用されるテーブル。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックスと [中間] 関係タイプが選択されている場合に利用可能です。
以下からの中間テーブルフィールド	[割り当て元] テーブルにマッピングする中間テーブルのフィールド。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックスと [中間] 関係タイプが選択されている場合に利用可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	関連するテーブルのフィールドにアクセスでき、ドットで区切られたフィールド名のチェーンへの参照は任意の数まで続けることができます。
以下への中間テーブルフィールド	[割り当て先] テーブルにマッピングする中間テーブルのフィールド。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックスと [中間] 関係タイプが選択されている場合に利用可能です。 関連するテーブルのフィールドにアクセスでき、ドットで区切られたフィールド名のチェーンへの参照は任意の数まで続けることができます。
テーブル条件フィルターから割り当て	この測定基準を適用するのに、[割り当て元] テーブルのレコードが満たす必要がある基準。これらのフィールドは、[関係を強制] チェックボックス、[割り当て元] 関係タイプ、および [フィルターを適用] チェックボックスが選択されている場合に利用可能です。
中間テーブル条件のフィルター	この測定基準を適用するのに、[中間] テーブルのレコードが満たす必要がある基準。このフィールドは、[関係を強制] チェックボックス、[中間] 関係タイプ、および [フィルターを適用] チェックボックスが選択されている場合に利用可能です。
重み付けマップをプレビュー	選択した測定基準と会計期間の重み付けマップが生成されます。プレビューには、重み付けの総数と最後に生成された日時を含む重み付けマップレビューが表示されます。
会計期間選択リスト	会計カレンダーからの会計期間。
セグメント選択リスト	ロールアップセグメントのアカウント。
重み付け合計テーブル	
重み付け合計テーブルからの割り当てを強制	重み付け合計テーブルからの割り当てを強制を有効にするチェックボックス。
重み付け合計テーブル	実際の消費値を取得するテーブル。
関連リンク	
標準フォームを表示	詳細フォームと標準フォームを切り替えます。
関連リスト	
コスト割り当て方法	このルールが経費を分類するために使用する割り当て方法。
コスト割り当て	このルールによって作成された割り当て明細。

注:
ロックされた割り当て明細によって参照されているルールは削除できません。

[重み付け合計からの割り当てを強制] は、キャパシティに基づく配分評価指標です。IT 財務アナリストは、サービスの総キャパシティが消費されたものの合計よりも大きいコストを割り当てることもできます。このオプションを有効にするには、[重み付け合計テーブル] セクションの [重み付け合計からの割り当てを強制] チェックボックスを選択する必要があります。総消費量テーブルを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択し、総消費キャパシティに基づいて測定基準の重み付け合計を計算します。重み付けされた測定基準は、利用可能な消費単位の合計数に基づいてコストを割り当てます。

> **注:**
> 割り当て関係を強制するか、重み付け合計から割り当てを強制することができます。割り当て合計が消費された値の合計より大きい場合は、合計の重み付けを強制します。一方、強制割り当て関係は、重み付けテーブル内の (すべての個々のエンティティの) すべての消費値の合計が合計キャパシティ 100% になると機能します。詳細については、「重み付けされた測定基準を使用した割り当ての重み付け合計サポート」を参照してください。

[中間セグメント] オプション：このオプションは、多数のアカウントを持つセグメントが多数の割り当て明細に追加される場合に使用します。この場合も中間セグメントは、適切な割り当てのためにロールアップする量として考慮されます。ただし、中間として識別されたセグメントはコストモデルの階層に含まれず、その割り当て明細は生成されません。

セグメントを中間セグメントとして識別するオプションは、複数のコストラインの生成でセグメントを除外することだけです。ただし、正確な金額ロールアップのためにセグメントを含めるには、中間セグメントと [割り当て先] セグメントの関係に基づいて測定基準を作成する必要があります。関係に基づいて割り当てエンジンが重み付けを作成し、重み付けに基づいて中間セグメントの割り当て明細が生成されます。

重み付けテーブルで参照される中間セグメントの重み付けを処理するコスト配分評価指標を作成する必要があります。2 セットの重みマップが生成されます。1 つは中間セグメント用で、もう 1 つは割り当て先セグメント用です。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
作成した重み付けマップをプレビューするには、[重み付けマップをプレビュー] ボタンをクリックします。

重み付けマップをプレビュー

重み付けマップ をプレビューして、生成された測定基準重み付けマップを表示することができます。これは、選択した測定基準と選択した会計期間のアカウントが、アカウントごとに分割されたパーセンテージで表示されるためです。

始める前に
必要なロール：cost_transparency_admin または cost_transparency_analyst

このタスクについて
割り当てワークベンチでは、割り当てを実行すると、すべての月、四半期、または期間の経費概要が表示され、ウィンドウがすべての四半期のデータで乱雑になります。UI ページの乱雑さを解消するために、独自のページで重み付けマップをプレビューできます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > 消費測定基準 > 重み付けマップのプレビュー.
   a. または、次の場所に移動することもできます。 ファイナンシャルモデリング > 消費測定基準 > すべての測定基準.
   b. コスト配分評価指標をクリックして、重み付けされた測定基準ビルダーを開きます。
   c. [重み付けマップのプレビュー] をクリックします。
2. 左ペインの [測定基準] リストから測定基準を選択します。
3. [会計期間] リストから会計期間を選択します。
4. [生成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

右側のペインには、生成された日付と時刻の詳細、アカウント、それぞれの重み付け、合計の重み付け、および分割パーセンテージが表示されます。重み付けマップを再生成して、会計期間の毎月または四半期ごとに をプレビューすることができます。

5. 選択した測定基準に基づいて [生成] または [すべて生成] をクリックします。

   - [生成] をクリックして、セグメントのアカウントを階層の上のセグメントにロールアップします。選択した測定基準に基づいて、ロールアップされたセグメントのアカウント間で金額が分割されます。

   - [すべて生成] ボタンは、階層の上のセグメントの 1 つ以上のアカウントに対する測定基準定義の [関係を強制] オプションを使用して、セグメント内のすべてのアカウントのロールアップを個別に定義する測定基準を選択した場合に有効になります。

スクリプト化された配分評価指標の作成

標準のコスト配分評価指標フォームを使用して、スクリプト化済み測定基準とメソッドを作成できます。

始める前に

必要なロール：cost_transparency_admin

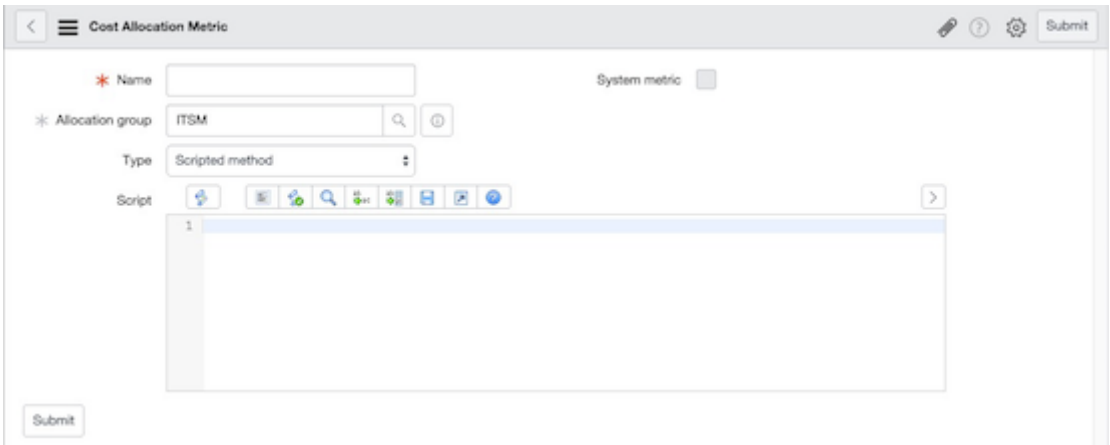
このタスクについて

スクリプト化されたフォームとスクリプト化された方法で重み付けされた測定基準を作成できます。詳細については、「配分評価指標」を参照して下さい。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンシャルモデリング > 消費測定基準 > スクリプト化され重み付けされた測定基準の作成.
2. [新規] をクリックします。
3. [タイプ] フィールドで [スクリプト化され重み付けされた測定基準] または [スクリプト化された方法 **(Scripted method)]** を選択します。
4. フォームのフィールドに適宜入力します (テーブルを参照)。
5. [送信] をクリックします。

スクリプト化済み測定基準の例



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[スクリプト化済み測定基準] フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	測定基準のわかりやすい名前。
割り当てグループ	この測定基準に関連付けられたグループ。[コスト割り当て方法] フォームでグループを選択すると、測定基準の選択がグループを使用する測定基準のみに制限されます。
システムの測定基準	この測定基準がアプリケーションによってワークベンチで作成された場合。
タイプ	スクリプトのタイプ。[スクリプト化された方法] または [スクリプト化済み重み付け測定基準] を選択して、[スクリプト] フィールドを表示します。
スクリプト	割り当てを計算するスクリプト。
関連リスト	
コスト割り当て方法	測定基準を使用するメソッド。関連リストにメソッドを追加するか、メソッドフォームに移動して作成した測定基準を選択することができます。

注:
ロックされた割り当て明細によって参照されているルールは削除できません。

財務課金

財務課金は Financial Management に欠かせない要素であり、事業部門長、部門長、アカウント責任者など、サービスを利用する組織内のさまざまなステークホルダーにビジネスサービスの財務面をレポートするのに役立ちます。

注:
この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

ServiceNow の財務課金の詳細については、この 4 分間のビデオをご覧ください。 このビデオでは、財務課金、財務課金プロセスに関与するユーザー、ショーバックステートメント、および Financial Modeling について説明します。

ビジネスサービスは、組織内または組織にサービスを提供するように構成されている、相互接続された一連のアプリケーションとホストです。組織内で利用されたビジネスサービスと製品を追跡し、サービスのコストをショーバックステートメントとして表示します。ショーバックステートメントは、事業部門長にレポートするために、消費したサービスをコストの観点から報告します。

ショーバックステートメントは、消費の可視性を提供し、提供されるサービスの自動化を改善します。これらのステートメントは、サービスを処理するサービスオーナーが消費データを表示し、予算を作成する際にも役立ちます。

ショーバックステートメントは、サービス消費の詳細とサービスのコストのレコードであるステートメントアイテムを通じて消費されたサービスを報告します。これらのレコードの詳細はステートメントアイテムとして記述され、次のようなさまざまなソースから取得されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 消費テーブル：コストと消費ボリュームは、消費データを含む任意のプラットフォームテーブルから取得できます。
- コストモデル：コストデータのソースは、Financial Modeling アプリケーションからのコスト割り当て明細です。
- サービスカタログ：コストと消費量は、特定のサービスカタログカテゴリまたはカタログアイテムに対して実行されたカタログ要求に基づくことができます。

次に行うこと

ユーザーにロールを割り当てます。ショーバック機能を使用するように財務課金アプリケーションをセットアップします。

財務課金アプリケーションのセットアップ

財務課金アプリケーションには、ビジネスサービスのショーバック機能を使用する前にセットアップする必要があるコンポーネントがいくつかあります。

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

次に行うこと

最初のステップとして、サービスを定義する必要があります。提供するサービスとサービスの使用率に基づいて、サービスを使用した事業部門のレポートとして会計期間のショーバックステートメントが生成されます。

使用されているビジネスサービスと使用されているリソースをコストの観点から測定するために、ショーバックステートメントはステートメントアイテムを使用します。ステートメントアイテムは、コストの詳細を取得する必要があるソースをキャプチャします。ステートメントアイテムのタイプを決定します。これにより、コストデータの取得元のソースが決定されます。

ステートメントアイテムタイプの決定

ステートメントアイテムを作成する最初のステップとして、ステートメントアイテムのタイプを決定します。または、消費または使用の詳細と消費コストデータを取得するソースを決定する必要があります。

始める前に

必要なロール：service_charging_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて

消費ステートメントアイテム

消費ステートメントアイテムのコストは、消費データを含む任意のプラットフォームテーブルから会計期間ごとに生成されます。コスト情報は、同じテーブルから取得することも、レートカードから適用することもできます。

コストモデルステートメントアイテム

コストモデルステートメントアイテムは、Financial Modeling アプリケーションから割り当てられた単位コストデータを取得します。

サービスカタログステートメントアイテム

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムのコスト、消費量、および消費の詳細は、サービスカタログの要求アイテム (sc_req_item) テーブルから取得できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 管理 > ステートメントアイテム.
2. ステートメントアイテムを作成するには、[新規] をクリックするか、[ステートメントアイテム] リストで編集する既存のステートメントアイテムの名前をクリックします。
3. 作成するステートメントアイテムのタイプを選択します。

次のタスク
消費データが利用可能なソースに応じて、ステートメントアイテムを定義します。

[ステートメントアイテムのタイプ] フォーム

フィールド	説明
消費ステートメントアイテム	消費ステートメントアイテムを作成するためのリンク。
コストモデルステートメントアイテム	コストモデルステートメントアイテムを作成するためのリンク。
サービスカタログステートメントアイテム	サービスカタログステートメントアイテムを作成するためのリンク。

消費ステートメントアイテムの定義

コストとビジネスサービス使用率の詳細が外部消費テーブルから調達されている場合は、ステートメントアイテムの消費テーブルの消費の詳細を調達できます。

始める前に
必要なロール：service_charging_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて
ビジネスサービス消費の詳細は、1 つまたは他のプラットフォームアプリケーションに属するテーブル、または外部消費テーブルから取得できます。その場合、消費の詳細をプラットフォームテーブルにロードできます。消費テーブルには、ビジネスサービスの日次または月次の消費の詳細が表示されます。サービスのコストは、使用状況に基づいて、会計期間の単位コストと消費数量を使用して計算されます。

たとえば、家庭用の電力消費量の月次料金請求書には、実行しているアプライアンスの詳細と、毎月および毎年計算される電力消費量 (ワット) が含まれています。単価と消費数量に基づいて、請求額が生成されます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 管理 > ステートメントアイテム.
2. [ステートメント] リストで、[新規] をクリックします。
3. [ステートメントアイテムのタイプは？] クエリフォームで、[消費ステートメントアイテム] リンクをクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[消費ステートメントアイテム] フォーム

フィールド	説明
名前	消費ステートメントアイテムの名前。
消費テーブル	ステートメントアイテムとして設定された消費データを持つソーステーブル。
消費アイテム	消費テーブルで消費データが保持されるアイテム。
消費日	消費日の詳細がある消費テーブルの列。
有効	ステートメントアイテムをアクティブにするチェックボックス。
ビジネスサービス	ステートメントアイテムを構成済みアイテムとして使用するビジネスサービス。 サービスを定義する こともできます。
会計単位	会計単位は、消費データが生成される会計カレンダーに基づく月、四半期、または期間である必要があります。
集計	消費テーブルは、選択した集計関数に基づいて照会されます。
説明	ステートメントアイテムの簡単な説明
消費テーブルフィルター	条件を満たすアイテムを表示するためのフィルター。
総計	
価格基準	価格を決定する基準を選択します。 ○ 金額は、消費テーブルの選択した [金額] フィールドからデータを取得します。 ○ レートカードクラスは、ステートメントアイテムに設定されている価格設定ポリシーに基づいています。 ○ 単価は、アイテムの単位あたりの原価です。
金額フィールド	[価格基準] が金額の場合、選択したフィールドから金額データが取得されます。
レートカードクラス	レートカードクラス。
消費テーブルレートカードマッピングフィールド	[価格基準] フィールドで [レートカードクラス] を選択した場合、金額は消費テーブルのレートカードをマッピングされるフィールドとレートカードアイテムをマッピングするフィールドに基づいて導出されます。
レートカードアイテムマッピングフィールド	[価格基準] フィールドで [レートカードクラス] を選択した場合、金額はレートカードアイテムマッピングフィールドと消費テーブルレートカードマッピングフィールドに基づいて導出されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サービスの課金	
サービスオーナー	ビジネスサービスを所有し、消費ステートメントアイテムを表示するユーザー。 サービスオーナーは、ショーバックアイテムを管理できます。単位コスト、消費量に基づくコスト回収を表示し、ショーバックアイテムの単価、割引、または追加料金を設定できます。
価格設定ポリシー	ステートメントアイテムの価格設定ポリシーを、ステートメントアイテムレベル、ステートメントアイテムブレークダウンレベル、またはアイテムレベルで設定します。 ステートメントアイテムレベルで価格設定ポリシーを設定した場合、サービスオーナーとして行う価格調整には、ステートメントアイテムレベルで調整された価格が反映されます。同様に、ステートメントアイテムのブレークダウンとアイテムレベルについては、価格調整がそれぞれのレベルで反映されます。
価格設定ポリシー手法	カタログアイテムの平均単位コストのパーセンテージに基づいて価格調整を設定します。または、アイテムの単価を設定して平均単位コストを上書きします。 **注:** 価格設定ポリシーがアイテムレベルの場合は、パーセンテージベースの価格設定ポリシー手法を選択できます。

5. [送信] をクリックします。
6. 消費ステートメントアイテムの課金ラインを生成するには、[課金ラインを生成] をクリックします。
   a. 課金ラインを生成するには、[課金ラインを生成] ダイアログボックスに会計期間を入力します。
   b. [**OK**] をクリックします。
7. 更新されたレコードを保存するには、[更新] をクリックします。
8. レコードを削除するには、[削除] をクリックします。

次のタスク

消費ステートメントアイテムのブレークダウンレコードを作成するには、[消費ブレークダウン] 関連リストで [新規] をクリックします。

消費ブレークダウンの作成

消費ブレークダウンレコードを作成し、消費ステートメントアイテムを構成する経費明細アカウントをレポートして、ショーバックレポートをより詳細にします。

始める前に

必要なロール：service_charging_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて

たとえば、ストレージサービスの請求書には、階層 I、階層 II、階層 III ストレージなどの個々のアイテムの消費量の詳細を記載できます。これらの各アイテムは、各アイテムの単位コストに基づいて計算された関連コストを提供します。

手順

1. 消費ステートメントアイテムのブレークダウンレコードを作成するには、[消費ブレークダウン] 関連リストで [新規] をクリックします。
2. フォームフィールドに記入します。

[消費ブレークダウン] フォーム

フィールド	説明
名前	消費ブレークダウンの名前。
テーブル	デフォルトは、データの取得元であるテーブルです。
条件	テーブルから条件を満たすデータをフィルタリングします。

3. [送信] をクリックしてレコードを保存します。

コストモデルステートメントアイテムの定義

アイテムまたはサービスのコストは、Financial Modeling アプリケーションの割り当て明細から導出されます。ステートメントアイテムは、セグメントアカウント、セグメント内の特定のアカウント、またはアカウントのバケットからコストを取得し、会計期間のステートメントアイテムのコストを提供します。

始める前に

必要なロール：service_charging_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 管理 > ステートメントアイテム.
2. [ステートメントアイテム] リストで、[新規] をクリックします。
3. [ステートメントアイテムのタイプは？] クエリフォームで、[コストモデルステートメントアイテム] リンクをクリックします。
4. フォームフィールドに記入します。

[コストモデルステートメントアイテム] フォーム

フィールド	説明
名前	コストモデルステートメントアイテムの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コストモデル	ステートメントアイテムのコストデータを取得する Financial Modeling アプリケーションで使用されるコストモデル。
単位コスト測定基準	重み付けされた測定基準に基づいて単位コストを計算します。
セグメント	コストが報告されるセグメント。
有効	チェックボックスを有効にして、コストモデルステートメントアイテムをアクティブにします。
ビジネスサービス	ステートメントアイテムを構成済みアイテムとして使用するビジネスサービス。 サービスを定義する こともできます。
会計単位	会計単位を月、四半期、または期間として定義します。 デフォルトは、選択したコストモデルに基づいています。
トランザクションテーブル	セグメントが参照するトランザクションテーブルの名前。 選択したセグメントに基づくデフォルト。
説明	ステートメントアイテムの簡単な説明
フィルター基準	
セグメントアカウントフィルター	条件を満たすセグメントアカウントについてレポートするフィルター条件。
バケットフィルター	セグメント内のアカウントに経費を割り当てるバケットへのフィルター条件。
サブセグメント	
サブセグメント	選択したセグメントのセカンダリセグメント。 サブセグメントは、コストモデル階層で選択されたセグメントの下にあるセグメントです。
トランザクションテーブル	サブセグメントが参照するトランザクションテーブルの名前。 選択したサブセグメントに基づくデフォルト。
サブアカウントフィルター	条件を満たすセグメントアカウントについてレポートするフィルター条件。
サービスの課金	
サービスオーナー	サービスを所有し、消費ステートメントアイテムを表示するユーザー。 サービスの課金オーナーは、ショーバックアイテムを管理できます。単位コスト、消費量に基

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	づくコスト回収を表示し、ショーバックアイテムの単価、割引、または追加料金を設定できます。
価格設定ポリシー	価格設定ポリシーは、ステートメントアイテムに対して次のいずれかのレベルで設定できます。 ○ ステートメントアイテムレベル：コンソールで行う価格調整は、ステートメントアイテムレベルで反映されます。 ○ ステートメントアイテムのブレークダウンレベル：ステートメントアイテムのブレークダウンレベルで調整された価格を反映します。 ○ アカウントレベル：調整された価格は、アカウントレベルで経費明細に反映されます。
価格設定ポリシー手法	セグメントアカウントの平均単位コストのパーセンテージに基づく価格調整。または、平均単位コストを単価価格設定ポリシー手法で上書きします。 **注:** 価格設定ポリシーがアカウントレベルの場合は、パーセンテージベースの価格設定ポリシー手法を選択できます。

5. [送信] をクリックします。
6. コストモデルステートメントアイテムの課金ラインを生成するには、[課金ラインを生成] をクリックします。

   a. 課金ラインを生成するには、[課金ラインを生成] ダイアログボックスに会計期間を入力します。

   b. [**OK**] をクリックします。

   ショーバック用に生成されたステートメントラインは、経費明細の延長です。
7. 更新されたレコードを保存するには、[更新] をクリックします。
8. レコードを削除するには、[削除] をクリックします。

次のタスク

コストモデルステートメントアイテムのブレークダウンレコードを作成するには、[コストモデルブレークダウン] 関連リストで [新規] をクリックします。

コストモデルブレークダウンの作成

コストモデルステートメントアイテムのブレークダウンを作成し、コストモデルステートメントアイテムを構成するコンポーネントと、これらの各コンポーネントに関連付けられたコストをレポートすることで、より明確になります。

始める前に

必要なロール：service_charging_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて

たとえば、電子メッセージステートメントアイテムは、データネットワークやストレージなどのコンポーネントサービスのブレークダウンの詳細を提供できます。これらの各アイテムは、各アイテムの設定された単位コストによって計算された関連コストを提供します。

手順

1. 作成したコストモデルステートメントアイテムのブレークダウンレコードを作成するには、[コストモデルブレークダウン] 関連リストで [新規] をクリックします。
2. フォームのフィールドに入力します。

[コストモデルブレークダウン] フォーム

フィールド	説明
名前	コストモデルブレークダウンの名前。
ステートメントアイテム	ビジネスサービスの消費の詳細が表示されるヘッダー。
テーブル	セグメントが参照するトランザクションテーブルの名前。
単位コスト測定基準	単位コストの計算に使用される配分評価指標。
セグメントアカウントフィルター	セグメントアカウントのデータに適用されるフィルター。
バケットフィルター	セグメントアカウントに経費を割り当てるバケットに適用されるフィルター。
サブセグメント	サブセグメントとして追加されたセグメントで、サブセグメントのレコードに経費を割り当てます。
サブアカウントフィルター	条件を満たすアカウントのデータに適用されるフィルター。

3. [送信] をクリックします。

サービスカタログステートメントアイテムの定義

ビジネスサービスは、サービスカタログカテゴリまたはカタログアイテムで表すことができます。サービスカタログからのサービス要求が履行されると、サービスカタログアイテムに記載されているサービスの価格が、会計期間のステートメントアイテムのコストとして取得されます。

始める前に

必要なロール：service_charging_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 管理 > ステートメントアイテム.
2. [新規] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [サービスカタログステートメントアイテム] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[サービスカタログステートメントアイテム] フォーム

フィールド	説明
名前	サービスカタログステートメントアイテムの名前。
ビジネスサービス	ステートメントアイテムを構成済みアイテムとして使用するビジネスサービス。 サービスを作成 できます。
カタログ	ステートメントアイテムをレポートするカタログ。システム内のカタログのリストを表示します。
カテゴリ	消費の詳細をレポートするために使用される、選択したカテゴリのカタログアイテム。
カタログアイテム	消費が報告される、選択したカタログおよびカテゴリのカタログアイテム。
有効	サービスカタログステートメントアイテムをアクティブにするチェックボックス。
会計単位	会計単位は、ステートメントアイテムが生成される会計カレンダーに基づく月、四半期、または期間である必要があります。
説明	ステートメントアイテムの簡単な説明
サービスの課金	
サービスオーナー	ビジネスサービスを所有し、サービスカタログステートメントアイテムを表示するユーザー。 サービスオーナーは、ショーバックアイテムを管理し、単位コスト、消費量に基づくコスト回収を表示し、ショーバックアイテムの単価、割引、または追加料金を設定できます。
価格設定ポリシー	価格設定ポリシーは、ステートメントアイテムに対して次のいずれかのレベルで適用できます。 ○ ステートメントアイテムレベル：調整された価格は、ステートメントアイテムレベルで反映されます。 ○ ステートメントアイテムのブレークダウンレベル：調整された価格は、ステートメントアイテムのブレークダウンレベルで反映されます。 ○ カタログアイテムレベル：調整された価格は、経費明細の個々のカタログアイテムレベルで反映されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
価格設定ポリシー手法	カタログアイテムの平均単位コストのパーセンテージに基づく価格調整。または、平均単位コストを単価価格設定ポリシー手法で上書きします。 注: 価格設定ポリシーがカタログアイテムレベルの場合は、パーセンテージベースの価格設定ポリシー手法を選択できます。

5. [送信] をクリックします。
6. サービスカタログステートメントアイテムの課金ラインを生成するには、[課金ラインを生成] をクリックします。

   a. 課金ラインを生成するには、会計期間を入力します。

      注:

      サービスカタログステートメントアイテムの課金ラインは、要求アイテムテーブルの事前設定されたオープン (システムプロパティ値は opened_at) 日付フィールドに基づいて生成されます。会計期間内の要求されたアイテムの日付は、課金ラインの生成に考慮されます。ただし、サービスの課金アナリストは、システムのプロパティ (com.snc.showback.catalog.consumed_date) の値を要求アイテム (sc_req_item) テーブルの任意の日付フィールドに設定できます。

   b. [**OK**] をクリックします。

7. 更新されたレコードを保存するには、[更新] をクリックします。
8. レコードを削除するには、[削除] をクリックします。

次のタスク
サービスカタログステートメントアイテムのブレークダウンレコードを作成するには、[サービスカタログブレークダウン] 関連リストで [新規] をクリックします。

サービスカタログブレークダウンの作成

ビジネスサービスのサービスカタログカテゴリをそのカタログアイテムコンポーネントに細分化して、より詳細なレベルにすることで、サービスカタログブレークダウンを作成します。

始める前に
必要なロール：service_charging_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて
たとえば、IT サービスの消耗品ステートメントアイテムは、タブレットやラップトップなどのコンポーネント消耗品のブレークダウンの詳細を提供できます。これらの各アイテムは、さらに詳細に分解することができます。タブレットは、Google Nexus や iPad など、アイテムの各単位に使用される関連価格にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 作成したサービスカタログステートメントアイテムのブレークダウンレコードを作成するには、[サービスカタログブレークダウン] 関連リストで [新規] をクリックします。
2. フォームフィールドに記入します。

[サービスカタログブレークダウン] フォーム

フィールド	説明
名前	サービスカタログブレークダウンのわかりやすい名前。
ステートメントアイテム	デフォルトはステートメントアイテムのタイプです。
カテゴリ	選択したカテゴリのカタログアイテムは、消費の詳細をレポートするために使用されます。
カタログアイテム	消費が報告される、選択したカタログおよびカテゴリのアイテム。

3. [送信] をクリックします。

ステートメントアイテム内でのドリルダウン

ステートメントアイテム内をドリルダウンして、そのデータのサブセットを視覚化することができます。

始める前に
必要なロール：service_charging_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて
ステートメントアイテム内をドリルダウンして、ソーステーブルから取得したデータを持つエンティティまたはキーフィールドを表示します。また、取得する関連データがある特定のフィールドへのマッピングの基準を確認することもできます。また、ドリルダウン方法を編集して変更し、重み付けメソッドを使用することもできます。このような場合、システムは重み付けされた測定基準を使用してソーステーブルからデータを取得します。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 管理 > ステートメントアイテムドリルダウン.
2. [新規] をクリックしてステートメントアイテムを作成するか、編集する既存のステートメントアイテムドリルダウンの名前をクリックします。
3. ドリルダウンするステートメントアイテムのタイプをクリックします。
4. 選択したステートメントアイテムドリルダウンのタイプに基づいて、関連するフォームフィールドに入力します。

[ステートメントアイテムドリルダウン] フォーム

フィールド	説明
名前	ステートメントアイテムドリルダウンの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ドリルダウンの基準	マッピングされたフィールドまたは重み付けされた測定基準の方法に基づく、アイテムの下位レベルのアクセス。 詳細については、「配分評価指標」を参照してください。
テーブル	ステートメントアイテム情報を含むソーステーブル。
タイプ	ステートメントアイテムのタイプ。情報の取得元のソースに基づいて決定されます。 実行するステートメントアイテムドリルダウンのタイプが既に選択されているため、フィールドを編集することはできません。
マッピングフィールド	ドリルダウンデータがあるテーブルのフィールドにマッピングします。
重み付けされた測定基準	セグメントからの集計値に基づく計算のドリルダウン。
コストモデル	ドリルダウンを適用できるコストモデル。

5. レコードを入力する場合は [送信] をクリックし、既存のレコードを編集した場合は [更新] をクリックします。

次のタスク
ステートメントアイテムを定義したら、ステートメントアイテムをショーバックステートメントに関連付けます。ショーバックステートメントを使用して、消費したサービスを事業部門長にレポートすることができます。事業部門長には、事業部門がビジネスサービスの一部として利用した詳細なサービスの課金ラインが表示されます。たとえば、メールサービスはビジネスサービスです。事業部門がメールサービスを使用する場合、メールサービスを利用したサービスの課金がショーバックステートメントとして事業部門長または部門長に報告されます。

ショーバックステートメントの定義、生成、公開

ショーバックは、IT などのサービス組織が消費者にサービスを提供するためにかかるコストを消費者に示します。ショーバックステートメントを定義すると、ショーバックステートメントのレポート先となるレポートエンティティ (事業部門など) を把握するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：service_charging_analyst

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて
ショーバックステートメントは、ステートメントアイテム (事業部門が消費するサービス) を表す課金の集まりで、会計期間に対して生成されます。

ショーバックステートメントは、消費されたサービスとこれらのサービスに関連する課金の可視性を事業部門に提供します。また、ビジネスサービスを慎重に使用し、それに関連するコスト要因を認識できるようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最低レベルにドリルダウンすることで、同じステートメントアイテムに基づいて複数のショーバックステートメントを作成できます。ショーバックステートメントは、さまざまなレポートエンティティに対するものにすることができます。たとえば、ステートメントアイテムのソースデータを持つドリルダウンエンティティを使用して、コストセンター、事業部門、部門などのさまざまなレポートエンティティのショーバックステートメントを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 管理 > ショーバックステートメント定義.
2. [新規] をクリックしてショーバックステートメント定義を作成するか、編集する既存のショーバックステートメント定義の名前をクリックします。
3. フォームフィールドに記入します。

[ショーバックステートメント定義] フォーム

フィールド	説明
名前	ショーバック ステートメント定義の名前。
説明	ショーバックステートメント定義の説明。
レポートエンティティ	消費の詳細のエンティティを表示するために生成されたレポート。
レポートユーザーフィールド	レポートを表示するレポートエンティティ責任者。
頻度	レポートが生成される会計頻度。
レポート ユーザー グループ フィールド	レポートを確認できるユーザー グループ。 ユーザーグループのすべてのメンバーがレポートを表示できます。

4. レコードを保存する場合は [送信] をクリックし、既存のレコードを編集した場合は [更新] をクリックします。
5. [生成] をクリックして、選択した会計期間のショーバックステートメントを生成します。

   生成されたレポートは、レポートエンティティ (事業部門) が閲覧できるようになります。ショーバックステートメントは、レポートエンティティがステートメントラインに記載されているサービスを使用したという情報を提供します。

   財務アナリストは、ショーバックステートメントを生成して公開し、ショーバックユーザーが表示できるようにすることができます。

   指定されたショーバックユーザー (通常は事業部門オーナーまたは事業部門経理リード) として、自分の部門に割り当てられた公開済みのショーバックステートメントを表示できます。それらをレビューして承認するか、不一致がある場合は異議申し立てを行い、タスクワークフローを通じてサービスオーナーまたはサービスの課金アナリストと解決することができます。

6. [公開] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 表示される [ショーバックステートメントの公開] ポップアップの [会計期間] 選択リストで [会計期間] を選択します。

b. [**OK**] をクリックします。

> **注:**
>
> ショーバックステートメントを生成し、まだ公開していない会計期間が選択リストに表示されます。公開することで、当該会計期間のショーバックステートメントが利用可能になり、ショーバックユーザーはアプリケーションナビゲーターの [自分のショーバックステートメント] メニューでそれを表示できます。

7. [削除] をクリックしてレコードを削除します。

[ショーバックステートメントライン定義] の [新規] ボタンをクリックして、ショーバックステートメントのステートメントラインを作成します。

次のタスク

サービスの価格設定コンソールでショーバックステートメントを監視します。

サービスの課金

サービスオーナーは、サービスの価格設定コンソールを使用して、サービスの消費、各ステートメントアイテムのステータスを監視し、ステートメントアイテムの価格設定を行うことができます。

> **重要:**
> この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

サービスの課金アナリストは、ビジネスの経済的な傾向や状況を分析および調査し、ビジネスサービスに必要な課金の推奨事項を作成できます。

サービスの価格設定コンソールでサービスの課金を監視する

サービスオーナーは、サービスの価格設定コンソールを使用してサービスの課金ラインを生成し、サービスの課金ラインを表示し、価格設定ポリシーを設定します。価格設定ポリシーを設定すると、設定された価格、追加料金、または割引の詳細を取得するレートカードが生成されます。

始める前に

必要なロール：service_charging_owner

> **重要:**
>
> この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > サービスの課金 > コンソール.

コンソールを開き、次のペインでステートメントアイテムに関連するすべての詳細を監視します。

自分のステートメントアイテム：サービスオーナーが所有するすべてのステートメントアイテムのリストが左ペインに表示されます。

2. 詳細を表示する左ペインのステートメントアイテムをクリックします。

3. [会計期間] 選択リストをクリックして、会計期間を選択します。

4. [ラインを生成] をクリックして、指定した会計期間のステートメントアイテムの課金ラインを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[課金ラインを生成] ポップアップが開きます。

注:

次の場所に移動すると、ステートメントアイテムに基づいて生成されたサービスの課金ラインのリストを表示できます ファイナンスチャージ > サービスの課金 > サービス課金ライン. これらのサービスの課金ラインは、コンソールで監視できるレコードです。

5. 課金ラインを生成する期間の会計期間を更新します。
6. [生成] をクリックします。

課金ライン生成ジョブが正常にスケジュールされたことを確認するメッセージが表示されます。

右側のステートメントアイテム詳細ペインには、ステートメントアイテムのすべての詳細が表示されます。

[概要] タブ：

- 価格設定、コスト、および課金：左側のペインには、ステートメントアイテムに採用された価格設定ポリシー手法と価格設定ポリシーの詳細が表示されます。また、ステートメントアイテムの総コストと、ステートメントアイテムに請求された課金合計も表示されます。
  - [コスト] は、サービス別の実際のコストです。これは、製品またはサービスを購入する際に発生する金額です。
  - [価格] は、本番、マーケティング、販売などに関連するコスト要因に基づいて、製品またはサービスに対して決定される金額です。
  - [課金] は、ビジネスサービスによって提供されたサービスまたは商品に対して請求される金額です。
- コストの傾向：スプラインチャートには、さまざまな会計期間における価格に対するコストの傾向が表示されます。
- 課金ライン：ステートメントアイテムに対してサービスの課金ラインが生成されます。各サービスの課金ラインには、使用された製品またはサービスの名前と、数量で計算されたアイテムの関連する単位コストが一覧表示され、総コストが示されます。

課金ラインの列見出し

フィールド	説明
名前	ステートメントアイテムの名前。
平均単位コスト	ステートメントアイテムの 1 単位の平均コスト。
数量	ステートメントアイテムおよびステートメントアイテムブレークダウンレベルのアイテム数。
総コスト	単位コスト * 数量。
価格調整 (%)	価格調整は、ステートメントアイテム定義フォームで定義した価格設定ポリシー手法に基づきます。 平均単位コストのパーセンテージをインクリメントまたはデクリメントして、パーセン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	テージまたは単価で価格を調整します。調整後の価格は課金合計として反映されます。
単価	サービスの事前定義された単価を設定します。提供されるサービスの数量または単一のステートメントアイテムのコストによって決定されます。
課金合計	各ビジネスサービスに請求される合計金額。これは平均単位コストの調整後の価格です。

7. [価格設定ポリシーの設定] ボタンをクリックします。

   開いたコンソールの右ペインに、ステートメントアイテムの詳細が表示されます。

8. ステートメントアイテムレベルまたはステートメントアイテムラインレベルの価格調整ボックス (設定した価格設定ポリシーに基づく) をクリックして価格を調整し、課金合計を表示します。
9. [価格を設定] をクリックします。

   行った価格調整は、[課金合計] フィールドに反映されます。

10. [ドリルダウン] タブをクリックして、ステートメントアイテムのドリルダウンの詳細をドリルダウンエンティティレベルで表示します。

    ステートメントアイテムのブレークダウンを表示したり、それを他の課金品目のブレークダウンと比較したりして、ブレークダウンごとのコストの可視性を向上させることができます。

    [ドリルダウン] タブ：

    - ドリルダウン：[ドリルダウン] フィールドをクリックすると、ステートメントアイテムのコストの詳細データが、グラフの各ドリルダウンエンティティのブレークダウン別に表示されます。
    - 課金品目ブレークダウン：[課金品目ブレークダウン] フィールドをクリックして、各ステートメントアイテムブレークダウンのコスト別の課金品目ブレークダウンを表示します。
    - 請求品目ブレークダウンアカウント：[請求品目ブレークダウンアカウント] フィールドをクリックして、ステートメントアイテムブレークダウンの各サービスの課金ラインのアカウントを表示します。

次のタスク

定義した課金は、レートカードとしてステートメントアイテムに添付されます。サービスの課金アナリストおよびサービスの課金オーナーは、サービスの課金価格レートカードを定義することもできます。

レートカードを作成してビジネスサービスの価格を修正する

ビジネスサービスまたはビジネスサービスコンポーネントの価格を一覧表示するレートカードを作成します。サービスオーナーは、自分が所有するビジネスサービスを表すステートメントアイテムのレートカードを作成できます。レートカードは、会計期間のステートメントアイテムに添付されている価格設定ポリシー手法に基づいています。

始める前に

必要なロール：service_charging_analyst、service_charging_owner

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
次の会計期間の課金が公開される前にステートメントアイテムに新しい価格設定ポリシーを設定しない場合、会計期間のレートカードはデフォルトで次の会計期間に設定されます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > サービスの課金 > サービス課金レートカード.
2. [新規] をクリックしてサービスの課金価格レートカードを作成するか、編集するレコードをクリックします。
3. フォームフィールドに記入します。

[サービスの課金価格レートカード] フォーム

フィールド	説明
ステートメントアイテム	レートカードを作成するステートメントアイテムを選択します。
アイテムテーブル名	○ サービスカタログステートメントアイテムの場合、アイテムテーブル名はカタログアイテムです。 ○ コストモデルステートメントアイテムの場合、アイテムテーブル名はセグメントのトランザクションテーブル名です。 ○ 消費ステートメントアイテムの場合、アイテムテーブル名は消費テーブルです。
サービスの課金タイプ	デフォルトはステートメントアイテムです。パーセンテージベースまたは単価ベースにすることができます。
会計期間	レートカードが有効な期間。
ステートメントアイテムブレークダウン	ステートメントアイテムのブレークダウンラインの詳細。
アイテム名	アイテムテーブル内のレコードを参照します。
パーセンテージ	ステートメントアイテムレベル、ステートメントアイテムのブレークダウンレベル、または消費ベースのステートメントアイテムやカタログベースのステートメントアイテムのアイテムレベル、またはコストモデルベースのステートメントアイテムのアカウントレベルで設定できる平均単価のパーセンテージ。
単価	アイテムレベルの価格設定ポリシーに対してのみ単価を設定します。単価は、ビジネスユーザーに表示される価格を表します。
簡単な説明	レートカードのわかりやすい簡単な説明。

4. [送信] または [更新] をクリックします。

次のタスク
サービスの課金アナリストは、生成されたすべてのショーバックステートメントを表示できます。ショーバックユーザーは、生成したショーバックステートメントを公開した場合にのみ、ショーバックステートメントを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ショーバックステートメント

ショーバックは、財務課金の情報技術戦略であり、IT ハードウェア、ソフトウェア、クラウドサービス、または事業部門が使用するシェアードサービスのコストを追跡します。

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

コストは統合され、レポート請求書 (ショーバックステートメント) として事業部門に提示され、会計期間中に消費されたサービスと製品の量が示されます。

組織の人事事業部門は、従業員の出席を管理するために出席管理システムビジネスアプリケーションを要求する場合があります。HR 部門の出席を処理する人事スタッフのコンピューター 20 台で、このアプリケーションのライセンス取得、インストール、およびメインテナンスを行うには、コストがかかります。IT 部門はこのコストを追跡し、ショーバックステートメントの形で人事事業部門長に経費を報告します。

ショーバックステートメントの表示

サービスの課金アナリストは、生成されたすべてのショーバックステートメントのリストを表示できます。レポートの対象となるレポートエンティティまたはユーザーグループを決定できます。

始める前に

必要なロール：service_charging_analyst

このタスクについて

ショーバックステートメントを生成し、会計期間のステートメント経費明細の総コストを再決定し、ショーバックユーザーが参照できるようにステートメントを公開します。ショーバックステートメントを作成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > ショーバック > すべてのショーバックステートメント.
2. ショーバックステートメントを作成するには、[新規] をクリックします。
3. 既存のショーバックステートメントレコードを編集するには、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[ショーバックステートメント] フォーム

フィールド	説明
レポートエンティティ	ビジネスサービスを利用した事業体。
会計期間	ショーバックステートメントが生成される期間。
担当者	ショーバックステートメントを表示する事業部門長または部門長。
ステータス	ショーバックステートメントのステータス。 ○ ドラフト：レポートはドラフトステージです。 ○ 公開済み：レポートが公開されました。これは、レポートユーザーとショーバックユーザーロールを持つレポートユーザーグループに属するユーザーがレポートを表示できることを意味します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 異議申し立て済み：ショーバックユーザーがレポートを確認し、ステートメント経費明細の内容について意見の相違があるため異議申し立てを行いました。 ○ クローズ済み：ショーバックユーザーがステートメントアイテムを受け入れると、ステートメントアイテムは [クローズ済み] ステータスに移行します。
総コスト	すべてのステートメント経費明細の総コスト。
アサイン先グループ	ステートメントアイテムが割り当てられているグループ。
簡単な説明	ショーバックステートメントのわかりやすい簡単な説明。
追加コメント (ユーザーに表示)	ユーザーがこれらのコメントを表示するため、完全な文および段落のコメントまたはメモ。ユーザーは、フィールドに保存されているすべての情報のコピーを取得します。
作業メモ	内部通信専用の作業メモ。

5. ショーバックステートメントを保存するには、[送信] をクリックします。
6. 編集したレコードを保存するには、[更新] をクリックします。
7. ショーバックステートメントで報告された経費を確認するには、[承認] をクリックします。
8. レコードを削除するには、[削除] をクリックします。

次のタスク
[ショーバックステートメント] 関連リストを使用して、ステートメント経費明細とステートメント経費明細の詳細をショーバックステートメントに追加します。

ステートメント経費明細の追加

ステートメントアイテムブレークダウンレベルで、消費された単位数、アイテムの単価、およびすべてのアイテムの総コストを追加します。請求書に経費リストの詳細を示す項目が記載されているのと同様に、ステートメントアイテムにはショーバックステートメントのステートメント経費明細として報告される経費詳細も含まれます。

始める前に
必要なロール：service_charging_analyst

手順
1. [ステートメント経費明細] 関連リストで、[新規] をクリックします。
2. フォームで、フォームフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ステートメント経費明細] フォーム

フィールド	説明
ショーバックステートメント	デフォルトは、ショーバックステートメントレポートエンティティです。
ステートメントアイテム	ステートメント経費明細としてリストされるステートメントアイテムを選択リストから選択します。
ボリューム	消費されたアイテムの数 (単位)。
コスト	単位レート * ボリュームとして計算されます。
ステータス	ステートメント経費明細のステータス。 ○ 処理待ち：ショーバックステートメントは公開されません。ステートメント経費明細のステータスは「処理待ち」になります (ショーバックステートメントのステータスは「ドラフト」です)。 ○ 処理済み：ショーバックステートメントは公開され、ステートメント経費明細のステータスは「処理済み」になります。(ショーバックステートメントは公開済みステータスです)。 ○ 異議申し立て済み：ステートメント経費明細のボリュームまたは単価が誤っていると思われる場合、ステートメント受領者は異議申し立てを行うことができます (ステートメント経費明細に異議が申し立てられると、ショーバックステートメントのステータスも「異議申し立て済み」になります)。 ○ 承認：ステートメント経費明細は、ショーバックユーザーにより承認済みです (ショーバックステートメントは「クローズ済み」となります)。
ステートメントアイテムブレークダウン	ステートメントアイテムにリストするステートメントアイテムのブレークダウンを選択します。
単位レート	レポートエンティティがアイテムの 1 単位に対して請求されるレート。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
ステートメントアイテムのステートメント経費明細の経費明細詳細を追加します。

ステートメント経費明細の詳細の追加

経費明細の詳細を追加すると、ステートメント経費明細のもう 1 つのレベルにドリルダウンされます。消費された単位数、アイテムが請求される単価、経費明細の合計額 (アイテムレベル、カタログアイテムレベル、アカウントレベル) を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：service_charging_analyst

手順

1. [ステートメント経費明細] 関連リストをクリックします。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[ステートメント経費明細の詳細] フォーム

フィールド	説明
ステートメント経費明細	オプションリストからステートメント経費明細を選択します。
単位レート	レポートエンティティがアイテムの 1 単位に対して請求されるレート。
ボリューム	消費されたアイテムの数 (単位)。
総計	ボリューム * 単位レート。

4. [送信] をクリックします。

次の会計期間のショーバックステートメントの生成

サービスの課金アナリストとして、ステートメントが生成された最新の会計期間のすべてのショーバックステートメントのステータスログと、ショーバックステートメントが公開された日付を確認します。

始める前に
必要なロール：service_charging_analyst

このタスクについて
ショーバックステートメントの最後に生成および公開された詳細のレコードまたはログを作成し、次の会計期間のステートメントを生成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > ショーバック > ショーバックの生成.
2. [新規] をクリックしてショーバック実行ログを作成するか、編集する既存のショーバックログレコードの [ステータス] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[ショーバック実行ログ] フォーム

フィールド	説明
会計期間	オプションリストからステートメント経費明細を選択します。
ステータス	ショーバックステートメントのステータス。
ショーバック	ショーバックステートメントの定義。
前回生成日	ステートメントが最後に生成された日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
公開	ステートメントが公開されているかどうかを示すチェックボックス。
公開日	ステートメントが最後に公開された日付。

4. ログを作成した場合は [送信] をクリックし、既存のログを編集した場合は [更新] をクリックします。
5. [削除] をクリックしてレコードを削除します。
6. [ステートメントを生成] をクリックして、会計期間のショーバックステートメントを生成します。

   a. 表示される [ショーバックステートメントを生成] ポップアップの [ショーバックステートメント定義] フィールドで、ショーバックステートメントを選択します。

   b. [会計期間] フィールドで会計期間を選択します。

   c. [生成] をクリックします。

   [ショーバック実行ログ] リストを更新して、ショーバックステートメントのステータスを [生成済み] に変更します。

   注:

   [公開済み] 列は、true または false ステータスによってショーバックステートメントが公開されたかどうかを示します。ステータスが false の場合は、ショーバックがまだ未公開であることを意味し、ショーバックユーザーは確認することができません。

   [ショーバックステートメント定義] に移動して、生成されたショーバックステートメントを確認し、ショーバックユーザーがレポートを表示できるようにステートメントを公開します。

次のタスク
ショーバックステートメントを公開すると、ショーバックユーザーは [自分のショーバックステートメント] でショーバックステートメントを表示できます。

ショーバックステートメントをショーバックユーザーとして表示

ショーバックエンティティオーナーは、自分に割り当てられているすべてのショーバックステートメントを表示できます。ステートメントを確認し、不一致がある場合は異議申し立てを行うか、または受け入れることができます。

始める前に
必要なロール：showback_user

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 自分のショーバックステートメント.
2. 自分に割り当てられているショーバックステートメントのリストを表示します。
   - 会計期間：ショーバックステートメントが生成される期間。
   - 総コスト：課金されているサービスのコスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ステータス：ショーバックステートメントのステータス。
- 割り当て先：サービスを利用したレポートエンティティユーザー。

ステートメントラインの一部またはすべてに不一致がある場合は、異議申し立てを行うことができます。

3. 異議申し立てを行うには、ショーバックステートメントのステートメント経費明細から [異議申し立てを行う] UI アクションを使用するか、[オープンな異議申し立て] に移動します。

異議申し立てを行う

ショーバックユーザーとして、ステートメント経費明細の情報のいずれかに同意しない場合は、異議申し立てを行うことができます。

始める前に
必要なロール：showback_user

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 自分のオープン異議申し立て.
2. [ステートメントの異議申し立て] リストで、[新規] をクリックするか、[ステートメントの異議申し立て] リストの [番号] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[ステートメントの異議申し立て] フォーム

フィールド	説明
番号	異議申し立ての連番。
ステートメント経費明細	同意しない選択リストの経費明細。
開始者	デフォルトは、異議申し立てを行っているユーザー名です。
担当者	価格設定ポリシー、単価、ボリューム、または総コストに関連する場合に、サービスの課金所有者に割り当てられた異議申し立て。 ショーバックステートメントに不一致がある場合は、サービスの課金財務アナリストに異議申し立てをアサインします。
理由コード	選択リストからの適切な理由コード。
ステータス	異議申し立てのステータス： ○ オープン：ショーバックユーザーが異議申し立てを行います。 ○ 対応中：サービスの課金オーナーまたはサービスの課金アナリストが異議申し立てに取り組んでいます。 ○ 完了してクローズ：異議申し立てが解決され、クローズされました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 未完了でクローズ：異議申し立てが解決されていませんが、クローズされました。 ○ スキップしてクローズ：異議申し立て中の経費明細はスキップされ、クローズされました。
理由	異議申し立ての説明。
追加コメント (顧客に表示)	サービスの課金所有者とサービスの課金アナリストが論争を容易に理解して解決するための、完全な文章と段落でのコメントまたはメモ。
作業メモ	内部通信専用の作業メモ。
ステートメント経費明細の詳細	異議申し立ての対象となったショーバックステートメント経費明細。

4. 異議申し立ての送信を完了するには、[送信] をクリックします。または、編集した異議申し立てを更新するには、[更新] をクリックします。
5. 以前に提起した異議申し立ての解決を確認した場合は、[クローズ] をクリックします。
6. レコードを削除するには、[削除] をクリックします。

次のタスク
サービスの課金のオーナーは、[オープンな異議申し立て] に移動して、ショーバックユーザーが提起したステートメントの異議申し立てを表示し、異議申し立てを解決できます。

サービスの課金オーナーが問題を解決できない場合、サービスの課金アナリストは、特別な権限を持つスーパーユーザーとして、[自分のオープン異議申し立て] 内の未解決の異議申し立てを解決できます。

ステートメントアイテムをサービスオーナーとして表示する

ビジネスサービスオーナーは、サービスの課金オーナーであるステートメントアイテムのリストを表示し、会計期間の課金ラインを生成することができます。

始める前に
必要なロール：service_charging_owner

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

このタスクについて
サービスの課金アナリストがショーバックステートメントを公開した後、ショーバックユーザーが提起した異議申し立てを確認し、ステートメント経費明細を管理できます。単位コスト、消費量に基づくコスト回収を表示し、ステートメントアイテムの単価、割引、または追加料金を設定できます。

手順
1. 移動先 すべて > ファイナンスチャージ > 自分のステートメントアイテム.
2. サービスの課金のオーナーであるステートメントアイテムのリストを表示します。
3. ステートメントアイテムサービスの課金の詳細を確認します。
4. [課金ラインを生成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [課金ラインを生成] ポップアップの [会計期間] 選択リストで、会計期間を選択します。
6. [**OK**] をクリックします。

次のタスク
ステートメントアイテムは、事業部門オーナーのショーバックダッシュボードで表示できます。

財務アナリストのショーバックダッシュボード

財務アナリストは、Financial Analyst ショーバックダッシュボードの中央インターフェイスを使用して、生成されたすべてのショーバックステートメントを表示できます。ダッシュボードは、ビジネスにサービスを展開するコストと、そのコストの回収またはショーバックを分析するのに役立ちます。

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

次の場所に移動することもできます。 ファイナンスチャージ > ショーバック > ダッシュボード このダッシュボードにアクセスします。

データは ITFM_Charge_Expense_Line_Details テーブルから取得されます。

前回の期間の総コスト
: 前の期間にサービスを展開するための総コストを表示します。

前回の期間の課金合計
: 調整後の価格に基づいて、すべてのビジネスサービスの課金合計額を表示します。

前回の課金とコスト差異
: 前の期間の課金合計と総コストの差額を表示します。

YTD 課金とコスト差異
: 年度累計の課金合計と合計コストの差を表示します。

課金とコスト
: 完了した会計期間のコスト傾向に対する課金を棒グラフとして表示します。

前回の期間の合計コストブレークダウン
: 前の期間のステートメントアイテムまたは事業部門の総コストブレークダウンの詳細をリストします。

事業部門オーナーのショーバックダッシュボード

事業部門オーナーは、事業部門オーナーショーバックダッシュボードインターフェイスを使用して、事業部門オーナーに割り当てられたステートメントアイテムを表示し、価格設定ポリシーを設定し、前の期間のコストを表示できます。

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

次の場所に移動することもできます。 ファイナンスチャージ > 自分のショーバックダッシュボード アクセスします

前回の期間のコスト
: 事業部門ごとにすべてのステートメントアイテムに表示されるコストの合計を表示します。

ステートメントアイテム別

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

会計期間のステートメントアイテムとコストを一覧表示します。

ショーバックステートメント

事業部門のオーナーが所有するすべてのショーバックステートメントを一覧表示します。

ファイナンシャルマネジメント のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、ファイナンシャルマネジメント が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

ファイナンシャルマネジメント

ファイナンシャルマネジメント クイックスタートテストでは ファイナンシャルマネジメント Core - ATF テストプラグイン (com.snc.financial_management.atf) をアクティブ化する必要があります。

ITFM：**Financial Modeling** フローテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
FM コスト割り当てフローの確認	Financial Modeling におけるコスト割り当てフローを確認します。	Madrid

ファイナンシャルマネジメントの詳細については、「ファイナンシャルマネジメント」を参照してください。

関連情報

クイックスタートテスト

Financial Management プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

注:
ライセンス供与された Performance Analytics のないインスタンスで、Performance Analytics ソリューションおよびフォーム内分析を有効にして機能を評価できます。ただし、データの収集を開始するには、Performance Analytics をライセンスする必要があります。

プラットフォームアナリティクスソリューション

ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のソリューション Financial Managementを有効にするには、管理者は次に移動できます。 パフォーマンスアナリティクス > ガイド付きセットアップ.[ようこそ] をクリックして、Financial Managementのセクションにスクロールします。ガイド付き設定に従って、セットアップと構成のすべての手順を実行します。

ITFM の規範的ダッシュボードにアクセスするには、Performance Analytics – Content Pack – Financial Management (com.snc.pa.fm) プラグインが必要です。合計経費 YTD ウィジェットでコストデータを取得するには、Performance Analytics – Premium (com.snc.pa.premium) プラグインも必要です。

ITFM の規範的ダッシュボードは、企業の財務モデルアクティビティに対して選択した規範的コストモデルに基づいています。

移動先 **Financial Modeling** アナリスト:ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します > **ITFM** 規範ダッシュ ボード を使用して、規範的なダッシュボードにアクセスします。

関連情報

- プラットフォームアナリティクスソリューション
- Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化

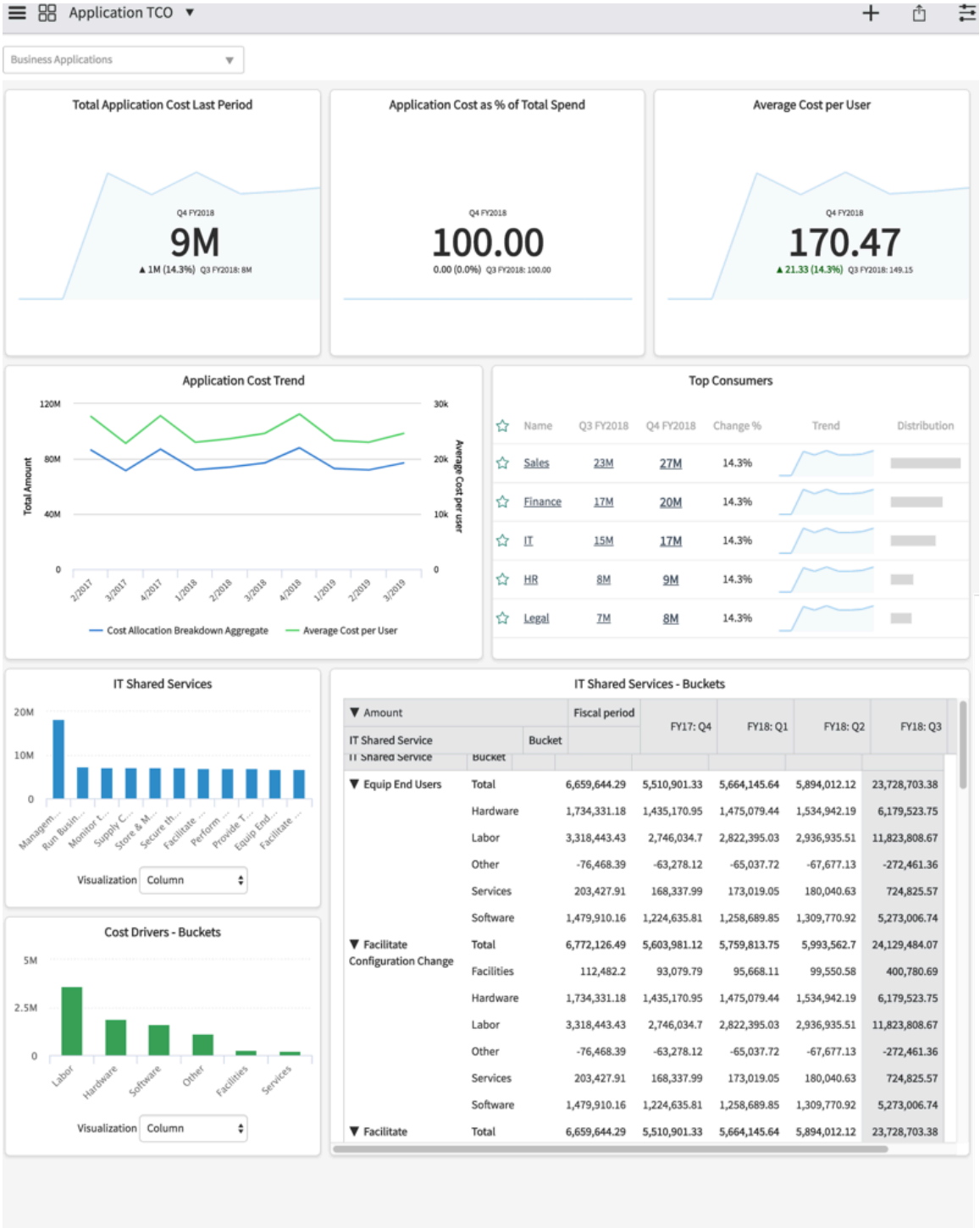
ファイナンシャルマネジメント アプリケーション **TCO** ダッシュボード

アプリケーションの総所有コスト (TCO) ダッシュボードは、ビジネスアプリケーションのビューを提供するため、前の会計期間にアプリケーションに費やされた合計金額を知ることができます。また、現在の所有コストと過去の会計期間に発生したコストを比較して、将来の経費を予測することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション **TCO** ダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。管理者：アプリケーションの使用および維持にかかるコストに加えて、アプリケーションのコストを追跡します。	cost_transparency_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。アナリスト：過去の傾向に基づいてアプリケーションの将来の総所有コストを予測し、その所有コストの手ごろな価格を判断します。	cost_transparency_analyst

インジケーター

会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーションコストモデルに基づいて、ビジネスアプリケーションと事業部門の会計四半期ごとの総コストデータを収集します。

総消費量のアプリケーションコストの割合 (%)

すべてのビジネスアプリケーションの総コストに対するアプリケーションコストのパーセンテージを計算するために使用される計算式。

ユーザーあたりの平均コスト - アプリケーション

ユーザーが消費するアプリケーションの平均コストを計算するために使用する計算式。

会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーションコストモデルのビジネスアプリケーションと事業部門の会計四半期ごとのブレークダウンデータを収集します。

会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - ITSS - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、IT シェアードサービスから第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーションコストモデルのビジネスアプリケーションにロールアップされる、会計四半期ごとに集計されるデータを収集します。

会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - アプリケーションコストモデル

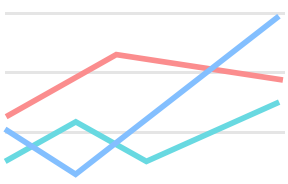
このインジケーターは、会計四半期ごとのコスト割り当て集計データを収集します。データは、ビジネスアプリケーションから第 2 レベル原価計算 - ビジネスアプリケーションコストモデルの事業部門にロールアップされます。

ブレークダウン

ビジネスアプリケーション。

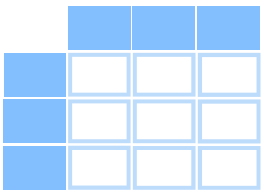
データの可視化

アプリケーション TCO ダッシュボードには、以下の可視化が含まれています。

タイトル	タイプ	説明
アプリケーションコストの傾向	線 	コスト割り当てブレークダウン集計の傾向とユーザーあたりの平均コストを四半期ごとの会計期間別に表示し、金額とパーセンテージを計算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
IT 共有サービス - バケット	ピボット 	過去 4 期の四半期に IT 共有サービスセグメント内のすべてのアカウントに割り当てられたバケット金額を表形式で表示します。

ファイナンシャルマネジメント ビジネスアプリケーション原価計算ダッシュボード

ビジネスアプリケーション原価計算ダッシュボードは、四半期および年度累計で統合されたビジネスアプリケーションの総経費に対するエグゼクティブビューを提供します。ダッシュボードは、上位消費者のデータをアプリケーションコストに寄与するバケットとアプリケーションを使用する事業部門にドリルダウンできる範囲で、アプリケーションコストの可視性を提供します。

ダッシュボードは、ビジネスアプリケーション原価計算コストモデルに基づいています。このコストモデルは、ビジネスアプリケーションを事業部門に合わせて調整するため、各事業部門をサポートするアプリケーションのコストを知ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスアプリケーション原価計算ダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。管理者：	cost_transparency_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
ビジネスアプリケーションに費やされた金額を追跡します。	
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。アナリスト：過去の傾向に基づいてアプリケーションの将来のコストを予測し、アプリケーションを続行するかどうかを決定します。	cost_transparency_analyst

インジケーター

会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、ビジネスアプリケーションとビジネスアプリケーション原価計算コストモデルの事業部門の会計四半期ごとの総コストデータを収集します。

会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、ビジネスアプリケーションから第 2 レベルのコストモデルの事業部門にロールアップされる、会計四半期のコスト割り当て集計データを収集します。

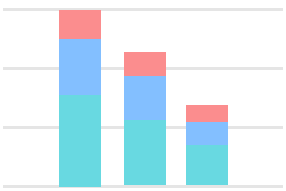
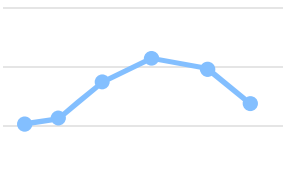
ユーザーあたりの平均コスト - アプリケーション

ユーザーが消費するアプリケーションの平均コスト。

ブレークダウン

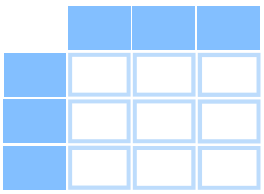
- 事業部門。
- ビジネスアプリケーション。
- バケット - アプリケーションのコスト。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
ドライバーによるビジネスアプリケーションコスト	棒 	ビジネスアプリケーションの各アカウントが異なるバケット (コストプール) から消費する金額を表示します。
CPU あたりの平均エンタープライズコスト	スプライン 	CPU あたりの平均単位コストの傾向を表示します。

自動翻訳

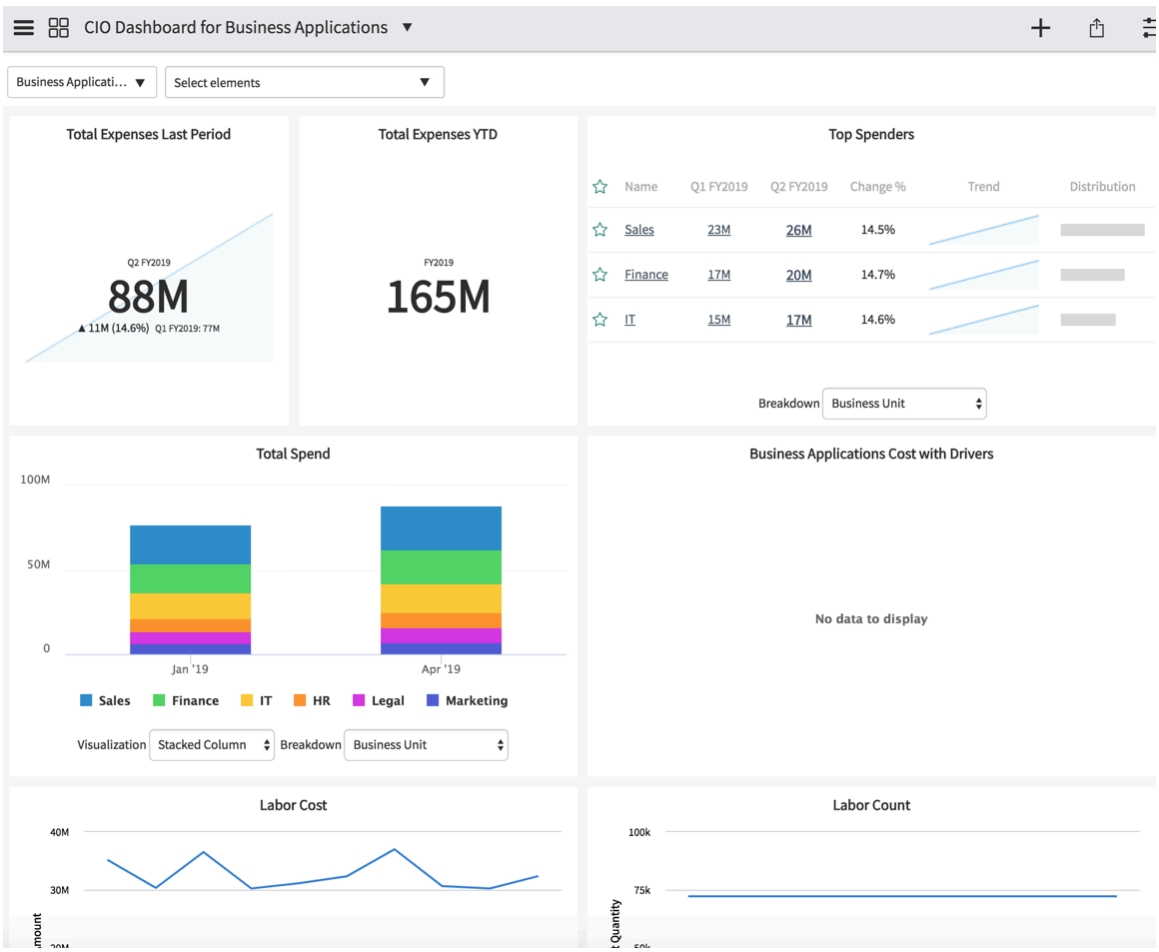
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
事業部門 - ビジネスアプリケーション	ピボット 	過去 4 期の四半期に事業部門がアプリケーションに費やした分割金額を表形式で表示します。

ビジネスアプリケーション用の ファイナンシャルマネジメント **CIO** ダッシュボード

CIO ダッシュボードは、ビジネスアプリケーションのリアルタイムパフォーマンスを測定し、すぐに表示できる形式で正確で最新のデータを提供して、意思決定をサポートします。

ビジネスアプリケーション用の **CIO** ダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。	cost_transparency_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Management の読み取り専用ロール：ダッシュボードとそのレポートを表示します。	sn_itfm_read

インジケーター

会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、ビジネスアプリケーションとビジネスアプリケーション原価計算コストモデルの事業部門の会計四半期ごとの総コストデータを収集します。

会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、ビジネスアプリケーションからビジネスアプリケーション原価計算コストモデルの事業部門にロールアップされる、会計四半期のコスト割り当て集計データを収集します。

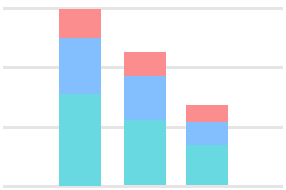
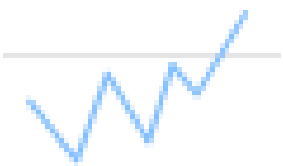
ユーザーあたりの平均コスト - アプリケーション

ユーザーが消費するアプリケーションの平均コスト。

ブレークダウン

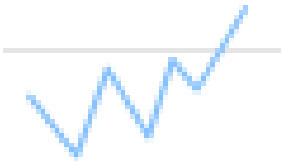
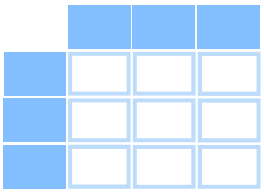
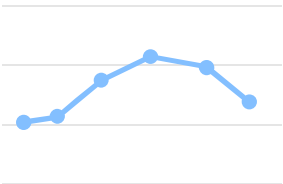
- 事業部門。
- ビジネスアプリケーション。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
ドライバーによるビジネスアプリケーションコスト	積み重ね棒グラフ 	ビジネスアプリケーションの各アカウントが異なるバケット (コストプール) から消費する金額を表示します。
人件費	線グラフ 	各会計期間のビジネスアプリケーションセグメントから事業部門セグメントに割り当てられた労務バケットからの金額を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
作業者数	線グラフ 	各会計期間の労務バケットの単位数量。
事業部門 - ビジネスアプリケーション	ピボットグラフ 	過去 4 期の四半期に事業部門がアプリケーションに費やした分割金額の表形式の表示。
CPU あたりの平均エンタープライズコスト	スプライングラフ 	CPU あたりの平均単位コストの傾向を表示します。

自動翻訳

ファイナンシャルマネジメント 第 **1** レベルの原価計算 **-** シェアードサービスダッシュボード

第 1 レベルの原価計算 - IT シェアードサービスダッシュボードは、上位消費者の四半期および年度累計の連結された総経費に対するエグゼクティブビューを提供します。事業部門またはシェアードサービスにドリルダウンできます。

重要:

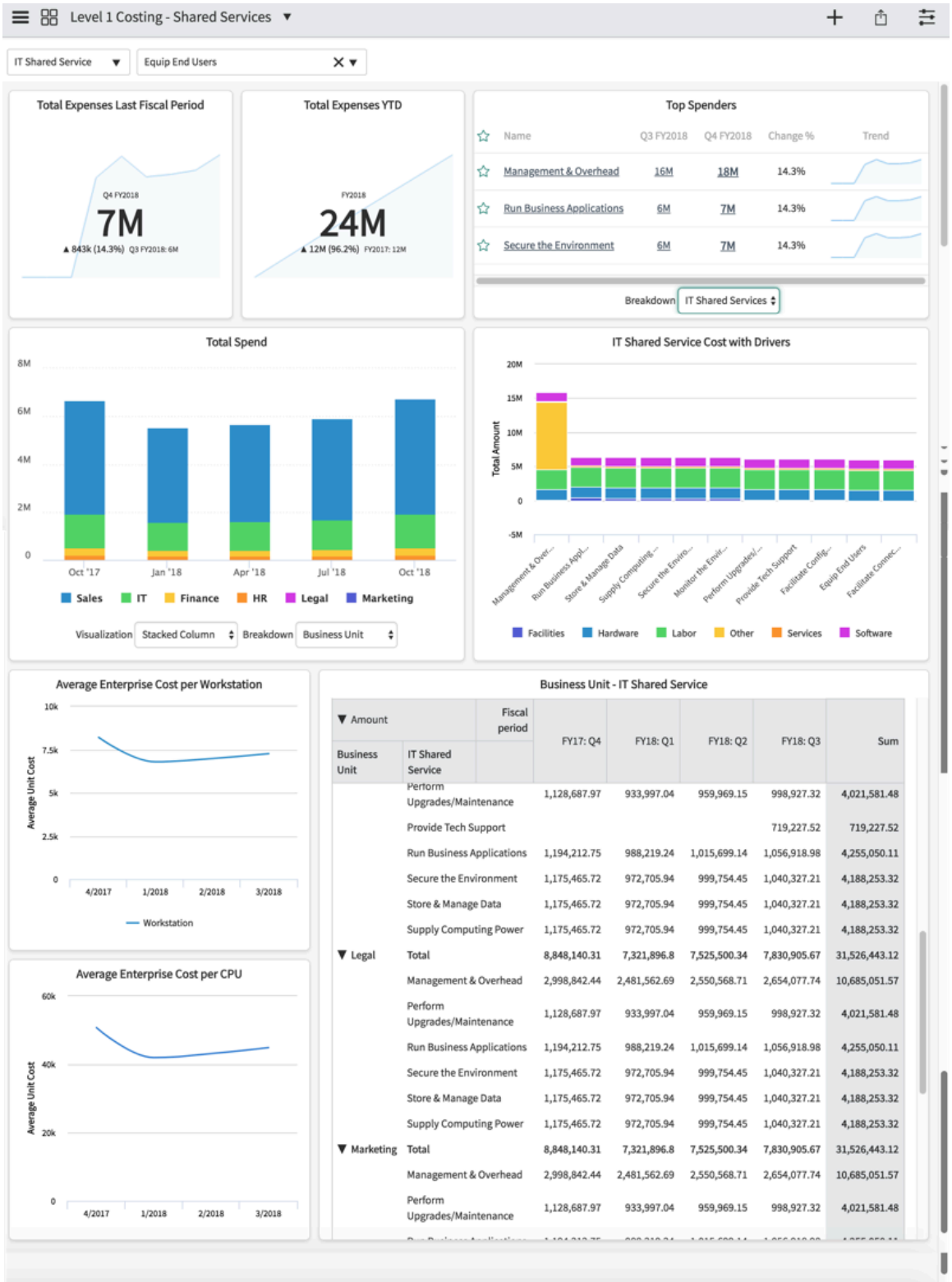
この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

ダッシュボードは、IT インフラストラクチャのコストを可視化し、シェアードサービスのコストをビジネスに伝えるのに役立ち、将来の成長傾向の分析を容易にします。

第 1 レベルの原価計算 – シェアードサービスダッシュボードは、すべての経費を単一のビューで表示するシンプルなダッシュボードです。これは、第 1 レベルの原価計算 – シェアードサービスコストモデルでモデル化されています。これには、特定のコスト情報を取得するためにドリルダウンできる 2 つのブレークダウンが用意されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

第 1 レベルの原価計算 - シェアードサービスダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。管理者：IT インフラストラクチャのコストを追跡しま	cost_transparency_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
す。事業部門内の各 IT 共有サービスの支出額を示すレポートを生成します。	
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。アナリスト：IT インフラストラクチャコストの総支出レポートに基づいて、重要なビジネス上の意思決定を行います。	cost_transparency_analyst

インジケーター

会計四半期ごとの経費合計 - サービスコストモデル

このインジケーターは、第 1 レベルの原価計算 - シェアードサービスのコストモデルの IT シェアードサービスと事業部門の会計四半期ごとのブレークダウンデータを収集します。

集計からの会計四半期ごとの経費合計 - シェアードサービス

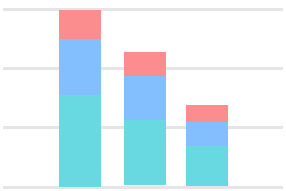
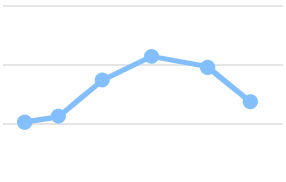
このインジケーターは、IT シェアードサービスから第 1 レベルのコストモデルの事業部門にロールアップされる、会計四半期ごとに集計された会計データを収集します。

ブレークダウン

- 事業部門。
- IT 共有サービス。

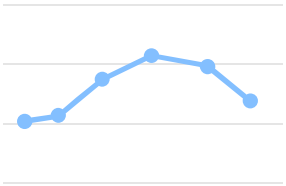
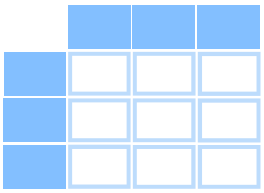
データの可視化

第 1 レベルの原価計算 – シェアードサービスダッシュボードには、以下の可視化が含まれています。

タイトル	タイプ	説明
ドライバーによる IT 共有サービスコスト	棒 	IT 共有サービスの各アカウントが異なるバケット (コストドライバー) から受け取る金額を表示します。
ワークステーションあたりの平均エンタープライズコスト	スプライン 	過去 4 期の四半期のワークステーションあたりの平均単位コストの傾向を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
CPU あたりの平均エンタープライズコスト	スプライン 	CPU あたりの平均単位コストの傾向を表示します。
事業部門 - IT 共有サービス	ピボット 	過去 4 期の四半期に各事業部門内のすべての IT 共有サービスによって費やされた金額を表形式で表示します。

ファイナンシャルマネジメント 第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーションダッシュボード

第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーションダッシュボードは、四半期および年度累計で統合されたビジネスアプリケーションの総経費に対するエグゼクティブビューを提供します。

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

ダッシュボードは、上位消費者のデータをアプリケーションコストに寄与するバケットとアプリケーションを使用する事業部門にドリルダウンできる範囲で、アプリケーションコストの可視性を提供します。

ダッシュボードは、第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーションコストモデルに基づいています。このコストモデルは、ビジネスアプリケーションを事業部門に合わせて調整するため、各事業部門をサポートするアプリケーションのコストを知ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

第 **2** レベルの原価計算 **-** ビジネスアプリケーションダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。管理者：	cost_transparency_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
ビジネスアプリケーションに費やされた金額を追跡します。	
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。アナリスト：過去の傾向に基づいてアプリケーションの将来のコストを予測し、アプリケーションを続行するかどうかを決定します。	cost_transparency_analyst

インジケーター

会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、ビジネスアプリケーションと第 2 レベルの原価計算 - ビジネスアプリケーションコストモデルの事業部門の会計四半期ごとの総コストデータを収集します。

会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - アプリケーションコストモデル

このインジケーターは、ビジネスアプリケーションから第 2 レベルのコストモデルの事業部門にロールアップされる、会計四半期のコスト割り当て集計データを収集します。

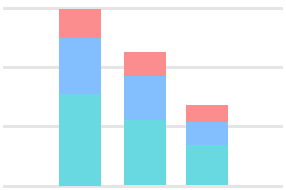
ユーザーあたりの平均コスト - アプリケーション

ユーザーが消費するアプリケーションの平均コスト。

ブレークダウン

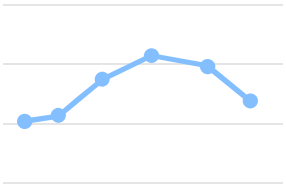
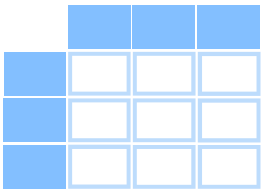
- 事業部門。
- ビジネスアプリケーション。
- バケット - アプリケーションのコスト。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
ドライバーによるビジネスアプリケーションコスト	棒 	ビジネスアプリケーションの各アカウントが異なるバケット (コストプール) から消費する金額を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
CPU あたりの平均エンタープライズコスト	スプライン 	CPU あたりの平均単位コストの傾向を表示します。
事業部門 - ビジネスアプリケーション	ピボット 	過去 4 期の四半期に事業部門がアプリケーションに費やした分割金額を表形式で表示します。

ファイナンシャルマネジメント 第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービスダッシュボード

第 2 レベルの原価計算 – ビジネスサービスダッシュボードは、ビジネスサービスを有効にし、企業のビジネス機能に合わせて調整するためのコストに関するエグゼクティブビューを提供します。ダッシュボードは、ビジネスサービスをサポートするコストを可視化し、事業部門によって推進されるビジネスサービスのコストを把握するのに役立ちます。

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

ダッシュボードは、ビジネスサービスを事業部門に合わせて調整する第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービスコストモデルに基づいています。したがって、各事業部門のサービスコストを追跡できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービスダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。管理者：	cost_transparency_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
各事業部門に合わせてビジネスサービスに費やされた金額を追跡します。	
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。アナリスト：過去の傾向に基づいて、ビジネスサービスの将来の総コストを予測します。ビジネスサービスを顧客のニーズや組織の目標に合わせて絶えず再調整する必要があります。	cost_transparency_analyst

インジケーター

会計四半期ごとの経費合計 - ビジネスサービスコストモデル

このインジケーターは、ビジネスサービスと第 2 レベルの原価計算 - ビジネスサービスコストモデルの事業部門の会計四半期ごとの総コストデータを収集します。

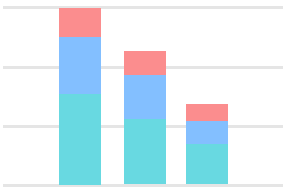
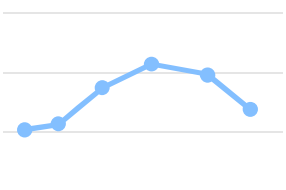
会計四半期ごとの経費合計ブレークダウン - ビジネスサービスコストモデル

このインジケーターは、ビジネスサービスから第 2 レベルのコストモデルの事業部門にロールアップされる、会計四半期のコスト割り当て集計データを収集します。

ブレークダウン

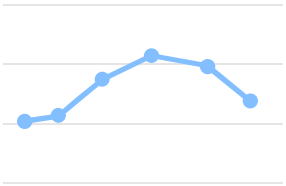
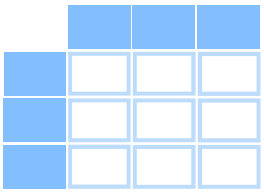
- 事業部門。
- ビジネスサービス。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
ドライバーによるビジネスサービス	棒 	割り当て元のバケットごとに積み重ねられたビジネスサービスに費やされた合計金額を表示します。
ワークステーションあたりの平均エンタープライズコスト	スプライン 	過去 4 期の四半期のワークステーションあたりの平均単位コストの傾向を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
CPU あたりの平均エンタープライズコスト	スプライン 	CPU あたりの平均単位コストの傾向を表示します。
事業部門 - ビジネスサービス	ピボット 	過去 4 期の四半期に事業部門がビジネスサービスに費やした分割金額を表形式で表示します。

ファイナンシャルマネジメント 第 **3** レベルの原価計算 **-** ビジネス機能ダッシュボード

第 3 レベルの原価計算 – ビジネス機能ダッシュボードは、四半期および年度累計の事業部門またはビジネス機能にドリルダウンされた総支出に対するエグゼクティブビューを提供します。ダッシュボードは、ビジネス機能をサポートするコストの可視性を提供し、ビジネス機能に合わせたビジネス機能の観点から価値を伝えるのに役立ちます。

重要:

この機能は、ITBM アナリストのライセンスを所有している場合にのみ使用できます。

ダッシュボードは、第 3 レベルの原価計算 - ビジネス機能コストモデルに基づいています。このモデルは、ビジネスアプリケーションに関連付けられた実際の機能を高レベルのビジネス機能と整合させます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

第 3 レベルの原価計算 - ビジネス機能ダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。管理者：	cost_transparency_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
各事業部門に合わせてビジネス機能に費やされた金額を追跡します。	
Financial Modeling アナリスト：ビジネスアプリケーションの総支出を追跡します。アナリスト：過去の傾向に基づいて、ビジネス機能の将来の総コストを予測します。変化するビジネストレンドや要件に合わせてビジネス機能を常に再調整する必要があります。	cost_transparency_analyst

インジケーター

会計四半期ごとの経費合計 - ビジネス機能コストモデル

このインジケーターは、ビジネス機能と第 3 レベルの原価計算 - ビジネス機能コストモデルの事業部門の会計四半期ごとの総コストデータを収集します。

会計四半期ごとの経費合計ブレークダウン - ビジネス機能コストモデル

このインジケーターは、ビジネス機能から第 3 レベルのコストモデルの事業部門にロールアップされる、会計四半期のコスト割り当て集計データを収集します。

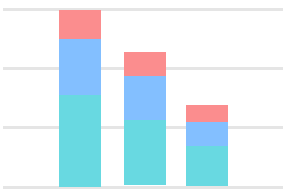
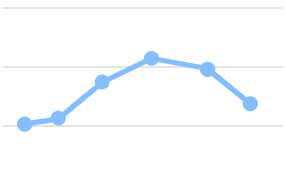
ユーザーごとのコスト平均

ユーザーあたりの平均ビジネス機能コストの計算に使用される計算式。

ブレークダウン

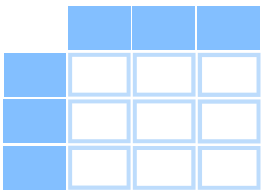
- 事業部門。
- ビジネス機能。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
ドライバーによるビジネス機能	棒 	割り当て元のバケット (コストプール) ごとに積み重ねられたビジネス機能に費やされた合計金額を表示します。
CPU あたりの平均エンタープライズコスト	スプライン 	CPU あたりの平均単位コストの傾向を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
事業部門 - ビジネス機能	ピボット 	過去 4 期の四半期に事業部門がビジネス機能に費やした金額を表形式で表示します。

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画

利益計画は、作業アイテムの実行時に作業アイテムによって発生する潜在的な利益をキャプチャします。利益計画を作成して、会計期間のカテゴリの推定利益を指定できます。

金銭的利益計画と非金銭的利益計画は、それぞれ予定利益と非予定利益をキャプチャします。金銭的利益計画と非金銭的利益計画をお互いに関連付けて、ハイブリッド利益計画の作業アイテムによって発生する潜在的な利益 (財務的および非財務的) をキャプチャできます。

プロジェクト管理 **(PM)** の利益計画

- プロジェクトの金銭的利益計画の作成
- プロジェクトの金銭以外の利益計画の作成
- プロジェクトの金銭的利益計画と非金銭的利益計画の関連付け

デマンド管理 の利益計画

- デマンドの金銭的利益計画の作成
- デマンドの金銭以外の利益計画の作成
- デマンドの金銭的利益計画と非金銭的利益計画の関連付け

Agile Development 2.0 の利益計画

- アジャイル開発エピックの金銭的利益計画を作成する
- アジャイル開発エピックの非金銭的利益計画を作成する
- アジャイル開発エピックの金銭的利益計画と非金銭的利益計画の関連付け

Scaled Agile Framework (SAFe) の利益計画

- SAFe エピックの金銭的利益計画を作成する
- SAFe エピックの非金銭的利益計画を作成する
- SAFe エピックの金銭的利益計画と非金銭利益計画の関連付け

Strategic Spend Tracking for PPM

プロジェクトマネージャーまたはデマンドマネージャーは、Strategic Spend Tracking for PPM を使用して、組織のプロジェクトとデマンドの戦略的価値を評価できます。デマンドとプロジェクトを実行する目的とメリット、およびそれらが会社の戦略と目標の達成にどのように貢献しているかを特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Strategic Spend Tracking for PPM を使用して、デマンドマネージャーとプロジェクトマネージャーは、デマンドまたはプロジェクトの実行中に資金が、どこでどのように費やされているかを判別できます。

組織は通常、目標達成のために割り当てられる資金である投資予算を決定し、承認します。Strategic Spend Tracking for PPM は、デマンドとプロジェクトを通じて投資予算を割り当て、組織の目標を達成するための支出をトラッキングすることに重点を置いています。

各デマンドとプロジェクトは、1 つまたは複数の組織目標の達成に貢献します。Strategic Spend Tracking for PPM を使用して、次のタスクを実行できます。

- 複数の戦略と目標をデマンドまたはプロジェクトに関連付けます。
- 1 つ以上の戦略と目標の達成に向けて、デマンドまたはプロジェクトの総コストと利益の割合を割り当てます。
- 会計年度におけるデマンドまたはプロジェクトについて、戦略と目標の割り当てのブレークダウンを生成します。
- 戦略および目標レコードのさまざまなデマンドとプロジェクトから、戦略と目標のブレークダウンのロールアップを表示します。
- 組織の財務実績を正確に把握するために、Strategic Spend Tracking for PPM ダッシュボードを使用して、組織の目標と戦略に沿ったプロジェクトの計画コスト、実際のコスト、および利益の経時的な傾向を表示できます。

Strategic Spend Tracking for PPM のインストール

ServiceNow Store アプリケーションから Strategic Spend Tracking for PPM アプリケーションをインストールします。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

自動翻訳

始める前に

インストールと設定をスムーズに行うには、次のセットアップチェックリストを完了してください。

セットアップタスク	説明
PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効化されていることを確認します。	移動先 サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。

必要なロール：admin

このタスクについて

Strategic Spend Tracking for PPM をインストールする前に、ServiceNow インスタンスの PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をアクティブ化します。詳細については、「PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) の有効化」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることもあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

関連情報

プラグインのリスト (Washington DC)

Strategic Spend Tracking for PPM とともにインストールされるコンポーネント

Strategic Spend Tracking for PPM が有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
Strategic Spend Tracking - プロジェクトとデマンドの戦略/目標割り当てブレークダウンを生成 (PPM Strategic Spend Tracking - Generate Strategy/Goal Allocation Breakdowns for Projects and Demands)	関連付けられたプロジェクトとデマンドの戦略と目標の割り当てブレークダウンを生成します。
Strategic Spend Tracking - 戦略と目標の割り当てによるプロジェクトとデマンドの更新 (PPM Strategic Spend Tracking - Update projects and Demands with strategy and goal allocations)	関連付けられたプロジェクトとデマンドの戦略と目標の割り当てを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
BO ジョブ実行ログ [sn_ppm_sst_run_log]	実行時間や含まれているタスクなど、ジョブスケジュールの実行に関する情報を保存します。
目標割り当て [sn_ppm_sst_task_goal]	プロジェクトまたはデマンドの目標割り当ての詳細を保存します。詳細には、プロジェクトまたはデマンド番号、戦略名、戦略に割り当てられた割合、予算、計画コスト、実際のコスト、および利益合計が含まれます。
目標割り当てブレークダウン [sn_ppm_sst_goal_allocation_breakdown]	プロジェクトまたはデマンドの目標ブレークダウンの詳細を保存します。詳細には、会計年度、戦略割り当て金額、コストの詳細 (計画と実績)、投資と経費の金額 (計画と実績) が含まれます。
戦略割り当て [sn_ppm_sst_task_strategy]	プロジェクトまたはデマンドの戦略割り当ての詳細を保存します。詳細には、プロジェクトまたはデマンド番号、戦略名、戦略に割り当てられた割合、予算、計画コスト、実際のコスト、および利益合計が含まれます。
戦略割り当てブレークダウン [sn_ppm_sst_strategy_allocation_breakdown]	プロジェクトまたはデマンドの戦略ブレークダウンの詳細を保存します。詳細には、会計年度、戦略割り当て金額、コストの詳細 (計画と実績)、投資と経費の金額 (計画と実績) が含まれます。

プロジェクトの戦略と目標の割合の割り当てまたは変更

プロジェクトの総コスト、利益、および予算の割合を割り当てて、プロジェクトが達成する戦略的目標の達成に役立てます。割り当てられた割合に基づいて、プロジェクトの財務データのブレークダウンを表示することもできます。

始める前に

既存のプロジェクトが必要です。

次のジョブスケジュールを実行します。

- *PPM Strategic Spend Tracking - Update projects and demands with strategy and goal allocations*
- *PPM Strategic Spend Tracking - Generate Strategy/Goal Allocation Breakdowns for Projects and Demands*

必要なロール：it_project_manager

手順

1. 移動先 プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. 割り当て率の追加や更新の対象にするプロジェクトを選択します。
3. [ビジネスケース] タブで、プロジェクトが関連付けられている戦略と目標を追加または更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「プロジェクトの作成 」ドキュメントトピックの [ビジネスケース] フィールドの説明を参照してください。

4. [保存] をクリックします。
選択した戦略と目標が、[戦略割り当て] 関連リストと [目標割り当て] 関連リストに表示されます。
5. 戦略と目標の割り当てを更新します。
   a. [戦略割り当て] 関連リストで、[割り当て率 **(% Allocation)**] フィールドをクリックし、このプロジェクトが選択した組織戦略に貢献する割合を入力します。
   b. [目標割り当て] 関連リストで、[割り当て率 **(% Allocation)**] フィールドをクリックし、このプロジェクトが選択した組織目標に貢献する割合を入力します。

   注:
   プロジェクトの戦略または目標の割り当ての合計は 100% を超えないようにする必要があります。

6. [戦略と目標の割り当てを再計算] 関連リンクをクリックして、割り当てタブのコストフィールドの値を更新します。
7. [更新] をクリックします。
8. オプション: [戦略割り当て] または [目標割り当て] 関連リストで、[プレビュー] アイコン ( ) をクリックし、[レコードを開く] をクリックして戦略または目標の割り当てブレークダウンを表示します。
9. オプション: Strategic Spend Tracking for PPM ダッシュボード を使用して、計画コスト、実際のコスト、および利益の経時的な傾向を表示します。

デマンドに対する戦略および目標の割合の割り当てまたは変更

デマンドに対して総コスト、利益、および予算の割合を割り当てて、デマンドによる戦略的目標の達成に役立てます。割り当てられた割合に基づいて、デマンドの財務データのブレークダウンを表示することもできます。

始める前に

既存のデマンドが必要です。

次のジョブスケジュールを実行します。

- *PPM Strategic Spend Tracking - Update projects and demands with strategy and goal allocations*
- *PPM Strategic Spend Tracking - Generate Strategy/Goal Allocation Breakdowns for Projects and Demands*

必要なロール：it_demand_manager

手順

1. 移動先 デマンド > デマンド > すべて.
2. 割り当て率の追加や更新の対象にするデマンドを選択します。
3. [ビジネスケース] タブで、デマンドが関連付けられている戦略と目標を追加または更新します。
詳細については、「デマンドフォーム」ドキュメントトピックの [ビジネスケース] フィールドの説明を参照してください。
4. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択した戦略と目標が、[戦略割り当て] 関連リストと [目標割り当て] 関連リストに表示されます。

5. 戦略と目標の割り当てを更新します。

   a. [戦略割り当て] 関連リストで、[割り当て率 **(% Allocation)**] フィールドをクリックし、このデマンドが選択した組織戦略に貢献する割合を入力します。

   b. [目標割り当て] 関連リストで、[割り当て率 **(% Allocation)**] フィールドをクリックし、このデマンドが選択した組織目標に貢献する割合を入力します。

   > **注:**
   > デマンドの戦略または目標の割り当ての合計は 100% を超えないようにする必要があります。

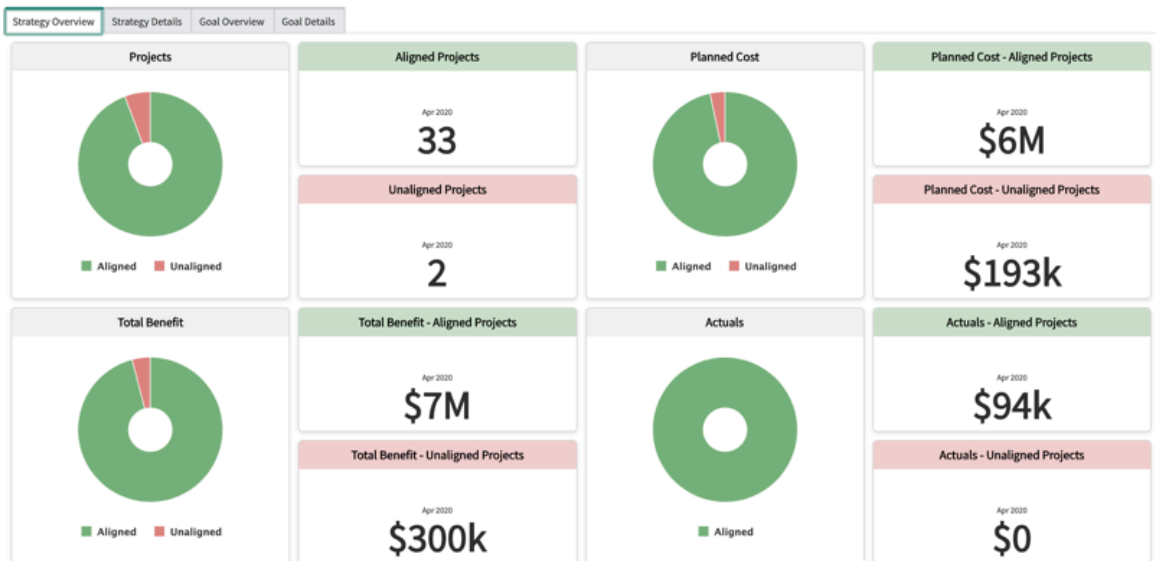
6. [戦略と目標の割り当てを再計算] 関連リンクをクリックして、割り当てタブのコストフィールドの値を更新します。
7. [更新] をクリックします。
8. オプション: [戦略割り当て] または [目標割り当て] 関連リストで、[プレビュー] アイコン (ⓘ) をクリックし、[レコードを開く] をクリックして戦略または目標の割り当てブレークダウンを表示します。
9. オプション: Strategic Spend Tracking for PPM ダッシュボード を使用して、計画コスト、実際のコスト、および利益の経時的な傾向を表示します。

Strategic Spend Tracking for PPM ダッシュボード

Strategic Spend Tracking for PPM ダッシュボードは、ビジネスプランナーに包括的な視覚化を提供します。これにより、プロジェクトの計画コスト、実際のコスト、および利益が組織の目標と戦略にどの程度適合しているかについて、経時的な傾向を把握できます。組織の財務実績の正確な把握に役立ちます。

総経費を分析し、何がコストに寄与しているのか、どの部門および事業部門が支出しているのかをドリルダウンすることができます。

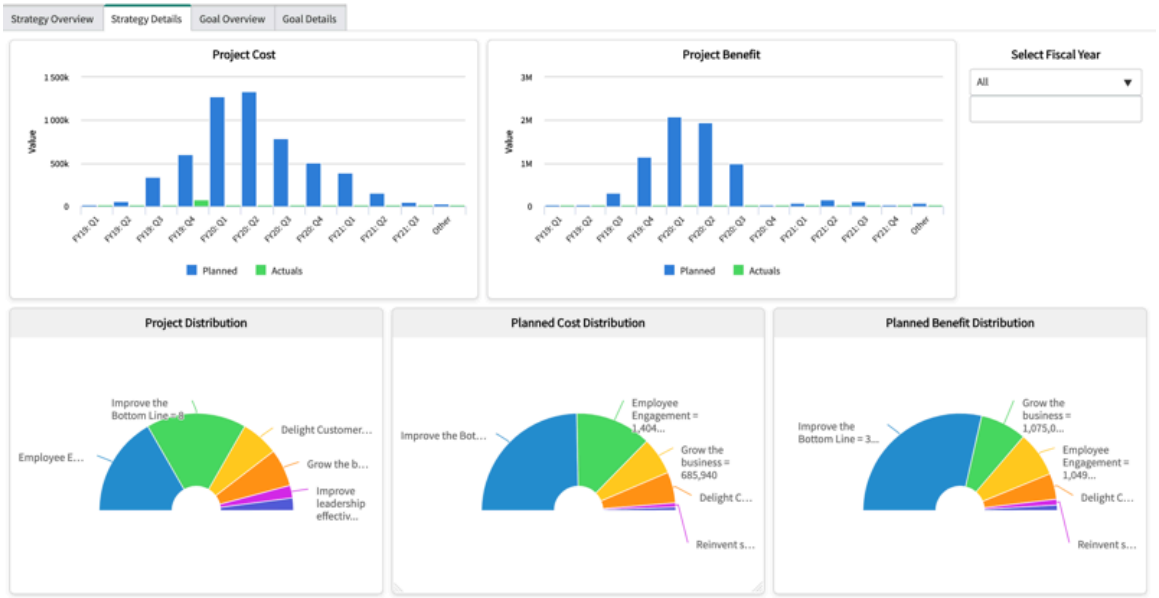
[戦略の概要] タブ



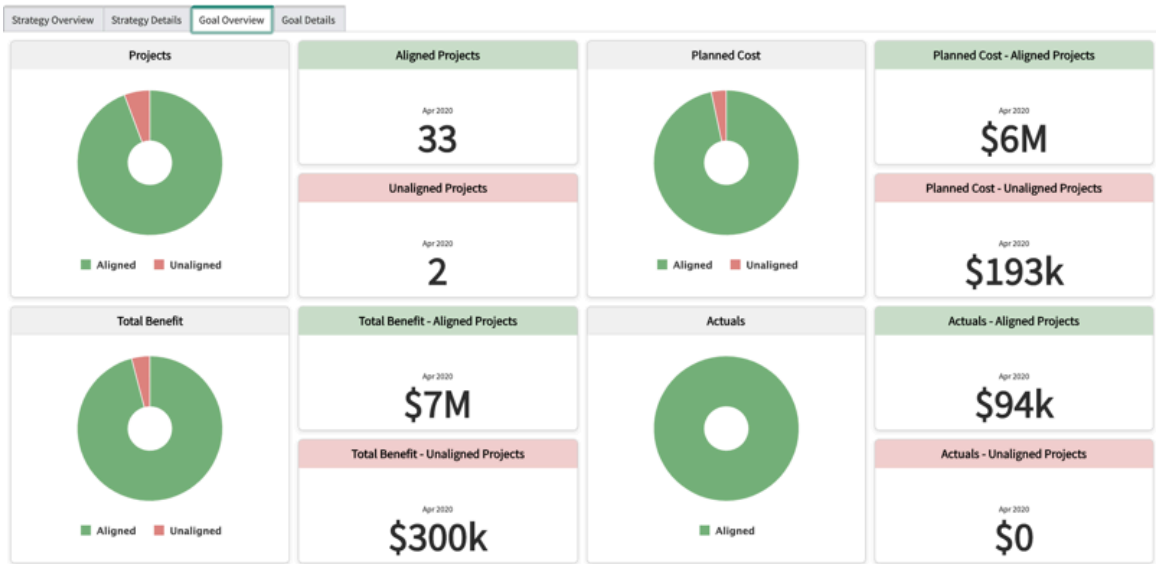
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[戦略の詳細] タブ



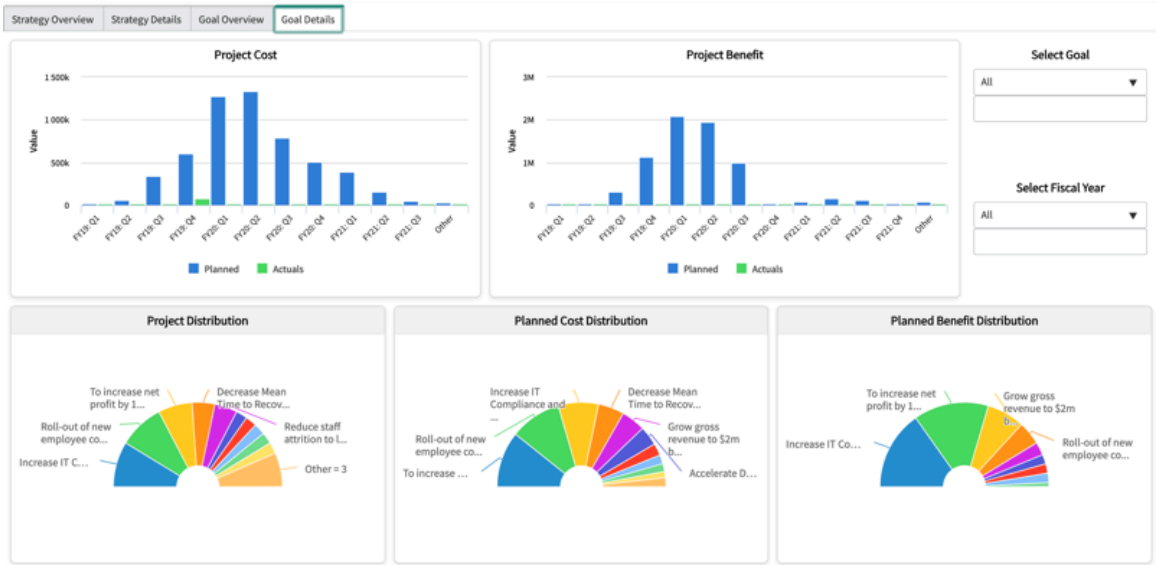
[目標の概要] タブ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[目標の詳細] タブ



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
事業計画者：組織内のプロジェクトとデマンドの戦略と目標に対する可視性が必要です。	business_planner

インジケーター

ダッシュボードには、戦略に関する次のインジケーターが含まれています。

プロジェクト

戦略に対して調整済みのプロジェクトと未調整のプロジェクトの比較。

調整済みプロジェクト

戦略に対して調整済みのプロジェクトの数。

未調整プロジェクト

戦略に対して未調整のプロジェクトの数。

計画コスト

戦略にたいして調整済みの計画コストと未調整の計画コストの比較。

計画コスト：調整済みプロジェクト

戦略対して調整済みのすべてのプロジェクトの合計計画コスト。

計画コスト：未調整プロジェクト

戦略に対して未調整のすべてのプロジェクトの合計計画コスト。

合計メリット

戦略に対して調整済みの利益合計と未調整の利益合計の比較。

合計メリット：調整済みプロジェクト

戦略に対して調整済みのプロジェクトの利益合計。

合計メリット：未調整プロジェクト

戦略に対して調整済みのすべてのプロジェクトの利益合計。

実績

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略に対して調整済みの実際のコストと未調整の実際のコストの比較。

実績：調整済みプロジェクト

戦略に対して調整済みのすべてのプロジェクトの実際のコストの合計。

実績：未調整プロジェクト

戦略に対して未調整のすべてのプロジェクトの実際のコストの合計。

ダッシュボードには、目標に関する次のインジケーターが含まれています。

プロジェクト

目標に対して調整済みのプロジェクトと未調整のプロジェクトの比較。

調整済みプロジェクト

目標に対して調整済みのプロジェクトの数。

未調整プロジェクト

目標に対して未調整のプロジェクトの数。

計画コスト

目標に対して調整済みの計画コストと未調整の計画コストの比較。

計画コスト：調整済みプロジェクト

目標に対して調整済みのすべてのプロジェクトの合計計画コスト。

計画コスト：未調整プロジェクト

目標に対して未調整のすべてのプロジェクトの合計計画コスト。

合計メリット

目標に対して調整済みの利益合計と未調整の利益合計の比較。

合計メリット：調整済みプロジェクト

目標に対して調整済みのすべてのプロジェクトの利益合計。

合計メリット：未調整プロジェクト

目標に対して未調整のすべてのプロジェクトの利益合計。

実績

目標に対して調整済みの実際のコストと未調整の実際のコストの比較。

実績：調整済みプロジェクト

目標に対して調整済みのすべてのプロジェクトの実際のコストの合計。

実績：未調整プロジェクト

目標に対して未調整のすべてのプロジェクトの実際のコストの合計。

ブレークダウン

ダッシュボードには、次のブレークダウンが含まれています。

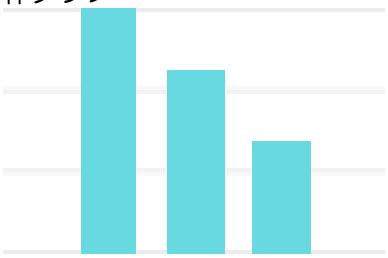
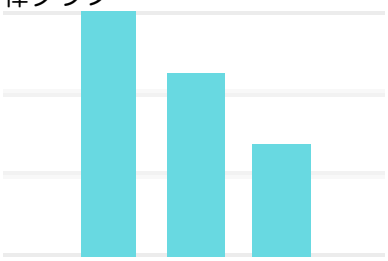
- 戦略
- 目標
- プロジェクトコスト
- プロジェクトのメリット
- 実績

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化

ダッシュボードには、戦略の以下の可視化が含まれています。

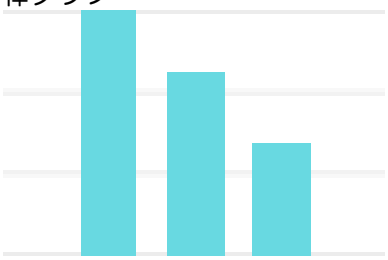
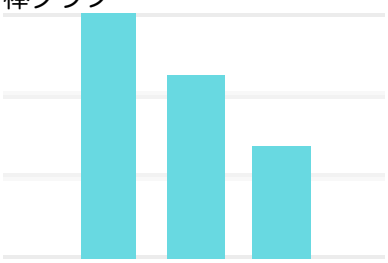
タイトル	タイプ	説明
プロジェクトコスト	棒グラフ 	会計期間別にグループ化されたすべてのプロジェクトの戦略に関する、計画コストの合計と実際のコストの合計の比較。
プロジェクトのメリット	棒グラフ 	会計期間別にグループ化されたすべてのプロジェクトの戦略に関する、計画利益の合計と実際の利益の合計の比較。
プロジェクト配分	円グラフ 	戦略別のプロジェクト配分のブレークダウン。
計画コスト配分	円グラフ 	戦略別のプロジェクト計画コスト配分のブレークダウン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
計画利益配分	円グラフ 	戦略別のプロジェクト計画利益配分のブレークダウン。

ダッシュボードには、目標の以下の可視化が含まれています。

タイトル	タイプ	説明
プロジェクトコスト	棒グラフ 	会計期間別にグループ化されたすべてのプロジェクトの目標に関する、計画コストの合計と実際のコストの合計の比較。
プロジェクトのメリット	棒グラフ 	会計期間別にグループ化されたすべてのプロジェクトの目標に関する、計画利益の合計と実際の利益の合計の比較。
プロジェクト配分	円グラフ 	目標別のプロジェクト配分のブレークダウン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
計画コスト配分	円グラフ 	目標別のプロジェクト計画コスト配分のブレークダウン。
計画利益配分	円グラフ 	目標別のプロジェクト計画利益配分のブレークダウン。

プロジェクトポートフォリオ管理 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

の プロジェクトポートフォリオ管理ソリューションを有効にするには、管理者としてログインし、次に移動します。 パフォーマンスアナリティクス > ガイド付きセットアップ.[開始する **(Get Started)]** をクリックして、PPM Standard ダッシュボードのセクションにスクロールします。ガイド付き設定に従って、セットアップと構成のすべての手順を実行します。

または、Performance Analytics – コンテンツパック – PPM Standard プラグイン (com.snc.pa.pmo_dashboards) を有効化します。

com.snc.pa.pmo_dashboards プラグインを有効化すると、次のプラグインも有効化されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo)
- Performance Analytics – コンテンツパック – Project Portfolio Suite ダッシュボード (com.snc.pps_dashboards)

次のいずれかのナビゲーションリンクを使用して、PMO ダッシュボードにアクセスします。

- プロジェクト > ポートフォリオ > ポートフォリオダッシュボード.
- プロジェクト > プログラム > プログラムダッシュボード.
- セルフサービス > ダッシュボード. 検索フィールドを使用して、「**PMO** ダッシュボード」を検索します。
- タイムシート > タイムシートポータル > タイムシートダッシュボード.

ダッシュボードを開く際に使用したナビゲーションリンクに応じたデータが、ダッシュボードに表示されます。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

一部のソリューションでは、システム管理者は、プラットフォームアナリティクスソリューション のデータコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーです。他のソリューションでは、データコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーは空白のままです。[別のユーザーとして実行] ユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認してください。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。この設定は、Domain Separation が有効になっている場合のみ効果があります。

このソリューションの古いバージョン

このソリューションは、Project Portfolio Suite (com.snc.pa.ppm) ソリューションに取って代わるものです。前バージョンのソリューションを有効化してからインスタンスをアップグレードした場合は、以前のソリューションが残り、それを引き続き使用できます。既存のインジケーターやブレークダウンからデータを失うことなく、新しいバージョンを有効化することもできます。新しいバージョンを有効化する場合は、履歴データコレクションジョブを実行して、タイムシートダッシュボードに新しいインジケーターとブレークダウンを設定します。

関連情報

プラットフォームアナリティクスソリューション

Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化

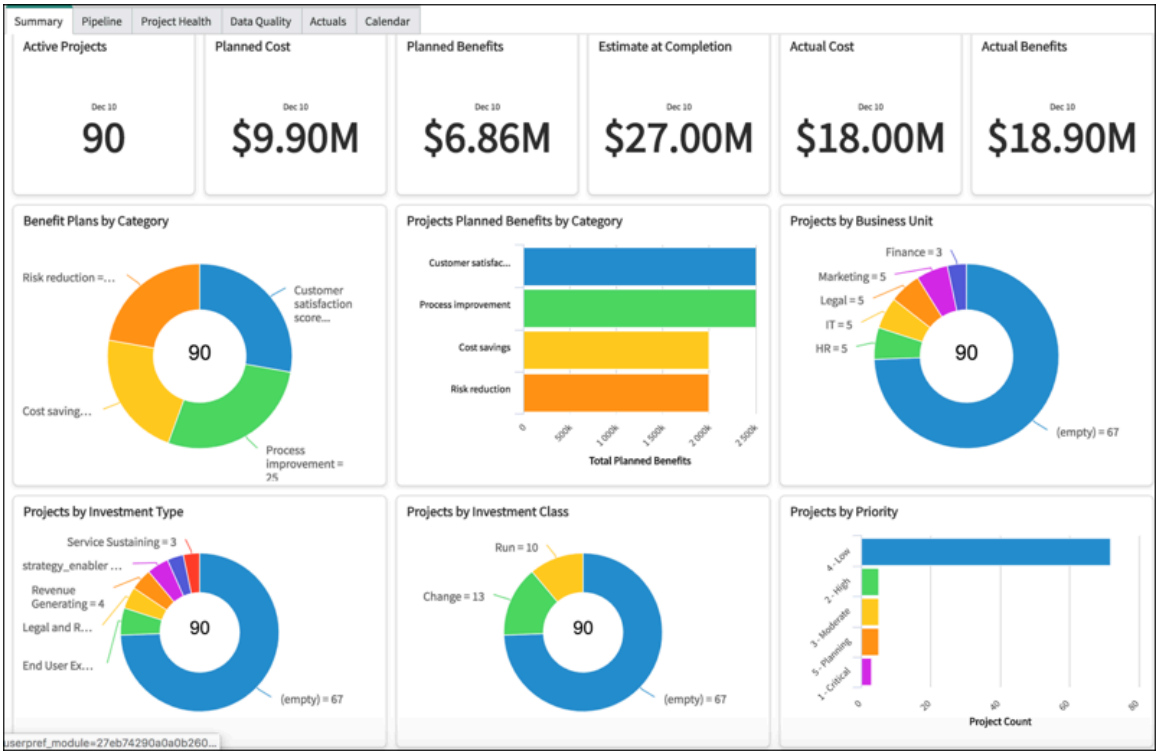
PMO ダッシュボード

PMO ダッシュボードは、ポートフォリオマネージャーとプログラムマネージャーに包括的なレポートを提供します。このダッシュボードは プラットフォームアナリティクス を使用して、履歴データの傾向と定期的なレポートを提供します。投資の概要を示し、今後取り込み予定のパイプラインビューと今後の日付のカレンダービューを提供します。

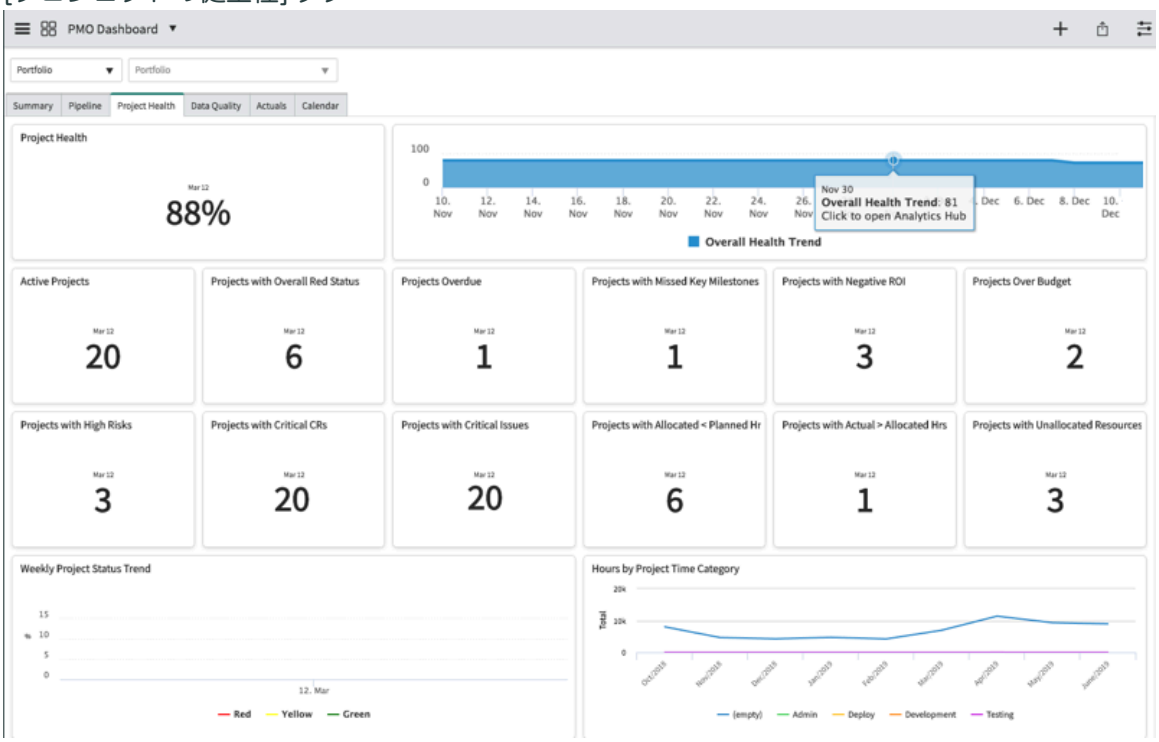
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サマリー] タブ



[プロジェクトの健全性] タブ



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
ポートフォリオマネージャー：ポートフォリオ内のプログラム、プロジェクト、デマンド、お	it_portfolio_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーと目標	必要なロール
よび実行する必要があるアクションに対する可視性が必要です。	
プログラムマネージャー：プログラム内のプロジェクトとデマンド、および実行する必要があるアクションに対する可視性が必要です。	it_program_manager
プロジェクトマネージャー：ダッシュボードにアクセスできます。	it_project_manager

インジケーター

ダッシュボードの [サマリー]、[パイプライン]、[プロジェクトの健全性] タブには、次のインジケーターを持つウィジェットが含まれます。プロジェクトのデータは [pm_project] テーブルから、デマンドのデータは [dmn_demand] テーブルから、アイデアのデータは [idea] テーブルから収集されます。

PPM – アクティブなプロジェクトの数

アクティブなプロジェクトの数。プロジェクトは、実際の終了日が <after today> または <empty> の場合にアクティブとみなされます。

> **注:**
> プロジェクトの [実際の終了日 (Actual End Date)] が将来の日付で、かつプロジェクトが [クローズ済み] ステータスの場合、そのプロジェクトはレポートでアクティブとして扱われます。

PPM – 予定時間数よりも少ない割り当て済み時間

割り当てられた時間数が予定時間数よりも少ないリソース計画のあるアクティブなプロジェクトの数

PPM – 進行ステータスが [オープン]、[処理待ち]、[対応中] のアクティブなプロジェクト

進行ステータスが [オープン]、[処理待ち]、[対応中] のアクティブなプロジェクトの数。

PPM – アクティブな赤いプロジェクトの数

全体的に赤のステータスであるアクティブなプロジェクトの数。

PPM – オープンプロジェクトの合計経過時間

すべてのアクティブなプロジェクトの合計経過時間 (日数)。これは、アクティブなプロジェクトの開始予定日とインジケータースコアが収集された日付との差です。このインジケーターは、オープンプロジェクトの平均経過時間を計算するために使用されます。

PPM – 計画コスト

すべてのアクティブなプロジェクトの合計計画コスト。

PPM – 実際のコスト

すべてのアクティブなプロジェクトの実際のコストの合計。

PPM – 負の ROI のあるアクティブなプロジェクトの数

投資利益率がマイナスになっているアクティブなプロジェクトの数。

PPM – Estimate at Completion

すべてのアクティブなプロジェクトの完了時の合計コスト概算。

PPM – 高リスクのプロジェクトの数

[処理待ち] ステータスで、確率が [絶対 (Absolute)] または [高] であるリスクのあるアクティブなプロジェクトの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM – 最重要の問題のあるプロジェクトの数

ステータスが [オープン] または [対応中] で、[最重要] の問題があるアクティブなプロジェクトの数。

PPM – 実行されなかったマイルストーンを含むプロジェクトの数

本日より前の終了予定日が指定されたマイルストーンがあるアクティブなプロジェクトの数。

PPM – アクティブな期限切れプロジェクトの数

本日より前の終了予定日があるアクティブなプロジェクトの数。

PPM – 未割り当てリソース

[計画]、[要求済み]、または [確認済み] ステータスのリソース計画がある、[対応中] ステータスのプロジェクトの数。

PPM – 実際の時間よりも少ない割り当て済時間

実際の時間が割り当てられた時間よりも長いリソース計画のあるアクティブなプロジェクトの数。

PPM – 計画利益

すべてのアクティブなプロジェクトの合計計画利益。

PPM – 実際の利益

すべてのアクティブなプロジェクトの実際の利益の合計。

PPM – 最重要の変更要求があるプロジェクトの数

ステータスが [オープン] で優先度が [最重要] のプロジェクト変更要求があるアクティブなプロジェクトの数。

PPM – 今月の合計デマンドの数

指定された月の [ドラフト] 以外のステータスのデマンドの数。

PPM – 今月のプロジェクトでのデマンドの数

指定された月にプロジェクトに変換されたデマンドの数。

PPM – 送信済み、スクリーニング、認定済み、または承認済みのオープンデマンド

[送信済み]、[スクリーニング]、[認定済み]、または [承認済み] ステータスのデマンドの数。

PPM – 送信済み、スクリーニング、認定済み、承認済みステータスのオープンデマンドの合計経過時間

[送信済み]、[スクリーニング]、[認定済み]、または [承認済み] ステータスのアクティブなデマンドの合計経過時間 (日数)。これは、デマンドの作成日とインジケータースコアの収集日との差です。このインジケーターは、オープンデマンドの平均経過時間を計算するために使用されます。

PPM – 今月のプロジェクトのデマンドの合計経過時間

指定された月にプロジェクトに変換されたすべてのデマンドの合計経過時間 (日数)。これは、デマンドの作成日と対応するプロジェクトの作成日の差の合計です。このインジケーターは、デマンドがプロジェクトになるまでの平均経過時間の計算に使用されます。

PPM – オープンなアイデアの数

[送信済み] ステータスでデマンドが関連付けられていないアイデアの数。

PPM – オープンなアイデアの合計経過時間

アイデアがデマンドに変換される前に、[送信済み] ステータスであった合計日数。

PPM – 今月の合計アイデア数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定された月に作成された、[ドラフト] ステータス以外のアイデアの数。

PPM – 今月のデマンドありのアイデアの数

指定された月にデマンドに変換されたアイデアの数。

ダッシュボードでは、次の式インジケーターも使用されます。式インジケーターは、前述のいくつかのインジケーターに基づいています。

PPM – オープンプロジェクトの平均経過時間

プロジェクトが [処理待ち]、[オープン]、[対応中] ステータスである平均日数。このインジケーターは、**[PPM – オープンプロジェクトの合計経過時間]** と **[PPM – アクティブプロジェクトの数]** インジケーターを使用して計算されます。

PPM – 過去 12 か月のアイデアからデマンドへの割合

過去 12 か月にデマンドに変換されたアイデアの割合。

PPM – 過去 12 か月のデマンドからプロジェクトへの平均経過時間

デマンドがプロジェクトに変換されるまでの平均日数。

PPM – 過去 12 か月のデマンドからプロジェクトへの割合

過去 12 か月にプロジェクトに変換されたデマンドの割合。

PPM – オープンデマンドの平均経過時間

デマンドが [送信済み]、[スクリーニング]、[認定済み]、または [承認済み] ステータスで、プロジェクトに変換されていない状態の平均日数。

PPM – オープンなアイデアの平均経過時間

アイデアがデマンドに変換される前に、[送信済み] ステータスであった平均日数。

PPM – ポートフォリオの健全性

全体的に赤のステータスのアクティブなプロジェクト、期限切れのアクティブなプロジェクト、および最重要な問題のあるアクティブなプロジェクトに基づく、ポートフォリオ健全性の割合。

ブレークダウン

- 事業部門
- デマンドのカテゴリ
- デマンド マネージャー
- 要求ステータス
- デマンド タイプ
- 部門
- 影響
- ポートフォリオ
- ポートフォリオマネージャー
- 優先度
- プログラム
- プログラムマネージャー
- T シャツサイズ
- 実行タイプ

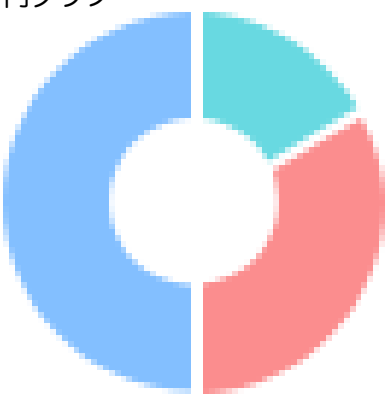
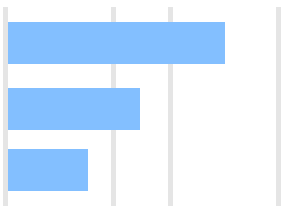
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 投資クラス
- 投資タイプ
- プロジェクトマネージャー
- プロジェクトフェーズ
- プロジェクトのステータス
- プロジェクトステータス
- 総合健全性

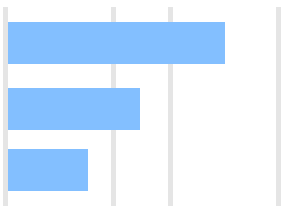
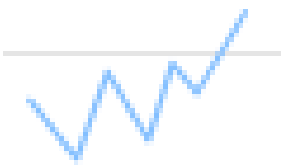
データの可視化

ダッシュボードには、以下の可視化が含まれています。

タイトル	タイプ	説明
カテゴリ別の利益計画	円グラフ 	アクティブなプロジェクトの各カテゴリにおける、利益計画数のブレークダウン。
カテゴリ別のプロジェクトの予定利益 (金銭的)	水平棒グラフ 	アクティブなプロジェクトの各カテゴリにおける、計画予定利益の合計。
事業部門別のプロジェクト	円グラフ 	各事業部門のアクティブなプロジェクト数のブレークダウン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
投資タイプ別のプロジェクト	円グラフ 	投資タイプ別にグループ化されたアクティブなプロジェクト数のブレークダウン。
投資クラス別のプロジェクト	円グラフ 	投資クラス別にグループ化されたアクティブなプロジェクト数のブレークダウン。
優先度別のプロジェクト	水平棒グラフ 	優先度別にグループ化されたアクティブなプロジェクト数のブレークダウン。
プロジェクト時間カテゴリ別の時間	線グラフ 	各プロジェクト時間カテゴリのタイムカードで報告された合計時間の傾向。傾向は、前四半期の初めから次の四半期の終わりまで表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
アクティブなデマンド	単一スコア 	プロジェクトが関連付けられていない、[送信済み]、[スクリーニング済み (Screened)]、[認定済み]、および [承認済み] ステータスのデマンドの数。
デマンド – マネージャーなし	単一スコア 	デマンドマネージャーが関連付けられていないアクティブなデマンドの数。
デマンド – ビジネスケースなし	単一スコア 	ビジネスケースのないアクティブなデマンドの数。
デマンド – 計画コストなし	単一スコア 	合計計画コストがゼロのアクティブなデマンドの数。
デマンド – 開始日なし	単一スコア 	開始日のないアクティブなデマンドの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
デマンド – 投資クラスなし	単一スコア 	投資クラスが関連付けられていないアクティブなデマンドの数。
デマンド – 予算コストなし	単一スコア 	資本がゼロかつ経費予算がゼロのアクティブなデマンドの数。
デマンド – 期日なし	単一スコア 	期日のないアクティブなデマンドの数。
デマンド – 投資タイプなし	単一スコア 	投資タイプが関連付けられていないアクティブなデマンドの数。
デマンド – 予定利益なし	単一スコア 	予定利益がないアクティブなデマンドの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
デマンド – ポートフォリオなし	単一スコア 	ポートフォリオが関連付けられていないアクティブなデマンドの数。
デマンド – プログラムなし	単一スコア 	プログラムが関連付けられていないアクティブなデマンドの数。
デマンド – ROI なし	単一スコア 	投資利益率がないアクティブなデマンドの数。
アクティブなプロジェクト	単一スコア 	実際の終了日が <after today> または <empty> のプロジェクトの数。
プロジェクト – マネージャーなし	単一スコア 	プロジェクトマネージャーが関連付けられていないアクティブなプロジェクトの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
プロジェクト – ビジネスケースなし	単一スコア 	ビジネスケースのないアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – 計画コストなし	単一スコア 	合計計画コストがゼロのアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – タスクなし	単一スコア 	プロジェクトタスクが関連付けられていないアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – 投資クラスなし	単一スコア 	投資クラスが関連付けられていないアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – 予算コストなし	単一スコア 	予算コストがゼロのアクティブなプロジェクトの数。

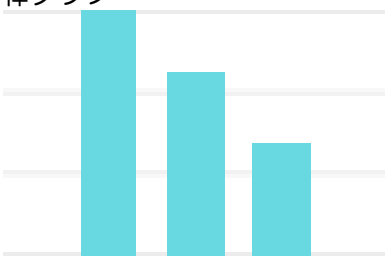
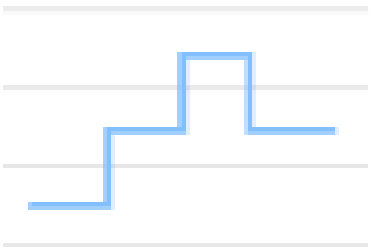
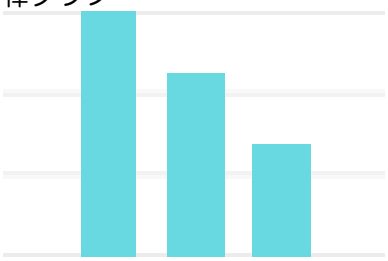
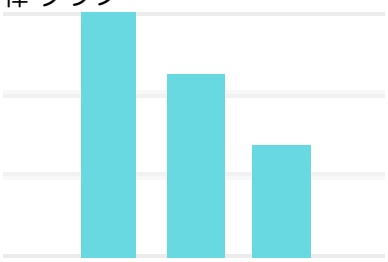
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
プロジェクト – 説明なし	単一スコア 	説明のないアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – 投資タイプなし	単一スコア 	投資タイプが関連付けられていないアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – 計画利益なし	単一スコア 	計画利益がゼロのアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – ポートフォリオなし	単一スコア 	ポートフォリオが関連付けられていないアクティブなプロジェクトの数。
プロジェクト – プログラムなし	単一スコア 	プログラムが関連付けられていないアクティブなプロジェクトの数。

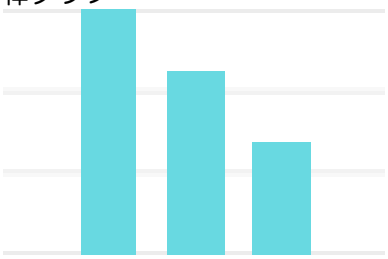
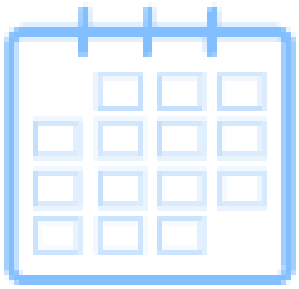
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
プロジェクト – ROI なし	単一スコア 	計画された投資利益率がないアクティブなデマンドの数。
計画コスト、予算、実際のコストの比較	棒グラフ 	会計期間別にグループ化されたアクティブなプロジェクトの計画コスト、予算、実際のコストのそれぞれの合計の比較。
割り当てられた時間と実際の時間	ステップライングラフ 	アクティブなプロジェクトに関連付けられているリソース計画に対して、割り当てられた時間の合計と実際の時間の合計の月次傾向。
金銭的な計画利益と実際の利益	棒グラフ 	会計期間別にグループ化されたアクティブなプロジェクトにおける、計画財務利益の合計と実際の財務利益の合計の比較。
金銭以外の計画利益と実績利益	棒 グラフ 	会計期間別にグループ化されたアクティブなプロジェクトの財務以外の合計計画利益と実際利益の比較。

自動翻訳

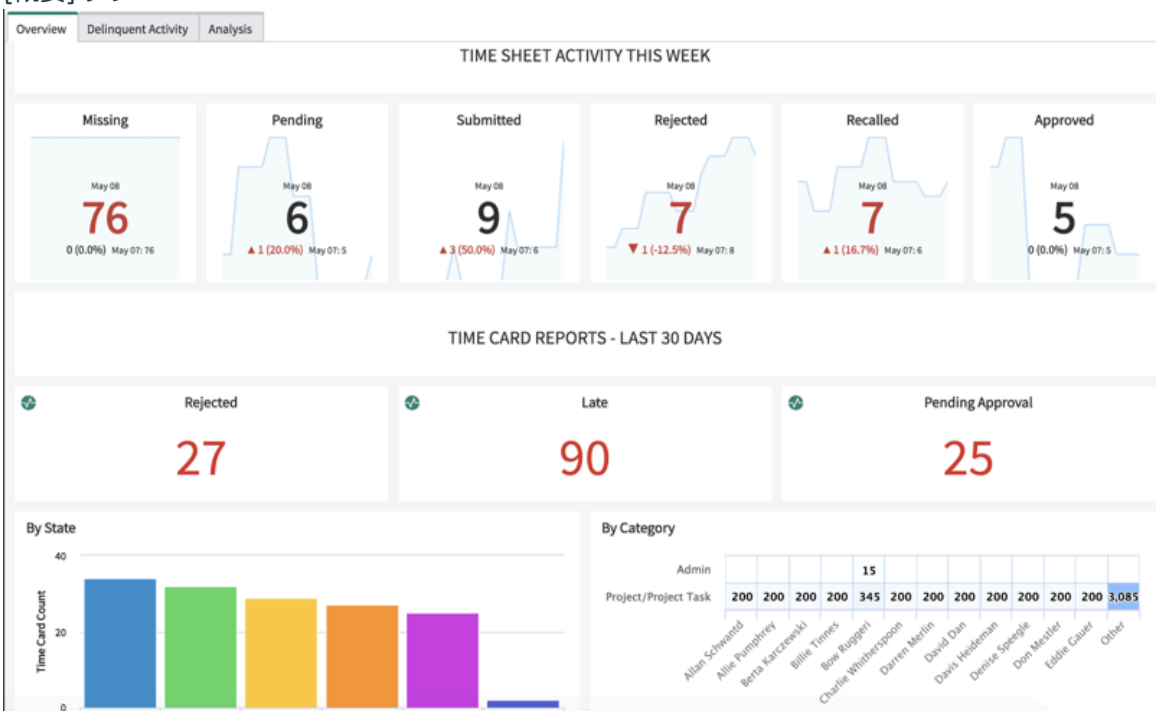
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
カテゴリ別の金銭的な計画利益と実際の利益	棒グラフ 	アクティブなプロジェクトの各利益計画カテゴリにおける、計画財務利益の合計と実際の財務利益の合計の比較。
プロジェクトの完了カレンダー	カレンダー 	プロジェクト、プロジェクトタスク、およびマイルストーンの終了予定日のカレンダービュー。

タイムシートダッシュボード

タイムシートダッシュボードは、タイムカード承認者とタイムカードユーザーに、包括的なタイムシートアクティビティとレポートを提供します。ダッシュボードは Performance Analytics を使用して、履歴データの傾向と定期的なレポートを提供します。リソースのタイムシートアクティビティの概要、タイムシートの承認と却下率、割り当て超過および割り当て不足のリソース数を示します。

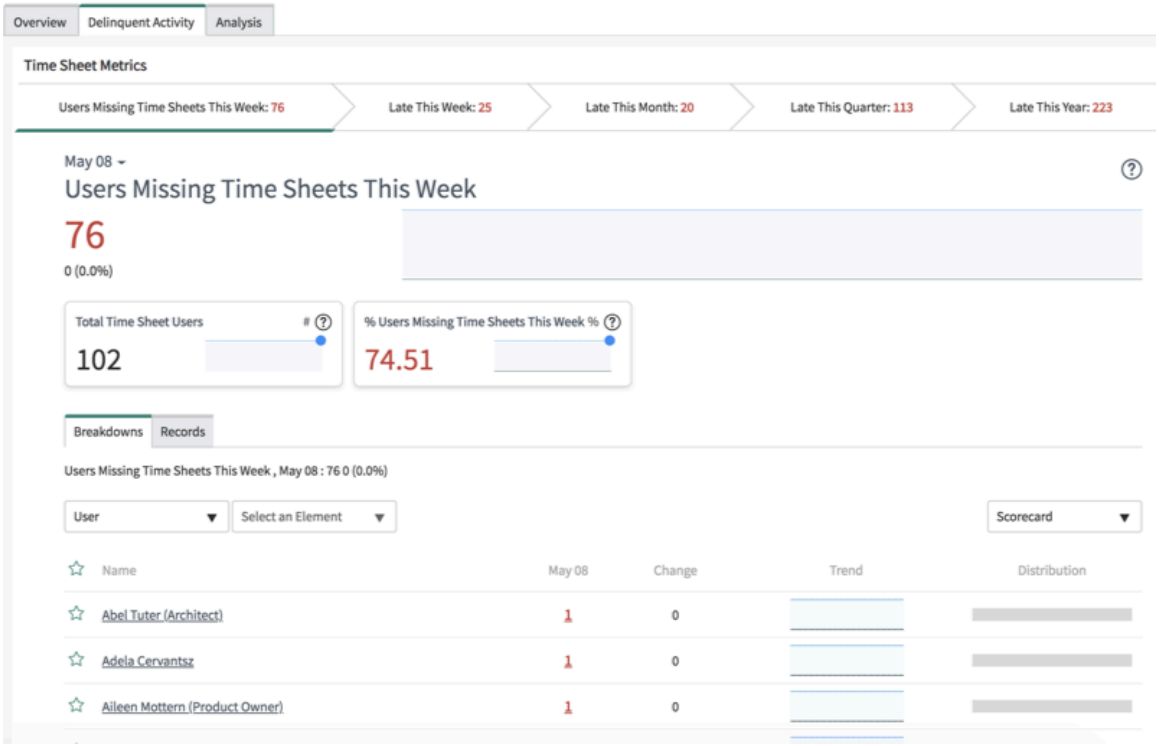
[概要] タブ



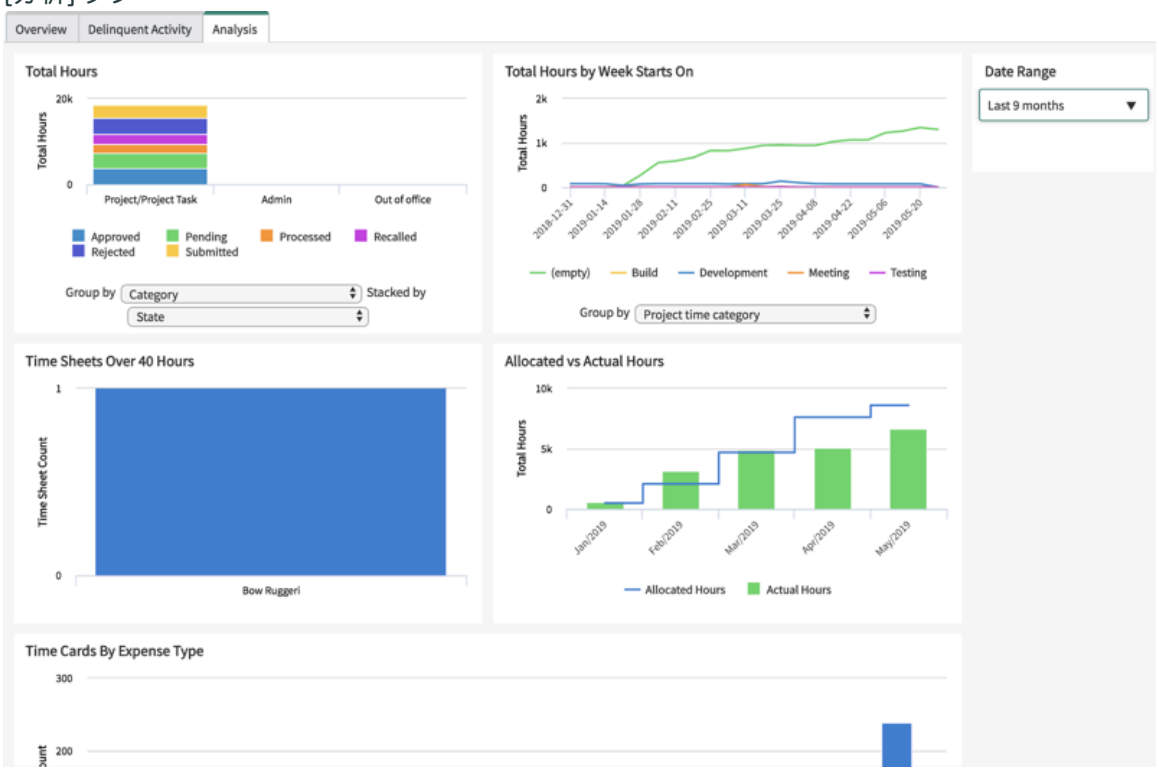
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[延滞アクティビティ] タブ



[分析] タブ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
ポートフォリオマネージャー：リソースのタイムシートアクティビティと実行する必要があるアクションに対する可視性が必要です。	it_portfolio_manager
プログラムマネージャー：リソースのタイムシートアクティビティと実行する必要があるアクションに対する可視性が必要です。	it_program_manager
プロジェクトマネージャー：ダッシュボードにアクセスできます。	it_project_manager
タイムカード承認者：リソースのタイムシートアクティビティと実行する必要があるアクションに対する可視性が必要です。	timecard_approver
PPM のビジネスステークホルダー：リソースのタイムシートアクティビティと実行する必要があるアクションに対する可視性が必要です。	sn_ppm_read

インジケーター

ダッシュボードの [概要]、[延滞アクティビティ]、[分析] タブには、以下のインジケータを持つウィジェットが含まれます。タイムシートとタイムカードのデータは [time_sheet] テーブルから収集され、ユーザーのデータは [users] テーブルから収集されます。

PPM – アクティブなタイムシートユーザー

timecard_user ロールを持つアクティブなユーザーの数。

PPM – 今年遅れた割合

今年遅れたタイムシートの割合。

PPM – 今週遅れた割合

今週遅れたタイムシートの割合。

PPM – 今四半期遅れた割合

今四半期に遅れたタイムシートの割合。

PPM – 今月遅れた割合

今月遅れたタイムシートの割合。

PPM – 今月遅れたタイムシート

今月遅れたタイムシートの数。インジケーターには、[承認済み] または [処理済み] ステータス以外の、先週までの当月のタイムシートが含まれます。

PPM – 今四半期遅れたタイムシート

今四半期遅れたタイムシートの数。インジケーターには、[承認済み] または [処理済み] ステータス以外の、先週までの現在の四半期のタイムシートが含まれます。

PPM – 今週遅れたタイムシート

今週遅れたタイムシートの数。インジケーターには、[承認済み] または [処理済み] ステータス以外の、先週のタイムシートが含まれます。

PPM – 今年遅れたタイムシート

今年遅れたタイムシートの数。インジケーターには、[承認済み] または [処理済み] ステータス以外の、先週までの今年のタイムシートが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PPM – 先週の合計タイムシート

先週のタイムシートの合計数。

PPM – 今月の合計タイムシート

今月の週のタイムシートの合計数。

PPM – 今四半期の合計タイムシート

今四半期の週のタイムシートの合計数。

PPM – 今年の合計タイムシート

今年の週のタイムシートの合計数。

PPM – 今週承認されたタイムシート

今週承認されたタイムシートの数。インジケーターには、[承認済み] または [処理済み] ステータス以外のタイムシートが含まれます。

PPM – 今週欠落しているタイムシート

今週のタイムシートを送信しなかった、timecard_user ロールを持つユーザーの数。

PPM – 今週処理待ちのタイムシート

今週の処理待ちになっているタイムシートの数。インジケーターには、[処理待ち] ステータスの今週のタイムシートが含まれます。

PPM – 今週取り消されたタイムシート

今週取り消されたタイムシートの数。インジケーターには、[取り消し済み] ステータスの今週のタイムシートが含まれます。

PPM – 今週却下されたタイムシート

今週却下されたタイムシートの数。インジケーターには、[却下] ステータスの今週のタイムシートが含まれます。

PPM – 今週送信されたタイムシート

今週送信されたタイムシートの数。インジケーターには、[送信済み] ステータスの今週のタイムシートが含まれます。

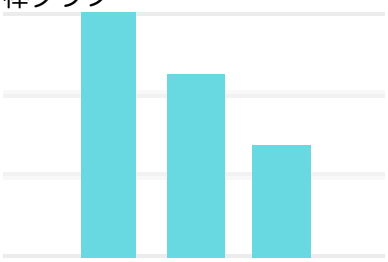
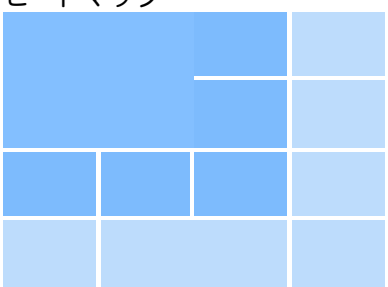
ブレークダウン

- ユーザー
- マネージャー
- 部門
- コストセンター
- ポートフォリオ
- プログラム
- プロジェクト

自動翻訳

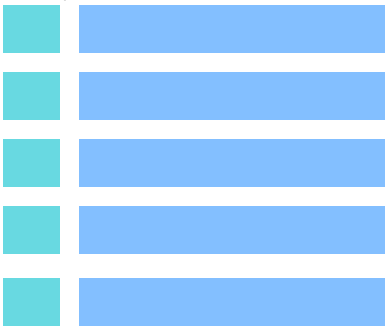
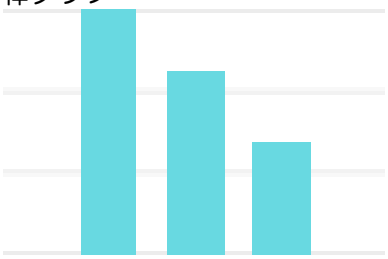
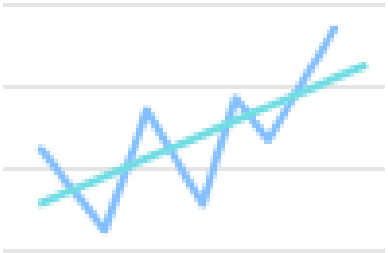
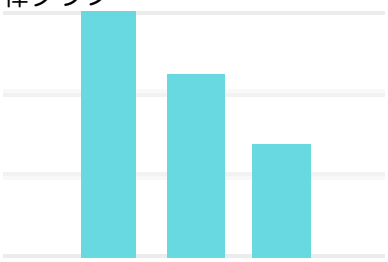
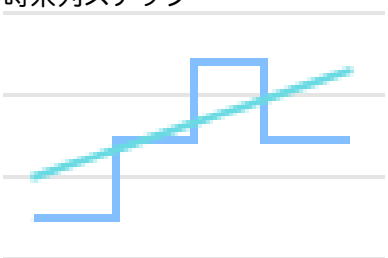
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
却下	単一スコア 	過去 30 日間に [却下] ステータスになっているタイムカードの数。
遅延	単一スコア 	過去 30 日間に遅れて送信されたタイムカードの数。
承認待ち	単一スコア 	過去 30 日間に承認待ちになったタイムカードの数。
ステータス別	棒グラフ 	ステータス別にグループ化された、過去 30 日間のタイムカードの数。
カテゴリ別	ヒートマップ 	過去 30 日間にさまざまなプロジェクト時間カテゴリにわたってリソースが費やした時間 (時間数) のブレークダウン。

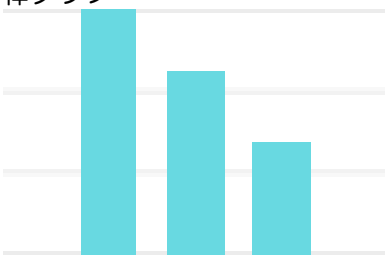
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
リソース別	リスト 	30 日間にリソースによって送信されたタイムカードのリスト。
合計時間	棒グラフ 	さまざまなカテゴリで費やされた合計時間 (時間数)。
週の開始日別の合計時間	時系列線 	一定期間におけるさまざまなカテゴリに費やされた合計時間 (時間数) の週次傾向。
40 時間を超えるタイムシート	棒グラフ 	過剰割り当てされたリソースを示す 40 時間を超えるタイムシートの数。 ポートフォリオ、プログラム、またはプロジェクトを選択しても、このレポートは更新されません。
割り当てられた時間と実際の時間	時系列ステップ 	すべてのタイムカードユーザーの割り当てられた合計時間と実際の時間とを比較した月次傾向。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
経費タイプ別のタイムカード	棒グラフ 	経費タイプ別にグループ化されたタイムカード：資本経費 (投資) と運用経費 (経費)。

プロジェクトポートフォリオ管理 参照

参照トピックには、ドメイン分離、クイックスタートテスト、ビジネスステークホルダーロールアクセス、および に関連するその他の プロジェクトポートフォリオ管理情報が記載されています。

(PPM) 標準とともに プロジェクトポートフォリオ管理 インストールされるコンポーネント

PPM Standard プラグインの有効化とともに、いくつかのコンポーネントがインストールされます。

デモデータは PPM Standard とともに入手できます。デモデータは、サンプルプロジェクト、デマンド、プログラム、ポートフォリオ、経費明細行を提供します。デモデータは、サンプルプロジェクトおよびデマンドのコスト計画と予算計画のサンプルも提供します。

PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) とともにインストールされるプラグイン

PPM Standard プラグインが有効になると、複数のプラグインがインストールされます (まだ有効になっていない場合)。

PPM Standard プラグイン

PPM Standard は、次のプラグインを追加します。

プラグイン名	説明
Project Portfolio Suite [com.snc.project_portfolio_suite]	プロジェクトポートフォリオ管理と IT ソフトウェア開発のための、データ連携されたアプリケーションセットを有効化します。
Financial Planning [com.snc.financial_planning]	財務アナリストが、支出データを組み合わせて、コストモデルを構築し、資金の割り当て状況を示すレポートを生成できるようにします。
レートモデル [com.snc.rate_model]	処理中のプロジェクト、デマンド、またはタイムカードから得られる特定の条件セットに基づいて、日付ごとに時給を提供します。
PPM による観念化 [com.snc.ppm_innovation_management]	組織が新しいアイデアを収集して、アイデアについてコラボレーションし、実装に適したアイデアを特定できるようにします。選択したアイデアをデマンド、ストーリー、プロジェクト、およびエピックに変換します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Project Portfolio Suite プラグイン

Project Portfolio Suite は、次のプラグインを追加します。

プラグイン名	説明
Demand Management [com.snc.demand_management]	デマンドをキャプチャし、それらをスクリーニング、評価、および優先順位付けするためのツールを提供できるようにします。
Project Management [com.snc.project_management_v3]	プロジェクトとリソースの計画、整理、および管理を可能にし、プロジェクトをより迅速かつ簡単にセットアップ、実行、完了できるようにします。
Resource Management [com.snc.resource_management]	リソース要求者とリソースマネージャーが、計画された作業と運用上の作業の両方のリソースを計画、整理、および管理できるようにします。

Demand Management プラグイン

Demand Management は、次のプラグインを追加します。

プラグイン名	説明
プロセスフローフォーマッター [com.snc.process_flow_formatter]	プロセスに関する複数の情報を要約し、フォームの上部にステージをグラフィカルに表示します。
アセスメント [com.snc.assessment_core]	システム内のテーブルのレコードを評価、スコア付け、およびランク付けします。主要なパフォーマンス情報が強調されるように設計された、独自のグラフィカルビューを使用して結果を評価します。
タイムラインのビジュアライズ [com.snc.timeline_visualization]	インシデント、問題、変更、プロジェクトなど、組織の戦略的および運用上のアクティビティを概括的にグラフィカルに表現します。

プロジェクト管理プラグイン

プロジェクト管理は、次のプラグインを追加します。

プラグイン名	説明
チェックリスト [com.glide.ui.checklist]	タスクのチェックリスト。
Cost Management [com.snc.cost_management]	構成アイテムのコストを定義およびトラッキングできるようにします。CI、契約、およびプロジェクトでレートカードを使用します。
プロセスフローフォーマッター [com.snc.process_flow_formatter]	レコードの上部にある線形プロセスフローにさまざまなステージを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラグイン名	説明
Skills Management [com.snc.skills_management]	管理者は、スキルと呼ばれる構成済みのコンピテンシーを、グループまたは個々のユーザーにアサインできます。
タイムラインのビジュアライズ [com.snc.timeline_visualization]	時間の経過に伴うアクティビティをグラフィカルに表現できるようにします。
Time Card Management [com.snc.time_card]	プロジェクトタスクの実際の開始日と終了日など、2 つの日付で区切られた任意のアクティビティの線形タイムラインを作成できるようにします。

Resource Management プラグイン

プロジェクト管理は、次のプラグインを追加します。

プラグイン名	説明
コスト管理 [com.snc.cost_management]	構成アイテムのコストを定義およびトラッキングできるようにします。CI、契約、およびプロジェクトでレートカードを使用します。
プロセスフローフォーマッター [com.snc.process_flow_formatter]	レコードの上部にある線形プロセスフローにさまざまなステージを表示します。

PPM Standard (Project Portfolio Management) とともにインストールされるテーブル

PPM Standard プラグインを有効にするとテーブルが追加されます。

PPM Standard のテーブル

PPM Standard は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
コスト計画 [cost_plan]	プロジェクトに必要なリソースのコスト計画。
コスト計画ブレークダウン [cost_plan_breakdown]	プロジェクト、プログラム、またはポートフォリオに基づくリソースのコストブレークダウン。これらのレコードは、すべてのコストのロールアップです。プロジェクトタスクコスト計画は、プロジェクトにロールアップされません。
原価費目の定義 [resource_type_definition]	原価費目の定義。運用経費または資本経費のいずれかを指定し、総勘定元帳 [itfm_cl_accounts] テーブル内のアカウントをリンクできます。総勘定元帳テーブルは、Financial Management アプリケーションとともにインストールされます。
プロジェクト資金調達 [project_funding]	プロジェクトまたはデマンドにおける、資本経費と運用経費の両方に関するターゲット経費値と予算経費値。このテーブルのレコードは単一会計年度向けです。
利益計画	プロジェクトまたはデマンドがもたらす可能性のある潜在的利益についての利益計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[benefit_plan]	
利益のブレークダウン [benefit_plan_breakdown]	プロジェクトまたはデマンドの利益のブレークダウン。これらのレコードは、すべての利益のロールアップです。
予算参照レート [itfm_fx_rate]	予算で使用される為替レート。

Project Portfolio Suite テーブル

Project Portfolio Suite は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
プロジェクトステークホルダー [pm_m2m_project_stakeholder]	1 つ以上のプロジェクトに関連付けられているすべてのステークホルダーを保存します。
プロジェクトタイムカードの例外 [project_timecard_exception]	週の開始日、ユーザー、プロジェクト、タイムカードのステータスなどのタイムカード情報を保存します。
プロジェクト時間カテゴリ [project_time_category]	タイムカード用に作成されたプロジェクトサブカテゴリを保存します。
タイムシートの例外 [time_sheet_exception]	週の開始日、ユーザー、タイムシートのステータスなどのタイムシート情報を保存します。

Demand Management のテーブル

Demand Management は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
デマンド [dmn_demand]	すべてのデマンドを保存します。
決定 [dmn_decision]	すべての意思決定を保存します。
ステークホルダー登録 [dmn_stakeholder_register]	すべてのステークホルダーを保存します。
要件 [dmn_requirement]	すべての要件を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
デマンドのステークホルダー [dmn_m2m_demand_stakeholder]	1 つ以上のデマンドに関連付けられている、すべてのステークホルダーを保存します。
デマンドのステージ構成 [dmn_stage_config]	デマンドステージのポップアップウィンドウに表示される画像を保存します。
アイデア [idea]	すべてのアイデアを保存します。

プロジェクト管理のテーブル

プロジェクト管理は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
目標 [goal]	プロジェクトの目標。
問題 [issue]	プロジェクトの問題。
ワークベンチのカスタマイズ [workbench_config_user]	ワークベンチを利用する各ユーザーの構成設定。
ポートフォリオ [pm_portfolio]	ポートフォリオ。
ポートフォリオプロジェクト [pm_portfolio_project]	ポートフォリオプロジェクト。
ポートフォリオプロジェクトの目標 [pm_portfolio_goal]	ポートフォリオプロジェクトの目標。
ポートフォリオプロジェクトの問題 [pm_portfolio_issue]	ポートフォリオプロジェクトの問題。
ポートフォリオプロジェクトリレーションシップ [pm_m2m_portfolio_project]	ポートフォリオとポートフォリオ内の各プロジェクト間のすべての関係。
ポートフォリオプロジェクトリスク [pm_portfolio_risk]	ポートフォリオプロジェクトのリスク。
プロジェクト	すべてのプロジェクト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[pm_project]	
プロジェクトタスク [pm_project_task]	プロジェクトで使用されるすべてのタスク。
プロジェクトタスクリンク [pm_project_task_link]	リンクされた変更のすべてのレコード (v3 プラグインとともにインストールされます)。
プロジェクトテンプレート [project_template]	プロジェクトテンプレート。
プロジェクトテンプレート構成 [project_template_config]	プロジェクトテンプレートの構成設定。
プロジェクトテンプレートタスク [project_template_task]	プロジェクトテンプレート内のタスク。
リスク [risk]	プロジェクトのリスク。
プロジェクト変更要求 [project_change_request]	プロジェクトの変更要求。
ステータスレポート [project_status]	プロジェクトのステータスレポート。
チームスペース [pm_app_config]	すべてのチームスペース。チームスペース用に作成されたテーブルを参照します。チームスペーステーブルのリストについては、「チームスペースと一緒のインストール」を参照してください。
計画されているタスクリレーションシップ [planned_task_rel_planned_task]	依存関係にある先行タスクと後続タスク (タスク遅延値を含む)。
ベースライン [planned_task_baseline]	すべてのベースライン。
ベースラインアイテム [planned_task_baseline_item]	ベースラインの一部であるすべてのタスク。
タスクリレーションシップ [task_rel_task]	依存関係にある先行タスクと後続タスク。
予定タスク再計算から除外	再計算から除外されるテーブルを定義します (開始日と終了日)。たとえば、このテーブルは、再計算から

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[planned_task_recalculation_exclusions]	テーブルを除外するために、planned_task の下のすべてのサブテーブルで使用されます。 このテーブルを使用して、再計算を実行しないテーブルを構成できます。

プログラム管理のテーブル

プログラム管理は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
プログラムタスク [pm_program_task]	プログラム内のすべてのタスク
プログラム [pm_program]	すべてのプログラム

Resource Management のテーブル

Resource Management は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
グループリソースロール group_has_resource_role	pps_resource_role を持つグループのリソースロールを保存します。このテーブル内のロールは、グループに属するユーザーのユーザーリソースロール [user_has_resource_role] テーブルから入力されます。 テーブルは読み取り専用です。
1 日に要求された配分 [requested_allocation_daily]	要求された割り当ての日レベルのブレークダウンを保存します。 テーブルは読み取り専用です。
リソース配分 [resource_allocation]	リソースの割り当て。
日次リソース配分 [resource_allocation_daily]	毎日、リソース計画を通じて作成されるイベントを保存します。以下も保存されます。 • ユーザーがレコードとして作成したカレンダーイベント。 • ユーザーがタスク、プロジェクト、またはその他のタイプのアクティビティ (会議や管理作業など) に費やした実際の時間。
日次リソース集計 [resource_aggregate_daily]	毎日、キャパシティ、プロジェクトに割り当てられた時間、プロジェクトで確定された時間、プロジェクト以外の時間、実際の時間、すべてのユーザーの稼働状況などの集計値を保存します。 このテーブルは、デフォルトでは無効になっています。日次集計を生成してこのテーブルに保存するに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	は、*com.snc.resource_management.generate_daily_aggregates* プロパティを作成し、値を true に設定します。
週次リソース集計 [resource_aggregate_weekly]	毎週、キャパシティ、プロジェクトに割り当てられた時間、プロジェクトで確定された時間、プロジェクト以外の時間、実際の時間、すべてのユーザーの稼働状況などの集計値を保存します。テーブルの値は、日次リソース配分 [resource_allocation_daily] テーブルへの挿入/更新/削除のたびに非同期に更新されます。
月次リソース集計 [resource_aggregate_monthly]	毎月、キャパシティ、プロジェクトに割り当てられた時間、プロジェクトで確定された時間、プロジェクト以外の時間、実際の時間、すべてのユーザーの稼働状況などの集計値を保存します。テーブルの値は、日次リソース配分 [resource_allocation_daily] テーブルへの挿入/更新/削除のたびに非同期に更新されます。
要求された配分 [requested_allocation]	リソース計画用の割り当て。
リソースイベント [resource_event]	ユーザー用に作成されたイベントを保存します。
リソースイベントの色 [resource_event_color]	各イベントタイプに対してアプリケーションが表示する色。
リソースプラン [resource_plan]	すべてのリソース計画。Helsinki で次の列が追加されました：top_task、program、portfolio。
リソースプランのログ [resource_plan_logs]	リソース計画のリソース割り当て中に発生したエラーと警告を保存します。
リソースレポート [resource_report]	生成して保存できるリソースレポート。
リソースレポートグラフ [resource_report_chart]	このテーブルは使用されません。
日次リソースレポート [resource_report_daily]	生成して保存できる日次リソースレポート。
リソースレポートのエクスポート [resource_report_export]	リソース管理レポートを JPG および PNG でエクスポートしたものを保存します。
月次リソースレポート [resource_report_monthly]	生成して保存できる月次リソースレポート。
リソースロール	プロジェクト固有のロールを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[resource_role]	
ユーザーリソースロール [user_has_resource_role]	ユーザーのリソースロールを保存します。
ユーザーカレンダーイベント [user_calendar_event]	ユーザーのカレンダーに作成されたイベントを保存します。
ユーザースケジュール [user_has_schedule]	ユーザーのスケジュールを保存します。

Innovation Management のテーブル

Innovation Management は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
アイデア [im_idea_core]	アイデアポータルに関連するすべての情報を保存する、デフォルトのテーブル。タスクテーブルを拡張します。
アイデアカテゴリ [im_category]	静的なアイデアカテゴリのリストを保存します。
アイデアカテゴリ構成 [im_category_config]	使用するテーブル、フィールド名、アイデアカテゴリの階層などのアイデアカテゴリ定義情報を保存します。また、アイデアカテゴリテーブルとアイデアモジュールの間のマッピング情報も保存します。
アイデアカテゴリ [im_m2m_idea_category	アイデアカテゴリとアイデアの間のマッピング情報も保存します。
アイデアモジュール [im_module]	モジュール名、モジュール ID、使用するアイデアテーブルなどのアイデアポータルの構成。アイデアモジュールごとに個別のテーブルを作成します。

Time Card Management のテーブル

Time Card Management は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
タイムカード [time_card]	タスク、会議、トレーニングなどのカテゴリに対してユーザーが記録した時間を保存します。
タイムシート	ユーザーの 1 週間分のタイムカードをグループ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[time_sheet]	
タイムシートポリシー time_sheet_policy	すべてのタイムシートポリシーを保存します。
日次タイムカード [time_card_daily]	タイムカードに記録された時間を毎日保存します。

レートモデルのテーブル

レートモデルは、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
レートモデル [rate_model]	レートモデル定義を保存します。
レートモデルエンティティ [rate_model_entity]	属性を選択できるエンティティのリスト。
レートモデルエンティティ属性 [rate_model_entity_attribute]	エンティティ内の属性のリスト。
レートモデルライン [rate_model_line]	レートラインの値を保存します。
レートモデルライン属性 [rate_model_line_attribute]	エンティティから追加されたレートライン属性を保存します。
レートラインインポート セット [imp_rate_model_line]	インスタンスにインポートしたインポートセットを保存します。

自動翻訳

PPM Standard (プロジェクトポートフォリオ管理) とともにインストールされるロール

PPM Standard プラグインを有効にするとロールが追加されます。

Project Portfolio Suite のロール

Project Portfolio Suite は、次のロールを追加します。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
ポートフォリオマネージャー	すべてのポートフォリオにアクセスできます。プロジェクトユーザーおよびデマンドユーザーと同じアクセス権限があります。	• it_demand_user • it_project_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
[it_portfolio_manager]	また、Financial Management の一部として予算オーナーロールも追加されます。	• it_project_user • portfolio_manager • it_demand_manager • it_project_portfolio_user
PPS 管理者 [it_pps_admin]	プロジェクト、デマンド、プログラム、ポートフォリオ、リソース、タイムカード、アジャイル開発、およびタイムラインの視覚化の初期設定、構成、および設定を表示および変更できます。	• it_program_manager • it_portfolio_manager • it_project_manager • it_demand_manager • pps_admin • timeline_admin • rate_model_admin

Demand Management のロール

Demand Management は、次のロールを追加します。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
デマンドマネージャー [it_demand_manager]	Demand Management アプリケーションのすべてのモジュールにアクセスできます。	• it_project_user • resource_user • timeline_user • demand_manager • it_demand_user • rate_model_user
デマンドユーザー [it_demand_user]	Demand Management アプリケーションのデマンドおよびステークホルダーモジュールにアクセスできます。	• demand_user • pps_resource

プロジェクト管理のロール

プロジェクト管理は、次のロールを追加します。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
ポートフォリオユーザー [it_project_portfolio_user]	IT ポートフォリオプロジェクトレコードを表示できるユーザー。	project_portfolio_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
プロジェクトユーザー [it_project_user]	プロジェクトフォームフィールドのみを表示できます。[時間の制約] や [ステータス] など、プロジェクトタスクフォームの追加フィールドを変更できます。	• it_project_portfolio_user • project_user
プロジェクトマネージャー [it_project_manager]	すべての プロジェクト管理 (PM) アプリケーション機能に対する構成アクセス権があります。	• resource_user • it_demand_manager • it_project_user • project_manager project_manager ロールには、timecard_approver ロールも含まれます。 • timeline_user • rate_model_user

プログラム管理のロール

プログラム管理は、次のロールを追加します。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
プログラムマネージャー [it_program_manager]	プログラムマネージャーは、すべてのプログラムにアクセスできます。	• resource_user • it_project user • program_manager • it_demand_user

Resource Management のロール

Resource Management は、次のロールを追加します。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
リソースマネージャー [resource_manager]	このロールを持つユーザーは、次のことができます。 • リソース計画をレビューして確認し、リソースをタスクに割り当てます。 • スキルを作成し、[ユーザースキル] リストに表示します。 • スケジュールを読み取ります。 • pps_resource タイプのグループを作成します。	• resource_user • timecard_approver • skill_admin • rate_model_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
	• グループにユーザーを追加または削除します。 • グループ名、グループメール、親、説明、マネージャー、平均日次 FTE 時間/人日あたりの時間、および時給を更新します。	
リソースユーザー [resource_user]	このロールを持つユーザーは、リソース計画を作成し、リソースを要求できます。プロジェクトマネージャーには通常、このロールが付与されます。リソースユーザーは、[確認済み] または [割り当て済み] ステータスの計画を変更できません。	なし
PPS リソース [pps_resource]	PPS リソースロールを持つユーザーのみがリソース計画の対象となり、PPS リソースロールを持つユーザーまたはグループのみがリソース計画に表示されます。	なし

Innovation Management のロール

Innovation Management は、次のロールを追加します。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
アイデア管理者 [idea_admin]	• アイデアモジュールを作成します。 • アイデアカテゴリを定義します。 • アイデアモジュールを使用してアイデアカテゴリのマッピングを構成します。 • アイデアを管理し、アイデアからストーリー、エピック、機能、プロジェクト、またはデマンドなどのタスクを作成します。	idea_manager
アイデアマネージャー [idea_manager]	アイデアを管理し、アイデアからプロジェクトまたはデマンドなどのタスクを作成します。	なし
アイデアマネージャープロフェッショナル [idea_manager_professional]	アイデアを管理し、アイデアからストーリー、エピック、機能、プロジェクト、またはデマンドなどのタスクを作成します。	なし

Time Card Management のロール

Time Card Management は、次のロールを追加します。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
タイムカード管理者 [timecard_admin]	すべてのタイムカードへの書き込みアクセス権があります。	• timecard_user • timecard_approver

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
タイムカード承認者 [timecard_approver]	タイムカードユーザーのタイムカードを承認または却下します。	timecard_user
タイムカードユーザー [timecard_user]	自分のタイムカードを作成します。	なし

レートモデルのロール

ロールタイトル [名前]	説明	ロールを含む
レートモデル管理者 [it_rate_model_admin]	レートモデルとレートラインを管理します。属性の設定、レートラインのエクスポートとインポート、管理をはじめとする、レートモデル内のすべての権限を持ちます。	• rate_model_user • import_set_loader • import_transformer • import_admin
レートモデルユーザー [rate_model_user]	レートモデルとレートラインを表示します。	なし

PPM のビジネスステークホルダーロール

PPM ユーザーの場合、ビジネスステークホルダー (com.snc.business_stakeholder) プラグインには APM、ITFM、および PPM のビジネスステークホルダーロールが含まれます。このロールを持つユーザーは、レポートとダッシュボードのデータ取得に使用されるテーブルのレコードを読み取ることができ、さらに、デマンドとタイムカードを承認できます。ビジネスステークホルダーであるすべてのユーザーに、このロールをアサインできます。

アップグレード情報

アップグレードした場合、PPM のビジネスステークホルダーロールは、PPM Standard の読み取り専用ロール (com.snc.pmo_read_roles) プラグインを有効化した場合にのみ使用できます。

新規顧客の場合、PPM Standard の読み取り専用ロール (com.snc.pmo_read_roles) プラグインは zBoot で有効化されます。ただし、PPM のビジネスステークホルダーロールは、PPM Standard プラグインをインストールした場合にのみ使用できます。

デマンドおよびタイムカード承認者のロール

PPM Standard の読み取り専用ロール (com.snc.pmo_read_roles) プラグインは、sn_ppm_read ロールをインストールします。sn_ppm_read ロールは、アサインされたユーザーに、リソースレポートとともにポートフォリオ、プログラム、およびタイムカードダッシュボードへの読み取り専用アクセスを提供します。sn_ppm_read ロールには、timecard_approver ロールと demand_approver ロールも含まれています。これらのロールをアサインされたユーザーは、デマンドとタイムカードを承認できます。ビジネスステークホルダーロールがデマンドの協力者として追加されると、コメントが有効になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスステークホルダーロールを持つユーザーがアクセス可能な **PPM** テーブル

PPM のビジネスステークホルダーロールを持つユーザーは、データを保存する次のテーブルにアクセスして、ポートフォリオダッシュボード、プログラムダッシュボード、タイムシートダッシュボード、およびリソースレポートに、ウィジェットをロードできます。

PPM テーブル

ラベル	テーブル名
アクション	project_action
決定	dmn_decision
デマンド	dmn_demand
デマンドタスク	dmn_demand_task
会計期間	fiscal_period
アイデア	im_idea_core
問題	issue
プログラム	pm_program
プロジェクト	pm_project
プロジェクトタスク	pm_project_task
プログラムタスク	pm_program_task
プロジェクトタイムカードの例外	project_timecard_exception
要件	dmn_requirement
日次リソース集計	resource_aggregate_daily
月次リソース集計	resource_aggregate_monthly
週次リソース集計	resource_aggregate_weekly
リソースプラン	resource_plan
リスク	risk
ステータスレポート	project_status
タイムカード	time_card
タイムシート	time_sheet
タイムシートの例外	time_sheet_exception

ドメイン分離と **Project Portfolio Management**

ドメイン分離は プロジェクトポートフォリオ管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル - ベーシック*

- アプリケーションのサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックがあります。
- アプリケーションでは、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、集計など、すべてにおいて、実行時にドメインが考慮されます。
- インスタンスの所有者は、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションを設定できる必要があります。

ユースケース： サービスプロバイダーである私は、チャットを使用してテナント顧客のメッセージに私が応答する時に、クライアントが私の応答を確認できるようにする必要があります。

Project Portfolio Management におけるドメイン分離の仕組み

Project Portfolio Management はドメイン分離に準拠しており、次の制限があります。

- アイデア、プロジェクト、デマンド、リソース計画、割り当てなどのすべての PPM エンティティは、同じドメイン内にあることが想定されています。複数のドメインのタスクまたはリソースを持つプロジェクトエンティティはサポートされていません。
- 親エンティティと、プロジェクトレコードとそのプロジェクトタスクなどのすべての子エンティティは、同じドメインにあることが想定されています。
- たとえばプロジェクトレコードなど、親レコードのドメインを変更しても、子レコードのドメインは変更されません。
- 同じドメイン、親ドメイン、または最上位のドメインに属するユーザーのみが、ドメインの PPM エンティティを表示できます。
- すべてのシステムプロパティはグローバルドメインにあり、ドメインに固有のものではありません。ただし、計画立案コンソールの設定は依然としてドメイン固有です。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

プロジェクトポートフォリオ管理のクイックスタートテスト

アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後も、プロジェクトポートフォリオ管理 が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

プロジェクトポートフォリオ管理 クイックスタートテストでは、PPM 標準 - ATF テストプラグイン (com.snc.financial_planning_pmo.atf) をアクティブ化する必要があります。

PMO：コストロールアップとプロジェクト変換テストスイートに対するデマンドを確認するための財務テスト

テスト	説明	リリースバージョン
PMO：プロジェクト/デマンドおよびプログラムへのコスト計画のロールアップを確認	プロジェクトからの総計画コストのロールアップとプログラムへのデマンドを検証します。	Madrid
PMO：プロジェクト/デマンド、プログラム、ポートフォリオへのコスト計画のロールアップを確認	プロジェクトからの総計画コストのロールアップとポートフォリオへのデマンドを検証します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：コストロールアップとプロジェクト変換テストスイートに対するデマンドを確認するための財務テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
PMO：デマンドから作成されたプロジェクトの財務を確認 - 単純な財務	デマンドから作成されたプロジェクトの財務タブフィールドを検証します。	Madrid
PMO：デマンドから作成されたプロジェクトの財務を確認 - 予算、コスト計画、利益計画を使用	デマンドから作成されたプロジェクトの予算、コスト計画、利益計画を検証します。	Madrid
PMO：コスト計画ブレークダウンとプロジェクトレベルで ETC/EAC を確認	コスト計画ブレークダウンとプロジェクトレベルで EAC と ETC の値を確認します。	Tokyo

PMO：アイデアのライフサイクルを検証するための **Innovation Management** テスト

テスト	説明	リリースバージョン
アイデアのステータス変更を検証	アイデアが承認、却下、またはその他のタスクがアイデアから作成されたときに、アイデアのステータスが変更されることを検証します。	San Diego

PMO：基本的なライフサイクルとプロジェクトロールアップテストスイートを検証するための **Project Management** テスト

テスト	説明	リリースバージョン
アイデアから、デマンド、プロジェクト終了までの PPM サイクルを検証する	アイデアを作成し、そのアイデアをデマンドに変換してから、そのデマンドをプロジェクトに変換するまでのフローを検証します。 **注:** PPM Standard Multicurrency (com.snc.ppm_multicurrency) プラグインが有効である場合、このテストは失敗します。	Madrid
自動プロジェクトのためのステータスおよび日付のロールアップの検証	自動タイプのプロジェクトのタスクから日付とステータスのロールアップを検証します。	Madrid
手動プロジェクトのためのステータスおよび日付のロールアップの検証	手動タイプのプロジェクトのタスクから日付とステータスのロールアップを検証します。	Madrid
すべてのタスクが未完了でクローズされた場合のプロジェクト完了率の検証	すべてのタスクが「未完了でクローズ」としてクローズされた場合に、プロジェクトの完了率を検証します。	Orlando
少なくとも 1 つのタスクが未完了でクローズされた場	少なくとも 1 つのタスクが「未完了でクローズ」またはタスク完了率が 100% でない「スキップしてクローズ」	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：基本的なライフサイクルとプロジェクトロールアップテストスイートを検証するための **Project Management** テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
合にプロジェクトの完了率が 100% でないことを検証	としてクローズされた場合に、タスクの完了率が 100% でないことを検証します。	
ウォーターフォールプロジェクトにアジャイル計画ボードが表示されないことを検証	ウォーターフォールプロジェクトが以下を使用できないことを検証します。 • ストーリーまたはエピックを追加 • アジャイルフェーズの追加 • プロジェクトからアジャイルボードにアクセス	Orlando
検証日は既存のプロジェクトからプログラムにロールアップされます。	プロジェクトの開始日と終了日が、プロジェクトが属するプログラムにロールアップされていることを検証します。	Paris
検証日は新しいプロジェクトからプログラムにロールアップされます。	新しいプロジェクトの開始日と終了日が、プロジェクトが属するプログラムにロールアップされていることを検証します。	Paris
リスクまたは問題のあるプロジェクトとデマンドをプログラムに追加	リスクまたは問題レコードが関連付けられているプロジェクトとデマンドがプログラムに追加されていることを検証します。	Paris
給付制度を含むプロジェクトとデマンドのプログラムへの追加	給付制度が関連付けられているプロジェクトとデマンドがプログラムに追加されていることを検証します。	Paris
コスト計画を含むプロジェクトとデマンドのプログラムへの追加	コスト計画が関連付けられているプロジェクトとデマンドがプログラムに追加されていることを検証します。	Paris
既存のデマンドの追加時に、プログラムの日付を検証	既存のデマンドの追加時に、プログラムの開始日と終了日が調整されていることを検証します。	Paris
新しいデマンドの追加時に、プログラムの日付を検証する	新しいデマンドの追加時に、プログラムの開始日と終了日が調整されていることを検証します。	Paris
プログラムのステータスのロールアップを検証	プログラムのステータスが、プログラムにあるすべてのプロジェクトのステータスからロールアップされていることを検証します。	Paris
デマンドタスクの期日列フィールド値が空であることを検証	新しいデマンドタスクの [期日] フィールドが空であることを検証します。	Rome
デマンドがプロジェクトに変換されるときに、プロジェクトとデマンドにベースラインが作成されることを検証	デマンドがプロジェクトに変換されるときに、プロジェクトとデマンドのベースラインが作成されることを検証します。	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：基本的なライフサイクルとプロジェクトロールアップテストスイートを検証するための **Project Management** テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
タイムカードがデマンドタスクに対して送信されたときに、タイムカード財務情報がオンデマンドで表示されることを検証	デマンドタスクのタイムカードが処理されるときに、デマンドの実際のコストが更新されることを検証します。	Rome
デマンド承認日の検証	デマンドとそのデマンドから作成されたプロジェクトの承認日が同じであることを検証します。	Tokyo
プロジェクト設定「作業ステータスに移行したら、プロジェクトマイルストーンタスクを閉じる」を検証	プロジェクト設定「作業ステータスに移行したら、プロジェクトマイルストーンタスクを閉じる」を設定した後に、ステータスが [対応中] に変更されたときにマイルストーンタスクが閉じることを検証します。	Tokyo
プロジェクト設定「WIP プロジェクトのプロジェクトの移動を有効にする」を検証	プロジェクト設定「WIP プロジェクトのプロジェクトの移動を有効にする」を設定した後に、プロジェクト開始日が変更されたときに、WIP ステータスのプロジェクトのプロジェクト開始日が適切に変更されることを検証します。	Tokyo
プロジェクト設定「タスクに基づくプロジェクト開始日のロールアップ」を検証	プロジェクト設定「タスクからプロジェクト開始日をロールアップ」を選択解除した後、プロジェクト予定日がプロジェクトタスク開始日と異なる場合に、プロジェクトタスクの開始日がプロジェクトにロールアップされないことを検証します。	Tokyo
子テストスイート：プロジェクト移動アクションの検証		
プロジェクト移動アクションを使用してプロジェクトの開始予定日をシフトできることを検証	[プロジェクト移動] 関連リンクを使用して、ステータスが [計画] または [オープン] のプロジェクトの開始予定日を現在の開始予定日より前または後の日付に更新できることを検証します。	Orlando
プロジェクトの実行が選択されているときに [プロジェクト移動] が無効であることを検証	プロジェクトが実行フェーズである場合は、[プロジェクト移動] オプションが使用できないことを検証します。	Orlando
アジャイルフェーズ用に入力されたスプリント日付で、プロジェクト移動機能を検証	[プロジェクト移動] 関連リンクを使用してプロジェクトを移動したときに、スプリントの開始日と終了日がクリアされることを検証します。 **注:** このテストは、Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) がアクティブな場合にのみ利用できます。	Orlando
外部依存関係と関連エンティティを使用してプロジェクト移動機能を検証	[プロジェクト移動] 関連リンクを使用してプロジェクトを移動した場合に、外部依存関係と関連するエンティティもシフトされ、再描画されることを検証します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：基本的なライフサイクルとプロジェクトロールアップテストスイートを検証するための **Project Management** テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
さまざまなプロジェクトステータスを使用して、プロジェクト移動機能を検証	プロジェクトが [対応中] または [完了してクローズ] ステータスのときに、[プロジェクト移動] が動作しないことを検証します。	Orlando
子テストスイート：プロジェクトの RIDAC フローを検証		
リスクの RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられたリスクの RIDAC フローを検証します。	Quebec
問題の RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられた問題の RIDAC フローを検証します。	Quebec
決定の RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられた決定の RIDAC フローを検証します。	Quebec
アクションの RIDAC フローの確認	プロジェクトに関連付けられたアクションの RIDAC フローを検証します。	Quebec
リスクフォームのフィールドの変更を検証	リスクのランク、リスク値、および可能性などのリスクフォームフィールドが送信時に正常に更新されているかどうかを検証します。	Quebec
子テストスイート：デマンドの RIDAC フローを確認する		
リスクの RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられたリスクの RIDAC フローを検証します。	Quebec
問題の RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられた問題の RIDAC フローを検証します。	Quebec
決定の RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられた決定の RIDAC フローを検証します。	Quebec
アクションの RIDAC フローの確認	デマンドに関連付けられたアクションの RIDAC フローを検証します。	Quebec
リスクフォームのフィールドの変更を検証	リスクのランク、リスク値、および可能性などのリスクフォームフィールドが送信時に正常に更新されているかどうかを検証します。	Quebec

PMO：リソース計画フローテストスイートを確認するための **Resource Management** テスト

テスト	説明	リリースバージョン
計画済みからキャンセル済みステータスへのユーザーのリソース計画のフローを確認する	プロジェクトのリソース計画を計画済みステータスからキャンセル済みステータスに移行できることを確認します。	Madrid
計画済みから完了ステータスへのグルー	プロジェクトのリソース計画を計画済みステータスから完了ステータスに移行できることを確認します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：リソース計画フローテストスイートを確認するための **Resource Management** テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
プのリソース計画のフローを確認する		
計画済みから割り当て済みステータスへのロールのリソース計画のフローを確認する	プロジェクトのリソース計画を計画済みステータスから割り当て済みステータスに移行できることを確認します。	Madrid
対応するプロジェクトまたはデマンドフィールドにロールアップするすべてのリソース計画の集計コストを確認	プロジェクトまたは需要のすべてのリソース計画の集計コストが、[予定コスト] および [割り当てられたコスト] フィールド、それぞれプロジェクトおよびデマンドの [リソースコスト] セクションにロールアップされることを検証します。	Orlando
[リソースプランをコピー] オプションの確認	[リソース計画をコピー] オプションで、元のリソース計画の正確なコピーが [計画] ステータスで作成できることを検証します	Orlando
プロジェクト/デマンドからプログラムにリソース計画の集計がロールアップすることの確認	プロジェクトまたはデマンドのすべてのリソース計画の集計コストが、関連するプログラムの総計画コストにロールアップされていることを検証します。	Orlando
リソース計画の完了時のレコードを確認	完了時にリソース計画の以下の変更を検証します。 • リソース計画のステータスが [完了] に更新されます。 • 完了日がリソースプランの終了日よりも前の日付である場合、リソース計画の終了日が完了日で更新されます。入力された完了日がリソース計画の終了日より後の場合、リソース計画の終了日が保持されます。 • 完了日より後の期間のリソース計画の要求されたレコードと割り当てレコードは、すべて削除されます。割り当てに対して実際の時間が記録されている場合、その割り当ては削除されません。これらの割り当てレコードについては、割り当てられた時間はゼロになり、実際の時間は保持されます。 • リソースの利用可能な時間と割り当てられた時間が集計テーブルで更新されます。	Orlando
割り当てタイプが [計画された期間] のリソース計画の完了時にレコードを検証	割り当てタイプが [計画された期間] のリソース計画の完了時に以下を検証します。 • リソース計画のステータスが [完了] に更新されます。 • 割り当ては削除されません。 • 割り当ての終了日が完了日に更新されます。	Orlando
RP 再計画機能の確認	キャンセルされたリソース計画が再計画されたときに、リソース計画の状態が [計画] に変更されることを検証します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PMO：リソース計画フローテストスイートを確認するための **Resource Management** テスト (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
リソース計画の変更が対応するコスト計画に反映されているかどうかを検証	リソース計画が更新されると、対応するコスト計画がそれに応じて更新されることを検証します。たとえば、予定コストの合計が 500 USD で、予定時間が 10 の場合、予定時間を 20 に変更すると、予定コストの合計が 1000 USD に更新されます。	Paris
リソース - リソース計画の開始日と終了日のデフォルト入力をテスト	デマンドの関連リストからユーザーまたはグループのリソース計画を作成するときに、以下を検証します。 • 開始日と終了日がないデマンドが作成された場合は、ユーザーまたはグループのリソース計画にはタスクがデマンドとしてあり、開始日と終了日はありません。 • 開始日と終了日を含むデマンドが作成された場合は、ユーザーのリソース計画にはタスクがデマンドとしてあり、開始日と終了日がデマンドに追加されます。	Paris
運用リソース計画とタイムカードの実際の時間が等しいことを検証	タイムカードカテゴリが運用作業タイプにマップされている場合、その作業タイプに関連付けられた運用リソースプランのタイムカードを送信するときに、リソース計画の実際の時間とタイムカードが同じであることを検証します。	Quebec
運用リソースプランのリソースプラン自動入力を検証	タイムカードに関連付けられた運用リソース計画が、時間が記録されたときにタイムカードで自動的に取得されることを検証します。	Rome
非運用リソース計画のリソースプラン自動入力を検証	プロジェクト、プロジェクトタスク、またはタイムカードのデマンドに関連付けられたリソース計画が、時間が記録されたときにタイムカードで自動的に取得されることを検証します。	Rome

関連情報

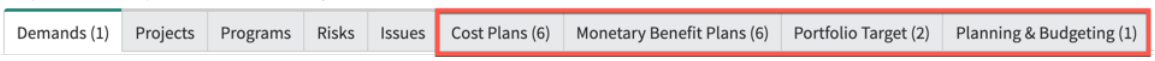
クイックスタートテスト

財務向けに追加される関連リスト

PPM Standard では、プロジェクトフォームとポートフォリオフォームの両方にいくつかの関連リストが追加されます。

ポートフォリオ関連リスト

財務向けのポートフォリオ関連リスト



この表では、関連リストと、これらのリスト内のレコードをポートフォリオワークベンチで作成または使用する方法について説明します。

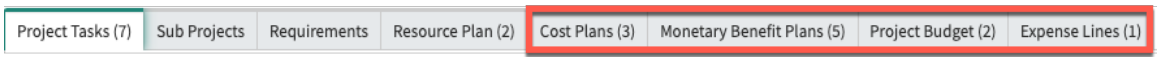
ポートフォリオフォームの関連リスト	説明
コスト計画	ポートフォリオに属するプロジェクトとデマンドのコスト計画を一覧表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオフォームの関連リスト	説明
利益計画	ポートフォリオに属するプロジェクトとデマンドの財務面の利益計画を一覧表示します。
ポートフォリオターゲット	さまざまな会計年度について、ポートフォリオの資本経費と運用経費のターゲットを一覧表示します。値は、project_finding テーブルから表示されます。これらの値は、ポートフォリオワークベンチの [ターゲットを設定] ステージで設定します。さまざまな会計期間のターゲットを作成できます。
計画立案および予算業務	会計年度に応じて、ポートフォリオの一部であるプロジェクトとデマンドを一覧表示します。プロジェクトまたはデマンドをポートフォリオ予算計画に含めることも、除外することもできます。 ポートフォリオワークベンチの [プロジェクトおよびデマンドを選択] ステップでプロジェクトまたはデマンドを選択して次のステージに進むと、[計画] の値が **[true]** に変わります。

財務向けのプロジェクト関連リスト



この表では、プロジェクトレコード内の財務向けの関連リストについて説明します。

プロジェクトフォームの関連リスト	説明
コスト計画	特定の会計期間におけるプロジェクトのコスト。コスト計画には、関連付けられた経費明細を含めることもできます。
利益計画	プロジェクトが実行された場合に、1 つ以上の会計期間にまたがるプロジェクトによって発生する可能性のある、財務面での潜在的な利益。
プロジェクト予算	プロジェクト予算を会計年度別に一覧表示します。リスト内の金額をクリックして金額を修正します。
経費明細	ユーザー、固定資産、CI などの特定のソースに関連付けられた実際のコストの集計。

SPM ベンチマーク

ServiceNow® SPM ベンチマーク アプリケーションは、同業者の業界平均に関するインサイトを提供します。重要業績評価指標 (KPI) を使用して、パフォーマンスをグローバルベンチマークと比較します。これは、組織のパフォーマンス向上に寄与します。

SPM Benchmarking 入門 このビデオでは、の使用を開始するSPM ベンチマーク方法の概要について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SPM ベンチマーク の詳細

SPM ベンチマーク アプリケーションを使用すると、重要業績評価指標 (KPI) や傾向の明確な可視性が得られ、同業者の業界平均に対する比較分析インサイトが得られます。業界、規模、地域に基づいてパフォーマンスを同業者と比較することで、より深いインサイトを得ることができます。

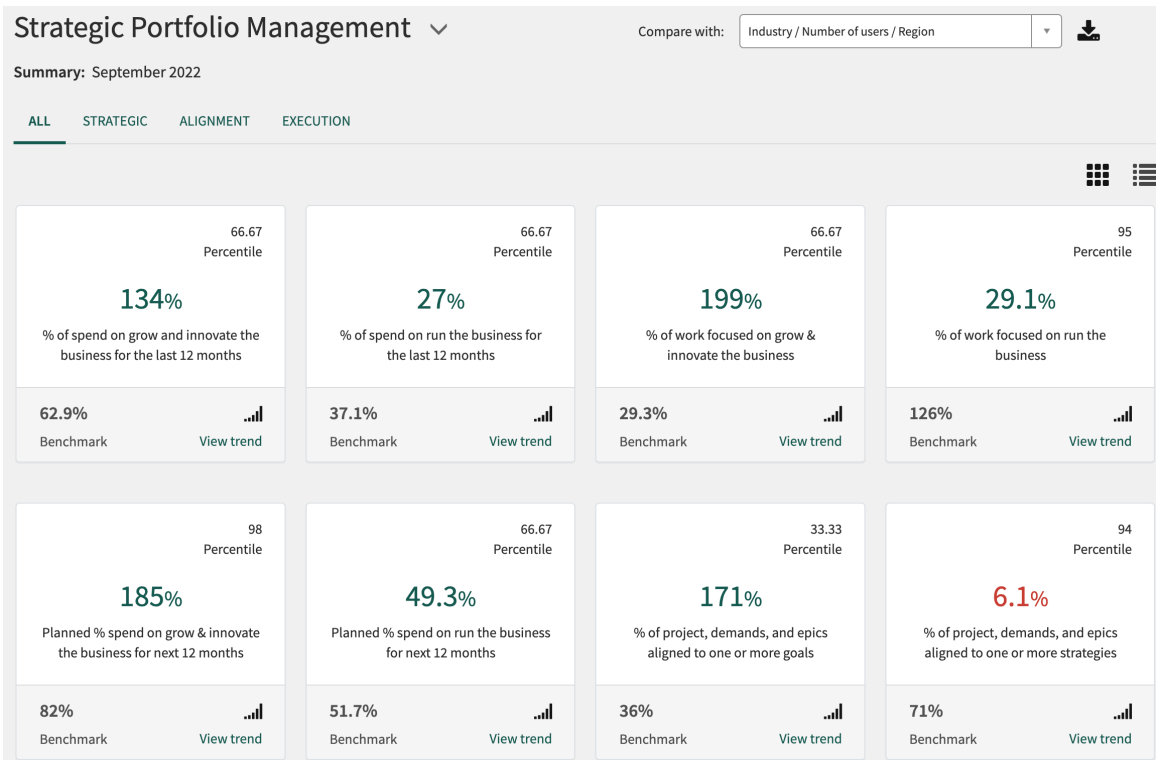
主な機能

- 利用可能な 15 の KPI (戦略的 6、配置 5、および実行 4)
- カスタマイズに合わせて KPI 定義を変更する機能
- ServiceNow® サービスポータル 内の ServiceNow® ベンチマーク ダッシュボード (モバイルデバイス対応)
- KPI レポートをダウンロードする機能
- 新しい集計月データが利用可能になるとメールで通知
- 業界別、ユーザー数別、地理的地域別にデータをフィルタリング
- 参加している同業者グループ内での順位を示すパーセンタイルランク
- データアクセスを制限する製品カテゴリベースのロール
- 日次データ収集と KPI データのドリルダウンのための ServiceNow® パフォーマンスアナリティクス との統合

SPM ベンチマーク ダッシュボード

SPM ベンチマーク ダッシュボード機能を表示して学習します。

SPM ベンチマーク ダッシュボード



SPM ベンチマーク ダッシュボードでは、以下を実行できます。

KPI を表示

次のカテゴリの KPI を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [すべて] タブには、オプトインしたすべての KPI のリストが表示されます。
- **[Strategic]** タブには、オプトインしたすべての戦略的 KPI のリストが表示されます。
- [配置] タブには、オプトインしたすべての配置 KPI のリストが表示されます。
- [実行] タブには、オプトインしたすべての実行 KPI のリストが表示されます。

KPI ビューを変更

KPI のダッシュボードでの表示方法を変更できます。

- [カードビュー] アイコン ( ) をクリックして、カードビューで KPI を表示します。
- [リストビュー] アイコン ( ) をクリックして、リストビューで KPI を表示します。

比較データを選択

[比較対象] ドロップダウンリストを使用して、データを比較するエリアを選択できます。

- [業界]：業界に基づいてデータを比較するには、このオプションを選択します。
- [ユーザー数]：ユーザー数に基づいてデータを比較するには、このオプションを選択します。
- [地域]：地域に基づいてデータを比較するには、このオプションを選択します。

SPM ベンチマーク のメリット

SPM ベンチマーク アプリケーションにより、同業者と比較したパフォーマンスを全体的に理解できます。

グローバルな匿名性

組織内の閲覧者は、組織の SPM ベンチマーク にアクセスできます。ただし、グローバルベンチマークは匿名であり、会社情報は一切含まれません。

業界比較

SPM ベンチマーク ダッシュボードの [比較対象] ドロップダウンを使用すると、ベンチマーク結果を業界、ServiceNow ユーザーサイズ、または地域別にフィルターして、結果を組織に関連性の高いものにします。

- 会社のアカウント レコード内に記載の標準業界コードに基づいて業界を決定します。
- ユーザー数は、会社内の ServiceNow アクティブユーザーの数によって決まります。会社を同規模の ServiceNow 実装と比較して、会社について理解することができます。
- 会社テーブルの [地域] フィールドに基づいて地域を決定します。

フィルターカテゴリの参加者が 20 人未満の場合、対応するデータは [その他] カテゴリに表示されます。

傾向

公開された全 KPI の結果と過去 6 か月間の履歴が閲覧可能です。

傾向データを使用して、順調に機能しているものと改善が必要なものを判断します。

レポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SPM ベンチマーク レポートは毎月更新され、PDF 形式でダウンロードできます。新しいデータが利用可能になると、顧客にメール通知を送信します。

SPM ベンチマーク の構成

重要業績評価指標 (KPI) の比較理解を表示するために SPM ベンチマーク を設定するのに必要なプロセスについて説明します。

SPM ベンチマーク セットアッププロセスの指針として、次のステップを使用してください。

1. SPM ベンチマーク をインストールします。詳細については、「SPM ベンチマーク のインストール」を参照してください。
2. SPM ベンチマークを有効にします。詳細については、「SPM ベンチマーク の有効化」を参照してください。

SPM ベンチマーク のインストール

管理者は、SPM ベンチマーク アプリケーション (sn_spm_bm) を ServiceNow® Store からインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store の SPM Benchmarking アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

SPM ベンチマーク とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- ジョブスケジュール

詳細については、「SPM Benchmarking とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、SPM ベンチマーク アプリケーション () を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. [インストール] を選択します。

SPM ベンチマーク の有効化

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) KPI の SPM ベンチマーク データ収集に参加するには、SPM ベンチマーク にオプトインする必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_bm_client.benchmark_admin

このタスクについて
いつでも SPM ベンチマーク からオプトアウトできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Benchmarks** > セットアップ.
2. [オプト イン契約] をクリックし、内容を読みます。
3. [完了] をクリックします。
4. 「オプトイン契約を読んだうえで同意します」のチェックボックスをオンにして、[オプトイン] をクリックします。
   いつでも SPM ベンチマーク からのオプトアウトを選択できます。ベンチマークからオプトアウトするには、次に移動します すべて > **Benchmarks** > セットアップ をクリックし、[**Opt-out of ServiceNow Benchmarks]** をクリックします。

SPM ベンチマーク KPI をカスタマイズ

SPM ベンチマーク ダッシュボードに表示する KPI 情報をカスタマイズできます。

SPM ベンチマーク アプリケーションを使用して、次の操作を実行できます。

- 組織の要件に基づいて、利用可能な KPI のリストから KPI を選択。
- 組織のニーズに関連する詳細を調整するために KPI 計算式を変更。

KPI を選択

要件に基づいて、SPM ベンチマーク アプリケーションで使用する重要業績評価指標 (KPI) を選択できます。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > **Benchmarks** > 管理 > セットアップ.
2. **[Strategic Portfolio Management]** を選択して SPM ベンチマーク KPI のリストを表示します。
3. 組織に必要な KPI を選択します。

KPI 計算式を変更

要件と分析基準に従って、重要業績評価指標 (KPI) 計算式を表示および変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > **Benchmarks** > 管理 > カテゴリ.
2. [ベンチマークインジケーターカテゴリ] リストから、**[Strategic Portfolio Management]** を選択します。
3. [ベンチマークインジケーターグループ] から編集する KPI を含むグループを選択します。
4. 編集する KPI をクリックして開きます。
5. インジケーターフィールドをクリックして開き、式を表示して編集します。

SPM ベンチマーク の参照

フィールド、ユーザーロール、ジョブスケジュールの情報など、SPM ベンチマーク に関する追加の詳細を提供する参照情報。

SPM Benchmarking とともにインストールされるコンポーネント

SPM ベンチマーク プラグインが有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
ベンチマーキング管理者 [sn_bm_client.benchmark_admin]	• インスタンスから Benchmarks を設定する • Benchmarks プログラムのオプトインまたはオプトアウト • インジケーターのアクティブ化、無効化、変更 (アプリケーション固有のロールを必要としない KPI の Performance Analytics インジケーターソース、スクリプト、条件の変更を含む) • 新しい月次集計データが利用可能になるとメール通知を受信 • Benchmarks ビューアーのすべての機能と Benchmarks の推奨ロール	なし
ベンチマーキングデータビューアー [sn_bm_client.benchmark_data_viewer]	• Service Portal で全ベンチマークレポートを表示 • 傾向分析のためのデータ可視化とデータのドリル ダウンの表示 (PA スコアカードではない) • 視覚化したデータのダウンロード	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
	• 業界カテゴリやサイズ比較の表示 • 新しい月次集計ベンチマークスコアが利用可能になるとメール通知を受信	

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
SPM Benchmark Agile データコレクション	[開始日 (相対)] および [終了日 (相対)] フィールドで指定される、Agile Development 2.0 に関連するインジケーターのスコアを収集します。収集時間は GMT タイムゾーンに基づく 1 か月です。
SPM Benchmark データコレクション	[開始日 (相対)] および [終了日 (相対)] フィールドで指定される、APW および PPM に関連するインジケーターのスコアを収集します。収集時間は GMT タイムゾーンに基づく 1 か月です。

SPM ベンチマーク の KPI

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) KPI は、使用回数データを収集するパフォーマンス分析インジケーターです。戦略的、配置、および実行 KPI は、SPM ベンチマーク アプリケーションでデフォルトで使用できます。

戦略的 KPI

KPI	計算式
過去 12 か月間のビジネスの成長と革新に費やされた割合	(過去 12 か月間に成長と革新に属するプロジェクトとデマンドで支出された実績コストの合計 / 過去 12 か月間にすべてのプロジェクトとデマンドで支出された実績コストの合計) * 100
過去 12 か月間のビジネスの運営に費やされた割合	(過去 12 か月間に実行に属するプロジェクトとデマンドで支出された実績コストの合計 / 過去 12 か月間にすべてのプロジェクトとデマンドで支出された実績コストの合計) * 100
ビジネスの成長と革新に重点を置いた作業の割合	(成長と革新に属するすべてのプロジェクト、デマンド、およびエピックの数 / すべてのプロジェクト、デマンド、およびエピックの数) * 100
ビジネスの運営に重点を置いた作業の割合	(実行に属するすべてのプロジェクト、デマンド、およびエピックの数 / すべてのプロジェクト、デマンド、およびエピックの数) * 100
今後 12 か月間のビジネスの成長と革新に費やされる予定割合	(今後 12 か月間の成長と革新に属するプロジェクトとデマンドの予定コストの合計 / 今後 12

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的 **KPI** (続く)

KPI	計算式
	か月間のすべてのプロジェクトとデマンドの予定コストの合計) * 100
今後 12 か月間のビジネスの運営に費やされる予定割合	(今後 12 か月間の実行に属するプロジェクトとデマンドの予定コストの合計 / 今後 12 か月間のすべてのプロジェクトとデマンドの予定コストの合計) * 100

配置 **KPI**

KPI	計算式
1 つ以上の目標に一致するプロジェクト、デマンド、およびエピックの割合	(1 つ以上の目標に対応するプロジェクト、デマンド、およびエピックの数 / すべてのプロジェクト、デマンド、およびエピックの数) * 100
1 つ以上の戦略に一致するプロジェクト、デマンド、およびエピックの割合	(1 つ以上の戦略に対応するプロジェクト、デマンド、およびエピックの数 / すべてのプロジェクト、デマンド、およびエピックの数) * 100
従来のプロジェクトを使用して提供された作業の割合	(実行タイプがウォーターフォールであるオープンなプロジェクト計画立案アイテムの合計数 / オープンなプロジェクト計画立案アイテムとエピック計画立案アイテムの合計数) * 100
アジャイルを使用して提供された作業の割合	(オープンなエピック計画立案アイテムの合計数 / オープンなプロジェクト計画立案アイテムとエピック計画立案アイテムの合計数) * 100
ハイブリッドプロジェクトを使用して提供された作業の割合	(実行タイプがハイブリッドまたはアジャイルであるオープンなプロジェクト計画立案アイテムの合計数 / オープンなプロジェクト計画立案アイテムとエピック計画立案アイテムの合計数) * 100

実行 **KPI**

KPI	計算式
プロジェクトまたはエピックに変換されたデマンドの割合	(過去 12 か月間にプロジェクトまたはエピックに変換されたデマンドの数 / 過去 12 か月間に作成されたデマンドの数) * 100
過去 12 か月間に、スプリントで完了したストーリーポイントと計画済みのストーリーポイントの割合	(過去 12 か月間に該当するスプリントで完了した合計ストーリーポイント / 過去 12 か月間に該当するスプリントで計画された合計ストーリーポイント) * 100
ART あたりのスクラムチームの平均数	ART 内のチームの合計数 / ART の合計数
平均スクラムチームサイズ	スクラムチームのメンバーの合計数/スクラムチームの合計数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

投資枠管理

ServiceNow® 投資枠管理 を使用すると、事業部門、製品、チームなどの投資エンティティに資金を割り当てることで、投資を計画および管理できます。組織のビジネスニーズと戦略的目標に基づいて投資に優先順位を付けます。

投資枠管理 (sn_invst_pln) アプリケーションを使用すると、次のことができます。

- エンティティの投資を作成します。
- ビジネス要件または戦略的目標を満たす投資に資金を割り当てます。
- ビジネス目標を達成するために、1 つ以上の資金調達元に資金を要求します。

注:
Rome リリース以降、投資枠管理 は ServiceNow Store で見つかります。従来のプラグイン (com.snc.investment_planning、com.snc.investment_planning_pmo) については、2022 年 9 月の廃止予定に向けて準備が進められています。これらのプラグインは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

投資エンティティと投資

投資には、資金、コスト、メリット、ビジネスケース、および目標に関する情報が含まれます。投資を使用して、定義されたビジネス目標を達成するための資金を割り当てるか、または要求します。投資は投資エンティティに関連付けられています。

投資エンティティは、資金調達のためのトランザクションテーブルです。たとえば、プロジェクト、チーム、事業部門、エピック、ポートフォリオなどのレコードの投資エンティティを作成できます。

投資と投資エンティティを分離しておくと、次のような利点があります。

- 作業アクティビティは資金調達とは異なります。
- 投資目標が達成されるまで、異なる期間にわたって同じエンティティに資金を提供できます。

一般投資

一般投資は、エンティティに関連付けられていない所有者に関連付けられている投資です。一般投資から何らかのエンティティまたは他の一般投資に資金を提供できます。

たとえば、会社の CEO として、トレーニングまたは調査のイニシアチブのために資金を確保する必要があり、そのようなエンティティを有効にするためのトランザクションテーブルがない場合が考えられます。このような場合に、投資に資金を提供する汎用エンティティを作成できます。

トップダウンおよびボトムアップの資金調達

トップダウン資金調達では、ビジネス目標に基づいて、またはビジネス戦略の一環として、投資に資金を分配します。

ボトムアップ資金調達では、1 つ以上の資金源に対して、投資のための資金を要求します。

投資枠管理 を使用すると、両方の資金調達アプローチで資金を管理できます。

場合ごとのドメイン分離 投資枠管理

ドメイン分離は、ドメイン固有のユーザーに対して完全なデータ分離を提供します。投資枠管理は、ドメイン分離に対してデータのみのレベルで準拠しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

投資枠管理 のインストール

admin ロールを持っている場合は、ServiceNow Store から 投資枠管理 アプリケーション (sn_invst_pln_v2) をインストールできます。

始める前に

アプリケーションとその関連するすべてのストアアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください： のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

必要なロール：管理者

このタスクについて

投資枠管理 は、以下の関連するプラグインが依然として有効でない場合は、それらを有効にします。

プラグイン 投資枠管理

プラグイン	説明
会計カレンダー [com.snc.fiscal_calendar]	さまざまな財務アプリケーションで使用されるさまざまな種類の会計カレンダーを作成および管理できます。
ウィジェット [com.snc.app.widgets]	ダッシュボードページでウィジェットを有効にします。
Ag-Grid コンポーネントプラグイン [com.snc.app.grid]	グリッドビューを有効にします。
予定されているタスク v2 [com.snc.planned_task_v2]	タスクエンティティを有効にします。

PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインもインストールされている場合は、投資枠管理 機能を使用して、プロジェクトおよびデマンドの資金を要求するか、または割り当てることができます。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して 投資枠管理 アプリケーションを検索します。
   名前または ID (sn_invst_pln_v2) でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow へのリクエストが必要になることもあります。をご覧ください ServiceNow Store 利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアへの要求の送信に関する情報を提供する Web サイト。リリースされたすべてのアプリの累積リリースメモ情報については、「ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート.
3. [インストール] をクリックします。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   使用中のアプリケーションが他のアプリケーションを必要とし、それがまだインストールされていない場合は、先にインストールしておいてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションをインストールする時点で、依存アプリケーションまたはプラグインがインストールされていない場合は、それらも自動的にインストールされます。

5. [インストール] をクリックします。

タスクの結果

以下のコンポーネントは、投資枠管理 アプリケーションのインストール時にインストールされます 。

- ロール
- テーブル

詳細については、「投資枠管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

投資枠管理 とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、投資枠管理 (sn_invst_pln) プラグインの有効化とともにインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

投資枠管理 と一緒にインストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
投資管理者 [sn_invst_pln_v2.investment_admin]	投資エンティティを作成し、環境設定と会計カレンダーを設定します。	fiscal_calendar_admin
投資計画者 [sn_invst_pln_v2.investment_planner]	上位投資、投資エンティティ、および投資エンティティに関連付けられたレコードを管理します。	Investment_user
投資ユーザー [sn_invst_pln_v2.investment_user]	投資と資金を管理します。 **注:** このロールを持つユーザーは、すべてのコストおよび利益計画に対して作成、読み込み、更新、および削除操作を実行できます。	fiscal_calendar_user

投資枠管理 とともにインストールされるテーブル

テーブル	説明
ビジネスケース	投資のビジネスケースを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[business_case]	
ファンド要求 [sn_invst_pln_invst_funding_base_request]	資金要求の詳細を保存します。
資金調達 [sn_invst_pln_invst_funding_base_fund]	資金の詳細を保存します。
資金調達ベース [sn_invst_pln_invst_funding_base]	資金調達と要求のベーステーブル。
資金調達ベースの明細 [sn_invst_pln_invst_funding_base_breakdown]	資金調達ベースレコードのブレークダウンを保存します。
資金調達構成 [sn_invst_pln_invst_funding_configuration]	資金調達構成の詳細を保存します。
投資エンティティ [sn_invst_pln_invst_funding_entity]	投資エンティティタイプを格納します。
資金調達ステータス [sn_invst_pln_invst_funding_state]	資金調達のさまざまなステータスを保存します。
Investment (投資) [sn_invst_pln_invst_investment]	投資の詳細を保存します。

自動翻訳

従来の 投資枠管理 をストアアプリケーションにアップグレード

従来の 投資枠管理 からアップグレードする場合は、投資枠管理 アプリケーションのインストール後に、既存のデータを ServiceNow Store アプリケーションテーブルに移行できます。また、[投資] および [資金調達エンティティ] フィールドの参照テーブルを ServiceNow Store アプリケーションテーブルに更新する必要があります。

従来の 投資枠管理 からストアアプリケーションにデータを移行する

admin ロールを使用すると、スケジュール設定済みジョブを実行して、既存のデータを従来の 投資枠管理 テーブルから新しい ServiceNow Store アプリケーションテーブルに移行できます。

始める前に
必要なロール：admin

注:
ServiceNow Store アプリケーションテーブルへのデータの移行は 1 回限りの作業であり、スケジュールどおりに行われることを意図したものではありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. [Investment Funding をストアに移行 (**Migrate Investment Funding To Store**)] スケジュール済みジョブを検索してクリックします。
3. スクリプトの実行を予定フォームで、[実行] フィールドで頻度が [オンデマンド] に選択されていることを確認します。
4. [今すぐ実行する] をクリックします。

従来の 投資枠管理 テーブルからストアテーブルへの参照を更新する

従来のデータを移行後に、投資および資金調達エンティティフィールドの参照テーブルを従来の投資枠管理投資枠管理テーブルから必要なテーブルのアプリケーションテーブルに更新する必要がありますServiceNow Store。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. 次のテーブルの [投資] フィールドと [資金調達エンティティ] フィールドについて、参照テーブルを従来の投資枠管理テーブルからストアアプリケーションに更新します。

テーブル	列ラベル (フィールド)	従来の **Investment Funding** プラグインの参照テーブル	ストアアプリケーションの参照テーブル
コスト計画	Investment (投資)	invst_investment	sn_invst_pln_invst_investment
コスト計画	資金調達エンティティ	invst_investment_entity	sn_invst_pln_invst_investment_entity
利益計画	Investment (投資)	invst_investment	sn_invst_pln_invst_investment
目標	投資	invst_investment	sn_invst_pln_invst_investment

投資枠管理 管理

投資枠管理 アプリケーションを完全に機能させるには、初期管理タスクを実行する必要があります。

投資枠管理 用の会計カレンダーのセットアップ

選択した会計カレンダー設定により、組織が資金を要求または配分するために使用する会計期間が決まります。

会計カレンダーの設定に基づいて、組織が資金要求と配分に使用する資金調達サイクル (月次や四半期など) に合わせて 資金調達頻度 を設定できます。

> **注:**
> 会計期間の投資に対して資金の割り当てを要求した後、別の会計カレンダータイプに変更することはできません。

会計カレンダーの詳細については、「会計カレンダーの定義」を参照してください。

会計カレンダーの生成方法については、「会計カレンダーの生成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

投資枠管理 の環境設定

管理者は、投資枠管理 環境設定のグローバルデフォルトを設定できます。これは資金調達機能の動作に影響します。

始める前に

必要なロール: sn_invst_pln_investment_admin

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > セットアップ > 設定.
2. [資金調達頻度] リストで、投資に資金を要求または割り当て可能な期間頻度を選択します。

   このリストには、設定された会計カレンダーに基づくオプションが表示されます。

   たとえば、標準会計カレンダーを設定し、四半期ごとに投資資金を調達する場合は、[四半期] を選択します。

   デフォルト値は、標準会計カレンダー設定の場合は [四半期]、その他の会計カレンダー設定の場合は [期間] です。

3. オプション: **[** 過去の編集可能な期間の数] フィールドに数値を入力して、割り当て済みまたは要求済みの資金を変更できる過去の期間数を指定します。

   (Optional) たとえば、資金調達頻度が四半期で、フィールドに 2 と入力すると、前の 2 四半期の資金を編集できます。

   デフォルト値は 0 です (過去の期間の資金調達の編集は無効です)。

4. オプション: ツリービューカードで投資の実際の金額を非表示にするには、[ツリービューで実績を非表示] チェックボックスをオンにします。
5. オプション: 受領した資金に加えて資金の割り当てを有効にするには、[資金の過剰割り当てを許可] チェックボックスをオンにします。
   [資金の過剰割り当て率 (%)] フィールドと [投資レベルでの資金の過剰割り当て上書きを許可] フィールドが有効になります。
6. オプション: [資金の過剰割り当て率 **(%)]** フィールドに、受領した資金に加えて、資金を割り当てることができる割合を入力します。

   (Optional) たとえば、受領した資金の金額が $200,000 で、[資金の過剰割り当て率 **(%)]** フィールドに 10 % を入力した場合、合計 $220,000 を資金調達に使用できます。

7. オプション: [投資レベルでの資金の過剰割り当てを許可] チェックボックスをオンにすると、投資に資金を提供し、割り当てから除外されていないソース投資オーナーが、投資レベルで資金の過剰割り当て率を上書きできるようになります。
8. [保存] をクリックします。
9. 表示される確認ウィンドウからオプションを選択します。
   - 既存のすべての投資について、投資レベルで過剰割り当て設定を更新します
   - 過剰割り当て率を上書きしていない既存の投資について、投資レベルで過剰割り当て設定を更新します
   - 新規の投資についてのみ、投資レベルで過剰割り当て設定を更新します
10. [確認] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

投資エンティティの作成

資金の受領または割り当てが可能な投資のエンティティを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_admin

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > セットアップ > 投資エンティティ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
> [汎用] オプションが選択されている場合、フォームの [エンティティ] タブは [オーナー] タブに置き換えられます。

投資エンティティフォーム

フィールド	説明
名前	投資エンティティの一意の名前。
有効	投資エンティティのステータスを示すためのオプション。 アクティブな投資エンティティに対してのみ投資を作成できます。
説明	投資エンティティの簡単な説明。

[汎用] オプションが選択されていない場合：

[エンティティ] タブ

フィールド	説明
テーブル	資金調達が有効なトランザクションテーブル。
条件	資金調達が有効になっているテーブルのデータをフィルターするための条件。 たとえば、プロジェクトテーブルの資金調達を有効にし、準備完了ステータスのプロジェクトのみをリストするフィルター条件を追加できます。
オーナーフィールド	投資のオーナーフィールドにマッピングされたトランザクションテーブル内の任意のユーザーフィールド。 投資を作成している場合、マップされたフィールドのユーザーが投資のオーナーとして自動的にアサインされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、プロジェクト投資エンティティの場合、[プロジェクトマネージャー] フィールドを投資のオーナーフィールドとしてマッピングできます。

[汎用] オプションが選択されている場合：

[オーナー] タブ

フィールド	説明
オーナーテーブル	投資のオーナーフィールドとしてマッピングされたユーザーテーブル。
オーナーフィルター	投資フォームの [オーナー] フィールドにリストされているユーザーをフィルタリングして投資オーナーを選択するための条件。 たとえば、プロジェクト投資エンティティの場合、プロジェクトマネージャーロールを持つユーザーのみを表示するフィルターを作成できます。 デフォルトでは、[アクティブ **= true]** フィルターが設定されています。この場合、アクティブなユーザーのみが選択対象として表示されます。

4. オプション: [資金調達可能なエンティティのロックを解除] アイコンをクリックして、現在のエンティティから資金を調達できるエンティティを選択できるようにします。

   (Optional) たとえば、ポートフォリオエンティティはプログラムに資金を提供でき、プログラムはプロジェクトに資金を提供できます。そして、プロジェクトはプログラムに要求でき、プログラムはポートフォリオに要求できます。

5. オプション: エンティティを [資金調達可能エンティティ] リストに追加します。

   (Optional) 値が選択されていない場合、すべてのエンティティが資金調達可能であると見なされます。

6. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 資金調達アーティファクトを作成して、投資と投資エンティティオーナーを同期するビジネスルールを作成するか、投資ターゲットフォームに関連リンクを追加します。
- トップレベルの投資または投資エンティティの投資を作成します。

投資と投資エンティティのオーナーの同期を有効にします

投資オーナーと投資エンティティオーナーを同期する投資エンティティのビジネスルールを作成します。投資エンティティオーナーの名前を更新すると、対応する投資のオーナーとその投資の [表示可能] フィールドが自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_admin

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > セットアップ > 投資エンティティ.
2. オーナーの同期を有効にするエンティティを開きます。
3. フォームで、[資金調達アーティファクトを作成] 関連リンクをクリックします。
4. ダイアログボックスで、[投資オーナーを投資エンティティオーナーに同期するためのビジネスルールを作成] オプションを選択し、**[OK]** をクリックします。

タスクの結果
投資エンティティオーナーを更新したときに、投資オーナーと関連する投資エンティティオーナーを同期する投資エンティティのビジネスルールが作成されます。

投資ターゲットから投資に直接アクセスする

投資ターゲットから [自分の資金] ページに直接移動するための関連リンクを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_admin

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > セットアップ > 投資エンティティ.
2. 関連リンクを作成する投資エンティティを開きます。
3. フォームで、[資金調達アーティファクトを作成] 関連リンクをクリックします。
4. ダイアログボックスで、[フォームで要求/資金調達するための関連リンクを作成する] オプションを選択し、**[OK]** をクリックします。
5. [**OK**] をクリックします。

タスクの結果
[投資の追加/表示] 関連リンクが投資ターゲットのフォームに表示され、[自分の資金] ページに直接移動できます。

トップレベルの投資の作成

資金を受け取り、割り当てる投資エンティティレコードのトップレベルの投資を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_planner

このタスクについて
トップレベルの投資には、ソース投資またはソース投資エンティティがありません。一度作成されたトップレベルの投資は、後で通常の投資に変換することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > トップレベルの投資.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいトップレベルの投資フォーム

フィールド	説明
対象	投資に関連付ける投資エンティティレコード。エンティティに関連付けられたレコードにアクセスするには、左側のリストで投資エンティティを選択します。右側のリストには、選択したエンティティに関連付けられたレコードが表示されます。 投資エンティティタイプと投資エンティティの値ペアに対して作成できるトップレベルの投資は 1 つだけです。 **注:** [汎用バケットエンティティ] オプションを選択すると、関連するエンティティレコードを選択するためのリストが無効になります。
所有者	トップレベルの投資を所有するユーザー。 このフィールドは、選択した投資エンティティの作成時に決定された [オーナーフィールド] 値に設定されます。
名前	投資の一意の名前。
トップ投資	トップレベルの投資であることを示すオプション。この設定は変更できません。

4. [作成] をクリックします。

次のタスク

- ビジネス目標を達成するための トップレベルの投資の資金調達。
- 投資のビジネスニーズを定義するビジネスケースを作成します。

トップレベルの投資の資金調達

投資オーナーがさらに資金を分配できるように、トップレベルの投資に資金を割り当てます。

始める前に

必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_planner

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > トップレベルの投資.
2. 資金を割り当てる投資を開きます。
3. [詳細] タブで、[資金を追加] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資金フォームの追加

フィールド	説明
会計期間	資金が投資に割り当てられる会計期間。
資金調達済みの投資	投資コストとして資金調達された金額。
資金調達済みの経費	経費として資金調達された金額。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
トップレベルの投資は、選択した期間、指定した金額で資金調達されます。

投資の作成

ターゲットに資金調達するための投資の作成

始める前に
必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_user

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.

2. [新規] をクリックします。

3. フォームのフィールドに入力します。

投資フォーム

フィールド	説明
対象	投資に関連付ける投資エンティティレコード。エンティティに関連付けられたレコードにアクセスするには、左側のリストで投資エンティティを選択します。右側のリストには、選択したエンティティに関連付けられたレコードが表示されます。 **注:** 投資エンティティタイプと投資エンティティの値ペアに対して作成できるトップレベルの投資は 1 つだけです。
名前	投資の一意の名前。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- 投資のビジネスニーズを定義するビジネスケースを追加します。
- 資金源から資金を要求します。
- 利用可能な資金から資金を割り当てます。

投資のビジネスケースの追加

ビジネスニーズとビジネス目標を定義するビジネスケースを追加します。

始める前に

必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_user

このタスクについて

投資に含めることができるビジネスケースは 1 つだけです。

デマンドレコードまたはプロジェクトレコードでビジネスケースが作成されると、対応する投資レコードに同じビジネスケースがマッピングされます。また、投資レコードでビジネスケースが作成されると、対応するデマンドレコードまたはプロジェクトレコードに同じビジネスケースがマッピングされます。プロジェクトレコードまたはデマンドレコードに関連付けられたコスト計画と利益計画も投資レコードにマッピングされます。

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. 投資を開き、ビジネスケースを追加します。
3. [詳細] タブで、[ビジネスケースを作成] 関連リンクをクリックします。
   この関連リンクは、投資するビジネスケースが存在しない場合にのみ使用できます。
4. [ビジネスケースを追加] ダイアログボックスで、投資のビジネスニーズと目標に基づいてフィールドに情報を入力します。

ビジネスケースフォームの追加

フィールド	説明
名前	ビジネスケースの一意の名前。
投資タイプ	投資のタイプ。
投資クラス	投資に割り当てられた投資クラスカテゴリ： ○ 実行：既存のビジネスを維持するために行われた投資。 ○ 変更：ビジネスの変更を実装するために行われた投資。
[ビジネスケース] タブ	
説明	投資をサポートするビジネスケースの説明。
実現要因	投資を実現する主な要因。
バリア	投資に対する主なバリア。
仮定	スコープとリスクを決定し、時間とコストの予測を微調整するのに役立つ、投資に対する前提です。
スコープ	
スコープの範囲内	投資の範囲。これには、投資の範囲を定義する一連の境界が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スコープの範囲外	投資のスコープの範囲外のアクティビティ。
実行リスク	投資が実行された場合に投資に関連するリスク。
不実行リスク	投資が実行されない場合に投資に関連するリスク。

5. [送信] をクリックします。

投資の共同オーナー

投資の共同オーナーは、投資オーナーの代理で投資資金の管理、要求、割り当てを行います。共同オーナーは、オーナーと同じ権利や権限を有します。

- 共同オーナーは、投資オーナーと同じ権限やアクセス権を有しているため、次のことが可能です。
  - トップレベルの投資に対する資金追加。
  - 子投資の追加や資金提供。
  - トップレベルの投資からの資金源や資金提供の追加および要求。
  - 子投資への投入資金の確認、要求、割り当て。
  - 共同オーナーの追加。
  - 資金提供されていない投資の削除。
  - 資金提供した投資者の確認。
- 共同オーナーは、すべての子投資の [表示可能] フィールドに追加されます。
- 投資には複数の共同オーナーを含めることができます。投資の共同オーナー数に上限はありません。
- [アクティブな投資] ページで、投資のアクセスレベルを確認することができます。
  - 所有する投資は、所有アイコン ( ) でマークされます。
  - 共同で所有する投資は、共同オーナーアイコン ( ) でマークされます。
  - 表示可能な投資は、表示のみアイコン ( ) でマークされます。

投資の共同オーナーの管理

投資の共同オーナーを追加して、代理で資金の要求、承認、管理を行ってもらいます。投資を管理してもらう必要がなくなった場合、既存の共同オーナーを削除できます。

始める前に
必要なロール：

- トップレベルの投資で共同オーナーを管理する場合：sn_invst_pln_v2.investment_planner
- [自分の資金] で共同オーナーを管理する場合：sn_invst_pln_v2.investment_user、sn_invst_pln_v2.investment_planner

手順

1. トップレベルの投資または [自分の資金] を開きます。

2. [詳細] タブをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 共同オーナーのロック解除アイコン () をクリックします。
   - ユーザーを共同オーナーとして追加するには、[ターゲットレコードを選択] 検索フィールドを使用してユーザーを検索し、選択します。
   - 既存の共同オーナーを削除するには、名前を選択し、選択したアイテムの削除アイコン () をクリックします。
4. [更新] をクリックします。

投資のための資金を要求

投資のために資金源から資金を要求します。

始める前に

必要なロール： sn_invst_pln_v2.investment_user

このタスクについて

他の一般投資から一般投資の資金を要求することはできません。

過去に投資に資金を割り当てた一般ソース投資からのみ資金を要求できます。

資金を要求できるのは、[Investment Funding の設定] で構成された資金調達頻度のみです。

資金を要求できるのは、エンティティの作成時に [資金調達可能なエンティティ] フィールドで追加したエンティティからのみです。

要求済みおよび計画ステータスで、過去の資金調達期間または編集不可能な資金調達期間の資金調達要求を取り消すことができます。

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. 投資カードをクリックして、資金が必要な投資を開きます。

   別の投資を開く場合は、現在表示されている投資の名前の横にあるドロップダウンメニューにアクセスします。[自分の投資を検索] フィールドに名前を入力して別の投資を検索するか、最近アクセスした 5 つの投資から選択します。
3. [資金を表示/要求] タブをクリックします。
4. 作業期間を選択し、[適用] をクリックします。
   [予算を要求] リストには、以前に投資のために資金を要求した資金源のみが表示されます。
5. [新しいソースを追加] リンクをクリックして、資金源を選択します。
6. [ソースを選択] ペインで、リストから 1 つ以上のソース投資を選択し、[選択項目を追加] をクリックします。
   指定した資金源が [予算を要求] グリッドに追加されます。
7. [予算を要求] グリッドで、資金を要求する資金源の [新規/変更要求] の [投資] 列および [経費] 列で金額を指定します。
   更新されたすべての資金源のステータスが [ドラフト] または [計画] に変更され、セルが強調表示されます。
8. [要求] をクリックします。
9. [要求を確認] ダイアログボックスで、要求を確認し、必要に応じてコメントを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [要求] をクリックします。
11. オプション: [新規/変更要求] フィールドの列を右クリックし、[取り消し] を選択して資金調達要求を取り消します。

タスクの結果

- 指定された期間、ソース投資ソースから資金が要求されます。
- 資金要求レコードのステータスが [要求済み] に変更されます。

投資のための資金配分を計画する

資金配分を確定する準備がまだ整っていない場合は、資金配分を計画します。

始める前に

必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_user

このタスクについて

資金を割り当てる準備がまだ整っていない場合は、投資を計画段階にしておきます。たとえば、すべての投資のニーズを満たすために追加資金が必要かどうかを判断できるまで待ってもかまいません。

受領した資金に加えて投資に資金を割り当てる場合は、過剰割り当てであることを示す警告メッセージが [合計] 行に表示され、資金調達設定で指定されたバッファー金額から追加資金金額が差し引かれます。資金の過剰割り当ての設定の詳細については、「Investment Funding の設定」トピックを参照してください。利用可能な資金にバッファー金額を加えた額を超えて割り当てを行った場合は、割り当てのために新しい資金を送信できない旨のエラーメッセージが表示されます。

資金の割り当て計画は、[Investment Funding の設定] で構成された資金調達頻度に従った計画のみ可能です。

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. 投資カードをクリックして、他の投資に割り当てる予定資金があるアクティブな投資を開きます。

   別の投資を開く場合は、現在表示されている投資の名前の横にあるドロップダウンメニューにアクセスします。[自分の投資を検索] フィールドに名前を入力して別の投資を検索するか、最近アクセスした 5 つの投資から選択します。
3. [資金を割り当て] タブをクリックします。
4. 作業期間を選択し、[適用] をクリックします。
   - 以前に資金を割り当てた場合、または受信した資金要求がある場合、そうした投資は [資金を割り当て] リストに表示されます。
   - フィルターアイコン ( ) をクリックすると、処理待ちの (計画中および要求された) 投資をフィルタリングできます。
5. [資金を割り当て] リストで、資金を割り当てる予定の受信要求を選択します。
6. [計画] をクリックします。

タスクの結果

- 資金の割り当ては、指定された期間に、選択された投資に対して計画されます。
- 更新されたすべての投資のステータスが [計画] に変更され、セルが強調表示されます。
- 割り当ての計画後に残る金額は、[計画立案後に移動] 行に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
計画された投資に資金を割り当てる

投資への資金の割り当て

ビジネス目標と利用可能な資金に基づいて、投資に資金を割り当てます。

始める前に
必要なロール： sn_invst_pln_v2.investment_user

このタスクについて
資金を割り当てることができるのは、[Investment Funding の設定] で構成された資金調達頻度のみです。

以前に投資に資金を割り当てた場合は、既存の金額より多いか、または少ない金額を入力することで、資金調達金額を増減できます。小さい値を入力すると、差額の投資資金が回収されます。

受領した資金に加えて投資に資金を割り当てる場合は、過剰割り当てであることを示す警告メッセージが [合計] 行に表示され、資金調達設定で指定されたバッファー金額から追加資金金額が差し引かれます。資金の過剰割り当ての設定の詳細については、「Investment Funding の設定」トピックを参照してください。利用可能な資金にバッファー金額を加えた額を超えて割り当てを行う場合は、割り当てのために新しい資金を送信できない旨のエラーメッセージが表示されます。

資金を割り当てることができるのは、エンティティの作成時に [資金調達可能なエンティティ] フィールドで追加したエンティティに対してのみです。

注:
一般投資の場合、所有する投資に資金を割り当てることができます。

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. 投資カードをクリックして、他の投資に割り当てる十分な資金があるアクティブな投資を開きます。

   別の投資を開く場合は、現在表示されている投資の名前の横にあるドロップダウンメニューにアクセスします。[自分の投資を検索] フィールドに名前を入力して別の投資を検索するか、最近アクセスした 5 つの投資から選択します。
3. [資金を割り当て] タブをクリックします。
4. 作業期間を選択し、[適用] をクリックします。
   - 以前に資金を割り当てた場合、または受信した資金要求がある場合、そうした投資は [資金を割り当て] リストに表示されます。
   - フィルターアイコン ( ) をクリックすると、処理待ちの (計画中および要求された) 投資をフィルタリングできます。
5. オプション: 資金を割り当てるために、[資金を割り当て] リストにさらに投資を追加します。

   a. [追加] をクリックします。

   b. オプション: ソースエンティティに対して十分な権限がある場合は、[新規] をクリックして新しいエンティティレコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [追加] ペインで、リストから 1 つ以上の投資を選択し、[選択項目を追加] をクリックします。

(Optional) 表示されているすべての投資を含めるには、[すべて追加] をクリックします。

6. [資金を割り当て] リストで、資金を割り当てるすべての投資について、[新しい資金] で [投資] 列と [経費] 列に金額を入力します。

> **注:**
> 受信要求の場合は、[新しい資金] の [投資] 列および [経費] 列に金額を入力する際に、[新しい要求] 列の金額を考慮に入れます。

更新されたすべての投資のステータスが [計画] に変更され、セルが強調表示されます。

7. [資金] をクリックします。
8. [資金の割り当てを確認] ダイアログボックスで割り当てを確認し、[資金] をクリックします。

資金の割り当てを確認しながら、あるセクションで資金調達に資金が利用可能な四半期のすべての詳細を表示し、別のセクションで資金調達に資金が利用できない四半期の詳細を表示できます。

9. オプション: グリッドの列を右クリックし、[過去の資金調達の詳細の表示] を選択して、過去の会計期間の子投資について資金調達の詳細を表示します。

(Optional) 詳細については、「過去の資金調達の詳細を表示」トピックを参照してください。

タスクの結果

- 資金は、指定された期間に、選択された投資に対して割り当てられます。
- 資金調達済み投資のステータスが [資金調達済み] に変更されます。

投資の実際の支出の入力

投資の実際の支出を入力して、資金の使用状況を追跡します。

始める前に

必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_user

このタスクについて

投資の資金を使用してビジネスアクティビティを実行したり、ビジネス目標を達成するために他の投資に資金を割り当てたりすることができます。支出金額を実際の支出 (「実績」) として、それぞれの投資に記録できます。実績を追跡すると、次のことができます。

- 資金をどこでどのように使用したかを追跡する。
- 親投資実績を合計する。

単一の資金調達元がある場合、プロジェクトまたは需要に対して発生した実際のコストが合計され、Investment Funding のグリッドに自動的に表示されます。複数のソースがある場合は、次の手順を実行して実績を手動で入力する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- (従来の Investment Funding プラグインから ServiceNow Store アプリケーションにアップグレードした場合) アップグレード前に実績を手動入力した場合、アップグレード後にプロジェクトに投稿された実績とは一致しません。
- プロジェクトまたはデマンドのコスト計画ブレークダウンの [予算] フィールドが資金調達後に編集された場合、投資および経費予算は Investment Funding フローから資金調達された金額と一致しません。

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. 実績を入力する投資を開きます。

   別の投資を開く場合は、現在表示されている投資の名前の横にあるドロップダウンメニューにアクセスします。[自分の投資を検索] フィールドに名前を入力して別の投資を検索するか、最近アクセスした 5 つの投資から選択します。
3. [資金を表示/要求] タブをクリックします。
4. 作業期間を選択し、[適用] をクリックします。
5. [予算を要求] リストで、投資の [実績投資] 列と [実績経費] 列で、実際に費やした金額を指定します。

   注:

   リストに [実績投資] 列と [実績経費] 列が表示されない場合は、構成アイコン ( ) をクリックし、各列を選択します。

タスクの結果

- 入力した金額は、投資を通じて使用された実績資金として更新されます。
- この金額は親投資にロールアップされ、さらに親投資はトップレベルの投資に至るまでロールアップされます。

資金要求を却下

ビジネスの優先順位に基づいて、または十分な資金がない場合は、受信した資金の要求を却下することができます。

始める前に
必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_user

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. アクティブな投資を開きます。

   別の投資を開く場合は、現在表示されている投資の名前の横にあるドロップダウンメニューにアクセスします。[自分の投資を検索] フィールドに名前を入力して別の投資を検索するか、最近アクセスした 5 つの投資から選択します。
3. [資金を割り当て] タブをクリックします。
4. 作業期間を選択し、[適用] をクリックします。
5. [資金を割り当て] グリッドから投資を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [資金を割り当て] ドロップダウンリストをクリックし、[却下] を選択します。
7. オプション: 投資を選択し、[資金を割り当て] ドロップダウンリストから [クリア] をクリックして、過去の資金調達期間または編集不可能な資金調達期間に対する計画ステータスの資金調達要求をリストから削除します。

資金の使用状況の確認

資金を割り当てるか、または要求するときに、ある投資から他の投資への資金の流れを確認し、情報に基づいた意思決定を行います。

始める前に
必要なロール：sn_invst_pln_v2.investment_user

このタスクについて
資金の使用状況を確認することで、投資が資金がいつ使用されたか、また資金がビジネス目標の優先度を依然として満たしているかどうかを確認できます。

注:
投資の実績金額は、入力した直接支出と、資金を割り当てたすべての投資の合計です。正しい実績金額は、投資のオーナーが実際の支出を投資に入力した場合にのみ反映されます。

ツリービューカードで、受領した資金と実績の差額 (支出不足額または支出超過額) を確認できます。資金の受領金額が資金の金額を上回っている場合は、支出不足の金額が緑色で表示されます。資金の受領金額が資金の金額を下回っている場合は、支出超過の金額が赤色で表示されます。

[資金を割り当て] または [資金を表示/要求] のリストビューで、カードに表示する情報を設定できます。たとえば、合計実績金額のみを表示するようにリストビューを設定できます。

投資オーナーが [表示可能] フィールドに追加したユーザーは、投資の詳細を確認することもできます。特定の投資に資金を提供する投資オーナーは、その投資のフィールドリストに自動的に追加されます。たとえば、プログラム投資がポートフォリオ投資から資金を受け取った場合、ポートフォリオ投資のオーナーがプログラム投資の [表示可能] フィールドに追加されます。

手順
1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. 投資カードをクリックしてアクティブな投資を開き、資金の割り当てを確認します。

   別の投資を開く場合は、現在表示されている投資の名前の横にあるドロップダウンメニューにアクセスします。[自分の投資を検索] フィールドに名前を入力して別の投資を検索するか、最近アクセスした 5 つの投資から選択します。

3. [資金を割り当て] タブのツリービューアイコン ( ) をクリックします。
   投資と資金調達した投資は、階層ビューにカードとして直接表示されます。子投資の数は、親投資カードに表示されます。10 を超える投資カードがある場合は、コンパクトカードビューを使用できます。
4. 投資をクリックすると、他の投資への資金配分が表示されます。

   子投資カードにドリルダウンすると、右上隅のクリック可能なメニューに現レベルの階層が表示されます。

5. オプション: [アクション] メニューをクリックし、[投資の表示] を選択して投資グリッドに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

過去の資金調達の詳細の表示

投資の過去の資金調達の詳細を表示します。

始める前に

必要なロール： sn_invst_pln_v2.investment_user

手順

1. 移動先 すべて > 投資枠管理 > 自分の資金.
2. 投資カードをクリックして、過去の資金調達の詳細を表示する投資を開きます。

   別の投資を開く場合は、現在表示されている投資の名前の横にあるドロップダウンメニューにアクセスします。[自分の投資を検索] フィールドに名前を入力して別の投資を検索するか、最近アクセスした 5 つの投資から選択します。
3. [資金を割り当て] タブをクリックします。
4. グリッドの列を右クリックし、[過去の資金調達の詳細の表示] を選択して、過去の会計期間の投資について資金調達の詳細を表示します。

   投資のオーナーではなくても、投資の [表示可能] フィールドに追加されている場合は、投資を読み取り専用モードで表示できます。

   グラフには、受領した資金合計と、過去 1 年間の会計期間の実績合計との比較が表示されます。

ドメイン分離と 投資枠管理

ドメイン分離は 投資枠管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

戦略的ポートフォリオ管理の **Export to PowerPoint**

ServiceNow® 戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint アドインを使用すると、インスタンスからプロジェクトステータスレポートを Microsoft PowerPoint ファイルとして生成してダウンロードできます。このファイルを使用して、ステークホルダーまたはチーム間で共有してコラボレーションを行うことができます。

Export to PowerPoint の概要

Export to PowerPoint の概要ビデオ。所要時間は約 2 分です。

開始するには

探索



アドイン機能について Export to PowerPoint 学習します。

構成



アドインをインストールして構成します Export to PowerPoint 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用方法	参照
 プロジェクトステータスレポートの生成とダウンロードに使用します Export to PowerPoint 。	 インストールされたコンポーネント、フォームフィールド、テーブル、ロール、一般的なガイドラインに関する詳細を確認します。

自動翻訳

重要:

- 場所に基づいて ServiceNow サーバー内でプロジェクトステータスレポートを生成するために必要なデータ処理の詳細については、Now Support ナレッジベース の記事 KB1170323 を参照してください。
- Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

Export to PowerPoint の詳細

Export to PowerPoint アプリケーションは、プロジェクトステータスレポートを生成してダウンロードするのに役立ちます。このファイルを使用して、ステークホルダーまたは共同作業のチームにプロジェクトステータスレポートを提示し、次のステップを特定します。

Microsoft PowerPoint テンプレートを作成するには、次のデータタイプを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートテンプレートタイプ

レポートタイプ	説明
テキスト	テキスト形式のレポートを生成します。
テーブル	テーブル形式のレポートを生成します。
線グラフ	線グラフレポートを生成します。
棒グラフ	棒グラフレポートを生成します。
リピーター	テンプレート形式を保持することによって、レコード内のすべてのエントリのデータを生成するために使用されるトークン。

Export to PowerPoint の構成

Export to PowerPoint アプリケーションをインスタンスにインストールし、Microsoft PowerPoint で構成するために使用するプロセスと前提条件について説明します。

構成ワークフロー

ServiceNow Store から Export to PowerPoint アプリケーションをダウンロードした後、次の手順を指針として Microsoft PowerPoint の ServiceNow アドインを設定してインストールします。

1. ServiceNow Store から 戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint をインストールします。詳細については、「戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint のインストール」を参照してください。
2. 関連するテーブルとスクリプト要素コンポーネントを管理します。詳細については、「[関連テーブル] フォームと [スクリプト要素] フォームの管理」を参照してください。
3. インスタンスからマニフェストファイルをダウンロードし、Microsoft Office 365 アカウントマネージャーと共有します。詳細については、「Download the manifest file from your instance (インスタンスからマニフェストファイルをダウンロード)」を参照してください。
4. Microsoft PowerPoint の Export to PowerPoint アドインを構成します。詳細については、「Microsoft PowerPoint 用 Export to PowerPoint アドインの構成」を参照してください。

戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint のインストール

管理者ロールがある場合は、戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint アプリケーション (sn_ppt) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。
- 必要なロール：sn_ppt_export.ppt_admin
- **重要:**
  場所に基づいて ServiceNow サーバー内でプロジェクトステータスレポートを生成するために必要なデータ処理の詳細については、Now Support ナレッジベース の記事 KB1170323 を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、 戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint アプリケーション (sn_ppt) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
6. [インストール] を選択します。

タスクの結果
以下のコンポーネントは、戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint アプリケーションのインストール時にインストールされます。

- ロール
- テーブル

詳細については、「戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

[関連テーブル] フォームと [スクリプト要素] フォームの管理

Microsoft PowerPoint テンプレートを作成するために必要な [関連テーブル] と [スクリプト要素] コンポーネントを管理します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_ppt_export.ppt_admin

手順

1. 移動先 すべて > **PowerPoint** 管理 > **PowerPoint** レポートのタイプ.
2. レポート名を選択します。

オプション	説明
[関連テーブル] を管理するには	親テーブルからカスタムリモートテーブルまたは子を追加できます。 **a.** [関連テーブル] コンポーネントで、[新規] を選択します。 [関連テーブル] フォームのフィールドに記入します。フィールド値の説明については、「関連テーブルフォーム」を参照して ください。 **b.** カスタムリモートテーブルを追加するには： **i.** Create a remote table 。 **ii.** リストから必要なリモートテーブルを選択します。 **iii.** [カスタムスクリプトを有効にする] オプションを選択します。 **iv.** [カスタムスクリプト] ボックスに、リモートテーブルとメインテーブル間の接続を確立するコードを記述します。 **c.** メインテーブルから子テーブルを選択するには： **i.** リストから子テーブルを選択します。 **ii.** リストから親関係列を選択します。 **d.** [送信] を選択します。 選択したテーブルとその親テーブルとの関係が [関連テーブル] セクションに表示されます。
[スクリプト要素] を管理するには	**a.** [スクリプト要素] コンポーネントで、[新規] を選択します。 **b.** [スクリプト要素] フォームで、フィールドに入力します。フィールド値の説明については、「スクリプト要素フォーム」を参照してください。 **c.** [送信] を選択します。

3. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マニフェストファイルのダウンロード

ユーザーロールを設定し、Microsoft PowerPoint 用 Export to PowerPoint アドインを使用するアドインマニフェストファイルをダウンロードします。

始める前に

必要なロール：sn_ppt_export.ppt_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Office** 用 **ServiceNow** アドイン > **Office** アドインマニフェスト.
2. **[ServiceNow** のテンプレート **(Templates for ServiceNow)]** をクリックします。

   注:
   [ServiceNow のテンプレート **(Templates for ServiceNow)]** の説明を **ServiceNow** 用 **PowerPoint** プラグインと照合して、正しいマニフェストファイルが選択されていることを確認してください。

3. [マニフェストをダウンロードします] をクリックして、アドインファイルをダウンロードします。

次のタスク

- manifest.xml ファイルを Microsoft Office 365 ユーザーのマニフェストファイルをアップロードする Microsoft Office 365 アカウントマネージャーと共有して、Microsoft PowerPoint 用 Export to PowerPoint アドインを有効にします。

  または、次のいずれかのプロセスを使用して、テスト用のアドインをサイドローディングできます。

  - Windows マシンの場合：https://learn.microsoft.com/en-us/office/dev/add-ins/testing/create-a-network-shared-folder-catalog-for-task-pane-and-content-add-ins
  - macOS マシンの場合：https://learn.microsoft.com/en-us/office/dev/add-ins/testing/sideload-an-office-add-in-on-mac

- ブラウザーバージョンの Microsoft PowerPoint で Export to PowerPoint アドインを有効にするために必要な追加の構成手順の詳細については、Now Support ナレッジベース の記事 KB1171422 を参照してください。

Microsoft PowerPoint 用 Export to PowerPoint アドインの構成

Microsoft PowerPoint の Export to PowerPoint アドインを構成して、インスタンスとやり取りし、プロジェクトステータスレポートの生成とダウンロードに必要なデータをフェッチします。

始める前に

- Export to PowerPoint アドインが Microsoft PowerPoint に対して有効になっていることを確認します。なっていない場合は、マニフェストファイルのダウンロードして、Microsoft Office 365 アカウントマネージャーにお問い合わせください。
- 必要なロール：sn_ppt_export.ppt_admin or sn_ppt_export.ppt_user

手順

1. Microsoft PowerPoint アプリケーションを開き、[ホーム]タブの ServiceNow アドインアイコン ( ) をクリックします。
   ServiceNow インスタンスにアクセスするためのログインオプションがあるパネルが表示されます。
2. [ログイン] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ServiceNow インスタンス資格情報を入力し、[ログイン] をクリックします。
   インスタンス名などの詳細とともに、インスタンスへのアクセスを要求するプロンプトが表示されます。
4. インスタンスの詳細を確認し、[許可] をクリックします。

タスクの結果
アドインのランディングページが右側のパネルとして表示されます。



注:
ブラウザーバージョンの Microsoft PowerPoint で Export to PowerPoint アドインを有効にするために必要な追加の構成手順の詳細については、Now Support ナレッジベース の記事 KB1171422 を参照してください。

次のタスク
Microsoft PowerPoint テンプレートの作成。

Export to PowerPoint の使用

Microsoft PowerPoint 用の Export to PowerPoint アドインを使用して、レポートを生成するテンプレートを作成します。

注:
テンプレートの作成中、フォントスタイル、フォントサイズ、背景色など、使用した書式設定オプションはレポートの生成時に保持されます。

1. Microsoft PowerPoint テンプレートを作成します。詳細については、「Microsoft PowerPoint テンプレートの作成」を参照してください。
2. Microsoft PowerPoint テンプレートを ServiceNow インスタンスにアップロードします。詳細については、「Microsoft PowerPoint テンプレートのアップロード」を参照してください。
3. 作成したテンプレートを使用してプロジェクトステータスレポートをダウンロードします。詳細については、「プロジェクトステータスレポートのダウンロード」を参照してください。

Microsoft PowerPoint テンプレートの作成

Microsoft PowerPoint の Export to PowerPoint アドインを構成して、インスタンスとやり取りし、ステータスレポートの生成とダウンロードに必要なデータをフェッチします。組織のレポートニーズに基づいて、レポートの生成に必要なデータを使用して独自のカスタムテンプレートを作成します。

始める前に

- アドインのログインを使用してインスタンスを Microsoft PowerPoint に接続し、エピックの詳細のレポートを生成するためのテンプレート ポートフォリオ計画 を作成しましょう。
- 必要なロール：sn_ppt_export.ppt_user

手順

1. Microsoft PowerPoint アプリケーションを開き、[ホーム] タブの ServiceNow アドインアイコン ( ) をクリックします。
   ServiceNow インスタンスにアクセスするためのログインオプションがあるサイドパネルが表示されます。
2. [ログイン] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ServiceNow インスタンス資格情報を入力し、[ログイン] を選択します。
   インスタンスの詳細を示すプロンプトが表示されます。
4. インスタンスの詳細を確認し、[許可] を選択します。
   アドインのランディングページが右側のパネルに表示されます。

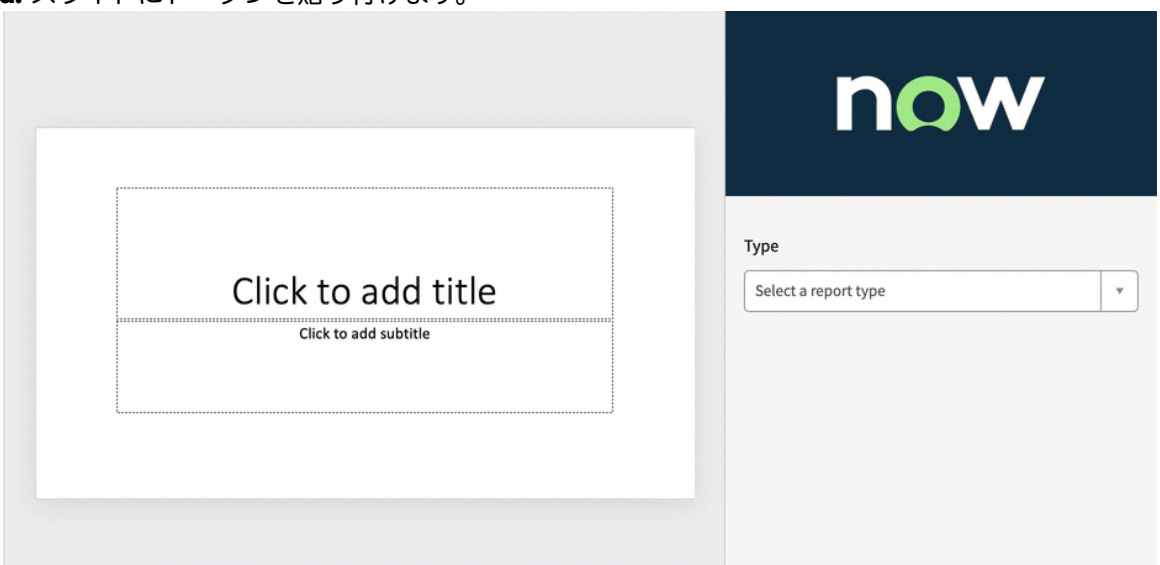


5. [タイプ] リストから [個人ポートフォリオ] レポートを選択します。

   入力するデータタイプを選択します。
   - テキスト：親テーブルのテキストエントリ。例：ポートフォリオ名、所有者名など。
   - テーブル：関連テーブルを使用してマッピングされたテーブルエントリ。
   - リピーター：選択した各レコードの追加の詳細を入力。
   - 線グラフと棒グラフ： スクリプト要素を使用してマッピングされたグラフエントリ。

   注:
   テンプレートの作成中に、次のことができます。
   - トークン値のフォントサイズと色を変更して、ステータスレポートに反映させます。
   - トークン内を移動して、必要な形式で配置します。
   - スライドにカスタムロゴまたは組織ロゴを追加します。
   - 要件に従ってチャートトークンのサイズを変更します。

6. 最初のスライドでポートフォリオ名を入力するには：
   a. データタイプから [テキスト] を選択します。
   b. [列] リストをフィルタリングして名前を見つけ、選択します。ポートフォリオ名を表すトークン値が、後続の空のテキストボックスに生成されます。
   c. [テキストをコピー] ボタンを選択して、トークンをコピーします。
   d. スライドにトークンを貼り付けます。



   新しいスライドを Microsoft PowerPoint に追加し、3 列 2 行のテーブルを挿入して、番号、ステータス、および期日を含むエピックを生成します。

7. 番号、ステータス、期日などのエピックの詳細を入力するには：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. アドインのランディングページで、[データ] リストから [テーブル] を選択します。

   [戻る] (← Back) ボタンを使用して、アドインのランディングページに戻ります。

b. [関連テーブル] リストから [エピック] を選択します。

c. [関連テーブル (オプション)] リストから、エピックに関連するテーブルを選択します。

d. 入力する行数を選択します。デフォルトでは、5 行が選択されています。

   1 行～10 行まで選択できます。

e. フィルターアイコンを使用して、既存のフィルターを表示したり、データを入力するための条件を定義したりします。

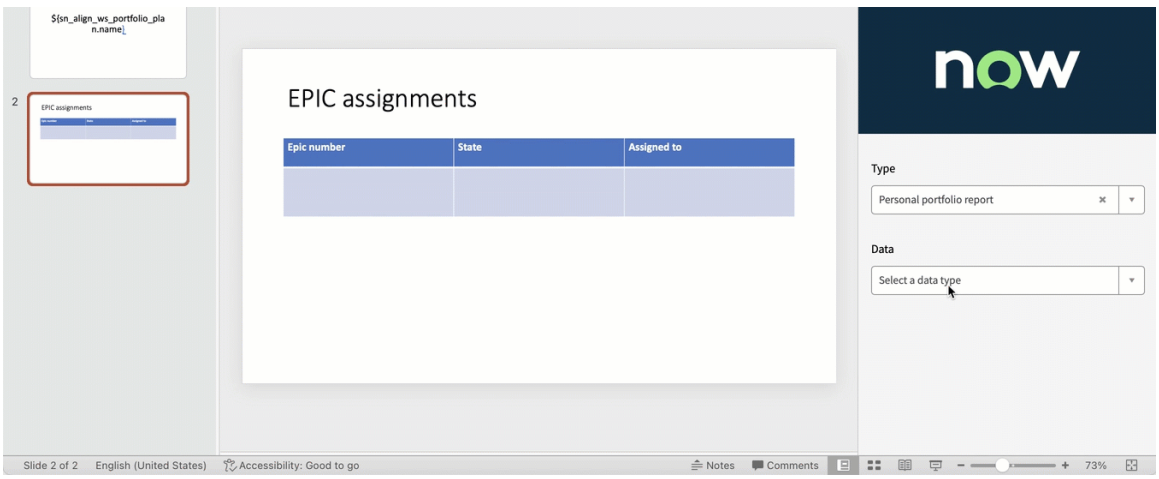
   ここでは、期限が 4 月 30 日で、[準備完了] または [対応中] ステータスのエピックを選択しています。

f. [次へ] を選択します。

g. [列] リストから [番号] を選択します。

h. トークン値をコピーしてテーブルに貼り付けます。

i. 同様に、[列] リストから [ステータス] フィールドと [アサイン先] フィールドのトークン値をコピーして貼り付けます。



新しいスライドを Microsoft PowerPoint に追加します。

8. 選択した各レコードに必要な詳細を入力するには：

a. アドインのランディングページで、[データ] リストから [テーブル] を選択します。

   [戻る] (← Back) ボタンを使用して、アドインのランディングページに戻ります。

b. [データ] リストから [リピーター] を選択します。

c. [関連テーブル] リストから [エピック] を選択します。

d. フィルターオプションを使用して必要なフィルターを追加し、[次へ] を選択します。

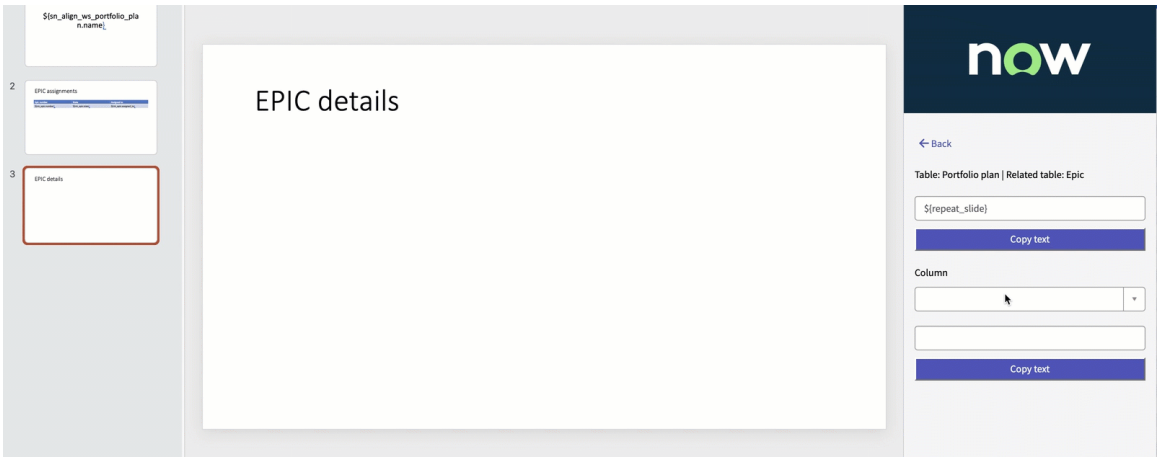
e. 必要なフィールドを選択して、トークンをコピーしてスライドに貼り付けます。

f. リピータートークンをコピーしてスライドに貼り付ける

   注:
   リピータートークンはステータスレポートに値を生成しません。

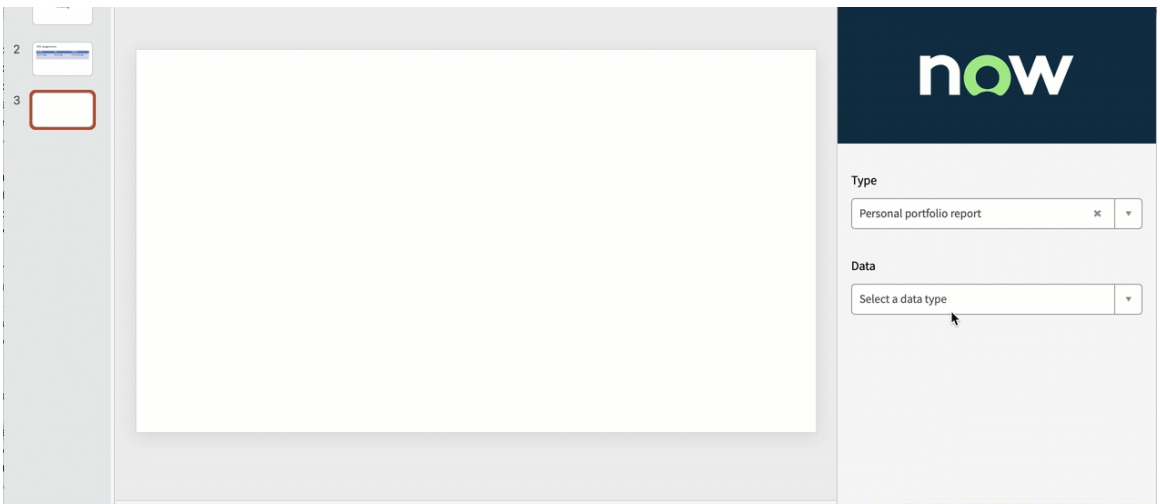
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



新しいスライドを Microsoft PowerPoint に追加します。

9. 線グラフまたは棒グラフに入力するには：
   a. アドインのランディングページで、[データ] リストから [線グラフ] または [棒グラフ] を選択します。
   b. [チャートを選択 (スクリプト要素を使用して定義) (Select a chart (defined using scripted elements))] リストから、レポートに入力するチャートを選択し、[次へ] を選択します。
   c. [クリップボードにコピー] ボタンを選択して、グラフトークンをコピーします。
   d. スライドにトークンを貼り付けます。



10. Microsoft PowerPoint ファイルを .pptx 形式で保存し、ファイルサイズが 15 MB を超えないようにします。

> **注:**
> 戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint アプリケーションには、レポート生成に使用したり、テンプレート作成の参考にしたりできるデフォルトのテンプレートが付属しています。

Microsoft PowerPoint テンプレートのアップロード

テンプレートをインスタンスにアップロードして、プロジェクトステータスレポートを生成してダウンロードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_ppt_export.ppt_user

手順

1. 移動先 すべて > **PowerPoint** 管理 > **PowerPoint** テンプレート.
2. [プロジェクトステータス] をクリックします。
3. 添付ファイルの管理アイコン ( ) をクリックします。
4. [ファイルを選択] をクリックし、テンプレートを参照してアップロードします。

   注:
   一度に使用できるテンプレート (.pptx) は 1 つのみで、最大ファイルサイズは 15 MB です。既存のテンプレートを削除して、新しいテンプレートをアップロードしてください。

5. ダイアログボックスを閉じ、[プロジェクトステータス] フォームで [更新] をクリックします。

次のタスク
プロジェクトステータスレポートのダウンロード。

プロジェクトステータスレポートのダウンロード

プロジェクトとプロジェクトステータスレポートを Microsoft PowerPoint ファイルとしてダウンロードして、ステークホルダーと共有します。

始める前に
必要なロール：sn_ppt_export.ppt_user

重要:
Export to PowerPointは現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

手順

1. アプリケーションポートフォリオ管理 のステータスレポートをダウンロードするには、「Export data to Microsoft PowerPoint」を参照してください。
2. プロジェクトワークスペース のステータスレポートをダウンロードするには、「プロジェクトステータスレポートを Microsoft PowerPoint に プロジェクトワークスペース からエクスポート」を参照してください。
3. プロジェクトワークスペースからプロジェクトをダウンロードするには、「プロジェクトを Microsoft PowerPoint に プロジェクトワークスペース からエクスポート」を参照してください。
4. 戦略的計画 のステータスレポートをダウンロードするには、「ポートフォリオ計画のステータス Microsoft PowerPoint のエクスポート先 戦略的計画」を参照してください。
5. ポートフォリオ計画 のステータスレポートをダウンロードするには、「ポートフォリオ計画 Workspace から Microsoft PowerPoint へのポートフォリオ計画ステータスのエクスポート」を参照してください。

タスクの結果
レポートは、プロジェクト番号とステータスレポートの日付をファイル名として Microsoft PowerPoint ファイルとしてダウンロードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Export to PowerPoint 参照

参照トピックでは、フィールド、テーブル、ロールなど、Export to PowerPoint に関する追加の詳細と、いくつかのガイドラインが提供されます。

戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint とともにインストールされるコンポーネント

ユーザーロールおよびテーブルを含むいくつかのタイプのコンポーネントが、戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint (sn_ppt) アドインを有効にすることでインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint admin [sn_ppt_export.ppt_admin]	• Microsoft PowerPoint テンプレートを生成するために必要な属性を作成、編集、および管理します。 • このロールは、スクリプト要素のソースコードを変更するためのアクセス権がある Export to PowerPoint アプリケーション用の高セキュリティロールであるため、割り当てに信頼性があります。	sn_ppt_export.ppt_user
戦略的ポートフォリオ管理の Export to PowerPoint ユーザー [sn_ppt_export.ppt_user]	• テンプレートを作成し、ServiceNow インスタンスにアップロードして、プロジェクトステータスレポートを生成し、ダウンロードします。 • デフォルトでは、project_user ロールを持つユーザーにこのロールが割り当てられます。	なし

インストールされるテーブル

テーブル	説明
PowerPoint セルフォーマッター [sn_ppt_export_ppt_cell_formatter]	テキスト、テキストの背景、テーブルのセル、および図形の塗りつぶしの色プロパティを保存します。
PowerPoint 要素 [sn_ppt_export_ppt_element]	Microsoft PowerPoint テンプレートを生成するために必要な要素を保存します。
PowerPoint フォーマッター	テキストの書式設定オプションを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_ppt_export_ppt_formatter]	
PowerPoint フォーマッターマッピング [sn_ppt_export_ppt_formatter_mapping]	トークンの形式マッピングを保存します。
PowerPoint レポートタイプ [sn_ppt_export_ppt_report_type]	レポートの生成に使用できるレポートタイプを保存します。
PowerPoint テンプレート [sn_ppt_export_ppt_template]	テンプレートに必要なメタデータを保存します。
PPT サービス要求ログ [sn_ppt_export_ppt_poi_service_request_log]	サービス要求ログを保存します。
関連テーブル [sn_ppt_export_ppt_related_table]	レポートの関連テーブルを保存します。
スクリプト要素 [sn_ppt_export_ppt_scripted_element]	線グラフや棒グラフなど、サポートされているグラフのタイプを保存します。

関連テーブルフォーム

関連テーブルフォームを使用して、構成された親テーブルの子テーブルを定義します。この関連テーブルは、プロジェクトステータスレポートを Microsoft PowerPoint としてエクスポートするデータをフェッチするのに役立ちます。

関連テーブルフォーム

フィールド	説明
名前	子テーブルの名前。
親関係列	親テーブルと子テーブルの間の関係。

スクリプト要素フォーム

[スクリプト要素] フォームを使用して、線グラフや棒グラフなどの複雑なレポートタイプのデータをフェッチするデータスクリプトを定義します。

スクリプト要素フォーム

フィールド	説明
名前	要素の名前。
タイプ	生成するグラフのタイプ (線グラフまたは棒グラフ)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプト要素フォーム (続く)

フィールド	説明
	必要なグラフタイプを選択すると、スクリプト要素のコード形式の提案された形式が [データスクリプト] フィールドに表示されます。
説明	レポートの説明。(例：計画と実績コストの比較。)
データスクリプト	レポートのデータをフェッチするために使用されるスクリプト。

線グラフパラメーター

線グラフのプロパティと書式設定を定義するために使用される基本的なパラメーターは次のとおりです。

線グラフパラメーター

パラメーター	説明	参照値
@property {文字列} seriesArray.properties.color：線の色	線の色。	16 進数コード値を使用して、線の色を定義します。 たとえば、赤色には 16 進数コード #FF0000 を使用します。
@property {文字列} seriesArray.properties.type：線のタイプ。	線のタイプ。	参照線の書式設定の詳細については、「https://poi.apache.org/apidocs/dev/org/apache/poi/xddf/usermodel/PresetLineDash.html#DASH」を参照してください。
@property {文字列} seriesArray.properties.markerStyle：マーカーのスタイル	グラフ上の重要なポイントを識別するマーカーのスタイル。	参照マーカーの書式設定の詳細については、「https://poi.apache.org/apidocs/dev/org/apache/poi/xddf/usermodel/chart/MarkerStyle.html」を参照してください。
@property {Number} seriesArray.properties.markerSize：スタイルのサイズ	グラフ上でのマーカーのサイズ。	最小値：2、最大値：72 (それぞれの数を含む)
@property {String} legendPosition：グラフでの凡例の位置。これはオプションです	グラフの凡例の位置。	凡例の位置の詳細については、https://poi.apache.org/apidocs/dev/org/apache/poi/xddf/usermodel/chart/

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフパラメーター (続く)

パラメーター	説明	参照値
		LegendPosition.html を参照してください。

棒グラフパラメーター

棒グラフのプロパティと書式設定を定義するために使用される基本的なパラメーターは次のとおりです。

棒グラフパラメーター

パラメーター	説明	参照値
@property {文字列} barProperties.direction	グラフ内の棒をプロットする方向。	棒の方向の定義の詳細については、https://poi.apache.org/apidocs/dev/org/apache/poi/xddf/usermodel/chart/BarDirection.html を参照してください。
@property {String} barProperties.grouping：棒のグループ化	グラフ内の棒のグループ化スタイル。	標準、クラスター、スタックなどのオプションを使用します。棒のグループ化プロパティの詳細については、https://poi.apache.org/apidocs/dev/org/apache/poi/xddf/usermodel/chart/BarGrouping.html を参照してください。
@property {数字} barProperties.overlay	グラフ内の棒の間で重複するサイズ。	許容される数値の範囲は 0 ～ 100 です。

Agile Development®

ServiceNow® Agile Development アプリケーションは、反復的、段階的でかつ柔軟なアプローチを使用してソフトウェア開発ライフサイクルを管理および追跡することで、ソフトウェアプロジェクトをより効率的に提供できるようにします。

開発、テスト、プロジェクト追跡用のスタンドアロンツールが複数あると、拡張と修正、変更プロセス、展開の間で食い違いが生じることがあります。しかし、Agile Development により、これらの開発ライフサイクルワークフローが 1 つのシステムにまとめられ、開始からテストや展開に至るまでまでのバックログを管理できるようになります。スクラムや従来のウォーターフォール手法に柔軟性をもたらすことで、Agile Development は製品開発ライフサイクル全体の可視性を高めることができます。

ServiceNow® Agile Development のバリアント

Project Management 下での Agile Development

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロジェクトベースの Agile Development については、「Agile Development 2.0 の Project Portfolio Management とのデータ連携」を参照してください。

Agile Development 1.0

重要:
Agile Development 1.0 プラグイン (com.snc.sdlc.scrum.pp) はアクティブ化に使用できなくなりました。Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) を有効化することで、ソフトウェア開発作業を管理するためのアジャイル機能が強化されます。

Agile Development 2.0

Agile Development 2.0 では、アジャイルベースの実行がサポートされます。スクラムアジャイルフレームワークを使用して、製品ベースまたはプロジェクトベースの作業のためのアジャイルソフトウェア開発環境を提供します。Agile Development 2.0 により、製品のライフサイクル全体で純粋なアジャイルアプローチを実装したり、従来のプロジェクト構造内でアジャイル手法を使用するハイブリッドアプローチを実装したりできる柔軟性がもたらされます。

詳細については、「Agile Development 2.0」を参照してください。

注:
Agile Development 2.0 から Agile Development 1.0 にアップグレードすると、ServiceNow インスタンスの Agile Development 1.0 が Agile Development 2.0 に置き換わります。初めて ServiceNow Agile Development を実装する場合は、Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) をアクティブ化します。

Agile Development バリアント間の主な違い

機能	Agile Development (Project Management)	Agile Development 2.0
バックログ	ストーリーはプロジェクトにのみ関連付けることができます。	フィルターの基準を定義することで、パーソナライズされたバックログを作成できます。
リリース	プロジェクトストーリーはリリースに関連付けることはできません。	リリースは、バックログから優先順位付けされたストーリーを実行するための明確なタイムラインです。 • プロジェクトベースの実行：リリースバックログを 1 つ以上のプロジェクトとして実行できるようになります。 • 非プロジェクトベースの実行：リリースバックログを、リリースタイムライン内のスプリントスケジュールを使用して 1 つ以上のアサイン先グループで実行できるようになります。
テーマとエピック	ストーリーをテーマやエピックに関連付けることはできません。	バックログストーリーは、テーマとエピックによって分類できます。
チームとアサイン先グループ	アサイン先グループが使用されます。	アサイン先グループは、Agile Team タイプのアサイン先グループを作成するために使用されます。リリースチームとアサイン先グループのそれぞれを使用すべき状況について混乱が解消されます。既存のリリースチームをアサイン先グループに変換できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	Agile Development (Project Management)	Agile Development 2.0
スプリント	スプリントは、アサイン先グループに基づきます。各グループには、独自のスプリントスケジュールを設定できます。	アサイン先グループのスプリントが生成されます。異なるグループが異なるスプリントスケジュールを使用することもできますし、すべてのグループが同じスケジュールに従うこともできます。 スプリントを管理するには、アジャイルボードの [スプリント計画立案] タブを使用します。
スプリント計画立案	スプリント計画ボードが使用されます。	アジャイルボードの [スプリント計画立案] タブが使用されます。
タスク進捗ボードとストーリー進捗ボード	VTB (ビジュアルタスクボード) が使用されます。	アジャイルボードの [スプリント追跡] タブが使用されます。

統合： デジタルポートフォリオ管理

デジタルポートフォリオ管理 (DPM) は、オーナーに統一されたワークスペースを提供し、ライフサイクル全体を通じてサービスおよびアプリケーションを表示し、まとめて管理できるようにします。とDPM統合DPMAgile Development 2.0することで、マネージャーは、選択したビジネスアプリケーションのコンテキストでエピック、ストーリー、スプリント、リリースなどのデータを表示できますAgile Development 2.0。

詳細については、「Digital Portfolio Management の詳細」を参照してください。

Agile Development 2.0

ServiceNow Agile Development 2.0 では、スクラムフレームワークを使用して、製品ベースまたはプロジェクトベースの作業のためのアジャイルソフトウェア開発環境を提供します。製品のライフサイクル全体での純粋なアジャイルアプローチや、従来のプロジェクト構造内でアジャイル手法を使用するハイブリッドアプローチを実装します。

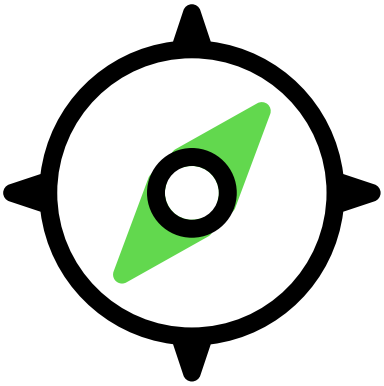
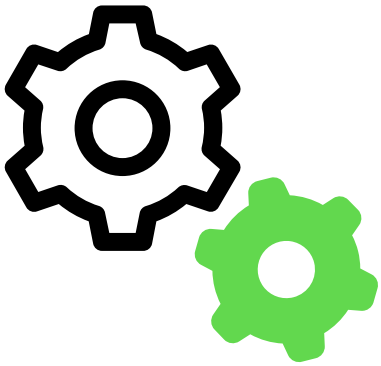
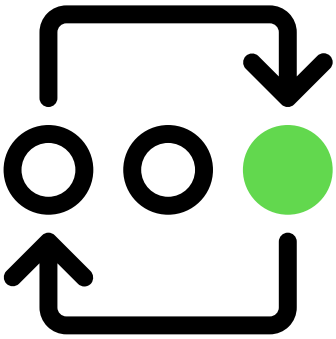
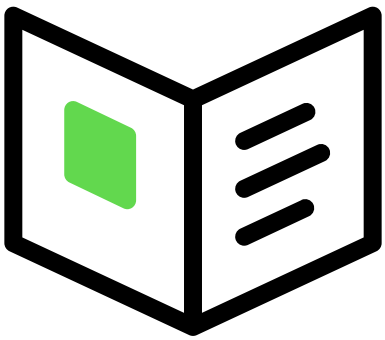
Agile Development 2.0の概要

の概要、Agile Development 2.0 のアジャイルボード。所要時間は約 2 分です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

探索	設定	統合
		
提供する主な機能とビジネス価値 Agile Development 2.0 について学びます	必要なプラグインを有効にし、次から Agile Development 1.0データを移行し、カスタム構成設定を確認します	Agile Development をサードパーティの実行システムと統合
使用方法	**参照**	
		
で製品開発を管理する方法を学ぶ Agile Development 2.0	コンポーネント、フォームフィールド、一般的なガイドラインに関する詳細を取得します	

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) フォーラム ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート
- 開発者トレーニング のコースで学習を強化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 開発者ドキュメント を参照
- 検索 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) お客様に最適なパッケージ

Agile Development® 2.0 の詳細

ServiceNow Agile Development 2.0 で使用されるスクラム方法論フレームワーク、一般的なアクティビティ、アーティファクトについて説明します。

Agile Development 2.0 は、製品ベースおよびプロジェクトベースの開発作業をサポートします。これらのアプローチに関する大まかな概要については、この動画 (4 分) をご覧ください。 Agile Development 2.0 の概要所要時間は約 3 分です。

Agile Development の基本、そのプロセス、Agile Development が使用されるシナリオについて理解を深めるには、以下のセクションの情報をご覧ください。また、Agile Development 2.0 アプリケーションの機能についても説明します。

Agile Development の基本

スクラムは、Agile Development の一般的な方法論の 1 つで、固定スプリントスケジュールや定期的な要件テストなどが挙げられます。これらのアクティビティは、プロダクトオーナー、スクラムマスター、グループメンバーなどの一般的なロールにより実施されます。Agile Development プロセスの基本について説明します。

スクラムフレームワーク

Agile Development で使用される用語とアーティファクトについて理解してください。

アサイン先グループまたはアジャイルチーム

アジャイル製品の開発に携わるユーザーグループAgile Development 2.0 では、このチームをアサイン先グループと称します。

アサイン先グループでは、ユーザーがスクラムマスターとして指定され、リリースに向けすべてのスクラムアクティビティが適切に実行されるようにする役割を担います。

Epic

新しい機能や重要な拡張など、ビジネスに価値をもたらす要件に関する大まかな定義です。エピックは Agile ストーリーに分類され、単独または複数のチームで作業が行われます。

ストーリー

エピックに関連する作業を簡潔かつ管理しやすく細分化したものです。ストーリーにより、要件に関する人物、対象、理由をシンプルかつ簡潔に取得できます。ストーリーで示されている説明や基準を活用することにより、チームは作業を実装するのに必要な労力を正確に見積もることができるようになります。

スクラムタスク

ストーリーを完了させるのに必要な個別のタスクです。タスクの完了には、4 ～ 12 時間かかる場合があります。

バックログ

特定の成果を達成するうえで実装が必要な作業のリストです。バックログには、新機能、既存機能の拡張、その他の製品開発アクティビティが含まれます。

バックログは、製品やチームの作業における唯一の起点と見なされます。バックログに含まれていないものは、開発において優先されません。

個人のバックログ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロダクトオーナーは、関連するフィルター基準を適用して、パーソナルバックログと呼ばれるカスタマイズされた作業パイプラインを定義します。Agile Development 2.0 では、プロダクトオーナーは、カスタマイズされたバックログを必要な数だけ定義することができます。カスタマイズされたバックログを作成する際に使用される基準は、柔軟性があり、いつでも変更が可能です。

スプリント

短く固定された期間で、チームメンバーが所定の数のストーリーを選択して遂行します。こうした短い時間枠で区切られたサイクルにより、チームは優先度の変化に柔軟に対応できるようになります。

スプリントの反復頻度は、開発チームやプロダクトオーナーによって決定されます。たとえば、10 日間のスプリントや 1 週間のスプリントといった具合です。

スプリントバックログ

スプリントの作業スコープです。プロダクトオーナーや開発チームは、スプリント計画アクティビティを使用してバックログをレビューし、スプリントに含めるストーリーを決定します。

テーマ

関連するビジネス価値のある重点領域です。テーマは、複数の会社目標に関連しています。テーマにより、大まかに作業の優先順位付けを行うことができ、複数のエピックに関連付けることができるようになります。

製品

類似した機能のテーマ、エピック、ストーリーを単一のコンテキストに体系化するエンティティです。製品は、開発されて市場にリリースされるアイテムまたは機能を表します。

リリース

リリースには開始日と終了日があり、その期間内でいくつかの開発反復が完了します。リリースはプロダクトオーナーによって作成され、複数の製品からのユーザーストーリーが含まれたり、複数のチームが関与したりすることもあります。リリースに関連付けられたストーリーにより、リリースバックログが形成されます。

> **注:**
> Agile Development 2.0 では、製品を作成してからテーマ、エピック、ストーリーを作成してください。これらのレコードを送信する場合、レコードを製品に添付する必要があります。

製品のストーリーやスクラムタスクを作成した後、カスタマイズされたバックログを作成することで、製品 (複数可) のストーリーを含めることができるようになります。

スクラムアクティビティ

スクラムプロセスを通常構成するアクティビティは、次のとおりです。

スプリント計画立案

アサイン先グループのメンバーがミーティングを開き、スプリントでの展開をコミットできるストーリーを決定します。通常、トップランクのストーリーが最初にコミットされます。グループは、各ストーリーに必要なスクラムタスクを決定します。質問に回答するには、製品オーナーが立ち会う必要があります。

デイリースタンドアップ

アサイン先グループのメンバーがミーティングを開き、前日の作業進捗、当日に予定されている作業、問題点について話し合います。デイリースタンドアップでは、グループ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メンバーが現在のスプリントでストーリーを遂行することに重きを置き、あらゆる問題点をスクラムマスターに報告します。

スプリント終了の時点ですべてのストーリーが完了していなければなりません。完了できなかったストーリーは、バックログに戻されたり、今後のスプリントに持ち越されます。

スプリントのレビュー

スプリントのレビューミーティングは、各スプリントの最後に行われます。このミーティングでは、アサイン先グループが完了した作業をレビューし、新たに開発された機能をプロダクトオーナーに実演します。

スプリントの振り返り

振り返りミーティングは各スプリントの最後に行われ、うまくいったことやうまくいかなかったことをグループメンバー間で話し合うことができます。スプリントの振り返りの目的は、今後のスプリントの実行を改善する方法について議論することです。

Agile Development 2.0 が製品開発の取り組みの管理にどのように役立つかについての詳細は、Agile Development プロセスフローを参照してください。

スクラムレポート

スクラムレポートにより、アジャイルチームのパフォーマンスや進捗状況を分析することができるようになります。このレポートでは、エピック、スプリント、リリースと関連付けて、チームの作業速度に関する履歴データを提供することができます。パフォーマンスアナリティクス Content Pack for Agile 2.0 では、データがビジュアル化された事前設定済みダッシュボードを使用して、Agile プラクティスを改善することができます。

詳細については、「パフォーマンスアナリティクス Agile 2.0 のコンテンツパック」を参照してください。

Agile Development プロセスフロー

製品の作成をはじめ、スプリントやリリースの追跡など、Agile Development 2.0 において製品開発作業を管理する際に使用されるプロセスについて説明します。

Agile Development 2.0 アプリケーションでの作業概要については、この 6 分間の動画をご覧ください。 この動画では、ストーリーの作成、バックログとスプリントの計画、進捗状況の追跡など、ServiceNow SPM Agile 2.0 アプリケーションでの開発について紹介しています。

注:
ここで説明するフローは、Agile Development 2.0 アプリケーションで利用可能な機能を活用してアジャイル開発作業を管理する一般的な方法になります。使用可能なプロセスはこれだけではありません。

製品の定義

製品は、ユーザーに提供される一連の機能と考えられます。各製品には、エピックやストーリーなど、製品の作業パイプラインを管理するオーナーがいます。これらの作業アイテムはテーマと関連付けて、ビジネス目標に結び付けることができます。

「Agile Development 2.0 での製品の作成」を参照してください。

エピックとストーリーの作成

エピックには、製品に関する大まかな要件が含まれるので、これを管理可能なストーリーに分類することができます。Agile Development 2.0 でエピックやストーリーを作成するときに、これらを製品に関連付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「Agile Development 2.0 でエピックを作成」および「Agile Development 2.0 でストーリーを作成する」を参照してください。

リリースの作成

組織の中には、時間枠を固定して製品を市場に投入しているところもあります。これをリリースと呼びます。リリースには開始日と終了日があり、その期間内で何度か開発が繰り返されます。たとえば、四半期ごとや半年ごとのスケジュールで、新しいアプリケーションや既存アプリケーションの拡張機能をリリースする場合があります。

Agile Development 2.0 でリリースを作成したら、それに製品、エピック、ストーリーを関連付けることができます。「Agile Development 2.0 でのリリースの作成」を参照してください。

カスタマイズされたバックログの作成

フィルター基準を定義することで、カスタマイズされたバックログを作成できます。たとえば、カスタマイズされたバックログには、ストーリー、欠陥、インシデントを組み合わせて作成されるものもあれば、ストーリーとインシデントを組み合わせて作成されるものもあります。このように、カスタマイズされたバックログは必要なだけ作成することができます。

「Agile Development 2.0 でのカスタマイズされたバックログの作成」を参照してください。

アサイン先グループを作成

アサイン先グループを作成し、そこにメンバーを追加します。グループメンバーごとに、メンバーがスプリントで完了できるストーリーポイント数を定義します。グループレベルでは、グループメンバー全員のストーリーポイントの合計によってグループのキャパシティが決まります。

「Agile Development 2.0 でのアサイン先グループの作成」を参照してください。

スプリントを作成する

スプリントは時間枠です。この時間枠において、開発チームが 1 つ以上のストーリーを展開します。スプリントの長さは任意ですが、完了するまでに通常 1～4 週間かかります。スクラムマスターは、グループに必要な数のスプリントを作成し、グループメンバーはこれらのスプリントを使用して、今後のリリースに必要な作業を遂行します。ただし、リリース内のスプリントはすべて、リリースの開始日から終了日の範囲内に収める必要があります。

スプリントアクティビティの計画

スプリントを開始する前に、グループとスクラムマスターは、スプリント内での完了をコミットできるバックログのストーリーを決定します。スプリントのストーリーは、優先度に基づいて選択できます。スクラムマスターは、ストーリーを完了するために必要な作業 (ストーリーポイントの合計) がグループのキャパシティと一致していることを確認する必要があります。

スプリントを計画する際、速度レポートをガイダンスとして使用すると、次のスプリントでグループが遂行できる作業量を見積もることができます。Agile 2.0 チームダッシュボードでは、速度履歴レポートとタイプ別の速度レポートが提供されます。

- 速度履歴：過去 10 回のスプリントより、チームの全体的な速度に関するインサイトが得られます。チームが安定的かつ予測可能な速度を達成し、コミットメントを満たしているかどうか分析します。
- タイプ別の速度：チームの速度推移を経時的に分析し、チームの戦略的な作業負荷を運用または他のタイプの作業負荷と比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプリントの計画方法の詳細については、「Agile Development 2.0 でのスプリントアクティビティの計画」を参照してください。

スプリントにおける進捗状況の追跡

スクラムマスターは、スプリントチームの作業を管理し、進捗状況レポートを提供して、チームが遭遇した障害をすべて解消します。チームメンバーは、ストーリーレコードを更新し、デイリースタンドアップミーティングを開いて進捗状況について話し合ったり、懸念事項をスクラムマスターやプロダクトオーナーに報告したりします。

チームは、スプリントにおいてコミットされているストーリーをすべて完了することが求められます。スクラムマスターからは、受け入れ条件に従って、ストーリーが全面的にテストされ、リリースの準備が整っていることが求められます。

コミットされたストーリーと特定のスプリントのスコープにおいては、スプリントの実行中に変更を行わないのが理想です。しかし、Agile Development 2.0 は、必要に応じて更新を行ったり、優先順位の変更に対応したりする柔軟性を発揮します。ただし、スプリントでのストーリーの追加や削除については、グループ、スクラムマスター、プロダクトオーナーへの相談が必要です。

バーンアップチャートやバーンダウンチャートなどのレポートを備えた Agile 2.0 スプリントダッシュボードを使用すると、チームにおけるスプリントの進捗状況を追跡することができます。

リリースの進捗状況の追跡

プロダクトオーナーはリリースの進捗状況を追跡して、チームがリリース目標の達成に必要なペースでストーリーを遂行できているかどうかを確認することができます。

バーンアップチャート、バーンダウンチャート、サイクルタイムチャートなどのレポートを備えた Agile 2.0 リリースダッシュボードを使用すると、チームにおけるリリースの進捗状況を追跡することができます。

注:
Agile 2.0 ダッシュボードはすべて パフォーマンスアナリティクス Agile 2.0 のコンテンツパック で利用できます。

Agile Development のユースケース

バックログを計画したりストーリーを展開したりするために、組織が利用できるさまざまな手法について説明します。

一般的な展開手法は次のとおりです。

- リリースベースの展開
- プロジェクトベースの展開
- スタンドアロンプロジェクト開発

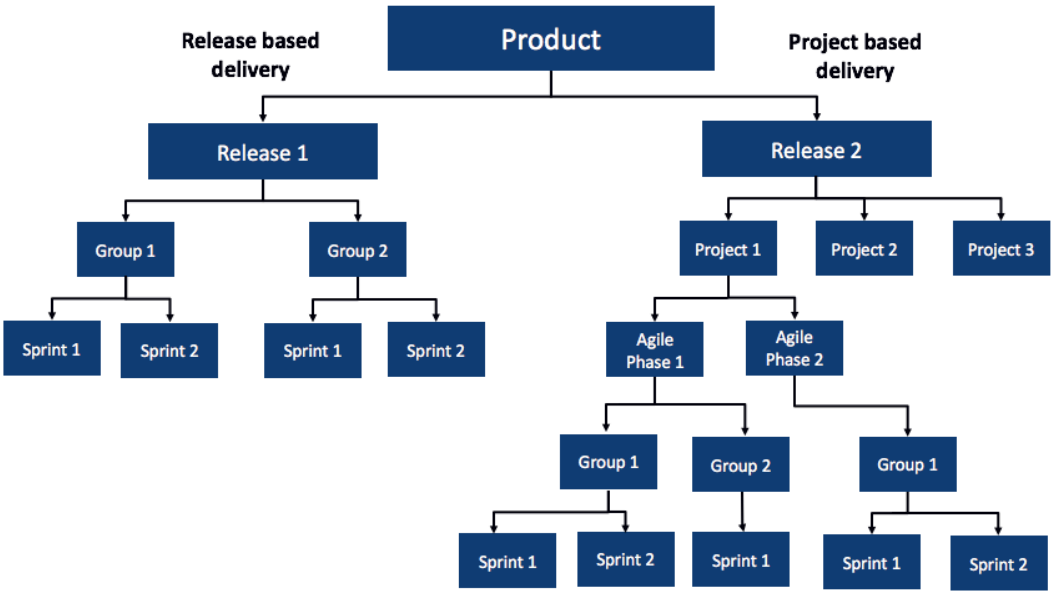
Agile Development 2.0 では、柔軟性がもたらされることによりバックログの管理が一元化され、リリースベースとプロジェクトベースの両方のタイプの展開に利用できるようになります。すべてのバックログを 1 か所で管理して、ストーリーを製品、プロジェクト、あるいはその両方に関連付けることができるようになります。バックログからストーリーを選択し、スタンドアロンプロジェクト開発のプロジェクトとして実行することもできます。

次の例では、プロジェクトベースとリリースベースの両方のタイプの展開において一元化されたバックログが Agile Development 2.0 でどのようにサポートされているかを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development ワークフローのユースケース



Agile Development におけるリリースベースの開発のユースケース

Agile Development を利用したリリースベースのアジャイル開発および展開モデルの例

リリースベースのアジャイル開発に関連する通常のアクティビティには、次のものがあります。

- 製品バックログの管理：プロダクトオーナーが製品バックログを管理します。また、ストーリーを追加し、優先順位付けし、推定することで、バックログを継続的に調整することができます。

  [Agile Development 2.0] で、次に移動します。 アジャイル開発 > バックログ > すべてのストーリー すべてのストーリーのリストが表示されます。特定の製品についてリストをフィルタリングすることができます。

- リリース計画：組織には、四半期ごとのリリース、隔年のリリース、毎年のリリースなど、明確なリリースサイクルがあります。製品オーナーは、製品バックログから優先順位付けされたストーリーを選択します。製品バックログは、 リリースバックログを形成するために特定のリリースで完了することが必要です。
- ストーリーのアサイン: で Agile Development 2.0、次の場所に移動します。 アジャイル開発 > ストーリー. リリースにアサインするストーリーを選択し、[リリース/グループにアサイン] を選択します。こうしたストーリーを関連付けるチームを指定します。
- スプリント計画立案：スクラムチームは、2 週間または 3 週間のスプリントなど、スプリントのスケジュールを定義します。プロダクトオーナーと協力し、各スプリントで完了する必要があるストーリーをリリースバックログから選択して、スプリントバックログを作成します。プロダクトオーナーやスクラムマスターとともにグループメンバーが、スプリント計画立案を使用して各スプリントのストーリーを決定します。

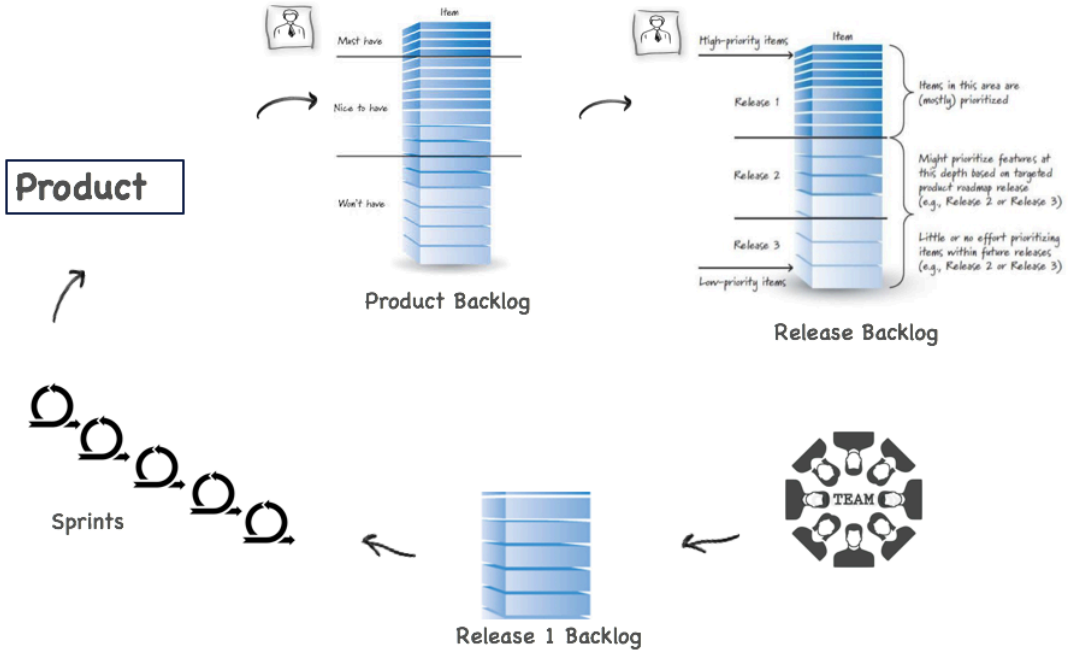
  [Agile Development 2.0] で、次に移動します。 アジャイル開発 > アジャイルボード > スプリント計画立案.

次の図は、リリースベースの Agile Development 環境におけるワークフローの大まかな概要を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リリースベースのアジャイル開発ワークフローの例



Agile Development におけるプロジェクトベースの開発のユースケース

Agile Development におけるプロジェクトベースの開発および展開モデルの例

プロジェクトベースの Agile Development に関連する通常のアクティビティには、次のものがあります。

- 製品バックログ：プロダクトオーナーが製品バックログを管理します。ストーリーを追加し、優先順位を付けて推定することで、バックログを継続的に調整します。

  [Agile Development 2.0] で、次に移動します。 アジャイル開発 > バックログ > すべてのストーリー すべてのストーリーのリストが表示されます。

- プロジェクトバックログ：プロダクトオーナーが、優先するストーリーを選択し、1 つ以上のプロジェクトにアサインします。これにより、プロジェクトバックログが作成されます。プロダクトオーナーは、1 つ以上のプロジェクトを作成し、必要なリソース、コスト、リスク、戦略的調整などの詳細情報を取り込むことができます。これらのすべてのプロジェクトで、ポートフォリオの優先順位付けのプロセスが実施され、選択したプロジェクトがプロジェクトチームによって実行されます。

  注:
  また一部の組織では、四半期ごとのリリース、隔年のリリース、年ごとのリリースなど、明確なリリースサイクルを定義します。次に、ストーリーを製品バックログからリリースバックログに移動します。このような場合、ストーリーはリリースバックログからプロジェクトにアサインされます。

  [Agile Development 2.0] で、次に移動します。 アジャイル開発 > ストーリー をクリックし、[プロジェクトにアサイン] を選択して、新規または既存のプロジェクトにストーリーをアサインします。

  既存のプロジェクトを開き、バックログからストーリーをプロジェクトに関連付けることもできます。これらのストーリーは、プロジェクトの一部として実行されます。

- ストーリーのアサイン：プロジェクトのストーリーをアサイン先グループにアサインして、チームが今後のスプリントで取得できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

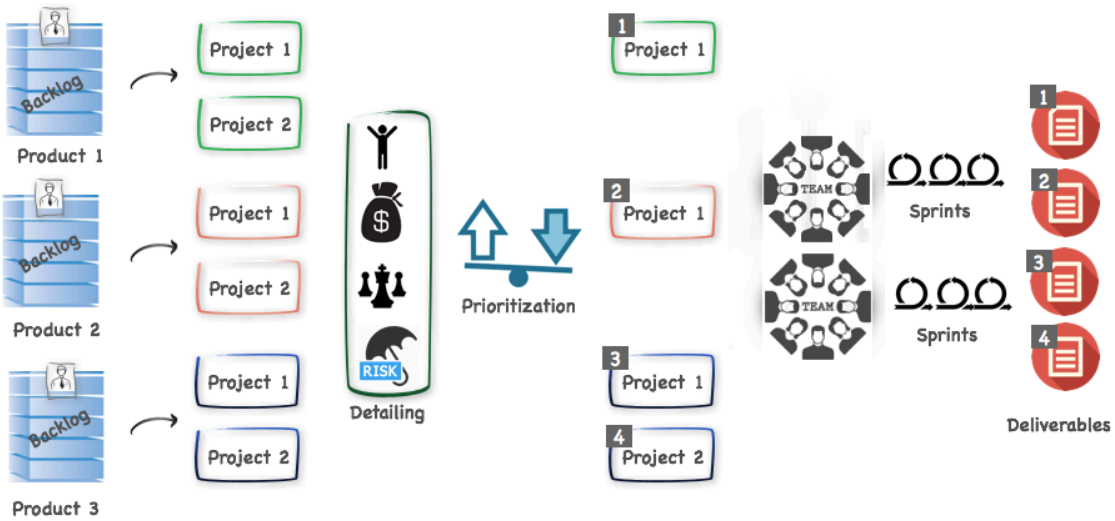
Agile Development 2.0 で、リリースにアサインするストーリーを選択し、[リリース/グループにアサイン] を選択します。

- スプリント計画立案：スクラムチームは、2 週間または 3 週間のスプリントなど、スプリントのスケジュールを定義します。プロダクトオーナーと協力し、各スプリントで完了する必要があるストーリーをリリースバックログから選択して、スプリントバックログを作成します。プロダクトオーナーやスクラムマスターとともにグループメンバーが、スプリント計画立案を使用して各スプリントのストーリーを決定します。

  [Agile Development 2.0] で、次に移動します。 アジャイル開発 > アジャイルボード > スプリント計画立案.

次の図は、プロジェクトベースの Agile Development 環境におけるワークフローの大まかな概要を示しています。

プロジェクトベースの **Agile Development** ワークフローの例



Agile Development におけるスタンドアロンプロジェクト開発のユースケース

Agile Development におけるスタンドアロンプロジェクト開発および展開モデルの例

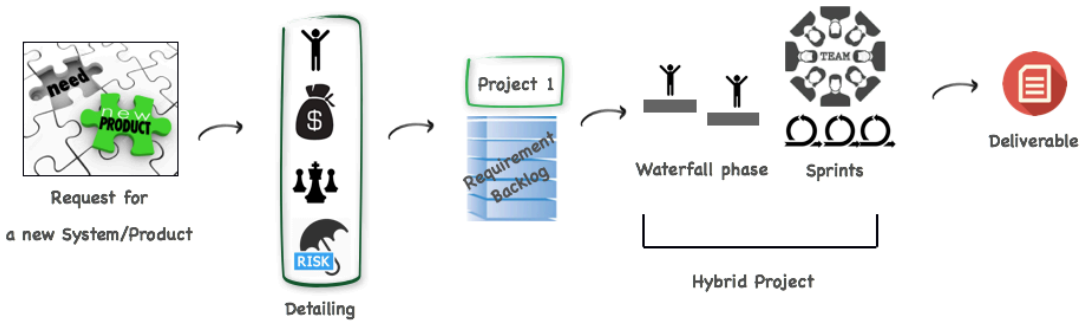
このケースでは、新しい製品、機能、またはシステムに対する要求 (デマンド) が発生します。デマンドマネージャーは、ストーリーの観点から要件を把握します。また、必要なリソース、コスト、リスク、戦略的方向性など、デマンドに関するその他の詳細も取り込みます。そうしたデマンドは、承認後にプロジェクトに変換されます。プロジェクトマネージャーは、プロジェクト実行について純粋なアジャイルモードまたはハイブリッドモードを選択できます。ハイブリッドモードでは、計画立案や分析などの初期フェーズがウォーターフォールタスクとして取り上げられ、アジャイルフェーズとして実行されます。アジャイルフェーズはアジャイルグループにアサインされます。その後、アジャイルグループはスプリントの実行によって作業を完了します。

次の図は、スタンドアロンプロジェクト開発を実行するためのワークフローの概要を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトベースのアジャイル開発ワークフローの例



スタンドアロンのハイブリッドプロジェクト開発のための **Agile Development 2.0** の使用

スタンドアロンハイブリッドプロジェクトを実行するステップ：

1. デマンドの作成：ユーザーストーリーの観点からデマンドステータスの要件キャプチャを行います。デマンドフォームのストーリー関連リストを使用して、ストーリーを作成します。
2. デマンドからプロジェクトへの変換：デマンドがプロジェクトに変換されると、デマンドのストーリーがプロジェクトに移動し、プロジェクトチーム (アサイン先グループ) がストーリーを実行できるようになります。変換中に、アジャイルフェーズも作成され、ストーリーがアジャイルフェーズにアサインされます。
3. スプリント計画立案：アジャイルグループメンバーに加えて、プロジェクトマネージャー、スクラムマスターがスプリント計画を実行します。移動先 アジャイル開発 > アジャイルボード > スプリント計画立案 スプリントを計画します。

Agile Development 2.0 のアジャイルボード

アジャイルボードは、バックログの管理、スプリントの計画、スプリントの進捗状況の追跡など、スクラムプロセスの主要なアクションを実行できるランディングページです。

アジャイルボードは、これらのアクティビティの管理に役立つ次のタブで構成されています。1 つ以上の scrum_admin, scrum_master、scrum_product_owner、または scrum_sprint_planner ユーザーロールが必要になります。

バックログ

[バックログ] タブは、カスタマイズされたバックログを管理するのに役立ちます。[バックログ] タブでは、次のことができます。

- ストーリー、エピック、テーマを作成。
- チームにアサインされているものの、どのスプリントにもアサインされていないアクティブなストーリーをすべて表示。
- バックログ内のストーリーの総数、ストーリーポイントがないストーリーの総数、および受け入れ条件がないストーリーの総数を示すカードを表示。

  これらのカードのいずれかをクリックすると、そのカテゴリのストーリーのリストが表示されます。

- バックログ内のストーリーを複数のページに並べ替えます。
- [エピック別のレコード] セクションを使用して、エピックでストーリーをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

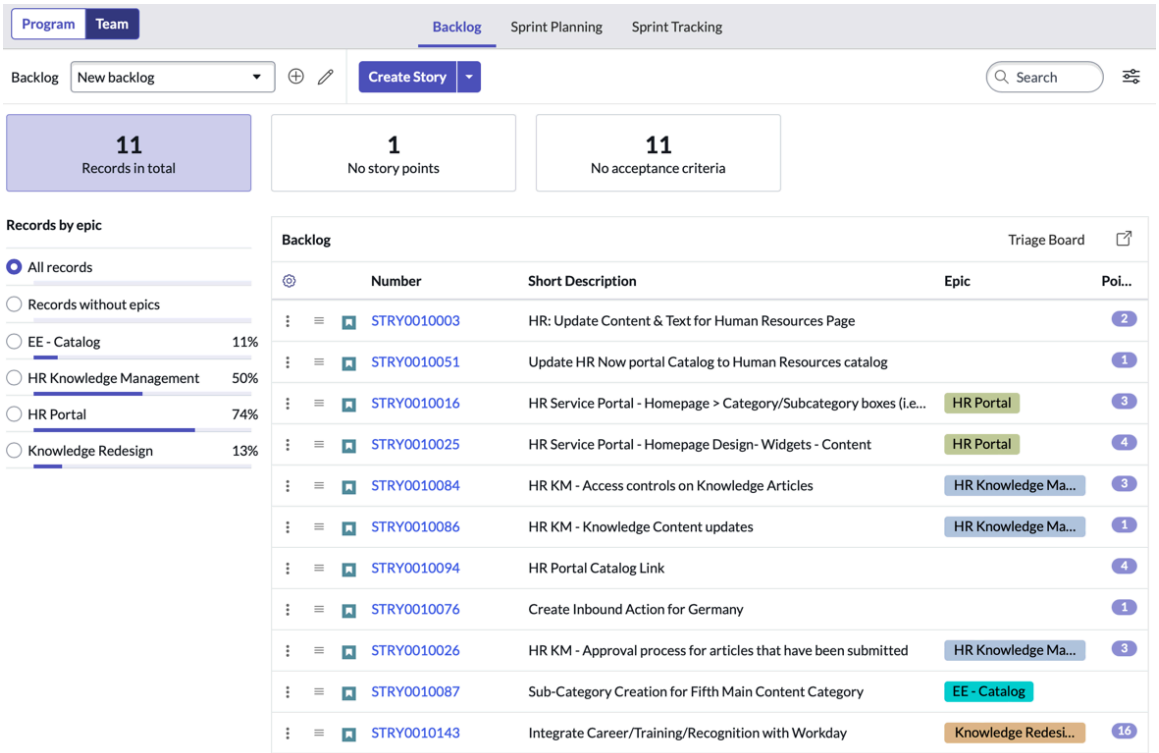
このセクションには、選択したバックログのストーリーに属するエピックのみが一覧表示されます。

- バックログのストーリーのエピックがこのセクションに一覧表示されます。
- エピックの完了は、進捗状況バーとパーセンテージで示されます。
- このセクションを表示するか、または非表示にするには、構成アイコン ( ) を選択します。

- カスタマイズアイコン (アイコン) を使用して列をカスタマイズします。
- 検索オプションを使用して、キーワードによりストーリーをフィルタリングします。

バックログを管理する方法の詳細については、「Agile Development 2.0 での製品バックログの管理」を参照してください。

アジャイルボードの [バックログ] タブ



スプリント計画立案

アジャイルボードの [スプリント計画立案] タブでは、チームのバックログやスプリントがセクションとして表示され、ストーリーのリストも確認することができます。このタブで利用可能なオプションを使用して、スプリントを作成、編集、計画することができます。

[スプリント計画立案] タブでは、次のことができます。

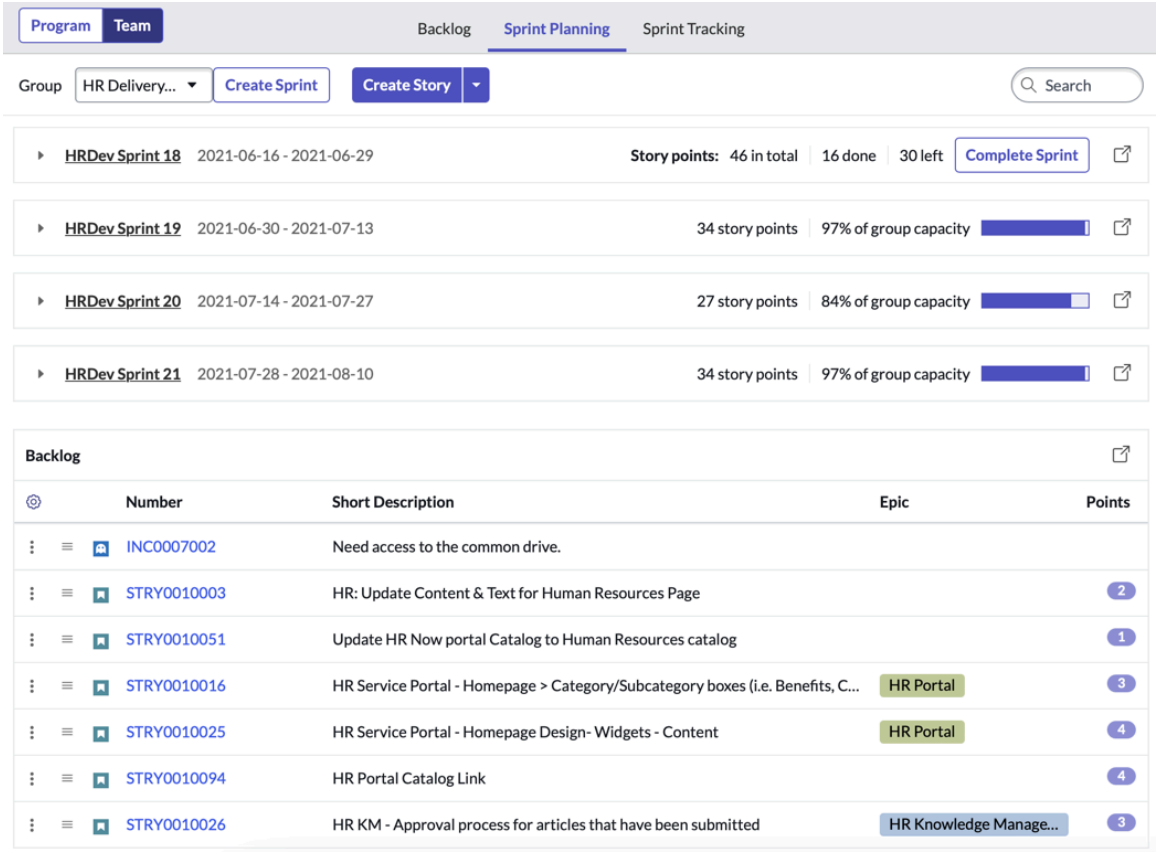
- スプリントを作成、整理、監視、開始、および完了します。
- 現在および将来のスプリントを時系列で表示します。
- 現在のスプリントの開始予定日と終了予定日、ストーリーポイント、グループ速度のパーセンテージ、およびストーリーポイント数 (合計、完了、処理待ち) を表示します。
- バックログのストーリーを評価し、スプリントにドラッグします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- バックログにストーリーを追加し、実装順序を設定します。
- 未完了のストーリーを完了済みスプリントからバックログまたは将来のスプリントに移動します。

アジャイルボードの [スプリント計画立案] タブ



スプリント追跡

[スプリント追跡] タブでは、ストーリーボード、タスクボード、リストビューで現在のスプリントの進行状況を追跡できます。

ストーリーボード

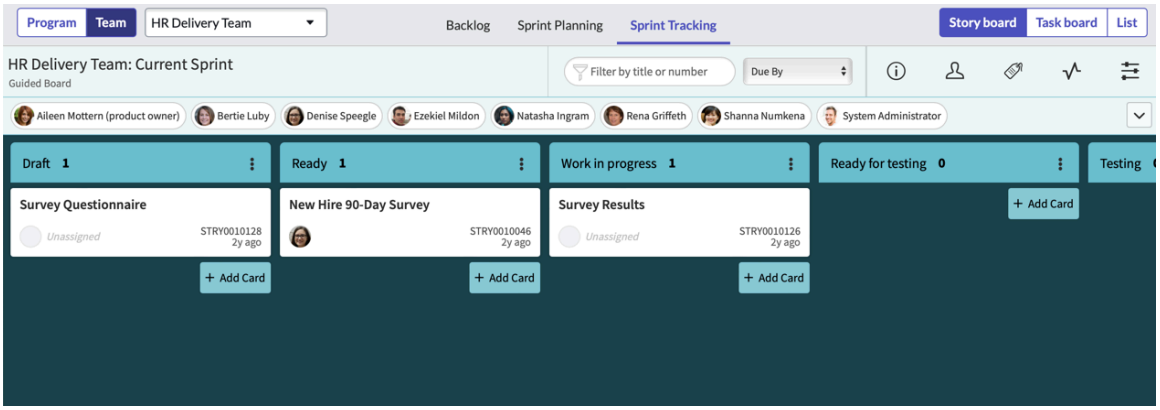
- レーン全体で現在のスプリントのすべてのストーリーを追跡します。
- ストーリーをあるレーンから別のレーンに移動すると、ストーリーのステータスが更新されます。
- 検索条件でストーリーをフィルタリングします。

詳細については、「Agile Development 2.0 でのスプリントに対するストーリーの進捗状況の追跡」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストーリーボードビューでのスプリントの追跡



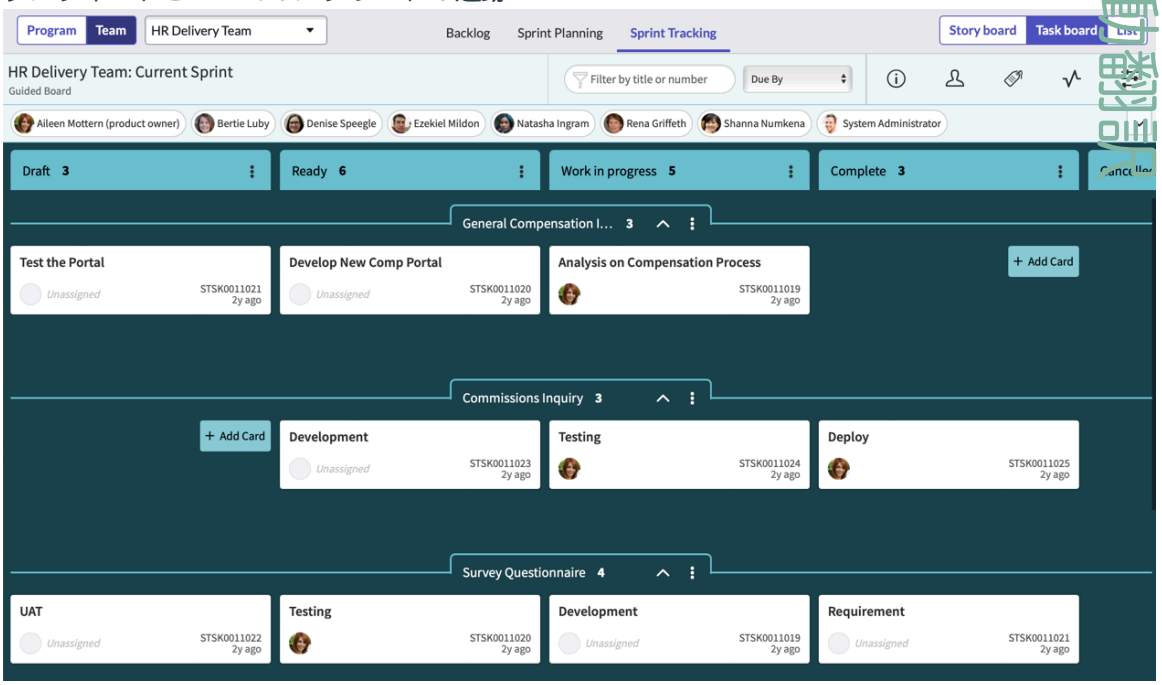
タスクボード

タスクボードを使用すると、レーン全体で現在のスプリントのストーリーに対するすべてのスクラムタスクを追跡できます。以下のことを行うことができます。

- スクラムタスクをあるレーンから別のレーンに移動すると、ストーリーのステータスが更新されます。
- 検索条件でスクラムタスクをフィルタリングします。

ボードビューを使用してスクラムタスクを追跡する方法について詳細は、Agile Development 2.0 でのスプリントに対するスクラムタスクの進捗状況の追跡を参照してください。

タスクボードビューでのスプリントの追跡



リスト

リストビューには、現在のスプリントのストーリーに対するスクラムタスクとテストが表示されます。リストビューでは、次のことができます。

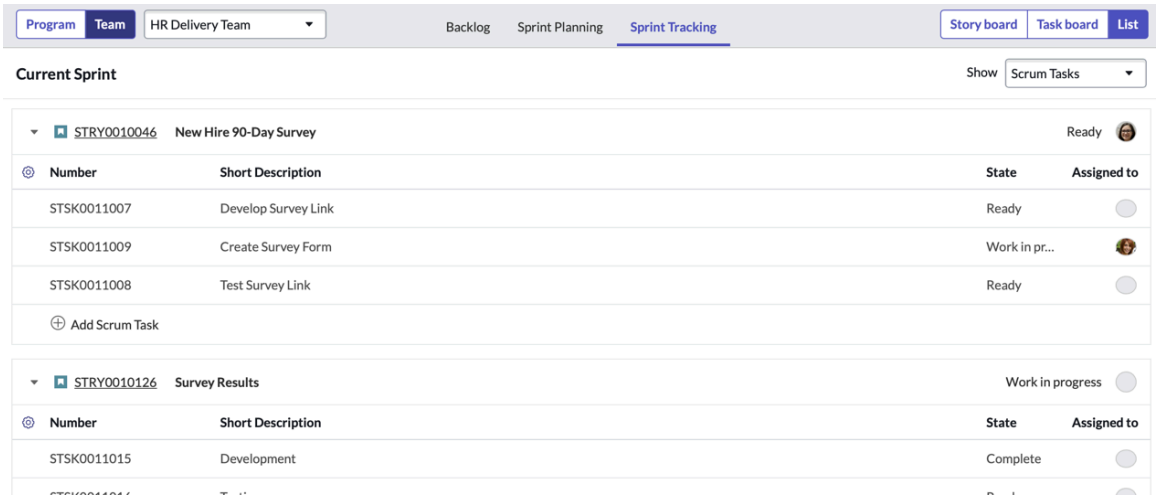
- レコードのコンテキストを離れずにスクラムタスクとテストを追加します。
- スクラムタスクのステータス、簡単な説明、および担当者を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テストの簡単な説明と結果を表示します。
- 現在のスプリントがクローズする前にまだ処理待ちのスクラムタスクとテストを評価します。

リストビューを使用してスプリントの進捗状況を追跡する方法の詳細については、「Agile Development 2.0 でのスプリントの進捗状況の追跡」を参照してください。

リストビューでのスプリントの追跡



関連情報

Visual Task Boards

Agile Development 2.0 での欠陥のレポート

Agile Development 2.0 を使用して、製品について報告された問題に関する欠陥を作成します。その後、こうした欠陥のストーリーを作成すると、チームが欠陥の解決に取り組むことができるようになります。

欠陥は、新しい機能の開発中に発見された問題の解決策を追跡する際に使用したり、既存機能のフィードバックとして使用したりできます。プロダクトオーナーは、こうした欠陥をレビューし、関連するアサイン先グループにアサインされるストーリーの作成を決定します。

欠陥を作成するためのユーザーロール

Agile Development 2.0 において、欠陥を作成することになるユーザーには、次のいずれかのロールが必要です。

- feature_user
- scrum_story_creator
- scrum_admin

ただし、feature_user ロールしかないユーザーは、Agile Development アプリケーションの [欠陥] モジュールからしか欠陥を表示できません。欠陥レコードのストーリー関連リストにある欠陥に関連付けられたストーリーは表示できません。

関連情報

Agile Development 2.0 での欠陥のレポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 の拡張要求

Agile Development 2.0 において、製品のさまざまな領域に対する拡張要求を作成します。その後、こうした要求のストーリーを作成すると、チームが開発に取り組むことができるようになります。

拡張要求を使用して、製品の機能拡張を記録することができます。こうした要求は、内部要件や顧客からのフィードバックにより生じる可能性があります。プロダクトオーナーは、ログに記録された要求をレビューし、優先度に基づいて要求に対するストーリーを作成します。こうしたストーリーは、開発向けに関連のアサイン先グループにアサインされます。

拡張要求を作成するためのユーザーロール

拡張要求を作成したり編集したりするには、次のいずれかのロールが必要です。

- feature_user
- scrum_story_creator
- scrum_admin
- rm_enhancement_admin

ただし、スクラムロールしかないユーザーは、Agile Development アプリケーションの拡張要求モジュールからの要求にしかアクセスできず、この要求に対して作成されたストーリーにはアクセスできません。

注:
管理者は、Agile Development アプリケーションで拡張要求を作成することになるすべてのユーザーに feature_user ロールを付与する必要があります。

拡張要求が作成されると、scrum_story_creator または scrum_admin ロールを有するユーザーは次のことができます。

- 拡張要求のレビューや拡張要求に対するストーリーを作成
- 拡張フォームの [ストーリー] 関連リストからストーリーを管理。

Agile Development — Unified Backlog

ServiceNow® Agile Development — Unified Backlog アプリケーションにより、欠陥、問題、拡張機能など、さまざまなタスクタイプのレコードに対するバックログを一元的に管理できるようになります。さまざまなタスクタイプの優先順位付けが 1 か所で行われ、こうしたレコードに対するストーリーが自動的に作成されるので、時間の節約になります。

ここで説明するフローは、Agile Development 2.0 とともに Agile Development — Unified Backlog を使用してレコードを作成したり管理したりするための一般的な方法を示しています。

トリアージボードを設定

フィルター基準を定義して、トリアージボードを作成します。トリアージボードにより、特定のタスクタイプのレコードを表示できるようになり、可視性が向上します。たとえば、欠陥に対して 1 つのトリアージボードを作成し、インシデントに対して別のトリアージボードを作成することができます。定義されたフィルター基準に一致する新しいレコードがある場合、トリアージボードは自動的に更新されます。

「Agile Development 2.0 でのトリアージボードの設定」を参照してください。

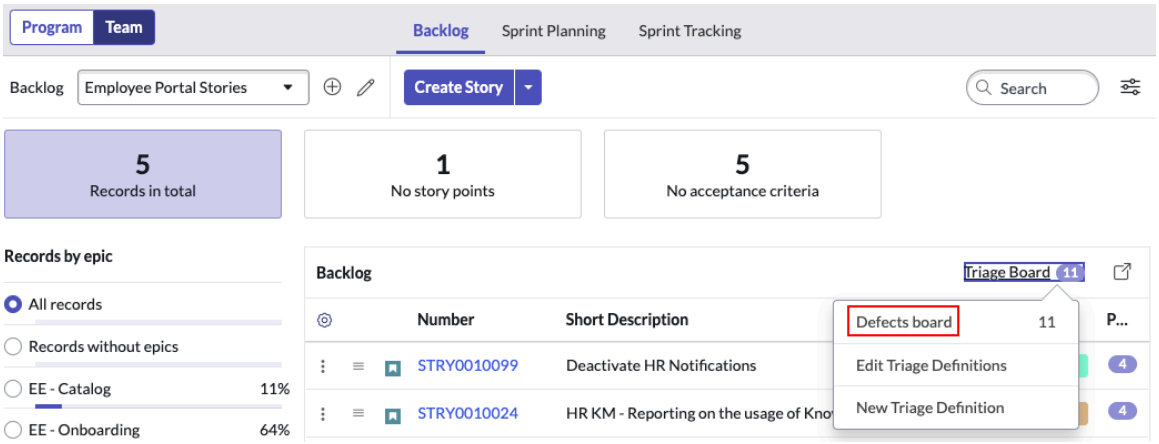
トリアージレコード

アジャイルボードの [バックログ] タブから、次のことができます。

自動翻訳

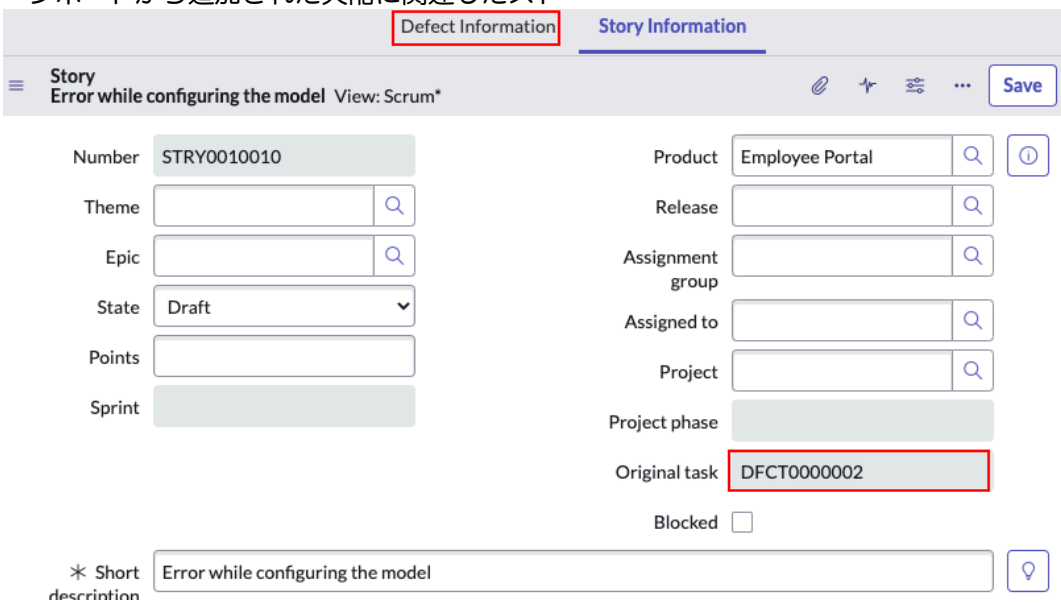
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- すべてのタスクタイプのトリアージボードにレコード総数を表示
- 特定のタスクタイプのトリアージボードを開く
- 既存のトリアージボードのフィルター定義を編集



レコードをトリアージして、製品やチームのバックログに追加することができます。また、トリアージボードからバックログに追加されたアイテムには、自動的にストーリーが作成されます。「アイテムのトリアージおよび Agile Development 2.0 のバックログへの追加」を参照してください。

トリアージボードから追加された欠陥に関連したストーリー。



レコードの割り当て

レコードがトリアージボードからバックログに追加されると、通常のストーリーと同じように処理することができます。そのレコードを関連する製品チームにアサインして、今後のスプリントにスケジュール設定することができます。「Agile Development 2.0 でのスプリントアクティビティの計画」を参照してください。

ボードビューでのアサイン済みレコードの操作

トリアージボードからのレコードは、アジャイルボードのストーリーで表されます。こうしたストーリーのステータスは、[スプリント追跡] タブのストーリーボードビューから追跡できます。「Agile Development 2.0 でのスプリントに対するストーリーの進捗状況の追跡」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのストーリーをストーリーボードの別のレーンに移動してステータスを更新すると、関連するストーリーのステータスは更新されますが、トリアージされた元のレコードのステータスは変わりません。元のレコードのステータスを変更するには、ストーリーを開いて元のレコードタブに切り替えます。

Agile Development 2.0 の設定

Agile Development 2.0 をアクティブ化し、Agile Development 1.0 から移行し、他の関連タスクを実行して Agile Development 2.0 をセットアップします。

ガイド付き設定を使用して Agile Development 2.0 を実装するブラウザー サポート

Agile Development 2.0 ガイド付き設定で一連のタスクが提供されるので、ServiceNow インスタンスでアプリケーションを構成することができます。

ガイド付き設定を開く Agile Development 2.0 には、次に移動します すべて > アジャイル開発 > **Agile** 開発のガイド付き設定.

ガイド付き設定インターフェイスの使用に関する詳細については、「ガイド付き設定の使用」を参照してください。

Agile Development 2.0 のアクティブ化

admin ロールを持っている場合は、Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) を有効化します。

始める前に
必要なロール：管理者

このタスクについて

- 以前の ServiceNow リリースバージョンを Agile Development から Agile Development 2.0 にアップグレードする場合は、プラグインを有効化する前にアップグレード情報をお読みください。
- 必要な場合、Agile Development 2.0 のダッシュボードは、Performance Analytics - コンテンツパック - Project Portfolio Suite Dashboards プラグイン (com.snc.pps_dashboards) を使用して個別に有効化する必要があります。このダッシュボードを使用するには、Performance Analytics ライセンスが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 への移行

Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 に移行することで、アジャイル機能が強化されます。

非本番インスタンスで次の移行手順を実行し、移行が意図したとおりに完了するかどうかを確認してから、本番インスタンスで移行手順を実行します。

- Agile Development 2.0 にアップグレードする前のカスタマイズの管理。
- カスタマイズを削除します。
- Agile Development 2.0 のアクティブ化。
- チームを Agile Development 2.0 グループに変換するための前提条件への適応
- Agile Development 2.0 グループへの Agile Development 1.0 チームの変換
- Agile Development 1.0 チームから Agile Development 2.0 グループへの変換の検証

関連情報

移行ガイド - Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0

Agile Development 2.0 にアップグレードする前のカスタマイズの管理

Agile Development 2.0 にアップグレードする前にカスタマイズを管理することで、拡張されたアジャイル機能を十分に活用できます。

通常のアップグレードの時点で、フォームレイアウト、フィールドの追加、事前設定されたフィールドの削除、リストレイアウト、ビジネスルール、クライアントスクリプトなどのコアプラットフォームアーティファクトが環境内でカスタマイズされている場合、これらのアーティファクトのいずれかに Agile Development 2.0 の機能拡張の一部として加えられた変更は、お使いの環境には適用されません。Agile Development 2.0 にアップグレードする前にすべてのカスタマイズを削除し、アップグレード後に必要に応じて選択的にカスタマイズを再適用する必要があります。

考えられる 3 つのシナリオは次のとおりです。

カスタマイズが適用されていない

Agile Development 実装にカスタマイズを適用しておらず、 Agile Development 2.0 機能を使用したいと考えている。このような場合は、 Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) をインストールします。

小さなカスタマイズ

小さなカスタマイズが適用されているが、 Agile Development 2.0 機能を使用したいと考えている。このような場合は、すべてのカスタマイズを削除します。

カスタマイズにはレビューが必要

Agile Development の実装には、ビジネスプロセスにマッピングされるカスタマイズがいくつか含まれます。Agile Development 2.0 機能を使用したい場合でも、カスタマイズを確認し、すべてのカスタマイズを削除するか、または一部のカスタマイズを保持するかを決定できます。このような場合：

- Agile Development 2.0 拡張の一部として強化された、リストレイアウト、フォームレイアウト、ビジネスルールなどのカスタマイズされたプラットフォームアーティファクトを自動的に検出するユーティリティが提供されています。このユーティリティの詳細と Agile Development 2.0 で拡張されたすべてのプラットフォームアーティファクトのリストについては、Agile Development 2.0 におけるユーティリティのカスタマイズのレビュー を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 分析後、カスタマイズを保持しない場合は、カスタマイズを削除します。一部を保持したい場合は、カスタマイズを削除し、アップグレード後に再度適用します。
- ビジネスルールや UI ポリシーなどの独自のアーティファクトを作成した場合は、アップグレード後にアーティファクトが意図したとおりに機能するかどうかを確認します。

Agile Development 2.0 にアップグレードする前のカスタマイズの削除

Agile Development 2.0 にアップグレードする前にすべてのカスタマイズを削除することで、拡張されたアジャイル機能を十分に活用できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。
   システム プロパティ [sys_properties] テーブル内のプロパティの全リストが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームの以下のフィールドに入力します。

フィールド	値
名前	com.snc.sdlc.scrum.pp.delete_customer_updates
説明	顧客アップデートの [sys_update_xml] テーブルから Agile Development アプリケーションのカスタマイズを削除します。
タイプ	true | false
値	true

4. [送信] をクリックします。

   すべてのカスタマイズが削除され、プロパティも自動的に削除されます。

次のタスク
カスタマイズを削除する前に Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) がインストールされている場合は、プラグインを再インストールして更新します。

関連情報

システムプロパティを追加する

Agile Development 2.0 グループへの Agile Development 1.0 チームの変換

Agile Development 1.0 のチームを Agile Development 2.0 のグループに変換すれば、ほとんどの移行手順は完了します。

始める前に
チームを Agile Development 2.0 グループに変換するための前提条件への適応 に記載されている手順を実行します。

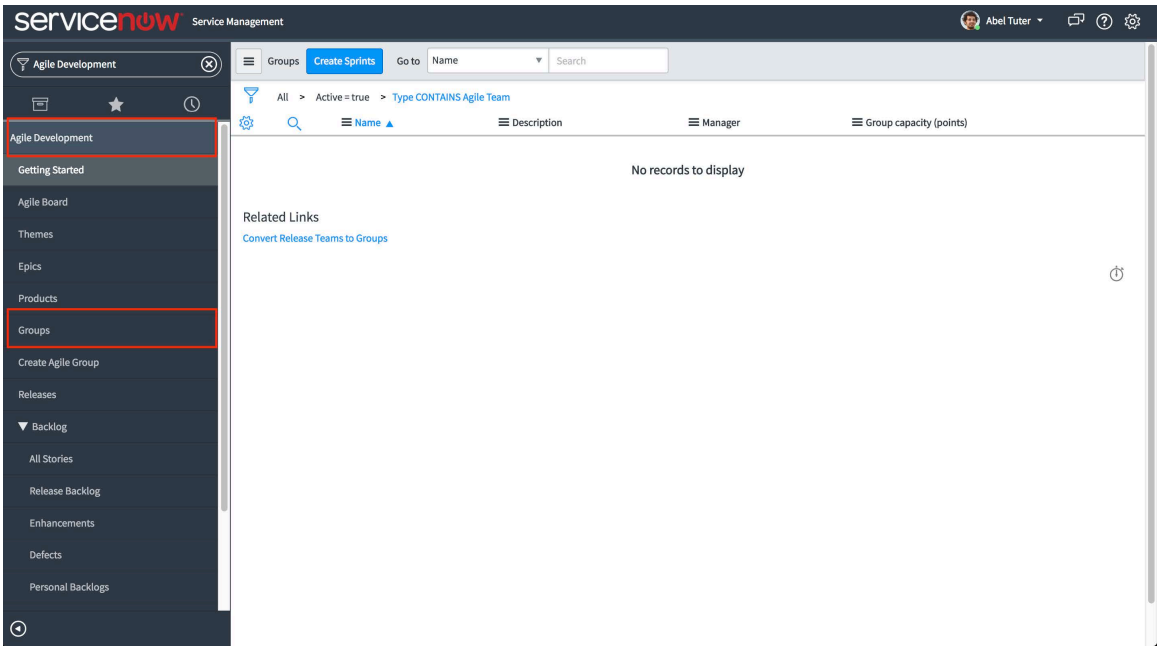
必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.



Agile Team タイプのアサイン先グループがないため、空のリストが表示されます。Agile Team タイプのグループがある場合は、グループのリストが表示されます。

2. [リリースチームをグループに変換] 関連リンクをクリックします。
Agile Development プラグインで定義したすべてのリリースチーム (scrum_pp_team) テーブルのリストが表示されます。リリースごとにチームを定義している場合は、リリースごとに 1 つずつ、チーム (同じ名前のチーム) の複数のレコードが表示されます。次のスクリーンショットでは、各リリースに 1 つずつ、チーム施設ソフトウェアチームの 4 つのレコードが表示されています。



3. チームをグループに変換するための必須条件をすべて満たします。

移行は最初に非本番インスタンスで実行されるため、1 つのチームをグループに変換し、そのチームに対して移行が正常に行われたかどうかを確認してから、残りのチームに対しても同じ手順を実行します。

前の例では、施設ソフトウェアチームの 4 つのレコードすべてを一度に選択できます。施設ソフトウェアチームをサンプルチームとして考えます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. サンプルチームのすべてのレコードを選択し、[グループへ変換] をクリックします。
   すべてのチームがアサイン先グループに変換されます。同じ名前のアサイン先グループが存在する場合、新しいグループは作成されませんが、スプリントおよびストーリーテーブルへのグループ参照の更新など、グループに対して他の移行アクティビティが実行されます。次の手順を手動で実行します。
   - グループタイプを Agile Team に更新します。
   - リリースチームメンバーとグループメンバーが異なる場合は、グループとチーム間でメンバーを同期します。

チームを **Agile Development 2.0** グループに変換するための前提条件への適応

チームから Agile Development 2.0 グループへの変換が正常に行われるように、前提条件の手順を実行しておきます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
選択中のチームには、現在のスプリントが少なくとも 1 つ必要です。現在のスプリントには、いくつかの完了したストーリーと WIP ストーリーが必要です。これは、変換後にスプリントバーンダウンが正しく更新されたことを確認するためです。そのようなチームがない場合は、変換するチームを任意に選択できます。

手順

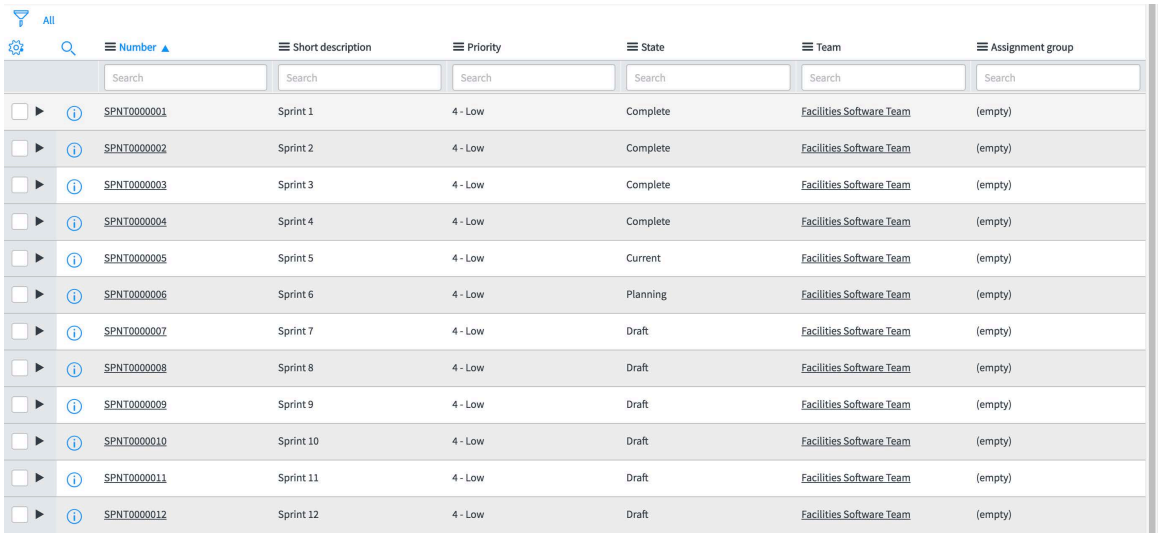
1. すべてのリリースでチームに割り当てられたスプリントを確認します。

   注:
   この手順を使用して、すべてのスプリントでアサイン先グループが正常に更新されたかどうかを確認します。

   a. ナビゲーターの検索パネルで「rm_sprint.list」と入力すると、すべてのスプリントのリストが表示されます。
   b. まだ表示されていない場合は、[チーム] フィールドと [アサイン先グループ] フィールドを表示します。
   c. チーム名フィルターを適用します。[アサイン先グループ] には何も表示されません。
   d. 画面をキャプチャするか、すべてのスプリントのリストをエクスポートします。このサンプルの例では、スプリント 5 は変換中のチームの現在のスプリントです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



All

Number ▲	Short description	Priority	State	Team	Assignment group
Search	Search	Search	Search	Search	Search
SPNT0000001	Sprint 1	4 - Low	Complete	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000002	Sprint 2	4 - Low	Complete	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000003	Sprint 3	4 - Low	Complete	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000004	Sprint 4	4 - Low	Complete	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000005	Sprint 5	4 - Low	Current	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000006	Sprint 6	4 - Low	Planning	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000007	Sprint 7	4 - Low	Draft	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000008	Sprint 8	4 - Low	Draft	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000009	Sprint 9	4 - Low	Draft	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000010	Sprint 10	4 - Low	Draft	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000011	Sprint 11	4 - Low	Draft	Facilities Software Team	(empty)
SPNT0000012	Sprint 12	4 - Low	Draft	Facilities Software Team	(empty)

2. 変換中のチームのスプリントに関連付けられているストーリーを見つけます。

> **注:**
> この手順を使用して、すべてのストーリーでアサイン先グループが正常に更新されたことを確認します。

a. ナビゲーターの検索パネルで「rm_story.list」と入力すると、すべてのストーリーのリストが表示されます。

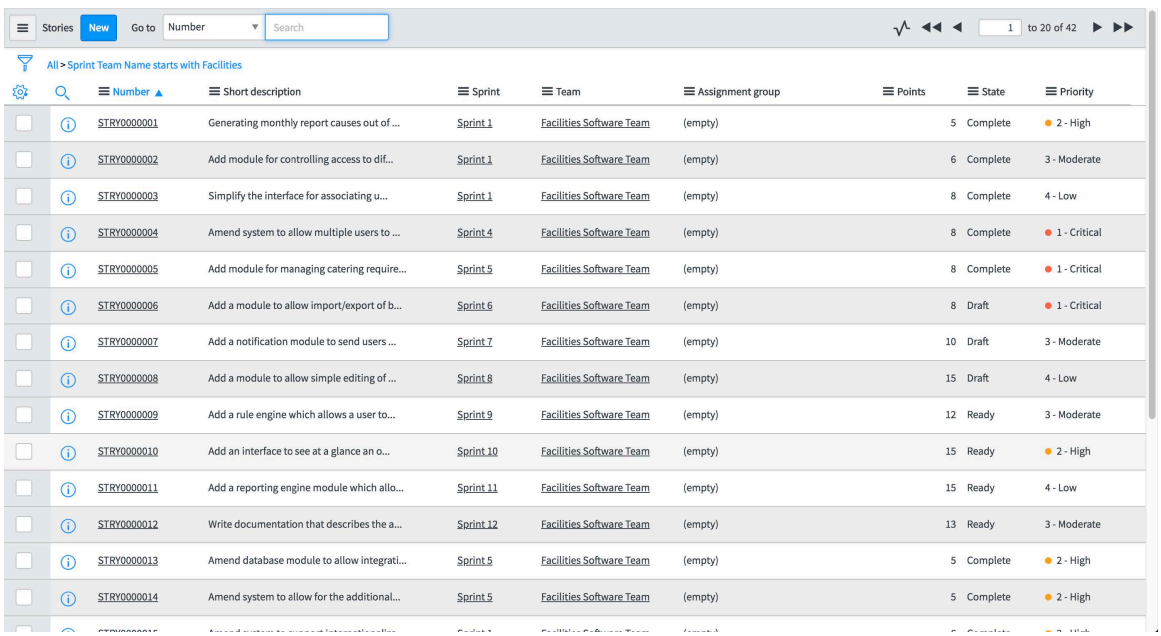
b. 前の手順でメモしたスプリントに属するストーリーをフィルターで除外します。

c. リストレイアウトで **[Sprint.Team]** フィールドおよび [アサイン先グループ] フィールドを表示します。[アサイン先グループ] には何も表示されません。

d. 画面をキャプチャするか、このリストをエクスポートします。

e. ストーリーテーブルをフィルターして、変換中のチームのスプリントに属するすべてのストーリーのリストをフェッチします。次のフィルターを適用します。

sprint.release_teamSTARTSWITH<name of the team>



Stories | New | Go to | Number | Search | 1 to 20 of 42

All > Sprint Team Name starts with Facilities

Number ▲	Short description	Sprint	Team	Assignment group	Points	State	Priority
STRY0000001	Generating monthly report causes out of ...	Sprint 1	Facilities Software Team	(empty)	5	Complete	2 - High
STRY0000002	Add module for controlling access to dif...	Sprint 1	Facilities Software Team	(empty)	6	Complete	3 - Moderate
STRY0000003	Simplify the interface for associating u...	Sprint 1	Facilities Software Team	(empty)	8	Complete	4 - Low
STRY0000004	Amend system to allow multiple users to ...	Sprint 4	Facilities Software Team	(empty)	8	Complete	1 - Critical
STRY0000005	Add module for managing catering require...	Sprint 5	Facilities Software Team	(empty)	8	Complete	1 - Critical
STRY0000006	Add a module to allow import/export of b...	Sprint 6	Facilities Software Team	(empty)	8	Draft	1 - Critical
STRY0000007	Add a notification module to send users ...	Sprint 7	Facilities Software Team	(empty)	10	Draft	3 - Moderate
STRY0000008	Add a module to allow simple editing of ...	Sprint 8	Facilities Software Team	(empty)	15	Draft	4 - Low
STRY0000009	Add a rule engine which allows a user to...	Sprint 9	Facilities Software Team	(empty)	12	Ready	3 - Moderate
STRY0000010	Add an interface to see at a glance an o...	Sprint 10	Facilities Software Team	(empty)	15	Ready	2 - High
STRY0000011	Add a reporting engine module which allo...	Sprint 11	Facilities Software Team	(empty)	15	Ready	4 - Low
STRY0000012	Write documentation that describes the a...	Sprint 12	Facilities Software Team	(empty)	13	Ready	3 - Moderate
STRY0000013	Amend database module to allow integrati...	Sprint 5	Facilities Software Team	(empty)	5	Complete	2 - High
STRY0000014	Amend system to allow for the additional...	Sprint 5	Facilities Software Team	(empty)	5	Complete	2 - High

自動翻訳

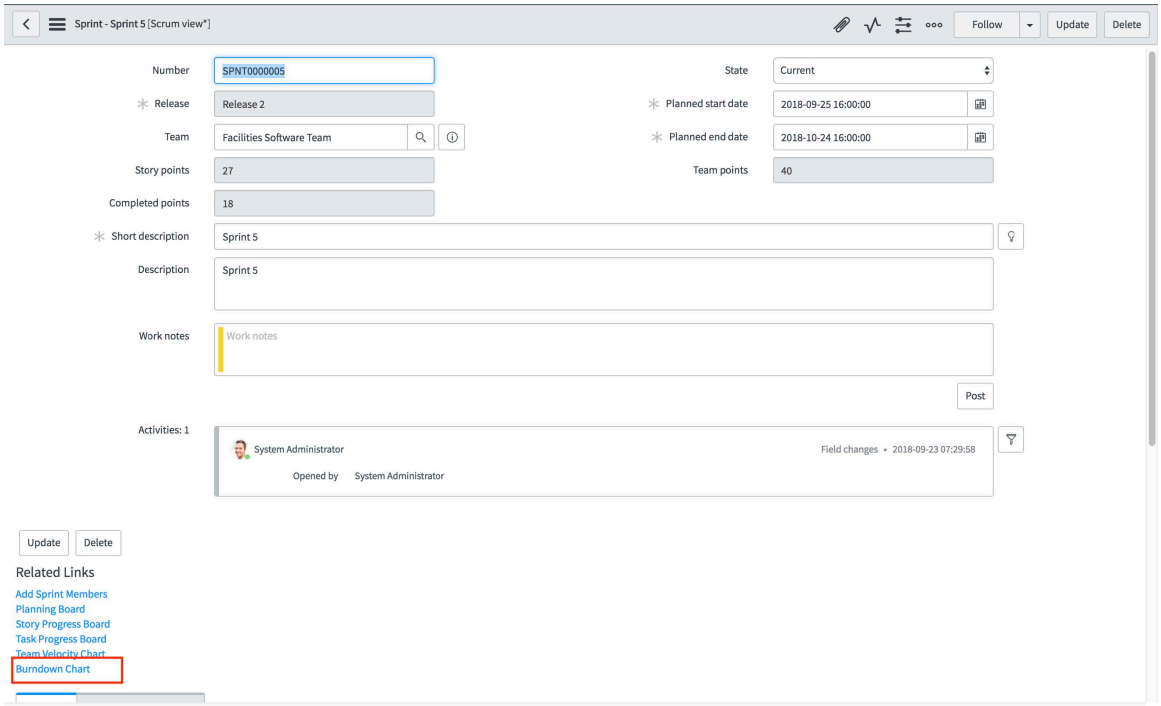
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

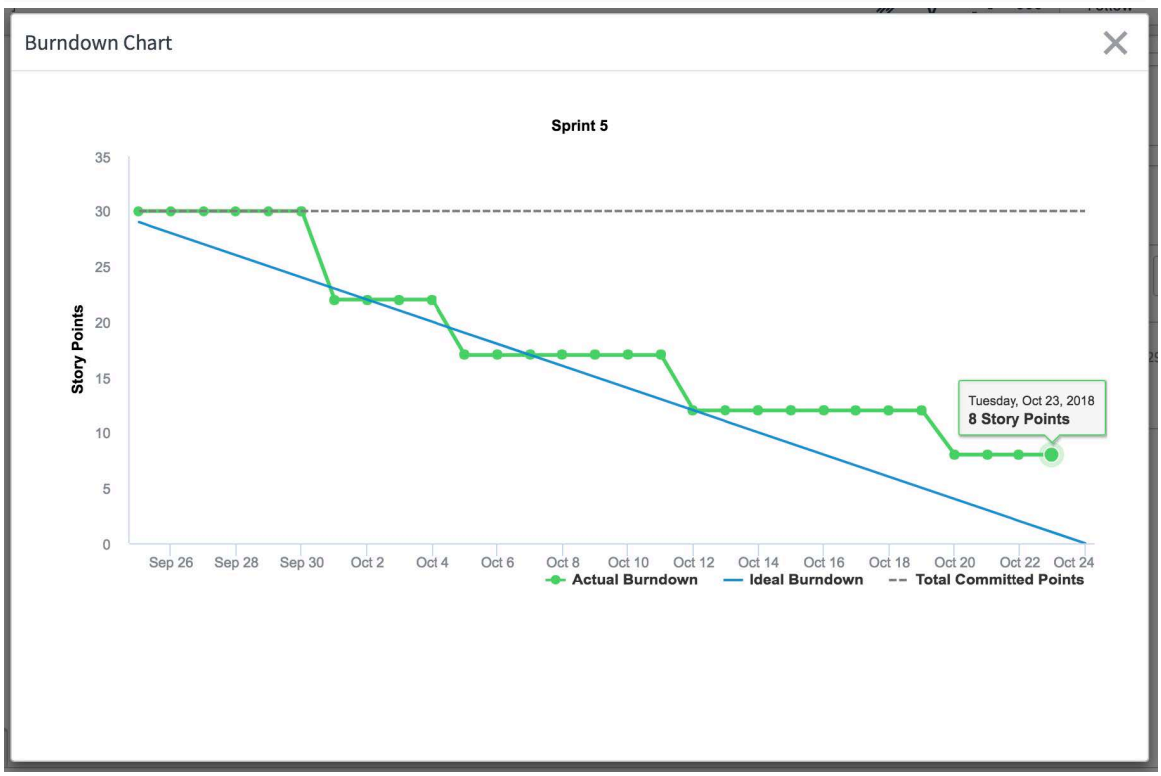
3. 現在の Agile Development 実装でスプリントバーンダウンを使用しない場合は、この手順を無視してください。

> **注:**
> この手順により、アップグレード後にスプリントバーンダウンが正常に更新されたかどうかを確認します。

a. スプリントフォームから現在のスプリント (ステータス = 現在) を開きます。

b. [バーンダウンチャート] 関連リンクをクリックします。





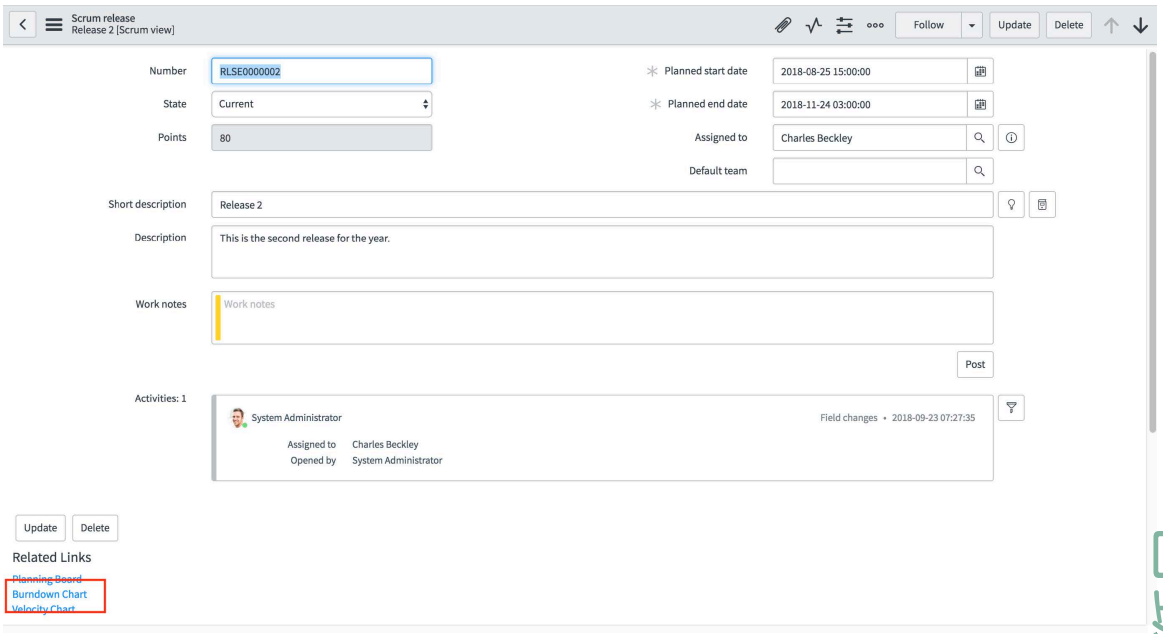
自動翻訳

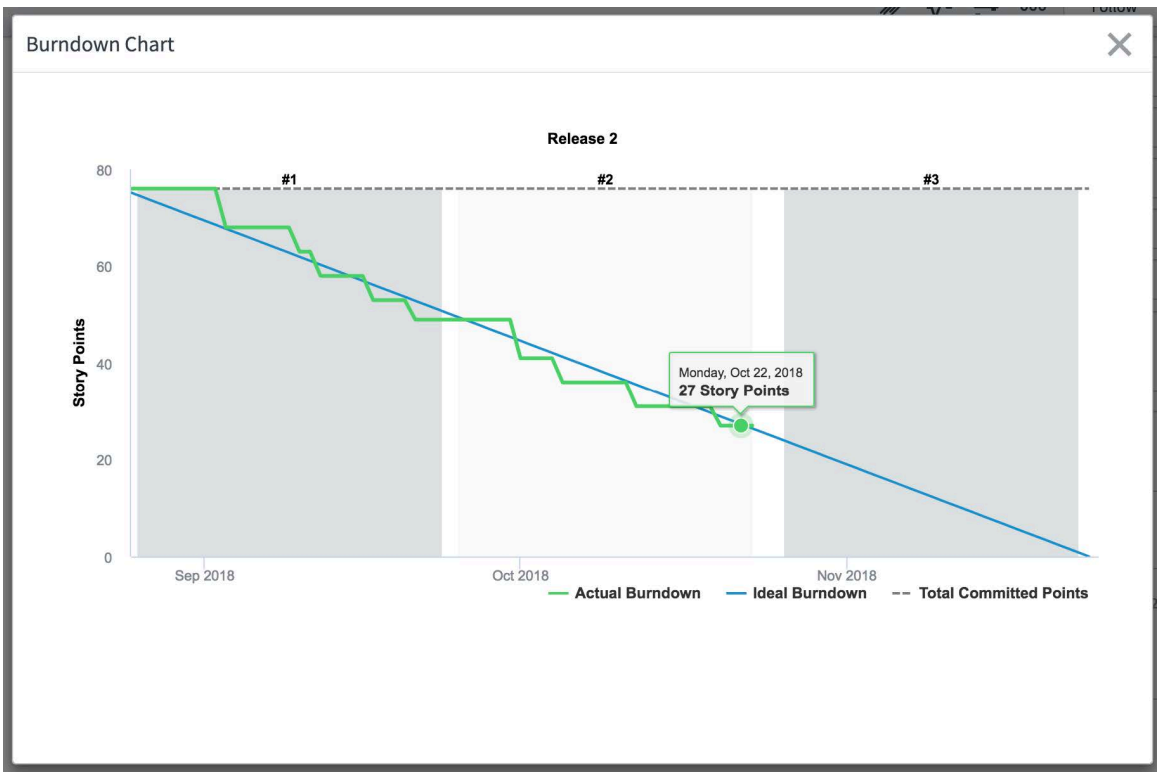
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 現在の Agile Development 実装でリリースバーンダウンを使用しない場合は、この手順を無視してください。

   現在のリリースのリリースバーンダウンチャートの画面をキャプチャします。

   注:
   この手順により、アップグレード後にリリースバーンダウンが正常に更新されたかどうかを確認します。





5. 現在の Agile Development 実装でチーム速度チャートを使用しない場合は、この手順を無視してください。

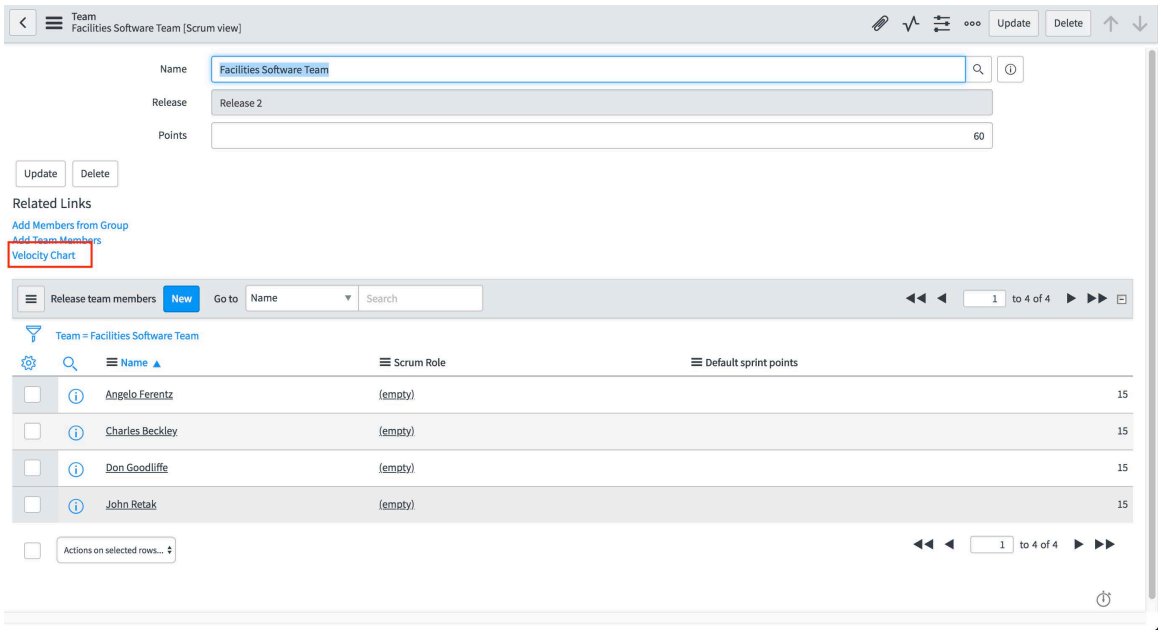
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

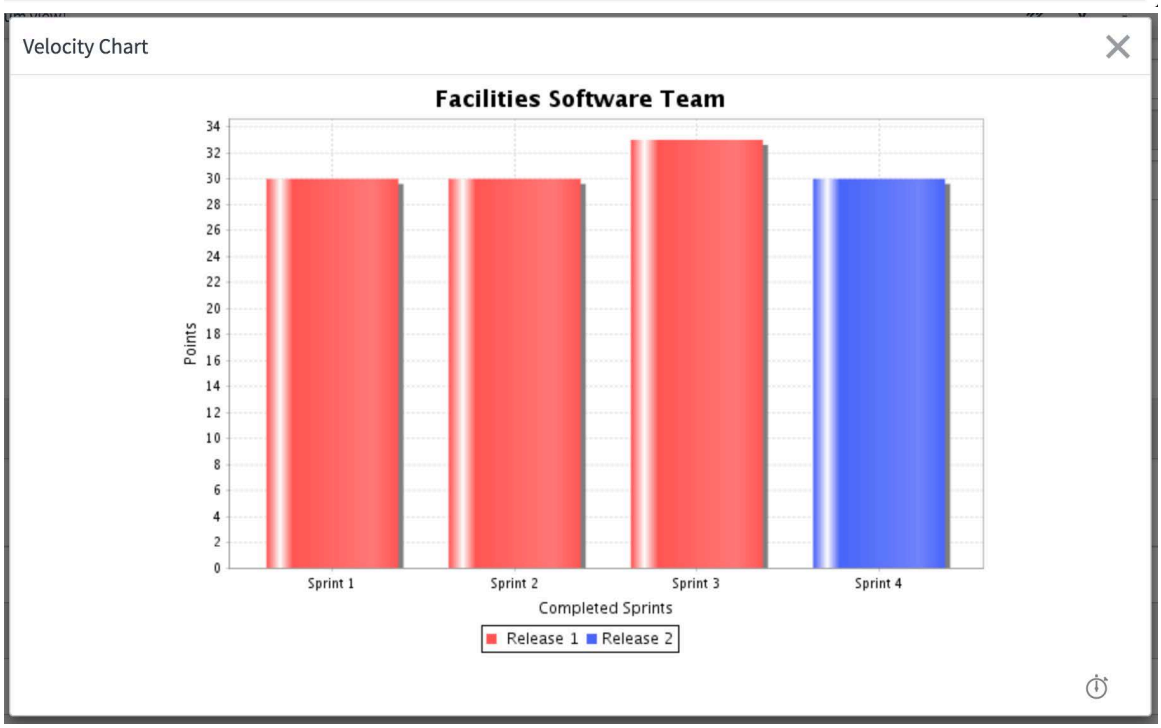
注:
この手順により、アップグレード後にチーム速度チャートが正常に更新されたかどうかを確認します。

a. チームの [速度チャート] 関連リンクをクリックします。

注:
すべてのチームのリストを表示するには、ナビゲーターで「scrum_pp_team.list」と入力します。

b. 画面をキャプチャします。





自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 1.0 チームから Agile Development 2.0 グループへの変換の検証

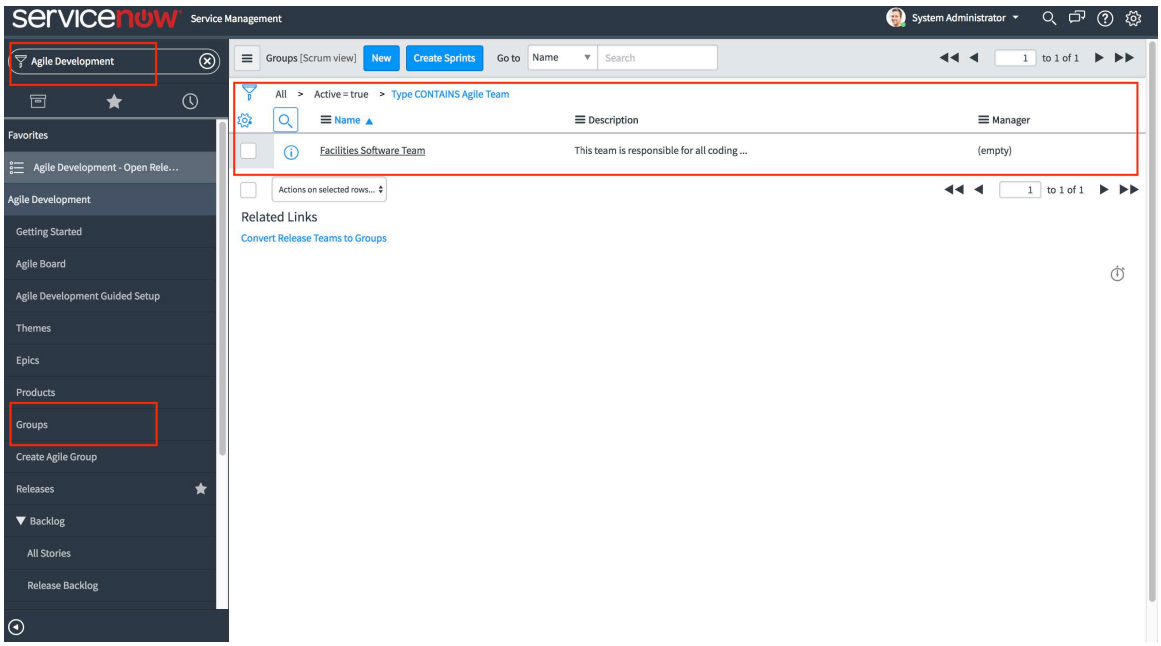
検証手順を実行して、チームからアサイン先グループへの変換が成功したことを確認します。

始める前に
必要なロール：管理者

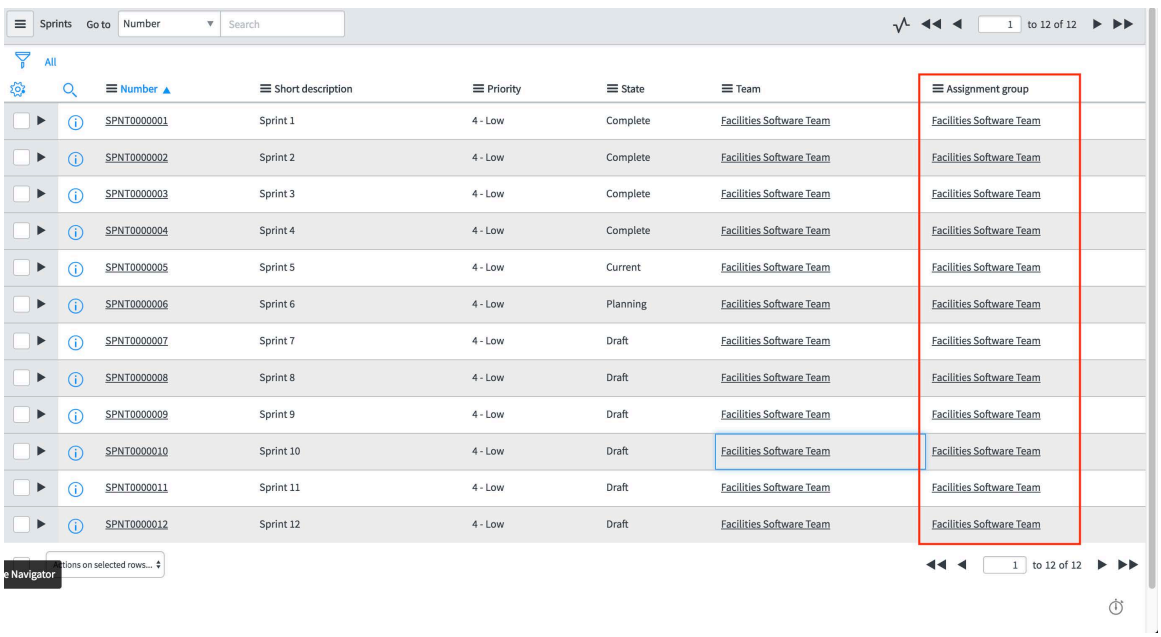
手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. チームがアサイン先グループに変換されたことを確認します。

   ここにグループが表示されている場合は、Agile Team にグループタイプが既に設定されています。



3. チームのすべてのスプリントでアサイン先グループが更新されていることを確認します。
   これは、変換前にメモしたものと同じスプリントリストです。このリストでは、変換後にアサイン先グループが更新されているはずです。

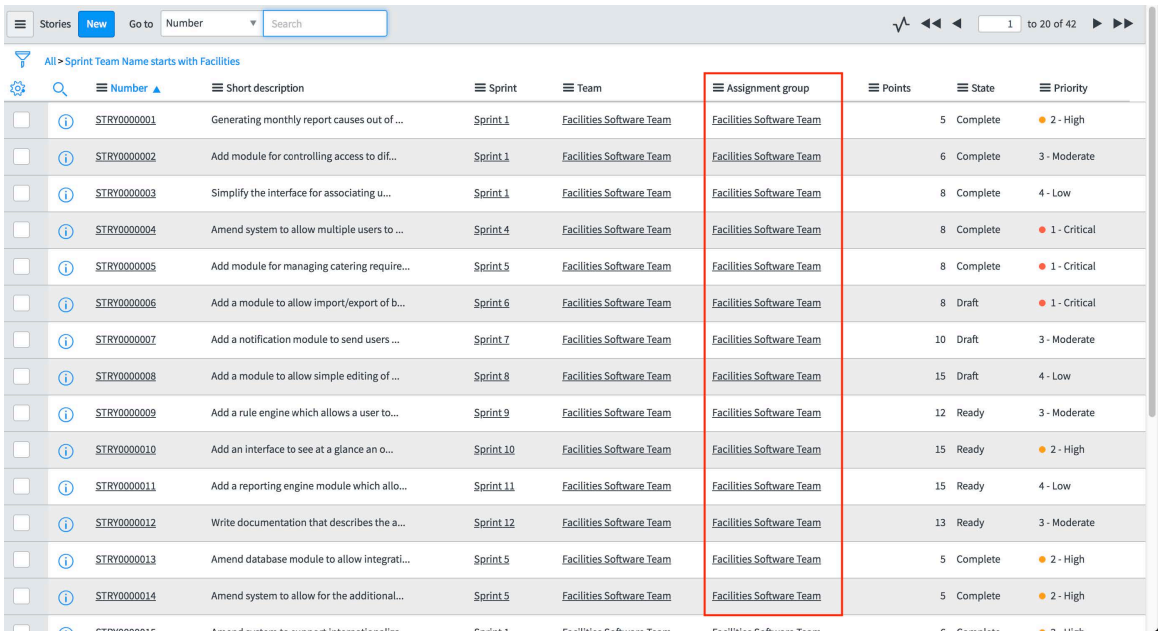


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. チームのスプリントに関連付けられたストーリーがアサイン先グループで更新されていることを確認します。

   以下に、グループに変換する前にメモしたストーリーのリストを示します。



Number	Short description	Sprint	Team	Assignment group	Points	State	Priority
STRY0000001	Generating monthly report causes out of ...	Sprint 1	Facilities Software Team	Facilities Software Team	5	Complete	2 - High
STRY0000002	Add module for controlling access to dif...	Sprint 1	Facilities Software Team	Facilities Software Team	6	Complete	3 - Moderate
STRY0000003	Simplify the interface for associating u...	Sprint 1	Facilities Software Team	Facilities Software Team	8	Complete	4 - Low
STRY0000004	Amend system to allow multiple users to ...	Sprint 4	Facilities Software Team	Facilities Software Team	8	Complete	1 - Critical
STRY0000005	Add module for managing catering require...	Sprint 5	Facilities Software Team	Facilities Software Team	8	Complete	1 - Critical
STRY0000006	Add a module to allow import/export of b...	Sprint 6	Facilities Software Team	Facilities Software Team	8	Draft	1 - Critical
STRY0000007	Add a notification module to send users ...	Sprint 7	Facilities Software Team	Facilities Software Team	10	Draft	3 - Moderate
STRY0000008	Add a module to allow simple editing of ...	Sprint 8	Facilities Software Team	Facilities Software Team	15	Draft	4 - Low
STRY0000009	Add a rule engine which allows a user to...	Sprint 9	Facilities Software Team	Facilities Software Team	12	Ready	3 - Moderate
STRY0000010	Add an interface to see at a glance an o...	Sprint 10	Facilities Software Team	Facilities Software Team	15	Ready	2 - High
STRY0000011	Add a reporting engine module which allo...	Sprint 11	Facilities Software Team	Facilities Software Team	15	Ready	4 - Low
STRY0000012	Write documentation that describes the a...	Sprint 12	Facilities Software Team	Facilities Software Team	13	Ready	3 - Moderate
STRY0000013	Amend database module to allow integrati...	Sprint 5	Facilities Software Team	Facilities Software Team	5	Complete	2 - High
STRY0000014	Amend system to allow for the additional...	Sprint 5	Facilities Software Team	Facilities Software Team	5	Complete	2 - High

5. 変換前にメモしたスプリントのスプリントバーンダウンを確認します。

   これは、変換前と同じであることが必要です。

   a. rm_srpint テーブル (rm_sprint.list) を開くか、アサイン先グループを開きます。

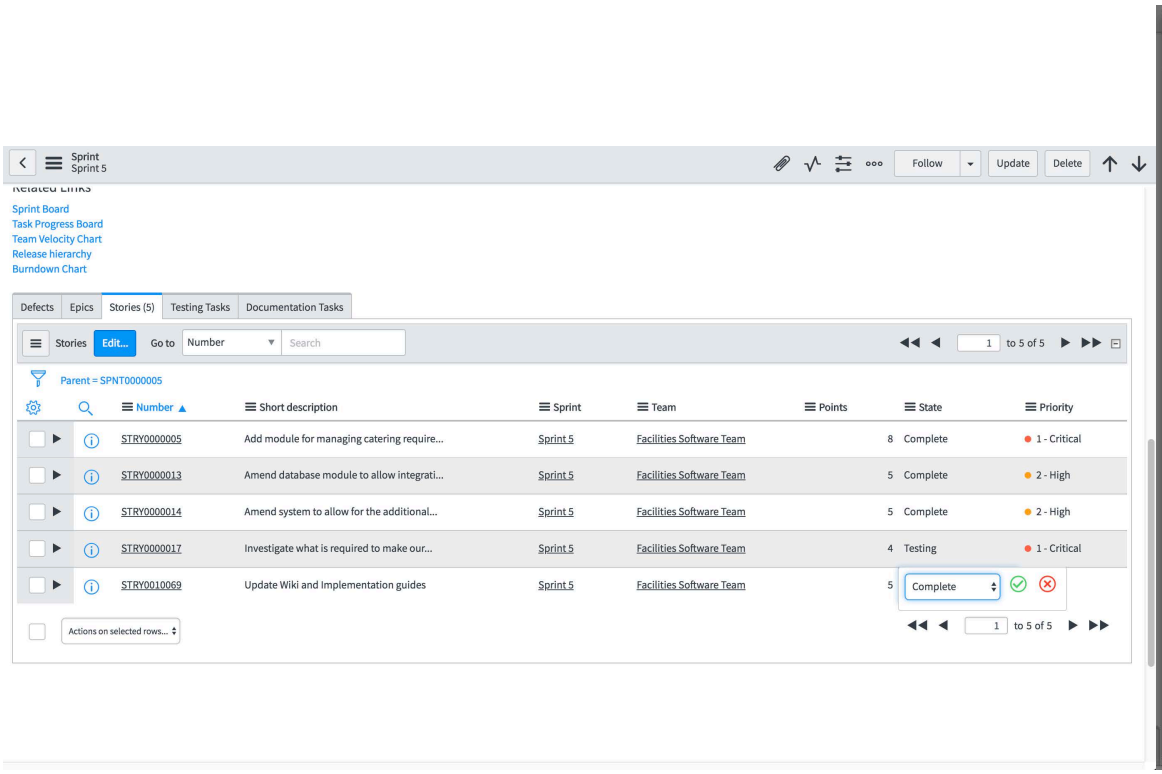
   b. 現在のスプリントをクリックします。

   c. すべての WIP ストーリーを完了済みとしてマークします。

   d. 完了済みストーリーで更新するスプリントバーンダウンを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

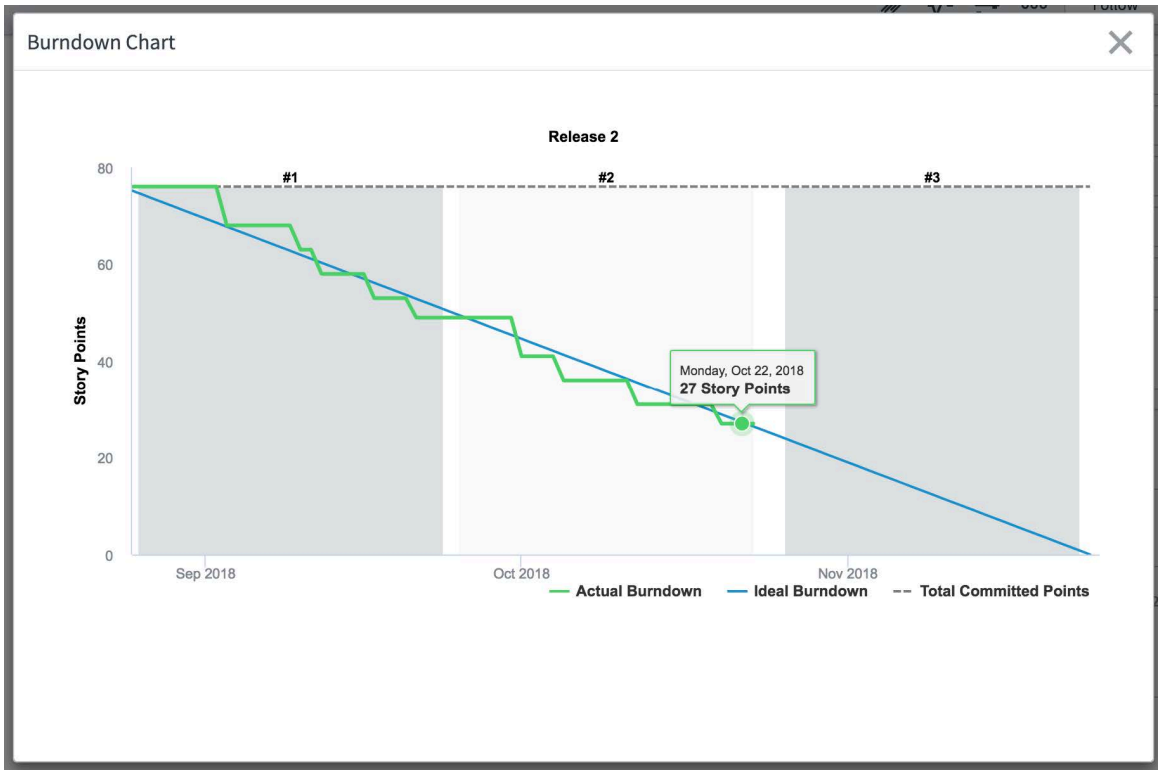


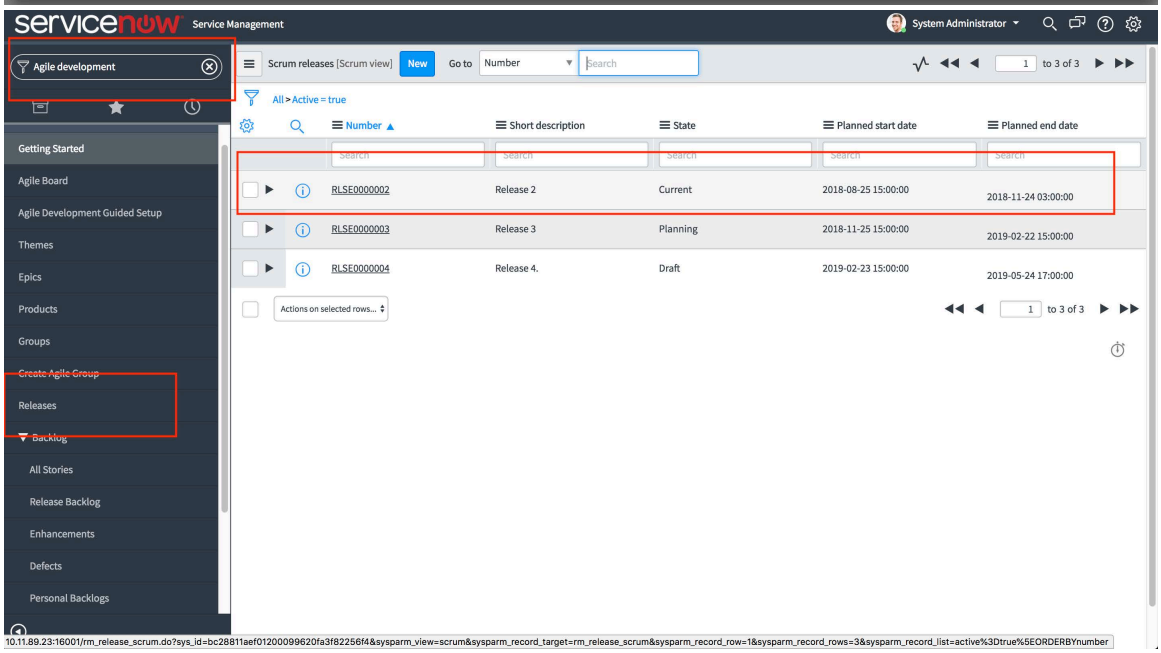
6. ストーリーが完了したら、リリースバーンダウンも正しく更新する必要があります。

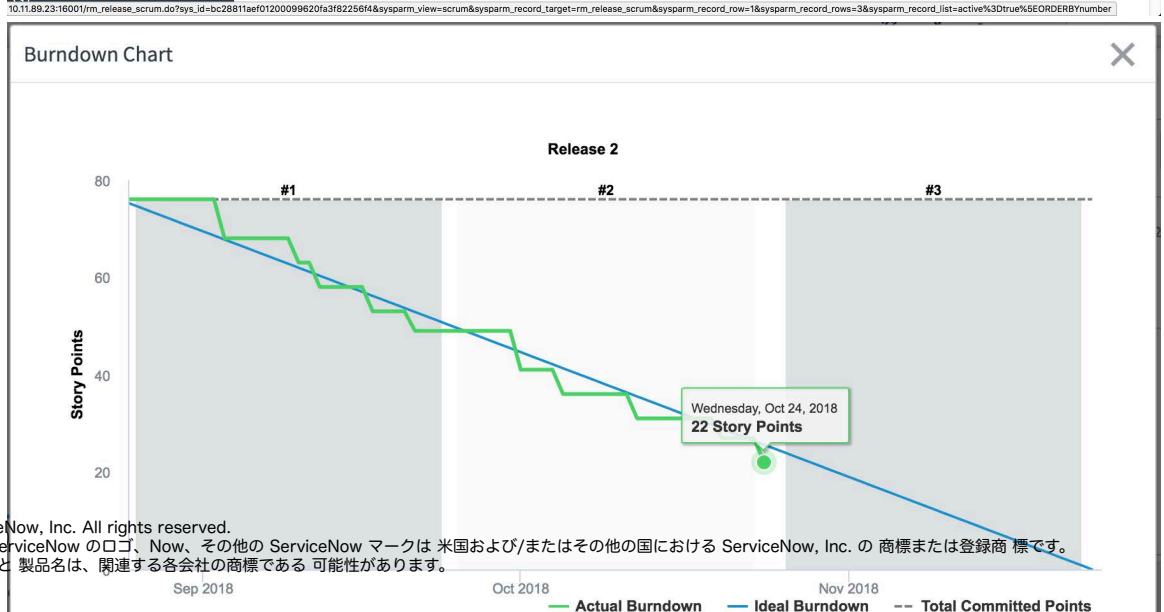
たとえば、次のスクリーンショットでは、現在のリリースのバーンダウンが正しく更新されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。







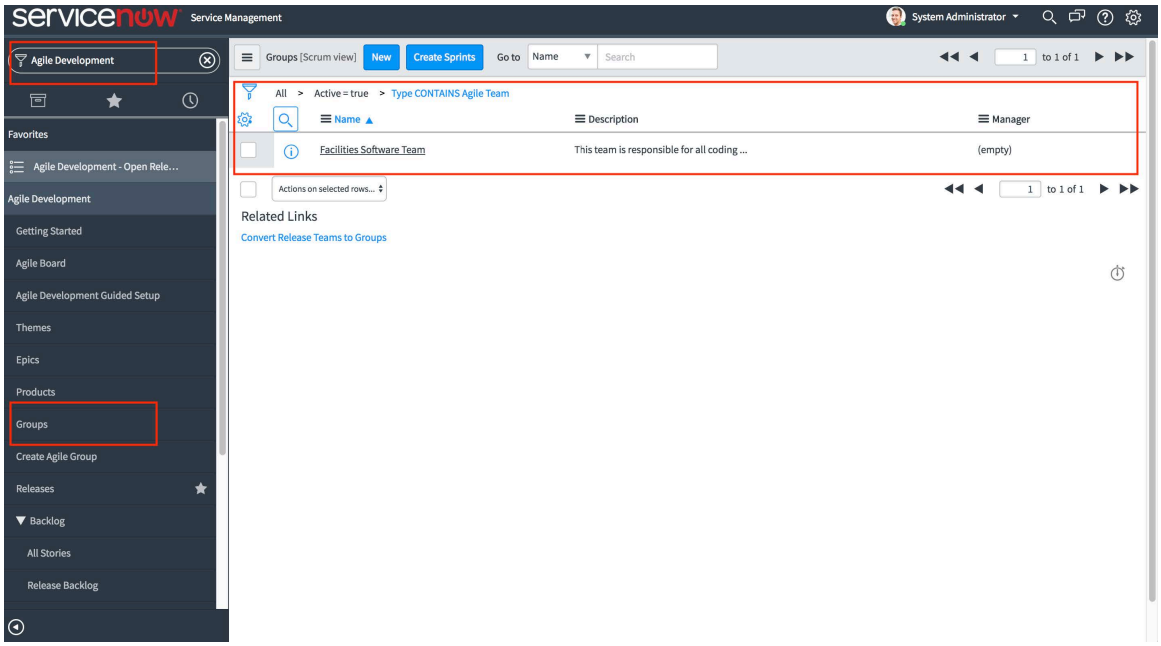
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

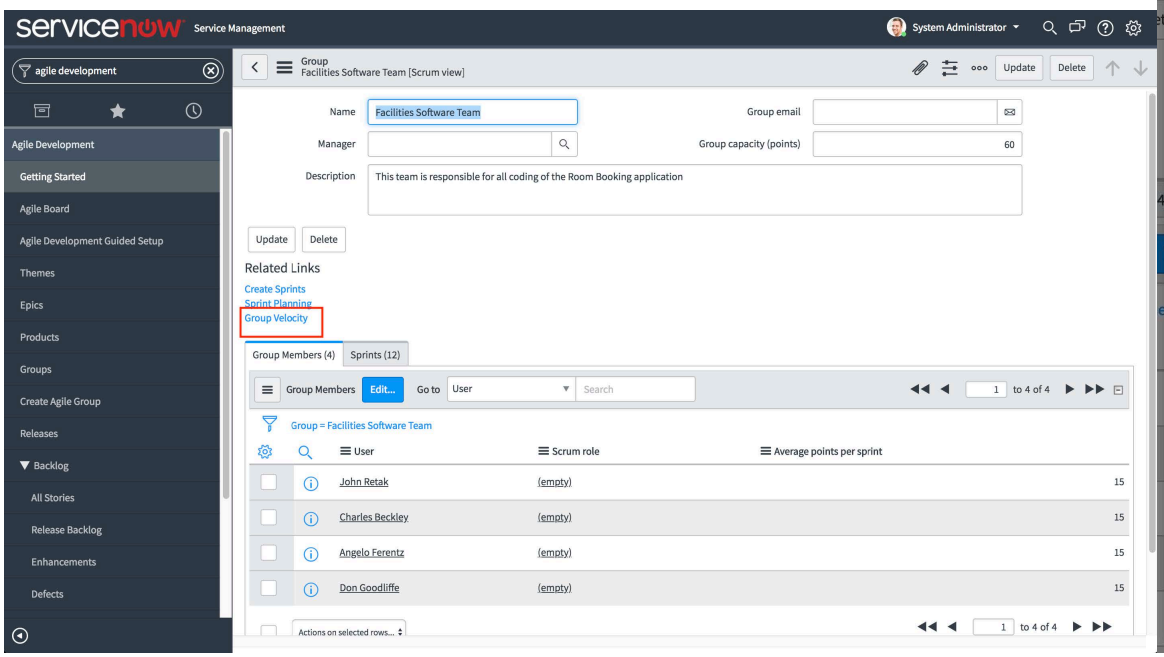
7. グループ速度の場合：

   a. 移動先 アジャイル開発 > グループ.

   b. グループの速度を確認します。これは、変換前と同じであることが必要です。

   c. 現在のスプリントを完了します。変換前に完了したスプリントに加えて、完了したスプリントのグループの速度も表示する必要があります。





8. 1 つのグループのステップを確認すると、移行が正常に完了したことが確認されます。
   他のすべてのチームに対してこの手順を 1 つずつ繰り返すことができます。これは同期プロセスであるため、一度に 1 つのチームでこの手順を実行する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 1.0 に対する **Agile Development 2.0** の機能拡張

Agile Development 2.0 は、 Agile Development 1.0 に対していくつかの機能拡張を提供します。

こうした機能拡張は、次のカテゴリに分類できます。

- Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 へのデータモデルの機能拡張
- Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 へのユーザビリティの機能拡張
- Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 への機能拡張

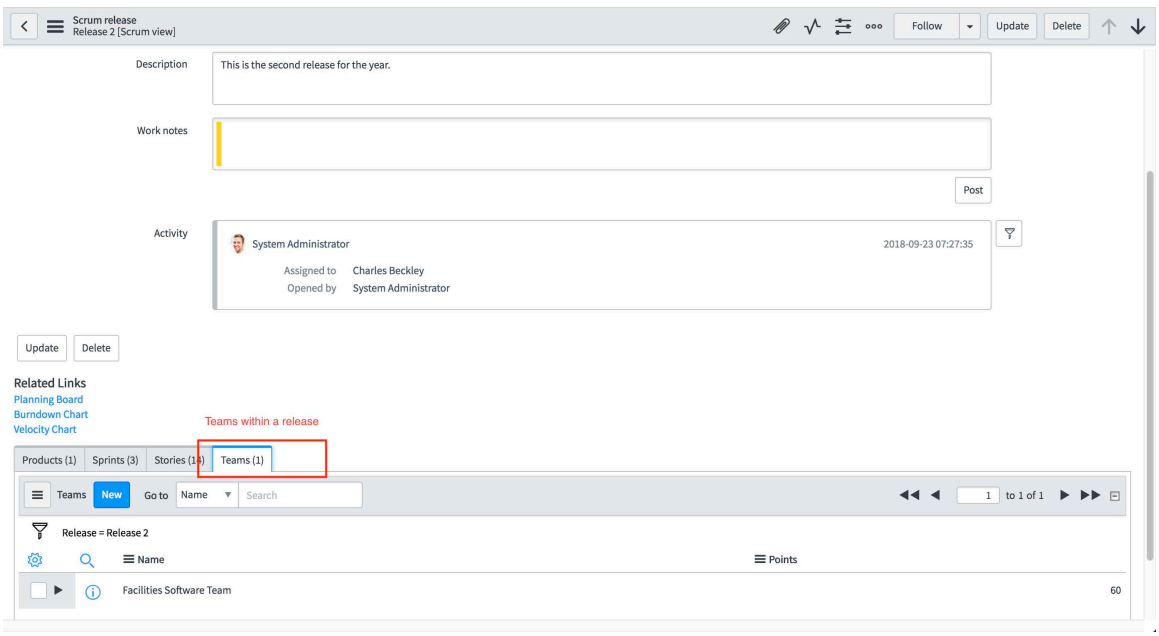
Agile Development 1.0 から **Agile Development 2.0** へのデータモデルの機能拡張

Agile Development 2.0 は、 Agile Development 1.0 に対していくつかのデータモデルの拡張を提供します。

共通プラットフォーム構成の使用：アサイン先グループ

アジャイルチーム (スクラムチーム) をマッピングするために、Agile Development 1.0 ではリリースチームテーブル (scrum_pp_team) と呼ばれる個別のエンティティを使用します。このエンティティは、次のスクリーンショットに示すように、リリースエンティティに関連付けられています。

スクラムリリース



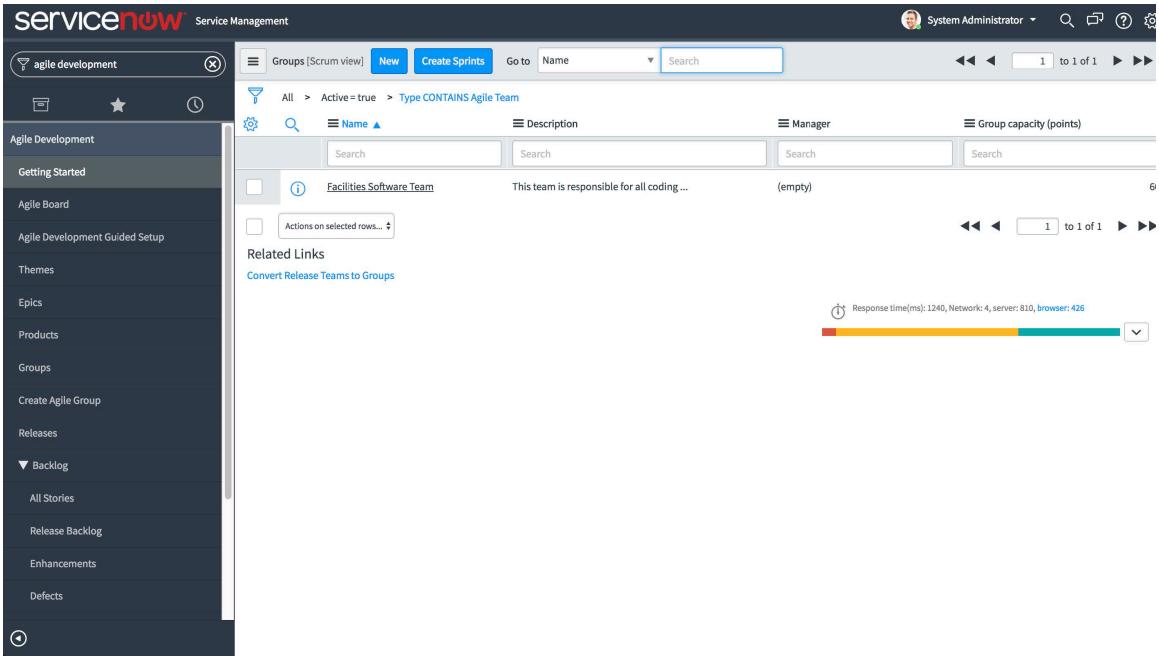
インシデント、問題、変更、プロジェクトなど、プラットフォーム上の他のすべてのタスクは、アサイン先グループエンティティに基づいてグループにアサインされます。グループマネージャーは、アサイン先グループに関するレポートを実行して、グループにアサインされた作業に関するインサイトを得ることができます。

ストーリーやタスクなどのスクラム作業であっても、プラットフォーム全体でグループの使用を標準化するために、スタンドアロンエンティティのリリースチームではなく、標準構成のアサイン先グループが使用されます。 Agile Development 2.0 ではアサイン先グループを使用してアジャイルチームをマッピングします。Agile Team タイプのアサイン先グループは、アジャイルチームを定義するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ

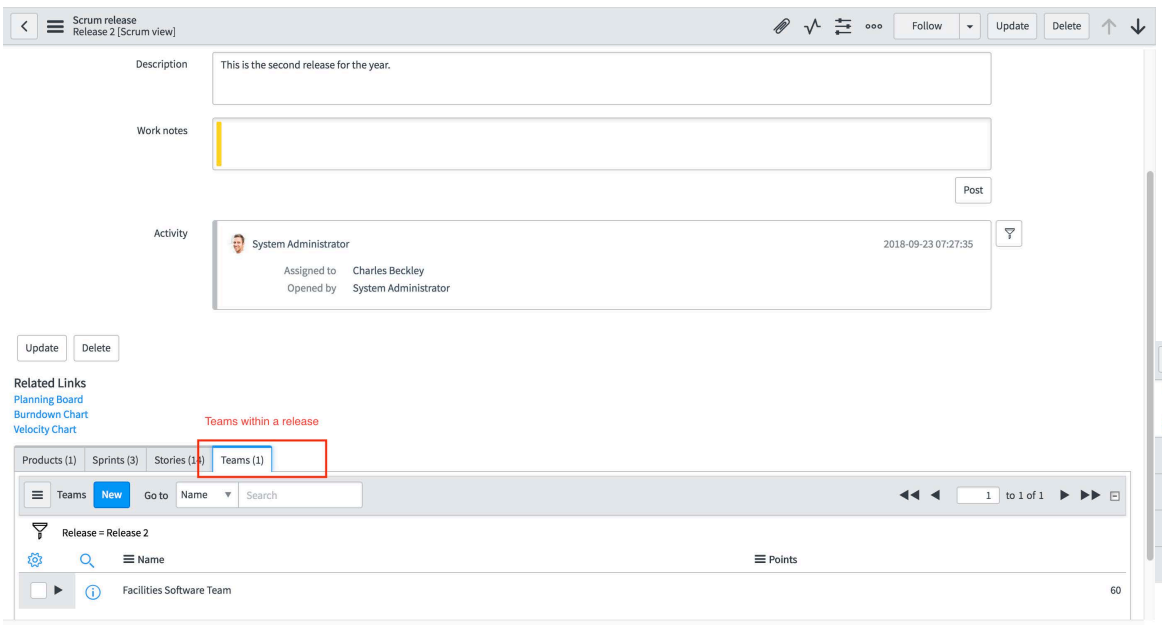


リリースごとにアジャイルチーム (グループ) を作成する必要はありません

Agile Development 1.0 では、リリースごとにチームが作成され、各リリースにチームが関連付けられます。たとえば、Team — Alpha というスクラムチームが複数回の四半期リリースで作業している場合を考えます。チームを 1 回だけ作成して、任意のリリースまたは繰り越したリリースにチームを関連付けることはできません。新しいリリースを作成するたびに、同じ名前のチームを作成し、チームをリリースに関連付ける必要があります。

Agile Development 2.0 を使用すると、リリースからは独立してグループを作成でき、リリースごとにグループを再作成することなく、複数のリリースのストーリーで作業できます。

スクラムリリース



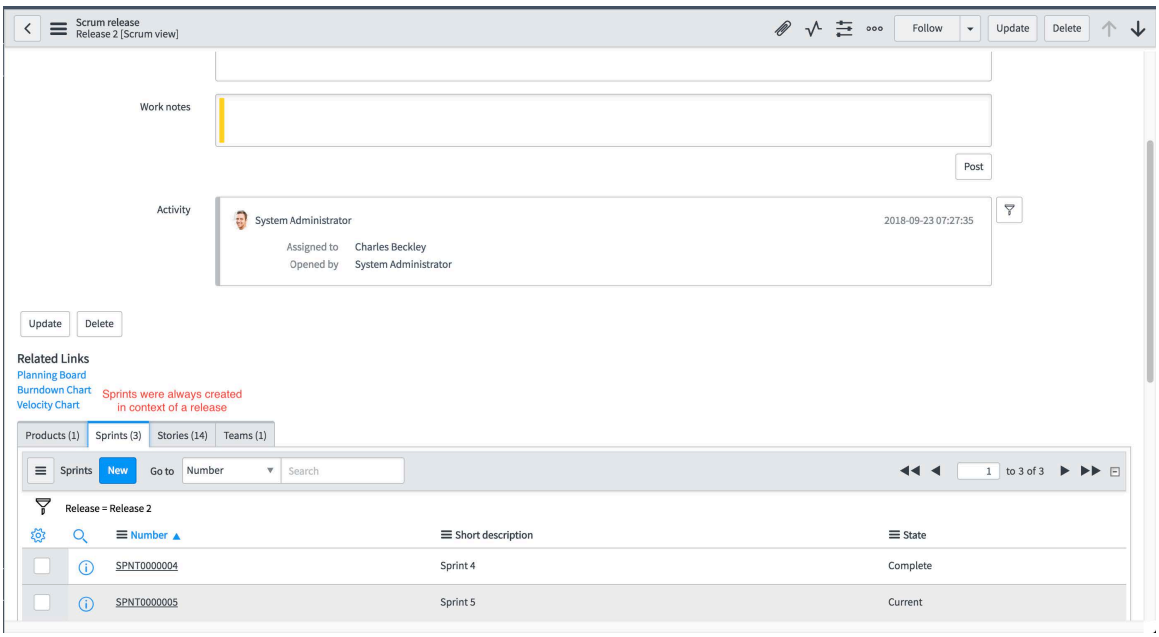
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

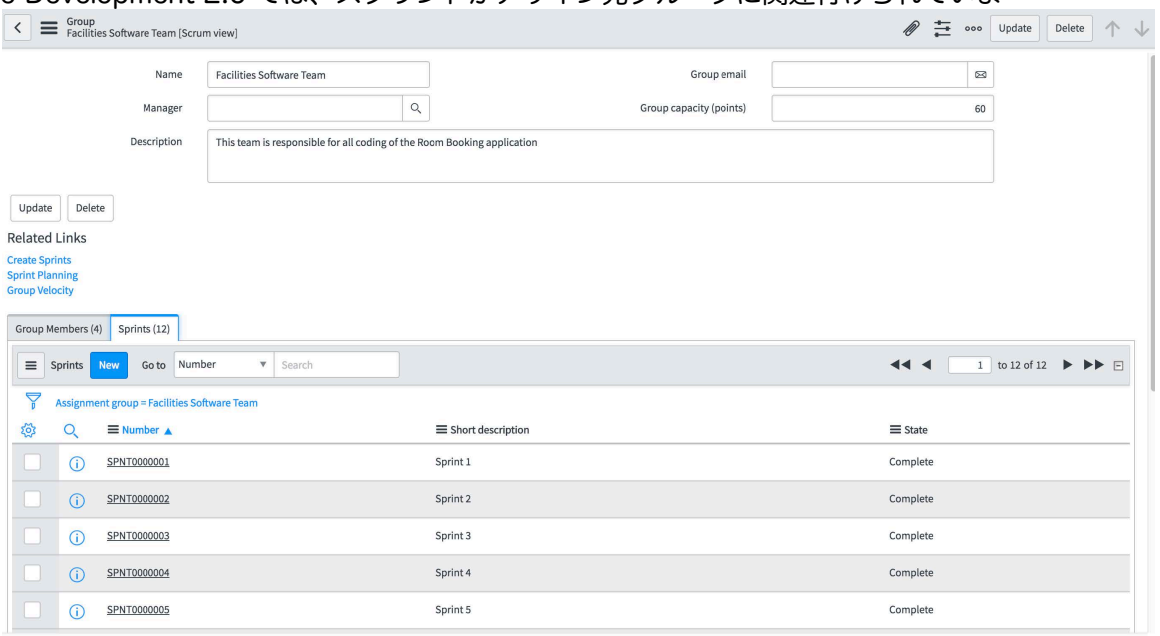
スプリントはリリースなしで作成できる

Agile Development 1.0 では、スプリントを作成するためにリリースを必ず作成する必要があります。チームに対してスプリントを別個に作成することはできません。Agile Development 1.0 では、スプリントを介してストーリーを実行するためのリリースを作成することが義務付けられています。リリースがない場合、ストーリーレコードにスプリントを入力できません。

スプリント



Agile Development 2.0 では、スプリントがアサイン先グループに関連付けられています。



チームバックログは、リリースとは無関係に維持できる

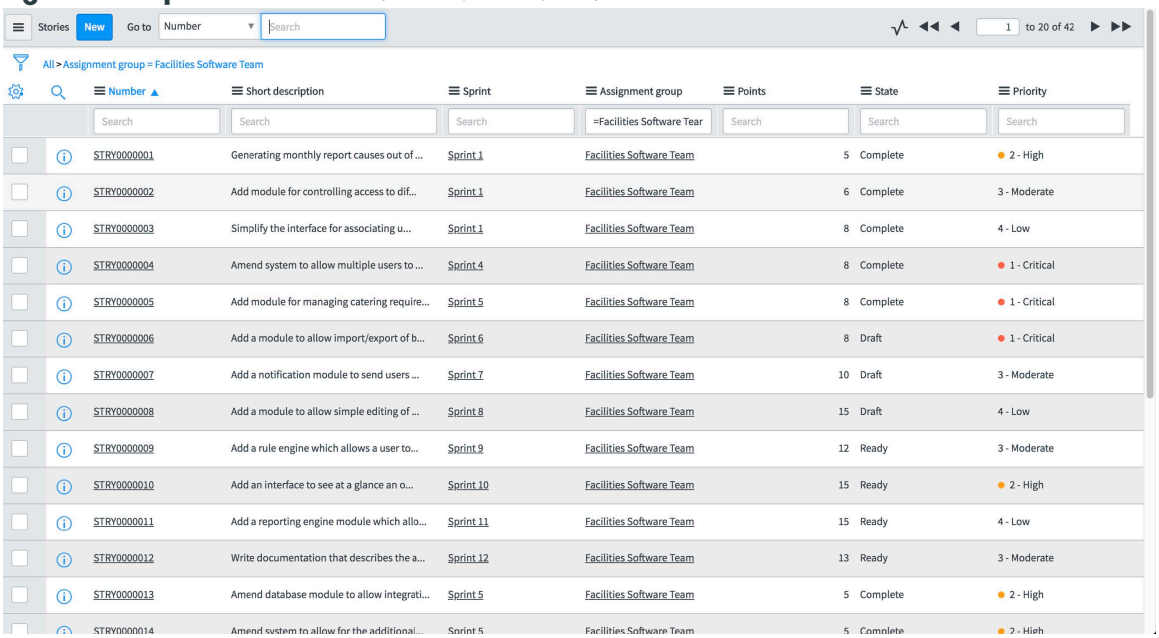
通常、チームはリリース後に進行中のチームバックログリリースを保持し、バックログからストーリーを抽出して、リリースのスプリントを通じてストーリーを実行できます。

Agile Development 1.0 では、リリースを定義せずにチームを定義することはできません。したがって、チームバックログは、リリースと無関係に維持することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 では、リリース内にアサイン先グループが作成されません。リリースに関連付けることはできますが、リリース内で作成することはできません。したがって、アサイン先グループは独自のバックログを維持できます。

Agile Development 2.0 によるグループバックログ



Number	Short description	Sprint	Assignment group	Points	State	Priority
STRY0000001	Generating monthly report causes out of ...	Sprint 1	Facilities Software Team	5	Complete	2 - High
STRY0000002	Add module for controlling access to dif...	Sprint 1	Facilities Software Team	6	Complete	3 - Moderate
STRY0000003	Simplify the interface for associating u...	Sprint 1	Facilities Software Team	8	Complete	4 - Low
STRY0000004	Amend system to allow multiple users to ...	Sprint 4	Facilities Software Team	8	Complete	1 - Critical
STRY0000005	Add module for managing catering require...	Sprint 5	Facilities Software Team	8	Complete	1 - Critical
STRY0000006	Add a module to allow import/export of b...	Sprint 6	Facilities Software Team	8	Draft	1 - Critical
STRY0000007	Add a notification module to send users ...	Sprint 7	Facilities Software Team	10	Draft	3 - Moderate
STRY0000008	Add a module to allow simple editing of ...	Sprint 8	Facilities Software Team	15	Draft	4 - Low
STRY0000009	Add a rule engine which allows a user to...	Sprint 9	Facilities Software Team	12	Ready	3 - Moderate
STRY0000010	Add an interface to see at a glance an o...	Sprint 10	Facilities Software Team	15	Ready	2 - High
STRY0000011	Add a reporting engine module which allo...	Sprint 11	Facilities Software Team	15	Ready	4 - Low
STRY0000012	Write documentation that describes the a...	Sprint 12	Facilities Software Team	13	Ready	3 - Moderate
STRY0000013	Amend database module to allow integrati...	Sprint 5	Facilities Software Team	5	Complete	2 - High

リリース：**Agile Development 2.0** でのグループの関連付け

Agile Development 2.0 のリリースとグループの間に直接的な関係はないため (グループは独立しており、リリースごとにグループを作成する必要はありません)、m2m_release_group_list テーブルが導入されました。このテーブルには、グループとリリースの関連付けが格納されます。この関連付けは、スプリントの生成には使用されませんが、リリースのキャパシティを導出するために使用されます。

リリース内でグループが作業するスプリントの数を指定します。チームのキャパシティから、リリースのキャパシティが導出されます。

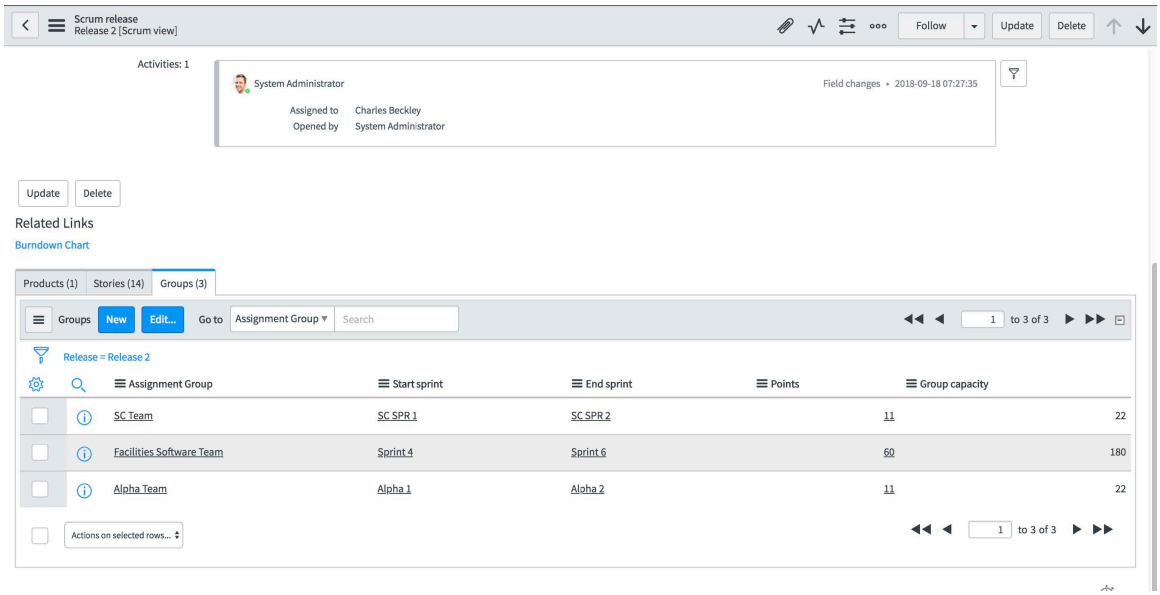
m2m_release_group

チーム	スプリントの開始	スプリントの終了	ポイント (各スプリント)	リリースのグループ合計キャパシティ
A	A_Sprint 1	A_Sprint 3	30	90 (3*30)
B	B_Sprint 1	B_Sprint 4	40	160 (4*40)

合計リリースキャパシティ = 90 + 160 = 250 ポイント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



のグループの関連付け

Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 への機能拡張

Agile Development 2.0 は、 Agile Development 1.0 に対していくつかの機能拡張を提供します。

Test Management 2.0 との統合

Agile Development 2.0 は、テスト管理 2.0 と統合されています。この統合により、ストーリーのテストを定義し、ストーリーが完了としてマークされる前にテストを実行できます。

注:
この統合は London リリースから利用可能です。

統合： Agile Development — Unified Backlog

Agile Development — Unified Backlog は、Agile Development 2.0 と統合されています。この統合により、欠陥、問題、インシデントタスク、ストーリーなど、さまざまなタスクタイプのレコードを含む一元化されたバックログを維持できます。これにより、1 つの場所でさまざまなタスクタイプレコードの優先順位付けと順序付けが容易になり、ステップを節約できます。レコードをストーリーに変換するオーバーヘッドがなくなります。

注:
この統合は London リリースから利用可能です。

Agile Development 1.0 から Agile Development 2.0 へのユーザビリティの機能拡張

Agile Development 2.0 は、 Agile Development 1.0 に対していくつかの機能拡張を提供します。

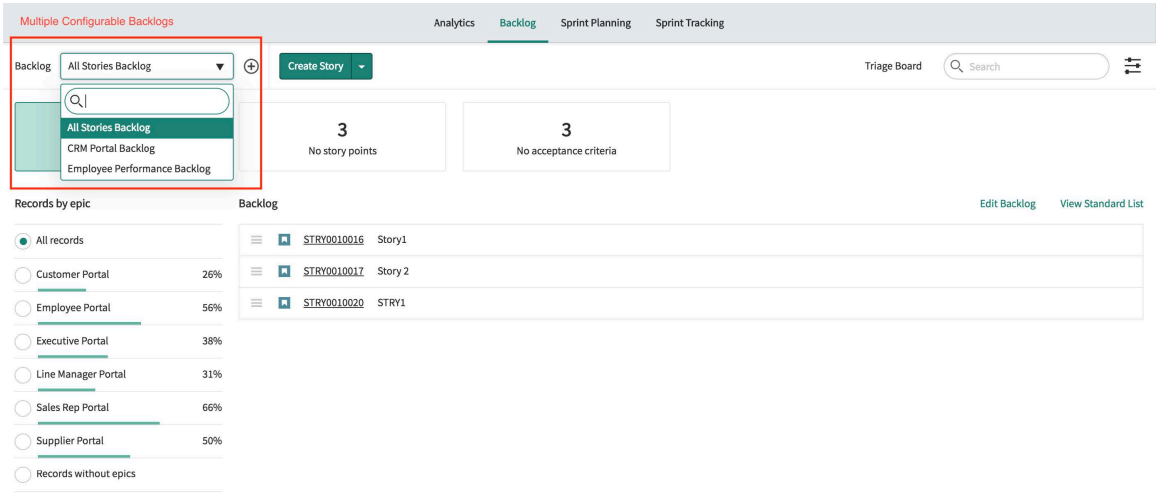
バックログの管理と調整

柔軟なバックログ定義

Agile Development 2.0 を使用すると、バックログを定義できます。たとえば、製品またはチームごとに異なるバックログを作成したり、1 つ以上のエピックのバックログを組み合わせたりすることができます。

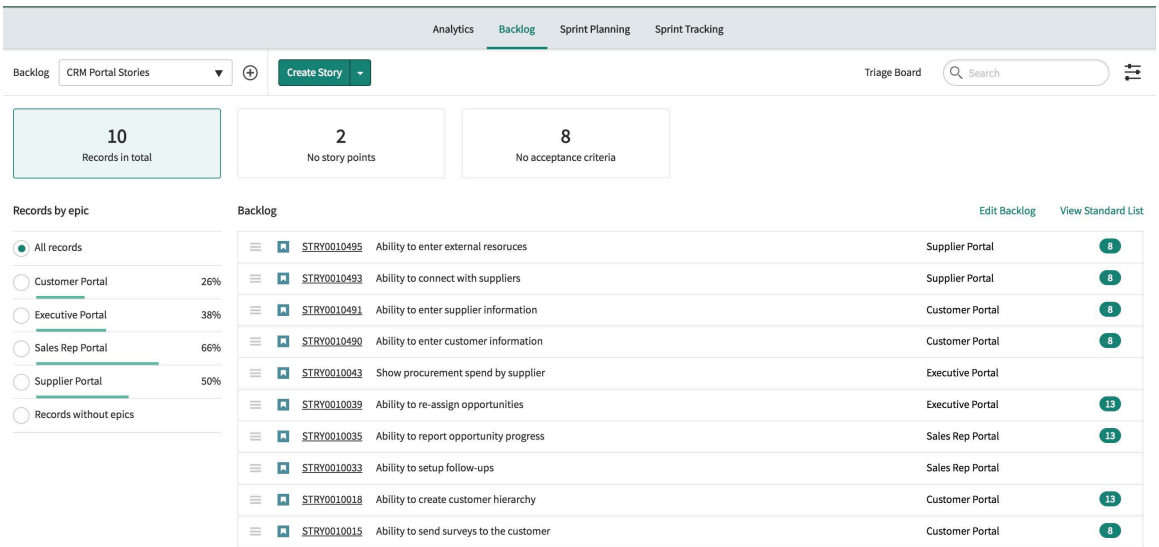
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



バックログの調整

Agile Development 2.0 はバックログの詳細ビューを提供します。このビューでは、ストーリーをドラッグしてランク付けできます。また、エピックごとにバックログを表示し、全体的なバックログの状況に関する分析を得ることもできます。たとえば、受け入れ条件のないストーリー分析などです。



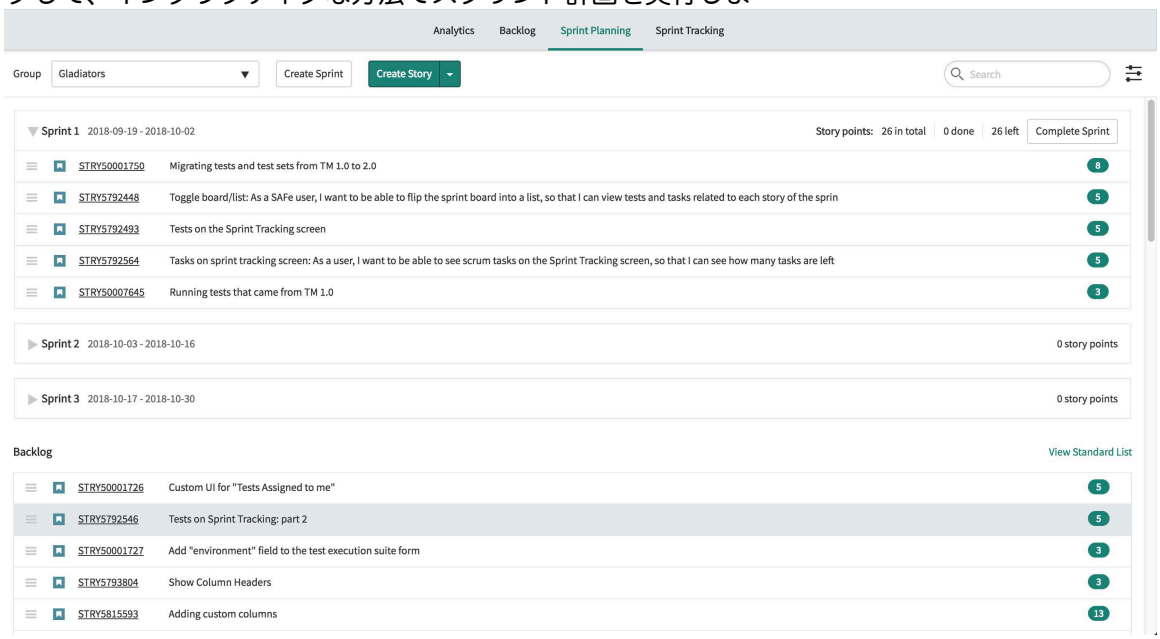
強化されたスプリント計画立案エクスペリエンス

Agile Development 2.0 は、バックログとスプリントに対して単一のビューを提供します。ストーリーをバックログからスプリントにド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラッグして、インタラクティブな方法でスプリント計画を実行しま



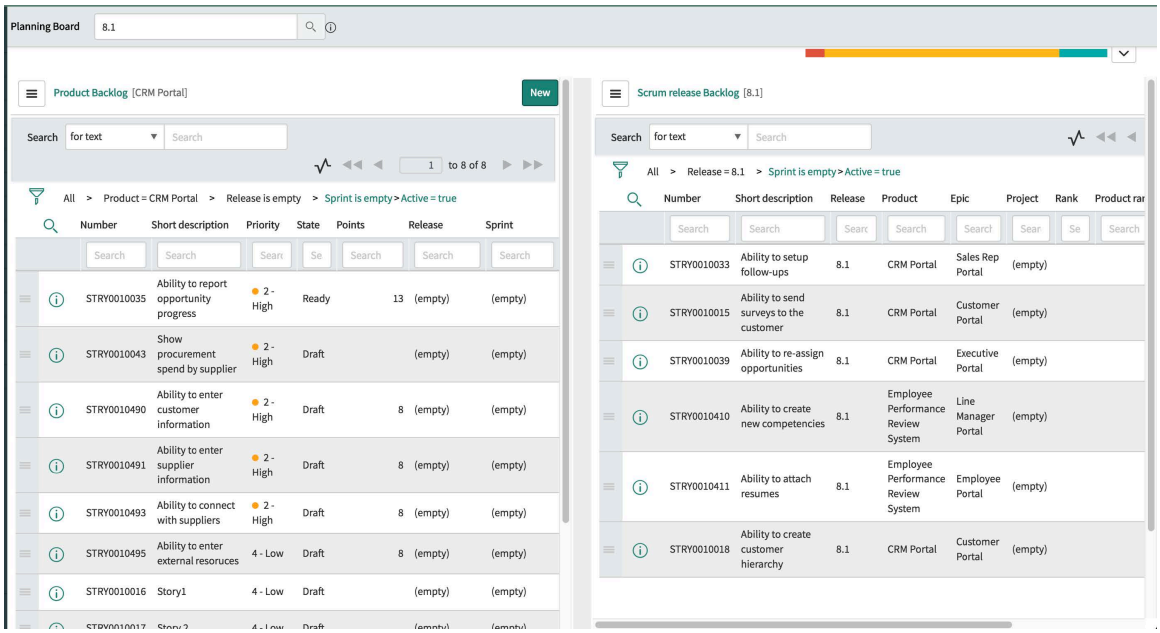
す。

自動翻訳

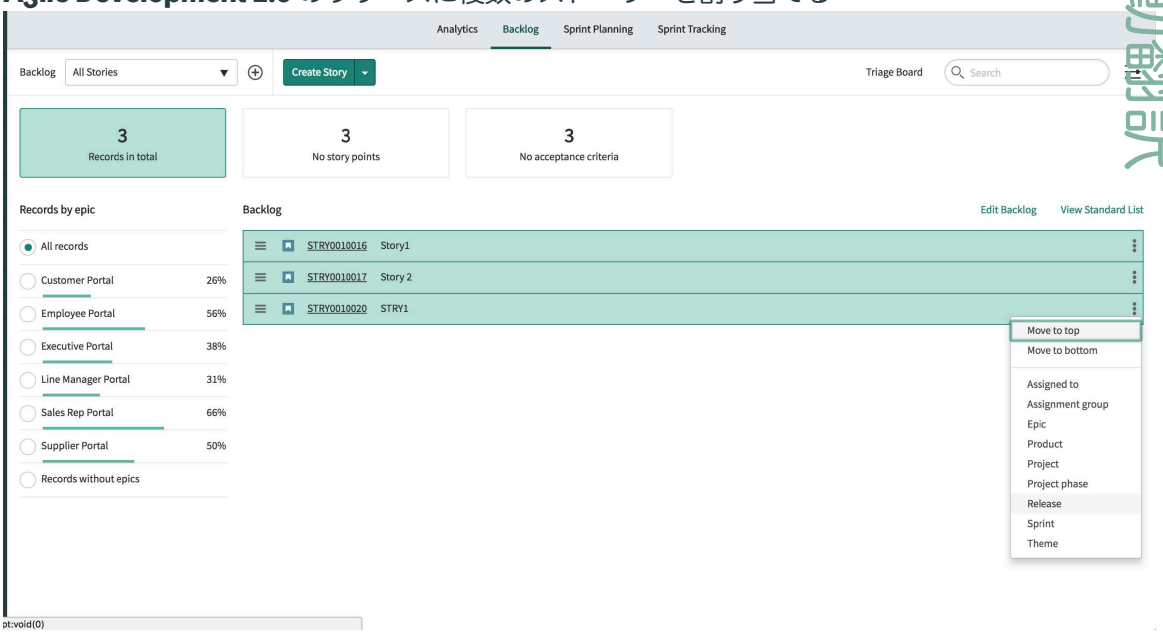
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Agile Development 1.0 の計画ボードは廃止されていませんが、Agile Development 2.0 では [スプリント計画立案] タブを使用できます。リリース計画立案では、ストーリーを複数選択してリリースに割り当てることができる [バックログ] タブを使用します。

Agile Development の [計画ボード] タブの例



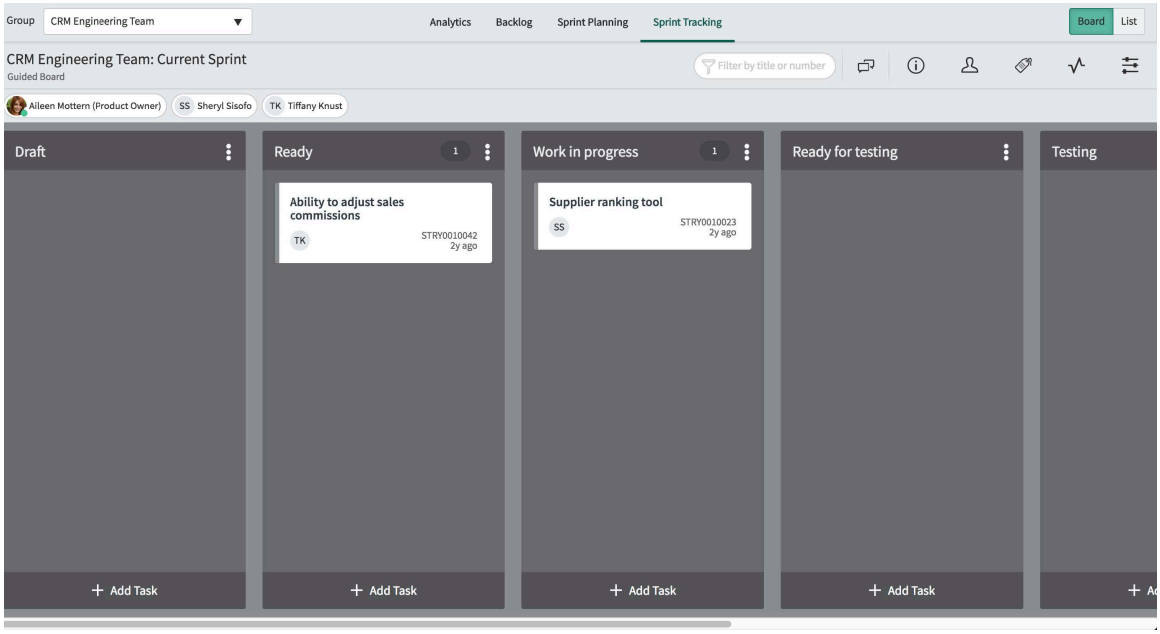
Agile Development 2.0 のリリースに複数のストーリーを割り当てる

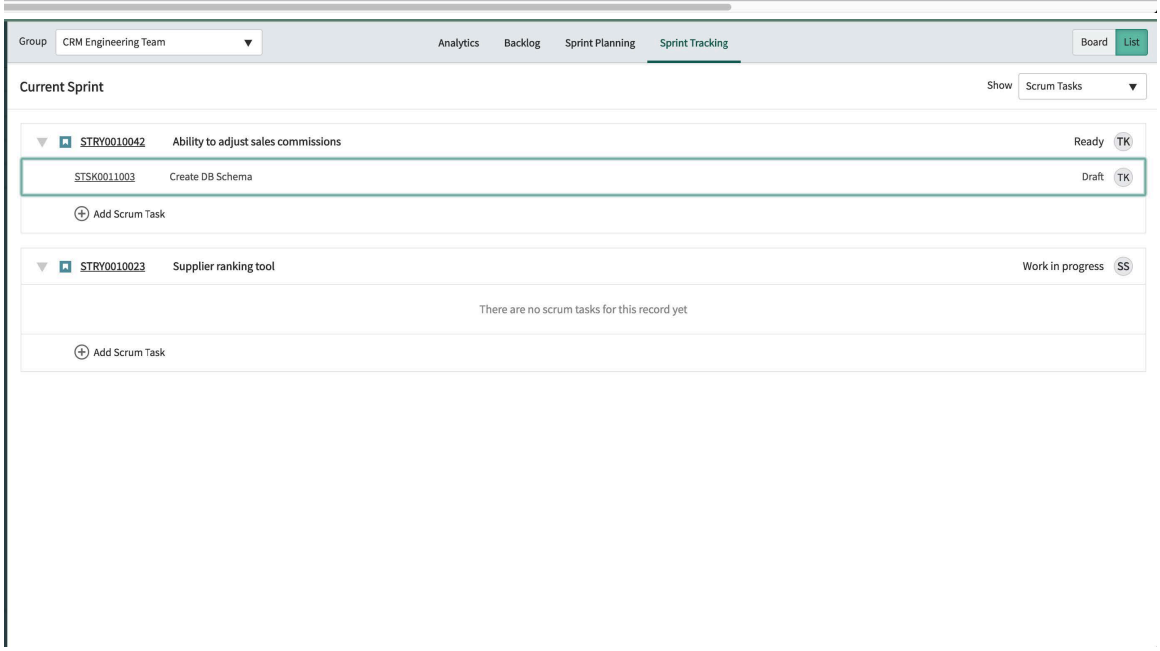


スプリント追跡

Agile Development 2.0 では、Visual Task Boards 機能を活用して、スプリント内のストーリーの進行状況を追跡します。また、追跡ビューからスクラムタスクを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





自動翻訳

注:
Agile Development 2.0 では、タスク進捗ボード UI は、タブとしては表示されません。ナビゲーターの検索パネルに「タスク進捗状況バー」と入力して、スクラムタスクの進捗状況を追跡するための UI を呼び出すことができます。

Agile Development 2.0 におけるユーティリティのカスタマイズのレビュー

Agile_2.0_Upgrade_Diagnostics 更新セットを使用して、 Agile Development 2.0 の拡張の一部として変更されたプラットフォームアーティファクト (フォームレイアウト、リストレイアウト、ビジネスルール、クライアントスクリプトなど) のカスタマイズを分析します。アップグレード前にカスタマイズを削除してください。

始める前に

- 必要なロール：admin
- Agile_2.0_Upgrade_Diagnostics 更新セット をダウンロードします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 同僚と連携して仕事を進めるには、上の 取得済み **Update Sets** 移動します
2. **[XML** から更新セットをインポート] をクリックします。
3. 更新セットを選択してアップロードします。
4. 更新セットをプレビューしてコミットします。
5. 移動先 **Agile Development 2.0** > アップグレード診断 > 診断を表示.
   インスタンスおよび Agile Development 2.0 で変更された Agile Development 1.0 のすべてのアーティファクトを表示します。
6. アーティファクトのファイル名をクリックするか、 [更新を表示] リンクをクリックしてファイルの最新の更新を確認します。

   たとえば、次のスクリーンショットでは、システムスクリプトがカスタマイズされています。したがって、アップグレード後にカスタマイズを削除、復元、または再適用するには、さらに分析が必要です。

   カスタマイズされたシステムスクリプトの例

Agile Development 2.0 へのアップグレード後に変更されたプラットフォームアーティファクトのリスト

移行後、Agile Development 2.0 で変更されたアーティファクトのリストを確認できます。

- sys_ui_list_control_3f85b6907f00000135a05e41c7547354、
- sys_ui_list_control_3f8607b47f0000012aaff213c654be45、
- sys_ui_list_control_6daa4a777f000001007607d32a0b44f0、
- sys_ui_list_control_7d3d1f917f000001798fc58141419300、
- sys_ui_list_control_aa8a1aae7f000001432d0e1142a85c2d、
- sys_ui_list_control_aa8a4bbe7f00000139552678204587f7、
- sys_ui_list_control_aa8ace2f7f000001514936314eb4c441、
- sys_ui_list_control_aa8b47f57f000001024db35639e9239d、
- sys_ui_list_control_aa8b87c57f0000014da26c6926295c45、
- sys_ui_list_control_aa8bb1fe7f000001566e2efad03b5d1d、
- sys_ui_list_control_f2e3f8447f0000010e16b6f2131e4c51、
- sys_ui_list_control_f2e421e97f0000015fecc4e84539ca3f、
- sys_ui_list_control_f31a7ea37f00000111797ad94bfc17a7、
- sys_ui_form_sections_6dd15dd77f00000146435a3f9ec1b5c2、
- sys_ui_form_sections_6dd2cbb17f0000016bc846fa867d9527、
- sys_ui_form_sections_6dd47d6f7f0000011b43299d37b79da0、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sys_ui_section_09c7f68d0a0a2c39447a64370c6851bb、
- sys_ui_section_09c9c4eb0a0a2c390ca461bae347c0c8、
- sys_ui_section_6da8bbff7f00000119f52f9d2ba74f7e、
- sys_ui_section_6dc344847f0000017a3badab86eae0f4、
- sys_ui_section_6dc409c57f0000016dd1fbecc461c7b9、
- sys_ui_section_6dd15e0a7f00000104ddce3e4fec5457、
- sys_ui_section_6dd2cbc97f0000016b6662d744a1766c、
- sys_ui_section_6dd47d857f000001783b95cc64af46a4、
- sys_ui_section_8756880b7f00000147213f08234c9a57、
- sys_ui_section_87569f2d7f00000116c556f5821ae434、
- sys_ui_section_8757b94d7f0000011c1ae8aa30062c20、
- sys_ui_section_87580cdb7f00000145cff7762bcac315、
- sys_ui_section_a19b5086c1252a7b3632553861b5440c、
- sys_ui_section_a7ee48bfc1252a7b377ac0507a9a6dc8、
- sys_ui_section_aa8a5d967f0000010d9bd63883019d20、
- sys_ui_list_rm_epic_rm_epic_scrum、
- sys_ui_list_rm_epic_scrum_theme_scrum、
- sys_ui_list_rm_scrum_task_rm_story_scrum、
- sys_ui_list_rm_sprint_rm_release_scrum_scrum、
- sys_ui_list_rm_story_rm_epic_scrum、
- sys_ui_list_rm_story_rm_release_scrum_scrum、
- sys_ui_list_rm_story_rm_sprint_scrum、
- sys_ui_list_rm_story_scrum_theme_scrum、
- sys_ui_list_scrum_group_permissions_scrum_theme_scrum、
- sys_ui_list_scrum_user_permissions_scrum_theme_scrum、
- sys_ui_list_rm_release_scrum_scrum、
- sys_ui_list_rm_sprint_scrum、
- sys_ui_list_rm_epic_scrum、
- sys_ui_list_rm_story_scrum、
- sys_ui_list_rm_release_scrum_null、
- sys_ui_list_rm_sprint_null、
- sys_ui_list_rm_epic_null、
- sys_ui_list_rm_story_null、
- sys_ui_related_rm_defect_scrum、
- sys_ui_related_rm_doc_scrum、
- sys_ui_related_rm_epic_scrum、
- sys_ui_related_rm_release_scrum_scrum、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sys_ui_related_rm_release_scrum、
- sys_ui_related_rm_sprint_scrum、
- sys_ui_related_rm_story_scrum、
- sys_ui_related_rm_test_scrum、
- sys_ui_related_rm_defect_null、
- sys_ui_related_rm_doc_null、
- sys_ui_related_rm_epic_null、
- sys_ui_related_rm_release_scrum_null、
- sys_ui_related_rm_release_null、
- sys_ui_related_rm_sprint_null、
- sys_ui_related_rm_story_null、
- sys_ui_related_rm_test_null、
- sys_ui_list_control_3f85b6907f00000135a05e41c7547354、
- sys_ui_section_87569f2d7f00000116c556f5821ae434、
- sys_ui_section_8757b94d7f0000011c1ae8aa30062c20、
- sys_ui_section_87580cdb7f00000145cff7762bcac315、
- sys_ui_section_a7ee48bfc1252a7b377ac0507a9a6dc8、
- sys_ui_section_aa8a5d967f0000010d9bd63883019d20、
- sys_ui_list_rm_story_null、
- sys_ui_list_rm_sprint_scrum、
- sys_ui_list_rm_story_scrum、
- sys_ui_related_rm_release_scrum_scrum、
- sys_ui_related_rm_sprint_scrum、
- sys_ui_section_0ffe390037412000dadaa3549dbe5d0d、
- sys_ui_list_rm_story_project、
- sys_ui_list_rm_story_sprint_planning、
- sys_ui_list_rm_epic_sys_ref_list、
- sys_ui_list_rm_story_release_backlog、
- sys_ui_ list_control_0b28c540ef301000a7450fa3f82256a4、
- sys_app_module_0e28cb14ef941000a7450fa3f8225643、
- sys_app_module_0b57e8009f503100598a5bb0657fcfae、
- sys_app_module_b5b5b092871031003706db5eb2e3ec5b、
- sys_app_module_d5d3212593320200ea933007f67ffb36、
- sys_app_module_f0ca98ca874321003706db5eb2e3ecdd、
- sys_app_module_f1e8dc8a874321003706db5eb2e3ecfa、
- sys_app_module_2117c480ef012000a7450fa3f82256fc、
- sys_app_module_30154714ef941000a7450fa3f82256ef、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sys_app_module_437d1419ef41200099620fa3f822560c、
- sys_app_module_6d691477efb42000a7450fa3f8225612、
- sys_app_module_5697aaa0efd41000a7450fa3f8225682、
- sys_app_module_876add92ef931000a7450fa3f82256c9、
- sys_app_module_97fd7218ef541000a7450fa3f8225648、
- sys_app_module_ae802859ef41200099620fa3f8225656、
- sys_app_module_b47c5091ef41200099620fa3f8225688、
- sys_app_module_0a68918e37031000dadaa3549dbe5dd4、
- sys_app_module_237c98d5ef41200099620fa3f82256e5、
- sys_app_module_297d5419ef41200099620fa3f82256e9、
- sys_app_module_2b80e819ef41200099620fa3f82256a6、
- sys_app_module_487f9459ef41200099620fa3f82256db、
- sys_app_module_4c836231ef002000a7450fa3f8225612、
- sys_app_module_5600c718ef541000a7450fa3f8225636、
- sys_app_module_717d1419ef41200099620fa3f82256ed、
- sys_app_module_7580e499ef41200099620fa3f8225675、
- sys_app_module_b17e9819ef41200099620fa3f8225692、
- sys_app_module_db7f1099ef41200099620fa3f822564e、
- sys_app_module_eb7dd019ef41200099620fa3f8225611、
- sys_ui_policy_6c5665c293030200ea933007f67ffb18、
- sys_ui_policy_823c84a6ef271000a7450fa3f8225653、
- sys_ui_policy_128dc58293030200ea933007f67ffbb3、
- sys_ui_policy_49dc0ca093030200ea933007f67ffb0c、
- sys_ui_policy_830b62d6877121003706db5eb2e3ec6d、
- sys_ ui_policy_cb2b8826ef271000a7450fa3f82256b3、
- sys_ui_policy_d8476e96877121003706db5eb2e3eca3、
- sys_ui_policy_267d5c2aef271000a7450fa3f8225636、
- sys_ui_policy_63a823ecefb31000a7450fa3f8225627、
- sys_ui_action_22ada00a93330200ea933007f67ffbd5、
- sys_ui_action_e89e773593330200ea933007f67ffbb7、
- sys_ui_action_f6ea06e2870321003706db5eb2e3ec7d、
- sys_ui_action_view_f9e0ee3393330200ea933007f67ffb38、
- sys_ui_action_96bd90b28f1321001a83cfd827bdee4a、
- sys_ui_action_c4ac45a147332100846e7eaecb9a7150、
- sys_ ui_action_c5c37126ef202000a7450fa3f8225650、
- sys_ui_action_dd4398b937301000dadaa3549dbe5db8、
- sys_ui_action_eaaae247873321003706db5eb2e3ec61、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sys_ui_action_706b5e96ef301000a7450fa3f82256a2、
- sys_ui_action_7c972317ff231000dadaefff0efe1e62、
- sys_ui_action_8aba60e6ef96200099620fa3f8225645、
- sys_ui_action_93d4b3423701200054b6a3549dbe5d25、
- sys_ ui_action_d07eddaa37202000dadaa3549dbe5d46、
- sys_ui_action_d67cdea1c32030003d2ae219cdba8f60、
- sys_ui_action_db07e836c320310028d7d56bc3d3ae2c、
- sys_ui_action_e2018d4237502000dadaa3549dbe5d32、
- sys_ui_action_ee01494237502000dadaa3549dbe5dec、
- sysrule_view_203b7ce58f3221001a83cfd827bdee67、
- sysrule_view_43bdcd758f3221001a83cfd827bdee78、
- sysrule_view_522cfce58f3221001a83cfd827bdeeb6、
- sysrule_view_6b8dcd758f3221001a83cfd827bdee3b、
- sysrule_view_9c4c79709f203100598a5bb0657fcf7d、
- sys_script_client_3d260d71873221003706db5eb2e3ec47、
- sys_script_client_f086b853873121003706db5eb2e3ec11、
- sys_script_client_cdf24c2493030200ea933007f67ffb90、
- sys_script_client_e1ea25e193002200ea933007f67ffbff、
- sys_script_2cc257b0373321001a8326877e41f1d0、
- sys_script_235ccb809f203100598a5bb0657fcfea、
- sys_script_3a06ffd59f322100598a5bb0657fcf40、
- sys_script_6940d94fef902000a7450fa3f8225689、
- sys_script_b0490d9047103100846e7eaecb9a7165、
- sys_script_c5dcb4f09f203100598a5bb0657fcffb、
- sys_script_21d6b274ef202000a7450fa3f822565d、
- sys_script_8cd24091ef52200099620fa3f8225619、
- sys_script_9f298c85efa1200099620fa3f82256ba

Agile Development - 統一されたバックログの有効化

admin ロールを持つ場合は、Agile Development - 統一されたバックログプラグイン (com.snc.sdlc.agile.multi_task) を有効化できます。

始める前に
Agile Development 2.0 のアクティブ化。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

> **注:**
> ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

関連情報

Agile Development — Unified Backlog

Agile Development 2.0のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、Agile Development 2.0 が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

> **危険:**
> デフォルトでは、自動テストを実行するためのシステムプロパティは、実稼働システムでは実行できないように非有効化されています。データの破損や機能停止を避けるため、開発、テスト、および他の非本番インスタンスでのみテストを実行してください。「Automated Test Framework テストの実行を有効または無効にする」を参照してください。

Agile Development 2.0 クイックスタートテストには、Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) および Agile Development 2.0 - ATF テストプラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0.atf) を有効にする必要があります。

Agile Development 2.0 クイックスタートテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
ストーリーの作成時にグローバルランクが追加されていることの確認	作成後にストーリーのグローバルランクを確認します。	Madrid
アクティブなストーリーでスプリントの終結が防止されていることの確認	アクティブなストーリーを含むスプリントを閉じることができないことを確認します。	Madrid
スプリントが同じグループ内で重ならないことの確認	同じグループ内のスプリントが重ならないことを確認します。	Madrid
スプリントポイントが更新されることの確認	ストーリーへの変更が正確なスプリントポイント合計を生成することを確認します。	Madrid
現在のステータスを保持できるのはグループ内の 1 スプリントのみであることの確認	スプリントのステータスを確認します。	Madrid
スプリント終了日がスプリント開始日より後であることの確認	スプリントの開始日と終了日を確認します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 クイックスタートテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
ストーリーの更新がエピックにロールアップしていることの確認	ストーリーの追加、推定、削除、消去、更新、またはキャンセルによって、エピックレベルのロールアップが正しく更新されることを確認します。	Orlando
現在のスプリントのスコープを変更しても、コミットポイント合計の値が変わらないことの確認	スプリントのスコープの状態が [現在] に変更されても、[コミットポイント合計] の値が変わらないことを確認します。	Orlando
Agile ストーリーの状態が [完了]/[キャンセル] に変更されたときに、アクティブフラグが false に設定されることの確認	Agile ストーリーのアクティブフラグが次のように設定されることを確認します。 • ステータスが [完了] または [キャンセル] に変更された場合は false • その他すべてのステータスの場合は true	Orlando

チーム/グループキャパシティを更新すると、将来のすべてのスプリントのキャパシティが上書きされることを確認する	アサイン先グループの [グループキャパシティ] フィールドが更新されると、このアサイン先グループに関連付けられているさまざまなスプリントの [グループキャパシティ] フィールドに以下の変更があることを確認してください。
	• ドラフトおよび計画ステータスのスプリントの場合:
	  ○ グループキャパシティが新しい値に更新されます。
	  ○ [グループキャパシティ] フィールドは編集可能です。
	• 現在、完了、またはキャンセル済みの各ステータスのスプリントの場合:
	  ○ グループキャパシティは古い値のままです。
	  ○ [グループキャパシティ] フィールドは読み込み専用です。
	
	[ドラフト] または [計画] ステータスのスプリントについては、後でいつでもスプリントのグループキャパシティを個別
		Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 クイックスタートテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	に編集できます。これにより、このスプリントに関連付けられているアサイン先グループのグループキャパシティが変更されることはありません。	
スクラムプログラムのバックログのエピックの作成および編集機能を確認する	• Agile ボードの [バックログ] タブでスクラムプログラムのバックログのエピックを作成できることを確認します。 • Agile ボードの [バックログ] タブから、スクラムプログラムの既存のバックログのエピックを更新できることを確認します。 • バックログにリストされているエピックは、選択したバックログのエピックに属している必要があります。	Quebec
デマンドがスクラムストーリーに変換されていることを確認する	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの [ストーリーの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを Agile 2.0 ストーリーに変換できることを確認してください。 Agile 2.0 ストーリーをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec
デマンドがスクラムエピックに変換されていることを確認する	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの [エピックの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを Agile 2.0 エピックに変換できることを確認してください。 Agile 2.0 エピックをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

クイックスタートテスト

Agile Development 2.0 を使用した製品開発の管理

Agile Development 2.0 の機能を使用して、製品開発ライフサイクルを効率的に管理する方法について説明します。

Agile Development 2.0 でのリリースの作成

Agile Development 2.0 でリリースを作成して、製品開発のストーリーやスクラムタスクをリリースに関連付けます。

始める前に
必要なロール：scrum_release_planner、scrum_admin

このタスクについて
リリースモジュールを使用してリリースレコードを作成し、今後のリリースに関する計画を立案を開始します。

リリースには開始日と終了日があり、その期間内でいくつかの開発反復が完了します。リリースはプロダクトオーナーによって作成され、複数の製品からのユーザーストーリーが含まれたり、複数のチームが関与したりすることもあります。リリースに関連付けられたストーリーにより、リリースバックログが形成されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > リリース.
2. レコードリストで [新規] を選択します。
   または、Agile Development 2.0 に製品レコードを既に作成している場合、[リリース] 関連リストを使用して新規のリリースフォームを開くことができます。
3. フォームのフィールドに入力します。

新規のリリースフォーム

フィールド	説明
番号	リリースに関する一意のシステム生成番号
ステータス	リリースの現在のステータス。デフォルトは [ドラフト] です。
コミットポイント合計	リリースに関連付けられたストーリーのすべてのストーリーポイント合計
リリースキャパシティ	リリースに関連付けられたすべてのアサイン先グループのグループキャパシティの合計。 リリースのアサイン先グループのグループキャパシティは、次のように計算されます： グループキャパシティ * そのグループのリリース内のスプリント数 リリースキャパシティは、リリースレコード内の [グループ] 関連リストのグループにおいて、[開始スプリント] および [終了スプリント]フィールド が入力されている場合にのみ更新されます。
開始予定日	リリースの予定開始日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
終了予定日	リリースの予定終了日
担当者	リリースにアサインされたユーザー リリースがアサインされるのは、リリース計画者やプロダクトオーナーなど、リリースの作成や編集の権限が付与されているロールを有するスクラムユーザーである必要があります。
簡単な説明	リリースの簡単な説明。
説明	リリースの詳細な説明
作業メモ	リリースで実行されている作業に関する更新情報。このフィールドは、リリースの作業進捗に応じてアサイン先ユーザーにより更新されます。

4. [送信] を選択します。

次のタスク
リリースの計画立案は、製品、ストーリー、アサイン先グループをリリースレコードに関連付けることから始まります。これらのアクションにおいては、リリースレコードで利用可能な関連リストを使用します。

リリースの関連リストについては、「Agile Development 2.0 におけるリリースの関連リスト」を参照してください。

Agile Development 2.0 でのテーマの作成

目標が抽象的な場合、Agile Development 2.0 でテーマを作成して、さまざまな製品のストーリーをグループ化します。

始める前に
必要なロール：scrum_product_owner、scrum_release_planner、scrum_admin

手順
1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > テーマ.
2. [新規] を選択します。
   または、以下を使用して新しいテーマフォームを開くこともできます。
   - アジャイルボードの [バックログ計画立案] または [スプリント計画立案] タブ
   - 製品レコードの [テーマ] 関連リスト
3. フォームのフィールドに入力します。

新規テーマフォーム

フィールド	説明
番号	テーマに関する一意のシステム生成番号
名前	高レベルのビジネスケースを示すテーマの名前。
製品	このテーマが関連付けられている製品。 テーマは、一度に 1 つの製品にのみ関連付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	テーマの簡単な説明
説明	テーマに関する詳細な説明

4. [送信] を選択します。

次のタスク
テーマレコードで利用可能な関連リストを使用して、エピックやストーリーをテーマに追加します。詳細については、「Agile Development 2.0 におけるテーマの関連リスト」を参照してください。

Agile Development 2.0 での製品の作成

顧客にとって重要な機能を体現する製品を作成します。製品には、ユーザーの視点からこうした機能拡張を記述するテーマ、エピック、およびストーリーを含めることができます。

始める前に
必要なロール：scrum_product_owner、scrum_release_planner、scrum_admin

手順
1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > 製品.
2. [新規] を選択します。

   または、リリースレコードの [製品] 関連リストを使用して、新しい製品のフォームを開くこともできます。
3. フォームのフィールドに入力します。

   製品フォーム

フィールド	説明
名前	製品の名前。
簡単な説明	製品の説明。機能を簡単に説明し、関連するテーマやグループについても言及
プロダクトオーナー	製品の開発やリリースの管理を担うユーザー

4. [送信] を選択します。

次のタスク
製品レコードの関連リストを使用して、リリース、テーマ、エピック、ストーリー、アサイン先グループをレコードに関連付けます。詳細については、「Agile Development 2.0 における製品の関連リスト」を参照してください。

のアサイン先グループ **Agile Development 2.0**

Agile Development 2.0 でアサイン先グループを作成したり管理したりする要件について説明します。

アサイン先グループを作成

admin ロールを持つユーザーは、 **Agile Team** タイプのアサイン先グループを作成できます。スクラムチームはこれらのアジャイルグループで表され、ストーリーやエピックなどの作業アイテムにアサ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インするために使用できます。詳細については、「Agile Development 2.0 でのアサイン先グループの作成」を参照してください。

アサイン先グループにメンバーを追加

- 新規顧客:アジャイルグループが作成されたら、グループへのメンバー の追加 を管理者に要求できます。
- 既存の顧客：Washington DC リリースにアップグレードした場合、scrum_admin ロールまたは scrum_master ロールを持つユーザーは、アジャイルグループにメンバーを追加できます。

> **注:**
> プロパティを作成して **true** に設定すること で、`scrum.disallow_scrum_add_group_member`この関数を管理者のみに制限できます。プロパティの作成方法については、「システムのプロパティの追加」を参照してください。

グループにメンバーを追加する手順については、「Agile Development 2.0 でのアサイン先グループへのメンバーの追加」を参照してください。

アサイン先グループのキャパシティ

グループメンバーごとに、デフォルトのストーリーポイント数を定義できます。グループレベルでは、ストーリーポイントの合計によってグループのキャパシティが決まります。

Agile Development 2.0 でのアサイン先グループの作成

これらのグループを製品またはリリースにアサインできるように、アジャイルチームタイプのアサイン先グループを作成します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルグループの作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

アジャイルグループフォーム

フィールド	説明
名前	アサイン先グループの名前
説明	アサイン先グループの簡単な説明。グループが携わる製品やリリースを示すことができます。

3. [送信] を選択します。
アサイン先グループが作成され、フォームが再度開いて、追加のフィールド、関連リンク、および関連リストが表示されます。
4. オプション: 追加のフィールドに入力します。

グループフォーム

フィールド	説明
マネージャー	グループのマネージャー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループキャパシティ (ポイント)	グループが各スプリントに収容できるポイント数
グループ メール	グループのメールアドレス。

次のタスク

- Agile Development 2.0 でのアサイン先グループへのメンバーの追加。
- 関連リンクや関連リストを使用してスプリントを作成し、グループのスプリントアクティビティを計画します。詳細については、「Agile Development 2.0 におけるアサイン先グループの関連リンクと関連リスト」を参照してください。

リリースチームをグループに変換する (リリースチームを持つ既存の顧客のみ)

既存のリリースチームをアジャイルチームタイプのアサイン先グループに変換し、そのグループを製品またはリリースにアサインできるようにします。

始める前に

必要なロール：管理者

このタスクについて

Agile Development 2.0 リリースチームを使用しません。リリースチームを作成した既存のユーザーは、既存のチームをアサイン先グループに変換する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. [リリースチームをグループに変換] 関連リンクをクリックします。
3. アサイン先グループに変換するチームを選択します。
4. [グループへ変換] をクリックします。

タスクの結果

- リリースチームは、以下からアサイン先グループとして利用できます。 アジャイル開発 > グループ.
- リリースチームのメンバーがアサイン先グループにコピーされます。

Agile Development 2.0 でのアサイン先グループへのメンバーの追加

スクラムストーリーやタスクに携わるチームメンバーを追加します。

始める前に

必要なロール：管理者
アサイン先グループに追加するユーザーには、scrum_user ロールが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. メンバーの追加先のグループを開きます。
3. [グループメンバー] 関連リストから、[編集] を選択します。
4. 必要なスクラムユーザーを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
選択したスクラムユーザーが、[グループメンバー] 関連リストに表示されます。

Agile Development 2.0 でエピックを作成

Agile Development 2.0 でエピックを作成して、開発する機能に関する大まかな要件を定義します。

始める前に
必要なロール：scrum_story_creator、scrum_admin

このタスクについて
Agile Development 2.0 でエピックを作成して、それを親と子の階層内で整理します。エピックは、 製品、 テーマ、または構成アイテム (影響を受けるアイテムまたはサービス) に関連付けることができます。

手順

1. 移動先 アジャイル開発 > エピック.
2. [新規] を選択します。

   または、アジャイルボードを使用して、テーマレコードや製品レコードから新規のエピックフォームを開くこともできます。

   既存のアクティブなストーリーをエピックに変換することもできます。詳細については、「Agile Development 2.0 におけるストーリーの関連リンクと関連リスト」を参照してください。
3. フォームのフィールドに入力します。

エピックフォーム

フィールド	説明
番号	エピックのシステム生成番号。
製品	このエピックに関連付けられた製品。 エピックは、一度に 1 つの製品にのみ関連付けることができます。
優先度	エピックの優先度
ステータス	エピックのステータス。次のいずれかを選択します。 ドラフト 説明や受け入れ条件などのストーリー要件は、依然としてドラフト段階です。 準備完了 ストーリーは開発チームによるピックアップの準備が整っています。 対応中 開発チームはストーリーに取り組み中で、変更内容を [作業メモ] フィールドに記録しています。 完了 ストーリーの開発とテストが完了しました。 キャンセル ストーリーはキャンセルされました。 このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	エピックの簡単な説明。
説明	エピックの詳細な説明。
作業メモ	エピックで行われた作業に関するメモ。
合計ストーリー数	エピックのストーリーの数。
完了数	エピック内の完了したストーリーの数。
数による完了率 (%)	エピック内で完了した作業のパーセンテージ。ストーリー数は、この値の計算に使用されます。
推定合計	エピック内のすべてのストーリーの推定合計値。
完了推定	エピック内のすべての完了したストーリーの推定合計値。
エピック別の完了率 (%)	エピック内で完了した作業のパーセンテージ。ストーリーの推定値は、この値の計算に使用されます。
推定値なし	推定値が欠落しているエピック内のストーリー数。
トッププログラム	プログラムがスクラム作業にマッピングされ、トップダウンのハイブリッド計画が有効になります。 このフィールドは、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効化されている場合に、エピックフォームのスクラムビューに表示されます。

エピックの福利厚生計画を作成する場合は、[計画] セクションに入力します。このセクションは、エピックフォームの [福利厚生] ビューで使用できます。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
子エピックまたはストーリーをエピックに追加します。

- [子エピック] 関連リストから [新規] を選択して、このエピックに対する子エピックを作成します。
- [ストーリー] 関連リストから [新規] を選択して、このエピックにストーリーを追加します。詳細については、「Agile Development 2.0 でストーリーを作成する」を参照してください。

  エピックには 1 つ以上のストーリーを含めることができますが、ストーリーは一度に 1 つのエピックにのみ所属できます。

エピックの金銭的利益計画を作成する

エピックの利益計画は、エピックの実行時にエピックによって発生する潜在的な利益をキャプチャします。金銭的利益計画を作成して、1 つ以上の会計期間にわたるカテゴリの推定利益を指定します。

始める前に
必要なロール：scrum_master、scrum_product_owner、または scrum_admin

このタスクについて
利益計画を保存すると、金銭的利益計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. 選択 ビュー > 利益 [他のアクション] メニュー (≡)。
4. フォームの [計画] セクションの必須フィールドに入力します。
   このセクションは、[福利厚生] ビューが選択されている場合に利用できます。

エピックフォームの計画セクション

フィールド	説明
開始予定日	エピックの予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。
終了予定日	エピックの予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。
計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
実開始日	エピックの実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日時	エピックの実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできますが、開始実績日時より前にすることはできません。
実績利益	実績利益値は、利益ブレークダウンの実績利益からロールアップされます。

5. レコードを保存します。
6. [金銭的な利益計画] 関連リストで、[新規] をクリックします。
7. フォームのフィールドに入力します。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するエピック。
スポンサー	エピックのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： ○ ハード：収益の観点から測定できる利益。 ○ ソフト：価値の観点から測定される利益。
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
利益タイプ	利益のタイプ。[金銭的な利益] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
オフセットタイプ (Offset type)	利益がいつ実現し始めるかを示すフィールド。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ なし：デフォルト値は [なし] です。[なし] を選択した場合は、利益計画の会計期間の開始および終了を手動で入力する必要があります。 ○ マイルストーン：マイルストーンの完了後。 ○ 開始日：エピックの開始時。 ○ 終了日：エピックの終了後。 選択したオフセットタイプの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、オフセットタイプが [終了日] に設定されていて、エピックの終了日が変更された場合、利益計画の開始日はエピックの新しい終了日に合わせてシフトされます。
マイルストーン	利益計画が属するエピックマイルストーン。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合に表示されます。
マイルストーンの開始日	選択したマイルストーンの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合に表示されます。
作業開始日	エピックの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [開始日] を選択した場合に表示されます。
作業終了日	エピックの終了日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [終了日] を選択した場合に表示されます。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] として選択され、オフセットが「-2」である場合、利益計画はエピック終了日の 2 期間前になります。エピックの終了日がシフトされると、利益計画の開始日が新しいエピック期日の 2 期間前にシフトされます。
期間	利益計画の長さ (期間)。
会計期間の開始	会計期間の開始。選択した [マイルストーン]、[作業開始日]、または [作業終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。選択した [マイルストーン]、[作業開始日]、または [作業終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭的利益計画に関連付けられている金銭以外の利益。
財務	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
入力通貨での利益	入力通貨で表される、指定のエピックから発生する利益。
入力通貨 (Entered currency)	利益計画の作成に使用する通貨。
機能通貨	**glide.system.locale** プロパティ から取得される通貨。
合計計画利益	エピックの潜在的利益の推定額。
機能通貨での利益	機能通貨で表される、エピックから発生する利益。[入力通貨] が機能通貨と異なる場合、このフィールドの値が変わります。
実績利益	エピックから発生する実績利益。この値は、すべての利益計画ブレークダウンの [実績利益] フィールドからロールアップされます。
繰り返し	利益計画のすべての会計期間で利益が繰り返し発生することを示すオプション。

8. [送信] をクリックします。

次のタスク
[利益計画] フォームの [金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。

エピックの金銭的利益計画ブレークダウンの更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭的利益計画ブレークダウンレコードを更新します。

始める前に
必要なロール：scrum_master、scrum_product_owner、または scrum_admin

手順
1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. 選択 ビュー > 利益 [他のアクション] メニュー ( )。
4. [金銭的な利益計画] 関連リストをクリックします。
5. 必要な金銭的利益計画を開きます。
6. [金銭的利益計画明細 (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、金銭的利益計画明細の情報アイコン ( ) をクリックします。
7. [レコードを開く] をクリックします。
8. 金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdown) フォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
9. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エピックの金銭以外の利益計画の作成

エピックの利益計画は、エピックの実行時にエピックによって発生する潜在的な非予定利益をキャプチャします。金銭以外の利益計画を作成して、1 つ以上の会計期間にわたるカテゴリの推定利益を指定します。

始める前に

必要なロール：scrum_master、scrum_product_owner、または scrum_admin

このタスクについて

[ブレークダウンタイプ] フィールドで [自動] または [手動] を選択して利益計画を保存すると、金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードは、特定の会計期間 (FY16 の 4 月および FY16 の 5 月など) の財務以外の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定します。[金銭以外の利益計画ブレークダウン] 関連リストには、エピックの各会計期間における推定非予定利益と実績非予定利益の集計利益が表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. 選択 ビュー > 利益 [他のアクション] メニュー (≡)。
4. フォームの [計画] セクションの必須フィールドに入力します。
   このセクションは、[福利厚生] ビューが選択されている場合に利用できます。

エピックフォームの計画セクション

フィールド	説明
開始予定日	エピックの予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。
終了予定日	エピックの予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。
計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
実開始日	エピックの実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日時	エピックの実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできますが、開始実績日時より前にすることはできません。
実績利益	実績利益値は、利益ブレークダウンの実績利益からロールアップされます。

5. レコードを保存します。
6. [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
7. 金銭以外の利益計画を作成するには、[新規] をクリックします。
8. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するエピック。
スポンサー	エピックのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： ○ ハード：収益の観点から測定できる利益。 ○ ソフト：価値の観点から測定される利益。
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの値により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
福利厚生タイプ	利益のタイプ。[金銭以外の利益] を選択します。
オフセットタイプ (Offset type)	利益がいつ実現し始めるかを示すフィールド。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ なし：デフォルト値は [なし] です。[なし] を選択した場合は、利益計画の会計期間の開始および終了を手動で入力する必要があります。 ○ マイルストーン：マイルストーンの完了後。 ○ 開始日：エピックの開始時。 ○ 終了日：エピックの終了後。 [オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、[オフセットタイプ] フィールドが [終了日] に設定されていて、エピックの終了日が変更された場合、利益計画の開始日はエピックの新しい終了日に合わせてシフトされます。
マイルストーン	利益計画が属するエピックマイルストーン。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合にのみ表示されます。
マイルストーンの開始日	選択したマイルストーンの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合にのみ表示されます。
作業開始日	エピックの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [開始日] を選択した場合にのみ表示されます。
作業終了日	エピックの終了日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [終了日] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] として選択され、オフセットが「-2」である場合、利益計画

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	はエピック終了日の 2 期間前になります。エピックの終了日が変更されると、利益計画の開始日が新しいエピック期日の 2 期間前にシフトされます。
期間	利益計画の長さ (期間)。
会計期間の開始	会計期間の開始。このフィールドは、選択した [マイルストーン]、[作業開始日]、または [作業終了日] に対する [オフセット] フィールド値、および [期間] の値に基づいて入力されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。このフィールドは、選択した [マイルストーン]、[プロジェクト/デマンドの開始日]、または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて入力されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭以外の利益計画に関連付けられている金銭的利益。
金銭以外の詳細	
測定	金銭以外の利益計画の測定のタイプ。測定タイプは、カウント、パーセンテージ、時間、日、スコアです。 定量化できない利益を追跡するには、[はい/いいえ] オプションを選択します。このオプションを選択した場合、利用できるフィールドは [利益の達成] のみです。チェックボックスをオンにして、利益が達成されたことを示すことができます。
金銭以外の入力通貨での利益	潜在的利益の推定値。 利益計画の計画利益に変更があると、将来の会計期間についてのみ、関連する利益ブレークダウン値が更新されます。
金銭以外の計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
利益の達成	利益が達成されたかどうかを示すオプション。
ブレークダウンタイプ	利益計画を保存するときのブレークダウン作成のタイプ。 ○ なし：明細は作成されません。 ○ 自動：金銭以外の利益計画明細レコードがデータとともに自動的に作成されます。明細は線形的に計算されます。 ○ 手動：金銭以外の利益計画明細レコードが自動的に作成されますが、[入力通貨での利益] 列にはデータがありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計モード	ブレークダウンから利益計画へのロールアップをどのように行うかを決定し、[金銭以外の計画利益] および [金銭以外の実績利益] フィールドの値を更新します。 ○ 合計：すべてのブレークダウンのデータを集計します。 ○ 平均：すべてのブレークダウンの平均値。 ○ 最新：最新のブレークダウン値。 ○ 最大：ブレークダウンの最大値。 ○ 最小：ブレークダウンの最小値。
金銭以外の実績利益	金銭以外の利益計画明細の実績利益からロールアップされる実績利益値。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 利益計画フォームの [金銭以外の利益計画ブレークダウン] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。
- 金銭的利益計画と金銭以外の利益計画の関連付け、ハイブリッド利益計画のエピックによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

エピックの非金銭的利益計画ブレークダウンの更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードを更新します。

始める前に

必要なロール：scrum_master、scrum_product_owner、または scrum_admin

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. 選択 ビュー > 利益 [他のアクション] メニュー (≡)。
4. [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
5. 必要な金銭以外の利益計画を開きます。
6. [金銭以外の利益計画明細] 関連リストで、金銭以外の利益計画明細の情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
7. [レコードを開く] をクリックします。
8. 金銭以外の利益計画ブレークダウンフォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
9. [更新] をクリックします。

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画の関連付け

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画を関連付けて、ハイブリッド利益計画のエピックによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：scrum_master、scrum_product_owner、または scrum_admin

このタスクについて
金銭的利益計画を金銭以外の利益計画に関連付けることも、その逆も可能です。

注:
利益計画を削除すると、関連する利益計画とのいかなる関係も削除されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. 選択 ビュー > 利益 [他のアクション] メニュー ( )。
4. [金銭的な利益計画] または [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
5. 関連付ける利益計画の情報アイコン ( ) をクリックします。
6. [レコードを開く] をクリックします。
7. 金銭的利益計画または金銭以外の利益計画を関連付けます。
8. [保存] をクリックします。

タスクの結果
選択した利益計画は別の計画に関連付けられます。

次のタスク
[関連する利益計画を表示] 関連リンクをクリックして、関連付けられている利益計画を表示します。

エピックの人件費の生成

エピックのリソース割り当てに基づいて人件費を表示します。

始める前に

- エピックにはリソースアサインが含まれている必要があります。
- 必要なロール:sn_spm_financial_user

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを選択します。
3. [人件費の生成] 関連リンクを選択します。
   ページを更新して、生成された人件費を [コスト計画] 関連リストに表示します。

Agile Development 2.0 でストーリーを作成する

Agile Development 2.0 で高レベルの要件定義をストーリーの形式で作成します。ストーリーを製品、プロジェクト、リリースに関連付け、アサイン先グループにアサインして、ストーリーを管理したり追跡したりします。

始める前に
必要なロール：scrum_story_creator、scrum_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > ストーリー.
2. [新規] を選択します。
   または、次のいずれかからストーリーを作成することもできます。
   - アジャイルボードの [バックログ計画立案] または [スプリント計画立案] タブ
   - 製品、リリース、スプリント、テーマ、エピックの [ストーリー] 関連リスト
   - 欠陥レコードまたは拡張レコード
3. フォームのフィールドに入力します。

   注:
   ストーリーの作成に使用したオプションによっては、ストーリーフォームの一部のフィールドが入力済みで表示される場合があります。

ストーリーフォーム

フィールド	説明
番号	ストーリーのシステム生成番号。
テーマ	ストーリーに関連付けられたテーマ。 テーマには 1 つ以上のストーリーを含めることができますが、ストーリーは一度に 1 つのテーマにのみ所属できます。 [製品] フィールドに関連付けられているテーマのリストから、このストーリーのテーマを選択します。
Epic	ストーリーに関連付けられたエピック。 エピックには 1 つ以上のストーリーを含めることができますが、ストーリーは一度に 1 つのエピックにのみ所属できます。 [製品] フィールドに関連付けられているエピックから、このストーリーのエピックを選択します。
タイプ	ストーリーのタイプ。 開発、ドキュメント、スパイクなどのオプションから選択します。
分類	ストーリーが関与する開発のタイプ。このフィールドは自動的に [機能] に設定されます。 このフィールドは、[関連レコード] タブの [欠陥] フィールドおよび [拡張] フィールドとは関連しません。
ステータス	ストーリーのステータス。次のいずれかを選択します。 ○ ドラフト：説明や受け入れ条件などのストーリー要件は、依然としてドラフト段階です。 ○ 準備完了：ストーリーは開発チームによるピックアップの準備が整っています。 ○ 対応中：開発チームはストーリーに取り組み中で、変更内容を [作業メモ] フィールドに記録しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ テストの準備完了：ストーリーはテスターによるピックアップの準備が整っています。 ○ テスト中：テスターが、ストーリーで指定された要件に基づいてストーリーをテストしています。 ○ 完了：ストーリーの開発とテストが完了しました。 ○ キャンセル：ストーリーはキャンセルされました。 このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
ポイント	ストーリーを完了するために必要な工数概算を示すポイント数。 このポイント値が大きいほど、ストーリーに多くの工数が必要であることを示します。
優先度	ストーリーに割り当てられた優先度。 製品オーナーは、優先度を使用して計画ボードでストーリーをランク付けできます。
製品	このストーリーが関連付けられている製品。
リリース	このストーリーが関連付けられているリリース。 このリリースは、選択した製品に関連付けられたリリースから取得できます。
アサイン先グループ	ストーリーが属するアジャイルチーム。
スプリント	このストーリーが関連付けられているスプリント。 このフィールドは、[アサイン先グループ] フィールドから値が選択されている場合にのみ使用できます。
担当者	ストーリーで作業しているユーザー。このリストのユーザーには、適切なスクラムロールがあります。
デマンド	このストーリーが関連付けられているデマンド。 デマンドがプロジェクトに変換されると、デマンドのストーリーはデマンドからプロジェクトに移動します。 デマンドがストーリーに変換されると、デマンドの参照がここに表示されます。
プロジェクト	このストーリーが関連付けられているプロジェクト。
プロジェクトフェーズ	このストーリーが関連付けられているアジャイルプロジェクトフェーズの名前。このフィールドは、[プロジェクト] フィールドから値が選択されている場合にのみ使用できます。 プロジェクトに 1 つのフェーズしかない場合には、ストーリーは自動的に該当フェーズにタグ付けされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: アジャイルフェーズには、複数のグループに属するストーリーを含めることができます。
ブロック済み	ストーリーの進行を妨げる問題があることを示すインジケーター
簡単な説明	ストーリーの簡単な説明。
説明	ストーリーの詳細な説明。
受け入れ条件	このストーリーを [完了] ステータスに移行するために必要な機能の条件またはテスト結果。
メモ	
作業メモ	このストーリーに対して行われた作業に関するメモ。
関連レコード	
不具合	ストーリーに関連付けられた欠陥。このフィールドは、欠陥の [rm_defect] テーブルからの参照フィールドです。ストーリーが欠陥に対して作成された場合、このフィールドは必須です。 このフィールドの検索アイコン (検索) をクリックして、既存の欠陥を表示するか、新しい欠陥を開きます。 feature_user ユーザーロールを持つユーザーのみが欠陥を開くことができます。管理者は、Agile Development アプリケーションで欠陥を開くことが想定されるすべてのユーザーに feature_user ロールを付与する必要があります。このフィールドは、Agile Development アプリケーションにおいて、欠陥の [rm_defect] テーブルのレコードが表示される唯一の場所です。 欠陥の詳細については、「Agile Development 2.0 での欠陥のレポート」を参照してください。
拡張	ストーリーに関連付けられた拡張。このフィールドは、拡張の [rm_enhancement] テーブルからの参照フィールドです。拡張に対してストーリーが作成されている場合、このフィールドは必須です。 このフィールドの検索アイコン (検索) をクリックして、既存の拡張要求を照会するか、新しい拡張要求を開きます。 feature_user ロールを持つユーザーのみが欠陥を開くことができます。管理者は、Agile Development アプリケーションで拡張要求を開くことが想定されるすべてのユーザーに feature_user ロールを付与する必要があります。このフィールドは、Agile Development アプリケーションにおいて、拡張の [rm_enhancement] テーブルのレコードが表示される唯一の場所です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	拡張の詳細については、「Agile Development 2.0 の拡張要求」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

タスクの結果

- ストーリーが作成され、関連リンクおよびリストとともにフォームが再度開きます。
- ストーリーは、ストーリーフォームに入力されたフィールドに応じて、バックログに一覧表示されます。

次のタスク

- ストーリーの関連リンクや関連リストを使用して、ストーリーのスクラムタスクを作成したり、ストーリーをエピックに変換したり、ストーリーを 2 つのストーリーに分割したりします。詳細については、「Agile Development 2.0 におけるストーリーの関連リンクと関連リスト」を参照してください。
- Agile Development 2.0 ストーリーに関する依存関係の追加
- ストーリーの追加アクション (☰) の [挿入] または [挿入と維持] オプションを使用して、このストーリーと同じ詳細を含むストーリーを作成できます。

  [挿入と維持] を使用すると、新しく作成したストーリーのフォームは開いたままになります。ストーリーの詳細を変更したり、こうした詳細を含むストーリーをさらに作成したりできます。アジャイルボードでは、新しいストーリーは元のストーリーのすぐ下に示されます。それに応じて、新しいストーリーのグローバルランクが設定されます。

  注:
  こうしたアクションにアクセスするには、 *glide.ui.task.insert* プロパティおよび *glide.ui.advance* プロパティを **true** に設定します。これらのアクションは、トリアージボードから追加されたストーリーでは許可されません。

Agile Development 2.0 ストーリーに関する依存関係の追加

Agile Development 2.0 において、ストーリーの前提条件アイテムと依存関係アイテムを追加して、スクラム計画ボードで依存関係を視覚化し、スプリントを適切に計画できるようにします。

始める前に

必要なロール：scrum_story_creator、scrum_story_editor

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > ストーリー.
2. 依存関係を追加するストーリーを開きます。
   または、アジャイルボードからスクラムプログラムボードを使用して、ストーリーを開いたり、依存関係を追加したりすることもできます。
3. [前提条件ストーリー] 関連リストや [依存ストーリー] 関連リストを使用して、依存関係をストーリーに追加します。
4. [保存] を選択し、[更新] を選択します。

次のタスク

スクラムプログラムボードを使用すると、ストーリーの依存関係を視覚的に分析できるようになり、スプリント計画立案にも役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード > ワクチン名 > 計画
2. 依存関係アイコン ( ) を使用して、ストーリー間の依存関係を表示したり非表示にしたりします。

> **注:**
> スクラムプログラムボードへのアクセスは、スクラムプログラムプラグイン (com.snc.sdlc.scrum_program) でのみ可能です。

Agile Development 2.0 ストーリーに対するスクラムタスクの作成

Agile Development 2.0 でスクラムタスクを作成し、チームが作業しやすくなるようにストーリーを管理しやすいサイズに細分化します。一度に 1 つのスクラムタスクを作成することも、一度に複数のスクラムタスクを作成することもできます。

始める前に
必要なロール：scrum_story_creator、scrum_admin

このタスクについて
チームメンバーは、自分のスキルに基づいてタスクを自発的に行い、残り時間を毎日追跡します。タスクが予定時間内に完了しない場合、タスクをさらに分割することができます。すべてのタスクが完了してはじめてストーリーが完了となります。

このタスクでは、一度に 1 つのスクラムタスクを作成する方法を説明しています。しかし、時間を節約するために、一度に複数のスクラムタスクを作成することもできます。「Agile Development 2.0 でのストーリーに対する複数のスクラムタスクの作成」を参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > ストーリー
2. タスクを作成する対象のストーリーを開きます。
3. [スクラムタスク] 関連リストから [新規] を選択します。
   または、アジャイルボードにある [スプリント追跡] タブのタスクボードビューを使用して、スクラムタスクを作成することもできます。
4. フォームの各フィールドに入力します。

スクラムタスクフォーム

フィールド	説明
番号	ストーリーのシステム生成番号。
ストーリー	スクラムタスクに関連付けられたストーリーを表示します。
優先度	タスクの優先度。
計画時間数	タスクを完了するための推定時間数。 一般的なスクラムタスクには、4 時間から 12 時間かかります。タスクに 12 時間以上かかる場合は、複数のタスクに分割することを検討してください。
残り時間	スクラムタスク完了までの推定残り時間数。アサイン先グループのメンバーは、タスクの作業の進行中にこの値を更新します。
実績時間	タスクが完了したら、タスクに実際にかかった時間数を入力します。
タイプ	関連する作業のタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	スクラムタスクの現在のステータス。新しいタスクのデフォルトは [ドラフト] です。
アサイン先グループ	このタスクに携わるグループ。 このフィールドは、タスクの作成元であるストーリーのアサイン先グループから自動的に入力されます。
担当者	スクラムタスクを実行しているユーザー。このフィールドは、デフォルトでストーリーオーナーに設定されています。
ブロック済み	スクラムタスクの進行を妨げる問題があることを示すインジケーター
簡単な説明	スクラムタスクの簡単な説明。
説明	スクラムタスクの詳細な概要
作業メモ	スクラムタスクの進捗状況またはそれを妨げている問題を示すメモ。

Agile Development 2.0 でのストーリーに対する複数のスクラムタスクの作成

Agile Development 2.0 ストーリーにおいて、さまざまなタイプのスクラムタスクのバッチを作成し、時間を節約します。

始める前に
必要なロール：scrum_story_creator、scrum_admin

このタスクについて
スクラムタスクが必要なストーリーを選択し、これらすべてのタスクをまとめて作成します。テストや分析などのさまざまなタイプのタスクを作成できます。これらのタスクはすべて、簡単な説明 **ToDo...** で作成されます。後でタスクレコードを開いて、タスクの詳細情報を入力します。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > ストーリー
2. ストーリー番号を右クリックし、[スクラムタスクを追加] を選択します。
3. 各タスクタイプで作成するスクラムタスクの数をフォームに入力します。
   - 分析
   - コーディング
   - ドキュメント
   - テスト中
4. **[OK]** を選択します。

タスクの結果
選択したタイプにおけるタスクのバッチが、**ToDo...** の簡単な説明と併せて作成され、ストーリーレコードの [スクラムタスク] 関連リストに一覧表示されます。

次のタスク
各スクラムタスクレコードを開き、説明や優先度などの詳細情報を入力します。スクラムタスクフォームのフィールド情報については、「Agile Development 2.0 ストーリーに対するスクラムタスクの作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 でのカスタマイズされたバックログの作成

Agile Development 2.0 において、フィルターを作成して、バックログに表示するストーリーを定義します。

始める前に
必要なロール：scrum_product_owner

このタスクについて
バックログは、特定の製品、エピック、リリースなどに関連するストーリーの優先順位付けされたリストです。バックログの定義には柔軟性があり、製品オーナーにより設定されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード > バックログ.
2. [バックログの作成] アイコン ( ) を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

バックログ定義フォーム

名前	バックログの名前。
テーブル	バックログのレコードの取得元テーブル。 このフィールドのデフォルト値は [ストーリー **[rm_story]] (Story [rm_story])**です。
表示対象	バックログを共有するユーザー。[非表示解除 (Unlock Visible)] アイコン ( ) を使用して、ユーザーを追加します。
グループに表示	バックログを共有するユーザーグループ。[非表示解除 (Unlock Visible)] アイコン ( ) を使用して、グループを追加します。
フィルター	バックログのストーリーに適用されるフィルター基準。 デフォルトのフィルター基準は、[アクティブ **= true]** および [スプリント空] です。

4. [送信] を選択します。

タスクの結果
作成されたバックログは、アジャイルボードの [バックログ] ページにロードされます。

次のタスク
さまざまな優先度に一致する個人のバックログはいくつでも作成できます。個人のすべてのバックログにアクセスするには、次の場所に移動します。 アジャイル開発 > 個人のバックログ.

Agile Development 2.0 での製品バックログの管理

Agile Development 2.0 において、一元化されたアジャイルボードで製品バックログを管理します。カスタマイズされたバックログにストーリーを追加し、必要に応じて優先順位を付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：scrum_product_owner

このタスクについて
バックログのストーリーに優先順位を付けます。ストーリーの追加、リリースまたは製品へのストーリーの割り当て、トリアージされたレコードの追加などを行うことができます。

- ステップ 1 および 2 により、スクラムバックログを管理できます。
- ステップ 3 ～ 12 では、バックログで実行できるさまざまなアクションに関するガイダンスを提供しています。要件に基づいてアクションを選択します。
- トリアージボードに関連するすべてのアクションへのアクセスは、Agile Development — Unified Backlog プラグイン (com.snc.sdlc.agile.multi_task) が有効化されている場合のみ可能です。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード > バックログ.

   カスタマイズされたバックログを既に作成している場合は、このタブに自動的に表示されます。カスタマイズされたバックログを作成していない場合は、バックログを作成するためのリンクを示す、ようこそページが表示されます。

2. 左上隅のリストから必要なバックログを選択するか、[バックログの作成] アイコン ( ) を使用してバックログを作成します。

3. [バックログの編集] アイコン (アイコン) を使用して、選択したバックログの既存のフィルター基準を更新します。

4. カスタマイズアイコン ( ) を選択して、リストの列をカスタマイズします。

5. バックログにストーリーを追加します。

   a. [ストーリーの作成] をクリックします。

   b. ストーリーフォームで必要な詳細を指定します。

   c. [送信] をクリックします。
      ストーリーが、最後のページのバックログの一番下にリストされます。

   バックログの特定の位置にストーリーを追加する場合は、該当する位置のすぐ上にあるストーリーを選択し、[ストーリーの作成] をクリックします。新しいストーリーが、選択したストーリーの下に表示されます。

6. バックログからストーリーを更新します。

   a. 更新するストーリーのストーリー番号をクリックします。

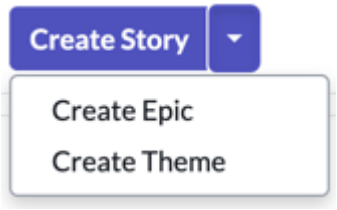
   b. ストーリーの詳細を編集し、[更新] をクリックします。
      読み取り専用アクセス権がある場合は、ストーリーフォームを開くことはできますが、ストーリーの詳細を編集することはできません。

7. エピックまたはテーマを [バックログ] タブから直接作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ストーリーを作成] オプションの横にあるオプションアイコン ( ) を選択します。



b. リストから [エピックの作成] または [テーマの作成] を選択します。

c. フォームのフィールドに入力して、送信します。

新しいエピックは、ストーリーが選択したバックログのフィルターの条件を満たしている場合にのみ、エピックフィルターでリストに含まれます。

8. 次のいずれかのオプションを使用して、バックログページ内にストーリーを配置します。
   - マウスデバイスを使用してストーリーを選択して保持し、必要な位置にドラッグアンドドロップします。
   - キーボードを使用します。詳細については、「キーボードによるアジャイルボードでの Agile Development 2.0 ストーリーの配置」を参照してください。

   バックログのストーリーを並べ替えると、ストーリーの [rm_story] テーブルの global_rank 列でストーリーのランキングが調整されます。バックログ内でストーリーを移動すると、同じバックログ内で相対的にそのストーリーのランクが変更されます。したがって、バックログリストの先頭のストーリーはランク値が小さく優先度が高くなり、バックログリストの末尾のストーリーはランク値が大きく優先度が低くなることが想定されます。

9. 必要なストーリーを選択し、オプションアイコン ( ) をクリックして、単一のストーリーまたは一連のストーリーに対して次のいずれかのアクションを実行します。

10. [トリアージボード] オプションを使用して、トリアージボードのレコードを表示および編集します。
    [トリアージボード] オプションを使用して、次のアクションを実行できます。
    - すべてのタスクタイプのトリアージボードの合計レコード数 (問題や欠陥など) を表示および編集します
    - 特定のタスクタイプのリストを開きます
    - 既存のトリアージフィルターの定義を編集します
11. 欠陥などのトリアージ済みレコードをバックログの最後に追加します。

    a. [トリアージボード] をクリックします。

    b. トリアージフィルター定義を選択します。
    たとえば、すべての欠陥の定義などです。

    c. バックログに追加するレコードを選択します。

    d. [バックログに追加] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. トリアージしたレコードをバックログからトリアージボードに戻します。
    a. 番号をクリックして、トリアージされたレコードを開きます。
    b. [トリアージボードに戻る] 関連リンクをクリックします。
    バックログ内のトリアージされたレコードへのアクセスを提供する特定のロールが必要です。たとえば、バックログの問題を表示するには、itil ロールが必要です。どのレコードにもアクセスできない場合は、エラーメッセージが表示されます。

関連情報

Agile Development 2.0 のアジャイルボード

Agile Development 2.0 でのカスタマイズされたバックログの作成

キーボードによるアジャイルボードでの **Agile Development 2.0** ストーリーの配置

キーボードを使用して、アジャイルボードの [バックログ] タブおよび [スプリント計画立案] タブにある Agile Development 2.0 ストーリーを移動したり再配置したりする方法について説明します。

始める前に

必要なロール：scrum_admin、scrum_master、scrum_product_owner、または scrum_sprint_planner

手順

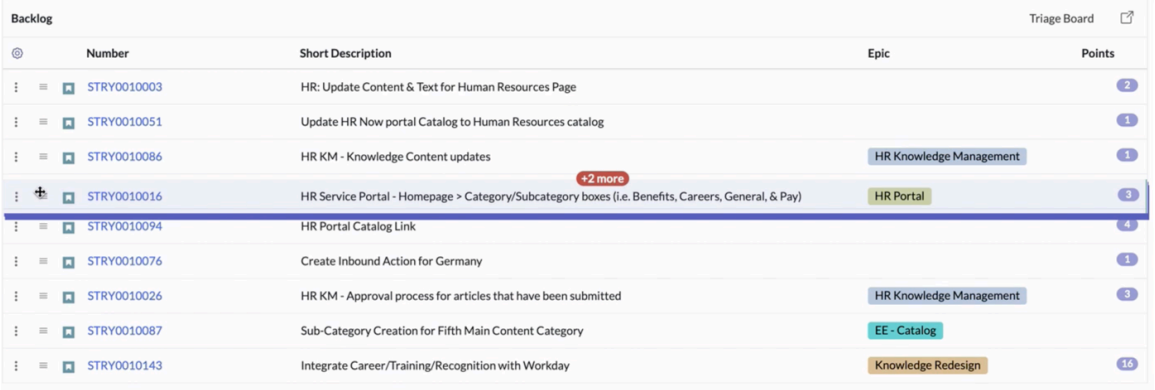
1. 1 つのストーリーの並べ替え：
    a. Tab キーを押して、目的のストーリーをハイライト表示します。
    b. もう一度 Tab キーを押して、ストーリーのコンテキストメニュー () アイコンをハイライト表示します。
    c. Enter キーを押してストーリーを選択します。
    d. 上下の矢印キーを使用して、ストーリーを目的の位置に移動します。
    e. Enter キーを押してストーリーの位置を固定します。
2. 複数のストーリーの並べ替え：
    a. Tab キーを押して、目的のストーリーをハイライト表示します。
    b. Enter キーを押してストーリーを選択します。
    c. 上向き矢印キーと下向き矢印キー、および Shift キーまたは Control キーを使用して、複数のストーリーを選択します。
        - 連続するストーリーを選択するには、下矢印キーを使用して最後に選択するストーリーをハイライト表示し、Shift キーと Enter キーを押します。
        - ページ上のさまざまな位置にあるストーリーを選択するには、下矢印キーで次に選択するストーリーに移動します。移動したら、Control キーと Enter キーを押します。

        このステップを繰り返して、他のストーリーを選択します。
    d. もう一度 Tab キーを押して、ストーリーのコンテキストメニュー () アイコンをハイライト表示します。
    e. Enter キーを押して、選択したすべてのストーリーをグループ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択した複数のストーリーがグループ化されて表示されま



す。

f. 上下の矢印キーを使用して、ストーリーを目的の位置に移動します。

g. Enter キーを押してストーリーの位置を固定します。

Agile Development 2.0 でのスプリントアクティビティの計画

アジャイルボードの [スプリント計画立案] タブを使用して、スプリントの作成、編集、完了、スプリントへのストーリーの追加などのスプリントアクティビティを簡素化します。

始める前に

- [スプリント計画立案] タブにアクセスするには、アジャイルグループのメンバーであることが必要です。
- 割り当てられたロールに基づき、[スプリント計画立案] タブで一連のアクションのみを実行することができます。詳細については、「Agile Development 2.0 とともにインストールされるコンポーネント」のロールを参照してください。
- 必要なロール：scrum_admin、scrum_master、または scrum_sprint_planner

このタスクについて

- ステップ 1 ～ 3 では、スプリントアクティビティを計画します。
- ステップ 4 ～ 11 では、スプリントを計画するためのさまざまなアクションを実行します。要件に合ったものを選択してください。

アジャイルボードの詳細については、「Agile Development 2.0 のアジャイルボード」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.

2. [スプリント計画立案] タブを選択します。

3. [グループ **(Group)]** フィールドから、スプリントアクティビティを計画するアサイン先グループを選択します。

リストには、グループメンバーとして追加されたすべてのチームが表示されます。デフォルトのアサイン先グループは、以前に選択したチーム、または自身がグループメンバーとして追加された最初のチームになります。

4. スプリントを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [スプリントの作成] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力または更新します。

c. [送信] を選択します。
または、アサイン先グループのスプリントを一括作成し、計画のタブに戻ってスプリントの計画を続行することもできます。「Agile Development 2.0 でのスプリントの一括作成」を参照してください。

5. スプリントを編集します。

a. 名前を選択してスプリントフォームを開きます。

b. スプリントフォームで、詳細情報を更新します。
スプリントが始まる前であれば、チーム構成、休日、休暇の変更を考慮して、[グループキャパシティ] フィールドでアサイン先グループのキャパシティを更新することもできます。

c. [更新] を選択します。

6. 新規ストーリーをバックログに追加します。

a. [ストーリーを作成] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「Agile Development 2.0 でストーリーを作成する」を参照してください。

c. [送信] を選択します。

ストーリーはバックログの一番下に表示されます。ストーリーの詳細情報を編集するには、その番号を選択します。読み取り専用アクセス権がある場合は、ストーリーフォームを表示することはできますが、ストーリーの詳細を編集することはできません。

7. ストーリーをバックログやスプリントに追加し、同時に実装順序を決定します。

a. バックログやスプリントから、新規ストーリーを追加するストーリーの行を選択します。

b. ステップ 6a ～ 6c を繰り返します。
新しいストーリーは、最初に選択したストーリーの下に配置されます。

8. カスタマイズオプション ( ) を使用してリストの列をカスタマイズします。

9. バックログや任意のスプリントセクションでストーリーを並べ替えて、優先度に従ってストーリーを配置します。

10. 一番上のスプリントのセクションで [スプリントの開始] を選択して、スプリントを開始します。
[スプリント追跡] タブが表示されます。

11. 一番上のスプリントのセクションで [スプリントの完了] を選択して、スプリントに完了マークを付けます。

a. [スプリントの完了] ダイアログボックスに未完了のストーリーがある場合は、これらをバックログや今後のスプリントに移動します。

b. [完了] を選択します。
スプリントが完了とマークされると、[スプリント計画立案] タブに表示されなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Agile Development 2.0 のアジャイルボード

Agile Development 2.0 でのスプリントの一括作成

複数の Agile Development 2.0 アサイン先グループに対して複数のスプリントを一括で作成して、時間を節約します。

始める前に

必要なロール：scrum_admin、scrum_master、または scrum_sprint_planner

このタスクについて

1 つのアサイン先グループに対して複数のスプリントを一括で作成します。複数のアサイン先グループが同じスプリント周期に従う場合は、これらのグループのスプリントをすべて一括で作成することができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > グループ.
2. スプリントを作成するアサイン先グループを選択し、[スプリントの作成] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

スプリントフォームの作成

フィールド	説明
名前	選択したすべてのアサイン先グループに適用されるスプリントの名前 たとえば、選択したすべてのアサイン先グループが今後のリリースに携わる場合、**<Release name> sprint** のようなリリース名でスプリントに名前を付けておくことができます。
開始番号	スプリントの開始番号 選択したアサイン先グループに対して作成されたスプリントは、**<Name> <Starting Number>** という名前になります。
開始日	スプリントの開始日
期間 (日数)	スプリントの日数。
スプリント数	選択したアサイン先グループに対して作成するスプリントの数

4. **[OK]** を選択します。

タスクの結果

選択したアサイン先グループのスプリントが作成され、そうしたグループの [スプリント] 関連リストに表示されます。

Agile Development 2.0 でのスプリントに対するストーリーの進捗状況の追跡

Agile Development 2.0 において、アジャイルボードの [スプリント追跡] タブを使用して、現在のスプリントからのストーリーの展開を追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ボードにアクセスするには、アサイン先グループのメンバーである必要があります。

必要なロール：scrum_user または scrum_admin

このタスクについて
[スプリント追跡] タブのストーリーボードビューを使用すると、現在のスプリントに対するストーリーのステータスを確認することができます。ボードでは、タスクがカードとして表示され、ステータスがレーンとして表示されます。

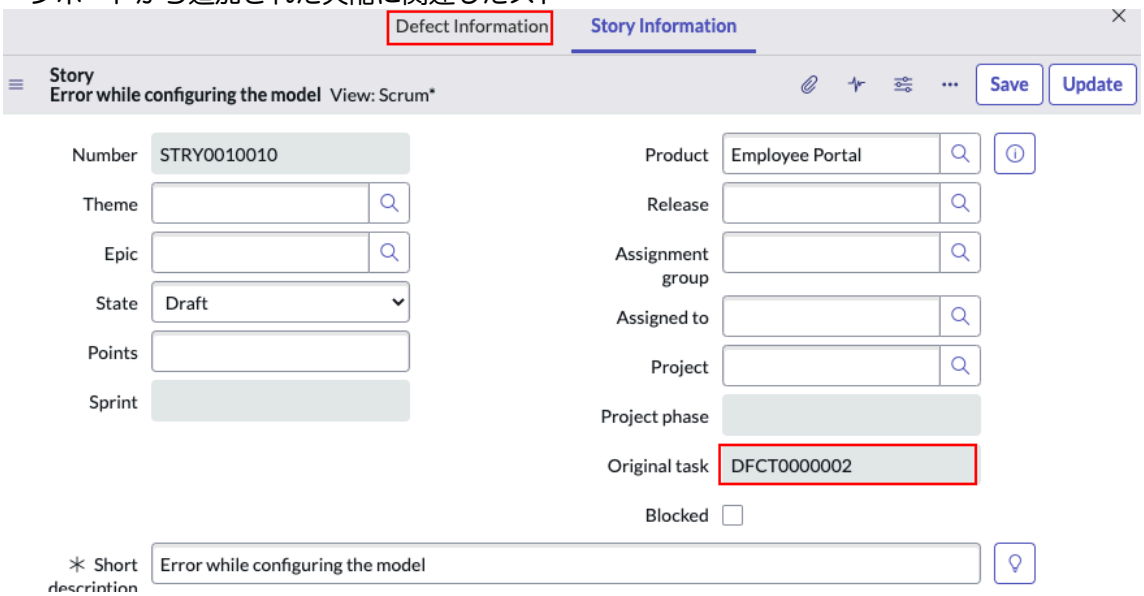
ストーリーカードを別のレーンに移動したり、チームに対するストーリーを新たに追加したりして、スクラム会議や他のステータス会議中にリアルタイムで更新することができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [スプリント追跡] タブを選択します。
3. ストーリーボードビューから、ステータスレーンを使用して現在のスプリントに対するストーリーをレビューします。
4. オプション: ストーリーをあるレーンから別のレーンに移動すると、ストーリーのステータスが変わります。

   (Optional) トリアージボードを使用してそうしたレコードをバックログに追加すると、トリアージされたレコードに関連付けられたストーリーがボードに表示されます。これらのストーリーをストーリーボードの別のレーンに移動してステータスを更新すると、関連するストーリーのステータスは更新されますが、トリアージされた元のレコードのステータスは変わりません。元のレコードのステータスを変更するには、ストーリーを開いて元のレコードタブに切り替えます。

   トリアージボードから追加された欠陥に関連したストーリー。



5. オプション: 特定のレーンにストーリーを追加します。

   a. **[+** カードを追加 **(+ Add Card)]** を選択します。

   b. フォームでフィールドに入力し、[送信] をクリックします。
   フィールドの詳細については、「Agile Development 2.0 でストーリーを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 でのスプリントに対するスクラムタスクの進捗状況の追跡

Agile Development 2.0 において、アジャイルボードの [スプリント追跡] タブを使用して、現在のスプリントからのストーリーに対するスクラムタスクの進捗状況を追跡します。

始める前に
このボードにアクセスするには、アジャイルグループのメンバーであることが必要です。

必要なロール：scrum_user または scrum_admin

このタスクについて
[スプリント追跡] タブのタスクボードビューを使用すると、現在のスプリントに対するスクラムタスクのステータスを確認することができます。ボードでは、各ストーリーが折りたたみ可能なセクションになっています。こうしたセクションで、各ストーリーに対するタスクはカードとして表示され、ステータスはレーンとして表示されます。

タスクカードを別のレーンに移動したり、ストーリーに対するタスクを新たに追加したりして、スクラム会議や他のステータス会議中にリアルタイムで更新することができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [スプリント追跡] タブをクリックします。
3. タスクボードビューから、現在のスプリントにスケジュール設定されているすべてのストーリーのスクラムタスクに関するステータスをレビューします。
4. スクラムタスクをあるレーンから別のレーンに移動することで、スクラムタスクのステータスを変更します。
5. 特定のレーンにスクラムタスクを追加します。

   a. **[+** カードを追加 **(+ Add Card)]** をクリックします。

   b. フォームでフィールドに入力し、[送信] をクリックします。
   フィールドの詳細については、「Agile Development 2.0 ストーリーに対するスクラムタスクの作成」を参照してください。

Agile Development 2.0 でのスプリントの進捗状況の追跡

Agile Development 2.0 において、アジャイルボードの単一の統合ビューから、現在のスプリントに対するストーリー、スクラムタスク、テストの進捗状況を追跡します。

始める前に

- スプリント追跡ボードにアクセスするには、Agile 2.0 のアサイン先グループのメンバーである必要があります。
- ストーリーに対するテストを表示、追加、更新するには、テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.test_management.2.0) をアクティブ化する必要があります。

必要なロール：scrum_user または scrum_admin

このタスクについて
[スプリント追跡] タブのリストビューを使用すると、現在のスプリントのストーリーに対して作成されたスクラムタスクやテストの進捗状況をレビューすることができます。

各ストーリーは展開可能なセクションとして一覧化され、作成されたタスクやテストが表示されます。ストーリーにタスクやテストを新たに追加したり、[準備完了] ステータスのテストを実行したりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ 3 ～ 8 では、スプリント追跡ボードでさまざまなアクションを実行します。要件に合ったものを選択してください。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [スプリント追跡] タブから、[リスト] ビューを選択します。

   現在のスプリントにスケジュール設定されているストーリーはすべて、展開や折りたたみが可能なセクションとして一覧表示されます。現在のステータス、簡単な説明、アサイン担当ユーザーなど、ストーリーに関する詳細情報を確認することができます。
3. [表示] フィールドから、ステータスを確認するアイテムを選択します。
   - スクラムタスク
   - テスト
4. 各ストーリーセクションを展開すると、追加されたタスクやテストの詳細情報が表示されます。
5. カスタマイズオプション ( ) を使用して、こうしたアイテムに表示される情報をカスタマイズします。
6. ストーリーにスクラムタスクを新たに追加します。
   a. タスクを追加する対象のストーリーのセクションから、[スクラムタスクを追加] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「Agile Development 2.0 ストーリーに対するスクラムタスクの作成」を参照してください。
   c. [送信] を選択します。
7. ストーリーに対するテストを新たに追加します。
   a. テストを追加する対象のストーリーから、[テストを追加] を選択します。
   b. 簡単な説明を入力し、[送信] を選択します。
   テストが作成され、ストーリーセクションに一覧表示されます。テストフォームを開くと、テストステップを追加したり検証したり、実行準備が完了したテストにマークを付けたりすることができます。テストフォームについては、「Agile Development 2.0 におけるテストバージョンフォーム」を参照してください。
8. ストーリーに対する [準備完了] ステータスのテストがある場合は、テストを実行することができます。
   詳細については、「Agile Development 2.0 でのストーリーのテストの実行」を参照してください。

Agile Development 2.0 でのストーリーのテストの実行

Agile Development 2.0 において、ストーリーのテストが [準備完了] とマークされ実行可能になった場合、アジャイルボードにある [スプリント追跡] タブを使用して、そうしたテストを実行したり、テストステップをすべて実施したりすることができます。

始める前に
必要なロール：scrum_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

アジャイルボードから、[スプリント追跡] タブのリストビューを使用して、実行可能なテストバージョンがあるストーリーを確認します。こうしたストーリーには、ステータスの横に [実行] オプションがあります。各テストステップを実施および検証して、テストを実行します。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [スプリント追跡] タブから、[リスト] ビューを選択します。

   現在のスプリントにスケジュール設定されているストーリーはすべて、展開や折りたたみが可能なセクションとして一覧表示されます。
3. [表示] フィールドから、 [テスト]を選択します。
4. テストを実行するストーリーで、[実行] を選択します。
5. テストを実行する環境を選択し、[実行] を選択して確定します。
6. [テスト実行] ウィンドウで各テストステップを実施し、結果は [合格]、[失敗]、[ブロック済み] でそれぞれマークします。
   - 合格 ( )
   - 失敗 ( )
   - ブロック済み ( )

   テストステップで [失敗] または [ブロック済み] を選択した場合は、コメント入力やファイル添付を利用して選択内容をサポートすることができます。
7. ストーリーに対して複数のテストを実行している場合、[次のテスト] オプション ( ) を使用すると、現在のテストを検証した後に次のテストに進むことができます。
8. すべてのテストステップを実施および検証し終えるまで、ステップ 6 と 7 を繰り返します。
9. オプション: [一時停止] を選択すると、テストを一時停止できます

   (Optional) テストを一時停止した場合、ステップ 10 をスキップします。

   一時停止したテストの実行を後で再開する場合は、次の場所にあります テスト管理 > 実行.
10. すべてのテストステップをマークしたら、[完了] を選択します。

タスクの結果

各テストの結果は、次の条件に従って、アジャイルボードに [合格]、[失敗]、[ブロック済み]、[未完了] と表示されます。

- すべてのテストステップに合格した場合、ステータスは [合格] になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが実行されていない場合、テストのステータスは「未完了」になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが不合格の場合、テストの全体的なステータスは 「不合格」になります。このルールは、前のルールよりも優先されます。
- テストの少なくとも 1 つのステップがブロックされている場合、テストの全体的なステータスは「ブロック」になります。このルールは、前の 2 つのルールよりも優先されます。

次のタスク

Agile Development 2.0 でのストーリーに対するテスト結果の表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Agile Development 2.0 でのストーリーに対するテスト結果の表示

Agile Development 2.0 ストーリーで実行するテストの結果を分析します。エラーをトラブルシューティングして、ストーリーを完了できるようにします。

始める前に

必要なロール：scrum_user

このタスクについて

Agile ボードの [スプリント追跡] タブを使用して、ストーリーに対して実行されたテストをレビューします。実行されたテストの結果は、各テストフォームの [テスト結果] 関連リストに一覧表示されます。こうした結果から、テストがブロック済みまたは失敗となった理由に関するコメントや、コメントを裏付ける添付ファイルなどの詳細情報を確認することができます。このような詳細情報を活用して、製品や機能の問題に対するトラブルシューティングや修正を行います。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [スプリント追跡] タブから、[リスト] ビューを選択します。

   現在のスプリントにスケジュール設定されているストーリーはすべて、展開や折りたたみが可能なセクションとして一覧表示されます。
3. [表示] フィールドから、 [テスト]を選択します。
4. ストーリーセクションから、結果を分析するテストを選択します。
5. [テスト結果] 関連リストからテスト結果を選択して、詳細情報をフォームに表示します。

   テスト結果フォーム

フィールド	説明
番号	テスト結果に対して自動的に生成される番号。
テスト	実行中のテスト。
結果	テストの実行ステータス：合格、不合格、またはブロック。
バージョン	実行されるテストのバージョン。
実行環境	テストが実行される環境。
更新日時	テスト結果が記録された日時
実行者	テスト計画を実行したテスターの名前。
テスト実行	テスト実行の名前。

   これらのフィールドの下には、テストで実行および検証されたテストステップが実行ステータスと併せて一覧表示されます。こうしたステップに追加されたコメントや添付ファイルも参照用に表示されます。

関連情報

Agile Development 2.0 でのスプリントの進捗状況の追跡

Agile Development 2.0 での欠陥のレポート

Agile Development 2.0 では、欠陥をレポートすることで、製品や機能に関連する問題を追跡することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：feature_user、scrum_story_creator、または scrum_admin

管理者は、Agile Development 2.0 アプリケーションで欠陥をレポートすることになるすべてのユーザーに feature_user ロールを付与する必要があります。

このタスクについて
欠陥モジュールを使用して欠陥レコードを作成します。この欠陥に対するストーリーは後で作成して、関連するアサイン先グループが問題の解決に取り組めるようにすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > 欠陥.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

欠陥フォームフィールド

フィールド	説明
番号	システムによって欠陥に生成された一意の識別子。
優先度	欠陥に割り当てられた優先度。製品オーナーは、ストーリーを作成するときに優先度を使用できます。
ステータス	欠陥の現在のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
アサイン先グループ	欠陥が属するグループ。
担当者	欠陥に割り当てられたユーザー。
製品	この欠陥が関連付けられている製品。欠陥が製品の一部である場合、このフィールドは必須です。
報告先	欠陥がレポートされている問題、変更、またはその他のタスクレコード
簡単な説明	欠陥の簡単な説明
説明	欠陥の詳細な説明
作業メモ	欠陥で実行されている作業に関するメモ。作業メモは、欠陥に対する作業進捗に応じて更新されます。

4. [送信] を選択します。

タスクの結果
欠陥が作成され、[ストーリー] 関連リストとともにフォームが再度開きます。ストーリーのリストは、スクラムロールを有するユーザーにのみ表示されます。

次のタスク
スクラムのプロダクトオーナーは欠陥をレビューし、ストーリーの作成が必要かどうかを判断します。「Agile Development 2.0 でストーリーを作成する」を参照してください。

Agile Development 2.0 での拡張要求の作成

機能や製品に関する拡張のアイデアを拡張要求として Agile Development 2.0 に取り込み、後でレビューしたり優先順位付けしたりできるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：feature_user、scrum_story_creator、scrum_admin、rm_enhancement_admin のいずれか

管理者は、Agile Development アプリケーションで拡張要求を作成することになるすべてのユーザーに feature_user ロールを付与する必要があります。

このタスクについて
拡張モジュールを使用して拡張レコードを作成します。今後のリリースに向け優先順位付けを行う場合、後でこのレコードをレビューしたり、開発ストーリーを作成したりすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > 機能拡張.
2. [新規] をクリックします。
3. 必要に応じてフィールドに入力します。

拡張フォーム

フィールド	説明
番号	拡張のシステム生成番号
優先度	拡張に割り当てられた優先度。 プロダクトオーナーはこの値を参照して、ストーリーを作成したり、今後のリリースにスコーピングしたりすることができます。
ステータス	拡張の現在のステータス。デフォルトは [ドラフト] です。
アサイン先グループ	この拡張に携わるグループ
担当者	拡張にアサインされたユーザー
製品	この拡張が関連付けられている製品。拡張が製品の一部である場合、このフィールドは必須です。
簡単な説明	拡張の簡単な説明
説明	拡張の詳細な説明
作業メモ	拡張で実行されている作業に関するメモ。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
拡張要求が作成され、[ストーリー] 関連リストとともにフォームが再読み込みされます。ストーリーのリストは、スクラムロールを有するユーザーにのみ表示されます。

次のタスク
スクラムのプロダクトオーナーは要求をレビューし、ストーリーの作成が必要かどうかを判断します。

Agile Development 2.0 でのトリアージボードの設定

独自のトリアージボードを設定すると、問題、インシデントタスク、欠陥、変更要求など、製品にとって重要なレコードが一元化され、表示や管理が簡単になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- Agile Development - 統一されたバックログの有効化.
- バックログを所有していることを確認してください。「Agile Development 2.0 でのカスタマイズされたバックログの作成」を参照してください。

必要なロール：scrum_product_owner

このタスクについて
フィルターを定義してトリアージボードを作成しておくと、必要なレコードに簡単にアクセスしたりレコードを管理したりできるようになります。

トリアージボードは必要なだけ作成することができます。たとえば、欠陥に対してトリアージボードを 1 つ作成し、拡張に対しては別のトリアージボードを作成することができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード > バックログ.
2. 新しいトリアージボードを設定します。
   - これが最初のトリアージボードである場合は、 トリアージボード > トリアージボードを設定.
   - すでにトリアージボードがある場合は、 トリアージボード > 新しいトリアージ定義
3. フォーム上で、以下のフィールドに記入します。

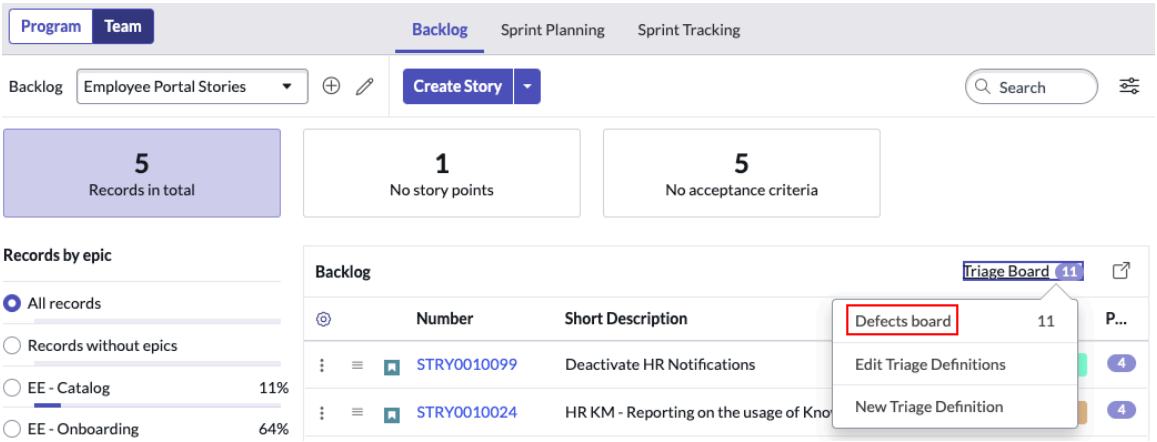
フィールド	説明
名前	トリアージボードの名前
テーブル	トリアージボード用にレコードをフィルタリングするテーブル
フィルター	トリアージボードに入力するために、選択したテーブルに適用するフィルター基準 **重要:** デフォルトの条件 ([アクティブ **= true (Active is true)**]、[アジャイルストーリーが空]) は削除しないでください。 ○ [アクティブ **= true (Active is true)**] では、トリアージボードにアクティブかつ未完了や未キャンセルのタスクのみが表示されます。 ○ [アジャイルストーリーが空] では、もうタスクにストーリーが関連付けられておらず、他のバックログにもタスクが存在しないことを確認します。
バックログ定義	トリアージボードで作成されたストーリーが追加されるバックログ

4. [送信] を選択します。

タスクの結果
トリアージボードが作成され、アジャイルボードの [バックログ] セクションからトリアージボードにアクセスできるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク

- 既存のトリアージボードのフィルター基準を編集します。

  [トリアージボード] を選択し、[トリアージ定義を編集] を選択します。

- 新しいトリアージボードを開いて内容を表示します。

  [トリアージボード] を選択し、作成したボードを選択します。

- アイテムのトリアージおよび Agile Development 2.0 のバックログへの追加

関連情報

Agile Development 2.0 での製品バックログの管理

アイテムのトリアージおよび **Agile Development 2.0** のバックログへの追加

トリアージボードでアイテムのリストをレビューして、Agile Development 2.0 のバックログに追加します。優先度に基づき、そうしたアイテムを今後のスプリントにスケジュール設定し、製品チームが作業できるようにします。

始める前に

- Agile Development - 統一されたバックログの有効化
- Agile Development 2.0 でのトリアージボードの設定

必要なロール：scrum_product_owner

このタスクについて

トリアージボードからアイテムを選択し、製品の優先度に基づいてバックログに追加します。トリアージボードからバックログに追加されたアイテムにはすべて、ストーリーが関連付けられています。詳細情報については、アジャイルボードで、元のアイテムの [情報] タブと [ストーリー情報] タブを切り替えて確認することができます。

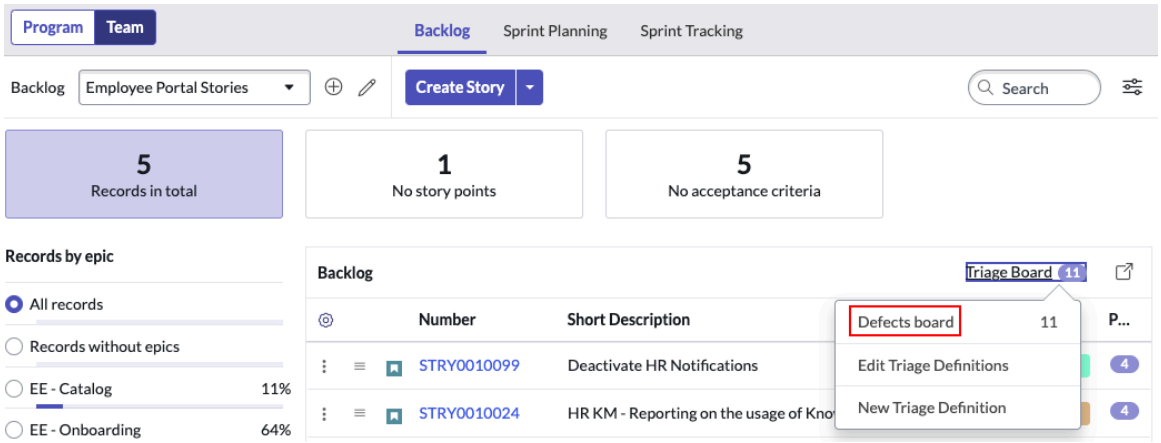
こうしたストーリーは、後で製品チームにアサインしたり、スプリントにスケジュール設定したりすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. アジャイルボードの [バックログ] セクションで、[バックログ] フィールドから製品またはチームのバックログを選択します。
3. [トリアージボード] を選択し、アイテムをレビューするトリアージボードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

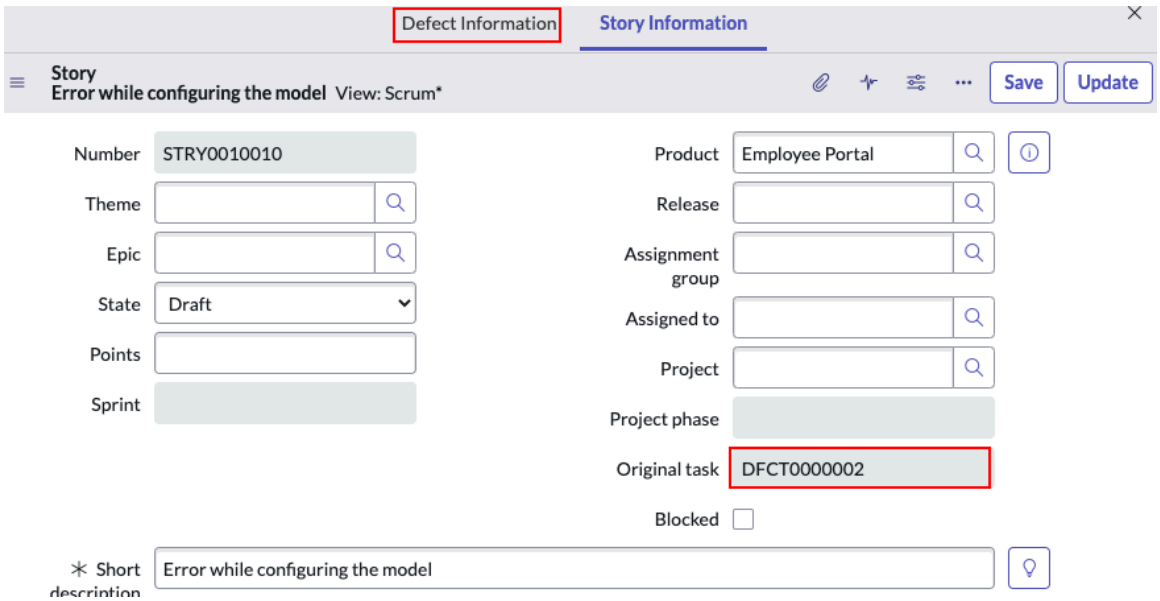
このスクリーンショットの例では、[欠陥ボード (Defects board)] を選択することができます。



4. リストをレビューし、バックログに追加するアイテムを選択します。
5. [バックログに追加] を選択します。

タスクの結果
トリアージボードから選択されたアイテムリストがストーリーとしてバックログに追加されます。アジャイルボードの [スプリント計画立案] タブを使用して、こうしたストーリーを今後のスプリントにスケジュール設定することができます。

この例では、バックログに追加された欠陥に関連するストーリーの作成方法が示されています。ストーリーの [元のタスク] フィールドには、この欠陥への参照があります。



Agile Development 2.0 とサードパーティアプリケーションとの統合

Microsoft Azure DevOps や Atlassian Jira などのサードパーティアプリケーションを Agile Development 2.0 と統合すると、計画された作業と実行された作業を両方のアプリケーションで同期できるようになります。

Now Platform での作業を計画したけれども、開発チームが他のアプリケーションを使用して、計画された作業を実行する場合は、こうしたアプリケーションを Agile Development 2.0 と統合することができます。この統合により、レコードの双方向同期が可能になり、単一のアプリケーションからの製品開発の計画や追跡が容易になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合が設定されたら、Agile Development 2.0 でエピックやストーリーなどの作業を計画し、チームで Microsoft Azure DevOps や Atlassian Jira などの選択した実行アプリケーションを使用して展開できるようになります。

既存の作業アイテムはすべて 2 つのアプリケーション間で同期されます。いずれかのアプリケーションで作成された新しいアイテムは、アプリケーション間で相互に簡単にエクスポート/インポートすることができます。こうしたアイテムに加えられた変更は、2 つのアプリケーション間で自動的に同期されることになります。

こうした統合を設定する際は、以下を参照してください。

- Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development
- Atlassian Jira Integration for Agile Development

Agile Development 2.0 の参照

フィールド、関連リスト、ユーザーロール、テーブル、ガイドライン、ドメイン分離情報など、Agile Development 2.0 アプリケーションに関するその他の詳細情報を提供する参照情報です。

Agile Development 2.0 とともにインストールされるコンポーネント

Agile Development 2.0 プラグインが有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、プロパティなど) がインストールされます。

> **注:**
> アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
スクラム管理者 [scrum_admin]	スクラム管理者は、Agile Development 2.0 アプリケーションを完全に制御できます。	• scrum_user • rm_product_admin • rm_task_admin • rm_test_admin • rm_doc_admin • rm_story_admin • rm_epic_admin • rm_releasescrum_admin • rm_sprint_admin
スクラムマスター [scrum_master]	スクラムマスターは、スプリントを通じてチームメンバーをガイドし、発生した問題に対応するサウンディングボードとして機能します。	• scrum_sprint_planner • scrum_story_creator • scrum_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
	スクラムマスターは、リリースバックログとスプリントの間でストーリーを移動できます。このユーザーは、以下を作成および管理できます。 • エピック • ストーリー • スプリント • チームメンバー	
スクラム製品オーナー [scrum_product_owner]	このロールを持つユーザーは、プロジェクトのビジネス価値と製品バックログの管理について責任を負います。 製品オーナーは、製品バックログとリリースの間でストーリーを移動できます。このユーザーは、以下を作成および管理できます。 • テーマ • エピック • ストーリー • 製品 • リリース • Teams	• scrum_release_planner • scrum_story_creator • scrum_user
スクラムリリース計画者 [scrum_release_planner]	このロールを持つユーザーは、リリース計画アクティビティを実行します。 リリース計画担当者は、以下を作成および管理できます。 • テーマ • 製品 • リリース	• scrum_user • scrum_story_creator
スクラムスプリント計画者 [scrum_sprint_planner]	このロールを持つユーザーは、スプリントプロセスを管理します。 スプリント計画担当者は、以下を作成および管理できます。 • ストーリー • スプリント	• scrum_user • scrum_story_creator
スクラムストーリー作成者 [scrum_story_creator]	このロールを持つユーザーは、製品の説明的な要素を作成します。	• rm_scrum_task_admin • scrum_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
	ストーリー作成者は、以下を作成および管理できます。 • エピック • ストーリー • タスク	
スクラムストーリー編集者 [scrum_story_editor]	このロールを持つユーザーには、ストーリー [rm_story] テーブルへの編集アクセス権があります。	• scrum_user • rm_scrum_task_admin
スクラムチームメンバー [scrum_team_member]	このロールを持つユーザーは、スプリント内のストーリーで作業するスクラムユーザーです。 チームメンバーは、スクラムタスクを作成し、ストーリーに対する更新を実行して、拡張要求または欠陥レポートをログに記録することができます。	• scrum_user • scrum_story_creator • scrum_story_editor • rm_defect_admin • rm_enhancement_admin • rm_scrum_task_admin
スクラムタスク管理者 [rm_scrum_task_admin]	[rm_scrum_task] テーブルへのアクセス権を持つスクラムタスク管理者。	scrum_user
スクラムユーザー [scrum_user]	他のすべてのロールが継承する基本スクラムロール。Agile Development アプリケーションに読み取り専用権限を付与します。 スクラムユーザーは、アジャイルのすべての要素を表示できますが、どのタイプのレコードも作成、編集、または管理できません。	cmdb_read

インストールされるテーブル

テーブル	説明
製品アサイン先グループ [m2m_product_group]	製品とグループ間の関係を保存します。
リリースアサイン先グループ [m2m_release_group]	リリースとグループ間の関係を保存します。
アプリケーション モデル [cmdb_application_product_model]	リリースが管理されている製品全体を表します。
リリース製品	すべての管理対象製品を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[m2m_ product_release]	
ストーリーの依存関係 [m2m_story_dependencies]	既存のストーリーに関連するすべてのストーリー (必須条件および依存関係) を表します。
スクラムタスク [rm_scrum_task]	スプリント中に実行されたストーリーの個別の作業量を表します。
リリースチームのメンバー [scrum_pp_release_team_member]	リリースの一部であるユーザーのリストを表します。
スプリントチームのメンバー [scrum_pp_sprint_team_member]	スプリントの一部であるユーザーのリストを表します。
チーム [scrum_pp_team]	リリースおよびスプリント中にスクラムタスクとストーリーを完了したユーザーを表します。
チーム名 [scrum_pp_team_name]	スクラムチームの名前を表します。
テーマ [scrum_theme]	具体的な製品 (取引アプリケーションなど) または抽象的な目標 (パフォーマンス調整など) のいずれかを表します。
スクラムリリース [rm_release_scrum]	製品の個々のバージョン (リリース) を表します。各リリースには、スプリントのストーリーが完了する必要がある時間範囲を含むスプリントのリストが含まれています。
スプリント [rm_sprint]	指定された期間中にまとめて対応されるバックログアイテムであるスプリントを格納します。
Epic [rm_epic]	まだストーリーに変換していない関連ストーリーまたは要件を表します。
ストーリー [rm_story]	スプリント内で完了できる自己完結型の作業を表します。
不具合 [rm_defect]	製品の予想される動作からの逸脱を表します。
ドキュメントタスク [rm_doc]	製品のドキュメントタスクを表します。
拡張 [rm_enhancement]	既存の製品の改善を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
SDLC リリース [rm_release_sdlc]	製品の個々のバージョンを表します。
テストタスク [rm_test]	製品のテストタスクを表します。

Agile Development 2.0 とともにインストールされるプロパティ

プロパティは、Agile Development 2.0 を有効化すると追加されます。

Agile Development 2.0 では、次のプロパティが追加されます。

注:
これらのプロパティはすべて、システムプロパティ [sys_properties] テーブルに配置されています。テーブルにアクセスするには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。

プロパティ	使用法
バーンダウンチャートの理想線を直線で描画します com.snc.sdlc.scrum.pp.burndown.ideal.linear	バーンダウンチャートの理想線を直線で描画します。 • タイプ：true|false • デフォルト値：false
このカンマ区切りのリスト内で指定されたステータスのいずれかのストーリーが進捗ボードに表示されます (指定された順番で) com.snc.sdlc.scrum.pp.progress.story.states	ストーリーの進行状況ボードに表示するカンマ区切りリストを使用して、ストーリーのステータスを指定します。進行状況ボードのステータスは、ここで指定した順序に従います。 • タイプ：整数 • 順番のデフォルト値： ○ -6：ドラフト ○ 1：準備完了 ○ 2：対応中 ○ -7：テスト準備完了 ○ -8：テスト中 ○ 3：完了
このカンマ区切りのリスト内で指定されたステータスのいずれかのタスクが進捗ボードに表示されます (指定された順番で) com.snc.sdlc.scrum.pp.progress.task.state	進行状況ボードに表示するカンマ区切りリストを使用して、タスクのステータスを指定します。進行状況ボードのステータスは、ここで指定した順序に従います。 • タイプ：整数 • 順番のデフォルト値：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	使用法
	○ -6：ドラフト ○ 1：準備完了 ○ 2：対応中 ○ 3：完了
スクラムタスクに対して [実績時間] フィールドを有効化 com.snc.sdlc.scrum.pp.task_uses_actual_hours	スクラムタスクフォームの [実績時間] フィールドを有効化します。タスク進捗ボードにタスクの実際の時間を表示します。 • タイプ：true|false • デフォルト値：true
スプリント期間がスプリントから算出できない場合に使用される、デフォルトのスプリント長 (日数)。 com.snc.sdlc.scrum.pp.default_sprint_length	スプリントからスプリント長を計算できない場合に、スプリントの作成時に使用するデフォルトのスプリント期間を指定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 14

Agile Development 2.0 での効果的なストーリーの記述

ストーリーの記述が適切だと、あらゆる開発者や、テストまたはドキュメントなどのチームのメンバーも理解しやすくなります。

ストーリーを使用すると、アサイン先グループは、完了の定義に従って作業を実施するために必要な工数を正確に見積もることができます。完了の定義は、ストーリーがどのような状況で完了するかを決定する、グループによって合意された終了基準です。

ストーリーには、次の基本条件があります。

- 説明：ストーリーの説明は、管理者などのユーザーペルソナに関連し、ビジネス価値を説明するか、技術的負債に対処します。
- 受け入れ基準：ストーリーの受け入れ基準は測定可能およびテスト可能です。

ストーリーの説明

適切なユーザーストーリーの説明は、指定された要件を満たすための次のことを示しています。

- システム内のユーザーペルソナのロール
- ユーザーペルソナによって表されるニーズ
- 開発者、ユーザーなどのすべてのステークホルダーにとってのメリット

通常、ストーリーの説明は、「<ロール> として、<メリット> のために、<目標またはニーズ> を実現したい」という形式で表現されます。

適切なストーリーの説明の例

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 説明：開発者として、本番システムにアプリケーションを展開するために、アプリケーションの現在のステータスを更新セットに公開したいと考えています。
- 説明：顧客として、最新のステータスを得るために、インシデントにコメントが入力されたときに通知を受け取るようにしたいと考えています。
- 説明：変更マネージャーとして、複数の選択肢からなる質問のリストを作成して、特定の変更に対するリスクのアセスメントを可能にしたいと考えています。

不適切なストーリーの説明の例

説明：インシデントが作成されると、通知が送信されます。

この説明は、次の理由で不適切です。

- 説明に、通知の送信者や送信内容が記載されておらず、またメールなどの通知の形式も記載されていません。
- 説明にメリットに関する情報が含まれていないため、ビジネス価値が明確ではありません。

次のように記述してください。

説明：インシデント作成者として、関係者に影響を与えるインシデントが作成されたときに関係者に通知できるように、インシデントを作成するときに、事前定義された一連の関係者にメール通知を送信したいと考えています。

ストーリーの受け入れ条件

受け入れ基準は、ユーザーストーリーの境界を定義し、ソフトウェアが意図したとおりに動作している状況、つまりストーリーが完了した状況を確認するために使用されます。受け入れ基準は、ストーリーの「完了の定義」の重要な部分です。

適切な受け入れ条件

適切な受け入れ条件には、必要に応じて以下のことを含める必要があります。

- 使いやすさ：受け入れ条件には、使いやすさの測定値を必ず含めてください。この質問に対する回答方法を示してください：使いやすいですか？重要なのは、適切な測定値を特定し、それぞれが定量化可能であることを確認することです。
- 機能：プロジェクトの最後に実施する必要がある特定のユーザータスク、ビジネスプロセス、または機能を特定します。機能の要件は次のとおりです：ユーザーは複数のサイズから選択できます。
- エラー処理：エラーケースとそれぞれの処理方法を列挙します。たとえば、ユーザーが間違った順序でステップを実行した場合に、ソフトウェアはそれをどのように処理するのでしょうか？
- パフォーマンス：個々のユーザーの観点からシステムパフォーマンスをテストします。例：UI はレスポンシブですか？
- ストレステスト：多数のユーザー、トランザクション、またはクエリによりシステムがストレスを受けたときにシステムがどのように対応するかを説明します。受け入れ条件では、ストレステストの許容可能なしきい値を定義する必要があります。例：100 人のユーザーが同時にクエリを送信した場合、システムは 250 ミリ秒のしきい値以内に応答しますか？

適切な受け入れ条件の例

説明：顧客として、クレジットカード情報の安全性を確保するために、安全な Web ベースのフォームを使用して書籍の注文と支払いを行いたいと考えています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

受け入れ条件：

- 顧客がフォームを送信する前に、すべての必須フィールドに入力する必要がある。
- フォームの情報は、顧客注文データベースに保存される。
- 支払いは、Amex、マスターカード、または Visa クレジットカードで行うことができる。
- システムは売上税を正確に計算して適用しなければならない。
- システムは配送料を正確に計算して適用しなければならない。
- 顧客は注文の正確性を確認できるものとする。
- フォームを送信した顧客に確認メールが送信される。
- スパムに対する保護機能が働く。

不適切な受け入れ条件の例

説明：顧客として、最新のステータスを得るために、インシデントにコメントが入力されたときに通知を受け取るようにしたいと考えています。

受け入れ条件：インシデントにコメントが入力されたときに、適切な担当者に通知されます。

適切な担当者が明確でないなど、テストに十分な詳細が提供されていないため、受け入れ条件は不十分です。

受け入れ条件は、次のように記述してください。

1. ESS ユーザーとして、インシデントを作成します。
2. [ステークホルダーに通知] を選択します。
3. インシデントを保存します。
4. ステークホルダーとしてログインします。
5. ログに記録されたインシデントのメールを受信したことを確認します。

自動翻訳

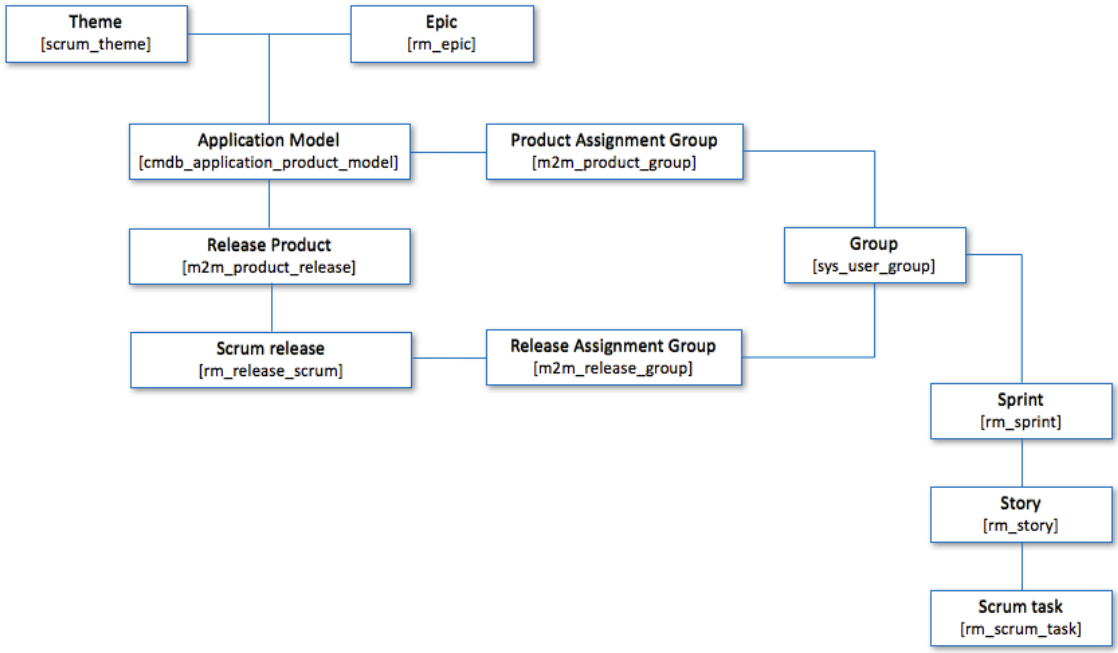
Agile Development プロセスデータモデル

アジャイルプロセスを管理したり、リリースや、スプリントに含める製品バックログアイテムを表したりする際に Agile Development 2.0 で使用されるテーブル間の関係性について説明します。

次の図は、Agile Development テーブルと他のテーブルとの関係を示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アジャイル開発プロセスの関係図



Agile Development 2.0 のビジネスステークホルダーロール

ビジネスステークホルダーロールを使用して、Agile Development 2.0 およびスクラムプログラムアプリケーションの任意のテーブルからデータを読み取って取得し、レポートを生成します。

ServiceNowインスタンスでビジネスステークホルダープラグイン (com.snc.business_stakeholder) を有効化すると、Agile 2.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.release_management_read_roles) も有効化されます。このプラグインは、Agile Development 2.0 とスクラムプログラムアプリケーションのすべてのテーブルにアクセスできるビジネスステークホルダーロール (sn_agile_read) を提供します。ビジネスステークホルダーであるすべての組織内ユーザーに、このロールをアサインできます。

プラグインの使用可否

新規顧客の場合、Agile 2.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.agile_read_roles) が zBoot で有効化されます。ただし、ビジネスステークホルダーロール (sn_agile_read) は、Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) を有効化した場合にのみ使用できます。

アップグレード顧客の場合、Agile 2.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.agile_read_roles) を手動で有効化する必要があります。

ビジネスステークホルダーロールを持つユーザーがアクセスできる **Agile Development 2.0** テーブル

Agile 2.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.agile_read_roles) および Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) が ServiceNow インスタンス内で有効である場合、ビジネスステークホルダーロール (sn_release_read) を持つユーザーは、以下のテーブルに対する読み取りアクセス権を持ちます。

Agile Development 2.0 テーブル

テーブル	説明
製品アサイン先グループ	製品とグループ間の関係を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Agile Development 2.0 テーブル (続く)

テーブル	説明
[m2m_product_group]	
リリースアサイン先グループ [m2m_release_group]	リリースとグループ間の関係を保存します。
アプリケーション モデル [cmdb_application_product_model]	リリースが管理されている製品全体を表します。
リリース製品 [m2m_ product_release]	すべての管理対象製品を表します。
ストーリーの依存関係 [m2m_story_dependencies]	既存のストーリーに関連するすべてのストーリー (必須条件および依存関係) を表します。
スクラムタスク [rm_scrum_task]	スプリント中に実行されたストーリーの個別の作業量を表します。
リリースチームのメンバー [scrum_pp_release_team_member]	リリースの一部であるユーザーのリストを表します。
スプリントチームのメンバー [scrum_pp_sprint_team_member]	スプリントの一部であるユーザーのリストを表します。
チーム [scrum_pp_team]	リリースおよびスプリント中にスクラムタスクとストーリーを完了したユーザーを表します。
チーム名 [scrum_pp_team_name]	スクラムチームの名前を表します。
テーマ [scrum_theme]	具体的な製品 (取引アプリケーションなど) または抽象的な目標 (パフォーマンス調整など) のいずれかを表します。
スクラムリリース [rm_release_scrum]	製品の個々のバージョン (リリース) を表します。各リリースには、スプリントのストーリーが完了する必要がある時間範囲を含むスプリントのリストが含まれています。
スプリント [rm_sprint]	指定された期間中にまとめて対応されるバックログアイテムであるスプリントを格納します。
Epic [rm_epic]	まだストーリーに変換していない関連ストーリーまたは要件を表します。
ストーリー	スプリント内で完了できる自己完結型の作業を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 テーブル (続く)

テーブル	説明
[rm_story]	
不具合 [rm_defect]	製品の予想される動作からの逸脱を表します。
ドキュメントタスク [rm_doc]	製品のドキュメントタスクを表します。
拡張 [rm_enhancement]	既存の製品の改善を表します。
SDLC リリース [rm_release_sdlc]	製品の個々のバージョンを表します。
テストタスク [rm_test]	製品のテストタスクを表します。

スクラムプログラムテーブル

テーブル	説明
epic_backlog_definition	エピックバックログの作成に使用されるフィルター基準を保存します。
scrum_program_m2m_group	スクラムプログラムとチームとの関係を保存します。

自動翻訳

Agile Development 2.0のドメイン分離

ここでは、ドメイン分離の概要と、Agile Development 2.0 でのドメイン分離の仕組みについて説明します。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

Agile Development 2.0 でのドメイン分離の仕組み

- Agile 2.0 のエンティティはタスクの機能を拡張するため、タスクのドメイン動作を継承します。作成した新しいエントリは、現在ログインしているユーザーのドメインになります。
- アジャイルボードでは、ドメイン分離が考慮され、[スプリント計画立案] ページおよび [スプリント追跡] ページに、ユーザーが属するグループのリストが表示されます。表示されるバックログエントリーは、現在のユーザーが所有しているか、または他のユーザーと共有しているものと同じドメインに含まれます。アジャイルボードに表示されるストーリーは、現在ログインしているユーザーのドメインに制限されます。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

Agile Development 2.0 におけるアサイン先グループの関連リンクと関連リスト

Agile Development 2.0 では、スプリントの追加やグループメンバーの編集など、アサイン先グループ向けに実行が必要なアクションに対して、グループフォームの関連リストを使用します。

グループフォーム

名前	説明
関連リンク	
スプリントの作成	チームのスプリントを作成します。新しいスプリントが、グループの [スプリント] 関連リストに一覧表示されます。
スプリント計画立案	Agile Development 2.0 でのスプリントアクティビティの計画。
関連リスト	
グループメンバー	グループのメンバーをリストします。[編集] を選択すると、アジャイルグループのメンバーを追加したり削除したりできます。 [スプリントあたりの平均ポイント] フィールドがロールアップされ、スプリントのグループキャパシティが算出されます。
スプリント	グループのスプリントをリストします。[新規] をクリックして、スプリントをグループに追加します。

Agile Development 2.0 における製品の関連リスト

Agile Development 2.0 では、リリース、テーマ、エピック、ストーリー、アサイン先グループの関連付けなど、製品レコードで実行が必要なアクションに対して、製品フォームの関連リストを使用します。

製品フォーム関連リスト

リスト	説明
リリース	製品に関連するリリースの一覧を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品フォーム関連リスト (続く)

リスト	説明
	[新規] を選択してリリースを作成し、この製品に関連付けたり、[追加] を選択して既存の製品を追加したりできます。
テーマ	製品の一部であるテーマの一覧を示します。 [新規] を選択してテーマを作成し、製品に関連付けたり、[追加] を選択して既存のテーマを追加したりできます。
エピック	製品に関連するエピックの一覧を示します。 [新規] を選択してエピックを作成し、製品に関連付けたり、[追加] を選択して既存のエピックを追加したりできます。
ストーリー	製品に関連するストーリーの一覧を示します。 [新規] を選択してストーリーを作成し、製品に関連付けたり、[追加] を選択して既存のストーリーを追加したりできます。
グループ	製品にアサインされたグループの一覧を示します。[編集] を選択すると、既存のアジャイルグループを製品にアサインすることができます。 (アジャイルチームタイプの) 1 つ以上のアサイン先グループを製品に関連付けることができます。 製品をリリースに関連付けると、製品にアサインされたグループも自動的にリリースに追加されます。

Agile Development 2.0 におけるリリースの関連リスト

Agile Development 2.0 では、製品、ストーリー、アサイン先グループの関連付けなど、リリースで実行が必要なアクションに対して、リリースフォームの関連リストを使用します。

リリースフォーム関連リスト

リスト	説明
製品	リリースに関連する 製品 の一覧を示します。 [新規] を選択して製品を作成し、リリースに関連付けたり、[追加] を選択して既存の製品を追加したりできます。
ストーリー	リリースに関連するストーリーの一覧を示します。 [新規] を選択してストーリーを作成し、リリースに関連付けたり、[追加] を選択して既存のストーリーを追加したりできます。 ストーリーを追加すると、リリースバックログが作成されます。
グループ	リリースにアサインされたグループの一覧を示します。[編集] を選択すると、既存のアジャイルグループをリリースにアサインすることができます。 製品をリリースに関連付けると、製品にアサインされたグループが自動的にリリースに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development 2.0 におけるストーリーの関連リンクと関連リスト

Agile Development 2.0 では、スクラムタスクや依存関係の追加、ストーリーの分割など、ストーリーで実行が必要なアクションに対して、ストーリーフォームの関連リンクや関連リストを使用します。

ストーリーの関連リンクと関連リスト

名前	説明
関連リンク	
分割ストーリー	同じ詳細で新しいストーリーを作成して、ストーリーを 2 つのストーリーに分割します。古いストーリーの未完了のタスクは、この新しいストーリーに移動されます。
スクラムタスクの追加	現在のストーリーに対して複数のスクラムタスクを作成できます。 スクラムタスクは、ストーリーの [スクラムタスク] 関連リストに表示されます。 詳細については、「Agile Development 2.0 でのストーリーに対する複数のスクラムタスクの作成」を参照してください。
エピックに変換	アクティブなストーリーをエピックに変換し、ストーリーを「キャンセル済み」ステータスに移行します。 作成したストーリーが大きすぎる場合は、エピックに変換してから、複数のストーリーに分割することができます。 • このストーリーがすでにエピックに関連付けられている場合、ストーリーはこのエピックの子エピックになります。 たとえば、STRY01 は EPIC01 に変換されます。STRY01 が EPIC02 に関連付けられていた場合、EPIC01 は EPIC02 の子エピックになります。それ以外の場合、EPIC01 はスタンドアロンエピックとして作成されます。 • 新しく作成されたエピックのステータスは、自動的に [ドラフト] に設定されます。 • キャンセルされたストーリーは、新しく作成されたエピックに関連付けられます。
ストーリーをコピー	既存のアクティブなストーリーの詳細を新しいストーリーにコピーします。ストーリーのテストとタスクもコピーされます。 新しく作成されたストーリーのステータスは、自動的に [ドラフト] に設定されます。 このアクションは、トリアージボードから追加されたストーリーには使用できません。
関連リスト	
スクラムタスク	ストーリー用に作成されたスクラムタスクの一覧を示します。[新規] をクリックしてスクラムタスクを作成します。 詳細については、「Agile Development 2.0 ストーリーに対するスクラムタスクの作成」を参照してください。
必須条件ストーリー	現在のストーリーを完了する前に完了する必要があるストーリーの一覧を示します。[編集] をクリックして必須条件ストーリーを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストーリーの関連リンクと関連リスト (続く)

名前	説明
依存ストーリー	現在のストーリーに依存するストーリーの一覧を示します。[編集] をクリックして依存ストーリーを追加します。
テスト	既存のテストをストーリーに追加します。 これらのテストは、このストーリーのスプリントが開始した後、アジャイルボードの [スプリント追跡] タブにも表示されます。

Agile Development 2.0 におけるテーマの関連リスト

Agile Development 2.0 では、ストーリーやエピックとテーマとの関連付けなど、テーマで実行が必要なアクションに対して、テーマフォームの関連リストを使用します。

Agile Development 2.0 におけるテーマの関連リスト

フィールド	説明
エピック	テーマに関連するエピックの一覧を示します。 [新規] を選択すると、エピックを新規作成してテーマに関連付けることができます。
ストーリー	テーマに関連するストーリーの一覧を示します。 [新規] を選択すると、ストーリーを新規作成してテーマに関連付けることができます。

Agile Development 2.0 におけるテストバージョンフォーム

テストバージョンフォームのフィールドについて説明します。Agile Development 2.0 では、ストーリーに対して、このフォームを使用してテストを作成したり実行したりします。

テストバージョンフォーム

フィールド	説明
テスト	テストの一意の名前。
所有者	テストを作成したオーナー。
バージョン	自動生成されたバージョンのテスト。
ステータス	テストの現在のステータス。 • ドラフト：テストが作成されたときの状態。 • 準備完了：編集できない場合のテストの状態。テストに複数のバージョンがある場合、一度に 1 つのテストのみが「準備完了」ステータスになります • 廃止：利用されなくなったときのテストのステータス。
簡単な説明	テストに関する簡単な説明。
ステップを追加	テストにステップを追加するオプション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストバージョンフォーム (続く)

フィールド	説明
実行	ステップを実行するために使用するボタン。テストが「準備完了」ステータス の場合にのみ表示されます。「Agile Development 2.0 でのストーリーのテストの実行」を参照してください。
更新	テストバージョンの詳細を更新するオプション
準備完了	テストバージョンのステータスを「準備完了」に変更するオプション
新規バージョンを作成	別バージョンのテストを作成するオプション
削除	テストバージョンを削除するオプション
ステップ順序の変更 ()	テストステップの順序を変更するオプション。アイコンを選択し、必要な場所にステップをドラッグします。
検証が必要	検証でテストステップをマークするオプション
テストステップを削除 ()	テストステップを削除するオプション

関連情報

Agile Development 2.0 でのスプリントの進捗状況の追跡

Agile Development 2.0 におけるテストバージョンの関連リスト

Agile Development 2.0 では、テスト結果の確認や、他の関連するテストバージョンやテストセットの表示など、テストで実行が必要なアクションに対して、テストバージョンフォームの関連リストを使用します。

関連リスト	説明
その他のバージョン	テストのバージョンをすべて表示します。
テスト結果	各テストバージョンの実行結果を表示します。
テストセット	テストセットの関連テストを表示します。

関連情報

Agile Development 2.0 でのスプリントの進捗状況の追跡

Agile Development 2.0 のモバイルエクスペリエンス

Agile Development v2 モバイルアプリを使用して、モバイルデバイスから現在のスプリントのストーリーとスクラムタスクのステータスを追跡および更新します。

Agile Development v2 モバイルアプリでは、自分が属しているアサイン先グループのスプリントを追跡できます。モバイルデバイスから、現在のスプリントに対して次の操作を実行できます。

- 自分が属しているアサイン先グループのストーリーとスクラムタスクのステータスと詳細を表示します。
- ストーリーとスクラムタスクの詳細を編集および更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ストーリーのスクラムタスクを作成します。
- ストーリーまたはスクラムタスクに作業メモと添付ファイルを追加します。
- ストーリーまたはスクラムタスクで他のステークホルダーと共同作業を行います。
- ストーリーまたはスクラムタスクにメモが追加されたときにモバイル通知を受信します。

Agile Development v2 のインストール

Agile Development v2 モバイルアプリ (sn_store_agile_mob) を ServiceNow Store からインストールします。

始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 ServiceNow Store .
2. ServiceNow Store で、Agile Development v2 を検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   アプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

   注:
   該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [アプリを要求] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [購入] をクリックします。
6. [インスタンス名] と [インスタンスの理由] を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. Agile Development をインストールするインスタンスにログインします。
9. 移動先 システムアプリケーション > アプリケーション.
10. アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

次のタスク

Agile Development v2 モバイルアプリの開始

。

Agile Development v2 モバイルアプリの開始

Agile Development モバイルアプリにアクセスして、スプリント、ストーリー、およびタスクを追跡します。

始める前に

- モバイルエージェント モバイルアプリをアプリストア (iOS) または Google Play ストア (Android) からダウンロードします。
- ServiceNow インスタンスで Agile Development v2 のインストール を実行します。
- 必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかの方法で、モバイルデバイスの モバイルエージェント アプリ上の ServiceNow インスタンスアドレスを使用してログインします。

既存のユーザー	○ モバイルエージェント アプリで既に使用しているインスタンスに Agile Development v2 モバイルアプリをインストールした場合は、アプリを更新して **Agile 2.0** をアプレットランチャーとして表示します。 ○ Agile Development モバイル v2 アプリを別のインスタンスにインストールした場合： **a.** タップしてログアウト 設定 > ログアウト. **b.** 追加アイコン ( ) をタップし、新しい ServiceNow インスタンスアドレスでログインします。
新規ユーザー	**a.** 次の 2 つの方法のいずれかでインスタンスアドレスを入力します。 ▪ インスタンスアドレスフィールドにインスタンスアドレスを入力します。 ▪ 管理者によって QR コードが提供されている場合は、QR アイコン ( ) をタップし、QR コードをスキャンします。 **b.** [保存してログイン] をタップします。

2. ユーザー名とパスワードを使用してログインします。
3. Agile Development v2 アイコン ( ) をタップして、スプリント、ストーリー、およびスクラムタスクの追跡を開始します。

次のタスク
検索項目

- Agile Development v2 モバイルアプリでのストーリーの管理。
- Agile Development v2 モバイルアプリでのスクラムタスクの管理。

Agile Development v2 モバイルアプリでのストーリーの管理

モバイルデバイスで現在のスプリントに割り当てられたストーリーの詳細を表示、編集、および更新します。

モバイルデバイスで モバイルエージェント アプリを開き、Agile Development v2 に移動します。scrum_product_owner、scrum_team_member、または scrum_master のロールを使用して、次のアクションを実行します。

Agile Development v2 でのストーリーの追跡

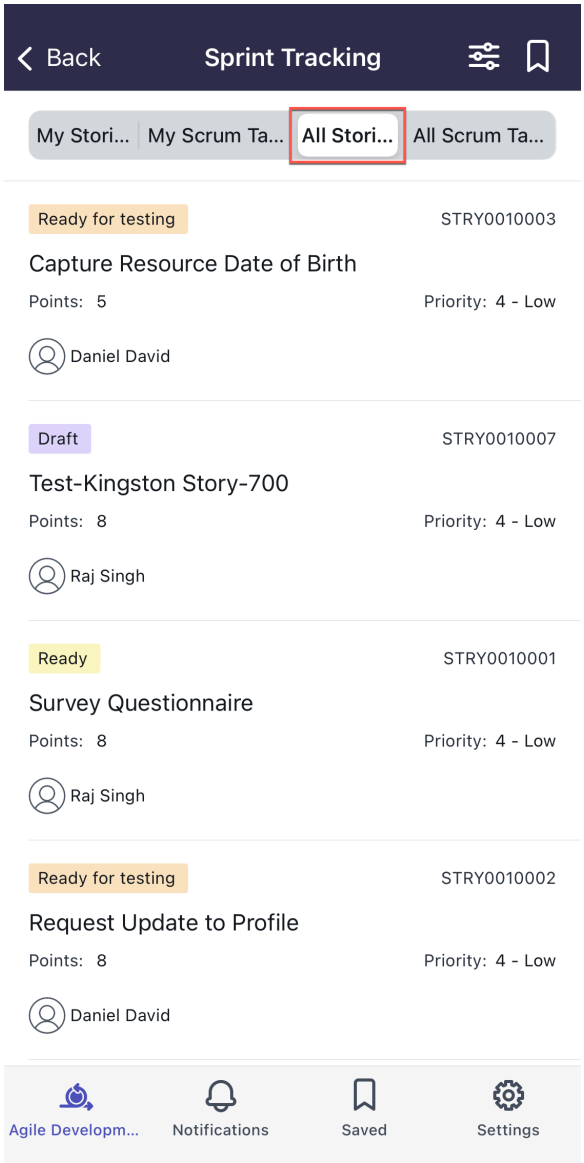
モバイルデバイスから、複数のアサイン先グループからアサインされたストーリーを含む、アサイン先グループのすべてのストーリーを追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アサイン先グループのすべてのストーリー

1. スプリント追跡アプレットで、[すべて表示] をタップします。
2. アサイン先グループの名前をタップして開きます。
3. [すべてのストーリー] をタップします。

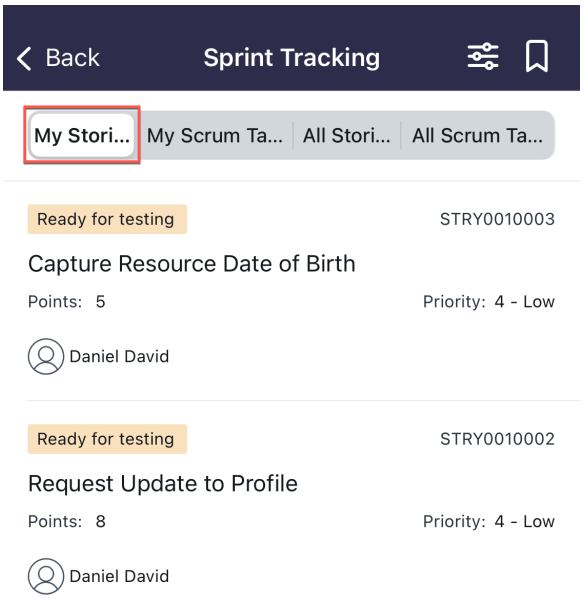


アサイン先グループからアサインされたストーリー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. スプリント追跡アプレットで、[すべて表示] をタップします。
2. アサイン先グループの名前をタップして開きます。
3. [自分のストーリー] をタップします。

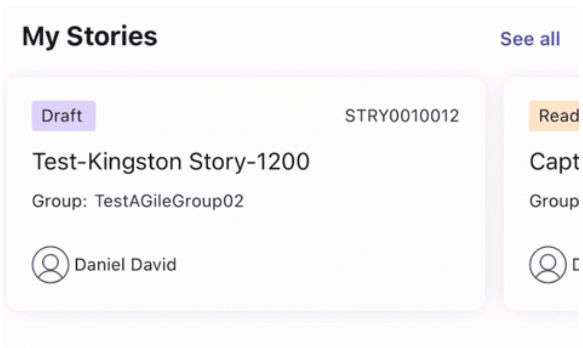


> **注:**
> [自分のストーリー] タブは、ロール scrum_team_member のユーザーにのみ表示されます。

自分に割り当てられているすべてのストーリー

[自分のストーリー] アプレットには、すべてのアサイン先グループから現在のスプリントにアサインされているすべてのストーリーが表示されます。

- すべてのストーリーをカードとして表示するには、アプレットを左にスワイプします。
- すべてのストーリーのリストを表示するには、アプレットの [すべて表示] をタップします。

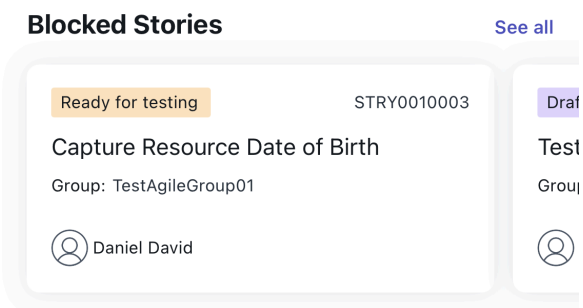


> **注:**
> [自分のストーリー] アプレットは、ロール scrum_team_member のユーザーにのみ表示されます。

ブロック済みストーリー

ブロック済みストーリーアプレットには、ブロックされているすべてのストーリーが表示されます。

- すべてのブロック済みストーリーをカードとして表示するには、アプレットを左にスワイプします。
- すべてのブロック済みストーリーのリストを表示するには、アプレットの [すべて表示] をタップします。

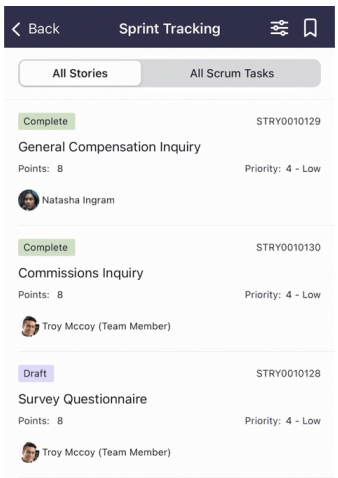


> **注:**
> ブロック済みストーリーアプレットは、ロール scrum_master および scrum_product_owner のユーザーにのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストーリーレコードを左にスワイプすると、ストーリーにコメントを追加することや、ストーリーのステータスを更新することができるクイックアクションが提示されます。



ストーリーをタップすると、詳細が表示されます。たとえば、エピック、受け入れ条件、説明などを表示できます。

Agile Development v2 でストーリーを更新

モバイルデバイスから Agile Development 2.0 ストーリーの詳細を編集および更新します。

始める前に

必要なロール：scrum_product_owner、scrum_team_member、または scrum_master

手順

1. [スプリント追跡] または [マイストーリー] アプレットからストーリーに移動します。
2. ストーリーをタップして開きます。
3. ストーリーの詳細を更新するには：
   a. [詳細] をタップしてから、[編集] をタップします。
   b. 更新するフィールドを編集します。

      ステータス、簡単な説明、ストーリーポイント、アサイン先、優先度、ストーリーが属するスプリントのフィールドを編集できます。

   c. [送信] をタップします。

   > **注:**
   > ストーリーのスプリントを将来のスプリントに更新すると、そのスプリントが開始されない限り、ストーリーはアプリに表示されなくなります。スプリントのステータスが最新であることを確認します。

4. 作業メモまたは添付ファイルをストーリーに追加するには：

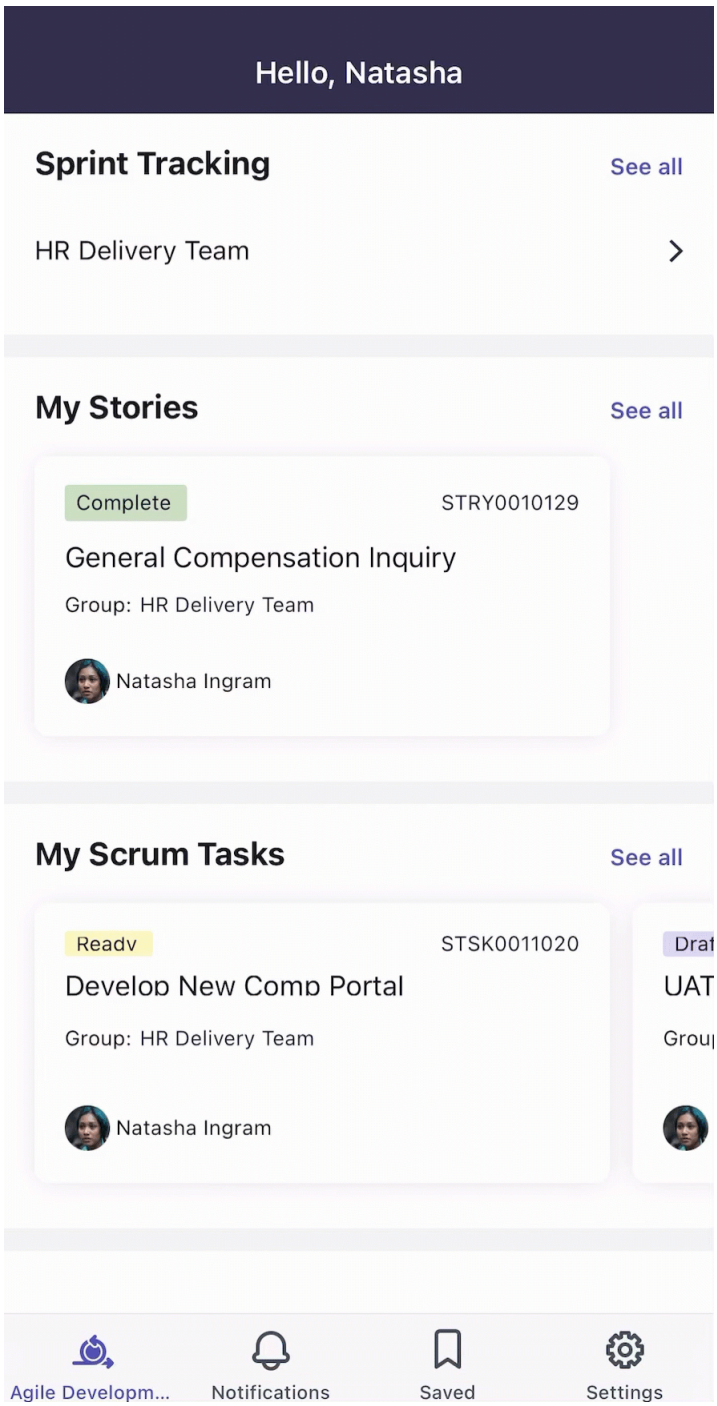
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [アクティビティ] をタップします。

b. 実行するアクティビティを選択します。

使用可能なオプションには、作業メモ、ファイル、画像などの追加が含まれます。



Agile Development v2 モバイルアプリでのスクラムタスクの管理

モバイルデバイスで現在のスプリントのストーリーに対して作成されたスクラムタスクの詳細を表示、編集、および更新します。

モバイルデバイスで モバイルエージェント アプリを開き、Agile Development v2 に移動します。scrum_product_owner、scrum_team_member、または scrum_master のロールを使用して、次のアクションを実行します。

自動翻訳

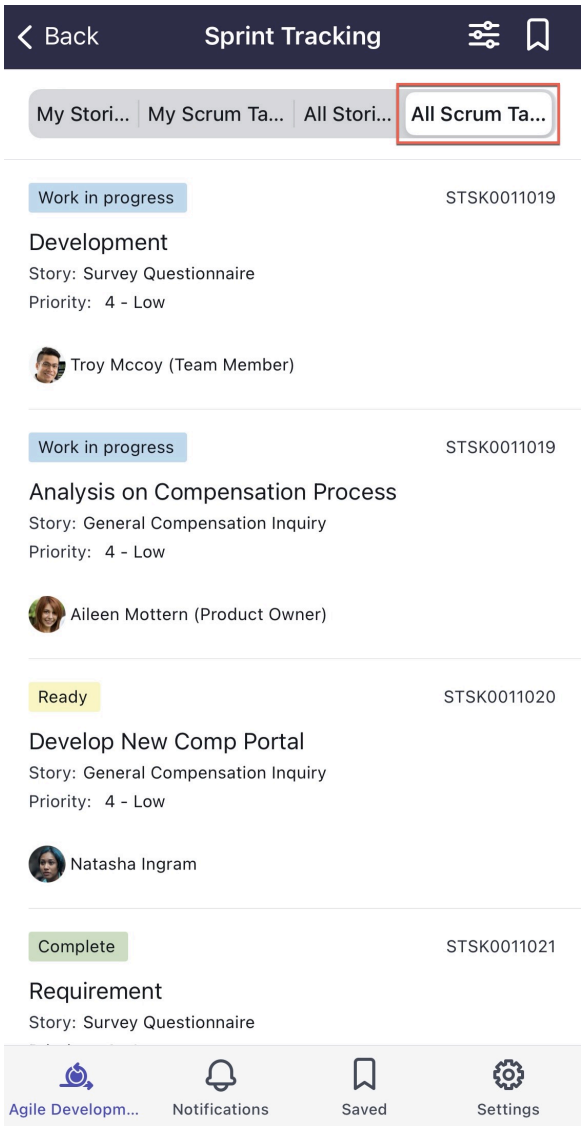
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development v2 でのスクラムタスクの追跡

複数のアサイン先グループからアサインされたスクラムタスクを含めて、アサイン先グループのすべてのスクラムタスクをモバイルデバイスから追跡します。

アサイン先グループのすべてのスクラムタスク

1. スプリント追跡アプレットで、[すべて表示] をタップします。
2. アサイン先グループの名前をタップして開きます。
3. [すべてのスクラムタスク] をタップします。

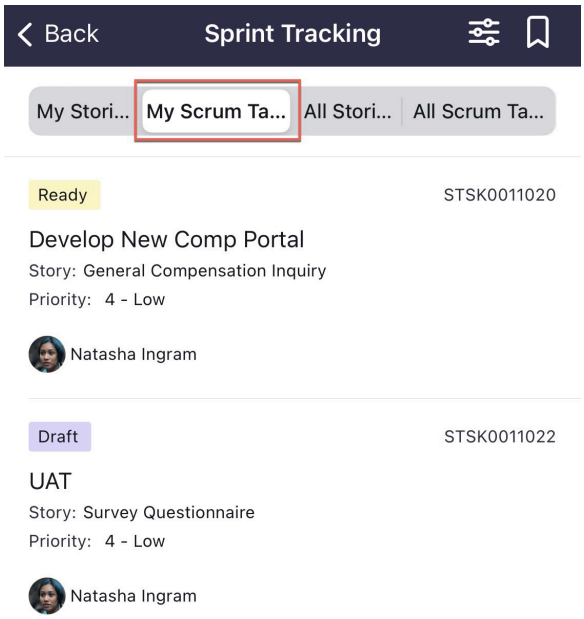


アサイン先グループからアサインされたスクラムタスク

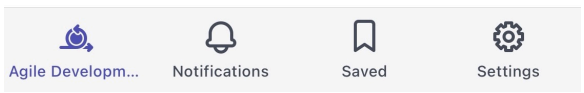
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. スプリント追跡アプレットで、[すべて表示] をタップします。
2. アサイン先グループの名前をタップして開きます。
3. [自分のスクラムタスク] をタップします。



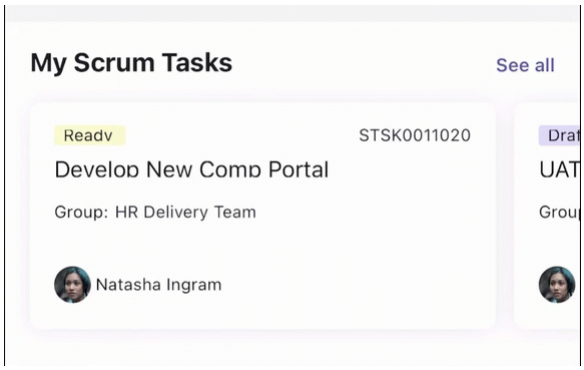
> **注:**
> [自分のスクラムタスク] タブは、ロール scrum_team_member のユーザーにのみ表示されます。



自分に割り当てられたすべてのスクラムタスク

[自分のスクラムタスク] アプレットには、すべてのアサイン先グループから現在のスプリントにアサインされているすべてのスクラムタスクが表示されます。

- すべてのスクラムタスクをカードとして表示するには、アプレットを左にスワイプします。
- すべてのスクラムタスクのリストを表示するには、アプレットの [すべて表示] をタップします。

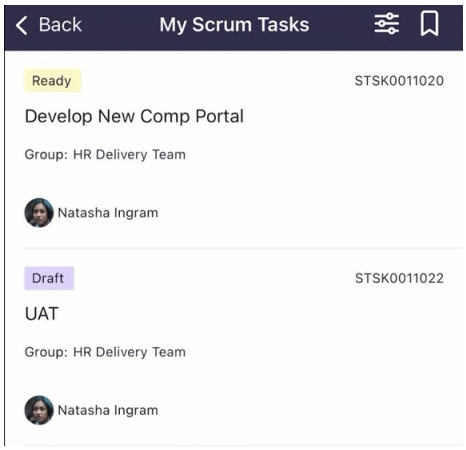


> **注:**
> [自分のスクラムタスク] アプレットは、ロール scrum_team_member のユーザーにのみ表示されます。

スクラムタスクレコードを左にスワイプすると、スクラムタスクにコメントを追加することや、スクラムタスクのステータスを更新することができるクイックアクションが提示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スクラムタスクをタップすると、タスクタイプ、ストーリー、アサイン先、説明、アクティビティなどの詳細が表示されます。

Agile Development v2 でのスクラムタスクの作成

モバイルアプリからストーリーのスクラムタスクを追加します。

始める前に

必要なロール：scrum_product_owner、scrum_team_member、または scrum_master

手順

1. [スプリント追跡] または [マイストーリー] アプレットからストーリーに移動します。
2. 新しいスクラムタスクを追加するストーリーをタップします。
3. その他のオプションアイコン (iOS では •••) または (Android では ⋮) をタップし、[新しいスクラムタスク] をタップします。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しいスクラムタスクモバイルフォーム

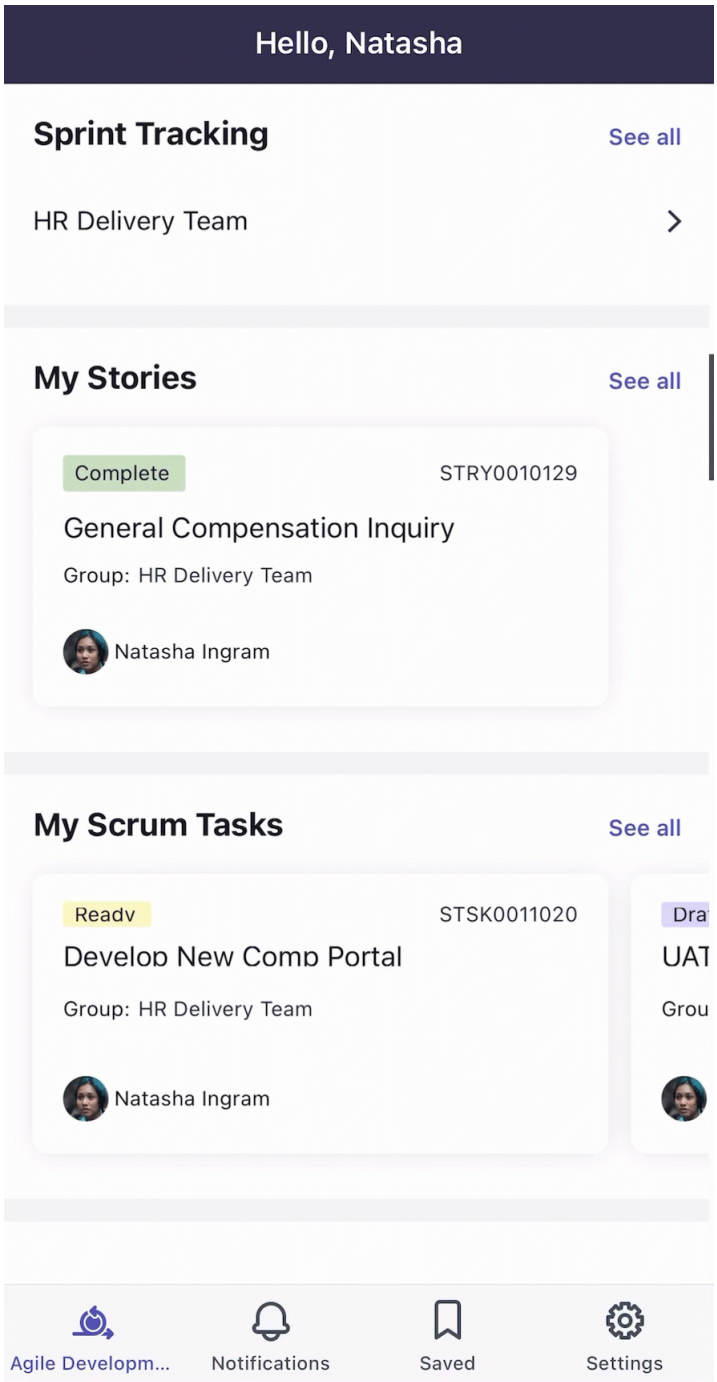
フィールド	説明
簡単な説明	スクラムタスクの簡単な説明。
説明	スクラムタスクの詳細な説明。
予定時間数	タスクを完了するための推定時間数。 一般的なスクラムタスクには、4 時間から 12 時間かかります。タスクに 12 時間以上かかる場合は、複数のタスクに分割することを検討してください。
優先度	タスクの優先度。
タイプ	関連する作業のタイプ。
ステータス	スクラムタスクの現在のステータス。新しいスクラムタスクのデフォルトステータスは [ドラフト] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] をタップします

注:
[送信] は、すべての必須フィールドが入力されている場合にのみ表示されます。



Agile Development v2 でのスクラムタスクの更新

モバイルデバイスからストーリーのスクラムタスクの詳細を編集および更新します。

始める前に

必要なロール：scrum_product_owner、scrum_team_member、または scrum_master

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [スプリント追跡] または [自分のスクラムタスク] アプレットからスクラムタスクに移動します。
2. 詳細を更新するスクラムタスクをタップします。
3. スクラムタスクの詳細を更新するには：
   a. [詳細] をタップしてから、[編集] をタップします。
   b. 更新するフィールドを編集します。

      スクラムタスクのステータス、タスクの簡単な説明、説明、アサイン先、実際の時間数、および優先度のフィールドを編集できます。

   c. [送信] をタップします。
4. 作業メモまたは添付ファイルをスクラムタスクに追加するには：

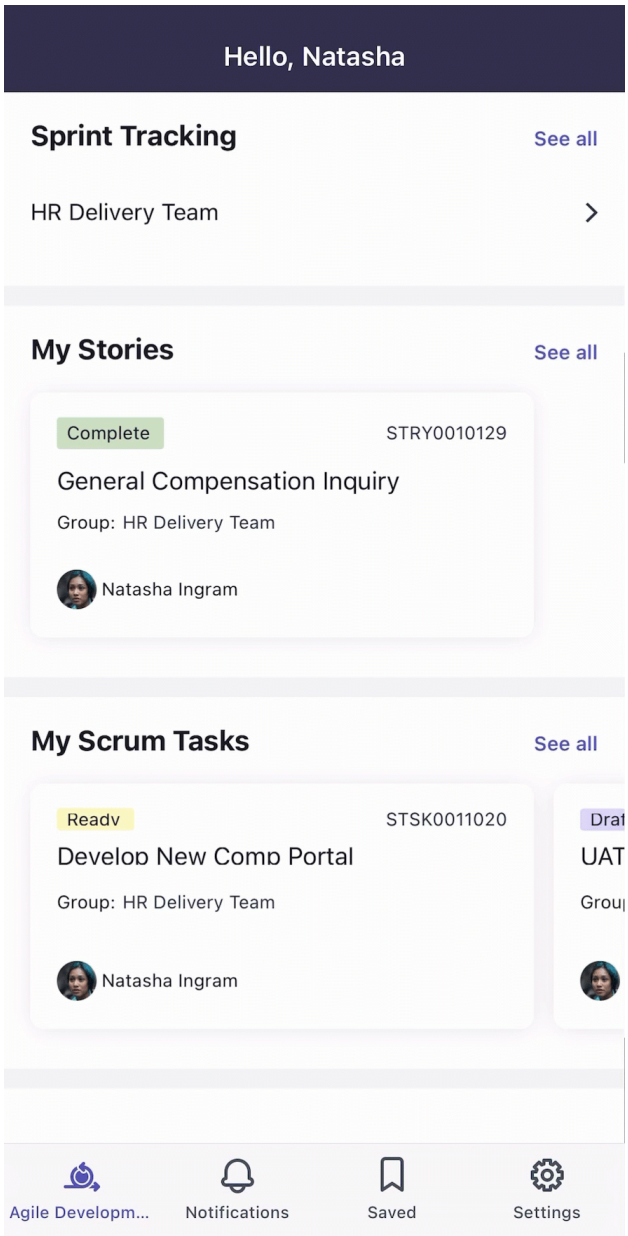
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [アクティビティ] をタップします。

b. 実行するアクティビティを選択します。

使用可能なオプションには、作業メモ、ファイル、画像などの追加が含まれます。



Agile Development 2.0 のスクラムプログラム

共通の短期的な成果に向けてまたは継続的に連携する複数のチームの作業を計画および追跡します。

短期的な成果の例としては、デマンド、プロジェクト、エピック、リリースなどがあります。スクラムプログラムで連携して作業するチームは、次のことができます。

- 同期して、またはさまざまなスプリント周期で作業します。
- この一般的なスクラムプログラムの外部での作業に貢献します。

ServiceNow® Agile Development 2.0 のスクラムプログラムの一元化された計画ページでは、次のことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 作業をアサインし、スプリント全体で複数のチームの作業負荷を比較します。
- 複数のチームにまたがるストーリー間の依存関係を設定、表示、および調整します。

スクラムプログラムアプリケーションの概要については、このショートビデオをご覧ください。

このビデオでは、スクラムプログラムアプリケーションを使用した、複数のスクラムチームにわたる作業の計画と管理の概要について説明しています。

スクラムプログラムの有効化

スクラムプログラム (com.snc.sdlc.scrum_program) プラグインを有効化して、Agile Development 2.0 でスクラムプログラムの計画を開始します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

スクラムプログラムとともにインストールされるコンポーネント

スクラムプログラムプラグインを有効化するときにインストールされるロール、テーブル、ビジネスルール、および UI マクロについて理解します。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

スクラムプログラムとともにインストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
プログラムマネージャー [it_program_manager]	このロールを持つユーザーは、すべてのスクラムプログラムを完全に制御できます。	• program_manager • scrum_product_owner • scrum_master

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
it_program_manager ロールは、 プロジェクトポートフォリオ管理 プラグインを介してまだインストールされていない場合にのみ、スクラムプログラムを有効するとインストールされます。

スクラムプログラムとともにインストールされるテーブル

テーブル	説明
epic_backlog_definition	エピックバックログの作成に使用されるフィルター基準を保存します。
scrum_program_m2m_group	スクラムプログラムとチームとの関係を保存します。

スクラムプログラムとともにインストールされるビジネスルール

名前	テーブル	説明
エピックのグローバルランクの設定	rank_configuration	既存のエピックのグローバルランクを設定するための修正スクリプトが含まれています。

スクラムプログラムとともにインストールされる **UI** マクロ

名前	説明
program_planning_constants	カスタマイズ可能な TEAM_LIMIT プロパティおよび STORY_LIMIT プロパティが含まれています。 これらのプロパティは、スクラムプログラムの計画ボードに表示できるチームとストーリーの数を制限します。

TEAM_LIMIT プロパティのデフォルト値は 15、STORY_LIMIT プロパティのデフォルト値は 1000 です。これらの値は、必要に応じて変更できます。

注:
値を大きくすると、ロード時間が長くなり、スクラムプログラムの計画ボードのパフォーマンスが低下する可能性があります。

エピックバックログの作成

設定に従って一連のフィルターを定義して、エピックをエピックバックログに分類します。スクラムプログラムの計画中に、これらのエピックバックログを使用して、このバックログ内のエピックに属するストーリーのみを計画できます。

始める前に
必要なロール：it_program_manager

このタスクについて
エピックバックログを使用すると、計画ボードでストーリーをフィルターして、特定のエピックのストーリーのみを表示できます。たとえば、[優先度] を [高] に設定してエピックのバックログを作成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

できます。計画ボードの後半では、これらの優先度の高いエピックに属するストーリーにのみ焦点を当て、それに応じてスプリントを計画できます。

手順

1. 次のいずれかの方法でエピックバックログフォームに移動します。

オプション	アクション
エピックバックログモジュールから	**a.** 移動先 アジャイル開発 > バックログのエピック. **b.** [新規] をクリックします。
アジャイルボードから	移動先 アジャイル開発 > アジャイルボード > ワクチン名 > バックログ をクリックし、次のいずれかの操作を行います。 ○ 初めてエピックバックログを作成する場合は、[バックログの作成] をクリックします。 ○ 作成するこのバックログを既存のエピックバックログに追加する場合は、作成アイコン (⊕) をクリックします。

2. [名前] フィールドに、エピックバックログの名前を入力します。
3. 目的のフィルター条件を設定するには、[フィルター条件の追加] または [「OR」節を追加] をクリックします。

   たとえば、エピックに設定された優先度でエピックをフィルタリングすることを選択できます。

   注:
   デフォルトのフィルター条件は [タスクタイプ] **[is]** [エピック] および [アクティブ] **[is]** **[true]** です。

4. [送信] をクリックします。

関連情報

エピックバックログの管理

エピックバックログの管理

アジャイルボード上のエピックバックログの一元化されたビューを使用して、エピックを作成、更新、および再配置します。

始める前に
必要なロール：it_program_manager、scrum_user

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [プログラム] タブから、[バックログ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エピックバックログが存在する場合、このバックログの基準に一致するエピックのリストがページに提示されます。
- 既存のエピックバックログがない場合は、エピックバックログの作成を参照してください。

3. 利用可能なエピックバックログを切り替えるには、バックログリストからバックログを選択します。
4. 選択したバックログを編集するには、編集アイコン ( ) をクリックします。

   注:
   このステップを実行するには、it_program_manager のロールが必要です。

5. 選択したバックログに新しいエピックを追加するには、[エピックを作成] をクリックします。
6. エピックのリストを製品別にフィルタリングするには、[製品別エピック] から製品カテゴリを選択します。

   製品別エピックフィルターで表示または非表示にできます。構成アイコン ( ) をクリックし、[製品フィルターを表示] のオン/オフを切り替えます。
7. 簡単な説明またはエピック番号によりバックログからエピックを見つけるには、検索バーを使用します。
8. エピックの詳細を編集するには、エピック番号をクリックします。
9. 優先度に基づいてエピックを再配置するには、次のいずれかを実行します。

アクション	説明
マウスデバイスを使用してエピックを並べ替える	**a.** 必要なエピックを選択します。 **b.** 選択項目を目的の位置にドラッグアンドドロップします。
キーボードを使用して単一のエピックを再配置する	**a.** 目的のエピックのコンテキストメニューアイコン ( ) を強調表示するには、**Tab** キーを押して **Enter** キーを押します。 **b.** 上下の矢印キーを使用して、エピックを目的の位置に移動します。 **c.** **Enter** キーを押してエピックの位置を固定します。
キーボードを使用してエピックのグループを再配置する	**a.** エピックを強調表示するには、**Tab** キーを押します。 **b.** エピックを選択するには、Enter キーを押します。 **c.** 上向き矢印キーと下向き矢印キーを使用して移動し、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
	i. 連続するエピックを選択するには、**Shift** キーと **Enter** キーを同時に押します。 ii. 無作為にエピックを選択するには、**Ctrl** キー (Windows の場合) または **Command** キー (Mac の場合) キーと **Enter** キーを同時に押します。 **d.** エピックのコンテキストメニューアイコン (☰) を強調表示するには、**Tab** キーを押して **Enter** キーを押します。 **e.** 上下の矢印キーを使用して、エピックを目的の位置に移動します。 **f. Enter** キーを押してエピックの位置を固定します。

単一のエピックまたはエピックのグループに対して、次のアクションを実行することもできます。

a. 必要なエピックを選択します。

b. エピックの [その他のオプション] アイコン (···) をクリックして、次のいずれかのオプションを選択します。

オプション	アクション
一番上に移動	エピックをバックログリストの一番上に移動します。
下に移動	エピックをバックログリストの一番下に移動します。
製品	製品リストを開きます。エピックが属する製品を選択します。

10. 標準プラットフォームリストでバックログを表示するには、標準リストビューアイコン (⧉) をクリックします。

スクラムプログラムを作成する

スプリントを計画し、共同で作業している複数のスクラムチームの進捗状況を追跡するスクラムプログラムを作成します。

始める前に

プログラムに含めるチームの情報があることを確認してください。

必要なロール：it_program_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかの方法でプログラムフォームに移動します。

オプション	アクション
スクラムプログラムモジュールから	**a.** 移動先 アジャイル開発 > スクラムプログラム. **b.** [新規] をクリックします。
アジャイルボードから	**a.** 移動先 アジャイル開発 > アジャイルボード. **b.** [プログラム] タブから、[プログラミング] を選択します。 **c.** [プログラムを作成] をクリックします。 注: 自身の最初のスクラムプログラムである場合に限り、アジャイルボードの [計画] ページからスクラムプログラムを作成できます。

2. フォームのフィールドに入力します。

プログラムフォーム

フィールド	説明
開始予定日	プログラムの開始日。手動で日付を入力するか、カレンダーから選択します。 デフォルトの日付は現在の日付です。
終了予定日	プログラムの終了日。手動で日付を入力するか、カレンダーから選択します。
計画された期間	プログラムの期間 (日単位および時間単位)。このフィールドは、開始予定日と終了予定日に基づいて自動入力されます。 スクラムプログラムのデフォルトの期間は 1 日です。
プログラムマネージャー	プログラムのマネージャー。
デフォルトのエピックバックログ	このスクラムプログラムを選択すると、計画ページに適用される最初のエピックバックログ。 現在計画ページでは、エピックバックログはプログラムに自動的に適用されません。そのた

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	め、計画立案時に必要なバックログを手動で選択することをお勧めします。
プログラム名	プログラムの簡単な説明。

3. [送信] をクリックします。
   ロール scrum_user を持つすべてのユーザーが、作成されたスクラムプログラムを表示できます。

次のタスク

- チームをスクラムプログラムにアサインする。
- スクラムプログラムを計画するには、[スクラムプログラムボード]関連リンクをクリックします。

チームをスクラムプログラムにアサインする

チームをスクラムプログラムに追加して、作業をアサインし、作業の進捗状況を追跡します。

始める前に
このスクラムプログラムで作業するチームがアジャイルグループとして作成されていることを確認します。アジャイルグループを作成してメンバーを割り当てる手順については、「Agile Development 2.0 でアジャイルグループを作成する」を参照してください。

必要なロール：it_program_manager

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > スクラムプログラム.
2. スクラムプログラムレコードを開きます。
3. [チーム] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. 目的のチームをコレクションからチームリストに移動します。
5. [保存] をクリックします。

   同じ手順に従って、複数のスクラムプログラムにチームを追加できます。スクラムプログラムに追加したチームは、該当する [チーム] 関連リストに表示されます。

次のタスク
スクラムプログラムを計画する。

スクラムプログラム計画立案ボード

アジャイルボードの一元化されたビューを使用して、スクラムプログラムに対するチームの作業を計画します。

スクラムプログラム計画ボードの UI コンポーネントのクイックビュー。

アジャイルボードには、スクラムチームの作業を計画、スケジュール、およびレビューできるプログラム計画ボードがあります。計画ページには、計画立案プロセスをガイドする次のコンポーネントが含まれています。

プログラムセレクター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画またはレビューするプログラムを選択します。プログラムを選択した後、編集アイコン ( ) をクリックして、チームを追加したり、他の情報を更新したりすることができます。

プログラムのタイムライン

水平方向にスクロールするか、進むアイコン ( ) と戻るアイコン ( ) を使用して、プログラムのタイムラインを移動します。

エピックバックログフィルター

スクラムプログラムに関連付けられているエピックバックログを選択します。プログラム計画ボードとエピックバックログペインでストーリーをフィルタリングできます。これらの選択したエピックのみの作業負荷を分析することで、スプリント全体で作業負荷がどのようにスケジュールされているかを理解できます。

構成パネル

構成パネルアイコン ( ) を使用して、計画ボード上の次のコンポーネントのオン/オフを切り替えます。

チームのバックログ

チームのバックログレーンを表示または非表示にできます。

ストーリーの依存関係

ストーリーの依存関係線を使用して、異なるスプリントおよびチームのストーリー間の依存関係を視覚的に分析できます。依存関係オプションを使用して、こうした依存関係線を表示または非表示にできます。依存関係を非表示にすることを選択した場合、またはボード上に存在しないストーリーが依存関係に含まれている場合は、ストーリーカードに色付きの境界線が表示されます。

依存関係の色は、ストーリーをスケジュールした方法を示します。

- 緑：前提条件ストーリーが最初のスプリントでスケジュールされています。次に、依存ストーリーが後のスプリントでスケジュールされます。
- 赤：依存ストーリーが最初のスプリントでスケジュールされています。次に、依存ストーリーが後のスプリントでスケジュールされます。依存関係を確認し、必要に応じてストーリーを再スケジュールします。

前提条件ストーリーまたは依存ストーリーに関連付けられているストーリーがない場合、依存関係オプションは表示されません。

ストーリーの依存関係を追加する方法については、Agile Development 2.0 ストーリーに関する依存関係の追加を参照してください。

[エピックバックログ] ペイン

エピックバックログ定義のフィルター条件に基づくすべてのエピックのリストを表示できます。詳細については、「エピックバックログの作成」を参照してください。

バックログペインでは、エピックに対して次のアクションを実行できます。

- エピックの説明を表示します。
- エピックの未アサインおよび未スケジュールのストーリーを、簡単な説明とストーリーポイントを示すカードとして表示します。
- エピック名をクリックしてエピックの情報を編集します。
- [ストーリーを作成] をクリックして、エピックに新しいストーリーを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクラムチーム

選択したスクラムプログラムに関係するすべてのチームを計画ボードの左側に表示します。

チームの名前をクリックすると、チームメンバー、グループのキャパシティ、説明などのチームの情報を更新できます。

チームにスプリントが追加されていない場合、またはスプリントをさらに追加する場合は、直接プログラム計画ボードからスプリントを追加することができます。

チームのバックログレーン

チームにアサインされていても、まだスプリントにスケジュールされていないストーリーが表示されます。

スクラムプログラムの計画中に、チームにアサインする必要があるストーリーがわかっていても、使用すべきスプリントがわからない場合は、こうしたストーリーをチームのバックログレーンに移動できます。これによって、今後のスプリントに対するチームの作業負荷を明確に把握し、最終的にこうしたストーリーを正しいスプリントに追加することができます。

ストーリーカードをチームのバックログにドラッグして戻すことで、すでにスプリントにスケジュールされているストーリーの計画を解除することもできます。計画ボードのバックログレーンを使用して、どのチームにストーリーがあるかを確認します。次に、どのスプリントでスケジュールするかを決定します。

チームからストーリーのアサインを解除する場合は、ストーリーカードをドラッグしてエピックバックログレーンに戻すことができます。

チームのスプリントレーン

チームのスプリント周期を確認できます。

スプリントの名前にカーソルを合わせると、期間、合計ストーリーポイント、最大キャパシティなどのスプリントの詳細を確認できます。スプリント名をクリックすると、グループキャパシティ、開始予定日、終了日などの詳細を編集できます。

スクラムプログラムの計画中に、ストーリーが処理されるスプリントがわかっている場合は、ストーリーカードをそのスプリントに移動できます。

ストーリーカード

スクラムプログラムのエピックのストーリーをカード形式で表示できます。これらのカードを移動してチームに割り当てたり、スプリントで計画したりすることができます。

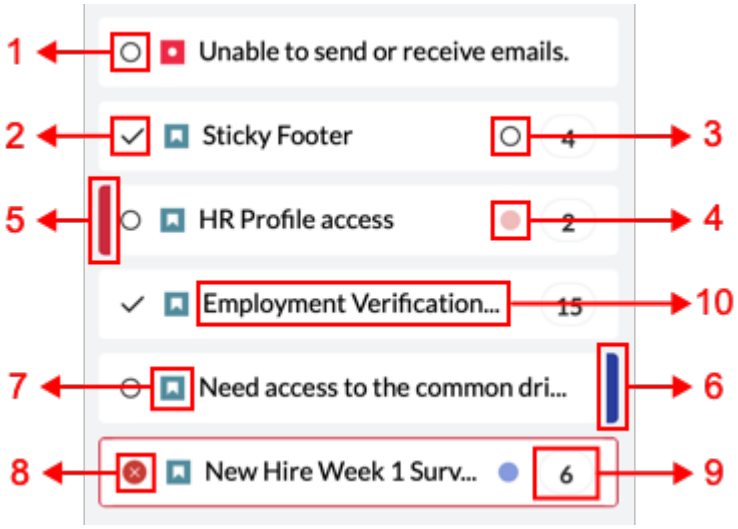
Agile Development — Unified Backlog プラグイン (com.snc.sdlc.safe.multi_task) を有効化している場合は、トリアージボードから統合バックログに追加されたストーリーも表示されます。計画ボードから、ストーリーカードをダブルクリックすることで、ポップアップウィンドウで開き、詳細を編集できます。欠陥などのトリアージボード上のレコードからストーリーが作成された場合は、ストーリー情報と欠陥情報の両方が並べて表示されます。

ストーリーカードでは、次のインジケーターを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクラムプログラムボードのストーリーカードの凡例



スクラムプログラムボードのストーリーカードのインジケーター

番号	インジケーターの説明
1	完了していないストーリーのインジケーター。
2	完了しているストーリーのインジケーター。
3	色が関連付けられていないエピックに属するストーリーのインジケーター。ドットにカーソルを合わせると、エピックの名前が表示されます。
4	色が関連付けられているエピックに属するストーリーのインジケーター。ドットにカーソルを合わせると、エピックの名前が表示されます。
5	関連する前提条件ストーリーのインジケーター。このバンドが赤で表示されている場合、依存関係が正しく設定されていないことを示し、確認する必要があります。
6	関連する依存ストーリーのインジケーター。このバンドが赤で表示されている場合、依存関係が正しく設定されていないことを示し、確認する必要があります。
7	通常のストーリーのインジケーター。このアイコンは、レコードのタイプによって変わります。たとえば、チームの有するストーリーが、問題、機能拡張、欠陥などのレコードから作成されることもあります。
8	ブロックされているストーリーのインジケーター。
9	ストーリーポイント。
10	ストーリーの短い説明。

注:
拡張機能、欠陥、インシデントなどのレコードからストーリーを作成できるのは、 Agile Development — Unified Backlog プラグイン (com.snc.sdlc.agile.multi_task) がアクティブ化されている場合のみです。

スプリント作業負荷キャパシティバー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプリントを効率的に計画します。スプリントの下にあるこのバーは、チームに計画されている作業負荷と、該当するスプリントに対するチームのキャパシティを比較して示します。スプリント名にカーソルを合わせると、詳細が表示されます。

ズームインとズームアウト

ズームインアイコン ( ) とズームアウトアイコン (アイコン) を使用してボードビューを調整します。

検索

検索用語を使用して、計画ボード上のストーリーをフィルタリングします。たとえば、簡単な説明からストーリー番号やフレーズを入力できます。

ストーリーリスト

標準リストビューアイコン ( ) を使用して、プログラムのすべてのストーリーのリストを表示します。

スクラムプログラムを計画する

アジャイルボードの一元化されたビューを使用して、スクラムプログラムで連携して作業する複数のスクラムチームのスプリントについて計画します。

始める前に

- エピックバックログの作成。
- スクラムプログラムを作成する。
- 必要なロール：scrum_sprint_planner

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [プログラム] タブから、[プログラミング] を選択します。
3. [プログラム] リストから、計画するスクラムプログラムを選択します。

   計画ボードには、選択したプログラムで作業しているすべてのチーム、該当するスプリントの周期、およびスプリントのキャパシティが表示されます。

4. [バックログ] リストからエピックバックログを選択し、バックログアイコン ( ) をクリックして、選択したバックログのエピックを表示します。
5. バックログからエピックを選択して、エピックのストーリーを表示します。
6. ストーリーカードをバックログからドラッグし、スプリントまたはチームのバックログレーンにドロップして、スクラムチームにストーリーをアサインします。

   ストーリーカードを再配置することで、チーム間およびスプリント間でストーリーを再スケジュールすることができます。

   - ストーリーカードをチームのバックログに移動すると、それに応じて [アサイン先グループ] フィールドが更新されます。
   - ストーリーカードをスプリントに計画すると、それに応じてストーリーの [アサイン先グループ] フィールドと [スプリント] フィールドが更新されます。

     スプリント名の下にあるスプリントキャパシティバーには、スケジュールされているストーリーに応じて入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: スプリント名をクリックすることで、チームのスプリントのグループキャパシティを更新します。
8. オプション: 計画ボードからストーリーをドラッグし、エピックバックログペインまたはチームのバックログレーンにドロップして、ストーリーの計画を解除します。
   - ストーリーを元のエピックバックログペインにドロップすると、スプリントとアサイン先グループの参照がストーリーからクリアされます。
   - ストーリーをチームのバックログレーンに移動すると、スプリント参照のみがクリアされ、アサイン先グループは保持されます。

関連情報

スクラムプログラム計画立案ボード

プログラム計画ボードからスプリントを追加する

別のモジュールに移動することなく、スクラムプログラム計画ボードから直接スクラムチームにスプリントを追加します。

始める前に

必要なロール：scrum_sprint_planner

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [プログラム] タブから、[プログラミング] を選択します。
3. [プログラム] リストから、計画するスクラムプログラムを選択します。
4. チーム名の下にある [スプリントを追加] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

スプリントフォームの作成

フィールド	説明
名前	チームのスプリントの名前。
開始番号	スプリントを開始する番号。 たとえば、チームの最初のスプリントである場合は、「**1**」と入力します。
開始日時	チームのスプリントの開始日。
期間 (日数)	チームのスプリント期間。
スプリント数	チームに追加するスプリントの数。 たとえば、チームに 4 つのスプリントを追加する場合は、「 **4**」と入力します。

6. [**OK**] をクリックします。

プログラム計画ボードで、チームの新しいスプリントを確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス **Agile 2.0** のコンテンツパック

プラットフォームアナリティクス Content Pack for Agile 2.0 のデータを表示した事前設定済みダッシュボードを使用して、Agile プロセスとプラクティスを改善します。

パフォーマンスアナリティクス ソリューションの有効化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

注:
ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。

この プラットフォームアナリティクスソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

この プラットフォームアナリティクスソリューション を使用するには、パフォーマンスアナリティクス for Business Management のサブスクリプションをアクティブ化する必要があります。パフォーマンスアナリティクス の資格付与の詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

このベースシステムの パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、 ServiceNow Store から入手できます。このソリューションを有効にするには、管理者として次の場所に移動します。 システムアプリケーション > **ServiceNow Store** を検索.ServiceNow Store のランディングページが開いたら、パフォーマンスアナリティクス Content Pack for Agile 2.0 を検索します。ソリューションが見つかったら、ServiceNow Store の指示に従ってください。ServiceNow Store には、独自のドキュメントが用意されています。

ビジネスステークホルダーロールサポート

ビジネスステークホルダーロール (sn_agile_read) には、すべての Agile 2.0 ダッシュボードへの読み取り専用アクセス権があります。詳細については、「Agile Development 2.0 のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。

関連情報

- プラットフォームアナリティクスソリューション
- Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化

Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 のインストール

ServiceNow Store から Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 アプリケーションをインストールします。

始める前に

- Agile Development 2.0 (com.snc.sdlc.agile.2.0) プラグインをアクティブ化します。
- Performance Analytics (com.snc.pa) プラグインのアクティブ化

必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- プラグインとアプリケーションがインストールされ、アクティブ化されていることを確認するには、次に移動します サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。
- 本番インスタンスで Agile Development 2.0 および Performance Analytics プラグインをアクティブ化するには、別の Performance Analytics ライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow のサポートにお問い合わせください。

手順

1. 移動先 ServiceNow® Store.
2. Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 を検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   インストールしているアプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

   注:
   該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [インストールを要求] をクリックします。
6. [インスタンス名] フィールドに詳細を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [インスタンスの理由] フィールドに詳細を入力し、[要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 をインストールしたいインスタンスにログインします。
9. 移動先 システムアプリケーション > アプリケーション.
10. アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

タスクの結果
ダッシュボードには、次の場所からアクセスできます。Agile Development 2.0 アジャイル開発 > ダッシュボード.

次のタスク
[Scrum] 日次データコレクションジョブを開始します。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードの日次データ収集の有効化」を参照してください。

Agile 2.0 ダッシュボードの日次データ収集の有効化

新しいデータに対するスコアの収集を自動的に開始するために、スケジュール済みデータ収集を有効にします。データ収集ジョブにより、自動インジケーターおよび自動ブレークダウンのスコアが自動的に収集されます。

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて

注:
履歴データ収集は、[Scrum] 日次データコレクションジョブの基礎となるインジケーターではサポートされていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. [Scrum] 日次データコレクションジョブを見つけて開きます。
3. [Scrum] 日次データコレクションジョブを開始します。
   a. [ジョブパラメーター] セクションまで下方向にスクロールします。
   b. [実行方法] フィールドを pa_admin、pa_data_collector、または admin ロールのいずれかを持つユーザーに設定します。
   c. 組織に対して [実行時のタイムゾーン] フィールドのタイムゾーンが適切であることを確認します。
   このタイムゾーンは、次の目的で使用されます。
      - このジョブ用に作成されたデータベースクエリ
      - [[作成][日付][今日]] などのインジケーター条件
   d. [アクティブ] チェックボックスをオンにして、ジョブのスケジュール実行を有効にします。
4. [更新] をクリックします。

Agile 2.0 ダッシュボードのレイアウトのアップグレード

Solution Library を使用して、Agile 2.0 ダッシュボードの最新レイアウトにアップグレードします。

Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 の最新バージョン 1.1 にアップグレードした既存のユーザーは、Solution Library からダッシュボードの最新のレイアウトをインストールできます。

たとえば、アプリケーションのバージョン 1.0.2 以前からアップグレードしている場合は、Solution Library から次のダッシュボードをインストールすることで、最新のレイアウトを利用できます。

- Agile 2.0 エピックダッシュボード
- Agile 2.0 スプリントダッシュボード
- Agile 2.0 以前のスプリントダッシュボード
- Agile 2.0 リリースダッシュボード
- Agile 2.0 チームダッシュボード

詳細については、「ソリューションライブラリを使用したダッシュボードのインストール」を参照してください。

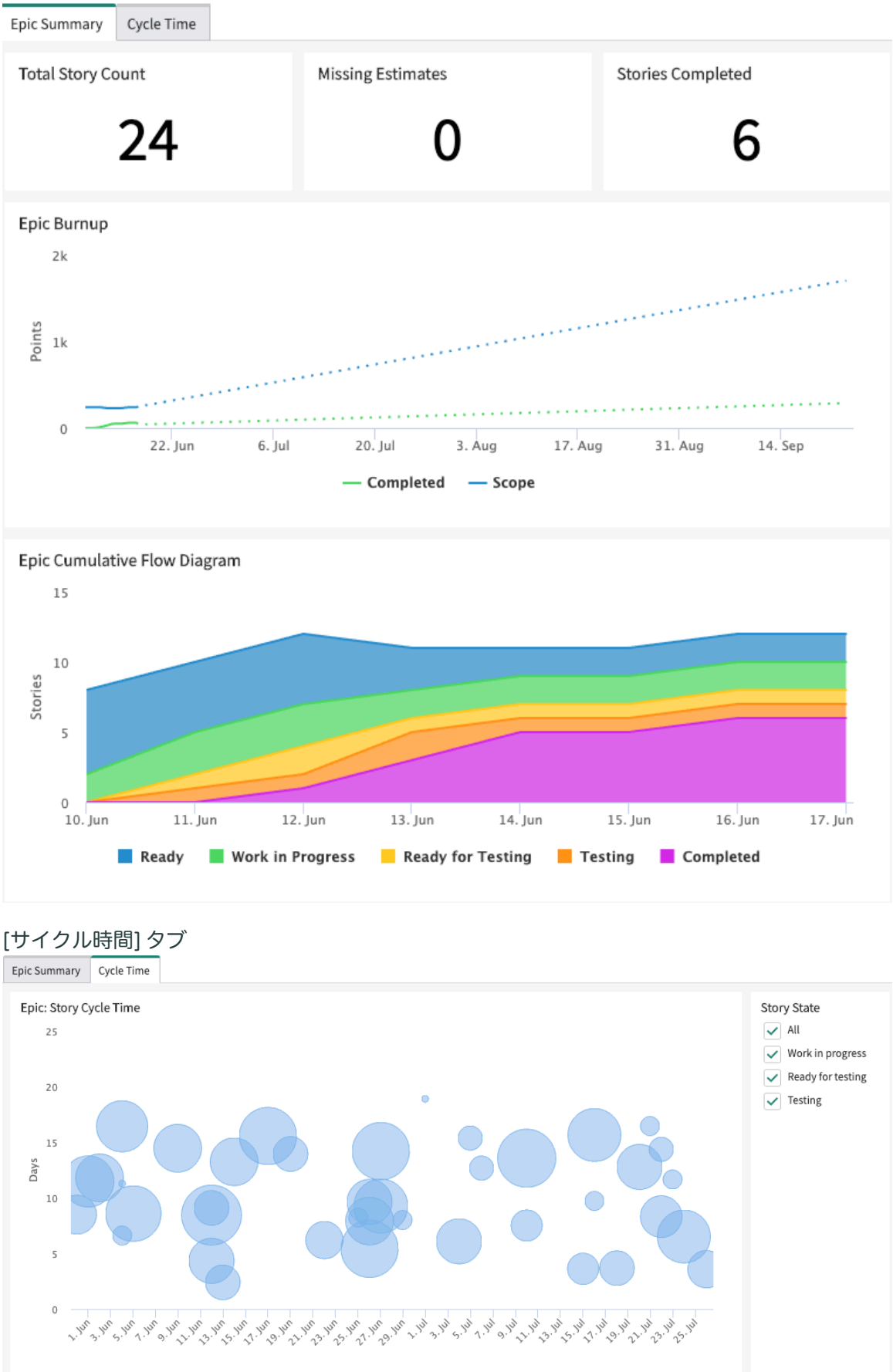
注:
Paris リリースのユーザーの場合、Solution Library コンテンツフォームに [インストール] および [アップグレード] ボタンは表示されません。この問題の解決方法については、「ストアアプリに PA Solution Library を許可する」を参照してください。

Agile 2.0 エピックダッシュボード

エピックダッシュボードを使用して、特定の期間におけるエピックのストーリーの進行状況を視覚的に分析します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エピックサマリー] タブ



[サイクル時間] タブ

Agile 2.0 エピックダッシュボードには、次の情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 完了したストーリーの数と、エピックの推定値が欠落しているストーリーの数が表示されます。
- 現在のステータスのエピックのストーリー数とその進行状況が表示されます。
- スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。
- チームがエピックのストーリーで作業しているペースを示します。
- スコープの変更と完了のペースの傾向に基づいて、エピックが完了する可能性が高い時期を予測します。
- エピックのストーリーが進行中ステータスから完了済みステータスになるまでの経過時間を表示します。

キャンセルされたストーリーは、このデータのいずれにも含まれません。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
スクラムマスター：エピックを時間どおりに完了するには、チームストーリーのリアルタイムの進捗状況とエピックのスコープの変更を明確に把握する必要があります。	scrum_user	• エピックのストーリーの現在のステータスと各ステータスにある時間を表示できます • エピックバーンアップの傾向を表示できます • エピックの完了日を推定できます • 予想よりも時間がかかった外れ値のストーリーを特定できます

インジケーター

スクラム：エピック内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

エピックのサイズを示すスコープ系列をエピックバーンアップレポートに生成します。

スクラム：エピック内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計

エピックバーンアップレポートで、エピック内で完了した作業量を示す完了済み系列を生成します。

スクラム：現在のエピック内のすべてのストーリー数

現在のエピックのストーリー数をステータス別に示す、バブルチャートのデータ系列のエピック累積フロー図レポートを生成します。

ブレークダウン

- スクラム：エピック
- スクラム：ステータス

ウィジェット

合計ストーリー数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エピックの合計ストーリー数を示します。

完了したストーリー

エピック内で完了したストーリー数を示します。

推定の欠如

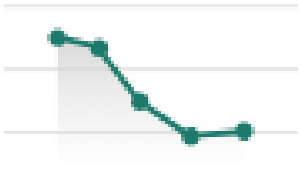
推定値が欠落しているエピック内のストーリー数を示します。

データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のデータの可視化にアクセスします。

- エピック累積フロー図
- ストーリーのサイクル時間

詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードのレイアウトのアップグレード」を参照してください。

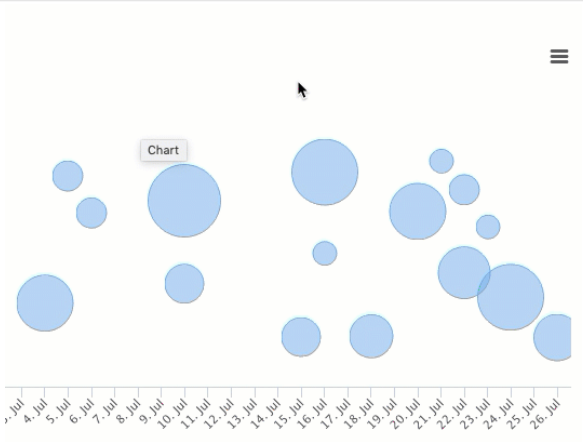
タイトル	タイプ	説明
エピックサマリー		
エピックバーンアップ	線グラフ 	エピックバーンアップの傾向を表示します。エピックがいつ完了す す。 エピックバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表 とができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：エピックのサイズを示します。 • スコープ予測：履歴データに基づいて、将来の日付のスコープ変 します。 • 完了：エピック内の完了した作業量を示します。 • 完了予測：将来の日付のバーンアップを予測します。エピックを できるかどうかを示します。この予測は履歴データに基づいてい 注: 完了した予測データ系列がスコープ予測データ系列と交差する り、エピックがいつ完了するかが予測されます。完了した予測 予測系列がどこまでも交差しないように見える場合は、作業の スコープが追加されていることを示してるので、注意が必要で
エピック累積フロー図	面グラフ 	実際の開始日から終了日まで、エピックのすべてのストーリーの進 す。 各ステータスのストーリーの数を、ステータスの開始時間、ステー 間、およびステータスの終了時間により示します。 エピック累積フロー図は、環境設定に基づいて非表示/表示を切り る次のバブルチャートから構成されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		• 準備完了：作業を開始する準備が完了しているエピックのストーリー数を示します。 • 対応中：開発中のエピックのストーリー数を示します。 • テストの準備完了：テストする準備が完了しているエピックのストーリー数を示します。 • テスト：現在テスト中のエピックのストーリー数を示します。 • 完了：完了したストーリー数を示します。 注: 「準備完了」ステータスおよび「キャンセル」ステータスのストーリーは、このレポートには含まれません。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブルチャート 	エピックの各ストーリーが「進行中」ステータスから「完了」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸からストーリーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーポイントの大きさに基づき、相対的なものです。 バブルの上にマウスカーソルを合わせると、該当するストーリーに関する詳細が表示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、ステータスでフィルタリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間を表示します。グラフには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステータスの累積合計として表示されます。 レポートのチャートのいずれかの領域で、ストーリーが多すぎてバブルが重なるように見える場合は、レポートの特定の領域を拡大して見やすくすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

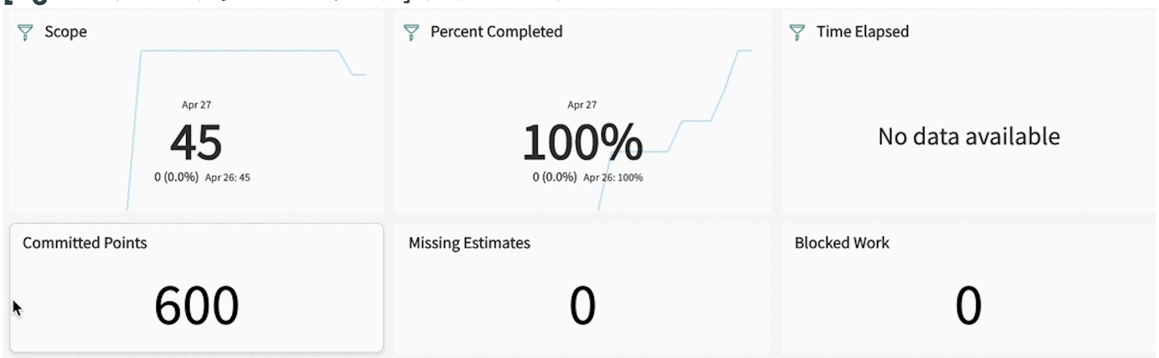
タイトル	タイプ	説明
		

バーンアップおよび累積フロー図のレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

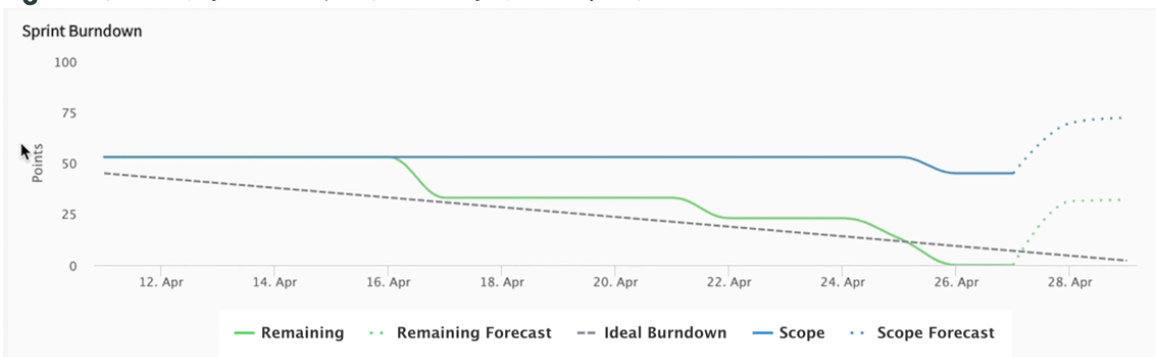
Agile 2.0 スプリントダッシュボード

スプリントダッシュボードを使用して、現在のスプリントでストーリーの進行状況を追跡し、スプリントの完了を予測します。

[Agile スプリントダッシュボード] ウィジェット



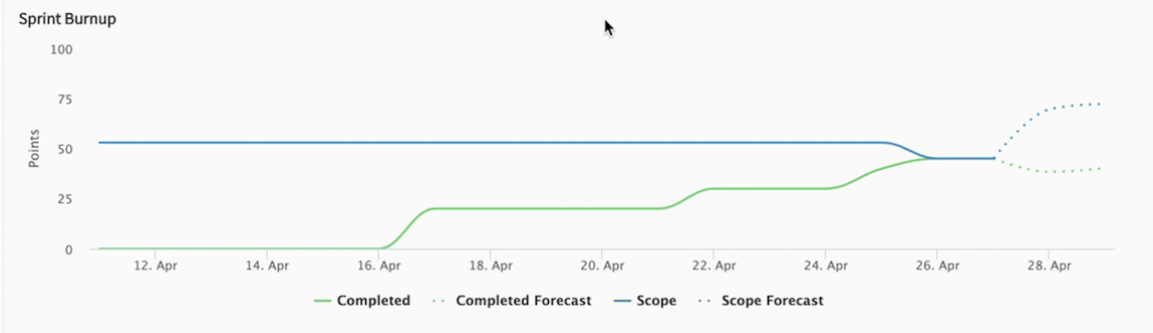
Agile スプリントダッシュボードバーンダウンレポート



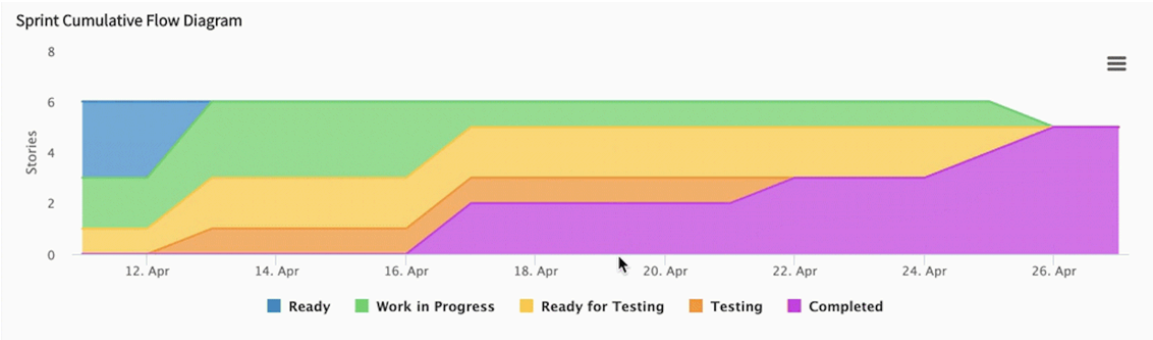
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile スプリントダッシュボードバーンアップの可視化



Agile スプリントダッシュボードの累積フロー図



Agile 2.0 スプリントダッシュボードには、次のインサイトが表示されます。

- 完了した作業の割合、経過時間、推定が欠落しているストーリーの合計数など、スプリントの詳細を表示します。
- 現在のステータスのスプリントのストーリー数とその進行状況が表示されます。
- スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。
- チームがスプリントの目標を達成するためにストーリーを進捗させる方法を示します。
- スプリントが予定通りに完了する可能性を示す予測データ。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
スクラムマスターおよびスプリント計画者：スプリントを予定どおりに完了することを目的とした計画調整のために、スプリントのスコープの変更、完了済み作業、および残り作業を可視化する必要があります。	scrum_user	• スプリントのバーンアップとバーンダウンの傾向を分析する • スプリントのスコープの変更を分析する • スプリントのストーリーの現在のステータスを表示し、各ステータスにある時間を分析します • スプリントの完了日を推定します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター

スクラム：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

スプリントバーンダウンレポートおよびバーンアップレポートでスコープ系列を生成します。スコープ系列は、スプリントに計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。

スクラム：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計

スプリントバーンダウンレポートおよびバーンアップレポートで完了した系列を生成します。完了済み系列は、スプリントで完了済みの作業量 (ストーリーポイント) を示します。

スクラム：スプリントでの経過時間

[経過時間] ウィジェットに表示される時間を計算します。

スクラム：現在のスプリントのすべてのストーリー数

スプリント累積フロー図レポートにバブルチャートの系列を生成します。現在のスプリントのストーリー数を示します。

スクラム：ポイントによる完了率

スプリントに対して完了した作業量 (パーセンテージ) を計算します。値は、次の式の結果です。

```
([[Scrum: Sum of story points of completed stories in current sprint]]/[[Scrum: Sum of story points of all stories in the current sprint]]*100)
```

ブレークダウン

- スクラム：スプリント
- スクラム：現在のスプリント
- スクラム：ステータス

ウィジェット

スコープ

スプリントに計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。このウィジェットを使用すると、スプリントの目標を達成するために完了する必要がある作業量を一目で確認できます。また、スプリントに計画されたストーリーの詳細にドリルダウンすることもできます。

完了率

ストーリーポイントを使用して、スプリントで完了した作業の割合を示します。このウィジェットを使用すると、スプリントで完了済みの作業量を一目で確認できます。これらのウィジェットでは、隣接する [経過時間] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりにスプリントの目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

経過時間

スプリントの開始日から終了予定日までの経過時間の割合を示します。これらのウィジェットでは、隣接する [完了率] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりにスプリントの目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コミットポイント

スプリントのコミット済みスコープ (ストーリーポイント数) を示します。これらのウィジェットでは、隣接する [スコープ] ウィジェットとともに使用して、スプリントの開始時にコミットされたスコープと、スプリントの現在のスコープの相違を確認できます。

> **注:**
> このウィジェットはデフォルトで表示されません。レポートからダッシュボードに追加できます。詳細については、「レスポンシブダッシュボードの編集」を参照してください。

推定の欠如

推定値が欠落しているスプリント内のストーリーの合計数を示します。このダッシュボードの他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートの推定値を活用する必要があります。

> **ヒント:**
> ストーリーを推定しない場合は、[ストーリーポイント] フィールドに「1」を入力します。他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートは、カウントごとに効果的に機能します。

ブロックされた作業

ブロックされたスプリントの作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。

データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のビジュアル化にアクセスします。

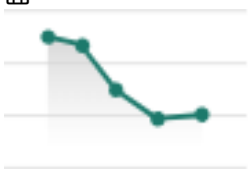
- スプリントバーンアップ
- スプリント累積フロー図

詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードのレイアウトのアップグレード」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
スプリントバーンダウン	線 	スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。作業の理想的なペース、残る作業量、およびスプリントの終了前にスコープが完了する可能性があるかどうかを示します。 スプリントバーンダウンレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに計画されている作業量を示します。 • スコープ予測：履歴データに基づいて、将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。 • 理想的なバーンダウン：チームがスプリントを時間どおりに完了するためにストーリーをどのように進捗させる必要があるかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		• 残り：スプリントの完了までに残る作業量を示します。実際のバーンダウンが理想的なバーンダウンを上回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、スプリントのスケジュールより遅れています。実際のバーンダウンが理想的なバーンダウンを下回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、スプリントのスケジュールより進んでいます。 • 残りの予測：将来の日付のバーンダウンを予測します。スプリントを時間どおりに完了できるかどうかを示します。この予測は履歴データに基づいています。
スプリントバーンアップ	線 	スコープの変更を示すスプリントバーンアップの傾向を示します。スコープの将来の変更と作業完了の傾向を予測します。 スプリントバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに計画されている作業量を示します。 • スコープ予測：履歴データに基づいて、将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。 • 完了：スプリント内の完了した作業量を示します。 • 完了予測：将来の日付のバーンアップを予測します。スプリントを時間どおりに完了できるかどうかを示します。この予測は履歴データに基づいています。
スプリント累積フロー図	面 	実際の開始日から終了日まで、スプリントのすべてのストーリーの進行状況を監視します。 各ステータスのストーリーの数を、ステータスの開始時間、ステータスでの経過時間、およびステータスの終了時間により示します。 スプリント累積フロー図は、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のバブルチャートから構成されています。 • 準備完了：作業を開始する準備が完了しているスプリントのストーリー数を示します。 • 対応中：開発中のスプリントのストーリー数を示します。 • テストの準備完了：テストする準備が完了しているスプリントのストーリー数を示します。 • テスト：現在テスト中のスプリントのストーリー数を示します。 • 完了：完了したスプリントのストーリー数を示します。 **注:** 「準備完了」ステータスおよび「キャンセル」ステータスのストーリーは、このレポートには含まれません。

バーンアップ、バーンダウン、および累積フロー図のレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

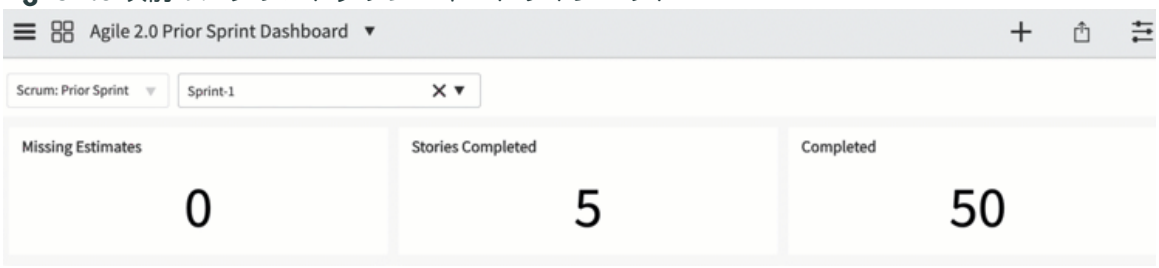
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

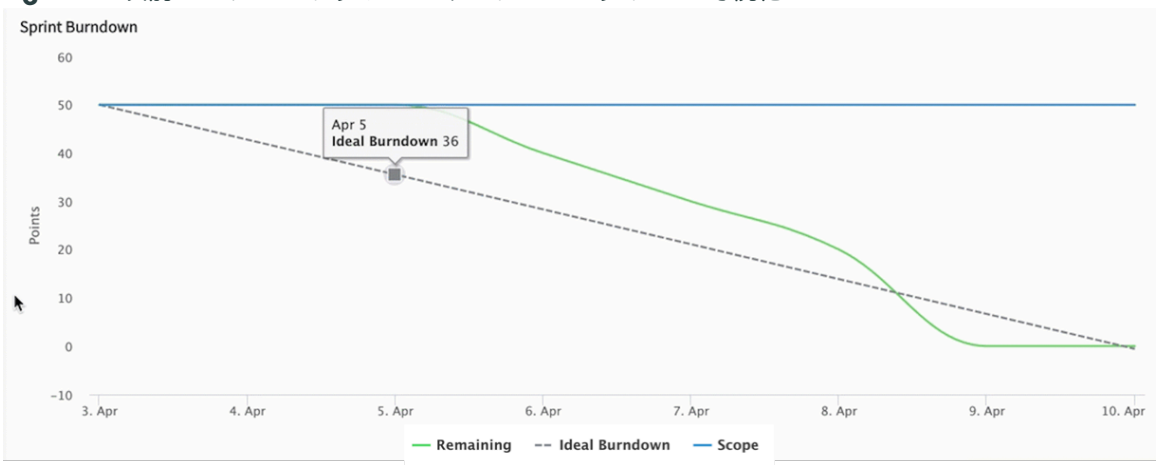
Agile 2.0 以前のスプリントダッシュボード

以前のスプリントダッシュボードでは、スコープ、実際のバーンダウンとバーンアップ、および以前のスプリントの予測傾向に関するデータを視覚化できます。データを分析し、今後のスプリントの作業を計画します。

Agile 2.0 以前のスプリントダッシュボードウィジェット



Agile 2.0 以前のスプリントダッシュボードバーンダウンの可視化



Agile 2.0 以前のスプリントダッシュボードバーンアップの可視化



注:
キャンセルされたストーリーは、このデータのいずれにも含まれません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
スクラムマスターおよびスプリントプランナー：以前のスプリントのスコープと予測傾向における実際の変化を可視化する必要があります。	scrum_user	• スプリントのバーンアップとバーンダウンの傾向を分析できます • 今後のスプリントの計画にデータを利用できます

インジケーター

このダッシュボードのレポートのデータを生成するために使用されるインジケーターは次のとおりです。

スクラム：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

スプリントバーンダウンレポートおよびスプリントバーンアップレポートでスコープ系列を生成します。

スクラム：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計

スプリントバーンダウンレポートおよびスプリントバーンアップレポートで完了した系列を生成します。

ブレークダウン

インジケーターで使用されるブレークダウンは次のとおりです。

- スクラム：スプリント
- スクラム：以前のスプリント

ウィジェット

コミットポイント

スプリントのコミット済みスコープ (ストーリーポイント数) を示します。

完了したストーリー

以前のスプリントで完了したストーリーの合計数を示します。

完了

以前のスプリントで完了した作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。

推定の欠如

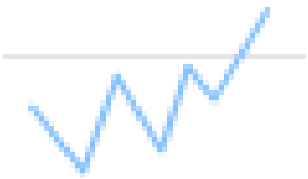
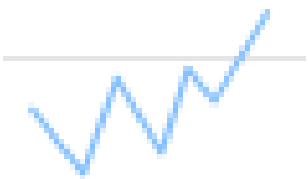
推定値が欠落している以前のスプリント内のストーリーの合計数を示します。

データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、スプリントバーンアップの可視化にアクセスします。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードのレイアウトのアップグレード」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
スプリントバーンダウン	線グラフ 	スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。作業の理想的なペース、残る作業量、およびスプリントの終了前にスコープが完了する可能性があるかどうかを示します。 スプリントバーンダウンレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに計画されている作業量を示します。 • 理想的なバーンダウン：チームがスプリントを時間どおりに完了するためにストーリーをどのように進捗させる必要があるかを示します。 • 残り：スプリントの完了までに残る作業量を示します。 残りが理想的なバーンダウンを上回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、スプリントのスケジュールより遅れています。 残りが理想的なバーンダウンを下回っている場合は、当初の予定よりも少ない作業が残っていることを意味します。チームの進行は、スプリントのスケジュールより進んでいます。 バーンダウンの傾向を分析し、それに応じて今後のスプリントの作業負荷を計画します。
スプリントバーンアップ	線グラフ 	スコープの変更を示す以前のスプリントバーンアップの傾向を示します。チームの完了作業の傾向について、将来の変化を分析します。 スプリントバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに計画されている作業量を示します。 • 完了：スプリント内の完了した作業量を示します。

バーンアップおよびバーンダウンのレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

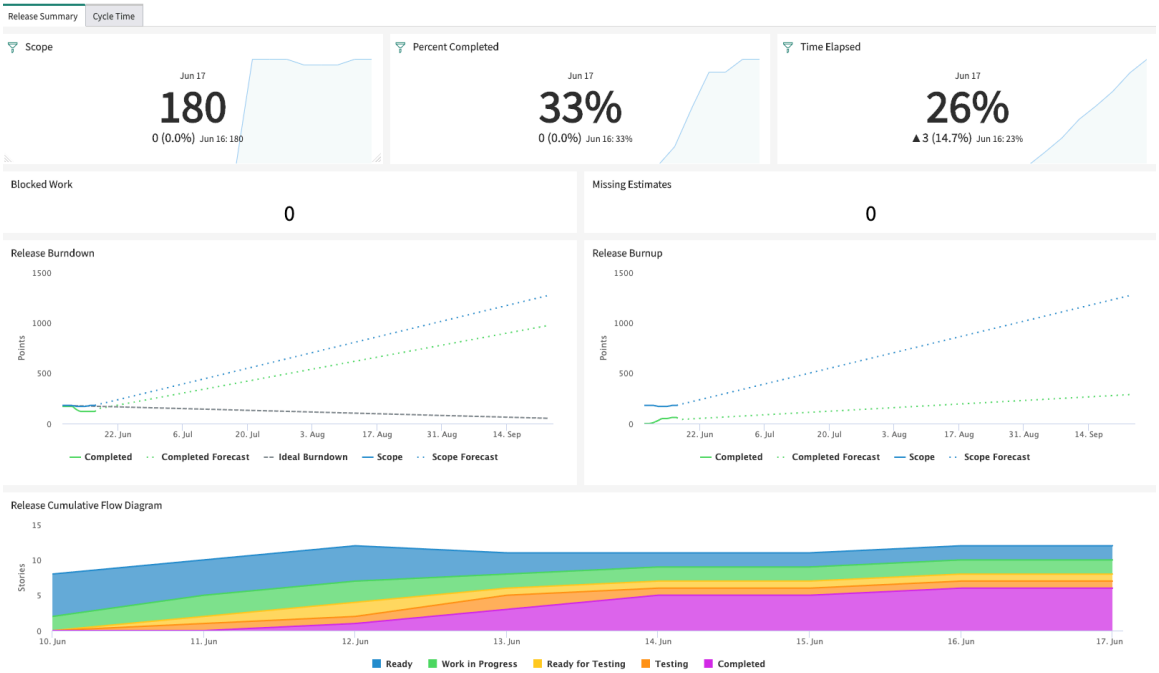
Agile 2.0 リリースダッシュボード

Agile 2.0 リリースダッシュボードを使用して、ストーリーの進捗状況を追跡し、現在のリリースでスコープの変更を分析します。

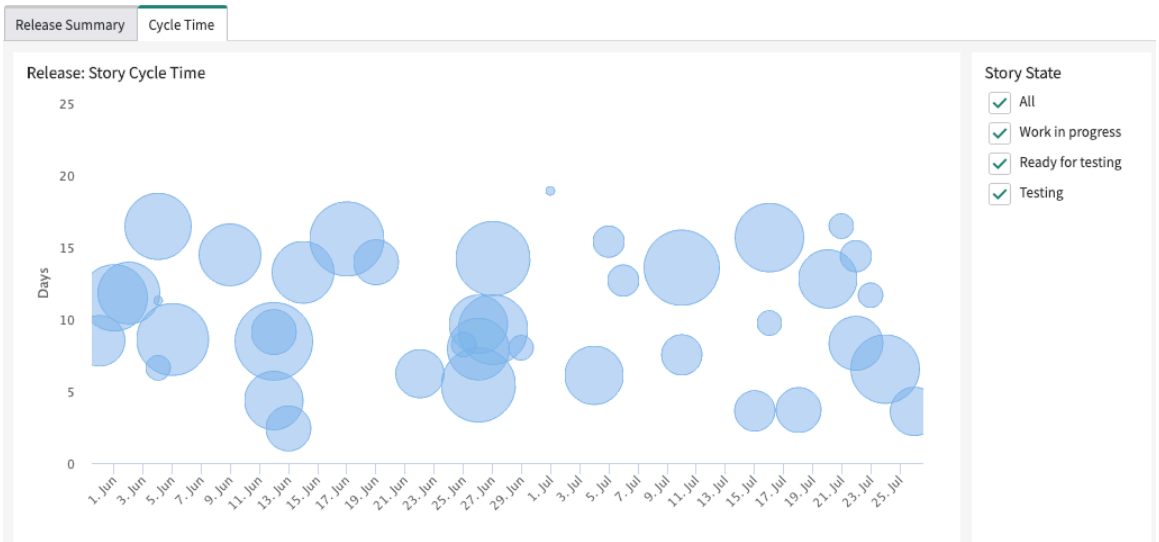
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リリースサマリー] タブ



[サイクル時間] タブ



ダッシュボード：

- 完了した作業の割合、経過時間、推定が欠落しているストーリーの合計数など、リリースの重要な詳細を表示します。
- 現在のステータスのリリースのストーリー数とその進行状況が表示されます。
- スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。
- チームがリリース予定のストーリーを完了するペースを示します。
- リリースが予定通りに完了する可能性を示す予測データ。
- リリースのストーリーが進行中ステータスから完了済みステータスになるまでの経過時間を表示します。

注:
キャンセルされたストーリーは、このデータのいずれにも含まれません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
製品オーナー：リリースのストーリーのスコープ変更、チームのペース、およびリアルタイムの進捗状況を可視化する必要があります。	scrum_user	• リリースが予定されているストーリーの進捗状況を追跡できます • ボトルネックを解決し、リリースを予定どおりに提供できます • 予想よりも時間がかかった外れ値のストーリーを特定できます

インジケーター

スクラム：アクティブなリリースの完了したストーリーのストーリーポイントの合計

リリースバーンダウンレポートおよびバーンアップレポートで完了した系列を生成します。この系列は、リリースについて完了済みのストーリーポイントの作業量を示します。

スクラム：現在のリリースのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計

リリースバーンダウンレポートおよびリリースバーンアップレポートでスコープ系列を生成します。スコープ系列は、リリースに計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。

スクラム：リリースでの経過時間

[経過時間] ウィジェットに表示される時間を計算します。

スクラム：現在のリリース内のすべてのストーリー数

現在のリリースのストーリー数をステータス別に示す、バブルチャートのデータ系列のリリース累積フロー図レポートを生成します。

ブレークダウン

- スクラム：リリース
- スクラム：ステータス

ウィジェット

完了率

リリースで完了した作業の割合 (ストーリーポイント単位) を示します。このウィジェットを使用すると、リリースで完了済みの作業量を一目で確認できます。これらのウィジェットでは、隣接する [経過時間] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりにリリースの目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

スコープ

リリースに計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。このウィジェットを使用すると、リリースの目標を達成するために完了する必要がある作業量を一目で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

確認できます。また、リリースに計画されたストーリーの詳細にドリルダウンすることもできます。

経過時間

リリースの開始日から終了予定日までの経過時間の割合を示します。これらのウィジェットでは、隣接する [完了率] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりにリリースの目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

ブロックされた作業

推定値が欠落しているリリース内のストーリーの合計数を示します。このダッシュボードの他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートの推定値を活用する必要があります。

> **注:**
> ストーリーを推定しない場合は、[ストーリーポイント] フィールドに「1」を入力します。他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートは、カウントごとに効果的に機能します。

ブロックされた作業

推定値が欠落しているリリース内のストーリーの合計数を示します。

データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のビジュアル化にアクセスします。

- リリース累積フロー図
- ストーリーのサイクル時間

詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードのレイアウトのアップグレード」を参照してください。

自動翻訳

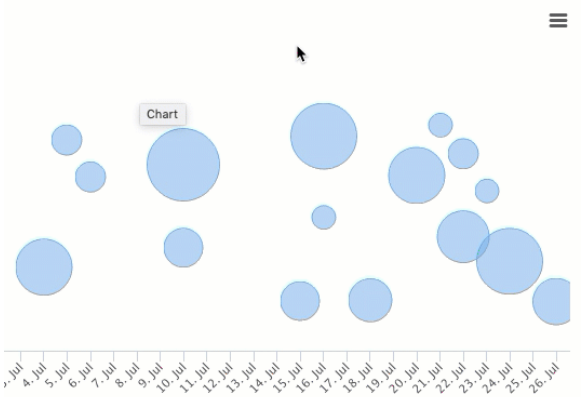
タイトル	タイプ	説明
リリースサマリー		
リリースバーンアップ	線グラフ 	バーンアップの傾向を分析し、リリース作業がいつ完了する可能性があるかを予測します。リリースバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：リリースに計画されている作業量を示します。 • スコープ予測：将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。この予測は履歴データに基づいています。 • 完了：完了したリリース作業量を示します。 • 完了予測：リリース内の将来の日付のバーンアップを予測します。これは、リリースを時間どおりに提供できるかどうかを示すものです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		注: 完了した予測データ系列がスコープ予測データ系列と交差するポイントにより、リリースがいつ完了するかが予測されます。完了した予測系列とスコープ予測系列がどこまでも交差しないように見える場合は、作業の完了よりも速くスコープが追加されていることを示してるので、注意が必要です。
リリースバーンダウン	線グラフ 	スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。作業の理想的なペース、残る作業量、およびスプリントの終了前にスコープが完了する可能性があるかどうかを示します。リリースバーンダウンレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：リリースに計画されている作業量を示します。 • スコープ予測：リリース内の将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。この予測は履歴データに基づいています。 • 理想的なバーンダウン：チームがリリースを時間どおりに提供するためにストーリーをどのように進捗させる必要があるかを示します。 • 残り：完了した作業量を示します。 残りが理想的なバーンダウンを上回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、リリースのスケジュールより遅れています。残りが理想的なバーンダウンを下回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、リリースのスケジュールより進んでいます。 • 完了予測：リリース内の将来の日付のバーンダウンを予測します。これは、リリースを時間どおりに提供できるかどうかを示すものです。
リリース累積フロー図	エリア 	実際の開始日から終了日まで、リリースのすべてのストーリーの進行状況を監視します。 各ステータスのストーリーの数を、ステータスの開始時間、ステータスでの経過時間、およびステータスの終了時間により示します。 リリース累積フロー図は、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のエリアから構成されています。 • 準備完了：作業を開始する準備が完了しているリリースのストーリー数を示します。 • 対応中：開発中のリリースのストーリー数を示します。 • テストの準備完了：テストする準備が完了しているリリースのストーリー数を示します。 • テスト：現在テスト中のリリースのストーリー数を示します。 • 完了：完了したリリースのストーリー数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		注: 「準備完了」ステータスおよび「キャンセル」ステータスのストーリーは、このレポートには含まれません。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブル チャート 	リリースの各ストーリーが「進行中」ステータスから「完了」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸からの高さは、ストーリーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーポイントに基づき、相対的なものです。 バブルの上にマウスカーソルを合わせると、該当するストーリーに関する次の詳細が表示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、レポートをフィルタリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間を表示できます。グラフには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステータスのすべての期間の累積合計として表示されます。 レポートのチャートのいずれかの領域で、ストーリーが多すぎてバブルが密集しているように見える場合は、レポートの特定の領域を拡大して見やすくすることができます。 

バーンアップ、バーンダウン、および累積フロー図のレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

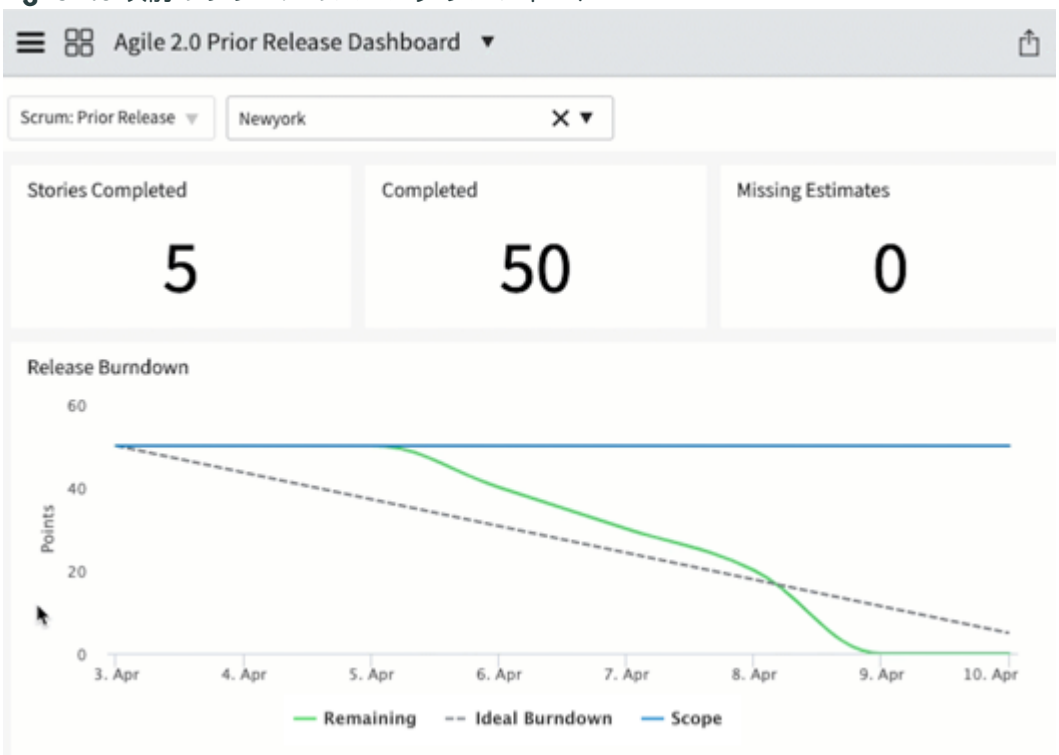
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

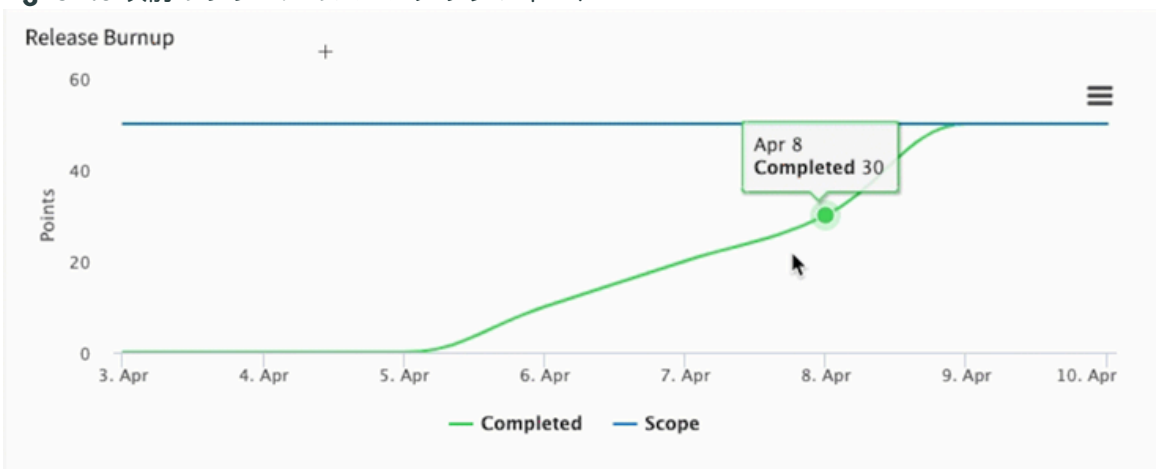
Agile 2.0 以前のリリースダッシュボード

以前のリリースダッシュボードでは、スコープ、実際のバーンアップとバーンダウン、および以前のリリースの予測傾向に関するデータを視覚化できます。データを分析し、今後のリリースの作業を計画します。

Agile 2.0 以前のリリースのバーンダウンレポート



Agile 2.0 以前のリリースのバーンアップレポート



注:
キャンセルされたストーリーは、このデータのいずれにも含まれません。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
製品オーナー：以前のリリースのスコープと予測傾向における	scrum_user	次の傾向を分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
実際の変化を可視化する必要があります。		• スコープの変更 • 以前のリリース

インジケーター

スクラム：アクティブなリリースの完了したストーリーのストーリーポイントの合計

リリースバーンダウンレポートに実際のバーンダウン系列を生成し、リリースバーンアップレポートに完了済みの系列を生成します。

スクラム：アクティブなリリースのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

リリースバーンダウンレポートおよびリリースバーンアップレポートでスコープ系列を生成します。

ブレークダウン

- スクラム：リリース
- スクラム：以前のリリース

ウィジェット

完了したストーリー

以前のリリースで完了したストーリーの合計数を示します。

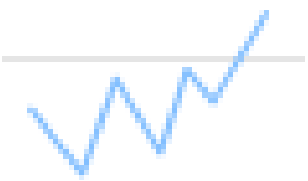
完了

以前のリリースで完了した作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。

推定の欠如

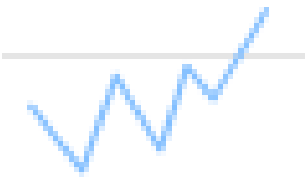
推定値が欠落しているリリース内のストーリーの合計数を示します。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
リリースバーンアップ	線グラフ 	以前のリリースのバーンアップ傾向を分析します。 以前のリリースバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：リリースに計画されている作業量を示します。 • 完了：このリリースに対して完了したリリース作業量を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
リリースバーンダウン	線グラフ 	スコープとスコープの変更率、作業の理想的な完了率、および実際の作業完了率を表示します。バーンダウンの傾向を分析し、それに応じて今後のリリースの作業負荷を計画します。 以前のリリースバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：リリースに計画されている作業量を示します。 • 理想的なバーンダウン：チームがリリースを時間どおりに提供するためにストーリーをどのように進捗させる必要があるかを示します。 • 残り：完了した作業量を示します。 実際のバーンダウン (残り) が理想的なバーンダウンを上回っている場合は、チームの進捗状況がリリースのスケジュールより遅れていることを意味します。実際のバーンダウン (残り) が理想的なバーンダウンを下回っている場合は、チームの進捗状況がリリースのスケジュールより進んでいることを意味します。

バーンアップおよびバーンダウンのレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

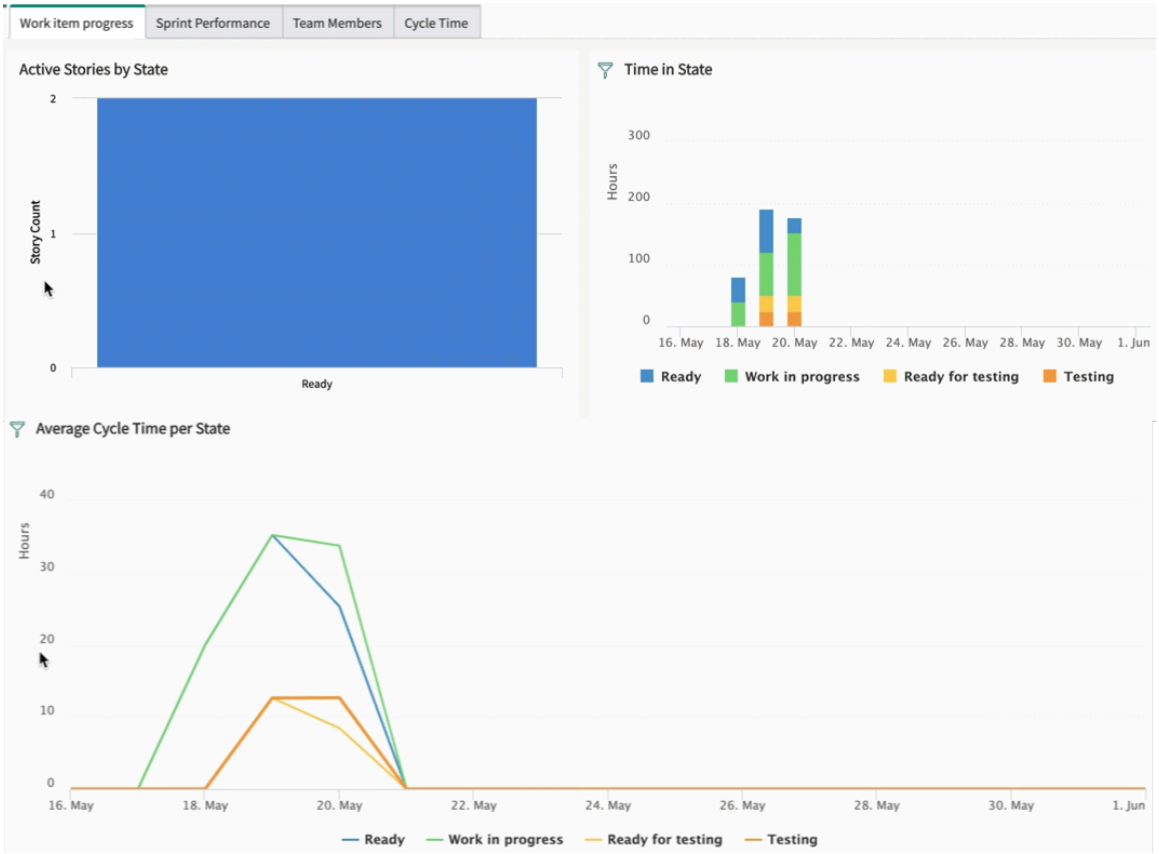
Agile 2.0 チームダッシュボード

チームダッシュボードは、特定の期間におけるストーリーのチームの進捗状況を視覚化したものです。チームの予測可能性に関するチャートを提供し、今後のスプリントに対するチームのキャパシティを計画するのに役立ちます。さらに、すべてのチームメンバーの詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[作業アイテムの進捗状況] タブ



[スプリントパフォーマンス] タブ



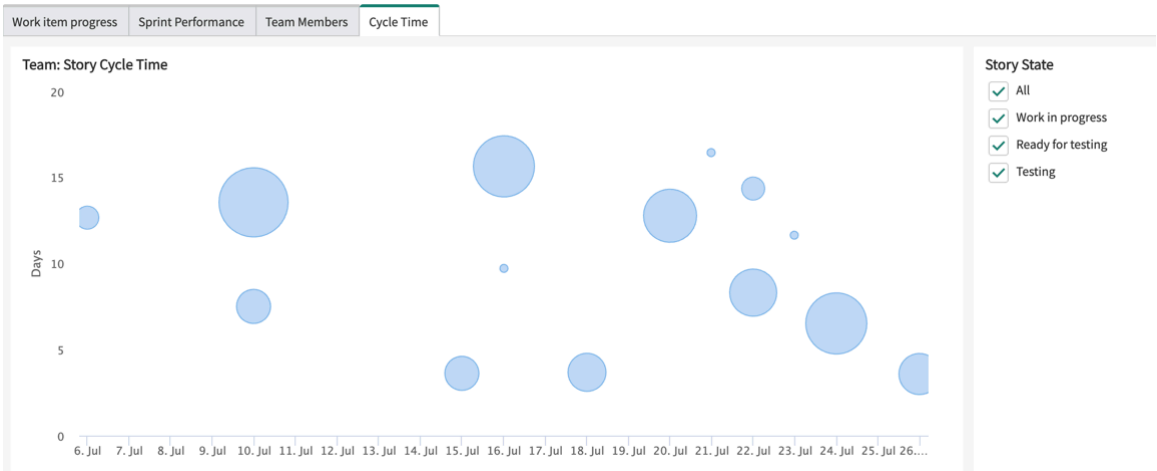
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[チームメンバー] タブ



[サイクル時間] タブ



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
チームメンバー：ストーリーの完了において、チームの予測可能性と進捗状況を可視化する必要があります	scrum_user	• チームの進捗状況を作業アイテム別に表示できます • ストーリーがあるステータスから別のステータスに移行するまでにかかった時間を分析できます • チームのスプリントパフォーマンスを分析できます • チームのスプリント差異の傾向を分析し、完了した作業と、予想キャパシティおよびコミット済み作業を比較できます

インジケーター

スクラム：ストーリーの平均ステータス期間

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータスごとの平均サイクル時間レポートに表示されるデータを生成します。

スクラム：ストーリーのステータス期間

ステータスごとの平均サイクル時間レポートに表示されるデータを生成します。

スクラム：スプリントの合計ストーリー数

ステータスごとのアクティブなストーリー数レポートに表示されるデータを生成します。

ブレークダウン

- スクラム：グループ
- スクラム：ステータス

データの可視化

チームダッシュボードレポートは、次の 3 つのタブに分けられます。

- 作業アイテムの進捗状況：ステータス別のアクティブストーリー、ステータスでの経過時間、およびステータスごとの平均サイクル時間のレポート
- スプリントパフォーマンス：速度履歴とスプリント差異のレポート
- チームメンバー：チームのすべてのメンバーのリスト

> **注:**
> 最新バージョンにアップグレードした既存のお客様の場合、チームメンバーのリストは [作業アイテムの進捗状況] タブと [チームメンバー] タブの両方に表示されますが、正確な情報が表示されるのはどちらか一方のみです。この問題を回避するには、このウィジェットを [作業アイテムの進捗状況] タブから削除できます。ウィジェットの削除方法の詳細については、「レスポンシブダッシュボードの編集」を参照してください。

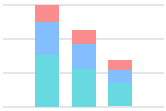
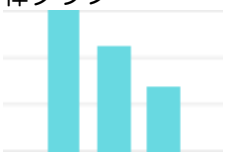
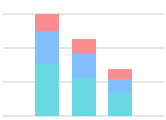
Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のビジュアル化にアクセスします。

- 速度履歴
- タイプ別の速度
- スプリントの差異
- ストーリーのサイクル時間

詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードのレイアウトのアップグレード」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
作業アイテムの進捗状況		
ステータス別のアクティブストーリー	棒グラフ 	対応中、テストなど、各ステータスにあるストーリーの合計数を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
時間 (ステータス)	積み重ね式の棒グラフ 	ストーリーの各ステータスでチームが費やした時間数を表示します。
ステータス別の平均サイクル時間	線グラフ 	対応中の時間経過に伴う傾向と、最も重要なサイクル時間を表示します。
スプリントパフォーマンス		
速度履歴	棒グラフ 	過去 10 回のスプリントについて、チームの全体的な速度に関するインサイトを得ます。チームが安定した予測可能な速度を達成し、コミットメントを満たしているかどうかを把握します。 チーム速度履歴レポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる、スプリント別の次のデータ系列から構成されています。 • チームキャパシティ：スプリントのチームキャパシティ (ストーリーポイント) を示します。 • コミット済みストーリーポイント：チームがスプリントに対してコミットしたストーリーポイントの数を示します。 • 完了済みストーリーポイント：チームがスプリントに対して完了したストーリーポイントの数を示します。 • 平均完了済みポイント：チームがスプリントに対して完了したストーリーポイントの平均数を示します。 • 線形 (実績)：完了した作業量がスプリント全体で増加傾向、減少傾向、または比較的安定しているかどうかを示します。
タイプ別の速度	積み重ね式の棒グラフ 	チームの速度の推移を分析し、チームの戦略的な作業負荷を運用または他のタイプの作業負荷と比較します。 棒グラフには、次のタイプの完了済みストーリーのストーリーポイントの合計を示す 2 つの棒が示されます。 • 通常のストーリー • ストーリーは、トリアージボードのアイテムから統合バックログに追加されます。 いずれかの棒をクリックすると、対応するスプリントの詳細に移動します。

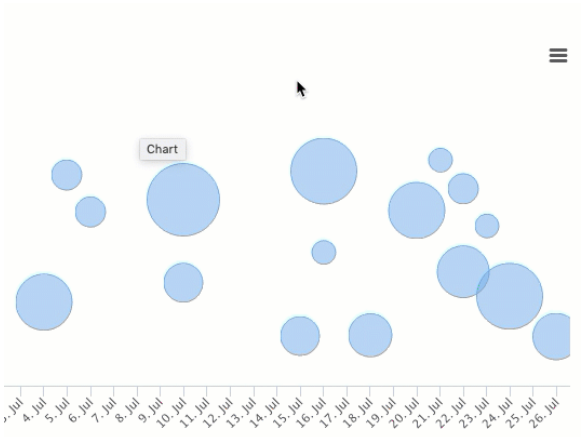
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		このレポートに表示されるデータは、過去 10 件のスプリントのもので、最も古いスプリントが左側に表示されます。 **注:** このレポートはデフォルトでは利用できません。レポートは、スクラムカスタムグラフからダッシュボードに追加できます。詳細については、「レスポンシブダッシュボードの編集」を参照してください。
スプリントの差異	棒グラフ 	過去 10 回のスプリントについて、チームのキャパシティおよびコミットポイントと比較した差異の割合を分析します。 チームスプリントの差異レポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる、スプリント別の次のデータ系列から構成されています。 • キャパシティまで完了：スプリントの予想キャパシティと比較した完了済みの作業の割合を示します。 • コミット済みまで完了：スプリントに対するチームのコミット済み作業と比較した完了済みの作業の割合を示します。
チームメンバー		
チームメンバー	リスト	すべてのチームメンバーの詳細を表示します。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブル チャート 	チームが作業する各ストーリーで「進行中」ステータスから「完了」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸からの高さは、ストーリーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーポイントに基づき、相対的なものです。 ストーリーポイントが異なるストーリーのサイクル時間を比較し、チームがストーリーを完了するのに要した時間の傾向を分析できます。完了までに長い時間がかかったストーリーを特定し、その理由を分析することで、将来のチームのサイクル時間を短縮するためのアクション計画を作成できます。 バブルの上にマウスカーソルを合わせると、該当するストーリーに関する次の詳細が表示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		• ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、レポートをフィルタリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間を表示できます。グラフには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステータスのすべての期間の累積合計として表示されます。 レポートのチャートのいずれかの領域で、ストーリーが多すぎてバブルが密集しているように見える場合は、レポートの特定の領域を拡大して見やすくすることができます。  **注:** このチャートに表示されるストーリーは、チームが過去 30 日間に完了したストーリーです。

Agile 2.0 ダッシュボードレポートのカスタマイズ

スクラムストーリーのカスタムステータスに従って、Agile 2.0 ダッシュボードのバーンアップ、バーンダウン、累積フロー図の各レポートをカスタマイズします。

- カスタマイズに合わせてインジケーターを設定します。

  たとえば、スクラムストーリーテーブルに新しいステータスが導入された場合、[状態] フィールドに依存するストーリーテーブルの対応するインジケーターとインジケーターソースも更新する必要があります。

  詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードレポートのインジケーターのカスタマイズ」を参照してください。

- 独自のインジケーターを使用する変更のために、UI スクリプトを更新するか、またはクローンを作成します。

  ScrumAreaChartImpl や ScrumVelHistoryImpl などの UI スクリプトの空の実装 (Impl) クラスのメソッドを上書きして、カスタマイズを追加します。

  詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードのカスタマイズされたインジケーターを使用するための UI スクリプトの更新」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile 2.0 ダッシュボードレポートのインジケーターのカスタマイズ

Agile 2.0 ダッシュボードで、カスタマイズに合わせてインジケーターを設定します。

始める前に
必要なロール：admin または pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動).
2. 必要なインジケーターを検索して開きます。
   たとえば、スプリントバーンアップレポートをカスタマイズする場合は、インジケーターのリストの現在スプリントで [スクラム：完了したストーリーのストーリーポイントの合計] を開きます。
3. [追加条件] セクションで、必要に応じて条件を変更します。
4. [更新] をクリックします。

Agile 2.0 ダッシュボードのカスタマイズされたインジケーターを使用するための UI スクリプトの更新

空の実装 (Impl) クラスのメソッドを上書きして、UI スクリプトをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム UI > UI スクリプト.
2. 必要な UI スクリプトを検索して開きます。
   たとえば、スプリント累積フロー図レポートをカスタマイズする場合は、UI スクリプトのリストから ScrumAreaChartImpl を開きます。
3. 必要に応じて、基本実装を上書きします。
4. [更新] をクリックします。

Agile Development 2.0ダッシュボードレポートのストーリーステータスをカスタマイズする

Agile Development 2.0 ダッシュボードで、カスタマイズに合わせてストーリーステータスを設定します。

始める前に
必要なロール：admin または pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > ストーリー.
2. カスタムステータスを追加するストーリーを開きます。
3. [ステータス] を右クリックし、ドロップダウンメニューから [選択を構成] を選択します。
4. [新しいアイテムのテキスト] フィールドに、新しいカスタムステータス名を入力します。
5. [数値] フィールドに、対応する数値を入力します。
6. [追加] をクリックします。
   新しいステータスが [選択済み] リストに表示されます。
7. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Work Progress Status for Agile Teams

Work Progress Status for Agile Teams アプリケーションは、すべての Agile Development 2.0 エピックの完了予定日や進捗状況 (緑、黄、赤) などのインジケーターを提供します。

製品オーナーまたはチームリーダーとして、こうしたインジケーターは、アジャイルチームがエピックの作業を終了予定日までに完了できるかどうかを把握し、それに応じて計画を調整するために役立ちます。エピックのストーリーに取り組むチームメンバーとして、これらのステータスインジケーターは、必要に応じて作業戦略をレビューできるように、作業全体への貢献度と進捗状況を理解するのに役立ちます。

注:
これらの作業進捗ステータスインジケーターを設定するには、 Agile Development 2.0 エピックの [終了予定日] フィールドに値を入力する必要があります。

Work Progress Status for Agile Teams のインストール

ServiceNow Store から Work Progress Status for Agile Teams (sn_scrum_progress) アプリケーションをインストールします。

始める前に

- Agile Development 2.0 (com.snc.sdlc.agile.2.0) プラグインを有効にします。
- Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 のインストール.

プラグインとアプリケーションがアクティブ化されてインストールされていることを確認するには、次の場所に移動します サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。本番インスタンスで Agile Development 2.0 および Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 を有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow のサポートにお問い合わせください。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 ServiceNow® Store.
2. Work Progress Status for Agile Teams を検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   インストールしているアプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

   注:
   該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [インストールを要求] をクリックします。
6. [インスタンス名] フィールドに詳細を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [インスタンスの理由] フィールドに詳細を入力し、[要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. Work Progress Status for Agile Teams をインストールしたいインスタンスにログインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 移動先 システムアプリケーション > アプリケーション.
10. Epic Progress Status for Agile 2.0 アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

次のタスク
まだ行っていない場合は、[Scrum] 日次データ収集ジョブを開始します。詳細については、「Agile 2.0 ダッシュボードの日次データ収集の有効化」を参照してください。

Agile Development 2.0 エピックの進捗状況の確認

Agile Development 2.0 エピックの進捗状況を確認して、作業が終了予定日までに完了するかどうかを判断します。

移動先 **Agile Development 2.0** > エピック を行い、チームのエピックをフィルタリングします。

エピックリストの [ステータス] 列には、各エピックの緑、黄、または赤のインジケーターが表示され、各色で次のことが示されます。

- 緑：エピックは終了予定日までに完了する見込みです。
- 黄：エピックの進行が予定どおりではなく、実行計画をレビューする必要があります。
- 赤：エピックの進行が順調ではなく、終了予定日までに完了しない可能性があります。

完了予定日には、エピックが完了する可能性がある日付が表示されます。

エピックの作業進捗状況

Epics [Scrum view] | New | Search | Number | Search | 181 to 200 of 2,034

Number ▲	Planned end date	State	Percent complete by estimate	Status	Estimated completion date
EPIC0010208	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	67%	Green	2020-07-19
EPIC0010209	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	67%	Green	2020-07-19
EPIC0010210	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	67%	Green	2020-07-19
EPIC0010214	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	67%	Green	2020-07-19
EPIC0010215	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	55%	Yellow	2020-07-25
EPIC0010216	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	55%	Yellow	2020-07-25
EPIC0010217	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	55%	Yellow	2020-07-25
EPIC0010219	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	55%	Yellow	2020-07-25
EPIC0010223	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	55%	Yellow	2020-07-25
EPIC0010224	2020-07-21 01:24:01	Work in progress	55%	Yellow	2020-07-25
EPIC0010225	2020-07-17 01:24:01	Work in progress	55%	Red	2020-07-25
EPIC0010226	2020-07-17 01:24:01	Work in progress	55%	Red	2020-07-25
EPIC0010227	2020-07-17 01:24:01	Work in progress	55%	Red	2020-07-25
EPIC0010228	2020-07-17 01:24:01	Work in progress	55%	Red	2020-07-25
EPIC0010229	2020-07-17 01:24:01	Work in progress	55%	Red	2020-07-25

[スクラム] 日次データ収集ジョブは、エピックのバーンアップレポートの生成に役立ちます。これらのエピックバーンアップレポート用に生成されたデータを使用して、各エピックの完了予定日が決定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

されます。この日付は、それぞれのエピックバーンアップレポートで、完了済み系列とスコープ予測系列の共通部分であることがわかります。

この予定完了日に基づいて、エピックの進捗状況が決定されます。エピックの進行状況ステータスは、次の条件でのみ計算されます。

- 終了予定日がエピックに入力されている。
- エピックの完了率が 0 より大きい値である。

進捗状況インジケーターの色は、次の条件により決定されます。

- 緑：完了予定日が終了予定日以前です。
- 黄：完了予定日が終了予定日を 1% ～ 14% 過ぎています。
- 赤：完了予定日が終了予定日を 15% 以上過ぎています。

関連情報

Agile 2.0 エピックダッシュボード

Atlassian Jira Integration for Agile Development®

2 つのアプリケーションを統合することで、Atlassian Jira と ServiceNow Agile Development 間のレコードの双方向同期を有効にします。

作業のソースが ServiceNow プラットフォームにあり、Jira で作業の進捗状況を追跡する場合は、Agile Development を Jira と統合することで、製品開発作業を統合的に追跡できます。

たとえば、Jira でレコードを更新した場合、その更新を Agile Development で確認できます。同様に、Agile Development でレコードを更新した場合、その同じ更新を Jira で確認できます。

Jira を Agile Development と同期すると、次のことができます。

- 利用可能な Jira プロジェクトとボードを Agile Development で表示します。
- Jira から Agile Development へのレコードの一括インポートを実行します。
- Jira と Agile Development の間で単一レコードの更新を実行します。
- Jira と Agile Development でレコード更新エントリを重複させないようにします。
- 単一のアプリケーションからタスクを計画、追跡、および更新します。

バージョン 1.1.1 以降、Atlassian Jira Integration for Agile Development は、インスタンスレベルではなくプロジェクトレベルでマップ構成をサポートしています。また、このアプリケーションは、Jira Cloud に関連する次のプロジェクトタイプをサポートしています。

- クラシック
  - Scrum
  - カンバン
  - バグトラッキング
- 次世代
  - Scrum
  - カンバン

注:
このドキュメントは、Azure DevOps サービス (クラウドインスタンス) に関連しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

Atlassian Jira Integration for Agile Development のインストール

Atlassian Jira Integration for Agile Development (sn_agile_jira_int) アプリケーション v2.0.1 を ServiceNow Store からインストールします。

始める前に
アプリケーションとその関連するすべてのストアアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください： のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

インストールと設定をスムーズに行うには、次のセットアップチェックリストを完了してください。

セットアップタスク	説明
Agile Development 2.0 (com.snc.sdlc.agile.2.0) がアクティブ化されていることを確認します。	移動先 サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。
ServiceNow IntegrationHub Starter Pack Installer プラグイン (com.glide.hub.integrations) がアクティブ化されていることを確認します。	
Jira Spoke 2.6.8 (sn_jira_spoke) がアクティブ化されていることを確認します。	
Integrations - External Authentication Framework (com.glide.external.app) がアクティブ化されていることを確認します。	

必要なロール：admin

注:
本番インスタンスで Agile Development 2.0、ServiceNow Integration Hub Starter Pack Installer、Jira Spoke、および Integrations - External Authentication Framework プラグインをアクティブ化するには、個別のライセンスが必要な場合があります。詳細については、ServiceNow のカスタマーサポートにお問い合わせください。

手順

1. に移動します。 ServiceNow Store.
2. ServiceNow Storeで、Atlassian Jira Integration for Agile Development を検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   アプリケーションに関する詳細情報を表示できます。該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。
4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [インストールを要求] をクリックします。
6. [インスタンス名] フィールドに詳細を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [インスタンスの理由] フィールドに詳細を入力し、[要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. Atlassian Jira Integration for Agile Development アプリケーションをインストールするインスタンスにログインします。
9. 選択 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
10. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

タスクの結果
以下のコンポーネントは、アプリケーションのインストール時にインストールされます 。

- ロール
- ジョブスケジュール
- テーブル

詳細については、「Atlassian Jira Integration for Agile Development とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

Atlassian Jira Integration for Agile Development とともにインストールされるコンポーネント

Atlassian Jira Integration for Agile Development アプリケーションがアクティブ化されると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
Jira 統合管理者 [sn_jira_int.admin]	アプリケーションへの完全なアクセス権がある	• sn_int_common.admin • sn_jira_int.user
Jira 統合ユーザー [sn_jira_int.user]	• Jira と Agile Development との統合の設定 • Jira と Agile Development の間で新しいマップ構成を作成したり、既存のマップ構成を更新したりできます。	• connection_admin • sn_int_common.user • credential_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
Jira 問題をインポート	スケジュール設定された時刻に問題とスプリントを Jira から自動的にインポートします。 このジョブは、デフォルトで非アクティブです。 詳細については、「Jira から問題を自動インポートするジョブをスケジュール設定する」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
添付マップ [sn_int_common_attachment_map]	Jira と Agile Development との間の問題に対する添付ファイルのマッピングを保存します。
選択マップ [sn_int_common_choice_map]	Jira プロジェクトのワークフローステータスマッピングのリストを保存します。
イベントタイプ [sn_int_common_input_event_type]	作業アイテムの作成、更新、削除など、Webhook イベントのタイプの情報を保存します。
外部識別子 [sn_int_common_external_identifiers]	外部 ID、外部キー、外部プロジェクト、外部 URL など、すべての Jira 参照識別子のリストを保存します。
外部プロジェクト [sn_int_common_project]	プロジェクト ID、このプロジェクトの Jira インスタンス、プロジェクト名など、Jira プロジェクトの情報を保存します。
外部システム [sn_int_common_external_system]	統合に使用される Jira アプリケーションの情報を保存します。
外部システムバージョン [sn_int_common_external_system_version]	統合に使用される Jira アプリケーションのバージョン情報を保存します。
フィールドマップ [sn_int_common_field_map]	Jira プロジェクトの各種問題タイプのフィールドマッピングのリストを保存します。
Jira ボード [sn_jira_int_board]	Jira からインポートされたボードのリストを保存します。
Jira インポート要求 [sn_jira_int_import_request]	Jira からプロジェクト、ボード、プロジェクトスタイルマッピングをインポートするために作成されたすべてのインポート要求のリストを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Jira インスタンス [sn_jira_int_instance]	すべての Jira インスタンスのリストを保存します。
Jira プロジェクト [sn_jira_int_project]	Jira からインポートされたすべてのプロジェクトのリストを保存します。
プロジェクト統合設定 [sn_agile_jira_int_import_settings]	Jira プロジェクト、ボード、および Agile アサイン先グループ間の 1 対 1 関係のリストを保存します。
プロジェクトスタイルマッピング [sn_jira_int_prj_style_mapping]	Jira プロジェクトスタイルごとのマップ構成テンプレートのリストを保存します。
テーブルマップ [sn_int_common_table_map]	Jira プロジェクトのテーブルマップのリストを保存します。
Webhook レジストリー [sn_int_common_webhook_registry]	イベントの更新を受信するために Jira に登録された Webhook のレジストリーコールバックパスの詳細を保存します。

Jira と Agile Development との統合の設定

Atlassian Jira Integration for Agile Development のセットアッププロセスを理解します。

アプリケーションが ServiceNow インスタンスにインストールされたら、sn_jira_int.user ロールを使用した統合の設定に進むことができます。

統合のセットアッププロセスには、次のタスクが含まれます。

1. Agile Development を Jira に接続します。
2. Jira から利用可能なプロジェクトとボードを検出してインポートします。
3. 問題のインポートとエクスポートを有効にし、問題を Jira プロジェクトから Agile Development に一括インポートします。
4. Jira プロジェクトを Agile Development のアサイン先グループに関連付けます。
5. スプリントを Jira から Agile Development にインポートします。
6. Jira からプロジェクトと問題を定期的にインポートするスケジュール設定済みジョブを有効にします。
7. Jira と Agile Development の間で、テーブル、フィールド、およびワークフローステータスのカスタムマップ構成を作成します。

Agile Development の Jira への接続

Jira 接続エイリアスと Jira インスタンスを使用して、Agile Development と Jira との接続を確立します。

Agile Development を Jira に接続すると、Webhook が Jira に登録され、Jira と Agile Development の間の次のイベント更新を受信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトの作成または更新。
- エピック、ストーリー、スプリント、およびカスタムテーブルマップとそのフィールドの情報の作成、更新、または削除。

Jira 接続エイリアスの作成

基本認証資格情報および Jira 接続エイリアスとの HTTP(s) 接続を作成し、Jira との接続を確立します。

始める前に

必要なロール：

- 接続および資格情報エイリアスを作成する場合は admin
- 基本認証資格情報と HTTP(s) 接続を作成する場合は sn_jira_int.admin または sn_jira_int.user

手順

1. 接続情報および認証情報エイリアスの作成
   - デフォルトで使用可能な接続エイリアス (sn_jira_int.Jira) を使用できます。
   - 使用するすべての Jira インスタンスに対して接続エイリアスを作成する必要があります。
   - Jira サーバーユーザーの場合は、サーバータイプとサーバーバージョンの接続属性が存在することを確認します。
2. 基本認証資格情報 を作成します。
   基本認証資格情報が作成されたユーザーが、すべての Jira プロジェクトにアクセスできることを確認します。
3. HTTP(S) 接続を作成します 。

Jira インスタンスの作成

作成した接続エイリアスを使用して、Jira インスタンスレコードを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_jira_int.admin または sn_jira_int.user

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[Jira インスタンス] フォーム

フィールド	説明
名前	Jira インスタンスの名前。任意の名前を入力します。
接続エイリアス	作成済みの Jira 接続エイリアス。ルックアップ ( ) オプションを使用して、接続エイリアスを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
バージョン	Jira バージョン。ルックアップ (🔍) オプションを使用して、Jira API バージョンを選択します。

4. [送信] をクリックします。

Jira への接続

統合を有効にするには、Jira を Agile Development に接続します。

始める前に

必要なロール：sn_jira_int.user

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [接続] をクリックします。

タスクの結果

- 接続が成功すると、Jira インスタンスレコードの [ステータス] フィールドに [接続] と表示されます。これで、更新イベントを受信する Webhook が Jira に登録されました。
- 接続を確立できなかった場合は、Jira インスタンスレコードの [ステータス] フィールドに [接続が失敗しました] と表示されます。エラーメッセージで失敗の理由を確認できます。

次のタスク

Jira プロジェクトとボードの検出とインポート

。

Jira プロジェクトとボードの検出とインポート

利用可能なすべての Jira プロジェクトとボードを検出して Agile Development にインポートし、2 つのアプリケーション間の統合の使用を開始します。

始める前に

- Agile Development の Jira への接続。
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [プロジェクトの検出] をクリックします。

   このアクションでは、Jira プロジェクト、これらすべてのプロジェクトのマップ構成、および Jira ボードをインポートする要求を作成します。[Jira インポート要求] 関連リストですべてのインポート要求を表示できます。すべての要求の初期ステータスは [要求済み] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
各インポート要求のステータスが [完了] に変更されると、この Jira インスタンスの関連リストが次のように設定されていることがわかります。

- Jira プロジェクト：Jira から利用可能なすべてのプロジェクト
- Jira ボード：Jira から利用可能なすべてのボード
- プロジェクトスタイルマッピング：Jira インスタンスのタイプに従ってインポートされたすべての Jira プロジェクトのマップ構成。次のようになります。
  - **classic_on_prem** プロジェクトテンプレートには、Jira サーバープロジェクトに関連するマップ構成が含まれています。
  - **classic** プロジェクトテンプレートには、Jira Cloud クラシックプロジェクトに関連するマップ構成が含まれています。
  - **next-gen** プロジェクトテンプレートには、Jira Cloud 次世代プロジェクトに関連するマップ構成が含まれています。

  [マッピングの作成] 要求のステータスが [完了] に変更されると、[Jira プロジェクト] 関連リストの [マッピング構成] 列に、インポートされた各 Jira プロジェクトのマップ構成が表示されます。作業アイテムのデフォルトのマップ構成の詳細については、「デフォルトのマップ構成」を参照してください。

次のタスク
問題を Jira から Agile Development 2.0 にインポートします。詳細については、「Jira から Agile Development への問題とスプリントのインポート」を参照してください。

デフォルトのマッピング構成

Jira と Agile Development の間にあるプロジェクトの作業アイテムのデフォルトフィールドマッピング構成を理解します。

マッピング構成は、プロジェクトで Jira のレコードを Agile Development にマップするために使用されます。問題タイプのテーブルマップが Jira プロジェクトに存在しない場合、問題を Jira と ServiceNow プラットフォームの間でインポートおよびエクスポートすることはできません。

デフォルトのマッピング構成を確認することで、Jira の問題タイプが Agile Development のタスクタイプにどのようにマッピングされるかを理解できます。また、2 つのアプリケーション間でフィールドがどのようにマッピングされているかを確認することもできます。Jira プロジェクトの利用可能な問題およびスプリントをインポートすると、このデータはプロジェクトのマップ構成での定義に従ってテーブルに保存されます。

バージョン 1.1.1 以降では、マッピング構成はインスタンスレベルではなくプロジェクトごとに生成されます。作業アイテムのインポートとエクスポートが影響を受けないように、以前に構成したカスタムマップを更新する必要があります。

Jira プロジェクトのデフォルトのマップ構成テーブルを表示する方法は次のとおりです。

1. 移動先 **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [Jira プロジェクト] 関連リストから、Jira プロジェクトを開きます。
4. [テーブルマップ] 関連リストから、ストーリーまたはエピックのレコードを開きます。

次の表に、ストーリーとエピックのデフォルトのフィールドマップ構成を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ構成	Jira のフィールド	Agile Development のフィールド
Epic	エピック名	簡単な説明
	優先度	優先度
	サマリー	説明
	ステータス	ステータス
ストーリー	ステータス	ステータス
	スプリント	スプリント
	説明	説明
	優先度	優先度
	エピックリンク (Epic Link)	Epic
	サマリー	簡単な説明
	アサイニー	担当者

組織の設定に応じて、Jira と Agile Development の間でプロジェクトのフィールド、テーブル、および選択マップの構成を追加または更新できます。詳細については、「Jira プロジェクトのマップ構成のカスタマイズ」を参照してください。

Jira から Agile Development への問題とスプリントのインポート

既存の問題とスプリントを Jira から Agile Development にインポートするプロセスを理解します。

Jira プロジェクトの既存の問題をストーリーやエピックとして、また、Jira ボードの既存のスプリントデータをスプリントとして、Agile Development 2.0 にインポートできます。利用可能なデータをインポートした後、エピック、ストーリー、またはスプリントのレコードに対して行った更新は、Jira と Agile Development 2.0 の両方で自動的に同期されます。

問題のインポート

バージョン 2.0.1 からは、Jira からプロジェクトを検出した直後に、Jira プロジェクトから問題をインポートすることができます。チーム統合設定を作成する必要はありません。ただし、インポートされた問題は Agile Development 2.0 のどのアサイン先グループにも関連付けられていません。これらの問題は、後でアサイン先グループに手動で割り当てることができます。

インポートした問題をアサイン先グループに自動的にアサインする場合は、Jira プロジェクトを Agile 2.0 アサイン先グループに関連付けてチーム統合設定を作成してから、問題のインポートに進むことができます。この設定により、Jira プロジェクトに属するインポートされた問題が、関連付けられたアサイン先グループに確実にアサインされます。

スプリントのインポート

Jira ボードからスプリントデータをインポートするには、ボードに Agile 2.0 アサイン先グループに関連付けるチーム統合設定が必要です。Jira ボードのスプリントデータは、これらのスプリントがすでに Jira で開始されている場合にのみ、そのアサイン先グループにインポートされます。また、Jira の完了したスプリントと現在のスプリントのみがインポートされます。

チーム統合設定

バージョン 2.0.1 以降、プロジェクト統合設定モジュールはチーム統合設定として使用できます。チーム統合設定は、Jira プロジェクトとボードを Agile 2.0 アサイン先グループに関連付けて、レコード更新の双方向同期を促進するのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Jira プロジェクトをアサイン先グループに関連付けると、次のことが可能になります。

- このプロジェクトとその関連グループとの間で利用可能なすべてのストーリーとエピックのインポートとエクスポートを有効にします。
- Agile Development と Jira の両方で、新しいストーリーとエピック、または既存のストーリーとエピックに加えられた更新を表示します。

Jira ボードをアサイン先グループに関連付けると、次のことが可能になります。

- 完了したすべてのスプリントと現在のスプリントをこのボードから関連するグループにインポートします。
- Agile Development と Jira の両方で、完了したスプリントと現在のスプリントまたは更新を表示します。

Agile Development と Jira の間の問題のインポートおよびエクスポートのワークフローを理解するには、Agile Development と Jira の間の問題のインポートとエクスポート を参照してください。

Jira プロジェクトおよびボードと **Agile Development** のアサイン先グループとの関連付け

Jira プロジェクトとボードを Agile Development のアサイン先グループに関連付けて、関連付けられたプロジェクトとアサイン先グループとの間で利用可能なすべての問題をインポートおよびエクスポートできるようにします。

始める前に

- Jira プロジェクトとボードの検出とインポート。
- Agile Development でアサイン先グループを作成します。「Agile Development 2.0 でのアサイン先グループの作成」を参照してください。
- Jira プロジェクトにマッピング構成が定義されていることを確認します。
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて

チーム統合設定を作成して、Jira プロジェクトと Jira ボードを Agile 2.0 アサイン先グループに関連付けます。

> **重要:**
> アサイン先グループは、Jira の 1 つのプロジェクトとボードのみに関連付けることができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > チーム統合設定.
2. [新規] をクリックします。
3. [チーム統合設定] フォームで、次を選択します。
   - Jira プロジェクト
   - Jira ボード
   - 選択した Jira プロジェクトとボードを関連付ける Agile Development 内のアサイン先グループ

   フォームでの Jira ボードの選択はオプションです。Agile Development と Jira の間でボードのスプリントデータを同期させたくない場合は、Jira ボードの選択をスキップできます。
4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
この Jira プロジェクトの問題またはこの Jira ボードのスプリントを関連するアサイン先グループにインポートできます。

関連情報

Jira プロジェクトから Agile Development 2.0 への問題のインポート：

Jira から Agile Development 2.0 へのスプリントのインポート

Jira プロジェクトから **Agile Development 2.0** への問題のインポート：

このプロジェクトのチーム統合設定の有無にかかわらず、利用可能な問題を Jira プロジェクトからインポートし、Agile Development から Jira の既存のレコードを更新できるようにします。

始める前に

- Jira プロジェクトとボードの検出とインポート
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて
Jira プロジェクトにチーム統合設定がある場合、インポートされた問題はチーム統合設定に従ってアサイン先グループに割り当てられます。Jira プロジェクトにチーム統合設定がない場合、インポートされた問題はアサイン先グループに関連付けられません。

> **注:**
> このタスクでは、スプリントのインポートについては説明しません。Jira からスプリントをインポートする方法については、「Jira から Agile Development 2.0 へのスプリントのインポート」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [Jira プロジェクト] 関連リストから、問題をインポートするプロジェクトを開きます。
4. [インポートを有効にする] および [エクスポートを有効にする] オプションを適宜選択して、問題のインポートとエクスポートを有効にします。
   Agile と Jira 間で複数選択フィールドの同期がサポートされるようになりました。
5. [問題のインポート] をクリックします。
6. Jira から問題をインポートする日付範囲を選択します。
7. [送信] をクリックします。

   [問題のインポート] タイプのインポート要求が、[Jira インポート要求] 関連リストに作成されます。この要求のステータスが [完了] に変更されると、インポートされたすべてのレコードを Agile Development のエピックおよびストーリーモジュールで表示できます。ストーリーとエピックの関係は、Jira の場合と同じです。

   > **注:**
   > 問題の既存のコメントと添付ファイルは、一括インポート中に Jira からインポートされません。

Jira から **Agile Development 2.0** へのスプリントのインポート

Jira ボードからスプリントをインポートして、これらのスプリントの進行状況を Agile Development 2.0 で直接追跡できるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

- スプリントのインポート元の Jira ボードにチーム統合設定があることを確認します。詳細については、「Jira プロジェクトおよびボードと Agile Development のアサイン先グループとの関連付け」を参照してください。
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて
Jira ボードの完了したスプリントと現在のスプリントを Agile Development 2.0 にインポートします。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [Jira プロジェクト] 関連リストから、スプリントをインポートする Jira ボードに関連付けられているプロジェクトを開きます。
4. [インポートを有効にする] および [エクスポートを有効にする] オプションを適宜選択して、スプリントのインポートとエクスポートを有効にします。
5. [問題のインポート] をクリックします。
6. Jira からスプリントをインポートする日付範囲を選択します。
7. [送信] をクリックします。

   [スプリントのインポート] タイプのインポート要求が、[Jira インポート要求] 関連リストに作成されます。この要求のステータスが [完了] に変更されると、Agile Development の関連するアサイン先グループの [スプリント] 関連リストにインポートされたすべてのスプリントデータを表示できます。

Jira から問題を自動インポートするジョブをスケジュール設定する

問題とスプリントを Jira から Agile Development に定期的に自動インポートするジョブをスケジュール設定します。

始める前に
必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて
スケジュール設定済みジョブを構成すると、[インポートを有効にする] オプションを選択したすべてのプロジェクトから問題がインポートされます。

スケジュール設定済みジョブを構成しない場合は、検出されたプロジェクトの問題を手動でインポートする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ジョブスケジュール.
2. [Jira 問題をインポート] ジョブを開きます。

   このジョブは、デフォルトでは非アクティブです。
3. [今すぐ実行] をクリックしても手動でジョブを実行できます。
4. [アクティブ] チェックボックスをオンにして、スケジュールされた時刻にジョブを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要に応じて、[実行] フィールドと [時刻] フィールドの詳細を編集できます。

5. [更新] をクリックします。

Jira プロジェクトのマップ構成のカスタマイズ

Jira プロジェクトのフィールド、テーブル、またはワークフローステータスマップ構成をカスタマイズします。単一のプロジェクト、またはプロジェクトスタイルが同じ複数のプロジェクトのマップ構成をカスタマイズできます。

注:
カスタムマップ構成では、番号、選択、テキスト、および日付タイプのフィールドのみがサポートされています。

テーブルマップ構成のカスタマイズ

Jira プロジェクトの希望のカスタムテーブルをマップします。

始める前に

- Jira プロジェクトとボードの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて

Jira プロジェクトの希望のカスタムテーブルマップを作成し、そのフィールドを構成します。

特定のプロジェクトタイプのすべての Jira プロジェクトに適用できるカスタムテーブルがある場合は、「複数の Jira プロジェクトへのカスタムマップ構成の適用」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [Jira プロジェクト] 関連リストから、マップ構成をカスタマイズする Jira プロジェクトを開きます。
4. Jira プロジェクトの [テーブルマップ] 関連リストから、[新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

テーブルマップフォーム

フィールド	説明
内部テーブル	内のテーブル名 Now Platform。
マップ構成	このプロジェクトのマップ構成。 このフィールドは、プロジェクトに基づいて自動入力されます。
外部テーブル	Jira におけるテーブル ID。
外部テーブル名	Jira におけるテーブルの表示名。

6. テーブル構成を保存します。
7. テーブルマップレコードの [フィールドマップ] 関連リストから、次のフィールドの新しいフィールドマップを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Jira のフィールド	Agile Development のフィールド
問題のサマリー (Summary of the issue)	簡単な説明
問題の説明 (Description of the issue)	説明

テーブルのフィールドマッピングの設定方法については、「フィールドマップ構成のカスタマイズ」を参照してください。新しいテーブル構成用に他のフィールドマップを作成することもできます。

次のタスク

1. プロジェクトフォームから [マッピングを検証して修正] をクリックして、新しいテーブルマップ構成を検証します。
2. プロジェクトの [テーブルマップ] 関連リストで、構成の [有効] 列に次のように表示されている場合：
   - true：マップ構成の検証に成功しました。
   - false：マップ構成の検証に失敗しました。すべてのフィールドに正しい値を入力したことを確認し、再度検証してください。
3. この新しいテーブルマップ構成を Jira にエクスポートするビジネスルールを作成します。「カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成」を参照してください。
4. この新しいテーブルマップの添付ファイルのインポートとエクスポートをサポートする場合は、「カスタムテーブルの添付ファイルのインポートとエクスポートの許可」を参照してください。
5. カスタムテーブルマップで Jira 識別子を参照するフィールドの表示を有効にする場合は、「カスタムテーブルの Jira プロジェクト識別子参照フィールドへの入力」を参照してください。

フィールドマップ構成のカスタマイズ

Jira プロジェクトの希望のフィールドをマップします。

始める前に

- Jira プロジェクトとボードの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて

Agile Development のフィールドにマップする Jira プロジェクトのカスタムフィールドがある場合は、この Jira プロジェクトにのみ適用されるカスタムフィールドマップ構成を作成できます。

特定のプロジェクトタイプのすべての Jira プロジェクトに適用できるカスタムフィールドがある場合は、「複数の Jira プロジェクトへのカスタムマップ構成の適用」を参照してください。カスタムフィールドマップ構成では、次のフィールドタイプがサポートされています。

- 番号
- 選択
- テキスト
- 日付
- ID
- 日時

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 参照
- リスト

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [Jira プロジェクト] 関連リストから、マップ構成をカスタマイズする Jira プロジェクトを開きます。
4. [テーブルマップ] 関連リストから、スプリント、エピック、またはストーリーレコードを開き、そのレコードの新しいフィールドマップ構成を追加します。
5. [フィールドマップ] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

フィールドマップフォーム

フィールド	説明
内部フィールド	Agile Development におけるフィールド名。
テーブルマップ	このフィールドが作成される、ServiceNow プラットフォームにおけるテーブルマップ。 このフィールドは、選択したテーブルマップレコードに基づいて自動入力されます。
内部テーブル	ServiceNow プラットフォームにおけるテーブル。 このフィールドは、選択したテーブルマップレコードに基づいて自動入力されます。
外部フィールド	Jira におけるフィールド ID。
外部フィールド名	Jira におけるフィールドの表示名。 このフィールドが Jira プロジェクト画面に追加されていることを確認します。

7. [更新] をクリックします。

次のタスク

1. プロジェクトフォームから [マッピングを検証して修正] をクリックして、フィールドマップ構成を検証します。
2. プロジェクトの [テーブルマップ] 関連リストから、新しいフィールドマップ構成に移動します。構成の [有効] 列に次のように表示されている場合：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- true：マップ構成の検証に成功しました。
- false：マップ構成の検証に失敗しました。すべてのフィールドに正しい値を入力したことを確認し、再度検証してください。

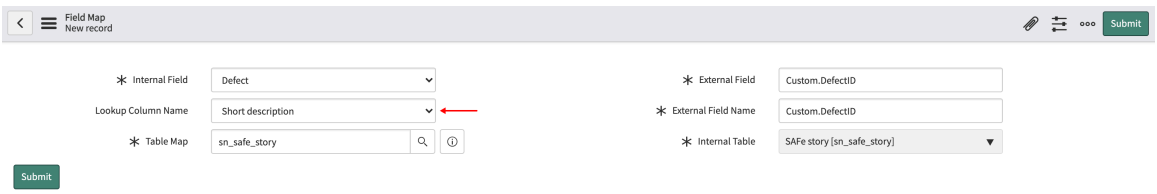
> **重要:**
> カスタムマップ構成が無効な場合、または構成されたカスタムフィールドが問題のデフォルトの画面スキームに追加されていない場合、エクスポートアクションは機能しません。

Jira での参照フィールドの構成

新しいフィールドマップ構成を作成するときに参照フィールドを構成する方法を理解します。

[内部フィールド] フィールドの参照フィールドを選択する場合は、[ルックアップ列名] フィールドの値を選択する必要があります。[ルックアップ列名] フィールドの値は、Jira DevOps と ServiceNow システムとの間で作業アイテムをインポートおよびエクスポートするときに使用されます。

インポート中に、統合アプリケーションは [ルックアップ列名] フィールドを使用して参照テーブル内のレコードを検索します。レコードが見つからない場合、作業アイテムの値は ServiceNow システムで空になります。



ワークフローステータス構成のカスタマイズ

Jira プロジェクトの希望のカスタムワークフローステータスマップを作成します。

始める前に

- Jira プロジェクトとボードの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて

カスタムワークフローステータスを Jira から Agile Development にマップします。

Jira のワークフローステータスを Agile Development の複数のワークフローステータスにマップできます。このような場合、問題タイプの Agile Development におけるステータスは、このステータス構成に指定する選択肢の順序値によって異なります。

たとえば、 Jira の [処理中] ステータスは、10、20、30 という選択肢の順序を使用して Agile Development の [対応中]、[テスト準備完了]、[テスト中] などの複数のステータスにマップされます。

そのため、Jira の [処理中] の問題がインポートされた場合、Agile Development の [ステータス] フィールドは、選択肢の順序値が最も小さいため、[対応中] に設定されます。

Jira における複数のワークフローステータスを Agile Development における 1 つのワークフローステータスにマップすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [Jira プロジェクト] 関連リストから、選択マップ構成をカスタマイズする Jira プロジェクトを開きます。
4. このプロジェクトのワークフローステータスマップを開きます。
   a. [テーブルマップ] 関連リストで、[ストーリー] をクリックします。
   b. [フィールドマップ] 関連リストで、[ステータス] をクリックします。
5. [選択マップ] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

[選択マップ] フォーム

フィールド	説明
内部選択肢	Agile Development におけるワークフローステータスの値。この値は整数です。
外部選択肢	Jira におけるワークフロー移行の ID。 **注:** 移行がない場合は、ワークフローステータスの ID を挿入します。
外部選択肢名	Jira におけるワークフロー移行の表示名。 **注:** 移行がない場合は、ワークフローステータスの表示名を挿入します。

7. [更新] をクリックします。

次のタスク

1. プロジェクトフォームから [マッピングを検証して修正] をクリックして、選択マップ構成を検証します。
2. プロジェクトの [テーブルマップ] 関連リストから、新しい選択マップ構成に移動します。構成の [有効] 列に次のように表示されている場合：
   - true：マップ構成の検証に成功しました。
   - false：マップ構成の検証に失敗しました。すべてのフィールドに正しい値を入力したことを確認し、再度検証してください。

複数の **Jira** プロジェクトへのカスタムマップ構成の適用

Now Platform® のマップ構成テンプレートに、特定のタイプのすべての Jira プロジェクトに適用できるカスタムテーブルまたはフィールドを追加します。

始める前に

- Jira プロジェクトとボードの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_jira_int.user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. [プロジェクトスタイルマッピング] 関連リストから、カスタムフィールドを追加するプロジェクトテンプレートを選択します。
   たとえば、追加するフィールドがクラシックタイプのすべての Jira プロジェクトに適用できる場合は、[クラシック] を選択します。
4. [デフォルトマッピング] フィールドで、カスタムテーブルまたはフィールドを既存のマップ構成に追加します。
   [デフォルトマッピング] フィールドのコンテンツを JSON ビューアーにコピーして、希望の形式でコンテンツを表示できます。たとえば、次の図に示すように、欠陥 [rm_defect] の新しいテーブルを追加して Jira のバグテーブルをマップしたり、既存のストーリー [rm_story] テーブルの新しいフィールドを追加してストーリーポイントをマップしたりできます。

欠陥のカスタムテーブルマップ

```
  }
},


"rm_defect": {
  "name": "Bug",
  "fields": {
    "short_description": {
      "name": "Summary"
    }
  }
},


"rm_epic": {
```

ストーリーポイントのカスタムフィールドマップ

```
{
  "rm_story": {
    "name": "Story",
    "fields": {
      "short_description": {
        "name": "Summary"
      },

      "story_points": {
        "name": "Story Points"
      },

      "description": {
        "name": "Description"
      },
      "epic": {
        "name": "Epic Link"
      },
```

Custom field for story points

複数選択フィールドのカスタムフィールドマップ

```
{
  "rm_story" : {
    "name" : "Story",
    "fields" : {
      "short_description" : {
        "name" : "Summary"
      },
      "business_units" : {
        "name" : "BusinessChoices",
        "id" : "customfield_10062",
        "lookup_table_name" : "business_unit",
        "lookup_column_name" : "name"
      },
      "description" : {
        "name" : "Description"
      },
      "epic" : {
        "name" : "Epic Link"
      },
      "state" : {
        "name" : "Status",
```

新しいフィールドを追加する場合は、構成されたカスタムフィールドが問題のデフォルトの画面スキームに追加されていることを確認します。

5. [更新] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
関連するすべての Jira プロジェクトにカスタムプロジェクトスタイルマップを適用します。

1. インポートされたすべての Jira プロジェクトの既存のマップ構成を削除します。

   [マッピング構成] フィールドを空にすることで、プロジェクトのマップ構成を削除できます。

   > ヒント:
   > [Jira プロジェクト] 関連リストから、すべての Jira プロジェクトレコードの [マッピング構成] フィールドを複数選択し、それらの値を削除して、これらのフィールドをすべて空にします。

2. 新しいテーブルマップを作成した場合は、この新しいテーブルマップ構成を適用するビジネスルールを作成します。「カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成」を参照してください。
3. [プロジェクトの検出] をクリックして、これらのプロジェクトを Jira からインポートします。

   これにより、カスタマイズされたプロジェクトスタイルマップに従って、すべての Jira プロジェクトとそのマップ構成がインポートされます。

カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成

新しいカスタムテーブルマップ構成から Jira プロジェクトへのエクスポートを有効にするビジネスルールを作成します。

始める前に
必要なロール：admin または sn_jira_int.admin

このタスクについて
単一または複数の Jira プロジェクトのカスタムテーブルマップを作成した後、Jira とのストーリーの同期に似たビジネスルールを作成し、この新しいテーブルマップの情報を Agile Development から Jira にエクスポートできるようにします。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. 利用可能なビジネスルールのリストから、[Jira とのストーリーの同期 (Synch Story with Jira)] ルールを見つけて開きます。
3. コンテキストメニュー (☰) から、このビジネスルールに対して [挿入と維持] 操作を実行します。
   ServiceNow インスタンスで [挿入と維持] アクションを有効にしていない場合は、「レコードの挿入オプションの許可」を参照してください。
4. [ビジネスルール] フォームで、次のフィールドを編集します。

[ビジネスルール] フォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスルールの一意の名前。 たとえば、新しいテーブルマップで欠陥をマップする場合は、このルールに「Jira との欠陥の同期」といった名前を付けます。
テーブル	カスタムマップを作成したテーブルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	例：欠陥 [rm_defect]。

5. [更新] をクリックします。

カスタムテーブルの添付ファイルのインポートとエクスポートの許可

マップ構成に追加したカスタムテーブルについて、Jira と Agile Development の間で添付ファイルのインポートとエクスポートを有効にします。

始める前に
必要なロール：admin または sn_jira_int.admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. ビジネスルールのリストから、[Jira への添付ファイルの同期 (Sync Attachment to Jira)] ルールを見つけて開きます。
3. フォームの [実行タイミング] セクションで、カスタムテーブルマップをフィルター条件に追加して含めます。
   たとえば、追加したカスタムテーブルが欠陥である場合は、次のようにします。
   a. [「OR」節を追加] をクリックします。
   b. 新しい節を [テーブル名] [次の値と同じ] **[rm_defect]** に設定します。
4. [更新] をクリックします。

カスタムテーブルの **Jira** プロジェクト識別子参照フィールドへの入力

マップ構成に追加したカスタムテーブルの Jira 識別子参照フィールドを有効にします。

始める前に
必要なロール：admin または sn_jira_int.admin

このタスクについて
ID、キー、Jira プロジェクト、およびプロジェクト URL の参照をカスタムテーブルフォームに表示するには、このテーブルを [外部識別子参照の入力 (Populate External Identifier Reference)] ビジネスルールに追加します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. ビジネスルールのリストから、[外部識別子参照の入力 (Populate External Identifier Reference)] ルールを見つけて開きます。
3. フォームの [実行タイミング] セクションで、カスタムテーブルマップをフィルター条件に追加して含めます。
   たとえば、追加したカスタムテーブルが欠陥である場合は、次のようにします。
   a. [「OR」節を追加] をクリックします。
   b. 新しい節を [参照テーブル] [次の値と同じ] **[rm_defect]** に設定します。
4. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
フォームレイアウトを構成するか、カスタムテーブルのリストレイアウトをカスタマイズして、次のフィールドのいずれかまたはすべてを表示します。

- 外部 ID (External ID)
- 外部キー
- 外部プロジェクト
- 外部 URL

関連情報

v2 リストのカスタマイズ
フォームレイアウトの構成

Jira プロジェクトのマッピング構成のリセット

複数の Jira プロジェクトの既存のマッピング構成をデフォルトのマッピング構成にリセットします。

始める前に

- Jira プロジェクトとボードの検出とインポート
- 必要なロール：sn_jira_int.user

このタスクについて
デフォルトのマッピング構成をすべてまたは一部の Jira プロジェクトに適用します。これらのプロジェクトの既存のカスタムマッピング構成は、マッピングをリセットすると削除されます。

[マッピング構成] フィールドをクリアした場合、またはこのプロジェクトの既存のテーブルマップを削除した場合、このプロジェクトのマッピングをリセットすると、マッピング構成がデフォルト構成に復元されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > **Jira** インスタンス.
2. Jira インスタンスレコードを開きます。
3. 次のいずれかの方法を使用して、複数の Jira プロジェクトのマッピングをリセットします。

タスクの結果
プロジェクトのマッピング構成は、選択したプロジェクトが属する [プロジェクトスタイルマッピング] フォームの [デフォルトマッピング] フィールドに従って更新されます。

Agile Development と Jira の間の問題のインポートとエクスポート

Agile Development と Jira の間の問題のインポートおよびエクスポートのワークフローを理解します。

Agile Development と Jira の間で問題をエクスポートおよびインポートするには、Jira プロジェクトのチーム統合設定を完了する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Jira から Agile Development へのインポート

- Jira プロジェクトでエピックタイプの問題を作成すると、構成したチーム統合設定に従ってアサイン先グループのエピックが作成されます。
- Jira プロジェクトでストーリータイプの問題を作成すると、構成したチーム統合設定に従ってアサイン先グループのストーリーが作成されます。
  - ストーリーとエピックの関係は、Jira の場合と同じです。
  - 同じメールアドレスを持つユーザーが ServiceNow プラットフォームで見つかった場合にのみ、ストーリーの [アサイン先] フィールドに Jira のユーザーが表示されます。
- フィールドマップで定義されたフィールドのみがストーリーまたはエピックに保持されます。デフォルトのマッピング構成の詳細については、「デフォルトのマッピング構成」を参照してください。
- Jira で問題に添付ファイルを追加すると、同じ添付ファイルが Agile Development の対応するストーリーまたはエピックに追加されます。
- Jira で問題にコメントを追加すると、そのコメントは、マップ構成に基づき、Agile Development のストーリーまたはエピックの [作業メモ] フィールドで更新されます。

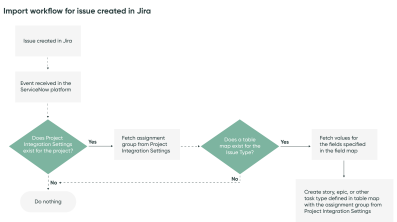
  注:
  コメントに追加された画像は添付ファイルとして表示されます。

- Jira で問題を削除すると、対応するレコードが ServiceNow プラットフォームで削除されます。

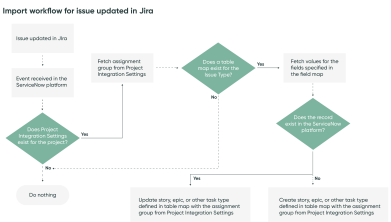
  注:
  ServiceNow プラットフォームでレコードを削除するには、各テーブルのアプリケーションアクセスで [他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可します] フィールドを **[true]** に設定します。詳細については、「テーブルの設計時と実行時の設定」を参照してください。

- Jira ボードがチーム統合設定で構成されている場合、Jira でスプリントを開始すると、ServiceNow プラットフォームのアサイン先グループに対してスプリントが作成されます。

Jira で作成された問題のインポートワークフロー



Jira で更新された問題のインポートワークフロー



Agile Development から Jira へのエクスポート

- アサイン先グループのエピックを作成すると、構成したチーム統合設定に従って Jira でプロジェクトにエクスポートされます。
- アサイン先グループのストーリーを作成すると、構成したチーム統合設定に従って Jira でプロジェクトにエクスポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ストーリーとエピックの関係は、Jira の場合と同じです。
- ServiceNow プラットフォームの [アサイン先] フィールドに対する更新は、Jira にエクスポートされます。

- ストーリーまたはエピックに添付ファイルを追加すると、同じ添付ファイルが Jira の対応する問題に追加されます。
- 作業メモにストーリーまたはエピックを追加すると、その作業メモはコメントとして Jira の対応する問題で更新されます。
- ServiceNow プラットフォームで既存のストーリーのアサイン先グループを更新すると、更新されたアサイン先グループに関連付けられている Jira プロジェクトの問題が再作成されます。
- で Now Platformアサイン先グループのスプリントを作成すると、チーム統合設定で Jira ボードを構成した場合にのみ、Jira にエクスポートされます。

Agile Development との Jira 統合に関する問題のトラブルシューティング

Jira と Agile Development の統合作業中に発生する可能性がある一般的な問題を解決します。

問題	アクション
エクスポートアクションが機能していません。	• カスタムマップ構成を確認します。 カスタムマップ構成が無効な場合、または構成されたカスタムフィールドが問題のデフォルトの画面スキームに追加されていない場合、エクスポートは機能しません。 • この Jira プロジェクトまたはボードのプロジェクト統合設定で [エクスポートを有効にする] チェックボックスがオンになっていることを確認します。 • Jira パスワードの有効期限が切れていないか確認します。
スプリントがインポートされたストーリーに関連付けられていません。	スプリントが Jira で開始されているかどうかを確認します。ストーリーに関連付けられているスプリントが将来のスプリントである場合、Agile Development のストーリーには関連付けられません。 Jira からのスプリントデータは、スプリントが Jira でアクティブな場合にのみ Agile Development で更新されます。
スプリントがプラットフォームに ServiceNow インポートされません。	• Jira のスプリントに日付があることを確認します。 • Jira のスプリントの日付が、プラットフォームの同じアサイン先グループの ServiceNow 別のスプリントと重複しないようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題	アクション
Jira のフィールドの値が ServiceNow プラットフォームに入力されません。	カスタムフィールドマップが構成されているかどうかを確認します。
Jira の [優先度] フィールドまたは [ステータス] フィールドの値がプラットフォームに設定 ServiceNow されません。	カスタムワークフローステータスマップが構成されているかどうかを確認します。
Jira のユーザーによる更新が ServiceNow プラットフォームで更新されません。	Jira と Agile Development の統合を設定するために使用されるユーザー資格情報が、レコード更新の実行に使用されていないことを確認します。
問題は Jira で削除されますが、ServiceNow プラットフォームで削除されません。	各テーブルのアプリケーションアクセスで [他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可します] フィールドが [true] に設定されていることを確認します。
Jira Cloud ユーザーの場合、インポートすると重複するコメントが表示されます。	循環ペイロードを検証します。メールアドレスを Webhook イベントに表示するには、接続ユーザー (の Now Platformhttp 接続で使用) のプライバシー設定を有効にする必要があります。
Jira でプロジェクトまたはボードを削除しても、.Now Platform	Jira でプロジェクトまたはボードを削除した後、Jira 管理者は で関連付けられたストーリー Now Platformを手動で削除する必要があります。
Jira でリッチテキストを使用すると、テキストが Now Platform文字化けします。	Jira で使用されている wiki テキスト形式はサポートされていません。
次世代 Jira プロジェクトで、Jira のエピックに対してストーリーが作成されると、ストーリーとエピックの関係が ServiceNow プラットフォームにインポートされません。	Jira で、ストーリーに名目上の更新を加え、この更新とともにエピックとの関係を ServiceNow プラットフォームに送信します。
サブタスク情報が Jira と ServiceNow プラットフォームの間でインポートもエクスポートもされません。	Jira から Agile Development へのサブタスクのインポートを有効にするには、このタスクタイプのカスタムマッピングを手動で構成する必要があります。詳細については、「テーブルマップ構成のカスタマイズ」を参照してください。
次世代 Jira プロジェクトで、スクラムタスクが ServiceNow プラットフォームから Jira にエクスポートされません。	アプリケーションでは、Jira から ServiceNow プラットフォームへのサブタスクのインポートのみがサポートされており、これらのタスクの Jira へのエクスポートはサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題	アクション
プロジェクトを検出してインポートした後、プロジェクトのマップ構成が生成されません。	接続エイリアスが作成されたユーザーが、すべての Jira プロジェクトにアクセスできることを確認します。
接続、切断、および検証と修正の UI アクションが初めて使用するときにエラーになります。	これは既知の問題です。UI アクションを再試行します。
Jira プロジェクトメタデータのフェッチ中に、Flow Designer で API 呼び出しが失敗し、**[API** 応答サイズの超過 **(API response size exceeded)]** エラーが発生します。	バッチサイズプロパティの値を 1 ～ 50 の任意の値に設定して、値を減らします。詳細については、「Jira プロジェクトメタデータのバッチサイズの定義」を参照してください。

詳細なプロジェクトログの有効化

プロジェクトのログ記録の詳細をすべて表示するには、統合プロジェクトログ記録のプロパティを有効にします。詳細については、「Agile Development との Jira 統合における詳細なプロジェクトログ記録の有効化」を参照してください。

Agile Development との Jira 統合における詳細なプロジェクトログ記録の有効化

Jira で統合プロジェクトログ記録を有効にして、詳細なプロジェクトログを表示できるようにする方法を理解します。

始める前に
必要なロール：sn_jira_int.admin (編集アクセス権あり) または sn_jira_int.user (読み取りアクセス権あり)。

このタスクについて
Agile Jira 統合アプリケーションでプロジェクトログ記録のプロパティを有効にします。

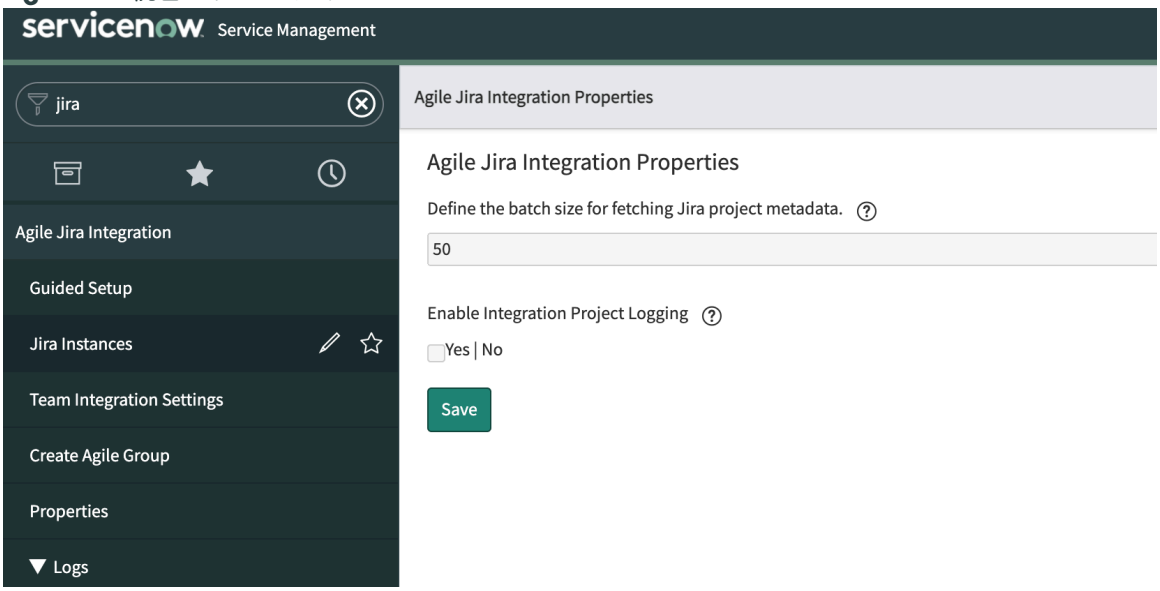
手順

1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > プロパティ .
2. [統合プロジェクトのログ記録を有効にする **(Enable Integration Project Logging)]** チェックボックスをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Jira 統合のプロパティ



3. [保存] をクリックします。

Jira プロジェクトメタデータのバッチサイズの定義

Jira プロジェクトからメタデータをフェッチするために使用されるバッチサイズ値を定義します。

始める前に
必要なロール：sn_jira_int.admin (編集アクセス権あり) または sn_jira_int.user (読み取りアクセス権あり)。

このタスクについて
Jira プロジェクトメタデータのフェッチ中に発生する可能性がある **[API** 応答サイズの超過 **(API response size exceeded)]** エラーを解決するには、バッチサイズプロパティの値を減らします。

手順

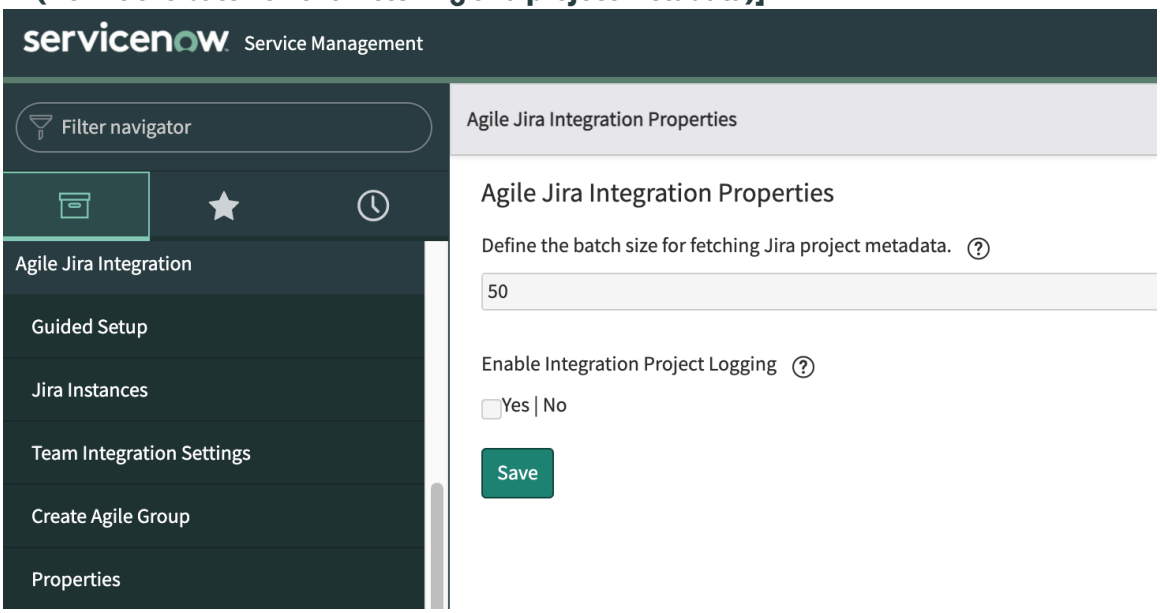
1. 移動先 すべて > **Agile Jira** 統合 > プロパティ.

2. [Jira プロジェクトメタデータをフェッチするためのバッチサイズを定義してください **(Define the batch size for fetching Jira project metadata)]** フィールドの値を 50 未満に変更します。
推奨される値の範囲は、5 ～ 50 です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Jira プロジェクトメタデータをフェッチするためのバッチサイズを定義してください (Define the batch size for fetching Jira project metadata)]



3. [保存] をクリックします。

Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development®

2 つのアプリケーションをデータ連携することで、Microsoft Azure DevOps と ServiceNow Agile Development 2.0 間のレコードの双方向同期を有効にします。

たとえば、Microsoft Azure DevOps でレコードを更新すると、その更新は Agile Development に反映されます。同様に、Agile Development でレコードを更新すると、その更新は Microsoft Azure DevOps に反映されます。

Microsoft Azure DevOps と Agile Development のデータ連携により、次のことが可能になります。

- 利用可能な Microsoft Azure DevOps プロジェクトを Agile Developmentで表示します。
- Microsoft Azure DevOps から Agile Development へのレコードの一括インポートを実行します。
- Microsoft Azure DevOps と Agile Development の間で単一レコードの更新を実行します。
- Microsoft Azure DevOps と Agile Development でレコード更新エントリを重複させないようにします。
- 単一のアプリケーションからタスクを計画、追跡、および更新します。

バージョン 1.3 以降、Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development ではプロセスレベルのマップ構成がサポートされ、Agile Development と同期するように複数のプロセスを構成できます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ト情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development のインストール

Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development (sn_agile_ado_int) アプリケーションバージョン 1.3 を ServiceNow Store からインストールします。

始める前に
インストールと設定をスムーズに行うには、次のセットアップチェックリストを完了してください。

セットアップタスク	アクション
Agile Development 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.agile.2.0) がアクティブ化されていることを確認します。	移動先 サブスクリプション管理 > サブスクリプション. リストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。
ServiceNow IntegrationHub Standard Pack Installer プラグイン (com.glide.hub.integrations.standard) がアクティブ化されていることを確認します。	
Azure DevOps Boards Spoke 1.6.1 プラグイン (sn_azure_dev_spoke) がアクティブ化されていることを確認します。	

必要なロール：admin

> **注:**
> 本番インスタンスで Agile Development 2.0、ServiceNow IntegrationHub Standard Pack Installer、および Azure DevOps Board Spoke プラグインをアクティブ化するには、個別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow のカスタマーサポートにお問い合わせください。

手順

1. 移動先 ServiceNow Store.
2. ServiceNow Storeで、Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development を検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   アプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

   > **注:**
   > 該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [インストールを要求] をクリックします。
6. [インスタンス名] フィールドに詳細を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [インスタンスの理由] フィールドに詳細を入力し、[要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development アプリケーションをインストールするインスタンスにログインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 選択 システムアプリケーション > アプリケーション.
10. アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

タスクの結果
以下のコンポーネントは、アプリケーションのインストール時にインストールされます。

- ロール
- ジョブスケジュール
- テーブル

詳細については、「Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development とともにインストールされるコンポーネント

Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development アプリケーションがアクティブ化されると、いくつかのタイプのコンポーネント (ユーザーロール、ジョブスケジュール、テーブルなど) がインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
Azure DevOps Integration 管理者 [sn_ado_int.admin]	アプリケーションへの完全なアクセス権がある	• sn_int_common.admin • sn_ado_int.user
Azure DevOps Integration ユーザー [sn_ado_int.user]	• Azure DevOps と Agile Development の間の統合を設定します。 • Azure DevOps と Agile Development の間で新しいマップ構成を作成したり、既存のマップ構成を更新したりできます。	• connection_admin • sn_int_common.user • credential_admin

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
Azure プロジェクトジョブの検出 (Discover Azure Project Job)	スケジュールされた時刻に新しい Azure DevOps プロジェクトを検出し、それらを自動的にインポートします。
Azure DevOps のチーム、エリア、反復をインポート (Import Azure DevOps Teams Areas and Iterations)	スケジュールされた時刻にチーム、エリア、反復を Azure DevOps から自動的にインポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブスケジュール	説明
Azure DevOps 作業アイテムのインポート (Import Azure DevOps Work Items)	スケジュールされた時刻に作業アイテムを Azure DevOps から自動的にインポートします。

ジョブスケジュールはすべて、デフォルトでは非アクティブです。詳細については、「Azure DevOps からプロジェクト、チーム、エリア、および作業アイテムをインポートするジョブのスケジュール設定」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
エリアチーム多対多 [sn_ado_int_m2m_area_team]	チームとエリアとの関係を保存します。
添付マップ [sn_int_common_attachment_map]	Azure DevOps と Agile Development との間の問題に対する添付ファイルのマッピングを保存します。
Azure DevOps エリア [sn_ado_int_area	Azure DevOps からインポートされたエリアのリストを保存します。
Azure DevOps インポート要求 [sn_ado_int_import_request]	Azure DevOps からプロジェクトとプロセスマッピングをインポートするために作成されたすべてのインポート要求のリストを保存します。
Azure DevOps インスタンス [sn_ado_int_instance]	すべての Azure DevOps インスタンスのリストを保存します。
Azure DevOps 反復 [sn_ado_int_iteration]	Azure DevOps からインポートされた反復のリストを保存します。
Azure DevOps プロジェクト [sn_ado_int_project]	Azure DevOps からインポートされたプロジェクトのリストを保存します。
Azure DevOps サブスクリプション [sn_ado_int_subscription]	Azure に登録されている Webhook のイベントタイプのサブスクリプション ID を保存します。
Azure DevOps チーム [sn_ado_int_team]	インポートされた Azure DevOps チームのリストを保存します。
選択マップ [sn_int_common_choice_map]	Azure DevOps プロジェクトのワークフローステータスマッピングのリストを保存します。
イベントタイプ [sn_int_common_input_event_type]	作業アイテムの作成、更新、削除など、Webhook イベントのタイプの情報を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
外部識別子 [sn_int_common_external_identifiers]	外部 ID、外部キー、外部プロジェクト、外部 URL など、すべての Azure DevOps 参照識別子のリストを保存します。
外部プロジェクト [sn_int_common_project]	プロジェクト ID、このプロジェクトの Azure DevOps インスタンス、プロジェクト名など、Azure DevOps プロジェクトの情報を保存します。
外部システム [sn_int_common_external_system]	統合に使用される Azure DevOps アプリケーションの情報を保存します。
外部システムバージョン [sn_int_common_external_system_version]	統合に使用される Azure DevOps アプリケーションの API バージョン情報を保存します。
フィールドマップ [sn_int_common_field_map]	Azure DevOps プロジェクトの各種作業アイテムのフィールドマッピングのリストを保存します。
プロセスマッピング [sn_ado_int_process_mapping]	Azure DevOps プロセスごとのマップ構成テンプレートのリストを保存します。
テーブルマップ [sn_int_common_table_map]	Azure DevOps プロジェクトのテーブルマップのリストを保存します。
チーム統合設定 [sn_agile_ado_int_import_settings]	Azure DevOps プロジェクト、チーム、および Agile アサイン先グループ間の 1 対 1 関係のリストを保存します。
Webhook レジストリー [sn_int_common_webhook_registry]	イベントの更新を受信するために Azure DevOps に登録された Webhook のレジストリーコールバックパスの詳細を保存します。

Microsoft Azure DevOps と Agile Development の間のデータ連携設定

Microsoft Azure DevOps Integration for Agile Development のセットアッププロセスを理解します。

アプリケーションが ServiceNow インスタンスにインストールされたら、sn_ado_int.user ロールを使用したデータ連携の設定に進むことができます。

データ連携のセットアッププロセスには、次のタスクが含まれます。

1. Agile Development を Azure DevOps に接続します。
2. 利用可能なプロジェクトを Azure DevOps から検出してインポートします。
3. Azure DevOps から Agile Development にチーム、エリア、反復をインポートします。
4. Agile Development と Azure DevOps の間でインポートとエクスポートを設定します。
   a. Azure DevOps プロジェクトの Webhook を登録します。
   b. Azure DevOps プロジェクトを Agile Development でアサイン先グループに関連付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 作業アイテムと反復を Agile Development に一括インポートします。スケジュール設定済みジョブを有効にして、Azure DevOps から問題を自動インポートします。
6. Azure DevOps と Agile Development の間で、テーブル、フィールド、およびワークフローステータスのカスタムマップ構成を作成します。

Agile Development と Microsoft Azure DevOps の接続

接続エイリアスと Azure DevOps インスタンスを使用して、Agile Development と Azure DevOps の間に接続を確立します。

Azure DevOps 接続エイリアスの作成

Azure DevOps との接続を確立するための接続エイリアスとして一緒に使用される基本認証資格情報と HTTP(s) 接続を作成します。

始める前に
必要なロール：

- 接続情報および資格情報エイリアスを作成する場合は admin
- 基本認証資格情報と HTTP(s) 接続を作成する場合は sn_ado_int.admin または sn_ado_int.user

手順

1. 接続情報および認証情報エイリアスの作成
   - デフォルトでは、接続エイリアス (sn_ado_int.Azure_DevOps) を使用できます。
   - 使用するすべての Azure DevOps 組織の接続エイリアスを作成する必要があります。
2. 基本認証資格情報 を作成します。

   注:
   基本認証資格情報を作成するときは、Azure DevOps で個人アクセストークンの詳細を使用します。
   - 基本認証資格情報の [パスワード] フィールドを、Azure DevOps で個人アクセストークンとして設定します。
   - 基本認証資格情報の [ユーザー名] フィールドを、Azure DevOps で個人アクセストークンを作成するときに使用するユーザー名として設定します。

     ログインの形式が *`domainname\username`* の場合は、*`username`* のみを使用します。

3. HTTP(s) 接続を作成します HTTP(s) 接続を作成します 。

次のタスク
Azure DevOps インスタンスの作成

。

Azure DevOps インスタンスの作成

作成した接続エイリアスを使用して、Azure DevOps インスタンスレコードを作成します。このインスタンスは、Agile Development と Azure DevOps の間のデータ連携を確立するために使用されます。

始める前に
必要なロール：sn_ado_int.admin または sn_ado_int.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[Azure DevOps インスタンス] フォーム

フィールド	説明
名前	Azure DevOps インスタンスの名前。任意の名前を入力します。
接続エイリアス	作成済みの Azure DevOps 接続エイリアス。ルックアップ ( ) オプションを使用して、接続エイリアスを選択します。
バージョン	Azure DevOps バージョン。ルックアップ ( ) オプションを使用して、Azure DevOps バージョンを選択します。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
Azure DevOps への接続

。

Azure DevOps への接続

データ連携を有効にするには、Azure DevOps を Agile Development に接続します。

始める前に
必要なロール：sn_ado_int.user

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [接続] をクリックします。

タスクの結果
Azure DevOps インスタンスレコードの [ステータス] フィールドに次のように表示されている場合：

- [接続]：接続に成功しました。
- [未接続]：接続を確立できませんでした。エラーメッセージで失敗の理由を確認できます。

次のタスク
Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート

。

Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート

利用可能なすべての Azure DevOps プロジェクトを検出して Agile Development にインポートし、2 つのアプリケーション間のデータ連携の使用を開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

- 完了 接続 Agile Development と Azure DevOps.
- 必要なロール：sn_ado_int.user

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [プロジェクトの検出] をクリックします。

   このアクションでは、Azure DevOps プロジェクトをインポートし、これらすべてのプロジェクトのマップ構成を処理する要求を作成します。[Azure DevOps インポート要求] 関連リストで、すべてのインポート要求を表示できます。これらの要求の初期状態は [要求済み] です。

タスクの結果
各インポート要求のステータスが [完了] に変更されると、この Azure DevOps インスタンスの関連リストが次のように設定されていることがわかります。

- Azure DevOps プロジェクト：Azure DevOps から利用可能なすべてのプロジェクト
- プロセスマッピング：プロセスタイプに従ってインポートされたすべての Azure DevOps プロジェクトのマップ構成。

  たとえば、Agile、基本、CMMI などのデフォルトのプロセスタイプや、Azure DevOps プロジェクトに定義したカスタムプロセスタイプなどです。

  作業アイテムのデフォルトのマップ構成の詳細については、「デフォルトのマップ構成」を参照してください。

次のタスク
Azure DevOps からエリア、チーム、反復のインポート

。

デフォルトのマップ構成

Azure DevOps と Agile Development の間の、さまざまなプロセスタイプのデフォルトのフィールドマップ構成を理解します。

さまざまなプロセスタイプのデフォルトのマップ構成を確認することで、Azure DevOps の作業アイテムタイプが Agile Development でどのようにマッピングされているかを確認できます。また、2 つのアプリケーション間でフィールドがどのようにマッピングされているかを確認することもできます。

利用可能なエピック、ストーリー、および問題を Azure DevOps からインポートすると、このデータはプロセスマップ構成での定義に従ってテーブルに保存されます。

注:

アプリケーションのバージョン 1.3 にアップグレードすると、マップ構成は、インスタンスレベルではなく、プロセスタイプごとにプロセスレベルで生成されます。作業アイテムのインポートとエクスポートが影響を受けないように、以前に構成したカスタムマップを更新する必要があります。

さまざまなプロセスタイプのデフォルトのマップ構成を表示する方法は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 移動先 **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [プロセスマッピング] 関連リストから、プロセスマップのレコードを開きます。

Azure DevOps と Agile Development の間で、フィールド、テーブル、および選択マップの構成を追加または更新できます。詳細については、「Azure DevOps データ連携のためのマップ構成のカスタマイズ」を参照してください。

Azure DevOps からエリア、チーム、反復のインポート

Azure DevOps プロジェクトのエリア、チーム、反復をインポートします。これらの詳細は、スプリントデータをインポートし、Azure DevOps プロジェクトを Agile Development のアサイン先グループに関連付けるために使用されます。

始める前に

- Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [Azure DevOps プロジェクト] 関連リストから、プロジェクトレコードを開きます。
4. [エリア、反復、およびチームをインポートします] をクリックします。

   [Azure DevOps インポート要求] 関連リストに、インポート要求の詳細が表示されます。

   インポートされたすべてのチーム、反復、およびエリアは、このプロジェクトの [Azure DevOps チーム]、[Azure DevOps 反復]、および [Azure DevOps エリア] 関連リストで表示できます。

次のタスク

Agile Development と Azure DevOps の間のインポートとエクスポートの設定

。

Agile Development と Azure DevOps の間のインポートとエクスポートの設定

Agile Development と Azure DevOps の間で作業アイテムのインポートおよびエクスポートアクションの設定を構成します。

作業アイテムの同期を有効にするには、Azure DevOps プロジェクトの Webhook を登録し、Azure DevOps プロジェクトとチームを Agile Development のアサイン先グループに関連付けます。

Azure DevOps プロジェクトの Webhook の登録

Webhook を登録して、Azure DevOps プロジェクトのイベントに登録します。

始める前に

- Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [Azure DevOps プロジェクト] 関連リストから、プロジェクトレコードを開きます。
4. **[Webhook** を登録] をクリックします。
   Webhook 登録が成功すると、プロジェクトフォームの [ステータス] フィールドが [未登録] から [登録済み] に変更されます。

タスクの結果
Webhook を Azure DevOps に登録すると、Azure DevOps と Agile Development の間で次のイベント更新が受信されます。

- 作業アイテムを作成
- 作業アイテムを更新
- 作業アイテムを削除
- 作業アイテムを復元
- 作業アイテムにコメント

これらの Webhook イベントに応じて作業アイテムを同期する詳細については、「Agile Development と Azure DevOps の間で作業アイテムをインポートおよびエクスポートする」を参照してください。

次のタスク
Azure DevOps プロジェクトを Agile Development でアサイン先グループに関連付ける

。

Azure DevOps プロジェクトを **Agile Development** でアサイン先グループに関連付ける

Azure DevOps プロジェクトとチームを Agile Development のアサイン先グループに関連付けて、2 つのアプリケーション間で問題をインポートおよびエクスポートできるようにします。

始める前に

- Azure DevOps からエリア、チーム、反復のインポート。
- Agile Development でアサイン先グループを作成します。「Agile Development 2.0 でのアサイン先グループの作成」を参照してください。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

このタスクについて
Azure DevOps チームをアサイン先グループに関連付けると、次のことができます。

- このチームの利用可能なすべてのストーリーとエピックを関連するグループにインポートします。
- Agile Development と Azure DevOps の両方で、新しいストーリーとエピック、または既存のストーリーとエピックに加えられた更新を表示します。
- 反復をスプリントとして Agile Development にインポートします。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > チーム統合設定.
2. [新規] をクリックします。
3. [チームデータ連携設定] フォームで、次を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Azure DevOps プロジェクト
- Azure DevOps プロジェクトのチーム
- 選択した Azure DevOps チームを関連付ける、Agile Development のアサイン先グループ

[デフォルトエリア] フィールドの値は、選択したチームに応じて自動的に入力されます。

4. [送信] をクリックします。
設定の詳細は、[Azure DevOps プロジェクト] フォームの [チームデータ連携設定] で確認できます。

> **注:**
> アサイン先グループに関連付けることができる Azure DevOps チームは 1 つのみです。

次のタスク
Azure DevOps から Agile Development への作業アイテムのインポート

。

関連情報

Agile Development と Azure DevOps の間で作業アイテムをインポートおよびエクスポートする

Azure DevOps から Agile Development への作業アイテムのインポート

Azure DevOps プロジェクトの作業アイテムと反復を Agile Development にインポートして、作業のステータスを追跡および更新します。

始める前に

- Azure DevOps プロジェクトのチームデータ連携設定をセットアップします。詳しくは、「Azure DevOps プロジェクトを Agile Development でアサイン先グループに関連付ける」を参照してください。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [Azure DevOps プロジェクト] 関連リストから、プロジェクトレコードを開きます。
4. [作業アイテムのインポートを有効にする] および [作業アイテムのエクスポートを有効にする] オプションを選択して、作業アイテムのインポートとエクスポートを有効にします。
5. [同期スプリント] オプションを選択して、スプリントデータの同期を有効にします。
6. [作業アイテムのインポート] をクリックします。
7. 日付と時刻の範囲を選択します。
8. [送信] をクリックします。

> **注:**
> 作業アイテムがインポートされると、[説明] フィールドと [受け入れ条件] フィールドは同期されません。ただし、インポートが完了した後に Azure DevOps でこれらのレコードが更新された場合、これらのフィールドは Webhook イベントを介して Agile で同期されます。

[Azure DevOps インポート要求] 関連リストに、インポート要求の詳細が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development アプリケーションでは、インポートされたすべての作業アイテムとスプリントを表示できます。

- ストーリーとエピックの関係は、Azure DevOps の場合と同じです。
- Azure DevOps の反復と Agile Development のスプリントとのステータスマッピングは次のとおりです。

Azure DevOps でのステータス	Agile Development でのステータス
過去	完了
予定	ドラフト
現在	現在

- 次の条件では、Agile Development にスプリントが作成されません。
  - Azure DevOps の反復の日付フィールドが空の場合。
  - 反復に子反復が関連付けられている場合。
  - スプリントの日付が重複している場合。
- Azure DevOps で 2 つ以上のチームがバックログ反復を共有する場合、各チームの個別のスプリントレコードが Agile Development に作成されます。

次のタスク

Azure DevOps からプロジェクト、チーム、エリア、および作業アイテムをインポートするジョブのスケジュール設定

。

Azure DevOps からプロジェクト、チーム、エリア、および作業アイテムをインポートするジョブのスケジュール設定

Azure DevOps から Agile Development に定期的に新規プロジェクト、チーム、エリア、作業アイテム、スプリントを自動的にインポートするジョブをスケジュール設定します。

始める前に

必要なロール：sn_ado_int.user

このタスクについて

スケジュール設定済みジョブを構成しない場合は、プロジェクトを手動で検出し、エリアとチームをインポートする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ジョブスケジュール.
2. 次のいずれかのジョブを開きます。
   - Azure プロジェクトジョブの検出 (Discover Azure Project Job)
   - Azure DevOps のチーム、エリア、反復をインポート (Import Azure DevOps Teams Areas and Iterations)
   - Azure DevOps 作業アイテムのインポート (Import Azure DevOps Work Items)

   これらのジョブは、デフォルトでは非アクティブです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 手動でジョブを実行するには、[今すぐ実行] をクリックします。
4. スケジュールされた時刻にジョブを実行するには、[アクティブ] チェックボックスをオンにします。
   必要に応じて、[実行] フィールドと [時刻] フィールドの詳細を編集できます。
5. [更新] をクリックします。
6. 他の 2 つのジョブスケジュールについても、この手順を繰り返します。

Azure DevOps データ連携のためのマップ構成のカスタマイズ

組織の設定に従って、Azure DevOps と Agile Development の間のテーブル、フィールド、またはステータスのマップ構成をカスタマイズします。

- プロセスタイプの既存のマップ構成に変更を加えると、このプロセスマップを使用するすべての Azure DevOps プロジェクトに適用されます。
- カスタムマップ構成では、番号、選択、テキスト、日付、ID、日付、日時、および参照タイプのフィールドのみがサポートされています。

テーブルマップ構成のカスタマイズ

カスタムテーブルマップを作成し、プロセスタイプの Azure DevOps プロジェクトのフィールドを構成します。

始める前に

- Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [プロセスマッピング] 関連リストから、マップ構成をカスタマイズするプロセスマップを開きます。
4. [テーブルマップ] 関連リストから、[新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

テーブルマップフォーム

フィールド	説明
内部テーブル	Agile Development におけるテーブルの名前。
外部テーブル	Azure DevOps におけるテーブル ID。
外部テーブル名	Azure DevOps におけるテーブルの表示名。

6. テーブル構成を保存します。
7. テーブルマップレコードの [フィールドマップ] 関連リストから、次のフィールドをマップするための新しいフィールドマップを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Azure DevOps のフィールド	Agile Development のフィールド
作業アイテムのタイトル (Title of the work item)	簡単な説明

テーブルのフィールドマッピングの構成方法については、「フィールドマップ構成のカスタマイズ」を参照してください。新しいテーブル構成用に他のフィールドマップを作成することもできます。

次のタスク

1. プロセスマップフォームから [マッピングを検証して修正] をクリックして、新しいテーブルマップ構成を検証します。
2. [テーブルマップ] 関連リストで、構成の [有効] 列に次のように表示されている場合：
   - true：マップ構成の検証に成功しました。
   - false：マップ構成の検証に失敗しました。すべてのフィールドに正しい値を入力したことを確認し、再度検証してください。
3. この新しいテーブルマップ構成を Azure DevOps にエクスポートするビジネスルールを作成します。詳しくは、「カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成」を参照してください。

フィールドマップ構成のカスタマイズ

プロセスタイプの Azure DevOps プロジェクトで希望のフィールドをマップするカスタムフィールドマップ構成を作成します。

始める前に

- Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

このタスクについて

カスタムフィールドマップ構成では、次のフィールドタイプがサポートされています。

- 番号
- 選択
- テキスト
- 日付
- ID
- 日時
- 参照
- リスト

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [プロセスマッピング] 関連リストから、マップ構成をカスタマイズするプロセスマップを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [テーブルマップ] 関連リストから、そのテーブルマップのフィールドマップ構成を作成するレコードを開きます。
5. [フィールドマップ] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

フィールドマップフォーム

フィールド	説明
内部フィールド	Agile Development におけるフィールド名。
ルックアップ列名	このフィールドは、内部フィールドとして参照フィールドを選択する場合に必要です。 詳細については、「Azure DevOps での参照フィールドの構成」を参照してください。
テーブルマップ	このフィールドが作成される、ServiceNow プラットフォームにおけるテーブルマップ。 このフィールドは、選択したテーブルマップレコードに基づいて自動入力されます。
外部フィールド	Azure DevOps におけるフィールド ID。
外部フィールド名	Azure DevOps におけるフィールドの表示名。

7. [送信] をクリックします。

次のタスク

1. プロセスマップフォームから [マッピングを検証して修正] をクリックして、新しいテーブルマップ構成を検証します。
2. [テーブルマップ] 関連リストから、新しいフィールドマップ構成に移動します。構成の [有効] 列に次のように表示されている場合：
   - true：マップ構成の検証に成功しました。
   - false：マップ構成の検証に失敗しました。すべてのフィールドに正しい値を入力したことを確認し、再度検証してください。

重要:
カスタムマップ構成が無効である場合、または必須フィールドがその作業アイテムにマップされていない場合、エクスポートおよびインポートアクションは機能しません。

Azure DevOps での参照フィールドの構成

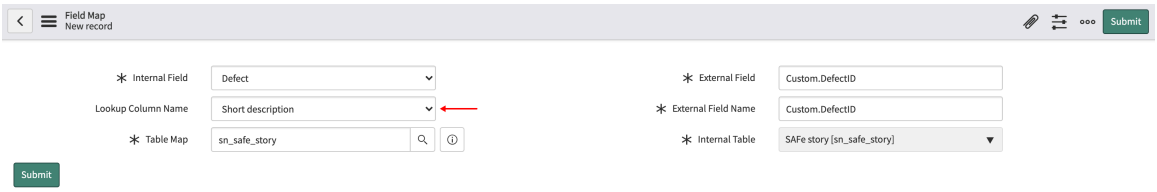
新しいフィールドマップ構成を作成するときに参照フィールドを構成する方法を理解します。

[内部フィールド] フィールドの参照フィールドを選択する場合は、[ルックアップ列名] フィールドの値を選択する必要があります。[ルックアップ列名] フィールドの値は、Azure DevOps と ServiceNow システムとの間で作業アイテムをインポートおよびエクスポートするときに使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポート中に、データ連携アプリケーションは [ルックアップ列名] フィールドを使用して参照テーブル内のレコードを検索します。レコードが見つからない場合、作業アイテムの値は ServiceNow システムで空になります。



ステータスマップ構成のカスタマイズ

プロセスタイプの Azure DevOps プロジェクトで希望のワークフローステータスをマップするカスタムステータスマップ構成を作成します。

始める前に

- Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

このタスクについて

Azure DevOps における 1 つのステータスを Agile Development における複数のステータスにマップできます。このような場合、問題タイプの Agile Development におけるステータスは、このステータス構成に指定する選択肢の順序値によって異なります。

たとえば、[アクティブ] ステータスにある Azure DevOps の作業アイテムがインポートされた場合、Agile Development の [ステータス] フィールドは、選択肢の順序値が最も小さいため、[対応中] に設定されます。

Azure DevOps における複数のステータスを Agile Development における 1 つのステータスにマップすることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [プロセスマッピング] 関連リストから、選択マップ構成をカスタマイズするプロセスマップを開きます。
4. このプロセスタイプのワークフローステータスマップを開きます。
   a. [テーブルマップ] 関連リストで、[ユーザーストーリー **(User Story)]** をクリックします。
   b. [フィールドマップ] 関連リストで、[ステータス] をクリックします。
5. [選択マップ] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

[選択マップ] フォーム

フィールド	説明
内部選択肢	Agile Development におけるステータスの値。この値は整数です。
外部選択肢	Azure DevOps でのステータスの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
外部選択肢名	Azure DevOps におけるステータスの表示名。

7. [送信] をクリックします。

次のタスク

1. プロセスマップフォームから [マッピングを検証して修正] をクリックして、新しいテーブルマップ構成を検証します。
2. 新しい選択マップ構成に移動します。構成の [有効] 列に次のように表示されている場合：
   - true：マップ構成の検証に成功しました。
   - false：マップ構成の検証に失敗しました。すべてのフィールドに正しい値を入力したことを確認し、再度検証してください。

カスタムテーブルマップ構成を適用するビジネスルールの作成

新しいカスタムテーブルマップ構成から Azure DevOps プロジェクトへのエクスポートを有効にするビジネスルールを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Azure DevOps プロセスタイプのカスタムテーブルマップを作成した後、Azure DevOps とのストーリーの同期に似たビジネスルールを作成し、この新しいテーブルマップを使用して Azure DevOps に情報をエクスポートできるようにします。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. 利用可能なビジネスルールのリストから、[Azure DevOps とのストーリーの同期 (Synch Story with Azure DevOps)] ルールを見つけて開きます。
3. コンテキストメニュー (☰) から、このビジネスルールに対して [挿入と維持] 操作を実行します。
   ServiceNow インスタンスで [挿入と維持] アクションを有効にしていない場合は、「レコードの挿入オプションの許可」を参照してください。
4. [ビジネスルール] フォームで、次のフィールドを編集します。

[ビジネスルール] フォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスルールの一意の名前。 たとえば、新しいテーブルマップで欠陥をマップする場合は、このルールに「Azure DevOps との欠陥の同期」といった名前を付けます。
テーブル	カスタムマップを作成したテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	例：欠陥 [rm_defect]。

5. [更新] をクリックします。

カスタムテーブルの添付ファイルのインポートとエクスポートの許可

プロセスタイプのマップ構成に追加したカスタムテーブルについて、Azure DevOps と Agile Development の間で添付ファイルのインポートとエクスポートを有効にします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. ビジネスルールのリストから、[Azure への添付ファイルの同期 (Sync Attachment to Azure)] ルールを見つけて開きます。
3. フォームの [実行タイミング] セクションで、カスタムテーブルマップをフィルター条件に追加して含めます。
   たとえば、追加したカスタムテーブルが欠陥である場合は、次のようにします。
   a. [「OR」節を追加] をクリックします。
   b. 新しい節を [テーブル名] [次の値と同じ] **[rm_defect]** に設定します。
4. [更新] をクリックします。

カスタムテーブルの **Azure DevOps** 識別子参照フィールドへの入力

プロセスタイプのマップ構成に追加したカスタムテーブルの Azure DevOps プロジェクト識別子参照フィールドを有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ID、キー、Azure DevOps プロジェクト、およびプロジェクト URL の参照をカスタムテーブルフォームに表示するには、このテーブルを [外部識別子参照の入力 (Populate External Identifier Reference)] ビジネスルールに追加します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール.
2. ビジネスルールのリストから、[作業アイテムの外部 URL の設定 (Set external URL for Work Items)] ルールを見つけて開きます。
3. フォームの [実行タイミング] セクションで、カスタムテーブルマップをフィルター条件に追加して含めます。
   たとえば、追加したカスタムテーブルが欠陥である場合は、次のようにします。
   a. [「OR」節を追加] をクリックします。
   b. 新しい節を [参照テーブル] [次の値と同じ] **[rm_defect]** に設定します。
4. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
フォームレイアウトを構成するか、カスタムテーブルのリストレイアウトをカスタマイズして、次のフィールドのいずれかまたはすべてを表示します。

- 外部 ID (External ID)
- 外部キー
- 外部プロジェクト
- 外部 URL

関連情報

v2 リストのカスタマイズ
フォームレイアウトの構成

SAFe との Azure DevOps データ連携の構成

ServiceNow インスタンスで SAFe との Microsoft Azure DevOps データ連携を設定する方法について説明します。

1. SAFe にマップする Azure DevOps のプロセスを特定します。

   Azure DevOps インスタンスレコードの [プロセスマッピング] 関連リストから、SAFe 構成にマップするプロセスを特定します。

   [プロセスマッピング] 関連リストが空の場合は、Azure DevOps プロジェクトを検出してからもう一度試してください。

2. マップ構成を更新して、SAFe エンティティをインポートします。

   SAFe エンティティのテーブル、フィールド、およびワークフローステータスマッピングを作成する方法については、「Azure DevOps データ連携のためのマップ構成のカスタマイズ」を参照してください。

3. 「SAFe の Azure DevOps プロジェクトの構成」を参照してください。

SAFe の Azure DevOps プロジェクトの構成

Azure DevOps プロジェクトで SAFe 関連構成をセットアップし、Azure DevOps との SAFe PI およびスプリントデータ連携のワークフローを理解します。

SAFe エンティティのマップ構成を作成した後、Azure DevOps プロジェクトのエリア、チーム、および反復をインポートし、次のフィールドを更新します。[同期スプリント] が **[true]** に設定されている場合、これらのフィールドは必須です。

- **[ART]**：Agile リリーストレーニングを選択します。
- **[ART** 反復パス]：PI の親と同等の反復を選択します。

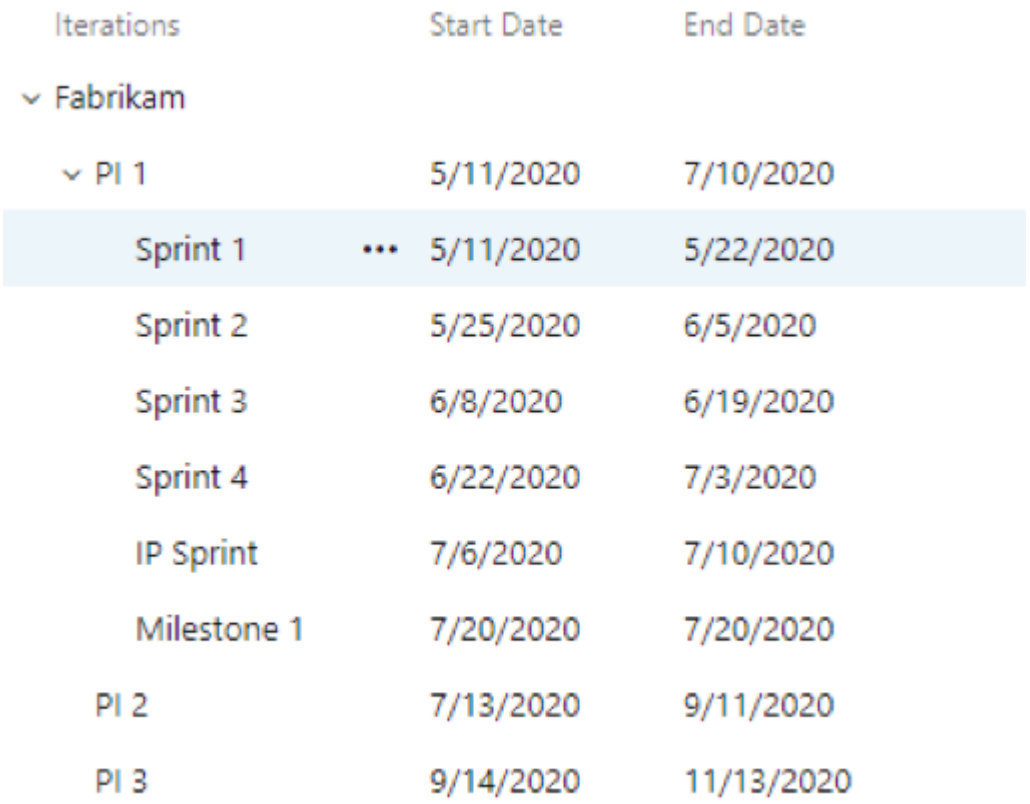
> **注:**
> ART 反復パスのルックアップ (🔍) でレコードが返されない場合は、Azure DevOps からエリア、チーム、反復をインポートして、もう一度試してください。

次のスクリーンショットに示す例では、[ART 反復パス] として **[Fabrikam]** を選択する必要があります。

アプリケーションは、PI 1 をプログラムインクリメントとして自動的に識別し、Sprint 1、Sprint 2 などを ServiceNow インスタンスの対応する SAFe スプリントとして自動的に識別します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Iterations	Start Date	End Date
Fabrikam		
PI 1	5/11/2020	7/10/2020
Sprint 1	5/11/2020	5/22/2020
Sprint 2	5/25/2020	6/5/2020
Sprint 3	6/8/2020	6/19/2020
Sprint 4	6/22/2020	7/3/2020
IP Sprint	7/6/2020	7/10/2020
Milestone 1	7/20/2020	7/20/2020
PI 2	7/13/2020	9/11/2020
PI 3	9/14/2020	11/13/2020

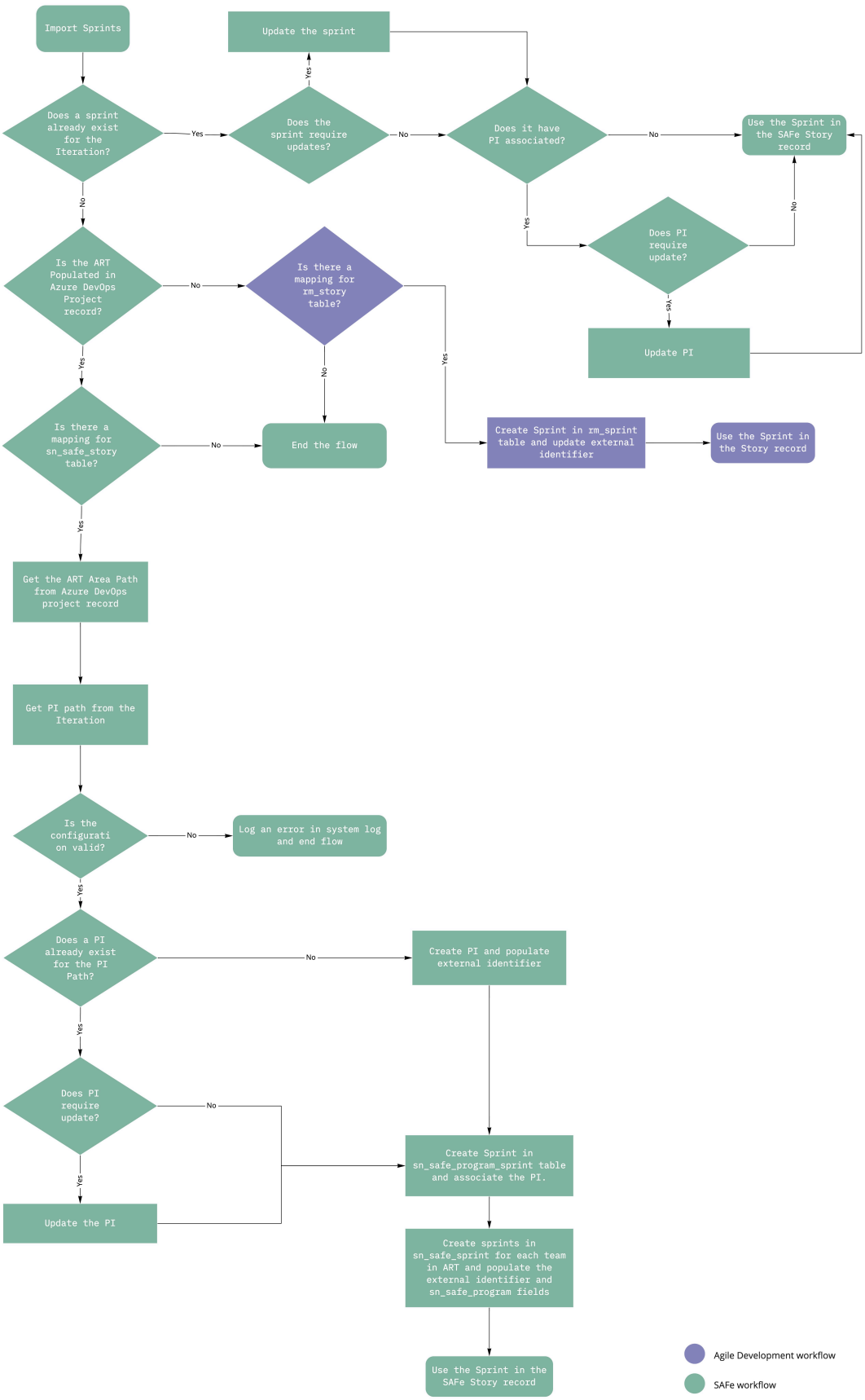
重要:

- プロジェクトのチームデータ連携設定を作成するには、SAFe チームがプロジェクトの ART に含まれている必要があります。
- ART のすべてのチームは、同じスプリントサイクルを共有する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAFe スプリントと PI のデータ連携ワークフロー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAFe との Azure DevOps データ連携に関する問題のトラブルシューティング

Azure DevOps と SAFe のデータ連携作業中に発生する可能性がある一般的な問題を解決します。

問題	アクション
[ART] および **[ART** 反復パス] フィールドが Azure DevOps プロジェクトフォームに表示されません。	SAFe ストーリーのテーブルマッピングが存在することを確認します。
スプリントが Azure DevOps から ServiceNow システムにインポートされません。	• スプリントのステータスを確認します。ステータスが未来と現在のスプリントのみがインポートされます。 • 重複するスプリントがないことを確認します。
PI が Azure DevOps から ServiceNow システムにインポートされません。	• 重複する PI がないことを確認します。 • Azure DevOps プロジェクトフォームで正しい ART 反復パスが選択されていることを確認します。
エラーメッセージ「*Ensure that the selected assignment group belongs to the ART and try again*」が Azure DevOps プロジェクトフォームに表示されます。	この Azure DevOps プロジェクトのすべてのチームデータ連携設定のアサイン先グループは、このプロジェクト用に選択された ART に属する SAFe チームである必要があります。 そうでない場合は、これらの SAFe チームを ART に追加し、これらの SAFe チームをアサイン先グループとして使用してチームデータ連携設定の作成に進みます。
スプリントが SAFe 機能にリンクされていません	SAFe ではサポートされていないため、機能を PI にリンクすることはできますが、スプリントにリンクすることはできません。Azure DevOps ポータルの機能で PI 反復パスを選択します。これにより、この機能が ServiceNow の PI にリンクされます。

関連情報

Agile Development との Azure DevOps 統合に関する問題のトラブルシューティング

Azure DevOps と Agile Development の間のデフォルトマップ構成の生成

既存のマップ構成をリセットする場合は、Azure DevOps プロセスタイプのデフォルトマッピングを生成します。

始める前に

- Azure DevOps プロジェクトの検出とインポート。
- 必要なロール：sn_ado_int.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
Azure DevOps プロセスタイプのデフォルトマップ構成を復元するには、既存のテーブルマップを削除してから、このプロセスタイプのマッピングを作成します。

エピックやストーリーなど利用可能な作業アイテムを Azure DevOps からインポートすると、このデータはプロジェクトのプロセスタイプのマップ構成での定義に従ってテーブルに保存されます。

Azure DevOps プロセスに作業アイテムのテーブルマップが存在しない場合、Azure DevOps と ServiceNow プラットフォームとの間でこの作業アイテムをインポートおよびエクスポートすることはできません。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > **Azure DevOps** インスタンス.
2. Azure DevOps インスタンスレコードを開きます。
3. [プロセスマッピング] 関連リストから、デフォルトのマップ構成を生成するプロセスマップを開きます。
4. [マッピングの作成] をクリックします。

   注:
   このプロセスのテーブルマップが既に存在する場合、[マッピングの作成] ボタンは表示されません。

   [マッピングの作成] タイプの要求が作成され、Azure DevOps インスタンスの [Azure DevOps インポート要求] 関連リストに表示されます。

タスクの結果
マッピングの作成要求のステータスが [完了] に変更されると、この Azure DevOps プロセスの [マッピング構成] フィールドに値が入力されていることがわかります。また、このプロセスの [テーブルマップ] 関連リストで、デフォルトのマップ構成を確認することもできます。

関連情報

Azure DevOps データ連携のためのマップ構成のカスタマイズ

Agile Development と **Azure DevOps** の間で作業アイテムをインポートおよびエクスポートする

Agile Development と Azure DevOps の間の作業アイテムのインポートおよびエクスポートのワークフローを理解します。

Agile Development と Azure DevOps の間で作業アイテムのインポートおよびエクスポートを有効にするには、設定を構成する必要があります。

Azure DevOps から **Agile Development** へのインポート

- Azure DevOps でエピックタイプの作業アイテムを作成すると、構成したチームデータ連携設定に従ってアサイン先グループのエピックが作成されます。
- Azure DevOps でストーリータイプの作業アイテムを作成すると、構成したチームデータ連携設定に従ってアサイン先グループのストーリーが作成されます。

  ストーリーとエピックの関係は、Azure DevOps の場合と同じです。

- フィールドマップ構成で定義されたフィールドのみがストーリーまたはエピックに保持されます。デフォルトのマップ構成の詳細については、「デフォルトのマップ構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Azure DevOps で作業アイテムに添付ファイルを追加すると、同じ添付ファイルが Agile Development の対応するストーリーまたはエピックに追加されます。
- Azure DevOps の新しい反復では、Agile Development のアサイン先グループに対応するスプリントが作成されます ([同期スプリント] がそのプロジェクトで有効になっている場合)。
- Agile Development には、リーフレベルの反復のみがスプリントとして保持されます。
- Azure DevOps で問題にコメントを追加すると、そのコメントは、マップ構成に基づき、Agile Development のストーリーまたはエピックの [作業メモ] フィールドで更新されます。

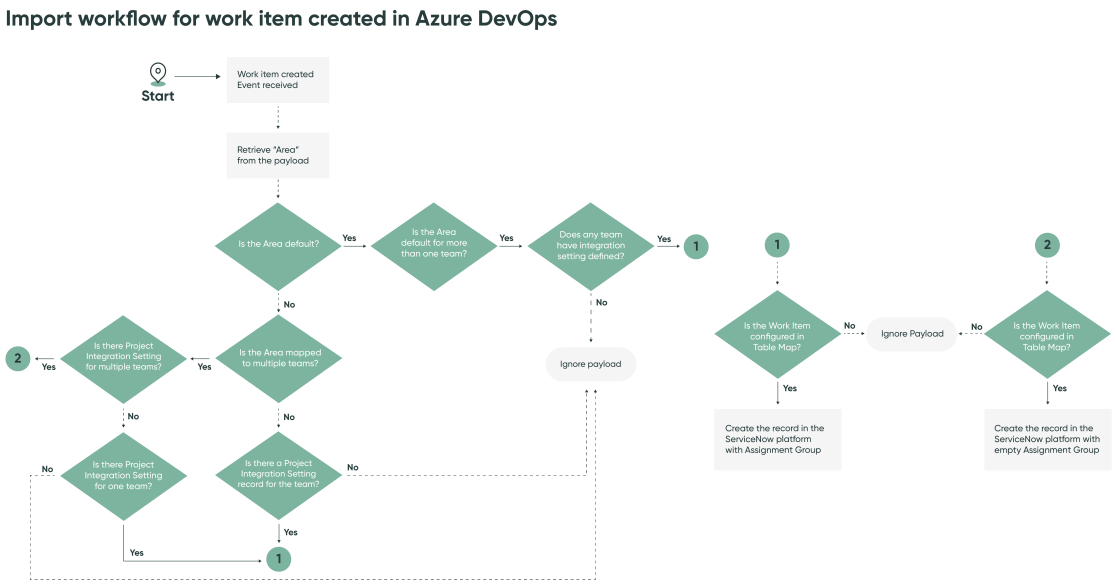
  注:
  コメントに追加された画像はサポートされていません。

- Azure DevOps で作業アイテムを削除すると、対応するレコードが Agile Development で削除されます。
- Azure DevOps で反復を削除すると、対応するスプリントが Agile Development で削除されます。

  注:
  Agile Development でレコードを削除するには、各テーブルのアプリケーションアクセスで [他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可します] フィールドを **[true]** に設定します。詳細については、「テーブルの設計時と実行時の設定」を参照してください。

- Azure DevOps のゴミ箱から作業アイテムを復元すると、チームデータ連携設定に従って、対応するレコードが Agile Development に作成されます。

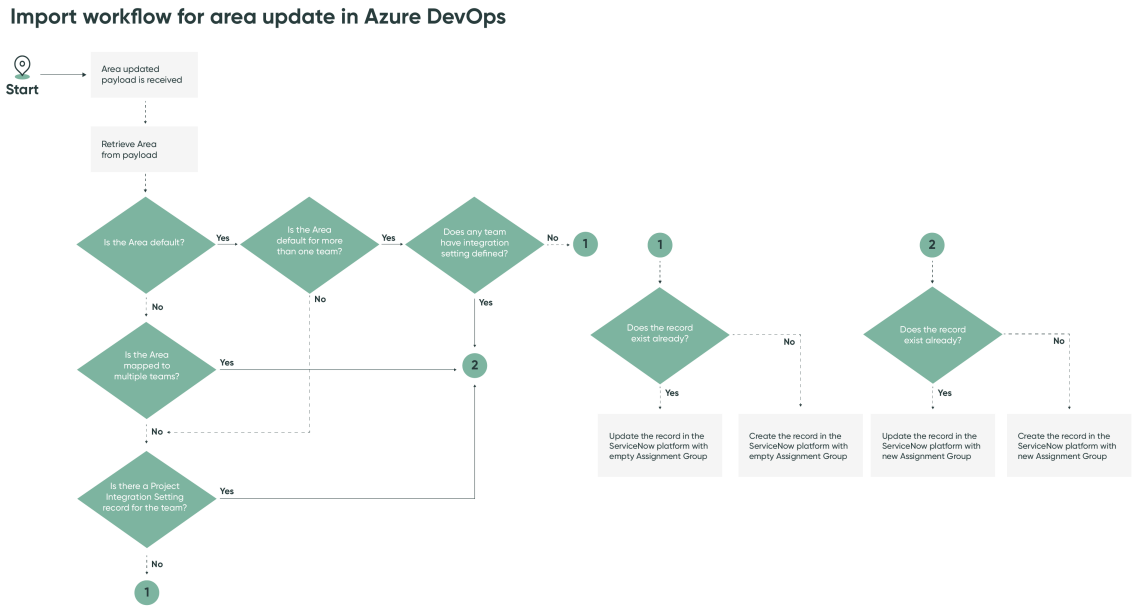
Azure DevOps で作成された作業アイテムのインポートワークフロー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Azure DevOps で更新されたエリアのインポートワークフロー



Agile Development から Azure DevOps へのエクスポート

- アサイン先グループのエピックを作成すると、構成したチームデータ連携設定に従って Azure DevOps でエリアに作業アイテムとしてエクスポートされます。
- アサイン先グループのストーリーを作成すると、構成したチームデータ連携設定に従って Azure DevOps のエリアに作業アイテムとしてエクスポートされます。

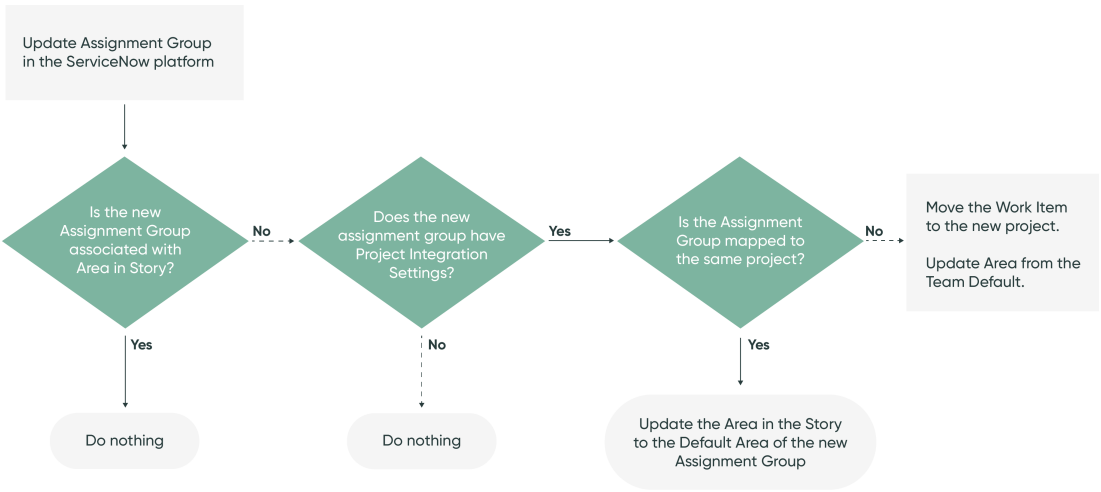
  ストーリーとエピックの関係は、Azure DevOps の場合と同じです。
- ストーリーまたはエピックに添付ファイルを追加すると、同じ添付ファイルが Azure DevOps の対応する作業アイテムに追加されます。
- Agile Development で既存のストーリーのアサイン先グループを更新すると、更新されたアサイン先グループに関連付けられている Azure DevOps エリアの作業アイテムが再作成されます。
- Agile Development でアサイン先グループのスプリントを作成すると、チームデータ連携設定に従って、Azure DevOps のバックログ反復の下にエクスポートされます。
- Agile Development でアサイン先グループのスプリントを削除すると、Azure DevOps でチームの反復からスプリント選択のリンクが解除されます。
- Agile Development で作業アイテムを更新すると、更新されたフィールドのみがペイロードの一部として Azure DevOps に送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development で更新されたアサイン先グループのエクスポートワークフロー

Export workflow for assignment group update in Agile Development



スプリントの詳細の同期

Agile Development から Azure DevOps へのスプリントの詳細の同期。[同期スプリント] フィールドがオンになっている場合、Agile Development でのスプリントの詳細の変更は、Azure DevOps の反復パスにエクスポートされます。

スプリントの詳細の同期

同期スプリント	エクスポート	インポート
Agile Development での新規作業アイテム		
無効 (Azure DevOps で反復パスを利用可能)	プロジェクトのデフォルトの反復パスを Azure DevOps に送信します。	Agile Development 内のスプリント値は変更されません。
無効 (Azure DevOps で反復パスを利用不可)	プロジェクトのデフォルトの反復パスを Azure DevOps に送信します。	Agile Development 内のスプリント値は変更されません。
有効 (Azure DevOps で反復パスを利用可能)	プロジェクトの該当の反復パスを Azure DevOps に送信します。	Agile Development 内のスプリント値は変更されません。
有効 (Azure DevOps で反復パスを利用不可)	プロジェクトのデフォルトの反復パスを Azure DevOps に送信します。	Agile Development 内のスプリント値がクリアされます。
Agile Development での既存の作業アイテム		
無効	前の反復パスを Azure に送信します。反復パスは Azure DevOps で同じになります。	Agile Development のスプリント値が選択されています。
有効	選択に基づいて新しい反復パスを送信します。反復は選択に基づいて変更されます。	Agile Development のスプリント値が選択されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Agile Development との Azure DevOps 統合に関する問題のトラブルシューティング

Azure DevOps と Agile Development の統合作業中に発生する可能性がある一般的な問題を解決します。

問題	アクション
エクスポートアクションが機能していません。	• カスタムマップ構成を確認します。 カスタムマップ構成が無効である場合、または必須フィールドがその作業アイテムにマップされていない場合、エクスポートは機能しません。 • プロジェクトの [エクスポートを有効にする] チェックボックスがオンになっていることを確認します。 • Azure DevOps パスワードの有効期限が切れているかどうかを確認します。
スプリントが Azure DevOps から ServiceNow システムにインポートされません。	重複するスプリントがないことを確認します。
ストーリーまたはエピックのアサイン先グループが設定されません。	チームが Agile Development のアサイン先グループに関連付けられていない場合、アサイン先グループが設定されない可能性があります。Azure DevOps チームのプロジェクトデータ連携設定が存在することを確認します。 作業アイテムのエリアが複数のチームにマップされている場合、Agile Development ではその作業アイテムのアサイン先グループは空です。このような場合、この作業アイテムのアサイン先グループを手動で選択できます。
Azure DevOps のフィールドの値が Agile Development に設定されません。	カスタムフィールドマップが構成されているかどうかを確認します。
Azure DevOps の [優先度] および [ステータス] フィールドの値が Agile Development に設定されません。	カスタムステータスマップが構成されているかどうかを確認します。
Azure DevOps におけるユーザーによる更新が Agile Development では更新されません。	Azure DevOps と Agile Development のデータ連携を設定するために使用されるユーザー資格情報が、レコード更新の実行に使用されていないことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題	アクション
作業アイテムが Azure DevOps では削除されますが、Agile Development では削除されません。	各テーブルのアプリケーションアクセスで [他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可します] フィールドが **[true]** に設定されていることを確認します。 詳細については、「テーブルの設計時と実行時の設定」を参照してください。
プロジェクト、チーム、またはエリアを削除しても、Agile Development でアクションが発生しません。	Azure DevOps でプロジェクト、チーム、またはエリアを削除した後、Azure DevOps 管理者は、Agile Development で対応する Azure DevOps プロジェクトとそれに関連するストーリーを手動で削除する必要があります。
新しい Azure DevOps プロジェクトが自動的にインポートされません。	Azure DevOps インスタンスレコードからプロジェクトを手動で検出してプロジェクトの更新を即座に同期するか、これらの更新を検出してインポートする日次ジョブをスケジュール設定します。 ジョブスケジュールの詳細については、「Azure DevOps からプロジェクト、チーム、エリア、および作業アイテムをインポートするジョブのスケジュール設定」を参照してください。
プロジェクトのインポートされた作業アイテム (エピックとストーリー) に、関連付けられたアサイン先グループがありません。	このプロジェクトのチームデータ連携設定があることを確認します。詳細については、「Azure DevOps プロジェクトを Agile Development でアサイン先グループに関連付ける」を参照してください。 Azure DevOps プロジェクトのインポートされた作業アイテムに関連付けられているアサイン先グループは、そのプロジェクトのチームデータ連携設定に基づきます。プロジェクトにチームデータ連携設定がない場合、インポートされた作業アイテムには空のアサイン先グループが設定されます。
Azure DevOps で反復に加えられた変更がすぐに Agile Development に反映されません。	Azure DevOps プロジェクトレコードから手動で反復をインポートするか、これらの更新を検出してインポートする日次ジョブをスケジュール設定します。 ジョブスケジュールの詳細については、「Azure DevOps からプロジェクト、チーム、エリア、および作業アイテムをインポートするジョブのスケジュール設定」を参照してください。
接続、切断、および検証と修正の UI アクションが初めて使用するときにエラーになります。	このエラーは既知の問題です。UI アクションを再試行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

問題	アクション
Azure DevOps の [説明] フィールドに & がある場合、Agile Development では & として表示されます。	デフォルトでは、[説明] フィールドは文字列です。& を正しく表現するには、Agile Development で HTML フィールドを選択してください。
Webhook が登録解除されても、エクスポートは引き続き機能します。	Webhook は、Azure DevOps から Agile Development にデータをインポートするためだけのものです。作業アイテムのエクスポートを停止するには、プロジェクトの [作業アイテムのエクスポート] チェックボックスをオフにします。

詳細なプロジェクトログの有効化

プロジェクトのログ記録の詳細をすべて表示するには、統合プロジェクトログ記録のプロパティを有効にします。詳細については、「Agile Development との Microsoft Azure DevOps データ連携における詳細なプロジェクトログ記録の有効化」を参照してください。

Agile Development との Microsoft Azure DevOps データ連携における詳細なプロジェクトログ記録の有効化

Agile Development との Microsoft Azure DevOps データ連携でデータ連携プロジェクトログ記録を有効にして、詳細なプロジェクトログを表示できるようにする方法を理解します。

始める前に

必要なロール：sn_jira_int.admin (編集アクセス権あり) または sn_jira_int.user (読み取りアクセス権あり)。

このタスクについて

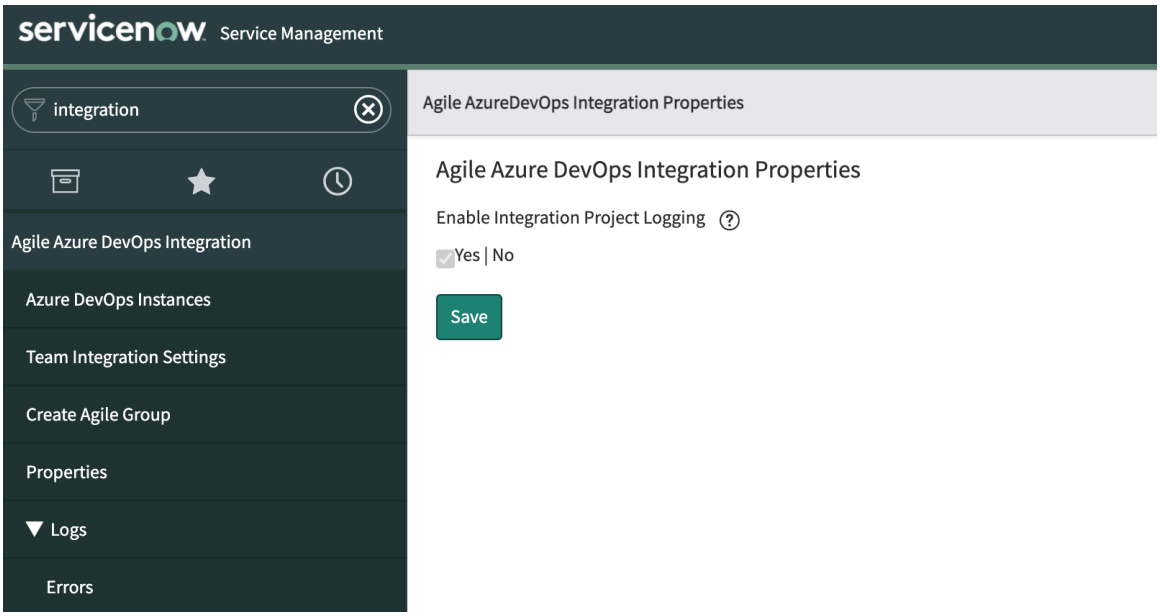
Agile Azure DevOps Integration アプリケーションでプロジェクトログ記録のプロパティを有効にします。

手順

1. 移動先 すべて > **Agile Azure DevOps Integration** > プロパティ.
2. [データ連携プロジェクトのログ記録を有効にする **(Enable Integration Project Logging)]** チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [保存] をクリックします。

スケール アジャイル フレームワーク (SAFe)®

ServiceNow Scaled Agile Framework (SAFe) アプリケーションは、無駄のないアジャイルプリンシパルを大企業に適用し、実現可能な最短のリードタイムで、より欠陥の少ないソフトウェア製品を開発して提供できるように支援します。

SAFe の概要

Strategic Planning および Portfolio Planning の機能の概要。所要時間は約 3 分です。

さらに、SAFe では以下のことができます：

- 組織のすべてのレベルで開発プロセスを管理するだけでなく、より広い範囲の視点を提供します。
- コラボレーションを促進し、事業部門、部門、およびチーム全体のアクティビティの計画と監視を簡素化します。

注:
SAFe と Scaled Agile Framework は、Scaled Agile、Inc の登録商標であり、ServiceNow は Scaled Agile, Inc. のプラットフォームパートナーです。

SAFe の構成

ServiceNow では、SAFe の 2 つの異なる構成 Essential SAFe および Portfolio SAFe をサポートするアプリケーションを提供します。以下のセクションでは、各構成の機能について説明し、組織に適した構成を選択するための指針を提供します。

Essential SAFe

Essential SAFe を使用すると、無駄のないアジャイルプリンシパルを Agile リリース トレーニングとチームに適用し、実行可能な最短のリードタイムで欠陥の少ない作業を開発、提供できます。

ポートフォリオ SAFe

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Portfolio SAFe を使用すると、組織の目標と戦略をポートフォリオに合わせて調整し、無駄のないアジャイルプリンシパルを適用して、ポートフォリオ作業をシームレスに管理および実施できます。

ドメイン分離と Scaled Agile Framework (SAFe)

ドメイン分離は、Scaled Agile Framework (SAFe) アプリケーションでサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

Essential SAFe および Portfolio SAFe のビジネスステークホルダーロール

ビジネスステークホルダーロールを使用して、Essential SAFe および Portfolio SAFe アプリケーションの任意のテーブルからデータを読み取って取得し、レポートを生成します。

ServiceNow インスタンスで Business Stakeholder プラグイン (com.snc.business_stakeholder) を有効化すると、SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe_read_role) の読み取り専用ロールも有効になります。このプラグインは、Essential SAFe アプリケーションおよび Portfolio SAFe アプリケーションのすべてのテーブルにアクセスできるビジネスステークホルダーロール (sn_agile_read) を提供します。ビジネスステークホルダーであるすべての組織内ユーザーに、このロールをアサインできます。

プラグインの使用可否

新規のお客様の場合、SAFe の読み取り専用ロールプラグイン (com.snc.sdlc.safe_read_roles) は zboot で有効化されます。ただし、ビジネスステークホルダーロール (sn_safe_read) は、Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) または Agile - Scaled Agile Framework - Portfolio SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.portfolio_safe) を有効化している場合にのみ使用できます。

アップグレードのお客様は、Essential SAFe および Portfolio SAFe プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.sdlc.safe_read_roles) を手動で有効化する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスステークホルダーロールを持つユーザーがアクセスできる SAFe テーブル

SAFe プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.sdlc.safe_read_roles) が Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) または Portfolio SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.portfolio_safe) とともに ServiceNow インスタンスでアクティブである場合、ビジネスステークホルダーロール (sn_safe_read) を持つユーザーは、次のテーブルに対する読み取りアクセス権を持ちます。

Essential SAFe テーブル

テーブル	説明
SAFe エピック [sn_safe_epic]	エピックに関する情報。
SAFe 機能 [sn_safe_feature]	機能に関する情報。
Agile リリーストレーニング [sn_safe_program]	ART に関する情報。
プログラムインクリメント [sn_safe_program_increment]	プログラムインクリメントに関する情報。PI 目標の予測可能性測定データを保存します。
SAFe ART チーム [sn_safe_program_m2m_group]	グループと ART の関係。
SAFe ART メンバー [sn_safe_program_member]	ART 内のメンバーに関する情報。
SAFe ART スプリント [sn_safe_program_sprint]	ART 内のチームのスプリントスケジュール。
SAFe ART VTB ボード [sn_safe_program_vtb_board]	ART レベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe スクラムタスク [sn_safe_scrum_task]	SAFe スクラムタスクに関する情報。
SAFe スプリント [sn_safe_sprint]	スプリントに関する情報。
SAFe ストーリー [sn_safe_story]	ストーリーに関する情報。
SAFe チーム VTB ボード [sn_safe_team_vtb_board]	チームレベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe PI の目標	SAFe PI の目標を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テーブル (続く)

テーブル	説明
[sn_safe_pi_objective]	
SAFe チームの予測可能性の測定 [sn_safe_pi_m2m_group]	チームレベルの予測可能性の測定データに使用される PI 目標から、チームごとに達成されたビジネス価値を格納します。

Portfolio SAFe テーブル

テーブル	説明
SAFe エピック [sn_safe_epic]	エピックに関する情報。
SAFe 機能 [sn_safe_feature]	機能に関する情報。
Agile リリーストレーニング [sn_safe_program]	ART に関する情報。
プログラムインクリメント [sn_safe_program_increment]	プログラムインクリメントに関する情報。
SAFe ART チーム [sn_safe_program_m2m_group]	グループと ART の関係。
SAFe ART メンバー [sn_safe_program_member]	ART 内のメンバーに関する情報。
SAFe ART スプリント [sn_safe_program_sprint]	ART 内のチームのスプリントスケジュール。
SAFe ART VTB ボード [sn_safe_program_vtb_board]	ART レベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe スクラムタスク [sn_safe_scrum_task]	SAFe スクラムタスクに関する情報。
SAFe スプリント [sn_safe_sprint]	スプリントに関する情報。
SAFe ストーリー [sn_safe_story]	ストーリーに関する情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Portfolio SAFe テーブル (続く)

テーブル	説明
SAFe PI の目標 [sn_safe_pi_objective]	SAFe PI の目標を保存します。
SAFe チームの予測可能性の測定 [sn_safe_pi_m2m_group]	チームレベルの予測可能性の測定データに使用される PI 目標から、チームごとに達成されたビジネス価値を格納します。
ポートフォリオ [pm_portfolio]	ポートフォリオに関する情報。
ポートフォリオ SAFe VTB ボード [sn_portfolio_safe_vtb_board]	ポートフォリオレベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe チーム VTB ボード [sn_safe_team_vtb_board]	チームレベルで [ボード] タブに表示されるレコード。

Essential SAFe

Essential SAFe を使用すると、無駄のないアジャイルプリンシパルを Agile リリーストレーニングとチームに適用し、実行可能な最短のリードタイムで欠陥の少ない作業を開発、提供できます。

Essential SAFe は SAFe の最も基本的な構成で、製品マネージャーとチームメンバーの両方に対して 2 つのレベルで機能します。Agile リリーストレーニング（ART）レベルでは、製品マネージャーは一元化されたバックログで機能をキャプチャして優先順位を付け、ビジュアルタスクボードで機能の進捗状況を監視できます。

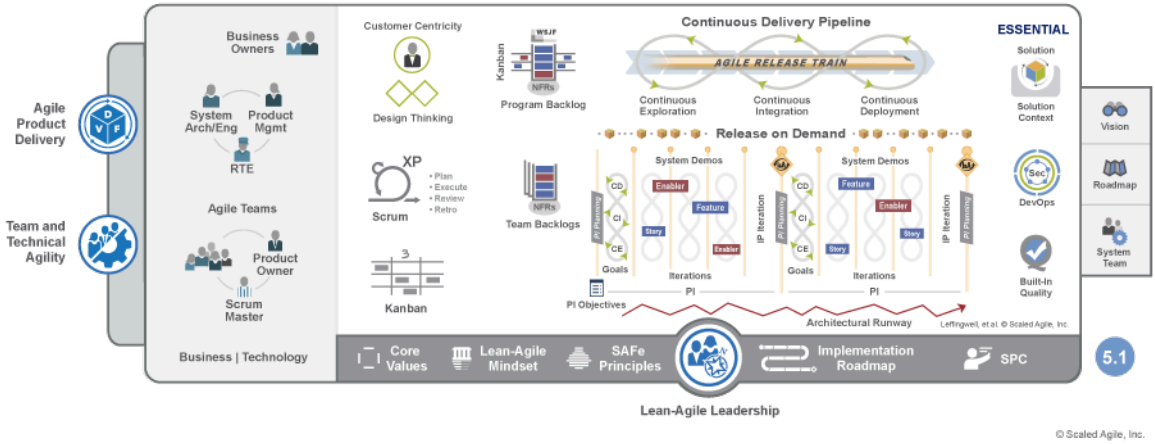
チームレベルでは、チームメンバーは機能を分解したストーリーを実装できます。レベルの詳細については、以下の「SAFe ボード」セクションを参照してください。

Essential SAFe の機能の使用を開始するには、Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) をインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe を使用してより良いソフトウェアをより効率的に提供する方法



Essential SAFe の概要については、この 5 分間のビデオをご覧ください。 このビデオでは、Essential SAFe 機能の使用方法について説明します

SAFe ボード

次の表に、SAFe ボード上の Essential SAFe のキーレベルにアクセスする方法の概要を示します。

レベル	説明
Agile リリーストレーニング (ART)	製品マネージャーは、 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード. さらに、次のことができます。 • ART バックログを一元管理します。 • プログラムインクリメントを定義し、そのプログラムインクリメント内で完了する必要がある機能を特定します。 • ビッグルームの計画を実行します。 • ART のすべての機能を追跡し、ビジュアルタスクボードで、あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。
チーム	チームメンバーは、 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード. さらに、次のことができます。 • チームバックログを一元管理します。 • スプリント計画立案と完了アクティビティを簡素化します。 • すべてのストーリーを追跡し、ビジュアルタスクボードで、あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。

Essential SAFe を有効化する

admin ロールを持つ場合は、Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) を有効化します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

Essential SAFe とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) の有効化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール	説明	ロールを含む
SAFe 管理者 [safe_admin]	• SAFe ART、エピック、機能、ストーリー、およびプログラムインクリメントを編集、作成、および削除します。 • SAFe チームに対する読み取り専用アクセス権があります。	• safe_art_user • safe_scrum_master • safe_product_owner
SAFe スクラム製品オーナー [safe_product_owner]	• チームのバックログを管理し、SAFe ストーリーを編集、作成、および削除できます。 • PI 目標を作成するためのアクセス権があります。 • SAFe ART、チーム、エピック、および機能に対する読み取り専用アクセス権があります。 • SAFe プログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。	safe_story_creator
SAFe ART ユーザー [safe_art_user]	• ART のバックログを管理し、SAFe エピック、機能、ストーリー、およびプログラムインクリメントを編集、作成、および削除できます。 • PI 目標を作成するためのアクセス権があります。	safe_story_creator

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
	• SAFe チームを編集します。 • SAFe ART に対する作成および編集アクセス権があります。	
SAFe スクラムマスター [safe_scrum_master]	• SAFe ストーリーを編集および削除します。 • PI 目標を作成するためのアクセス権があります。 • SAFe チームを編集します。 • SAFe ART、エピック、機能、およびプログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。 • Scaled Agile Framework — 統合バックログプラグイン (com.snc.sdlc.safe.multi_task) が有効化されている場合にのみトリアージボードにアクセスできます。	safe_story_creator
SAFe スクラムユーザー [safe_scrum_user]	SAFe のすべての要素を表示できますが、どのタイプのレコードも作成、編集、または管理できません。	なし
SAFe スクラムストーリー作成者 [safe_story_creator]	• SAFe ストーリーを編集、作成、および削除します。 • SAFe ART、チーム、エピック、機能、およびプログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。	safe_story_editor
SAFe スクラムストーリー編集者 [safe_story_editor]	• ドラッグアンドドロップ機能を使用して、チームのバックログ内にストーリーを配置します。 • SAFe ストーリーを編集します。 • SAFe ART、チーム、エピック、機能、およびプログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。	• safe_scrum_user • rm_scrum_task_admin

インストールされるテーブル

テーブル	説明
SAFe エピック [sn_safe_epic]	エピックに関する情報。
SAFe 機能	機能に関する情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_safe_feature]	
Agile リリーストレーニング [sn_safe_program]	ART に関する情報。
プログラムインクリメント [sn_safe_program_increment]	プログラムインクリメントに関する情報。PI 目標の予測可能性測定データを保存します。
SAFe ART チーム [sn_safe_program_m2m_group]	グループと ART の関係。
SAFe ART メンバー [sn_safe_program_member]	ART 内のメンバーに関する情報。
SAFe ART スプリント [sn_safe_program_sprint]	ART 内のチームのスプリントスケジュール。
SAFe ART VTB ボード [sn_safe_program_vtb_board]	ART レベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe スクラムタスク [sn_safe_scrum_task]	SAFe スクラムタスクに関する情報。
SAFe スプリント [sn_safe_sprint]	スプリントに関する情報。
SAFe ストーリー [sn_safe_story]	ストーリーに関する情報。
SAFe チーム VTB ボード [sn_safe_team_vtb_board]	チームレベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe PI の目標 [sn_safe_pi_objective]	SAFe PI の目標を保存します。
SAFe チームの予測可能性の測定 [sn_safe_pi_m2m_group]	チームレベルの予測可能性の測定データに使用される PI 目標から、チームごとに達成されたビジネス価値を格納します。

Essential SAFeのクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、Essential SAFe が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe クイックスタートテストには、Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) と Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe - ATF テストプラグイン (com.snc.sdlc.safe.atf) を有効にする必要があります。

Essential SAFe テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
Essential SAFe：機能テスト	機能のグローバルランクの更新を確認します。	Madrid
	SAFe 機能について以下を確認します。 • 実際の開始日は、ステータスが [実装]、[ステージング時の検証]、または [展開] に変更された後に入力されます。 • 実際の終了日は、ステータスが [リリース済み] または [キャンセル] に変更された後に入力されます。 • アクティブフラグが次の適切な値に設定されています。 ○ ステータスが [リリース済み] または [キャンセル] に変更された場合は **false**、 ○ その他すべての状態の場合は **true** です。	Orlando
	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの **[SAFe** 機能の作成] 関連リンクを使用して、デマンドを SAFe 機能に変換できることを確認してください。 SAFe 機能をデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec
Essential SAFe：プログラム増分テスト	プログラムの増分の日付が重複していることを確認してください。	Madrid
Essential SAFe：スプリントテスト	ART スプリントとチームスプリントの生成、およびスプリントポイントと日付の更新を確認します。	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	アサイン先グループの [グループキャパシティ] フィールドが更新されると、このアサイン先グループに関連付けられているさまざまなスプリントの [グループキャパシティ] フィールドに以下の変更があることを確認してください。 • [ドラフト] または [計画] ステータスのスプリントの場合： ○ グループキャパシティが新しい値に更新されます。 ○ [グループキャパシティ] フィールドは編集可能です。 • [現在]、[完了]、または [キャンセル] のステータスのスプリントの場合： ○ グループキャパシティは古い値のままです。 ○ [グループキャパシティ] フィールドは読み込み専用です。 [ドラフト] または [計画] ステータスのスプリントについては、後でいつでもスプリントのグループキャパシティを個別に編集できます。これにより、このスプリントに関連付けられているアサイン先グループのグループキャパシティが変更されることはありません。	Paris
Essential SAFe：ストーリーテスト	ストーリーのグローバルランクの更新を確認します。	Madrid
	SAFe ストーリーのアクティブフラグが次のように適切な値に設定されることを確認します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• ステータスが [完了] または [キャンセル] に変更された場合、**False**。 • その他すべてのステータスの場合は true です。	
	SAFe ストーリーの追加、評価、削除、削除、更新、またはキャンセルによって、SAFe 機能レベルとエピックレベルのロールアップが正しく更新されることを確認します。	
	SAFe ストーリーへの機能の追加、更新、または削除によって、[SAFe ストーリー] フォームの [エピック] フィールドが更新されることを確認します。	
	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの **[SAFe** ストーリーの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを SAFe ストーリーに変換できることを確認してください。 SAFe ストーリーをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec
Essential SAFe：チームテスト	ART とチームの関連付けを確認します。	Madrid
Essential SAFe：エピックテスト	SAFe エピックについて以下を確認します。 • 実際の開始日は、ステータスが [実装] に変更された後に入力されます。 • 実際の終了日は、ステータスが [完了] に変更された後に入力されます。 • アクティブフラグが次の適切な値に設定されています。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	○ ステータスが [リリース済み] または [キャンセル] に変更された場合は、**false**。 ○ その他すべての状態の場合は **true** です。	
	PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) が有効である場合は、デマンドフォームの **[SAFe** エピックの作成] 関連リンクを使用して、デマンドを SAFe エピックに変換できることを確認してください。 SAFe エピックをデマンドから作成する方法の詳細については、「デマンドからアーティファクトを作成する」を参照してください。	Quebec
Essential SAFe：プログラム PI 目標テスト	PI 目標の作成と更新の機能を確認します。 • プログラムインクリメントレベルの目標を作成できることを確認します。 • 作成された PI 目標を計画されたビジネス価値 (PBV) と実際のビジネス価値 (ABV) で更新できることを確認します。 • PI のプログラムの PBV と比較して、達成されたビジネス価値のパーセンテージが、コミットされた PI 目標のみを対象とした ABV 完了率として計算されていることを確認します。	Rome
Essential SAFe：チーム PI 目標テスト	チーム PI 目標を作成および更新する機能を確認します。 • チームレベル PI 目標を作成できることを確認します。 • 作成された PI 目標を計画されたビジネス価値 (PBV) と実際のビジネス価値 (ABV)	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	で更新できることを確認します。 • PI のチームの PBV と比較して、達成されたビジネス価値のパーセンテージが、コミットされた PI 目標のみを対象とした ABV 完了率として計算されていることを確認します。	

関連情報

クイックスタートテスト

SAFe エンティティ

ソフトウェア製品の計画、追跡、および提供を成功させるために使用されるさまざまな SAFe エンティティについて説明します。

Epic

SAFe のエピックは最大の作業単位であり、複数のプログラムインクリメントを通じて継続的に適用できます。エピックはビジネスの仮定をキャプチャし、WSJF スコア (加重最短ジョブ優先：最適なビジネス価値を生み出すためのジョブの優先順位付けと順序付けに使用) により、優先順位付けと評価を行います。

エピックは、SAFe ART による実装と提供のために、さらに機能に分解されます。

機能

SAFe 機能は、Agile Development のエピックに相当します。プログラムインクリメントサイクル内で完了するには、十分に小さくする必要があります。グローバルランクに基づいて、ART バックログで優先順位付けと並べ替えが行われます。機能は、SAFe チームによる実装と提供のために、さらにユーザーストーリーに分解されます。

ストーリー

SAFe ストーリーは、ユーザー中心の言語で記述された製品要件またはビジネスケースを要約する簡単な説明です。ストーリーは、1 回のスプリントで完了できるように十分に小さくする必要があります。ストーリーを完了するために必要な工数概算は、ストーリーポイントで測定されます。より多くの工数を必要とするストーリーにより多くのポイントが割り当てられます。ストーリーポイントは、SAFe チームメンバーの概算に基づいて、ストーリーを完了するために必要な工数 (必ずしも時間ではありません) の任意の測定値です。

Agile リリーストレーニング

Agile リリーストレーニング (ART) は、単一のソリューションに対して作業する一連のチームで構成されています。

プログラムインクリメント

プログラムインクリメントは、合意された目標を達成するために、ART 内のチームが協力して生産する期間として設定されます。SAFe のプログラムインクリメントは、Agile Development のスプリントに似ており、通常は 8 ～ 12 週間かかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムインクリメントの最も一般的な形式は、4 つの開発スプリントとそれに続く 1 つのイノベーションおよび計画立案スプリントで構成されます。

SAFe チーム

SAFe チームは、自律的で機能横断的なチームであり、共通の目標を達成するために協力して作業するさまざまなスキルセットを持つメンバーで構成されます。

safe_scrum_master または safe_art_user ロールを持つユーザーは、SAFe チームを作成できます。これらのチームは、ストーリー、エピック、機能などの SAFe 作業アイテムに割り当てることができます。

SAFe チームが作成されると、そのチームにメンバーを追加できます。

- 新規顧客：システム管理者はチームにメンバーを追加できます。
- 既存の顧客：safe_scrum_master または safe_art_user ロールを持つユーザーは、SAFe チームにメンバーを追加できます。

注:

safe.disallow_scrum_add_group_member プロパティを作成して **[true]** に設定することで、この機能をシステム管理者だけに制限できます。

プロパティの作成方法については、「システムのプロパティの追加」を参照してください。

スプリント

SAFe のプログラムインクリメントは、関与するチームのスプリント内にさらにセグメント化され、週単位で測定されます。

SAFe でエピックを定義

SAFe でエピックを作成します。エピックは、お客様の要求やビジネス要件などの共通の目標が割り当てられた最大の作業単位です。エピックは、SAFe Agile リリーストレーニング (ART) による実装と提供のために、さらに機能に分解されます。

始める前に

必要なロール：safe_art_user または safe_admin

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用してエピックを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。

[SAFe エピック] フォーム

フィールド	説明
番号	エピックのシステム生成番号。
実現要因	エピックを実現要因として識別するチェックボックス。実現要因は直接的なビジネス価値を付加するものではなく、将来の作業基盤を構築するのに役立ちます。たとえば、実現要因エピックには、機能の構築に使用されるアーキテクチャの調査などが考えられます。
ステータス	エピックのステータス：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ じょうごグラフ:作成元 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > エピック. ○ レビュー：WSJF スコアや WIP 制限などのパラメーターを考慮したレビューを実施中です。 ○ 分析：WSJF スコアの絞り込み、コストの見積もり、代替、WIP 制限などのパラメーターに基づいて承認または却下されます。 ○ バックログ：承認され、ART に割り当てられています。このステータスでは、ART レベルのユーザーがエピックを機能に区分化しています。 ○ 実装：エピックが実装中です。 ○ 完了：実装が完了しました。
色	エピックに属性として割り当てた色。エピックの色により、SAFe ボードの ART のバックログページで機能をエピック別に視覚的に識別し、グループ化できます。
WSJF スコア	加重最短ジョブ優先 (WSJF) スコアは、ジョブの優先順位付けと並べ替えを行い、最適なビジネス価値を生み出すために使用されます。WSJF スコアが最も高いジョブは、実装の優先度が最も高くなります。ジョブは、エピック、機能、または任意のビジネス機能を示す可能性があります。
簡単な説明	エピックの簡単な説明。
説明	エピックの詳細な説明。
加重最短ジョブ優先スコア	
ユーザー/ビジネス価値	収益への影響や、同様の機能を提供する市場内の他のソリューションなどのパラメーターに基づく、ジョブのビジネス価値。
時間の重要度	期限を過ぎた場合のビジネスへの影響。たとえば、期限が変更された場合に、予測収益が時間経過とともにどのように減少するかなどです。
リスクの削減	次のような質問に答えることで、このエピックがどの程度のリスク回避に役立つかを分析します。 ○ ジョブは他の方法でビジネスに付加価値をもたらしますか？ ○ ジョブは新しいビジネス機会をもたらしますか？ ○ このジョブは将来の納品のリスクを軽減しますか？
ジョブの大きさ	ジョブの推定完了期間。
合計ストーリー数	エピックのアクティブなストーリーの数。 このフィールドは、デフォルトでは表示されません。フォームレイアウトでフィールドを設定します。
完了数	エピック内の完了したストーリーの数。 このフィールドは、デフォルトでは表示されません。フォームレイアウトでフィールドを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数による完了率 (%)	エピック内で完了した作業のパーセンテージ。値はストーリー数で計算されます。 このフィールドは、デフォルトでは表示されません。フォームレイアウトでフィールドを設定します。
推定合計	エピック内のすべてのアクティブストーリーの推定合計値。 このフィールドは、デフォルトでは表示されません。フォームレイアウトでフィールドを設定します。
完了推定	エピック内のすべての完了したストーリーの推定合計値。 このフィールドは、デフォルトでは表示されません。フォームレイアウトでフィールドを設定します。
推定による完了率 (%)	エピック内で完了した作業のパーセンテージ。値は、エピック内のストーリーのポイント (推定) によって計算されます。 このフィールドは、デフォルトでは表示されません。フォームレイアウトでフィールドを設定します。
推定の欠如	推定ポイントのないストーリーの数。 このフィールドは、デフォルトでは表示されません。フォームレイアウトでフィールドを設定します。
トッププログラム	プログラムが SAFe 作業にマッピングされ、トップダウンのハイブリッド計画が有効になります。このエピックのアクティブな子 SAFe 機能はすべて、選択したプログラムに自動的に関連付けられます。 このフィールドは、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) を有効化している場合に、エピックフォームの SAFe ビューに表示されます。

3. エピックの福利厚生計画を作成する場合は、[計画] セクションに入力します。
このセクションは、[福利厚生] ビューが選択されている場合に利用できます。

エピックフォームの計画セクション

フィールド	説明
開始予定日	エピックの予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。
終了予定日	エピックの予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。
計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
実開始日	エピックの実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日時	エピックの実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできますが、開始実績日時より前にすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
実績利益	実績利益値は、利益ブレークダウンの実績利益からロールアップされます。

4. [送信] をクリックします。

エピックの金銭的利益計画を作成する

エピックの利益計画は、エピックの実行時にエピックによって発生する潜在的な利益をキャプチャします。金銭的利益計画を作成して、1 つ以上の会計期間にわたるカテゴリの推定利益を指定します。

始める前に
必要なロール：safe_product_owner、safe_scrum_master、または safe_admin

このタスクについて
利益計画を保存すると、金銭的利益計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. ハンバーガーアイコン (≡) をクリックし、次に移動します。 ビュー > 利益.
4. フォームの [計画] セクションのフィールドに入力します。
   このセクションは、[福利厚生] ビューが選択されている場合に利用できます。

   エピックフォームの計画セクション

フィールド	説明
開始予定日	エピックの予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。
終了予定日	エピックの予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。
計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
実開始日	エピックの実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日時	エピックの実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできますが、開始実績日時より前にすることはできません。
実績利益	実績利益値は、利益ブレークダウンの実績利益からロールアップされます。

5. レコードを保存します。
6. [金銭的な利益計画] 関連リストで、[新規] をクリックします。
7. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するエピック。
スポンサー	エピックのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： ○ ハード：収益の観点から測定できる利益。 ○ ソフト：価値の観点から測定される利益。
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
利益タイプ	利益のタイプ。[金銭的な利益] を選択します。
オフセットタイプ (Offset type)	利益がいつ実現し始めるかを示すフィールド。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ なし：デフォルト値は [なし] です。[なし] を選択した場合は、利益計画の会計期間の開始および終了を手動で入力する必要があります。 ○ マイルストーン：マイルストーンの完了後。 ○ 開始日：エピックの開始時。 ○ 終了日：エピックの終了後。 選択したオフセットタイプの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、オフセットタイプが [終了日] に設定されていて、エピックの終了日が変更された場合、利益計画の開始日はエピックの新しい終了日に合わせてシフトされます。
マイルストーン	利益計画が属するエピックマイルストーン。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合に表示されます。
マイルストーンの開始日	選択したマイルストーンの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合に表示されます。
作業開始日	エピックの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [開始日] を選択した場合に表示されます。
作業終了日	エピックの終了日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [終了日] を選択した場合に表示されます。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] として選択され、オフセットが「-2」である場合、利益計画はエピック終了日の 2 期間前になります。エピックの終了日がシフトされると、利益計画の開始日が新しいエピック期日の 2 期間前にシフトされます。
期間	利益計画の長さ (期間)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
会計期間の開始	会計期間の開始。選択した [マイルストーン]、[作業開始日]、または [作業終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。選択した [マイルストーン]、[作業開始日]、または [作業終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて設定されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭的利益計画に関連付けられている金銭以外の利益。
財務	
入力通貨での利益	入力通貨で表される、指定のエピックから発生する利益。
入力通貨 (Entered currency)	利益計画の作成に使用する通貨。
機能通貨	**glide.system.locale** プロパティ から取得される通貨。
合計計画利益	エピックの潜在的利益の推定額。
機能通貨での利益	機能通貨で表される、エピックから発生する利益。[入力通貨] が機能通貨と異なる場合、このフィールドの値が変わります。
実績利益	エピックから発生する実績利益。この値は、すべての利益計画ブレークダウンの [実績利益] フィールドからロールアップされます。
繰り返し	利益計画のすべての会計期間で利益が繰り返し発生することを示すオプション。

8. [送信] をクリックします。

次のタスク
[利益計画] フォームの [金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。

エピックの金銭的利益計画ブレークダウンの更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭的利益計画ブレークダウンレコードを更新します。

始める前に
必要なロール：safe_product_owner、safe_scrum_master、または safe_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. ハンバーガーアイコン ( ) をクリックし、次に移動します。 ビュー > 利益.
4. [金銭的な利益計画] 関連リストをクリックします。
5. 必要な金銭的利益計画を開きます。
6. [金銭的利益計画明細 (Monetary Benefit Plan Breakdowns)] 関連リストで、金銭的利益計画明細の情報アイコン ( ) をクリックします。
7. [レコードを開く] をクリックします。
8. 金銭的利益計画ブレークダウン (Monetary Benefit Plan Breakdown) フォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
9. [更新] をクリックします。

エピックの金銭以外の利益計画の作成

エピックの利益計画は、エピックの実行時にエピックによって発生する潜在的な非予定利益をキャプチャします。金銭以外の利益計画を作成して、1 つ以上の会計期間にわたるカテゴリの推定利益を指定します。

始める前に
必要なロール：safe_product_owner、safe_scrum_master、または safe_admin

このタスクについて
[ブレークダウンタイプ] フィールドで [自動] または [手動] を選択して利益計画を保存すると、金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードが自動的に作成されます。金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードは、特定の会計期間 (FY16 の 4 月および FY16 の 5 月など) の財務以外の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定します。[金銭以外の利益計画ブレークダウン] 関連リストには、エピックの各会計期間における推定非予定利益と実績非予定利益の集計利益が表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. ハンバーガーアイコン ( ) をクリックし、次に移動します。 ビュー > 利益.
4. フォームの [計画] セクションの必須フィールドに入力します。
   このセクションは、[福利厚生] ビューが選択されている場合に利用できます。

エピックフォームの計画セクション

フィールド	説明
開始予定日	エピックの予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。
終了予定日	エピックの予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
実開始日	エピックの実際の開始日。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。
終了実績日時	エピックの実際の終了日。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできますが、開始実績日時より前にすることはできません。
実績利益	実績利益値は、利益ブレークダウンの実績利益からロールアップされます。

5. レコードを保存します。
6. [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
7. 金銭以外の利益計画を作成するには、[新規] をクリックします。
8. フォームのフィールドに入力します。

[利益計画] フォーム

フィールド	説明
名前	利益計画の内容を表す名前。
作業	利益計画が属するエピック。
スポンサー	エピックのスポンサー。
カテゴリ	利益のタイプ： ○ ハード：収益の観点から測定できる利益。 ○ ソフト：価値の観点から測定される利益。
サブカテゴリ	ハードおよびソフトの利益のサブカテゴリ。 [カテゴリ] フィールドの値により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
福利厚生タイプ	利益のタイプ。[金銭以外の利益] を選択します。
オフセットタイプ (Offset type)	利益がいつ実現し始めるかを示すフィールド。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ なし：デフォルト値は [なし] です。[なし] を選択した場合は、利益計画の会計期間の開始および終了を手動で入力する必要があります。 ○ マイルストーン：マイルストーンの完了後。 ○ 開始日：エピックの開始時。 ○ 終了日：エピックの終了後。 [オフセットタイプ **(Offset type)**] フィールドの値が変更されると、それに応じて利益計画の開始日がシフトします。たとえば、[オフセットタイプ] フィールドが [終了日]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	に設定されていて、エピックの終了日が変更された場合、利益計画の開始日はエピックの新しい終了日に合わせてシフトされます。
マイルストーン	利益計画が属するエピックマイルストーン。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合にのみ表示されます。
マイルストーンの開始日	選択したマイルストーンの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [マイルストーン] を選択した場合にのみ表示されます。
作業開始日	エピックの開始日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [開始日] を選択した場合にのみ表示されます。
作業終了日	エピックの終了日。このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [終了日] を選択した場合にのみ表示されます。
オフセット (OffSet)	利益計画の開始時点のオフセットタイプの前または後の期間の数。たとえば、オフセットタイプが [終了日] として選択され、オフセットが「-2」である場合、利益計画はエピック終了日の 2 期間前になります。エピックの終了日が変更されると、利益計画の開始日が新しいエピック期日の 2 期間前にシフトされます。
期間	利益計画の長さ (期間)。
会計期間の開始	会計期間の開始。このフィールドは、選択した [マイルストーン]、[作業開始日]、または [作業終了日] に対する [オフセット] フィールド値、および [期間] の値に基づいて入力されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の開始を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
会計期間の終了	会計期間の終了。このフィールドは、選択した [マイルストーン]、[プロジェクト/デマンドの開始日]、または [プロジェクト/デマンドの終了日] に対する [オフセット] フィールドの値、および [期間] の値に基づいて入力されます。 このフィールドは、[オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [なし] を選択した場合に編集可能になります。 会計期間の終了を変更すると、関連付けられた利益ブレークダウンの値も変更されます。
関連利益	この金銭以外の利益計画に関連付けられている金銭的利益。
金銭以外の詳細	
測定	金銭以外の利益計画の測定のタイプ。測定タイプは、カウント、パーセンテージ、時間、日、スコアです。 定量化できない利益を追跡するには、[はい/いいえ] オプションを選択します。このオプションを選択した場合、利用できるフィールドは [利益の達成] のみです。チェックボックスをオンにして、利益が達成されたことを示すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
金銭以外の入力通貨での利益	潜在的利益の推定値。 利益計画の計画利益に変更があると、将来の会計期間についてのみ、関連する利益ブレークダウン値が更新されます。
金銭以外の計画利益	利益ブレークダウンからロールアップされた利益値。
利益の達成	利益が達成されたかどうかを示すオプション。
ブレークダウンタイプ	利益計画を保存するときのブレークダウン作成のタイプ。 ○ なし：明細は作成されません。 ○ 自動：金銭以外の利益計画明細レコードがデータとともに自動的に作成されます。明細は線形的に計算されます。 ○ 手動：金銭以外の利益計画明細レコードが自動的に作成されますが、[入力通貨での利益] 列にはデータがありません。
集計モード	ブレークダウンから利益計画へのロールアップをどのように行うかを決定し、[金銭以外の計画利益] および [金銭以外の実績利益] フィールドの値を更新します。 ○ 合計：すべてのブレークダウンのデータを集計します。 ○ 平均：すべてのブレークダウンの平均値。 ○ 最新：最新のブレークダウン値。 ○ 最大：ブレークダウンの最大値。 ○ 最小：ブレークダウンの最小値。
金銭以外の実績利益	金銭以外の利益計画明細の実績利益からロールアップされる実績利益値。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 利益計画フォームの [金銭以外の利益計画ブレークダウン] 関連リストで、会計期間別の利益ブレークダウンを表示します。
- 金銭的利益計画と金銭以外の利益計画の関連付け、ハイブリッド利益計画のエピックによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

エピックの非金銭的利益計画ブレークダウンの更新

特定の会計期間の推定利益と実績利益を詳細なレベルで指定する、金銭以外の利益計画ブレークダウンレコードを更新します。

始める前に

必要なロール：safe_product_owner、safe_scrum_master、または safe_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. ハンバーガーアイコン ( ) をクリックし、次に移動します。 ビュー > 利益.
4. [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
5. 必要な金銭以外の利益計画を開きます。
6. [金銭以外の利益計画明細] 関連リストで、金銭以外の利益計画明細の情報アイコン ( ) をクリックします。
7. [レコードを開く] をクリックします。
8. 金銭以外の利益計画ブレークダウンフォームで、有効なフィールドを表示して更新します。
9. [更新] をクリックします。

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画の関連付け

金銭的利益計画と金銭以外の利益計画を関連付けて、ハイブリッド利益計画のエピックによって発生する潜在的な利益 (財務および財務以外) をキャプチャできます。

始める前に
必要なロール：safe_product_owner、safe_scrum_master、または safe_admin

このタスクについて
金銭的利益計画を金銭以外の利益計画に関連付けることも、その逆も可能です。

> **注:**
> 利益計画を削除すると、関連する利益計画とのいかなる関係も削除されます。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを開きます。
3. 選択 ビュー > 利益 [他のアクション] メニュー ( )。
4. [金銭的な利益計画] または [金銭以外の利益計画] 関連リストをクリックします。
5. 関連付ける利益計画の情報アイコン ( ) をクリックします。
6. [レコードを開く] をクリックします。
7. 金銭的利益計画または金銭以外の利益計画を関連付けます。
8. [保存] をクリックします。

タスクの結果
選択した利益計画は別の計画に関連付けられます。

次のタスク
[関連する利益計画を表示] 関連リンクをクリックして、関連付けられている利益計画を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エピックの人件費の生成

エピックのリソース割り当てに基づいて人件費を表示します。

始める前に

- エピックにはリソースアサインが含まれている必要があります。
- 必要なロール:sn_spm_financial_user

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > エピック.
2. 必要なエピックを選択します。
3. [人件費の生成] 関連リンクを選択します。
   ページを更新して、生成された人件費を [コスト計画] 関連リストに表示します。

SAFe での機能の定義

SAFe で機能を作成し、より小さなユーザーストーリーに分割して、SAFe チームが実装および提供できるようにします。

始める前に

必要なロール：safe_art_user または safe_admin

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して機能を作成します。
   アクティブな SAFe ストーリーを SAFe 機能に変換することもできます。詳細については、「SAFe ストーリーの関連リンクとリスト 」を参照してください。
2. フォームのフィールドに入力します。

SAFe 機能フォーム

フィールド	説明
番号	機能のシステム生成番号。
実現要因	機能を実現要因として識別するオプション。実現要因はビジネス価値をもたらすものではありませんが、将来の作業の基盤を構築するために役立ちます。たとえば、実現要因を使用して、ストーリーの構築に使用されるアーキテクチャを調査できます。
色	機能に属性として割り当てた色。機能の色により、SAFe ボードのチームのバックログページでストーリーを機能別に視覚的に識別し、グループ化できます。 この色は、SAFe PI 計画ボードの SAFe ストーリーカードにも塗りつぶされた円として表示され、その機能を識別できます。
WSJF スコア	加重最短ジョブ優先 (WSJF) スコアは、ジョブの優先順位付けと並べ替えを行い、最適なビジネス価値を生み出すために使用します。 WSJF スコアが最も高いジョブは、実装の優先度が最も高くなります。ジョブは、エピック、機能、または任意のビジネス機能である可能性があります。
ステータス	機能のステータス。次のいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ じょうご：このステータスでは、承認されたアイデアから機能を作成できます。 ○ 分析：このステータスでは、製品管理チームが機能をレビューし、受け入れ条件、仮説利益、技術的な実現可能性、およびスコープの推定を検討します。 ○ バックログ：このステータスでは、承認された機能に優先順位を付けて、それを ART に割り当てることができます。 ○ 実装：このステータスでは、機能をストーリーに分割し、後でチームにアサインすることができます。 ○ ステージング時の検証：このステータスでは、機能をシステムに統合し、製品管理チームに提示して承認とフィードバックを得ることができます。 ○ 展開：このステータスでは、機能の展開テストは完了しています。 ○ リリース済み：このステータスでは、機能をエンドユーザーにリリースし、仮説利益を評価する準備が整っています。 ○ キャンセル：このステータスでは、機能はキャンセルされています。
SAFe エピック	機能が属するエピック。
Agile リリーストレーニング	機能が属する Agile リリーストレーニング。
プログラムインクリメント	機能の完了がスケジュールされているプログラムインクリメント。
SAFe チーム	機能の提供を主に担当するチーム。
簡単な説明	機能の簡単な説明。
説明	機能の詳細な説明。
加重最短ジョブ優先スコア	
ユーザー/ビジネス価値	この機能によるジョブのビジネス価値の推定。収益への影響または同様の機能を提供する市場内の他のソリューションについて検討します。
時間の重要度	期限を過ぎた場合のビジネスへの推定される影響。たとえば、期限が変更された場合に、予測収益がどのように減少するかについて検討します。
リスクの削減	この機能がどの程度リスクを回避できるかを分析します。次のような質問に答えます。 ○ ジョブは他の方法でビジネスに付加価値をもたらしますか？ ○ ジョブは新しいビジネス機会をもたらしますか？ ○ このジョブは将来の納品のリスクを軽減しますか？

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ジョブの大きさ	ジョブの推定完了期間。
メモ	
作業メモ	ライフサイクルのさまざまな段階における機能の進捗状況を示す作業メモ。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
SAFe ストーリー関連リストを使用して、ストーリーを表示し、機能に追加します。

関連情報

SAFe でのストーリーの定義

SAFe 機能の分割

完全なストーリーと不完全なストーリーを追跡できるように、SAFe 機能を 2 つの別々の機能に分割します。不完全なストーリーを持つ機能をバックログまたは将来のプログラムインクリメント (PI) に移動して、以前のスプリントと PI の正確な測定基準を維持することができます。

始める前に
必要なロール：safe_art_user または safe_admin

このタスクについて
SAFe 機能の PI の最後に不完全なストーリーがある場合は、この機能を 2 つの機能に分割できます。

新しい機能には元の機能への参照が含まれ、フィールド値は元の機能からコピーされます。

元の機能の完了したストーリーは、ステータスが「リリース済み」に設定された新しい機能に移動します。

> **注:**
> SAFe 機能を分割するには、少なくとも 1 つの完全なストーリーと不完全なストーリーが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルに **[ART]** を選択し、Agile リリーストレーニングを選択します。
3. [バックログ] タブをクリックします。
4. [リストビュー] を選択します。



5. 現在の PI セクションから、不完全なストーリーがある SAFe 機能を見つけ、その番号をクリックしてフォームを開きます。
   [完了] をクリックすると、不完全な機能のリストを取得できます。
6. 機能フォームで、[完了したストーリーを新しい機能に移動] 関連リンクをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 更新された機能フォームには、不完全なストーリーのみが表示されます。
- 新しい機能には、元の機能の完了したストーリーが含まれています。
- 新しい機能の [元の機能] フィールドは、分割した元の機能を示します。

  注:
  機能のフォームレイアウトを設定してこのフィールドを表示します。

- 新しい機能の簡単な説明に「- 完了済み」が付加され、完了したことが示されます。

次のタスク
不完全なストーリーがある機能をバックログまたは選択した新しい PI にスケジュールします。

SAFe でのストーリーの定義

SAFe で高レベルの要件定義をストーリーの形式で作成します。

始める前に
必要なロール：
safe_sprint_planner、safe_art_user、safe_scrum_master、safe_story_editor、safe_team_member、または safe_admin

手順

1. 次のいずれかのオプションでストーリーを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。

SAFe ストーリーフォーム

フィールド	説明
番号	ストーリーのシステム生成番号。
機能	ストーリーが属する機能。
SAFe エピック	ストーリーが属するエピック。
SAFe スプリント	ストーリーの完了がスケジュールされているスプリント。
ポイント	ストーリーを完了するために必要な工数概算を示すポイント数。このポイント値が大きいほど、多くの工数が必要であることを示します。
ステータス	ストーリーのステータス。次のいずれかを選択します。 ○ ドラフト：このステータスでは、説明や受け入れ条件などのストーリー要件は、依然としてドラフト段階です。 ○ 準備完了：このステータスでは、開発チームがピックアップする準備が完了している旨のマークが設定されます。 ○ 対応中：このステータスでは、開発チームはストーリーに取り組んでおり、変更内容を [作業メモ] フィールドに記録します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ テストの準備完了：このステータスでは、ストーリーにはテスターが取り上げる準備ができている旨のマークが設定されます。 ○ テスト中：このステータスでは、テスターがストーリーで指定された要件に基づいてストーリーのテスト作業を実施しています。 ○ 完了：このステータスでは、ストーリーの開発とテストが完了しています。 ○ キャンセル：このステータスでは、ストーリーはキャンセルされています。 新しいストーリーのデフォルトステータスは [ドラフト] です。
SAFe チーム	ストーリーがアサインされているチーム。
担当者	ストーリーがアサインされているユーザー。
実現要因	ストーリーを実現要因として識別するチェックボックス。実現要因は直接的なビジネス価値を付加するものではなく、将来の作業基盤を構築するのに役立ちます。
簡単な説明	ストーリーの簡単な説明。
説明	ストーリーの詳細な説明。
受け入れ条件	このストーリーを [完了] ステータスに移行するために必要な機能の条件またはテスト結果。
メモ	
作業メモ	ライフサイクルのさまざまな段階におけるストーリーの進捗状況を示す作業メモ。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク

- ストーリーの関連リンクとリストを使用して、このストーリーのタスクを作成するか、現在のストーリーの依存関係を他のストーリーに追加します。要件に応じて、このストーリーを SAFe 機能に変換したり、ストーリーを 2 つに分割したりすることもできます。詳細については、「SAFe ストーリーの関連リンクとリスト」を参照してください。
- ストーリーの追加アクション (☰) の [挿入] または [挿入と維持] オプションを使用して、このストーリーと同じ詳細を含むストーリーを作成できます。

  [挿入と維持] を使用すると、新しく作成されたストーリーのフォームが開いたままになるため、詳細を変更することや、こうした詳細を含むストーリーをさらに作成すること、またはその両方を行うことができます。

  SAFe ボードでは、新しいストーリーは元のストーリーのすぐ下に配置され、それに応じて新しいストーリーのグローバルランクが設定されます。

  注:
  - こうしたアクションにアクセスするには、glide.ui.advance プロパティおよび glide.ui.advance プロパティを **true** に設定します。
  - これらのアクションは、トリアージボードから追加されたストーリーでは許可されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAFe ストーリーの関連リンクとリスト

ストーリーで実行する必要があるアクションに基づいて、SAFe ストーリーフォームの関連リンクと関連リストを使用します。

SAFe ストーリーフォームの関連リンクとリストは次のとおりです。

SAFe ストーリーの関連リンクとリスト

名前	説明
関連リンク	
分割ストーリー	同じ詳細で新しいストーリーを作成して、ストーリーを 2 つのストーリーに分割します。古いストーリーの未完了のタスクは、この新しいストーリーに移動されます。
機能への変換	アクティブなストーリーを機能に変換し、ストーリーを「キャンセル済み」ステータスに移行します。 次の変更が発生しました: • 新しく作成した機能のデフォルトのステータスは「じょうご」です。 • キャンセルされたストーリーは、新しく作成された機能に関連付けられます。 作成したストーリーが大きすぎる場合は、機能に変換してから、複数のストーリーに分割することができます。
ストーリーをコピー	既存のアクティブなストーリーの詳細を新しいストーリーにコピーします。ストーリーのテストとタスクもコピーされます。 新しく作成されたストーリーは、「ドラフト」ステータスに移行します。 このアクションは、トリアージボードから追加されたストーリーには使用できません。
関連リスト	
SAFe スクラムタスク	ストーリー用に作成されたスクラムタスクの一覧を示します。[新規] をクリックしてスクラムタスクを作成します。
前提条件ストーリー	現在のストーリーを完了する前に完了する必要があるストーリーの一覧を示します。[編集] をクリックして必須条件ストーリーを追加します。
依存ストーリー	現在のストーリーに依存するストーリーの一覧を示します。[編集] をクリックして依存ストーリーを追加します。
テスト	ストーリーに使用されるテストのリストを表示します。既存のテストをストーリーに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAFe ストーリーへの依存関係の追加

SAFe ストーリーに対して、前提条件と依存ストーリーを追加して依存関係を設定します。SAFe 計画ボードを使用すると、ビッグルームの計画時にこうした依存関係をストーリー間で区別し、必要に応じてストーリーを再計画できます。

始める前に
必要なロール：safe_story_creator

このタスクについて
前提条件ストーリーは、現在のストーリーを完了する前に完了する必要があるストーリーです。依存ストーリーは、現在のストーリーの完了に依存するストーリーです。

手順

1. 次のいずれかのオプションでストーリーに移動します。

2. [前提条件ストーリー] 関連リストまたは [依存ストーリー] 関連リストで、依存関係に従ってストーリーを追加します。
3. [保存] をクリックします。
4. [更新] をクリックします。

   SAFe 計画ボードを表示している場合は、依存関係アイコン ( ) をクリックして、ストーリー間の依存関係線を表示または非表示にします。

Agile リリーストレーニングの定義

SAFe から、単一のソリューションに対して作業するアジャイルチームのグループである Agile リリーストレーニング (ART) を定義します。

始める前に
必要なロール：safe_admin

手順

1. 次のいずれかのオプションで Agile リリーストレーニングを作成します。

2. Agile リリーストレーニングに適した名前を入力し、[送信] をクリックします。

次のタスク
次の関連リンクを使用してください。

関連リスト	説明
メンバー	Agile リリーストレーニングに対して、メンバーを追加するか、または削除します。メンバーは ART に含まれていますが、特定のアジャイルチームに属していません。たとえば、ビジネスオーナー、製品マネージャー、リリーストレーニングエンジニア、システムアーキテクトなどです。
チーム	Agile リリーストレーニングに属するチーム。
SAFe 機能	Agile リリーストレーニングの機能を表示するか、または追加します。
プログラムイ	プログラムインクリメントを表示または追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連リスト	説明
ンクリメント	
PI 目標	この ART のすべての PI 目標のリスト。PI 目標を表示、作成、および更新します。 この関連リストは、ART フォームの SAFe ビューに表示されます。

関連情報

SAFe での機能の定義

SAFe でプログラムインクリメントを定義する

SAFe でプログラムインクリメントを定義する

SAFe を使用して、プログラムインクリメント (PI) を定義します。プログラムの増分は、通常 8 ～ 12 週間の長さであり、その間に ART は、機能するテスト済みのソフトウェアとシステムの形態で増分値を提供します。

始める前に
必要なロール：safe_admin

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、プログラムインクリメントフォームに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

SAFe プログラムインクリメントフォーム

フィールド	説明
番号	ストーリーのシステム生成番号。
Agile リリーストレーニング	PI が属する ART。
スプリント長	PI 内の各スプリントの期間。
PI キャパシティ	予測 PI キャパシティ。通常、PI の各スプリントに対する各チームのグループキャパシティの集計です。 予測 PI キャパシティと比較して、計画されている機能の負荷を判断するのに役立ちます
名前	PI の名前。
ステータス	PI の現在のステータス。 デフォルトのステータスは [ドラフト] です。
開始予定日	PI の開始日。
終了予定日	PI の終了日。
スプリント数	プログラムインクリメントに含まれるスプリントの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
計画されたビジネス価値の合計	この PI のすべての目標に対して設定された計画済みビジネス価値スコア。 フィールド値は読み取り専用であり、この PI のコミット済み PI 目標のすべての計画済みビジネス価値スコアの合計として計算されます。
合計実績ビジネス価値	この PI のすべての目標に対して実現した計画済みビジネス価値スコア。 フィールド値は読み取り専用であり、この PI のコミット済みおよび非コミット済みの両 PI 目標のすべての実績ビジネス価値スコアの合計として計算されます。
達成されたビジネス価値	計画済みおよび実績のビジネス価値スコアの合計を使用して計算された、達成済みビジネス価値の割合。

PI のチームのスプリントは、 [スプリント長]、 [開始予定日]、および [スプリント数] で指定された値により決定します。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
次の関連リンクにアクセスします。

関連リスト	説明
SAFe 機能	プログラムインクリメントで完了するようにスケジュールされている機能のリスト。
SAFe ストーリー	プログラムインクリメントで完了するようにスケジュールされているストーリーを表示、追加、変更または削除します。
SAFe スプリント	プログラムインクリメントのスプリントを表示、追加、変更、または削除します。
SAFe チーム	ART の PI に参加したすべてのチームのリスト。各チームの計画および実績のビジネス価値の合計スコアと達成率を視覚的に表示します。 この関連リストは、PI フォームの SAFe ビューに表示されます。
PI 目標	この PI のすべての目標のリスト。PI 目標を表示、作成、および更新します。 この関連リストは、PI フォームの SAFe ビューに表示されます。

関連情報
- SAFe での機能の定義
- SAFe でのストーリーの定義

SAFe チームを定義する
SAFe から、アジャイルチームを作成し、それを ART に関連付けます。

始める前に
必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** チーム.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

グループフォーム

フィールド	説明
名前	グループに適した名前。
マネージャー	チームの指定されたサーバントリーダー。
グループキャパシティ (ポイント)	ストーリーポイントで測定されたスプリントあたりのチームの合計キャパシティ。
グループ メール	グループのメール配布リスト。
説明	グループに適した説明。

4. **[Submit** (送信)] をクリックします。
5. 移動先 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > アジャイルリリーストレイン.
6. SAFe チームを関連付ける ART を選択します。
7. [編集]をクリックして、チームを ART に関連付けます。
8. [保存] をクリックします。

次のタスク
次の関連リンクを使用してください。

関連リスト	説明
グループメンバー	グループに対してメンバーを追加または削除します。
ストーリー	グループにアサインされたストーリーを追加または編集します。
スプリント	グループのスプリントを表示または追加します。
PI 目標	このチームのすべての PI 目標のリスト。PI 目標を表示、作成、および更新します。 この関連リストは、グループフォームの SAFe ビューに表示されます。

SAFe PI 目標

SAFe プログラムインクリメント (PI) 目標を使用して、PI でチームまたは Agile リリーストレーニング (ART) の全体的な目標をハイライト表示します。

SAFe PI 目標は、チームまたは ART のビジネス面および技術面の目標を要約するために作成します。PI 計画中、チームはまず、次の PI で達成する予定の PI 目標を作成します。プログラムマネージャーは、PI 目標を高レベルの PI 目標の個別セットにまとめることができます。

PI 目標は、機能に直接関連付けることができます。ただし、場合によっては、複数の機能が単一の目標に寄与することがあります。この状況では、複数のチーム間でコラボレーションが必要になる場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

チームには理想的には 7 ～ 10 個の PI 目標が必要ですが、チームが持つことができる目標数に制限はありません。

PI 目標は、チームレベルまたはプログラムレベルで、コミットすることも、コミットしないこともできます。コミットされている目標は、チームが確実に達成できる目標です。対照的に、コミットされていない目標は、さまざまな依存関係やその他の要因のために、チームの達成できる確実性が低い目標です。コミットされていない目標の作業は計画されますが、PI のスコープ内で異なる場合があります。

PI の計画が進行して完了すると、ビジネスオーナーはすべての PI 目標に計画ビジネス価値 (PBV) スコアを割り当てます。スコアは 1 ～ 10 のスケールで、1 は最低の優先度、10 は最高の優先度を表します。チームが PI を完了すると、ビジネスオーナーは実際のビジネス価値 (ABV) スコアを達成済みの PI 目標に割り当てます。PI の最後に、PBV および ABV のスコアを使用して、各チームとさらに ART 全体の達成度の値が計算されます。

SAFe ART メンバーは、PI 目標のビジネス価値スコアの計画値および実績値を使用して、チームの過去のパフォーマンスを追跡できます。このパフォーマンスデータを使用することで、ART メンバーは PI の SAFe 予測可能性の測定値をグラフ化できます。これらのレポートは、チームと ART が PI ごとに提供するビジネス価値に対する可視性を提供します。

SAFe PI 目標を定義する

今後の PI についてチームまたは Agile リリーストレーニング (ART) の目標を要約できるように、SAFe プログラムインクリメント (PI) の目標を作成します。

始める前に
必要なロール：safe_art_user、safe_scrum_master、または safe_product_owner

このタスクについて
PI 目標の形態でビジネス目標と技術目標を作成します。PI 期間中、PI 目標を ART またはチームに関連付けます。

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **PI** オブジェクティブ.
   SAFe チームフォーム、ART フォーム、または PI フォームの PI 目標関連リストを使用することもできます。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

SAFe 目標フォーム

フィールド	説明
番号	目標のシステム生成番号。
プログラムインクリメント	この目標が計画されている PI。
コミット	この目標がコミットされているかどうかを示すオプション。
タイプ	目標のタイプ。[プログラム] または [チーム] から選択します。
Agile リリーストレーニング	この目標が計画されている ART。
計画されたビジネス価値	この目標に対して計画されたビジネス価値。フィールドは、1 ～ 10 の範囲の整数スコアとして設定します。スコア 1 は最低の優先度、スコア 10 は最高の優先度を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
実際のビジネス価値	この目標から実現される実際のビジネス価値。フィールドは、1 ～ 10 の範囲の整数スコアとして設定します。スコア 1 は最低の優先度、スコア 10 は最高の優先度を表します。
簡単な説明	目標の簡単な説明。
説明	目標の詳細なサマリー。説明が技術的すぎたり、曖昧になりすぎたりしないようにしてください。
メモ	
作業メモ	PI 期間中の目標の進捗状況を示す作業メモ。

4. [送信] をクリックします。

SAFe ボード：ART レベル

製品マネージャーは、SAFe ボードで ART レベルにアクセスして、Agile リリーストレーニング (ART) 内のチーム全体のアクティビティを計画および監視できます。

ART レベルには、次のタブがあります。

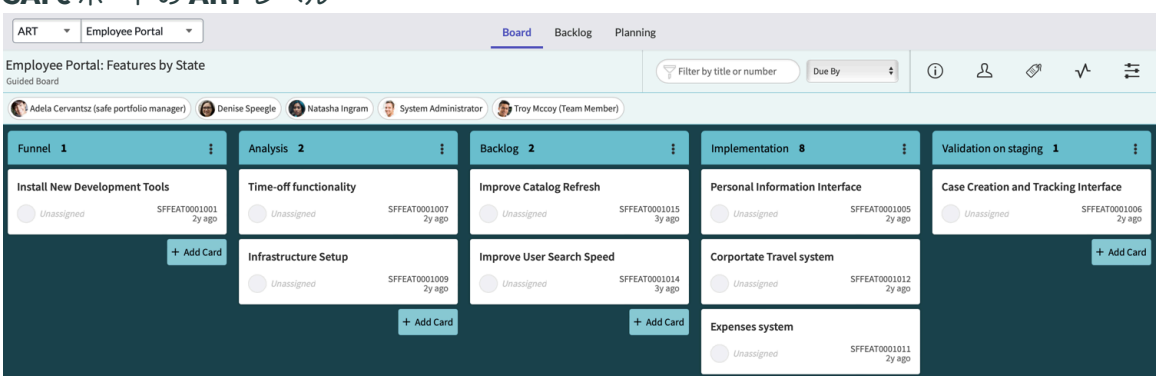
- ボード
- バックログ
- 計画

ボード

[ボード] タブを使用すると、単一のビューで Agile リリーストレーニングのすべての機能を追跡できます。ボードはビジュアルタスクボード上に構築され、クラシック環境のナビゲーションをインタラクティブなグラフィカルエクスペリエンスに変換します。ビジュアルタスクボードインターフェイスは、管理と協業作業用のグラフィカルな環境を提供します。このボードで実行できるアクションの詳細については、「Visual Task Boards」を参照してください。

レーン間で機能を移動すると、機能のステータスが更新されます。たとえば、機能を分析レーンからバックログレーンに移動すると、機能のステータスが「バックログ」に更新されます。

SAFe ボードの ART レベル



バックログ

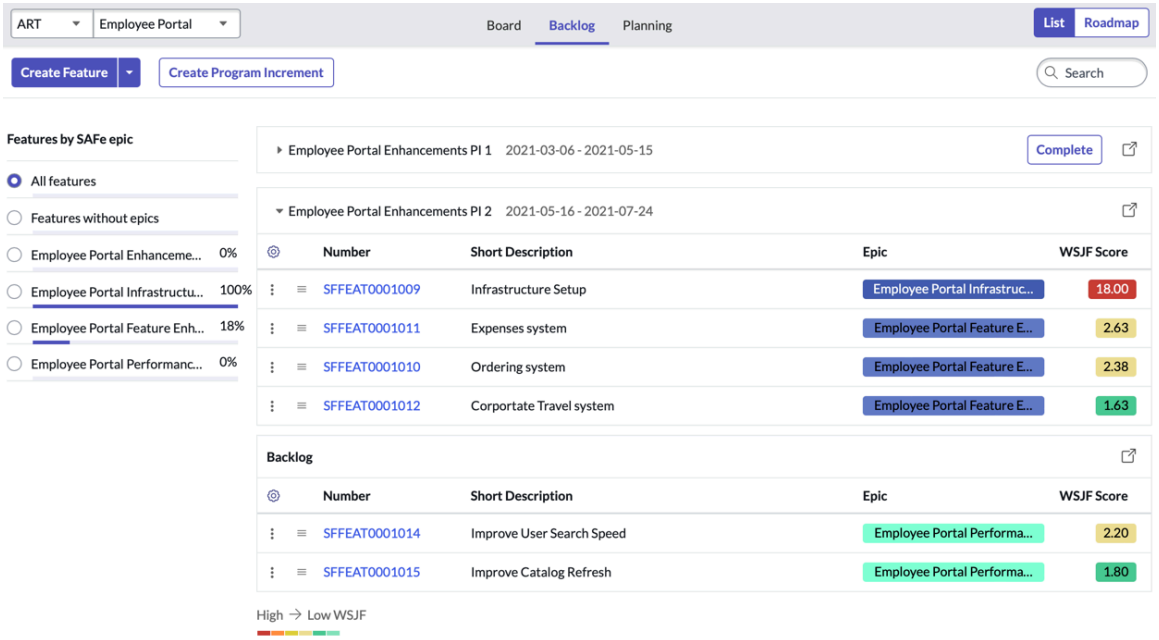
[バックログ] タブでは、ART バックログを管理し、機能レベルで次のプログラムインクリメントを事前に計画することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プログラムインクリメントは、さまざまなアジャイルチームが協力して、プログラムインクリメントサイクルの終了に向けて相当量の作業を提供する期間です。SAFe のプログラムインクリメントは、Agile Development のスプリントに相当し、通常は 8 ～ 12 週間かかります。プログラムインクリメントの最も一般的な形式は、4 つの開発スプリントとそれに続く 1 つのイノベーションおよび計画立案スプリントで構成されます。

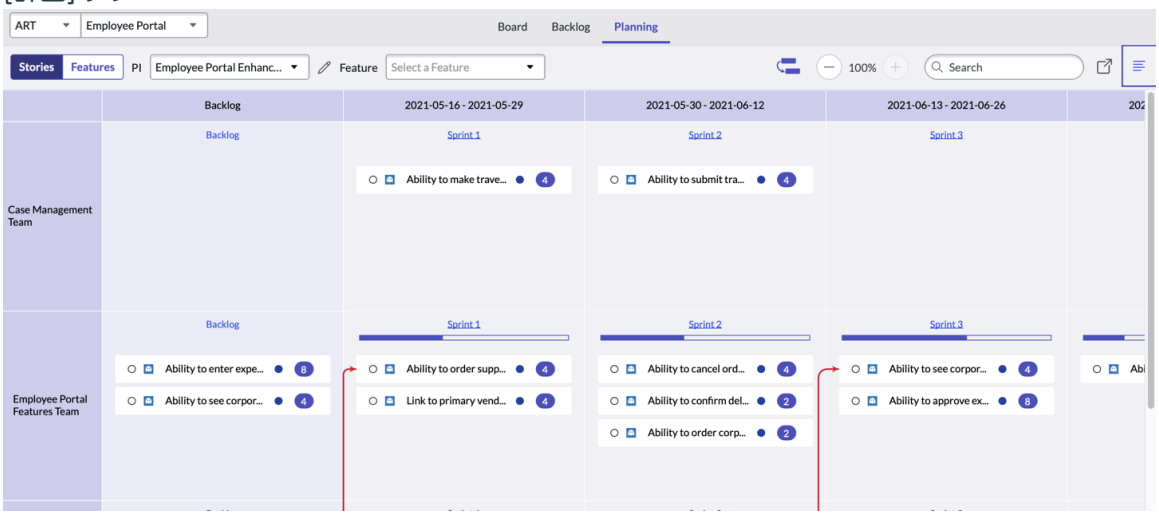
プログラムインクリメント



計画

[計画] タブでは、今後のプログラムインクリメントの詳細な計画を立てることができます。これにより、ART メンバーは、プログラムインクリメントの機能について話し合い、ストーリーに分解して、プログラムインクリメントを完了するために必要なスプリントを事前に計画することができます。[計画] タブには、ストーリー間の依存関係と機能間の依存関係が表示され、計画プロセスに役立ちます。

[計画] タブ



ボードの機能を追跡する

ART の機能の進捗状況を追跡します。あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：safe_admin または safe_art_user

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅の選択リストから、レベルとして **[ART]** を選択します。
3. [ボードビュー] を選択します。
4. 機能カードをドラッグアンドドロップして、機能を必要なステータスに移動します。
5. オプション: 特定のステータスに機能を追加します。

   a. [カードを追加] をクリックします。

   b. フォームのフィールドに入力して、送信します。
   機能フォームフィールドの詳細については、「SAFe での機能の定義」を参照してください。

SAFe ボードからの ART バックログの管理

Agile リリーストレーニング (ART) バックログの機能に優先順位を付けて管理します。ART バックログには、プログラムインクリメントに割り当てられていないアクティブな機能のみがリストに表示されます。

始める前に
必要なロール：safe_art_user または safe_admin

このタスクについて
SAFe ボードでは、新しい機能の追加や既存の機能の管理など、バックログを管理するためのさまざまなアクションを実行できます。

> **注:**
> ステップ 1 ～ 3 では、ART バックログを管理します。ステップ 4 ～ 11 では、SAFe ボードで実行できるさまざまなアクションに関するガイダンスを提供します。ステップ 4 ～ 11 で、実行するアクションを選択します。

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. SAFe ボードの左上隅のリストから、レベルとして **[ART]** を選択し、ART を選択します。
3. [バックログ] タブをクリックします。
4. バックログに機能を追加します。

   a. [機能を作成] をクリックします。

   b. 機能フォームで必要な詳細を指定します。

   c. [送信] をクリックします。
   機能が、最後のページのバックログの一番下にリストされます。

   バックログの特定の位置に機能を追加する場合は、該当する位置のすぐ上にある機能を選択し、[機能の作成] をクリックします。新しい機能が、選択した機能の下に表示されます。
5. バックログから機能を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 更新する機能の番号をクリックします。

b. 機能の詳細を編集し、[更新] をクリックします。

6. [バックログ] セクションおよび [プログラムインクリメント (PI)] セクションでエピックのリストをフィルタリングするには、 [SAFe エピック別機能] セクションのリストにあるエピックを使用します。
[SAFe エピック別機能] セクションには、ART に割り当てられているエピックのみのリストが表示されます。このセクションには、機能を含まないエピックは表示されません。

7. [SAFe エピック別機能] セクションにエピックを追加します。

a. [機能を作成] オプションの横にあるオプションアイコン ( ) を選択します。

b. [エピックを作成] を選択します。

c. SAFe エピックフォームのフィールドに入力して、フォームを送信します。
詳細については、SAFe でエピックを定義を参照してください。

8. 次のいずれかのオプションを使用して、バックログページ内に機能を配置します。
   - マウスデバイスを使用して機能を選択して保持し、必要な位置にドラッグアンドドロップします。
   - キーボードを使用します。詳細については、「キーボードを使用して SAFe バックログページに機能を配置する」を参照してください。

9. リスト内の列をカスタマイズするには、歯車アイコン ( ) を選択します。

10. 単一の機能または一連の機能に対してさまざまなアクションを実行します。

a. 必要な機能を選択します。

b. オプションアイコン ( ) をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

11. 標準リストのレコードを表示するには、標準リストアイコン ( ) を選択します。

キーボードを使用して SAFe バックログページに機能を配置する

キーボードを使用して、 SAFe ボードの [バックログ] タブに SAFe 機能を移動および配置します。

始める前に
必要なロール：safe_art_user または safe_admin

このタスクについて
キーボードを使用して、バックログリストまたはプログラムインクリメント (PI) リスト内で機能の順序を変更できます。

手順

1. Tab キーを押して、機能をハイライト表示します。
2. もう一度 Tab キーを押します。
   機能のコンテキストメニューアイコン ( ) がハイライト表示されます。
3. Enter キーを押して機能を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 上下の矢印キーを使用して、機能を目的の位置に移動します。
5. Enter キーを押して機能の位置を固定します。

キーボードを使用して SAFe ボードに複数の機能を配置する

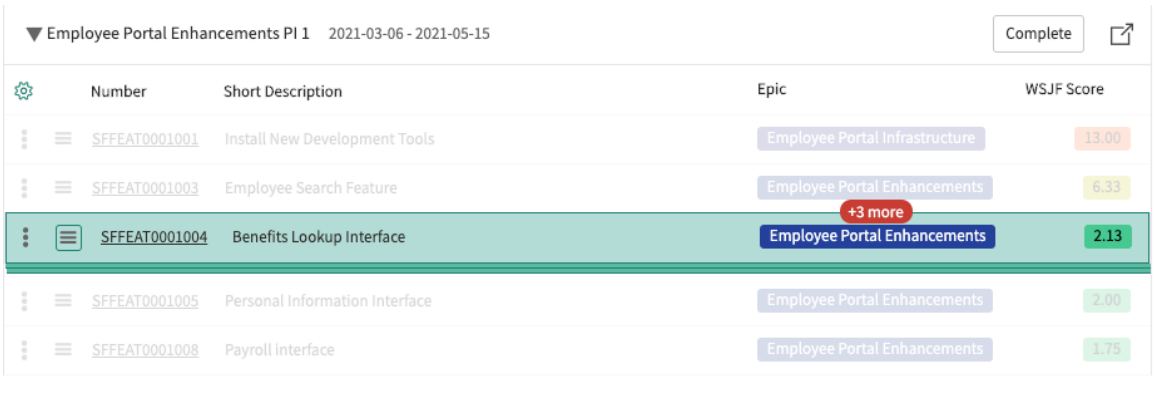
キーボードを使用して、SAFe ボードの [バックログ] タブに複数の SAFe 機能を移動および配置します。

始める前に
必要なロール：safe_art_user または safe_admin

このタスクについて
キーボードを使用して、バックログリストまたはプログラムインクリメント (PI) リスト内で複数の機能の順序を変更できます。

手順
1. Tab キーを押して、機能をハイライト表示します。
2. Enter キーを押して機能を選択します。
3. 上向き矢印キーと下向き矢印キー、および Shift キーまたは Control キーを使用して、複数の機能を選択します。
   - 連続する機能を選択するには、下向き矢印キーを使用して最後に選択する機能をハイライト表示します。Shift キーと Enter キーを押します。
   - ページ上の異なる位置にある機能を選択するには、下向き矢印キーを使用して次に選択したい機能に移動します。Control キーと Enter キーを押します。このステップを繰り返して、他の機能を選択します。
4. もう一度 Tab キーを押して、機能のコンテキストメニュー ( ) アイコンをハイライト表示します。
5. Enter キーを押して、選択したすべての機能をグループ化します。

   選択した複数の機能がグループ化されて表示されます。



6. 上下の矢印キーを使用して、機能を目的の位置に移動します。
7. Enter キーを押して機能の位置を固定します。

プログラムインクリメントの機能をスケジュールする

プログラムインクリメント (PI) を定義し、その PI 内で完了する予定の機能を計画します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：safe_art_user または safe_admin

手順

1. PI の機能を作成します。
2. 現在および将来のプログラムインクリメントをリストビューまたはビジュアルタスクボード (VTB) に表示します。
3. バックログの機能を評価し、PI に移動します。

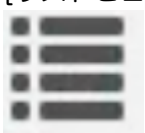
SAFe プログラムリストビューを使用する

SAFe プログラムリストビューを使用して、プログラムインクリメント (PI) を作成、整理、追跡、開始、および完了します。

始める前に
必要なロール：safe_admin または safe_art_user

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルに **[ART]** を選択し、ART を選択します。
3. [バックログ] タブをクリックします。
4. [リストビュー] を選択します。



5. PI を作成するには、[プログラムインクリメントを作成] をクリックします。

   PI フォームで、必須フィールドに入力します。既存の PI を編集するには、プログラムインクリメント番号をクリックし、フォームで必要な詳細を編集します。

6. 機能をスケジュールするには、[バックログ] セクションで機能をドラッグし、必要な PI にドロップします。
7. リストの列をカスタマイズして表示するには、  をクリックします。
8. 最初の PI を開始するには、該当するセクションに表示される [開始] をクリックします。
   [計画] タブが開きます。
9. PI を完了するには、該当セクションに表示される [完了] をクリックします。

   完了済みおよび未完了のストーリー、機能、およびスプリントの数を示すダイアログボックスが表示されます。未完了の機能を将来のプログラムインクリメントに移動するか、機能と残りのスプリントを [完了] としてマークします。

SAFe プログラムロードマップビューを使用する

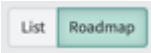
SAFe プログラムロードマップビューを使用して、Agile リリーストレーニング (ART) のプログラムインクリメント (PI) を追跡し、将来の PI の機能を計画します。

始める前に
必要なロール：safe_admin または safe_art_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルに **[ART]** を選択し、ART を選択します。
3. [バックログ] タブをクリックします。
4. [ロードマップ] ビューを選択します。
   

5. 機能を [プログラムインクリメントなし] レーンからドラッグして、必要なプログラムインクリメントレーンにドロップすることでスケジュールします。
   ある PI レーンから別の PI レーンに機能カードを再配置することで、機能を再スケジュールできます。
6. レーンのリストの一番下にある [カードを追加] をクリックして、PI レーンに機能を直接追加します。

   [その他のオプション] アイコン ( ) をクリックし、[カードを追加] をクリックすることもできます。

7. [その他のオプション] アイコン ( ) をクリックし、[レーンを非表示] をクリックすることで、PI レーンを非表示にできます。

SAFePI 計画ボード

一元化されたボードを使用して、Agile リリーストレーニング (ART) のプログラムインクリメント (PI) を計画します。ストーリーを作成してチームに割り当てることや、ストーリーの依存関係を追加および表示すること、スプリントによりストーリーを追跡すること、必要に応じてこうしたストーリーを再計画することができます。

SAFe PI 計画ボードの UI コンポーネント。

SAFe PI 計画ボードには、計画立案プロセスをガイドする次のコンポーネントが含まれています。

ストーリーと機能の切り替え

[ストーリー] を選択して切り替えると、PI のストーリーがスプリント内に計画されます。

[機能] を選択して切り替えると、PI のすべての機能の進捗状況が追跡されます。

SAFe PI セレクター

計画またはレビューする PI を選択します。

機能フィルター

PI に関連付けられている機能を選択します。機能を選択すると、プログラム計画ボードと機能バックログペインでストーリーをフィルタリングできます。この機能から作業負荷を分析し、スプリント全体で作業負荷がどのようにスケジュールされているかを理解できます。

ストーリーの依存関係

ストーリーの依存関係線を使用して、異なるスプリントおよびチームのストーリー間の依存関係を視覚的に分析します。依存関係アイコン ( ) を使用して、こうした依存関係線を表示または非表示にできます。依存関係を非表示にすることを選択した場合、またはボード上に存在しないストーリーが依存関係に含まれている場合は、ストーリーカードに色付きの境界線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係の色は、ストーリーをスケジュールした方法を示します。使用される色は次のとおりです。

- 緑：前提条件ストーリーは、依存ストーリーのスプリントの前のスプリントにスケジュールされています。
- 黄：前提条件ストーリーは、依存ストーリーと同じスプリントにスケジュールされています。
- 赤：前提条件ストーリーは、依存ストーリーのスプリントの後のスプリントにスケジュールされています。依存関係を確認し、必要に応じてストーリーを再スケジュールします。

前提条件ストーリーまたは依存ストーリーに関連付けられているストーリーがない場合、依存関係アイコン ( ) は表示されません。ストーリーの依存関係を追加する方法については、SAFe ストーリーへの依存関係の追加を参照してください。

機能バックログペイン

選択した PI のすべての機能のリストを表示するには、バックログペインを使用します。機能に対して次のアクションを実行できます。

- 説明を表示します。
- 機能名をクリックして情報を編集します。
- [ストーリーを作成] をクリックして、機能に新しいストーリーを追加します。
- この機能の未アサインおよび未スケジュールのストーリーは、簡単な説明とストーリーポイントを示すカードとして表示されます。

SAFe チーム

選択した ART のすべてのチームが計画ボードの左側に表示されます。計画ボードには一度に最大 15 チームを表示できます。この制限は、計画アクティビティ中にボードの最適なパフォーマンスを確保するために設定されます。

チームのバックログレーン

チームにアサインされていても、まだスプリントにスケジュールされていないストーリーが表示されます。

チームにアサインする必要があるストーリーがわかっていても、使用すべきスプリントがわからない場合は、こうしたストーリーを機能のバックログレーンからチームのバックログレーンに移動できます。これによって、今後のスプリントに対するチームの作業負荷を明確に把握し、最終的にこうしたストーリーを正しいスプリントに追加することができます。

ストーリーカードをチームのバックログにドラッグして戻すことで、すでにスプリントにスケジュールされているストーリーの計画を解除することもできます。後で計画ボードに再度アクセスすると、どのチームがこのストーリーを保持しているかがわかり、どのスプリントを使用すべきかを決定できます。

チームのスプリントレーン

チームのスプリント周期を確認します。

スプリントの名前にカーソルを合わせると、期間、合計ストーリーポイント、最大キャパシティなどのスプリントの詳細を確認できます。スプリント名をクリックすると、グループキャパシティ、開始予定日、終了日などの詳細を編集できます。

PI の計画中に、ストーリーが処理されるスプリントがわかっている場合は、ストーリーカードをそのスプリントに移動できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

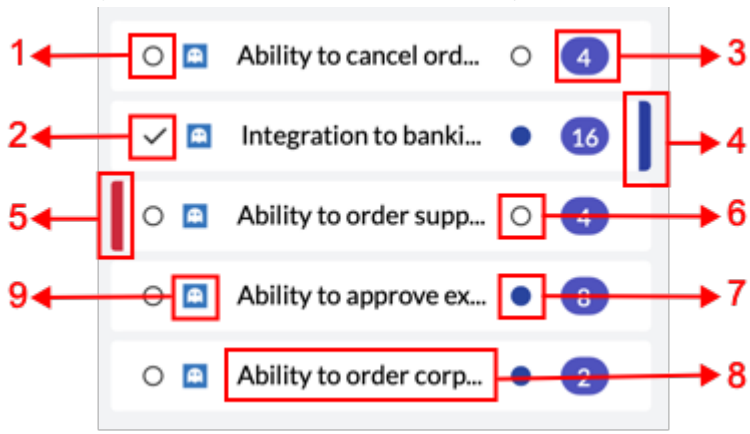
ストーリーカード

SAFe 機能のストーリーをカード形式で表示します。これらのカードを移動してチームに割り当てたり、スプリントで計画したりすることができます。

SAFe — Unified Backlog プラグイン (com.snc.sdlc.safe.multi_task) を有効化している場合は、トリアージボードから統合バックログに追加されたストーリーも表示されます。PI 計画ボードから、ストーリーカードをダブルクリックすることで、モーダルフォームで開き、詳細を編集できます。インシデントなどのトリアージボード上のレコードからストーリーが作成された場合は、ストーリー情報と欠陥情報の両方が並べて表示されます。

ストーリーカードでは、次のインジケーターを使用します。

SAFe PI 計画ボードのストーリーカードの凡例



SAFe PI 計画ボードのストーリーカードのインジケーター

番号	インジケーターの説明
1	ストーリーは未完了です。
2	ストーリーは完了しています。
3	ストーリーポイント。
4	ストーリーは依存ストーリーに関連付けられています。このバンドが赤または黄で表示されている場合、依存関係が正しく設定されていないことを示し、確認する必要があります。
5	ストーリーは前提条件ストーリーに関連付けられています。このバンドが赤または黄で表示されている場合、依存関係が正しく設定されていないことを示し、確認する必要があります。
6	ストーリーは、この色の機能に属しています。ドットにカーソルを合わせると、機能の名前が表示されます。
7	ストーリーは、色の属性がない機能に属しています。ドットにカーソルを合わせると、機能の名前が表示されます。
8	ストーリーの短い説明。
9	ストーリーは通常のストーリーです。このアイコンは、ストーリーレコードのタイプによって変わります。たとえば、インシデント、機能拡張、欠陥、問題などのレコードからストーリーを作成することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 拡張機能、欠陥、インシデントなどのレコードからストーリーを作成できるのは、 SAFe — Unified Backlog プラグイン (com.snc.sdlc.safe.multi_task) がアクティブ化されている場合のみです。

スプリント作業負荷キャパシティバー

スプリント名の下にある作業負荷キャパシティバーを使用して、スプリントを効率的に計画できます。このバーは、チームに計画されている作業負荷と、該当するスプリントに対するチームのキャパシティを比較して示します。

スプリントのグループキャパシティがゼロの場合、スプリントの負荷とキャパシティの詳細は表示されません。

ズームインとズームアウト

ズームインアイコン ( ) とズームアウトアイコン (アイコン) を使用してボードビューを調整します。

検索

検索用語を使用して、計画ボード上のストーリーをフィルタリングします。たとえば、簡単な説明からストーリー番号やフレーズを入力できます。

ストーリーリスト

標準リストビューアイコン ( ) を使用して、プログラムのすべてのストーリーのリストを表示します。

SAFe プログラムインクリメントを計画する

SAFe プログラムインクリメント (PI) を計画し、インタラクティブな計画ボードでストーリーと機能の進捗状況を追跡します。

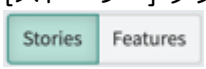
始める前に

必要なロール：

- [計画] タブの表示：safe_scrum_user
- ストーリーの作成：safe_story_creator

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. [計画] をクリックします。
3. 画面の左上隅のリストから、**[ART]** を選択し、Agile リリーストレーニングを選択します。
4. [PI] リストから PI を選択します。
5. [ストーリー] タブを選択します。



6. チームとスプリントにストーリーをアサインします。
   a. 機能のバックログアイコン ( ) をクリックします。
   b. オプション: バックログペインで、[ストーリーを作成] をクリックして、この機能に新しいストーリーを追加します。
   c. ストーリーカードを機能のバックログペインからドラッグし、チームの必要なスプリントまたはバックログレーンにドロップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストーリーカードを再配置することで、チーム間およびスプリント間でストーリーを再スケジュールすることができます。

- ストーリーカードをチームのバックログに移動すると、それに応じて **[SAFe** チーム] フィールドが更新されます。
- ストーリーカードをスプリントに計画すると、それに応じてストーリーの **[SAFe** チーム] フィールドと **[SAFe** スプリント] フィールドが更新されます。

  スプリント名の下にあるスプリントキャパシティバーには、スケジュールされているストーリーに応じて入力されます。

7. オプション: 計画されたストーリー間の依存関係を追加します。

   (Optional) ストーリー間に追加した依存関係は、ストーリーの機能に自動的に適用されます。

   依存関係アイコン ( ) をクリックして、ストーリー間の依存関係を表示または非表示にします。

   ストーリーの依存関係の詳細については、SAFe ストーリーへの依存関係の追加 を参照してください。

8. オプション: スプリント名をクリックすることで、チームのスプリントのグループキャパシティを更新します。

   グループキャパシティは、各スプリントに対するグループの予測キャパシティ（ストーリーポイント）です。スプリントのグループキャパシティがゼロの場合、スプリントの負荷とキャパシティの詳細は表示されません。

   注:
   スプリントの詳細を更新できるのは、safe_scrum_master ロールを持つ場合のみです。

SAFe ボード：チームレベル

チームメンバーは、SAFe ボードでチームレベルにアクセスして、チーム内のアクティビティを計画および監視できます。

チームレベルには、次のタブがあります。

- バックログ
- スプリント追跡

バックログ

[バックログ] タブでは、バックログのストーリーを評価することで、スプリントまたは複数のスプリントのストーリーを計画し、優先順位を付けることができます。

さらに、次のことができます。

- ストーリーを作成します。
- ドラッグ機能を使用して、バックログのストーリーを並べ替えます。バックログの一番上にあるストーリーは、優先度が高く、ランク値が低いものと見なされます。バックログの一番下にあるストーリーは、優先度が低く、ランク値が高いものと見なされます。
- 機能によりストーリーをフィルタリングします。
- 詳細がキーワードと一致するストーリーのみを表示するには、検索ボックスにキーワードを入力します。
- スプリントを作成、整理、監視、開始、および完了します。

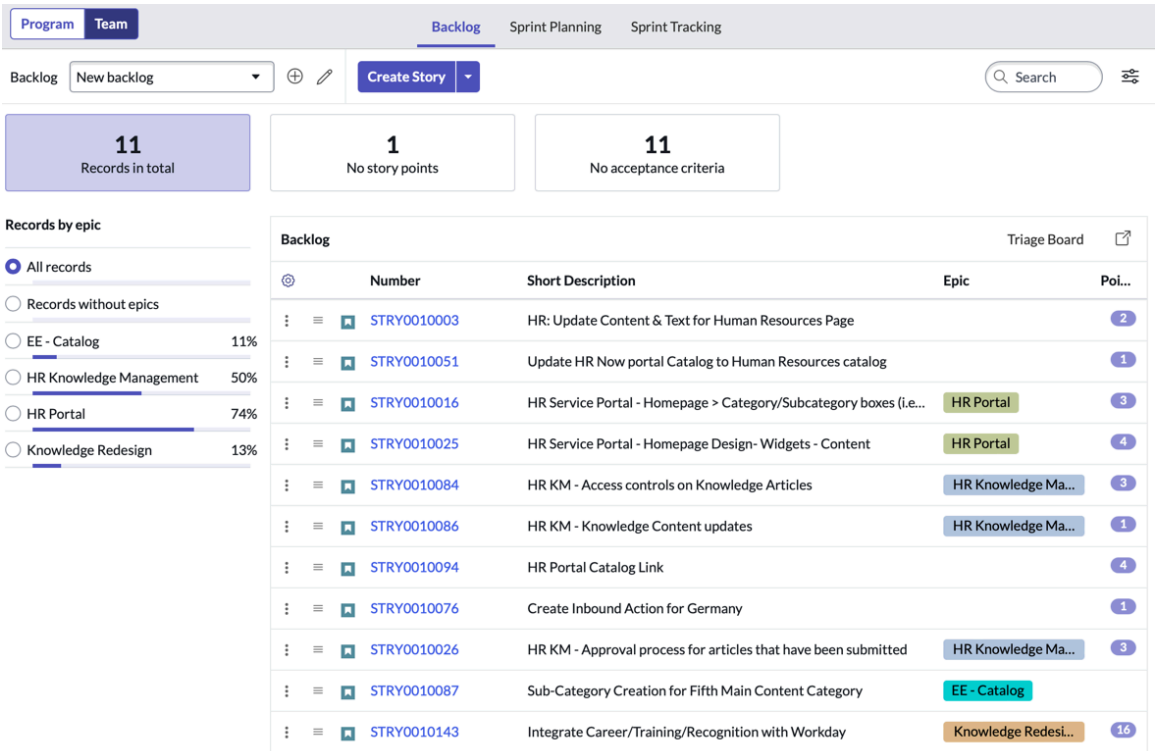
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 現在および将来のスプリントを時系列で表示します。
- スプリントの重要なアスペクト (現在のスプリントの開始予定日と終了予定日、およびストーリーポイント数 (合計、完了、処理待ち)) を表示します。
- バックログのストーリーを評価し、スプリントにドラッグします。
- 未完了のストーリーを完了済みスプリントからバックログまたは将来のスプリントに移動します。

注:
SAFe ボードでチームのバックログを確認するには、チームが次の状態であることを確認します。

- グループタイプが SAFe チームで、チームメンバーにロール safe_scrum_user が割り当てられている
- Agile リリーストレーニングに追加されている



スプリント追跡

[スプリント追跡] タブには、次のビューがあります。

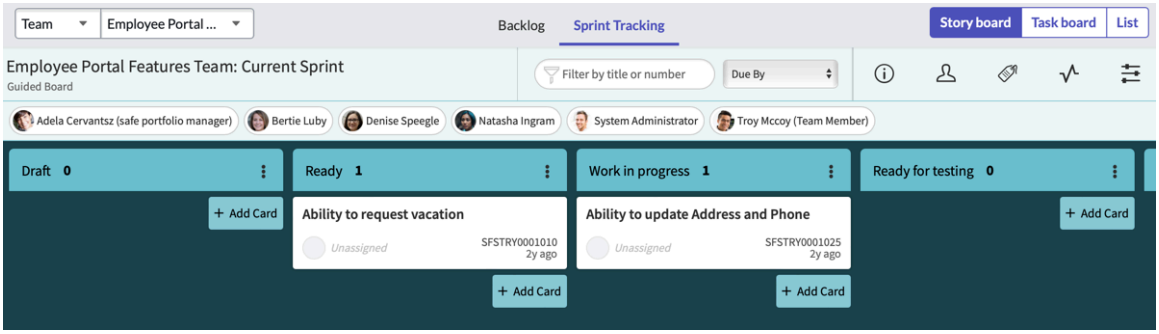
ストーリーボード

ストーリーボードはビジュアルタスクボード上に構築され、リストやフォームのナビゲーションをインタラクティブなグラフィカルエクスペリエンスに変換します。ビジュアルタスクボードインターフェイスは、レコードの管理と協業作業に適したグラフィカルな環境を提供します。このボードで実行できるアクションの詳細については、「Visual Task Boards」を参照してください。さらに、次のことができます。

- レーン全体で現在のスプリントのすべてのストーリーを追跡します。
- ストーリーをあるレーンから別のレーンに移動すると、ストーリーのステータスが更新されます。
- 検索条件に基づいてストーリーをフィルタリングします。

自動翻訳

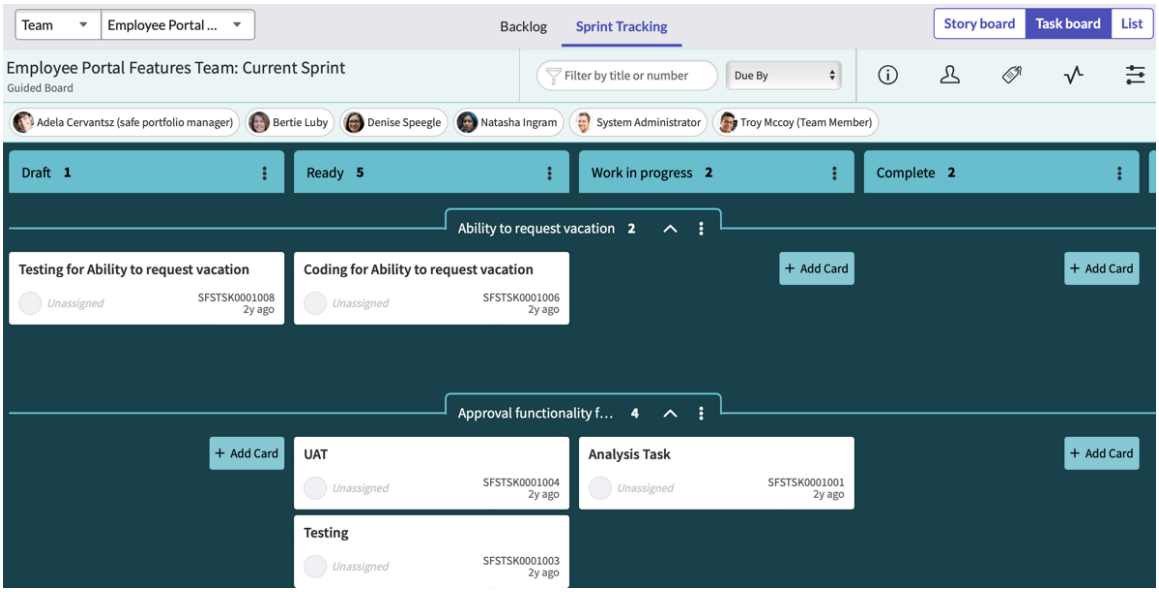
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



タスクボード

タスクボードを使用すると、レーン全体で現在のスプリントのストーリーに対するすべてのスクラムタスクを追跡できます。

- スクラムタスクをあるレーンから別のレーンに移動すると、スクラムタスクのステータスが更新されます。
- 検索条件に基づいてスクラムタスクをフィルタリングします。



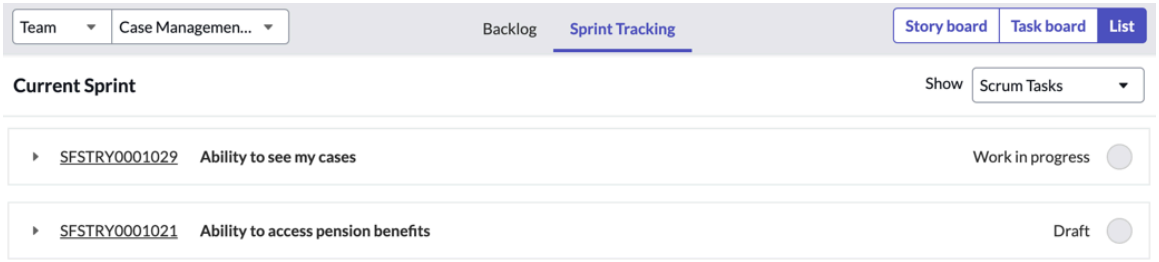
リスト

リストには、各スプリントのストーリーに関連付けられたスクラムタスクとテストが表示されます。以下のことを行うことができます。

- レコードのコンテキストを離れずにスクラムタスクとテストを追加します。
- スクラムタスクのステータス、簡単な説明、および担当者を表示しますが、詳細は表示しません。
- テストの簡単な説明と実行結果を表示します。
- 現在のスプリントがクローズする前に処理待ちのスクラムタスクとテストを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



チームのバックログの管理

チームバックログのストーリーの管理、評価、優先順位付け、および並べ替えを行います。

始める前に

- チームが属するプログラムには、アクティブなプログラムインクリメントが含まれている必要があります。
- このタブには、現在のプログラムインクリメントのスプリントのみが表示されます。

必要なロール：scrum_product_owner、scrum_master、safe_product_owner、または safe_scrum_master

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅の選択リストから、レベルとして [チーム] を選択します。
3. [バックログ] タブを選択します。
4. バックログにストーリーを追加する。
   a. [ストーリーの作成] をクリックします。
   b. ストーリーフォームで必要な詳細を指定します。
   c. [送信] をクリックします。
      ストーリーはバックログの一番下に表示されます。
5. ストーリーをバックログに追加し、同時にその実装順序を決定するには、次のステップを実行します。
   a. バックログでストーリーを選択します。
   b. [ストーリーの作成] をクリックします。
   c. ストーリーフォームで必要な詳細を指定し、[送信] をクリックします。
      ストーリーは、バックログで選択されたストーリーの下に作成されます。
6. **[SAFe** 機能別のレコード] セクションには、バックログのレコードが属する機能のリストが表示されます。
   機能を選択します。この機能に属するレコードのみが表示されます。
7. 特定のタスクタイプ (問題や欠陥など) のトリアージボードを開くには、あるいはすべてのタスクタイプのトリアージボードのレコードの合計数の表示、トリアージボードのフィルター定義の編集、または別のトリアージ定義の作成を行うには、[トリアージボード] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[トリアージボード] リンクは、Agile — Scaled Agile Framework — 統合バックログプラグイン (com.snc.sdlc.safe.multi_task) がインストールされている場合にのみ表示されます。

8. 標準プラットフォームリストでレコードを表示するには、  をクリックします。
9. リストの列をカスタマイズするには、  をクリックします。
10. トリアージしたレコードを [バックログ] タブからトリアージボードに戻すには、次の手順を実行します。
    a. フォームでレコードを開きます。
    b. [トリアージボードに戻る] 関連リンクをクリックします。
11. どのスプリントにもアサインされていないストーリーを整理するには、次のいずれかのオプションを使用します。
12. 一連のストーリーに対してアクションを実行するには、次の手順を実行します。
    - 必要なストーリーを選択します。
    -  をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

スプリント計画を実行する

バックログのストーリーを評価し、スプリントのストーリーを選択して、ストーリーの作業量を見積もることによって、スプリント計画を実行します。

始める前に

必要なロール：scrum_master
このタブには、現在のプログラムインクリメントのスプリントのみが表示されます。

このタスクについて

SAFe では、スプリント計画の主要部分は、ビッグルーム計画プロセス中に行われます。チームバックログとそのスプリント計画部分は、絞り込みセッション用に設計されています。プログラムインクリメントの各スプリントの全体的な計画は既に存在しますが、チームは、欠落しているストーリーを追加して初期計画を調整するために、依然として 2 週間ごとにスプリント計画セッションを実施しています。

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅の選択リストから、レベルとして [チーム] を選択します。
3. [バックログ] タブを選択します。
4. ストーリーをスプリントに追加し、同時にその実装順序を決定するには、次のステップを実行します。
    a. スプリントのストーリーをポイントします。
    b. [ストーリーの作成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. ストーリーフォームで必要な詳細を指定し、[送信] をクリックします。
ストーリーは、バックログまたはスプリントで選択されたストーリーの下に作成されます。

5. リストの列をカスタマイズするには、  をクリックします。
6. スプリントを開始するには、最初または一番上のスプリントの右隅に表示された [開始] をクリックします。
7. スプリントを完了するには、最初または一番上のスプリントの右隅に表示された [スプリントの完了] をクリックします。
スプリント内で完了済みのストーリーと未完了のストーリーの数を示すダイアログボックスが表示されます。未完了のストーリーがある場合は、バックログまたは将来のスプリントに移動します。[完了] をクリックします。

ボードビューから **SAFe** タスクを追跡する

SAFe ストーリーとスクラムタスクの進捗状況を追跡します。ビジュアルタスクボードで、あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。

始める前に
必要なロール：safe_scrum_user または safe_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルとして [チーム] を選択します。
3. [スプリント追跡] タブをクリックします。
4. 現在のスプリントのストーリーの進行状況を追跡するには、[ストーリーボード] ビューを選択します。
   a. ストーリーのステータスを変更するには、ストーリーをあるレーンから別のレーンに移動します。
   b. 特定のレーンにストーリーを追加するには、次の手順を実行します。
      i. [タスクを追加] をクリックします。
      ii. フォームのフィールドに入力します。
      iii. [送信] をクリックします。
5. 現在のスプリントのストーリーのスクラムタスクの進行状況を追跡するには、[タスクボード] ビューを選択します。
   a. スクラムタスクのステータスを変更するには、スクラムタスクをあるレーンから別のレーンに移動します。
   b. 特定のレーンにスクラムタスクを追加するには、次の手順を実行します。
      i. [タスクを追加] をクリックします。
      ii. フォームのフィールドに入力します。
      iii. [送信] をクリックします。

リストビューから **SAFe** チームの作業を追跡する

リストビューから SAFe ストーリーのスクラムタスクとテストを作成、実行、追跡、および完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：safe_scrum_user または safe_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルとして [チーム] を選択します。
3. 隣接するリストから、必要なチーム値を選択します。
4. [スプリント追跡] タブをクリックし、リストビューを選択します。
5. ストーリーをスクラムタスクにブレークダウンするには、次の手順を実行します。
   a. 右上隅の [表示] リストから、[スクラムタスク] を選択します。
   b. [スクラムタスクの追加]をクリックします。
   c. フォームのフィールドに入力します。

スクラムタスクフォーム

フィールド	説明
番号	SAFe ストーリーのシステム生成番号。
SAFe ストーリー	スクラムタスクに関連付けられた SAFe ストーリー。
優先度	スクラムタスクに設定された優先度。
タイプ	スクラムタスクを完了するために必要な作業のタイプ。
ステータス	スクラムタスクの現在のステータス。スクラムタスクの進行状況を示します。
担当者	スクラムタスクがアサインされているユーザー。
簡単な説明	スクラムタスクの簡単な説明。
説明	スクラムタスクの詳細な説明。
作業メモ	ライフサイクルのさまざまな段階におけるスクラムタスクの進捗状況を示す作業メモ。

   d. [送信] をクリックします。
6. SAFe ストーリーのテストを作成するには、次の手順を実行します。

> **注:**
> テストを作成するオプションは、テスト管理 2.0 がインストールされている場合にのみ使用できます。

   a. 右上隅の [表示] リストから、[テスト] を選択します。
   b. [テストの追加] をクリックします。詳細については、「SAFe ストーリーのテストを作成する」を参照してください。
7. SAFe ストーリーに対して「準備完了ステータス」にあるテストを実行するには、次の手順を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. ストーリーの [実行] ボタンをクリックします。

b. ポップアップで、テストを実行する環境を選択し、[実行] をクリックします。詳細については、「SAFe ストーリーのテストを実行する」を参照してください。

8. リストの列をカスタマイズするには、  をクリックします。

SAFe ストーリーのテストを作成する

テストを作成し、テストにステップを追加して、さまざまなバージョンのテストを作成、維持します。テストは、SAFe ストーリーが正しく機能しているかどうかを判定するために使用される条件またはステップの集まりです。テストには、テストの成否を決定するための、予期される結果を含めることもできます。

始める前に

- 必要なロール：safe_scrum_user または safe_admin
- リストビューからテストを作成できるのは、テスト管理 2.0 プラグインがインストールされている場合のみです。

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルとして [チーム] を選択します。
3. 隣接するリストから、必要なチーム値を選択します。
4. [スプリント追跡] タブをクリックし、リストビューを選択します。
5. 右上隅の [表示] リストから、[テスト] を選択します。
6. [テストの追加] をクリックします。
7. フォームのフィールドに入力します。

テストバージョンフォーム

フィールド	説明
テスト	テストの一意の名前。
所有者	テストを作成したオーナー。
バージョン	自動生成されたバージョンのテスト。
ステータス	テストの現在のステータス。 ○ ドラフト：テストが作成されたときの状態。 ○ 準備完了：編集できない場合のテストの状態。テストに複数のバージョンがある場合、一度に 1 つのテストのみが「準備完了」ステータスになります。 ○ 廃止：利用されなくなったときのテストのステータス。
簡単な説明	テストに関する簡単な説明。
ステップを追加	テストにステップを追加するために使用するボタン。
実行	ステップを実行するために使用するボタン。テストが「準備完了」ステータス の場合にのみ表示されます。
更新	テストバージョンの詳細を更新するために使用されるボタン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
準備完了	テストバージョンのステータスを「準備完了」に変更するために使用するボタン。
新規バージョンを作成	別バージョンのテストを作成するために使用するボタン。
テストを削除	テストバージョンの詳細を更新するために使用されるボタン。
ステップの順序を変更 ()	テストステップの順序を変更するために使用するアイコン。アイコンを選択し、必要な場所にステップをドラッグします。
検証が必要	検証のためにテストステップをマークするために使用するチェックボックス。
テストステップを削除 ()	テストステップを削除するために使用するアイコン。

次のタスク
次の関連リストの情報を確認してください。

関連リスト	説明
その他のバージョン	テストのすべてのバージョンを表示します。
テスト結果	各テストバージョンの実行結果を表示します。
テストセット	テストセット内の関連するテストを表示します。

SAFe ストーリーのテストを実行する

テストシナリオを表示し、SAFe ストーリーを検証するテストのすべてのステップを実行します。

始める前に
必要なロール：safe_scrum_user または safe_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルとして [チーム] を選択します。
3. 隣接するリストから、必要なチーム値を選択します。
4. [スプリント追跡] タブをクリックし、リストビューを選択します。
5. リストから [テスト] を選択します。
6. [実行] ボタンをクリックしてストーリーを検証します。
   このアクションは、ストーリーのすべてのテストを一度に実行します。
7. ポップアップで、テストを実行する環境を選択します。
8. [テスト実行] ポップアップで、次のアイコンを使用してステップを合格、不合格、またはブロックとしてマークします。
   - アイコンを選択する場合、**Tab** キーを押してから **Enter** キーを押すこともできます。
   - 一時停止して後でテストを行うには、[一時停止] をクリックします。
9. [完了] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
テスト結果はテスト結果フォームに保存されます。各テストの最新のテスト結果がリストビューに表示されます。

テストの全体的なステータスは、テストステップのステータスによって定義されます。

- すべてのテストステップに合格した場合、テストのステータスは [合格] になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが実行されていない場合、テストのステータスは「未完了」になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが不合格の場合、テストのステータスは 「不合格」になります。このルールは、前のルールよりも優先されます。
- テストの少なくとも 1 つのステップがブロックされている場合、テストのステータスは「ブロック」になります。このルールは、前の 2 つのルールよりも優先されます。

テスト失敗のトラブルシューティング

テスト実行の履歴を表示します。SAFe のテストの失敗をトラブルシューティングして修正します。

始める前に
必要なロール：safe_scrum_user または safe_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅のリストから、レベルとして [チーム] を選択します。
3. [スプリント追跡] タブをクリックし、リストビューを選択します。
4. ストーリー内のテストをクリックします。
5. [テスト計画] 関連リストをクリックします。
   該当するバージョンのテストに関連するテスト結果が表示されます。
6. テスト結果をクリックすると、その詳細がフォームに表示されます。

テスト結果フォーム

フィールド	説明
番号	テスト結果に対して自動的に生成される番号。
結果	テストの実行ステータス：合格、 不合格、またはブロック。
実行環境	テストが実行される環境。
実行者	テスト計画を実行したテスターの名前。
テスト	実行中のテスト。
バージョン	実行中のテストのバージョン。
更新日時	テスト結果が記録された日時。
テスト実行	テスト実行の名前。
簡単な説明	テスト結果に関する簡単な説明。

テストの各ステップの実行ステータスもフォームの下部に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートフォリオ **SAFe**

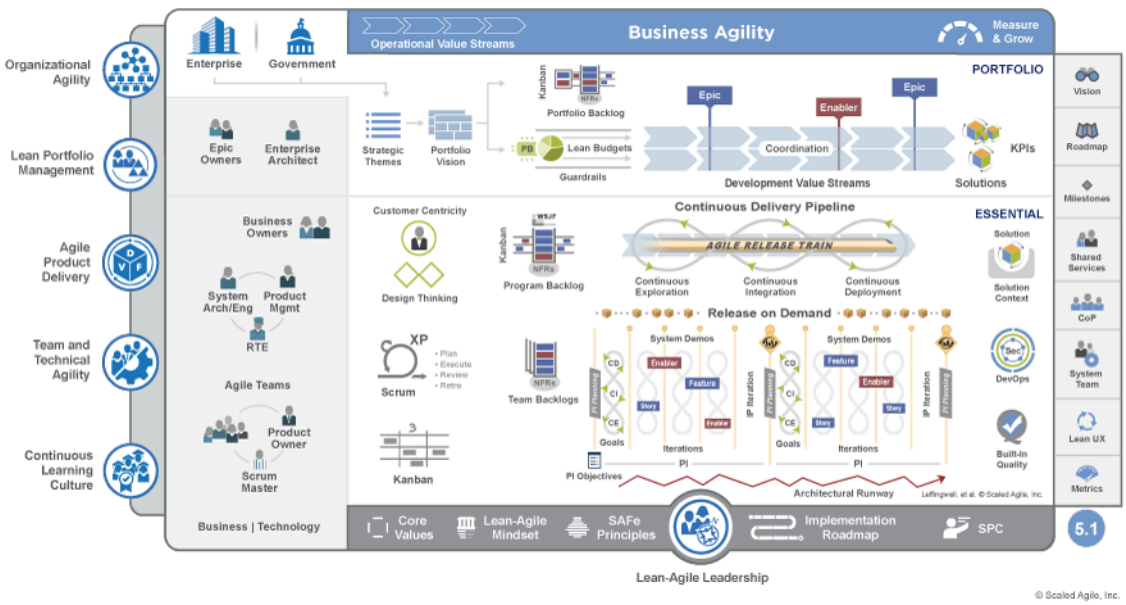
Portfolio SAFe を使用すると、組織の目標と戦略をポートフォリオに合わせて調整し、無駄のないアジャイルプリンシパルを適用して、ポートフォリオ作業をシームレスに管理および実施できます。

Portfolio SAFe は、ポートフォリオマネージャー、製品マネージャー、およびチームメンバーの 3 つのレベルで動作します。ポートフォリオレベルでは、ポートフォリオマネージャーは一元化されたバックログでエピックをキャプチャして優先順位を付け、ビジュアルタスクボードでエピックの進捗状況を監視できます。エピックは、お客様の要求やビジネス要件などの共通の目標が割り当てられた最大の作業単位です。

ART レベルでは、製品マネージャーはエピックから分解された機能をキャプチャし、優先順位を設定して、監視できます。チームレベルでは、チームメンバーは機能を分解したストーリーを実装できます。レベルの詳細については、以下の「SAFe ボード」セクションを参照してください。

Portfolio SAFe の機能の使用を開始するには、Agile - Scaled Agile Framework - Portfolio SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.portfolio_safe) をインストールします。

Portfolio SAFe によるポートフォリオ作業の管理の改善方法



SAFe ボード

次の表に、SAFe ボード上の Portfolio SAFe のキーレベルにアクセスする方法の概要を示します。

レベル	説明
ポートフォリオ	ポートフォリオマネージャーは、 ポートフォリオレベルにアクセスして 、ポートフォリオ内のアクティビティを計画および監視できます。 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード. さらに、次のことができます。 • ポートフォリオバックログを一元管理します。 • ポートフォリオのすべてのエピックを追跡し、ビジュアルタスクボードで、あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。
Agile リリーストレーニング (ART)	製品マネージャーは、 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード. さらに、次のことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レベル	説明
	• ART バックログを一元管理します。 • プログラムインクリメントを定義し、そのプログラムインクリメント内で完了する必要がある機能を特定します。 • ビッグルームの計画を実行します。 • ART のすべての機能を追跡し、ビジュアルタスクボードで、あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。
チーム	チームメンバーは、 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード. さらに、次のことができます。 • チームバックログを一元管理します。 • スプリント計画立案と完了アクティビティを簡素化します。 • すべてのストーリーを追跡し、ビジュアルタスクボードで、あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。

Portfolio SAFe の有効化

admin ロールがある場合は、Agile - Scaled Agile Framework - Portfolio SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.portfolio_safe) を有効化します。

始める前に
必要なロール：admin

注:
Agile - Scaled Agile Framework - Portfolio SAFe プラグインをインストールすると、Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.safe) が自動的にインストールされます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

Portfolio SAFe とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、Agile - Scaled Agile Framework - Portfolio SAFe プラグイン (com.snc.sdlc.portfolio_safe) の有効化とともにインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるロール

ロール	説明	ロールを含む
SAFe 管理者 [safe_admin]	• SAFe ART、エピック、機能、ストーリー、およびプログラムインクリメントを編集、作成、および削除します。 • SAFe チームに対する読み取り専用アクセス権があります。	• safe_art_user • safe_scrum_master • safe_product_owner
SAFe ポートフォリオユーザー [sn_portfolio_safe.safe_portfolio_user]	ポートフォリオのバックログを管理し、SAFe エピック、機能、およびストーリーを編集、作成、および削除できます。	safe_art_user
SAFe スクラム製品オーナー [safe_product_owner]	• チームのバックログを管理し、SAFe ストーリーを編集、作成、および削除できます。 • SAFe ART、チーム、エピック、および機能に対する読み取り専用アクセス権があります。 • SAFe プログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。	safe_story_creator
SAFe ART ユーザー [safe_art_user]	• ART のバックログを管理し、SAFe エピック、機能、ストーリー、およびプログラムインクリメントを編集、作成、および削除できます。 • SAFe チームを編集します。 • SAFe ART に対する読み取り専用アクセス権があります。	safe_story_creator
SAFe スクラムマスター [safe_scrum_master]	• SAFe ストーリーを編集および削除します。 • SAFe チームを編集します。	safe_story_creator

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	ロールを含む
	• SAFe ART、エピック、機能、およびプログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。	
SAFe スクラムユーザー [safe_scrum_user]	SAFe のすべての要素を表示できますが、どのタイプのレコードも作成、編集、または管理できません。	なし
SAFe スクラムストーリー作成者 [safe_story_creator]	• SAFe ストーリーを編集、作成、および削除します。 • SAFe ART、チーム、エピック、機能、およびプログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。	safe_story_editor
SAFe スクラムストーリー編集者 [safe_story_editor]	• ドラッグアンドドロップ機能を使用して、チームのバックログ内にストーリーを配置します。 • SAFe ストーリーを編集します。 • SAFe ART、チーム、エピック、機能、およびプログラムインクリメントに対する読み取り専用アクセス権があります。	• safe_scrum_user • rm_scrum_task_admin

インストールされるテーブル

テーブル	説明
SAFe エピック [sn_safe_epic]	エピックに関する情報。
SAFe 機能 [sn_safe_feature]	機能に関する情報。
Agile リリーストレーニング [sn_safe_program]	ART に関する情報。
プログラムインクリメント	プログラムインクリメントに関する情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_safe_program_increment]	
SAFe ART チーム [sn_safe_program_m2m_group]	グループと ART の関係。
SAFe ART メンバー [sn_safe_program_member]	ART 内のメンバーに関する情報。
SAFe ART スプリント [sn_safe_program_sprint]	ART 内のチームのスプリントスケジュール。
SAFe ART VTB ボード [sn_safe_program_vtb_board]	ART レベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe スクラムタスク [sn_safe_scrum_task]	SAFe スクラムタスクに関する情報。
SAFe スプリント [sn_safe_sprint]	スプリントに関する情報。
SAFe ストーリー [sn_safe_story]	ストーリーに関する情報。
SAFe PI の目標 [sn_safe_pi_objective]	SAFe PI の目標を保存します。
SAFe チームの予測可能性の測定 [sn_safe_pi_m2m_group]	チームレベルの予測可能性の測定データに使用される PI 目標から、チームごとに達成されたビジネス価値を格納します。
ポートフォリオ [pm_portfolio]	ポートフォリオに関する情報。
ポートフォリオ SAFe VTB ボード [sn_portfolio_safe_vtb_board]	ポートフォリオレベルで [ボード] タブに表示されるレコード。
SAFe チーム VTB ボード [sn_safe_team_vtb_board]	チームレベルで [ボード] タブに表示されるレコード。

ポートフォリオを定義する

SAFe から、単一のソリューションに対して作業する ART のグループであるポートフォリオを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_portfolio_safe.safe_portfolio_user

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > ポートフォリオ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ポートフォリオフォーム

フィールド	説明
名前	ポートフォリオの一意の名前。
ポートフォリオマネージャー	ポートフォリオが割り当てられているマネージャー。
説明	ポートフォリオの詳細な説明。

次のタスク

- Agile リリーストレーニングの定義
- SAFe でエピックを定義

SAFe ボード：ポートフォリオレベル

ポートフォリオマネージャーは、SAFe ボードでポートフォリオレベルにアクセスして、ポートフォリオ内のアクティビティを計画および監視できます。

ポートフォリオレベルには、次のタブがあります。

- ボード
- バックログ

ボード

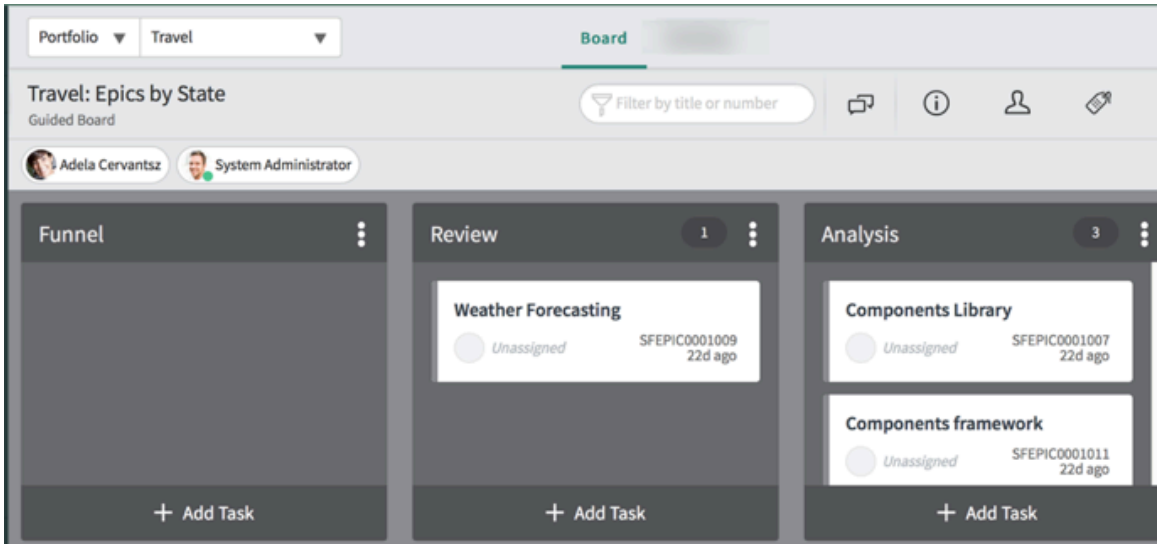
[ボード] タブを使用すると、単一のビューでポートフォリオのすべてのエピックを追跡できます。ボードはビジュアルタスクボード上に構築され、リストやフォームのナビゲーションをインタラクティブなグラフィカルエクスペリエンスに変換します。ビジュアルタスクボードインターフェイスは、管理と協業作業用のグラフィカルな環境を提供します。

さらに、レーン間でエピックを移動すると、エピックのステータスが更新されます。このボードで実行できるアクションの詳細については、「Visual Task Boards」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

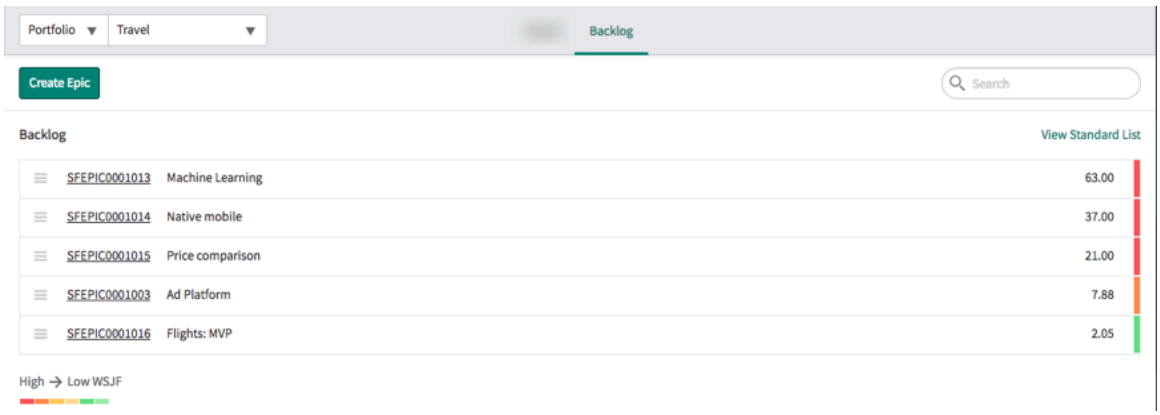
ポートフォリオの **SAFe** ボード



バックログ

[バックログ] タブでは、エピックを構成するポートフォリオバックログを管理できます。

ポートフォリオバックログを管理する



エピックを追跡する

[ボード] タブを使用して、ポートフォリオのすべてのエピックを追跡し、あるステータス (レーン) から別のステータス (レーン) への移行を表示します。

始める前に
必要なロール：sn_portfolio_safe.safe_portfolio_user

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅の選択リストから、レベルとして [ポートフォリオ] を選択します。
3. [ボードビュー] を選択します。
4. エピックカードをドラッグアンドドロップして、エピックを必要なステータスに移動します。
5. オプション: 特定のステータスにエピックを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [カードを追加] をクリックします。

b. フォームのフィールドに入力して、送信します。
エピックフィールドの詳細については、SAFe でエピックを定義 を参照してください。

ポートフォリオバックログを管理する

ポートフォリオバックログのエピックの管理、評価、優先順位付け、および並べ替えを行います。

始める前に
必要なロール：sn_portfolio_safe.safe_portfolio_user

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. 左上隅の選択リストから、レベルとして [ポートフォリオ] を選択します。
3. [バックログ] タブをクリックします。
4. バックログの最後にエピックを追加するには、次の手順を実行します。
   a. [エピックを作成] をクリックします。
   b. フォームで必要な詳細を指定し、[送信] をクリックします。
5. エピックを追加すると同時に、バックログでの実施順序を決定するには、次の手順を実行します。
   a. バックログ内のエピックを選択します。
   b. [エピックを作成] をクリックします。
   c. フォームで必要な詳細を指定し、[送信] をクリックします。
   エピックは、バックログで選択されたエピックの下に作成されます。
6. 簡単な説明でエピックを検索するには、検索ボックスに単語を入力して **Enter** キーを押します。
7. バックログ内でエピックを配置するには、次のいずれかのオプションを使用します。

   バックログに 50 を超えるエピックが含まれている場合、ページネーションコントロールがリストの下部に表示され、リスト内の最初のページ、最後のページ、前ページ、または次ページに移動できます。

8. 標準プラットフォームリストでバックログを表示するには、[標準リストを表示] をクリックします。
9. 一連のエピックに対してアクションを実行するには、次の手順を実行します。
   - 必要なエピックを選択します。
   - をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

SAFe — 統一されたバックログ

SAFe — Unified Backlog により、欠陥、問題、インシデントタスク、ストーリーなど、さまざまなタスクタイプのレコードを含む一元化されたバックログを維持できます。これにより、1 つの場所

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でさまざまなタスクタイプレコードの優先順位付けと順序付けが容易になり、ステップを節約できます。また、レコードをストーリーに変換するオーバーヘッドがなくなります。

以下で説明するフローは、Essential SAFe とともに SAFe — Unified Backlog を使用して、レコードを作成および管理するための一般的な方法を示しています。

トリアージボードの設定

フィルター条件を定義してトリアージボードを設定し、特定のタスクタイプのレコードをトリアージボードに表示できます。たとえば、欠陥に対して 1 つのトリアージボードを作成し、インシデントに対して別のトリアージボードを作成することができます。レコードはすべてのトリアージボードで動的に更新されます。

レコードのトリアージと割り当て

トリアージボードから [バックログ] タブにレコードを移動できます。[バックログ] タブで、ポイントを推定し、レコードの [ストーリー情報] タブの [ポイント] フィールドおよび [アサイン先] フィールドを使用して、レコードをユーザーに割り当てることができます。任意の特定のタスクタイプのトリアージボードを開き、すべてのタスクタイプのトリアージボードの合計レコード数を表示することや、特定のトリアージボードのフィルター定義を編集することができます。

ボードビューでのトリアージレコードの操作

ストーリーの操作時には、ボードビューの [スプリント追跡] タブで、トリアージされたレコード (ストーリー別に示されます) を操作します。トリアージされたレコードを別のレーンに移動すると、ラッパーストーリーのステータスは変更されますが、トリアージされた元のレコードのステータスは変わりません。元のトリアージされたレコードのステータスを変更するには、フォームでレコードを開き、ステータスを更新する必要があります。

SAFe — Unified Backlog の有効化

admin ロールを持つ場合は、Agile — Scaled Agile Framework — Unified Backlog プラグイン (com.snc.sdlc.safe.multi_task) を有効化できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Agile - Scaled Agile Framework — Unified Backlog は、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

Agile 用プラグイン — Scaled Agile Framework — Unified Backlog

プラグイン	説明
Agile - Scaled Agile Framework - Essential SAFe [com.snc.sdlc.safe]	無駄のないアジャイルプリンシパルを Agile リリーストレーニングとチームに適用し、実行可能な最短のリードタイムで欠陥の少ない作業を開発、提供できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

SAFe でトリアージボードを設定する

フィルター基準を定義して独自のトリアージボードを設定し、問題、インシデントタスク、欠陥、変更要求など、チームにとって重要なレコードを表示します。たとえば、欠陥に対して 1 つのトリアージボードを作成し、インシデントに対して別のトリアージボードを作成することができます。

始める前に
SAFe — Unified Backlog の有効化

このトリアージボードから、作業の処理を担当する SAFe チームに追加される必要があります。

必要なロール：safe_scrum_master

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > **SAFe** ボード.
2. [バックログ] タブを選択します。
3. [トリアージボード] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

SAFe トリアージ定義フォーム

フィールド	説明
名前	トリアージボードに適した名前。
テーブル	レコードをフィルターするテーブル。
フィルター	レコードを絞り込むためにテーブルに適用するフィルター条件。

   注:
   トリアージボードを設定するときは、次のデフォルト条件を削除しないでください。
   - アクティブが **true**：この条件は、トリアージボード上のタスクに関連性があることを確認するものです。
   - アジャイルストーリーが空：この条件は、タスクが他のバックログに存在しないことを確認するものです。

5. [送信] をクリックします。
   トリアージ定義が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

1. トリアージ定義を選択します。
2. トリアージ定義にレコードを追加するには、[新規] をクリックします。
3. トリアージボードから [バックログ] タブにレコードを移動するには、[バックログに追加] をクリックします。

Essential SAFe 用 パフォーマンスアナリティクス コンテンツパック

Essential SAFe 用 プラットフォームアナリティクス コンテンツパックでデータを視覚化する事前設定済みダッシュボードを使用して、SAFe プロセスとプラクティスを改善します。

Essential SAFe の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードの概要。

パフォーマンスアナリティクス ソリューションの有効化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

> **注:**
> ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。
>
> この プラットフォームアナリティクスソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

この プラットフォームアナリティクスソリューション を使用するには、パフォーマンスアナリティクス for Business Management のサブスクリプションをアクティブ化する必要があります。パフォーマンスアナリティクス の資格付与の詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

このベースシステム プラットフォームアナリティクスソリューション は ServiceNow Store から利用できます。このソリューションを有効にするには、管理者として次の場所に移動します。 システム アプリケーション > **ServiceNow Store** を検索.ServiceNow Store のランディングページが開いたら、Essential SAFe の パフォーマンスアナリティクス コンテンツパックを検索します。ソリューションが見つかったら、ServiceNow Store の指示に従ってください。ServiceNow Store には、独自のドキュメントが用意されています。

ビジネスステークホルダーロールサポート

ビジネスステークホルダーロール (sn_safe_read) には、すべての Essential SAFe ダッシュボードへの読み取り専用アクセス権があります。詳細については、「Essential SAFe および Portfolio SAFe のビジネスステークホルダーロール」を参照してください。

関連情報

- プラットフォームアナリティクスソリューション
- Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe 用 Performance Analytics コンテンツパックをインストールする

ServiceNow Store から Essential SAFe 用 Performance Analytics コンテンツパックアプリケーションをインストールし、ART、PI、エピック、スプリント、およびチーム用のダッシュボードの使用を開始します。

始める前に

- Essential SAFe (com.snc.sdlc.safe) プラグインをアクティブ化します。
- Performance Analytics (com.snc.pa) プラグインのアクティブ化

必要なロール：管理者

注:

- プラグインとアプリケーションがインストールされ、アクティブ化されていることを確認するには、次に移動します サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。
- 本番インスタンスで Essential SAFe および Performance Analytics プラグインをアクティブ化するには、別の Performance Analytics ライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow のサポートにお問い合わせください。

手順

1. ServiceNow® Store に移動します。
2. Essential SAFe 用 Performance Analytics コンテンツパックを検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   インストールしているアプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

   注:
   該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [インストールを要求] をクリックします。
6. [インスタンス名] フィールドに詳細を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [インスタンスの理由] フィールドに詳細を入力し、[要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. Essential SAFe 用 Performance Analytics コンテンツパックをインストールしたいインスタンスにログインします。
9. 移動先 システムアプリケーション > アプリケーション.
10. アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

タスクの結果

ダッシュボードには、次の場所からアクセスできます。Essential SAFe **Scaled Agile Framework (SAFe)** > ダッシュボード.

次のタスク

[SAFe] 日次データ収集ジョブを開始します。詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードの日次データ収集の有効化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Essential SAFe ダッシュボードの日次データ収集の有効化

Essential SAFe ダッシュボードにて、新しいデータに対するスコア収集が自動的に行われるようにするには、スケジュール設定済みデータ収集を有効にします。データ収集ジョブにより、自動インジケーターおよび自動ブレークダウンのスコアが自動的に収集されます。

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて

> **注:**
> 履歴データ収集は、[SAFe] 日次データ収集ジョブの基礎となるインジケーターではサポートされていません。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. [SAFe] 日次データ収集ジョブを見つけて開きます。
3. [SAFe] 日次データ収集ジョブを開始します。
   a. [ジョブパラメーター] セクションまで下方向にスクロールします。
   b. [実行方法] フィールドを pa_admin、pa_data_collector、または admin ロールに設定します。
   c. 組織に対して [実行時のタイムゾーン] フィールドのタイムゾーンが適切であることを確認します。
   このタイムゾーンは、次の目的で使用されます。
      - このジョブ用に作成されたデータベースクエリ
      - [[作成][日付][今日]] などのインジケーター条件
   d. [アクティブ] チェックボックスをオンにして、ジョブのスケジュール実行を有効にします。
4. [更新] をクリックします。

Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用

Solution Library を使用して、Essential SAFe ダッシュボードの最新レイアウトにアップグレードします。

Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe の最新バージョン 1.1 にアップグレードした既存のユーザーは、Solution Library からダッシュボードの最新のレイアウトをインストールできます。

たとえば、アプリケーションのバージョン 1.0.1 以前からアップグレードしている場合は、Solution Library から次のダッシュボードをインストールすることで、最新のレイアウトを利用できます。

- SAFe 機能ダッシュボード
- SAFe スプリントダッシュボード
- SAFe PI ダッシュボード
- SAFe エピックダッシュボード
- SAFe チームダッシュボード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

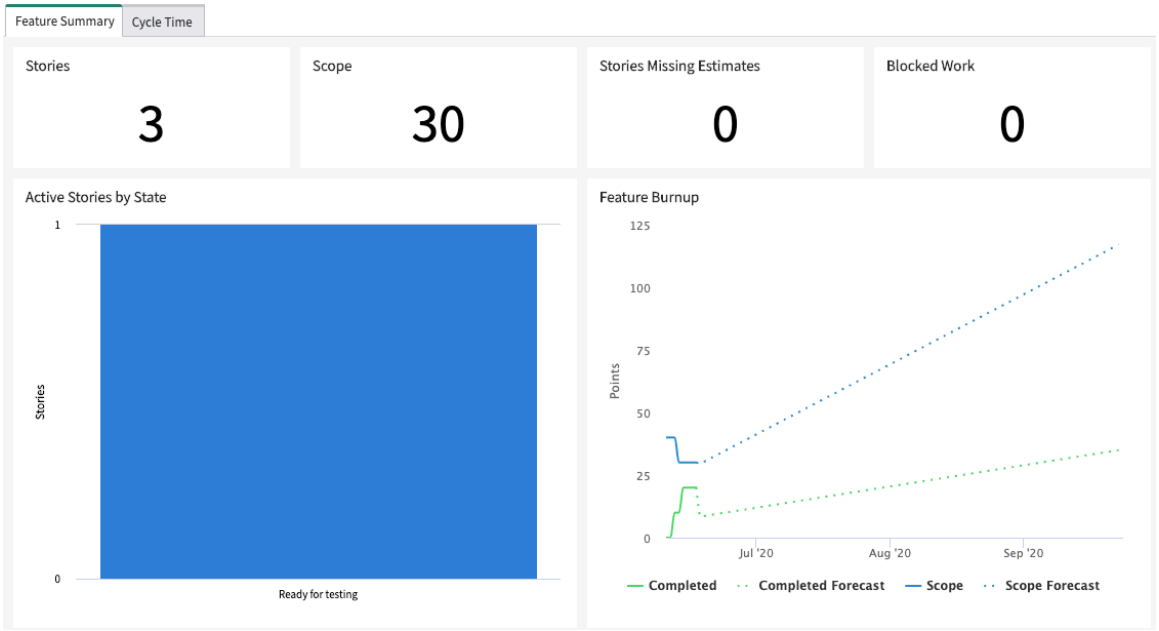
詳細については、「ソリューション ライブラリを使用したダッシュボードのインストール」を参照してください。

> **注:**
> Washington DC リリースのユーザーの場合、Solution Library コンテンツフォームに [インストール] および [アップグレード] ボタンは表示されません。この問題の解決方法については、「 ストアアプリに PA Solution Library を許可する」を参照してください。

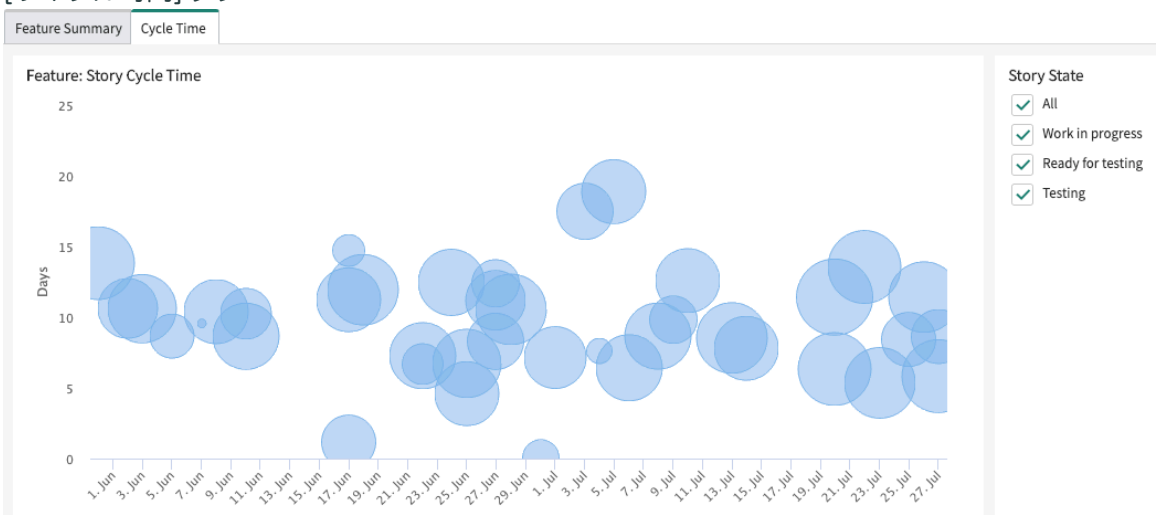
SAFe 機能ダッシュボード

SAFe 機能ダッシュボードでは、特定の期間におけるスコープの変更と、機能のストーリーの進行状況を視覚化することができます。

[機能サマリー] タブ



[サイクル時間] タブ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAFe ART ユーザー：機能で完了した作業の量を表示します。機能が時間どおりに完了できるかどうかを測定します。	safe_scrum_user

インジケーター

SAFe：機能内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

機能バーンアップレポートに完了した行を生成します。

SAFe：機能内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計

機能バーンアップレポートにスコープ行を生成します。

ウィジェット

ストーリー

機能の合計ストーリー数を示します。

スコープ

ストーリーポイント内にある機能のスコープを示します。このウィジェットを使用すると、機能で完了する必要がある作業量を一目で確認できます。

推定値が欠落するストーリー

推定値が欠落している機能内のストーリー数を示します。

ブロックされた作業

ブロックされた機能の作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。

データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のビジュアル化にアクセスします。

- 機能バーンアップ
- ストーリーのサイクル時間

詳細については、「Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
ステータス別のストーリー	棒グラフ 	ステータス別にグループ化されたすべてのストーリーを確認し、機能の全体的な進捗状況を一目で把握できます。

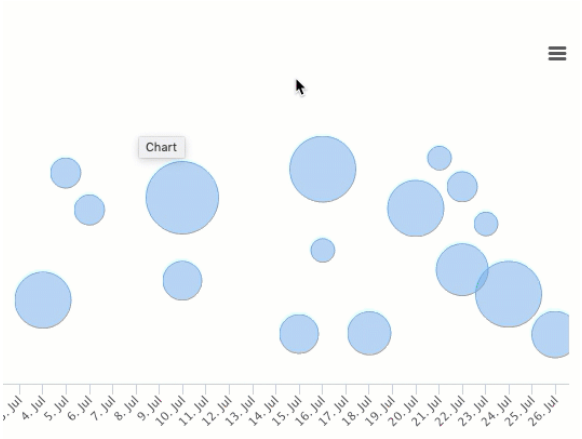
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
機能バーンアップ	線グラフ 	スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。機能が完了すると考えられる時期を推定できます。 機能バーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：機能のサイズを、この機能で定義されたストーリーポイントの合計として示します。 • スコープ予測：履歴データに基づいて、将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。 • 完了：完了した機能の作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。 • 完了予測：将来の日付のバーンアップを予測します。機能が時間どおりに完了できるかどうかを示します。この予測は履歴データに基づいています。 **注:** 完了した予測データ系列がスコープ予測データ系列と交差するポイントにより、機能がいつ完了するかが予測されます。完了した予測系列とスコープ予測系列がどこまでも交差しないように見える場合は、作業の完了よりも速くスコープが追加されていることを示してるので、注意が必要です。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブル チャート 	機能の各ストーリーが「進行中」ステータスから「完了」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸からの高さは、ストーリーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーポイントに基づき、相対的なものです。 バブルの上にマウスカーソルを合わせると、該当するストーリーに関する次の詳細が表示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、レポートをフィルタリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間を表示できます。グラフには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステータスのすべての期間の累積合計として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

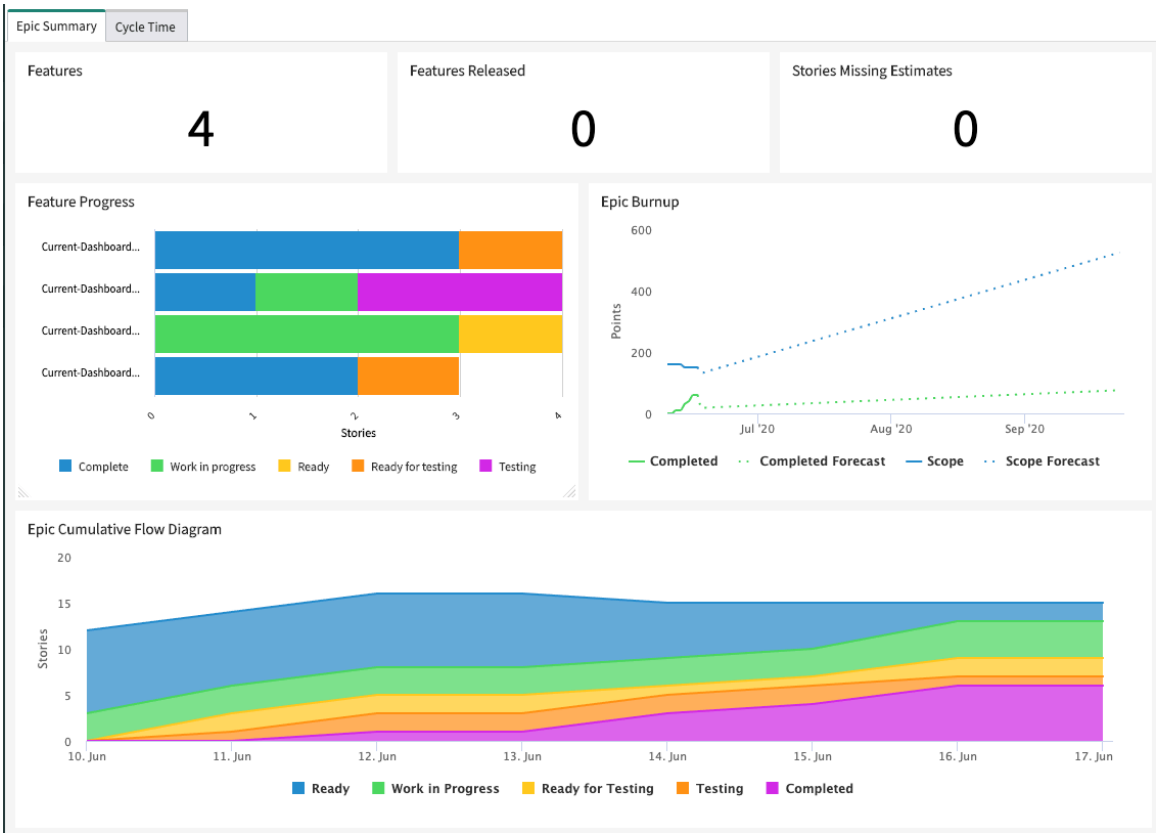
タイトル	タイプ	説明
		レポートのチャートのいずれかの領域で、ストーリーが多すぎてバブルが密集しているように見える場合は、レポートの特定の領域を拡大して見やすくすることができます。 

バーンアップレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

SAFe エピックダッシュボード

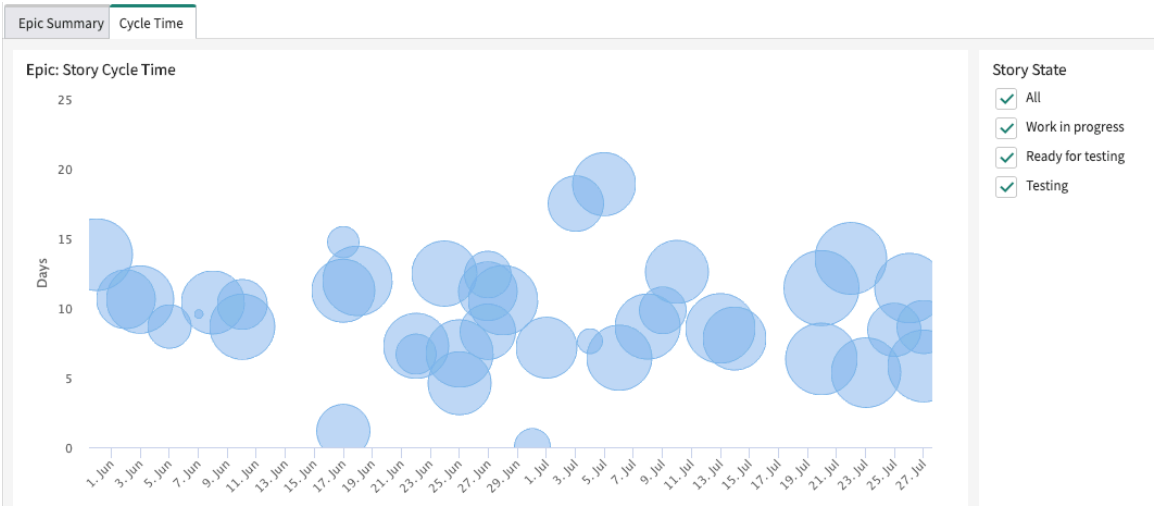
SAFe エピックダッシュボードでは、特定の期間でエピックの機能がどのように進行しているかを視覚化することができます。

[エピックサマリー] タブ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サイクル時間] タブ



SAFe エピックダッシュボードでは、完了した機能の合計数、推定値が欠落しているストーリーの数などが表示されます。また、ART メンバーがエピックの機能を完了するペースも示します。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAFe ART ユーザー：エピックのすべての機能の進捗状況を示します。	safe_scrum_user

インジケーター

SAFe：エピック内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

エピックバーンアップレポートにスコープ系列を生成します。

SAFe：エピック内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計

エピックバーンアップレポートに完了した系列を生成します。この系列は、エピック内の完了済みの作業量を示します。

SAFe：現在のエピックのすべてのストーリーの数

現在のエピックのストーリー数をステータス別に示す、バブルチャートのデータ系列のエピック累積フロー図レポートを生成します。

ブレークダウン

- SAFe：エピック
- SAFe：ステータス

ウィジェット

特徴

エピックの合計機能数を示します。

リリースされた機能

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エピック内で完了した機能数を示します。

推定値が欠落するストーリー

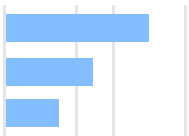
推定値が欠落しているエピック内のストーリー数を示します。

データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のビジュアル化にアクセスします。

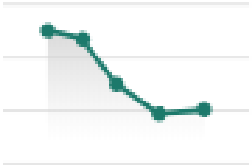
- エピックバーンアップ
- エピック累積フロー図
- ストーリーのサイクル時間

詳細については、「Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
機能の進捗状況	水平棒グラフ 	エピックのすべての機能の進捗状況を示します。
エピックバーンアップ	線グラフ 	エピックバーンアップの傾向を表示します。エピックがいつ完了します。 エピックバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示とができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：エピックのサイズを示します。 • スコープ予測：履歴データに基づいて、将来の日付のスコープ変測します。 • 完了：エピック内の完了した作業量を示します。 • 完了予測：将来の日付のバーンアップを予測します。エピックを了できるかどうかを示します。この予測は履歴データに基づいて **注:** 完了した予測データ系列がスコープ予測データ系列と交差するり、エピックがいつ完了するかが予測されます。完了した予測予測系列がどこまでも交差しないように見える場合は、作業のスコープが追加されていることを示してるので、注意が必要で
エピック累積フロー図	面グラフ	実際の開始日から終了日まで、エピックの全ストーリーの進行状況 各ステータスのストーリーの数を、ステータスの開始時間、ステー間、およびステータスの終了時間により示します。

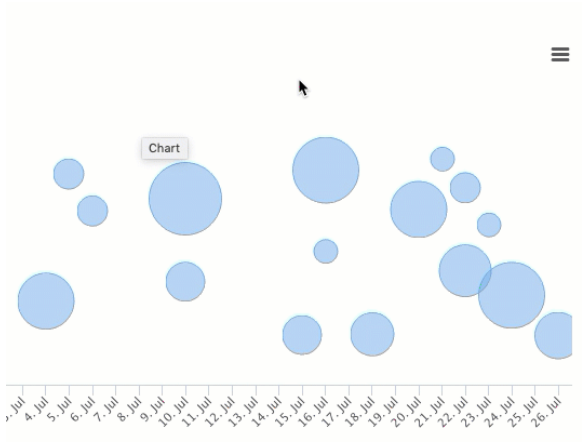
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		エピック累積フロー図は、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替える次のバブルチャートから構成されています。 • 準備完了：作業を開始する準備が完了しているエピックのストーリー数を示します。 • 対応中：開発中のエピックのストーリー数を示します。 • テストの準備完了：テストする準備が完了しているエピックのストーリー数を示します。 • テスト：現在テスト中のエピックのストーリー数を示します。 • 完了：完了したストーリー数を示します。 **注:** 「準備完了」ステータスおよび「キャンセル」ステータスのストーリーのレポートには含まれません。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブル チャート 	エピックの各ストーリーのステータスが「進行中」から「完了」にかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸かトーリーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移かった時間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーき、相対的なものです。 バブルの上にマウスカーソルを合わせると、該当するストーリーにが表示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、ルタリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間す。グラフには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステー期間の累積合計として表示されます。 レポートのチャートのいずれかの領域で、ストーリーが多すぎてバいるように見える場合は、レポートの特定の領域を拡大して見やすきます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

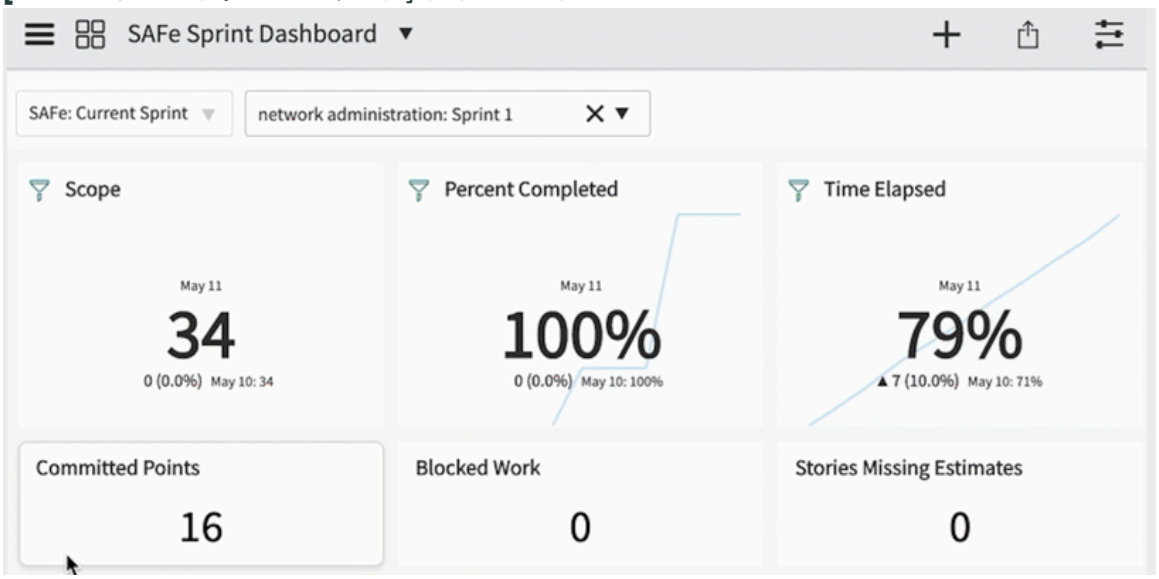
タイトル	タイプ	説明
		

バーンアップおよび累積フロー図のレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

SAFe スプリントダッシュボード

SAFe スプリントダッシュボードを使用して、現在のスプリントで SAFe ストーリーの進行状況を追跡し、スプリントの完了を予測します。

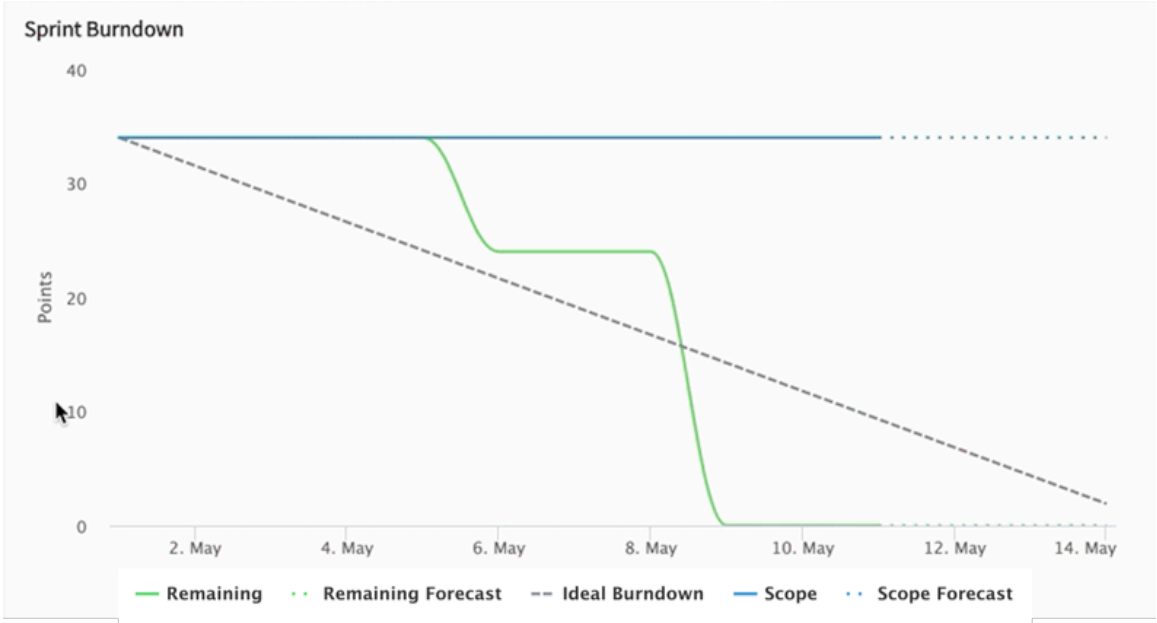
[SAFe スプリントダッシュボード] ウィジェット



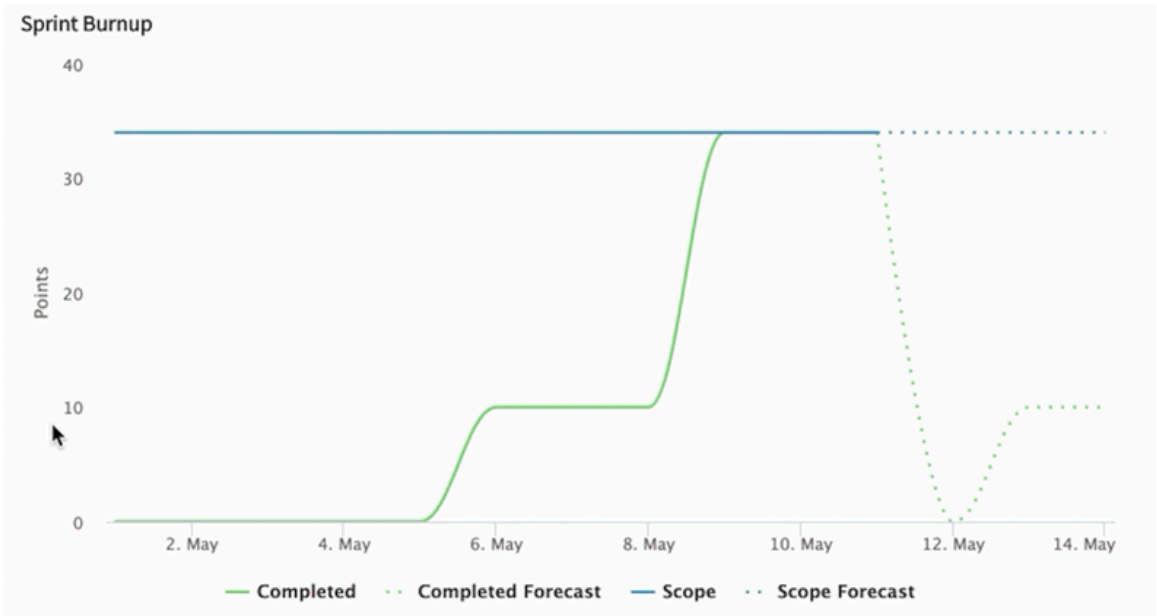
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

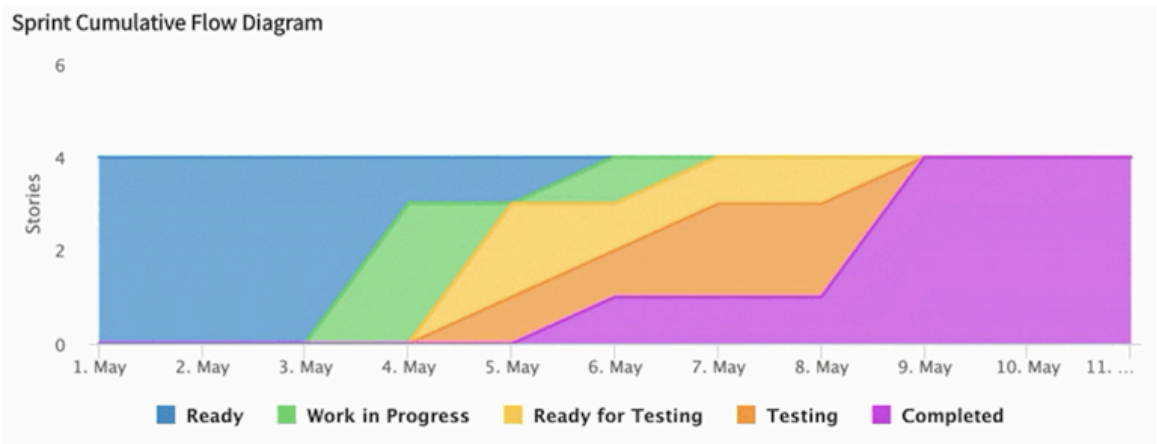
SAFe スプリントダッシュボードバーンダウンレポート



SAFe スプリントダッシュボードバーンアップレポート



SAFe スプリントダッシュボードの累積フロー図



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード：

- 完了した作業の割合、経過時間、推定が欠落しているストーリーの合計数など、スプリントの重要な詳細を表示します。
- 現在のステータスのスプリントのストーリー数とその進行状況が表示されます。
- スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。
- チームがスプリントの目標を達成するためにストーリーを進捗させる方法を示します。
- スプリントが予定通りに完了する可能性を示す予測データ。

注:
キャンセルされたストーリーは、このデータのいずれにも含まれません。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
SAFe スクラムマスター：スプリントバーンダウンの傾向をレビューします。ボトルネックを解消し、スプリントを時間どおりに完了するためのターゲットを設定します。	safe_scrum_user	• スプリントのスコープの変更を分析します • スプリントのストーリーの現在のステータスを表示し、各ステータスにある時間を分析します • スプリントの完了日を推定します

インジケーター

SAFe：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

スプリントバーンダウンレポートでスコープ系列を生成します。スコープ系列は、スプリントに計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。

SAFe：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計

スプリントバーンダウンレポートで実際のバーンダウン系列を生成します。実際のバーンダウン系列は、完了までに残る作業量 (ストーリーポイント) を示します。

SAFe：現在のスプリントの完了したストーリーのストーリーポイントの合計

現在のスプリントで完了したストーリーのパーセンテージを算出します。

SAFe：スプリントでの経過時間

[経過時間] ウィジェットに表示される時間を計算します。

SAFe：現在のスプリントのストーリー数

スプリント累積フロー図レポートにバブルチャートの系列を生成します。現在のスプリントのストーリー数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン

- SAFe：スプリント
- SAFe：現在のスプリント
- SAFe：ステータス

ウィジェット

スコープ

スプリントに計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。このウィジェットを使用すると、スプリントの目標を達成するために完了する必要がある作業量を一目で確認できます。また、スプリントに計画されたストーリーの詳細にドリルダウンすることもできます。

完了率

ストーリーポイントを使用して、スプリントで完了した作業の割合を示します。このウィジェットを使用すると、スプリントで完了済みの作業量を一目で確認できます。これらのウィジェットでは、隣接する [経過時間] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりにスプリントの目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

経過時間

スプリントの開始日から終了予定日までの経過時間の割合を示します。これらのウィジェットでは、隣接する [完了率] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりにスプリントの目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

コミットポイント

スプリントのコミット済みスコープ (ストーリーポイント数) を示します。これらのウィジェットでは、隣接する [スコープ] ウィジェットとともに使用して、スプリントの開始時にコミットされたスコープと、スプリントの現在のスコープの相違を確認できます。

> **注:**
> このウィジェットはデフォルトで表示されません。レポートからダッシュボードに追加できます。詳細については、「レスポンシブダッシュボードの編集」を参照してください。

ブロックされた作業

ブロックされたスプリントの作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。

推定値が欠落するストーリー

推定値が欠落しているスプリント内のストーリーの合計数を示します。このダッシュボードの他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートの推定値を活用する必要があります。

> **注:**
> ストーリーを推定しない場合は、[ストーリーポイント] フィールドに「1」を入力します。他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートは、カウントごとに効果的に機能します。

自動翻訳

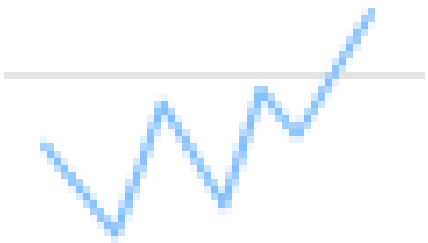
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のビジュアル化にアクセスします。

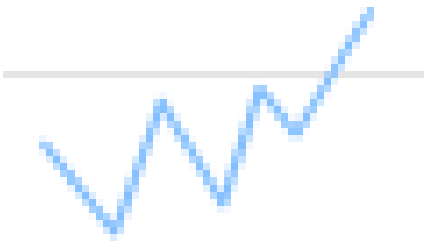
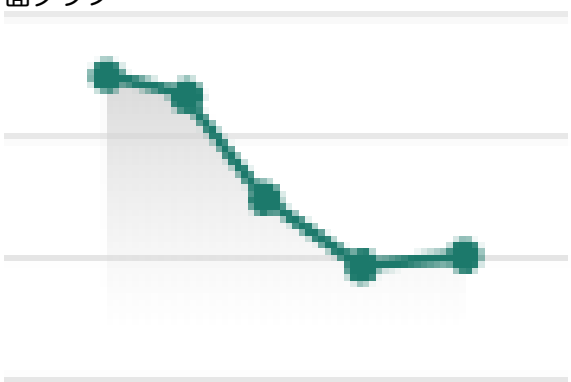
- スプリントバーンアップ
- スプリント累積フロー図

詳細については、「Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
スプリントバーンダウン	線グラフ 	スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。作業の理想的なペース、残る作業量、およびスプリントの終了前にスコープが完了する可能性があるかどうかを示します。スプリントバーンダウンレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに現在計画されている作業量を示します。スプリントの開始後にストーリーがスプリントに追加されたり、スプリントから削除されたりすると、この値は変化する可能性があります。 • スコープ予測：現在のスプリントの変更履歴に基づいて、将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。 • 理想的なバーンダウン：チームがスプリントを時間どおりに完了するためにストーリーをどのように進捗させる必要があるかを示します。 • 残り：スプリントの完了までに残る作業量を示します。 実際のバーンダウン (残り) が理想的なバーンダウンを上回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、スプリントのスケジュールより遅れています。実際のバーンダウン (残り) が理想的なバーンダウンを下回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		スプリントのスケジュールより進んでいます。 • 残りの予測：現在のスプリントの変更履歴に基づいて、将来の日付のバーンダウンを予測します。
スプリントバーンアップ	線グラフ 	スコープの変更を示すスプリントバーンアップの傾向を示します。スコープの将来の変更と作業完了の傾向を予測します。 スプリントバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに計画されている作業量を示します。 • スコープ予測：履歴データに基づいて、将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。 • 完了：スプリント内の完了した作業量を示します。 • 完了予測：将来の日付のバーンアップを予測します。スプリントを時間どおりに完了できるかどうかを示します。この予測は履歴データに基づいています。
スプリント累積フロー図	面グラフ 	実際の開始日から終了日まで、スプリントの全ストーリーの進行状況を監視します。 各ステータスのストーリーの数を、ステータスの開始時間、ステータスでの経過時間、およびステータスの終了時間により示します。 スプリント累積フロー図は、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のバブルチャートから構成されています。 • 準備完了：作業を開始する準備が完了しているスプリントのストーリー数を示します。 • 対応中：開発中のスプリントのストーリー数を示します。 • テストの準備完了：テストする準備が完了しているスプリントのストーリー数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

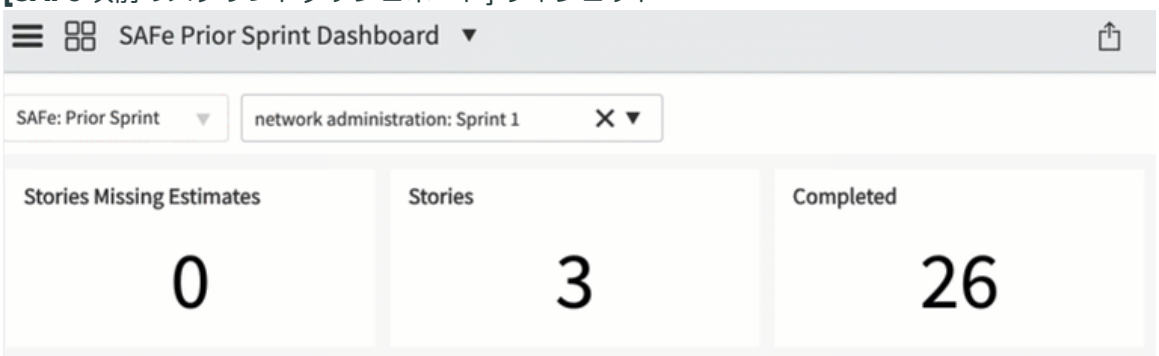
タイトル	タイプ	説明
		• テスト：現在テスト中のスプリントのストーリー数を示します。 • 完了：完了したスプリントのストーリー数を示します。 注: 「準備完了」ステータスおよび「キャンセル」ステータスのストーリーは、このレポートには含まれません。

バーンアップ、バーンダウン、および累積フロー図のレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

SAFe 先行スプリントダッシュボード

SAFe 先行スプリントダッシュボードでは、スコープ、実際のバーンアップとバーンダウン、および以前のスプリントの予測傾向に関するデータを視覚化できます。データを分析し、今後のスプリントの作業を計画します。

[SAFe 以前のスプリントダッシュボード] ウィジェット



SAFe 以前のスプリントダッシュボードバーンダウンレポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAFe 以前のスプリントダッシュボードバーンアップレポート



注:
キャンセルされたストーリーは、このデータのいずれにも含まれません。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
SAFe スクラムマスター：スコープ、実際のバーンアップとバーンダウンに関するデータを分析し、以前のスプリントの傾向を予測します。	safe_scrum_user	• スプリントのバーンアップとバーンダウンの傾向を分析できます • 今後のスプリントの計画にデータを利用できます

インジケーター

SAFe：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

SAFe スプリントバーンダウンレポートでスコープ系列を生成します。

SAFe：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計

SAFe スプリントバーンダウンレポートで実際のバーンダウン系列を生成します。

ブレークダウン

- SAFe：スプリント
- SAFe：以前のスプリント

ウィジェット

コミットポイント

スプリントのコミット済みスコープ (ストーリーポイント数) を示します。

ストーリー

以前のスプリントで完了したストーリーの合計数を示します。

完了

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

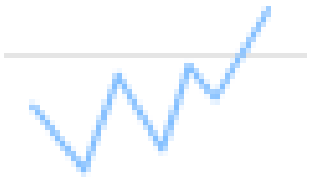
以前のスプリントで完了した作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。

推定値が欠落するストーリー

推定値が欠落している以前のスプリント内のストーリーの合計数を示します。

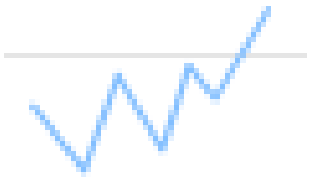
データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、スプリントバーンアップレポートにアクセスします。詳細については、「Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
スプリントバーンダウン	線グラフ 	スコープとスコープの変更率、作業の理想的な完了率、および実際の作業完了率を表示します。バーンダウンの傾向を分析し、それに応じて今後のスプリントの作業負荷を計画します。 スプリントバーンダウンレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに計画されている作業量を示します。 • 理想的なバーンダウン：チームがスプリントを時間どおりに完了するためにストーリーをどのように進捗させる必要があるかを示します。 • 残り：スプリントの完了までに残る作業量を示します。 残りが理想的なバーンダウンを上回っている場合は、当初の予定よりも多くの作業が残っていることを意味します。チームの進行は、スプリントのスケジュールより遅れています。 残りが理想的なバーンダウンを下回っている場合は、当初の予定よりも少ない作業が残っていることを意味します。チームの進行は、スプリントのスケジュールより進んでいます。 バーンダウンの傾向を分析し、それに応じて今後のスプリントの作業負荷を計画します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
スプリントバーンアップ	線グラフ 	スコープの変更を示す以前のスプリントバーンアップの傾向を示します。チームの完了作業の傾向について、将来の変化を分析します。 スプリントバーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：スプリントに計画されている作業量を示します。 • 完了：スプリント内の完了した作業量を示します。

バーンアップおよびバーンダウンのレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

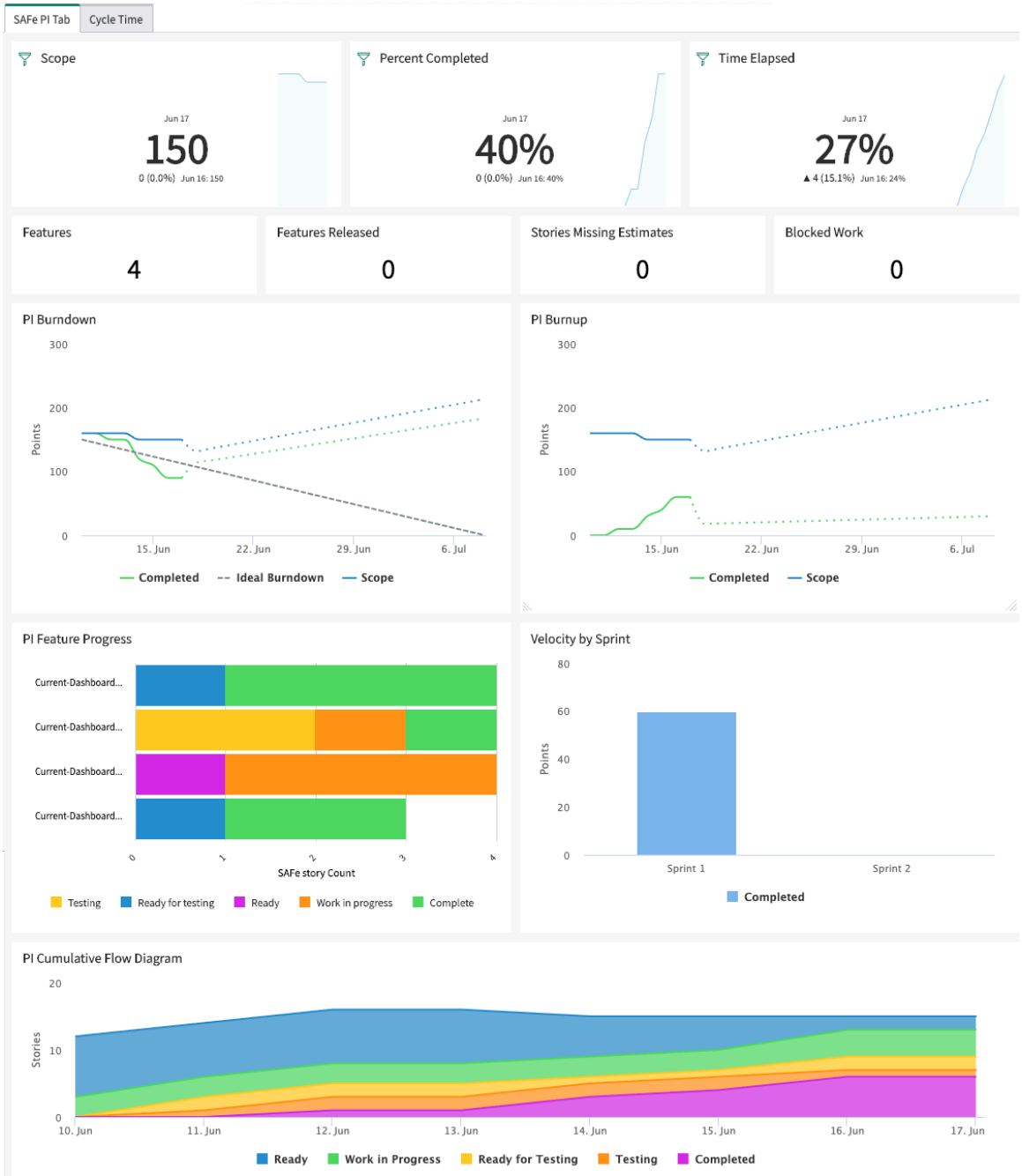
SAFe PI ダッシュボード

SAFe PI ダッシュボードを使用すると、現在のプログラムインクリメント (PI) における機能の進捗状況を追跡できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

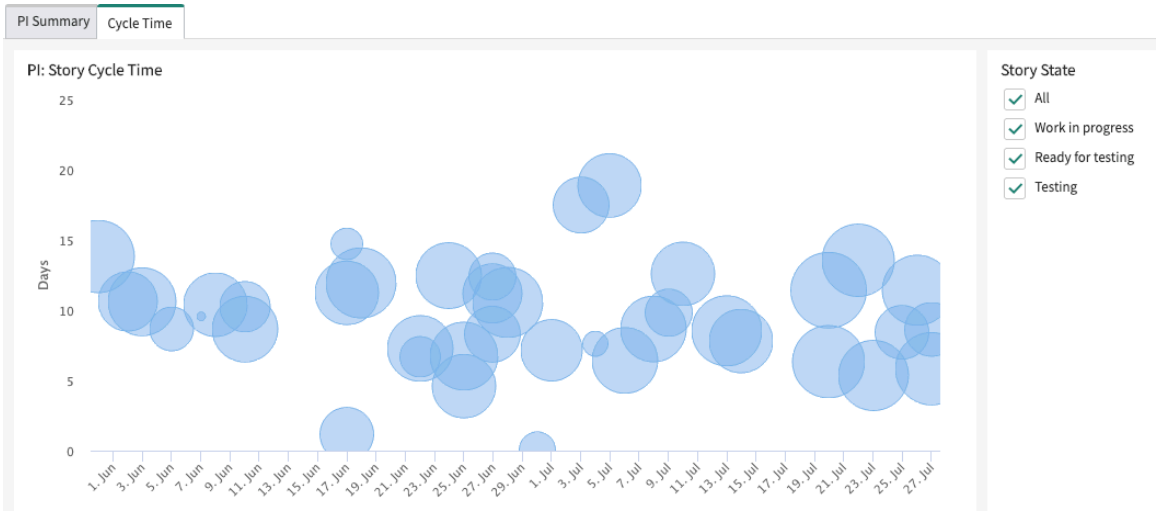
[PI サマリー] タブ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サイクル時間] タブ



SAFe PI ダッシュボードには、次の詳細が表示されます。

- 完了した作業の割合、経過時間、推定が欠落しているストーリーの合計数など、PI の重要な詳細を表示します。
- 現在のステータスの PI のストーリー数とその進行状況が表示されます。
- スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の傾向を示します。
- ART メンバーが PI に対して計画されている機能を完了するペースを示します。
- PI が予定通りに完了する可能性を示す予測データ。
- PI のストーリーが進行中ステータスから完了済みステータスになるまでの経過時間を表示します。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAFe ART ユーザー：PI に対して計画されているストーリーの進行状況を追跡します。ボトルネックを解消し、PI を時間どおりに完了するためのターゲットを設定します。	safe_scrum_user

インジケーター

SAFe：現在の PI のすべてのストーリーの数

現在の PI のストーリー数をステータス別に示す、バブルチャートのデータ系列の PI 累積フロー図レポートを生成します。

SAFe：現在の PI のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

PI バーンダウンレポートでスコープ系列を生成します。この系列は、PI に計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。

SAFe：現在の PI の完了したストーリーのストーリーポイントの合計

PI バーンダウンレポートに実際のバーンダウン系列を生成し、PI バーンアップレポートに完了済みの系列を生成します。この系列は、PI について完了済みの作業量 (ストーリーポイント) を示します。

SAFe：現在の PI のアクティブストーリーのストーリーポイントの合計

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

PI バーンダウンレポートおよび PI バーンアップレポートでスコープ系列を生成します。スコープ系列は、PI に計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。

SAFe：PI での経過時間

[経過時間] ウィジェットに表示される時間を計算します。

ブレークダウン

- SAFe：PI
- SAFe：ステータス

ウィジェット

スコープ

PI に計画されている作業量 (ストーリーポイント) を示します。このウィジェットを使用すると、PI の目標を達成するために完了する必要がある作業量を一目で確認できます。また、PI での完了を計画されたストーリーの詳細にドリルダウンすることもできます。

完了率

ストーリーポイントを使用して、PI で完了した作業の割合を示します。このウィジェットを使用すると、PI で完了済みの作業量を一目で確認できます。これらのウィジェットでは、隣接する [経過時間] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりに PI の目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

経過時間

PI の開始日から終了予定日までの経過時間の割合を示します。これらのウィジェットでは、隣接する [完了率] ウィジェットと併用して、スケジュールどおりに PI の目標を達成できる速度で作業を完了しているかどうかを簡単に確認できます。

特徴

PI で完了する予定の機能の合計数を示します。

リリースされた機能

PI 内で完了した機能の合計数を示します。

推定値が欠落するストーリー

推定値が欠落している PI 内のストーリーの合計数を示します。このダッシュボードの他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートの推定値を活用する必要があります。

> **注:**
> ストーリーを推定しない場合は、[ストーリーポイント] フィールドに「1」を入力します。他のインジケーター、ウィジェット、およびレポートは、カウントごとに効果的に機能します。

ブロックされた作業

ブロックされた PI の作業量 (ストーリーポイント単位) を示します。

データの可視化

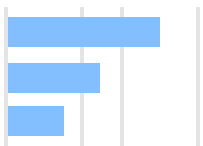
Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のビジュアル化にアクセスします。

自動翻訳

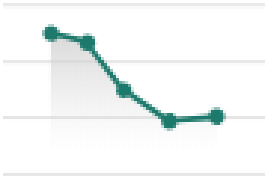
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- PI 累積フロー図
- ストーリーのサイクル時間

詳細については、「Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用」を参照してください。

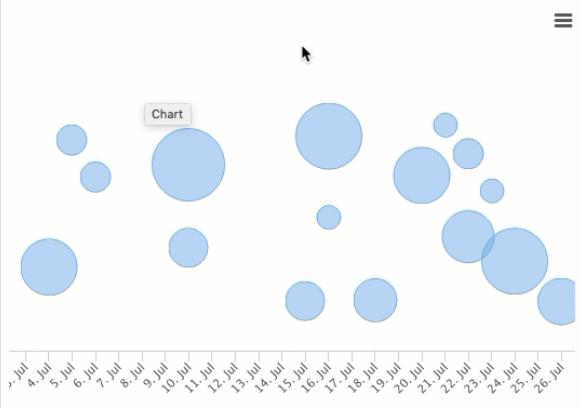
タイトル	タイプ	説明
PI バーンダウン	線グラフ 	スコープの変更がある場合はその変更と、そうしたスコープの変更の作業の理想的なペース、残る作業量、および PI の終了前にスコープ性があるかどうかを示します。PI バーンダウンレポートは、環境設定示/表示を切り替えることができる次のデータ系列から構成されてい • スコープ：PI に計画されている作業量を示します。 • スコープ予測：PI 内の将来の日付のスコープ変更の可能性を予測は履歴データに基づいています。 • 理想的なバーンダウン：ART メンバーが PI を時間どおりに提供すリーをどのように進捗させる必要があるかを示します。 • 残り：PI で完了した作業量を示します。 • 残りの予測：リリース内の将来の日付のバーンダウンを予測します時間どおりに提供できるかどうかを示すものです。
PI バーンアップ	線グラフ 	バーンアップの傾向を分析し、PI 作業がいつ完了する可能性があるかす。PI バーンアップレポートは、環境設定に基づいて非表示/表示をできる次のデータ系列から構成されています。 • スコープ：PI に計画されている作業量を示します。 • スコープ予測：将来の日付のスコープ変更の可能性を予測します。データに基づいています。 • 完了：PI 内の完了した作業量を示します。 • 完了予測：PI 内の将来の日付のバーンアップを予測します。PI をできるかどうかを示します。 **注:** 完了した予測データ系列がスコープ予測データ系列と交差するり、PI がいつ完了するかが予測されます。完了した予測系列とがどこまでも交差しないように見える場合は、作業の完了よりも追加されていることを示してるので、注意が必要です。
PI 機能の進捗状況	水平棒グラフ 	ステータス別に分けられたストーリーの数を表示して、PI のすべてを分析します。
スプリント別の速度	棒グラフ	PI 全体の ART メンバーの速度を表示します。ART メンバーがスプ定した予測可能な速度を達成し、コミットメントを満たしているかどす。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		
PI 累積フロー図	面グラフ 	実際の開始日から終了日まで、PI のすべてのストーリーの進行状況を 各ステータスのストーリーの数を、ステータスの開始時間、ステータ およびステータスの終了時間により示します。 PI 累積フロー図は、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えるこ ブルチャートから構成されています。 • 準備完了：作業を開始する準備が完了している PI のストーリー数 • 対応中：開発中の PI のストーリー数を示します。 • テストの準備完了：テストする準備が完了している PI のストーリ • テスト：現在テスト中の PI のストーリー数を示します。 • 完了：完了したストーリー数を示します。 **注:** 「準備完了」ステータスおよび「キャンセル」ステータスのスト レポートには含まれません。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブル チャート 	PI の各ストーリーが「進行中」ステータスから「完了」ステータスに かかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸から リーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移行する 間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーポイントに ものです。 バブルの上にマウスカーソルを合わせると、該当するストーリーに関 示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、 タリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間を表 フには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステータスのすべ 計として表示されます。 レポートのチャートのいずれかの領域で、ストーリーが多すぎてバブ ように見える場合は、レポートの特定の領域を拡大して見やすくする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

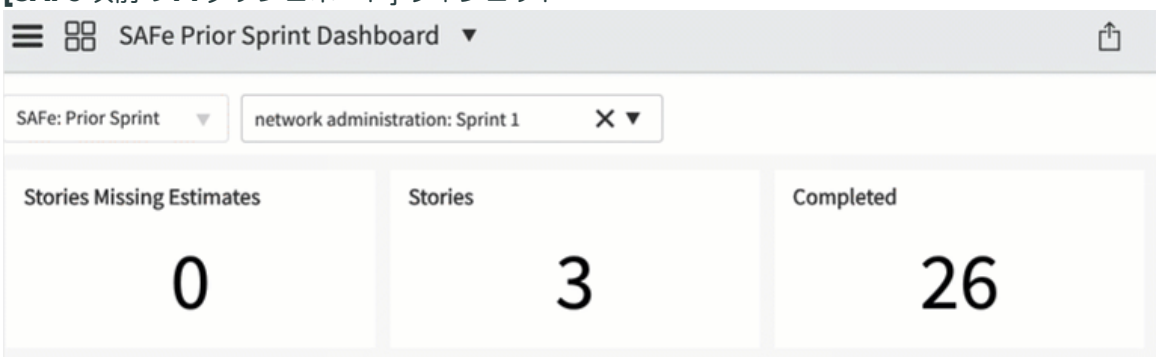
タイトル	タイプ	説明
		

バーンアップ、バーンダウン、および累積フロー図のレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

SAFe 先行 PI ダッシュボード

SAFe 先行 PI ダッシュボードでは、スコープ、実際のバーンダウン、および以前のプログラムインクリメントの予測傾向に関するデータを視覚化できます。データを分析して、今後の PI の作業を計画します。

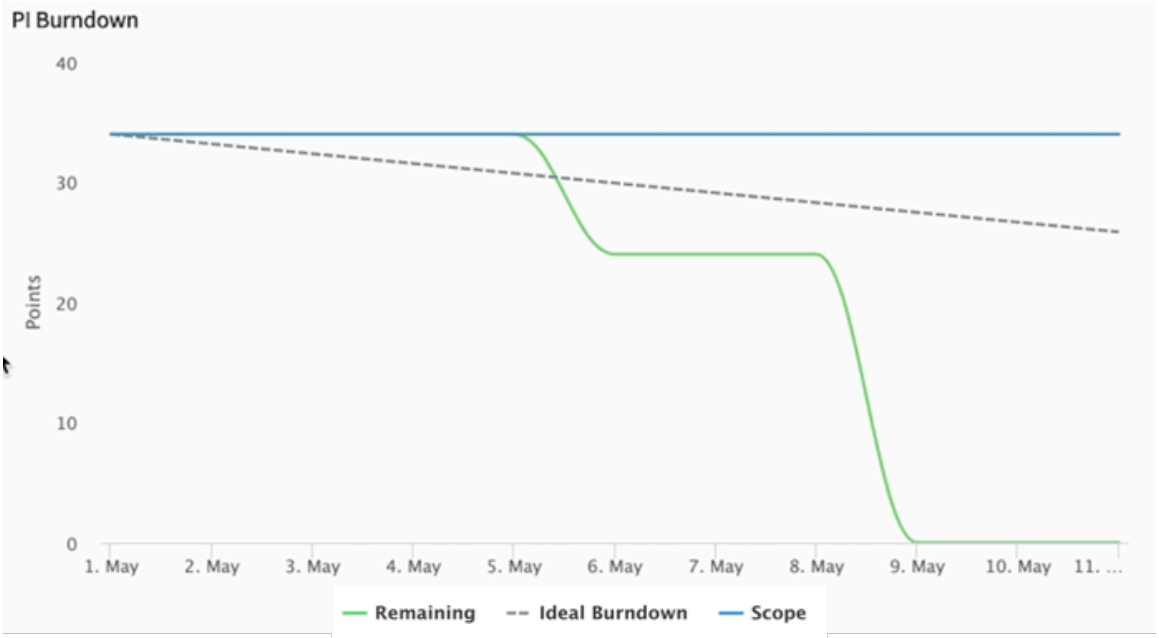
[SAFe 以前の PI ダッシュボード] ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAFe 以前の **PI** バーンアップレポート



SAFe 以前の **PI** バーンアップレポート



自動翻訳

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAFe ART ユーザー：以前のプログラムインクリメントのスコープ、バーンダウン、および予測傾向を分析します。	safe_scrum_user

インジケーター

SAFe：アクティブな PI の完了したストーリーのストーリーポイントの合計

PI バーンダウンレポートに実際のバーンダウン系列を生成し、PI バーンアップレポートに完了済みの系列を生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAFe：アクティブな PI 内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計

PI バーンダウンレポートおよび PI バーンアップレポートでスコープ系列を生成します。

ブレークダウン

SAFe：以前の PI。

ウィジェット

特徴

以前の PI で完了する予定だった機能の合計数を示します。

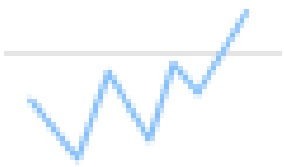
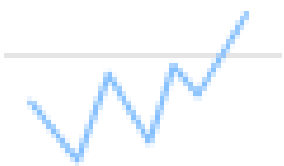
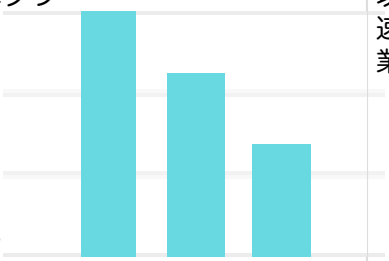
完了

以前の PI で完了した機能の合計数を示します。

推定値が欠落するストーリー

推定値が欠落している以前の PI 内のストーリーの合計数を示します。

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
PI バーンアップ	線グラフ 	以前の PI のバーンアップ傾向を分析します。
PI バーンダウン	線グラフ 	スコープとスコープの変更率、作業の理想的な完了率、および実際の作業完了率を表示します。バーンダウンの傾向を分析し、それに応じて今後の PI の作業負荷を計画します。
PI 速度チャート	棒グラフ 	以前の PI の ART メンバーの速度を表示し、今後の PI の作業負荷を計画します。

バーンアップおよびバーンダウンのレポートをカスタマイズできます。詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードレポートのカスタマイズ」を参照してください。

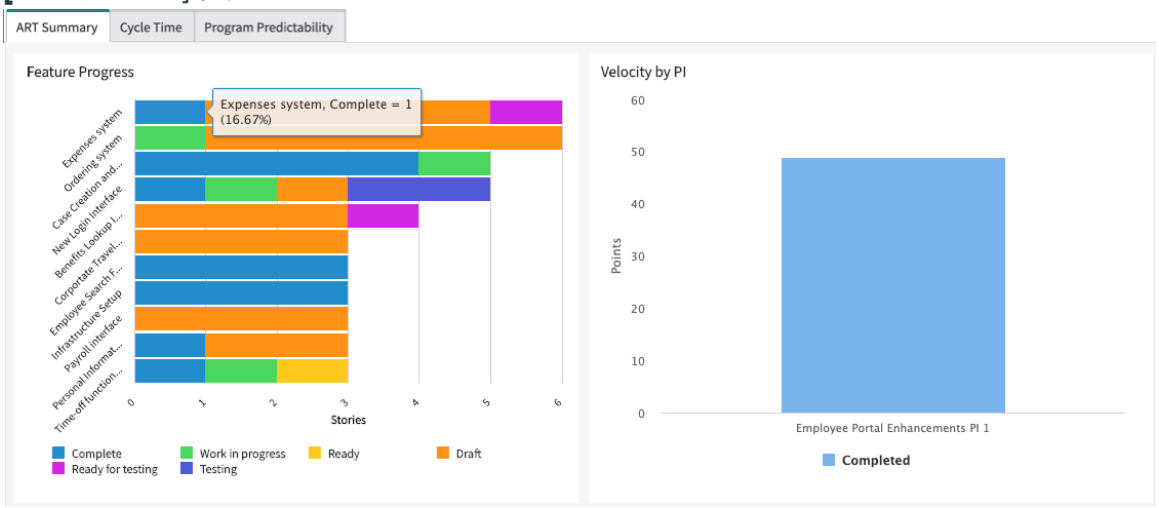
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

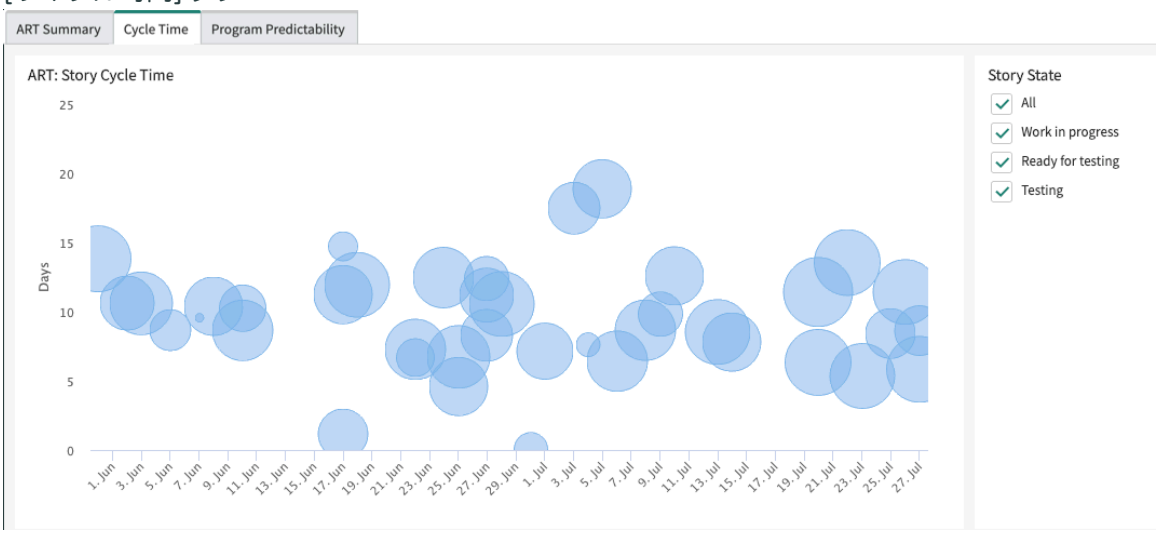
SAFe ART ダッシュボード

SAFeART ダッシュボードを使用して、特定の期間における機能とプログラムインクリメント (PI) に対する ART メンバーの進捗状況を視覚化します。ART メンバーの全体的な速度、PI 目標に対する ART の過去のパフォーマンスに関するインサイトを得て、それに応じて今後のプログラムインクリメントの作業を計画できます。

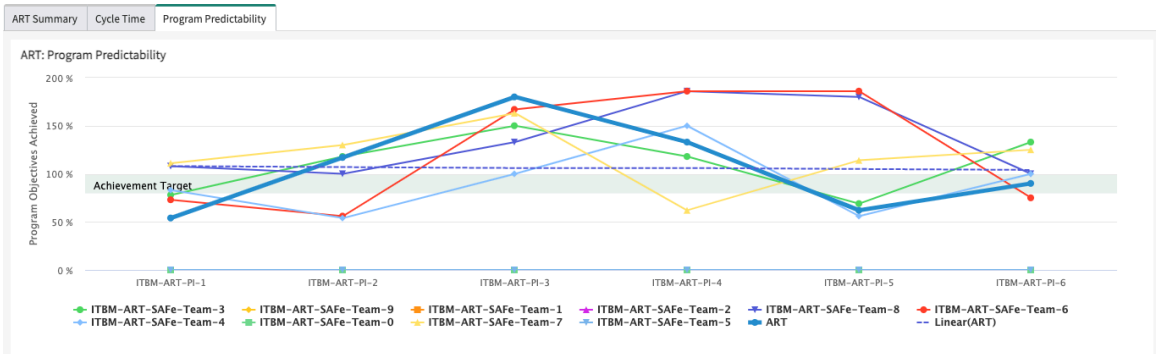
[ART サマリー] タブ



[サイクル時間] タブ



[プログラムの予測可能性] タブ



自動翻訳

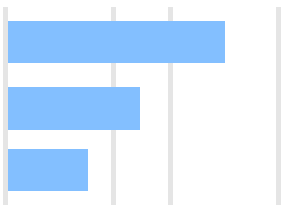
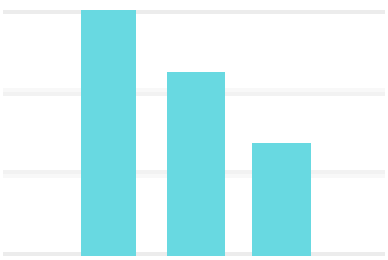
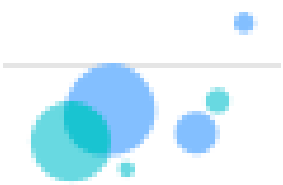
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAFe ART ユーザー：ART メンバーが機能と PI をどのように進捗しているかを表示します。	safe_scrum_user

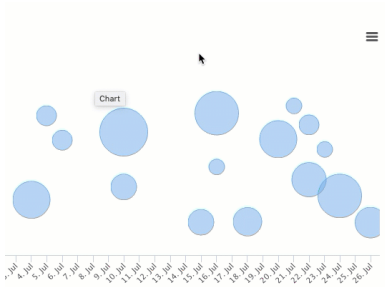
データの可視化

Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、ストーリーのサイクル時間レポートにアクセスします。詳細については、「Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
ART サマリー		
機能の進捗状況	水平棒グラフ 	ART メンバーが作業しているすべての機能の進捗状況を表示します。
PI 別速度	棒グラフ 	さまざまな PI の ART の速度を表示します。ART が安定した予測可能な速度を達成しているかどうかを把握します。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブル チャート 	ART の各ストーリーが「進行中」ステータスから「完了」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸からの高さは、ストーリーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーポイントに基づき、相対的なものです。

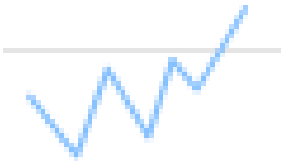
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		バブルの上にマウスカーソルを合わせると、該当するストーリーに関する次の詳細が表示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、レポートをフィルタリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間を表示できます。グラフには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステータスのすべての期間の累積合計として表示されます。 レポートのチャートのいずれかの領域で、ストーリーが多すぎてバブルが密集しているように見える場合は、レポートの特定の領域を拡大して見やすくすることができます。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
ART：プログラムの予測可能性	線グラフ 	PI 目標達成に関する ART の過去のパフォーマンスを追跡します。 このレポートの系列では、ART 全体のパフォーマンスに加えて、ART の各チームのパフォーマンスも示します。 横軸は完了した PI を示し、縦軸は達成されたビジネス価値の範囲をパーセンテージ (%) で示します。 各系列は達成されたビジネス価値を表し、PI 目標の計画ビジネス価値および実績ビジネス価値から計算されます。詳細については、「SAFe PI 目標」を参照してください。 グラフから、設定された PI 目標を 80% から 100% の間で一貫して達成しているチームを確認できます。これは SAFe に基づく理想的な範囲です。 チャート上の直線 (ART) の点線の系列は、ART で達成されたビジネス価値に関する線形回帰を示します。この系列は、達成されたビジネス価値のスコアがどのような傾向にあるかを示すものです。 系列のいずれかのデータポイントにマウスカーソルを合わせると、達成したビジネス価値の数値が表示されます。 • ART 系列の PI のデータポイントのいずれかをクリックすると、ドリルダウンされ、クリックした PI のグラフのプロットに使用される PI 目標のリストが表示されます。 [タイプ] 列を [プログラム] に設定してリストをフィルタリングすると、ART に対する PI 目標のみが表示されます。 • チーム系列の PI のデータポイントのいずれかをクリック

自動翻訳

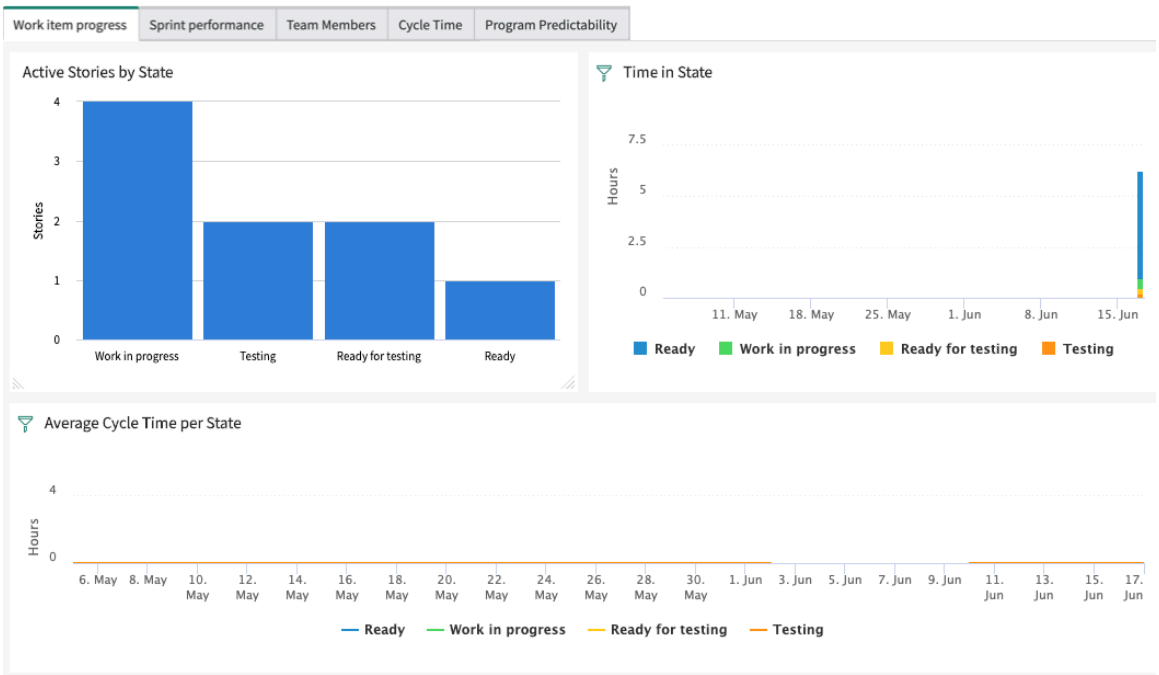
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		すると、ドリルダウンされ、クリックした PI のグラフのプロットに使用される PI 目標のリストが表示されます。 このリストに表示されている目標は、選択したチームに対するもののみです。

SAFe チームダッシュボード

特定の期間におけるストーリーに対するチームの進捗状況を視覚的に分析します。チームの全体的な速度に関するインサイトを得て、今後のスプリントとプログラムインクリメント (PI) に対するチームのキャパシティを計画するのに役立ちます。さらに、すべてのチームメンバーの詳細を確認することもできます。

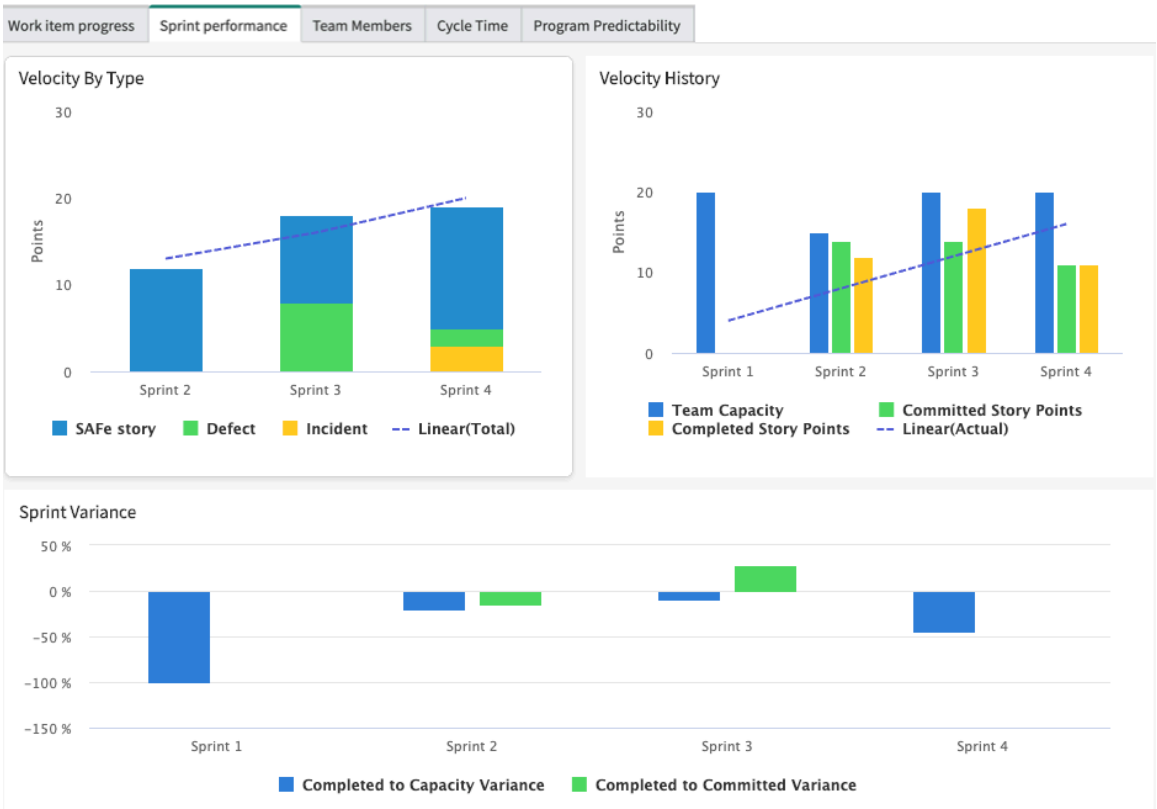
[作業アイテムの進捗状況] タブ



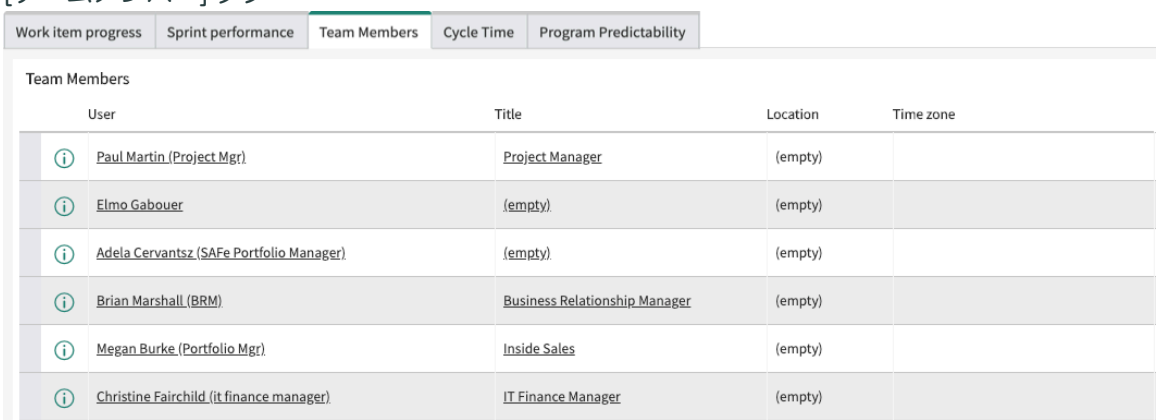
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[スプリントパフォーマンス] タブ



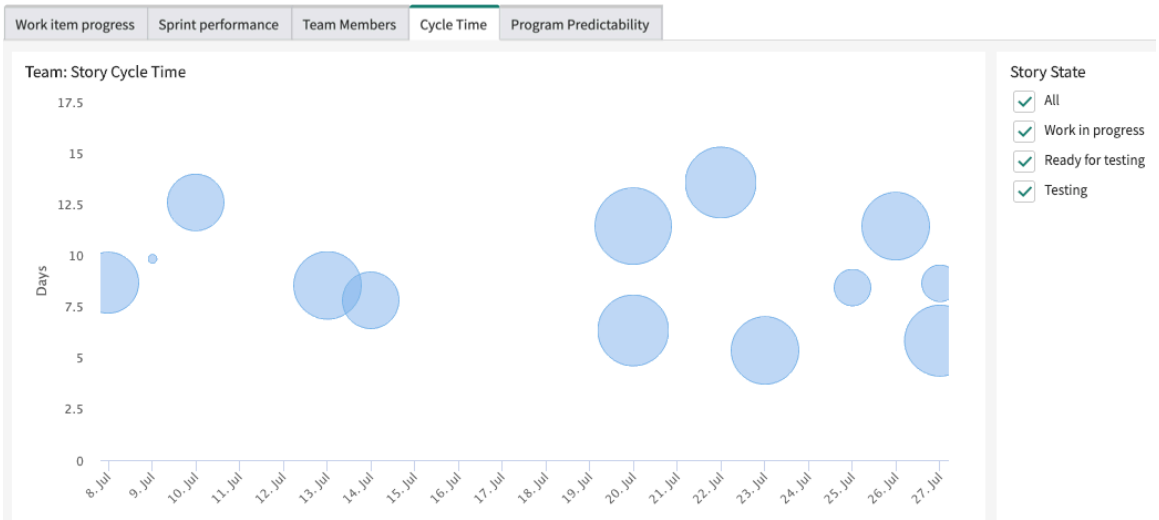
[チームメンバー] タブ



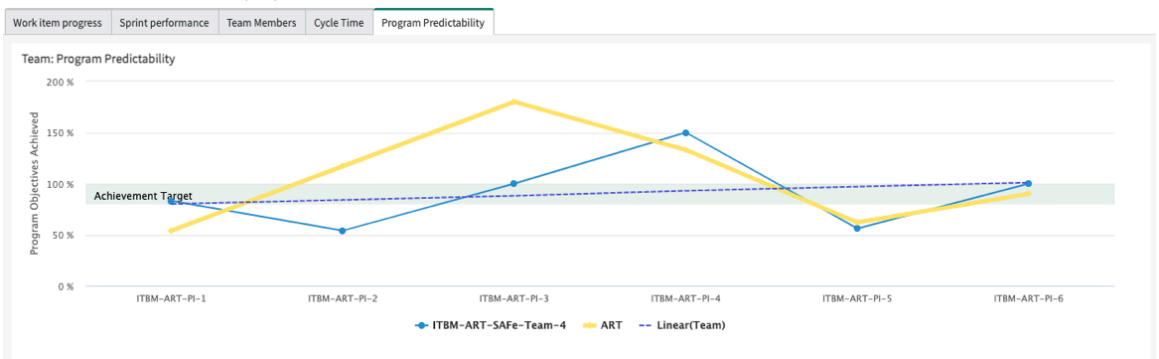
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サイクル時間] タブ



プログラムの予測可能性



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAFe スクラムマスター：ストーリーに対するチームの進捗状況を表示します。	safe_scrum_user

インジケーター

SAFe：ストーリーの平均ステータス期間

ステータスごとの平均サイクル時間レポートに表示されるデータを生成します。

SAFe：ストーリーのステータス期間

ステータスごとの平均サイクル時間レポートに表示されるデータを生成します。

ブレークダウン

- SAFe：ステータス
- SAFe：チーム

データの可視化

チームダッシュボードの可視化は、以下のタブに分けられています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 作業アイテムの進捗状況：ステータス別のアクティブストーリー、ステータスでの経過時間、およびステータスごとの平均サイクル時間のレポート
- スプリントパフォーマンス：速度履歴とスプリント差異のレポート
- チームメンバー：チームのすべてのメンバーのリスト

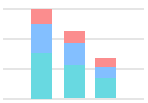
> **注:**
> 最新バージョンにアップグレードした既存のお客様の場合、チームメンバーのリストは [作業アイテムの進捗状況] タブと [チームメンバー] タブの両方に表示されますが、正確な情報が表示されるのはどちらか一方のみです。この問題を回避するには、このウィジェットを [作業アイテムの進捗状況] タブから削除できます。ウィジェットの削除方法の詳細については、「レスポンシブダッシュボードの編集」を参照してください。

- サイクル時間：チームのストーリーサイクルのレポート。
- プログラムの予測可能性：PI の目標を達成するためのチームの過去のパフォーマンスのレポート。

Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe バージョン 1.0.2 以前からアップグレードする場合は、Solution Library からこのダッシュボードをインストールしてレイアウトをアップグレードし、次のレポートにアクセスします。

- 速度履歴
- タイプ別の速度
- スプリントの差異
- ストーリーのサイクル時間

詳細については、「Solution Library for Essential SAFe ダッシュボードの使用」を参照してください。

タイトル	タイプ	説明
作業アイテムの進捗状況		
ステータス別のアクティブストーリー	棒グラフ 	対応中、テストなど、各ステータスにあるストーリーの合計数を表示します。
時間 (ステータス)	積み重ね式の棒グラフ 	ストーリーの各ステータスでチームが費やした時間数を表示します。
ステータス別の平均サイクル時間	線グラフ 	進行中の作業の時間経過に伴う傾向と、最も重要なサイクル時間を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
スプリントパフォーマンス		
速度履歴	グループ化された棒グラフ 	過去 10 回のスプリントより、チームの全体的な速度に関するインサイトを得ます。チームが安定した予測可能な速度を達成し、コミットメントを満たしているかどうかを把握します。 チーム速度履歴レポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる、スプリント別の次のデータ系列から構成されています。 • チームキャパシティ：スプリントのチームキャパシティ (ストーリーポイント) を示します。 • コミット済みストーリーポイント：チームがスプリントに対してコミットしたストーリーポイントの数を示します。 • 完了済みストーリーポイント：チームがスプリントに対して完了したストーリーポイントの数を示します。 • 平均完了済みポイント：チームがスプリントに対して完了したストーリーポイントの平均数を示します。 • 線形 (実績)：完了した作業量がスプリント全体で増加傾向、減少傾向、または比較的安定しているかどうかを示します。
タイプ別の速度	積み重ね式の棒グラフ 	チームの速度の推移を分析し、チームの戦略的な作業負荷を運用または他のタイプの作業負荷と比較します。 棒グラフには、次のタイプの完了済みストーリーのストーリーポイントの合計を示す 2 つの棒が示されます。 • 通常のストーリー • ストーリーは、トリアージボードのアイテムから統合バックログに追加されます。 いずれかの棒をクリックすると、対応するスプリントの詳細に移動します。 このレポートに表示されるデータは、過去 10 件のスプリントのもので、最も古いスプリントが左側に表示されます。 **注:** このレポートはデフォルトでは利用できません。レポートは、スクラムカスタムグラフからダッシュボードに追加できます。詳細については、「レスポンシブダッシュボードの編集」を参照してください。
スプリントの差異	グループ化された棒グラフ 	過去 10 回のスプリントより、キャパシティやコミットポイントで比較したチームの差異率を分析します。 チームスプリントの差異レポートは、環境設定に基づいて非表示/表示を切り替えることができる、スプリント別の次のデータ系列から構成されています。

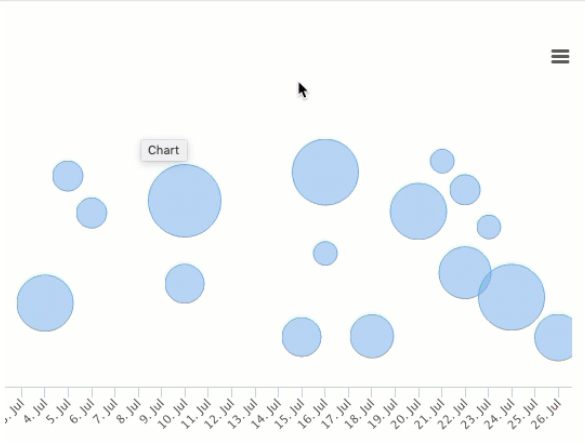
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		• キャパシティまで完了：スプリントの予想キャパシティと比較した完了済みの作業の割合を示します。 • コミット済みまで完了：スプリントに対するチームのコミット済み作業と比較した完了済みの作業の割合を示します。
チームメンバー		
チームメンバー	リスト	すべてのチームメンバーの詳細を表示します。
サイクル時間		
ストーリーのサイクル時間	バブル チャート 	チームが作業する各ストーリーで「進行中」ステータスから「完了」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。 グラフ内の各バブルはストーリーを表しています。バブルの x 軸からの高さは、ストーリーが「進行中」ステータスから「完了済み」ステータスに移行するまでにかかった時間を示します。ストーリーバブルの大きさは、ストーリーポイントに基づき、相対的なものです。 ストーリーポイントが異なるストーリーのサイクル時間を比較し、チームがストーリーを完了するのに要した時間の傾向を分析できます。完了までに長い時間がかかったストーリーを特定し、その理由を分析することで、将来のチームのサイクル時間を短縮するためのアクション計画を作成できます。 バブルにカーソルを合わせると、該当のストーリーに関する次の詳細が表示されます。 • ストーリーポイント • ストーリーが「完了」に移行した日付 • ストーリーの合計サイクル時間 (日数) • ストーリーが [対応中] ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト準備完了」ステータスであった日数 • ストーリーが「テスト中」ステータスであった日数 レポートの右側にある [ストーリーのステータス] セクションから、レポートをフィルタリングして、選択したステータスのストーリーのサイクル時間を表示することができます。グラフには、各ストーリーのサイクル時間が、選択したステータスのすべての期間の累積合計として表示されます。 レポートにおいて、チャート内のストーリーが多すぎたりバブルが密集しすぎたりする場合は、レポートの特定箇所を拡大して見やすくすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		 **注:** このチャートに表示されるストーリーは、チームが過去 30 日間に完了したストーリーです。
チーム：プログラムの予測可能性	線グラフ 	PI 目標達成に関するチームの過去のパフォーマンスを追跡します。 このレポートの系列は、複数の PI におけるチームのパフォーマンスと、このチームが属する ART を示します。 横軸は完了した PI を示し、縦軸は達成されたビジネス価値の範囲をパーセンテージ (%) で示します。 各系列は達成されたビジネス価値を表し、PI 目標の計画ビジネス価値および実績ビジネス価値から計算されます。詳細については、「SAFe PI 目標」を参照してください。 グラフから、設定された PI 目標を 80% から 100% の間でチームが一貫して達成しているかどうかを確認できます。これは SAFe に基づく理想的な範囲です。 チャート上の直線 (チーム) の点線の系列は、チームで達成されたビジネス価値に関する線形回帰を示します。この系列は、達成されたビジネス価値のスコアがどのような傾向にあるかを示すものです。 系列のいずれかのデータポイントにカーソルを合わせると、達成したビジネス価値の数値が表示されます。 • ART 系列の PI のデータポイントのいずれかをクリックすると、ドリルダウンされ、クリックした PI のグラフのプロットに使用される PI 目標のリストが表示されます。 [タイプ] 列を [プログラム] に設定してリストをフィルタリングすると、ART に対する PI 目標のみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
		• チーム系列の PI のデータポイントのいずれかをクリックすると、ドリルダウンされ、クリックした PI のグラフのプロットに使用される PI 目標のリストが表示されます。 このリストに表示されている目標は、選択したチームに対するもののみです。

Essential SAFe ダッシュボードレポートのカスタマイズ

SAFe ストーリーのカスタムステータスに従って、ダッシュボードのバーンアップ、バーンダウン、および累積フロー図レポートをカスタマイズします。

- カスタマイズに合わせてインジケーターを設定します。

  たとえば、SAFe ストーリーテーブルに新しいステータスが導入された場合、[状態] フィールドに依存するストーリーテーブルの対応するインジケーターとインジケーターソースも更新する必要があります。

  詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードレポートのインジケーターをカスタマイズする」を参照してください。

- 独自のインジケーターを使用する変更のために、UI スクリプトを更新するか、またはクローンを作成します。

  SafeAreaChartImpl や SafeVelHistoryImpl などの UI スクリプトの空の実装 (Impl) クラスのメソッドを上書きして、カスタマイズを追加します。

  詳細については、「Essential SAFe ダッシュボードでインジケーターを使用するために UI スクリプトを更新する」を参照してください。

Essential SAFe ダッシュボードレポートのインジケーターをカスタマイズする

Essential SAFe ダッシュボードのカスタマイズに合わせてインジケーターを設定します。

始める前に
必要なロール：admin または pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動).
2. 必要なインジケーターを検索して開きます。
   たとえば、SAFe バーンアップレポートをカスタマイズする場合は、インジケーターのリストの現在スプリントの機能で [SAFe：すべてのストーリーのストーリーポイントの合計] を開きます。
3. [追加条件] セクションで、必要に応じて条件を変更します。
4. [更新] をクリックします。

Essential SAFe ダッシュボードでインジケーターを使用するために UI スクリプトを更新する

空の実装 (Impl) クラスのメソッドを上書きして、UI スクリプトをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム **UI** > **UI** スクリプト.
2. 必要な UI スクリプトを検索して開きます。
   たとえば、SAFe スプリント累積フロー図レポートをカスタマイズする場合は、UI スクリプトのリストから SAFeAreaChartImpl を開きます。
3. 必要に応じて、基本実装を上書きします。
4. [更新] をクリックします。

Essential SAFeダッシュボードレポートのストーリーステータスをカスタマイズする

Essential SAFe ダッシュボードで、カスタマイズに合わせてストーリーステータスを設定します。

始める前に
必要なロール：admin または pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Scaled Agile Framework (SAFe)** > ストーリー.
2. カスタムステータスを追加するストーリーを開きます。
3. [ステータス] を右クリックし、ドロップダウンメニューから [選択を構成] を選択します。
4. [新しいアイテムのテキスト] フィールドに、新しいカスタムステータス名を入力します。
5. [数値] フィールドに、対応する数値を入力します。
6. [追加] をクリックします。
   新しいステータスが [選択済み] リストに表示されます。
7. [保存] をクリックします。

Work Progress Status for SAFe

Work Progress Status for SAFe アプリケーションは、すべての SAFe エピックおよび機能の完了予定日や進捗状況 (緑、黄、赤) などのインジケーターを提供します。

製品オーナーまたはチームリーダーとして、こうしたインジケーターは、SAFe チームが作業を終了予定日までに完了できるかどうかを把握し、それに応じて計画を調整するために役立ちます。SAFe のストーリーに取り組むチームメンバーとして、これらのステータスインジケーターは、必要に応じて作業戦略をレビューできるように、作業全体への貢献度と進捗状況を理解するのに役立ちます。

> **注:**
> これらの作業進捗ステータスインジケーターを設定するには、 SAFe の機能またはエピックの [終了予定日] フィールドに値を入力する必要があります。

Work Progress Status for SAFe をインストールする

ServiceNow Store から Work Progress Status for SAFe (sn_scrum_progress) アプリケーションをインストールします。

始める前に

- Essential SAFe を有効化する。
- Essential SAFe 用 Performance Analytics コンテンツパックをインストールする.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
プラグインとアプリケーションがアクティブ化されてインストールされていることを確認するには、次の場所に移動します サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。本番インスタンスで Essential SAFe および Performance Analytics Content Pack for Essential SAFe を有効化するには、別のライセンスが必要になる場合があります。詳細については、ServiceNow のサポートにお問い合わせください。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 ServiceNow® Store.
2. Work Progress Status for SAFe を検索します。
3. アプリケーションタイルをクリックします。
   インストールしているアプリケーションに関する詳細情報を表示できます。

   注:
   該当する場合は、[他の要件] および [依存関係] セクションを読むことを検討してください。

4. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。
5. [インストールを要求] をクリックします。
6. [インスタンス名] フィールドに詳細を入力し、[インスタンスを検証] をクリックします。
7. [インスタンスの理由] フィールドに詳細を入力し、[要求] をクリックします。
   詳細なインストール手順が記載されたメールが届きます。
8. Work Progress Status for Agile Teams をインストールしたいインスタンスにログインします。
9. 移動先 システムアプリケーション > アプリケーション.
10. Work Progress Status for SAFe アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

次のタスク
まだ行っていない場合は、[SAFe] 日次データ収集ジョブを開始します。詳しくは、「Essential SAFe ダッシュボードの日次データ収集の有効化」を参照してください。

SAFe の機能とエピックの進捗状況の確認

SAFe の機能とエピックの進捗状況を確認して、作業が終了予定日までに完了するかどうかを判断します。

移動先 **Scaled Agile Framework (SAFe)** > エピック または **Scaled Agile Framework (SAFe)** > さまざまな機能 をクリックし、チームのレコードをフィルタリングします。

リストの [ステータス] 列には、各レコードの緑、黄、または赤のインジケーターが表示され、各色で次のことが示されます。

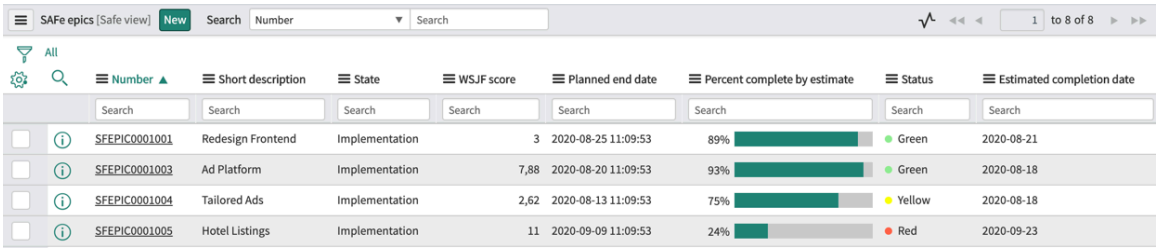
- 緑：作業は終了予定日までに完了する見込みです。
- 黄：作業の進行が予定どおりではなく、実行計画をレビューする必要があります。
- 赤：エピックまたは機能の進行が順調ではなく、終了予定日までに完了しない可能性があります。

完了予定日には、エピックまたは機能が完了する可能性がある日付が表示されます。

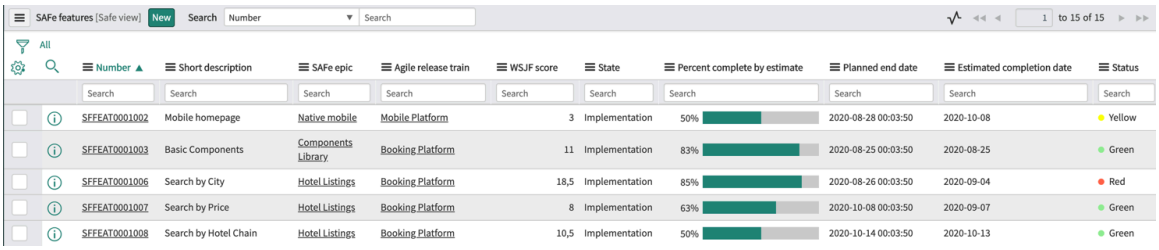
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SAFe エピックの進捗状況



SAFe 機能の進捗状況



[SAFe] 日次データ収集ジョブは、エピックおよび機能のバーンアップレポートの生成に役立ちます。これらのエピックバーンアップレポート用に生成されたデータを使用して、完了予定日が決定されます。この日付は、それぞれのバーンアップレポートで、完了済み系列とスコープ予測系列の共通部分であることがわかります。

この予定完了日に基づいて、SAFe のエピックと機能の進捗状況が決定されます。進捗状況のステータスは、次の条件でのみ計算されます。

- SAFe のエピックと機能の終了予定日が入力されている。
- エピックの完了率が 0 より大きい値である。

進捗状況インジケーターの色は、次の条件により決定されます。

- 緑：完了予定日が終了予定日以前です。
- 黄：完了予定日が終了予定日を 1% ～ 14% 過ぎています。
- 赤：完了予定日が終了予定日を 15% 以上過ぎています。

関連情報

SAFe 機能ダッシュボード

SAFe エピックダッシュボード

Test Management アプリケーション

ServiceNow® テスト管理 アプリケーションは、テストプロセスの管理を簡素化し、ソフトウェア製品をより効率的かつ少ないエラー数で提供できるようにします。

テスト管理 には 2 つのバージョンがあります。

- テスト管理 2.0 は、Agile Development 2.0 および Scaled Agile Framework (SAFe) との統合を含む多くの機能拡張を提供します。
- テスト管理 1.0 には、組織に役立つ特定の機能が含まれている場合があります。

次の比較を使用して、組織の情報に基づいた意思決定を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト管理 1.0 と テスト管理 2.0 の違い

テスト管理 1.0 では、ユーザー受け入れテストをカバーしています。テストバージョン、テスト実行、テスト結果などの主要なデータモデル構造は含まれません。また、テスト管理 1.0 でテスト計画を構成することはできません。

テスト管理 2.0 には、業界標準に合致するデータモデル構造が含まれています。テストボードと呼ばれる直感的なユーザーインターフェイスが用意されており、そこからテスト計画を構成し、テスト作業のフェーズを計画することができます。

機能	テスト管理 1.0	テスト管理 2.0
統合：プロジェクトポートフォリオ管理	いいえ	はい
統合：Agile Development 2.0	いいえ	はい
統合：Scaled Agile Framework (SAFe)	いいえ	はい
テストバージョン	テストの複数のバージョンを作成して管理することはできません。	テストの複数のバージョンを作成して管理することができます。
テスト関係	テストは 1 つのテストスイートにのみ関連付けることができます。	テストは、複数のテストセット、テスト計画、およびテストサイクルに関連付けることができます。
期間	製品または機能のテスト方法を説明するテスト計画を作成できます。	• 製品または機能のテスト方法を説明するテスト計画、およびテスト計画を実行する必要がある期間を作成できます。 • さらに、テスト計画をテストサイクルに分解し、テストサイクルをテスト実行セットに分解し、それらの実行の時間範囲を指定することができます。
テスト実行とテスト結果のトレーサビリティ	以下のことを行うことができます。 • 一度に 1 つのテストを実行します。 • テスト結果を表示します。	以下のことを行うことができます。 • 一度に 1 つのテストを実行します。 • 実行されたテストのバージョンを表示します。 • テスト結果を表示します。

注:

- London より前のリリースの既存の テスト管理 ユーザーの場合は、テスト管理 (com.snc.test_mgmt) プラグインによってアクティブ化された テスト管理 1.0 を使用しています。詳細については、Test Management 1.0 のドキュメントを参照してください。
- 新規ユーザーの場合は、拡張テスト機能を提供する テスト管理 2.0 (com.snc.test_management.2.0) プラグインをアクティブ化する ことができます。詳細については、Test Management 2.0 のドキュメントを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドメイン分離と テスト管理

ドメイン分離は テスト管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

Test Management 1.0

ServiceNow® テスト管理 1.0 アプリケーションは、手動でソフトウェアをテストするためのツールを提供します。

テスト管理 プラグイン (com.snc.test_mgmt) を使用すると、テストマネージャーとテスターは次の機能を実行し、テストプロセスのすべてのフェーズを管理できます。

- テストスイート、テストケース、およびテストを作成して、テストリポジトリを作成および管理します。
- テスト計画を作成し、テストケースを追加し、テスターをテストケースに割り当てることで、テストの実行を有効にします。
- テストプロセスを開始し、進捗状況を監視します。
- テストを実行し、テスト結果を記録します。
- テストケースのステータスを更新します。
- 欠陥を報告し、必要に応じて再テストします。
- テスト結果を評価し、テスト計画サインオフフォームに記入します。
- テスト管理ダッシュボードでテストレポートを表示します。

Test Management のアクティブ化

テスト管理 (com.snc.test_mgmt) プラグインをアクティブ化するには、admin ロールが必要です。

始める前に
必要なロール：管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:

テスト管理 プラグインをアクティブ化するには、次の 2 つの方法があります。

- 個別のアプリケーションとして
- ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート プラグインの一部として

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

一緒にインストールされるコンポーネント テスト管理

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、テスト管理プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
テストマネージャー [tm_test_manager]	テスト計画とテストスイート (メタデータ) を管理します。計画、実行、および管理を含む、テスト管理内のすべての権限を持ちます。	tm_tester
テスター [tm_tester]	テストケースとテストを実行します。	feature_user

インストールされるテーブル

テーブル	説明
テストケース [tm_test_case]	テストケースを保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブル	説明
テストケースインスタンス [tm_test_case_instance]	予定されているタスクテーブルを拡張します。
テストスイート [tm_test_suite]	テストスイートを保存します。
テスト環境 [tm_test_environment]	テスト環境を保存します。
テスト [tm_test]	テストを保存します。
テストインスタンス [tm_test_instance]	テスト計画の下にテストを保存します。
テスト計画 [tm_test_plan]	テスト計画を保存します。予定されているタスクテーブルを拡張します。
テストケースの欠陥 [m2m_tm_test_case_instance_defect]	不合格になったテストについて記録されたテストケースの欠陥を保存します。

テスト管理 1.0 のビジネスステークホルダーロール

ビジネスステークホルダーロールを使用して、テスト管理 1.0 アプリケーションの任意のテーブルからデータを読み取って取得し、レポートを生成します。

ServiceNow インスタンスでビジネスステークホルダープラグイン (com.snc.business_stakeholder) をアクティブ化すると、Test Management 1.0 plugin (com.snc.tm1_read_roles) の読み取り専用ロールもアクティブ化されます。このプラグインは、テスト管理 1.0 アプリケーションのすべてのテーブルにアクセスできるビジネスステークホルダーロール (sn_tm1_read) を提供します。このロールでは、Test Management ダッシュボードへの読み取り専用アクセスも許可されます。ビジネスステークホルダーであるすべての組織内ユーザーに、このロールをアサインできます。

プラグインの使用可否

新規顧客の場合、Test Management 1.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.tm1_read_roles) が zBoot でアクティブ化されます。ただし、ビジネスステークホルダーロール (sn_tm1_read) は、テスト管理 1.0 プラグイン (com.snc.test_mgmt) をアクティブ化した場合にのみ使用できます。

アップグレードのお客様は、Test Management 1.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.tm1_read_roles) を手動でアクティブ化する必要があります。

ビジネスステークホルダーロールを持つユーザーがアクセスできる テスト管理 1.0 テーブル

Test Management 1.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.tm1_read_roles) および テスト管理 1.0 プラグイン (com.snc.test_mgmt) が ServiceNow インスタンス内で有効である場合、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスステークホルダーロール (sn_tm1_read) を持つユーザーは、以下のテーブルに対する読み取りアクセス権を持ちます。

テスト管理 **1.0** テーブル

テーブル	説明
テストケース [tm_test_case]	テストケースを保存します。
テストケースインスタンス [tm_test_case_instance]	予定されているタスクテーブルを拡張します。
テストスイート [tm_test_suite]	テストスイートを保存します。
テスト環境 [tm_test_environment]	テスト環境を保存します。
テスト [tm_test]	テストを保存します。
テストインスタンス [tm_test_instance]	テスト計画の下にテストを保存します。
テスト計画 [tm_test_plan]	テスト計画を保存します。予定されているタスクテーブルを拡張します。
テストケースの欠陥 [m2m_tm_test_case_instance_defect]	不合格になったテストについて記録されたテストケースの欠陥を保存します。

主要な テスト管理 用語

主要な用語とは、テスト管理 で使用される用語を説明するものです。

主要な用語

用語	定義
テストスイート	テストケースのリポジトリ。テストスイート内のテストケースは、テスト計画にコピーできます。
テストケース	関連するテストのコレクション。テストケースはテストスイートの一部として保存され、テスト計画に追加できます。テスト計画内の各テストケースには、テスターがアサインされています。
テスト	正しく機能しているかどうかを判定するために使用される条件またはステップの集まり。テストには、テストケースの成否を決定するために使用される、予期される結果も含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

主要な用語 (続く)

用語	定義
テスト計画	製品または機能をテストする方法に関するタスク。テスト計画には、1 つ以上のテストケースが含まれ、テスト環境を指定することもできます。テストマネージャーは、テスト計画を使用してテストケースをアサインして実行し、テストの進捗状況を追跡します。
テスト環境	テストを実行するインスタンス。URL で指定します。テスト環境は、テストマネージャーがテスト計画に関連付けることができるオプションのパラメーターです。
テスト実行	テストを実行するプロセス。テストマネージャーは、テスト計画のテストケースにテスターをアサインします。テスターは、アサインされたテストケースでテストを実行します。
ガイド付きテスト実行	テストを実行するための自動通知プロセス。テストマネージャーは、テスト計画内のテストケースにテスターをアサインし、[テスト計画] フォームからテストを開始します。テスターは、アセスメントエンジンを使用してテストを開始するための通知を受け取ります。

Test Management プロセスフロー

手動ソフトウェアテストに関連するタスクは、いくつかのステップに分割できます。

テストマネージャーとテスターは、製品または機能の手動テストプロセスで次のアクティビティに関与します。

- テストスイート、テストケース、およびテストを作成して、テストリポジトリを構築します。
- 特定の製品または機能をテストするためのテスト計画を作成します。
- テスト計画にテストケースを追加します。
- テスターを各テストケースにアサインします。
- 必要に応じて、テスト環境を定義します。
- アサインされたテストケースのテストを実行します。
- 結果を記録し、各テストのステータスを更新します。
- テストケースのステータスを更新します。
- テスト計画、テストケース、およびテストの進捗状況を監視します。

ステークホルダーは、テスト結果と未解決の問題をレビューして、テスト計画のサインオフを決定します。

最後にテスト計画サインオフフォームに記入することを除いて、これらのテストタスクを実行するために必要な順序はありません。各タスクは個別に実行できます。

手動テストプロセスの設定

テストスイート、テストケース、およびテスト計画を設定して監視します。

テスト管理 1.0 では、次のタスクを実行できます。

- テストスイート、テストケース、およびテストを含むテストリポジトリを作成および管理します。
- テスト計画を作成します。
- 必要に応じてテスト環境を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テスト計画にテストケースを追加します。
- テスターを各テストケースにアサインします。
- テストを開始するようにテスターに通知します。
- テストプロセスを監視します。
- テスト結果を評価します。
- テストサインオフフォームに記入します。

テストスイート

テストを効率的に実行できるように、テストスイートを使用してテストケースをグループ化します。

移動先 テスト管理 > テストリポジトリ > テストスイート テストスイートのリストを表示します。テストスイートをクリックすると、スイートに含まれるすべてのテストケースがリストされた [テストスイート] フォームが表示されます。

テストスイートの作成

テストスイートは、実行のためにグループ化された 1 つ以上のテストケースで構成されます。

始める前に

必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストスイート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[テストスイート] フォーム

フィールド	説明
番号	システムによってテストスイートに生成された一意の識別子。
名前	テストスイートの名前。
有効	テストスイートがアクティブかどうかを示すオプション。 アクティブとして示されている場合、ユーザーが [テストケース] フォームからこのスイートにテストケースを追加しようとすると、このテストスイートが表示されます。
所有者	テストスイートの所有者。
説明	テストスイートの詳細説明。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク

新しいテストスイートの関連リンクと関連リストを使用して、次のアクションを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [テスト計画に追加] 関連リンクをクリックして、このテストケースをテスト計画に追加します。
- [複製の作成] 関連リンクをクリックして、このテストスイートのコピーを作成します。詳細については、「既存のテストスイートのコピーを作成する」を参照してください。
- [テストケース] 関連リストを使用して、テストケースをこのテストスイートに関連付けます。詳細については、「テストスイートにテストケースを追加する」を参照してください。

既存のテストスイートのコピーを作成する

既存のテストスイートの詳細を使用してテストスイートを作成します。

始める前に

- テストスイートの作成.
- 必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストスイート.
2. コピーを作成するテストスイートを開きます。
3. [複製の作成] 関連リンクをクリックします。
4. [テストスイート名] フィールドに名前を入力します。
5. [**OK**] をクリックします。

次のタスク

新しいテストスイートの関連リンクと関連リストを使用して、次のアクションを実行できます。

- [テスト計画に追加] 関連リンクをクリックして、このテストケースおよび関連するすべてのテストケースをテスト計画に追加します。
- [テストケース] 関連リストを使用して、テストケースをこのテストスイートに関連付けます。

テストスイートにテストケースを追加する

新しいテストケースを作成し、既存のテストスイートに追加します。

始める前に

- テストスイートの作成.
- 必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストスイート.
2. テストケースを追加するテストスイートを開きます。
3. [テストケース] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[テストケース] フォーム

フィールド	説明
番号	システムによってテストケースに生成された一意の識別子。
有効	テストケースがアクティブかどうかを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テストスイート	テストケースが追加されるテストスイート。
簡単な説明	テストケースの詳細説明。
必須条件	テストケースを実行する前に満たす必要のある条件。

5. [送信] をクリックします。

テストケース

テストケースを使用して、関連するテストをグループ化し、テストスイートまたはテスト計画に追加できるようにします。

移動先 テスト管理 > テストリポジトリ > テストケース をクリックしてテストケースのリストを表示します。テストケースをクリックすると、テストケースに含まれるすべてのテストがリストされた [テストケース] フォームが表示されます。

テストケースの作成

テストケースを作成して、1 つ以上の関連する個々のテストをグループ化します。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストケース.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[テストケース] フォーム

フィールド	説明
番号	システムによってテストケースに生成された一意の識別子。
有効	テストケースがアクティブかどうかを示すオプション。
テストスイート	テストケースが追加されるテストスイート。
簡単な説明	テストケースの詳細説明。
必須条件	テストケースを実行する前に満たす必要のある条件。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
新しいテストケースの関連リンクと関連リストを使用して、次のアクションを実行できます。

- [テスト計画に追加] 関連リンクをクリックして、このテストケースをテスト計画に追加します。
- [テスト] 関連リストを使用して、テストをこのテストケースに追加します。詳細については、「テストケースにテストを追加する」を参照してください。

テストケースにテストを追加する

新しいテストを作成し、既存のテストケースに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- テストケースの作成.
- 必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストケース.
2. テストを追加するテストケースを開きます。
3. [テスト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[テスト] フォーム

フィールド	説明
番号	システムによってテストに生成された一意の識別子。
ステータス	テストのステータス。次のいずれかから選択します。 ○ [ドラフト]：テストを実行する準備ができていません。 ○ [準備完了]：テストを実行する準備ができています。 ○ [非アクティブ]：テストはアクティブではなくなりました。
順番	このテストケース内の他のテストと比較した、テストが実行される順番。
テスト	テストの名前
期待する結果	期待するテスト結果。
詳細な説明	テスト対象の詳細な説明。

5. [送信] をクリックします。

次のタスク
テストフォームの [重複の作成] 関連リンクを使用して、このテストのコピーを作成できます。

テストケースの削除

テストケースとそれに関連するすべてのテストを削除します。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストケース.
2. 削除するテストケースを開きます。
3. [削除] をクリックします。
4. オプション: 確認ポップアップウィンドウで警告メッセージを読みます。
5. [削除] をクリックし削除を確認します。

タスクの結果
テストケースがリストから削除され、関連するすべてのテストが削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト

テストを使用して、機能またはアプリケーションが正常に動作しているかどうかを判断します。

テストは、正しく機能しているかどうかを判定するために使用される条件、変数、またはステップで構成されます。テストには、テストの成否を決定するために使用される、予期される結果も含まれます。

関連するテストは、テストケースにグループ化されます。[テストケース] フォームの [テスト] 関連リストから、テストケースに関連付けられているすべてのテストのリストを表示できます。移動先 テスト管理 > テストリポジトリ > テストケース をクリックし、テストケースを選択してそのテストのリストを表示します。

テストの作成

テストを作成して、機能が正しく動作しているかどうかを確認します。

始める前に

- テストケースの作成.
- 必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストケース.
2. テストを追加するテストケースを開きます。
3. [テスト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[テスト] フォーム

フィールド	説明
番号	システムによってこのテストに対して生成された一意の識別子。
ステータス	テストのステータス。次のいずれかを選択します。 ○ [ドラフト]：テストを実行する準備ができていません。 ○ [準備完了]：テストを実行する準備ができています。 ○ [非アクティブ]：テストはアクティブではなくなりました。
順番	このテストケース内の他のテストと比較した、このテストが実行される順番。
テスト	テストの目的を示す、テストの名前。たとえば、「見積もりを承認して注文に変換 **(Approve Quote and convert to Order)**」とします。
期待する結果	期待するテスト結果。
詳細な説明	テスト対象の説明。

5. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
[複製の作成] 関連リンクをクリックして、このテストのコピーを作成できます。詳細については、「既存のテストのコピーを作成する」を参照してください。

既存のテストのコピーを作成する

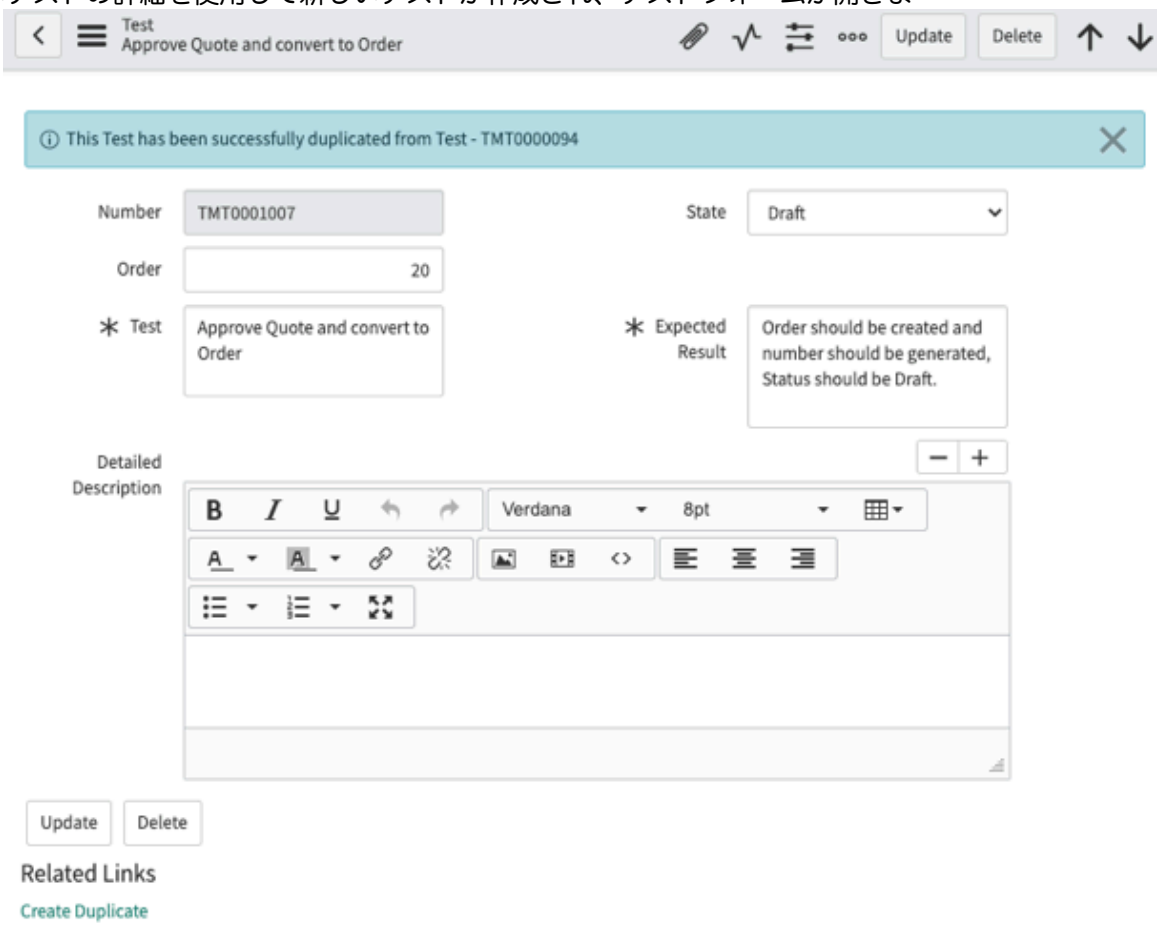
既存のテストの詳細を使用してテストを作成します。

始める前に

- テストの作成.
- 必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テストケース.
2. 複製するテストのあるテストケースを開きます。
3. [テスト] 関連リストから、複製するテストを開きます。
4. [複製の作成] 関連リンクをクリックします。
   古いテストの詳細を使用して新しいテストが作成され、テストフォームが開きます。



5. オプション: 新しいテストの詳細に必要な変更を加えます。
6. [更新] をクリックします。

テスト環境の作成

テスト環境を作成して、テスト計画でテストを実施するときに使用するセットアップを定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：tm_test_manager

このタスクについて
テスト計画では、使用するソフトウェアバージョンまたはオペレーティングシステムを指定できます。[テスト環境] フォームには環境のタイプが含まれており、URL を含めることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト環境.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[テスト環境] フォーム

フィールド	説明
番号	システムによってテスト環境に生成された一意の識別子。
名前	テスト環境の名前。
タイプ	環境のタイプ。次のいずれかを選択します。 ○ 開発 ○ 本番 ○ QA ○ ユーザー受け入れテスト (UAT) (User Acceptance Testing (UAT)) ○ ステージング ○ サポート
URL	テスト環境の URL。
簡単な説明	テスト環境に関する簡単な説明。

4. [送信] をクリックします。

テスト計画

テスト管理 1.0 のテスト計画を使用して、機能またはアプリケーションのテスト方法を計画します。

テスト計画には、1 つ以上のテストケースが含まれ、テスト環境を指定することもできます。テスト計画は、テストケースをテスターにアサインしたり、テストの進捗状況を監視したりするために使用します。

テスト計画のリストを表示するには、次の場所に移動します。 テスト管理 > テスト実行 > テスト計画. このリストには、現在のテスト計画、完了したテストケースの割合、およびテストケースのステータスが表示されます。テスト計画を開くと、この計画に使用されているテスト環境や、この計画に追加されたテストケースのリストなどの詳細が表示されます。

テスト計画を作成する

製品または機能のテスト方法を説明するテスト計画を作成します。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

テスト計画フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	テスト計画の簡単な説明。テスト計画の目的を示します。
所有者	テスト計画のオーナー。
テスト環境	テストに使用する特定の環境。 ユーザーは、[テスト環境] フィールドの横にある情報アイコン ( ) をクリックして、アサインされたテスト環境の詳細を確認できます。
有効	テスト計画がアクティブかどうかを示すオプション。 アクティブとして示されている場合、ユーザーが [テストスイート] フォームからこの計画にテストスイートを追加しようとすると、このテスト計画が表示されます。
説明	このテスト計画に関する特定の指示。
プロジェクト	関連するプロジェクトの名前。 このフィールドは、Test Management PPM Integration がプロジェクトポートフォリオスイートプラグイン (com.snc.project_portfolio_suite) の一部としてアクティブ化されている場合に、[テスト計画] フォームに表示されます。
プロジェクトフェーズ	プロジェクトワークベンチ内で関連するプロジェクトフェーズの名前。 このフィールドは、Test Management PPM Integration がプロジェクトポートフォリオスイートプラグイン (com.snc.project_portfolio_suite) の一部としてアクティブ化されている場合に、[テスト計画] フォームに表示されます。
開始予定日	テスト計画の予測開始日。開始予定日は、現在の日付または将来の日付にすることができます。 このフィールドは自動的に現在の日付に設定されます。開始予定日を変更するには、カレンダーアイコン ( ) をクリックし、新しい日付を選択します。 このフィールドを追加するためにフォームを構成しなければならない場合があります。詳細については、「テスト計画の実行の開始日と終了日を表示する」を参照してください。
終了予定日	テスト計画の予測終了日。終了予定日は開始予定日より後にする必要があります。 このフィールドは自動的に現在の日付に設定されます。終了予定日を変更するには、カレンダーアイコン ( ) をクリックし、新しい日付を選択します。 このフィールドを追加するためにフォームを構成しなければならない場合があります。詳細については、「テスト計画の実行の開始日と終了日を表示する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
開始実績日時	テスト計画の開始実績日時。開始実績日時は、開始予定日以前にすることができます。 このフィールドを追加するためにフォームを構成しなければならない場合があります。詳細については、「テスト計画の実行の開始日と終了日を表示する」を参照してください。
終了実績日時	テスト計画の終了実績日時。終了実績日時は、開始予定日より前にすることはできますが、開始実績日時より前にすることはできません。 このフィールドを追加するためにフォームを構成しなければならない場合があります。詳細については、「テスト計画の実行の開始日と終了日を表示する」を参照してください。

4. 次のいずれかの選択肢を使用して、テスト計画を保存します。
   - [送信] をクリックして、[テスト計画] リストに戻ります。
   - [保存] をクリックして、[テスト計画] フォームに留まります。

次のタスク

新しいテストスイートの関連リンクと関連リストを使用して、次のアクションを実行できます。

- [テストスイートからテストケースを追加] 関連リンクをクリックして、テストスイートからこのテスト計画に既存のテストケースを追加します。
- [テストケース] 関連リストからこのテスト計画に新しいテストケースを追加します。詳細については、「テスト計画に新しいテストケースを追加する」を参照してください。
- [テストスイートとして保存] 関連リンクをクリックして、このテスト計画を新しいテストスイートとして保存します。この計画のすべてのテストケースを含む新しいテストスイートが作成され、別のテスト計画に追加できるようになります。
- テスト計画を開始し、[テスターに通知] 関連リンクを使用して、テストのターゲット終了日をテスターに通知します。詳細については、「ガイド付きテスト実行の開始」を参照してください。
- [テストの実行をキャンセルします] 関連リンクをクリックして、テスト実行をキャンセルします。このリンクは、[テスターに通知] 関連リンクを使用してテスト計画を開始した場合にのみ使用できます。詳細については、「ガイド付きテスト実行のキャンセル」を参照してください。
- **[Visual Task Board** を表示] 関連リンクをクリックして、Visual Task Board (VTB) にすべてのテストケースを表示します。VTB は、実行ステータス別に整理されたレーンにテストケースを表示します。
- [テスト計画をコピー] をクリックして、このテスト計画のコピーを作成します。
- テスト実行の概要を表示し、[サインオフテスト計画] 関連リンクをクリックしてテスト計画をサインオフします。
- [テスト計画の欠陥] 関連リストを表示し、テストケースからログに記録されたすべての欠陥のリストを確認します。

テスト計画の実行の開始日と終了日を表示する

[テスト計画] フォームに予定および実績の開始日と終了日のフィールドを追加して、実行日情報を表示します。

始める前に

必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
テスト計画の予定および実績の開始日と終了日を表示するように、[テスト計画] フォームのレイアウトを構成します。

手順
1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. 実行の開始日と終了日を確認するテスト計画を開きます。
3. フォームレイアウト構成を開きます。
   a. フォームヘッダーを右クリックします。
   b. [設定] を選択します。
   c. [フォームレイアウト] を選択します。
4. 次のフィールドを [利用可能] リストから [選択済み]リストに移動します。
   - 開始予定日
   - 終了予定日
   - 開始実績日時
   - 終了実績日時
5. オプション: [選択済み] リストのフィールドの順序を並べ替えます。
6. [保存] をクリックします。

タスクの結果
[テスト計画] フォームが、新しく追加された日付フィールドとともに表示されます。

テスト計画に新しいテストケースを追加する
テスターにアサインしてテスト実行を開始できるように、テスト計画に新しいテストケースを追加します。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

このタスクについて
既存のテストスイートに含まれていないテストケースを追加できます。[テストケース] 関連リストを使用して、[テスト計画] フォームから直接テストケースを作成します。

手順
1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. テストケースを追加するテスト計画を開きます。
3. [テストケース] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。
   テストケースフォームフィールドの詳細については、「テストケースの作成」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
新しいテストケースが [テストケース] 関連リストに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストケースにテスターをアサインする

テスト計画内のテストケースをテスター (tm_tester) ロールを持つユーザーとビジネスユーザーにアサインします。

テストケースは、[テスト計画] フォームから直接、またはテスト計画内のテストケースの Visual Task Board (VTB) ビューからユーザーにアサインできます。

tm_tester ロールを持つユーザーは、テスト実行に [テスト計画] フォーム、[テストケース] フォーム、VTB、またはガイド付きテスト実行機能を使用することを選択できます。ビジネスユーザーは、ガイド付きテスト実行を使用してのみテストを実行できます。

[テスト計画] フォームからテスターをアサインする

[テスト計画] フォームの [テストケース] 関連リストを使用して、テスターをアサインします。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. テスト計画を開きます。
3. [テストケース] 関連リストから、テスターをアサインするテストケースを開きます。
4. [アサイン先] フィールドでユーザーを選択します。
5. [更新] をクリックします。

Visual Task Board からテスターをアサインする

Visual Task Board (VTB) からテスターにテストケースをアサインします。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

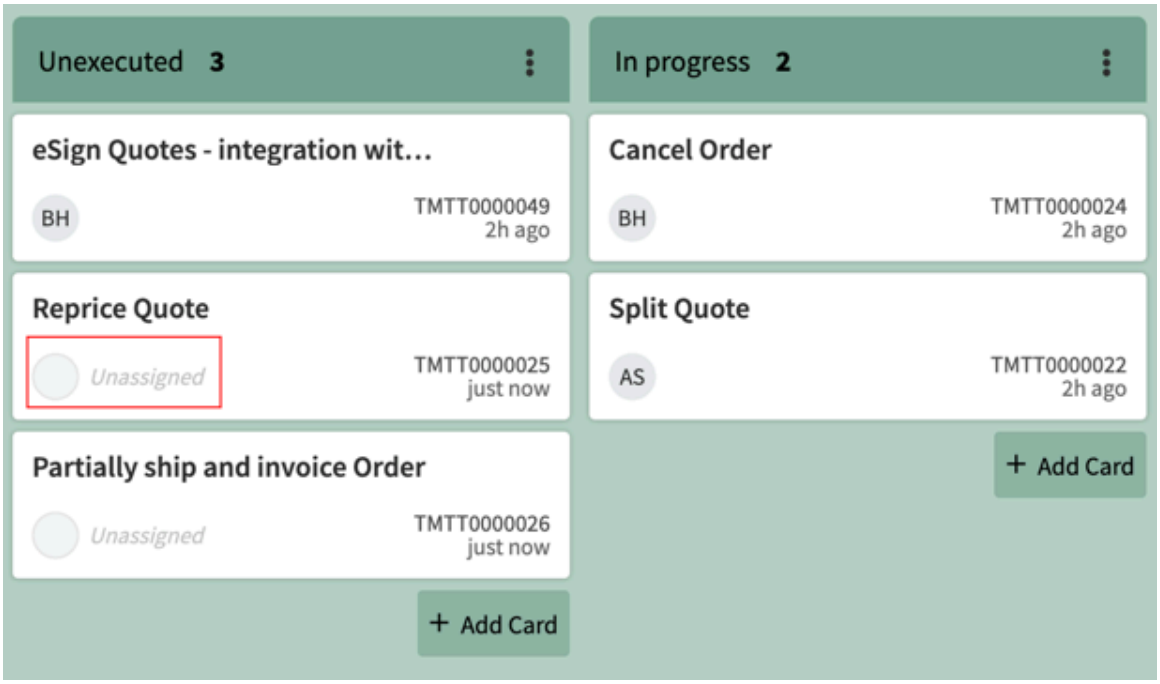
1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. テスト計画を開きます。
3. **[Visual Task Board** を表示] 関連リンクをクリックします。

   VTB には、テストケースステータスのレーンが表示されます。各テストケースのカードが、ステータスに基づいて適切なレーンに表示されます。どのユーザーにもアサインされていないテストケースは、カードに [未アサイン] と表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[テスト計画] の **Visual Task Board** で未アサインのテストケースカード



4. 未アサインのカードをクリックして、テストケースフォームを開きます。
5. 右側のパネルから [アサイン先] クリックします。
6. [プライマリ受託者の追加] をクリックし、ユーザーを選択します。
7. 閉じるアイコン (✕) をクリックして、カードを閉じます。

ガイド付きテスト実行

アサインされたテストケースについてアセスメントアプリケーションを使用してテスターに通知することにより、ガイド付きテストの実行を通じてアサインされたテストケースについてテスターに通知します。

どのユーザーも、ガイド付きテスト機能を使用してテストを実行できます。テスター (tm_tester) ロールは必要ありません。テスト計画内のテスターごとに、アセスメント測定基準カテゴリが作成されます。

テストマネージャーは、[テスト計画] フォームからテストケースにテスターをアサインし、テストの終了日をアサインしてテストを開始します。テスターは次に移動できます セルフサービス > 自分のテスト または セルフサービス > 自分のアセスメント で、割り当てられたテストケースを表示して作業します。詳細については、「ガイド付きテスト実行の開始」を参照してください。

テスト計画、テストケース、またはテストに対する変更は、アセスメントで自動的に更新されます。テスターがアセスメントを進めると、テスターが結果を送信したときにテスト計画とテストケースが更新されます。

テストマネージャーは、いつでも [テスト計画] フォームからガイド付きテスト実行を直接キャンセルできます。詳細については、「ガイド付きテスト実行のキャンセル」を参照してください。

ガイド付きテスト実行の開始

テストを開始するように通知することにより、テスト計画内の各テストケースにアサインされたテスターのアセスメントを作成します。テストマネージャーは、[テスト計画] フォームからガイド付きテスト実行を開始できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- テスト計画を作成する.
- テスト計画にテストケースを追加します。
- [テスト計画] フォームからテスターをアサインする。
- 必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

このタスクについて

ガイド付きテスト実行を使用している場合は、[テスト計画] フォームから直接テストを開始するようにテスターに通知することができます。テスターには、アサインされたアセスメントがメールで通知されます。テスターは、次の場所に移動してこれらのアセスメントを見つけることができます セルフサービス > 自分のテスト または セルフサービス > 自分のアセスメント.

手順

1. 移動先 テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. 実行を開始するテスト計画を開きます。
3. [テストケース] 関連リストから、[アサイン先] フィールドを使用してテスターにテストケースをアサインします。
4. [テスターに通知] 関連リンクをクリックします。
5. [テスト終了日] フィールドに日付を入力し、**[OK]** をクリックします。
   この日付は、アセスメントの期日として使用されます。

タスクの結果

各テスターのアセスメントが作成され、アセスメントとテストの詳細が記載されたメールが各テスターに送信されます。テスターにメールで通知された後、[テスト計画] フォームの [テスターに通知] 関連リンクが [テストの実行をキャンセルします] に変更されます。

ガイド付きテスト実行のキャンセル

ガイド付きテストプロセスの開始後にキャンセルし、必要に応じて再開できるようにします。

始める前に

- テスト計画を作成する.
- テスト計画にテストケースを追加します。
- [テスト計画] フォームからテスターをアサインする。
- ガイド付きテスト実行の開始
- 必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

このタスクについて

[テスト計画] フォームの関連リンクを使用して、すでに開始されているテストの実行をキャンセルします。

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. テストを停止するテスト計画を開きます。
3. [テストの実行をキャンセルします] 関連リンクをクリックします。
4. [**OK**] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
テスト計画の実行がキャンセルされたこと、およびテスト計画に対して作成された測定基準タイプが削除されたことを示すメッセージが表示されます。

[テスト計画] ページの [テストの実行をキャンセルします] 関連リンクが [テスターに通知] に変更されます。

テストの実行とテストステータスの更新

テストケースがアサインされた後に、テストを実行し、テスト結果を記録し、テストステータスを更新します。

テスターは、テスト管理 アプリケーションで次のアクションを実行できます。

- テストケースのテストを実行し、結果を記録します。
- テストのステータスを更新します。
- テストが失敗した場合は欠陥を報告します。
- テストがブロックされている場合はブロッキングの問題を報告します。
- 必要に応じて再テストします。
- テストケースのステータスを更新します。

ガイド付きテスト実行機能を使用すると、任意のユーザーをテストケースにアサインでき、そのテストケース内でテストを実行できます。

[テストケース] フォームを使用してテストを実行する

[テストケース] フォームを使用して、アサインされたテストケースからテストを実行し、結果を記録します。

始める前に
必要なロール：tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. [テストケース] 関連リストでアサインされたテストケースをクリックします。
3. [テストケース] フォームの [実行ステータス] フィールドを [処理中] に設定し、[保存] をクリックします。
4. [テスト] 関連リストで、最初のテストを開きます。
   テストの順番は、[順番] フィールドの番号によって決まります。
5. テストの [ステータス] フィールドを [処理中] に設定します。
6. フォームヘッダーを右クリックし、 [保存] をクリックします。
7. [詳細な説明] フィールドで説明されている手順を実行します。
8. 結果を [実際の結果] フィールドに記録します。
9. 実際の結果を期待する結果と比較し、[ステータス] フィールドのテストステータスを次のいずれかに更新します。
   - 合格
   - 失敗
   - ブロック済み
10. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. テストケースの残りのテストについて、手順 4 ～ 10 を繰り返します。
12. すべてのテストが完了したら、テストケースのステータスを更新します。
詳細については、「テストケースのステータスの更新」を参照してください。

Visual Task Board を使用してテストを実行する

アサインされたテストケースからテストを実行し、掲示板風のグラフィカルインターフェイスを使用して結果を記録します。

始める前に
必要なロール：tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. **[Visual Task Board を表示]** 関連リンクをクリックします。
3. カードのテストケース番号をクリックして、アサインされたテストケースを開きます。
4. [テストケース] フォームの [実行ステータス] フィールドを [処理中] に設定し、[保存] をクリックします。
5. [テスト] 関連リストで、最初のテストを開きます。
[順番] フィールドの番号によってテストの順番が決まります。
6. テストの [ステータス] フィールドを [処理中] に設定します。
7. フォームヘッダーを右クリックし、 [保存] をクリックします。
8. [詳細な説明] フィールドで説明されている手順を実行します。
9. 結果を [実際の結果] フィールドに記録します。
10. 実際の結果を期待する結果と比較し、[ステータス] フィールドのテストステータスを次のいずれかの値に更新します。
    - 合格
    - 失敗
    - ブロック済み
11. [更新] をクリックします。
12. テストケースの残りのテストについて、手順 5 ～ 11 を繰り返します。
13. すべてのテストが完了したら、テストケースのステータスを更新します。
詳細については、「テストケースのステータスの更新」を参照してください。

ガイド付きテスト実行を使用してテストを実行する

アサインされたテストケースからテストを実行し、結果を記録します。

始める前に
必要なロール：なし

このタスクについて
テスト計画でテストケースに割り当てられたテスターは、ガイド付きテストが開始されるとメールで通知を受け、テストを開始できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかの方法を使用して、アサインされたテストケースに移動します。
   - セルフサービス > 自分のテスト
   - セルフサービス > 自分のアセスメント
   テスト計画名とアサイン情報が記載されたカードが表示されます。
2. [テストの開始] ボタンをクリックすると、アサインされたテストケースのリストと各ケースに含まれるテストが表示されます。
3. 個々のテストステップに従って、テストケース内の各テストを実行します。
4. 実行した各テストについて、次のいずれかの結果を記録します。
   - 合格
   - 失敗
   - ブロック済み
5. リストの一番下で、テストケースの全体的な結果を次から選択します。
   - 合格
   - 失敗
   - ブロック済み
6. [保存] をクリックします。

テストケースのステータスの更新

テストケースのステータスを手動で更新します。テストケース内の個々のテストのステータスは、テストケースの全体的なステータスには影響しません。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager または tm_tester

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テストリポジトリ > テスト計画.
2. テストケースを含むテスト計画を開きます。
3. [テストケース] 関連リストで、テストケースをクリックします。
4. [実行ステータス] フィールドで、ステータスを選択します。
   - [未実行]：テストはまだ実行されていません。
   - [処理中]：このテストケースのテストは処理中です。
   - [合格]：このテストケースにアサインされたすべてのテストのステータスが [合格] です。
   - [失敗]：このテストケースにアサインされた 1 つ以上のテストのステータスが [失敗] です。
   - [ブロック済み]：このテストケースにアサインされた 1 つ以上のテストのステータスが [ブロック済み] です。
   - [再テスト]：失敗したテストに起因する欠陥がクローズまたはキャンセルされたため、テストを再実行する準備ができています。
5. ステータスとして [ブロック済み] を選択した場合、このテストがブロックされた理由を [ブロックされた理由] フィールドに入力します。
6. 次のいずれかの選択肢を使用して、更新内容を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [送信] をクリックして保存し、[テストケース] リストに戻ります。
- [保存] をクリックして保存し、[テストケース] フォームに留まります。
テスト計画のテスト結果が更新されます。

次のタスク
テストケースが失敗した場合は、[欠陥を報告] 関連リンクをクリックして、失敗したテストからこのテストケースの欠陥を作成できます。詳細については、「失敗したテストの欠陥を報告する」を参照してください。

[欠陥の割り当て] 関連リンクをクリックすると、既存の欠陥をテストケースにリンクできます。詳細については、「欠陥をテストケースに割り当てる」を参照してください。

報告されアサインされた欠陥は、[テストケースの欠陥] 関連リストに一覧表示されます。

失敗したテストの欠陥を報告する

テストの失敗をさらに調査できるように、失敗した個々のテストから欠陥を報告します。

始める前に

- Agile Development 2.0 のアクティブ化

  欠陥を報告する機能は、Agile Development 2.0 プラグインがアクティブ化されている場合にのみ使用できます。

- テストを実行し、テストステータスを更新します。詳細については、「テストの実行とテストステータスの更新」を参照してください。
- 必要なロール：rm_tester

このタスクについて
[テスト] フォームを使用して、失敗したテストの欠陥を報告します。報告された欠陥は、このテストに関連するテストケースにもリンクされます。

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. 失敗したテストがあるテスト計画を開きます。
3. [テストケース] 関連リストから、失敗したテストがあるテストケースを開きます。
4. [テスト] 関連リストから、失敗したテストを開きます。
5. [テスト] フォームで、次のいずれかのリンクをクリックします。
   - [ステータス] フィールドの横にある [欠陥を報告] リンク。
   - [欠陥を報告] 関連リンク。
6. フォームのフィールドに入力します。

[欠陥を報告] フォーム

フィールド	説明
番号	システムによって欠陥に生成された一意の識別子。
アサイン先グループ	この欠陥を修正するためにアサインされたグループ。
担当者	この欠陥を修正するためにアサインされた個人。
優先度	欠陥の優先度。次のいずれか 1 つを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 1- 重大 ○ 2 - 高 ○ 3 - Moderate (中) ○ 4：低 ○ 5 - 計画中
ステータス	欠陥の現在のステータス。次のいずれかを選択します。 ○ ドラフト ○ スコーピング ○ 承認待ち ○ 対応中 ○ テスト/QA ○ 展開/起動 ○ クローズ済み/完了 (Closed/Complete) ○ 保留中 ○ キャンセル
簡単な説明	欠陥の簡単な説明。
説明	欠陥の詳細な説明。
作業メモ	欠陥に関連するコメント、メモ、またはその他の情報。

7. [送信] をクリックします。

タスクの結果

欠陥が作成され、次の関連リストに追加されます。

- 失敗したテストに関連付けられたテストケースの [テストケースの欠陥] 関連リスト。
- 失敗したテストに関連付けられたテスト計画の [テスト計画の欠陥] 関連リスト。

。

欠陥をテストケースに割り当てる

既存の欠陥をテストケースに割り当てます。

始める前に

- Agile Development 2.0 のアクティブ化

  欠陥を割り当てる機能は、Agile Development 2.0 プラグインがアクティブ化されている場合にのみ使用できます。

- テストを実行し、テストステータスを更新します。詳細については、「テストの実行とテストステータスの更新」を参照してください。
- 必要なロール：rm_tester

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
欠陥をテストケースにリンクすると、欠陥への参照がテストケースとこのテストケースのテスト計画の両方に追加されます。

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 > テスト実行 > テスト計画.
2. テストケースを含むテスト計画を開きます。
3. [テストケース] 関連リストから、欠陥を割り当てるテストケースを開きます。
4. [欠陥の割り当て] をクリックします。
5. [欠陥] フィールドから欠陥を選択します。
6. [**OK**] をクリックします。

タスクの結果
テストケースに割り当てた欠陥が、次の関連リストに追加されます。

- テストケースの [テストケースの欠陥] 関連リスト。
- テストケースに関連付けられたテスト計画の [テスト計画の欠陥] 関連リスト。

[テストケース] 関連リストを表示するように [欠陥] フォームを構成して、この欠陥に関連付けられたテストケースを表示することもできます。

テストの進捗状況を監視する

テスト計画モジュールまたはテスト管理ダッシュボードを使用して、テスト計画、テストケース、および個々のテストに関してテストの進捗状況を追跡します。

テスト計画モジュール

すべてのテスト計画の進捗状況を把握するには、次の場所に移動します テスト管理 > テスト実行 > テスト計画 テスト計画のリストから次の情報を使用します。

- [完了率]：テスト計画で完了したテストの量。

  この値は、(合格したケース数 + 失敗したケース数) / テストケースの合計数として計算されます。

- [不合格のテストケース]：テスト計画で失敗したテストケースの数。
- [合格したテストケース]：テスト計画で合格したテストケースの数。
- [テストケース数]：テスト計画内のテストケースの合計数。

ここから、このテスト計画に関連付けられたテストケースの詳細と、各テストケースに添付されたテストにドリルダウンできます。

[テスト計画] フォームの [テストケース] 関連リストから、各テストケースの次の情報を表示できます。

- 合格したテスト数
- 不合格のテスト数
- テストケースの実行ステータス

[テストケース] 関連リストからテストケースを開くと、各テストの次の情報を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 期待する結果
- 実際の結果
- テストステータス

テスト管理ダッシュボード

テスト管理ダッシュボードの複数のレポートを使用して、すべてのアクティブなテスト計画の進捗状況を分析します。詳細については、「テスト管理ダッシュボード」を参照してください。

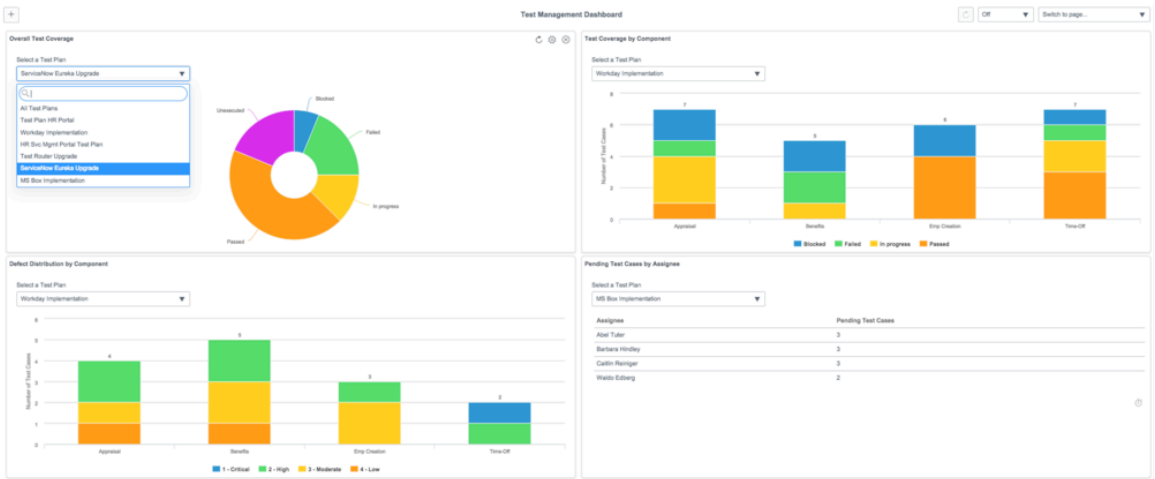
テスト管理ダッシュボード

テスト管理ダッシュボードでテスト計画レポートを表示します。

テスト管理ダッシュボードの各レポートから、個々のテスト計画を選択することも、またはすべてのアクティブなテスト計画を選択してすべてのテストの概要を確認することもできます。

ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 テスト管理 > 概要. 次に、レポートの [テスト計画を選択] フィールドから、進捗状況を分析するテスト計画を選択します。レポートのデータは自動的に更新されます。

テスト管理ダッシュボード



テスト管理ダッシュボードのレポート

レポートタイトル	レポートタイプ	説明
全体的なテスト範囲 (Overall Test Coverage)	円グラフ 	実行ステータス別にテストケースの分布を表示します。 • 合格 • 失敗 • ブロック済み • 処理中 • 未実行
コンポーネントタグ別のテスト範囲 (Test Coverage By Component Tags)	棒グラフ	このレポートではタグ付け機能を使用して、タグをテストケースに割り当てることができます。次に、このレポートを使用し、割り当てられたタグに基づいてテストケースの分布を表示します。タグごとに、異なる色で実行ステータスを表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト管理ダッシュボードのレポート (続く)

レポートタイトル	レポートタイプ	説明
		• 合格 • 失敗 • ブロック済み • 処理中 • 未実行
コンポーネントタグ別の欠陥分布 (Defect Distribution By Component Tags)	棒グラフ 	このレポートではタグ付け機能を使用して、タグをテストケースに割り当てることができます。次に、このレポートを使用し、割り当てられたタグに基づいてテストケースの欠陥を表示します。タグごとに、異なる色で欠陥の優先度を表します。 • 重大 • 高 • 中 • 低
アサイニー別の処理待ちのテストケース (Pending Test Cases By Assignee)	リスト	割り当てられたテスターごとの処理待ちのテストケースの数。

テスト計画のサインオフ

テスト計画をサインオフする機能を使用して、テスト計画の承認を記録します。

[テスト計画] フォームに移動し、[サインオフテスト計画] 関連リンクをクリックして、テスト実行サインオフレポートに移動します。このレポートでは、次の情報を使用して、現在の日付におけるテストケースの結果、未解決のテストケース、および未解決の問題について概要を提供します。

- 合格、不合格、ブロック済み、または未テストのテストケースの数。
- 未解決のテストケースのリスト。このリストには、ブロック済み、不合格、処理中、および未実行のケースが表示されます。
- 未解決の欠陥と未解決の問題のリスト ()。
- サインオフ履歴を含むサインオフの詳細。

テストマネージャーは詳細を確認し、テスト計画のサインオフに進むことができます。

1 つのテスト計画に対して複数のサインオフが必要な場合があります。また、失敗したテストケースがある場合でもテスト計画をサインオフすることができます。各サインオフでは、現在のステータスのテスト計画のスナップショットを取得し、スナップショットを PDF として保存して、そのファイルをテスト計画に添付します。このスナップショットは、不合格のテストケースや未実行のテストケース、未解決の欠陥など、すべてのテストケースをキャプチャします。

テスト計画サインオフの記入

テスト計画の承認を記録できるように、テスト計画をレビューしてサインオフします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：tm_test_manager

手順

1. **[Test Management] >** [テスト実行] **>** [テスト計画] に移動します。
2. サインオフするテスト計画を開きます。
3. [サインオフテスト計画] 関連リンクをクリックします。
4. [サインオフ] セクションで、[コメント] フィールドに追加情報を入力します。
5. オプション: [サインオフ担当者] フィールドでユーザーをレビューします。
6. オプション: [サインオフ日] フィールドで日付をレビューします。
7. [送信] をクリックします。

Test Management 2.0

ServiceNow® テスト管理 2.0 アプリケーションは、テストプロセスの管理を簡素化し、ソフトウェア製品をより効率的かつ少ないエラー数で提供できるようにします。テストの複数のバージョンを作成して、Agile Development 2.0 とデータ連携することができます。

テスト管理 のさまざまなバージョンについて学び、テスト要件を満たすのに役立つバージョンを選択するには、「Test Management アプリケーション」を参照してください。

探索 • Test Management 2.0 の概要 • 一般的なテスト • スプリントテスト	セットアップ • Test Management 2.0 のアクティブ化 • テスト管理 2.0のクイックスタートテスト	使用 テストボード
開発 • 開発者トレーニング • 開発者ドキュメント • Test Management 2.0 と一緒にインストールされるコンポーネント	トラブルシューティングとヘルプ • ビジネスマネジメントコミュニティで質問や回答をする • Known Error Portal で既知のエラー記事を検索 • 担当者 カスタマーサービス & サポート	

Test Management 2.0 の概要

テスト管理 2.0 は、テスターとマネージャーの両者のテストプロセスを管理および簡素化することで、ソフトウェア製品をより効率的に、かつ欠陥を少なくして提供できるように支援します。テストの複数のバージョンを作成して、Agile Development 2.0 とデータ連携することができます。

テスト管理 のさまざまなバージョンについて学び、テスト要件を満たすのに役立つバージョンを選択するには、「Test Management アプリケーション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー	説明
テスター	次の方法でソフトウェア製品のテストを実行し、欠陥を報告できます。 • テストとテストセットを作成します。 • テストを実行し、テスト結果を記録します。 • テストのステータスを更新します。 • 欠陥をレポートし、必要に応じて再テストします。
テストマネージャー	ソフトウェア製品の手動テストプロセスを、下記の操作により設定および監視できます。 • テストとテストセットを作成および管理します。 • テスターによって作成されたテスト、テストステップ、およびテストセットを評価します。 • テスト計画を作成し、テスト計画をテストサイクルに細分化し、テストサイクルをテスト実行スイートに細分化することで、テストの実行を容易にします。 • テスターにテストをアサインし、全体的な進捗状況を監視することで、テストプロセスを開始します。 • テスト結果を評価し、テスト計画を終結します。

主要な用語

次のセクションでは、テスト管理 2.0 で使用される重要な用語について説明します。

用語	説明
テスト	正しく機能しているかどうかを判定するために使用される条件またはステップの集まり。テストには、テストケースの成否を決定するために使用される、予期される結果を含めることもできます。 テストモジュールを使用して、さまざまなバージョンのテストを作成および管理できます。
テストセット	関連するテストのコレクション。テストは、1 つまたは複数のテストセットに含めることができます。 テストセットモジュールを使用してテストセットを作成し、関連するテストをそのテストセットにグループ化することができます。
テスト計画	製品または機能のテスト方法、およびテスト計画を実行する必要がある期間を説明する計画。テスト計画はさらにテストサイクルに分割でき、テストサイクルはテスト実行スイートに分割できます。 テスト計画モジュールを使用して、テスト計画を作成できます。
実行	テスト実行の開始時刻と終了時刻、環境の詳細、テスト実行の結果など、テスト結果の詳細なレポート。 実行モジュールを使用してテスト結果を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Test Management 2.0 のアクティブ化

admin ロールを持っている場合は、テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.test_management.2.0) をアクティブ化します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

Test Management 2.0 と一緒にインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.sdlc.test_management) のアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール	説明	ロールを含む
テスター [sn_test_management.tester]	テストを作成し、類似のテストをテストセットにグループ化できます。	なし
テストマネージャー sn_test_management.test_manager	テストを作成し、類似のテストをテストセットにグループ化し、テスト計画を管理し、実行結果を表示できます。	sn_test_management.tester

インストールされるテーブル

テーブル	説明
タスクテスト [sn_test_management_m2m_task_test]	テストを複数のスクラムタスクに関連付けます。
テストセットのテスト [sn_test_management_m2m_test_set_test]	テストを複数のテストセットに関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
予定テストタスク [sn_test_management_planned_task]	予定されているタスクテーブルを拡張します。
ステップ [sn_test_management_step]	テストステップの詳細を保存します。
ステップ結果 [sn_test_management_step_result]	ステップの結果の詳細を保存します。
テスト [sn_test_management_test]	テストの詳細を保存します。
テスト実行のアサイン [sn_test_management_test_assignment]	テスターへのテストのリンクを保存します。
テストサイクル [sn_test_management_test_cycle]	テストサイクルの詳細を保存します。
テスト環境 [sn_test_management_test_environment]	テスト環境の詳細を保存します。
テスト実行スイート [sn_test_management_test_execution_suite]	テスト実行スイートの詳細を保存します。
テスト計画 [sn_test_management_test_plan]	テスト計画の詳細を保存します。
テスト結果 [sn_test_management_test_result]	テスト結果の詳細を保存します。
テスト実行 [sn_test_management_test_run]	テスト実行の詳細を保存します。
テストセット [sn_test_management_test_set]	テストセットの詳細を保存します。
テストバージョン [sn_test_management_test_version]	テストバージョンの詳細を保存します。

テスト管理 **2.0** のビジネスステークホルダーロール

ビジネスステークホルダーロールを使用して、テスト管理 2.0 アプリケーションの任意のテーブルからデータを読み取って取得し、レポートを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow インスタンスでビジネスステークホルダープラグイン (com.snc.business_stakeholder) をアクティブ化すると、テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.tm2_read_roles) の読み取り専用ロールもアクティブ化されます。このプラグインは、テスト管理 2.0 アプリケーションのすべてのテーブルにアクセスできるビジネスステークホルダーロール (sn_tm2_read) を提供します。このロールでは、Test Management ダッシュボードへの読み取り専用アクセスも許可されます。ビジネスステークホルダーであるすべての組織内ユーザーに、このロールをアサインできます。

プラグインの使用可否

新規のお客様の場合、テスト管理 2.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.tm2_read_roles) が zBoot でアクティブ化されます。ただし、ビジネスステークホルダーロール (sn_tm2_read) は、テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.test_management.2.0) をアクティブ化した場合にのみ使用できます。

アップグレードのお客様は、テスト管理 2.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.tm2_read_roles) を手動でアクティブ化する必要があります。

ビジネスステークホルダーロールを持つユーザーがアクセスできる テスト管理 **2.0** テーブル

Test Management 2.0 プラグインの読み取り専用ロール (com.snc.tm2_read_roles) および テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.test_management.2.0) が ServiceNow インスタンス内で有効である場合、ビジネスステークホルダーロール (sn_tm2_read) を持つユーザーは、以下のテーブルに対する読み取りアクセス権を持ちます。

テスト管理 **2.0** テーブル

テーブル	説明
タスクテスト [sn_test_management_m2m_task_test]	テストを複数のスクラムタスクに関連付けます。
テストセットのテスト [sn_test_management_m2m_test_set_test]	テストを複数のテストセットに関連付けます。
予定テストタスク [sn_test_management_planned_task]	予定されているタスクテーブルを拡張します。
ステップ [sn_test_management_step]	テストステップの詳細を保存します。
ステップ結果 [sn_test_management_step_result]	ステップの結果の詳細を保存します。
テスト [sn_test_management_test]	テストの詳細を保存します。
テスト実行のアサイン [sn_test_management_test_assignment]	テスターへのテストのリンクを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト管理 **2.0** テーブル (続く)

テーブル	説明
テストサイクル [sn_test_management_test_cycle]	テストサイクルの詳細を保存します。
テスト環境 [sn_test_management_test_environment]	テスト環境の詳細を保存します。
テスト実行スイート [sn_test_management_test_execution_suite]	テスト実行スイートの詳細を保存します。
テスト計画 [sn_test_management_test_plan]	テスト計画の詳細を保存します。
テスト結果 [sn_test_management_test_result]	テスト結果の詳細を保存します。
テスト実行 [sn_test_management_test_run]	テスト実行の詳細を保存します。
テストセット [sn_test_management_test_set]	テストセットの詳細を保存します。
テストバージョン [sn_test_management_test_version]	テストバージョンの詳細を保存します。

自動翻訳

テスト管理 **2.0**のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、テスト管理 2.0 が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

テスト管理 2.0 クイックスタートテストでは、テスト管理 2.0 プラグイン (com.snc.test_management.2.0) および テスト管理 2.0 - ATF テストプラグイン (com.snc.test_management.2.0.atf) をアクティブ化する必要があります。

Test Management 2.0：テストバージョンテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
テストバージョンを作成するとテストが作成される	テストの作成とバージョンを検証します。	Madrid
検証手順が含まれている場合、テストバージョンを準備完了としてマークすることができる	テストに検証手順があるときにテストのステータスを検証します。	Madrid

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Test Management 2.0：テストバージョンテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
検証手順が含まれていない場合、テストバージョンを準備完了としてマークすることができない	テストに検証手順がないときにテストのステータスを検証します。	Madrid
テストバージョンを準備完了としてマークしたときに、準備完了ステータスの他のテストバージョンを廃止する	テストを準備完了としてマークしたときにテストのステータスを検証します。	Madrid

Test Management 2.0：テスト結果ロールアップテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
テスト実行が終了したときに実行スイートの進行状況を更新する	実行ステータスの進行状況を検証します。	Madrid
準備完了ステータスではないテストを割り当てることができない	テストの割り当てを検証します。	Madrid
テストの進行状況をテスト計画とテストサイクルのためにロールアップする	テスト計画とテストサイクルについてテストの進行状況を検証します。	Madrid

関連情報

クイックスタートテスト

一般的なテスト

テスト管理 2.0 は、リリースのフェーズのテスト、市場投入前の一連の機能や製品のテスト、統合とアクセシビリティのリリース準備状況テスト (新しいソフトウェアの場合) などの一般的なテストに使用できます。

一般的なテストは、次のステップで構成されます。

1. テストを作成します。
2. テストセットを作成し、類似のテストをテストセットにグループ化します。
3. テストボード機能を使用してテスト計画を作成します。
4. テストボードの [計画] タブでテスト計画を構成します。
   - テスト計画をテストサイクルに分割して、テスト作業のフェーズを計画およびスケジュールします。
   - テストサイクルをテスト実行セットに分解してテストをスケジュールし、それらのテストを実行するユーザーをアサインします。
5. テストを実行し、テスト実行結果を表示します。

テスト管理 **2.0** でのテストの作成

正しく機能しているかどうかを判定するために使用される条件またはステップを指定するテストを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_test_management.tester または sn_test_management.test_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のいずれかのオプションを使用して、テストを作成します。

2. フォームで次のフィールドに入力します。

テストバージョンフォーム

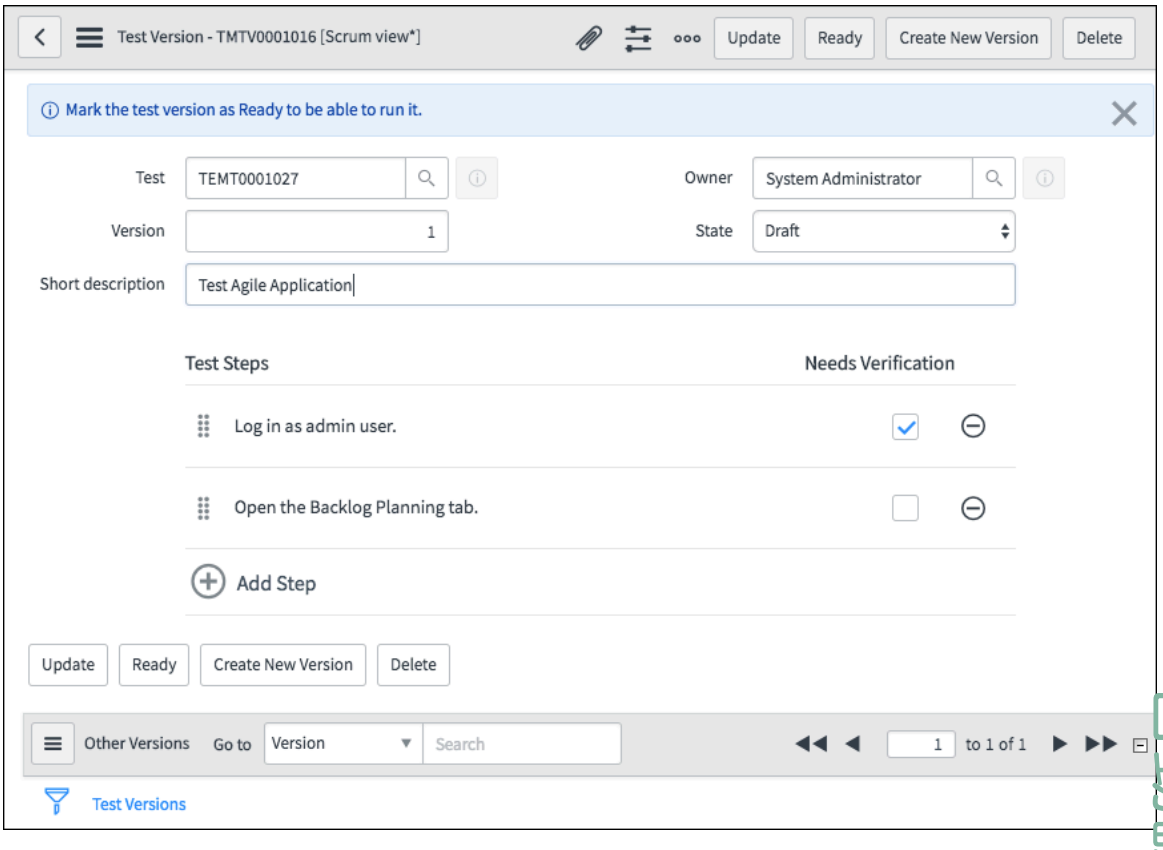
フィールド	説明
テスト	テストの一意の名前。
所有者	テストを作成したオーナー。
バージョン	自動生成されたバージョンのテスト。
ステータス	テストの現在のステータス。 ○ ドラフト：テストが作成されたときの状態。 ○ 準備完了：編集できない場合のテストの状態。テストに複数のバージョンがある場合、一度に 1 つのテストのみが「準備完了」ステータスになります ○ 廃止：利用されなくなったときのテストのステータス。
簡単な説明	テストに関する簡単な説明。
ステップを追加	テストにステップを追加するために使用するボタン。
実行	ステップを実行するために使用するボタン。テストが「準備完了」ステータス の場合にのみ表示されます。 「テストのアサインの実行」を参照してください。
更新	テストバージョンの詳細を更新するために使用されるボタン。
準備完了	テストバージョンのステータスを「準備完了」に変更するために使用するボタン。
新規バージョンを作成	別バージョンのテストを作成するために使用するボタン。
削除	テストバージョンの詳細を更新するために使用されるボタン。
ステップ順序の変更 ()	テストステップの順序を変更するために使用するアイコン。アイコンを選択し、必要な場所にステップをドラッグします。
検証が必要	検証のためにテストステップをマークするために使用するチェックボックス。
テストステップを削除 ()	テストステップを削除するために使用するアイコン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [送信] をクリックします。

テストバージョンフォームの例



次のタスク
テストセットにテストを追加するには：

1. [テスト] リストからテストを選択します。

2. [テストセットに追加] をクリックします。

テストセットの作成

関連するテストをテストセットにグループ化します。テストセットは、カテゴリ別またはタグ別にテストを見つけるのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_test_management.tester または sn_test_management.test_manager

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 **2.0** > テストセット.

2. [新規] をクリックします。

3. テストセットの名前を入力し、[送信] をクリックします。

次のタスク
テストセットにテストを追加する必要があります。

1. 移動先 テスト管理 **2.0** > テスト.

2. 必要なテストを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [テストセットに追加] をクリックします。
4. [テストセットを選択] ウィンドウで、必要なテストセットを検索し、[追加] をクリックします。

テストボード

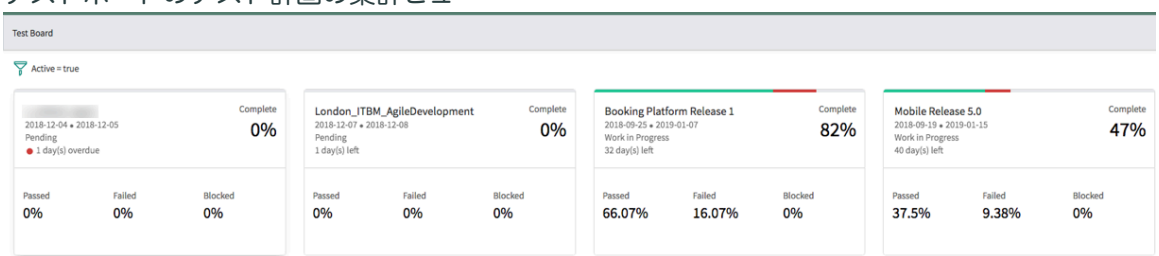
テストボードは、テスト計画の包括的なビューを提供し、テスト計画をより効率的に管理できるようにします。

テストボードでは、次のことができます。

- すべてのテスト計画を集計し、1 つの場所でカードとして表示します。各カードには、開始日と終了日、合格したテストの割合、失敗したテストの割合、ブロックされたテストの割合、完了までの残り日数など、テスト計画の重要な詳細が表示されます。
- 名前、期間、所有者などのフィルター条件を定義して、特定のテスト計画を検索します。
- 単一のインターフェイスからテスト計画を追跡、管理、および完了することで、時間と労力を節約できます。

1. テスト計画を作成して、製品または機能をテストする方法を定義します。
2. [計画] タブでテスト計画を構成します。テスト計画をテストサイクルに分割して、テスト作業のフェーズを計画およびスケジュールします。さらに、テストサイクルをテスト実行セットに分解し、テストをスケジュールし、それらのテストを実行するユーザーをアサインします。
3. テスト計画の進捗状況と完了を監視します。

テストボードのテスト計画の集計ビュー



タスクの計画

テスト計画はテストボードの [計画] タブで構成できます。このタブには次の機能があります。

テスト計画作業アイテム階層

テスト計画作業アイテム階層では、さまざまなテスト計画情報が展開可能な行に表示されます。テスト計画内にネストされたテストサイクルとテスト実行スイートとともに、テスト計画の簡単な概要を提供します。

さらに、次のことができます。

- 各フォームを開いてフィールド値を 1 つずつ変更するのではなく、テスト計画、テストサイクル、およびテスト実行スイートの属性 (開始時間や終了時間など) を変更します。
- テストサイクルとテスト実行スイートを追加または削除し、開始日と終了日を調整してから、テスト計画の全体的な進捗状況を評価します。
- テスト計画作業アイテム階層に表示される列を構成します。

ガントチャート

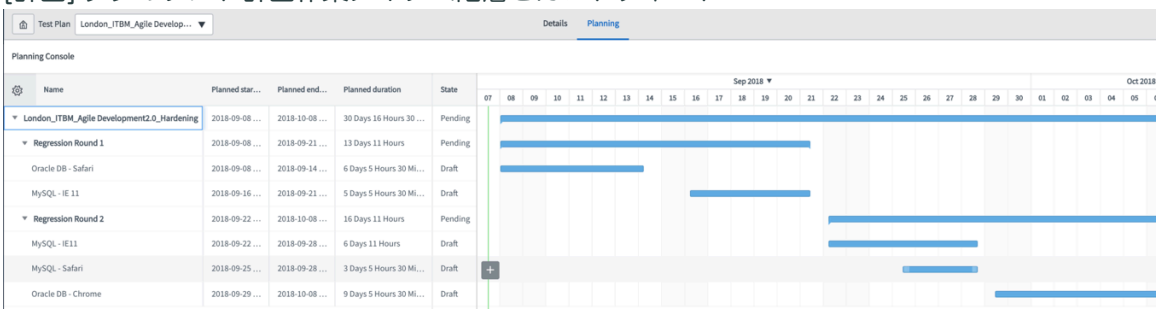
ガントチャートでは、青いタスクバーを使用して、テスト計画とその子タスクのタイムラインを視覚的に表現できます。テスト計画に関連するタスクバーの長さは、子タスク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の期間の調整に応じて増減します。タスクバーの端を必要な場所にドラッグして、期間を手動で増減することもできます。

[計画] タブのテスト計画作業アイテム階層とガントチャート



テストボードを使用してテスト計画を作成する

テスト計画を作成して、製品または機能をテストする方法を定義します。

始める前に

必要なロール：sn_test_management.test_manager

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 **2.0** > ボードをテスト.
2. [テスト計画の作成] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

テスト計画フォーム

フィールド	値
名前	テスト計画の一意の名前。
開始予定日	テスト計画の実行を開始する予定日時。

4. [**OK**] をクリックします。
   [詳細] タブが開きます。
5. テスト計画の詳細を提供、レビュー、および編集します。

フィールド	値
終了予定日	テスト計画の実行を終了する予定日時。
期間	テスト計画の予定期間。これは、開始予定日と終了予定日の差です。
番号	テスト計画に対して自動的に生成される一意の ID 番号。
所有者	テスト計画を作成したオーナー。
ステータス	テスト計画の現在のステータス。 ○ [処理待ち]：テスト計画を実行する準備ができていません。 ○ [オープン]：テスト計画を実行する準備ができています。 ○ [対応中]：テスト計画は現在実行中です。 ○ [完了してクローズ]：テスト計画は完了後にクローズされました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	○ [未完了でクローズ]：テスト計画は完了せずにクローズされました。 ○ [スキップしてクローズ]：テストは実行されずにクローズされました。
説明	テスト計画の説明。

注:
[進捗状況] セクションには、テスト計画の全体的なステータスが表示され、テスト計画内で合格、不合格、またはブロック済みのテストの割合が示されます。

テストサイクルとテスト実行スイートの追加と変更

複数のユーザーインターフェイスやフォームを切り替えることなく、単一のユーザーインターフェイスからテストサイクルとテスト実行スイートを追加および変更できます。

始める前に
必要なロール：sn_test_management.test_manager

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 **2.0** > ボードをテスト.
2. テスト計画を選択します。
3. [計画] タブを選択します。
4. テスト計画作業アイテム階層でテスト計画とテスト実行スイートを追加または変更します。
5. ガントチャートで概要を表示したりタスクの期間を調整したりします。

[計画] タブでカスタム列を定義する

[計画] タブのテスト計画作業アイテム階層セクションに重要な情報を表示するカスタム列を定義します。たとえば、完了したテスト計画の割合を表示する列を定義します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 **2.0** > 設定 > 計画立案コンソール.
2. ページの右上隅にある歯車アイコン ( ) をクリックします。
3. [システム設定] ウィンドウで、次の操作を実行します。
   a. [開発者] セクションをクリックします。
   b. [アプリケーション] リストで、**[Test Management]** を選択し、ウィンドウを閉じます。
4. [計画立案コンソール表示列] 関連リストで、[新規] をクリックします。
5. [計画立案コンソール表示列] フォームで、列のラベルとその他の詳細を入力します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク
列を作成したら、その列を必要なテーブルに関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

簡単なテスト計画を作成する

テストの労力を最小限に抑え、テスト実行スイートのテスト計画とテストサイクルを作成する際のオーバーヘッドを避けたい場合は、簡単なテスト計画を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_test_management.test_manager

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 **2.0** > テスト実行スイート.
2. フォームのフィールドに入力します。

[テスト実行スイート] フォーム

フィールド	説明
名前	テスト実行スイートの一意の名前。
開始予定日	テスト実行スイートを開始する予定日時。
終了予定日	テスト実行スイートを終了する予定日時。
計画された期間	テスト実行スイートの予定期間。この期間は、開始予定日と終了予定日の差です。
番号	テスト実行スイートに対して自動的に生成される番号。
ステータス	テスト実行スイートの現在のステータス。
アサイン先グループ	テスト実行スイートに取り組んでいるグループ。
進行状況	
完了率 (%)	完了したテスト実行スイートの割合。この値は自動的に計算されます。
合格率 (%)	合格したテスト実行スイートの割合。この値は自動的に計算されます。
失敗率 (%)	失敗したテスト実行スイートの割合。この値は自動的に計算されます。
ブロック率 (%)	ブロックされたテスト実行スイートの割合。この値は自動的に計算されます。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク

- テスト実行スイートにテストを追加するには、[テストを追加] をクリックします。[テスト] リストから必要なテストを選択し、[実行スイートに追加] をクリックします。
- テスト実行スイートにテストセットを追加するには、[テストセットを追加] をクリックします。[テストセット] リストから必要なテストセットを選択し、[実行スイートに追加] をクリックします。
- [テスト実行のアサイン] 関連リストで、テストを選択し、ユーザーにアサインします。

テストのアサインの実行

テストのアサインを実行し、結果をキャプチャします。

始める前に
必要なロール：sn_test_management.tester

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > テスト管理 **2.0** > 自分にアサインされたテスト.
2. 必要なテストを選択し、[実行] をクリックします。

   注:
   [準備完了] ステータスのテストのみ実行できます。

3. ポップアップで、テストを実行する必要がある実行環境を選択します。
4. [テスト実行] ポップアップで、次のアイコンを使用してステップを合格、不合格、またはブロックとしてマークします。
   一時停止して後でテストを行うには、[一時停止] をクリックします。
5. [完了] をクリックします。

タスクの結果
テスト結果はテスト結果フォームに保存されます。テストの全体的なステータスは、テストステップのステータスによって定義されます。

- すべてのテストステップに合格した場合、テストのステータスは [合格] になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが実行されていない場合、テストのステータスは「未完了」になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが不合格の場合、テストの全体的なステータスは 「不合格」になります。このルールは、前のルールよりも優先されます。
- テストの少なくとも 1 つのステップがブロックされている場合、テストの全体的なステータスは「ブロック」になります。このルールは、前の 2 つのルールよりも優先されます。

次のタスク
でのすべてのテスト結果の表示 テスト管理 **2.0** > テスト実行.

スプリントテスト

テスト管理 2.0 と Agile Development 2.0 を組み合わせて使用すると、スクラムチームの作業をスプリントごとにテストできます。

スプリントテストは、次のステップで構成されます。

1. スプリントのストーリーのテストを作成します。
2. テストの実行、テスト結果の検証、ストーリーの終結を実施します。

テスト管理 **2.0** と **Agile Development 2.0** との統合

と Agile Development 2.0を統合するテスト管理 2.0と、 からスプリントテストを実行できます。
Agile Development 2.0 > アジャイルボード > スプリント追跡.

- スプリントに対して実行するテストを見つけます。
- スプリントのストーリーのテストを作成します。
- テストの複数のバージョンを管理します。
- 一度に 1 つのバージョンのテストを実行します。
- 実行されたテストのバージョンを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テスト実行の履歴をレビューします。
- ストーリーを閉じます。

ストーリーのテストを作成する

テストを作成し、テストにステップを追加して、さまざまなバージョンのテストを作成、維持します。テストは、ストーリーが正しく機能しているかどうかを判定するために使用される条件またはステップの集まりです。テストには、テストの成否を決定するための、予期される結果を含めることもできます。

始める前に

- 必要なロール：scrum_user または scrum_admin
- リストビューからテストを作成できるのは、Agile Development 2.0 が テスト管理 2.0 とともにインストールされている場合のみです。
- アジャイルグループのメンバーであることが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [スプリント追跡] タブをクリックし、[リスト] ビューを選択します。
3. 右上隅の [表示] リストから、[テスト] を選択します。
4. [テストの追加] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

テストバージョンフォーム

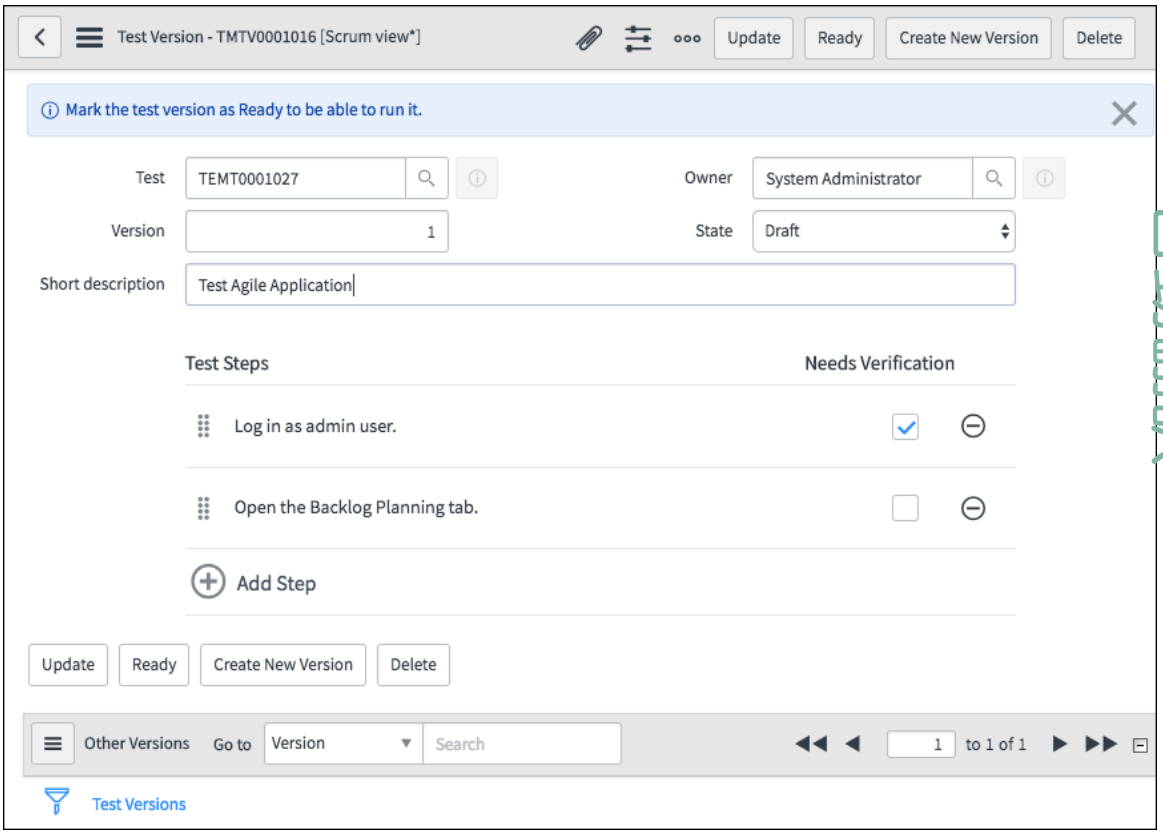
フィールド	説明
テスト	テストの一意の名前。
所有者	テストを作成したオーナー。
バージョン	自動生成されたバージョンのテスト。
ステータス	テストの現在のステータス。 ○ ドラフト：テストが作成されたときの状態。 ○ 準備完了：編集できない場合のテストの状態。テストに複数のバージョンがある場合、一度に 1 つのテストのみが「準備完了」ステータスになります。 ○ 廃止：利用されなくなったときのテストのステータス。
簡単な説明	テストに関する簡単な説明。
ステップを追加	テストにステップを追加するために使用するボタン。
実行	ステップを実行するために使用するボタン。テストが「準備完了」ステータス の場合にのみ表示されます。「リストビューからテストを実行する」を参照してください。
更新	テストバージョンの詳細を更新するために使用されるボタン。
準備完了	テストバージョンのステータスを「準備完了」に変更するために使用するボタン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
新規バージョンを作成	別バージョンのテストを作成するために使用するボタン。
削除	テストバージョンの詳細を更新するために使用されるボタン。
ステップ順序の変更 (☰)	テストステップの順序を変更するために使用するアイコン。アイコンを選択し、必要な場所にステップをドラッグします。
検証が必要	検証のためにテストステップをマークするために使用するチェックボックス。
テストステップを削除 (⊖)	テストステップを削除するために使用するアイコン。

テストバージョンフォームの例



自動翻訳

次のタスク
次の関連リストの情報を確認してください。

関連リスト	説明
その他のバージョン	テストのすべてのバージョンを表示します。
テスト結果	各テストバージョンの実行結果を表示します。
テストセット	テストセット内の関連するテストを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストビューからテストを実行する

テストシナリオを表示し、テストのすべてのステップを実行し、テスト結果をレビューします。

始める前に
必要なロール：scrum_user

手順

1. 移動先 すべて > アジャイル開発 > アジャイルボード.
2. [スプリント追跡] タブをクリックし、[リスト] ビューを選択します。
3. [テスト] をクリックします。
4. ストーリーの [実行] ボタンをクリックしてストーリーを検証します。
   このステップは、ストーリーのすべてのテストを一度に実行します。
5. ポップアップで、テストを実行する環境を選択します。
   a. [リストから参照] アイコンをクリックします。
   b. [実行] をクリックします。
6. [テスト実行] ポップアップで、次のアイコンを使用してステップを合格、不合格、またはブロックとしてマークします。
   - アイコンを選択するために、**Tab** キーを使用することもできます。**Tab** キーを押してから **Enter** キーを押します。
   - 一時停止して後でテストを行うには、[一時停止] をクリックします。
7. [完了] をクリックします。

タスクの結果
テスト結果がテスト結果フォームに保存され、各テストの最新のテスト結果がリストビューに表示されます。

テストの全体的なステータスは、テストステップのステータスによって定義されます。

- すべてのテストステップに合格した場合、テストのステータスは [合格] になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが実行されていない場合、テストのステータスは「未完了」になります。
- テストの少なくとも 1 つのステップが不合格の場合、テストの全体的なステータスは 「不合格」になります。このルールは、前のルールよりも優先されます。
- テストの少なくとも 1 つのステップがブロックされている場合、テストの全体的なステータスは「ブロック」になります。このルールは、前の 2 つのルールよりも優先されます。

Test Management 1.0 から Test Management 2.0 への移行

テストデータを テスト管理 1.0 から テスト管理 2.0 に移行し、拡張されたテスト機能のために テスト管理 2.0 の使用を開始してください。

非本番インスタンスで次の移行手順を実行し、移行が意図したとおりに完了するかどうかを確認してから、本番インスタンスで移行手順を実行します。

プラグインをアクティブ化する

テスト管理 2.0 (com.snc.test_management.2.0) および Test Management 2.0 - データ移行 (com.snc.test_migration_v1_v2) プラグインをアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの移行

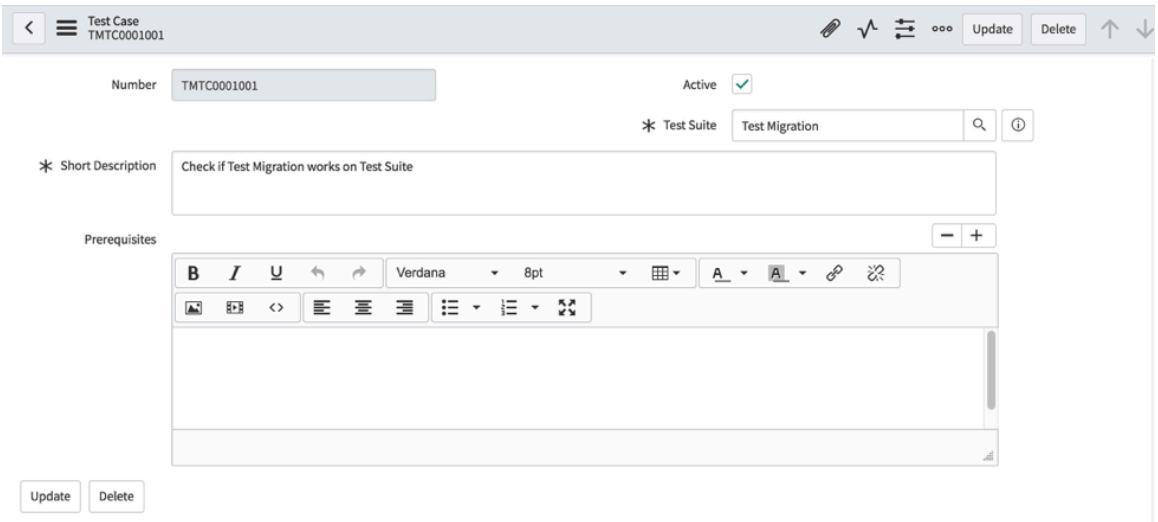
移行プロセスでは、テストスイート、テストケース、およびテストを移動できます。

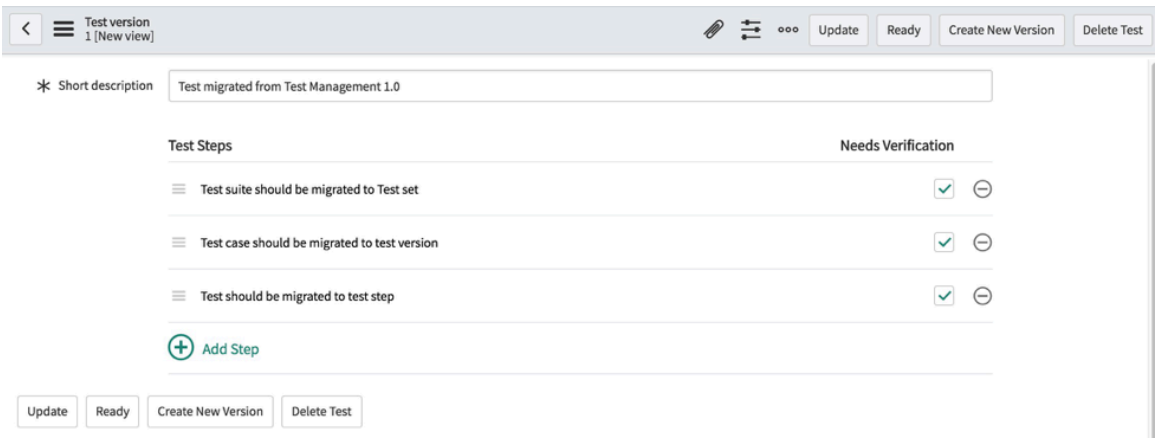
注:

- データモデルが大幅に変更されたため、テスト計画は移行できません。
- テスト管理 2.0 に移行されたテストスイート、テストケース、およびテストは、テスト管理 1.0 から削除されません。

テスト管理 2.0 に移行されたテストケースは、次の方法でテストバージョンに変換されます。

Test Management 1.0：テストケース	**Test Management** 2.0：テストバージョン
簡単な説明	簡単な説明
ドメイン	ドメイン
テストスイート	テストとテストセットの関係を作成します
必須条件	古いテストケースへのリンク





テスト管理 2.0 に移行されたテストは、次の方法でテストステップに変換されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Test Management 1.0：テスト	Test Management 2.0：テストステップ
順番	順番
ドメイン	ドメイン
詳細な説明	古いテストへのリンク
テスト	ステップ
テストデータ	古いテストへのリンク
期待する結果	検証ステップ

テスト管理 2.0 に移行されたテストスイートは、次の方法でテストセットに変換されます。

Test Management 1.0 のテストセット	Test Management 2.0 のテストセット
名前	名前
所有者	所有者
ドメイン	ドメイン

移行にカスタムフィールドを追加する

テスト管理 1.0 のテーブルにカスタムフィールドを追加した場合、そのフィールドを テスト管理 2.0 の対応するカスタム列に移動したいことがあります。このような場合は、スクリプトインクルード **TestMigrationTableMapping** のマッピング情報を上書きして、カスタムフィールドを移行に含めます。デフォルトのマッピングは、スクリプトインクルード **TestMigrationTableMappingBase** で提供されます。

テストスイートの変換

基礎となるテストケースとともに、テストセットおよびテストへの テストスイートの変換 を行います。

テストスイートの変換

テスト管理 1.0 のテストスイートを テスト管理 2.0 のテストセットに変換します。拡張されたテスト機能のために テスト管理 2.0 の使用を開始してください。

始める前に

- 必要なロール：admin
- Test Management 2.0 - データ移行プラグイン (com.snc.test_migration_v1_v2) をインストールします。

手順

1. 移動先 すべて > テスト移行 > テストスイートを移行.
   テスト管理 1.0 で利用可能なテストスイートのリストが表示されます。
2. 必要なテストスイートを選択し、それらをテストセットに変換します。

付録 - Test Management 2.0

テスト管理 2.0 は、テスト管理 1.0 に対していくつかの機能拡張を提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

こうした機能拡張は、次のカテゴリに分類できます。

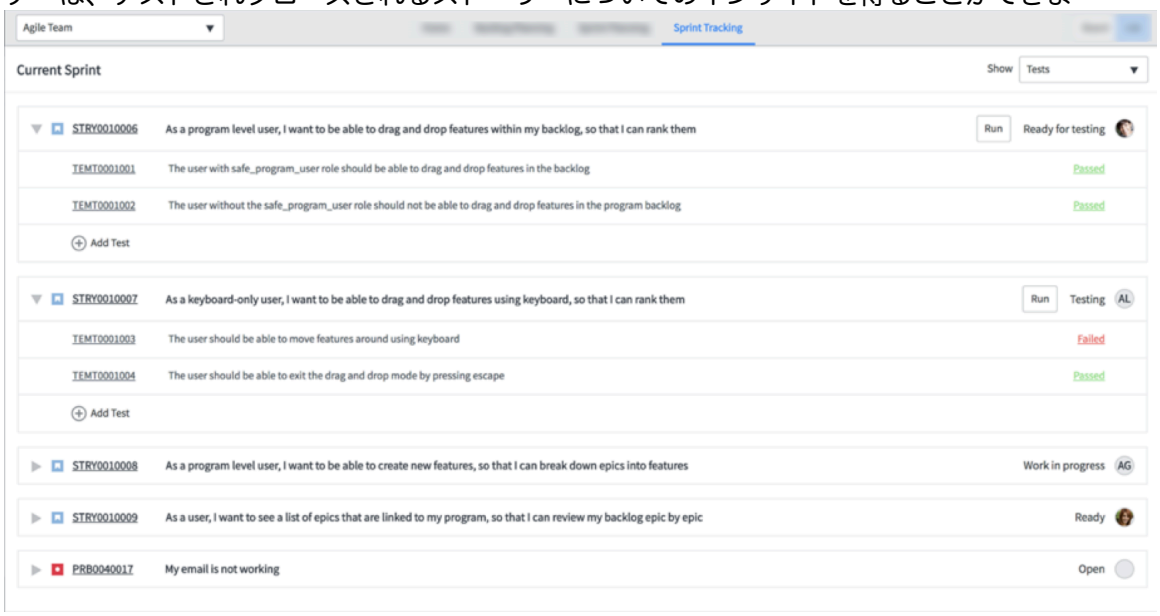
- 機能拡張
- データモデルの機能拡張
- 使いやすさの向上

Test Management 2.0 の機能拡張

テスト管理 2.0 は、テスト管理 1.0 に対していくつかの機能拡張を提供します。

統合： Agile Development 2.0

テスト管理 2.0 と Agile Development 2.0 の統合により、スクラムチームに組み込みテスト機能が提供されます。テスト管理 2.0 を使用すると、スプリントのストーリーのテストを作成し、それらのテストの実行と完了を追跡することができます。スクラムマスターまたは製品オーナーは、テストされクローズされるストーリーについてのインサイトを得ることができます。



Test Management 2.0 のデータモデル拡張

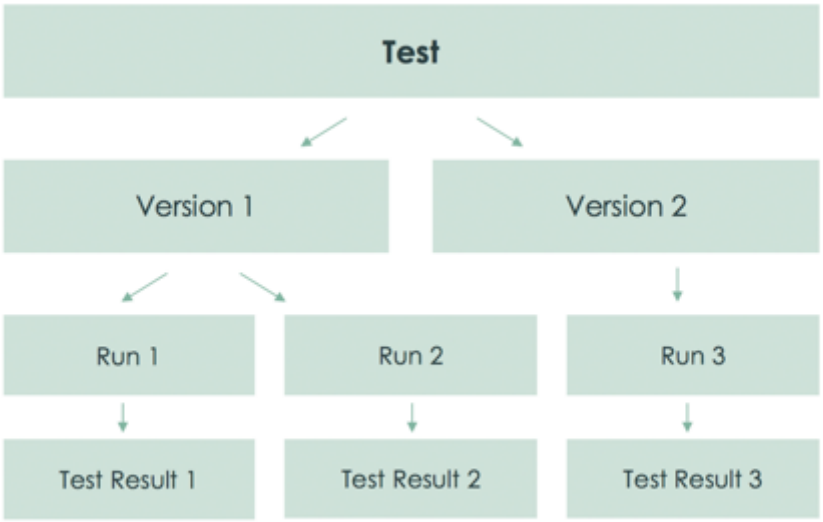
テスト管理 2.0 は、テスト管理 1.0 に対していくつかのデータモデルの拡張を提供します。

強化されたトレーサビリティ

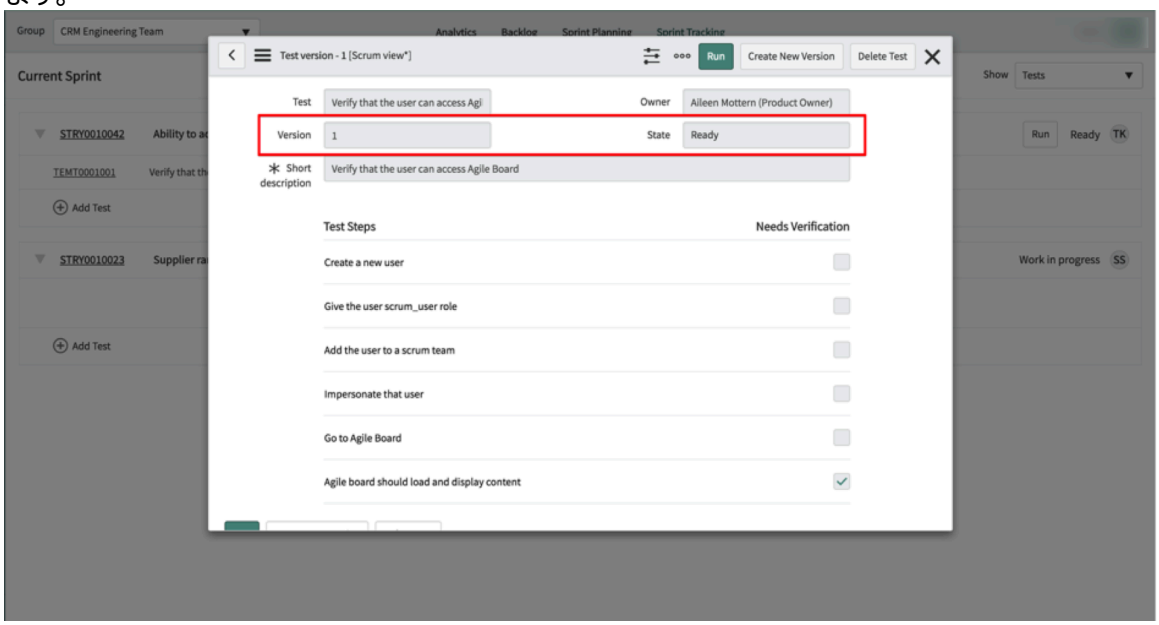
テスト管理 2.0 の各テストには、複数のバージョンを設定できます。テストバージョンが [準備完了] ステータスの場合、実行はできますが編集はできません。すべてのテスト結果は、テストの特定の実行と特定のバージョンに関連付けられています。このロジックにより、特定のテスト結果を受信したときに、いつでもテストの内容を確認でき

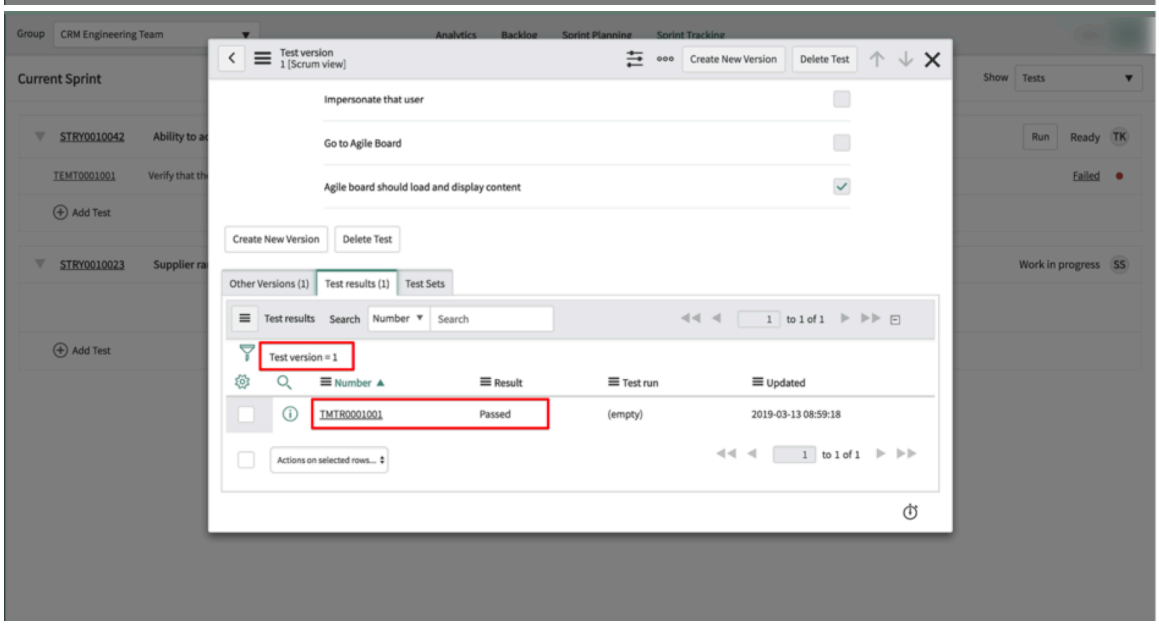
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ます。



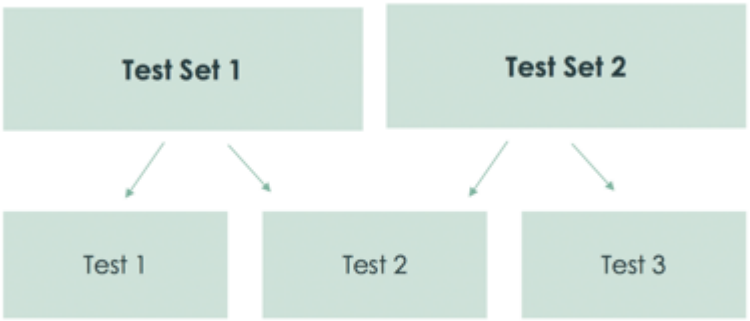


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

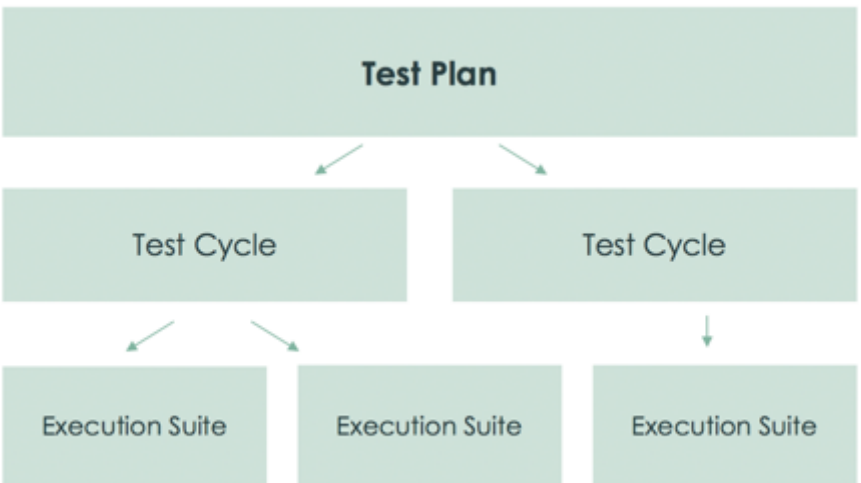
テストを整理するためのより柔軟なアプローチ

テストケースを 1 つのテストスイートにのみ配置できる テスト管理 1.0 とは異なり、テスト管理 2.0 のテストは複数のテストセットに配置できます。テストセットは、自由形式のテストのコレクションです。テストは、製品別、コンポーネント別、またはリリース別の任意のロジックを使用して、テストセットにグループ化できます。



テスト計画による期間の定義

テスト管理 2.0 のテスト計画は、テストを実行する期間をキャプチャします。さらに、テスト計画をより小さな計画期間とテストサイクルに分割して、ユーザー受け入れテストや統合テストなどのより正確な計画を立てることができます。さらに、テストサイクルは、テストのスプリントに似たテスト実行スイートに分解できます。テスト実行スイートは、いつ誰がテストを実行する必要があるかを



定義します。

Test Management 2.0 のユーザビリティ拡張

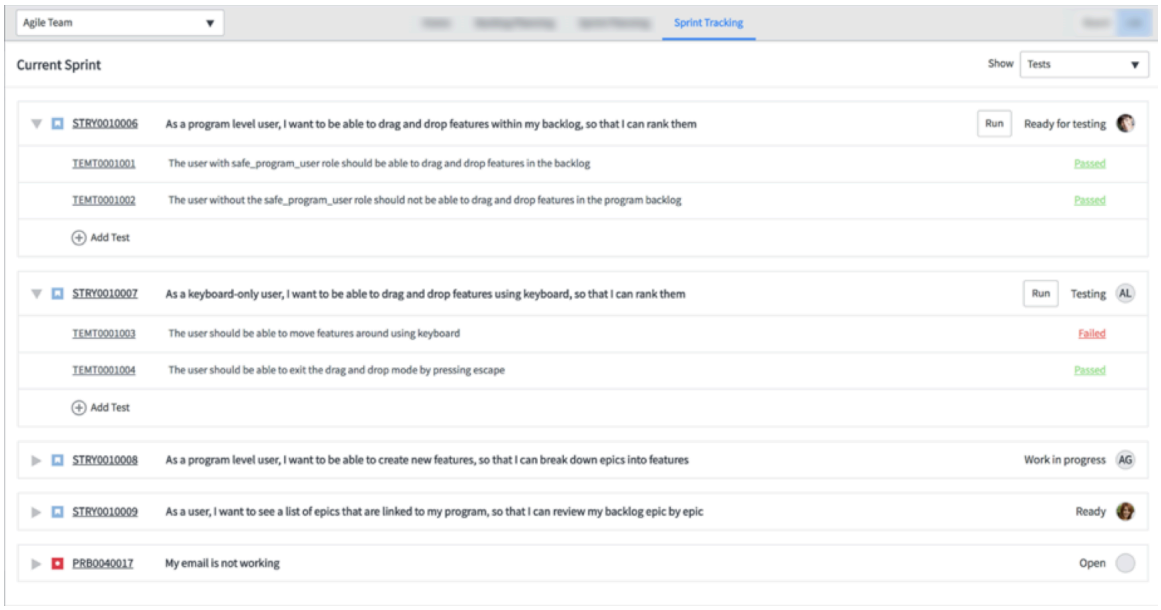
テスト管理 2.0 は、テスト管理 1.0 に対していくつかのユーザビリティ拡張を提供します。

[アジャイルボード] の [スプリント追跡] タブで、スプリントのストーリーのテストの実行を作成して追跡します。さらに、次のことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

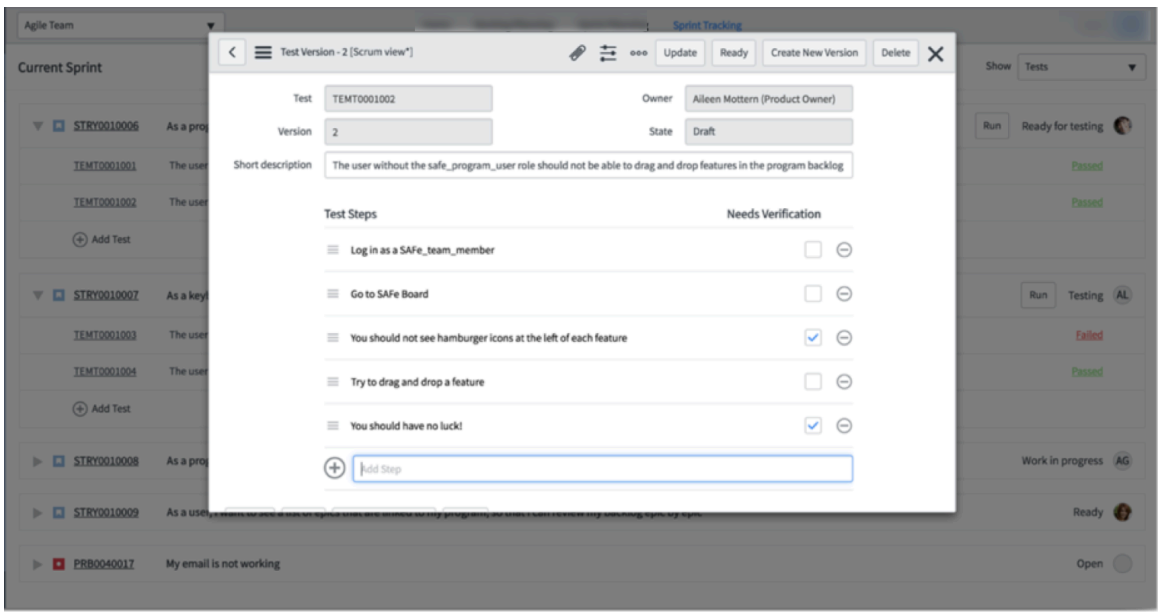
- 各テストのテスト結果を表示します。
- ストーリーのすべてのテストを一度に実行します。



テストを簡単に作成する方法

テスト管理 2.0 は、テストを作成するための新しいユーザーエクスペリエンスを提供します。

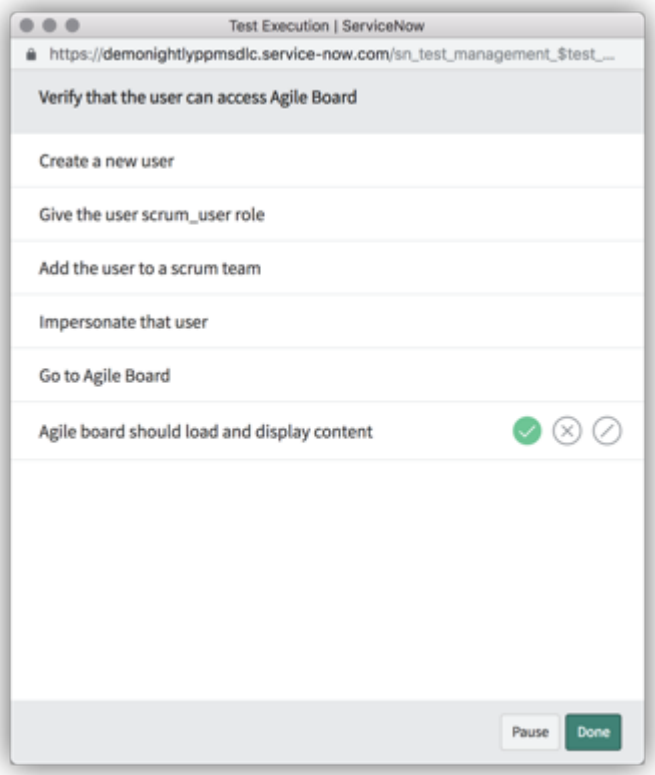
- テストフォームのコンテキストを離れることなく、テストステップを作成できます。
- テストシナリオ全体を一度に作成できます。ステップの説明を入力し、Enter キーを押して次のステップに進みます。
- 期待される結果をキャプチャするために追加のレコードを作成する必要はありません。期待される結果は、検証ステップとしてマークされた別のテストステップとしてキャプチャできます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

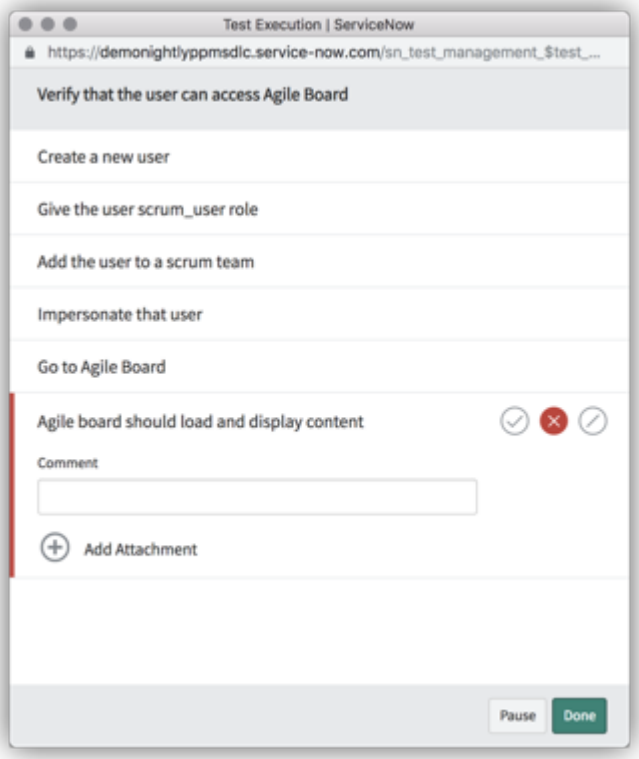
テストを実行するためのユーザーエクスペリエンスの向上



テスト管理 2.0 は、テストを実行するための新しいユーザーインターフェイスを提供します。インターフェイスが小さなブラウザウィンドウに表示され、テスト対象のシステムと並べて配置できます。ウィンドウを再起動しなくても、一度に複数のテストを行うことができます。ステップが失敗またはブロック済みとしてマークされるたびに、観察内容を記録するためのコメントと添付ファイルを追加できます。

自動翻訳

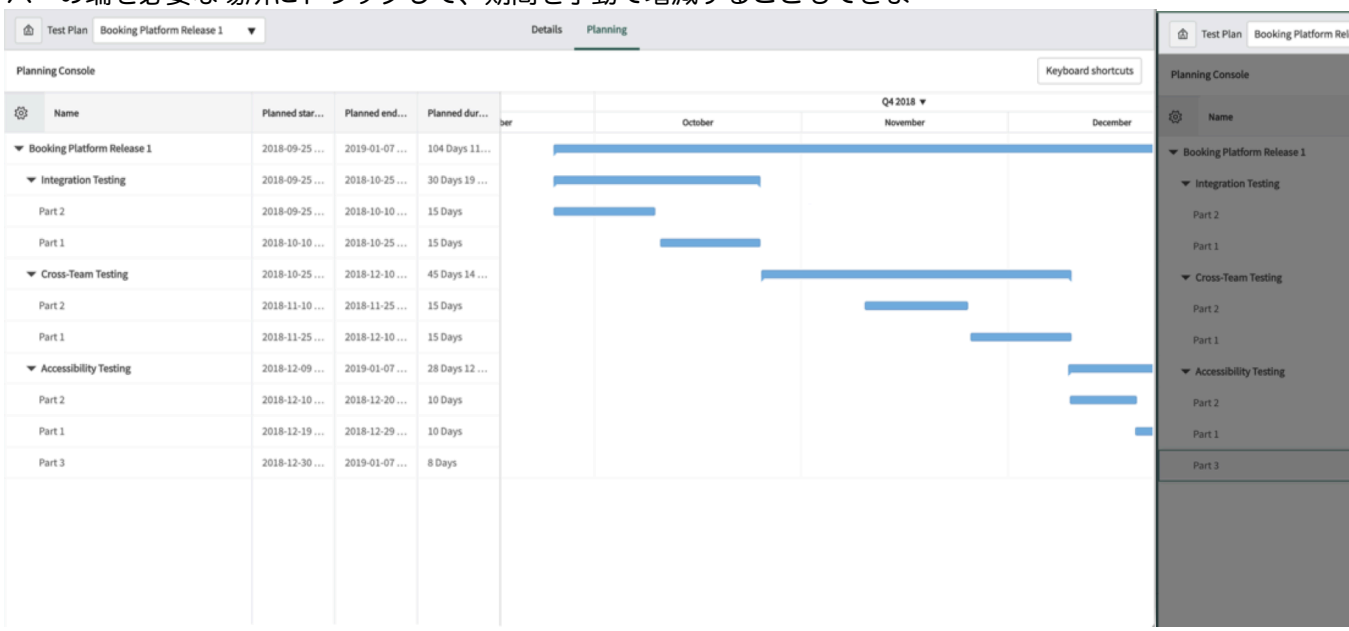
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



テスト計画を構造化する視覚的アプローチ

テスト管理 2.0 は、テスト計画を作成および構造化するための専用のユーザーインターフェイスであるテストボードを提供します。テストマネージャーは、テスト計画、テストサイクル、およびテスト実行スイートを作成し、それらを実行する期間を定義できます。テストサイクルと実行スイートの名前は、ページを離れることなくインラインで編集できます。その後、テスト実行スイートにテストを入力し、それらのテストをテスターにアサインできます。

テストボードのテスト計画作業アイテム階層では、青いタスクバーを使用して、テスト計画とその子タスクのタイムラインを視覚的に表現できます。テスト計画に関連するタスクバーの長さは、子タスクの期間の調整に応じて増減します。タスクバーの端を必要な場所にドラッグして、期間を手動で増減することもできます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業計画立案ポータル

事業計画には、ビジネス目標とその目標を達成するための計画が含まれます。事業計画立案には、目標、事業部門、ビジネス機能、機能マップ、企業戦略、事業部門戦略など、事業のさまざまなエンティティが含まれます。事業計画者は、事業計画立案ポータルからこれらのエンティティを管理できます。

事業計画立案ポータルにアクセスするには、Business Planner (com.snc.apm.business_planner) プラグインを有効化する必要があります。このプラグインは、他の 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (SPM) プラグインのいずれかが既にインストールされている場合にのみインストールされます。

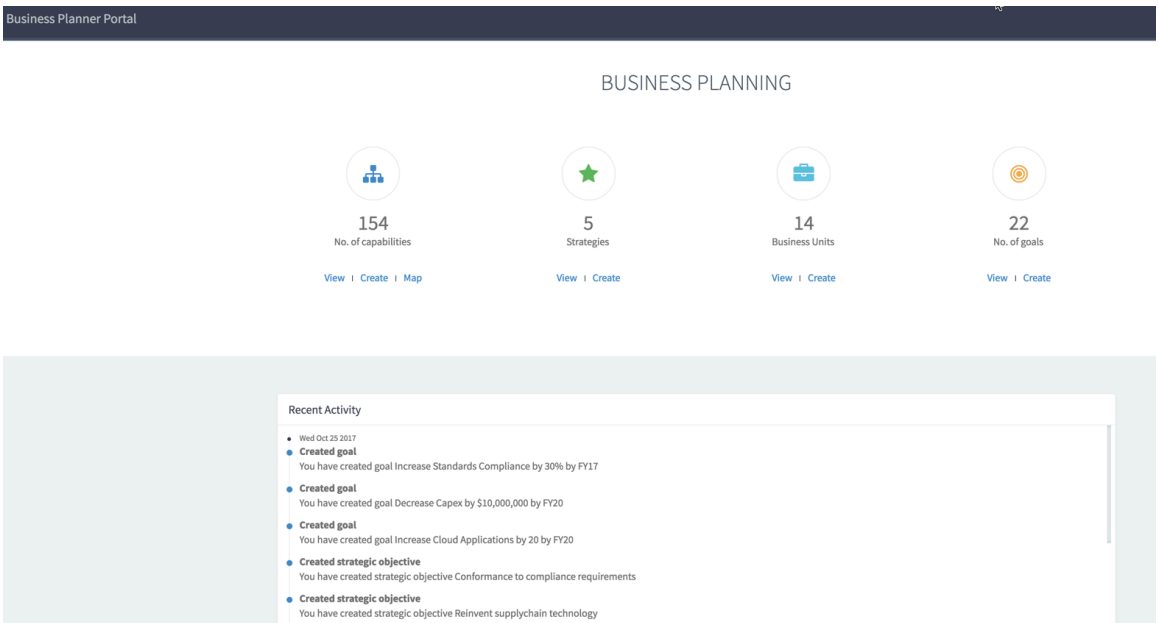
事業計画立案エンティティ、目標、事業部門、企業戦略、事業部門戦略、機能、および **Business Planner** モジュールの機能にアクセスします。

事業計画者のための事業計画立案ポータル

事業計画者は、ビジネス目標を達成するためにビジネスエンティティを表示、作成、更新するなど、事業計画立案ポータルからさまざまなタスクを実行できます。さらに、事業計画者は、Use capability map for planning できます。

> **注:**
> 事業計画者のロールには、ビジネス目標を達成するためのエンティティの計画と管理のみが含まれます。ビジネスアプリケーションやビジネスをサポートするテクノロジーは扱いません。

事業計画立案ポータル



事業計画立案ポータルは、事業計画者が目標、事業部門、機能、および戦略を表示および作成するのに役立ちます。

機能の数

作成された機能の数を表示します。クリックすると、企業に対して定義された機能のリストが表示されます。 既存の機能が事業計画に準拠していない場合は、Create business capability and relate the capability with an application 。

APM をインストールしている場合は、[マップ] リンクを使用できます。[マップ] をクリックして、機能マップを起動します。

戦略

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作成された目標の数を表示します。クリックすると、事業計画に沿った戦略的目標のリストが表示されます。クリックすると、新しい事業計画を履行するための事業部門戦略を作成または企業戦略を作成します。戦略を目標に割り当てることもできます。

- 企業戦略は高位レベルにあり、事業部門戦略をその子レベルで割り当てることができます。
- 事業部門戦略は下位レベルにあり、企業戦略または事業部門戦略を親戦略として割り当てることができます。

事業部門

事業部門は、ビジネス機能を表す企業のセグメントです。組織内の既存の事業部門数を表示します。クリックすると、事業部門を作成し、その機能を定義します。

目標の数

事業計画を達成するために作成された目標の数を表示します。目標を多くの企業戦略および事業部門戦略に関連付けることができます。同様に、複数の企業戦略および事業部門戦略を複数の目標に関連付けることができます。リストから目標をクリックしてそのステータスを更新したり、タスクをアサインしたりします。アプリケーション戦略の目標を作成する ことできます。

最近のアクティビティ

作成した最近の目標、戦略的目標、および事業部門を表示します。

事業部門

事業部門は、経理、人事、IT など特定の業務を担当する組織の一部です。

事業部門は通常、部門で構成され、会社に関連付けられています。デフォルトでは、セグメントの階層には、事業部門、部門、およびベンダーのセグメントが含まれています。ベンダーとは、[ベンダー] オプションが選択されている会社です。セグメント設定では、事業部門、部門、またはベンダーに経費を割り当てたり、経費割り当てをロールアップしたりすることができます。ユーザー管理の一環として、部門と会社の両方を構成できます。

事業部門の作成

組織機能を定義する事業部門を作成します。ロールアップルールを作成し、経費をこれらの事業部門にロールアップするために階層の最上位セグメントを設定するには、事業部門も必要です。

始める前に

必要なロール：business_planner

手順

1. 移動先 すべて > 組織 > 事業部門.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します (表を参照)。
4. [保存] をクリックします。

[業務部門] フォームフィールド

フィールド	説明
名前	事業部門の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
会社	この事業部門に関連付けられている会社 (存在する場合)。[ベンダー] フィールドが選択されていない会社を含め、任意の会社を選択できます。
業務部門長	事業部門の責任者。
説明	事業部門の説明。
親	別の事業部門を指します。[親] フィールドは、事業部門を階層要素として作成します。
階層レベル	事業部門のレベルを示す番号またはテキスト。
関連リスト	
部門	この事業部門を構成する部門。必要な数の部門を追加します。

企業戦略を作成する

事業計画者は、目標、事業部門、ビジネス機能、ビジネスの企業戦略、事業部門戦略などのビジネスエンティティを管理できます。企業戦略を作成して、事業計画を目標に合わせます。

始める前に
必要なロール：user_admin、business_planner

このタスクについて
組織戦略のパフォーマンスを理解するには、「Strategic Spend Tracking for PPM ダッシュボード」トピックを参照してください。プロジェクトの計画コスト、実際のコスト、メリットを、組織の戦略傾向に合わせて経時的にどのように調整するかを理解できる、包括的なビジュアルを提供します。

手順

1. 移動先 すべて > 事業計画者 > 企業戦略.

   次の場所に移動することもできます。 組織 > 企業戦略.

2. [新規] をクリックするか、レコードを開きます。
3. フォームフィールドに記入します。

[企業戦略] フォーム

フィールド	説明
タイトル	企業戦略を説明する短いタイトル。
番号	システムによってアサインされた企業番号。
アサイン先	企業戦略がアサインされている人物。
開始日	企業戦略が有効になる日付。
終了日	企業戦略が有効である最終日の日付。
タイプ	この戦略に沿った組織戦略のタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	チェックボックスをオンにすると、企業戦略がアクティブになります。
説明	企業戦略に関する簡単な説明。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク

[事業部門戦略] 関連リストを使用して事業部門の戦略を作成し、事業部門戦略を企業戦略、別の事業部門、または別の事業部門戦略に関連付けます。

関連情報

プロジェクトの戦略と目標の割合の割り当てまたは変更

事業部門戦略を作成する

事業部門は、経理、人事、IT などの特定の業務を担当する企業のセグメントです。これらの各事業部門は、企業または別の事業部門と連携した戦略を持つことができます。

始める前に

必要なロール：user_admin、business_planner

手順

1. 移動先 すべて > 事業計画者 > 事業部門戦略.

   次の場所に移動することもできます。 組織 > 事業部門戦略.

2. [新規] をクリックするか、レコードを開きます。
3. フォームフィールドに記入します。

[事業部門戦略] フォーム

フィールド	説明
タイトル	事業部門戦略を説明する短いタイトル。
番号	システムに割り当てられた事業部門番号。
アサイン先	事業部門戦略がアサインされている人物。
開始日	事業部門戦略が有効になる日付。
終了日	事業部門戦略が有効である最終日の日付。
事業部門	戦略を作成する事業部門。
戦略	事業部門戦略が準拠する組織の戦略的目標。
タイプ	この戦略に沿った組織戦略のタイプを選択します。
アクティブ	チェックボックスをオンにすると、事業部門戦略がアクティブになります。
説明	事業部門戦略に関する簡単な説明。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
事業計画立案ポータルで作成した戦略的目標を表示します。事業計画立案の戦略的目標のレコードを使用して、ステータス、アサイン先、有効期間、およびタイプを明確に可視性できます。

コスト管理

ServiceNow® Cost Management アプリケーションは、構成アイテムのコストを追跡します。コストは事業部門に割り当て、レポートで使用できます。

コスト管理では、次の機能が有効になります。

- レートカードを使用する。
- 構成アイテム (CI) コストを定義する。
- CI の 1 回限りのコストを追跡する。
- 経費明細を生成するために、繰り返し発生する CI コストを処理する。
- 一括コストを複数の経費明細ソースに配分する。
- タスクとプロジェクトに関連するコストを追跡する。
- 構成アイテムのコストを集計し、ビジネスサービスまたはアプリケーションに総コストを課金する。
- 柔軟な割り当てルールで事業部門に経費明細を割り当てる。
- コストセンターごとに計画および実際の予算コストを追跡する。

コスト管理オプション

次のコスト管理オプションを使用して、ビジネスコストを計画および管理します。

- 構成アイテム、契約、タスク、および賃金のコストを適切に追跡するためのレートカードを作成する。
- 経費明細および経費割り当てルールを作成する。
- 構成アイテムのコストを集計し、リレーションシップパスを使用してビジネスサービスまたはアプリケーションに総コストを適用する。
- 配分コストと配分コストルールを作成して、レコードのグループ間でコストを分割する。

コスト管理を有効化

admin ロールを使用して、Cost Management プラグイン (com.snc.cost_management) を有効にします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーは [グローバル] ドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインのアクティブ化。

4. [有効化] を選択します。

> **注:**
> デモデータをロードするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。

コスト管理 とともにインストールされるコンポーネント

Cost Management アプリケーションにはいくつかのコンポーネントがインストールされています。

デモデータは Cost Management で利用できます。デモデータは、サンプル予算、配分コスト、経費割り当て、契約レートカード、およびレードカードコストを提供します。

テーブル

Cost Management は、次のテーブルを追加します。

テーブル

テーブル	説明
割り当てユニット [allocation_unit]	ビジネスサービスのキャパシティと使用状況を追跡します。ビジネスサービスへの参照、キャパシティユニットの合計、割り当て済み、および残りを格納します。
予算 [fm_budget]	コストセンターのコレクションの計画および合計の経費配賦額を追跡します。
予算コストセンター [fm_budget_cost_center]	1 つ以上のコストセンターを予算に関連付けます。
CI コストセンターリレーションシップ [fm_cmdb_rel_cc]	コストセンターを、消費するビジネスサービスと使用するユニット数に関連付けます。これは、割り当てられたユニット数を計算して、割り当てユニットレコードを更新するために使用されます。
CI レートカード[fm_ci_rate_card]	構成アイテムとコストをリンクします。CI のグループに対して複数のレートカードを使用できるように、分類を定義することもできます。
CI レートカード [fm_ci_rate_card_cmdb_ci_m2m]	構成アイテムをレートカードに関連付けます。
契約レートカード [fm_contract_rate_card]	契約の詳細な価格情報を提供し、自動的に繰り返し経費を生成することができます。
配分コスト [fm_distribution_cost]	レコードのグループ間で分割できるコストを表します。たとえば、データセンター内の CI 間で分割できるデータセンターの電力コストなどです。
配分コストルール [fm_distribution_cost_rule]	コストを CI に配分する方法を決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル (続く)

テーブル	説明
配布単位 [fm_distribution_units]	現在のレートカードにリンクされている構成アイテムに関連付けるユニットの数を格納します。
経費割り当て [fm_expense_allocation]	経費の値をターゲット参照に関連付けます。値は、割り当てルールを処理することによって経費明細から生成されます。ターゲットは、その経費額の原因となるレコードです。一般的なターゲットは、コストセンター、部門、会社、グループ、およびユーザーです。
経費割り当てルール [fm_expense_allocation_rule]	経費明細を経費割り当てに処理する方法を決定します。ロジックは、実行対象のテーブルと条件を定義することから始まります。選択したテーブルにリンクされている経費は、このルールによって評価されます。条件が満たされると、割り当てフィールド値によって定義された参照に対して、定義されたパーセンテージの割り当てが作成されます。詳細スクリプトを使用して、カスタム割り当ての生成を定義することもできます。
財務管理ログ [fm_log]	財務管理情報を記録して追跡したり、デバッグ用の資産にします。システムログテーブルを拡張します。
賃金レートカード [fm_labor_rate_card]	機能ロールに基づいて経費明細生成の時給レートを定義します。
レートカード [fm_rate_card]	構成アイテムをレートカードに関連付けます。
レートカード [fm_recurring_rate_card]	繰り返し発生するコストの集合を表します。
レートカードコスト [fm_ci_rate_card_cost]	定期的な CI コストをレートカードに関連付けて、レートカードに関連付けられているすべての CI に適用されるようにします。
レートカードユーザー [clm_m2m_rate_card_user]	ユーザーをレートカードに関連付けます。
リレーションシップパス [fm_relationship_path]	親レコードや子レコードなどの構成アイテム間の関係を定義します。
タスクレートカード [fm_task_rate_card]	タスクコストを定義するレコードを保存します。

ユーザーロール

Cost Management は、次のユーザーロールを追加します。user_admin または admin ロールを持つユーザーは、適切なロールを割り当てることができます。

ユーザーロール

ロール	説明	ロールを含む
財務ユーザー (financial_mgmt_user)	財務ユーザーは財務プロセスに参加し、機能へのアクセスが制限されています。 割り当てユニットと経費配分の読み込みができます。レートカードと経費明細の作成/読み込み/書き込みができます。固定資産、減価償却、	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
	配分コストの作成/読み込み/書き込み/削除ができます。	
財務管理者 (financial_mgmt_admin)	財務管理者は、システム内の財務プロセスを管理します。 割り当てユニット、固定資産、減価償却、レートカード、配送費、経費ライン、経費配分の作成/書き込み/削除ができます。	financial_mgmt_user

プロパティ

Cost Management は、次のプロパティを追加します。

プロパティ

名前	説明
com.snc.time_card.default_rate	賃金レードカードがユーザーに適用されない場合に使用するデフォルトの時間単位のレートを設定します。
glide.cost_mgmt.calc_actual_cost	[予定タスク] の [タイプ] のタスクで経費明細が作成されたときに、すべてのタスク経費明細を合計し、タスクレコードの [作業コスト] フィールドにその合計を追加します。
glide.cost_mgmt.debug	コスト管理プロセスのデバッグを有効にします。すべてのログイベントは、Financial Management ログ [fm_log] テーブルに記録されます。この機能は大量のログ記録を生成できるため、初期テスト中またはトラブルシューティングの際にのみ有効にするべきです。
glide.cost_mgmt.process_task_cis	タスク経費明細を作成するときに、影響を受ける構成アイテムに対して経費明細を作成します。デフォルト値は **false** です。
glide.cost_mgmt.service_allocation.method	コストセンターの割り当てコストに対するビジネスサービスは、合計単位または割り当て単位に基づいて計算される必要があるかどうかを定義します。

UI ポリシー

Cost Management は、次の UI ポリシーを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ポリシー

名前	テーブル	説明
定額料金と請求レートフィールドを制御 (Control flat rate vs bill rate fields)	[fm_task_rate_card]	[作業時間を使用] チェックボックスがオンの場合、 [タスクレードカード] フォームで [タスクレート] フィールドを非表示にし、[デフォルトの賃金レート] フィールドを表示します。
[条件の定義] が無効になっている場合は非表示 (Hide if define condition disabled)	[fm_ci_rate_card]	[条件を定義] チェックボックスがオンの場合、[CI レートカード] フォームに [テーブル] および [条件] フィールドを表示します。
すべて有効になっている場合は親クラスを非表示 (Hide parent class if all enabled)	[fm_relationship_path]	[すべての親クラス] チェックボックスがオンの場合、[リレーションシップパス] フォームの [親クラス] フィールドを非表示にします。
1 回限りのコストの繰り返しフィールドを非表示 (Hide recurring fields for one time cost)	[fm_distribution_cost]	[繰り返し] チェックボックスをオフにすると、[配分コスト] フォームの [終了日] フィールドと [間隔] フィールドを非表示にします。
すべて有効になっている場合、リレーションシップタイプを非表示 (Hide relationship type if all enabled)	[fm_relationship_path]	[すべてのリレーションシップ] チェックボックスがオンの場合、[リレーションシップパス] フォームの [リレーションシップタイプ] フィールドを非表示にします。
[詳細フィールドを表示] を非表示 (Hide Show Advanced Field)	[fm_distribution_cost_rule]	[詳細] チェックボックスがオンの場合、[配分コストルール] フォームの [テーブル] および [条件] フィールドを非表示にし、[スクリプト] フィールドを表示します。
テーブルフィールドを非表示 (Hide table field)	[fm_labor_rate_card]	[賃金レードカード] フォームの [テーブル] フィールドを常に非表示にします。
配賦方法の値フィールドルールを変更 (Modify value field rules on distribution method)	[fm_contract_rate_card]	[コストを配賦] フィールドが [値ごとにコストを割り当ておよび配賦] に設定されている場合、[契約レートカード] フォームの [値]フィールドを読み取り専用から必須に変更します。
詳細の場合はスクリプトフィールドを表示 (Show script field if advanced)	[fm_expense_allocation_rule]	[詳細] チェックボックスがオンの場合、[経費割り当てルール] フォームに [スクリプト] フィールドを表示します。

クライアントスクリプト

Cost Management は、次のクライアントスクリプトを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントスクリプト

名前	テーブル	説明
税コストの計算 - 基本コスト	[fm_rate_card]	契約レートカードレコードで、ベースコストの変更に基づいて税コストと総コストを計算します。
税コストの計算 - 売上税	[fm_rate_card]	契約レートカードレコードで、[消費税] オプションがオンの場合に総コストを計算します。
税コストの計算 - 税率	[fm_rate_card]	契約レートカードレコードで、税率の変更に基づいて税コストと総コストを計算します。
レートカードの終了日を設定 (Set Rate Card End Date)	[fm_contract_rate_card]	契約レートカードレコードで、契約に終了日がある場合、レートカードの終了日を契約の終了日に設定します。

ビジネスルール

Cost Management は、次のビジネスルールを追加します。

ビジネスルール

名前	テーブル	説明
合計で税金を計算する	[fm_recurring_rate_card]	[消費税]、[ベースコスト]、または [税率] フィールドの値が変更されたときに、[税率]、[税コスト]、および [総コスト] フィールドを更新します。
承認されたタイムカードから経費を作成 (Create expense from approved time card)	[time_card]	タイムカードが承認された後に経費明細を作成します。
fm_calcBudgetValues	[fm_budget]	計画値または実績値が変更された場合、予算残額を更新します。
fm_レードカードコストを無効にする (fm_Disable rate card costs)	[fm_ci_rate_card]	レートカードが無効になっている場合、すべてのレードカードコストを無効にします。
fm_InsertBudget	[fm_budget]	新しいレコードが挿入されたときに、次の予算番号を含むメッセージを表示します。
fm_月フィールドを設定 (fm_Populate Month Field)	[fm_expense_allocation]	[経費日付 **(Expense date)]** フィールドに基づいて [月] フィールドに入力します。
fm_processExpenseAllocation	[fm_expense_line]	処理待ちのアイテムの経費明細が作成されたときに経費割り当てルールを処理します。
fm_デフォルトの次のプロセスを設定 (fm_Set default next process)	[fm_ci_rate_card_cost]	新しい構成アイテムのレードカードコストに対し、デフォルトの次の処理日を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
fm_デフォルトの次のプロセスを設定 (fm_Set default next process)	[fm_distribution_cost]	新しい配分コストに対しデフォルトの次の処理日を設定します。
fm_updateAllocationAvailable	[allocation_unit]	割り当てられたユニット数が更新されると、利用可能なユニット数を再計算します。
fm_updateAllocationUnits	[fm_cmdb_rel_cc]	ビジネスサービスに割り当てられたユニット数を再計算します。
次の処理日の検証 (Next process date validation)	[fm_contract_rate_card]	契約レートカードの次の処理日が開始日より後の場合、このビジネスルールは次の日付を開始日に設定します。
CI ごとに複数の割り当てを防止 (Prevent more than one allocation per ci)	[allocation_unit]	構成アイテムごとに複数の割り当てを防止します。
CI 関係を処理 (Process CI Relationships)	[fm_expense_line]	親関連アイテムを処理し、構成アイテムソース経費の経費明細を生成します。タスクコストを、タスクソース経費の影響を受ける構成アイテム経費明細に処理します。
タスクレードカードを処理する	[task]	タスクが非アクティブに設定されている場合にタスクレードカードを処理します。
契約を更新 (Update Contract)	[fm_contract_rate_card]	レートカードから契約にコストをロールします。総コスト、税コスト、または税率の値が変更されたときに、契約総コスト、税コスト、税率、およびベースコストを更新します。
計画タスク実績コストを更新 (Update Planned Task Actual Cost)	[fm_expense_line]	計画タスクソース経費の関連経費明細から合計実績コストを計算します。
レートカードの開始日と終了日を確認 (Verify rate card's start and end dates)	[fm_contract_rate_card]	レートカードの開始日が指定されていて、終了日より後ではないことを検証します。このビジネスルールでは、さらに • レートカードの開始日が契約の開始日より前ではなく、レートカードの終了日が契約の終了日より後ではないことを検証します。 • 値が未入力で、契約に終了日がある場合、レートカードの終了日を契約の終了日に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cost Management のデモデータ

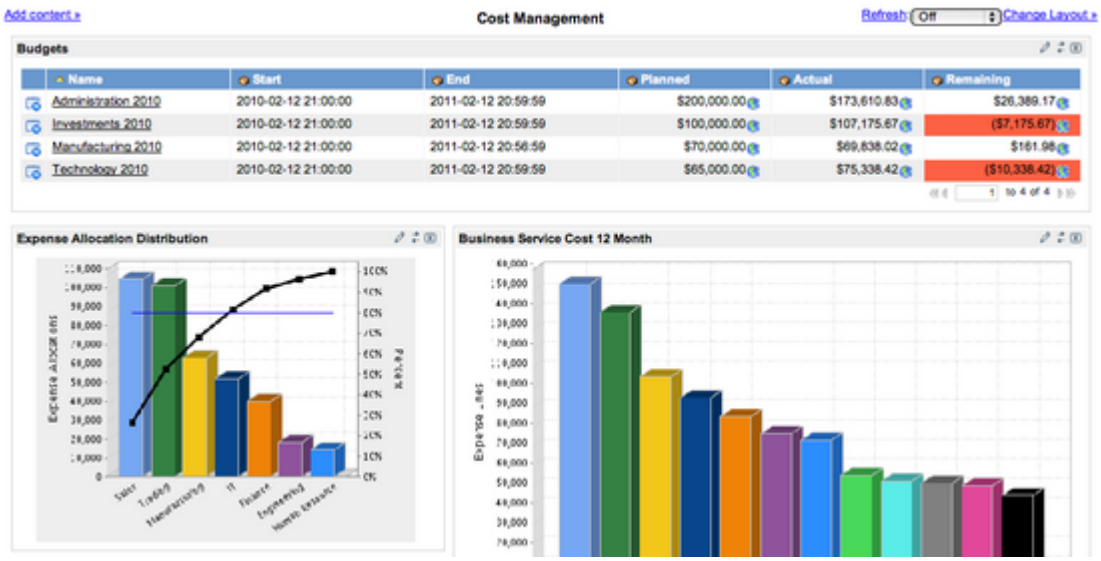
Cost Management で利用可能なデモデータには、その使用法を示すデータタイプのサンプルが用意されています。

本番データとの競合を防ぐため、デモデータは開発インスタンスまたはテストインスタンスにのみロードする必要があります。

概要のデータレビュー

コスト概要モジュールには、よく要求されるレポートが多数あります。

ビジネスサービスの概要



ビジネスサービスの概要

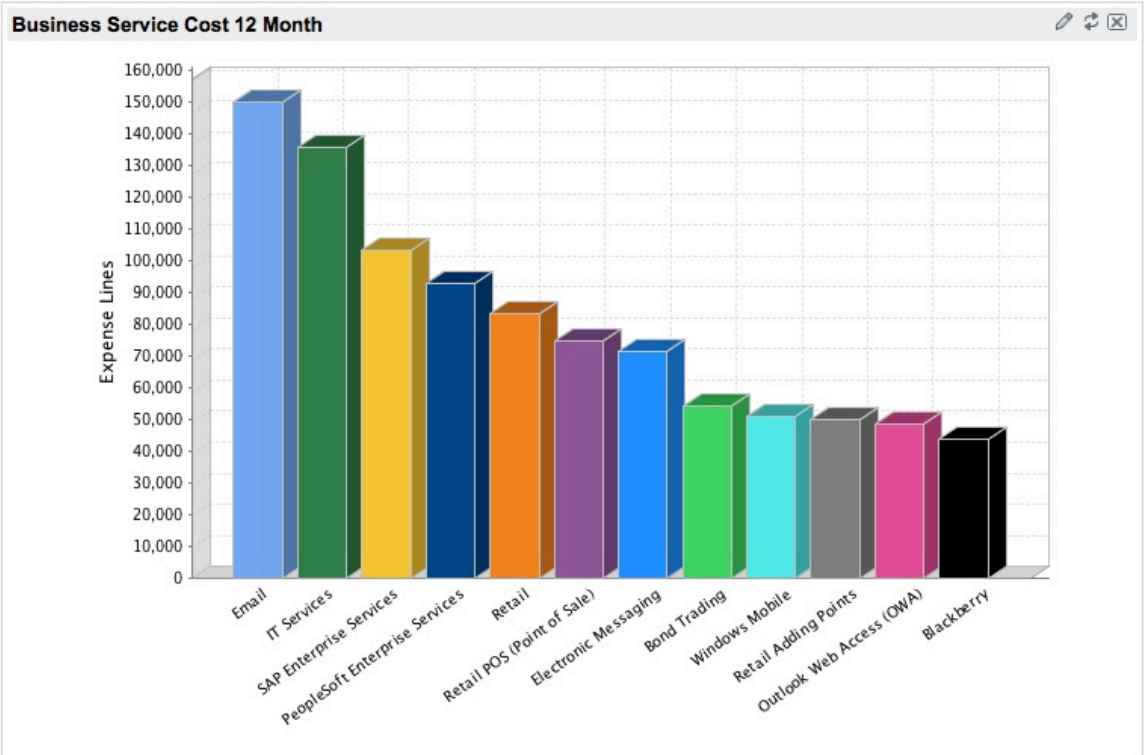
ビジネスサービスオーナーは、一定期間にわたってサービスを維持するためにかかるコストを知りたいと考えています。これには、依存 CI コストを収集し、ビジネスサービスレベルで表す必要があります。CI コストをビジネスサービスにロールアップするには、CI とサービスの間に関係が存在する必要があります。

デモデータには、依存 CI からのコストが含まれる多数のサービスが含まれています。[コスト概要] ホームページの **[12** か月間のビジネスサービスコスト] レポートには、次の情報の概要が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コストレポート

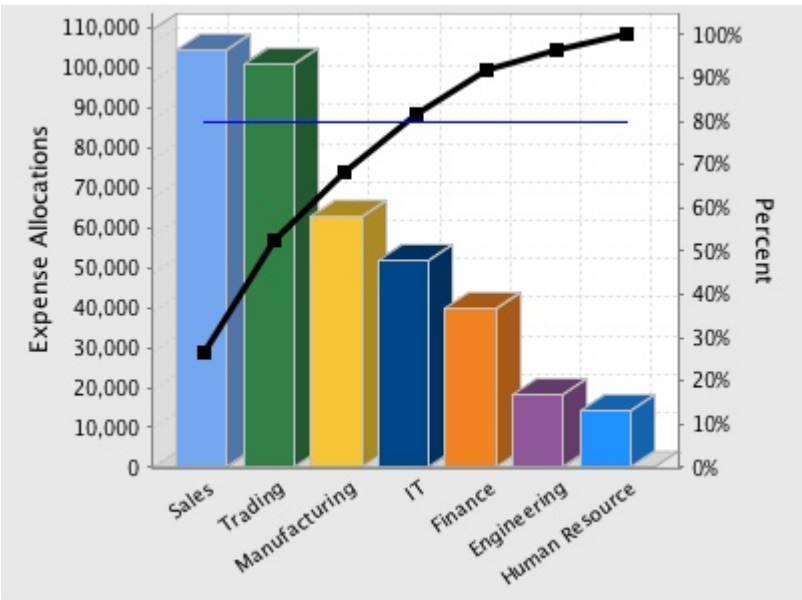


割り当ての概要

経費割り当てルールのコストを使用すると、ユーザー、グループ、部門、会社、コストセンターなどの 1 つ以上のビジネスエンティティにコストを割り当てることができます。割り当ての目的は、ビジネスで負担するコストを表すことです。これは、チャージバックまたは請求とは見なされませんが、請求のソースとして使用できます。経費割り当ての主な目的は、何らかの経費が発生したプロセスのコンシューマーを表すことです。

次の図は、コストセンターへの経費の分配を示しています。

レポートの例



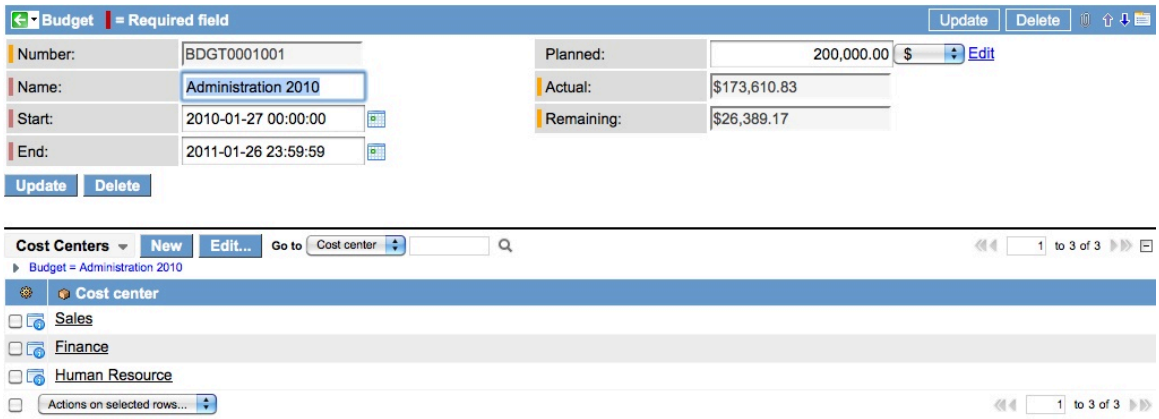
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算の概要

コストセンターに割り当てられた金額は、予定予算に対して追跡できます。予算は、コストセンターの集合、期間、およびその期間中にコストセンターに割り当てられると予想される金額を表します。この管理予算には 3 つのコストセンターが含まれており、この期間中にこれまでに $173,610.83 が発生しました。

予算デモ



コスト概要モジュール

コスト概要モジュールには、さまざまなコスト管理レポートが表示されます。

財務管理者や他のユーザーに主要なコスト管理情報のサマリービューを提供します。

コスト概要は一種のホームページです。

特定のロールを持つユーザーのみコスト概要モジュールにアクセスできます。詳細については、「コスト概要モジュールのロール」を参照してください。

コスト概要モジュールのロール

コスト概要モジュールをカスタマイズできるのは、特定のロールのみです。アクセス権を持つロールは、レポートの表示に加えて、更新、追加、削除、および再配置を行うことができます。

コスト概要モジュールのロールアクセス権

ロール	アクセス
admin	表示、カスタマイズ
資産	表示、カスタマイズ
financial_mgmt_admin	表示
financial_mgmt_user	表示
procurement_user	表示
sam	表示

コスト概要モジュールを使用する

ロールにアクセス権がある場合は、次の手順に従ってコスト概要モジュールを使用します。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

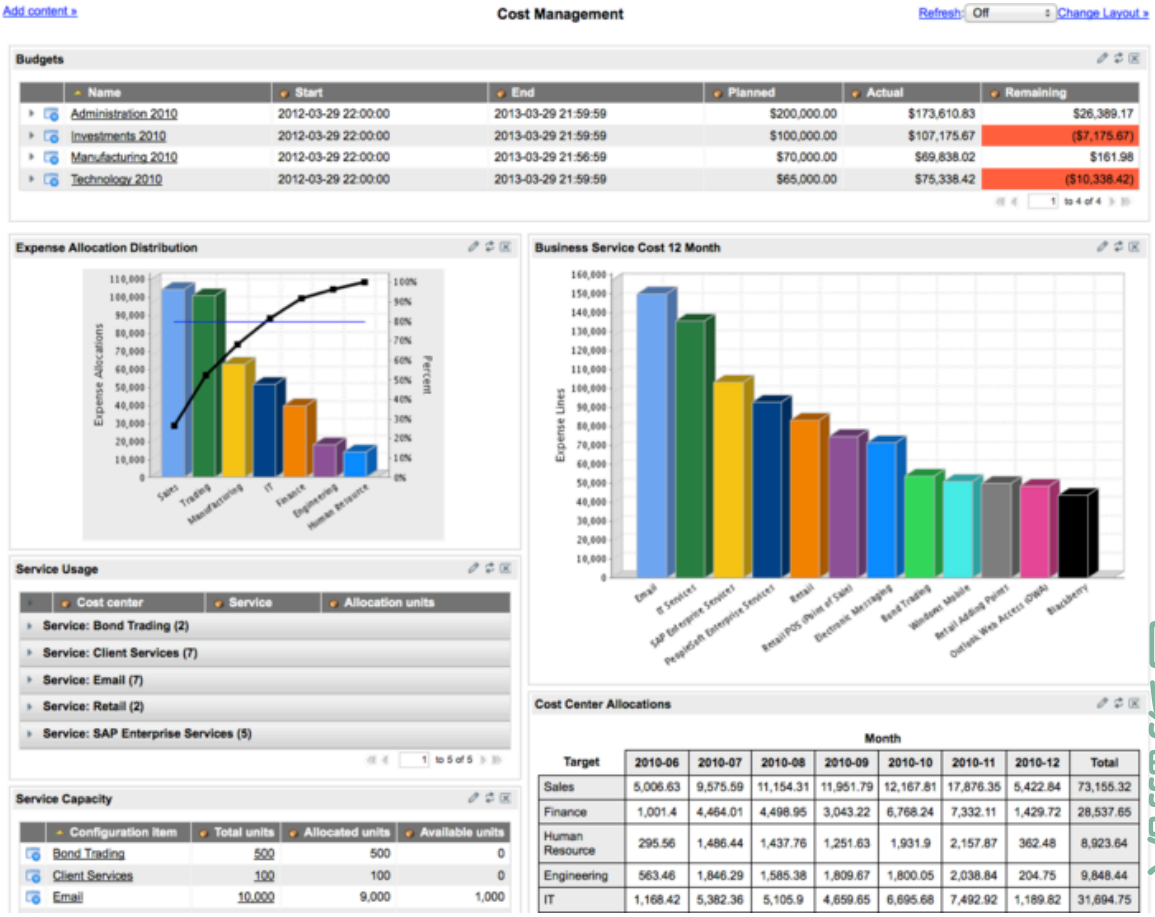
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト概要.
2. レポート内の要素をクリックして、詳細情報を取得します。

コスト概要モジュール



CI レートカード

構成アイテム (CI) レートカードは、複数の構成アイテムに関連付けられた繰り返し発生する構成アイテムコストのグループです。レートカードを使用すると、複数の構成アイテムで同じコストを簡単に入力して追跡できます。

レートカードは通常、すべてのコストが記録され割り当てられるフレームワークに従います。たとえば、ニューヨークのデータセンター内にある特定モデルのサーバーの契約コストは、マドリッドのデータセンターで稼働している同じサーバーモデルと異なる場合があります。各モデルには、コストの詳細が記載された個別のレートカードがあります。

財務管理者 (financial_mgmt_admin) および財務ユーザー (financial_mgmt_user) ロールを持つユーザーは、CI レートカードを管理できます。

CI レートカードを作成する

時給を指定する CI レートカードを追加し、レートコードを関連付けることができます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト > **CI** レートカード.
2. [新規] をクリックします。
3. 必要に応じてフィールドに入力します。

CI レートカードに条件を追加する

CI レートカードに条件を追加する場合は、**[CI** リストを更新] 関連リンクを使用して、構成アイテム (1 つまたは複数) とレートカードの間の関係を作成します。

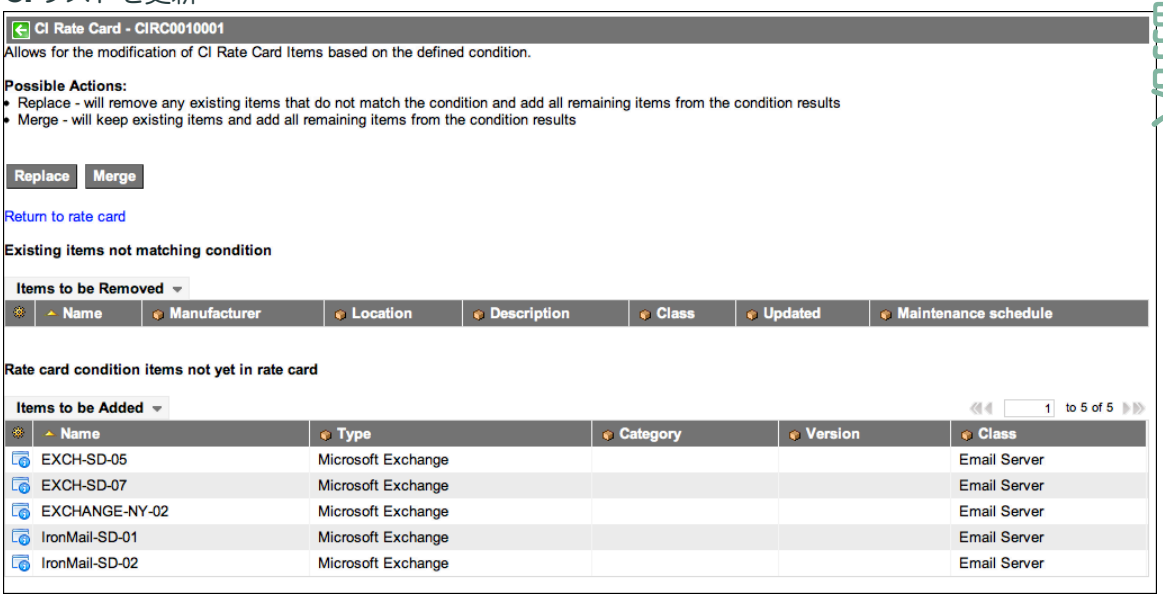
始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト > **CI** レートカード.
2. レートカードを選択します。
3. [条件を定義] を選択します。
4. 条件を作成します。
5. ヘッダー バーを右クリックし、[保存] を選択します。
6. [関連リンク] で、**[CI** リストを更新] をクリックします。

Example

CI リストを更新



7. いずれかの選択肢をクリックします。
   - [置換]：条件に一致しない既存のアイテムを削除し、残りのすべてのアイテムを条件の結果から追加します。
   - [結合]：既存のアイテムを保持し、条件の結果から残りのすべてのアイテムを追加します。
8. [レードカードに戻る] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI レートカードコスト

CI レートカードコストは、関連するレートカードの構成アイテムの経費明細を生成します。

レートカードに関連付けられたコストは、レートカードコスト (fm_ci_rate_card_cost) テーブルに保存されます。各コストは、コストが処理されるときにレートカードに関連付けられたすべての構成アイテムに適用されます。

Expense Line はデフォルトで有効になっています。

CI レートカードコストを追加する

レードカードコストを CI レートカードに追加できます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト > **CI** レートカード.
2. レートカードを選択します。
3. [レートカードコスト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 開始日を入力します。
5. 必要に応じてフィールドに入力します。

レードカードコストを削除する

[CI レートカード] フォームのレードカードコストを削除できます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト > **CI** レートカード.
2. レートカードを選択します。
3. [レートカードコスト] 関連リストで、番号 をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

レードカードコストを無効にする

コストが処理されないようにするには、[アクティブ] オプションをオフにします。このオプションを使用して、レードカードコストを永続的に非アクティブにするか、コストの処理を一時的にスキップします。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト > **CI** レートカード.
2. レートカードを選択します。
3. [レートカードコスト] 関連リストで、番号 をクリックします。
4. [アクティブ] チェックボックスをオフにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レードカードコストを変更する

多くの場合、構成アイテムのコストは、施設やベンダーのレートの変化に応じて変化します。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

このタスクについて
経費明細は特定の間隔のコストのスナップショットであるため、コストを変更しても既に生成された経費明細には影響しません。コストが変更された場合は、コスト金額を変更するか、現在のコストを無効にして、今後のコストを表す新しいコストを作成します。変更は、次に生成される経費明細で処理されます。コストの履歴レコードを保持するには、既存のコストを変更するのではなく新しいコストを作成し、無効化されたコストの終了日を設定して、コストの合意期限が切れたことを示します。

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト > **CI** レートカード.
2. レートカードを選択します。
3. レードカードコストの番号をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを変更します。

CI コストの集計

経費明細を集計して、リレーションシップパスを持つ親ビジネスサービスまたはアプリケーションに対してすべての構成アイテム経費を適用できます。

子構成クラスから 1 つまたは複数の親クラスへのリレーションシップパスを定義します。パスがリレーションシップパスレコード基準のいずれかと一致しない場合、経費集計を決定するときにパスはリレーションシップとして表示されません。「CI 関係」を参照してください。

関係の集計を有効にする

[先月の CI コストの処理 (Process Last Month CI Costs)] スケジュール設定済みジョブは、構成アイテムのコストを処理します。親に対する経費の集計を開始するには、集計に使用する関係を特定します。CMDB の関係には多くのオプションがあるため、集計に使用可能なすべてのパスを使用することは一般的に効率的ではありません。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

このタスクについて
子クラスごとに複数の関係を持つことができます。たとえば、特定の関係または親クラスのみを有効にするには、子クラスとペアになっているタイプとクラスの組み合わせごとに新しいレコードを作成します。

構成アイテムコストから経費明細が生成されると、構成アイテムの親が評価されます。親クラスと関係タイプがリレーションシップパスレコードリストと比較され、集計に使用する一致があるかどうかが確認されます。一致するものがある場合、親構成アイテムの経費明細が生成されます。このプロセスは、親関係がなくなるか、当該の関係がリレーションシップパスレコードで定義された基準を満たさなくなるまで、すべての親に対して繰り返されます。

手順

1. 移動先 すべて > コスト > 管理 > リレーションシップパス.
2. [新規] をクリックします。
3. 必要に応じてフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
1 つの構成アイテムに対して有効なリレーションシップパスを持つ複数の親がある場合、集計される金額を各親に分割して、アイテムコストが過度に集計されないようにします。アクティブなリレーションシップパスに対する親関係を評価する場合、集計では有効な関係の合計数がカウントされます。子構成アイテムからの経費明細金額は、有効な数のパス間で均等に分割され、その金額が親の継承された経費明細の作成時に使用されます。

タスクレードカードと賃金レードカード

Cost Management のタスクレードカードと賃金レードカードは、タスクを実行するためのコストを表す経費明細を生成することによって運用コストを取得します。

- タスクレードカードは、タスクのタイプと関連コストの計算方法を定義するために使用されるテンプレートです。
- 賃金レードカードは、作業時間に基づいてタスクコストを計算するときに労働者の賃金レートを定義するために使用されるテンプレートです。

賃金レードカードを管理する

賃金レードカードは、レートコードを賃金レートに関連付けます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > 賃金レートカード.
2. レコードを作成または編集します (詳細はテーブルを参照)。

賃金レードカードのレートタイプ

レートタイプ機能は、さまざまなタイプの作業を分類するために使用されます。たとえば、標準と残業などです。

[賃金レートカード] フォームには、レートタイプの指定、レートタイプの時給の指定、および賃金レードカードを適用できるユーザーの指定を行うオプションが含まれています。1 人のユーザーを、さまざまな料金タイプを含む複数の賃金レードカードに関連付けることができます。

ユーザーがタスクに対して時間を記録し、[タイムカード] フォームでレートタイプ [標準] を選択したとします。承認されると、タイムカードの経費明細 (コスト) は、タイムカードのユーザーとレートタイプを、そのユーザーに割り当てられた同じレートタイプの賃金レードカードと照合することによって導出されます。ユーザーが同じレートタイプの賃金レードカードを複数持っている場合、[順番] フィールドの値が最も低い賃金レードカードに基づいて経費明細が生成されます。ユーザーとレートタイプに関連付けられた賃金レードカードがない場合、タイムシート > 管理 > タイムシートポリシー フォームが使用されます (**com.snc.time_card.default_rate** プロパティ)。

> **注:**
> レートタイプを入力できるのは、ユーザーの [タイムシートポリシー] によって許可されている場合のみです。

関連情報

レートタイプの作成

タスクレードカードを管理する

タスクレードカードは、タスクテーブルのレコードに関連付けられたレートカードです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > コスト.
2. レコードを作成または編集します (詳細はテーブルを参照)。

タスクレードカードを処理する

ビジネスルール [タスクレードカードを処理 (Process Task Rate Cards)] は、タスクがクローズされたときに実行され、適用されるタスクレードカードがあるかどうかを確認します。ある場合は、レートカードに従って経費明細が作成されます。

[タスクレードカードを処理 (Process Task Rate Cards)] ビジネスルールのプロセスフローは次のとおりです。

1. タスクがクローズします。
2. ビジネスルールが実行されます。
3. 一致する条件を探すために、アクティブなタスクレードカードがクエリされます。
4. 作業時間を使用していないレートカードの認定。

   タスクレート値を使用して、タスクにリンクされた経費明細を生成します。
5. 作業時間を使用しているレートカードの認定。
   a. ユーザー (ワーカー) でグループ化されたタスク作業時間エントリを取得します。
   b. ユーザーごとに、ユーザーがいずれかの賃金レードカードの条件に一致するかどうかを確認します。
      i. 賃金レードカードが見つかった場合は、作業時間と賃金レートを使用して経費明細を生成します。
      ii. 賃金レードカードが見つからない場合は、タスクレードカードからデフォルトの賃金レートを使用して経費明細を生成します。

予算とコストセンター

予算とコストセンターとは何か、コスト管理 アプリケーションでそれらを管理する方法を理解します。

予算

予算を使用すると、支出の計画と実績を追跡できます。予算は、1 つ以上のコストセンターの特定期間に対して定義されます。

コストセンター

コストセンターは、ビジネスエンティティを表すために使用されます。予算期間中に予算のコストセンターに割り当てられたすべての経費割り当ては、予算の実際の経費割り当ての計算に使用されます。

コストセンターレコードから予算にコストセンターを割り当てることもできます。コストセンターレコードには、予算関連リストが含まれています。

予算とコストセンターの例

財務情報を関連付ける最も一般的なビジネスエンティティはコストセンターです。

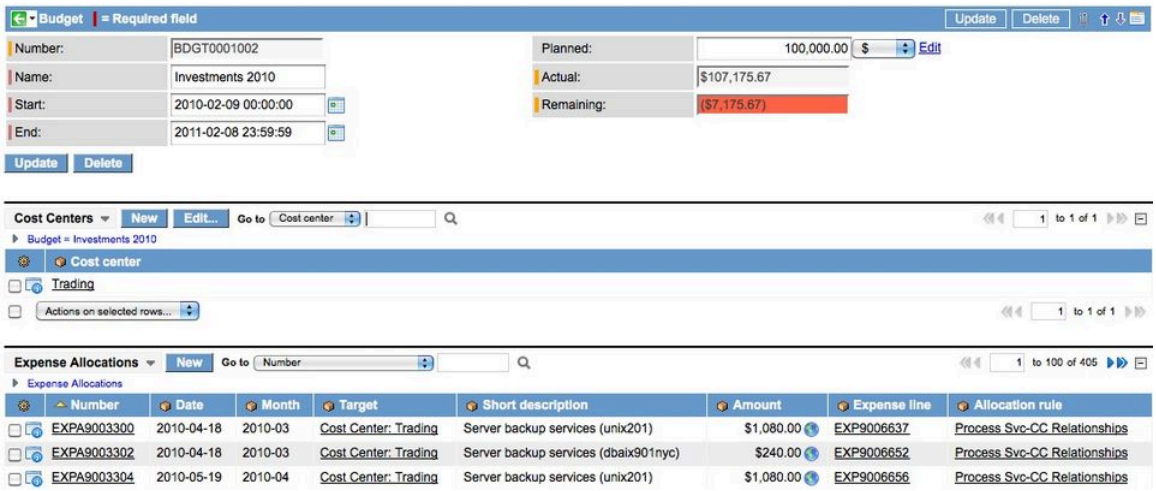
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例は、サービスの使用状況に基づいてコストセンターに経費を割り当てる方法を示しています。この例では、その情報を使用してコストセンターの定義済み予算と比較します。

予算は、1 つ以上のコストセンターに対する計画支出額のプレースホルダーです。例を表示するには、次の場所に移動します。 ファイナンシャルマネジメント > 予算 をクリックし、 投資 予算を選択します。

コストデモの予算



この予算には、定義済みの開始日と終了日、予定金額、および実際の金額があります。[コストセンター] 関連リストで、[取引 **(Trading)]** はメンバーです。

予算期間中に [取引 **(Trading)]** コストセンターに割り当てられたすべての経費割り当てについて、割り当てが合計されて実際の予算フィールドに入力されます。関連する経費割り当てレコードは、[経費割り当て] 関連リストでも表示できます。

コストセンターの作成または更新

新しいコストセンターを定義するか、既存のコストセンターの詳細を更新します。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > 構成 > コストセンター.
2. 編集するコストセンターを選択するか、[新規] を選択して作成します。
3. フォームのフィールドに入力します。

コストセンターフォーム

フィールド	説明
名前	コストセンターの名前
マネージャー	このコストセンターのマネージャー
口座番号	このコストセンターのアカウント番号
有効開始日	コストセンターが有効になる開始日カレンダーオプションを使用して日付を選択します。
コード	このコストセンターに割り当てられたコード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
有効期限	その時までコストセンターが有効である日カレンダーオプションを使用して日付を選択します。
ロケーション	このコストセンターの場所ルックアップオプションを使用して 1 つを選択します。
親	親コストセンター (存在する場合) ルックアップオプションを使用して 1 つを選択します。

4. [送信] を選択します。

次のタスク
このコストセンターの関連リストを確認し、必要に応じて更新します。「コストセンターの関連レコード」を参照してください。

関連情報
予算とコストセンター

予算の作成または更新
コスト管理では、特定の期間の経費を計画するための予算を提供します。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順
1. 移動先 すべて > コスト > 構成 > 予算.
2. 編集する予算を選択するか、[新規] を選択します。
3. フォームに記入します (表を参照)

予算フォーム

フィールド	入力値
番号	システムによって生成されたレコード番号。
名前	予算の名前の文字列フィールド。
開始	予算期間の開始を定義する日付フィールド。
終了	予算期間の終了を定義する日付フィールド。
計画	予算期間中の関連コストセンターの計画経費額を表す通貨フィールド。この値は入力またはインポートされます。
実際	予算期間中の関連コストセンターの実績経費額を表す通貨フィールド。これは、コストセンターの経費割り当てリストを使用して計算されたフィールドです。
残り	計画経費額から実績経費額を差し引いた金額を表す通貨フィールド。これは計算フィールドです。
予測	予算期間中の関連コストセンターの推定経費額を表す通貨フィールド。1 日あたりの平均経費額が計算され、残りの予算期間に適用されて、予測が決定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
この予算の関連リストを確認し、必要に応じて更新します。「予算関連レコード」を参照してください。

関連情報

予算とコストセンター

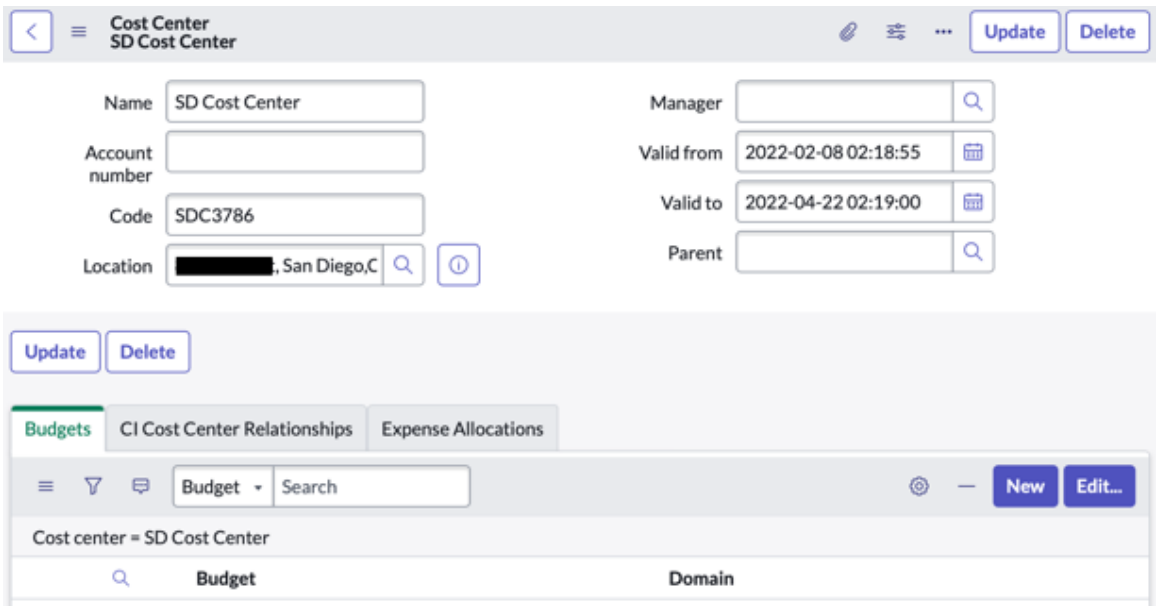
コストセンターの関連レコード

コストセンターは、そのフォームに関連リストとして表示される追加のレコードに関連付けられています。

コスト管理 プラグインは、次の関連リストをコストセンターレコードに追加します。これらの関連リストにレコードを追加することも、既存のレコードを削除することもできます。

- 予算：このコストセンターがメンバーとなっている予算
- CI コストセンターリレーションシップ：このコストセンターが消費しているビジネスサービスキャパシティの量を定義します。
- 経費割り当て：このコストセンターをターゲットとするすべての経費割り当てレコードを表示します。

コストセンター関連リスト



コストセンターを予算に関連付けます。

コストセンターを作成し、それらに予算と経費割り当てを関連付けます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. から既存の予算を開く コスト > 構成 > 予算 移動します
2. [コストセンター] 関連リストが表示されていることを確認します。
3. [編集] を使用して、既存のコストセンターを予算に追加または予算から削除します。
4. [新規] ボタンを使用して、新しいコストセンターレコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

配分コストとルールの使用

配分コストとは、レコードのグループ間で分割できるコストを表します。

たとえば、データセンター内の CI 間で分割できるデータセンターの電力コストなどです。

配分ルールは、配分コストを CI 間でどのように分割するかを決定します。

配分コストの定義

新しい配分コストを定義するには、次に移動します。 ファイナンシャルマネジメント > コスト管理 > 配送費をクリックし、 新規 を選択します。次のフィールドにデータが入力されます。

配分コストの定義

フィールド	入力値
番号	システムによって配分コストに生成された一意の識別子。
名前	人間が判読可能なコスト識別子。
総計	コストの金額と通貨リスト。新しい通貨を追加するには、[編集] リンクを使用します。
配分ルール	コストを CI 間でどのように配分するかを決定する配分ルールを選択します。「配分ルール」を参照してください。
有効	コストがアクティブに使用されているかどうかを決定します。
開始日	コストの日付、またはコストが繰り返し発生している場合はコストの最初の日付。
繰り返し	オンにした場合、コストは繰り返し発生し、定期的に追加されます。
終了日	[繰り返し] が *[true]* の場合、配布コストを追加する最終日。
サマリータイプ	サマリーレポートを簡単にするための経費タイプの概要を指定します。この値は、[経費ラインサマリータイプ] フィールドの設定に使用されます。
間隔	[繰り返し] が *[true]* の場合、[開始日] から [終了日] までに配分コストを追加する間隔。
前回処理	配分コストが最後に処理された日時の読み取り専用表示。
次のプロセス	予定されている次の処理日の読み取り専用表示。

配分ルールの定義

配分ルールを定義して、ルールに従って配分される配分コストを表示します。

新しい配分ルールを定義するには、次に移動します。 ファイナンシャルマネジメント > 管理者 > 配送費ルールをクリックし、[新規] を選択して以下を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

配分ルールフォーム

フィールド	入力値
名前	ルールの一意の名前。
有効	ルールがアクティブに使用されているかどうかを決定します。
詳細	オンにした場合、配分ルールはスクリプトによって決定されます。オフの場合は、テーブルと条件によって決定されます。
説明	ルールの説明とその使用に関する注意事項。
スクリプト	[詳細] が *[true]* の場合、ルールの動作を決定するスクリプト。
テーブル	[詳細] が *[false]* の場合、コストを配分するレコードを見つけるテーブルのリスト。
条件	[詳細] が *[false]* の場合、[テーブル] フィールドによって決定されるテーブルで、配分されたコストを受け取るレコードを決定する条件ビルダー。コストの金額は、テーブルと条件の値で特定されるレコード全体に均等に配分されます。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。

送信すると、ルールに従って配分するコストを決定するために役立つ配分コスト関連リストが表示されます。

スクリプト化された配分

スクリプト化された配分では、テーブルおよび条件フィルターを使用する場合の均等分割配分とは対照的に、カスタム配分量を使用できます。

配分ルールでスクリプト化された処理を有効にするには：

- [詳細] フィールドのチェックボックスをオンにすると、スクリプトフィールドが表示されます。
- 次の概念を利用してスクリプトを作成します。
  - 割り当て量の計算に使用するターゲットレコードおよびデータを照会します。
  - ExpenseLine API を使用して経費明細レコードを作成します。

    詳細については、「ExpenseLine」を参照してください。

デフォルトのスクリプトに記載されているように、[詳細] フィールドが有効になっている場合、スクリプトの処理中に次の変数を使用できます。

- `distCost`：配分コストの GlideRecord。すべてのフィールドへのアクセスを許可します。
- `distCostAmount`：システム通貨でのコスト金額。

配分コストの処理

[FM コストの処理] と呼ばれるスケジュール設定済みジョブが配分コストを毎日自動的に処理します。

経費でビジネスサービスを使用する

割り当て単位とコストセンターを使用して、ビジネスサービスとその経費の関係を管理します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コストセンターを定義する

コストセンターは、財務システムと IT の間でよく使用される参照です。コストセンターレコードはビジネスエンティティを表し、コストセンターのビジネスサービス消費を測定する CI コストセンターリレーションシップの関連リストがあります。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > 構成 > コストセンター.
2. 編集するレコードを選択するか、[新規] を選択します。

CI コストセンターリレーションシップ

フィールド	説明
サービス	ビジネスサービスへの参照。
コストセンター	関係を適用するコストセンター。関連リストからアクセスした場合は、適切なコストセンターに既に関連付けられているはずです。
割り当てのパーセンテージ	まだ実装されていない機能です。
割り当てタイプ	選択リスト。[単位] である必要があります。
割り当てユニット	コストセンターが使用しているユニットの数。これは、割り当てユニットレコードでビジネスサービスの合計キャパシティを定義するために使用されるのと同じタイプの単位を使用して測定されます。この数値は、割り当てユニットレコードの割り当てられたユニット数を更新するために使用されます。また、合計キャパシティに対する使用ビジネスサービスのパーセンテージに基づいてコストセンターに割り当てる経費の額を決定するためにも使用されます。

デフォルトの割り当てルール

ビジネスサービスに対して生成されたすべての経費明細について、デフォルトの割り当てルール [SVC-CC リレーションシップの処理 (Process Svc-CC Relationships)] では、経費を処理し、サービスを消費している各コストセンターの割り当てを作成します。

経費割り当て額は、コストセンターが消費しているユニット数をビジネスサービスの合計ユニット数で割って算出されます。この計算方法は、合計ユニットキャパシティを使用して割り当てのパーセンテージを決定するため、「全ユニット」割り当てと呼ばれます。

詳細な例については、デモのウォークスルーを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のビジネスサービス経費明細では、すべてのユニットがコストセンターに配分されるわけではないため、この方法を使用した経費の割り当ては 100% 未満になることが一般的です。未割り当ての経費は、IT オーバーヘッドと見なされる可能性があります。使用中のユニット数に関係なく、経費割り当てが 100% であると表示されることを希望する組織もあります。この方法は、コストセンターが消費しているユニット数をすべてのコストセンターから割り当てられたユニットの合計数で除算することで割り当てのパーセンテージが計算されるため、「割り当て済みユニット」と呼ばれます。

これはシステム全体の設定であり、次の場所に移動することで構成できます。 ファイナンシャルマネジメント > プロパティ モジュールに移動し、選択リストからオプションを選択します。

割り当てユニットの定義

割り当てユニットレコードは、ビジネスサービスのキャパシティと使用状況を定義します。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin

手順

1. 移動先 すべて > コスト > 構成 > 割り当てユニット.
2. 編集するレコードを選択するか、[新規] を選択します。

> **注:**
> 構成アイテムの名前を選択すると、割り当てユニットではなく CI レコードが表示されます。

コストのソース

システム内のオブジェクトの経費明細を生成する方法はいくつかあります。

これらは一般に次の 3 つのタイプのいずれかに分類されます。

- CI コスト
- タスクコスト
- カスタム生成コスト：これらはデモデータには含まれていません。詳細については、ExpenseLine API を参照してください。

CI レートカード

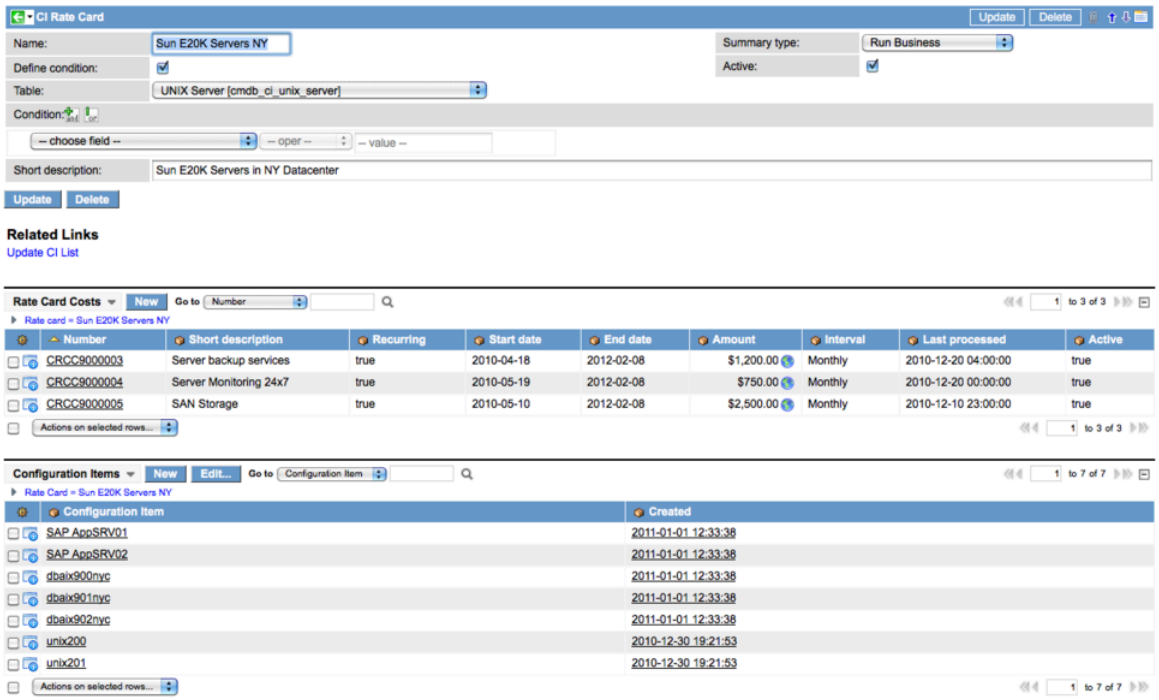
CI レートカードは、特定のタイプの CI のコストを定義するテンプレートです。この例では、サーバー関連のコストのみを使用しています。いくつかの異なるサーバーモデルしかなく、コストは各モデルで同じであるため、CI レートカードは各モデルのコストのテンプレートを定義できます。

以下は、[Sun E20K Servers NY] レートカードです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コストデモの **CI** レートカード



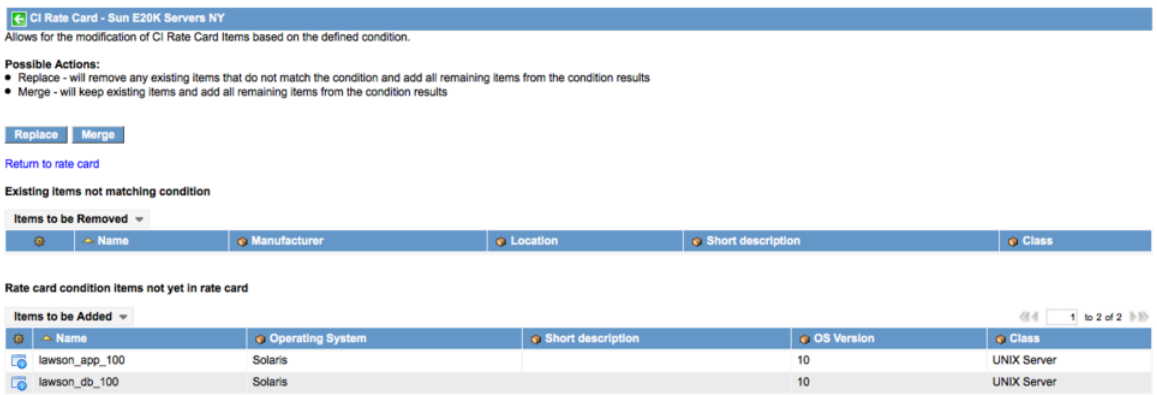
これは、サーバーの使用目的に関係なく、NY データセンター内の UNIX サーバーの一般的なコストと CI を表しています。

関連リストには、このレートカードの使用方法に関する情報が含まれています。[構成アイテム] 関連リストには、このレートカードを使用する各サーバーが表示されます。このアイテムのリストは、[編集] ボタンまたは **[CI** リストを更新] 関連リンクを使用して手動で管理できます。このレートカードのレートカード条件は [テーブル] **= [UNIX** サーバー]です。**[CI** リストを更新] 関連リンクをクリックすると、次の 2 つの内容が表示されます。

- レートカードのメンバーであるが条件に一致しない CI。
- レートカードのメンバーでないが条件に一致する CI。

レートカードを「調整」するには、[置換] または [結合] ボタンを使用します。

コストデモの **CI** レートカード更新



この場合、レートカードにない追加の UNIX サーバーが 2 つあります。それらを追加するには、[結合] ボタンを使用します。レートカードに 9 つの項目が表示されるようになりました。

注:
インスタンスに追加の CI がある場合、個数が異なる場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レードカートコスト] 関連リストには、すべてのサーバーで発生する繰り返し発生するコスト (この場合は月次ベース) が表示されます。

[経費明細] 関連リストを [CI レートカード] フォームに追加すると、このレートカードのコストから生成された経費明細のリストが表示されます。2 つのサーバーのサーバーバックアップサービスの経費は次のとおりです。

コストデモの **CI** レートカード

Expense Lines | New | Go to Number | 1 to 100 of 475

Expense Lines

Number	Inherited	Parent	Date	Short description	Cost ID	Source ID	Amount	Type	Summary type
EXP9006635	false		2010-04-18	Server backup services (unix200)	Rate Card Cost: CRCC9000003	UNIX Server: unix200	$1,200.00	Recurring	Run Business
EXP9006636	false		2010-04-18	Server backup services (unix201)	Rate Card Cost: CRCC9000003	UNIX Server: unix201	$1,200.00	Recurring	Run Business

配分コスト

複数の CI によって生成されるより一般的な一括コストの場合、配分コストは個々の CI レートカードが適用されないより広範なコストを表すことができます。移動先 ファイナンシャルマネジメント > 配送費 いくつかの例を表示します。

リストから [データセンター施設 (償却) **(Datacenter Facilities (amort))]** を選択します。

コストデモの配分コスト

Distribution Cost | = Required field | Update | Delete

Number:	DST9000004	Start date:	2010-02-09
Name:	Datacenter Facilities (amo	Recurring:	☑
Amount:	5,500.00 $ Edit	End date:	2021-02-08
Distribution rule:	All Installed Servers	Interval:	Monthly
Summary type:	Run Business	Last processed:	2010-12-09 19:00:00
Active:	☐	Next process:	2011-01-09

Update | Delete

この例では、1 か月間のデータセンターの電力コストが償却されていて、月次の繰り返し配分コストとして表されています。

サーバーおよびコストセンターごとのコストのレポートを有効にするには、この一括コストをすべてのサーバーに均等に配分する必要があります。これは、コストのフォームにリストされている [配分ルール] で実現されます。配分コストを表示するには、[配分ルール] フィールドで [すべてのインストール済みサーバー **(All Installed Servers)]** ルールの参照アイコンをクリックします。

コストデモの配分コストルール

Distribution Cost Rule | = Required field | Update | Delete

Name:	All Installed Servers
Active:	☑
Advanced:	☐
Description:	

Distribute a cost across all servers evenly with status of installed

Table:	Server [cmdb_ci_server]	
Condition:		
Status(install_status)	is	Installed

Update | Delete

Related Links

View Condition Results

このルールは $5,500 を受け取り、ルール条件に一致する各サーバーに配分します。ここでの条件は、インストールステータスが「インストール済み」のすべてのサーバーです。[条件結果の表示] 関連リンクには、条件に一致する現在のレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクコスト

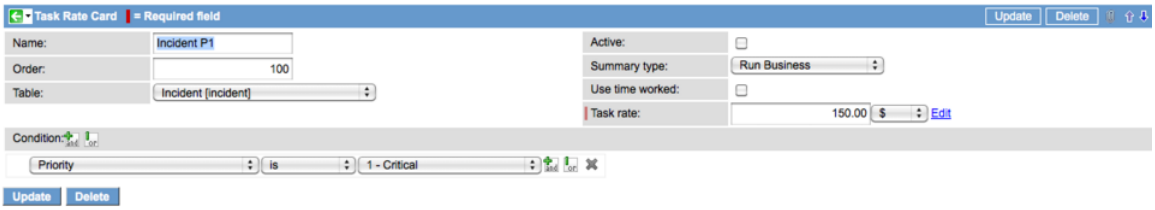
タスク関連アクティビティでは、経費明細を生成して、タスクの処理に関連するコストを追跡することもできます。タスク関連コストを生成する主な方法は、タスクレードカードを使用することです。

タスクレードカード

タスクレードカードは、タスクのコスト計算方法を決定するためにシステムが使用する条件ベースのレコードです。

例を表示するには、次の場所に移動します。 ファイナンシャルマネジメント > タスクレートカード インシデント **P1** を選択します。

コストデモのインシデントレートカード



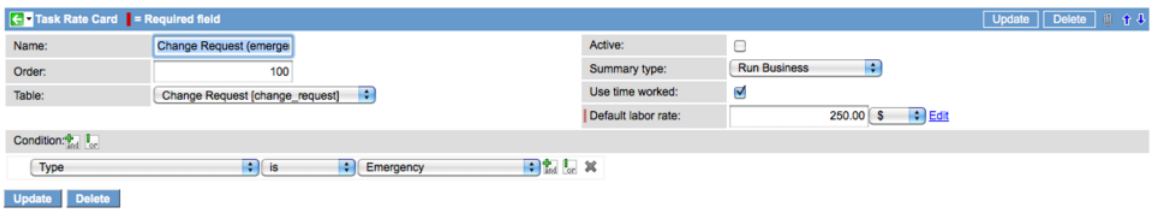
レートカードは、タスクがクローズされるたびに処理されます。この処理は、ビジネスルールによってトリガーされます。レートカードには次の情報が含まれています。

- 優先度が **[1 - 重要]** であるインシデントがクローズされると、$150 の経費明細が生成されます。
- これは、P1 インシデントごとに定義された定額料金です。

[経費明細] 関連リストには、このレートカードによって作成された経費のリストが表示されます。

[タスクレートカード] リストに戻り、[変更要求 (緊急) **(Change Request (emergency))]** レートカードを開きます。

コストデモの変更要求



この緊急変更要求のレートカードは、インシデントレートカードの定額料金モデルではなく、タスクの作業にかかった時間に基づいてタスクコストを作成する例を示しています。

- レートカードの [作業時間を使用] フラグは、タスクコストを決定するときにタスクに関連付けられたタスク作業時間レコードを使用するようにシステムに指示します。
- このレートを処理すると、次のようになります。
  - タスク作業時間レコードリストをクエリします。
  - タスク作業時間レコードでユーザーの時給を解決するか、レートカードで定義されているデフォルトレートの $250/時を使用してみてください。
  - 作業時間エントリごとに経費明細を生成します。

[経費明細] 関連リストには、このレートカードから生成された経費が表示されます。

自動翻訳

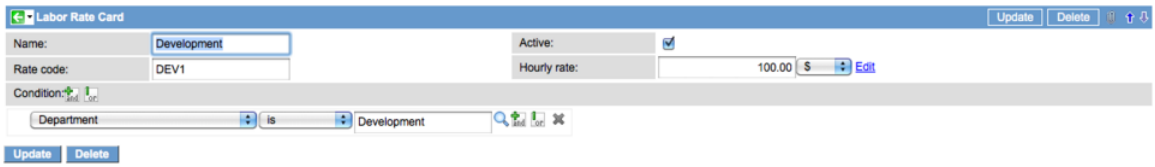
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

賃金レードカード

賃金レードカードは、時給の一般的なパターンを定義する方法であるため、システム内の個人ごとにレートを管理する必要はありません。

サンプルレートを表示するには、 ファイナンシャルマネジメント > 賃金レートカード をクリックし、 開発 レートカードを選択します。

コストデモの開発賃金レート



[開発] 部門のユーザーの場合、作業時間コストは時給 $100 を使用するという条件があります。

CI 関係

ビジネスサービスの総コストを表すレポートを取得するには、サービスとサービスを構成する CI との間に何らかの関連付けが必要です。これは CI 関係で行われます。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_admin

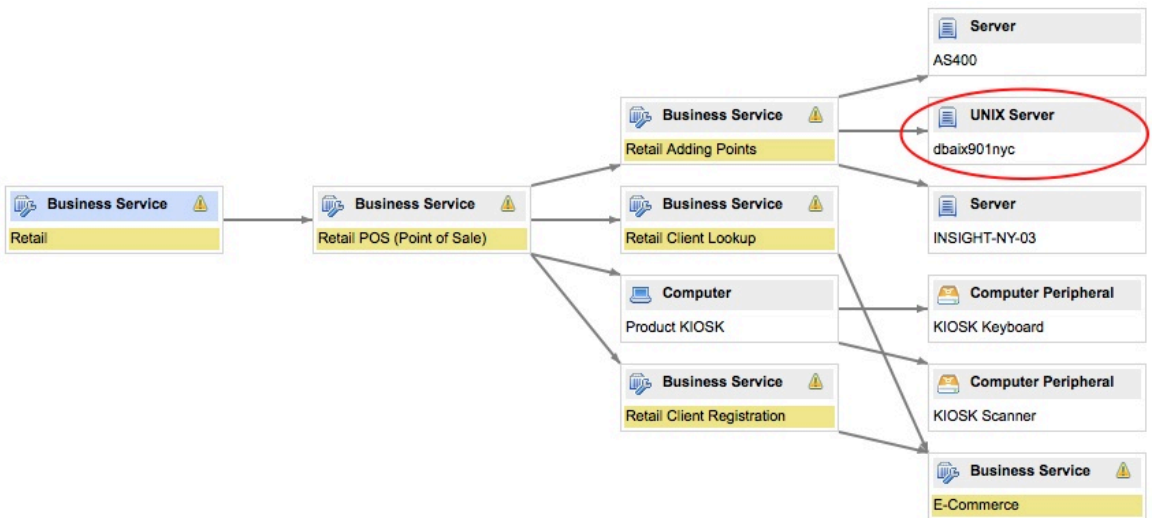
このタスクについて

コスト管理 プラグインのデモデータを使用して、ビジネスサービスに関連するすべての経費ラインを確認する方法を理解してください。

手順

1. 移動先 すべて > コスト > 構成 > ビジネスサービス.
2. [小売業] を選択します。
3. 依存関係ビューアイコン ( ) を選択して、ビジネスサービスマップを表示します。

ビジネスサービスマップの例



このビューは、dbaix901nyc サーバーが [小売業追加ポイント (Retail Adding Points)]、[小売業 POS (Retail POS)]、および [小売業] ビジネスサービスの依存関係にあることを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

したがって、dbaix901nyc サーバーにコストが発生するたびに、各ビジネスサービスで表示されます。

dbaix901nyc サーバーは Sun E20K Servers NY の CI レートカードのメンバーであるため、この CI レートカードから経費を検証できます。

それらを表示するには：

a. 移動先 すべて > コスト > コスト > **CI** レートカード.

b. [Sun E20K Servers NY] を選択します。

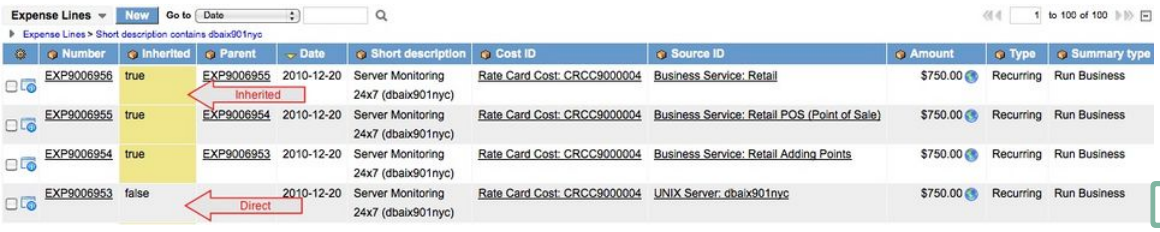
c. [Expense Line] 関連リストを選択します。

この関連リストが利用できない場合は、[Expense Line] > [レートカード] 関連リストを表示するようにフォームレイアウトを構成します。

d. [簡単な説明] に **dbaix901nyc** が含まれるという条件で関連リストをフィルタします。

サーバーの経費が表示されるようになりました。

サーバー経費の例



この例には、1 つの直接経費 ([継承] **= [false]**) と、他の直接経費から生成された 3 つの継承経費が含まれています。これらの継承経費は CI 関係に基づいており、任意のビジネスサービスレベルでのレポートが可能です。

経費の集計の詳細については、「関係の集計を有効にする」を参照してください。

経費の割り当て

経費は、経費を負担するビジネスエンティティに割り当てることもできます。

これは、チャージバックまたは請求とは見なされませんが、請求のソースとして使用できます。経費割り当ての主な目的は、何らかの経費が発生したプロセスのコンシューマーを表すことです。これは、経費割り当てルールを定義することで達成できます。

簡単な例

この例では、サーバー関連のすべての経費明細をサーバー担当部門に割り当てる方法を示します。

例を表示するには：

1. 移動先 ファイナンシャルマネジメント > 経費割り当てルール.

2. リストフィルターを削除して、非アクティブなルールとアクティブなルールを表示します。

3. [サーバー **-** 部門 **(Server - Department)]** ルールを選択します。

このルールでは、選択したステータスのいずれかを持つサーバーに関連付けられたすべての経費明細 ([経費ソース **(Expense source)]** フィールド) について、経費金額の 100% の経費場所レコードを生成し、その割り当てをサーバーの部門に割り当てるように設定されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

経費割り当てを表示するには、[経費割り当て] 関連リストをフォームに追加します。[ターゲット] フィールドは、経費が割り当てられる事業部門です。

コストデモの経費割り当て



複雑な例

より一般的な例は、ビジネスサービスのコストをビジネスコンシューマーに割り当てることです。コストセンターは通常、ビジネス財務を参照するときに使用されるため、この例では、サービスを消費している各コストセンターにビジネスサービスコストを割り当て、コストセンターが消費するサービスの量に基づいて割り当て量を算出します。

例を表示するには、次の場所に移動します。 ファイナンシャルマネジメント > ビジネスサービス をクリックし 、小売 を選択します。追加の関連リストにアクセスするには、[コスト] ビューに切り替えます。

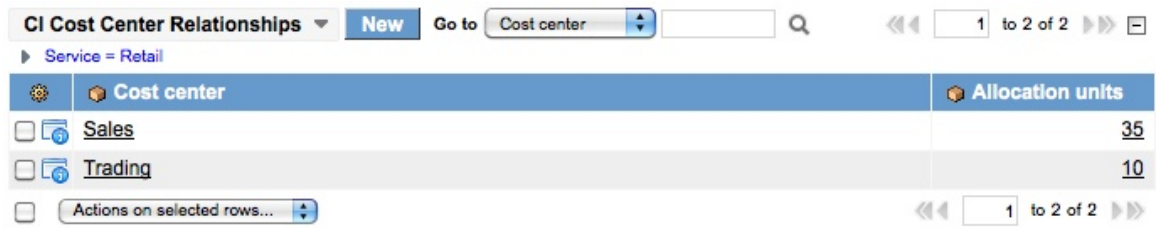
[割り当てユニット] レコードは、このサービスが提供するキャパシティの量を定義します。この場合、[小売業] サービスは 50 の場所 (ユニット) をサポートでき、そのうち 45 が割り当て済みです。ユニットは、そのビジネスサービスにとって意味のあるものを表すことができる一般的な概念です。このレコードは、割り当てを表すためにユニットを使用しています。目的は、このユニット数とコストセンターのユニット数を使用して合計のパーセンテージを決定し、配分額を計算することです。

コストデモの小売業の割り当てユニット



[CI コストセンターリレーションシップ] リストには、サービスを使用しているコストセンターと、使用しているユニット数が表示されます。この情報は、各コストセンターに割り当てるサービス経費の額を決定するために使用されます。たとえば、[取引 (Trading)] 部門は割り当て済み 50 ユニットのうち 10 を使用しているため、すべての小売業経費の 20% が割り当てられます。合計 (10 または 45) に基づいて割り当てるオプションもあります。

コストデモの小売業ユーザー



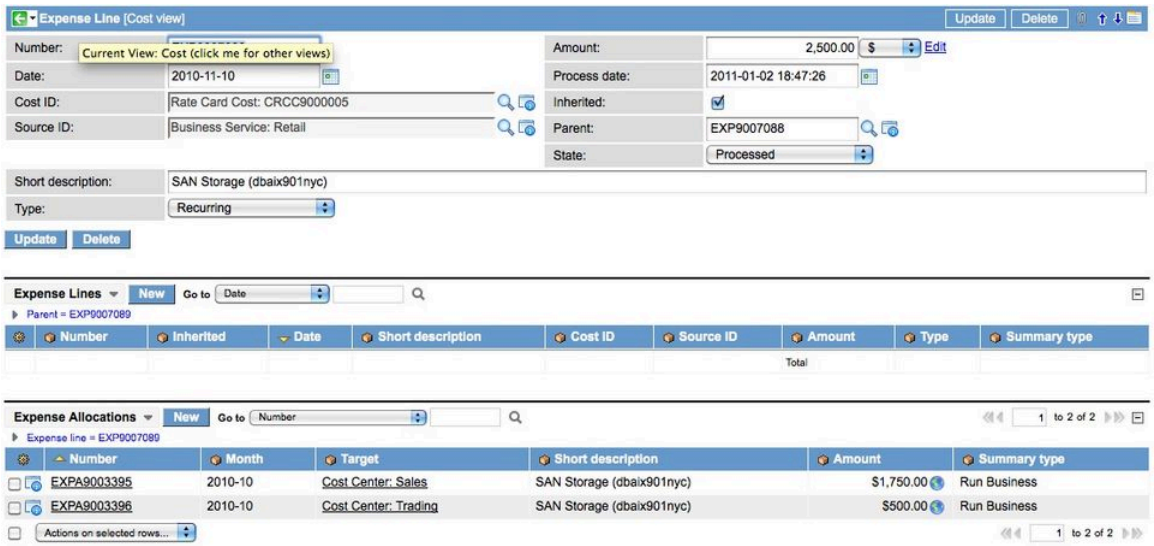
経費明細がどのように割り当てられているかを確認するには、[経費明細] 関連リストでエントリを選択し、[経費割り当て] 関連リストを [経費明細] フォームに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

以下は、dbaix901nyc サーバーの $2,500 の経費です。この経費から 2 つの経費割り当てが生成されます。[取引 **(Trading)]** コストセンターには、前に確認した CI コストセンターリレーションシップに基づいて、経費のうち $500 (20%) が割り当てられました。

コストデモの小売業の例



ビジネスサービスからコストセンターへのこのタイプの割り当ては、**[SVC-CC** リレーションシップの処理 **(Process Svc-CC Relationships)]** 経費割り当てルールによって行われます。これは、スクリプトを使用して割り当てロジックを決定する高度なルールです。

予算関連レコード

予算は、そのフォームに関連リストとして表示される追加のレコードに関連付けられています。

予算レコードの関連リストは次のとおりです。これらの関連リストにレコードを追加することも、既存のレコードを削除することもできます。

- コストセンター：この予算のメンバーとなっているコストセンターが表示されます。
- 経費割り当て：予算の全コストセンターに関する予算期間中のすべての経費割り当てレコードを表示します。

ドメイン分離と Cost Management

Cost Management ではドメイン分離はサポートされていません。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。